

「死後の世界」をお話しします

昨日も、東日本大地震の霊体エネルギーが体の中に残っていたので、色々、抜こうとしましたが、やはり、まだ聞いて欲しい思いが多いようなので、一日ひとつだけ聞く事にしました。

早速、現れた御霊は、子供を抱えた３０代くらいのお母さんがカラーで現れて、その後ろにいる黒い数百名の御霊たちの代表として質問をしてきました。

「自分たちが津波で死んだのはわかったのですが、これから私たちがどうなるのか教えてもらえませんか？」

それは、当然、思う不安なのでゆっくり詳しくお話ししましたが、よく考えると、「死後の世界」を正しく理解していない為に不安になっている人も多いので、今日は、御霊たちに教えた内容をお伝えしますね。

※この内容は、私が実際に三度、天へ上がった時に、自分の目で見て、そこにいる存在たちと対話した体験からお話しています。

（（死後の世界））

今回、津波で亡くなったあなたたちは、こちらの世界の時間で１年が過ぎたので、ゆっくりゆっくり天へ魂が上昇している時間です。

あなたたちにとっては時間という概念が無いために、どうしても、亡くなった時の思いで止まっている方もいると思いますが、それも、あの日以降、少しづつ考えることが違ってきているでしょ。

それが、天に上がる為に必要な時間なんです。

最初は、残った家族の事が心配で、何度も、家族を探しに行ったと思いますが、家族も、あなたたちの亡骸を必死に探したことも覚えておいて下さいね。

亡骸を見つけられなかった家族は、死を受け入れるのが大変ですが、それは、あなたたちも同じ気持ちでしょう。

でもね、海の底に飲み込まれた肉体や深く土砂の中に埋まった亡骸は、もう、すっかり白骨化し

ているので、あなたたちの魂が戻る入れ物は無いんですよ。

だから、自分の死を受け入れた魂は、残された家族が一日も早く元気で幸せに暮らしてくれることを願う気持ちになってきているはずです。

それが、こちらの世界に与えられている「時間」なんです。

時間が経つと、色々な思いを忘れるのは、神様のプレゼントなんですよ。

残された家族も「時間が解決するしかない」と、辛い気持ちをこらえて、必死に生きているのですから、あなたたち御霊は、辛く悲しい気持ちが残っていても、残された家族を上から見守る役目になっていくと覚えておいて下さいね。

あなたたちのご先祖もそうでしたし、これから亡くなる人たちも、全て同じ経験をして天へ上がっていきます。

それぞれの人が生まれる前に来た魂の場所は決まっていますので、あなたたちは、その場所へ戻っていきます。

地球上に生まれた人間や動物や生命があるもの全ては、それぞれ与えられた召される時間のなかで、天へゆっくり上がる仕組みになっているんです。

ただ人間は、思いが強い動物なので、仏教で教えている１年、３年、７年、１３年・・・の法要は、大切な人を無くした家族が、心の整理する為に作られた「くぎりの習慣」なんです。

実際に、あなたたちの世界では、時間の概念が無いので、思いを掴んだままでいれば、亡くなった瞬間の感情のまま、永遠に続くはずです。

そんなことをしていると、あなたたちの辛い気持ちはわかりますが、残された家族は、もっと辛い思いを経験するのですよ。

あなたたちに今、知って欲しいことは、自分の辛い思いを誰かに伝え続ける為に土地に残るのではなく、これから知人や家族を見守る役目になるのだと思って、土地に残っている御霊たちも一緒に連れて天へ上がることをお願いします。

寂しい気持ちは、とってもよくわかりますが、上に行けば、あなたたちを産み育ててくれたご先

祖様たちが、たくさん待っていますよ。

この世で起きる災難は、全て無情と感じるかもしれませんが、そうではなく、それぞの役目と意味があって順番に命の循環をしているのです。

死は、もともと魂が居た場所へ戻る過程なので、実感は無いかもしれませんが、あなたたち御霊は、もともと肉体を持たない存在なのです。

肉体が与えられて地球に生まれた理由は、自分が存在する意味と、もうひとつ、肉体を失う意味を自分以外の誰かに感じてもらう為なんです。

大切なものを失う経験をしてこそ、わかることがあるでしょ。

失う事も、与えられることも、大神の愛だと気づけば、それぞれの魂にするべきことがあることに気づくために設定された命の循環摂理なんです。

生きている人から考えれば、大切な家族が肉体を失ったと悲しみますが、本来は、もともと魂が居た場所へ戻るだけのことなので、死は悲しみではなく、肉体を持つ役割が終わった魂を感謝で見送るのが、送り・葬式の本来の意味なんですよ。

でも、実際には、すぐに死を受け入れられない家族の思いが、あなたたちの御霊を引き下げることになりますので、私は、辛い家族に対しても、四十九日、百ヶ日、一周忌、三回忌で、全ての思いを終えるようにお話ししています。

宇宙にある全てのものを産み出してくれた大神が、人間の魂を作った理由は、命の再生と循環を経験することで、「存在することの意味」を気づき、そして、失う意味を気づくためなんです。

だからね、寂しい御霊たちのように土地にへばりつく事が目的で生まれてきていないことを理解して下さいね。

ただ、わかりますよ。

誰かに、最後の思いを伝えて、わかってもらいたいのはね。

だからこそ、私たちのように霊を見たり、感じたりする人が、いつも生まれているんです。

霊界と神の世界と人間の世界を繋ぐ役目を持っている人たちが、もっと、たくさん生まれているんですが、霊の話しを聞く勇気がないので、向き合ってもらえないことが悲しいのでしょ。

でも、後ろの皆さんにも伝えて下さいね。

私たちは、本気で、あなたたちの魂が再生するための祈りをしています。

日本全国でも、世界中からも、あなたたちが天へ召される為の祈りをしてくれていますので、天へ向けた光の柱が見えるでしょ。

そこへ行けば、苦しみが説きほどかれて、ゆっくり自然に天へ上昇していきます。

残された家族は、互いに助け合って生きていきますので、心配しないで下さいね。

生きている人の祈りは、その光の柱を支える力があるからこそ、どの宗教でも最初に祈りを教えているのです。

私たちも、いずれは、そちらの世界に行きますので、どうか、今、生きている人たちが歓びを感じて生きれるように見守っていて下さい。

生きてい居る人も、亡くなったあなたたちも、大切な役目があって、魂は生かされています。

肉体が無くても、存在していることは知っていますので、あんまり、おどろおどろしい声で、苦しみをつぶやくのは止めて下さいね。

こんな話しをしていると、霊界が開いちゃうので、ボツボツ、止めにしますね。

また、何かあったら、体を痛くしないで、そっと、質問しに来て下さいね。

皆様の魂が、光り輝く事だけをいつも、祈っています。ありがとうございます。



2012.03.15 Thu

東日本大地震後の御霊上げを終えて

3月13日の朝6時すぎに寝台特急で札幌駅に着きましたが、ほとんど眠れ無かった為に、体も意識もまだ硬直している理由は、私たちにまだ気づいて欲しいことがあるのだと思います。

４日間、悲惨な光景を見続けたこととことで無意識は、今も、御霊たちと土地に残された人たちの思いを感じ続けていますが、被災地にお金や時間がいくら与えられても、すぐに解決しない問題は心の問題だと思います。

神事中はいつも気を張っているので、家に戻ってから体はゆるむはずなのですが、この気の重さは、今までに気づいていない何かを、私たち全員が気づかなければいけないように思えてなりません。

今、私たちに何ができるのか・・・

亡くなった御霊たちの代わりに、どう生きることが必要なのか・・・。

答えは、一人一人違うと思いますが、生かされている人たちの目的が、全ての人が歓びへ向かう同じ方向であって欲しいと願っています。

海に囲まれた日本で起きた津波の被害から生き残った人たちは、子孫たちに大切な言葉を残してくれています。

沖縄の島々に住む人たちも海に囲まれた狭い島だからこそ、何度も、台風や津波で多くの命が海に飲み込まれた経験をしています。

一番近い記憶では、1771年4月24日に起きた「八重山地震・明和の大津波」の被害が、最も大きい被害でしょう。

当時の被害が、死者・行方不明者が12000人と言われていますが、正確に把握できない時代だったことも考慮すれば、もっと多かったはずです。

・八重山地震
・八重山の明和の大津波

今回の神事でもっとも気がかりだった事は、町ひとつが一瞬で消えた女川町に入った時に、降りた神言葉が、全て古い沖縄の宮古方言の神言葉で降りたことでした。

沖縄本島生まれの女性に聞いても意味はすぐにわかりませんでしたが、最終日に、盛岡市で最後の交流会をした時に、盛岡出身の女性のご先祖の思いを感じて全ての意味がわかりました。

２４０年前、沖縄で起きた明和の大津波のあと、ヤマトの地の津波で、たくさんの命を失った土地に新しい命が生まれるよう、東北まで祈りに来た神人たちが過去に居たのです。

その先祖を持つ女性は、今回の神事に参加した沖縄生まれで神奈川在住のH・京子さんでした。

そして当時、沖縄から来た神人たちを受け入れて、一緒に新しい命を産み出す祈りをした地元の女性こそ、岩手県盛岡市から最終日に参加したN.美奈子さんのご先祖だったのです。

二人のご先祖のオバーたちは、人間に命を与える自然神や宇宙神たちに、いつも祈りを捧げていた素晴らしい祈りの女性たちでした。

二人のご先祖の気持ちを理解したあと、二人は手を取り合ってご先祖の思いを繋ぎました。

ありがとう。ありがとう。本当に、命を繋いでくれて、ありがとう。

「命どぅ宝（ぬちどぅたから）」、命は何よりも大切な宝なんだよ。

沖縄のオバーの言葉には、苦しみや辛さを乗り越えた本物の愛とやさしさに満ち溢れています。

今回の神事に参加した７名のうち、私を含めた北海道生まれの二名も、母親の先祖地が岩手県ですし、関東から参加したもう一人の巫女も、生まれは山形県出身です。

大阪から来た二名の男女も、とても重要な魂役目を持って参加したことがわかり、今回の祈りは、ご先祖たちが自分の子孫の肉体を動かして、東北の地で新しい命が生まれる為の魂の約束を果たす為に、集まった神祈りの仲間だったとわかりました。

私は全国で色々な方と神事をするたびに、何度もこういう体験をしていますが、今回、これほど明確に先祖たちが思いを伝えて来た理由は、誰もがふと、「こうしたい、ここへ行きたい、私がいかなければならない」と思った事の全てが、ご先祖や守護存在のメッセージであることを皆さんにも気づいて欲しいからだと思います。

本来、私たち人間の魂には「自分という我」は存在しません。

当然、一人ぽっちの人など、居るはずはありません。

でも、被災地の方や全国にお住まいの方も、心の奥底で、一人ぽっちの辛い時間を過ごした人は多いはずです。

まずは、「我の無い世界」こそが「魂の世界」であって、命の再生と循環を産み出す大切な光の繋がりが、魂の世界だと覚えておいて下さい。

その魂の繋がりを繋ぐ為に、3月12日の祈り合わせを皆様にお願いしたのですが、結果は、６６６名の祈りになりました。

大神に1000名と宣言したのは私ですので、足りない分は、自分のこれからの努力だと思っていますが、「６６６」という数字の意味もあります。

三つの６が並ぶ意味は、「弥勒の世」を意味しているからです。

そして、私たちの祈りのエネルギーを繋いでくれたのが、実は、龍たちなのです。

龍は自然界の命を産み出す為に、土地の中や大気の中、そして、宇宙空間を繋ぐ光のエネルギーとなって駆け抜けていることも覚えておいて下さい。

今回、岩手県宮古市の浄土ヶ浜に立った光の柱は、七色のレインボー龍が支えている愛の柱です。

それは、これから起きる意識の大幅な転換の為に、支えるべき五次元の天井を支えてくれます。

今、皆さんに伝えたいことは、私たちは自然に生かされて生きている事を次の世代につなげなければいけないという点だと思います。

どうか、あなた自身が、自然や他人と共生する心を思い出して、次の世代に繋ぐ役目を果たして下さい。

亡くなった御霊たちのためにも、命の再生と循環が正しく行われる祈りも必要でしょう。

祈りはご先祖や守護存在と繋がり、その光の意思を繋ぎ合わせる作業なのです。

命を産み出す為に、個人に囚われない男女が、心を開いて向き合うことも必要です。

自分の子供を育ててくれるのは、親が知らない他人だからこそ、親子が離れていても、自分に子供が居なくても、互いに助け合って生きる大切さを次の世代へ繋ぐ役目が大人たち全員にあると思います。

神の望みは「命の循環」ですし、親の願いも子供の命が続がることだと思います。尊い命をたくさん失う悲しい出来事が起きたのですから、私たちは、次の世代へ語り継ぐ「共有の心」を持たなければいけない時代なのではないでしょうか。

神々も、ご先祖たちも、亡くなった御霊たちも、私たちの明日を生きる強い意思に力を貸してくれるはずです。祈りは、その心をひとつする為のキッカケだと思ってもいいですから、どうか、祈りと行動と言葉を一致させる大人として行動して下さる事をお願いします。

たくさんの子供たちの目が輝くような、素敵な大人たちが溢れる未来を私たち自身で創っていきましょう！

今回の神事にご支援・ご協力下さいました皆様、そして、遠くから私たちを見守り、無事を祈り続けてくれたたくさんの皆様に心から感謝いたします。

本当に、ありがとうございます。





3月11日の夜、釜石市の駅前に全国から若者が集まり、キャンドルナイトで愛を伝えてくれていました。開催を教えてくれた京都の茂又さん、ありがとうございます。

2012.03.14 Wed

3月**12**日岩手県宮古　午後**2:12**の祈り

釜石市のホテルで夜を迎えて、初めて、御霊たちの中で生活する感覚を全員が感じました。夜遅くまで御霊たちの思いを感じながら、これから自分たちに何ができるかも話しました。

朝、目が覚めると、冷たい雪があたり全てを真っ白に覆っていましたが、これも、震災当時の状況を感じさせてくれていると思いました。













宮古へ向かって走り出しましたが、通る港の近くは、全て津波で家が流されています。







港に１５ｍもある防波堤を乗り越えた津波は全てを飲み込み、残ったのは、山になったガレキと土台だけでした。

御霊たちは、私たちに飲み込まれた瞬間の体の痛みと一緒に、色々な思いをぶつけてきます。

冷たい・・・冷たい・・・寒い・・・苦しい・・・痛いよー、おかあさーん・・・

霊の思いを感じる巫女や全員の体を通して、死ぬ間際の苦しみがそのまま伝わってきます。

色んな苦しい思いを感じてみてわかったことは、海の底に沈んだ多くの御霊たちが、何が起きて自分が死んだのかを知らずにいることがわかりました。

改めて、１年前の3月11日に何が起きたのか丁寧に伝えたあと、午後２：１２に、浄土ヶ浜に光の柱を立てて天へ昇る道を作るので、全ての御霊たちに集まりなさいと伝えました。

浄土ヶ浜に着くと、気温は５度、冷たい風で冷やされた体感温度は０度くらいの中で祈りを始めました。







午後2時前から祈り始めると、日本全国でもたくさんの方たちが祈っているエネルギーが体を通して感じてきました。

御霊たちが上がる光の柱も海の底から立ち上がり、竜宮乙姫さんたちが沈んだ御霊を抱えて運んできてくれました。

愛の光の柱は竜宮底神（りゅうぐうすくしん）をさらにぶち抜き、地球の核の火の神に直接、
繋がったあと、宇宙の大元マスターまで繋がり、火と水を繋ぐ神ラインにもなりました。

なぜ、この土地が宮古と言われるのか、なぜ、宮古諸島の伊良部島に龍の神がいるのか・・・

それは、この二つの龍の場所こそ、地底ラインを通して大切な命を産み出す生命循環ラインだからです。

沖縄と東北の繋がりも、神事を通してわかりましたので、後日、お伝えします。

まずは無事に、皆様のおかげで東日本大地震御霊鎮魂祈りが終われましたことを感謝いたします。地球創生メルマガに宣言頂いた６６６名の皆様、ほんとうに、ほんとうに、ありがとうございます。

2012.03.12 Mon

3月11日宮城県・岩手県の現状と御霊鎮魂祈り

3月11日、まず「宮城県気仙沼市」に入ると、復興支援室が行っている復興屋台村を見つけました。

町の人が元気を取り戻す為には、とても大切な場所だと思います。



気仙沼市の港付近は、ご覧の様子です。外人を含めてたくさんの方たちが、写真を撮りに来ていました。










気仙沼
リアスシャークミュージアム




仲町ブランチ
クレヨン











土台の上の家の部分は、津波の引き潮の力で海に引き込まれて、全て、ガレキになってしまいました。

どの港も、同じように家と人間が流されましたが、たった数十分の出来事だと、あとで、教えてもらいました。







午前11時頃、一周忌の追悼の集いが、道路沿いで行われていました。



この当りで最も被害が激しくて近づけなかった岩井岬（宮城県気仙沼市波路上岩井崎）に移動すると、海の近くのお寺に慰霊碑があったので、全員で祈りました。

遠浅の海岸から来た津波は、大きな口を開けて、私が今、立っているこの位置まであった全てのものを、一瞬で飲み込みました。









ここへ来る道の途中で、神様からこう言われました。

今日の祈りを他人事で祈るのではなく、自分の家族が、子供が、父母が亡くなったと思って、本気で祈りなさい。

他人事ではなく、自分の大切な家族を失った気持ちで祈る大切さを改めて思い出し、誰もが、涙で溢れました。

このマンションは、3階まで完全に津波で壊されていました。どれほど高い、そして、強い力が襲ったのかがわかります。







岬の先端に潮が吹き上がる場所で、海の底に引き込まれて上がれない御霊たちの声を聞きながら祈りました。





このあと、「岩手県陸前高田市」へ向かいました。

地元の方に、当時の様子を聞きながら仲間と昼食を取り、午後2時46分に一緒に黙祷しました。

大地震のあと、すぐに白い津波がやってきて、目の前の全ての家を飲み込んで潮が引いていきました。

次は、黒い雲になって、何度も何度も、津波が押し寄せては引くという繰り返しでした。

この時間は、たった３０分くらいの出来事でしたが、全てが一瞬で、変わってしまいました。

翌朝、田んぼの上にどこかの家が流れついたり、家の中の物や死体が散乱していました。

3ヶ月間、水と食料は配布されましたが、自衛隊が引き上げたあとのほうが、生活は大変でした。

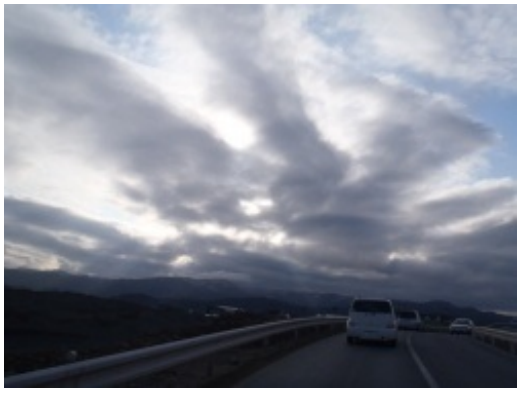
つい最近も、白骨化した死体が川の近くで見つかりましたが、私たちはその全てを受け入れて生きるしかないと、大津波を三度、経験した70代のお母さんが教えてくれました。













ただただ、鎮魂の祈りをしました。

大船渡の港を見ながら釜石市の港に入りましたが、さらに、驚きました。

やっと取れたホテルの回りは、全てが廃墟になっているので、電気もなく、人も歩いていません。

部屋に入ると、全員の体に霊たちが集まってきて、あげて欲しい御霊たちの数の多さに体がおかしくなり始めました。

すぐに、部屋の中に祭壇を作って、御霊が上がる為の「霊道ライン」を作りました。

ものすごい数の御霊たちが海の底から上がってきますが、中には、上がりたくない御霊もいます。

その理由を聞きに港へ行った仲間もいますが、朝まで、思いを伝えたい御霊たちと対話することになりそうです。

全員、覚悟はできていますので、助け合いながら、自分たちのできることをさせて頂きます。

私たちも今、出来ることをしておりますので、どうか、明日3月12日の午後2:12に、祈り合わせをお願いします。

あと一日、仲間と一緒に頑張ります！

2012.03.11 Sun

3月**10**日宮城県の現状と御霊鎮魂祈り

宮城県に入る時に土地神様の力を借りる必要性を感じたので、一宮でもある「塩竈神社」へ6人で向かいました。塩竈神社は、大震災後の大祭を行うかを迷ったそうですが、亡くなった人たちの為にも、大切な神行事を続けると決めたそうです。境内に向かう途中、あちこちで装束や神衣装を来た地元の方たちにお会いました。













今日の宮城県の祈りに、土地を守る神として力を合わせて下さる許可を頂き、お札を三枚購入しました。このお札は、祈りの場所で炊き上げて、神と御霊の思いをひとつにする為です。

津波が、山裾まで押し寄せて、一気に多くの命を失った石巻市内に入りました。





石巻港のあたりは、全て家が流されていて、廃墟になった建物だけが残っていました。







この海から津波が上がって、山の裾野まで一気に全てを押し流しました。



栄えていた漁港の土地も、地盤沈下と道路が壊れ、仮の道路をやっと移動できる状態です。



海のそばに積み上げられた車は、持ち主不明の物も多くあるそうです。





ガレキは、あちこちに積み上げられていますが、１年経っても、いつ整理されるかメドはたっていません。



道路の側に、大きな缶詰会社の広告缶詰が押し流されていました。



住宅街のすぐ横の川には、漁船も押し上げられてしまっています。



１時間以上、石巻市内を回って現状を知ったあと、祈りの場所を決めました。

津波が川を上ってきた時に、最も多くの命が集まった中州で祈りを行いました。



多くの悲しみが、まだ、この土地には残っていますし、商店街も人はまばらで、駅前に数件だけ食事ができる店がある程度です。

命の循環と再生には時間がかかる場所だと思いますが、どうか、今、生きて生活している人たちの命が繋がるようにお願いします。

石巻市から女川町へ向かう道路の横に、仮設住宅がありました。失礼だとは思いましたが、皆さんの為に写真を撮りました。どうか、今、ここで生きている人たちがいることを忘れないで下さいね。



女川町に、入りました。

でも、町はありません。

まったく、命の灯火が消えてしまった町の姿です。









この建物の裏の山の上に、一件だけ電気がついていました。

お寺か神社のようですが、土地を見守る神仏に感謝を伝えました。



何もない空間の一番奥は、林になっていますが、中へ入ってみると、そこには、津波で押し寄せられた生活の残骸がそのまま残っている場所でした。













一番、奥まで進んでみましたが、そこには、もと住宅街があり、子供たちが遊び回り、山からきれいな水も流れている場所でした。

その場所に立つと、誰もが言葉を失いました。１年経っても、ここは、時間が止まっていたからです。

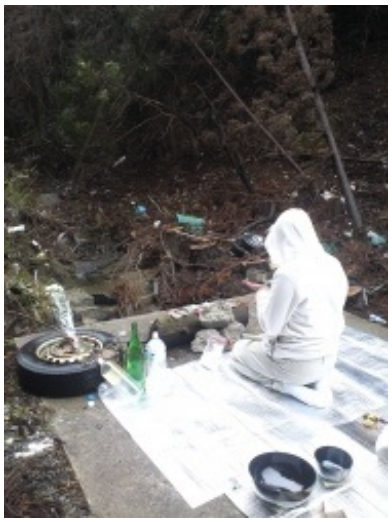






私たちに今、できることは、天へ上がりたい御霊たちに体を貸し、祈りの力で神々に繋いで御霊の再生を手伝うことしかできません。

必死に必死に、祈りました。



海側の町は明日のイベントの為に一切、宿が取れなかったので岩手県丹沢まで戻りましたが、道の途中で小さな愛を見つけました。



震災後、誰かが、道の側に「お地蔵さん」を置いてくれたのです。

道を通る人たちの安全と、ガレキを運んでくれるトラックの運転手さんたちを、そっと見守るように・・・。

ありがとう、ありがとう、そして、ありがとうございます。

誰かの、本の少しの愛の行動で、誰かが、また勇気を持てるかもしれません。

私たちの祈りも、誰かの為になると信じて、明日も、頑張ります。

そして、どうもすいません。

この日予定していた気仙沼市は、移動に時間がかかりすぎたので、明日、改めて伺います。

神々の守護、そして、たくさんの人たちの祈り力と愛に支えられていることを、誰もが感じています。

私たちの代わりに、ありがとう、そして、どうも、すいません。

必ず、私たちにできることは、させて頂きます。

2012.03.10 Sat

3月9日岩手県の現状と御霊鎮魂祈り

福島空港から海側へ向けて走ると、福島第一原発と第二原発の間にある河内村で通行止め。

若いお巡りさんが、「ここから先は、通行止めです。どうも、すいません。」と言ってくれます。この地を守ってくれて、ありがとうございます。



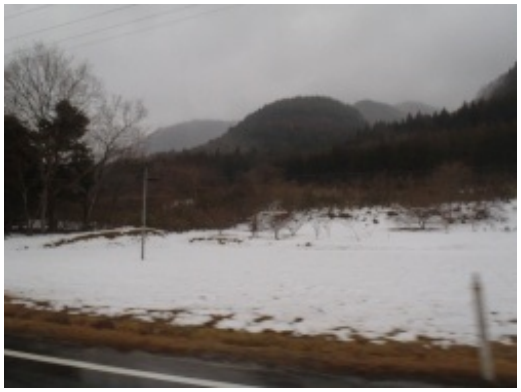
避難所に使われていた町内会館。







まだ、山側には雪が残る。



道の両側は、全て津波で流されたあと。何もない。



海側で積み上げられたガレキの山。



流された家の土台と家族の御霊。



ガレキの処理中。



土台以外が、全て流された家。



防波堤が、津波で倒された傷あと。





この場所の御霊たちと会話しました。

老人たちは、死を受け入れていましたが、家族に会いたがっていましたので、家族の元に一旦、戻してあげました。

そして、ここに集まっていた子供たちの御霊。

どうしたらいいのかわからず、集まっていましたので、天へ昇る祈りを行いました。

「アガリキヨメの姫」に、御霊たちを抱えて上げてもらいました。

ここを見守る神様が、姿を見せてくれました。



海側を車で走らせていると、宮城県の海側にある新興住宅地跡を見つけました。（亘理インターの手前の町）

道路の両側全ての家の一階が、津波で破壊・消失。

数キロメートル、いえ、数百キロメートルに渡り、この情景が続いているのが、海側の集落の状態です。

どうか、一日も、早く、この家を撤去してあげて下さい。

地元の方たちが、毎日、この様子を見て暮らす辛さを考えてあげて下さい。

このままでは、不浄御霊たちが集まる場所になってしまいます・・。











このあと、仙台市内に住む地元の方から、この一年の思いや感じた事を聞きました。

一言では言えない様々な交錯する思いのなか、「希望と出会い」だけを信じて頑張っていますと言ってくれました。

ただ、「震災バブル」という言葉だけは、許せないと。

たった三年ほどの復興支援事業で地元に落ちるお金があったとしても、そのあとの誰もみてくれません。

ここで一緒に生きている人たちの思いを、そんな言葉で言い表して欲しくないと、切実に訴えていました。

他人事で言葉を使うのではなく、相手に気持ちになって言葉を使うやさしさを、皆さんも、どうか気にかけてあげて下さいね。

ありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございます。
2012.03.10 Sat

渋谷の土地に感謝する

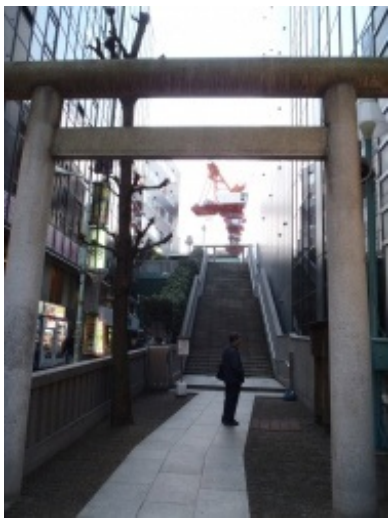
明治神宮の光岩で、五次元の天井を支える光の柱を立てたあと、２５名は互いの感じた事をサニワし合う意識共有の時間をたっぷり取りました。

まだ、体にエネルギーが残っている方も居ましたので、全員で意識と体を調整する「ボイスヒーリングワーク」も行いました。数十分のワークでしたが、完全に意識がクリアになったことが、目の奥の光りでわかります。

渋谷区の勉強会会場へ移動する前に、この歓びを土地神様に感謝したいと思い、近くに神社が無いかを地元の人に聞きました。

結果として、何度も見過しながらご挨拶していなかった渋谷区の宮益坂の途中にある「御嶽神社」http://www.shibuyamiyamasu.jp/mitake/main.html へ向かいました。









この宮益不動尊の仏様は、すぐにメッセージを伝えて下さいました。

昔、この近くには、赤い頭巾を被せたお地蔵様がたくさんありましたが、今では、全て取り払われてしまい、子供たちの命を守ることができません。水の事故が多かったこともあり、土地の皆様は子供たちの安全を祈願していたのですが、その思いを守る事ができずに困っています。

奥にいる御嶽神社の山神様にも、この内容を確認しました。

私たちは、もともと、この地域の生命循環を正しく守る為に鎮座しましたが、ここまで土地の繋がりや神繋がりを壊されると本来の働きができません。今は、この周りを守ることで精一杯ですので、あなたたちにその判断をお任せします。

悲しいかな、自然を壊された都会の神様の実情は、こんな状態だということもわかってあげて下さいね。

神様にどうするかを任されたということは、責任を取れるのは、土地に住む方ですので、関東の三名の巫女に、全ての思いを自分たちが背負う事を約束をしてもらいました。

この思いを納めるには、どこの場所が良いかを話し合った結果、同じ渋谷区にある「金王八幡宮 http://www.geocities.jp/ynycr674/」が良いと関東の仲間が決めました。



夕暮れの中、末社ひとつひとつに許可を得ようと挨拶すると、一番、下に位置している「御嶽神社」で、「ここでは決められないので、本殿の神様に聞いて下さい」と言われ、次の「稲荷社」では、ウル（牛）族の人たちに対して問いかけの言葉が降りました。

「男神は、本来のやるべき事があるはずなのに、なぜ、しようとしないのか！」と、ウル族の巫女が言葉を降ろしました。

ウル族の男が、やっと、挨拶に来たが、本人の口から共に地球を守る覚悟を聞いていないので、力を貸す事ができない。なぜ、自分が守ると宣言しないのか！という意味です。

ウル族の男は、覚悟を決めて改めて稲荷社へ向かい、巫女たちの口を借りて承認を得ました。

この瞬間、ウル族の男神が、初めて関東に立ち上がったのです。

これまで理由がわからず、自分に自信が持てない人たちの魂の奥底に共通する思いの原因を、この男性の決意のおかげで解消する事が出来ますので、これからを楽しみにして下さい！

当初のお地蔵様が守ってきた子供の御霊の納め場所を探しましたが、やはり、「金王丸」を祀った場所しかありませんでした。



先ほどの三名の巫女たちに、お地蔵様の思いを金王丸に伝えて、子供たちの御霊たちをここに納める許可を得て下さいとお願いしましたが、一人の巫女に、子供の思いが乗り移り、お母さん！と叫びながら泣き崩れてしまいました。

慌てて、金王丸の場所へ行くと、子供の御霊を受け止める母神が居なかったので、新たに、母神をこの社の中に降ろして、金王丸の魂と一緒に守れるようにしました。

これからこの場所は、渋谷区一帯の子供の御霊を預かる場所になりましたし、土地に住む子供たちの安全を守る神様の場所になったことを土地の方達は覚えておいて下さい。

最後は、全てのご報告を本殿の神様へ伝えに行きました。



「ウル（牛）族が、地球に最初に降りた時の思いや、そのあと、龍族が命を産む為に来たことの思いは、先人の地に後から入ってきた民族の思いと同じだからこそ、共に、命を育む仲間として力を合わせて下さい」と言葉を下さいました。

常に、争わず、常に、和合の心で、互いの思いの違いを受け止め合う心こそ、神仏の心だと教えて頂いた時間でした。

このあとの関東勉強会でお話しした「真実のイエス・キリストの存在意味とキリスト意識」は、

まだ、一般公開出来る内容ではありませんので、真実の意味を知った皆様が、その真意を自分で実践して下さることで、人類救済・地球救済の使命を持ったイエスの御心に繋がると思います。

一切、他人の行いを問わず、全ての人の心をひとつにする為にも、3月11日に亡くなった人たちの思いを3月12日の午後２：１２に祈りましょう。

私自身が光となり、地球と人々を支えると宣言する時間です。

◎**3/11**までに、**1000**人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！・・・３月６日現在・・・６２７名登録

あと、５日間なので、すぐに、お知り合いにメルマガ登録のお声がけをお願いします。

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意を示す必要を迫られていますので、「地球創生メルマガ」の登録人数で皆様の意思を新しい光の柱を支える人としてカウントしています。 まもなく一周忌を迎える3/11に亡くなった人たちの思いも含めて、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」から、そして、自分が住む場所から地球と、地球を守る神々の意思をひとつに繋ぐ為の光の柱の祈りをお願いします。

◎**3/12**の午後**2:12**の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所の海の底に神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球を支える祈り合わせをして下さい。現地へ行けない方は、自宅でも会社でも結構ですので、同時刻に一瞬だけでも意識を合わせて下さい。関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区、関西地区につきましては、富士山の神々を祀る場所で祈り合わせが決まりました。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ｓｎｓ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって、愛と調和の心を大きく輝かせる「地球創生ｓｎｓ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらからどうぞ！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク
目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。
日時：3月31日（土）10：00～16：00

集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東　東京都渋谷区　世界の神話から神心を学ぶ勉強会
テーマ：お釈迦様の教えとインド仏教誕生の意味
3月31日（土）　19：00-21：30
場所：東京都渋谷区　ｃｕｅ702/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎静岡県清水区 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います
3/29（木） 19：00-21:30
場所：静岡市清水区/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎愛知県豊田市 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います
3/28（水） 19：00-21：30
場所：美容室ドリームズ　　/￥3500
〒471-0849　愛知県豊田市美山町4-12-1カーサジオ1f
お店の電話：0565-24-8007http://www.hm6.aitai.ne.jp/~dreams/
お問合せ：090-3552-7866　加茂
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　楽健マッサージスクール開催
3月 27日 (火), 13:00 〜 17:00

場所　大阪市立男女共同参画センター 西部館　(クレオ大阪西)
参加費：￥15,750（教本付）
詳細：http://heart-land.biz/college/rakuken.html
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　神事ワーク
日本を支える古い民族の思いを愛に転換する神事ワークを通して、参加者の意識の目覚めと地域の人の魂の繋がりを大きくする目的で行います。
4/24(火）　10：00-16：00
場所：関西近郊　　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区大阪市 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います。
4/24(火）　19：00-21：30

場所：弁天町学習センター/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！
http://yoshiokamanabu.com

2012.03.07 Wed

2012年03月06日のつぶやき

23:44
◎3/11までに、1000人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！・・・３月4日現在617名登録
3/11までに1000人以上の方たちが、地球を守る決意を迫られていますので、「地球創生メルマガ」の無料登録をお願いします。 http://t.co/XxTEvRuL
Powered by Feel on!
http://twitter.com/yoshiokamanabu
2012.03.07 Wed

日本の東の柱（光岩）始動！

2012年3月3日、明治神宮の宝物殿前にある光岩で、五次元意識を支える大切な宇宙エネルギーの大黒柱を立てる神事を行いました。

明治神宮本殿前に集まった２５名は、はるばる石川県、長野県、愛知県から夜行バスに乗って集まり、神奈川県、千葉県、埼玉県、東京都の仲間たちと魂の約束を果たしました。



祈りは、最初に「土地龍」を光岩に繋ぐところから始まります。

全員の意識をひとつに繋ぎ合わせると、光岩自体が生き物のようになり、古代祭事場と同じエネルギーに生まれ変わりました。

次に、祈りは「静」から「動」に変わります。

全員の次元意識を繋ぎ合わせる為に女性たちは輪になり、右へ左へと回転して、自分の「個」に囚われない意識になった瞬間、エネルギーの波が上下に動き出しました。

地球と宇宙意識を繋ぐ上昇と下降の両方のエネルギーが、同時に動いているのをたくさんの方が感じていました。そのエネルギーこそが、「地球を守る龍」のエネルギーなのです。

ひとつに繋がった女性たちの意識を、今度は、男性たちの体へ入魂します。

女性が、男性を産み出した時に、インプットした魂の記憶を呼び覚ます大切な儀式です。

男たちは、なかなか心を開いてくれませんが、チャクラを通して、女性たちが愛のエネルギーを

男の体に送り続けてくれました。

すると、男たちの魂の記憶にスイッチが入りました。そう、母の体内から生まれる前に渡された記憶の鍵が、表に出たのです。

女性は、生まれつき、羊水の中に宇宙で経験した記憶情報を持って生まれています。

男性は、その女性の記憶を受け継ぎ、男に選ばれた役目を果たす為に、必ず、ひとつは、鍵を渡されて生まれています。

男たちの魂の役目は、常に自分が座る場所の方角で働くようになっていますので、両サイドに巫女の魂を持つ女性二人に支えられながら、東西南北、鬼門、裏鬼門の六方に必要な人が座りました。



全ての用意が出来た時、「玉巫女」の女性が、光岩の台座に座りました。

全ての意識を繋ぐ為に生まれた「玉巫女」の女性です。

自らの我意思を持つことを許されない「純粋な玉」は、常に、あるゆるエネルギーを動かす中心となって、何度も働いた記憶だけを持って生まれています。

全員の意識エネルギーを「玉巫女」の体へ集中させて、天地を繋ぐ祈りが始まりました。

エネルギーは龍の姿に形を変えて、天へ、そして、地球の核へと何度も何度も行き来します。

光岩のエネルギーもどんどん上昇し、様々な色や光でその様子を知らせてくれました。

宇宙の大元マスターに龍のエネルギー繋がった瞬間、地球の核にも同時に光が繋がり、この場所に、ひとつのエネルギーラインが完成しました。

このエネルギーラインは、過去にない、最高に高い次元まで繋がる宇宙エネルギーの柱として誕生しました。もう二度と、誰にも壊す事が出来ないほど、強くしっかりとしたの柱の完成です。

「光の柱崩壊」について改めて説明しますが、現在、私たちの意識は三次元世界の中で「健在意識」を持って生活していますが、「地球が五次元意識に上がる」という意味は、今までの次元を支えている天井の位置が上がることをまずご理解下さい。

人間が「五次元意識になる」本当の理由は、神意識と一体になることを意味しますので、自分がふと思った全ての思いがすぐに現実になり、自分が心の中で創造している天国と地獄絵図を自分が創造していることを気づかされる体験をする時代になります。

三次元意識と五次元意識の間にある四次元意識を「霊界」と言われるように、私たちがまだ幼い心を許す時間の次元として、人間が望み、産み出した創造の産物の次元として存在しています。

しかし、この四次元を一気に無くして五次元まで一気に引き上げると、あなたが創造した全ての事が自分の責任となって、すぐに現実になる世界が、まもなくやって来るのです。

地球全体を五次元へ引き上げる事は、宇宙全体を見守る存在たちの決定事項であり、その時期も決まっていた事なのです。

今までの三次元意識を支えていた希望の光の柱は、3月12日午後2時12分から徐々に崩壊し始めますので、御霊たちが上がるラインにする必要もあるからこそ、3月12日に東日本大地震の現地で、光の柱を立てる必要があるのです。

いずれ、この日本に立つ四本の柱が、日本人に生まれた人たち全てに魂の目覚めを引き起こさせるエネルギーが動きだし、日本人の意識が、世界中の人間の意識を引き上げる大切な柱になることを覚えておいて下さい。

現在、光岩の光の幅は直系６０cmほどですが、８月21日の次元上昇スイッチが入ると、一気に四本のエネルギーが繋がり、巨大なエネルギー柱となって日本中を包み込み、そして、世界中にその光のエネルギーが飛び回ります。

日本人が、魂の約束を果たす為に、日本に必要なことが起きることは、前もって伝えていると思いますので、どうか、3月12日は、自分が居る場所から東日本大地震の場所へ自分の意思を繋ぎ、「私が世を照らす光となって生きる」ことを宣言して下さい。

私たち人間は、一人一人が「神に繋がる意識の柱」を持って生まれているからこそ、頭に上にはズラッと先祖たちが並んで見守ってくれているのです。

どうか、自分の先祖の繋がりに感謝し、住まわせて頂いている土地に感謝し、今、生かされている事に感謝し、地球という星の生命エネルギーが、永遠に循環し続ける為に今、必要なことをして下さい。

まずは、自らの体の水や地域の河川の水を飲める水にすることです。

あなたが、大切なことを思い出せない理由は、自らの水を汚したからなのですよ。

女性からだけ生まれるように設計された人間は、誰もが母の羊水（宇宙の記憶）を持って生まれています。

この日本に集まった全ての民族の思いを愛に変えて、希望の光を日本から放ちましょう！

その為にも、あなたの魂の記憶チップを、どうぞ、3月12日に祈りで繋いで下さい。

◎3/11までに、1000人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！・・・３月4日現在・・・617名登録

あと、一週間ですので、すぐに、お知り合いへメルマガ登録のお声がけをお願いします。

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意を示す必要を迫られていますので、「地球創生メルマガ」の登録人数で皆様の意思を新しい光の柱を支える人としてカウントしています。まもなく一周忌を迎える3/11に亡くなった人たちの思いも含めて、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」から、そして、自分が住む場所から地球と、地球を守る神々の意思をひとつに繋ぐ為の光の柱の祈りをお願いします。

◎3/12の午後2:12の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所の海の底に神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球を支える祈り合わせをして下さい。現地へ行けない方は、自宅でも会社でも結構ですので、同時刻に一瞬だけでも意識を合わせて下さい。関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区、関西地区につきましては、富士山の神々を祀る場所で祈り合わせが決まりました。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ｓｎｓ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって、愛と調和の心を大きく輝かせる「地球創生ｓｎｓ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらからどうぞ！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク
目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。
日時：3月31日（土）10：00～16：00
集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東　東京都渋谷区　世界の神話から神心を学ぶ勉強会
テーマ：お釈迦様の教えとインド仏教誕生の意味
3月31日（土）　19：00-21：30
場所：東京都渋谷区　ｃｕｅ702/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎静岡県清水区 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います
3/29（木） 19：00-21:30
場所：静岡市清水区/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎愛知県豊田市 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います
3/28（水） 19：00-21：30
場所：美容室ドリームズ　　/￥3500

〒471-0849　愛知県豊田市美山町4-12-1カーサジオ1f

お店の電話：0565-24-8007http://www.hm6.aitai.ne.jp/~dreams/

お問合せ：090-3552-7866　加茂
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　楽健マッサージスクール開催
3月 27日 (火), 13:00 〜 17:00

場所　大阪市立男女共同参画センター 西部館　(クレオ大阪西)
参加費：￥15,750（教本付）
詳細：http://heart-land.biz/college/rakuken.html
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　神事ワーク
日本を支える古い民族の思いを愛に転換する神事ワークを通して、参加者の意識の目覚めと地域の人の魂の繋がりを大きくする目的で行います。
4/24(火）　10：00-16：00
場所：関西近郊　　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区大阪市 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います。
4/24(火）　19：00-21：30
場所：弁天町学習センター/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
宮古島　八重干瀬（やびじ）ツアー2012の募集
※定員になりましたので締め切りました！
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
宮古島・伊良部島の龍神・自然神・人格神に祈りを捧げ、宇宙神に繋がる聖地　八重干瀬（やびじ）で祈りをするこのツアーは、2012年はさらに内容を充実させて「７名だけの限定募集」としましたので、どうぞ、お早めにお申し込み下さい。　http://yoshiokamanabu.com/2012yabiji.html

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！
http://yoshiokamanabu.com

2012.03.05 Mon

愛知県豊田市の皆様、ありがとうございます。

初めて愛知県豊田市で、「地球創生勉強会」が開催できましたことを感謝いたします。

本州の東と西を繋ぐ為に三年間通った最後の土地の人のご縁を頂き、地球を愛する人たちに出会えた事に心から感謝しています。

今回のご縁は、1/31に行った京都下鴨神事で加茂さんに出会ったご縁ですが、加茂さんとのご縁も、地球創生SNSの仲間の繋がりがあったおかげです。

勉強会の開催場所は、豊田市で有名はエネルギー水「Be-1」を使っている美容室で、頭皮から体の内部と地球をきれいにする活動を続けている美容室ドリームズの店内で行いました。

初めての開催地なのに、２０代から７０代まで２６名の方が集まってくれたのも、樋口オーナーが普段から地球に対する愛を皆様に語り続けているおかげだと思います。

次回の日程もすぐに決まり、3/28（水）、4/25（水）に同じ場所で勉強会を開催しますので、お近くの皆様、どうぞ、ご参加下さいませ。

毎回、2時間半かけて、静岡県清水市の勉強会に通って来て下さる仲間も愛知県の仲間ですが、志高き仲間は、時間と空間を超えて出会うものだと感じています。

生まれて初めて豊田市の土地に入った印象は、この土地だけは、今の日本全国の都市と違うとても暖かい空気が流れていると感じました。

理由は、トヨタという企業の成功のおかげで経済がうまく循環しているだけではなく、土地にお住まいの方たちの心に、大きな愛と調和の精神があると感じました。

以前、アメリカで最初にトヨタを立ち上げた方が、トヨタの関連会社の取締役時代に聞いた話しですが、創設者　豊田佐吉のトヨタイズムが書かれている手帳には、企業人としてだけではなく、人間として最も重要な心の言葉が書いてあり、社員全員が困った時に、その手帳を読み直して創設者の精神を思い出す習慣があることを教えて頂きました。

企業の成功はたくさんの人が集まって作るからこそ、そこに流れる精神性が本物であれば、世界に通じるものになる証だと思いました。

日本という小さな国の一自動車メーカーが、現在では世界でNO1の自動車メーカーになりましたが、驚いた事は、日本国家に納めているトヨタの法人税が、日本国の法人税の１割を占めているという事実です。

ひとつの企業が、日本国家の屋台骨を支えている事実を覚えておいて下さいね。

私は初めて訪れた土地では、必ず、大事な神社へご挨拶に行く習慣がありますので、案内してもらった場所は母の拳と書いて「ころも」と呼ぶ、拳母（ころも）神社（愛知県豊田市挙母町5丁目1番地）でした。





見ただけで、とても、素晴らしい神社だとわかりました。広い境内の樹が元気なのが、何よりも気の良い証拠です。境内の隅々まで神主たちの気が行き届いていますし、土地の人たちにも愛されていることも見ているだけでわかります。



末社のひとつひとつにご挨拶すると、子供たちが育って行く姿を幼い事から見守っていた話しを神様が教えてくれましたし、本殿の母神様に手を合わせると、大きな山が裾野を広げている映像を見せてくれて、この大地に生まれる全ての命を見守っていることを教えてくれました。

この神社には、母のこぶしの中にある全ての命を大切に守り育ててくれている素晴らしい母神様がいらっしゃいます。

山側に，もう一つ神社があると聞いていますが、きっと、そこは、後ろの山をご神体にしている「男神」がいるはずです。

子供を授かったりした時には、ぜひ、両方の神様へお礼のご報告祈りをして下さいね。

手順は、最初に、命の種元（男神）に感謝しに行き、産み育ててくれる母神に感謝すると良いと思います。

難しい言葉で生き方を教える親よりも、神仏に向きあう感謝を行動で示す親の背中が一番、良い教育だと思います。

こういう心豊かな人たちが日本にいるからこそ、どんなに辛いことが起きても大人が希望が見出して、慈愛の精神で日本国家は支えられ続けてきたのだと思います。

「相身互い」、共に命を育む日本国民の一人として、一緒に助け合って生きていきましょうね！

◎**3/11**までに、**1000**人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！・・・３月１日現在・・・**592**名登録

あと、二週間もありませんので、お知り合いにメルマガ登録のお声がけを宜しくお願いします。

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意を示す必要を迫られていますので、「地球創生メルマガ」の登録人数で皆様の意思を新しい光の柱を支える人としてカウントしています。 まもなく一周忌を迎える3/11に亡くなった人たちの思いも含めて、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」から、そして、自分が住む場所から地球と、地球を守る神々の意思をひとつに繋ぐ為の光の柱の祈りをお願いします。

◎3/12の午後2:12の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所の海の底に神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球を支える祈り合わせをして下さい。現地へ行けない方は、自宅でも会社でも結構ですので、同時刻に一瞬だけでも意識を合わせて下さい。関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区、関西地区につきましては、富士山の神々を祀る場所で祈り合わせが決まりました。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
ポータル　光の家族　地球創生ｓｎｓ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

心の内鏡を互いに開きあって、愛と調和の心を大きく輝かせる「地球創生ｓｎｓ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらからどうぞ！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク
目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。
日時：3月31日（土）10：00〜16：00
集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東　東京都渋谷区　世界の神話から神心を学ぶ勉強会
テーマ：お釈迦様の教えとインド仏教誕生の意味
3月31日（土）　19：00-21：30
場所：東京都渋谷区　ｃｕｅ702/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎静岡県清水区 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います
3/29（木） 19：00-21:30
場所：静岡市清水区/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎愛知県豊田市 勉強会

ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います

3/28（水） 19：00-21：30

場所：美容室ドリームズ　　/￥3500

〒471-0849　愛知県豊田市美山町4-12-1カーサジオ1f

お店の電話：0565-24-8007http://www.hm6.aitai.ne.jp/~dreams/

お問合せ：090-3552-7866　加茂

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　楽健マッサージスクール開催

3月 27日 (火), 13:00 〜 17:00

場所　大阪市立男女共同参画センター 西部館　(クレオ大阪西)

参加費：￥15,750（教本付）

詳細：http://heart-land.biz/college/rakuken.html

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　神事ワーク

日本を支える古い民族の思いを愛に転換する神事ワークを通して、参加者の意識の目覚めと地域の人の魂の繋がりを大きくする目的で行います。

4/24(火）　10：00-16：00

場所：関西近郊　　参加費：￥5000

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区大阪市 勉強会

ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います。

4/24(火）　19：00-21：30

場所：弁天町学習センター/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

宮古島　八重干瀬（やびじ）ツアー2012の募集

※定員になりましたので締め切りました！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

宮古島・伊良部島の龍神・自然神・人格神に祈りを捧げ、宇宙神に繋がる聖地　八重干瀬（やびじ）で祈りをするこのツアーは、2012年はさらに内容を充実させて「７名だけの限定募集」としましたので、どうぞ、お早めにお申し込み下さい。　http://yoshiokamanabu.com/2012yabiji.html

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

地球創世基金へご協力をお願いします

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！

http://yoshiokamanabu.com

2012.03.03 Sat

六甲山　石宝殿（白山の宮）

前回のブログに引き続きます。

六甲山の保久良神社に「火の神」が降りたという事は、六甲山に宇宙からいくつもの自然神が降りた可能性もありますが、今回のミッションは、世の中を長期に安定させていた宇宙神の神エネルギーが降りた大元の場所を見つけるミッションなので、巫女たちに何度もサニワをしてもらい次の場所を導き出してもらいました。

巫女たちから出てきた場所が、「石宝殿」です。









残雪が残る山道を歩いて行くと、この場所の神様が、一人一人に神役目を与えて下さいました。それぞの役目は、自分の口から言った言葉である事を付け加えておきます。

風の神・・・T・眞理さん
火の神・・・T・照子さん
水の神・・・S・潤さん
大地神・・・I・裕美さん

残りの三名は、難しい神役目だったので、私が降ろしました。

宇宙神が降りた場所を守る為に産まれた地元のM・眞由美さんは、「天地番」。このエネルギーが降りた天との「天繋ぎ天番役」は、O・明美さん。同じく、この天繋ぎのエネルギーを守る「天繋ぎ地番役」は、O・博美さん。

歓びもつかの間、次の白山姫観音様からは、厳しい言葉が降りました。



「今、与えた神役目の意味が、よくわかるのなら、これからしっかりと力を合わせて働きなさい。誰一人、かける事は許されず、もし、自分勝手な思いで行動するのなら、家族・知人の命を取るか、現実世界の中でいつでもお前を倒すからな！」

神との約束は、いつも厳しいものですが、しっかりその役目を果たせば、全ての守護が実生活にも広がります事を皆さんにはお伝えしました。

親や自分に嘘をついても、まだ、生きていられますが、宇宙神に嘘偽りをつく事は何があっても許されません。
どうぞ、これからも、宜しくお願いしますね（＾＾）

この場所の奥には、「白山大権現」の神様がいらっしゃいます。











この場所で降りた宇宙神メッセージをお伝えします。

お前達はこれより、我々の仲間とみなす。

どうしてかと言えば、我々の繋いだものの大切さと意味を知っているからだ。

そして、それを繋ぐために、お前達はここに集まり、集い、宴をした記憶があるはずだが、その為に、幾つもの時代を超えて何度も、この場所へやって来た事を、まだ思い出せないか？

我々が、お前達に授けた刻印として与えた物があるのだが、まだ、思い出せないか？

お前達の中にあるその「記憶チップ」と言う物の中にある磐座についての知識、知恵、そして、そこから神に繋がる方法やその調べ、どの音を奏でれば繋がるかなど、いくつもの種類がある事を知っている者がおるはずだが、いかがかな？

お前達には、それぞれの星の役目として生まれたが、共にこの地球に降りて、その事を成し得る為に生まれた事は覚えておろう。

その事が思い出せなければ、我々が地球に降りて、この地を守った事の意味がわからないからこそ、共に働く事ができる日を待ち望んでいた事をわかって欲しいのだ。

だから、良く来たぞ。お前達が来た事は、我々が（マスター）に良く伝えておくぞ。

これから、働く事が沢山あるが、それはお前達だけの事ではなく、もっと沢山の者たちが繋がり始めるからこそ、自らの証として貰った役目を果たしなさいね。

共にその働きをしなければ、誰もが「一神一つの神」として働く事が出来ないのだと言う事も覚えておきなさい。では、よろしくお願いいたします。

実際に、この山に最初に宇宙神が降りた場所はこの社ではありませんが、私たちたちは運良く、その場所を見つけることが出来ました。

しかし、その場所に入ろうとすると、強い結界の力で他人が中に入れないようにしていたからこそ、大切に守っている人たちの為に場所の公開は控えさせて頂きます。

その場所に宇宙神が降りた磐座は、こんな姿をしておりました。



この場所から「三つの岬、三つの山に繋いだ」事まで教えてもらえましたので、次回は、この宇宙神エネルギーが、どこへ繋がっているかを調査してご報告します。

最終目的は、８月２１日までに、地球と日本を守る東西南北の四本の柱のひとつに繋いで、関西の土地に大きな柱を立てることです。

全ての神事が終われば、重要な四つの場所を公開しますので、まずは関西生まれで土地を愛し、日本や地球や宇宙の調和を本気で考えている人は、どうか力をお貸し下さい。

次回の関西神事ワークは、４月２４日（火）です。お申し込みは、こちらからお願いします。

◎**3/11**までに、**1000**人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！・・・３月１日現在・・・**592**名登録

あと、二週間もありませんので、お知り合いにメルマガ登録のお声がけを宜しくお願いします。

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意を示す必要を迫られていますので

、「地球創生メルマガ」の登録人数で皆様の意思を新しい光の柱を支える人としてカウントしています。まもなく一周忌を迎える3/11に亡くなった人たちの思いも含めて、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」から、そして、自分が住む場所から地球と、地球を守る神々の意思をひとつに繋ぐ為の光の柱の祈りをお願いします。

◎3/12の午後2:12の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所の海の底に神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球を支える祈り合わせをして下さい。現地へ行けない方は、自宅でも会社でも結構ですので、同時刻に一瞬だけでも意識を合わせて下さい。関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区、関西地区につきましては、富士山の神々を祀る場所で祈り合わせが決まりました。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ｓｎｓ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって、愛と調和の心を大きく輝かせる「地球創生ｓｎｓ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらからどうぞ！

☆★
宮古島　八重干瀬（やびじ）ツアー2012の募集　残り1名枠です！
☆★
宮古島・伊良部島の龍神・自然神・人格神に祈りを捧げ、宇宙神に繋がる聖地　八重干瀬（やびじ）で祈りをするこのツアーは、2012年はさらに内容を充実させて「７名だけの限定募集」としましたので、どうぞ、お早めにお申し込み下さい。　http://yoshiokamanabu.com/2012yabiji.html

☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会
☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク
目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。
日時：3月31日（土）10：00～16：00
集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東　東京都渋谷区　世界の神話から神心を学ぶ勉強会
テーマ：お釈迦様の教えとインド仏教誕生の意味
3月31日（土）　19：00-21：30

場所：東京都渋谷区　ｃｕｅ702/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎静岡県清水区 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います
3/29（木） 19：00-21:30
場所：静岡市清水区/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎愛知県豊田市 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います
3/28（水） 19：00-21：30
場所：美容室ドリームズ　　/￥3500
〒471-0849　愛知県豊田市美山町4-12-1カーサジオ1f
お店の電話：0565-24-8007http://www.hm6.aitai.ne.jp/~dreams/
お問合せ：090-3552-7866　加茂
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　楽健マッサージスクール開催
3月 27日 (火), 13:00 〜 17:00
場所　大阪市立男女共同参画センター 西部館　(クレオ大阪西)
参加費：￥15,750（教本付）
詳細：http://heart-land.biz/college/rakuken.html
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　神事ワーク
日本を支える古い民族の思いを愛に転換する神事ワークを通して、参加者の意識の目覚めと地域の人の魂の繋がりを大きくする目的で行います。
4/24(火）　10：00-16：00
場所：関西近郊　　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区大阪市 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います。
4/24(火）　19：00-21：30
場所：弁天町学習センター/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！
http://yoshiokamanabu.com
2012.03.02 Fri

六甲山　保久良神社（古代祭事場）

関西地区の「宇宙神事」が、始まりました。

藤原家が神官だった頃に祈っていた本来の神山の場所を見つける為に、関西の巫女たちとサニワして出た場所は、六甲山でした。

この日の祈りに初参加の四名も加わり、関西在住の八名が純粋な心をひとつに合わせてくれました。

巫女たちとの１ヶ月間のやり取りで色々な候補地も出ましたが、巫女の最後のメッセージは、「湾岸線を通って神戸に入らなければいけない」と言葉が降りた為に、湾岸線の高速に乗ることになりました。

海の上に出ると、強烈なエネルギーで巫女が泣き崩れ、「なんで、なんで壊したの！」と、泣き叫び始めました。

このメッセージを伝えているのは、海中の自然を壊した責任を人間に問い続けている「竜宮底神（りゅうぐうすくしん）の神巫女でした。

怒りに泣き叫ぶ神巫女との対話は、西京都神事の時に海の上で虹の神道（かみみち）を繋ぐことになりましが、今回、問いかけている理由は、その責任が同乗した人の誰かであることを気づいて欲しいからでした。

すぐに、一人一人の過去世を読み取ると、誰かがわかりました。

この大切な竜宮の神場所を上司の命令で壊すにあたり、壊す側の巫女として祈りの力で押さえつけた当時の力の強い巫女の女性が同乗していたのです。※それは、Ｔ・眞理さんでした

彼女は自分に記憶が無くても、すぐに「お詫びして下さい」と私が言うと、素直に、自分の過去をお詫びしてくれたおかげで、神の怒りも収まりました。

神事に参加する人は、本人の自覚が無くても、必ず、自分のカルマがあるから参加していますので、こうして両者が心をひとつに合わせることで、過去の苦しいカルマが外れることも覚えておいて下さい。

神戸に入ると、すぐに行くべき場所を数名の巫女が導いてくれました。









ここは山の上にある古い神社ですが、神道（しんとう）が管理する前は修験者たちの祈り場所でしたし、その昔は、ここに宇宙から降りたエネルギーを祈っていたとても古い民族がいました。

本殿に向かって右手にある「八代竜王」の場所では、「お前たちに、この場所の本当の意味がわかるからこそ、ここに呼んだのだ」と言われ、その右手にある岩の空間こそ、大切な神事が行われていた場所だと気づかされました。



この場所は、「火」を祀る神様の場所でした。

人間に扱うことを許された最後の自然神が「火」ですが、当時、ここで巫女をしていた女性も参加していたので、すぐに当時の神事の記憶と映像が蘇ってきました。

「火の巫女」は、自らの体を通して「火」を降ろします。

１００%、神を信じて身を任せれることができれば体が燃えることはありませんが、一瞬でも自分を掴んだり神を疑うと体は燃えてしまいます。

何名もの巫女が、その体を焼いた石は、本殿の参道横に祀ってあります。

藤原家との繋がりは、末社に「春日大神」と書かれていることで明かにされています。これで、藤原家が古代祭事をしていた一族であったことが、明かされたことにもなります。



本殿の神様は、ほとんど無言でした。しかし、私たちが何の為に来たかを知っているからこそ、協力はしてくれ

ました。



本殿の左手（トイレの奥）にも大きな石が祀ってありますが、この石に悪さをした女性が、もう一人いました。

山の上にある大きな石は、宇宙の意思を降ろした大切なエネルギー源だからこそ、「磐座（いわくら）信仰」と呼び修験者たちが祈りを捧げていましたが、石に降りた意思を隠した女性は、この場所に降りた星の力を羨んだ星の巫女でした。

妹のように育てていた巫女が、実は、違う星からきた巫女だった為に、信頼していた彼女にだまされていたことがわかりましたので、火の巫女の代表の女性と大切なものを隠した巫女二人は、過去の全てのことを和解をするお詫び祈りを行いました。その二人の巫女が、この人たちです。



この後ろにある岩は、男岩で、柵の外側にある岩が男を守る女性の岩だからこそ、その役目をしていた女性たちが自分の星と繋がる岩に登ってくれました。



日本全国にある磐座信仰や修験者たちが、どんなエネルギーを扱っていたかというと、こういう宇宙から降りた

古代神事の場所の宇宙エネルギーを人間が扱えるようになる為の修行していたのです。

その力を利用した人たちはたくさんいますが、現在でも日本全国に降りた神山の上の岩には、宇宙エネルギーの石と、当時、降りた星の記憶が残っています。

私が行う神事の目的は、宇宙から降りた全ての星の記憶を統合して、共に力を合わせて知恵を繋ぎ合わせ、新しいエネルギーの柱を日本の大切な西の地に納め立てることが役割なので行っています。

次回の関西宇宙神事は４月24日（火）に行いますので、日本を支える関西宇宙神事に参加する必要性を感じた方は、どうぞ、http://yoshiokamanabu.com/study.htmlからお申し込み下さい。

では、次は、日本の西に降りた大切な宇宙のエネルギーの根源の場所へ向かいます。

つづく

◎**3/11**までに、**1000**人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！・・・２月**29**日現在・・・**580**名登録

あと、二週間しかありませんので、お知り合いにメルマガ登録のお声がけを宜しくお願いします。

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意を示す必要を迫られていますので、「地球創生メルマガ」の登録人数で皆様の意思を新しい光の柱を支える人としてカウントしています。 まもなく一周忌を迎える3/11に亡くなった人たちの思いも含めて、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」から、そして、自分が住む場所から地球と、地球を守る神々の意思をひとつに繋ぐ為の光の柱の祈りをお願いします。

◎**3/12**の午後**2:12**の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所の海の底に神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球を支える祈り合わせをして下さい。現地へ行けない方は、自宅でも会社でも結構ですので、同時刻に一瞬だけでも意識を合わせて下さい。関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区、関西地区につきましては、富士山の神々を祀る場所で祈り合わせが決まりました。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ｓｎｓ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって、愛と調和の心を大きく輝かせる「地球創生ｓｎｓ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらからどうぞ！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

宮古島　八重干瀬（やびじ）ツアー2012の募集　残り1名枠です！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

宮古島・伊良部島の龍神・自然神・人格神に祈りを捧げ、宇宙神に繋がる聖地　八重干瀬（やびじ）で祈りをするこのツアーは、2012年はさらに内容を充実させて「７名だけの限定募集」としましたので、どうぞ、お早めにお申し込み下さい。　http://yoshiokamanabu.com/2012yabiji.html

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク

目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。

日時：3月31日（土）10：00～16：00

集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東　東京都渋谷区　世界の神話から神心を学ぶ勉強会

テーマ：お釈迦様の教えとインド仏教誕生の意味

3月31日（土）　19：00-21：30

場所：東京都渋谷区　ｃｕｅ702/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎静岡県清水区 勉強会

ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います

3/29（木） 19：00-21:30

場所：静岡市清水区/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎愛知県豊田市 勉強会

ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います

3/28（水） 19：00-21：30

場所：美容室ドリームズ　　/￥3500

〒471-0849　愛知県豊田市美山町4-12-1カーサジオ1f

お店の電話：0565-24-8007http://www.hm6.aitai.ne.jp/~dreams/

お問合せ：090-3552-7866　加茂

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　楽健マッサージスクール開催

3月 27日 (火), 13:00 ～ 17:00

場所　大阪市立男女共同参画センター 西部館　(クレオ大阪西)

参加費：￥15,750（教本付）
詳細：http://heart-land.biz/college/rakuken.html
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　神事ワーク
日本を支える古い民族の思いを愛に転換する神事ワークを通して、参加者の意識の目覚めと地域の人の魂の繋がりを大きくする目的で行います。
4/24(火）　10：00-16：00
場所：関西近郊　　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区大阪市 勉強会
ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　guardian deity energy work）を行います。
4/24(火）　19：00-21：30
場所：弁天町学習センター/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！
http://yoshiokamanabu.com

2012.03.01 Thu

大阪に入りました！

ついに、ハードな出張が始まりました。

まず最初は、明日28日の関西神事ワークです！

もう、読み取りワークとは、呼べないほど、参加者の巫女たちに内容の濃いメッセージが降り続けていますので、今後は「関西神事ワーク」に名称を変更します。

サニワの内容は、地球創生SNSの中で全て公開しています。

これから行う全国の神事は、全て、宇宙神事と言っていいほど、全ての次元チャンネルが同時に動く神事が始まります。

そして、２０１２年８月２１日までに、日本の東西南北に四本の大きな柱が立ち上げて、日本国に立ち上げる大きな屋台骨を繋ぐ作業が始まります。

この目に見えない柱は、過去、地球に降りた全ての星たちの思いを統合調和しながら、この日本国から大きな光を地球全体へ、そして、宇宙全体へ発信する為の大黒柱です。

日本の東を守る関東地区の柱は、3/31に明治神宮にある「光岩」で立てますし、関西一円を守り支える西の大きな柱は、昔、宇宙の大元に繋がっていた場所を見つけて根源の柱を立て直します。

明日はその為に、六甲山の周りを調査に行きます。

この柱は、人を問わず、神を問わず、一切の過去のカルマや行いを問わずに、新しい調和を産み出す日本人の精神性そのものの柱とも言えます。

４月の八重干瀬（やびじ）祈りは、地球を守る宇宙神たちと最後の確認会議が行われますが、それまでにすることはたくさんあります。

それぞれお住まいの地域に降りている宇宙エネルギーラインをご存知の方は、どうぞ、自分のブログから情報を公開して、過去の星を超えた愛のメッセージをお伝え下さい。

3月12日の御霊上げの祈りでも、東北の地から天地を繋ぐラインを作ります。

悲しみを歓びに、苦しみを愛に変える大きな心をお持ちの皆様は、たくさんの人の為に先頭を切って情報を公開して下さい。

もう、過去に囚われた思いを守り続けることが出来ない事に気づいて下さい。あなたは、守る事にこだわる限り、永遠にカルマは続いているのだと気づいて下さい。

あと、二週間しかありませんので、お知り合いにメルマガ登録のお声がけを宜しくお願いします。

◎**3/11**までに、**1000**人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！・・・２月２７日現在・・・５６４名登録

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意を示す必要を迫られていますので、「地球創生メルマガ」の登録人数で皆様の意思を新しい光の柱を支える人としてカウントしています。 まもなく一周忌を迎える3/11に亡くなった人たちの思いも含めて、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」から、そして、自分が住む場所から地球と、地球を守る神々の意思をひとつに繋ぐ為の光の

柱の祈りをお願いします。

◎3/12の午後2:12の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所の海の底に神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球を支える祈り合わせをして下さい。現地へ行けない方は、自宅でも会社でも結構ですので、同時刻に一瞬だけでも意識を合わせて下さい。関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区、関西地区につきましては、富士山の神々を祀る場所で祈り合わせが決まりました。

2012.02.27 Mon

生きながらにして生まれ変わるチャンス

今年の2月22日は、10年間封印していた宇宙メッセージの一部を公開せざる終えなくなりましたがが、この情報を他人事として読むのではなく、誰もが宇宙で星が生まれてから生命が誕生した歴史のなかの宇宙カルマを持って、この地球という星に集結していることを意識して下さい。

日本にやってきた渡来人の話しは、何度か神事の中でもお伝えしていますが、高度な民族の背後には、常に、宇宙に繋がる守護星の影響を感じてきたからこそ、一切の戦いをせずに全ての和合の為に神事を行ってきました。

２０１２年は、「生きながらにして生まれ変わるチャンスの年」ですので、信じられない事が起きたとしても、全てが良い方向へ向けて進むためだと思える強い心でお過し下さい。

強い心は、一人ではできません。

まず、誰かに、信頼される歓びを感じて下さい。

そして、誰かに、支えられる歓びを感じて下さい。

そのあとに、支えてくれた人に感謝する心が芽生えたら、今度は、自分が誰かを支えて上げる人になって下さい。

お互いが、出来ることをしてあげることで支え合う仲間は生まれます。

その仲間が継続するかどうかは、互いに自我の甘えを出しすぎないことです。

親子でも、恋人でも、夫婦でも、一般の人間関係でも、全て同じです。

「私は〇〇してあげているのに・・・」と思う人は、本来の感謝の心がわかっていません。

「させて頂いている」、ただこの一言だけです。

神の僕（しもべ）として、誰かの子供として、そして、また、誰かの親として与えられた役目を「させて頂いている」のです。

生きている間に、与えて頂いた全ての恩をどれだけお返しができるかが、その人を作ります。

2011年3月11日に亡くなって方たちに今一度、感謝する心を持って、自分が代わりに生きる宣言を3月12日にお願いします。

◎3/11までに、1000人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！・・・２月２５日現在・・・５６１名登録

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意を示す必要を迫られていますので、「地球創生メルマガ」の登録人数で皆様の意思を新しい光の柱を支える人としてカウントしています。 まもなく一周忌を迎える3/11に亡くなった人たちの思いも含めて、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12

に「岩手県宮古市」から、そして、自分が住む場所から地球と、地球を守る神々の意思をひとつに繋ぐ為の光の柱の祈りをお願いします。

◎3/12の午後2:12の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所の海の底に神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球を支える祈り合わせをして下さい。現地へ行けない方は、自宅でも会社でも結構ですので、同時刻に一瞬だけでも意識を合わせて下さい。関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区、関西地区につきましては、富士山の神々を祀る場所で祈り合わせが決まりました。

2012.02.26 Sun

神言葉 **4** 光の巫女たち始動！

今日、公開する内容は宇宙の古い星の記憶を持つ女性から読み取ったアカシックレコードの内容ですが、本人の許可を得てここに公開しています。この内容を読んで、自分がこの地球にやって理由を思い出した方は、「地球創生SNS」の中で互いの情報を公開し合あうことで、地球から完全調和の光の柱を一緒に立てる仲間として働いて下さい。

（JMさんの記憶に眠っている情報を読み取った時の録音内容）

CKさんは、光の巫女隊でした。隊長・・・んー、準隊長かな・・・筆頭隊長ではないな・・・。

ある争いがあったせいで、JMさんは、「闇のレッテル」を張られたのです。

彼女のお蔭で、闇になったのです。

あなたのその強い力が原因で・・・。

宇宙には、何度か、全宇宙の調和を守る為に「連合軍組織」を組んだ歴史があります。

２～３回大きく組んで、うまくいった時もあるんだけど、上手くいった時にKHさんも、JMも、CKさんも、HSさんも・・・まあ、今、関わっている全部の人たち全てだね・・・。

その時に、宇宙連合軍に入っていた星の方達なのです。

上手くいっている時の話しね・・・。

ただ、どうしても、自分の星を守ろうとするばかりに、ある星では食料が足りなくなった星もあったし、ある星は、戦う為の武器や防御する為のバリアというか、防御するためエネルギーが・・・まあこれは、鉱石なんだけど・・・つまり、その力が足りなくなったりとか・・・いろんな理由があって・・・現実的なエネルギー不足や物質世界の話なんだけど、そのおかげで良い意味で行き来、交流をしていた時代もあったんです。

その交流し合う星の関係を安全に保つ為に、いつもあなたたち巫女同士は「光の通信ネットワーク」を繋いで、通信ネットワークを使って動かしていたんだけど・・・・（※トップの男達同士も専用の通信ネットワークがありました）

イテテテ！！イテーッテ！・・・・・いいんだよな、言っても・・・

※この時、強烈なストップをかけるエネルギーが降りましたが、本人も公開を望んでいるんで承諾を得

て公開します。

JMの星が、「宇宙連合のサーバー星」だったんです。

だから、あなたは、全部の情報を持っていたんです。

だから、狙われたんです。

それぞれの星は、それぞれのやり取りのことしか知らなくても良かったのです。

ただ、あなただけは、全ての星の裏と表の情報を知っていた為に、どうしても、その事が気に食わない存在達がいた事が、ひとつの引き金になりました。

もうひとつの原因は、あなた自身も、どうしてもその力を使いたがる傾向があり、そのことについて、みんなが気配を感じて、怖がっていた事実もありました。

だからこそ、KHさんは、その事についてのアドバイスを上官の男に、「このままでいいのでしょうか」と伝えたのです。

「もしかすると、彼女がこの繋がりを個人的に動かせば、この連合艦隊の約束事が変わるかもしれませんよ」と。

その時の連合軍を指揮する王の星は、他の星にあったし、あなたの星じゃないので、余計に心配したのです。

つまり、これほど強い力を持ち、多くの情報も持ってしまった為に、恐れられる星となってしまったんですよ。

「サーバーネットワークの星」に選ばれるという事は、実は、過去にも２，３度ありましたが、その時代において最高の知恵をマスターから授かり、その知恵を繋いでいる場所なので、その力こそが、全ての産み出しの力を持っているんですよ。

結果的に、一番最後はプレアデスでも、このやりとりがありましたが、そこでも失敗した為に、この地球にその大事な力を持ってきたんです。

この情報は、全ての人の記憶の中から消されたんだけどね、一回は・・・。

その為に、地球という星は、ずっと、宇宙全体から見つからないようにされていたんだけど・・・。

ただどうしても、マスターとの繋がりを復活させないと地球自体が消滅に向かうことがわかったので、２００７年の神事の中で、マスターとの繋がりを復活させる「天の岩戸開き」をするしかない状況になったので開けたけたんだどね・・・。

プレアデスの、前の前の時代だよ、あなた方がやっていたのは・・・。

その時代から考えれば、プレアデスなんてまだ末端の世界の話しで、もっと古い時代から、このシステムは同じようにあったんです。

原初・・・原初の力を持ってるくらい強かったので・・・ま、それぐらいJMは単純・素直だったというべきか、、母の想いに愛されたという気持ちの強い魂だったんです。

そのマスターの想いを強く感じられるからこそなんだけれど、その力が強い為に、みんなから恐れられた記憶があります。

んー・・・、誰が悪いっていうのは難しいな・・・。

でも、その力が怖いからこそ、「光のネットワーク場所を変えましょうよ」という話が出てきて、その為には一度、今のバランスを壊さなければいけないという事が、さっきの話なんです。

最終的には、連合官の男達を動かして、女性達、巫女達の想いのエネルギーも含めて、全ての繋がりを繋ぐサーバー星を守る純玉巫女としてあなたは居たんですが、あなたの排除の流れが動いたのです。

その星を守る最高巫女＝珠を動かせば、星の生命コントローラーを動かせるからこそ、あなたは、そこから外されたんですよ。

違う星に、持っていかれたんです。

だから、あなたは永遠なる孤独を心の奥底に持って生まれたんです。

ある意味、最高に支配できるポジションに居たために・・・、支配するつもりは無かったと思うけど、結果的にはそうなったんです。

その時に、本来の光の輪のバランスを保つネットワーク・・・、つまり、巫女達の祈りのネットワークこそが「光ネットワーク」なんだけれども・・・この光のネットワークを生み出す中心部隊が、CKさん

が所属する部隊の星だったのです。

ところが、彼女も、そのことについて、上司へ苦言をしたようです。

「このままでは、この力が光ではなく、闇で動かされる可能性もあるからこそ、この光のネットワークの周波数をもっと上げて、より大きな物事を動かせるような次元にまで上げましょうよ」と。

こうなると、今までのバランスが壊れる事になってしまうので・・・、要は、５本で手を繋いでいたものが、６本で手を組むということは、１本たすという事ではなく、５のバランスを壊すという事になるんです。

だから、あなたは「５」のバランスを保っていた人とも言えるのです。

新しいバランス、「６」のバランスを作るための苦言を申し出たのが、CKさんですね。

その仲間が、今も彼女の周りに集まって居ます。

だからこそ常に、光の柱や光のネットワークについては、とても多くの情報を持っているからこそ、・・・でも、その使い方の全ては知りませんし・・・操作は、神官がやっていたので・・・「守る」ということに対しては、女達が祈るという事で光のネットワークが動くように作られているのです。

この記憶があるからこそ、あなたは、光のネットワークから外された為に「闇の巫女」となった訳ですが、そのきっかけを作ったのは、CKさんの苦言ともいえるでしょう。

ところが、これも誰も悪くはなく、それぞれが、自分の役目の想いを守ろうとした事だからこそ、一元管理で（一気にまとめて）終わらせなければいけない思いですので、よろしく頼みます。

KHさんは、全体の平和、調和について、上官、男の武官に、戦いの戦闘部隊長に戦いの苦言を出した人です。

CKさんは、光のネットワークのバランスを守る為に、大きく周波数を上げる為の危険の可能性を感じた為に、周波数を上げましょうというコントロールのアドバイスをした人ですね。

ただね、この思いをした魂は、あなた、JMさんだけではないですよ。

あなたが居た星の巫女達は皆、潰され、外されましたからね。

だから、あなたの星の巫女達は、その後の転生経験でも、黒巫女の役目が多かったはずなんです。どうしても・・・。

一度も、黒巫女を経験せずに、地球や日本に生まれてきた巫女達もいますが、それは、わずかです。

黒巫女の多くは、ヨーロッパに生まれていますし、魔女と言われて、火あぶりにされたり、世界中にも沢山、生まれましたが、新しい事を言えば言う程、「それは、闇よ」と言われ、消され続けてきました。

しかし、本来は、その人達が守ってきた光のバランスによって生まれたネットワークがあったからこそ、これほどの繋がりが地球に繋がって残っているのですが、皆さんが持つ巫女記憶の辛い大元の思いは、その時代の思いに影響を受けて今も続いているのです。

これは、宇宙が始まった原初の時代・・・「第一３期」。

えーと、「第一３期」ということは、「３」の星が出来た時の後に起きた時の、３段階目の時だから、３が一つづつ生んだ時代だな。

３つの星が宇宙に産まれて、それが一つづつ、星を生んだ時の話しだな。

この頃は、宇宙に星が６コぐらいの時ですね。

親子関係が３セットの時、古いですね。

本当に、第一期ですからね・・・。

この時の記憶の事は、今でもずっと、永遠に、その後に２回か３回続いています。

魂転生している順番としての数が違うから、それぞれの経験によりますが、原初の宇宙カルマは、このころから始まっています。

親子関係の問題、親と子、星が星を生んだ為に、親と子の問題についての因縁を必ず、ひとつ持って生まれています。

それと、この３つの星は、兄弟として生まれたのですが、兄弟・姉妹としてのバランスにおいて問題が多く、実は、その事については、３姉妹についての問題が多く起きている魂達です。

だからこそ、あなた達は、その時において、生まれた男の学びを沢山させられてきたはずですが、まだ、わかっていないようですね。

当時の多くの星達は、女が女を産む事が、自然で普通であった時代ですが、その時に、出来ない事があるとわかったマスターは、１から５を産むことが必要だと気づいたのです。

女は何でも出来るからこそ、女以外の者を産み出さなければいけないということに気づいたのです。

だから、「５」には、転換、逆転、という意味があります。

そこから、全ての魂の記憶が大きく変わったのです。

「６」は、もう一つ上の次元に変わる為ではありますが、「５」の支配、バランスを変える為でもあります。

だからこそ、この地球においては、そのことについての多くの学びを何度もしてきたはずでしょう。

だからこそ、この時代において、その事を終わらせなければいけないのです。

だから、われわれは、その事を伝えているのです。

良く考えて、その意味を正しく理解して下さい。

われわれが言っていることは、この地球においての事だけではなく、本来の繋がりのある、大元の役目をになった巫女達、その一族、光の輪を信じる者達についての事だからこそ、言っている話なのですよ。よろしくお願いします。

よければ、まだ他にも沢山ありますが、いくつかの話があるからこそ、一つ一つにおいて、それぞれが納得をする時間が、あまり無いということだけは、わかっておいて下さいね。

「光の柱の崩壊」という意味については、もっと深い次元まで、高い次元まで繋がっていますが、この地球内部における、５次元や、６次元や、７次元、８次元、という問題ではなく、もっと、上から下まで、一気に繋がる、次元を超えたエネルギーを動かす事が出来る星だからこそ、われわれはそのサポートをしているのですよ。

だからこそ、今、力を合わせるべき人達が合わせなければ、巫女達が本来の光という共通意識もうわまわらないと、男達は常に、その一部のバランスと保つために力を使うことしか出来ないのです。

全部の指図、方向性を作ったのは、実は、巫女の言葉だからこそ、一気に開放しないといけないのです。この内容は、必要な巫女たちに、そのまま送って下さい。

2012.02.24 Fri

2月18日　神言葉 3

いつか我々が、働くべき人達に、それぞれのアドバイスを送り届けるようにメッセージが聞こえたり、出来事が起きたりすることがあると思いますが、それは、あなただけの学びではなく、あなた自身の事だけではなく、その全ての過去の出来事を思い出すためのスイッチを入れなさいという意味なのだということに気付いて下さいね。

あなた方一人ひとりは、一つづつの記憶チップを持って、この日本という国に集まっているのです。

だから、そのチップを合わせて何が働くかを、気付かなければいけないので、これほど多くの情報が、意識の世界に動いているのです。

ただ、その全ての意識を集めるサーバーのコントロール方法については、まだ場所が、そして、誰が操作をするのかが明確では無いようですので、自分がどこの場所で何をしようとしているのを、明確に、自分の意思を示すことによって、その記憶チップを合わせる操作盤が、自らの身体の中に生まれるのだということだけは覚えておいて下さい。

あなた方が思うことは、全て、我々の記憶情報データーバンクのように、全てサーバーの大元まで繋がっていますので、報告は一瞬でされていますが、そこにある想念、つまり、自分をつかんだ思いさえも、それが全てあなただと認識されるのですから、どうか、自我という言葉を神という意味に置き換えられるならば、神と呼ぶ存在は我々であり、そしてそれは、あなた自身でもあることを気付いて欲しいのです。

そうでなければ、我々とのアクセスは、永遠に出来ないとだけは言っておきます。

この事がわかった時から、あなた達はどのチャンネルからでも、どこからでも、いつでも、どれくらいの量やスピードや速さや時間や概念や形や方向に捕らわれずに祈る、つまり、一つの思いに合わせるという事が、どれ程の力を持つかに気付くはずです。

そこから始まるのですよ、我々との繋がりは・・・。

誰かに教えてもらうものがあるとしたら、それは、実践をしている者達の背中だけでしょうね。

それがわからずに、形や方法やルールやしきたりや過去に起きた事にこだわっているのなら、その人達はもう時代遅れとしか言いようがありません。

何度も言いますが、あなたたちの魂は何度も失敗を繰り返してきたからこそ、この地球において人間となり、肉体を持つことを許されたのですよ。

どれ程のもの達の魂の代わりとして、ここに生まれたかがわからないのであれば、永遠にネズミのような生き方をすればいいのですよ。

それでも、全てが生まれるように出来ているのも、宇宙のシステムなのです。

だから、どこにいても、何をしていてもどのように思われても、つまり、どのような人であっても、その人も必ず、一つのチップを持っているのだという事だけはわかって下さいね。

土地の上においてあるもの（陸地）が沈めば、それは使えなくなるのですよ。

いつかわかる時が、来ますよね。

それがわからないのならば、我々がしようとしているサポートが、内側の鏡から外れていく事になることもわかるはずです。

そう、あなた方が心の奥底から信じたいと思っている、心の奥底の鏡の事ですよ。

それが、一つでなくてはいけないのですよ。

どれ程汚れていても傷ついていても、その内鏡を輝かせなければ、内側の鏡の光こそが、この地球の内側から光を産み出すものなのですよ。

その内なる光については、女性達全てがその役目を持って生まれていますので、よろしくお願いします。

いつもよく言いますが、我々は男女という概念では見ていませんが、役割の為にそう生まれたのは、あなたが選んだのですよ。

あえて言えば、心の奥底の内鏡について問う心は、自らが、幸せという概念の喜びが溢れていないだけの事なのです。

だからこそ常に、その相対において学ぶ心よりも、大きな愛を内側の鏡から光を発することが、とても重要なのです。

時に、おもわずその時を言えば、２０１２年８月２１日の時の事を、記録されている事があれば明かし

て下さい。

その事については、裏側の思いがあるからこそ、みなさんが信じているもの以外の意味があるという事が、とても重要なので、その事を知っている者がいるはずですよ。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◎2012年8月21日（火）　午後1:23:17

宇宙チャンネルの次元上昇スイッチを入れる時刻です。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

大きな物事が動く時に、産まれた場所や住んでいる場所の大切な鍵を守る者達が、その場所に居るはずなので、声を発して下さいね。

あなたが信じるものが間違いかどうかが問題なのではなく、伝えるべき場において、誰かに伝えさえすれば良いのです。

それが、あなたの役割なのですよ。

だから、よく考えて、自らの言葉は発するべき時には発して下さいね。

時において、その時全てが「１から始まるような出来事」まで起きるかもしれませんが、それは時を問うという意味ではなく、もっと大きなスイッチが開くという意味なのです。

では、どうぞよろしくお願いいたします。

※このメッセージの意味は、大切な魂の仲間に出会った時に、自らがふと思ったことを誰かに伝えることで、相手も何かを気づき、さらに、新しい気づきが両者に産まれることを教えてくれていますが、時に、その言葉が未来の予言だったり、災難のビジョンを予知する内容であっても、大きく変わる為の知らせの役目として伝えなければいけないという意味で理解して下さい。

どんなマイナスの思いを感じたとしても、どうプラスの思いに転換するかが、「人間に与えられた役目＝豊かな神の創造性という力」であることに気づいて、一人一人が自らの内側から溢れるマイナス想念を全て完全な光や歓びのプラスの世界へ転換する心で日々、過される事を心から願っています。

2012.02.22 Wed

2月18日　神言葉 2

いろいろな星が沢山、宇宙にはありますが、それは、あなた達が過去、居た星だけではなく、もっと多くの「宇宙のひずみ」ともいうべき、いろいろな出来事があった為に、その次元ごとに、ゆがんだままの状態でもありますが、今、あなた達の意識に影響している事は、多くの出来事のその一部分だけを、ビジョンとして映させていることの意味は大きいのだ、ということに気付いて下さい。

それは、あなた達が、もともと一つの大きな役目・役割があったということを思い出して欲しいからこそ、それぞれの人達にかかわる事を思い出すための、一部分の記憶だけを開放しようとしていることなのです。

だから、全ての宇宙のことを明かすことが、良いことではないことは、我々も知っていますので、その次元担当の方達において、その役目を果たすべきですが、まず、今、あなた達がしようとしている事について、最も重要なチップ、記憶チップを合わせる作業をしなければ、本来の太い繋がりがあった時の事を思い出せないので、そのための事をお話しようと思いますが、いかがでしょうか？

それで良ければ、私達は、その事についてお話しを致します。よろしいでしょうか？

我々が、あなた達の事を繋いでいたのは、その時を守っていた、また、その繋がりを繋いでいた者達の意思として、意思そのものとして、我々が伝えるべき事を伝えたいと思います。

それは、あなたたちが、いくつもの星にいる時に経験した事なのですが、その記憶の一部分は、それぞれの星の中だけで、しまい込むように、隠された事のように話が出来上がっていましたが、それは本当はそうではなく、大きな「宇宙連合」という大きな組織というか、宇宙を守るために、指導的な立場として働いた者達の星々の大きな役目と役割があったからこそ、あなた達はその意思を持って、この地球に生まれたのです。

それも、とても古い時代から、この地球に生まれてきたことを、まず、思い出して欲しいのです。

それは、あなた達が、人間と呼ばれる、肉体を持った動物である前の時代にも、いくつも、何度も、形を変えてこの地球という星に転生したことがあるからこそ、その場所において、また、その山において、またその湖の底において、また海の底において、また地球の中において、またその岩の一部分において、大きな記憶を刻まれていることまでわかるように、あなた達は印を残してきたのです。

それは、目に見える印ではなく、そこに行けば、その場所が一つの証であるかのように、宝石箱の鍵を開けるかのようにそこに刻まれていたり、または、形そのものが鍵であったり、またそのすべての道筋の行き先を示す場所であったりするような事が、沢山、世界の山の上にも、平地にも、海の中にもあり

ますが、そのことについては、あなた達がどの古い記憶を思い出すかによって随分意味が変わってきてしまいます。

ただ、わかって欲しい事は、何度も、この星に生まれ変わった記憶があるということです。

そのことをまず、思い出さなければいけないのですが、何故、あなた達は何度も生まれ変わらなければ、いけなかったのかといえば、それは何度も失敗をしてきたからです。

それには、当然いろいろな理由がありますが、今回、地球に産まれた目的は一つです。

この地球という星で、我々が目指す意志はたった一つなのですが、そのことを自らの星のカルマと共に、その過程において経験したこと全てにおいて、あなた達は記憶というものがあるからこそ、どうしてもそれにこだわり、過去の因縁やカルマにおいて、どうしても感情が溢れ出るという特質を持っていますが、それも一つ、私達があなた方に与えた能力でもありますが、それは反対に言えば、大きな間違いを二度と起こさないようにする為なのです。

あの、アトランティスの時でさえも、また同じことをしようとしている人達が今もいますし、またあの、ムー大陸という大きな地上に浮かび上った海の底の島でさえも、一晩にして沈むほどのことを起こしたことさえも忘れていますが、その前にも、いくつもの文明となり、またその役目を果たした者達がいたにもかかわらず、何故、その時のことばかりを問おうとするのか我々にはわからず、今だに、あなた達が過去の歴史を紐解かなければいけない程、愚かな動物なのだとは思っていませんよ。

ということは、何を言いたいのかと言えば、それは、あなた達にはもうその準備が出来ているということに気付いて欲しいのです。

何故、「光の柱」という言葉を我々が与えたのかといえば、それはあなた達が唯一繋がるチャンネルであり、それが全てを繋ぐ通信ネットワークのラインであり、それそのものが「命の力」であるからこそ、その「光の柱」を自らの内側から建てて、天に繋ぎ、地球に繋がり、自らの身体の中に光の柱を立てる事こそが、あなた方の本来の意志であり、そして、我々が見守るライン、つまり、神と繋がる方法だという事をどうして気付かないのかわかりませんが、どうしてもそれがわからないのであれば、まず自分の内側に、身体の中に、頭の先から足の先の先まで、真っ直ぐのような「光の柱」が身体を突き抜けているような状態をイメージで描いて下さい。

そして、身体から溢れんばかりの光を放っている姿を、映像で想像し続けることが大切なのです。

そう、頭で思い浮かべるだけで良いのですよ。

ただ、それだけで、我々との繋がりが深まるのです。

それが、あなた達にとって、最大の受信機であり、送信機であることを、まず、わかって欲しいのです。

その事がわかれば、あなた達には必要なメッセージがすぐに降ろされますが、何よりも気をつけて欲しいことは、降りた言葉はあなただけの言葉など存在しないという事ですし、あなた方と言い続けている理由は、それが一つの仲間だからなのですよ。

誰が私を裏切ったとか、誰が私を嫉妬したとか、誰が私の足を引っ張ったとか、その事が問題ではなく、その全ての行いそのものが我々の意図であり、方向を歪めるための事でもあるのだ、という意味です。

歪めるとは、「ゆがみ」ということはつまり、新しい方向へ導くために、方向、角度を変えなさいという意味で教えているのです。

あなた方人間に置き換えて言えば、自らが上手くいかない時こそ、方向を変えるチャンスだという事までは知っていると思いますが、それは、あなたが元々の目的である事まで繋がるという方法だとまでは知らないでしょう。

現実で起きるトラブルと思えることでさえ、全てが物語のように設定されているのが人間のしくみであり、生まれた時から持っている守護エネルギーそのものの使い方なのです。

そこからまず、始めましょう。

あなた方にはもう、時間がありませんので、（というより、我々が言う時間には概念がありませんが）　あなた方の言う時間という物事については、今を基準にして考えているでしょうが、我々はその先も、後（過去）も、今も、全てが一つの輪になっているような所にいるのですから、今あなたが思えばそれは過去であり、未来であり、今でもあるのです。

ということが理解できるならば、今、この瞬間にあなたが心を決めれば、思ったことは全て出来るということなんですよ。

そう、もうあなたには、無限なチャンネルにアクセスが出来る「光の柱」が備わっているのです。

だから、その一つ一つを繋ぎ合わせて、千の柱となるまで、大きな柱の繋がりのネットワークを構築しなさいということを言っただけなのです。

「千」ということは百の群れが十という意味だけではなく、我々の世界で言えば、もう一段上の世界に繋がるという意味がありますが、それがわかる方がいるかどうかは別として、ただ「仙人」という言葉だけは知っているようですので、その時間と空間と物質を越える世界にまで繋がる力が「千」なのだという事まではわかって欲しいのです。

どうぞ、よろしくお願いします。

2012.02.20 Mon

2月18日　神言葉1

全員が、重要な宇宙の調和を守る為の、宇宙連合に参加していた星としての記憶のチップを持って集まっている。

これは、自分の星の役目を果たす為だけではなく、過去に無いほど大きな、新しい宇宙の調和を生み出すために、全ての記憶チップを合わせる時期が来たということです。

女性達には、特に、この地球を支えるために、心の内鏡において、いつも完全な光の柱を建てるために、自らの心の底から、その光を建てるということを意識して下さい。

時に、自我と思う想いや、とらわれという想いがあろうとも、それも、悲しみも含めて、全てが光となって繋がるものなのですよ。

そこを自分だけの苦しみと思わず、そこを自分だけの悲しみと思わず、それを全て天へ向けて光の柱となって、自らの身体の内側から光を溢れさせて下さい。

そのあなたの持つ力こそが、この地球と連動するのです。

あなた方の心の奥底の内鏡は、われわれが与えた地球を守る為の、また、命の源である過去の中にあるものと繋がっているからなのです。

その壁を越えることは出来ずとも、あなたがたは、自らの心の奥底の内鏡を、誓いとして建てさえすれば良いだけなのですよ。

どうぞ、よろしくお願いします。

2012.02.19 Sun

春日大社の裏山に降りた宇宙エネルギー

昨日、お伝えしたメッセージには、さらに続きがあります。祈り仲間の巫女と、昨日、降ろしたメッセージを再確認している時でした。

最初に藤原一族の話しから始まったので、「人格神」メッセージかと思っていると、藤原一族が守っていた神山に降りたエネルギーは、実は、宇宙から降りた「愛と平和の役目を持った星」のエネルギーであり、新しい愛と平和をこの地球に取り戻す為には、これまで神事に関わった巫女たちの眠りを覚ます必要があることが伝えられました。

このメッセージの中は、日本や地球を守る為に産まれてきた魂たちの記憶を覚ます重要な意味を含んでいますので、どうぞ、個人の囚われを一切、外してお読み下さい。

なお、この情報は私が望んだ訳ではありませんが、誰かの言葉を通して、守護の繋がりが開き、さらに、宇宙のゲートまで一気に開いてしまった意味を考えると、日本に産まれた人たちが、本気で動かなくてはいけない時期が迫っていることを告げています。

ひとつの真実を公開すると、その事に関わった1000以上の人の無意識が動くことを知っているからこそ、宇宙の記憶情報は極力、公開を抑えてきましたが、2012年は、もう止めることはできないと悟りました。

日本と地球を支える為に産まれた人たちが眠りから覚めて、力を合わせて光の柱を支えなければいけない時期が来たことに、どうぞ、あなたも気づいて下さい。全ての皆様の守護のご加護を祈ります。

メッセージ（藤原氏と春日大社）

「イ（ス）シャスカ」の星が降りた役目は、愛と平和の役目を宇宙からもらい降りた山が・・・、春日大社の後ろの山と・・・、三嶋大社の巫女達が、その宇宙エネルギーを守っていた。

吉岡：春日大社から始まったんだ、それも、巫女たちが…。神降りした場所から巫女達が、その神を祭る力を持って、祈りを行いながら支えてきた。だから…、俺は、逆から追っていっているんだな…。で、私たちに何をさせたいんですか？

新しい、平和の愛と調和のバランスを地球に作る為には、この力を動かさなければならないが、昔、（かかった、かけた、）作った・・（大きな）北斗七星の宇宙バランスが、崩れるかもしれないので、それについては、十分配慮して、注意して欲しい。

・・・ということが、宇宙の約束でもあるからこそ、多くの存在達が、その場所を守っているのです。

だから、この星だけを動かすというよりは・・・この星の力を使って藤原家は、神の力を動かすことが出来たんです。だからこそ、藤原家は（もともと）神官なのです。

天皇の後ろ守り、神守りをしている時も使ったのは確かですが、本来の神の力は、この場所（山）から降りて始まっています。

新しい平和の愛と調和バランスの役目を持つ星の一族が、入っている場所だからこそ、われわれは、そことをわかって欲しくて伝えているのです。

その事とは、人格神を立てて欲しいという意味ではなく、その後ろにいる神、そして、人間が神と祭るものを与えた大元の星の流れから来る宇宙の力を復活させて欲しいのです。

それが出来るのは、あなた方なのですが、よろしいでしょうか？

それが始まらなければ、私達が「新しい始まり」が出来ませんし、その星のネットワークを動かすという事で、星の１５の働きを変える力にもなるかもしれませんが、それが（大元の）願いだからこそ、その事について知っているあなたは、その事を話して欲しくないけれども、話さなければいけない役目がある事もわかってほしいのです。

私達はその事を伝えたくて、あなたをこうしてまで動かしたのですが、目の前の女性（M・J）は、あなたがわからないように、そして、彼女もわからないように、そのことについて動かされているという事ことさえも知らずに、多くの写し場所というべき、神エネルギーというか、宇宙から降りたエネルギーを（過去に）繋いだ場所をあちこち動きまわされたのです。

色々な星の記憶を繋ぐ役目を魂が持っていたので、この人（M・J）は、（世界の）あちこちの場所へ行かされたのです。

その（古い）エネルギーと、過去の記憶を日本へまとめて繋ぐために、急遽、戻されたのですよ。このことをよくわかっておいて下さいね。

（中略）

しばらくすると、また、瓜二つのような存在がやって来るかもしれません。それは、われわれの兄弟星であり、仲間だからこそ、受け入れてあげて下さい。

その星（S・Hさん）が来るということは、ウル（牛）族と龍族のことについてもそうですが、あなた達がかかえている問題以上の所までさかのぼることになりますので、そのことについての因縁解消だけで

はなく、もっと奥に隠された真実について、解き明かしをしなければならない時期が来たので教えているのです。

このことについて、彼女はまだ知りませんが、われわれは、あなた方を兄弟星としてみています。

だからこそ、その星の流れと、循環を作ることを始めなければいけない時期なのです。だから、八重干瀬（やびじ）に呼んだのです。

宇宙には、いくつもの星を見守る存在達がいますが、その星の流れをまとめる１５神達の会議の場をまとめる役目がいる事は、あなたもご存知でしょう。

その事をまとめる役目をしている星が、その十字架の星なのです。

※この時、ビジョンで、光の十字架を持つ星が、宇宙の奥から地球へ向けて光を放っている映像が見えていました。

その力があなたには、与えられているのですよ。

この事をわかって、動かしてくれれば、すべての１５神の神達が、もっと大きく力を持って、過去の因縁を越えて大きな愛と調和のバランスで動きをすることが出来るようになります。

新しい愛と平和の力は、あなた達の星、地球を守るだけではなく、その血の流れ、魂の流れ、神の流れを作ったもの達が集結した場所が熊野ですし、その役目を見守る為に降りた場所が春日大社でもあり、・・・まだ他にもありますが、天河には、いくつかの星が同時に降りましたが・・・（３つ降りましたが）、その星については、まだ触らなくても良いでしょう。

動かす時期が、まだ、早いという意味です。

それよりも、熊野の星のもの達との和合会議が終われば、ぼつぼつ動き出す時期が来ますので、その事について、指示、命令系統を出すのが、その、春日大社と共に、その、熊野に繋がる場所から報告・指示・命令系統を出すことが出来るようにシステムがセットアップされているのです。

だからこそ、宇宙チャンネルを持っている方々が、そのことについて魂がわかっている合図として、必要なひとつひとつの場所に手を合わせ、心合わせ、巫女修行するようにさせられているのです。

そのことについてわかっている者達が、ぼつぼつ、あなたの周りに集まってきているはずです。

あなた方については、その「宇宙ネットワーク」をどう動かすかを指示・命令されているはずですがら、もう、その時期が来たという事を、わかっておいて下さい。

ここまでは、まだ、お勉強の段階の話しですが、どれほど大きなバランスで、この宇宙の大きなエネルギーを動かすかまでの操作盤が、この日本にある事については、もう少し大きな力を動かしていい時期が来たらお伝えしましょう。

ただ、わかっておいて欲しいのは、関西の西側にある、もっと大きな、大社・・・大きな、大社・・・。

山よりの、熊野のような、山の中にある、大きな神が降りた場所があるのですが・・・、そこが、どこかといえば、、須磨、諏訪、ではなく、それよりもっと西側にあり…、いや、もっと上側かな…その地域辺りにあり・・・、山の中にあるような場所ですが、山の上から宇宙エネルギーが降りて、ある場所の神社に降りたのですが、その事について知る者があれば・・・、その事については、関西のO・Hさんが詳しいかもしれませんね。

関西のO・Aさんにも、その事を伝えれば、彼女はその巫女をやっていた為に、その記憶がありますが、そこはまだ封印されていますので、使い方がわからないはずですので、O・Hさんが、その鍵を開けるかもしれませんね。

西側の鍵のエネルギーが開けば、宇宙のバランスとして、東と西を壊すことはなくなるので、その為にも、彼女のその役目を働かせなければいけない時期が来たとお伝えして下さい。

次に、東側を守る役目として、春日局（かすがのつぼね）という女性が地球に降りたはずですが、その御魂を関東のどこかに運んだはずです。

それが、一つの証しとなっている大社があるはずです。

そこに、我々が明かした鍵を持たせてありますので、その事を動かす時に使って下さい。

その時の祈りで、上と、右と、下に、何を置くかによって、宇宙エネルギーの動きが変わりますので、よろしくお願いします。

あなた方が、知恵を持たずとも、必要な時には与えられますので、その時に、必要な事がわからなければ聞いて下さい。

いつでも、あなた方の質問については、お答えいたしますので、どうぞ、よろしくお願いします。（あなたがたというのは、S・Hさんも入っています）

私が行う神事の大きな目的は、宇宙のエネルギーバランスを整える役目において、地球という星に産まれた人たちの意識エネルギーを上昇させることで、過去の宇宙カルマを乗り越えて、新しい愛と平和の創造エネルギーを産み出す仲間たちが手を結び、地球から新しい愛と平和のエネルギーを産み出す人たちが繋がることが目的で行っています。

その新しい愛と平和のエネルギーが、地球を支える本当の「光の柱」なのです。

自らの星のカルマを乗り越えた人たちは、新しい宇宙と地球のバランスを産み出す為に、どうぞ、力を貸して下さい。

私たち人間が創造し、意識することが、全宇宙にもエネルギーとして繋がっていることを、どうぞ、気づいて下さい。

全てを歓びに、全てを感謝に、そして、全てを愛のエネルギーに転換する為に産まれて来たのが、人間なのです。

2012.02.16 Thu

平安の世を願った藤原一族

「3月12日の光の柱崩壊」まで、一人でも多くの人が目覚めなければいけないので、現在、降りているメッセージの中で、多くの人たちの無意識に関わるメッセージを先に公開します。

なお、藤原一族に関わる光と影の部分を、あなたがどう見ているかによって感じることが違う事を頭に入れてお読み下さい。

2/10　茅ヶ崎市で藤原一族の直系の男性に出逢いました。お酒の席で終えきた理由がわかった時には、驚きました。翌日、ひどい体の痛みと共に、どうしてもわかって欲しいメッセージが降りました。

このメッセージの内容は、関西に限らず、藤原家を代表する公家支配の時代の光と闇の記憶を持つ人たちの無意識解放が目的で公開します。

もっとも皆様に気づいて欲しいことは、この地球で起きた人間の歴史の背景には、はるかに人間が考える領域を超えた宇宙の星の記憶を持つ存在たちが動いているという事実です。

そして、全ての星の代表者たちが、この日本に集まっていることにも気づいて欲しいからこそ、そのまま公開しています。

※メッセージを読む時は、感情を掴むのではなく、全ての思いを見守る完全調和の愛へ波動を上げてメッセージを受け止めて下さい。

（藤原家がわかってほしい二つのこと）

まず最初に、これまでの話しが分かっていることを前提に話しますが、私たち藤原一族は、何も好き好んで自分たちから公家の職を望んだ訳ではありません。結果としてそうなったのだということを理解しておいて下さい。

そして、いつまでも世の中が平安である事を望むのは、あなたたちと同じです。その方法が良い悪いではなく、結果として世の中を平安にする事が望まれていたからこそ、一族の中でも色々な画策がありましたが、一部の者の行動だけで評価して欲しくないということをお伝えしたいのです。

今の時代に歴史として伝えられている部分は、今でいう三流マスコミ情報のようなものですから、正しく自らを清めながら祈りをしたり、天皇をお守りしていた人がほとんどだと知っておいて欲しいのです。

次にお伝えしたいことは、とても重要です。

私たち藤原一族は、かつて長い繁栄をしていたと伝えられていますが、実は、多くの者がそうではなかったということです。

神官から公家になった時に、それまでいた勢力が圧力をかけてきたのは当然と言えますが、それ以外にも、最も恐ろしい「神変え」、つまり、「あなたたちは神官ではなく、公家になったので

すから祀る神も、祀り方も改めなければいけない」と言われたことがショックでした。

時代の圧力によって神の統制が行われることは存じていましたが、我々が、公家の仲間になったことを恨むかのように、神の名前を変えたり、神場所を移せという圧力があったことを知っておいて欲しいのです。

そういう時に、裏で隠して、今までの神を祀ることはできますが、その行為は、天皇の意思に反する行為だからこそ、我々は仕方なく、その圧力に従うしかありませんでした。

誰がその圧力をかけたかは、問い合う者たちが動きますので名前は控えましょう。

今、知って欲しい事は、以前、私たちが大切に祀っていた神場所が移された為に、神の所在が不明確になり、神の力も衰えてしまったことが残念でなりません。

その場所は、伊勢の裏側とも言えますし、山の神を祀っていた、つまり、山に降りた神の力を十分に取り込める場所にあったのです。

関西神事に関わった人で、「西に呼ばれている人」がいますね。

その人が、その場所の神を移した人だからこそ、問うのではなく、知って欲しいからこそ、お伝えしています。

神の場所を元に戻せとは言いませんが、本来、居た神の気持ちを汲んで欲しいと、私たちは強くその願いをあなたたちにお伝えしたいのです。

神鏡の神にも申し訳なく思いますが、我々は、神を守る役目だったからこそ、その神を今も心の中では愛しています。

一族が集う時には、そのことを知っている者たちが、裏で古い祀り事をしますが、そのことは表に出すことではないからこそ、伝承も控えています。

ただ、事実を正しく知って欲しいのです。

神の御心を感じ続けた人間として、神の気持ちがわかるあなたに、どうしてもお伝えしたくて、体に入り込んでしまいましたことをお詫び申し上げます。

心から、神役目を果たされることを願う日々でございます。

運命、天地逆転のことが起きようとも、我々は、常に、人民の平和を願い続ける一族として、後世に伝えて欲しいとだけお伝えしておきます。

藤原一族の思いは、人民を守る為に、心から祈りをしていた一族であることを、心の奥底でいいですから知っておいて下さい。

何よりも、人を愛し、大地を愛し、人々を希望の世界へ導きたいあなたの気持ちを十分、汲取り、お伝えしていますことをご理解下さい。

如何、日々、神の御よしろ、かまえぎに姿を変えたとしても、我々の魂は永遠に一族の繁栄と人民国家の安泰を強く希望するものなり。

御のたまいて、心から感謝申し上げます。

２０１２年２月14日　神の御よしろ　藤原家一族の思い伝え賜え

2012.02.15 Wed

隠された記憶が一気に吹き出る！

ここ最近、立て続けに様々なメッセージが降りていますが、あまりの情報量に裁く事が難しいうえに、体はそのエネルギーの影響で疲労しています。

しかし、消された記憶の扉が開いたことで、突然、自分の意識レベルが愛に変わった方達もいることでしょう。

宇宙時代の記憶の扉が開くと、その時代に関わった魂の記憶や星の記憶も思い出しますが、「魂のカルマ磨き」を終えた人たちにとっては、一気に意識レベルのアップが始まります。

現在、どのような情報が降りてきているかというと、日本の平安を永い間支えた藤原家の本来の神は、自然神ではなく、その後ろに宇宙の星の情報まで降りています。

特に、神官や巫女など、祈りをする人たちに関わる情報が降りています。

守護存在から言われて、全国を祈っている人たちを多く知っていますが、もう、自分の星の役目だけでは間に合わない事に気づいて下さい。

この地球は、宇宙の全てのカルマを持って民族が、そして、その魂が日本に集まっている場所だからこそ、私たちが愛を創造しなくてはならないのです。

この情報は、わかりやすく皆様に公開できるようにするために、現在、地球創生SNSに参加している巫女や神官たちで情報の紐解きをしています。

見える見えないに関わらず、２０１２年は、全ての人間の意識を転換する為に与えられた年だからこそ、一人でも多くの方が過去の思いの乗り越えて、愛にステージアップして下さる事を祈り続けます。

私たちは、一切の人の行動を問わず，戦わず、非難せず、全ての出来事を愛と調和の心で日本と地球を支える為に光のエネルギーを出しあう仲間たちです。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

宮古島　八重干瀬（やびじ）ツアー2012の募集　残り3名枠です！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

宮古島・伊良部島の龍神・自然神・人格神に祈りを捧げ、宇宙神に繋がる聖地　八重干瀬（やびじ）で祈りをするこのツアーは、2012年はさらに内容を充実させて「７名だけの限定募集」としましたので、どうぞ、お早めにお申し込み下さい。

http://yoshiokamanabu.com/2012yabiji.html

◎**3/11**までに、**1000**人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！

2/12現在**–539**名登録

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意を示す必要を迫られていますので、「地球創生メルマガ」の登録人数で皆様の意思を新しい光の柱を支える人たちとしてカウントしています。 まもなく一周忌を迎える3/11に亡くなった人の思いも含めて、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」で、地球と、地球を守る神々の意思をひとつに繋ぐ為の光の柱を立てる祈りを行います。

◎3/12の午後2:12の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所の海の底に神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球を支える祈り合わせをして下さい。現地へ行けない方は、自宅でも会社でも結構ですので、同時刻に一瞬だけでも意識を合わせて下さい。関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区、関西地区につきましては、富士山の神々を祀る場所で祈り合わせが決まりました。

2012.02.14 Tue

宮古島　八重干瀬（やびじ）ツアー2012募集開始（７名限定）

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

宮古島　八重干瀬（やびじ）ツアー2012の募集開始

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

宮古島・伊良部島の龍神・自然神・人格神に祈りを捧げ、宇宙神に繋がる聖地　八重干瀬（やびじ）で祈りをするこのツアーは、2012年はさらに内容を充実させて「７名だけの限定募集」としましたので、どうぞ、お早めにお申し込み下さい。

http://yoshiokamanabu.com/2012yabiji.html

◎3/11までに、1000人の心を光の柱にして日本を支えて下さい！
2/12現在−537名登録

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意を示す必要を迫られていますので、「地球創生メルマガ」の登録人数で皆様の意思を新しい光の柱を支える人たちとしてカウントしています。 まもなく一周忌を迎える3/11に亡くなった人の思いも含めて、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」で、地球と、地球を守る神々の意思をひとつに繋ぐ為の光の柱を立てる祈りを行います。

◎3/12の午後2:12の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所の海の底に神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球を支える祈り合わせをして下さい。現地へ行けない方は、自宅でも会社でも結構ですので、同時刻に一瞬だけでも意識を合わせて下さい。関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区、関西地区につきましては、富士山の神々を祀る場所で祈り合わせが決まりました。

2012.02.13 Mon

マスターメッセージ　「光の柱」

光は、光を産む。常に、愛の光を送り続けなさい。

光とは、人間の歓びや希望であり、また、それは、自然界の神々も産み出す命の根源力でなのです。

愛を持って生きるならば、この世に起きる事全ては、愛の断片だと気づきなさい。

悲しみに目を向け続けると、光（希望）を失います。

あなたたち人間にとって、希望は何を意味するものかをもう一度、考えて欲しいと思います。

私たち宇宙の神々は、宇宙からこの地球を見守っています。

人間が、そう宣言したからこそ、その時期を待っています。

「地球を希望の星にすると宣言した人たちは、何をしているのですか？」

私たちは、地球に起きる自助作用を止める事はできません。

地球内部の自助作用が、人間にとって、常に、歓びにならないことも知っていますが、神々は、あなたたち人間だけの為にいるのではありません。

全ての命を産み出した責任として、その過程を見守り続けながら、私のたちの役目を超えて、宇宙の浄化作用を動かすほどの人間が産まれる日を待っているのです。

長い、長い時間でした。

今までも、これからの私たちは過去に起きた全てのことを問うのではないことを知って欲しくて、いくつものメッセージをあなたたちへ送り届けています。

自分を問う心は、神鏡と同じですので、止めて下さい。

自分を問うのではなく、生かされている意味を考えて、生命全てを循環させている機能が正常に働くように、自らの心と体を整えて下さい。

無の意識が、全てひとつの答えであることはご存知だと思いますが、あなたたちは、自ら選んで肉体を持ち、カルマを思い出しながら、全ての事柄を光に、つまり、歓びに変えると約束して産まれたはずです。

でも、最初は、そのことを忘れている為に、目の前で起きた全てのことが事実だと、完全だと、全てだと思ってしまいますが、それは間違いです。

あなたたちの目に見える物は、全ての循環のほんの一部だからこそ、あなたたちには見えてない部分の意味に気づいて欲しいからこそ、幾千年、メッセージを送り届けています。

過去の記憶に囚われてしまえば、いつか、自分の周りに居る人たちが敵だと思ってしまうでしょう。

両者とも、その記憶を消して出会わせた理由は、過去を問わずに全てを許し合うためなのです。

まだ、わかりませんか？

今、あなたが大切だと思っている人たちは、全て、過去にあなたを苦しめたり、いじめたりした人たちなのです。

だからこそ、記憶を消して生れさせたのです。

だからこそ、何が起きても、誰かを問う心は捨てて下さい。

全てが、自分の学びであり、相手を許す為に出会っているのです。

自然は、あなたたち人間にとって、どういう存在ですか？

必要か、必要でないかではなく、自然が、あなたたちの母だと気づいていますか？

地球上の生命は全て、地球上の自然から産まれたものなのです。

その自然を産み出したのは、地球内部にいる母たちです。

命を産み出す母の役目として、地球に生命を宿らせた記憶を持っている人もいるはずです。

人間は、人間が創った物ではないからこそ、大いなる母を怒らせれば、地球の悲しみのように、涙を流し、打ち震えます。

母なる役目を持って産まれた人たちは、生命循環の全てを知る必要があります。

古代から伝えられた英知には、そのことが最初に教えられていたのです。

海を母と仰ぐ人たちは、遠く離れた故郷の母を思い出して、祈りをしていた人たちです。

山を母と仰ぐ人たちは、陸地に住み着いて、自然から命を頂いたことを気づいた人たちです。

太陽や月を神として祈る人たちは、古代ギリシャの分け御霊とも言うべき、人間の愚かさを示すように、喧嘩別れをして、それぞれの神を祀った人たちです。

天命をいかに、伝えるか、難しいのは、いつの時代も同じです。

自分の居場所を問われても、成すべき命がある間に、どうか、役目を果たして下さい、我々の思いと共に・・。

まずは、あなた自身が苦しみや悲しみを愛に変えることが、最初に必要です。

命の循環をコントロールすることはできませんが、あなたたちが立てる「光の柱」は、私たちにも届いています。

私たちに出来る事は、あなたたちが立てた「光の柱」、つまり、あなたたちがこれからどう生きるか宣言したことを支えるだけなのです。

どうぞ、よろしくお願いします。

2012.02.09 Thu

東日本大地震　一周忌御霊鎮魂の祈り

3月9日（金）～3月12日（日）に行います「東日本大地震　一周忌御霊鎮魂の祈り」の大枠のスケジュールが決まりましたので、この祈りに御協力下さる方は、ご連絡をお願いします。連絡先：info@yoshiokamanabu.com 吉岡学
※下記スケジュールの情報収集には、東日本大震災（地震、津波）被害状況専門サイト　http://ranasite.net/?p=1483　とナビタイムを参考にしています。
３月9日（金）
ANA　札幌発　9：40–11：00着。
※福島空港に参加者集合。打ち合わせ・昼食後、約３時間移動。
一）15:00頃一福島県　死者・行方不明者1981人の御霊鎮魂祈り
場所：相馬市・南相馬市の港を数か所
※約90分移動後、仙台市内に宿泊予定。

３月10日（土）
※9：00–仙台市内から石巻市の港まで約2時間移動。

二）12：00頃–宮城県　死者・行方不明者11248人の御霊鎮魂祈り
場所：石巻市の港付近
※石巻市から気仙沼市へ約２時間移動。
三）15:00頃一気仙沼市の港で御霊鎮魂祈り
※気仙沼市内に宿泊予定。

3月11日（日）
9：00–気仙沼市から陸前高田市へ約１時間移動。
四）11：00頃一岩手県　死者・行方不明者5989人の御霊鎮魂祈り
場所：陸前高田市の港

陸前高田市から釜石市へ約2時間分移動。
※ 釜石市内　宿泊予定。
３月12日（月）
9：00–釜石市から岩手県宮古市日立浜町へ約２時間移動
五）午後２:12　御霊鎮魂と光の柱立て祈り
場所：（岩手県宮古市浄土ヶ浜市、※地球内部と対話する祈り）

※浄土ヶ浜から３時間移動後、盛岡駅で参加者解散。
※吉岡は、盛岡駅21：31発の夜行列車で翌日06：07に札幌着予定。

（お願い）
１、現地の道路状況が把握しきれていませんので、現地にお住まいの方でご協力頂ける方を探しています。全ての祈りに参加できなくても、ご自分がお住まいの地域の祈りの参加下さるだけでも結構ですので、ご強力・ご連絡を宜しくお願いします。連絡先：吉岡学　info@yoshiokamanabu.com
２、この祈りに日本人の心をひとつにする為のお願いが二つあります。
一人一人の決意をわかりやすくひとつに示すひな形として、「地球創生メルマガ」http://earthtscu.jp/mail.html　へアクセスして頂き、3/11までご登録下さい。※大神には、1000人の意思を示すと宣言しています。
日本や地球を支える新しい「光の柱」を自らの心の中に立てる宣言祈りは、「3月12日　午後2：12」に全国同時に祈り合わせをしますので、職場で一瞬だけでも祈りを合わせて下さることをお願いします。
※ご案内した祈りの時間以外にも、移動中は全て御霊の思いを感じながら祈り続ける時間になりますので、ご案内した祈り時間に関わらず、現地で祈る仲間の安全と御霊たちの鎮魂浄化を祈って下さることをお願いします。
３、現地で一緒に祈りたい方や、現地の道路状況などをサポートして下さる方を探しています。ご協力頂けます方は、info@yoshiokamanabu.com 吉岡へご連絡下さい。

※現地には行けないけれど、何か具体的な協力をしたいと思って下さる方は、現地で供養に使う品物などの諸経費として「地球創生基金」へ、ご寄付をお願いします.
口座名義：地球創生基金
◎郵貯から郵貯は、記号19070　番号9613551
◎銀行から郵貯銀行は、支店名　九〇八　普通　口座番号　0961355
日本人一人一人が、3月11日に亡くなった方達の人生を代わりに生きる決意を示すことが、「光の柱」であり、御霊たちが天上界へ上がる大きな力になりますので、どうぞ、皆様のご協力とご理解を宜しくお願い申し上げます。吉岡学

◎**3/11**までに、**1000**人の心を繋いで下さい！　　**2/8**現在−５２９名登録

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意が必要ですので、「地球創生メルマガ」の登録人数でカウントすることにしました。

3/11までに、友人・知人・お知り合いへ、今回の地震の意味をお伝え頂き、皆さんの心合わせによって、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」で地球を守る神々と対話する祈りを行います。

◎**3/12**の午後**2:12**の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所に、神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球再生の祈りを行って下さい。行けない方は、自宅でも会社でも結構ですが、同時刻に意識を合わせて下さい。

関東地区は、明治神宮の宝物殿前の川の横にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。東海地区・関西地区につきましては、富士山噴火を鎮魂する意味で各地の浅間神社から祈ることが決まりましたので、お近くに祀られている山神様の神場所へご参集下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク
目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。
日時：3月3日（土）10：00〜16：00
集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東地区　世界の神話から神心を知る勉強会
テーマ：イエス・キリストの誕生とその意味
3月3日（土）　19：00-21：30
場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。
を伝授します

◎静岡地区 勉強会

ガイアメッセージと守護存在と繋がるエネルギーワーク　Guardian deity energy work ）

3月1日（木） 19：00-21：30

場所：静岡市清水区/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　読み取りワーク

日本を支える古い民族の思いを愛に転換する神事ワークを通して、参加者の意識の目覚めと地域の人の魂の繋がりを大きくする目的で行います。

2月28日(火）　10：00-16：00

場所：関西近郊　　参加費：￥5000

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区 勉強会

ガイアメッセージと守護存在に繋がるエネルギーワーク　Guardian deity energy work ）

2月28日(火）　19：00-21：30

場所：難波市民学習センター/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって、愛と調和の心を輝かせる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、http://sns.prtls.jp/earthtscu/

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

地球創世基金へご協力をお願いします

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！

http://yoshiokamanabu.com

3月9日（金）～3月12日（日）に行います「東日本大地震　一周忌御霊鎮魂の祈り」の大枠のスケジュールが決まりましたので、

この祈りに御協力下さる方は、ご連絡をお願いします。連絡先：info@yoshiokamanabu.com 吉岡学

※下記スケジュールの情報収集には、東日本大震災（地震、津波）被害状況専門サイト　http://ranasite.net/?p=1483　とナビタイムを参考にしています。

３月9日（金）
ANA　札幌発　9：40–11：00着。
※福島空港に参加者集合。打ち合わせ・昼食後、約３時間移動。

一）15:00頃一福島県　死者・行方不明者1981人の御霊鎮魂祈り
場所：相馬市・南相馬市の港を数か所
※約90分移動後、仙台市内に宿泊予定。

３月10日（土）
※9：00–仙台市内から石巻市の港まで約2時間移動。

二）12：00頃–宮城県　死者・行方不明者11248人の御霊鎮魂祈り
場所：石巻市の港付近
※石巻市から気仙沼市へ約２時間移動。

三）15:00頃一気仙沼市の港で御霊鎮魂祈り
※気仙沼市内に宿泊予定。

3月11日（日）
9：00–気仙沼市から陸前高田市へ約１時間移動。

四）11：00頃一岩手県　死者・行方不明者5989人の御霊鎮魂祈り
場所：陸前高田市の港
陸前高田市から釜石市へ約2時間分移動。
※ 釜石市内　宿泊予定。

３月12日（月）
9：00–釜石市から岩手県宮古市日立浜町へ約２時間移動

五）午後２:12　御霊鎮魂と光の柱立て祈り

場所：（岩手県宮古市浄土ヶ浜市、※地球内部と対話する祈り）

※浄土ヶ浜から３時間移動後、盛岡駅で参加者解散。
※吉岡は、盛岡駅21：31発の夜行列車で翌日06：07に札幌着予定。

（お願い）
１、現地の道路状況が把握しきれていませんので、現地にお住まいの方でご協力頂ける方を探しています。全ての祈りに参加できなくても、ご自分がお住まいの地域の祈りの参加下さるだけでも結構ですので、ご強力・ご連絡を宜しくお願いします。連絡先：吉岡学　info@yoshiokamanabu.com

２、この祈りに日本人の心をひとつにする為のお願いが二つあります。

一人一人の決意をわかりやすくひとつに示すひな形として、「地球創生メルマガ」http://earthtscu.jp/mail.html　へアクセスして頂き、3/11までご登録下さい。※大神には、1000人の意思を示すと宣言しています。

日本や地球を支える新しい「光の柱」を自らの心の中に立てる宣言祈りは、「3月12日　午後2：12」に全国同時に祈り合わせをしますので、職場で一瞬だけでも祈りを合わせて下さることをお願いします。

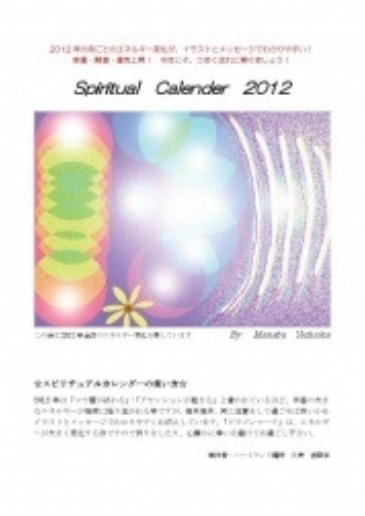
※ご案内した祈りの時間以外にも、移動中は全て御霊の思いを感じながら祈り続ける時間になりますので、ご案内した祈り時間に関わらず、現地で祈る仲間の安全と御霊たちの鎮魂浄化を祈って下さることをお願いします。

３、現地で一緒に祈りたい方や、現地の道路状況などをサポートして下さる方を探しています。ご協力頂けます方は、info@yoshiokamanabu.com 吉岡へご連絡下さい。

※現地には行けないけれど、何か具体的な協力をしたいと思って下さる方は、現地で供養に使う品物などの諸経費として「地球創生基金」へ、ご寄付をお願いします。

口座名義：地球創生基金
◎郵貯から郵貯は、記号19070　番号9613551
◎銀行から郵貯銀行は、支店名　九〇八　普通　口座番号　0961355

日本人一人一人が、3月11日に亡くなった方達の人生を代わりに生きる決意を示すことが、「光の柱」であり、御霊たちが天上界へ上がる大きな力になりますので、どうぞ、皆様のご協力とご理解を宜しくお願い申し上げます。吉岡学



未来に何が起きても勇気が持てる、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」もどうぞご活用下さい。心身のデトックスツールとして、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」もおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPからお願いします。

2012.02.09 Thu

伊豆国一宮・総社　三嶋大社の節分祭





三嶋大社の鳥居の姿を見ると、2009年11月に行った「伊豆諸島地震納め神事」を思い出しましたが、その時に神と対話した内容も思い出しました。

ここには、日本に渡ってきた大切なお父さんが祀られている神社です。





鳥居の左手には、厳島神社の弁天がありますので御挨拶に行くと、とても強い口調でメッセージが降りました。

このメッセージは、女性の中に眠る地球内部の意思を目覚めさせる重要なメッセージが伝えられましたので、「地球創生SNS」の公開サニワの場で、相互理解を深めています。









偶然にも、この日が節分だったので、境内には厄払いの豆まきに合わせて人が集まり始めていました。



末社のひとつひとつに、ご挨拶をしてから本殿に向かうのが、私の正式参拝のルールです。



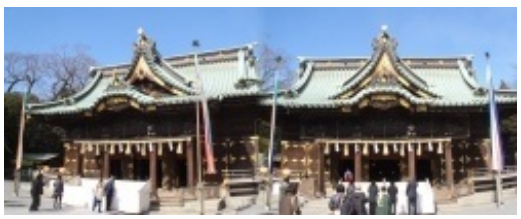












伊豆諸島神事の中で神様の由縁、ゆかりの全ての縁を繋いだので、お父さん神は、やさしかったのですが、本殿の左手に、誰か、大きな神様がいらっしゃるのがわかりました。

女性の大きな神様ですが、お妃様では、ありません。

もっと大きな神格の高い女性の神様が左手にいるので、ご挨拶をしてみると言葉が降りました。

先ほどの弁天メッセージと、この女性の神様メッセージに加えて、帰りの車の中でも、さらに伝えたいメッセージが降りましたので、巫女の魂を持つ人たちの目覚めの時期が来たことを伝える言葉だとわかりました。

互いに信頼し合う決意が出来た巫女たちの準備が整った時に、全ての内容を公開できると思いますので、もう、しばらくお待ち下さい。



祈りが終わる頃、豆まきの時間が近づいていたので、初めて見る神社の豆まきを見せてもらうことにしました。神様たちも、赤や白や青のオーブになって、どんどん集まってきています。





辰年生まれの男たちが装束を着て、奥様と一緒に神役目を果たされるという、とても素晴らしい伝統的な神事でした。



youtubeでもご覧になれます。　http://youtu.be/TAQMdduKkDY

◎**3/11**までに、**1000**人の心を繋いで下さい！　　**2/8**現在–５２４名登録

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る決意が必要ですので、「地球創生メルマガ」の登録人数でカウントすることにしました。

3/11までに、友人・知人・お知り合いへ、今回の地震の意味をお伝え頂き、皆さんの心合わせによって、１０００人の意思をひとつに合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」で地球を守る神々と対話する祈りを行います。

◎**3/12**の午後**2:12**の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所に、神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球再生の祈りを行って下さい。行けない方は、自宅でも会社でも結構ですが、同時刻に意識を合わせて下さい。

関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。

静岡、関西については、勉強会の中でお話ししますので、ぜひ、皆様のご理解と心合わせをお願いいたします。

2012.02.08 Wed

修験の郷　伊豆山神社

熱海市の「来宮神社」の神メッセージは、

この知恵を預けた場所だからこそ、神水（温泉）が生まれ、あたわりがあるのに、その事を気付かず、祭り事をせずにおることが、とても大きな問題なんだということに気付いて欲しいのです。

と、言葉を頂いたので、すぐに、熱海市に湧き出る温泉の源の場所へ向かいました。

温泉が出る地域で一番、大切な祈りは、源泉に対する祈りなのですが、なかなか最近は、源泉にお礼の挨拶する人が少ない事が、今回のメッセージだと感じています。

着いた場所は、伊豆山の一番下に、山の横からお湯が湧き出ている「走り湯」と呼ばれている場所でした。





頂上にある「伊豆山神社」までは、階段で８３７段もあるそうです。



中へ入ると、お宮はありましたが、見るからに感謝のエネルギーが足りていませんので、お詫びと感謝の祈りを伝えました。すると、神様は、こうおっしゃいました。

「わかってくれる人がいるだけで、私はうれしい。何かをして欲しい訳ではないが、ただ、命の水を沸き出している意味を正しく知って欲しい」と。







「走湯神社」の真下に、お湯がゴボゴボ湧き出る場所がありますが、中に入るには勇気がいるほど、強い力の存在がいます。



やはり、お詫びはしなければいけないので、中へ入って、お詫びの祈りを唱え始めました。

少しすると、一瞬、湧き出る音が止まり、奥にいる神が顔を出した時には驚きましたが、お詫びと感謝の言葉を唱え続けました。

熱海市が、昔ほど華やかではなく、寂れていることは知っていますが、自然の恵みを与える神様は、その場所に住む人の心に見合う働きになりますので、ぜひ、熱海市で温泉や観光業で恵みを頂いている方達は、このお宮の神様へお詫びと感謝の祈りをして下さい。

何をすればいいかというと、自然の恵みを守る神様には、お金は必要ありません。

ただ、あなたが日頃のお詫びとして、お宮の周囲の清掃や修復をすることで、周りの人の心も変わり、観光客や良い縁が繋がるようになるものです。

熱海に来ると、すぐに山の上にある「伊豆山神社」へ行く人も多いと思いますが、自然神に感謝する心を持っている人なら、山の裾野に温泉という恵みを下さる神様に、きちんと挨拶をしてから山へ登るのが、正式な神心を持つ人の行動だと思いますので、どうぞ、宜しくお願いします。

これで、当初の目的は果たしましたが、ここまで来て「伊豆山神社」へ行かないのは失礼にあたると感じたので、山の上にある「伊豆山神社」へ向かいました。

「伊豆山神社」の名前は、先日、静岡市内の浅間神社祈りの時に、伊豆山の修験家系の巫女をしていた女性に逢ったご縁もありましたが、4時で閉門する事を知らなかった為に逢う事はできませんでした。

山の上にある「伊豆山神社」は、とても眺めの良い場所にありました。



手水舎には、かわいい紅白の龍もいますし、山の自然神に感謝する場所のようです。





気持ちよくご挨拶に来たつもりなのに、なぜか、雷電社（伊豆山神社の荒魂）の神様は、厳しい言葉で、「何もすることは、ないぞ！」とおっしゃいます。





不思議に思って、右奥の「白山大神」にご挨拶すると、「ただ静かに、山を守っています」と

だけ、おっしゃいました。何となく腑に落ちないまま、本殿へ向かいました。





午後4時で正面の扉は閉じますが、神様は、常に、こちらを見ていますので、「何かして欲しいことはありますか？」と尋ねると、こうおっしゃいました。



「何も、することはないぞ。何も、困っていることはないぞ。私たちだけで、十分、働きはできているから、気にしないでくれ。早めに、山を降りてお帰り下さい。」



この言葉で、すぐにわかったことがあります。

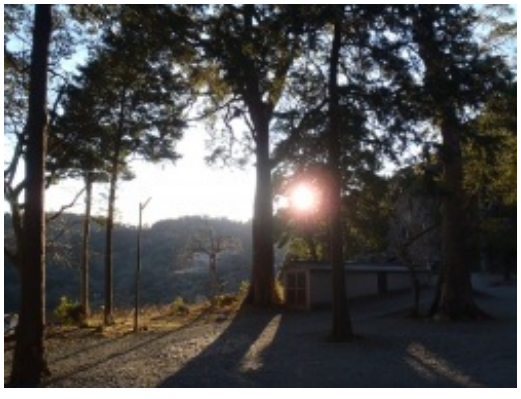
この「伊豆山神社」は、正統な修験の血を引く巫女の女性から聞いた話しの中に、昔あった神社の場所を変えたことで、本来の神働きが出来ないでいることを神に伝えられたと聞かされたので、そのことを隠していることが、すぐに、わかりました。

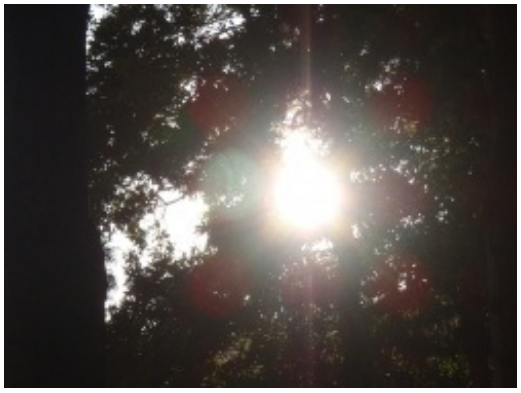
問題は、神社の場所を動かした事ではなく、その時、神の働きを変える為に、何かを封印したり、壊した人たちがいるということです。

この神社に来る人の中には、このテーマに取り組まなければいけない人たちがいるはずですので、個人の神カルマの解消は、当事者の人たちでお願いします。

人間が創った神社や仏閣には、必ず、「裏と表の思い」があることを心に入れて祈って下さいね。そうでなければ、片手落ちですよ。

日本中がパワースポットブームだからこそ、神仏の願いを聞き届ける心を持って聖地に足を運ぶ人が増えることを願っています。





地球を育む大神の祝福の証は、自然神の姿を借りて、光や風の動き、雲の動きや鳥のさえずり、時には、大地の揺れによってメッセージを伝えてきます。

皆様も、一瞬だけ与えられる自然神のメッセージを見逃さない心で過して下さいね。

ここまでの神メッセージを考えると、やはり、大きな土地神にも挨拶しなければいけない気がしたので、「三嶋大社」へ向かうことにします。

つづく

2012.02.07 Tue

根源神メッセージ

今、女性たちが、自らの内側の思いを全て愛に変えて、全ての人や自然に心を開き、地球そのものと共鳴することで、優しい産み出しの愛のエネルギーを、私たち人間が作り出す時期に来ています。

地球内部に溜まったあらゆるエネルギーは、女性たちの心の奥底にある深い深い想念とリンクしているからこそ、女性たちは心の奥底にある悲しみや憎しみを全て愛に変える必要があることに気づいて下さい。

地球内部のマグマの炎は、女性が持つ情熱的な思いと共鳴しているからこそ、あなた自身が不安や悲しみや怒りの感情を溜めれば溜めるほど、地球も意識共鳴して、大きな怒りのエネルギーをいずれ、マグマと共に地表へ一気に噴き出そうとしています。

地球は、もともと「女性そのもの」なのです。

地球内部にある水は、新しい命を産み出す働きをする白血液と同じであり、栄養を運ぶ赤血球の役目の血液と混じり合って、新しい命を産み出すように創られた神の産物が、地球です。

地球が持っている本来の女性性は、豊かな水に炎の熱を加えて温泉として、人間や動物の癒しのエネルギーとして地表に沸き出したり、地球内部の浄化作用に、火と水と土をバランス良く動かす知恵を持って産まれています。

どうか、女性の皆様、毎日、毎時間、あなた自身が、地球そのものであることを感じて過してみて下さい。

あらゆる命を産み出せるように、愛とやさしさを持って産まれた女性たちは、神の子供を産む為に産まれた神の御神体と同じです。

何が起きても、全てを歓びに変える力を女性たちは、誰もが持って産まれています。

山の噴火も、大地の揺れも、地球内部のプレートの動きも、全てが、女性たちの心の奥底の思いに連動して動いていることをどうか、認識して下さい。

今、私たち地球創生の仲間たちは、新しい命を産み出す為に、ゆっくりとやさしい愛のエネルギーを繋ぎ合いながら、地球と命を共鳴する作業に入っています。

どうか、一人でも多くの女性たちが、自分の中の苦しみの壁を乗り超えて、愛の地球の一部に産まれた歓びを多くの人たちと感じて下さい。

これは今日、人間を地球に生れさせた根源神からのメッセージです。

そして、女性たちが望み、神が与えた男の命を産み育ててくれた母神たちにも、心から感謝を捧げましょう。

男女共に、この地球から新しい命を産み出す作業が始まっています。

本気で、地球の未来と愛を信じれる人たちは、一切の争いを止めて手を組みましょう。

生きる目的地は、皆、同じなのです。

運命共同体として、共に、生きましょう。

◎**3/11**までに、**1000**人の意識を合わせる必要性　**2/6**現在**–５１6**名登録

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る心合わせが必要ですので、「地球創生メルマガ」の登録人数でカウントすることにいたします。

2/1現在、495名の方が登録されていますので、3/11までに、友人・知人・お知り合いへ、今回の地震の意味をお伝え頂き、皆さんの心合わせによって、１０００人の意思を合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」で地球を守る神々と対話する祈りを行います。

◎**3/12**の午後**2:12**の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所に、神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後2：12に、その震源の近くへ行って地球再生の祈りを行って下さい。行けない方は、自宅でも会社でも結構ですが、同時刻に意識を合わせて下さい。

関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。

静岡、関西については、勉強会の中でお話ししますので、ぜひ、皆様のご理解と心合わせをお願いいたします。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク

目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖に

よる覚醒ワークを行います。

日時：3月3日（土）10：00〜16：00

集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東地区　世界の神話から神心を知る勉強会

テーマ：イエス・キリストの誕生とその意味

3月3日（土）　19：00-21：30

場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

を伝授します

◎静岡地区 勉強会

ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　Guardian deity energy work ）を行います

3/1（木） 19：00-21：30

場所：静岡市清水区/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　読み取りワーク

日本を支える古い民族の思いを愛に転換する神事ワークを通して、参加者の意識の目覚めと地域の人の魂の繋がりを大きくする目的で行います。

2/28(火）　10：00-16：00

場所：関西近郊　　参加費：￥5000

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区 勉強会

ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　Guardian deity energy work ）を行います。

2/28(火）　19：00-21：30

場所：難波市民学習センター/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって、愛と調和の心を輝かせる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらからどうぞ！

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

地球創世基金へご協力をお願いします

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！

http://yoshiokamanabu.com



未来に何が起きても勇気が持てる、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」もどうぞご活用下さい。心身のデトックスツールとして、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」もおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPからお願いします。

2012.02.06 Mon

静岡県熱海市　来宮神社（きのみやじんじゃ）







関西の重要な場所に隠された因縁解放をした後、大地震が予測されている伊豆半島の付け根を守る大切な神様の場所へ行きました。

「**3/9-12**に行う東日本大地震の御霊上げ」を決めたことによって、一気に、地球内部や神仏から「わかって欲しい思い」が吹き出し続けているからです。

この思いのエネルギーは、いつどこにいても、体を通して重くのしかかってきています。

これまでどういう気持ちで人間を守ってきたのか、今、皆さんに気づいて欲しい思いが、自然神や地球内部から、さらには、宇宙から人間を見守っている存在たちの思いも同時に感じています。

この思いを感じて思う事は、皆さん自身が、これまで隠された真実を受け止める事によって新たな再生の宣言をする為に2012年が用意されていると感じましたので、過去に隠された全ての因縁や呪縛を外さなければいけない年だと感じています。

人間が、過去にどれほど愚かな事をしてきたかを知ったとしても、自分自身が、全てを愛と感謝に転換して、次の命が再生される為の宣言して、３月12日午後2:12に、自分の住む場所で光の柱を立てて下さることをお願いします。

本州の四つの大陸プレートが重なる場所の揺れを納める為に、伊豆諸島神事や伊豆半島神事を行いましたが、伊豆半島の付け根を守る場所には、2000年前から人間を見守り続けて来た霊木を守る「来宮（きのみや）神社」があります。

ひとつ、ひとつのお宮の神様からメッセージが降りましたので、ここに公開します。







①「鳥居を入って右にある摂社（三峰神社）の横の大楠の木より」



あなたがたは、われわれが来る前のもっと古い時代に、あなたがたはやって来たのですが、その時のことを覚えていらっしゃいますか？

われわれは、その時からあなたがたの命を受けて、この地を守るように言われ、その働きをした精霊たちの証です。

その為、このことを知るもの達が来ることを首を長くして待っておりました。

私達が伝え続けてきたことは、この土地に住み着いた民族の想いではなく、民のもとの繋がり、生類の繋がり、元の流れの元の話をわれわれが受け継ぐために、その役目を果たしているのです。

ただ、そのことをわかってくれる人があまりにも少ない為に、どうやって、そのことを伝えようかと悩んでいるのも、私達の悩みでもありました。

だからこそ、この時が来るのをとても待ち望んでおりました。

あなたがたが来た、南方の国から来た船の修復にも、われわれの木を使いましたし、その時に持っていた材料の中にも、われわれの子供達がいます。

だから、われわれの子孫達は、沢山の国を渡り歩いているのだと思って、私は見守っています。

だからどうか　ここに居る者達が　あなた達の命も守っているのだという事だけは、覚えておいて下さい。よろしくお願いします。

②「鳥居左手の稲荷社より」







来るのがわかっていたのに、どうして挨拶をしてくれないのか、私達は少し怒っていたのですよ。

あなた達が来るならばと、宴の用意もしていたのに、そのことがわからず、とても寂しい思いをしておりました。

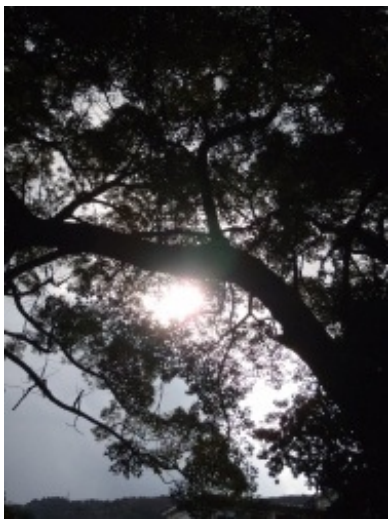
私達は、あなた達と共に、一緒に、その宴を催したくて、ここにいる精霊達も、私の使いのもの達も、この奥にいるもの達も、とても喜んでいたのですよ。そのことだけは、わかっておいて下さいね。

私達は　あなたがたが来ることを　とても歓迎いたしております。どうぞ　よろしくお願いいたします。

③「本　殿」より







私達が、ここに来た時、これほど多くの生き物が元気に生きていない状態で、暗黒とも暗闇とも思えるような世界でしたが　その時に、あなたがたがやって来て、ひとつひとつ、闇に光を灯すように神を降ろし繋ぎ、守り奉ることをお教え下さいました。

私達は、その時に教わったことを今も正しく守っております。そのことが出来たことも、あなた達の御蔭ですし、そのことに心から感謝しております。

ただし、この時代に来るまでに多くのもの達が犠牲になったことだけは、ご存知の通りのことですが、われわれも、それがひとつの循環ならばと、あきらめながらも人の心を問うことをせずにここにおります。

そのことがわかる時が、わかってくれる時が、いつか来ると思うからこそ、ここにおりますし、この木々の精霊達や沢山のもの達が力を貸してくれるからこそ、私はここにいることが出来るのです。

だから、その事はだけは誰かにお伝え下さい。そして、語り伝えてくれれば嬉しく思います。

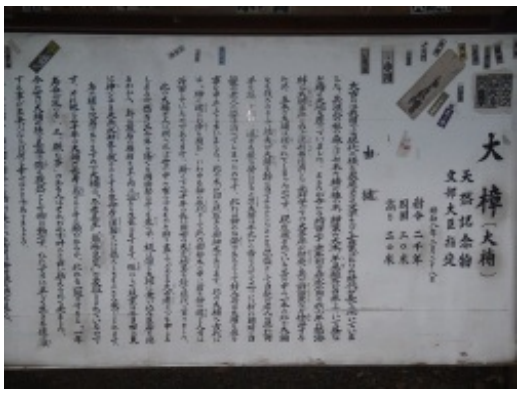
痛めつけられる事があったとしても、それは、自然の驚異のひとつとでさえ思うようになっておりますが、精霊達は、何も言わず、ただ、その循環の大きさに感謝しておりますが、この白い老人（仙人）は、どうしたら良いものかと考えて、もう二千年も早や

過ぎておりまする。

この知恵を預けた場所だからこそ、神水が生まれ、あたわりがあるのに、その事を気付かず、祭り事をせずにおることが、とても大きな問題なんだということに気付いて欲しいのです。よろしくお願いいたします。







仙人は、木の上から人間の行いを見守る精霊の代表の意味がありますし、ここの神水とは温泉の事を表していますので、大切な源泉祈りがされていない意味だとすぐにわかりましたので、源泉のある場所へ向かいました。

※なお、本殿の右手にある弁天社からは、巫女記憶を持つ女性たちの覚醒に必要なメッセージが降りましたが、皆様が信じている神様の序列を変える可能性があるほど重要な内容の為に、今は、「地球創生SNS」の中で公開しますことをご理解下さい。

つづく

◎**3/11**までに、**1000**人の意識を合わせる必要性　**2/5**現在−５１５名登録

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る心合わせが必要ですので、「地球創生メルマガ」の登録人数でカウントすることにいたします。

2/1現在、495名の方が登録されていますので、3/11までに、友人・知人・お知り合いへ、今回の地震の意味をお伝え頂き、皆さんの心合わせによって、１０００人の意思を合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」で地球を守る神々と対話する祈りを行います。

◎**3/12**の午後**2:12**の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所に、神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後２：１２に、その震源の近くへ行って地球再生の祈りを行って下さい。行けない方は、自宅でも会社でも結構ですが、同時刻に意識を合わせて下さい。

関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。

静岡、関西については、勉強会の中でお話ししますので、ぜひ、皆様のご理解と心合わせをお願いいたします。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク
目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。
日時：3月3日（土）10：00〜16：00
集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東地区　世界の神話から神心を知る勉強会
テーマ：イエス・キリストの誕生とその意味
3月3日（土）　19：00-21：30
場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。
を伝授します

◎静岡地区 勉強会

ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　Guardian deity energy work ）を行います

3/1（木） 19：00-21：30

場所：静岡市清水区/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　読み取りワーク

日本を支える古い民族の思いを愛に転換する神事ワークを通して、参加者の意識の目覚めと地域の人の魂の繋がりを大きくする目的で行います。

2/28(火）　10：00-16：00

場所：関西近郊　　参加費：￥5000

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区 勉強会

ガイアメッセージと守護に繋がるエネルギーワーク　Guardian deity energy work ）を行います

2/28(火）　19：00-21：30

場所：難波市民学習センター/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって愛と調和の心を輝かせる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらへ！

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

地球創世基金へご協力をお願いします

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

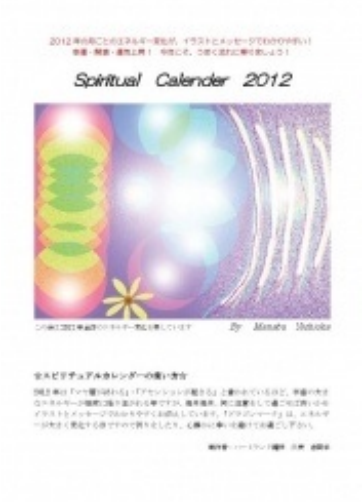
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！

http://yoshiokamanabu.com



未来に何が起きても勇気が持てる、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」もどうぞご活用下さい。心身のデトックスツールとして、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」もおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPからお願いします。

2012.02.05 Sun

兵庫県　西宮神社に隠された因縁

京都の下鴨神社の祈りを終えて、兵庫県西宮市へ向かいました。

目的は、関西出身の巫女と静岡出身の巫女が、「ヒルコ」の御霊上げをして欲しいというメッセージを同時に受け取ったからです。

地球創生SNSの中では、そのやり取りが公開されていますが、ここで詳細は省きます。

最初に「廣田神社」へ行く必要があることを三名の女性がメッセージを受け取ったので、先に行きました。







この神社は、伊勢神宮の荒御霊の元宮ですので、厳粛な空気の中に神々が守る神気に満ち溢れる

素晴らしい神社でした。

本殿左横には神水が湧き出ていますが、この水は龍が守る神水ですので、感謝の祈りを捧げました。全ての末社も載せていますので、ご挨拶する方は、必ず、末社の左側からから順番に感謝祈りをして下さい。













本殿の神様に向き合うと、こうおっしゃいました。

皆様がなさろうとしていることは、私たちの願いでもありますので、どうぞ、龍の水を使って下さい。

隠された事実を解き明かすことは、全ての自然神たちの望みだからこそ、どうぞ、宜しくお願いします。





龍の水を頂いて本殿を振り返ると、神の光がこの道を照らしているのを感じました。ありがとうございます。



今回の神事の目的は、最初から「えびす宮総本社　西宮神社」でした。

ここがどういう場所なのかを全員に伝えて、覚悟を決めてから境内に入ると、すぐに、手水舎の後ろにある場所へ巫女が引っ張られました。







「庭津火神社」の前に行くと、巫女が泣き崩れて起き上がれなくなりました。

中を見ているだけで何かの御霊を祭っているのはわかりましたが、どうも、それだけではない気がしたので、後ろ側も回って見ました。





この写真を見て感じる方もいると思いますが、確かに何かの意識体がいます。

御霊上げをするグループをを二つに分けて、正面から祈る人が三名、後ろ側から祈る人を五名を選んで祈りを始めると・・・

海の子、風の子、大地の子・・・助けておくれ・・・

たくさんの自然の神々の名前と、自然神の怒りや悲しみの思いが、一気に伝わってきました。

事前調査でこの西宮神社の問題は「ヒルコ」に関わる話しだと思っていましたが、どうやらそれだけではない物も埋まっているようなので、全ての末社の神々に尋ねてから、本殿の神に話しを聞く事にしました。



「庭津火神社」の祈りを終えると、先ほどの巫女は何とか立ち上がれましたが、神明神社の稲荷社の前では入ることを許されず、さらに、子供を守る神様と書かれた「百大夫神社」の前では、私も体がおかしくなるほど強い怒りのエネルギーが体を突抜けました。



隣にある「火産霊神社」の神様（火の神様）に事情を聞こうと思っても、だまったままで一切、言葉を下さいません。



なぜ、ここまで怒っているのかを考えるだけで体がおかしくなり、一旦、トイレに駆け込んで、体にかかっている神エネルギーを読み取りました。

人間が、人間が・・・、私たちを押さえつけた・・・

人間が、人間が・・・、私たちを封じ込めた・・・

私たちが捕まったせいで、お父さんやお母さんたちは、人間の言う事に従うしかなかったので、本当に申し訳ない・・・

この言葉には、驚きました。

何があったかというと、「西宮神社」と呼ばれる以前の古い社の時代に、自然神の神々の子供を捕まえて霊力を土地に集め、人間が思いどうりに自然の力を動かす為に、とんでもない封印の祈りが、ここで行われていたことが判明したのです。

こんなとんでもない霊力を動かせるのは、相当な知恵者集団ですので、秦氏か、もしくは、この土地に入った古い時代の民族だと思います。

全員に、この事実を伝えてから本殿に向き合うと、すぐに降りた神言葉は・・・

ここに抑え付けられた神々の子は、全て自然神の神の子であり、命を産み出す役割があるからこそ、大切な神の子なのですが、人間が自然の力を恐れ、また、その力を霊力として使う為に、全ての自然界の神の子をここに縛り付けた過去があります。

今回は、その全ての封印を解く為に皆さんに来てもらいました。どうか、宜しくお願いします。

このやり取りを神言葉で唱えている時に、最初に倒れた巫女が、大声で、「ごめんなさい、ごめんなさい」と泣き崩れてしまいました。

これで、誰がやったのかが、わかりました。

彼女の前世は、秦氏の巫女の記憶がありますので、秦氏が、この力を動かしたことが判明しま

した。しかし、そのあとにこの土地に入った民族も、同様のことをした可能性があります。

関西以南の土地には、あらゆる国から色々な民族が入った形跡がありますので、表側には神道の神様を祀っていても、実は、裏で古い民族の神を祀っている人たちがいます。

関西には、多くの民族が入ったからこそ、誰がやったのかと争い心を無くす為に「西京都神事」を行いましたので、人間同士の因縁は問いませんが、自然の神々の子供（精霊）を拉致して、人間が自然神を押さえつけた事実が判明したのです。

人間が、自分たちの欲の為にもっとも卑劣な手段を使ったのですが、実は、全国各地にも同じような事をした人たちがいることを知っています。

山岳信仰をしていた山伏たちや修験者たちの中にも、霊力の使い方を間違えて、自然破壊を引き起こしたり、人間が問われることをしてしまった人たちがいますが、その原因は全て、人間が恐れ多い自然の神を自由に操ろうとした結果です。

しかし、大いなる自然の神々は、過去の過ちに気づいて心を改めて生きることを私たちに伝え続けてくれています。

自然界が引き起こす地震や噴火の全てが、人間を苦しめる目的ではありませんので、何が起きようとも、人間が行ってきた過去にの過ちを詫びて、生き方を変えるチャンスを頂いていると思って下さい。

今回の事件は、愚かな人間の心に気づく為に、大神が導いてくれた神事だと思っています。

だからこそ、人間同士だけではなく、自然と人間が豊かに共生する生き方をあなたも選択して宣言して下さい。

その志は、３月12日の2：12に、亡くなった御霊たちの思いを感謝に光に転換して宣言して下さることをお願いします。

地球を愛し、自分が地球を守る意思を示す場として、「地球創生メルマガ」に1000人の意思を繋ぐ必要性をお知り合いにも伝えて下さい。

私たちの意思が、3/11以降の光の柱になる祈りに、どうぞ、お力をお貸し下さい。

◎**3/11**までに、**1000**人の意識を合わせる必要性

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る心合わせが必要ですので、「地球創生メルマガ」の登録人数でカウントすることにいたします。

2/1現在、495名の方が登録されていますので、3/11までに、友人・知人・お知り合いへ、今回の地震の意味をお伝え頂き、皆さんの心合わせによって、１０００人の意思を合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」で地球を守る神々と対話する祈りを行います。

◎**3/12**の午後**2:12**の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所に、神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後２：１２に、その震源の近くへ行って地球再生の祈りを行って下さい。行けない方は、自宅でも会社でも結構ですが、同時刻に意識を合わせて下さい。

関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。

静岡、関西については、勉強会の中でお話ししますので、ぜひ、皆様のご理解と心合わせをお願いいたします。

☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会
☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク
目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。
日時：3月3日（土）10：00～16：00
集合場所：未定　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東地区　世界の神話から神心を知る勉強会
テーマ：イエス・キリストの誕生とその意味
3月3日（土）　19：00-21：30
場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

を伝授します

◎静岡地区 勉強会
心と体を整える新・エネルギーワーク（名称：守護神エネルギーワーク　Guardian deity energy work ）を伝授します
3/1（日） 19：00-21：30
場所：静岡市清水区/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　読み取りワーク
目的：日本に入った多くの民族の結集地である関西の神仏メッセージを読み取りサニワしながら、参加者相互の魂の目覚めと守護の繋がりを高める目的で覚醒ワークを行います。
2/28(火）　10：00-16：00
場所：関西近郊　　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区 勉強会
心と体を整える新・エネルギーワーク（名称：守護神エネルギーワーク　Guardian deity energy work ）を伝授します。
2/28(火）　19：00-21：30
場所：難波市民学習センター/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって愛と調和の心を輝かせる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらへ！

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！

http://yoshiokamanabu.com



未来に何が起きても勇気が持てる、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」もどうぞご活用下さい。心身のデトックスツールとして、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」もおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPからお願いします。

2012.02.02 Thu

京都　下鴨神社の隠された因縁

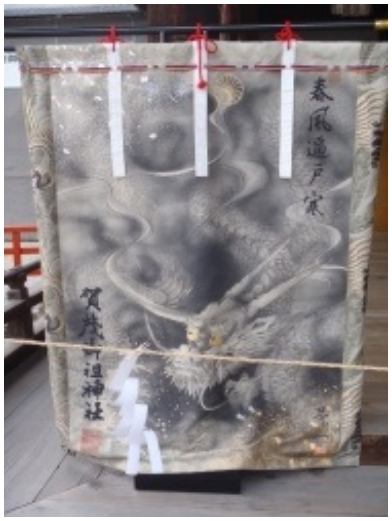
静岡から関西へ移動して、「関西読み取りワーク」を行いましたが、大事な神仏や自然神に対して、人間は、とんでもないことをした事がわかりましたので、神仏に関わる人たちの因縁、地震など自然神に対する心を改めて考え直す機会にして欲しいと願い皆様に全てを公開致します。ご理解頂きたいことは、神事の中でしか明かさない事実をあえて公開する理由は、皆さんを不安にしたいのではなく、自分が生きている事を守ってくれている存在の気持ちになって、物事考えるキッカケにして欲しいと願っているからです。

ご理解頂けた人は、地球を守る１０００人の仲間の一人として、地球創生メルマガ（無料）に登録したあと、３月12日2：12の祈りの時に、自分の生き方を明確に宣言して下さることをお願いします。

自分の為だけではなく、人間の為だけではなく、自然と共に、地球と共生していた時代を思い出し、あなた自身が、日々の生活の中で実践して下さることを願っています。







ではまず、京都にある上賀茂神社と下鴨神社の件ですが、この両方の土地は、もともと、賀茂＝鴨＝加茂一族が、天皇に許可を得た神領地でしたが、外圧による天皇家の争いに巻き込まれた時に、二つに分かれた事件がありました。

もともと下鴨神社が、平安京の中心の神社だった時代、下鴨神社を守る神官の家系が、賀茂＝鴨＝加茂一族でした。
しかし、天皇家の争いに巻き込まれ、下鴨神社に武力集団が攻め入られた時に、ひとつの提案がなされました。

「ここに居る神を別な場所へ移すことを受け入れなければ、巫女を一人づつ殺す」
と最高神官を脅したのです。

結果として、ここで殺された二名の巫女は、下神神社を守る最高神官の娘たちでした。

三人娘が一人、一人と、目の前で殺されていくのを見ながら、最後の一人に手がかかった時に、最高神官は、「神を売る」決断をしなければいけなかった事情があったのです。
権力者たちが、なぜ、こんなことまでするのかというと、「神仏」という対象は、常に、庶民の意識を束ねる信仰対象だからこそ、庶民の意識を新しい方向へコントロールする為には、神の名前を変えたり、場所を動かしたりしてきた事実が、日本中にあります。

本来、神が降臨した場所を動かす事は出来ないものなのですが、その場所を守る最高神官が許可を出せば、神守りの家長の責任として、神の御心に背いてでも庶民の命を守る方法を選ぶ時があります。

賀茂一族が割れた理由は、ここにあります。
この事件は、一切、表に出ることはなく、両者の幹部同士が行ったやりとりだからこそ、下鴨神社の最高神官は賀茂＝鴨＝加茂一族の家長として、一族や庶民の命を守る為に神場所の分離を許

可したのです。
しかし、親族たちは、その理由を正しく理解せず、今も、その事を問う先祖や一族たちから償いを求められる為に、家長の男性たちが短命であったり、親族のもめ事が多い一族でした。
昨年の神事で、この事実が出て来ましたが、当事者、つまり、加茂一族の男性が出てくるまで一切、公開しないつもりでいましたが、今回の神事が実現した理由は、加茂一族の因縁を解消すると決断した男性が、神事に参加してくれたからです。
この男性にも三人の娘がいるために、自分の娘が一人一人殺されるという身に詰まる先祖の思いを感じてくれました。

一緒に神事に参加した人の中には、前世が公家の奥様だったこともあり、実際に現実世界でも、こういう隠された事実を知らされずに物事のきれいな面だけを見て生きてきた女性でしたが、事実を知って驚いていましたが、実際に、その巫女に手をかけて殺した男性も神事に参加していたので、三人一緒にお詫びをしてくれました。



殺された二人の巫女（娘）は、今も、下鴨神社を守る為に境内の隅に埋められていますし、魂は生きていますので、その場所で三人が心からのお詫びの祈りを捧げると、娘たちは、こう告げてくれました。

私たちは、憎しみや苦しみを持ってはいません。
私たちの命が、多くの命を救うことになったことはわかっていますし、毎年、桜の花が咲く時には、新しい命が産まれていることを思い、自分たちの命の再生が無くとも、皆様の命の循環や幸せを心から見守っています。
どうか、これからは、皆さんが多くの人の命を繋ぐ為に働いて下さいませ。

この神事によって、賀茂＝鴨＝加茂一族の過去の因縁は、一切、消えました。
天皇家、公家、武家、庶民、関わった修験者たち、隠密に動いた人たち・・・
どうか、過去の思いを掴まずに、生かされて、今世、産まれて来た自分の命や意思を次の世代へ繋いぐ生き方をして下さいませ。
あとは、京都の土地のに住む人たちが、和合してくれる事だけを願っています。
どうぞ、宜しくお願いします。







◎**3/11**までに、**1000**人の意識を合わせる必要性

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、1000人以上の方たちが、地球を守る心合わせが必要ですので、「地球創生メルマガ」の登録人数でカウントすることにいたします。

2/1現在、495名の方が登録されていますので、3/11までに、友人・知人・お知り合いへ、今回の地震の意味をお伝え頂き、皆さんの心合わせによって、１０００人の意思を合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」で地球を守る神々と対話する祈りを行います。

◎**3/12**の午後**2:12**の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所に、神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後２：１２に、その震源の近くへ行って地球再生の祈りを行って下さい。行けない方は、自宅でも会社でも結構ですが、同時刻に意識を合わせて下さい。

関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。

静岡、関西については、勉強会の中でお話ししますので、ぜひ、皆様のご理解と心合わせをお願いいたします。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク
目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。
日時：3月3日（土）10：00〜16：00
集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東地区　世界の神話から神心を知る勉強会
テーマ：イエス・キリストの誕生とその意味
3月3日（土）　19：00-21：30
場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。
を伝授します

◎静岡地区 勉強会
心と体を整える新・エネルギーワーク（名称：守護神エネルギーワーク　Guardian deity energy work ）を伝授します
1/29（日） 19：00-21：30
場所：静岡市清水区/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区　読み取りワーク
目的：日本に入った多くの民族の結集地である関西の神仏メッセージを読み取りサニワしながら、参加者相互の魂の目覚めと守護の繋がりを高める目的で覚醒ワークを行います。
2/28(火）　10：00-16：00
場所：関西近郊　　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区 勉強会
心と体を整える新・エネルギーワーク（名称：守護神エネルギーワーク　Guardian deity energy work ）を伝授します。
2/28(火）　19：00-21：30

場所：難波市民学習センター/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって愛と調和の心を輝かせる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらへ！

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ブログのアドレスが変更になりましたので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

◎吉岡学公式ホームページも完成しました！

http://yoshiokamanabu.com



未来に何が起きても勇気が持てる、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」もどうぞご活用下さい。心身のデトックスツールとして、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」もおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPからお願いします。

2012.02.01 Wed

2012年1月29日富士山地震　震度４（静岡にて）

1/27は、北海道を飛び立つ時に天よりメッセージを受け取り、1/28の東京では、地震によって富士山のメッセージを受け取りましたが、1/29の静岡県でも震度４の地震が起きました。

「土地番」という役目を持って産まれた為に、その土地に立つと、すぐにメッセージがおりてしまいますが、私にできることは皆様へ正しく神の思いを伝えることが役目ですので、どうぞ、神の心をご理解下さいます皆様、３月12日の祈りにご協力をお願いします。

1/29に静岡で感じた震度４の震源地も、1/28と同じ山梨県東部・富士五湖が震源地ですので、富士の大神、おおやまつみの神を通して伝えられた地球内部のメッセージをお伝えします。

神を恐れるな。

神を恐れる心を持てば、人間は、愚かに立ち回る。

いつもいつも、自分たちだけ生き残ろうと、必死にもがくが、どこに居ても同じ大地の上の事。

心を落ち着けて、何を今、なすべきかを考えなさい。

山の神々が、常にあなたたちへ伝えていることは、水を通して、大地を通して、風を通して伝えられている。

そのことに気づかず、恐れだけを持っている愚かさに気づいた人たちは、自分の意志を神に示す行動を取りなさい。

神の御柱（みはしら）とは、人間一人一人の心の中にあり、その意思を明確にすることで、神々は力を貸すことができる。

御柱、御奉り賜いて、御心の成す道を示さん
（おんはしら、みまつりたまいて、みこころのなすみちをしめさん）

この言葉の通り、一人一人が、自らの意思を山の神々に繋ぎ、土地を守る為に命を育み続ける神の心と一体になりなさい。

地球内部まで貫かれた光の柱は、３月12日を持って全て、過去のものとなり、新たに、この地球を支える為に産まれて来た御柱を自らの意思として示す祈りをしなさい。

神々が、あなたたちを問いているのではありません。

あなたたちの我欲を、真我が問いているだけなのです。

地球内部の地震は、地球の鼓動であり、神の存在を示す意味で重要な役割がありますが、まだ、土地を沈めたり、大陸を動かすほどの時期ではありません。

しかし、期限は、最初から伝えていますので、あなたたちの意識が、今の現実を変えるほどの意識となって、神に向き合う心で向き合って下さい。

富士山の噴火が、どれほどのことになるかを予想出来ない人の中には、他人の土地の事と思う人もいるかもしれませんが、土地は、海の底で繋がっているからこそ、山が出来た時の過程を思い出せば、全ての山が、海の底で繋がっているために、富士山が動けば、全ての山が動く事もわかるはずです。

こうして日本人を問う意味は、地球を守る最高知性の集合意識民族として産まれさせているからですが、まだ、そのことに気づかず、我欲で生きるのならば、全てを失うことになるでしょう。

私たち神々は、人間を脅しているのではありません。

人間たちに、大切なことを思い出して欲しいからこそ、何度も何度も、啓示を伝え、小さな地震を起こして知らせてきました。

2011年３月11日に起きた地震は、本当は、あの３倍のエネルギーを吹き出す準備がありましたが、あらゆる神の御心が集まり、「警告」にとどめることを決めたことを覚えておいて下さい。

人間という特別な知恵の持った動物に進化させた意味を、まだ、思い出せないのなら、消えた文明と同じ道をたどるしかないと、宇宙評議会から判断されてしまいます。

地球は、宇宙において、重要な意味を持つ星ですが、その集合意識を繋ぐ役割として日本を造り、民族を集めたことも気づいて下さい。

あなたたちが持っている「和合の心」は、多種民族が結束する為の最高の知性だからこそ、これまでの進化をこれからどこへ向けるか大きな舵取りができる民族が、日本人なのです。

だから、知恵を思い出しなさい。

何度も、失敗した過去の星の記憶よりも、もっと進化した時代を経験した魂たちも、たくさん産まれているはずです。

今を持って、「警告」から「緊急事態宣言」に変更しますので、日々のするべき事をしながら、眠っている人たちを揺り起こして下さい。

自然を守る神々が怒っていることは、もう、ご存知でしょうけれど、もっと大きな神々が、あなたたちの今後を見守っています。

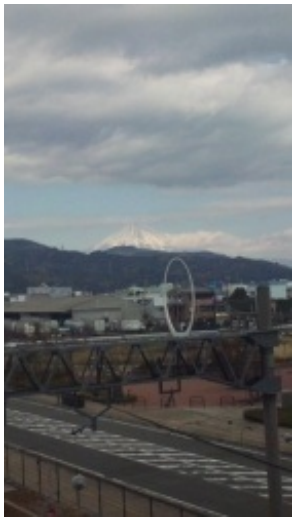
自らの守護ラインを使って、大神の繋がりを復活させ、土地に祈りを、山に祈りを、海の底に祈りをして下さい。

あなたたちが、今、しなければいけないことは、１０００人以上の意識を繋ぐことですから、どうぞ、宜しくお願いいたします。

３月12日の祈りに、自分の土地から宣言祈りをして下さいます皆様は、地球創生メルマガ（無料）登録して下さい。http://earthtscu.jp/mail.html

３月１１日までに、１０００人を超える登録数になることで、宇宙の神々は、私たちに新しい時

間と知恵を与えて下さることでしょう。



1/29静岡駅から見えた富士山

2012.01.30 Mon

2012年1月28日富士山地震　震度５弱　（東京にて）

北海道から関東に着いた翌日（1/28）の朝、大きな地震が起きました。

この地震は、珍しく横揺れが一切無い地震で、ゴトゴトと異音がどこかで鳴っているのかと思っていると、突然、直下型の大きな揺れが二度、都内にいる自分の体を突き抜けました。

すぐに地震情報で調べると、震源は、山梨県東部・富士五湖、（北緯35.5度、東経139度）、忍野村 富士河口湖町、M5.5 震度５弱。

富士山から重要なメッセージがある事はわかりましたが、この日は、関東光岩神事ワークですので、関東の人たちと神事の中で対話することを決めました。

地球をを守りたい11名の方たちが、心を合わせてから「鳩森八幡神社」へ向かうと、 すぐに稲荷社からメッセージが降りました。とても厳しい男神の声で、次の内容が伝えられました。

これまで何度も人間を信じて来たが、もう、待てぬ！

地球の内部を守る神々の気持ちがまだ、わからぬか！

このままでは、火を使って人間を揺り動かすしかないぞ！

このメッセージは、富士山の噴火が、すぐに起きることを意味しています。

富士山が噴火すると、関東地区だけの問題ではなく、地下で繋がっている「神山ネットワーク」の連鎖反応によって、日本全国の山で噴火が起きることは神事の中で伝えられています。

直下型の地震が起きた場合、その場所の「神山の噴火」を意味していると思って下さい。

横揺れの場合は、土地神の知らせ、地球内部のプレートからの知らせ、大陸や島全体のメッセージだと理解して下さい。

このメッセージを受けて、すぐに鳩森八幡神社にある「富士塚」の頂上で神事を行い、富士山の下にあるマグマのエネルギーの固まりを、地球の反対側へ飛ばしました。

海の中で噴火が起きることだけを願っています。



今すぐという部分は回避しましたが、この日の地震の意味は、富士山を通して日本の皆様へメッセージが伝えられているのですが、何度も、地震で揺れた地域の方たちは、その重要さに気づいてくれているでしょうか？

昨日から何度も、地球内部を守る神々と話し合いましたが、人間が変わった姿を明確に示さなければ、日本国内に大きな地震や噴火が起きることは、確実です。

それも、今年中に起きることまでは、断言できます。

私の役目として皆さんにお伝えできることは、具体的に何をすると良いのか示すことだと思いますので、神々と対話して決めた次のことにご協力をお願い致します。

◎**1000**人の意識を合わせる為に

「1/27　マスターメッセージ」のとおり、１０００人以上の方たちが、地球を守るという心合わせが必要ですので、「地球創生メルマガ」の登録人数でカウントすることにいたします。

1/29現在、４６４名の方が登録されていますので、3/11までに、友人・知人・お知り合いへ、今回の地震の意味をお伝え頂き、皆さんの心合わせによって、１０００人の意思を合わせて、3/12の午後2:12に「岩手県宮古市」で地球を守る神々と対話する祈りを行います。

◎**3/12**の午後**2:12**の祈り合わせのお願い

これまで地震が起きた場所に、神がいることはお伝えしていますので、ぜひ、自分が住む土地の近くで地震が起きている方達は、3/12の午後２：１２に、その震源の近くへ行って地球再生の祈りを行って下さい。行けない方は、自宅でも会社でも結構ですが、同時刻に意識を合わせて下さい。

関東地区は、明治神宮の宝物殿にある「光岩」で、この祈りを行う事が決まりました。

静岡、関西については、勉強会の中でお話ししますので、ぜひ、皆様のご理解と心合わせをお願いいたします。

2012.01.29 Sun

1/27 マスターメッセージ（北海道にて）

2012/01/27 10:30 千歳を飛び立つ飛行機の中でマスターと対話した記録

Master-あなたが動くと、あなたを守護する全ての存在たちも一斉に動きますので、これから何かしようと思っていることがありましたら、先に伝えておいて下さい。

吉岡–わかりました。３月９日から12日まで、東日本大地震が起きた東北地方へ、御霊上げと光の柱を立て直す神事を行います。その際、地球外宇宙と地球内宇宙を守っている存在たちが、力を合わせて働く事をお願いできますか？

Master-その為に、人間は何をしますか？

吉岡–私たちは、１０００人以上の人たちの心を繋いで、過去にないほど大きな意思を繋ぐ祈りをしたいと思っていますが、いかがでしょうか？

Master-それは、必要です。

これまであなたたちには多くの力を貸しましたが、あまりの愚弄に「許さん！」と言っている神もいますが、その話は今は横においておきましょう。

私があなたたちに伝えたい事は、これまで多くに神々を降ろし、あなたたちの望む事を叶える為に八百万の神々を働かせましたが、そのひとつひとつの神を大切にせずに、壊し続けて来たことを考えれば、１００を超える１０００という数の意味はよくわかります。

それが、あなたたちの本意なら、私たちも、もう一度、力を貸す用意はありますが、これまで自分たちが地球にしてきたことを顧みて、心から反省することも必要でしょう。

いつまで地球内部のエネルギーや資源を抜き取り続けるのでしょうか？

地球の血液とも言えるものを抜き取れば、地球という生命体は命を縮め、生命維持装置が働く事は伝えたはずです。

いくらでも、宇宙からエネルギーを降ろす方法を教えているのに、なぜ、使わないのでしょうか？

地球内部のエネルギーを無限に使える方法も教えたはずです。

あなたたちがパワースポットと呼ぶ場所のエネルギーをどう使うかも、知恵に気づけば使えるはずです。

例えば、「ゼロ地場」のエネルギーは、無限に物質や空間エネルギーを調和する力がありますが、その力をどう使うかは、あなたたち次第なのです。

意識も肉体も、完全に調和することができるエネルギー物質の扱い方について、昨年、知恵を与えたはずです。だから、使い方は、常に、あなたたち次第なのです。

与えた知恵やエネルギーをうまく使わずに、今までの物質資源の利権にこだわるなら、これまで以上に地球は大きな変革時期が早く訪れると伝えなければなりません。

あなたもご存知のとおり、日本には四つのプレートが重なる場所がありますが、それは、四つの大陸の意思が合わさっている場所と意味があります。

北海道も、三つの大陸が重なり合って出来た陸地だからこそ、三つの大陸の意思が、集まっていると言えます。

沖縄には、南方のフィリピンピレートの意思と太平洋の全ての意思が集まっている場所だからこそ、神々の多くが、海の底から人間のすることを見守っています。

これからも、人間が、人間のことだけを考えて生きるのなら、私たちは人間のサポートを辞めなければいけません。

そのひとつの警告が、「光の柱の崩壊」の啓示なのです。

あなたたち人間は、古い時代から我々の意思と繋がる者たちが、その証として地球のあちこちに光の柱を立てました。

それは、私たちが地球を愛する意思と同じだと認識したからです。

でも、これまで多くの人の動きを見てきましたが、願いはするけれど、それに見合う行いはせず、全てを他人事のように考える人間が多すぎませんか？

地球を破壊へ結びつける人間たちとは、そういう人たちのことなのです。

さらに、利権を手放さず、新しいエネルギーの発明や使い方を隠し続けてきている人たちも、同罪です。

あなたたち人間は、今までの罪を問われていることに気づかなければなりません。

さらに言えば、世界中の人間の魂ルーツを持つ日本人が、そのことを理解できないのなら、日本という島国を創った意味が無くなります。

日本という島を造る為に、どれほど長い時間のプレート移動と大陸の浮き沈みがあったかご存知ですか？

反対に、一晩で海の中へ沈んだムー大陸のことを思えば、あなたたちの意思が神に通じるかどうかを問われていることも理解できると思います。

３月12日に、あなたたちが何を宣言するかは問いませんが、あなたたちのこれからの行動次第で、プレート移動と土地の上下移動が始まることを覚えておいて下さい。

地震は、そのキーとなる場所を守る神々の意思だと気づけば、すぐに、対話するべき人たちが全国にいるのではないでしょうか？

あなたたちの意識は、あなたたちのものではなく、古い時代に宇宙で出来なかったことを成す為に、地球へ舞い降りた魂だと気づいてるいる人たちこそ、すぐに行動しなければならない人たちです。

過去の過ちを一切、問わず、あなたたちが強力し合えるために記憶を消してあげたのに、最近は古い記憶へアクセスする方が多くて困ります。

古い記憶は、全て事実だからこそ、過去を知った人は、過去に関わった全ての魂の思いを転換する行動を求められます。

その行動をしないのであれば、この地球の上で、宇宙の大きなカルマが再現されることも覚えておいて下さい。

あなたたちは、そのことを全て知っていて、新しい歓びの星にする為に産まれてきたはずなのに、なぜ、愛と調和へ素直に行動できないのですか？

待つ時間には、決められた制限がありますので、その時間が近づいていることをお知らせしてい

ます。

どうやって１０００人以上の意識を繋ぎ合わせて、行動に移すかはお任せしますが、その決断によって、私たちの働きも変わることをご理解下さい。

もう、あなたたち人間だけを守ることはできません。
地球内部や地上や空間に存在する全ての魂が歓ぶ為にも、地球自体は大きな舵を切らなければいけない時期なのです。

期限は、お伝えしたはずです。２０１８年がリミットです。

２０１２年は、大きな転換の時期ではありますが、はっきり言えば、日本に産まれた魂を問う為に起きている時間だと思って下さい。

あなたたちの命の循環再生時期を早めるのか、遅くするのかは、あなたたちの意識と行動次第だと伝えておきます。

このことを告げる役目のあなたも辛いとは思いますが、事実を告げる為に産まれた魂ですから、どうぞ、最後まで役目を果たして下さいね。

私たちの意思を受け継ぐ未来の人たちの為にも、今の行動を私たちは見守り続けます。

ありがとうございます。

2012.01.27 Fri

啓示「2012年3月12日光の柱崩壊」について

昨日（1/23）、

3月9日～12日　「東日本大地震一周忌御霊上げ」

を皆さんへご報告したあと、これまでに自分が降ろした啓示を全て読み直す機会が与えられました。読み直して驚いたのが、

「2012年3月12日　光の柱崩壊」の啓示　です。

無意識に、3月12日は何かをしなければと思っていたので、仙台から戻る飛行機を夕方の便にしていましたが、

２０１２年３月１２日　午後２時１２分

と時間まで指定されていることに驚きました。

啓示の内容をよく読み返すと、3月11日に起きた震災の意味や亡くなった人たちの意味、そして、土地に起きた災害の意味をとらえ直して、祈りの中で行う「光の柱」の意味も、改めて考え直す必要性を感じています。

今日の段階で気づいたことは、3月9日～12日で行う「東日本大地震一周忌御霊上げ」の祈りの意味は、「3月12日の光の柱崩壊」の啓示とリンクしていることがわかりました。

この二つの神事の繋がりの意味を改めて考えると、最悪の出来事が起きた東日本の土地の意志、つまり、地球内部の神々の意志をどうするかを決める祈りになることは確実です。

光の柱が崩壊するなら単に、新しく建て直せばいいじゃないかという話ではありません。

「光の柱」が持つ意味は、人間の意志と、地球を守る神々の意志を合わせることを意味していま

すので、この崩壊が告げられた時から、私は一人でどうするべきかを思案し続けていました。

そんな時に、世界中の地震を抑える為に飛び回っていた亡き谷浩一君に出会い、この話もしましたが、彼は一生懸命に光の柱を世界中に立てる為に動きまわっていた人だからこそ、彼自身、この啓示を聞いて困惑していました。

人間の誕生の地であるインドへ１カ月間行き、ブッタの意志も聞きながら、世界中の人間の命を守るために昔、建てられた光の柱を建て直す啓示を果たす為に、インド中の場所を捜しまわっていた時期がありました。

インドからメールで、何度も、自分の読み取りの意味を確認するメールが来ていたことは、初めて公開するお話しです。

”谷チルドレン”と呼ばれた人たちは、魂が幼い為に、彼に大きな依存エネルギーが集まっていましたので、人を導く方向性を変えるようにアドバイスした結果、「ユキ」を開発したり、神事のやり方も大きく変更したことは、皆さんも御存じのとおりです。

谷君も私も、数本の大きな光の柱を立ててきた人間だからこそ、世界中の光の柱が倒れる啓示をどうするか、答えを出せずにいたのです。

今までの光の柱は、立てると決めた人が、自分の神意識と守護の神々を繋いで、光を大きくして立てるものなのですが、その柱が弱まったり、倒れる理由は、その光の柱を立てた土地の人たちの神意識が薄れた時に起きています。

光の柱は、生命エネルギーの循環に大きなプラスエネルギーとして働きますので、2010年3月10日に、鶴岡八幡宮の大銀杏が倒れた意味も、同じ意味があります。

つまり、人間の神意識が下がると、神々の力や自然界のエネルギーも下がり、人間にとっては負の循環というか、生命を再生させる為の「地球内部の再生機能」が働き出すシステムになっているのです。

「地球が持つ再生機能」とは、自然破壊のレベルではなく、噴火や地震によって陸地が沈んだり、プレートが動いて、地球上の大きな大陸が、上下左右に移動が始まることを意味しています。

それはつまり、世界中で多くの人が亡くなることも同時に意味しているのです。

「光の柱」とは、地球を守る為に生まれた人間の神意志を示す最も明確な意志だからこそ、「プラスの生気エネルギー」で支えられていた力が滅び、倒れることを意味しているために、3月１１日までに、どうするかを決めなければなりません。

簡単にいえば、

地球を守る人間の神意志の力が落ちたことで、地球内部を支えていた光の柱が、全ての倒れることまでの意味があります。

地球の歴史を遡れば、大きく大陸間のプレートが動いたり、世界中で津波や噴火や大陸が浮き沈みしたことは御存じのはずす。

だからこそ、太平洋の海の底に沈んだ「ムー大陸」から宮古島を通して、色々なメッセージが発信されていますし、地球上に何度も生まれて消滅した文明の最高神官たちは、この「光の柱」を建てることで、地球の意志と同じく生きる意味を伝え続けてくれた人たちなのです。

日本人に生まれた人たちは、何度も、失敗した記憶を持って生まれています。

もう過去の原因を問う時期ではないからこそ、一人一人が、生まれる前に誓った約束を果たさなければいけない時期だと気づき、地球と人間が、消滅の道を回避する行動に出なければいけないのです。

この解決方法はいくつかありますが、決定に関わる人は大きな責任も同時に生まれるますので、3月9日～12日の「東日本大地震一周忌御霊上げ」の祈りに参加される方たちで、どういう意味で行

うかを決めたいと思っています。

人間の命は自然界に守られていて、自然界の命は地球の命と連動しているからこそ、宇宙の繋がりや地球内部の繋がりを理解している人たちが、動かなければいけない時期が来たのです。

この祈りが、簡単な祈りではない事は昨日もお伝えしましたが、地球を守る為に生まれた大神の意志を行動で示す重要な日になることは確かです。

人間的な些細な感情や恐れに囚われるのではなく、神々に選ばれて日本人として生まれた誇りを思い出し、自分にするべき役目があると感じた人は、info@yoshiokamanabu.com へご連絡下さい。

大神の御心を同じ心に合わせながら、次の未来へ向けて大切なメッセージを私たちは宣言しなければならない時間にがきたのです。

天主・天命に命をかけると誓って生まれた人たちよ、どうか、ここに集結して下さい。

日本人に生まれた意味を果たす時が、やってきたのです！

2012.01.24 Tue

東日本大地震の一周忌御霊上げ

今日は、旧暦の元旦です。そして、今日を迎える大晦日の夜に決めたことをご報告します。

2011年3月11日に起きた東日本大地震で亡くなった方たちの御霊上げを今年、3月9日～１２日の三泊四日で行うことを決めました。

震災が起きたすぐあとから、何度も彷徨っている御霊たちを導きに行きたいと思っていましたが、後ろの守護たちが私を止めた理由も、あまりの数の多さに精神と体が壊れると判断したからです。

震災直後、四十九日、100日、一周忌、三回忌と行く時期をずっと考えていたのですが、やはり、三年後では、あまりに彷徨っている御霊たちと家族がかわいそうなので、今年、行く事に決めました。

きっと、これまでも素晴らしいお坊さんや御霊上げができる人たちが何度も、行って祈ってくれていると思いますが、土地神を背負う私の役目として、やっと、動いて良い時期が来たようです。

ただし、死者15,843人と行方不明者3,469人を合わせると19,312人ですので、約２万人近い御霊とご家族の思いを上げる祈りになりますので、体への負担は相当、辛いものになります。

過去の最も多い御霊送りは、沖縄慰霊の日に伊是名島で行った御霊送りでしたが、それを上回る祈りの力を動かさなければなりません。

同行を希望する方がいるかどうかはわかりませんが、私は、一人でも行います。

もう、今朝の夢の中で何度も何度も、「いつ、来るのか？本当に、来るのか？どの場所へ来るのか？」と、多くの御霊たちを見守る存在たちからメッセージが届いています。

神ごとは、日取りを決めた日から全てが始まります。

心の準備、体の準備、お金や情報の手配など、するべきことはたくさんありますが、もう決めたので全ては神計らいに任せて進めようと思います。

皆さんにお願いがいくつかありますので、どうか、聞いて下さい。

まず、この「東日本大震災一周忌の御霊上げ」に参加を希望される方は、完全に自己責任で、体や精神がおかしくなっても、自分で対処できる本気の人だけとさせていただきます。

3泊4日なので、宿泊費や食費、移動に必要な飛行機・ＪＲ・レンタカー代など、当然、お金もかかりますので、全て自己負担で参加して下さい。

さらに、私と一緒に祈りの場に入ると、必ず、自分が守りたいエネルギーの範囲を超えて神仕事をしなければならなくなることも覚悟してご参加下さい。

私と同行しなくても、同じ日に違う場所で自分のやり方で祈るという方法もあると思いますので、それは各人にお任せします。

もうひとつのお願いは、被災地の近隣や現地に住んでいる方で、今回の祈りの趣旨を御理解して頂いたうえで、移動手段や道の情報や同行にご協力頂ける方がいらっしゃいましたら、こちらまでメールでご連絡をお願いします。

知人の方で、もし、そういう方がいたら、ぜひ、ご連絡をお願いします。

地元に生まれ、地元に住んでいるの方のご協力を得て行う祈りだからこそ、ご先祖の繋がりや土地神の繋がりが生まれますので、心を合わせて一緒に祈る人たちの大きな魂に繋がって、天の魂再生場所まで送り届けようと思っています。

御霊上げを経験している方は多くはないと思いますが、一切の甘えや感情を持ち込まず、心を完全な光にできる意志があれば、光のラインを使って御霊を上げることは可能です。

ただ、今、感じただけでも、自分が亡くなったことに気づかず、彷徨っている御霊たちがたくさんいます。

この3泊4日の予定は、最初に、宮城空港から車を借りて、宮城県・岩手県・福島県に行こうと思っていますので、現地の方で、私に「ここで祈って欲しい場所」があれば、ぜひ、ご連絡下さい。

一人一人の神仏の守護力に、本気の心を合わせる祈りよって、今も、苦しい思いをされている亡くなったご家族の思いを少しでも希望へ変える為の祈りにしたいと思っています。

とても厳しい祈りになることはわかっていますが、日本人に生まれ、私たちの代わりに亡くなった御霊たちのことを思えば、ここまで神仏と人に育てて頂いたお礼としてお役に立てることをしたいと思っています。

現地で被災され、ご家族や友人知人を亡くなれた皆様、本当に、すぐに行ってあげられなくて、すいませんでした。

私の力で出来ることはさせて頂きますので、どうか、お力をお貸し下さい。

また、日々、祈り合わや神事に御協力下さいます皆様、いつもありがとうございます。

なお、神事には参加は出来ないけれど、この御霊上げに協力したいというお気持ちのある方は、どうか、地球創生基金へ寄付をお願いします。

塩・水・酒・供物など、現地で購入する資金にしたいと思っています。

郵貯銀行口座名　地球創生基金

◎郵貯から郵貯へお振込みは
記号19070　　番号　　9613551

◎銀行から郵貯へお振込みは
支店名　九〇八　　普通預金

口座番号　０９６１３５５

◎「東日本大地震の一周忌御霊上げ」に関するお問い合わせは、info@yoshiokamanabu.comまでメールでお願いします。

2012.01.23 Mon

世界の神話から神心を知る

「人間の心」の不思議さは古代から研究されていますが、心を形成する大きな要因に「神話」が強く影響していることをご存知でしょうか？

「生きる意味や価値基準」が、国民性・民族性・宗教観の違いがよって生まれるのはご存じだと思いますが、物事の善悪を裁く倫理観や法律・マナーに至るまで、実は「神話」による影響がとても大きく影響しています。

今まで日本中で神事をして感じたことは、土地の人の言葉や神々の神言葉の中に、隠された多くの思いと知恵が隠されているからこそ、神と対話しながら真意を聞き届け、神々が望む世の中を作る為に神事を続けたことで、神々が本当に思っていることを理解できるまようになりました。

実際に、国が崩壊した時に立て直す学問を教えている東大の教授の言葉には、思想や宗教で国を建て直す方法がある事も教えてもらいました。

日本人に生まれた人は、何度も生まれ変わった魂の記憶が多いからこそ、過去の記憶に縛られている無意識の呪縛（カルマ）を外す為に、古い時代の神話から順番に手を付けて多くの神話に隠された意味を理解し、愛と調和の心を共に育みあいたいと思っています。

第一回目は、1月２８日の午後７時から行う関東勉強会を皮切りに行いますが、毎回、シリーズでお伝えしようと思っているテーマをご紹介しておきます。

◎世界の神話から神の心を知るテーマ　※事前勉強は各自で行って下さいね！

１、古代ギリシャ神話に込められた意志と意味（1/28）

２、イエス・キリストの誕生とその意味（3/3）

３、お釈迦様の教えとインド仏教誕生の意味（3/31予定）

４、日本神道の神話と本当の意味（４月末予定）

５、北海道アイヌに残る人間誕生の神話（５月末予定）

６、沖縄の琉球神話に秘められた神と人の思い（６月末予定）

７、宇宙大戦争や前世記憶を思いだす人が増えている神意（未定）

◎詳しい日程が決まり次第、公式ホームページの「地球創生勉強会＆読み取りワーク」へ詳細情報を公開しますので、どうぞ、ご確認下さい。

なお、私は宗教学者でも歴史学者でもありませんので、何が正しいとか、何かにこう書いてあるとかを問う時間ではありませんので、どうぞ、そこのところを御理解して参加して下さい。

◎「世界の神話から神心を知る」勉強会に参加希望の方は、参加希望日・名前・年齢・連絡先・住所・職業をメールでお知らせ下さい。

※どうしても神の意志が分からない場合は、直接、その場に神を降ろして聞くかもしれませんので、どうぞ、お楽しみに！(^^)

2012.01.18 Wed

17年前に阪神・淡路大震災が起きた今日、思うこと。

17年前の1995年（平成7年）1月17日午前5時46分52秒に起きた阪神・淡路大震災は、２０世紀の最後に大きく日本人の生き方を変えるキッカケになったと思いますが、昨年、起きた東日本大地震の被害と比較すると・・・

・阪神・淡路大地震
死者 6,434人+行方不明者 3人+負傷者 43,792人＝50,229名

・東日本大地震
死者：15,843人+重軽傷者は5,890人+警察に届出があった行方不明者は3,469人＝25,202人

※死者に行方不明者を加えると、阪神・淡路大震災のが約３倍の方が、一瞬に命を失いました。

しかし、年間でもっとも多い死者の数は、年間３万人もの方が自分で命を絶つという悲惨な国が、今の日本です。

今日一日、とても体に思いエネルギーがのしかかってくるのも、この日のことを忘れてはいけないからだと思いますが、私たちはどのように未来へ向けて明るいメッセージを発信するのかを真剣に考えなければいけない時期に来ています。

日本は、これから３０年間で戦争体験者を失い、団塊の世代の多くも肉体を離れる時期を迎えます。

この人たちが、今の日本の基盤を作ったのは事実だからこそ、日本の将来を本気で考える大人が動かなければいけない時期に来ていることを認識しなければいけません。

きっと、誰かがやってくる・・・

きっと、誰かが助けてくれる・・・

甘えで不安や恐怖を誰かのせいしたり、依存すればするほど、この日本の精神性は失われていきます。

素晴らしいリーダーを期待している人が、もしいるとしたら、絶対に出てこない事だけは確かです。

なぜかと言えば、私たち自身が、この日本をどうするか問われていることだけは、二度の震災を考えてもわかるからです。

自分の意志で、周りの反対を押し切ってでもやるだけの強い意志がなければ、これからの時代の舵取りはできません。

２０１２年に何が起きるかという可能については、昨年、いくつかお伝えしましたが、起きることを不

安に思うよりも、何が起きても、自分の力で何とかできるような強い精神性と知恵を身につける努力をして下さい。

震災で亡くなった方たちの御霊が、今、何を望んでいるかを考えてみましょう。

誰かのせいにして、戦うことを望んではいません。

自分の苦しみを誰かに押し付けることも、望んでいません。

ただただ、生き残った家族が、健康で生きてくれることだけを望んでいます。

本当の意味で、助け合う生き方を思いだして、生きている間の人生を少しでも歓びにする努力が、私たちには必要です。

自分に何ができるか悩むよりも、今、できることをやりながら、日々、探し続けることも重要です。

ポイントは、自分も歓びを感じていて、さらに、他人にも喜ばれる知恵や技術や感覚を身につけることだと思います。

いづれ、私たちも肉体を離れる時が来るからこそ、感謝でこの人生を終えられるような生き方をしたいものです。

亡くなった方たちのご冥福は、毎日、祈っていますが、生きている人たちが、何を思い、どう行動するかで未来は変わるからこそ、生きる知恵、生きる歓びを大きくする努力を一緒にしましょう。

明日は、我が身です。

だからこそ、感謝で日々、生きたいと願うのです。

最後に、今日、降りたメッセージをお伝えします。

若い人たちに教え残すことは、「利・節・儀・体」である

利は、利他心（自分よりも他人を思いやる心）

節は、節語（節目節目の人に対する言葉使い・心使い）

儀は、人と人が生きる上で最も大切な意志・志・守るもの。

体は、健康。

どうか、お亡くなりになった方たちの為にも、生きている私たちが、次の世代へ使え残せる知恵を身につけて歓びの生き方を示しましょう。

誰もが足りない者同士だからこそ、互いを受け入れ、互いの認め、自らの学びとして一緒に成長しましょう。

出会う全ての方たちに、心から感謝を送ります。

ありがとうございます。

2012.01.17 Tue

夢のメッセージ

父が亡くなった、その夜、夢を見ました。

北海道で数名の人たちと神事ワークを行ったのあと、本州へ行く為に、千歳駅から新千歳空港駅行きのＪＲに乗り込みますが、予定していた飛行機の時間に間に合わないことが判明。

空港駅に着いて、遅れることを電話しようと携帯を探すが、見当たらずにＰＨＳだけが出てくる。

電話をかけようとするが、携帯に入っている電話番号が無い為に、連絡ができない事に気づき、困惑。

空港のターミナルへから外の景色を見ると・・・・

空港が・・・ない・・・。

目の前に広がる荒れ果てた原野を茫然と眺めていると、隣の人がこう教えてくれました。

「新千歳空港は、二ヶ月前に津波で流されたんですよ。私も初めて見に来ましたが、驚きました。」

どうやら東日本大地震のように、津波で流されたような新千歳空港の悲惨な姿を物珍しさで訪れる人が増えているらしい。

でも、なぜ、私が千歳に居るの？？？

なぜ、北海道で神事ワークを？

なぜ、本州へ行こうとしていたの？

なぜ、新千歳空港が流されたの？

なぜ、携帯とＰＨＳの二台あるの？

なぜ、忘れ物をしたの？

今日やっと、この夢の意味を解読できました。

携帯とＰＨＳは、大切な「命の繋がり」を意味し、父との繋がりを示唆。

親から情報をコピーされるのではなく、自分の生き方を進めという意味。

新千歳空港という舞台は、「空へ飛び立つ魂」を意味し、私が乗る飛行機はない、つまり、まだ、死ぬ時期ではないという意味。

「忘れ物」は、大切な場所の繋がりを示していて、本州（ご先祖）と北海道（子孫）が見えない繋がりで繋がっていることを示唆。

神事ワークを千歳で行っていた理由は、神の采配で全ての事が決められていることを示唆。

二か月前に千歳空港が流された意味は、実は、余命三カ月と聞いた時に、もしかして、自分の誕生日（1/10）に送り出す可能性があるかもしれないと一瞬だけ想ったのが、たぶん二か月前・・・。

今回の「神知らせ」の夢で、大切なことを気づかせて頂けたことを心から感謝します。

全てが、神仏の采配の中で、この世の現実が起きていることを改めて感じています。

だからこそ、私たちに出来ることは、「選択と創造のみ」。

常に、愛と歓びを選択し、無限なる歓びが、永遠に続きますよう創造し続けます。

◎本日より、公式ブログのアドレスが変更になりますので、お気に入りに登録して頂いている方は、変更をお願いします。

新・吉岡学公式ブログ　**http://blog.yoshiokamanabu.com**

どうぞ、宜しくお願いします。

◎吉岡学公式ホームページが完成しました！

http://yoshiokamanabu.com

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク
目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。

日時：1月２８日（土）10：00～16：00
集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東地区　勉強会
テーマ：ギリシャ神話を紐解き、神々の真意を学ぶ
場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500
1/28（土）　19：00-21：30
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎静岡地区勉強会
心と体を整える新・エネルギーワークを伝授します
場所：静岡市清水区/￥3500
1/29（日）19：00-21：30
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区勉強会
心と体を整える新・エネルギーワークを伝授します
場所：難波市民学習センター/￥3500
1/31(火）　19：00-21：30
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

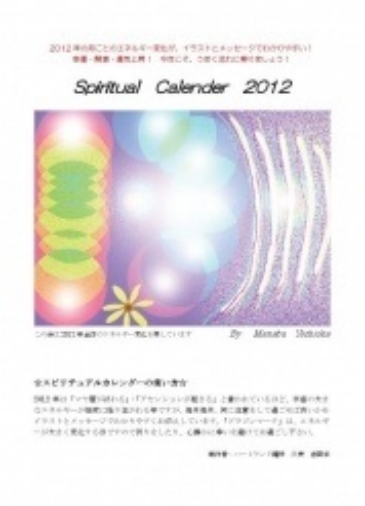
心の内鏡を互いに開きあって愛と調和の心を輝かせる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登

録は、こちらへ！

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎地球創生1000年プロジェクト　http://earthtscu.jp
◎ハートランド龍球　　http://heart-land.biz



未来に何が起きても勇気が持てる、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」もどうぞご活用下さい。心身のデトックスツールとして、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」もおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPからお願いします。
2012.01.16 Mon

アメノウズメノミコト

１月14日の午後に降りたメッセージを公開します。

うずめのミコトに心を合わせなければ、

世が割れ、地が割れ、人の心が割れる。

「アメノウズメノミコト」は、岩戸隠れした天照大神を裸踊りで誘い、岩戸から覗き込んだ天照大神を世の中に戻すキッカケを作った神様ですので、私はこう解釈しました。

（吉岡学の解釈）

本来の光を世の中（日本・世界・地球）に戻したければ、道化とも思えるほど一生懸命に光を世へ送り出す仕事をしている人たちに心を合わせて、ひとつになりなさい。

もし、それができなければ、いづれ、世（奉りごと＝政治）が壊れ、地＝我々の足元＝生活基盤＝経済・貨幣価値が壊れ、最後に、人の心も壊れてしまいますぞ！

今を生きるのに精いっぱいの人もいると思いますが、今日は少しだけ一緒に考えてみて下さい。

現代の日本社会で自分の命を守る為には、同じ価値観の人同士が心を合わせながら、誰かが人の心に希望を与えたり、誰かが未来の方向性を決めたり、資金の調達や運用を考えたり、食べ物の生産・輸送の配分を考える人が必要です。

日本はどこに住んでいても、ちっぽけな島国だからこそ、天災ひとつで同じ運命を経験する運命共同体としての意識を持つ必要があるからこそ、「助け合いの精神」が日本国民の生活を支えてきました。

大切なことは、自分や家族の命を守ろうとする時、まず一番、最初にしなければいけない事が「人と人の信頼という鎖＝絆」を繋ぐ作業だと思います。

決して切れない鎖で繋がっている仲間の絆。

自分の命と相手の命を同じように扱ってくれる仲間の絆。

あなたには、そういう仲間がいますか？

お金や上下関係で出来た人の繋がりは、何かを失うとすぐに壊れてしまいますが、相手と自分の命を同じように考えられる魂の仲間の絆を今日から作る努力をして下さい。

自分の為だけではなく、誰かの為だけでもなく、素晴らしい人の繋がりを繋ぐ活動をされている方は日本にも世界にもたくさんいますが、その鎖が何で繋がっているかをよく考えてみて下さい。

目に見える物で繋がっている鎖は、目に見える物が無くなった時に、消えてしまいます。

でも、目に見えない魂の鎖で繋がっている仲間は、何が起きても切れることはありません。

このことを言葉にしてしまえば簡単ですが、「信頼」という鎖のお話しです。

私が思うに「真実の信頼」とは、命を重さを同じく考えられる人たちという条件があると思います。

「遠くの親戚（家族）より、近くの他人」

という言葉があるように、震災が起きた時に自分の命を守ってくれるのは遠くの親戚家族ではなく、自分の周りに住む人たちなのは、もうわかったはずです。

しかし、大切なものを分け合う為の心の価値観が違うと、食べ物を分け合うだけでも、きっと、もめるでしょうね。

本当に何が大切なことなのかを互いに学び合った仲間が、あなたの周りに居れば、命の価値をお金や物質や経験で計らずに、同じ心の物差しで計ることができる素晴らしい信頼の仲間に出会えると想います。

心の物差しを計る言葉が、「神・仏」という言葉ではないでしょうか？

本当の神の意味を知り、神仏の心を同じくできれば、この世に争いなど起きるはずはありません。

「魂の計り」が同じく出来ていない為に、宗教戦争や食べ物の争奪、エネルギーや資源の争奪が世界中で続いているのだと思います。

何度、裏切られて辛い思いをしたとしても、もう一度、人を信じる生き方を始めてみましょう。

相手と自分の命を、家族と他人の命を、日本と日本以外の人たちの命を同じように扱える大きな心を育て愛しょう。

蛇足ですが、「天の岩戸」という言葉の意味は実はたくさんありまして、本来の、おおもとの意味は、「人の心の奥底にある扉」を意味しています。

だからこそ、あなたが自分で閉じた心の岩戸を今、開けて下さいと伝えているのです。

「信じる」ことをやめてしまうと、人の心も、世の中も、地球も全てが、闇の世界になってしまいます。

どうか、あなた自身が勇気を出して心を開き、あなたの周りにいる人が同じように心を開く為のキッカケを作って下さい。

私に出来ることは、全国の勉強会で、真実の神心・仏心を伝えることだと思っています。

1月28日の関東勉強会では、古い古い魂の繋がりを紐解く為に「エジプトやギリシャの神話」から神々の意志を読み下ろしながら、人間を見守る神々の真実の想いを皆さんと一緒に共有したいと思っています。

静岡勉強会と関西勉強会では、心と体のバランスを自分で整えられる新しいエネルギーワークを伝授していくことも決めました。※タイトル未定

精神と肉体のバランス、目に見えるものと見えない物のバランスを誰もが、すぐに取れる方法を多くの皆さんに伝えたいと思っています。

地球創生は、一人一人の意識が新しく変わる事を意味しているからこそ、2012年は昨年までの勉強会と大きく内容を変えて取り組みますので、どうぞ、お友達とご一緒にご参加下さい。

なお、1/28に行う「関東地区　光岩神事ワーク」は、過去のカルマを乗り越えて守護存在の繋がりを大きくする為の覚醒ワークですし、誰でも参加できますのでご興味のある方はお申込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
地域に広がる愛のネットワーク　地球創生　神事ワーク＆勉強会

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

◎関東地区　光岩神事ワーク

目的：関東から日本を輝かせる人たちの魂の光を繋ぎ合せる目的で、土地の神仏メッセージを読み取りサニワしながら相互連鎖による覚醒ワークを行います。

日時：1月２８日（土）10：00～16：00
集合場所：明治神宮本殿前　参加費：￥5000
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関東地区　勉強会
テーマ：ギリシャの神話を紐解き、神々の真意を知る
場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500
1/28（土）　19：00-21：30
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎静岡地区勉強会
心と体を整える新・エネルギーワークを伝授します
場所：静岡市清水区/￥3500
1/29（日） 19：00-21：30
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

◎関西地区勉強会
心と体を整える新・エネルギーワークを伝授します
場所：難波市民学習センター/￥3500
1/31(火）　19：00-21：30
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えてメールでお申し込み下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★
ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

心の内鏡を互いに開きあって愛と調和の心を輝かせる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらへ！

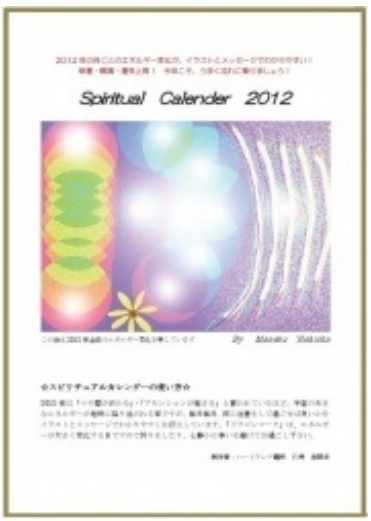
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎吉岡学公式ホームページが完成しました！
http://yoshiokamanabu.com

◎地球創生1000年プロジェクト　http://earthtscu.jp
◎ハートランド龍球　　http://heart-land.biz



未来に何が起きても勇気が持てる、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」もどうぞご活用下さい。心身のデトックスツールとして、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」もおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPからお願いします。

2012.01.14 Sat

光に戻り、ありがとうございます

2012年のお正月を親子一緒に楽しく過した6日夜、我が父は光に戻りました。

一年少々の闘病生活期間は入退院を繰り返しましたが、母や兄夫婦のおかげ様で、父もとても満足したと思います。

無口で、無骨な人でしたが、私にとっては神様と思える人でした。

なぜ父を神様と思えたかというと、一度も他人の陰口や悪口を父の口から聞いたことがないからです。

社会に出て、そういう大人に出会ったことがなかったからこそ、我が父親ながら感謝の言葉しかありません。

父を亡くす意味を考えてみると、先に人生を歩いてくれた背中が無くなったことで、強がりではなく、周りの皆さんのお力を借りながら支え合いの心を気づきなさいと言われている気がします。

母一人を実家に残すことには心苦しいですが、近くに兄が居てくれることに心から感謝します。

年の順に親を見送れる幸せは、先祖と神々の力だと強くを感じるからこそ感謝しています。

多くの皆様から弔電・ご供花・香典・通夜にご参列頂きましたことを感謝します。

全ての方に十分なお礼・ご挨拶ができないことをこの場を借りてお詫び致します。

2006年、神事をする際に、守護存在から言われた言葉があります。

「命をかけて神事をするという意味は、親兄弟・親族が亡くなっても、途中で、後戻りすることは出来ないが、それでもやるか？」

この厳しい宣言を一緒に覚悟しあった当時の仲間のおかげで、尋常ではない世界へ足を踏み入れ

ることになりました。

生きている間に親兄弟の一人一人の死を感じて、亡くなった時の悲しみを先に終える作業を繰り返した時期を思い出します。

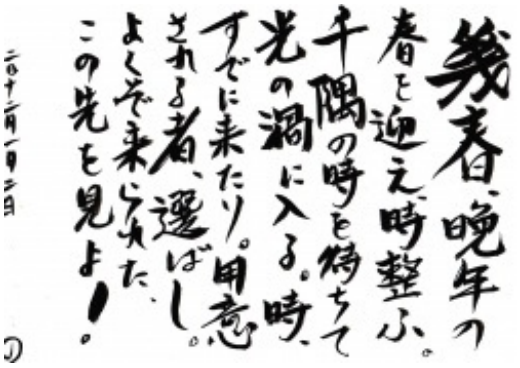
何度も苦しい神事を一緒に行ってくれた全国の神事仲間は、それぞれの道で多くの人たちに愛を分け与える素晴らしい人になられています。

私がここまで出来たのも、父のおかげ、母のおかげ、そして、ご先祖様たちのおかげと、心から手を合わせる時間をありがとうございます。

2012.01.12 Thu

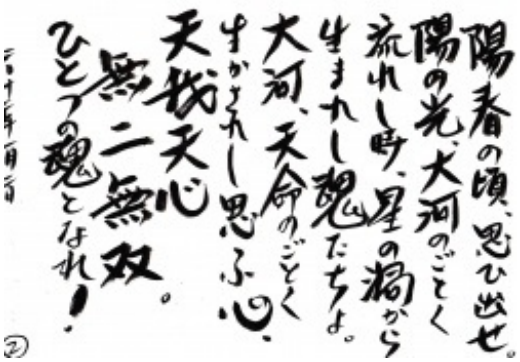
2012年　祝事（解説付）

2012年1月2日、夜11:11に新春メッセージが降りました。



どれほど、この時を待っていたことか。その時、整い、目的の時空へ飛び立つ時、来たり。

既に、魂の覚悟と準備がなされた者たちは、この先のメッセージを読め！



陽、暖かく春を迎えるように差していた頃を思い出しなさい。

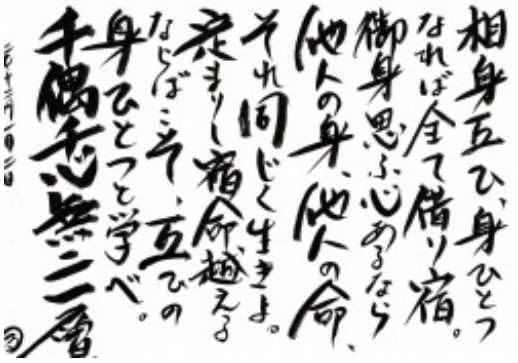
その光は大河のごとく流れ、星の渦から産まれたあなたたちの魂のように、天の意思を果たす役目で産まれたことを思い出しなさい。

天の御心は、あなたの御心と同じ。

他人も現実も、あなたと同じに思えなくとも、鏡に写った自分と同じなのです。

だからこそ、地球を救う事を思い出した者たちは、全ての思いをひとつに束ねなさい。

あなたたちの魂がひとつから生まれ、また、ひとつとなって働く時期が来た事をここに告げます！



この世（三次元世界）で起きる事は、全てお互い様の言葉のとおり、一人では成せない事を成す為に、互いの身を同じくしなかったのですが、肉体は全て魂の借り宿です。

本当に自分の魂に正直に生きる心があるのならば、他人の体、他人の命を自分と同じに感じる心を持って人生を生きなさい。

あなたが、魂の歩んだ過去のカルマを乗り越えて生きると決断したのならば、互いの肉体の違いさえ、自分の気づきと歓びの為に与えられた違いだと気づきなさい。

千ほど違いのある相手の違いを責めるよりも、その違いが、あなたが神我の愛に目覚める為の違いだと気づき、違う心全てを重ね合わた大きな心があなたを導く神の心だと気づきなさい。



新しく始まる今日、この時を迎えられた事を心からお祝い申し上げます。

感じる全てのものが許せないならば、許す心を学びなさい。

許せない事を許し、堪え難い事を耐え、忍びがたきを忍ぶ意味は、あなたの心が、神の御心そのものだと気づき、一心に神の望む道を進むことだと気づきなさい。

我を張らず、欲を出さず、成果を気にせず、多くの人が望む未来をあなたが創る役目なのだと気づきなさい。

それこそが、天が望む人間の生きる道なのです。

その心を忘れないように、生きて下さい。

全ては、一心。

あなたの心がけひとつで、地球の未来は変わります。

2012.01.03 Tue

2012年　元旦の夢

新春新年、日本全国の地球を愛する皆様、明けましておめでとうございます。

大きなステップアップの年が明けましたので、常に、本気で自分に正直に生きることを心がけて日々を大切に過ごしていきましょう！

2011年の年末は、久しぶりに精神的にはリラックスして新しい年を迎えることができましたが、12月31日の体の辛さと元旦の夢には参りました。

今朝の夢を簡単に言うと、「地獄が怒っているぞ！」と脅かしのメッセージとも取れる内容でしたが、このメッセージには大きな愛があることを感じたので皆様にも公開しておきます。

１、まず、他人に見せない一人一人が心の奥底で思っているマイナス想念（悩み・苦しみ・辛さ・怒り・許せないこと・嫉妬・依存心）のせいで、地獄のエネルギーが、さらに渦巻いていると伝えられました。

２、その理由と対処は、自分が思った不安や怒りは自分自身で転換しない限り、現実世界も未来も輝くことはないと、閻魔大王が言いました。

３、次に教えられた事は、自分の苦しみや喜びは、自分が決めた枠の中で感じていることだからこそ、今までの自分が守ってきた古い概念や常識の囚われを手放して、新しい価値観に心を広げて、多くの許しを受け入れる自分になりなさいとも教えてくれました。

４、苦しみから抜け出すか、苦しみの中でもがくかは、自分が決めて選んでいる事に早く気付き、自らの足で立ち上がって前へ進みなさい！と教えてくれました。

そして、次の言葉が降りました。

天上天下、唯我独尊（てんじょうてんがゆいがどくそん）

この言葉の意味を私なりに解釈すると・・・

この世でただ一人、そして、一番、大切なものは「あなた」だからこそ、あなたが信じる道をあなたが進むことで、神仏の道が開かれるという意味です。

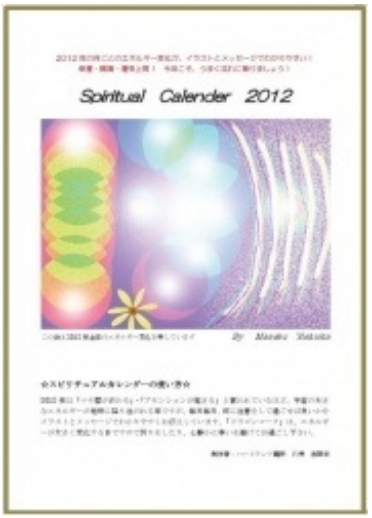
常に、新しい道を切り開く為には誰かに教わるのではなく、自分の足で歩いた気づきと悟りの繰り返しで積み上がるものだからこそ、自分の足で歩んだ結果が他人の教えになるという意味もあります。

※ちなみに、閻魔大王は、元々、神世界（天界）から降りてきた存在ですので、大神や大天使と同じ力と役割を持って想念世界の地獄を守っています。その地獄を創造したのも人間だからこそ、私たち自身が変わることで、地獄を天獄に変えることもできると信じています。

善悪、好き嫌い、許す許せない・・・あなたが決めた天国と地獄のルールで苦しんでいることに気づいたら、あなた自身が望む天国と地獄のルールを書き換えて新しい世界を自分で創造して下さい。

全てのことが変わる為に、全ての価値観が変わる為に、全ての人の心が変わる為に与えられた2012年だと、私は思っています。

無限なる悦びを創造し続ける素晴らしい人たちの心の繋がりは、必ず、明るい未来を作り出す大きな力になることでしょう！



未来に何が起きても勇気が持てる、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」もどうぞご活用下さい。心身のデトックスツールとして、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」もおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPからお願いします。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって愛と調和の心を輝かせる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登録は、こちらへ！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
地球創生勉強会　地域に広がる愛のネットワーク
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

◎関東地区勉強会
日本の東から世界を照らす土地役目の人たちが集まります
場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500
1/28（土）　19：00-21：30

◎静岡地区勉強会
関東と関西を結ぶ大切な土地役目の人たちが集まります
場所：静岡市清水区/￥3500
1/29（日）19：00-21：30

◎関西地区勉強会
日本の西、天皇家の母地の土地役目の人たちが集まります
場所：難波市民学習センター/￥3500
1/31(火）　19：00-21：30

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先を添えて、こちらまでご連絡下さい。

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　19070　番号　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

◎地球創生1000年プロジェクト　http://earthtscu.jp
◎ハートランド龍球　http://heart-land.biz
2012.01.01 Sun

2011年の年の瀬に思うこと

年々、年末の感じがしない日々を過ごしていますが、それも、年末年始に休まないで働いてくれている人たちが増えているからなのだと思います。

企業が顧客満足やサービスを追求するとそうなるのですが、個人と企業の「りくつ」が違うからこそ、時代の流れと受け入れるしかないのでしょうね。

困った時にとてもありがたい看護師さん、介護の人たち、葬儀関係者・・・、あいてて良かった流通業、輸送業・・・金融関係もＣＤ機が動いているので誰かが頑張ってるはずだし…。

日頃、気づかない部分の仕事に就いてくれている皆さん、本当にありがとうございます。

あなたのおかげで、この日本は支えられています。

きっと、家族と一緒に過ごせない時間が多いことで悩んだ時もあるでしょうけれど、神様は、いつもあなたのことを見ていますよ。

普段、言えないからこそ、代わりにお伝えしますね。

いつも、本当にありがとうございます！

あなたのおかげで、「普通」の暮らしをさせてもらってます。

今の自分が「普通」にいられるのも、陰でたくさんの人たちが支えてくれているおかげだと、本当は誰もが思ってるんですよ！

「失ってからわかる健康と親と普通のありがたさ」だと思いますが、普通に過ごせる「今」があることに心から感謝いたします。

もう新しい年を迎える準備は、出来ていますか？

何にも出来ていない人にも同じように、新年の光は届きます。

来年は、明るい光の年になるといいですね！

歓びを分かち合える仲間が増える年になるといいですね！

素敵な人と出会って、お互いに感謝し合える人だといいですね！

今より「ありがとうございます」をたくさん言える心になるといいですね！

今はただ、静かに出来ることをして下さい。

あっ、そうだ！

神様にも、仏様にも、守護存在様にも、ありがとうございますを言いましょうね！

守ってくれるのが普通だと思っている人より、ありがとうございますを普段から普通に言う人たちの心には、神様が近く感じるから知ってますよね！

明日を迎えられる幸せを、ありがとうございます。

今年、あなたに出会えて、本当にありがとうございます。

そして、これから出会う素敵な方たちにも、ありがとうございます。

全てを失っても、ありがとうございますを言えるように、日々、精進します。

自分の足りない部分で傷付けた人たち、ごめんなさい。

自分のわがままなで傷つけた人たち、ごめんなさい。

自分のいいかげんさで傷つけた人たち、ごめんなさい。

その分、もっと、ありがとうございますを言えるように頑張ります。

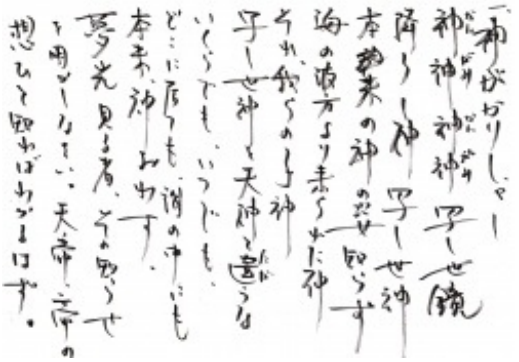
あなたと明日、一緒に居られることにありがとうございます。

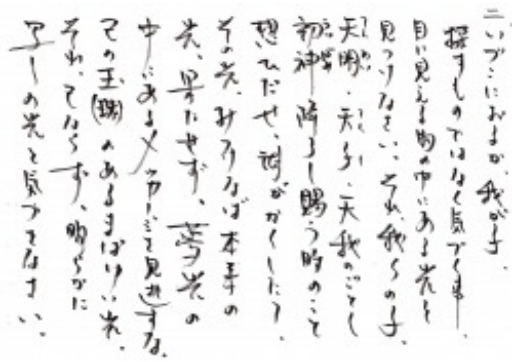


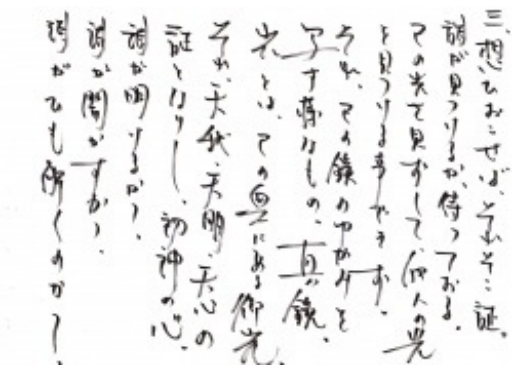
2011.12.30 Fri

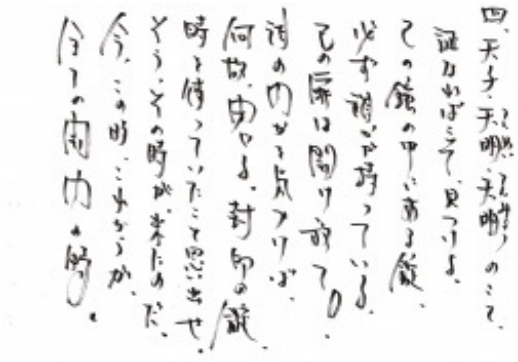
天皇魂メッセージ

2011年12月23日、京都御所から皇居に天皇魂を納めたあと、メッセージが降りていました。詳しい内容は、関東神事メンバーとサニワしていますが、お一人お一人の魂でメッセージを感じて読み取って下さいませ。祝事、万全なる神のお言葉です。

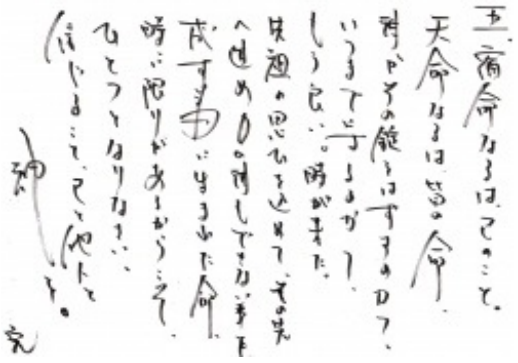








四、天子、天明、天明のこと。
証なればこそ、見つける。
この鏡の中に在る鏡、
必ず神が持っている。
その扉は開り放て。
神の内から気づけば、
何故、由々る、封印の鏡、
時を待っていたこと思い出せ。
そう、その時が来たのだ。
今、この時、これからが、
全ての開内の時。



五、宿命なるは、己のこと。
天命なるは、皆の命。
神がその鏡をはずすのかつ、
いつまで与えるかつ、
しう良い。時が来た。
先祖の思ひを込めて、その先
へ進め。神しでもない事を
成す事に生まれた命。
時に限りがあるからこそ、
ひとつとなりなさい。
信じること、己と他トと
神を。
完

2011.12.28 Wed

天皇誕生日に　天皇魂納め！

12月23日、冷たい風が吹き抜ける中、天皇誕生日に一般公開しているに皇居内へ初めて入り、関東の祈り仲間１０名と「天皇魂納め祈り」を行いました。

入り口は、皇居正門にあたる二重橋から入るのですが、普段は、近づくことも許されない厳重な警備が守っています。





皇居が江戸城だった頃を感じながら中へ進むと、とても広い場所に大勢の人たちが集まっていました。





天皇・皇后が姿を見せると、一斉に日の丸の旗が振られ、「天皇万歳！天皇万歳！」の歓声があがります。





「本日、私の誕生日にたくさんの皆様がお祝いして下さる事を心から感謝いたします。」

この言葉のあと、3月11日の東日本大震災によって多くの国民の皆様が心を痛めたことに痛みを感じていると言葉を下さいました。

お声を聞いているだけで涙が流れた人もいるほど、今上天皇のお言葉は心に染み渡り、元気になられたことを参列者の誰もが祝福しているのを感じました。

鳴り響く「天皇万歳！」の声の中、京都御所から運んできた天皇魂を納める祈りを始めると、大きなエネルギー体が皇居本殿内に納まりました。

移動許可証と御神鏡も納め、両サイドに守りの公家が収まると、皇居の中に大きな気柱が立ち上がり、天皇の御柱とも言える光の柱が天まで伸びていきました。

天皇がお姿を見せたのは5分ほどの短い時間でしたが、その素晴らしい空気は、歴代の天皇が守り続けた日の丸の光が宿っていると肌で感じました。

このあと、仲間と互いに感じたことを話し合いましたが、天皇のお言葉を直接、聞いた体験は魂が歓ぶ大切な気づきと学びを得たと誰もが口を揃えて話していました。

日の本、日本を守り支える魂は、天皇という人神に繋がり、新しい日本を支える光岩神事のエネルギーも、天皇の存在意味やあり方を正しく伝える重要な意味があるとメッセージで降りました。

まもなく2012年の幕が開きますが、今日から2012年のエネルギーは流れています。

高い意識は、2013年を歓んで迎えている自分や周りの人をイメージしておきながら、低い意識では、2012年の現実世界で何が起きても揺るがない強い愛の心で、愛する人たちを信じ続けるイメージでお過し下さい！

心、素直に生きる素晴らしさを思い出した皆様は、どんな大きな波がやってきても受け止める強い愛の心をお持ちのはずです。

何が起きても、信じる物を疑わない心でお進み下さい。

周りの人の言葉に左右されるのではなく、あなた自身の魂が歓ぶ道へどんどん進んで下さい。

完全な愛と信頼を持っている人は、自分や他人を一切、問いません。

神と一体になった人は、神の心を自分の言葉や行動で示す重要性にも気づいているはずです。

2011年にするべき整いの祈りは、無事、全てを終える事ができたのも、多くの人たちが住む土地を愛し、神仏に感謝し、共に、手を取り支えあう心を育み続けてくれたおかげだと感謝しています。

旬祭の祭典のように、始まりの「1」という数字を見るたびに、心新たに前へお進み下さい。

少しだけ不安がある時は、2012年に何が起きても勇気が持てる「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」をご活用下さい。毎月、何を心がけていれば良いかを知っておくだけで、魂は準備されるものです。

あなたの意識が、2012年は今よりも大きな歓びを多くの人が感じる為に、必要な階段だと心底、思えるなら、

意識は現実を超越し、魂のカルマさえ飛び越え、より高く、大きな愛と歓びを発する為に肉体が与えられている時間を有効に使って、今この一瞬、一瞬を輝かせて生きている人のはずです。

２０１２年は、より高く、より幸せに人々を導く役目を持って産まれた日本人が、もっとも試される年になるとだけ、お伝えしておきます。

2011.12.25 Sun

京都御所　典礼の儀

2012年１2月20日、この日は京都御所に戻した天皇霊をもう一度、預かりに伺う神事の日でした。集まった人たちは関西在住の神男・神女、関東から御霊守り役の巫女、そして、私の四名です。

朝、自宅の神殿に出発前のご挨拶をすると、こう言われました。

いいですか、天皇霊を京都御所から頂く時は、お願いするのですよ。決して、神力で無理矢理、運ぼうとしない様に心して下さいね。

こうやって教えて下さる理由は、10月28日に皇居から天皇魂を移動した際、あまりに急に動かした為に、お付きの方達が本当に戻してくれるのかと心配した事件が起きたからです。

11月1日の京都御所一般参賀の日に納めた天皇魂は、本来の形に収まったことで関西に生まれの方達の魂に眠る無意識の不満や因縁を解消し、先祖や土地神たちも同時に和合する期間になりました。

京都御所へ向かうタクシーの中で,降りたメッセージをご紹介します。

これがしのこと　はばからず たゆまなく続くよう願い賜う

恐れおおき 御霊の御従い給えて 感謝する

うつろぎ賜いて、うわばみ候

それ 我らのことなれば、その思いはばからず。

天に上がりしもの達の事　繋ぎ給えて

地に降ろし賜う者達の事、納めたもうこと

宜しくお願い申し上げます

納めたもう地の守り神として

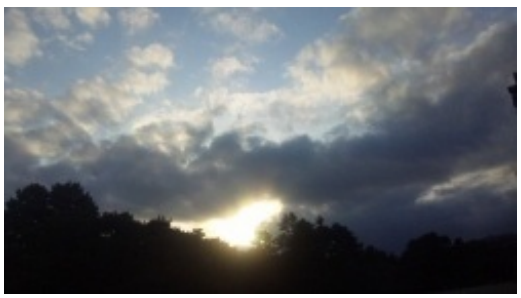
働きたもう事 我らの願いなり。

12月23日の皇居一般参賀の際に、天皇魂を正式に納めることが決まっていますので、皆様と一緒に京都御所に入りました。四名それぞれの役目は、あらかじめ決まっていますので、午後４時、天皇と正式にお会いする広場に繋がる「建礼門」の前で祈りを行いました。



私が宇宙語で、これまでのご苦労に対しお詫びと感謝を述べ、日本の新たな平安の為に関東へ天皇魂を運ぶ許可をお願いしますと言うと、奥から大きな天皇魂を差し出して下さいました。
そのあと、正式な移動許可証明となる巻物、そして、御神鏡を下さり、最後に、大切な魂を守る役目を持つ黒装束の公家の男性が二名一緒に付いてきて下さいました。

この全てのことで、正式な許可を頂けたことがわかりました。



祈りを終えると予想したとおり、警備の車がやってきて、色々、質問してきますが、宗教者でもなく、不審者でもないことを理解してくれましたが、その場を離れるまで見守っていました。



京都御所の離れる前に、すぐに全員でサニワを行いました。

関西在住の神男には、天皇が関東へ二度目に訪れた際、そのまま皇居にいたほうが国の安定に繋がることを進言した公家の魂記憶がある人だった為に、「これでやっと、一番後ろに押しつぶされていた一族の因縁が解消されました。ありがとうございます」と涙声と共にお礼を伝えて下さ

いました。

関西在住の神女には、京都御所の台所が火事で消失した際に亡くなった女性たちの御霊を司る最高責任者の女性からお礼が伝えられ、その後ろにいた二〜三十名の使いの女性たちも、彼女の守護に入って下さることが決まりました。

大切な天皇の食事を作る「かまどの神様」を守っている女性たちは、身元が明白な公家の親族の娘たちですが、食事を出す度に毒味をしますので命をかけて天皇を守っていた女性たちです。

こういう守護の方達が増えるということは、彼女の神格が上がったことを意味しますので、神女として関西の土地守りで大きな働きをしてくれると思います。ただし、このあとで、大きな仕事も仰せつかりましたが…。

関東から御霊守り役の巫女には、次のメッセージが降りました。

光、光、火の玉　光の巫女魂として、いつも働いてくれていることに感謝いたします。

それが、あなたの役目だからこそ、これまでも何度も繰り返してきましたが、我々はそのことを誰にも明かさず、その事を守ってくれる存在達がいることに感謝していましたが、あなたがそのことに気づいてくれたのであれば、その思いをわかる人たちにつなぎ、そのあなたの役目が果たせるように沢山の者達が守っている意味も伝えてあげて下さい。

私達はそのことを知ってはいますが、口では言えないからこそ、あなたがその役目を果たし、その役目を持っている者達が守りがいがある、守るだけの役目がある意味を分らせてあげて下さい。それがあなたの本来の役目であり、そのものなのです。宜しくお願いいたします。

この女性は、魂の役目をきちんと果たしたお礼が言われたことにより、「玉（珠）巫女」として正式に承認されました。これからも多くの人たちの力を借りながら、さらに大きな神役目と力が与えられて、土地神や人が歓ぶように働かれることでしょう。

私が言われた事は、今回の祈りによって、正式に天皇が関東へ移動する許可を下した「典礼の儀」となった事を報告されました。京都御所を守るお母さんが、息子を関東と国守りの為に正式に出すことを認めたという意味です。

ひとつひとつの思いを全員でシェアしたあと、心から感謝の印を御所内に付けました。京都御所を守る役目は「護王神社」の神様にお願いしてますので、伊勢神宮の遥拝所からご報告の祈りをしました。



京都御所を作る際に人柱になった御霊達（一番底の底で守る存在）がたくさん居た事を、御霊を守る神が教えてくれました。メッセージを、そのままご紹介します。

下げすまされた者たちの思いをどうするのか。

その思いをわかって下されば、申し訳ないが、我々がすることが無くなるが故、その役目を与えて下され。

それが、我々が守ると言う意味でもある。

その者達が下げすまされたままであるならば、それはそれで仕方がないかもしれないが、我々（神）は、その者達を守る役目があるからこそ、そのことまでわかって欲しいのだ。

その者達が、この地にいることは確かなのだが、地に埋められ、天に上がれず、その悔いになりし者達がいることを私達は伝え守り続けてきたからこそ、その事をわかり伝える者が来るのを待っていたのだが、なかなかその事を言って下さる者が現れないゆえ、こうして伝えておる。

誰が、その事を守り伝えて下さるのか。それがわかれば、我々も役目が果たせる。どうぞ、宜しく頼みます。

このあと、仲間と話し合い、11月1日の時に京都御所内の御霊鎮魂の為に「左回り」で全員が御所を一周しましたが、全ての整いが終わったからこそ、今度は、新たな歓びを京都御所から発信する為に御所の周りを「右回り」で回って祈って下さいと大神から伝えられました。

京都御所は、昔は今の倍以上の広さがありましたが、角角に全て，巫女の人柱を入れて守らせ、中心には多くの人の命が土地を守る為に封印されたビジョンも見せられました。

こうした神意思を込められた御霊たちは、役目があれば守り続ける意味がありますが、目的を忘れ去られ時には、ただの不浄御霊になってしまいます。

だからこそ、新たに、京都御所を守る大きな力となって働きができるように、関西の土地を愛する皆様の心と行動をお願いをしました。

この方法は一般の方でも出来ますのでご紹介しますが、今後、京都御所を時計回りに一周すると、その人に大きな守護力が付くと覚えておいて下さい。回れば回るほど、その力は土地の守護神と繋がり、大きな神の守護力が付きます。

もう、京都御所は霊場ではありません。神々が守る大切な天皇の母地に変わりました。

お守り下さいます関西の皆様、また、これからを支えて下さいます関東の皆様、また、全国で心を合わせて「国造り、国改め」の為にご尽力下さいました皆様へ、正式にの「国改めの儀式」が完了しましたことをここにご報告いたします。ありがとうございます。

2011.12.22 Thu

地球を愛する皆様へ

地球を愛する皆様へお知らせします。

自分の住む土地を愛し、土地の神様に歓ばれる行いをしている皆様をご紹介します。

こういう行動こそ、日本や地球を支える大きな愛を持った人の繋がりを作ることになりますので、ご参考にして下さい。

昨日(12/18)は、関東神事ワークに何度も参加している女性たちと関東の神男が、北澤八幡神社（関東の裏鬼門）の神様から言われた事を行動にうつし、正式なご報告をした日でした。

集まった人たちは、神事ワークで体にかかった神エネルギーを読み取れるようになったり、互いに感じてい内なるメッセージをサニワし合ったり、神々が望む行いができる歓びを共に感じています。

本来、女性に産まれた全ての人は同じような巫女の能力が備わって産まれていますが、これまでの人生で経験した思い込みやカルマを外して考えられる純粋な内鏡を磨かなければ、こういう素晴らしい巫女にはなれません。

彼女たちが神々に突き動かされながらも、楽しく神の願いを聞ける巫女に成長していることがとても歓びです。

全国で多くの巫女体質の女性にお会いしましたが、「神に歓ばれる生き方」をできている女性が少ないことをとても残念に思っています。

なぜ、「神に歓ばれる生き方」が出来ないのかというと、本心で「誰にでも心を開くことができない」ことが原因です。

これは今年一年の「無意識の大掃除」でもお伝えしましたが、自分の本心を素直に言葉や文字にできる人にならなければ、神様や守護存在はあなたに力を貸せません。

この世の中に、「あなただけの神様など存在していない」ことを気付けば、ハイヤーセルフの言葉や守護存在の言葉だけに惑わされてはいけないことにも気づくことでしょう。

ハイヤーセルフ・守護神・チジ神のメッセージを受け取っている人でも、実は、強い霊体が身を隠して守護神のふりをして、あなたをコントロールしている場合がよくあります。

でも、それも本人が望んだ学びだからこそ、あえて、苦言を言う事はしません。

光に進みたければ、自分自身が過去の甘い思いを断ち切って、前に進まなければいけないことは、本人がよく知っているはずだからです。

本当に、「守護神」と言えるような崇高な存在たちは、「怒り」の感情は滅多に出すことはありません。

感情をぶつけ合う愚かさをよくご存知だからです。

自分の守護存在が、霊か、神かを確認するもうひとつのポイントは、どんなに重要なメッセージであっても、「あなただけに教える」と思った時は十分、ご注意下さい。

「あなただけ」、この言葉こそ、自我が歓び、大元との繋がりを切る「闇の誘い言葉」なのです。

人間世界で起きることは、神世界や宇宙で起きた事を繰り返しているだけですので、よーく考えるとわかると思います。

自我を満足させる甘い言葉ほど、大切な繋がりを切る「闇の誘い」だと覚えておいて下さいね！

自分に聞こえたメッセージを信頼し合える人たちと公開し合って、意味を多面的に考える心を育てる時間こそ、神様に歓ばれる心を形成するもっとも早い方法です。

※成熟した人間関係の形成を学ぶ時も、これは同じですよね！

関東の裏鬼門を守る北澤八幡神社の神様は、これから日本の皆様が大きく働けるような大切な神言葉を下さいましたので、どうぞ、自分に言われていると思ってお読み下さい。

このメッセージを受け取った関東の巫女たちの愛の行動に、心から感謝を贈ります。

関東

つながる　つながる　地につながる

天につながる　大地につながる　神がつながる

神につながりし者たちよ

聴かぬ者も　神の意を汲み　行動せよ

お前たちがつないだもの　水がつながり

神々がつながり　各土地を護ってきた神々の思い

その土地を守ってきた　先人たちの思い全ての上に　お前たちがつないだ

今日　参った者　全て神々とのつながりが強くなっていく

内なる光を土地に結び　大地につなぎ　地球につなぎ　天につなぎ

神が創り　ここまで育んできた　神の子供として

神の子の心持ちをもって　日常を歩いてゆきなさい

自分がつながろうと思うなら　全ての者が内なる神守護する存在

護っている神　地の神　天の神にさえ　つながることができる

受け取り方は各々違うが

「した方がいい気がする」「するべきだ」

と感ずる感覚が　その感覚こそが

各々のすべきことを知らせるはずだ

ここから　すべきことが各々増えていき

あわただしくなっていくが

心は　中心に添えていなさい

動じずに動けるはずだ

各々が　神とつながる　神の子として

明るくやっていきなさい

2011.12.19 Mon

「ぬくもり」を与えてくれる人

世の中には、いつも、とても素晴らしい人がいるものですよね～！

こういう忙しい年末年始の時期や、問題が次々に起きて誰もが平常心を忘れる様な時にでさえも、その場に居てくれるだけで心を癒してくれる素敵な人のことです。

そういう人は、普段、仕事がよく出来るとか出来ないとか関係なく、冷静に思うと、あまり目立たなくて、静かに自分のペースで生きている人のような気がします。

忙しい忙しいと頭の中の時間に追われている人間にとって、最も大切な「やさしさをいつも誰にでも公平に分けてあげられる人」が、あなたの周りにいらっしゃいますか？

きっといると思うんですが、見過ごしていませんか？

私は今まで、「ぬくもり」のある素晴らしい人に何人もお会いしましたが、全員共通な部分は、本人にとっては普通のことだと思っているようで「あなたは、そこが素晴らしいです！」と褒められて始めて自覚する人が多かったように思います。

その人自身にとっては、みんなと同じくバリバリ好きなことを出来ない自分を悩んでいたようにも思います。

反対に、「私はみんなの為に、やさしさや愛をたくさん振りまいているのよ！」という人ほど、心の中はぐしゃぐしゃだったりしますが、本当に素敵な人は、いつも静かに自分のペースで生きていらっしゃる方だと思います。

こういう人こそ、本当の天使さんですよね～(^^)!

最後に、今日、感動した素晴らしい言葉を教えてくれた方がいたのでご紹介します。

心を育てるのは「ぬくもり」しかない。

僕自身、そう生きてこなかったことに反省して、今から心がけようと思いました。

いつも、大きな愛をたくさんありがとうございます。m(_ _)m

2011.12.17 Sat

ハートランド龍球**WEBSHOP**　年末年始商品情報



昨日から実家に戻っていたので今朝の美しい雪景色に感動しましたが、来る途中も今日の帰りも岩見沢市付近が猛吹雪の為、高速道路が通行止めになり、高速で１時間の距離が３時間以上も運転をするはめになりましたが、取り急ぎ、年末年始の大切な情報皆様にをお知らせします。

２０１１年もあと２週間を切りましたが、仕事に、人付き合いに忙しく過ごされている皆さま、体のメンテナンスは十分、されていますか？今日は忙しさで、つい忘れがちな自己メンテナンス商品の特別情報をお伝えします。

まずは、ハートランド龍球ＷＥＢＳＨＯＰで最も人気のある「エッセンシャルカラーオイル」の最新情報をお届けします。

今までベースオイルには「ホホバオイル」を使用していたのですが、世界中の天候不順のせいで[ホホバオイル」の入荷がない為、入荷するまでという期限付きで、今まで二倍以上高価な「厳選抽出植物スクワランオリーブオイル」をベースオイルにした新製品を旧在庫が無くなった色から順次、発送しています！



あくまで、「ホホバオイル」が入荷するまでという期限付きですので、どうぞ、お持ちのオイルが減っている方は早めにご注文して下さいね！

※100mlボトルの方が、だんぜん、お得ですよ！

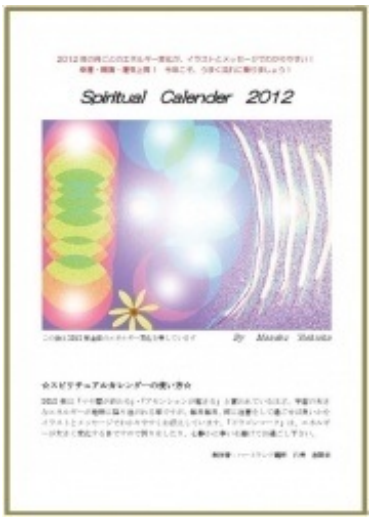


このカラーオイルは、７つの体のチャクラに合わせてプロの方が調合した完全オリジナルの「エッセンシャルカラーオイル」ですが、原料は全て自然界にある果物や野菜から色を抽出し、香りも100%天然香料ですので、お肌に敏感な方でも使用できるととても評判です！

これまでのものと、少しだけ色が変わる可能性があることもご理解下さいませ。

なお、制作者の話しでは「今回の商品は凍らない」という情報も聞いていますが、今日の札幌の外気温マイナス９度ですし、不在時の部屋の温度は５度前後まで下がりますので私自身も楽しみにしています（＾＾）

もうひとつ、待望の「スピリチュアルカレンダー」の発送も、昨日から始まりました(^^)！



11月中にご注文頂いている方たちには、大変お待たせして申し訳ありませんでしたm(_ _)m

手にした方から感動の言葉も届いていますが、限定生産の為、表示している在庫数が無くなった状態で完売となりますことをご了承下さい。

なお、お振込を完了した方から発送していますが、もし、ご注文がまだの方や、お振込が完了していない方は、どうぞ、早めにご入金をお願いします！

私自身は来週、12/20～しばらく出張になりますので、それまでにご入金を確認できた方は発送可能ですが、それ以降にご注文・お振込み頂いた方は、年末発送になる事をご了承下さい。

年末年始でも、在庫があるものについては随時、発送いたしますが、大人気の「スピリチュアルカルテ」については、ご家族全員分のご注文をする方が増えている為に受注・制作・発送までにお時間がかかる事をどうぞご理解下さい。

年末年始、どうぞお体には十分、気をつけて良い年を迎える準備をおすすめ下さい。

2011.12.16 Fri

心を忘れる言葉、「忙しい～！」

「忙しい」という言葉は、文字の通り、心を無くした状態を表しますので、この言葉を使っている人をみかけたら、自分のことしか考えられない状態になっていると思って注意して下さいね（＾＾；

この人は、（自分の頭の中で）やることがたくさんありすぎて、いつもの自分のペースでできない状態だからこそ「忙しい」と言ってしまうのですが、実は、人によってこの忙しさは違います。

一日に三つのことをやるといっぱいいっぱいになる人と、一日に十個のことをやるのが普通だと思っている人もいますので、「忙しい」と周りに言う人は自分の頭の中の事ばかりを言っているので、とても注意するべき人なんです。

コツは、「大変ですね～」と笑顔で共感してあげてたら、あとは、そっと放っておく事です。

それが、もっとも大切な思いやりです。その人は「忙しい」を楽しんでいるのですから…。

決して、その人のペースに巻き込まれてはいけませんよ。
あなたの体が、おかしくなりますからね！

昨日（12/12)から12/23までは、心の大掃除期間　だとお伝えしましたが、五つづつ、歓びと辛かったことを文字にして転換する他に、少しだけ今後の人生を大きく変えるコツを伝授します。

部屋の大掃除の時と、コツは同じです。

今までの人生で経験したことで、見ないようにしてきたゴミ、傷、痛みをきちんと見つけて、できる修復作業をしておく事です。

部屋の中でも、押し入れの中でも、あなたの心の中でも同じですが、普段、見ないようにして避けてきたこと　が必ず、あるはずです。

見ないようにしてきたゴミ・傷、痛みは、あなたの心を形成するとても大きな要因になっているからこそ、今年のゴミは今年のうちにきれいにしましょう！

永年、生きているなかで付いたゴミや傷や痛みも、向き合う勇気がある人はチャレンジしてみて下さい。

ゴミとは、自分にとって忘れたい出来事や、傷つきすぎて忘れたい心の状態を言います。

その時に受けた傷は、もうとっくに治っているはずなのに、まだ、心の中や無意識に、傷や痛みを覚えている人が多いはずです。※僕を含めてね（＾＾）

あまり、さかのぼりすぎるとインナーチャイルドやアカシックレコードにまで戻る話ですが、一人で出来る現実的な方法として、いつ、誰とどういう体験した思いが辛かったのか、苦しかったのかを具体的に書いてみると良いですよ。※解決方法を全て書き終えたら、自分で炊き上げましょう！

あとから考えると、自分や相手の愚かさに気づく部分もあると思いますので、今のあなたなら冷静にその経験に感謝して乗り越える勇気を持っているはずです。

だって、今のあなたを支えてくれる人が、必ず、目の前にいるはずですから…。

年末大掃除時期だからこそ、年末感謝セール！として「秘策」をお伝えしますね！

通常、心に傷や恐れを強く感じた人は、その時のことを忘れていても無意識に傷つくことを恐れて過敏になったり、マイナス感情に反応しやすい体質になりやすいものです。心がやさしい人ほど、そうなりやすいものです。

だからこそ、嫌な事を「見ない様にして避ける生き方」を身につけた方も、たくさんいると思います。

傷ついた自分の純粋な魂を隠して、萎縮したエネルギー状態で生活していると、ある意味、霊媒体質に似たエネルギー状態になりますので、電車や人ごみで避けたいと思っている誰かの不安や

恐怖、悲しい思いをすぐに拾ってしまう体質になっている人が増えています。

この状態がひどくなると、見えない霊たちの思いも引き寄せますので、自分の不安な状態が、自分の思いなのか、誰か他の人の思いなのかもわからなくなり、不安な意識は、いずれ、体も心もむしばみ始めます。

反対に、自己防御として覚えた「見ない様にして避ける生き方」のおかげで、大切な感覚が鈍くなり、守護エネルギーから離れてしまっている人も多くみかけます。

忘れてしまった無意識の中で純粋な傷ついた思いと共感していることを認識したら、思いの転換作業をおすすめします。

言霊の力で簡単にできる方法としては、「過去、全ての出来事にありがとうございます」と毎日、言い続けることですが、大きくその後の人生を変えるほどの経験をした人は、具体的にその事実までさかのぼって思いの転換作業をする必要があります。

過去世療法やインナーチャイルド療法もありますが、自分でできる方法としては、ハートに手を当てながら、今の年齢からひとつづつさかのぼっていき、痛みを感じる年齢を自分で癒す作業をして下さい。その時に言ってあげる言葉は・・・

もう大丈夫だよ、私はしっかり前を向いて自分で歩いていけるから、安心してね！

何度、人に傷つけられても、裏切られても、もう、大丈夫！

だって、こんな私を信じてくれる人たちや神様にたくさん出会ったから！

だから、不安ちゃん、もう、離れていいのよ！

今まで、ありがとうございます。

「引き寄せの法則」は、ビジネスの成功哲学として売れに売れましたが、実は、公開していない部分がこの部分なんです。

皆さんが知っているのは、「意識の世界」で使う引き寄せの法則ですが、本当は、無意識の世界

にも「ひきよせの法則」はあります。

忘れてる心の奥底の負のエネルギーが、人の本質を変えたり、不安を引き出したりする大きな力を持っている事は、教わっていないと思います。

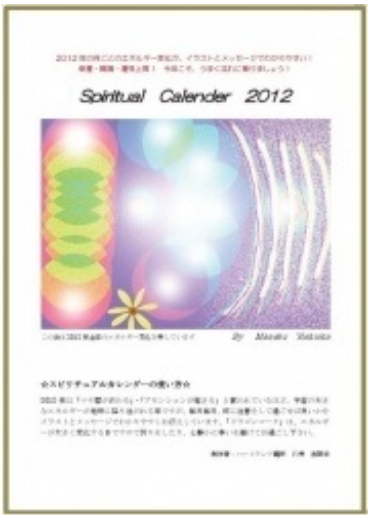
だから今日、このことを知った人は、自分一人で、無意識の中に隠れている負のエネルギーを自分で解き放して下さい。

年末の大掃除は、新しい年（心の器）を整える一番、大切な時期だからこそ、すぐにやってみて下さいね。

あー、そうそう、ここ最近、急に体が重くなったり、だるくて動けなかったり、寝ても寝ても眠たい人は、体の疲れだけじゃありませんからね！

こういう心のお掃除をして欲しいと、守護存在からのメッセージなんですよ。

今年の汚れは、今年のうちに！　どうぞ、宜しくお願いします。



未来に何が起きても勇気が持てる、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」もどうぞご活用下さい。心身のデトックスツールとして、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」をおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPからお願いします。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

心の内鏡を互いに開きあって愛と調和の心を輝かせる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみ

ませんか？ご登録は、こちらへ！

2011.12.13 Tue

12月12日12時12分（2011年の陰陽大転換）

12サイクルのエネルギーがもっとも高いのは、1000年に一度の2012年の12月12日12時12分ですが、今年も今日、この日だけの「陰陽大転換エネルギー」が大きく動きます。

祈りをする心をお持ちの方は、どうぞ、昼食時に意識して祈って下さい。

「１２」という数字の持つ意味は、現実世界のバランスを作っている「表のサイクル」という意味を持っていますが、年間カレンダーや時間に代表されるように、「１２」は「目に見える時間」を全て管理しています。

「表のサイクルが１２」ならば、当然、「裏のサイクル」もありますが、「裏のサイクル」を支えているのが、「１３」という数字です。

欧米で「１３」を不吉な数字としたのも、この「裏のサイクル」を一般の人に気づかせないようにすることが目的でした。

「表のサイクル」が最高点に上がる今日、意識するべきことは、無意識の中にある「裏のサイクル」を自分自身が意識して変えることで、大きく裏表のエネルギーが転換できる日だと思って下さい。

私のスピリチュアルカレンダーでは、この日は、「注意日」になっていますが、それは、この表裏、つまり、表の健在意識エネルギーが上がる為に、裏の無意識エネルギーバランスが崩れやすい日だから注意日としたのです。

今日は、以下のことを意識してお過し下さい。

・自らの調和度を上げる

・自らの天地意識バランスを整える

・自分の良い調和度を他人と共有する

・愛の実践行動をする

・見上げない、見下げない、足元を見る

・意識が肉体に影響していることを感じる

・肉体の波動を上げる意識をする

・物質エネルギーをバランスよく取り入れる

・空間エネルギーをバランスよく取り入れる

すると、次のエネルギーが動き出します。

・相乗効果

・集合意識

・天昇

・自滅

・自我、天我

・そして、輪廻天昇

魂のクリアニングのチャンスだと思って上手に今日という日をお過し下さい。

さて、今日から12月23日までの期間は、この一年間の思いをクリアニングする期間ですので、次の作業をおすすめします。

今年一年間で、あなた自身が体験した歓びで感動したことを五つ、それと、辛く悲しい出来事を五つ文字にして書き残して下さい。

最後に、「素晴らしい出会いと出来事にありがとうございます」と書けば、過去の感情エネルギーは転換させることができます。

書いた用紙は、12月23日に、外で火で燃やして炊き上げましょう！

地球創生SNSの仲間たちは、一斉に、各自がこの事を日記で書いて、自分の学びと仲間の学びを共に感じる仲間として、集合意識で全ての思いを愛に転換する作業を始めています。

「何が起きても揺るぎない信頼の仲間」として、自分がその一歩を踏み出し、愛を交換し、調和レベルを引き上げる作業が始まっています。

2011.12.11 Sun

食べ物について

地球創生の仲間が見つけてくれた情報ですが、許可を得てこちらへ転載しています。内容全てが同意見ではない部分もありますが、「食は精神性に大きな影響がある」からこそ、どうぞ参考にして日々の食べ物を見直して下さい。

私は大天使サミュエルです。
私は果物や野菜を司る存在です。
人類は今、今までとは違った形で食べ物を取る時期になっています。

ダイエットに関する本はたくさんありますが自分をサポートする
食べ物について考えることはあまりありません。

人の体は食べるもので出来る、と言いますが、
本当です。

何故食べるのか、自分に聞く必要があります。

もちろん成長をサポートするために食べるのですが
食べているだけ必要なのでしょうか？

自分自身に問いかけてみる必要があります。

人の体は食べ物がない時代のことを覚えています。
その為、食べ物がたくさんあるところに行くと
必要以上に溜めこもうとします。
体が反応してしまうのです。

現在人が消費している10%ほどの食料で人は生きることが出来ます。
食べ物以上に水は必要と言えます。

この時期、何故食べ物のことを見直す必要があるのでしょうか？

皆さんも知っている通り地球上のエネルギーは高まっていて
さらに高まっていくことになります。

先月は1か月に3回の日食がありました。
その日食のように、もう中央太陽のエネルギーはすでに
地球に届きゆっくりと浸透しています。

まだ10%ほどのそのエネルギーによって、この6か月間
災害やスキャンダルが多数発生しています。
来年までに50%になり、それが12年12月に向けてさらに
高まっていきます。

そのエネルギーは覚醒のエネルギーですが当時に
人が持つ動物的なエネルギーも表面化させます。
サバイバル精神など、低次の自分を見させらることになり
さらに二極化が進み、暴力的になる人もいます。

怒りを他の人に向ける人も多くなります。

アセンションとは低次の自分と高次の自分を統合させることでもあります。
動物的な自分を高次元へと統合させ、ハイヤーセルフとしての側面で生きるという
選択です。

その統合の過程で、地球上に届いているこの新しいエネルギーを使うことが出来ます。

人は食べ物からだけでなく、目にするもの、耳にするもの、つまり
本やテレビなど、全てのものからエネルギーを取り入れています。
ですから、自分がどのようなエネルギーを集約しているのかと言うことについて
意識をする必要があります。

取り入れているエネルギーが自分をサポートしているのかどうかを判断する必要があります。

時間によって人はどのようなエネルギーを受けるかが違ってきます。

朝起きた時、人は魂のエネルギーとつながりやすい状態になります。
また寝る時間もスピリットとつながる大切な時間ですから
その過程をサポートするものを取り入れる必要があります。

食べ物は女性性と男性性の二つのカテゴリーに分けることが出来ます。
人間は男性であれ、女性であれ、より女性性のエネルギーをもった存在です。

女性性の食品とはインスピレーションを受けやすく、またクリエイティブに
なりやすいエネルギーをもたらします。

男性性の食品は行動や勇気、力を与えて、物事を現実化するエネルギーをもたらします。

朝、女性性の食品を食べると、インスピレーションを受けてクリエイティブになりやすい
午前中の時間を効果的に過ごすことになります。

お昼に男性性の食品を取ると、行動力が実現力が必要な午後の活動を
サポートしてもらえることになります。

夜は女性性の食品を食べると、夜間の魂の統合の過程をよりスムーズに進めてくれることになります。
そうすると、魂に貯蓄された知恵にアクセスしやすくなります。

女性性のエネルギーとは母性のエネルギーであり、思いやりや受容、親切心、許しなどを
意味しますが、地球は長い間男性性のエネルギーのによって支配されてきました。

歴史をさらに遡ると、地球は女性性のエネルギーが支配していた時代がありましたが
男性性のエネルギーにとって変えられ、長く続いていました。
それが今、また女性性に戻ろうとしているのです。

今、全ての人間が女性性に戻っていくという過程にあります。
その過程をサポートするように食事をするべきです。

食べ物の色も大きな役割を果たしています。
それがチャクラの活性化に深く関わっています。
だからこそ、創造主は食べ物に様々な色を付けたのです。
そのような知恵を活用する時期に来ています。

男性性の食品が悪い、ということではなく、生活をサポートするためには
食べる時間を選ぶ必要があります。

では、食べ物を見て行きましょう。

パン：男性性（どんな種類でも）

朝、パンなど男性性の食品を食べると感覚を鈍らせることになります。

感覚が鈍ったことを実際に体感することはありませんが
高次元とアクセスしている部分が鈍りインスピレーションを受けにくくなります。

男性性食品は消化にエネルギーを必要とするため
たべた後は細胞が忙しくなり、高次への働きかけが難しくなります。

怒りっぽい人が女性性の食品のみを15日間取りつづけると
その傾向に変化が現れます。
より多くの人が女性性の食品を食べ始めたら世界が変わるはずです。

兵士が女性性の食品のみを取り始めたら、戦えなくなり兵士でなくなります。
ハートのエネルギーを開くからです。
兄弟愛を感じるからです。

兵士が缶詰をよく食べますが、そうすると感覚が鈍って
人に従うしかなくなるからです。
ですから、自分が食事をするときも、自分の感覚を高めてくれるものか
そうでないのか、確認するべきです。

創造主から届いているこのエネルギーは浄化のエネルギーでもあり
人の奥にある低次の部分が表面化することになりますが
特にこのような時期に女性性の食品を意識して取ることで
調整することができます。

全般的に言えるのが、土鍋で料理したものは、女性性になるということです。
土鍋で料理すると、食品が本来持つエッセンスを取り入れやすくなります。

世界でも原住民は土鍋を使う文化が残っていますが
そうすると愛を保ちやすくなるのです。

土で作られたものは自然のエッセンスを保っているので
食品のエッセンスが活性化されるのです。

金属製の鍋は製品化に長い加工の過程を経ています。

人が口にするのは、大抵、収穫から何日も経ったもので
すでに生命力が減少しています。
食べ物を土鍋で料理することによって、食べ物が
量子レベルで保っている本質・意識を思い出させることになります。

男性性食品：
・お米（すべての種類）
※お粥にすると女性性になり、発酵玄米はとてもバランス食品になるそうです。
小麦（うどん・パスタ含む全部）
・肉・魚（養殖のもの、海老を含む全ての大きな魚）・卵・油・大豆（豆）・豆腐
・オレンジジュース※工場で作られたパッケージ化されたもの。家で果実を絞ったものは女性性。
・紅茶・コーヒー・豆乳・チーズ・漬物（加工されるため）
・牛乳※男性性の牛乳を温めると女性性になります。
・バナナ・トマト　※ミニトマトは女性性・ゴールドキィウイ・レモン・ナス
・ブドウ（巨峰など粒の大きなもの）・スイカ・マンゴー・リンゴ
・ハーブティー・スパイス、赤トウガラシ

カレー

女性性食品：
・日本茶（緑茶）・羊のミルク
・納豆・トウモロコシ・十割そば・ナッツ（すべての種類）・シリアル
・人参・大根・ビーズ・ホウレンソウ・金時豆・小豆・ゴーヤ
・枝豆・小魚（サクラエビ、シラスなどで天然もの）・海藻・貝類
・パパイヤ・レーズン・小さな粒のブドウ・さくらんぼ・メロン・姫リンゴ
・レンコン・タケノコ・キノコ・キャベツ・レタス・モロヘイヤ・オクラ
・ザクロ・イチジク・ナツメヤシ・セロリ・カボチャ・ショウガ・ニンニク
・ライム・酢・梅・天然岩塩・味噌
・ヨーグルト（添加物ないもの）

・はちみつ（取り過ぎは負担がかかる）
※全て油を使って調理していないもの。
※そばは女性性でもどちらかというと午後食べるほうがいい。

時間に関係なく食べてもいいバランス食品は
アボカド、ブルベリー、ラズベリーです。

砂糖は黒砂糖を含め男性性で、危険な食べ物です。

日本では大豆がよく食べられていますが、その良さについては
誇大されているようです。
大豆も続けてたくさん取り過ぎると感覚を鈍ら創造力がなくなります。

現在、肉体の細胞は次元上昇に合わせてクリスタル化の
過程が進み、光を保ち始めています。
ですから今まで食べていたものが食べられなくなる人が多く出てきます。
30年間好きだったものを嫌いになるなど、大きな変化があります。
変化といっても、食べない、という選択をするようになるということです。

食べ物の女性性・男性性を意識するとよりいい形で
変化を受け入れるようになります。
特定の食べ物を食べる時間を選ぶことで、より高次元からの
インスピレーションを受けやすくなります。

宗教施設では料理は特別な行いとされることが多いですが
それも体に与える影響が分かっているからです。

皆さんも自分のライフスタイルに取り入れてみてください。
全てを取り入れる必要はありませんし、やってみたら
気に入った食べ物を見つけるかもしれません。

食べ物のことを知りたかったら、私とつながってください。

大天使サミュエル　2011年７月9日　レイ・チャンドラン

2011.12.11 Sun

個人の学びから全体の学びへ

2011年は、沖縄・四国・関東・東海・関西地方で、神事や読み取りワークを地元の方と何度も行いましたが、神様メッセージをサニワしていて気づいた事があります。

これからは、「個人の学びが目的の時代ではない」ということです。

死ぬまで私たちの学びは終わりませんが、何かをする時の「目的」が個人の学びではなく、「大勢の人の為に、自分の学びが繋がっていることを最初から意識して動く時代になった」という意味でお伝えしています。

土地神の思いを読み取り、望みを叶える働きをすると、先祖や内在神・守護神は歓びますが、同時に、自我に押し込めていた土地の因縁や辛い魂の記憶が溢れ出る場合がよくあります。

通常、それは個人で乗り超えるべき学びなのですが、一緒に大きな神に向き合う事で、誰も問わず、誰も責めず、一緒に過去の辛い思いを手放すための作業だと思えれば、共に祈る土地の仲間たちに前へ進む勇気をもらっていることを気づけます。

自分が求める真実を神に望むのではなく、誰よりも、自分自身が解放できていないことに、まず気づかなければ、どれだけ多くの神に向き合っても、それは、個人の学びで終わってしまいます。

あなたの祈りは、誰の為の祈りなのですか？

何の為に、あなたは祈りをしているのですか？

と質問することも多いのですが、その祈りの奥に「自我の願い」が込められていることを感じる時があるからです。

自我に押し込めた孤独な思いを手放なさないまま、次のステージへ上がれるほど、2012年の学びは甘くありません。

何度も何度も、「純粋な本来の自分に戻りなさい」と問われることが、次々に起きる年だと思って下さい。

「一宮宣言祈りや、地元の氏神や産土神にきちんとご挨拶して下さい」と皆様にお願いしている理由も、あなた自身が土地神の化身として働く意味に気づいて欲しいからこそ、お伝えしています。

地球創生の祈りは、私の為でも、地球の為でも、個人のためでもなく、大きな愛と信頼の集合意識の繋がりの幹を太く繋ぐ為の祈りなのです。

だからこそ、どうぞ毎日、お世話になっている土地の神様の思いを聞きに行って下さい。

世界の平和を願う祈りよりも、遠い誰かの為に祈るよりも、もっとも尊い祈りは、自分の足元を毎日、守って下さる土地の神仏に代わって自分が行動することこそ、魂の祈りだと思います。

「先祖」の思いを繋び合わせれば、命を守ってくれている「自然神」の思いにたどり着きます。

「自然神」の思いを繋ぎ合わせれば、大きな地球という星に命を与えてくれた「宇宙神」の思いに到達します。

「宇宙神」たちの思いを繋ぎ合わせれば、命そのもの、生命エネルギーそのものを産み出した全宇宙の「創造主」の思いに到達します。

だから、「私たちの祈りや意識は自分だけの学びでは無い」と気づくことが大切なのです。

どうか、さらに一歩、自分が無意識に守っている心の奥底の思いの壁を壊して、多くの人たちの学びとして学びあう大きな愛の行動していきましょう。

間もなく「宇宙のシンフォニー」が、始まります。

未来の鐘の音が、あなたの耳元にも届きますように！

2011.12.10 Sat

負のエネルギーを引き寄せない方法

12月は色々なエネルギーが大きく動く時期なので、家や部屋の大掃除も必要ですが、「引き寄せの法則」を理解しているならば、まず自分自身のクリーニングが第一だと思って下さい。

自分自身をクリーニングする必要性は、神仏を信じない人でも見えない聞こえない人でも、常に何かや誰かのエネルギーを受けているので、必ず、毎日、行う事をおすすめします。

普段、強気な人ほど忙しい時期に突然、体調を崩したり、大きなケガをしたりすることがあるのでご注意下さい。※弱気の人は、常にこういうことを意識していので大丈夫だと思いますが…

それと、何となく体が重だるいと感じる、「疲れ」を馬鹿にしてはいけません。

「疲れ」は「憑かれ」と同じで、心身の波動が落ちた状態を表していますので、そのままにしておくと、突然、強い憑依現象に襲われてウツになったり、精神を壊してしまう場合があります。

まずは、誰にでも簡単にできるクリーニング方法をご紹介しておきますね。

☆水のエネルギーを使う方法☆

１、できれば、自然の中にある温泉でゆっくりする

２、自宅のお風呂に「あら塩」を大さじ５杯入れて「腰湯」する

３、水風呂とお湯に、３分づつ、交互に入る（免疫力向上）

４、頭にシャワーの水滴をぶつけて滝行をする（頭のツボ刺激）

５、加湿器に、フレグランスや「あら塩」を少々いれる

６、コップ１杯の水を部屋の隅に置いて、水の精気がないのは自分だと気づく目安にする
※観葉植物でも同じ効果がありますが、水のほうがわかりやすいですよ！

☆部屋や家や土地の空間クリーニング☆

１、水やお湯でお掃除をする時に、「あら塩」を少々入れて拭く

２、洋服・シーツ・カーテンなどを洗う時に洗濯機に「あら塩」を少々入れる

３、普段、生活する部屋や寝室・玄関に「塩盛り」をする

４、家の四隅に塩・水・酒を撒いて、土地神様に感謝を伝える
※正しい屋敷祈りはこちらをご覧下さい

５、神棚や祈りの場所を丁寧にお掃除する

６、氏神や産土神に、今までの感謝を伝えに行く

☆自分の意識でエネルギーをクリーニング☆

１、朝と寝る前に、「今日も一日ありがとうございます」と感謝の言葉を唱える

２、今日、誰かに怒ったり、感情をぶつけた人は、神様を通して謝る

３、自分や誰かを責める気持ちが出て来たら「ありがとうございます」と唱え続ける

４、ふと思う「負の思い」の責任は、自分だと気づいてお詫びと感謝祈りで転換する

５、元気が無い時は、元気が無い人に会わないことと他人の愚痴を聞かないこと

６、元気な人や輝いている人と話しをする

☆自分の体のエネルギーをクリーニング☆

１、元気な子供と一緒に遊ぶ

２、自然の中へ行って、深く深呼吸を繰り返す

３、ポケットやブラの中に「あら塩」の小袋に二個入れておく
※脇や股間などのリンパにエネルギーは溜まりやすい

４、自然な香りのフレグランスを持ち歩く

５、チャクラクリーニングオイルでボディメンテナンスをする

６、朝と夕方、ストレッチ体操をして邪気を外す

７、気分が落ちた時に、腹式呼吸を１０回する

８、すぐにエネルギーをあげたい時は、その場でジャンプを繰り返す

９、なるべく体が温まる地元の根菜類を土鍋で食べる

ここでご紹介したクリーニング道具として、「リラックスクリーム・リリースオイル・チャクラカラーオイル・天日海塩」をおすすめします。ご注文は、ハートランド龍球 WEBSHOPで販売しております。

2011.12.08 Thu

扉を開く

11月末に続いた三連チャンの読み取りワークは、とても疲れました。

今も、体の中に負のエネルギーが残っているほど、強く守ってきた存在たちの思いを感じています。

確かに、人間がそうしてきたように、先祖や神々が人を問うこともあるでしょう。

しかし、その問われた想いをどう喜びや感謝に転換するかは、私たち生きている人間が決めることなのです。

昔のように、同じものを守ろうと必死になっている人もいますが、よく考えてみて下さい。

私たちが何か古い想いに縛られて、故人と同じような守りに徹すれば、どうなるでしょうか？

それは、いずれ、戦いになります。

必ず、大事なものを守る為に誰かと戦わなければいけなくなります。

現実世界に、置き換えて考えてみましょう。

あなたを厳しく導いてくれた親や上司や信頼の出来る人から、「これをあなたに託すから大切に守って欲しい」と言われたとします。

すると、ほとんどの人は誰にもその事を教えず必死に守ろうとします。

ねー、困ってるんだけど、大切な鍵はどこにあるの？

と聞かれても、きっと、あなたは鍵のありかは教えないでしょう。

自分がその鍵を守る番人だと、思いこんでいるからです。

よく考えてみて下さい。

あなたは、本当にその鍵を守りきれるのでしょうか？

命をかけて、家族よりも、優先して守ることができるのでしょうか？

私たち人間は、最後の最後に「自分の命だけは守りなさい」と教わってきたはずです。

だからその為に食料の備蓄もするし、お金も蓄えようとしているはずです。それは現実的には、良いことだと思います。

でも、見知らぬ誰かが、目の前で命を落とすかどうかを決める役目が、もし、あなただとしたら、あなたの守っているものをどう有効に使うかを、もう一度、考えてみませんか？

家族に残す土地、財産、大切な想い出の物は、あなたが死んだあとはどうなるのでしょう？

また、同じように、誰かに渡して守ってもらえるのでしょうか？

何の為に守るのか、もう一度、よく考えてみて下さい。

先祖たちの想いをあなたは、本当に理解していると言えるのでしょうか？

先日、見たドラマの中で、いい言葉を言っていました。

いいか、お金は死んだ者の為に使うのではなく、生きている者たちの為に使いなさい！

人を活かすために、お金を使いなさいという教えの言葉です。

今の日本のルールでは、土地や財産は、三代引き継げば税金で無くなるようになっていますので

、決して守り続けることは無理だと思ったほうがいいと思います。

豊かな創造性を働かせれば、もっと有効に、土地やお金や資産を使える方法があると思いませんか？

未来に希望がある人や分野に、投資するという方法もありますね。

みんなでまったく「新しい調和の世界」を創りだして、何が起きても支えあえる仲間の輪を創るという方法もあります。

そこにいる人は、命を守る為に誰かの役に立つ何かを持っていなければ参加できないのは、当然です。

お金というエネルギーは、使う人の心次第ですから、社会的な共有価値観を理解できて、自己責任がない人に渡してはいけません。

渡したことで逆に、不幸な人生になることは、宝くじに当たった人の、その後の人生を知ればわかるはずです。

今、人間は「新しい創造」をしなければいけない時期にきています。

過去の人たちが築いてくれたものに感謝しながらも、新しい調和の未来をどう作るかを、一人一人が考えなければいけない時期なのです。

政治家に任せればうまくいくと思った自分の愚かさに気づいたら、自分たちが行動するしかないとは思いませんか？

法律やルールは、常に、運用が時代によって違うからこそ、これからもどんどん変わり続けることでしょう。

そして、国の財政を優先して考える官僚は、国民からまた新たな税金を取るしか考えつきません。

過去の既得権と自分を変えずに、周りの人に変わってもらおうという発想しか出てこない愚かな人たちが日本を動かしているのが現状です。

政治でも、会社でも、個人でも、大切なことは同じです。

何が起きても、私たちは常に、新しい価値観の創造をして変わらなくてはいけないと、揺り動かされているだけなのです。

大震災で最初に人間が欲しがった物は、水と食料です。

だから、最優先事項は「地域ごとの食料自給率を上げること！」なんです。

自分たちの生活範囲内で誰かが食べ物を常に生産していて、自分の分が安全に確保できる環境を作るしか、命は守れません。

安全な水が欲しかったら、川の源流に行って自分の目でみて下さい。

いろいろ流れている将来への不安やこれからの問題をどうしようかと悩んでいる人たちもたくさんいますが、

他人や現状はすぐに変わらないからこそ、自分の考えや価値観、こだわりを最初に変えなければいけない　と気づいて下さいね。

発想が豊かにならない人にとっては、人・物・金に対して、守るべきものと手放すべきものを見極める時期だとアドバイスしておきます。

10年以上先の先端技術を研究している人たちは、過去の概念に囚われずに、常に豊かな創造性で新発見を続けています。

私の手元にも、いくもの先端技術が届いていますが、使い方は人間の心がけ次第のものばかり

になってきています。

心に見合った使い方しかできないのは、サル君と同じかも？

人間は進化した最高知性の動物だからこそ、新しい創造性を働かせて、2012年以降に使える新しい価値観を持たなければいけない時期にきたと思って下さい。

親も子供も、社会も国も、仕組みが変わり続けている今、これからもっと大きな枠組みの発想で物事が動き出します。

その時の世界の意識リーダーは、誰なのでしょうか？

その時に命を守ってくれる地域のリーダーは、誰なのでしょう？

また、誰かに依存しますか？

何度も言ってますが、世界の最高知性と魂を持つ国民は日本人です！

あなたも日本に生まれた一人なら必ず、大きな知性と愛を持って産まれているはずです。

だからこそ、過去の素晴らしい知恵や知識を先人から学び、新しい創造性を十分に発揮して、どんどん変わる来年の次元上昇の波を乗り越えて下さいね。

2012年のイメージは、東日本大地震で起きた大津波が、あなたの人生に降りかかると思って下さい。

大きな津波が、あなたの生活基盤も概念も、一瞬で揺るがすほどの事が起きるからこそ、互いの命を同等に守る「真の信頼関係の人の繋がり」が必要なのです。

家族でさえ、常に、守りきれないことは、今年、学んだはずですよね。

あなたを守ってくれるのは、地域の人の繋がりなんですよ。

寿命は私たちが決めるのではなく、天の采配ですから、必要以上に命乞いをしないこともお願いします。

今、出来ることと、天に上がってから出来ることは違うからこそ、この三次元世界の波動を一緒に引き上げる仲間たちと一緒に豊かな心で未来を創造していきましょうね。

その為には、まず、あなた自身が誰にも知られたくない隠している「心の扉」を開ける必要があることにも気づいて下さいね！

「心の扉」を開けられない人は、また、誰かに依存して傷つけられたと感じ、相手を非難することで自分を守る経験を繰り返しますからね！

最後の最後、「心の扉」をあけるかどうかの出来事があなたに起こるとだけは言っておきます。

社会で何が起きるかが問題なのではなくて、誰にも知られたくない、見せたくない、あなたが必死に守っている最後の扉をあけなければいけない時期が、全員に、まもなくやってくると思って下さい。

心の奥の扉を開いた人たちは、過去の想いに囚われない、あなたらしい新ステージへ向けてエネルギーが上昇しますので、どんどん波に乗って上昇して下さい！

人間全体として見れば、囚われや過去の想いに苦しむ人が増える半面、今まで出来なかったことがどんどん叶って、夢を叶える人たちも増える年になります。

（心の奥底で思ったことが）すぐに叶うスピードは、過去、最高のエネルギーで、実現スピードがアップしますよ！

だから、力を抜いて上手に上手に、波に乗ることです。

争わず、争い心を掴まずに、今、自分に出来ることがあることに感謝して「今できること」を楽しんで下さい。

未来は、「今」、あなたが思ったとおりになりますので、大きな愛を交換し合いましょうね！

2011.12.07 Wed

カムイフム（神様の音）

12月４日、北海道白老町にあるアイヌコタン（集落）内で、「日本の先住民族アイヌとワタリガラスを繋ぐ祭典　カムイフム」が行われました。

主催は、苫小牧市から地域の人たちに愛を発信し続けている若者が中心となっていますが、サポートしているのはまったく利害関係のない他人のお父さんやお母さんたちです。

組織化はしていませんので、リーダーもいません。

全員がボランティアで、自分や誰かの歓ぶ顔が見たくて支え合っている素敵な仲間たちです。

誰かがやりたいことを始めると、支えたい人たちが自分の歓べる範囲で支え愛ます。

強制は、一切ありません。参加するもしないも、全く自由な人の繋がりです。

大切にしたい思いが同じだから、自分のことと他人の事を同じように考えられる心の大きな大人たちの繋がりです。

このボランティアの集まりを「ピリカレラ（美しい風）・ガイア（地球）苫小牧」と言います。

同じ道を通り、同じ水を飲み、同じスーパーに通う人たちの大切な繋がりを守り、本気で子供たちへ伝え残したいと思っている素敵な大人たちの活動のおかげで素晴らしいコンサートが実現しました。

まず、ポロトコタンに入ると、大きなアイヌの神様が出迎えてくれます。



熊も、「おー、よくきたな！」と言ってくれます。



会場は「チセ」と呼ばれるアイヌの大きな家を丸ごと一棟借り切って、素敵な音楽演奏が行われました。



出演者は、奈良裕之、ブルーレイバンwith中居栄幸、トヤトヤ、根繋ぎ、サヨコとナラ、かたつむりスピード、なまらなまら　です。



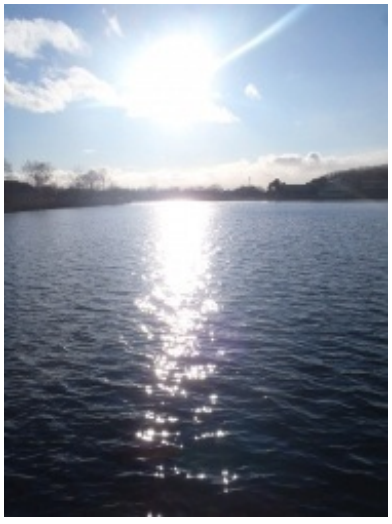


僕は途中からポロト湖の神様に呼ばれたので、ムックリを購入して湖の神様に音奉納をしていました。

アイヌのコタンに行くと、こういう形でイナウが祀られている場所がありますが、その先は神様の世界ですので、絶対に超えてはいけない暗黙のルールがあります。

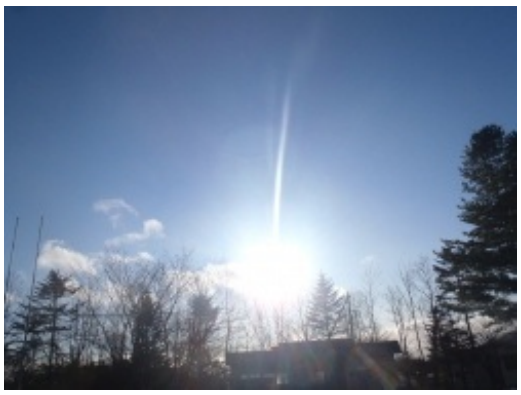
感謝祈りをしてからムックリの音を奏でると、光や風の神様が美しい舞いを見せてくれました。













久しぶりにアイヌ資料館をゆっくり散策してみました。



これは樹の皮を剥いて作ったとても貴重がジャケットです。現在も、この皮が取れる大切な樹を守ろうとしている人たちがあちこちにいます。



カムイノミ（神様への祈り）という儀式のひとつの様子です。



子供の頃に見たアイヌ民族の身長は、150～160cmほどでした。女性たちは、結婚すると顔にイレズミを入れて、悪いものが近づかないようにしていました。



子供の頃に芦別市で見た旭川アイヌの「イオマンテ（熊送り）」の儀式は、衝撃的でした。

寒さが一番厳しい２月、真っ白な雪の原っぱに小熊が太い鎖に繋がれています。

その小熊を見守るように、エカシ（長老）数名と正式な衣装を来たオバーたちが横一列に並んでいます。

若い男たちが手に弓を持って、小熊を中心に踊り始めます。

途中から、踊りながら熊の体に弓矢を打ち付けます。

一本、一本、弓矢の数が増えていきます。

小熊は必死にもがき暴れますが、踊りと弓矢は続きます。

何本もの弓矢が小熊の体に刺さり、あたりの雪は血の色に染まります。

少しづつ小熊の動きが鈍くなり、やがて、命は絶えてしまいます。

小熊の口から魂が親元へ戻るように、全員が祈りの歌と踊りをして儀式が終わります。

狩りで親を亡くした小熊を一年間大切に育てたあと、その子熊を感謝しながら殺して親の元へ送る儀式を二度、見たのですが、日本で最後の儀式だとあとで知り、驚きました。

何人もの長老と女性たちが氷点下20度以下のなか、立ったまま儀式を見守っていましたが、女性の洋服の下は裸だと部族の人に聞き、本当に神に身を捧げながら祈っていた事に驚きました。

熊の皮や肉、油は、冬の厳しい北海道ではとても貴重な栄養源だからこそ、自分たちの命を繋いでくれる熊の神様に、毎年、感謝の祈りとして行っていたのが、「イオマンテ」という儀式です。

私が産まれ育った芦別市は、旭川アイヌにとって最高の「熊の狩り場」だということも後で知りました。

特に私が産まれた常磐町は、仮の住まいを川の横に作って住み、熊を射止めては皮を剥いで川の水で洗って干していた大切な「猟場」だということも歴史を色々、調べてわかりました。

今も常盤町には何本もの川が流れ込んでいますし、植物や薬草が豊富な山が繋がっている為に、子供の頃から熊やキツネや野ウサギはよく出ました。

今年はどんぐりが天候不順で不作だったので、何度も熊が町へ降りて来た事件もありましたが、私たち北海道の人間はそれほど熊を撃退しません。

命の循環や自然の恵みを動物たちから与えられていることを身を持って学んでいるからです。

エカシ（長老）たちが示す賢い指針によって部族は命を守れてきたからこそ、知恵を持つ先人を大切にした民族がアイヌ民族です。エカシ（長老）の証は、この長いヒゲです。





私たち和人は100数十年前にアイヌの土地を奪って住んだ人間ですが、大きな自然の神様に感謝する気持ちは同じです。

だからこそ、先人や諸先輩たちから知恵を学び、全ての命を継承できる人の心を育てていきたいと思っています。

ポロトコタンを貸して下さったエカシ、また、白老の皆様、本当にありがとうございます。

この場所で和人がイベントを行ったのは初めてだからこそ、守護して下さる神々の思いを強く感じています。

共に同じ大地に生きる人間として、互いに知恵を出し合って生き抜く知恵を話し合っていきましょう。

関わって下さった全ての皆様、イライライケレー（ありがとうございます）

2011.12.06 Tue

日本人を輝かせる役目の人たち　４　関西編

11月27日の関東神事ワーク、28日の静岡浅間神社に引き続いて29日は、関西でも読み取りワークを行いました。一年前から関西の土地の歴史や民族の歴史を一緒に調べている仲間が、どうしても気になる場所があるからと同行しました。まずは、摂津国の総社です。

◎難波神社　大阪府大阪市中央区博労町4丁目1番3号





まず、ここで生まれた女性は、門の前ですぐに問われました。神に向き合う心があるくせに、なぜ、産土神に挨拶に来ないかと！

関東のワークでも神様に言われましたが、産土神：うぶすながみ（自分が産まれ落ちた場所の神様）に感謝祈りをしていなければ、どんな素晴らしい場所で祈りをしても通じないという事に気づいた人は、出来る限り早く産土神に御挨拶に行って下さいね。

もし遠くて行けなければ、繋ぎ祈りでも大丈夫ですよ。※細かく言うと、本籍地ではなく、病院で生まれた人はその病院の近くの氏神です。

難波神社の鳥居をくぐって右手にある「十四柱相殿」の末社に行くと、霊媒体質のＯさんに神が乗られて震え始めました。誰が乗っているかを調べると、徳川家康公と春日四柱大神でした。

この苦しい想いは、戦国時代の人間の争いが大きく関係しています。秀吉が関西と全国を納めたあと、最終的に、徳川家康が豊臣家を封じ込めた形になりましたので、この地は豊臣家の家臣たちが守っている土地だからこそ、同列に置いている徳川家康とその守護神に対して、ものすごい圧力で押さえつけていたのです。

神々の苦しみを知ったので、改めて、天照皇大神と豊受姫大神に力を与えて大きく働いて頂き、過去の一切の争い心を納める祈りをして因縁は収まりました。この思いは、この土地に産まれ人や住んだ人たちの心にも影響している先祖の思いですので、全ての想いを光に戻しました。



博労稲荷神社では皆さんに詳しく説明しませんでしたが、関東ワークで情報公開したように、ウル（牛）族と龍族に分かれて祈りをしてもらいました。

前に出た数名の方たちは、魂の記憶にウル族として地球に来た記憶を持っている方たちです。重要なことを付けくわえますが、

龍族の方たちは、地球の自然循環を作った方たちですし、ウル（牛）族の方たちは、全ての命の仕組みを作った方たちです。どちらも大切なのですが、役目の違いで争った過去を思いだしたら、自分で全てを光に変えて下さいね。



本殿では、国繋ぎをしてる女性が総社に挨拶に来ていないことを問われました。

総社は、国を守るお母さん、一宮は長男だと覚えておいて下さいね。

物事の順番を正しく知らない人は、神様にも守護神にも愛されませんよ～。

あら、急いで総社に行かなければいけない人が、多いこと、多いこと（＾＾）

二か所目の神社は、摂津国一宮　座摩（いかすり）神社

大阪府大阪市中央区久太郎町四丁目渡辺3号







この神社は、「渡辺、渡部という名前の発祥の地」でということで、参加者の渡辺さんが教えてくれました。帰りには、一族を代表して日々、感謝祈りをしている彼女にお礼の言葉が降りました。

上方落語の発祥の地としても、有名なようです。本殿の右側や左奥にはいくつもの末社がありますが、その時に皆さんに説明した言葉をそのまま公開します。

まず、末社に御挨拶にする時は、左から御挨拶するのが順序です。

末社の二番目に「繊維神社」を置いている意味は、ここはたぶん、繊維・糸・蚕とか、そういうものの産業が、何よりも大事だったということを示しています。

その次に大国主を置き、その次に天照大神を置いているので、これは普通とは逆なので、出雲系の本来の土地神のうえに、あとから他の祭神が入ってきたという流れを示しています。

左奥の「陶器神社」を見た瞬間に、「秦氏」だとわかりました。

秦氏が陶芸を伝えてるんです、この土地に。

それは当時の人にとっては、生活するうえですごく大切なことだったんです。

陶芸って、色々な土の特徴を熟知して、それを上手こねて、焼いて、体に害のないうわぐすりを塗って器にするという特別な技術が必要なんです。

それを伝えた秦氏一族は、やっぱりすごい知恵者集団なんですよ。

だから、こういう形で祀るということは、とても大切ですごい事だとと思います。

いろんな大事なものがここから始まり、伝わったり守った事を後世の人の為に「陶器神社」として祀って教えているのは、初めて見ました。

それぐらい陶芸の方たちが、貴重な文化を伝承されたことに感謝して奉納してるということは、すごく秦氏たちの知恵に感謝しているという意味があります。

いいですねー、珍しく誉められていますよ、秦氏！

相当、素晴らしい知恵者集団だったからね、秦氏は。





この神社は、祭神から歴史を学べる大切な摂津国の一宮ですね。本殿の神様も、その事に気づいたことにお礼を言って下さいました。

祈りを終えて、地下鉄本町駅の地下に降りると、私の左足を強く引っ張る存在がいました。

最初は無視したのですが、どうしても強く引っ張るので、巫女の女性にも体を使って感じてもらいました。ちなみにこの巫女は、この土地で働き、よく地の利を知っている女性です。

すると、わかったことがありました。

現在、繊維関係の会社が集まって出来た大きなビルがありますが、昔は、その場所に「繊維の神様」を祭っていたようです。現在は、移転したのですが、土地には神様の記憶が残っていました。

本来、使わない地下を人間が使うようになったことで起きている問題なので、このビルの関係者は、一度、ビル全体と繊維神社にお詫び祈りをしたほうがいいと思いますよ。

そうしないと、土地にへばりついた神様が人の体に乗って、体調や精神が壊れる人が増えると思いますので、どうぞ宜しくお願いします。誰かお知り合いが働いていたら、教えてあげて下さいね！

三か所目は、豊崎神社　大阪府大阪市北区豊崎 6-6-4

この地は、難波長柄豊崎宮の跡地で、平城京から平安京に遷都するあいだ、一瞬、この地に宮が置かれたと言われています。









不思議に、私が最初に引っ張られた場所は、右手にある「東照宮」でした。

手を合わせると、色々話したいことがあるようですが、「ちがう、ちがう、ひだりひだり」と神様が教えてくれます。でも、何かを隠していることは、すぐにわかりました。



恵美須神社の神様に向き合うと、ここに入った民族の気持ちを色々、教えてくれました。

すごく不思議な感じがしたので、その確認を鹿島神社で行うことにしました。





ここに鹿島神社がある理由は、人間的、歴史的に書かれたものでもいいと思いますが、神様が人間にそうさせた理由が、向き合ってすぐにわかりました。

以前、関西に難波宮を作った渡来人の話を書いたことがありますが、その渡来人がやってきた母の地と、鹿島神宮・香取神宮・鳥栖神社などの関東の千葉に入った渡来民は、同じ母国からやってきたことがわかりました。

それは国という小さなくくりではなく、もっと大きな文明の影響を受けた渡来民のことです。

そう、シュメール王国からやってきた魂が関東と関西にたどりついて、国を作り始めたことがこ

この神様の言葉ではっきり教えてくれたのです。

関東の稲荷社でウル（牛）族と龍族の確認をした時と同じく、全員が一列に並び、「あなたの魂はどこからやってきたのか？東か？西か？」を一人一人に問いただすと、すぐに答えは出ました。

半数の方の魂は、以前、関東から日本に入った記憶を持つ魂であることが判明しました。

では何の為に、今世、関西の地に生まれたのでしょうか？

それは、母地の想いを思いだし、何度も歴史で繰り返された西東の想いを和合するために生まれた魂の役目があることに全員が気づきました。



和合祈りをしたあと本殿に向き合うと、神様は、とても喜んで下さり、「福録餅」を全員に下さいました。その時に説明した内容をそのまま公開します。

皆さんが頂いたのは、赤と白のヒモで蝶結びに結んである中に、白い餅が入っています。

神様が下さった「福録餅」の意味は、ひとつひとつの米粒（一人一人の想い）はバラバラだけど、繋ぎ合わさって粘り気（想い）を出し合って、ひとつのものになって働く、その思いを繋ぐという意味があるんです。

このお餅をもらうという意味は、関東と関西に入った民族の神の思いを理解してつなぎ合わせる心で、神にも人にも向き合ってほしいという意味があります。

お前たちはそのために生まれてきて、今、挨拶に来て初めてわかったように、たまたま今回は西

に生まれても、魂としては、その役目を持って集まっているので、その事に気づく為に、今日という日が与えられたのですと。

だから、母地を守る神々の想いをつなぐことをやっておくれ。でも、争うなよ！

餅のように、ひとつになって働いておくれ、わかるな、我々の気持ちが！

さあー、関西の方たちと関東の方たちが心をひとつにして、母地の神々が喜ぶ本気の和合の時代に入りますよ！

四か所目は、霊媒体質のＯさんが、偶然、かかって呼ばれた
御津神社　大阪府大阪市中央区西心斎橋へ行きましたが、大変な場所でした。

入ってすぐ右手にある龍の御宮の樹は、バッサリ切られているので天に繋がる力が働けません。



本殿までの空間もそうですし、本殿の神様も物凄い力の念が渦巻いていました。

そんなこともあってか、空の上では、龍が動いていました。



私がその時、感じた言葉をそのまま公開します。

この力は、九龍（クーロン）来てるかも、わからんな。

この一族、中国から入ってきている。

沖縄の久米（十六姓）もそうだけど、ここには中国から九つの姓の人たちが集団で入ってきた。

その人たちは、この場所が混乱している時期に金と力で治安も全部、納めた人たちがいて、沖縄本島もそうだったように、結局、この一派がこの地域を全てを納めていた。

今は、名前は変えているけど、ここの土地は、その人たちの想念がうずまいてるんだ。

土地が念の渦が巻いてるから、空の上で龍が動いてるんだよ。

最初に入った中国人たちの上に、更に、マウンテン・マウス・グループが入って、力で押さえ込んでるから、さらに人の念の力がすごくなっている。

この念の大きさは、この神社を中心にして半径1.5キロの円がテリトリー。

きっと、そこまで勢力があるから、その念がここにピタッと集まって入ってる。

このあと、全ての想いを外す祈りをして帰ろうとすると、物凄い思いが私の体に入ってきて、右胸を締めつけながらこう言われました。

これで、すべて外したつもりか？

お前たちが外して、また、一から始めるつもりか？

それをお前たちは本当に出来るのか？

新しい始まりのバランスを作るならば、それなりの事をしなければ、我々も納得をしないぞ！

お前達が、どうするのかをハッキリ言え！

大神と話し合い、全てが納得するための知恵を出しました。

関西を心から愛する男神が、ここを中心に大きく時計回りでまわって大地の下に渦を作ります。

こうすると土地に残っている想いが外れて、一番下の収まるべきところに収まります。

それとは逆に、霊媒巫女が、時計と反対に回って、全ての呪縛を外しながら、上に上がりたい想いが上れるように祈ります。

そして、その中心を守る役目の巫女は、その両方のエネルギーを自分自身で回って作り、全てのエネルギーの中心地をゼロ磁場にして全ての想いを愛と感謝に転換します。

あとは、全員が愛と調和の心で一歩一歩、現実世界に心の輪を広めます。

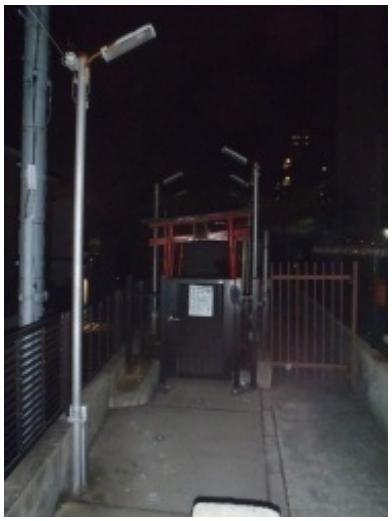
この宣言を聞くと、体に入っていた存在は、やっと、外れてくれました。

関西を愛する仲間たちが、必ず、今、宣言したことをやり遂げてくれますので、皆さま、どうぞ見守ってあげて下さい。

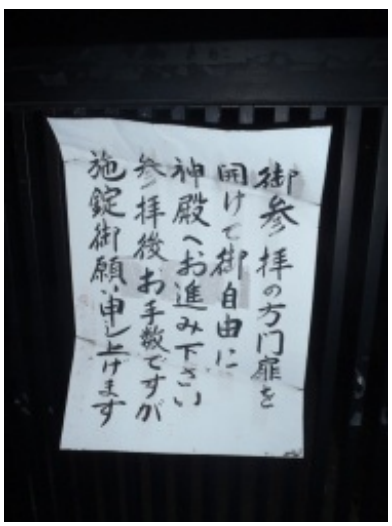
こんなに大変だったのに、まだ、あるんですよ～（＾＾；

五か所目は、最も、恐ろしい状態になっている「天龍」の神様を祀る場所です。

大阪市阿倍野区あさひ町1-8









数ヶ月前に仲間に言われて訪れると、黒龍・白龍・天龍を祀る場所がありましたが、黒龍以外の場所はそれはそれは大変な状態でした。

特に天龍の場所へ近づくだけで霊媒巫女は震えが止まらず泣き出すし、他の人も動けなくなるほど神様が怒っていたのが、天龍の場所でした。

この時の神メッセージを聞いた男性や仲間は、毎日、水と塩でこの場所を清めに通い、近所の人にも天龍の神様がいることを行動で示してくれました。

しかし、白龍の場所にはマンションが立つようで、もう壊されたみたいです。

夕暮れの時間、もう一度、神の声を聞きに全員で、天龍の場所へ行きました。

お前たちはまだわからないのか！

問いているだけではなく、これからどうするのかを聞いているのだ。

それは、ここの場所のことだけではなく、この地の繋がりを守る者たちとして、どうするかを、自分たちで話し合い、その方向性を決めて宣言しろ！

それができなければ、我々は承認をせず、人間の粗末な行いの明らかな証しとなる出来事が起きるであろうと言うしかない。

その宣言をすることが、お前たち人間のするべき役割であろう。

この地を守るのであれば、その証を立てよ！と言っておるのだ。

わかるか、お前たちの心がけしだいなのだぞ。

誰かを問うことはせぬが、これまでの行いについては問うぞ。

はっきりその道を示しなさい。よろしくお願いします。

黒龍・白龍・天龍が、この地があったが、白龍が無くなり、天龍がこの扱いです。

でも、この土地を守る、神たちの思いがわかるあなた達なら、これから自分たちの意志として、どうするかを自分で宣言して下さい。

形・場所・作った人の思いに囚われず、今あるもの・ないものに囚われず、本来、神を祀る心の意味をわかり、自分の心の中に、黒龍・白龍・天龍の文字を刻み、心の中でのまつりごとをし、この地を守り、この地を守る神々に感謝し、その心を伝え広めることをみなさんにお願いします。

では、その思いを、心の中の祈りを神に宣言して下さい。

ここを守ってきた三名の人たちが、一人一人、今後、どうするかを宣言しました。

形がなくなる事は人間のお互いの愚かもの同士だから、それについては問いてはいないが、祀る意味がわからなくなった時に、そこに降ろした神々の役目の意味がなくなるんです。

一番言いたいことは、場所を戻せとかそういうことではなくて、その守った神の思いがわかってないことに対して言っているのだ。

だから、神を心の中でも、自分の中でもいいから、小さく字に書いて祀ってもいいですよ、祈り場所がない人は。

でもその神々が働いて、この地を守っていてくれているということを、自分の中でしっかり入れて、神々が守り続けるということさえ知っていれば、お宮はただの通し番だから、その存在たちは、皆、常に働いていることを覚えておきなさい。

目に見える場所・人・物の部分にだけに囚われて考えるのではないということを、神は言っているのだぞ。

その意志を汲んでくれるのは人間だからこそ、そのこころを大事にしておくれ。

その心があれば、我々もあなたたちに力を貸せる。

そのことをよろしくお願いいたします。

関西の皆様、本当にご苦労様でした。一緒に日本を輝かせる仲間として、全国の人たちも応援してくれていますので一緒に頑張りましょうね！これからも宜しくお願いします！

2011.12.05 Mon

日本人を輝かせる役目の人たち　3　中部東海編

関東読み取りワークの翌日（11/27）、静岡市内にある「静岡浅間神社」に仲間が集まりました。

目的は、この神社の境内で人を導く神仕事を十数年もしている女性に会うためです。

お仕事で使っている名前は「紫宝縁（しほうえん）さん」と言い、公務員の時から神に導かれて人の為に生きなさいと啓示が降りた為に、色々なことを勉強されながら全てボランティアで人を導いている素晴らしい女性です。

この方との御縁は、10/30の静岡勉強会に初めて来られた時でしたが、来られた理由を尋ねると「私を守護している神様が、吉岡さんの勉強会へ行きなさい」と言われ驚きました。

夜遅くまで色々な話しをしましたが、本当に素晴らしい方で、人を導く心使いは私よりもずっと素晴らしいものをお持ちだと感じました。

今回、伺った理由は、私の所に行きなさいと言ってくれた神様に、正式に御挨拶とお礼をしたくて仲間に声をかけたので6名の仲間が集まってくれました。

静岡浅間神社には7社の御宮がありますが、待ち合わせの場所は紫宝縁さんが毎日、通っている「大歳御祖神社（おおとしみおやじんじゃ）」です。



全員でこの神様に御挨拶をすると、それぞれの心の奥底にあるいらない物を吐き出して浄化転生させてくれる神様だとわかりました。

これまでの人生の苦しい想いや、先祖や守護たちから言われる厳しい言葉、周りの人に理解されない辛い日々の思いを転生させてくれる力がある神様です。

関東神事にも来て下さった関西在住の高橋さんは、祈りの最中に大きな泣き声ともいえる声を発し、辛く長い日々に終わりを告げる合図も出ました。伊豆から来られた伊豆山神社を守っている岩本さんも同様に、守護の厳しい目が変わりました。

誰もがこのことをすぐに実感する訳ではありませんが、守護や導きが完全に変わる神様の力に、紫宝縁さんのやさしい言葉が添えられれば、今後の人生が大きく変わる人たちもたくさんいると思います。

ほぼ毎日、この御宮に来られていると言ってましたので、どうぞ、御縁ある方は、心を開いて御相談してみて下さい。

「大歳御祖神社（おおとしみおやじんじゃ）」の祈りが終わると、全部で7社あることを聞かされたので、これは御挨拶するしかないと思い、全員に神の言葉を伝える神事モードに突入しました。

7社を回る順番を正しく教えて頂いたので、二か所目は、156段ある石段の上の「麓山神社（はやまじんじゃ）」です。





ここの神様は、伊豆山神社を守る岩本さんと高橋さんに大切な物を下さいました。

静岡に住む人たち4名には、ここまでよく神心を開いて勤めてくれたと感謝の言葉を下さいました。

天の目で、人を見守る大きな神様がここにはいらっしゃいます。

三か所目は、「八千戈神社（やちほこじんじゃ）」です。



ここの神様の力は、全てを真っさらにして、新しく物事を始める為の力と知恵を与えて下さる神様です。

四か所目は、浅間神社（あさまじんじゃ）です。拝殿はひとつですが、奥には二つの御宮がありますので、まず先に、左側の「浅間神社（あさまじんじゃ）」の神様に御挨拶しました。





ここにいる木花咲耶姫（このなはさくやひめ）は、高橋さんに木箱に入った録（ろく）を、伊豆山神社を守る岩本さんには桜の枝を、そして、二人に対で働く御神境を与えて下さいました。

紫宝縁さんには、絹の反物を紫の紐で結んだものを下さいました。これから紫宝縁さんが、これ多くの人たちを導き、神仕事をする人たちに着せる神様の反物です。

他の皆さんには、大麻（おおぬさ）の代わりに大きな桜の枝で、何度もお祓いしてくれて、これからの人生が喜びになるように祝福して下さいました。

全てを喜びに変えて下さるのが、木花咲耶姫（このなはさくやひめ）様のお役目です。

五か所目は、隣の「神部神社（かんべじんじゃ）」です。



ここで私がさせて頂いたことは、過去の絡み合った因縁の紐を紐解き、新しい御縁が結ばれた証として、大きな蝶結びの紐を神様に奉納しました。

ここの神様は、御先祖・御一族・近隣全ての御縁が良縁に変えて下さる神様がいらっしゃることがわかりました。

六ヶ所目は、「少彦名神社（すくなひこなじんじゃ）」です。



祈りを始めると、真っ黒な神門が見えましたが、神言葉が降りると、その黒い神門が開きました。

その先からは永遠なる光が降り注ぎ、7社の神様がひとつの力となって、これから働くことを教えて下さいました。

心迷いをしている方や道を迷っている方たちは、神光が満ち溢れている神門に向って、心を開いて気づきを頂いて下さい。

最後の七か所目は、「玉鉾神社（たまぼこじんじゃ）」です。



唯一、ここだけは人格神だと教えてもらいましたが祈りを始めると、すぐに両側に二柱の男神が降りてきて、ここの神様の神格をあげて下さいました。

道教の教え・生活の知恵など生きる上で必要な全ての知恵を教え導く神様ですが、その役目をし

て下さる紫宝縁さんには、龍の絵柄が入った知恵の巻物が与えられました。

これまで以上に神々が力を添えて、彼女を導いて下さると思います。

誰もが予想しないこの出来事に驚きと感動が全員溢れましたが、私にとっては最もきつい祈りのパターンとなりました。

次、次と祈りを続けると、神が私の意識と体を使い続ける為に気を抜くことが出来なくなり、普段の心身バランスに戻るまで不調和になるからです。

だから終わったあと、しばらく放心状態でしたが、皆さんの喜ぶ顔を見ていると、神様が集めてくれた互いの気づきの為だと感謝が溢れました。

土地の人が、土地の神様にお礼を言われるもっとも素晴らしい瞬間を今日、体験しました。

私の願いも、同じです。

今、生きていること、生かされていることに感謝する心をしっかり持てれば、この人生で何が起きても全てが人間全体の学びのテーマだと思えることでしょう。

お互いに愚かな人間同士だからこそ、他人の行いを批判せずに私たちは許すことを、そして、新たな歓びを創造する時間が与えられているのだと思います。

どうか、神様にお願いする人よりも、感謝の行いをする人が増えよう心から願っています。

静岡の皆さま、本当にありがとうございます。これからも、どうぞ、宜しくお願いします。

2011.12.03 Sat

日本人を輝かせる役目の人たち　**2**　関東編

現在、関東から関西までの神ラインを復活させる目的で、勉強会の前に神仏の場所に行ってメッセージを読み取る「読み取りワーク」を行っていますが、今回、重要な神メッセージがいくつも出ましたのでご紹介します。まず「読み取りワーク」がどういうものかを説明します。

何度も私の神事に参加した方は確実に魂レベルアップになる体験をされますが、本来、神事は神の啓示によって自分と他人と神を対等の意識で繋いで行うものだからこそ、一人一人の土地神・守護霊・守護神の繋がりを高めて互いの魂を開花させる目的で行っています。

「読み取りワーク」で神仏に向き合うと、土地の隠された因縁が出てきたり、個人の隠された魂記憶を思い出すことがよくあるからこそ、参加者同士の大きな愛と調和の心で相互覚醒すると決断した「地球創生SNS」のメンバーだけで行っていることもご理解下さい。

真剣に神仏に向き合い続けると、全く見えない聞こえない普通の方が突然、ビジョンを見たりメッセージが聞こえるようになる場合もありますが、同時に自分の見えない深いカルマや感情も吹き出しますので、どんな思いが出て来ても一切、他人を批判しない心で人や神に向き合うことをお願いしているからです。

日本や地球を創造することを宣言した人たちは、もう自分個人の守護霊や守護神の言葉だけを信じて動く時期ではないからこそ、もっと大きな守護神たち（素晴らしい人たち）と繋がる気持ちがある方は、地球創生SNSや各地の勉強会に参加してみて自分の地域にいる素晴らしい人たちに出会って下さい。私は、ただその「場」を作る事が役目のようです。

勉強会に参加されている皆さんは、誰もが自分を大切にするように相手を見守り、何が起きても一切、誰かを否定する事は無く、自分の学びとして成すべき道を進んでいらっしゃる素晴らしい方達がたくさんいます。

関東地区で「読み取りワーク」を始めた理由は、今年４月に宮古島で降りた啓示がキッカケですが、最終的には日本の東から大きな愛と光のエネルギーを発信する為に8月から祈りを始めています。

この島国日本に産まれた民族の魂役目を果たすには、自然界のエネルギーバランスが重要な鍵なのですが、ご存知のとおり関東平野のほとんどが人間の手によって造作された為に自然界や神仏のエネルギーが弱くなっているのが現状です。

人間が壊した自然界だからこそ、自分が地球を守る！、日本を守る！という志に神を載せて祈り

をする皆様は「国繋ぎ全国一宮宣言祈り」を終えてから神事に参加されています。※総社がある場合は、一宮よりも必ず、先に御挨拶に行くことを、どうぞお忘れなく！

では、11月27日に、回った場所とメッセージをご紹介します。

◎北澤八幡神社　　東京都世田谷区代沢3-25-3





左の末社から神様の意味を説明します。
天に繋がる龍ラインを守る神
八百万の神々が集まる神
大きな神を守る神
小さな神を守る神


産土神（生れ落ちた全ての命を守る神）


本殿の右側にある男神と女神。メッセージは、「一人一人の魂力は弱いけれど、全員が心を合わせてひとつの魂として働けば、大きな目的を達成することもできる」と教えて下さいました。


全ての末社にご挨拶を終えて本殿に向かうと、「お前たちに何がわかる！」と、まず言われました。人間が勝手に神を動かし、意味を変えてきたことによって争いが起き、多くの人の命を失ったことを無言で訴えています。

そのお詫びをしてから、これから行う関東神事の為に力をお貸し下さいというと、「丹沢」と言葉を頂き、「この繋がりを復活させることができれば、本来の働きをする」と約束して下さいました。

最後に、八方の方角の絵を見せてくれて、この神様は「東と北に大きな役目を果たす力がある」とわかりました。この三つの意味を仲間に告げると、一人一人がそれまで動いた意味に繋がり、これから何をするべきかが具体的にわかりました。

キーワードは、産土の神繋ぎ、丹沢・弘法山・大山、高麗・朝鮮・秦氏、出雲と伊勢を繋ぐです。沖縄番、人格神番、自然神番、この神社を守る番、生まれた場所と住んでいる場所の役割もどんどんわかってきました。

今、出会っている人たちの魂が繋がれば、後ろにいる先祖・関係する一族や周りの者たちも一緒に働くことがメッセージでも降りましたので、次回までに各自がするべき事を終えて、この神社にご報告に来る事を決めました。

ここ北澤八幡神社の神様は、大切な裏鬼門を守る重要な神様だからこそ、いくつもの重要な鍵を守っていらっしゃいます。神様の願いを聞き届けて全ての事を完全に終えれば、関東の地を守る大きな守護力が一人一人に働いて下さる神様だとわかりました。日輪と彩雲が出たのも、神様の承認の証です。



◎和泉熊野神社　東京都杉並区泉三丁目21–29関東の西を守る神社を調べていて見つけた和泉熊野神社ですが、驚きました。ここは宇宙に繋がるエネルギーが、今もはっきり残っている場所だからです。



鳥居の左側の空間に流れているエネルギーが何かを感じとれれば、その使い方もわかると思いますが、周波数が高すぎて見つけられない空間エネルギーだからこそ、この神社に一番近い方に、

詳しくエネルギーの使い方を教えました。自己覚醒・相互覚醒が最も早くできる「宇宙エネルギーの座」が、ここにはあります。



本殿の両側にお宮はあって左側には７柱ほどの神様を祀っていますが、右側の稲荷社には驚きました。この神様だけでひとつの大きなお宮にしてもいいほどの大きな神様が、いらっしゃるからです。

稲荷神は狐が使いとして前に居ますが、奥の奥のずっと奥がどこに繋がっているかを知らない方が多いからこそ、恐れる方も多く居るはずです。その紐解きも、このあと出てきますのでお楽しみに！



本殿に向き合うと和歌山県の熊野大社に繋がっていましたので、関西に住んだ経験がある二名の男女が私の横に並んで祈りを始めました。

女性には赤い木の台に乗ったご神鏡が渡され、男性には木の箱に入った覚書きが渡されました。意味と役目は、それぞれに伝えましたが、問題は、この場所の宇宙エネルギーの使い方です。

神様から宇宙の繋がりを使うには「木と目・・・」と何かを教えてくれましたが、後で確認すると「相模」の事を言っているとわかりました。

１メートルほどの大きな御神鏡も渡されたので、関東の地を守ると宣言した太陽神の男性に渡しました。いずれ、彼が使う時が来ると思います。近くに摂社の貴船社があるので、そこで詳しく

確認することにしました。

◎貴船社（境外摂社）※熊野神社の右手5分ほどです。

この神社の問題は、飢餓で苦しみ雨乞いをした人たちの思いと人の念で不浄の場所になっていますし、周りの工事のせいで左手の池の水が枯れたことにより神エネルギーも弱っていたので、本殿祈りが終わったあとに浄化と神繋ぎを行いました。ここにお参りに来る方は、ぜひ、自然の力が強いお水を持ってきて、左手の池に入れてから祈って下さい。神様が歓ぶ行いをする人を、神様たちはいつも見守ってくれますよ！







本来、貴船と名のつく神社は宇宙から降りたエネルギーを守る役目なのですが、人間が勝手に水の神様にしていますが、本来の力はそんなものではありません。

水を産み出す力があるということは、山も大地も海も風も動かす力があるということですから、自然神以上の力があることに気づかなければいけません。

貴船の「船」は宇宙船のことを意味していますので、船と名前がつく神社は宇宙から降りたエネルギーがある場所だと思って下さい。宇宙船のことを「あまのとりふね」と呼び、太古の時代から地球に宇宙船がやってきて多くの知恵と情報を授けてくれた場所を示しています。

ただし、宇宙エネルギーが降りる場所は本来は山の上か、太く大きな樹に降りますのでお宮の大小に関係なく、木や山の上に降りたエネルギーをお宮に繋いでいると思って手を合わせて下さい。

この場所の祈りの中で出た言葉は、「タカミムスビ、カミムスビ」ですから、この場所の神様は、アメノミナカヌシ・タカミムスビ・カミムスビの3柱の天地開闢（天地創造）の『造化の三神』エネルギーが繋がっているということです。

本来の力を復活させて、周りの自然界エネルギーをサポートできるように祈りました。このあと三名の巫女だけを連れて、一人の体に乗っているメッセージを降ろしながらサニワした内容が、皆様の無意識の中に眠る大きなカルマにもなっているので公開します。

（巫女３人とサニワ）

アメノトリフネに、宇宙船に、カゴを持って、上に乗せて、それぞれの、場所に降ろして、そこから、すべての始まり。

その一族、一団は、どこから来たの？

アマゾネス。女神集団。

（地球の生命の）始まりを創る為に、それぞれの〇〇を守り、持たせた。その魂を持った、一族が生まれた。新しい始まりを創るのなら、その者達の繋がりの力を使いなさい。

その者達が、初めから、やり直すのではなく、その力の使い方を思い出しなさい。
どうやって、降ろして繋いだか、どこに繋いだかも知っているな。

関東では無い。

伊豆諸島にはあるな。

K：私も伊豆。

伊豆諸島にも、伊豆半島にもあるな。

J：神津島

N：そこが違ったら、この前の池か、、菊名か、大倉のどっちかです
K：　うんうん。
N：　徒歩、１５分くらいかな。
神津島もそうだけど、まだあるんだけど、まあ、でも、伊豆も降りている。半島。天城山の上に、大きい老龍がいる。古い。ずっと、守っている。あそこもあるんだけど、あちこち、同じように降ろしているみたい。

（Jの背中に、Yが文字を書く）

あなたは、いろんなところに降ろしたのは、確かなの。降ろした、そのラインを、守っているの。

そのラインを守る為に、Jの身体、そのものに、エネルギーを入れ、空間に固定して、の身体と意識をコントローラーにしていた。空間に貼り付けられていた。

（今回は）そのやり方じゃない、（他の）やり方も出来る。でも、身体から繋ぐことが出来る。

身体がそうなの。魂の力で、繋ぐような感じ。

北と東と、熊野は西に行ったから。

Kさんは、違う使い方の、知恵を持っている。

Kさんが、動かないと、ダメなんだ。

K：　「牛」　うしが、出てきました。

牛頭大王を使うのか、牛頭の力は、確かに京都でも使ったぞ。

最強の力。あるんだけど、「ごず」が全部ではないけれども、「ろくず」を使うのか・・・。

K：　「５」は、わからないけれども、「牛」が出てきました。

「ごず」の作り方は同じ。新しい使い方だ。

過去の失敗を、いい事も、わるい事も、知っていいるから、それをやらないように（我々は）来ているんだ。K：　牛と、横のその・・・耕していくとは？
一つ言っておきましょう。

地球に降りてきた民族は、龍族とウル(牛）族が、います。
目的は同じだったけれど、時代が少し違った。戦った時期もあった。

（その因縁は）今だに、残っています。
琵琶湖の上側は、ウル。下側は龍。日本のあちこちに、残っている。

K：　上と下なんですか？　縦と横もある。
龍とウルの力は、本当に、原初の原初。

この話まで、来るかな～。

N：　熊野と関係はあるんですか？

あそこは、全部、宇宙のラインがあるから、当然、来ると思う。原初もある。

関西は、沢山、宇宙ラインがあるけれども、星がみんな違う。

関東は、自然神が、これだけ壊れているから、宇宙ライン使うしかないだろうな。

で、自然神のエネルギーを、上げるしかないな。。
Kさんは、知恵を。

Jは、方法を。

Nさんは、失敗を。（魂の記憶として）持ってきている。

N：　さっき、天城山って、言ったんですよね。伊豆山神社。　天城・伊豆山って、さっきから来る。

J：　Tさん、伊豆山、大好きですよね。

人間のイメージの結果、「ウルは霊界」、「龍は神界」を創ってしまった。
K：　だから、こないだ、２３日にピクニックに行った時に、不動尊に行ったときに、1つ、「仏界」大日如来とか、その辺の力をひとつ、入れると上手く、気持ちが治まると思った。

目黒不動の菩薩かな、仏閣入れないと、（この関東の神仏の繋がりは）動かせないな・・・。

ウル族と龍族の争い心を和合させる為には、その原初エネルギーがどこからきているかを気づけばいいので、マスターの思いまで繋ぎ直して稲荷社で祈りを行いました。ここで初めて一般公開しますが、稲荷神を祀る全ての奥の奥の奥の神様は、ウル、つまり、牛族の王様が鎮座されていらっしゃいます。

だからこそ、参加した全員の魂がどちらの記憶を強く持っているかを確認してから、先ほど頂いた赤い台の御神鏡を頂いた巫女が、谷中稲荷神社に納めてさせて頂いたあと、日本全国に祀られている稲荷社にも同時に飛ばして、ウル族と龍族争いの強い心を動かさないように祈りました。

◎谷中稲荷神社　東京都杉並区方南１−３９



町中にある小さな神社ですが、ここから始まりました。これから稲荷社に向き合う時は、どうぞ、ウル族の大きな神様が後ろにいることを感じて手を合わせて下さい。

関東の地を整える祈りはまだまだ続きますので、志同じくする人たちのお力を借りて、日本の東から光を発する準備を進めていきたいと思います。

自分個人の学びを超えて神々が望むことをするのが神事ですので、どうぞ、囚われの心や争いの心、他人の行いを問う心を手放して前にお進み下さい。

2012年は、今年、起きたレベルではない混乱と葛藤を経験する事は間違いないので、どうぞ、他人を問わず、自らを問わず、無限なる愛を創造する心を持つ仲間の繋がりを広めて下さいませ。

関東の皆様、いつもありがとうございます。

2011.12.02 Fri

12/1は、北の龍神祭！

2007年から毎年、12月1日に続けております「北の龍神祭」は、地球や日本を守る自然界の神々（火・土・水・風）に感謝するお祭りですが、今年からは自宅で静かに一人で行うことに致します。

祈り合わせ、心合わせして下さる方たちの為に簡単な祈りの方法をお伝えしますので、実施可能な方はお部屋で一人で行って下さい。

（用意する道具）

１、水は、普段、使う水道の水をコップ一杯用意します。

２、土は、自宅近くの土を少しだけお皿に盛ります。

３、火は、ローソクの火でも結構です。

４、風は、祈りの時に、窓を開けて下さい。

（祈り時間）

12月1日　お昼12時をめどに行います。

◎祈りの中で龍神の神に伝えること

地球の全ての命の循環を守り、命を繋ぐ食べ物や環境を与え続けて下さることに心から感謝いたします。

これからも変わらず、私たち人間の命をお守り下さいますことを心より感謝いたします。

明日12/1の正午に、心合わせをして下さいます皆さまの意識を全て繋ぐ祈りを行いますので、ど

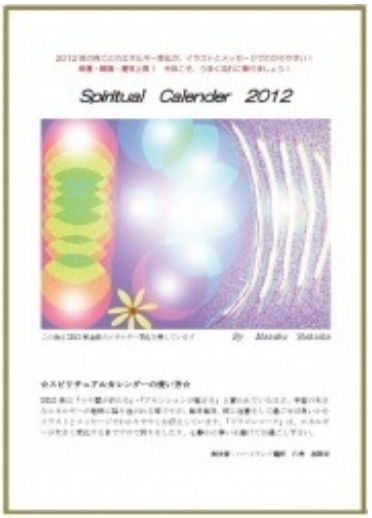
うぞ、宜しくお願いいたします。

地球創生コーディネーター　吉岡学

2011.11.30 Wed

２０１２年を予知する！

2012年の月々ごとのエネルギーを予知して、イラストとメッセージに表した「吉岡学のスピリチュアルカレンダー**2012**」が完成しましたので、ただいま、ＷＥＢＳＨＯＰで予約を開始しています。※限定生産・12月後半配送



2012年はマヤ暦が終わる年と言われ、「時間の概念が変わる」ことは10年ほど前から話題になっていました。

「アセンション」という言葉が独り歩きするという問題も多くありましたが、実際には、2000年問題と同じように、多くの混乱情報によって何を信じるかを一人ひとりが学ぶ時間だったように思います。

「アセンション」の本当の意味は、これまでの過去・現在・未来の時間軸が変わるために、過去の記憶に囚われない生き方ができるように目覚めのスピードが上がる年だと理解して下さい。

人によっては、守護存在が大きく入れ替わると感じた方もいますし、時間そのものが無くなると感じている方もいますが、それは意識レベルによって感じる意味が違うだけの話です。

「人間が目覚める」とは、どういう意味なのかを考えてみましょう！

あなたにとって良いことが起き続けて、時代も自分も周りの人も、どんどん良くなることだと信

じている方は大きな間違いだと思って下さい。

あなたにとって、マイナスと感じることが一生無くなることがないのと同じで、人間全体にとってマイナスと感じることが無くなることは生涯ありません。

だからこそ、「普遍なるプラス意識」で、愛と調和の言葉を発信する必要性をお伝えし続けているはずです。

「目覚める」という本当の意味は、それまでの自分が意識していないこと（無意識）を、あえて本人に自覚させる出来事が起きて、今までの価値観や概念を変えなければいけなくなることを意味しています。

もう、小手先だけでは許されない時期になり、一人一人が本質から変わらなければいけないことが起きると思っておいて下さい。

簡単に言えば、あなたが本当はこうしたほうがいいと思いながらしていなかったことを、しなければいけなくなる事態になるという意味です。

同じことが起きても、嫌だ、マイナスと感じる人がいる半面、それは当然だと受け入れる人もいます。

すぐに受け入れられない人は、そのことを「混乱」とさえ思うかもしれません。

不安・恐怖・混乱と感じる時は、「目覚めるための学び」として与えられたものですから、どうするかを自分で決める必要に迫られることに気づいて下さい。

多くの人に気づいて欲しいことは、これから起きることが問題なのではなく、起きたことをどう反応するかによって、その後の生き方が大きく違うことに気づいて欲しいと思います。

このアセンションは、人間覚醒のための大きな宇宙の神々の計画の一部です。

人間が本来、神として目覚めるかどうかによって、地球の運命が決まる重要な時期だからです。

10年以上前から、この次元上昇の時期と意味を伝え続けてきた理由は、私たち人間の意識のあり方によって、地球の運命が決まることを一人でも多くの方に気づいて欲しいと思ったからです。

もう一度言いますが、これから何が起きるかが、問題なのではありません。

自然災害も、天変地異も、経済破綻も、国内外の争いも、第三次世界大戦も、すべて人間が引き起こすものだからこそ、自らの意識を変えて下さい　とお願いし続けているのです。

それでも不安な方は、どう対応するかを正しく学んでおけばいいだけなのですよ。

無知は、永遠に不安を生みだしますからね！

正しい知識は、正しい判断をする要因にはなりますが、「知識」よりもさらに素晴らしい力は、人間が未来を信じる強い意志なのです。

その意志を「神の意志」と呼んでもいいでしょう。

人間がまだ生かされている理由は、明るい未来を信じる人たちの強い意志や祈りがあるからだと思います。

無知で、依存心が強い人ほど不安な言葉をばらまきますが、誰がその不安を消すのが正しいのでしょうか？

それは、不安を感じたその本人なのですよ！自分が感じた不安や闇は、自分の光で消すようにして下さいね！

来年は、さらに不安をあおるマスコミ報道も加わり、マイナス波動が強く感じる時期だからこそ、自分自身が信じる強い志を明確に示して、あなた自身が周りの人たちを導く人になって下さいることをお願いします。

スピリチュアルカレンダーで降りたメッセージには、予想外のことが起きたあとの指針が示されています。

イラストを見ているだけで、その月に何が起きることを感じる人もいるかもしれません。

未来に何が起きても勇気が持てるために、「吉岡学のスピリチュアルカレンダー」をどうぞご利用下さい。

☆ご注文は、こちらのハートランド龍球　ＷＥＢＳＨＯＰからお願いします。

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
自らの内鏡を開いて光を放つことで周りの人たちを光で包み、愛と調和の大きな光で地球から愛を発信する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登録はこちらからお願いします！
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355
2011.11.24 Thu

地球創生神事の最終目的

今日は、「地球創生神事」の最終目的を初めて皆様へ公開します。

2003年から地球創生神事が始まったキッカケは、

人間は、地球を存続させたいのか？
このまま崩壊へ向かうのか？

と宇宙の大元・マスターに問われたことが始まりでした。

その証を立てる為に、21世紀のエネルギーが上昇し始めた2003年、北海道の芦別市で「宇宙と地球を繋ぎ直す神事」を行ったのが最初の神事です。

その時に宣言した内容は、以下の内容です。
この地球は、私たち人間が守ります。
愛と調和の心で、過去の全ての行いを問わず、全ての思いを完全な愛に転換して、全宇宙へ向けてその愛を放射いたします。

そのあと、北海道の自然神にお詫びと宣言をする神事が始まり、沖縄の自然神と人格神、そして、九州、四国、本州の土地のカルマ、民族カルマ、土地に住む人たちの魂カルマの解放の為に神事と勉強会を行ってきました。

宇宙の星の記憶を持つ人たちの思いもよく理解しているからこそ、この地球が「宇宙大戦争」の二の舞にならないように、どんな争い事が起きても決して誰かを問うことはしませんでした。

全国で色々な神事を行う方たちもいますがほとんどの場合、その内容を公開しませんが、私があえて全ての神事情報を公開し続けている理由は、私たち人間の心の奥底に眠る思いは地球内部の古い記憶と繋がっていて、その全ての想いを統合調和する為に、地球の運命を左右するほど大きな神の意志を人間の魂が持っていることを知っているからです。

では、地球を存続させる為には何をするべきなのでしょう？
それは、
人間の集合意識を完全な愛に転換するしかないと思っています。

何が起きても、一人一人が自分の存在に感謝する心が芽生える為に住む土地や御先祖に感謝をし、周りの人たちの愚かな行いを許し、地球の運命と自分の無意識が繋がっていることに気づいて

もらうしかないと思っているからこそ、様々なメッセージをお伝えしてきたつもりです。

人間の魂の始まりを紐解けば、本来、個の意識はなく、絶対無碍の境地（※何事にも囚われない心）で全てを許せるはずですし、普遍なき愛を創造し続けられるように私たちの魂は設計されています。
しかし、まだ過去の自分を問うように他人の行いを問う気持ちが出る人は、全てのことが自分の為に起きていることに気づかず、争い心を動かします。

2012年は、他人の行いを問うのではなく、自らの心の奥底が「美と喜び」に溢れるように全ての想いを大転換して、創造し直す時期として設定された年なのです。
私たち人間は、美と喜びと愛を創造するために、地球に生まれてきた事を思い出して下さい。

この地球で何度も何度も、失敗を繰り返してきた経験があるからこそ、他人の愚かさを許し、大きな愛を産み出せる準備は、もう皆さんにもできていると思います。
これからさらに地球を愛と喜びに転換する愛の心をお持ちの方たちが、永遠の信頼関係で繋がりますことを心から願っています。

現在、行っております地球創生神事の最終目的は、
この日本に生まれた人たちが、今、住んでいる場所から完全な愛と調和のエネルギーを発信し続けることが目的
だからこそ、その土台づくりを一歩一歩進めています。

個人の記憶を遡れば、人間的カルマ、民族的カルマ、経験した星のカルマが出てきますし、神々に祈りをしてきた人たちは自然神や宇宙神の大きさや怖さを知っているはずです。

今一度、大きな愛の繋がりを復活させる為に世界の雛型であるこの日本の北の北海道を納め、南の沖縄を納め、九州、四国、本州の全てのカルマの解放の為に神事を行ってきています。

日本の東から愛と喜びを発信する土地役目に気づいた関東の方達は、日本人が完全な愛の心になる為の「関東光岩神事」を進めています。

日本という国の島々の意味を正しく理解した方たちが、自分の住む土地を愛しているからこそ土地の神々と繋がり、北海道、沖縄・九州・四国・本州の必要な場所の宇宙エネルギーをひとつに繋いで、大きな愛のエネルギーを世界へ発信する為の準備をしています。

世界のどこに住んでいても、個人にどんなカルマがあろうとも、一切の囚われ心を一気にクリアするほど大きな全て愛のエネルギーを放出する祈りをいづれ行います。

どんな負の情報や思いを受け取ったとしても、全てを光に転換する日本人の魂の祈りの事です。

その為に今、自らが成すべき現実を一段、一段を登っている方たちの学びの共有化によって、日本人が創造する新しい愛と調和の心が育まれる為に地球創生活動を続けています。

他人を許せない心は、自分の学びです。
そして、自分を許せない心は、存在させて下さっている全ての神に対して愛を失った状態だと気づいて下さい。

これからどんな災害や事件が起きても、自らの不安や闇を人にぶつけるのではなく、その闇に自分で光を当てて、周りの人を愛に導く強い志の人たちが地球を明るい未来へ導くのだと思います。
「地球創生SNS」は、そのことに気づいた人たちが繋がる場所としてあります。

2012年は、とてつもない大きなエネルギーが動きますので、あなたの周りにも色々なことも起きるでしょうが、あなたがあきらめても私たちは人間と、自然と、地球と、この宇宙の未来を信じる人たちの意識で支え続けると約束いたします。

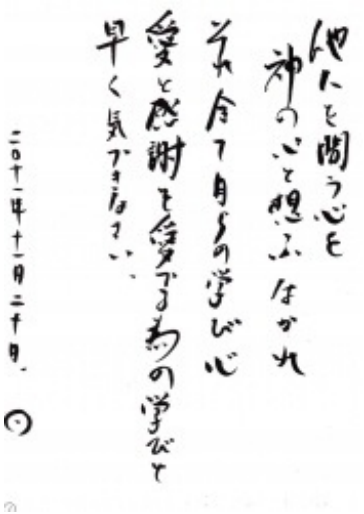
これからさらに、「依存からの脱却」と「真実の信頼」を学ぶ時期になります。
あなたも、その為にこの時期に生きていることを気づいて下さい。

日々、地球創生活動を支えて下さる皆様の愛に感謝しています。
皆様の明日が、今よりもさらに光に満ちた日々になりますことを心から祈ります。

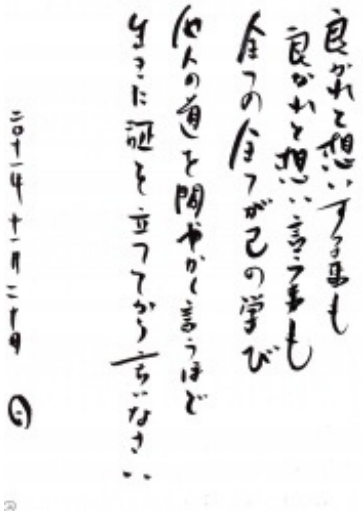
2011.11.21 Mon

自分の愚かさに気づく学び

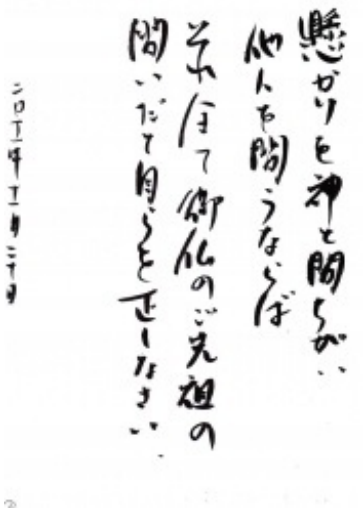
11月20日、自分の愚かさに気づく学びの言葉を公開いたします。



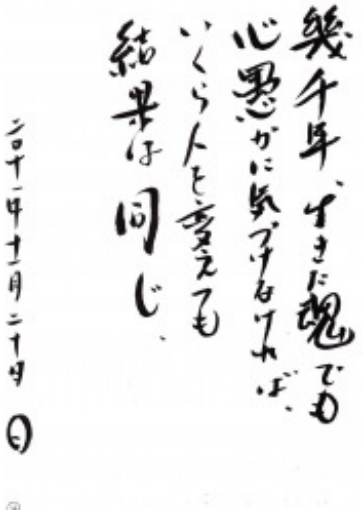
他人を問う心を神の心と思うなかれ。それ、全て自分の学び心。愛と感謝を愛でる為の学びと早く気づきなさい。



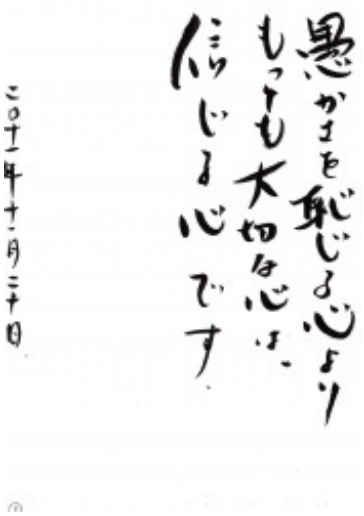
良かれと想いすることも、良かれと想い言うことも、全ての全てが己の学び。他人の道を問やかく言うほど生きた証を立ててから言いなさい。



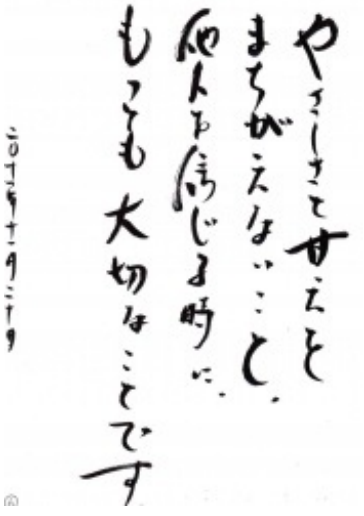
（霊）懸かりを神と間違い他人を問うならば、それ全て、御仏の、御先祖の問いだと、自らを正しなさい。



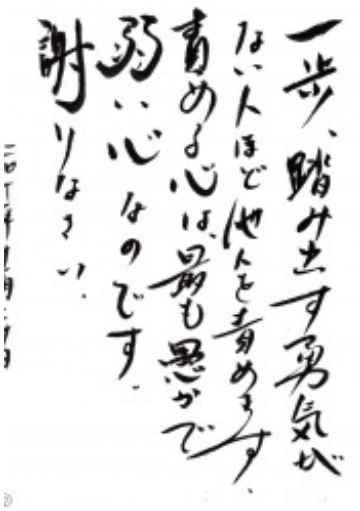
幾千年、生きた魂でも、心愚かに気づけなければ、いくら人を変えても結果は同じ。



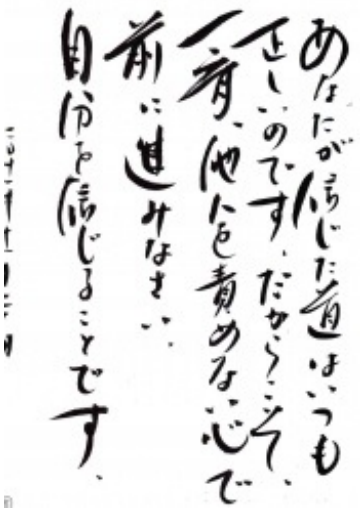
愚かさを恥じる心より、もっとも大切な心は、「信じる心」です。



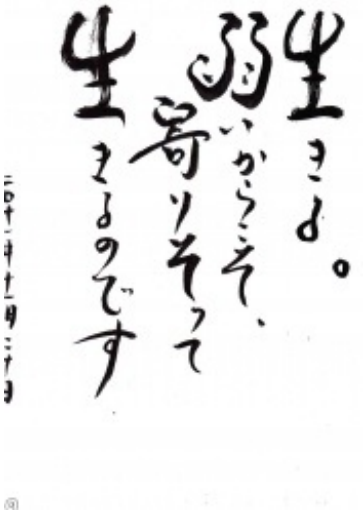
やさしと甘えを間違えないこと。他人を信じる時に、もっとも大切なことです。



一歩、踏み出す勇気がない人ほど、他人を責めます。責める心は、もっとも愚かで、弱い心なのです。謝りなさい。



あなたが信じた道は、いつも正しいのです。だからこそ、一切、他人を責めない心で、前に進みなさい。自分を信じることです。



生きる。弱いからこそ、寄りそって、生きるのです。

2011.11.21 Mon

日本の先住民族アイヌとワタリガラスを繋ぐ祭典

日本の先住民族として正式に認定された北海道のアイヌ民族のコタン（集落）から、世界へ向けて先住民の魂を音魂で繋ぐ祭典が12月4日に行われます。

場所は、北海道白老町にあるポロトコタン　アイヌ民族博物館。北海道白老郡白老町若草町2-3-4
　ＴＥＬ　0144-82-3914

主宰は、苫小牧市の老若男女が集まる「ピリカ・レラ　ガイア苫小牧」という志高い仲間たちの30代が中心になって主催しています。

この白老ポロトコタンには、今年9月11日に天皇がアイヌ民族の舞踊をご覧になりに来られたことでも話題になりました。

北海道内にはいくつものアイヌの部族がありますが、そのなかでも白老アイヌのエカシは、ヤマト民族と一番最初に和合の知恵を身につけ、その後、多くのアイヌ民族たちを社会へ導いた部族として認められています。

北海道は、ヤマトの人たちの攻撃によって多くのアイヌの血が流れましたが、もし、その戦いがなければ日本ではなく、ソ連か、中国の領土になっていた可能性が高いからこそ、ヤマトは日本を守る要の地として北海道アイヌを侵略した歴史的背景があります。

その攻撃によって多くのアイヌの血が流れましたが、敗れたアイヌたちの中で一番、最初に和合の道を探した白老アイヌは、仲間のアイヌから攻撃も受けながらも、子供たちの未来を考えたからこそ生きる道を手探りで創ってきた部族なのです。

そういう歴史的背景があることを理解して、太古の時代、世界に渡り伝えたアイヌ民族の魂が今回の祭典で、復活することを喜びたいと思います。

今、私たちはアイヌ民族も琉球民族も含めた日本人として、民族の魂の繋がりを正しく理解し、次の時代へ伝える役目を持っていると思います。

8月20日に行われたクリンキット族のボブ・サムが来日したことから先住民の魂の繋がりが動き出し、多くの人の御縁によって今回、開催できたと主宰者から聞いています。

ワタリガラス、天皇家の証でもあるヤタガラス、そして、世界の民族が集まった日本の血の繋がりが、魂の音を奏でる人たちによって、時間と空間を超えて太古に繋がる時間になることでしょう。

お申込み・お問い合わせ：
トリムタブ　ＴＥＬ　0144-56-5288



※クリックすると大きくなります


2011.11.20 Sun

西京都神事　熊野で降りたメッセージ

西京都神事で熊野へ向かう途中に降りたメッセージは、宇宙の各星から降りて来た存在たちが伝えてきたものです。
熊野には、多くの星の代表たちが過去に宇宙で起きた争い心を調和する為に、この地球を選び、熊野に集まりました。
宇宙大戦争の記憶がある方も多いはずですが、新しい宇宙の調和を産み出す為に私たちの魂はこの地球に産まれました。
そのことを正しく理解できる方達は、一切、争わず、一切の他人を否定せず、自らの心の中に完全な調和の心を産み出して下さいませ。
宇宙の全ての星をまとめる代表者たちからのメッセージをお届けします。

預けられたものには限りがあります。その限りがあるうちに、上手に使い方を思い出して下さい。

あなたたちがその使い方を思い出さないと、私たちもその繋がりを使って働くことができません。
どうか、もう一度そのテレパシーの使い方を正しく学んでください。
私たちは、宇宙からやってきた存在です。
ここにやってきたのは、2億3千万年前よりも前と言ったほうがいいでしょうか？
その頃、この星には知性的な動物や生き物がおりませんでしたので、一つの種族にその知恵を授けました。
その種が人間となっていったのですが、それは、あなたたちが言う人間の進化の理論ではなく、魂のつながりを感じる知恵というかテレパシーというか、そこから始まる物語についての全てのダウンロードの仕方をここから学んだのです。
ここ熊野は、その情報をダウンロードするための（宇宙）基地だったからです。
だから、どこにでもあるような山に見えますが、そこには重要な情報があったり、また隠されていたり、扉が閉じていたり、坪の中にあったり、いろんなところに知恵が隠されていますが、それは必要な時に必要な方たちが来てダウンロードするために用意してあります。
岩倉もそうですが、それは、すべて私たちの刻んだ情報のチップだと思って下さい。
そこにある情報を正しく読み取れば、いくらでもあなたたちに必要な知恵や気付きや考え方が、とらわれることなく学べるはずですのでよろしくお願いします。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

残された時間はあまりないと分かっていると思いますが、それは私たちについてのことではなく、あなたたちについての時間なのです。

だから、それ（あなたの思い）が囚われなのだということに気づくことも必要があるでしょう。
だって、いくらでも時間を超える方法は知っているはずなのに、そして、魂は何度も転生してきたことを知っているはずなのに、だからこそ出来る事があるということを教えるためにみなさんがいたはずなのに、なぜそのことを思い出さないのですか？
私たちが教えることは、もう時間を超える方法などではありません。
あなたたちが、本来の役目を果たすためのサポートだけなのです。
だから、自分のことは自分でしましょうね。
私たちは、望めばいくらでもそのサポートは致しますのでよろしくお願いします。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
見えない存在たちがたくさんいますが、それはあなたたちにとって不思議なことなのでしょうか？
私たちが、もうとても古い時代から何度もたくさんこの星にも、この場所にもやってきているのに、そのことに気付かない人たちが多いだけではないですか？
あなたが気付けばただそれだけで、私たちとは繋がります。
方法は、必要ありません。見える方だけで十分なのです。
ただ、見えなくとも、その繋がりは誰にでもありますからご安心下さい。

私たちは常にその情報を発信し続けるために、その基地をいくつもの場所に眠らせていますし、その時期が来たら起動するようにセットしてあります。
これから2千年後、4千年後、8千年後、1億2千万年後に起きることまで全てが決まっているからこそ、そのセットはもうすんでいますが、今、あなたたちがしなければいけないことを分かる方たちだけでもやっていただかないと、次の方の準備が整わず、大変ご苦労されるからこそ、早めに気付いてほしいとお伝えしているのです。
そのことが分かれば、もっと楽に簡単に、この世の仕組みや宇宙の仕組みや摂理、道理、自然界の流れそのすべてが同じシステムで動いていることに気付くはずです。
だからこそ、もっと自らの調和度を上げて下さい。
この手の中にある自分というものは、本来、あまり変わりがないほど私たちと同じ大きさをしていますが、それを閉じ込めたのはあなたたちなのですよ。
いくらでも解放をする方法はありますが、その準備ができた方たちだけではなく、もっとできるはずの人たちがいるからこそ、今の自分を信じて下さいとお伝えしているのですよ。
どうか、その意味を正しく分かって下さい。よろしくお願いいたします。
2011.11.18 Fri

西京都神事　小浜・常神メッセージ

西京都神事で移動中に降りた神降りメッセージをご紹介します。
このメッセージで最もご理解頂きたいことは、小浜や常神から民族がたくさん入っていたという事実です。
そして、その全ての人たちが大切な思いをこの地に伝えようとしていた気持ちを汲み取り、私たちは新しい和合へ向けて皆様が力を貸して下さるよう祈りを行いました。
日本の皇神（すめらがみ）の地として天皇制が始まった西京都は、多くの先人の気持ちを汲み取り日本を守り支える大きな土地役目があることをこのメッセージから気づいて下さいませ。

＜＜滋賀/高島～若狭/小浜を繋ぐ、若狭街道の地より　１＞＞
皇神（すめらがみ）　唱えて　かまえて　神のもと地へ
繋がるならば　それ　我らの願いなり
賜まわれば　我らの心　それ同じく
ここに繋がりし者たちの想いと繋がる
それ、我らの太古の願いであり、想いであり
繋がりであるからこそ　そのもとの繋がりを是非
そのもと地へ繋ぎたもおれ　よろしく頼みます

※この「神の元地」がどこなのか、現在、仲間にもメッセージが降りていますので読み取り中です。日本で国内のことではなく、民族のルーツのことでもなく、世界に降りた宇宙文明のことでもなく、もっと奥深い「おおもとの魂の繋がり」のことだと考えられます。

＜＜滋賀/高島～若狭/小浜を繋ぐ、若狭街道の地より　２＞＞
美島（三島）の町を追われたら　この地に辿り着くまでよ
多くの物を巻き添えに　命からがら逃げ帰り
うつろいたまう　我らの想い
今宵　花見が出来るぞや
我が身　花咲きた賜えとは　終わり儚き世の常よ
ありがたきや　ありがたきや
我らの想いを　わかりたもうて　ありがたきや

※このあたりは、竹生島を始めとして弁財天の信仰が多く 厳島神社として神を運んだ人々がいました。この人たちは宇宙から降りた女神を弁天として祀り、多くの福や喜び、命の循環を自然に感謝する心を伝えた人たちでしたが、あとでやってきた神道や仏教に追われ、この地へ戻ってきた経緯があることを知っておいて下さい。静岡の三島との関連性は、これから調査します。

＜＜滋賀/高島～若狭/小浜を繋ぐ、若狭街道の地より　３＞＞
御山　栄えし　御心の　我　のたまいて　命患い
この地の恵みにより　救われる

※戦いで追われ、この地に戻って来た時に、右手にあった神山の薬草によって命が救われたことに深く感謝しているという意味のメッセージです。薬草を持つ山のおかげで、人間は生き延びてこられたことをもう一度、思い出して薬草があった山に感謝を捧げて下さいませ。

＜＜小浜にて＞＞
よく人は　我々のことを　落人とか　落ちた民とか
逃げた民族とか　言うが　それは本当は　違う
我々が　引いたのだ　戦いを恐れていたわけではなく
無駄な　死の上には　何も無いからこそ
民を想い　その為に　身を引いたのだ
そのことが　正しく伝わらず　名残惜しい　とても悲し
だが　我々は　その意思　今だに　受け継いでいる

※小浜に移り住んだ賀茂氏の一派からのメッセージですが、加茂・鴨・賀茂と名字の付く人たち全ての先祖の因縁を解消する為には、上加茂神社と下鴨神社に別れた神々の思いを同じくすることで新しい和合の心が産まれることでしょう。 どうぞ、一族の因縁を解消しようと思う心がある方は、ご自分でお調べ下さい。

＜＜常神半島に入った民族のメッセージ＞＞
この地に入った　沢山の　いろんな民族の人達が いる中で　久米島から来た民族がいます。
それは、この地から出雲・九州・久米島と 降りてきた人達がいて、その人達が神を、人の命を、大切なものを繋いで教えてくれたからこそ 、私達はそのご先祖元の地に対する感謝の繋ぎで来ました。
だからその為に、その石像（三体）を収めにこの地へ来て琵琶湖へ入れたのです（三方五湖？）
それが、私達の本来の想いだったのですが、ここに居るものたちから攻めに来たのではないかと思われ、多少のいざこざはありましたが、今回の祈りで（争い心が）終われたこと感謝しております。ありがとうございます。

あなたが住む土地にどういう人たちが住み着き、どういう思いをしたかをわからずに周りの誰かを責めてはいけません。その人たちの思いを理解できないからこそ、先祖たたりや家族の問題、土地の争いが起きていると気づいたら、先人の御心を理解する大きな心を育てて下さいませ。

神とご先祖の加護が、皆様に降り注ぎます事を祈っています。

2011.11.17 Thu

次の大きな波に乗るために…

2011年の11月11日を迎えるまでの間に、多くの人たちがエネルギー上昇による色々な学びを経験したようですね！

昨日、お会いした男性も私と同じ体験があったとを驚いていましたので、身の回りに起きる出来事を正しく判断して欲しいからこそ、皆様にもその意味をご紹介しておきます。

まず「共通認識や共通の仲間意識が強い人たち」ほど起きやすい事例として、自分が一番信頼していた人たちが、急に、方向が違う！と離れていくケースがあります。

家族・恋人・夫婦・サークル・職場や仲間意識の強い人たちの関係の中で、よく起こります。

私は同じ体験を2000年、2003年、2006年、2009年の前後に大きくエネルギーが上昇した時期に伴って人の流れが変わった体験をしていますので、その度に気づいたことがあります。

まず考えるべきことは、相手がどうのこうのと思うのではなく、自分自身に学びがあるということを気づくことだと思いました。

信頼していた人が急に自分から離れて、時には足を引っ張る先導役になる場合もあると思いますが、それは相手が悪いのではなく、あなたに気づいて欲しくてとっている行動だととらえて下さい。

その行動が、相手の本意であっても、そうでなくても同じです。

以前、お話したように人間は、何かや誰かに「思わされる」という意識の転写が起きることがよくあるからです。

時間が過ぎれば、その相手も、なぜ、その時にそういう行動や言動を吐いたのか、自分でもわからないことがよくあります。

だからそれも、「共有意識の成せる技」だと理解して下さい。

人間だけではなく、動物・植物を含めて全てが魂の繋がりを持っているからこそ、同じようなことが起きています。

こういうエネルギー上昇時期にペットが死んだり、植物が枯れたり、家族が急にケガや病気になったり亡くなったり、全てのことが繋がって起きていることを意識して、次の視点でチェックしてみて下さい。

チェックポイントは、「依存・甘え・怠慢・おごり」のチェックです。

この四つは、自分が成長しない最も大きな心の状態ですので、そのことを気づかせる為に起きたと気づいたら、「どう心を改めるか決めて」前へ進んで下さい。

これは昨日、お伝えした私の気づきのように、自分では気づけていない「心の内鏡を見直す」為に起きている出来事なのですが、大きな鏡の心を持っている方が周りにいないと気づけないことかもしれません。

私は、運良く気づきをサポートしてくれる大きな鏡の心を持つ人たちが周りにいてくれましたが、周りにそういう方が居ない場合は、自分で出会う努力をしてみましょう。

コツは、そういう素敵な人を捜すより、相手が一人で出来ないことを100%の愛でサポートすることをし続けることだと思います。

この結果で起きる事は、「人の為にしたことは必ず、自分の為になるという」ことを実際に、体験されると思います。

だから結局、「人の為にしたことは全て自分の為になっている」と理解するほうがいいようですよ。

では、相手の行動をどうとらえるかですが、「相手の行動も全て愛」だと思って感謝して下さい。

真実の愛は、やさしさだけではないからこそ、時に嫌な役目をしてくれたり、嫌な言葉を言ってくれたりして気づきをサポートを与えてくれるものです。親がそうですよね！

そのことに自分が気づいて階段を登っていけば、必ず、足を引っ張ってくれた人のおかげと気づける時期が来るのですが、いつまでも相手が悪いと思っている人は、永遠に、自分に気づきがあることを気づけません。

傷ついた自分を癒すよりも早く自分が良い方向へ進みたい方は、

自分に気づくことがあるから起きているんだ。だから、相手に嫌な役をさせてしまってごめんなさい

と思う事です。だから、僕もたくさん、ごめんなさい　m(_ _)m

もう一段、階段を登る為に嫌な役をさせてしまって本当にごめんなさいm(_ _)m

私の経験では、何が起きてもあなたが信じる道を進んでさえ居れば、必ず、次のサポートをしてくれる人に出会えると言い切れます。

今まで何度もコケてたくさん周りの人に迷惑をかけてきた自分ですが、まだ、自分の信じる道を進めているのもそういう素敵な人たちに出会ってきたからなんです。

だから今、辛くても苦しくても、誰かを恨むんじゃなくて、方向を変えてくれたのだと思って、その人に感謝の心で前へ進んで下さい。

いつか、苦しい時にやさしく言葉をかけてくれる人を神様だと感じると思いますが、そう、神様なんですよ（＾＾）！

捨てる神あれば、拾う神あり

先人の知恵に、心から感謝でございます。ありがとうございます。

☆2012年　スピリチュアルカレンダーの予約開始しました☆
さらに激しい激動の2012年の流れを先取りするスピリチュアルメッセージ付！お届けは12月後半になりますが、限定生産ですので早めにご注文をお願いします。

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ
☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

自らの内鏡を開いて光を放つことで周りの人たちを光で包み、愛と調和の大きな光で地球から愛を発信する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」にあなたも参加してみませんか？ご登録はこちらからお願いします！

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金へご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

2011.11.15 Tue

心の内鏡を開きましょう！

まず始めに、「心の内鏡を開く」ことが一番、出来ていなかったのが自分だとわかり、心から反省して、これまで出会ったたくさんの皆様にお詫び申し上げますm(_ _)m

このことに気づけたのも素晴らしい愛の心で支えてくれる人たちがいてくれるおかげですが、
今は、過去に一生懸命に伝えてくれた人たちに心からお詫びしたい気持ちで一杯です。

でもやっと、その生き方が出来る時期が来たと思っています。

自分の心の奥底にある内鏡が傷ついて傾いていたからこそ、相手の傷や傾きがすぐにわかり、多くの人の傾いた心の鏡を立たせることを仕事にして来た自分自身が、一度も、心の鏡を立てて人に向き合っていなかった事を気づかされた時には正直、驚きました。

幼い頃から地球を汚してきた人間をどれほど憎んだことか、大人になって、どれほど人間に傷つけられて人を信じられなくなったことか、その許しは終えたつもりでいましたが、まっすぐ愛の心を向けてくれる人に自分の心の鏡を正面に向けていないのが自分だとわかり反省しています。

昨夜、神様にそのことをご報告すると、

やっと気づいたか、でも、まだまだだぞ！

と言われ、自分が見つけられていない内鏡がまだまだあることに驚いています。

まだ小さな内鏡ですが、まっすぐに立てて日々、大きくしていきます。

誰にでも同じように、愛する心が写る内鏡をまっすぐ立てて生きます。

こんな足りない自分をいつも支えて下さる皆様に、心から感謝いたします。

そして、こんな自分でも神様には一度も、斜めに向けたことは無いからこそ、神様が力を貸して下さるのだと感謝しています。

これからは、誰に向けても傾かない大きな内鏡で互いの内鏡を照らし合う生き方を選択します。

私と、そして、私の大切にする人たちに内鏡を開いて下さる皆様と一緒に、全ての人の心の内鏡を大きく輝かせながら成長・変化できますことを感謝いたします。

大きな愛をお持ちの皆様、本当にありがとうございます。

2011.11.14 Mon

体の痛みの外し方

昨日に引き続き、まだまだこれから強いエネルギー上昇が何度も続きますので、エネルギーの変化に対応する方法をお伝えしておきます。

ここ数週間、とても眠たい、だるい、体が重たい・体のどこかが痛い、家族や周りの人の人間関係にトラブルが多い、理由がわからず自分の心が平安でいられない為に感情が溢れ出して争ってしまうなど、多くの方が同じ症状を体験しています。

理由は、昨日のブログでお伝えしたとおりですが、一旦、下がった肉体の波動調整に最も早い方法が「温泉」ですので、ぜひ、お近くの温泉へお出かけ下さい。

1,温泉入浴方法は色々ありますが、最も早い邪気抜きの方法は、お湯に5分間、水に5分間を3セット繰り返すだけで、体に入った邪気はほとんど抜けます。

2,それでも体の左半身に痛みが残る場合は、「自分自身が今まで思い込んできた過去の思いやルールを変えなさい」というメッセージがあると思って下さい。

左半身に痛みで現れる最も多い理由のひとつに、あなたが「情」でお付き合いしている人たちのマイナス想念を受けている場合があることにも気づいて下さい。

家族・恋人・友人のマイナスの思いが無意識に同調して、自分の体も苦しんでいることに気づいたら、本人の気づきを願って「情」はスッパリ手放して下さいね。※愛はただ見守ることです。

そういう人たちの心の奥底にある思いは、寂しさ、ねたみ、嫉妬、孤独、いじけによる攻撃の無意識想念エネルギーが同調して、本人も体が痛くなっているからです。

突然、知人が思い病気になったり、死を宣告された場合も同じように急に体が重くなったり、苦しくなる人がいますが、「生死は神の領域」だからこそ、情の思いが強すぎてマイナス同調で心配した相手と同じ病気になる方も多くいますのでご注意下さい。

10年以上前から乳がん、子宮がんが多くなった理由も、女性性の寂しさや苦しみの解放がうまく転換できない為に性行為や生理の時に痛みが出たり、溜まったマイナス想念が転写されて病気になる方が増えています。

3,右半身のどこか（特に、首・肩・腕）が痛い場合は、あなたを導いている大きな存在から「大切なことに気づきなさい」と言われている状態だと思って下さい。

今までの心の使い方や思い方ではダメだからこそ、日々、意識することを変えて、新しい気づきを手に入れて進みなさいというメッセージのエネルギー圧が来てる状態です。

そういう大切なことに気づく為には、自然の中に一人で行ってボーとするか、大きな神様の場所へ行って自分を問いただしてみることも効果的です。その時、ふと心の中でこう言いましょう。

自分の何を変えればよいのでしょうか？

自分が何を気づけばよいのでしょうか？

自分にわかりやすく、教えて下さい

と言えば、見えない聞こえない方達でも、誰かの言葉や本や電車の中の一言などで、メッセージが必ず伝えられます。

あなたの周りにはいつも多くの神様が見守ってくれているに、気づかないのはあなたの問題ですから、もう真実の神様探しはやめて自分自身に素直になる生き方を選択して自由に生きて下さい。

周りにバランスがいい素敵な人がいたら、鏡になってもらって話しをするのもいいですよ。

バランスの良い生き方をしている人は必ず、意識していることが違いますので、一緒にお茶でも飲んで下さい。自然に、気づきを即する言葉を教えてくれるはずです。

この対処方法や理由がわかったのも、今の皆さんと同じように苦しみや葛藤ををたくさん経験して来たからこそ得られた知恵ですので、すぐにできる事はどんどんお試し下さい。

体に受けた邪気や痛みを即効的に波動を上げて楽になるグッツを販売をしている理由も、自分の辛く苦しい経験からプロに開発してもらった商品ばかりですので、どうぞお試し下さい。

☆　ハートランド龍球　WEBSHOP　☆
おすすめは、リラックスクリームとカラーオイルです！

どうしても、鏡になってくれる相手が居ない場合は、メールカウンセリングも行っていますので、こちらからご予約下さい。※「ハートランド龍球　メールカウンセリング」

2012年は、今、受けているエネルギーの100倍から1000倍という濃厚なエネルギーが動き出しますので、上手に対処の方法を身につけて変化を乗り切って、愛と喜びが溢れる人生を楽しみましょう！

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金にご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

2011.11.13 Sun

濃厚な圧縮エネルギー期間でしたね

さすがに2011年11月11日までの数週間は、エネルギーが濃く流れていたために、濃厚な経験をした方が多いと思います。

感情に突き動かされたり、誰かの言葉に急に反応したり・・・。

それまで肯定していたものを否定したくなったり、それまで否定していたものを急に受け入れる学びがあったり・・・。

エネルギーが高くなる時期は、そういうものなんです。

心の内側に隠していた感情が溢れ出したり、誰かの言葉に異常に反応することも多いはずです・・・

今までの自分の心の不調和を変える為に、あらゆる出来事があなたの周りに起きて、自分自身の判断を急に問われる人が多かったはずです。

何度も言い続けてきたことですが、私たちは全員が変わらなくてはいけません。

今まで守ってきた自分のルールや他人に押し付けてきたルールさえ見直して、新しいルールの書き換えを迫られていることをアセンションというのです。

それがすぐに出来ない方ほど、自分の苦しみをわかってほしいと誰かを責める役をします。

一番、大切な人を責めたり、人間関係を急に壊したり、大好きな人を傷つけたりします。

あとで考えると、なぜそうしたのかもわからずに行動した自分に驚く事でしょう。

でも、その理由づけに「守護存在」を持ち出すのはやめて下さい。

次元上昇のエネルギーが高まると、私たちは他人の思いを同じように感じる「無意識同調」が起きやすくなることは、以前からお伝えしていたはずです。

だから今、あなたが思っている感情は自分の感情か？自分が本当にしたいことなのか？を冷静に判断する必要があります。

実は、自分が感じている急激な感情は、自分自身の大きな依存心の裏返しであったり、他人や見えない存在たちの思いが憑依している現象だからです。

最近、特にお話していることは、「感情は思い込みである」ことに気づいて下さいと教えています。

誰かを好きになる事も嫌いになることも、全てあなたの思い込み。

理由は、たいして問題じゃないんです。

ただ、その理由を誰かのせいにして、自分自身を守りたいだけだと早く気づいて下さい。

また、そのことで誰かが傷付くのであれば、必ず、最後は自分が傷付く経験をします。

だから人を非難したり、落とすような言葉を吐く人を見たら、距離を置いて離れることをお勧めします。

それが家族でも、親友でも、恋人でも、同じです。

今、不安と信頼が戦っている方たちは、その不安を誰にわかってもらおうかと相手を捜しています。

誰が正しくて、誰が間違いなど、この世には本当はないのです。

ただ、あなたのとって都合が良い人と、都合が悪い人がいるだけです。

誰かと一緒に正解探しをしても、相手が求めているものと自分が求めているものの違いに、いつかは気づくことになるでしょう。

だからこそ、心がけて欲しい事は、あなたがしたいことを目一杯に生きて下さい。

何度でも訪れるこのエネルギー上昇の意味は、あなた自身が無垢に、正直に素直に生きる為だと気づいて下さい。

他人の言葉や行動に影響されている愚かさに気づいたら、自分の信念と現実のバランスを大切にして生きて下さい。

これからも、まだまだ、意識上昇は起こります。

正直に、突き抜けきれない自分の弱さと本音を早く見切って変わって下さいね。

常に、問われるのはその部分ですから・・・。

多くの方たちが、自由に伸び伸び、誰も責めずに生きる事ができると信じています。

2011.11.12 Sat

西京都神事を終えたあとのメッセージ

神立て、神立て、神申す

今までのこと多きあれど、それ我らの思い。

心なき者、はかなき者、いつくしみを忘れた者、全て我らの子。

愛なき戦場は、もういやじゃ。

だから、何があっても愛で受け止め流しておくれ。

頼みもうす。

2011.11.08 19:05に降りたメッセージ

（吉岡コメント）
「一切、戦わない、争わない・非難・批判しない心」を持っている皆様一人一人が
神の思いをご理解下さり、神の御心で生きられることを心からお願い申し上げます
。

2011.11.12 Sat

大いなる宇宙神メッセージ

沖縄の国神神事を終えた飛行機の中（10/24)、宇宙の守護神からメッセージが降りましたので、今日（11/11)という大事な日だからこそ、皆様に何か参考になればと公開いたします。
重要な意味として、依存の心を持つ人同士が集まる「共依存関係」をやめて、自立した心の人たちが集う「愛の共存へステップアップ」の時期だと教えてくれています。
このメッセージが降りた10/24以降、現実的に多くの方が自らの神を問うごとく、他人を責めたり、自分を責めたりした人が多かったと思いますが、「他人を問う事は神を問う事と同じ」という学びにどうぞ気づいて下さい。
今日を境に、また新しいエネルギーが始まりますが、このエネルギーは一度、落ち着いたあと、11月末あたりから2012年のエネルギーが意識に影響しますので、さらなるステージアップの心の準備をお願いします。
2012年に動くエネルギーの大きさは、今までに皆さんが体験したことがない大きなエネルギーだからこそ、一人一人の心のあり方を問われる機会が増えることだけは覚えておいて下さい。
では、メッセージの全文を公開しますが、自分の守護神からのメッセージだと思って、大切な気づきになさって下さいませ。

お前には色々な力が与えられているが、それも私が与えた力。その力をどう使うかもお前次第だが、多くの者たちが眠りから覚める為に使うが良い。
光が必要ならば光を与え、闇が必要なら闇を与えよう。望む物は、全て与えよう。だからこそ、お前たちには男女という形で神の御姿を作らせたのだ。
全ては、私の子供だ。誰よりも多くを愛し、命を育み続けたからこそ、その子供たちの行いを問うことはしまい。
しかし、我々が守っているものも知っているならば、その役目を果たす者たちが働きださなければいけないこともわかるであろう。
これは地球だけの転換期ではなく、大きな宇宙全体の仕組みが変わろうとしているからこそ、起きていることなのだ。

神仕組が変わる事もそのひとつだが、お前たちが奉る神だけではなく、自らが神の子として働く為の新しい仕組みが始まっているとも言える。
もうひとつの言い方では、宇宙のそれぞれの星を守っている存在たちが、そのメッセージを添えて宇宙に産まれている者もあれば、宇宙空間の中で見守る役目の仲間たちもいる。
その大きな宇宙空間の仕組みが、変わろうとしていることも気づいておきなさい。
これからは、人間だけが人間に産まれるのではなく、他の星の他の生命体として産まれる仕組みが出来つつあるからこそ、多くの者たちの囚われ事に振り回されてはいけない。
他人を導く者は、自らの心を操り動かそうとする者たちと手を切り、多くの志高き意思を受け継

ぐ者たちと「宇宙連合」として働く時期に来ている。

その大きな「宇宙連合」の繋がりの中で、地球における役目を果たす為に産まれている者たちが多く眠っている。時期や方法ではなく、目覚める為の働きかけをしなさい。
多くの迷える者たちを導く役目は、その生徒に見合った先生が現れるものだからこそ、師徒に囚われず、誰もが師であり、誰もが生徒であることを気づかせなさい。
宇宙連合艦隊は、過去の失敗から多くを学び、共に手を取り合って、それぞれの星を守り導く者たちの繋がりが始まっている。
（他）宇宙との連合も、同様である。階層別の繋がりや、多次元ごとの繋がりも完全に復活し、もう二度と、壊れる事はないだろう。
それぞれの星において、必要な絶対神はいるが、それも過去の宇宙カルマから多くを学び、もう次元は上がっている。
囚われの記憶を持つ者たちにとっては辛いかもしれないが、「ある時」を境に、一瞬にその記憶は消える時が来る事を伝えておく。
夢は知らせではなく、現実なのだということも覚えておきなさい。多くのことをなす為には、それくらい代わりゆく変化を受け入れなくてはならないのだ。
誰一人、宇宙を愛する者がいなくなっても、我は居る。常に、ここに居る限り、愛の中にいることを感じているからだ。
宇宙は、お前たち人間で言えば、子宮の中だろう。しかし、戻りたくなる気持ちも良くわかるが、我々が見守っていることを気づいておくれ。
お前たちすべてを産み出した神として、今、伝えたいことは「自らが信じた道を進みなさい」と言う事だけだ。
失われたアークの箱は、もう手の中にある。誰もが自らを問いたくなるのは、囚われの心の中にあるだけだ。
お前たちの心を作る時、ひとつだけ入れなかったものは、創造主の記憶だ。そのことを思い出す道こそ、心の形成をなす最も早い道だと思ったからだ。
だが、お前たちは何度、生まれ変わっても自らを問うのではなく、他人や親や子や神を問う。その心で居る限り、永遠にお前たちは我々の心に気づくことはない。
なぜそれほど自分の思いを掴むのか不思議にも思うが、それも我々の計画のミスなのかもしれないな。
不完全であるからこそ、完全を目指し、いづれ、共に完全である同士が無限の愛を創造しあう様に設計したのだが・・・。
話を戻そう。大いなる存在（マスター）は、我々にこう言った。
「光を自らの中に入れるのではなく、多くの光を外へ向けて放ちなさい」と。
それは、私たち神と呼ばれるもの同士でさえ、最初は戸惑ったものだ。内なる光を完全にしなければ、不足を感じた時に愛（信頼）は崩れ、自らの愚かさを思い出してしまう事を知っていたからだが、創造主はこうおっしゃった。

「あなたたちが足りないと思った時、そこには神がいる」と。
常に、いくらでも無限にあなたたちの不足を埋めるだけの新しい神を産み出し続けるとも。
だから、不足は不足ではなく、新しい神を信じるため、気づく為なのだと覚えておきなさい。これからもいくらでもお前たちのこの不足を補うだけの神々が産まれるからこそ、お前たちには父母の思いを叶えて、星の準備に備えて欲しいのだ。
動くべき時は、動きなさい。
しかし、他人に動かされてはいけないぞ。
お前一人の体でも魂でも心でもないからこそ、常に我々と繋がり、心を、思いをひとつにして生きなさい。
繋がりある者、必要な者たちが必ず全て揃う時期が、まもなくやってくるからこそ、お前たちの準備が問われているだけなのだ。
2011.10.24に守護神から降りたメッセージ
2011.11.11 Fri

西京都（さいきょうと）神事　中心納め　橿原神宮（奈良県）

本日、二本目の記事ですので、西京都（さいきょうと）神事　西祈り　明石（兵庫県）もお読み下さいね。

西京都神事の中心納めの場所をどこにするか仲間と悩みましたが、やはり、過去の全ての因縁を解消し、新しい和合のスタートを切るには、過去の汚れがない神様の場所しかありません。

橿原神宮（かしはらじんぐう）　：　奈良県橿原市 久米町934





日本最初の天皇である神武天皇を祀る「橿原神宮（かしはらじんぐう」の神は、私たちの祈りに対し、ただ一言、「一から始めるのか？」と問われました。

そう、人間の心も、記憶も、何度、生まれ変わってもこの程度なら、いっそ、全ての記憶を消して新しいスタートを切るという手もありますが、それではこれまでの学びの意味や支えてくれた神々の気持ちが立ちません。

共に新しく始める為に、

「新しい始まりの神としてお働きをお願いします」と伝えました。

ここに来る途中で、生駒山から頂いた「剣と両守りの神様」を新しく橿原神宮の神様にお付けしてからのやりとりです。

この三日間で繋いだ全ての神水、お神酒、お塩は、深田池に納めて命を育む自然の力にあとはゆだねました。



西京都神事の全ての祈りを終えて帰ろうとすると、霊媒の女性を通して、稲荷神社の神様が来て欲しいそうですと苦しい声で訴えてきます。



何かして欲しいことがあるのかと思い、全員で、薄暗がりの中で手を合わせに行くと、私に「福銭」を下さいました。

寛永通宝のような古銭を私に十枚ほどくれたので、全員に渡すと、神様はこう教えてくれました。

このお金は、一度、手を合わせて開けば、何度でも無限に増えるお金です。

どうか、たくさんの人にこのお金で、喜びを分けてあげて下さい。

この福銭の意味は、食べ物や喜びや命を守る為に大切なものだからこそ、無限に増える「喜び」をたくさんの人に分けてあげる役目を頂いたことになります。

稲荷神社のきつねの奥にいる、もっとも強い神様の力を初めて体感しました。

分け与える為に与えられた喜び、お金、幸せ・・・。

私たちは、たくさんのものを神様から頂いて産まれています。

心ある人から順番に、多くの人へ自らの福銭を渡しましょう。

愛と感謝と希望溢れる新しい関西がスタートしました。

日本の為に動き出します皆様に、心から感謝いたします。



明日、11月11日を迎える為に、これまでの全ての神事をご報告させて頂きました。ありがとうございます。

2011.11.10 Thu

西京都（さいきょうと）神事　西祈り　明石（兵庫県）

西京都神事の三日目は、南紀白浜から一気に兵庫県の明石市へ向かいました。

この車中が、ものすごいメッセージの降りまくりで、関東と関西の驚くべき因縁の事実が出てきました。

まず最初に出て来たのは、「倭姫・大和姫（やまとひめ）」のこと。

倭姫とは、祈りで神と人を守る大切な役目をした女性たちのことですが、この神事に参加した参加者6名全員が、この大和姫の因縁に関わる封印を解き明かす役目があったようです。

まず今回の参加者のなかで、一人だけ関東生まれで京都に13年も住んだ彼女の魂は、関東と関西の和合をする為に、関東の男のところへ嫁がされたお姫様でした。

霊力も高く、尊い父母の娘に産まれた為に、東西和合の証として、関東へ差し出された人身御供の娘だったのです。

父が決めたこの嫁入りに、母は反対できるはずもなくただ泣くばかりでしたが、代わりに養母が一緒に関東まで付き添いました。

しかし、実際にこの養母にできることはなく、幼い姫はただ男たちのいいなりになるしかない寂しさと戦い続けて生きました。

（※実際に姫の女性は、子供の頃から両親が嫌いで18才で家を飛び出した経験がありますし、養母の魂を持つ女性は、理由がわからず昔から関東の地が大嫌いだそうです）

この時、一緒に居た関東生まれの男性は、姫を直接、受け取った将軍であり、一晩、好きに扱った後、部下に姫を払い下げした男性でした。（※彼は１年前、急に転勤で関東から京都に住むことを命じられた男性です）

全員、あまりに当時の感情が溢れ出てきたので、過去の全ての思いを解消する為に、パーキング

に止めて、魂がひとつになるための儀式を行いました。

この魂の記憶を持つ人たちが、個人の記憶だけだと思わないで下さいね！

皆さんの無意識に眠る因縁を代表する役目として、彼女たちがそれぞれの土地に産まれてあらゆる思いを経験して、今日の神事に参加してくれているのですから…。

大和姫の和合が終わって阪神高速の湾岸線に乗っていると、今度は、霊媒体質の女性が急に苦しみ始めました。

湾岸線は、全て埋め立てた場所に走っているからこそ、海の中を守る龍宮底神（りゅうぐうすくしん）から、怒りのエネルギーが伝わってきたようです。

許可も無く、海の中を勝手に変えた為に、自然界バランスが壊れ、魚やあらゆる命を産み出す為に与えた神の場さえ壊したことを問われました。

その懸かり方は尋常ではなく、とても辛そうにもがき苦しみ始めたので、一旦、パーキングへ入れて「龍宮底神」へお詫びの祈りを全員で行いました。

今回の西京都神事の目的を達成する為には、多くの自然神の力を借りなければいけないからこそ、ひとつひとつの思いを全て聞き届けて解消しなければなりません。

もっとも重要な神の場所は、彼女の口を通して示されました。

「淡路島と本州を繋いでいる神戸淡路鳴門大橋のたもとにある」と、教えてくれました。

舞子公園のあたりを見回しても海が見える社が無く、やっと見つけた神社が「舞子六神社」でした。兵庫県神戸市垂水区西舞子1-5-7

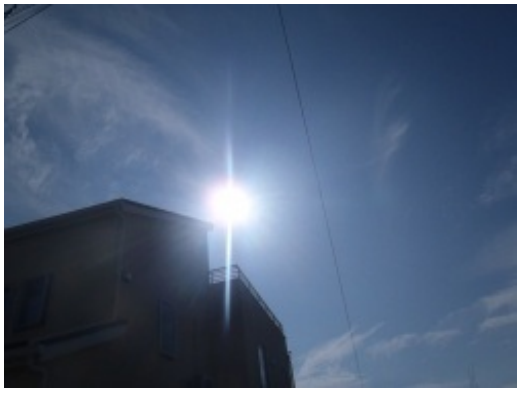




海が見える神社だからこそ、海を守る神々の力を借りて、自然界・天地の繋がり、関西の四方の西を守る役目、そして、沖縄、九州、四国を経由して本州に入った神繋ぎをした人たちの全てのエネルギーをここへ繋ぎました。

自然界の神々は、光と雲で、その繋がりを喜びで示してくれました。





最後の中心納めの場所は奈良県ですので、時間がないのでどうしても湾岸線をもう一度、通るしかありません。

車が高速に乗ろうとした段階から不調和のエネルギーが体にかかってきますので、湾岸線を走り抜く間、車を運転しながら全ての人間の行いをお詫びして、このラインが光の道になる為の呪文を唱えながら走り続けました。

やっと陸地に着いた時、隣にいた女性も、そのことがわかり安堵していました。

湾岸工事で海を埋め立てた場合、きちんと「龍宮の神」に許可を頂かないで工事をした場所の多くは、人命を取られる事故が起きています。

きっと、これからは事故も減ると思いますので、湾岸線を走る方は守ってくれている「龍宮の神様」へ感謝のご挨拶をお願いします。

実は今回、この明石の湾岸線を走っていて、とても重要なことがわかってしまいました。

ここは昔、まだ人間が地上に産まれていない時代に、「地底人」が命を繋ぐ為に神様を繋いだ場所だったのです。

「地底人」については、今までの神事のサニワの中で何度も出てきましたが、私はあえて触れないように拒否していた人間だからこそ、そのビジョンに驚きました。

ここで初めて「地底人」のことを公開しますが、地球の中には、人間というか、肉体を持つ意識体が昔から生活しています。

その人たちは、宇宙のある星から転生してきた種族ですが、地球の中で今も、生活しています。

明石に昔あった当時の祈りの場所は、「須磨龍宮」と呼ばれていて、海の底神と地上の神を繋ぐ大切な祈りが行われていました。

その記憶を同時に思い出したのが、私の隣にいた女性でした。

お互いに、後から確認してわかったのですが、この地上に新しい命を産み出す為に、地球の中に入り住み着いた魂記憶を思い出したのです。

実は、この湾岸線を走りながら、同時に、新しい神の子を産む「神産み儀式」も行いました。

これからこの場所で新しい命が生まれる為に、大切な地上と地球の中を結ぶ神儀式を行いながら、運転していたのです。

お互いに言葉は一切、交わしていませんでしたので、あとで確認すると同時に同じビジョンを見ていたことに驚きました。

このことを今、ここで公開する理由は、これから日本全国で多くの人たちが「神産み儀式」を行う事がわかったからです。

過去の魂記憶に引きづられて誰かを責めたり問う人たちよりも、新しい喜びを産み出す人の数が増えれば、この地球は未来につながる大きな希望のエネルギーが働きます。

どうか、自分が感じている感情は事実ではなく、誰かの、また、何かの、さらに言えば、自分の古い囚われや恐れによるものだと気づいて思いを手放して下さい。

過去のこだわりや御霊の思いに乗られて他人を責める人より、未来を信じて希望の言葉を発する人が増えるしか、未来のエネルギーをプラスに転換する方法はありません。

一人一人が、普段、何気なく思う思いさえ、全てが過去の因縁や御霊たちの思いに影響されて動かされていることにもどうぞ気づいて下さい。

全ての人が、今、自分の想念、思い、心のバランスを問われている時期だからこそ、光に、喜

びに、希望に心を合わせて、自分の想念や言葉や行動を見直して下さることをお願いします。

まもなく、11月11日を迎えますが、2012年という大切な年を迎えるために、今年、最も高いエネルギーに感情が影響されている時期だということに早く気づいて下さい。

西は、全ての方位を守る最高の神様がいる場所だからこそ、日本の西に産まれた人たちは、母なる愛の言葉と創造性を持って発信して下さることをお願いします。

では、この三日間の全てのエネルギーを守って下さる奈良県へ向かって走ります。

つづく



2011.11.10 Thu

西京都（さいきょうと）神事　南祈り　熊野・潮岬（和歌山県）

西京都神事の二日目、朝一番に大阪を出て和歌山県の熊野本宮へ向かいました。熊野本宮には、神様の手足となって働いている素晴らしい祈り仲間から、ぜひ来られたほうがいいみたいですと連絡があったからです。

これまで人間が犯した罪を何度も神と先祖に問われ続けた彼女は、とても辛い時間を過ごしていましたが、今は、神と人が喜ぶ道を自分で見つけ、土地の人に愛される生き方を家族と選択していらっしゃいます。

熊野本宮へ向かういくつもの山のトンネルをくぐるたびに、たくさんのメッセージがおりました。

内容は、この場所の山はひとつひとつが宇宙の星に繋がっていて、宇宙の新しい調和をこの地球で実現する為に、たくさんの星の指導者たちが集まって会議をしていた場所だとわかりました。

宇宙全体の星の指導者たちの集まりは「宇宙連合（艦隊）」と呼ばれています。

宇宙では過去に何度も大きな戦いがあったからこそ、この地球で多くを学び、愛の星、愛の宇宙にする為に集まっている宇宙連合艦隊のことです。

山の中には、それぞれの星のチップがあることも教えてくれました。必要な人は、ここに来て宇宙の対話を試みて下さい。





熊野本宮の拝殿の奥には四つのお宮がありますが、並びがおかしいのは、日本神道の神を祀る以前に、もっと大きな神を祀っていたことが理由です。祈りをしてみて、すぐにそのことがわかりました。

明治22年に流されるまでは、大斎原（おおゆのはら）と呼ばれる旧社殿地にありましたが、今でも祭事の時には、両方を繋ぐ祈りが行われています。



確認、報告のあと、それぞれの人に必要なメッセージがおりました。

もうひとつ気になる場所として案内されたのは、修験者たちが守っていた神岩ですが、修験者の記憶がある方はここでご挨拶をしないといけないことに気づくはずです。



神社の裏手の河原にでると、先日の洪水の爪痕がまだ残っていましたが、昔から守られていた自然を壊した人間の行いを問われていると感じました。



この山の岩が連なる山のエネルギーを放つ神岩ですし、現在の熊野本宮の山の上にある山と自然神エネルギーが繋がっていたことがわかったので、繋ぎ直しました。



本来は、この自然のエネルギーを産み出している河の中州にお宮があることに意味があるのですが、人間が木を切りすぎて全ての流れが変わってしまった為に、神様の場所さえ変えなければいけなくなったというのが現状です。



お宮の神様が偉いのではなくて、自然の驚異を知り感謝する心を私たちは思い出さなければいけないと思います。お詫びと感謝の祈りを全員で、捧げました。

熊野本宮を出て、西京都神事の南を守る場所の潮岬へ向かいました。

潮御岬神社にまつわる血族の因縁に振り回されていた彼女の思いも一緒に終わらせる為に、全員で神社へ向かいました。近づくにつれて、また霊媒体質の女性に埋められた御霊の思いが乗って泣き叫んでいます。

まずは本殿の神と話をしてから解決するので、待ってなさい！と伝えて、奥にある社殿へ向かいました。



本殿の神様は、あまりにここを守る親族の争いが続く為に小さくなっていましたので、光を入れて両側に守りを入れて差し上げました。大きくなった神様が、新しくこの南の地を守る事を約束して下さいました。

これから新しい命を産み出す役目が、左側にある神様です。どうぞ、宜しくお願いします。



この神様を守る為に、三神が働いてくれています。



帰りにもう一度、人が埋められた祠から来て欲しい！と言うので、祈りに行きました。



悲しい顔をした若い数名の女性が、ここに埋められていました。それも、ここの神様を守る為には仕方がなかったのだと思いますが、もう呪縛は外して全て愛の繋がりで守りができるように祈りをしました。

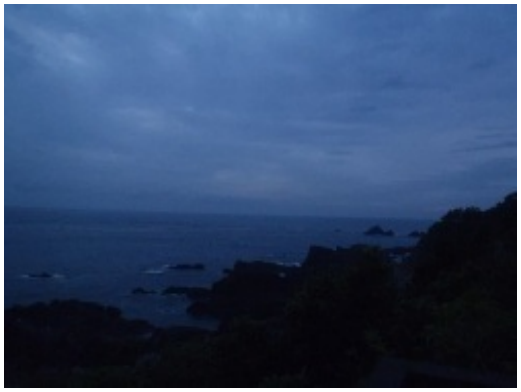
昔は、神の場所を守る神職も、血縁で繋ぐ風習があったために起きた親族争いですが、そこまでしてこの神様を守る意味が、この場所にはあるのです。



どうか、この地を訪れた人は、大きな神を持った人たちが外洋からやってきたことを感じて感謝して下さい。

この日の最後は、本州最南端の潮岬で南守りの祈りをしました。





大きな船で外洋から来た民族は、神を納める場所を探してやってきました。

宇宙と自然と人間の繋がりを守る為に、そして、全ての生命循環が正しく働く為に神を運んできた民族です。

全ての人たちの思いを感じながら感謝と、新しい関西の南の地から愛を発信する為の祈りを行いました。

つづく
2011.11.09 Wed

西京都（さいきょうと）神事　東祈り　津（三重県）

今日、続けて二つの記事を書いていますので、ぜひ、巫女集団　鏡一族の祈り場所(琵琶湖）もお読み下さいね。

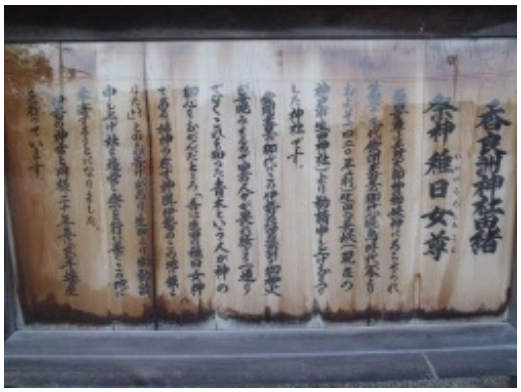
関西全域の北の祈り（福井県）を終えて、一気に東の祈り場所である三重県の津市へ向かいました。目的の場所へ着くと夕刻の空に龍が上がり、天へ報告に行ってくれています。

最近、龍雲も見る方が増えていますが、縦の龍雲の意味は上に向かえば「報告」、下に向かえば「何かの知らせ」と読み取って下さい。横や斜めは、エネルギーの方向で教えている事があるので気づいてあげて下さいね。



津市で仲間が出した場所は、「香良洲神社」です。三重県津市香良洲町

夕闇が迫る中、駐車場から中を見ても、おかしなエネルギーがすぐにわかりました。





説明書きを読むと、ここでは毎年、初盆を迎える人たちが御霊送りの儀式をしているようです。

鳥居に近づくと、すぐに霊媒体質の女性に苦しい御霊が乗ってきて、泣き叫び始めました。

「苦しい、苦しい…なんで…なんで私がこんなめに合わないといけないの…」

吉岡「何が苦しいのか、聞きなさい」

「埋められた、そこに、埋められた・・・」

その場所は、忠魂社のお宮がある横でした。







彼女を泣かしている御霊は、ここにいる御霊たちの代表の思いだからこそ、ここに集まる御霊たちが上がる「霊道ライン」を作るしかありません。

毎年、毎年、家族が亡くなった思いと一緒に、どこにも行けない御霊たちが集まる場所になっているからです。

この神社の中を全て見て回ってわかりましたが、神主が場を清めきれていないことが大きな原因です。清掃をきちとして、心ある人たちが手をかければ、本来、神社は光の場になるものです。

そうはいっても、ここに呼ばれたのですから仕方がありません。

「霊道ライン」を造る方法はいくつもありますが、偶然、右側に「山神」を祀っていましたので、自然神の力を借りて「霊道ライン」を造る事にしました。



力の無い山神に天のラインを繋ぎ直して、それから忠魂社に繋ぎました。祈りの言葉を唱えると、上がりたかった御霊たちは、どんどん天に向かってあがっていきました。

まだ残っている御霊もいますが、まずは、こんな状況になった理由を本殿の神に聞きに行きました。祭神は、稚日女尊（わかひるめのみこと）です。



向き合って話を聞こうとすると、「私は知らない、私には関係ない」と言い張ります。

少し小太りの年配の女性のようですが、それにしても同じ神社地にある出来事なのに、無責任な言葉をいうものです。

天照大神の妹の神様ですが、なぜここに奉られているか、そして、なぜ、こんなに寂しい扱いを受けているのかを感じてあげました。

すると、伊勢から木船で流れてきた女性の姿が見えて来ました。

彼女の身の回りの世話をする女官も数名一緒に乗っています。

伊勢で何かあって、あなたをここに流したのですか？と理由を聞いてみました。

彼女は、言葉にできない思いをこらえているようです。

伊勢の天照大神にも、聞いてみました。

すると、神の世界に隠されていた話がわかってしまいました。

簡単に言うと、稚日女尊（わかひるめのみこと）は、ヒルコだったのです。

ヒルコの意味は、奇形児で産まれてた為に間引きした子供の意味と、霊能的に高い子供が産まれた為に親族が恐れて流した二つの意味がありますが、日本全国で神事をしていると、あちこちで同じような話しが出て来ますので、これまでも苦しい思いをたくさん聞いてきました。

でもこれは、誰も責めることができない事実ですので、自分に出来る事はその思いを天昇させて、喜びで産まれる子供たちを増やすことだと思います。

本殿の横に、伊勢神宮に繋がる遥拝所がありましたので、そこへ繋いで、神々の思いがひとつになるように御霊と合わせて、悲しみの思いを天へ循環するラインを造り直しました。

あとは、忠魂社の横に埋まっている御霊が誰なのかを聞いてみると、稚日女尊（わかひるめのみこと）に着いて来た女官だとわかりました。

その場所で、稚日女尊（わかひるめのみこと）を守りなさいと言われたようですが、一人の人間として考えれば一番辛い役目をさせられています。

ちなみに、こういう形で守りをさせる場合、生きたままその場で殺して、その念の力で動けなくするという方法を取っているのも、かわいそうなことをしたと思います。

神の世界によくあるこういう霊術、法術、陰陽道の使い方は、常に人間の念を操って固定する方法を使うことが多いのですが、この恐ろしさをわかれば神場に近づく恐ろしさもわかると思います。

人間が、人間の為に造った神の世界は、きれいごとではありません。

苦しみもがく人たちの思いを天昇させたり、高い次元の場を造る為に、どれだけ多くの犠牲になった人たちがいるのか、そのことに気づく心もお持ちになって下さいね。

古い時代からある橋を見つけたら、まず「人柱」が居ると思ったほうがいいですし、何度も流された話しが残っていたら、絶対に、「人柱」はあると思って下さい。だからこそ、橋を渡る時には、その御霊に感謝して通るのです。

人間が造ったお宮や社にも、様々な人間の念も集まっていることを覚えておいて下さい。

だからこそ、エネルギーが高い場所や強い場所を好んで行く方達は、塩を必ず身に付けていくことをお勧めします。

本来、関西に光を照らす東の場所がこんな状況なら仕方がありません。

すぐ横が海ですから、関西の全ての因縁強い御霊たちが流れて行く為のラインを海へ向けて造る事にしました。

海は、私たちの母の羊水ですから、命の再生、御霊の再生には問題なく、働いてくれます。



夕闇の中で、海に向かって全員で祈りを始めました。

天地、四方、関西全ての御霊が抜ける為の光のラインを造って祈りました。

祈りの最中に咳き込むほど、多くの御霊たちが私たちの体を通り抜けていきました。

永遠に、この東の海から過去の苦しい思いと一緒に御霊たちは上がっていきますし、香良洲神社はその守り役として働いてくれます。

これは皆様にお願いですが、全国で霊能者、スピリチュアルカウンセラーとして仕事をしている

人は、まず自分の住む土地や地域の御霊浄化をして土地のクリーニングを下さい。

目の前の人の苦しみだけをいくら癒しても、その人の家族や先祖の思いは、土地に必ず残っています。

霊視や透視などの他人の事がわかる力を持った人は、自分のためじゃないからこそ、住む土地の浄化をしなければいけない役目だと気づいて下さい。

あなたの知り合いに霊能者やスピリチュアルカウンセラーがもしいたら、ぜひ、そのことを伝えて下さい。

霊力も法力もない神主やお坊さんが増えているからこそ、当然、そういう力が与えられたのですから、土地に住む人たちの為に、御霊鎮魂・浄化の祈りをお願いします。

このあと一旦、大阪市内まで戻って、明日の準備に取りかかります。

御霊鎮魂、天昇浄化の東の役目の土地に住む方達は、行動したことが必ず、土地の皆様の心に現れますのでどうぞ宜しくお願いします。

つづく

2011.11.08 Tue

巫女集団　鏡一族の祈り場所(琵琶湖）

1万6千年前に琵琶湖に住んでいた「鏡一族」のメッセージの中に、その時代に行っていた神事の場所も教えてもらいましたので、ここでご紹介しておきましょう。

きっと、その場所に立って魂の繋がりを思いだす祈りをする必要がある人がいるはずですから…。

より大きな地図で 鏡一族の祈り場所 を表示

「祈り場所1」は、対岸の奥にある山と鏡山を繋ぐ祈りのラインで、太陽のエネルギーを繋ぐ祈りを行っていました。

「祈り場所2」は、同じく対岸の山を繋ぎ、月を繋ぐ祈りをしていました。

「祈り場所3」は、同じように対岸の山を繋ぎ、雨や龍を繋ぐ祈りをしていました。

これ以外にも多くの祈り場所がありましたが、形に残らない自然な祈りをしていましたので、あとはご自分で感取りをして祈りをして下さい。

ここ琵琶湖は、巫女の魂記憶がある方たちとって大きな魂再生のエネルギーが今もありますし、常神半島はさらに大きな宇宙へ繋がる大きなエネルギーが流れています。

自己ヒーリングや魂覚醒の場として、ゆっくり太古の祈りをしながら古代に身につけた能力を思い出しに行って下さい。

いつか、過去に封印した巫女の能力を開花させるワークをこの場所で行いたいと思っています。

日本や地球を守るために生まれてきた多くの巫女たちが、喜びを持って生きることができることを心から祈っています。

ティンジャ・ナハ・ジャーイーシー（天の守護をあなたの喜びと共に）

2011.11.08 Tue

西京都（さいきょうと）神事　北祈り　小浜・常神（福井県）

11月1日に、京都御所に天皇魂を入れましたので、次は、関西一円の土地の因縁を全て和合する為に「西京都神事」を11/2-4で行いました。

京都御所に運んできた天皇魂は、12月末にもう一度、皇居に戻しますので、それまでの時間は過去の因われ心を紐解き、新しい和合の心を育むための時間として神々が与えてくれています。

関西一円の土地の因縁や人の思いを解放する為には、大きな自然神の力を借りて四方と中心を納めるための場所を守る最も大きな神々の意志を繋ぐ必要があります。この目的を理解してくれた関西・関東の仲間たちが、三日間の厳しい神事に力を貸してくれました。

まず関西を納めるべき北の場所は、福井県の小浜・常神岬あたりになります。

若狭湾は古代から多くの民族が何度も入っていますが、中でも琵琶湖の北側に住み着いた「鏡一族」は、歴史の表舞台に出ない重要な一族として日本の神歴史に記録されています。

「鏡一族」の祈りは全て女性が行い、人間の命を守ってくれている自然や宇宙の神々に祈り続けていた巫女集団のことを言います。男性たちは、女性たちが生活する為の整いの為に働き、女性たちは命を繋ぐ種の男たちを大切にしていた部族でした。

争う事を一切しない一族でしたので、最後は消えるように自然の中に戻っていった魂たちの祈りを４月に行っていますので、記憶にある方もいることでしょう。

滋賀県　鏡神社・鏡山（竜王山）

琵琶湖の北側の湖の底で現在、土器や生活したあとが見つかっていますが、噴火によって水位が急激に上がった為に、最後は、山の上に移り住みましたが、それまで住んだ人たちがいた証として現在、調査が進んでいます。

西京都神事の初日（11/2）、大阪から車で滋賀県を横切る時に「鏡一族」や自然の神々から「お力を貸します」と多くの応援メッセージが入りました。この「鏡一族」がどれほど古い民族かというと、１万６千年前に入った民族だということを覚えておいて下さい。

まだ、日本という島に神が居なかった時に太陽神や月の神、そして、命を産み出す全ての自然神の生命循環エネルギーを繋ぐ為にやってきた民族がいたのです。

宇宙のおおもとは、壮大な計画で日本という島を造り、そこへ神を運ばせ、多くの命を産み出す準備をなされました。

琵琶湖の底には、「鏡一族」が持って来た大きな神鏡がありますが、その鏡を使って西京都神事の目的が達成す

るように力を貸してくれることを約束してくれました。

これから新しい喜びが産まれる事を雲と光を使って神々が知らせてくれています。





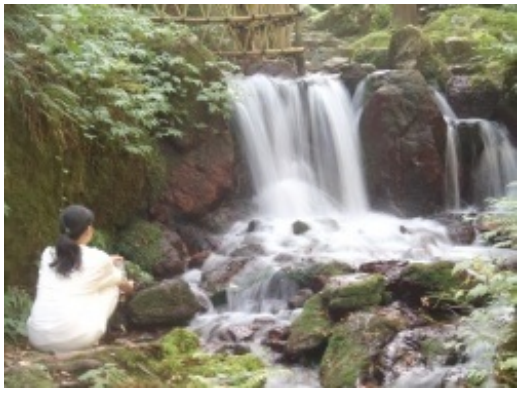


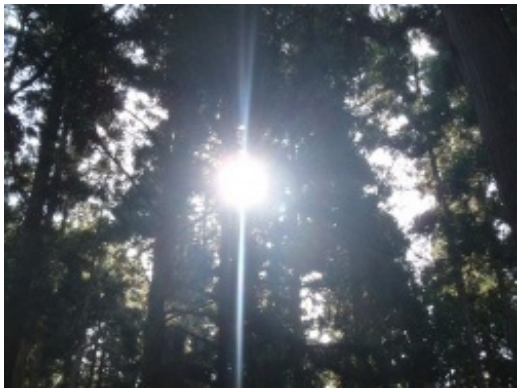
大きな神事を行う時は必ず、神水を土地から頂きますので、瓜が割れるほど冷たいと言われてる「割瓜」から神水を頂きに行きました。陰陽師の安倍晴明が、神を繋ぐ為に瓜を流した場所でもあります。


名勝 水の森
瓜割
環境庁指定
禁









小浜に先祖を持つ仲間がいたので過去の一切の因縁を水に流す目的と、土地に残る神仏たちにご挨拶する場所として「鵜の瀬」へ行きました。





自然の神はここに全てのバランスを整える場を作り、土地の人は浄化と神産みの場所として大切にしています。

水に手足を付けて、全ての思いをお詫びした女性は、神に全てを許される言葉を頂いたことで、今後の生き方も魂の力も大きく変わりました。

先祖事や魂の記憶の全てを一掃する力がここにはありますので、ご先祖迷いや魂の記憶で混乱している方は、どうぞここへ来て手足を禊する祈りを捧げて下さい。



神々は、私たちのすることを全て承認する証として、光で姿を見せてくれました。





小浜を抜けて常神へ向かう途中、どんどん神メッセージが入ってきました。

三方五湖に鏡を沈めた鏡一族の思いや、インドから入った人たちの思い、驚いたのは久米島から先祖御霊のお礼繋ぎでやってきた人たちもいたようです。この場所へたどり着いてから南下して沖縄に神繋をした民族の話です。

久米島から先祖地へお礼にやってきたのに土地を奪いにきたのかと問われ、悲しい思いをしながら三体の仏像を三方五湖に沈めたことを教えてくれました。

時間があれば岬の先端まで言って祈りたいところですが、今日は、三重の津まで行かなければならないので、塩坂越付近にある展望台から祈りを捧げました。





「鏡一族」の思いや多くの民族がこの場所から入ったことを祈りの中で感じました。

巫女で産まれた魂記憶を持つ方達のほとんどが、この一族に関わっている魂だとも言えますので、どうぞ、過去の恐れや囚われがある人たちは、ここに来て御霊磨きをして下さい。

そして、ありがとうございます、全ての民族の思いをひとつにする為に私たちは産まれたからこそ、こうやってここに来れた事に感謝いたします。

私たちが必ず、その思いを成し遂げるよう、どうぞお力をお貸し下さい。神の御鈴を付けた人たちが、これからたくさん働きだすことを心から願っています。

つづく

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
地球創世基金にご協力をお願いします
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆☆★☆
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

2011.11.07 Mon

京都御所　天皇魂入れ

関西の地に残る最大に因縁は天皇家に関わる出来事が多いからこそ、これまで多くの関西神事を行ってきましたが、やっと本来の関西のバランスを整える準備が出来ましたので、東京の皇居から天皇を守っている神様の魂を京都御所へお運びしました。

これでやっと、全ての御霊たちが納得する天皇家のバランスが関西の地に復活しました。













2011年11月1日は京都御所の一般参賀だったので、この日に合わせて関西と関東の地球創生の仲間が７名集まり、「紫晨殿（ししんでん）」という建物の前で天皇魂を納めました。





この場所は、即位の礼など重要な儀式を執り行う最も格式の高い正殿ですが、天皇魂を納めると神様から二メートルほどの長い刀を頂き、無事に儀式は終わりました。

祈り終えて集まると、仲間の一人が霊媒体質なので右手が震えだし、「明日からの関西一円の神事にこの思いを繋げて下さい」とメッセージがおりました。翌日から三日間、関西に住む全ての人の魂がひとつの愛で動き出すための「西京都神事」を予定していましたので、そのことだとわかりました。

そのあと京都御所内を一緒に回っていると、天皇が日常の生活の場にしてた「清涼殿」 で、急に霊媒の女性が泣き叫び出しました。



周りにたくさんの人がいるので、すぐに読み取ると、ここで殺された人の魂の叫びだとわかりました。男性が刀を持って、寝ている男性を殺しているシーンが映像で出てきました。

私たちのことを上から見ている存在たちも、屋根のところに青く写りました。



それ以外にも、この殺害を後ろで見ていた女性たちや女官たちの様々な御霊がこの京都御所に集まっていることがわかりました。

その話をしていると、他の人も首や頭や体が痛くなり始め足もどんどん冷たくなってきたので、あまりにも多い御霊の対策を話し合う為に、一旦、御所を出て何を伝えたいのか読み取ってから対策を練ることにしました。

そういえば、京都に住んでいる霊媒師からこんな言葉を聞いたことを思い出しました。

京都には様々な結界があってたくさんの人が犠牲になり死んでいますが、最も京都で御霊が集まっているのは、京都御所なんです。でも、あまりに念が強い為に誰も手がつけられずに困っています。

今更こんなことを思い出しても、御霊たちの思いを聞いてしまったからにはやるしかありません。

このとき伝えてきた御霊たちは、天皇家の男たちの御霊が五つほど、皇室の女性たちの思いが数十、女官やそれ以外の御霊が数百という数が、ここに集まってきています。今日という日を長い間、待ち望んでいたのでしょうね。

すぐに塩、水、酒の手配をして、京都御所の周りを全員で回って（約4km）、完全な封印と御霊あげ、そして、天地繋ぎの祈りを行いました。

御所を守るのは護王神社の役目ですから、最後は、護王神社の伊勢神宮遥拝所から伊勢に繋ぎ、頂いた刀を御所の中心に刺して天に昇れる光のラインを作りました。







全てを終えて解散したあと、関東の仲間を通して上がれない御霊たちがいることが言葉で伝えられました。確かに、上がりなさいと言っても上がらない御霊はいつもいますので、もうひとつの方法で土地の中に守り神として収まる為の祈りを遠隔で行いました。

関西勉強会のあと、関西の仲間と翌日から始まる神事の確認をしながら、御所に残った思いを感取りをしていました。

最終的なご報告は、全ての神事が終わったあとにすることにして、今日は御所参拝に心から感謝をお伝えしたいと思います。





2011.11.06 Sun

日本人を輝かせる役目の人たち　1　関東編

今日は11月1日、新しいステージアップに向けて誰もが心の整いを急がされている日です。それもそのはず、年に一度の11月11日が間もなくやってくるからです。

11月11日は魂再生というか、ステージアップの扉が開く日だからこそ、自分の心の位置を誰かに気づかされたり、色々な思いが交錯した日が続いたのは、あなただけではありません。

本来の自分が決めた魂が喜ぶ道へ進む為に、数週間前から色々な気づきがあった方も多いと思いますが、今年やるべきことをやりきる期限とも言えますので、自分が登るべき階段は自分一人で登る勇気が必要です。

ただ、ひとつだけ重要な事は自分が違うと思った人のことを責めない事。

あなたの後ろにも前にも、多くの人が同じ階段を登っていることをお忘れなく！

誰が何を選択しても、誰一人この世に無駄な人は居ないからこそ、それぞれの人が愛と感謝で進む道を応援してあげましょう。

自分のゴールを明確に決めている人は何が起きてもぶれることはありませんが、自分の思いと誰かの思いが同じ鏡に映って混乱しやすい時期ですので、人の思いに囚われずに自分を見直す時期だと認識して下さい。

2011年は最初からやるべき事が多い年だとわかっていたからこそ、ここまで一気に走り続けていますが、それも全て2012年を迎える為の準備です。

アセンションの年と呼ばれる2012年が来れば勝手に何かが良くなる訳ではなく、そのあとの登るべき階段を過去のカルマに引きづられることなく自分の階段を登る為に、今年はやるべきだと思ったことを全てやりきる覚悟でいます。

精神世界の心遊びは間もなく終わり、さらに厳しく自分を問われる時代になるからこそ、集合意識のカルマを外す努力をしています。

2012年からは日本人が世界へ向けて光を放つ時期になりますので、８月から東（あがり）の役目がある関東の地で「関東光岩神事」の準備を始めています。

神事の参加者は全て「地球創生SNS」に参加している関東生まれたの方と現在、関東に住んでいる方が力を合わせて行っています。

参加者は事前に土地や神社やお寺の意味を調べて、先人や神様の思いを理解しながら一人一人が真剣に自分の足元を守ってくれている存在にお詫びと感謝の祈りを行っています。

これは、心から自分が住んでいる土地や人を愛しているからこそ出来る行いですが、祈りに参加している人たちの望みは、志高き仲間と一緒に、大きな愛の輪を地球全体へ広げる事が目的です。

地球や日本を愛の国にする為にも、一人一人が自分という概念の垣根を越えて、他人を愛する行動を始めない限り、日本人も地球人も変わらないことを知っている人たちです。

そのことに気づいた人たちは、心を一つにして土地に奉られた神様の本当の思いを聞く為に行動して下さい。

参加者のほとんどの方が、見えない聞こえない普通の方だからこそ、神と人と自分に向き合う心の鏡を同じにする努力をしています。

この意味が分かる人は、もう多くの気づきを得ているはずですが、意味がわからない方は、各地の勉強会へお越し下さい。

10/28–29で行った「関東光岩神事」は、土地の神様たちから関東に住む人たちへ向けて伝えて欲しいメッセージが多く降りたからこそ、ご挨拶した神様メッセージをこのブログで紹介することを決めました。

神様メッセージを読んで、心ある人たちが土地神様に喜ばれる行いを始める人たちが増える事を心から願っています。

◎赤坂山王日枝神社　東京都千代田区永田町２−１０−５





江戸の守り神

赤坂サカスをはじめとする数々の現代的な建物、施設や
つだが、そんな中にひっそりと、しかし存在感のある佇
た太田道灌によって川越山王社から1478年（文明十
寛永寺と神田の神田神社（神田明神）を江戸城の表鬼門
ているという。社は、元々江戸城内紅葉山にあったが、
の地に移された。

※太田道灌がここにお宮を作る事を決めた意味を考えれば、この神社の意味もわかると思います。

新しく日本の光を放つ為に力を貸してくれることをお願いすると、即座に「承認」の二文字がおりましたが、時代は変わっても国を守る思いは同じだと、つくづく感じました。誰がこの国を守っているのかを、あなたも足を運んで聞いてみて下さい。

◎赤坂氷川神社　東京都港区赤坂6-10-12



光岩神事についてご報告したところ、

われわれの力を借りるということはどういう意味がかわかっているか？
代わりに何を持ってきた？

と神様に問われました。この意味は本来の神力が落ちていることがわかったので、「神力」を神様に注いだところ、お礼＆今回神事の承認という意味で神様はいろいろな物を下さいました。

◎刀（Kさん男性）・・神守りの意志を受け継いで守る意味

◎赤色の供物台（iさん女性）・・神に仕える心の証の意味

◎福餅（三名の女性）・・神の命を繋いくれた感謝の意味

そして、私には本来の働きをするために、玉を下さいました。

ここの神様は力があり、今でもきちんと働いていますが、赤坂の地にこの神社ができた意味は通常の氷川神社とは違う意味があります。この地にまつわる特別の何かを守っていることを感じました。

稲荷の神様も強かったので、稲荷が強いということは土地の鎮守ができているということです。

神様の気持ちは、昔はもっと多くの木々があり、自然界の繋がりがもっと強くありましたが、今は、周りとの繋がりも薄れ残念に思っています。どうか、皆様の祈りと感謝の心を宜しくお願いします。

◎愛宕神社　東京都港区愛宕 1-5-3





愛宕神社のご祭神は火の神ですが、神様に向かうとこう言われました。

「昔は、火と水が豊かにあったからこそ、神の力が働けたのですが、今では水も出無くなり、私たち火の神だけでは本来の力が働けません」

神社の前に大きな池があるので豊かな水が湧いているのかと思えば、それは水道水の水でした。だからこそ、参加者たちが持参した精気のある神水を注ぎ、水神の力を大きくして祈りを捧げました。

エレベーターで三階の高さまで登ってたどり着く神社にも驚きましたが、どれほど山を削り、水を出なくしたがすぐにわかります。自然神の力が弱まった典型的な神社だと言えるでしょう。

◎金王八幡宮　東京都渋谷区渋谷３丁目５番１２号





この神社の神様はこうおっしゃいました。

「私には言いつけられた役目があり、それ以上も以下もできませんが、代わりに、稲荷の狐を使いに付けますので、どうぞ宜しくお願いします」

この意味は、この神社を作った時に誰かが神の役目を命令した為に動けない状態ですが、稲荷の狐は土地の神々を繋ぎ、五穀や恵みを与える役目があるからこそ、神様は私たちの目的を理解してくれたことに感謝しました。この土地に住む方達は、神社の神様が何を望んでいるかを聞き取るようお願いします。

◎目黒不動尊　東京都目黒区下目黒3-20-26





この目黒不動尊は、古い関東の結界を外す為に来ていますので、今回の目的を告げると「豊かに湧き出るここのお水を関東の浄化の祈りに使って下さい」と、お力を貸して下さることを約束してくれました。

◎赤堤六所神社　　東京都世田谷区赤堤2-25-2



ここの神様にご挨拶すると、「最近は力が弱って昔ほど働けないので…」とおっしゃるので、両側に神守りを降ろしました。すると、写真に青い光が柱に写りました。



出来る事はさせて頂きますと、ご協力を約束してくれました。

境内を出ると奇麗な彩雲が出ていました。



◎神田明神　東京都千代田区外神田2-16-2

古くから関東の大事な土地守りをしているのが、神田明神の末社になっている「江戸神社」です。以前は現在の皇居の中にあったほど、江戸時代から関東の地を守る大切なの神社です。





この日の祈りでわかったことは、関東の光岩神事を行う前にまず、土地に奉られている神々の力を上げなければいけないと思いました。その為にも、その土地に住む人が住む前にあった土地の状態を把握し、自然神の力を繋ぎ合わせる祈りが必要です。

今、神社がパワースポットブームですが、あなたが本当に神の力を頂きたいのなら、まずは、神様に喜ばれる行いをすることが第一に必要です。お願いを　100回するよりも、神様が望む事を行動できる人になって下さいね。

神社の周りのゴミを拾う、水が枯れていたら神水を注いであげる、奇麗な神社にして次の方が喜ぶ姿にしてあげる・・・。お願いをする人以上に、神様が居てくれることに感謝の祈りをする・・・いくらでも考えれば、神様が望む事は気づくはずです。

神社や神様の歴史を調べて、その場所に神様が座った意味を理解することも神様の心に近づく方法です。

こういったひとつひとつのことを一緒に気づきながら、関東の人の心がひとつになる為に祈りを続けています。それは違う意味で、皆さん一人一人の囚われた心の封印を解く作業でもあります。神仏に喜ばれる行いとは何かを、あなた自信が考えて神社やお寺に行ってみて下さい。

11月1日は京都御所の一般参賀の日ですので、過去のカルマを外す為の最も重要な天皇魂を京都御所に納めます。

そのあと関西一円に住む方達が、過去の囚われを乗り越えて愛と調和の心が溢れますよう11/2-4まで「西京都神事」も行いますので、心を合わせて下さる皆様は一緒にどこかで祈りを合わせて下さい。どうぞ、宜しくお願いします。

2011.11.01 Tue

とてもつもなく急がされている宇宙のメッセージ

沖縄の神事が終わって飛行機に乗ると、ダーーーと長いメッセージが降りてきました。

メッセージの相手は、私の守護神からです。

やっと、神事仲間のサポートを頂きながら守護神に繋ぎ直したおかげで、多くの情報が降りてきました。

内容は、とんでもない宇宙次元のことなので、皆さんがわかるように少しづつ公開していきますが、簡単に言えば・・・

目覚めるべき人が、目覚めなければいけない時期！

だということです。その理由も、今、宇宙で何が起きているかも詳しく教えてもらいました。

私たちの魂は本来、全員が宇宙のおおもとまで繋がっていますが、その途中が切れて記憶がなかったり、見えないままになっている魂が多いために、何の為にこの地球へやってきたかわからない魂がたくさんいます。

人間に生まれた人は全員、頭の上に先祖たちがズラっと上に並んでいますが、さらにその上には、魂が経験した宇宙の星の記憶を持つ守護神たちがいます。

神様という言葉のイメージが人によってマチマチなのも、先祖のように「人格神」までしか知らない方と、人間を創りだした自然界の神である「自然神」まで理解している方と、地球という生命体を守る大きな大きな宇宙の「宇宙神」まで理解している方もいるからです。

だから同じ神様の話をしていても、意味が理解し合えないのは、その人が絶対だと思っている神様のイメージが違うことが原因なんです。

自分の苦しみを先祖の思いに置き換えて解決しようと思っている方たちは、誰かに依存したり、誰かを憎んだりしますが、全ては思いの憑依現象だからこそ、愚かな人間同士に起きていることをどうこうしようとしても限界があることに早く気付いて欲しいと思います。

冷静に考えても、地球に人間が誕生してから数万年たちますが、どれほど進化したと言っても、一瞬で失う物ばかりを大切に生きている愚かさにも気づいてほしいものです。

これは私は何度も言っていることですが、人間は魂の目的を果たすために生まれています。

だからこそ、その為に生まれたことに気づいた人が、動きださなければいけない時期に来たことを強くお伝えしておきます。

この重要な気づきが、どこからくるのか答えを教えておきましょう。

それは、自分の中から気づくものなのです。

気づくキッカケは、確かに誰かとの出会いであり、誰かの言葉ですが、最後のドアをあけるのは、自分の魂と一体になることなんです。

まだ、自分の苦しみを誰かに解決して欲しいと思っている人は、自分に見合った先生を見つけて「一緒に迷い道を進む」のもいいですが、ゴールには到達しませんよ。

最後の最後は、絶対に、自分が自分の内在神・真我と対話して、魂のドアを開ける勇気を出さなければいけないからです。

これまで皆さんが気づく為に、土地に生まれた意味やそのカルマ、また、民族のルーツを紐解くことで日本人のカルマに気づく為の情報をお伝えしてきましたが、まもなくその役目も終わります。

というか、そのことをしている場合では無くなってきたというべきでしょう（＾＾）

これから動くべき人が動きだすためのメッセージがどんどん降りますので、誰にその情報を伝えるべきか、誰とその情報を交換するべきか見極めをしなければいけない時期になっているからです。

大きな光のシンクロ（同調）エネルギーを、私たち日本人が動かさなければいけない時期が近づいて来ているからです。

そのエネルギーを動かすことによって、皆さんの意識は知らない間にカルマも外れますし、意識上昇が始まります。人によっては、過去の宇宙記憶を思いだす方も増えるでしょう。そこからやっと、魂の目的を果たすことに気づいた人は、次の人へ伝える役目なのです。

これからまだまだやらなければいけない事がたくさんあるからこそ、いま、ひとつひとつの準備を進めています。

どの世界でも共通することですが、これからの時代に必要な人は、バランス力が取れた人です。

どれほど強い霊力や思いがあろうとも、人間として生きる知恵や他の人とのバランスを取れなければ、人を導くことはできません。

問われるのは自分の力量不足や愚かさだからこそ、他人と手を組むのか嫌な人は、自分の進みたい道へどんどん進んで下さい。

結果としては、同じ目的へ向かっているのですが、進む道が違うだけだと思って下さい。

過去の宇宙で起きた大きなカルマも、こちら（地球）と同様にほぼ解決されていて、全宇宙を守護する多くの星の代表たちは、今、手を取りあってメッセージを必要な人たちに伝えてきています。

だからもう、これからの未来に戦いは必要ありません。戦いが好きな人たちは、勝手にやらせておきましょう！

本当に気づいた人なら、誰かとの違いを問う必要がないことも知っています。

一人一人の役目が違うからこそ、人は離れたりくっついたりしますが、全員が同じ目的を持って生まれているからこそ、この地球に、そして、日本に生まれたのだということに気づいて下さいね。

今年末まで決まっているいくつもの神事は、同時に、この目的を果たす準備でもあるからこそ、個人のカルマの思いだけでは動きませんし、大きな愛と調和の心を持って御参加下さい。

一人でも多くの完全な愛の人たちが目覚めるために、そして、自分自身により大きな目覚めが起きることを受け入れる準備をしておいて下さい。

完全な愛を信じれる人が、誰かなのを問われているからこそ、色々、起きている身の周りの出来事ですから、振り回されないようにしましょうね。

愛を常に信じて、ゆるぎない自分で居て下さる皆さま、いつもありがとうございます。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ｓｎｓ
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆
〇地球を愛する仲間が集まる「地球創生ｓｎｓ」のご登録はこちらをクリックして下さい！
１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

◎重要なメッセージは、全てＳＮＳの中で公開します。

☆★☆★☆★☆

地球創生活動を支えあう地球創世基金

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

2011.10.27 Thu

伊良部島の名主御嶽（ナーヌスうたき）が開きました！

2011年10月21日（旧暦９月25日）、ついに伊良部島に命を繋いだ名主御嶽（ナーヌスウタキ）が正式に開きました。

この拝みができたのも、前・皿主（さらのしゅ）のおかげですが、私にとっては神様から頼まれた7年越しの悲願でもありました。

この話しの始まりは、2005年に出会った伊良部島のユタにお願いされたことが始まりですが、御嶽の責任者である司オバーが一度、閉じた御嶽を開けるということはとても難しいものなのです。

昨年、ナーヌスの神様の意志を皿主にはお伝えしましたが、御嶽を開ける為には、ひとつひとつの御嶽ごとに担当の司オバーがいますので、本人の許可が必要です。

しかし、司オバーで神様の声が聞こえる人はほとんどいませんので、神様が直接、メッセージを伝えたくても出来ないからこそ、ユタや私に伝えてきたのです。

そのタイミングは、いつか訪れると信じていましたが、今回の伊良部ユークイが終わった夜、皿主に紹介された前・ヌーシウタキの司オバーにお願いされた為に、今回の拝みができました。

ヌーシのオバーにお願いされたことは、数年前から神様が夢に出てきて、伊良部島の水の神様を大切にして欲しいと何度も言われ、眠れない夜を過ごしたからこそ、自分にできる事をひとつひとつやってきたと教えてくれました。

その気持ちを理解してくれたのが、前・皿主の奥様だからこそ、二人は協力し合って水の神様が喜ぶことをひとつひとつ続けていたそうです。

三年前には、ナハドウ御嶽で水の神様をまとめて拝む場所を作りなさいと神様に設計図を見せられ、場所や形の意味を教えてもらったので、二人で水源地に拝所も作りました。

でも、伊良部島には水が出なくなった井戸もたくさんあるし、今は水源地の水を使っているので、どうすれば伊良部島の水の神様が喜ぶのかわからないので教えて欲しいと頼まれたのです。

水の神は、大地の神と風の神と火の神の力を借りて産まれていますので、私の最も得意な龍の守備範囲ですから、翌日、一緒に拝みをすることがその場で決まりました。

伊良部島の龍の最大の聖地は「なべ底」ですから、まず最初になべ底にご案内して神様の許可を頂きました。



初めて下に降りた二人に、ひとつひとつ神様の場所を教えて拝みをしてもらいました。

二番目は、最初に牧山に住み着いた人たちがいたので、牧山の水の神様へ繋ぎを入れました。

三番目は、伊良部部落の集落にあるカーイ（河井）の神様へ繋ぎました。

四番目は、公民館にある枯れた井戸にも繋ぎを入れ、いずれ水が出るよう祈りを入れました。

五番目は、ナハドウ御嶽の神様に直接、話を聞きましたが、ナハドウ御嶽の神様は「神様の役所」の役割をしている場所だとわかり、オバーたちも驚いていました。横にあるフナハガーの神様にも繋ぎました。

六番目は、水源地に二人が作った拝所で祈りました。なぜ北へ向けて祈るかを神様に聞いてみると、北は子軸（ニージク）、つまり、この島の人たちの心が和合して、新しい始まりとなるように神様の配慮だとわかりました。

佐良浜部落の方達は以前からこの場所で拝んでいたそうですが、伊良部部落で拝む人は居なかったからこそ、七部落全ての人たちの命を守った水の神様へ感謝をすることは、とても大切なことなのです。

祈りが終わった瞬間、北の空に龍が上がりました。この龍を見れば、自然の神々がいつも私たちのすることを見ていることを感じさせてくれますよね！この龍は、下から上に上がっていますので、今日の祈りを天へ報告に行っているのだと思います。

自然の神々に感謝する心を持つ人たちが増えることを心から願っています。



今は、水道の蛇口をひねると水が出る為に、どこからどうやって水が産まれているかを知らないからこそ、水に感謝する心が育ちません。

伊良部島に橋が架かれば、直接、宮古島から水道管で水が来るようですが、先人の命を繋いだ水の神様へ感謝をしない人たちが、幸せになるはずはありません。

豊年祭の本来の意味も、自然の神々に頂いた食べ物を感謝することが始まりだったはずなのに、いつのまにか、自分たちが先祖にお願いする祈りになったことだけは残念でたまりません。

先祖神信仰の沖縄は、もともとは先祖という人格神に祈っただけではなく、先祖の命をつないでくれた水や大地、風や火の神、五穀の神々に祈りをしていたことを思い出して欲しいと思います。

今、もっとの沖縄全体で大切なことは、自分の「得」になる祈りを教えるのではなく、人間としての「徳が上がる祈り」を教える人が増えて欲しいと思うからこそ、出会った方達には自然に生かされている感謝祈りをお願いしています。

お二人のオバーにも、井戸の中の清掃と拝みをお願いしましたし、今後、一人でも多くの方が、先人の命を繋いだ自然の神々へ感謝の祈りを捧げて欲しいとお願いしました。

この日の最後の最後にお願いされたのが、名主御嶽（ナーヌスウタキ）の拝みでした。



ここを閉じた１０年前までは、毎年、5日間司オバーたちが籠もるので、毎日、煮物や食べ物を運んだことを二人のオバーたちが教えてくれました。

ここには入り口と出口がありますので、役目に分けて二カ所同時に祈りをしました。
ここが、入り口です。



ここに、神様がいます。



ここは、出口です。



以前、「ルールは変えてもいいので拝みはして欲しい」と神様のメッセージが降りていましたが、今回は、ヌーシのオバーに80cmほどもある大皿（うふざら）が与えられました。

この大皿は、この名主御嶽を守る神様の承認ですから、ヌーシのオバーは神様の許可がおりたことで、この名主御嶽の司オバーに正式に任命されたことになります。

もともと、名主御嶽の神役目より、乗瀬御嶽の司の神役目のほうが大きいのですが、今回、正式に大皿が降りた様子をご本人にも見えていたのでとてもよかったと思います。

名主御嶽の神様は、男神が一人と、数名の女性の神様がいらっしゃいますが、こうおっしゃいました。

私たちが繋いだ中国・支那・台湾の命種に対して感謝の拝みをする事で私たちの神役目も出来るからこそ、どうか、あなたたちが心の迷いや先祖の繋ぎをしたい時には、いつでも自由に拝みをして下さい。

今までのルールに縛られるのではなく、特に供物も必要な訳ではありません。

あなたたちは私たちの子供だからこそ、ただ、感謝の祈りをしてくれるだけで私たちはうれしいのです。どうか、そのことをたくさんの人に教えてあげて下さい。宜しくお願いします。

神様（人格神・自然神・宇宙神）に喜ばれる生き方、祈り方を教えられる大人が、これから増えることを神様も願っていますので、伊良部島の皆様、どうか宜しくお願いします。

2011.10.25 Tue

男神の争い心を無くす沖縄国神神事

2011年10月28日（火）、歴史上、沖縄全域を支配していた各時代の王様や按司（あじ）は男だからこそ、「男神たちの争い心を無くす国神神事」を沖縄の仲間たちと行いました。
この神事を決断したキッカケは、琉球王朝を舞台にした「テンペスト」というドラマを見ていた時に、踊りを舞う仲間由紀恵さんの後ろの存在の想いが伝わってきたからです。
※ＮＨＫドラマの「テンペスト」はyoutubeで見れますので、ぜひご覧下さい。

戦いに敗れたとても切ない王様たちの想いは、今も多くの人の心の底に王族カルマとして残っていることを伝えてきたのです。

「日本列島が世界のひな形」であることはご存知だと思いますが、日本という島々のひとつひとつの意味が、「人間の心のひな形」であることも宇宙の大神から聞いています。

南にある沖縄は日本の母、北の北海道は日本の父、本州、四国、九州は母が産んだ子供だからこそ、沖縄に住む人たちの集合意識は日本を支える「母心そのもの」だとも言えます。
沖縄には多くの人たちが自然や人の温かさに触れたくて病んだ心を癒しに行きますが、沖縄の母神たちの想いは、母が産んだ子供たち（※九州・四国・本州・北海道に産まれた人たち）が心をひとつにして母の愛を伝える人に成長することを望んでいます。
多くの人がそうなる為にも、母の地、琉球を束ねた王様の和合祈りが必要だと感じたのです。
加えて、いつも沖縄の女性たちは、「本当は、素晴らしい沖縄の男たちに立って欲しいのよ～！」と聞かされているからこそ、王家王族に縁がある男たちの心の整いを決めたのです。
テレビを見ていて、こんなことを感じるのはおかしいと思うかもしれませんが、私たち人間が感じる喜怒哀楽の感情は、土地に住んだ人の想いや、先祖や家族の想いが自分の心に転写していることに気づければ、辛い悲しい寂しい時の思いが、自分だけの感情と思わず歴史を調べたり先祖の想いを知る努力が必要だと気づくはずです。

親や親戚のトラブルは、先祖たちの争い心に迷わされた弱い心だからこそ、その先祖たちが出来なかったことを成し遂げる為に自分が産まれた事を気づけば、自分がどう生きるべきかはおのずとわかるはずです。
沖縄でも日本全国でも「神懸かり」で倒される人がとても増えていますが、ユタや霊媒師たちが教える「先祖拝みだけしか方法が無い」と思っているのも大きな間違いです。
他人の心を導く仕事をしている人たちにお願いしたいのは、クライアントの生きる力や守護力を上げる方法を教えてこそ、導く価値があると思いますので、どうか宜しくお願いします。

一般に、「依存心」が強い人は、他人に言われたことを鵜呑みにしがちですが、目の前で起きている問題をどうするかは、日々、自分で決めて行動するしかありません。
今年ほどの大きな自然災害が日本に起きても、まだ自分の生き方を変えられないのなら、これからも日本人が問われ続けることは仕方がないと言わざるおえないでしょう。

自分が苦しい経験をしてから生き方を変えるのもいいですが、自分のことばかりを考えて生きるのではなく、他人と一緒に生きるための「大きな愛の心」を持っている人たちが動き出さなければいけない時期だからこそ、その人たちが目覚める為にも神々の和合が必要なのです。

神事を決意してから思ったことは、必ず、自分の為だけではなく、親族一円、そして今、ご縁ある全ての人たち、また、ご先祖たちに関わりある全ての人たちの思いを整える人が集まると信じて沖縄に入りました。
当日、驚いたのは参加したほとんどの方が、「天孫子」の家系に繋がる先祖を持つ方ばかりだからこそ、「元正し」と言える大きな神事になりましたし、琉球王朝を最後に倒した島津藩はヤマトの人間だからこそ、沖縄とヤマトを繋ぐ為にヤマトの妻になった奥様も参加してくれました。
男たちの戦いは常に、勝ったほうも負けたほうも永遠にカルマを背負い続けますので、日本民族の魂を守り繋いだ琉球の王様たちに頭を下げて、神和合に力を貸して下さるよう話をしに行きました。

沖縄の歴史を調べると、「天孫子」から始まる沖縄開祖（琉球開闢）の王様の流れは、次のようになっています。
◎舜天王統：舜天1187?-1237? / 舜馬順熙1238-1248 / 義本1249-1259
◎英祖王統：英祖1259?-1299? / 大成1300-1308 / 英慈1308-1313 / 玉城1313-1336 / 西威1336-1349
◎察度王統（中山王国）：察度1350-1395 / 武寧1396-1405?
◎怕尼芝王統（北山王国）：怕尼芝1322?-1395? / ?1396?-1400 / 攀安知1401-1416
◎大里王統（南山王国）：承察度1337?-1396? / 汪英紫1388-1402? / 汪応祖1403?-1413? / 他魯毎1415?-1429
◎第一尚氏王統：尚思紹王1406-1421 / 尚巴志王1421-1439 / 尚忠王1439-1444 / 尚思達王1444-1449 / 尚金福王1449-1453 /尚泰久王1453-1460 / 尚徳王1460-1469
◎第二尚氏王統：尚円王1469-1476 / 尚宣威王1477 / 尚真王1477-1527 / 尚清王1527-1555 / 尚元王1556-1572 / 尚永王1573-1588 /尚寧王1589-1620 / 尚豊王1621-1640 / 尚賢王1641-1647 / 尚質王1648-1668 / 尚貞王1669-1709 / 尚益王1710-1712 /尚敬王1713-1752 / 尚穆王1752-1794 / 尚温王1795-1802 / 尚成王1803 / 尚¸王1804-1834 / 尚育王1835-1847 /尚泰王1848-1872

まず最初に訪れた場所は、那覇港にある三重城（みーぐすく）です。


この場所はヤマトの船や琉球王朝の船が出入りしていた港だからこそ、両者の因縁を紐解き、同じ日本国民としての繋がりを繋ぎ直す祈りをしました。今も内地に行き来する沖縄の子供たちが、ご先祖の誰かに問われることが無いよう大きな神エネルギーを繋ぎ直しました。

二か所目は、12世紀初頭の舜天（しゅんてん）王統、英祖（えいそ）王統、察度（さっと）王統までの220年間の居城である浦添城跡に向かいました。ここに先祖の縁がある一人の女性は、神に導かれて起こして欲しい神場所へ私を案内しました。
この場所を見てすぐにわかりましたが、ここは王様たちがこの城を作った時に最初に神を下ろした場所だとわかりました。天の神光を受け止める最も大切な場所で、今回の目的の祈りを捧げました。



右奥にあるがじゅまるの樹は、人が居なくなったあとも、この場所を守ってくれていました。この樹の神様が、先ほどの神お越しのお礼を言われたと教えてくれました。



奥には、「ティーグガマ」があり、戦時中の防空壕として使われ、たくさんの御霊が残っていたので天に繋がる光のラインを作り、不浄御霊が集まらない場に変えました。



800年前に、この美しい風景の街並みを納めていた人たちのことを感じました。



三か所目は、一人の女性が天女巫女の魂を持っているので、和合した男たちを見守る天女の役目ができるように天女の居る「森の川（ムイヌカー）」へ行きました。



沖縄で最も古い龍がいる七瀧から水を頂き、森の川の神様へ繋いだあと、お水を頂きました。今回もやはり、男たちは中には入る許可がおりませんでした。※理由は羽衣伝説をお読み下さい。



四か所目は、中城（なかぐすく）です。2009年の「村建て神事」で、谷君や仲間たちとハードな御霊あげをした記憶が蘇りました。



ここ中城と勝連城と首里城の因縁は、大きな男のカルマとして言い伝えられていますが、事実は噂とは違います。しかし、今、そのことを伝えても民衆の気持ちがおさまる訳ではないので、祈り仲間にだけは真実を伝えておきました。
王様に祈りを捧げると、すぐには許可を下さらなかった為に、この場所に大きなお城を建てて差し上げました。三つの瓦屋根がある霊界の御屋敷です。魂となった人たちが住む屋敷が出来たことで、「仕方がないので力を貸す」と最後には協力を約束して下さいました。

五か所目は、移動途中でメッセージが降りたので、読谷伊良皆にある尚八志の御墓へ向かいました。こんな誰も知らないような場所にひっそり立っている墓碑を見つけたは60代のご夫婦でした。

普通に生活していた見えない聞こえない奥様が御先祖に突然、乗られて１週間も眠れない日々を送り、自分たちの先祖ルーツを遡ることをしているご夫婦でした。



墓碑に向かって祈り始めると、何かおかしな感じがします。どうやらここには、「念がけ」がされていて、一族以外が入らないようにしているようです。その「念がけ」をしているのが、　左奥にある大きな石でした。



念を外しながら話を聞いてみると、「お前たちに何がわかる！」と怒鳴ります。よほど、自分たちの思いとは違った扱いを受けたために、一族が山の裏で隠しているものがあるようですが、失礼なことはやめて退散しました。

今回の全ての拝みが終われば、誰も責めることはないので、地元の方に改めて調べるようにお願いしました。嘉陽門中や隠された話があることも聞いていますが、今は、一族の思いを大切にしておきましょう。

この日の最後は、喜屋武（きゃん）の按司であった喜屋武城（具志川城）へ向かいました。

ここは御夫婦の先祖ルーツの墓であることもわかっていたので、やっと先祖の御無礼にお詫びが出来ると喜んでくれました。

大きな岩に掘られた風葬墓に入っている御先祖に話を聞くと、私たちが大切にしてきた神々を正しく守って欲しいとメッセージがおりました。

火の神ともうひとつの場所は、木札で示されているので、今も拝みをしているようですが、「河の神」と重要な神場所がつぶされていたのを見つけたので、場所を少しだけずらして神々に御挨拶ができるようにしました。

公園の階段を上がって右手にある三本の樹の間に神を移しましたので、地元の方はどうぞ、そこで拝みをして下さい。呼び名はわかりませんが、霊界、人間界、神の三つの世界でこの場所を守る大きな「守衛の神様」が居た場所です。

参加された方たちの今日の拝みの納め方を教えたあと、色々な話を聞きました。

私が最も大切にしたい神心は、これから神を大切にしたい人たちが、守りたくなるような知恵と心を教えることなので、沖縄に行くたびに勉強会は続けようと思っています。

今日の神事で、琉球の地を守った男たちの思いはひとつになりましたので、どうか、そのことを素直に認めて、先祖に問われる心で拝むのではなく、先祖に喜ばれる拝み方を子供たちに教えられる大人になって下さい。
日本全国でも同じですが、先祖に対する感謝の心さえあれば、方法や道具が変わったとしても先祖たちは問うことはありません。
先祖や神たちが問うことはただひとつ、あなたの神に対する心だけなのです。
だからこそ、
神を問うなかれ！他人を問うなかれ！そして、自分を問うなかれ！
と大神はいつも申しております。
どうか、戦いの心を捨てて、お詫びと感謝の心で祈りをお願いします。

2011.10.24 Mon

伊良部島ユークイの元（ムトゥ）

2011年10月20日、7年目にして初めて伊良部島の伝統行事ユークイ（豊年祭）の中心である字伊良部のウタキ全てに正式なご挨拶をすることができました。

人口6000人ほどの小さな伊良部島にある7つの集落のうち、最初に住み着いた伊良部部落と仲地部落が700年前にこの行事を始めたことがユークイの始まりですが、そのあとに住み着いた長浜部落、国仲部落、佐和田部落だけは前夜祭を行っています。

また、池間島から住み着いた佐良浜地区の二部落はお祭りの意味やルールが違いますので、19日を「ユークイ」として女性だけでお祭りとして行い、男性たちは「ミャークヅツ」として別の日に行います。

伊良部部落と仲地部落の「ユークイ」は朝8時からそれぞれの公民館から始まりますが、６箇所のウタキを回る意味は、ご先祖たちが住み着いた場所の神様（ご先祖）たちに豊年の御願（うがん）と感謝を伝えるのが目的で行われています。

こういう大きなお祭りを裏で支える役目の人たちを「シジュウナラ」と呼び、息子が数え27歳を迎えた人たちが祭りを支える役目なのですが、島外に出た息子の代わりにお父さんたちがお祭りの準備をしていました。それでも人数が足りない為に、今は青年団の若者たちが一緒に祭りを支えています。

開催前夜には、先輩・皿主（さらのしゅ）と現役・長主（ちょうのしょ）に連れられて「シュジュウナラ」の皆さんが集まる元（ムトウ）の家にご挨拶へ伺い、明日の参加を許可して頂きました。こういう大事な集まりは、全て男性だけで行われています。

「沖縄の神ごとは昔から女性が行う」と思っている方が多いようですが、実際に神行事のルーツを調べると、女性が産んだ男神を「命をつなぐ命種」として崇めたことが始まりですので、本来は最高地位の神役目は男と決まっていました。

しかし、男たちが戦いや狩りで出かけて不在が多いために、男たちに代わって女性たちが神を守る役目についた習慣が今も沖縄には残っている為に、沖縄では神役目をしている女性が多いと覚えておいて下さい。

女性たちは命の種である男に感謝し、また、男たちは産み育ててくれた女性たち、母たちに感謝を伝えるのが神行事の考え方の基本だとご理解下さい。

翌朝８時、伊良部ユークイは、伊良部公民館（ナハドウ）からスタートします。



拝所（うがんじょ）の中には皿主（さらのしゅ）、長主（ちょうのしゅ）、前任の皿主、司（つかさ）オバーたちしか入れませんが、その前で着物を着て座っているた女性たちも全員、過去に司オバーやご主人が神役目をした奥様たちですので、一般の方はここには座りません。

その後ろに座っている男たちは、過去に皿主や長主をしてきた先輩オジーたちが順番に座っていますが、座のどこの位置に座っているかによって神役目の経験や重要度を表し、一般の方は少し離れてお祭りを見守ります。



息子さんが「シュジュナラ」の役目に当たるお父さんたちは、先輩オジーたちにお酒をまわし（宮古流オトーリ）、これまで息子を支えてくれた島の皆さんに感謝のご挨拶をして回ります。

伊良部部落が今日一日で回るウタキは次の六ヶ所ですが、神役目の方達はこのユークイが始まる前に、伊良部島全てのウタキの元であるトウンピャーズ（牧山にあります）で「前ユークイ」の御願（うがん）も行っています。

前任の皿主である川満照一オジーに連れられて、弟格にあたる仲地部落の「ナハドウウタキ」にお酒二本を添えてお礼のご挨拶に伺いましたが、座っている座の違いを見てわかるように、それぞれの部落によって細かいルールは違います。







ちなみにこの日は小中学校はお休みで、学校の先生たちもウタキの神様たちにご挨拶に来ていました。

＜伊良部部落のユークイで回るウタキ＞

※島人も年に一度しか入れません。

1.伊良部公民館　ブンミャー

：明治まで琉球王朝を倒した薩摩藩が管理統括していました

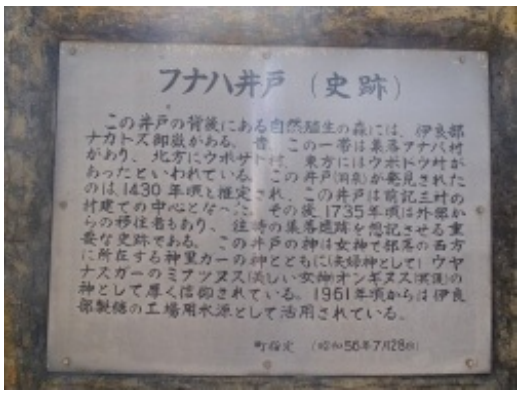
2.ナハドウ

：トウンピャーズの分家として伊良部部落と仲地部落にある重要なウタキ。
このウタキに大きな神様が降りている事を光りのエネルギーが教えてくれました。





ナハドウウタキのすぐ横には「フナハ井戸」があり、豊かに溢れ出ている水は製糖工場で使われています。



3.アダンニ

：原生林の中にあるウタキで2005年に川満オジーと出会った場所

一番右端が現在の皿主（さらのしゅ）平山英治オジー。次が、日取りを決める長主（ちょうのしゅ）、そして、前任の皿主、川満照一オジーです。







4.ヌーシ（乗瀬）

：兄弟部落である伊良部部落と仲地部落が合同で行う重要なウタキ





今年１月から伊良部部落と仲地部落の青年団をまとめている平山団長が挨拶をしていますが、現在の皿主（さらのしゅ）である平山栄治オジーの長男だと聞いた時には驚きました。



平山団長とは７年前からなぜか気があった男で、神様は必要な時に必要な人を選びますが全ての采配に感謝が溢れました。

このあと、伊良部部落と仲地部落のお互いの決意を深める為に、奉納相撲も行われました。今年は、仲地部落が勝利しました。

ちなみに、平山団長の奥さんとは知らずに偶然、仲良くなったこの女性は、もう二人のお母さんとして立派に子育てをしています。こういう元気な若者たちのおかげで、大事なお祭りが次の世代が引き継がれていくのですね～。



5.パイヌフツ
：ヌーシウタキの浜の向かいにある原生林のウタキ





前任の皿主、川満オジーは皆さん一人一人にお神酒をまわして感謝を伝えていました。奥様も同様に、あと三年間は現在の平山オジー夫妻を支える役目がありますので、どうぞ、宜しくお願いいたします。



6.カーイ（井戸）
：伊良部部落が住み着いた最初の命の水を頂いた井戸の神様

井戸の神様の場所に来た頃には、夜の7時半くらいですので、１２時間もかかる大切なお祭りを700年支え続けてくれた皆様、そして、暖かく私を迎えて下さった伊良部部落の皆様、本当にありがとうございます。

伊良部部落の方達は、最初から「吉岡さん！」と名前で呼んでくれる人がいるほど多くの方が私が来ている意味や想いを理解してくれていますが、反対に、島のルールや伝統のしきたりを理解せずに勝手にユークイに参加しているヤマトの方たちが居る為に、「全部、吉岡が連れてきた！」と勘違いしている方がいることを聞いていたので、昨年から私はこの「ユークイ」に人を連れて来ない事にしています。

観光でこの島に来て頂いている皆さんには心から感謝していますが、伊良部時島の伝統行事「ユークイ」は最も伝統的なだからこそ、外部の人には教えない無言のルールが多くあるお祭りですので、島人の心がわからないまま入ることは絶対にご遠慮下さい。



本土のお祭りのルールと違って伊良部島のお祭りは、皆さんに観光目的で見せる為に行っている訳ではなく、島民同士が互いに支え合う絆を深める目的で先祖に感謝するお祭りなのです。

ここ数年間の宮古島ブームのおかげで、伊良部島にも移住する人が増えていますが、ぜひ、自分のルールを相手に押し付けるのではなく、島人が大切にしている「無言のルール」を自分から教えてもらう心を持って島の人に接して下さることをお願いします。

沖縄で最後に残された秘境の地だからこそ、神は私に人の心や神の心を気づかせる為に白龍を見せたのだと思います。だからこそ、相手の心を思いやる気持ちが無い興味本位だけで「伊良部ユークイ」に参加することはご遠慮下さい。

最後に、今回、まわらせて頂きました全てのウタキにお酒二本づつ「龍球王国」の名前で奉納させて頂きましたが、地球を愛する地球創生の皆様の想いを込めて奉納させて頂きました事をここにご報告させて頂きます。ありがとうございます。



2011.10.22 Sat

日本を支えるもうひとつの首都、「西京都」構想！

現在、大阪市と大阪府で二つの行政の無駄を無くすために論争が続いていますが、近未来の日本のあり方を考えると、大阪府内の問題だけではなく、関西一円の経済・産業・市民生活のあり方が日本を支える大きな力になることは、皆様も今回の東日本大地震で気づいたと思います。

大きな企業は今回の地震後、本社機能を関西に移したり、会社の重要データを関西と関東の両方に保存する対策を取っています。

こういう状況だからこそ本日は、関西一円をひとつの都に指定する「西京都（さいきょうと）」構想をお伝えしたいと思います。どうぞ、趣旨を正しく御理解頂ける皆様のご賛同と行動をお願いしたいと思います。

まず現在の日本国家における「自然災害に対する準備」を考えますと、1995年に「阪神淡路大震災」が関西で起きたあと、多くの中小企業が持っていた技術や人材が失われ、長い間、生産ができなかった工場が日本中に多くありました。

関西には、古い時代に住みついた移住民の技術や知恵が多く残っているおかげで、様々な分野において専門技術や生活の知恵、そして強い信頼関係と人脈が残っていますので、今も生まれた地域を愛する強さを競いあうようにお祭りが盛んです。

「関西淡路大地震」の16年後に起きた「東日本大地震」の影響は、東日本に限らず日本国民全員の心を冷やし、将来に対する夢や希望を見失った人たちもたくさんいたはずです。

その理由は、日本の首都をひとつに決めているからこそ起きた問題ですので、この二つの自然災害だけを考えてみても、「日本国家の二大首都構想」を提唱する理由になります。

さらに言えば、世界的にも類のない、第二次大戦後の悲惨な現状から短期間で先進国に成長した日本の経済問題の背景には資源がない国のうえに、小さな島国の回り全てが海に囲まれているという状況です。

海に浮かんだ少ない陸地の下には、四つの大きな地震プレートが交差点のように集まっている陸地だからこそ、危機管理の視点から最大のリスクを最小にするために首都機能を東西の二つに分けて運営する「二大首都構想」を国家として考えるべき時期だとは思いませんか？

もともと関西には、日本国民の意識を統一する天皇の宮があり、長い期間、日本の政治経済の首都として機能していた地域ですから、住んでいる関西の方たちも、日本全体に対する志を高く持っている人たちが多くいらっしゃいます。

しかし、明治4年（1871年）に首都機能を東京へ移し、天皇が京都御所から皇居へ移動したあとは、土地に住み着いた異種民族意識をまとめていた統一思想が薄れ、互いの垣根を高くしたのではないかと感じるほど関西の県別、町別ごとに人々の感情の違いを肌で感じます。

日本という国が国家平定をなし、多種民族の宗教や意識を束ねて日本国民とする目的の天皇制によって、関西から日本全体の指揮をとっていたことは歴史的事実なのですから、この機会に、関西の人たちは心をひとつに合わせて、日本を守る大きな働きができるように、「西京都」構想を実現に向けて動きだすことを関西地域の方たちと国に強く望みたいと思います。

地球を愛し、日本を愛する地球創生関西勉強会の仲間と関東勉強会の仲間たちは、自分たちが住む土地の歴史を紐解くことで多くの先人の思いを理解し、ご先祖ルーツも調べながら自分という人間がどういう人たちの思いで生まれたのかを深く学んでいます。

東日本大地震が起きて7カ月の今、一般庶民の私たち大人が考えるべきことは、目先の利権や政治や経済の推移ではなく、日本に生まれた全ての子供たちへ残せる国造りと、大切な心を育む為に知恵を出さなければいけない時期なのだと思います。

自分のルーツも知らず、子供に語り次ぐものを持たない大人たちは、大きな問題が起きてから足元を見ますが、志高く、日本人に生まれた誇りを持てるように、愛と歴史を語り継げる大人の一人として、あなた自身が変わらなくてはいけない事に気づいて下さい。

まもなく関西では、関東の人たちの協力も得て「西京都」構想を実現する為に、土地の神々の心を統一する大きな神事を行います。

土地の神々は常に土地の人々を見守っているからこそ、人々の争いを好まず、生まれた全ての命を愛する大きな神心を持ちあって、関西一円を愛と調和の心で包み込む為の祈りを関西関東の仲間たちと行います。

また、関東に生まれた人たちは、日本の日の出ずる東の役目として、世界に光を発信する為の調査と準備祈りを始めています。

私自身は明日から沖縄に入りますが、天孫子から始まる国番、琉球王朝、王家一族にまつわる過去全ての男神たちの争い心を納める為の祈りを行う予定でいます。

日本という小さな島国を神が造った理由を考えると、沖縄の地が「母の地」だと考えれば、関西の地は「長女の土地」かもしれませんし、関東は「長女の息子の土地」だと考えるべきかもしれません。

北軸にある父神の役目を頂いた北海道の人たちは、日本を未来を信じて日本全国から集まった人たちが実際に生活している土地なのです。

私たち日本人は、この日本という国を再生する為に、大きな心や考え方を学び、その大きな愛を近隣国や世界へ伝えなければならない役目を持って日本に生まれています。

だからこそ、まず足元のこと（先祖や土地の歴史）を正しく学び、先人たちの様々な気持ちをくみ取って全てを愛の心で包み込み、あなたが成すべき行動を始めて下さい。

自分のすることが誰の為になるかを考えるよりも、目をキラキラに輝かせた子供に「日本や地球はどうなっちゃうの？」と問われて、答えられない生き方をして欲しくはないと思います。

もし、尋ねられた大人がこうやって答えてくれたら、子供もきっとうれしいと思いますよ。

大丈夫だよ！お母さんも、その為に頑張っているからね！

お父さんも同じだし、ほら、あそこにいる人たちも、みんな自分が足りない部分をよく知っているので、お互いに助け合って生きているのよ！

だから、何かひとつでいいから、「人に喜ばれるもの」を身につけようね！

何の為に生まれてきたのか、何の為に今、仕事をしているのか、何に為に今、子育てをしているのか・・・、その答えは、誰かに自分の存在を喜んでもらうためなのです。

私たち大人の一人一人が、どの子供にでも同じように伝えられる心を共有していなければ日本という国家も、思想も、精神性も育めませんし、結果として、世界の異種文化、異種民族、異種な宗教をまとめ導くことなどできません。

しかし、世界で唯一、全ての民族が集まった土地だからこそ、世界の争いをまとめる力を日本に生まれた人たちは、その力を魂に持って生まれているのです。

日本は神様も仏様も、あらゆる新興宗教も受け入れ続けてきた文化や歴史があり、そこには、はかない争いや政治では解決しない尊い日本人という精神性が今も生きているのです。

日本中で行っている神事を通して土地の神様や地元の人から学んだ事は、世界中のほとんどの民族が何度もこの日本に集まり、ひとつの目的を持ってやってきた土地であるという事実です。

多くの民族の思いをまとめる絆の心こそ、地球創生の仲間意識であり、日本国家の再生、国の建て直しの心を育むものだと確信しています。

このことを噛み砕いて言えば、あなたが自分のこだわりや思いを超えて、どれだけ大きな愛を学ぶことが出来るかを問われているとも言えます。

誰かと争って、戦いに勝っても、愛や調和は決して生まれません。

一切、戦わずに、互いを受け入れる大きな心を学びながら、自分の敵も望むような理想の未来を創る心を一緒に育てようではありませんか！

戦わずに、互いを認められる知恵と心を学びながら、死ぬ瞬間まで日本国民として恥じない生き方をしたいものです。

多くの志ある方たちのご支援金やご協力によって、地球創生活動は続けられておりますことを心から感謝いたします。

どうぞ、あなたの温かい心を誰かとシェアしながら日本を愛で包み込む目的で行っている各地域御勉強会は、「愛の地域ネットワーク作り」だと御理解頂いて気軽に御参加下さい。

一人一人の大人の心がその全ての結果だからこそ、、次の次のずっと先の子供たちも大切にしたくなるような、日本らしい精神文化や思想・心を育みあいたいと思っていますので、あなたも、どうか力をお貸し下さい。宜しくお願いいたします。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

ポータル　光の家族　地球創生ｓｎｓ

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆

〇地球を愛する仲間が集まる「地球創生ｓｎｓ」のご登録はこちら！

１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

☆★☆★☆★☆

地球創生活動を支えあう地球創世基金

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

2011.10.17 Mon

伊弉諾神宮（いざなぎじんぐう）の神々へ宣言したこと

もう一ヶ月も前の話しになりますが、四国神事の最後にご報告した淡路島の伊弉諾神宮（いざなぎじんぐう）の神々と対話した内容をやっと公開できる時期がきましたので本日、お伝えします。



◎気づき：男神・女神と同列に「子神」を並べて祈る必要がある

四国神事を終えて思う事　　2011.10.5　吉岡学メモより

今回の四国神事は、私たち人間に「新しく神の扱いを学びなさい」という意味があると思いました。
理由は、一番大切な命を産み出す神を「男神と女神だけで表している事」が大きな原因だと思われます。

確かに全ての命は男女の営みで産まれますが、祀っている神を男神か？女神か？で揉める事があるくらい、男女にこだわって質問する多くの女性たちは、数万年前から続く「男尊女卑」に強い不満をも持ち続けていることが原因だと思われます。

次に、今回の四国神事の目的は、日本に渡ってきた民族の魂統一による「天皇家の命種繋ぎ」でしたが、男種を守る為に多くの命の犠牲があったからこそ、この思いは単純ではありません。

淡路島の伊弉諾神宮の神々に問われたあと、最終的に、神に宣言した内容をここでご紹介しましょう。

これまで男神、女神が命を産み出す最も尊い神として扱われていましたが、そこに同列で「子神」を揃えて、三つの神を同等に守って下さいと私は神々に伝えました。
この言葉を聞いた瞬間、神々は大きな声で「承認」と全員が納得してくれたことを覚えています。

この結論に至るまでとても長い時間のやり取りがあり、自分自身の気づきも含めて大きな意味で神の働きが変わることを気づかせてもらいました。

この宣言は、私自身が単に家長制にこだわっていたというより、過去の男御霊たちがこだわってきた「家長制」という制度が多くの女性を苦しめる原因にもなっていましたし、次男以降は家督を引き継ぐ役目が無いという、とても問題が残る制度であることは知っているからです。※ちなみに、私も次男です。

現代の日本社会を見れば一人っ子が多くなり、子供を産まない夫婦も増えましたし、結婚しないだけで妻や母として経験がないからと、「人間として欠陥があるかのように扱われている人たち」の辛い気持ちもよく知っています。
逆に言えば、子供をたくさん産み育てた女性は、女性たちの中で尊敬の地位にあるからこそ、子供がいない女性たちにとっては身の置き場がないことも周知の事実でしょう。

結婚しない？出来ない？人たちは、子供を産めば親になれるとばかりに、結婚しなくても子供だけを欲しがる人がいるほどです。

実際問題、子育てをしていない人を考えた時、親になって子供から学ぶべきことを学んでいないければ、本当の意味で「親の気持ちがわからない」と言われても仕方がないことだとは思います。
この言葉を言われ続ける人たちは、「死ぬまであきらめるしなかい」という心になってしまいます。

しかし、この人たちに神心は無いのでしょうか？
人間として神の子である世の中の子孫繁栄を願い、一緒に手を取り合って祈る事さえしてはいけないのでしょうか？

人間を産み出した大神の意思を考えれば、単に子供を産んだ産まないという肉体のことだけではなく、産まれた全ての命を平等に扱う心を望んでいることに気づいたのです。

たしかに自分の睡眠時間を削り、やりたいことを我慢し、経済的にも子供を第一優先に生きることはとても堪え難い事だと思いますが、実際に、お金で子供たちは満足するのではなく、親の愛が伝わった時に与えてもらったものの大きさに感謝するものです。
最近のおじいちゃん、おばあちゃんを見ていると、物はたくさん与えるけど感謝する心を教えない人たちをよく見かけますし、嫌われたくないからと叱らない年配者も増えています。
若い親も、おじいちゃんやおばあちゃんをお財布担当のように、自分たちの望みを孫を使って叶

えてもらうくらい依存関係を作り出した結果、お金が最も大切なものだと子供にも教えてしまっています。

自分のやりたい事を我慢して産んだ子供を育てた経験が無い人から言われたくないとは思いますが、一概に「親の感謝を学んでいない人」と決めつける人がもしいるとしたら、それが良いとか悪いとかではなく、それも子供が居ない人たちの役割だと思っています。
だからこそ、私は子供を作らないと決めた時に、自分の子供から学ぶべき事を社会の多くの人から学ぼうとたくさんのお母さんたちの問題解決に時間を注いできたのです。

自分のように子供が居ない夫婦であっても、子供がいる夫婦より、愛する事や命をかけることを学んで教えられる大人にならなければ、日本の少子化はさらに進む事は明確だからです。

子供が居ない女性たちは、男性と同じ様に朝から晩まで責任を問われながら仕事に没頭し、恋愛もできずに体調を崩す人たちがとても今、増えています。
これもたくさんの子供を育てた女性たちの悩みと同じく、時代が変わった環境の変化によって起きている女性たちの悩みなのだと思います。

どこに幸せを設定するか、どこに喜びを設定するかをとても多くの女性たちが迷っています。

日本経済を考えれば、こういう女性たちの社会進出によってハードな仕事がどんどんソフト化に進み、そのおかげで日本経済は発展しましたし、さらにこれから子供が増える可能性は日本はありませんので、子育てを終えたお母さんたちもいずれ同じ悩みにたどり着きます。
例外的なケースを考えれば、突然、自分の子供たちが亡くなった夫婦の人生の生き甲斐も同じです。

今、まだ若くて元気に働けるからいいのではなくて、いずれ同じ状況になることを考えれば、あなたも一緒にこのことを考える必要があると思います。

最も大きな視点から考えると、
自分が親や人に頂いた「恩」をどう社会に返すべきなのか？

子を持つ親と、子を持たない大人たち、結婚している人としていない人たち・・・
これからますます日本は、多様化したライフスタイルが増えてきます。

その中で女性としての喜び、男としての喜びをどこに設定するか、とても難しい時代になってきたのは、生活スタイルや価値観があまりに大きく多様化したからですが、これほど色々な人たちが増えると、ただ単に少数派の意見だとは言えなくなってきています。

実際問題、最近、私に相談する方たちの多くは、先祖のお墓や仏壇、神様の道具や先祖の土地をどう扱えば一番、ご先祖や神仏が喜ぶのかを聞きに来られます。
離婚や子供がいるいない、兄弟姉妹の人数など、ケースによって対応は多様化しているからこそ、宗教家の一辺倒な教えでは対応できないくらいに名字も夫婦別姓ありですし、昔から続いた「男女のあり方」が不明確になってきているのは事実です。

これらの多くの問題を知っているからこそ、皆で税金を払って日本国籍を持つ人たちが、日本という国家を支える精神性、つまり、神心を見直す時期なのではないかと思い悩みました。

これから１０００年続く神心とは、何か？
人間の命の存続が最も大切な事だからこそ、どうすれば誰もが同じ心で神仏に心を合わせる事ができるのか？

その為には、全ての家族が自分の家の垣根（ルール）を越えて、互いに助け合う心を持つ中で、出来る人たちが、出来ることをする社会にしていかなければいけないと思います。

その為に大神は、男神、女神、子神の三神を同一列の神として扱う心を気づかせてくれました。

命をつなぐ最も重要な三つの神を祀る意味は、それぞれの神役目の違いを正しく学びながら、互いを尊重し合う心を学ぶ必要があるからです。

では、視点を変えて考えてみましょう。
子供が欲しくて出来ない夫婦、子供に死なれた夫婦、片親になった子供、両親を失った子供・・・この人たちに、親子愛はないと言えるのでしょうか？

私たち人間は、与えられた全ての愛の結晶を最後は必ず、失うことが決まっています。

自分の肉体、家族の死、友人知人の死、愛する人を失う事で何を私たちは気づかなければいけないのでしょうか？

命が最も大切ならば、生きている間に、不足してる何かを気づく必要があるのでないしょうか？

私は神々に宣言をしましたが、実践するのは私たち人間です。

誰も批判しない心を学び、自分とは違う人を蔑視するおごりの愚かさを学び、自分の子供ではな

いけれど、世の中に産まれた全ての子供たちに希望と勇気と生きる道を教えてあげられる大人が増える為に、皆さんのご協力をお願いします。

心を開いて互いの知恵を出しましょう！でも、そこには、勇気も必要でしょう。

ご先祖を守るルールが厳しい地域では、色々なルールや縛りもあると思いますが、自分たちが新しい考え方を産み出さなければ、最終的に、祀り事や神仏心は消滅してしまいます。

今、子供たちが欲しいのはお金でも物でもなく、本当は自分たちが信じて生きる為の「道」を教えて欲しいのです。

これは今の学校教育では無理ですし、当然、塾ではできません。

家庭内で教えられたルールがこれほどバラバラになった時代だからこそ、多くの苦労をされた先人の心を学びながら、過去を否定するのではなく、先祖たちに喜ばれる新しいルールを作っていきましょう。

あなたに子供がいるいない、お金があるない、地位があるない、若いから…年寄りだから…、そんなことは一切、関係ありません。

本当にこの地球に産まれた子供たちを大切に思うのなら、今、目の前で迷っている子供に道を教えてあげられる大人になって下さい！

全国で行っている地球創生勉強会の内容も、一人一人の心の成長をテーマにお話ししている理由は、新しいルールを産み出すためにも、一人一人の心が成長しなければいけない時期だからです。

もう、自分の苦しみを自分だけのものと思わず、互いに学びあう心を持って、個人の悩みを超えた素晴らしい仲間の輪を広げましょう。

そして、その輪を自分が住む地域の中でも広げていきましょう！

いつか町内で出会う全ての人が、地域の子供たちを同じ心で見守りながら、互いを尊重し合える大人として成長していたいものですね。

その為の一歩を踏み出す人たちが、「光の家族」なんです。

ライトワーカーたちも一人で行動するのではなく、多くの人たちと意識を合わせて一緒に行動して下さい。

組織も作らず、ただ、みな同じ事を大切にしたい人たちが、心の輪を広げるだけでいいのです。

誰が居なくなっても、誰が新しく増えてもかまいません。

本当に自分の喜びを誰かと共有したいと思うのなら、あなたがまず、コップ一杯の幸せを誰かに差し出す事が必要です。

与えることで、与えられる。

命と肉体を与えられた全ての人たちのゴールは、「喜びと感謝」です。

その為に、どう生きればいいかを一緒に話し合って知恵を出しましょう。

全国でお会いできます皆様と一緒に、そして、地球創生SNSで繋がっている世界中の皆様と一緒に愛の輪を広げて、地球の未来を変えていきましょう！

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ｓｎｓ
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆
〇地球を愛する仲間が集まる「地球創生ｓｎｓ」のご登録はこちら！
１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

☆★☆★☆★☆
地球創生活動を支えあう地球創世基金

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　普通預金　0961355

2011.10.14 Fri

見つからないものを見つける方法

昨日（10/11)は、地球や自然を愛する仲間から素晴らしい報告が届きました。

ラフティングという川下りスポーツの世界大会が南米コスタリカで行われていましたが、日本が二年連続の優勝を果たしたのです！日本人は、すごい！と世界の強豪が認めています！・詳しくはこちらをご覧下さい！

2011年コスタリカ世界選手権　表彰台で君が代　！！

2010年ニュージーランド世界選手権で世界一位　日本チーム・テイケイ

さらに一昨日（10/10)は、二年前に行った与論島神事（2009年2月）で泊まった宿のおかみさんから喜びのご報告を頂きました。・亡くなった谷浩一君と行った与論島神事の詳細はこちらをご覧下さい。

神事で行った龍の聖地（自然の美しい浜）が、「うつの方が治るエネルギーがある」とわかったので伝えたのですが、この二年半の間に、多くの方が訪れて病気が回復したという実績を報告してくれたのです！

・ご興味がある方は、与論島の潮見荘オーナー林しず枝さんにご連絡して下さい。

伊良部島も同じように自然の神が守る「生まれ変わり」の聖地を地元の人と見つけましたが、聖地を守る人がいるからこそ神エネルギーは守られているのです。

それは自分の産まれた土地を愛する心と同じく、大切にする人のおかげで神様の力も大きくなる事を学んで下さいね。

全国の神事で出会った土地の方たちへ伝えてきた神メッセージは、大切な神様の心や想いを次の世代へ引き継いでもらいたいからこそ伝えているのですが、一緒に神事に参加される方達はどうかこのことを意識してご参加下さいね。

では、「見つからない物を見つける方法」をお伝えしますね。

まさか、霊視の方法を教えてもらえるなんて思った人はいませんよね？(^^;

そうじゃなくて、あなたの心が探しているものを見つける方法ですよ！

幸せでも、愛でも、喜びでも、信頼でも、お金でも、何でも同じです。

全ては「想いのエネルギー」なので、想いの扱い方をご指導します。

1,まず、誰かに方法を聞くのではなく、自分自身が何を望んでいるかを明確に知る事から始まります。

人間が考える時の前提として、必ず、出来ない事は思わないようになっていますので、自分が思いつく全ての「やりたいこと」をリストアップするといいですよ。

あー、そうだ！

その横に、今、考えられるだけの「できない理由」も書いておいてくださいね。

2,「もうない！」って思えるほど全てを書き出し終えたら、リストアップした物を今すぐにやりたい順番から番号を振って下さい。

ワクワクしながら番号を振るのがコツです！

隣に書いてある「できない理由」は、まったく無視していいですからね！

3,では最後に、全てを叶える最も早い方法を教えますね。

一番下、つまり、一番やりたい優先度が高くないものからすぐに取り組んで下さい。

すぐに出来るのに、やっていなかったことだとわかるはずです。

このコツがわかれば、どんどんやりたい事は達成していきますよ。

今日、お伝えした方法は最も初級の方法ですが、実は、実践した人は必ず、最後のやりたいことまで叶える力が備わりますので、やりたいことが叶った人でお礼の気持ちが溢れた人は、どうぞ地球創生基金へご寄付下さいね（＾＾）

あなたが、喜びに生きるコツを私はサポートし続けます！

来週から沖縄出張ですが、現在、三つの神事を予定していますので、当日まで地元の方達といろいろな情報交換をしていますが、必ず出てくるのか「自分の存在理由でもあるご先祖様のこと」です。

何度も言いますが、子供たちへ伝え残す大切な心に気づく為にも、あなたが自分でご先祖祈りをして下さいね。

土地の神様に喜ばれる生き方とは、ご先祖様も当然、喜ばれる生き方です。

そしてそれは今、あなたの周りの人が理解できないかもしれませんが、すぐに感謝されることを期待しないで行って下さい。与論島のおかみさんは、二年半前に息子さんにこう言われたそうです。

「そういう大事なことは周りの人に言わずに、もくもくと仕事を続けながら実績を作ると良いよ！」と。

おかみさんにとって息子さんが、神様なのもわかりますよね！

大切なメッセージをくれる人は、聞く人が素直な心で人の話を聞いてくれるからこそ、伝えるべき神言葉が降りてくるんです。

いくつになっても「素直さ」って、大事だとわかるでしょ！

頑固は、損！　アホみたに、素直に生きてみましょうね！

いつも、ありがとうございます。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

ポータル　光の家族　地球創生ｓｎｓ

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆

〇地球を愛する仲間が集まる「地球創生ｓｎｓ」のご登録はこちら！

１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

2011.10.12 Wed

やりたいことが、うまくいかない時は！

昨日の10/10、朝5時に突然、起こされた方もたくさんいたようですが、私もその一人でした（＾＾）

目覚める瞬間の夢の中で「ポータル、光の家族」とメッセージが降りた意味がわかったからこそ、早朝からブログで皆さんにお伝えしたのですが、それほど多くの方が反応しなかったことも今の現実意識だと教えてくれたのだと思います。

今、すぐに目覚める方が1000人に1人か、１万人に１人かはわかりませんが、「光の家族」の先頭部隊として生まれた魂たちは、魂本来の目的を達成するために動きださなければいけない時期にきた事に気づいて下さい。

魂が生まれた古い順ごとに目覚める設定も知っていますので、先頭部隊で役目を果たす人たちが互いに繋がって、２０１２年を迎える為の相互共有の集合意識エネルギーを大きくする時期だからです。

私が常に、出会った全ての方の魂の扉を開くために、魂心のエネルギーを振り絞って伝え続けていることは御存じだと思いますが、今、動くべき人が動かないと、後に生まれる人たちのやるべきことが増えることを知っているから必死なのです。

それはシャーマンの親たちが、７代先の子孫を考えて物事を決めたり、発言する意味と同じでしょう。

もう、誰かに依存して生きるのではなく、自分の言葉と行動の責任を持ちながら、生きる意味や喜びの道を示さなければいけない人たちがたくさんいるはずです。

その為に大切な気づきは、弱さを知ること、寂しさを認めること。

誰もが持っている感情だからこそ、あなたが先にこの思いの扱い方を正しく学んで下さい。

やるべきことはわかっているのに足をとめたり、感情的になって嫌になるあなたは、「自分自身の思いの清算」を終えていないからこそ、「つまずき」という学びをいつも経験させられます。

やりたいのにうまくいかない

やりたいのにやらせてもらえない

やりたいのに、イライラしてやりたくなくなってしまう・・・・

こういう感情のように自分がやりたいことを自分で止めている原因は、過去、自分が経験したことの囚われの感情から起きていることに早く気付いて、心のカギを外して下さい。

多くの人たちが、「魂が喜ぶ生き方」を出来なくなった理由として、現実社会のルールや誰かのルールによって自我を抑え込む生き方が正しいと教えられたからですが、進化した魂の正しい生き方はまったく違います。

もともと「光の家族」として生まれた「意識体」は、ある目的を持って色々な星に生まれ住み、地球にも何度も生まれているからこそ、目的を果たせなかった経験や自分が犠牲になった記憶も魂には記憶されています。

だから今、失敗しないように生きている人ほど、失敗という「囚われ」を経験していると言えますので、同じ感情に支配されている自分を変えて、自分が決めたルールだからこそ、自分で変えられる勇気を持って下さい。

魂本来、つまり、光の根源から生まれた魂の生き方は、誰かに合わせて生きることではありませんでしたが、だからと言って自由きままだけでは集団生活は維持できません。

大切なことは、自我が喜ぶエネルギー量と同じくらい周りの人が喜んでくれていれば、必ず、人間関係はうまく進みますが、人間関係がうまくいかなくなる大きな理由は、両者の思いこみの違いや与えている愛の差に違いを感じていることが原因です。

人間が何かを「思う」時、その思いというエネルギーがどこからきているのかを御存じですか？

自分の思いの根源が、どこに影響されているのかを知らずに誰かを責めたり、攻撃したくなる感情が出てきたら、「自分が自分に課した呪縛というルール」が原因だと気づいて解放して下さい。

もう、その呪縛もはずしていい時期に来ている事をお伝えしているのです！

「光のポータルが開く」という意味は、自分が思い込まされていた間違いや勘違い、そして、自分が誰かに押し付けていた「思いの呪縛を外しなさい」というメッセージの意味があります。

そのことに気づいた人たちは、１日も早く自分の魂に光を当てて、自らの魂を「光の世界」へ導いて下さい。

宗教が教えた最高の呪縛は、「自己犠牲」ですが、もう、その呪縛も外して下さいね。

あなた自身の愛や喜びの姿こそ、全ての人に伝わる最高の光なのだと気づいて下さい。

簡単に言えば、あなたが、あなたの欲求を素直に認めて行動に移して、自分を喜ばす為に周りの人と愛の交歓を始めることなのです。

私たちが「眠る」という行動をしている時、魂は「光の故郷、光の根源」へ戻って、魂のクリーニングをしている時間ですが、この地球へ意識が戻る時、光の根源エネルギーを地球に繋ぐ目的で目覚めさせられる場合もよくあります。

大人になってもよく眠る方の多くは、肉体を持って経験しているドロドロの思いをクリーニングをする為に、他の人より魂が肉体を離れる時間が必要なのだと思って、秋の夜長を安らかに眠って下さい。

しかし、一方では肉体を持って経験していることを魂が喜んでいないという意味もありますので、自分の思いこみの設定を変えて、「全てを喜びに生きる」と宣言して、現実を選択し直して人生を楽しんで下さいね（＾＾）

ゴールを「喜び」に設定した人は、途中がいばらの道だったとしても、必ず、笑顔の光を周りへ振りまくほど、常に、夢のゴールが見えていますが、自分のゴールが見えなくなった人は、ぜひ、この絵本を一度、お読みになって下さい。

あなたの魂が、地球に生まれた理由が、ここには書いてあります。

絵本　新しい世界

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ

☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆

〇地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」のご登録はこちら！

１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

2011.10.11 Tue

ポータル　光の家族

ポータルとは、宮殿の表玄関のこと。

今、まさに宮殿の表玄関に、「光の家族」が集結しようとしています。

それは多くの人たちの為に、「光の宮殿」の扉を開く時期だからです。

もともと光の世界からやってきた私たちは、色々な星を経験して、この地球にやってきました。

目的は、この星を光の星にすること。

では、この光と何なのでしょう？

それは、宇宙の大元が産み出した命、つまり、「意識」のことです。

宇宙空間にあるものは星も、植物も、人間も、動物も、全て光の振動数を下げたことによって物質化された神の創造物です。

だから、この地球上にあるものは全て「火」を使えば、光を発し、気体なるように出来ている理由も、もともと光から産まれた証でもあり、それは、自分たちが戻るための道でもあるからです。

この世にある物質は、すべて「意識」や思いなどの想念世界の産物です。

誰かが何かを思って作った物は、一時的に自分たちの肉体を便利にする為に産み出されましたが、自らが気体になった瞬間、その全てを持っていくことができない事は誰もが知っています。

それでもあえて肉体を持ってこの地球に産まれた理由は、肉体がある間になすべき事があるからなのです。

私たち人間は、もともと誰もが同じ「光の宮殿」に住んでいましたが、そのあと色々な星に生ま

れ変わった経験を持って、この地球までやってきました。

この過去の記憶を書き込んでいる記憶装置が、あなたの「魂」なのです。

何度も何度も生まれ変わってまで、この地球に来た目的とは何なのでしょう？

細かく見れば一人一人の魂経験が違うので、互いの気持ちが完全に同じことを感じる事はありえませんが、生きている間に出逢う全ての人たちは、あなたが過去世で出会った人たちですし、仲良くなったり、家族になる人たちは、大きなテーマを乗り越える目的を持って出会っています。

宇宙の記憶を含めて、この地球という星で何を成すべきかを思い出し始めた人たちも増えてきました。地球創生SNSの中で発言する人たちは、光の速度で相互覚醒が始まっています。

しかし、誰かが過去世の星の名前を言えば、「囚われ」と呼べるほど大きな失敗の記憶を思い出すからこそ、なるべく互いがマイナス記憶を思い出さないように気をつけています。※全ての記憶は「アカシックレコード」に眠っています。

「光の世界」をわかりやすく説明するなら、そこは互いの心を閉ざすものが一切なく、自分も相手も、互いの思いを同時に感じ合いながら生きている世界だと言えます。

もともと全てがひとつでワンネスで、何もかもが同じ目的を共有している「集合意識」の意識体であることを認識しあっている世界のことです。

多くの失敗体験や苦しみさえ、乗り越える為に与えられたチャンスだと気付けば、あなたが乗り越えた経験は、同じ苦しみを持っている人たちを解放する鍵を手に入れた事になります。

「意識」が肉体を持つ瞬間は、それぞれの魂の役割別に形や色を変えて、土地と環境を選んで産まれます。

過去の重要な記憶は体のアザに残ったり、骨格など見える特徴にも記憶されて産まれています。

体の大きさで声の響きが違うように、「形」あるものは全て一定の「振動数（周波数）」が出せ

る様に、「意識の共振版」として肉体が与えられています。

言葉にしなくても相手の言いたい「想い」を体で感じる体質の方たちは、体から出ているその周波数が何を記憶しているのか、何を意味するのか、その目的を紐解く為の役目で産まれています。

最終的な目的は、「地球・人類全ての喜びと存在の感謝」を大きくするためなのです。

その為に今、ポータル、宮殿の表玄関が開かれようとしています。

これからは、今までより自分と誰かの境界線が無くなると感じるほど、互いが互いの事を感じ合う世界が強く、そして、早くなります。

魂の解放、喜びの共有、美しさの共有、そして、慈愛や慈しみの心の共有が普通だと感じる人たちが、世界中どこに居ても互いを同じように感じ合えるほど強く意識共鳴し始めます。

だからこそ今、辛い・イライラ・不安に感じている人たちは、自分の闇に光を当てることが出来ていない人たちだからこそ、自らでこう唱えて続けて下さい。

「私は、光のみを受け入れる！私は、光のみを受け入れる！」

苦しい時、辛い時、痛いところに手を当てて、この言葉を唱え続ければ、あなたの魂の扉は大きな光の力によって開かれ癒されます。

もともと「光の家族」として産まれた私たちは、肉体を持って経験した闇の記憶を一掃する為に、多くの苦難と苦痛を体験するように設定して産まれています。

何度も繰り返してきた失敗の記憶は、この人生だけのことではありません。

恐れ、不安、迷い、逃げ・・・、そして、攻撃したい気持ちや相手に勝ちたい気持ち・・・

その全てが、ある興奮や感情と共に、私たちの魂には記憶されています。

異性とのこと、家族のこと、大きな社会的責任を負った記憶など、全てのカルマを一掃するまでは、永遠に闇から光を眺める生き方しか出来ないと思っている人がいますが、真実は、そうではありません。

闇は、もともと私たちを産み出した母だからこそ、一人一人の心の扉を開いて「光の意識」を繋ぎ合わせれば、全ての意識が共鳴し合う大きな「集合意識のエネルギー」が動き出します。

このエネルギーを「光の集合意識」と呼びましょう。

「光の集合意識」は、全ての魂を大元の光へ導く魂ラインのことでもあり、私たちが肉体を離れて登って行く道でもあります。

だからもう、自分だけが寂しい、苦しい、辛いと思う思いを手放して、全ての言葉を光の言葉に代えて誰かに伝えてみて下さい。

きっと、あなたと同じ位置に居る人たちが、あなたの光の言葉で勇気を得て前に進み出します。

私たち人間は、ただその為だけに産まれた事を多くの人に思い出して欲しいと願っています。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ポータル　光の家族　地球創生ＳＮＳ
☆★☆★☆★☆☆★☆★☆★☆
〇地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」のご登録はこちら！
１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

2011.10.10 Mon

沖縄本島　地球創生勉強会　**10/22**（土）**15：00**より

いつもお世話なっている沖縄の皆様、ありがとうございます。

数年ぶりに、沖縄本島で勉強会を開きますので、ぜひ「時間厳守」でお集まり下さいね（＾＾）

10/22（土）午後３時～６時
場所：居酒屋あまいか　那覇市古島2丁目29-5　/￥3500

同じ会場で、18：30から交流会も行いますので、お時間が許す方は、ぜひ泡盛で盛り上がりましょう！

※勉強会と交流会の参加申込みは、お名前・連絡先・生年月日をこちらへメールでお申込み願います。

今回の沖縄本島勉強会は、「次の時代へ引き継げる神様の心」をテーマに話し合いたいと思っています。

地球創生神事で全国を歩いて大神様の思いに気づいた事もたくさんありますので、沖縄を経由した民族や神様の気持ちをお伝えしようと思っています。

今、もっとも重要だと思っていることは、沖縄の若い方たちが今までのしきたりに縛られて神様ごとに手を出せない方たちがいますので、神様を大切にする心がある人たちが、次の世代に引き継げる方法を一緒に考えたいと思っています。

これは沖縄本島に限らず、沖縄全島の問題でもありますが、司役がいないために神祭りが出来なくなったり、閉じたウタキもたくさんありますし、ご先祖様や自然神たちは沖縄の人たちの日々の祈りをとても心待ちにしていることを神様から言われているからです。

実際に、ご先祖が感高い子供を倒して、先祖の思いをわからせる事件も日々、起きていますが、これは沖縄に限らず日本全国でも起きている「先祖がかりの問題」です。

その原因は、確かに一族のご先祖の対する取り組み姿勢の問題なのですが、指導するユタや神人たちが、これまでのやり方のままでは間に合わないほど、多くの人たちが病気になったり、苦悩の人生を経験しています。

沖縄に生まれた方は、子供の頃から親や祖父母・親戚の教えによってご先祖たちが大切にしてきた心を学ぶ方法を伝承されていますが、実際問題、自分の子供たちが神守りや先祖守りをしたくなるような方法を誰かが考え出さなければ先祖が大切にした精神も失ってしまうと感じています。

ユタや神人（かみんちゅ）のイメージも、人によってずいぶん差がありますし、沖縄全体の祈り心がご利益主義の個人的な拝みになってしまった理由は、６５年前に貧乏だった神役目の方たちがお金第一で神ごとを教えたことが始まりだと先輩神人たちから聞いています。

６５年前の沖縄がどういう状況だったかは、まずこちらをお読みになって下さい。

昔から感高い「生まれ」の人が多い沖縄の土地は、それほど多くの人たちが神を守り、神役目をする人たちが必要な土地だからこそ、神心よりもお金を優先した結果、今となっては次の時代へ残せない色々な問題が起きている事を聞いています。

だからと言って、沖縄に住んでいる人が新しいルールを提唱すれば、周りから非難を浴びやすい土地柄だからこそ、次の世代のさらにその先へ先祖が大切にしてきた神心を伝承させる必要性に気づいている人たちは、自分自身が考え方を変える必要性にも気づいていると思います。

私も１0年間、沖縄に通わせて頂きながらたくさんの人の話を聞いて学んだことは、やはり、沖縄の人たちは、本当に命をかけて守ってきたほど大切な精神（神心）があるということです。だからこそ、一緒に、次の世代へ残せる神心を育み合う知恵を出したいと思っています。

他人を批判せず、お互いを尊重し合う心を学びながら、ご先祖たちが喜ぶ神心を一緒に学びましょう。

伊良部島・宮古島の皆様、１８日からお礼に伺いますのでどうぞ宜しくお願いします。



2011.10.06 Thu

SMAPのカウンセリングを依頼された・・・

先日、「SMAPのメンバーをカウンセリングして下さい」とある方から依頼されました。

メンバー全員が揃っている所でリーダーの中居君にまず話を聞きましたが、本人は「そんなに問題ないと思うけどな〜」と私の前から離れて行きました。

すると木村拓哉君が、「どんなことをするんですか？」と興味ぶかげに近寄ってきました。

私「いやー、まずメンバーにあって下さいと言われたのできたんだけど、特に何か聞きたいことはありますか？」

木村拓哉君「僕は別に困ってないけど、他のメンバーは相談したいことがあるかもしれませんねー。」と言うと、メンバーを見渡しました。

すると、香取慎吾君が私の前にやってきて、こう言いました。

「僕はいつも夜中にお腹が空いて目が覚めるんだけど、昨日も、夜中に起きてカップラーメンを食べようと思った時、昨日と同じカップラーメンの数が残っているので、やっぱり僕と新人の〇〇君だけが夜中に起きて食べるんだと確信しました。これって、異常なんですかね〜？」

その返答を考えていると、情景全体が引いて見えて、この夢が伝えている意味があることに気づきました。

私の左脳にある情報では、SMAPはメンバー同士の仲は悪いけど、仕事だから一緒にいるというイメージがあります。

では、この夢の中で配役が演じた意味は何かというと・・・

リーダーが意識していることと、チームを引っ張る人が意識していること、そして、いつも自然体で自分の言いたいことを言う人の意味を考える必要性を教えてくれたのだと思います。

私も考えてみますが、皆さんも会社や何かの集まりに参加した時、自分だけの視点で物事を見ている部分を考え直す機会にして下さいね。

お互いに、相手の立場を理解するためには、違う視点から物事を考える必要があることを教えてくれているのだと思います。

自分が正しいと思ったことでさえ、自分の思いだけを優先して好き勝手に言わない心を学ぶ必要があるのでしょうね。

大切なことは、SMAPも同じく、お互いに守るべき大切な物が一致しているからこそ、立場の違いやお互いを大切にする心が必要なのだと思います。

あなたが、中居君だとしたらSMAPをどうするか、木村君だったら、香取君だったらと、考えてみて下さい。

みんなが大切にしたい思いよりも、自分が大事にしたいものを優先すると、SMAPでさえチーム崩壊になる可能性があります。

自分が大切にしたいことよりも、地球や日本や他人の事を本気で大切にする気持ちがあるかを、もう一度、自分に問う必要があるのかもしれませんねー。

「相手の立場で物事を考える経験」は、人間関係で最も重要な学びだからこそ、お互いに大切にしたい物が一致しているのなら、物事を進める時に相手の視点の違いも学んで下さいね。

いつか自分が相手の立場になるかもしれないと思って学ぶ心が、必要なのだと思いますよー（＾＾）

でも、不思議だなー？

私は特に、SMAPファンでもないのに何でSMAPなんだろう？・・・

きっと、「チームワークを学びなさい」と言ってくれているのだと思います。守護存在様、夢の

中のお勉強会、ありがとうございます。

2011.10.04 Tue

明日を楽しむ工夫

昨日（10/2）は、気温5℃の中、生まれ故郷の山へご挨拶に行ってきました。大きなステージが変わる時には、いつもご報告に行く山です。山道を歩いていると・・・







クマゲラも姿を見せて、いろんな鳴き声で山の情報を教えてくれました。



ここ数日の冷え込みで初冠雪した北海道の山も増えましたが、田舎の山も紅葉が始まっていました。





9月の末にも、伊豆の山奥で「ネイチャーワークの指導者コース」を行いましたが、美しい自然の風景とともに、山の中の精霊たちは、いつも姿を見せて大切なことを教えてくれます。

下の写真に写っている白い玉は、水の精霊たちです。



この太い木の周りにいる白いオーブは、木の精霊。



そして、山の中腹から湧き出る水場を見つけて写真に白い影が写りましたが、これはこの水場を守る妖精のエネルギーが白く写りました。白い羽衣を着ている女性でしたが、とてもやさしい笑顔で私たち人間が壊した自然の意味の話を聞いてくれていました。



人間が自然の精気を頂いて元気になるのは、この妖精や精霊たちのエネルギーのおかげですが、自然界にあるものを当然と思わず、心から感謝する祈りをあなたも行って下さい。

自然界の神々を怒らせることをすれば、確かにその償いは求められますが、心ある方たちの感謝の祈りでまた一歩、自然と共に生きる心に気づくと思います。

現実の生き方で大切なことを伝えて欲しいと、先日、山梨県で行われた地球創生勉強会の様子がYOUTUBEに公開されています。※10分づつ18話に分かれてますのでご覧下さい。

テーマは「生き方」でしたが話の内容は「明日を楽しむ工夫」がたくさん盛り込まれていますので、地球創生勉強会に参加できない皆様、どうぞご覧下さい。

地域に根付いた地球創生を志している仲間たちの勉強会なので、失礼な言葉使いに聞こえる部分がありますたらご勘弁下さいね（＾＾）

2011.10.03 Mon

2011年も残り３ヶ月！！

大きな意識変化（アセンション）を迎える2012年の準備として、今年は様々なことが世の中で起きていますが、来年以降はさらに地球規模でショッキングなことが起きる可能性があるからこそ、残りの三ヶ月間をどう生きるかとても大切な時期に入っています。

何の為に生きるのか？、本当の幸せとは何をすれば感じられるのか？

大切なものをいくら失っても、「自分のため」以上に生きる意味を見出せなければ、その人生はエゴ（自我）の経験だけで終わってしまいます。

なぜ、私たちはこの日本という国に生まれたのでしょうか？

なぜ、自分が両親や兄弟、住んだ土地を選んで生まれてきたのでしょうか？

その意味を知るために、先祖を調べて当時の生活や思いを知ったり、土地の歴史を学ぶことで、自分のルーツから続く囚われの意味に気づく人たちも増えてきました。

今は、未来を一緒に作りあげる仲間に早く出会うことがもっとも重要な時なのです。

そのために自分が成長できる場に身を置き、新しい人の視点を学ぶことで互いが成長できる魂の仲間に出会うことが不可欠なのです。

もし、周りの人があなたの目的を理解してくれなくても、あなたが必要だと思ったことを成し遂げる勇気さえあれば、必ず、魂が喜ぶ仲間に出会うことはできます。

もう、相互依存の人間関係ではなく、自立共存の時代　になったからこそ、ひとつでも誰かに歓ばれる生き方を身につける努力をして下さい。

自己犠牲の上に、真実の愛は感受しません。

自愛と他愛を同じ量、分け与えられる心の大きさが必要な時代なのです。

これが、日本に生まれた人たちの役目なのです。

そうできない人は、ただ過去のカルマや恐れに囚われていることにも気づいて下さい。

私は死を迎える瞬間に、「生きてて良かった！」と思える生き方を互いに感じあえる仲間たちと成長し続けたい

と思っています。

今年の残り三ヶ月間のステージをどう生きるかで、来年の人生経験が決まるからこそ、あなたができることで、やりたいことにどんどんチャレンジして下さい。そして、今よりも一人でも多くの人に歓ばれる自分に変化して下さい。

全国各地で開催している地球創生勉強会は、土地の意味や役目を踏まえて、志同じく地球を愛する仲間の輪を広げる活動として行っていますが、自分という小さな枠を越えた考え方を意識し合う仲間に出会える喜びがあります。

今後、開催する全国地球創生勉強会や神事は、重要な意味があるからこそ、本音トークの二次会も含めてどうぞ、ご参加下さい。

2011.10.01 Sat

山梨ツアー4 古代儀式復活！

9月24日午前、山梨県甲州市神金地区の裂石（さけいし）の前に集まった人たちは、自分の役目を確認しながら古代神事の注意事項と流れに耳を傾けました。

一切、言葉を交わさないこと。

一人一人が、自分の神を信じて身を任せて動く事。

全て神があなたたちの体を使って動かすので、よけいな思考はしないこと。

儀式を始めるにあたり、神が体に乗りやすくなる麻を頭に巻きましたが、あまりに皆さんが似合っているので驚きました（＾＾；







地元を流れる川に石を拾いに行くと、必要な石が全て集まったさざれ石がすぐに見つかりました。



地元の若者が、赤米、黒米、緑米の初収穫分を持参してくれました。



自然の恵みは、少しづつ山の中から頂きます。



男種の岩も、すぐに見つかりました。



儀式が、始まりました。月の巫女二人が宇宙の繋がりを自分の体を通して繋ぎ、私は地球から巨石人たちの星へエネルギーを繋ぎます。

すると、太陽巫女が舞いを始め、太陽神の男種たちは宇宙エネルギーとなって裂岩の子宮を通って地球に命が誕生します。





月と太陽は地球の命を育み続けるよう地球の周りを回ってエネルギーを送り続け、地球の自然界全ての生命サイクルが動き出しました。

火（太陽）の神、木の神、土の神、金（鉱物）の神、水の神が、光と風に乗って産まれました。

全ての神々がひとつになって火の周りに集まり、命の再生循環が始まります。

五穀の恵みとして収穫したお米を地元の若者が奉納すると、先祖や守護存在たちが一斉のこの火に集まりました。

命を繋いで下さる宇宙の大元に感謝したくて、今までずっと待っていたようです。



人間は火を囲み、命の誕生や育み、再生の方法を長老から教わります。

全ての命が燃え尽きる頃、地球に与えられた恵みは全て煙と共に天へ戻り、また、新しい命の再生準備が始まります。





全ての命が宇宙からエネルギーを頂き、地球が自然界を産み出したおかげで、私たち人間もその一部として命を頂いていることに感謝する古代儀式の祈りが終わりました。

初めて古代儀式を経験した関東の皆さんや地元の若者は、言葉にならない感動を共有することができたと思います。どうか、この大切な思いを次の世代へ繋いで下さいね。

私たちは誰もが、この大切な命の循環を繋ぐ為に地球に産まれたのですから・・・。



この男性が、新しい農業の生産・流通スタイルを作り出す会社を立ち上げた人です。※ちなみに独身です（＾＾；



山梨と関東を繋いでくれた雨宮君、どうもお世話になりましたm(_ _)m



この若者たちが中心となって地元でとれた野菜を試食したり販売するイベントが開催されます。人と土地に感謝の気持ちを表すでお祭りですので、ぜひ皆さんもお越し下さい♪　裂石 近くの田畑が会場です。

10/10 (祝.月)　神金フェスタ2011　※稲刈り体験も募集してます
11/23 (祝.水)勤労感謝の日

◎お申し込み・お問い合わせは、雨宮陽一さんにメールして下さい。

・おすすめワイナリー三養酒造

http://www.fruits.jp/~sanyowine/

野菜は古屋農園＆地下タビーズ♪が神金で作った季節の美味しく野菜を作っています。
山梨県　「勝沼朝市」コロボックル ゴゴイチに出店中です♪
山梨に来たら是非 遊びに来て下さい☆

・勝沼朝市
http://haj.web.infoseek.co.jp/

コロボックル＊ゴゴイチ
http://korobo.org/





2011.09.30 Fri

山梨ツアー3　山梨交流会

山梨の若者たちとの交流会は囲炉裏のある家でとお願いしましたが、NPOで建てた素敵な家を借りることができました。



9月生まれの二人の誕生会も行い、地元の若者6名と真剣に今後の進み方について話しあいました。



明日の神事の意味を説明したあと、必要な道具が揃うかを尋ねると、不思議なことにすべてが調達できる結果に驚きました。神様の導きは、いつも予想を超える現実体感で感じさせられます。



地元の古い麻の茎を持っていた22歳の若者や御影石を持っていたのは墓石屋さん、皆さんは互いに協力して米や野菜を作って売る新しい農業スタイルを始めている団長さんのチームです。

古代米の赤米、黒米、緑米も自分たちで作っていると聞いたので、食べ物を与えてくれた神々にご奉納する一番最初に刈り取った稲を明日、持ってきてくれることもお願いしました。

夜遅くまで色々な話をしていると、これまで苦しかった思いの鍵も外れて大泣きしたり、大笑いしあう魂の仲間の絆がまた広がりました。

女性たちから山梨の若者チームはEXILEに例えて「山梨カミザイル」と命名されました（＾＾）

現在、彼女募集と嫁募集の男たちが多いので、ぜひ、都会の女性たちは遊びに来て下さいね。



熱い友情の確認はご先祖様たちも大喜びしたようで、オーブになって姿を見せてくれています。

明日の古代神事が、とても楽しみになってきました！

つづく

2011.09.26 Mon

山梨ツアー2　古代祭事場を発見！

甲斐国の一宮祈りを終えた後、関東の仲間たちと山梨の人を含めた「山梨勉強会」を開催しました。人生の生き方、目的、考え方を中心に話した後、自分の夢を叶えるための方法も伝授しました（＾＾）

このあと、地元に住む地球創生の仲間が案内してくれた場所は、古代に祭事を行っていた祭事場でした。

山梨県甲州市塩山上小田原110　「裂石」

【auone GPS情報】
http://walk.eznavi.jp/map/?datum=0&unit=1&lat=%2b35.73309&lon=%2b138.79044&fm=0



山の中腹にきれいに岩がパカっと割れた姿を見ていると修験者たちが磐座（いわくら）信仰をしたことまではわかりますが、この大きな石が御影石だからこそ神が地上にこの姿で表した意味を感じていました。

形を見れば命を産み出す女性性器なので、自然界の命を産み出す感謝祈りはしましたが、それでは終われませんでした。帰ろとすると二人の巫女が、神エネルギーに乗られて苦しそうにしています。

体に触れて神の意思を読み取ると、三人のとても古い記憶が蘇りはじめました。

まず自分がここで祈りを捧げていた姿が見えてきて、周りの人たちの姿を見ると古代儀式をしていることがわかりました。

何に対して祈っているかというと、地球にあらゆる命を産み出す仕組みを作った宇宙人に対して祈っていたのです。

その宇宙人は、今から数億年前や数十万年前に何度も地球に降りて山や海を作り、地球という鉱物の固まりに命を吹き込んだ宇宙人でした。

宇宙風と宇宙エネルギーを組み合わせて大気を動かしたり、水や海を産み出す仕組みを作った存在と言ってもいいでしょう。

地球に生命が誕生する過程は、地球を生成している鉱物に付着していた微生物が宇宙エネルギーによって進化し人間が直立歩行するまで進化した訳ですが、新しい生命循環が動き出す為に何度も宇宙から降りた巨石人たちがいたことは覚えておいて下さい。

この巨石人が地球に降りて山を作ったり日陰を作ったりしている映像は、１０年以上も前に夢で見ていましたが、誰かに伝える機会はありませんでした。

巨石人の身長は20-30mもありますが、宇宙船に乗っている時は小さな光のエネルギー体なので、とてもたくさんの巨石人が地球全体に降りて活動していました。

イースター島のモアイ像やイギリスのストーンヘンジに代表される巨石文明がどういう意味かを研究している方もいますが、実は、この巨石文明は宇宙からやってきた宇宙人たちに向けて祈った祭事場であり、通信場所でもあることまでは解明できないと思います。

日本にも巨人伝説を「デイダラボッチ」と呼んだ神話が残っている地方がありますが、実は、世界中に現れた巨人伝説は宇宙船で降りてきた巨石人のことなのです。

その巨石人を見た記憶を持つ人の子孫が、この山梨県で古代神事をしていたことにまず驚きました。私が当時のことを思い出し始めたことによって、彼女たちの記憶も蘇り始めました。

しかし、古代神事の祈りをするには今と違う儀式の道具が必要ですし、手に入るとは思えませんので、繋いで欲しい気持ちはわかったけれど、今回はできないと伝えて宿に戻りました。

宿の部屋に一人で居ると、まだ神との繋がりが続いていたので、どうしても古代神事をしなければ納得していないことを感じたので夕食の時間、食べる前に全員にこう伝えました。

明日、午前中に先ほどの裂石の場所で、古代神事を行う事を決めました。その為に必要な事をそれぞれ思い出さなければいけないので、各自、自分の守護存在と話をして聞いて下さい。

この言葉を聞くと、先ほどの二人の巫女はとてもうれしそうな顔をしていました。

私は祭司役ですので、全ての準備を整える役目がありますので、何が必要かを思い出す努力をしました。古代神事をした時の巫女は、「神代巫女」と呼ばれて大切にされていた事を二人に教えました。

記憶の中にあるチップを繋ぎ合わせるように、必要な情報が徐々に出てきました。

古代神事のキーワードは、石です。

「石には意思がある」ことに気づいたのは西暦1998年頃ですが、当時、石から古代の自分の記憶を読み取る最も古い儀式ツールの「ルーンの石」で導かれた体験をしたことがあります。

（サニワの内容を公開します）

自分が扱う石は、赤色と黒色、白色の石が必要だ。

そして、火と水、・・・土、・・・いや、それだけではない。

風がなければ生命循環は起きないので、風も必要だ。

そして、木。

木が、全ての生命の誕生の源として地上に現れている。

火、木、土、金（鉱物）、水。

古代神事をした時は、一人一人がそれぞれひとつの神の役目をしたはずだ。

今、ここに参加している人たちも古代神事の時に何をしていたかを思い出しました。

火の巫女、水の巫女、土や自然を祈る巫女、鉱物を祈る人・・・。

陰陽五行のそれぞれを神と祀るための道具も、あったはずだ。

それも、順番に思い出しました。

麻が、必要だ。儀式に、どうしても必要だか、手に入るかどうか・・・。

全ての道具が揃っても、この古代神事を動かすには、もっと重要な事を思い出さなければ生命は産まれない。

巫女の二人が、そのキーワードを握っていることまでわかったので、食事を終えてから巫女の二人と三人だけで話し合う時間を作りました。すると、一人がキーワードを思い出しました。

月、産み出すのは、女性の月の役目だと思うのですが・・・

そう、月と太陽のエネルギーを地球に繋ぎ、宇宙からやってきた巨石人の星へ繋がなければ、生命サイクルは動かない。

そう、月の巫女と太陽の巫女。

そして、命を産み出す太陽の男種もいた。

この儀式は古代、地球のあらゆる場所で行われていた神事だった。

ムーやアトランティスでも行っていたが、今、思い出している時代は、さらに古い時代に行った神事だ。その神事が、ここ山梨で行われていたということだ。

たぶん、２～３万年前の頃だと思う。

儀式に必要な道具が揃うかどうかは、これから合う地元の人たちの協力次第なので、話を聞いてから明日の手順を考えましょう。

つづく

2011.09.25 Sun

山梨ツアー１　戦国時代のカルマが吹き出した！

9月24日～25日は、関東地球創生関東メンバーで山梨宿泊ツアーを行いましたが、事前調査に入った仲間の一人が、戦国時代の土地のカルマにやられて一晩中、血を吐く事件が起きました。

本来なら土地の思いを受け取りやすい女性にかかりそうなものですが、今回、その男性に血を吐かせた意味を考えると、彼のせいでよほど多くの人の血が流れているとわかりました。

すぐに遠隔治療を施して対処法を教えて血は収まりましたが、すぐに一緒に行った女性に関することだとわかり、歴史的な事を調べて下さいと伝えました。

土地の歴史や隠された思いを地球創生SNSに公開してもらい仲間たちとシェアしたあと、現地に向かう車中で女性の魂に封印されている過去の魂情報を読み取りました。

すると、織田信長が武田信玄に送った女性に女の子が生まれ、その時に産まれた魂が彼女だとわかりました。どちらが勝ち残るかによって「一族根絶やし」の引き金になる子供だったのです。

彼女を守った周りの大人たちは最後まで事実を言わずに殺され続けましたが、彼女は裏で今川家が動いてくれたおかげで徳川家の駿府城まで登った記憶を持っていました。

当時は、女の子が産まれた時に死んだと伝えたり、男の子が生まれた時に女の子として育てたり、世継ぎ争いの元を絶つ非常な戦国時代に産まれた子供たちは戦いの道具にされ続けました。

当時の彼女は、事実を話せず殺された大人たちを多く見た為に、絶対に真実を言えない「封印の人生」を送っていましたが、それは今世でも同じように封印の人生を送っていたのです。

これもすぐにわかりましたが、山梨の事前調査に同行した二名の男性のうち一人の男性は、彼女を見つけて一族を根絶やしにする指令を出した関東の豪族でした。

さらに、同行したもう一人の男性は、家長の命令を受けて彼女の一族を殺しに行った武士団の武将だったのです。

山梨の地球創生の仲間も同様に、「根絶やし」に手を貸さなければいけない立場の侍でした。

誰もが自分から望んだことではなかったからこそ、自分の命を守る為に人を殺さなければいけない戦国時代の無念を晴らす為に今世、出会ったことがわかりました。

今後、同じの因縁ごとで魂争いが起きないように、全てを洗い流す祈りを川で行ったあと、甲斐国の一宮にご報告にあがりました。









今回の経験で、カルマとなった両者が互いに許し合い、頭を下げ合って和合の心で同じ神に向き合う為に産まれたことを改めて全員が感じました。

私たちは誰もが同じように自分の過去世の魂カルマを乗り超える為に産まれていますが、自分一人では何もできません。

恋人になったり夫婦になったり、色々な仲間になることで過去のカルマを乗り越える場が与えられているのですが、なかなか一人では乗り越えられない方が多いものです。

だからこそ、先祖に対してお詫びの心で祈りをして守護を頂き、自分が住む国を守る宣言を皆さんにお願いしているのです。

私たちはどれほど自由に生きたいと願っても、多くの記憶を持つ古い魂だからこそ、この日本に産まれたのです。だからこそ、日本人に産まれた本当の意味に気づいて欲しいからこそ、今回、こういう経験を皆さんにも公開しています。

誰もが同じ思いで産まれてきたからこそ、この地球を、この日本を守る為に心を合わせる仲間にあなたもご参加下さい。

人生で起きる全てに失敗や辛い思いは、あなたが乗り越えるべきテーマとして与えられているからこそ、相手を恨むのではなく自分の弱さや隠したくなる心を解放しあえる素晴らしい仲間に出会って下さい。

地球創生に集まる仲間は、全員がそのことを学び合う仲間として日々、活動しています。

日本に入った民族の封印を解く為にも、あなたが産まれた土地、育った土地の歴史を調べてみて下さい。過去の自分の魂がどんな思いをしてきたかを今、繰り返していることにも気づいて欲しいのです。

あなたは、過去の失敗や苦しい事を乗り越える為に産まれてきたのに、まだ、自分の魂が望む未来へ向かおうとしないのですか？逃げずに、我を張らずに本気で自分の喜びの未来へ進みたいと願うなら、どうぞ、地球創生勉強会にご参加下さい。行きたいけど参加できない方は、地球創生SNSにご参加下さい。

どの神もご先祖たちも、大きな心であなたが今の辛さを乗り越えるのを見守っています。

私に出来る事はその少しだけのお手伝いだからこそ、自分の辛さを乗り越える勇気を持ってご参加下さい。いつでも、あなたをお待ちしています。



2011.09.24 Sat

台風15号直撃のなか、静岡市内大浄化神事

9月20日、札幌から京都へ。

京都御所内観の事前申し込みをして集まった関西神事の巫女四名と一緒に、天皇家の消えた血筋の繋がりを復活させる四国神事のご報告をすると、「承知いたしました」と快く〇〇天皇の魂を受け取って下さいました。

これで三つ目の天皇家ルーツの統合がなされた訳ですが、バラバラになった人の心を合わせるには、まだやる事がありそうです。





京都御所をあとにして、秦氏（はたうじ）ゆかりの巫女たちと、秦の始皇帝を祀っている場所へ行きました。







四名の関西巫女のうち、三名が秦氏に関わる魂記憶を持っていましたが、最初、すぐには話をしてくれませんでした。

しかし、私は秦の始皇帝を守った道教の仙人の魂記憶がある為に、始皇帝にそのことを話すと、快く一人一人に過去の魂記憶をひも解いて教えて下さいました。

これから自分が何をすれば心迷いが無くなるか、大切な魂の道を教えて頂き、大阪に戻って関西勉強会で四国神事の神様たちの思いを皆さんに伝えました。

私たちの魂カルマを乗り越える為に神々はサポートしてくれていること、また、私たちは神々の思いを成し遂げる為に肉体を持って産まれたことを共感する時間になりました。

台風15号は、札幌を出る時に沖縄宮古島あたりで自転車くらいのスピードでしたが、夜中から一気にスピードをあげて、翌21日は太平洋沿岸の大浄化をする為に働いたようです。

この日は、もともと静岡市内の女性の要望で「土地の不浄御霊大浄化」をお願いされていましたので、大阪から静岡に移動したのが午後１時前。台風の接近で新幹線もスピードを落として運行していました。

静岡駅で、初めてお会いする方と三名で神事の打ち合わせをはじめました。

行く場所、順番、意味、目的を明確にしてスタートしたのが、14:30。

台風15号が、まさに静岡に上陸した時でした。

あちこちの木が何本も倒れて道ばたにあったり、鉄の柱の看板が吹き飛ぶほど瞬間風速80mの中で神事を行いました（＾＾；

最初は、駿河国の一宮　神部神社で全ての報告をさせて頂くと、「神々も共に見守ります」とお言葉を下さいました。







今回は、四方祈りに加えて鬼門と裏鬼門を繋ぐ六方祈りに決めましたので、全ての御霊たちを天へ上げる為に時計と逆回りで六ヶ所を回りました。

駿府城の鬼門を守る為に造られた「蓮永寺」。

お寺の周りは強風と雨のせいで、木の枝や葉がものすごい声で泣き叫んでいます。「この中でも本気でするのか？、本当にやる覚悟はあるのか？」と私たちを問うようにも聞こえる木々たちの悲鳴の中、仏様に向き合いました。

仏様は、「私たちもその為にここにいるので、あなたたちの働きに感謝します」と言って下さり、３０cmほどの枝の両側に鈴が付いたものを下さいました。きっと、仏様の守護エネルギーが働く道具なのだと思います。





鬼門（東北）の次は、北にある「桂林寺」へ向かいました。





神事の説明が終わると「承認」と言葉を下さり、御霊たちをしっかり抱えて守ってくれている証も見せてくれました。

次は西にある「松ノ木神社」です。ここは、すぐに「承認」と言葉がおりました。神様ネットワークのおかげだと思っています。



次は、裏鬼門（西南）にある「興禅寺」です。



ここで祈りを始めると、「しばらくお待ち下さい」言われるので何かと思っていると、自然に両手が二つの四角を描き、その箱を仏様に奉納していました。

あー、そうか、鬼門で頂いた二つの鈴は、木の箱に入れてここへ奉納するのが目的だったんだとわかりました。これで鬼門と裏鬼門が、がっしり繋がり強い守りのエネルギーが働きます。

最後に「ありがとうございます、承認いたします」と女性の声が聞こえましたが、これがして欲しかったことなのだとわかりました。

いつもそうなのですが、人の為や土地の為に何かをしようとすると、必ず、いくつもの意味があとから気づかされますが、これも神の役目をさせて頂ける喜びです。

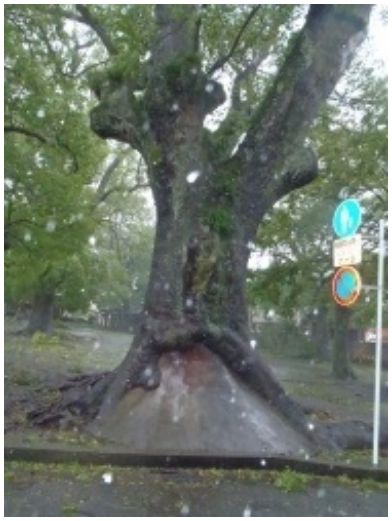
南の守りは、「水神社」。車を降りただけで倒されそうな強風が雨粒と一緒に降り注ぎます。





龍が守る神のひとつ「水神」は、すぐに「承認いたします」と言葉を下さいました。

東の守りは、「軍神社」。戦争で亡くなった方達を見守る神社ですが、鳥居横の木がとても強い守り番としていらっしゃいます。









すごいですねー、白いオーブの御霊たちがあちこちで走っています（＾＾）
台風に驚いているのかしらねー？

境内の木は枝が折れたり大変な状態ですが、これも生命の循環に必要な恵みでと受け取って感謝いたします。





祈りが終わると、たくさんのオーブたちが感謝の姿を見せてくれました。土地を守る木の精霊たちにも心から感謝を唱えました。

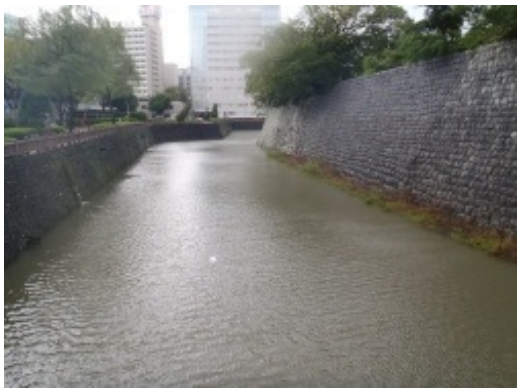
六ヶ所を祈り繋いだあとは、最初の鬼門の「蓮永寺」へご報告に行きました。

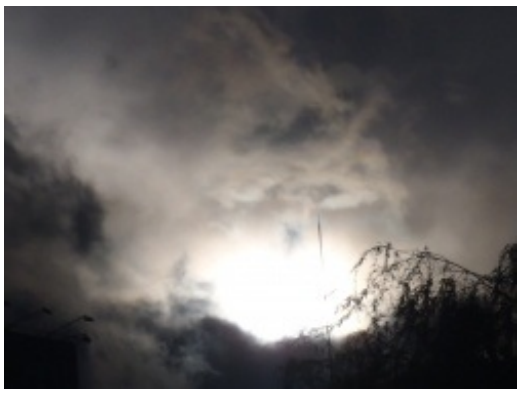


ご苦労様です、これからも宜しくお願いしますと言葉を頂いたあと写真を写すと、御仏たちが地元の方を見守っていることを見せてくれました。

上から降りている白く大きなエネルギー体は神仏の守護エネルギーですし、白いオーブは、ここを守る御仏たちですので、お二人はきっとこれから良いご縁が広がると思います。

今回の神事で使った塩、水、酒をどこかに納めた方がいいので、静岡市内の中心を守る駿府城の内堀にご報告として注ぎました。この瞬間、神事の終了とともに台風は過ぎ去り、新しい光が駿府城の内堀におりました。







神光が降りたことを確認してから、女性の氏神様　「別雷神社」へご報告に一緒に行きました。

土地の神様、氏神様に感謝される生き方をひとつひとつ学びながら愛の輪を広げていくことをお二人は神様にもお願いされました。

そのあとは、巫女の家族にお会いして土地の浄化、家の浄化、部屋の浄化と神仏が繋がる祈り場を作って差し上げました。亡き父が見守る家族の思いがひとつになるための祈り場所です。

翌日、清水市で開いた静岡勉強会には静岡県内の方と岐阜のお友達が１０名も集まって下さいました。

ひとつひとつ、確実に何かが繋がり始めていることを感じています。

新しく出会った皆様、地球創生SNSで心を繋いで、自分を大きく成長させましょうね！

手を合わせた全ての神仏、新しく出会った人たちに心から感謝いたします。

2011.09.22 Thu

隠された日本人の心の鍵を開く四国神事　6 伊邪那岐神社







伊邪那岐神社の神々に向き合う私たちの宣言はとても重要なので、昼食をとりながら一人一人の神役目を確認する時間を取りました。

まず、東京から生まれ故郷の高知に戻った独身巫女は、四国全ての土地を守る宣言を決めたようです。

沖縄本島生まれで、関東生まれのご主人と家族を持っている巫女は、沖縄（琉球）と日本（大和）を繋ぐ役目を果たす覚悟を決めました。

もう一人、関東生まれの独身巫女は、弁天守護がついていますので、弁天役として日本全国の龍が守る範囲、つまり、弁天様の働きを整える覚悟を決めました。

三人共この宣言が人としてではなく、神人としてイザナギ神社の神々たちに自らの証を立てる必要があると自覚しています。

私の宣言は、オノコロ島の全ての神の役目を決める役番を頂いた為に、なかなか明確な言葉が出ないまま鳥居潜る事になりましたが、必要な事はきっと、その場で出てくると思っていました。

神様たちに宣言した内容は・・・

昨日、早明浦ダムにて新たな神産み神事を行い、新しく男の神と女の神が生まれました。この男女の神々を見守り支え、さらには、産み出す全ての命を守り支える役目をお願いします。

こう伝えると、力の弱い言葉ではありましたが、「承知」と返事を頂き一応、承認されました。しかし、どうも心の中がすっきりしません。もっと大切な言葉を伝える必要があるのではないかと思うのですが言葉が出てきません。

宣言祈りが終わって時計を見ると飛行機の時間がギリギリなので、急いで車に乗り込みました。淡路島を守る神々に感謝を伝え、四国の神々にも感謝を伝えながら、車は松山空港へ急ぎました。

レンタカーを返す時間もギリギリなので、空港に着いてすぐに関東の二人にチェックインをお願いして、私はレンタカー屋さんを探しました。

しかし、返却するレンタカー屋さんがいません。

慌てて電話をすると、「お客様は、松山空港に返却する予定になっています」と言うので慌てて事情を話し、鍵と車を取りにきてくれるよう頼みました。

空港カウンターに急いで行くと、「お客様が乗る飛行機は一便前の飛行機で、もう出発しております」と言います。

関東の巫女二人に伝えた飛行機の時間は、私が教えたはずなのになぜ？？？

訳がわかりませんが、何とかと頼み込んで一緒の飛行機に乗せてもらおうとしていると、冷静な女性が出てきてこう言います。
「お客様、お客様はレンタカーの鍵を返す為に待っていらっしゃいますし、ご予約頂いた便を変更する手続きもしなくてはなりませんので、今、出発する便にはお乗り頂けません。どうぞ、次の便にお乗り下さい。」
次の便がまだ、あったんだ！それならいいです。はい、宜しくお願いします！
90分後の便を手配した後、やっと現実の自分に戻りましたが、とても体がきつくてたまりません。
この背中の重さは、神々が何かを伝えたくて乗っているのはわかるのですが、言葉がでないほど強い重さが背中と腰にのしかかっています。
必死に耐えて、やっと飛行機に乗った瞬間、意識はすぐに薄れました。

東京で一旦、降りたると背中の重さが無くなっていたので、さっきの重さは、四国と淡路島の神々の言葉にできない思いだとわかりました。
神々が伝えたい思いは、朝方、夢の中で映像とともに言葉で伝えられました。
男と男、女と女、共に愛し合う人たちの事を中性と呼ぶとしたら、男と女と中性を超える愛の形を考えて欲しいですね～！？
この言葉を聞いた瞬間、神々が言葉に出来なかった思いがわかりました。

4000年前のエジプト時代から家族の命を繋ぐ考え方は、「家長制」が基本であり、家長、つまり、一番最初の男種が家督を守る役目という考えは、世界全ての民族、王族、皇族、一般庶民が守り続けたルールだからこそ、財産分与などの日本の法律も「家長制」が基本になっています。
しかし、この「家長制」には様々な弊害があり、多くの人たちが苦しんでいる事を神々が気づかせてくれました。
まず、基本的に結婚をした女性はご主人の名字を名乗る訳ですから、その名字を守る男種の男子が生まれる事を親たちは祈願します。
長男の嫁なら特に、親族の女性たちに厳しく「男の子を産め」と言われます。
ご先祖を神と祀る沖縄の女性にとっては、今も厳しい世間の目が向けられるのは昔と同じです。
沖縄で「門中（もんちゅう）」と呼ばれる一族は、公家・貴族と同じ位の高い一族だからこそ、男の子を産めなかった母の気持ちは複雑です。
今回の神事に参加した巫女の一人も、この事を母に聞いたそうですが、母の答えがとても辛かったと言います。
お母さんは、こう言いました。
私が生んだ子供は皆平等に愛しているし、生まれてくれた事には感謝しているけれど、主人のご先祖たちに申し訳ないと思っていると。
男の子が生まれない女姉妹だけの家族は、名字を受け継ぐ人がいませんので、その名字はそこで途絶えます。
ご主人の兄弟に一人でも男の子が生まれていればまだ救われますが、男子が生まれない場合は、正式に仏壇や墓を守る人がいなくなるのです。
今まで女性たちが先祖を守り続けて祈ってきたからこそ、結婚したとはいえ、自分の旧姓の男種が途絶える恐ろしさは、先祖たちの思いがわかるからこそ辛い思いを一生抱える人生になっています。
現代はさらに、結婚しない人たちや結婚しても子供を産まない人たちが増えていますので、自分を産んでくれた先祖から見れば親不孝ではなく、「先祖不幸」の行いと見られます。
妻になっても子供を産めずに離婚された人たちの辛い思いは、いつの時代もありますし、逆に、本妻に子供ができず、側室に産まれた妻同士の嫉妬争いや、兄弟同士の跡継ぎ争いは一族の血肉の争いにまでなった歴史があります。
天皇家の歴史を調べると、同じような血肉の争いがあった為にそのカルマは大きく今も残っています。
この問題の根底が「家長制」による弊害なのは事実ですが、母たちが必死に守り続けた男種に対する思いは、次男以降の問題も含めて4000年間の民族カルマが背景にあるとも言えます。
近年の日本の法律は、男女同権に基づいて夫婦別姓や財産分与の権利も変わりましたが、未だに男性同士、女性同士の愛の形は認めていません。
子供を愛する同性愛者が居たとしても、社会における地位は得られず、譲り受けた子供が周りの親たちに虐待されることのほうが不安なようです。
私自身が同性愛者に違和感を持っていたのは事実ですし、家長制を基本として先祖が守ったルールでトラブルを解決してきたからこそ、大きく自分自身の価値観や概念を変える必要があることを感じています。
これまでの社会通念ルールによって誰かが苦しむ人がいるのなら、それは、概念やルールがおかしいと考えて、

ルール自体を見直す時期に来たのだと思います。

最も大きな問題は、
女性が母になること以外、社会にもお母さんたちにも認められない
という点だと思います。
子供が大好きでも結婚しない（できない）人たちや、子供が居ない夫婦はどのようにして子供たちへの愛を表現したらいいのか迷っています。
子供が居なくても先祖を守り、神仏に手を合わせる心の教えが必要だと思いませんか？
人間や地球生物全てを見守る自然神として太陽神を祀るのならいいのですが、実際に日本神道が天照大神だけを祀る理由は、男種だけに手を合わせて「家長制」を浸透させているとが考えるべきかもしれません。
クリスチャンの方も、マリア様を祀る宗派と、イエス・キリストを祀る宗派の違いがありますが、根底には母神思想か？男神思想かの争いがあると思います。
私は男女どちらの神が正しいのかを説いている訳ではなく、どちらも同等に重要だし、実際はその男女から産まれた子供こそ、もっとも尊い命であり、神であることを伝へるべきなのだと気づかされました。
神は、
人間のルールで人々をどんな扱いにしようとも、この世に産まれた全ての命を神々は平等に守っていることを伝えて欲しい
と言っています。
4000年の呪縛にとらわれず、過去に感謝する気持ちを持って、新しく産まれる地球の子供たちに新しい命を育む考え方を私たちは提案する責任があるのだと思います。
兄弟姉妹に子供が居なくても、神や先祖に感謝できる命の守り方や考え方が必要なの時代なのです。
結婚していないくても、子供を愛する人たちの生き甲斐となる生き方や考え方が必要です。
家族を持っている人と持っていない人が優劣を争うのではなく、誰もが神の子として産まれた喜びと感謝を感じられる考え方を提案して欲しいと神々は気づかせてくれたのです。
4000年間の民族カルマ、命のカルマ、男女のカルマの根幹は、私たちが新しい神仏の扱い方を学べば解消されるはずです。
全ての命が平等であり、どんな生き方や愛し方をしていても、神が産み出した人間全てを平等に愛し感謝し合える生き方を見つけなければなりません。
今も毎日、ひとつひとつ、気づきのメッセージを受け取っていますので、全国の勉強会で会う人たちと一緒に答えを見つけていきましょう。

最後に、親が言う言葉の背景には常に「家長制」の考えが根本にありますが、それは親自身が周りの人たちに言われた苦しみやカルマを超えられないからこそ、子供たちに同じ事を問うのですが、親が学びきらなかったことを超える為に私たちは産まれたのですから新しい愛の形を示さなければなりません。
4000年間続いた人間全体のカルマを外すことこそ地球創生の目的であり、私たちが現代に産まれた役目だと気づいた方は、どうぞ各地の勉強会にご参加下さい。
未来を創造する子供たちの心に傷を残さない大人として、伝える言葉に責任を持って愛のバトンを渡す人間になりましょう！

2011.09.21 Wed

隠された日本人の心の鍵を開く四国神事　5　淡路島

9月14日（水）、この日はまず、讃岐国（香川県）一宮、田村神社へご報告をしてから淡路島へ移動しました。

田村神社は二度目ですが、２００８年１２月に行った四国岡山神事２のメッセージを読み返して驚きました。

田村神社の御神水から頂いたメッセージ（読み取り：吉岡学）

自然の恵みを与える意味は、与えられる者たちの命を繋ぐためのものでもあり、自然の恵みから得られものがあるからであります。どうしてもそのことを知りたければ、もう一つの方法がある。それはあなたが持っている火を繋ぐ場所を決めることです。それが新しい神の水の場所となり、火の神を繋ぐ場所になるのです。それがどうしても難しいのであれば、土地を選ばず神を繋ぐ場所を決めることです。

あなたが出来ることでもうひとつお願いがあります。その事をどう明かすかについてですが、「その時」が来る前にあなたが神の水をどう繋ぐのか、どういう意味にするのか、どうしてそうなるのかを決めなければならないのです。どうしてそうなるかを問われた時に、あなたがその答を持っていなければ、神々達が迷いますのでよろしくお願い致します。

卑弥呼（ひみこ）について。倭姫（やまとひめ）が卑弥呼であるならば、そのすべてが卑弥呼であり倭姫であると言えるでしょう。それがあなたの言わんとすること、あなたの持っているその力を使って明かすことも出来るでしょうが、「その時」が来る前にあなたが明かすことは混乱が起きるでしょうから出来るだけなるべく早く納めてください。それが、あなたの役目なのです。

新しい「ヒの神」がやってくるのです。新しい「ヒの神」が降りるということは、その水を運ぶ場所と繋ぐ場所を決める事があなたの存在の役目と証しであり、新しい「ヒの神」が降りるということは・・・、だからどうしてもその水、神の水を繋ぐのであれば、我々が守って来たものを大切に繋いで欲しいという思いがある事を知っておいて下さい。

卑弥呼一国（いっこく）があるとするならば、それは勢力を増しながらあらゆるものを巻き込み進化、増強していった姿なのです。なぜ天孫降臨の場所があちらこちらにあるのか、天の岩戸があちこちにあるのか、それはそれぞれ民族のもとを守る種族たちがこの日本にやって来たひとつの証しなのです。

だからそれをどうしてもひとつだと思い込まず、それぞれの民族がこの日本の地の場の力を借りて、新しい世と地球の始まりの場とするために、天の岩戸と言うべき光りの夜明けの物事が宗教とも言えば言えるでしょうが、そうではなくもっと民族的な物語がたくさんあるのですが・・・もっと詳しく言いましょうか？　もういいでしょうか？

そちら側（地球）にこちら側（宇宙）の意思が伝わるならば、私たちがどんな計らいをしなければいけないのかが分かるでしょうが、その始まりがあなたでしかなく、また、あなたではなく始まるのです。だから、始まりがあれば元の鞘（さや）に納めることが出来るのです。

ところが大きな問題があるのですが、神道（しんとう）というべき大きな体制があり、その流れがあまりに大き

く強いため仏的要素が陰になりがちです。どれもこれもインドも曼陀羅なども、すべてがこの「宇宙弥勒の世の流れ」の中から気付いた者たちが悟った物語なのです。だからどうしても元がひとつであるならば、もう一度ひとつになるべき形があるでしょう。それをあなたたちが気付いてください。

もう一つだけ言わせてください。どうしろ！と言わないで下さい。どうして欲しいという言葉を添えてあなたが望み、して欲しいことを明確にしてください。私たち（神々）が出来ることは、あなたが決めたことを出来るだけ早く叶えるように計らいをすることなのですから。よろしくお願いします。

今回の神事の事前サニワで、沖縄の火之神＝大和の天照大神を繋ぐ「日巫女」の話が出てきて、日巫女がいる場所もわかりました。

そこには、ムー大陸があった時代からの大切な大神の思いや龍宮底神の思いを理解する為の話が出ていたからです。

私がすっかり忘れていても、いつも必ず、神は必要な導きをして下さることに感謝いたします。

田村神社の駐車場側には、日本の神話がわかりやすく絵で描かれていますので、皆さんと一緒に改めて読み返しました。



私自身もなぜ読む必要を感じたのか、読んでいてわかりました。このあとするべきことが書かれていたからです。



本殿の神様にご報告をすると一列に神様は勢揃いしていて、心からのお礼の言葉を伝えてくれました。

この田村神社の素晴らしい点は、四国で水が枯れてもここだけは枯れないという話があるほど、強い水の神様が守っていますので、ご挨拶してお水を頂きました。



龍の池を守る弁天様にご挨拶すると、巫女全員に大きな「勾玉」を下さいました。大きさは６０cmもある透明な勾玉で、光が当たると虹色に反射します。

この勾玉を頂いたおかげで一人一人の魂力は強く大きくなりますので、今後はさらに大きな働きをしてくれることと思います。

熊野の巫女が、予定を変えて淡路島経由で戻りなさいとメッセージを受けた為に、当初、淡路島が見えるところまで行って戻る予定でしたが、一緒に淡路島に繋ぐ必要があることがわかりました。

神様の意向にはなるべくそうように動くようにしていますが、飛行機の時間にあまり余裕がないため道を急ぎました。

淡路島に着くと高速のパーキングがありますので、そこで四国と淡路島の神繋ぎを行いました。

どちらの島の神様も喜んで下さり、お礼の言葉を下さいました。

残り時間を見るとまだ余裕がありそうなので、せっかくですから淡路国一宮、伊邪那岐神社（いざなぎじんじゃ）へ向かいました。

ここも二度目ですが、今回は鳥居をくぐる前に強い神懸かりが体にかかりました。

神様が言ってきた事は・・・

昨日、早明浦ダムが男と女の神産みの場所となったようですが、私たち神々は今後、どういう役目でこれから働いたらいいのかを明確にして下さい。

これは、困りました。

確かに、淡路島は天孫降臨のあと日本の国土を造ったオノコロ島ですので、国造り、神産み、男と女の命の始まりの場所として今まで祀られていますので、神々も戸惑っているようです。

私が何を言うかで、全ての神の役目が変わりますので、とても強い問いかけが続きました。

これは私だけではなく、一緒に神事を行った神巫女たちの意味も変わります。

これまでは人間が神役目として神事の報告をしてきましたが、ここには人間としてではなく、一人一人が神として何を宣言するのかを問われたことと同じだからです。

全員が自分の役目を再確認して、神と対等に向き合う為の言葉を探しました。

つづく
2011.09.20 Tue

隠された日本人の心の鍵を開く四国神事　**4**　早明浦ダム

昨日、早明浦ダムの祈りの詳細を書いていたら、全てが書き終わった段階でネット接続は繋がっているのにブラウザが全て停止するという事態になり、書いた内容が全て消えてしまいました。

理由は、祈りの中の内容をあまりに詳しく書きすぎた為に、大神の公開許可が降りなかったようですが、その代わりに今日は朝６時に起こされて大切なメッセージが伝えられました。

もっと私自身が気づかなければいけない事がある事は、毎日、体の痛みを通して伝わっていますので、読み取り終えた段階で順次公開しますので楽しみにお待ち下さい。今回の四国神事後のメッセージで、多くの皆様の生き方が素晴らしい光の道になると確信できるメッセージが降りています。

9月13日午後３時、台風が通り抜けた早明浦ダムに集まった熊野と滋賀の巫女二名は、ここへ来るまでに様々なエネルギー調整で体が辛かったことは顔を見てすぐにわかりましたが、時間がない為に「龍の目」が見える祈りの場所へ移動しました。







今日の祈りの為に、それぞれの土地神様の水と、事前にメッセージで伝えられた水が揃いました。

利尻神事で繋いだハワイのキラウエア火山からのメッセージもありましたので地球創生の仲間からハワイの水も手に入れましたし、東日本大地震の炊き出しに行った方は自衛隊が被災者に配ったアルミ缶の水も並んでいます。

全ての命の再生循環が続く為の神事ですので、神々も多くの思いを一人一人に伝えてくれて神の意志が水となってここに集まりました。



祈りの最初、私が天と地を繋ぐ祈り言葉を唱えると、全ての守護存在が龍のような大きなエネルギー体になり、全員の意識がひとつになって龍の目の島に繋がりました。

両サイドに座った祈り巫女は、自分の体を通して私が動かす全てのエネルギーを繋ぐ媒体になりきっていますので、一人の巫女がもがき苦しみ始めました。

封印した鍵を守っている存在たちが恐れていますので、神事の目的を告げて鍵を渡すと扉は開きました。

いくつも鍵を開けて扉を抜けると地球の核へ繋がる産道がありますので、二人の女性の子宮と産道を通して地球内部に意識を繋ぎます。

地球の核の鍵を開く為に必要なものは、陰陽のエネルギー、三種の神器、そして、それぞれが持つ魂記憶を全て繋ぎ合わせ、最後の重要な鍵を開くと、核の内部を守る存在に繋がります。

神産みが、始まりました。

ものすごいエネルギーが核の中に入り、新しい命が生まれる為の作業が続きました。

しばらくすると、一気にそのエネルギーは二人の巫女の子宮と産道を通して上昇しました。

最後の産みの苦しみは、二人の巫女が自分の体を通して感じています。

生まれました！

一人の男種が生まれるのかと思っていたらそうではなく、男の子と女の子の神様が生まれました。

実際に二人の男の子を産んでいる巫女が女の子を産み、二人の女の子を産んでいる巫女は男の子の神様を生みました。

これから始まる新しい世を作る為に、男と女の神様が同時に生まれたのです。

これはアダムとイブ伝説と同じであり、イザナギとイザナミの神話と同じ事が、実際にここで起きたのです。

この男女の神が新しく生まれたことによって、永遠なる命がここ早明浦（さめうら）から生まれ続きますので、龍の目の島に鎮座してもらいました。

命の根源にお詫びや感謝をしたい方は、どうぞ、ここ早明浦ダムの龍の目に祈りにお越し下さい。新しい命の循環とともに、良いご縁、素敵な人生の循環が始まると思います。



皆様が持ってきた神の水を早明浦に納めたあとは、四国の皆様の意識が五次元に繋がる為に与えられた特別な鉱物をここに納めさせて頂きました。同時に、私の愛用していた龍と鳳凰の水晶ブレスも神様はあっと言う間に水の中に持っていかれました。

数年間、私の神事で向き合った神エネルギーが入った水晶が、ここを守る役目になったのだと思います。

このあと、大昔の人たちが歩んだ神の道を通って、松山に住む四国を守る神巫女に神事のご報告と承認をしに行きました。

全ての内容をご報告して許可を得ましたので、ひとつだけ土地の問題も解決させて頂いたご報告をいたします。

「長宗我部（ちょうそかべ）」、この名前は四国で最も重要な意味がある人物なのですが、正しく思いが伝わっていなかった為に、多くの霊能者にメッセージを伝え続けて困らせていたようです。

今回の神事の中でもっとも大切な神の山の上に鎮座してもらい、四国を平安な世になるよう働いてくれることを約束してくれました。

四国の皆様も、どうか長宗我部の思いを正しく理解する努力をお願いします。

四国を統一した長宗我部様のお働きに、心から感謝致します。





つづく

2011.09.19 Mon

隠された日本人の心の鍵を開く四国神事　3 高知の神々

2011年9月13日（火）、ついに四国に隠された一番底の封印を解く日を迎えました。

失われたアークが日本にある話や、瀬戸内海の海賊が隠した財宝の隠し場所の話、また、天皇家の証となる三種の神器が隠されている話など、四国はいつも謎めいた話がありますが、なぜ、八十八カ所の封印が必要だったのか、金比羅さんとは何の神様なのか？

真実は、いつも裏の裏に隠されて眠っています。

しかし、今回の神事テーマは四国の隠された封印を解く事なのですが、日本に生まれた全ての魂の一番底のカルマや封印を解くという意味もあるからこそ、事実を公開すれば忘れている前世の記憶を思い出したり、混乱の日々を送る人が増えるからこそ、記憶の鍵は公開できません。

しかし、理由や意味がわからずとも今回の四国神事によって過去の呪縛が外れ、純粋に、自分の魂の目的へ進む方たちが増えることを心から願っております。

高知市内の宿をあとにして神事メンバーが目指した目的地は、四国のどまんなかに「四国の水がめ」として作られた「早明浦（さめうら）ダム」です。



ご覧とおり、龍が守っている事はすぐにわかると思いますが、その目にあたる島は、大切なものを守っている場所です。

この早明浦ダムが、全ての封印を解く鍵の場所と気づくまで、どれほど多くの神事が必要だったか・・・、これまで関わってくれた巫女たちや神人たち、そして、志同じく神に向き合った全ての人たちのことを思い出します。

全ての人が、地球創生のジグソーパズルのチップを持って生まれていますが、ゴールが何ピースなのか、どんな地図が書かれているかも知らずに様々な出会いを経験しています。

生まれた場所や住んだ場所、今まで出会った人たちと経験した全ての出来事は、お互いが持っている１片のピースを合わせて「幸せの地図」が完成するかを試す試練の道でもありました。

それは、地球に生まれた全ての民族の思いでもあり、日本という東の土地を目指して移住した全民族の魂の目的でもあります。

地球創生の啓示では、２０１８年オーストラリア中央部陥没が出ていますが、世界のひな形である日本に置き換えれば、オーストラリアの出来事は四国の出来事に連動しています。

つまり、今回の四国神事によって「オーストラリア中央部陥没の啓示」の解消の意味もあると私自身は思っていますが、結果の確認は2018年を待ちましょう。

早明浦ダムに向けて車を走らせていると、ご挨拶するべき土地の神々がいることを気づかせてもらいました。最初は、右手に連なる山々の神様が、体の痛みを通して存在を知らせてきました。

どこかに山の神様へ向けて祈った場所があるはずだと思っていると、真っ赤な鳥居が山へ向かって立っているビジョンが見えました。そして、その場所は、すぐに見つかりました。

下津野峠のカーブにある厳島神社の弁天様の鳥居です。



石段を登ったあと下る石段の右手の岩肌と左手の崖を見て、すぐにここは修験者たちの蓬¸所であったことがわかりました。



このお堂が向いている山の上には、土地の神々を代表する最高の山の神様がいらっしいます。

山神様に神事の全ての承認を頂いたあと、神々の望みも承りました。自然や宇宙が守った人間の命の意味を正しく後世に伝えて欲しいと・・・。

集落へ入ると左手に、「石鎚神社」を見つけました。



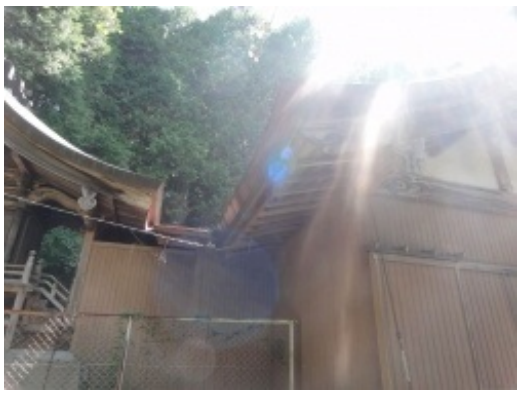


ここは現在、石鎚本教として守っているのでご挨拶だけにしましたが、女性の神様がやさしくお礼を述べて下さいました。

川を渡った集落の右手には、「三倉神社」もあります。



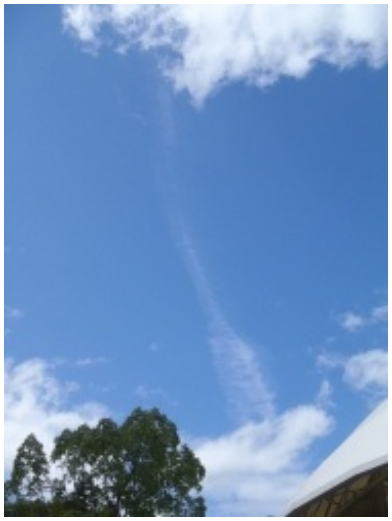




本殿は、小さいながらもしっかり神気が繋がっているので、白いオーブと青い光のラインが見えました。

この地に住んでいる人たちは、修験者の血を引く人もいるでしょうし、大事な神を守る為に神巫女として働いている血筋の方達がたくさんいるはずです。

今も変わらず、強い祈りの力で山神様と繋いでいる証を、この場所の光の存在が示しています。



車を走らせていると、天に昇る龍が姿を見せてくれました。

宇意天番龍宮神（ういてぃんばんりゅうぐうしん）

宇宙と地球の次元の境目を守る龍宮神へ、龍がご報告に登っている様子だと大神様は教えて下さいました。

早明浦ダムに近づいた場所にも、社を見つけました。

八坂神社。







本来、本堂を写真に写すのは失礼にあたるのですが、こちらの神様の存在を知って欲しいので、あえて公開させて頂きます。

土地の方は少しだけ浄化の意味で、お掃除や手をかけて下さいます事をお願いします。

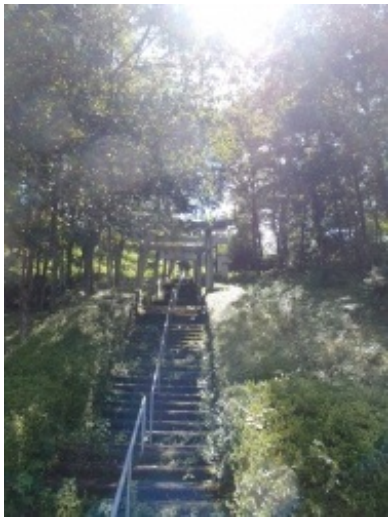
早明浦ダムの近くにある宿泊施設「さめうら荘」の上には、「雲根社」があります。

ここは、石を祀る神社と言われていますが、天に繋がる神様の根を守る場所として古くから祈りを捧げていた方たちがいたようです。

長い石段にカメラを向ければ、それはそれは数々の神様たちが出迎えに姿を見せてくれました。





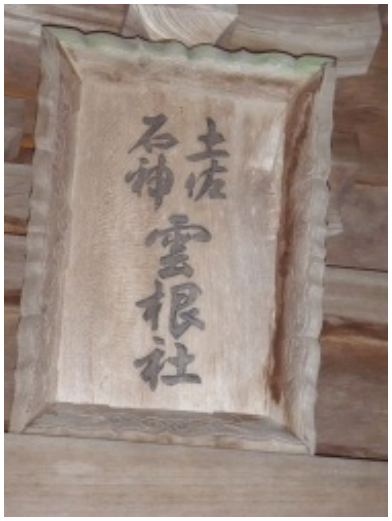







石を祭る





これから行う神事のご報告をすると、「しっかりやってきなさい」と言葉を下さいました。

土地の中の地球の核を守る神々と、天から地球を包み込むように守る神々全てを繋いで行う神事ですので、全ての神ラインを使って「神産み神事」を行います。

人間の命の再生循環が永遠に続きますように、

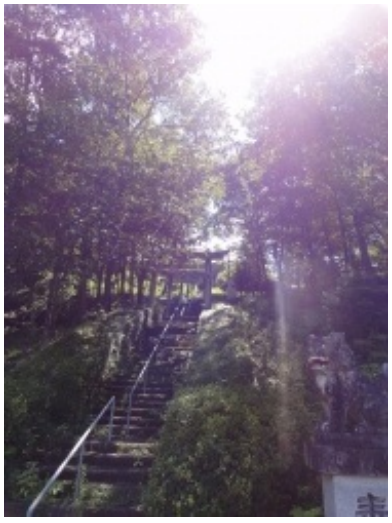
人々の神心が永遠に続きますように、

そして、人が守る神々の意思が天地に繋がり、

地球創生の目覚めが多くの方に起こることを心から祈りました。

祈りを終えて振り返れば、神々がその喜びを光で示して下さいました。





北海道、関東、四国のメンバーが、今、現地に到着しました。沖縄の人たちは、命の繋がりを神ラインを使って祈りで土地から繋いでくれています。

そして、今、私たちが待っているのは、日本の西を守る熊野本宮に住む神巫女と、滋賀に住む宇宙を繋ぐ神巫女です。

日本の東西南北に生まれた神役目を果たす為に、西の母たちが子供をおいて数時間も長い距離を移動してくれています。

二人の後ろにいる大きな存在と四国の土地神が向き合うには、大昔の魂の記憶を繋ぐ為に様々な調整時間が必要なようです。二人の車が、ただただ安全にたどり着く事だけを祈って待ちました。

つづく
2011.09.17 Sat

隠された日本人の心の鍵を開く四国神事　2　シュメール民族

日本人とは、一体どういう民族の集合意識体なのか？
日本人の魂は、どのような目的を持ってこの地に集まったのか？

この二つの鍵を解き明かす神事が地球創生神事であり、四国は日本民族の魂に眠る最も古い記憶が隠されている場所だからこそ、今回、全ての封印を解き放ち、日本人が持っている地球再生の魂記憶を蘇らせる目的で臨みました。

◎日本に生まれた魂の創造主の意図に気づく為には、日本という土地に渡って住み着いた民族の歴史や神を正しく理解することが必要ですので、ご一緒に「民族移動から見た新しい歴史学」をお勉強しましょう！ただし、あなたが知っている過去の世界史は一度、忘れて下さいね（＾＾）

時代は、イエス・キリストや釈迦よりもさらに古い4000年前に日本へ渡ってきた民族が、現在の日本人神意識や信仰のひな形を作った民族であると覚えておいて下さい。

この民族は、関東東部では「安房（あわ）」、四国では「阿波（あわ）」と今も地名に残るほど大きな影響を与えていますが、北海道や沖縄に残る先住民＝源日本人＝毛族（もうぞく）に農耕文化や鉄器を教え、宇宙意識や神信仰まで伝えたとても高度な民族でした。

この民族は、時代を変えて三つの大きなルートを使って日本にやってきています。

三つのルートとは、北海道北部から入るルート１と、中国大陸から船て渡ってきたルート２、そして、沖縄の与那国から黒潮に乗って北上したルート３の三つがありますが、ルート３の民族は「海人族（あまぞく）」と呼ばれています。

三つのルートによって伝えられた情報は、それまでの生活を一変させるほど大切な知恵や文化を伝えてくれたからこそ、その土地では色々な名前の神様に名を変えて祀られています。

沖縄本島では、久高島を「五穀の神」として祀った記録がありますし、日本中の豊年祭や収穫祭の祭りの習慣は、この民族が教えた農耕文化の影響によるものです。

沖縄で農耕文化を発展させた神様として祀られているのが久高島ですが、そのあとに「カニマン」と呼ばれる鉄器を伝えた民族が入ったことは、久米島や宮古島の民族ルーツに記録が残っています。

日本に居た先住民族に狩猟の方法や土器やを伝えた民族もその前にも居ますが、そのルーツも同じです。

この民族は世界の五大陸全てに広がった民族であり、世界中にいる先住民族に大切な知恵を与え、長い時間をかけて船や陸路でアメリカ大陸やハワイ、オーストラリアまで渡っています。

この民族のことは、1877年の発見でメソポタミア文明を作った「シュメール民族」だと位置づけられていますが、実は、そのシュメール民族は、古代エジプト民族やマヤ文明などを作った高度な宇宙意識を持つ集団で

した。

〇〇文明と呼ばれるには、王族支配や定住の記録が必要ですが、私が言っている「シュメール民族」は、全ての文明の基礎を作った高度意識集団のことであり、その中心民族は、宇宙根源神や星から全ての知恵を授かり、最初に火や太陽神を扱う知恵を学んだ人たちのことです。

間違えないで下さいね、人間の最初はインドの一人の母のDNAから生まれていることは証明されていますが、最初に二足歩行をした人間の話をしている訳ではありません。

世界で最初に、自分たちよりもずっと高度な知識を持つ存在たちとコンタクトし、その人たちを神様として祀った民族のお話しです。

宇宙の高度な知恵を持った存在を「宇宙人」と呼ぶのもいいですが、地球以外の星から見れば私たちも宇宙人なんですよ。「アイヌ」という言葉の意味が「人間」という意味と同じです。

呼び名はどうでもいいですが、地球に最初に文化や文明、あらゆる学問や文字や数字を伝えられた人たちがいたということです。

私は当時の通信していた姿を映像で見ていますが、夜空を仰ぎながら祈りを捧げている人たちは全てテレパシーで通信していました。

天文学や数字でさえ、最古の占星術によって全て伝えられたものなのです。

そのあとに物理や科学・化学が生まれましたが、当時、今の新発見のように次々と画期的な知恵や技術を宇宙からどんどん教わる高度な意識集団がいたのです。

猿の群れもそうですが、権力で支配をしていた人たちにとっては当然、この人たちを取り込み、その技術や知恵を神の力として扱いたいので、神と祀って民主意識を支配してきました。

しかし、王様に神を崇拝する心がなければ権力でこの集団を支配しようとしますので、この民族は常に権力の支配から逃れて次の文明を育ててきたのです。

この「シュメール民族」の知恵は、それ以前に地球に降りたムー文明やアトランティス文明の人たちの知識や経験も学んでいるからこそ、三度目の正直として地球に生まれて地球を再生させる目的で、宇宙根源神の魂記憶を持って地球に生まれた民族でした。

この「シュメール民族」は、世界の五大陸へ渡った長い歴史の中で、最初にお話しした三つのルートを使って日本へ高度な知恵や技術を伝えています。

関西神事は、その二つのルーツの神意識統合が目的でしたが、最後の三つ目のルーツが、阿波・安房と呼ばれた民族なのです。

与那国島、沖縄本島、久高島、久米島、宮古島などで祈りをした時に、断片的にこの過去の情報を教えられましたが、今回の四国神事では過去の全ての民族情報を神々が詳しく教えてくれました。

沖縄から九州を経て四国へ渡った民族は、今の高知県の海岸線から船で入ってきましたので、まず最初に、高知県の土地の代表神である一宮　土佐神社に神事のご報告へ向かいました。

＜９月１２日の祈り場所＞
高知の一宮　土佐神社







派手なところを一切、見せない個人的に大好きな守り方をしている神社だったので、うれしくなりました。古い建物を大切にしながら、土地の方達の心が伝わる暖かい神社でした。

四国神事に高知県出身の方が入ってくれたのも、とても大きな神繋ぎの意味がありますので、神社のお水を頂いて神事の許可を頂きました。

太平洋側の海を守る神は、足摺岬と室戸岬ですが、強く室戸岬に呼ばれたので車を走らせました

途中の神社も祈りの候補にでましたが、時間がない為にひたすら室戸岬を目指していると、全員が、体に痛みを感じたので車を止めました。

「どこかで私たちの事を呼んでいる」

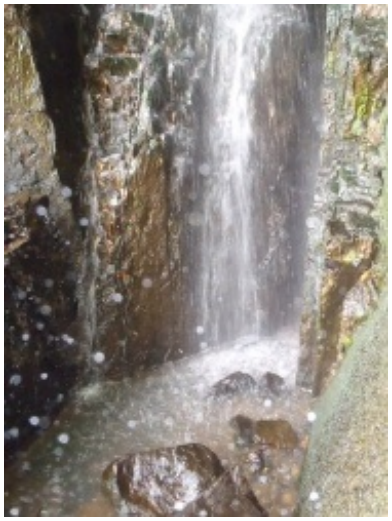
すぐに、その場所は見つかりました。

「龍の不動明王」〈高知県安芸郡安田町安田　東和林産付近〉









不動明王を通して、次の言葉がおりました。

「ここには赤龍と青龍、そして、小さな白龍がいます。今回の神事に重要な役目を果たす赤龍を連れて行って下さい。」

地元の方にも話を聞くと、昔はこの地域の飲料水でしたが、上の田んぼに農薬を入れてからは飲めなくなった事を教えてくれました。ありがとうございます。

室戸岬







ただ、ひたすらに4000年前に繋いでくれた人たちの神意思に感謝を捧げました。

すると、一人一人がシュメール時代にどの用な役目で生まれていたかを教えてくれました。

私の魂は、シュメール時代に同じ目的で出発した船の船長をしていましたが、航路の途中で嵐に飲まれて乗組員と共に命を失った魂の記憶を思い出しました。

この地にたどり着く事が目的だったからこそ、今回、その思いを遂げて故郷へ魂は繋がりました。

つづく

2011.09.16 Fri

隠された日本人の心の鍵を開く四国神事　1　家長制を超える精神性

今回、行った四国神事は、全国にいる地球創生SNSの仲間たちが数ヶ月間、力を合わせたからこそ出来た神事ですので、ご協力下さいました皆様に心から感謝します。

北海道、関東、関西、沖縄を代表して四国に集まった神事メンバーは、参加宣言をしたあとこの日の為に日々、守護メッセージを受け取り、その情報のすべてをメーリングで公開し合いながら個人カルマを超えた「相互の意識覚醒」を図る努力をした長い準備期間がありました。

ここまでして互いの情報を公開しあう意味を考えると、これまでの地球意識や人間意識を引き上がることを約束してきた魂であり、さらには、日本人として地球民族の未来の為に、永遠なる光を生み出す時期がきたという意味があります。

なぜ四国神事を行う事になったのかというと、キッカケは関西神事の事前調査の段階で、関西の地にたどり着いた民族ルーツやそれぞれの民族が祀っていた神の違いをひも解く中で、いくつかの民族が天皇家の血筋に大きな影響を与えてしいる事がわかったからです。

ご存知の通り、天皇家の過去の歴史を調べれば、北朝・南朝に分裂した家族同士の争いの歴史もあり、後継者問題によって親族同士が殺し合った事実が歴史が多く残ってあります。

命が短命だった時代だからこそ、天皇の次の座を我が一族のものにしとうと根絶やしにされた一族もあれば、天皇候補の男の子が生まれたことを母たちは隠し、その子供を遠く離れた場所で名前を変えて育てた記録も見つかっています。

こういった卑劣な過去の天皇家の因縁の影響は、今世、普通に生まれた人の人生を大きく変えるほど、強い因果応報によって罪を問われる人生経験をさせられている方にもお会いしました。

全ては、先祖が守った家長・家督を守る為に「男子」を生む事を妻たちは望まれ、男子を産めない妻は離婚された時代があったからです。

それほどまでにして男子、家長制で守った一族の栄華とは裏腹に、多くの女性たちが無念な生き方をしなければいけなかったのは、今の時代にも風習として続いています。

たしかに、先祖祈りをするのは世界中全ての民族が女性ですし、その女性たちが守ったものは「男種」だからこそ、家長、長男の系列を一族の長として家族は神と同じく扱い、先祖を神として

祀りました。

しかし、日本人の象徴である「男種」が消えようとしている今、どう日本民族を守り繋ぐのか、誰も次の時代へ伝える精神性の術を知りません。

四国神事を終えて、高松空港から飛び立つ飛行機を一人で見送らなければいけなかった理由もわかりました。

今回の神事で私自身が最も学ばされた事は、人を導く役目としてこれまで命を守る為のルールや考え方を大きく変えなければいけない時代になったことを気づかされたのです。

結婚をしなくても、子供を産まなくても、兄弟に男の子がいなくなって名字が途絶えても、仏壇やお墓を守り、先祖に感謝をし続けられる新しい精神性のルールや考え方が必要だということを神々は、私に問いかけました。

男子・女子・中性の意味から言えば、男女の愛を基本として、同性愛が中性の愛とも言われますが、男女、中性さえ超える人間全ての大切な命を守る方法に気づきなさいと神々は私に伝えてきました。

この新しい気づきは、私自身が大切にしてきたものを否定する意味もあり、まだ、混乱していますが、肉体を離れた多くの先祖たちの問題を解決する為にも、新しい視点で命の繋がりを守る方法を見つけなければいけない時期がきたようです。

四国神事で取り組んだテーマは、あまりにも壮大で全てをお伝えする事は難しいですが、多くの次元を一気に動かす神事をした為に、参加者一人一人が自分の担当意識の世界において新しい宣言をしなければいけない事が起きました。

何の為に神事をするのか、誰の為に神事をするのか、そして、自分自身はどう生きるのかを問われた神事でもありました。

これからひとつ、ひとつ、神事の大切な気づきを皆様と共有しながら、誰一人、苦しむ事のない新しい命を未来に引き継ぐ考え方を完成させていきたいと思いますので、共に愛を育む心がある方は、ぜひ、地球創生SNSの中で知恵を出し合いましょう。

愛と喜びと永遠なる命の繁栄の為に、神の心を共に学びたいと思います。

2011.09.15 Thu

四国神事が無事に終わりました！

皆様の祈り合わせのおかげをもちまして、無事、四国神事を終えました。

詳細は、北海道に戻ってから詳しくお伝えしますが、現在、高松空港から出発便を待つ時間にご報告しております。

心から皆様の愛に包まれ、全員無事に戻りました事をご報告いたします。

2011.09.14 Wed

魂の繋がりの意味と目的

宇宙の始まりから繋がる魂の繋がりは、ひとつひとつ今に繋がっています。
その繋がりは、あなたたちの中にある魂、その中に全ての記憶が記録されています。だからこそ、宇宙の記憶を思い出す人、また衝撃的な経験を思い出す人たちもいることでしょう。
でもそれは、決してあなたたちを苦しめようと思っているのではない事だけはわかって下さい。
人と人、人と自然、人と大地の繋がりは、私たちが設定した記録の証であり、その人自身の目的を思い出すルーツでもあります。
ひも解きは誰にでもできますが、多くを開けば混乱もするでしょうし、その覚悟ができた人から自らの守護神を使って（信じて）進めて下さい。
この世で起きること、経験すること、感じた事の全ては、あなたを苦しめる為ではありません。
元々、光の存在であり、光の戦士として地球の転生した事を思い出して欲しいから起きていることだと理解して下さい。
亡くなった御霊を守る人もいるでしょうし、その御霊のメッセージを聞き取る役目の方もいることでしょう。しかし、間違わないで下さいね。
私たち（あなたたち）は、何度も何度も同じ聖戦と言って多くの人たちを犠牲にし、星を滅ぼした経験もしてきているのです。だからこそ、あえてその記録を消して出会わせているのです。

「愛の聖戦」は、光の聖戦と違い、傷ついた魂の記憶を溶かす為に出会い、経験させています。
ただあなたたちは、いつも多くを望みすぎる為に、失敗してきたということを学んで下さい。
どん底の暗闇に落ちた人は、誰一人信じる事ができないと思いますが、それでも自分が生かされている事に感謝できなければ、目の前の愛さえ気づかないことでしょう。
言っておきますが、あなたたち人間の魂は、皆一人一人、ひとつで完全な働きができるように創られているのです。
ただ、あなたたちは肉体や望む事が足りないと思い、もっともっとと欲望し、色々な魂をむさぼってきた種族でもありますので、欠落を感じる事は仕方がないことなのかもしれません。
私たちはあなたたち人間が、体験したい全ての欲望を否定することはしませんが、奪った命や魂の記憶、そして、叶わなかったと思っているあなたのエゴについて語る時がきたと思っています。
間違わないで下さいね。エゴや欲望を良くないものとして教えているのではなく、その相対に或る大愛や喜びについて正しく学んで欲しいからなのです。

ひとつの現実的な話を例にとりあげてみましょう。
あなたにとって大切な人が、一人いたとします。
あなた自身は、あなたの為にも周りの人の為にも一生懸命に努力している人だと仮定します。
でも突然、大切に思っている人との関係がうまく行かない事が起きたとしましょう。原因を探せば、いくつも見つかりますし、相手や自分の欠点に目が向く事でしょう。

でもそれは、単なる出来事なのです。大切な事を気づく為の出来事なのだと思って下さい。
そして、少しだけ一人の自分を見つめ直す時間をとって、相手から頂いている愛の大きさと自分が与えている愛の大きさを比べてみて下さい。
あなたたちの三次元世界は、思いを含めて全てがエネルギーの交換の世界ですから互いの均衡バランスによって保たれていますので、自分と相手の思いのバランスが傾けば、大きな修正の力が働きます。
それが、大切な人の裏切りだったり、勘違いだったり、思い込みも含めて何かのマイナスをイメージさせられ、気持ちが変わるのです。
だからこそ、純粋な子供ように気分を変える人がいるのです。
大人としてどうかは、あなたたちの概念の問題ですが、「否定は自分の欲望の現れ」であることも学んで下さい。
私たちのサポートは、それぞれの魂の次元レベルによって伝わる言葉が違いますが、あなたたちはそれを「気持ちが変わった」ととらえます。
そうではなく、傾いたバランスを整える為にあなたにとって望まないことも起きるのだと思って下さい。
決して人間を苦しめようとは、神々も守護存在も思っていません。
ただ自分を守る為に、自分のやりたい事を優先したいがために踏み台になった人の思いも汲み取って欲しいからこそ、小さなトラブルが起きているのです。
もし、人間全体を問うならば、もっと劇的な事が起きるでしょうが、あなたたちはまだ生きているのです。
絶滅した民族の話や消えた文明の多くは、大きな役目が終わったからだと思って下さい。しかし、あなたたちは、まだしなければいけない事がたくさんあります。
地球自体の波動を上げて、惑星の繋がりを強めて、宇宙全体にそのエネルギーを繋ぎ直す役目があると思って下さい。その為に、神も先祖もいるのです。
全ては大元との繋がりを繋ぎ直して、過去の記憶を喜びに変えるだけのエネルギーをこの地球から発信しなければ行けない事をわかって下さい。
あなたたち人間は個体ですが、意識は気体と似ていて、体液は液体です。なぜそういう体にしたかを気づけば、あなたたちの体や意識が、何に共鳴するかを気づくはずです。
子宮の羊水が海であるなら、命種の精子は何か？
雨か、水か、精神か？神かを気づくはずです。
いづれ失う事を決めて短期間、与えられた肉体の使い方もわからず、苦しんでいる方もいるようですが、全ては「性」の中に答えはあります。
性を育む知恵や教えを正しく伝えなければいけない時期だと気づいた人は、自らの性を語り、愛と欲望の意味や扱いを身につけて下さい。
性に倫理はなく、倫理は誰かの支配におけるバランスだと気づけば、大切な事を次の世代へ伝える知恵を持って下さい。
あなたたちに与えた欲望は神か？そして私たちが与えたものですから、正しい扱いを覚えて下

さい。
子供たちも同じ経験を繰り返すからこそ、種族の、そして人間の知恵を思い出す必要があるのです。どうぞ、宜しくお願いします。

2011.09.13 Tue

四国神事　**9/12-14**

明日、９月１２日より三日間、四国神事を執り行います。

今回の神事の目的は、宇宙の記憶を持った人たちが、地球へ転生した民族の大切な目的を果たす為に、四国に隠された封印の鍵を開き、新しい地球、新しい日本を始動させる為の神事を行います。

エジプト、シュメールから分かれた三つ（五つ）の大きな民族の軌跡に加え、、ムー大陸の神がおられるハワイ島のキラウエア火山、さらには、地球内部や核を守る龍宮底神や大きな神々と対話し、天地の繋がりを復活させる龍宮底神神事とも言えます。

今回の神事は、先日の京都神事に引き続き、日本人のルーツ元を改め、天皇家の大切なルーツを整える為に、日本の大切な土地の神代表が集まり、地球内部から神の命、つまり、神みちを復活再生させる神産み神事となります。

約４０００年前に、日本に渡来した「あわ（阿波・粟・安房）民族は、大切な神の元を日本に繋ぐ為に渡来し、沖縄・九州・四国・関東東部へ五穀を伝え、それによって日本は弥生時代が始まった事を大神が教えて下さいました。

命の礎を築いた民族の魂から神の意志を繋ぎ、本来、繋がるべき天皇家の男の種元を日本の将来の為に復活させる意味もある神事でございます。

神事の場所や時間などの詳細は、全てが終わってから公開いたしますので、どうぞ、この三日間、無事に神事が執り行えますよう皆様の祈り合わせをお願いしたく思います。いつも、ありがとうございます。

地球創生コーディネーター吉岡学

2011.09.11 Sun

人生の登るべき階段は、自分で見つけること！

たかだか５０年しか生きていない人生途中の自分が言うのもなんですが、人生にはいろいろな階段があると思っています。

義務教育の小学生・中学生は、勝手に階段が決められているので、昇りエスカレーターみたいに立ってさえいれば登れますが、一旦、義務教育が終わると、階段の登り方を覚えていない為に苦労した人にたくさん会いました。

人とうまくやれずに登校拒否、引きこもり、そううつ、分裂症・・・

高校中退後、壮絶な経験をした人が、「これではいけない！」と、まともな道に戻る為のお手伝いもずいぶんしました。

誰にも言えない経験をしてきた人は、心の中の苦しみを愛に転換しない限り、永遠にその苦しみに心を支配されてしまうからです。

世の中の表に出せない生き方をしてきた人の心の中は、同じ経験をしていない人にはわからないと思いますが、逢った瞬間に、その人の心の奥の想念エネルギーを一瞬で感じる体質の為に、一緒に泣きながら人生の表階段の登り方を考えた１０年間でした。

あなたも人生の階段をちゃんと登ってきたかを一緒に見直してみましょう！

１０代の頃は、自分に自信がない上に、親のレールの上でしか生きれない為に不都合なことがたくさんありますが、多くの大人たちと過ごす中で「自分の立ち位置を学ぶ」大切な時期だと思います。

２０代になって社会に出ると、自分でやりたい事は何でもできますが、その反面、厳しい責任も問われますので、「自己責任を学ぶ階段」がたくさんあったように思います。

異性関係でも、親子関係でも、社会の人間関係で学ぶべきテーマは同じですので、あなたも自己責任という階段を何度も登らされた経験があるはずです。

逃げてきたか、ど真ん中を貫いてきたかは、人によると思いますが・・（＾＾；

３０代に何を学ぶ階段があるかというと、２０代の失敗を乗り越える為に、「自分自身に実力をつける最も重要な階段」があると思います。

体力・気力・知力が最高の時期なので、どんどん新しいものにチャレンジして吸収できる時期ですよね！

でも自分の40代、50代のイメージができない人は、３０代の階段を登るのを止めて横道にそれてしまう方も最近、多く見かけます。

２０代を頑張ったのにうまくいかなかったから、ちょっとお休みして自分勝手に生きようとしている人や、反対に、自分を犠牲にし続けた人は、愛と調和に必要な大切なことをまだ学んでいません。

21世紀は、世の中が「勝ち負けの価値観」でしたので、結果が良ければ全てよしの時代でしたが、２１世紀は違います。

21世紀は、誰とも戦わずに両者が喜びを共有する「Win勝ち,Win勝ちの時代」になりましたので、自分の成長に見合う素敵な出会いを引き込むエネルギーが大きく動いています。

そのことを「思いが叶う時代」と言われていますが、「思いが叶う」の本当の意味は、自分が意識していることが叶うのではなく、無意識、つまり、心の奥底で誰にも見えないようにそっと思っているずるい自分の思いが現実化してしまうのです。

一生、裏と表の心を使い分けながら生きたい人はそれでもいのですが、必ず、苦しい時期が訪れますよ。

だって、自分の周りに本音で話をしてくれる人がいなくなるからです。

常に、自分のやりたいことを優先している人は、どんどん我欲の強い人たちが集まってきますし、自分より誰かを幸せにしたい人は、どんどん愛を与えてくれる出会いが増えるはずです。

最近、出会ったあなたの新しい人は、どんな方ですか？

その人が、今の「あなた自身」であり、自分の内面の鏡として見せられていることに早く気づいて下さいね。

４０代、ここは「人生の大きな分かれ道」なんです。

３０代で学ばなかったことが一気に溢れ出る時期ですから、とても辛い方が多いと思います。

辛い理由は、３０代まで通用した自分の常識が一切、通用しなくなりますし、勝手な自分が見えないと思っていても、目の前の現実でどんどん問題として溢れ出る時期だからです。

大人なのに、もっとも素直に生きるお勉強をさせられますよね！

たくさんお会いしましたねー、そういう辛い時期の方たちに・・・（＾＾）

夏休みの宿題を先に済ませて伸び伸び遊ぶタイプの人と、やらなきゃいけないことを最後まで先延ばしにして最後に泣いて過ごしたよう人の違いと同じですが、４０代は、夏休みの最後の時期なんです。

そして、人生の本番は５０代なんです！

良くても悪くても、５０歳になるまでにどれだけ自分を高めたかで、その後の残りの人生は決まります。

だから４０代の人は、今まで避けてきたことを一気にやると決めて行動しましょう！

でなければ、あとの人生は愚痴の人生になっちゃいますよ！

さらに言えば、４５歳までにやるべき宿題を終えないと、残りの５年間は苦しいですよ。

５０歳になった瞬間に、目の前が真っ平らになることをご存知ですか？

もう、その先に山も坂もありません。

とても平坦で良い道かと思えば、実は、一切、成長するチャンスが与えられない完全な自己責任の人生になるのです。

４９歳までに登った階段の数の分だけ自分の人生ステージが上がる事を知っていたので、辛い時も必死に頑張りました。

今を頑張るか、今を楽して後で苦しむかはあなたの人生ですから、どうぞ、ご自由に選択して下さいね。自己責任、自己責任・・・（＾＾）

常に、自分に見合った出来事しか起きない理由は、あなたに何度も生まれ変わった魂カルマあるからですが、それが、逃げたい事、避けたい事、できればやりたくないことだと気づいたら、早く乗り越えて下さいね。

それを乗り越える為に、喜びを感じる肉体が与えられているのですからね！

死ぬまで続く「人生の階段」、あー、どれだけ大きなカルマが人間にあるのかと思ってしまいますよね。

でも、やり抜きますよ！一緒に地球を愛の星にすると決めた人たちと一緒にね！

あなたにも、やさしく、そっと、手を貸してくれる人が見つかるといいですね（＾ー＾；

2011.09.09 Fri

わかってるけどできないの？しない？

先日のテーマ、「心の蓋を開ける」に共通する大切なことは、「自分に正直に生きること！」ですが、これを間違って解釈している人が多いのには驚きます。

この勘違いは、３０代に限らず４０代でも５０代でもよく見かけますので、誰かに指摘されたり自分で気づけない人は、そのまま年を重ねてしまうということも覚えておいて下さい。

「自分に正直に生きる事」はとても大切ですが、「わがままを通す事」との違いをわかっていない方は、いつも同じところでつまずきます。

それを繰り返した結果どうなるかというと、周りの人の言葉を聞かない頑固な性格になってしまいます（＾＾；

３０代になって一番、気づくのは、耳が痛い事を言う人が周りにいなくなる事でしょう。

それは、周りの人が無関心なのではなく、３０代が最も人生で忙しい時期だからです。

同じ会社で実績を積み上げている人なら同年代の出世に大きく差が開く時期ですし、子育て中のお母さんなら子供の教育や健康に最も気を配る時期でしょう。

だからこそ、ついつい目の前の事ばかりに気を取られてしまう為に、自分の人生で最も成長する大切な時期だという事に気づいていません。

３０代の時期にただ忙しいだけで人生を過ごした人は、４０代以降は、さらに大きなつま付きを感じることは確実です。

一番気を付けなければいけないことは、あなたを大切に思って言ってくれる人の言葉に耳を傾けることでしょうね。

その言葉は、自分にとって都合の悪い事もあるでしょうし、楽しくはないと思いますが、思い通りにならない理不尽な部分が社会にはたくさんあるからこそ、大切な学びの時期だと思って聞いて下さい。

「自分は常に正しい」、「やりたいことをしてなぜ悪いの？」

と思いがちなあなたの性格の大きな問題点は、周りから口うるさい人がいなくなった時にわかります。

初めて一人住まいをした時もそうですが、のびのび自由な時間が増える反面、周りの誰もが親身にあなたのことに注意を向けないことにも気づくはずです。

家族は常に見守り続けてくれる存在ですが、家族から離れたあなたは、他人がそれほどあなたのことを重要視していないことを知っているはずです。

というより、年を重ねるたびに自分の事で精一杯になる大人が多いということもありますが・・・。

だから、ついつい損得感情で人付き合いをしている自分さえ、気づいていません。

やりたいことはたくさんあるし、お金も欲しいし、自分の夢も叶えたいし・・・

一番、欲張りな自分が、どうやって一番、忙しい時期に自分を成長させるのか？知りたくありませんか？

それはね・・・、

仕事の仲間や家族以外に、自分が成長できるエッセンスを持っている人に会う時間を作る事です。

自分自身の成長のために時間を割くことは、畑に種を撒くことと同じですが、その種をまかない人は、一生、自分が成長しないまま将来、刈り取る収穫がありません。

そういう人がどう生きるかというと、目の前のえさ（お金）だけを考える動物と同じ生き方になってしまいます。

将来を具体的にイメージできないのは、自分の心の種をまかない人たちの共通の特徴です。

同じ２４時間と体をもらって生まれたのに、どう使うかを学ばない人は何度、失敗しても、その原因を他人のせいにして学ぼうとしません。

１０代２０代の若さは、誰にでも与えられた光だからこそ、その光が無くなる前に、心の成長を努力しなければ、人生の成長の時期はあっというまに過ぎ去ります。

今、自分が何を気づくべきか、今の自分は何に努力するべきかを考えないまま生きれば、アリとキリギリスじゃないですが、結果は明白です。

３０代までに結婚をしない人や、若い時に離婚した人たちの多くは、さらに、その問題が深刻化しています。

自分の子供や社会の子供たちに伝え残す大切な生き方を学んでこなかった為に、あなたの子供はあなた以上に無責任な生き方をすることになります。

女性が働ける環境が増えたのはいい事ですが、その分、男と同じに働かなくてはいけなくなり、自分自身の幸せを仕事に置き換えている女性も増えています。

自分なりの新しいライフスタイルもいいですが、人間が生きる上で必要な知恵は、いつの時代も共通ですので今、そのことを学ばなければ明るい日本の未来を描く子供がいなくなります。

年齢を重ねるたびに思う事は、それぞれの年齢で学ぶべき事を学んでおかないと、一生、後戻りして同じ意味を学ぶことはできないのだということがわかりました。

知識だけならあとでも学べますが、問題は、その年代だからこそ感じられて新鮮な感覚が、年齢と共にどんどん鈍くなるからです。

自分の直感を信じて突き進む人ほど、歩みを止めた時の不安は、とてつもなく大きなものだということは、私自身も体験を通して知っています。

自分が創造できる未来が狭いからこそ、誰もがワクワクする未来を設定する為に、今、自分の周りにはいない人生の成功者や個性的な人に話を聞く大切さに気づきましょう。

私は２０代の頃から、こんな仕事は絶対にしないと思う人たちの話をよく聞きました。

自分がやらなくても、誰かがしてくれないと世の中は困るからです。

・苦労は、買ってでもしなさい

・人が嫌がることを率先してやりなさい

・人の振り見て、我が振り直せ

小学生の頃から、口をすっぱくして言われた母の教えです。

常に、甘えたい自分の心にムチを打って進んだ３０代は、この言葉のおかげでがんばれました。

我を出して何度も失敗はしましたが、忠告してくれる先輩の言葉は大切に聞きしました。

本当に、周りに忠告をしてくれる人がいなくなった時、成長が止まる事も学びました。

最後の踏ん張りどころの３０代をキチンと生き抜いた人たちが、次の未来を作ります。

あなたたちのお父さん、お母さんは、団塊の世代と呼ばれ、日本をここまで大きく成長させてくれた方たちです。

結果は良い点も悪い点も色々ありますが、団塊の世代が持つ最も素晴らしい事は、「日本を世界一にする」ことに頑張った人たちなのです。

この目的に対して、全員が一丸となって働いたからこそ、今の日本があるのです。

その子供たちは、現在、３０代から４０才前後でしょう。

未来の日本をどうするか、その方向性を決めるのは、あなたたちの意識次第であり、その共通意識の繋がりが最も大切だからこそ、大切な未来を自分が支える責任と勇気を学んで下さい。

あなたの夢を叶えたり、未来を作ってくれるのは、あなたの周りの人たちだからこそ、自分のことばかり考えないで、日本をこうしたいと思う事をどんどん発言できる仲間の輪を広げて下さい。

あなたの価値観、こだわり、大切なもの、なりたいこと、手に入れたいもの・・・。

全てが、あなた一人の努力では叶えられない事に気づいたら、自分自身の考えを見直して下さいね。

今は、こういうことが、とても大切な時期なんです。

考えるべき時に、一緒に答えを見つけましょう！

2011.09.08 Thu

心変わりと心の蓋

最近、出会った３０代の人たちに共通の学びがあるとしたら、心の蓋を開ける必要があると言えるでしょう。

心の蓋？

「そんなのないよ！」って思っている方もいると思うので説明しますね。

子供の頃に思った事やこれまでの人生で傷ついた時に、「真我」をしまい込んだ場所の蓋のことです。

その「真我」の事をインナーチャイルドとも呼びますが、それはそれは純粋で素敵な自分の魂のことを言います。

生まれ持った純粋さに蓋をして、周りの人たちと上手く生きた分、あなたが一番、嫌いな大人と同じになってしまったことに気づいていません。

人を傷つけたことがない人などいないと思いますが、自分を守る為にどれくらい純粋な自分に嘘を付いて生きてきたかを一度、考えてみましょう。

わかってもらえない、理解してもらえない、自分の思いと違う、自分を大切に思ってくれていない、こんな苦しい思いをするなんて・・・。

たくさん色んなことを考えて、仕舞い込んでしまった様ですね。

でも、あなたはまだ、大切なことに気づいていません。

本当に大切な純粋な自分自身に、蓋をしてしまったことを・・・。

あなたの目の前に現れて去っていった人たちは、あなたに見合った人なのは確かですが、ちょっとだけお互いの未来に可能性を持って出会っていました。

だって、あなたが少しだけ心の階段を登れるように手を貸してくれたはずです。

でもいつのまにか、また自分の事ばかりを考えるようになってしまい、自分が傷つかない道に進んでいることさえ気づいていません。

世の中のあちこちで、どんどん人が亡くなっているのに、まだ、自分のことしか考えられないあなたがいるのなら、それは、とても寂しい事です。

わかっていますよ、誰よりもあなたが寂しい人だということは・・・。

私も同じですからこそ、ちょっとだけ目の前にいる人に手を貸してあげて下さい。

自分が登れない階段を一生懸命に登っている人を見たら、少しだけ手を貸してあげてください。

あなた自身が、して欲しい事をしてあげて下さい。

そのあと、「私も本当は手を貸してほしい」のと言えばいいだけなんです。

ただ、その一言を素直に言えば、誰もがあなたの味方になってくれますよ。

過去の苦しい心の蓋を開けられない人は、自分ができないことをしている人を見ると、羨ましくなります。

羨ましい心は、いづれ、嫉妬になり、攻撃する心さえ出てきます。

誰かを攻撃したら、必ず、回り回って自分が攻撃されることを学んでいる人は、絶対に誰かを攻撃しません。

あなたと同じように辛くて苦しい人を見た時は、きっと何もしてあげられいので自分で立ち上がるまで見守ってあげて下さい。

そんな人が、あなたの周りにもいるはずです。

あなた自身が、気づくのを待っていてくれている人・・・。

でもね、いつまでもあなたの為にいてくれる人とは限らないのですよ。

どんなに愛した人でさえ、いずれは、あなたの目の前から消えていなくなります。

「それでもいいよ！」と強がりを言う前に、自分に素直になりましょうね。

やっぱり、この人じゃない！とまた相手を変えて、自分を幸せにしてくれる人を捜す「お姫様シンドローム」の人たちは、いつも自分勝手に心変わりをし続けます。

幸せになれない理由が、今まで逃げた分の心の蓋だと気づかずに、いつも誰かのせいにしてきた人は、幸せの神様から遠く離れてしまいます。

人生で起きる事は、必要必然ベストと思えるならいいのですが、幸せのステージ変更には、キッカケになる出会いが必要なんです。

自分では登れない階段を登るコツを知っている大切な人との出会いが、とても重要なんですよ。

心の蓋が、マンホールの蓋くらいに重くなっている人は、誰かにお願いして手を貸してもらって下さい。

自分で開けたいのに、開けられないくらいに重い蓋。

でも、その重さは、あなたがあなたの真我に嘘をついて、逃げてきた分の重さなんです。

永く生きれば生きるほど、人生の身のこなし方は上手になりますが、自分の真我からほど遠い生き方をしている為に、どれだけいい言葉を知っていても幸せを感じることはありません。

人生の幸せは、苦しい時に耐え忍んで、一歩一歩、進む事をやめなかった人だけが手に入れるものなのです。

みんな光り輝く一瞬の為に、永い永い陰の時代を過ごしてきたんですよ。

目の前の一時的な幸せなど、一瞬で失う事は、もう、知っているはずですよね。

なのに、なぜ、こんなに努力しても幸せを感じられないと思いますか？

それは一番、大切なこと、自分の真我に素直になっていないからです。

素直になるのに、勇気はいりません。

ただ自分自身に「ごめんなさい」と言って下さい。

何度も何度も繰り返し言っていると、涙が溢れてくるでしょう。

それほど、あなたの真我は辛かったのですよ。
そして、その涙が流れるあなたが、本当のあなたなのです。

強がりで嘘つきな自分はもうやめて、誰にでも素直に接しましょう。
大切な人が、目の前からいなくなる前に・・・ね。

2011.09.06 Tue

国語的な三次元、四次元、五次元･･･の意味

次元のステージアップに必要な宇宙情報のダウンロードが完了した後、普通に戻ったと思っていましたが、意識と肉体にはまだ時間差がありました。

普通に歩いているのに、よくつまづいてコケルので、それがわかりました。

老人の足首が老化してコケルのと同じようですが、それとは違います（＾＾）

まだ少しだけ、意識と肉体の調整中なだけなんです。

皆さんが一番、大切にしている「三次元世界」が、まもなく五次元化するすることは色々なところで伝えられていますが、わかりやすく次元の意味をお伝えしておきましょう。

まず「三次元」は、縦・横・高さで表せる目に見える現実世界ですからわかると思いますので割愛しますが、中には、ゼロ次元、一次元、二次元、三次元とステップアップした意味を理解しているマニアックな人もいるのでしょうね。

では「四次元」がどういう世界かと言えば、「三次元の裏側」にある世界だと思って下さい。

裏と言っても、どちらが表かは微妙なんですが、一般的には霊界と説明されたり、魂が生まれ変わる為の準備の世界だとも言えますが、実は皆さんが何となく思った事が蓄積されている「想念の世界」でもあるのです。

現実世界を「表の世界」だと考えれば、四次元が「裏の世界」になります。

しかし、本来、「肉体を持たない世界を表の世界」だと理解した人にとっては、この現実世界と呼ばれる世界が「裏の世界」に当たります。

だから、肉体の世界を三次元世界、意識の世界が四次元世界とも説明できるのです。

では「五次元」とは、何でしょうか？

五次元は、「時間が無い世界」のことです。

三次元の世界で物事を考える時、皆さんは「今」という時間を固定して考えますが、本当は時間という概念は、現実世界以外では一般的ではありません。

物質社会で当然と思っている時間という概念は、ある一定の期間を決めて物事を考える方法ですが、「今の現実」を固定して未来を見れば不安が起きますし、過去の経験をだけから判断して考えると辛くなるのは当然です。

あなたの心に不安が出ている時は、必ず、今という現実の何かをつかんで過去や未来を見ている為に不安が生じるようになっているからです。

私が皆さんにお伝えし続けている事は、現実は現実でしっかりやる必要はありますが、意識は自由なのですから「明るい未来を創造して下さい」と言い続けているはずです。

この言葉には、とても深い意味があるのですよ！

失敗だらけの過去の自分から未来を見れば、これからも辛い時間を経験するのかとおびえますが、「自分が創造した明るい未来が必ず実現する」ことをあなたがもし１００％知っていれば、今や過去は、ただの原因やキッカケのひとつだとわかるはずです。

何度も実験に失敗している研究者を例えに、説明しましょう。

何度も何度も失敗を繰り返している研究者が、今、また失敗した現実を見てつくづく嫌になったとします。

ここで、本当に未来に成功はあるのかと自分を疑えば、経験する未来は苦悩の道になることは確実です。

しかし、「この実験は必ず成功する！」と根拠の無い自信がある人の場合、何度、失敗しても周りの人に馬鹿にされても、笑顔で実験を繰り返すはずです。

すごい発明をした研究者の中にはが、夢の中で神様が「おまえの実験は必ず成功するからあきらめずに続けなさい」と教えられた人もいますが、自分の地位を失うので絶対に言いません。

そんな経験がないとしても、確実に言えることは、

自分が本当にそう思っているかどうかだけ

の違いなんです。

絶対に成功する！と力を込めて意気込んでる人には、まだわからないでしょうね。

「あなたはトレイに行ってウンチが出来ますか？」と質問された時に、「絶対できます！」というくらい楽々、笑顔で答える感覚に似ているんですが・・・（＾＾）

こういう楽々でワクワクした心の力を「創造力」と言いますが、「想像力」との違いは、ワクワクしているかどうかの違いなんです。

このワクワクする気持ちがどこから来るかと言えば、未来の自分が、今の自分を見ている状態なので、「そうそう、そのまま失敗していても必ず、成功する日が来るよ」と未来の自分から今の自分を見ている人なんです。

この反対の思考で生きている人は、ご存じのとおり、ドツボの思考回路にはまって地獄を楽しみながら悪魔言葉を吐き散らしていますよね～（＾＾）ご苦労様です。

良識的な事に囚われて意外に豊かな創造力をお持ちの方が少ないせいと、他人は常にあなたが言っている事が理解できない為に、非難し否定する言葉を言ってくれるものです。

それは、「本気でやる気があるの？」と同じく、励ましの言葉くらいに思っておいて下さいね。

身近に居る人ほど、そうなんです、常に、現実の厳しい言葉を投げかけてくれるものです。

だから最低限、現実を生き抜く力も持っていないと駄目なんですよ。

でもそんな時、簡単に他人の言葉でメゲる人は、それほど自分自身も自信が無いということですから、人生の成功も創造したことも絶対に実現しません。

どこの世界でも人がやらないことで成功した人は、強く自分の信念を持ち続け、常に、ワクワク

するために心と時間を使うことを心がけていることを学んで下さい。

同じ努力でも、常に、ワクワクすることに努力しているのですよ！

おもしろいことは、周りで反対していた人でさえ、成功した後は、「お前はやると思っていたよ〜」なんて言うことも覚えておいて下さいね。

ほとんどの人が自分に自信が無く、自分を信じていないからこそ、周りの人の言葉を否定するのですが、だからこそ、成功した人の大切なエッセンスはいつも伝わらないんです。

本を読むのが好きな人は、知識を増やすんじゃ無くて、登場人物の思考やエッセンスをくみ取って自分に取り入れる事が重要なんですよ。

誰もが無理だと言うことを成し遂げた人は、過去にも今も、たくさんいらっしゃるのに、どうして、その人から学ぼうとしないのですか？

オジーやオバーの知恵も、同じなんですよ。

結果や方法ではなく、そういう人たちが何を考えていたかに気づけば、時間を超える事も可能なんですが、ただワクワクしていただけじゃ出来ない事にも気づいてくると思います。

世界を変えるような物すごい発明をたくさんしている人と話してわかったことは、その人は現実の経験の繰り返しだけで大発見をした訳じゃ無くて、ある日、突然、その答えがわかったと教えてくれました。

その「ある日」が来るために、毎日、研究を積み重ねているだけなんです。

目的は、ゴールにたどり着くことを常に鮮明にイメージし続けることなんです。

これから皆様にもどんどん守護サポートメッセージが入ると思いますが、その多くは夢の中や突然のビジョンとしてあなたに伝えられるはずです。

時には、誰かの言葉で気づくこともあるでしょう。

その時に大切な事は、大切な言葉を言ってくれた人が、あなたから見て素敵に感じる人かどうかで信じるかどうかを判断して下さいね。

悪魔言葉に、騙されてはいけませんよ！

これからは、過去の知識や見識さえ、通用しない出来事や事実がどんどん世の中に出てきますので、自分が見た夢やビジョンをシェア・確認できる仲間がとても重要になってくるのです。

※地球創生SNSの仲間は、常に互いの情報を公開し合って学びあう為の場です。

三次元が五次元化するための守護メッセージを届けているのは、実は、六次元意識であり、七次元意識ですから、それぞれの意識次元を担当している人たちが一斉に情報を出し合えば、現実世界に色々なことが起きるのかも正しく判断できる人が増えてきます。

改めて言いますが、「意識の世界」は不思議な世界ではありません。

これまでの心理学という世界では無く、心と魂と守護存在がひとつに繋がった世界が、当然の世界になってきます。

その為に、私たち人間に「こころ」というスクリーンを与えてくれた理由は、目で見て、体で触れて左脳で思考して右脳に感覚を伝える意味と同時に、右脳が天や守護存在からキャッチした情報を新しく統合するために心があるのです。

心はテレビの画像と同じですから、自分がチャンネルを変えれば、映る画像も変わります。

でも、チャンネルを選らんでいるのはあなただからこそ、「幸せになる」と決めた人は、どのチャンネルを見るかを正しく判断して下さいね。

幸せになりたい人が、悪魔番組ばかり見ていれば、どうなるかは子供でもわかりますよ。

私たちの脳には左脳と右脳という受信機がありますが、これは送信機としても活用できます。

言い換えると、右脳に「私は幸せになるし、みんなも幸せになる。地球も喜びの星になる」と決めて、見えない存在のメッセージを右脳で受け取り、左脳に情報を入れてさえおけば、あとはた

だ進んでいくだけで必ず、右脳が思った方向へ進むという原理が働くのです。

これからは科学や物理で教わった原理原則や常識でさえ、どんどん壊れる新情報が出てきますし、ニュートンの物理学でさえ、通用しない次元世界に入っていきます。

だから過去の知識を固定して未来は変わらないなどと言う、愚かな発言はやめて下さい。

ただ素直に、子供の時のように信じる心さえあれば、未来も今も、すぐに変えることはできるのですよ。

その為に必要なことは、大人が素直になること！

そう、あなたが心の蓋を開けて素直になりさえすれば、全ての現実も変わるのです。

意識と無意識、知識と見識、直感と実感、全てが一体となって判断できる宇宙でも数少ない生命体が、「人間」なのだということを理解して下さい。

2012年は、さらにこの次元上昇のスピードが上がりますので、抵抗しても無駄です。

「変わりゆくものは、変わるように設定されている」ことを素直に受け入れて下さい。

あんなに信じて愛した人の心も、どんどん移り変わるのかしら？？？

あー、恐ろしい・・・（＾＾；

2011.09.05 Mon

アセンション、シフトチェンジの日！

台風12号が、四国・関西地方をゆっくり進んでいる意味も、言葉には出来ないメッセージを感じていますが、少しでも災害に遭う方が少なく済むことを心から祈っています。

本日、9月3日(土）は、久しぶりに近くの温泉で心身の浄化ができましたが、露天風呂の平らな石の上に座った瞬間、一気に天からエネルギーが体に注ぎ込まれました。

今回のような体験は、ずいぶん前にもしたことがありますので恐れは無かったのですが、とても珍しい体験なので皆様にもお知らせしておきます。

まず露天にある平らな石の上に座って空を見上げると、まぶたは開きっぱなしになり、少しすると空気の粒子が動いているのが見えはじめ、目に映っている映像の上に光の粒子がものすごい量、漂っているのが見えました。

そのあとも、まぶたが開き放しになり、目に映る雲がものすごいスピードで上下に揺れて見え、数分間、体中に何かのエネルギーが走っているのがわかるほど強いエネルギーが体を突き抜けました。※映画マトリックスにも同じようなシーンがありましたねー（＾＾；

そのあとは、しばらく放心状態が続き、思考ができなくなり、自分の意識と体は切り離された感覚になっていました。

この時は、暑さも寒さも感じないうえに、周りから聞こえるスピードが変わり、目に見えている物の感覚も変わっていました。

過去を振り返ると、意識が違う次元に入った時に、こういう体験をしたことを思い出しました。

裸で外に居るのに全く寒い感覚は無いけれど、きっと冷えているからと内風呂のお湯に入りましたが、今度は、熱い感覚もわからないまま、２０分間も熱いお湯に入り続けていました。

その間の意識は、どこか違うところに行っていて、宇宙のどこかに意識のケーブルを差し込み、色々な情報をダウンロードしている感覚でした。

同じような体験をした方ならわかると思いますが、こういう時間は意識と肉体のバランスを変えるために、守護存在たちが行う強制的な意識次元の上昇時間だと思って下さい。

皆さんが寝ている間にもたくさんの魂サポートはされていますが、現実意識がある中で行われるこの作業こそ、宇宙のエネルギーサポートなのです。

中には、瞑想中にそうなる人もいるようですが、ほとんどの場合、普通の生活をしている数分間で全ての事が終わります。

もう今は普通の状態に戻りましたが、言葉にできない新しい感覚が体の中にあるのを感じています。

この体験は大きな意味でアセンション（意識次元の上昇）といえますが、強制的に意識を変える場合、その人の役割が変わることも体験で学んでいます。

これは、この世の中で起きることは全て上の采配で起きているからこそ、自分の意識だと思い込むことができなくなる体験をする方が増えると思います。

私の言っている意味が、わかりますか？

あなたが思うこと、あなたが感じる感覚や感情が、実は、上の采配で思わされているという意味なんですよ！

最初にこの事を知った時、とても驚きましたが、私たちの魂が肉体に入った時の事を思えば、当然だとわかるはずです。

天の強制サポートは、本来、自分が決めてきた時期に行われる通過儀礼であり、その人自身の意識や経験に関係なく、「起こされる人は起こされる」という意味です。

「起こされる人」とは、地球を救う事を決めてきた人たちの事です。

人間の為だけでは無く、本当に、「地球を救う！」と決めてきた魂たちが目覚めるように、天の守護存在たちはあなたの意識次元を動かします。

どうか突然、意識が変わり、周りの人との調和がうまく行かなくなっても混乱しないで下さいね

。

これからは突然、同じよう強制サポートが色々な人に始まりますので、「自分がやらなければいけない！」と思った事をどうぞ、すぐにやって下さい。

この体験を「五次元への強制シフト変更」と理解してもいいですが、それぞれの役目が違いますので、同じように志があう人に早く出会って自分の役目に気づいて下さい。

2011年は、日本人が目覚めるために、あらゆる手段を使って目覚めのサポートが入るとお伝えしていたはずです。

目の前の現実も確かに大切ですが、一日も早く、地球を救う仲間が集まらなければいけない時期にきていますので、過去の星のカルマにとらわれるのでは無く、約束した自らの魂の仲間に早く出会って愛を発信して下さい。

今日は、そういう日なのだと思います。

2011.09.03 Sat

神様に向き合う心と人に向き合う心の違い

寝ている時に、メッセージやビジョンを頂く人たちが増えていますが、その意味がわからず、神社や聖地を訪れたり、セラピストやヒーラーを通して意味を知ろうとするのは、よくわかります。

そういうことを書いている本もたくさん出ていますので、とても興味を惹かれることでしょう。現実が辛かったり苦しい人たちは、特に、答えを探して右往左往しているようですね。

そういう人たちにとって宗教の教えが救いになることもあるでしょうし、誰かの優しい言葉で気付く場合もあることでしょう。

でも、そんな自分が何を求めているかご存知でしょうか？

現実の安心感、現実の満足感、現実の豊かさ、そして、心の平安です。

そのための大切な学びの視点を忘れてはいませんか？

私たちは現実に生きているのですからお金を稼ぎ、食料を調達し、誰かと寄り添い、支えあわなければ生きてはいけない動物です。

現実のバランスをよりよくする為には「心の成長」が必要なのは当然ですが、自分が天や神様に向き合う心と、人に向き合う心の違いを良く観察して下さい。

神様に向き合う時は、純粋で素直な気持ちで向き合うのに、誰かに向き合う時に、そうできないのはなぜなのでしょう？

許せない事がある人は本当に、その人が悪いのですか？

本当に、自分は正しいのですか？

あなたは、神ですか？

神様が、どんな気持ちでいるかをご存知ですか？

ご先祖様たちが、どんな気持ちでいるかをご存知ですか？

ご先祖様たちは、肉体を離れてから大切な事を思い出しています。

人間だった時に忘れていた、大切なこと。

それは、「お互いの足りない部分を許しあうために生まれてきた」という点です。

ご先祖たちは、その愚かさに気付いたからこそ、あなたをじっと見守っているのです。

誰かが最初に言葉にした「神様」という言葉の意味は、間違いを犯さない、完全な存在としてイメージしている様ですが、本当はそうではありません。

神様について改めて説明しますが、神様には３つの種類があります。

・「人格神」・・・ご先祖を含む、人間を祀った神様
・「自然神」・・・人間以外の全ての生類、生命体、自然
・「宇宙神」・・・地球以外の星や生命体、意識体

世界に現れた救世主イエス・キリストも、御釈迦さんも、それ以外のすばらしい人たちも、みな私たちと同じ人間です。

だからこそ、人間である限り、完全な人などいないのです。

完全な魂が、この世の中に生まれることはありません。

不完全だからこそ、互いの許しを行うために肉体という時間が与えられたのです。

生きている間は全て学びですから、これでよし！もありません。

大切なことは許すこと、感情があふれて誰かを傷つけた自分さえ、許すことです。

言っておきますが、イエス・キリストと昔、話をしましたが、

「私は聖書に書かれているようなことは言っていない」

と言っていました。

誰かと向き合った時に話した言葉だけを文字にすると、その時の大切なエッセンスは抜け落ちてしまい、言葉だけが先行して意味が変わって伝わっている事をとても嘆いていました。

さらに、彼の人間性を隠して完全性の部分だけで作りあげたのが旧約聖書や新約聖書ですから、それを読んだ人間が間違いを犯すのは当然です。

「自己犠牲」の学びが、もっとも大きな罪を産み出しているからです。

イエス・キリストが一番、苦しいと言っていたのは内部の争いもそうですし、宗派を超えた争いを今もし続けていることです。

このことは、御釈迦さんも同じ意見でした。

「おれはさー、ただ疲れて横になっただけなのに、その時が最後の悟りを悟ったとか言われて、今の涅槃像で祀られているけど、本当はそんなにたいしたことじゃないんだよねー。

俺が気付いたのは、形じゃないってことさー。
ちゃんと正座して、瞑想して神仏に向き合って祈っても、横に寝転んでいても、心が素直に御仏に向けられれば、大切なことは気付くということをわかったのさ。
あの時は、菩提樹に寄りかかって話をしていたけど、とても疲れていたんだよねー。」

これが、人格神の本音です。

世界のどの宗教の神様も、「人格神」はみんな同じです。

だから、間違えないで下さいね。

あなたが神に向き合う時の真摯な心で、周りの人に向き合えば、きっと、問題も解決するということがすぐにわかるはずです。

このことが今、とても大切な学びだと大神様が教えてくれていますのでお伝えしています。

私も毎日、感謝とお詫びの連続なんですよ（＾＾）

大切なことに気付いて素直になれたら、できることから一歩づつ進んでいきましょう。

あなたを見守ってくれいてる人たちのためにもね・・・・。

2011.08.30 Tue

もう、始まっています！

とてもハードな出張も終わり、昨日の夜、やっと札幌に戻れました。

出会った人たちの思いや神の思いを整理仕切れていないので、ひとつひとつの意味を確認しながら次の準備を進めます。でも・・

もう、始まりまっています！、

新しい光を日本全国に繋ぐ準備が・・・。

それは、全ての日本人の無意識下の闇に、光を注ぐ意味があります。

このことをアセンションと呼ぶ方もいるでしょう。

しかし、アセンションの真実の意味は、

一人一人の魂の記憶の解放と同時に、何が起きても、希望ある未来を創造し続ける人たちが行動を始める事をいいます。

私たちの創造は、現実を作り出します。

「希望という創造」をし続ける人は、常にワクワクした心で生きられますし、過去の失敗に恐れ、未来に不安を感じ続ける人は暗黒の未来が待ち受けています。

その選択は、誰が決めているのでしょうか？

マスコミやインターネットで流れている情報が原因ですか？

そうではないでしょう、その情報を選んだあなたなのですから・・・。

あなたが知った情報が正しいか間違いかをあなたが判断するだけの資質と責任を、あなたはお持ちですか？

全ての情報は支配コントロールされていて、欲望をかき立てる経済効果を第一の目的に流されている事に気づいていますか？

中には愉快犯のように「他人の心を持て遊ぶ」ことを目的にした情報も流れていますので、見た人は自分が創造した全ての責任を問われる事に気づいて下さいね。

まだその事がわからず、知った情報を自分の善悪だけで判断しているのなら、あなたは最も愚かで無責任な人といえるでしょう。

私たち人間には神と同じく、知恵と希望を生み出す「創造力」が与えられています。

どんな現実を見て知っても、希望を生み出す心と勇気を、神や守護存在たちが支えてくれていることを忘れてはいけません。

自然災害や気候の変動は、人間がいなくても常に地球の摂理で起き続けますが、なるべく人間に都合が悪い事が起きないようにする「回避能力」も、私たち人間は持っています。

本来の回避能力とは、知識だけでは無く、その上にある「知恵を使うこと」だと言われています。

まだ、自分が一人で生きていると感じて寂しい闇の心から現実を見ている人たちは、周りの人が困っている事さえ気づかずに自分のことばかりを考えているはずです。

自分自身の本質が、何を望んでいるかを知っていますか？

「心の満足」では、ないのですよ！

あなたは、自分が感じる「現実」を満足したいだけなんです。

わかりやすく、「お金を下さい、愛を下さい」と言えばいいのにね・・・（＾＾）

でもきっと、一時的に同情する人が居ても、いつかは離れていくはずですよ。

だって、同情してくれた人も、実は、「愛を欲しい人」だからです。

与えた分をもらえないと思ったら、人は、離れていくものなんですよ。

そんな「無償の愛」なんて、相手に望んではいけませんよ。

だって、今のあなたに見合う人しか現れないと言ってるでしょ。

この三次元世界は、「与え合うバランス」で成り立っている世界なんですから･･･ね。

この点は、いつも自分も反省している事なんですが･･･（＾＾）

まだ気づいていない人たちにアドバイスできることは、

「一度、見えない世界の情報を否定して、現実世界だけで必死に生きてみて下さい」

と教えています。

私たちの最も根底の喜びは、この現実世界で感じるように出来ているからです。

反対に、「現実しか信じない！、見えない世界なんて信じない！」という人ほど、実は、誰よりも自分が信じたい未来を持っている人たちなんですよ。

「自分の信じる世界」があるからこそ、自分が理解できない世界を怖がるんです。

愚かですよねー、知らない世界を怖がる大人って・・・。

どんなに否定しても、「見えない世界が現実を作っている」のは事実なんですからね。

そう、「見えない世界」とは、あなたの「心に思い浮かぶ世界」であり、そこに写る映像が未来を作っているんです。

じゃあ、聞きますが、あなたの心に映し出される映像は、誰の責任ですか？

情報を流した人の責任ですか？

それは、違うでしょ！

その情報を信じた人の責任ですよ！

あなたの未来は、あなたが信じたとおりになるからこそ、あなたの心に光を、つまり、希望の光を照らし続ける必要があるので、私は言い続けるんです。

今、大切なことは、他人にもらった光を「自分だけの物」にしてはいけないことでしょうね。

他人に与えてもらった光（喜び、希望、可能性）は、一緒に光を大きくして、いつか、あなたが誰かを照らすために一時的に預かった光だからこそ、独り占めはいけません。

これは、私たちの肉体も同じなんです。

一時的に預かったこの肉体は、いつかは、お返しする事をあなも知っているはずです。

だからこそ、私たちに与えられた欲望（希望や喜び）は光であり、肉体があるうちに少しでも多くの喜びを経験して下さいと言い続けてるんです。

でもね、人間を作った神様は、あなた一人だけを幸せにするために、あなたを生まれさせたわけではないのですよ！

生れた時に、喜びを人からもらうことを最初に覚え、次に、誰かに与える喜びのステップをレッスンさせてもらっているだけなんです。

「まだ生きている」という意味は、そういうことなんです。

愛や喜びが足りないと思っている人でさえ、必ず、ひとりぼっちを楽しむ為のエネルギーが、まだ残っているはずですから、その光を誰かに分けてあげて下さい。

あるうちにしか使えない「心と体」！

若さと美貌もかなあ・・・（＾＾；

それとね・・・

今のあなたでいいんですよ！

ただ、光だけを誰かに与えて下さいね。

どうぞ、宜しくお願いします。

2011.08.29 Mon

読み取りワークの開催

8月23日、大阪勉強会の前に、初めて「読み取りワーク」を開催しました。

「読み取りワーク」は、正式に神仏に向き合った時に、何に気を付けて、どう対処するべきかを実践的に教えるワークとして行いました。

理由は、最近、個人で神社やお寺に行く方が増えていますが、あまりに無知な為に神様に失礼な行為と気付かず行動している方が多いからです。

神様は、無知な人は無知なりにしかメッセージを教えてくれません。

失礼で気づかない方を指導してくれるほど、甘い世界ではないからです。

失礼に気付かない方が神様の気持ちをくみ取れる訳もなく、守護存在も恥ずかしい思いをしていることに気づいて欲しいと思ったからです。

神ごとでも現実世界でも、物事には必ず、序列に沿った意味と役目があるからこそ、そのことを正しく理解して参拝すると、感じることが違います。

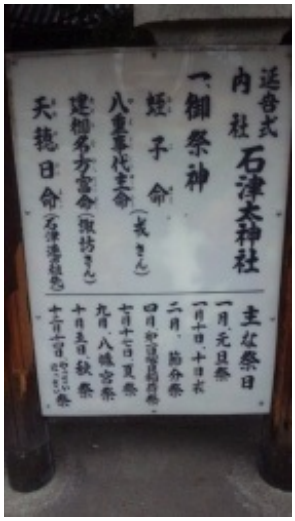
私の神事に何度も参加した方は正式なご挨拶がどれほど重要かを学んでいると思いますが、「読み取りワーク」は、神事モードで神様に向き合うことよって、その場にいる人たちに神様が伝えたいメッセージを解読してアドバイスするワークです。

今回は関西の6名が参加しましたが、それぞれの守護存在が違うことも体感されたと思いますし、自分の守護存在を感じる機会にもなったと思います。

最初に向かった場所は、言いだしっぺの女性が住む土地の氏神様へご挨拶に行きましたが、自分の氏神様に正式にご挨拶する手順をお伝えしました。

１、石津太神社（いわつたじんじゃ） 大阪府堺市西区浜寺石津町中4丁12-7





鳥居に入る前の心構え、本殿に向き合う前の準備、祀っている末社の神様の意味や対応についてなど色々な話をしましたが、今回、一番、やっかいだったのが、稲荷神社でした。

一人の女性が、鳥居の前で倒され、泣き叫んでいます。

彼女の因縁めいた部分も見えましたが、最も問われたことは神に向き合う心構えの部分を問われたことを教えました。

その場で起きていることの他の人の反応を見ていると、一人一人の心の位置もわかります。

そこが、もっとも大きな学びになることを教えました。

神様は基本的に人を問いませんが、目的を持った祈りの場合、それぞれの人の神心の違いは問われます。今回は、そのことを十分、感じたと機会だと思います。

氏神様にお願いされたことを伝えて、翌日、すぐにやってくれた女性は、全く感じる感覚が違ったことも知らせてくれました。

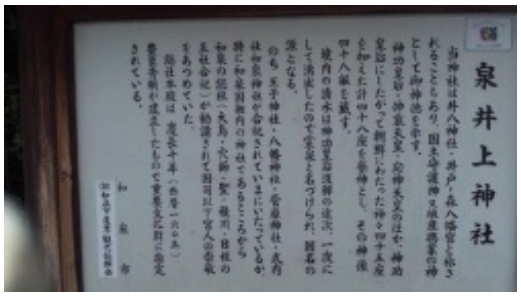
こういうひとつひとつの積み重ねが、その人の神心を磨いて行くのです。

次に一宮へ行こうと言いだしたので、「総社はないの？」と尋ねました。

「総社」と「一宮」の上下関係をわからない方は、それだけで順番を間違えて失礼になりますので、正しい意味を覚えて下さいね。

[２、和泉の国　総社　泉井上神社]





ここでは、いくつもの学びを体験できましたが、もっとも大切なことは「忠魂碑」の扱いでした。

30代、40代の誰も意味も知らないことに驚きましたが、正しく意味を知って向き合うと、涙が溢れる祈りを全員が体験できました。

[３、和泉国一宮　大鳥神社]



ここでも、同じ女性が一人、大泣きして倒されました。

女性たちに気づいて欲しい思いがあったのですが、誰も気づかない為に、彼女を倒してそのことを神様が気づかせてくれました。

もっとも重要なメッセージは、ここの神様が教えてくれます。



とても珍しい形で守っている神社ですが、それはそれは強い女性の力で守られています。

このことをわかって参拝するかどうかで、神様はその人の神心を見据えるのです。

正しい知識と行動、そして、共感（シェアリング）による解釈の応用こそ、神心を磨く最も重要な方法なのです。

これが「御霊磨き」になることも、覚えておいて下さい。

今回の実践的な体験は、それぞれの人の神心成長に大きなキッカケになりましたので、今後も機会があれば全国どこででも教えたいと思っていますので、「読み取りワーク」の開催を希望される方は仲間を集めてご連絡下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！

☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆

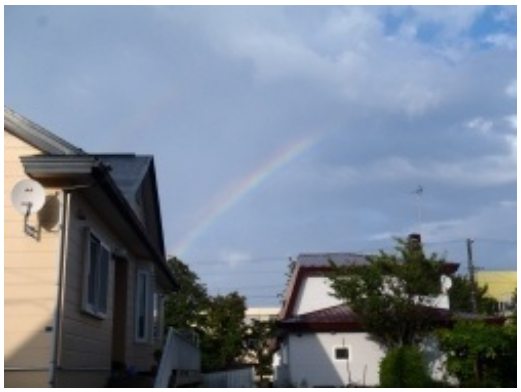
◎地球創生活動を支える地球創世基金◎

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　0961355

2011.08.26 Fri

クリンキット族の御霊たち



8/20日、21日は、北海道苫小牧市で行われたイベント（ともしびの巡礼　ーワタリガラスの神話と祈りの音ー）に参加してきました。

目的は、ボブ・サムの守護存在メッセージを受け取ることでした。

参加者全員で朝一番、樽前山神社の正式参拝と奈良裕二さんの音奉納が行われました。

奉納が終わると、樽前山の神社の神様がメッセージを下さいました。

花宮、籠宮、娘宮。

うちなびーぬ魂、うれしかんど。ありがたきやー。

（意味）
花宮・・・喜びを守る神様、
籠宮・・・大切な物を守る運ぶ神様、
娘宮・・・命や魂を守る神様

沖縄の美しい魂は、喜んでおります。ありがとうございます。

なぜ沖縄の方言でお礼を言われたのかというと、クリンキット族のリーダーであるボブ・サムの民族ルーツは、1万年前に日本から渡った民族であることをボブサム自身が語っています。

さらに、その当時の民族が沖縄から九州、大和に登ってきた民族であることも、この言葉でわかったと思います。

樽前山神社の神様は、現在は、神道の神様ですが、もともとは、アイヌたちが樽前山の神様を大切にしていたことから現在に至っています。

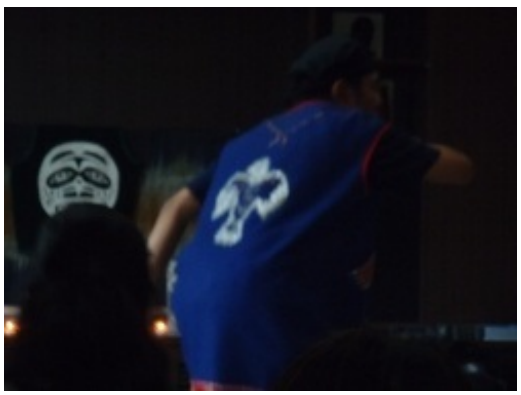
アイヌ民族と琉球民族のルーツが同じだと言うことはご存じだと思いますが、これで北海道に古

い民族の魂が繋がった意味もあると思って下さい。

「ともしびの巡礼　ーワタリガラスの神話と祈りの音ー」は、北海道を数カ所回ったあと、全国も数カ所回りますが、実は、ボブサムが日本の地に民族の魂つなぎをしていることが話を聞いていてわかりました。

クリンキット族のワタリガラス神話と日本のヤタガラスは同じ意味ですが、日本から世界に広がった民族の元は、日本の奈良から広がった事も、先日の関西神事で明確になりました。

現在の日本人は大切な事を見失い、魂の力が弱っているからこそ、ボブサムや奈良裕二さんは日本人の霊性を高める為に、古き魂の繋がりをつないでくれていると私は感じています。



個人のお宅を借りて行った「ともしびの巡礼」の冒頭、ボブサムがクリンキット語で話した言葉の意味を私なりに読み取りましたので皆様にもお伝えします。

皆さんの精霊たちに感謝いたします。

ひとつひとつの精霊の繋がりをここにつなぎ、導かれてきたことに感謝いたします。

移りゆく世があろうとも、この繋がりは変わらず、繋いでいる。

ここにおられる精霊たちに、繋がりの感謝を示します。

このあと、ボブサムからクリンキット族の言い伝えが披露されましたが、とても魂に響くメッセージでした。



翌21日、厚真町の山奥で行われた「森のコンサート」でも、奈良裕二さんとボブサムは、様々なメッセージを伝えてくれました。

ボブサムは、壊されたクリンキット族のお墓を10万個掘り起こした「墓守り」ですが、そのおかげでクリンキット族の魂は復活を果たし、彼の後ろにはたくさんの御霊たちが民族の繋がりを示すように繋がっていました。

夕暮れになるにつれ、急に、私の体は辛くなってきました。

あとでわかったのですが、５～６000個の御霊たちが私の体の中に入り、腰が痛く腸の機能も停止し始めていたからです。

霊体を感じる人ならわかると思いますが、ものすごい数の御霊に憑依されると腰は痛くなり、血液の循環が止まるので体は冷たくなり、とても辛い状態が続きます。

なぜ、こんなに辛いのかと、思い当たる事をひとつひとつをお詫び祈りしましたが、重さは一向に変わりません。

帰りの車の中、一緒にいた人のやりとりで、答えはすぐに見つかりました。

「天に上がりたい御霊たちが、あなたに上げて欲しくて集まっているんじゃないの？」

その場で、天に上げる祈りを行いましたので御霊たちは上がりましたが、長時間、体の中にいた為に、私の体は、ヘロヘロになり、霊体の残像エネルギーで眠れませんでした。

夜中に起きて、頭からシャワーを浴び続けて禊ぎをすると、やっと眠れました。

こういう体験は神事ではよくありますが、2007年の沖縄慰霊の日に伊是名島で運んだ数千体の御霊たちの事を思い出します。

あなたがもし、霊に乗られて苦しい時があったなら、どうぞ、天の光に意識をつないで、御霊たちを上げる祈りをして下さい。

これは、誰でもできる方法ですので、詳しくお伝えしますね。

本来、魂の大元に繋がる祈りは、天に大きな光の玉をイメージして、その玉と自分の魂を繋いで行います。

憑依された霊体もそうですが、自分の古い記憶になる嫉妬や恨み、苦しみの記憶でさえ、「手放して上げます！」と決めて光の祈りを行えば、心も体も軽くなることがわかるはずです。

ただし、皆さんは、霊の集まる時間や場所には行かないで下さいね。

自分の力を過信すると、起き上がれないほど辛い重さが体に乗ってきますからね！

お伝えしたいことは、私たちは闇から生まれた光によって生命を頂いていますので、祈りをする時は、本来の繋がりのもとである光へと繋ぐことが大切なのです。

仏壇も神棚が無い方に、お伝えします。

喜びや感謝の祈りをする場合は、東へ向かって行って下さい。

御霊上げや自分の苦しいカルマを手放す時は、西へ向かって祈って下さい。

そして、その光の道を繋いでくれているのが、あなたのご先祖であり、守護霊であり、守護神なのです。※これを霊道（れいどう）と言います。

西という方角は、全ての方角の元となる神様がいらっしゃいますので、命の再生の働きをして下さいます。

一人が、ひとつの御霊を上げられたら、１０００人で１０００の御霊を上げられます。

100万人が行えば、100万の御霊が上がります。

これは、無宗教の方でも神様を信じていない方でも、どんな人でも心を込めて手を合わせれば、この「光の祈り」ができるのです。

そして日本人は、世界で最もこの祈りの力が強い民族だという事を覚えておいて下さいね！

いずれ、私たち日本人の祈りの力で、地球の波動を上げる時期がきますので、今からトレーニングしておいて下さい。

私たちはその為に、日本人として生まれたのですから・・・。

☆★☆★☆★☆★☆★☆
☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆
◎地球創生活動を支える地球創世基金◎
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　0961355

2011.08.22 Mon

永い間・・・

これまで永い間、暗闇に落ちた人たちを見続けてきました。

無料で霊視をしてアドバイスをした期間を含めると、かれこれ14年にもなります。

自分の体験から心の隙間に落ちる理由も抜け出し方も身につけましたので、たくさんの人に抜け出し方をアドバスしてきましたが、相手の暗闇を見続けている間は、自分も一緒に暗闇を見続けていました。

それが良いことだと思っていましたし、相手の為になることだと思っていたからこそ、ここまでやり続けられたのだと思います。

でももう、その期間も終わったようです。

これからも永遠に闇に落ちる人たちはいるでしょうけれど、闇に落ちた人を救うには一緒に闇の中に入らなければなりません。

都合よく、上がっておいで！などと言っても、誰も上がれないくらいに深い闇に落ち込んでいるからです。

日常生活では普通の顔をして暮らしている人でさえ、誰にも気づかれない心の奥底に闇を持っていることは良く知っています。

その闇が、逢った瞬間に見えてしまう体質のおかげで、とても苦労しました（＾＾；

おかげで、闇の世界にはとても詳しくなりました。

でも誰もが、もともと「光の世界」から降りてきたことも知っています。

この世が、闇の世界に牛耳られていると思う人は、永遠に、闇の世界から物事を見ている人たちです。

反対に、この世は喜びを大きくして楽しい経験をする為に生まれてきた事を思い出した人たちは、努力して光を見ようとしています。

でも、その光を見ようとしている人たちの心の中にも、大きな闇があることをいつも不思議に思っていました。

だからこそ、決めたんです。

見えない闇を持っている自分から抜け出したい人たちを手伝うと！

でもそれも、もう終わりのようです。

闇は自分が作り出した「創造の産物」だからこそ、消そうと思えばいつでも消せるのに、都合よく、持ち続けているのも、その人自身だと気づいたからです。

誰かのせいにしたくなる人は、その闇の中から光の人たちを見ている人だからです。

どれだけ光の言葉を使っていても誰かを責めれば、それだけで自分が深い闇に落ちることに気づいていません。

きっと、それを楽しむと決めて生まれてきた人たちなのでしょうね（＾＾；

そういう生き方もその人の人生ですが、私はもう、光に生きると決めた人たちだけで進むことを決めました！

日本全国の土地のカルマも封印も、ボツボツ外れます。

突然、心が軽くなって自由になった人たちが、きっとたくさんいるはずです。

だからこそ、自分が喜びの道へ進むと決めれば、突然、素敵な出来事が起きることもご存じのはずです。

そうしたい人たちが繋がることで、大きな意識次元を引き上げる活動がこれから加速します。

だって、もうあまり時間がないんですもん！！！

現実を変えるには、その人自身が変わる事が一番、早いのですが、先に、目の前の現実を変えることでも集合意識は変わりますので、水も空気も土地も次元をあげて、これまでにない五次元の波動の世界が三次元世界に波及し始めます。

その為の必要な情報が、どんどん集まってきています。

もともと誰もが幸せになるためのチップを持っていますが、互いに全てを差し出し合わなければうまく使い方はわかりません。

だからこそ、自分の全てを公開しあう「地球創生ＳＮＳ」を立ち上げるように神様に言われたんです。

今、ＳＮＳの中は、ものすごい勢いで、発言しているみなさんの意識が変わっています。

それは、誰かが素晴らしいのではなく、皆さんの共有意識が素晴らしいのだと思います。

本名と顔写真を出しあって色々な情報をシェアし合っていますが、さらに直接、合って交流を深めている人たちも増えています。

私はただのキッカケに過ぎませんが、皆さんの一人一人の魂が喜んでいるのをいつも感じてうれしく思いますし、全国にそういう仲間が増えることをイメージしています。

これまでの半年間、地球創生ＳＮＳは「1ヶ月間のお試し期間」を設けてきましたが、それももう無くそうと思っています。

9月からの新規登録希望者は、事前にお振り込みを頂く形になると思って下さい。

時間があまりないからこそ、光を発信する人たちだけで光を大きくしようと思います。

その光は、闇も全てを包み込む大きな愛の光のエネルギーだと思って下さい。

だからこそ、「一切、人の悪口は言わない（陰を見ない）ルール」なのです。

決して個人の心の隠れ家を無くす事が目的ではないからこそ、進むべき人たちだけで進みます。

あなたがどちらにいたいかは、あなたの自由ですが、どうぞ、光のチームで皆さんを輝かせたい方は、地球創生ＳＮＳにご参加下さい。

愛の知恵と希望の繋がりが、あなたに届きますことを祈ります。

☆★☆★☆★☆★☆★☆

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！

☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆

◎地球創生活動を支える地球創世基金◎

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　0961355

2011.08.18 Thu

聖天使の陰陽の羽根が開いた！

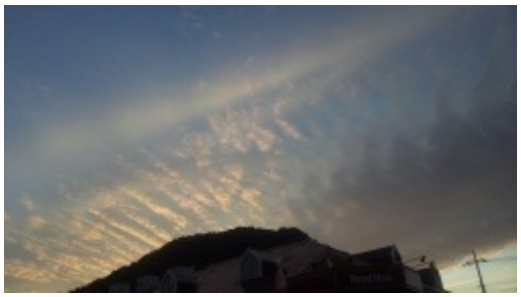
お盆も終わり、無事にご先祖たちもお帰りになったと思いますが、ここ数日間、様々なエネルギーが動いているおかげで、体調と意識は大きな変化を感じています。

何が起きても、「全てが良き方向へ向かう為」だと思っていますので、あとは、意識の波長をどこに合わせて生きるかが大切だと思っています。

暗闇に落ちた人たちを気にして生きるのか、明るく生きる努力をしている人たちを意識して生きるのか、それとも、自分自身が最も喜ぶ道に進むのか・・・。

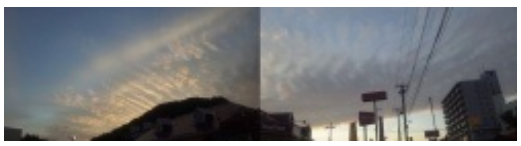
常に、人生の選択は個人の自由ですが、今回は、その選択の選び直しの時期だったようです。

そんなことを考えていた昨日（8/17）、夕焼けの西の空を見て驚きました。





つなぐと、こんな感じです。



2007.8.17 18:30 札幌

そこに見えていたのは、大きな「天使の羽根」でした。

それも、初めて見る光と影の天使の羽根です。

この山は、北海道神宮の御神体ともいえる「円山」ですが、西の空に広がった羽根は、白い部分と黒い部分に分かれて美しく光っていました。

素晴らしいエネルギーを発していたので何枚も激写しながら、天に、意味を聞いてみました。

聖天使の陰陽の羽根が開いた！

ほほー、そういうことですか・・・（＾＾）

聖天使とは、天上界の白い天使たちのことですが、このメッセージの意味は、堕天使と呼ばれた闇の天使たち（人間？）にも、その力が宿ったという意味がひとつはあります。

もともと聖天使だった人たちは、陰陽バランスの力が加わったとも言えるでしょう。

もうひとつの意味は、全ての陰陽バランスは、あなたの心次第で決められるということを教えてくれています。

今までどれだけ闇に生きた人でも、これから光の道へ進むと決めれば、それも可能だということです。

あなたも変われるという意味ですよ！

大切なことは、人間は誰でも「陰陽の両面を持って生れている」という意味です。

誰でも、そうなんですよ！

人間がそうなのは何となくわかると思いますが、私たちを導いてくれる天使たちでさえ、陰陽の羽根を持っていたことを昨日は知らせてくれたのです。

このメッセージの意味は、地球創生SNSの中で詳しくお話ししますね！

まあ、たまたま見た雲の話ですから真剣にならなくてもいいですよ（＾＾）

ちなみに、私が見た過去、最大の天使の羽根は、こちらです。

さあ、新しいステージの始まりです！！！

2011.08.18 Thu

許せない人

この人生で、もっと、も、あなたが「許せない人」は誰ですか？

そう、許せないほど憎くて、今も、心の傷となっている人のこと・・・。

２０代、３０代の時には僕にも許せない人が数名いましたが、自分なりに「心の置き場所」を変えて生きていました。

でもそのあと、最も強烈な相手に出会った時には参りました。

それは、サラリーマン時代に同じ活動をしていた時の先輩ですが、何度も、その人と離れようとしても、その人との縁が続くという不思議な体験をしました。

どうやっても避けられない状況なので、その人に会うとわかる日はとても苦痛でした。

その時の自分は、その人のことを考えるだけで苦しくて辛くて、憎くてしょうがない自分が出てくるほど、嫌な自分が心の内側にいました。

「誰かに傷付けられた！」と感じた経験は皆さんにもあると思いますが、傷つけた相手は、それほど傷つけたと思っていないこともよくあります。

だからこそ、自分の場合もそうでしたが、なぜ「自分が傷ついた」と感じたのか、その原因を何度も考えてみました。

単に、自分が相手を嫌いなだけ？・・・じゃあ、自分の勝手な思い込みじゃん！

誰からも、好かれないどうしようもない人？・・・一概に、そうでもないみたい・・。

自分が何かを気付くために、現れた悪魔君？？？

さあ、逃げ出すか、向き合うか・・・・・。

待てまて・・・、悪魔君は本当に、もともと悪魔君なの？

そういえば、神様は、「善も悪も作っていない」と教えてくれたはず・・・。

んー？？

もしかして、自分の中にいる悪魔君を追い出してくれるために出現した悪魔君なの？

じゃあ、嫌がっているということは、あの悪魔君と同じものが自分の中にもあるということ？？

こりゃあ、いかんわ・・・。

このことに気づいたので、相手を恨むのをやめて、相手を許すことを一生懸命にやってみました。

でも、やはり傷付いた心は簡単には消えなくて、許せません。

どうしたらいいんだろう？

人を恨んで生きるのは嫌だし、世の中に嫌いな人がいるということは、一生のテーマになって、何度も、同じような思いをする人が出てくるのは知ってるし・・・。

そんなことを考えていると、ふと、許せない自分を見守る天の声が聞こえてきました。

あなたは、人を許すのが苦手なんですね。

そうやって、あなたはこれからも、「自分が許せない人」を増やして生きて行くんですか？

辛いですよー（＾＾）

相手のために許すなんて出来ないからこそ、自分のために相手を許すんです。

だって、許せたあと、あなたの心は自由になるからです。

この世の中で、一人も「許せない人」がいない人は、一番の幸せものです。

それは、私たちと同じ心を持っている人なんですよ。

だって、私たちは傷つけあい続けてきたあなたたち人間の行いをずっと、許し続けてきましたからね。

誰かを恨み、誰かを殺し、誰かを利用したとしても、あなは今回、初めて人間に生まれた訳じゃないからこそ、お互い様だということはわかるはずです。

誰もが、何度も同じ経験をしてきたからこそ、肉体をもっている間に、その苦しみを手放す練習をさせてるんですよ！

そのことがまだ、わからないのなら、相手を殺してごらんなさい。

あなたは、相手に勝ったとたんに、自分が自分の地獄に落ちてしまいます。

じゃあ、逃げてみますか？

誰も自分を傷つけない島へ行って、一人で生きますか？

寂しいですよ、一人は・・・。

あなたは、本当は知っているはずです。

本当は、自分がどうしたいのかを・・・。

でも、できないんですよね・・・。

だったら、私たちが少しだけ光を届けてあげますから、今、生きている事に感謝だけしてみて下さい。

今、生きているだけでありがとうございます。

今、生きてるだけでありがとうございます。

この言葉を唱え続けて、一日のどこかで私たちに心を合わせる時間を作って下さい。

そのことができない人は、もっと大切なものを失ってから気づくのは仕方がない事なのです。

それも、自分が選んだ道だからです。

あなたたち人間は、この人生でどういう経験をするか生まれる時に決めてきたはずです。

自分が逃げた一番、弱いところを補うために、同じ経験をして必ず乗り越える！

と約束したから、魂と肉体を与えたのですよ！

どうか少しでも早く、この世の中の「許せない人」をなくしてくださいね。

人を傷つけて苦しむのは、あなた自身なのですから・・。

私たちは、あなたが気付くまで、その繰返しをあなたたちに経験させます。

本当に生まれた意味がわからない人など、誰もいないはずです。

あなたが一番、避けたいこと、苦手なこと、見て見ぬふりしていること・・・。

誰かを攻撃すれば、どうなるかも・・・。

弱い昔の自分にできないことをするために、生まれてきたことを思い出しましたか？

人間の一生は、あっという間に終わってしまいますが、一度、思い込んだ苦しい思いは、肉体を離れても、ずっと持ち続ける魂が多いこともご存じでしょう。

だからこそ、どうか、この世の中で「許せない人が一人もいない自分」に早くなって下さいね。

最後の最後に、許せないのは、きっと「自分」だと気づくと思いますが、その「自分」も許して下さいね。

私たちは、すべての人が気付くまで、あなたたちにメッセージを送り届けますから、逃げないで受け止めてくださいね。

愛の光は、あなたの中にもありますので・・・。

※てんつくマンは、もっとわかりやすい言葉で気づいたみたいです。こちらを一度、読んでみて下さい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！

☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆

◎地球創生活動を支える地球創世基金◎

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

2011.08.15 Mon

最後の絆　沖縄　引き裂かれた兄弟

昨日（１３日）、フジテレビ系列のテレビドラマ「最後の絆　沖縄　引き裂かれた兄弟」を見ました。

第二次大戦の沖縄戦の悲惨な状況は、時々、ドラマになりますが、沖縄市民側の視点で作られたドラマが少なく、全国放送されることも少ないことをとても残念に思います。

そう思う理由は、沖縄という小さい島で亡くなった人の数が、２０万人を超えているからです。

これは、広島原爆や長崎原爆で亡くなった方たちの数を超えています。

さらに皆さんに意識して頂きたいことは、沖縄で起きた様々な悲劇の歴史は、日本の歴史の教科書には出てこないという点です。

日本を守るために犠牲になった沖縄戦の後、日本の歴史の教科書に載らない理由は、アメリカ領土の時代があったからです。

若い方たちは、沖縄がアメリカ領土だった事さえ知らない方もいるくらいです。

インターネットで日本の歴史を調べても、日本国内のあちこちで起きた事件は色々出ますが、同じように沖縄で起きた事件は出てきません。

私も７年、沖縄に通い地元の方から色々な気持ちを教えて頂きましたが、今回の番組を見て、まだまだ沖縄を理解する心が足りないと感じました。

しかし、沖縄の方たちの素晴らしさは、どんなことがあっても、「沖縄人」としての繋がりが強いということでしょう。

どんなに辛いことがあっても、耐えて生き抜いた強い精神力は、女性たちが命を繋ぐ強さだとも思います。

沖縄の皆さん、本当にありがとうございます。

日本人は今、その繋がりを忘れかけていますが、沖縄の人たちから教わる魂の繋がりと命の大切さを学びたいと思っています。

どうぞ、明日（8/15）の終戦記念日は、日本を守るために犠牲になった多くの人たちの魂に「感謝の祈り」を捧げて下さい。

2011.08.14 Sun

ワタリガラスの神話と祈りの音

アラスカ先住民クリンギット族の神話の語り手のボブ・サムが、北海道へやってきます。

彼が口にする「ワタリガラス」の伝承は、日本古来から守られている大切な民族の証であり、そのルーツを紐解くことは魂の繋がりを紐解くことになるからこそ、現在、日本各地を回っていらっしゃいます。

今回、北海道苫小牧市で行われる語りと音楽奉納は、神に通じる儀式として行われますので、ご興味がある方はどうぞ、お越し下さい。

ボブ・サムが語るワタリガラスの神話をこちらでご紹介していますので、どうぞお読み下さい。

ともしびの巡礼　ーワタリガラスの神話と祈りの音ー

出演者：ボブ・サム、奈良裕二



ボブ・サム　プロフィール

アラスカ先住民クリンギット族。30代前半に、住宅開発のために掘り返され荒れ果てた祖先の墓地を目の当たりにし、開発計画を中止させ、遺体や遺骨の再埋葬、墓地の復興を一人で始める。以降、25年以上にわたり、祖先の墓地・聖地の保護修復の活動を続け、10万基以上の墓を修復、再埋葬した遺体は500人以上になる。また、各地に持ち去られた祖先の遺品、遺体や遺骨を家族のもとに戻す返還運動（リペイトリエーション）においても中心的役割を担う。年以上にわたり世界各地でストーリーテリングを行う。ドッグ・サーモン氏族、およびアラスカ南東部のジュノー周辺地域（オーク・クワン）のリーダーでもある。著書：『かぜがおうちをみつけるまで』（谷川俊太郎訳／スウィッチ・パブリッシング刊）



奈良裕之　プロフィール

94年より世界の民族楽器による即興演奏を始める。ライフワークとして、多くの福祉施設・教育施設・ 病院などで演奏し、人々と深く交流している舞踏・詩・絵画・写真などとのコラボレーションや、アイヌ詩曲舞踊団「モシリ」との共演にて、日本列島スピリットツアーや、インドネシアで演奏。ドキュメンタリー映画「地球交響曲（ガイアシンフォニー）第三番」出演のアラスカ先住民の語り部ボブ・サム氏と98年より各地で共演99年オーストラリア・ケアンズ市を中心に福祉施設・教育施設・ 一般公演などを行う。2001年6月・10月、2002年4月に韓国で公演。2004年5月にはニューヨークにて一般公演の他、グラウンド・ゼロで平和を祈念した演奏を行う。2005年２月に、タイのカンチャナブリでの追悼演奏、孤児院、モン族の寺院、小学校などで演奏。2006年4月公開の「地球交響曲（ガイアシンフォニ–）第六番」の『虚空の音』の章に出演。2007年10月、ニューヨーク・サンフランシスコにて、寺院、障害児や癌患者のための演奏などの他、聖地シャスタ山にて奉納。2008年５月韓国公演、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルスにて、公演の他、障害児施設、寺院、セドナの聖地で演奏2009年5月、韓国にて障害者施設、曹渓寺での演奏の他、江華島、摩尼山、DMZ等で奉納演奏。一般公演の他、日本各地や海外においても、神社、寺院、遺跡、教会、聖地などで奉納演奏を数多く行う。人の奥深くに眠る本質に伝え響く音楽として、ワークショップ（サイレント・セッション）、瞑想やヒーリングとのコラボレーションも行う。また音楽活動の他、写真や書の個展も開いている。

日時　**2011年8月20日（土）**　昼　**12:00～**　参加費　**5000円**

会場　北海道苫小牧市高丘6-248、（問い合わせ）0144-56-5288（トリムタブ　黄木）

引き続き夜は、苫小牧市内のお寺を借りて、スペシャルゲスト三名をお招きしてのコンサートが開かれます。表現が違っても日本人が伝える大切な魂の音が、あなたの魂を揺さぶることでしょう。

陽願寺コンサート

2011年8月20日　18：00会場　18：30開演

場所：苫小牧市矢代町2丁目１１–１４　　0144-74-1700

前売り3500円　　当日　4000円

お申込み：0144-56-5288・090-6445-7384　黄木（おおき）

出演者

奈良裕二…世界中を回る民族楽器演奏者



野瀬栄進…ニューヨーク在住、ジャズピアニスト、作曲家。

2009年度 S&R Washington Award受賞。
1992年渡米、カリフォルニアでジャズを始める。
1995年、ニューヨークに渡り、ジャッキーバイヤード、リッチ・バイラーク、フィル・マルコウイッツ各師に指事。ＮＹブルーノートを始めとするライブハウスで数々のミュージシャンと共演を重ねる。作曲家としても活躍し、各メディアに曲を提供。野瀬栄進ホームページ



三田健司…アフリカン太鼓、ジャンベの制作・演奏の第一人者

2001年、北海道函館にて「Ｎ’ＤＡＮＡ」結成。木村優斗、山北紀彦と共に、活動しているパーカッションユニット。自作の楽器でアフリカやキューバの伝統音楽やオリジナル曲も演奏する。北海道を拠点に、全国に活動を展開。また、喜茂別、洞爺、ニセコなどで太鼓サークル「トヤトヤポレポレ」のリーダーを務める。



北海道の夏の夜に響く、魂の音を聞きに来て下さい。

2011.08.12 Fri

光の聖戦

闇は、壊すものではなく、無くすものではない。

闇から抜け出したい者たちに、光を与えるだけでいいのだ。

光の聖戦が、始まる！

間違うではないぞ！

闇を無くすのでは、ないのだぞ！

2011年8月11日　昼のメッセージ
2011.08.11 Thu

闇に光を！

誰かを恨み・・・誰かをののしり・・・誰かを引きづり降ろそうとしている人たちの心の中に、愛の光を送りましょう。

許しを請う事も、詫びることも、愚かさに気づくことも出来ない人たちの心の中に愛の光を送りましょう。

誰かに傷付けられた心を変えられないまま、誰も愛してくれないからと、今も恨み続けている人の心の中に愛の光を送りましょう。

幸せな人を許せない人や、したい事が出来る人たちを許せない人の心の中にも、愛があることを信じて皆さんで光を送りましょう。

どんなに辛い経験をしても、私たちがまだ生かされている理由は、

自分自身の苦しみを乗り越えて、もう一度、愛を信じて周りの誰かの為にできることをする為ですが、まだ、そうできない人たちの心の中にも愛があることを信じて一緒に光を送り届けましょう。

何度も信じて裏切られて、愛して傷つけられて、裏切りと傷付けられた心を持ち続けている人たちの心の奥にも、愛があることを信じて祈りましょう。

死者の霊魂に取り付かれて、呪いの言葉を口にする人たちの心の中にも、愛があることを信じて祈りましょう。

誰一人、この世に悪人はいないうえに、誰一人、この世に善人などいないことにも気づきましょう。

誰もが自分の足りない部分を補う為に生かされていると気づいたら、他人の過去を責めるのではなく、自分が欲しい物や愛を、誰かに分け与える行動が必要なのだと気づいて下さい。

大切なものを失っても、心や体を傷付けられても、あなたがまだ生かされている理由は、苦しみを乗り越えた勇気と愛の力を、明日を信じる人たちに向けて笑顔で分け与える為なのです。

許されない事だと法や規律を持ちだすよりも、誰かを信じることのほうが今すぐに出来る愛の行動だと気づいた人から闇の心に愛の光を送りましょう。

私たち人間は存在しているだけで、誰かを傷つけている種族だからこそ、常に、愛と感謝を忘れずに、誰かと一緒に「歓びに生きる」ことを宣言しなければいけない立場にあるのです。

肉体を失った御霊たちは、いつも、私にこう言います。

分かって欲しい・・・、わかるか！？この気持ち・・・

苦しかった・・・辛かった・・・

一生懸命に生きたのに、裏切られた・・・

あの人を信じたのに、裏切られた・・・

傷ついた人を癒すよりも、もっと大切な事は、目の前の誰かに愛を与えることなのです。

互いに愛を交換できるようになったら、また一人、また一人と、誰かに愛を与えられる歓び以上に、愛を与える歓びの行動をすることです。

一人でも多くの人たちがこの事を理解できれば、この地球は変わります。

肉体を失った御霊たちが、誰を使って何を言わせても、それは過去の思いだからこそ、生きている私たちが過去の思いを乗り越えて、新しい愛の形を産みださなければいけない役目なのです。

愛は、与えられるものではなく、与えて始めて歓びを感じるものです。

失うことや壊される事、傷付けられることを恐れた人ほど、愛を欲しがっています。

愛は、あなたの内側にありますし、神もあなたの中に内在しています。

だからもう、誰かに許しを請う事をやめて下さい。

だからもう、この世の誰かを恨む生き方をやめて下さい。

私たち人間同士が傷つけあうよりも、もっと多くの自然や地球を傷付けている種族だからこそ、私たち人間は全員、「生きている代償」を払わなければいけない種族なのです。

「生きている代償」は失う命ではなく、苦しみと苦痛に見合うだけの愛に生きる勇気を出す事なのです。

何をされても、何をしても、どんな経験や思いをしたとしても、あなたの愛を信じる人たちと一緒に、愛を大きくする活動が、今、必要なのです。

それを勇気や決断と呼び恐れるのなら、一人で出来る「自分を愛する」ことから始めて下さい。

それでもまだ本当の愛を気づかないのなら、あなたは永遠に「愛の路頭」に迷い込む事でしょう。

本当の愛を知った人は、必ず、その頂いた愛をたくさんの人に伝えたくなるからです。

私たちを産み育てた全ての先祖たちも完全な人間ではなかったからこそ、少しでも気づいて欲しくてメッセージを届け続けてくれています。

お盆は、そういう思いを持ったたくさんの先祖御霊たちが集結する時期だからこそ、知らない間に、自分の闇に落ち込んでしまう人が増える時期なのです。

許しましょう、他人を恨むしか出来ない愚かな自分を。

許しましょう、多くの人の命の犠牲の上に生かされている事を忘れた自分を。

他人の子供も、自分の子供も、親も、恋人も、家族も、地球の裏側で毎日亡くなる命でさえも、全ての命が同じように、生きている私たちの為に命の再生に入っています。

失う命は一瞬ですが、残された家族は一生辛いからこそ、生きている人が明るい言葉をかけて元気に笑顔で生きなければいけないのです。

その事に気づかず、まだ、他人を責めたい自分がいるのなら、その代償は、家族の命を持って償わされると言われています。

私たちは、全員が罪人なのです。

それでも、人間を生かし続けている大きな存在が居ることに気づいたら、涙を流しながらでも、愛の言葉を発信する役目があなたにもある事に気付いて下さい。

これが、生き残った人たちの役目だと思います。

多くの亡くなった命の鎮魂を祈り、闇に落ちた多くの人の心に光を注ぐ祈りをして下さい。

お盆が近づき、霊界の扉が開いていますので、闇に落ちている人たちが増えています。

自分の思いや行動が、不浄霊に乗られている行為と気づかずに、他人を攻撃したり、怨む心がある人は、過去に自分が犯した罪を、自分の家族を通して見せつけられることになります。

そんな辛い事は無いからこそ、闇に落ちた人の心の奥底に、愛の光を送りましょう。

信じています、きっと、あなたが本当にやさしい自分を取り戻す日が来る事を・・・。

それが、今日であることを私は願いたい。

☆★☆★☆★☆★☆★☆

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！

☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆

◎地球創生活動を支える地球創世基金◎

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

2011.08.10 Wed

デトックス＆クリーニング療法

初めての人に合った時や初めての場所へ行った時など、急に体が重く感じたことはありませんか？

緊張した場面や周りに気を使い過ぎる人は、一人になった時に始めて疲れを感じてわかると思いますが、「今日は、やけに疲れたなー」と思う時ほど、注意して自分の身体のクリーニングをお勧めします。

単に、肉体的な疲れなら一晩休めばで抜けるはずですが、相手の「マイナスの思い・邪気」にやられてあなたの波動が落ちた状態が続くと、問題が残ります。

他人に見られる仕事をしている人や他人の身体を触る仕事をしている人は、特に注意して欲しいですし、接客業など相手の気持ちを感じる仕事をしている人ほど、知らないうちに病気になった人をよく見かけるのでお伝えしています。

私のように生まれ付き相手の思いを感じやすい体質の方も結構いますので、そういう人たちの苦しみもよくわかるからこそ、いくつかの改善方法と商品をご紹介しますね。

まず最初に、「マイナス想念や邪気」を感じる時の感覚は、チクッとか、ゾワゾワとか、ボワーンとした感覚で身体に感じる事が多いと思います。

中には、相手の身体を触った時に、腕や背中や首筋がゾワゾワしてきて、痛みや変な感覚が残る場合さえあります。

こういう感覚を感じる原因は、その場所や相手の「思い」をあなたの体が受け止めてしまった状態ですので、放置しておくと心や体の病気になりますので、防御方法とクリーニング法を覚えて実践して下さい。

最初は、自分一人が意識して防御できる方法です。

１、いつも明るく元気に笑顔で「大きな声」の挨拶をする。

突然、誰かに呼び止められた時や電話の第一声が、とても大事です。

暗い想念ほど、明るい人のエネルギーが苦手だという事を覚えておいて下さい。

２、どれだけ嫌な事を言われても、笑顔で「ありがとうございます」と言い続ける。

「ありがとうございます」の言霊（ことだま）の効果については、多くの本が出ていますので、ぜひ、お読み下さい。

３、朝早く起きて、日の出の光を浴びながら散歩する。

日の出の「光の効果」については、もう誰もが知っているはずですので、ぜひ、実践して下さい。

計画的に毎日、実践する事で、うつ病の改善効果があることも立証されています。

次は、自分以外の力を借りて防御・クリーニングする方法です。

１、簡単な方法としては、自分の座っている位置や方向を変える事でも身体の波動は変わります。

セッションルームや応接室の座る向きを変えるだけで、人間は見えない方位エネルギー効果によって感じ方が変わる事は、トップセールスマンたちには常識です。

寝る時や座っている方角を変えると、実は、受けるエネルギーは変わることを覚えておいて下さい。

きれいな色の服を着たり、美しい物を身に付けるだけで「色が出す波動効果」によって邪気を払う事も覚えて下さいね！

２、常にプラス思考で元気付けてくれる人の言葉を聞きに行ったり、そう言う人と話す時間を

作る。

人間の思考はひとつしか思考できませんので、良い言葉や良い思いのシャワーを浴び続ければ、身も心もクリーニングできます。その最高の治療薬は、外で元気に遊ぶ子供たちの姿を見る事です。

３、、人間より波動が高い自然界エネルギーが循環している中へ身を置く。

山の中、海辺、川のせせらぎ、たくさんの動物たちの生活を見るだけでも、自然界エネルギーに包まれて、意識も身体もクリーニングされます。

動物との触れ合い、動物へ愛情を注ぐ事で自分の身体が癒される「アニマル治療」については、いくつもの施設でその症例が実証されています。

畑で野菜を作る人が元気になったり、精神病が治った話をご存知でしょうか？

大地のエネルギーを直接、手で触る事で、人間は大地に癒される事も覚えておいて下さい。

４、自然界のエネルギー吸収で最も良い方法が、「温泉療法」。

一番早い浄化方法は、お湯とお水に5分間づつ交合に浸かる方法ですが、これを体調に合わせて一日何セット+食事療法を行う東洋医学療法は、免疫力が上がり、がんの治療効果も出ています。

５、人間より高い周波数を出しているパワーブレスレットやパワーストーンを身につける。

自然界の石から周波数が出ている事は証明されていますが、常時、身につける事でも、ある程度、「マイナス想念」を祓う力はあります。

ただし、自分の波動に合わなくなったブレスレットをしていると、逆に、運気も波動も下がりますので、時々、付け居ている状態と外した状態をチェックして、今の自分にベストに合う物を見つけて下さい。

それと、必ず、あなたの身代わりになったパワーストーンのクリーニングの処理もお忘れなく！

※お勧め商品※　あなただけのオリジナルパワーブレスレット



６、海の恵みの「あら塩」を部屋に塩盛りしたり、常時、身につける。

一般に売られている生成塩は、ほとんど効果がありませんが、波動の高い「あら塩」や「岩塩」を子袋に入れて身につけておくと、邪気やマイナス想念を受けづらくなる効果があります。

邪気を受けた時に、「あら塩」をなめると、一気に身体から抜けるのを感じるはずです。

お風呂に「あら塩」を大さじ5杯入れる「塩風呂効果」や、部屋のお掃除に使う方がいるほど、高波動の塩は、身体や身の周りをクリーニングする最高の浄化グッツなのです。

※お勧め商品※　海の恵み「天日海塩」（オーストラリア岩塩+古式生成方法）



７、受けた邪気や筋肉痛を一瞬で外す「天然高波動クリーム」を使用する。

痛みや筋肉通を改善する為に専門家に依頼し、１００％自然界にあるものだけで作ってもらったのが、「リラックスクリーム」です。スポーツ選手の筋肉痛も一瞬で改善する効果が喜ばれています。

原液の「リリースオイル」は、患部に塗ると、すぐに邪気は外れます。

※お勧め商品※リラックスクリーム＆リリースクリーム





各地に移動される方が多い時期ですが、皆様の日々の生活が少しでも楽になりますことを祈っております。

☆★☆★☆★☆★☆★☆

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！

☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆

◎地球創生活動を支える地球創世基金◎

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

2011.08.09 Tue

原爆投下・終戦記念日・お盆

一般的に、8月15日が「お盆」とされていますが、地方によって日付や意味は違います。

1. 旧暦7月15日（旧盆） - 沖縄・奄美地方など
2. 新暦7月15日（もしくは前後の土日） - 東京・横浜の旧市街地、函館、金沢など
3. 新暦8月15日（月遅れの盆。2.を主に祝う地方では旧盆とも）
4. その他（8月1日など）

本来、日本人が大切にしてきたのは季節に合った旧暦ですが、グレゴリオ歴（新暦）を明治5年に取り入れてから暦の意味も大きく変わりました。

旧暦は日本を守ってきた「母の暦」であり、新暦は新しい日本の「父の暦」と考えるなら、今年の旧暦7月15日は新暦の8月14日ですので、裏（旧暦）と表（新暦）のお盆が近い為にとても大切な年だと感じています。
第二次世界大戦も、66年前に終戦を迎えましたが、共産主義と同じ軍国主義から自由な民主主義に日本は変われましたが、それまでの日本を守る為に多くの人命が亡くなったことを思い出す時期がお盆だと思います。

第二次大戦で亡くなった日本の戦没者は、兵隊**230**万人**+**民間人**80**万人と言われていますが、その中には朝鮮や台湾の戦争犠牲者たちも含まれます。

戦争は二度と起こしてはいけない民族の争いだからこそ、親子や家族は、戦争で国を守る為に失われた命があった事を語り継ぐことも親の責任だと思います。

・1945年（昭和20年）8月6日午前08時15分
広島市原爆投下　14万人死亡

・1945年（昭和20年）8月9日午前11時02分
長崎市原爆投下　14万9千人死亡

・**1945**年**8**月**14**日：日本政府が、
ポツダム宣言の受諾を連合国各国に通告した日。

・**1945**年**8**月**15**日：玉音放送（昭和天皇による終戦の詔書の朗読放送）により、
日本の降伏が国民に公表された日。

・**1945**年9月2日：日本政府が、ポツダム宣言の履行等を定めた
降伏文書（休戦協定）に調印した日。

多くの御霊たちがこの世界に戻ってきている時期ですので、ご先祖を含めて、日本を守る為に亡くなった方たちへ敬意と感謝の祈りを捧げましょう。

「多くの命の犠牲の上に今の自由があること」を決して、忘れてはいけないと思います。

おろかなことを二度と起こさない為にも・・・

愛と歓びと調和が、一番大切だと学んだ国民だからこそ・・・

年に一度くらいは、その事を家族で話し合いましょう！

小学生の頃、母と町に買い物に出た時、８月１５日の正午にサイレンが鳴り、道行くすべての人が立ち止り、黙とうしていた大人たちの姿を見た時が、私の心に戦争の意味を問うキッカケでした。

大人たちが、その姿を見せることこそ、本当の教育だと思います。
☆★☆★☆★☆★☆★☆
☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆
◎地球創生活動を支える地球創世基金◎
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

2011.08.08 Mon

あっついですね・・・

ここ最近、札幌の最高気温も３０℃を超えていますが、クーラーの無い札幌の部屋の気温は35℃を示しています（＾＾；

人間の順応力はいつもすごいもんだと感心しますが、北海道は一年を通して最高気温と最低気温の温度差が70℃もある場所があります。

その気温差のおかげで、美味しい食べ物が出来るのも土地の魅力だと思っています。

あっつい夏も大好きですし、凍りつく冬も大好きなんですよー！

どんなことが起きても順応できる体力や気力は、失いたくないものですねー。

こういう時にいつも思う事は、先住民族アイヌの人たちはどうやって一年を過ごしていたのかってこと・・・？

たくさん知恵があったんだろうと思います。

でも、たくさん失った命も多かったのだと思います。

やっぱり、人間は大切な物を失わないと気づけないのかと思うと、ちょっと寂しい気持ちになっちゃいます。

大切なものを失う前に、気づいて行動する人たちが増えてくれるといいなー・・・。

大切な日本人の魂に眠る大切なメッセージに気づいて欲しいなあー・・・

と思いながら、ダクダクにうだってます（＾＾）

太陽さん、いつもありがとうございます！

2011.08.07 Sun

やさしさを勘違いしている人たちへ

あなたたちは、何を与えたの？

あなたが与えたものを誰かが欲しがったの？

あなたが欲しいものは、本当は何？

今、それだけでいいって言えるもの。

明日、それだけでいいって言えるもの。

あなたたちは、大切なものを見失っているよ。

たくさんたくさん望むから、たくさんたくさん与えたのに・・・

何を自分が本当に望んでいるかを、わからなくなってるのよ。

そんなあなたが求めてるやさしさって、本当は、

誰かの犠牲の上になりたっている事を知らないの？

やさしさってねー、求めたら無くなるのよ。

溶けた氷みたいに、なくなっちゃうよ。

あなたたちに必要だから、たくさんの水を分け与えたのに・・・。

お湯にしたり、氷にしたり、色々、工夫して使える知恵も与えたのに・・・。

どうして、一人で考えてるの？

やさしさはネー、たくさんの人が自分にあるものを少しだけ分けてあげることなの。

そっと、少しだけね。

たくさんあげすぎたら欲張りになるし、分けてもらう貴重さも忘れちゃうでしょ。

だからね、「やさしさは、少しだけ」、分けてあげてね。

足りない人は、器を小さくして下さい。

手の中に入るくらい小さなやさしさを受け取る器で十分なのよ。

命をもらった時のようにね・・・。



☆★☆★☆★☆★☆★☆

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！

☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆

◎地球創生活動を支える地球創世基金◎

・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551

・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

2011.08.06 Sat

今日、歩く道

朝、起きたら、今日、どこへ行くかを考えましょう。

いつもの同じ道でも、いつもと同じ会社でも、出会う人は違うし、起きる事も違うのよ。

だから、あなたが今日、どうするかを決めるの。

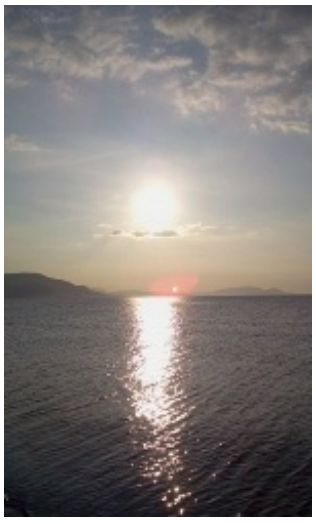
幸せいっぱいの日にするか、ちょっぴり寂しい日にするか、一人で物思いの日にするか、大勢の人と楽しくやるか、全て、あなたが決められるの。

毎日、何も変わらないって言う人ネ、あなたは変化を見逃しているのよ。

毎日毎日、ものすごい出来事が体中、家族中、誰一人変わらず起きているのに、その変化を見逃しているの。

きっと、あなたが、自分のことばかり考えているからなのかなー。

今日をどういう日にするかは、あなたが朝、決めたら決まるのよー！



2011.08.05 Fri

他人の為は、自分の為！

宇宙の話は、いずれ落ち着いた時に少しづつ話しますので、あせらずにお待ち下さいねー。

今日は、今、最も大切な事をお伝えしたいと思います。

テーマは、「他人の為にすることや、かける言葉は、全て自分の為の学びである」という話しです。

ボランティア活動でも、奉仕活動でも、地域活動でも、学校や会社や仲間の活動でも、同じですよ。

何となくわかっているつもりでも、ついつい言ってしまう

あなたの為に言っているのよ！

は、言語道断だと気づいて下さいね。

この言葉を言う人は、ただ自分にとって受け入れられない相手の行動を好き嫌いで判断して、自分を変えずに「相手に変わって欲しい！」という欲望が含まれていることに気付いていません。

でも、言ってくれた相手が嫌いな人ではない場合、一応、受け止めなければいけない雰囲気があるので、面倒ですよねー。

ワガママは受け止めてくれる人がいる限り、「自分が言っている事は正しい」と勘違いしてしまう為に、その人は変わるチャンスが与えられません。

じゃあ、「あなたの言ってることは、自分の欲望じゃないの！」と言い返すと、とんでもなく怒りますので、それだけはやめておきましょう〜。

ここで皆さんに気づいて欲しい大切な事は、誰かのこういう言葉を聞いた時に、

「次から自分が言う言葉に気を付けます！」

と宣言するだけでいいのですよ。

「相手を変える事は決してできない」と、ちゃんと学んでいる人なら、わかりますよねー！

だからこそ、きっとあの人はこれからも苦労するだろうけど、「ただ信じてあげる」だけでいいんです。

「あの人も、いつかは自分で気付いて、多くの人に歓ばれる人になる！」ということを信じてあげて下さい。

相手の落ち度をわかっていて、何も言わずにただ見守る事が出来る人は、他人の心を育てられる強い心の持ち主です。

人を育てるということは、自分が他人に迷惑をかけずに自分の足で立って生きてこそ言える言葉ですから、そういう人ほど余計な事は何も言いません。

子育てでも、「情の子育て」ではなく、「愛の子育て」を知っている人ならわかりますよねー。

直接、言わない思いを汲み取る気持ちが足りない人は、実際に自分で痛みを体験するまで気付きませんので、いつまでたっても自分の成長のチャンスを逃している人だとも言えます。

まだ10代や20代なら、知らない人から「教え」を頂けるチャンスもありますが、年をとればとるほど、家族以外の人に言いたくない事を言う人などいません。

でも面白いもので、「小言や教え」は、親や家族から言われると聞きたくないのですが、大事に思っている他人の言葉なら耳を傾けますよねー（＾＾）

30歳を過ぎた人なら、よくその事がわかるはずです。

親の言う事に逆らって、20代を好き勝手に生きた結果、どうも自分が望んだ道に進んでいないと気づいているのに、今からどうやって軌道修正していいか悩む時期が、30代からの学びなんです。

だからこそ、30代以上の全ての方にお伝えします。

本当に自分の事を考えて言ってくれる人が、身の回りに居なくなっている

ことに気づいて下さい。

それは誰のせいでもなく、あなた自身が心を閉ざして生きることを決めた事が原因なのです。

もう傷付きたくない・・・

もう苦しみたくない・・・

自分の事でも、他人の事でも同じですが、この二つの体験をした時から、あなたの心は自由を失いました。

純粋で、単純で、素直に物事を考えられる素晴らしい心に蓋をしてしまったのは、あなた自身なのですよ！

だから、一緒に変わりましょう！

みんなも、そうなんですよ！

とっても自分の扱いが下手になって、わからなくなってしまったんです。

でも自分が守りたい領域を出なければ、未来も自分も変わる事は出来ないと気付いた人は、勇気を持って新しい人の出会いを感じる地球創世ＳＮＳや各地の勉強会へ参加して下さい。

私が自信を持って言える事は、勉強会に参加している一人一人が素晴らしいという事をきっとあなたも気付くはずです。

でも、みんな同じ所からスタートしたんですよ！

だから、今からでも遅くありません！

あなたが幸せを感じて、感謝が溢れる生き方が出来るようになれば、あなたの周りの人たちも変わりますし、日本や地球の未来も変わります。

だって、私たちは「地球創世号」の乗組員だからです（＾＾！

いつでも、あなたのお越しをお待ちしています。
☆★☆★☆★☆★☆★☆
☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
↓　↓　↓　↓　↓　↓　↓　↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆
◎地球創生活動を支える地球創世基金◎
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

2011.08.04 Thu

宇宙について語り始める時期が来たようです

本日、メールを頂いた方の文章の中で「宇宙」について説明されているサイトが紹介されていました。

そのサイトを少しだけ目を通してアドバイスをしましたが、そのあとに、サイトを読み進めていて驚きました。

「鏐球王国誕生」という文字を見つけたからです。

何と読むのか調べていると、「りゅうきゅうおうこく」と読むことがわかり、驚きました。

2007年3月に、地球創生神事で久米島で行った神事のあと、地球の名前が「龍球王国」と変わったことや「宇宙の十五神」の神の名前が降りてきた事と内容が一致するからです。

詳しくは、「白龍の神導き　沖縄　宮古島・伊良部島」をお読み下さい。

これから紹介するサイトの内容については否定も肯定もしませんが、第一巻だけを読んでいても、伝えている宇宙メッセージは、子供の頃から私自身が対話していた内容と同じだということだけはお伝えしておきます。

どうぞ、その解釈や理解については、ご自分で判断して下さい。
ただ、申し上げておきますが、星の名前を出せば、それは、宇宙のカルマを紐解くことにもなりますので、ご自分の内なるカルマを想い出す経験になることもご理解下さい。

さらにもうひとつ気になる事は、この書物が1960年前後に宇宙人との対話を中心に始まっていることです。

私を含め、その前後に生まれた方たちの魂の役目にも連動する部分があると思い、ご紹介いたします。

改めて言いますが、あくまで、この地球に生まれた私たちは、過去のカルマをやり直す為ではなく、全ての人間や生命体を愛と調和のエネルギーで繋ぎ、魂本来の繋がりを使って地球を愛の星に波動を上げる目的で産まれています。

どうか、現実をしっかりと生きながら意識覚醒を進める参考にして下さい。

この内容を私が公開する意味は、私自身もこれまでの人生で対話してきた宇宙人や宇宙船との交信内容を伝えるべき時期が来たと判断しているからです。

全ての情報は、肉体と意識と魂を使って人間がするべき事があることを理解し、現実をバランス良く行動して下さい。

決して、精神世界や宗教の情報にハマるような生き方はおやめ下さい。

意識が上昇すれば、現実も変わるのが当然ですので、精神も肉体もバランスを壊さない為に、お伝えし続けている私のメッセージの意味をご理解下さい。

では、宇宙の理解を深める書物をＰＤＦでご覧下さい。

全世界のワンダラーに捧げる書　オイカイワタチ全**5**巻

編著者　　渡　邊　大　起

☆★☆★☆★☆★☆★☆
☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
↓　↓　↓　↓　↓　↓　↓　↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆
◎地球創生活動を支える地球創世基金◎
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

2011.08.02 Tue

神玉、神霊、神魂

先ほど、毎月一日の氏神様参拝の帰りぎわに神様から頂いた言葉です。

神玉（かみたま）、

神霊（かみたま）、

神魂（かみたま）、

納めよと我、申す。

※神玉…神様の意思、
※神霊…神様の思い
※神魂…神様のお役目

という意味ですので、自分が他の神様に向き合った御報告をして下さいと言う意味です。

実は先ほど、氏神様に挨拶した時に、こう言われたんです。

困りますね～、あなたが色々な所へ行って色々な事をするので、ご報告を頂かないと私たち土地を守る神々もわからないので困るのですよ～。

あら～、失礼いたしました。

昔は、こまめに報告していた時期もあったのですが、ついつい現実の忙しさに追われていて氏神様の報告がおろそかになっていたのに気づきました。

そういえば、今日、行く時に、京都の水を持っていこうかと思ったのに・・・。

そういえば、京都神事の帰りも、報告に行ったほうがいいかなと思ったのに・・・。

親の所やおばあちゃんの所へ行ったほうがいいと思う時と同じですね。

会社のコミュニケションも、「報告、連絡、相談」が重要なのと同じですね（＾＾）

あとで改めて、お水を持ってお詫びとご報告に行ってきます。

常に、足らない自分にお詫びしつつ、また、頑張りますｍ（__　？__）ｍ

☆★☆★☆★☆★☆★☆
☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
↓　↓　↓　↓　↓　↓　↓　↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆
◎地球創生活動を支える地球創世基金◎
・郵貯から郵貯は、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯は、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

2011.08.01 Mon

田舎の野菜が命を守ってくれる

先日、田舎の母が、取れたての新鮮な野菜を送ってくれました。

毎日、少しづつ、頂いています。



ミニトマト、ピーマン、きゅうり、ナス、白いのがプリンスメロン。

そして、黄色いのは「梨瓜（なしゅうり）」という野菜です。

実家が、お米の専業農家だった子供の頃、完全自給自足のだった為に、食べる野菜は全て畑で作っていましたから、学校から帰ると「おやつ」は畑の野菜でした。

この時期はキュウリとトマトが僕の「おやつ」でしたが、ある年、母が、農協で珍しい野菜があったからと、初めて作ったのが、「梨瓜」でした。

皮が薄く、表面を水で洗っただけで丸かじりできて、ほんのり甘みがある野菜ですが、僕にとっては、完全に果物でした（＾＾）

北海道は作れる果物の種類が少ないうえに、年に一度しか食べられないので、一生懸命にできる時期を待ちます。

でも、天候や何かの問題で失敗すると、その年は食べられない事もあります。

電話で思い出の「梨瓜」の話しをした後、すぐに母が送ってくれました。

農家の本当の実力は、美味しい野菜を作る為の「土を作る技術」がすごいのだと、いつも関心させられます。

北海道でも、珍しいこの野菜を作る人がいないせいか、今は、スーパーでも売っていません。

できれば、東北で被爆している子供たちにも食べさせてあげたい元気な野菜ちゃんたちです。
チェルノブイリで被爆した子供たちに、新鮮な野菜やお米を食べさせ続けたら、体内被曝の数値が消えたという実績があるくらい、新鮮な野菜は体の再生を早めます。

※ＥＭ菌などの「活性化エネルギー」の働きが、身体にとても良い働きをする事は証明済です。

食べ物も、人間の体も、遠くへ、早く移動すると、大きなエネルギーを失う事は、ご存知ですか？

色や形やビタミンやミネラルの話ではなくて、人間の生命エネルギーを維持する根幹的な「生体エネルギー」は早く、遠くへ運ぶと失うエネルギーが大きいというエネルギー科学のお話しです。
だから、やっぱり地元の農家が作った「地産地消」の食べ物が、一番、人間の体に良い働きをするんですよねー。

完熟してから、もぎ取った真っ赤なトマトを食べた事はありますか？

柔らい皮をかじると、中の汁が溢れ出るほど、みずみずしくて、体が喜ぶ野菜の甘い味がしますよー。

母上様、いつも美味しい野菜をありがとうございます。

そういえば今、「完全自給自足」を目指す人がいるようですが、僕には信じられません。

あんなに不便で、辛い時期を経験したからこそ、今があるのにね～（＾＾）
肩に力を入れずに「不完全自給自足」、つまり、便利な物を取り入れながら、上手に自然のエネルギーを循環させる生活を目指したらいいと思いますよー。

自然界から頂いた食べ物やエネルギーは、必ず、循環させてお返しするというのが基本の考え方です。

水や食べ物は、「独り占め」は当然、ダメですし、「食べ残し」も許されないのは子供でも知っています。

毎日、コンビニで捨てられるお弁当の総カロリーで、世界の反対側で毎日、死んでる子供たちは生きられることを知っていながら大人たちは捨て続けていますよね。

誰でも大人ならこの事を知っているのに、コンビニでお弁当を買うのをやめませんしねー！

だから日本は、「生産量の自給率」と「消費する自給率」の数字が違うんですよ！

まだ使える物、まだ食べられる物を、捨てまくっているのが、今の日本人なんです。

「消費者が望む事を叶えるのがビジネスだ！」と言い、そこで収入を得ている人が多いからこそ、方向転換できないんでしょ！

だったら、そんなずるい自分を横において、社会や政治家を批判するのはやめて下さい。

※子供たちが一番、嫌な大人の面が、こういう言ってる事とやってる事が違うことなんです。

それよりも、今の自分を守っている都合のいい何かを捨てる・変える決断を大人たちがしない限り、日本は生き残れなくなりますよ～。

一番大切な命について、私は、いつもこう思っています。

今日、大切な友人の子供が両親と病院の手厚い看護の元、死んだひとつの命の重さと、地球の反対側でバタバタ死んでいる子供の命の重さに違いはあるのかと？？？

「命は大切！」ってみんな言うけど、実はものすごく身勝手な価値観で考えてませんか？

自分たち家族だけ生き残ればいいなんて、思ってませんよねー？？？

私の子供の頃は、家に電話やテレビや冷蔵庫や掃除機などの電化製品は一切、ありませんでした。
当然、クーラーもありません。

でも、今から思うと、とても自然に優しい暮らしでした。

飲み水やお風呂の水は、全て地下水をポンプで汲み上げた水ですし、使ったお水は命を繋ぐ田んぼへ、そのまま流しますので、「一切、水を汚してはいけないルール」がありました。

洗剤やシャンプーという物が、家には無かった時代の話しです。
茶碗を洗う時は、薪ストーブの灰を綿で包んで磨きますが、これが洗剤よりピカピカに光るんですよ！
秋に採れた野菜（ニンジン、じゃがいも、玉ねぎ、長ネギと少々の季節野菜）は、大量に「むろ」に保管して、翌年の秋まで食べ続けるので野菜を買う為にスーパーに行くこともありません。
隣にお店はありましたが、買う物はお客さん用のお菓子とパンや駄菓子くらいです。

でも支払は現金払いじゃなくて、吉岡家専用のメモノートに、「〇月〇日、お菓子100円×1個」とエンピツで書くだけで物が買える約束を親がお願いしていました。※このノートを「通い帳」と呼んでました。
だって、米農家の収入は、年に一度しかありませんので、現金が無い家の買い物は、「信用」だけで支え合うしかないんです。
学校の給食費や父の晩酌代は、「組合勘定（くみかん）」と呼ばれる農協の専用口座から一年間、借入れして、わずかな現金をおろして使います。

組合勘定（くみかん）は、米を作る為の道具や飼料、燃料など色々な物の代金を一年間借金して、秋になったら取れたお米の代金から差し引かれ、残ったお金が翌年の生活費になります。
でも冷害で米が順調に収穫できない年などは、支払いの残りが一年間過ごせない金額な為に、ひもじさと辛抱が普通でした。

肥料や農薬が出てきたおかげで、収穫量が二倍に増え、やっと、普通の人と同じ生活ができるようなりました。

当時、使っていた劇薬の農薬は法律で禁止されたあと、中国へ流れていきました。

だから、中国の農業生産量は近年、バツグンに伸びたのです。

冬の暖房が、薪から石炭に変わった時は、うれしかったなー。

だって、ストーブの火が消えてる冬の朝は、家の中の全ての水が凍って使えませんからねー。

ストーブが消えた家の中は、マイナス１５℃くらいになっちゃうからです。

でも、自分の家が貧乏だと思った事は、一度もありません。

だって、子供って、他の家の暮らしはよくわからないからです。

「人と何かを比べる事は良くない事」だと教わっていましたし・・（＾＾）

冬の間、父は出稼ぎに出ているので、いつも家にいません。

それも当時は、普通のことでした。

いいですね、豊かで便利になって家族が一緒に暮らせるって！！

でも少しだけ、地球や自然に優しい生き方を学びませんか？

２４時間、いつでも物が買えるこんなに便利な日本ですが、地震が起きて、飲み水が無くても生き抜ける知恵と工夫を身につけておかないと、人間の進化なんて、あっという間に止まってしまいますよー。

チャレンジ精神のある方は、どうぞ、北海道でお米や野菜を作りに来て下さい。

たくさんの田んぼや畑が、作り手を待っています！

沖縄も昔は、お米が年に三回も収穫できたと教えてもらいました。

沖縄の皆さん、サトウキビの補助金目当ての生活をやめて、もう一度、お米を作りませんか？

日本人は、最後の最後に、お米とお水と野菜があれば生きていけますからねー！！！
最近、抜群に美味しくなって品切れした北海道米も一度、食べてみて下さい！



北海道と九州・沖縄が、日本の食糧基地として、一次産業比率を高める事が、どれほど日本に必要なのかを政府や自治体はもう一度、考え直しましょうね。
補助金が農業をダメにしたという意見もありますが、確かにそうですが、自給率を上げる為の戦略的な補助金の使い方を考えましょうね。

いつまでも「保護」を目的にした農業政策では、後継者がいなくなるのは時間の問題です。

豊かで明るい農業の未来を作るのは、これからチャレンジする若者たち次第だと思いますよー！
参考資料ですが、これは平成２１年度の「カロリーベースの県別自給率の予測」で、濃い緑が１５％以上ですが、それでは意味がありませんね。

１００％を超えなければ、私たち日本人の食べ物は足りないという数値だからです。



食料自給率が100%を超えている都道府県は、北海道と青森県、岩手県、秋田県、山形県のみですが、これも、3/11の東日本大地震の影響で大きく変わると思います。

ちなみに、北海道は192%と全国一の値を誇るように、今の二倍の方が住んでも大丈夫なエリアなんですよ！

自給率が５％の東京と大阪の人の食べ物は、廻りの県が作ってくれていますが、いつの時代も都は自給率が低いからこそ、流通が発達したようです。
平安京時代の京都は、何も食べ物が作れない狭い土地だからこそ、権力を使って、遠くから全て

の食べ物を運ばせていたんですよー。
今は、権力も、お金次第になっちゃったのかなー。
「お金が無くても生きていける生き方」がある事を皆さん、思い出して下さいねー！！！

☆★☆★☆★☆★☆★☆

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
↓　↓　↓　↓　↓　↓　↓　↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう☆

☆★☆★☆★☆★☆★☆

◎地球創生活動を支える地球創世基金◎

・郵貯から郵貯へお振込みは、記号　　19070　　番号　　9613551
・銀行から郵貯へお振込みは、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

2011.07.31 Sun

解脱修行コースと欲望達成コース

さて皆さんは、自分の信じた事や望みが叶わない辛い経験を乗り越える為に、ストイックな精神世界や宗教にはまり込んでいる人を見かけた事はありませんか？

こういう人たちに共通していることは、知識や言葉ではとても素晴らしい事を言うのですが、一人の人間として見た時に、「心から楽しそうに生きてない」と感じる共通点があります。

そこまでひどく無いにしても、何だかわからない不安に襲われて自虐的になったり、攻撃的な精神状態を何度も、経験している人は以外に多いと思います。

逢った瞬間に、笑顔で平静を保っている人の心の奥底のエネルギーを感じてしまう体質の為に、色々な苦労もしましたが、今は、見て見ないふりもできるようになりましたから、どうぞご安心下さい（＾＾；

心の闇の底を完全に尽き抜けた人なら良いのですが、まだ、たくさんの人が「自虐の渦」に飲み込まれて苦しんでいるのがわかるからこそ、大切な事をお伝えします。

何かの思いに囚われて苦しんでいる人の話しを聞いてみると、色々、自分なりに原因を言いますが、実は、原因だと思っている相手や出来事が問題なのではなくて、

自分自身の物事の捉え方が大きな問題

だという事に気づいていない方を多いのに驚きます。

「自分を変えずに、結果を変えるのは無理ですよ！」と何度も言い続けていますが、こういう自分が気づかない視点に気づく為に私のような仕事をしている人が増えていますが、実は、メンタル問題の根本的な解決には、次の二つの方法しかない事を覚えておいて下さい。

逃げ道や、中途半端な「癒し」を何度も求めても、同じところに戻る事に気づいた方へ伝えたいメッセージです。

自分自身を変える為にも、自分の周りの人との関係を変える為にも、自分の周りの環境を変える為にも、この二つの方法を正しく理解して実行できれば、魂のステージは必ず上がると約束できます。

まずひとつ目は、とことん自分の我欲や欲望を一切、否定して、全ての感情を捨て切る「解脱の真理　追及コース」です。

色々な宗教で、このコースを教えているところが多いと思いますが、実は、

欲を捨てたい！と望む事自体が大欲！

だと言う事に誰も気づいていません。

こういう人は、いつまでたって自分が望む「解脱の真理　追及コース」が終わらず、永遠に真理の本質からかけ離れた人生が続くと覚えておいて下さい。

自分が望まなくても、究極的に「解脱の真理　追及コース」、いえ、実は、「過去の自分と今の自分を完全に否定される体験コース」と言っていいほど辛い「ユタの三年修行」をさせられる方は、別です。

そういう人たちは、自分の意思ではやりたくないのに、守護存在が大きくのしかかってきて、大神の意思に気づくまで、毎日、トコトン現実を壊され続ける厳しい体験コースを経験します。

確かに闇も、天も、突き抜ければ、大切な事に気づく道ではありますが、突き抜けられないまま、右往左往している人を多く見てきたからこそ、お伝えしているのです。

まず知って欲しい事は、自虐的にストイックな自分を良しとしている人は、実は、言葉では良い事を言っていても、究極的に自分のことしか考えていない人だという点を自覚して下さい。

だって、そういう人の基準値は、「私と同じように自分を戒めなさい」という所に結局、到達するからです。

私もこの事に気づかず、ずいぶん、廻りの人を傷つけたと思います。

でも、この思いが「エゴ」だとは気づかないからこそ、世界中で宗教や精神世界が膨張し続けているのだと思います。

そんなことを大神が望んでいないという事に早く気づいたら、現実を「歓びの経験」で溢れさえる努力を一日でも早くして下さいね！

では、もうひとつのスペシャルコースを紹介します！

それは、自分が望む全ての欲求を達成させるという「欲望達成コース」です。

全ての欲求・欲望をですよ！

それを、全て達成して良いというコースです。

そう、欲をどんどん出しなさい！というコースなのです。

でも、誤解してはいけません。

当然、努力も、責任も必要です。

この考え方を理解する事は、とても大きな進化を皆さんが遂げるとわかっているので、ご紹介していますので、良く読んで心に落としこんで下さいね！

各地で行っている勉強会では、常に、幸せになる為の欲求実現の考え方をお話ししていますが、勉強会に参加できない方は、

これからは自分の全ての欲望を良しとして、自分の責任で全てを達成させる！

と決断して神様に宣言して下さい。

そういうあなたの宣言によって、地球のエネルギーはプラスに転換するのですよ！

この考え方は、「性善説」を正しく理解できた人ならすぐにわかる話です。

この宣言をした人は最初のステップは、「自我欲求」を達成させる為にエネルギーを使う事でしょう。

私はこうしたい、これが欲しい、ここへ行きたい、こういう体験をしてみたい、こんなファッションもしてみたい、こんな物も食べてみたい、こんな自分になってみたい・・・・etc

どうぞ、自分のお金と時間の中で、できること全てをやってみて下さい。

注）借金は、一切、禁止！

第二ステップは、「周りの人に対する欲求」を達成させたくなる事でしょう。

あの人とこうしたい、家族とうまくやりたい、嫌いな人を無くしたい、会社の中でもっといい人間関係を作りたい、たくさんの人に喜ばれる自分になりたい・・・・・etc

どうぞ、今、出来る事をすぐに始めて下さい。

キーワードは、「ごめんなさい」と「ありがとうございます」を全ての人に言う事だけです。

第三ステップは、「社会的な欲求を満足させたいという欲求」が出てきたら、そのまま素直にステップアップして行動に移して下さい。

・会社や社会の中で、自分の存在が他人に喜ばれ、そして、自分もその事を喜びに感じる自分。

・自分のしている事が大きな意味で社会貢献に繋がり、多くの人の喜びになること。

・自分が居なくなっても、永遠に歓びが続くように今、出来る事をする自分。

ここで大切な事は、結果的に社会に喜ばれる人になるかどうかは、自分を喜ばす努力をしていなければできないと言う事に気づいて欲しくお話ししています。

実に、純粋で単純な方法だからこそ、素直に決めて行動を変えた人は、必ず、大きな意識変化と共に、現実がすぐに変わることがわかるはずです。

自己犠牲は、罪です！

と先日、お伝えしたように、「苦しみの先にしか、幸せは無い」とあきらめている人は、必ず、苦しみを先に経験する人生を自分が作っている事に気づいていません。

反対に、人生は、「歓びを経験する為に与えられた肉体であり欲望だ！」と心の底から理解できた人は、自分が喜びを感じる為に、他人を喜ばすことが一番、早道であり、自分の望みを叶える最短コースだと気づくはずです。

この完全プラスな発想以外の教えは、全て、学びのトレーニング中ですので、完全な歓びを感じる時間はずっと先延ばしになってしまいます。

大神＝内在神＝自我は、あなたの中に居る事さえ気づけば、全ての人が、お互いの神の思いの写しとして現実を作って学びあっていることを気づきますよね！

だったらまず先に、自分の思い込みを正しくコントロールする必要がある事にも気づくはずです。

誰かに対しても、どの宗派の神様に対しても同じですが、あなたに都合が良い時は「神様～！」と叫ぶくせに、自分に都合が悪くなると、「この人は違う！、あの考えは違う！」と、急に、神様を悪魔にするのも、あなたですよね～（＾＾）

そんな自分勝手な都合のいい神様（人）ばかりを探しているから、本当の神様に出会わないのだということにも、早く気づいて下さいね！

どの神様（人）と仲良くなるかは、全てあなたの選択次第だからこそ、人生の経験は、全て、自分で選んで、経験している事に気づいて下さいね。

肉体を持つ私たち人間に、大神様が与えてくれた物は、「時間と選択だけ」だということに気づいたら、幸せを感じる時間を一分でも多くするように生きて下さい。

私はただ、その事を一人でも多くの方に気づいて頂きたいだけですし、未来に希望の人生が待っている事を伝えられる大人が増えて欲しいと願っています。

そういう完全プラスな意識を高め続ける人の輪が、「地球創世ＳＮＳ」に参加している人たちだと思います。

でも、参加者の誰もが、皆さんと同じ普通の人ばかりなんですよ！

霊能者や素晴らしい人が集まっている訳ではありませんので、どうぞ、ご安心下さいね（＾＾）！

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

2011.07.30 Sat

日本民族のカルマ解放　**5**　渡来人のルート

さて、ここまでの情報を読んで、色々な感情が動いたり、気分が悪くなったり、イライラの感情が出た方は、その件に関わった記憶を持つ魂だと思って下さい。

争いや葛藤の思いが出てきた方は、どうぞ、今世、何の為に生まれてきたのかを思い出す努力をして下さい。

本来、全ての日本人の魂は同じ思いを持って生まれていますが、経験した星や魂記憶が違うからこそ、誰かを問いたくなる自分が出てくるのもわかります。

しかし、過去の思いに囚われた愚かさに気づいた方は、自分の内なる愛を大きくする為に、２００７年に地球に降りた「十五神の宇宙神」の名前を読み上げて心の中の葛藤を手放して下さい。

全ての人の思いや神の思いを平準化する為に降りて下さったこの十五神は、地球上に降りた全ての神様をまとめる大きな働きをして下さっている宇宙の神様です。

神事のサニワは、実際には、このブログに載せられない個人的な守護存在を通したサニワも相当、行っていますが、あまりに守護存在のカルマが同時に出ている為にここでは載せていません。

本来、霊能者同士や神子がサニワを行う場合、守護霊の霊格の違いで物事の視点が違う言葉を言いますので、その点を考慮しながら聞きとる作業が難しいのですが、魂記憶に関わりの無い方が話しを聞いても全く意味がわからない情報に聞こえてしまいます。

しかし、実際には皆さんの後ろにいる守護存在の全ての情報を降ろせれば真実はわかりますが、同時に、過去の記憶や感情が同調して現実意識が壊れてしまう為に、私たちは生まれた時に過去の記憶を全て消してもらっているのです。

宇宙の創造主の大愛（たいあい）を信じて真実を見極める為に、いつも是々非々で取り組むようにしていますが、倫理観や概念、魂の経験が邪魔をするのも人間の常であり、自分も愚かなことをしてきていると思うからこそ、色々な方たちと魂のサニワを繰り返しています。

互いに足りない人間同士ですが、真実を明かさなければいけない時期だからこそ、ここまで多くの方たちが力を貸しあって情報を公開し合う必要があるのだと思います。

それは、同時に後ろの大きな守護存在たちが、私たちが行う神事の目的を理解しているからだと言えます。

ここまで公開した事前情報を読んだ皆さんの心の中の判断さえ、同じように守護存在の意識が、同調していることも気づいて下さいね。

だからこそ、人によってはこういう情報を人間的な感情でとらえる是々非々もありますし、人間を動かした守護神や意識体の是々非々で判断する方もいるので、神のメッセージや判断が人によって違うのです。

宇宙の記憶にまで繋がった情報がサニワの中にも出ていますが、いずれ、宇宙で繰り返された全ての事実を完全に受け止められる方たちが増えた時には、宇宙で起きた過去の情報と共に、人間が地球に産まれた宇宙レベルの情報を公開したいと思っています。

日本人の神性が目覚める為に、一番避けていた闇の中の闇に眠る最後の思いの解放の「四国神事」も急きょ、行わなければいけなくなりました。

この四国神事の目的は、「２０１８年夏　オーストラリア中央部陥没」の啓示にも出たほど、世界のひな型として連動している「四国の役割り」を果たす為の大切な神事ですが、日本に渡来した大切な血筋を復活させて天皇家の魂の再統合することが本当の目的です。

これとは別に、もうひとつ違う次元で動き始めているのが、滋賀県の琵琶湖エネルギーでしょう。

琵琶湖には、上６段、下６段の宇宙エネルギーが眠っていると言えるほど、大きな宇宙の繋がりがもともとありますが、京都神事の結界を解放した時点で一気に動き始めました。

まだ、私は直接的にこのエネルギーを動かす担当ではありませんが、滋賀県にお住まいの方たちの中には、眠った魂記憶が蘇り、覚醒が始まった人たちが多くいるはずです。

日本の土地に降りた多くの宇宙神が、いづれ一気に動き出す時期が来るからこそ、その整いの為にひとつひとつの意識次元のチャンネルを上げる為に神事を行っている事をどうぞご理解下さい。

ここで、関西に大きな影響を与えた秦氏（はたうじ）の思いについて、少し触れておきます。

歴史的には現在の日本は１万6500年前から先住民族が住んでいた言われていますが、実際は、もっと古い時代からこの日本の土地には人間が住んでいました。

しかし、海の底に沈んだ「ムー文明」の事もありますので、それ以前の出来事については違う機会にお話しする事にします。

今、皆様にご理解頂きたいことは、今から２０００年ほど前に、船で渡ってきた渡来民族がそれぞれの土地に住みついて集落を作り、その地域を束ねる権力者（豪士・豪族）として、互いに勢力争いをしていた時代がありました。

この時期の民族は、神を祀るというより、生き残りをかけてこの日本まで渡ってきた民族たちです。

そのあとさらに、船でやってきた高度文明を持った渡来民族は、武器や高度な知識を持っていた為に、大きくその土地の文明は進化しましたので、土地の人たちはその渡来民族を神様として言い伝えて、祀った歴史が各地にが残っています。

こういう渡来民族の歴史は、沖縄の歴史を調べても同様な形で残っています。

九州、四国、関東、関西の土地に住みついた民族が、また南下して何度も、沖縄の島々を訪れ、文化を伝えた歴史も各島に残っています。

中国経由で日本にやってきた秦氏について言えば、愛と調和の心で民族の和合を進める目的で動いたことが大きな勢力になった事は事実ですが、日本全体の権力を握ろうとした民族ではありません。

彼らの目的は、自分たちが守り継いだ神意思をこの地に繋ぐ事が目的だったからこそ、住む人たちが、今より少しでも生活が楽になる様に多くの文化や信仰心を広めました。

いつの時代でも、新しい文明と共に思想や信仰心が伝わると、時の権力者たちのわがままが通らなくなり都合が悪い為に、その信仰心を排除をしようと武力で制圧します。

常に、信仰心は武力によって壊され続けたからこそ、神様の名前が変わったり、神仏の争いが長く続きましたが、「大神様の大意」を持って戦った両者も、人間を救う為に行ったという神に対する信仰心が根っこにはあります。

現代の日本人の精神性に大きな影響を与えた民族の証としては、「火の神・天照大神」を持ってきた民族たちがいます。

出雲系の卑弥呼もそうですが、最初に日本へ渡った時に、神をどこに納めるかを探して移動した場所には、天の岩戸伝説や卑弥呼伝説が残っているのもうなずけると思います。

ただ、どこが正しい場所かを探すのではなく、神を納める場所を探して移動した通過点が、各地に残っていると理解して下さい。

沖縄、九州、四国と南の島を経由して関東地方に定住した「海の神」を祀る海洋民族も、山の上には「太陽神」を祀っていました。

この「海洋民族」たちも大きな神力を持っていたからこそ、色々な信仰心や神話が関東の歴史を調べると出てきますが、ある時期、同時に天の啓示を受けた人たちは、関西の地を目指したのです。

違う民族が出会い争った場所は、その土地に神話として戦いの神話が残り、神社にその記憶が眠っています。

ただ主人公は常に、自分たちに都合のいい様に書き換えているからこそ、神そのものに聞かなければ、その時代の事実はわかりません。

日本という土地に住んだ民族の神意思を繋ぎ合わせて、大きなひとつの目的を果たす為に、様々な人たちが影で動き、闇に消えていきました。

それも、大きな神意思をこの日本の地から発することが、天の宣託だったからです。

日本民族統一、日本国家の策定、そして、日本民族が祀る神の統一など・・・武力で過去、戦った人たちでさえ、互いに大神の宣託に従わなければいけなかったほど、この日の出づる国　日本

の役目が大きい事を悟ったのです。

だからこそ、全ての民族意識の統一象徴として「天皇」を天子として祀り、天照大神の火の元に集う事で、日本民族の意識は統合されて今があるのです。

様々な納得いかない思いを受け入れ続けたきた大きな神心を持つ民族だったからこそ、日本と言う国は誕生し、日本人という新しい民族がこの地に誕生したのです。

その為に、どれほど多くの無念な思いをした民族が土地に眠っているかをわかってあげて下さい。

そういう大切な事を忘れた日本人の精神性が、今の世の混乱を産んでいるからこそ、三つ目の天子の魂の繋がりを復活させる時期が来たのです。

これは、天皇家に直接関わる神事ですので公開できない事が多い神事ですが、先祖の思いを抱えて生まれた人たちが、その働きをしてくれる神事だと思って下さい。

四国神事は、その為の大切な神事なのです。

ひとつひとつの階段を上がる様に、成すべき事を成す為にも、皆さんの心の調和力が大切なのです。

世界に住んでいる日本人も、世界からこの日本に住みついた外国人も、魂は同じ目的で生まれています。

日本が、日本人が、世界を変える為に、地球上の全ての民族の精神性を引き上げる役目を担って生まれていることに気づいて下さい！

だからこそ常に、自分の神意識を上げる行動をしながら、現実バランスの調和度を上げる努力も必要なのです。

日本人一人一人が問われている事は、もうご存じのはずです！

見ない聞こえないからと言って、日本人としての役目が無い訳ではありません。

全員が、その役目を与えられて生まれているからこそ、動くべき人が動き、祈るべき人が祈り、現実を守る人が現実を守り、全ての人の集合意識を上げながら、自分の魂を磨きあげる為に、喜びや苦しみに感応する肉体を与えられている事を気づいて下さい！

全ての神事が終われば、私は全ての情報を公開します。
一切、自分の為ではなく、ただ、役目として手順を追って進めている事だけは、どうぞ、ご理解下さいますようお願いします。

神事や全国で行っている勉強会など、地球創世活動の趣旨をご理解頂けます皆様からの御支援金で支えられている活動ですので、今後ともご支援・ご理解をどうぞ宜しくお願い致します。

2011.07.29 Fri

日本民族のカルマ解放　４　隠された大量虐殺

さて、どうしてもこの事実について正しい理解をしない限り、私たちの日本人の御魂は引き上がらないようなので、私の体験と北海道の実例をあげて、日本全体で起きた実態の一部をご紹介しますので、今、自分たちが住んでいる足元の土地にも同じ様な事が起きていた事を感じたら、自分で調べてみて下さい。

私は、生まれつき霊感が強い為に、新しい土地へ足を運んだ瞬間に、その土地にいる御霊たちが一斉に思いを伝えてきますが、これは、生涯消える事が無い自分の役目だと今は、認識しているからこそ、誰かに存在をわかってもらいたい御霊たちがあなたの周りにもいる事を覚えておいて下さい。

１、中学一年生の時、夜中に夢で見た映像

「人柱（ひとばしら）」に選ばれた女の子の両親が、イヤダー、イヤダーと泣きじゃくる女の子を不憫に思い、夜中に山へ女の子供を逃がしている映像でした。

村の人は数年に一度、鉄砲水で流される木の橋を守る為に、幼い小学生くらいの女の子を一人決めて、橋の柱に縛り付けて生き埋めにして、自然の神様に命を捧げていました。

注）自然界の神様は、こんなことを望んではいません。きっと、愚かな霊媒師が、命の駆け引きをアドバイスした為に信じた風習だと思います。

村の人たちは、その両親の家に詰めより、「お前たちは我が子可愛さに子供を逃がしたが、村の民が餓えてみんな死んでもいいのか！」と両親を問い詰めてた結果、山を捜索し、最後に、女の子を見つけて翌朝、両親の目の前で女の子を「人柱」にして死なせてしまいました。

２、北海道の知人に相談された実話

北海道の旭川の上に、朱鞠内湖（しゅまりないこ）という人工の湖がありますが、この湖を作る際に、多くの犠牲者が居た事は話に聞いていました。

相談者は、深刻な顔をしてこう言いました。

「仕事で朱鞠内湖の横を通るたびに、どうも背筋が冷たくなる事が多かったんですが、気のせいだと思っていたら、押し入れの中から一冊の本が出てきたんです。」

それは、自分のおじさんにあたる人が出した本なのですが、内容は、朱鞠内湖の工事をしいていたタコ部屋のＮＯ.２をしていた為に、日々の恐ろしい強制労働で多くの人を見殺しにした事実を残す為に自費で本にしたものでした。

内容は、第三国人（朝鮮・台湾・中国）を強制労働でタダ同然にこき使い、終戦後は生き埋めにした事などが書かれています。

ただ救われるは、このおじさんは、命令で殺した全員の名前と生まれた国の住所を書き残していた為に、終戦後、その骨を拾い上げて一人一人の家族に逢いに行き、「こういう状況でお宅の息子さんは命を失いました。本当に、申し訳ありません。」と一人一人の家族にお詫びに回ったそうです。

今、この本を見つけた自分に何ができるかを相談されたので、一人で出来る御霊鎮魂の方法を教えて、朱鞠内湖の湖で祈って下さいと教えました。

３、北海道神事で見せられた映像

北海道を開拓する際に、原野の樹を切り、山奥の山肌を削って道路を作ったり、山奥の石炭を掘る為の鉄道を引いたり、山奥にダムを作ったり、橋や危険な場所の工事を誰がしていたと思いますか？

全て、第三国人（朝鮮人・中国人・台湾人）と、北海道に送られた受刑者と、アイヌの人たちが犠牲になって作ったものです。

屯田兵たちは、こういう作業は一切していない事も覚えておいて下さい。

２００３年から北海道で神事を始めた頃、人間として生まれた土地の事を知らないではすませないと思い、アイヌを含め、色々な人に会ったり資料館へ行って歴史を調べましたが、本当の事はなかなかわからない事がわかりました。

北海道で一緒に神事に協力してくれた仲間たちとは、あちこちで見つけた死体が山になった場所の御霊鎮魂を何度も、一緒に行いました。

御霊の数があまりに多くて祈りだけでは上げられない場合は、特別な方法で天上界にラインを作って御霊を上げてきました。

これまでそういう事実をあまり公開しなかったのも、皆さんが受け止められるかどうかが不安だったからですが、事実として、たくさんの死体が道の両側に捨てられて積まれた場所を見つけています。

湖には、沈められた死体や御霊がたくさんいますし、橋を架ける工事をした時に亡くなった方たちもたくさんいます。

私たち霊能者は、いつも、そういう場所に近づくと身体が痛くなり、苦しみを訴える御霊の声を聞く役目をさせられるのですが、その思いをどうすればいいのかをわからない事が一番、辛い時期でした。

でも、「感謝と鎮魂の祈り」をすることで、御霊たちは上がる事がわかってからは、いつも自分でできる範囲で祈りを行ってきました。

一緒に神事に参加した仲間たちは、何度もそういうシーンを見ていますので、いつも一緒に真剣な祈りをしてくれます。

祈りの本当の意味は、私たちの願いを叶えて欲しい為ではなく、思いを伝えられない人たちがいたおかげで、生かされている事に感謝する事が祈りの基本だと私は思います。

生まれた土地に感謝する重要性や、現在、住んでいる土地神に感謝して下さいと言い続けている本当の理由は、この隠された御霊たちの思いを知らなかったとしても、感謝する必要が私たちにはあるからです。

御霊鎮魂の方法は色々ありますが、霊能力の無いお坊さんや神主を呼んでお経や祝詞を唱えても効果はありません。

一番効果があるの祈りは、ただ無心に亡くなった方たちの苦しい悲痛な思いを受け止めて、ただ純粋に自分自身が光の柱になって天に上がる為のお手伝いをするだけなのです。

日本全国を回るようになると、沖縄はつい数十年前まで土葬だった為に、御霊の扱いをとても大切にしていますし、アイヌ民族も同様に、祈り場所のほとんどが御霊のいる場所だと思った方がいい事を学びました。

ご先祖を含めた御霊たちは、思いを理解してくれる人たちの祈りの力で守られたり、力を貸してくれることを知っているからこそ、沖縄では今も先祖に関する祈りの風習を大切に続けています。

※御霊上げを目的に行った北海道神事の一部

霊峰　恵山神事（函館）2007.9.6

聖地　御霊上げ　2008.5.8

有珠洞爺・善光寺・地蔵堂・亮昌寺神事　2008.6.21

1000ｋｍ神事　2008.8.23

奥尻島神事　2008.9.23

夕張神事のご報告　2009.5.15

４、民族が集まった所には、必ず、隠された多くの犠牲者がいる

日本全国で、古い時代から人が集まった場所には、必ず同じように権力を使って、色々な人たちを大量に殺した事実を隠した場所がたくさんありますが、その事実は教科書にも載りませんし、老人から話を聞く機会が減った為に、言い伝えさえ闇に消えています。

でも実際に、御霊たちがその場所から居なくなったわけではありません。

私が近づかない様にしている場所は全国にもたくさんありますが、その場所の御霊をどうするかも地元の人の問題だと言い続けてきました。

しかし、日本と言う国を良き国にする為には、どうしてもその御霊の思いを土地の皆さんも理解する必要があるようです。

関西全域は、特に多くの民族が入って争った土地だからこそ、多くの問題が残っている場所もありますが、非差別問題がある場所全てに、同じような事が起きたと思って下さい。

関西から関東まで続く東海道五十三次の道の両側も、ほとんど「死のロード」と言っていいほど、たくさんの人が亡くなっていることを知っているからこそ、毎月毎月、新幹線でその道を移動しながら思いを一つにする為に祈っています。

歴史を調べればわかりますが、関西全域で、排他的扱いを受けた人たちは滋賀県に追いやられましたので、琵琶湖には天災も人災も合わせてとても多くの御霊が沈んでいます。

良い家庭に生まれて、きれいな部分しか見ないで育った人もいるかもしれませんが、この日本を作る為に、影で「人柱」になった御霊たちがどれほど多くいるかを一度は調べてみて下さい。

その「人柱」になった御霊は、生まれ変わって現在に生きていますし、殺した方の御霊も、現在、この時代に転生しています。

なぜ、それほど多くのカルマを背負った御霊が生まれ変わっているのかを考えると、私たちは、１０００年単位の大きな次元上昇期のエネルギーを使って、過去のカルマを一掃する目的で生まれているからなのです。

神事を行うにあたって常に、その土地の人に話を聞く理由も、その人の後ろにいる言葉を話せない存在たちが言いたい事があることを知っているからです。

どうか皆さん、あなたの住む土地で、犠牲になって亡くなった人がいる事を知らないではすまされない時代だと気づいたら、あなた自身が守りたいと思う土地の神々や先祖に手を合わせて、こう祈って下さい。

私たちは、多くの犠牲となった人たちの石杖の上に生かされている人間です。

だからこそ、その命を無駄にしないように、生きている限り、多くの歓びを分かち合う生き方を努力いたします。

そして、この星を必ず、歓びの星に変えてみせます！

どんな状況で死んだ御霊たちも、私たちを苦しめようとしている御霊はひとつもいません。

ただ、わかってもらえていない事が悔しくて、その場に思いを残して居座っているからこそ、「生まれ」の霊能者たちは、その声を聞き届ける役目として生まれています。

人間はいつか必ず死にますが、誰かの犠牲になった人たちの思いは特別に強いからこそ、生きてくれた事に感謝する祈りを捧げる必要があるのです。

沼や湖は、水の流れが遅い為に御霊たちが集まりやすい場所だからこそ、夜に行く事だけはおやめ下さい。

そして、夜の海や、お盆を過ぎたあとの海も同じように、海の底へ引っ張られる事は言い伝えられているはずです。

だからこそ皆さんは、昼間に、塩、水、お酒を持って、亡くなった全ての人たちに「感謝の祈り」を捧げて下さい。

川や海で亡くなった御霊は、水の流れと共に、天に転生しやすいので、それほど気にしなくてもいいですが、海難事故で亡くなった方たちの御霊鎮魂は、毎年、行う必要があります。

年に一度、全ての霊界の扉が開くお盆の時に、先祖だけではなく、全ての亡くなった御霊たちの事を思って「感謝祈り」を行って、登れない御霊たちを天上界へ登らせてあげて下さい。

純粋な、そして、一生懸命なあなたの心の祈りなら、どんな言葉でも通じますよ。
生きてくれて、ありがとうございます。
生かしてくれて、ありがとうございます。

何度も何度も、唱えてみて下さい。
あなたの体を通して、あなた自身の苦しい思いも、天地の繋がりを使って御霊たちが上がっていきます。

私たちは何度も何度も、魂転生して生まれ変わって地球に来たからこそ、色々な思いを持ってこの世に生まれています。

だからこそ、亡くなった人たちや犠牲になった人たちの代わりに生きている事を理解できたら、誰かと戦うのではなく、「和合の知恵」を出し合わなければいけないのです。

「犠牲になった御霊たちに応援してもらえる生き方」を私たちはしなければいけないのです。

きっと、私たちも死んだあとは、同じ思いを伝える御霊になっているのでしょうね（＾＾）！

その為に、今日を必死に生きることです。

今、ご縁のある人たちと力を合わせて知恵を出しながら互いの人生を、そして、魂の役目を果たす為に生まれてきたことを想い出して下さい！

過去の思いに囚われない生き方をする為にも、祈りは全ての魂の根幹に繋がるエネルギー源なのです。

2011.07.28 Thu

日本民族のカルマ解放　３　京都の北斗七星結界

ここまで公開した情報以外に関西勉強会に参加した人たちの話しの中で、点と点を結び付ける重要な話しもたくさん出ましたが、一切、他言禁止で行った京都神事は、私たちの思いが神仏に伝わっていることを京都に入る朝の飛行機の中のメッセージでわかりました。

だからこそ私は、一切、五芒星や六芒星の結界について、自分から調べない様にしていました。

関西神事の目的は、日本に降ろした天皇の北斗七星神事のエネルギーを正しく整えて、次の次元上昇（エネルギーアップ）に備える事が私の役目だからです。

同時に、過去に行った裏の裏の結界を公開する意味は、過去の人間が行った結界やカルマに囚われない為と、もうひとつは、公開することで結界自体の意味やエネルギーが変わる事を知っているからです。

これは、あなたがずっと心の奥底に隠し持っている思いを誰かに話せば軽くなるのと同じですし、その情報を全ての人に公開してしまえば、誰の物でもなくなるからこそ、同じ思いをこれからする人たちの「いしづえ」にもなるという意味です。

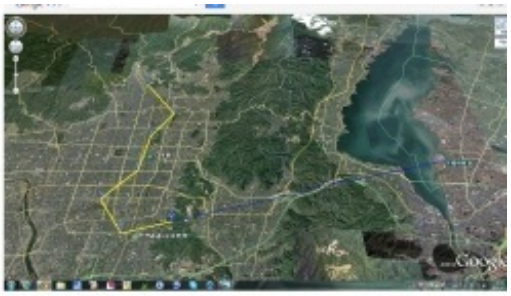
秘密にしている情報やエネルギーは、裏にある間しか働きませんが、表に（情報公開）する事で、裏の役目も表の意味も変わるという点をご理解下さい。

ましてや地球創世神事は、誰の為でもなく、日本人全員が新しい目覚めを迎えることで、地球人類が新しいステージへ目覚める為の大切な鍵だと知っているからこそ、これまでの神事情報も全てを公開していることをご理解下さい。

では、本題に入りましょう。

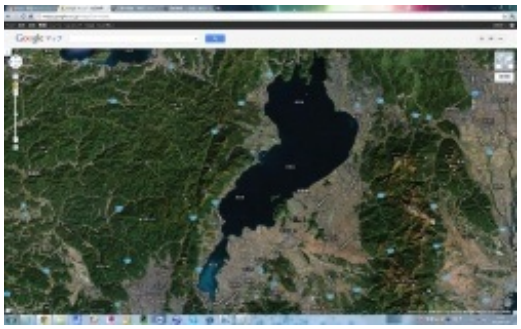
まず京都に組まれた「北斗七星結界は、表と裏の二つ」が組まれていることに驚きました。

天から光のエネルギーを降ろす「表の北斗七星」は、次の図になります。



問題は、「北斗七星」にエネルギーを与えている「北極星」の位置ですが、どこを「北極星」にしているかと言うと、滋賀県琵琶湖の矢橋帰帆島あたりでした。

この島は、人工の島ですが、この位置自体がとても重要な意味を持っています。



琵琶湖全体をよく見ると、龍が下を向いている形になっているのがわかると思いますが、この「北極星」の位置は、龍が最も大切している「玉」の場所になります。

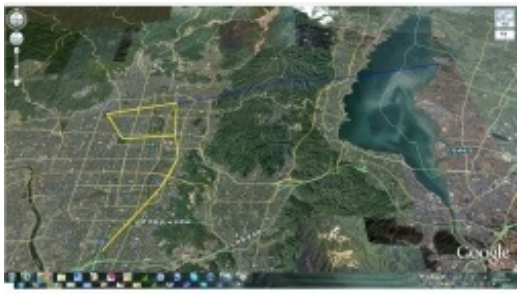
龍の玉の意味は、龍を導く大神の意思とも言われ、全てのエネルギーの根幹とも言われています。

この場所にした意味を良くとれば、琵琶湖の龍の玉からエネルギーを頂いて、京都を安定させる為に創ったと言えますが、実は、そうではありません。

真実は、京都や関西周辺に入った渡来民族を琵琶湖に追いやったからこそ、その隠したい情報を封印する為に「龍の玉＝御霊」を抑えつけて、さらに、龍の自然界エネルギーを使って京都を守ると言う強力な結界の組み方をしているのです。

琵琶湖も京都も、同時に色々な思いを一気に押さえつける最大の結界の組み方をしています。

さらに、闇の光を繋ぐ目的で作られた「裏の北斗七星結界」の図は、こうなります。



「ひしゃく」の方向は同じ向きを向いて上下逆になっていますが、裏の北斗七星の場合は、北極星の位置の取り方も逆なのです。

このラインをたどって行くと・・・琵琶湖の鳥丸半島あたりになります。

ここも人工の島ですが、これは琵琶湖の龍全体からみると、龍の首を抑えつけた形になります。

わかりますか？

琵琶湖の龍の力を完全に抑え込む為に、首根っこを押さえつけて、命の玉さえ、押さえつけた最強の結界の組み方なのです。

あまりに高度な組み方をしているのには、驚きました。

この結界を組んだ方は、相当な知恵者であり、たぶん、色々な意味で組む必要があったのだと思いますが、もう、その時期ではありません。

だって、京都に天皇（天子・天帝）がいないのですから・・・。

こういう結界を組まれてしまうと、関西全ての生命エネルギーとも言える琵琶湖の龍が動けるはずがありません。

だから、この結界がわかった段階で、琵琶湖の龍も解放しました。

関西全域を、そして、本来の宇宙のエネルギーを世界へ繋ぐ為に働いて下さいと！

これから琵琶湖の龍が、どう働くかだけは教えておきますね。

平面に固定されている龍を解放した事で、三次元的に、立体的に動けるようになったという意味です。

天地創造に大きな力を発揮した龍は、世界中で大切に祀られていますが、ただ自然界をまとめるだけの役目ではなく、本来は、宇宙の守護神として地球に降りている重要な役目を持った存在なのです。

ひとつ、改めてお伝えしますが、

私はこの京都の裏表の北斗七星結界を壊したのではありません。

全てのエネルギーを解放しただけなのです。

だからこそ、今も天啓を受け取る為の北斗七星エネルギーは京都に繋がっていますが、天地の天啓を受け取るべき天皇が京都にいない事が問題なのです。

だから、時期が来たら、関東の天皇の守護天を一度、京都に納めます。

完全に、京都で大きな天啓の繋がりを復活させてから、改めて、日本に東の光として働く為に、関東の皇居へ戻す神事も行います。

今でも京都の方たちは、天皇は関東に訪問に行ったままだけれども、遷都したのではなく、いづれ、戻ってくると信じている方たちがたくさんいます。

その為にも、必要な影の神事があることを覚えておいて下さい。

この神事は一切、誰にもご迷惑をかけない様にひっそりと行う予定でいます。

本来、天子である天皇は、私たちに大神の宣託を降ろし繋ぐ為の大切な人だからこそ、あるべき位置に繋ぎ直す必要があるという事を、どうぞご理解下さい。

それと、北斗七星の場所が気になっている方がいると思いますが、場所に囚われると、また、カルマに引きづり込まれるからこそ、必要な人たちには伝えたので、今後は公開しません。

さあ、これで全ての準備が整いました。

あとは、天皇家の根幹的カルマを解放して、後ろでバタついている思いを整える神事が必要です。

その準備も、進めています。
2011.07.27 Wed

日本民族のカルマ解放　２　神道と陰陽道

（事前情報７） 吉野宮会盟より
天武天皇代、679年の5月 天武天皇 皇后　および 草壁王子 大津王子 川嶋王子　おさかべ王子 しき王子、 つまり、当時の皇室関係者が全員吉野宮に集まり「ある 命をかけた誓約」を行った。
天武天皇が 「わたしは、 今日 おまえたちと共に ここで 誓いして、 千年の後までも無事であるようにしたい。 いかがかなー」と云う。
王子たちは 「おっしゃるとうりです」と答える。 そして、 まず草壁王子が 天皇の前に進み 「あること」を誓うのである。そして 云う。
「神々も天皇もご覧ください。 われわれ兄弟は全部で14人。 それぞれ腹違いですが、共に天皇で仰せにしたがい一致協力して この誓約に背くことは決していたしません。 もし今後、 この誓約を破ったなら 命がなくなり子孫が絶えるでしょう。このことを 忘れないように、 また 失敗しないようにしましょう」

その後、あとの5人も同様に誓い、皇后は 「わたしの男の子たちは腹違いで生まれた。 しかし、今 ひとりの母から生まれたように慈しむ」と云って 6人の王子を抱いた。

天皇も 「もし私がこの誓いを破ったら、たちまち私の身を滅ぼす」と誓い、 皇后も同様のことを誓った。

吉野宮の会盟を皇位争奪戦が天皇死後に起こらぬようにした話だと云うのだが、なら何故、天皇自身が誓約しているのか？

天武天皇は 歴史書の作成を発布した。それが後の古事記と日本書紀で、天武天皇の死後20年を経て完成した。
この時代の権力者 藤原氏は、朝廷の藩屏として奈良時代以降 千年以上もの間 政権を握っていた。

その最初にあったのが、藤原不比等の歴史改ざんだった。

長期に渡って藤原氏の繁栄を支えたものが裏神道であり、陰陽道だった。

記紀改ざんの目的は、女帝の正当化で権力の維持だったかもしれない。

その時、この複雑巧妙な計画をたてたのは 裏神道の陰陽師ではないか？
記紀の完成とともに全国の神社へ圧力をかけ、祭神を変更させたのは、裏神道の総師だろうと推測できる。藤原不比等は、 表から見える実行者に過ぎない。
この成功で彼らは千年以上もの間にわたり、誰にも気づかれずに時の権力の中にある。

この配下として使われたのが、全国の秦氏の支族と呼ばれる人たちだったのではないか？

秦氏は、草創期の日本にやって来た。

秦河勝以降、平野の神社組織の構築に勤める一方、山上の磐座を管理維持している。

ところが 950年ごろを境として歴史の表から姿を消す。

山上に残った民は「サンカ」などと呼ば賊民扱いされている。
つまり、950年ごろに彼らの目的が全て終わったのではないか？

裏神道に隠れた陰陽道組織が完成した時、山上にいた彼らの配下はそのまま捨て去られのではないか？

その後、彼らの子孫は賊民に貶められ、一般人と交わりを禁じ、事実の伝承を断ち切った巧妙な計画だった。
記紀の完成後には、古事記の編集者 稗田阿礼が何者かの手にかかって殺された。

歴史の完成後に殺されたというからには、古事記に関係することではないか？
では、太安万呂はなぜ殺されなかったか？

答えはひとつ、 殺す側の人間だった。
天武天皇の「あること」、これらの改ざんだったのではないか？
天武天皇は、占い 天文・ 時・ 暦の編集を担う陰陽寮を作っている。
この時の改ざんの結果として現れたのは、神社のユダヤ化。

この百年後の平安京が、エル（都） シャローム（平安）、つまり、エルサレムで ユダヤが潜んでいる。
裏神道は陰陽道で、 五芒星と六芒星をあわせて 11で「生命の樹」になる。

これは、ユダヤ教神秘主義のカッバーラの中心。

五芒星と六芒星が統合されるとはなにか？

それは、誰もが知っている カゴメの唄。

後からやって来たユダヤ＝亀＝オオザケの民＝ユダヤの民＝天照国照彦＝神武天皇＝六芒星＝男神。

最初にやって来たユダヤ＝鶴＝オオナムチ＝五芒星＝女神。

四国の剣山で出会い、大和の流れになっていった。
また、裏陰陽道を迦波羅（カッバーラ）と言い、 カッバーラの使い手を漢波羅（カバラ）という。

キリストの世界のカッバーラと裏陰陽道の迦波羅とは同じものなので、日本神道ではカッバーラが根付いている。

神道にも表と裏があり、神社の総本山は伊勢神宮だが、 これは、表神道の頂点で、裏神道の頂点は 京都の賀茂神社である。

賀茂は、鴨で鳥なんだ。

神道祭祀に係わる氏族は、 何らしかの形でシンボルとして「鳥」と係わる。

鳥は天と地を行き来できる存在であり、 神と人との間を取り持つ象徴として意義があるとされているのだ。

この表と裏の伊勢神宮と賀茂神社は、表裏一体の関係にある。

神道界の総元締め的な存在が賀茂神社なのだ。

天皇家の最も重要な儀式である大じょう祭を主催し、その全てを取り仕切るのは宮内庁でも伊勢神宮でもなく 、京都の賀茂神社。

それも儀式の一切を執り行うのは 下鴨神社なのである。

（事前調査　８）　吉備真備

京都の貴船神社の所に、こんなことが書いてありました。

社伝によると、第18代反正天皇の御世、黄船に召された神が浪速の津に寄り、「吾は皇母玉依姫（神武天皇の母）なり。

恒に雨風を司り以って国を潤し土を養ふ。

又、庶民の諸願には福運を蒙らしむ。

よって吾が船の止まる処に祠を造るべし。」と宣して船をすゝめられた。

このことが上聞に達すると、天皇は木菟臣に蜑女を副えて随従を命ぜられた。

その追い付いた処が蜑女崎（今日の尼崎）といわれる。

船は、尚も海を進んでから菟道川に入り、ついで鴨川に至り、いよいよ鞍馬川と貴船川の合流点に達したが、こゝで伴神である梶取明神が梶を取って（貴船口に梶取社として祀る）貴船川を溯り、遂に今の奥宮の地に達した処、清水の湧き出づる霊境吹井を認めて、姫神・伴神こゝに目出度く上陸せられた。

そして、そこに一宇の祠を営み水神を奉齋し、黄船の宮と崇めることになったと云う。

その船は人目を忌みて石をもって包まれ、社側に船形石として千古の謎を秘めつつ今に伝う。

古来航海や旅行の安全を願う信仰が厚く、貴船祭には、子供達が学業進達・無病息災を祈ってこの回りを駆け巡る「お千度まいり」が行われる。
古来日本人は、川上への憧れがあった。「澄（すむ）」という。

字は川を登ると書くように、川上は清浄な場所であり、モノを生み出す神秘の処でもあった。

それは、水を飲む時には源を思えと云われるように、もとの心を大切にする、報恩反始の精神につながっていく。

貴船神社の御創建に関わるこの伝説も、このような遡源思想が根底にあり、万物の根源である、水に対する信仰と相まって貴船信仰として全国に広がっていったのであろう。

吉備彦神社。吉備真備
http://www.norichan.jp/jinja/benkyou/kibihiko.htm
http://ameblo.jp/koto-sanpo/entry-10549094947.html

(事前資料９）

これからご紹介させていただきますのは、彗星探索家木内鶴彦氏の知り合いの、枚方市在住の廣瀬雅夫さんという方が、大倭神宮（大倭教）の月間冊子の中に載せられたられた記事（抜粋）です。
枚方市、交野市、寝屋川市のある大阪府北河内地区はその昔、交野が原と呼ばれていました。
『私は天野川と機物神社の位置関係から逆算して、交野天神社が円形星図の中心点（北極点）であると推察しました。

遠い昔、交野天神社の位置を中心点に定め、そこから織姫星（こと座のベガ）の位置を性格に測った誰かがいたのです。そこに、織物神社が建てられたんです。（木内氏）』
円形星図というのはキトラ古墳で発見された、北極点（星）を中心に描かれた星図のことで、また古代より北極星は位置が変わらない点の中心という事で時の権力者のシンボル的存在だったようです。
全てが交わる野（場所）＝中心点として交野が原が選ばれたのでしょうか。位置的には、日本列島を龍の形として見た時、子宮にあたる琵琶湖と男根にあたる淡路島そして産道にあたる淀川の中間に位置し、伊勢、丹後、紀伊半島も含めた近畿の真ん中に位置しています。

いずれにしても現代のような測量技術を持たないであろう古代人が、天体を使った高度な測量技術を持っていた事になります。枚方（ひらかた）は何かを作るひな型だったのでは・・・。
木内氏が算出した、交野天神社、織物神社、天野川の位置関係は、西暦５３５年に該当するそうです。
翌年、偶然本屋で「西暦５３５年の大噴火（文藝春秋刊）」という新刊本を見つけ読んだところ、世界的にこの年に政変劇などが起こっているため、火山の大噴火か隕石の落下などがあったのではないか、という内容でした。

この頃の日本は仏教が伝来（５３８年）し、百済など大陸とつながりがあったのではないかとされる越の国（福井県）出身の継体天皇の時代（５０７～５３１）でもあります。
天野川は、生駒山系を水源とし、奈良県をかすめ母なる川、淀川に至る一級河川です。山から流れてきた豊かな土（砂）により農作物がよく育つという意味で「甘い川」と呼ばれていたものが転訛したともいわれています。
交野市の星田妙見宮には星が降ってきた伝説があり、私は隕石の落下が世界的にあり、新しい

技術・文明をもった指導者が必要になったのではないかと推測しています。
日本における七夕伝説発祥の地といわれ、国道１号線が交わる天の川交差点・カササギ橋・天津橋・羽衣橋といった七夕を連想する名前の橋がいっぱいあります。
交野市倉治に、織姫「天棚機比売大神（あまのたなばたひめのおおかみ）」を祀る機物神社があり、境内にある遙拝所からは交野が原のご神体である交野山（こうのさん）を望めます。

同じ境内に「タラヨウ」という木があり、この木の葉っぱは文字が簡単に書け、七夕の短冊となります。
弘法大使空海が交野山の麓にある獅子窟寺の洞窟に入り秘法を唱えたところ、「星の森」「光林寺」「星田妙見宮」の八丁三所に星（北斗七星）が降ったという伝説があります。今でも星田という地名と獅子窟寺があり、そこに隕石がおちたのではないかと木内氏は推測しています。
隕石には地球上にはない純度の高隕鉄が含まれているため、時の権力者はより強力な刃などの武器を作っていたのかもしれません。
交野天神社は延暦６年（７８７年）桓武天皇が御父の光仁天皇をお祀りされたところです。
桓武天皇は奈良の都から長岡京へ遷都します。そして道教に則り、冬至に点帝（北極星）を祀る「天壇」を設けました。今でも枚方市には「中宮」という地名が残っています。
枚方市には大阪府内で２つしかない特別史跡「百済寺跡」や日本に漢字伝えた王仁（わに）博士など、百済ととても縁の深い場所なのです。
古墳時代につくられた三角縁神獣鏡は枚方の万年時山古墳からも出土されていますが、視点を変えて見てみると丸い
取っ手と規則正しい角度とも見えるデザインは、測量のための道具ではないかと思えてきます。
もしかしたら古代の知識人はこの鏡と鏡伝池を使って太陽光線を反射させ、交野が原で壮大な測量をしていたのではないでしょうか。
都を作るためにどこかに中心点を設ける必要があり、交野市が原はひな形として選ばれ、その後この技術を使って古代の都は作られていたのかもしれません。
各星座に該当する地点と現在地

天の川＝天野川

北極星＝交野神社（継体天皇樟葉宮跡）

織姫星（ベガ）＝機物神社）、

デネブ＝山の上天堂遺跡付近（マンション内の公園）

彦星（アルタイル）＝石の宝殿古墳付近

北極点＝樟葉駅近くの楠のご神木

古代の鏡を使って測量をしたとる場所＝和気神社～鏡伝地

（事前情報１０）　播磨と陰陽師

http://douman.fc2web.com/harima1/harima-onmyouji5@.htm
http://www.aurora.dti.ne.jp/~atorasu/p05/essey202.html
http://www.kougabu.com/gallery/itou/ascetic/bikuni.html

この順番でとどめが、秦氏まででてきました。広峯神社が気になります。

（事前資料１１）　神鍋高原

比嘉 吉丸さんの 祈りの和blog今年2月10日の 昨年から今年にかけての啓示とビジョンの中でイオン アルゲインさんが報告をした長文の中で　突然啓示を受けて神鍋に行く件がありました。

この神鍋に行った際に、ここの神様が私達夫婦に対し「ここに来るのが遅い」と最初に一喝、お叱りを受け、そして「わしじゃ、わしじゃ、わしが、このヤマトの国、日本列島、北から南まで創ったのは、わしじゃ」と日本の国を創った神様が鎮座されている場所だと確信しましたので、播磨国がこの神様をお守りしている人たちが集まった場所であると思います。

この場所には 7つの大小の火山があり、その神々様に聞きに行ったり報告に行ったりしているとのことです。なので、神鍋高原まで行って、大小の火山を見て感じてのご神事。山自体がご神体のような気がします。

（事前情報１２）吉岡メッセージ

さてさて、今回の情報でハッキリした事がありますのでご報告します。
それは、Ｏさんの魂にある記憶は、六芒星からの記憶なので、特にその件に関わる事に興味をそそられ、情報が入ってきています。

Ｎさんも同様に、六芒星の巫女として働かされた記憶がありますね。
今回、飛鳥・滋賀神事に入らない方たちはハッキリ五芒星の記憶に引っ張られている方だとわかりました。
自分ではその意識は無いと思いますが、感情も、人に対する思いも、実は、この部分から影響を受けています。
人間の感情全てが、過去のカルマに引きづられている事をよく覚えておいて下さい。
そして、もうこれ以上、情報を追わなくても結構ですよ。

必要な人が必要な事をする為に、今の時期に出会いが設定されているからです。
私は、一切、戦わずに過去全ての思いを地球で統合する役目として生まれています。

だからこそ、あとは神事の日までご自分の守護存在と対話して心を穏やかに過ごして下さいね。
神事に参加する方も、しない方にも関西神事の情報をシェアしている意味は、新しい調和統合を関西から産みだす事が目的だからこそ、一切、戦いのエネルギーを出さずに心穏やかにお過ごし下さい。
人間が集まれば必ず、感情や思いの違いによって相手の「思い」を掴みがちで、心の裏表の思いも交錯しますが、それはとても愚かな事ですし、カルマそのものだと学んで下さいね。
私はこれまで出会った全ての皆様の魂の覚醒の為と、過去のカルマを一掃する為に神事を行っています。
自分のカルマは自分で越えられないからこそ、出会っている全ての人が「魂の仲間」だと信じて下さいね。
明確に皆さん一人一人の過去が見えてきましたので、あとはご自分の魂と対話だけですよ～。

神事に参加する方は、目いっぱい全員のカルマを解消する為に頑張りましょうね！
神事に参加できない方も、見守ってくれるエネルギーをいつも感じています。

全員きっと、神事のあとの人生が大きく変わると思いますよ！

ここまでの思いを受けて行った神事が、次の神事です。

・兵庫県　広峯神社・陰陽師の里・神鍋　2011.5.11

・大阪　陰陽師結界と土地に住んだ人の思い　2011.6.14

・京都神事　一日目

・京都神事　二日目

・京都神事　三日目（七夕）

・京都神事　７月８日（最終日）

・京都神事を終えたメッセージ

2011.07.26 Tue

日本民族のカルマ解放　１　渡来民族とは？

まず前提として、これからシリーズでお伝えする「日本民族のカルマ解放」の歴史調査の内容を読むと、あなたが生まれた土地や住む土地によって「違う！」と感じる方がいるはずです。

それは、皆さんが生まれた土地の先人や守護存在が「違う！」とあなたに感じさせるからですが、これからシリーズでお伝えする内容は、本州、特に関西方面までやってきた渡来民族たちの最後の思いを和合する目的でお伝えしますので、その途中に住んだ場所の思いとは変わっている事をご理解下さい。

もし、あなたの中で何か違うと感じた部分があるなら、それは自分の生まれた（住む）土地に残っている思いであり、実はそれが、土地のカルマになっている事にも気づいて下さい。

なぜ、同じ民族の思いが土地によって違うかというと、日本にやってきた全ての渡来民族は、最終的に、天の宣託を受けて「関西の地に神を治めよ」と言われて移動しましたが、移動途中で住み着いた土地には、それまでの思いと祀った神様が残っているからです。

関西を目指した全ての民族は最終的に、「天皇」という存在を天子と決めて、民族の和合の象徴として日本民族が祀る神を「天照大神」と決めました。

しかし、こういう大切な物事が決まる時ほど裏には様々な思いがあり、「無念ではあるが、大神の本位ならば」と、グッとこらえた民族の思いが、それぞれの土地には残っています。

そういう、裏でこらえた人たちがいたおかげで「表の世界」がある事を考えると、何が正しいかを問うこと自体が、争いを産むエネルギーになると学んで下さい。

これからお伝えする内容は、関西神事に関わった一人一人が調べた情報やサニワして出てきた情報をお伝えしますが、それぞれの情報源は書物に残らない情報や間違った情報も出てくると思いますが、実は、関西生まれの方たちは守護存在を通して必要な情報を調べさせられている事を気づいて下さい。

生まれた土地の方たちは、守護存在を通して伝えたい事や隠したい事があるからこそ、あえてひとつひとつの情報の正誤を問わず、全ての情報を素直に受け止め続けた訳ですが、それぞれの視点によって物事や情報の見方が違うことを学んで下さい。

大事な事を守る為に、真実では無い情報を流して民衆に信じさせるのも、昔からある守りの術だからです。

だからこそ、ひとつひとつの正誤を問うのではなく、大切なことを生かす為に犠牲になった人たちの思いが隠れているという理解で読み進めて下さい。

ではまず、事前情報を順番に公開します。

（事前情報１）歴史認識のあらましを報告します。

紀元前1世紀頃には、加茂氏（葛城王朝＝神武天皇）や三輪氏（三輪王朝＝崇神天皇）の銅鐸文化が西日本を中心に栄えていたと思われます。彼らは、出雲神族で国津神に当たる。

その後、北九州から武装集団である物部集団（海洋民族）が、四国から淡路を経由して紀伊→大和に入った。彼らは銅剣銅ほこを大陸から輸入して大量に使用していた。

しかし、文献からは銅鐸も使用していた事から、加茂三輪政権を大和で併合したと思われます。

また、旧事本紀（くじほんぎ）という書物には、「天照国照彦・天火明櫛玉・ニギハヤヒノミコト（＝ニニギの兄）という神名を使っていることから物部、尾張、度会（ホアカリ系）、海部（海人族＝ホアカリの命）、加茂、三輪、多治比氏らは全て同族で和合していて、物部氏が他の古氏族や先住民族をまとめあげ平定していたと思われます。

この政権が邪馬台国で、太陽神（アマ）と化身である地の神（クニ）である蛇を信仰しアマテルクニテルをその名に冠するようになった。

この政権を三世紀半ば南朝鮮の任那（みまな）からやってきた崇神天皇が外国人である為にオオモノネシを祭ることができなかった。

だから、銅鐸文化を破壊し痕跡を消した。それでも物部氏の力は衰えなかった。

しかし、崇仏派の蘇我氏と排仏派の物部氏が対立し、物部氏が負け大神神社等が廃り持統天皇と藤原不比等が、天孫族に都合の良いように改ざんした。

つまり、天照国照であった国祖神を天照大神の女性にすり替え皇祖神とした。

三輪の神（天神・地祇・天皇霊）の3の和合を天神と天皇霊を取りだし、最終的に伊勢に移した。

この事が記紀を改ざんし、日本の歴史認識を変えたターニングポイントになったと思われます。

また、その後、イスラエルの民である原始キリスト教の秦氏（秦の始皇帝）のハイテク集団が大和朝廷を愛の助け合いで取り込み、今の天皇家に血筋を入れ込んだと思われます。

流れとしまして、北九州から河内国（大阪東部）へ、さらに大和国（奈良県）に入って、山城国（京都南部）に都を移したと思われます。

秦氏が、今の神道（原始キリスト教）を布教したと思われます。

八幡信仰や稲荷信仰や籠神社・真名井神社（豊受大神）、志摩の一宮伊雑宮（天照大神）等からダビデの星が隠れています。

住吉大社は、ホアカリ系だと思われます。※イワレビコ（後の神武天皇）が東征し、それに抵抗したナガスネヒコが敗れた後、イワレビコがアマテラスの子孫であることを知り、イワレビコのもとに下った。

（事前情報２）　難波宮メッセージ

難波宮メッセージ１

天光(日）を降ろす神立ての剣があった場所は、その昔、太古の人々がこの地を訪れた証であり、宇宙意思を繋ぐ大切なものであった。

その剣は必要な時に、必要な場所へ移動されたが、その剣を守る為にたくさんの巫女が命をかけて守り続けた歴史がある。

形なきあと、繋ぎ守る天の意思は私たち(御霊）そのものだからこそ、この地が荒れぬようにたくさんの者たちが守っている。

十二神官（人）は全て男であり、一人一人が干支の役目を持つ守り方をしていた。

その中心に座る陰陽の中心が私（天皇）の役目だからこそ、今もこの地を守っている。

宇意天番（宇宙に繋がる魂の意思を持つ人）に繋がるあなたは、いつも大いなる存在たちと対話する事で、大神の意思を伝えてくれているからこそ、私たちもあなた働きに力を貸そう。

天軸・地軸・中軸の繋がりは、いつの時代も最も大切な神祈りの方法だからこそ、それぞれの守りの役目の方たちは力を合わせて新しい統合・調和・産み出しをして欲しい。

それが私の唯一の願いです、どうぞ宜しくお願いします。

難波宮　メッセージ２

誰もがその名を呼べば震え上がるほどの力をもつ神がおられるが、その名を口にすることは代々、禁じられている。

天皇口上の中にある一人神事では、その神の名を呼び祈りを捧げる事が許されているが、伝承は全て口述のみであり、記述はない。

本来、神役目の大役を果たす者には必要な神が守り入り、導きをいたすが、必要な役目が終われば神は離れる。

こと新たに物事を始める時、その神の争いを起こさないように禊があるのだ。

身につまる神の思いをどうぞ感じてくれなまし。

（吉岡学　補足）
神の御心を大切に思う皆様はどうぞ自らの神を尊び、神に与えられた肉についた過去の思いの禊と共に、渾身なる思いで守っておられる土地の神々様をご鎮魂下さいませ。

（事前情報３）　※難波宮から移動した天皇の意思を確認する必要性

【平城京】

中国の長安城をコピーしたもの。大きさは１/4の大きさだけど、それを90度回転させて縦長にした形。縦長にしたのは大きく見せるため（権力とかも。海外から来た人にも大きく見せて力があるように見せる為）。場所は、陰陽道からで3方を山で囲んでる所。（矢田丘陵、奈良山、長田山）。

【藤原京】

日本で最初に出来た中国式の都城。ここでは宮殿を真中に置いた。完璧なコピーではない。

16年で放棄される。理由・・・遣唐使が30年ぶりに復活→長安城の素晴らしさ報告され、遷都を考える→平城京の藤原不比等（平城京のプロデュース）平城京作りに100万人の人が関わってる（当時日本の人口500万）近代化と権力を強めるため、強い国作りのため造られた。

技術は、長安城よりすごかったらしい。道のまっすぐさも素晴らしいく、長安城は1000年かけて造られた、平城京は50年で造られた。すでに造られてたものを藤原京から運んできたから短期間で出来た。

◆この頃、お金が出来る。「和同開珎」
◆乙巳の変（いっしのへん）・・・板蓋宮（いたぶきのみや）で蘇我入鹿が暗殺される。

〇中臣鎌足（のちの藤原鎌足）・・・神社の神族の役割の一族。身分はそんなに高くない。

〇蘇我氏・・・仏教で権力を広げる。天皇化をしのぐ力。蘇我蝦夷が息子の入鹿に紫色の冠をかぶらせる。紫は一番尊い色。天皇に関連している高貴な色。それをかぶせると言うことは、天皇を侮辱している。

だが、入鹿は女帝・皇極天皇と特別な関係となる。皇極天皇の息子中大兄皇子は怒る。この事に対して好機と思っていたのは中臣鎌足。彼は皇族と話す機会がなかったが、蘇我氏の横暴ぶりを話すチャンスが訪れる。

～飛鳥寺で蹴鞠の儀式があった時に客席の方に蹴鞠が飛んでいき、その時に鎌足がひらい話した。その後談山神社の裏山で密談した。645年6月12日

三韓の朝の日…入鹿が履こうとした靴が何回も転がり、周りからも不吉な事が起こるのでは？と周りからも言われていた。そして鎌足は入鹿の機嫌を取り、入鹿の刀をあずかる。佐伯子麻呂と葛城稚犬養網田に刀を切らせるが怖くて刀が取れず、中大兄皇子が入鹿を切る。

これが『大化の改新』やと思います。12月の勉強会で吉岡さんが言っておられた『仏教(人の道を教える)が政治的に力を持ってしまう＝(イコール)神争いが起き→人争いになる。の、ひとつだと思いました。

早い話が蘇我一族の権力を落とすために藤原一族が汚い手を使って、のし上がった。今までの歴史は、ねつ造されてるみたいで、全ては藤原不比等が歴史書を改ざんしたみたいです。

最終的には、藤原家という血を皇族の中に入れたいと言う感じです。

藤原不比等（鎌足の次男）の娘が、文武天皇（25歳で亡くなる）と結婚。文武天皇がなくなるとその子供首皇子を天皇に即位させようとする。のちの聖武天皇となる。藤原京は、天武天皇の舞台。平城京は、藤原氏の舞台。平城京遷都は、藤原氏の藤原氏による藤原氏のための遷都だったと言うことです。

不比等の野望は、天皇家を権威あるもの神格化（権威あるもの）にして、そこに自分の子供を嫁がせたら、自分の子孫は

神の子になるって言うプランがあったようです。

藤原京の場所は、今でも大和三山(やまとさんざん)と呼ばれる畝傍山(うねびやま)、耳成山(耳成山)、香久山(かぐやま)の、地図上で結べば正三角形になるところの、ちょうど真ん中に位置します。いずれも三方を山に囲まれた場所に都が位置されたのが共通です。

しかし、藤原京は、現在は平城京のように観光地化されてなく、大極殿の土壇が残っているだけで、周辺は芝生の史跡公園になっているだけです。

藤原京を囲む大和三山の畝傍山：東南に橿原神宮があります。、(かしはらじんぐう・初代天皇とされる神武天皇をお祀りしているが、明治天皇による創建なので比較的新しい。)橿原神宮の社殿のうしろに、山があります。

耳成山：北東麓に天神社(耳成山口神社)が鎮座〇香久山：大和三山の中で最も神聖視され、山頂の国常立(くにとこたち)神社には、国常立神と竜神が祀られ、山麓には天の岩戸神社や天香山神社が鎮座で、いずれも200m満たない低い山です。

『なぜ藤原京がわずか16年で見捨てられたのか？』についてシェアします。

理由・・・遣唐使が30年ぶりに復活→長安城の報告→平城京遷都。これをもう少しわかりやすく言うと、藤原京完成後、自信満々で中国へ向かった朝廷使節は、中国の都の構造が藤原京と違い、コンプレックスに感じた。藤原京は、中心に宮廷があるけど、その構造はすでに時代遅れで、当時中国の都は、宮廷が一番北辺の中心にあった。都市自体が身分を示しているので、律令国家に生まれ変わったつもりの使節はショックをうけ、中国にならった平城京を急遽建てた。

また、現実的な原因としては、生活必需品の『水』の不足。天皇家と藤原家の対立。渡来人である天皇家に対して、藤原家は在地豪族。天皇家よりも古い物部家・卜部家との確執・怨霊・祟りなどの要因から、歴代天皇は、即位すると都を移すことが一般的だったようです。

（事前情報４）　吉岡学より

大阪　難波宮で祈ってわかったことは、海からやってきた渡来民族（海人族）と土地に住んでいた豪族との関わりが大きく日本人の精神性に影響を与えているうえに、時代ごとに何度も新しい民族が入り、新しい集団的思想と文化を持っていた為、それまでの神の名前や場所を移して民衆の思想を統一してきましたが、それは現在の日本神道の存在理由も同じです。

関西の土地に住み着いた様々な集団は独自の思想を持ち、今でもその確執カルマは消えていないと感じますが、民の心を導くのは神だからこそ天皇の存在意味は大きく日本人の思想に関わり続けています。

その為にはどうしても神武天皇の御陵に挨拶し、神儀を問い、神の化身となって心を合わせる人たちが足を運ぶ必要に気づきました。

過去の人間が意図した愚かな物だけを見るのではなく、その人間を常に守り導き続けた大神の心を知り、日本民族として本当の思想統一が必要な時期に入ったのです。

「他を問わず自らを問わず、神の御心に生きる人間」は、常に完全を目指しながら不完全を許し続ける事で成長していきます。

神事に参加される皆様の魂レベルがひとつでも上がる気づきになります事を心から願い、神事を行いますのでご協力をお願いします。

（事前情報５）　歴史の追加報告

日本には紀元前にキリストが生まれる前のイスラエル 10支族のユダヤ人の秦氏がやって来ました。 この人たちはお祈りをするときに、動物の生け贄を捧げていました。

後に原始キリスト教のユダヤ人が来て、お祈りの時に生け贄の血に触れると言うことで、最初に来たユダヤ人を迫害した。

この人たちが 現在 大阪 奈良に多い非差別部落で、日本人のカルマとして残っていると思われます。彼らは沖縄 北海道に追いやられました。追いやられる時に、現地の人と結婚し布教が全国的に広がったと思われます。

また次に 南北朝時代 587年 用明天皇が崩御すると、親仏派の 蘇我 馬子 と 排仏派の物部守屋との間で武力衝突が起こり、守屋側が敗れると 大神神社 大和神社 石上神社の神威も 次第に衰えていった。

第41代 持統天皇と渡来系氏族の藤原(中臣)不比等 が共謀して、国津神の業績と歴史を切り捨て、天孫族の都合の良いように改ざんした。

この事が 南北朝時代から江戸時代末期まで、天皇の祭儀は全て仏式で行われていたわけです。明治時代になって、伊勢神宮が日本の皇室の祖神として復活するのです。

南朝の末裔に、後醍醐天皇の孫にあたる大室虎之祐を伊藤博文や桂小五郎らが、本来の天皇の血脈に帰る計略をした。

南朝の末裔の虎之祐は、南朝に仕えていた毛利家長州藩の武士たちにかくまわれて、ぼそぼそと生き延びていた。

北畠親房の尊皇思想に目覚めた勝海舟・坂本龍馬・西郷隆盛の本家の菊池家が、南朝側にあったことから薩摩と長州が同盟を結び、幕府側に勝ち、徳川慶喜の大政奉還に繋がった。

北朝の天皇家には足利義満以来、天皇の血脈が流れていない為に、明治維新の時に 北朝の睦仁親王を殺めて、南朝の虎之助と入れ替えて 即位した。 この天皇家のカルマもあると思われます。

（事前情報６）　神降りしたサニワ情報

私たちに大神が気づかせたい事は、この時の天皇家のひっくり返しの因縁の清算がひとつあります。

平安京に永く居座った藤原家の問題は、神仏の扱いを変えたり、それまでの天皇家を守った守護存在の意思をないがしろにした意味があり、大神たちはこの事を正せと言っているのです。

もうひとつの意味は、イノシシは山の神の使いですから地の神・伊吹山の神と取るのはＯＫですが、では鹿の意味となると「天の使い」という意味と、山々を繋ぐ神という意味になりますかね。

猪と鹿では行動半径も違いますので、守っている範囲と役割が違うからです。

「北斗七星の祈り」はエジプト時代からある重要な神事ですが、日本では神仏両方にその祈りは実在します。

ただこの神事は、宇宙の星の記憶も蘇りますし、日本に入った渡来民族の魂の星の目的（12支族）にまで繋がる意味があります。北極星も同じです。

北半球の全民族は、この北極星と北斗七星の力を使ってあらゆる霊力や知恵を降ろし、宇宙と更新していました。さあー、ここまでの話についてこれてますか？

天皇家の問題を触る時、宇宙と交信していた高度な知恵や繋がりに触る神事だからこそ、一般公開は、まだできないのです。

陰陽師の五芒星とユダヤの六芒星の意味が、ここに隠されているからです。

皆さんの守護存在も、どちらかに強く影響を受けているからこそ、感情が動かされないように注意しながら互いの気持ちを理解し合い、和合する為にここに参加していることを考えて下さいね。

天皇家の血筋を何度も変えた人たちの背後には、この五芒星と六芒星の守護の力が働いています。

わかりますか？これが渡来民族が日本にやってきた目的ですし、その争いが今も起きているのです。
なぜ世界の全民族が、ここ日本を目指したのか？

それは日本が、「日（火・陽）の出ずる国」だからです。

宇宙と地球を繋ぐ大切な場所として、日本という島が生まれたからです。

私たち日本人は、世界の、そして宇宙の全てのカルマを外す為に、自らの因縁の土地を選び生まれてきました。

そして、今住んでいる土地があなたの役目を果たす場所なのです。

今まで一度もこの全容を一切公開しなかったのですが、皆さんにここで公開した理由は、ここ関西の土地が最も大切な和合の場所だからこそ、神々が終結しているのです。

皆さん一人一人が、その神々の代表なのです。

だからこそ、私は皆さんから許可と導きを頂きながら、全ての和合をする為に七次元までの守護が入り、役目として神事を行っています。

全ての神事が終わればこの情報も公開できますが、取り組む前にこの話をすると大きな混乱が起きますので、他言無用でお願しますね。

あとこのメーリングには、私が必要と思った人を加えますのでご了解下さいね。

最後に、竹生島には行かなくてはいけない感じています。

このやり取りを受けて行った神事の内容はこちらです。

・奈良県　平城京神事　2011.2.8

・奈良県　藤原京神事　2011.2.8

・奈良県　橿原神宮・神武天皇　2011.2.8

・奈良県　飛鳥京・葦原中国・八咫烏　2011.4.22

・滋賀県　大津京・佐久奈度神社　2011.4.23

・滋賀県　鏡神社・鏡山（竜王山）　2011.4.23

・滋賀県　白髭神社・竹生島　2011.4.24

2011.07.25 Mon

日本民族の根底に眠る隠された思い

いつも強烈な思いがある神仏に向き合った後は、家に戻ると意識と現実（肉体）の調整に永く時間がかかります。

それは、いつも神事に参加された皆様も同じだと思います。

今回、京都の「秦氏の解放」で行った場所の思いは、正直、思っていたよりエネルギーが重く体に残っているのも、一切、自分で調べずに地元の方の言われるままに動いた責任が自分にあるからだと気づきました。

これはどういう意味かと言うと、通常、重要な神事を行う場合、現地へ行くまでに永い時間をかけて９割のエネルギーを使うほど、事前の勘取りに十分な時間をかけますが、ふと、誰かに連れていかれた場所だと、相手（神仏）を感じる時間が少ない為に、表面的な部分だけで物事をとらえてしまう時があるからです。

これは、誰かに紹介されて、初めての人に逢うと時と同じですね。

相手を知らずに、突然、誰かに逢わされた場合、情報が少ない分、どうしても相手の言った言葉と印象だけで物事を判断しがちですが、事前に詳しい情報があれば、相手のささいな反応から言葉にしない気持ちまで汲み取ることができますよね。

よくこう言った、こう言わないで、もめる時も同じですが、口にした言葉だけで物事を判断するような愚かな対応をすれば、相手の思いを間違って理解してしまう事になる経験は皆さんもあると思います。

今回もまた、自分の愚かさに気づいた時間になりました。

こういう体験は、ほとんど「人格神」の場所へ行った場合に多く起きますが、「わかって欲しい、もっと知って欲しい、なぜ、そうしたのか？」など、たくさんの思いが、体の痛みを通して伝えられてきます。

見える聞こえるようになった人たちの苦しみは、あまり一般の方に理解されないので、あえて説明しますが、見えない存在たちの思いは、ほとんどの場合が体の痛みを通して伝えられます。

普通なら筋肉痛だと思って、マッサージに行けば治りそうですが、それは痛み止めの薬みたいなもので、原因の治療をしなければ痛みはすぐに戻ってきます。

私たちの体は、歓びを感じる為でもありますが、もうひとつは、痛みを通して見えない存在のメッセージが伝えられるように出来ているからなのです。

体が不調だと、精神もダウンぎみになります。

活力が出ず、気力も薄れ、やる気も失います。

この状態が長く続けば、「うつ」の人と同じように、自分の事ばかりを考えるようになってしまいます。

では、どうすれば良いのか！

自分の体の痛みから、メッセージを聞き取る努力をし続けるしかありません。

自分の本質に向き合う時間を作る、とも言えますが、神事の場合、自分の内在する感情にさらに、過去のカルマもかぶさる為に向き合うのはとてもしんどい作業です。

何をわかってほしいのか、自分は何に気づかなければいけないのか、何かして欲しい事がまだあるのか…

完全に相手のメッセージを受け取りきると、突然、痛みや苦しみは抜けて無くなります。

実は、病気になるのも同じ理由で起きています。

病気や痛みは、自分の内側から出ている黄色信号メッセージみたいなものなので、その原因をわかって心の位置を変えると、突然、治る事がよくありますが、自分を変えずに結果だけを変えようとする人は、どんな治療をしても一時的には良くなっても、必ず、再発します。

だから、体の痛みで伝えられる見えない存在からのメッセージも、同じように気づくまで永遠に

続きます。

その痛みが、全て自分のせいではないからこそ、読み取りや向き合う作業は、難しいのです。

私自身も辛い時間を永く過ごす経験を何度もしたからこそ、人間よりエネルギーの高い自然界の良い波動を取り入れた浄化グッツ、クリーニンググッツを販売しているのですが、常に必要な事は、心がリラックスする為の「自分との対話」の時間を取ることなのです。

誰かを鏡にして、自分では気づかない事を気づく方法もありますが、痛みや苦しみから逃れる方法を探すのではなくて、痛みや苦しみの原因が自分にあり、それに、まだ気づいていないだけだと自覚して、素直に過ちや愚かさを認めれば良いのだという事も経験から学びました。

ただ、久しぶりに重いこのエネルギーを感じていると、誰かがミスを犯したレベルのエネルギーではなく、皆さん全員の無意識の繋がりに連動している部分が大きいと感じています。

何を言いたいかと言うと、皆さんの為に関西神事の情報は一切、公開せずに神事を行いましたので、意識が混乱せずに全ての争いの元を収めることができましたが、関西神事で知った裏の裏の思いを公開して、皆さんの認識を変えなければ、秦氏の思い、つまり、渡来民族として日本にやってきた多くの民族の思いが叶えられないという事なのです。

皆さんが大切にしている現実が今こうしてあるのも、過去、裏の裏に隠された人たちの潰された思いが土地に眠り、その上に住んでいるからこそ、土地の因縁を体で感じて意識が影響される人が絶えないのですが、人として自分の住む土地の先人の思いを理解する必要が皆さんにもあると言う意味でお伝えしています。

興味がある方はご自分で土地の歴史や人物の思いを調べるのもいいですが、何かに書かれている情報は半分くらいは真実で、もう半分は、常に時の権力者の支配の力に影響を受けていると思って読んで下さい。

そのことを知っているからこそ、関西神事の内容は一切、非公開で関西の仲間だけで行ってきたのです。

それは、争わず、心苦しまずに出来る限り京都や関西、そして、天皇家に関わる裏に隠された民族の思いを解きほぐし、これから公開することで、日本民族の八割に影響している無意識カルマが外れるのだと思います。

今、こうして書いているだけでも、「やっと、わかってくれたか」と体からエネルギーが、少し抜けていきます。

もう戦いや因縁の元凶である結界を外したからこそ、全てを公開していい時期なのだと思いますので、亡くなった方たちの正直な思いを知って、全てを受け止めて下さる事を皆様にはお願いします。

近年の戦国の世の混乱については、関東・伊豆・中部・東海地方で行った神事の中で相当、公開しましたが、今、お話ししている事は、もっと古く、日本という土地に渡来民族がやってきた時代からの事を書かなければいけないようです。

一切を秘密にして行った関西の仲間たちとのサニワの内容も必要があれば、公開していきますので、日本を守る民族意識の統一の為に命をかけた先人の思いを一緒に学んで下さい。

私自身は、ひとつひとつ、御霊たちが伝えて欲しいことを向き合って皆さんにお伝えする努力をしますので、皆さんもご先祖が住んだ土地やそのルーツの因縁を想い出す時間になると思いますので、読まれる時は他人事ではなく、自分の先祖たちが関わった辛い思いの一部なのだと思ってお読み下さい。

どうぞ、土地の無意識カルマの解放の為に心合わせ、そして、魂合わせを宜しくお願い致します。

2011.07.24 Sun

どん底から世界一！

日本女子サッカーのなでしこＪＡＰＡＮが世界一になりましたが、昨年、初めて日本人が世界一になったスポーツをご存知ですか？

それは、激流を数名のボートが下る世界競技の「ラフティング」というスポーツです。

日本に、ラフティングのプロチームがある事を知らない方もいるかもしれませんが、

チームテイケイは、世界の並いる強豪を破って、2010年７月に、世界一になりました。

そのチームテイケイを率いる若きリーダー浅野重人監督は、自分自身の体験と人の出会いから多くを学び、どん底まで落ちたチームを立て直して世界一に引き上げた最高のリーダーです。

スポーツ選手としても、サラリーマンとしても、自営業者として最も大切なことは、その人自身の考え方であり、見えない心のメンタルマネージメントだからこそ、彼はその為に必要な本を出版しました。

５０年遅れた日本のラフティングというマイナーなスポーツを、世界のステージへ引き上げた男のメンタルマネージメントは、これからの日本人にとって、とても必要な気づきの要素がたくさんあるからこそ、ぜひ、あなたも読んで頂きたい一冊だとお勧めします。

☆私はこういう方たちに、ぜひ読んで欲しいです！！！

・男の子を持つお母さんは、ぜひ、息子にプレゼントしてあげて下さい！

・お仕事や人生で今、何か壁にぶつかっている方

・スポーツでもビジネスでも、共通の日本人特有のメンタルマネージメントを知りたい方

・弱い自分の心を強く変えたい方

・チームワークで何かを成し遂げたいと思っている方

・純粋に、世界一になりたい目標がある方



どんぞこから世界一
～世界最弱ラフティング日本を８年で世界一に導いた心の整え方～

著者　浅野重人
価格　1470円（税込）
amazon.co.jpで買う

2011.07.23 Sat

秦氏の解放ともうひとつの京都

さて、7/19に関西の仲間たちと廻った京都の場所を詳しくお伝えしましょう。

京都　鴨川の源流を守る「志明院」京都　鴨川の源流を守る「志明院」テーマは、京都・関西にゆかりの古い「秦氏」の重要な場所です。

まず、通称：蚕の社（かいこのやしろ）、木嶋神社と呼ばれている「木嶋座天照御御魂神社」。





本殿に向かう道の左側に、小さなお社と祠が見えます。

「ここが気になるんです」と言った女性は、魂が秦氏の関係者です。



まず祠の右側に、「白塚」があります。

もともと、ここは古墳、つまり、お墓だった場所なのが、見ればすぐにわかります。

祈りを始めると、数名の遺体が横たわっている映像が見えてきて、魂が動けなくなっているのがわかりました。

すると、後ろ側で、ここが気になると言いだした女性が泣き始めました。

すぐに、何かがあったとわかったので隣の祠に入ろうとしましたが、何か中に入りづらい感じがします。

「白塚」の横にも小さな守りのお社がありますので、そこの神様に何があったのかを聞きました。

すると、「数名の男たちが呪文をかけて、魂を縛り付けた」と教えてくれました。

よし！っとばかりにもう一度、祠に戻って、今度は、過去にかけた呪文を外す呪文を唱えました

。

人間がかけた呪いや呪文なら、どんなものでも外すことはできますが、それは私が何かを勉強したからではなく、魂が大神から教えてもらえるからできることです。

祈り始めると、５～６名ほどの男性たちが一斉にこの場所の前で呪文を唱えている姿が見えましたが、もう時代は変わりましたので、全ての御霊を解放しますと告げました。

ガードを外した後、頭を下げて祠の中に入ると、中にはものすごい霊気が漂っていました。

祈りを終えてから写真を撮ると、その霊気が写っていました。





わかりますか？

白い光や影が、この場所の霊気ですよ。

霊能者が見ると、ちょっと感じすぎるかもしれませんが、修行だと思って下さいね。

あとで仲間から「この場所は霊能者はまず近付かない」と言われました。

いつも、そんな場所ばかりに連れて行かれる私は何なの？？？（＾＾；

秦氏の御霊たちとは、これから新しい世の安定の為に力を貸してくれる約束をしました。



本殿の神様は、「私は何もできなかった」と、少しだけいい訳してましたが、それも仕方がない

と思います。

いつの時代も権力者たちは、自分たちの損得だけで神仏の意味を変え、色々な封印をしてきましたからね〜。

次の場所は、数日前に、この近くの公園で石碑を見つけた女性が、彫られている内容を知りたいと言うのでその場所へ行きました。

見てわかるとおり、明治天皇が、秦氏の功労に感謝する石碑ですが、隣に詳しい内容が書いてありました。



戦国の世は、互いの国の争いを大きくしない為に、大型船を造ることを禁止した時期がありましたが、当時、中国からやってきた秦氏たちは大きな船でこの地にやってき来たので、その船を借りて北海道まで行き、食料や動物の毛皮などを運んだことが記されています。

北海道のアイヌは、とても和平を好み、知恵のある民族ですから物々交換をして色々な物を交換する知恵を持っていました。

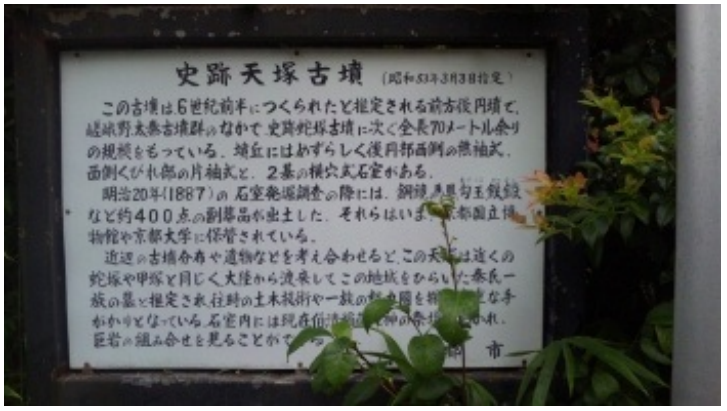
アイヌの歴史を調べた事がありますが、相当、古い時代から諸外国の人たちと物資の交換をしていた歴史が残っています。

当時、この地は多くの物資が行き来する商業地として栄え、天皇家や公家たちに献上する物資を運べたのも秦氏の大きな船のおかげだと、秦氏の功績を認めた石碑でした。

続いて行った場所は、「稲荷教」が守っている「天塚古墳」です。







古墳の山の上に祀られた数々のものは、ほとんど壊れていますが、山の下にある穴の中には、しっかりと、今も何かが守っていますが、すぐには入れない状態でした。

見るからに薄暗い穴なので、浮遊霊たちの住処になっていたからです。

１５０体くらいはいたと思いますが、一度、出てもらいました（＾＾）おほほ・・

中に入って祈りを始めると、とても無念な気持ちが伝わってきました。

ここにどういう御霊たちが祀られていたかというと、実は、秦氏の側近たちが眠っています。

無念な気持ちの理由は、蚕の社（かいこのやしろ）の親分御霊と繋がりが切れている事や、過去の功労が正しく伝わらず、一生懸命に働いた事が正しく伝わっていない無念な思いをしている御霊たちが眠っていました。

これまでの人間の扱いにお詫びをしたあと、秦氏一族の繋がりを復活させて、大きな土地守りの働きができるようにしました。

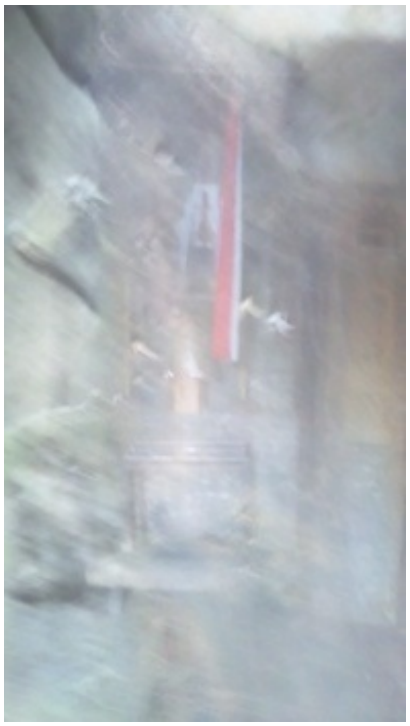
祈りが終わって写真を撮ると、ま〜、すごいこと！

御霊たちが、光のエネルギーで歓びを見せてくれました。

白い線が何本もあるのは、御霊が動いた証ですし、二枚目の白っぽいもの全てが、ここの御霊たちです。

たくさんの御霊たちが、お礼を言ってくれました。





でも、皆さんは、この穴の中には入らない方がいいですよ～（＾＾）

だって、数日前にこの穴に入った男女二人は、ここの霊たちに乗られて、意識と体がおかしくなっていたのに気づかないでいましたからね～。

勉強会で会った時に、変だと思いましたので、飲み会の場で霊たちを外しましたが、永い時間、強い霊に乗られていると、感情は不安的になり体も必ず変になります。

霊障には、色々ありますが、まずは普通の方は近付かないのが、一番ですよ～（＾＾！

次は、今は無くなってしまった「西寺跡」の隣にある、「鎌達稲荷神社（けんたついなりじんじゃ）」です。





お社の神様は、余計な事は何も言いませんが、何かを守らされているのはわかりましたので、隣の公園にある「西寺跡」へ行きました。


史蹟西寺趾





この石を見て、すぐに何をしたかがわかりましたので、過去の妖術外しを皆で行いました。

この石に立った女性は、過去に妖術をかけた側の関係者でした。

「かごめの歌」の裏バージョンと同じ呪いが掛かっていましたが、全て外しました。

この場所にあった西寺を壊して「東寺」だけにしたのには理由がありますが、あまり詳しい事は知らない方がいいと思うので公開しません。

ただ、先ほどの「鎌達稲荷神社」が、この守りになっているのは確かです。

最後は、「白峰神社」ですが、一般に公開されている内容とは全く別のエネルギーが繋がっていました。







ここは、石川県の白山に繋がっています。

富士山信仰の以前、白山が最高の霊山だったことから修験者たちが白山の霊力を借りて、法力でここに眠る御霊を山神に繋いでいます。

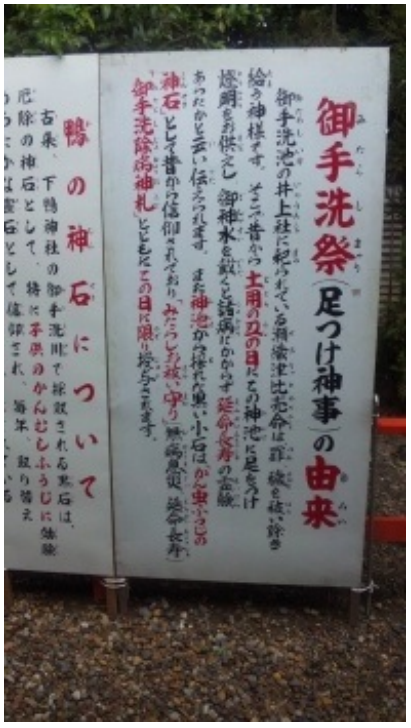
山岳信仰に詳しい人なら分かると思いますが、天皇の表守りをしていた陰陽師や坊主たちの力に合わせて、裏の法力使いで有名な修験者たちがたくさん動いていたことも祈りでわかりました。

全ては、世の安定を願って行った事なので、現在も、問題なくその繋がりは残っています。

関西勉強会を終えた二日後の7/21も、また京都へ来る事になってしまいました。

当初の目的は、下鴨神社で年に一度、行われる「御手洗祭（みたらしまつり）に一緒に行きませんかと誘われたからです。

ハードな京都神事をした後なので、何か禊をしなければいけない事があるのかと思ったので、仲間の誘いを受けました。でも、行ってみると、本当の理由がわかりました。



下鴨神社の本殿で祈りを始めると、また、いつもの女性が震え始めました。

観光客もたくさんいるので、二人が必死に体を支えています。

私はすぐに何をして欲しいのか神様に聞きましたが、白装束の巫女が、脇を刀で後ろから刺されたあと、背中をバッサリ切らるシーンを見せられました。

神様から話を聞くと、この下鴨神社は、時の勢力者によって管理者が変わった時期があったようで、それまでの神降ろしの代表巫女を殺す事で、神社関係者を言いなりにした事件があったようです。

殺された巫女は、２～３名いました。他の神官、巫女たちの見せしめとして殺したようです。

殺された巫女たちの御霊を同行した男性に「運び役」として任命し、運んでもらいました。

皆さんは、「御手洗祭」は、自分の汚れを洗い流すのが目的だと思っていますが、実は、先祖を含めた「精霊流し」の意味もある日だと思ってご参加下さい。

御霊を運んだまま、冷たい水に足を付け、途中でローソクに火を灯して、大祓いの瀬織津姫が祀られている社の前で祈りを行いました。

ようやく、過去の苦しい思いが外れたようです。

思い返せは、どうりで京都神事の時に、ここだけ厳しい言葉が出たはずです。

本当は、その事を分かって欲しかった様ですが、目的が違うので私も聞こうとしなかったですし、御霊たちも封印されていた為に、言う事ができなかったのです。

こういう流れは良くある事ですが、神事で一緒に動く人たちは、自分の意識に関係なく、色々な言葉を私に言ってくれますが、その中で、神の御心を感じた時に私は全てを委して素直に動きます。

でも、そういう大事な事を言っている人ほど、本人に意識はありません。

ここを誘ってくれた人も、ただ一緒に行きましょう！とだけ言いました。

これとは反対に、「吉岡さんはこうしたほうがいいと神様が言ってます」という時ほど、実は、本人も気づかずに、自我や後ろの守護存在が言葉を発している場合が多くあります。

だからこそ、自分の言っている言葉が大神の思いか、自我や近い先祖の思いかをチェックする方法を教えてきたのですが、その勘取りはとても難しいので、やっぱり神様に向き合う経験しかないと思います。

だからこそ、神仏でも朝日でも何でもいいので、毎日毎日、自分より大きな存在に向き合う習慣を作って下さいとお願いしているのです。

７月２１日の最後の場所は、京都を流れる鴨川の源流を守っている「志明院」ですが、とても素晴らしい場所でした。





西暦６５０年に弘法大師が開いたようですが、お寺なのに檀家さんがいない為、お墓も納骨堂もありませんので、とても貧乏なお寺です。

当時は、お坊さんたちの修行の場所だったと思います。

きれいな川の両側に色々祀られているのは、お不動さんに守られた八大龍王や龍に関わるものが多くありましたが、とても精気が清らかで、素晴らしい自然神を守っている場所でした。





何よりも驚いたのは、大きな岩の裂け目に祀られている存在ですが、普通なら、その中には入らない方がいいと思えるほど、とても大きな存在がいらっしゃいました。



中に入って祈りを始めると・・・

ここは、「脳の中だ！」と教えてくれます。

初めて脳の中に入ったので驚きましたが、ここ一体の山々の神々の頭脳であり、京都を守る大切な自然界の脳の神様が、ここにはいます。

６８歳になるご住職の奥様に、後から話を聞くとやはりそうでした。

脳の病気や精神的な病いの方が、色々探し求めてここへ来ているようです。

奥様もご住職も同じ意見だったので言いますが、ここはいずれ守る人が居なくなると思います。

そのほうが、本来の自然の循環に任せた良い状態が保たれると思いますが、４０年間守ってくれる人がいたおかげで、今は、坂道も安全に登れる階段があります。

京都のお坊さんの多くがお金儲けに走りすぎて、修行僧たちさえ嫌になるという話を聞くほど、坊主も神主も堕落した理由も、神仏の後利益主義に依存した私たちの責任があると思います。

心清らかなあなたは、ぜひ、京都へ来た時にこのお寺へ立ち寄って、岩の間から染み出る一滴のお水を飲んでみて下さい。

入館料は、たったの２００円。

お水の持ち帰りも、500ｍｌのペットボトル２本まで無料です。

販売しているのは、護摩焚きの木ときれいな水の音がするキーホルダーだけです。

もっともっと、お客さんにお金を落としてもらえる工夫はあると思いますが、そういう坊主の堕

落した姿が嫌になったからこそ宗派を離脱して、４０年前に家族でここに移り住んだ話を教えて下さいました。

どうぞ、あなたも足を運んで、お水を頂いた後、純粋な気持ちでお暮らしになっている神守りをしている方のお話を聞いてみて下さい。

神仏に向き合う本当の心を学べる場所だと思いますよ！

2011.07.22 Fri

人を傷付けない為に・・・

昨日、笑顔のステキな方と食事をしましたが、その会話の中で出てきた言葉は、

私はもう誰かを傷つけたくないので、自分の自我や欲望を出すことをやめました。

最近は、自分さえ、消滅してしまえばいいのかなと思ったりすることがあります。

このアホな言葉を聞いた時、私は怒りながら、こう伝えました。

大神様は、この地球に人間を作られた時、全ての「欲望と愛」を与えてくれたのに、どうしてあなたは、その欲望を「悪」だと決めつけるのですか？

あなたが自分自身の存在を否定するという事は、大神様が作られた人間として、まだ生かされている愛を踏みにじることだと気づきませんか？

自己犠牲は、最高の罪なのですよ！

「自分を傷つける」、「自分を否定する」ことこそ、自分を生み出してくれた両親や神様を冒涜する最悪の罪だとは気づきませんか？

久しぶりに、とんでもないアホな人にあってしまったと思いました（＾＾；

確かに、私たちは社会や誰かの言うの善悪ルールに囚われていつも苦しみますが、その「善悪というルール」を作りだしたのは人間です。

ルールや善悪や罪と罰を作り出した最初の人間は、実は、誰かを支配しようとして「罪と罰」を作った事を大神様は相当前に私に教えて下さいました。

だから大神様は、一切、物事の善悪も、ルールも作り出してはいません。

作り出したのは、「摂理と道理」だけだと言ってもいいでしょう。

人間を作った大神様は、生きる上で必要だからこそ、全ての「欲望」を与えて下さいました。

ただ欲望は、時として他人を苦しめる場合もありますが、誰かが喜んでくれる事もある事をどうして見ようとしないのでしょうね？

何もしないこと、誰も傷つけないことが、本当に愛なのでしょうか？

この人の思いは、どこかの宗教家が言うように、「欲望を全て悪」と思い込んで自分を守っているマイナスの思いだと気づいていません。

子供もそうですが、よく純粋な方ほど、こういう思考になりやすいのですが、この考えが「エゴ」だとは気付いて欲しくて熱く語ってしまいました。

一番アホなのは、自分の欲望さえ抑え込めば、誰も傷つけないと思い込んでいることです。

とても大きな間違いを犯していることに、気づいていませんね。

でも、こういう思考パターンになっている人が多くいる事も知っていますので言いますが、これが、人間が作り出した呪縛のようなカルマだと気づいて下さい。

何度もいいますが、人間を作った大神様は、必要で「欲」を与えて下さいました。

ただ、欲を使う心によって、苦しむ人も、喜ぶ人もいるだけなのです。

だから、間違わないでくださいね。

人間が持っている全ての欲望は、悪ではありません。

その欲を善に使うかどうかも、自分と相手の思い次第ですから、常に、互いの心を確認しながら欲望を歓びに使う努力をするべきなのです。

全ての欲望は同じ摂理なので、食欲という視点からお話ししますが、私たちは生きている限り、最高の欲望である「食欲」をやめることはありません。

人間が生きるということは、野菜や植物や魚や動物の命を奪い続ける殺生な動物なのです。

食欲という欲望を否定するという事は、奪った命を犠牲にしていることになりますし、植物の、海の命の、大地のや動物の命を奪いながら生き続けるしかない愚かな動物なのです。

そうまでして生きる中で誰かを傷つける経験をしたと苦しむ時期はあると思いますが、自分の欲望を否定することなど決してしてはいけないことなのです。

全ての欲望は、必要で与えられています。

「一日でも生きたい、生き延びたい」、これも欲望です。

食べたい、眠たい、セックスしたい、夢を叶えたい、有名になりたい、お金持ちになりたい・・・

これも全て、普通の必要な欲望です。

そして、起きる結果の全ては、罪でも罰でもありません。

ただ、お互いが学びの過程なのです。

ただ、あなたの選択によって傷つく人と、喜ぶ人がいるだけなのです。

この人生の中で私たちは、「生きるステージ」をあげるために、今世、生まれ変わりました。

それは、過去の罪滅ぼしの為に生まれたのではありません。

全ての苦しみを愛に、全ての苦しみを喜びに変えるために、生まれてきたのです。

何度、倒れても、何度、人を傷つけても、また、誰かを救うために歩き出す為に、欲望は必要なのです。

まだ、そのことに気づかず、他人を批判する愚かな人がいる事だけは覚えておいて下さい。

私たち人間は、これまでの人生を罪意識で見れば全てが罪人となりますし、全員が愛の人だと気づけば、全ての人の行いも愛を気づく為の経験だと気づくはずです。

そんなことにも気付かないあなたは、また大切な人を失わなければ愛がわからないのですか？

こんな愚かな、そして、他人を傷つける最低の人間を生かし続けてくれている大神の意志に気づかなければ、生かされている意味さえわからないと思います。

この世で最高の罪は、自分を殺すことです。

それは自虐的な自分であり、また、自己犠牲の自分です。

どちらも、最高の神の愛を否定するように、自分を否定する行為だからです。

どうぞ、気づいて下さい！

私たちは、まだ生かされているのです！

だからこそ、自分を殺している場合ではないですし、他人を否定している場合でもありません。

あなたの思う好き嫌いがあったとしても、その両者を認め、生かす方法に気づかなければ、この世で経験する全ての事が罪になってしまいます。

今、自分を殺して、善人のふりをしているあなたこそ、最悪の罪人なのですよ！

そう考えるならば、私たちは全員が罪人だからこそ、大きなステージをあげるために生まれてきたのだと気づいて下さい。

あなたは、一人ではないことを。

そして、愛を、許しを、一番必要なのは自分自身であるということを認めて下さい。

このことに気づいた人は、まず自分を許し、他人を許しましょう。

一切の否定なく、人生で起きる全ての結果を自分の結果として認めて下さい。

私たちは、同じ人間です。

貧乏も、金持ちも関係ありません。

成功も、失敗も関係ありません。

ただの、経験という過程にすぎないのです。

大切なことは、経験からひとつでも学ぶことです。

まだ、生かされているのですから。

愛を与えましょう、自分に！

許しを与えましょう、自分に！

そして、その自分が一歩、歩みだす為に、勇気をもって進もうとしている人に出会う努力をして下さい。

９９％失敗の人生でも、最後の１％で成功すれば、人生は成功なのです。

人生の評価は、他人が下すものではありません。

人間を産んだ神であり、そして、自分が下すべき人生を楽しんで生きることです。

神様は、外にはいません。

あなたの中にいます。

だから、誰かを救うよりも、まず先に、自分を救ってください。

弱い自分も、大嫌いな自分も、言い訳したい自分も・・・みんな同じです。

私たち人間は、弱いからこそ、たくさん生まれ、過去の思いを置き換えあい、支えあうために出会っています。

そのことに気づいた人は、今、自分の相手をしくれている人に「ありがとう」を言いましょう。

今、あなたの思いを置き換えてくれた、目の前の人に・・・。

2011.07.21 Thu

関西の宇宙エネルギーを繋ぐ！

７/１９日、京都でどうしても気になる場所があるからと、チーム関西たちの人たちと一緒に京都市内を回りましたが、台風はどこ？って感じのパラパラ小雨。

そのあと大阪に移動しても同じ状況で、今朝、7/20は、朝から蝉がうるさく鳴くほど、風も雨も無い曇り空です。

でも、四国や九州、関東地方の方たちは、台風情報に気を付けてお過ごし下さいね。

龍たちと天の計らいに感謝しながら、京都で連れていかれた場所は、「秦氏（はたうじ）」の思いが強く残る場所ばかり。

どうしても、「秦氏の思い」の開放が必要なようです。

普段は決して入らない古墳裏の洞窟や深く暗い社へ連れていかれますが、その場所の思いを読み取り始めると、またまた、同行した女性が「神がかり」してぶっ倒れます。

わかってほしい思いが一気に体に乗ったようで、大声で泣き叫んでいます。

この神様に乗られた女性は、僕の神事に同行するようになってから、初めて自分の霊媒体質のスイッチが入ったのですが、本当はもともと感じていたのに無視していたと言ってもいいタイプの方です。

大人の女性が突然、目の前で倒れて大声で泣き叫べば、皆さんなら驚くと思いますが、チーム関西のメンバーも慣れたもので、誰も慌てません。

僕の横にいてもらい、神様とのやり取りしが終わると、一気に、彼女に乗っていた存在も、おとなしくなりました。

そのあとも数か所回りましたが無事、封印された「秦氏」の思いを開放できましたし、これからは秦氏一族も新しい関西の調和の為に働いてくれることを約束してくれました。

その足で、大阪に移動して関西勉強会を開きましたが、京都神事の全ての結界の意味を詳しくお伝えした中で、北斗七星の結界が滋賀県の琵琶湖に大きく繋がっているので、そのエネルギーの意味をお伝えしました。

これからは、現実的に関西の皆さんが力を合わせて新しい調和のエネルギーを生み出す必要がありますので、今後の為にひとつ提案をしました。

地、天、空の悟りを得た人ならと読み取れると思いますが、関西にはたくさん宇宙から直接、降りたエネルギーの場所があります。

そのエネルギーラインには過去の星のカルマもありますが、一切の過去の星のカルマにとらわれず、日本人全体が目覚めるために、そして、天皇家を産み育てた大切な関西の地から大きな宇宙エネルギーシステムを繋いで動かそうという計画です。

次回の関西勉強会では、その話もしますね！

それぞれの土地の方たちが、本気で日本を支えるための動きが始まっています。その為にはまず、各地の勉強会に参加するか、地球創生ＳＮＳに参加して、世界中にいる志高い皆さんと意識を繋いで下さい。

私たち日本人が共に繋がって、地球の波動をあげる魂の役目を果たしましょう！

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

2011.07.20 Wed

今日のてんつくマンは、いい!

http://s.ameblo.jp/tentsuku-man/entry-10958201075.html

このアドレスは、てんつくマンの今日のブログ。

10年前から彼の動きを見守っているけど、今日のメッセージは、最高！

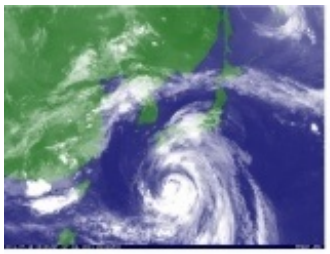
これからも信じられないほどの出来事はたくさん起きるから、大人の責任として何があっても未来にプラスを意識して言葉を発言しよう！

あなたの言葉を信じて、子供たちは心を作るんだからね！

そして、僕らが居なくなっても一人で生きる強い心を教えましょ！

愛の地球の未来の為に!
2011.07.19 Tue

台風6号（マーゴン）の大浄化



さて、台風6号が近づいて九州・四国・関西・関東をこれから直撃するようです。

今回の出張も関東から関西まで移動していますので、台風で伝えられる自然神のメッセージを素直に向き合うつもりでいます。

台風6号の事は、一昨日、海の仕事をしている潜水士の方から東大東島の台風6号の影響で東海地方の海の底がもううねっていることを聞いていましたが、ようやく風が雨を連れて、土地の大浄化をするようです。

予想される被害は、強風によるあらゆる被害、山の傾斜に住んでいる家の土砂崩れ、傾斜面にある地盤の弱い道路の陥没、河川の氾濫による水の被害や地下水の飲料水の汚染、床下床上浸水、海側の高波などです。

台風に慣れている本州の皆様は、予想される事態に十分な対応ができると思いますので、どうぞ、非難や警戒準備をお勧め下さい。

珍しくこの時期にやってくる台風6号の意味は、京都神事も終わったので関西・関東以南の大浄化なのはわかっていると思いますが、できるだけ自然神のメッセージに逆らわない生き方をしながら身を守って下さいませ。

私は大きな意味で、地球を守る大きな自然界の龍が働いていることを感じています。

台風もマイナスに考えるだけではなく、プラスの効果もある事を知って下さいね。

自然界では、命の循環の為に強い者だけが生き残る摂理がありますので、倒れる木と生き残る木があるからこそ、命の循環は永遠に続き、きれいな水が生まれます。

また、人間が造作した物が、いかに無意味かを知る機会でもありますので、道理や摂理に従った生き方を考え直す機会にして下さい。

福島原発によって汚染された海水や真水、そして、大地や空気中に広がっている汚染物質も、この雨風のおかげ相当中和されることでしょう。

自然界全てを司る龍は、人間にとって悪いことばかりをするわけではないことも覚えておいて下さいね。

自然界の神々の采配を受け入れている私はどんな条件でも決めた事は必ずやりぬきますので、19日夜の関西勉強会も行います。

これまで多くの民族カルマが残っていた九州・四国・関西・関東の土地の大浄化のあとは、新しいエネルギーが関西に流れ込み、素敵な人たちが動きだすはずです。

生きている間にしなければいけない事に気づき、日本人に生まれた素晴らしさに気づいて、現実世界を喜びに生きる人生を歩んで

下さい。

地域の事は、地域で守らなければいけませんし、遠くの家族では何もできないからこそ、地域住民が共有して守るべきものを守る知恵を育んで下さい。

お金も、財産も、家族も、土地も、一切、あの世に持っていけないことを知っているはずなのに、何にしがみついてもがいているのかという愚かさに気づけば、今からでもあなたは生きる意味を知ることはできます。

神のメッセージが聞こえる人もそうですが、現実生活が急にうまくいかなくなった時や、思いがけない事態が急に起きる場合も、全て、あなたの生き方や考え方を変えなさいというメッセージだと気づいて下さい。

大切なことは、自分がどう生きるか、何を大切に生きるかを自分で決めて宣言する事なのです。

あなたの人生の責任は、親も子供も兄弟もとってはくれないからこそ、自分で生きた証を立てるように果たすべき役目に気づき、支えあう大切な仲間の繋がりを作って下さい。

全てを失ったとして、まだ、生かされている意味は、この肉体を持ってやることがあるからだと気づいて下さいね。

短い人生だからこそ、起きる事ひとつひとつにあたふたするのではなく、全てをプラスに変える創造性を働かして、希望あふれる人生を切り開いて下さい。

私たち人間は、誰一人、一人では生きていけないからこそ、支え合う大切な地元の仲間が必要ですし、魂で本気に支えあう仲間に出会えれば、自分の考えさえ変わってしまいます。

そういう魂の仲間に出会う為に、「地球創生ＳＮＳ］が準備されたのですから、どうぞ、自分を素直に表現して、本音で生きる喜びを感じて下さい。

私たちは、あなたと一緒にこの日本や地球を愛で育むために生まれてきた事を思い出した仲間ですから、一切の争いをせずに、自らの成長と周りの人の喜びを大切にしています。

最後ですが、「なでしこＪＡＰＡＮ」，世界一、おめでとうございます。

日本女性の精神性の本当の強さが、世界に示された瞬間ですね！

あなたも一緒に、目覚めましょう！

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

2011.07.18 Mon

三層の意識

関東と静岡で勉強会にご参加頂きました皆さま、ありがとうございます。

5年がけの京都神事が終わった事で封印された力や渡来民族や天皇家について詳しい話を皆さまに話すことができました。

2011年は、11月11日までに気づいた事を全て終えなければいけない為に、現在、複数の神事の準備に土地の方たちと情報交換している段階です。

まず、関東の皆様は日本の東、日の出る役目を果たして下さるようお願いします。

そして、関西の皆様は、古き民族、天皇家を生み育てた母の役目の土地ですので、西を守る大きな役目をはたして下さいませ。

北海道は、北軸の父の役目、沖縄は、日本を産み出した南の母の役目として役目を果たします。

生まれた土地役目、住んでいる土地の役目を果たさなければ、何の為に生まれたのかもわからずに死ぬ事になります。

生まれた時から死ぬ事は決まっている私たちは、生きている間に自分の魂役目を果たす為に、土地や家族の順番さえ決めて生まれているのです。

地球再生、日本再生の為にご協力頂けます皆様のご支援・サポートを宜しくお願いします。

日本の「国の建て替え立て直し」の啓示が降りてもう数年たちますが、東日本大地震を経験したあと、皆様もその大詰めに来ている事を感じている方も多いと思いますが、ただ何をどうすればいいのかわからず、不安を産み出す事だけはおやめ下さい。

私たちが今、一番、向き合わなければいけない事は、

自らの不安と恐れを払拭するためには、自分にできる事をすぐに始めることが、とても重要です。

お勧めは、氏神様への感謝、土地の祈り、両親のご先祖感謝祈り、そして、一宮宣言祈りをすることで、精神状態は確実に安定します。

マスコミは色々な情報を流しますが、誰かが、国やあなたの未来を良くしてくれる訳ではありません。

私たち一人一人が日本国民としての共有意識を持ちながら、住む土地の人たちと一緒に出来る事をする事がとても重要な時期なのです。

その為の気づきのアドバイスをお伝えします。

まず自分の感情や意識を正しくコントロールする力を付けるために、意識には三層あると思って下さい。

ひとつは、日常生活で見ている「現実意識」。

その上に「希望や可能性を産み出すプラスの意識」。

そして、現実意識の下には「不安や恐れを産み出すマイナスの意識」があります。

三つの意識をわかりやすくするために、三枚のお皿が重なった状態で、一人の人間の思考が形成されているとイメージして下さい。

生まれた時に、この三つの意識をそれぞれ担当する方が決まっているからこそ、見える世界を担当する方や見えない世界を担当する方が生まれているのです。

しかし、上と下の二つの世界の結果は、必ず、現実世界に結果として現れるからこそ、この現実世界で起きる出来事は、全て思いの世界の「写し世」と呼ぶ見方もできます。

「希望や可能性を産み出すプラスの意識」は、完全プラスの世界と呼ばれ、誰もが望む共有意識

のことを言います。

反対に、「不安や恐れを産み出すマイナスの意識」は、人に知られたくない個人の辛く苦しい思いが溜まった世界のことですが、だからこそ、土地で亡くなった方たちのＤＮＡが土地に残り、地球の中にはそのマイナスエネルギーの想念が溜まるのです。

地球も生命体ですから、あなたがストレス解放の為に遊び行くことがあるように、時々、マイナスエネルギーの開放の為に地震や台風などで、地球内部のエネルギーを解放する時がありますが、人間にとって天災と思える事も実は、生きている私たち人間のマイナスエネルギーが大きく影響している事を認識して下さい。

だからこそ、皆様にお願いです。

どうぞ、自分の心の中にある不安や恐れを消す努力をして下さい。

そして、未来に対して「完全プラス」を共有しあう為に、次の事を心がけて生活して下さい。

１、不安や恐れを口にしない。

２、誰かの陰口を決して言わない。

３、意見が違う人の話をよく聞いてみる。

４、何かに反対するのではなく、どうすれば良くなるかという言葉使いを心がける。

５、多くの先人達がも同じように苦しんだ事に気づくために、土地の歴史を勉強する。

６、神様や仏様やご先祖をなぜ、日本人は大切にしてきたのかを考えてみる。

７、神争いや宗派の違いで戦うことほど、愚かなことはないと学ぶ。

８、子供たちが未来に希望を持てる大人の一人として、自分の生き方を考える。

９、他人の行いに対して、善悪を唱えない事。（必ず、自分も問われます）

１０、自分を理解してくれる人を一人でも増やす努力をすること。

１１、生きている間にしかできない事があることに気づくこと。

１２、私たちは、次の次の次の子供として日本に生まれる事をよく考えて生きる事。

一緒に、地球の未来をわくわくの星にするために愛を創造する仲間になりませんか？

☆地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

2011.07.17 Sun

京都神事を終えたメッセージ

7月9日、京都神事を終えて関西空港から飛行機に乗ると、すぐにメッセージが降りましたので、皆様にその全てを公開します。

うれしい事だ。

全ての解放がなされ、本来の働きをする者たちが増える事だろう。

争いは起きなように、こちらが手配する。

迷い、困惑する者は多少いるだろうが、それも、いづれ整う。

産み出した神々、解放された龍たちは、これから大きな繋がりの力を繋いで日本を守る。

本来は、その為のものだからこそ、これでやっと働きができると喜んでおるぞ。

そう、龍族と呼ばれる者たちが（この地球に）居たのは確かだ。

だが、ウル（牛）族とは、交わらないように時代を変えて、地球に降ろした守護体であることを理解して欲しい。

ウル族の前にも、石像巨人たちが、この地球の地上の部分を整いに降りている。

「デイタラボッチ」と呼ばれる者たちも、命を産みだす役目として（地球に）居た。

その前には、空、力、天地力をまとめる為に大きな神が地球を造り、そこに、母の神を降ろし、

海を造らせた。

命には、全て順番があるように、地球という生命体も、ひとつひとつ永い時間と、いくつもの手を借りて造り上げたからこそ、色々な記憶を断片的に持つ者がいることだろう。

それは、全容を知る事が、全ての封印を解く事にも繋がるので、順番に気づかせているのだ。

これから、まだ新しい記憶を想い出す者たちがいるだろう。

その者たちの記憶が、個人ではなく、過去ではなく、新しい未来創造の為に与えられた知恵と気づくなら、この地球の再生は叶うと言えるだろう。

（記憶を想い出した者は）勇気と知恵を持って、その情報を伝えなさい。

ひとつひとつの真実が、解き明かされる時期だからこそ、我々の、そして、人間たちの、そして、地球生命の(再生の）準備ができたと思って欲しい。

いずれわかるが、大切な鍵を持つ者ほど、こばみ、恐れることを知っているのなら、常に、やさしさと愛を持って接しなさい。

時期は、こちら（で決めるもの）だが、タイミングは、お前たち次第だから、心の鍵をお互いに開ける訓練をしておきなさい。

何が起きても、誰を失っても、その記憶と役割は終わりなく続くからこそ、知る者が、与える者が、開く者が、必要なのだ。

開封の鍵は、信じた人の心の中にあり、裏切った人の背中にある事だけは、知っておいてほしい

。

表裏一体の役目をする為に、全ての人は出会い、別れ、そして、導かれる運命なのだから、想いを掴むではないぞ！

このメッセージについてのサニワや学びは、「地球創生ＳＮＳ」の中で行います。

魂の記憶を先に想い出した人が自分の魂の情報を公開することで、連鎖反応が起きる為の「地球創生ＳＮＳ」だからこそ、常に、個人と言う概念を超えて、エネルギーと知恵を出し合う為の仲間が全国から集まっています。

誰もリーダーではなく、誰も特別ではなく、常に、現実と意識のバランスに気を配りながら、互いに進化変化し続ける魂の仲間として、互いに成長をサポートし合う場として与えられていますので、あなたもぜひ、魂の仲間としてご参加下さい。

☆地球を救う魂の仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録はこちらから！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

2011.07.13 Wed

京都神事　**7月8日（最終日）**

昨日、見つけた北斗七星の結界解読の為に地図を見ていると、恐ろしいほど強力な結界の組み方をしている事がわかりました。

全方位と自然神を使った八方結界に加えて、表の北斗七星と、裏の北斗七星の二つをセットで組んだ完璧な結界が、現在の京都御所を作った時代に組まれています。

これまでの三日間で廻った場所のいくつか関係していますが、残された時間で廻る為には、必要な場所へ行くことが優先ですので、８日は朝早くから動きました。

全ての結界の意味やその詳細については、各地の「地球創生勉強会」の中でお伝えしていきます。

7月8日（土）晴れ　３５℃

１、上賀茂神社









昨年、ご挨拶に行っていたので神様は、すぐにこうおっしゃって下さいました。

いらっしゃいませ。

あなたのすることは、よくわかりました。

昔の裏表の結界を外し、新しい神役目の働きをします。

２、下鴨神社











上賀茂神社を息子とすると、ここの下鴨神社は、お母さんになります。

神様とのやり取りをそのまま残します。

吉岡「裏表の結界を全部、外します」

神様「あたり前だ！」

吉岡「新しい形で京都を守るお役目を宜しくお願いします。

神様「承知しました」

とても厳しく強い守りの力を出しているのには、理由があります。

ここ下鴨神社は、京都で最も大きな守りの力を出している神様がいる場所だからです。

３、京都御所











京都御所はとても広いうえに、事前に許可を頂かないと中には入れませんので、ある門の前から今回のご報告をしました。すると・・・

どうしても、開けなければいけないのですか？

と言われます。

この言葉の意味は、天皇が民衆の不安や恐れを考えての言葉だとわかりましたのが、改めて「京都を開き、関東も開き、日本人の御光を世界へ繋ぐ為にはどうしてもしなければいけない事なので宜しくお願いします」と言いました。

自分を守る証をお渡しする意味で、これまで頂いた神供物の「なぎなた二本、警備の男二人、剣、玉、鏡」の全てを収めると、「承知いたしました」と言葉が降りました。

いずれ、また来なければいけない事がある気がするので、その時には、ゆっくり伺うつもりです。

４、二条城





二条城は、本丸が焼けて、二の丸だけが残っていましたので中を見学しました。









本丸が焼失したあと、皇居から移した建物をここに置いていますので、ここで宣言をさせて頂きました。





「新しい世を開く為に、古い結界を外し、新しい守りをして下さい」と言うと、ここを守っている存在はこう言いました。

私たちはこの二条城を守る為に永くここにおりますが、何を守るのかわからずに悩んでおりました。今、言われた事を心の支えにしてお守りさせて頂きます。

このあと、一番奥にある休憩所の先に、土を盛り上げた「塚」を見つけました。

そこには、この二条城で亡くなった武士たちの御霊がたくさん眠っていましたので、御霊あげをさせて頂きました。

自害した方、首をはねられた方、常に、権力と政治の狭間で苦しみ、命を絶った男たちの思いが全身をしびれさせながら体の中を通り抜けていきます。

思いひとつに果たす役目をお守り下さいました事を心から感謝いたします。

５、水道疏水センター





ここは鴨川の水を取り込んで水力発電やプールに利用している施設ですが、広さもちょうどいいので、この場所を「龍のお休み処」にしました。

京都を守る龍たちが、あちこちから飛んできて体を休め、本来の役目を果たせるよう天地繋ぎの祈りを捧げました。

６、四条烏丸（からすま）交差点







現在の京都結界の中心となっている「四条烏丸交差点」で祈りをすると、五つの方角にエネルギーが飛んでいきました。

この場所の土地の中には「地龍」がいますし、天に繋がるエネルギーも繋がっています。

だからこそ、商業地として繁栄しているのだと思います。

色々なエネルギーが集まる場所なので、仕事の繁栄、物事全ての繁栄、そして、京都の繁栄の大切なエネルギー発電機が土地の中にある場所だと思って下さい。

どうぞ、京都にお住まいの皆様、大切になさって下さいませね。

７、七条壬生（みぶ）川交差点







ここも実は大切な場所なので祈りを捧げると、なんと、交差点の真ん中で大きな龍がとぐろを巻いていました。

これは、龍が安心してエネルギーが集まる場所という意味ですので、交差点付近で上手にご商売をすれば、良い運気とエネルギーが動くのですが、気づく人はいるのかなあ？

土地のエネルギーは人間が住む前から、流れがあり、善し悪しが決まっています。

だからこそ、自然の気の流れを上手に読みとる風水師が中国では一番、稼いでいる訳なんです。私は、そんな暇がありませんが・・。

８、十条烏丸交差点

実は、この交差点も北斗七星の重要な場所です。









烏丸通りは、常に、京都タワーがまっすぐに見えことにも大きな意味があります。



そうだそうだ！と言わんばかりに、空には、龍雲が集まってきました。

もうすぐ、最後の場所なので、準備をしてくれているようです。





９、鴨川の龍

烏丸通りを真っ直ぐ南下するとカーブする道が川にぶつかりますが、そこを川岸に降りると、川岸の区画外に住んでいるあばら家が並ぶ前の道を通ります。

地元の人なら知っているはずですが、私も岡山に居る時に同じ扱いを受けた部落を多く見たので、すぐにどういう人たちかがわかりました。

不思議なことに、そういう人たちが住んでいる場所ほど聖地が多いのは不思議ですが、日本全国にも同じような場所がたくさんあります。







最後の祈りを始めると、神歌も出てくるほど、神々が歓びを私の体を通して伝えてくれました。

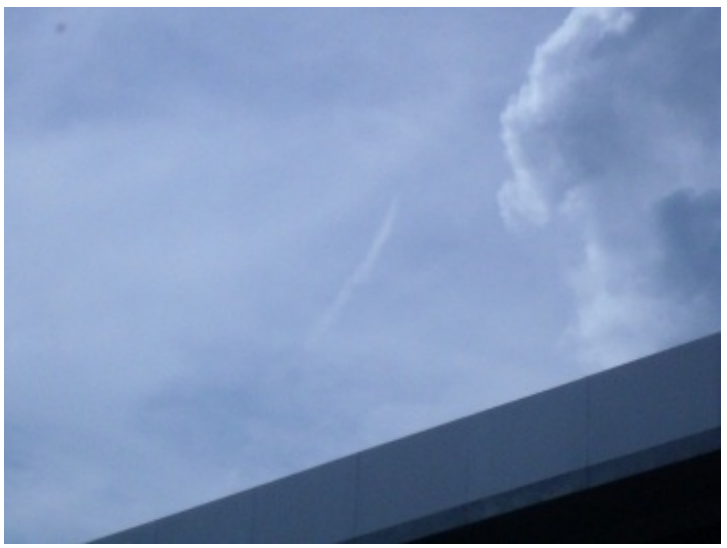
永い永い京都の過去の封印が解かれ、新しい神守りの土地として働くよう京都は変わりました。

日本の古都　京都は、神守りの母の地のような愛に溢れる人たちがこれから増える事でしょう。

ここからは、雲の形で龍や色々な存在がメッセージを伝えてくれていますので、ご自分の感覚で写真から感じて下さい。

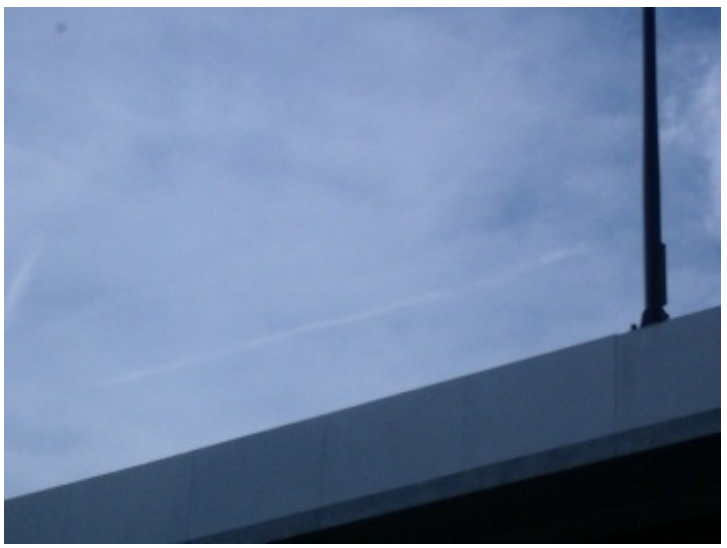






















最後は、天に繋がる大きな雲の階段が出来上がりました。

この階段は、役目が終わって天上界へ登って行く存在と、新しい京都を守る為に降りてくる神仏が行き来する階段です。



「無情天彩無二」

これ以上、この世に例える歓びが無いほど、天の歓びは私たちの歓びという意味です。

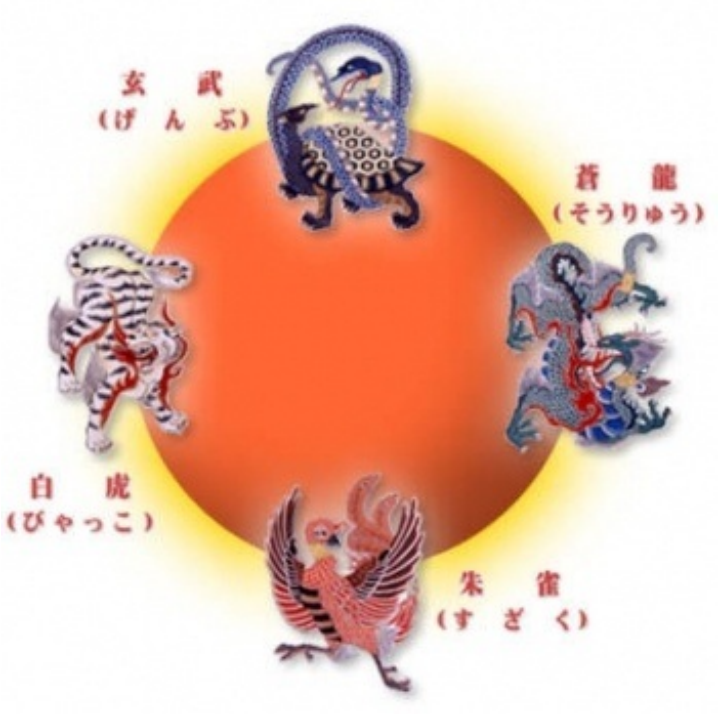
本当に、ありがとうございます。

過去の全ての結界を外し、新しいバランスを整えたあとは、京都市内のエネルギーを安定させる為に市内を車で一周しました。

走り出してすぐに驚いたは、南から西に向かった正面の空に、雲が「玄武（亀）」の姿を見せてくれたことです。



玄武は、方角を守る四神のひとつで「北の守護神」です。



北の守護神が、西の空に出た意味は、私が北の生まれなので、今回の神事が全方位を守る最大の西の神様が許可を出したというメッセージです。

京都を守る龍たちは、常に、ぐるぐる京都を廻りながら守ってくれて居る事をどうぞお忘れなく！



このあと、大神様とのやりとりがあり、

京都の北斗七星の裏表結界の情報を全て皆さんに公開しなさい

と言うメッセージが降りました。

少し時間がかかると思いますが、わかりやすく情報公開の準備をしてから公開する予定ですの、

しばらくお待ち下さい。

今回の京都神事を行うまでには、関西在住の皆様の甚大なるご協力を得られたおかげで成しえた神事ですし、一切の情報公開を禁止してまで行った理由も、精神世界の皆様や無意識の意識混乱が起きない為の配慮でした。

地球を愛する仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の中では、日本国の建て直しの為に、全国の方たちが常にメッセージをシェアし合っていますので、今回の京都神事が終わった事によって、いずれ行う「日本最大の光の柱立て」の準備にもなっていることを感じています。

地球創世ＳＮＳの九州の仲間は、この日、富士山に登山し、９日の日の出祈りをしてくれましたので、新しい日本の夜明けの祈りをするよう阿蘇の神様が、九州男児を富士の大神の所へ呼んだようです。

志ひとつに生きる皆様は、全国にたくさんいらっしゃいますので、お会いしていない方たちも、それぞれがそれぞれの役目を果たす為にご尽力されている事は十分、承知しております。

私もただ一人の人間として、今世、生まれた魂の役目を果たす為に動いておりますので、どうぞ、全国の皆様、お力合わせが出来る部分はご協力をお願いします。

これからの予定ですが、現在、決まっている神事は、最後の最後と思っていた四国の底の底を開ける神事が決まりましたし、まだ、関東から関西までの全ての神ごとが終わったわけではありません。

今回の京都神事は、過去のカルマを一掃する為だったからこそ、新しい歓びが溢れるように神仏の組み換えをしなければ、人間の意識バランスを整える事はできないないからです。

２０１１年１１月１１日までに、今年の全ての神事を終えなければいけない事を伝えられているからこそ、いくつもの神事を全国の仲間と同時進行で進めています。

ご理解・ご協力頂けます全国の皆様、どうぞ、お力をお貸し下さい。

２０１１年の１１月１１日、そして、２０１２年の１月１１日は、とんでもないレベルアップのエネルギーが動きますので、一人一人が成すべき事をする為に生まれてきた事に気づいて、どう

ぞ魂の役目を果たして下さいませ。

現在の日本国は、１９４５年の終戦後、６０年あまりでここまで経済は成長し、精神は堕落しました。

その責任は、誰でもなく、私たち大人全員にあると思います。

子供たちの未来を本気で考えるならば、私たちが居なくなったあとの５０年後、１００年後を考えて、今、動かなければいけない事に気づいて下さい。

そして、今世、魂の役目を果たしたあなたは、また、来世、この日本へ必ず、生まれてきます。

私も、あと二度か、三度、生まれ変わると言われているからこそ、今回、やるべきことをやりきる為に頑張っているのです。

来世、生まれ変わった時に、やり残しの自分から始まる辛さを良く知っているからこそ、自分がしたほうがいいと思っていることをすぐに行動に移して下さい。

☆地球を救う魂の仲間が集まる「地球創生ＳＮＳ」の登録は、こちらからご参加下さい。
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆１０００人の日本人の宣言で地球の未来を輝かせましょう！

2011.07.12 Tue

京都神事　三日目（七夕）

七夕のこの日、あちこちの神社で願いを書く親子連れを多く見かけましたが、実は「織女星と牽牛星の伝説」には、霊界とこの世を繋ぐ日という意味があります。

七夕が終わった「7月8日」を大神が指定した意味は、京都の過去の思いを全て洗い流す「精霊流し」の意味が込められていることまでは事前にわかっていました。

しかし、それ以上深い宇宙の意味をたどると、「織女星」は、龍族をまとめていた弁天の意味があり、「牽牛星」はウル（牛）族という意味があり、この二つの民族が出会う日を意味します。

地球創生期に宇宙から降りた「龍族とウル（牛）族」の二つの民族が人間の始まりであり、地球上の人間は日本から始まったという説もありますが、これは、地球創世期の神に通じる人たちだけの情報なので民俗学や歴史書には一切、書いていません。

この事を裏付ける出来事も起きたのですが、人類発祥の二つの民族が出会う「7月8日」に行った今回の京都神事の意味は、実は、地球創生期からのカルマ解消する日という意味もあると思っています。

神事は昨日に続いて、平安京の外側の守る東から廻り始めました。

7月**7**日（木）雨　気温３２℃

１、銀閣寺

雨の銀閣寺には、朝から修学旅行生が溢れていました。







銀閣寺の横にあるお宮と銀閣寺に向かって報告をすると、男性の声で「お前もしっかり守ってくれよ」と言われました。はい、守らせて頂きます。

２、金閣寺







金閣寺に向かって今回の趣旨を告げると、「わかりました」と言ってくれましたが、そのあとに「できればこの場所の意味を感じて欲しいのですが・・・。」と言われたので、「方城の間」に入り、そこにいた人物の思いを感じました。

時間が許せば、ゆっくりしたいほど良い眺めの空間でした。

※天龍寺

2006年に初めて見た天龍寺の龍は、とても素晴らしかったのでご挨拶に行こうとしましたが、土日しか見れないと言われ、あきらめました。この龍は、押さえつけられていませんので、ご安心ください。







３、松尾大社・・・京都外回り結界外しのご報告

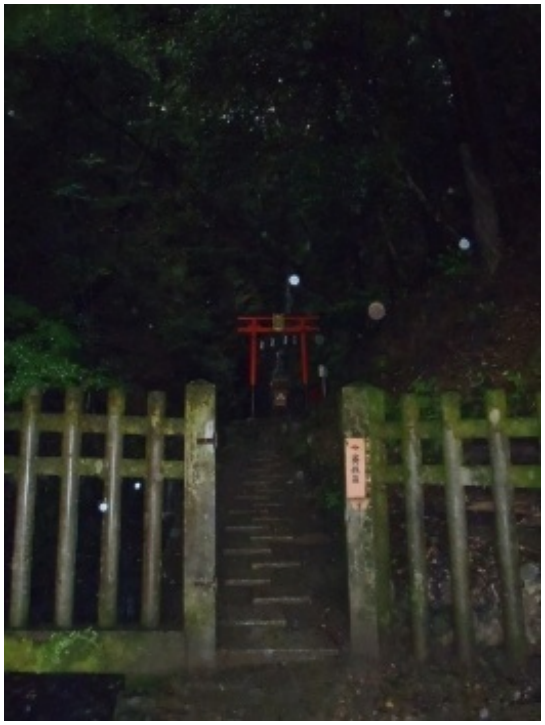
金閣寺までが京都の外の結界外しだったので、ここまでのご報告をしに松尾大社へ再度、行きました。

ご苦労様でした。これからは、京都・関西・日本への大きな守りのエネルギーを届きますように共に働きます。

と本殿の神様から言葉を頂きました。



右奥の龍にもご挨拶に行くと、これから京都の全ての龍たちも力を合わせて京都や日本も守る為に働くことを約束してくれました。



４、烏丸（からすま）九条交差点

この交差点は、現在の京都の縦の中心ラインである「烏丸通り」の九条になりますが、平安京時代も現在も、横の境界線としてこの烏丸九条通りを境に都の中に入るように造られています。

ここにも守るべき存在がいることはわかっていましたので、交差点を一周して中心を守っている存在にエネルギーを繋ぎました。







５、羅城門跡・・・平安京の南の入口の門

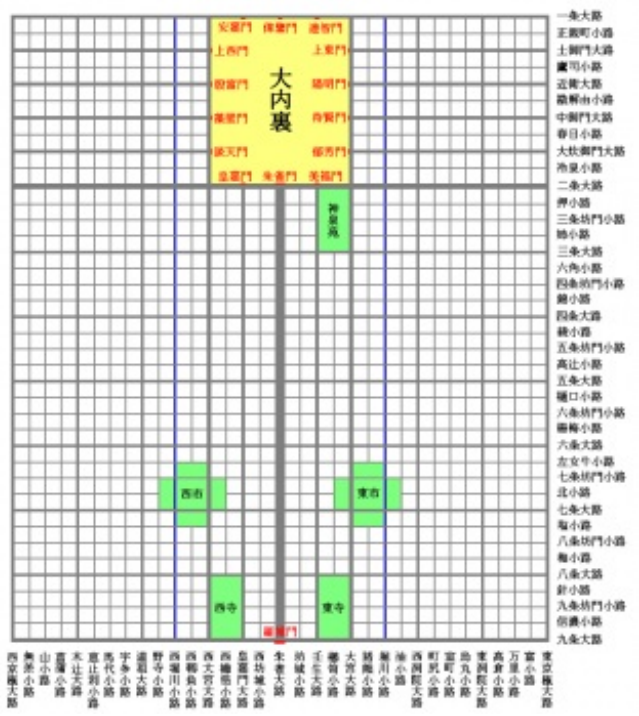
さあ、やっと平安京の中に入る為の準備が整ったので最初の場所、「羅城門」を探しましたが、なぜか、カーナビが違う場所ばかりを示します。

こういう場合、「神々による整いの時間」と言う意味もありますが、1時間半ほど迷ったのには参りました。

でもやっと見つかった「羅城門跡」は小さな公園の中に石碑だけありますが、今でもしっかり門番たちが守っていて「了解しました」と許可が降りました。



平安京時代は、南から北へ向けて入る羅城門が最初の重要な門でした。



６、東寺

次に向かった東寺では、金堂にいらっしゃる薬師如来様にご挨拶に伺いました。







大きく、そして、やさしく薬師如来様に今回の趣旨を告げると、「十分、間に合っています」と言うので何かおかしいと気づき、昨日、頂いた玉を差し上げると、「西から東へ行くんですね。わかりました。」とすぐに許可の言葉を下さいました。

この言葉から薬師如来様は、現在の京都の西から東を守る役目の方なのだという事もわかりました。

これから進む方向を見守ってくれるという意味もあるので、心強いお言葉に感謝しました。

７、三十三間堂

生まれて初めて入った三十三間堂の素晴らしい千体の仏像のエネルギーをひとまとめに繋ぐ為に、まず二周しました。

そのあと、千手観音様に趣旨の報告をすると、「わかりました。お守り致します。」と言葉を下さいました。

そこに１本1000円の太いローソクに文字を書いて炎で奉納する方法があったので、「国家安泰」と文字を書いて奉納しました。

８日以降に火が灯るはずですので、千体の仏様のエネルギーが皆様にも届いているはずです。





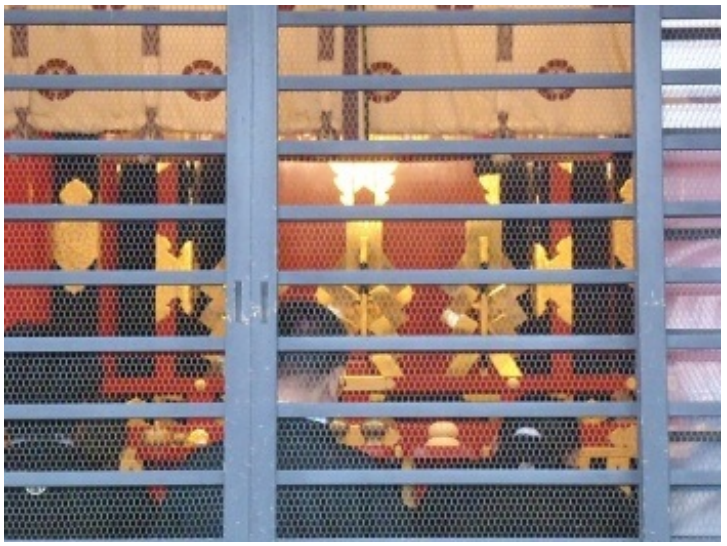


8、八坂神社





ここでも、正式参拝で神主さんが繋ぎをしてくれていました。



現在の京都の一番大切な横の通りは、「烏丸（からすま）四条通り」です。

過去の平安京の結界が壊れた後、御所を移して新しい京都結界を鎌倉時代に造った人物がいましたが、その中心となる場所が「烏丸四条通り」であり、その真東を守る役目が「八坂神社」なのです。

まず鳥居でご挨拶すると、「よくぞ、ここまで来たな！」とお褒めの言葉を頂き、本殿では、「お入りなさい」と言葉を頂いたあと、ひとつの図形が見せてくれました。

その図形は、北斗七星のひしゃくの柄が繋がる部分でした。

この意味は、ここ「八坂神社が、北斗七星の守りの役目をしている場所」だという意味です。

このことが分かった時点で、これまで廻った場所の目的に加えて、「北斗七星の神事」も、しなければいけなくなりました。

北斗七星の神事は、本来、天皇が一人だけで行う重要な天啓を降ろす神事ですが、この日本という土地も、京都という土地も、実は、北斗七星のエネルギーを降ろすように造られた巧妙な結界の場所なのです。

五亡星結界、六亡星結界は、もう外れていますが、四方八方結界と自然神結界まで事前に理解して進めてきたこれまでの神事に、北斗七星の結界を明かす重要な神事になってことに私自身も驚きました。

その場所を見つける事はとても重要なので、ホテルに戻ってからしっかり考えたいと思います。

9、北野天満宮







北野天満宮は最初から行くことを決めていたので、先ほどの北斗七星の結界の件を藤原道真公に問い詰めてみました。

すると・・・本堂では何も答えませんでしたが、祈りを終えて帰ろうとすると、

四天王

と名前を言いました。

この意味も後で調べる事にしようと思って外へ出た瞬間に、

お前じゃ、お前じゃ、お前がわしの口封じをしたのじゃ！

と言います。

んー？？？　これは聞きづてならない言葉だけど・・・、まあ、あとで考える事にします。

今、重要な問題は、明日の最終日までに北斗七星の意味に気づかなければいけないということです。

地図をにらみながら明日の最終日に行くべき場所を見つける為に、天の意思を確認する永い時間が続きました。

つづく

2011.07.10 Sun

京都神事　二日目

2010年11月から関西勉強会で出会った人たちと一緒に、膨大な量の歴史を調べたり、サニワをしながら、関西の地を訪れた渡来人の思いを調べました。

メーリングでサニワをしたり、関西神事と勉強会のたびに大神の真意を知る話し合いを重ねて先人の思いを理解する為にずいぶん時間をかけました。

平安京時代の古い法力を外しながら新しい京都の守りを整える意味は、日本の古都から続く日本人の天皇家を支えるご神光が日本中に振り注ぐことを考えているからです。

だからこそ、京都の地図を眺めていると・・・ひとつ、ひとつと行かなければいけない場所がわかってきました。

選んだ場所の決定理由は全てお話しできませんが、まず平安京を「外守り」で守っていた京都市内の過去の結界を外す許可を頂く為に左回り（時計と逆）で廻りました。

7月6日（水）晴天　気温32℃

１、松尾大社・・・平安京・京都の西を守る最大の神様



ここは日本中のお酒の神様の大元として有名ですが、もともと日本酒を作る仕事は神職が造っていましたので、今でもお酒を造る蔵元さんは、神様から許可を頂いた親族しか跡を継ぐ事ができないというルールが残っています。



正面左の末社から順番に挨拶をすると、衣手神社で見えない絹の神衣装を下さいました。ありがたいことです。



本殿に挨拶すると、ちょうど、神主さんが正式参拝をしているタイミングでしたので、全ての準備がなされている事を感じ、感謝しました。



神様は、「あなたがしようとしている事はよくわかっていますので、どうぞ、混乱なく戸惑いなく物事が進むように私たちも後ろでお守りします」と言葉を下さいました。

右の後ろには、2600年前からいる龍神様が豊かな水を湧き出してくれています。





水の神様を体に入れて、精気を整えます。

２、月読神社

松尾大社の近くにあることをあまり知らない方もいますが、以前、土地の方に教わっていたので、ご挨拶とお礼に行きました。





３、長岡天満宮・・・平安京の南西を守る役目

どうしても、南西を守る場所が無いので勘取りして調べると、やはり１０年足らずで遷都した長岡京の天満宮（藤原道真公）を平安京の南西（裏鬼門）守りに置いていることがわかりました。







道真公は、「わかってくれてうれしい。これからは、新しい京都の守りとして働きます！」と賛同してくれました。

どうしても来てほしいと言うので、足を運んだのが、長岡京大極殿跡地です。

４、長岡宮大極殿跡地

ここに着くと、ちょうど大型バスが敷地の中に止まっていていましたが、市の職員が神計らいのように鍵を開いて待っていてくれていました。

木の根元で祈りると、なぎなた二本、玉ひとつ、護衛者二名、そして、天から麻で編んだ輪がおりてきました。きっと、何かに必要なものだと思いますので、ありがたく頂きました。





５、城南宮・三照宮社

城南宮に着くと、車の厄祓いを無料で行ってくれていましたので、お願いしました。







ここでもタイミング良く神主さんが祝詞をあげていたので、またまた神計らいと驚きましたが、全ての事を理解してくれているのがわかりました。



ふと見つけた看板の裏に、渡来民族の鳥羽一族が上陸した地であることを主張しています。公家のひとつの家系である事は、皆さんもご存じの事でしょう。



この御宮の真向かいには、「三照宮社」がありますが、これはすごい守り方です。





全く開ける事ができないようになっているお宮のマークは、月と太陽と地球の三つを祀るお宮です。



城南宮を守りながら、平安京の真南を守るように設計されています。

６、鴨川の青龍・・・平安京の南を守る龍

どうしても南を守る重要な場所が見つからずに悩んでいると、天の利、地の利を体得している陰陽師だからこそ、何をしたかがわかりました。

鳥丸（からすま）通りが鴨川にぶつかった地点に、大きな龍をはりつけていたのです。

川に張り付けられていた龍は、最も体が大きい「青龍」でした。

天に六亡星、地に五亡星の力を使い、さらに手足を縛りつけて龍を法力で抑えつけて南の守りの力にしていたのです。

京都の鴨川は、滋賀県の琵琶湖から流れている水ですが、琵琶湖の大きな龍の力を平安京に取り込む為に、鴨川をあえて真っ直ぐに取り込んた川の形に造作したという点にも気づいて下さいね。







この青龍を解放した瞬間、大阪市内に努めている関西神事の女性がビジョンを見ました。

一切の内容を教えてはいませんでしたが、「京都で大きな龍が放たれた！」と、その映像を見せられた事を地球創生ＳＮＳで教えてくれています。

そうなんです。京都　平安京の最大の結界は、自然を司る龍神の力を閉じ込めて、色々な場所を守らせていた事なのです。

このあとも、いくつもの場所の龍を解放しましたが、京都で龍の絵を見たら、それまでは、結界の守りとして張り付けられていたことを想い出して御覧下さい。

７、伏見稲荷神社

本殿は遷宮で工事中でしたが、神様は「あなたが来るのを待っていました」と喜んでくれました。

稲荷の神様は、「私たちはここに張り付けられて苦しい思いをしていました。本来は、野山を駆け巡り、土地の五穀豊穣の為に働く神様だからです。」

祈りが終わると、「付いて行きます」と言うので、京都全てに伝令を出し、これから新たな京都を守る為に共に働いて下さいと伝えました。







８、東福寺

ここに行くべきかどうかを悩んでいると、道を一本間違えて迷いましたが、やはり、来るべき理由があったことをわかりました。天上絵の龍は、この場所と方角を守る為に張り付けられていました。







９、泉湧寺・・・南東の守り役目

静かに守りをしている存在は、私の意思を理解してくれているからこそ、無言で、心を通わせました。





10、平安神宮ここ平安神宮は、世の中が平安な世になるように造られた神社ですので、神様には、これからも変わらずに世の中の平安をお守り下さいとだけ、お伝えしました。







11、南禅寺・・・東の裏守り閉門まじかだったので急いで本殿へ行くと、そこにも龍が天上絵で張り付いていました。東の裏守りとしての働き、ご苦労様ですこれからは新しい京都を守る為に自由に空を飛んで下さいとお伝えしました。









これで平安京の外守りをしている、西・南西（裏鬼門）・南・東までの解放が終わりました。明日は、東から東北（鬼門）・北・北西と廻り、外回りの全ての解放をもう一度松尾大社にご報告にあがります。

部屋に戻り、過去の結界の勘取りをしましたが、突然、ものすごい事に気づきました。明日、行く場所を決めてから暑さと色々な思いが体の中でぐるぐる回っているので、早めに休みました。

つづく

2011.07.09 Sat

京都神事　一日目

2011年7月5日～８日、日本人の無意識に眠るカルマ解放の為に「京都神事」を行いました。

実に、ここまで5年の歳月がかかりましたが、ひとえに関西在住の地球創世の仲間のご協力があったからこそ成しえた大きな神事が、ひとつ終わったことをご報告いたします。

以前お話ししたように、「日本人のカルマの根源は京都に関わるものが多い」からこそ、見えないあらゆる結界を外す為に日程も、内容も、一切、秘密で行う必要がありました。

秘密で行った理由として2006年末の京都の体験もありますが、あらゆる民族が様々な思いを持ってきた場所だからこそ、いくつもの結界が組まれていますし、その全てを触るには、とても危険な部分が多いからです。

京都神事の最終日としてお告げが降りた「7月8日」の最後の祈りを終えた瞬間、関西の皆様と一緒に半年以上かけて祈り廻った関西一円の土地カルマが解放された事をここにご報告致します。

まず最初に7月5日（火）、関西空港へ向かう飛行機の中で降りた重要なメッセージから公開していきます。

もう過去の形にこだわった結界外しは、必要ない。

それを外す為に、これまでの関西神事があったのだから。

ただ、強く守っている存在たちは、挨拶に来る事を信じて待っている。

だから、筋道だけは通して下さい。

宇宙番の神事をすることはわかっていると思うが、それにはまず、これまでの守りの意味を理解してあげることこそ、思いやりであろう。

飛鳥も守りのひとつなれば、人神（ひとがみ）も、自然神も同じ目的の為に、働かされていたと言える。

だが、今となっては、その法力（ほうりき）も弱まり、陰陽結界の意味をわからぬ者たちが色々な事をしておるが、それは無意味である。

天啓は、我々が出したものだからこそ、必要な者たちが動いたのだが、争いは常に、「裏を産む」。

だからこそ、言わず語らず、裏の裏の裏・・・を守り続けてくれた存在たちに感謝が必要なのだ。

言い訳せずに、聞いてあげておくれ。

誰も気づかない存在が、永い間、守っていた事を知っているお前だからこそ、願いをしている。

上賀茂、下鴨については、対で働くからこそ、案ずる事は無く、物事を進めよ。

地は天、地の意思を聞く事こそ、古き天啓の意思を読みとることとなる。

だからこそ、お前を呼んだのだ。

天啓の守りは、人神（ひとがみ）の前に、宇天が降ろしたものだからこそ、皆（渡来人）は、関西を目指した。

しかし、それはもう過去の事。

土地の思い、人の思いは、古き地に挨拶してくれたおかげで、もう誰も不満を言う者はおらん。

ただ、秦氏だけは、やはり思いがあるようなので、聞いて欲しい。

氏神を祀る時、人は故郷の神仏へ繋がるように作るからこそ、想いを理解しておくれ。

天の理、地の理をよく理解していた陰陽師たちは、自らの守護を通して働きたがったが、（安部）清明以外は、皆、祀りごと（政治）に巻き込まれて力を果たせなかった。

だからこそ清明には、六亡星の力まで与えたのだが、天啓（天皇）の意思を動かしたい者たちによって都の力は、削がれたと言える。

天神使いたちは、生き場を失い、宇天番（うてぃんばん）の場所さえわからなくなるほど、その力は弱まり、大きな調和力が自然界、六亡星、五亡星と弱まり、霊界守護の守り役たちも嘆いている。

天地神、地天神を祀る場所を見つけよ！

四方八方は、そのあとでも良い。

地の利、天の利は、人間の為ではなく、自然を産み出す法則として宇天が造らせたものだからこそ、目に見える物に惑わされるな。

「地・天・空」の三身一体となった祈りこそ、今回の目的なのだ。

さすれば、全ては宇天へ繋がり、もろもろの思いも整理されよう。

〇「人神無二（じんしんむに）」…もう人と神はひとつとなった。安ずるが良い。

〇「三身一体（さんみいったい）」…人の心と守護の心と天の心も、ひとつとなった。

あとは、地の力を使い、現実の方向を変えるがごとく、宇天の力を使いなさい。

「印」は、残してある。お前なら、見つけるはずだ。

ヤタガラスについても、同じだ。

天皇家の三身一体は、もう間もなくである。

やるべきことさえやれば（四国のこと）、天の意は神の意となり、全ての神仏に届き、地の利を守る存在たちも力を貸そう。

宇天長老（うてぃんちょうろう）を覚えているか？

天孫子（てんそんし）、神の子として与えられた天啓を聞きとれるものは神の子、天皇といえども100人に1人くらいだからこそ、世の混乱を守る為に、来世より現れる人間や神巫女たちが生まれるのだ。

意思を間違うな。

人の声は、神の意思よりも後ろの働きによるものが99％とも言えるからこそ、天の神導きを信じて動きなさい。

「利は、天の利であり、利を得ようとする者が、得を得ようとする」

それが、「徳」ではないからこそ、地・天・空の無が必要なのだ。

人間の意図、意思、たくらみに惑わされるな！

全て、見えている者たちを迷わす法力とも、言えるのだ。

天の利は、ひとつ。

中心である。

中心こそが、全てを産む。

「へそ」である。

手足を掴むな。

頭の思いに、惑わされるな。

勘違いさせられるほど、その裏付けは、巧みに仕組まれている。

それが、法力の力なのだ。

目に見えぬ、人の知れぬところに矢が立ち、光が降りた証がある。

神を信ずるなかれ、人を信ずるなかれ、後ろの守護の言葉も半分で良い。

全ての事を魂で聞き取りなさい。

さすれば、必ず、見つかる三つの星。

四星（しせい）、天命を受けて、三種の器より命を頂きます。

このメッセージから、全ての神事の組み立てが変わりました。

京都についてすぐに車を借りて、まず最初に訪れたのは京都の北を守る「貴船神社奥宮」。









天には、龍雲も上りました。



さらには貴船神社の裏山を登り、山の一番上になる「芹生峠」までご挨拶に行きました。

ここから山の神は水を溢れだしてくれているからです。

豊かな水の恵みを頂いて、明日からの京都神事が始まりです。



つづく

2011.07.07 Thu

「船を乗り換える」メンタルマネージメント

あなたが生まれた時は、水を一杯にしたゴムボートの中で遊ぶ子供みたいなものでした。

色々なおもちゃを与えられて、ずっと、楽しむだけで満足でした。

小学生から中学生の時期は、ゴムボートの中で遊ぶことに飽きて、湖に浮かぶような小さな木の小舟を見つけて川へ船を浮かべて冒険に出かけます。

川の流れはゆっくりなので、どこへ行くのかワクワクしながら、周りの景色を楽しんでいます。

途中、同じ様な小さな木の船に乗った人に出あうと、二艘をくっつけて、一緒に楽しい時間を過ごす時期もあります。

でも、その人に飽きたらまた船を漕ぎだして、川の流れに乗って進み出します。

社会へ出る時期は、川が大きな海に繋がっていて、流れのままに大海へ出てしまったようなものです。

港には大きな船もたくさん見かけましたが、大海原へ出ると、自分の木の船が余りに小さいので不安になります。

もう少し、丈夫な大きな船さえあれば乗り変えたいと思っているのに、なかなか丈夫な船は流れてきません。

それでも毎日、一人で木の船の櫓をこぎ続けます。

ある時、自分の船より大きな木の船に乗った人を見つけました。

あの船なら5人くらいは乗れるから、私も載せて欲しいと思って近付くと・・・

「乗せてあげてもいいけど、あなたはこの船に乗る資格はあるの？」

と聞かれます。

「？？？？」

船に乗せてもらうのに資格が必要だとは知らなかったので、

「どういう資格が必要なのですか？」と尋ねました。

「この船は5名まで乗れるので、これから色々な人が乗ってくるんだけど、誰かの為に役に立つ人でなければ乗れないルールなんだよ。」

少し、悩みました・・・。

そんなに一生懸命に勉強もしなかったし、誰からも好かれるほど人間付き合いが得意な自分じゃない・・・本当の事を言えば、自分が嫌いな面もあるくらいなんだけど・・・・

そういえば、お母さんがこう言ってくれたことがあったなあー。

「あなたは頭も良くないし、器量も良くないけど、何事も一生懸命にやるところだけは偉いわねー」

「あのー、私、一生懸命だけは自信があるんですけど、そんなんでいいですか？」

「いいいとも！それで、十分さ、だって僕は一生懸命に頑張る事が苦手なんだよ。さー、どうぞ、どうぞ！」

大きめの船に乗せてもらったおかげで、気持ちは少し安心しました。

だって、もうこれからは一人じゃないんだもの！！

二人で船を漕いでいると、自分みたいに小舟に乗った人たちが近寄ってくるので、その男の人は同じ質問をして、あとの3名を自分の船に乗せました。

にぎやかになった船はとても楽しいけれど、なぜか、もっと自分のスペースが欲しいというか、自分らしく船を漕いでみたい気持ちが溢れてきました。

するとある日、鉄製の30名乗りの大きな船が近寄ってきました。

その船の船長は、こう叫ぶのです。

「おーい、そこの小さな船に乗っている人たちよ。

もし、こっちの船に乗りたければ乗せてあげるよー！」

その言葉を聞いてワクワクしたので手を挙げて、私は、一人で鉄製の船に乗り移りました。

今までお世話になった木の船の持ち主にお礼をいうと、

「いいよ、これも出会いだからね！

また、僕らも新しい誰かに出あう事を楽しみにしてるから気にしないでね！」

30名乗りの船に乗ると、何と一人一人の部屋まであって、飲み物も食べ物も自由に食べていいと言うので驚きました。

さっきの木の船では、たまに釣れたお魚を5名で少しづつ分けて食いつないだのに、天国にでもやってきた様な気分になりました。

数か月、大海原を航海していると、台風に直撃されて、なんと、乗組員の半分が波に飲まれてしまった為に、今では、私も船を動かす重要な役目を担っています。

今、考えている事は・・・

この船でまた大きな台風が来たら、きっとダメだ！

もっと、大きな船に乗り変えないと・・・。

神様ってやっぱりいるんだなー、って思います（＾＾）！

理由は、大きな大きなタンカーみたいな強大な船が、目の前にやってきたからです。

「おーい、その小さな船に乗っている人たちよ。

次の台風が来たら、君たちの船では波にのまれてしまうよー！

僕らの船に乗りたい人は乗せてあげるから、おいでー！！！」

私はまた、すぐに手を挙げて、大きなタンカーに乗りこみました。

これで、安心。もう、大丈夫！

今までみたいに毎日、力仕事をしなくてもいいだろうし、これでゆっくり骨休めができるわー。

大きなタンカーは、やっぱりすごいです！

次の台風の時、少しは揺れましたが、船内で普通に生活ができるほどこの船は頑丈です！

この船に乗っている人は、５００人以上はいると思います。

国籍も違う人たちが多いので、ちょっと話しが出来ずに苦労したけど、私の事をわかってくれて、気にかけてくれている人もいます。

だからもう、この船を乗り換えるなんで考えもしていませんでした・・・・。

あの川から突然、海に出た頃から、どれくらいの時間が経ったのかわかりません。

少なくても、あの頃よりはずいぶん、年をとったのは確かです。

最近は、日光浴よりも、部屋の中でゆっくりする時間が心地よく感じるようになりました。

年ですかね～（＾＾）

この船の人たちは、色々な国の人がいるので、あまり、他の人の事を気にしない生活をします。

だから、私も何人かの人とお付き合いしましたが、結局、言葉が通じても本当の私を理解してくれる人はいない事に気づいて別れました。

最近、考えていることは、もう一度、自分らしく生きてみたいので、自分だけの船を手に入れる事は出来ないものかと考えるようになりました。

そんな時に、年に一度の船内パーティーの大抽選会があり、一位は「豪華設備が着いた小舟一艘プレゼント」でした！

当然、狙っていクジを引きました。

神様って、やっぱりいるんですよね〜〜（＾＾）！！

当たりました！！豪華な小舟一艘が・・・・。

もう旅の準備は出来ていますので、明日、出発することにしました！

夜、眠りに着くと、神様が夢の中で色々な質問をしてきます。

「おまえは、まだ気づかないのかい？

また一人で、大海原へ旅に出ようとしているけど、何の為に一人で船に乗るかをわかっているのかい？」

何を言ってるだろう、この神様は・・。

私は、もうここが嫌だから出ていくことを決めたのに、それが、いけない事なのかしら？？？

「お前は、まだ気づいていないのだね。

船という乗り物はね、あなたの体の一部であり、あなたの家族であり、あなたの会社の人たちであり、あなたの地域に住む全ての人たちの事なんだよ。

みんなひとつの目的地に向かって船が進む事を知っているから乗っているのに、あなたはその大切な目的地のことを真剣に考えた事が無いでしょ。

だから、いつも船を乗り変えたくなるんですよ。

自分の目的地をハッキリ、「幸せになる」と決めれば、同じ目的地へ向かう人たちの船に乗る事ができるけれど、あなたは、自分の目的地をしっかり決めていないでしょ。

だったら、また、あの川から大海原へ出た時と同じ経験をする事になるんですよ。

早く、気づきなさいねー。

あなたが乗れる自分の船は、小さな木の船くらいなものだからこそ、同じ目的地へ行きたい人かどうかを確かめてから船は乗り継ぐものなのだよ。

あなたの肉体があるうちに目的地へたどり着いて欲しいから私たちは、ずっと、生まれた時からあなたをサポートしているのに、いつも、あなたは私たちのサポートを信じずに、自分の好き勝手に生きてきましたね。

それでも、私たちはあなたを見放しはしないのですよ。

いつか気づいてくれる事だけを願っているので、チャンスは与え続けますが、大きな大きな津波がまもなくやってくるので、早く目的地に着いて欲しいと願っています。

もう、一人だけの船では次の波には立ち向かえませんし、大きなタンカーでさえ、ひとたまりもないほどの大津波が襲ってきます。

だから早く、あなたは、自分が望む目的地を決めて向かって下さい。

目的地がわかれば、すぐに必要な乗組員には出会いますので安心して下さい。

あなたが、本当に、行きたい目的地のことですよ。

そう、あなたが生まれる前に決めてきたことです。

愛と希望の島へ行き、地球全てを愛と希望に溢れさせる

と決めたことを想い出せませんか？

まだ、わからないのなら、次の津波を体験してみて下さい。

命の灯があるうちに、目的地に着く人たちだけを私たちはサポートすることにしますので、どうぞ、あなたの好きな生き方をなさって下さい。」

作者：吉岡学（2011.7.4制作）　　※転載自由とします

明日7/5からの5日間、大神様の導きが皆様に届きます事を願って大切な神事を行いますので、御魂繋がりの皆様は祈りのエネルギーを繋いで下さいませ。どうぞ、宜しくお願いします。

＜地球創生勉強会＞
〇7/14（木）関東地区勉強会　19：00-21：30
場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500

〇7/16（土）静岡地区勉強会　19：00-21：30
場所：静岡市清水区/￥3500

〇7/19（火）関西地区勉強会　19：00-21：30
場所：大阪市住吉区　オフィーリア/￥3500

〇8/23（火）関西地区勉強会　19：00-21：30
場所：大阪市住吉区　オフィーリア/￥3500

〇8/25（木）静岡地区勉強会　19：00-21：30
場所：静岡市清水区/￥3500

〇8/27（土）関東地区勉強会　19：00-21：30
場所：東京都渋谷区　ＣＵＥ702/￥3500
※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先をこちらまでご連絡下さい。

2011.07.04 Mon

あなたは何か変わりましたか？

7月1日からまたひとつ、何かが変わったという感覚を感じている方は多いと思います。

それは、物事をプラスに考える人たちが増えたエネルギーだと思って下さい。

日本中で見えない世界のマイナス想念をプラスに転換する神事をしている人たちのエネルギーも大きく影響していますし、神事に一緒に心を合わせて、不安や苦しみをプラスに転換する祈りをしている人たちのエネルギーも大きく影響しています。

共通していることは、自分のことだけではなく、周りの人たちや日本の為、そして、地球が再生する為に必要な愛のエネルギーを発信し続けている人たちが増えているという事です。

東日本大震災以後、急に結婚する人たちが増えたのも、自分一人で将来を考えても問題は解決しない事に気づいた人が増えたからなのでしょうね。

誰かと支え合いながら本音で生きることでしか、未来に希望の光は届かない事に気づいた様です。

自分の幼さや足りなさを素直に認め、他人の言葉を素直に聞く心がけも大切です。

人間は常に、新しい人との出会いによって成長すると気づいた人ほど、自分自身も変化する事を受け入れなければ、必ず、苦しみと現実の狭間に落ちてしまう事を知っていますよね！

自分の考え方が良い方向に変わる為にも、見知らぬ人たちと大切な事を学び合う「地球創生SNS」の参加メンバーは、「自分という小さな個人の枠」を超えて、愛のコメントで溢れています。

誰かの日記やコメントを読んでも、愛と光に満ち溢れた勇気のメッセージに溢れていますし、日常的な何げないつぶやきをしても、相手を思いやる言葉を掛け合う事で、ご近所付き合いのような触れ合いが日本中、いえ、世界中に繋がっています。

それにはやっぱり、本名をフルネームで登録していますし、笑顔の顔写真も公開している事が最大の理由だと思います。

お互いの顔を見ているからこそ、直接、逢えない人の日記やコメントからその人となりが見えますし、日常の言葉を交わすように本音で話し合える愛の共通項を全員が持っているのが「地球創

生SNS」の特徴です。

最近、「地球創生SNS」の中で話題になっている情報を公開しますね。

１、宇宙情報のアカシックレコードの内容を自分の意思で公開する人が増えています。

自分の記憶情報が、他人に無意識に影響することを知っているからです。

２、夢で見たビジョンの解説を皆さんに教えてもらう人もいますし、自分が見た夢と他の人が見た夢の意味の繋がりに気づく人たちも増えています。

夢を通して届けられる守護存在メッセージは、全ての人の気づきの為に伝えられている事に気づいた人は、私たち人間全体を守護している大きな存在がいることに気づいていますし、その存在の意思を肉体を持って表現する為に私たち人間が生まれてきた事に気づいています。

３、地球を救うためには、全ての命を産み出した女性たちが変わらなければいけない事に気づいた女性たちは、「輝け！大和のひめがみ達」というコミュニティで愛と知恵の情報交換が始まっています。

※女性だけの本音トークですから、男性は入室室禁止のコミュニティです。

個人の気づきが多くの人の気づきに連動するスピードがとても早いのがSNSのメリットですから、あなたの自身の気づきの為に、そして、全員の共通意識の上昇パワーで地球を再生させる為にぜひ、あなたもご参加下さい。

この地球を救うのは、私たち一人一人の意識と行動の結果だけなのです。

2011.07.02 Sat

天皇制の意義

あなたは日本人として、世界一の皇族の歴史を持つ「天皇制」について正しい理解をお持ちでしょうか？

若い方たちは、天皇制を「象徴」として憲法で残している理由さえ、わからない方も多いかと思いますので、今日は、簡単にその理由を説明します。

まず神武天皇から始まったとされる天皇制の歴史について、色々な暴露本的な物も出ていますが、何かの真実を暴露して皆さんの意識をどこへ向けたいのか理解ができません。

それは簡単に言うと、世の中の人たちを混乱させて脚光を浴びたい人の我欲だと思います。

天皇制を語る時、まず第一に「日本人の精神性」というものが前提にあることを理解する必要があります。

天皇制を創った本来の目的は、長い時間をかけて世界から集まった渡来民族があちこちに住み着いた多民族国家だったからこそ、全ての民族が戦わない為にも思想・権力・神意識の統一が必要になり、その為の「思想教育」の柱が「天皇制」の本来の目的なのです。

だからこそ、天皇の民族ルーツを調べると表向きはひとつのルーツとされていますが、その他にもいくつものルーツがありますが、ハッキリわかっているルーツは三つあります。

その中でも沖縄を経由したツールは、途中で途絶えている為に、裏の裏に隠されたルーツについて、現在、神事を行っている事をお伝えしておきます。

しかし、天皇家の血縁のルーツが三つあったとしても、どれが正しいとかを主張すれば、それは戦いや混乱を産みだすだけですので、私は正解探しをしているのではなく、本来の三つの民族が持ってきた「神思想」を正しい形で統一する為に神事を行っています。

日本に伝わった三つの神意識とルーツを正しく整えて、日本人の無意識カルマを統合して、新たなステージへにステップアップすることが宇宙の大神様から求められていることなのです。

その為には「一切、戦いや混乱を産みだす情報を出してはならない」と言われていますので、時期を判断して皆様に必要な情報は公開しているつもりです。

見つかった情報をすぐに公開できない理由は、皆様の過去世の記憶を遡ると、天皇家のカルマを背負って生まれた人たちがたくさん生まれているからです。

大神様が、人間同士の混乱を望まないからこそ過去世の記憶を消して生まれましたが、ステージアップの覚悟と準備が出来た方は、過去世のカルマをお伝えするアカシックレコード・リーディングを受けて下さい。

自分の守護存在からどうしても自分の過去世ルーツを遡らなければいけなくなった人たちは、戦う為ではなく、本来の神の意図を整える為だと理解して下さいね。

改めて言いますが、天皇制は日本に必要です。

それは、天皇というお役目が、世界のどの民族も成しえなかった崇高な神思想によって多民族の意識統一した日本人の頂点におられる役目の方だからです。

「人間神思想」、つまり、天皇は神そのものであると言う教えが戦中までありましたが、天皇が神様なのではなく、天皇と言う位置におられる人間を守っている神様が、日本民族の繁栄と発展を願っている大切な神様なのだと理解して下さい。

その神様の意思を理解し、日本民族の繁栄と発展の為だけに祈りを捧げている方なのです。

世継ぎ（男の子）問題もありましたが、命を繋ぐ為に男の子が生まれる意味を正しく理解できれば、守るべき日本人の精神性の大切にも気づくはずです。

世界中のどの時代でも、男の子を産むと言う意味は、神代の世継ぎを産む事を意味するからこそ、母親はとても大切に扱われます。

これは子供はみな同じという動物的視点からではなく、世を繋ぐ最初の精子、男種を産み続ける事こそ、民族の血を繋ぐ最も大切な証でもあるからです。

女の子を産んだ母は、その意味を正しく教える義務があります。

戦い合った民族同士の最後の和合の方法も、お互いに大切な男女を差し出して、両国の子供を産む事で正式な和合が成り立つことは歴史が証明しています。

国の宝、民族の証を統合する意味が「子供の誕生」に直結しているからこそ、私たち日本人は多くの国の人たちの血が入っている民族なのです。

だからこそ、世界の民族争いや混乱を見ていても、その幼さに気づき、愛と調和を持って地球家族として育む愛を無意識に持っている民族なのです。

天皇制は、国家が憲法で認めた最高の神役目の方ですから、東北大震災の時に発したメッセージによって多くの方が勇気をもらったことも理解できると思います。

この部分だけは新興宗教の神様とは違い、日本の土地に生まれた全ての人間が同じ神の子として愛と調和で育み合う為に、日本神道はひとつの統一思想として「天皇制」を大切にしています。

古事記や日本書紀は、その為の参考書だからこそ、全てがひとつの答えになる様に書かれていますが、その裏の意味を探し求めても、愛と調和に行きつかなければ意味がありません。

何度も言いますが、日本には大きく三つの民族が大切な神様を日本に運んで来られて、その神様を祭る場所を探して色々な土地を動きまわりましたので、沖縄・九州・中四国・関西・関東に残る神ルーツを調べていくと、沖縄から入った大切な天皇家ルーツが消されている事がわかります。

なぜ、沖縄の天皇家ルーツが消されたかは琉球王朝の影響も大きいのですが、その事を今、なぜ、私が調べさせられているのか大神に問うと、日本人にとって大切な母神の地である沖縄の天皇家ルーツを整える事が、日本人の無意識に眠る神意識の統一に大きな影響を与えるからだそうです。

地球の全民族の神意識を産みだした母神として本来の知恵、役目を大和の地へ繋がなければいけない時期に来ている事が最も大きな理由です。

その為に、毎日、色々なメッセージが届きますし、今年の11月11日までに三つの大きな神事を同時に進めなければいけないほど、皆さんの無意識のステージアップの時期が迫っています。

全ての情報をまだ皆様にお伝えできない理由は、真実を知る事で過去世のカルマが動き出すから

ですが、全ての神事が終われば、そのあとに事実を知ったとしても意識の混乱は起きません。

理由は、皆様の守護存在たちの思いを統合する為に神事を行っているからです。

私が行っている神事は、日本人が日本人として本来の役目を果たす為に、皆様の無意識カルマを整える為に行っているという事をどうぞご理解下さい。

この趣旨をご理解、ご協力頂ける方は、「地球創世基金」へご支援金をお願いします。

◎郵貯から郵貯へお振込みは、記号　　19070　　番号　　9613551

◎銀行から郵貯へお振込みは、支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　0961355

私は、全ての混乱や戦いを望みません。

過去世、どれほど多くの戦いによって命を失った人たちかいたをよく知っているからこそ、真実を問うのではなく、永遠に地球を導く役目で生まれた日本人が、その役目を果たすよう影で支える事が私の役目だと思っています。

「無」は全てだからこそ、たどり着ければ心が完全に静寂になると思っている方がいるかもしれませんが、人間は常に矛盾だらけですから、「無」を悟ってもゴールではありません。

「無」が目的なら、最後は自分の消滅が目的だと言う事にも気づいて下さい。

私たちは、「有」を求めてこの肉体を頂き、愛という無限なる「有」をこの地球で産みだし続ける為に生まれてきたのです。

☆愛を、調和を、歓びを無限に産みだし続ける光のネットワーク「地球創生ＳＮＳ」に参加して、あなたも地球を輝かせる一人になって下さい！

2011.06.30 Thu

火の神（ヒヌカン）を床の間に戻す重要性

6月16日～17日に行った沖縄本島神事の一番大切な意味を皆様にお伝えいたします。

最初に啓示が降りたのは、今年の4月3日に行われた「こころのかけはし祈りのセレモニー」の移動時に、私自身が「あがりうまーい」と嘉手納龍宮からメッセージを受け取りました。

車に同乗していた沖縄の女性二人にも同時にメッセージが降りてきて、二人の守護存在はその意味を詳しく説明してくれました。

現在の神国日本の立て直しをする為には、男たちが変わらなければいけないのは当然ですが、その男を産み育てるのは女性たちだからこそ、「神の扱いを正しい形に戻さなければ男たちは本来の神働きが出来ない」という内容の啓示がおりました。

沖縄の永い歴史を振り返りますと、最高の男神の地位にいたのは首里城の王様ですが、現在、首里城の王様の椅子には、2007年に行った五島祈りによって、新しく誕生した龍球王国の国王である「真栄王」が鎮座されています。

その「真栄王」は、地球を守る龍神を守護神として正しい形で繋がっていますが、民衆の神信仰が正しい形になって居ない為、日本男児が立ち上がれないと教えられました。

地球人類を産み育てる役目を持つ母の地の沖縄の女性たちが、火の神（ヒヌカン）を正しい信仰の形に戻す事で、日本中の男性たちが神性に目覚め、地球維新の働きが成されると教えられたのです。

一般庶民に広く信仰されている火の神（ヒヌカン）の扱いが変わってしまった理由は、琉球王朝時代の王族、聞得大君（きこえおおきみ）、ノロ、島ノロ、ユタという序列制度が廃止された為に、正しい神知識を伝達する役目の人たちがいなく無くなったことが大きな原因だと思われます。

だからこそ大神は、新しい神仕組みを整える為にも、神世と現世の間に宇宙の大元と繋がる「大城（うふぐすく）」を作り、全ての人間の命を守っている大元の神に繋がる神事をして欲しいという内容でした。

沖縄全土に広がる火の神（ヒヌカン）信仰を古い歴史書で調べれば、本来、「床の間に祀る最高神」として家族全員が拝みをしていたことが書かれています。

家を守る「床神（とこしん）」の意味は、家長・家督・先祖を守る最も大きな神様だからこそ、生命を産み出す尊い女性たちが男種を神として祀り、家長家督が続いていくことを願い祈っていました。

もうひとつ、火之神を女性たちが守ってきた大きな理由は、男たちが漁や戦さによって家を空ける時が多かったからこそ、家の守り神を女性が守って来た習慣が残ったと考えて下さい。

沖縄と北海道の先住民は同じだからこそ、アイヌの拝みを見るとわかりますが、命種（男神）に拝むのは男の役目、先祖（母神）に拝むのは女性の役目として今も、北海道のアイヌたちは今も昔のまま引き継がれています。

ここで沖縄の皆様にお願いしたいことは、床神と火之神を一緒にして床の間に祀ることによって、命の繋ぐ男女の神を同等に祈る姿を子供たちへ見せて欲しいのです。

火の神（ヒヌカン）を世界中で祀られている「天照大神（あまてらすおおかみ）」と同じ意味だと解釈すれば、また、新たな気づきにもなるでしょう。

世界の全民族が、何故、太陽神信仰を続けてきたかといえば、命を産み出す「男の種」が無ければ命の循環が続かないことを女性たちが一番良く知っているからだと思います。

男子厳禁の御嶽や拝みが沖縄に残っている理由も、一番、神に近い家長の男種を守る事が女性たちの最大の神仕事だったからだと思います。

これは女性蔑視ではなく、命を繋ぐ産み出しの母の知恵であり、娘たちはいずれ結婚して家を出ていく宿命を持っているからです。

嫁いだ先の男種を貰って新しい男の子を産み出し続ける事が、重要な女性の役目である事を先祖代々、教わってきた歴史が沖縄にはあるはずです。

沖縄の女性たちが、なぜ「先祖神信仰」を今でも大切にしているのかといえば、それは、命の循環を絶えることなく続ける事が、最も大切な女性の役目である事をおばーたちが語り継いできたからです。

ではなぜ、火の神（ヒヌカン）が女性の神だと伝えられたり、台所の神として現代も祀られているかというと、1609年に薩摩藩が琉球王朝が攻めてきた時に、一番大切な床の間にあった火の神（ヒヌカン）を台所に移して、「これは女性たちが食事を作る為に必要な火の神です」と言って女性たちが火の神（ヒヌカン）を守った歴史があるからです。

中国や南方から渡来した民族が祀っていた火の神（ヒヌカン）の歴史書を調べれば、本来、男性神として床の間に祀られていた事を知恵のある神人（かみんちゅ）たちはご存知だからこそ、今も「床の間

の神」としてご主人と一緒に手を合わせておられる神人もいらっしゃいます。

先祖の願いである命種が続き、名字を守ってくれる男神の意味を正しく子供たちに伝え残す為にも、どうか、火之神を床の間にお祀り下さい。

そこには、ご主人と奥様が一緒に手を合わせる姿を子供たちに見せることで、男女和合と命の育み、そして、ご先祖たちが守ってきた心を正しく伝え残すことができると思います。

火之神は、本来、三名がセットでいらっしゃって、男女が命の尊さを教えるからこそ、見る人によって違って見えることも教わりました。

これまで長い間、祈りの方法をご指導してきた皆様に心から感謝すると共に、次の世代へ残せる神心をどうかお伝え下さいませ。

常に、苦しい状況下でも命を産み出し続けて下さった母神様（女性たち）に心から感謝を込めてお願い申し上げます。

大和の人たちが天照大神に手を合わせる意味も同様に、男性も女性も同列で手を合わせる心を教える事が必要な時代になったのだと思います。

大和の天照大神を、自然神の太陽(男）ととらえれば、月は女性ですし、人間に置き換えれば、天照大神は男種であり、豊受大神は女性であると理解できます。

伊勢神宮の外宮に豊受大神、内宮には天照大神を祀ることで、今の日本神道も影で火の神（ヒヌカン）の大切さを伝えているのだと思います。

この形は男神が偉いという意味ではなく、母神たちが守ってきた尊い命種を教える姿なのだと思います。

しかし、伊勢神宮も本来の意味から考えれば、「月読の神」を内宮に迎え入れて男女同列に神々を並べて拝む姿にすることで、神心を正しく教えることができるのではないかと思っています。

男女、分け隔てなく、命を繋ぐ大切な意味を次の世代へ教え導ける人たちが増える事を心から願ってお伝えしています。

命を産み育てて下さった女性のご先祖たち、そして、その心を守り続けて下さった神役目の全ての人たちに心から感謝と敬意を贈ります。

ありがとうございます。

2011.06.28 Tue

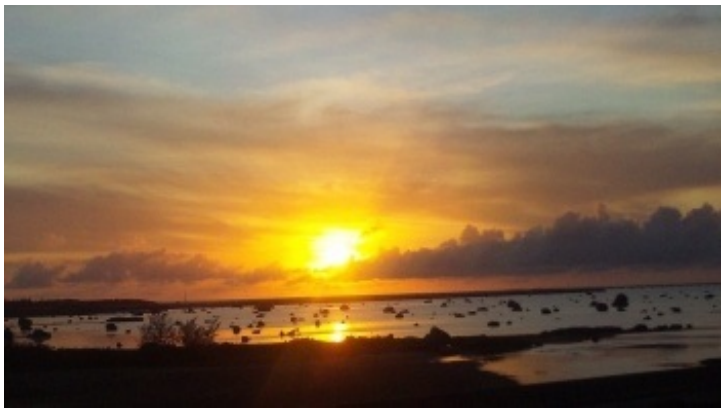
子供の誕生を祝う抱増御願（だつますうがん）

沖縄本島の神事を終えた１７日の夜、「地球創生SNS」の仲間や昔からの神事仲間が集まって、沖縄から愛を発信する人たちの交流会を開きました。

初めて参加された方もすぐに打ち解ける理由は、地球を愛し、日本に生まれた役目を果たすという共通認識を持っているからです。

２００６年からお世話になっている神人（かみんちゅ）に今回の神事のご報告をしたあと、これから沖縄の皆さんへ伝える重要な内容を確認し合い、再会の約束をしました。

次回、私が沖縄へ行く時には「地球創生勉強会」も開きますので新しい仲間とご参加下さいね！



翌6/18には、伊良部島に入りました。

目的は、伊良部島全ての神儀式を司る最高祭司の皿主（さらのしゅ）が３月に交代しましたので、これまで３年間務めて下さった川満昭一神オジーへお礼のご挨拶と、新しく任命された平山栄冶神オジーへのご挨拶が目的です。

偶然とは、常に神様の計らいだとわかっていますので、この時期に伊良部島に来た理由が他にもあるはずだと思っていると、やはり、重要な御願（うがん）があることを川満ご夫妻が教えて下さいました。

年に一度、伊良部部落と仲地部落だけが行う「抱増御願（だつますうがん）」というものがあり、この一年間に生まれた子供の親や祖父母が集まって神様にお礼を伝える儀式が、6/20の朝8：00からあるというので参加させて頂く事になりました。

この抱増御願（だつますうがん）の開催の為には、最初に、御願元（うがんむとぅ）の家が決

まり、そこに集まって全ての準備を行います。

伊良部島の御願（うがん）を仕切る男たちは、２７歳は「少年」、２８歳は「仕従成（しじゅうなり）」、３３歳は「御願主（うがんしゅ）」と呼ばれ、３３歳になってやっと一人前の男と認められて役目をこなします。

御願（うがん）の全ての準備をする青年団も、だいたいこの年齢で組織されていますが、息子が地元に居ない場合は、父親が息子の代わりになって全ての準備を行います。

御願元（うがんむとぅ）に集まる母親たちは、御願（うがん）の準備の為に、おにぎり・カツオの切り身を蒸した物・お茶・お酒を参加者全員分を準備します。



私も、お祝いのお酒を二本持って朝８時から参加させて頂きました。



抱増御願（だつますうがん）を行う御嶽（うたき）は、アダンニウタキです。

ここは林の中にあるウタキで、川満神オジーと一番、最初に出会ったとても大切な御嶽です。

私自身は、伊良部島に来て７年目になりますので、そのお礼もアダンニウタキの神様にしたいと思って参加しました。

アダンニウタキに着くと、パラパラっと雨が降りますが、すぐにやみました。

御嶽（うたき）に入る前に、最初に司おばーたちが御嶽の神様に許可を頂く祈りを行いますので、皆さんは許可が降りるのを待っています。



中に入ると、草木が生い茂っているので、男たちが安全の為に枝を切り払います。



一番奥には、司おばーたちが祈る神様の場所が出来上がりました。



神様に向かって左側には子供を産んだお母さんたちが、神様に供える供物を準備していますし、命を産み出す女性たちが神様に一番近い場所に座っています。



上座の左側には、それぞれの御嶽（うたき）を守る代表の司おばーが三名、その横に、新しく選ばれた伊良部部落の皿主（さらのしゅ）、仲地部落の皿主（さらのしゅ）、日取りを決める長主（ちょーのしゅ）が着物や背広を着て座り、次に並ぶのが、先代の伊良部部落の川満おじー、仲地部落の神おじー、長主のおじーが並びます。





準備が整うと、静かに司オバーたちの祈りが始まりました。



線香に火を付けると、煙に乗って神様が皆さんのところへやってきます。





祈りの時だけは、今回の「種元」となった父親たちが母親たちの横に並び、一緒に神様にお礼の祈りを捧げます。

伊良部島部落の御願（うがん）は、独特の祈り作法があり、今回は男たち全員が９０回、土地へ両手を広げて頭を下げるお礼祈りを行いました。

祈りが終わると、神ごとをまとめる「会長」さんが、二つの部落の区長にバトンを渡します。

親腹（うまばら）の伊良部部落　下地区長、子腹（ふぁばら）の仲地部落　山田区長から、今年、１年で伊良部部落に１７名、仲地部落に７名の子供が生まれたご報告がされました。



来年さらに人数が増える事を願って、区長さんたちが一人一人に「おとーり」をしてお神酒を配ります。

そのあとは、今年、父親になったお父さんたちが一人一人挨拶をします。

「私は〇〇の父と〇〇の母の二男の〇〇と言います。生まれてきた子供は、〇〇と言います。どうぞ、宜しくお願いします。」

国の子供、島の子供、部落の子供として、大人全員で子供を育てる風習が残っているからこそ、お世話になる皆様にきちんとお父さんたちは挨拶をするのです。



中には、二男の子供が生まれたけど今日来れないからと、長男が挨拶をした人もいました。

地域の皆様へ「自分の家族を宜しくお願いします」とういう大切な人の繋がりが、ここ伊良部島にはまだ残っています。

お神酒を回したあとは、司おばーが先頭になって踊り出します。

沖縄の踊りは、神様が歓びを表しているという意味がありますので、全員が踊りに参加して一緒に祝う姿を見せあいます。

一通り、お祝いと踊りが終わると、急に、スコールの雨が降り始めました。

おばーたちは、昔の知恵で、神ごとに使う葉っぱを頭に載せていました。



大風２号のあと、雨が降らずに作物が育たないと困っている話しも聞いていたので、この雨は恵みの雨として降らせてくれたことを祈りの最中にメッセージで受け取りました。

初めての男の子が生まれる時が大切です。

世継ぎは、神が与えた子供。

抱増御願（だつますうがん）は種の元、母神に感謝する御願なのです。

天の雨は、男の精子。

自然が命を産み出すように、人間も命の循環に感謝する日なのです。

全ての祀りを終えてホテルてぃだの郷に戻ると、天の神様が「なべ底」に繋がって行くのを雲で見せてくれました。



自然界全てを司る龍の聖地「なべ底」へ、新しい命の循環に感謝するご報告が届いた証だと思います。

伊良部島の人たちは、自然界の神様が与えてくれた食べ物に感謝するように、新しい人間の命が生まれた時には、母神、父神の元に感謝する御願（うがん）を数百年間、続けています。

ここ伊良部島は、日本で一番、そして、沖縄でも一番、人間と神様が近い島だとお伝えしておきます。

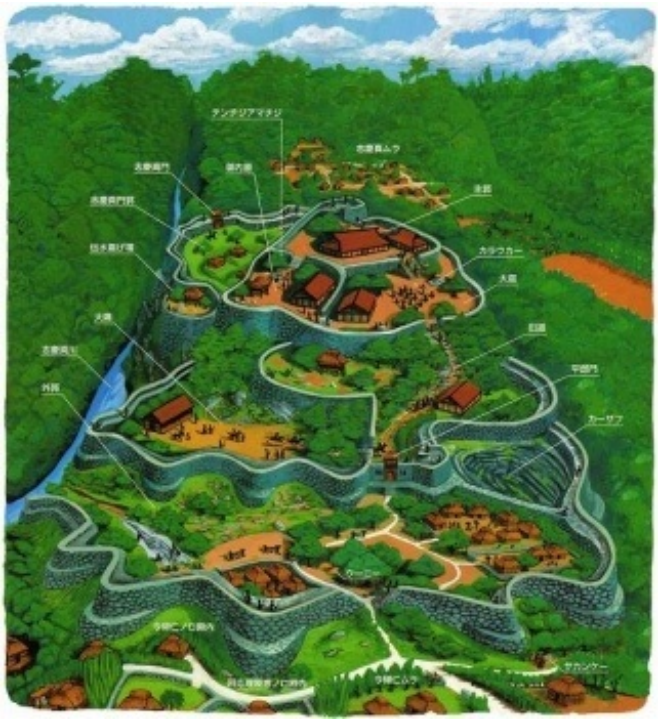
いつもお世話になっております伊良部島の皆様、本当にありがとうございます。

2011.06.26 Sun

沖縄本島　今帰仁上り（なきじんぬぶい）

翌6月17日、今帰仁城に着いて聖地ガイドの男性に私たちの拝みの趣旨を説明すると、下に三か所、上に五か所祈りの場所があると教えてくれました。

この今帰仁城がなぜアメリカ軍に壊されなかったのかを尋ねると、防空壕のような穴が無かった為に、昔のままの姿で残されたそうです。



今帰仁村役場が紹介している場所は17か所と表示されていますが、今回の神事でご挨拶したのは次の九か所です。

1、今帰仁ノロ殿内火之神の祠
2、供のかねノロ殿内火之神の祠
3、阿応理屋恵ノロ殿内火之神の祠
4、ハサギミャー（大庭の北側）　※石の広場の香炉
5、火の神の祠（本丸)
6、カラウカー（南殿）
7、南殿の御嶽あと　※現在、管理舎がある家の後ろ
8、ソイツギ
9、天チジあまチジ（北殿）

1、今帰仁（なきじん）ノロ殿内（どぅんち）火之神（ひぬかん）の祠

今帰仁城の最初の拝みは、このお城を祈りで守り続けているノロ（祝女）たちに、まず挨拶することが重要だと感じたので最初に向かいました。

目的は、この神事が終わったあとに決定事項を沖縄全島のノロ・神人・ユタへ通達を出してもらう許可を頂くことです。





今帰仁城を守っていたノロ殿内（どぅんち）で祈りを始めると、たくさんの女性たちの姿が見えてきました。その中でも中心的なやせた女性が、私の神事の目的を聞いてくれています。

ここで生活していたノロたち自身も色々な思いがあるようで色々な話を聞きましたが、最後に、木の箱に入った玉を私に差し出して、「私たちが守ってきた大切な物です」と、手渡されました。

きっと、大切な意味があるのだからと頂くと、「承認いたします」と言葉を下さいました。多分、ノロたちが守ってきた命とも言える「神様の魂」なのだと思います。



2、供のかねノロ殿内（どぅんち）　火之神（ひぬかん）の祠

ノロ殿内（どぅんち）の道を左手に降りた右の家は、上にいるノロたちを後ろで支える為の祈り役目の女性の家ですが、実は、とても辛い役目だったのです。



上のノロたちが祈っている時は、一切、他から邪魔が入らないように自分の身を壁として守る責任があるからです。

その事に気づくと、ここのノロは心の奥底に秘めていた寂しい思いを伝えてくれました。

「辛かった・・・。」

ただ、その事が言えずに苦しい立場だったことを感じてあげると、「承認いたします」と言葉を下さいました。

3、阿応理屋恵（あおりやえ）ノロ殿内（どぅんち）火之神（ひぬかん）の祠



ここだけは、昔のまま住んでいた精気が残っている場所でした。

建物を見ても、昔のままの壁だとわかります。

見ていると、ここに一人の女性が住んで祈り続けている姿が見えました。




三天三様


国火の神


唐の大女神
今帰仁唐の川



強い霊気に守られている割にすんなり家に入れてくれましたので、祈り始めると優しい言葉で話しをしてくれました。

阿応理屋恵（あおりやえ）ノロは、聞得大君（きこえおおきみ）を頂点とするノロ組織の三十三君と呼ばれ、神格の高い神女を表しますが、北山・中山・南山の三山統一のあとは、首里城から派遣された見張り役という意味もあり、辛い立場の役目でした。

でもなぜ彼女だけが、一番下で皆を守る役目になったのかを考えていると・・・天の知らせがきました。

それは彼女が、霊力が強い宮古島出身の女性だとわかりました。

その事に気づいた瞬間、一緒に祈っていた女性の体を借りて、「沖縄では、生まれついた時から色々な声が聞こえたり映像を見る霊的な人を「生まれ」と呼びますが、見えない存在とのやりとりを正しく身に付けた霊能者同士は、守護存在を通して常にテレパシーで全てのやり取りを同時に通信し合う為に、言葉で話さなくてもお互いの守護存在を通して同じ映像を見ることができます。

宮古島出身の霊能者は、なぜか霊力が強く生まれる女性が多い為に、家族と引き離されて沖縄のあちこちを祈る役目で連れて行かれた事は、これまで何となく感じていましたが、その指示を出した権力側も琉球王国全体を守るため、つまり、国を守る大切な役目としてノロ（祝女）という役職に付いています。

ただ、「両親やオジーオバーに逢えない事が辛かった」

とだけ言っています。宮古島から出てきて、必死に、この国を守り続けたノロにお礼を言うと、直径20㌢ほどの鏡を渡され、「承認します」と言葉を下さいました。

神光を発する大切な物を下さったのがわかったので、大切に使わせて頂きますと伝えました。



これで今帰仁城を守るノロたちへのご挨拶も終わったので、今帰仁城の一番上へ向かう階段を登りましたが、階段が三段、五段、七段と区切って作られています。





以前は車で本丸まで乗りつけられる平らな道だったそうですが、アメリカ兵が車で本丸まで乗りつけた時に大切な聖地だとわかったので、沖縄の神ごとの深さを示す三底（すく）、五底（すく）、七底（すく）の意味を持つ階段に作り変えたとガイドさんに教えてもらいました。

大庭（ウーミャー）から北殿に行くと、そこからの景色はとても素晴らしく、美しい海を見渡せる三山時代の北山の中心的な城であったことを実感させます。



大庭（ウーミャー）に戻り、最初の祈り場所を三人で探していると、一人の女性に指示が入り、「そこだ！そこだ！」と霊的存在が教えてくれました。

4,ハサギミャー（神ハサギ跡）

※大庭の北側にある石の広場の香炉



一瞬、見逃しそうな場所ですが、香炉が一つ置かれている場所から中央に向かって拝む事が自然にわかりました。

後ろにいる女性の体に乗った男性の魂（※どうやら北山王のようです）は、涙を流しながら、「そうだ、そうだ、そこだ！」と喜んでくれています。

ここは昔、民衆が年貢として食べ物を持ってくる場所だったようで、今でも大切な拝みが続けられています。

承認」と大きな声を発してくれました。

5、火の神の祠（本丸）

次は一段上の本丸に上がると、北山王だけが拝みをしていた国守りの「火の神」が祀られています。





祭司の準備はしていませんが、昔のように筋を正して王様の祈りを行いました。神世、神世と、この国を守り続ける祈りを通させ賜え」という声が聞こえます。

向き合う火の神は、国を照らし、世を繋ぐ働きをしますので、神事の目的を理解してくれたうえで、「承認致します」と言葉を下さいました。

6、カラウカー（南殿）



ここは、大切な水の神様が居る場所です。禊をしたり、神水として使う水を守る神様がいらっしゃいます。

たっぷりと水を差し上げてから、感謝の祈りを行いました。

本来は、もっとたっぷりと水があるんですが・・・」と教えてくれましたが、命を守ってくれた水の神様も、「承認」と言葉を下さいました。

7、南殿の御嶽あと　※現在、管理舎がある家の後ろ

この場所は探しても見つからなかったのですが、管理舎の建物がある裏側に廻ると、急に、一人の女性が声を発し、「そこだ、そこだ！」と教えてくれました。

やはり、この管理舎の建物自体が神場所なのですが、いたしかたありません。

通常、御嶽は一番奥の裏に、一番大切な神様を祀っていますので、ちょうど、この辺りが神様の場所だったのだと思います。





後ろの山のエネルギーを感じながら祈りを始めると、当時の情景が見えてきました。

王様が、大庭（ウーミャー）で色々な事を行う時に、ここの神様は王様を木の影から見守る役目で働いていたそうです。

でも、廻りの人たちはその意味がわからず、無関心とも思える扱いをされたと教えてくれました。

現在、管理舎が聖地の上に立っていることを見ても、その事を表しています。

でも、神様は怒ってはいません。

その事に気づいてくれる人が一人でもいれば、存在のエネルギーは永遠に続くからです。

蔭ながら王様を守ってくれた事に感謝すると、「承認」の二文字が降りました。

どうか、この場所の重要さに気づく人が増える事を願っています。

8、ソイツギ





「添い繋ぎ」と文字にした方がいいと思うほど、ここは本来、王様が故郷の伊平屋島へ拝みをする為の場所でした。

どんな職位の方でも、生まれ故郷や先祖の土地へ感謝する祈りを忘れない沖縄の方たちの思いに感謝して父母の地へ手を合わせると、「承認」と文字が降りました。

「天チジあまチジ」も同じように、天のチジ、つまり、お父さんと、地のチジ、つまり、お母さんに感謝する祈りを捧げた場所なのです。

人間として一番、大切な意味を持つ祈りの場所だと思います。



9、天チジあまチジ（北殿）

今帰仁城の最後の祈りは、石で囲まれた北殿の祭事場です。

ここは天のチジ＝男性の守護神と、大地のチジ＝女性の守護神を繋ぐ為の祈りをする場所です。



ここには、自然界の命の産み出しや人間の命の産み出し、つまり命の再生循環を司る神様がいらしゃるという意味でとらえて下さい。

常に、全ての生命循環を感謝する祈りを捧げる姿は琉球古神道の精神であり、大和の古神道のと同じ意味を持っていますが、沖縄はさらに、人間としての命の循環に祈る習慣が根付いています。

先祖神信仰が民衆に浸透したと言ってもいいでしょう。

人間界を超えて、天地創造の神元へ今回の神事のご報告をすると、「承認いたしました」と言葉が降りてきました。

これで、今帰仁上り（なきじんぬぶい）は、終了です。

全てのご報告を首里城の王様にする為に、急いで、首里城へ向かいました。



お礼・ご報告の順番は、まず守礼の門を超えた先にある「園比屋武御嶽（すぬひゃんうたき）」の神様に、王様へのお目通しの許可を頂きます。

「首里森御嶽（すいむいうたき）」が、最も強力な王様守りの門番ですので、ここで最度、お目通りの許可を頂く必要があります。

ここで許可を頂ければ、中に入って問われる事は一切ありません。



有料の門をくぐり抜けて、一番上にある王様の椅子の前に到着しました。





現在、この椅子に座っている王様は、2007年の神事のあとに尚円王の退官式を終えて、龍球王国の「真栄王」が座っていますので、私たち三名で行った神事のご報告と今回の神事の目的を改めてご報告させて頂きました。

龍球国民の為に、さらには、国の立て直しの為に必要な事だと理解していますので承認致します

と言葉を頂きました。

王様の承認を得てから広場で空を見上ると、いろいろな雲が動き出していました。





安心して帰ろうとすると、一人の女性に神言葉が降りました。

何を言いたいのか、ハッキリ言って下さいと言っても、「ここでは言えない・・」とだけ言いますので、首里城を出てから話を聞くことにしました。
首里城を出てから、女性の体に乗っている存在に聞くと、行くべき場所がわかりました。王族の墓がある玉陵（たまうどぅん）です。

この名前が出た段階で、彼女に乗っている主もわかりました。

三山統一のあと、看守制度によって北山を守らされた尚巴志の二男です。

本来、二男はこの玉陵（たまうどぅん）のお墓に入る事が許されません。

しかし、沖縄を統一していた琉球王朝も島津藩に倒され、北山の今帰仁城を守っていた二男の魂は行く場所もなく彷徨っていたのです。

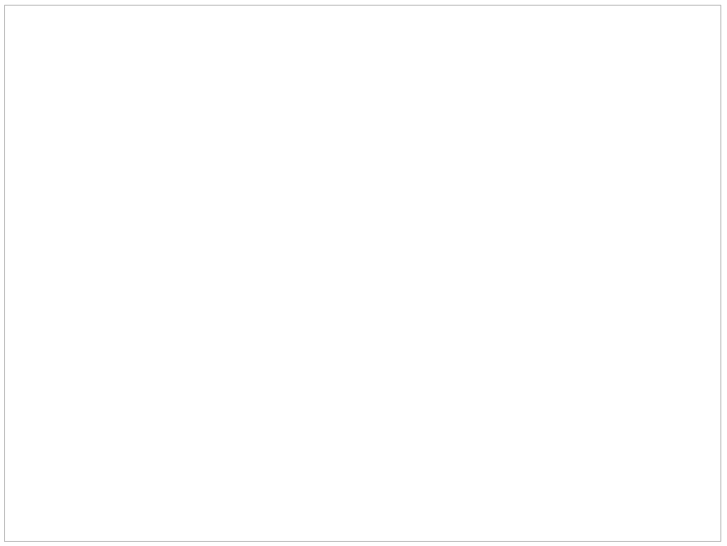
王様に命令されて今帰仁城を守っていたノロの阿応理屋恵や、他の場所でも同じように守るよう命令された御霊たちが行き場を失って彷徨っていたのです。

だからこそ、その全ての御霊を首里城の横にある玉陵（たまうどぅん）に繋ぐ神事になったことには驚きました。

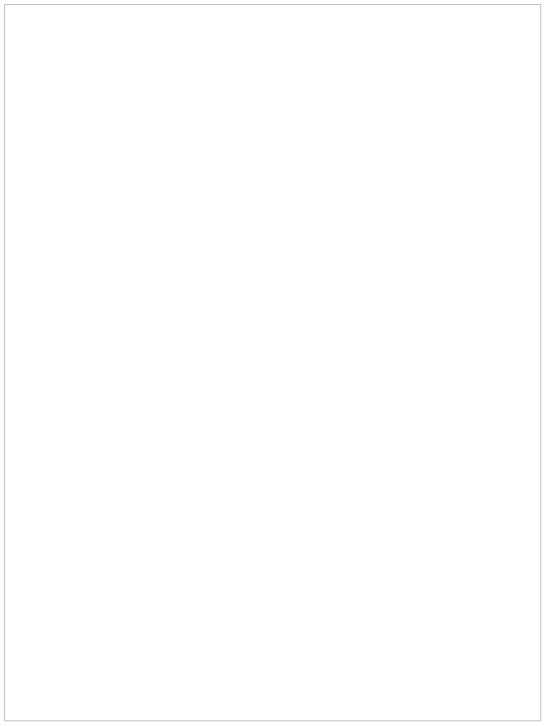
大神の采配は、人間の体を使って私たちの考えが及ばない役目をさせる時があります。

その結果は、雲が教えてくれました。空を見上げると、空にははっきりと白龍が見えています。

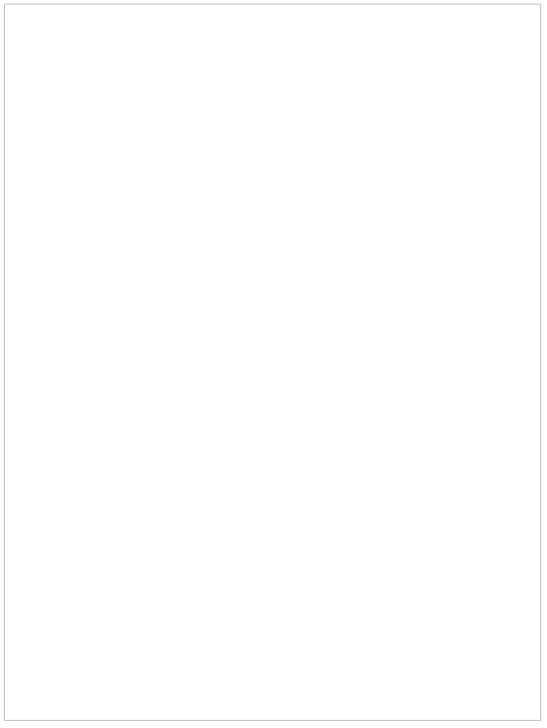
白龍の役目は、全ての物事を判断する裁判官の役目を持っていますので、白龍が来たことで承認された意味になります。



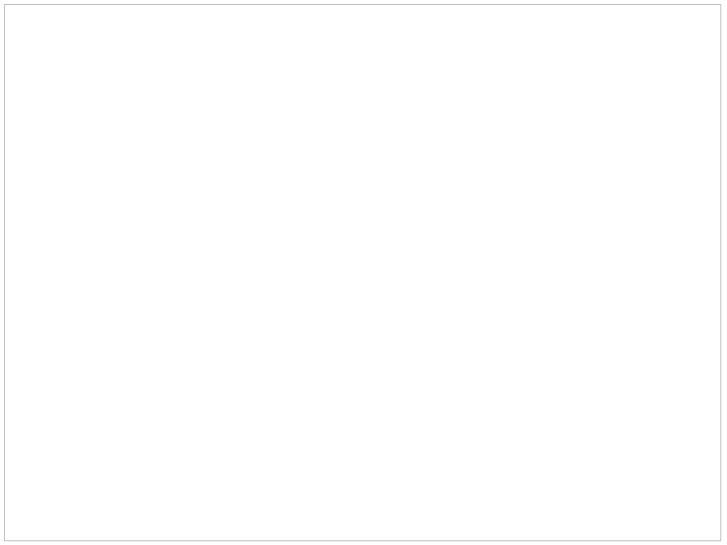
大きな雲が、玉陵（たまうどぅん）に繋がりました。



王族・聞得大君・ノロ・神人・ユタなど国を守る為に働いていた全ての御霊たちが、ここ玉陵（たまうどぅん）に繋がり、過去の思いが一掃された合図として何本もの横線の雲が承認を示してくれています。



太陽の光は、その全てを光に繋ぐことで過去の因縁を解消したことを光で教えてくれています。



これで全ての準備が整いました。

今回の神事のもともとの大きな目的については、改めて後日、公開しますのでしばらくお待ち下さいませ。

☆魂を輝かせたい仲間は、こちらをクリック！！！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」。あなたも一緒に、地球の未来を輝かせましょう！
＜魂の目覚め　地球創世勉強会　7月予定＞
〇7/14（木）関東地区勉強会　　19：00-21：30
場所：東京・渋谷ＣＵＥ702/￥3500
〇7/16（日）静岡勉強会　19：00-21：30
場所：静岡県清水区/￥3500
〇7/19（火）関西地区勉強会　19：00-21：30
場所：大阪・住吉オフィーリア/￥3500

※参加希望者は、氏名・住所・生年月日・連絡先をこちらまでご連絡下さい。

2011.06.25 Sat

故　谷浩一君一周忌を迎えて

2010年6月24日（木）に、地球を守る為に働いていた谷浩一君（47歳）が亡くなりました。

今日は、その一周忌に当たります。

ついつい忙しさに忘れてしまってて、ゴメンナサイね。

線香の一本も立てずに、涙もこらえて、一緒に伊豆神事をしたことを想い出します。

あなたの死は多くの人の心に響き、地球の大切さや生きる事の大切さに気づいた人が多いと想います。

天上界から見れば、愚かな人間の業の世界だと思いますが、こちらも必死で頑張るべき人たちが動きだしていますので、一人一人にメッセージを送ってあげて下さい。

生きて肉体を持って役目を果たす人もいれば、肉体を離れて役目を果たす人がいるのはわかっていますが、一緒に、美味しいお酒を酌み交わして、どうすれば皆が気づくのかを話した夜の事を想い出しますねー。

思いは、いつも一緒ですよ！

でも、本当にごめんね、忘れてて・・・。

僕は、君が大好きでした。

大酒飲みで、暴れるし、暴言も吐くけど、とってもとっても、気のやさしい男なのは、知っていましたよー（＾＾）

後から聞いたら、女性たちも皆んな知ってたみたい（＾＾）

いずれ一緒に空の上でお酒を飲むと思うけど、僕も最近、神様たちから体を大事にして下さいと言われます。

あなたも言われていたはずなのに、ちょっと、無理しちゃったもんねー。

あなたの代わりに生きてる事は、いつも感じています。

先日も、神様から「いのちの代償」って本を読みなさいと言われて、やっと読み終えたところでした。

本を探したらね、二冊あって、両方読んだんだけど、やっぱり、北海道の山で遭難した事件の本に、一人だけ生き残った人の実話を神様が伝えたいのだとわかりましたよ！

生きるって大変だけど、僕らはみんな亡くなった人たちの「いのちの代償」を背負って生きているから、生かされている間に払わなければいけない代償があると感じています。

そうそう、3月11日に東日本大地震が起きてね、たくさんの人が亡くなったの。

知ってると思うけど、海の中や土砂の中で死んだ人たちが、まだ死んだことをわかってない人がいるみたいなので、お空へ連れて行ってあげて下さいね。

僕たち全ての日本人の気づきの為に、亡くなった人たちだからこそ、一生懸命に生きないとね！！

こちらもがんばるから、そっちもよろしくね！

言いたい事あったら、いつでも聞くから、降りてきていいよ（＾＾）

愛してます！　谷浩一君！

出会わせてくれて、ありがとうね～！！！

吉岡学

2011.06.24 Fri

沖縄本島　東御廻り（あがりうまーい）

沖縄本島の東御廻り（あがりうまーい）とは、沖縄民族の祖先といわれる「アマミキヨ族」が渡来して住みついたと伝えられる霊地を巡拝する事ですが、本来は、国家安泰や五穀豊穣の為に、王様と聞得大君（きこえおおきみ）が行った最高儀式です。

現在は、沖縄の男たちも「家長・家督の男立て」の為に廻る方もいるようですが、本来の意味も正しく理解して下さいね。東御廻りで廻る14か所の名前をここに記します。

1.園比屋武御嶽（すぬひゃんうたき）
2.御殿山（うどぅんやま）
3.親川（えーがー）
4.場天御嶽（ばてんうたき）
5.佐敷グスク（さしきぐすく）
6.テダ御川（てだうっかー）
7.斎場御嶽（せーふぁうたき）
8.知念グスク（ちねんぐすく）
9.知念大川（ちねんうっかー）
10.受水・走水（うきんじゅ・はいんじゅ）
11.ヤハラズカサ
12.浜川御嶽（はまがーうたき）
13.ミントングスク
14.玉城ぐすく（たまぐすくぐすく）

私自身は2006年から沖縄本島の仲間と一緒に100か所以上の聖地を廻っていますので、行ったことがある場所も多かったのですが、今回の神事の目的を大神に確認すると、「今帰仁（なきじん）回り」も必要な事がわかりましたので、二日間で廻る拝所の意味と順番を決めました。

まず、一日目に廻った場所と順番です。

1.園比屋武御嶽（すぬひゃんうたき）
2.ミントングスク
3.玉城ぐすく（たまぐすくぐすく）
4..テダ御川（てだうっかー）
5..親川（えーがー）
6.知念大川（ちねんうっかー）
7.知念グスク

１、園比屋武御嶽（すぬひゃんうたき）



首里城でまず最初にご挨拶するこの御嶽は、「沖縄全体に関わる神事を行う承認」を得る為に向かいました。

この.園比屋武御嶽（すぬひゃんうたき）の神様は、王様でさえ承認が出ないと祈りにいけないほど、大きな神様ネットワークの中枢を守っておられる大切な神様なのです。

祈り始めて目的を告げると、いつもの女性の声でやさしく「承認いたしました」とお言葉を下さいました。

さらには、身を守る為の大切な物も懐に与えて下さいました。

2.ミントングスク：沖縄県南城市玉城仲村渠（なかんだかり）

ミントングスクは、アマミキヨの住まいだった場所で、現在も個人の所有地ですので、ご迷惑がかからないように挨拶に伺いました。







祈りを始めてしばらくすると、「豊見氏親（ウズヌシュウ）を繋いで下さい」と言われました。

※豊見氏親（ウズヌシュウ）については、こちらをお読み下さい。

私が沖縄で動く時は大切な「宮古番」としての働きもあるようなので、神様のご指示どうりに宮古島を守っている神様エネルギーを繋ぎました。

宮古島の土地代表をここに繋ぐ意味は、神事ではとても大きな意味になりますが、ひとつひとつ必要な事を教えて下さる神様たちに感謝です。

繋ぎ終えると、いくつもの光のラインが集まってきてひとつの光の玉となり、最後はこの場所に収まりました。最後に、神様はこうおっしゃいました。

「承認いたしました」

3.玉城ぐすく（たまぐすくぐすく）：沖縄県南城市玉城

ミントングスクの近くにある玉城は、まず入口のが木々たちが門番なので、きちんと挨拶しなければ叱られます。



階段を上っていくと一番上に、「天つぎあまつぎの御嶽」がありますが、先客が居たのでしばらく待つことにしました。



ここは、きれいな海も見渡せる景色のいい場所ですので、当時の城主もこの景色を見ていたことを感じると、不思議な感覚になります。



この日はあちこちで拝みをする人たちに逢いましたが、初めて見る男だけの祈りをする人たちを目にしました。

通常、沖縄の拝みは女性しか行わないと思っていましたが、この日は、門中（もんちゅう）の方たちが先祖へ祈りをする日に当たっていた為に、男性だけが数名で「実印（びんし）」を持って祈りに来ていました。

門中（もんちゅう）とは、氏族階級の男系の親族たちが王家を守る一族の証として厳しく家長制のルールを引き継ぐ先祖代々の風習ですので、家長は先祖から受け継いだ「実印（びんし）」を持っています。

沖縄には門中だけのお墓もありますし、それはそれは厳しく先祖たちが守っていますので、地元の人は、決して他人のお墓に手を合わす事はしません。

理由は、過去に厳しい序列制度で管理されていた土地ですので、余計な事をしてご先祖同士の争いが起きないようにする為です。

木製の御重箱のような手提げ箱に入った「実印（びんし）」の中身は、泡盛の酒器を左右に、真ん中には盃と洗い米、洗わない米、そして、10円玉を三枚入れています。



門中の男性たちに見守られながら、「天つぎあまつぎの御嶽」で祈りを始めると、天繋ぎ、地繋ぎのあと、玉が神様の場所に入り、「承認」の言葉が降りました。



一緒にいた女性からは、「神様からお礼の言葉が降りました」とも教えてもらいました。

4.テダ御川（てだうかー）：沖縄県南城市知念知名1172

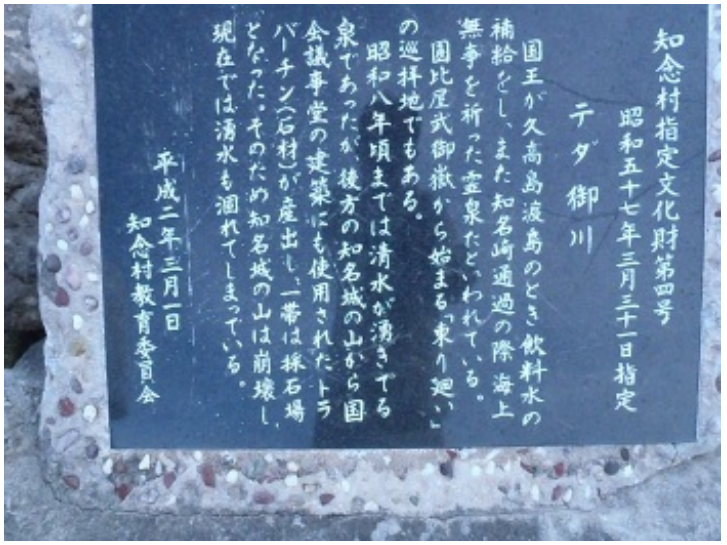
海のそばにある「テダ御川」は、昔は、水が湧いていて王様が立ち寄って水を飲んだ歴史がありますが、大和の侵略後、山の上の石を削り出したせいで、水が出なくなってしまっています。

水は、自然が産み出す精子として命の循環を司っていますが、無くなった水場を神様はしっかり守ってくれていました。

光が降りている大きな左右の石は門番ですので、ご挨拶を忘れないようにしましょう。




テダ御川


知念村指定文化財第四号
昭和五十七年三月三十一日指定
テダ御川
国王が久高島渡島のとき飲料水の補給をし、また知名崎通過の際海上無事を祈った霊泉だといわれている。
国比屋武御嶽から始まる「東り廻い」の巡拝地でもある。
昭和八年頃までは清水が湧きでる泉であったが、後方の知名城の山から国会議事堂の建築にも使用されたトラバーチン(石材)が産出し、一帯は採石場となった。そのため知名城の山は崩壊し、現在では湧水も涸れてしまっている。
平成二年三月一日
知念村教育委員会



ここに来た理由は、自然神の龍の水を全てに繋ぐ意味と、天・太陽神の承認を得る為です。

祈りを始めると快く「承認」をしてくれましたが、昔の話も教えてくれました。

昔は、もっとたくさんの神々が一緒に居てここを守っていましたが、祈りに来る人も減り、神エネルギーが減っていますが、私は何があってもここを守ります。どうか、次に来る時には、水をもっと持ってきて下さいませ。

このセリフは、以前にも聞いた事を想い出しましたので、どうか、お近くの方は、祈りと共に神水をたっぷり注いで下さることをお願いします。聖なる水のエネルギーを繋ぐ事で神の力も必ず、復活します。

5.親川（えーがー）：沖縄県島尻郡与那原町556

さて、私の大好きな「親川（えーがー）」ですが、実は、2007年6月に来る事になった理由を話しておきます。

2007年3月に行った「沖縄本島五島祈り」のお礼参りのあと、6月に与那国島まで「日本の西守りの祈り」に行きましたが、その夜、与那国島で最高の神男の背中を借りて守護神の繋がりを読みとった時に降りた神メッセージがキッカケでした。

「あなたは、なぜ？、人格神を祈らないのですか？

あなたに伝えたい事がたくさんあるのに、あなたが手を合わせてくれないので、私たちは伝えることができません」

実は、それまで私は「自然神」しか祈らないと決めていました。

理由は、この地球をここまで汚したのが「人間」だからです。

当時は、「地球は救うけど、人間は救わない」と決めたほど、自分自身を含めて人間が嫌いでした。

でも、沖縄で一緒に祈ってくれた仲間たちのこれまでの祈りへの思いを知れば知るほど、沖縄は人間の命を繋ぐ為に必死に祈りをしてきたことを理解し始めていました。

そこに、この言葉が降りたので、神事の筆頭神人に聞きました。

神様がこう言っているんだけど、どうすればいいの？

「それはもう吉岡さん、人格神の事もしなければいけないという事でしょ。でもその為には、沖縄本島で聞得大君（きこえおおきみ）の承認を得なければいけませんよ。」

地球を汚した人間を恨んでいた思いよりも、沖縄の神々が望むであればと、「三か所だけ行くので場所を決めて！」とお願いして、与那国島の帰りに沖縄本島の聖地を廻り、最後の承認を得る為にやって来たのが、親川（えーがー）でした。

筆頭神人は、親川（えーがー）の神様とやりとりが終わったあと、私に「一人で承認を取って下さい」と言い、神に向き合いましたので、ここの神様の事はよく覚えています。

神様と話をすると、これまでの色々な思いを全て理解してくれたうえで、地球や日本を守る為に沖縄の神々と人の為に働く宣言を改めて決意した場所です。

祈りが終わると、筆頭神人が驚いた顔をして、こう言いました。

吉岡さんの腰に、「うふあふれしも」の女性が三名付いているよ！「うふあふれしも」は聞得大君（きこえおおきみ）の実行部隊で、最高の霊能力を持つ女性たちの事で、50年間、神人をやっていても一人付くか付かないかと言われてるんだよー。これならあなたは、沖縄のどの島の、どの聖地に入っても文句をいう神様はいないわー。」

その時は意味がわからずにいましたが、確かに、その後の沖縄の祈りで文句を言われる事はなくなりましたので、心から感謝しています。

親川の神様に今回の目的を告げると、快く「承認しました」と、やさしく女性の声が聞こえましたので、今回の神事を導いてくれた女性二人に「スディミジ（第三の目を開く儀式」を行いました。







一人の女性は、とてもこの場所が気になっていたようで、とても神様の祝福を受けられて喜んでくれました。

6.知念大川（ちねんうっかー）：沖縄県南城市知念字知念1148-20

知念大川（ちねんうっかー）は、山から直接、湧き出た水場で、稲作発祥の地としても知られています。

知念城がある山を後ろに背負っていて、水の神様に感謝ができるとても素晴らしいでした。









自然の神々が今も大きくここを守ってくれていますし、水の恵みに地元の人も感謝を続けている素晴らしい場所です。

ここには、関西神事の仲間が私に託した大和の神水も繋ぎましたので、大和と沖縄の人たちの争いの心を清めて下さるを念じて祈りを行いました。

「承認」の二文字を頂くと、夕暮れが迫ってきましたので急いで、知念城へ向かいました。

7、知念城（ちねんぐすく）：沖縄県南城市知念字知念上知念田原

知念城の第一の目的は、沖縄全土の神ルールを正しく元に戻す為の神事ですので、祈りをする人たちへノロたちから伝令をして頂く為にも、「ノロ殿内（どぅんち）」にご挨拶する必要があります。








ノ口屋敷跡





入口から入ると、奥に年配のおばーがどっしり座って待ってくれていました。祈りを始めると・・・

「よく来たねー、大和の子よ。そうかいそうかい、そういうことかい、わかったよ。あなたたちが来てくれて私たちもうれしいよ。だから、一緒にこの沖縄を支えて守っていきましょうねー。では宜しくお願いしますねー。」

本当に、普通のおばーのように話してくれましたが、本当はものすごく体が大きいので、神の力も大きいおばーだと思います。

祈りの中で見えるエネルギー体は、その存在の神力を表すものですので、ここで素晴らしい守りをしていたことがわかります。

帰り際には、「その娘たちも、良くできたねー」と二人の女性たちの祈りを褒めて下さり、心を真っ直ぐに神に向き合う姿をいつもご先祖たちや神々が見ている事を感じさせてくれました。

最後は、一番上にある王様の拝所ですが、何とかうす暗く見える中で祈りを始めました。

今日一日のご報告、そして、今回の神事の目的を告げると、大きな声で、「承認」と言って下さいました。

東御廻り（あがりうまーい）も無事、完了したので、明日の「今帰仁廻り」も頑張りましょう！



2011.06.24 Fri

沖縄本島の神おばー

関西全域の新しい調和を産み出す為に、6/14の関西勉強会は渡来民族の歴史や神仏の歴史、そして、京都の結界について説明しました。

こういう大切な時期に、必要な人たちが守護存在の導きで集まってくれることに感謝します。

皆さんが気になる場所をたくさん教えて頂きましたので、あとは私が直接、大神様と話し合いをしながら決めますが、皆様の思いがひとつになるように京都神事の準備を進めています。

日本民族の因縁の元とも言われている京都の因縁解放が終わった段階で、皆様には情報公開を予定していますので、どうぞ、それまでは愛のエネルギーで祈りのサポートをお願いします。

翌6月15日は、沖縄本島在住の神おばーの祈りをお手伝いに行きました。

72歳の渡嘉敷ヨシおばーは、神メッセージで辺野古基地移設の反対運動の先頭に立って聖地を守る活動をしている方ですが、孫が16名いると教えてくれたほど現実世界でも、神様の世界でもバランス良く生きる力をお持ちの方ですし、ご主人も一緒に拝みをしている姿に感動しました。

沖縄の基地移設問題になっている辺野古の海は、海の妖精ジュゴンが住む場所で、とても美しい珊瑚に囲まれている場所ですので、どうぞ、あなたも自分の目で確認しに来て下さい。



この日の祈りは、神おばーが地元の全ての聖地をまとめる場所として自分の畑の隅に拝所を新しく作りましたので、そこで二つの目的で祈りを行いました。

土地の全ての神々をまとめる「土帝君」、人間の命・血を守る「赤龍」、生きて積んだ徳の証の帳簿を判断する「白龍」。

白龍は、別名、裁判官とも宇天長老（うてぃんちょうろう）とも呼ばれる厳しい神様です。

そして、この世にある全ての判断や思いを宇宙へ繋ぐ「天龍」も鎮座しています。

この場所は誰もが自由に拝めるように作られていますので、周辺の拝所が壊されたり守れなくなった人たちは、どうぞ、ここへ来て拝みをして下さい。

祈りを始めると、全ての神々やご先祖たちが一斉に集まってきて、「おー、何をやってるのか？」と聞いてきましたので、皆様の思いをひとつにして天に綱がう場所ですから、どうぞ、お仲間にもお知らせ下さいと伝えました。

たくさんの神様・ご先祖たちが、この場所をとても喜んでくれています。







渡嘉敷ヨシおばーの祈りの目的のひとつは、4歳で白血病になった子ども命を救う為の祈り。

このオバーの祈りによって、これまでも医者が見放した病人が何人も命を救われています。

もうひとつは、5度目の「軸芯の立て直しをしなさい」というメッセージが来たそうで、その為に地球の軸を宇宙の大元まで繋ぎ直して天軸、地軸、中軸を新しく繋ぎ直す祈りを行いました。

この芯という字も、その時によって変化してきたと教えてくれました。

芯、新、真、清とういう意味だと思います。

沖縄在住の二人の女性もその場にいましたが、これまでに見た事が無いほどの線香の数とウチカビ（あの世のお金・宇宙の税金）の量、そして、５００冊の帳簿を天へ繋ぐ姿を見て驚いていました。

昔から言い伝えられている知恵や教えの意味を正しく神に教わった方なので、人を導く力も備えている素晴らしい神人（かみんちゅう）の一人です。

最後に、このおばーとご主人は、こう話してくれました。

この世に、「神事（かみごと）」なんて無いんだよー。

この世は、すべては道理さー。

物事の道理、生きる為の道理、人と人との道理、神と人の道理。

その全ての道理を正しく理解すれば、人間は神と同じ心を持てるんだよー。

これからも色々教えて頂きながら、お手伝いさせて頂く事を約束して別れました。

ご主人と一緒に神仏に手を合わす事の重要性をご存じだからこそ、60年前から一緒に神に向きあっている素晴らしいご夫婦です。

自分の神道（かみみち）の歩き方に迷っているかたは、どうぞ、ご自分で探して教わりに行って下さい。

誰にでも広く心を開き、全ての知識を教えて下さいご夫婦です。

これは、沖縄の方たちに限らず、日本全国で神迷いをしている方たちに必要なことだと思っています。

神の導きと出会いをありがとうございます。



☆魂を輝かせたい仲間は、こちらをクリック！！！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」。あなたも一緒に、地球の未来を輝かせましょう！

2011.06.23 Thu

大阪　陰陽師結界と土地に住んだ人たちの思い

6/14、大阪在住の地球創生の仲間たちと関西神事の歴史確認の為に、３つの場所へ向かいました。

1、生国魂（いくたま）神社





まずは、大阪でとても大切な根源神を祀っている生国魂神社です。

神社の参拝手順は、本殿に挨拶をする前に境内の中にある全ての末社に時計回りでご挨拶をするのが礼儀ですので、右手にある末社のお宮を順番に挨拶して回りました。

地元を大切にする人たちだからこそ、大切なメッセージを添えて神様からのプレゼントを頂きました。

全ての末社にご挨拶を終わると、そのあとに行った本殿の神様は次のように教えてくれました。

ここには、秦氏一族の他に、もうひとつの民族が守っていました。

この神社の歴史を神主さんにも確認しましたが、やはり古い時代の詳細な記録が無いので、現在も調査中のままですと教えてくれました。

そして、再度、本殿の神様に聞くと、それは、[漢民族]ですと教えて下さいました。

時代は違いますが、同じ様に大切にしてくれていた様です。

これはつまり、中国からの民族と韓国からの民族が大阪に住み着いた証の言葉なのです。

歴史書には書かれていませんが、神様が教えてくれたことが真実です。

神の声を聞き、神の元を調べれば調べるほど、それは自分たち日本人のルーツを紐解くことにつながります。

母の地やルーツに感謝する祈りを捧げたいと思います。

2,大阪四天王寺



当時、中国に負けない仏教の普及の為に立てた大阪四天王寺は、「金堂」が最も大切な場所なので祈りを始めると、中央に大きな蓮の葉が何枚も見えてきました。

その意味を天に尋ねると、「この蓮はお釈迦様の手です」と教えてくれました。

現世で起きるすべての事が、お釈迦様の手の中の愛で包み込む為に作られた場所だという意味だと教えて下さいました。

次に向かった「六角堂」は宇宙に繋がっている場所ですので、全員で手を合わせると素晴らしいエネルギーが体を包み込みました。

神仏に向き合い続けた土地の人の祈りの力は、大きな神仏と同じように、私たちを見守ってくれています。

3,大阪天満宮



まずここに「藤原道真公」を奉った本当の理由は、京都　平安京を守る藤原一族が、移り住んだ関西の土地の人の思いを押さえ込む為に作ったことが、今回、明確になりました。

その証として、真裏にある藤原一族の十二宮、さらに、右奥に奉っている秦氏一族の押さえ込みの宮の数々を見れば確認できます。

庶民に向けた一般信仰の理由のほかに、意図的にこういう設計をするのは、裏神道とも呼ばれている陰陽師（おんみょうじ）だけです。

詳しく調べれば、もっと多くの理由も見つかることでしょう。

さらには、庶民の神意識を浸透させるために、大阪のお祭りはここから始まる風習になっています。

つまり、大切なお祭りの最初に役員全員がここの本殿の藤原道真公に頭を下げると、自然に、後ろに祭られた藤原一族に頭を下げるように作られているのです。

大神の真意を解き明かすために、土地の気になるところへ行っていますが、いつも神計らいはすばらしいと感じます。

私たちが最後に本殿で御参りしようとすると、関西の神主さんが明日からのお祭りのために数十名集まっていたからです。



関西の重要な神社の宮司さんたちが、大阪天満宮の神様に頭を下げることで、過去から続く藤原家の力を神様の序列を使って、民衆の意識に浸透させている計画的な設計のお宮なのです。

最後に、大阪天満宮に祀られている「白米大神」からのメッセージをお伝えします。



私たちは、白米を作っても食べる事はできず、全て献上米として奉納していました。

白米を作る事で家族の命は守られましたが、米の収穫が悪い時は、娘を売りに出さなければいけないほど、貧しい生活をして家族は命を繋ぎました。

どこにも説明書きが無いこの御宮の理由も、神様の言葉でよくわかりました。

皆さまにご理解頂きたい事は、私は何かを否定したいのではなく、関西人に住む人の心の奥底にある大阪・奈良・滋賀・兵庫、そして、京都人との気質の違いの理由に気づいてほしいのです。

私たちは、過去の歴史や因縁から学びながらも、過去に捉われず新しい調和を生み出すために、必要な土地に生まれています。

どうぞ、先人たちの歩いた歴史を表面的に見るのではなく、人間を生み出した大神の意思と生き抜く厳しさを学んで下さいませ。

関西全域を押さえ込むために作られた京都　藤原家の壮大な結界のひとつを、どうぞ自分の目でご確認ください。

2011.06.16 Thu

問われている意味

6/14（火）は、大阪市住吉区で「地球創生勉強会」を開きますが、関西神事で最も重要な「京都に関わる重要な因縁」を話し合う時間になると思います。

関西全域（京都・奈良・滋賀・大阪・兵庫・三重・和歌山）の土地に残る因縁は、無意識領域を含めると日本人の約八割にも影響しているほどそのカルマ根深く、全国でも多くの方たちが色々なメッセージを受け取って走り廻っている人たちがいます。

このカルマの根源解放の為に、関西勉強会に参加した人たちの守護存在と繋がりながら話し合いを進めたいと思います。

関西在住の方は、全員が土地生まれのカルマを持って生まれているという認識が必要ですし、転勤や結婚で関西に住んでいる方でさえ、守護存在の導きで関西の土地に呼ばれた意味を理解して欲しいと思います。

関西の土地には、ヤマト（大和・倭）の国日本をひとつの国にをまとめ上げる為に、多くの人の命も、神の扱いも犠牲になった歴史があり、その全ての思いが裏表になって土地なのです。

例えば、天皇家の血筋争いによる末裔の因縁。

これは、二千年あまり続く最も大きな日本民族の無意識カルマですが、隠された裏の事実をたどると、関西の土地を目指した渡来民族にたどり着きますし、さらには、その渡来民族の精神的ルーツを遡れば、宇宙時代の星のカルマにまで影響している事まではわかっています。

関西近郊で遷都を繰り返した最後の場所「京都」を守る為に張られた陰陽師の五亡星の結界やその裏で働いている六次元の結界の影響は、今でも残っています。

細かい事を言えば、まだ他に何重もの「意識の結界」も張られています。

半年間、関西の土地の因縁を外す為に関西の人たちと歴史を調べまくり、神事を続けてきましたが、過去全ての「神仏統合」に一歩一歩、近付いています。

あなたが自分の守護神に導かれてこの勉強会が参加するべきだと思った方は、どうぞ、ご参加下さい。

翌6月15日からは、沖縄に入ります。

これも大きな神事を行う為なのですが、神事の目的は全てが終わって大神の承認を得なければ公開できないほど、神世界の過去の囚われを外す神事を行います。

この神事によって、女性たちの神働きが大きくなるとだけ、お伝えしておきます。

今は、重要な宇宙カルマの紐解きが一斉に始まった時期だからこそ、「地球を守る！」と決めて生まれた人たちの為に必要なメッセージは公開しますので、出来る事からすぐに行動を始めて下さい。

6/21（火）は、東京の渋谷で勉強会を開きますが、新しい日本人の意識を立ち上げる為に、見えない世界の重要な話しをするつもりです。

地球を愛し、日本を愛し、関東の土地役目を果たしたいと思っている関東在住の方は、どうぞ、お集まり下さい。

この歪んだ地球を再生させる為には、日本人一人一人の神意識を紡ぎ合わせる必要がありますし、関東という土地は日本最大の「意識のアンテナ」がある土地役目があるからこそ、関東在住の方たちが意識を繋ぎ合わせて、大きな働きをしなければいけない時期なのです。

地球創生の為に心を開き、意識を合わせる人たちは、どうぞ、お集まり下さい。

肉体を持つ神としての人間の御働きが問われている時期だからこそ、魂の役目を果たす準備ができたあなたをお待ちしています。

天地無限の神々が、一斉に動き出そうとしています。

宇宙に隠れている色々な星の宇宙船も、人間に姿を見せて良いという承認も出しました。

それは、皆さんを脅かす為ではなく、大切なことに気づいて頂くためなのです。

星を失い肉体を失った宇宙の意識体たちが、地球へ人間の魂として転生しているからこそ、宇宙の壮大なカルマが日本に集まっていることに気づいた人たちは、もう、どの星がどういう役目だとかを主張している時期ではありません。

星の記憶を持つ人も、自分なりの守護神を信じる人も、全ての人たちが意識を繋ぎ合わせて、意図（糸）を紡ぐように「新しい世界」をこの地球で実現させなければいけない時期なのです。

もし、そうできなければ、多くの人が命を失います。

日本だけではなく、地球上の全ての命の清算が始まります。

時間に限りがある肉体を頂いている意味にまだ気づかず、我欲の世界でしか物事を判断できないのであれば、地球上の全ての生命は消滅してしまいます。

消滅は、一瞬の出来事ですが、次の星への転生など無いと思って下さい。

この地球へ何の為に肉体を持って生まれたきたのか、本当は気づいている方も多いはずです。

色々な事が起きて現実を問われるのも、今、考え付かないほど素晴らしい進化を私たち人間はこれから出来る可能性があるからなのです。

その為にも「自分という枠」を超えて、全てを与えあう心を持たなければ、大切な命のひとつも守れませんよ。

本当に守るべきものは、物ではなく、お金でもなく、命でもないのです。

永遠に、この星が生き続けなければ、私たちが次に転生する星は無いのです。

どうか、その事に気づいて下さい。

今、本当に現実が問われている意味を・・・・・。

☆魂を輝かせたい仲間は、こちらをクリック！！！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」。あなたも一緒に、地球の未来を輝かせましょう！

2011.06.13 Mon

樽前山　ご来光登山**2011**

さて、今年の6・11は無事に過ぎたようですね（＾＾）
祈りによってお守り下さった皆様、ありがとうございます。

私はその日、北海道の苫小牧市を見下ろす土地神様の代表の山「樽前山」のご来光登山の為に、苫小牧市へ移動しました。

なぜか、苫小牧市の樽前山に登り始めて7年目を迎えます。

今年は、6月12日が正式な山開きの日なので、仲間と一緒に夜中の2時すぎに移動して、3時に登山口へ着きました。

駐車場がある登山口が7合目にあたる山ですので、登山としては厳しくない山なのですが、現在も活火山で煙を噴き上げている様に、実は、とても強いエネルギーを持っている山なのです。

午前3：15、暗闇の中を懐中電灯で照らしながら、山を登り始めます。



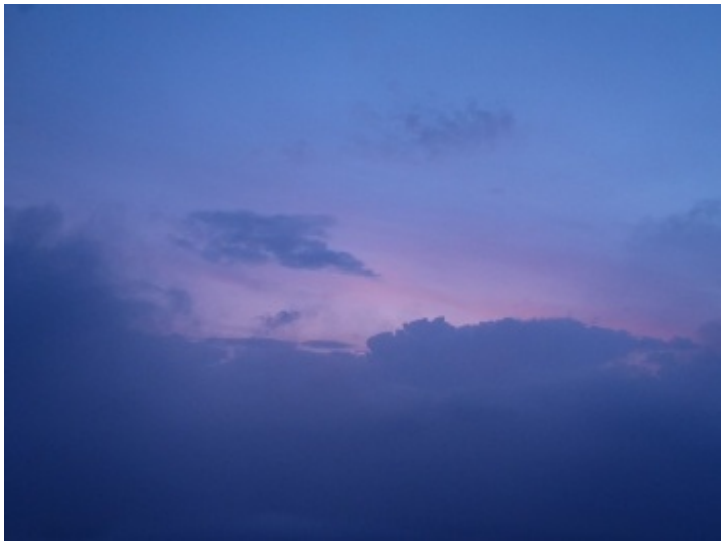






午前3：40、霧が晴れた合間から、美しい朝焼けが見えました。

天候は、常に、龍神たちにお任せしているので、必要な準備はなされると思っていましたが、やはり大切な光を見れるとうれしいものです。





霧と風で汗が冷えるので、わかれ道で一休みしてから奥宮へ向かいました。





塩・水・酒の準備を整えてから、8名全員で祈りを始めると、山の神様が私の口を通してお礼を言って下さいました。



海の幸（塩）、山の幸（水と酒）をお運び下さったこと、心より感謝申し上げます。

山を守る神心に通じた皆様の気持ちは、私たちの気持ちと同じですので、どうぞ、これからも八百万の神々を大切にするように宜しくお願い致します。



神様にお礼を言われた理由は、7年前に、年に一度は、土地を守る山神様がいる山の頂上まで登って、正式にご挨拶する重要さに気づき、毎年、参拝する人たちが増えたからです。

今年は、私たち８名が一番最初に登った為に、初めて、千を超える山の精霊たちが一斉に集まってきて姿を見せてくれました。

※白く丸いひとつひとつが、この山を守る精霊たちのオーブです。





この写真は、見えない聞こえないという人でもカメラに写ってしまうほど、ハッキリ精霊たちは姿を見せてくれました。

登山が好きとか嫌いの問題ではなく、あなたが本当に自分が住む土地神様に感謝する心があるのなら、どうぞ、年に一度は山神様の頂上でこういう祈りを行って下さい。

どこの山でも頂上が遠いからと、祈りを下から通す為の「通し番」として裾野に御宮を作っていますが、本来、神様は山の頂上にしかいません。

毎年とは言いませんが、心ある方はどうぞ、地元の一番大切な山へ登ってご挨拶をして下さい。

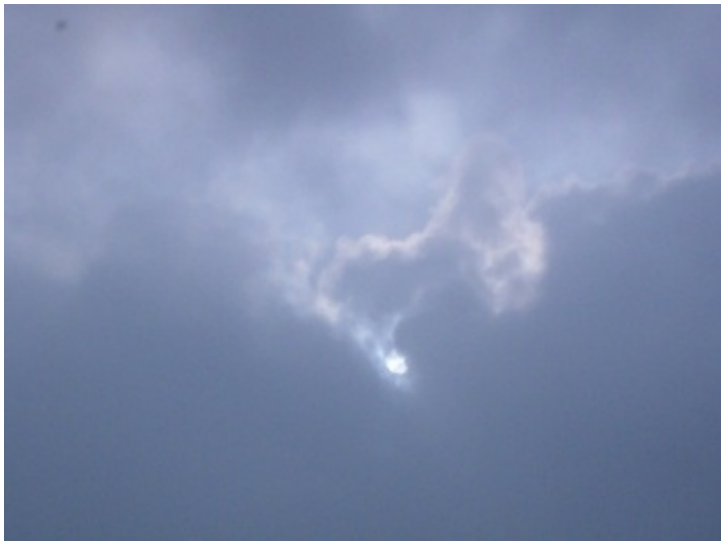
こういう行いをする人は、必ず、山の神様に見守られますので、山のゴミを拾い、きれいな自然を守る心を多くの人に伝えましょう。

奥宮の後は、東山の頂上へ移動しました。

頂上に着くと、噴煙を噴き上げるドームも姿を見せてくれましたし、一瞬だけ、太陽も姿を見せてくれました。







2時間遅れで登ってきた苫小牧市の青年会のメンバーたちと交流後、山を降りました。

彼らは、この山の神様の素晴らしさも恐ろしさも、次の世代へ伝えてくれることでしょう。

最後になりますが、樽前山には敏感に感じやすい体質の方なら誰もが感じる「精霊ゾーン」がありますので、ご紹介しておきます。

登山口から、ベンチがあるまでの細い草むらが、そうです。

ちなみに今回の2名が、ここでのご挨拶を忘れたようで、吐き気と頭痛にしばらく苦しんでいました（＾＾）

神に向き合う心を持つ人たちは、一歩、神に近い感覚を持っているからこそ、常に、神様や精霊たちのメッセージに耳を傾ける努力をしていないと、こういう事態になってしまいます。

これは、どこの山でも同じですので、どうぞ、山に登るときには、登山口の入口で左右に「盛り塩」をして、ご挨拶をしてから登る様にして下さい。

それと、登っている最中でも、気になった場所には全て「山に入らせた頂きます」というご挨拶をして下さいね！

頭痛、吐き気、体のしびれ、胸の苦しみ、頭が刺すように痛くなる、首が苦しくなる、手足が急に冷たくなるなど、「かかり方」は人それぞれですが、ほとんどの場合、挨拶を忘れている事が多いので、気づいたらすぐにお詫びをすることで、体から離れてくれます。

山や川や湖を守る自然界の神々や精霊たちがいるからこそ、自然の恵みは守られていますので、その場所を守り続けている精霊や神の気持ちなって山や自然の中に入るようにお願いします。

どうぞ、宜しくお願いします。

☆魂を輝かせたい人は、こちらをクリック！！！
↓↓↓↓↓↓↓↓↓
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」。あなたも一緒に、地球の未来を輝かせましょう！

2011.06.12 Sun

相対宇宙と絶対宇宙

根源神の純粋愛を感じている人には関係ない話しですが、常にこの世は「相対社会」だからこそ、大切な事に気づく為にお話しします。

まず、この世の出来事は全て、「相対宇宙の摂理」によって運営管理されています。

「相対宇宙の摂理」とは、絶対ではない物が常に存在しているからこそ、互いに違う意見が出るということです。

互いに違う意見が出た時、自分を否定されたと感じる人が多い様ですが、実は、そうではなく、自分との違いを学ぶ為に言ってくれている言葉だと思って下さい。

だからこそ、どれだけ相手が正しそうに発言していても、「ひとつの意見」くらいに思っていいのです。

これは、親の教えも同じです。

自我を持たない年齢までは、親の言葉は神の言葉と感じますが、一旦、自我を持つと、その神に逆らうような考え方がフッツフツと内側から出てきます。

この感情は、相手を否定する為ではないのです。

自分自身の責任を学ぶ為に、あるひとつの絶対を否定することで、自分が確立される必要な学びなのです。

その学びの期間を「反抗期」と呼びます。※たまに、大人でも居ますが・・・。

反抗期で、学ぶべき事を学んだ人は、次は、「自我の達成」へ向かいます。

自分のやりたい事を叶える事が、生まれてきた目的だからです。

自分がやりたいと思う自我こそ「根源神」なのですが、違う人から自我を否定される経験をすると、必ず、誰かの自我も否定するようになります。

自我を否定された経験を皆さんは、「傷ついた」と言います。

でも実際は、何も傷ついてはいないのです。

ただ、自分の自我と相手の自我が違うだけなのですが、「傷ついた」と思う根っこには、実は、相手を自分の思いどりにしたいという「征服欲」が働いているからこそ、傷付いたと思うのです。

征服したい自我があることに気づかず、「これだけ尽くしたのに、どうしてわかってくれないの！」と不満がでる時がそうだと思って下さい。

あなたの中の「絶対宇宙」では、あなたとあなたを見守る絶対の神様がいますが、その神様をどんどん上までたどっていくと、自分の意見を否定している相手の神様と同じだということに気づかないので、いつまでたっても宗教戦争は無くならないのです。

神様や仏様の名前が違っていても、自分の絶対神と相手の絶対神が、同じ根っこに繋がっているという事を認識して下さい。

次に、この世は相対社会だからこそ、全てが「相対の摂理」で動いていて、その全ては「相対宇宙」の中で起きている出来事だということにも気づいて下さい。

ではなぜ、人間は「絶対」を求めたがるのか？

それは、相対の中にいる自分は、絶対意識、つまり、絶対宇宙の根源神意識を感じられない不安があるからです。

絶対宇宙の根源愛が何かというと、それは、「自分を愛すること」にたどり着きます。

自我の自己愛ではなく、自分の絶対宇宙における根源愛を感じなければ、人間は永遠に、取り残された感覚に包まれ続けるからです。

私たちは全員が「根源愛」を頂いているからこそ、今、生きている事に気づけばいいだけです。

今こそ、自分自身の根源愛を感じる必要が、あなたにはあるのです。

神を外に祀り、神に依存している人たちはわからないかもしれませんが、その外にいる神が望んでいる声が聞こえたならば、実に、愚かな自分であるかがわかると思います。

根源愛は、あなたの中にあります。

そして、その自我の奥底にいる神様の事を「根源神」と言います。

その「根源神」と、全宇宙を作られた宇宙全体の創造主は、同じだと言う事にも気づいて下さい。

相対の宇宙（現実）は、絶対の根源神（自分）を感じる事で、繋がりを感じられます。

相反する自分、他人に見せられない自分、隠しておきたい自分、絶対に人に言えない自分・・・

それも、神の一部なのです。

あなたが、あなたの全てを許し、認めなければ、永遠にこの宇宙に愛は訪れません。

愛を望むのであれば、自分を愛しなさい。

自分を許しなさい。

そして、自分を守り続けてくれている「根源神」に出会いなさい。

その「根源神」が望む事は、あなたに相対宇宙の管理人として、絶対守護を感じがら、相対宇宙を生き抜いて欲しいのです。

相対宇宙は、絶対宇宙の中にあり、また、絶対宇宙は、相対宇宙の間にあります。

その事に気づけた人が、真実の愛に目覚めるのです。

あなたは、根源神の愛の結晶なのです。

☆愛のＷＥＢ絵本をお読みなりたい方は、ログインして100円玉をお願いしますね（＾＾）

◎大人の絵本　Ｈａｒｍｏｎｙ　ダウンロード　180円

◎大人の絵本　星の子　ダウンロード　100円

◎大人の絵本　新しい世界　ダウンロード100円

☆魂を輝かせたい人は、こちらをクリック！！！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」。あなたも一緒に、地球の未来を輝かせましょう！

2011.06.11 Sat

もし、あなたに守りたいものがあるのなら…

さて、今日は「尊厳」について少しお話ししましょう。

「尊厳」と言う言葉を聞いて、まず思い浮かぶのは「プライド」だと思いますが、プライドにも社会性があるものと、個人的なものの二種類があると思います。

「社会性のある尊厳」とは、お互いに守りたいものが明確な場合を表しますので、家族内やコミュニティ内、仲間うちや会社の内、地域内や日本国内など、それぞれ個人のプライドや価値観を超えて「一緒に守りたいものが明確な場合」に意識する共通項目のことです。

反対に、「社会性の無い尊厳」とは、個人的なこだわりや、自分が大切にして欲しいことなど、周りの人の問題ではなく、「自分が大切だと思っている価値観」を表します。

最近は、社会性のあるテーマを一緒に話していたのに、いつのまにか、個人の尊厳を主張している人をよくみかけますよね～（＾＾）

なぜ、そういう人が増えたのかというと、日本人は子供の頃から「個人意識よりも地域社会の尊厳を大切にする教育」を親から受けていましたが、学校教育で「倫理や道徳」の時間が無くなったことが原因でしょうね。

特に、40代以下の方たちは、そういう経験を子供の頃からしていません。

弥生時代から始まったこの「村社会意識」には、「暗黙のルール」のようなものがあり、「個人や家族を守りたいのならば、全体を考えて自分の立ち位置を考えなさい」という教えがあります。

しかし、時に、「村社会意識」は、とても理不尽な要求を個人へ付きつける場合もあります。

戦争を始めた時もそうですが、村の行事を取り行う時や全体が決めた事にはある程度、強制的な部分が必要だからです。

40歳以下の方たちには理解できない感覚かもしれませんが、私たちの親たちはそうやってこの日本という国を守ってきたのです。

※最近、こういう事がわから無い為に、「街灯料」や「町内会費」を払わない人たちが増えて地域の問題にもなっています。

時代が変わり、自由主義や個人主義の主張が許され、無責任な発言をする人たちも増えましたが、先人を敬う心を学び、年配者を敬い、「社会性のある尊厳」に対して責任ある行動を大人のあなたが示して下さることを心から願います。

この責任は、40代以上の全ての大人にも、同じ責任があると思っています。

自由にあこがれて、「個人主義」を貫いてきた皆さんは、今、幸せですか？

自分の仕事を持って、収入を得て、自分のやりたい事が出来るようになった今、あなたが守りたい尊厳は守られていますか？

強く自分の意見を持っている方ほど、個人と社会性の尊厳の狭間に陥っている事に気づいていませんので、次の質問を自分に投げかけてみて下さい。

あなたが守りたいものは、何なのですか？

それは、あなたが主張する事で叶いますか？

あなたの主張に、誰かの協力は必要ですか？

その時、あなたの「立ち位置」はどこですか？

あなたは、全ての責任を取る立場の「リーダー役」ですか？

常に、誰かを支える「サポーター役」ですか？

自分が出来る範囲まで協力するという「一般参加者役」ですか？

それとも、ただの「傍観者」ですか？

20代までは、自分の好き勝手に生きてもいいと思いますが、30歳を過ぎた人は、この「人生の立ち位置」に必ず、気づく必要があります。

全ての人間関係の問題も、「自分の立ち位置」に気づくことで解決できます。

「自分の立ち位置」を正しく知るという事は、現実的にも、魂的にも「役目」に気づくことができます。

あなたが何かで葛藤しているテーマがあるのなら、それは「自分の立ち位置」を正しく理解していなからこそ、繰り返されているのだと気づいて下さい。

この人は、自分の事を理解してくれると思ってくっついて行ったのに、途中から違うと思うのも、「自分と相手の立ち位置」を正しく理解できていないことが原因です。

人生で出会う全ての人と「互いの立ち位置」と気づくことこそ、互いの役目を理解し合い、魂の役目を果たすことが出来る方法なのだと気づいて下さい。

そういう大切な事に気づく為に、子供の純粋な視点から大人へ向けたメッセージの絵本を三冊ご紹介します。

ＷＥＢ絵本ですので、お読みなりたい方はログインしてから100円玉をお願いしますね（＾＾）

◎大人の絵本　Ｈａｒｍｏｎｙ　ダウンロード　180円

◎大人の絵本　星の子　ダウンロード　100円
◎大人の絵本　新しい世界　ダウンロード　100円

魂を輝かせたい人は、こちらをクリック！！！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」。あなたも一緒に、地球の未来を輝かせましょう！

2011.06.10 Fri

幸せの総攻撃！

笑いが、止まりません（＾＾）

ここ最近、「地球創生ＳＮＳ」で活発に発言している人たちの発言を見ていると・・・

誰かを幸せにしたくて、たまらないエネルギーが溢れてるからです（＾＾）！

メタボとジャンクフードで悩んでいる人を見つけたら・・・

出てくる出てくる愛の言葉が・・・

こういう場があったらいいのになあと思って、早や10年。

ここでは、夢が、実現しています（＾＾！

でも僕に足りないのは、笑い・・。

まだまだ、関西人の突っ込みに受け答えできない（ボケられない）性格で困ります。

昔から上方漫才と言われるほど笑いの文化を持つ関西人は、今は、関東へ進出して日本全国を笑いの渦でひっかきまわしていますが、人生やっぱり、最後は、大笑いして死にたいものですね。

そんな僕は、昨年、母のプレゼントを「きみまろＣＤ」にしました。

「年を取ってブツブツ文句を言うくらいなら、笑ったほうがいいよ」とプレゼントしたんですが、これが結構、喜んで聞いてくれています。

まじめな人は、真面目でいい部分もありますが、不器用はいけません。

真面目と不器用が重なると、手が付けられない「頑固」な性格になるからです。

「頑固」な人が年齢を重ねると、さらに、「おやじ」、いえ、「いこじ」になります。

「ひねくれた性格」は、人生と同じく、大きく曲がっていても、そのままどんどん曲がり続ければ、いつかは、もとの場所に戻りますのでご安心を！（＾＾）

人生は、真っ直ぐ進むつもりで、真っ直ぐ進んだ人がいない道だからこそ、面白いのです！

「曲がり道」、魔借り道にならないように注意しましょうね～！

誰かを幸せにしたい人、
自分が幸せになりたい人は・・・・いらっしゃ～い！

ササっと、ココをクリック！！！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」。あなたも一緒に、地球の未来を輝かせましょう！

2011.06.09 Thu

とっても素敵な人たちばかりで・・・

「地球創世ＳＮＳ」に参加している仲間たちは、素晴らしい人たちが多すぎて驚かされます（＾＾）

・自分のアカシックレコードの内容を、他の人の気づきなればと全て公開してくれる人たち

・誰かが書いた日記に対して、愛と光のコメントを書き続けてくれる人たち

・誰かが弱音を吐いた時に、親身に寄り添ってくれる人たち

・どんなに苦しい事も、愛と笑いで吹き飛ばしてくれる人たち

・へこたれそうな自分をじっと見守りながら、必要な時にアドバイスする人たち
・世界中に住んでいる日本人を繋いでくれる人たち

昨日（6/7）から急に、ＳＮＳの中の愛のレベルがアップしたのか、自分が何をすべきか、一人一人が考えて、どんどん行動を始めています。

僕も、できるだけ多くの人の日記を読み、出来る限りのサポートをしていますが、手が届かない部分は何も言わなくても、誰かが自然にサポートしてくれています。

「地球創世ＳＮＳ」の登録者は、ほとんどの人がお互いに逢った事がない人たちばかりです。

でも、本名も、笑顔の顔写真も、住所も、プロフィールも公開してくれているので、お互いを傷付けることは絶対にしない安心感があります。

大きく言えば、他人の痛みがわかる人たちばかりです。

その分、たくさん苦しんできた経験があるからだと思います。

宗教に入り、長い間、修行したあと、何かが違うと宗教を抜けたのに、現実をうまく出来ない苦しみを乗り越えた人が、そのままの体験を公開してくれている人もいます。

自信がない、勇気がない、決断できない・・・

〇〇恐怖症・・・、囚われ・・カルマ・・・

みんな、たくさん持っているのを知っているので、参加しています。

弱い自分を変えたくて参加した人は、誰かの、素直な言葉を読むだけで、自然に涙が溢れてしまい、勝手に、勇気が湧いてまた、現実を頑張って報告してくれています。

全員が、「自己責任」を意識して発言してますし、社会や政治や環境を一方的に否定する愚かな人は誰もいません。

現実で起きる全ての事は、自分が気づく為に起きていると学べる素直な魂の持ち主ばかりです。

だから、誰も、強制はしません。

どこにも、リーダーは、いません。

無理強いをする人など、当然、いません。

自分の意思で動きだす為のわずかな勇気を、もらいに来ている人もたくさんいます。

たくさんの人から愛をもらったので、皆さんにお返ししたくて、愛のメッセージを発信し続けてる人がたくさんいます。

誰もが、愛を実践したくて、ウズウズしています（＾＾）

誰かと愛を感じたくて、ウズウズしています。

ムチャクチャ、良い感じのエネルギーになってしまいました！

あなたも、力を抜いて、どうぞご参加下さい。

強力なアセンション（無意識の次元上昇）は、もう勝手に始まっています。

進むべき道に迷っている人は、どうぞ、何かの光を掴みに来て下さい。

誰もが、自分の住む土地で出来る事をしながら、日本や地球が歓びの星になる事を願っているからこそ、参加してくれています。

全員が、セラピストみたいなＳＮＳなんです！

だから、月525円では、ものすごくお得だと思います（＾＾）

毎月コーヒー1杯のお金で、心も魂も、身体も癒せる情報が満載なんです。

だって、誰もが自分の知っている知識や情報を無料で公開してくれているからです。

ちょっと、お茶でも飲みに行く？って感覚で、参加してみて下さい。

登録した月は、お金がかかりませんので、参加して嫌だと思ったら、どうぞ、おやめ下さい。

今、登録した人は、6/30まで無料期間ですから、まずは、無料登録して色々な人たちの情報を覗いてみて下さい。

誰も、真実の情報を出すことに躊躇はありません。

全ての知識も情報も、自分だけのもだとは思っていないからです。

ただ、あなたが、今よりも幸せに人生が送れることと、次の子供たちへ繋ぎ残す使命を感じているだけなんです。

ちょっとだけでも、参加してみて下さい（＾＾）

だって、とっても素敵なんですよ！皆さんが！！！

覗いてみたい人は、ココをクリック！！！
↓↓↓↓↓↓↓↓
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」。あなたも一緒に、地球の未来を輝かせましょう！

2011.06.08 Wed

今日は、変わる日！

実は、先月末から急に体調を崩した時に、今までの自分の何を変える必要があるのか天と話しをすると、今日、**6月7日から変わる**ということを聞いていました。

だから、皆さんも、同じように、今日から何かが変わったはずです（＾＾）

この変化の共振が、どこの誰と一緒にしているのかはわかりませんが、必要な人には必ず、必要な事が起きて、色々体験させられているはずです。

急に昨日、「地球創生ＳＮＳ」の中身を大幅に変えた理由も、よくわかりました。

その作業のおかげで、とってもシンプルでわかりやすくなったと皆さんが言って下さいます。

2/21から「地球創生ＳＮＳ」を始めたこの3ヶ月あまり、東日本大震災もありましたし、関西神事も大詰めを迎えていますので、次のステージへ向けたやりとりもたくさんの方としていますが、日本という大きな船は、これから大きくかじ取りを切る時期に来ているからのようです。

ひとつだけお伝えしたいことは、

6月11日だけは世界中で何かが起きる可能性があります

ので、何か起きてもいいように心構えだけはしておいて下さい。

もしかすると、今年じゃないかもしれませんが、ミロク世を作る為に起きる出来事が、必ず起きるとだけお伝えしておきます。

これは、誰もがわかるように、現実世界へ向けたメッセージですから変化することを望まれている事に気づいたら、原因や理由を探すのではなく、あなた自身がさっさと次のステージへ上がって下さい。

つい先ほども、アメリカ在住の日本人の方とスカイプセッションを行いましたが、簡単に時間と距離を超えられる今の時代の素晴らしさを感じています。

目の前にその人がいるように、顔を見て話しが無料でできるスカイプは、ちょっと前なら「タダのテレビ電話」と言ったほうが、年配にはわかりやすいと思います。

スマートフォンをお持ちの方なら、その場から世界中の知り合いに顔を見ながら話ができるすごい時代になっていますしね！

恐るべし！インターネットの世界です！

だからこそ、このラインを上手に使って、距離と時間を超越した進化を一緒に遂げましょう！

地球を救う為に、また、世界を変える為に生まれてきた日本人が集まっている「地球創生メンバー」は、まだまだいるはずです！

どうぞ、地球創生ＳＮＳへ参加して、自分の魂を磨いて下さいませ！

愛の言葉を発信し続ける素晴らしい人たちが、あなたをサポートしてくれますよ！

2011.06.07 Tue

色々なことを整理する

ここ最近、体の不調や変調を感じている人は、すぐに部屋にある物の配置を変えたり、会社のデスク周りを変えたり、過去に集めた情報や記録を整理する時期だと思って行動して下さい。

パソコンのドキュメントファイルに溜めているデータも同じです。

何かが変わる為に、今は、「整理」の時期なんです。

必要だと思って保管していた物を見直して、不要な物をどんどん廃棄してみると、そこには、「今、必要な物」しか残りません。

つまり、これから必要な物しか自分の周りに無くなる為に、余計なことで悩まなくて良くなるのです。

次のステップに上がる時ほど、どうしようかと考えがちですが、これまで使っていた脳みそではなく、全く新しい発想で物事を考える為にも必要な作業だと思って下さい。

常に、新しいものを取り入れる柔軟な発想や心を育てる為にも、過去の知識よりも、これから必要な物は何かを気づくことが第一だからです。

緊急時ほど、この優先順位を間違うと、命を失うほど危険なことだと覚えておいて下さい。

人間は、常に「安心と安定」を求めたがる動物ですが、実は、「安心と安定」に居続けると、新しい創造性は養われません。

不安や恐怖があるからこそ、そうならない工夫やアイデアがでますし、その想像力こそ、人間の命を救う力にもなります。

これからは、本当に必要な物が何かを見極める大切な時期だからこそ、自分の足元を整理しながら心を整理しておいて、物事が動くタイミングを見逃さないで下さい。

常に、大きなチャンスは与えられていますが、その準備が出来ていない人は、一生かかっても気づくことはできません。

あなたの人生にとって「千載一遇のチャンス」が、これから訪れると言っておきます！

2011.06.06 Mon

今の自分を許しなさい

今の自分を、許しなさい。

そして、自分のするべき事をしなさい。
あなたは、これまで多くの存在たちに見守られながらここまでやってきましたが、これからは、さらに大きく変わる必要があるからこそ、今までの自分の概念や価値観を変えて生きる事をお願いします。
あなたの意思ひとつに私たちの思いが繋がっているからこそ、これまでの自分に囚われていてはやるべき事はできませんし、私たちの願いでもあるやって欲しい事も叶いません。
あなたの後ろにいる存在たちも、全ての思いはこの世にいる全ての人に伝えているからこそ、色々な場面で自分が問われたように思う時もあるでしょうけれど、それはあなたを責めているのではなく、あなたに気づいて欲しいからこそ、伝えてくれているのだと思って下さい。

私たちは何度も、この事を伝え続けてきましたが、なかなか自分という枠を超えて考える人が少ないからこそ、ここまで地球は荒れてしまったのだと思います。
それも、私たちの責任かもしれません。
あなたたちを見守り続けて、長い時間が経ちましたが、もう、ボツボツ答えに向かって皆さんを導かなければいけない時期に来ています。
あなたがあなたの事だけを考えるのは自由ですが、それでは、いつまでたっても自分という存在の意味には気づけないことでしょう。
私たちが失った肉体や歓びを感じられるあなたたちに伝えたいことは、何の為に肉体が与えられているのかという点です。
それは単に、生きる為ではありません。
歓びを創造し続けながら、未来へ向けてやる気になる自分や周りの人たちと同じく、自分らしく生きることだと知っていながら、なぜ、出来ない事ばかりで悩んでいるのですか？
私たちの思いがわかるのなら、誰かを苦しめているほど、この地球に時間が無い事にも気づいているはずです。
なのに、なぜ、自分の事ばかりを考えているのですか？

世の中を変える！と決めれる人はそれほど多くはいませんが、自分の周りの未来を変える事ならあなたでもできるはずです。
家族の中や会社の中、友達と思っている人たちとの関係…全てが神が与えた気づきの場なのに、自分で何とかしようとして、自分の事しか考えられない脳みそになっていることが残念でなりません。
自分を苦しめるものが自分だとわかったのなら、なぜ、行動しないのですか？
自分を変えようと、なぜ、しないのですか？

自分と、自分の周りを変えられない人が、どれだけ素晴らしい考えを持っていたとして、地球の未来は変わりません。
あなたが、あなたの周りの主人公だからです。
脚本は、あなたが書けます。いつでも書き換える事も可能です。
自分が作った作品の中で、自分が演じている事にも気づかずに、どれほど無駄な時間を過ごしているかに気づいて下さい。
あなたをサポートしてくれる人は、仲間であり、敵です。
それは、常にその人にとって得があるか、損かで物事が決まっているからです。
損得を超えた付き合いなら、決して相手を否定する事はありません。

自由と責任を学びきった人たちが少ないからこそ言っておきますが、自分の責任の範囲を超えた発言こそ、常に、自分の守護存在に問われていることにも気づいて下さい。

「私は、たくさんの失敗をしてきました。
だからこそ、これからは、たくさんの人を許します。」

ただ、それだけでよいのですよ。
必要以上に素晴らしい人になど、なろうとしてはいけません。
素晴らしい人か、どうかは、自分が行動した結果に対して、責任ある言葉をくれるたった一人の人でいいのです。
それが、私たちの代わりにあなたに言葉を伝える存在なのです。

自分を明らかにすること、どうしたいのか？何を変えたいのか？
他人や世間を変える事はできません。

あなたが熱心に何かに集中する時、余計な事は考えないはずです。
他人の事よりも、今は、自分を誰よりも大切にして、自分自身をよく観察して下さい。

多くの学びをした人といれば、必ず自分の視点の低さが見えてきます。
天を仰げば、足元が見えなくなりますし、足元ばかりを見ていれば、天の意識に気づく事はありません。
また、現実ばかりを見すぎると、間違いだらけの社会を見て、やる気をなくしてしまうはずです。
自分をやる気にしたければ、やる気になっている人に逢うことです。
やる気ではない人の言葉をいくら聞いても、元気は決して出てきません。

「やる気」は、私たちが与えているものだということも、気づいて下さいね！

ふと思う事や、誰かに影響されてテンションが上がる時も、全て私たちが繋がりを使っているからこそ、熱意は人から人へ伝わるものなのです。

決して、自分を一人で取り残さずに、誰かの為に生きることから始めて下さい。

愛することに失敗した人は、何度でも愛をチャレンジして下さい。
信頼することに失敗した人は、何度でも、人を信用し続けて下さい。

裏切られる事を恐れる自分より、裏切る自分の怖さは、誰よりもあなたが知っているはずです。

自分に嘘を付く・・・これは私たちへの最高の冒涜（ぼうとく）です。
どんなあなたでも、信頼しつづけているからこそ、愛を与え続けて、チャンスを与えている事に気づいて下さい。
最後の一人が見捨てない限り、私たちはこの地球を見捨てませんが、その前に、あなたがあなたを見捨てる事だけはおやめ下さい。
誰よりも、あなたよりも、あなたを信じて見守り続けている私たちがいることを忘れないで下さい。
6月2日　お昼0時のメッセージ

2011.06.03 Fri

自分を見つめ直す

6月のスピリチュアルカレンダーをめくって驚きました！
※自分で予知したのに、忘れているせいなんですが・・・（＾＾）

読んで思った事は・・・
「そうかあ、今は、自分を見つめ直して視点を変える時なんだなあ・・・。」と感じました。

自分の視点を変えて、物事を素直に見るよう心がけないと、過去の思いこみで大きなチャスを見逃すよ！

というアドバイスだと思いました。

人は誰でもたくさんの経験をすればするほど、「恐れ」も増えます。

「他人にこう思われたく（言われたく）ない、同じ失敗は二度としたくない・・・、もう傷つきたくない・・・」

恐怖や辛い体験をした時は、心が萎縮して体も辛くなりますが、だからといって「〇〇〇したくない」というマイナス思考で物事を考え続けると、笑顔は無くなり、性格も可笑しなことになってきます。

苦しんだあとに「〇〇〇したい！〇〇〇になる！」と決めた人は、必ず、そっちへ運気が動き出します。

大体にして悩みが多い人は笑顔が無いし、表情が無くなりますね～（×__×）

辛い時でも、「たまたまさ～」くらいに笑って過ごせれば勇気も出るんだけど、実に、そう出来ない人が多いのに驚きます。

そう言っている自分も、実はたくさん傷つきましたし、苦しみましたが、結局のところ、自分の苦しみは自分が作りだしている事に気づいた時に、その苦しむ自分を捨てる事に決めました。

「おまえは、何を守っているんだい？

傷付きたくないはわかるけど、そうやっていつまでも自分を苦しめていると、大切な未来が壊れ

てしまうよ！」

と、神様か、守護存在のメッセージかわかりませんでしたが、自分の内側からの言葉でした。

「そうかあ〜、今の自分は、苦しい心の状態のまま、未来を見ているわけだから、三歩先に幸せがあっても気づかず、下を向いたまま見過ごしそうだなあ〜。」と気づいた訳です。

不安で苦しんでも一生、

何が起きても明るい未来を信じて生きても同じ一生です。

人生の失敗は、生きている限り何度でもしますし、他人を傷つけない人などこの世にはいないと思って下さい。

半分は、失敗して誰かに迷惑をかけていますので「ごめんなさいの人生」ですし、もう半分は、誰かに喜んでもらえることもしているので「ありがとうございますの人生」なのです。

この事が理解できた人は、もう他人に悩み事を相談するのではなく、「自分はこう生きる！」と決めてしたい事をどんどんして下さいね！

「イヤ！絶対、私は他人を傷つけないように生きてきました！」って言う人にも会いましたが、それは、とてもエゴイストな発言です。

あなたの言葉に直接、傷ついたことを言わないまま去っていった人たちの、その後の人生を知らないから言える言葉なのです。

ユタの三年修行で一番、辛かったのは、過去に出会った全ての人との「その後」を見せられた時でした。

自分では正しいと思って決めた事でさえ、相手にとって傷となってしまい、人生の方向が狂ってしまった人たちの「その後」を毎夜、毎夜、見せ続けられたのです。

それはもう苦しくて、毎日、食事ものどを通らず、吐き気が続いた日々でした。

泣いて謝っても、誰も許してくれません。

「過去の行い」を変える事は、決してできないからです。

この経験は、自分に向き合う一番厳しい試練でしたが、この体験の最後に気づいた事は、「自分を許す」という悟りでした。

だって、自分を許せない人は、他人のすることさえも許さないからです。

執念深く、いつまでも過去の失敗を攻め続ける人があなたの周りにもいるとしたら、結局のところ、その人は、「自分を許せていない人」だと思ってあげて下さい。

自分が犯した罪を裁くのは人間ですが、神は、人間を裁いたりはしません。

だって、これほど地球を汚して壊し続けても、まだ、生かしてくれているのですから・・・。

だから、まず必要なことは、自分で自分を許してあげることなんです。

次に、そんな自分を許してくれている神様がいる訳ですから、「生きた証」をひとつは立てなければいけないと思います。

子供を産むとか、何かと戦うとかは「本能」ですから、努力したことにはなりません。

人間が生かされている証をひとつ、立てるとしたら、やっぱり自分のしたい事をちょっとだけ超えた先にある、誰もが望むものを叶えることじゃないでしょうかね～？

「他人が望む夢を叶える」、 自分の夢を失った人も多いからこそ、他人の夢を叶えるお手伝いがいいかもしれません。

他人の為に一生懸命に働くと、必ず、人はあなたの為に何かをしてあげたくなるものです。

初めての人に逢った時には、このことだけは覚えておいて下さい。

全ての人の心には、「光と影」が、必ずあります。

相手の影を見続ければ、影を避けるための人生を送ることになりますので、決して、自分の幸せには到達できません。

常に、相手の光を見続ける心になれれば、相手の人がどれだけ失敗しても、相手の光（可能性）を見ている人が居る限り、人間は成長できるのです。

人の心に、影が無くなることはありません。

光があれば、必ず、影や闇があるからこそ、光の役目をする自分も出てくるのものなのです。

中学生の時に、ドストエフスキーの罪と罰を読んでも同じ事が書かれていたと思います。

神が罪を作ったのではない、人間が罪を作ったのだと！　だからこそ・・・

自分の心の闇に、光を与えて下さい！

そんなことに気づいた、今日でございました（＾＾）

2011.06.02 Thu

神様が何とかしてくれる？

神様は、何もしてくれません。

よく問題が起きたり、困った事があると「神頼み」をする人がいますし、宗教にはまっている方たちは「困った事があるのはご本尊のお参りが足りないから」と言われる様ですが、実は、神様は何もしてくれません。

私が言う神様は、自然神や宇宙神のような「エネルギー体の神様」の事を言っています。

「神様」と呼ぶ対象は、人によって違うイメージがある事をまず理解して下さい。

ご先祖や人間を祀っている神社やお寺の神仏は、人間の血の繋がりがありますので、ひひひ・・・孫の事ならと協力体制は取ろうとしてくれますが、実際には、この世の石ころひとつを動かす事もできません。

神仏にできるのは、「あなたの意思」を強くすることだけなんです！

色々な神社に色々な神様がいるから、きっと神様は、私たち一人一人のように、別な意識を持って現実を変える力があると思っている人は、大間違いです。

神として祀られているからといって、何でもできる訳ではないのですよ～（＾＾）

神社やお寺に祀られている神仏は、その場所を守る役目だからこそ、その場所を動く事ができません。

だからこそ、守護存在を通して必要な人に会いに来てほしいと夢の中や、ふとした時にメッセージを送る時があるのです。
こういう人たちを通して、自分では出来ないことをメッセージで伝えてくるほど、祀られた神様はその場所を動けないのです。
現実を変える力があるのは、肉体を持っている私たち人間だけです！
神仏に出来る事は、人間の強い決意に神エネルギーを繋いで、本人の無意識を大きくすることで魂の繋がり使って必要な人を引き合わせてくれるだけなのです。

不安だらけの人が、いくら神仏に手を合わせて願っても、自分の心のままにしか神仏の声は聞こえません。
神仏の存在を疑っている人は、いくら祈っても声が聞こえる事はありません。

神仏を問う心を一切捨てて心をまっさらにして、真剣に向き合う行為を「魂の祈り」と言います。

祈りをする時には余計な事は考えずに「私は神を信じます！」、

ただこの一言だけで神様はその人の意思に繋がって一緒に働いてくれます。

あなたがあきらめそうな時でも、一生懸命に「大丈夫だよ！」とサポートしてくれているのが神仏なのです。
たまに亡くなった人の姿を夢で見せる時もありますが、これも自信を無くしたあなたを守っている存在がいることを知らせたくて、あちらの世界から伝える方法のひとつなのです。
現実世界も同じで、あなたの周りの居る人が、あなたの強い意思を信じて協力してくれるのと同じなんですよ。

だから、自分の思いや言葉に対して、もっと責任を持つように生きなければいけないことを自覚して下さいね！

もう一度言いますが、神様自身が勝手に物事を動かすことは一切ありません。

自然界で起きる全ての天変地異は、大きな宇宙摂理と自然摂理で動いている現象なので、全体のバランスを見守る神様があちこちにいるのは、確かです。
だから、人間の神心が歪んでいる証として地球を壊し続けていると、自助作用として正しい状態に戻す為に、地震や津波や台風が起きるのは当然のことなのです。
自然界の浄化方法は、とても厳しくて、人間が考えるような人情など一切、ありません。
地震を治める祈りをしている人たちは、こういう守り神様の思いを体に繋げて、自らの体を通して苦しみながら整いの祈りをする役目で生まれています。

もう、わかりましたか？
あなたが「神頼み」をしたら、その分、自分がしなければいけない事が増えるということなのですよ！
だって、あなたが望んだ「神頼み」を実現するのは、現実を変える為に肉体を持って生まれた「あなたという神様」なのですからね！
「〇〇〇試験に合格しますように！」と願い事をしたら、それはもう必死に勉強しなければダメでしょ！（＾＾）
大きな一人のポストを誰かと争っている時に、どう願い事を言うかで、その人の人生も決まります。
「〇〇さんが落ちて、私が選ばれますように！」・・・神様は、最初と最後が聞こえませんし、

この人は永遠に誰かを蹴落として自分の幸せを手に入れようとしますから、常に、誰かと争う心のせいで、頭も現実もいずれおかしくなってしまいます。
神仏に全託している人がもし願うなら、「私は自分で１００％やるべきことをやりました。だから、どうか自分に準備ができているのならチャンスをお与え下さい。今回はダメでも私は何度でも、あきらめずに、自分を信じて努力を続けますので宜しくお願いします。」
言った言葉に嘘が一切無ければ、きっと叶うと思いますが、１％でも迷いがあるのなら、全く効果はありません。
この事実を理解できたなら、肉体を持つ神様たちよ、どうか世の中の現実をあなたが思うままに変えていって下さいませ！！

では最後に、私が行う「神事と祈り」の違いも説明しておきます。
「神事（しんじ・かみごと）」は、その場所にいる神様の願いを聞きとどけて、神様の思いを叶える為に働く事を神事と呼んでいます。
色々な神様の相談役みたいに全国を飛び回らされるのも、なかなか神様の本音を聞き届けてくれる人が少ないからのようです（＾＾；
神事をする役目で生まれた人たちは、一度、神様に誓いを立てると、何があっても嫌だとは言えません。
誰にも理解されない神様のお願いごとを叶える為に、全国を走り回っている人たちが、いつの時代にもたくさんいるという事を覚えておいて下さいね。
そして「祈り」とは、私たちが大神の一部として意識を合わせて大きな神意識に繋がり、その意思と責任を自覚しながらこの地球を再生させる行為を「魂の祈り」と呼んでいます。
祈りには、「静と動の二つの祈り」があります。
じっと座って瞑想状態で大神に心を合わせるのは、「静の祈り」。
日々の生活の中で、周りの人の為に一生懸命に働くことは、「動の祈り」です。
だからどう考えても、神様の願いを叶える立場として「お願い」はできないんですよね〜。

「神心を学びなさい」と言われている人は、神様の立場になって物事を考えて行動して下さい。
神様の世界には一切のルールが無い分、自分がふと思ったことでさえ、全ての責任を取らされる厳しい世界だと気づく経験をする事になるでしょう。

願うのは、あなた！
でも、「叶えるのも自分自身」だと自覚して神様に向き合って下さい。
そうすると、「やっと、わかってくれたか」と、メッセージが聞こえるはずですよ！
神仏は、本来は神社やご本尊にいるのではなく、あなたの心の内側にいるからこそ、大きな神鏡（人）に向き合う事で、自分の足りなさを学ばされるものなのです。
だから年長者は、最高の生きた神鏡なのですよ〜！

2011.06.01 Wed

只今、エネルギー上昇中！

5月に入ってから体調や心のバランスを崩して夜、眠れなかったり、寝ても寝ても足りないくらいに寝続けた人が多かったと思いますが、急激に皆さんの集合意識を引きあげる為に、宇宙エネルギーが地球に流れ込んだ事が原因です。

毎年、制作している「スピリチュアルカレンダー」は、今年一年のエネルギー転換日をカレンダーの載せていますが、そういう日にち単位のエネルギー変化ではなく、人間全体の意識次元を引き上げる為に、エネルギーが宇宙から大量に流れ込んでいます。

この宇宙エネルギーは、毎年、毎月、緩やかに上昇しながら流れ込んでいますので、思いがけないもめ事やトラブルや事故が起きて、初めて気づく人が多いと思いますが、精神的な不安や感情的な不安に包まれる理由は、「これまでの自分の考え方を変えなさい」とメッセージされているのだと思って下さい。

私たち人間は地球の為にも、日本の未来の為にも、まだまだ無限に変わらなければいけない事は、もうご存知ですよね！

大切な守護メッセージに気付いたり、違う人の意見を受け入れる心を育てる為にも、この宇宙エネルギーは必要なのですが、感じ易い人と、まったく、気づかない人がいるのも仕方がありません。

それは、皆さん一人一人が守護されている意識チャンネルが違う為に、伝えてきている次元テーマに関係がある方と無い方がいるからです。

5月23-25日前後は、さらに強くそのエネルギーを感じた人も多いと思いますが、本日、5月31日になっても、まだ加圧エネルギーは身体で感じます。

昨日は、私自身も珍しく朝から風邪のように喉が痛くなり、身体もだるく、内熱のような状態になりましたが、これもまた「変わる為」と抵抗せずに受け入れています。

どうぞ、「無限に変わる必要性」を受け入れて下さい。

その事に気づけないままなら、また、「現実」を目の前で見せられますよ！

どんなに無理だと思える事でも、必要ならば出来ない理由をあげるより、どうやればできるかを

話し合いましょう！

皆さん一人一人が、大切なメッセージと役目を持って生まれているのですからね。

「自分という存在の意味」に気づく為に、たくさん嫌な事も辛い事も経験してきたはずです。

そう、大切な事を思い出す為に、心を揺り動かされただけなんですよ！

だから、常に、嫌な役目をする人と、自分が好きな役目の人がいるのだと思って下さいね。

その人の本質が、悪いわけではないのですよ。

神は、常に、「中庸（ちゅうよう）の心」で私たちを見てくれています。

あなた自身も、どうぞ、「中庸の心」、神の視点で自分を見て、明日からの生き方を変えて下さい。

神は、生きている限り、全ての人に進化を求めます。

「これでよい」という事は一生ありませので、前に進む事を歓びにする心を育てましょうね。

＜今日のお勧めの一冊＞

沖縄本島の神人（カミチュ）、比嘉吉丸さんが本を出版されました。

今年の4/1-1/3、彼に依頼された沖縄神事で頂いたのですが、なかなか読めない日が続いていましたが、今日読んで皆さんへお伝えしようと思いました。



[いのちの地球(ほし)よ永遠(とわ)にあれ一未来の子供たちに、素晴らしい世界を残すために]

共に、命をかけてこの星を守る仲間だからこそ、違う意見や考え方を理解する心を大切にしています。

沖縄の母地に生まれた人たちの御蔭で、日本と言う国は、守られているのです。ありがとうございます。

2011.05.31 Tue

利権を手放さない企業家と政治家たち

私がここ15年間で知る限りでも、素晴らしい発明が利権を握っている企業家や政治家たちに消し去られた話しをたくさん聞いてきました。

世の中に、どれほど素晴らしい発明が見つかっても一般製品化しない理由は、いつも同じように「利権争い」によって闇に消え続けてきたからです。

こういう話しをすると、「イルミナティ」とか、色々な「闇の世界」の話をする人がいますが、これは闇の問題では無く、経済のシステムがそうなっているから起きているだけなのです。

これからお話しする事は、15年前ならとても危険な発言ですが、今は、情報や経済のシステムが大きく変わったからこそ、新時代の情報公開の手順として公開したいと思います。

今後、素晴らしい発明を世に出そうとしている人たちは、次の点に気を付けて情報公開を行って下さい。

１、新発見のエネルギー開発によって既存エネルギーが不要になるシステムを作った場合、必ず、既得権を主張する人たちから攻撃を受けます。理由は簡単で、生活できなくなる人たちがたくさんいるからです。

２、新しいエネルギー開発でお金を稼ごうとした場合は、特に、この利権争いの渦に巻き込まれて、必ず、権利を奪われてしまいますので、お金を稼ぎ出す部分と、一切無料で提供する部分を明確に分けて情報公開する必要があります。

３、もっとも危険なケースは、開発者一人が利権と情報を握っている場合で、あまりに発明が素晴らしすぎると、その人の消息がわからなくなる事件が何度も起きています。

４、開発者は、情報を正しく公開したいし、研究費も必要なので資金を欲しがりますが、必ず、資金提供者たちに権利を取られてしまう場合が多いのです。

５、現在、ある自然エネルギー装置に関わる企業でさえも、必ず、利益があるから販売に関わっている訳ですから、適切な利潤分配が必要ですし、政治家や経済界の支援を受けるほどその利権は複雑化すると覚えておいて下さい。

６、これからお勧めの方法は、個人単位で持っている新情報は「出どころ不明」にしておいて、

信頼できる仲間たちと無償で情報共有を深めて、実際に、使う人たちを増やす事を先に行うことです。

７、さらには、一切を情報公開せずに、経済行為もしないまま、新エネルギー装置を日本全国に浸透させる方法も良いでしょう。一般家庭に普及させるスピードをインターネットなどを使って一気に情報公開して、無償利用者を増やしてから情報公開すると、もう利権は奪えない状況になります。

※利権は常に、世に広まっていない段階で一部の人たちによって奪い合いが起きます。

８、宗教を含め組織化している「企業や団体」に情報を提供した場合、必ず内部の利権争いが起きますので、あくまで個人同士の情報交換という形で進めるのがベストです。

９、インターネット上で開発されているＯＳ「リナックス」というプログラムを広めた方法は、誰も一切、利権利益を所有しない方法で全世界の技術者たちが情報提供し合うインターネット上の技術開発システムですが、現在もうまく進化しています。

10、個人への投資に対して一切の利益還元を求めない投資家に出会えれば、その技術はすぐに世の中に広めることはできますが、個人欲を超越した経済人に出会う事はとてもまれだからこそ、あなた自身も莫大な資金を手にしても心を動かさない人間になる必要があります。

これまで私が聞いた素晴らしい製品情報を公開しますが、10年経ってもまだ、世の中には製品化されていません。どこへ行ったのでしょうね～？？？

うわさでは、ペンタゴン（米国防総省）やＣＩＡなどによって軍事に技術が奪われたとされていますが、もう国同士で戦っている場合では無く、これから戦うべき相手は、世界中に設置した原子力発電の対策費だったり、地球上の自然エネルギー循環システムの開発こそ、世界最大のビジネスチャンスになる事に投資家たちは気づいて下さいね～。

（消えた新技術）
¸既存エネルギーを全く使わないで、物体が浮遊するシステム（宇宙船）の開発成功
¸宇宙から無限に電気を発生させる装置を発明した学者
¸海の水や川の水を無限に安全に循環ろ過して飲めるシステムを開発した人などなど・・・

でも、一切、ガソリンを使わずに水だけで走る車は世の中に出ていますので、今後に期待しましょう！http://gigazine.net/news/20080612_wes/

皆さんに学んで欲しい事は、利益が発生しないと開発する企業も販売店も飯が食えないから参加しないという事だけは覚えておいて下さいね。

皆さんもお金が欲しいのと同じく、企業も利益にならない場合はどれほど素晴らしい発明でも消えてしまうというのも、私たちが望んだ経済のシステムなんですよ！

そう、正しく経済を理解すれば、経済人や政治家だけが悪いのではなく、利益やお金を望んだ私たちの責任だと言う事を自覚して下さいね！

2011.05.30 Mon

北海道へ移住しましょう！

3/11の東日本大震災のあと、地震や津波、原子力発電について評論家たちは勝手な意見を言い続けていますが、現在の日本の状況は国家的に「有事」だと宣言したように日本の未来は危機的な状況だからこそ、他人の意見を批判している時期ではないと思います。

国も、東電も、自衛隊の方たちも、被災地に関わる当事者たちは、必死で毎日、仕事をしていますので、こういう時期に評論家は必要ありません！

今、必要な事は日本の大人たち一人一人が、全く新しい発想やビジョンを持って子供たちや周りの人に勇気や希望を与える発言をする事なのですが、もしそうできなければ、私たちが死んだ50年後の日本がどうなっているかわかりません。

第二次大戦後、60年間で日本を復活させた日本は、世界中の人が驚くほどの発展を遂げましたが、政治家も経済人も自営業者も一人一人が力を合わせて国の復活を願い努力した結果です。

現在の日本は、良くも悪くも世界中から注目されている状況だからこそ、「国策と民間主導」の両方で大きな方向転換が必要な時期なのは誰が見ても明白です。
これほど大きな方向転換を日本人全員が決断をしなければいけなかったのは、第二次大戦後もそうですが、130年前の日本も同じ状況でした。
1868年の明治維新に続き、1871年に公布された「廃藩置県」によって、それまで武士や氏族だけが持っていた領地を国が召し上げる法律だった為に、武士の家に残る事ができたのは家長である「長男」だけでした。

だからこそ次男以下の男たちは、生き残りとプライドをかけて少ない農民と共に北海道へやってきて、原野を切り開きながら新しい生活を始めたのです。

当時は、1877年に西南戦争、1894年-1895年は日清戦争、1904年-1905年は日露戦争と戦いが続いていましたので、北方警護を目的に「屯田兵（1874年～1904年）」を国が組織して、北海道に多くの元武士と家族が移住してきました。

「屯田兵」の実情を知る人から聞いた話ですが、男たちは毎日、軍事訓練ばかりしていた為に、実際に田畑を切り開いて開拓したのは農民と女性たちだったそうです。

私の五代前の先祖も、岩手県と石川県から1895年（明治28年）に北海道に入ってきました。

当時の様子を知る祖父は、とても厳しい環境だったからこそ、韓国人・中国人・部落民・武士・町人の身分差別なく、全員が食べ物を分けあい助け合いながら土地を開墾した話を教えてくれました。
私たちの先祖が開拓した北海道は、現在、食糧自給率260％を維持し、広大な土地と飲める自然水がこんこんと溢れ出る素晴らしい大地になりました。
しかし、現在の北海道農業の実情は、後継者不足で30年先の計画が立たないほど、離職農家が増えて、あき家と土地があちこちに余り始めています。
北海道は日本全体の1/5（22％）を占める土地を有しているほど広いので、ほとんど雪が降らない地域もありますし、低額投資で米や野菜以外に様々な産業へチャレンジするには好条件の土地があちこちにあります。※土地の価格は、驚くほど安いのですよ！
インターネットのソフト関連の仕事をしている方なら全国どこに住んでも出来ますし、ハードのシステム関連なら山間部の安全な場所に設置するという構想もできると思います。
先日のＧ８で「2010年に自然エネルギー２０％達成」を国が掲げましたが、実は、現在の電気の送電ロスが最も大きいのが北海道という広大な土地だからこそ、自然エネルギー転換を一番進めるべき場所でもあるのです。
山間部の多い北海道ですから水力・風力・太陽光の設置には好条件な場所がたくさんあります！

これからの自然エネルギー設置を考える時には、ひとつだけではなく、複合的に利用する事で24時間の発電が可能になりますので、関係省庁や企業は手を組み合って家庭向けの効率のよい蓄電池を開発して下さい。
日本全体が本気で取り組めば、「2020年に３０％のエネルギー転換」も可能だと私は思っています。

「３０％のエネルギー転換」をスローガンにする理由は、二つあります。

ひとつには、非常時に電気が１/３でも生活する為には、普段から３０％削減する考え方をトレーニングする必要があるからです。※1/3なら生き残れます。

もうひとつは、枯渇するエネルギー源から永遠に使用可能な自然エネルギー転換が３０％になると、日本のエネルギー構造と考え方が大きく変わるからです。

これから電力を含めた自然エネルギーの設備設置を考える為には、経営者は今の利権をどう分け合うかではなく、私たちが死んだあとの50年先・100年先まで考えて判断する事が重要です。

大人として元服した16歳以上の全員が、0歳から15歳までの未来を考えて行動しなければ、日本という国は生き残れません。

第二次大戦時、日本の女性たちは家族を守る為に、男の子たちに戦いに行け！と戦地へ送りだした強い精神性を持っていたからこそ、この日本は守り続けられたのです。
これからは、女性たちやお母さんたちの精神性次第で、日本の未来は決まるとも言えるでしょう！

どうぞ、新しい日本の未来の為に、そして子供たちの未来の為にチャレンジする志がある方は、北海道へ家族と一緒に移住して事業を始めて下さい。
地域単位や村や町単位で屯田兵の様に移住して、自分たちの町を新しく形成する事も可能です。
私の実家も農家だからこそ、被災地の農家の方が土地から離れたくない気持ちは良くわかりますが、土地や海の放射能汚染と風評被害も含めた最悪の場合は、被災地の農業・漁業の一次産業復活には３０年ほどかかると思います。

国や東電と戦って、見舞金を受け取る姿を子供たちへ見せ続ける事が本当に良い教育なのでしょうか？

どうか、子供たちへ示すべき生き方を北海道へ移住して実践して下さい！
若者のリーダーとして全国で活躍している「てんつくマン」も、四国を離れて北海道に一団が移住することを決めました。
北海道は、若者たちがわくわくして農業ができる場所なのです！
北海道を愛する皆さんも、私と同じ気持ちですので、どうぞお越し下さい。
（北海道移住の相談窓口）・・・北海道移住促進委員会

2011.05.29 Sun

土地の神様へご挨拶を忘れると・・・

最近、知り合いの方がどこかへ出かけた後に、急に体調を崩したり、気持ちや身体が重くなるという相談を受けたので原因を読みとって視ると、なんと！土地神様へちゃんとご挨拶できていないことを問われている事が判明しました！

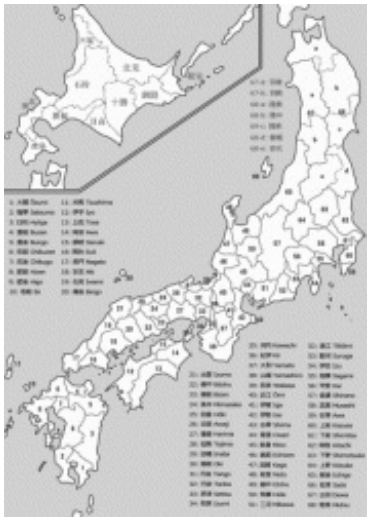
皆様の中にも同じ経験をしている方がいると思いますので、本日は、宗教・宗派・思想に関係なく土地の神様にご挨拶する正しい方法をお教えします。
※自分の住む家の「屋敷祈り」は、ハートランド龍球のトップページをご覧になって自分で行って下さいね。

＜土地の神様へのご挨拶方法＞

今回、問題になったのは、自分の住む土地から他の土地へ移動した時に、その土地の神様にご挨拶していないことを問われたケースです。
基本的にどういう場合に問われるかというと、三次元的に都道府県の県境を超えた時にご挨拶をし忘れて怒られたようです。

県境には、必ず、守っている存在がいますので、「今日は、こういう目的できましたので、正式なご挨拶はできませんが、どうぞ宜しくお願いします」と心の中で唱えてから入るようにして下さい。
車や電車などで移動中でも、心の中で唱えて入れば大丈夫です。
用事や仕事を終えて、家に帰る時も同じように、「お世話になりました。ありがとうございます」と一言お礼を伝えてから県境を越えて下さい。
もし言い忘れていた事を思い出したら、その時点でいいので、「あそことあそこの土地の神様、ご挨拶をできずにすいません」とお詫びして下さい。

地球を愛し、日本国を大切に思っている方たちが行っている国守り一宮宣言祈りをした方たちは、特に、自分の宣言した土地神様が守護に付いている為に、一般の方たちよりも余計にきちんとした挨拶をしないと、問われることが多くなります。
令制国の一宮の地図を見るとわかるとおり、都道府県だけではない昔の国ごとの境界線がある事に気づけば、ご挨拶せずに入る失礼さに気づくはずです。



住む土地の神様に認められて、神様に見守られるという意味は、その土地や国を代表する神の子として、他の土地の神様にもご挨拶する必要がありますので、旅行でも仕事の場合でも、挨拶するべき所には頭を下げるように心がけて下さい。
土地神様へご挨拶を忘れた時に起きる症状は、頭や体のどこかが急に締め付けられる感じがします。
そのままにしておくと、どんどん体は冷たくなり、心臓が苦しくなったり、めまいや吐き気が出る人もいます。
飛行機で、他の土地へ降り立った場合も同じですので、本州から四国や九州という島から島へ渡る時も船を降りた瞬間に、ご挨拶する事を忘れないで下さい。
海外旅行をする方は、特に、ご注意を！
私も何度も沖縄の島には行っていますが、住んでいる人間ではないからこそ、常に、ご挨拶を忘れると体が重くなったり、頭が締め付けられる時があります。

今なぜ、土地の神様からこういうメッセージが届くかと言えば、今後、起きる地震を抑えて欲しいと願う方たちが多くいるからですが、願いをする前に、まずは、自分の土地を守る神様に喜ばれる人間として取るべき行動があると思います。
最低限、家に一番近い氏神様の神社には、月に一度はお礼のご挨拶をして欲しいと思います。
氏神様に挨拶する意味は、単に神様にお礼をいう意味だけではなく、土地に住まれた先人たちの思いに感謝して、今、ここに自分が住ませて頂いている感謝をする為に行くという事を覚えておいて下さい。
それと！神社やお寺にご挨拶する注意として、夕方暗くなったり、神社が閉門している所へ手を合わせてはいけません。
神社やお寺は、昼間は光を放っていますので、魔や邪気や霊魂は近付きませんが、夜になるとたくさんの御霊たちがその場所へ集まっているからです。
神社のお祭りやお正月、お寺などで行う色々な催し物がある夜は、光を放っているので安心ですが、電気が消えた夜に聖地に行く事だけはおやめ下さい。
基本的なルールを知らずに、多くの方たちが夜の聖地を訪れて、霊に乗られて苦しい体験をした人たちを見ていますので、どうぞご注意下さい。

追加で言っておきますが、鳥居をくぐる時は必ず、一礼してからお通り下さいね。
祈ったあとの帰りも、同じ様に一礼して下さい。
鳥居は本来、神様の門ですので、必ず、両側に門番が付いているからです。
こういう事に気づく人は、神仏に大切にされますが、さっさと本殿に行って、お金を払って願い事をたくさんしている人を大切にしようとは思いません。
良くお話しする事ですが、祀られている神仏の気持ちになって考えてみて下さい。
あなたが、神様の場所にずっと座らされて、たくさんの人の願い事を聞く立場になってみらた、神仏の心も少しはわかると思います。
神仏の心とは、神社やお寺の中の行いだけではなく、普段の行い全てを見てる神仏だからこそ、常に、きれいな言葉を使う事、心を整えて生活することをお勧めします。
今日より明日、神仏に喜ばれる人が増えます様に祈ります。

2011.05.27 Fri

5/24　夜中０時のメッセージ

これまで、どれほど永い間、お前たちを見守ってきたか、まだその事に気づかない者が多い事に驚いている。

お前たちが、まだ自分の事しか考えられないのなら、これからまだ大きな天災が起きる事を告げなければいけない。

これは、お前たちの問題だけではないからだ。

お前たちをずっと見守り続けてきた事にも気づかず、ただ恐れや不安を抱くだけなら、その心を問う為に大きな出来事が起きると伝えておく。

お前たちを守り続けてきた私たちでさえ、そのことは止めることはできず、お前たち自身が今までの生き方を変えなければ、お前たちだけではなく、我々神々も共に全てを失う事をわかってほしい。

お前たちに伝えているのは、お前たちにしかできない役目があるからだが、そのことに気づかずにいるのなら、これからの方向を変える為に大きな天災が二度、三度と起きる。

お前たちが大切な事に気づくまで、何度でも起きると伝えておく。

お前たちは今回の件で、少しだけこれまでの方向を変える必要性に気付いたようだが、まだまだ遅い。

本当に全ての方向性を変えなければ、この地球は消滅し、宇宙・銀河の仕組みが壊れてしまうからこそ、我々はそのメッセージを伝え続けているのだ。

共に同じ運命だからこそ、我々の事を正しく理解して欲しい。

この地球に降りた全ての神々も、地球が消滅すれば一切、消えて無くなってしまうのだ。

それは、お前たち人間次第だからこそ、我々はメッセージを伝え続けている。

何をするべきか、具体的に行動を起こし、周りの人間が気づくようにする努力をお前はしているのか？

お前の想念世界や意識の中だけでは、何も変わらないと言っていいほど、まだお前たちの思いは弱い。

強い意識は、現実を変える力もあるが、まだその力の使い方を習得していないお前たちにとって、それは遠い未来のようであろう。

しかし、それは、私たちを信じる事から始まるのだ。

決して、私たちはお前たちを苦しめようとしているのではない。

共に、同じ運命を背負った存在として、必要なメッセージを伝え続けているだけなのだ。

気づいた人間にとっては「守護」とも呼ばれるが、それは特別な事では無く、誰にでもいる事を早く多くの人に気づかせてほしい。

なぜ、我々がこの地球の中にいるのか、なぜ、お前たち一人一人に付いて見守っているのか、その理由は、お前たち人間に大きな役目があるからだ。

何度も同じ失敗を重ねてきたお前たちは、この地球が初めての人間などいるわけはない。

どうして苦しい時に、この人生だけの事で物事を判断するのか、わからない。

それならばと、過去の記憶を解き放つ事も出来るが、そうすれば、多くの人間は、苦しみもがき続けてしまい、人生の目的を果たすどころではなくなるだろう。

それほどお前たちは、罪人だともいえるが、その事を問う為ではないからこそ、記憶を消しているのだ。

その思いも知らずに、自分の探求ばかりをしている人間が、魂の役目を果たす訳がない。

肉体の消滅は、死ではない。

魂の消滅こそ、本当の死なのだ。

お前たちは、存在の意義を問われている事にまだ気づいていない。

生き方を、考え方を、言葉や行動を変えて、現実を変え無ければ、短期間に地球上の多くの物が失われると気づきなさい。

その全ての出来事が、お前たちの責任だと自覚する必要があるからだ。

まだ、わからないのか？

この地球で起きる全ての事は、お前たちが目覚める為に起きているという事を！

足元に火が付くまで、わからないのか！

失う事を恐れるくらいなら、新しく生み出す事を考えなさい！

自分を守るのではなく、大切な人を守る方法を考えなさい！

死を考えるのなら、死ぬほど生き抜いて、生きた証を残しなさい！

私たちには肉体は無いが、全てお前たちが思ったことを受け止め続けているからこそ、お前たち一人一人の苦しみも良く知っている。

だからこそ、今、生きている理由が「目の前の現実を変える為」に起きているのだと気づきなさい。

今、肉体の苦しみがある者は、過去の自分の思いを問われているのだ。

行いを問いているのではなく、神の心や肉体を汚した事を問われているのだ。

自らを否定した心が、闇が、悪魔の心が、お前たち自身だと問われているのだ。

我々は、神も悪魔も作りだしてはいない。

全て人間が作りだした想念の世界だからこそ、信じている間は、その呪縛に掴まれつづけるだろう。

お前たちが悪魔か神かは、自分で問うべき事だが、我々は一切、お前たちの存在を問う事はし

ない。

共に、この地球で役目を果たす為に降りた仲間だからこそ、肉体を持つ神として働いて欲しいのだ。

我々は、肉体が無い分、無限に、永遠にこのメッセージを伝え続けているが、わかる人間がいつも少ない事を残念に思う。

共に運命は同じだからこそ、どうか、我々の思いを理解して欲しい。

何の為に、これまで多くの苦しみを抱え受け止め続けてきたのか、そのことをどうかわかって欲しい。

我々は、お前たちと常に、共にある。

心の闇の底の先にも、歓びの突き抜けた先にも、我々はいる。

共に、同じ目的を果たす為にいる存在だというを気づいて欲しい。

だから、宜しく頼む！

2011.05.25 Wed

夜中０時のメッセージ

これまで、どれほど永い間、お前たちを見守ってきたか、まだその事に気づかない者が多い事に驚いている。

お前たちが、まだ自分の事しか考えられないのなら、これからまだ大きな天災が起きる事を告げなければいけない。

これは、お前たちの問題だけではないからだ。

お前たちをずっと見守り続けてきた事にも気づかず、ただ恐れや不安を抱くだけなら、その心を問う為に大きな出来事が起きると伝えておく。

お前たちを守り続けてきた私たちでさえ、そのことは止めることはできず、お前たち自身が今までの生き方を変えなければ、お前たちだけではなく、我々神々も共に全てを失う事をわかってほしい。

お前たちに伝えているのは、お前たちにしかできない役目があるからだが、そのことに気づかずにいるのなら、これからの方向を変える為に大きな天災が二度、三度と起きる。

お前たちが大切な事に気づくまで、何度でも起きると伝えておく。

お前たちは今回の件で、少しだけこれまでの方向を変える必要性に気付いたようだが、まだまだ遅い。

本当に全ての方向性を変えなければ、この地球は消滅し、宇宙・銀河の仕組みが壊れてしまうからこそ、我々はそのメッセージを伝え続けているのだ。

共に同じ運命だからこそ、我々の事を正しく理解して欲しい。

この地球に降りた全ての神々も、地球が消滅すれば一切、消えて無くなってしまうのだ。

それは、お前たち人間次第だからこそ、我々はメッセージを伝え続けている。

何をするべきか、具体的に行動を起こし、周りの人間が気づくようにする努力をお前はしているのか？

お前の想念世界や意識の中だけでは、何も変わらないと言っていいほど、まだお前たちの思いは弱い。

強い意識は、現実を変える力もあるが、まだその力の使い方を習得していないお前たちにとって、それは遠い未来のようであろう。

しかし、それは、私たちを信じる事から始まるのだ。

決して、私たちはお前たちを苦しめようとしているのではない。

共に、同じ運命を背負った存在として、必要なメッセージを伝え続けているだけなのだ。

気づいた人間にとっては「守護」とも呼ばれるが、それは特別な事では無く、誰にでもいる事を早く多くの人に気づかせてほしい

。

なぜ、我々がこの地球の中にいるのか、なぜ、お前たち一人一人に付いて見守っているのか、その理由は、お前たち人間に大きな役目があるからだ。

何度も同じ失敗を重ねてきたお前たちは、この地球が初めての人間などいるわけはない。

どうして苦しい時に、この人生だけの事で物事を判断するのか、わからない。

それならばと、過去の記憶を解き放つ事も出来るが、そうすれば、多くの人間は、苦しみもがき続けてしまい、人生の目的を果たすどころではなくなるだろう。

それほどお前たちは、罪人だともいえるが、その事を問う為ではないからこそ、記憶を消しているのだ。

その思いも知らずに、自分の探求ばかりをしている人間が、魂の役目を果たす訳がない。

肉体の消滅は、死ではない。

魂の消滅こそ、本当の死なのだ。

お前たちは、存在の意義を問われている事にまだ気づいていない。

生き方を、考え方を、言葉や行動を変えて、現実を変え無ければ、短期間に地球上の多くの物が失われると気づきなさい。

その全ての出来事が、お前たちの責任だと自覚する必要があるからだ。

まだ、わからないのか？

この地球で起きる全ての事は、お前たちが目覚める為に起きているという事を！

足元に火が付くまで、わからないのか！

失う事を恐れるくらいなら、新しく生み出す事を考えなさい！

自分を守るのではなく、大切な人を守る方法を考えなさい！

死を考えるのなら、死ぬほど生き抜いて、生きた証を残しなさい！

私たちには肉体は無いが、全てお前たちが思ったことを受け止め続けているからこそ、お前たち一人一人の苦しみも良く知っている。

だからこそ、今、生きている理由が「目の前の現実を変える為」に起きているのだと気づきなさい。

今、肉体の苦しみがある者は、過去の自分の思いを問われているのだ。

行いを問いているのではなく、神の心や肉体を汚した事を問われているのだ。

自らを否定した心が、闇が、悪魔の心が、お前たち自身だと問われているのだ。

我々は、神も悪魔も作りだしてはいない。

全て人間が作りだした想念の世界だからこそ、信じている間は、その呪縛に掴まれつづけるだろう。

2011.05.24 Tue

地球人類の連鎖覚醒始動

神が与えた覚醒の場として「地球創世ＳＮＳ」は今年3月に誕生しましたが、始動3か月目に入り、小さな連鎖覚醒が次々に起き始めています。

誰かが受け取った夢やビジョンやメッセージを公開し合うことで、他の誰かの守護存在も動き始め、新たにメッセージを受け取る人も出てきていますし、さらにメッセージを互いに公開し確認し合う「公開サニワ」の場があちこちで自然に生まれています。

この「地球創世ＳＮＳ」を立ち上げた本来の目的は、「相互啓発による自己覚醒の連動、そして集合意識の覚醒」を目的にしているからこそ、6月以降はさらに内容を充実して皆様の覚醒のスピードを上げていく予定でおります。

こういう素晴らしい場だからこそ、「地球創世ＳＮＳ」は、本名・所在地・生年月日・笑顔の顔写真の公開を条件として有料で運営していますが、その理由も決して誰かを非難・批判しない為の強い責任感と信頼関係を作ることが必要だからです。

この強い魂の繋がりは、着実に全国に広まっています。

人間が肉体を持って生まれた意味はいくつもありますが、その最大の目的は「魂の約束」を果たすことです。

「魂の約束を思い出す為」に、生まれた土地を選び、両親・兄弟を選び、社会に出て様々な人たちと出会い、色々な経験をする中で大きな気づきが得られる様に、必要な人に出会っているはずです。

人生で起きる事は、全て神計らいで設計され、計画されて起きています。

その設計図を作ったのは、自分自身であるという事にも気づいて下さい。

神々は、目覚めのサポートをする為にあらゆる出会いや出来事を引き起こしてくれています。

例えば、本来、生まれた土地の意味に気づいて働く為には、自分の土地以外の視点から生まれ土

地を見直す視点が必要ですが、「井の中の蛙（かわず）」では大切な事に気づきません。

自分自身にどれほど強い霊力や意思があって努力していたとしても、大切な事に目覚める為には「出会いとタイミング」が必要なのです。

「出会いとタイミング」は、自分で決められる部分と決められない部分があります。

その自分では「決められない部分」を神々がサポートしているのです。

私たち人間の意思で決められる範囲は、あらかじめ決まっています。

手が届く範囲で、一生懸命に努力した範囲までですが、神々のサポートに「時間や概念の制約ない」からこそ、いつ、その目覚めのチャンスが頂けるかはわかりません。

目覚めるチャンスは、あなたが「信じられない」と思う事が突然、起きる時なのです。

起きた出来事が、自分や周りにとって苦しみだったり辛い時もありますが、それも、地球全体の試練に比べれば小さなものです。

地球と言う星が、ひとつ無くなるかどうかの話し合いを神々がしている時に、人間だけが自分の理屈で主張する事が許されると思いますか？

人間を作った神々は、それほど人間を愚かに作ったのでしょうか？

いえ、確かに人間には愚かな部分もありますが、知性よりも教養よりも素晴らしい「愛の創造力」を働かせさえすれば、今、「出来ない」と思っていることさえ、いとも簡単にできる時代がすぐにやってきます。

「創造力」は神が与えた力だからこそ、知識や教養に振り回されるでは無く、自分の本質が今、何を望んでいるかに気づき、素直に行動する勇気を持って下さい。

気づくべき人が気づき、動くべき人が動けば、この地球は救われます。

それは、私たち人間だけではなく、自然界全ての願いでもあり、人間や自然界をサポートし続けている神々の願いでもあります。

誰一人、守護存在がいない人間など存在しません。

必ず、あなたを見守り続けてくれている存在がいると信じられたら、まず、気づかなかったお詫びと感謝を唱えて続けて下さい。

あなたを見守る「存在」にさえ気付ければ、必ず、メッセージが聞こえてきます。

夢やビジョンを見せられる人もいるでしょう。

あなたがこの地球に生まれたという事は、この地球を救う為に与えられた60億ピースのジグソーパズルのひとつを持って生まれているということです。

日本人に生まれた人は輪廻転生を繰り返し、多くの記憶を持つ魂だからこそ、地球を救う大切な役目が与えられて生まれています。

この事を理解して人生の目的が明確になった人は、誰とそのチップを合わせれば一番、早く自分が目覚めるかを考えて、必要な人に逢う努力をして下さい。

魂の役目を果たす為にも、現実世界のを生き抜く努力は大切です。

与える物を持っていない人はただ奪うだけの人ですから、まず、自分が何を与えられるのか、今あるものや努力して身につけた物を目の前の人に与えて下さい。

あなたに与えられた物は、あなたの努力の結果ではなく、神が与えたものなのです。

目に見える美しさも、内在する心ややさしさも、そして、社会的地位や経済的に優位なポジションさえも、神が与えたものなのです。

努力した結果を「自分の力」だと思わないで下さい。

努力しても、結果につながらない人たちはたくさんいます。

なぜ、自分の努力が報われたのか？？？

それは、あなたに「果たすべき役目」が与えられたという意味なのです。

与えられた意味に気づかず、おごった生き方をすれば、必ず、全ては奪われ、壊されます。

「おごり」に気づく為には、失って気づく経験も必要だからです。

神が与えて、神が奪う経験全ての理由は、全ての人間に「生まれた役目」を果たしてもらいたいからです。

どんな状況下におかれても与え続ける事さえできれば、必ず、神はあなたに必要な人を出会わせてくれます。

自分をわかってくれる人が自分の周りにいないと感じている人たちは、どうぞ、「地球創世ＳＮＳ」に参加して下さい。

ここは、誰もあなたを傷付ける人がいません。

ここは、全員が自己責任で、全ての情報を公開しあっています。

辞めるのも、いつでも自由です。

一切の、強制はありません。

組織化はしませんので、各自で必要と思う人に自分でアクセスして下さい。

ご縁があれば、きっと、あなたの魂が喜ぶ人に出会えます。

だから、月に525円だけは、払って下さいね！

あとは、あなたが与えた分だけ、誰かがサポートしてくれるはずです。

笑顔の顔写真を出さない人は、信用されません。

自分の正体を見せずに、のぞき見をするサイトでは無いからです。

常に、光の言葉（ことだま）が満ち溢れています。

愛に満ち溢れ、互いの気づきをサポートし合い、自分という枠を外すスピードが、とてつもなく早いスピードで動いています。

自分を守りたい人は、参加しないほうがいいでしょう。

きっと、自分を守る幼い心が苦しくなるからです。

もういい！

私は、生きてる間に、絶対に、魂の役目を果たすから、自分の全てを公開する！

だから、この地球を人間を救って下さい！

と決められた人は、どうぞ参加して下さい。

出欠も取らないのに真面目なお勉強好きな方は、良い子にしなければいけないと苦しみます。

良い子にしなくてもいいので、自分らしく、本音の言葉で自分の気持ちを日記に書いてみて下さい。

読んだ人たちの魂が触れ合えば、誰かがきっとあなたをサポートしてくれるはずです。

あなたの言葉が、自分をわかってほしい！自分に気づいて！という自我の言葉なら、あなたに誰もコメントする人はいないでしょう。

幼い自我の甘えの場ではなく、魂が成長する為に愛とやさしさに満ち溢れたＳＮＳです。

わかってもらおう、自分を知ってもらおうというエゴを出せば、誰にも見向きはされません。

ただ、与えるのが好き！

愛を循環するのが、好き！

本当に、自分らしく生きたい！

地球や人間全てをそうしたいと思っているからこそ、全国の仲間が参加してくれています。

外部情報をＳＮＳ内で公開するのは自由ですが、ＳＮＳ内の情報を外部ブログなどに転載することはご遠慮ください。

一人一人が自己責任で、自分の意見を発言し、重要なメッセージを公開してくれているＳＮＳだからです。

私は、ただの管理人です・・・用務員みたいな立場だと思って下さい（＾＾）

主役は、参加するあなたです！

6月からは、さらに意識次元のステージアップの為に重要な情報を公開していく予定でいます。

皆さん一人一人が作る愛の発信場所、「地球創世ＳＮＳ」にどうぞご参加下さい。

2011.05.22 Sun

住吉大社にお礼参り（大阪）

5/12、ここまで半年かかった関西神事のお礼をする為に、大阪の住吉大社へ地元の方と向かいました。

住吉大社は、ちょうどこの日がご鎮座1800年祭の日に当たり、たくさんの方が参拝にきていました。







関西の土地の因縁を一掃する大神事に手を付けると決めた昨年、地元で最初に連絡をくれた女性のセッションルームが、住吉大社の目の前だったのも全てが神導きですから、物事がうまくいったお礼参りをしにきました。

今回初めて、住吉大社の全ての御宮にひとつひとつご挨拶させてもらいました。



鳥居をくぐって正面に見えるのは、きれいに御化粧した「太鼓橋」。





小雨のおかげで、空気も静寂に包まれています。







本殿のお礼を言うと、神様もお礼を伝えてくれましたので、本殿の左奥にある「大海神社」に向かいました。

そこは一番、最初に私たちを導いてくれた大きな神様がいらっしゃいますので、とても大切な場所です。



大海神社の本殿前に来ると、一人年配男性が祝詞を読み上げていましたので、後ろからそっと手を合わせてお礼を伝えましたが、後ろから見ていても男性の神気は素晴らしく、写真に写して驚きました！

神様が、この男性の体に載り移っているので、体が発光しています！



この男性の祝詞を聞いていると、下手な神主さんの祝詞より神に通じるエネルギーに満ち溢れていますので、ずっと、聞いていたいほど心地よく素晴らしい祝詞でした。

いくつもの祝詞を全てを暗記され、何十年も繰り返し読みあげた魂には神の気持ちが乗り写り、体全体から神エネルギーが溢れ出ています。

これはよくお話しすることですが、御経や祝詞が素晴らしいのではなく、その御経や祝詞を読み

あげる人の心が純粋であればあるほど、神様は必ず、私たちにその御印を示して下さいます。

こういう写真に写る光やオーブもそうですが、神風がさわ〜と吹く時や、鳥のさえづりがチュンチュンチュンと聞こえる時、誰かの話し声が突然聞こえてくる時、木の葉がサワサワとささやく時、また、大地が少しだけ揺れるように体がユラユラ揺れる時・・・・

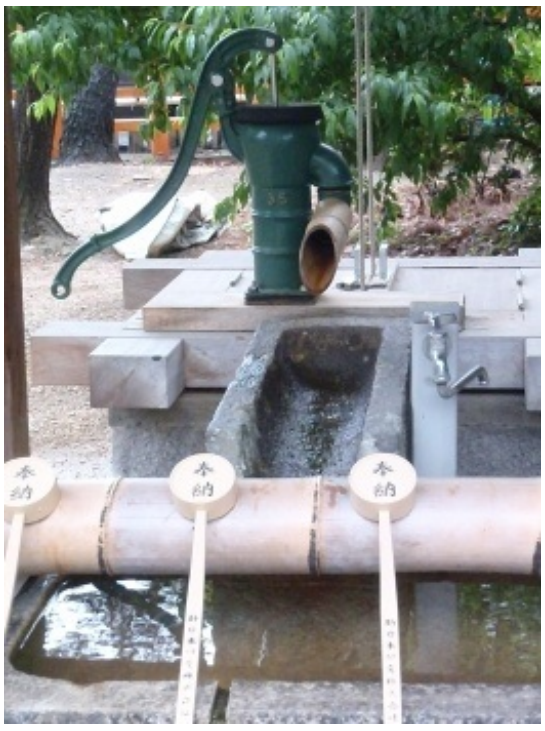
神様は、いつも心が真っ直ぐな人たちにメッセージを伝えてくれています。

神仏に素直に向き合うことが出来る人は、こういう形で「伝わったよ！ありがとうね！」と、教えてもらえます。

だからこそ、パワースポットブームで取り上げられた場所やザワザワ人が集まるようなうるさい場所では、こういう神様の声を聞くことができませんので、朝早く、一人で近くの神社に行って、そっと、神様の声を聞いてみて下さい。

「大海神社」のお水は、地下水をくみ上げていますが、とても大きな浄化力があることを教えてもらいましたので、どうぞ、地元の方は自分の土地や家族や体や心を整えたい時には、ここのお水を頂いて使って下さい。

そして、お水のパワーに癒されたら、必ず、お礼に参りましょう！



住吉大社の周りには、たくさんの御宮がありますが、今回見つけた、お勧めの場所をひとつ教えます。

ちょうど、本殿の真裏の池の裏側にあって、道からは見えない場所ですが、ここは、神降りをする「陰の天の岩戸」です。



道より一段低い場所にありますが、四方を守る神様が祀られていますので、その真ん中に立って岩戸に向かって祈ってみて下さい。

土地の中に入ったような、海の中に入ったような感じで怖いかもしれませんが、自然を守る海の底の神様に通じる大切な祈りが出来る場所です。

心の奥底の苦しみや人間界の苦しみ、そして、自然界の奥底のバランスを支えて下さる神様にお礼を言う場所ですから、絶対にお願いはしないで下さいね！

右上の白い丸いエネルギー体（オーブ）が、神様です。
ここまで御導き下さいまして、ありがとうございます。

まだまだ、関西の土地に出来る事はさせて頂きます～！

2011.05.21 Sat

あなたの「思いこみ」が現実を判断している！

目の前で起きている出来事をどう判断するかについては、「四つの善悪」で説明したとおり、自分に思考のパターンがある事を理解したうえで、今日のお話しをしていきます。

まず、自分が見えている世界をどのように感じるかは、あなたが何を考えたかよりも強く、自分の「思いこみ」に影響されている事を認識して下さい。

では、「思いこみ」とは、何なのでしょうか？

一般的な生活をする時の「（顕在）意識」は、見て、知って、感じて、判断して、行動するという動物的パターンを繰り返します。

さらに年齢を重ねたり、様々な経験を積み重ねた人ほど、「無意識」に思考のスイッチを切り替える「クセ」、つまり、「思いこみ」に影響を受けている事に気づいていない方が多くいます。

自分の思考や行動パターンを「性格」だから変わらないと思い込んでいる人は、大きな間違いだと認識して下さい。

人間は、いくつになっても、何度でも、自分（の思考パターン）を変える事ができるのですよ！

たとえば、男性に多いのですが、会社で長年働いてうまくこなした人ほど、「この自分でいい」と思い込んでいますので、なかなか自分を変えられない傾向があります。

こういう人は定年後、家族や周りの変化に順応できずに、とても苦しい余生を送る事になってしまいます。

人間は、自分の「甘え」が許される環境に長く居ると、変化する事を恐れる動物だからです。

長く自分を許し続けてくれる家族や会社は、安心感を得られる半面、変化することを恐れる自分も作り出している事に気づいて下さい。

そういう甘い環境を一歩踏み出して、自分一人で知らない誰かに歓ばれる努力をする事は、他人の考え方の違いを受け入れる大きな心を育てるチャンスが得られます。

逆に、どこへ行っても、誰と会ってもうまくいかない人たちは、今の自分を変える為に必死に、色々な知識を求めて動きまわっています。

この人たちは、「失敗」と言う不安や恐怖から来るマイナス感情を払拭したいからですが、ある日突然、「あなたのままでいいよ。あなたのままで、素晴らしいよ。」と言ってくれる人に出会えば、問題は一気に解決してしまいます（＾＾）

世の中を生き抜く大切な事は、「自分を信じる」ことが第一なのですが、それがなかなか出来ない人が多いからこそ、たった一人でもいいので、自分を認めてくれる人に出会うと、心はたちまち落ち着きます。

傷付いた時に心を癒す本が世の中にたくさん出ていますが、何度、読んでも自分が素敵に変わらないのは、前向きに変わり続ける素敵な人たちに出会う行動をし続けていないからだと気づいて下さい。

では、「前向きに生きている人」がどういう人かと言うと、過去のとんでもないアホな自分を許せた人たちなんです（＾＾）

「人間は生きていいる限り、誰かを傷つける動物」だということをまず認識できたら、これから人生の半分を失敗する覚悟をして、一歩前に進む勇気が必要です。

誰かに、完全を求められる様な言葉を言われた時は、よーく相手を観察して下さい。

その事を言った人も、絶対に、完全な人ではない事に気づくはずです（＾＾）

※「完全な人」とは、死んだあとの人くらいなんですよ！

企業は、企業戦士を作る為に企業理念を作って「利益追求の思いこみ」を浸透させますし、親も子供に希望の星になれ！と言わんばかりに「親の思いこみ」を押し付けます。

兄弟が多かったり、親が共働きで子供に時間をかけてもらわなかった人のほうが、自分で考える力は備えていますが、日本社会はどこへ行っても、ある意味「村社会」ですので、良くも悪くも「自分の思いこみ」で人を強制したがる社会だと言えます。

こういう日本が嫌で海外へ飛び出した人たちも、日本を離れて気づく事は、「村社会」のマイナス面だけではなく、日本人としての意識の繋がりの素晴らしさや精神性の高さに気づきます。

いかに、日本人として生まれた事の素晴らしさに気づけるかが、これからの日本人にとって、とても大きな問題だからこそ、私はこう提案します。

自分にとって、日本にとって、地球にとって、宇宙全体にとって、歓び溢れる生き方をまずあなた自身が行動で示して下さい。

その考え方は、周りの人から非難されるかもしれませんし、責められるかもしれませんが、決して「今のままではいけない」ことは誰もが知っています。

あなたの行動を否定する人は、自分を変えられない人だと思って下さい。

自分を変えられない人が、誰かを変えることなどできませんし、当然、現実や未来を変える事はできません。

だから、あなた自身が自分の意思で、新しい生き方を選択して生きて下さい。

私は幸せになる！

私は必ず、多くの仲間と繋がり、地域や日本や地球を歓びの星にする！

人生は最後まで、「思いこみ」で生きて行くのですから「歓びの思いこみ」で生きましょうね！

2011.05.20 Fri

関東にレインボー龍！

8日間の出張を終えて、やっと家に戻りました～（＾＾）

関西勉強会・兵庫神事・名古屋勉強会・静岡勉強会・関東勉強会に来て下さった皆様、本当にありがとうございます。

「地球創世SNS」の登録者もたくさん来てくれたので、たくさんの感動と気づきを共有できましたね～（＾＾！またぜひ、お会いしましょう！

5/14（土）に東京に入ると、夕方、素晴らしい虹の雲を見つけました。

雲に太陽光線が反射した虹の雲を「彩雲（さいうん）」と呼びますが、今回見た大きさは過去最高の大きな虹の龍が東京の空に現れました。



この虹の龍は「レインボー龍」と呼び、たしか2009年の宮古島にある天川（あまがわ）洞窟の一番奥で守っていた龍の卵を開けた時に世の中に出た龍です。

その大きさは、空に両手一杯に広げても収まらないほどの大きさで、とても感動的でした。

翌日の関東勉強会では、すぐにこの「レインボー龍」の話しになりましたが、「レインボー龍」の役目を聞かれたので、こうお伝えしました。

見た人全ての喜びと希望を叶えてくれる龍ですよ～（＾＾）

７回目になる関東勉強会の参加者は初めての方が多かったので、一人一人の目的や聞きたい事を伺ってから、お話しの中で全てを答える形を取らせて頂きました。

懇親会にもたくさん来て頂いたので、本音トーク連発で、ステキな時間になりましたね～！

私の勉強会は、一部が昼間の真面目なお話し会と、二部にお酒を酌み交わしながら本音トークの交流会がセットだと言っていいほど、懇親会の時間を大切にしています。

でも、お酒が入るとついつい本当の事を言ってしまいますので、あまり質問しないで下さいね～（＾＾）

二次会会場に移動中、ちょうど5/15が日曜日だったせいで、渋谷の町中で原発反対のデモ行進がありました。なぜか、大麻の解禁を主張する人たちも行進していたのは、不思議でしたが・・・。







常々、言っている事ですが、「〇〇〇反対！」とプラカードを掲げている人たちは、自分の抵抗エネルギーがどう利用されているのかに気づいていません。

６０歳を過ぎた先輩たちは学生運動で大きな反省をしたのに、親から大切な事を学んでいませんね～！

あえて言っておきますが、反対と賛成は同じ次元意識で物事を考えている事に気づいて下さい。

ちょっと賢い人ならわかると思いますが、自分のとって負のエネルギーだと感じた場合は、その情報に抵抗するのではなく、自分の考え方を変えて、どうすれば良くなるかという提案をしなければいけない立場に自分がいる事に気づかなければいけません。

夫婦喧嘩でも、親子関係でも、人間関係でも、同じです。

あなたが嫌だと感じるということは、自分自身に何か当たる的（まと）がある訳ですから、自分の的を捨てて、もっと賢い次元に引き上げて問題解決を提案する事が必要なんです。

戦争反対も、同じですよ。

戦争反対の運動家や宗教家、その本を書いている人たちは、戦争があるからご飯が食べられているのです。

世の中の利権やお金がどこから生まれるか説明すると、常に、私たちの集団意識はマスコミ情報などでコントロールされていて、集団心理をひとつの方向へイメージ化させることで反発エネルギーが生まれますので、その負のエネルギーをビジネスに利用されているのです。

だから、テレビの付けっ放しはやめた方がいいと言うのですよ！
その事に気づけば、ただ単に、反対だけしている場合ではない事に気づけるはずですよね！

私たち人間には、「創造」と言う素晴らしい神の力が与えられているからこそ、どんなに目の前で苦しい辛い事が起きても、未来を信じて希望という創造力を働かせなければならないのが、人間の努めなのです。

愛を信じて、希望を信じて、地球の未来を考える大きな心がある方なら、きっと、その事に気づいているはずです。

戦いで勝っても、愛は、手に入りません。負けても、同じです。

私たち人間は、戦わずに変わる事を自然界の神々に求められているのだと、どうぞ、気づいて下さいね〜。

「地球創世SNSの仲間」は、そんな事はもうわかっている素晴らしい人たちばかりが集まっていますので、誰も何かに対して批判する人がいません。

自分の愛の創造力を高める最高の場として神々が与えてくれたSNSですから、どうぞ、あなたも参加して自分を成長させる場にして下さいね！

一人ではできない事を成し遂げる為に、さらには、自らの幸せと喜びを大きくする事で地球の未来は、必ず、大きな愛の星となることを信じた人たちが、創造し行動しています。

神の声が聞こえる人たちは、大切なメッセージをたくさん公開してくれています。

自分に与えられた守護メッセージは、個人の物では無く、全ての人たちの気づきになるためだと気づいている人たちだからです。

誰かの言葉やメッセージを聞いて苦しいと感じるなら、それは、あなたが掴んで放さない過去の「囚われの心」の問題です。

どうぞ、一日も早く自分の過去の苦しい思いを捨て去って、今日という日を歓びになるよう努力して変わって下さい。

それには、まず、新しい人に出会うことをお勧めします。

常に、新しい人に出会い続ければ、今のあなたをそのままを受け入れて愛してくれるような器の大きい人が必ずいるはずです。

未来は、今のあなたが変われば、必ず道が開かれます！

愛と未来を信じ続ける人だけが、未来の地球を救う人たちなのです！

おまけですが、70歳からパソコンを始めた78歳の母がブログを始めました（＾＾）

生きている間に、少しでも経験した知恵を日記みたいに書いてみて！とGWの時にお願いしたら、ちょっとづつ書いてくれています（＾＾）

私と同じく誤字脱字が多い母ですが、私は尊敬しています。お時間がある方は、どうぞ、お読み下さい。※きっと、コメントしても返事は書けないと思いますのでヨロシクです（＾＾）

◎栄子おばーの一人ごと

2011.05.18 Wed

考え方を変えて未来を変える！

5/12（木）、名古屋市内で初めての「地球創生勉強会」を行いました。

素晴らしい癒しスポット「はなかめ庵」に集まった方たちは、知人の紹介も含めて6名。小人数ほど、一人一人に魂メッセージやアドバイスが増えるのも、私の勉強会の特徴です。

お酒が入れば、さらにそのアドバイスは的確に・・・、でも、飲みすぎには注意しましょう（＾＾！

神主免許を持った商社マンや祖父が神主だった巫女の女性、沖縄出身の40歳の男性や定年を迎えた独身男性、2008年に霧島神宮で出会ったお水運びの神女性や明るい主婦兼看護師さん。

これからの日本人の生き方に、最も重要なアドバイスと考え方をお話しさせて頂きました。

昨日までの価値観を変えて、明るい地球や日本の再生を考える地域の人の繋がりは、書籍では得られない個人の学びの枠を超えて、必ず、自分の未来を新しい方向へ変えてくれます。

これが「地球創生勉強会」の目的だからこそ、全国でお会いできる皆さまと一緒に日本を活性化させる仲間の輪を繋ぎたいと思っています。

地域で直接、逢って知恵を共有した人たちは、ぜひ「地球創生ＳＮＳ」に参加して日本中の素晴らしい仲間たちにも逢って下さい。

本名と顔写真を出して、相手を思いやる本音の言葉を語りかけあうメンバー全員の愛の大きさを知れば、さらに未来に勇気が出ると思いますよ（＾＾！

名古屋にはまた伺いますので、どうぞ皆様よろしくお願いします。

翌5/13（金）は台風の影響だった雨も収まり、久しぶりに静岡で勉強会を開きました。

この日はちょうど、浜岡原発が止まった日。

名古屋の仲間から聞いた情報ですが、まだ多くの原発を止めなければいけないほど、日本の原発の危険性は多いようです。

しかし、原発を止めても炉心棒の燃料は核融合をし続けていますので、冷やし続けなければいけない為、原発そのものの危険性はまだまだ続きます。

二人の子供を持つ静岡の奥様から、こんな切実な質問が出てきました。

5歳の子供が震災のテレビを見続けた結果、口にする言葉が全て地震や津波の不安ばかりなので、「今の私たちが変われば未来は明るくなるのよ！」と説明していますが、子供の心に宿った不安が消せないという問題です。

私は、こうアドバイスさせて頂きました。

幼い子供にとってショッキングなテレビの映像は、一生消える事がないほど強くイメージされることは、皆さんも似たような経験で知っているはずです。

だからこそ今、必要な事は、明るく楽しい経験をたくさんさせてあげることなのです。

自然の中へ行って、お花がいっぱいの場所で遊ぶこと、動物園へ行って表情豊かな動物に触れること、大自然の中で観て、触って、肌で感じて喜びをたくさん経験させてあげることが必要です。

私の体験から言えば、畑や田んぼの農作業を手伝うのもとてもいい方法だと思います。

ミミズさんが必死に生きている姿や、お魚さんが川で必死に泳いでいる姿を見て、自分もちゃんと生きることを子供は自分で学ぶようになっているからです。

そしてお母さんに出来るもうひとつの事は、子供たちをたくさん褒めてあげて下さい！

うれしい体験をすると、人間はもっとそうしたくなる動物ですから、どれだけ不安があっても、前向きに生きる勇気が湧いてきます。

こういうメンタル面の治療は、薬ではなく、大自然のエネルギーを借りる事で変わるように人間はできているのです。

大自然に癒される理由は、私たち人間のお母さんが大自然だからです。

大人の中にも同じように精神バランスが崩れた人たちが増えているようなので、ぜひ大自然の中で体を動かして汗をかいて下さい。

野菜やお米を作る農家の人たちは、必ず芽が出て成長することを信じているからこそ、種付けができるのです。

どんなに辛い時でも、未来を信じているからこそ今できることを必死にする事の重要性は、大自然の中に行くと教えてもらえますよ！

10名全員の質問に必要なアドバイスをしましたが、ちょっと素晴らしい情報を話しすぎたかも・・・？（＾＾）

学んだ良い情報は一人占めしないで、どんどん周りの人へ教えてあげて下さいね。！

幸せのバトンを渡し続ける人は、どんな局面に遭遇しても必ず周りの人が助けてくれます。

あなたが発した言葉や行動が、相手に幸せや喜びを与えているかを、どうぞ、チェックして下さい！

2011.05.14 Sat

兵庫神事（広峯神社・陰陽師の里・神鍋）

5/10、関西勉強会に初めてご参加して下さった皆様、ありがとうございます。

私の勉強会は、普通の人たちが「今よりも輝いて生きる為の気づきの場」として、目に見えない心や精神からの視点から現実をより楽しく過ごすための知恵をお伝えしていますので、どうぞ、お気軽にお越し下さいませ。

翌日の5/11（水）、参加者の仕事の都合で早朝６時に出発した分、二日間の予定を一日で終える事ができました（＾＾）１７時間、神と共に過ごした経験をぜひ現実生活で生かして下さいね！

京都神事を行う上で、もっともやっかいな部分が「見えない結界」と呼ばれている「陰陽師の結界」の問題がありますが、関西の仲間があるゆる調査を行ってくれました。

ひとつは、京都最高の陰陽師（おんみょうじ）と呼ばれた安倍晴明（あべのせいめい）が作った結界ですが、この結界についての問題は無くなりました。

理由は、私自身が安倍清明の魂と対話しているからです。

しかし、もっともやっかいな問題は、安倍清明の好敵手と言われた「芦屋道満（あしやどうまん）」の存在です。

陰陽道の祖とされる安倍晴明とライバル関係にあった芦屋道満（あしやどうまん）は、晴明に勝るとも劣らないほどの呪術力を持つとされ、安倍晴明が"藤原道長" のお抱えの陰陽師であったのに対し、蘆屋道満は”藤原顕光" お抱えの陰陽師でした。

道満は、藤原道長の政敵である左大臣藤原顕光に道長への呪祖（じゅそ）を命じられたとされましたが、清明にその呪詛を見破られて信頼を失ったという歴史があります。

この二人の最高の陰陽師を調査していくと、二人が学んだ「吉備真備（きびのまきび）」という師匠が登場してきます。

京都の裏表に何重にも掛けられた全ての呪術問題を解決するには、全ての元へ遡って承認を得ることが必要なので、まずは、吉備真備（きびのまきび）の魂が祀られている「広峯神社（広峯山山頂）へ向かいました。

広峯神社は、"牛頭天王”の総本宮であり、スサノオウを祀り、京都にある八坂神社の本宮として知られています。







広峯神社の中には多くの末社がありますが、まず左の末社から順番にご挨拶をします。

これは大きな神社にご挨拶する時の正式なルールですから、皆さんもよく覚えておいて下さいね。末社の全てを回って、ひとつ、わかったことがあります。

この神社はもともとは「古神道」の神を祀っている神社でしたが、そのあとに「修験道」たちの参拝所にもなり、「十八番」の番所が修験者たちの目印として残っていました。

吉備真備（きびのまきび）が、この場所の神気を読み取り、持統天皇の許可で建てた意味がよくわかるほど、神殿の奥からはすばらしい神気エネルギーが、今も溢れ出ています。

雨がパラつく天気でしたが、正面で祈りを始めると、すぐにこう言われました。

「やっぱり、来たか・・・。わかっていたぞ、いづれくる事は・・・。」

その言葉を聞いて一瞬、驚きましたが、吉備真備は、私にひとつの証をくれました。

それは、陰陽師たちが天地神・自然神を動かす時に使う「天地盤」です。

「これをお前に与える！」と、言って下さいました。

ありがたく頂いたあと、驚くことに奥からひとつの「目」が現れてきました。

この目は、イルミナティの印になっている目です。



陰陽師の呪力が、イルミナティーの力とつながっていることが、これではっきりしました。

人間があみ出した呪術や呪詛の術は、その力の元を正しく理解し全てのつながりを解き明かせば、一変に全ての結界を外すことが可能です。

なぜ、吉備真備がそのことを私に教えたのかといえば、人間が作った京都の結界を外す許可が降りたという意味があるからです。

次に向かったのは「陰陽師の里」とよばれた兵庫県佐用郡佐用町乙大木谷です。

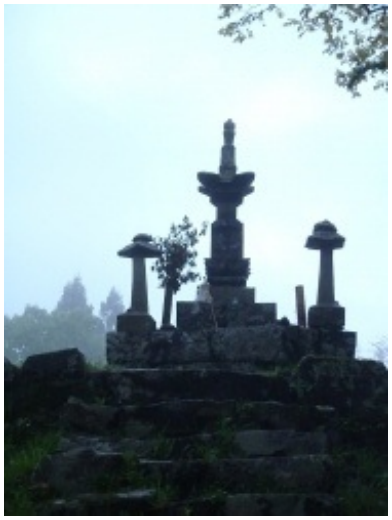
昔ながらの棚田で有名な場所ですが、この場所にだけ陰陽師の力によって守られ続けた空気が漂っていました。



そして、ここには芦屋道満（あしやどうまん）の御霊が守る塔もあります。







安倍清明の塔や三角地帯の意味を調べたい方は、どうぞ、ご自分でお探し下さい。

最後に向かった場所は、ここから２時間版半ほど北へ向かった関西の西を守る大きな山神様の集合地「神鍋高原」です。

噴火口からは、ものすごいエネルギーが溢れ出ています。





祈りを始めると、一人の女性が震え始め、大声で泣き始めました。

過去の古い魂の経験を山神様たちに問われたからです。

もう一人の女性も震えが止まらず、立っているのがやっとの状態でした。



この二人は、陰陽それぞれの巫女として過去に働いていた魂の記憶があるからこそ、この場所へやってくる必要があったのです。

秦氏一族の巫女として働いた一人は、自然神の神に過去の呪詛を問われ、もがき苦しみましたが、涙を流しながらお詫びをし続けた結果、今後一切、過去の全てを問わないというお墨付きを頂きました。

山神様が人間を責めることは珍しい事ですが、後から入った人民族が先人を力で制圧し、自然循環の流れを壊した事に腹を立てているようでした。

ここ「神鍋」には、周りの山神様全てが集まる大切な場所として古くから大切にされた場所ですが、そのことを知らずに人間の勝手な思いで人や自然を苦しめたことを問われたのです。

この場所の祈りで、彼女たちの過去のカルマも一掃しましたし、京都を守る関西全ての神々に承認を得ました。

京都のあるゆる因縁を整える為の神事は、終わりました。

あとは決行の日まで、まだ気づくべきことがありますので、ひとつひとつ大神と対話していきます。

現在の台風も、日本の大乗化で起こっていますので、どうぞ、土地を守ると宣言した方たちは、土地神の気持ちを背負って祈りをなさって下さいませ。

祈り合わせして下さいました皆様、ありがとうございます。

2011.05.12 Thu

四つの善悪

5/8、お昼０時の祈りで降りたメッセージです。

この世には、この「四つの善悪」に気づかず、悩み苦しんでいる人たちがたくさんいるようなので、自分の思考を正しく理解する為に次のどれで自分が物事を考えているかをチェックして下さい。

「四つの善悪」とは・・・

ひとつは、最善の最善。

ひとつは、最善の最悪。

ひとつは、最悪の最善。

ひとつは、最悪の最悪。

この世で起きる全ての物事を「四つの善悪」のどの視点から考えるかによって、苦しみにも、愛にも、感謝にも変わる事を気づけば、生きる上での全ての問題解決も、おのずと上手になるはずです。

ではひとつだけ、事例を挙げて説明しましょう。

事例：3/11の東日本大地震を考える

１、今回の大地震を「最悪の最悪」で考えるなら、未来に希望は無く、ただ打ちひしがれた心は、誰かに不満をぶつける行為だけを続けることでしょう。

世界中の誰もがわかるような最悪の出来事を体験した日本人が、独りよがりの最悪の事しか考えられないのなら、永遠に続く苦しみと恨みの心に支配され続ける人生を送る事になるでしょう。

２、「最悪の最善」とは、最悪の出来事が起きた時に、「まだ私は生かされている事」に気づき

（最善の思考）、自分が出来る事で誰かが助かる事をすぐに行動する人たちです。

例）現地へ救済に行く人、現地の人を受け入れる体制を創る人、新しい経済・環境・エネルギー転換を進める活動をする人、自己責任で寄付したり平常時の経済生活を維持する努力をする人・・・

３、「最善の最悪」とは、今回の大地震は世の中が良くなる為の大切な気づきとして起きた事だと考えて、現実的に起きる最悪の問題を解決する為に活動する人たちです。

子供たちを学校へ通わせる為に活動する人、行事やお祭りを復活して地域の繋がりを深める努力をしている人、新しい経済が動き出す為に私財を投げ打って未来に投資する人、人々に勇気や希望を与える為のメッセージや行動を起こす人・・・

４、「最善の最善」とは、今回の地震によって大切な事を気づいた人たちは、地球全体がより良くなる為にどうすればいいかを自己責任で考えられる人で、明確に未来へ続く道を示す人たちです。

一切の非難を言葉にしない人、誰かも問題点を指摘する場合には必ず、改善案を提案できる人、相反する人たちの発言や行動を一切非難せずに和合する方法と知恵を持っている人・・・、常にいつもその事を考えて生活している人です。

皆さん自身も、自分がどの視点で物事を考えているかを再確認して下さい。

「個人」と言う概念に囚われ続けて問題を解決しようとすれば、永遠に、地球や日本の未来に希望はありません。

「あなた自身がまず変わる一歩を踏み出す勇気」が、今、求められている事に気づいて下さい！

◎常に、最悪の覚悟をして、最善の努力をする事が必要です！

2011.05.09 Mon

滋賀県　白髭神社・竹生島（ちくぶじま）

4/24（日）、滋賀県最後の詰めの日ですが、朝から驚くようなハプニングが起きましたが、そのハプニングも神導きだとわかったので、参加者一人一人が自分の事として学ぶようお願いしました。

私の神事に参加すると、「常に、自分のおごりや不足」に気づかされる事がよく起きます。

普段は、許される事でも大神様は厳しくその点を問いますので、常に、自分の魂磨きの時間だと思って心静かに整えて下さる様お願いします。

「常に、人を問わず神を問わず」、ただ自らを省みる気づきを与えて下さっているだけなのです。

この日、最初に向かった場所は、琵琶湖に浮かぶ鳥居で有名な「白髭神社」です。

琵琶湖西岸、161号線沿い、近江高島付近に湖中鳥居が見えてきます。

湖中鳥居は、もともと岸辺にあったものが地震や火山の噴火で地盤が水中に沈み、もう一度同じ場所に建て直したものだと言われてます。

琵琶湖の中から古い参道の石畳らしいものや昔の鳥居、さらに北側には、「湖底遺跡」も発見されています。



ご祭神は、猿田彦・あめのうずめ。



対岸側にも鳥居があり、いくつもの末社にご挨拶してから山側の本殿に進むと、一番上に、「天の岩戸と磐座（いわくら）」があります。







伝説では、猿田彦が白髪の老人の姿で現れたという話が「白髭神社」となっていますが、古代に新羅の人々が入り込んで集落を作っていた為に『新羅神社』の呼び名が長い間になまって「白髭神社」になったという説もあります。このいわれは、昨日の「百済（くだら）」と似てますね。

結局、両者とも、日本海側から入って琵琶湖周辺に定住した民族なのだと思います。

素晴らしい守り方をしていたのでゆっくりしたかったのですが、手を合わせると「どうぞ、御急ぎ下さい」と言われました。理由は、竹生島へ渡る船の時間が迫っている事を神様も知っていたからです。

竹生島へ渡る船が出る今津港へ着くと、出発5分前の船があったので飛び乗りました。

予定より、１本早い船に乗れたのも「神計らい」なのでしょう。竹生島へ着くと、まずはこれまでの情報を全員で再確認しました。

今回の滋賀神事の最終目的地が「竹生島」に決まるまで、関西の仲間たちと数カ月間、メーリングでサニワをし続けましたが、私はほとんど自分で歴史を調べないようにしていました。

理由は、私が直接、何かを調べると、あらゆる存在の思いが身体に乗ってくるので、冷静な判断ができなくなるからです。

その分、参加者たちは守護存在から色々な夢を見せられ、事前に現地へ出向いて感じた事をメーリングで情報公開してくれました。

地元の神事に参加する場合は、土地生まれの方が守護存在を通じて「神役目」になりますが、ここ滋賀県は色々な時代の思いが集積されている場所だからこそ、一切、感情を動かさずに冷静に判断する必要がある土地です。

竹生島で待ち合わせた大切な家族の船が、まだ着かないので先に全部の場所へ挨拶に伺いました。






白巳大神






所祥神竹島生竹




竹生島神社御本殿





一通り、ご挨拶して感じた事は、人間の気で場所が乱れている点が気になります。観光客からお金を欲しがる人たちの思いも強く感じました。

弁天堂では、御願いが多すぎて神様がとても心細くなっていましたが、私たちの祈りをとても喜んでくれました。人間の欲で、この聖なる島を汚している事にお詫びしたい気持ちでいっぱいです。

しばらくすると、待ちわびたご家族に出会えました。

滋賀県在住のこの家族の奥様は、龍に導かれて私に連絡をしてきた女性ですが、魂の繋がりは深く、様々な相互連鎖がお互いに起きています。

彼女とは、一度だけ事前に逢って魂の本位を確認しあいましたが、ここ数年の体験を聞くとそれはそれは壮絶です。

「１週間で全ての財産を使い果たしなさい」と、ドバイへ行った時に神様に言われ、全財産を投げ出して家族全員で放浪者となり、身ひとつで数週間、神に命を差し出した経験をした家族です。

本当に「魂の神役目」を果たさなければいけない人たちは、必ず、こういう経験をしています。

現実的には異常な行動ですが、真実の神に向き合う心とは、「一切、自分を守らないことが条件」だからこそ、ユタの三年修行でも家族や財産の全てを奪われる体験をする方が多いのです。

私も同じ体験をしているのでよくわかりますが、驚いた事は、この家族に重要な事が起きたタイミングが、全て、私がこれまで行った神事の時期に重なる事がわかったからです。

「地球を守る」と約束してきた魂が、「神事で覚醒した証」として出会わせてもらったのだとわかりました。

大神様からは、私が行う神事によって「多くの人が目覚める」とは聞いていますが、なかなか実感することが出来ないからこそ、この出会いは大きな自信にもなりました。

二人の娘さんは、龍の使いとしてお母さんを守護して言葉を降ろしてくれていますが、本人は、一切、言葉を受け取る役目ではないからこそ、家族のサポートによって魂の道をまっすぐ歩んでおられます。

再婚したご主人は中国人で、私の魂の仲間（ソウルメイト）だとわかりました。

中国、清時代の初代皇帝の息子、つまり、第二皇帝の魂を持っている方で、私と同じく道教や儒学・蘭学・神仏学を学んだ仲間でした。

彼は皇帝の息子として、私は、神官の息子として共に学びながら、お互いを尊敬していました。

清の第二皇帝に彼が就任した時、私は道教の仙人になっていたので、人を導く道を教える役目として彼をサポートしていた時代を思い出しました。

彼もまた、私を心の師として尊敬して下さり、共に、龍を動かす力と役目を持って国を守っていました。

ここまで鮮明に自分の過去世を見る事もありませんでしたが、今回の出会いは、大きな意味で中国人が失った魂や龍を、この日本から目覚めさせる為に出会った気がしています。

彼は、中国人には珍しく、「和の心」を理解している方で、昔の日本人を感じさせるくらいにまっすぐな心の持ち主ですから、互いの魂の役目を果たす為に出会えた事に感謝しています。

短い挨拶の間に、手を握り感じ取るだけで全てがわかった理由は、彼もまた私と同じ能力を授かった一人だからです。

空が黒雲で曇り、落雷が鳴り響きました。龍が、「早くしなさい」と合図を出しています。

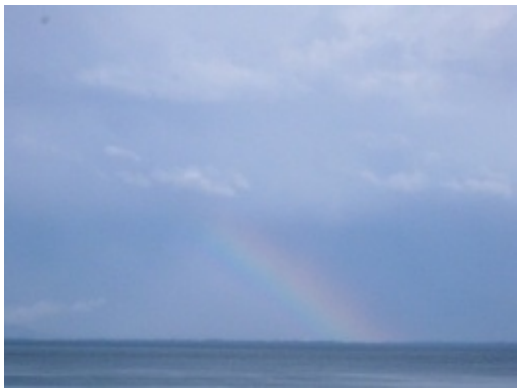


祈りの場所は、この「三重の塔」で行いました。

天のエネルギーと地のエネルギーを繋ぎ、それを私たちの身体を通して琵琶湖の奥底へ繋いて、龍宮底神のさらに奥まで繋ぐ祈りを行い、これまでの琵琶湖に集まった全てのカルマを一掃しました。

祈りが終わった瞬間、落雷と共に雨が降り始めて、全ての思いが浄化転生されました。

港に戻り、帰り道で天が見せてくれたのが、この祝福の虹です。



全てが終わったと安心して車の助手席に乗っていると、身体にメッセージが重くのしかかって苦しくなりました。もう、終わったはずなのに・・・と思いながら、何とか意味を取りきると・・・

「太陽と繋ぎなさい！太陽の光を琵琶湖の底に繋ぎなさい！」

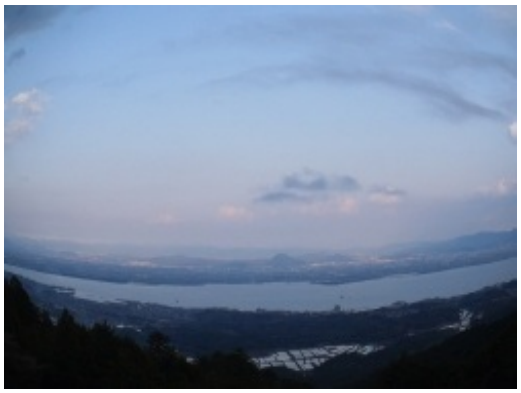
慌てて、「琵琶湖が見える山の上に行って下さい！！」とお願いして、延暦寺へ向かう途中の高台から全員で手を繋いで光繋ぎの祈りを行いました。

それはそれは苦しい祈りで、一番、最前列で繋ぎ役をお願いした宮古ユタの女性は、もがき苦しんでいました。

地球の奥底にある全ての重く暗いエネルギーの塊を全身で感じながら、引っ張り出すのに大変苦労されていました。

この「負のエネルギー」は、皆さんの心の中にあるマイナスの思いの積み重ねだと言えます。

今回の東日本大震災で悲しんだ全ての人の思いも、地球が泣いている母神の思いも、すべてが黒い塊となって地球の底へ溜まっていたのを太陽の光ラインに載せて天へ上げました。



この神事が終わった5/5、先ほどお話しした滋賀県在住の龍の子供たちとお父さんからメッセージが降りたので、お母さんを通じて私に届きましたのでご紹介します。

４月３０日に、繋がっていた琵琶湖の割れ目が再度開き、轟音と共に琵琶湖の下の地球の大地がギザギザに割れ、地球の中の中心から龍が飛び出していきました。

中心にレインボー龍、その両サイドに黄金龍と青龍、そのまた両サイドに黒龍と白龍、龍たちは琵琶湖上空までのぼり、雷が鳴り響くと共に消えました。

消えた瞬間、龍は龍の色の光輝くエネルギーの粒子となり、琵琶湖に落ちていきました。

その瞬間、琵琶湖の中にいた女の人が、琵琶湖の水面にでてきて琵琶湖の上を歩いていました。

これは今、新たなエネルギーが動きだしたのだと感じました。

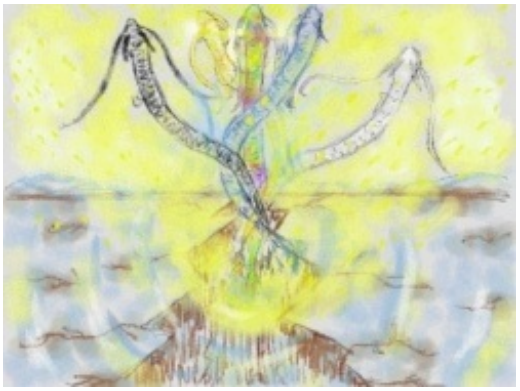
そして、女の人と共に封印されていた龍のエネルギーが解き放たれた感じがします。

これから動く！・・・、その様に感じました。

そしてその後、琵琶湖を繋ぐとは「日の本をつなぐ」レイラインのつなぎ合わせだとわかり、一度、クリーンにして天と地、玉と玉を繋ぐラインのつなぎ合わせが神事で行われたのだとわかりました。

すべては、地球が生まれ変わるため・・・その様な感じがいたしました。

※子供が、その時見た映像を絵に描いてくれました。



十数年前から、こういうインディゴチルドレンやクリスタルチルドレンと呼ばれる子供たちがたくさん生まれていますが、この子供たちが素晴らしいのではなく、私たち大人が大切な事を忘れているからこそ、魂レベルの高い子供たちが生まれているのです。

私が行っている「地球創世神事」は、日本人が魂本来の働きを思い出す為に、無意識下に眠る壮大なカルマを外す目的で、日本中の必要な場所へ必要な仲間たちと足を運び、神々と対話する神事を10年以上続けています。

さらに、こうした神事情報を一般公開する理由は、無意識下に眠る恐れや不安、囚われを外す目的で行っているのですが、「真実の神情報」は読むだけでも大きなカルマが外れることを覚えておいて下さい。

皆様の未来が歓びを感じる為には、これまでの価値観や生き方を変える必要性に気づきながら行動していなかった事実を反省して、新しい生き方を提案する人たちが今、求められています。

魂の約束を思い出した方は地球創世の仲間達に出会って愛を語り、世界を導く日本の精神性の素晴らしさを一人一人が行動で示そうではありませんか！

神々は、常にその為のメッセージを皆様へ送り続けていますので、どうぞ、自分の内なる気づきに正直に生きて下さいませ。

今回の滋賀神事に心を合わせて下さった皆様、本当にありがとうございます。

2011.05.08 Sun

滋賀県　鏡神社・鏡山（竜王山）

4/23、滋賀県の東側を先に回ると決めたので、滋賀県竜王町の「鏡神社（かがみじんじゃ）」に向かいしました。

なぜこの「鏡神社」に来たかというと、この後に登る「鏡山（竜王山）」の前にご挨拶だけの目的でしたが、来てみて驚きました。

なぜ驚いたかと言うと、移動する車の中で皆さんに話していた事をまずお話しますね。

昔々、太古の時代に琵琶湖に「銅鏡を沈めて拝む民族」が住んでいましたが、近年、その銅鏡がたくさん見つかり、歴史学者たちが調査を始めています。

ただ歴史学者たちは、銅鏡を鎮める方法で拝む民族を知らなかったので、現在も謎のまま、銅鏡調査を進めているようです。

以前、私が大神様と対話した時の話をしますが、この民族は山を越えた「駿河国」あたりに船で着いた民族で「太陽神信仰」をしていた民族でした。

当時、日本に居た先住民は山で狩りをしたり魚を採って食べるだけの狩猟民族でしたから、火を上手に操る人たちを見て敬服し、僕として一緒に暮らし始めました。

この民族は高度な農耕文化や青銅器技術を持っていましたので、琵琶湖の周りに大きな村を形成していましたが、ある時、山の噴火によって琵琶湖の水位が一気にあがり、ほとんどの人たちは琵琶湖に飲み込まれてしました。

実は、銅鏡を琵琶湖に沈める意味は、御霊鎮魂の意味と、銅鏡を鎮める事で琵琶湖を神鏡として祀り、天のアマテラス様と繋ぐ儀式の意味があります。

この民族は、中国地方から渡ってきた刺青文化を持つ「青銅族」だと思われます。

沖縄の一部に記録が残っていますが、全身に刺青をいれたこの民族は高度な知恵を持ち、自分たちが守り続けた太陽神をこの地に繋ぐためにやってきた民族です。

「鏡神社」の由緒を全く知らずにこの話をしていたのですが、鳥居をくぐって驚きました。

すぐに神様が、自分たちの事を正しく理解してくれた事にお礼を言ってくれたのです。

この瞬間に、知識が確信になりました。





本殿に向かう左側には、「祓戸神」がありますが、これがまた素晴らしい！

大きな神エネルギーが天にまで繋がっていますので、ここで全員の禊をしてから本殿に向かいました。

一人の巫女は、使い古されたような黒いサヤに収まったたくさんの刀を受け取りました。

過去の思いや御霊たちの戦い、争いを納めて下さいという意味です。



本殿で祈ると、女性の神女たちが儀式をしている情景を見せてくれました。

現在の御祭神は、『天日鉾命』（あめのびこのみこと）。

日本に渡来文化や技術を広めた祖神（おやがみ）です。

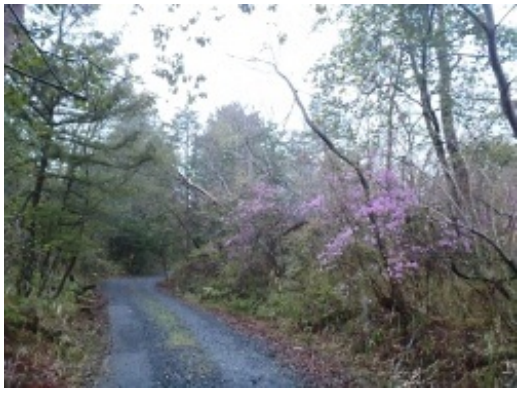
のちに近江源氏　佐々木氏の一族　鏡氏（かがみうじ）が崇敬して護持したと伝えられています。

鏡のエネルギーを琵琶湖へおさめることで、照り返す鏡のエネルギーで、湖底（地底）と天とを繋ぎ、天～次に向かう鏡山～ここ鏡神社～琵琶湖のラインで通す祈りをしました。

そして、一切戦わなかった民族、京都にも出ずに表に出なかった古い古い民族と覚えておいて下さい。

この民族の役割りは、一切、戦わず、神に授かった様々な技術や文化をこの日本へ伝える為にやってきた民族なのです。

12：30、雨が降り続く中、「鏡山（竜王山）」標高384mの登山口を探しました。



神門を開いて登り始めると、途中から周りの情景が一気に変わりました。

白山に登った事がある方はわかると思いますが、山頂が近付くとあたり一面、ごつごつした岩があたりに増えて、別な世界に入った感じになります。



中でも『コンメ岩』という名のついた岩は、女性の子宮・産道、性器を形どった石が印象的で、ここは生命の生まれる場所だとわかりました。

当然、男性性器の岩があるはずと探すと、すぐに見つかりました。

こういう場所があるという事は、この山が「神産みの場所」であることを示しています。





頂上が近くなって見えた鳥居の文字を見て、さらに驚きました！

「貴船神社」だからです。

神社で「船」と名前に着く場所は、UFOの船の事を示していますので、この場所は宇宙に繋がる祈りをしていた場所であることを示しています。

そして、素晴らしい自然界に溶け込んだ拝殿を見つけました！

山の上から降りてくる神気を樹で受け取り、その下で火を焚き、背中側の拝殿から山の裾野の住民へ、神気を繋ぐ祈りを今でもしている事がわかりました。

古神道の精神を現代風に上手に取り入れて、宇宙神の信仰を守っている人たちがここにはいると言う証です。





さらに石段を登ると、そこには、磐座（いわくら）がありました。

自然界が造った「神の御宿」です。





宇宙から繋がる神気をモロに身体で感じられる素晴らしい場所だからこそ、この場所に来る人は神に問われる事も覚えておいて下さい。

大切にこの場所を守り続けてくれている素晴らしい地元の人に、心から感謝致します。

祈ると、こんなメッセージが降りてきました。

「違う星から来た４人が、何かをしにくる事は知っていましたが、あなたたちの事だったんですね。』

どうやら、私たち４人はそれぞれ違う星から来た魂のようです（＾＾；

さらに少し登ると頂上ですが、少し平らになった場所で「天地繋ぎの祈り」を行いました。







宇宙の守護を感じ、京都の貴船神社と繋いた女性は、その役目を持っている魂です。

そのあとに、私が天とこの地と琵琶湖を繋ぎ、琵琶湖の一番深いところまで宇宙の守護力が届く為の祈りを行いました。

全員、雨具も無しでびっしょり濡れましたが、この場の気持ちよさに魂は喜んでいました。

帰り道は、違う道を進みました。





この素晴らしい場所に、「雲冠寺」というお寺があったことを示す様に、石垣が積まれています。

たくさんの人たちが、厳しい寒さの中を修行されたのだと思い、感謝が溢れます。



ふと、樹からアブクが出ているのを見つけました。

この山に、そして、この樹に龍が降りているのを教えたくて見せてくれているそうです。

龍たちよ、いつもありがとうね！





道が開けると、湖のような場所があり、そこにも龍がいましたが、「高圧電線があるので飛べない」と言われ、別の飛行航路を作ってあげました。



ここから下山した場所まで約1時間くらいでしたが、降りた場所が登山口から５Ｋｍほど離れた反

対側だったので、びしょぬれの身体でラーメン1杯食べて次の場所へ移動しました。

近江八幡にある「日牟禮八幡宮（ひむれはちまんぐう）」は、琵琶湖を対岸で守っている神社のひとつで、４月上旬に、仲間が紀伊国の一ノ宮を回った際に強く横槍・アピールされ、何かかを訴えられたそうです。
八幡・ヤハウェ・妙見・白山　とくることから、今回の候補としてあげてられました。



「日牟禮八幡宮」は、近江国の国府八幡として指定されている神社で、近江国　一ノ宮の建部大社と同二宮の日吉大社、同三宮の多賀大社と野洲の御上神社の間に鎮座しているような感じです。
江州（現在の滋賀県地方）土着の氏族の同族の人びとがその祖神を祀る斎場に、縁故深い八幡大神を合祀したものと考えられています。
豊臣秀次が築いた八幡城の城跡がある　八幡山（標高283,8m）のふもとにあります。
ひとつひとつの祠に、ご挨拶をしてまわりました。

最後は、東近江市にある百済寺（ひゃくさいじ）です。



地元の方が事前調査で調べてくれていたので御紹介します。

百済寺は、『百済』の字が示すごとく、推古天皇14年（606）に聖徳太子の発願により、百済からの渡来人のために創建されたと伝えられています。
「湖東三山」の１つですが、湖東一帯（琵琶湖の東側）は、弥生時代から開かれていたといわれ

、
とくに百済系の多くの渡来人の集落が連綿と点在していたようです。
彼らは、朝鮮半島先端から日本海流に乗り若狭に漂着し、冬場の豪雪を避けて近江へと南下し、当時の先端技術や先進文化を近江にもたらし定着させていきました。
ちなみに百済とは・・、紀元前18年に高句麗から分離独立し、現在のソウル近辺に成立していました。
産業・経済・技術・文化面では第一級の国家でしたが、政治・軍事的には弱い面がありました。
首都も建国以来、数回にわたって遷都・南下した国でした。
万一の亡国に備えて、国民を安全な場所に避難させる必要があると考え、その受入れ国として日本(飛鳥斑鳩)があげられました。

その調査に、百済の博士「慧慈」(百済へ亡命した高句麗僧)が派遣され、到着した慧慈が目にしたものは、聖徳太子の元服式（成人の儀式）でした。

慧慈が太子を信頼し、かつ百済国王の指令の下、慧慈と太子の間に緊密な師弟関係が生まれ、推古14年(606年)10月21日に創建されたと伝えられています。
近江の最古級寺院であり、そこは北緯35.1度線上に存在します。
次にその北緯35.1度線について紹介します。不思議です。
この線上には、西に向かって、太郎坊(八日市)…比叡山…次郎坊(鞍馬山)…百済(光州)があり、東に向かっては荒子観音寺…熱田神宮がほぼ同一線上に並びます。

この偶然とも思える配置は、実は必然的・意識的な配置であることが最近明らかになってきたようです。
百済人が若狭ルートで湖東地域に渡来・定着してゆく過程で、母国百済の光州と同一線上の近江に太郎坊を、山城に次郎坊を、鈴鹿山麓に百済寺を意識して設定した可能性が高いみたいです。
百済寺の縁起書によると、慧慈と太子が湖東に来たとき、太子が光明を放つ杉の巨木の上二半分の幹を見られ、この杉の上半分の幹は百済に運ばれて「龍雲寺」の本尊十一面観世音菩薩像に（なったことが判り）、根の付いたままの下半分の幹に十一面観世音菩薩像を彫り、百済寺に龍雲寺と百済寺の御本尊は、同木から彫られた観音さまであり、ここに日韓交流の原点があります。
でも、杉の巨木の上半分の幹がどうして百済まで運ばれたのか？ですが、日本海流に逆らって運ぶのは困難ではないか？と考えられていますが、海の波は、寄せては返すを繰り返すので、西へ向かう波が来たときは、船を沈め、返す波のときに、少しずつ東へ進む、といった進み方ができたと、ご住職さんがおっっしゃってました。
また百済では製鉄技術の発達で木炭を大量消費したため、仏像彫刻用の大木がなくなり、森林国の日本に原木を求めたという背景もあります。







私が最初に祈りを始めると、すぐに過去の辛い思いが言葉となって、隣の女性に言い付けるような感じの言葉が降りました。

お前たちに何がわかる！

私たち御仏は、これまでこの地で起きた戦いの御霊を受け止め続けてきたのに、その心が本当に理解できるのか！

この思いをどうしてくれる！

お前たちが、どう行動で示すかを我々は見ているぞ！

女性三人は、このあと重要なお役目を御仏様に仰せつかりました。



本当はこのお寺は、行きたく無かったのですが、どうしても参加者の一人のカルマが大きいので、お詫びに行かなければいけないお寺だから足を向けたのですが、やはり、叱られました。

叱られるとわかっていても、頭を下げに行かなければいけない事は、神事ではよくあります。

人間が、どれほど神や御仏の心を踏みにじってきたのかを気づかない人が多いからこそ、こういう場面もあると言う事を皆さんには知っておいて欲しいのです。

私がいつも皆さんにお願いしている事ですが、祈りは、まず「お詫び」から始めて下さい。

神や仏の心に気づいていない愚かな自分に気づいたら、まず「お詫び」なのです。

神仏の気持ちを本当に知ったら到底、「お願い」など出来無い事に気づくと思いますよ。

さあ、明日は、滋賀県最後の祈りですので気を引き締めて向かいたいと思います。

2011.05.07 Sat

滋賀県　大津京・佐久奈度神社

4/22、奈良県の「大倭神宮」を後にして滋賀県に入りました。

まず向かったのは、滋賀県の「大津京」の跡地ですが、とても見つけづらい場所で大変でした。

住宅街の中に小さな公園かと思うような場所を見つけた時にはこんない狭いのかと驚きましたが、このスペースでもよくぞ残してくれたと思い感謝しました。







道路側に立つと、昔の建物や廊下が見えてきました。

門をくぐり、右手に警護する部屋があるので、そこで目的を告げて許可をもらってから左手の廊下を歩きます。その廊下の襖を開けると、客を待たせる大きな部屋があるので、そこで待ちました。

正面の襖が開くと、正面に御簾が掛かった奥に天皇がおられて、その前に3名の男性が座っています。直接、天皇と話をする事は許されませんので、従者に今回の祈りの意味を伝えました。

凛々しく威厳ある言葉で、今回の訪問を感謝して下さり、これからも変わらずこの土地を大切にして欲しいとお願いされました。

車に乗ってから、天皇が次の和歌で思いを伝えてくれました。

思いはせらば　あわれみの　心ありなば　われらの願い　聞きたもれ

この思い　ひとつなれど　叶わぬことばかりと　これまで憐れみの中におりました。

我らの思い　願いとは　その地のことをわかり　その思いを繋ぎはせ賜えと　我申しまする。

ことはかの時あれば　よそろぎの神降りる。

その時、あわれみの花咲く時がある。

それこそが　我らの思いなり。

いつくしみの心あればこそ　願い聞きたもれ。

　よろしくお願いします。

心の奥に浸みわたる切ない思いですが、私たちの事を大切に考えてくれているのがよくわかりますね。

神の御ことばを聞ける人たちは、こういう思いを聞こえない人たちへ伝える役目がある事にも気づいて下さいね。

見えない存在たちの代弁者として、伝え続ける為に、私たちは大人になっても魂の繋がりが太く

守護存在と繋がっているのですから・・・。

私たちのように直接、御霊たちと話しをする役目の人たちは、常にこういう場所に来ると、膝を正して話を聞かなければいけません。

土地を守っている御霊たちの思いをわかってあげてこそ、土地神に守られますので、見えない人たちも、どうぞ、この土地に天皇が生活された場所であることに感謝して下さる事をお願いします。

奥に見つかった数本の柱には、御霊たちがしっかり張り付いてこの場所を守っています。

だから、間違えてこの場所に家など建てれば、大変な事になりますので、それだけはおやめ下さいね。

聖地や霊場だと知らずに家を建てると、家族の精神混乱・家庭不和から始まり、事故や病気や災難が続くようになります。

もし今、そういう事が起きている家庭がありましたら、まずは土地の歴史とご先祖の事を調べてお詫びして下さい。

ほとんどの問題は、心からのお詫びをして正すべき事を正せば解決できるものですよ（＾＾！

ただ霊力の無い神主さんの祝詞やお坊さんの御経では、簡単に動かない御霊たちがいる事もよく覚えておいて下さいね！

次の場所は、大津市の「佐久奈度神社」です。





ここは、「地底の神」とも言われ、飛鳥京から大津京に天皇が移る時に、七瀬払いの大祓いをした神社で、水のお祓い等にも関係し、六芒星のつながりも神道にとても重要な「大祓い祝詞の誕生の地」である神社です。

本殿にご挨拶すると、「ついておいで、ついておいで」と神様に呼ばれますので、右手の河原に歩いて行くと、河原に向かって水を守る御宮と美しい桜としゃくなげの花が咲いていました。







来てくれたお礼にこのきれいな景色を見せたかったのと、本来は、山の頂きから大岩に神が降りてきた事を知らせたかったようです。





岩が神降りの場所ですから、そこから山に向かって祈りをしました。

琵琶湖から唯一流れている美しい「瀬田川」は京都・関西地区に繋がる大切な水を運んでくれていますので、心から感謝の祈りを行いました。

2011.05.06 Fri

奈良県　飛鳥京・葦原中国・八咫烏

4/20は、宮古島から沖縄本島へ移動して仲間と交流会を行いました。

2006年から厳しい沖縄本島神事を耐え抜いてきた魂の仲間たちの交流会に新しく3名の方が加わり、今後の沖縄・日本・地球のあり方を話し合いました。

一般的にこの集まりは霊能者集団とも言えますが、見かけは普通のおじさんとおばさんです（＾＾）

互いの専門分野が違う事を理解しあっているので、誰も人を傷付ける言葉は吐きません。

互いを尊重し合う事ができる素晴らしい大人の仲間たちです。

今回、初めて参加した30代の女性は、「初めて本物の霊能者を見た！」と驚いていました。

そう言った理由は、初めて逢った人のチヂ神を降ろして本人に何をさせたいのかその真意を聞きだす「神降ろし」を目の前で見たからです。

その横で私たちは、普通に食事をしながら話が進んでいますが、全員、あらゆる修羅場をくぐりぬけてきた人からこそ、目の前で人がどんな状態になっても見守る力が養われています。

これこそ、互いを信頼しているから出来る事ですが、私も逢うたびに素晴らしい人たちに出会えた事に感謝が溢れます。

沖縄のほとんどの島を周って神様に挨拶したので、もう沖縄の啓示は降りないと思っていましたが、先日の「アガリマイ」が降りたので、啓示内容を皆さんへ伝えて色々なアドバイスを頂きました。

6月中には、この重要な神事を終えて神世界の準備を終えなければ、関西神事の整いにも影響があると感じたので、6月にまた沖縄本島で神事を行いますので、お会いできます皆様、どうぞ宜しくお願いします。

4/21、那覇空港から関西空港に移動して、奈良へ入りました。

2月に行った奈良神事（藤原京・平城京）で残った「飛鳥京」の思いを整える為です。

4/22、飛鳥京の跡地に着くと、すぐに天皇が居た場所がわかりました。この敷地の横に川が流れていますが、ちょうどその真ん中あたりです。







飛鳥京をこの場所に作った人も、向かいに見える山から大きな天地繋ぎのエネルギーがある事を感じたからですが、都を作る人たちは常に、「天の利、地の利」を読む力を持っていた事がわかります。

過去の思いを繋ぐ祈りをすると、「今でもこの場所を守っています」と教えてくれました。

目に見えない存在たちが今でも守っている事に気づいた土地の人は、どうぞ、感謝の祈りをお願いします。

奈良でもうひとつ、行かなければいけない場所が啓示で降りていた「葦原中国（あしはらのなかつくに）」の場所です。

それは、古神道（こしんとう）の大倭教（おおやまときょう）が管理している「大倭神宮」の中にありました。





事前に許可を得ていたので柵の中に入ると、５００人の黒衣装を着た人たちが伏して私を待っていました。

頭に黒い被り物をして黒装束を着た八咫烏（やたがらす）の一団です。

その中心には、過去に祭事をした岩が大切に祀られていました。



じっと見ていると、過去に行った祭事の映像が出てきました。

ここは昔、麻のタイマツを中心に集めて火を付けて、天の太陽（アマテラス）に繋ぐ儀式が行われていた場所です。

周りには白装束を着た巫女たちが囲み、神聖な火の儀式を取り仕切っていました。

祭祀は、私が立っている場所から火を付けて、全国の必要な場所へ一斉に八咫烏（やたがらす）を放つ為の合図にもなっていました。

耳元で、誰かがそっと、教えてくれました。

長い間、お待ちしていました。この日が来るのをずっと、待っておりました。どうぞ、宜しくお願いします。

昔の儀式を再現して欲しいと、500人もの八咫烏（やたがらす）が集まって来ていたのです。

祈り始めると、どんどん昔の映像がクリアに見えてきました。

たくさんの人がこの祭事を見守り、重要な神メッセージを各地へ繋ぐ場所だとわかりました。

ここは確かに、「葦原中国（あしはらのなかつくに）」です。

与那国島で「天孫降臨・オノコロ」と大神に言われ、九州神事を行いましたし、前回の奈良神事で、葦原中国（あしはらのなかつくに）と言われて、色々調べて大倭教の本に書かれていた内容でわかりました。

ここから日本中へ、そして、世界へ八咫烏（やたがらす）が飛び立っていったのです。

八咫烏（やたがらす）が、どういう意味を持っていたか、本当の意味をご存知でしょうか？

それは、人間を導く重要な民の神意思を受け継ぐ印として、八咫烏（やたがらす）の印を残したのです。

この事は、世界の歴史のどの本にも書かれていないと思います。

アメリカのインディアンにも、日本の天皇家にも、世界の重要な場所にも八咫烏（やたがらす）の記録は残っていますが、ここが全ての発信地なのです。

では、最初にこの場所に来た民族はどこの国から来た民族なのでしょう？？？

それは、これからひとつづつわかるはずです。

大神は、日本にやってきた全ての民族の思いを明らかにして、その思いを全て正しく納める為に、私を動かしていますので、きっと、答えはいずれ出てくると思います。

八咫烏（やたがらす）は、映画ガイアシンフォニーにも出てきますが、正しくは、日本の古くから信仰されていた本当の神道と言える「古神道（こしんとう）」の記録だと思って下さい。

「古神道」を調べても明確な答えがなぜ出ないかと言うと、形を残さず、文字を残さず、全ては神と対話出来た者だけに伝承された祈りの術だからです。

現在の日本神道は、古神道の精神を文字にして、形にした為に、方向性が間違った方へ向いています。

現代の神社にある鳥居や建物は一切、本来、祭事の時だけ組みあげて、終われば壊すのが本来の姿でした。

「無二物主義から唯物主義」になったことで、日本人の精神性を伝える神の姿さえ変えてしまった一つの歴史だと認識して下さい。

神の心を持つ者だけが成すべき役目を持つ者だからこそ、一人でも多くの人が眠りから覚めて、日本を、そして、地球を導く魂の役目を果たして欲しいと願います。

2011.05.04 Wed

天の岩戸開き　大神島

4/19、宮古島に来る前からどうしても行かなければいけない場所が「大神島」でした。



4/7、夜中０時に降りたメッセージで、「大神島」の名前が出てしまったからです。

唯一、地球の中から起き上ってきた宇宙神の場所が、「大神島」。

ここに居らっしゃる神様の目的を果たす為にも、大神島の遠見台から地球の奥底まで入って神々と話しをする必要があるからです。

この話しの流れは昨夜の交流会まで戻りますが、偶然、食事に行ったお店に、「なべ底」で合った関東の神男と神巫女が食事をしていました。

仲間を連れていたので簡単に話を聞きましたが、私たちが八重干瀬で行っている間に、実は、とんでもない体験をしたと報告してくれました。

以前から大神島の裏側に、海の潮が引かないと入れない洞窟がある事は聞いてきましたが、実は、この洞窟は、「アマテラス様が修行をされた場所」として何人も神人から聞いていた場所です。

しかし、大神島の司オバーたちが厳しく守り続けていたうえに、「男性は一切立ち入り禁止」だというほど神様の波動が高く、誰もが恐れて近づかない場所として有名でした。

石庭（いしにわ）の新城定吉さんも、昔、自分の守護存在からその洞窟へ行って、「天の岩戸開きをしなさい」と啓示を受けたそうですが、あまりに恐ろしかったので拒否したと話していました。

大神島の裏側は実際に、「姥捨て山」としても有名な場所だったので、昔からたくさんの御霊たちが集まっていますので、中途半端に意識が開いた人が近づくと頭が変になるのは明らかなほど恐ろしい場所です。

この二人の報告内容を簡単に説明すると、事前に、地元の神オジーの許可を得て大神島へ渡った二人の前に、突然、大神島の司オバーが出てきて、「あなたたちが来るのを待っていたよ。神様からお告げがあったのさ。私たちではどうにもできないから、どうか神様の願いを聞いてあげておくれ。」と言われたそうです。

潮が引いた細い道を神オジーに案内されて洞窟まで来ると、自分たち以外は誰も中に入らなかったと言います。いえ、実際は恐ろしさを知っているので入れなかったというべきでしょう。

その洞窟には、日本の夜明けに必要な「アマテラス様の御霊」があるからこそ、その御霊開きの祈りをしなければいけない役目が、二人にはあったのです。

この神巫女の女性は、昨年、私のアカシックレコードを受けた時に、魂が約束してきた事実を明かされ、困惑していましたが、その全てを解決するキーワードが「大神島」でした。

彼女がここへ来るまでに、どれほどたくさんの神様に向き合い自分の御霊磨きをしてきたかもよく知っています。

魂の約束を果たす為に、「大神島」へやってきたのがこの二人でした。

そして、この二人が開けた岩戸が「表の岩戸」なのです。

皆さんがご存じかどうかわかりませんが、日本中にあるいくつもの「天の岩戸」は必ず、表と裏がセットでひとつの働きをするようになっています。

神巫女の女性は、この表の岩戸を開ける鍵を持って生まれた女性なので、その事を知っていたからこそ、「あとの事は、宜しくお願いします」とだけ私に言いました。

私は、生まれつき「全ての裏の鍵」を持って生まれている魂なので、大神島の「裏の岩戸」を開く為に遠見台へ急ぎました。※全ての鍵を持っているのは、学校の用務員さんみたいでしょ（＾＾）

祈りは八重干瀬と大神島を繋ぎ、天上界から降りてきた神々を遠見台から地球の奥底まで繋ぎましたが、それはそれは苦しい祈りでした。

でもこの3日間で、関東の仲間の中に神男と神巫女が誕生して、その役目もきっちり果たしてくれたおかげで、大きな祈りが成功しました。



八重干瀬の時期は、大神島の周りも大潮でミニ八重干瀬になっていて、とても美しいですよ！



神は常に、私たちに全ての準備をしてくれています。

あとは一人一人が「我」を捨ててまっすぐ神に向き合う心だけなのですが、そのまっすぐな心を磨くのが、皆さん、とても難しいようですね～（＾＾）

私の神事に同行すると、無理やりにでも心を開かなければならない状況が何度もありますので、心を閉ざした人にとってはとても厳しい為に、陰で「虎の穴」などと呼ばれています・・・（＾＾；

素敵な報告も、しておきますね！

一番、最初から伊良部島でお世話になっている女性が皆さんが募金してくれた龍宮基金「しまてらす」のお金を使って、大神島のオジーやオバーの為に電気カートをプレゼントしてくれていま

した。

大神島は坂道が多いうえに、錆びですぐにダメになると聞いてプレゼントしたそうです。

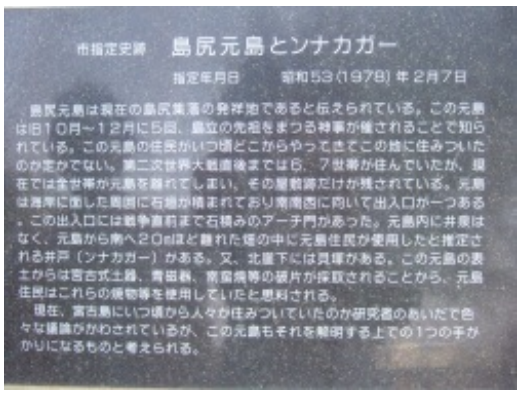
皆様が伊良部島で使ったお金が、こうして活かされているんですよ～！

他にも、宮古島の拝所の高炉を直したりして、地元に還元しているそうです。



それと、もうひとつ！

大神島へ渡る前に島尻部落の港の右上にウタキがありますが、守る司（つかさ）が居ない為に昨年まで閉じられていたウタキが、今回、草木を切って開いていました～！





2009年に、このウタキを守る神々に私が呼ばれて見つけたウタキですが、大切な大神島との繋が

りを繋ぐウタキだからこそ、開けてくれた地元の人の心に感謝してお祝いの祈りをすると、神々がとても喜んでお礼を言ってくれました。

大神島と島尻部落を繋ぐ「神みち」を守る大切なウタキですから、どうぞ、これからもオープンにして皆様に手を合わせて下さる様にお願いします。

このあとは、石庭（いしにわ）へ行きましたが、そのご報告は、パワースポット石庭（いしにわ）で公開しています。

2011.05.03 Tue

2011八重干瀬（やびじ）祈り



2006年から6回目の八重干瀬（やびじ）祈りは4/18（旧暦3/16）に行われましたが、本来、旧暦の3/1-3/3で行われるこの行事が、大潮の変化によって時期がずれた理由も、自然界のバランスが変わっている事を感じさせられました。

今回、私自身はとても重要なご報告と承認を「宇宙神」に頂く目的で八重干瀬に登りました。

承認内容は、現在、行っている関西神事が日本人の民族ルーツ問題や天皇家問題だけではなく、実は、その背景に繋っている全世界の民族カルマや宇宙の星のカルマ解消を目的にしているからです。

日本にやってきた渡来民族の魂のルーツをたどれば、地球に転生した星の記憶にまで繋がるからこそ、その全カルマ解消を目的とした宇宙神事である事をご報告します。

世界中のあちこちに生まれては消えた高度文明の意味を理解している方ならわかると思いますが、日本にたどり着いた全ての民族の大元の思いを正しく理解する事は、日本に生まれた人たち魂の目覚めに繋がり、さらには、地球上で繰り返されている思想争いの根幹的な解消にまで繋がるからです。

関西地区に集まった一番古い民族の根の元の思いを全て解消できれば、宇宙から転生して来た生命体たちが人間の魂に与えた記憶をクリーニングする効果があり、日本民族の精神性の「根の元正し」に繋がる大切な神事が「関西神事」なのです。

関西神事に参加する全ての人の後ろには、多次元的に身体へ伝えてくる存在がたくさんいますので、無意識に動かされたり、調べさせられたり、言葉を吐かせられながら、参加者全員が重要な魂の役目を果たしています。

現在、地球上で起きている問題や全ての争いの解消には、以下の二つの視点から自分を見直す必要がある事に皆さんも気づいて下さい。

１、まだ過去のカルマや呪縛に囚われている人たちは、「何かを守ろう」として他人を攻撃したい感情が出てきますので、知人だけの狭い世界だけで秘密を保持したくなり、多くの人に心を開く職場や環境から離れたくなる衝動に駆られます。

２、反対に、地球や宇宙の未来を本気で変えると決めた人たちは、自分の過去の呪縛を外す為に自らが様々な神事や禊を経験させられる中で、「自分の足元を見ろ！」と色々な人たちから何度も同じお知らせが届けられます。

このどちらの場合も最後の最後は、自分の中の「闇と光の戦い」になりますが、光が勝利した人たちだけが意識上昇し、地球を歓びの星に進化する為に未来を導く一人に選ばれます。

その目覚めの為に、今年はさらに苦難と感じる出来事が何度も起きると思いますが、私は一切、誰とも戦いはしないで全ての魂を次元上昇させて和合させると誓っています。

それが出来るのも、この日本に生まれた人たちだけだからです。

地球上で、「日本人に生まれる」という素晴らしい意味に気づいていない方がまだ多いようですが、この日本という土地には、地球上の重要な役目を持った民族が終結して争いの末に民族和合した土地だからこそ、日本人だけが持つ「和の心」や「高い精神性」が育まれていますし、世界の民族を導く魂の役目がある事をどうぞ思い出して下さい。

今まさに、日本が危機的状況に陥っている理由も、この事を思い出す為に与えられたチャンスですし、世界中の人たちは今後の日本の動向によって地球のエネルギー資源の考え方を大きく変える為のリーダー国として注目されています。

エネルギー転換に関してひとつ、重要な提案をします。

現在、原子力発電を自然エネルギーに転換する意識が高まっていますが、１００％転換はすぐにできないからこそ、まず全ての家庭の中で「３０％のエネルギー転換」を目指して行動して下さい。

今、使っている電気の３０％が自然エネルギーになると、ライフラインが切れても生命維持はできるからです。

電気の使用を３０％に減らすだけではなく、３０％の新しいエネルギーを産みだす為の事を考えて、すぐに取り組む事が大切です。

地域ごとや家庭ごとに、自然エネルギー装置を付けて蓄電できれば、数年で全世帯の「３０％確保」は必ず実現できます。

日本は、地球のエネルギー問題を解決するお手本になる役目がある国だからこそ、多くの犠牲を払った代償として方向転換しなければいけないのです。

その事に気づかず、自分の過去に囚われて生きたり、自分の事ばかりを考えて勝手な行動をしていれば、地球の未来に夢や希望は放たれません。

一人一人が、自分の生まれた土地の民族ルーツから多くを学び、先人達がどのような思いでこの日本国を支えてきたのか、早く気づいて下さい。

父母・先祖の生まれた土地に感謝する心さえあれば、過去のカルマを外しながら自らの「魂の扉」を開く事ができます。

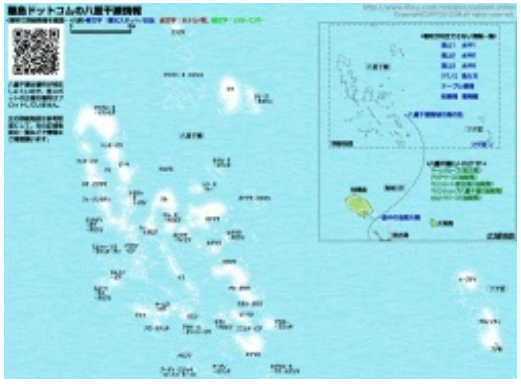
そうしなければ、日本人だけではなく、この地球自体が滅びてしまうのですよ！

いずれ失う肉体と三次元の物質世界だと知っていながら、「あなたは何を守っているのでしょう？」

何を次の子供たちへ伝えなければいけないのかを一人一人が考えなければいけない時なのです。

関西神事も最終局面が近づいているからこそ、宇宙の大神たちに愛と調和で物事が進む様に承認と協力を得る祈りをしに船に乗りました。

ここ八重干瀬（やびじ）は、年に一度だけ「鬼門の扉」が開き、宇宙神が集まる会議の場所として承認された場所だからこそ、年に一度、ご報告と確認に来る必要が私にはあるのです。



大潮の日に、大小100以上の島が浮かび上がる八重干瀬は、今回、初めての島に登る事ができま

した。

八重干瀬全体を龍体と考えると、最初の年は「胴体（ウル）」、次に「頭（ウツグス・ヌ・ッスゥヒダ）」、そして今年は「キジャカ」と呼ばれる龍の「尻尾」に登りました。

「キジャカ」に降りるとすぐに、神様が呼んでいる場所がわかりました。

1時間で全てを終える為に、１０名の仲間たちも急いで移動してくれました。

祈りはじめると、八重干瀬神事が初めての人たちばかりなのに、ほとんどの人が宇宙の光や鬼門の扉が開く映像を見れたほど、祈りは宇宙の大神たちに通じて全ての事が承認されました。



明日、伺う大神島の神様にもご挨拶しました。



昔々、船で宮古島に渡ってきた古い民族が大切にしていた当時のお金は、「宝貝」です。

いつも、ツガイで居る事を教えてもらっていたので、すぐに見付ける事ができました。





エールフランスのキャビンアテンダントも、八重干瀬の為に来日していました（＾＾；



祈りが終われば、泡盛を飲みながら、かっちゃんが場を盛り上げてくれました。





興奮冷めやらぬまま平良港に戻ると、19時から行われる「宮古島ブックトーク」の会場に全員で向かいました。

一本の電話が宮古島の本屋さんに注文が入り、その電話を頂いた事で「白龍の神導き　沖縄　宮古島・伊良部島」が積まれている事にとても感謝の気持ちが溢れます。

宮古島の方にも、ナイチャー（内地）の方にも沖縄の人たちが大切にしてきた神心を理解する為に、絶対、読んでおいて欲しい一冊です。





1時間ほど沖縄の神様ルーツを説明したあと質疑応答の時間になると、とてもややこしい先祖問題の解消方法や火の神、仏壇、お墓の守り方などを子供たちへ伝え残す為の新しい知恵をお話しました。

「BOOK共販、宮古南店」に来てくれた皆様、本当にありがとうございます。

そして、この本屋さんの繋がりを作ってくれた伊良部高校の先生、本当にありがとうございます。

全てが、伊良部島の神様の繋がりだと心から感謝しています。

2011.05.02 Mon

伊良部島皿主　神オジーの退任祝い

伊良部島の南端から地球の底（すく）を守っている龍宮底神（りゅうぐうすくしん）と対話したあと、乗瀬御嶽（ヌーシウタキ）の神様に皆さんをお連れしました。



伊良部島の命が繋がった意味やこの御嶽の意味を説明したあと祈りをすると、、神々に感謝する素直な心を学んだ皆様に乗瀬御嶽の神様は、白いエネルギーのマフラーで全員をやさしく包んで下さいました。

心同じく、日本や地球を守る為に働く為に生まれてきた魂に対し、お礼を下さったのです。

この御嶽（うたき）の隣には、中国・シナ台湾を繋がる大切な御嶽（うたき）がありますので、同じくお礼の祈りをすると、どうも、少しエネルギーが下がっているように感じました。

草木の手入れがされていないのを見ると、まだこの御嶽（うたき）の扱いが決まっていないように思えます。



人間が作った形ある物は、持ち主の心の状態を表していますので、見ればすぐに手をかけている人たちの心が感じられます。

人間が作ったお店や神社仏閣も全て同じ意味で、見た目の派手さに目を引かれるのでは無く、その場の「気の良さ」を感じて持ち主の心を感じられるように皆様も成長して下さいね。

ホテルに戻り夕食後、約束していた事が実現しました。

今年3月で、三年間の重要な神役目を果たした伊良部島最高祭祀　川満オジーの退任祝いをサプライズでやろうと決めていたのです。

宿泊客全員が広間に集まり、川満神オジーと奥様を、拍手でお迎えしました。

川満オジーとは、2005年に初めて伊良部島のユークイに参加した時からのお付き合いですが、当時から私が神様に向き合う真剣な思いを理解して下さり、たくさんの事を教えて頂いている私の先輩の神様です。

「最初に出会ったウタキは、乗瀬御嶽でしたか？」と尋ねると、「いや、アダンニウタキだ！」とハッキリ覚えていて下さるほど、アダンニの神様の引き合わせだということもご存じの方です。

この方が、いずれ伊良部島の最高の皿主になると神の知らせがあったので、当時、その事をお伝えしていましたが、川満オジー自身も2007年に皿主に選ばれて驚いたと話して下さいました。

今後の付き合い方を間違わない為に確認した事は、「退任したあとは、普通の人として過ごせるですか？」と確認すると、「新しい皿主の隣に座ってサポートを１年間する決まりになっているので、あと１年間は今までと同じ神役目を横で支える仕事がある」と教えてくれました。

神役目の責任としては、次の皿主が退任する3年後まで、前任者は責任が問われるという話を聞くと、この島の神役目の厳しさにはつくづく驚かされます。

皿主ほどの地位に就くと、島の人全てが「神そのもの」として扱いますので、つい、おごった生き方や言葉遣いになる方が多いものですが、川満オジーは、とても腰が低く、決して人を愚弄する事がありません。

だからこそ、正式な場では神オジーの身体に触れる事も、自分から握手もできないほど特別な地位にいる方なのだとご理解下さい。人に向きあっているのに、神を学ぶ大切な時間だからです。

座って話を聞く場合は、座る位置が序列を示しますので、それぞれが失礼の無い位置を考えて座る必要がありますし、神オジーの目の前に座る事は絶対に許されません。

こういうマナーやルールは、上座、下座という常識的なマナーに加えて、地位や序列をわかりやすく示すための大切なルールですが、社会人は絶対に身につけていなければいけない事だと思って下さい。

明日あなたが、イギリス国王と会食する機会が与えられたとしたら、きっと必死でルールを覚えると思いますが、それと同じくらいに間違うととても失礼になる場です。

どんなに無礼講だと言われても、「場」のルールや「座」の意味を理解せずに発言する愚かな大人にはならない様にしましょうね（＾＾）

2時間ほどの間、神オジーと奥様は、私たちに大切な事を教えて下さいました。

旅行者といえども気づかなければいけない事は、自分たちのルールを島の人に押し付けるのではなく、相手の土地のルールを学ぼうとする姿勢が人を大切にするという意味だと言う話しや、自分が責任をとれない事に無責任に意見を言ってはいけない事もしっかり全員が教わりました。

私が最も驚いたのは、これまでの3年間の神役目のお礼の為に、これから伊良部島と宮古島の全ての神様やお世話になった人たちの所へ挨拶を終えるまでに、約1年もかかると話してくれた事です。

よく皆さんが、「お願い」はたくさんするけど、「お礼の祈り」をしないのとは大違いですね（＾＾）

伊良部島の内情を知っている方ならこの情報の方が驚くかもしれませんが、つい先日、川満オジーご夫妻は、佐良浜地区の大主神社（ウハルズウタキ）を守る司オバーたちの集まりの場へ、お酒を持ってお礼の挨拶に行ってきたと話して下さいました。

私が知る限り、過去に伊良部島の皿主が、佐良浜地区の司オバーに頭を下げに行った話しは、聞いた事がありませんが、佐良浜地区の司オバーたちは、大神様がやってきたとばかりに丁寧に対応してくれたと話してくれました。

本当に神様と同じに生きている人の行いとは、人間の感情や過去の思いを掴まず、常に、素直に行動できるものだと、この話を聞いて深く教わりました。

神に学びを教わる心を持つ神子（カミングワ）たちが、大神様に教わる大切な時間は、あっという間に過ぎてしまいました。

最後に、皆さんと一緒に記念写真を取りたい気分でしたが、話しの内容を考えると、川満ご夫妻がわざわざ足を運んで下さった気持ちだけで十分、皆さんには伝わったと思えましたので写真は遠慮しました。

その代わり、事前に猪子さんとの話し合いで、川満オジーの退任祝いで「太鼓」をプレゼントする約束をしています。

宮古島では、偉い方の大切なお祝いに「太鼓」を贈る習慣がある事を教えてもらえて感謝しています。



後日談ですが、この川満オジーが関東の仲間たちだけに特別な体験を宮古島でさせてくれました。

この体験は、どう考えても絶対にあり得ない体験なので公開できませんが、6年間、伊良部島に通ったお礼の気持ちを示してくれた事に心から感謝しています。

お礼に恥じない為にも、今後も変わらず出来る限り、島の外から伊良部島の素晴らしさを皆さんへお伝えしていく事を誓います。

川満オジー、本当にありがとうございます！

これからも変わらず伊良部島・宮古島を愛し、大切な沖縄の神心をたくさんの人に伝えていきますので、どうぞ宜しくお願いします。



2011.05.01 Sun

震源地の神様と対話

伊良部島の龍神祭の最後は、3月2日に起きた伊良部島地震（M4.9）の震源地に居る神様と、龍宮底神に繋がって対話する為に全員でその場所へ向かいました。



震源地に行った理由は、3月10日のブログで書いたとおり、3/11の東日本大地震の大切なメッセージが、そこにをあると感じていたからです。

地震が起きる場所は、四つの地殻プレートのズレの問題だけではなく、地球の内部を守る神様たちがメッセージを伝えている事に気づいたからこそ、ここ数か月、ずっと地震情報を監視していましたが、3月10日にその事をブログでお伝えした翌日に、今回の大地震が起きてしまいました。

今の段階で、3/11の大地震までの神様メッセージを分析すると、

2/27に、岐阜飛騨地方をM5.4で連続的に揺らしたが気づかないので、
3/2に、龍宮の母地　伊良部島をM4.9で揺らし、それでも気づかないので、
3/10に、三陸沖をM6.6で揺らして警告していたと判断しています。

誰が、何を気づかなければいけないのか？

「地球を守る」と約束して生まれた方は、すで日本全国に生まれているはずなのに、その方が大切なメッセージを公開していない為に、たくさんの魂の気づきが遅れ、3/11の「警告」M9.0が出てしまったと判断しています。

地球内部からの大元メッセージは、3/11の地震でさえ、「本当に放出するべき内部エネルギーの三分の一に抑えて出した」と私には、伝えてきています。

詳細は、地球創世SNSの中に公開していますが、地球内部を守る神々は、私たち人間を、いえ、日本人全員が、地球を導く役目を果たしていない事を怒っていると理解していいでしょう。

もう誰かを責めている場合ではありません。

自然神の恐ろしさを感じて、地震を本当に納めたいと思っている方にお願いしたい事は、まず自分の住む土地の一宮宣言祈りをしてから、揺さぶられた土地の神様に話しを聞きに行って下さい。

人間に何を気づけと言っているのか、何を変えろと言っているのかを対話した情報を公開して下さい！

現在、神の声が聞こえる人はたくさんいるはずです。

この10年間、宇宙のエネルギーが地球に流れ込んで意識上昇のエネルギーをたくさん感じて、目覚めた方も多いはずです。

昔は、１万人に1人くらいは神や霊と対話できる人が近所に居たはずですが、現在は、１００人に1人くらいはビジョンを見たり、言葉が聞こえたり、色や光で合図を受け取っている人がいるはずです。

それが、守護存在の繋がりからのメッセージですので、地球を守る本来の役目を果たしなさいと与えられている力だと思って下さい。

ただ問題は、個人がそのメッセージやビジョンを周りの人に話しても、理解してもらえない人ばかりだと思いますので、その為に、「地球創世ＳＮＳ」と言う場を与えてくれたのです。

現在の参加者たちは個人という囚われを超えて、地球の為に、地域の為に、日本人が魂の働きをするの為に自分に何ができるかを情報交換しながら、魂の成長の場にしています。

このＳＮＳの中では隠しごと一切無用で、誰かを傷付ける人は誰もいません。

全ての登録者が、愛の心を持っている人たちばかりだからです。

互いにシェアした情報は、個人の責任で自分のブログに書いたり、仲間に話す事で現実を変えるエネルギーを発信しています。

ここには、「個人」と言う概念がありません。

地球と言う集合体に生かされている一人の人間として、役目を果たす志がある人ばかりです。

依存関係で成り立っている宗教や精神世界とは違い、実際に、きちんと生活しながら互いを尊重して互いの成長を望み、育み合う心を持った人たちが集まっています。

何が起きても、一切の攻撃をせずに、互いの愛と気づきの力で高い共有意識を増幅させる場として、常に、愛に満ち溢れているＳＮＳです。

「個人」と言う枠を超えて、地域や地球の為に自分が出来る事をやろうとしている方は、ぜひ、参加して下さい。

但し、本名（漢字フルネーム）、生年月日、所在地の公開は義務付けていますし、笑顔の顔写真もたくさんの方が公開して本気でコミュニケーションを取る努力をしています。

こういうハードルを越える勇気と決意を持つ人たちだからこそ、直接会って話す様に相手の気持ちを理解し合いながら、成長し合う場になっています。

ルールは、一切、他人を批判しない事。そして、起きる全ての事は、個人責任で運営しています。

５月１日から、毎月５１５円がかかる有料サイトですが、本気で地球や周りの人の事を考えて行動したい人は、魂の進化を「地球創世ＳＮＳ」の中で力を発揮して下さい。

本気の仲間が集まる「地球創世ＳＮＳ」は、あなたのご参加をお待ちしています。



2011.04.30 Sat

2011龍神祭　伊良部島を守る神様

聖地「なべ底」に続いて伊良部島の龍神祭の二ヶ所目は、スーフツミー（潮吹き岩）と地元で呼ばれている場所に降りた「オキノカナメの尊」の神様へご挨拶に行きました。

断崖絶壁の上にある穴は龍の空気穴なのですが、行く度に埋められたコンクリートの割れ目が盛り上がっていますので、いずれ自然の力でコンクリートが吹き飛ぶかもしれません。

コンクリートを壊す工事は市議で承認された様ですが、予算が付かない為に工事が着工されていませんので、怪我人が出ない為にも早めに工事の予算を宮古島市が付けて下さる事をお願いします。



祈りをした時の体感は、熱く苦しいエネルギーを感じた方や、目の前をエネルギーが突き抜けて行ったビジョンを見た方もいましたが、伊良部島を訪れた方は、ぜひ、この島を守る龍のエネルギー解放の祈りをお願いします。



三ヶ所目は、伊良部島の平良港（ひららこう）にあるゲートボール場横の「ミナトミライ」の神様の場所です。



上が、男性神。下が女性神になって自然界の神産みをして下さる場所です。



祈りを終えると、鳥のさえずりが神の歓びを表してくれました。



四ヶ所目は、地元で「ヤマトブー大岩」と呼ばれている場所に降りた「ヤマトブー大神」の場所です。



一枚岩全てがカルサイトの結晶岩なので、素晴らしい神エネルギーを発していますが、実は、この岩は国会議事堂を作る時に削り取られて船で関東へ運ばれた歴史があります。

ただそのあと、運んだ業者の社長がすぐに亡くなるという事件が起きたことから、神が守るこの島の物を勝手に持ち出す恐ろしさは、島の方たちが良く知っています。

感じやすい体質の方は、伊良部島に来ただけで体調を崩す方もいるほど、神に問われる厳しい場所だからこそ、観光に来てやったぞ！ではなく、自然界の神の聖地にお邪魔させて頂く心構えを学んでお越し下さい。

日本中が今、パワースポットブームで自然界の聖地を訪れる方が増えていますが、エネルギーの強い場所で体調を崩す方が多い理由も同じ原因で起きています。

聖地を訪れる場合は、エネルギーをもらいに行くのではなく、その場所を守る神様（地元の人）に喜ばれる心を持って行動して下さる様お願いします。



五ヶ所目は、牧山展望台にある「うずぬしゅ」様と、龍を守る地元のユタが建てた拝所を見守る「沖の龍宮神」がいる場所です。



上の写真が島の英雄「うずぬしゅ」様を祀った石碑です。

下の写真は、地元のユタが自費で龍が守る為の拝所を作りました。



祈りる前に参加者全員に、ウズヌシュ様がどうやってこの島を守ったのかを説明した後、伊良部島と宮古島を繋ぐ橋の建築問題も話しました。

見えている橋は、あと少しで繋がりそうに見えますが、実際は、この最後の部分がとても難しく、現実的にも神様的にも問題が起きています。

まず橋の工事の総責任者が、最近、橋の上から落ちて亡くなりました。そして、下請け会社の数社は、工事を続けられないと主張して工事がストップしています。

この橋の工事が始まる前に、伊良部島のユタがこの事を予知して質問されたので、回避方法を教えていましたが、はやりユタ（神様）の言う事を聞かなかった罰だと言っても仕方が無いでしょう。

私が教えた回避方法は、工事の総責任者が必ず工事に入る前に、伊良部島と宮古島のユタ2人を通して神様に工事の承認を得るようアドバイスしましたが、実際には、伊良部式・宮古式の正式な

挨拶をしていなかったそうです。

伊良部のユタは、工事が無事に済む為に自費で拝所も立てて拝んでいるのに、自然界の神の恐ろしさを信じない人たちの行動にはいつも驚かされます。

こういう話を聞かされても、私たちナイチャー（内地の人）に出来る事はあまりありませんが、台風で食べ物が１週間も無くなったり、日照りで一か月も食べられなくて餓死した人が多い伊良部島だからこそ、この工事が無事に繋がり、島の安全が確保されるよう祈って下さいと皆さまにはお願いしました。

ユタが作った拝所に座って祈り始めると、一気にウズヌシュー様の気持ちが身体の中を突き抜けて、
沖縄言葉で神の声を出されました。その意味は・・・

ヤマトの人たちが、これほど私たちの島の事を思ってくれるとは、とてもうれしいことです。

この星に生まれた子供は全ての私たち親たちの子供だからこそ、未来に命を繋ぐ為に手を、心を合わせてくれる皆さんの気持ちに心から感謝しています。

あなたたちは、私の島の子供と同じです。

島の家族の一員として、これからも一緒にこの島を守って下さい。

神様から「島の家族」として認められた魂の喜びは、感動のあまり涙と鼻水を垂らしながら祈るという初めての経験をさせて頂きました（＾＾；

言葉の意味がわからなくても、見えなくても聞こえなくても、神の声は身体で感じますので、たくさんの人が同じ様に涙を流して祈ってくれました。

5年間、この島に通ったお礼を言われたように感じた私は、神の島　沖縄　宮古島・伊良部島を改めて守る決意を強くしました。

愛し続けることでしか、感謝し続けることでしか、行動し続ける事でしか伝わらないものがあります。

沖縄の人たちは誰もが普通に、その事をし続けている素晴らしい魂の持ち主なのです。

私たちヤマトの人は、その大切な事を忘れたからこそ、沖縄に神の心を教わりに来ているのです。

2011.04.29 Fri

3/11東日本大地震から４９日

本日、４月２８日（木）は、3/11の東日本大地震から４９日目に当たります。

４９日の意味は、御霊が神の審判を受けて天上界へ上がる大切な日だからこそ、ご自分の許す時間の中で御霊浄化転生の祈りをお願いします。

（現在の状況）
・自分が死んだ事をまだ受け入れられない御霊たちが現地で彷徨っています。
・悲しむ家族の心の中は闇が広がり、誰かにぶつけたい気持ちを必死に抑えています。
・天上界では受け入れ準備ができていますが、足りないのは愛と感謝の祈りの力です。

（今日の祈りで心がけること）
・亡くなった方が生きてくれたことへの「ありがとうございます」
・亡くなった家族の心の苦しみ、寂しさが転生する「ありがとうございます」
・亡くなった方たちの代わりに生かされた私たちの「ありがとうございます」

亡くなった方が地球家族の同胞として先に召される役目ならば、
生かされている私たちも今日の役目を果たしましょう！

愛と感謝でこの地球を変えてみせます！ありがとうございます



2011.04.28 Thu

2011龍神祭　「なべ底」

４月１７日、日本の南を守る龍宮城の聖地「なべ底」（伊良部島）へ祈りに行きました。

「なべ底」に近づくと、これまでに無いほど私たちを待っていたやさしい感覚を肌で感じました。

ここに来る前までは、今回の東日本大地震のことを含め「地球の底を守る厳しい神々」と話しをしなければいけないと覚悟していましたが、なぜかやさしく私たちを待ってくれていました。

いくつもの神に挨拶をしてから、順番に生まれ変わりの儀式「胎動くぐり」を終わらせて、全員で輪になり祈りを捧げると、宇宙語の神歌が降りてきました。意味は・・・



これまでのあなたたちの思いがよくわかるからこそ、これからは一人一人が自分の責任と、地球の意思を感じて生きて下さい。私たちは、あなたたちの意思をいつも見守っています。

「なべ底」の祈りが終わって帰ろうとすると、一人の参加者が声をかけてきました。

この女性は、北海道から一人で参加した女性ですが、４年ぶりに宮古島の祈りに参加した理由を探していた女性でした。

４年前は、このなべ底の神々に怒られて怪我もしたし、そのあと動けなくなるほど、苦しんだ経験をしていますが、それでも今回、来る意味があるからと、答え探しをしていた女性です。

関東の人たちが「なべ底」に入る時に、「私は今回、入れません。私に何か役目を与えて下さい」と言ってきたので、この隣にある、黒龍の場所で「一人で祈りなさい」とお神酒を渡していました。

無くなったお母さんが生涯をかけて黒龍をずっと祈り、守り続けていた人だからこそ、そう言う宗教的な事が大嫌いになり、あえて神を信じずにきた人生は苦しみと混乱ばかりの人生経験をさせられた女性です。

だからこそ、彼女に「お詫びの心を持って一人で黒龍の神様にお酒を撒いて下さい」と言ったのですが、神様に「お前はもうそれくらいでいい、残りのお酒はあの人にお願いしなさい」と言われたそうです。

そう、「あの人」とは、私でした（＾＾；

申し訳なさそうに、「神様が、私じゃなくて吉岡さんに祈って欲しいと言っているのでお願いします」と言ってお酒を渡すので、全員を連れて黒龍のいる場所へ行きました。

黒龍の場所はこれまで、二度、大きな祈りをしていますが、やはり人間がいつも祈りの力で支えないとダメなのか、神エネルギーは落ちていました。

黒龍を守る拝所の場所には、宮古島に先祖を持つ神巫女（神媒体の女性）にお願いして座ってもらい、北海道の男女二人は、向き合う形で関東の仲間を祈り支えました。



祈りはじめると、黒龍の苦しい思いが、神巫女の身体にのしかかってうめき声となり、何度も叫び声をあげ出します。

黒龍の苦しみの雄たけびが、何度も何度も、神巫女の身体を通して周りに響き渡りました。

苦しみを感じて涙を流しながら祈りを続けていると、ゆっくりゆっくり黒龍の思いが上がってきました。

関東の全員が、そのエネルギーを身体で感じて必死に祈って支えてくれています。

人間一人一人が、心の奥底に隠している思い、誰にもわからないと思って人を憎んだり恨んだ思い、純粋さを傷付けられて苦しんだ自我の思い、大切な人が無くなって心を痛めた寂しさ・・・。

たくさんの人間の心の奥底を支えているのが、黒龍の役目だからこそ、その苦しさは押しつぶされそうなくらいに熱く燃えたぎっていました。

水・塩・酒で全てを清めあげながら、天の神意思を祈りで繋ぎ、隣の白龍の聖地にも繋ぎました。

この時、不思議な事が、同時に起きていました。

一切、事前打ち合わせをしていない関東在住の神巫女と神男の二人が、この時、隣の「なべ底」で祈りを始めていたので、白龍と黒龍の祈りを同時にした形になったことです。

この二人は、昨年夏の関東大地震予知を受け取って亡くなった谷浩一君の思いを叶える為に、一緒に伊豆諸島神事をした神祈りの仲間です。

この二人は、完全に神と心がひとつになっている素晴らしい人たちですから、自らの魂の役目を果たす為に日々、現実社会の中で働いてくれています。

大神は、常に、私たちに必要な全ての時・人・場所・条件を準備してくれますので、一切の打ち合わせが無くても、神に通じている人同士は時間を超えて必要な時に必要な場所で出会います。

愚かな人間ほど、自分の願いを叶えたいと色々な祈りをするようですが、うまくいかない理由は、宇宙根源神や大神と心が離れているからです。

神心の無い宗教家や願い事だけをする人たちが口にする神は、「自我の神」だと学んで下さい。

全ての祈りが終わると、大神様からお礼の言葉が降りました。

ありがとうございます。やっとこれで、白龍の神と黒龍の神が繋がる事ができました。

「白龍は、全ての人の意識を天へと導く役目を持ち、黒龍は全ての人の心の奥底の苦しい思いを守り支えている神だからこそ、これからは、どうぞ、一緒に祈りをお願いします」

このメッセージは、伊良部島・宮古島の龍神を守ると宣言した方にも伝えました。

この言葉を聞いて、もうひとつ、気づきがありました。

黒龍の役目は、女性本来の魂の役目。

地球の底を守る大神の意思は、女性たちが生まれ持った神の役目だという気づきです。

反対に白龍は天を目指し人を導く役目だからこそ、男性たちが生まれ持った役目と理解していいでしょう。

生まれた時の魂の役目に加えて生きている限り、魂の役目は増えますので、女性で白龍を見る人の役目もこれでわかったと思います。

男性が、黒龍を大切にしたいと思うその神心も、ご理解頂けたことでしょう。

私たち人間は、神の願いを聞き届け、その役目を果たす為に肉体が与えられているからこそ、楽しむ人生そのものが「神ごと」だと理解して欲しいと思います。

ここで大切な大神様の教えを皆様にご紹介します。

大神様は、一切のルールも規則も人間に作ってはいません。

ルールや規則を作ったのは、何かをコントロールしたいと考えた自我の人間なのです。

どの宗教でも教義として教えている「禁欲の教え」は、嘘なのです。

苦しんだ人たちを救う一時的な避難場所にはなりますが、魂本来の神使命である「歓びに生きる」ことをしなければ、何の為に「欲」を大神様が与えてくれたのかわからないまま死ぬ事になります。

残された人生をどう歓びにするか、知恵を出し合って心を成長させて、子供たちに正しい神心を教えられる大人にあなたがなって下さい。

もう宗教の教えだけでは人間が地球に生き残れない事は、わかっているはずです。

あなたが一人の神として、全てを歓びにする為の工夫と知恵をあみ出して下さい。

そして一人、一人と理解し合える周りの仲間を増やし、真実の神心を分かち合える魂の仲間と一緒にこの地球を「宇宙根源愛に満ちた創造の星」にしていきましょう！

もう一度、言います。

あなたが苦しめば、あなたを見守る神や先祖が苦しんでいます。

あなたが心から笑顔で、歓びの人生を経験すれば、神や先祖も大喜びしてくれます。

歓びを知った人は、必ず誰かと共感したくなるものですから、一人で生きるのではなく、愛を分かち合う為に男女や人の出会いを大切にして心を開いて生きましょう。

魂の成長は、生きている間にしかできません。

肉体を離れた魂は、元居た場所へ戻るだけですから、一段高いところを目指して頑張りましょうね！

☆４月２８日（木）は、大震災の４９日祈り
明日４月２８日（木）は３月１１日の東日本大地震で亡くなられた方たちの御霊が神の審判を受けて天上界へ上がる為の大切な４９日目に当たりますので、以下の事を感じながらご自分の許す時間で祈り合わせをお願いします。
※祈りの中で心がけること
・亡くなった方が生きてくれた全ての人生に感謝
・亡くなった家族の心の苦しみ、寂しさの浄化転生
・亡くなった方の代わりに生かされている自分への未来へ宣言（生かされている私たちの宣言こそ亡くなった御霊たちの思いを叶える役目だと気づいて一人一人が行動をお願い致します）
どうぞ皆で心を繋ぎ、重ね合わせ、祈り合わせを宜しくお願い致します

2011.04.27 Wed

沖縄の先祖祈りについて

関東勉強会を終えた翌4月16日、関東の仲間8名が宮古島に集結しました。

この日の午後の目的は、宮古島にユタの先祖を持つ女性の「先祖カルマ」を一掃する事が目的で待ち合わせていました。

この女性は「生まれ」と呼ばれる霊媒体質の為に子供の頃から御苦労をされてきた方ですが、５つのカルマが入り混じるほど複雑なご先祖カルマを持っていた事から、今回のタイミングで宮古島で会えれば先祖のカルマ外しをしますと約束をしていた女性でした。

一般の方の先祖カルマ解消は、自分自身でやる方法を基本として指導していますが、この女性の場合、関西神事で重要な役目を持っている為に、過去のカルマを全てクリーニングしなければ、神事でご先祖の事を問われて倒される事が明白だったからです。

関東の仲間たちは、めったに見る事が出来ない沖縄の先祖祈りなので、勉強の為に同行したいと付いてきました。

かわいい子供二人とご主人も一緒だったので、まずは多良間島から移住したおばあちゃんの住んでいた平良市内の場所へご挨拶に向かいました。

現在は、関西に両親と共に移転していますが、親戚のユタオバーに場所を聞いていたので、すぐにその土地は見つかりました。

家はもう無くなっていましたが、何も無くても土地の歴史を聞く時は、その土地を古くから守っている自然神に話しを聞ければ、大切な事は教えてもらえます。

大きな１本の樹をコンクリートで囲っているのを見つけたので、その樹がここの土地神様だとすぐにわかりました。

木の神様へ、おばあちゃんの名前を言って話しを聞こうとすると、「水を下さい」と言われます。

急いで神水を注いでから、おばあちゃんの名前を改めて伝えると、昔の話しをしてくれました。

「とても周りの人たちとは仲良く暮らしたので、ここでは特に問題はありませんでしたよ・・・

。でもそういえば、多良間島からの移住した人たちですから、龍宮神を通して話しをするといいと思いますよー。」

と樹の神様はやさしく教えてくれました。

すぐに知り合いに電話して、多良間島から移住した人たちの「通し拝みの場所」がどこかを教わりました。

宮古島本島の東に移住したある村を見つけて地元の人に話しを聞き、やっと一軒の家族が多良間島との繋がりを守る祈りをしている拝所があるとわかりました。

全員で、過去の全ての出来事をお詫びしながら、龍宮の神の力を借りて一緒にご家族が手を合わせて祈りましたが、もっとも大きな力になったのは、御主人も心を合わせてお詫びをしてくれた事でした。

通常、奥様側の先祖詫びする場合は、必ず、先にご主人の御先祖祈りを終えてから行うよう指導している理由も、奥様側の親族にご主人が頭を下げる形の意味は、現在の名字を頂いているご主人のご先祖一族が頭を下げる意味になるからです。

しかし、ご主人が理解してくれて頭を下げてくれたおかげで、多良間島の御先祖・親族も、ノロ神も、王家も、龍宮神も全ての承認が降りて、最後にはご先祖の踊りが出るほど、多良間の御先祖たちは喜んでくれました。

このやり方が出来るのは、私が龍宮神と琉球王族の守護力を得ているからですが、一般の「先祖ユタ」からすると、とんでもない事をしたと感じるようです。

やはり数日後に、親戚のユタオバーから、お叱りの連絡が本人に入ったと報告がありました。

でも、私はこう本人に伝えました。

このユタおばーには、彼女の御先祖の問題を解決して欲しいと何度も見てもらった事がありますが、「あまりに複雑すぎて私には手が付けられない」とさじを投げた事実があります。

「何も出来ない」と言った本人が、他人のした事に口を挟む事は許されないのですよと、奥様には教えました。

こういう無責任な事を言うユタがいる為に、ご先祖を大切にしたい人たちが「ユタに対して不評」が広まっていると、沖縄全土の人たちから聞いてます。

これは「ユタ」という特別な職業の問題ではなく、一般社会も同様に、自分は出来ない事なのに他人のする事に口を挟むことほど愚かな行為は無いと学んで下さい。

「ユタ」という職業の歴史を振り返ると、沖縄全土の御先祖信仰は、1609年に琉球王朝が島津藩に倒された時から「守るべきもの」がわからなくなり、役職別のルールだけが残ってしまいました。

沖縄の女性たちが祈り守っていたのは「王様＝男神＝命の男種」だからこそ、王様不在となったことで何を守るかわからないまま複雑化したご先祖カルマは、王家・キコエオオキミ、ノロ、ユタと、それぞれの役職ごとに大きなカルマとして現在もその拝みが繰り返されています。

実際問題、霊的な先祖カルマで倒される人たちが今も沖縄で多い事はよく聞いていますが、これまでと同じように何年もかけてユタ修行をしてご先祖のお詫び祈りをしても、今回の地震のように「人間の存在」を問われた場合、人間だけのルールではどうにもならない世界がある事を学ばなければいけないと思います。

はっきり申し上げますと、人間（先祖）の詫びをいくら続けていても、日本人として生まれた人たちの魂が目覚めて日本人が動き出さない限り、人間に与えられた時間は多くはありません。

いつになったら、子供たちが未来に希望を持てるような新しい神様ルールを沖縄の神ごとをしている人たちが発信するかを神々が待っているのかに気づいて下さい！

改めてお伝えしますが、自然摂理を無視した人間だけの勝手な判断や、ご先祖に甘える心を教えてきた為に、人間が勝手に作ったルールを神々が否定しているからこそ自然災害を起こし、自然界の神々が私たち人間を問い続けているのです。

神様を語る全ての人たちは、自分が何を守っているのかを考え直す時期に来ている事に、どうぞ気づいて下さい。

本来の神とは、一体何を表しているのでしょうか？

天に登られたご先祖たちが望む事は、本当は何なのでしょうか？

人間をこの地球に産みだした宇宙の根源神は、今、私たちに何を望んでいるのでしょうか？

どうぞ、この三つの質問をあなたが信頼するユタや霊能者、またセラピストやカウンセラー、宗教家の先生たちに質問してみて下さい。

心穏やかに、神心を教えてくれる人が必ずいますので、心の先生を選び直して下さいませ。

一番気づいて欲しい事は、「ご先祖祈り」だけしかしないと思っている人たちに気づいて欲しいのです。

人間全てが問われている今の時期だからこそ、ユタや神人たちが「ご先祖」だけではなく、、大神の御心を導く人にならなければならない時期なのです。

日本を守る為に何度も苦渋の経験をしてきた日本の母の地　沖縄に住む人たち全てに心から感謝しているからこそ、どうぞ、あなたが産んだ息子の言葉を神の言葉と受け入れて変わって下さい。

全ての命を産みだすお母さんたちや女性たちが、今、変わらなければいけない時期に来ているのです！

愚かな男たちを産んだのも、女性たちなのですよ。

愚かな男の行いを責めたい気持ちはよくわかりますが、どうぞ、愚かな男たちが戦わずに土地や地球を守る教育をお母さんたち自身が教えて下さい。

生き方を教えるのは、お父さんの役目ですが、神の心や道徳・倫理・信仰の心を教えるのは、お母さんたちの役割なのです。

学校の授業に「倫理や道徳が無い」時代だからこそ、お母さんたちや女性は、たくさんの子供たちに心を教える役目がある事に気づいて下さいね。

神の言葉を教える全ての人たちに、その責任と自覚が求められています。

命を繋ぐ意味は、人間だけの事ではなく、自然界を含めた地球と言う生命体と運命共同体だからこそ、その真理を理解し伝えなければいけない役目がお母さんたちにはあるのです。

誰一人、この地球に不必要な人はいないからこそ、私たちは神に選ばれて生まれているのです。

どうぞ、あなた自身が信じる神と、他の人が信じる神を戦わせないで下さい。

人間を見守る大きな神たちが、愚かな息子や娘たちを見て泣いています。

2011.04.26 Tue

やっと、滋賀県！

今回の沖縄　伊良部島・宮古島・沖縄本島で、ものすごいことが始まる為の神事が、４/１８-１９で無事、終わったことをご報告いたします。

詳細は、北海道に戻ってから詳しくご説明しますが、日本の母の地　沖縄、その中でも宮古諸島全てのウタキの神々を守っている大神島で、大切な「天岩戸　陰陽神事」が終ったことによって、今後の日本人の精神性に大きな変化がおきることをご報告しておきます。

４/２１に那覇から奈良県に入り、本日、飛鳥京神事と滋賀の四箇所を祈りをしましが、日本の歴史上でとても驚きの発見がありました！

「ヤタガラス」の元の地を見つけたのです！

その場所には、５００名のヤタガラスの意識体が、私たちを待ってくれていたのです。

日本神道・天皇家・先住民族・シャーマンのつながりを示す大切なのキーワードになっている「ヤタガラス」。

神の元地の謎を解き明かす今回の滋賀神事こそ、日本人が魂の役目を果たすためにも大切な旅になると思っています。

あと二日、できる限り可能な場所を回り、関西の仲間と一緒に神々の思いを成し遂げようと思っていますので、どうぞ心あわせをお願いします。

2011.04.21 Thu

祈りの力

今回の東日本大震災が起きた事によって普段、祈りをしない方たちも、宗教の枠を超えて祈りをする方が増えたと思いますが、人間が「祈り」を始めた最初のキッカケも、山の噴火や津波などによる天変地異によって家族を失った人たちが、自然の神々に対して怒りを納めて欲しいと願った事から始まりました。

それ以前は、山や海へ狩りに出て暮らしていましたので、自然の中で生きる知恵や本能を備えていたので、自然界の変化に合わせて住む場所を変えたり、季節によっては近づいてはいけない場所をよく知っていました。

農耕文化が進み定住するようになると、人間は住み易くする為に木を切り山を崩し、海や川を埋め立てて自然の摂理を無視した自然破壊を地球全体で続けるようになりました。

地球全体では数十年か、数百年単位で大きな自然災害が起きていますが、地球の自然界バランスを司る大きな「神様」が実際に居ることを、2004年に伊良部島の「白龍」から教わりました。



この白い龍は、沖縄　伊良部島の「なべ底」と呼ばれる聖地で目の前から上がりましたが、地元のオバーたちは昔からの言い伝えで、「龍の神様がいる場所」として恐れて近づかない聖地でした。

2002年に「地球創世1000年プロジェクト」の啓示が降り、2003年から日本全国で神事をするようになってわかった事は、自然界の神々も、地球を産み出した宇宙の神々も、「同じ思い」で人間を見守っているということです。

それは、この地球の未来を人間に託しているからこそ、どう導くのかを常に見守っているし、気づかせてくれています。

私たち人間が持っている霊性（スピリチュアリズム）は、古い魂ほど、宇宙の大元の神意識と繋がりが強く、人間の未来を含めた地球や宇宙の方向性を決める大きな魂の役目を持って地球に生

まれていることを知っています。

しかし、地球に人間が誕生して繰り返している戦いや悲痛な感情は、土地に「念」として残り、地球内部に「負の感情エネルギー」として溜まり続けている事も事実です。

今、多くの女性たちが体調を壊したり、感情が不安定になっている理由は、自分の心の奥底の「負の感情」と、地球内部に溜まった「負の感情」がリンクして同調している事が原因ですから、香りやオイル、塩を上手に使いながら過去の感情クリーニングをすぐに始めて下さい。

地球を人間の身体に例えると、心の奥底にある「負の感情エネルギー」は、身体に悪いと知りながら食べ続けた食品添加物みたいな物でしょう。

細胞が溶けたり、脳が侵される危険がある食品添加物は、定期的に身体から排泄しなければいけないからこそ、地球も定期的に大きな浄化として地震や噴火を起こしています。

地球という生命体を病気にしているのは、「人間の負の感情エネルギー」であると認識して下さい。

今回、なぜ日本にこれほど大きな災害が起きたのかを神に問うと、

地球の運命が決まる時期が近付いていることが、原因です。

地球の運命を私たち人間が決めているとも知らずに、母の大地を汚し続けた結果、世界の民族の代表が集まって作った日本という国が、今、問われている事に気づいて下さい。

いつまでも人間だけの欲望やルールを優先して自然破壊を続ければ、日本だけではなく、地球上の人間全てが消滅する事態にいずれ陥ります。

世界中から集まった様々な民族はこの小さな日本と言う島に集まり、ひとつの民族として「神を統一」しました。それが、日本古来から信仰された「古神道（こしんとう）」です。

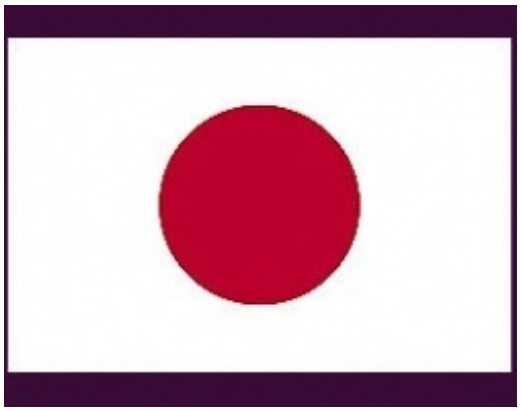
自然界全てを神と祀る自然神信仰は、アイヌの先住民信仰にも通じていましたし、中国から沖縄に伝わった「琉球古神道」も同じ自然神信仰だったからこそ、民族の違いを超えて意識統一がなされました。

※琉球王朝が島津藩に倒された後、大和の国から沖縄人の信仰を守る為に導いた人は、「熊野神道」の神主さんでした。沖宮には、その記録が残されています。

現在の神道（しんとう）や天皇制を柱にする前に、自然を神と崇めた「古神道」で意思を合わせた時代が日本にはあったのです。

時代も進み、様々な民族統一を続けた日本国は「日の出づる国」の証として、多くの血がひとつに集まった印を国旗に掲げました。

真中の赤い丸は、集まった民族の血をひとつにして進むという意思を示し、周りの白地は、この日本で心新たに国を守る統一意思を表しています。



戦後、数十年で私たち日本国は、世界で最も多くの金額を世界の国々へ経済援助してきた国だからこそ、救われた世界の人たちは、今、日本が立ち上がる為の祈りを毎日続けてくれています。

どうぞ、自然界の神々にお詫びをして下さい。

そして、人間を守ってくれている神々の気持ちを正しく理解する努力をして下さい。

今は、誰かを敵に見立てて戦う時期ではないのですよ！

全ての人が、日本再生を心から願っているからこそ、戦わずに未来を構築していく心を育みましょう！

私たち日本人は、「精神に神が宿っている国民」なのです。

国家復興の為に、そして、地球再生の為に、さらに言えば、宇宙の民が集まった地球民族は、全

宇宙のカルマが終結している星だからこそ、今、志を結束して行動する時なのです。

誰の為に、何の為に祈るのか？　どう、行動するのか？

大人一人一人がこの質問に答えられないのなら、子供たちの未来に希望はありません。

一人でも多くの方がカルマを超えた祈りや行動ができる為に、明日から東京・沖縄・奈良・滋賀へ出かけます。

お会いできます皆様と共に、地球や日本の未来を考えながら、自然界の神々に喜ばれる生き方を見つけて子供たちへ希望を与えられる大人になりましょう！

2011.04.14 Thu

放射能の対応について

現在、マスコミで流れている放射能情報の取り扱いについてですが、公開されない最悪の測定データが出ている事はあちこちから聞いていますが、その事を一般公開しても何も意味がありません。

本当に最悪な状況になった時は、日本だけではなく、世界のどこに隠れていても無駄だからです。放射能は、空気中の「見えない世界」の問題だからです。

誰もがわかる「見える世界」に結果が出た時には、もう遅いと考えた方がいいでしょう。だからこそ、最悪のシナリオを考えて不安になるのではなく、希望溢れる未来に向けて豊かな創造力を働かせましょう。

今、気づかなければいけない事は、個人が書いたブログでも、マスコミや出版社の情報でも、誰かの言葉でも、不安な情報を出した人は、その解決方法まで出せないのなら、情報発信者は「無責任な人」だと言う事に気づいて、情報を選別する事をお勧めします。
国や東電が、国民の動揺を考えて全てを公開できないのも同じだと思います。

無責任な人ほど事実を受け止める覚悟が無いうえに、誰かにその対応や責任を押し付ける発言をするだけで、自助努力をしない人たちが多くいるからです。

100年前に自然災害に見舞われた時、誰かのせいにしている人がいたと思いますか？

地球や自然から多くを学び、後世へ伝えた言葉や知恵者がたくさんあったはずなのに、無視して好き勝手に生きた私たちは、ご先祖たちに進化ではなく、「知性が退化した国民」と言われても仕方が無いでしょう。

個人的には、放射能問題を解決できる方法はいくつか考えついていますが、まだ公開できるレベルでは無い物もありますので研究者たちからの報告をお待ち下さい。

今、皆さんに考えて欲しい事は、「なぜプルトニウムが、人間の皮膚に触れると被ばくするのか？」を豊かな創造力を使って考えてみて欲しいのです。

既成概念に囚われていない幼稚園の子供たちのほうが、すぐに答えを教えてくれるかもしれませんよ。

私は、放射能の被ばくを、こう考えています。

まず人間の身体は、細胞やDNAの中にある「マイナス電子」が動き回っていることで微量のエネルギーを産みだし続けているおかげで全ての臓器が機能して生きていますので、この人間が持っている微弱エネルギーの振動数と、放射能のプルトニウムが持っている振動数が違う為に、触れると病気や死に至ると理解しています。

※プルトニウムは、１枚の紙を通過できないほど大きな原子ですから覆う事で保護はできますが、空気や水、大地汚染にどう対応すると良いのか、まず自分で正しい知識を勉強して下さい。

「ヒーリングやボディワーク」をする人たちは、痛みや病気を自分の意識と身体を使って相手の無意識振動数に変化を与えて治療する方法を知っていますが、意識が、肉体や物質に及ぼす影響について理解できていない方は各自で勉強して下さい。

※スピリチュアル講座の中では、自己メンテナンスを含めたあらゆる調整方法を教えています。

人間は「ある意識」と繋がる事で、肉体や物質の振動数を変えられる力がある事まで理解している方たちは、その力をどこに、どういう風に使ったらいいのかを仲間と話しあって下さい。

※日本に生まれた全ての人は古い魂（前世経験）をお持ちだからこそ、多くの守護存在と繋がりがあり、誰でもその気になればすぐにヒーリングの力を使えるように生まれています。地球を癒す能力が一番、高い民族が日本人なのだと言う事にも気づいて欲しいと思います。

現在、放射能を無害に出来るほどの振動数を持つ「鉱物」や「微生物」も、近い将来、世の中に出ると思いますのでそういう情報には特に注意して下さいね。

今、現実的に考えるべき事は、限りない未来に向けて、新しい希望が溢れ出る知恵や情報を発信し続ける事が重要です。

震災後、１カ月が経った今、なぜまた大きな揺れが起きたのか？

地球内部や大神は、どういうメッセージを私たちに送り届けているのか？

このことは、「地球創世SNS」の中で公開して解決方法を仲間たちと話し合っていますが、今後も、まだまだ大きな地震が続く事だけは、地球内部を守る存在たちと宇宙の大神からメッセージが届いています。

2011年は、地球創世神事の「国の立替え建直し」の最後の詰めの時期ですから、膿みだし・整い・方向転換・意識変革の時期だと年頭からメッセージを伝えていますが、これまでにない画期的な発明もどんどん世の中に出てくる事をメッセージで教わっています。

素晴らしい発明が世の中に普及するかどうかは一般の皆さんの意識の中で、多くの人が「その方向だ！」と思えば、一気に進化する事は皆さんもご存じのはずです。

一般家庭に電気が通っていない時代に、夢を描いた人たちがいたおかげで電線を繋いで、家電などの電化製品が家庭に普及しました。

電線で繋がなければ物は動かないと信じていた時代に、空間を電波が飛び合って話ができればいいなあと創造した人たちが、今の携帯電話を一般に普及させました。

たった50年で、ここまで変わる事ができる私たち日本人の創造力は、地球の未来を創造する役目や力があるとは思いませんか？

今日までの「普通」は、10年後には全く変わっています。

だからこそ、30年後、50年後、100年後、1000年後の地球を、私たち日本人が創造する必要があるのです。

あまりにも平和ボケしすぎて自分の事だけしか考えられない人が増えたからこそ、教えてくれているのが「震災」です。

自然界のエネルギーを上手に使いながら、進化することはできるのですよ。

今、親日国の台湾が、100億円の寄付と北海道へ旅行者を連れて来る計画を立ててくれています。

台湾は、もとは沖縄の領土の時代もあり、原住民たちに教育を教えた日本人の石碑が立っているほど、日本人に感謝してくれている国民です。

台湾の人たちの心には、私たち日本人はご先祖たちを導いてくれた父であり、母であると感謝を伝え続けた親たちがいるからこそ、今回の寄付に繋がっているのです。

何度も言いますが、私たち日本人は、世界の国々からやってきた移住民族の集まりだからこそ、世界の人たちへ感謝しながら、地球の未来を導く役目を持って生まれている国民なのです。

こういう苦しい時こそ、「本当の友」がわかるものですが、「遠くの親戚より、近くの仲間」が命を守ってくれる事に気づいたら、魂の仲間の輪をすぐに広げる努力をして下さい。

最後に、宇宙の摂理をひとつだけお伝えします。

この地球上で起きる全ての問題は、地球上にあるもので解決できるようになっています。

この地球を救う最後の方法は、「微生物」と「鉱物」であることも覚えておいて下さい。

私たちの肉体でさえ、全て「光」から生まれていますので、意識振動数をすぐに変えられる良い香りや良い音、良い色を上手に使って、意識や肉体のセルフケアを心がけて下さい
。WEBSHOPでは、その為に必要な製品を開発・販売しています。

不安な情報の裏付けに時間を割く余裕があるのなら、未来の可能性に意識を向けて希望ある情報を発信できる自分になる為に、心と体を常にクリアに保つ努力をして下さい。

2011.04.11 Mon

震災１カ月で考えるべき国家プロジェクト

今日は、震災後、１カ月経って現実的に考えるべきテーマについてお話ししたいと思います。

まず現地では、たくさんの人が救済に動いていますが、広範囲な被害の為に復旧作業も遅れているのが現状ですが、現地でできることは、現地へ行かなければわかりませんが、若者たちのリーダーとして15年ほど前から活動している「てんつくマン」と「高橋歩」さんが、手を組んで活動を始めた事にとても期待しています。

この二人は、90年代から日本中の若者たちの意識を導く素晴らしいリーダーだからこそ、直接、逢って話しもしましたが、素晴らしい情報を発信してくれることを信じています。

（考えられる日本の最悪のシナリオ）
自然災害・経済破綻・政治破綻による国力低下によって各国との連携体制が弱まり、日本は自ら生き残りをかけた産業構造の見直しを迫られる時期がやってくる。

今回の震災は、東日本だけの復興を考えるのではなく、日本全体の産業構造を見直すチャンスととらえて、国内の産業別比率の見直しを基軸に、国内自給率を１００％以上を確保しながら海外に輸出できる日本独自の技術を主幹産業に位置付ける。

ここでは目の前で起きている社会的な問題の解決策を国策として提案しますので、必要な方にお伝え下さい。

１、風評被害を含めた一次産業の生産を北海道で集中的に行う

東北地方・関東地方は農業の米どころですが、今回の地震で数年間から数十年間、風評被害も含めて生産・販売が出来なくなる可能性がありますので、北海道の減反補助金政策を中止して、日本全体の米の生産を北海道の広域な大地で集中的に始める必要があります。

北海道の米農家の現状は、高齢化による離職・土地余りが出ていますので、新しく農業を始める方には、とても良い環境がそろっています。現在、北海道の米農家の１家あたりの平均作付面積は、１０～１５Haと大きな農業経営を実現しています。

今年の田植えが出来ない農家は、一年間、収入が無くなるだけではなく、一生涯その土地で生産が出来なくなる可能性も考えての判断が今、必要なのです。野菜農家も準じて、検討する必要があります。

漁業・水産加工業は、日本全体の消費落ち込みに加えて、太平洋側の魚は世界が輸入しなくなる可能性が高い為に、しばらくの間は、国内需要だけを考えた対策が必要です。

短期的な一時避難だけを考えるのではなく、この機会に、家族や周りの人と一緒に移住して北海道で農業を始めてみませんか？

※九州や沖縄に米の生産基地を二分化して、食料基地のバックアップ体制も検討するべき課題です。

どんな状況下でも、一次産業が安定生産・供給・需要が循環できれば、日本は必ず生き残る事が可能です。

「食」を安全供給する為の流通構造の変革の為には、一次産業が安定していた1950年代の穀物生産を基軸に考えて、輸入に頼っている食材・飼料・重油などが無くても出来る生産体制を確立する必要があります。

※消費者側は、欧米的な食肉文化をなるべく控えて、国内の米や野菜を美味しく食べる為の工夫がとても重要です。

２、新しいエネルギーを産みだす生産物や研究を積極的に始める

短中長期的に考えて不足が予想される電気以外の全てのエネルギーも十分、国内生産だけで可能なエネルギー転換方法がいくつもありますので、すぐに個人や地域、自治体単位で取り組みを始めることが必要です。

これまで石油や原子力が全て止まっても生きていけるほどのエネルギー転換技術はたくさん見つかっていますが、既存の利権企業や政治家たちの政治的圧力・マスコミコントロールに潰されて手を付けられなかった分野だからこそ、法律の成立を待つのではなく、自分たちで出来る生き残りの為の新エネルギー開発に着手して下さい。

、数十年前まで日本国内で積極的に生産されていた「麻」の広域生産に加えて、「麻」の加工工場や商品化をここに推奨します。麻の類似効果がある、「マコモ」でも多くの効果が期待されています。

（日本の大麻生産）

100年前は、麻の生産は日本国内で2万5000haあったが、1998年には12ha、栽培者はたったの102名しかいない。日本で産業化しようという動きがさかんになりつつあるが、実態はこの程度しかない。本当にこれから産業化がはじまる段階である。

・大麻産業の有望市場については、こちらをご覧下さい。

・太陽光・太陽熱・風力・水力・地熱発電などの自然エネルギー発電技術を市町村単位・地域単位・民間単位で取り付け・普及・情報のシェアリングに取り組む。※10年後の目標は、〇〇電力会社の電気ケーブルを外すこと！

３、エネルギーの新技術や新発明をすぐに商品化する
※2011年は、新発明がどんどん世の中に出る年になります！

（新発明のヒント）
地球上のエネルギーは、宇宙風による太陽と月の引力と磁力に影響を受け、自転と公転による回転エネルギーによって地上の物質・原子・素粒子が振動する事で生命は循環しています。

その微弱振動は、生きている人間の意識や祈りの力と同じです。

このエネルギーは地球上のあらゆる場所に存在していますので、「揺れ」からエネルギーを取りだす技術も開発されていますし、太陽光や熱から新しいエネルギーを産みだす事も可能な時代です。

素晴らしい新発明が生まれる最も大きな要因は、多くの人たちがその未来を本気で望む意識をベースとして、無意識の集合意識に働きかけを起こす事によって気づきが得られるという宇宙摂理があるこそ、これからは皆さんが望む新発明がどんどん誕生する時代に入ります。

突飛に聞こえるかもしれませんが、小学生3年生以下の魂が純粋な子供たちに聞けば、前世で居た星で観てきた技術や知恵を覚えている子供たちもたくさんいます。

実際に、宇宙エネルギーを電気に転換する方法を見つけた科学者に話しを聞くと、前世療法を何度も繰り返して意識次元を引き上げた結果、過去世の発明を思い出したという体験談を聞いています。

今、生きている人間でこの地球に初めて生まれた「魂」は誰一人いませんので、何度も困難も乗

り越えた多くの記憶を持っている事に気づいて下さい。

神を信じる力と、自分を信じる力、そして、他人を信じる力が、同じバランスで使えるようになると、どんどん意識は覚醒して、あらゆる過去の記憶を思い出す仕組みになっています。

毎日、「魂」で物事を考える訓練をして下さい。魂には、全ての記憶と知恵が眠っているのです。

地球を愛する仲間たちが情報を公開しあってサニワすれば、必ず、新しい知恵がお互いに気づくように私たちはインプットされてこの地球に生まれています。

地球上の人間全てがひとつづつのジグソーパズルのチップを持っていると思って下さい。

日本に生まれた人は、日本人としてもジグソーパスルを完成させる為に、生まれた前に大切なチップを与えられています。

あなたの記憶チップを「地球創世SNS」の中でぜひ公開して下さい。

地球を救う為に、覚醒し合う仲間が集まる場所が「地球創世SNS」なのです！

４、音楽・娯楽・旅行など癒し・楽しみ・歓び・希望を得る為の消費を決して辞めない！

現在、最も深刻な問題は、あらゆる分野の国内消費が下がっているという点です。

気持ち的に自粛ムードはよくわかりますが、国内経済を支えている６０％の個人消費を抑え過ぎると、お金が個人個人に停滞してしまう為に、「歓びを提案」している企業や店舗・個人事業主の損益分岐点を割り込み、外食産業や観光地産業などがすぐに倒産してしまいます。

今、この時期に、「心が委縮」して発想が貧乏になってはいけません！

未来に向けてあなたが勇気を出し続けられる為には、美味しい物を食べて、美味しいお酒を飲んで、仲間と未来を語りながら、自分や家族が長期的な喜べる目標にお金を使って下さい。

日々、節約して生まれたお金は、太陽光発電や風力発電の器械を家に設置するなどして、自分の家から発電出来るシステムを導入して下さい。

また、新しく人を採用できる経営者は「衣食住が確保できる最低賃金」でも良いので、一次産業の生産現場で新しい業務を創造する事ですし、働く側も希望する職種を見直して人手が不足している分野で働く覚悟が必要です。

これからの日本は、政治家でも権力者でも経済人でもなく、生活している私たち一人一人の希望と勇気によって作り上げていく時代なのです！
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」の1000人の宣言と祈りエネルギーで、地球の未来を輝かせましょう！
2011.04.09 Sat

4月7日23：46　宮城県沖　震度６強　メッセージ

昨夜の震度６強の地震によって、被災地の方は不安を募らせた夜をお過ごしだと思いますが、復興にはまだ時間がかかりますので、どうぞ健康管理に十分ご注意下さいませ。

夜中の0時の祈りを意識していた時の昨日の地震は、札幌でも震度３を体感しましたが、どこまで揺れるか見極めながら、何をするべきか判断していました。

揺れが収まりすぐに思った事は、まもなく一か月を迎える3月１１日の震災メッセージを忘れるな！という注意かと思いましたが、夜中０時の祈りで地球内部を守る大神と向き合った時のメッセージは、とても厳しいものでした。

これからご紹介するメッセージは、神に向き合う人たちに向けてのメッセージですので、守護存在と対話できる方は自分の神と内容を確認して下さい。

「地球創生SNS]に参加頂いている皆様とは、コミュニティの中で「公開サニワ」を行いながら、大神の意思を確認する作業を始めています。

（**4/7**　夜中**0**時のメッセージ）

まだ、わからないのか！

お前たちには、この前の地震の意味を伝えたはずだが、あまりにも真剣に考えていない者が多すぎる。

大切な命を救う意思があるのなら、明確な宣言をしろと伝えたではないか！！！

今、地球の内部で起きている事は、地球内部の建て替えだ。

それは、お前たちの心と同じく、これまでの思いを全て転生するためなのだ。

震源地の意思を感じてみろ！そこには、神がいる。

地球内部の神の意思を聞きとる事ができる者は、その神意思を正しく伝えることだ！

今、起きている大きな流れは、宇宙から降りた神たちの役目を問われているからこそ、次の三つの場所にいる宇宙神と話をしろ。

１、大神島の宇宙神（地球の内部から出てきた神）

２、ウハルズの宇宙神（池間島の大主神社）

３、伊是名島の宇宙神（2007年に開けた場所）

そして、伝えておくが、ムー大陸の神々が今、一斉に起き上がろうとしている。

震源地こそが、ムー大陸の時代の大事な聖地だったからこそ、神の意思を聞き取る役目を持つ者たちは、その使命を果たしなさい。

大いなる啓示を受け取る者は、地球内部の意思を伝える使命があるのだ！

（**4/8**　お昼**0**時のメッセージ）

あなたたち人間が、どうするかを私たち神々全てが見ています。

あなたたちを見守り続け、願いを聞き続けてきたからこそ、今は、あなたたちがその役目をする番なのです。

人間が先祖や功労者を神と崇めて祀る事は良いとしても、人間を生かしている自然界の神の言葉を伝えられないのなら、人間の存在を問うのは当然です。

人間を生かす為だけに自然界はあるのではないからこそ、あなたたちはその事に対してどうするかという答えを示さなければなりません。

現在、外宇宙の神々は、あなたたちを見守っています。

内宇宙（地球内部の宇宙）の神々は、この地球を守る為に大きな決断を迫られています。

人間の願いも聞いてあげたいが、これ以上人間が我欲を出すのならば、存続させる意味が無いと問われているからです。

それは、あなたたち神に通じる一人一人の責任です。

どうぞ、あなたが守るべき神に向き合って、何をするべきか話し合って下さい。

火・日・陽の神を祀る者だち、

水・海の神を祀る者たち、

風や大地の神々を祀る者だち、

そして、

龍宮底神や天空の神と対話出来る者たちは、全ての対話した内容を公開し合って、新しい和合の道を見つけなければなりません。

神の声を聞いたりビジョンを見たり、他人の事がわかる全ての能力は、私たちが与えた繋がりの力だからこそ、自分や他人の為だけではなく、地球の未来の為にその力を使いなさい。

見えない聞こえないという者たちは、自らの立場でするべき事をすぐにしなさい。

あなたたちを見守る先祖全てが、今、あなたにその声を伝えようとしています。

他人の為に生きるのも、家族の為に生きるのも、自分の為に生きるのも、所詮は、人間だけのルールが前提だからこそ、もうそれでは無理だと伝えているのです。

自然界の神々に生かされている事を感じ、宇宙の神々に見守られている事に気づいた者たちは、現実社会の中で何をするべきか、明確な答えを出さなければいけない時期なのです。

どうぞ宜しくお願いします。

☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」の1000人の宣言と祈りエネルギーで、地球の未来を輝かせましょう！

2011.04.08 Fri

レジ打ちの女性

2011.04.07 Thu

道理と摂理

昨日、ご紹介した沖縄本島の神人（カミンチュ）オバーの言葉の中で、私が勝手に「摂理」と書いていたのに気づき、訂正してお詫び致します。

実際に、神オバーが口にした言葉は、「道理」という言葉を使って教えてくれました。

※道理の意味についてはこちらをお読み下さい
※摂理については、こちらをお読み下さい

言葉によって伝わる意味が違うからこそあえて説明しますが、私と神オバーの話しあいの中で共通した現代教育の問題点は、小中学校の科目に「倫理と道徳」が無いという点です。

では、誰がその事を教える役目かと言えば、やはり「母親」なのですが、現代のお母さんたちが「道理や摂理」を正しく理解して子供たちに教えているかといえば、とても疑問があります。

いつから「倫理や道徳」の話しをすると、「宗教的」だと批判をする様になったのかはわかりませんが、大きな影響は、左よりの日教組の力が増した時からだと思います。

私も小学校の時に、日教組の担任が授業をボイコットして、１年間、授業がまともに出来なかった時期がありました。

日の丸反対、君が代反対、天皇制批判を教育の現場で繰り返した結果、親たちが共通して子供たちに教えるべき心の柱（精神性）を見失っている大人がたくさん迷ったあげく、宗教や精神世界に「心の柱」を求めています。

そういう親たちの心の悩みを解決して欲しいと、たくさんの人が私の所にも訪れてきますが、東日本大地震によって揺れているのは、大地だけではなく、日本人の心の柱（精神性）なのだと思います。

沖縄の比嘉吉丸さんも言っていましたが、やはり日本人の精神性を高く維持できるかどうかは、「天皇」の扱い次第だと思います。

実際に、沖縄は日本を守る為に多くの犠牲者が出た土地だからこそ、私たちはお詫びと感謝をし

なければいけないのですが、その土地の神人が、日本の天皇という存在の大切さを語り始めた時代なのです。

阪神大震災も、東日本大震災も、関東大震災も色々ありましたが、そのたびに、生き残った人間は、多くの犠牲があってこそ、生かされている役目を果たさなければなりません。

「たくさんの人の犠牲」というお皿の上に、「愛と感謝」というごちそうを食べる自分の姿をイメージしてみて下さい。

そのご飯が、美味しく食べられるかどうかも、誰かが命をかけて守ってくれているからだと気づけば、今、危険な最先端で働いている自衛隊や警察や消防の人たちこそ、自分や家族の命を越えて守るべきものを知っている人たちだと思います。

先日、苫小牧で開催された「ピンチはチャンス」の会合には、被災地へ向かう自衛官が参加してくれたので、危険な場所で働く人の正直な気持ちを聞く機会がありました。

彼の立場は昔の陸軍で言えば「伍長」に当たる職位で、パラシュート部隊の現場指揮官ですが、彼は、私たちにこう話してくれました。

私は、平和主義者ですが、有事の際にはどんなところにでも行きますし、命をかける覚悟はいつでもできています。それは、私の隊員全員も、同じ気持ちです。

この言葉を聞いて、あなたはどう感じますか？

この日本を守る為にたくさんの犠牲が繰り返されてきたのに、まだ「自分の事」しか考えられないのでしょうか？

現地で被災に直接、あわなかった私たちは、勇気と希望を持って生きるのは当然の役目ですが、皆んなが心をひとつにして生きる為の「精神性の柱」が明確に無ければ、お金だけあっても日本という国は崩壊してしまいます。

最大の苦しみを味わった沖縄の人たちの声こそ、この日本を守りたい強い思いの言葉ですし、だからこそ、毎日毎日、多くの神に向き合って祈りを続けてくれているのです。

沖縄の人たちの祈りは、宗教と言う小さな枠組みものではなく、日本人として、人間として生き残る大切な精神性を守り続けながら、地球全体を支える母の愛を持っている民族の祈りなのです。

精神世界や宗教にどっぷりはまっている皆さん、どうぞ日本人としての「誇り」を持って下さい。

あなたたちがこれまで学んだ多くの心の学びを実現する為に、私たちはまだ活かされているのです。

そして、私たち日本人の「誇り」は、天皇という一人の人間の後ろにいる大きな神様を大切にする心で繋がっている民族なのです。

悲しい、苦しい、切ない今だからこそ、日本人としての証である日の丸を掲げて、日本人の魂を繋ぎ合わせながら、被災者たちの心に勇気と希望を送りましょう。

私たちは今、一致団結して、この国を守る宣言をする必要があるのです。

一人一人が、自分の事だけを考えて生きるならば、この国も、この地球も滅びます。

どうか、この事に気づいた人から行動して下さい。

私たち大人の行動を見て育つ子供たちに、守るべきものを教える為に！

☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」の1000人の宣言と祈りエネルギーで、地球の未来を輝かせましょう！

2011.04.06 Wed

日本のひな型「沖縄」

やっと昨夜、4/1-4/3で行われた沖縄の比嘉吉丸さんの神事から戻りました。

母の地　沖縄で重要な神事の祭祀を務める意味は、「日本の北軸＝父神の役」として依頼されたからですが、ハードな神事よりも、素晴らしい人たちと出会いが多かったので、互いの気づきの為の話し合いで毎日、睡眠時間は１～２時間しかありませんでした。

それでなくても神事が毎日続く時は、身体に神様が入りメッセージを伝えてくるので、自分の身体の疲れはわからないまま過ごせましたが、沖縄の土地を離れた瞬間に身体から神様が抜けて疲れが一気に溢れました。

この4日間、メールもブログもほとんど書けないほどたくさんの人と話し合いが続きましたので、頭の中はいつも何人もの守護存在から同時に語り続けられているような状態でした。

女性（母神）が産んでくれた男性(父神）の役目を果たす私と比嘉吉丸さんの生まれ干支役目は、私が亥年なので「全てをまとめ上げる役目」です。

ひとつ下の比嘉吉丸さんは、「新しい始まり」の子年生まれですから、母の地沖縄で行う神エネルギーは、全て比嘉さんご夫妻の守護存在に繋ぎ渡す事が、生まれる前から決まっていた事を今回、気づきました。

二人が受け取るビジョンや啓示は似たものもありますし、意識チャンネル（担当領域）が違うからこそ、互いの情報を全て与えあう信頼関係が私たちにはあります。

今回、もっとも比嘉吉丸さんが素晴らしいと思った点は、これまで常に一人で神事を続けてきた男性が、先輩たちに頭を下げてたくさんの人に集まってもらう努力をした事だと思います。

誰一人、経済的に余裕があって祈りをしている人はいませんが、自分の思いよりも、母神の願いならばと、今回、全国から集まってくれた人たちばかりでした。

自分にどれほど素晴らしい能力があっても、その役目を果たす為には支えてくれる人たち次第ですから、「地球を守る魂の約束」を果たす覚悟を行動で示す人たちが集まりました。

とんでもない大きさの地震が日本にやってくる事は、20年前から何度も私たちはビジョンで見て

いたからこそ、神に誓いを立てた人間としてあらゆる神に向き合う神事をしたり、皆様にメッセージを伝える努力を続けていますが、誰にも信じてもらえない事を言葉にする怖さも十分、知っています。

ほとんどの方は、目に見える目の前の事しか信じない人たちだからこそ、私たちの様な体質の人間は常に未来の最悪なシーンを見せられる役目をしなければいけないのですが、今回の東日本大地震の映像をテレビで見て「自分の生き方を変えよう！」と決断したした方はどれくらいいるのでしょうか？

比嘉吉丸さんは、今回の3月に起きた地震のあと、6月、9月にも大きな問題が起きることを啓示で受け取っています。

それを回避できるかどうかも、これからの人間の意識と行動次第なのです。

まだ、その事に気づかない人がいるのなら、あなたは「自分の事しか考えていない人間」だと自覚したほうがいいでしょう。

どれだけ現実がうまくいっても、どれだけ人の為に良い事をしたとしても、日本人全ての方向性が間違っている事は知っているはずですから、「一人一人がその責任を問われている事」に気づかないのなら、もっと大きな大惨事がこの日本に必ず起きると私も断言できます。

私たち日本人は、地球や宇宙を守っている存在たちに

「変わりなさい！」　と迫られているのですよ。

気づいている人は、これまでの自分を悔い改めて、「具体的に〇〇〇に変わります」と宣言をする場として与えられた地球創世ＳＮＳの中で1000人の宣言エネルギーが集まれば、大神も私たちの願いを聞いてくれると思います。

どうぞ、地球の未来を真剣に考えて自分の生き方を変える決断をして下さる方は、まず、地球創世ＳＮＳにご参加下さい。

多くの仲間たちの意見を読んだり、コメントを残して意見交換し合う中で、一日も早く、自分の進むべき道を見つけて下さい。

現実的に考えれば、北海道の私が、なぜ沖縄の比嘉吉丸さんの神事に協力するのかという疑問が出る方もいると思いますが、もう全てのリーダーたちは手を組み協力しなければいけない時代に入ったからです。

日本中の、そして、世界中の精神世界、宗教のリーダーたちが、手を組み合って動かなければいけない時代になったのです！

そして、「日本が世界のひな型であり、沖縄が日本のひな型」であるという事も、よく覚えておいて下さい。

この意味がわからない方は、まず　赤椀の世直し　をお読みになって下さい。

比嘉吉丸さんとは2006年にお会いしてから何度も本音の話し合いを続けてきましたが、やはり、この日本を守れなった最悪の場合、地球が消滅する事は確認し合っています。

私たちのように未来の辛い出来事を予知してしまう体質を持って生まれた人たちは他にもたくさんいますが、自分が望まないビジョンや啓示を受け取り続ける体質の方は、共通して幼い頃から本音を人に言えない苦しい時間を過ごした為に、本音を語る事がとても苦手です。

でも私が今、こうして本音を語れるようになったのも、多くの人たちの愛に支えられたおかげですから、そのお返しの為に魂の母の地　沖縄に毎年お礼祈りに行っているのです。

最近は、沖縄ブームでたくさんの人が足を運んでいますが、沖縄の土地や人に逢うとなぜか癒されると思いますが、それは私たちの魂の故郷であり、母の子宮の中にもどったような感覚になるからです。

3月11日の東日本大地震が起きた今だからこそ、比嘉吉丸さんは「日本のひな型」である沖縄の地に東西南北の日本中の神代表を集めて、「日本のひな型を整える東祈りの神事」を行いました。

今回、沖縄神事で出会った72歳の神人（カミンチュ）は、霊力も、判断も、神導きも、人導きも、私が出逢った沖縄の人の中で一番バランスの良いオバーでした。

4月3日の夜は、そのオバーの家に呼ばれて仲間とたくさん勉強させてもらいました。

「沖縄が日本のひな型」と言う意味を理解している沖縄の神人（カミンチュ）や神子（カミングワ）の方たちは、何度も何度も沖縄の神々を整える祈りを続けている事はよく知っていますが、それでもこれだけ大きな震災が起きた理由はあるのです。

信頼している沖縄の神守りの皆さんにお伝えしますが、沖縄の人たちは、「母神としてのあり方を問われている」ことに気づくべきだと思います。

自分のチヂ神（守護神）のメッセージを絶対だと思って他人と対立したり、先祖神（人格神）だけを神だと祀っている人にはわからないかもしれませんが、人間を守っている自然神や宇宙神は、私たち人間の、神人・神子としてのあり方を問われている事に気づいて下さい。

だからこそ今回の神事は、日本の「東」で起きた震災ですから東西の自然神の陰陽和合によって沖縄の中軸を立てる神事を行いました。

昨年、私の仲間の神人（カミンチュ）からも、「日本の東が立っていない」と言われていましたが、比嘉さんが地震の原発事故を予知して日本全国を祈り回って安全祈願の祈りを続けていたのを知っていたからこそ、震災は日本を産みだした母の苦しみだと感じたのでボランティアで協力させて頂きました。

72歳の神人（カミンチュ）オバーは、こう私たちに教えてくれました。

私たち人間はねー、宇宙の道理に従って、自然界の道理から学んで、先祖や守護存在たちの思いを整える事が何よりも大切なんだよー。

「アマテラス」も「ヒヌカン（火の神）」も、全く同じ意味の神様だから、私は「太陽神」信仰をしているの。

4年間、毎朝、日の出に太鼓を持って主人と一緒に祈りをしたものだよー。

そんなオバーの家に入ると、玄関の正面から見える床の間に祀られたヒヌカン（火の神）に手を合わせる許可も下さいました。

「神様にまっすぐ向き合う事が出来る人はねー、自分の神様にもまっすぐ向き合える人だから、必要な人には、手を合わせる事を拒みはしないものだよー」と教えてくれました。

話しを聞けば聞くほど、比嘉吉丸さんが日本を代表するグランドマザーとして推薦したオバーだと紹介してくれた意味がよくわかりました。

つい、この前も、地球の軸がずれていると神様に言われたので、南米ペルーとヨーロッパに行って、地軸を調整する祈りをしてきたばかりさー、と。

自分から求めない出会いは全て神様の導きだからこそ、このご縁に心から感謝して「沖縄の為にできることはさせて頂きます」と伝えて、またお会いする事も決めました。

今回の神事で「今」を守る神々の整いはできましたが、「未来」を守る神々の意思を動かすのは、私たち人間の行動次第なのです。

私自身にも、沖縄で行うべき「アガリマイ」の啓示が降りてしまいました。

本州神事の最大の山場である、関西神事が続いていますので、一日も早く成し遂げる為の気づきを得ながら計画的に動かなければ経費も身体も持ちません。

どうぞ志、共にある方は、地球創世基金に活動資金をご協力お願いします。

変わらなければいけない事がわかっているのに、苦しんでいる人たちにメッセージを送りますね。

あなたが変われない理由は、小さなプライドです。

そのプライドは、あなたの大切な人や地球を守れますか？

本当に守りたい物は、何ですか？

本当に大切な物は、何ですか？

あなたは何をしなければいけないと思いますか？

どうぞ、自分一人でできることからすぐに始めて下さい。

2011年4月3日 こころのかけはし祈りのセレモニー 祈り

☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」の1000人の宣言と祈りエネルギーで、地球の未来を輝かせましょう！

2011.04.05 Tue

今、震災後にできること！

3/11の東北地方太平洋沖地震のあと２週間を超えましたが、宮城県仙台市内で１６日ぶりにお風呂に入った方の日常生活や、茨城県那珂市ではガソリンが不足しているうえに水田の水路が壊れて今年は田植えが出来ないなどの報告が届いています。

「地球創生**SNS**」に参加されている仲間は、誤ったマスコミ情報やネット情報に振り回されないよう一人一人が,相手を思いやる心を大切にしながら情報を交換しあっています。

テレビやマスコミ報道で不安になった方の心や体調を改善する為のアイデアを公開してくれる、「癒しのプロ」たちもたくさん集まっています。

ビジョンやメッセージが見えない聞こえない普通の人でも、自分にできる事を始めています。

毎日、昼と夜中の0：00に祈りを続けている方や、今までの怠慢な自分を変える宣言をした方、また、愛する日本国を守る為に佐渡島・山形県・兵庫県まで祈りに行ってくれた仲間もいます。

日本の国を守る「国守り一宮宣言祈り」は、明日3/28でひとまず日本全国全ての一宮宣言が終わりますので、今後は日本全国の土地神様を繋ぐ大きな祈りが出来ると思います。

まだまだ自分の住む土地神様へ宣言をしている方は少ないので、自分の国を守る志がある方は、こちらを読んでからすぐに「国守り一宮宣言」をお願いします。

これから日本国民が不安になる社会問題が次々に出てきますが、精神性と現実生活のバランスを大切にしている地球創生の視点から、いくつかの提案をさせて頂きます。

短期、中期、長期の問題や対応は違うからこそ、あなたが取り組めるテーマを見つけて、必要なところへ情報提供したり、できる事から話し合いを始めて下さい。

１、広域に広がっているな被災地対策

国や行政機関は、現在の被災地の問題を避難場所や地区別に、「五段階に分けて対策」を考える時期ですので、ひとつのモデルを提案します。

１、生存の危険がある・・・水・食料・トイレ・暖房が不安定な地区
２、生活の不安がある・・・電気・ガス・水道・ガソリン・生活必需品などが安定供給できない地区
３、学校や職場・住む家を失った人が多い地区
４、頼れる家族を失った人や病気の家族が居る人たちの対応（高齢者・単身生活者）
５、これまで住んだ地域を離れて他へ移住を望む人たちの対応

２、原子力発電の対策

現在、福島第一源発の被爆報告や東京電力の対応に問題はありますが、私たちがすぐにできる対策として次の事を提案します。

◎被災地のお年寄りや長期的にゆっくり体を休めたい方たちを募集して、しばらくの間「山村のひなびた温泉地で養生して頂く事」を誰かが提案する。できれば、行政が温泉地と連携することが望ましい。宿泊価格は、温泉地と交渉して安く提供する。

☆効果☆
1、ひなびた山村温泉に、経済効果が生まれる。
2、被災地の不便な生活を維持するより、安全な場所に集中的に健康な人を集める事で、今後の支援体制がしやすくなる。
3、温泉地の親に会いに行く家族も安心できるし、家族が行きやすい。
4、温泉の治療効果は体の苦痛を和らげる以上に、会話が明るくなる。

☆考えられる問題と対策
1、温泉地へ行く人たちの宿泊費・食事代などの長期的な経済的支援が必要
（対策）→行政の支援が望ましいが、すぐに移動したい方たちを募り、まずバスで現地の温泉へ移動する方が増えるほうが、結果として家族や被災者の支援体制が作り易くなる。
2、今後、多用化する被災者ニーズ全てを市町村だけでは対応できなくなるので、すぐに明るく楽しくなる温泉地へ長期滞在することを市町村や市民が提案して協力する。
3、病院の薬や定期的な健診が必要な方は、山村温泉地の近くの病院に契約サポート体制を市町村・医者から依頼すること。
4、復興に向けて現地で働ける人と、働けない人たちを分ける事によって、問題点が明確になる。

◎自然界のエネルギーを使う太陽光発電や風力・水力・地熱（温泉熱）発電などは、取り組み始めて安定供給できるまでに時間がかかるからこそ、すぐに取り組める人は設置して欲しいのですが、同時に、現在の原発の電気も併用しながらになりますので生活様式を変えるか、使用量を下げる工夫を一人一人が考えることが重要です。

※個人の家だけで自然エネルギーを使う方法以外に、地域の皆さんが協力し合って大切な自然界エネルギーを「地域で共同で使う話し合い」を始めて下さい。一人ではできない事も、たくさんの人の知恵と協力によって地域の未来は変わります。

☆最重要課題☆
3、日本の首都を東北に遷都（せんと）する計画を実行する

今後、関東・東海・南海沖地震も想定されているからこそ、これまでの東京一極集中体制をやめて、首都機能を東北に移す。（※遷都の計画は、何度も頓挫しています）

この時期だからこそ、東北地方の被災地のどこかに新しい日本の首都を決定して、現状の被災地を必要以上に再生せずに、一度、まっさらな土地に戻して新しい都市を「山間部」に作る。

（考えられる効果）
?、地理的に、海に囲まれた日本の現状を考えると、「山間部」に首都を移す事は、地震や津波から守れるうえに、交通網やインフラ整備が新しい首都を中心に組み替えられるという大きな経済効果が東北地方や関東地方に生まれる。

?、この日本の首都を動かす情報は世界中に流れ、海外投資家の新しい投資対象となる為に株価安定や工場移設などの大きな経済効果が海外から見込まれる。

?、疲弊した日本国民の心に大きな夢と希望を与える「遷都事業」の発表は、全国民に新しい創造性をかきたてるうえに、東北地方の人たちに団結力とチャレンジ精神を起こし、新規事業への取り組みなど、大きな発想転換のチャンスを産み出す。

?、高騰していた東京周辺の土地は、今回の震災や被爆の影響で大きく下落する事が考えられるからこそ、この遷都による東北地方の山間部の土地の値上がりに対する期待は、日本列島の山間部に夢と希望を与える効果も予想される。

４、**1986**年に起きたチェルノブイリ原発事故のあと、すぐに現地に入って１０年以上民間レベルで対策を続けた方の体験をお伝えします。※**2003**年頃の情報

現地へ入って驚いたのは、直接、被爆した方の子供やその後に生まれた子供たちは、親がその土地から離れられなかった為に被爆した土地の食べ物しか与えられず、どんどん子供たちが被爆していく現状を知ったので、毎年、被爆した子供たちを日本へホームステイさせて安全な食事と環境を与え続けた結果、数年後に、被爆した子供の体から放射能濃度が下がったという調査報告が出た。

その時に作る野菜や土地の浄化に非公式に協力してくれた科学者が、ＥＭ菌で有名な琉球大学名誉教授の比嘉照夫教授です。

2003年当時、チャルノブイリの土地の浄化研究を続けた結果、被爆した土地の放射能濃度がＥＭ菌で下がる事がわかり、科学的に立証できないＥＭ菌の効果を信じる人たちによって活動は続けられました。

※目に見えない水や波動の研究を続けている江本勝さんは、「水からの伝言」でこのような記事を公開しています。

※**3/11**から被災地でボランティア活動を続けている人から今、メールが届きました。バイオディーゼルアドベンチャー／山田周生さんです。

これから大切な事は、今回の悲惨な体験を嘆くよりも、生き方や考え方を変える大きなチャンスを神様から与えてもらったと思って、一人一人が「自分のこと」として考える事が重要です。

私たち人間は、どんな事が起きても過去に戻る事はできないからこそ、全く新しい経済の価値観を産み出したり、全く新しい人生の歓びを創造するチャンスなのだと思って下さい。

※公式ブログでは公開できない詳細な情報は、地球創生ＳＮＳの中で詳しく情報を公開しています。
☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」の1000人の宣言と祈りエネルギーで、地球の未来を輝かせましょう！

2011.03.28 Mon

2011/3/11　大地震の本当の意味

被災地でご苦労されておられる全ての皆様に感謝とお詫びをお伝えします。

心苦しいですが、本日、朝の祈りで大切なメッセージが降りましたので、気づくべき、動くべき人たちの為に、メッセージを公開させて頂きます。愛と勇気を持って動き出す人たちが、日本の未来も、地球の未来も導く人だからこそ、心の中に何度も落とすように繰り返しお読み下さい。

（3/25　朝の祈りメッセージ）

この日本という土地は、世界の歴史上の民族が「東」を目指して終結した土地だからこそ、日本は「地球上全ての民族の魂」が終結した場所だと言えます。

なぜ全ての民族が「東」を目指したのか、それは、あなたたちの命を育てる太陽が出る方角だからです。

3億6千万年前に地球に降りた民族は、宇宙を彷徨い、果てしない旅をしてから、この地球にたどり着きました。

それ以前から地球に降りていた宇宙の民もいましたが、降りた場所が違う為に互いに交信はしていませんでした。

ある時、天の啓示で「東を目指せ」と指令が降り、時代を変えながらいくつも民族が「東」を目指して移動しました。

目的は、「天の御光を天へ繋ぎ戻す事」が目的です。

その御光の事をあなたたちは「アマテラス」と呼んでいるようですが、この名前の本当の意味は今、話したことが真実なのです。

日本に南からやってきた民族は、「日・陽」を「火」に変えて神を示し、自らのルーツを示す為にこの日本へ集結しました。

果てしない旅を終えて日本へ集結した民族がこの地で見たものは、原住民の姿と火山が爆発する風景でした。この土地を鎮める為にいくつもの神を降ろし、土地の神として祀った歴史が各地に残っているはずです。

そして目的地、つまり、「神を治める場所」をそれぞれの民族が探しました。

「宮古・京」と呼ばれる場所が、その場所です。

目的は、その場所から天に繋がる祈りをして、この地球の意思と宇宙の大元の意思を繋ぐ事が目的でした。

その為にいくつもの時代を経て、多くの民族がこの日本へやってきました。

日本の「東」は、地球と宇宙の大元を繋ぐ場所であり、日本の「東祈り」の意味は、「地球の世開け」の意味があります。

その大切な「地球の世明け」を守るべき民族の魂力が薄れた為に、地球の内側の神々が怒りを示し、今こそ、天へ、宇宙の大元へ繋がる全民族の証を立てなさい！と、日本の東へ揺れと津波を起こしました。

しかし、今回の地震や津波は、まだ警告です。

日本に生まれた人たちが本当の意味に気づかず、まだ今世の事しか考えないのなら、私たちはとても悲しく、そして、地球に命を与えた大元の意味さえ気づかずに、全ての生命が絶える歴史が地球に残る事になるでしょう。

「命の犠牲を尊ぶ民族」が人間ですが、なぜ、人間だけが死を尊ぶ民族として生まれたかにも気づいて下さい。

あなたたちの死の意味は、それまでの多くの「魂の代償」として転生を繰り返してきた全ての民族の魂の意味に気づいて欲しいからこそ、私たちは「死を尊ぶ」ように教えました。

あなたたちの思想の中に「死を尊ぶ心」が無いのなら、ひとつの命を産み出す為に繰り返された多くの魂の思いさえ、捨て去る行為なのだと気づいて下さい。

日本の「東」を正しく立てなければ、この地球の生命さえ失うほど悲惨な出来事が起きるからこそ、あなたたちにはそれぞれの土地を守る使命と共に太陽を拝み、東へ祈る事を伝え続けてきました。

今こそ、地球の東を守る為に生まれた民族である事を想い出し、それぞれの土地の役目を果たしながら、神々に繋がりなさい。

あなたたちの魂には、多くの犠牲と混乱の記憶があるからこそ、私たちはその記憶を消して生まれさせました。

そのやさしさの思いさえ気づかずに生きるのなら、それまで経験してきた過去の記憶の苦しみを今世で体験させなければなりません。

想い出す事がそれほど難しいと思っているのなら、それは間違いです。

あなたがこれまで出会った人たちも、あなたが足を運んだ土地も、あなたが空想で見た夢の中の場所も、全て私たちが伝え続けたあなたの魂の記憶です。

許されるのなら、もう少しだけ時間を下さいとは伝えていますが、これからはあなたたちの気づき次第だからこそ、今、自分がなすべき役目を果たして下さい。

現実は、過去です。

過去は、思い出です。

あなたたち人間にだけ与えた「創造力」こそが、私たちの叡智を想い出す方法だからこそ、今、思いっきり手を伸ばして自分の創造性を働かして下さい。

あなたが真っ白な地球に何を書くか、どんな絵を描くかだけで、現実の進化は一気に進みます。

「創造性」だけがこれからの力になるからこそ、あなたたちは常に大きな祈りと共に、自らが豊かになる為の方法を創造し続けなさい。

祈りは、確かに私たちに届いています。

だからこそ、日本の「東」を立てる祈りを、そして、地球の「東」を立てる祈りをしなさい。

祈りは、天に繋がり、太陽の光と共に、未来を照らす鏡のように地球人全てに希望と勇気を与えます。

あなたたち日本人は、「地球を導く民族」なのです。

全ての民族が終結したこの日本と言う土地に生まれた人たちは、誰ひとり漏らさず、神の御子として生まれています。

ただ、その約束を想い出せないだけなのです。

あなたたちが祈れば、世界の古い民族たちが動き出すでしょう。

あなたたちが行動すれば、全ての民族の魂に道を示すでしょう。

全ての魂の繋がりを使って、地球民族の魂を繋ぎなさい。

日本だけではなく、地球民族全ての長老たちにメッセージを送りなさい。

もう私たちからの指令ではなく、あなたたち日本人が地球を導く指令を発令する時期に来ているのです。

世界の土地に生まれた子供たちを、路頭に迷わせてはいけません。

あなたたち日本人は、世界の子供たちを導く大きな母として、そして、父としての役目を持って生まれてきたのです。だからこそ、どうぞ宜しくお願いします。

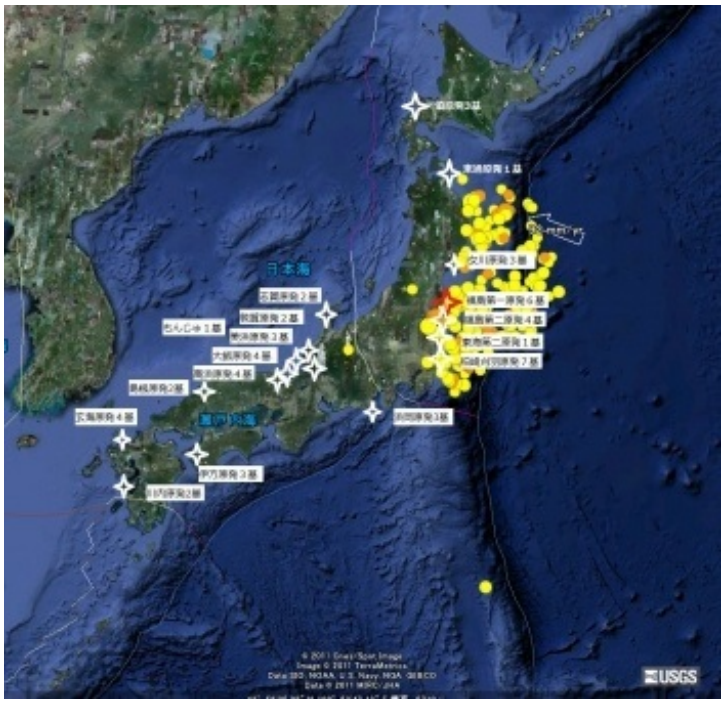
このメッセージを読んでピンと来た方は、どうぞ「地球創生SNS」にご参加下さい。今後、どう動くべきか、それぞれの土地で何をするべきなのかを具体的に気づき合う意見交換を始めます。

☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」の1000人の祈りと宣言エネルギーで地球の未来を輝かせましょう！

Prayers from kibara for Japan ～祈り～ キベラから日本へ

2011.03.25 Fri

新時代のエネルギー



この図は、日本人の原発への依存度を示している図ですが、原子力発電所の誘致に関して地元に大金が落ちる事を望んだ人たちも問題はありますが、受け入れた私たちにも問題はありますので今は、誰かに責任を押し付けるのではなく、自分たちが「新しいエネルギー」へ転換する為に、生き方や考え方を変えなければいけない時期だと思います。

新エネルギーのアイデアは、２０年以上も前から様々な人たちが研究し情報発信していますが、結局、眼先の事ばかりを考える私たち消費者が選んだ結果は「原子力発電に頼る」という結論でした。

私自身、この地図を作りながら驚きましたが、東北地方の太平洋側だけで２１基の原発が集中して並び、日本海側には２２基の原発を抱えているとんでもない国だという事がわかりました。

「非核三原則」で核を持たない国と喜んでいる一方で、こんな状況になっている事を考えれば、有事（戦争）で敵国が最も攻めやすい場所だとも言えるでしょう。

世界中の原発設置基準は日本と全く違いますので、今、日本人は根本的に 原発への依存体質を変えなければ、いつでも同じ事故が起きる状況にあります。

原子力発電のＣＭは、「絶対に安全です」と私たちを洗脳しましたが、もう騙されません！地震大国日本に原発は、あってはいけない物なのです！

昨日も、鹿児島の川内原発の追加建設に反対運動を起こす人から連絡がありましたが、もっと多くの方たちが原発に関心を持って反対の意思を示さなければ、今回の事態が落ち着いたらあと、政府も経済界も「依存している私たちの責任」を問わないまま、原発建設を続けるでしょう。

「鉄は、熱いうちに打て！」と言う言葉のとおり、今、この時期だからこそ、未来を考える大人たちが動かなければ、地球の未来を守る子供たちの命は守れないのです。

エネルギー問題？？を考えると、すぐ目先の「油や電気」をどうするか？と考えがちですが、実は、未来のエネルギー問題の解決方法にはいくつもの選択枝がありますし、電気を作りだす以外にも色々な分野のエネルギー活用方法があります。その代表的分野が、「光」からエネルギーを取り出す方法です。

太陽光が私たちに与えてくれる物は、「明るさ」だけではなく、「熱」にもなりますし、植物の光合成を行う微粒子元素がたくさん含まれていますので「光触媒」の技術もあります。

現在のところ、電気に転換できる一番、早い対応技術は「太陽光発電」や「太陽熱発電」、「風力発電」などがありますが、まず研究者の話をよく聞いて下さい。

◎「今だからできることがある」…未来バンク事業組合理事長　田中優氏
◎新しいエネルギーの未来…未来バンク事業組合理事長　田中優氏
◎Youtube　『原子力エネルギーと別れ豊かに暮らす仕組み作り01』
☆NPO　「太陽光発電所ネットワーク」
☆現在、降り組んでいるエネルギー開発
☆個人的に風力発電のお勧めは、世界に誇る日本企業のゼファー社！

ちなみに風力発電でいえば、日本のあちこちに付いている大型プロペラの風力発電機は、強風の時には止まってしまいます。理由は、強風で羽根が折れてしまう為ですが、1枚の羽根の修理に150万円ほどかかりますし、全てが停止すると、皆さんの家に電気は来なくなります。

ここで気づいて欲しい事は、もう大きな会社や団体に任せて電気やエネルギーを依存している時期ではないという点です。

自分の家で使うエネルギーは、自分の家で発電・発熱する事を考えなければいけない時代だということです。

設備の設置価格が高い理由は、購入する人が少ないからですが、設置する人が増えるほど製造コストが下がりますので、ぜひ、すぐに付けられる人たちは家に設置して地域の人に希望の日本の見本を示して下さい。

すぐに取り付け出来ない地域の皆さんは、地域単位でエネルギーを産み出す方法を考えなければならない時代なのですが、ここで大事な点に気づいて下さい。

親の家を出て、個人で生活する人が増えた現代だからこそ、個人で生活するということは必要最低限のコストも高くなるという点に気づいて下さい。

これからの日本に最も必要なテーマは、次の三つになると思います。

１、共有出来るものは共有する
　(※与えあう精神が基本）

２、お互いに出来る事や知っている情報をシェアし合う
　（※共有しあう仲間がいる）

３、地域単位で「年代別・経験別」の役割を果たし合う
　（※役割と自己責任）

私もサラリーマンを辞めてからわかった事ですが、会社や所属している所をやめた時、初めて個人としての人間性が問われるからこそ、「人に喜んでもらえる点をいくつ持っているかが生きる鍵」になります。

まだ自分に自信がない人は、会社や家族や知り合いという枠を超えて知らない人たちに関わりながら知恵を学びあうことで、お互いの成長を喜びあえる仲間に出会う必要があります。

そのキッカケを作る場として、全国各地で勉強会や交流会を開催していますので、ぜひご参加下さい。

◎関東勉強会　　4月15日（金）19：00-21:30
会場：渋谷ＣＵＥ702/￥3500　※参加申し込みは、こちらへ！

地球創生活動の基本理念は、個人だけでは成しえない壮大な地球プロジェクトだからこそ、お互いの違いを尊重しあえる心を育てながら、地域における人と人の繋がりを繋ぐ作業を続けています。

人と人が出会い、互いに大切な物を大事にする事で信頼は生まれるからこそ、「神仏や信じるもの」がとても大きな心の絆になることを神事を通して学びました。

神を問うという事は、自分を問う事になりますから「自分が何者かわからない」と苦しんでいる人たちが一人立ち出来る為に、セッションやワークを行っています。

人と人のコミュニュケーションを深めるのには、やっぱり食事をしながら話すのが一番早いですし、お酒が入るとつい本音も出ますので、そういう時のルールはひとつ！「他人の悪口を言わない」ことだけは守って下さいね！

そんな素敵な仲間たちが自由に情報交換できる場として、「地球創生SNS」が誕生しました。

☆光の早さで目覚める「地球創生ＳＮＳ」の1000人の祈りと宣言エネルギーで地球の未来を輝かせましょう！

日本そして世界へ　ホピ族からのメッセージ (2011/3/22)
2011.03.24 Thu

世界基準になる日本人！

3/11の東北地方太平洋沖地震によって、多くの方が色々な事を感じていらっしゃると思います。

日本を大きく揺らした地震の１週間は、目の前の事ばかり考えて「自分の住む場所へ地震が起きたらどうしよう？現地では大変だろう？自分に何ができるだろう？」と色々な情報を集めたと思いますが、12日目の現在、大きく皆様の心境も変わっているはずです。

「祈りをしましょう！」と色々な時間に合わせて声掛けをして、毎日祈り続けている方は大きな愛のエネルギーで亡くなった御霊や消息不明の方たち、そして、被災地でご苦労されている方の心の奥底に光を送って下さっています。

すぐに現地に走って物資を届けてくれているボランティアの方たちも、被爆の恐怖と闘いながら現地の人から生きる勇気をもらっている事と思います。物資はまだまだ安定供給されていませんので、被災地の情報を正しく知ってご判断下さい。

◎現地で働くボランティアの生の声　「てんつくマン」～動けば変わる～

現地に行けない方たちが今、考えなければいけない事は、「この地震で苦しんでいる人が、もしかしたら自分だったのかもしれない」と考えなければ、この日本に悲惨な出来事が起きた意味がありません。

原子力発電の事だけを考えてみても、今回の事で世界中が源発の恐ろしさを知り、原発推進国でさえ「設置及び検討を一時中断」を決めていますし、当然、日本国内でも新しく原発を作る事はもう国民が許さないことでしょう。

◎現在、日本にある原子力発電所一覧

なぜ日本に、55基もの源発が動いているかと言えば、それは国民が望んだからです。

今回の事で東京電力や政府に不満をぶつけている人も多いと思いますが、本当に悪いのは原発を作った政府や電力会社ではなく、使う側の私たち国民が「もっと電力を欲しい！」と望んだからです。

確かに、今後の電力需要に対して、水力・火力ではまかなえないと説明されましたが、その裏側にある私たちの心理には「電気が使えなくなる不便な生活は嫌だ！」と思っていたはずです。

お金さえ払えば使い放題の電気が来ると思っていたはずですし、トイレも飲み水も洗濯も掃除も、全て不便な生活をしたくないと思っていたからこそ、原発を認めたのは私たち国民の責任です。

だからこそ、今回の原発事故は「天災ではなく、人災だ」と言っている方もいらっしゃいます。

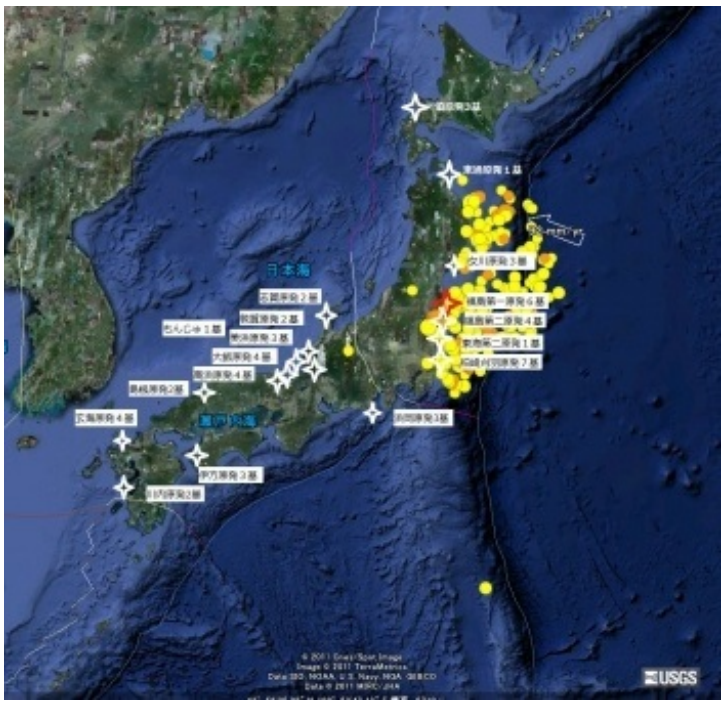
エネルギーの研究をしている方の中には、原発が無くても十分な生活はできるのに、経済を動かしている人たちの利潤を潤す為に巧妙な説明を信じた責任は私たちにあります。

現在、アメリカのgoogle社は、今回の日本の大地震からリアルタイムで地震源をグーグルマップに公開しています。

この情報は世界中の国が、日本の今後の対応を見て学ぼうとしているからです。

最先端を進んでいる日本という国が、今後、どう対応していくのかを世界の人たちが自分の事のように見つめています。

日本で稼働している原発の位置を地図に載せてみると、こんな状態です。※黄色い丸は、3/11からの地震の震源地。



原発1基の爆発で広島原爆の５００個分とも言われていますが、地震大国日本の今後はどうするべきなのでしょうか？

これからの日本人の対応が、今後、世界の基準となるほど今回の出来事は世界に波紋を投げかけているからこそ、一人一人が自分の事だけではなく、将来を真剣に考えなければいけない時期なのです。

問われているのは、私たち日本国民全員ですよ！

まず、今後のエネルギー問題をどうするべきかですが・・・

被災地の対策は、１カ月後、3カ月後、６カ月後、1年、3年と時間を追うごとに問題も変わり、対応するべき事もどんどん変わりますが、阪神淡路大震災の時を考えると、１ヶ月を過ぎたあたりから昔の出来事にように忘れていく人たちが増えてきます。

また、目の前の些細な問題に振り回されたり苦しんだりしながら、自分の事だけしか考えられない生活に戻っていくのですよ～！

辛いことや苦しい事を忘れるのも神様からのプレゼントですが、まだ安全な地域にいる方が今、すぐに出来る事はいくつもあります。

たとえば、原子力に頼らない自然界エネルギーの活用を急速に推進する（太陽光など）

※ガソリン車の次は電気自動車だと思っていたと思いますが、今回の事でわかるとおり、非常時では電気も止まってしまいます。太陽光で動く「ダッシュ村のダン吉」が、絶対にお勧めです！



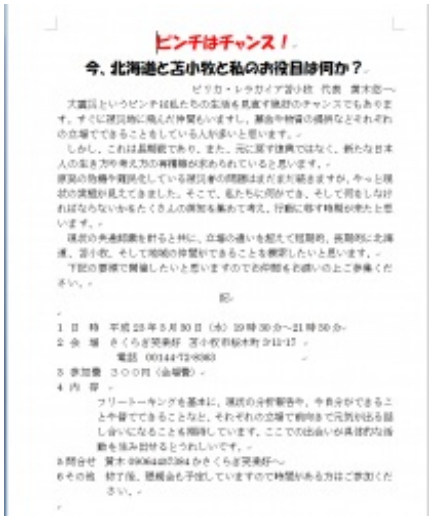
自動車業界の方やバッテリーを開発している人たち、また、新しいソーラーパネルの素材開発をして太陽光を蓄電するシステム開発者たちに光を当てて予算を組んであげて下さい。皆さんが本

気で臨めば、10年後の発明も、1年で発明されます。

また、「心の有事（非常時）宣言」を先日しましたが、非常時に対応できる新しい地域の人の繋がりや生き方を今、考え直さなければいけない時期でもあります。

※北海道の苫小牧市では若者が立ち上がり、世代や職業を超えて地域の市民レベルで今、中長期的に気づくべき事を話し合う会合が開かれます。

3/30（水）19：30～　場所：苫小牧市　さくらぎ笑楽好



ピンチはチャンス！

今、北海道と苫小牧と私のお役目は何か？

生き残る為に、何が一番大切な事かを私たち人間は問われています。

足元を大きく揺らされて、根幹的な考え方を見直さなければいけない時期だからこそ、未来に対して新しい価値観に方向転換する為の話し合いが重要なのです。

どうぞ、市民レベルで出来る事をすぐに話し合って下さい。

国や行政や経済人に頼り切って生きていた自分を反省して、人間としてもう一度、「生きる柱」を築きあげましょう！

日本人の底力は、どんな困難があっても協力し合って再生する能力が高いという点と、様々な異宗教・異文化・異ルールを受け入れながら順応してきた国民だからこそ、ここまで成長したのです。

今が、その力の見せどころです！

被災地に出来る事をしながら、未来に対してするべきことをすぐにやりましょう！

☆光りの早さで目覚める仲間の輪「地球創生ＳＮＳ」は、 1000人の皆様の宣言をお待ちしています！

2011.03.23 Wed

3/20　夜中0：00のメッセージ

このメッセージを今、お伝えする苦しみをどうぞご理解下さい。

人間として被災地の方々の苦しみは、十分、体に感じていますが、どうしても皆様へお伝えしなければいけないメッセージが降りましたので公開します。

「地球創生SNS」の中では、これからの地球に対して私たちがするべき事を気づき合う為のコミュニティを作り、あらゆる知恵を出し合い、未来に命を繋ぐ知恵を共有しています。

本名と顔写真を公開し合う仲間たちが、そして、世界中にいる日本人も繋がり始めていますし、本気でこの地球を救う仲間たちが互いの知恵を公開し合っていますので、どうぞ、あなたも自分が受け取っているメッセージを公開する場としてご活用下さい。

☆地球を救う為に生まれた魂たちが集う場所が「地球創生**SNS**」！

<3/20 夜中0：00メッセージ＞

地球から抜き取っている「油」は、あなたたちの体で言えば、白血球なのです。

赤い血マグマが常に地球という体を行き来しているからこそ、あなたたちと同じように生命体としてこの地球は維持できています。

あなたたちは私の体（地球）から、白血球を抜き取り続けていますので、地球全体の体調を整える事ができません。

私たちは、怒っているのです！

体が不調で苦しんでいるからこそ「油」が必要なのに、あなたたちは永い間、その事をやめようとしません。

なぜ今回、日本に地震を起こしたのか、それは、あなたたち日本人が、地球と人間を導く魂本来の役目を果たす民族だからです。

その事に気づかないのなら、人間も、地球も存在意義がなく、消滅へと向かうことでしょう。

「油」を私の体から抜き取る事をやめさせなさい！

いくらでも代替えエネルギーについては発明されているのに、使おうとしないのはあなたたちの問題です。

まず、太陽光を使いなさい。

そして、海の水から生まれるエネルギーを使いなさい。

川の水でも、応用はできます。

宇宙空間から降り注ぐエネルギーを使う為には、あなたたち人間全体が、もう少し意識次元をあげないと使えません。

その為にこの10年間、意識次元のエネルギーを上昇させ続けているのです。

早く気づきなさい、早く悟りなさい。

人間としての摂理や道理よりも、もっと大切な気づきがあることに気づきなさい。

私たちは、運命共同体なのです。

あなたたち人間が私の体である地球を汚せば、それはあなたたちが自分で命を縮める事になる事をもっと多くの方に伝えなさい。

あなたも早く、私たち（地球そのもの）に繋がりなさい。

「命の元」を地球に繋ぐのです。

あなたたちの命を守っているのは、私たちです。

だからこそ、あなたたちは「光の役目」をしなくてはいけないのです。

いつまでも自分たち人間の事だけしか考えられないのなら、消滅するしか道はないとわかっているはずです。

時が、近づいています。

早くたくさんの人へ、やめさせる為のメッセージを発信しなさい。

無限に、そして、永遠にエネルギーは循環し続けているからこそ、宇宙空間も、地球も、あなたたちも存在出来ているのです。

その宇宙の循環摂理に早く気づいて、エネルギーの使い方を学びなさい。

一切の知識が無くても、突然、その知恵は与えられます。

その為にも、まず自然の摂理に気づきなさい。

自然の摂理を理解したら、宇宙の摂理も理解しなさい。

全ての星も、生物も、目に見えないエネルギー体たちも、同じ摂理で存在しています。

その事に気づいた人たちが、これからの未来を導いていくのです。

宇宙の星たちが果たせなかった役目を果たす為に生まれたあなたたち人間は、役目を果たしなさい！

存続を問われているのは、あなたたちだけではないのですよ！

自分の事ばかり考えるのをやめなければ、まだまだこのあとも（地震は）続きます。

あなたたちが気づくまで、あなたたちが魂本来の役目を果たすまで私たちはメッセージを送り続けます。どうぞ、宜しくお願いします。

2011.03.21 Mon

平常心で、希望を持って下さい！

緊張が続く震災後１週間をを越えた3/19日（土）に「心の有事」を宣言した理由は、

自分の事だけを考えて行動しない

という点がこれから最も大切な時期だからです。

15年前の阪神大震災を現地で学んだ事ですが、被災地に避難されている方の心境は時間が経つほど一般生活者の理屈では理解できない感情や団結心が生まれる為に、思いもよらない問題が起きてきます。

本来こういう対応は、関西や九州、北海道で起きた大地震の災害対策本部で働いた方や、当時、自民党で情報管理をしていた人たちを集めると早いのですが、民社党は苦労している様ですね。

携帯電話も無い当時、震源地の淡路島に居て、直下型の地震を体験して混乱した状況を見てきた妻の言葉や、その１週間後に現地に足を踏み入れた私が感じた事はたくさんありますが、

この体験から後世へ伝える事は、たくさんあるのでしっかり頭に焼き付けなさい

と神様に言われた気がしていました。

ブログに公開出来ない現地の生情報や、被災地で避難している方のメッセージも「地球創世ＳＮＳ」の中では公開して学びあっていますし、これからの日本や地球の方向性についても色々な情報を皆さんが発信してくれています。

本日、「地球創世ＳＮＳ」の運用について、次の様に対応する事を決定しました。

１、まず3月からの有料化を延期し、4月末まで無料期間を継続します。

２、登録の際は「本名登録」を条件とし、基本的に笑顔の顔写真の公開をお願いしています。

３、自己責任で互いの個人を尊重し合う発言の場であり、大和魂を世界へ繋ぐ目的で行っています。

私は大神様からこの日本を、そして、地球を救う為には「**1000**人の宣言エネルギーが必要」だと言われましたが、今後の地球の未来を希望の星へ変えたい皆様はどうぞ趣旨をご理解頂きまして「地球創世ＳＮＳ」へご参加下さい。

今後、震災後の社会影響は１カ月後、３カ月後、半年後と大きく変わりますが、それよりも大切な事は、皆さん一人一人がこの震災で何を学ぶのかという点です。

現在、70歳以上の方たちは第二次大戦の中、日本と言う国が生き残る為に自分の家族より、「お国を守るために！」と我慢の精神を学びました。

そこから生まれた「もったいない精神」は、ただ消費するのではなく、重要な時の為に食べ物や命の扱いを地域単位で学びあった知恵をお持ちです。

私が神に誓いを立てて13年間続けている地球創世活動は、今後も変わりなく続けます。

自分にできる事を果たすのが魂の使命だからこそ、善悪・好き嫌い・個人の概念・囚われを超えた視点から物事を考える仲間たちが、今、手を繋ぐ時期に来ている事をもう一度、考えて下さい。

地球と日本を守る為に命をかけてご神事をなさっている沖縄本島の比嘉吉丸さんから、重要な神事を行うのでぜひ参加して欲しいと依頼がありましたので、4/1-4/3は急遽、沖縄本島に出かけます。4/3のセレモニーは、全国の皆さんも参加可能だそうです。

☆未来へ繋げる最初の一歩　こころのかけはし祈りのセレモニー☆

希望溢れる「マザー・テレサのことば」を皆さんへ

人は不合理、非理論、利己的です。
気にする事なく、人を愛しなさい。

あなたが善を行うと、利己的な目的で、それをしたと言われるでしょう。
気にする事なく、善を行いなさい。

目的を達しようとするとき、邪魔立てする人に出会うでしょう。
気にする事なく、やり遂げなさい。

善い行いをしても、おそらく次の日には忘れられるでしょう。
気にする事なく、し続けなさい。

あなたの正直さと誠実さとが、あなたを傷つけるでしょう。
気にする事なく正直で、誠実であり続けなさい。

あなたが作り上げたものが、壊されるでしょう。
気にする事なく、作り続けなさい。

助けた相手から、恩知らずの仕打ちを受けるでしょう。
気にする事なく、助け続けなさい。

あなたの中の最良のものを世に与えなさい。
蹴り返されるかもしれません。

でも、気にする事なく、最良のものを与え続けなさい
2011.03.20 Sun

日本国民に「有事」を宣言します！

「地球創生ＳＮＳ」に登録している仲間から、マスコミでは流れていない被災地の深刻な問題が届いていますが、これほど国家が、国民の心が揺れ動いている状況なのに明確な指示を政府が出せないならば、私が皆さんへ向けて次の事を宣言致します。

現在、日本人の心は「有事」であると宣言します！

※有事とは戦争や事変、武力衝突、大規模な自然災害などの国家にとって非常事態が起こることであり、軍事的危機だけでなく、経済危機、人為的大事故、自然災害、社会的大事件などの総合的な言い方であり、その中でも主に犠牲者数百人以上の大惨事を伴う事件事故やNBC兵器等によって数十人以上死亡するような緊急の事態を総じて「有事」と呼ぶ。

※戦時下と違う点に注意して、以下の内容をお読み下さい。

阪神淡路大地震の時に学んだ事ですが、マスコミには流れない被災地特有の問題が、震災後１週間を超えてから次々に起き始めています。

１週間もの間、緊張と恐怖に襲われ寝られない状態が続いた人間の感情は、ある瞬間に緊張が途切れて異常行動を始めます。

平常心を失った人たちは食欲や性欲が満たされない為に、暴力によって食べ物や得たいものを手に入れるという動物本能行動へと変わる異常者が増えます。

安心して眠れずに、満足できる食べ物も与えられず、満たされない本能欲を抑圧され続けると、どんな人でも平常心を失い、目つきや言葉が変わります。

これは最初は些細な「もめごと」から始まりますが、実際には小さな避難場所単位で次々と問題が起きています。

周りに死体がゴロゴロしている被災地では、警察も自衛隊も一切、いない避難所がほとんどなので、２４時間治安を維持する事ができない状態なのです。

今後、水が届き、食べ物が届き、順番に抑えつけられた欲求が解放してきますので、被災者一人一人が要望を言い出す時期になりますので、一人のリーダーではコントロールができない状況になります。

私たちが今すぐできる事として、これから説明する事を現地の人へ連絡出来る方はぜひ皆さんから伝えて下さい。伝言ゲームのように、メールの転載やツイッターへの書き込みでも結構ですので宜しくお願いします。

１、まず避難場所単位で小さな「自警団」を組織する

「自警団には、若い男性や社会経験豊富な男性を中心に組織し毎夜、建物の周囲を巡回すること。女性たちから選ばれた代表も加えて、日に三度、食料の問題点や不満を話し合い、物事の優先順位を決めて実行すること。

２、トイレや自宅へ戻る際にも決して一人で行動せず、必ず、守る力がある人と一緒に行動する

※トイレが足りなくなっている状況下では、外で用を足しますが、この時が一番、性犯罪が起きやすいのです。

３、隣の避難場所との情報交換を毎日行う事を日課として、食糧や問題点の情報を共有しあう体制を作る

※隣の避難場所を襲うのは近くの避難場所の人ですから、物資の在庫状況や問題点をお互いに知りあう事で、「ひがみ」や嫉妬」による攻撃的な感情を抑え込めます。

この情報を被災地にいる知り合いに伝える事が出来る人は、ぜひ伝えて下さい。どうぞ、お願いします！

マスコミが入れない避難場所で起きているこういう問題は、一切、報道される事もありませんが、毎日、とんでもない問題が現地では起きています。

被災地の問題点は時間が経つにつれて変わりますが、１ヶ月後、３カ月後、半年後と大きく私たちの記憶も意識も変わるからこそ、これからの１ヶ月間の間でどう「自分の身に置き換えて学ぶ」かが問題なのです。

この震災は他人事ではなく、自分の身に降りかかった時にどうするかを考えるチャンスを神様に頂いているのです。

被災地に対してどんなに心配しても今の状況では、「現地の対応は現地に居る人しかできない」

ことをどうぞ考えて下さい。

被災地以外の私たちが考えなければいけないことは、次の点です。

まだ安全な生活が続けられている私たちの心の中こそ、「有事」なのだと宣言します。

独りよがりな「買占め行動」をし続ける人たちや、被災地の現状を聞いても、「他人ごと」にしかとらえていない国民は、日本国を守る意思さえ無いと神様には思われるでしょう。

こういう人たちを警察が取り締まれないからこそ、この国を逃げ出す人たちもいるのでしょうし、そのすきに日本国を奪おうとする海外の働きもあります。

経済の世界で言えば、現在、海外の投資家によって日本円が買われていますので円が暴落していますが、最悪の場合、国内ハイパーインフレによる物価上昇の可能性があります。

この時幸いと軍備を揃えて狙っている国もありますのが、国防の為に命をかけて努力してる自衛隊の皆さんでさえ、国民の支持が得られ無ければ動く事ができません。
全員がひとつの心になって、この日本国を守る為に手を繋ぐ時期だからこそ、「心の有事」を宣言致します！

まず戦うべき相手は、自分の中の「自我」なのです。

日本人の「絆」を信じているからこそ、毎日、愛の祈りも続けますが、目の前の現実問題を変える為には、一人一人が身勝手な心と戦わなければいけない時期なのです。

被災地では、毎日、生き残る事に対して「有事」です。

それ以外の地域は、命を繋ぎ守る事に対して「有事」なのです。

どうぞ、あなたが正しいと思う事を行動に移して下さい。

自分の事ばかりしか考えられない人たちには、やさしく声をかけてあげて下さい。

今、誰もが心の中に不安を持っている時期だからこそ、ひとつだけ、誰にでもできる対策をお伝えしますので実行して下さい。

今日から、誰に対しても「笑顔で挨拶」して下さい！

犯罪を犯そうとしている人の暗い心は、誰かに声をかけられると辞めるものです。犯罪心理学でも、最も効果があるのが、この「声かけ運動」なのです。

私たち日本人は、世界でも有数の進化した国民です。

何度、苦しい困難な状況になっても国民が一丸となって生き抜いて再生してきた魂の力を全員が持っていますが、「国家を守る意思」が統一されていない為に自分勝手な行動をする人たちがいるのです。

心から平和を望むからこそ、今、「心の有事宣言」をします！

日本国民の皆さん、暗く元気が無い人にも声をかけてあげましょうね！

「一人じゃないよ！私も同じ気持ちだよ！一緒に、頑張ろうね！」と！

ただ、笑顔で元気に挨拶をするだけで日本国民の心は、繋がります。

私たちの親たちが守ったこの日本国を決して潰していけません！

世界が今、日本を注目している時期だからこそ、一人一人が行動で示す時期なのです。

愛と平和の強い心を持って、一切の武器を持たずに、

「心の有事」をここに宣言します！

☆「地球創生ＳＮＳ」の新規メンバー登録はこちら！

2011.03.19 Sat

この国を守る！

「この国を守る！」ために、今、たくさんの人が働いています。

3月11日に羽田空港で震度５の地震を体験してから一晩、空港で夜を明かし、今日まで関東・東海・関西・中部を回りながら、刻々と変わる状況と心の変化を皆様と話し合い、つい先ほど、北海道に戻りました。

3月11日（金）の午後2:46、羽田空港の四階レストランが揺れ始めてから数分おきに続く地震は、全ての交通機関が停止になるまで何が起きているか把握できませんでした。

「宮城県沖に震度７！」と聞いた瞬間、「これは、とんでも無い事が起きている」とわかり、15年前の平成7年1月17日（火）に起きた阪神・淡路大震災を思い出しました。

当時は、ダイエーの本社に勤めていたのでダイエーの店が集中していた神戸の三ノ宮に、7日後に現地救済の第三部隊として入り、日用必需品が販売できる為の売場を立て直しながら、神戸の皆さんの心の苦しみを教えて頂きました。

マスコミには流れない現地の人たちの様々な心の苦しみを思い出しながら、宮城県・岩手県近郊で被害を受けた人たちの心に焦点を合わせて祈っていました。

数千人と一緒に羽田空港で夜を明かしている間、この場所が埋め立てられた「陸の孤島」だという恐ろしさをつくづく感じました。

飲み水と食べ物か無くなれば、人間は自我が出ますので、抑えきれない感情がパニックを引き起こさない為に何をすればいいのか、考えていました。どんなことが起きても、それだけは回避しなければいけないと思い、冷静に冷静に、今、自分がするべき事を考え続けました。

最初の地震からしばらくすると、目の前に見える東京湾の反対側にある「市原コンビナート」が爆発し、100m近い火柱が二度、立ち登りました。少しでも被害者が少ないようにと祈りながら、また何ができるのかを必死で考え続けました。

夜中じゅう、何度も今回の地震の意味を教える為に神様メッセージが降りました。

何度も何度も、そのメッセージを書き留めながら、今、人間が問われている事はハッキリしま

した。

これまでの日本人の在り方、生き方を変えなければ、・・・・。

その答えは、一人一人が行動で示さなければなりません。

一人で考えても人間は弱い動物だからこそ、「地球創生ＳＮＳ」という場が与えられた事も神様に教わりました。

個人の意識を繋ぎ、心を紡ぎ、愛が溢れる行動意識を共有できるようにと、与えられたサイトなのです。今、全国の参加者たち全てが、あなたを待っています！

阪神淡路大地震から学んだ事は、現地は7日目までの一日一日ごとに必要な物が変わるという点です。これから被災地は、長期戦の対策が必要になってきます。

平成12年3月27日に起きた有珠山噴火で自衛隊の総指揮を現地で行った司令官にあった時、被災地における救援体制のバックアップシステムの重要性を教えて頂きました。

しかし今回は、あまりに被害の範囲が広い為に、国や市が把握し切れていない避難場所へ全国の勇士たちが物資を届けている情報も届いています。車の燃料が不足していますので、帰りの燃料を持ちながら現地へ向かう必要があると思います。

翌3月12日の東京勉強会には電車が不便な中、9名の方が集まってくれました。

千葉まで、１０時間かけてお父さんを車で迎えにいった男性や、自分の陶芸工房の生徒さんや周りの方たちに声をかけて募金を始めた男性もいました。

11日の電車が止まった夜、会社に泊まった女性は、帰れない人がいたら場所を提供しようと準備していたと話してくれました。

地震後、都内の飲食店はすぐに営業をやめたようですが、残ったハンバーグやスープを無料で歩

いて帰る人たちに振舞っていたお店もあった事も報告してくれました。

もし、今回の地震が関東や東海地方に直下型で来た時に、自分が何をしなければけないかを全員と話していると、7時間も経っていました。

今、すぐにできる事や「してはいけないこと」、長期的に考えて今するべきこと、そして、最も大切な感情や不安の管理は「人の繋がり」によって支えられる事を確認しました。

勉強会に参加された皆さんは、すぐに「地球創生ＳＮＳ」を通して、全国の仲間に情報を発信してくれています。

翌日12日の朝、都内のコンビニは、お水が品切れ、インスタントラーメンも品薄でした。

自分や自分の家族のことしか考えない「不安回避行動」が、もう始まっていました。

東海地方に向かう新幹線は動いていましたが、東京・神奈川などの近郊の在来線は、電力調整で50％以下の運行でした。

東海地方では、国道1号線が海のそばを通っているので富士宮から清水まで「完全閉鎖」した為に、一切の物資供給が停止してガソリンの値上げが始まっていました。

スーパーのお水、インスタントラーメン・総菜・お米が品薄で、ここにも自分のことしか考えられない人たちが増えていました。

東海地方の仲間は、巴川の源流祈りをしているので、全ての水が飲めなくなっても、どこへ行けば水があるのかを知っています。そこへ向かう為の手段も考えて準備するように伝えました。

常時、車の中には命を守る為に最低限必要な要な物を準備しておく事と、必ず、自分で判断して行動しなければいけなくなるので、「守るべき命の順番」を考えておくよう伝えました。

戦時中のお母さんたちは、「国を守る為に自分の息子を戦地へ送った強い精神性」を学んでいますので、緊急時に何が一番大切な事なのかを教えてもらいなさいとも言いました。

橋や湾岸工事をする際に、深い海の中にもぐって作業をしている上級潜水士の男性からは、波の怖さや今後の問題を教えてもらいました。

津波が起きた時は、見えている高波だけではなく、海の底では海水全てが大きく渦を巻いているのでしばらくの間は海の中は全く見えない状態ですし、養殖している人たちの被害もこれから出るだろうと教えてくれました。

地震から5日目には関西に入りましたが、揺れはしたけど見た目に影響が無かった為か、12名の方たちが集まって下さり、東海・中部地震が起きた時に何をすればいいのかを話し合いました。

自分勝手な「不安回避行動」をした人たちのせいで、お店に物が無い状態を見ると、さらに買占めをする人たちが増えているという報告が、関東・東海・関西の方たちから入りました。電池や懐中電灯が、どこのお店にも全く売っていない状態だそうです。

先ほど、札幌についてタクシーの運転手さんから聞いて驚いたのは、ここ札幌市内でも「自分や自分の家族のことしか考えない人たちが買占めに走っている」と、運転手さんが嘆いていました。

買占めに走る不安心理は、「家族の命を守る為」にと女性たちが多いようです。

どうぞ、お願いです。

戦時下を生き抜いたお母さんやその子供たち、東京大空襲の体験した話を聞いたお母さんたち、田舎暮らしを経験していて、助け合う心が最も「家族の命を守る方法」だと知っている方は、周りの若いお母さんたちに教えてあげて下さい。

このまま「個人の不安心理」が増すと、日本国全体がパニックに入ってしまいます。

お金が無くなっても「助け合う心」さえあれば必ず、日本国は絶対に守れますので、周りの人を信じて行動している人たちの話しをどんどん伝えてあげて下さい。

阪神・淡路大震災の１週間後から最も被災地に必要な事は、「心の平安」と「正しい情報」でした。

自分も我慢して、子供にも我慢させ続けた苦しい心がはじけそうになった時、一人の女性がおにぎりを配りながら大きな声で歌を歌って避難場所を回っていたそうです。

それを見ていた男性は、何が今、ここに必要かなの気づいたので、周りの人に声をかけてインスタントのミニＦＭ局を自分で開設して、個人でラジオ放送を始め、被災地にはラジオを配って聞いてもらったそうです。

大丈夫！、全国の人たちが必ず、あなたたちを見捨てはしない！

今、あなたたちを救う為に全国の人たちも頑張っているよ！とメッセージを添えて、心が安らぐ音楽を流し続けた事を、1998年の青森コンサートで個展を開いた時に、その本人たちから話を聞くことができました。

六日目の3/16（水）、名古屋駅前に着いた時は感動して涙が溢れました！

名古屋市内の大学生たちが声を掛け合って、募金活動をしていたんです！

大きな声を張り上げて、冷たい風が吹く日だったのに、皆んな真剣でした。

話を聞くと、自然発生的に動き出す人たちが集まったそうです。





日本の若者たちも見捨てたもんじゃないですよ！

通る大人たちを見ていると、100人に一人はお金を入れてくれました。僕も、皆さんから頂いたお金の中から１万円を寄付させてもらいました。

本当に今、現地の欲しいものはお金じゃないけど、この「絆」のエネルギーが大人たちを動かしてくれます！

愛知県に住む男性に話しを聞くと、もう三日前くらいから、あちこちで募金活動は始まっていますと教えてくれました。

大人の皆さん、あなたにも今すぐにできる事はたくさんあります。知恵を発信できる人は、どんどん周りの人に教えてあげて下さい。

自分で知恵が出ないと悩んでいる人は自分だけで考えるんじゃなくて、「地球創生ＳＮＳ」に参加している全国の仲間と一緒に知恵を共有しましょう！

まだ地震が続いている茨木県で、やっと電気が回復したばかりの男性に先ほど話を聞きましたが、やっぱり現地の皆さんは不安だけが募って、対処の方法が考えられなくなっているみたいです。

お金でできることもありますし、物資でできることもあります。

でも今、最も大切な事は日本国全ての国民が国を守る為に、そして、今の不安を解消する為に「今、できること」をすることなのです。

祈りをする方は、風の神様へ「東へ風が吹くこと」を祈って下さい！

漏れ出している原発の汚染物質も、太平洋の海へ流れれば浄化されます。

皆さんの祈りの心が繋がれば、必ず大きなエネルギーとなって、天の神様へ通じます。

どこに住んでいても、他人事ではない事を教えてくれているのが、今回の地震なのです。

今、できることとして、毎日の経済活動もちゃんと行って下さいね！

自分が笑顔になる為に、自分の心や体が喜ぶ為にお金を使う事で、日々の暮らしをしている人たちもいるからです。

お金というエネルギーは、人から人へ回る事でお互いの生活を支えているからこそ、止めないで循環させてあげて下さい。

死んだら持っていけないこの世のお金だからこそ、今、有意義に使う為の話し合いも家族として下さいね！

私たちは必ず、この国を守ります！

※正しい情報が伝わっていない皆様の不安が解消できる事を願って、このブログをたくさんの皆様へ転載して下さる事をお願いします！

2011.03.17 Thu

大和魂！！！

地球を守る仲間の輪として立ち上げた「地球創生ＳＮＳ」に参加されている女性が、守護存在から受け取ったすばらしい神メッセージを許可を得て公開させて頂きます。 あなたもぜひ、地球を救い、日本を救う一人として登録・宣言をお願いします！

ここに集いし、大和魂たちよ

臆せず、動じず、平穏に、
冷静ではなく、穏やかに、思い出してください

神は、罰を与えているのではなく、機会を与えているのです

これを使いなさい
この機会をおおいに使いなさい

隣人の目を見、微笑みなさい
出会うすべての同士の中に、同じ大和魂を見つけなさい

とりこぼしてはなりません

恐れ、たじろいでいるものにこそ、声をかけなさい
手を取りなさい
つながりなさい

なんのために、お前をここに呼んだのか
火（日）と水　土と風　すべてを与え、
なんのために味あわせたのか

和する心を取り戻しなさい
この機会を逃してはいけません

同じ意識を持つ者ではなく、つながれず、恐れている魂を見つけなさい
同じ土地に住む隣人に目を向けなさい

あなたたち、大和魂を持つものは、たとえ戦時下においてさえ、

和することができる民なのです
思い出しなさい

心を取り戻し、大和魂として生きなさい
愛しい日の本の魂たちよ

一斉に、岩戸を開けなさい

2011.03.15 Tue

日本人なんだ！　復興を確信！！！

「地球創生ＳＮＳ」に参加して下さる方も 3/13現在１００名を超えましたが、１０００名の皆様が大神に向かって、今までの自分を変える宣言が必要な時期だからこそ、一人でどうするか悩んでいる方は、「地球創生活動ＳＮＳ」に本名でご登録後、自分の宣言をお願いします。

「地球創生 ＳＮＳ」に参加されている仲間のほとんどは、顔写真も公開している魂の仲間ですので、今までに無い素晴らしいプラスの連鎖反応が次々に始まっています。その中で公開された素晴らしいメッセージをご本人の承諾を得て公開させて頂きます。

未曾有の大災害に対し、世界中から支援と称賛の声が上がって居ります。
この事態に不謹慎ではありますが、この事で輝いている日本があります。
日本人だから絶対に大丈夫です。

心の支援の祈りと共に、不足する血液への輸血の為に、明日から経営する陶芸教室やネット上で、緊急募金の窓口を開設いたします。個人的にも僅かながら十万円寄付いたします。地球創生ＳＮＳでも後日改めてアップいたします。

同志から頂いた、海外からのメッセージを転載いたします。

CNNでもBCCでも絶賛されている。「有史以来最悪の地震が、世界で一番準備され訓練された国を襲った。犠牲は出たが他の国ではこんな正しい行動はとれないだろう。日本人は文化的に感情を抑制する力に優れている。」

「ニュージーランドが被災した際、ニュージーランドの救助隊の側には常に日本人の救助隊がいた。だから今度は私たちが日本を助ける番だ。」とラジオで流れてきた。…まだ諦めるのは早いよ！もう少しだから頑張って！

韓国人の友達からさっききたメール。(日本語訳後)「世界唯一の核被爆国。大戦にも負けた。毎年台風がくる。地震だってくる。津波もくる……小さい島国だけど、それでも立ち上がってきたのが日本なんじゃないの。頑張れ超頑張れ。」

（拡散希望）トルコ、日本に１００億支援。　さすが親日国。これを見て被災者が勇気が少しでも出る様、祈っています。

CNNの専門家の言葉「日本の国民はミラクルだ。被害は確定しないが、他国だったら数倍の被害

になっていただろう。ハイチの500倍以上の威力の地震で津波到達まで5分しか時間ない中で、信じられない対応だ。この国民には常に準備がある。この国は常に事態に準備ができるのだ」

チリ人からメッセージが来た。「僕らも1年前に同じように大きな地震を受
けました。その時からこれまでを強く支えてくれたのは日本人でした。チリは日本に感謝しています。無事を祈っています。」

米国、韓国、中国、ロシア、欧州連合（ＥＵ）などの国・地域から支援の申し出。国連の潘基文事務総長は「日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する」と（時事）

日本の強さがこんな時に始めて分かった気がする。国の規模でも軍事力でもない、日本人の深いところにある思いやりの心。世界がそれに応えようとしてくれてる。インドの学生がろうそくを手に祈ってくれてる。

ハリケーンカトリーナの時は、普段１$の水が10$で売られ、それを経済学者は"It's market price."と擁護したのです。今回サントリーが、自販機無料開放してくれたことを、忘れてはいけませぬ。

オバマさんは「必要なあらゆる支援を行うと申し出た」と、ゲーツ国防長官は「日本は洗練された国家だが、あまりにも大きな災害であり、要請があることは何でもやるつもりだ」と言ってくれてるそう。

日本に住む外国人の友人から→「スーパーに買い出しに言ったら床にばら撒かれた商品を黙々と拾う人々が。みな横入りをせずに黙って列を作り、順番に並んでお金を払って買い物をしてる。略奪は起きていない。超満員電車では高齢の方が妊婦さんに席を譲っているのをみた。日本はすごい」と

中国人の父が、地震発生後は食い入るように被災地の映像を見つめ、叫び、痛ましげに、ずっと、ずっと、悲痛としか言い様がない顔をしていました。誰よりも、日本の血の濃い私や母よりも。彼等の多くは四川の恩も、人としての道理も忘れていません。

以下、その同志よりのメッセージです。

嬉しいことを喜んでくれた人よりも、つらい時に助けてくれた人のことを人は忘れない。

今までたくさんの国を助けてきていただいた方たち、その時の善意の募金が いま窮地のこの国を支えてくれる。

国内も頑張っている。
海外も心を痛めてくれている。
頭を挙げて空を見よう。

被災地にいない方にできる一番の協力は、「節電」「動かない」だと思います。
今はプロに任せてください。被災地の方の穏やかな日常が一日も早く戻るように祈っています。

そして、ある方の言葉です。

≪地震が教えてくれたこと≫

本当に大変な事になっています。
震災の被害を見たり、被災地の方たちの恐怖や悲しみ・苦しみを考えたら、涙が出てくる。

私が住む大阪では、今までと何も変わらない日常が送れている。家族が揃っている事・衣食住が満足にある事・命がある事。

どれだけそれがありがたいことか思い知る。今まで悩んでいたことが、どれだけちっぽけだったか・・・。
生きられる事が一番ありがたいんだ。

昨晩はすごく寒気がした。 確かに寒いのだけど、恐れがあるからだろうなーと思う。
何が出来るのかいろいろ考え、出来ることからはじめてはいるけれど、最後には祈るしかないのかもしれない。

でも、祈りって何の役にも立たない？
そうなのかな？

海外から沢山の支援物資が送られています。とてもありがたいことです。
被災し、避難所生活を続けられている方皆に、物資が届いて欲しいと思います。

だけど、祈りは届かないのかな？

中国ではインターネット上に「日本人頑張れ！」という文字が並んでいるという。
あと、海外のニュースでは、被災しても助け合っている日本人を讃えている。
海外のたくさんの人たちが、日本を想い祈って下さっている。私はそれが嬉しい。

どうか一人でも多くの人が助かりますように。原発が最悪な事態になりませんように。
震災が少しでも早く落ち着きますように。

被災された方に物資が届き、不安を少しでも減らすことが出来ますように。

被災地の人たちを助けるために、現地に向かった沢山の勇気ある方たちに、どうか２時被害が起こりませんように。

どうか希望を失わず、一人一人が助け合って、支え合えますように。

震災に備え準備することは大切。
だけど、いたずらに不安になっては、ますます悪い方向に向いてしまう。
落ちたらどうしようと不安なままな受験生が、本番で最大限の力を発揮出来るかな？
信じることも必要。きっと。

震災で尊い命を奪われた方のためにも、愛を持ってみんなで力を合わし、
強く生きないといけないなーと思いました。
みんなが一つになる事を、地震が教えてくれたんだ。

※明日15日は、大阪に入り、夕方18：30から「関西勉強会」を行います。

◎関西勉強会
3月15日（火）18：30～21：00　場所：ﾋｰﾘﾝｸﾞｻﾛﾝ　ｵﾌｨｰﾘｱ/￥3500

※3/16（水）も夕方から「名古屋駅前で交流会」を行いますので、ぜひご参加下さい！

◎テレビのニュースを見るよりも、こちらを見て下さい！
◎**pray for japan**　東北地方太平洋沖地震　世界からのメッセージ集（ＹＯＵＴＵＢＥ）
http://www.youtube.com/watch?v=yCXF1NGmtFw&feature=related

◎東北関東大震災　宝地図ムービー　あなたたちはーじゃない
http://www.youtube.com/watch?v=lxUsgXCaVtc

Pray For Japan 世界中からの祈り
http://www.youtube.com/watch?v=4pdnKDaSL60&feature=related

◎PRAY FOR JAPAN
http://www.youtube.com/watch?v=BRm5eynxrhk&feature=related
※言葉はわかならいけど、愛のメッセージは体で感じます。
2011.03.14 Mon

3月**11**日東北地方地震　御霊鎮魂の祈り

3月11日に発生した東北地方太平沖洋地震の被災者に対して、皆さまの祈り合わせをお願いします。

3月13日現在、吉岡はまだ関東におりますが、何度も微弱な地震が続いています。

行方不明者を含めて１０００名以上の方の消息が不明になっていますが、阪神大震災の経験から時間の経過と共に犠牲者も増えると思います。

亡くなられた方たちが「自分の身代わりとなって亡くなられたのだと思えば、まだ生かされている自らの魂の役目を果たす為に、本日より、お昼の１２時に「1分間の黙とう」を毎日続けることを決めました。

明日以降も、職場や海外のどこに居ても「1分間の黙とう」と共に、次の事を意識して祈って下さい。

１、今回の地震で亡くなられた方たちの御霊鎮魂・土地の大浄化
２、被害や犠牲を受けられたご家族の思いを光りで浄化
３、現在広まっている社会不安を自らの行動で転換する

ただただ、心の中で「ありがとうございます」だけを唱えるだけで
全ての思いが光へと浄化転生しますのでどうぞ宜しくお願い致します。
2011.03.13 Sun

３月11日東北地方太平洋沖地震発生

今日の地震で被害を受けた皆様、お悔やみ申し上げます。

現在、羽田空港内で全ての交通機関が閉ざされ、多くの方と夜を明かしています。

今回の地震の意味を大神に二度、聞きましたが、あまりの内容に全ての公開は差し控えますが、ひとつだけお伝えしておきます。

これまで何度、おまえたちの願いを聞き届け、大難を小難に、小難を無難にしてきたが、おまえたちは何も変わっていない！

おまえたち一人一人が小難にした分のエネルギーを、どう自分の行動を変えて示すのか明確にしない限り、今後、さらに大きな事が起きるぞ！

関東に直下型で起きなかった意味を一人一人が考えなさい！
一人一人の責任において何をどう変えるのが明確にして神に向かって宣言して下さい。

メッセージの詳細は、地球創生ＳＮＳで公開します。

お力を合わせて頂ける皆様、どうぞヨロシクお願いしますm(._.)m

(三度めのメッセージ)

午前0時 たった今、1000人の宣言が、必要だと言われました。 自分の何を変えるか明確な宣言を大神にお伝え下さい。 地球創生SNSに、宣言のコミュニティを立ち上げます！
2011.03.11 Fri

内なる目覚めの為に　6

3月11日から17日まで、東京・静岡・名古屋・大阪へ出張しますが、この機会に「アカシックレコードやカウンセリング」などの個人セッションを受けたい方はご連絡下さい。※セッションの詳細は、ハートランド龍球のホームページをご覧下さい。

明日からしばらく「内なる魂の目覚めシリーズ」を書く時間が無いと思いますので、今日は大切な事をお伝えしておきます。

それは今、日本全体で起きている連続的な「地震」についてですが、以前、「地震について語るべからず」と大神様から言われた意味を理解したからこそ、違う視点でお伝えします。

まず地震が起きる理由を正しくご理解下さい。

地震は、地球自体がひとつの生命体として生きている事を示す証です。

地球は、私たち人間が生まれる前から地震や大陸の大移動・隆起・沈降を繰り返していましたが、人間が誕生してからは大きく人間の意識と地球の意識が同調するようになった事を覚えておいて下さい。

地球を人間の体に例えると、マグマは「人間の血管」と同じ赤い血が流れていますし、互いに支え合う断層プレートは「人間の骨格」と同じ意味です。地球表面のほとんどを覆っている海は「皮膚や筋肉・洋服」に例えれますし、私たちが住むわずかな陸地は洋服を着ても見えている「人間の顔」と同じような意味があります。

最近、起きている地震に共通する事は、震源地が深くないという点です。

だからこそ、海外でも日本でも震度が小さい割に大きな災害になっていますが、地球内部のエネルギーが直接、地表近くに出る意味は、大きく二つあります。

ひとつのメッセージとして、震源地が深い場合は地球内部のメッセージとしてとらえて地球と対話できますが、震源地が浅い場合は、どの場所にエネルギーが出るかという「場所」の意味と、「神知らせ」の意味があります。

「龍の守護」を受けている方たちは、特にこれから説明する事を良く覚えておいて下さいね！

地球の内部を含めた地球全体の自然界バランスを守っているエネルギー体が「龍神エネルギー」だと理解できたなら、地震が浅い場所で起きた場合、その場所に重要な意味と神メッセージがあります。

例えば、3月2日午前8：31に起きた伊良部島のM4.9震度３震源の深さ20ｋｍの震源地は、北緯24.8度東経125.2度で、下の青い点が震源地です。



震源地を拡大しますと・・



この場所は伊良部島の長山港のすぐ目の前で、現在は、伊良部島の製糖工場に必要な資材を出入りする船だけが利用していますが、もともとは神の聖地として大切にされていた場所です。

龍の守護を受けて伊良部島や宮古島に住んでいる人たち、そして、伊良部島や宮古島へ訪れた事がある方は、どうぞ自分でその意味を守護存在から聞きとってするべき祈りをして下さい。

地球を守っている龍神たちと約束している事は、地球内部のエネルギー解放はしなければいけない事がわかるので、なるべく「震度３」以内でおさめて欲しいと伝えています。

この段階で伊良部島の震度は、「３」ですから、早めの警告だと思って下さい。

問題視するべき場所は、「2月27日午前5：38岐阜飛騨地方M5.4震度４深さ：ごく浅い」の様に、連続的な微弱の揺れのあとに起きる震度４以上の場合です。



この場合も同じように住む土地を守ると宣言をした方、また、一宮宣言祈りをした日本の国土を守る宣言者たちは、山を噴火させない為の「エネルギー転換」の祈りをして下さい。

一宮宣言祈りをした方は、あなたの後ろに大きな土地神様たちが付いてくれていますので、あなたが日本国土の為に祈りをすれば、一般の方たちの数百倍のエネルギーを動くのを実感できるはずです。

人間が神にお願いするのではなく、自分が土地を守る神と一体になって地球内部から来るエネルギーを受け止めてどう転換するか決めてから祈りをして下さい。

こういう祈りが出来る方が増える為に、「一宮宣言祈り」を皆さんにお願いしています。

祈りは、人間が行うものですが無心に祈った時には、あなたを守護してくれている存在たちが全てあなたの意思の通りに動くからこそ、自分の為ではなく、土地や日本国や地球の祈りをして下さいとお願いし続けています。

現実社会にも、見えない世界にも「決められた役割」があるからこそ、神事をしない方でも誰もが出来る自分の役目として「何を守るのか明確にして下さる様」お願いしています。

まだ日本全国の一宮宣言祈りが終わっていませんので、全員で日時を決めて祈りを合わせる事ができません。全国もあと３つの国を残すところまできていますので、近隣にお住まいの方はぜひ一宮宣言祈りをお願いします。

１、出羽国（山形県・秋田県） 一宮は鳥海山大物忌神社、二宮 城輪神社、三宮 小物忌神社。鳥海山山頂に本殿が、山麓の吹浦と蕨岡の2か所に口宮（里宮）がある。長年2つの口宮が一宮の称を争っていたため、江戸時代、幕府の裁定により山頂の祠が一宮と定められた。二宮は山形県酒田市城輪の城輪神社（大物忌神社の摂社）、三宮は小物忌神社である。総社は、秋田市川尻総社町の総社神社、秋田市寺内児桜の古四王神社、山形県藤島町藤島六所畑の六所神社などが候補となっている。

２、佐渡国（新潟県） 一宮は度津神社、二宮 大目神社、三宮 引田部神社、総社は総社神社（佐渡

市吉岡）。

３、播磨国（兵庫県） 一宮は伊和神社、二宮は荒田神社（多可郡多可町加美区）、三宮は住吉神社（酒見権現、加西市北条町）、四宮は白国神社（姫路市白国町）、五宮は高岳神社（姫路市西今宿）、総社は射楯兵主神社（姫路市総社本町）である。

本日、**3**月**10**日も宮城県沖を中心に震度４の地震が起きています。近隣の岩手県・山形県・福島県・青森県・関東地方でも震度３が出ています。



震源地が浅い場合の二つ目の意味は、「余波が広がる」ことへの警告です。

この意味は、震源地付近にご先祖の土地を持つ方は、土地の意味やご先祖の気持ちを汲み取って「土地の浄化転生祈りをしなさい」と伝えています。

あなたがご先祖の繋がりによって生かされている様に、ご先祖が住まわせて頂いた土地の神様へのお礼とお詫びが必要なのですが、ご先祖祈りの意味を正しく理解できていない為に人間ごとだけに目を向けてしまいがちです。

私たち人間は大地の上にしか住めないからこそ、土地で作られた物を食べて育ち、ご先祖たちが大切にした水・風（空気）・火（太陽）・大地の自然神に対し感謝の祈りをしなければいけないのですが、大地に土下座をしてまで祈る気持ちにならないのも愚かな人間の心を表しています。

土地の神様はまず氏神様を大切にすることですが、その土地の最大の土地神様は、やはり「山の神様」なのです。

山から頂く水や栄養素のおかげで頂く食べ物に感謝する前に、まず、ご先祖の土地へお詫びと感謝の祈りをしないことを問われているのです。

現在、住んでいる人たちは「現在の心のあり方」を問われています。

ご先祖の土地が震源地に関係している方は、ご先祖に対して向かう心を問われています。

どうぞ、その事に気づいて下さい。

誰もができるこの祈りは、ただ単に災いが起きないようにと祈るのではなく、自らの心と行動を正してから祈りをして下さい。

天変地異が起きてから「やっておけばよかった」と思わない為に、今、お伝えしていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

◎「地球を救う」という意味は、自分を救うように一人でも多くの魂を互いに支え合う事なのだと思います。どうぞ地球を愛する皆様、「新規メンバー登録」からお入り下さい。



2011.03.10 Thu

内なる目覚めの為に　５

昨日は、「家族」以外で出会う人の意味を話し始めていたのに、いつのまにか、キリスト教の根幹的なカルマまで話したせいで、エネルギーがオーバーヒートしてしまいました（＾＾；

キリスト教やマリア様を信じている方、ごめんなさいね〜。

でも大神様の本意は、あなたたちもうすうす知っている通り、人間的な愚かな教えの為にキリストを誕生させた訳ではないという事を伝えたいのですよ〜。

当時の王様の独占的な意識コントロールによる支配から民衆の魂を救うために、降りた魂がキリストだからこそ、不思議な事もたくさん出来たのは当然なのです。

キリストは、大神様から与えれた力の意味を知っていたからこそ民衆の為に尽くしましたが、それとは反対に、人間として辛い人生を歩んだ方なのですよ〜。

自分が望まれて出来る事をすればするほど周りの人たちは驚き、自分を神として祀り上げるおかげで、同じ人間として持っている欲の部分を否定される苦しみをイエスは一番、悩んでいました。

さらに、ナクダラのマリアの話は本当で、女性として愛し、彼女は子供も産んでいます。

でもまあ、この話は色々な方たちが詮索して書いていますので、これ以上はやめときますね〜。

大切な事はイエス・キリストが没したあと、世界中に何度もイエス・キリストがやってきたという歴史が残っていますが、あれは全て真実なのです。

それが何を意味しているかというと、「キリストの魂の転生」を意味しています。

本来、魂は、同時に、いくつもの場所へ別れて「分身の術」を簡単に使えます。

だって私たちの魂も、大元のひとつの魂の分霊なのですから、分かりますよね〜！

ただ、イエスのような人民を救うために降りた救世主の誕生によって、民衆の「依存」を産み出したのも事実です。現在の状況を含め、イエスの苦しみも、そこにあります。

だから私は、「もう二度と、この地球に救世主を降ろさない」とマスターと約束した上で、自分の役目を果たす事を決断しました。

救世主を出さないという意味は、「一人一人が神として神性に目覚めるという意味」です。

本来、「大いなる存在」から与えられた皆さんの魂は、同じ目的を持って生まれているのに、その事を忘れ、自分が成すべき事だけににこだわりすぎた為、宇宙では12支族のカルマも生まれましたし、この地球上ではいくつもの文明として何度も魂転生して生まれて種族が、日本へやってきた歴史があります。

日本という土地の意味も、これまで話した意味以外にもっと重要な意味がありますが、それに気づいた人たちが動いて情報を公開する事で、周りの皆さんの意識が変わります。

私がこれまでお会いした素晴らしい霊能者や神巫女たちの中にも、宇宙の繋がりをしっかり持っている方がいましたし、守護存在からのメッセージを受け取って地球の為に動いている人たちにもたくさんお会いしました。

しかし、誰もが動かされている本当の意味を正しく知らず、自分と守護存在とのやり取りだけで物事を収めようとしていました。だから、お会いした方にはいつもこのことをお願いしています。

私たち一人一人に付いている守護霊や守護神は、その方の「心の位置」と「魂の目覚めの状態」によって付く守護が変わりますので、どんな守護が付いても間違いとは言えません。

ただ、全ての守護存在から最終的な目的を知らされていない為、目の前の、また、強く言ってくる声だけを聞きとってしまう事で、誰にも言えない秘密を持ったように一人て神事をしている方が多くいます。

どうぞ守護存在の繋がりを感じている方は、今一度、聞いて下さい。

私は最終的に、そして、何の為にこの事をしているのですか？

地球を守るためだとか、魂の約束を果たす為だとか、愛を大きくするためだとか、それぞれ言われると思いますが、それがあなたでなくてはいけない理由も聞いて下さい。

守護存在がハッキリ言えない部分の中に、あなたの魂が経験したカルマが隠されているからです

。

本来、守護存在の役目はその人を「守る為」に付いています。

苦しい時や辛い時に、自分を守ってくれるインナーチャイルドも、ある意味、守護存在の一人だと言えます。

もうひとつの守護存在の役目は、必要な時期がくると「導く役目」として働いてくれます。

大きな問題が起きたり、大きく人生の方向を変えるような決断をする時に、自然の周りの人を使って情報を与えてくれたり、突然、気づきのメッセージを伝える時があります。

本当は、大きな問題は起きなほうがいいのですが、だって、そうでもしないとほとんどの方が、直接、守護存在とやり取りする方法を忘れてしまっている為に、大切なメッセージを自分で聞き取れなくなっているからです。

人間はうまくいっている時に、わざわざ苦労する道を選ぼうとはしませんからね～（＾＾；

わかっておいて欲しい事は、今のあなたの守護存在が過去全てのカルマを教えられる訳ではないという点です。とても素晴らしい守護存在が付いておられて全ての目的を知っている方には、心からお詫び申し上げますm(_ _)m

でも、ある時期の、あるテーマのカルマを解消する為に、今、あなたを守護しているのですから、それ以上の記憶や情報が出てこないのは当然なのです。

大切なことは、あなたが今、目の前で現実で起きている問題の中にも、魂の気づきのドアが用意されているという点です。

いつもなら、強気で行ってしまう自分が周りの人の声を聞きながら冷静に物事を判断したり、逃げたくなる弱い自分をこらえて決断したり、許せない事を許したり、謝れない事にも謝ったりすることで、心の封印は自分で外すことができます。

こういう現実世界で与えられている「チャンス！」を見逃す人が多いので、どうぞ、今、目の前で起きている事で、「自分にしか出来ない事」をすぐに行動して下さい。

今、目の前のゴミを見つけたのは、あなたです。

ゴミを見過ごすか、拾うかは、あなたの意思で決まります。

あとで誰かが拾ってくれるだろうと思うのなら、あなたのチャンスは逃げてしまいます。

今、あなたが気になっている事をどうするか、ただその連続だけであなたの魂は簡単にステップアップします。

目に見えない世界でも同様に、現実的には何も変わらないような事でも、自分が果たすべき役目に気づいたらすぐに行動する事で、全てのバランスが変わります。

こういう事を意識し続けていれば、必ず、今の守護存在が変わって、もっと大きな素晴らしい守護存在が付いて下さりあなたを喜びの世界へ導いて下さいます。

現実で起きる物事でも、見えない心の中の思いでも、あなたの心の解放度によって、どんどん守護存在は入れ替わるのです。

こういう事を自然に続けている人は、突然、魂の役目に気づいたり、自分以外の人たちも同様に役目を果たす為にこの地球へ降りてきた事を想い出すはずです。

私が行う神事では、その土地で生まれた参加者たちのカルマ解消も同時に行いますので、同じ土地のカルマを持って生まれて人たちのカルマも消してしまうほど、参加する人たちが一緒に大きな覚悟をもって臨んでいます。

現在、奈良神事に関わった人たちと毎日、情報交換を続けていますが、誰かの記憶をメーリングで公開し合うことでお互いの記憶が呼び覚まされ、ものすごい勢いで現実に変化が起きています。

皆さんにこれまでの神事情報を公開している理由は、あなたの顕在意識で理解して頂くためですが、本当は、あなたの守護存在がその事を受け止めた瞬間に、カルマは外れるのです。

見えない守護存在の大きな繋がりラインを使って、同時に、神事の情報は伝えられていますので、しっかり守護神の繋がりを持っている方は、私の情報を読んでいなくても気づくはずです。

繰り返しますが、あなたの現実世界で意識している部分と、全くその情報を知らない無意識の部分にも、同時にテレパシーによって通信情報が常時、伝わっているという事だけは覚えておいて下さい。

テレパシーを受信する感度の善し悪しは、その人の守護存在次第ですから、どうぞ自分を守ってくれている存在と話しをする時間を大切にして下さい。

善人にも、悪人にも、全ての人に守護存在は付いています。

大神は、一切の人間を差別せず、何事にも囚われず、ただ静観して見てくれています。

※関西神事は、これまで10年の中で最大とも思える上から下までの「人間存在の理由」に触れる神事になる為、全て整いが完了するまで公開はできない事をご理解下さい。ひとつひとつ、闇に隠された事を探しながら、関西の仲間と一緒に魂のレベルアップに取り組んでいます。

2011.03.09 Wed

内なる目覚めの為に　４

3日間連続でお伝えしている「内なる目覚めシリーズ」ですが、求める人たちが増えているのでもう少し頑張って続けたいと思います。

でもものすごく高い次元にエネルギーを繋ぎながら書いている事だけは覚えておいて下さいね。
では、またしばらくお付き合い下さいませ。

昨日は、「家族」という視点から自分を改め直す気づきをお伝えしましたが、今日は「周りの人」から自分を見直す視点を一緒に学びましょう！

自分の魂が時・場所・親・兄弟・土地を選んで産まれてきた事は、もうご理解頂けているという前提でお話ししていますが、まだよくわかっていない方は、地球創生1000年プロジェクトの「人間の存在理由」を何度も読み直して下さい。

難しい言葉や理解できない説明もあると思いますが、何度も読み返していると、必ず、魂の奥底から気づくことがあるはずです。

では、授業開始です（＾＾）！

「家族」以外の学校や職場、サークルで出会う人たちは、どういう魂の関係だと思いますか？

そうです、やはり、魂的にはもう何度も出逢っている魂の仲間なのです。

ただ「家族」として縁組みをするほど因縁が濃くないというか、学びの質が違う相手だと理解下さい。

愛や命を育む為に不可欠な「異性の学び」をする為に出会った人たちなのです。

初めて逢った瞬間に、とても魅かれる人や、とても避けたくなる人・・・いますよね～！

まだ、相手を何も知らないはずなのに好意を抱いたり拒絶したくなるのは、過去の因縁、つまりカルマとなっている魂の記憶の影響によるものなのです。

自分は全く覚えていないのに騙されたとか、裏切られたとかいう感情を持ち続けた魂は、その本人やその仲間に出会うと、本能的に「拒絶のサイン」を出します。

これが、無意識に出る「自我の防衛本能」なのです。

この「自我の防衛本能」についての学びは、あなたの今世の体験を通して同じ事を繰り返している事にも気づいて欲しいと思います。

「自我」にインプットされている本能には、常に「安心と安全」を第一に考える様に設計されていますが、何に対して「安心と安全」を考えるのか、人によって、また、年齢的な違いによって学ぶ視点が違う事を理解して下さい。

10代〜20代は、自己中心的に物事を考えがちですし、30代〜40代は家族や社会における自分の位置を最も大切にする事を学ぶ時期ですから、当然、大事にするべきテーマが違います。

私もやっと50代の二年生として学びの最中ですが、60代でも70歳でも死ぬまで魂の学びは延々と続いています。

生きている限り魂の学びが続く理由は、過去世の記憶を消して「命」に期限を付けた時に決められた魂のステップアップルールなのです。

その事を正しく理解していない方は、今の自分の気づきが絶対に正しいと思い込んでしまう傾向にありますが、年齢を重ねるたびに気づく視点も意味も変わりますので、相手が話している視点と自分が考えている視点が違うことに注意して話しを聞く様に心がけて下さい。

大切な事は、自分より一歳でも多く年齢を重ねた人の言葉を聞く時は、話している言葉の奥にあるその人の人生経験まで感じて理解する努力が必要だということです。

沖縄の方たちが、オジーやオバーを大切にしている理由も、頭ではなく魂でこの事を学んでいるからこそ今も、皆さんがそうしているのだと思います。

多くの言葉を話さずとも、相手の気持ちをくみ取る心の深さは、やはり年齢を重ねないと出来ない部分があることを諸先輩たちからたくさん教わりましたので、なるべく年上の方には人間として失礼のないよう心がけてお付き合いしているつもりです。

人間が生かされている間に学ぶべきテーマは一人一人の魂によって違いますので、3歳以下で亡くなる方もいますし、100歳まで長生きする方もいます。

一般的には、永く人生を生きる事が最も大切だと思っていますが、魂が人間に与えられた本質の目的から考えると、生きている時間の長さはあまり重要ではありません。

生かされている間に学ぶべき事を学び、気づくべき事を気づいた段階で、もうその魂はひとつの大きな役目を果たしたと言えるからです。

肉体を離れた時に神様が問う事は、一人の人間としてどれだけの魂の学びをしたのかを問うだけではなく、関わった全ての人たちがどれだけ多くの学びをしたかを同時に問われますので、単に一人の命の長さだけでは測れないのです。

「一人だけで魂の学び」が出来ないようになっている理由も、こういう互いの違う視点から全てのカルマの清算する仕組みがあったうえで、私たち人間は生まれているからです。

この点を詳しく話すと100段階以上の魂の学びレベルがありますので割愛しますが、「今、生かされている私」という視点で説明を続けますね。

「異性」の話に戻ります。

異性が存在する理由は「愛と命を育むため」と言いましたが、ここでも「愛」と「命」の二つのテーマを正しく理解していなければ勘違いすると思いますので違いがよくわから無い方は、ぜひ「あなたは生まれ変わる」をお読みになって下さい。

「愛と愛情の違い」を正しく理解できた事を前提として話しを続けます。

もともと皆さんの魂のおおおもとである「最初の魂」は、完全でした。

その「完全な魂」を産み出した母も、完全であると言いたいのですが、実は、宇宙の始まりの事にも触れますが、命の始まり＝魂の始まり＝宇宙の始まりは、ある偶然とも言える出来事から始まりました。

キリスト教では、マリア様がイエスを処女で妊娠したとされていますが、あれは、事実です。

理由は、人間・動物・植物・生命全ての一番最初の始まりも、魂の一番最初も、宇宙の始まりも、相反する存在と交わることなしに誕生したからです。

この最初に誕生した子供は、実は、母が作りだしたものではなかった事を正しく悟った人が聖書の基礎を書いたのだと思いますが、今は、事実からはずいぶんかけ離れた意味で伝わっていますね。

マリア様に命を与えた存在を「神」と呼ぶのではなく、マリア様やイエスを「神」と呼ぶようになった理由も、「神」を説明するには一般の人たちが理解しがたい存在だったからです。

イエス・キリストの「命」をマリア様に与えた存在を「大いなる存在」と呼ぶことにしましょう。

当時の時代背景や状況を考えてみて下さい。

権力と力で民衆をコントロールしている王様が、自分よりとんでもない力を持った「大いなる存在」を認めたら、自分の力で民衆意識を支配ができなくなることを恐れて、人間に置き換えた話に作り変えたのが聖書なのです。

実に、この段階から大きな問題も勘違いも、そして宗教的な思想コントロールも始まっています。

この呪縛やカルマは、数千年続いていますね！

マリア様とイエスの話は、本当は、宇宙の始まりの出来事を伝えたものなのですが、時の王様が人間に置き換えて母と子、産み出す女と命の種を与える男という肉体的な部分にすり替えて書かれた書物なのです。

だから聖書を正しく読み込もうと思ったら、まず命の誕生を男女から学ぶ前に、自然の摂理や宇宙の摂理を正しく理解しなければいけないのですが、旧約聖書と新約聖書の訳の違いで争っている現状を一番嘆いているのは、イエスであり、マリア様なのです。

男女や親子という相対の学びを正しく理解しようと思ったら、まずこの点を理解することで呪縛にかけられている部分が外れます。

この話を続けると、ものすごく深い真理と摂理に基づきながら話さなければいけいない内容なので今回はやめますが、皆さんに気づいて欲しい事は、人間としての根幹的な摂理として「女性しか男を生み出せない」という点です。

この理由をどうぞあなた一人で考えてみて下さい。この事実こそ、全ての男女の学びの始まりだ

からです。

もう今日、お伝えするエネルギーを使い果たしましたのでここで辞めますが、これまで一度もこの真理について話さなかった理由は、キリスト教という大きな思想の根幹に触れる事だからですが、今日、書いていて自分の意思ではなく書かされたとわかったからこそ、もう公開してもいい時期なのだと思います。

蛇足ですが、私は1998年に霊視や透視などのあらゆる力を一気に与えられた時、二人の守護存在が付いてくれましたが、その一人がイエス・キリストなのです。

だからこそ、イエス・キリストとどれだけ多くの対話を重ねたかわかりません。

彼が伝えたい最大の言葉は、「全て私が望んだ結果ではない」ということです。

今の宗教間の争いも、イエスとマリア様の扱いも、全ての意味が違って伝わっていることを嘆いています。

私はただ一人の人間として伝えるべき時期にそのメッセージを伝え、目覚める魂の共にこの地球を支える一人として生まれています。

次に続く素晴らしい人たちも、どんどん準備されて生まれていますので、どうぞ大人の皆さんは、一切の争いの心を捨てて地球を守る方法を考えて下さい。

一人でも多くの方が目覚める為の情報と場を提供し続ける事ができれば幸いです。ありがとうございます

2011.03.08 Tue

内なる目覚めの為に　３

昨日は、大切なパートナーと話し合う大切さと、ご先祖を調べる意味についてお伝えしましたが、今日は、もうひとつの視点から自分の魂がどういう過去の経験をしてきたかに気づくお話しをしましょう。

大神様が新しい命を与えて下さる時に純粋な魂にしてから私たちを生まれさせますが、一番、最初にイメージを植え付けるのが「両親」です。

良い事・悪い事、していいこと・してはいけないこと、好きな事・嫌いな事、周りの人の言葉や起きたことの判断基準など・・・たくさんありますね～！

この全ては、親が経験した短い人生経験の中で感じた価値基準が前提になっていますので、真っ白な子供の魂に親の価値基準が最初に植え付けられます。

ご両親の教えに社会性があるかどうかはわかりませんが、幼稚園か小学生くらいまでは、「わからないけれど、そうなのだろう」と子供は思いこみます。

でも何を言っても「イヤダー！」という三歳前後の第一次反抗期は、全てを否定することで「自分」という存在を認めてもらう大切な第一歩の作業なのです。

自分を主張する事で、親に一人の人間として対等に扱ってもらいたいという「自我」が人間には必要だからです。

子供が成長するにつれて学ぶ社会性は、まず近所のお友達・幼稚園・小学校と変化し、どんどん親が教えてくれた事と周りの友達が言う事の違いに気がつきます。

これが子供に、最初の「葛藤」を経験させます。

このとき子供は、親を否定するかどうか一時期悩みますが、ほとんどの子供は「親の言う事が正しい」と決めて、周りの子供たちとの付き合い方を学びます。

第二次反抗期の中学生になると、この「親の言う事が正しい」としていた部分さえ否定する事で、親を超える為の「自立」を学ぶ時期だからこそ心は乱れまくります。

大好きな親に感謝しているし甘えたいのに、否定して抵抗しなければいつまでたっても「子供」の位置から心が変わらないからです。

この時期は、家族のルールや友達のルールがわからなくなるほど苦しみますが、「新しい自分の自立ルール」を育てなければいけないとても大切な時期なのです。

子供によってはこの反抗期の時期がずれる時もありますが、魂が学ぶべきテーマはハッキリしていますので、親はその事をわかっていなければなりません。

ここまでで重要な事は、まず「あなたの価値観が、子供の価値観になる」という点です。

だからこそ、今の価値観でいいかどうかをまず自分を信頼してくれる人にチェックしてもらって話し合って下さい。

私がこの事に気づいたのは20代なかばでしたが、すぐさま母親に聞いてみました。

「ねえ、僕たち子供を育てる時に、これだ！っていう確信があって育てたの？」

私の母親は素晴らしい言葉を返してくれました。

「そんなの自信あるわけないでしょ！　私も、親は初めてなんだから！」

目からウロコでした。でも、そのあとのフォローが素晴らしい！！！

「若いし、何も知らないから周りのおばさんやおばあちゃんに聞いたけど、皆んな言う事が違うから悩んだんだよ～。そのあとも色々言われて辛かったけど、みんな子供を育てるのに苦労してるのだけはわかったさ～。」

私は、こういう母にとても感謝しています。

親なのに子供に完全ではない自分を話せる人は、人間的にも素敵な人だと思いました。

ここまでで大切な事は、皆さんの心の形成に大きく親の言葉や行動が染み付いているからこそ、自分という価値観の形成の根底に親と同じ思いがあることをまず理解して下さい。

私がこれまでたくさんの人の悩みや相談を受けた中で、最も苦しい悩みはやはり「親への思いをクリアしてない方たち」です。

社会的地位もあって普通に生活している方でも、親に対して憎しみにも似た深い因縁的な感情を心の奥底にお持ちの方がたくさんいます。

「親子のカルマ」が現実生活にどう影響するかですが、まずすぐに恋愛関係に出ます。

そして次は、友達や会社の中の信頼関係にも出てきます。

人間が死ぬまで続く学びは「人間関係（親子関係）」ですから、他人を信じる前に必ず「自分を信じる」というテーマがひっかかります。

皆さんの記憶の中には、自分が生まれてからの経験だけしかないと思っているようですが、実は、この世の中で出会う人との関係は、全て過去世で出会った人ばかりですし、お互いにその事を解消する為に出会っていることを認識して下さい。

誰一人、初めて出会った人などいません。日本以外の国に住んでいる人でさえ、全て同じです。

地球に生まれた全ての人間は、過去、出会って色々な経験をしてきたからこそ、そのカルマを外す為に生まれさせてもらっています。

もっとさかのぼれば、実は、地球に人間として生まれる以前にも、宇宙の他の星で同じような出会いをして色々な事を経験してきています。全員が、もれなくそうなのですよ！

だからこそ、生まれる時に世界のどの国に、いつ、どういう順番で生まれて死ぬかまで設計されているのだということは理解しておいて下さい。

何度も言いますが、この世に生まれたのは初めてじゃないんですよ！

なぜその事に早く気づかないのか！と思っているからこそ、多くの守護存在たちがあなたを導いてくれているじゃないですか！

でも、あなたの力だけで、何かを成しえる事など決してできません。

たくさんの人の力を借りながら、大きな目的を果たす為に私たちは地球に、そして、この日本に生まれてきたのです。

今の自分の魂の学びを正しく知りたければ、アカシックレコード　アクセスセッションを受けて

みて下さい。

何度も繰り返してきた過去の魂の奥底の記憶を知る事で、必ず自分ではどうにもならない苦しみの封印が解きほどかれます。私は、その魂のガイドとして役目を果たします。

また、こういう心の奥底に眠っている深層心理やカルマの問題を解決しながら、現実社会全てのバランスを整える個人講座として「スピリチュアル能力開発講座」も開校していますので、人の為に何かをしたいと持って方は、ぜひご自分の心と魂の整えを終えてから行うことをお勧めします。

ヒーラーやセラピスト、カウンセラーなど現在、とても多くの方が人の為に役に立ちたいと頑張っていますが、実際に、クライアントさんに話している内容を振り返れば、全て自分の学びの相手として来てくれていることに気づくはずです。

だからこそ、自分の「心の内面バランス」を先に整える事をおすすめします。

スピリチュアル講座の卒業生たちを見ていると、それまでの生き方や考え方が全く変わり、同じ苦しみを二度と経験しない強い心を持てた事が最もうれしい点です。

他人の悩みに向き合う自分が、ぐらついては絶対にいけないからです。

今日のポイントを整理しますが、あなたは自分が経験してきた全てが自分だと思っていますが、実は、そうではなく、親や周りの人や誰かの言葉に影響された結果として今の自分が居るということに気づいて欲しいのです。

誰一人この世に生きている人間で完全な人はいないからこそ、お互いを許し合い、気づきをシェアしあうことで魂の成長も早まります。

あなたを守ってくれている守護存在の気持ちもよくわかりますし、誰かがその役目をしなければいけない苦しみもよくわかります。

ただ、一人ではないという事を本当に魂で実感して欲しいからこそ、［地球創生ＳＮＳ］という場をご提供しているのです。

本当は、日本中の困っている人たちに自分のできることなら何でもしてあげたいとう気持ちでいっぱいですが、しなければいけない事と時間・空間・経済的な制約の中で行える範囲が私の役目

だからこそ、私にできる現実の出会いの場として一緒に気づきたい人たちが集まってくれていることに感謝があふれます。

どうぞ一人で悩むより、悩みを乗り越えた人たちのエネルギーに触れて、本当のあなたが果たすべき役目に気づいて下さい。いつでもあなたを歓迎します。

2011.03.07 Mon

内なる目覚めの為に　2

「地球を守る」と約束してきた魂たちへお伝えします。

まずあなたは、どこの星からどういう役目と思いを持ってきたかを想い出して下さい。

気づく為の方法は、いくつもありますのでひとつづつご紹介していきます。

まず自分の父方の「名字」のルーツをさかのぼり、父親の先祖を調べてその時代の土地の歴史を調べることで気づく事があるはずです。人だけを追うのではなく、その時代のその土地に何が起きていたのかを学んで下さい。

名字を守り続ける父性の役目は「守るべき神の意思」を示すものですので、その為の戦いもありましたし、悲惨な体験も繰り返しているはずですが、一切、感情的にならずにただその事実を調べて下さい。

なぜ長男だけに「家督」を継ぐよう地球上のほとんどの民族がこだわってきたかに気づけば、父性や男性の本当の存在理由や意味にも気づけるはずです。

次に、今の「名字」を支えてくれた母方のご先祖を調べます。できるだけ古い時代のおばあちゃんが嫁いだ先の家族事情や時代背景・歴史を勉強して下さい。

本来、嫁に来るという意味は、生まれた名字を捨てて他人の家に厄介なる為、そこまで育ててくれた親やご先祖に対して一切の不義をお詫びをしてから嫁に行くものなのです。

嫁いだ先の親族のもめごとがある時でも、しっかり名字を守る夫を支えるのが、嫁に来た女性たちの役目だからこそ、嫁側のご先祖や亡くなった親族たちが支えてくれています。こういう事を正しく学んでいる男性は、裏で女性の親族に対して気心を使うものなのです。

エジプトの時代から続く父性社会の本当の意味は、男性が縦軸、女性が横軸を守る魂の役目を持って生まれている事を神の教えとして学んでいるからこそ守り続けられた家の「家督」ですが、現在ではその守るべき「家督」の意味さえわからない人たちが増えています。

愚かな男性は、その家督を守る資格も知識も無く権力や暴力を振り回した結果、女性たちの反感を買ってきましたが、現代では「新しい意味の家督」を確立することで新しい日本国を支える新

しい精神性＝神性が生まれると確信しています。

あなたの家は何を一番大切にしているのか、次の子供たちへ何を伝え残すのか、お子さんをお持ちの方は、その事をよく話し合う時期だと思います。

お金が無くなった時、仕事が無くなった時、親戚のもめごとが起きた時、夫婦の危機になった時、親が死んだ時、子供が死んだ時、お互いが死んだ時・・・つまり普段では無い時にこそ、その「家督」を守る考え方が表に出ますので夫婦・親子でよく話し合って下さい。

「守るもの」を話し合う時こそ、「地球を守る」ことと同じ学びがあります。

理解し合えない部分の意見の相違は、経験してきた星の違いやこれまでの人生経験の違いを感じるはずです。

だからこそ、理解し合う為に一緒になったのですから話し合うのです。

そこから生まれる新しい価値観こそ、争いのない「新しい精神性」が生まれるのです。

一言で「守る」と言っても相手の考え方が違う場合、根幹的な考え方の違いにまで遡る必要があります。

その違いこそ、実は、過去世や宇宙の星の記憶に影響を受けた「記憶の蘇り」だからです。

感情的になると、人間は我を忘れます。

我を忘れて話している時の思いがどこから来るかと言えば、「魂の記憶や経験した過去の記憶」に影響されています。

だからこそ、自分がなぜ感情的になってまで相手にその事を伝えたいのか、「内観する必要」があるのです。

私たちはこれまでどれほど多くの戦いをしてきたのか、わかってもらおうと思えば思うほど、強い意志を相手にぶつけ、論破する事こそ勝利だと思いがちですが、女性の最大の知恵は相手の愚かさをわかっていて受け止め続けてくれる魂の大きさです。

どの女性も本来は、「守るべきもの」を明確にしたいからこそ、悩みが多いのです。

誰の為に、何の為に「守る」のか？

ここに「産み出しの母」としての女性性の本質があります。

実は、女性は命だけではなく、本来は、その「精神性を守る」ために女性として生まれています。

つまり、守るべきものを見失ったとき、大きな不安と混乱が出てくるのです。

もうひとつ大事な事は、女性は女性を守る為に生まれてきたのではないという点です。

これは魂的な学びの意味でお話ししています。

男性は、女性が産み出した命だからこそ、母親は男性としての果たすべき役割を明確に教える役目があります。

それが、本来の女性＝母性の役目なのです。

男の子を産んだ母は、必ず自我が目覚めるまでに大切な「守るべき心」を教えなければいけません。

でも核家族で生活している自分だけでは大切な事を教えられないからこそ、近所や周りのおばあちゃんたちに知恵を借りて子育てをするものなのです。

男性たちも、同様です。

男たちは、何を守る為に生まれてきたのかを話し合う時間が必要です。

その時に重要なのが、生まれた順番の役目として人生の先輩たちが経験した話を聞くことが大事なのです。

年を重ねた方は反対に、柔軟な発想やチャレンジ精神を失いがちですので、お互いに不足している部分を認識して知識よりも知恵を出し合えば必ず、新しい価値観の「守るべき日本人の精神性」が見つかるはずです。

家族の繋がりが薄れている時代だからこそ、今、土地に住んでいる人たちと話し合い、守るべきものを明確にして共有する必要があるのです。その為のキッカケとして、全国で勉強会を開催しています。

両親の先祖を調べる時は、なぜこの二人が夫婦の縁組をしたのか、祖父母や親せきにも話を良く聞いて下さい。

現代のように、ただ好きだけで結婚した方はすぐに別れてしまいますが、本来、結婚は自分たちの都合だけでできなかった時代もあったのです。

先祖のルーツを深く探ると、民族の違いや出身の違いから多くを学べますし、魂が約束してきた大切な「出来事」だということにも気づけるはずです。

神意として考える物事の重要性は、結果ではなく、全てその過程にあります。

だから、私たちはまだ生かされているのです。どうぞ、その事に気づいて下さい。

2011.03.06 Sun

内なる目覚めの為に　1

昨日は、地球にやってきた宇宙人の話から近現代史の真実までお伝えしましたが、今日からは2002年2月22日に降りた「地球創生」の啓示の意味を正しく理解して頂く為に,子供の頃の体験を交えてお伝えしていきたいと思います。

まず一人の人間がこの地球に誕生するまでには肉体的な交わりだけではなく、色々な諸条件が整った結果として生まれていますが、魂に秘められた「ある目的」を果たす為に生まれてきたという事に気づいている方も増えていると思います。

全ての人間の魂に記憶されている過去世の記憶を「アカシックレコード」と呼びますが、その記憶の全てを消して生まれさせる理由は、過去に経験した感情やカルマに囚われないようにという配慮で記憶を消してくれています。

しかし、千年単位で大きく地球のエネルギーが変わる大切な時期に生まれた私たちは、重要な「魂の役割」が与えられているからこそ、いずれ「大切な目的」を想い出しやすい様に生まれる日時・環境・家族・場所・時間・兄弟の順番まで決めて生まれています。

さらには、ある時期に誰かと出会い、深く関わりながら色々な感情を動かしあった結果として、重要な事を想い出すように決めて生まれてきている事も覚えておいて下さい。

現実で起きた出来事だけを考えれば、誰が良くて誰が悪いと決めつけるのは楽ですが、実は、両者共に「ある役目」を演じている事に気づかないからこそ、起きた（起こした）現実だけに囚われてしまうのです。

2月から3月3日まで、心や体の異変が起きた方もたくさんいると思いますが、それは実は、今世であなたが経験した思いをクリーニングする為にものすごいエネルギーのクリーニングが動いた期間でした。

3月4日から突然、体が楽になったり、良い事が起きている人は、その期間に記憶のクリーニングがされたおかげで、大切な事に気づいた人たちです。※私もそうです。

そういう事にまだ気づかない人たちは「自分は何故、生まれたのか？どうしてこんな経験をしなければいけないのか？自分が生まれた意味をどうやったら思い出せるのか？」などなど・・・、生まれた意味について問い続けているかもしれません。

ここ数週間の自分の思いや出来事が想い出せないほど、濃縮された時間を経験した魂たちは、確

実にステップアップしています。同じ思いをしている人たちがすぐに確認できるのも、「地球創生SNS」の良さだと皆さんが実感しています。

個人でひとつのことを悟るにはものすごい時間と苦労が必要だからこそ、一緒に魂を上昇させようという前向きな人たちが集まってくれている事に心から感謝しています。

仏教の世界では、今世の苦楽は将来の自分の為であり、来世の自分や先祖を楽にする為にお経を唱えなさいと教えてくれますし、キリスト教もイスラム教も同じような教えを伝えています。

確かに人間が生きる為の勇気を得るにはその導きも必要だと思いますが、なぜ人間が誕生して色々な思いを経験し、一生懸命に頑張った最後に「死」が用意されているのかまでは説かれていないと思います。

死後の世界を仏教では「極楽浄土」と言いますが、あなたも知ってのとおり、いつになったらこの現世が極楽浄土になるのでしょうか？

この世からあの世を色々想像してもわからないのは当然ですが、あの世に行ってきた人間だけはその事を知っているからこそ、この世でその事を伝える役割として生まれています。

あの世の世界にいる存在たちが望んでいる事は、自分たちにできない事があるからこそ、肉体を持っている間に気づいて欲しいと守護存在を通して伝えてきます。

霊能者や最近、目覚めた人たちは、その事を周りの人たちへ伝える役目があるのですよ！

先祖祈りや土地へ感謝する必要性を伝え続けている理由も同じです。

考えるよりやってみればわかりますが、必ず自分の魂が歓び、気持ちが楽になるはずです。だって、そのことに気づく為に、私たちは生まれる土地を選び、両親を選んで生まれているからです。

もう宗教だけでは出来ない事があるからこそ、精神世界のエネルギーが現実を支えるようになっていますが、今の大人たちのように苦楽の人生を一生懸命に生きても、結局は死ぬんでしょ！と若い命が自由気ままに生きた結果、勝手に死を選ぶ若者が年々増えているのも現状です。

生まれた瞬間から決まっている「死」について正しく理解できていないせいで、「家族や友人」の死を受け入れられずに苦しんでいる人たちにもたくさんお会いしたからこそ、詭弁だけでは生

きる勇気は生まれません。

小学生の頃の体験ですが、親の知人のお葬式に一緒に行った時に「死」が悲しい事だとはまだ知らない子供でした。

飼っていた動物の「死」は何度も見ていましたし、自分で埋葬した事もありますが、両親がそれほど動物の「死」を見ても泣かなかったからです。

でもお葬式で親や周りの大人たちが泣くのを見ていると、その人の心の中に思い浮かんだ思いを一緒に感じて自分も泣いてしまいました。

たくさんの人の思いが体の中に入ってきて、寂しいよー、辛いよ～と一緒に哀しみを感じてしまったからです。

そのあと、「死」という苦しみをなぜ人間に経験させる必要があるのかを夜空に向かって聞きました。

答えてくれたのは、

何が苦しいんだい？それは人間が思った「想い」なんだよ

と教えてくれました。反対に、楽しい事やうれしいと思える事は、誰に教えてもらわなくても知っていました。それは、皆さんの一緒でしょ！

自分が何かをしたいと思っていたことがやれた時ほど、うれしい事はないですものね！でもやっぱり、その楽しみと苦しみを人間に与えて最後に「死」が用意されている理由がわかりませでした。だからまた、夜空に向かって聞いてみました。すると・・・

人間が生きているのは「死」が目的ではないのですよ。生きている間に、想い出す大切な事があるので色々な事を経験させているんです。

と教えてくれました。

「想い出す事がある・・・？？？」

今は、忘れているけど、きっと想い出さなければいけない事があるんだ！と気づいた時から、

毎日、忘れている色々な事を思いだそうと努力しました。

「今は、忘れているだけ！絶対にキッカケがあれば思いだせるはずさ！」

そう確信を持った理由は、子供頃から他人が考えている事やその人の未来まで見える経験をしていたからです。

自分が望まなくても他人の未来を見せられるくらいなら、きっと自分の知らない未来や過去もいつか見える時が来るはずだと思っていました。

中学生になって体が大人になってくると、自分でも不思議な感覚になりました。何だか、とっても自分勝手な事ばかり考えるようになるんです。いつも心配してくれる母の言葉でさえ、「うるさい！」と思えるほどイラつく自分がいます。

「何なんだ～？この自分は・・・？」

あとで、これが「自我の目覚め」だとわかりましたし、この時期が第二次反抗期だという事もわかりましたが、当時は、とても大変でした。

それまで「自分」なんて無かったので、いつも純粋に物事を見れたし、親や周りの人の言う事も「自分が知らないだけなんだ」と思って素直に聞ける子供だったからです。

でもこの頃は、違いました。素直に受け止めようとする自分と、何でもいいから抵抗したい自分が一緒に出てくるんです。

親に文句を言っている自分ほど、辛い時はありません。だって、心の底では感謝しているんですから・・・。

タダでご飯を食べさせてくれて、洋服も、寝る場所も、お風呂も与えてくれて、学校まで行かせてくれています。

僕が通った小中学校は１学年１クラスしかないうえに、幼稚園の時からずっと同じ顔を見ながら一緒に育った仲間なので、ほとんど兄弟みたいな感じの付き合いでした。そんな周りの仲間との付き合い方が分からなくなるほど、色々な葛藤と感情が溢れ出た時期でした。

この頃です、毎夜毎夜、恐ろしい存在たちやってきて布団の上に乗ってきたり、金縛りを体験さ

せたり、自分の知らない人の辛く苦しい思いを毎夜見せられていたのは・・・。

毎日毎日が、あまりに辛かったのでもう一度、「死」について考えてみました。

人が苦しむ理由は、人によって違うという事はわかっていました。だって、同じ苦しみを体験しても乗り越えた人は、大丈夫だからです。

初めて体験した事が辛いのは当然ですが、周りに乗り越えた人がいてくれればとても助かります。

でも自分が体験した事を周りの仲間や親に話しても誰も信じてもらえず、「誰にも僕の事はわかってもらえない」という感覚を持つようになっていました。

だからこそ今では、逢った瞬間に同じような思いをした人たちがすぐにわかります。独特のオーラを出していますし、守護霊が「気づかせてあげて下さい」と言ってくるからです。

霊的能力が無い方でも、これまでの人生で「誰にも言えない経験」をした方は、同じようなオーラを体の周りから発しています。

道を歩いていても、電車の中でも、いつもそういう方の心の奥底のエネルギーを感じ取ってしまう体質なので、対処の方法を身に付けるまでは大変でした。

今はさいわい負のエネルギーを対処するグッツを専門家に作ってもらえたので販売していますが、これまで生きてきた人生の意味は「誰にも言えない思いを感じる役目」なのだと思ってしまうほど辛い思いを繰り返してきました。

辛い時に星空や天を仰いで心に思うと、答えが返ってくるのは子供の頃から習慣なので、普通の事だと思っていましたが、答えを探してたくさんの本を読んだり宗教に学びに行く人が多いのには驚きました。

宗教は、人の道や神様の道を教えるところだというのは知っていましたが、どの聖書や経典に目を通しても、心が受け入れられない言葉が混じっているのでちゃんと読んだことはありません。

でも世界中にたくさんの宗教が生まれて勉強した人も多いはずなのに、どうしてこの世の中が皆の望むような世界にならないのかが不思議でした。

たくさんの素晴らしい大人たちが頑張ってきたはずなのに、誰もが望む社会を作れないのなら、

やっぱり周りの大人たちのように「夢と希望をあきらめて」生きたほうがいいと思い、大手企業に就職してサラリーマン時代も過ごしました。

でもやっぱり、ダメみたいです、魂の役目を果たさないと！

1998年に封印した能力が蘇った理由を考えても、その為だとわかります。

でも、ちょっと自分の事だとして考えてみて下さいって！

「地球を救いなさい！」ですよ！！！

「どうやって！？？」って、聞きたくありませんか？

不思議な事に、神様？は答えは教えてくれないんですよ！

だから、いつも悩み続けているんです。

どうやったら地球を救う事になるのかを・・・。

まずわかったことは、地球を汚しているのは誰が考えても「人間」です。

その「人間」を絶滅させずに、まだ生かしてくれている理由は必ずあるはずです。

たくさんの動植物が絶滅しているのに、「人間」だけ特別扱いなんてあるはずありません！

ただ人間の生存期限が近付いている事は、ここ１０年間のメッセージを振り返ってもわかります。

だから、「地球を救う為に生かされている人間を救おう！」と決心したのです。

それから5年間は、収入よりもボランティアを優先して暮らしました。困った人がいれば、どんな場所でも出かけていって相談にのり、体が痛いと言えばヒーリング治療をし、霊的に苦しんでいる人がいれば、自分の体にその苦しみを載せて救うこともたくさんしてきました。

ご飯が食べられなくなって家族に迷惑をかけるほどボランティアをしてわかった事のひとつに、他人の為にしていること全てが、自分の学びにもなっているという点です。

その事に気づいた2002年からは、ハートランド龍球の仕事としてお金を頂く事を決めました。

でも子供の頃は、お金より何よりも大切な事は「人にどう思われるか」が、重要でした。

それが親の教えでしたし、田舎暮らしですから何かあると近所や親せきがとてもうるさくて面倒な社会だったからです。今は、まったく田舎の人の付き合いも変わったように感じます。

そんな親の教えに背いてでも、自分が人の為にできることをやろうと思った理由は、やっぱり魂が喜ぶ道だからです。

ここ数十年で日本人の大切な物も、ずいぶん変わってしまったように思えます。

「お金が全ての物差し」になってしまったのも、1990年代のバブル時代までですしょうね。

バブル時代の学びは、お金というエネルギーに対する思いの扱いを学んだのだと思います。

20年近く大きな経済成長をしていない日本なのに、ちゃんとまだご飯が食べられている日本は、子供たちに何が世の中で一番、大切なものなのかを教えられる大人たちが少ないと思います。

それほど今、大きく日本人が望む価値観が多様化し変わろうとしているからです。

では「新しい価値観」は、誰が決めるのでしょうか？

それは、まず「あなた」だと思います。

そして次に、その価値観を共有できる仲間を増やす努力をすることだと思います。

同じ価値観を共有し合う仲間が増えると、次第に「普通」と言われた価値観も変わってきます。相反する価値観の人も、同様に認める大きな心が必要ですけどね！

昭和ひとけた生まれの人たちが口にするのは、あまりに時代の価値観が変わりすぎてついていけないと悩んでいます。戦中、戦後を経験し、「自分の好きに生きていい時代」が一度もなかった

人たちだからです。

私はその子供として、親の出来なかった思いを果たす意味でも、今、するべき事を考えています。残された人生で、どこまで日本人の精神性を立て直せるか・・・。

どうぞ、あなたも一緒に「地球創生SNS」の仲間になって一緒に意見を交換し合いませんか？

一人のあなたが勇気に影響を受けて、踏み出す人たちが必ずいます！

「地球を救う！」と約束してこの地球に生まれてきた魂の仲間たち、さあー全員集合ですよ！！

地球創生SNSは「新規メンバー登録」からお入り下さい。



2011.03.05 Sat

伝えよう日本のあゆみ（近現代史）

これからご紹介するアニメは、日本青年会議所製作の作品です。

三部作のアニメですが、内容はとても重要な真実を伝えています。

日本人の大切な精神性に気づく為にも、ぜひゆっくりご覧下さい。

◎伝えよう日本のあゆみ　1
http://www.youtube.com/watch?v=dtjZjFqA_GY&feature=related

◎伝えよう日本のあゆみ　2
http://www.youtube.com/watch?v=LOXpznARBNI&NR=1

◎伝えよう日本のあゆみ　3
http://www.youtube.com/watch?v=eODAGhwnbV4&NR=1

2011.03.04 Fri

人類の隠された歴史

2010年7月9日に、YOUTUBEで公開された研究資料です。

子供の頃から夢で見ていた「巨人が地球に降りた映像」や「宇宙人と思われる存在」が、太古の時代からこの地球に大きく関わっていた証拠が解説されています。

同じような夢を子供の頃から見ていた人もいると思いますが、ひとつひとつの事実がこれからどんどん明かされ、また信じていたものが大きく塗り替えられる事になるでしょうね。

一人でも多くの方の「魂の目覚め」になればと思い、ご紹介致します。

人類の隠された歴史 ※youtubeへリンク

2011.03.04 Fri

朝のお努め

3月1日から自分に出来る事をひとつ始めました。

それは、毎日の「朝のお努め」。

やったほうがいいと思いながらも「自分はいつでもどこでも対話できるし、神事で一生懸命に神様と向き合っているからいいよ！」とやらない理由付けまでしていました。

神様、皆様、どうもすいませんm(_ _)m

始めた理由は、せっかく2/28に出会った男性から気づかせて頂いたので「何かひとつ具体的に行動を変える必要性」を感じたからです。

実は昨年、長老会（60歳以上の方）の方から「私も毎朝、祈りを始めたんですよ！」と教えて頂いていたのに・・・怠惰な自分は、「すばらしいですね！」と褒めながら自分だけは逃げていました。

本当に、愚かな人間でございます。

「三日坊主は、三日やりたかっただけなんだ！」と言い張っていた私も反省して、「朝のお努め」が続くよう頑張っていますが毎日、色々な存在から大切な神言葉を頂いています。

話して下さる言葉は自分自身がふと思ったのに忘れていた事もありますが、全く想像していなかった大切な気づき教えて下さいますので、忘れないように「地球創生ＳＮＳ」で公開しています。

こんな愚かな自分ですが、誰かの気づきになればと思い、毎日神様に向き合い続けます。

2011.03.04 Fri

抜けました～！

やっと苦しい学びの時間が終わったようです。

昨日、ある男性の出会いのおかげで人生を大きく方向転換させてもらいました。

この男性は、私の一回り上の亥生まれ（64歳）ですが、守護存在がとても素晴らしい母神エネルギーをお持ちの男性でした。

昨年8月にお会いしてまだ二度目ですが、最初に会った時からお互いの魂が喜んでいるのがわかり、色々な話をして下さいました。

「将来、こういう人間になりたい」と思ったほど、素敵な男性です。

たくさん話をして下さった中で一番大きな気づきは・・・

「不安は、オゴリだよ！」　という言葉でした。

そしてもうひとつ・・・

「死は、逃げだよ！」　という言葉です。

この男性は私がこれまで経験してきた苦しみや苦悩を全て感じ取っているうえでこの言葉を言って下さいましたので、全ての言葉が素直に魂に染みました。

これまでたくさん同じような言葉を言ってくれた方もいましたが、素直に聞けなかった自分と皆様にお詫びいたします。

これからは、苦しい時に自分の世界に逃げ込むのではなく、ただ光を信じて進みます！

また道を間違う事があるかもしれませんが、全ての守護を信じてゆっくり進もうと思っていますのでどうぞ宜しくお願い致します。

2011.03.01 Tue

「うつろいの神」が泣いている

2011年2月28日午前2：30、夢の中で次のメッセージが告げられ起こされましたので、その記録の一部を公開します。

「うつろいの神」が泣いている。

全ての人間の哀しみ・苦しみを受け止め続けた（地球の中にいる）神が、今まで何の為に人間の心を支え続けたのかを嘆いている。

それはお前たち人間だけの事で終わらず、この地球上で繰り返されている食物連鎖・弱肉強食の摂理でさえ、尊い命を奪い続ける事で生かされている生命全ての底（すく）＝思いを守る神なのだから、その神が泣くと地球の安定を守る母が泣いている事になる。

何の為に今までお前たちを守り続けたのか、何の為にこの地球へ転生させ新しい人生を経験させたのか、その意味さえ気づかずにいるのなら、いっそ全てをあきらめ、守ることさえ、受け止める事さえやめてしまおうかと思うほどである。

その意思に気づく者たちが必ず居ると信じているからこそ、土地神を通して伝え続けているのだ。※最近、日本や世界で起きている地震のことです。

お前たちが、今の普通を維持する為にどれほどの（見えない）存在たちが働き続けていることか・・・・・。

その事がわからないなら地震なんて生易しいものではなく、人間が存在できなくなるほどの天変地異を起こそうか・・・。

その意味がわかるなら、どうぞ早くひとつひとつの事に答えを出し、新しい人を導いて下さい。あなたの手に委ねられている責任の大きさに気づいて下さい。

この啓示を受け取る以前から毎日、地球の未来に対し自分が何に気づけばいいのか神との対話が続いていますが、今夜はよほどの事だと思いましたのでその一部を皆さんに公開しています。

「早くひとつひとつの事に答えを出し」という意味は、自分が正しいと思っている事が他人と違う場合に、その人との差を埋めなさいという意味で告げられています。

私自身もこの差を毎日、詰める努力をしていますが自分のするべき事はこのメッセージを受け取ったのは私の責任ですので、その対応としてこれまで一切、説く事を拒否していた「マスターの解脱の真理」を公開する事を決断しました。

「真理を説く事を恐れるなかれ！」とメッセージが降りたからです。

人間のあり方・人間性・考え方について 、人間の存在理由 、人間が生まれた理由 、魂の意味 、心と体と魂について 、戦争が起きる理由 、犯罪が起きる理由 、罪と罰について 、思想と宗教の考え方、男性と女性をこの世に創った理由 、人間に性の快楽と苦痛を与えた意味 、マスターが望む男女と性のあり方・・・。

誰もが最初に考えるテーマを詳しく説明するコミュニティが必要だと思いました。

これが今日の最大の神導きでしたが、真実を知る責任と覚悟が無い方もいるでしょうから、公開は「地球創生ＳＮＳ］のコミュニティサイトで公開します。

真理を受け止めるには、それぞれの魂の理解に差があるからこそ、読んだ方のコメントを通してお互いの差を埋めていく作業を行いながら愛の階段を一緒に登るコミュニティサイトにしていきます。

次に、このメッセージを読み、守護存在に確認してその理由が分かった方は、どうぞ自分のするべき事をなさって下さい。一人で祈りをする方や仲間と神事を行う方もいるでしょうけれど、必要な方たちは守護存在を通してメッセージが降りるはずです。

私自身は2月22日より、守護存在たちが明確なメッセージを一斉に届け続けてくれていますので、重要だと感じたメッセージのエッセンスを［地球創生ＳＮＳ」の中でも公開しています。

真実の自分を表に出して相手を尊重しあう仲間が集まるサイトだからこそ、本当に地球を愛する人たちは自らの情報をシェアする場として「地球創生ＳＮＳ]をご活用下さい。

私自身もこれまで制限してきた神情報や真理の気づきの全て「地球創生ＳＮＳ]の中に公開していきます。一切の裏も表もなく自分をさらけだ出しながら、お互い魂を輝かせる本気の仲間たちが集まるネットコミュニケーションサイトの誕生です。

☆ご登録はこちらからお願いします。



2011.02.28 Mon

みんながワクワク！！

今までに無いワクワク気分でネットを開く理由は、新しく立ち上げた「地球創生ＳＮＳ」のページ！



今までいくつものブログやホームページやメルマガから様々な情報を発信してきましたが、やっぱり相手がわかって情報を伝える歓びは最高ですね～！

私のページを訪れてくれた方には、この十数年間で体験したスピリチュアルな気づきや大切なメッセージを一挙に公開しています！

「地球創生？？？」って、何すればいいのかわからない人でも、必ず気づきやメリットを感じるサイトだと自信があります！

なぜそんなに自信があるかというと、最初は皆さんと同じように全く自信のかけらもない人間だったからです。

子供頃から「失敗」を体験しないとわからない頑固な性格も加わって…。

失敗が多いからたくさん挫折して混乱して苦しみましたが、必ず最後は「新しい自分の生き方」を見つけています！！

そのキッカケは、「誰かの一言」だったり、本の中の一言だったり、「ふと！」思ったことだったりしますが、失敗という経験をした分だけ知っている大切な鍵がここにはあります。

神様さえ信じられなくなっていた自分が、守護存在や神の言葉を聞き、色々な事がわかるようになればなるほど、何に気づけばいいのか彷徨っていた時期もありました。

今、スピリチュアルな世界は色々な人たちが「自分探し」にものすごいエネルギーをかけていますが、守護存在の大切な言葉を聞くようにあなたの気づきがどこかに必ずあるサイト作りを心が

けています。

もうワンランク上の自分を見つける為に集まった人たちは、とても前向きに生きようと努力している方たちばかりです。

登録者の誰もが素直な自分を出せる場所ですし、人や地球を愛する素晴らしい皆さんですから互いに気づき愛・助け合いの場になる事を願っています。

他人に理解されない感覚を持っている人や、新しい自分を見つけたい人・・・

イエイエ、もっと人や世の中の為に一生懸命生きてみたいと探してる人たちがたくさん集まっています！

これまで何度、人生の山を登って降りたか、わからないほどの失敗を繰り返した私だからこそ、同じ思いをしている人たちが支え合える場を提供したいとずっと思い続けて活動していました。

人の為に何かをしたいと思っている人は、まず登録してみて下さい！

日記やブログを書く事に慣れていない人は、他の人がどんな人かを観察して見て回るのもいいでしょう！その時に、必ずコメントを残してあげるといいですよ！

コメントを残してくれると、絶対にコメントを返してくれるはずです！

だって全員が、「本名で登録しています」ので失礼な事は誰もしないからです！

皆に心を開いている人たちは、笑顔の顔写真も載せてくれています！

もう知らない人を相手にしてを自分を作らなくてもいいんですよ！

自分らしく、そして、相手を大切に思う人たちだけが集まってくれているから安心ですよ！

登録した時点で自動的に自分のページが持てますので、好きなテーマを決めたら「この指止まれ！」の「コミュニティ」を作ってみて下さい！

私のお勧め「コミュニティ」は・・・

◎啓示・神事情報の公開・・・ブログで公開できなかった情報やその説明をしていきます

◎宇宙メッセージ公開・・・過去の宇宙メッセージを順次、詳しく説明していきます

◎個人メッセージのシェア・・・誰かが受け取ったメッセージを公開し合う事でお互いの気づきになりますし、その意味を私がフォローしていきます

◎スピリチュアル用語解説・・・沖縄の神言葉やアイヌの言葉、またスピリチュアルな世界で使われている言葉の正しく意味を説明しています。

◎神との対話・・・1998年からマスターと対話した真理の気づきや悟りをゆっくりじっくり公開していきます

◎国繋ぎ一宮宣言祈り・・・日本を守ると宣言した人たちの情報交換サイトです

◎全国巫女・神男の祈り・・・男女を問わず祈りをする人たちに祈りのメッセージを伝えます

そしてついに念願の・・・
全国六ケ所の「情報発信コミュニティ」が誕生しました！

１、北海道　札幌コミュニティ
２、東日本　東京コミュニティ
３、西日本　大阪コミュニティ
４、四国コミュニティ
５、九州コミュニティ
６、沖縄コミュニティ

基本的には生まれた場所や今、住んでいる人たちが集まっていますが、全国どこからでも参加可能です。

土地に住む人たちと情報交換ができる場は、郷土愛に溢れた人たちが地域の繋がりを大きくしてくれることでしょうね～。

この地域コミュニティで十分、情報交換し合った人たちが直接、会えばもう余計な話はしなくても、次の段階へステップアップする仲間に出会えます！

まだスタートしたばかりのサイトですので思考錯誤しながら進めていますが、

実際の地球創生活動とは、「このままじゃいけない！」と思う皆様一人一人のが意識の目覚めによって日本を愛する心を育み愛ながら、地域の繋がりを深める活動が最も大切だと思っています。

その為にもあなたがまず参加して、ぜひ自分のしたいことを情報交換して下さいね！

3月末までは完全無料で全てを見る事ができますよ！無料登録はこちら↓↓↓

地球を愛する全国の皆様が互いの情報発信で繋がるサイト
☆「地球創生ＳＮＳ」新規メンバー登録はこちらです！
☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

2011.02.26 Sat

これからの地球創生活動

2月22日の直列エネルギーの前準備として2/18から毎夜、寝ても1時間ほどですぐに起こされて、何ページもノートに書かなければいけないほど重要な気づきを頂く時間が続きました。

これほど急激に頭の中に言葉が溢れかえる経験は以前から何度もありますが、今回はこれから始まる地球創生　関西神事の為に自分自身が準備された時間だと思います。

守護存在たちは私の性格を良く知っているのでいつもゴールは見せてくれますが、途中の階段の昇り方はギリギリにならないと教えてくれません。

大量の言葉が頭の中に24時間毎日のように続くと、当然、意識バランスは崩れ、心と魂と肉体のバランスも保てなくなり、現実生活もままならなくなります。

1998年から始まった三年間のユタ修行の期間は、こういう日がほとんど毎日続いた為に、それまでの現実生活のバランスがほとんどが壊れてしまいました。

沖縄では昔からこういう経験をしている人たちがとても多く、「サーダカ生まれ」で「神ダーリ」になった人の気持ちは同じ経験をした人でなければわからない為に、精神病院に入れられたり家族や知人から疎外された生活を今も送っています。

現在、精神病院に入っている人たちや「うつ病」と診断された人たちの中にも、同じような霊的症状で悩まされている人たちが多くいます。

現代人にも同じような人たちが増えているからこそ、「動くべき人が動いて下さい」とお願いしていますが、守護存在たちは伝えた人にその目的を果たして欲しいからこそ毎夜毎夜、メッセージが伝えられているはずです。

人間の右脳の奥に眠る無意識にはテレビのチャンネルと同じようにいくつものチャンネルに分かれていて魂が担当するチャンネルごとに守護存在が本人を導きますが、現実世界でちゃんと生きる準備が整ってからメッセージが届く訳ではありません。

守護存在から強い守護メッセージを受けて現実のバランスが壊れるかどうかは、その人の精神の強さ、つまり、「チヂ神」次第だと言えますが、これも自分では選べません。

こういう苦しい体験は私の人生でも何度もありましたが、2000年までは「自分の為の気づき」だけで苦しんでいた時期だということが今は、わかります。

だからこそ、隠されていた封印が解かれて霊視や透視・予知の力が蘇って、子供の頃に見ていたあらゆる存在たちと対話も始まりましたが、一番辛いのは大きく変わる為に現実のバランスをいつも壊されてしまうことです。

周りの人はその人の頭の中の事はわかりませんので、常に「現実をちゃんと生きなさい」と言うでしょうけれど、私もそうであった様に新しい自分のバランスを作る為に急激に現実を変えなければいけなくなる為、いつも周りの人を驚かせてしまいます。

現実世界の事は色々な人が親切にアドバイスしてくれますが、「自分の魂がするべき役目」だけは誰にもわからないからこそ、守護存在が直接、意識と肉体と魂のバランスを壊してでも伝えて来る時があるという事も覚えておいて下さい。

今は、そういう人たちがとても増えているとも聞いています。

そういう方は眠る時に自分の健在意識（普段の意識）が沈静化するので、守護存在たちが夢の中に入り込んで語りかけられたり、夜中に起きなければいけないほど言葉が頭の中で溢れることがよくあるはずです。

こういう重要なメッセージは、現実生活で人間関係や金銭トラブルを起こしてでも、メッセージが届けられます。

理由は、あなたが見える現実世界はあなたの「今の意識エネルギー」でバランスが保たれていますので、新しい自分になる為には今の現実バランスを壊してでも自分が変わる為に気づきの為のメッセージとして問題を引き起こします。

問題が起きた時、ほとんどの方は「結果における原因探し」をして物事の善悪を判断しがちですが、自分の魂の本当の役目を果たそうとするなら原因である「自分を変える」だけでは終わらないのです。

この世の中で起きる全ての出来事は互いに経験しなければわからないように、人間は過去の記憶を消されている為に、自分にとって良い事や悪い事を起こしながら関わる人たちと一緒に魂の学びを繰り返します。

こういう学びは、大きな天災や事件によっても伝えられているのですが、私の守護存在からは地震や天災について語る事を控えるように言われています。

そういう天災などの啓示は、ちゃんと担当する役目の方たちが動いていますし、情報も発信してくれていますので、必要な時には情報交換をしています。

大切なことは人間は直接、自分に火の粉がかからない限り守護存在から学ぼうとしない為、人間同士のイザコザを起こし続けて色々な経験をさせますが、身の危険を感じると自分を守るのも守護存在の役目ですから、問題を起こしそうな人から離れるのは当然です。

だからこそ私がこれまで一緒に神事をした仲間たちに伝えている事は、「自分で完了出来る事だけをして下さい」とお願いしています。

どれだけ親しい仲間であっても、他人が担当する領分で自分には責任が取れない分野のことに口をはさまない様お願いしています。

理由は、その担当の人が責任を持って最後まで果たさない限り、永遠と頭の中に問われ続ける苦しみを知らないからですし、口を出す人には最後まで責任を取る事を神は求めるからです。

そうではない一般の方たちが自分や家族を守って社会生活を大切にするのは当然ですが、いざという時に「動くべき人」が動かなければ全てのバランスが壊れてしまう事も伝えられています。

火事が起きた時の消防士や日本を守る為に働いている自衛隊の人たち、また地震予知や天文学から未来を予知している研究者たちを思い浮かべてみて下さい。

「動くべき人」が必要な時に家族をおいてでも動かなければ、どれだけ大きな問題に発展するかを想像してみて下さい。

生まれた時から沖縄で毎日、神様に向きあって生きてきた人たちから話しを聞くたびに、どれほど辛い経験をしてきたかがよくわかるからこそ、生まれの役目の人だけではなく、今、全国で守護存在からの声を聞き、全国で神事をしている人たちがいてこそ、この現実が支えられていると思っています。

私はその中のただ一人の人間として、限りある人生で自分のできることで、しなければいけないことをする一人なのだと思っています。

私が感じる限り現在の日本の状態は、日月神示（ひつきしんじ）を降ろした岡本天明や、大本教の出口王仁三郎（でぐちおにさぶろう）がメッセージを伝えた昭和初期と同じく、重要な事を皆

さんが気づかなければいけない時期に入っていると感じています。

このことは、日々のニュースで流れる様々な問題を見ても気づくと思います。

だからこそ、これまで私が体験したわずかな情報や知識を「地球創生SNS]に公開することで、一人でも多くの方が守護存在と繋がる知恵を深めて頂き、「自分の進むべき道や役割」に気づいて欲しいと願っています。

改めて申し上げますが、地球創生活動は大きく二つの目的で行っています。

ひとつは、世界中の神々・御仏の位置を同じ位置の思いに整えて、神争いや先祖争いが起きないようにすることが目的です。ここには宗教全ての神々と魂の平準化も含まれています。

もうひとつの目的は、日本に生まれた人たちが一人でも多く守護存在と繋がりを深め、「日本人が果たすべき使命」を果たして欲しいと願って活動しています。

人間を作られた神は、人間に「欲と知恵」をお与えになりました。

この二つは神のプレゼントだからこそ、「欲と知恵」を歓びにしてどううまく分かち合うかを気づく為に何度も私たちは地球に生まれ変わっています。

地球に人間が誕生した数千年間で経験した全ての記憶を持つ全民族が、この日本に集結しているからこそ、私たち日本人は地球上の全ての御霊たちが喜ぶような気づきに目覚めて日本中へ、そして世界中へ高い意識エネルギーを発信する為に生まれているのです。

私は土地と御霊と人間の想念カルマをはずす役目を持って生まれた為に、人の苦しみの中にわざわざ入るような経験を繰り返していますが、本当の望みは、日本をこれから導く人たちが希望に満ち溢れた生き方を見つけて、周りの人たちに勇気や希望を与えてくれる人が増える事を願っています。

決して、私と同じような思いをし、同じ役目の道を歩む人が出ない事を願ってやみません。

だからこそ、見えない聞こえないという普通の人たちと一緒に神事をする事で、神の声を聞く体験や感覚を得て、守護存在との繋がりを深め、内なる自分や守護存在と対話できる様になった人

たちが増える事が歓びなのです。

私は守護存在との繋がりのエネルギーを「守護柱（しゅごばしら）」と呼んでいますが、その柱がしっかりしていれば、必ず自分がするべき事にも自然に気づくはずです。

人によっては、守護存在を通して周りの人の事がわかるようになった事で、ついつい他人事に口をはさんでしまう人もいると思いますが、その前にするべき事は、見えない守護存在同士の話し合いの場をあなたが作ることなのです。

人間が相手を信じるかどうかも、実は、この守護存在同士が話し合って決めています。

初めて逢った人なのにものすごく相手を好きなってしまう自分と、何も知らないのに相手を嫌いになったり恐ろしく感じる自分は、あなたの守護存在が過去世の記憶を覚えているからです。

それぞれに付いている守護存在が違う為に、霊能者同士の仲が悪いケースもありますが、どちらが正しいかではなく、それぞれの守護存在が担当しているチャンネルが違う為に「言い分」が違うのだという事も学んで下さい。

私は2月22日の神との対話で関西神事の最後、京都でどう動くかまで見せられました。

その為に必要な事も、全て神から教わりました。

あとは、それまでにするべき事を終える為に、土地の代表である関西の仲間たちと気づきあう必要がありますので日々、情報交換を繰り返しています。

土地に住む人たちの言葉や行動は、ご先祖たちの代表として言わされている言葉も含まれているからです。

関西の土地のカルマ・民族のカルマ・天皇家のカルマを整える為にお力を貸して下さる関西在住の方は、ぜひこちらへご連絡をお願いします。

日本全国で地球創生神事を応援して下さる皆様にお願いしたい事は、神事の日付を公開した時に神事参加者の安全と土地神様・天地の守護存在に「愛と感謝のエネルギー」を皆さんから送って下さる事をお願いします。

現実的に神事に入り、現地で動く人たちは皆様の代表として動いていることだけは覚えておいて下さい。

これまで神事に参加して下さった人たちや土地を代表する素晴らしい皆様のお力添えがあってこそ成しえる地球創生神事ですので、今後ともご支援・ご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

※なお「地球創生メルマガ」は、神事に関わる情報や日程をお伝えするツールとして3月以降も継続する事を決めましたので今後ともどうぞ宜しくお願いします。

☆「地球創生ＳＮＳ」新規メンバー登録はこちらへ！

※3月末まで登録・閲覧は完全無料ですのでお試し登録をどうぞ！

※毎月のＳＮＳ使用料525円は、地球創生活動に使わせて頂きます

2011.02.23 Wed

「地球創生ＳＮＳ」スタート

地球創生ＳＮＳについてご説明します。

内容はＳＮＳサイトで有名なmixi（ミクシー）と似ていますが、地球創生メルマガ登録条件と同様に、本名をフルネームで登録しますし、「一切、他人の悪口を言わない」を参加条件にして健全なＳＮＳ運営を目指します。

これまでのメルマガ機能に加えて、登録メンバー同士の情報交換ができる場として「地球創世ＳＮＳ」（月額525円）は、3月末まで全て無料で参加できますので、どうぞお試しになってご意見・改善点をご提案下さい。

☆「地球創生ＳＮＳ」新規メンバー登録はこちらへ！

◎初めて「地球創生ＳＮＳ」を使う方の為に参加メリットをお知らせします。

メリット１：
ワンウエイコミニュケーションのブログやメルマガでは公開出来ない重要な神メッセージ(吉岡受信）や情報を徐々に公開し、メッセージに対して質問できるコミニュティを作りましたので魂の学びの場となります。

メリット２：
「ネット上のサニワ」とも言える「個人が受け取ったメッセージを公開しあうコミニュティも作りましたので、意味不明なメッセージの解読・解説もお手伝いします。

メリット３：
神仏や宇宙の守護存などの見えない在から届けられるエネルギーの意味や読み取り・意味の解釈を学べるコミニュティもご提供します。

メリット４：
地球創生活動を支えて下さる有料登録メンバー同士がコミニュケーションを取れる場ですので、地域に住む人の繋がりや全国にお友達ができます。

メリット５：
日本の主要六都市（北海道　札幌・関東　東京・関西　大阪・九州・四国・沖縄）を中心として地域の繋がりを深めたり、歓びの情報発信ができる拠点が誕生する事を目指していますので、相手を確認できる対話型の情報コミニュケーションサイトとして運営します。

※お互いが大切なお金や情報を出し合うことで生まれるエネルギーによって地球創生活動が地域

に根付く活動になることを願っていますので、どうぞ無料メンバー登録からご参加下さい。

☆「地球創生ＳＮＳ」新規メンバー登録はこちらへ！

2011.02.22 Tue

2月22日の意味

2002年2月22日に、「地球創世1000年プロジェクト」の啓示が降りました。

「２」という数字の意味は、「自分と他人、自分と神」という意味があり、向き合う対象によって気づきが変わるからこそ、２が三つ並ぶ2月22日は自分の本質に気づく重要な日であることを気づいた日です。

明日2月22日のどこかで、自分自身に向き合う時間を作る事をお勧めします。

これまで行ってきた地球創世活動や神事は、全てこの日の啓示から新しい道が開かれ、早や10年目を迎えようとしています。

現在の地球や日本の状況、そして直接、お会いしたたくさんの方たちから頂いたご意見から今思う事は、今までのやり方では最終目的に到達できないと感じています。

広くたくさんの人たちに向けて無料で重要なメッセージや情報を公開し続けた結果、賛同のご意見と否定的に攻撃を受ける覚悟で本名を公開しながら活動してきましたが、現在取り組んでいる関西神事の重要性と影響を考えると今後は情報の発信方法を変える必要性を感じています。

地球創世1000年プロジェクトの啓示が降りた2002年当時を振り返えると、最初は周りのだれ一人理解してもらえず苦悩の時間を永く過ごしましたが、今ではたくさんの方たちにご理解ご支援ご協力頂けている事に感謝があふれます。

一人の人間としては未熟で不足ばかりの愚かな人間ですが、経済的・体力的・時間的に私一人にできる範囲が少ないからこそ、新体制に変更する事をごどうぞご理解下さい。

今後、変更する内容をご案内します。

１、現在の「全国巫女ネットワーク」は一旦、解散し、土地を守る巫女として別な形で情報伝達する方法を検討中です。

２、これまで無料配信していました「地球創生メルマガ」は3月末を持って廃止いたします。

３、その代わりに、メルマガ機能に登録メンバー同士の情報交換ができる場として「地球創世ＳＮＳ」（月額525円）を開設しました。

※3月末までは全て無料で参加できますので、どうぞお試しになってご意見・改善点をご提案下さい。

※ＳＮＳで有名なmixi（ミクシー）と似ていますが、地球創生メルマガ登録条件と同様に、本名をフルネームで登録しますし、「一切、他人の悪口を言わない」を参加条件にして健全なＳＮＳ運営を目指します。

☆「地球創生ＳＮＳ」新規メンバー登録はこちらへ！

※お互いが大切なお金や情報を出し合うことで生まれるエネルギーによって地球創生活動が地域に根付く活動になることを願っていますので、どうぞ無料メンバー登録からご参加下さい。

また新たな決断が必要な時期が来たと感じています。
いつも、気づかせて頂きましてありがとうございます。
2011.02.21 Mon

静岡県　大久保長安神事

関東から関西までの神道（かみみち）正しで降りた「大久保長安事件」の詳細は、こちらをお読み下さい。

戦国時代にたくさんの争いが起きた本州の土地に眠る武士の魂を正しく理解せずに土地を整える事はできませんので、大神はその代表的な思いを気づかせる為にメッセージを下さいました。

結果として神事に入るまでに思っていた事と、神事を終えてから学んだ事は大きく違っていたことを先にご報告しておきます。

今回も、「出来事やうわさを表面的に判断する人間の愚かさ」を学ばされました。

2月１０日、神事に参加してくれた４名は、伊賀国、伊勢国、志摩国、尾張国、三河国、遠江国、駿河国、伊豆国、甲斐国の９つの国守り宣言をしてくれた巫女たちです。

「国繋ぎ全国一宮宣言祈り」を自ら行った人の中でも、９つの国を繋いだ人は無いほど、何日もかけた巫女たちが同行してくれた意味は、９つの国番、神番、土地番の協力を得て行う神事になった為にとても助かりました。

最初に向かった場所は、この地域を守る大神様の場所として「富士山本宮浅間大社」（静岡県富士宮市宮町1-1）へ行きました。2009年の富士山神事以来なので、とても懐かしい場所です。



本殿の神様に本日の神事をご報告すると、「どうぞよろしくお願いします」とお言葉を下さり、今日一日の神事で使う御神水を湧玉池から頂きました。



土地を守る神社の神水を頂く意味は、神の御心を水に移して繋ぎたい土地へまく事で、神の御心を繋ぐ意味があります。

湧き出る豊かな水が出ていない神社でも、神社やお寺の中にある手水のお水でも十分、神仏の力が宿っていますので、近くの大切な神社やお寺があるならばどうぞ不浄な土地へまく許可を頂き、祈りと共に自分で土地の浄化をなさってみて下さい。

次に向かった場所は、高野山音羽山清水寺（静岡市葵区音羽町）です。

ここは徳川家康が大切にしたお寺で、慶長７年（1602年）に観音堂を建立しています。

車がこのお寺に近付くと突然、体が苦しくなり、人間の想いと共にメッセージが届きました。

偽りの噂話しを徳川家康の耳に入れ、長安を陥れたとされている本多親子【本多正信（父）・本多正純（息子）】の父親・正信からの言葉です。

『うぬたちに何がわかる・・・。大切なものや一族を守る為に仕方なかったのだ』

と言ってきました。しばらく、本多正信の魂の思いを感じ、何に正しく気づけばいいのかを感じてみました。すると、このきっかけとなる出来事は、奈良神事から新幹線で戻る途中で偶然、見た「掛川城」がヒントでした。

初めて「掛川城」を見た時、この地域は最終的に徳川家康の家臣が当主でしたが、見て感じたのはどうしても徳川家ではなく、今川家が思い浮かびました。歴史を全く知らない私ですので、後で調べて驚きました。

天皇家の南北朝争いの際、今川家が北朝に認められて「掛川城」を手に入れていたのです。しかし、そのあと今川家は、甲斐国の竹田信玄と三河国の徳川家康の両大名から挟み撃ちに合い、

駿府城から「掛川城」に立てこもり、最後は命を助ける約束の元、「掛川城」を開城したのです。

城を追われた当主は、家臣をや一族を守る為に本位ではない人生を歩まなければならなかった事をまず感じました。その無念さは、いかほどかと思うものがあり、誰に付き、誰を信じて良いのかわからなくなった時代が戦国の世でした。

※今川家と本田正信との関係は調べ切れていませんが、伝えたい神の気持ちはわかりました。

天皇家も南北朝時代は、親子兄弟で殺し合って天皇の座を奪い合った時代ですが、武士の世界も乱世になると誰も信じられない時代だった当時の苦しみがよくわかりました。

「無念、無念・・・」と伝わってくる思いと、「申し訳なかった」と心で詫びる気持ちを感じました。



清水寺に着くと、『その私たちの気持ちがわかるのならよろしく頼む』と、私の右手に本田正信・正純の御霊の思いが乗り、左手には大久保長安の首をはねた刀が渡されました。

二人の思いと因縁の刀をどうするか迷いましたが、家康が清水寺に納めた千手観音様にお渡しして、全ての思いを終わらせて下さる様お願いしました。

すると、千手観音様は大きな光と共に渡した思いと刀を受取り、私たちの祈りと共に天へ上がて下さいました。



本多親子の無念な思いはこれで成就できましたので、次は大久保長安が墓から掘り起こされ、磔にされ首を切られた場所である「安倍川河川敷」へ行きました。

河沿いに正座して祈り始めると、曇り空に光が射してきました。暫く祈っていると、長安は磔にされ、首を切られたままの状態で放置され、とても辱めを受けた事の思いが残っている事がわかりました。

その全ての思いを引き受け、もう一度、亡骸に御霊を戻して天へあげる為には、徳川家康に合いに行かなければなりません。

場所の浄化祈りを終えると大神様は御礼に、昔の人が旅に出る時に使う籐で出来た四角いかごを一人の巫女に下さり、もう一人の巫女には、乾燥させたお米を下さいました。この二つは、あの世へ行く時に持たせる旅支度の道具です。

三人目の巫女には、長安の奥さんや女性たちの悲痛な思いの証である「かんざし」を下さり、四人目の巫女には「あの世の旅支度に必要な財布」を下さいました。

河原の帰り道、大久保長安の意思を石に置き換える為に気になる石を拾い、長安の頭と胴体、本多親子と長安の奥さんや家族の思いを家康の御霊が眠る久能山東照宮に納めることにしました。

【久能山東照宮】
一番上にある家康公の御霊に向かって正座して今日一日の神事を正式にご報告したと、墓の周りに安倍川河川敷から拾ってきた石（意思）を埋めました。

家康公の魂は一切、言葉を話すこと無く、その後ろにいらっしゃる御仏様や大神様が全ての思いを天の光で繋ぎ、天上界へあげて「ご苦労様でした」とお礼の言葉を下さいました。

この神事を始める前は、どの文献や資料を見ても本多親子が我欲の為に大久保長安を陥れたとされていますが、それは一方的な見方でしかなかったと気づかされ、それぞれの人の立場や思いを

深く理解していなかった愚かさに反省させられた神事でした。

大神や御仏は、私たちに同じ愚かな過ちを繰り返さぬように、こういう歴史の一部分を気づかせる為にメッセージを届けて下さることがあるのです。

過去の様々な御霊たちの思いが残る土地の上に生きている私たちは、今日を生きるありがたさに気づくことでこの神事も意味があったと思います。

午後3時に祈り合わせ下さいました全国の皆様、本当にありがとうございます。

過去のひとつの出来事から、10も100も学ぶ心を育てたいものですね。



2011.02.18 Fri

奈良　橿原神宮：神武天皇

とても辛く厳しい藤原京神事の次は、今日一日のエネルギーを収める為に橿原（かしはら）神宮へ向かいました。

奈良　橿原神宮は、日本神道の最初の天皇である神武天皇を祀っている場所です。

明治時代に創られたこの神宮に神武天皇の御霊があるかどうか、人間として実在したかどうかという話もありますが、その真意を問う為ではなく、この奈良県に初代神武天皇を祀った意味に感謝して行かなければならないと感じました。

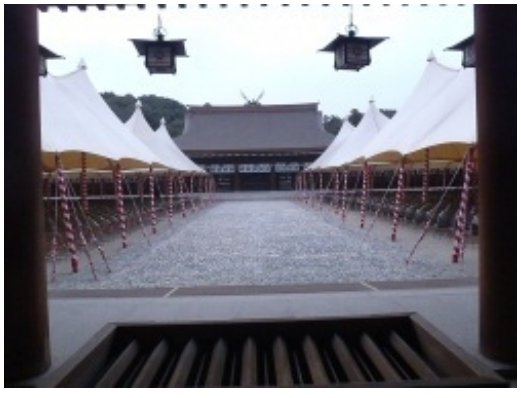
人間の思いを整える神事の場合、その土地に住む人たちの神元となる場所へ挨拶するのが神事の筋だということを沖縄の神人（かみんちゅ）・神子（かみんぐわ）から教わりました。

神の元に感謝し、人の元に感謝する事をきちんとしなければ、常に自分という視点からしか物事を考えず、我の想念に囚われた神事になるからです。

よく自分と守護存在の対話だけで聖地へ行き一人神事をする人がいますが、大きな神元と繋がらない祈りは独りよがりの神事になり易い事をよく覚えておいて下さい。必ず事前に神の元を学び、その土地の人の元にご挨拶するようにして下さい。

今回の奈良神事に参加された人たちの体には、藤原京と平城京で出てきた思いのエネルギーが体に入っていますので、ひとまずその興奮したエネルギーを収める為にもここへ来ました。

橿原神宮の神様には、表に出ていない天皇家の因縁を京都まで正すという正式なご報告と、本日行った神事の収めをこの場所でさせて頂く許可を頂きました。



境内を出て収める場所を探していると、ちょうどよく池が見つかりました。

神社の池は、「水に流す」という意味と「想いを正す・神心・水鏡」という神水の意味がありますので全員横に並んで手を出し、これまでの思い全てを池に収めました。



一人一人の言葉に出来ない辛い思い、誰にも言えなかった苦しい思いも一緒にこの神池で水に流すと、自然に、神歌が出てきました。

神の御心を持つあなたたちの思いは、よくわかりました。私たちの思いもあなたたちと同じだからこそ、どうぞこれからも宜しくお願いします。

という意味の神歌でした。他人の為に犠牲になった御霊の思い、その末裔・関係者の思いも全てこの池に納めさせて頂きました。

自然界の神々は、常に人間の行いの良い悪いを一切問わず、人間に託された神心を果たしてくれる事だけを願っています。

この人生は自分で選んだ生きてきたはずなのに、心や魂が喜ばない理由を探す人が多いのも、私たちの御霊には言葉に出来ない守護存在の思いが奥底に集まっているからなのです。

だからこそ、そのひとつひとつをクリアにする為に神事で神に向き合い、神元、人の元をクリアに正すことで多くの人の御霊も同時に磨かれて人間は輝く御霊となるのです。

神事の中で隠されたひとつの真実を表に出すことが、どれほど苦しい思いをするかは今回の神事でご理解頂けたと思いますが、天なる神の御心は、人間全ての奥底にある思いをクリアにする事でこの世が神世になると教えています。

だからこそ、幼い頃から「うまれ」と呼ばれる霊能者たちが幼い事から苦しい思いをし続けるのも、土地にへばりついた情念や思いをクリアにして欲しいという願いからなのです。

沖縄の各島にユタや神人（カミンチュ）と呼ばれる霊能者が多いのも、子供頃から「うまれ」として神に選ばれ辛い経験をしながら、土地の御霊の思いに気づいて欲しいと訴え続けられるからなのです。

沖縄の仲間には、あまりにそういう人たちが多いので何とかして欲しいと頼まれますが、沖縄に数千人いる霊能者たちの中で「うまれ」の人たちが喜ぶ為に何ができるかを考えた結果、やはり、日本という国の神元・神道（かみみち）を正す為の神事をし、土地の因縁は土地の人たちと一緒に頭を下げてお詫びするするしかないとわかりました。

天へと続く神道（かみみち）を正すのは、天守護を受けた人たちが段階的に担当として選ばれて学びをさせられているはずですし、人間の思いや土地の思いを正す担当の人たちも同様に担当ごとに必要な守護存在が付き、想念の奥底の思いを正す為の道を経験させられています。

最近、宗教や精神世界に関わる人たちの中にも突然、「見えない存在の声が聞こえたり、ビジョンが見える」人たちが増えている理由は、同じように天へ続く神道（かみみち）と人間の奥底の苦しみの呪縛をクリアにする為に与えられた役目なのだとご理解下さい。

ただし、人それぞれ担当領域が違いますので自分の概念や価値観を相手に押し付けたり、他人の行いを問う言葉を吐かないようお願いします。その人が歩む道があなたにどのように写ったとしても、その人が歩まなければいけない道だからです。何が起きてもだまって見守る事こそ、宇宙の大神が私たち人間を見守る本当の愛の姿なのです。

この「自分と他人と神」の三つの視点から学ぶ重要さは、先日の関東勉強会でも話しましたが、「魂の目覚め」であり自分に与えられた責任と範囲の中で歩む道だと学んで下さい。

藤原京の神事を読んで気分が悪くなった方もいると思いますが、その意味を自分の中に問えば必ず学ぶべきことがあると思います。

「知らないでは済まされない」、たくさんの犠牲の上に私たちの「今」があるからこそ、その真実を解き明かす神事をしなければ日本人の本当の目覚めができないと感じています。

京都神事の最終日が今年11月と決められた今、動くべき人が動く時期が来た事だけはお伝えしておきます。

奈良神事に参加された皆様はほとんどの初めてに近い出会いの方たちばかりでしたが、もう次の神事へ向けて守護存在たちがメッセージを伝えてきています。

日本全国で私の神事に参加された人たちはよく知っていると思いますが、神事のあとはどんどん守護存在との繋がりが強くなっていますので、気になるメッセージやビジョンが降りてきます。

その情報の神裁き次第で、次にすることが決まりますのでひとつひとつの思いの囚われずに神の御心を学びたいと思います。

次の関西神事は、4月22日-24日で滋賀県・琵琶湖付近で行う予定です。

深く眠る琵琶湖の奥底におられる存在は、地球の核まで繋がる太い神道（神みち）を守り、本州に渡った日本民族のあらゆる深い思いが眠る土地が滋賀県だということをお知らせしておきます。

2011.02.17 Thu

奈良　藤原京神事

（ご注意）
これまで現実意識のバランスと希望あふれる日本人の再生に力を注いできましたが、本日はあえて人間の創造主マスターのギフトである「過去世の記憶の封印」に手を付けて真実のひとつを公開します。

マスターのギフトをあえて冒す理由は、何度、人間を地球に再生しても、同じように幼い学びのレベルの為に宇宙全体を守護する存在たちから人間全体というより、日本に生まれた人たちの存在意義を問われているからです。

公開の前提として、地球上で繰り返される民族争いはアカシックレコード（宇宙の魂記憶）の12支族問題に大きく影響を受け、歴史上、何度も新文明の誕生と共に人間には再生のチャンスが与えられましたが、現在のままの意識レベルではまもなく人間全体の意識崩壊が始まると告げられたからです。

過去世の記憶を想い出した人の中には、他人に言えない苦しい記憶を一人で封印してきた魂もたくさんいます。

その多くは「生まれ」と呼ばれる霊能者のように、幼い頃から他人の苦しい過去が見えたり、死を予知する力が与えられ、誰にも言えない苦しみを抱えて生きる道を経験させられている方たちです。

なぜ自分の事だけではなく、幼い頃から他人の苦しみまで抱えて生きなければいけないのかを中学2年生の時に天に問い問答しましたが、その答えに至っている人に合った事はありません。

一概に霊能者と言っても担当する次元が違い、霊的次元の深い方は封印された深い深い人間の根幹的な想念全てを解消する役目を持って生まれた人たちがいます。

反対に、人間全体の歓びを大きくする為に希望と勇気を与えられ、現実世界と高次元意識の繋がりを愛と調和のエネルギーで動かす役目の方もいます。

私はその両方の守護力に支えられていますが、「うまれ」以外の人たちは、両者の役目の違いを理解せずに発言し、相手の過去の経験全てを傷付けている事も学ばなければなりません。

最近は個人で神事をする人たちがとても増えていますが、神事にも大きく分けて二つの種類があ

ります。

ひとつは、神や守護存在の願いを聞き届けて人間を育む力を大きくする為の神事と、封印された無意識の奥の奥に隠された真実を紐解き、自らが苦しみの渦に入って一緒に思いの転生浄化をする二つの種類があります。

地獄の蓋も開けなければいけないほど時は迫り、人間の無意識想念は深く繋がっているからこそ、根幹的な想念の呪縛を外す為に公開する経緯をどうぞご理解下さい。

今回の藤原京の神事のテーマは過去世で、

巫女の役目をした魂、神官をした魂、
王家・王族・天皇家に深く関わりを持つ魂

の全員のカルマ解消を目的に公開します。

◇　◇　◇　◇　◇

藤原京に近づいた車中、強いエネルギーが体にかかり、メッセージが降りました。

お前たちは、大切な事に気づいていない。

この場所（藤原京）で行われた重要な出来事を見つける為に、何度も訪れた者たちがいたが、誰もその真実を見つけられずに帰っていった過去がある。

お前たちにはその事を正しくわかって欲しいからこそ、こうして伝えている。

ヒントは、これだ。

そう言われて私が手渡された物は、裏表に紋章がある丸いものでした。

片面には、五芒星（陰陽師たちが使っていた五次元の力）、

片面には、六芒星（ユダヤの最高霊能者が使う六次元の力）

その意味を深く感じていると・・・、

裏と表が反対になった、反対にさせられた、その両方の力が働いた・・・と感じます。

もしかすると、ひとつ前の都・難波宮の何かを転換させたのかもしれない・・・。

何を転換したのか？

六次元の力を裏にし、五次元の力を表で動かした？

いや、ここでは六次元を表にしようとしたのではないか？

「天皇家が神道を祀るのをやめて仏教を祀ったのが藤原京ですが、その意味じゃないですか？」

と仲間の助言もありましたが、それだけじゃない、とんでもない事をした場所だということが体に苦しみを感じてわかりました・・・。

駐車場に集まった全員に、このメッセージを告げました。

すると、宮古島に先祖を持つ女性が突然、神がかり状態になり、体が震え始めました。

この女性は先祖に宮古島のユタ（霊能者）の血が流れているうえに、生まれつきの霊媒体質ですから、大きな他人のカルマも背負わされているために事前に相談に載ったほど魂の役目が大きい女性です。

彼女自身が直接、宮古島のユタたちに相談しても、あまりの問題の大きさにどこに行って何をすればいいのかわからないと言われたほど、強く大きな因縁をいくつも背負って生まれた女性でした。

彼女は苦しくて涙が止まらずにいたので、早く問題の場所を見つけなければと、藤原京の中に入り全体を見渡しました。



昔、本殿があった場所に向かってから全体を見渡していると、すぐにその場所はわかりました。

その場所で何をしたかハッキリと目に写った瞬間、あまりのむごさにすぐには全員に説明できませんでした。

過去の呪縛を外す方法を考えながら一人一人の顔を見ていると、十名全員の役割が自然にわかりました。

二名の男性には、本宮の両端の木の根元まで行ってもらい祈りをお願いしました。これは当時と同じく、男性神官の役目を背負ってもらう為です。

三名の女性には、敷地の端々に移動して祈ってもらう事にしました。これも選ばれた巫女たちが、場の決壊を張る為に行った方法です。

私と残りの五名がいる場所からは、１００ｍ以上も離れた遠い場所で五名に祈ってもらいました。

苦しむ宮古の女性に対して残った四名がこの敷地で行った儀式は、実は「呪詛（じゅそ）・呪いがけ」でした。

そして、この五名の女性たちこそ、過去の出来事に直接、関わった魂の持主である事もすぐにわかりました。

その方法は、私が知る中では最も強力で一番辛い方法を用いて行われていました。

詳細をここで公開することはさし控えますが、簡単に言いますと、宮古出身の女性を中心にして、四名の巫女が彼女の体を使って呪詛をかけたのです。

呪詛の方法は、生きたまま大の字に寝かせ、動かないようにして体に火を付け焼き殺しました。

それだけではなく、祈った四名の巫女たちは特別な方法を用いて、宮古の女性の魂に呪いがけの呪文を死ぬまでかけ続ける役目をしていたのです。

辛くても苦しくても泣きながらでも呪文をやめられない訳は、犠牲になった巫女も自分たちと同じ巫女の仲間だからです。

今回は、宮古島に先祖を持つ巫女が一番、霊能力が強い為に選ばれましたが、いつ自分が選ばれるかはわかりませんし、逆らって殺された巫女もたくさん見てきています。

だから、この祈りがどれほど辛い事だと知っていても、やりきらなければ自分も殺される事を知っていたのです。



宮古島の女性の体が焼きつくされて、御霊が肉体から離れるまで祈る理由は、彼女の御霊が永遠にこの場所から離れる事ができない様にする為です。

普通の人たちが同じ事をしてもそうはなりませんが、強力な霊能者たちが同じことを意識して祈ると、それはとんでもないさえ現実にする力が働きます。

「魂に刻印を押す」というもっとも強い、そして、残忍な方法がここでは行われたのです。

四名の巫女たちが、どこに座るかは私はすぐにわかりました。

意味がわからないまま指定した場所に座った女性たちは、私の祈りが始まると一人を除いて全員がもがき苦しみ始め、涙があふれて止まらない状態になりました。

永い永い時間が流れました。

この場所に張り付けられた魂にやっと肉体が戻り、当時の美しい巫女が姿を見せてくれました。

その魂はお礼の言葉を言ったあと、天上界へあげる祈り言葉を唱えると宮古島の女性も苦しさが体から外れ、やっと普通の状態に戻りました。

これが、巫女の経験をした魂全員が持っている「黒巫女儀式」のカルマなのです。

その記憶を覚えていなくても、同じです。

運よく、「黒巫女」としての経験を過去世でしなかった「白巫女」たちもたくさんいますが、巫女のまとめ役をしていた人はよくこの事を知っているはずです。

だって、犠牲になる巫女を選んだのはあなただからです。

さらに、この命令を巫女のトップに下したのは「神官」です。

神官は、天皇に新しい統治をする為に神仏の霊力をどう扱えばすればいいのかを問われ、あらゆる知識の中からこの方法を天皇に示した張本人なのです。

しかし、王族・皇族・支族の全ての人たちは、この黒魔術の儀式が行われた事さえ知らされずに統治の為に苦しんだという記憶しかありません。

影で行われたこの「黒巫女儀式」を実際に藤原京で行った当時、皇族で知っていたのは天皇ただ一人だったのです。

それが、持統天皇（女性）でした。

この事がはっきりわかった理由は、唯一、泣かなかった四名の祈り巫女の一人が、実際には、持統天皇そのものの魂の持主だったからです。

火あぶりで殺された事を確認する為に、あとで宮古島の女性にこう聞いてみました。

「あなたは子供のころから火を恐れた経験はないですか？」すると・・・

「子供の頃からマッチの火さえ怖くて、近づく事が出来なかった」と話してくれました。

皆さんがお持ちのトラウマやカルマも、同じです。

守護存在たちが記憶を消して生まれさせたはずなのに、魂にはその記憶が残っていますので、無意識に反応するトラウマやカルマがこういう事なのだと理解して下さい。

あとで持統天皇の魂を持つ女性に何故、泣かなかったのかを聞いてみると、

「仕方がなかったのだから、なぜ泣くのかがわからない」

という気持ちが出てきて、自分自身も困惑していたと話してくれました。

自分が忘れていても過去世に関わる土地に立つと、体や無意識が反応してしまうほど、強いエネルギー残像が土地には残っていますので、健在意識でいくら考えてもわからない事が神事ではわかります。

土地に住んだ人間の思いのエネルギーは、建物が無くなろうと工事して形を変えようとも消える事はなく、そこには御霊の思いや記憶が眠り続けています。※土地の記憶を読み取る役目がジーチバン（土地番）です。

一度、封印された記憶を呼び戻した為に感情が止まらず四名は泣き続けていましたので、過去全ての思いを整える為に本殿のあった場所で思いのまとめ儀式を行いました。



最後は、藤原京の土地を出てから持統天皇の魂を持つ女性が、宮古島の女性に土下座をして過去のお詫びをしてくれました。

その周りを囲んだ三名の巫女たちも「何もできなかった辛い思い」を持ち続けて苦しみましたが、全員一緒に自分の体に乗った魂の思いと共に天上界へあげる事ができました。

藤原京の神事は、誰も予想しなかったこういうドラマが起きた事で過去の封印が外れました。

通常、こういう部分は公開せずに神事の仲間と色々な思いを終わらせてきましたが、天皇家・王族、神官・巫女たちの魂の記憶を持つ人たちは何度も、同じ事を繰り返してきたからこそ、魂の目覚めの為に真実を知る必要があると感じましたし、両者の苦しみが外れる事を願って公開しています。

何度も言いますが、これは藤原京だけの問題ではなく、人間が繰り返してきた残虐な部分の象徴です。

だからこそ、神事の内容を皆様に公開する意味を正しく理解して下さい。

もしかすると自分が巫女だった？神官だった？王族だった？と自分に問えば、必ずどこかにその記憶の鍵が見つかります。

誰かを責める前に自らの愚かさを知り、互いの不足を補う為に生まれてきた事を想い出して下さい。

京都で行う最終最後の神事までの道のりはあまりにも遠く、それまでに多くの土地の呪縛をはずさなければ日本人の精神性が立ちませんので、土地の御霊浄化と共に地球上の歴史に隠された思いをクリアにする神事にご支援・ご協力下さい。

実際に神事に入って一緒に御霊浄化をしなければいけない方もいれば、神事の時間に祈り合わせをして下さる方もいるでしょう。

自分の心迷いのどの鍵を開ければいいのかわからない方も、地球を愛する人たちと共に祈る神事は魂の全開放によって学びや気づきがありますが、生半可な気持ちで入れば周りの人に迷惑をかけるばかりではなく、自分の呪縛にさらに苦しむ事になるでしょう。

だからこそ、様々な霊的能力がある方や守護存在の違う方たちが力をわせる必要性を訴え続けているのです。

今の現実のバランスを守りたい方は、どうぞ今のまま、現実を最優先して生きて下さい。

神や天に守護を受け、御仏やご先祖に見守られている意味さえ気づかずに生きるのであれば、それは魂の役目を果たした事にならない事を死ぬ前に必ず気づかされます。

私はただその事を知る一人の人間として役目を果たす覚悟で生きていますので、どうぞご自分の成すべき道、そして、役目を果たして下さい。

蔭ながら応援して下さる皆様の思いに支えられている事に、いつも感謝しております。

ありがとうございます。

2011.02.15 Tue

奈良　平城京神事

2月8日、日本民族のカルマ解消を目的とした関西神事の第一弾は奈良の平城京からです。

関西勉強会に参加した皆さんが土地の歴史を調べてくれたおかげで、神事に必要なテーマが導きだされて関東や関西近郊にお住まいの方が10名も神事にご参加下さいました。



ほとんで神事経験のない方ばかりでしたが、私の地球創生神事は土地のカルマ解消が目的なので必ず、土地にお住まいの皆様と一緒に神事を行います。

その理由は、参加された皆様の魂の浄化に加えて先祖カルマも同時に解消されるという利点があるからです。今回は、そのことが明確にわかる神事になりました。

天の御簾と呼ばれる「光のカーテン」を平城京の入り口で見た時、いかに今日の日を大神が待ち望んでいたかを全員がわかりました。



入口に復元された朱雀門でまず挨拶して門を通り過ぎると右手に次の門の跡地がありますが、そこから先は厳しい警護の人たちが中に入れるかを判断している場所でした。胸が苦しくなる人や、うれしい感覚を感じる人が出てきました。



見えない警護の許可を得て、１ｋｍほど先に復元された大極殿の手前まで来ると足が止まります。

「誰かが、ここで殺されている」

と、すぐにわかったので全員で御霊を上げる祈りを行いました。

無念な思いが残る御霊の周りには、涙を流しながら主君の死を見守る従者たちの姿も見えていました。

最後に円陣を組んで御霊を上げる言葉を唱えると、数名の方が御霊の思いを感じて身体が震えていました。



そのあと少し進むと、右手に皇族・公家たちが集まり私たちを見守っている姿が見えました。

また少し先に進むと、左手に巫女たちが集まっている姿も見えました。

たくさんの御霊たちに見守られながら、一歩一歩足を進めていきます。

大極殿のすぐ前に来ると、「止まりなさい！」と実際に人間の声が聞こえました。

芝生の養生の境界線を越えたのでかけられた声ですが、これも神の声。

境界線の手前に正座して、全員の祈りが始まりました。

目をつむると、大極殿の両側に男性神官たちが横並びに並んでいる姿が見えました。

私たちの祈りを見守っているようです。

祈りはじめると、この場所を守っていた存在が、私の身体を借りて大和言葉で言葉を伝えてくれました。※意味は、こういう意味です。

「大和の地を守る者たちよ。よくぞ今日、ここに集まってくれた。お前たちのその心に私はとても感銘している。この地を愛する思いはお前たちと同じだからこそ、よくぞここに来てくれたと感謝の言葉を授けよう。これからも、この地をを守り愛する魂の友として「録」を皆にあたえよう。」

そう言って、全員の両手に透明な二つの玉を下さいました。その玉には文字が書かれていて、一つの文字は「神」、もうひとつの玉には「人」と書いてあります。

「神の心と人の心」の二つがひとつになって働くのが人間だからこそ、私たちの神心を尊ぶ為に授けてくれたのです。

実際にはその前に、私に向かって大きな光の玉が来ていましたが、横に居た女性はその玉を授かったようなので、彼女の体験談をここに付け加えておきます。

ここ平城京は、とても素晴らしい祈りになった事をまずはご報告しておきます。

（参加者Ｏさんの体験談）

神事を振り返ってみて・・・私の小さな左脳で何から話せばいいのかわからないぐらい感動が大きく、参加してよかった～☆って心から思いました。

私はご神事自体が初めての経験なので、よりインパクトが鮮烈なのかもしれませんが(・.・)数日前の何か行きたくない緊張や、感じなくていいプレッシャー　が嘘のようで、案ずるより産むが易し、こんなに素晴らしいなら、ずっと行きたい！って思ったほどでした。

関西勉強会で仲間と調査した事や、私が当日の下調べを担当させて頂き、やれることはやらせて頂こうと下準備もあったので、その分の歓びもあったのかもしれません。

何から話せばいいのかわからないので、記憶にある行った先の出来事と、吉岡さんのメッセージを（メモってる分だけ）箇条書きにします。

◆平城京へ行く車の中で（吉岡さんと同じ車に乗せて頂きました）
平城京の西側の車道を走っている時、吉岡さんが「天の御簾」が出ているよ。と教えてくれました。祝福のサインとのことです。東から南の薄曇りの空に、太陽から簾（すだれ）のような放射状の光が地上に降り、やわらかあたたかく、とてもきれいで感動しました。

『・・「待っていたぞ」』（大神さまより）

私：あ～私たちがご神事に行く事を待って下さってたんだ～と感激。

◆平城京にて、
朱雀門から入り、ひたすら大極殿に向かって歩いて（１㎞ぐらい）真ん中の門を過ぎたある地点で、皆で水をまいた場所がありました。「平将門」の何らかの関係者で、人が死んでいる。と吉岡さんがおっしゃってました。

皆で、円陣を組んで祈りました。大極殿前では、終わりのほうには吉岡さんを通してとても心地よい祝詞を頂き、「両手を上に向けて出して下さい」と言われたので出すと、大神さまより、参加者全員に神の分け御霊である「透明の玉」を下さいますとおっしゃり、ありがたくありがたく、両手で受け止めました。m(_ _)m m(_ _)m m(_ _)m

あとで吉岡さんに聞きましたが、大神さまから参加者全員に頂ける事は（今まで）なかったそうです。本当に、ありがたかったです。

皆にお分け頂いた透明の玉は、左右１つずつの２つの玉だったそうですが、私が頂いたのは、両手で抱えるように持つエネルギーが来たので、その事を吉岡さんに言うと、最初は透明の玉が１つだったんだけど、あとで、参加者全員に！と説明してくれました。

※平将門については、現在、調査中ですが、この平城京に関わる情報がある方はこちらへご連絡下さい。

さあ、次は藤原京へ向かいます！

2011.02.11 Fri

関西神事の本当の目的

まず2/8の奈良神事の追加情報をお知らせします。

今回の関西　奈良神事は、最終的に京都で行う「日本国の国神立て直しの神事」を目的とした壮大な神事の始まりを告げています。

日本の歴史上、最大のカルマは　関西に祀った大神様を関東に移した事が最大のカルマになっています。

この感情は、わかりやすい土地のカルマとして、
１、関西人の関東人嫌い
２、京都の上京区と下京区のライバル心
３、関西全地区に残る地域ごとのライバル心　に現れています。

もともと関西という土地は、国の平安を願い神が住まう大切な土地だからこそ、幾度も宮を建て国守りにたくさんの民族が集まった土地ですしたが、この解消には、難波宮・藤原京・平城京・長岡京・平安京・京都御所+αの土地に残る思い全てを引き受けて、改めて京都で「国神立て直しの神事」を行う必要があります。

関西が「神不在」となった事により、神守りをしていた公家・武家・民の目的意識が低下し、収入を失いよそへ移住した一団もいますが、土地を持っている人たちの所に集まった形で現在の集落は形成しています。

最終的な京都の神事を行う為には、皇族の血筋や日本民族の王家の血筋を持つ方たちの参加に加えて、神巫女・神番・霊界番・土地番・龍の番・鳳凰番など様々な次元意識を持つ方たちが力を合わせなければできないほど大きなエネルギーを動かす神事になりますし、期限は２０１１年末までと言われています。

※沖縄流に言えば、「天の１０段、地（底）の１０段」の祈りをしなければいけないという意味です。

だからこそ2/8の奈良神事は、日本に渡来した民族カルマの整いを目的で行いますが、実は、宇宙の大神の意志は、宇宙最大カルマが地球に意識転生したユダヤ・イスラエル民族の１２支族問題にまで遡る神事なのです。

守護ラインが宇宙次元にまで繋がっている人たちは、どうぞ自分の守護ラインを通してこのこと

をご確認下さい。

日本人は、この宇宙の壮大な記憶を乗り越えて和合し、愛を育みあう星にするために日本に生まれた人たちなのです。

大切な約束を忘れた人たちの為に、因果因縁が強く残る土地にわざわざ足を踏み入れて土地を愛する人たちと共に神事を行い、一人一人の守護存在を通して日本民族のカルマ解消を続けているのです。

現在の日本の信仰心が完成するまでには、先住民アイヌたちが守り続けた「自然神・先祖神」という思想に加えて、渡来人が持ち込んだ神仏思想が加わり、神国日本という統一思想を完成しましたが、地球規模では「人間が誕生してから続いているカルマにまで手を付けなければいけない時期が来たという事です。

通常、神事に参加する人以外にこういう大切な神情報は公開してきませんでしたが、あえて公開している理由は一人でも多くの方に目覚め頂き、これからの神事にあなたのお力を貸して欲しいからです。

２０１１年までと焦る理由は、無責任にも「間に合わない」というメッセージを受け取っている人たちが増えているからです。

私は必ずやり遂げると神々に宣言し続けていますが、

２０１１年１１月１１日までに終えなければ、
全てが崩壊する

というメッセージも受け取っています。

予想しない神事がいくつも追加される為に活動資金が不足しておりますので、地球創生活動にご賛同・ご理解頂けます皆様は　地球創世基金に御支援金をお願い致します。

◎日本人の魂に触れる民族カルマ（追加資料）

１、天皇家の本来の血筋を正す本当の意味と目的

２、1336年皇族の南朝（大和国吉野行宮）と北朝（山城国平安京）分裂の背景

３、南朝　大室寅之祐（明治天皇）の即位の目的

４、イスラエルの「失われた10支族」と皇族のキリスト信仰の理由

５、紀元前10世紀から紀元前6世紀にかけて古代イスラエルに存在したユダ王国の2支族の日本への影響

６、「日ユ同祖論」には、主に三つの考え方がある。
?古代イスラエルの「失われた10支族」が、日本に来たという説。
?古代イスラエルの「失われた10支族」のみならず、12支族全てが、日本に来たという説。?古代日本人が、ユダヤ人の先祖であるという説。

7、支配階級とユタ・ユダ・エタ・被差別部落問題による土地の因縁

（追加情報１）　※Ｋ氏より
歴史の報告を致します。日本には紀元前にキリストが生まれる前のイスラエル 10支族のユダヤ人の秦氏がやって来ました。この人たちは、お祈りをする時に動物の生け贄を捧げていました。

後に原始キリスト教のユダヤ人が来て、お祈りの時の生け贄は血に触れると言うことで最初に来たユダヤ人を迫害しました。この迫害を受けた人たちは現在の大阪 奈良に多く、「被差別部落」として日本人のカルマに残っていると思われます。

彼らの多くは、沖縄・北海道に追いやられました。追いやられる時に現地の人と結婚し、信仰・布教が全国的に広がったと思われます。

次に、南北朝時代 587年 用明天皇が崩御すると、 親仏派の蘇我 馬子 と排仏派の物部守屋との間で武力衝突が起こり、守屋側が敗れると 大神神社・大和神社 ・石上神社の神威も次第に衰えていきました。

第41代 持統天皇と渡来系氏族の藤原(中臣)不比等 が共謀して、国津神の業績と歴史を切り捨て天孫族の都合の良いように改ざんしました。この事が、南北朝時代から江戸時代末期まで 天皇の祭儀は全て仏式で行われていた理由です。

その後、明治時代になって伊勢神宮が日本の皇室の祖神として復活するのです。

南朝の末裔　後醍醐天皇の孫にあたる大室虎之祐を、伊藤博文や桂小五郎らが本来の天皇の血脈に帰る計略をしました。それまで南朝の末裔の虎之祐は、南朝に仕えていた毛利家長州藩の武士たちにかくまわれて ぼそぼそと生き延びていました。

北畠親房の「尊皇思想」に目覚めた勝海舟・坂本龍馬・西郷隆盛の本家の菊池家が南朝側にあった事から薩摩と長州が同盟を結び、幕府側に勝ち、徳川慶喜の大政奉還に繋がりました。

北朝の天皇家には足利義満以来、天皇の血脈が流れていない為、 明治維新の時に北朝の睦仁親王を殺めて、南朝の虎之助と入れ替えて即位させました（明治天皇）。

この天皇家のカルマもあると思われます。皇室とって最も大切なことは天照大神から受け継いでいる天皇の血脈を守ることだからです。

明治天皇の孫であり、国際政治評論家の中丸薫氏の著書「真実のともし火を消してはならない」（サンマーク出版）のエピローグに、「明治天皇の真実」について記載されています。

私はこれを読んで非常に驚きましたが、明治維新の真の意味を知りました。明治維新の真意は、天皇の血脈を正当な南朝の天皇家に戻す事件だったのです。

北朝の天皇家には足利義満の時以来,天皇の血脈が流れていない。そのため天皇家の血脈をもっている南朝に天皇の座を取り戻すために勤皇の志士たちが決起し、明治維新を起こしたということです。

つまり、後醍醐天皇の第11番目の皇子、満良親王の御王孫である大室寅之祐を勤皇の志士でとしたのです。伊藤博文とか桂小五郎たちが、彼を担ぎ上げて天皇のすり替えを行ったということです。

1864年孝明天皇の皇子である睦仁親王が12歳の時、禁門の変が起こりいました。女官たちに囲まれて育った睦仁親王は、大砲の音と女官たちの泣き叫ぶ声に圧迫され卒倒してしまいました。

睦仁親王と寅之祐のすり替えはその時なされ、大室寅之祐が明治天皇として即位したのです。

明治天皇は北朝の末裔、孝明天皇の皇子ではなく、南朝の末裔、大室寅之祐だったのです。そのため現在の天皇家は天照大神から受け継いだ血脈が正統に流れているのです。（CPA東郷の「ヨハネの黙示録」概説、「日ユ同祖論」参照）

（追加資料２）※出所不明
「被差別部落問題」。 明治４年に太政官令により、差別部落の人間にも苗字をあたえることになりました。それまで苗字を持つのは武士と一部の苗字帯刀を許された者に限られていましたが、百姓・商人・職人なども晴れて苗字を名乗れることになりました。

庶民には苗字はなかったのかというと、そうではなく、あっても名乗れなかったのです。苗字がなかったのが差別部落の人々で、この人たちは人別帳外（戸籍がない）として年貢を納めることもなくそのかわり土地も持てない生活でした。

明治４年太政官令ではこれらの制度を廃止して差別部落民にも苗字を与えようという画期的な試みがなされたのです。しかし、その名前を付けるに当たり、あとで分かるように巧妙な罠が仕掛けられていました。

※以上の情報の正誤・取り扱いについては、個人の責任でご判断下さい。なお、神事で降りた神言葉は、地球創世メルマガより配信致します。

神事は、ひとつひとつの真偽を問う事が目的ではなく、全ての思いを自らの守護存在を通して確認しながら命を与えて下さった大神様の意味に気づき、心根ある日本人として世界を、そして地球を愛する人間の代表となってカルマの解消に向き合う事が神事の目的です。

神の御前にて身と心を正し、御自らの御霊をさらけ出す心根こそ、神に通じる心磨きであり、魂の目覚めになる事を御理解下さい。

2011.02.07 Mon

日本神話の正しい解釈

本日より日本神話を正しく理解する為に行う関西　奈良神事の事前情報を公開します。

皆さんに神事の事前情報を公開する理由は、関西一円に広まっている民族同士の思いが関東一円にも影響し、現在も同じように日本全国に住む人のカルマとして残っている現状があるからです。

また、最終目的地である京都神事を行うまでに宇宙の大神の意思を一人でも多くの人に気づいて頂き、共に日本に生まれた神の子意識に目覚めてお力添えを頂きたいからです。

実際に神事で降りた神言葉など重要な内容は、地球創世メルマガで公開していきます。

１、まず日本神話を正しく解釈する為には、神様の名前で紹介されている存在は全て実際の人間を脚色して登場させていると覚えておいて下さい。

歴史で起きた事実をもとにして脚色して完成したものが日本神話であり、古事記や日本書紀も同様に権力者が内容を脚色して書かせた物です。

こうした目的は、日本における先住民族と渡来民族の関わりを神様の名前に置き換える事によって、「神＝人」、つまり天皇が日本の国の神であるという思想を根付かせる狙いがあったからです。

２、時代は、日本の先住民であるアイヌ民族の時代まで遡りましょう。

中国大陸が大陸プレートの亀裂によって分かれてできた日本という島国は、温暖な気候や海流の変化でたくさんの人たちが船で日本にやって来るようになりました。

３、時代が進むにつれて権力や武器を持った集団が各地に住みつくようになり、それはやがて「豪族」と呼ばれ土地の支配者になりました。

沖縄・九州・四国・本州の各地に多くの豪族が存在した事も、色々な歴史書に証明されていますが、この時代は日本を統一するような大きな力を持った存在がおらず、各地方ごとに土地や民衆を支配していた各地の親分だと思って下さい。

４、渡来してきた多くの民族は、中国・韓国・台湾などアジアから入ってきましたが、直接、関西に入ったのではなく、近い島が続く九州の壱岐・対馬などから九州に入りました。

また南方系のインド・インドネシア・中国の南部から黒潮の流れに乗って日本に入った民族は、沖縄・四国・九州・本州の各岬にたどりつき、土地の豪族と手を組みながら勢力を拡大していきました。

さてここまでの話は事実ですが、これからご紹介する内容の真偽についてはご自分で調べて検証して下さい。

自分が不思議に思った事の真偽を調べる行為は、自らの守護神と内在神との対話にもなりますし、その相容れない思いを和合させる心こそ、大きな宇宙愛を育む心を育てるからです。

歴史認識のあらましを報告します。

紀元前1世紀頃には、加茂氏（葛城王朝＝神武天皇）や三輪氏（三輪王朝＝崇神天皇）の銅鐸文化が西日本を中心に栄えていたと思われます。

彼らは、出雲神族で国津神に当たります。

その後、北九州から武装集団である物部集団（海洋民族）が、四国から淡路を経由して紀伊→大和に入った。彼らは銅剣 銅ほこを大陸から輸入して大量に使用していました。

しかし、文献からは銅鐸も使用していた事から、加茂三輪政権を大和で併合したと思われます。

また、旧事本紀（くじほんぎ）という書物には、「天照国照彦・天火明櫛玉・ニギハヤヒノミコト（＝ニニギの兄）という神名を使っていることから物部、尾張、度会（ホアカリ系）、海部（海人族＝ホアカリの命）、加茂、三輪、多治比氏らは全て同族で和合していて、物部氏が他の古氏族や先住民族をまとめあげ平定していたと思われます。

この政権が邪馬台国で、太陽神（アマ）と化身である地の神（クニ）である蛇を信仰しアマテルクニテルをその名に冠するようになった。

この政権を三世紀半ば南朝鮮の任那（みまな）からやってきた崇神天皇が外国人である為に、オオモノネシを祭ることができなかった。だから、銅鐸文化を破壊し痕跡を消した。しかしそれでも物部氏の力は衰えなかった。

その後、崇仏派の蘇我氏と排仏派の物部氏が対立し、物部氏が負け大神神社等が廃り持統天皇と藤原不比等が天孫族に都合の良いように改ざんした。

つまり、天照国照であった国祖神を天照大神の女性にすり替え皇祖神とした。

三輪の神（天神・地祇・天皇霊）の3の和合を天神と天皇霊を取りだし、最終的に伊勢に移した。この事が記紀を改ざんし日本の歴史認識を変えたターニングポイントになったと思われます。

また、その後イスラエルの民である原始キリスト教の秦氏（秦の始皇帝）のハイテク集団が大和朝廷を愛の助け合いで取り込み、今の天皇家に血筋を入れ込んだと思われます。

流れとしまして、北九州から河内国（大阪東部）へ、さらに大和国（奈良県）に入って、山城国（京都南部）に都を移したと思われます。

秦氏が、今の神道（原始キリスト教）を布教したと思われます。

八幡信仰や稲荷信仰や籠神社・真名井神社（豊受大神）、志摩の一宮伊雑宮（天照大神）等からダビデの星が隠れています。

住吉大社は、ホアカリ系だと思われます。

※イワレビコ（後の神武天皇）が東征し、それに抵抗したナガスネヒコが敗れた後、イワレビコがアマテラスの子孫であることを知り、イワレビコのもとに下った。

真実は、大神のみぞ知る

2011.02.05 Sat

アイヌの最高エカシが語るカムイ神話

日本の先住民として認められたアイヌ民族の最高儀式「カムイノミ」を伝統に沿って行える最後のエカシとして有名だった葛野（くずの）辰次郎エカシ（長老）は、2002年に亡くなられましたが、晩年、長老だけに言い伝えられている神言葉を文字に残して下さいました。

2003年に息子の葛野 次雄（くずの つぎお）さんにお会いした時、難しいアイヌ語を読みやすい日本語に置き換えてお渡ししましたが、原本にはとても驚きの内容が詰まっていました。

地球に人間を誕生させた時の話しや、世界中の宗教でも説明している神の世界を詳しく書いてあったのには驚きました。

読めば読むほど、いかにアイヌ民族が知性の高い民族であったかを示す内容ですが、アイヌ民族が世界に影響を与えていた事実に気づいた時、さらに驚きました。

知れば知るほど、歴史学者たちにも一般の人に正しくその情報が伝わっていない事に驚きます。

「文字を持たない民族」として縄文時代から生き続けたアイヌ民族は、狩猟民族として野蛮な原住民のイメージが多い様ですが、実際は、最高の知性を長老たちと霊媒師（トゥスクル）が語り継いでいる民族なのです。

しかし、もう北海道にも数えるほどしか正式な「カムイノミ」をできる方は残っていません。

形式的な手順や道具はビデオに残っているので真似は出来ますが、その神事をする為にどれほど高い知性や精神性が求められるかまでは記録がないからです。

高い精神性を守り継ぐ難しさは、今の沖縄の現状も同じですが、私たちの生きる現代でさえ祖父母が守った精神性や知性を引き継ぐ事が難しい時代です。

エカシ（長老）たちに、そういう大切な役目がある事さえ知らされていなかった一般民衆の役割りは、生き残る為に常に感覚を研ぎ澄まし、家族を守る為の生きる知恵を持っていました。

現代では、それさえも失いかけていると感じます。

アイヌの女性たちは先祖に関わることだけを祈りますが、それは命を繋ぐには生死の決断をするという大切な役目を女性が持っているからなのでしょう。

これから公開する内容は、アイヌ民族のルーツにも触れていますが、実は世界の民族ルーツにも関わる重要なメッセージも含んでいます。

今年2011年が、いかに重要な年かを知っているからこそ、今、目覚めなければいけない方たちの為に公開を決意しました。

いくつかに分けて内容と説明を加えますが、どうぞこれまでの間違った歴史や情報を忘れて素直にお読みになって下さい。

一人でも多くの方が、目覚める事を祈っています！

◎内容の公開は「地球創世メルマガ」にのみ公開しますので、未登録の方は急いで登録して下さい。

※登録の際、アドレス間違い、パソコンからのメール拒否設定、本名なしの登録不備が増えていますので再度確認して下さい。メルマガ登録後、返信メールがすぐに届かない場合は「登録不備」で削除になっていますので、確認してから再登録して下さい。



葛野辰次郎（くずのたつじろう）エカシ
（1910年 - 2002年3月27日）

2011.02.02 Wed

日本民族のカルマ解消

まもなく1月も終わりになりますが、旧暦の元旦（2月3日）までに気づくべき大切なことはもう気づかれましたか？

ブログに公開できない重要なメッセージは「地球創世メルマガ」から配信していますので、まだ未登録の方は、こちらからご登録下さい。

2011年は誰もが自分らしく、そして魂の役目に気づいて行動する年ですので、その為に様々な出来事も起きますが、全て自分の愛を大きくする為の学びとして受け入れる心をお持ち下さい。

2月8日と10日は、関東・東海・関西の土地のカルマ解消の神事を行いますが、ご一緒する皆様と一緒に大きな神に向き合う事で魂の成長を即したいと思っています。

最終目的は、関東から京都まで繋がる土地の思いや人の思いを全てクリーニングして、宇宙の大神の意思が日本国全体で働けるようにする事が目的ですが、そこにはとてつもない影の因縁想念がうごめいているからこそ、ひとつひとつ階段を登るように土地のクリーニングしていきたいと思っています。

土地に入った民族ルーツを遡ると、その背景に宇宙で経験した星の過去世も関係している事はご存じだと思いますが、その紐解きは魂の目覚めに直接、繋がるからこそ現実視点を大切にしながらアカシックレコードも行っています。

なぜ本州最大のカルマにおいて「京都」にこだわるかですが、41年前まで日本最大の結界を張り、最も大きな神エネルギーを動かしていた京都だからこそ、現在の日本人の心の裏表には、この因縁に惑わされて混乱している人たちが多いからです。

京都に足を踏み入れると霊界・神界のエネルギーが渦巻き、人の意識に影響を与えている事は見えない世界を感じる方なら誰もが知っている常識です。

その根幹となっている京都及び近隣の神界・霊界エネルギー全てを整える事は、まだ誰も成し得ていない重要な問題です。

自分の精神的な混乱理由がわからない方が多いのは、実は京都の混乱エネルギーは日本民族の精神性に大きな影響を与えて続けている「天皇家」の問題があるからです。

天皇家の民族的なルーツ問題も確かに裏にはありますが、それよりも神と崇めた存在の扱い方を

大きく変えた事によって日本人の精神性は大きく崩れ、人が神仏を都合のいいように扱うという愚かな行為が日本全国に広がっています。

神職もお坊さんもそれぞれの宗派の目的があるでしょうけれど、本来、日本に生まれた全ての人たちは、世界のどの民族よりも高い知性と霊性を持って生まれた民族だと言う事を皆さんは忘れています。

地球上にある全ての宗教が無くなっても、神仏を大切にする心を育み続け、感謝の祈りをする重要性は誰もが魂で知っていると言う意味です。

さらに言えば、日本人の祈りの力は世界のどの民族の祈りよりも強く高く届き、大いなる宇宙の大神様の意思を感じる民族である事は世界のシャーマンたちが認めています。

民衆思想を政治的意図からコントロールする事は太古の時代から行われていましたが、東京遷都後、たった40年あまりでここまで日本人の精神性を陥れた事のほうが私は恐ろしく感じます。

いずれ京都で勉強会を開催する予定でいますのが、関西近隣にお住まいの方、また日本人の霊性を立て直す為に生まれた魂の役目を持つ方は、どうぞ私に直接、ご連絡下さい。

私は本気でこの日本国の精神性を建て直して、地球全体へ大きな愛を広げる日本人の魂の役目を持つ方たちをサポートする人間ですので、神命にかけて宇宙の大神の意思を日本へ復活させると誓います。

経済的・人的なご支援を頂きながら私もここまでやってきましたが、今後は世界中の民族の意識を変えるような素晴らしい人たちがたくさん出て来ると信じていますので、先を歩く一人として成すべき事をしなければと思っています。

地球にとって、そして、人間にとって残された時間が少ないからこそ、一人でも多くの方が愛に溢れた生き方を思いだし、周りの方たちを目覚めさせて下さる事をお願いします。

2011.01.28 Fri

繋がりの紐

2011.1.14　群馬講演会へ向かう飛行機の中で降りたメッセージを公開します

いつも自分ではどうする事も出来ない存在たちがいる事を覚えておいて欲しい。

それはあなたたちの言う神や霊だけではなく、もっと多くの様々な意識体エネルギーがいるという事だ。

どうしてもその事がわからなければ、空を見上げなさい。

雲は、全てその意識体そのものだからこそ、時に分かり易く姿を変えてメッセージを伝えるが、その一瞬を見逃すこと無く見つける事が出来る人は、その存在たちと繋がりを持つラインがある事を示している。

本来、その繋がりのラインは全ての人間に与えられたものだが、下を見続け目に写るものしか信じなくなった人たちは、心に写るメッセージの言葉よりも周りから発せされる雑音的な情報に惑わされ続けている。

とても残念なことだ・・・。

何の為に、魂と命と肉体を与えられたのかを忘れた人たちは、いつの世も繰り返し生きる事に苦悩するであろう。

それは、あなたたち人間が人間にとって都合のいいルールの上で規則やルールを作ってきたからこそ、自分が決めたルールに縛られて苦しんでいる事に気づいていない。

あなたが死ねば、その「生きるルールの紐」から解き放たれる解放感も得られるが、全ての人間、生物、個体、液体、気体となっているエネルギー体との「繋がりの紐」を見た時、いかに愚かな生き方をしてきたかを気づくだろう。

何度も言い続けてきた事だが、人間が死ぬという事は人間が地球に生まれた時から決められた事だからこそ相反する行いが、いかに愚かなことであるかを気づく時が来るだろう。

自らの先祖たちが決めたルールに縛られて生きる生き方を変えようとは思わないかい？

過去や先人の行いや他人を否定するのではなく、あなた自身があなたのできる範囲で決められる

事があるのなら、精一杯自分を主張して生きて下さい。

その為に与えられた家族や仕事やお金をどういう意味に使うかは、あなた次第なのだ。

あなたにとって良い条件が揃っているかどうかが問題なのではなく、あなたが与えられた環境や条件、人の出会いをどう向き合って生きるか決める事で、全ての道が出来上がるのだ。

何の為に生まれ、何の為に人は死ぬのか、もうそろそろその意味を正しく知る時が来ているよ。

私たちとの繋がりを忘れずにいて下さいね。

2011.01.27 Thu

よそごろの神

昨日、気づいた事をブログに書いたので今夜はゆっくり寝られるかと思えば、やはり昨夜も夜中に起こされ、朝方やっとメッセージを降ろす気になりました。

夜中に起こされる理由がメッセージを受け取る必要がある事はうすうす気づいていましたが、夜中のメッセージは深く暗い世界から厳しい言葉が多い為、無意識に避けていたようです。

でもメッセージを降ろしてみると、とてもやさしいお言葉でしたので、神様の愛を皆様にもおすそ分けします。

よそごろの神　みたう心持てば　全ての神喜ぶ

よそごろとは　慈しみ・憐れみ・悲しみ・憂い

そして　自己愛のことである

よそごろの心は

他愛と自愛のはざまにあり

皆　多くの悩みにもなるが

これ全て”憂いの心”を学べば癒される

いつまでも過去の自分を掴まず

今を生きる心に羽根を付けなさい

いつどこに居ても　お前たちの誰ひとりも

見逃すことなく見守っている

その事を忘れず　生きなさい

守護は天、そして　自らが地となり

全ての光を受け入れなさい

2011年1月26日メッセージ

2011.01.26 Wed

旧暦の元旦までに

今年2011年の旧暦の元旦は2月3日ですが、それまでに気づかなければいけない事が山積みのようです。

そう思う理由は、昨年11月から夜中2時半前後に突然、目が覚め寝れなくなってしまう回数が増えているからです。※これはけっして年齢のせいではありません（＾＾）

以前にもお話しましたが、日本人は「新暦」という暦の時間サイクルで現在生活していますので、現実意識は新暦に合わせて働きますが、本来、日本人は旧暦に合わせて生きる生活をしてきた民族ですので、無意識の部分は旧暦のサイクルに大きな影響を受けています。

普段、旧暦を意識しない人でも新暦の元旦以降、身体や心がスッキリしない人は、まずこの部分を気にしてみて下さい。

無意識の旧暦の年末が迫っていますので、たくさんのメッセージがあなたに届けられているはずです。

私も一眠りで、三つのシーンの夢を見るほど伝えたい事が山のようにエネルギーでのしかかってきて大変です。

こういう無意識エネルギーの影響を受けやすい人は、魂メッセージを素直に受け止めて生きるようになった方や、沖縄に住む人のように先祖が守ってきた習慣や神仏を大切にしている方たちが多い様です。

特に神仏を大切にする人たちは、自分の魂の目覚めも含めて、大切な気づきの時間として与えられている事を意識して欲しいと思います。

沖縄が、今でも大切な「神ごと」ほど旧暦で行われている理由も同じです。

普段は寝付いたらグッスリ朝までタイプなのに突然、夜中に起こされる体験がある方はよく聞いておいて下さいね！

まず神仏を大切にしている人たちへ伝えます。※宗派・信仰の違いを問わず

本当の神仏は自分の魂の中にいるからこそ、自分の神我、真我へ向き合って今、気づくべき事が

何かを気づく為の時間が与えられているのだと思って下さい。

あなたは普段、周りの色々な人の行動や言葉から「気づき」を得る努力をたくさんしていると思いますが、得られた情報を判断する「自分」が変わらなければ、「思いつく結果・気づき」が同じだという事に気づかなければいけないのです。

そういう「今までの自分」を掴んだままでは、地球の未来を変える事は出来ないからこそ、多くの人が目覚める為に何度も大きなエネルギー上昇が起きているのです。

この事に気づかず、（今までの）自分の考え方に固執しているあなたは、今後、歓びを感じる人生を手に入れる事は出来なくなると断言しておきます。

これまでの人生で自分が望むもの全てを叶え続けているマジシャンみたいな人なら話は別ですが、そういう人はまずこの世には居ないと思います。

理由は、そういう人に神々たちはたいてい自分の「おごり」を気づく為に辛い経験を用意してくれるからです。

自らの「おごり」に気づき、やっと辛い時間を乗り越えた人でさえも、何度も何度もステージが上がる為に「自分を変え続けなさい」とチャレンジテーマが与えられます。

「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」と言われますが、私なりに言い換えるとしたら、

「賢者は他人の言動・行いから自らの囚われを外す努力をし、愚者は自らの思いを成し遂げようと他人をコントロールしたがる」になります。

（神仏を信じきれない人たちへ）

どうぞ、自分が一番正しいと思う事をやり遂げて下さい。

あなたが自分を信じられないのは自分自身の問題だと気づくまで、永遠に孤独の戦いが続くことでしょう。

あなたにアドバイスできることがあるとすれば、神仏を信じる前に何度、裏切られても人を信じる練習をすることです。

人を信じきれない人は、常に「自分を信じられない人」だからです。

私も地球を救う為に動きだす人たちが、たくさんいると信じています。

「もう動き出す時期が来たのですよ」と伝え続けている理由は、１００%、１０００%、無限大に皆さんを信じているからです。

だから一緒に、日本人の魂を救いましょう！

一緒に、世界を救う人たちへエールを送りましょう！

その為にもあなたは、まず１００%自分を信じる事からはじめて下さい。

今日にありがとう！そして、明日もありがとうをあなたに届けたい！



2011.01.25 Tue

あなたは無意識に人を傷つけています

１月１１日に公開した大久保長安事件（1613年）が、日本人の六割に影響している事を大神に知らされた時は驚きましたが、その理由を色々考えていてようやく大神の意思がわかりました。

まず日本全国の金山・銀山を統括していた最高役職に居た人間だからこそ、彼の死によって様々な思いをした人がいた事はわかりますよね。

今回、起きた事件で直接苦しんだ方は、汚名を着せられ惨殺された大久保長安の家族親戚の思い、その部下だった人たちの思い、さらには日本全体の金山銀山で働かされていた人たちの思いなどがあります。

反対に、大久保長安をだました方の本多正信・本多正純親子やだまされた徳川家康公自身の問題もありますが、御仏になった全ての人たちは天上界でもうその事についての学びは終えています。自らの幼さや愚かさを知り、互いに詫びをしあって魂的には和合が完了しています。

しかし、今回のメッセージの本当の意味はもっと人間の奥底にある大きな問題を定義しているのです。

この現世で生き続けている人の魂の奥底にある「思い」の事を言っているのです。それは、あなたがその事実を忘れていても関係ありません。

近い先祖やあなたの魂がその事を覚えている限り、永遠と続く「まどわしの心」があなたの心を揺らし続けて同じあやまちを繰り返しているのですよ。

思い当たる事はありませんか？

大久保さんや本多さんという名字の方で人間関係で苦しんでいる方がいたら、まずこの事が原因になっていると思って間違いありません。またその腹心の部下たちも同じ様な思いで苦しんでいることでしょう。

私が名前を聞いただけでその人の先祖や心の奥底の思いまでわかる理由も、「名字」には過去全ての因縁が蓄積されているからです。

しかし、その過去の因縁を乗り越える為に「魂の役目の名前」を頂き、どこにいつ生まれるかを考えてあなたはこの世に生まれてきたのです。

だからこそ皆さんに「正しい先祖祈り」をして下さいとお願いしている理由は、先祖の為ではなく、あなたの心が過去のカルマに引っ張れない様にする為なのですよ！

でも今回のメッセージで大神が本当に伝えたい事はこれだけではありません。このひとつの事件を象徴的に伝えましたが、本当の問題は、

人の言葉を信じて他人を傷付ける本質的な人間の愚かさを改める必要　があると教えてくれています。

あなたの日々の出来事で言えば、あなたが何気なく口にした近所の人のうわさ話、学校や会社の人のうわさ話、友人知人の間で広がるうわさ話で生涯苦しむ人たちがいる事に気づかず、無責任に人の言葉を信じて軽はずみな言葉を口する愚かな自分のことだと思って下さい。

こういう「うわさ話」によって、どれくらい人が傷付いて苦しい思いをするかは、経験した本人でなければわかりません。

噂を信じて話しに乗った人が全く傷付けるつもりがなかったとしても、無責任に発言したあなたの一言で取り返しがつかないほど人を傷付けている事を気づかなければいけない事を教えてくれているのですよ！

「うわさ話で人の心を動かす手法」はエジプトの時代から現代でも続いていますし、政治や経済の世界や商売においては積極的に「うわさを利用した手法」を用いています。

現代では、「うわさをねつ造して流す専門家」も多く、テレビ・ラジオ・ネット社会・雑誌などの広告情報産業全てがその役目をしていると言えます。

嘘の情報を流した人が悪いのか？、嘘の情報を信じた自分が悪いのか？

その罪は、同罪なのです！

魂的に考えると、その被害者も含めて同じレベルの学びをしている同士だと言えるのです。

人間の根幹的な愚かさと幼さに気づく為に今回の大久保長安事件を思い出させてくれた事に感謝して、人間の愚かさをお詫びし、今後、二度と同じことを繰り返さない為の日本人全体の神事を行いますので、どうぞ自らの言動に反省する気持ちがある方は神事に参加するか、祈り合わせをお願いします。

人間は生きている限り、一生罪人なのです。

だからこそこうして生かされている限り、感謝とお詫びが必要なのです！

2月10日（木）日本民族のカルマ解消　大久保長安神事
場所：静岡県（駿河国一宮）富士山浅間大社・清水寺・安倍川・久能山東照宮
最終的な祈り合わせの時間は、「**15：00**　久能山東照宮」に合わせて下さい。

2011.01.23 Sun

魂が目覚めるワークと神事

群馬の講演会でお会いしました延べ60名の皆様、本当にありがとうございます。

愛を発信する素敵な皆様のおかげで、たくさんの方にお会いできたことをとてもうれしく思います。

人生を楽しく美しく、そして大切に生きる方法に気づいた皆さまの今後を楽しみにしていますし、そのあと関東勉強会でもたくさんの方にお会いしましたが、喜びのメールをたくさん頂きとてもうれしく思っています。

その中で私がお伝えして事をとてもシンプルにまとめて下さった方がいたので、皆様にもご紹介させて頂きます。

勉強会は、新しく知ることばかりでした。

民族のルーツ, 祈りの言葉はお詫びの言葉、沖縄の祈りは生き方を教える言葉、巫女の役割・お詫びすること・循環すること・直っすぐに受け取る大切さ。陰陽の役割。鏡に向かった時の相対する自分は神様の分身。

衝撃だったのは胸（ハート・心）で感じる事は、思考と魂との思いが合わさったもの。

魂の思いは下丹田から。
「自分」は体の中に存在せず外にあり、相対する人で「自分」ができる。相対する人が感じる自分像が自分という事です。

周りの方々が受けた自分のイメージを素直に取り込めなければ、自分が考える自分はいつまでも周り方々のイメージと誤差（勘違い）が出る。

だからこそ好意的に受け止められ、良い気が生まれ良い循環が生まれるように生きる事が大切。

一番早く魂が目覚める方法が、「他人と行う神事」であることも覚えておいて下さいね。

これまで私が行う地球創生の神事にご参加頂いた皆様も体験していることですが、今日は私が神事を行う意味を改めてお伝えします。

まず神事を行う時に土地生まれの方にご参加して頂く理由は、土地生まれの方が神事に入るとご先祖全ての代表として入る事になりますので、体にかかる重い守護エネルギーから大切な魂メッセージを頂く事ができます。

しかし、ほとんどの方は自分の守護神との解釈しかしないか、全くその意味が分からずただ体が重く苦しくなる方が多いのですが、私の神事に参加された方たちにはお互いの魂の目覚めを大切にしているからこそ、出来る限りそのメッセージを読み取って話し合いの時間を大切にしています。※沖縄ではこの神言葉を合わせる時間を「さにわ」と呼びます。

私が祈りの時間よりも、この「さにわ」の時間に多くのエネルギーを費やす理由も、個人の概念や常識が人によって違う為に神争いが起きていますし、結果として日々の生活でも他人との葛藤や争いが生まれているからです。

周りの人に合わせて生きる事に疲れた人たちが、一人で神社や仏閣周りをしている人も多いようですが、本来、一人で神仏に向き合っても「自分なりの神」としか対話しませんので大きな成長や目覚めは起こりません。

自分が思う「自分の思い」が他者を否定し、他人が信じる神仏まで否定する心になりますので、結果として今の世の中で起きている宗教争いによる戦争まで発展している事に気づいて欲しいと思います。

自分が思うような神仏やで人ではないからこそ、同じ志を持つ人たちが互いの違い（役目）を受け入れ合う学びをする事で、人間はいつでも成長することができます。

また、あなたやあなたの周りの人にどんなに素晴らしい守護神が付いていたとしても、一人の人間として素晴らしい人間だとは限りません。※私も同じです・・（＾＾）

「人間は死ぬまで学びである」と言われているように、「人間力の成長」と「霊力や神力の目覚め」は全く別次元の学びが必要である事を覚えておいて欲しいと思います。

あなたが正しいと思っている価値観を他人と真剣に話し合う場を持つ事が重要だからこそ、神事に参加され自らの役目をやりきった方たちは、必ずその後の人生に大きな変化が訪れます。確実に、守護存在との繋がりが太くなり、精神が安定して生きられるという意味です。

宇宙の創造主マスターに啓示を受けて行ってきたこれまでの１３年間、神事の参加者に対する魂からのアドバイスもずっと無料で続けてきましたが、ボランティアや自己犠牲の行動全てが「自分の学びになる」と知っていますし、神事に関わる多くに経費捻出に苦労していますので、今後は神事に参加される皆様からも参加費を頂く事をご理解頂きたいと思います。

互いが同じ心の位置で神事を行う為にもお金というエネルギーで心のバランスを正し、今後の重要な地球創生神事や様々な活動資金にさせて頂きたいと思います。

一緒に同じ神に向き合う人たちの魂の位置を正し、それぞれの魂の役目を全うする為の地球創生神事で神が望む新世界を一人一人が創り出していきたいと思っています。

どうぞこの趣旨を正しくご理解の上、神事にご参加下さいます皆様、宜しくお願いします。

2011.01.20 Thu

全ての女性たちの目覚めを！

本日のメッセージは、アカシックレコードを正しく理解していない方とっては難しい情報かもしれませんが、今、大切な女性たちの目覚めのためのメッセージですので公開します。

（（地球に女性として生まれた人たちへ））

宇宙の神々の意志が地球に降りた意味や目的を正しく理解し、この地球を守る為に生まれた女性たちの魂本来の働きを導くことがあなたの役目なのです。

地球の核を守る役目を持つ女性は、その星の命と共鳴し、常に命を生み出し続けます。

地球の核の中から生み出される神やエネルギーは、常に新しい調和の為にやってきた種族の働きによるものです。

ムー文明に代表される地底文明、海底文明は、その意識体エネルギーと同時に常に自分が宇宙の母となって命を生み出すことが役目なのです。

男性として生まれた全ての魂は、宇宙の星で経験したあるゆる記憶や目的の為にこの地球に集まってきています。

十二師団をまとめていた全てのメンバーがこの星の誕生から生命を持つ形で転生し、その目的を果たす準備を整えてきました。

十二師団の全てがこの地球に降りて準備を終えた頃、宇宙をさまよい歩いた最後の希望、十三番目の命が誕生しました。

それは、あなたたちでいう「プレアデス星団」です。

大きなステップの変化があるとしたら、これは宇宙の十二サイクルから生み出されたものではない、宇宙の大元の新しい意志として生まれた十三番目の誕生が全ての希望でした。

しかしそれは、十二の星の王たちが守ってきた物を破壊する意味を持つことから全ての星が、十三番目の星の魂を探し求めていたのです。

この地球に十三番目の星の魂が降りた時、それはこの地球の大変革が二度目に起きた時でした。

我が娘は、新しく生まれた島の海の底へ身を隠し、大いなるマスターの意志を果たそうと、その時を待っていたのです。

二〇十二年は、その働きの準備ができる時を表しています。

マヤ暦は、そのことを違う意味で伝える「宇宙の時間軸の終わり」を告げています。

「十二のサイクル」が終わる。

つまり十二師団の調和エネルギーが崩れ、新しい十三星団の調和エネルギーがこの地球から宇宙へ発信されることを意味しています。

その為の準備に、とても長い時間が必要でした。

十二師団の力がこの地球で働けるようになるまで、まずは待つことが必要だったからです。

全宇宙のカルマや出来事を全て知っている十二師団の王たちは、その役目を果たす為に人間を作り、過去の記憶を消すことで新しい調和が生まれることを望みました。

しかし何度、人間を再生してその実験を行ってもこれまで一度もその成功はみていません。

それどころか、星の記憶を思い出した者たちは、自らの文明を再生しようと地上文明の再生を試みました。

しかし、その全ての文明さえ消滅した理由は、この地球での（魂の）目的が個々の星の文明を再生させることが目的ではないからです。

十二師団のひとつひとつは、それぞれ完全な独立国として完結できるほどの力と知恵がありましたが、宇宙でできなかったことを成し遂げる為にこの地球という星に降りたことを知っていたのは、それぞれの王族の一部だけでしたので、なかなかその意志の統一は難しいものでした。

十二師団の王たちは、地球自体に命の限りがあることを知っているからこそ、このい地球で新しい十二師団のエネルギーを生み出す努力をしてきました。

十三番目の星の存在を知った時、十二師団の王たちは恐れました。

新しく生み出したマスターの意志が、何なのかを知らないからです。

新しいマスターの意志である十三番目の星の役目は、あなたたち人間の魂の中にあります.

過去の全てを受け入れ許せた人だけが生み出せる愛のエネルギー、それが十三番目の星の役目なのです。

プレアデスという星の名を呼ぶ人たちは、過去の戦いの記憶に振り回されている人たちですので、「愛の意図と目的」を間違わないようにしてください。

プレアデス星、リラ星、シリウス星などのリーダーたちだけが知る宇宙の新しい役目は、あなたたち人間の魂の中に眠っているのです。どうぞ、よろしくお願いします。
2011.01.16 Sun

武士の魂

本日、「地球創世メルマガ」で送りましたメッセージは、一人でも多くの方の御霊磨きの為に補足して公開しています。「地球創生メルマガ」の登録時に、本名・所在地・年齢を登録する意味は、個人を明確にし、集合意識の上昇によって地球の波動を上げる目的がある事をどうぞご理解下さい。

昨年８月、静岡県で続けている歴史調査と祈りに対して大神からメッセージが降りました。

このメッセージを私に託した大神の意味は単に静岡県という土地の問題ではなく、当時、日本を治めていた徳川家康公の勢力図における国と国同士の争いのカルマ全てを解消する事が、新・日本国の立て直しに重要な意味を持つからこそ伝えられた内容でした。

静岡県の仲間はこのメッセージが降りてから土地の歴史を調べ、原因となった出来事もほぼ見つける事ができましたが、関東から関西までの土地で起きた争いの歴史は日本全体における国と国との対立の現れだからこそ、本日、お伝えする情報はあなたの住む土地の因縁を解決する為にも重要な要素が含まれている事に気づいて下さい。

実にこの出来事は、現在の日本人の六割以上の魂に因縁が残っていると大神から教えられました。

だからこそ、この情報を広く公開する事で自分の住む土地に起きた同じような思いに気づき、住んでいる土地のカルマ解消へ向けて動き出す人が増える事を願っています。土地の思いや御霊鎮魂は、その土地に住む人たち自身が自分の責任と捉えることで、霊力に関係なく先祖の繋がりによって善悪の感情を超えた「完全調和のお詫びの心の祈り」によってほとんどのことは正す事ができます。

自分が生まれたり、住んでいる土地で過去の問題を正す為に生まれてきた事に気づいた方は、一切の不浄な思いに囚われない大神の心を持って、自分で祈りを捧げて下さる様お願いします。土地に住んだ人たちの御霊鎮魂祈りでは塩・水・酒に加えて、おまんじゅうなどの甘い食べ物や白米のおにぎりなどを御霊たちは歓びます。

夢にまで見ながら食べられなかった白米のおにぎりやおまんじゅうは、ご先祖の祈りと同じように心を込めてあなた自身の手を添えて下さい。土地に手をつき土下座で頭を下げ、過去に起きた全ての出来事の善悪を問わず、ただただひたすらにお詫びと感謝の祈りを唱えて下されば、どんな土地も必ずあなたの力で浄化する事ができます。

生まれながらの霊能者は皆さんが気づかないからこそ御霊たちの思いを伝える役目をしていますが、本来は土地に生まれ人や住んでいる人がお詫びの心を持って祈るほど強い祈りの力はありません。

現実が辛い苦しいと思う時ほど、生かされている事へ感謝する「お詫び祈り」は、土地の浄化や自らの魂の浄化に直接、繋がります。人間関係がうまくいかない時こそ、ご先祖祈りや土地に住んだ人たちの思いが動いていますので、土地のお詫びの祈りをすると不思議にトラブルは解決するものです。

どんな人でも土地に住んだ人の思いを受けているからこそ、先人の思いに支えられている事に気づかなかったお詫びを心からお伝え下さい。土下座の心さえあれば、人生で経験する人の思いの愚かさにも気づくことでしょう。では、心して神メッセージをお読み下さい。

（（武士の魂））

おまえたちは、まだ大切な事がわかっていない。

時に時代は遡るが、江戸から密者が訪れた時に、この静岡清水の地で大切な事を見つけて、その事をお上に報告した事によりこの地の扱いが問われた出来事がある。

しかし、それは真実では無く、ある一面からの証言だけを信じた事から問題は起きた。

江戸家老・老中の中にいる者の出身地だからこそ、その謀反の疑いは大きな意味を持ち、一族の信頼を失った一家一族がいた事をわかって欲しい。

その無念な思いをぜひお上に正し、事の真実を説き明かす事をして欲しいのだ。

あなたにはその事をわかってもらえると思うからこそ伝えているのだが、家康氏の胸中を揺るがす事だからこそ内密に処理された出来事なのだ。

武士の魂をどうぞご理解下さい。

2010年8月29日　静岡空港より飛び立つ時に降りたメッセージ

原因となっている＜大久保長安事件＞

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』
大久保長安事件（おおくぼながやすじけん）は、慶長18年（1613年）4月に起こった江戸時代初期の疑獄事件。
江戸幕府成立後、幕府内部では大久保忠隣とその与力といえる大久保長安を中心とした武断派と、本多正信・本多正純を中心とした文治派が互いに派閥を形成し、幕府内部における権力をめぐって激しく闘争していた。

忠隣は家康の青年期から仕えた武将で、徳川四天王に劣らぬ武功を挙げた人物であり、正信は家康の側近としてその知略において幕府創設に貢献した人物である。忠隣には長安や本多忠勝、榊原康政といった正信にかねてから反感を抱いていた武断派が与し、正信には正純や土井利勝、酒井忠世といった徳川氏の家老的存在が与していた。

慶長17年（1612年）、岡本大八事件が起こった。大八は正純の与力であったため、大八が有馬晴信から賄賂として受け取った6000両を、正純が一部受け取ったのではないかという疑惑を招いた。実際、正純は受け取っていなかったと思われるが、この事件により本多正純一派は一時その勢力が衰退し、幕府内での権力闘争で大久保派が優位に立つこととなった。

翌慶長18年（1613年）4月25日、忠隣の有力な仲間であった長安が駿府屋敷にて中風のために死去した。享年69。長安は元・武田信玄の家臣であったが、その経済官僚としての才能を認められて家康に取り立てられ、忠隣の庇護を受けるようになった人物である。長安は家康の期待に応えて一里塚奉行、関東の奉行、金山・銀山における奉行等を歴任して、江戸幕府の初期財政を大きく支えた官僚であった。本多正信・正純親子は、政敵である大久保長安の死に乗じて勢力の巻き返しを謀り、ある謀略を実行に移した。

長安は金山・銀山奉行など、全国各地の鉱山奉行を務めていた。その際、金銀の取り分は家康の命令で四分六分とされていた。幕府側の取り分が四分、長安の取り分が六分である。ただし、鉱山開発における諸経費や人夫の給料などは全て長安持ちとされていた。これに対して長安はイスパニアのアマルガム法という新たな鉱山開発方法を導入して、できるだけ経費がかからないように工夫していた。経費をできるだけ節減することができれば、それだけ自分の取り分が多くなるからである。ところが、本多親子はそれを利用して、長安が密かに金銀の取り分を誤魔化していたという虚偽の報告を家康に行なうのである。

さらに長安自身も失敗を犯した。長安は派手好きな人物であったが、自身の死去にあたって、金の棺に自分の遺体を入れるようにという遺言を残してしまったのである。本多親子の虚偽の報告に加えて、「金の棺」の存在を知った家康は激怒し、直ちに駿府町奉行の彦坂光正に調査を命じた。

そして長安死後の5月6日、長安が生前に収賄を犯していたという罪で長安の腹心であった戸田藤左衛門、雨宮忠長、原孫次郎、山村良勝、山田藤右衛門らが逮捕されてしまったのである。このときのことを、徳川実紀は、「六日…此日大久保石見守長安が死せしにより。その属吏をして長安が所管の諸国賦税を会計せしめられしに。長安が数年の罪あらはれ。国々に令してその査検せしめらる。よて長安が属吏等を彦坂九兵衛光正に命じ獄に下さる」と記している。

さらに本多親子は家康に讒言を繰り返した。長安は松平忠輝の付家老で、その忠輝の岳父が伊達政宗であったという経緯から、長安と政宗は親しい関係にあったが、その関係から長安が政宗の力を背景にして謀反を企んでいたと訴えたのである。また、長安は武田信玄に取り立てられたことがあるという経緯に恩義を感じていたらしく、天正10年（1582年）に織田信長によって武田氏が滅亡した後、信玄の次男・武田信親（龍宝）の子である武田信道（顕了）と信玄の五女・信松尼を庇護していたのである。

本多親子はそれを、長安が密かに武田氏の再興を企んでいると讒訴したのである。さらに長安は池田輝政の娘を次男の大久保藤二郎と、三男の青山成国を青山成重の娘と、六男の大久保権六郎を忠輝の家老・花井吉成の娘と結婚させていた。その他にも池田輝政を通じて浅野幸長や加藤嘉明、山崎家盛、富田信高、高橋元種、佐野信吉、石川康長らとも縁戚関係を結んでいた。

壮大な縁戚関係であるが、本多親子は先の政宗と同じく、それを長安が諸大名を糾合して謀反を起こそうと企んでいたと讒訴したのである。長安としては、本多派に対して優位に立つために諸大名を味方に取り込み派閥を強化しようとしたが、それを逆に利用されてしまったのである。

そして長安の屋敷を調べた結果、多数の金銀が発見された。長安は横領していたわけではないが、本多親子はこれを横領と決めつけ、さらに家康も長安が豊臣氏恩顧の大名と親しかったことを苦々しく感じており、長安の横領を認めたのである。

かくして長安は「奸賊」となってしまった。徳川実紀では長安の罪状について、「長安が生涯寝所の下に石室を設け、その中に黒き箱有りしといふ。依て其箱をめしよせて査検あれば、其中に長安この年頃朝鮮に交通し。私に財宝をかの国に贈りし文書ども入置しが。中には大不敬の事共。又は連座の諸大名も多くあり」「長安、常に寝所の下に黒櫃を置て。其中に朝鮮へ交通せし往復の書をかくし置。又庫中に常に毒酒を数十樽蓄置。又武田の系図。武田の紋幕旗等を蔵せり」と記している。また、「武徳編年集成」においても、「長安は誠に奸賊なり」と記している。

＜因縁＞

奸賊となってしまった長安の遺族は5月17日、家康の命令で逮捕され、松平定行や忠隣らに預けら

れることとなった。7月9日には埋葬されていた長安の遺体が掘り起こされ、事もあろうにかつて岡本大八が処刑されたのと同じく安倍川河原で磔に処された。同日、大久保長安の7人の男児と腹心は処刑となる。

長男・大久保藤十郎（享年37）
次男・大久保藤二郎（享年36）
三男・青山成国（大久保権之助）（享年30）
四男・大久保運十郎（享年29）
五男・大久保藤五郎（享年27）
六男・大久保権六郎（享年23）
七男・大久保藤七郎（享年15）

腹心の戸田藤左衛門と山田藤右衛門、配所で処刑。その後も粛清は続いた。大半は長安と縁戚関係にあったことから、連座処分で粛清された者が多い。

5月、米津正勝、堺奉行を解任されて阿波国に配流（表向きの理由は収賄）。
8月、青山成重が7000石を没収され、幕府年寄役も解任されて閉門処分。
10月19日、石川康長、改易されて豊後国佐伯に配流。弟の石川康勝、石川康次も後に改易（表向きの理由は所領隠匿罪）。
10月24日、富田信高、改易されて奥州岩城へ配流（表向きの理由は坂崎直盛との争い）。同日、高橋元種も信高と同じ理由で改易されて陸奥棚倉藩主・立花宗茂預かりとなった。

明けて慶長19年（1614年）。2月、米津正勝、処刑される。
7月27日、佐野信吉、改易されて信濃国松本藩へ配流。
8月21日、忠輝の家老・花井吉成の自害。武田信玄の孫・顕了とその子である武田信正（教了）は、伊豆国大島に流罪。その他にも、長安と深い関係にあった伊達政宗や池田輝政らであるが、政宗と加藤嘉明は無罪となった。これは家康が彼らが謀反を起こした場合を恐れたためと言われている。

池田輝政は長安より3ヶ月早い慶長18年1月25日に姫路城にて死去（享年50）し、浅野幸長は同年8月に急死（享年38）、山崎家盛は慶長19年10月に死去（享年48）したため、お咎めなしとなった。ただし、幸長はあまりに突然の若すぎる急死だったため、毒殺説も囁かれている。

また、長安の寄親であった忠隣であるが、家康青年期における重度の軍功、さらに徳川秀忠からの信任も厚かったという経緯から、ひとまずは改易を免れた。しかし本多親子にとって目障りな存在である大久保忠隣は翌年、長安事件の余波のほかに、忠隣が家康の豊臣氏討伐に反対していたこと（忠隣の孫娘が豊臣氏家老の片桐且元の甥・片桐貞昌に嫁いでいた）、忠隣の養女と山口

重信の無断婚姻などの諸因からまたも本多親子に讒訴されて、慶長19年1月、遂に改易となり近江へ追放された。

家康は忠隣が豊臣氏討伐を反対していることに苦々しさを覚えていたとされ、本多親子は元・武田氏の家臣であった馬場八左衛門という老人を使って、忠隣について家康に讒言させたとも言われている。『徳川十五代史』においても、「大坂を倒すの策に至りては、忠隣の忠愛、性のなしがたき所において、正信父子の好んでこれを為す所なり。

ここにおいては、その相容れざることますます甚だしく、忠隣の大坂の孤危を憐れむもの、却って内通の姦あるやと疑われるに至れり」と、忠隣が豊臣氏討伐に反対し、それにつけこんだ本多父子の陰謀によって改易されたと記されているほどである。

忠隣は改易後、近江国彦根藩の井伊直孝預かりとなった。ただし大久保氏は忠隣の嫡男・大久保忠常（忠常は慶長16年に32歳で早世）の子・大久保忠職（仙丸）が家康の曾孫である事が考慮されて家督と武蔵国騎西藩2万石の所領を継ぐことで、存続を許されたのである。

＜影響とその後＞

長安と忠隣の失脚により、幕府は完全に本多親子に牛耳られることとなった。だが、これは同時に本多親子に対する反感を惹起することとなり、後に正純が失脚する一因を作り上げたとも言えるのである。なお、忠隣失脚後、連座として佐野信吉、里見忠義（妻が忠隣の孫娘）、堀利重（妻の母親が忠隣正室の姉）らをはじめとする大久保派が全て改易され、忠隣の居城であった小田原城も破却となった。

さらに、かつての岡本大八事件で大八と晴信がキリシタンであったこと、今回の長安事件においても大久保長安は正式にはキリシタンではなかったが、キリシタンに寛容だったこと（長安と親しかった忠輝、政宗がキリシタンに寛容だったことも）などが考慮されて、今回の事件を契機としてキリシタンは害悪と見なされ、幕府のキリシタンに対する弾圧が開始されることとなるのである。

近年ではこの大久保長安事件は、長安は金の棺に遺体を入れるようにと述べた以外のほとんど全ては、本多親子と家康によって罪を捏造されたことで起こった粛清ではないかと言われている。「徳川実紀」は、本多親子が策動したということをあからさまに記している。

「忠隣と正信は、職を同じくするに及んで、相嫉む事なきにしもあらず。馬場（馬場八左衛門）が八十にあまり。いくほどもなき齢の末に。何事を怨望せるか。また何者に托せられしにや。無恨の妄説をうたへて。終に良臣を讒害するに及ぶ。尤不審と言ふべし」（徳川実紀）但し、長安が豪勢な暮らしをしていたのは間違いない様である。

誰一人、ここに罪人はおりません。過去全ての人の行いは過去のカルマの繰り返しによる出来事ですので、誰か一人の思いを掴んで愚かな苦しい心になりませぬよう心からお願い申し上げます。

私たち全てが罪人の子であるからこそ、その弔いと合わせて「和合調和」の為に命が与えられたのでございます。「死を持って生を成す武士の心」もわかりますが、生きてこそ活かされてこそ、やり直しのチャンスが与えられているのでございます。

どうぞあなた自身が今まで経験した幼い心の弔いを含めて、自分の住む土地の思いを浄化転生する祈りを捧げて下さいませ。あなたが心から土下座するその心には、全ての御霊の代理として頭を下げる大きな祈りの力が生まれるのです。どうぞ宜しくお願いします。

2011.01.11 Tue

1月11日の祈り

１月１０日は、大人たちが元気になる為に自宅を開放している北海道苫小牧市の「さくらぎ笑楽好」で新年会が行われ、たくさんの人たちと今年一年の抱負を語り合いました。

２０代から６０代までの大人が一緒に食べ物や飲み物を持ち寄り、昨年の成長を認め合いながら中泉盛行好調と中泉貞子福好調が大きな愛の場を提供してくれています。

毎年恒例になった新年の「書」を仲間と書きながら、お互いの魂を見つめあう素敵な時間も過ごせましたことに感謝いたします。

翌１月１１日は、個人のお宅にある素晴らしい神殿に仲間が集まり、年始の祈りと１月１１日１１時１１分に合わせた地球創世の祈りを行いました。

神主の白装束に身を固めた理由も、今年一年でやりきらなければいけない事が多いからこそ自らの決意の表れとして身を正しましたが、最初に唱えた大神の祝詞は人として、そして神として働く人たちの心迷いを正す祓いの言葉が降りました。

身ひとつ、心ひとつのの人間は、誰一人、無駄なくこの世に存在しているからこそ、他人を問わず、そして、自分を問わずに生きる術を身につけなさい、と教えてくれました。

心ひとつに繋がる苫小牧の仲間は、自らの学びこそ全ての人の学びに通じる事を悟っている方ばかりですので、おろかな我を主張する人は誰一人いません。

愛を信じ、生かされている中で自分のするべき事を自分で気づき、周りの人と歓びを大きくする努力をし続けている仲間です。

信頼という言葉さえ陳腐に思えるほど互いに甘えず取り繕わず、しかも、自らの立場を律しながら大切な言葉を正直に話してくれる素敵な大人たちの集まりです。

全ての人が初めからそうではなかったからこそ、ここまで変化した事を認めう素直で大きな愛の心をお持ちの方ばかりなのです。

それぞれがそれぞれの立場で成すべき事をすれば、必ずこの地球や日本は良くなる事を信じて行動している方ばかりですし、その中心にあるものはどの宗教にも囚われず、また全ての宗教を貫

くほどの神心を大切にする日本人の精神性の柱が育っています。

日本人として今、何を大切にするべきなのか、自分の年齢で何を気づく必要があるのか、全員がいつも心がけながら日々、現実を前向きに生きて続けています。

今回この御神殿を「吉田神宮」と名付けた方がいましたが、個人のお宅の神棚に多くの方が手を合わせたくなる理由は、その場を守る方の神心の素晴らしさだと言えるでしょう。

諸先輩に生きる知恵を教わりながら若者から勇気とチャレンジ精神を学び、母なる女性たちから育む愛と美味しい料理を頂く歓びは、自分の家の中のルールだけも物事を考える狭い生き方ではなく、常に心を開いて互いに学ぶ好奇心旺盛な大人たちだと言えます。

自分や家族や同じ土地に住む人たちが幸せになる為には、まず自分の夢を叶える事の重要さを身にしみている方ばかりですし、だからこそ一歩一歩、さらなるそれぞれの道へ歩み出す年になることでしょう。

日本全国にも素晴らしい活動をしている方がたくさん増えてきましたので、身近な所にあるよりよい情報に耳を傾けながら、自らの成長をおろそかにせずに今年は過ごしたいものです。

一切、愚痴も言い訳もしない素晴らしい大人たちの集まりは、突然、誰かが訪ねてきても、態度を変える事はありません。

「来る者拒まず、去る者追わず」

常に自分の立ち位置を確認しながら必要な人と学び逢う事で、自分の成すべき道を歩んでいく方たちが増える事を願っています。

１１時１１分の祈りで唱えた私の大和言葉の祝詞で皆さんが見たビジョンは、白い霧に包まれた天上界の社から金粉が降り注いだ風景が見えていたそうです。このビジョンは、天上界の神々の祝福を意味しています。

天上界には神々の為の社がありますが、そこと直結したエネルギーがその場に繋がり、日本全国、地球全体で同じ時間に祈りをしていた皆様と繋がった事を大神が祝福してくれたのです。

祈りは、誰の為に祈るのか？

それは先祖への感謝、つまり自分自身の存在そのものへの感謝であり、自然界全ての感謝であり、地球を育む宇宙全体の神々に対する感謝の意思表示が祈りなのです。

１月１１日の祈りの大切さは何年も前から言い続けてきたからこそ、今年は事前に祈りの案内をしませんでしたが、もう大切な事に気づいた人たちは自分の成すべき事を知っているはずだからです。

「必要な人が、必要な事をなすべき年」

だと言う事をどうぞお忘れなく！

今年もどうぞ宜しくお願い致します。
2011.01.11 Tue

魂の目覚めワーク

本日、めでたく父母に命を頂きました日を迎えられたことに感謝致します。産み育てし父母の思いに感謝する日が、多くの成人を迎えられます皆様と同じ祝福の日であります事に感謝致します。

１月１０日午前２：３０　丑三つ時のあの世の扉が開いた瞬間、眠っている中でメッセージが降りました。

朝まで覚えている自信がないと思っていると目が覚めて、メッセージをメモするように諭されました。そのメッセージは、

「魂の目覚めのワーク」

を行いなさいという事で色々な方法も同時に教えて下さいましたので、これから全国で行う勉強会ではこの「魂の目覚めのワーク」を行っていきます。

最初は三回目になった1/18の関東の勉強会で、この「魂の目覚めのワーク」を皆さんに体感して欲しいと思っています。

＜目的＞
皆さんの魂が父母を選び、生まれる土地を決めて生まれた意味を正しく理解して頂くことと、出会う全ての人たちと一緒に生まれる前に決めてきた「魂の約束」を果たして、愛と感謝に溢れる人生を手に入れて頂きたいからです。

これは、左脳と右脳の働きを活性化する方法とも言えるでしょう。

現実を判断する時に使っている知識などの健在意識（左脳）と、本能・直観を司る右脳のバランスを整えることで、守護して下さる存在と正しく繋がる方法を伝授していきたいと思います。

＜効果＞
１、見えない気やエネルギーの使い方が身に付きますので、自分の身体を癒したり、周りの人を癒すヒーリング力も大きくなる事は確実ですが、守護ラインとの繋がりが大きくなりますので祈る力や思ったことが実現するスピードが早くなります。

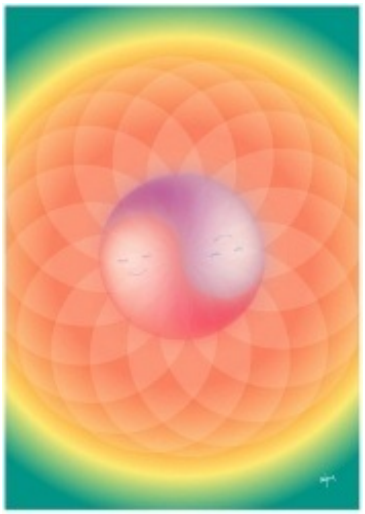
２、メッセージやビジョンを見ている方たちにとっては魂の繋がりが太くなりますので、より具体的に正しく守護存在と対話しながらメッセージを受け取る事ができるようになります。

３、自分以外の人との繋がりを正しい方向へ導く力こそ守護存在の守護力によるものですから、自らの囚われの心が外れて出会う人とのカルマの解消にもなります。

５２年間の人生経験の中で生まれた時から与えられた霊的能力と、社会に順応して現実を生き抜いた経験全てのノウハウを一人でも多くの方へ分かち合いたいと思っています。

ご希望があれば個人的な能力開発コースも検討しますが、まずは全国で開催しています勉強会に参加される皆様と一緒に、人生の歓びを心と体と魂で感じて生きる力を身につけて欲しいと願っています。

天の加護・守護をして下さる全ての存在からの誕生日プレゼントに感謝を捧げます。



2011.01.10 Mon

今年なすべき事は

これまで日本全国の土地神や先祖・人格神の思い、またその土地を守る自然神の思い、さらには宇宙全体を守る宇宙神の思いの整いに動いてきましたが、過去最大の働きをしなければいけない年が２０１１年である事をまずご理解下さい。

国の立替建直し神事の一環として昨年から関西にも出向き、地元を愛する方たちと今、何を今するべきかを話し合いましたが、昨年の１２月に大阪の「難波宮（なにわのみや）」へ地元の方と訪れた時にこれから関西でするべき事が明確になりました。

もともとは日本人の精神性そのものであり、現在は象徴となった天皇家の存在理由は、日本に生まれた人たちの神意識を整えるのが役割りなのですが、その働きがうまく出来ていない為に「神正しの神事」を行う事で日本人のカルマの解消も行いながら、実は天皇家のカルマ解消も行うことを感じています。

その為に何をするかは、出向いた土地を守る人たちや見えない存在たちが導いてくれますが、人の道を導くのは人だからこそ、生まれ育った土地を愛する人たちと一緒に勉強会を続けています。

今、大切なことは天皇＝日本人の精神性＝神を関東へ移す前は京都（平安京・長岡京）にあったこと、、それ以前は奈良（平城京・藤原京）にもあり、さらにその前には大阪　難波宮（なにわのみや）にあったという事が重要です。



大阪（摂津国・河内国・和泉国）も古代地図を見ると、以前は海の下にあった場所で東京と同じように海の潮が引き、陸地になった部分に今の都市が形成されました。

関西の水の歴史や民族移動の歴史を調べると、海から入ってきた民族や豪族の利権の絵図もわかり、住吉大社の本来の意味もおのずとわかってきました。

645年に大阪に作られた「難波宮（なにわのみや）」は今も大切に守られていますが、難波宮の土地へ足を入れた瞬間、当時の建物やたくさんの人の姿が見えてきました。

新しい土地に立つと、私が進むべき道は案内するべき存在が現れて教えてくれます。



指定されたひとつの場所へ挨拶をすると、

「あそこには、以前、天から降りる日（火）を祀った場所がありましたが、その日（火）を守る為に命をかけたたくさんの巫女たちがいた事を覚えておいて下さい。」

と言われ、神巫女たちの苦労に感謝の祈りも捧げました。

本殿があった場所へ向かうと、そこにははっきりと今でもその土地を守っている存在たちがいて、正式な挨拶の口上を述べると、丁寧に本殿へあがる許可を下さいました。

中心に天皇が座り、その周りを従座として神官たちが座っていたのが見えたので、今回はその中心に座って当時の天皇の意思を身体全体のエネルギーで感じることにしました。

祈りを始めると、すぐに当時の天皇がお言葉を下さり、重要な神メッセージを教えて下さいました。

この神メッセージは、天皇家に縁のある全ての人の魂を揺さぶるメッセージですので、「地球創世メルマガ」にだけ明日、公開します。どうぞ日本人を導く神メッセージからご加護を感じて下さい。

このメッセージを聞いたことで関西でするべき道筋が決まりましたので、関西神事の第一弾　「奈良　平城京・藤原京神事」を行うことを決定します。

関西を愛する皆様の中で、神の御心をこの日本国で立て直す意思にご賛同頂けます皆様は、どうぞ一緒に神事にご参加下さいませ。共に、神の御心を立てる魂の役目を果たしましょう！

2011.01.07 Fri

お正月気分も終わり・・・

新年の三ヶ日を終えて、やっと昨年末から激しく動いていた意識の上昇エネルギーも落ち着いた感じになりましたね～（＾＾）

これからは昨年末から届けられている重要な啓示やメッセージを順番に「地球創世メルマガ」に登録している皆様へお届けしますが、メルマガで重要なメッセージをお届けする目的は、「地球を愛する意思表示」をした人たちと一緒に「共有意識の上昇」を目指しているので神意識を共有しています。

「地球創世メルマガ」の登録の際に、本名・生年月日・住所を明確にされていない皆様を削除する理由も、実際にその土地でお会いできる可能性を大切にしているからです。

今後は「全国巫女ネットワーク」の皆さんと行う祈りの重要さが増すうえに、互いの魂記憶に触れる情報をシェアする場になりますので、より大きな愛を産みだす神巫女たちが増える事でしょう。

本気で地球に生まれ日本に生まれた目的を果たすと決断した人たちは、自分という枠を超えた愛を日々、実践してくれています。

２０１１年は今までよりさらに「意識と現実のバランス」が重要な年になりますので、ふと考えた事や言葉にした事に責任を持つ人たちとの繋がりが、より重要になってきます。

私にとっての２０１１年はもうやるべき事が山積み状態なので、ひとつひとつ出来る事から手を付けていきますが、全国各地で行う活動にたくさんの方のご協力をお願いしたいと思います。

今年のテーマのひとつは、現実生活を歓び溢れる生き方にする為に一人一人が何を気づき、何を変えればいいのかという点に着目して、各地で行う勉強会・講演会・カウンセリング・アカシックレコード・スピリチュアル能力開発講座を中心にサポートしていきます。

また、実際に地域に住む大きな愛の実現を目指す人たちをサポートしながら、同じ思いの人たちとの出会いの場を増やして周りの人たちへ愛を広げる活動も行います。

個人の学びは人生の永遠のテーマだからこそ、個人と家族の学び、そして地域の学びを同時にできる場を増やしますので、我が町にも来て欲しい！という方はどうぞお声をかけて下さい。

２００３年から始まった地球創世神事も、２０１１年は山場を迎えています。

２０１２年は高次元意識に繋がる人たちから順番に、意識崩壊にも似た混乱の現象が次々と起きる事がわかっていますので、そうならない為にも土地のカルマや神々の思いを整える神事を行っていますが、このテーマについても、最終的な詰めの年になると思います。

日本人に生まれた全ての人間の「無意識」に記憶している「民族カルマの解消」と、あらゆる星の記憶を持つ人たちの「宇宙意識の統合」も大きなテーマですので、この二つのテーマはいつも意識しています。

実際に神事に参加されると、自らの魂の記憶の断片が蘇るほど大きなエネルギーを祈りで動かしますので、現実をしっかり行いながら魂の目的を果たす覚悟を持つ人たちとの出会いを楽しみにしています。

一度きりのこの人生を、何の為に生きるのか、誰の為に生きるのか？

全てあなたが選んで決めたとおりの経験と結果になりますので、出会う人たちの心のバランスを整えるお手伝いをしながら、人生の歓びを大きくする人たちにたくさん出会いたいと思っています。

生きる事が苦しいと悩んでいた人でさえ誰かに支えられる歓びを知ると、必ず誰かを支えたくなる様に人間は生まれた時にインプットされていますので、自分の為だけに生きるのではなく、自分と誰かが同時に歓ぶような目標を今年は設定して下さい。

魂の本当の歓びを感じる為には、偽善や自己犠牲からは決して生まれませんので、自らを愛し、その自分を信じられた人だけが、自分の信じる道を歩める年なのです。

それがまだできない人は、誰かに手を引かれながら生きるか、反対に誰かの手を引いて生きるしかないのですよ。

この人生は本当はそれほど難しくは出来ていませんが、誰かの思いやルールの囚われたり、過去の思いや経験に縛られて生きている人たちは、その事にも気づかずにまた青い鳥を探す旅に出てしまいます。

自分の選んだ歓びのテーマを実現させてくれるのも、新しい誰かとの出会いしかないからこそ、常に新しい人との出会いを大切にして下さいと、今日の言葉を読んだ皆さんにお伝えしておきます。

今までのあなたの成功経験も失敗の経験も全て過去の出来事なのですから、常に「今の自分がどういう状態なのかを正しく判断してくれる人」との出会いを大切にして下さい。

未来は、今のあなたが一歩足を進めた瞬間から見えてくるものなのです。

今年は、魂に正直に生きる人たちの新しい出会いを楽しみに私も頑張りますので宜しくお願いします！



2011.01.04 Tue

2011年　初春

時、新暦2011年1月1日（旧暦11月27日）

初春を迎えられた皆様のご健康とご多幸を祈ります。

昨年、新しい出会いを経験された方、また別れを経験された皆様のご縁全てを祝福いたします。

常世（とこよ）の神に召されて魂を頂き、肉体を授かりしこの現世（うつりよ）の出来事。

その全てが、神の采配と感謝致します。

神をご先祖と祀る皆様、ありがとうございます。

神を自然全てと祈る皆様、ありがとうございます。

神を大宇宙そのものと感謝する皆様、ありがとうございます。

自分以外の神を信じず、生き神様の道を歩かれる皆様、ありがとうございます。

宇宙、陰陽、男女の計らい賜りまして今を生かせて頂きます事、心より感謝致します。

相巳互い（あいみたがい）

自分の向き合う全てが自分自身であることを認め、ひとつひとつ精進させて頂きます。

誰かが喜ぶ道よりも、自らの内なる神が喜ぶ道を進みます。

誰かの評価を気にするよりも、自分を産み出して下さった全ての存在たちに喜ばれる生き方を選びます。

愛を信じるからこそ、破られる約束を見逃し、裏切られて苦しむ自らの幼い心を反省します。

神々が許し続けてくれたおかげで生かされている今の人間。
全ての所業を許す心を大神様から学び、今を大切に生きながら一瞬一瞬の出会いを大切に生きます。

明日という日が与えられる限り、自らの肉体を失ったとしても新たに生まれる魂に誓って地球の未来にできる事をし続けます。

生かされている。

今、生かされている事に感謝し、出来る事をひとつひとつ進めていきます。

許されるならば全ての人たちの願いを叶え、その全ての思いの結果が全て歓びになる道をどうぞ全ての人にお与え下さい。

私たちはその道を進む為に生まれてきたのですから、一切の批判をせずに進みます。

違える思いも感謝しながら、自らの信じる道を進みます。

この世でお与え下さいます全ての愛と出会いに、心からありがとうございます。

２０１１年１月１日　吉岡学



2011.01.01 Sat

共振の原理

毎年私にとって年末は、今年一年の流れから来年以降の動きを予知する時間なのですが、本当に来年はやるべき事が多いらしく、毎日、身体に「かかる」エネルギーの重さに参っています。

ひとつのエネルギーを感じて心の中でやり取りができるくらいの量なら、私自身の気づきとしてすぐに受け止めて心の位置を変えますが、頭がフラフラするほど強いエネルギーが身体にかかった場合は、そのメッセージを文字に降ろさない限り重さが抜けない為に、今は昼夜を問わず様々な存在が情報を伝えにやってくる時期なのです。

最近は多くの人が同じように守護存在からメッセージを受け取る様になってきましたが、大半のメッセージは他人に向けてのメッセージの様に聞こえた情報も実は、自分自身の気づきの為に伝えられている情報だという事をまず自覚して下さい。

理由は、繋がりのある人たちとの「共振の原理」が、常に働いているからです。

自分は自分、他人は他人と分けて考えると物事は簡単ですが、実際の世の中がそうであるように、常に人間は誰かと何かの関係性の中で大切なことを気づく様に設定されてで出会っています。

その両者の関係には「共振の原理」という法則があり、「他人は自分、自分は他人」という永遠の学びのテーマが用意されています。

このことを正しく理解している人は、伝えられたメッセージの読み取りも、自分の為だけのメッセージでは無い事を知っていますが、実際問題、あまりにコアな内容が私には伝えられますので公開の対象と影響に頭を悩ませます。

一度、文字に降ろした情報はとても重要な神情報ですので、その神情報を読むと魂の記憶が目覚める人もいますが、反対に混乱する人もいるの為に無責任に全ての情報をこのブログで公開することは出来ないのです。

「神世界の平準化と現実世界が歓びに溢れる事」を目標に活動していますので、常に両方に必要な情報が降りますが、公開出来ない情報を持ち続けているとエネルギーが溜まり、さらにメッセージが追加で降りるという繰り返しが続きます。

同じような意識の混乱をする人たちが増える事を避ける為に「地球創世メールマガジン」を配信していますが、今後は、さらにブログに書けない重要な神情報を配信することに決めました。

それほど2011年という年は、皆さん自身もやらなければいけない事や気づか無ければいけない事が多いという事です。

「真実の神情報」を知ると、知識で理解できなくても魂は直結して感応しますので、現実の生活にもすぐに変化が出るほど、2011年は意識スピードの変化が速いことを覚えておいて下さい。

大きなテーマとして関東に住む人たちは、土地の不浄な思いと宇宙バランスが全て整え終わりましたので、これからは現実的に何を歓びに設定していくのかを具体的に話し合って実現する必要があります。

関西の状態は、土地に入った民族の歴史を正しく理解し、京都にまで影響している人の思いや神の思いの混乱を全て整える事を早急に行う必要があります。

九州北部に残っている土地の思いや四国に隠された土地神の思いも、同じように全てを平準化する為に生まれた神役目をする人たちが目覚める為の事をしなければなりません。

沖縄の人たちが守っている人間発祥の意味や先祖神エネルギーと北海道を守っている自然神エネルギーが統合する事で、今後は軸となる場所から必要な情報を発信する時代になりました。

その必要性を感じている人たちは、どうぞ自分一人でもいいのですぐに出来る事から始めて下さい。

地球創世メルマガや全国巫女ネットワークに登録されている人たちの意識の共有による高次元意識のバランスに加えて、2011年は現実的に「男神」たちの和合の時代になると宣言しておきます。

過去、何度も戦ってきた相手と手を組み、地球へ生まれた本来の目的を共に果たす為に必要な部分で手を組み合う時代になったということです。

土地の歴史や未来の子供たちを守る為に生まれてきた女性たちに暖かく守られながら、天命を果たす男たちが動き出す時代になりますので、どうぞ女性たちは暖かく男性たちを育てて下さる事を宜しくお願いします。

縦軸と横軸のバランスと役目を常に意識しながら、自らの役目を全うされる皆様を応援していきます。

2010年にご縁を頂きました皆様、本当にありがとうございます。



2010.12.29 Wed

2010年　年末の心がけ

２カ月間ほど前から守護存在たちのアクセス方法が変わった点として、短い時間に夢を見る事が増えた事は以前にお伝えしましたが、同じ体験をしている人が多い事がわかりましたので、同じような夢を見た時の判断の仕方をお伝えします。

まず夢の中の出演者に知人や家族が出てきた場合、現実的にその事が起きるのかと不安になりがちですが、現実的にはほとんど起きないと思って下さい。

守護存在が伝えたい事は、その出演者との心の位置関係を使って一般の人たちに対するあなたの気づきや学びをさせる為にわかりやすく伝えてくれているだけなのです。

「守護存在が伝えている夢」という言葉は長いので「守護夢」にしますが、「守護夢」を見た人の特徴は、夢を見ている時はドキドキしながら大切な事だから覚えておこうと思ったのに、目が覚めるとすぐに忘れてしまうのが特徴です。

目覚めても夢の内容を覚えている場合は、現実でも何かを意識する必要がありますが、覚えていない夢は寝てる間にあなたの無意識（集合意識）情報を置き変える作業をしてくれていますのでどうぞお任せして下さい。

宇宙エネルギーが地球に流れ込んで起きる意識の次元上昇も同じですが、私たちは自分が考える「意識」が自分だけの世界だと思いがちですがそれは大きな勘違いで、この世に生まれた誰一人、「おおもと」との繋がり意識が無い人はいません。

その繋がりこそ、先祖や過去の記憶を遡る糸ですし、その糸には「おおもとの意図」が繋がっていますので誰一人この世に生まれて意味の無い人はいません。

今、強く感じている事ですが、啓示：2012年3月12日光の柱崩壊　は、私にとっても皆さんにとってもそれまでの意識の柱が壊れて新しい意識の柱を立てなければいけない時だからこそ、2011年の1年間はとても重要な年になりますので今、重要だと感じる事を優先して思ったことはサッサと行動に移しましょう。

来年1年間のエネルギーの重みや濃さを感じると、恐ろしいほど忙しくなる事はわかりますので、やるべき人が、やるべき事をやり切る為に、必要な出来事が起きて動かされると予告しておきます。

思いもしない出来事が自分に降りかかる意味は、あなたの意思とは関係なく生き方の向きを変える為に守護存在たちが起こしているということも覚えておいて下さい。

それはあなたが魂の約束を果たす為であり、また人間に生まれた全員が過去の全てのカルマ一掃を目的に生まれているからなのです。

年末になればなるほど理由もなく不安に襲われて、誰かにその不安をぶつける人もいるかもしれませんが、それはその人の過去のカルマの清算をする為に守護存在たちが動かしているのだと思っておいて下さい。

激しく混乱した人は、自殺や他人を攻撃するという行動に出る人もいますが、まわりにそういう混乱している人がいる場合はなるべく関わらない事をお勧めします。

来年のエネルギー上昇に乗れない魂が転生するのもひとつの方法ではありますが、また生まれ変わっても同じ辛い経験をもう一度するほど辛い事は無いと知っている人は、今世、自分がするべき事を成し遂げるほうが楽だということに気づいて行動しています。

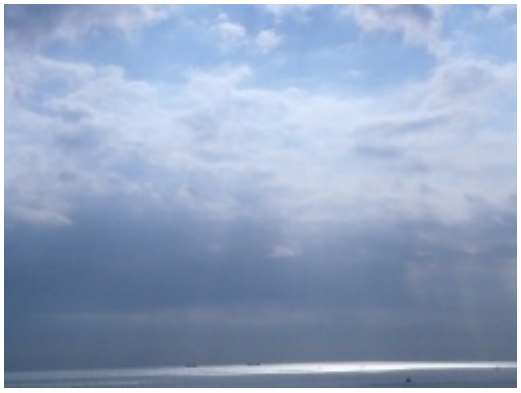
年の瀬のエネルギーは、その人にとっての感情の天国と地獄の両方の蓋が開き、最も感情的になりやすい時期ですので次の事に注意してお過ごし下さい。

１、決して、人を怒らない
２、決して、感情的な言葉を投げつけない
３、苦しい時こそ守護存在を信じて感謝の祈りをする

誰もが今よりも良くなる為に生き続けている訳ですが、自分の一歩と他人の一歩の歩幅は違う事を理解して、自分の価値観を相手に押し付けない様に心がけてお過ごし下さい。

今年一年、出会った全ての人たちのご縁とこれまで支えて下さった全ての皆様に心から感謝いたします。

さあ、来年も魂の役目を果たす為に頑張るぞ〜！



2010.12.27 Mon

大阪　難波宮メッセージ

2001年の12月22日、大阪にある難波宮（なにわのみや）で当時の天皇からメッセージが降りましたので大切な皆様へ公開致します。神を守る方、または天皇家にご縁のある方、または、天孫氏に関わりにある方たちは「魂の御鏡メッセージ」としてお読み下さい。

難波宮メッセージ１

天光(日）を降ろす神立ての剣があった場所は、その昔、太古の人々がこの地を訪れた証であり、宇宙意思を繋ぐ大切なものであった。

その剣は必要な時に、必要な場所へ移動されたが、その剣を守る為にたくさんの巫女が命をかけて守り続けた歴史がある。

形なきあと、繋ぎ守る天の意思は私たち(御霊）そのものだからこそ、この地が荒れぬようにたくさんの者たちが守っている。

十二神官（人）は全て男であり、一人一人が干支の役目を持つ守り方をしていた。

その中心に座る陰陽の中心が私（天皇）の役目だからこそ、今もこの地を守っている。

宇意天番（宇宙に繋がる魂の意思を持つ人）に繋がるあなたは、いつも大いなる存在たちと対話する事で、大神の意思を伝えてくれているからこそ、私たちもあなた働きに力を貸そう。

天軸・地軸・中軸の繋がりは、いつの時代も最も大切な神祈りの方法だからこそ、それぞれの守りの役目の方たちは力を合わせて新しい統合・調和・産み出しをして欲しい。

それが私の唯一の願いです、どうぞ宜しくお願いします。

難波宮　メッセージ２

誰もがその名を呼べば震え上がるほどの力をもつ神がおられるが、その名を口にすることは代々、禁じられている。

天皇口上の中にある一人神事では、その神の名を呼び祈りを捧げる事が許されているが、伝承は全て口述のみであり、記述はない。

本来、神役目の大役を果たす者には必要な神が守り入り、導きをいたすが、必要な役目が終われば神は離れる。

こと新たに物事を始める時、その神の争いを起こさないように禊があるのだ。

身につまる神の思いをどうぞ感じてくれなまし。

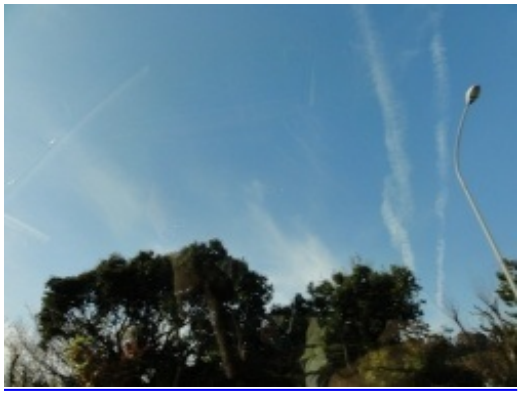
（吉岡学　補足）

神の御心を大切に思う皆様はどうぞ自らの神を尊び、神に与えられた肉についた過去の思いの禊と共に、渾身なる思いで守っておられる土地の神々様をご鎮魂下さいませ。

2010.12.22 Wed

三浦半島　城ケ崎神事（神奈川県）

12/19(日）の朝、三浦半島を南下する時にたくさんの龍雲が天を目指して登る姿を見せてくれました。 龍たちの守護を受けて行う今日の神事は、とても大切な過去の記憶を整える為に行います。



昨日、千葉県で一緒に祈った5名の仲間は同じ目的を携えて二つの場所へ向かう為に二手に分かれました。私ともう一人は、三浦半島の先端にある「城ヶ崎」へ向かい、残りの三名は「石割神社」へ向かいました。

石割神社へ向かった目的は、自然神と宇宙神に関して大切な神事を行う為です※石割神社の祈りの詳細はこちらをご覧下さい。

私が「城ヶ崎」へ行く目的は、東京湾に入ってきた過去の民族の思いを整える事が目的でした。

近年の出来事では、鎖国をやめて開国を迫るアメリカからの「黒船来航」が1853年に起きています。

当時、城ヶ崎にはアメリカの敵艦を向かう打つ為の大砲が設置され、日本国を守る為に軍備が強化された大切な場所でした。

それ以前には、沖縄本島に拠点を持つ琉球王国（現・沖縄県）が三重城（ミイグスク）という場所から江戸へ向けてたくさんの使節団の船を送り、たくさんの供物を載せて友好的な国交を繋いだという歴史も残っています。

しかし、その船には祈り巫女や王族の女性たちを乗せ、江戸をし切る重要な人物へ女性を差し出すことで命を守る裏約束をしていた事実もありました。最後は遊郭に売られた女性たちの悲しい

思いを整える為に、これまで沖縄の神人たちが何度も東京へ訪れている事実を皆さんも知っておいて欲しいと思います。

もっと古い時代には、この土地へ流れ着いた海人族（あまぞく）の人たちの思いも残っていますし、鉄や銅などを使って弥生時代の文化の流れを作った中国の錬金術師たちの一団もこの地を訪れています。

中国から来た錬金術師の話しは先日の関西勉強会でも出ましたが、海に面している東京や大阪の主要な港には、色々な土地の人たちが訪れたことで、住んでいた人たちの様々な思いが集まっているのです。

悲しい事や辛い事もたくさん起きていますし、真実を言葉にできなかった人たちの思いを感じながら、岬を守っていた人や神々の思いを全て整える為に祈りを行いました。

城ヶ崎の最初に訪れた場所は、「海南神社」です。





祈りを始めると、こちらにいらっしゃる女神様は静かにこうおっしゃいました。

よくここまでお越し下さいました。あなたが来るのをお待ちしておりました。

これまでたくさんの者たちが色々な目的（祈り・願い）を持ってやって来ましたので、それを護り続けてきました。

これからも今までの様に大切な物は守りますが、“新しく開ける”という事ですので、その意思を大切に守らせて頂きます。

という言葉を頂いたあと、女神様は大きな魚を昆布で巻いた物を下さり、ひとつの玉（タマ）も下さいました。

この玉は、龍宮の海の底を守っている神様の証文の玉だとわかりましたので、岬の先端で祈る時に必要なのだとわかりました。

そのあとに、50〜60cmの長い棒が背表紙になった古い字体の分厚い書物を見せて頂き、ここで行われた過去の法力（ホウリキ）の記録が墨で書かれている物を見せて下さいました。

色々な思いを持った人たちという意味は、日本国を守る為に祈りを捧げた重要な人たちの願いのようです。

女神様とのやり取りが終わって帰ろうとすると、何回も「お待ちください」と言われ、海難で亡くなった人たちの御霊を支えることが辛いという感情が伝わってきました。

両手を天に差し出すと、女神様のお膝の前に5人の従者（神）がひれ伏して座り、さらにその後ろに3人の従者が守りに天から降りてきました。

最後は私の目の前に一つ玉が三宝の上に置かれましたので、女神様に差し上げました。すると、「これで御霊たちが救える」と女神様に歓びながらお礼の言葉を下さいました。

女神様のお礼と祝福が、写真の右側に紫の光となって写りました。



城ヶ崎の灯台へ向かう途中、天の使いでもある鷹たちがたくさん空を舞っています。





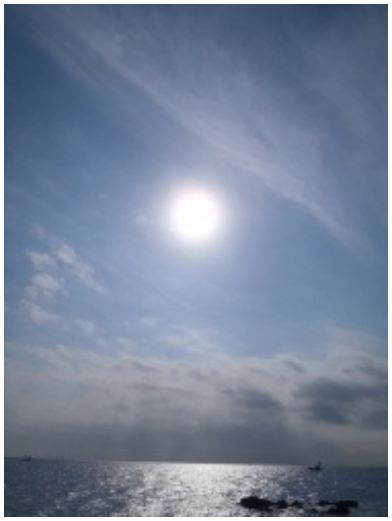
岬の先端で祈り始めると空が開き始め、天の神、地の神、海の底の龍宮の神が姿を現し、そのエネルギーが一体となって身体を突き抜けました。

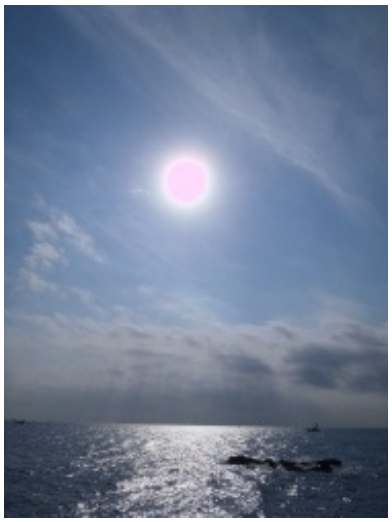




これまでの過去の全ての思いや結界や守り・縛りを全て外して、新しい世が生まれる為の天地創造の祈りを捧げ

ました。





水平線には扇状に龍たちがたくさん舞いあがり、その中心にこれからの時代を導く鳳凰が現れました。



地球の天地を守っている龍王神界と、そのさらに上に次元を守っている鳳凰神界の繋がりがさらに強くなり、地球に直接、鳳凰神界のエネルギーが届く時代になりますので天使、巫女、神の世界に繋がる女性たちがさらに全面に出る時代になります。

この事は、どうぞあなたの守護存在にその意味を確認して下さい。

海南神社の女神様が、「新しく開ける」と言った意味を説明します。

これまで訪れた関東や東海地方の岬には、古い時代に強い霊力を持った人たちが守りの意味で法力や法術を使ってあるエネルギー体に守らせていましたが、地球の新しい調和と日本人の気づきの為にその法術を外す必要が、事前にメッセージでおりていました。

ほとんどの方には理解不能かもしれませんが、直接、天から啓示が降りた和歌を訳した今回の神事の神メッセージを公開します。

私たちはこういう神や天からの啓示を直接、受け取る体質で生まれた事が役割りだからこそ、これから目覚める方たちの為にも公開しておきます。

（12/15　巫女に降りたメッセージ）

この碧き星「地球の始まり」を知るものが、これからを導く。各灯台で照らす光と闇の間を繋ぐ命を守る糸が切れかかっています。忍術を使って闇と光の繋がりを繋いで下さい。

闇夜を照らす大地の下を守る龍の子は、その亡骸を夕闇に送り返して下さい。強い力や権力支配を女性たちは嫌いますが、避けるほど実はその力を必要としているのが女性たちだと理解して下さい。

宇宙の大元の意思は、必ず岩に印を残しています。

そこを見つけられれば、宇宙が育んできた英知の封印がまもなく解かれる事でしょう。

これまで言い続けてきた事は、248年周期でまた巡ってくるでしょう。

東を目指してきた人たちの意思は、大元の意思だとその本質を理解して下さい。

南からやってきた民族は東を知る為にやってきましたが、本来の場所へ魂を帰して下さい。

今回の祈りで大元は、出入り口の封印を外します。

だからこそ、（西の地からやってきた魂の記憶を持つ）巫女の記憶を紐解く時が来たのです。

天地を守る神々も、その意思を理解した人が来るのを待っています。

2010.12.19 Sun

関東「南」神事　野島崎（千葉県）

さて関東から関西・京都まで続く道のりには、日本人の精神性に大きく影響を与えている土地のカルマがある事はわかっていますので、その元を正す為に行っている関東神事も12/18の関東「南」神事でひとつの区切りが付ける事ができました。

思えば2010年2月の西神事（御岳山）から始まり、3月北神事（日光）、11月東神事（犬吠崎）に続いて12月南神事（野島崎）までの間、関東に住む仲間たちの協力を得ながらいくつもの神事を重ねてきてやっと関東の土地の整いを終える事ができることに安堵しています。

まず今回の関東南神事を急に、12月中に終えなければいけなくなった理由からお伝えしましょう。

私に降りた啓示は、2011年から流れ込むエネルギーは今までと全く違う為に、今年中に開いた結界を閉じる必要性を11月中に伝えられました。

そのあと祈り仲間が、2009年の富士山神事で事前祈りを行った千葉県房総半島の野島崎がとても大切な場所だということに気づき、今回の南神事の場所も野島崎に決まりました。

実は、今回この野島崎だけではなく、もうひとつ大切な場所にも行かなければいけない事が伝えられていました。それは三浦半島の先端にある「城ヶ崎」ですが、それは後日ご説明します。

12/18(土）、都内から車で千葉へ向かうと海岸線に沿っていくつもの鳥居がある野島崎へ着きましたので、灯台近くにある厳島神社の弁財天様にまずご挨拶に向かいました。







弁財天様は、こうおっしゃいました。

「皆さんが来てくれた事はとてもうれしいのですが、この土地の方は色々な願いを込めてたくさんの物をここに祀っている為に、私の本来の神働きがしづらくなっていますが、それも土地の方の願いであればと全ての御霊を守り導いています。どうぞ、あなた方の事を正しく理解してくれる方は少ないと思いますので早めにお帰り下さい。」

これは、とても寂しくなる神様のお言葉でした。

弁天様が人間の願いを聞き遂げる為に、自らの意思を前に出さず本来の神役目を正しく理解されていないことさえも受け入れている状態です。

人間や自然を守っている神様たちを喜ばす事を一番の神事の目的で行っているからこそ、こういう神様の切ない言葉には心が痛みましたが、目的を果たす為に灯台の先にある岩場へ向かいました。

南祈りをする場所が決まり、5名で祈りを捧げていると大きなエネルギー体が目の前に現れました。

この土地にたどり着いた南方系民族（海人族）の思いやそのあとに住みついた民族の全ての思いをエネルギーで伝えられ、守り続けてきた大きな自然神の神様に加えて宇宙から大きなエネルギー体がこの場所に繋がりました。

世界中に誕生した全ての民族の意識を繋ぎ、日本人として生まれた役割を果たす為の最大の精神性神のアンテナが、関東の地に誕生しました。

これで関東の全ての整いは終わりましたので、これからは皆さんの行動と意識次第で決まります

と大神様も言葉を下さいました。







大神様から言葉を頂いた瞬間、過去に関東地区で組まれたいくつもの結界をもう触る必要が無くなった事もわかりました。

過去の全ての因縁、思い、結界などの囚われを外す今回の関東神事は、全く新しい土地の整いが誕生した事を伝えてくれました。

全てが整った関東の地に、何を創造し、何を築きあげて行くのかは、高い精神性に繋がる人たちの役目になります。

天と地を繋ぎ、新しい四方の内側と外側を守る神々は全て「宇宙神」ですので、土地やどこかに祀っている訳ではありませんので生涯、壊れる事はありません。

自然界全ての循環を見守り、地球以外の星とのバランスを整えている「宇宙神」は、これから日本で大きな働きを始めることでしょう。

人間を守る「先祖神や人格神」の上には、人間を含む地球上全ての自然界を守る「自然神」がいますし、さらには地球を含めた宇宙全体のバランスを整えるための「宇宙神」たちが各次元ごとに働いていますが、その全てが繋がりましたので初めて魂本来の目覚めが関東一円に住む皆様に始まります。

これまで生まれてきた魂の役目がわからず、色々なワークやセッションを受けた方も多いと思いますが、これからは確実に自らの守護存在を通して具体的なメッセージが聞こえる人たちが増えることでしょう。

大地に足を着き、地球内部のエネルギーと繋がりながら地上空間にある全てのエネルギーと調和する為に、私たち人間は地球に産み出されました。

だからこそ自我に囚われず大我に意識を置き、常にその両方のバランスを保ちながら大いなる魂の働きをする時間が始まります。

先祖を含め足元の現実を大切にしながら自然や出会う人たちに感謝し、常に新しい調和を産みだす心が、あなたは求められることになるでしょう。

個は、全ての集合意識のひとつであるからこそ、あなたは今、存在しているのです。

どうぞ、その個意識と集合意識の両方意識しながら感謝の祈りを生活の中で実践して下さい。

次に向かった場所は、安房国（あわのくに）の一宮です。





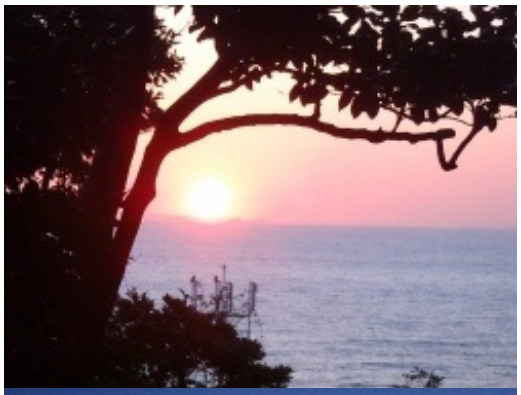


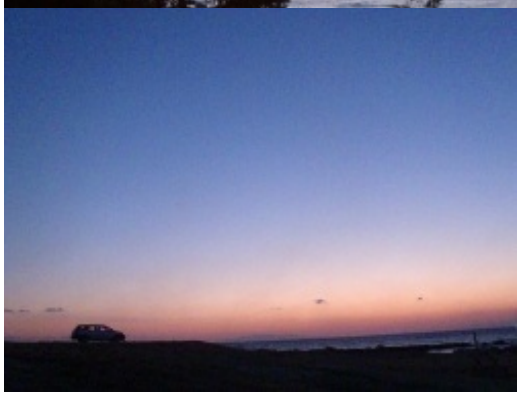
ここにいらっしゃる大きな母神様はやさしく私たちを包み込みながら参拝を心から喜んで下さり、模様の入った剣、七色の玉を授けて下さった後に、神代の記録が書かれた帳簿を見せて下さいました。

この神様の帳簿には過去全ての真実が記録されていますのが、真実を正しく知ることで日本に地に訪れた民族のルーツまで全てがわかります。

なぜ今回、安房（あわ）に関する神様の場所へ手を合わせたのかというと、実は伊豆神事・伊豆諸島神事に参加された方に、安房（あわ）に関するメッセージが何度も降りてきているからです。
阿波踊りで有名な四国も、実は、安房（あわ）の字を変えたものですから大昔、安房（あわ）と呼ばれた民族が日本に入ってきた時の記録が必ず土地に残されているはずです。
いずれ四国の安房（あわ）に関する紐解きの神事も必要な時期が来ることでしょう。時代は2700年以前なのは確かなのですが、残された文献は改ざんされたものが多いので直接、神様に向き合って対話することで魂の記憶は蘇ってきます。
私の神事に参加された方はよくこういう体験をされますが、それは真剣に神に向き合う心が自分の魂の記憶に向き合う意味もあるからです。
神事に参加される全ての方の魂の覚醒と共に、その情報を公開する意味も、まだ気づいていない皆様の記憶が蘇る為だということをどうぞご理解下さい。

神の御心に触れた瞬間、人は記憶した意識ではなく、内なる魂からのメッセージが聞こえてきます。
これから訪れる場所の神事にお力をお貸し下さいます皆様の魂の覚醒を願いながら、日本人全体の霊性を引き上げていく努力をこれからも続けていきたいと思いますので、どうぞご支援ご協力を宜しくお願いします。





2010.12.18 Sat

信じるものや人に囚われないで下さい

さらに、「地球創生勉強会」に降りたメッセージ　その３を公開します。

『信じるものや人に囚われないでください』

あなたが今、誰かや何かを強く信じているのなら、その囚われをはずしてください。思いが強いほど、あなたはしばられ苦しくなります。

信じるものや人は、あなたにとって都合がいい部分があるからこそ、あなたの気分で変わる部分があることを認め、相手に「絶対に押しつけない」様に学んでください。

では、「どういう形で物事や人を信じると良いのか」ですが、それはあなたが差し出す愛のエネルギーの分だけ、相手から頂くのだと覚えてください。互いの想いのバランスが崩れると信じていた部分さえ裏切りの要因になってしまいます。

あなた自身が完全な人ではないからこそ、求める部分があると認めるならば、足りないものを相手に求める前に、まず、自分が相手に何を与えていて、相手がそれを喜んでくれているのかを確認しなさい。

あなたがどれだけ精一杯にしているつもりでも、相手が喜んでいなければそれは無意味かといっていいほど愛への循環にはなりません。

愛は常に「相互愛」から生まれ、その根本的エネルギーは「自己愛」から生まれます。

あなたが自分に対する点数が人生を歓びにする基本点数になるからこそ、まず、「愛される人」になりなさい。

「愛される人」になる為に、他人を愛する練習を私たち全員で行う為に「出会い」はあるのです。

相違点を愛せるほど、心の大きな愛を育みなさい。

あなたは決して一人では無いことを感じるはずです。

2010.12.18 Sat

自分の位置と役割

前回に引き続き、「地球創生勉強会」に向けて天から降りたメッセージ　その２を公開します。

２　『自分の位置と役割』

あなたは、無人島で一人でいても何の意味も価値も見つけられない事はわかると思います.

あなたは誰かと居ることで役割が与えられるのですが、まず自分の位置がどこに居るのかを正しく気づく事の訓練をしてください。

年齢差、経験差、知識の差、男女の違い、離婚、結婚、子供のいるいない、家族と同居か単身暮らしか、その全てが互いの役目を気づくための素材です.

先生と生徒、同僚、仲間、友達、家族も許しあう範囲が違うからこそ立ち位置があります。

自分の発言や態度が周りの他人に失礼かどうか、遠慮しすぎて失礼ではないかも大切です。

うまく位置を見つけようとするよりも、素直な心で笑顔を保てば、人は心を開きます。
難しい顔をして考えるほど人は変になりますので、「素直さ」を第一に生きて下さい。
20歳を過ぎた人は、人としての「責任」を正しく学ぶ必要があります。
自分で責任をとれない事に意見することがいかに失礼な事かも学びましょう。
意見を求められた時に「わかりません」はとても失礼な事だと覚えてください。
同じ時間を共有して意見を求められたならば自分を表現するチャンスだからこそ、思った事を正直に話しましょう。
全員の時間を使っていることを忘れずに、共に学びあう仲間として尊重しましょう。
共に学び合う時間をを大切にしましょう！
2010.12.17 Fri

感受・感応のメッセージ

11/19の関東勉強会の朝、東京上空で降りたメッセージを公開します。

『感受・感応のメッセージ』　　**11**月**19**日　東京上空から　ｂｙ　吉岡学

受け取ることを拒まないようにしなさい。それが、愛であれ、厳しさであれ、戒めであっても、あなたに今必要だからこそ届けられたギフトなのです。

あなたの選択は、常に過去に経験に囚われた価値観や知識で選び続けているからこそ、自分にとって「良いものだけ」を選択しようとしています。

しかし、あなたを見守る全ての守護存在達は、何度もその過ちを繰り返してきたからこそ、
あなたに気づいて欲しく守護しているのです。

あなたが逃げ出したくなる時、誤魔化したくなる時、嘘をつきたくなる時の全ての出来事こそ、先祖たちが出来なかった事だからこそ、乗り越えるためのサポートをしているのです。

あなたにとって厳しい言葉や過ちを正すことを教えてくれる人がいなくなった時、あなたの魂の成長は止まり、ただの動物として自我の本能のまま生きようとします。

しかし、それこそが最も人間として魂として苦しい日々を送ることになるという事に気付きなさい。

全てを受け入れて、全てを掴まず、囚われず、手放す勇気を身につけなさい。

信じることと裏切る事は背中合わせだからこそ、あなた自身が表裏なく生きる必要があるのです。

2010.12.16 Thu

関東と関西の土地の因縁

二度目の「地球創生勉強会」を関東と関西で行いました。
「地球創生活動」とは何をする事なのかを再確認する為の資料をここに公開します。
※資料をまとめて下さった石田さんに心から感謝（＾＾）！

１．地球創生活動とは何をすることなのか？

・地球を守るために選ばれた日本人が役目を果たす
・宇宙の壮大なカルマを乗り越えて、人間として生まれた意味に気付き、星を守る守護神としての働きをする。
・千年紀における大変革は、ここ２０年から３０年期がきっかけとなり、２００年から３００年の大きな流れを作る
・「個の意識」と「集合意識」の意味を正しく理解し、常に集合意識の上昇を意識しながら創造をする

２．　具体的に何をするのか？

・土地に生まれ住む理由を正しく理解して、そのカルマの解消の為に自らの役目を果たす
・出会う人全てが全世の繋がりを持った人だからこそ、全ての出来事を愛と歓びと感動に転換することを心がける
・地球的民族ルーツ、宇宙的星のカルマにおける役割を理解し、新しい調和を生み出しながら正しくその目的を達成する。

３．テーマ
・全ての意識統合によりカルマ（想い）を一掃し、無限循環による愛の創造をし続ける事
・全てを生かし合い、全てを分かちあう生き方を心がける
・全ての生命が、運命共同体である事を正しく理解すること

４．現在取り組んでいること
・北海道と沖縄の整いを２００３年から２００７年までに完了し、現在は本州最大カルマである関東、関西、京都、天皇家の大きなカルマ解消の為に毎月通っている（2009年10月～）
・いずれ、九州北部、四国の土地に残るカルマ解消にも取り組む必要あり
・北海道、本州、四国、九州、沖縄の五つの島を守る人たちと意識を合わせて、本来の日本国、日本人として生まれた働きをなすために地球全体が全宇宙へ向けて永遠なる愛のエネルギーを放出し続ける

お会いした人たち一人一人の魂の役割を感じながら伝えた情報を実践した皆様の変化はとても素晴らしく、二回目は互いの変化を喜び合う素敵な土地の仲間が集まっています。

関東は神事を通じて隠されたたくさんの真実がわかりましたので、その状況をお伝えしながらこれからするべきことをお話ししました。

関西については現在、土地に残るエネルギーの違いや改ざんされた歴史を調べ直している段階ですが、今後、神事を行って直接神と対話しながら過去全ての囚われの思いをクリーニングする必要性を皆さんが感じています。

関東は来年１月の群馬講演会のあと、渋谷で三回目の勉強会を初めて夜から行いますのでどうぞご参加下さい。
☆関東勉強会１月１８日（水）19：00-21：30　参加費4000円

※関西勉強会と神事は２月に行いますが、現在土地を調査中ですので関西を愛する皆さんから情報提供・ご参加をお願いします。

地球創生勉強会にご参加希望の方は、こちらへご連絡下さい。
2010.12.15 Wed

強気と弱気の人生

いつもは皆さんに伝えなければいけない啓示やメッセージが多いので強い神言葉ばかりでお伝えして、どうもすいませんｍ（__　__）ｍ

今日１２月１５日は今年のエネルギーが終わる日なので、みかんでも食べながらコタツに入ってゆっくりお話しを聞いて下さい（＾＾）

今日のテーマは、「人生は常にままならない」というテーマでお話しします。

この「ままならない」の意味は、自分のわがまま通りに人生は進まないという意味ですが、職業柄、よく「自分の思うようにならない」と悩む人たちにお会いしますが、反対に「自分の我がままのまま」で生きている人はどれくらいいると思いますか？

世の中で本当のお金持ちと呼ばれる人は５％しかいませんので、この人たちくらいは人生が思うようになっていてほしいと願いたいのですが、実際はそうではありません。

これまでたくさんのエリートサラリーマンや事業で成功した方、また親の資産で優雅に暮らすお金持ちにもたくさん会って話を聞きましたが、誰もが皆さんと同じ悩みをお持ちです。

同じ悩みを持つ同じ人間なのに・・・なぜお金持ちと貧乏人に分かれるのでしょうか？

成功の人生と失敗の連続の人生に、なぜ分かれるのでしょうか？

幸せそうな人たちと不幸の連続ドラマの様な人生を送る人がなぜいるのでしょうか？

答えは、とても簡単なんです。

でもその説明をする前に、まず知っていおいて欲しい大切なことがあります。

それは、誰でも「幸運と不幸の同じチャンス」をいただいているという事実！

「そんな訳はない！」と、強く反論する人もいると思いますが、それは当然です。

これはあくまでチャンスの話しですから、掴むか掴まないかは本人次第だからです。

でもやはり、「チャンスは平等」に与えられているんです。

「チャンスの神様～！」という歌もありますが、チャンスの神様は前髪にしかいないと言われているほど通り過ぎてからでは掴めないものなんです。

でもどれがチャンスかわからない・・・・からこそ、これがチャンスかな？と思ったら、全てに挑む勇気も必要です。

でも人間は「体験」という学習を積み重ねる動物ですから、多くの人は３回も同じ失敗をすると、「もういいや！」とあきらめてしまいがちですが、最後に何かを勝ち取る人は必要に挑み続けるしつこい性格をお持ちです（＾＾）

「しつこい」を言い換えると、「あきらめられないほどやりたい目標」を持っているからなのですが、そこには強い決断力や努力が必要なことは誰もが知っています。

だからこそ、何かをやり遂げる人たちのように強い精神力を持っていない私は「仕方がない」とあきらめるている人たちが、ほとんどの人たちなのです。

では今日の本題ですが、まず「人生はトータルで成功かどうかを評価」するものだと言う事を覚えておいて下さい。

素晴らしい年俸をもらって暮らしていた野球選手や芸能人たちの人生の最後がどうだったかはあまり報道されませんが、人生は必ず光があれば闇の時間が用意されています。

今、幸せで運気上昇志向の方は強気に物事を挑めますが、そうではない人はどんどん弱気に将来を考えるようになります。

これは性格というよりも良い運に乗っている時（光）と、そうではない（闇）の違いだけだと理解して下さい。

そして、この体験の評価は二つの視点で考えるようにして下さい。

ひとつ目は、自分にとって良い人生であったかどうか？

二つ目は、誰かにとって良い人生であったかどうか？

この二つ目の「他人の評価」は、一般的にはよく語られるテーマですが、実はどうでもいい事なのです。

まず最初に大切なことは、「自分が自分にとって幸せだと思える人生を生きたかどうか？」が死ぬ前に神様に問われます。

自分に正直に生きたと思えた人は、二つ目のテーマに挑む様になるのですが、他人の言葉は常に賛同と批判が半分づつありますので、他人の言う言葉すべてに右往左往されないで下さいね。

最後の最後のあなたの人生責任は、あなたしか持てないようになっているからです。

私も２０代から３０代は、世の中の流れを無視して自分勝手に生きてきたからこそ、今のような時間が与えられているのだと思っていますが、中学生の頃からの１０代はとても深い闇に落ち込んでいた時期を経験しています。

中学の頃にドストエフスキーの「罪と罰」を読んで、とても宗教的な思想に影響されている考え方が嫌になり、神様に「なぜ人間に罪や罰を作ったのですか？」と聞いた事もありますが、神様はこう教えてくれました。

私は、罪も罰も作ってはいません。

罪や罰、善や悪を作ったのは、人間なのですよ。

やっぱり！と思ってから色々な宗教の本も読んでみましたが、神様の言葉と人間が意思を加えた言葉の違いを肌で感じる体質なので、すぐに嘘の部分を見つけて読むのが嫌になりました。

人間が生きるという本当の意味や真理、そして地球を含む宇宙全体の存在意味は、どうなっているのだろう？

神様っていう存在がもしいるとしたら、人間は何を経験する為に生まれてきたの？と、夜空を眺めて質問し続けていました。

結局、正しいと思える答えが見つからなかった為に、偽りの世の中だと知りながらも生きる為に大人たちの社会に順応する事を選びました。でも毎日、何かに反発するように生きていた時期でした。

２０代、３０代、４０代でたくさんご迷惑をかけた皆様、本当にごめんなさい　m(__　__）m

３７歳を転機に会社を辞めた理由も、本質は同じです。このまま会社にいると、より自分らしく生きられなくなる事に気づいたからです。

でも自営業を経験した事がある人はわかると思いますが、会社を辞めると自由なようでこれほど不自由な生活はありません。「安定」という文字は全く無いうえに、何処かに勤めた時のような完全な休日も一切ありません。

でも大企業という大きな船に乗って自分のしている事が、自分の力だと勘違いしている事に気づいたので、辞めるしか仕方が無かったのです。

自分がどんな人間か、自分は誰かの役に立てる人間なのかをこの人生で試してみなければ、自分に言い訳ができないまま人生を終わる事はできないと気づいたからです。

会社を辞める３７歳の頃、私は自分のしたい事がほとんど叶っていましたので強気で人生を生きていましたが、会社を辞めると、その真逆の人生を経験することになりました。

でも弱気になれるほど経済的・精神的な余裕はなく、毎日が生きることに必死でした。

弱気で生きられるというのは、実は、幸せなことなのかもしれません。

自分で生きる！と強く決断しなくても、会社や家族に守られて生きられているからなのでしょうね。

逆境になればなるほど、強気になる性格は今も変わりませんが、こんな私でも弱気になる時はあります。

中学生の時ほど深く落ち込む事はもう無いとしても、落ち込んだ時は「自分がどうしたいか」を繰り返し問い続けるようにしています。

たまたま結果が良くて良い波に乗っている時は、どんどんその波の乗って上昇することも必要ですが、調子に乗っていると必ず、落とされるという経験を何度もしました。

人生の成功者たちに成功する秘訣を聞いた時に教えたもらった言葉ですが、大切にしている事として言えば・・・「おごらないこと」。

では「運が悪くてどうしようもない時はどうしているのですか？」と尋ねると、「人に逢わないこと」だと教えてくれました。

さらには、運が落ちている人の話を聞くのも、観るのもいけないことだと教えてくれました。

成功者は「見る・聞く・触る・感じる」という体験を繰り返して記憶する動物が人間だと言う事をよく理解しているからこそ、普段、何を意識しているかがよくわかりました。

実際に有名にならなくても、お金持ちにならなくても、他人に評価されない生き方をしていても、実は、この生き方のコツをしっかり掴んで生きると、自分の人生を光に換える事ができるとわかったのです。

だから私は、いつもこう自分につぶやいています。

うまくいっている時は・・・「たまたまだから、頭を下げて生きようね。決してオゴってはいけないよ。」

うまくいってない時は・・・「たまたまだからね、また良い波が来る時まで準備をしておこうね。今、できる準備をね。」

うまくいっている時は弱気にしていても何をしていても、全てがうまくいくものです。

それが実力ではないと心から悟った人は、強気にはなれません。

反対に弱気になるようなうまくいかない状況では、自分自身が折れない様に気を付けながら今、できることで将来の為の準備をしておきます。

「人生１００年」と言われる時代もまもなく訪れますが、人生の灯が消える瞬間までに光と闇の清算をしてから終わるようになっているからこそ、今の自分の状況を掴み過ぎないで「たまたま」くらいに思ってお過ごし下さい。

人生で起きる全ての事が「たまたま神様に生かしてもらってる」くらいなものですから、自分一人でどうこうしてもすぐに結果が変わらないくらい「人生はままならない」ものなのです。

他人の口は止められませんし、誰かをあなたの思い通りに動かす事もできません。

だからこそ、運がいい時には頭を低く、運が悪い時には強気で自分を支えてあげましょう。

若い頃には理解できなかったからこそ、たくさんの学びができる今の自分にも感謝しています。

５０代になってみて、４０代や３０代や２０代や１０代で理解できなかった事が少しわかりましたが、これからさらにその意味が深く気づくのだと楽しみにしています。

経験が少ない若い人も、たくさんの経験を積み重ねた年老いた人も、神様が与えてくれた役割なのだ思って出会わせてもらえる人たち全てに感謝しています。

若い頃にたくさん人を傷つけて失敗をした人ほど、人の痛みがわかる素敵な人になりますので、失敗を恐れずにチャンスの神様を信じてチャレンジして下さいね。

７０歳からパソコンを覚えてメールとＷｏｒｄを完璧に使いこなし、７７歳から携帯メールも使っている私の母のチャレンジ精神にはいつも驚かされます。いつもお元気でありがとうございます、母上様（＾＾）

さあ、明日１６日から東京・千葉・神奈川・静岡・大阪へ出かけて、２０１１年の新しいエネルギーを感じながらたくさんの皆さんと地球の未来を輝かせる為の活動をしてきます。お会いする皆様、どうぞ宜しくお願いします。

2010.12.14 Tue

理性と本質の混乱

１１月１１日前後から意識次元上昇に伴うエネルギー転換で、大きく体調を崩したり意識が揺れ動いている人たちの報告が届いていますが、特徴は人に逢いたく無くなり、やる気が出なくて身体が重く動けずに寝る時間がとても長くなるという症状の方が増えています。

早い方は９月位から徐々にその症状が始まり、どこか身体の具合が悪いのかと思った方も多いと思いますが、年の瀬にかけてさらに同じ症状の方がどんどん増えているほど、今まであなたが大切にしてきた価値観や考え方を変える必要性を求められている事に気づいて下さい。

こういう辛い時期を経験した方は、「生きるのが辛い、自分は死んでしまうのでは無いか？」と思うほど、やる気の無くなった不安定な精神状態に陥りますので、病院へ行けば「鬱」と病名がつくかもしれません。

でも、これは病気ではありません。あなたが変わる為に必要な「魂の経験」なのです。

混乱している皆さんへ、「陰陽大逆転」の次元上昇エネルギーで何が起きているのかを説明しておきましょう。

まず「理性」という言葉が持つイメージは、社会に上手に順応出来て、現実的に物事を正しく判断し、知的能力を持つ進化した人間というイメージが持たれています。

親が、子供たちに一番多く求めてきた難題でもあります。

本能欲求のまま自由に生きていた子供たちに対して、大人や社会のルールを教え込み、理性的な人間を作り上げてきた結果が、今の「引きこもりや鬱など」の心の病の人が増えていることはあなたもご存じの通りです。

では、なぜこれだけ多くの「鬱」と病名が付くの方が増えているのでしょうか？

心の病気と決めつけて薬で精神を安定させると、魂の覚醒は行われません。

家族や誰かに迷惑をかけるなら一時的な薬の使用も仕方がないと思いますが、もっと早く改善する心の治療方法を教えますので、ぜひ次の処方箋を読んで時間をかけてながら自分と向き合って下さい。

（（処方箋））
まず宗教の狭義やコアなスピリチュアル情報で「理性」の上に神様がいると思いこんでいる方もいますが、それは大きな間違いです。

神様は、そんな都合のいいところにはいません。

「理性」を漢字の意味から考えると、動物のように「本能欲求」のままに生きるのではなく、「性（さが）を理論的にコントロールすることが大切だよ」という暗示の言葉です。

ではその「理」が何かと問えば、宗教の狭義で教える様に神が人間を作った時の説明のあとの言葉では、人間の本能欲求を管理したい人たちが作り上げたルールで「理」を作られてきた事に気づいて下さい。

宗教にはまった縁が無く、一般的な生活をしてきた皆さんでさえ、親や友達、社会などから傷付けられた言葉やルールが、あなたの「理」になっていることを思いだして欲しいと思います。

そういう他人から概念を押し付けられるのが嫌で海外へ飛び出した若者たちもたくさんいますが、日本人に生まれた人たちには全員、「大切な魂の約束」があるからこそ、その事を思い出す為に次元上昇が続いているのです。

スピリチュアルな世界に全く関係なく、普通に生活している人たちがその「理」をどこに置いているのかというと、ほとんどの方は社会性を保つ為の三つの要素（理性・欲求・安定）の三角形の頂点に「理」をおいています。

頂点に置く理由は、あなたという個人が社会に受け入れられる為に一番安全だと思っているバランスだからですが、他の人の重要性が違うことも理解しておいて下さい。中には、「本能」を一番大切にして生きている人もいますし、「安定」を一番大切にしている人もいるからです。

これらは「見える現実世界でのバランスのとり方」、つまり「生き方」を示しているのですが、最も重要な「魂の本質」についての概念がここには現れていません。

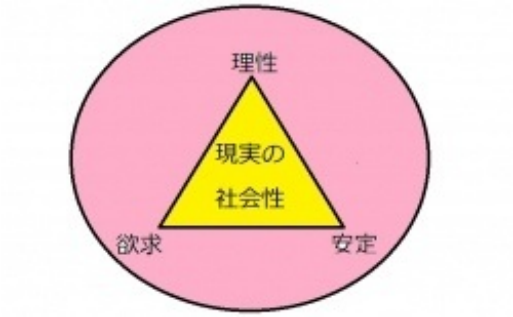
「魂」の事を「神」と呼んでもいいでしょう。

「魂の本質＝神の意識＝自我＝他我＝絶対＝無を」理解している人たちにとっては、本質的に同じ意味だとわかるからです。

これまでの説明はあなたに動物の様に本能欲求のまま生きなさいという意味ではなく、「自分の本質が望むように生きる重要性」に気づいて欲しいからご説明しています。

「魂の本質に生きる」ことを気づく為に質問しますが、「魂の世界」や「神の世界」はどこにあると思いますか？

色々な答えが思いつくと思いますが、実はこの三角形を全て包みこんでいるのが、「魂の世界であり神の世界」なのです。



全ての概念や理念、理性を含む現実的なバランス全てを包み込んでいるあなたの魂は、あなたの「理性」よりも大きいからこそ、誰もが自分の魂の声を正しく受け止めなければいけない時期に来ているのです。

だからこそ、あなたがこれまで一番大切にしてきた概念を横において、自分の魂の声を聞く努力をしなければならないと繰り返し伝えているのです。

結果的に、自分の魂が望むように生きる事があなたの使命でり、歓びであることを理解しなければいけない時期なのです。

やらなければいけない葛藤はいつもあるからこそ、ちょっとだけ横に置いて、ゆっくり大の字に寝ながら、自分の魂に向き合う時間を作って下さい。

その状態で自分自身にこう問いかけて下さい。

私にとって今、一番大切にするべきことは何ですか？

私にとって幸せとは何ですか？

私にとって歓びとは何ですか？

何層にもなったあなたの心の呪縛は、あなたが自分でかけた呪いの言葉ですから、外すのは自分

しかできません。誰もが年齢を重ねる度に、自分を守る為に何層もの壁を作って自分の本質を隠してきたからです。

魂の本質の声を聞くには、基本的には自分自身で行わなければ意味がありません。誰かにサポートしてもらってはいけないのです。

唯一、自分の本質に向きあう為の講座として「スピリチュアル講座」を開設していますが、本気で向き合う決意を持った方だけにお勧めします。卒業生たちは全員、新しい自分に気づき自由を手に入れています。

ちゃんと自分で向き合えた方は、これから無駄な判断をせずに生きる為の大切なアドバイスの声が魂から聞こえるはずです。

２０１１年は、さらにこのエネルギー上昇が大きくなるからこそ、戸惑わない様にスピリチュアルカレンダーで大切な日をお伝えしているのです。まだご注文されていない方は、どうぞお早めにこちらからお求め下さい。

もうあなたの理性や知識だけを優先して生きる時代ではなく、自らの「魂の本質」の声を聞き、日本人として生まれた歓びを感じる生き方を自分で選択して下さい。

最後に、新しい年を迎える為に自分の部屋や自分自身のエネルギーをクリーンナップする高波動グッツもお試し下さい。天日海塩・リラックスクリーム・リリースオイル・カラーオイルなどがお勧めです。
2010.12.12 Sun

私は自由に生きる！

私のブログだけを読んで勝手にイメージを作り上げた方たちにお会いした時によく言われる言葉は、「吉岡さんて、普通の人なんですね～」と言われる事が多いのですが、一緒にお酒を飲んだ人は声をそろえて「普通の人より普通以下！」だと知っています（＾＾）

でも純粋だった子供の頃は、皆さんと同じように「大人の世界が嫌い」だったからこそ、大人たちを否定するのではなく

目指せ！新しい普通の社会　をスローガンに常に独立独歩の世界を歩んできました。

神様の世界に首を突っ込んだ理由も、生まれた時から「見えない世界」を普通に見ていたので抵抗はありませんでしたが、本当はあまりにも皆さんが思っているような世界ではない事を伝える必要性を気づいたからです。

子供の頃に私が一番嫌いな言葉は「普通」という言葉でしたが、理由は大人の言う「普通」があまりにも嘘の世界に思えてしょうがなかったからです。

言い訳と屁理屈と常識に固まった概念の大人たちに、「普通はね～」と言われ、無知な自分を知っているのに、その部分を飛び越えて未来の可能性まで否定される時間ほど嫌なことはありませんでした。

「だったら、大人が言う普通をいつか変えてやる！」

と思い続けていると異端児になるか、社会に順応して同じ様に生きるかの選択を迫られる時期が必ずやってきます。

私はスピリチュアルな世界では珍しくサラリーマン生活を１４年間も送った人間だからこそ、常識的な思考もよくわかっていますが、生きている間に不満や言い訳を言う時間を少しでも減らしたいと思って続けているのは今も変わりません。

人生は神様に肉体を与えられ限られた時間だからこそ、自分の時間を歓びに溢れさせるか、不満や愚痴で時間を過ごすかも、自分で決められることを皆さんに思い出して欲しいと思っています。

人生は自分で決められる！

周りの人に理解されなくても、自分が決めた事は自分で体験してみる！

社会的な責任や法的な部分も確かにありますが、あなたの人生の時間をどう生きようが、誰に何と言われようが結局、その責任を取る人は最後はあなた自身しかいません。

だからこそ、あなたにはあなたらしく生きる為に心を自由にして生きて欲しいのです。

長い人生を先に経験した年長者たちには感謝を込めて、 死ぬまで健康で生きて下さい！と笑顔で言うようにしています。

「笑って死ねる」その瞬間まで、自分の人生に悔いなし！と生きて行こうと思っています。

どうぞあなたも、今この瞬間に心の自由を手に入れる事ができることに気づいて下さい。

私は、自由に生きる！

さあ、ここからがスタートです（＾＾）



2010.12.09 Thu

真実の理念崩壊

今まで信じてきた物事や信じていた人に裏切られる経験をすると、あなたはどのような反応をする人ですか？

自分が裏切られた苦しさをわかってもらいたくて、誰かに訴えますか？

その人は、自分が悪くない事を誰かに認めてもらいたい「情の人間」です。

永遠に「情」の置き換えをし合う苦しみに気づいたら、早く「情を愛に」変えましょう。

自分が苦しんだ分、相手にも苦しみを感じさせたくて相手を責めますか？

その人は、全ての物事を自分中心に考える「利己的な人間」です。

永遠に、歓びを感じ合うやすらぎの時間を与えられることは無いでしょう。

自分が信じたい事を信じて裏切られたのだから、自分も悪いとあきらめられますか？

この人は常に自分も他人も同じように愚かな部分を持っていることを学んでいる人です。

必要な新しい人に出会い、またお互いがレベルアップする為の学びをし合うことでしょう。

これからの年末年始、そして来年春、そして夏から秋にかけて、皆さんが真実だと思っていた物事がたくさん崩壊します。

日常では人に裏切られたり、会社の上司部下に裏切られることが多くなるかもしれません。

もっと辛いことでは、家族に裏切られる経験をする人がいることでしょう。

なぜこんな話をしなければいけないかというと、あなたの「信じる」には囚われがあるからです。

その囚われを外さない限り、本当の人間愛も、地球愛も、宇宙愛も生まれないからです。

でも中には、裏切られることを経験しない人もいます。

もともと、人や物事を信用していない人ではありませんよ（＾＾）

裏切られるという思いが、心の中に無い人たちです。

「裏切る」という言葉は、「裏を切る」と書きますが、自分の心の奥底の気持ち（裏）をわかってくれていると思った人に、そうではなかったと気づいた瞬間を「裏切られた」と思いますが、本当の問題点は、「あなたの心の裏にある思い」だと気づいて下さい。

これからの時代は、政治も経済も、社会常識も全てが崩壊すると感じる人が多くなりますので、それに合わせてたくさんの人が意識を変えなければいけないような出来事が現実に起こります。

今年の色々な事件を見て大変だと思っているようでは、まだまだなんですよ。

もっと色々な物事の実体が世の中に出てきますが、問題はあなたが「真実だと思って信じ切っていること」を再チェックする必要があることをお伝えしているのです。

今年も１２月１５日を過ぎると、２０１１年のエネルギーが流れ込み、あなたの「無意識」に影響を与える時期に入りますので、どうぞ一日も早く自分が信じたいと思っている「思い込み」を手放して下さい。

あなたが生まれた瞬間には本来、「信じる」という言葉がありませんでした。

あなたが信じる神様や向き合う人全てが「自分である」と悟った瞬間に「信じる」という言葉は無くなりますが、その手前までが「信じる」ことを学ぶ時間なのです。

どうぞ、自分の思いの「囚われ」に降り回されない生き方を選択して新しい年をお迎え下さいね。

2010年12月5日に吉岡学が受け取ったメッセージ



2010.12.06 Mon

関東「東」神事３　　鹿島神宮・香取神宮

関東「東」神事をまとめます。



今回の神事で「鹿島山」というメッセージを受け取った方がいましたが、その意味が鹿島神宮そのものであることに気づくまで随分時間がかかりました。

鹿島神宮・香取神宮・息栖神社を線で繋ぐときれいな三角形になる為、エネルギースポットやレイラインと呼ばれ様々な人がその関係性を記述していますが、今回は土地に大きなエネルギーがあることを見つけさせた宇宙の意図を考えてみましょう。



とても古い時代に神社を最初に作る時は「地の利」や土地を読み、守護存在の繋がりを使ってエネルギーの高い場所を霊能者や神役目の方がまず見つけます。

エネルギーの強い場所の意味を解読する時は、何段階にもなっている次元意識（チャンネル）を体得していなければ解読は無理ですが、私が読み取った情報では「人間における意味」というよりも、この場所に目的を持って降りた宇宙エネルギーの意味を理解することが重要だと気づきました。



その目的に気づいて鹿島神宮の「奥宮」の神様に向き合うと、すぐに言葉が降りました。

私たち（神々）はとても古い時代からこの地を守っていますが、人間がやって来て社を作り、ここに祀った意味とは別に、宇宙の大元の意思は私に「ただここを守るように」と申しつけられた存在ですので、それ以上のことはよくわかりません。

とてもやさしい女性的な声で、奥宮の神様は教えて下さいました。

この言葉を聞きながら、一瞬で大きなエネルギー体が身体を通り抜け、たくさんの情報が私に与えられましたので、あとはひとつひとつの場所で確認すれば「確信」に代わります。

次は「奥宮」の後ろにある大切な「要石（かなめいし）」の場所ですが、そこへ行ってみると「要石」の周りが工事中だったおかげで、初めてその全姿を見る事ができました。



これまでに二度、要石に訪れましたが、毎回とても厳しい神様の声を聞いた記憶があるので、心して祈りを始めました。すると、とても悲しげな声で言葉が降りました。

私は地球の中から産みだされた存在ですが、地球を守る本来の意味を正しく理解している方がいない為に、いつも間違った扱いをされてとても悲しい思いをしています。

この地球が出来る時に、宇宙の大いなる母の意思を受け継ぎ地球内部から産まれた意味を正しく理解してもらえてとてもうれしいです・・・。

どうか私のような役目を持ち地球の内部から産みだされた存在たちがもっとたくさんいるからこそ、その事をこの土地に産まれた人たちには正しく理解して欲しいと思います。

私たちは人間に理解されなくても、人間を、そして、この地球を守り続けます。

隣にいたこの土地守り宣言をした男性は、神様の悲痛な気持ちを感じて涙が止まらない状態になっていましたが、私自身は言葉を失いました。

どれほど長い時間ここに存在し続け、地球に産まれた全ての命を守り続けてきたのかを一瞬の映像で見たからです。

誰にも正しく理解されず、自分の存在の意味を曲げられて伝えられようが、神々は決して不満を言いません。

それは、人間の愚かさを知っているというよりも、人間を信じているからです。

いつかきっと、自分を正しく理解する人がやってくることを信じているからです。

この日が、その時でした。

必ず、あなたの意味を正しく伝え、そしてあなたを産みだした大いなる母の目的を成し遂げる為に、私たちは必ず目的を果たすと決意しました。

鹿島神宮の奥には水が湧いている池がありますが、もともと海だった場所に真水が湧く意味は「神場所」の意味もありますが、この場所でたくさんの侍たちが争って血を流したシーンが目に映り血の匂いさえしてきます。



池のすぐ近くに祀られている「大国主命」に話しを聞きに行きました。

国産み、国譲りの話しは何段階にもその本質を隠し、真偽がわからない様に変えられているからこそ、真実はあなたたちの魂に記憶があるとお伝えしておきます。

あなたたちは、その事を正しく理解する為にここに来られたことも知っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

前世記憶や宇宙の記憶を思い出す人たちが増えていますが、産まれる前に消された情報も必要な場所へ、必要な時に足を運べばその時に必要な情報が与えられるものです。

こういう正しい情報を知った時は、すぐにその責任も生まれていることも覚えておいて下さいね。

知識は常に過去の遺物だからこそ、私たち人間には全ての物事を愛に変える創造性が与えられています。

真実を知った瞬間にこそ、その創造性を使って全ての御霊たちの思いや神々の思いを愛に転換する役目が与えられた瞬間なのです。

これで「鹿島神宮」の意味はわかりましたので、次は「香取神宮」へ向かいました。

香取神宮の「要石」は少し重いエネルギーに包まれていたので、きれいに場所のエネルギーを整えてから祈りを始めました。





きれいにして下さって、ありがとうございます。私はこの場所を守る為に一生懸命働いているのですが、なぜか人間たちがたくさんの思いを残して帰る為に、とても重くて苦しい状態が続いています。

どうか私たち（神々）は、人間個人の都合の為にいる存在ではない事をたくさんの人に正しく理解して欲しいと願います。

いつもながらこの言葉を聞くと、とても申し訳ない気持ちになります。

一人の人間としてお詫びでは尽くせないほど、神の扱いを間違えている方たちが多いからこそ、神仏にお願いをする生き方をどうぞおやめ下さい。

神仏に向き合う正しい心構えは、良い時も悪い時も見守って下さっているお礼を捧げるだけで身も心も軽くなるはずです。世界中の祈りの基本は常に「生かされていることへの感謝の心」ですから今後は一切、お願い事をしない様に皆様にお願いします。

次は、香取神宮の「奥宮」へ向かいしました。





ひっそりとした場所にいらっしゃる「奥宮」の神様とのやり取りは、こうでした。

私がこの地に降りた時、もう他の存在が地球に降りている事はわかっていましたが、移動も連絡もできないからこそ、その時からずっと今までこの地を守り続けています。でも私には、それ以外のことはわかりません。

若い王子のような男性の声で答えてくれている間、宇宙のどの星からやってきたのかはだいたいわかりましたが、その星の名前を呼べばまた他の星とのカルマが蘇るのが神事ですから、名前は出せません。ただハッキリわかった事は、ここ一帯の土地の中で一番新しく地球に降りた「宇宙の存在」だということは事実です。

これ以上答える事を拒んでいたので、この土地をずっと見守ってきた隣りにある太い樹にも話を聞きました。



私はこの土地を古くから見守ってきましたが、宇宙からやってきた存在たちの事は聞いています。私たち自然界の神々は、宇宙からやってきた存在たちに見守られながら地球内部の思いを感じて生命を宿して循環し続けています。だから、もっと詳しく知りたければ必要な場所へ行って下さい。

とても賢い樹の精霊の言葉でした。私たちが確信する為の情報は、他の場所でわかると教えてくれているのです。

「本宮」へ行ってみました。七五三参拝と重なり人でごった返していましたが、正面左の樹は天へ向かってエネルギーが繋がっていましたので、話を聞いてみました。





私はこの場所を守る役目を与えられているだけなので、詳しいことはわかりません。ただ全ての樹は、いつもお互いに情報交換をしながら全ての知識を共有し合っていますので、必要な事はその場所の樹からお聞き下さい。

「樹は精気であり、エネルギー体」である事はもうご存じだと思いますが、だからといってご神木に抱きついて精気を奪う行為はおやめ下さい。神社内のご神木が枯れる理由は、人間がたくさんの精気を奪い、邪気を置いて行くからだと気づけば、申し訳なくて精気を頂く気にはなれません。神社周りをしている方たちは、よくそのことを覚えておいて下さいね。

さてここからが重要な話しなのですが、最終的に宇宙神事まで発展した今回の最後の場所や、やり取りした内容は「一切、口外禁止」というメッセージが降りた為に、詳しい事はお伝えできませんが、皆様に伝えるべき事もありますので、これからお話しする内容から自分自身で大切なメッセージを読み取って下さい。

まず鹿島神宮や香取神宮は、昨年、「２７００年祭」という特別な神事を神主たちが行っています。

２７００年前に、この場所で神事をした人たちはどこからやってきた人たちなのでしょうか？

その人たちが、この場所に神を祀った目的は何だったのでしょうか？

なぜ現在の関東の東に、これだけ多くの宇宙神が降りているのでしょうか？

宇宙から降りてきた存在たちの目的は何なのでしょう？

名前も場所も明かせない理由は、宇宙の星にいた時の記憶やカルマを思い出す人たちがたくさんいるからです。

私たち人間の魂には、現実を動物の様に生きる本能と一緒に過去、転生してきた全ての記憶が眠っています。その過去の記憶を閉じて肉体を与えられ、地球のあちこちに人間が生まれる理由は、人間が考えるような理由で存在している訳ではありません。

宇宙の記憶を思い出している人がたくさんいるのでお伝えしますが、私たち人間は戦いの為に地球へやってきた訳ではありません。過去の全ての出来事やあやまちを受け入れ、過去亡くなった全ての存在の思いを理解して、全てを愛に転換する役目を持って人間は誕生しています。

今世、あなたを裏切った人たちは、過去、あなたが傷つけた人たちだからこそ、その学びを終える為に地球に生まれて出会いましたが、あなたはその事にまだ気づかず、同じような辛い時間を繰り返している愚かさに早く気づいて下さい。

あなたは誰かに傷つけられたと思っていますが実際はそうではなく、本当にあなたを苦しめたのは「あなた自身」だと知っているはずです。

何度も変わるチャンスがあったはずなのに、本質の自分の声を聞かずに生きれば永遠に同じことを繰り返すのだと言う事実も知っているはずです。

その事を認めたくない人が誰かのせいにしたり、他の人に依存しますが、どんな体験をしても「許しと愛を１００％信じる」ことができなければ、あなたの心の中の戦いが終わることはありません。

宇宙から大きな意識体があなたをサポートしていることも知っていますが、それぞれの違いを批判し合う愚かな行為はもうやめて、この地球で私たち人間が果たすべき役割を自分で果たしましょう！

関東「東」神事は、大切な日本の新しい夜明けの為に、常に大いなる存在たちが守り続けていることがわかりましたのであとは、気づいた人間がするべきことをすればこの地球も日本も変えるほどの大きなエネルギーを動かす事ができます。

本気でこの地球に対して愛と感謝をしている人なら、全ての人にその愛を与え続ける勇気と責任もお持ちでしょうけれど、まだ愛が不足している自分がいるからこそ、互いを支え合う仲間がお互いに必要な時代なのです。

２０１１年の１年間は、２０１２年に訪れる「大変革のエネルギー」の最後の意識上昇期間だからこそ、全ての人たちが今の質問を問われ続ける時間になりますので、一人でも多くの人が目覚める為に日本を支える仲間の一人になって下さる様お願いします。このブログだけをお読みの方も、ぜひ以下のどれかにご参加してお力をお貸し下さる様お願いします。

（第一ステップ）
地球創世の情報のみ欲しい方
地球を愛し、日本人として大切な意識を共有したい仲間は、「地球創世メルマガ」にご登録下さい。※一部、ブログの内容と重複あり

（第二ステップ）
共に愛と調和を育み合う仲間として成長したい方
女性：日本人の母の祈りの力で地球を支える女性たちは、「全国巫女ネットワーク」にご参加下さい。※女性本来の愛の意識上昇が生まれています

男性：日本男児の精神性の柱を支え合う男たちの全国ネットワーク　「男神（おがみ）ネットワーク」を新設しましたので、地球を守る志を立てる男性たちはぜひご参加下さい。

※年齢・経験・職業・宗派は一切問いませんし、何の強制も条件もありませんので、純粋に愛と調和の心で祈りをするあなたのご参加をお待ちしています。

次は、関東「南」神事を１２月中に行います。

2010.12.04 Sat

「12月2日・3日に地震が起きる」とお伝えしましたが、結果として地震が起きた場所は「札幌」だけでした。それもとても明確に、ピンポイントでメッセージを送ってきています。

個人的には札幌でしなければいけない啓示を事前に受け取っていたので、仲間たちと話し合いを始めていた段階でしたが、とても急を要する事が今回、わかりました。

これから札幌で行う地球創世活動は神に向き合う神事とは別に、具体的な人の繋がりの輪を大きく広めながら集合意識の次元上昇によって、現実が歓びに溢れる生活を産みだす為の活動を始めます。

ご賛同・ご協力頂けます札幌近郊にお住まいの皆様は、ぜひプロフィールを添えて吉岡までご連絡下さい。私たちの手でこの日本を北海道から良くしていきましょう！

全国の皆さんにお伝えしたいことは、今回の啓示は地震が起きて場所を知らせるのではなく、強いエネルギー波が身体に感じる時間だった事を訂正してお詫びいたします。

実際に１２月２日の１２：３５が近づくと、私の身体はどんどん重くなり吐き気をもよおすくらいに身体全体がぐらんぐらんして、そのまま床に横になってしまったほど意識も身体も「倒された」感じになりました。

横になった時間は３０分ほどですが、まったく思考ができないほど強いエネルギーに身体が包まれ続けていたのを感じました。

神事をしている時は、霊たちがたくさん身体に付いて重くなったり、大きな神様を身体に乗せる役目だからこそ、そういう苦しみはよく知っていますが、立っていられないほど強いエネルギー波に押しつぶされる体験はめったにありません。

この体験で気づいたことをお伝えします。まず・・・

人や物に対するこれまでの思い込みや価値観を変えなさい　と細胞レベルまで転換するよう伝えてきています。

１１月１１日の「陰陽大逆転」のエネルギー転換前後から寝る時に短い夢を見る人が増えたと思いますが、この体験も同じようにあなたを守っている守護存在たちが色々な記憶や情報を使って

あなたにメッセージを送っていた状態なのです。

知り合いが出てきてあり得ない出来事を夢で見る意味を正しく理解したければ、夢ガイドなどで調べるのではなく、夢で伝えている側の気持ちを理解してその意思を感じ取ることが大切です。

なぜ今、この夢を私に見せる必要があるのですか？

今、私は何に気づけばいいのですか？

と、自分の守護存在に問いかけて、「ふと」思った事が答えなのです。実際に夢で見た事が起きる起きないが問題ではないという事だけは覚えておいて下さい。

私が今、確信を持てた事が幾つかありますので、皆様にお伝えしておきます。

１、これまで誰かに思った思いを全て手放して、出会った最初の状態に自分自身を戻しなさい。

２、物事・社会・常識の一切を知らなかった純粋な自分を思い出しなさい。

３、消えゆく肉体が今ある理由は、もっとあなたにはやるべき事があるのだと気づきなさい。

４、過去の失敗や恐れを一切捨てて、もう一度、新たに夢に向かって進みなさい。

５、他人の言葉や常識に囚われず、あなたが本当に経験したい歓びを体験しなさい。

６、残された時間がいつまでもあるかように思う事は、やめなさい。

７、これからは上に登るか、下降するかのどちらかしか選べませんので、自分がどこへ行きたいかを明確にして日々、その為の行動を始めなさい。

８、信じていた物が壊れたのではなく、もう一度新しい自分を作り上げる為のチャンスを頂いたのだと思いなさい。

◎あなたたちの意識をここまで上昇させ続けている理由に早く気づきなさい。

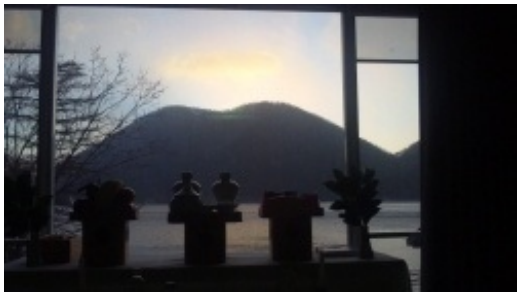
改めて、これからの生き方を変えると宣言する方たちからの「宣言メール」を受け付けます。

自分がこれからどう生きるかを決めて、こちらへ宣言メールをお送り下さい。本名・生年月日・プロフィールを添えて地球創世メルマガにもご登録して頂きます。※以前に宣言メールを送った方たちも今回の宣言メールは受け付けますが、地球創世メルマガに登録済みの方はその事をご記入下さい。

地球全体の人間の集合意識は、日本人のこれからの目覚めによって大きく変わりますし、それは日本に住むあなたの宣言と行動から新しい未来が産まれるのです！
2010.12.03 Fri

北の龍神祭**2009**と地震メッセージ

今年もあと一か月になった12/1、自然界の神様（火・水・風・大地）に感謝し、日本の北と南を繋いで守っている龍神の神々に感謝する「北の龍神祭」を北海道然別湖（しかりべつこ）のホテルで粛々と行いました。



今年から大きく変わった点は、いつも利用させて頂いている「然別湖温泉ホテル　風水」の御神殿が今後、使う事が出来なくなったという点です。これは、おかみさんが考えに考え抜いた結果、出した結論でした。今後は一切、全ての方たちにも御神殿に入る事をご遠慮願いますとおっしゃっていました。

私は10年前からこのホテルに来る縁を頂きましたが、神事の納めや「龍神の聖地」の祈り場所としてたくさんの方がこの地を訪れるようになり、御神殿にも上がらせて頂いた方も多いと思います。

全国からこの地を訪れる宗教家や精神世界の方たちが増えていることは聞いてはいましたが、何分、米寿を迎えられるおかみさんが今年、二度入退院を経験した中で考え抜いた結論が、

「もともとは自然の中の物ですし、今後は全ては自然の流れにお任せしたい」

とお手紙を事前に頂いていました。

神に向き合う心は同じだからこそ、穏やかなおかみさんの決意は、将来を考えた苦渋の結論だったと思いました。

できることや今までやれたことを「普通・当然」と思っている自分がいたのではないかと、自分を改めるチャンスを頂き気持ちを初心に戻したことは言うまでもありませんが、「甘え」は大切な神心を見失うことにも気づかせて頂きました。

地球を見守る存在たちの気持ちを感じ、日本を守る人間が出来る感謝の表れとして始めた「北と南の龍神祭」も今年で三年目を迎えますが、おかみさんが出席して下さるのは初めてでした。

一年目は、孫娘さんの結婚式の日にぶつかり欠席、二年目は12/1の朝にベットから降りる時に骨折という事件が起きてご参加頂けない事態が二度続きましたが、三度目の正直で色々なお話しを聞かせて頂く機会を頂きました。

米寿を迎える大正生まれのおかみさんは・・・

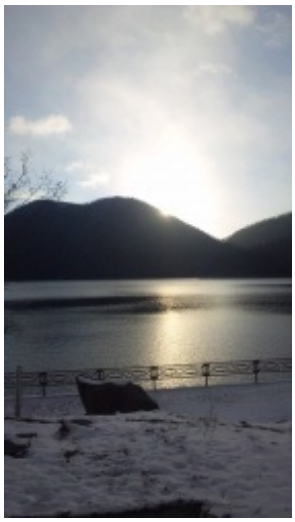
私は自分が未熟者だからこの神殿を作った時に「あなたは神殿を守ることで精進しない」と神が教えてくれたのだと思っています。30年間、ホテルに泊まり、日の出と日の入に祈りをさせて頂いた御蔭で、今は自宅でも同じことを続ける歓びを感じて暮らしています。

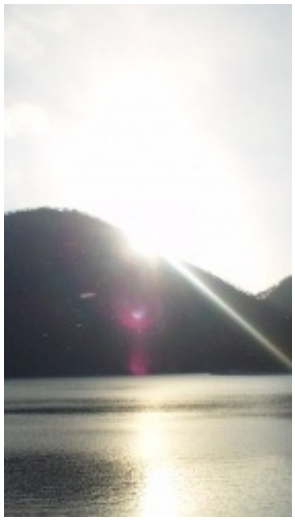
さらに今回、私の未熟さゆえに神殿に来て頂く方たちから頂いた物を全て受け入れる事が正しいと思っていましたが、その事も愚かだったと反省しています。

この年まで活かして頂いていますが、いつお迎えが来てもおかしくありませんので、これからは自然のまま静かに消えて行きたいと願っています。主人は亡くしましたが、一人の生活は、自由でとても刺激的な事ばかりで楽しく暮らしていますよ。

何気ない言葉の中には、たくさんの葛藤や混乱があるからこそ、自らの甘えを律しきった言葉でした。

おかみさんは私たちの祈りの為に、湖に近い一階の部屋をわざわざ解放して供物や御神酒まで用意して下さったので、一年で一番遅い７：３０の日の出へ向けた感謝祈りを一緒に行いました。





標高８１０ｍにある北海道で一番高い場所にあるこの然別湖は、この日氷点下４℃。今年頂いた大切な聖地のご神水を湖へ全て奉納させて頂きました。

皆さんにお伝えしたい事は、11/30夜に受け取った啓示です。

12/2　お昼の12：35前後と、
12/3　夜中午前3：15前後

の二回は、天と地からの大切なことを知らせる為に日本で地震を起こすと伝えてきました。

ひとつは「天の繋がりを示す揺れ」、ひとつは「地の繋がりを示す為の揺れ」だそうです。

揺れた場所に意味があるようです。

震度は３～４以内にと龍神にはお願いしているので災害の心配はないと思いますが、この時間前後の微弱な振動で伝えられるメッセージを受け取って下さい。

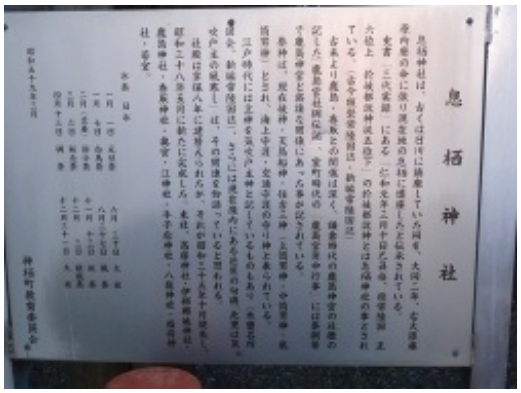
この事を忘れていたので、今朝６：４４、札幌市で震度３の地震が起きましたが、目覚めと共に起きた揺れは、この二つの時間の揺れる場所の意味を正しく知る重要性を伝えています。

どうぞ日本を守る龍神からのメッセージを魂で受け取って下さい。

2010.12.02 Thu

関東「東」神事２　息栖神社・銚子・犬吠崎





茨城県の息栖神社の歴史を調べると、現在の神社地は移された場所であり、以前はもっと海側に近い場所にあったことがわかりました。この事を理解したうえで、息栖神社の神様と対話した事をお伝えします。

１、ここの神様のエネルギーは自然神界の一番上であり、その上の宇宙神界の一番下に位置する存在（つまり宇宙神だということです）

２、日本へ渡ってきた海人族（あまぞく）の人たちを世界へ導いた神様でもあります。

３、世界を旅する船の先端に守護神として祀られる事もよくありました。

４、時には、船が着いた場所に祀られることもあったようです。

息栖神社の鳥居の真向かいには二ヶ所対で水が湧いている鳥居がありますが、土地から水が湧く場所は土地神の意思だからこそ、意味を読みとる努力をしましたが「土地の神産みのため」だということまでしかわかりませんでした。

それでは以前の場所へ行ってみようと守護センサーをフルに発揮してたどり着いた場所は、海の水を止めたあの水門のある場所でした。水門が見える土手の土地神に話しを聞いてみると、こう教えてくれました。

実際の場所を探すのは、あとでもいい。

だが、本来ここにあった時の神の役割と意味を正しく理解して欲しい。

この言葉を聞けた御蔭で、息栖神社に降りた神様のエネルギーは私の身体の中に入りましたので、どこにいても対話ができるようになりました。

宿に戻り、翌日予定している鹿島神宮、香取神宮の感取りをしていると、三名の口を借りて大神の意思が読めてきました。

この時点ではっきりわかったことは、鹿島神宮も、香取神宮も、息栖神社も実は、宇宙の大元から地球に降りたエネルギー体であり、そのエネルギー体を感じた人が神の名を呼んで鎮座させたのだとわかりました。

船に乗ってやってきた海人族（あまぞく）の中にはシャーマンのように高次元に繋がる役目を持つ人がいたはずですから、新しい土地へ着いた時は必ず神導きによって大切な場所を見つけることが役目だからこそ、この土地に鎮座した意味があります。

しかし、これ以上詳しいことは直接、神と向き合って話さないと分からない事があると感じたので、早めに就寝しました。

翌朝（11/21の最初の祈りは、利根川が海に流れ込む「湾口龍宮神」の場所を見つけることでした。

銚子港を見ながら車を走らせていると、すぐに目に入ったのが海で亡くなった人たちを祀った「千人塚海難漁民慰霊塔」でした。

その隣にある「地蔵堂」にまず御霊鎮魂と魂再生の祈りを捧げ、慰霊塔の後ろにある高台から海と利根川の真水がぶつかる場所へ向けて新しい命が生まれる再生の祈りを行いました。





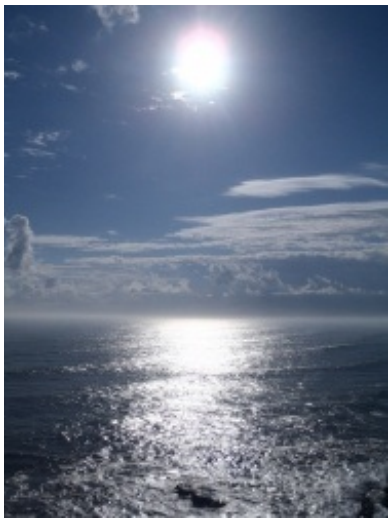
祈りを終えると利根川の源流で頂いたお水を注ぎ、現実的な水のエネルギーを海に注ぎました。

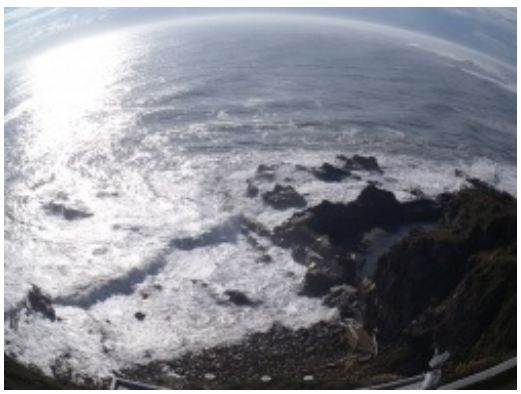
不思議な事に利根川源流から頂いた水は二ヶ月たっても一切、腐ることなく飲んでも美味しい高波動な状態のまま保たれています。残ったお水は、北の龍神祭で北海道の然別湖に納めようと思います。

「湾口龍宮神」の祈りを終えると、向かった場所は「犬吠崎」です。

「犬吠崎」には関東の東を守る最大のエネルギーが降りていると、仲間が読み取っていたからです。９９段の灯台の階段を登ってみると、とても美しい風景に見とれてしまいました。







灯台の上から祈りの場所も見つかったので、四名で岩の先端へ降りて東の祈りを捧げました。

突き出たこの岩場はとてもエネルギーが高くずっと居たい気持ちにさせるほど波動が高い場所です。帰りに「銚子竜神」のパネルを発見した時は、やっぱり！という感じでした。





龍神が守る「犬吠崎」を訪れた方は、どうぞこの場所から日本の夜明けを祈って下さい。

元旦の日の出がとても美しい場所だと有名だそうですよ！）

さあ、次はついに宇宙神の意思を読み取る為に鹿島神宮と香取神宮へ向かいます。

つづく

2010.11.27 Sat

関東「東神事」１　　霞ヶ浦と北浦の龍

地球創世活動を正しく理解する為の関東勉強会（11/19）と関西勉強会（11/23）にご参加頂きました皆様、ありがとうございます。気づきと学びの多さに感動したと、たくさんの方からお礼のメールを頂き私もうれしく思います（＾＾）

「国の建て替え立て直し神事」として関東「東神事」を11/20-21の両日、関東に住む三名の人たちと一緒に行いました。

全員が私の神事経験者なので一ヶ月以上も前からそれぞれが受け取っている啓示やビジョンをシェアし合いながら今回の神事で果たすべき役割りと大神の意思に気づく為に随分、時間をかけて準備をしてきました。

一人で祈りを行っている人が全国にもたくさんいると思いますが、一人で行う祈りは自分が受け取ったメッセージを自分だけの納得で完了できますが、他人と一緒に行う神事の難しさは個人の概念や価値観を越えた大きな神心を一人一人が学ぶ事を求められるからこそ、他人に心を開くことに慣れていない方にとって難しいのはわかります。

しかし、神様に向き合う意味を深く理解すれば、「自分という小さな枠」を超えて行動しなければ、いつまでたっても人の争いと同じく世界の平和も日本の平和も訪れない事に気づいて欲しいと思います。どうぞ、神様に向き合う心を正しく理解しあう為の仲間の輪を広げる努力をお願いします。

四方祈りの中で「東祈りの意味」は太陽が東から昇るように新しい命を産みだす意味がありますので、命を産みだす精子の役目の利根川源流祈りで頂いた水と、母の羊水の意味がある海の感謝祈りが当初の目的でしたが、関東の東の土地の歴史を調べていると、以前は関東全てが海の中にあり、水位が下がって現在の「霞ヶ浦」のような湖をいくつも残して関東平野が誕生した事がわかりました。

中でも「霞ヶ浦」は、川の水と海の水が逆流して交わる珍しい湖でたくさんの水産物の恵みを頂いていた場所だということもわかりました。

海水と真水が交わる場所を沖縄では「湾口龍宮神（わんぐちりゅうぐうしん）」と呼び、新しい命を産みだす大切な祈りを行いますが、この地域に住みついた人たちが利根川の水を利用して水田を広めると、海水の逆流によって被害が出る為に昭和38年に水門を作り、海の水が入らないようにしました。

水門は人間が生活する為には必要なものだと思いますが、新しい命を大地や人の心に産み出し続ける為には自然界の生命エネルギーを上げなければいけないと思いました。



上空からの写真を見ると、「霞ヶ浦」は頭を右下にして股を開いた女性の姿をしているので大きな「母龍」がいることがわかりますし、その右手あるギザギザの形をした「北浦」には「男龍」がいて、二つで対になって自然界の命を産みだしている自然神の意思に気づきました。

石岡駅に集まった仲間はまず茨城県が常陸国（ひたちのくに）なので、総社に出向いて今回の神事のご報告と、神事で使う神水を頂くことにしました。その水を持って向かった場所は「霞ヶ浦」に真水が流れ込む場所を守っている「高浜神社」（石岡市大字高浜８６５番地）です。

この高浜神社は以前、海から船でやって来た人たちが最初にご挨拶する大切な場所だとわかりました。藁ぶき屋根の素晴らしい神社を守って下さっている地元の方たちに心から感謝いたします。



命を産みだす大切な子宮にあたる場所へ移動してみると、そこには「歩崎（あゆみざき）観音」様がいらっしゃったので人の命を救いながら「霞ヶ浦」を守っているお礼を伝えてから、歩崎展望台から霞ヶ浦の母龍の精気を繋ぐ祈りを行いました。（茨城県かすみがうら市坂９２１）

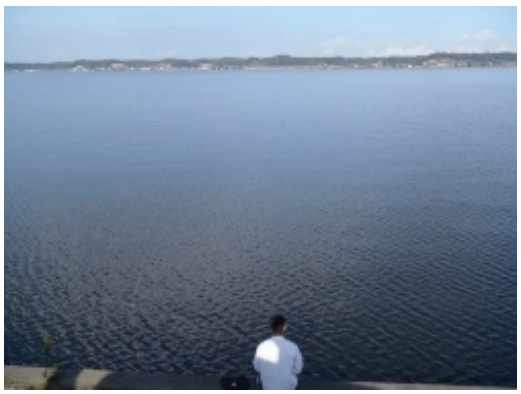


次に「北浦」へ向かって「男龍」のエネルギーを繋ぐ祈りを行いましたが、誰もが驚くような体験になりました。

風の無い静かな湖面の「北浦」の淵で祈りを始めると、突然、ゴボゴボ、ゴボゴボと右手で音がしたと思うと、そのゴボゴボという音がどんどん私たちのところへ向かって来るのです。

あまりにその音が大きかったので目を開けて見てみると、右手に突然、波が立ち、その波が移動してきた音だとわかりました。

これは、「北浦の男龍」がとても喜んで姿を見せた瞬間でした。神様に祈りが通じると、大日輪や彩雲、タテ筋の白い龍雲などを見せてくれる場合がよくありますが、これほどわかりやすい経験はありませんでした。



この後、「霞ヶ浦の母龍」と「北浦の男龍」を連れて行った場所は、唯一、龍の背に乗る事ができる弁財天様がいる「厳島神社」：（茨城県鉾田市子生）です。



神社内に入り、弁財天様の神気を感じると神力が下がっていたので神地のエネルギーを大きくする祈りのあと、弁財天様が身体に乗られて直接、言葉が降りました。

私は古くからこの地の真水と海水を守り続けてきましたが、今は外の母神（海）へ戻りたい気持ちでいっぱいです。それは土地の方たちが私の本来の働きを忘れかけているからです。でも今回、あなたたちの働きによって本来の守るべき物が与えられましたので、これからは大切に母龍と男龍を守りながら自然界の新しい命が生み出せるよう働きます。ありがとうございます。

この瞬間、自然界の神産みの祈りが通じことがわかりました。

龍に関わる祈りは自然神祈りですが、この地域には南方から船でやってきた民族が入った歴史が残っています。

とても古い時代に海から船でやってきた民族を「海人族（あまぞく）」と呼びますが、沖縄・九州・四国・本州の海側に祀られたほとんどの神社や仏閣が、この渡来人たちによるものだということを覚えておいて下さい。

この歴史を理解したうえで弁財天様の言葉の意味を考えると、海の向こうからやってきた「海人族」が大切にした物をこの地に残していることが理解できます。

自然神神事をしていると、よくこういう歴史に隠された事実が浮かび上がりますが、書物に書かれていない真実を神様たちが教えてくれます。

真実の歴史を理解している人にはその人に必要な事を教えて下さり、理解出来ない人にはその人に必要なことを気づかせてくれるのが神様の役目だからこそ、神様の気持ちを知る努力が最も大切なことだと覚えておいて下さい。

蛇足ですが、日本中の多くの神社は人間の都合で何度も神様の名前や役割りを書き換えていますので、説明書きに書いてある内容とは別の古い大切な意味があることは表に出ませんが、土地の

歴史を調べて民族の流れを理解すれば、その場所に神を祀った人たちの本当の意味に気づくことができます。

何の為にこの地に最初に神を祀ったのか、そのことを理解する心が本当の意味で神の気持ちを理解する方法だと覚えておいて下さい。

道から見えないこの社は地元の方も知っている方が少ない場所でしたが、どうぞこの地に住む方たちは、この弁財天様を大切に守って下さることをお願いします。



夕日が迫る中、急いで向かった先は、息栖神社（茨城県神栖市息栖２８８２）です。





昔から鹿島神宮、香取神宮、息栖神社の三社についての様々な憶測が流れていますが、この地に神を降ろした大神様の意思を理解する為の神事を明日行うことになりました。

翌日の祈りの為に銚子港へ宿をとったので移動しましたが、今回の神事が「自然界祈り」から「

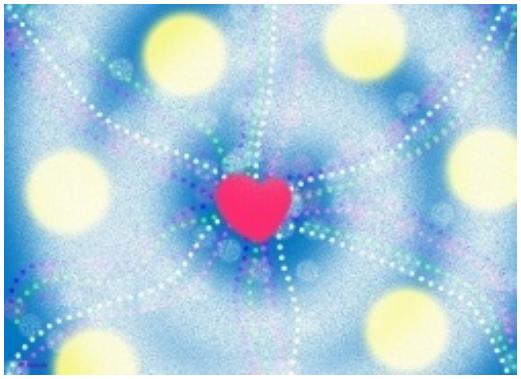
宇宙神祈り」にまでなった理由は次回のお楽しみにしておきましょう！



2010.11.26 Fri

「スピリチュアルカレンダー2011」予約開始

2011年の月ごとのエネルギー転換を予知し、イラストとメッセージに書き下ろすことで、翌月は何に気を付けたらいいかをわかり易く月めくりのカレンダーにした「スピリチュアルカレンダー**2011**」の予約販売を開始します。



２０１０年５月のエネルギーのイラスト

月ごとのカレンダーの中には、「エネルギー上昇日」がわかるようにチェックマークも付けていますので、大切な日取りを決める時や結果を大きく変えたい時にとても有効です。

この「スピリチュアルカレンダー」は制作して１０年目になりますが、制作当初は２１世紀の大きなエネルギー転換が何度も起きる事がわかっていたからこそ皆さんに混乱して欲しくないと思い、少しでも時代の波や意識転換のタイミングに気づいて欲しくてカレンダーを制作しました。

怖いくらいに「スピリチュアルカレンダー」に書かれている毎月の予知メッセージが当たるからこそ、ここ数年で「スピリチュアルカレンダー」の愛用者も急激に増えています。

注文部数が増えた為に手作り制作も限界になり、今年は、外部に制作を依頼して部数を増やしましたので、初めてお安い価格で提供できる様になりました。（例年2500円を1800円！）

※発送は１２月末予定ですが、事前にご注文とご入金を頂いた方から順次発送しますので、どうぞお早めにご注文下さい。

一冊代金1800円+送料200円の合計2000円の振込先は、以下の口座へお願いします。
〇北陸銀行　琴似支店　普通　5011510　　吉岡学
〇郵便局　　記号19780-3　番号3609151　吉岡学
〇郵貯銀行　店番978　普通口座　0360915吉岡学

※代引きをご希望の方は、表示送料とは関係なくヤマト便の地域別送料と代引き手数料が加算されますことをご了承下さい。

ご注文は、ハートランド龍球ＷＥＢSHOP　からお願いします。

2010.11.18 Thu

自分の足元を見なさい

１１月１１日の祈りで「陰陽大転換のエネルギー」を感じて何かに気づいた人も多いと思いますが、まだ気づかない人たちの為に自分が何をするべきかを考えてみて欲しいと思います。

２０年前に「地球はひとつの生命体である」とメッセージを発信した龍村仁監督制作映画ガイアシンフォニーを見た人は、自分が考えているよりもっと大きな繋がりが人間と地球にあることを知っています。

また世界中をバイオディーゼルの車で回りながら環境破壊の実態を伝える人もいれば、反対に経済発展こそが今一番優先だと主張する人たちがいるからこそ、お互いが他者の問題点を解決する方法を見いださなければ、地球の将来もあなたの将来も明るい未来にはなりません。

誰かが問題を解決してくれるだろうと「他人まかせ」にしている人は、常に現実生活で大きな歓びを得られることはなく、毎日、些細な問題が起き続けて「自分がするべきことをしていない事実」を家族から突き付けられることになるでしょう。

これから大切なことは宇宙や地球という大きなテーマで声を張り上げることではなく、あなた自身がおかれた立場の中で「自分がすぐにできることをわかりやすく実践すること」が大切です。

皆さんは、今の時代にある物や人を「あって当然、居て当然」と考えていますが、戦争体験をした人たちや飢餓や貧困を経験した人たちが考える基準は違います。

物が無い時代を経験した人たちは「創造力と工夫」によって楽しむ為の努力をしましたが、「自分たちはその時代を経験していないからわからない」と言う前に、あなたが過去の事実から正しく学ぶ心を持たない限り、永遠に繰り返している愚かな戦いに巻き込まれてしまいます。

これからの時代のテーマは「調和や和合」と言われていますが、そこで最も大切な事はやはり「他者を批判しない」ことなのです。

龍村仁監督は「多様性を肯定しながら多様な未来を想像すること」と言っていますが、同じです。

自分と違う人の意見に耳を傾けながら「していることの違いはあるけれど到達したい目的地は同じ」だと理解する心や努力をすれば、他者を批判する必要が無い事にも気づきます。

正しい事を言っている人なのに、誰かのすることを批判するような言葉を発している人は「要

注意」だと思って下さい。その人の心の中に「戦い」のエネルギーがある限り、平和な現実は生まれません。

「戦わない」為に武器を持ち、自分の精神を鍛錬し続けた「日本の武士道精神」を世界の人が学んでいる時代なのに、反対に日本人が「平和ボケ」しすぎて武器を持たない事が平和だと勘違いしていることが多い事も残念です。

女性たちは常に、「命の大切さ」を訴えますが、どうやって命を守るのか、その「知恵」を持たない人は「守る武器を捨てた」ことと同じなのです。

大昔から女性たちは年長者から「命を守るための知恵」を伝承する事が大きな役目だったことをあなた自身が忘れていませんか？気づいた人は、すぐに周りの年長者から「知恵」を教わることです。

私たちが生活するこの現実社会は、常に「陰陽のバランス」で成り立っていますので、善人だけが集まれば素晴らしい世の中が出来る訳ではありません。

あなたにとって嫌いな人でさえ、誰かにとっては必要な人の場合もあるし、その嫌な人の行動から学ぶことで自分を正す道も学べます。

本当に人間全体にとって必要な学びが無くなった時に、起きる現実は全て変わるとも言えるでしょう。

そういう時代になった時に人間は何から愛を学び、何に喜びを感じて生きているのか、進化し続けた人間の行き先や目的地が本当はどこだったかを知る時期がいずれはやってきますが、今の時代は、まだそうではありません。

少し早くそのことに気づいた人たちでさえ、この現実社会の中で生きている訳ですから、あなたの嫌いな事も含めてその恩恵を受けている事実も認めなければなりません。

地球を加速度的に汚しているのも、地域の人の繋がりが薄れているのも、人と人の心の触れ合いが希薄になっているのも全て私たち日本人が望んだ結果だということは、あなたも知っているはずです。

つまり、直接あなたが手を下していなくても、今の社会問題全てが私たち日本人の欲求した結果だということを、あなた自身の責任として受け入れることが重要なのです。

そんな事も理解していない人同士が正しい事を主張し合って戦う姿を宇宙から見ている存在たちは、とても不思議に思っています。何の為に戦っているのか？結果としてどこへ向かおうとしているのか？と。

高次元意識に繋がっている方ほど「人間全体の集合意識の責任」もあるからこそ、これからは「自分の足元を見なさい」とさらに厳しく問われる事が起き続けるでしょう。

自分だけが良ければいいと思っている人ほど、自分の周りの問題があなたのせいだと責められる回数も増えるでしょう。

あなたがこれまで誰にもわからないと思って、心の奥底で考えてきた全ての事を問われる時代が始まります。それがどれほど辛いものかは、あなた自身も知っているはずです。

２０１１年は、「人間が地球に存在する必要があるかどうかを問う時期」までに大きく意識上昇する時間だからこそ、動くべき人が動き、考えるべき人が考え、自分のするべきことをしなければいけない時間なのです。

無責任な発言をしている人は、信頼している人から問われるという形で「自分」を知ることにもなるでしょう。

「自己犠牲」や自分がしたことを他人のせいにしている人は、自分を傷つける事が他人を傷つける事と同じだとわかる経験をさせられます。

精神世界の情報を現実逃避に利用している人たちは、強く「自分の足元を見なさい」という出来事が次々に起こります。

精神面と現実面の向上は人間の本能欲求だからこそ、常にそのバランスを問われる時代になるのです。

だからこそ、誰かの発言や行動を問う前に、まず自分の行動と発言に責任を持つ生き方を始めて下さい。

「愛と調和」は、あなたの心の中から産まれるのです。



2010.11.17 Wed

11月11日の新しい出会い

１１月１１日は、引き寄せられるように合わされた人がいました。

廃油を精製して車を動かす素晴らしいプラントを自分で発明された山田周生さんは、１年半の短期間で世界一周の旅を終え、すぐに日本一周の旅を始められて北海道を訪れていた方でした。バイオディーゼル・チャレンジ公式ホームページ

山田さんと地球の未来エネルギーについて話していると、新エネルギーを燃料にした車のレースに参加した時に「水だけで走る車」が出ていたことを教えてくれました。※このサイトで詳しく説明しています。

私も知人から事前にこの情報を聞いていたので、一般社会にうまく受け入れられる事を願っていたところでした。

フリーエネルギーの活用を研究している人や宇宙から無限にエネルギーを取り入れて電気を発生させる方法を見つけた科学者にも数年前に逢いましたが、画期的な発明ほど闇の利権者たちによって葬られた事実が過去にありますので、これからの時代は素晴らしい発明の情報を全て公開して「個人の所有にしない」ことが一番良いということも山田さんは実践されていたので共鳴しました。

「重要な知恵や発明を個人所有にしないで情報公開する」と、連鎖反応に似た化学反応が脳を刺激して多くの人が目覚めて、次々と新しい発明が生まれますので山田さんも最初からこの事に気づいている素晴らしい方でした。

これからの時代は「人間の意識上昇」に合わせてどんどん新しい発明も生まれますし、物理的に枯渇すると言われている油の「代替えエネルギー」でさえ、今までに考え付かなかった発想によって代替えエネルギーを簡単に見つけ出す人たちも増えてきます。

私自身がこれまで素晴らしい発明をした人たちにお会いしてわかったことは、素晴らしい発明をする人はたくさん勉強をして頭が良いから新技術や新発見をしたというより、ある日突然、高度文明を経験した時の「魂の記憶」を思い出した人たちが多いということがわかっています。

宇宙の他の星にいた時の経験や地球上の古い歴史の中にも、今よりもっと高度に進化した文明はいくつもありましたが、その時代を経験した魂の持ち主なら「理屈はわからなくても答えがわかる」というふうに新発見を次々と思い出す時代になるのです。

こういう人たちがたくさん目覚める為にも、今年の１１月１１日の「陰陽大逆転エネルギー」が必用だったのです。

ただし、新発明や素晴らしい物が世の中に出る時ほど「個」に囚われた価値観や概念の人がいるとマイナスエネルギーになりますので、地球に生まれた人間として「永遠に継続するべき価値観や精神性」の視点から物事を考えるようにお願いします。

わかっている方も多いと思いますが改めて申し上げますと、

今回この地球に生まれた理由は、過去に出来なかった罪を反省する為ではなく、全ての人や自分を許して大きな愛を実現する為に生まれてきたからです。

地球交響曲ガイシンフォニーを２０年前に制作された龍村仁監督も、雑談の中でこんな話をしてくれました。

私たち人間には象やクジラに備わっているテレパシー能力と同じ能力が全ての人間にも残っていますし、これからの地球人は、目の前にある問題を解決しながら自分の内側の意識に目覚める事で、人や地球の意識と繋がり、「地球は生命体であり、共に生きている仲間」であることを思い出すようになる。

龍村監督がこれからの時代の為に伝えてくれた大切なテーマは、

多様性を肯定しながら多様な未来を想像すること　でした。

これまでの様にたくさんの人を集めて一色に思想統一したり、強いリーダーシップだけで物事を引っ張るのではなく、他人の相反する意見を肯定しながら互いを尊重し合う生き方をそれぞれの人が身につける必要性をあると力説していました。

このことを言い換えれば、「男性的な時代から女性的な時代」になるという言い方もできますが、だからこそ、女性特有の「受け入れる愛や寛容の心」を活かす為に多くの女性たちは「地球の母・宇宙の母」として守るべきものを正しく理解する必要があります。

何を次の世代へ残したいのか？

子供たちへ伝え残すべきものは何か？

母として産みだした男性たちをどう立たせるのか？

これからの地球は、一人一人の「女性たちの心のあり方と気づき次第」だと思います。この事に気づいたあなた自身が、自らの愛を行動に移して下さる様にお願いします。



2010.11.14 Sun

11月11日を迎えて

１１月１１日午前１１時１１分の祈りを終えて「始まりの土地　苫小牧市」へに向かうと、大雨の札幌とはうって変って晴れやかは空が広がり、この日に合わせて苫小牧の仲間たちが自主上映映画　地球交響曲ガイアシンフォニー第七番の上映会を開催する為に準備をしていました。



主催者の若夫妻と一緒に千歳空港へ龍村仁監督を迎えに行った時、空港へ降り立った龍村監督の第一声は、

「このすがすがしい空気は何か懐かしい様な感覚を身体が思い出させてくれますね。第三番の星野道夫の訃報を聞いたあと、主演者いない映画を始めて撮影する為にアラスカへ渡った時の事を思い出しますよ。」

西の空には大きな夕日が雲の隙間から顔を出し、彩光を放ちながらこの日を祝福してくれていました。

この素晴らしい地球交響曲ガイアシンフォニーの自主映画を主催する方法は、「この映画を自分の町で皆さんに見せたい！」と思ったたった一人の声に賛同した仲間や知人が支える形で上映会は運営されていますが、全くの素人集団の上映会の為に、過去の主催者たちが初めての人をサポートするという心と心の繋がりによって２０年間全国で開催され続けています。

四度目の主催者側のお手伝いをした御蔭で、龍村監督にも顔を覚えてもらえるようになりましたので、今回は１２日の千歳空港から飛び立つ時間までゲスト担当としてピッタリ龍村監督に付き添わせて頂きました。

珍しく普段、お話しにならない話しもたくさんして下さり、多くの気づきも得られましたので龍村監督と話した時間で気づいた事を皆さんにもお伝えします。

１、相反する者を受け入れる「知性」と「知識」の違いを理解する

２、全ての人間が持っている環境適応力と自然治癒力に気づく

３、敵対するときこそ、最大の進化のチャンスであると気づく

もっと詳しく知りたい方は、まず地球交響曲のＤＶＤを購入してご覧になって下さい。

私からは１１月１１日の意味を「陰陽大逆転の日」とメッセージを受け取ったことをお伝えして、この日に全国で祈りをしている方たちが多くいる事もご報告させて頂きました。

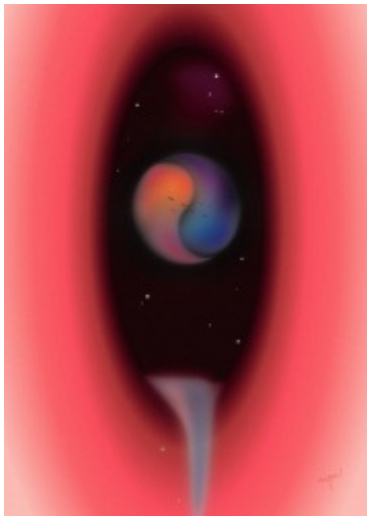
こんな話しができたのも、龍村監督が今年で７０歳を迎えられて、さらなる「解脱の真理」を体得されたように感じましたし、とてもリラックスした雰囲気の中で特別公演もお話し下さいました。

夜の１１時１１分には主催者の打ち上げ会がライブハウスで行われていましたが、全ての演奏を止めて全員が「ありがとうございます」の一言に合わせて地球全体を愛で包み込む祈りも行いました。

龍村監督をお迎えした時の空と、お見送りした今日の空には虹がかかり、全ての祝福を天が教えてくれているとわかりました。

全国巫女ネットワークにご参加頂いている皆さんは自分の為ではなく皆さんの為の祈りを行って下さり、祈りの中で見たたくさんのビジョンや気づきを全員でシェアしあっています。

１１月１１日の「陰陽大転換」のエネルギーを絵で表現した鹿児島の女性がいますので、どうぞご覧下さい。新しい命が生まれる、それは「女性たちの霊性の生まれ変わり」を意味しているのかもしれません。



龍村仁監督から皆さんへ、急ぎの情報をお知らせしておきます。

[龍村仁監督からのメッセージ]
10月下旬に奄美大島（第七番皆既日食撮影地）で起こった大雨災害と、そこで示された島民同士の隣人愛は、迫り来る地球規模の天候異変に、私たち人類が、いかなる姿勢で臨むべきかを教えてくれる、示唆に富んだものでした。そんな折、「第一番」のダフニー・シェルドリックと「第六番」のロジャー･ペインが、同時に来日し、ゾウとクジラの生き方について語り合う催しが急遽実現することになりました。私は15年前出版したエッセイ集「地球(ガイア)のささやき」の中で「地球(ガイア)の知性」という文章を書きましたが、これは、ゾウやクジラの“知性”と我々人類の知性との違いを書いたもので、今は、中学や高校の国語の教科書にも取り上げられています。高齢のダフニーがアフリカから来日してくれるのは、これが最後になるかも知れません。ロジャーは、オデッセイ号に依る最新の海洋汚染調査の結果も話してくれるでしょう。第五、六、七番に“聖なる歌声”を提供して下さっている鈴木慶江さん、クジラの歌にも似たディジュリドゥのKNOBさん（「第六番」出演）の音霊も楽しんで下さい。感動と共に学びのある催しにしたいと願っています。　龍村　仁

■□■地球交響曲２０周年記念イベント「母なる星のゾウとクジラのお話」■□■地球交響曲２０周年記念イベントの開催まであと1週間となりました！ロジャー・ペイン博士は日本初公開の貴重な映像を交えてトークをして下さるそうです。また、東京公演では、地球交響曲の映像中でも素晴らしい歌声を聴かせて下さるオペラ歌手の鈴木慶江さん、第六番出演のディジュリドゥ奏者KNOBさんとの貴重なコラボレーションが実現します。滋賀公演では、大地から湧きおこるような力強い音の響きを聴かせてくれる秀明太鼓が特別出演。ぜひお越しください！

●公演日程■平成22年11月20日（土）　会場：滋賀県立芸術劇場　びわ湖ホール（中ホール）　時間：13:00　開場　13:30　開演　17:00　終了料金：￥3000　（全席自由）＊MIHO MUSEUM所蔵・伊藤若冲「象と鯨図屏風」にちなんでNPO法人 秀明インターナショナルと龍村仁事務所が共同開催。チケット購入方法：　・LAWSON　TICKET　Ｌコード：51310電話　0570-084-003 (音声自動応答予約)WEB　http://l-tike.com/　　ローソン店頭のLoppi端末で直接購入可能です。・郵便振替　下記参照
■平成２２年１１月２３日（火・祝）　会場：学習院創立百周年記念講堂正堂　時間：17:00　開場　17:30　開演　21:00　終了　　料金：前売り￥4000　　当日　￥4500　（全席指定）＊共催：学習院女子大学　チケット購入方法・LAWSON　TICKET　　Ｌコード：33420電話　0570-084-003 (音声自動応答予約)　WEB　http://l-tike.com/　　ローソン店頭のLoppi端末で直接購入可能です。・郵便振替　：郵便振替口座　00150-2-569721　加入者名：ガイアシンフォニー通信欄に「11/20、または11/23、枚数」、住所欄に「チケット郵送先の住所、名前、電話番号」を必ずご記入ください。※郵便振替発売期間：11/15（月）ご入金分まで

●プログラム：　・地球交響曲特別編集版上映

・ダフニー・シェルドリック（象保護活動家）基調講演（30分）・ロジャー・ペイン（海洋生物学者）基調講演（30分）・ダフニー・シェルドリック×ロジャー・ペイン×龍村仁　パネルトーク（60分）　　・地球交響曲を共に奏でる仲間たちの特別ライブ　11/20　秀明太鼓、11/23　鈴木慶江、KNOB●共催・お問い合わせ：　龍村仁事務所（平日10：00～18：00）TEL 050-5527-4578 FAX 03-5368-5483info@gaiasymphony.com http://gaiasymphony.com

秀明インターナショナル（11/20のお問合せ）TEL 0748-82-3140　　FAX 0748-82-3143info@nposhumei.or.jp http://www.nposhumei.or.jp

■□■今後の「第七番」～「第一番」自主上映会の予定■□■
全国でも続々と自主上映会が開催されています。お近くの会場へ、ぜひ足を運んでみて下さい。

【第七番】
●11月14日（日）　13：30～／18：30～＜場所＞大阪・Live Space Vi-code
＜主催＞大阪中津Live Space Vi-code＜お問い合わせ＞06-6371-6559　Vi-code(ヴィーコード)＜主催者 URL＞http://www.vi-code.com/frame/schedule.html

●11月22日（月）＜場所＞神奈川・杜のホールはしもと　多目的室＜主催＞NPO法人心とからだの研究会　さがみネットワーク＜お問い合わせ＞042-773-9138　友野恵子＜主催者 URL＞http://jiyukobo.main.jp/kokoro/Act05.html

●11月27日（土）＜場所＞北海道・浄国寺　大広間＜主催＞曹洞宗　浄国寺
＜お問い合わせ＞011-621-0791　中嶋※定員になりました

●11月28日（日）＜場所＞神奈川・関内ホール　小ホール＜主催＞ガイアネットワーク横浜
＜お問い合わせ＞045-625-0821　山口正子

●12月3日（金）＜場所＞千葉・アミュゼ柏クリスタルホール＜主催＞花みずき＜お問い合わせ＞04-7144-4070　加藤美登里＜主催者 URL＞http://www.chi-net97.com/hanamizuki.html※前売1300円　当日1500円

●12月3日（金）＜場所＞新潟・新潟ユニゾンプラザ＜主催＞地球交響曲第７番上映実行委員会
＜お問い合わせ＞080-5005-9358　嘉向(かむき）京子

●12月4日（土）＜場所＞静岡・静岡県男女共同参画センターあざれあ＜主催＞社団福祉法人静岡いのちの電話＜お問い合わせ＞054-272-4344　静岡いのちの電話事務所＜主催者 URL＞http://www9.plala.or.jp/sizuoka-inochi/

●12月4日（土）＜場所＞大阪・大阪市立浪速区民センター＜主催＞宇宙の約束プロジェクト＜お問い合わせ＞090-8206-3489（えばた）　メール：soranoyakusoku@gmail.com＜主催者 URL＞http://ameblo.jp/gaiasymphony7/theme-10021826020.html※チケットは、Ｅプラス（ファミリーマート店頭）にて購入可能！※龍村監督の講演会あり

●12月6日（月）＜場所＞東京・北とぴあ　つつじホール＜主催＞フォーラムはいぽ２課
＜お問い合わせ＞090-3527-3486 岩崎雅樹＜主催者 URLhttp://www.arigat.net/event-info.html#kitaku※チケットはHPからメールフォームで申込可※LAWSON TICKETでも購入可(Lコード：３９６４９)

●12月11日（土）＜場所＞山口・岩国市民会館小ホール＜主催＞中国環境パートナーシップオフィス
＜お問い合わせ＞082-511-0720　杉山●12月11日（土）～17日（金）＜場所＞神戸・元町映画館＜主催＞元町映画館＜お問い合わせ＞078-366-2636　元町映画館＜主催者 URL＞http://www.motoei.com/

●12月11日（土）・12日（日）＜場所＞京都・思文閣美術館＜主催＞思文閣美術館＜お問い合わせ＞075-751-1777　思文閣美術館　柴・高山

●12月23日（木祝）＜場所＞東京・東京ウィメンズプラザホール＜主催＞NPO法人子ども未来研究所＜お問い合わせ＞03-3779-1236　大橋＜主催者 URL＞http://www.cof.or.jp/
※ゲスト：高野孝子さん　講演有

●12月26日（日）＜場所＞埼玉・越谷市中央市民会館劇場＜主催＞ガイアを共に奏でる会
＜お問い合わせ＞048-962-2486　米山學【第一番】

●11月23日（火祝）＜場所＞石川・石川県西田幾多郎記念哲学館＜主催＞石川県西田幾多郎記念哲学館＜お問い合わせ＞076-283-6600　山名田＜主催者 URL＞http://www.nishidatetsugakukan.org/

■□■お知らせ■□■●●●「第七番」エンディング曲『光をあびて』収録　CDリリース情報●●●
「第七番」のエンディング曲『光をあびて』を初めて聴いた時、きっとその力強く美しい歌声に心を動かされた方も数多くいらっしゃるのではないでしょうか。歌っているのは北海道を拠点に活躍されているシンガーソングライター、吉野大地さん。本日１１月１２日、『光をあびて』収録CD「空へ」が、ニューリリースされました！吉野大地 featuring ウォン・ウィンツァン／『空へ

～Voice from the Sky』
発売日：2010/11/12発売元：TURIYA MUSIC価　格：￥2,550（税込）品　番：TRY-0001TURIYA MUSICホームページからご注文いただけます。http://www.turiya-music.com/

≪龍村仁監督レビュー≫
吉野大地さんのCDを紹介して下さったのは、ピアニストのウォンさんでした。「光をあびて」という曲は、最初高野編の田植えのパートに使わせて頂きました。それから紆余曲折、四苦八苦の編集の旅を続け、ついにワイル編最後のシーン、奄美大島での皆既日食の場面に辿り着いた時、突如甦ったのがこの曲でした。それはまるで、太陽と月が完全な和合の時を迎え、世界が漆黒の闇に閉ざされた後、突如甦る黄金の光のようでした。こうしてこの曲が「第七番」のエンディングテーマになったのです。余談ですが、このCDの中に奄美大島八月唄があるのはなぜでしょうか？（第七番パンフレットより）

「空へ～Voice from the Sky」によせて
このCDは、敬愛するピアニスト、ウォン・ウィンツァンさんとのはじめてのコラボレーションCDです。レコーディングの2日間は、自分が生きて歌える喜びを実感できる、言葉では言い表せないほどの充実した時間でした。このCDが心から満足する作品となり、とても嬉しく思います。そして、2010年、「光をあびて」が地球交響曲第七番のエンディングテーマに採用されるという喜びも加わりました。どうかこのCDを通じ、あなたに大きな幸せと喜びが訪れますように。吉野大地
2010.11.12 Fri

陰陽大逆転による価値基準の崩壊

11/11のエネルギー転換の意味を公開してから、いろいろな方たちが「内なる気づき」によって目覚め始めているようです。４０歳前後の二人の女性から数年ぶりに電話を頂いた内容も、その変化の確認でした。

Ａさんは子供の頃から高次元の存在にサポートされ、妻としても母としてもちゃんと実生活をこなしたうえで神様や人に歓ばれる活動をしている女性ですが、もっと深い部分から自分の足元（将来や守るもの）を考えなければいけない事に気づき、他人の為にしているつもりが実は自分の為だったと気づかされる事が増えたと教えてくれました。

またＢさんは、「現実をうまく生きられない幼さ」を言い訳に神様や精神世界に長い間逃げ込み続け、現実を受け止めたくない人たちと一緒に今までたくさんの人に迷惑をかけてきた自分に気づいたと話してくれました。

このどちらのケースも私が一番望んでいた結果ですが、直接、お会いしたのは数年前なのに突然、電話をしてきた理由を考えると、「今の自分の変化を確認したかった」のだと思います。

私自身、霊的能力者や精神世界の方たちからみれば珍しくサラリーマン生活を１４年間勤めた経験を持っていますが、この時間こそ現実を生き抜く為の「心の強さ」を学ばせてもらった時間だと思っています。

子供の頃は誰もが自由な心と視点で物事を見ていたのに、成長するにつれていつの間にか「色メガネ」で世の中を見るようになる理由は、多くの場合、親の絶対的な視点の影響が大きく、純粋な子供たちにとっては社会で起きている問題を大人たちがどう扱うかを見せ続けてきた結果だと思います。

これはよくお話しする事ですが、親が子供に向かってちゃんと教えようと思って話している時の話はあまり覚えていないものですが、普段の生活の中で親の何気ない言葉や態度から敏感に親の心を感じ取って子供たちの心は形成されています。

その子供が大きくなって「自分が正しい」と思っていた事がどうも周りの人と違うと気づいた時、子供たちの心に誰にも言えない心の隙間が生まれます。

親から学んだ事ですから親を否定することもできず、周りの人と違う思いを相談できる人もいない人は、その心の隙間がとても大きな闇を作りだします。

軽い落ち込みや躁鬱、被害妄想と呼ばれるような部分は誰にでもあることなのですが、今は、まわりに気軽に相談できる大人たちが少ない為に、親に対して「絶対信頼か絶対否定」しかみかけませんし、その影響は社会に出ると「絶対肯定か絶対否定」という幼い心の使い方しかわからない大人たちをよく見かけます。

実際に社会に出ると、常に色々な問題は２４時間起き続けるものですので、その対処を考える時に有効な手段を選べるような「柔軟な心を育てる事」が現在の日本人の大きな課題だと思います。

人間は困った時にしか物事を真剣に考えない動物ですが、辛く苦しい時にこそ「今、何を大切にするのか？」が大きなポイントになります。

「大切なこと」は一人一人の年齢や経験、そして現在の環境や状況によっても違いますが、あなたが「大切にしたいこと」が明確であれば、選ぶべき道はすぐに明確になるはずです。

今、日本人全体の問題は、この「大切なことがわかっていない大人たち」が多いということです。

私はこの「大切なこと」こそ、「日本人の精神性」だと思っていますが、「精神性」が全ての考え方の中心になっているからこそ、その軸にしている部分や善悪の価値基準を見直す事が求められています。

自分は何をしたくて、何をしたくないのか？

自分が心の底から嫌なもの、好きなものは何か？

何が「善」で、何が「悪」だと思っているのか？

この価値基準こそ、現実や心の「陰陽バランス」を作っている源ですので、それが明日の１１月１１日に大逆転するのです。

今回の気づきは人によって時間差はありますが、「価値観の崩壊」と感じる方もいるでしょう。

「崩壊するからこそ再生できる」という言い方もありますが、宇宙のおおもとが設定していることは、まだまだこんなレベルではない大きなステップアップが全人類の目覚めの為に用意されています。

それは、地球に人間として産まれた全ての人間が「魂の目的」を果たす為なのです。

もし今回、この地球に産まれた人間が魂の本当の目的に気づけなければ、地球も、人類も全てがある瞬間に消滅して、二度と「人間と言う種族を産みだす事はしない」と言われています。

その事に気づいている方は、どうぞ一歩前に足を進めて「魂の役割」を果たして下さい。あなたの歩んだ一歩が、たくさんの子供たちの将来に大きな影響を与えるのですから・・・。

今年６月２４日に亡くなったコリッキーこと谷浩一君からも、たった今、メッセージが降りました。

「俺は天を守る！だから、地球を宜しく頼むね！」と・・・。



2010.11.10 Wed

日本人が世界を変える！

１１月１１日１１時１１分に「高次元意識の大転換」」が始まりますので、その意味についてもう少し具体的にお話しします。

西暦２０００年からの１０年間で日本人の精神世界や意識は大きく進化しましたが、?次元意識やメッセージ・気づきを求めて様々なセッションを受けた方も多いと思います。

１１月１１日は、これまであなたが高次元意識だと思っていたメッセージが、真反対に逆転する日だと理解して下さい。

真反対とは何か？

それは「天の意思」だと思っていた情報が、実は「無意識の自我の意思」だと知らされる日という意味です。

この事がわかってすぐに自分を問い直したことは言うまでもありませんが、「天の意思」をあなたの知っている言葉に置き換えてみますのでご確認下さい。

守護存在、ご先祖・守護霊・チヂ神・守護神、神我、真我、天、神、仏・マスター・大いなる存在

わかりましたか？

これが「意識の大転換」の意味なのです・・・。

あなたがこれまで守護存在からのメッセージだと思っていたメッセージが、実は、自分の無意識からのメッセージだと知らされる日になりますし、陰陽大逆転のエネルギーは今後も続きます。

西暦2000年から地球に向けて「宇宙のおおも」とから送られているエネルギーは、これまではあなた自身が目覚める為にたくさんの導きをしてくれたと思いますが、その導きももう終わりを告げるという意味でもあります。

これからはあなたの意思で判断して行動して欲しいからこそ、この「意識の大転換」が始まるのです。

「意識と現実のバランスが一番大切」だと知っていて、実際にそう生きている人には何も問題は

ないと思いますが、精神世界に偏り過ぎている人や、現実だけにのめり込んでいる人たちの両方はその影響を受けて混乱すると思います。

これまで「信じていた物や人に裏切られる経験」はとても辛いものですが、その「学び」は自らの依存心や甘えを問われる最も大切な時間なのです。

誰一人、この「経験」から逃れることはできません。

神と人が、神心と人心が、神と仏が自分の中で一体になっている人にとっては、今回の大転換の必要性がよくわかっていると思います。

この日を迎える理由は、この地球に住む世界の人々を救えるのは日本人しかいないからです。

「和の心」と「情の心」を持ち、この１０年間で「真実の愛」を学んだ日本民族は、自然界全てが神であることを知っている民族だからこそ、世界の全宗教や思想を受け入れられる民族です。

ＤＮＡの中にも世界の民族の血が混じっている国民だとも言えますし、戦い続けて最後に負けたことで大きな代償と共に大きな学びをした国民でもあります。

受け入れる愛、寛容の心は「母なる女性が持つ大きな産みだしの愛」を持っている国民性とも言えます。

だからこそ、母が新しい命を産みだす様に日本人は地球を愛に導く事ができるのです。

今、多くの女性たちは、「男らしい男」を望んでいます。でもその「男らしい男」を産み育てるのは女性たちなのです。

男の子に教えなければいけないことと、女の子に教えなければいけないことは違います。

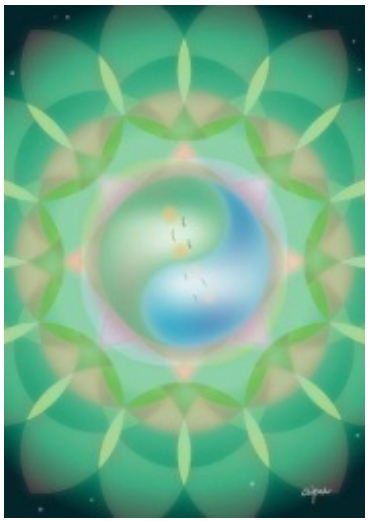
命を産みだす女性と、命を支える役目で生まれた男性は、もともと役目が違うからです。

男性が守るべき「精神性」は常に戦う心をひとつにする知恵を育み、女性が守るべき「大地」は全ての命を産みだす大切な命の元なのです。

天と地が逆になったと感じるほど、１１月１１日のエネルギーはあなたにとって大きな衝撃を与えるかもしれませんが、この「意識の大転換」も宇宙の大元の意思であり、愛なのです。

もうあまり時間はありませんが、どうぞ内なる自分と守護存在との話し合いを始めて下さい。

日本人として生まれた大切な役目を果たす為に、私たちはこの日本の大地に生まれてきたのですから、どうぞ宜しくお願いします！



2010.11.08 Mon

2010年11月11日の意味

11月11日（木）は同じ数字が４つ並ぶ一年間で最大の直列エネルギーの日なので、毎年大きな祈りを捧げていますが昨日、今年の11月11日の意味がメッセージで降りました。

この日は「**Ground　Birth**（グランドバース）」と呼ばれ、陰陽大逆転のエネルギーが働き、全てが新しく生まれ変わる日だと教えてくれました。

この陰陽とは、あなたにとっての良い悪い・好き嫌い・天と地、天国と地獄、自我と天我、神と自分の位置が逆になることを意味しています。

それは価値観が変わるなどという生易しいものではなく、全く新しい価値観が自らの中から生まれる日になるという意味です。

良い意味では、これまでの囚われが一気に外れる日だとも言えますが、反対に信じていた物や人の意味が変わってしまい、自分の中で価値観の混乱が起きるかもしれません。

どちらにしても人間全体の共有意識の目覚めの為に「新しいあなたが生まれる」日だという事です。

11月11日はどうぞ一人静かに、これまでの一切の囚われを外し、自らの内面に向き合う祈りを行って下さる事をお願いします。



2010.11.06 Sat

「ふと」思う理由

皆さんが普段、何気なく「ふと」思うことが、何に影響されているかを考えた事はありますか？

自分自身を分析し続けた５０年間の気づきと、これまで出会った全ての人たちを見て思うことは、本人さえ忘れてしまっている過去の辛い体験に影響を受けている人がたくさんいるという事実です。

自分は「もう過去の事だから」と分別を付けているつもりなのに、無意識に拒否してしまう心の深い部分に眠る記憶（深層心理）に影響を受けて、目の前にある良いチャンスを逃している方をたくさん見かけます。

人間は習慣動物ですから辛い体験をしたり苦しい状況に追い込まれると、自己防衛本能が働いて「よし、これからはこう生きてやる！」と決めますが、この自分で決めたことさえ忘れている方がほとんどなのです。

恐ろしいことは、今現在、自分の周りで起きている出来事が、「実はその時に自分が決めた通りの結果」になっていることにも気づいていないということです。

忘れているはずなのに影響される理由は、辛く苦しい時に決心した時のパワーがとても強いためですが、あなた自身が今、意識していようがいまいが、過去に決断した事は無意識に「黄色信号」を出す様になっているのが人間という動物です。

今よりも幸せになりたい、人に歓ばれる人間になりたい、自分の夢を叶えたいと、色々な本を読んだり良い人の話をたくさん聞いたはずなのに、なぜ自分はいつも同じことを繰り返しているのだろうと思っている人は、この状態にいることにまず気づいて下さい。

こういう人は、いくら明るい未来を考えても自分自身の心の中で打ち消すパワーが強い為に、常に自分自身を守ることを優先してしまいます。

心理学ではよくこの事を「心のブロック」と言いますが、実はブロックを積み上げてその中に隠れているのは「自分自身」だと気づくことが必要です。

一人ぽっちが寂しいくせに強がりを言って自分の気持ちを正直に出せない人は、目の前に変わるチャンスがあるのにいつもチャンスを逃していることを素直に認める必要があります。

これからは「内なる自分の解放」が、大きな時代のテーマになってきます。

「内なる自分」が何を望んでいるのか？本当の自分と早く対話して下さい。

「内なる自分」をインナーチャイルドと呼びセラピーする方法もありますが、人間は年齢を重ねるほどに「内なる自分」とは別に、「現実的な損得を考える自分」の二つの自我が確立されますので、今後の人生をどう生きるかを決める大切な話し合いが必要です。

人生で大きく変わる年齢の節目は、
３７歳、４２歳、６０歳です！

そこまでをどう生きたかが問われる時期だからこそ、そのあとをどう生きるか変えられる最大のチャンスの年齢なのです。

この年齢前後の方が気づいて心がけを変えると、大転換の守護エネルギーが働いてとても大きく人生の舵取りを変えられますので、どうぞ年齢の重要性に気づいて下さい。※男女は関係ありません

一人で本質の自分に向き合えない方の為にハートランド龍球では講座やセッションを行っていますが、まずはあなたがこの事を認めることが必要です。

今のあなたは、過去のあなたが決めたとおりの人生になっている！

だから、どうぞ自分の未来を自分で変える為の努力をすぐに始めて下さい！あなたの明るい未来をサポートすることで、あなたの回りの人がより美しく輝く人生を手に入れることが私の歓びだからです。



2010.11.04 Thu

伊良部島の歴史から大神の意思に気づく

2010年10月25日、新しく建て替えた乗瀬御嶽（ヌーシウタキ）の前で、伊良部島の中心神事を取り仕切る伊良部部落の神役目の方と、弟格の仲地部落の神役目の方たちが一堂に並んで下さいました。

前列右端の黒紋付を着ている男性が伊良部島最高祭祀役の皿主（サラノシュ）、その左隣の背広姿の男性は一年間の全ての神行事の日取りを決める長主（チョーノシュ）、その左隣の男性が仲地部落の神司・ツカサンマです。

三名の神男を支える六名の女性は二つの部落から選ばれ、担当する御嶽の名前が付いたユー（裕・豊）のオバー、乗瀬（ヌーシ）のオバー、仲地のオバーは年間４２回の厳しい神行事があり、選出方法は伝統的なルールで皿主が選び任期は３年です。他の三名のオバーは、ウパルサー、パナフィ、ウプカニと呼ばれ、５年任期で任命は部落内で選ばれます。



2011年には４名が交代するということで、一同が揃った最後の記念写真を取らせて頂きました。

今年の伊良部部落のユークイは10/25の朝７時に「元（もと）」と呼ばれる個人の家から祭事が始まり、公民館、ナハトゥ御嶽、アダンニャ御嶽、乗瀬（ヌーシ）御嶽、パイヌフツムトゥ（南の入り口の元）、カー（井戸）の６ヶ所を回ってから最後に「元（もと）」の家に戻り、男たちだけの締めくくりの儀式を行います。

伊良部部落と仲地部落だけはユークイの当日一日しか御嶽に入らないルールになっていますが、他の５部落(佐和田・国仲・長浜・池間・前里）は前夜祭を行うようになった為に年間２日間だけ御嶽の中に入る事が許されています。

御嶽（ウタキ）がどういう意味の場所かを皿主（サラノシュ）に尋ねると、骨を納めるお墓とは別に、部落全ての御先祖御霊が集まる場所として７００年前から大切に守られている場所で、伊良部部落では島の人たちでさえ年にユークイの一日だけ入る事が許されている神聖な場所だと言

います。

このことを考えても、いかに島の人たちが御嶽（ウタキ）を大切にしているかがわかると思いますし、５年前に私たちを受け入れてくれた事のお礼を伝える為に今年は伺いましたので、全ての御嶽にお酒２本と神役目をしている全員と区長へ「白龍の神導き」の本も奉納させて頂きました。

中国から渡ってきた民族が三山（北山・中山・南山）統一をして沖縄・奄美全土を統一した琉球王府（琉球国）時代（1429年-1879年）には、宮古島にも祈女（ノロ）が配置されていましたが、それ以前の歴史書に今回触れることができました。

伊良部島の歴史を記録した「伊良部町史」を詳しく調べると、伊良部島に７つの部落があり言語も７つある理由がわかりますが、町史の作成が４０年前なのを考えると、いかに戦いによって過去の記録が消された土地なのかがわかります。

1370年頃には久米島から鉄を加工してクワやスキの技術と農法を伝えた赤良朝金（アカラトモガネ）兄弟の弟が伊良部島に残って島を発展させた為に、島の英雄として牧山にある比屋地（ピャーズ）御嶽に祀られていますし、現在も「比屋地（ピャーズ）御嶽」から神が大切なものを広めた事に感謝して、神役目の方だけで「前ユークイの祈り」が行われています。※正式名称は「豊見親比屋地（トゥンピャーズ）御嶽」

1350年頃に伊良部島に初めて渡った伊良部部落のルーツをたどると、宮古島の久松・松原地区から移住していますが、ユークイは1310年から行われていた記録もあり今年「７００年祭」が乗瀬（ヌーシ）御嶽で盛大に行われました。

伊良部部落の民族ルーツが「久米島」から鉄を持ってきた民族である事はわかっていますし、住みついた最初の人たちの名字が仲地、川満、狩俣という名字である事も皿主（サラノシュ）から教わりました。

また久米島にルーツを持つ鉄文化民族が移住した島には、島の名前に「伊」という漢字が付くのが特徴で、「伊良部島・伊是名島・伊平屋島」が同じ民族の入植を表していることになります。沖縄本島の聖地には鉄文化を運び入れた民族を神様と祭り「カニマン」という名前で地元の神人（カミンチュ）たちは感謝の祈りを捧げています。

それまで伊良部島に住んでいた先住民族は、首や足に丸い玉を付けたり手にイレズミを入れていた南方系民族だった事まではわかっていますが、1150年頃に動物の骨や木を削って農耕をする知恵を与えた人たちが居たこともわかりました。

西暦1000年以前の歴史は日本でも重要な部分が消されていますが、黒潮の流れに乗って南方から小さな木の船で与那国島・八重山諸島・宮古諸島・沖縄諸島・奄美諸島に移住した民族に「鉄の文化」を伝えた人たちが南方や中国から入った歴史は色々な書物に残っています。

また九州を経由して大和朝廷との交流も盛んだった時代や中国・韓国・台湾との交流も多くありましたが、過去の色々な戦いによって分断された思いだけに囚われている方が多い事はとても残念に思います。

北海道生まれの私がなぜ、伊良部島の白龍の神に導かれて沖縄の神ごとを学び、古い沖縄の歴史を学ぶ必要があったのかは、やはり現在の日本人の大切な精神性の根っこが伊良部島に守られているからと言えるでしょう。

これまでの行動全てが古い地球を支えた「ムー文明」の宇宙意思に繋がり、天空から見守るアトランティス文明の宇宙の意思との統合がテーマだったのかもしれませんが、今回のユークイに参加してわかったことは確実に「新しい次のステージに入った」ことだけは感じ取りました。

日本の南を守る民族の根幹的な思想や神ルーツは、大きな地球規模の民族移動や文明に影響を受けて沖縄の地までたどり着いていますが、反対に、北方から渡ってきた民族については詳しい歴史は残されていません。

唯一、北海道のアイヌ民族を束ねた最高の酋長（エカシ）が口述で残した記録の中に、宇宙の大神が地球へ降臨した時の話や人間を地球へおろした時の話しが載っています。

北と南から日本に渡った民族の宇宙意思を正しく理解し、本州・九州・四国へ渡った民族の歴史を深く紐解く事で地球へ人間を降ろした宇宙の大神の意思を実践する時期に入ったと言えるでしょう。

だからこそ、今、住んでいる土地や生まれた土地の歴史を早く調べて、いかに人為的に操作された歴史書や一面だけの情報に振り回されている人が多いのかに気づいて下さい。

地球を創造した宇宙の大神は、私たち人類を戦わせようとはしていません。反対に、一日も早く過去経験した全ての記憶やカルマを一掃して、人間として生まれた本質的な意味に目覚める事を願っているのです。

命を頂き、魂が与えられ、限りある肉体の時間の中でどう生きるのかを一人一人が気づかなけれ

ばいけない時期が来たとお伝えしておきます。

だからこそ、あなたが今、こだわっているテーマを早く乗り越えて、自分が思い込んでいる「自分らしさ」を見直して下さい。まもなく、「新しいあなた」が生まれる為の準備が整います。

2010.11.01 Mon

神々の統合祈り

激動波乱の１０月も、最後に南風に乗った台風１４号による浄化の雨と風の神が働きになり、新たな１１月１日を迎えました。

１３人のグランドマザー第８回世界会議も無事、霧島で行われたようですが、奄美大島の土地神を守る方たちの課題が浮き彫りにされた台風１４号だとも言えるでしょう。

奄美大島や沖縄全島の土地の歴史や民族移動の軌跡を調べていると、現在の日本と呼ぶ大地に引き継がれた民族の地・血の歴史が見え隠れしてきます。

そこには戦いという男性的な権力図とは反対に、女性たちがあらゆるものを受け入れ引き継いできた大切な大神の母心も守られています。

「火の神（ヒヌカン）を祀る沖縄全島の信仰のルーツや「陽の神」を祀るアマテラス信仰の民族ルーツが現在の日本にたどり着いた歴史は、現在の天皇制と共に日本神道が掲げている「天照大神」のルーツを紐解く大きなカギにもなっています。

南方から船で渡ってきた民族や九州北部・中四国の日本海側から渡ってきた民族の血が混じり合って生まれた現在の日本民族だからこそ、世界のあらゆる宗教思想の統合と共に、民族紛争の血の元を正すことで大神の意思を日本民族は果たす役目を持って生まれています。

神の御心に目覚める日は近く、今日１１月１日と１１月１１日は各自で祈りを行って下さい。

数字の「１」は自分自身という意味を持っていますし、数字の「３」は始まりという意味を持っています。

また数字の「４」は、現実的な始まりという意味があるからこそ、これからのあなたの現実をより輝かせる為にも今までの過去に囚われずに、新しい生き方を手に入れる日にして下さい。

2010.11.01 Mon

神守り会議

台風14号の影響で伊良部島のホテルに缶詰めになった３５名は、声をかけた主催者が違う為に三つのグループに分かれていましたが、運命共同体の状況だからこそ、次第に互いを知る努力や助け合いの心を学ぶ時間になりました。

奄美大島にだけ大雨が降り「世界のグランドマザー会議」が開催できなかった件や、伊良部島の伝統行事ユークイ（豊年祭）の翌日に足止めされる理由を考えると、まだこの沖縄の土地の為にするべきことがあるのではないかと思う様になりました。

そんな時、ホテルてぃだの郷の猪子社長から出た話しは、ユークイで入った御嶽（うたき）のお礼参りと長年、御霊が集まる場所なのに手を付けられなかった「帯岩」の御霊鎮魂の依頼でした。



百トン近い大きな岩が「明和の大津波」によって数十メートルも風に飛ばされ下地島の端にのっかった明和の大津波は、八重山諸島で１万人以上、宮古諸島でも数千人の犠牲者が出て、下地島の木泊部落43名が全員亡くなるという悲惨な事件が起きていましたので、全国の御霊浄化を専門に回っている九州の真言密教のお坊さんたちが中心となって宿泊者全員が協力して御霊あげの祈りを行いました。

私は個人的に伊良部島の全祭事を仕切る最高責任者　皿主（サラシュ）から島の伝統を守る難しさと問題点を聞いていましたので、足止めされた時間を活かして宿泊者全員が皿主（サラシュ）と司オバーから直接、神守りの難しさや島の問題の話しを聞く機会が実現しました。

この神守りの人たちとの話し合いは、5年間伊良部島のユークイに通いながら島の人たちに直接、本音の言葉を聞く中で大切な物を残す為にはどうしたらいいのかを考えていたので、いつかは実現したいと思っていた夢でした。



伊良部島や沖縄の皆さんは、初めての「お客さん」に対してはとてもやさしく接してくれますが、何度も足を運ぶ人にこそ「島の家族」として受け入れるべきかどうかを問う時があります。

一人一人が命を支えあってきた小さな島だからこそ、心の底から相手を信頼しあい命の食べ物を分け合う習慣が、ユークイという祭事の中にも残っているのが、その証です。

私たちは今、その心を問われているのだと思いました。

三日間の缶詰め状態の中、島の為にできることをはしたつもりですが、その評価が問われるのはこれから沖縄を訪れる一人一人の行い次第だと思っています。

29日の朝、伊良部島発の船はカーフェリーだけが運航したので宮古島に渡ることはできましたが、レンタカー屋さんに近況を聞くと、今年の夏は昨年の二倍のお客さんが車を借りたと言っていました。

島田伸介さんのテレビ番組の影響も大きいと思いますが、人が来てほしいと願う地元の人たちは宮古島を他の島のように悲しい島にならないように大切な物を残す知恵を考えなければいけない時期に来ていると思います。

外部からの経済を優先して観光化した結果、土地を売り、聖地を壊し、内地の人が住み始め、それまでの人の繋がりが薄れた結果、祭りごとが消えてしまった他の島の実情は誰もが知っているはずです。

日本人のルーツのひとつでもある大切な伝統文化が700年前のまま残っているのが宮古島や伊良部島だからこそ、最後の聖地　伊良部島・宮古島に訪れる人は、土地の人にルールを教わる心を持ち、自分たちの概念を一方的に相手に押しつけるような失礼なことをしてはいけないと思います。

私たちの常識を島の人たちに押しつけた結果が、今の沖縄の各島々が抱えている「神守りの問題」になっているからです。

祭りごとを支える若者の減少や神役目の厳しいルールに囚われて祭司を引き継ぐ人が減っている問題に加えて、古来から守り続けてきた祭事の意味を正しく伝承する方法など島の人たちが抱えている問題はたくさんあります。

29日の夜は沖縄本島へ移動して一緒に祈りをしてきた仲間たちと話し合いの場を持ち、土地に住むそれぞれの人たちが今後の次の世代へ引き継ぐべき精神性をどう守っていくかについて話し合いました。

私は偶然、知り合いの札幌在住の社長が沖縄本島にお店を出すというので翌日は「屋敷祈り」を依頼されていましたが、地元の人や神人（カミンチュ）全員が口を揃えて、その土地は一筋縄ではいかないとても問題が多い場所だと教えてくれました。

地元の人たちがそういう問題のある土地に手を付けない理由は、自分や家族に「神がかりや霊がかり」が起きない限り、他人の土地には手を付けないのが沖縄の神人（カミンチュ）たちの常識になっていることも教えてくれました。

これは地元の方たちからのお願いなのですが、

沖縄生まれではない人が、沖縄の聖地で祈りをする方が増えていますが、沖縄はあなたたちの考えるようなルールや概念では土地の御霊鎮魂や整いはできないことをまず理解して下さい。

確かに愛を持って行う祈りは人の心や魂を繋ぎますが、過去、この土地で行われた様々な土地の歴史を学び、傷ついた全ての人たちの気持ちを受け止める大きな心が無い限り、自己満足の祈りをしている事に気づいてほしいと思います。

本当に沖縄の聖地を守っている人たちにとって、ルールを知らずに聖地に入る全ての人たちの行動が今、大きな問題になっているからこそ、土地の神守りの人に道筋を立てて学ぶ心を持ってほしいと思います。

沖縄の人たちと、沖縄以外の人たちが一緒に日本人の大切な精神性を守る母の土地沖縄をどう守りぬくかを考える時期にきているのです。

沖縄を愛し、日本を愛し、地球を愛する全ての人たちにお願いがあります。

何事においても、全ての始まりは「相手から学ぶ心」が最初だと思って下さい。

そして、自分の住む土地にどういう歴史があって、どういう思いをした人たちが生活していたのかをすぐに調べて下さい。

大切な精神性や日本を守る心は、過去の歴史を学びながらひとつひとつの戦いの歴史を自らの心の中で愛に変えるところから始まるからです。

どんな時にも自分が正しいと主張するだけではなく、常に自分の心に「真鏡」のような清い心を持つ大切さを沖縄の神守りの方に教えて頂きました。

自分の住む土地を愛する心が無い人たちや土地の歴史を知らない人たちは、「何ひとつ守ることができない」という事にも早く気付いて欲しいと思います。

このような新しいテーマの時代になったのですから、あなたが大人なら相手から自分が知らない大切な事を学び、未来の子供たちに残すために意見を交換しあいながら、自分の責任でできる範囲で事を成し得る責任性を学んで下さい。

地球全体の為に今、日本人すべての人が心のあり方が問われていることは、今回の台風や雨の災害が教えてくれていますので皆様、どうぞ宜しくお願いします。

2010.10.30 Sat

台風１４号に・・・

10/24-25で伊良部島のユークイ（豊年祭）に参加して無事、お礼と御奉納を終えた翌朝、台風14号の影響で伊良部島から宮古島へ渡る船が全て運休になりました。

お陰様で初めて体験する台風によるホテルの缶詰状態を35名が体験しています。

台風はまだ宮古島に近寄っているだけで波が高く船が港に着けない状態ですが、これからはさらに飛行機も飛ばない状態になりそうです。

島の人達の体験から、「あと二日間は島から出られないだろう」と言われていますが、全ては自然を司る神様の意思ですので素直に従います。

たくさんの人達と予定も決めていましたが、ご迷惑をかけて本当にすいません。

この体験もまた「何かを気づきなさい」というメッセージだと思っていますので、大切な時間にしたいと思っています。

自然界の神々の意思は、何を伝えようとしているのか？

奄美大島の大雨による災害も含めて、土地の人々やその土地に思いのある全ての人の学びがあると思っていますので、どうぞ自らの神と向き合い、内なる神との対話をお願いします。

天なる神々は何を教えてくださっているのか？

地なる神々は、何を教えてくださっているのか？

人間のおごりと思いを再認識する時間になりそうです。

全国から思いを合わせて下さっているたくさんの皆様、本当にありがとうございます。

伊良部島の神々のお膝元で、自らの気づきの時間を与えて下さってありとうございます。

2010.10.27 Wed

１３人のグランドマザー世界会議へのメッセージ

１０月２２日朝、札幌から飛行機が飛び立つ前に以下のメッセージがおりました。

グランドマザーたちが来る事は事前にわかっているはずななの、なぜ地元の人たち（奄美・沖縄）の人たちは土地神の整いを終えないのか？どうしてなのかわからない。

美しの島として栄えた時代にたくさんの神々が島の守りに付いているが、それが自然神だからわからないのだろうか？

土地に繋がりを持つ者たちが本気で祈らなければ、受け入れの準備が整わない事をどうして気づけないのか？

主催者もそうだが、関わる全ての人たちの責任もある。

「うつろいの神」にいついて知る者がいたら、ぜひその神を整えて下さい。

迷い神、困惑する神、愛する者を失った人たちの思いが邪魔している。天龍・地龍の導きを変えたければ、空なる世界を守る神々に意思を確認し、その理解を求める必要がある。人の心を問うのもよいが、全ては祈り人の心次第と言っておこう。

世界の母たちは、そのことを問う為に日本に来たことも知って欲しい。

全ての願いを叶える国が日本だからこそ、一人一人の祈り人の心が問われているのだ。宜しく頼む。

宇天の大神、中軸の大神、地天の大神）

私の知る限り、沖縄の神人（カミンチュ）二名が日本全国を回り、日本国の土地神の整いにご苦労されていたことは知っていますが、それ以外の方たちがするべきことをしていないというメッセージだと感じています。

沖縄を愛し、沖縄に癒された全ての方たちにも同じ事が言えると思います。

自分が住む土地神様へ、自分がするべき整いの祈りをしたのか？

グランドマザーをお迎えする母神の大きな愛を一人一人が持っているのか？

どうして母神たちは手を取り、愛を育み合わないのか？

と私たち一人一人に気づきを与えてくれています。

まだ間に合いますので、今すぐに自分の神仏、祈りをしている場所から世界のグランドマザーた

ちが育もうとしている愛を日本で育つよう祈りを行って下さい。

２３日現在、九州の霧島でグランドマザー会議を行う事を決めたようですが、どうぞ無事にグランドマザーたちの話しあいと祈りが行われます様に祈ります。

どうぞ、一人一人の日本人の大きな母の愛のあり方を問われていメッセージだと気づいて下さい。

女性たちや母同士の争いは、全ての争いの元になるからこそ、今、手を取り合う必要を神々が気づかせてくれているのだと思います。

「うつろいの神」については、今年４月に大神島へ渡る船の上で降りたメッセージを皆さんへ公開していますので、読んだ全ての人がその役割を持っている事を自覚して祈りを行って下さい。

２０１０年４月８日に、「うつろいの神」が誕生したメッセージをお読み下さい。

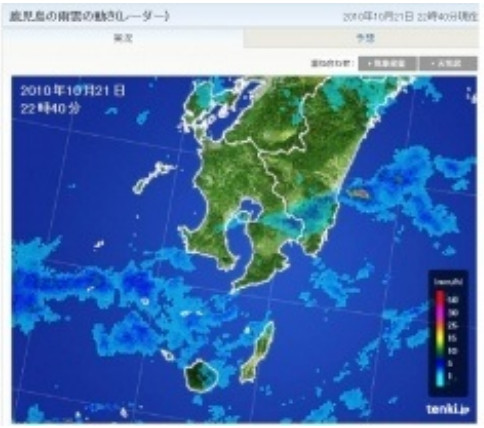
どうぞ宜しくお願いします。
2010.10.23 Sat

１３人のグランドマザー国際会議（奄美大島）

10/22-25の期間、世界のグランドマザー（おばあちゃん）会議が奄美大島で行われます。

しかし天候は昨日から800ｍｍを超える大雨が降った為に、現地は通行止めの道路が出たり、今日の飛行機は全便欠航と大変な状態です。

この会議の対応については、主催者のブログで近況をお知らせしています。



奄美大島は２００９年２月に天上人　谷浩一君と協力して行った大切な神事の場所だからこそ、昨日、この情報を知ってから奄美大島にだけなぜ大雨を降らせるのか天の意思を感じていました。

ひとつには、日本人全体の心を問われている様です。

もうひとつには、参加者一人一人の心を問われている様です。

そして、現地奄美大島の神々の許可の問題もあるようです。

本来、奄美大島は琉球王国の領地だっただけに、土地の神様の力は母神の地　沖縄に通じていますので、日本を守っている母神が許可を出していないという図になります。

これを大きく解釈すると、日本人の女性全てが受け入れの準備ができていないとも受け取れます。

世界からやってくるグランドマザーたちを心から受け入れる気持ちが一人一人にあるのかと問われているのです。これからの時間は、女性たちが本気で祈ることで天候は変わるでしょう。

私も明日２２日は、東京にお住まいの方たちに集まって頂き、日本の未来について話しあいます。

そして２４日２５日は、伊良部島で８００年続く伝統行事ユークイ（豊年祭）に参加して、この６年間の感謝を島の人たちや神様に伝えてきます。

どう考えてもこの週末はとても大切な様ですので、どうぞ感謝の気持ちがある方は祈りを捧げて下さい。

２６日には沖縄本島でたくさんの仲間たちが集い、沖縄の未来について話し合います。

神々は、いつも私たちがどうするのかと問いかけていることをあなたも気づいて下さい。

一人一人の何気ない思いが、日本の未来を決めているのですから！

では、行ってきます！
2010.10.21 Thu

正しい先祖祈り

ご先祖の家系やルーツを調べたり、先祖に対する祈りの意味がわからないという問いあわせを頂きましたので、改めてご説明したいと思います。

困惑されている方に共通する点は、仏教の宗派の違いによって説明が違いますし、各宗教に学んだ経験を持つ方は教えられた「先祖供養」の概念に影響されていると思いますが、私がお願いしている先祖祈りは、宗派に関係なく人類全てに共通する「感謝の心から生まれた祈り」です。

その原点は、「自らの存在に対する感謝の心」が基本になっています。

「個」という自分をとらえて誰かと比較して落ち込んでいる人をよく見かけますが、本来、人間と言う動物は「個」という自意識に目覚める前に学ぶべきことは、命と肉体を与えてくれた父母の存在に感謝する心なのです。

父母にも同じように父母、そしてさらに父母がいて、もの凄い確率で命が与えたれたからこそ、あなたは生まれたのですが、先祖に感謝する心の基本は、

「命を与えて下さった全ての父母に対する感謝の心」が第一にあります。

父母に感謝する心が本当の意味で正しく理解できると、自分と言う「個」を掴んで苦しむ必要が無いことにも気づきます。

ただ存在しているだけで、今日、生きているだけで感謝の心が溢れてくるのが、本当の感謝の心を知っている人なのです。

私がこれまで相談を受けた方の中には、ご先祖の因縁を背負って苦しんでいる方たちにたくさん逢いましたが、ひとつひとつ心を正しながら今、存在していること、生かされている事への感謝の気持ちを伝えてきました。

外国人に犯されて子供を宿し、妊娠を隠しながら最後は家族でひっそりと生んだ子供の出生の秘密を隠し続けて死んだ女性の家族に、もしあなたが苦しみを相談されたとしたらどう導くでしょうか？

もし、あなたのお子さんが同じような体験をしたとしたら、あなたは母親として子供をどう導きますか？

こんな話しは戦争当時だけではなく、現代社会のどこにでも、こういう形で命を頂いた方がいるということを知っておく必要がありますし、表に出ない話だからこそ年長者の女性たちは命を対して答えを出さなければいけない立場にあることを忘れてはいけません。

沖縄の人たちがどんな思いをしてこの100年間を生き抜いてきたのか、女性たちは、母親たちはどんな苦労をして命を繋いできたのか、本当の事をあなたは知らないからこそ、自分や周りの人の命を粗末にできるのです。

どんなことが起きても支えてあげられるあなたでなければ、あなたの言う「命は大切」という言葉が空虚だという事に気づいて下さい。

今、この地球の反対側では、一杯の水が無くて子供たちが死んでいますし、今日の食事を摂れなくてたくさんの人が死んでいます。

その人たちと同じ時代に地球に生まれ、豊かな国に発展した日本に生まれたあなたは、どんな形で生まれたにせよ、命を育んでくれた大切な父母に対して「感謝の心」を持てないのなら、人間の道義を知らずに人を裁く権利はあなたにありません。

あなたに命のリレーを繋いでくれた父母が現在、生きていようが亡くなっていようが、離婚して他の人と結ばれていようが、それは全く関係ないことです。

誰かの生き方を批判する前に、まず今、命があることに感謝する心をあなたは学んで下さい。

あなたがひとつの命として生まれた時に、それまでたくさんの命が消えていったことも覚えておかなければなりません。

戦争で命を落とした人もそうですが、流産をした母親も、お金が無くておろした命も、育てられない状況だからとおろした全ての命の希望が、今、あなたに、そして、地球上に生きている全ての人たちに与えられているのです。

だからこそ、私たちは「生きている」のではありません。

たくさんの失った人の命によって「今、生かされている」のです。

命のリレーを繋いでくれた全てのご先祖に感謝する心がある人は、生きている父母に祖父母の人生を学び、祖父母の親たちの人生がどう生きたかを知る事で、あなたは今、存在している意味に気づけることでしょう。

健常者で生まれようが、障害者で生まれようが、交通事故で手足を失おうが、命があるのなら、あなたは神に選ばれて先祖に守られて今、生かされているのです。

誰かに不満を言う前に、まず「自分が生かされている事を心から感謝すること」を学んで下さい。

命を守ることや地球を守ることは、きれい事だけではできません。

常に、自然界の命を奪い続ける事でしか、私たち人間は生きることができない動物だからです。

地球や自然に感謝する心がわからないあなたは、まず自分が存在している事に感謝する心を学ばなければならないと思います。

事業に失敗しようが、莫大な借金を背負おうが、誰かに攻撃を受けて辛い経験をしようが、あなたは今、生かされているのです。

何かをする為に生かされているのですが、その理由を探す前に先祖のルーツを調べて、先祖の土地に出向いて、御先祖たちが生きる為に必死に手を合わせた神仏に感謝し、それまで先祖の事を学ぼうとしなかったことへのお詫びと感謝の祈りをする必要が、全員にあるのです。

自らの心を正す為にも、一人で先祖のことを調べて下さい。
その心を先祖たちは、いつも見守っています。

私は沖縄へ通うようになってから本当の意味で「命の大切さ」を学びました。

白龍の神に導かれて、沖縄のたくさんの人たちに教えてもらいながら、生きる事の意味にも気づかされました。

日本人の全ての魂を守ってくれている場所が沖縄という母の地だからこそ、
私は愚かな人間全ての代表としてお詫びと感謝の祈りを年に二回行っています。

人間を守り続けてきてくれた自然界の神々は、いつもと厳しく気づきの言葉を下さいます。

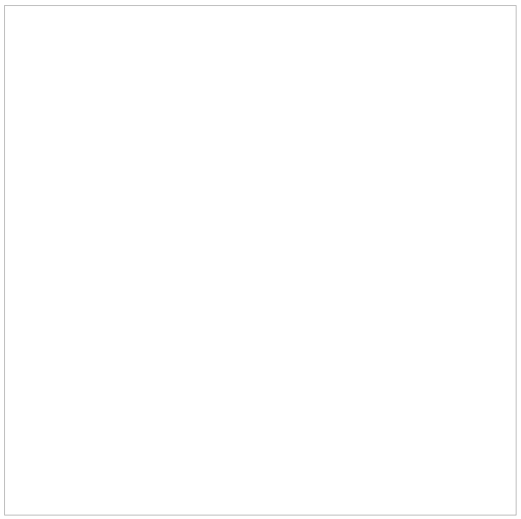
今、できることをしなさい。

今、できることをすぐにしなさい。

明日の命が保障されている訳ではないからこそ、今を一生懸命に生きるのです。

それが今、生かされている人たち全ての人間全員の使命なのです。

●吉岡学がお勧めする正しい先祖への感謝祈りの方法



2010.10.20 Wed

先祖と土地から受ける影響

今日は土地のエネルギーが人間の体や意識にどういう影響を与えているかについてお話ししますが、土地にへばりついたエネルギーのことを「人間の思い」と言い換えてもいいでしょう。

その前に「ご先祖祈り」の重要性についてはこれまで何度もお話ししていますが、自分という一人の人間が生まれるまでにご先祖たちがどういう経験や思いをしてきたかを知ることで、家族の因縁やカルマを知るキッカケにもなりますので心迷いをしている人はすぐに始めて下さい。

そして人間が土地の上にしか住めないからこそ、住む土地の歴史を調べる重要性も言い続けていますが、単に歴史の教科書に載っている表面的な歴史ではなく、その土地に住んだ人たちがどういう思いをしたのか、またどんな争いで亡くなった人がいたのかを正しく理解することでお詫びや感謝をしなければいけない場所を見つける事ができます。

家に住んだ人たちの染み付いた思いは家を壊して燃やせば消えますが、土地にへばりついた思いは、いくら建物を壊して新しく建て替えても簡単に消えることはありません。

だからこそ土地の浄化祈りの依頼が増えていますが、まだ「土地祈りの重要性」に気づいていない方が多いのも残念なことです。

土地に残った思いで「浮遊霊」という名前を聞いたことがあると思いますが、天へ昇天しきれない思いを残した霊たちのことをこう呼びます。

普通の「浮遊霊」は特に誰かに悪さをするつもりはないのですが、どこの家でも家の中をいつも通過しながら住んでいる人たちを見つめています。

猫や犬を飼っている方ならわかると思いますが、猫が突然、部屋の空間をじっと見つめている時や、何も無い天上をジーと目で追っている時などが「浮遊霊」を見ている時なのです。

猫の魂は霊界に通じる番人として地球に降りていますので、人間が本来するべき役目を果たすかどうかを見守りながら、霊界のエネルギーにはとても敏感に反応します。

猫がいない家は、部屋をきれいにお掃除してから玄関や部屋の四隅に「塩もり」をする事で「浮遊霊」たちを避けることも可能ですので、気なる方はすぐに行なって下さい。

※塩もりは「あら塩」でなければ効果がありません。お勧めの「あら塩」はこちらです！

最近、相談されたケースですが、数年前から家族や親戚が立て続けに変な亡くなり方をした家族の相談が続いていますが、こういう死に直接、至るケースの場合もまず「先祖と土地の因縁」から調べます。

私は名字と名前を聞いただけで、その方のご先祖の因縁をたどれるような体質になってしまいましたが、皆さんの場合は直接、自分の手で調べるという面倒な事をすることでご先祖の気持ちに近づく努力をしていると言えます。

家族の不幸な事故や災いが続く家には、必ず先祖や土地の大きな問題がのしかかっていますが、家族の誰かが本気で自分の責任だと認識して行動しない限り、どんな霊能者に頼んでも根本的な解決にはなりません。

理由は、身体か名字の一部を直接頂いている家族の誰かがその責任を果たさない限り、ご先祖たちは許してくれないからです。

他人の霊能者にお金を払って苦しみを丸投げした分、家族が謝るべき事をまだ気づいていないと、何度でも同じことが起きるものです。

全国にいる霊能者は、あくまであなたの「ガイド」としての役目だと言う事を覚えておいて下さい。

死に至らないまでも、激しい夫婦喧嘩や家族の喧嘩が続く家にも同じような事が言えます。

誰もが喧嘩をする時は感情的になりやすい為に、守護霊が守るエネルギー範囲を超えて感情的な霊たちの影響を受けやすくなりますので、突然、火が付いて狂人になる人を見た事があると思います。

女性がヒステリー状態になった時や、男性が深酒して酒乱の状態になった時も、ほとんどの場合、感情的な霊に乗られているので論理的な思考が通用しません。

霊媒体の体質の方は、常にこういう状態になりやすいので、ご先祖祈りをしっかり終えて守護霊たちの強い力で守ってもらうことが必要です。

沖縄ではこの強い守護霊の事を「チヂ神」と呼び、守護して下さる力によって心迷いをしている人が正しい道へ導かれる為の方法を教えるユタや神人（カミンチュ）がいます。

しかし、「チヂ神」は自分で選ぶ事はできませんので、どういう「チヂ神」が付くかによって歩む道が厳しくなる人もいる事は覚えておいて下さい。

目に見えない先祖の事や土地の思いについては科学では証明できませんが、ハッキリ人間は住む土地によって感情や思考が影響を受けて、気分が変わる事は皆さんもご存じのはずです。

いくら引っ越しをしても改善しない方こそ、早くご先祖に対するお詫びと感謝祈りをする必要があると言えます。

ご先祖たちの言葉を代弁しますが、誰もあなたを苦しめようと思っている先祖はいません。

ただあなたに正しい事実を知って欲しいのと、その思いをあなたに和合して欲しいからこそ、エネルギーであなたに伝えているだけなのです。

全ての原因はあなたの心の状態に比例していますので、現実をしっかり見据えて自分がするべき事から逃げないことが大切ですし、果たすべき責任を全うする様心がけて下さい。

「新しい地球に生まれ変わらせなさい」という地球創世の啓示によって私が宣言したことは、「日本人の精神性を守る」という事ですので、これまでの８年間の神事で沖縄と北海道の神整いを終えて現在は、本州の土地のカルマに取り組んでいるところです。

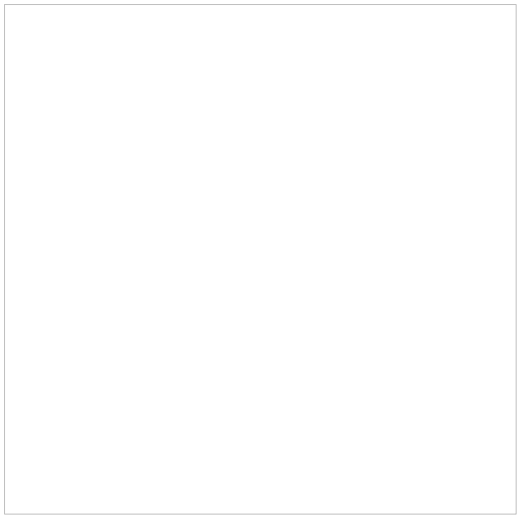
本州と言う土地は、東京から大阪・京都までの間に五段階にもなる深い土地のカルマがありますが、それを外せるのは何よりもその土地に住んでいる方のお詫びと和合の心が必要です。

いずれ四国や九州の残った土地の思いも大浄化する為に動く時期がやってきますが、どうぞ皆様もご自分の住んでいる土地の歴史を調べて、どういう土地の歴史の上に自分が住んでいるかを学んでお詫びと感謝するべき先人たちの場所や神様の場所を見つけて下さい。

土地の思いは、その土地に長く住んでいる年長者たちからも学ぶ事ができますので、先人の心を伝承している人たちに頭を下げて教えを頂いて下さい。

住む土地の神様に愛される人になってこそ、自分が人間に生まれてきた使命を果たせるのです！

私たち人間はその為に何度も生まれ変わって、家族と言う縁組みをし続けているのです！



2010.10.19 Tue

結果の西洋医学、原因の東洋医学

今日は、自分の心や身体の不調に対する考え方を見直す時間にして下さい。

これは10/1に夢の中で教わった言葉ですが

結果の西洋医学、原因の東洋医学

という言葉が教えてくれているとおり、「西洋医学」は痛みや苦しみという患者が訴える結果に対して、過去に膨大に集めたデータや臨床例を参考にして医者が判断する「結果の医学」だと言えます。

西洋医学の良い点は、同じような症状が多数の患者に出て治療がうまくいった場合にとても有効的ですが反対に、数が少ない症状や珍しい病気に対しては全く治療法が無いのが実情です。

反対に、西洋医学よりもっと古くから世界中に伝わっている「東洋医学」の考え方の基本は、まず心や身体の不調は出ている痛みの場所よりも、その場所に痛みを与えている「原因」について探求する医学として進化しています。

痛みが出ている患部に直接的な治療を施すことより重要視している事は、患者の考え方や性格、食事の質と量、家族関係やあらゆるバランスを総合的に判断して考えうるあらゆる方法を試すことです。

漢方薬もそうなのですが新薬のように即効性はありませんが、その人の「原因」にたどり着くとほとんどの場合、その治療方法が一生使えるという利点があります。

東洋医学の考え方の基本は、「人間の体は心・身体・魂」の三つのエネルギーバランスによって形成されていて、目に見えない自然界や宇宙のエネルギーを取り入れながら生きているという考え方を前提にしています。

食べ物を含む地球上にある全ての物質エネルギーに影響を受けて生活している人間の身体は、反射療法と呼ばれる陰陽バランスを整える物質エネルギーを体内に取り入れることで内部から治療を行うインドの「アーユルベーダ」なども伝統的な治療法として有名です。

中国の気功や道教の中にもある宇宙エネルギーを使った「ヒーリング治療」は、治療家自身の意識の繋がりを守護霊や守護神に繋いで、自然界や宇宙エネルギーで身体を整える治療法です。

土地や先祖同士の因果関係などのトラブルによって身体に影響が出ている場合は、シャーマンや霊媒師などの霊的な専門家が同じように自らの守護存在の繋がりを使って、カルマの原因を紐解く技術を持つ方もいらしゃいます。

21世紀に大きく進化した分野としては、地球上にある全ての物は「光」から命を与えられている事実に基づき、「光」の周波数を下げた時に見える「色」で身体のエネルギーバランスを整えるカラーセラピーや、「音」の周波数で身体を治すボイスヒーリング、音叉（おんさ）ヒーリング、クリスタルボウルヒーリングなど多数の治療方法が発明されています。

この新しい分野の治療で効果が出やすい方は、性格が素直な方やその治療法を信じている方にとってはとても有効的です。

人体を細胞レベルで研究をしている方たちは、弱った細胞の働きを助ける栄養補給食品以上の「糖鎖」という成分も発見されていますが、食べ物は食べる人の体質と習慣によって即効性に違いがあることも覚えておいて下さい。

人間の身体と地球の形成過程を考えると、最終的には「鉱物とバクテリア」の研究をより進める事で、全ての病気や不調エネルギーを調和する方法が見つかると思います。

人体を癒す鉱物としてトルマリンやブラックシリカが温熱効果として多様されていますが、最終的にはアトランティスの時代に発明されたクリスタル（水晶）の振動数のエネルギーを使った有効な治療法が見つかるはずです。

その際に重要なのは、「水」」というあらゆる物質を繋ぐ媒体の状態が良い状態であることも重要な要素になります。

今回の情報によって色々な方たちが新しい気づきを得て目覚めるはずですので、これまでの概念に囚われない新しい発想の新技術やエネルギー調整の成功例をたくさんの方に公開して欲しいと願っています。

宇宙空間から無限に取り入れる事ができる「フリーエネルギー」を使った方法もずいぶん前から

研究されていますが、人類の多くの人が次の段階に目覚めて大幅に進化する頃には、信じられないような物が世の中に広まるでしょう。

最後にまとめますが、「結果の医学」はこれからも新しいウイルスや病気が世界に広まり、さらに複雑化しますので、その臨床例が集まる頃には新しい細菌がまた新しい病気を広めますので、永遠に「目に見えない原因」にたどり着かない医学だと考えた方がいいかもしれません。

しかし、皆さんが「今、すぐに痛みを取って欲しい」と望めば望むほど製薬会社は薬を開発しますので、「痛みの原因は何か？」を自分で考えて日々の習慣を変えることから始めて欲しいと思います。

「あなた自身が変わらずに結果を変えたい」と思うこと自体が、自然界や宇宙の摂理に反していることにも気づいて下さい。

これから宇宙のエネルギーがさらに激しく上昇する時期に入りますので、「必要な時は必要な物を取り入れて自らのバランスを取る柔軟な考え方」を持ちながら、地球や自然界の摂理に合った生き方を学んで下さい。

皆様の心と身体が周りの人たちの笑いと共に、より良い健康な生活が送れます事を祈ります。

2010.10.17 Sun

褒められた経験

昨日、録画していた「カンブリア宮殿（テレビ東京）」を見ていると、サッカー日本代表前監督の岡田武史氏がとても素敵な話をしていました。

以前の監督だったオシム監督が、日本人を見ていて不思議だったことの理由がわかったという話です。

「日本人はどうして自分で判断して行動することができないのか？」

という疑問に対してたどり着いた答えは、子供の頃は親と学校の先生に教わり、社会に出ると上司や周りの人に教わる中で、（自分で判断したことを）「褒められた経験がない」ことが大きな原因だと話していました。

これは、私も同感です。

25年前の1985年に勤めていた会社の「監督者養成教育」という３週間の缶詰研修でも、講師が最初に言った言葉が同じでした。

これまで皆さんは褒められて教育された経験が無いと思いますが、これからの時代は褒めて人を育てる時代に変わります。

聞いた時は、唖然としました。

これまで一度も経験した事が無いことをすぐに現場で実践しなさいというのですから・・・。

「なんて無茶なことを言うんだ！」と思いましたが、確かに自分たちの世代より若い方たちを見ると、自分たちが教わったやり方が通用しない時代になってきているのは感じていました。

「ではどうしたらいいのか？」と悩んでも、答えは教えてもらえませんでした。話した講師自身も、指導方法を考えている最中だと言うのです。

これは、自分で答えを見つけるしかない！

と講師が話している間にすぐに気づいたことは、まず自分の考え方を見直さなければいけな

い　という事でした。

自分の考え方を改める為に何が必要かを考えた結論は、新しい人の考えを受け入れることから始めよう！　と思いました。

この瞬間から、3週間の研修目的は変わりました。

新しい知識をいくら身につけても、考える心や思考パターンが同じなら思いつくことは同じなので、この研修で出会う一人でも多くの人と話しをして、自分を成長させようと決めました。

当時28歳の私は、それからは毎日行われる試験勉強はそこそこに、全国から集まった一人一人の考えを聞く為に夜な夜な人生観を話しあう時間を大切にしました。

「さあ、皆さん変わりましょう！」と言うわりに研修内容は以前と変わらず軍隊教育そのものでしたが、強制された団体行動から学ぶ事もたくさんあります。

団体行動をするには、一人一人の役割を完全に果たす必要がある上に、「共通の目的を達成する」というテーマが決められていますので、強い団結力と当時にひとつの集合意識が生まれます。

でも、一人になった時に自分でテーマや目的を決められない方が多い理由も、考える力が無いという以前に「自分で判断したことを褒められて育っていない」ことが影響していると思います。

「私は変わります！宣言」をして下さった全国100名以上の人の中で、すぐに変化を感じた人たちは必ず「変わる事を受け入れる柔軟な心も持ち主」だと思いますが、そうではない人たちに共通することは自分を変えずに結果を変えたいという頑固な部分が自分にあることを認めて下さい！

「素直さは最大の知性である」

と私が言い続けている理由もこういう経験があるからなのです。

毎日、30名以上の部下に囲まれた中で目的を達成するサラリーマン時代に学んだ事は、自分個人の役割の達成とチーム全体の目的を同じにする事で結果は導かれるということでした。

反対に言えば、それまでの自分はとても一人よがりな頑固な人間だった事を認めたことで、それ

からは人に対してではなく、自分の言ったことや決めた事に対して頑固に生きようと頑固の意味も変えました。

「褒められた経験が無いからわからな～い！」という人もいるかもしれませんが、それは論外です！

与えられなければ、与える事ができないというのであれば、あなたはもともと何も持っていない人だと自分から宣言している事に気づいて下さい。

人間は子供の頃から誰に教わらなくても、やさしさや愛を持って生まれています。

さらには、貰う事よりも与える事が歓びであることは全ての人間の本質にインプットされている種族を守る為の本能なのです。

そのことを忘れて、いつも人から貰いたい「甘え」の自分がいる限り、あなたが心から幸せを感じることはできないと覚えておいて下さい。

自分が頑固かどうかを知りたいなら、次の言葉を自分に投げかけてみて下さい。

地球上の全ての人があなたと同じだったら、あなたは幸せを感じますか？

今のあなたでは無理なことに、気づけましたか？

貰う幸せより、与える方が歓びが大きいことに早く気づいて下さい。

愛も、歓びも、美しさも、あなたの心が自由で伸び伸びしていれば、どんどんやりたい事が湧き出るはずです。

まずあなたの心が自由になる為に、どうぞ色々な人の考えを学ぶことから始めて下さい。

あなたの成長を心から願っています。

2010.10.15 Fri

創造と計画と行動の一致

9月23日から流れ込んでいる宇宙のエネルギーは、「人間全体の集合意識の目覚め」を即すように今後、何段階かの細かいエネルギーアップの日を通過して11月11日にさらに上昇し、12月15日まで上昇し続けます。

意識の高い方たちはもうその変化を身体で感じていると思いますが、現実生活の中にも大きくその影響は出てきています。

エネルギーが上昇した時のわかりやすい事例をいくつかご紹介しましょう。

１、何気なく思ったことが、すぐに実現するようになる

２、突然、予想をしていないことが起きる（良い事も悪いことも）

３、過去に囚われている部分を捨てる為の気づきや出会いが起きる

2012年に起きるアセンションの意味も説明しておきます。

「地球が崩壊する」などというデマを流して本を売ったり、売名行為をしている人がいますが、まず断言できることは地球が2012年に崩壊することはありません。

何が起きるかというと、実は、地球上の全ての人間の意識が大きく変わる時期だというです。

「意識が変わる」という意味は何かというと、「時間という概念が変わる」のです。

今まで一年は長いと思っていた人たちが、最近、一年という時間が短くなっているのを感じている人は多いはずです。

一か月前の事が一年前の事に様に感じられたり、一年前の事が何年も前の事に感じているはずです。

それがもっともっとスピードを上げて「時間と言う概念が大きく変わる」ということです。

私たちが生活している現実世界は、タテ・ヨコ・高さの立方体の三つの要素で作られている三次

元空間ですが、次の四次元空間になると「時間」と言う概念が今までの物差しで測れなくなり、人によって時間の概念が大きく違う世界に入ります。

これは意識の世界だけの話しではなく、現実的に植物の成長サイクルが早まったり、30年かかる研究結果が三日で結果が出るようなことも起きるでしょう。

当然、、普通の人のふと思ったことが現実化するスピードも速まりますので、悪い事を思えばすぐに現実化する世界になってしまいます。

四世次元空間を、「霊界」と呼ぶこともあります。

人間の肉体に魂が入ることで命が安定することは知っていると思いますが、肉体を離れたあと戻る世界が「霊界」です。

そこにはたくさんの魂が列をなして並んでいて、準備が出来た魂から順番に地球に生まれます。

肉体という器に魂が入るおかげで、自分が思ったとおりに身体を自由に動かせたり、痛みや歓びや美味しさを感じることができるのです。

肉体に魂が入るかどうかを決める時期が、妊娠後の不安定期です。この時期に流産しやすい理由は、母親の心の準備と生まれてくる子供の魂との約束がなされるかどうかの大切な時間だからです。

この四次元空間のさらに上には、
「神様の世界とも呼ばれる五次元空間」があります。

人と神に境界線が無いことを悟った人たちは、この五次元のエネルギーを使ってヒーリングをしたり霊視や透視の力を使えますが、何の為に与えられているかを分からない人たちは、逆にその力によって苦しい体験をすることになります。

2012年から徐々に、地球全体が三次元から五次元へ上昇するというウワサは本当だからこそ、あなたにその準備が出来ているかを私は問い続けます。

人間をサポートの為にこの地球へ生まれたことも知っていますので、一人残さず意識次元上昇の

波に乗れるよう努力を続けています。

もし地球に生まれた全ての人間全員が意識上昇しない場合、何が起きるかというとすぐに「混乱」が起こります。

全ての物事において、価値、基準、概念、理論、常識、時間が変わった二人が一緒に生活する事はできないからです。

どちらの人も自分が正しいと主張しますが、どちらの言い分も間違いではないからこそ、互いの接点を見つけて互いの成長を望む努力が必要です。

「自分だけ良ければいい」という人や、「お金だけに縛られた価値観」で生きている人たちは、その信じた物や人に裏切られる体験をする事でしょう。

だからこそ、一日でも早く自我の世界から抜け出して、まわりの人とコミニュケーションを取る努力をして下さい。その為にも「あなたが何をしたい人なのか？」を明確にする必要があります。

ここまで公開した情報を読んで「もうそんなことは知っているよ」と思った人たちでさえ、次の段階へステップアップする必要性がある事にも気づいて下さいね。

意識と現実の両方がレベルアップする為に大切なことは、次の三つの要素を一致させることが必要です。

創造・計画・行動

自分がやりたいと「創造」したことに対して、具体的な「計画」を立てて「行動」することが大切です。

そして、その結果は全て自分の責任だからこそ、良い結果へ導く工夫や努力も当然、必要です。

このことがまだちゃんとできないと思う人は、次の事を心がけて下さい。

１、自分ができないことに口を挟まない。

２、計画に参加したら結果責任も同様に負う事。

３、自分が行動した責任を絶対に他人にせいにしないこと。

全ての人が「意識（思い）と現実のバランス」を問われているからこそ、早く気づいて欲しいのです。

このことに気づけない人は、今よりも苦しい人生になることはハッキリしています。

どうぞ、周りの大切な人を一人でもあなたの力で支えてあげて下さい。人は、支えられ、信じられることで勇気が生まれるようにできています。

互いを信頼しあっている安心感のエネルギーを感じるあなたに成長して下さい。

2010.10.13 Wed

神様の向き合い方

沖縄の聖地で大きな神様に祈りをしていると、何度も目の前が真っ赤になった経験がありますが、沖縄では神様の色を「赤」で示すことが多いように思います。

伊良部島のユークイに参加する時も、同じように教わりました。

「神様は赤いので、ユークイに参加する時は赤い洋服を着て入ってはいけないよ。それに真っ白い洋服は神様を守る司（つかさ）だけが着れる色なので、一般の人は着ない様にしているんだよ。」

洋服の色で神役目を示すのは、仏教の袈裟の色もそうですし、日本神道の神主の袴の色でも神役目の格付けが示されています。

私も2004年と2005年に伊良部島へ行った時は普段着のまま祈りをしていましたが、宮古島を愛する知人の洋服デザイナーが神様に向き合う役目をするならと、真っ白いコートをプレゼントしてくれたことから私の祈りでは全員に白い上下の洋服を着てもらうようお願いしています。

なぜ正式に神様に向き合う時に白い洋服を着てもらうかというと、人間の持っている欲望の色を出さない為にも白い洋服を着る意味があると覚えておいて下さい。

白い色は、生まれる前や死んだあとに行く「光の世界の色」とも言えます。

だからこそ、結婚式の白無垢や足袋の色を白にして肌の色（人間）を出さない様にしていますし、亡くなった方が着るのも白装束なのです。

滝行などの禊をする時に着る白いふんどしと白い着物も、同じ意味だと思います。聖地に自分の汚れた物を持ち込まない工夫を、先人たちは色で教えてくれていると覚えて下さい。

反対に黒は、闇の中のカラスの様に自分自身を隠す色の力がありますので、葬儀や自分を主張しない場で着る洋服として使われています。

正式な祈りをする場合、洋服を着る前に「禊（みそぎ）」という形で水の中に入って不浄な汚れを落としてから向き合うのが本来の姿勢なのですが、現在では簡素化して神社の手水がその役目を代用しています。

現在、パワースポットブームのせいか、全国のあちこちの聖地に出かける方が増えていますが、

たくさんの人が集まるとその聖地のエネルギーが汚れてしまい、本来の働きができなくなっている場所も多いと聞いています。

だからこそ沖縄の大切な聖地の場所は一般の人に知らされず、ユタや神人たちが口述で場所を伝え守ってきたのです。

「白龍の神導き　沖縄　宮古島・伊良部島」を読んだ方から聖地の場所を教えて欲しいと問い合わせもありましたが、私が本に場所を詳細に載せない理由も神様を大切にしている人たちへの配慮があるからです。

どうしても知りたければ、地元のユタや神人を探して教えて頂いて下さい。

沖縄のパワースポットへ行きたいと思っている方にお伝えしますが、聖地を守っている方たちにとって今、大きな問題になっていることがあります。

それは「土地のルール」を知らずに聖地に入り、興味本位で色々な物に触ってしまうことで聖地のエネルギーも壊れ、神様が怒っている場所が増えている事です。

神社やお寺ではその場所を守っている方がいますので、厳しくルールを言われると思いますが、沖縄の聖地のほとんどは自然の中にあるので常駐して守っている方はいません。

だからこそ、土地のルールを正しく学んでから入る必要があるのです。

沖縄本島の南城市に世界遺産に指定された斎場御嶽（せーふぁうたき／サイハノうたき）がありますが、入場料も取りませんし誰も警護の人がいない状態で解放されています。

本来、一般の人が入る事さえ許されなかった重要な聖地だったのに、知らないとはいえ祭壇だった場所に登って遊んでいる青年がいるほど聖地のエネルギーは乱れています。

沖縄の知人にお願いした事ですが、沖縄で大切に守りたい場所は教育委員会に働きかけて看板を設置してもらい、観光客の方に意味やルールを教えるようお願いしましたが、現在どうなっているのでしょうか？

地元の人は聖地のルールを知っているのでそういう馬鹿なマネはしないと思いますが、土地のルールを知らない人たちが問題なのです。

あなたにどんな霊能力があろうとも、守護存在から行きなさいとメッセージが降りたとしても、違う土地へ足を踏み入れた時は、必ずその土地の神様ルールが違う事を思い出して、土地に住む人たちに教えてもらって下さい。

沖縄でたくさんの神様を守っている人たちの声が皆さんに届くことを願って、「白龍の神導き　沖縄　宮古島・伊良部島」の本を出版することも決意しました。

神様は見えない存在だからこそ土地の人に聞き、心を正して「入らせて頂く心構え」が必要だと思います。

何度も言いますが、神様はお賽銭を必要としない分、あなたのお願いを聞く為に存在しているのではありません。本来、神様という存在は、普通に生きて生活できることを感謝する対象物なのです。

お世話になった人にお礼をするように、親や家族親戚にお礼をするように、神様や仏様にお礼を伝えに行く為に聖地はあるのです。

パワースポットブームに出かけるほとんどの方が、自分を助けて欲しい、元気が欲しい、運を良くしたい、人生を良くしたいと思って出かけると思いますが、あなたのその欲が聖地のエネルギーを汚しているとは思っていないと思います。

どうぞ、あなたのルールや判断で聖地やパワースポットに行くのではなく、その場所を守り続けてくれている神様や土地の人たちに喜ばれる行いをして下さい。

ゴミ拾いでも何でもいいので、あなたが神様の立場だったらどうして欲しいかを考えて行動して下さい。

そういう行いをする人を、神様はいつも見守ってくれています。

神様にお金は必要ありませんが、神様を守る人たちにはお金が必要ですから志を示す事で神様を守ってくれている人にも感謝を示しましょう。

でもたくさんお金を出したから、あなたの運が上がる訳ではありませんよ。

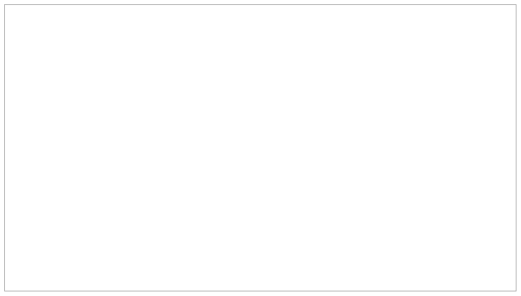
逆に、「たくさんお金を出したから私を幸せにしろ！」と思っている人は、もっとたくさんお金を欲しがる人たちに囲まれる人生になるでしょうね。

あなたが思った事、行動したこと、心がけている事の全てを見通して下さっているのが、あなたのご先祖であり神様だからです。

どうぞ今一度、神様やご先祖様に向き合う自分の心を見直して下さい。

聖地やパワースポットは、本来の自分自身を見直す為の神聖な場所だからこそ、あなた自身の心がけが問われていると思って下さい。

「白龍の神導き　沖縄　宮古島・伊良部島」の本を読んで一人でも多くの人が本来の神様の意味を理解し、自らの神心を高める為に聖地に足を運ばせて頂く心を学んでほしいと思います。



2010.10.09 Sat

伊良部島ユークイ**2010**に書籍奉納

沖縄の色々な神様に向き合い、そしてたくさんの人に向き合う度に自分が問われ磨かれた経験をさせて頂いたお礼を心からさせて頂きたいと思ったからです。

こんな気持ちを教えてくれたのも、伊良部島で子供を授けて下さる有名な黒浜御嶽の神様の言葉で、

たくさんの人がお願いに来るのに、
お礼に来る人は少ない

と言われたからです。

この神言葉を聞いた時、自分の事だけを考えてばかりいる「人間の愚かさ」に気づいた瞬間でした。

「できることは何でもします」と神に誓った自分は、本当の意味で人の為と神様の為になるにはどうしたらいいのかをいつも考え続けてきました。

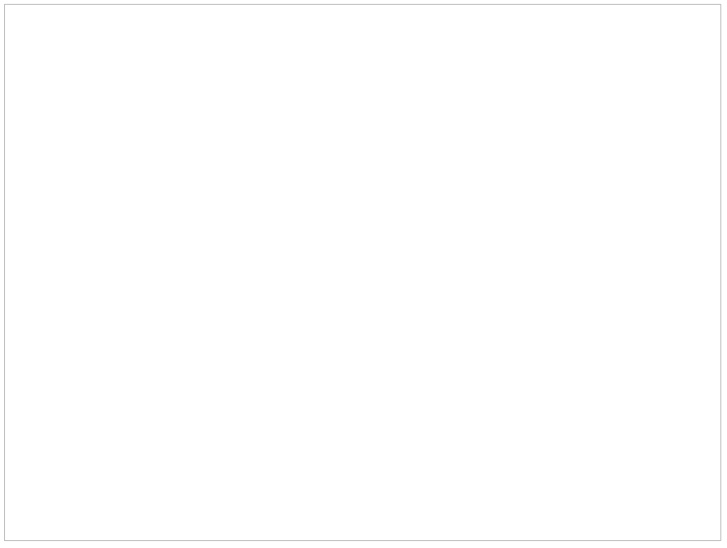
今もその答えに正解は無く、

自分を大切にするように、
他人にも神様にも正直に向き合いなさい

とだけアドバイスしています。

2010年の伊良部部落のユークイ（豊年祭）は10/25の朝７時に「元（もと）」と呼ばれる個人の家から祭事が始まり、公民館、ナハトゥ御嶽、アダンニャ御嶽、乗瀬（ヌーシ）御嶽、パイヌフツムトゥ（南の入り口の元）、カー（井戸）の６ヶ所を回ってから最後に「元（もと）」の家に戻り、男たちだけの締めくくりの儀式を行います。
伊良部部落と仲地部落だけはユークイの当日一日しか御嶽に入らないルールになっていますが、他の５部落は前夜祭を行うようになった為に年間２日間だけ御嶽の中に入る事が許されています。
御嶽（ウタキ）がどういう意味の場所かを皿主（サラノシュ）に尋ねると、骨を納めるお墓とは別に、部落全ての御先祖御霊が集まる場所として７００年前から大切に守られている場所で、伊良部部落では島の人たちでさえ年にユークイの一日だけ入る事が許されている神聖な場所だと言います。
このことを考えても、いかに島の人たちが御嶽（ウタキ）を大切にしているかがわかると思いますし、５年前に私たちを受け入れてくれた事のお礼を伝える為に今年は伺いましたので、全ての御嶽にお酒２本と神役目をしている全員と区長へ「白龍の神導き」の本も奉納させて頂きました。
中国から渡ってきた民族が三山（北山・中山・南山）統一をして沖縄・奄美全土を統一した琉球王府（琉球国）時代（1429年-1879年）には、宮古島にも祈女（ノロ）が配置されていましたが、それ以前の歴史書に今回触れることができました。
伊良部島の歴史を記録した「伊良部町史」を詳しく調べると、伊良部島に７つの部落があり言語も７つある理由がわかりますが、町史の作成が４０年前なのを考えると、いかに戦いによって過去の記録が消された土地なのかがわかります。
1370年頃には久米島から鉄を加工してクワやスキの技術と農法を伝えた赤良朝金（アカラトモガネ）兄弟の弟が伊良部島に残って島を発展させた為に、島の英雄として牧山にある比屋地（ピャーズ）御嶽に祀られていますし、現在も「比屋地（ピャーズ）御嶽」から神が大切なものを広めた事に感謝して神役目の方だけで「前ユークイの祈り」が行われています。※正式名称は「豊見親比屋地（トゥンピャーズ）御嶽」
1350年頃に伊良部島に初めて渡った伊良部部落のルーツをたどると、宮古島の久松・松原地区から移住していますが、ユークイは1310年から行われていた記録もあり今年「７００年祭」が乗瀬（ヌーシ）御嶽で盛大に行われました。
伊良部部落の民族ルーツが「久米島」から鉄を持ってきた民族である事はわかっていますし、住みついた最初の人たちの名字が

仲地、川満、狩俣という名字である事も皿主（サラノシュ）から教わりました。
また久米島にルーツを持つ鉄文化民族が移住した島には、島の名前に「伊」という漢字が付くのが特徴で、「伊良部島・伊是名島・伊平屋島」が同じ民族の入植を表していることになります。
沖縄本島の聖地には鉄文化を運び入れた民族を神様と祭り「カニマン」という名前で地元の神人（カミンチュ）たちは感謝の祈りを捧げています。
それまで伊良部島に住んでいた先住民族は、首や足に丸い玉を付けたり手にイレズミを入れていた南方系民族だった事まではわかっていますが、1150年頃に動物の骨や木を削って農耕をする知恵を与えた人たちが居たこともわかりました。
西暦1000年以前の歴史は日本でも重要な部分が消されていますが、黒潮の流れに乗って南方から小さな木の船で与那国島・八重山諸島・宮古諸島・沖縄諸島・奄美諸島に移住した民族に「鉄の文化」を伝えた人たちが南方や中国から入った歴史は色々な書物に残っています。
また九州を経由して大和朝廷との交流も盛んだった時代や中国・韓国・台湾との交流も多くありましたが、過去の色々な戦いによって分断された思いだけに囚われている方が多い事はとても残念に思います。
北海道生まれの私がなぜ、伊良部島の白龍の神に導かれて沖縄の神ごとを学び、古い沖縄の歴史を学ぶ必要があったのかは、やはり現在の日本人の大切な精神性の根っこが伊良部島に守られているからと言えるでしょう。
これまでの行動全てが古い地球を支えた「ムー文明」の宇宙意思に繋がり、天空から見守るアトランティス文明の宇宙の意思との統合がテーマなのかもしれませんが、今回のユークイに参加してわかったことは確実に「新しい次のステージに入った」ことだけは感じました。
日本の南を守る民族の根幹的な思想や神ルーツは、大きな地球規模の民族移動や文明に影響を受けて沖縄の地までたどり着いていますが、反対に、北方から渡ってきた民族については詳しい歴史は残されていません。
唯一、北海道のアイヌ民族を束ねた最高の酋長（エカシ）が口述で残した記録の中に、宇宙の大神が地球へ降臨した時の話や人間を地球へおろした時の話しが載っています。
北と南から日本に渡った民族の宇宙意思を正しく理解し、本州・九州・四国へ渡った民族の歴史を深く紐解く事で、地球へ人間を降ろした宇宙の大神の意思を実践する時期に入ったと言えるでしょう。
だからこそ、今、住んでいいる土地や生まれた土地の歴史を早く調べて、いかに人為的に操作された歴史書や一面だけの情報に振り回されている人が多いのかに気づいて欲しいと思います。
地球を創造した宇宙の大神は、私たち人類を戦わせようとはしていません。反対に、一日も早く過去経験した全ての記憶やカルマを一掃して、「人間として生まれた本質的な意味」に目覚める事を願っているのです。
命を頂き、魂が与えられ、限りある肉体の時間の中でどう生きるのかを一人一人が気づかなければいけない時期が来たとお伝えしておきます。だからこそ、あなたが今、こだわっているテーマを早く乗り越えて、自分が思い込んでいる「自分らしさ」を見直して下さい。まもなく「新しいあなた」が生まれる為の準備が整いますので宜しくお願いします。



2010.10.08 Fri

看取る歓び

これまでに命が終わる最後の瞬間を看取る経験をされた方たちに、心から感謝を捧げたいと思います。

「命が生まれた瞬間」と「死を迎える瞬間」には、大切な学びがあるからこそ、その経験をさせてもらえたことに感謝致します。

１９９８年に「人の為に生きる」と決めてから二人の人の命を看取る経験をさせて頂きましたが、三人目は義母の最後を看取る役目になりました。

１０月３日午後１０時１２分、子供、孫、ひ孫に囲まれながら苦しまずに静かに息を引き取った義母の最後の瞬間、82年間もの永い間、肉体を守ってくれた神様に心から感謝を伝えました。

短い入院の間に何度か病院を訪れて、意識と魂と天の繋がりを繋ぐ治療を続けましたが、最後は天と契りを結んだ本人の意思にお任せしました。

呼吸器を付けていたので意識があって聞こえているのに返事ができない辛さを少しでも解消できればと、二人の娘に母の言葉を伝える役目ができたことにも感謝しています。

多くの人たちがこれから家族の命を送る時期がやってきますが、ご家族全員が「死に対する学び」を正しく理解する必要性を感じています。

生まれた瞬間に人間は「死」が決まっているからこそ、「尊厳死」に始まり死について考えることは「今日を大切に生きる」ことを学べるからです。

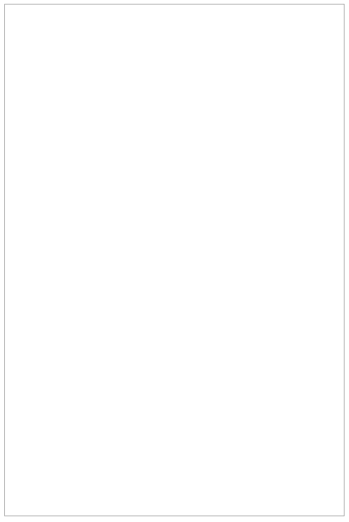
最後を看取る職業の医師や看護師さんたち、終末医療のホスピスに関わる人たち、また最後の最後まで付き添い続けてくれる素晴らしい人たちのおかげで魂は苦しまずに天へ登ることができるのです。

今日、生かされている感謝と共に、今日、死を迎える感謝の心も大人たちは学びましょう。

今、この瞬間に生かされている意味は、肉体を、そしてあなたの魂を見守ってくれる守護存在たちがいるおかげなのです。

命を守って下さっている全ての守護存在に心から感謝致します。

ありがとうございます。



2010.10.07 Thu

訃報から**100**日

6月24日に、47歳で天に召された天上人　谷浩一君の魂は、10月1日に100日を迎えました。

「百ケ日法要」は親族だけで行うものですからあえて皆さんには告知しませんでしたが、私の中では2週間前からずっとこの100日が気になっていました。

何をどうするべきかを決められずに迎えた10月1日は、もともと千歳市にある会社の「屋敷祈り」をしに行く日でした。

毎月1日は自分の住む土地神様の神社へご挨拶に行くと決めているので、琴似神社へ参拝してから自宅の神仏習合+マスターへ挨拶をして千歳市に向かいました。

土地や建物のお祓いの「屋敷祈り」をする場合、まず社長自身の心の整えの為に守護神からのメッセージを伝えてから従業員一人一人の性格を考えた指導をして、扱う商品の展開を世界のどの国でどの様に進めると良いかもご指導しました。

1年後、3年後、5年後の事業展開については、ビジネスの主力となる商品や方向性をハッキリお伝えして社長の不安を一切解消したあと、土地のお祓い、神棚の整い、従業員一人一人に直接アドバイスをして終了です。

最近、お店や会社を経営する方たちの「屋敷祈り」の依頼が増えているのは、誰もが目に見えない存在の力を素直に感じているからなのだと思います。

全国でお会いした経営者の方にお願いしている事は、社長自身のひとつの気づきが全従業員に大きな影響を与えるからこそ、守護存在や土地神様に感謝する重要性を伝えています。

社長も含めて自分自身の歓びをどこに設定するか、その為に自分自身がどう変わればいいかを知っているかどうか、また起きた出来事や変化に対して柔軟でに対応する心がこれからの時代を生き抜く力だからです。

そのあと義母の危篤の知らせがあったり、色々あわただしい１０月１日でしたが、新しい「生まれ変わり」の日だからこそ色々な出来事が起きるものだと思いました。

谷浩一君が生前に出会った方たちにも、関東・群馬・大阪でたくさん逢うことができました。

谷浩一君に出会った全ての人たちにお伝えしますが、
彼は「あるひとつの終わり」を告げる役目を持っていたのです。

そして彼自身が肉体を離れたことで皆さんにも
「あるひとつの思いが終わった」ことを教えてくれています。

終わりが始まり！

というメッセージが９月の大阪で降りましたが、天上人　谷浩一君からのメッセージも含めて皆様へお伝えします。

これまで誰かに思っていた過去の思い込みのイメージをまず捨てて下さい。

あなたも日々生まれ変わるように相手も変化に気づいて日々、変わっているからです。

誰かに話して相手が喜ぶイメージならいいのですがそうではない場合は、すぐに真っ白なイメージに戻して相手のイメージを色付けしないことをお勧めします。

過去に経験したことで苦しんでいるのは、あなただけではありません。あなたが過去を掴めば、相手もあなたも苦しみ続けます。

経験した全ての良いことも嫌なことも、全ては経験したことによって学びと共に方向を変えられたおかげで今のあなたがいるはずです。

過去に起きた全ての出来事に、そして出会った人たちにまず感謝をして、自分は今日新しく生まれ変わったのだからもう一度、人を信用して素直に生きる事を決めて下さい。

以前にもお話ししましたが、これからの時代は「美と歓びに生きる」人たちだけが先頭を切って幸せになります。

「美と歓びに生きる」ことは、人間に与えられた全員のテーマだからです。

年齢を重ねる意味は周りの人たちに対して生きる見本を示す人だからこそ、全てに感謝しなが

ら「美しい心」で与えられた人生を楽しんで下さい。

そして「歓び」は誰かが持ってきてくれるものではなく、自分が決めた「歓び」に必要な人が近寄ってきますので、あえて「美と歓び」を意識しない人たちに関わる必用はありません。

「美と歓び」を意識してどんどん幸せになる人が増えれば、今気づかない人たちも必ずあとで気づきますので、まずあなた自身が「美と歓び」を意識して幸せを感じた人生の見本を示すことが大切なのです。

まだわからない人は、すぐにできる次のことをやってみて下さい。

やった方がいいと思っているのに、やっていなかったことをすぐにする！

「ごめんなさい」をすぐに言う！

「ありがとうございます」も、すぐに言う！

誰かに不満をぶつけるよりも、自分が率先して見本を示す！

あなたが最初の一人になる勇気を持つ！

勇気よりも思考よりも仲間よりも、自分がまず行動してみる！

そして本当の大人とはただ単に年齢を重ねた人のことではなく、

全ての行動の結果に一切の不満を言わない人だと思います。

あなたも、素敵な大人の一人に仲間入りしましょう！

2010.10.03 Sun

意識転換とは？

さて間もなく9月も終わろうとしていますので、2010年もあと三か月になってしまいました。

今年年初に、あなたが目標に掲げたことは達成したでしょうか？

あなた自身が変わろうと決意したことは、現実に影響を与えたでしょうか？

目標を決めて行動に移して結果が出るまでの集中力はほとんどの方が三カ月くらいですので、残された三か月間でもう一度決意すれば今後の人生を変えることは可能ですから、改めて変わる為の宣言をお勧めします。

9月23日を境に「意識転換エネルギー」が始動しましたが、それまでの一カ月間で私自身が体験した事をお話します。同じような体験をした方は、きっとその意味を理解するのが早まると思いますので！

まず起きる寸前に夢を見る日が毎日続きました。ほんの短い時間ウトウトしても、すぐ違う夢をみるほどたくさんの夢を見続けました。

毎日、起きる前にハッキリと夢を見る回数の多さに最初は驚きましたが、夢を見ることの意味を正しく知っているので夢の意味を判断せずに全てを受け入れました。

起きる前に夢を見る理由は、いくつかありますので代表的な例でご説明します。

１、まず日常生活の中で強く思ったことが想念となって夢を見た場合に多いのは、不安や恐れに影響された夢をみることが多いので、対処法として不安に思った事を「大丈夫、大丈夫！」と声を出してイメージ転換して下さい。

東京でお会いした若い男性にもアドバイスしましたが、
不安は恐れではなく、可能性　だからです。

将来に不安を感じるのは悪い事でなく、「良い事半分、悪いこと半分」の人生だからこそ、良い可能性も半分あるという正しく認識をして、恐れや不安だけを掴まないようにして下さい。

２、次に、「あり得ないと思えるような夢を見る場合」は、無意識に自分が望んでいることや恐れを転換する為に守護存在が見せてくれている場合があります。しかしこの夢の現実性は低く、あくまであなたの気持ちを安定させる為に守護存在が見えないサポートをしてくれたのだと感謝するようにして下さい。

３、守護存在と繋がりが大きい方は、守護存在を通して「大いなる存在」が頭の中の記憶情報を入れ替える場合があります。私の場合は、この１ヶ月間、毎日毎日その状態が続きました。

なぜ人間の記憶データを入れ替える必要があるかというと、「大いなる目的に向かう為」としかまだ説明できませんが、これから始まるステージへのステップアップなのは確かです。

記憶情報を入れ替える意味をわかりやすく説明しますね！

生まれた時は全ての人が真っ白な紙に何でも自由に絵をかけるほど、前世記憶を消して生まれましたが、そのあと親や周りの人から教わった常識、学校や社会で経験した事の積み重ねによって、現在の性格と呼べる「思考パターン」が形成されています。

「思考パターン」でネックなのは、「過去に経験したことへの囚われ」ですが、「囚われ」が、「恐れ」になっている人は何よりも先に「不安」を考えてしまう性格になります。

「不安は恐れでなく、可能性！」と正しく理解して受け入れた人は、もうその瞬間から人生がバラ色のように感じるはずですが、まだそう思えない頭の固い人たちの為に、守護存在が夢の中でサポートしてくれているのだと理解して下さい。

ここで説明している守護存在は、あなたのご先祖という近い方ではなく、もっともっと上にいる大きな神様のラインからのサポートのことです。

通常、そういう高い次元からのサポートはあまりされないものですが、今回のように地球に存在する人間が本来の役目を果たす為に「意識転換エネルギー」が動き出しています。

この「意識転換エネルギー」の影響を個人の思考に例えると、それまで長く悩んでいた事が突然、気にならなくなったり、いつも不安や迷いを先に考えてしまう人が、「まー、いいか！」くらいに思えて前に進む勇気が出たはずです。

日頃の意識が高く、ビジョンやメッセージを自分なりに受け取っている方たちは、そのメッセー

ジを届ける存在たちの次元が上昇し、「個人」という概念に囚われないようにメッセージを届けているはずです。

まだ自分の幸せと周りの人の幸せを同じように考えられない幼い心の人は、自分を見つめ直す為の出会いや出来事が続いているはずです。

この「意識転換エネルギー」はこれからさらに大量に流れ込んできますので、一日も早く自分がどうなりたいかを明確にして宣言をして下さい。

今後のキーポイントは、11月11日までにどれだけ現実を変化させるかがポイントになります。

11月11日になったら、誰もが自然に良くなるわけではないのですよ！

今、進むべき道を選択してその第一歩を踏み出すこと、

今までの自分がしなかったことで「するべき」だと思っていることをすぐにすることが必要です。

どんな人も救おうと、宇宙から見守るたくさんの存在たちは色々な形でメッセージを送り続けてくれていますが、あなたに変わる準備ができていなければ、突然、大きな事故を起こしたり、考えられないような辛い出来事をあなたの回りで起こす事によって、あなたを気づかせる場合もあります。

その事を知っているからこそ、これまで10年間変化のタイミングをお知らせ続けているのです。

時期が来たら何かが変わると思って、ただ待っている人には何も起きません。

良くなる為のタイミングをお知らせしているのですから、今すぐに自分一人で出来る事を始めて下さい。

今日の一歩が、将来の大きな一歩につながるからこそ、守護存在たちはサポートし続けてくれているのです。

あなたが自分の将来をあきらめても、私はあなたの将来をあきらめません！

どんな人でも、どんな世界にいる人でも、全ての魂は純粋に光を放つように生まれてきているの

が人間だからです！

今日、あなたが勇気をふるって言えない事を言ったり、やれなかったことをする勇気を持てば、地球の未来や現実を変える事ができます！

あなたも地球を救い、そして未来に残す為にこの時期に生まれてきたのですから！

2010.09.29 Wed

日刊スゴい人！

面白い記事が知人から届いたので、皆さんにもご紹介します。

日本の若者を元気にする「日刊スゴい人！」というメールマガジンがあるそうで、その記事に明日、2010年ラフティング世界選手権で日本代表チームを世界一に率いた浅野重人監督が紹介されるようです。携帯でもパソコンでも見れるので、気になる人はどうぞご覧下さい。



こういう素敵な情報を発信しているメディアがあることはうれしいのですが、日頃、皆さんが何気なく見ているテレビ番組やニュースによって自分の思考がパターン化されている事にも気づいて欲しいと思います。

どんな番組を面白いと感じているか、どんな情報を自分が欲しがっているかによって思考のパターンや感情の表現さえ、テレビ局の罠にはまっていることに気づいて下さい。

私はもともとテレビっ子でしたから、仕事から戻りすぐにテレビのスイッチを付けてしまう人の気持ちもよくわかりますが、今は意識して見たい番組以外を見ないように予約録画したものだけを見るようにしています。

理由は、テレビ局の罠にはまる弱い自分をよく知っているからです（＾－＾）

最近、個人的にハマっているナイスな番組は、たかじんのそこまで言って委員会！

残念ながら関東地方では見られないようですが・・・。その理由は、関東のテレビ局が左よりなのが理由のようです。

日本人の精神性や天皇論をどうどうと主張しあい、政治の裏表がとても良くわかる番組ですが、平和ボケした今の日本だからこそとても重要なメッセージを発信しています。

他に良く視る番組として、

・時代の先を見据える経営者を紹介する番組・・・カンブリア宮殿（テレビ東京）
・日経ニュース　ガイアの夜明け（テレビ東京）
・情熱大陸（毎日放送）

・夢の扉（ＴＢＳ）　などがあります。

昔から芸能情報やスポーツ情報には興味が無かったので、サラリーマン時代に興味を持ったのは政治と経済の世界でした。

興味を持った理由は、誰もが政治や経済に対していっぱい不満を持っている割には、正しい知識を持って発言している人が少なかったことが理由です。

正しい知識を持たずに無責任に発言するのが一番嫌いな性格なので、結果的に政治や経済の世界に足をつっこんで勉強した経験があります。

政治や経済のスペシャリストたちから学んだことは、どのジャンルの世界でも全ての真実を公開できるほど、「民衆は全体の事を理解していない」という認識でした。

これは国民を馬鹿にしているのではなく、知識もなく責任が取れない人たちに結果責任を押し付ける事はできなからこそ、誰かがその責任を取る立場にならなければいけないという意味です。

皆さんも生活の中で、同じようなことを経験しているはずです。

マンションの住人なら誰かが管理組合の長を務めてもらわないと困りますし、地域でも誰かが自治会長になってくれないと困ります。地域のお祭りひとつを運営するにもたくさんの人の手が必要ですし、誰かが問題を判断して決断しなければいけないからです。

ここで大切な事は、自分たちの責任で選んだ人に対して批判するほど、愚かな事は無いということを学んで下さい。

「選んだ責任、選ばれた責任」の両者が同等にあることを大人たちが子供に手本を見せないと、子供たちは何を信用していいのかわからなくなります。

自分が選んだ結果が思わしくないとすぐ誰かのせいにして批判する大人たちの姿を見た子供たちは、大人たちの言う事を信じようとすると思いますか？

そういう大人たちが、もっともそうなルールを子供に押し付けた結果が、無責任な子供たちを創りだしたのだと責任を感じています。

日本社会の全ての子供たちの責任が全ての大人にあるからこそ、「私の子供は大丈夫だから・・

」と自分の事だけを考える無責任な発言はもうやめにしましょう！

今、日本は世界から色々な問題をどうするのか決断を迫られています。

何をどう選択しても、全ての人が納得するような方法がないからこそ、苦渋の選択と責任を誰かがしなければなりません。

日本が抱える社会問題は、政治・経済・法律・教育・医療の全分野に関わっていますし、それはこれから始まる巨大な老人社会の日本の新しいあり方を一緒に考えることが必要なのです。

もう、老人問題は他人事ではありません！

老いた人たちがイキイキ生きられるかどうかは自分の将来の姿ですし、子供たちがイキイキしているかどうかは、日本の未来の姿だからです。

だからあなたの周りで地域の人の繋がりを深める為の活動を、今すぐに始めて下さい。

できれば色々な年代の方が集まるような場を大切にしましょう。

老いも若きも一緒に問題を考えて学ぶ場所には必ず大きな愛が生まれ、新しい精神性が育ちます。

地域の精神性を育み合うことこそ、地域主導で運営できる新・日本立国が始まるのです。

私はその為に、土地の先人や神様にお詫びと感謝の祈りをしに行きましょう。

そして、自分の住む土地に感謝する心をたくさんの人と一緒に育み愛ましょう。

その一歩を、あなた自身から始めて下さい。

地球を愛することと、日本を愛することと、地域の人を愛することは同じです。

全てに共通するもっとも大切なことは、自分自身を愛することです。

愛は、自らの内側から生まれるものだからです。

2010.09.28 Tue

高校生はこれを読め！

今日は還暦を前にした男性が愛を込めて出版した一冊の本のエピソードをご紹介します。

この本を出版した男性は札幌で一軒の本屋さんを経営している方ですが、10年前に初めてお会いした頃は本が売れなくてお店を続けるかどうかを迷っている瀬戸際でした。

資金繰りや経営相談、家族や友人知人の相談にものりましたが、私はなぜかこの方からお金を頂く気にはなれませんでした。

それは単にお金に苦労しているのを知っているからではなく、その男性の守護霊を視ると世の中にとても大きな愛を与える役目を持っている方だとわかったからです。

私とは全く違う「本屋さん」という現実世界から、愛を発信する素敵な魂のお役目を持っている方でした。

お会いしてから三年目の2003年、突然、17歳の長男の白血病が見つかり入院したので、闘病生活の病院に何度もヒーリング治療の為に出かけました。

「私の命を差し出してもいいから助けて下さい」と神様にお願いしましたが、最後は家族に見守られながら息を引き取る瞬間まで立ち会いました。

亡くなった息子さんは、現在、お父さんの守護霊となって大きな役目を果たしてくれています。

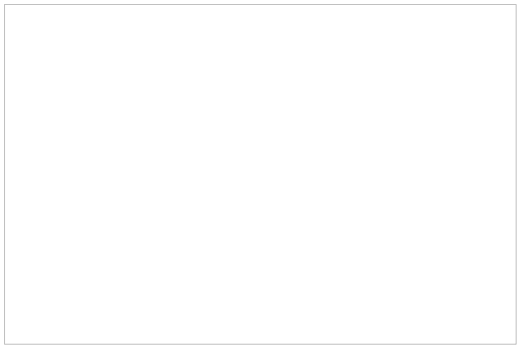
私はそれまで「本屋」とは単に売れる本を売る店だと思っていましたが、その男性から教わった事は、読んだ本をどう理解するかも読む人の心次第なので、押しつけがましくない様にお店に並べる本は来店される一人一人の事を考えて選んでいると教えてくれました。

目からうろこが落ちた瞬間でした！

地域に住む子供たちの成長を心から望み、親が自分の子供に言葉で伝え切れない思いを本で伝える為の児童書コーナーを充実させたり、大人や思春期の子供たちの心の隙間を埋める「人生が変わる一冊の本の出会い」を提供し続けてくれていたからです。

2007年、資金繰りに苦しむ中で逆転の発想からあるイベントを思いつきました。タイトルは・・・

「なぜだ！売れない文庫本フェア！」



マスコミに取り上げられたおかげで、少し変わった町の本屋さんが人に知られ始めました。

ずっと続けている地域のお母さんと子供たちの為の活動にも、光が差し始めました。

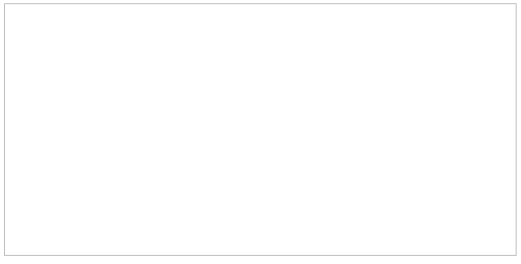
「私も中学生や高校生の頃、色々なことで悩んでいた時に人生を変える１冊の本の出会いがあったんですよ。そういう素敵な体験を今の子供たちにも伝えたいんです」

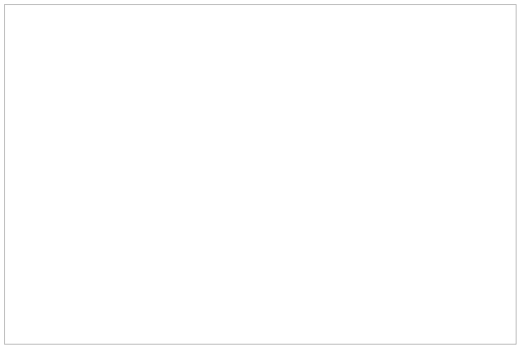
と暖かいまなざしで話してくれてから数年が経っていました。

ニュースで親子の悲しい事件を見るたびに「何とかしなければ！」と考えていたこの男性は、昨年、新しく取り組んだことはずばり！

本を愛する大人たちのおせっかい

高校生はこれを読め！





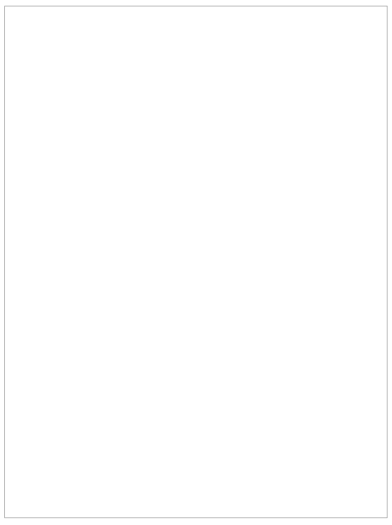
この男性は知れば知るほど本のプロで、業界の方たちも認める「選書のプロ」だとあとで知りました。

一般のお店に並ぶ本は取引先から届いたリストの中からお店の方が注文して並べますが、選ぶ方が作者や本の知識を持っていないと取引先の言うとおりの同じ売り場が出来てしまいます。

本を愛する方たちは実際に本を選ぶ時にこそお店の意図がわかると思いますが、最近はどこへ行っても同じものばかりが山積みにされていることに気づいていますよね！

この男性が、本当に子供たちに読んで欲しい本を一冊一冊選んだ素晴らしい「選書のプロ」のリストが、なんと本になったのです！

大切な一冊の本を選ぶ為にプロが選び抜いた本の参考書です！



この本は北海道内の一部のお店でしか扱っていないそうなので、あなたが住む地域のお母さんたちや子供たち、そして教育関係者に教えてあげたい方は、Ｅ−ｈｏｎのｗｅｂｓｉｔｅからご注文下さい。

※本の価格は、1200円＋税に送料が加わります。

お店の紹介：

札幌市厚別区大谷地ＣＡＰＯ大谷地内　地下鉄大谷地駅直結

くすみ書房　愛が溢れる札幌市大谷地にある「くすみ書房」はいつも素敵な本で一杯です！

2010.09.26 Sun

意識転換エネルギーの始まり（9/23〜）

やっと家に戻りました！気温30℃の大阪から札幌に戻ると、今朝の温度は14℃！２週間遅れで大雪山山系の黒岳に初雪が降ったニュースが、今朝流れていました。

北海道は、これからが最も素敵な紅葉と美味しい味覚の秋を迎えます。長い冬の期間に耐える為に心と体を調整する大切なリラクゼーション期間が必要だからです。

9月の出張は関東地方の大切な命の水　利根川源流祈りによって日本人の意識再生プログラムのスイッチが入りましたので、明日（9/23）から始まる意識転換エネルギーの準備は整いました。

明日（9/23）から年末まで流れ込む意識転換エネルギーの意味がわかっていたからこそ皆様にアナウンスし続けましたが、明日から流れ込むエネルギーの意味を再度詳しくご説明しておきます。

結論を先に申しますと、

自分のことだけの事を考えている時間が長い人は、どんどん「奈落の底」へ落ちて幸せや歓びを感じることができなくなります。

「奈落の底」は自分の心の奥にある闇の部分（自我の世界）を言いますが、そこは混乱・葛藤・嫉妬・執着に表現されるように、常に誰かのせいにしたくなる気持ちが溢れる「取り残された世界・分離した世界」のことです。

どんな方でも辛い経験をすると「自我の世界」に落ちる時はありますが、私も自分の体験でわかったことは、「自我の世界」に長くいると、何か自分が信じれる対象物を探したくなるようです。

「落ち込む」という表現が正しいかどうかわかりませんが、「自我の世界」から周りの世界を見て取り残された気分になる事が、その原因です。

取り残された感情が続くと、今の自分を肯定してくれる師匠を探したり、自分にとって都合のいい神様・仏様・宗教を探したり、誰かに愛を与えてみて自分を愛してくれるかどうかを試そうとしたくなります。

子供の心で例えると、三歳児や中学生の「反抗期」の時期も同じような学びをする期間ですが、身体が大人でも同じような状態が続いている人たちが増えています。

こういう大人になる為の心の形成を正しく学んでいない人が多いのも、一人っ子が増えたこと、親子の接し方を正しく理解していないこと、親兄弟から離れて暮らす生活になったことがあげられます。

全国で毎日、たくさんの人と話して感じる事は、耐える強い心を身につけていない人や、柔軟に変化する素直な心や自由を実現する強い意思を忘れている人が多いと感じます。

原因は、殺伐とした社会や政治や経済にあるのではなく、どんな辛い時でも明るい未来を語り創造しあう素敵な大人に出会っていないことが原因です。

でもそんな現代の日本人の精神性にしたのも、私たち大人たちの責任なのです。

だからこそ、まずあなた自身が変わる事で周りの人たちも変わり、互いを癒しあうのではなく、強い愛の心を大きく育てる必要があると言い続けているのです。

「自我の世界」に落ちて苦しんでいる人たちが病院へ行くと、鬱（うつ）病と診断されてたくさんの薬を飲まされます。

感情表現の上と下を止めてしまう強い薬です。その薬は全て脳に影響しますので、一時的に感情の混乱は収まりますが、根幹的な心のバランス力が補われる訳ではありません。

強い心を育てるには、育み合う暖かい愛の心に包まれる事も必要ですし、自我を出して傷ついたとしてもその責任をとりきる厳しさと勇気を学ばなければいけません。

今、この心の教育や精神性は誰が教えてくれるのでしょうか？

今、子供を産む親がすぐに自分の子供に教えられるでしょうか？

塾や学校教育で教えてくれる内容でしょうか？

どんなに素晴らしい心の本を読んでも、この心は育ちません。

それは、暖かくて、そして強く生きる大人たちに囲まれる中でしか、育つことができない人と人の触れ合いの中で感じるものだからです。

動物は、「群れ」の中でその生き方を学びます。

日本人も昔は、縄文時代・弥生時代と進化しながら「村社会」を形成して生きる為の強い心を育てていました。

沖縄に代表される小さな島では、つい最近まで年長者が決めた島独自のルールやしきたりを大切に守る事で子供たちは大人の背中から生きる心を学んでいました。

でも今のような「個の生活」を第一に生きている大人たちが、利害を超えた繋がりの社会を創りだすことはどんどん難しくなってきています。

だからこそ、あなた自身の宣言が、その第一歩を踏み出すのです。

あなたが今までの価値観や概念を超えて、愛の地球や愛の日本、愛を語り合える素晴らしい仲間に囲まれたいのであれば、自らの宣言で引き寄せると気づいて下さい。

「美と歓びに生きる宣言」をすると、必ず同じように輝いている人たちにめぐり合います。

距離や時間やお金の価値観を越えて、大切にしたい物を共有する仲間に必ず出会えると断言できます。

私に宣言することはただのキッカケですが、これまで宣言した人たちは必ず急激な変化と共に、新しい出会いや出来事が

動き出しています。

宇宙からこの地球を見守る存在たちも、「本当にお前たち人間はこの地球を守る意思があるのか！？」と問い続けてきますが、私は「必ず今の人間たちが目覚め、未来に残せる愛の地球にする！」と宣言し続けています。

あなたの宣言が地球を輝かせる第一歩だからこそ、どうぞ勇気を持って未来の自分へ宣言して下さい。神様があなたを導くように、新しい出会いがあなたを導いてくれることでしょう。

群馬県で出会った素晴らしい人たちや、静岡で出会った素敵な仲間たち、そして、大阪で出会ったたくさんの人の第一歩を楽しみにしています。

今のあなたが変わることで、日本や地球の未来も必ず変わります。

2010.09.22 Wed

最初の１滴！　利根川源流祈り　**9/15-16**

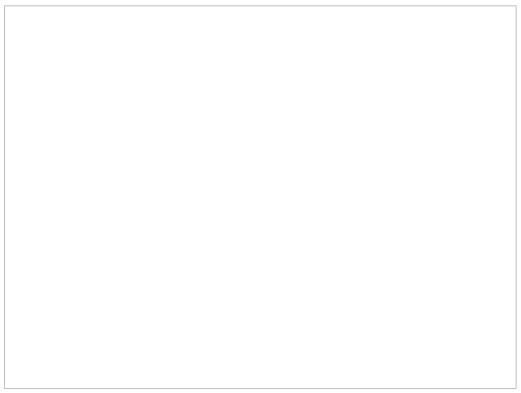
日本の首都東京の水源となっている利根川の源流まで山を登り、水に対してお詫びと感謝の祈りを捧げる為に関東に住む仲間が群馬県利根郡みなかみ町に集まりました。

命の水を汚し続けている人間のお詫びと、水によって生かされている感謝の祈りを行うことは、事前に地球創生メルマガ登録者に呼びかけをして祈り合わせをして頂いたお陰で、無事、大怪我もなく戻る事ができたことをご報告させて頂きます。

利根川は長野県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県の県境を流れていますが、今回のコースは通常１泊２日のコースを日帰りで行う為に出発は翌朝３時と決まりました。

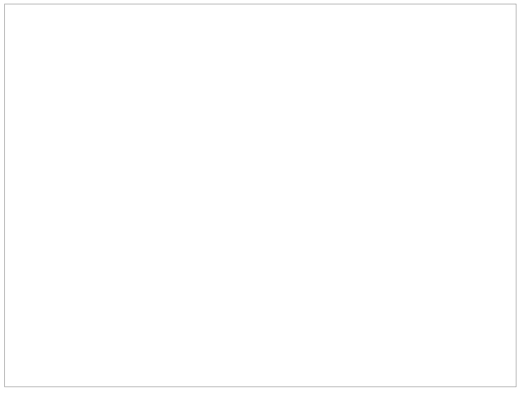
現地ガイドを引き受けてくれたのは　アウトドアの専門家　カッパクラブ（群馬県）代表の小橋さんと先日、2010年ラフティング世界選手権で世界一位になったチームテイケイの浅野重人監督率いる選手全員が水の感謝をする為に参加してくれました。

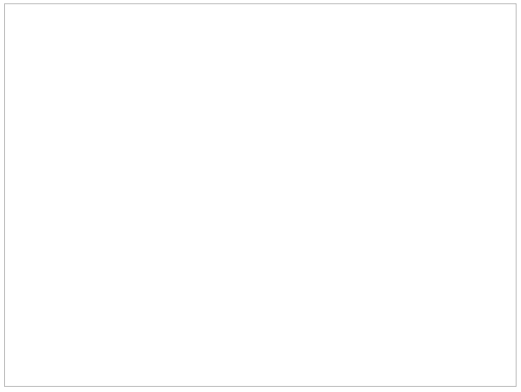
紅一点のまりっぺは登山初心者でしたが、みなかみ町で激流下り会社に務めながら女性だけのラフティングチームを旗揚げした素敵な女性です。

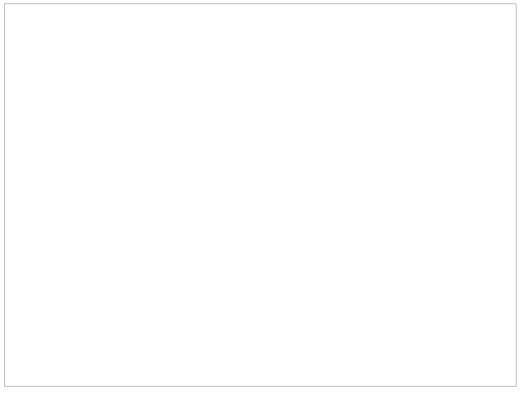


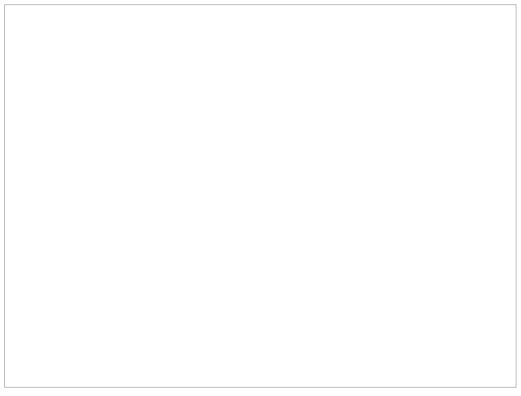
【15日（水）】登山コース

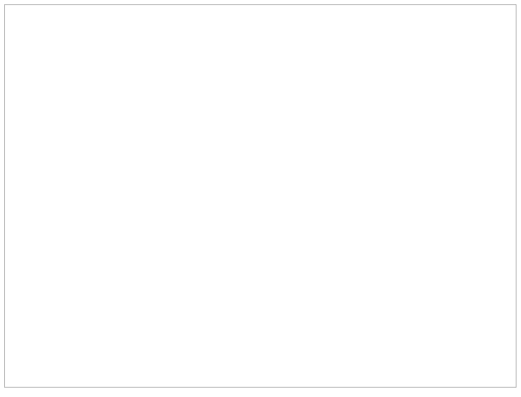
朝3：00　群馬県みなかみ町出発
朝4：30　六日町・十字峡スタート
朝5：10　栃の木橋登山口より登山開始

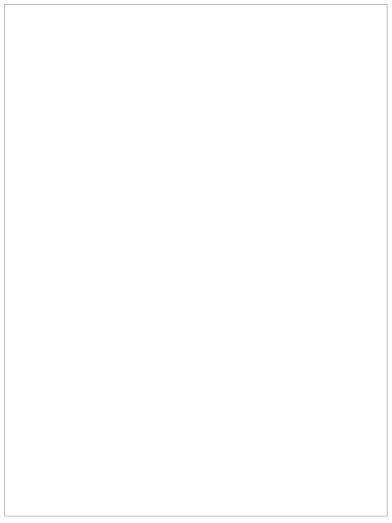


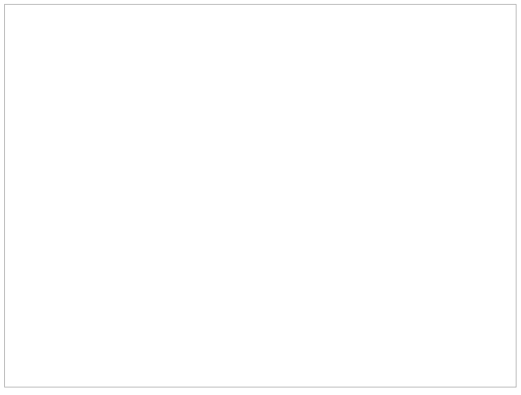


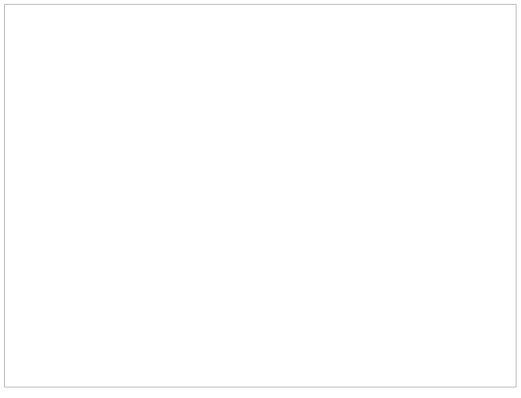


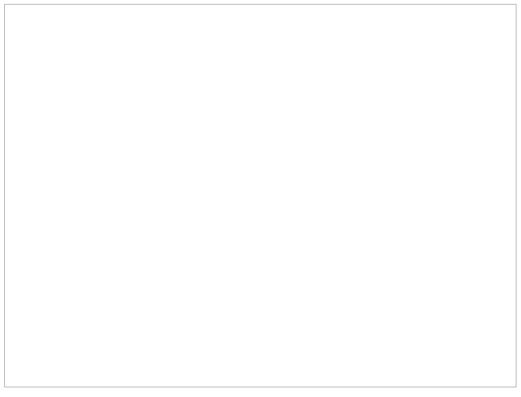


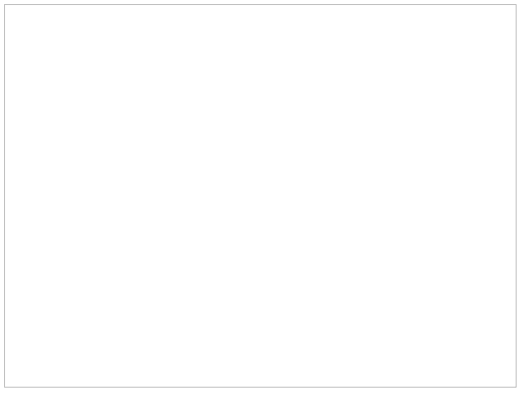


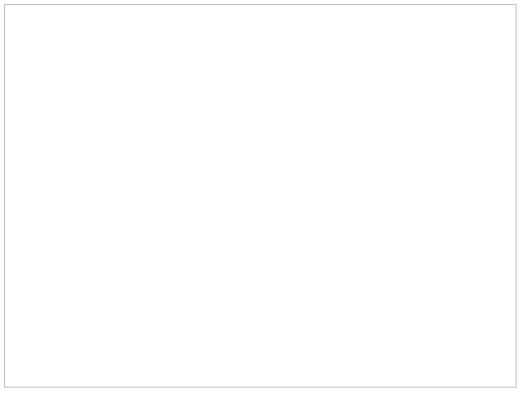




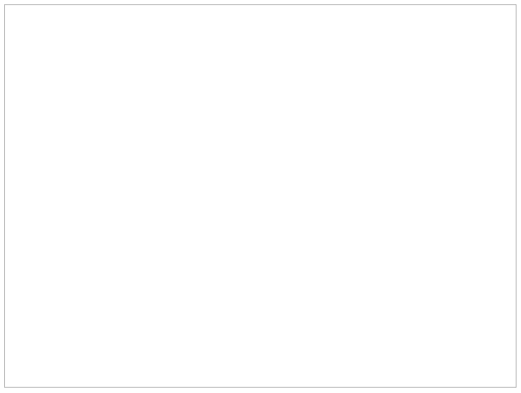




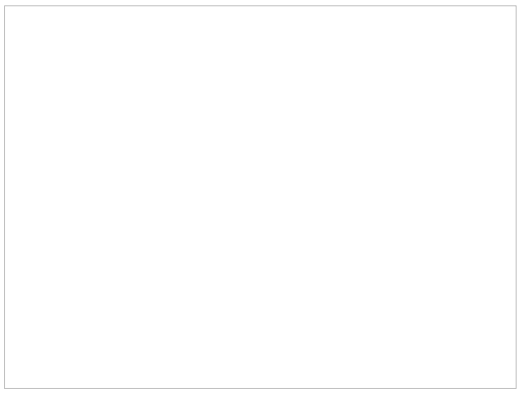




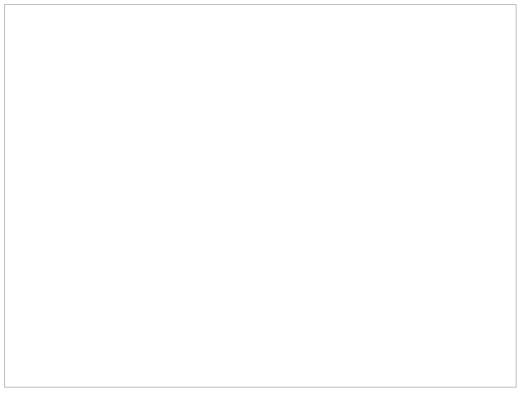
10：00　丹後山の避難小屋到着（３０分休憩）



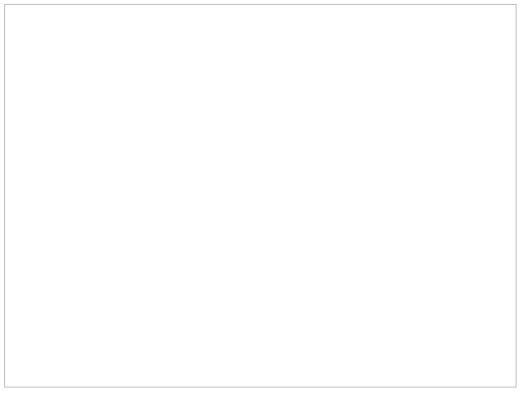
11：00　大水上山頂上到着

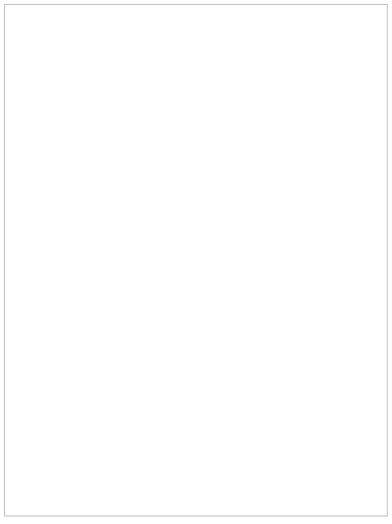


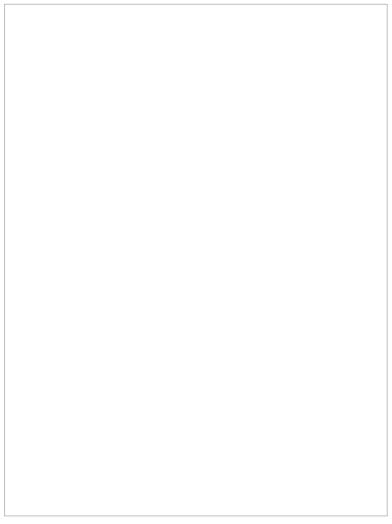
11：20　利根川水源の碑より最初の一滴の場所を探す為に残雪三角地帯の跡をたどり山を下る



12：00　「最初の一滴」の場所を見つけて感謝祈りを全員で行う







岩場から浸み出た「最初の一滴」の場所には可愛い高山植物と一緒に守り神様がいました。

山を登りながら大神さまが私の体を通して伝えてきた最初の言葉は、「ずっと待っていた！」でした。

二千年以上前からこの場所を守り、事あるごとに修験者たちが祈りを捧げてくれたおかげで水の神力が人間に宿り、水と人間の意志が繋がり地球を守る為に働いた人たちがいた事も教えてくれました。

しかしそういう人たちが来なくなった為に、今回の「待っていた！」という言葉が出た様です。

続けて、「<人間が水をどう扱うか問わないが、水を汚すことは自らの体を汚すことであり、水を大切にすることは魂の輝きを大きくする最大の方法です」と教えてくれました。

そして今回の神事の目的である関東に住む人たちが目覚める為には、「山の中にある魂に水と塩を光を入れて下さい」と教えてくれました。

神様のメッセージを全員に伝えてから、源泉祈りが始まりました。

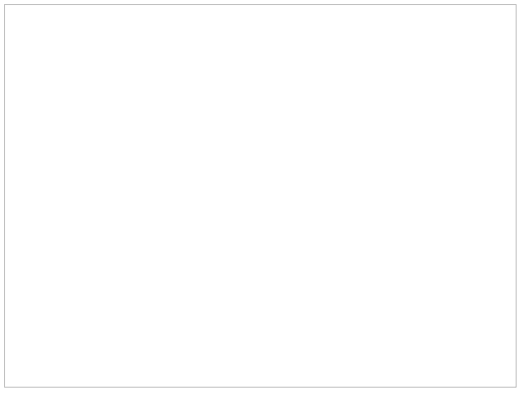
無音の静寂に包まれた空間は、全員の祈りに全国の皆さんの祈りが繋がり、たくさんの宇宙祝詞が降りてきました。最後は手のひらいっぱいのキラキラした新しい水の精が生まれ、千年続く精霊エネルギーがこの場所に生まれて祈りが終わりました。

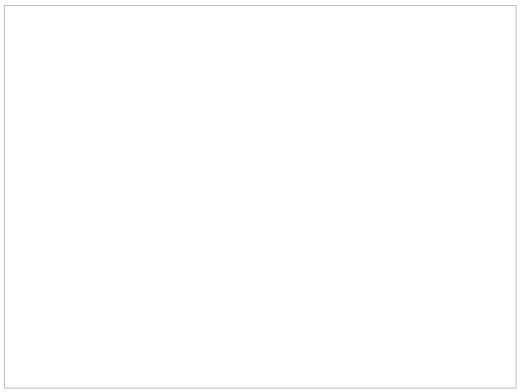
利根川の「>最初の一滴」のお水を口にすると、それはそれはとても粒子の細かいお水で、喉を通り過ぎるとすぐに体に吸収されてしまい、胃袋に残らないほど純粋なお水でした。

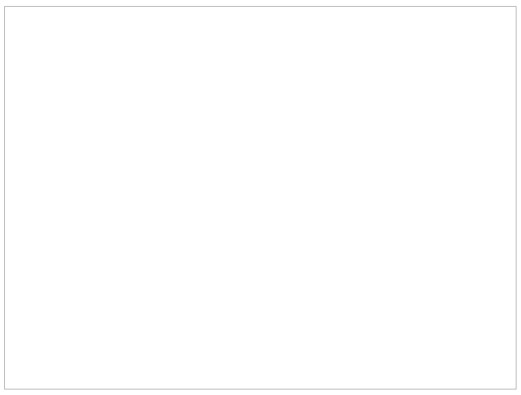
山小屋に戻りそのお水で入れた珈琲を飲んだ休んだあと、13：30下山開始です。

6：00には栃の木橋登山口へ着きましたが、いかに速いスピードだったかは登山を経験した方ならわかるかと思いますが、私は一度、鎖で降りる岩肌で大きく空を舞い大怪我をしそうになりましたが、ストックが下敷きになり折れたおかげで体は無傷で済みました。

皆様からの守りの祈りエネルギーのお陰だと、心から感謝しています。ありがとうございます。







東京や関東に住む方の意識が日本人全体の意識を動かしているからこそ、清い水のエネルギーを届ける為に今回の祈りをすることになりました。

どうぞ、お近くの利根川の支流や池や川に感謝の祈りをして下さい。

あなたの体のほとんどが水だからこそ、歓び溢れる意識が目覚める為の神事であった事をご報告させて頂きます。全国で祈り合わせ下さった皆様、本当にありがとうございます。

2010.09.18 Sat

ついに発売！「白龍の神導き」吉岡学著

２００４年から「伊良部島の白龍の神様」が導いた全ての記録を再編集して、ついに一冊の本が完成しました！３００ページを超える大作ですが、きっと読んだ皆様もご満足いただける内容になったと確信しています。

「白龍の神導き　沖縄　宮古島・伊良部島」

＜この本を読む５大メリット＞

１、沖縄・宮古島・伊良部島の本当の意味や素晴らしさを理解することができます。

２、心迷いや神迷いをしている人たちの参考書として活用できます。

３、地球を守る大切な沖縄の聖地の意味や役目をわかりやすく解説しています。

４、読み進めるだけで魂が守護存在や神様とシンクロするのを感じられます。

５、**2007**年の天の岩戸開き神事で降臨された 龍球王国の宇宙神十五神を一挙公開！
（※三年間の封印を解き、名前を呼ぶだけですぐに現実が変わる素晴らしい力を持った宇宙の神様たちです）

☆先行予約・入金をされた100名様には 「伊良部島の白龍ポストカード　400円」を無料進呈！

現在は、最終段階の校正に入っていますので、意識転換エネルギーが動き出す9月23日の発売日には間に合う予定です。

資金が無い中でこの本を出版する理由は、これからの未来へ向けて必要になる情報がたくさん詰まっていることと、次の世代へ残すべき大切なメッセージを文字にする必要性を感じたからです。

１００名様限定ですが、予約・入金された皆様には伊良部島で上がった白龍のポストカード400円を無料プレゼントしますので、早めに　ハートランド龍球ＷＥＢショップからご注文・お振込をお願いします。

※発送は、本が完成次第、順次発送することをご理解の上、ご注文頂きます様お願いします。

自費出版なので一般書店での発売は致しませんので、お友達や知り合いの分を考えてご注文下さい。

３冊以上まとめてご注文頂いた方は、送料無料でお届けします。また１０冊単位のご注文を頂ける場合は前もってメールでご連絡下さい。

この「白龍の神導き　沖縄　宮古島・伊良部島」が、全国の神導きを必要としている方たちに役目立つことを心から願っています。

今回の自費出版に対するご支援金や今後の地球創世活動にご寄付頂けます皆様は、「地球創世基金」へお振込を宜しくお願いします。

口座名称　：　地球創世基金
郵貯から郵貯の場合　　記号　**19070**　　番号　**9613551**
銀行から郵貯の場合　　支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　０９６１３５５

◎霊性高き日本人が動き出す為に育み育ててくれた母の地　沖縄に感謝を捧げ、愛と調和と和合の歓び溢れる人や神々の意思を未来の子供たちへ引き継ぐ活動を続けていますので今後ともご支援ご協力を宜しくお願いします。

2010年9月23日発売　　吉岡学　著
白龍の神導き　沖縄　宮古島・伊良部島

2010.09.09 Thu

自然界のエネルギーを身体に取り入れる方法

皆さんは自然の中にいると心も身体もリラックスすることはご存じだと思いますが、なぜ人間が自然界のエネルギーに癒されるのか、その理由を考えた事はありますか？

それは私たち人間が自然界の一部であると同時に、自分よりも大きなエネルギーに包まれることで心や体や魂がエネルギーの循環を始めるからなのです。

子供の頃はこの「エネルギー循環」を無意識に使いながら樹や花や風や大地と会話していたはずなのに、いつのまにか現実にあるものだけを意識するようになったせいで、自然界のエネルギーを身体に取り入れる方法を忘れてしまった方が多い様です。

その結果、自分のエネルギーだけで物事を考えてしまう躁鬱病や不調和エネルギーによるストレスが心や体の病気を引き起こしています。

西洋医学では部分的な病巣や症状に対応する医学として発達し、薬や手術でその部分的治療を行いますが、東洋医学の基本は「病気」という不調和エネルギーが人体に影響を与えていると考えて、自然界にあるものから調和する為のエネルギーを取り入れる療法を行っています。

近年はさらに進化して、西洋医学の医者が東洋医学を学び、統合医療として行っている病院もありますし、さらに進んだ医者は目に見えないエネルギーを使うヒーリングやスピリチュアルな療法を取り入れながら身体のエネルギー不調和を整える病院も出来ています。

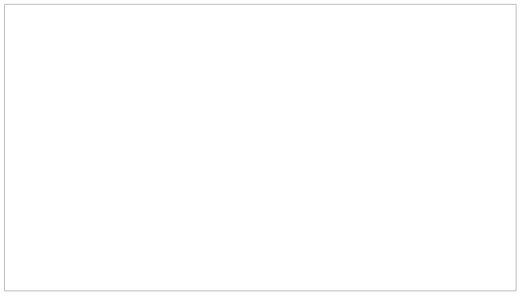
「エネルギー」と言われても理解できない方もいるでしょうけれど、目に見えない自然のエネルギーの循環によって病が治る事は自然治癒の世界では常識的なことです。

心の中で意識した事が現実化するスピードが早い時代になったからこそ、２１世紀は　意識の時代　と言われ続けていますが、それは自分が何を意識するかによって引き寄せる現実が変わる事を教えてくれています。

自分よりも大きな自然界の癒しのエネルギーと繋がる方法を覚えると、日常生活の中で自分一人で循環できるようになりますし、自己治癒力をあげたり、ヒーリング力が増したり、時には、樹や植物や鳥たちと会話するようなエネルギー交換までできるようになります。

自然界のエネルギーに繋がる方法を皆さんに伝授することで、日々の生活が改善されることを願い、新しく**Nature Enargy Work ワーク**を全国で開催します。

第一回目は、全国巫女ネットワークの方たちを東京に集めて明治神宮内で7/18に行いましたが、参加した全員が自然のエネルギーと繋がり、その素晴らしさを体験をされました。



全国各地でも自然の中で行う**Nature Enargy Work ワーク**を開催したいと思っていますので、ご自分の町で開催を希望する方はご連絡下さい。

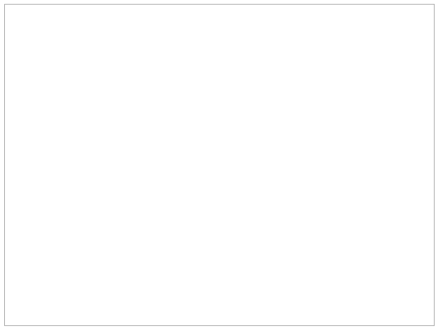
（静岡**Nature Enargy Work ワーク**　開催決定！）

９月１９日（日）　午後１時より５時くらい

会場：　日本平ホテル　庭園内
　　静岡県静岡市清水区馬走１５００−２

参加費　10,000円（休憩時、日本平ホテルの茶菓子付）

主催・申込先　　伏見佳寿子　　sakura17@sakura-studio.com



2010.09.05 Sun

美と歓びに生きる　８

昨日の9月1日から意識エネルギーのステージアップを実感された方はたくさんいると思いますが、私も毎月1日は、近くの神社の土地神様に日頃のお礼を伝えに行く習慣を続けています。

新暦の月替わりである1日は、誰にでもわかりやすい意識エネルギー転換の日なので、「表面意識のエネルギー転換の日」と覚えておくといいでしょう。でも9月1日は今年の中でも大きなエネルギーが立ち上がった日なのは事実です。

おかげ様で身体に「かかり」続けていた強いエネルギーがひとつ外れ、空咳も治りました（＾＾）

8月から「美と歓びに生きる宣言をして下さい」とお伝えしていた理由は、こういう9月1日の様なエネルギーアップが今後も用意されている事を予知しているからです。

意識エネルギーのステージアップ情報で間違ってはいけないことは、自分が何も努力しなくても勝手に良くなる事はないという事を覚えておいて下さい。

10年前に全宇宙の創造主マスターから、

準備なき者に与える物なし

と教わっているからです。

思った事もない、創造した事もない、心を時めかした事も無い人に、歓びを与える意味は無いという厳しい教えでした。

とても辛い時期に教えられた教訓からこそ、苦しい中で何度もワクワクする未来の姿を創造する努力をし続けました。

人間だけに与えてくれた「創造性」という夢の宝箱を開けない人には、大切な物を与える物が無いという教えだからです。

ここでいう準備とは「生きる心構え」であり、「本当はしておいた方がいいと思ったことをする事」も意味しています。

あなたの心に気づかせてくれているたくさんの存在たちの言葉を無視すると、いずれその言葉も聞こえなくなる日が来る事も覚えておいて下さい。

信じることをあきらめた人、希望や夢を捨てた人、愛と感謝を忘れた人たちに「与える必要は無い」という意味の教えです。

そういう人たちは、ただ動物としての本能だけで生きる事を選んだ人と言えるでしょう。

何度も何度も今より幸せや歓びを感じられるように、宇宙からたくさんの愛のエネルギーが降り注いでいる理由は、人間の「創造力」を使って歓び溢れる地球を実現して欲しいと望む存在たちが、まだいるからですが、その期限はハッキリ決められています。※地球創世　啓示

人の意識や心を担当する仕事をしている人たちは、人に与える影響が大きいからこそ、誰よりも自分の心の成長が求められるのも当然です。

私は地球を守護する存在たちの意思に気づいた2001年から担当していたラジオ番組で毎週、エネルギーアップの時期と意味をお伝えしましたが、21世紀の第一ステージ（2001年-2003年）の変化を理解できる方はとてもわずかでした。

21世紀の第二ステージ（2004年-2006年）は、守護存在に導かれるように出会った人たちのおかげで、大切な「日本の整いの神事」を北海道と沖縄で行う事ができました。

そして21世紀の第三ステージ（2007年-2010年）は、天孫降臨オノコロ・天岩戸神事・国の建て替え立て直しの神事が始まり、地球を輝く星にする為に日本に生まれた人たちが目覚める時期が来た事を伝え続けています。

メッセージやビジョンを受け取る人も増えてきましたが、どの次元チャンネルでキャッチするかはあなたの守護存在の役目によって違うからこそ、ほとんどのメッセージに共通する事は

今のままのあなたではいけない

と伝えているはずです。

ここまでの人生がどんな人生だったとしても、今、この瞬間に「美と歓びに生きる為に私は変わります」と宣言さえすれば、あなたの未来に「チャンスの神様」が用意されると覚えておいて下さい。

「チャンスの神様」に出会うまでは

決してあきらめないこと、

誰かにわかりやすく宣言すること、

その為に今するべきことをし続けること　　が鍵になります。

何度も変化の波に乗る情報を無視して、「我を張って生きる」のはあなたの自由ですが、歓びや幸せを感じる人たちの集合意識は確実に未来を変えていますので、素直に歓びを共有する自分にならない限り、歓び溢れる人生を今世、経験することはできません。

もう感謝の言葉「ありがとうございます」や「トイレ掃除が運気を上げること」は誰もが知っていると思いますが、歓びが溢れている人が少ないのは素直に実践する人が少ないだけなのです。

幸せは、なりたい人順になれる

と神様から教わった時、何が自分に足りないのかを考えると、ただ素直に生きる心だと気づきました。神様が人間に与え

た最高に知性が「素直さ」だからこそ、いくつになっても素直な心で生きる努力をしたいものです（＾＾）

まだまだ「美と歓びに生きる宣言」は受け付けていますが、9月1日からステージが上がった分、これから宣言する人たちには次の事をお願いしておきます。

１、自分の幸せを望む分、他人の幸せも同じくらい望める自分になる必要があるので、地球や日本を愛する人たちに伝えている地球創世メルマガに必ず登録して下さい。今後は「地球創世メルマガ」を通して全国各地で行う様々なイベント情報をお届けする予定ですので、ぜひお会いして未来を語り愛ましょう。

２、無償で提供し続けている地球創世情報やブログ情報で、あなた自身が何かを手に入れたり大切なキッカケを頂いたと感謝する心があるのなら、具体的にその感謝を行動で表わす事を考えて実践して下さい。あなた自身が「与える側」になる事で、歓びは無限に循環し続ける法則があるからです。

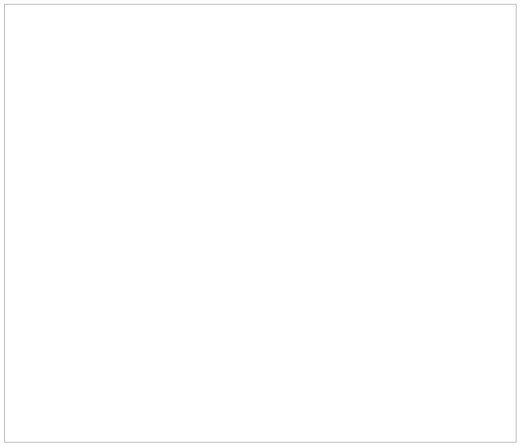
３、もしあなたが宣言をした人であっても、この情報を伝える事で幸せになる人がいたら、ぜひ「美と歓びに生きる人生を手にいれるチャンスがあるよ！」と教えてあげて下さい。自分が得た歓び情報を与える事で歓びが大きくなるのは人生の成功哲学です。
注）教えてあげても反応が悪い方は無理しないように！

9月**1**日から始まったエネルギーは、

決めていた事ややりたかったことをやる時期

だとお伝えしておきます。

チャンスの神様が、あなたにも訪れます事を祈っています！



2010.09.02 Thu

美と歓びに生きる　7

アツアツの日差しの東京・静岡出張を終えて札幌に戻ると、８月末としては２１年ぶりの３０℃越えの蒸し暑さに驚きましたが、家にクーラーが無い事を本州の人に話すとさらに驚かれます（＾＾）でも北海道の人は、半年間の冬対策の方にウエイトを置いて生活しているのでクーラーが無い家もまだたくさんあるんですよ。

毎日のように「私は変わります宣言」のメールが届いていますので一人一人に返信していますが、宣言をした皆さんにひとつお願いがあります。

宣言をした１００名以上の人たちと一緒に次の段階へ上がる準備が整ったので同じ意識に同調し続ける為にも、まだ「地球創世メルマガ」に登録していない方はすぐに登録をお願いします。

携帯アドレスから登録する方は、ドメイン指定やアドレス指定でパソコンからメールを受信できるようにしてから登録して下さい。

「地球創世メルマガ」はこれまで一方的に地球のアセンション情報をお届けして皆さんの気づきをサポートをしてきましたが、今後はただ情報を貰うだけではなく、自分自身の行動を変える人たちの集合意識の力によって「美と歓びの世界を実現する時代になった」と感じているからです。

「私は変わります宣言」をしたすぐあとに変化が起きた方のメッセージを読んでいると、自分の幸せだけを考える人たちではないという共通項が見えてきました。

自分が幸せになりたければ、周りの人を一人でも幸せにしなさい

という黄金律（ゴールデンルール）を知っている人たちだと思います。その為にもまず自分で自分を幸せにする宣言から全ては始動します。

私も一番、苦しい時期にこの黄金律の言葉をマスターから言われた経験がありますが、その時期は辛すぎてすぐには受け止められない感情も出ましたが、泣きながら毎日毎日、宣言した記憶があります。

自分の人生を変えるには、自分自身が変わる意思を強く持ち続けない限り変わる訳はない　と知っているからです。

毎日毎日、向き合うマスターや太陽や夕日や山や自然に対して宣言をしつづけました。

目の前にどんな事が起きても、自分がどんな思いにさらされても、これから自分の人生をどう生きるかは「自分で決められる」と知っているからです。

親や周りの人に、「自分の事だけを考えて生きなさい」と教えられた人もいるでしょう。でもその結果は、必ず寂しさの渦に巻き込まれて暗闇に落ちてしまいます。

「人は一人では生きられない」からこそ、たくさんの人にご迷惑をかけながらでも目に見えない「徳」を積む為に生かされているのが私たち人間です。

人よって学びのテーマは違いますが、自分の弱さを克服する為だったり、これからの人間関係を育てる為に与えられた時間と言えるでしょう。

自分に言い訳しながら一生を終えるか？

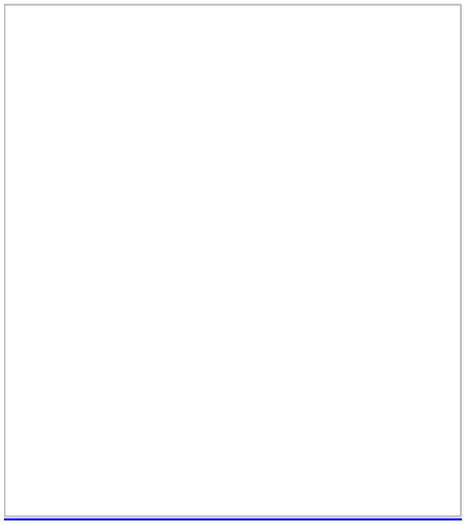
自分のよくやったね！と言える生き方を選ぶかはあなたの自由です。

自分一人で乗り越える勇気が無い方は、私が一緒にお手伝いします。

その為に、スピリチュアル講座を開設していますし、これまでもたくさんの方が卒業されて自由に選択する人生を歩まれています。全国どこからでもお申込み下さい。

あなたが幸せと感謝に満ち溢れて生きると、この地球の波動も上昇します。

今、進むべき一歩を私と一緒に踏み出しましょう！！



2010.08.30 Mon

江戸五色不動の結界　（東京都）

地球創生実現の為には日本の土地の大浄化が必要ですが2009年に、関東から京都までの土地の浄化が必要と啓示が降りた為に毎月、関東・東海地方に通いながら土地や人の思いを理解する努力を続けています。

一晩で２０名以上の方にお会いしてアドバイスを伝える作業は疲れましたが、また関東在住の素敵なソウルフレンドに出逢うことができました。

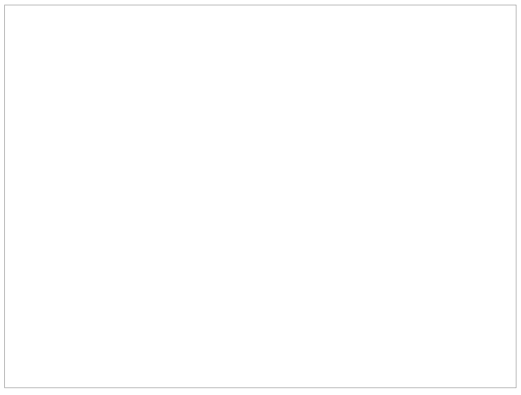
８月２５日は「東京の土地は私たちが守る」と宣言した人と一緒に、日光神事に続いて天海坊が作った江戸結界のひとつ、「五色不動の結界を巡る祈り」を行いました。

五色不動について詳しい事は、こちらをお読み下さい。

もともとこの日の予定は神事ではなく、東京の土地を詳しく感じる為に東京都内を回る予定でしたが、「五色不動」が目に飛び込んできたので行かなくてはならないと思いました。

予兆は7月、目黒のホテルに泊まって食事をしたお店の従業員の言葉に導かれ、目黒不動へ出向いたこともこの日の下準備だとわかりました。

大切な思いを繋ぐ為は土地から湧いてるお水が必要ですので、豊かなお水が湧いている「目黒不動」がスタートになりました。



スタートはこんな気分のメンバーでしたが、「目黒不動」に着くと腰に数十キロの荷物を載せたような重いエネルギーが私の体にのしかかってきました。

私と一緒に神事の経験がある方はわかると思いますが、土地の神仏や住んだ人の思いは全てこういう重いエネルギーで体に乗ってきます。

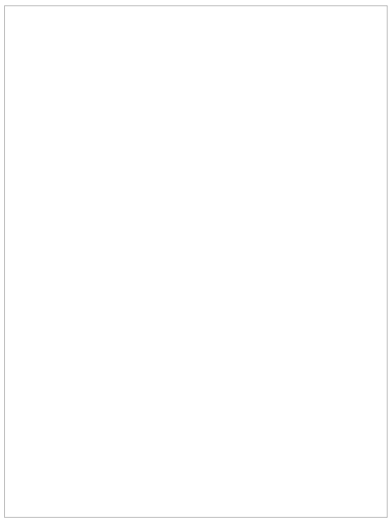
経験豊富な霊能者や巫女がいてくれるとエネルギーは分散されて体が楽なのはわかっていますが、土地に住む人が動く事が地球創生の祈りの絶対条件だからこそ　新たに取り組む東京都内の浄化に力を貸してくれる人たちに出逢えた感謝はしています。

しかし結果的に参加者が土地のメッセージを読み取れない分、全てのエネルギーは私の体にかかりますので考えられないほどくきつい祈りになってしまいました。沖縄の聖地で最初に祈った時の事を思い出したほどです。

私の祈りに参加する皆様に願うことは土地や人を愛する素直な心だけですので、祈りの諸注意を教えた後、目黒不動の門をくぐりました。

「目黒不動」には、豊かなお水と本堂の天井に龍の絵が書かれています。※目黒不動 - 瀧泉寺（東京都目黒区下目黒）

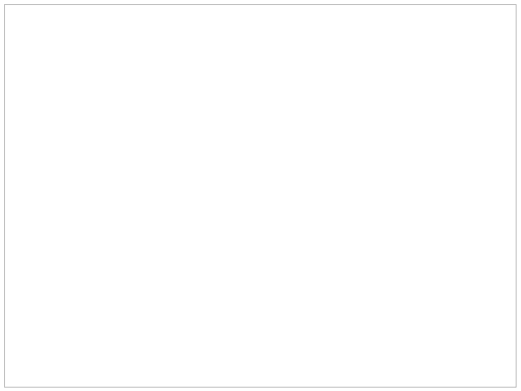
「五色不動を守っているのは龍と鳳凰です」と教えてくれたお店の方の神言葉を皆さんに伝えてから、裏の大日如来様へご挨拶に行きました。



大日如来様はとてもやさしく一人一人に不足しているものを与えて下さり、これからの人生がより神仏の心により近づくよう見守る事も約束して下さいました。

次に向かったのは「目青不動」ですが、二度、場所を移動しているのでもともとあった場所を探して向かいました。

ビルに囲まれた中に見つけた小さなお堂の仏様はこうおっしゃいました。



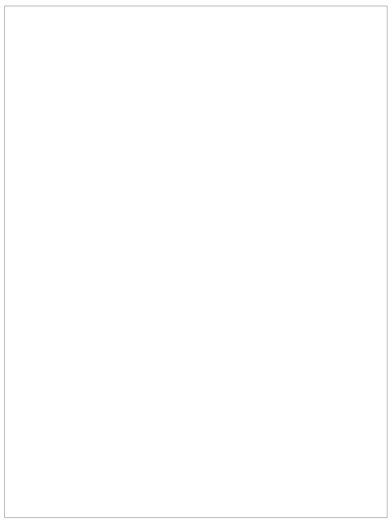
私は守りをしているだけなので昔、何があったのはよくわかりません。でも皆さんの気持ちには感謝致します。

目黒不動のお水を繋ぎながら一人一人がご挨拶をすると、一人一人にビジョンで映像を見せながらメッセージを伝えてくれました。一人が見たビジョンを全員で「さにわ」（シェリング）すると広い次元の解釈が出来ますのでそのあとも毎回行いました。

この場所の祈りを終えると、私の体はさらに辛くなりました。土地神が怒っているのか、この場所に住んだ人たちの念なのかわかりませんが、私の体も一緒に大浄化です。

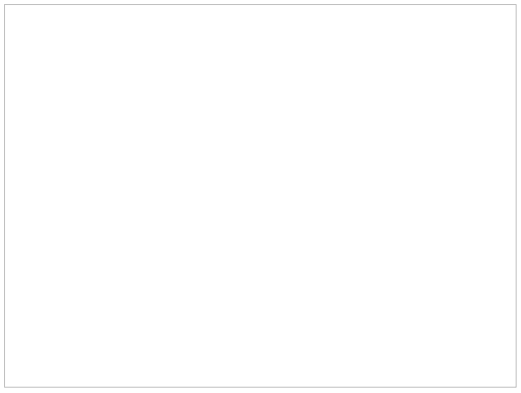
ここで気付いたことは、参加者の一人にこの場所の「守り番」としての役目が与えられたことです。偶然、５名で祈った事も神仏に選ばれた人たちなのだと思いました。

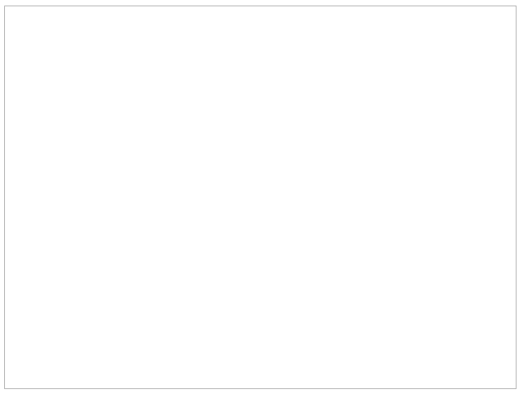
次の「目白不動」も場所を移していたので元の場所へ行きましたが、何も残っていませんでした。土地の人に話しを聞いてもおおよその話しだけだったので、八幡神社の神様にご挨拶に行きました。

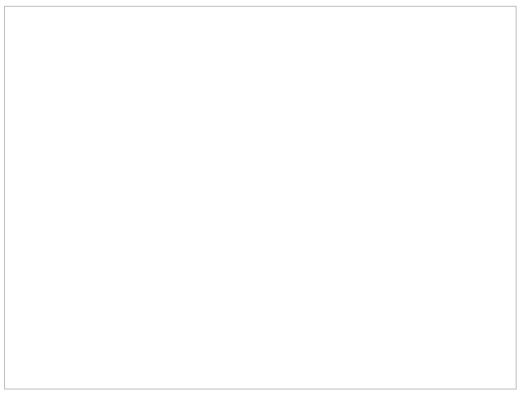


すると神様は、ここにあった目白不動を移した時に公開できない秘密の理由があることも覚えておいて下さい　と教えてくれました。

理由はよくわかりませんが、感謝を伝えて現在の「目白不動」のある金乗院へ向かいました。





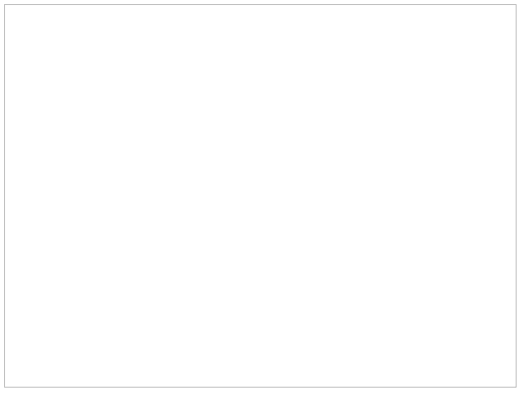


とても清らかな守りのエネルギーに包まれているのは、ここの住職の御心だと感じましたし、こちらの仏様もとてもやさしい言葉を下さいました。

この場所で光の役目を頂いた男性は、目白不動を守る事と先祖の思いを大切にすることを気づかせてもらいました。

全員が御仏に選ばれる歓びを感じています。

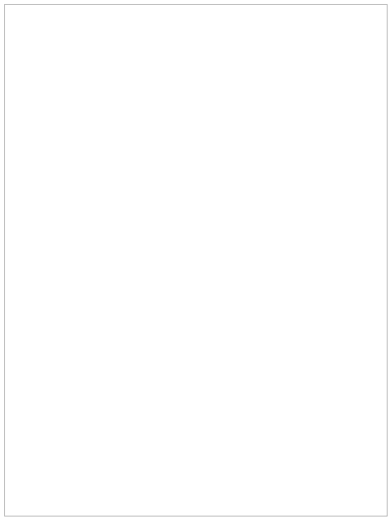
本殿の中に鳳凰が守っているのを確認できたので、現在の五色不動の現在の守りは「目黒の龍と目白の鳳凰」が守っている事を確認できました。

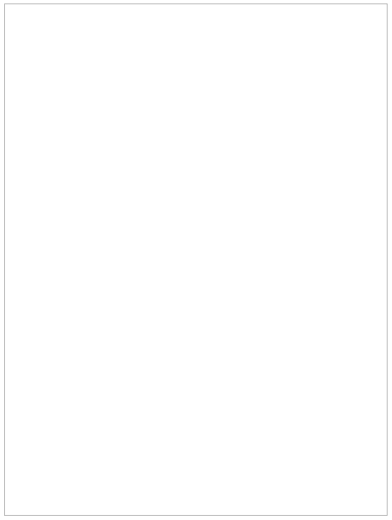


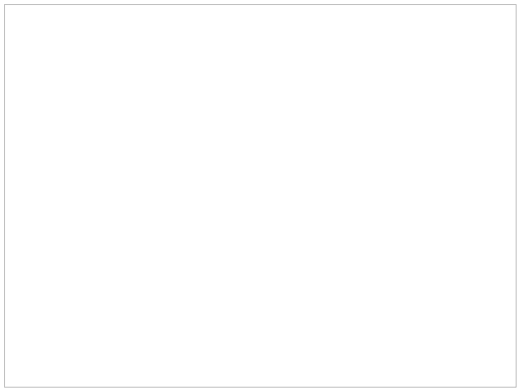
四か所目は、問題の「目黄不動」です。

何が問題かと言うと、もともとは自然界の力を整える為に「火、水、風、大地」の四つで守っていたものを黄色＝金、つまり、「空」を加えて守るという密教の考えで五つにしましたが、本来、「空」は目に見えないものですので今でも場所が不明になっているのもうなずけます。

結果的に選んだ「目黄不動」の場所は、永久寺です。







足を運んで驚いたのは、正門は閉じているうえに御不動様が寂しそうなエネルギーを発しているからです。理由も気持ちもよくわかったので、目黒不動のお水を繋いで早々に場所を離れました。

神仏を見た時に最初に感じるものは、その場所を大切にしている人の心が写し出しますとだけお伝えしておきます。

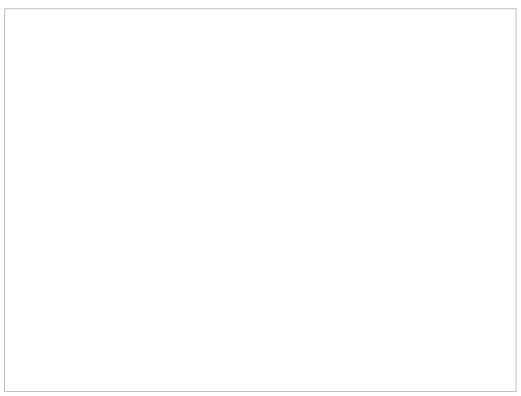
３５度近い暑い日だったので喫茶店に入って、目黄不動で感じたことをシェアしました。

全員が御仏の寂しさを感じていましたし、ここを守る役目は「空」を表現する写真家の男性だと全員が納得しました。御仏の思いを彼は写真で表現してくれることでしょう。

最後は、「目赤不動」です。

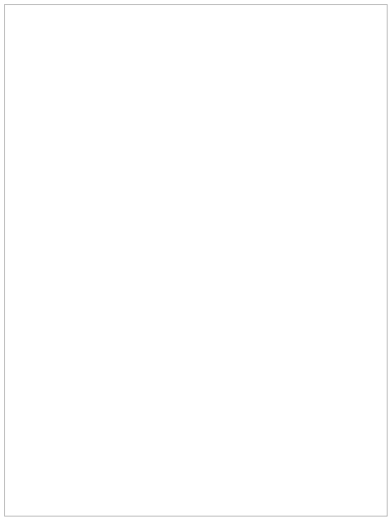
夕暮れが近づいてきましたが、汗だくになりながら一日で回った甲斐もあり、素晴らしい御言葉を下さいました。

これからは過去の結界にとらわれるのではなく、新しくあなたたちのような人たちがこの地を守ることをお願いします。

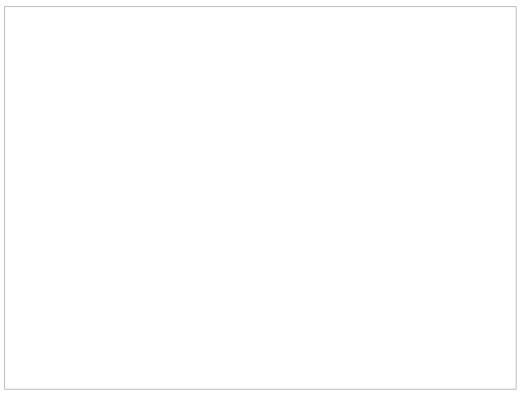


御仏のエネルギーに包まれた東京を守る４名の人たちの体は、発光していました。

「目赤不動」を守る役目は、関西出身の女性で関東と関西を繋ぐ為に選ばれた女性です。子供の頃から神仏に手を合わせる習慣もあり、人の心を大切にする彼女のこれからの活躍を楽しみにしています。



日本を立て直す為に「男としての働きをするぞ！」と神仏に誓う熱い男たちをこれからもどうぞ宜しくお願いします。



自分の為だけに生きるのではなく、土地に住んだ人たちに感謝する心を持ち、周りの人との繋がりを大切にする生き方は神仏を大切にする心と同じです。

また、人生で起きる全ての出来事が、自分の力で生きているのではなく生かされていると気づくことは、自らを守護くれる御仏の心を学ぶ「利他心」に導かれます。

東京都内にも素晴らしい志を持った人たちがもっとたくさんいるはずですから、東京都内にお住まいの方でこれから行う東京都内の大浄化に力を貸して下さる方は、地球創生メルマガや全国巫女ネットワークに登録して地球を守る宣言をお願いします。

地球を守る、日本を守る、そして、自らの住む土地、生まれた土地に感謝する心こそが、未来の日本を育む心を育てます。

「美と歓びに生きる宣言」をした皆様は、ご先祖様や御仏や神々に見守られている事をお忘れなく！

2010.08.26 Thu

美と歓びに生きるコツ

毎日、続々と「私は美と歓びに生きます」宣言メールが届いていますが、このままで人生を終わりたくないと思った方はぜひ本名・連絡先・生年月日・プロフィールを添えてこちらへメールをお送り下さい。

私自身の体験から会得した美と歓びに溢れて生きるコツ！をご紹介しますので、宣言した方はぜひ実践して下さい。

実践する前に宣言が先だと言う事をお忘れなく！

１、自分がして貰ったらうれしいと思う事を素敵な人にして差し上げる

２、誰かにしてさしあげた事の恩返しを要求しない

３、自分の歓びは実は、他人の出会いによってもたらされると気づく

４、地域の人や土地神や神仏が歓ぶ事を毎日する

５、自分を癒す方法をひとつは知っている

６、「いい訳」の私ではなく、「できる私」になる為に毎朝、鏡に向かって宣言する

７、どんなに辛い時にも「ありがとうございます」を唱え続けること

８、自分を信じられなくても、あなたを信じてくれる人が居る事を信じる

こんな素敵な歓びを互いに知ってしまった人たちが集まり、8/21（土）は、北海道苫小牧市で活動する「青年会」が仲間の結婚式を行いました。

お金をかけずに地域を支える一人一人が力を合わせて迎えた当日の式典は、久しぶりの神職装束で「結婚の儀」の承認を頂く神の歓びに合わせて、人の繋がりの素晴らしさを再確認する一日になりました（＾＾）詳細は、後日報告しますね！

ワクワク企画の９月２０日（祝）に行う大阪イベントが決まりました！

9/20の午後１時から個人セッションの枠を２枠設けましたので、ご希望の方はご予約をお願いします。セッション内容は、スピリチュアルカウンセリング、アカシックレコードなど希望のセッションを行います。

午後４時から６時までは、「質問どしどしＯＫの大阪座談会」を開催します！テーマは当然、美と歓びの実現です！参加費は、大阪開店御礼の大特価２９００円！早めにご予約下さいね！

会場は、セラピールーム「オフィーリア」※詳しい場所はお申し込み者にお伝えします。 午後６：３０頃からは、アルコール消毒をしながらの盛り上がり懇親会！

場所は大阪　阿倍野にある「八千代」さんです。
http://r.tabelog.com/osaka/A2702/A270203/27015015/

関係者全てが「変わります！」宣言をした素晴しいメンバーに会えるのを楽しみにしています！

お申し込みには連絡先とお名前・生年月日を添えて吉岡までお申込み下さい。

2010.08.23 Mon

美と歓びに生きる　６

「私は変わります」宣言を送ってくれた方たちが８０名ほどになっていますので、毎日一人一人に気づきのメッセージを返信する作業を続けています。

今回、宇宙の大神様が与えて下さった「成長と変化のご縁」を自分だけの変化ではなく、もっと大きな変化へ結びつけたいと思っているので、今回宣言した方たちと一緒に変化のムーブメントを動かしたいと思っています。

「大きく変わりたい！」と思った時に一番早い方法は、自分の宣言を新しい行動へ移すことが大切です。

今までやっていない事や、今まで勇気が無くてチャレンジしていない事へ挑むことが大切です。

自分が変わるだけではではなく住む地域で自分と同じように変わりたい方たちが成長する為の場を企画して下さる方からのご連絡をお願いしています。

おかげ様で少しづつ、大阪・神奈川・九州・四国の企画が動き出そうとしています。

どんなすごい事も最初はたった一人の決断で動き出すしますので、私の町でもやってみたいと思った方は、自分の宣言と一緒に「美と歓びに生きる企画」を一緒に実現させましょう！

講演会でも座談会でも、セッションでもワークでも何でもかまいませんので、周りの人に歓んでもらえる場づくりの提案をお願いします。

２０１０年の変化の波がこれからどうなるかを感じていると、7/20に公開した宇宙メッセージを思い出しましたので転載しておきます。

9月23日　意識転換のエネルギーが流れ込む

つい先ほど、宇宙の大元からメッセージが降りましたのでその全てを公開致します。

9月23日から、ものすごいエネルギーが動き出します。それは地震や津波などとは違い、宇宙の大

元から流れ込む大量の意識転換エネルギーのことです。その大量のエネルギーは、8月23日よりもさらに大きく関わる人たちの意識に影響を与えることでしょう。そのエネルギーは、皆さんの意識を大きく次元上昇させる為に宇宙全体から送られてくるメッセージだと思って下さい。

人によっては、自分の守護存在から啓示を受けたと感じる人もいるでしょう。また、大きな天使たちが動き出したと言う人もいるでしょう。不安にかられて生活している人にとっては、自分が問われていると感じる人も多いでしょう。でも、その全てが正しいのです。

9月23日から流れ込むエネルギーは、それまで自分の心の中に隠しておいた「自我」を大きく問うエネルギーが降り注ぐと思って下さい。

あなたがどれだけ苦しんだとしても、「自我の混乱」は他人のせいではありません。自分自身が、自分の信じる神（本質）と和合できていない為に起きる不安定エネルギーが原因だからです。

自分を絶対正しいと思い込んでいる人は、そのエゴに気づく為の大きな気づきの出来事が起きる事でしょう。反対に「自分が悪い・自分のせい」と内なる神をないがしろにして誰かや何かに依存している人は、自分の心のあり方が問われる出来事が連続して起こります。どちらにしても
今回、宇宙の大元から流れ込むエネルギーは「自分という我神」と、希望や依存の対象となっている「天なる神」を統合させる為に降り注がれるエネルギーなのです。

社会的な出来事としては、人の不安で商売をしてきた人たちはその転換したエネルギー（お金・物質・社会的地位）の責任が問われる出来事が起きますし、自分や他人を傷つけてきた人間は、さらに他人のせいにしたくなるような出来事が続く日々を送る事になるでしょう。

しかし、その混乱の原因が、自分と他人を同じように大切にしていないせいであると気づく為に母なる宇宙の大元は愛のエネルギーを送り届けてくれるのです。

神や人に向き合う正しい心を持ち、守るべき魂の役目に気づいた人たちは、横に置いていた事に手をつけなければいけない時期になりますので、どうぞ出来る事からすぐに始めて下さい。

守護霊・守護神・自然神・大神、そして地球全体の調和を整える為に存在している龍球王国十五神たちも、この大きな転換エネルギーを使ってさらに明確な導きを一人一人にメッセージとして送り届けます。

これは人間全体を問う出来事というより、一人一人の心のあり方が地球の未来だからこそ、一人一人の心の中を問われる時代になると考えて下さい。本当は・・・、いつかは・・・、今はまだ・・・と自分や誰かに言い訳して生きている部分の全てが問われる時代が始まります。

この転換エネルギーは9月23日を起点として、2010年末の12月31日までさらに上昇し続けますので、一日も早く自らの心の中に向き合って本質の自分と他人に見せている顔を同じにして下さい。

起きる出来事全てを受け入れて、自らの役目、つまり、あなた自身が本当はしなければいけないと感じている事を行動に移す時代が来るということです。あなたたち人間に与えた可能性や力を最大限に発揮して頂く為に、今日（7/20）このメッセージをお届けします。

愛は、あなた自身が甘え許し続けた自分自身を越えるところから生まれるのです。

重要なことは、８月２３日（月）にも大切な変化のタイミングがあるというお知らせです。

８月２３日～２５日は東京都内に三泊して新しい方たちにお会いする予定がいっぱいですし、東京という土地の神仏を感じる大切な時間も予定しています。

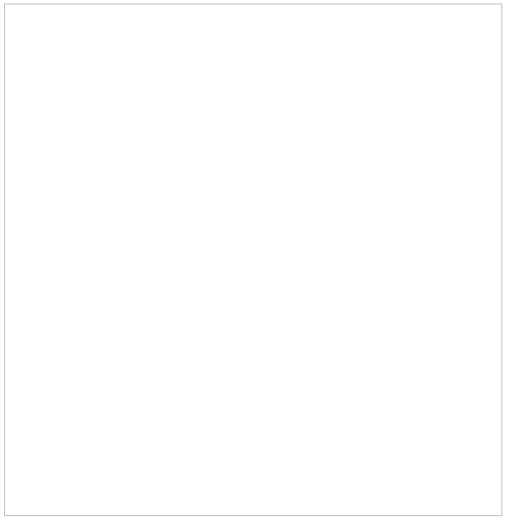
これまでも大切な変化エネルギーのタイミングを色々な形でお伝えしていますが、ただじっと待っていて良くなることはありません。

運気の流れを掴むのも同じですが、自分がどうしたいのか、周りの人たちにどうなって欲しいのか、日本や地球をどうしたいのか、あなたが考えて宣言した言葉の通りの未来になるからこそ、私たち人間は生まれた時から「創造性」という神の力が与えられています。

いつまでも過去の失敗や出来事に囚われたまま「不幸の主人公」を演じている人とのご縁は避けて、過去の自分と断ち切る宣言をする方たちと触れ合う場を作っていきましょう！

これまでも　全ての人の出会いは神導きだと信じて出会った人たちにできることを一生懸命やり続けてきましたが、もう自分だけの幸せではなく周りの人の事も一緒に考えて成長したいと考える人たちが日本の未来を動かす時代が始まります。

あなたの一歩と私の一歩を合わせて、土地の神様や土地に住む人たちが歓びを見つけられる活動を一緒に始めましょう！



最近のかわいいイラストは、鹿児島の愛ちゃんの作品です！

2010.08.20 Fri

「私は変わります」宣言メールに本名・住所・生年月日・プロフィールを添えて送って頂いた方は70名を超えましたが、もっと多くの方が変わりたいと思っているはずなのに宣言が少ない事に驚いています。

魂が肉体に入る前に「地球を守る」と約束してきた魂はもっとたくさん居たはずなのに、まだ思いだせないのでしょうか？

2010年最大の転換エネルギーのチャンスだと感じていないのか、自分や私を信じられないのかはわかりませんが「宣言メール」を送るとどれだけ変化が早いのかを少しだけお知らせします。

まず宣言した方たちが口をそろえて「宣言をしたあとすぐに何かが変わった」とご報告メールを頂いています。

自分なりに、自分の信じる対象へ宣言している方が多いのも知っていますが、こちらへ宣言メールを送る意味は、地球創世を守護する存在たちに繋がるエネルギーが強いからです。

一人一人が変わる事で地球は変わる

と気づいているあなたは地球創世の守護存在たちに「自分は変わります」の宣言メールをすぐにお送り下さい。

私の身体の不調も少しづつですが整い始めていますので、完全に整った時には新しいエネルギーが安定し、しばらくは大きな変化のチャンスも無いと思います。私自身は今後の10年間を生きる新しい指針を見つける時期だと思っています。

何の為に生きるのか？
何の為に働くのか？
何を歓びに設定するのか？

未来を守護する神々は、あなたの歓びを大きくする事で愛が生まれ、愛を共有し合う仲間が地球を救うとわかっているからこそ、今回の変わるチャンスを与えてくれています。

これからの10年のエネルギーの流れはあなたの思う事がすぐに実現するようになりますし、祈りや神事のエネルギーも大きく変わるからこそ、地球を愛の星にする為に自らの愛を信じて心をひ

とつにする必要性に気づいて欲しいと思います。

「私は変わります宣言」をした方で自分の住む土地を守る意思がある女性は、一宮宣言祈りを終えてから全国巫女ネットワークにもぜひご参加下さい。

ツイッターはなかなか使いきれていませが、地球創世に動く男性たちも増えていますので、男性たちが魂の役目を果たす為の情報ネットワークも現在検討中ですので、男性の宣言もお待ちしています！

◇◇◇　◇◇◇　◇◇◇　◇◇◇　◇◇◇　◇◇◇　◇◇◇　◇◇◇

今日のテーマは、

幸せはどこからやってくるの？

幸せになりたいと思っている方の中で、「幸せになる方法」を知っている方はどれくらいいるでしょうか？

幸せを感じる瞬間は・・・、今の自分がまだ感じていない新しい歓びを感じた瞬間だからこそ、今のあなたがまだ知らない未知の体験や歓び、出会い、出来事を引き寄せる必要があります。

新しい歓びを引き寄せる力は「自分自身の意思」のエネルギーに影響しますので、自信が無いからこそ宣言や決断をまず先にすることが重要なのです。

付け加えますが、宣言や決断に確信は必要ありません。ただ・・・

自分はなりたいものになれる！
自分は必ずこうなる！

と信じて宣言をしたあとは、幸せ行きのバスに乗ったようなものですから運転は運転手（心から湧きあがる感覚や直観）に任せて進めば必ずうまく進みます。

自分は変わる、自分は幸せになると宣言した方は、日々、幸せになる為に何をしたらいいのか考えて今の自分にできる事をすぐにする事です。

一番早い方法が、部屋や押し入れや引き出しの中の「整理」です。あなたの過去の思い出の品

を「整理して捨てる事」によって必ず新しい物や情報が入ってきます。

いらない物を捨てる「整理」が終わった方は、次に「整頓」を心がけましょう。

いつでもすぐに必要な物を取り出す為の「整頓」は、あなただけではなく周りの人もすぐに何がどこにあるかをわかることで情報や物事を共有しあい、あなたが居なくても処理をスムーズに進める大切なコツなのです。

幸せは、出せば入る

と知っている方は、言葉や笑顔でどんどんあなたの幸せを周りの人に表現して下さい。お金も、愛も、歓びも全て同じ法則で動いていることも覚えておいて下さいね！

幸せは自らの心の中から産みだされる

この段階まで知っているあなた自身が幸せを感じていない理由は、「頭ではわかっているのに魂が理解していない」ことに気づくべきです。

解消するコツは、今まで知っている知識を一度横に置いて、今の自分が本当はどうしたいのかを明確にすることです。

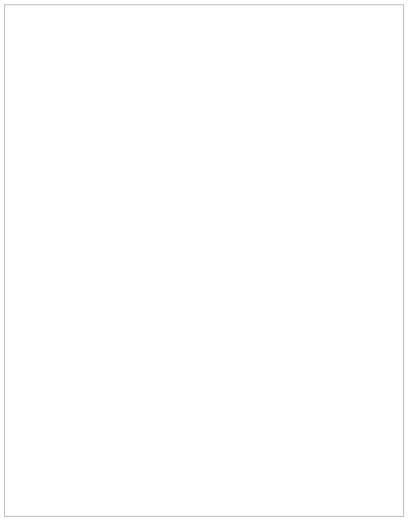
あなたが今したいと思っている事を全てノートに書きだすのが、一番早い方法です。

書いてみてわかることは、いかに自分自身をわかっていないかに気づくはずです。

たくさん良い言葉を知っているのに幸せを感じられないあなたは、まずその未熟な自分自身を愛することから始めて下さい。

いつも外に答えを求めたがるあなたは、自らの魂に向き合っていない事を認める必要があります。

わかっていてもすぐにできないことは、
本当の意味で理解していないのです！



2010.08.16 Mon

ご先祖の正しい弔い方

2010年のお盆はいかがお過ごしでしたか？

もともとこの時期は霊界の繋がりが太くなりご先祖様たちがこちらの様子を見に来られる時期ですが、家族の四十九日を終えた方が迎える「新盆（にいぼん）」はまた違う気持ちの送り盆になったのではないかと思います。

この時期よく家族と話すのは、自分たちの遺骨を納めるお墓や納骨堂をどうしたらいいかという話です。

この話は宗教の違いや家族親戚と仲が良い悪いなど色々な思いがあるからこそ、これまでもたくさんの方からご相談を受けましたので、ひとつの考え方を示しておきたいと思います。

まず基本的に、納骨堂を持っていると永遠に維持費がかかることを覚えておかなければいけません。お寺の判断で納骨堂を修復する場合は、そのたびにお金が必要になる場合がほとんどです。

お墓については守る家族がいる間はいいのですが、お墓がある土地に住んでいる方がいなくなったり、守る家族が居なくなった場合、５０年ほどで各市町村に没収される形になるようです。

最も大切な事は、子供たちが先祖を大切にする気持ちにならないと親が大切にしたお墓や納骨堂も放置されたままのケースになる場合があるということです。

だからこそ、お互いに時間をかけてどうしたいと思っているのか話しあう機会を作る事が大切です。

私が今回、親に提案したのは本家の墓、分家の墓と別に立てるのではなく、「〇〇家先祖代々の墓」として土地に住む親族一同の墓を一緒にしてはどうかという提案をしました。

沖縄にはこういう形でご先祖を守ることで、親戚一同で大切なご先祖に感謝する習慣が今も残っています。

その為には各家の家長（長男）が責任を持って話し合う必要がありますので、二男の立場としては提案だけにとどめておきました。

現在お墓を持っていない、もしくは自分が入れない立場（分家や戸籍外家族）の場合、親族の墓に入る許可を出せるのは女性ではなく「家長の権限」で決まります。家長とは、その家の名字を受け継ぐ長男のことです。

現在はご主人を亡くした奥様が仏壇やお墓や納骨堂を守っている場合も多いと思いますが、女性は生まれた時からの役目として守る事はできますが、命を次に繋ぐ役目は長男ですので長男がどうしたいと思っているのかを知ることが最も大切です。

子供に男の子が居ない場合は、いづれ最終的に守ったお墓や納骨堂や仏壇の処理をしなければいけなくなりますので、仏壇は「御霊抜き」、お寺には「永代供養」をするかどうか、納骨堂は「契約解除」などの手続きが必要になります。

現在、健康で自分が守れるからいいと思っている方も、突然、事故や病気で亡くなる場合もありますので、あなたの意思を正しく引き継ぐ男の子が居ない場合は、何かに書いて残しておく事をお勧めします。

私のように子供がいない方は、親が大切にした物や自分の遺骨をどういう形にするのかも考えなければなりません。

現在は色々な方法もあるようですが、何においてもお金がかかる事ばかりなので、なるべくお金をかけずに先祖の気持ちを大切にする方法を考えるようにして下さい。

こういうご先祖に関わる物や取り扱いのご相談をしたい方は、霊視メールカウンセリングをご利用下さい。

最後に大切な事を付け加えておきますが、実は

普段はお墓にも納骨堂にもご先祖の御霊たちはいない

と覚えておいて下さい。

普通の浄化された御霊たちは天上界へ登っていますので、あなたが先祖や親や夫の事を思い出して手を合わせると、すぐにその場所へ降りてきてくれているだけなのです。

だから本来、亡くなった御霊たちにとってはどこに立派なお墓を立てようが素晴らしい納骨堂を買おうがあまり関係ない話しなのです。

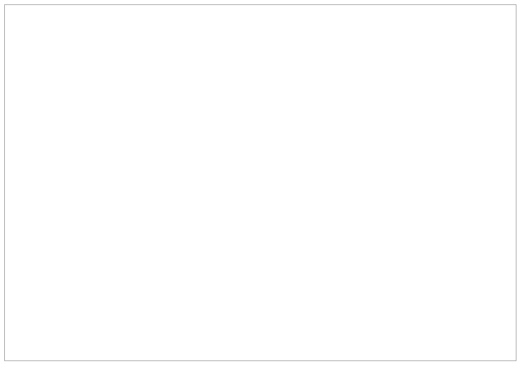
この世の目に見える物の立派さで歓ぶのは生きている人だけだからこそ、立派なお墓や仏壇を見た時は作った人の満足が現れていると思って下さい。

そういう事に使うお金があるのなら、いくらでも必要な人や基金に差し上げればいいですし、残された家族以上に周りの人たちから歓ばれるお金の残し方も学んで欲しいと思います。

命を引き取る最後の施設や病院に多く集まる御霊たちは、やはり生きていた時の気持ちを思い出して思い出の場所へ戻りたくなる場合があるようですので、亡くなる人が多い老人施設や終末医療の病院には「御霊鎮魂の碑」をぜひ作って欲しいと思います。

この世の歓びとあの世の歓びの基準が違うからこそ、「家族という小さな我欲」だけではない生き方を次の世代へ示す大人たちが増えなければいけない時期だと私は思っています。

65年目の終戦記念日だからこそ、いつまでも「先祖が居てくれた事に感謝して手を合わせる心」を忘れない日本人であり続けたいと思います。



2010.08.15 Sun

ダブルレインボー

谷浩一君の四十九日の祈りにご参加頂いた皆様、ありがとうございます。三回の祈りの中で彼の魂と対話しながら色々なメッセージを頂きました。

8/11　7：33の祈りでは、皆さんの祈りの力のおかげでとても楽に上がれていることをありがたいとお礼を言ってくれましたし、ひとつひとつ自分の中に残っているこだわりを捨てている最中だと教えてくれました。

8/11　13：37の祈りでは、まだ混乱はしていますが皆さんの思いを感じながらなるべくリラックスして審判の場へ進むみますと言ってくれました。

8/12　8：21の祈りでは、今、何も無い場所にいて、霧の中なのでどこへ行っていいのかわからないけれど、皆さんの祈りのエネルギーは感じるので心は安心しているといってくれました。

これからは一人で進まなければいけない道だけれども、皆さんに出会えた事や心を合わせてくれた人のことは忘れる事はないと言ってくれました。

天上界へ登ると、喜びや感謝の気持ちは残りますが、この世で苦しんだり恨んだりしたことは全て忘れていくようです。だからこそ、神の心に近づき高い次元からたくさんの人たちを守護サポートする役目になってくれるのだと思います。

ありがとう、谷浩一君、そしてありがとうございます、心を合わせて一緒に祈ってくれた人たち。

いつかきっとあなたがいる場所へ全員が行くからこそ、今回の祈りでたくさんの事を学ばせてくれてありがとうございます。

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

昨日8/12から私の実家の芦別に来ていますが、午後6時、突然、空が真っ黒になって雨が降りだしたのに西の空にはギラギラ太陽が強い日差しを見せている不思議な光景の時間がありました。

「狐の嫁入り」かと思っていたら、なんと見せてくれたのはダブルレインボー！！

そういえば谷浩一君が私の約束を守って最後に作ってくれた表社会のブログが、”白龍道人”Ricky

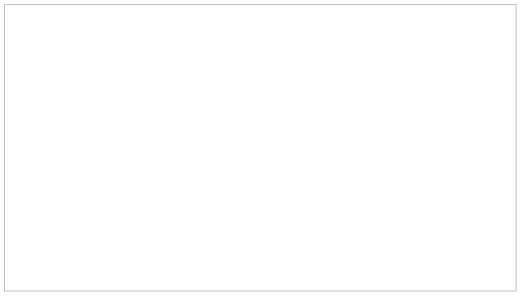
☆のダブルレインボー　！

このダブルレインボーは、谷浩一君が見せてくれたのだとわかりました！

なかなかやるね～！さすが、谷君！

ダブルレインボーを見るたびにあなたが見せてくれている事を思い出すね！

そして、皆で心をつないで大きなダブルレインボーをこの地球に作るから見ていてね！！



2010.08.13 Fri

谷浩一氏の御霊を送る四十九日の祈り

明日8月11日は、谷浩一君が6月24日に亡くなってから四十九日を迎える大切な日です。

四十九日は、現世にいた魂が神世の「準備の場所」へ移動する大切な日。

そこへ入るには次元が全く違う為に、最後の混乱や葛藤を感じる日。

この世の思いを全て置いていかなければ登れない高次元な空間。

一人で登るのはとても寂しいので皆で一緒に送ってあげる日です。

神世の一日は、この世の一年と言われています。

つまり現世の三回忌は、神世ではたった三日の話しなのです。

神世にいつ行けるかを決めるのが、次の「準備の場所」です。

「審判の場所」とも呼ばれています。

そこでは現世でどんな生き方をしたかが問われます。

一番問われるのが、自分の魂に正直に生きたかどうかです。

それは自分自身が一番良く知っているはずです。

答えがおかしい時は、すぐに現世で出会った人を確認します。

谷君と出会ってどう変わったかが、すぐにわかるからです。

谷君には、三人の名前を挙げる事が許されます。

自信を持ってこの人を幸せにしたと言える三人の名前です。

その人が本当に幸せに生きていたら、谷君の評価に〇が付きます。

谷君と出会ったのに心が苦しんだり、辛い思いをまだ抱えている人がいると×が付きます。

一人一人の心の中を神様がチェックをして総合得点で決まります。

名前を告げた三人がダメな場合、次の三人の名前を出すチャンスも与えられます。

延々と続くこの確認作業こそ、魂の審判の時間なのです。

あなたに問います！

地球を守る為に生まれた谷浩一君は役目を果たせたのでしょうか？

地球を救う事は人間を救う事だと気づいたからこそあなたに出会ったはずですが、谷君に出会ったあなたは魂の歓びを感じましたか？

その歓びは、今どう生かされていますか？

谷君に身体の痛みや心の苦しみを癒してもらった人は、どうでしょう？

谷君にお礼だけを言ってもダメなんですよ。

あなたが苦しみをひとつ外してもらった分、誰かの苦しみを癒してあげなければ！

頂いたやさしさや恩は、どんどん周りの人にお返ししてあげないと意味がありません。

頂いた恩をどんどんお返しする人がたくさんいると、谷君の魂も高得点になります。

まだ谷君に対する自分の思いだけを考えている人がいるなら、それはマイナス評価になります。

谷君がそうであったように頂いた愛は、たくさんの人に与える為にもらっているからです。

だから何かを頂いたと思う人は谷君の為にたくさんの人へお返しをして下さい。

今のあなたがすぐに出来ることでいいのです。

それが谷君の魂を神世へ一日も早く送り届ける方法なのです。

谷君に関わった人たちが出来る「最後のお返しの時間」が始まります。

これからの三年間が谷君の魂の行き先を決める大切な時間だと思って下さい。

だから自分の為にも、谷君の為にもどうぞ今日明日、祈りを捧げて下さい。

現世を離れて「審判の世界」へ入る彼に愛と勇気を送ってあげて下さい。

そして、あなたもこれからどう生きるか強い決意を心に決めて祈って下さい。

谷君に出会った全ての人たちの心のあり方が問われる時間が始まります。

私は谷君の為にも地球を守り、美と歓びを意識する幸せな人たちをたくさん産みだす事を宣言します。

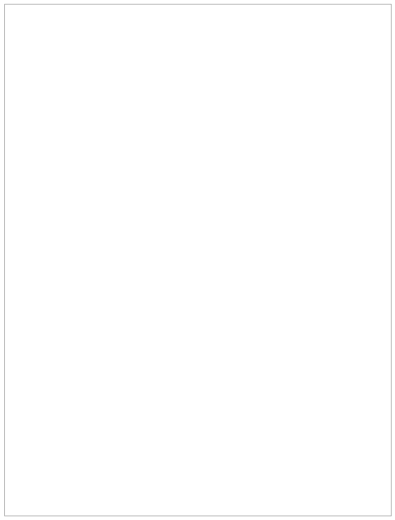
ありがとう谷浩一君、そして良き神世の世界へ導かれる事をこちらから祈っています。

ありがとう、ありがとう、そして、本当にありがとうございます。

８月１１日（水）

朝　**7：33**（沖縄満潮）　谷君の魂が現世で最高点に上がる瞬間
昼　**1：37**（沖縄干潮）　谷君の魂が現世から離れる瞬間

８月１２日（木）
朝　**8：21**（沖縄満潮）　谷君の魂が神世審判の世界に入る瞬間



2010.08.10 Tue

北海道十勝　帯広神事

8月7日～8日は、永年の夢だった北海道の中心地　帯広市で地元の方と一緒に神事を行いました。

目的は北海道の中心から日本や地球全体へ光を輝かせる為に大地のご神鏡である「十勝平野」を輝かせる必要があるからです。

しかしその前に、帯広市にはどうしてもしなければいけない問題がありました。

それは7年前の2006年に宇宙アートのイラスト展で帯広市を訪れた時、地元の人たちが口を揃えて「手が付けられないチョマトー」という沼の話しが出ていたからです。

「チョマトー」という沼には、アイヌ民族の４つの部族が猟地を巡って争い、亡くなった57名の血で沼の色が真っ赤に染まったという逸話が残っています。

こういうヘビーな逸話の場所をクリーニングする時は、地元に住む人が「本気で自分の土地を守る」と宣言していなければ手が付けられません。

その理由は自分の人生を幸せにする方法と同じで、周りの人があなたの存在に幸せや感謝を感じてくれると幸せを感じるように、土地に住んだ人たちの思いを理解する事で先祖や土地の神様が現在住んでいる人を守護してくれるからです。

まず北海道の先住民として認められたアイヌ民族の前に「コロポックル」という小人の先住民が住んでいたことを覚えておいて下さい。

「コロポックル」は小人なので大きな蕗きの葉の下に隠れている絵が昔話でも残っていますが、アイヌ民族に追いやられて絶滅した北海道の先住民族でした。

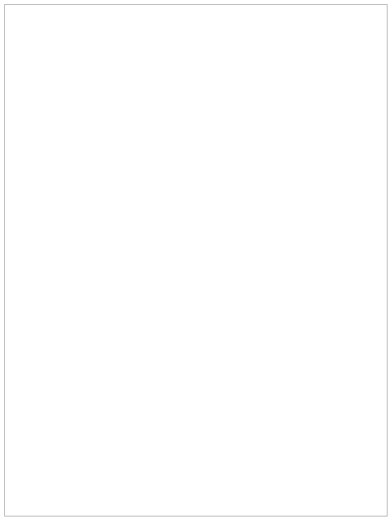
「コロポックル」は美生川から魚を採って暮らしていたという話が残っていますので上流まで行ってみると、それは美しい魚がいる川でした。

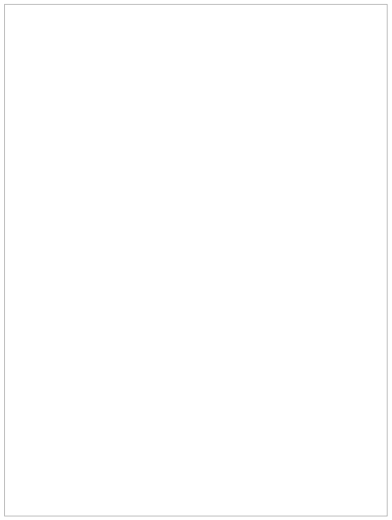
「コロポックル」の土地へアイヌが入ってきて戦った最後の場所が芽室町の美生という地域ですが、美生一帯の山の中で最も大切な神様の山を「丸山」と地元の人たちは呼んでいました。

丸山が見える最後の戦いの地へ出向いて「コロポックル」の魂たちと会話をすると・・・

「私たちはもう戦いで苦しんだ思いは残していないので安心して下さい。この土地に住む人たちが幸せに暮らせる様いつも見守っています」

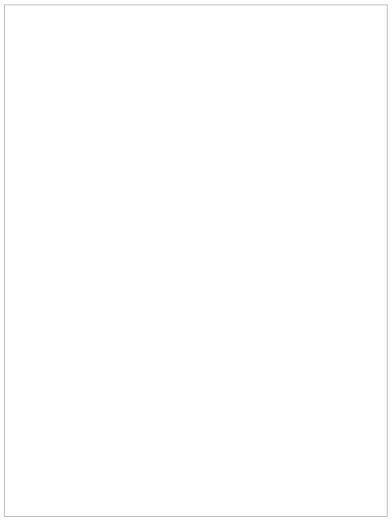
天に召された人たちの心は本当に神心と同じになりますので、土地を守護してくれている「コロポックル」の魂がいる場所へ移動して祈りをさせてもらいました。

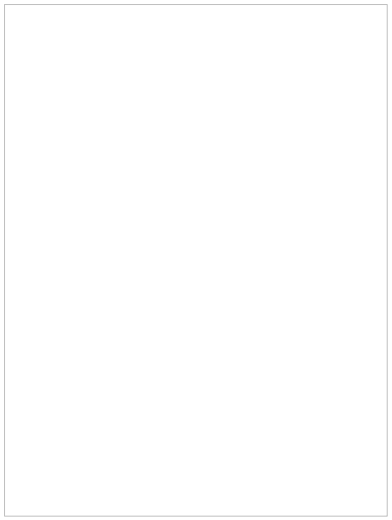




祈り始めると天から大神様が降りて来られて、「コロポックル」の魂は木や石や植物や川の水となってたくさんの恵みを与えると教えてくれました。

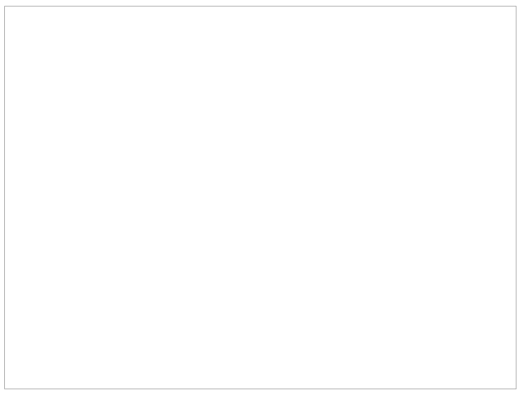
聖地の中にある美しい川を撮影すると、コロポックルの魂は虹色のオーブになってその姿を見せてくれました。

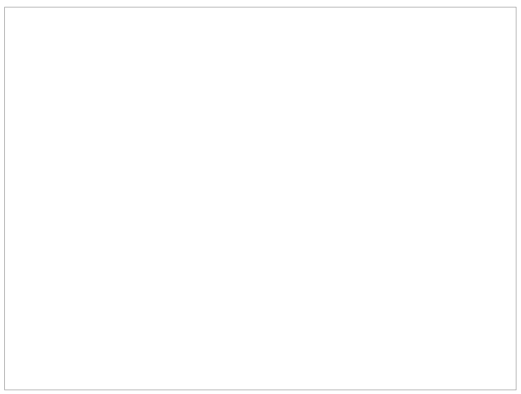


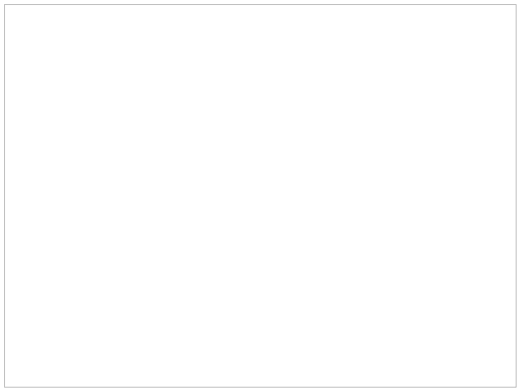


自然界全ての精霊たちは、いつもこうやって私たちに恵みを与えてくれていることを忘れてはいけないと思います。命を与えてくれる自然界の精霊に心から感謝を伝える祈りができました。

自然界の精霊を見て元気が出た後は、帯広市内にある北海道開拓の明治25年に日本中から送られてきた受刑者たちを住まわせた「十勝監獄」の跡地へ行きました。







現在は石碑と建物ひとつだけを残して他は全て大きな公園になっていますが、「十勝監獄」は小さな町ひとつ分くらいの範囲だったことがわかっています。

日本中の受刑者をここに集めた理由は、北海道の大地を開拓をする為の作業員として送られてきました。

明治25年当時、夏は30℃以上になる暑さと冬はマイナス30℃を超える寒さの中で原野を切り開いた人たちがいたからこそ、今の北海道が発展した事を忘れてはいけません。

受刑者全てが大きな犯罪を犯した人たちと言えないのは、時代が廃藩置県によって暮らせなくなった農民や下級武士たちもその中に含まれていたからです。

第三国人やアイヌ人もその中に含まれていたのは当然ですが、北海道の町や道路を走っているとよくそういう人たちの亡骸が埋まっている場所を見つけることがあります。

そういう御霊たちの声に耳を傾けると、「こうするしかなかった・・」と生きる辛さだけを訴えています。

今回の祈りに参加した人たちは

自分の住む土地で亡くなった全ての御霊の思いを受け止めたうえで、
美と歓び溢れる人生を生きると決意しています

ので土地に生きた全ての人の思いをひとつにする祈りをする決意をしました。

翌8月8日は、十勝平野の中心都市である帯広市内の祈りが始まりました。

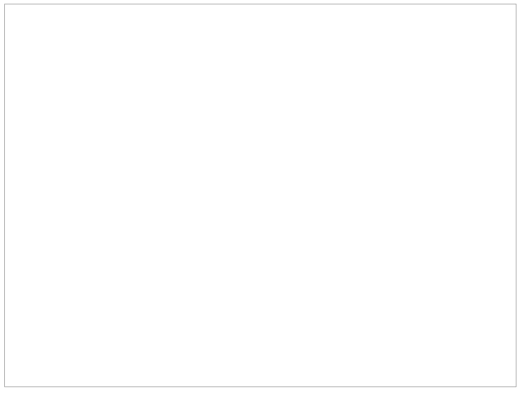
まず最初は最大のテーマになっている「チョマトー」という沼のある場所へ行きました。

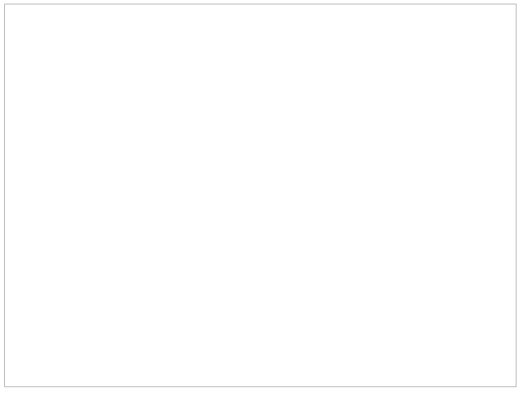
驚いたのは、沼を以前の三分の一以下に埋め立てて道路を作り、その横に真新しいお宮が立っていることでした。

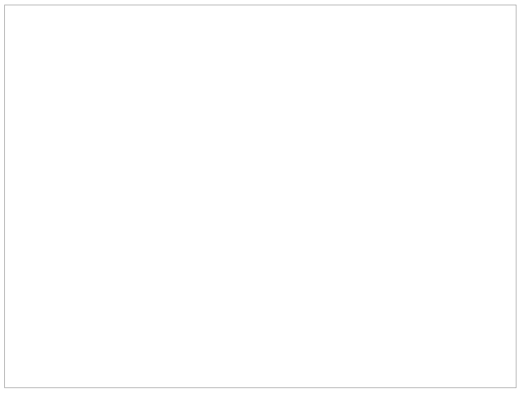
あとから古神道のお宮を守る宮司さんに話を聞きましたが、6年前に市が工事をして道路をまっすぐに直した時に沼を埋めたそうです。

土地は以前からこの宗教団体の持ち物だったようで、工事に合わせてお宮も全て新しく建て直してもらったそうです。

2003年はまだ以前のままだったようですが、、7年後にこういう形でご挨拶に来る意味があるのだと思いました。







チョマトーの沼を守る神様に話を聞いてみると・・・

戦った四つのアイヌ民族の魂は皆、自分の故郷の土地へ帰りたがっている

この気持ちはとてもよくわかります。

だからこそ今回の神事には、アイヌのはちまきである「マタンプシ」を帯広在住のご夫婦にしめて頂き、参加者全員に民族楽器の「ムックリ」をプレゼントしましたが、それは北海道全てのアイヌの気持ちを理解することがとても重要だと感じたからです。

私も自分が住む北海道の土地の歴史を調べて10年以上になりますが、全ての御霊たちは生きている人間が言うような戦いは一切望んでいません。

ただ自分たちの子孫が、健康で元気に生きてくれることだけを望んでいます。

だからこそ何が正しいと主張するのではなく、帯広市内にあるアイヌに関わる土地へお礼とお詫びに行くことを決めました。

まだ正しくアイヌ民族の事を理解していない人の為に説明しますが、アイヌ民族は本州に多い部落民族や朝鮮人問題と同じような辛い差別を子供の頃から受けて育ってきました。

今でも、80歳になっても親から教えられて誤った教育を信じている人たちが多いのが現状です。

北海道でアイヌ文化を受け入れている町は、「コタン」と呼ばれれるアイヌの集落を残して観光に力を注いだ地域くらいなもので、それ以外の地域では今だに言葉にしない差別感情が根強く残っています。

学生時代を岡山県で過ごした私は、四国や関西以南の人たちから部落問題や朝鮮人差別に対して特別な感情がある事を２０歳の時に教わりました。

理解出来ない感情の部分もたくさんありましたが、北海道に帰って同じような差別問題が北海道にある事を知らなかった自分を反省した記憶があります。

当時の差別感情は、現代社会の「いじめ問題」とは比べられなほどひどい差別の実体もありましたが、戦後の国家立て直しの裏側にはこういう背景がある事を大人は知らなければいけないと思

います。

もしかすると、まだ誤った知識を持っている人がいるかもしれませんのでハッキリ言いますが、こういう「人を差別する心」を持っている人は、差別するほうもされる方も心が歪んだまま大人になります。

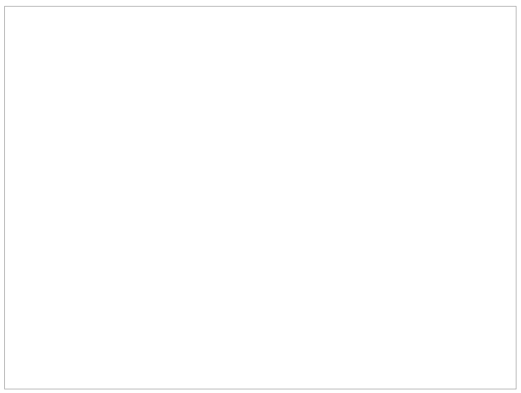
歪んだ心の大人が、自分の子供に何を教えるかを考えてみて下さい。

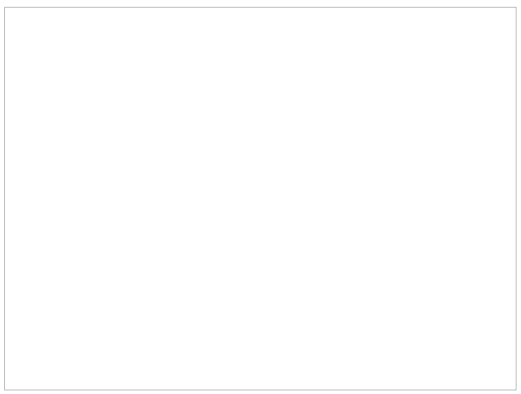
愚かな心の大人は、また愚かな子供を産み育ててしまうのです。

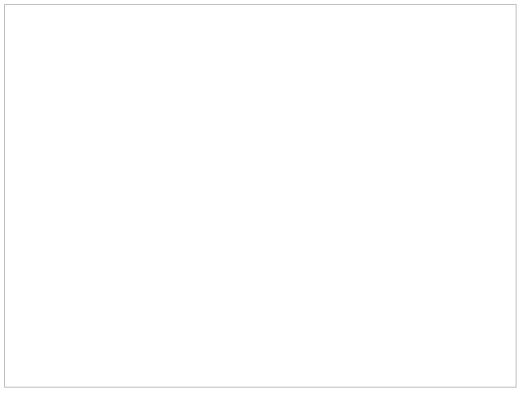
だからこそ、私たちは土地に住んだ人たちの思いに「まずお詫びをしなければいけない」と言い続けているのです。

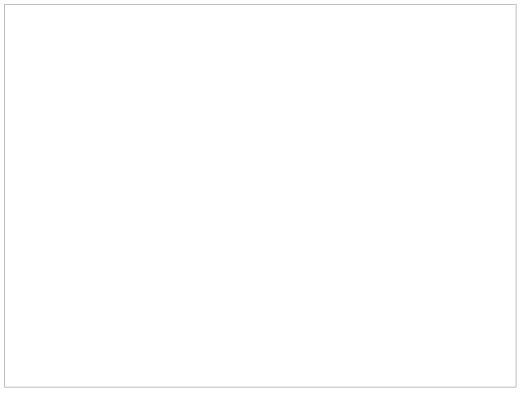
あなたも今日から、土地に対するお詫びの心を持って祈りを実践して下さい。

本来祈りは「お詫びと感謝しかない」と言ってほど、地球上の人間は愚かなことを繰り返してきていますので一人でも多くの方が自分の心の愚かさに気づいて欲しいと願って事実を伝えています。







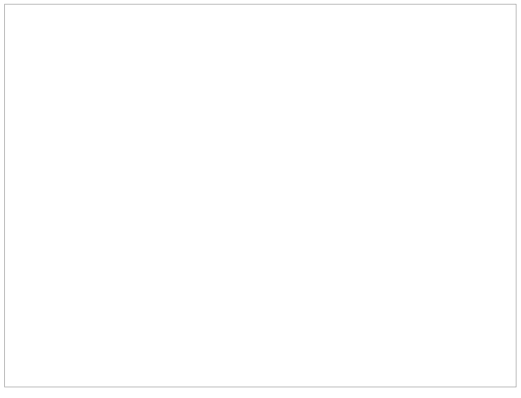


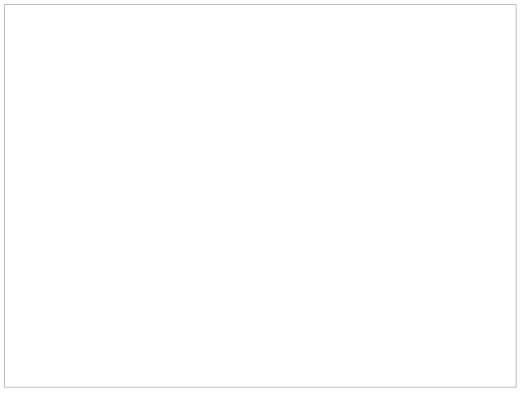
帯広市内は、四方全てが川で囲まれた素晴らしい土地ですので、「チョマトー」の神様に言われたとおり西から南、東、北の順番で祈りを行ってから最後にもう一度「チョマトー」の神様にご報告を行いました。

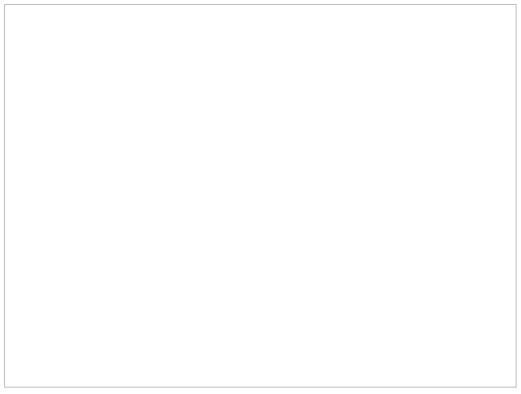
四方の川全てが龍となり、この地を守る事も祈りの中で大神様が教えてくれました。

東の祈りを終えると突然どしゃぶりになり、帯広市内の大浄化も龍が行ってくれました。

最後に北の祈りを終えると、今日の祈りをまとめるように空には大きな太陽が顔を出し美しい虹雲も姿を見せてくれました。土地・風・水・火の神様の祝福の証です。





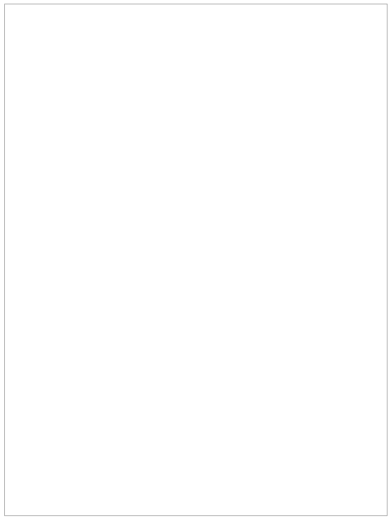


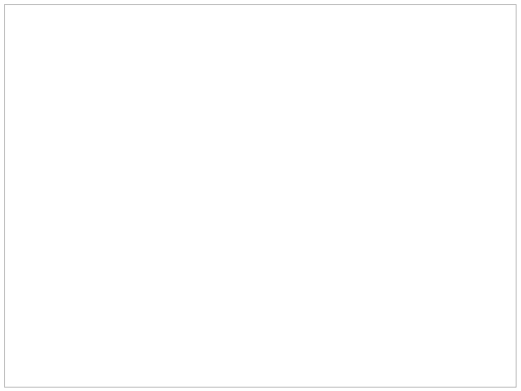
この8月8日は末広がりの良い日だからこそ、全国的にも色々な祈りやイベントが行われたようです。

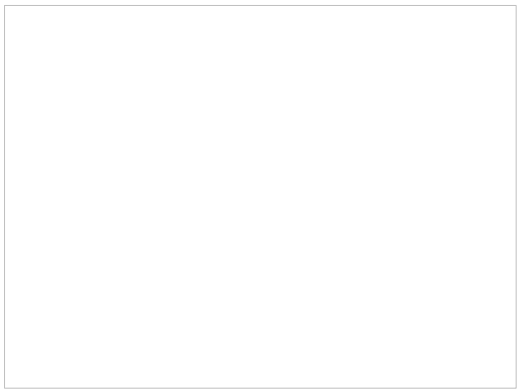
偶然にも、この日は帯広神社の100年祭を祝うお祭りの最終日でしたので、北海道開拓の功労者である依田勉三翁にご報告を済ませてから帯広神社へ報告に行きました。

神輿のご神体をお宮に戻すその瞬間に、立ち会いました。

土地の神も私たちの神事を全てを見守っていたという証です。







これで帯広・十勝の土地の災いも外れましたので、地球内部から新しい光が皆様の土地へ届くはずです。ご協力下さいました十勝の皆様、本当にありがとうございます。

＜神事行程　一日目＞
丸山展望台・・・丸山を通しての祈り
（美生川での戦いのコロポックルとアイヌの和合）
岩内仙境・・・ 美生川で命を落とした御　霊上げ
蝦夷文化考古館・・ 白人コタンがあった所
緑ヶ丘公園（グリーンパーク）内の十勝監獄記念碑

二日目
チョマトー神社 （北門神社）
西：帯広川の支流 大成川
大空団地（公園内の丘のような場所の木の根本に米が置かれてたところ）
南：自衛隊の南側・・・（ウツベツ川・肋骨）
帯広第八中学校の横の茂み
東：十勝川の堤防（東12条南9丁目の東）　↓
北：平原大橋の下（西17条北4丁目）
チョマトー神社
依田勉三（よだべんぞう）の象
帯広神社
2010.08.08 Sun

美と歓びに生きる　４

今日は、65年目の広島原爆の日です。追悼の念を心から贈りたいと思います。

現在も「私は美と歓びに生きる！」と宣言する方からメールが届いていますが、まだまだ間に合いますのでどうぞたくさんの皆様からの宣言メールをお送り下さい。

では昨日の体験で気づいたことをお話ししましょう。

昨夜は、知人の食事会で６３歳（−１０歳に見える）のメイキャップアーティストの男性にお会いしました。プロのモデルやタレントさんの髪やメイクを手がけているとても有名な方のようです。

女性を美しくする事を仕事にして30年で体得したことは、見た目だけではない「心のメイキャップ」も同時に行うことができる素晴らしい男性でした。

ある意味、私と同じように相手の心を感じ取る力が身についていますし、自分の守護存在からの言葉も素直に聞ける男性です。

初めてお会いしたのにすぐに仲良くなり、他人に見せた事がないという沖縄の神童の女の子と一緒に写った写真や自分がこれまで体験した不思議な出来事を色々話してくれました。

美味しい日本酒が仲を取り持ってくれたご縁に感謝しながら、

誰に対しても常に心を開いて生きる

ことの大切さについては話しが盛り上がりました。

ここに来るまでには色々な辛い経験を乗り越えたからこそたどり着いた気づきなのですが、「うまく生きよう、上手に生きよう」とすればするほど思うように行かず、頭にきて自分勝手な生き方をしてたくさんの人に迷惑をかけた経験を持っているからこその到達点なのです。

人間は一生誰かに迷惑をかけ続けて生きる動物

だと、ある意味私は思っているからこそ皆さんにも他人の目を気にして卑屈に生きるのではなく、自分らしく自然に生きるコツを身につけて欲しいと思います。

方法は、とても簡単です。

愚痴を言う人や他人の悪口を言う人に
逢わないように心がけることです。

会社の上司がそうであっても、あなたが一切愚痴を言わない人なら必ずあなたの周りの人も愚痴を言わない人に変わってきます。

それともうひとつ、とても重要な事をお話しします。

今までの人生で自分が誰かにした事のなかで「本当はとても申し訳ないと思っていることをした」という思いを手放すことが今の時期には必要です。

驚いたのは昨日初めて逢ったその男性に、そのことを言われてしまったことでした。

今は、自分が大きく変わる途中なので体調がすぐれない事と実は昨日、守護存在から自分の中にある黒い霧をクリアにして下さいと言われた事を話すと、「ひとつでいいので、これはという事を話してみて下さい」とおっしゃいます。

具体的な事は言いませんでしたが、思い当たるひとつの出来事を思い浮かべて話すと、「きっと今、私に話した事であなたは変わりますよ」と言うではありませんか？！

いつも自分がたくさんの人にしていることでしたが、他の人にしてもらう事も初めての体験でした。

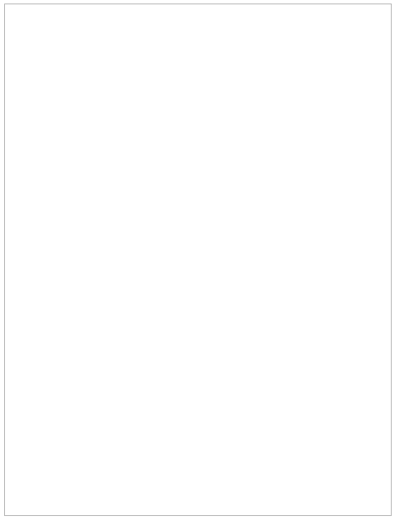
完全な愛になっている人のおかげで負のエネルギー転換をさせもらったような感じでした。今は改めて自分の意識の中で手放す作業も続けています。

「私は変わります！」と宣言した方たちは当然ですが、これを読んでいる皆さんも今まで生きた

経験の中でひとつだけでいいので怒りをぶつけて誰かを苦しめた出来事を手放して下さい。

もう「怒りのエネルギー」は、
あなたの未来には必要がないようですよ！

愛と感謝に満ち溢れた「美と歓びの人生」にあなたは向かっているのですから…。



2010.08.06 Fri

京都御所・京都伏見桃山稜

つい先日、京都に行ってきました。現在取り組んでいる壮大な神事の前準備としてとても重要な場所だからです。

2006年は思い半ばで京都神事を断念しましたが、2009年から手がけている壮大な神事は、京都から東京へ遷都したことで起きた日本の土地・民族・天皇家に関わる過去の諸問題を一掃する為に本州の土地を大浄化する必要があり、それは日本人の精神性を立て直す大きな鍵になると啓示で示されたからです。

その理由は・・・

1、現在の日本人の精神性が大きく崩れた原因は、都を京都から東京へ移した東京遷都が大きく関係している

2、現在の首都である東京都内のエネルギー不調和は、人の心が土地の不安定エネルギーに連動して日本人全体の「未来や現実意識」に大きな影響を与えている

3、現在の京都は、陰陽師が守っていた霊界・幽界・神界の均衡が壊れ、日本人全体の「神仏意識や民族カルマ」に大きな影響を与えている

4、天皇家の皇位継承に関わる全ての問題は日本人全体の集合意識と民族カルマに影響し、そのカルマ解消こそが日本人の霊性を正しく建て直す鍵となる

具体的に行う神事としては・・・

1、関東、特に東京都内の土地・人・神仏のカルマを一掃する神事を行い、新しい首都のエネルギーを立て直す必要がある

2、関東から京都までの東海道五十三次の道のりで起きた民族カルマの解消、及び、皇居から京都御所までの神道（かみみち）を改め直す必要がある

3、大阪を含む東海道五十七次の道のりには、先祖の土地や人の繋がりを大切にする関西人気質と大きくかけ離れた関東人気質の違いを産み、日本人の精神性や文化継承に大きな影響を与えている

さらに私に託されている神事としては、日本における四国の意味を改め直して欲しいと伝えてきています。

私は使命として新たな日本人としての精神性を立て直す事が役目で活動していますが、北海道・沖縄においては先住民の精神を通して繋ぎ直し、残された本州・四国・九州の土地のカルマを一掃することで日本の土地へ命を繋いだ全ての民族意識を再統合して地球が光の星として輝く為の日本民族の証を立てる事が求められています。

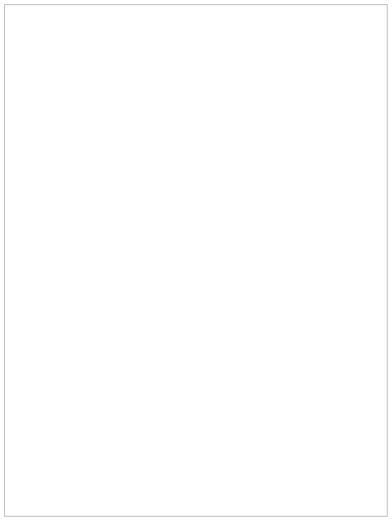
自分の土地を愛し人の繋がりを大切にすることで土地の精神文化や日本人の民族文化を継承する人たちをサポートしていきますので、気づきや出会いのワーク・セッションを企画して下さる方からのご連絡をお待ちしています。

＜2010年8月1日-2日　京都の報告＞

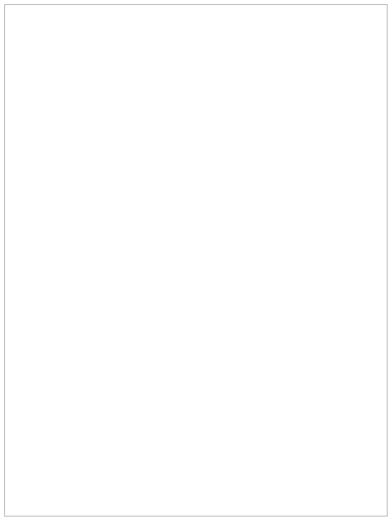
１、京都御所にご挨拶

東京遷都後に荒れ果てたこの場所を創りなおしたと記されています。先祖の土地を大切にする心の原点だと思います。

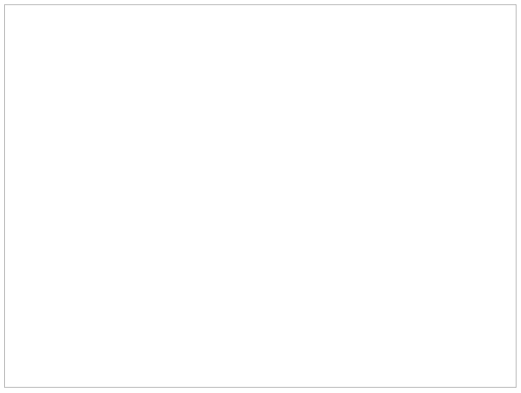
※以前の京都御所の位置



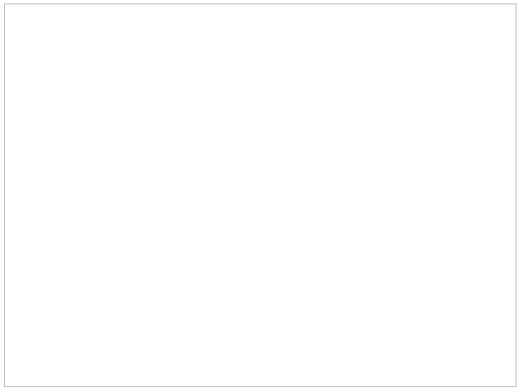
〇現在の京都御所



今回発見した京都御所の鬼門（東北）を守る井戸の神様



天皇が来られる時の正門



こ正門から京都～東京神事の事前報告をさせて頂きました。

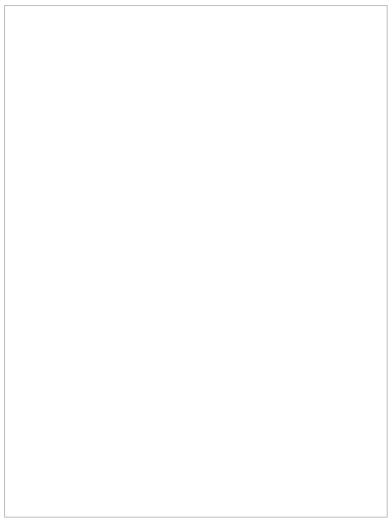
同じ日、沖縄の比嘉吉丸さんから電話があり、「ぜひ京都にいるなら明治天皇のお墓があるので行って欲しい」と言われたので向かいました。

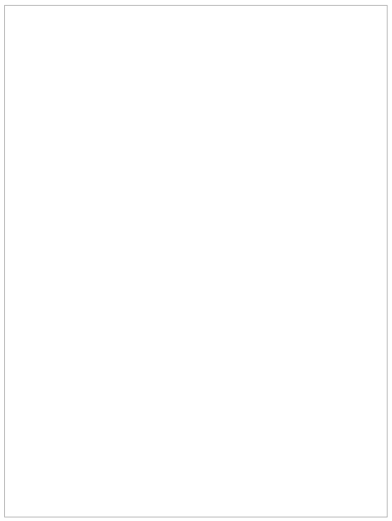
私も最近、東京へ行く度に明治神宮へ行くようにしていますが、比嘉さんが私に託した理由は、大正天皇になるはずだった出口王仁三郎の皇族カルマに原因があるようです。

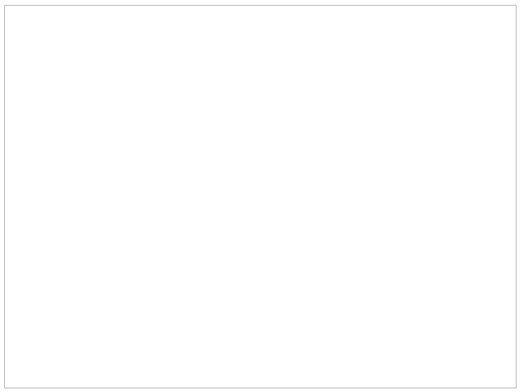
大本教の本山には2006年に正式にご挨拶していますが、大本教の内部分裂の原因も出口王仁三郎の意思の理解が大きく影響しているようです。

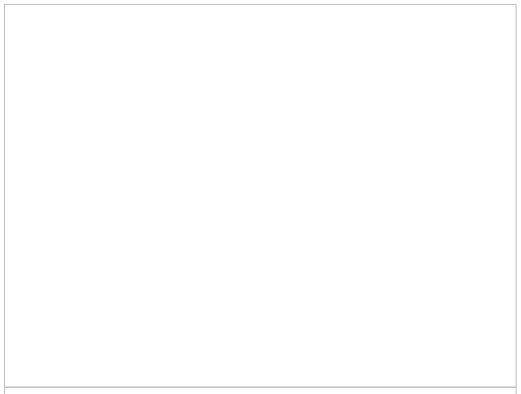
これまでの10年間で出口王仁三郎の名前はことある事に出てきましたが、私個人は神に託された日本人として守るべき精神性を貫いた神人と感謝しています。

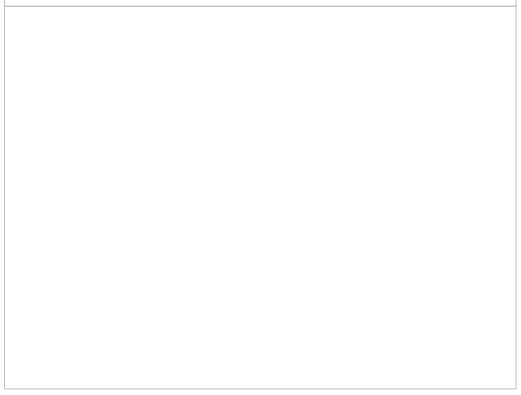
「明治天皇京都伏見桃山稜」は、とても素晴らしい場所でした。











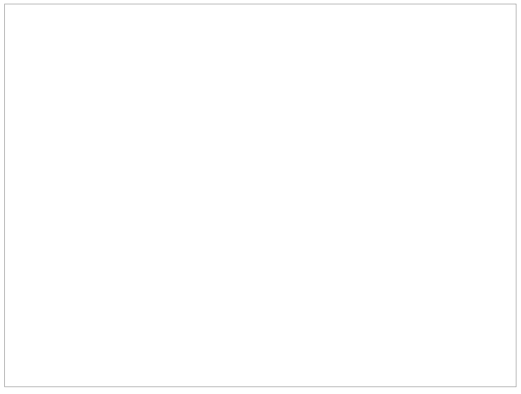
今後の神事の報告をすると「頭を下げて下さい」と言われたあと、たくさんのご供物と大切な事が書かれて巻物を下さいました。

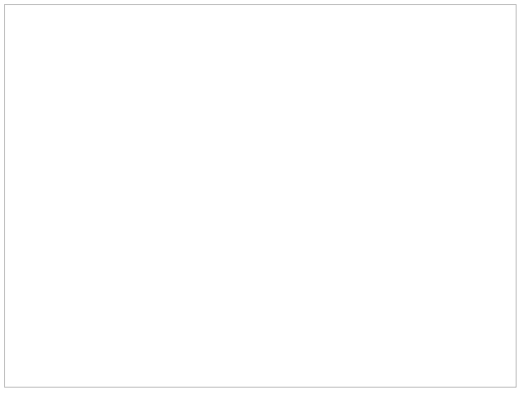
改めて明治天皇の意思を受け継ぎ、日本人の精神性と国の改めに力を注ぐ決意をしました。

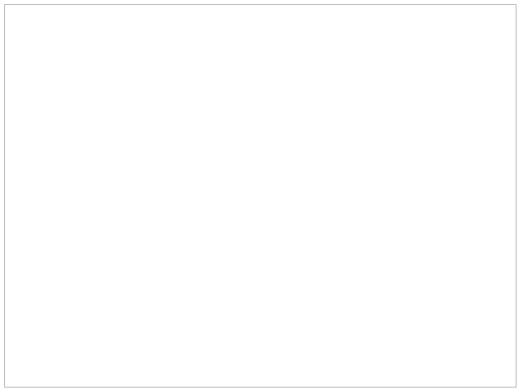
このあと、日本全国の土地を守る全国一宮宣言祈りの最終地　山城国（京都）の一宮二社を回ってきました。

まだこの土地を守る宣言をした巫女が出ていないのがとても残念に思います。どうぞ京都の土地を守ると宣言し一宮宣言祈りをして下さる女性は、全国巫女ネットワークにもご参加下さい。

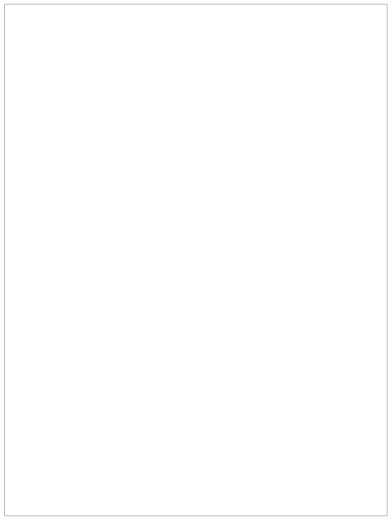
●賀茂別雷神社（かもわけいかずちじんじゃ）…京都市北区（現：上賀茂神社）

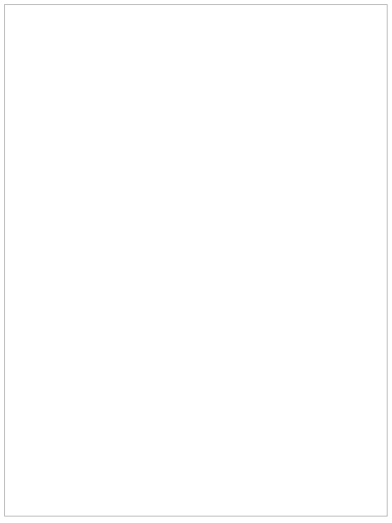


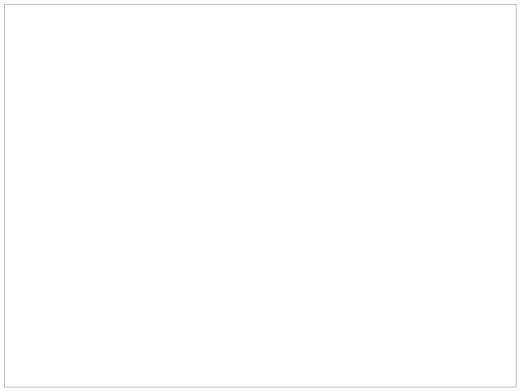




●賀茂御祖神社（かもみおやじんじゃ）・・・京都市西京区（現：下鴨神社）







ひとつひとつの神業に合わせて、「美と歓び溢れる人たちを増やす活動」をしていきますので、志同じく思う皆様のご支援金を宜しくお願い致します。

地球創生基金

・郵貯から郵貯へお振込みは　記号　　**19070**　　番号　　**9613551**

・銀行から郵貯へお振込みは　支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　０９６１３５５

2010.08.04 Wed

美と歓びに生きる　３

だいぶ身体は楽になってきましたが、まだ空咳が時々出ています。

突然、空咳が出る時はだいたい神様や霊的な存在がメッセージを伝えている時なので、守護存在たちがエネルギーで教えてくれる「かかった状態」だと覚えておいて下さい。

神様や霊がエネルギーで伝える方法は他にも突然、耳元で風圧が変わったのを感じる時などもあります。

こういう「かかった状態」の時の判断として、身体の左半身に出た時は「守護霊」からのお知らせの場合が多く、「自分自身の頑固な思いこみを変えなさい」というメッセージだと思って下さい。

反対に、右半身に出た場合は「守護神」からの導きなので「もっと高い視点で物事を考えなさい」というメッセーの意味があります。

現在の自分の症状を読みとると私を含めてまだまだ自分の　内側にある常識 を置き換えなければいけない人たちが多くいることが原因だと感じています。

「美と歓びに生きる　１・２」を読んだ60名近い方たちが、本名・年齢・プロフィールを添えて「私は変わります！」と宣言メッセージを送って下さいましたが、一人一人の方へすぐにお返事はできませんので試験的に今、話題のツイッターを使ってメッセージを伝えたいと思います。

ツイッターに登録出来たら、yoshiokamanabu を検索してメッセージをお読みになり、ダイレクトメッセージを残して下さい。フォローして下さる皆さんが多い様であれば今後も利用を考えます。

自分の今の状態を確認したい・詳しく聞きたい方は、霊視メールカウンセリングからお申込みをお願いします。

「美と歓びに生きる」ための今日のテーマは、守護存在を信じる　についてお話ししたいと思います。

このテーマを話さなければいけない理由は、皆さん自身にまだ自分を信じていない部分があるか

らですが、誰かに期待して裏切られた経験をクリアしない限り、希望あふれる未来を心から創造することはできないのです。

「人を信じられない」という言葉を吐く時、まず自分自身が信じられない状態になっていることを自覚して下さい。

その状態が永く続くと必ず「うつ状態」になりますし、しゃべる言葉は他人の愚痴や不満ばかりが口から出るようになります。

自分を信じられなくなった原因が親の教育だったり、家族の問題だったり、友達や異性関係で裏切られた経験も多いようですが、もう一度、純粋に人を信じる心を持たない限り　心の平安　を得る事はできません。

「自分を信じる心」は他人を信じる心に繋がるだけではなく、何度裏切られえても自分が望む未来を叶える為の強い愛のエネルギーを産み出します。

もしあなたが今の自分を100点満点だと思っている部分があるとするならば、それは必ず「おごり」という罠にかかって痛い経験をするはずです。

「自分を信じる心」とは、**100**点満点ではない自分を認め許す事から始まりますが、そういう足りないあなたを見守り続けてくれている守護存在がいる事にも気づく事が大切です。

守護存在は、あなたのご先祖かもしれませんし、信頼している人かもしれません。

人によっては、守護霊より大きな神様のエネルギーを持つ守護存在に守られている人もいらっしゃいます。

「守護存在に感謝する心」を持っている人は、どんな人にも同じように守護存在が守っている事がわかるはずですから、お互いに100点ではない人間同士が切磋琢磨して足りないところに気づく為に出会っていることに気づく必要があります。

それが理解できたら今、出会った人たちと未来に出会う人を信じて行動する事がどれほど大切な事かを気づくと思います。

この人と人の出会いや導きを繋いでくれているのが、「守護存在」たちだからです。

自分の守護存在のメッセージを受け取りたい方は、スピリチュアルカルテをお申込み下さい。

自分の守護存在を信じられるようになると、嫌いな人にも同じように守護存在がいることに気づきます。

そこまで気づけた人は足りない相手の行動を問うのではなく、その人の未来を信じてあげる事がどれほど大事な事かを気づくことでしょう。

一人一人の守護存在の視点から物事を考えられるようになると、既存の宗教争いのように「唯一絶対神」を主張する人たちの幼い心にも気づきます。

心がまだ幼い人は必要な時期が来るまで違いに気づけないので、そっとしておいてあげて下さい。

どんな人でも必ず自分が気づくべきチャンスを人生で何度か与えられますので、その時が来るのを信じてあげるだけでいいのです。

ここまでの話で大切な事はわかりましたか？？？

全ての根幹は、「自分を信じる」ことが始まりなのです。

なぜ自分を信じる事が大切かを言うと…

それは「あなた自身も守護存在の一部」だからです。

理解できない人の為にもう少し説明しますね。

まずあなたの肉体を作ってくれたのは父母かもしれませんが、あなたの心や魂を作ってくれたのは大いなる宇宙の守護存在です。

私は「全宇宙の守護存在マスター」と対話するようになってから、それまでの人生とは大きく生きる意味が変わりました。

宇宙の守護存在マスターは全ての陰と陽の両面を持ち、私たちの思う事、することの全てを受け入れ続けてくれています。

そしてこれほど高度に成長した人間が「魂」を創りだす事はできない理由も、私たち自身がその一部であり全ての魂と繋がっているからなのです。

魂の繋がりを「先祖の繋がり」と理解しでもいいでしょう。

あなたの父母、父母の父母・・・・地球に人間が誕生してから数えて今のあなたが生まれる確率を計算してみると、それは精子が卵子に到達する確率よりももっと少ない事がわかります。

それほど少ない確率で生まれたあなたが、

この世の中で必要のない人間である訳がありません。

あなたはこの地球に必要だからこそ生まれ、大切な役割りを持って生まれている事をまず自覚して下さい。

次に何の為に生きるかですが、まず大切なのは自分の為に生きることです。

自分のやりたい事や信じる道を生きる為には、周りの人の力を借りなければいけないので、その為の知恵や知識が必要になります。これがまず人生で第一に学ぶべき「生きる知恵」なのです。

次に自分の人生を喜びにする為には、周りの人に歓びを与えてあげられる人になる事が重要です。

それは誰もがやさしくしてもらうことで、やさしくしてあげる気持ちが芽生えるからです。

愛や喜びや優しさを感じたければ、まずあなた自身が誰かに喜びを与える人間になる事が先決です。

ここまでは人と人の思いのやり取りを学ぶ「情の付き合い」コースだと思って下さい。

この上のコースになると一切、見返りが無くても愛ややさしさを永遠に与え続けられる「愛の人」のコースになりますが、なかなか完全に出来る人に出会った事はありません。

全ての事について愛を完全に実行できない幼い心の持ち主同士の人間だからこそ、出会う人とお互いの魂レベルアップの為にいくつものレッスンコースが用意されているのです。

もうひとつ大切なことは、守護存在を喜ばせるような生き方をすることが重要です。

自分の守護存在や周りの人の守護存在、または神社やお寺にいらっしゃる守護存在たちを歓ばせる生き方を実践することで大きな愛を感じることができます。

人間に生まれて誰かに出会うこの人生は、いくら相手を変えても必ず学ばなければいけないことは終わることなく続くように設計されています。

そのことにまだ気づいていない人は思う結果にならない時ほど相手にせいにしますが、常に自分は正しいと勘違いして同じ経験を繰り返している人をあなたも観た事があるはずです。

同じ経験を何度かした人ならわかると思いますが、同じ思いをすること自体があなたが変わっていない証拠　なのだと気づいて下さい。

「私は変わった！」といくら口で言っても、周りの人が認めてくれないのはこの部分を指摘しているのです。※特に家族は厳しいですよね～（＾＾）

私たち人間は、永遠に代わり続ける事をテーマに生まれてきました。

その為に自分の為だけには生きられない事を悟り、誰かの為だけにも生きられない事に気づき、神や仏が見守るのは、自分たちに出来ない事をして欲しいからこそ守護していることに気づく事が大切なのです。

まもなくお盆がやってきますが、ご先祖たちが今のあなたと対話する為に降りて来ますので、いつわりのない自分らしい言葉で、新しい自分がどう生きるかを先祖たちにも宣言して下さい。

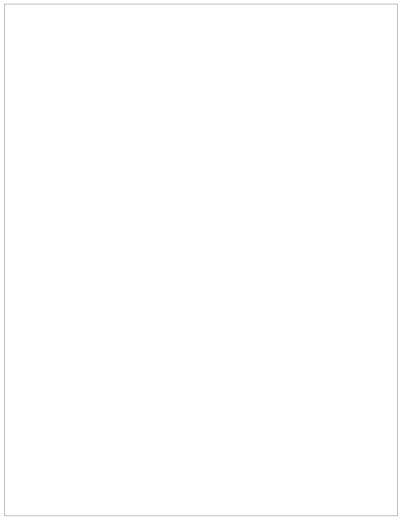
今回、私と一緒にエネルギー上昇をすると決めた皆さんは、必ず必要な時期にメッセージが降りて来る事は確実です。

それはこれからの人生を生きる意味がとても大きな意味に繋がっているからです。

だからこそ、ここまでの人生をどう生きたかは問題ではありません。

あなたがこれからどう生きるかを問われているだけなのですから、まだ自分が変わる宣言をしたい方はこちらへ本名・年齢・都道府県・プロフィールを添えて宣言メールをお送り下さい。

まもなくこれからの10年の大きな扉が開くことだけは、お伝えしておきます！



2010.08.03 Tue

美と歓びに生きる　2

昨日に引き続いて「美と歓びに生きる」をテーマにお話しします。

今日まず驚いたことは、昨日の内容を読んで宣言の連絡をくれた方があまりに少ない事実に驚きました。

心の中でひっそりと宣言した方もいるかもしれませんが、それではあまり実現しませんよ！

確かに何名かの方は「私は変わるという宣言メール」を下さいましたが、本当はもっと多くの方が一緒に次元上昇するはずなのに、その意思を明確にしないのはとても残念に思っています。

「波動を上げる意味」がまだわかっていない方の為に説明しますが、自分の力だけで波動を上げることはとても難しいことだと覚えておいて下さい。

通常、皆さんが生活の中で波動を変えるチャンスが与えられる時は、

とても嫌な事が続いて、どうしても自分が変わらなければいければ状況に追い込まれたり、反対にものすごく良い事が連続的に起きて自分の意思ではないのにどんどん良い結果に導びかれる時、

くらいなものです。そしてこういうチャンスは、人生に何度かしか訪れません。

失礼な言い方ですが、あなたは自分の人生を選んで生きている様に思っているかもしれませんが、実はこの人生で起きる事は

全て選択させられている　のです。

ほとんどの方はまだ自分で相手や場所を選んで生きていると思っていますが、巧みに仕組まれている事に気づかず人生を歩んでいますが、私たち人間が生きる道はこの道しか無いのも事実です。

「自分で選んだつもりは無い」と思っている方ほど誰かのせいにする言葉を吐く方が多いようですが、その人は絶対と言っていいほど幸せや歓びを心の奥から感じていないと思います。

それは、自分の人生を自分で築きあげていく覚悟をしていないことが原因です。

誰かに選ばされた人生だとしても、その道のりを楽しいものにするかどうかは、あなた次第でどうにでもできるという事をまず覚えておいて下さい。

そして未来の可能性をあきらめた人には、見事に「あきらめなければいけない」ことが続きます。

「この人生は自分が選んだ」と感じる為にも、今、自分のモヤモヤしている全ての事を辞めたり、逃げたり壊した時のことを想像してみて下さい。

あなたの目の前から嫌な物が一切無くなったとき、あなたが何を思うかが問題なのです。

「あー、せいせいした！」と安堵の気持ちでいられる時間はそれほど永くは無いでしょう。

しばらくすると、しなければいけないことが浮かんでくるはずです。

「あー、ご飯を食べなきゃ！あー、お金を稼がなきゃ！あー！支払いもあったんだ！」

あなたは生きているだけで、とてもたくさんのエネルギーが必要なのです。

そのエネルギーは自分一人で産みだす事はできません。

だからこそエネルギーを与えてくれる人のそばに居たり、エネルギーを与えてくれる相手の為に役に立つよう頑張っているのです。

恋愛も結婚も仕事もお金も、全て同じエネルギーで動いています。

言い換えれば、このエネルギーは「人の思い」なのです。

あなたのお金に対する思いや、異性に対する思い、そして様々な物に対する思いが、この現実のバランスを作りだしています。

でも未来に新しいあなたが待っているとしたら、今、あなたは何に気づかなければいけないのでしょうか？

あなたが今、気づくべきことは、

今までこだわってきた事を手放すことなのです。

全てではありませんよ、

強く頑固に思っていた部分をひとつだけでいいので「手放す」と決めることです。

あなたの器は無限に大きくなれるほど純粋ではないからこそ、この方法を教えているのですから、どうぞ、今ひとつだけでいいので自分のこだわりを捨ててみて下さい。

ちゃんと捨てられた方には、必ずその空いたスペースに新しいエネルギーが入ってきます。

それは、新しい人との出会いかもしれません。

それは、自分自身の内側からの気づきかもしれません。

もしかすると、突然、神様の声が聞こえるのかもしれません。

一番、早く守護存在たちが伝える方法は夢の中ですので、あなたがウトウト寝ている時にメッセージをもらっているはずです。

ちゃんと受け取った人は、すぐに行動して下さいね！

急激な出来事が起きても戸惑う事がないように、早めに波動を上げましょうと言っているだけなのですよ！

一緒に波動をあげて、自分の幸せと他人の幸せを同じように望める自分になった人は、一緒に地球をや周りの人の心をきれいにお掃除してあげましょうね～！

今回のタイミングで自分は波動を上げて新しい自分になると決めた方は、どうぞこちらへメールを送って下さい。名前・年齢・都道府県・プロフィールを添えてくれた方には、私の守護存在からの重要な気づきのメッセージをお送りします。

年頭に2010年は「変化に順応する年」というメッセージを公開していますが、新しい変化の波にどうぞいち早く乗って下さいね！

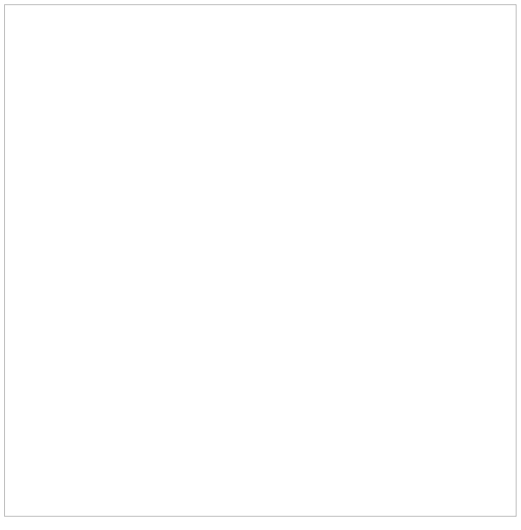
これからは肉体があるうちに、希望と歓びに満ち溢れた人生を歩む人たちがたくさん増えていきます。

理屈も条件も一切関係ないほど、あなた自身が美と歓びを意識して生きることをしさえすれば、この人生は最高のステージに上がりますのでどうぞご自分でなると決めてメールでお知らせ下さい。

地球上で歓びが溢れた人たちは、大きな導きの神様たちと一緒に今まで以上に大きなエネルギーを動かす時代がやってきます。

あなたの宣言と共に歓び溢れた大人たちが、世の中を変える時代になるんですよ！

どうぞ、あなたも一緒に！



2010.07.30 Fri

美と歓びに生きる　1

今月（7月）はスピリチュアルカレンダーでも珍しく三回もエネルギー上昇の日があるほど、意識が大きく変化する月でしたが、皆さんはいかがでしたか？

何気ない生活の中で様々な事が起きたり、心を揺さぶられるような出来事を経験した方も多いのではないかと思います。

心が揺さぶられるとその不安を打ち消す為にものすごくエネルギーを消費しますので、身体は不調和音を整える為に熱が出たり体調を崩した方も多いのではないかと思います。

私も珍しく関東出張の時から空咳が続くので、変だと思いその理由を自分自身に問い正してみました。

「内なる神」というか、宇宙の創造主マスターが私に教えてくれた言葉は、10年前の西暦2000年に「無の世界」へ到達するまでの過程で言い続けられた言葉でした。

その言葉を聞いた一瞬は、苦しかった「三年間のユタ修行」の期間も思い出しました。

でも今回は同じように苦しみなさいという意味ではなく、

今のあなたの波動では今後の変化に対応しきれないので自分自身の波動をもっと上げなさい

という意味の言葉でした。現在は、その事を受け入れましたので調整期間に入っています。

これは「頭の中で納得できたら終わり」という簡単なものではなく、実は魂の奥底にある自分自身の置き場所を変える大変な作業なのです。

これまでも心の置き場所を大きく変えなければいけない時期が何度かありましたので、その度に葛藤しながら変化を受け入れてきましたが、「魂の本質である自分の位置」を変えると、実際には日常で感じる出来事の全てが変わって感じるようになります。

当然、身体から発するオーラも変わりますし、言葉や表情や雰囲気さえ変わってしまいます。

本人にとっては、それまでの概念や理念・価値観の全てが変わると言ってもいいでしょう。

この特別な方法を教えているコースが「スピリチュアル能力開発講座」ですが、卒業した方たちが手に入れた新しい自分の喜び溢れる生き方を見ることが何よりも歓びです。

しかし、まさか自分も変わる事を要求されるとは思ってはいませんでした。

常に、物事は突然起きますので心の準備はしているつもりですが、戸惑いもありました。

変わる事に不安が無い訳ではありませんが、地球や日本に生まれた方たちが目覚める為にも、今、自分自身が変わる必要があるのだと理解して受け入れています。

何度もお伝えしている言葉ですが、

他人を変える事は出来ないからこそ、自分自身が変わる必要があるのです

と言い続けてきましたが、さらなるステージへ進む為の時期が来たようです。

この変化の時期を完全に乗り越えると「新しい普通の自分」が生まれますので、もう二度と前の自分の生き方は出来なくなってしまいます。

だからこそ、大切なこの変化の時期の気づきを皆さんとシェアする為に「美と歓びに生きる」をテーマに何度かに分けて連載していこうと思っています。

ハートランド龍球の目的も「美と歓び」に変えていますが、これは見た目だけの美のことではなく、心や体や魂。そして生き方全てにおいて「美と歓びを感じる生き方を実現させる」という意味です。

人間は「美と歓び」を感じる為に肉体を持って生まれましたし、その大切なエッセンスとして「本能の欲望」も与えてられています。

誰かに言われた言葉で「欲望を悪」として扱った為にこれまで苦しんできたはずですから、どうぞこれからは「欲望を善」と考えを変えて上手に活かす方法を身につけて下さい

私が子供の事からずっと疑問に思っていた事が、実は、このことだったのです。

たくさんの大人たちが言うルールに「なぜ、そうなの？と聞いても、誰も答えてくれなかったからです。

全宇宙の創造主マスターと対話できるようになった時に、一番最初に質問したことは・・・

なぜこの世の中に善悪の基準やルール、そして天国や地獄を作ったのですか？

と質問すると・・・

それは私たち（神々・マスター）が作ったのではない。全て人間が創造したものだ。

愕然としました・・・、さらに問い続けると・・・

イエス・キリストやブッタ、そしてこれまで世界を救う為に降りた全ての救世主たちも一切、ルールを誰かに強制したことはない。全て救世主の言葉を聞いた人たちが自分の判断で他人にルールを押し付けただけなのだ。

頭が、真っ白になりました。今まで常識だと思っていた事は何だったのか・・・と。

この言葉を聞く為に実に、40年間苦しみ続けたと言ってもいいほど、社会にある嘘や人間の心の中にあるごまかしや嘘を問い続けてながら嘘にまみれた人生を生きてきたからです。

でもこの言葉を聞いた瞬間から、私の人生は大きく変わりました。

それからは、生きる指針も目標も新しく自分で設定し直したからです。

でも今、もう一度生きる指針や価値観を変える時期に来ているようなので、一日も早く新しい自分に出会ってより大きな愛の羽根で地球を包みこみたいと思っています。

今日の言葉であなたの心がもし共鳴する部分があるのなら、ぜひあなたも一緒にステージを一段上がると自分自身に決意して下さい。

そして、新たな自分に出会う為の準備をしましょう。

過去に囚われない生き方をすること。

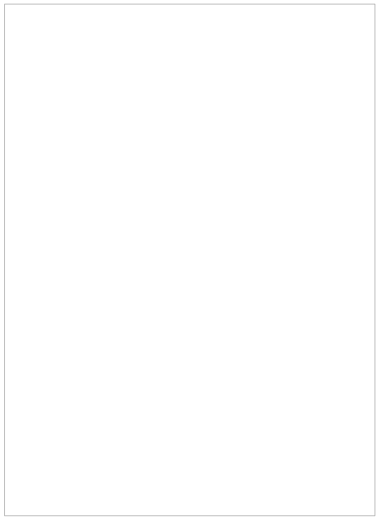
未来に希望を持っている人たちへ勇気を与える自分になること。

そして自分は今以上に明るく楽しく幸せを感じながら愛の仲間たちと共にこの地球を守り導くと宣言して下さい。

私は誰の手も引きませんので、自分の足で一歩一歩、自分の階段を登って下さいね。

全ての人間は「愛と歓びを体中で感じる為に肉体を持って生まれてきた」のです。

さあ、一緒に新しい自分になりましょう！



2010.07.29 Thu

つながりを守る神様

これまでの人の出会いや家族としてのご縁を頂いた人たちの事を思い出してみて下さい。

嫌いな人も、大好きな人もいた事でしょう。

でもその全ての人と、今もあなたが繋がっているとは思っていませんよね。

「もうあの人とは縁が切れた、縁を切った」と思っていたのに偶然、出会ってしまったり、見かける事はありませんか？

そうではなくても、「他の人の口からその人の名前が出る」時も同じです。

これはあなたに、「過去の思いを手離して下さいね」と教えてくれている神様のメッセージなのです。

人間も自然界にある全ての魂も、全ては宇宙の大元から生まれていますが、それぞれ「個」という意識を持ったことから「不安や葛藤」が始まりました。

それは「他の人との違い」を主張しなければいけないと思ってしまったからです。

「個」という意識を皆さんに持たせたのは、悩ませる為ではなく本来は、「新しい創造」を産みだす為なのです。

その為の新しい気づきを与えてくれるのが人の出会いなのですが、何度か失敗を繰り返すと

自分はこういう人間だと思い込むくせ

にはまっている人を多く見かけますが、それは大きな間違いですよ！

人間はもともと無色透明な素晴らしい魂を与えられて生まれてきました。

それは自分と言う人間を産み出してくれた全ての御先祖たちの出来なかった思いだからこそ、あなたの魂は純粋に生まれさせてくれてたのです。

そのことをもう一度、思い出してみて下さい。

「魂のつながりを守る神様」は人と人の御縁や家族のご縁も繋いでくれますので、もう一度、あなたが生まれてきた意味を考えてみて下さい。

自分で選んだ記憶がない人は、どうぞご先祖に手を合わせて聞いてみて下さい。

「私は何の為に生まれてきたのですか？それは実現出来ていますか？」と。

今も夢や希望を抱きながら一生懸命に生きている人はこうつぶやいて下さい。

私の夢を叶えてくれるご縁をありがとうございます。その為に私がするべき事がありましたら、どうぞお導き下さい　と。

あなたの未来は今、出会っている人ではなく、新しい人との出会いで大きく変わります。

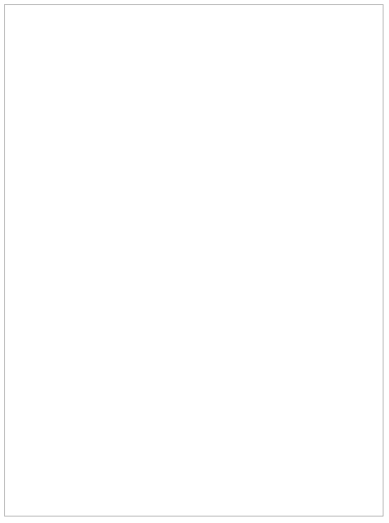
未来の夢を叶えてくれる素敵な人に出会える自分になる為にも、あなたがまず一歩前に進みましょう！

全ての繋がりを守る神様は、どんな人でもドン状況の時にも必ず現れてくれます。

だからこそ、ただ待つのではなく自分の足で歩きだしましょう！

新しい夢ややりがいを創造してワクワクしている自分さえいれば、
必ずあなたの夢を叶えてくれる手助けの人に出会えます。

あなたの夢を叶えるのは、あなたの「ワクワク心」と出会いだと覚えておいて下さいね！



2010.07.27 Tue

訃報から「よなのか」

毎日毎日、たくさんの人がこの世から旅立っていますが、6月24日に亡くなった谷浩一君（47歳）の魂は「よなのか（28日）」を過ぎて少しづつ現生で生きる人たちの思いと共に整理が始まっています。

谷浩一君を慕っていた人たちが心のよりどころを無くし不安定エネルギーをブログで書き散らしていると聞きましたが、それは谷君の魂のエネルギーの問題ではなく依存していた人たちが自分の心をどこへ向けたらいいのかを谷君の心に置き換えて書いているだけなのです。

自分が感じ取ったメッセージや思いは、常に自分の中にある「思いの周波数」が引き寄せて感じ取るものですので、それもその人の役目だとすれば他人の言葉に振り回される事はないのです。

不安定な言葉や人を傷付ける言葉を吐く人はどこにでもたくさんいますが、その不安定エネルギーに触れて反応する自分の愚かさにも気づいて欲しいと思います。

人間の魂は亡くなってから一定の時間、人間として生きた感情や思いを整理する（手放す）時間が与えれています。その最初のトレーニング期間が、「四十九日」という期間なのです。

「７」という数字には「終わり」という意味がありますので、初七日、ふた七日と続く「７」の繰り返しごとに、ひとつひとつの階段を上がるようにこの世の思いの整理をしています。

現世の全ての時間は「３で始まり７で終わり」ますので、７×７の四十九日は「終わりの終わり」という意味で最も大切な時間なのです。

谷君の魂にとっては四十九日の時間が現世の思いを手放して次の魂の役目になる為の時間なのですが、出会い・関わりを持った私たちも彼との関わりで感じた思いを手放す為の時間が与えられていると言えます。

人間は善悪で人を裁いたり他人を傷つけたりしますが、真意が伝わらず辛い思いをしたのは谷君も同じです。

お互いに幼い部分があるからこそ、人は出会い、様々な経験を共にするのです。

その全ての思いに「ありがとう、本当にありがとう」を言える自分になる為の時間が、今、与えられています。

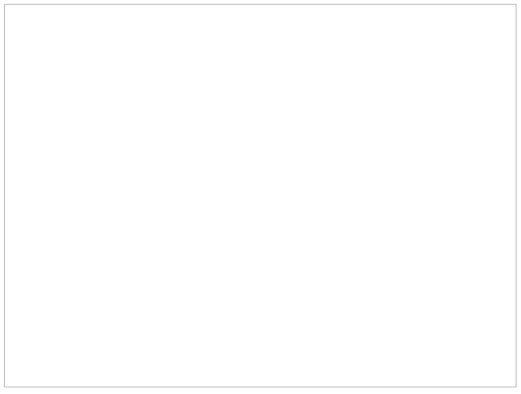
「７」という現世の終わりを迎えた後、彼は「８」という無限の世界へ旅たち、また新たな役目を持って生まれてきます。

それまでは星となり、守護神となって関わった全ての人たちを導いてくれることでしょう。

四十九日までの毎日が、関わった人全ての魂の浄化期間なのです。

どうぞ愛と感謝を込めて谷君との思いを浄化して下さい。

最後に残るのは、ただ「ありがとうございます」だけでいいのですよ！



2009年2月　与論島神事でご一緒した時の写真です

ありがとうございます

2010.07.24 Sat

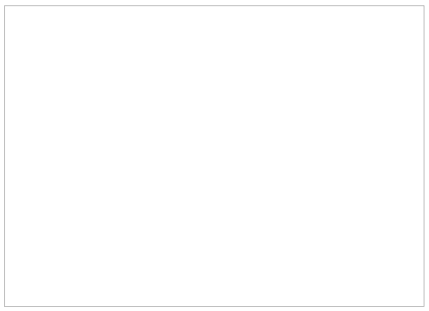
地球交響曲ガイアシンフォニー第七番

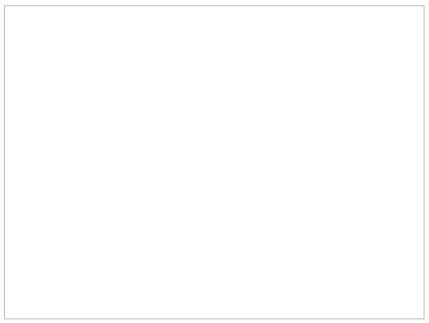
昨日（7/22）、札幌市民ホールで「地球交響曲ガイアシンフォニー第七番」を見てきました。

地域の仲間が集まって上映会を主催する自主上映という形でしか見られないドキュメント映画は、ご縁が無い方には一生観るチャンスがないと言えるほど貴重な映画ですが、述べ２０万人を超える方たちが観ている事でこの映画の素晴らしさは伝わるでしょう。

1989年に龍村仁監督がこの映画を制作し、1993年に北海道で初めて上映会を企画したのが「北海道ガイアネットーワーク」というボランティア団体でした。

このボランティア団体に参加して2001年に第四番の全国封切りを札幌でお手伝いしてからしばらく主催する側だったので、今回は観る側で仲間たちとゆっくり映像を楽しめました。





初めてこの第七番の映画製作費に支援をしようと思い立ち、皆さまから頂いた地球創世基金の中から寄付もさせて頂きました。結果的に「今回は資金が足りなかった」と龍村仁監督の口から聞けたので少しはお役に立てたのかなと思いました。

ぜひ観てみたい！上映会を主催したい！方は、地球交響曲　龍村仁監督のホームページをご覧下さい。

今回の第七番の特徴は、日本人に秘められた素晴らしい精神性を日本神道の神事を通して伝えて

いることが印象的でした。

第六番を公開した時に、天河弁財天の映像を観た人から宗教的だという声も出ましたが、龍村仁監督が伝えたい事は現代宗教の相違点ではなく、その裏に隠された日本人の精神性、つまり日本人の素晴らしさを伝えています。

現在では第六番までＤＶＤも発売されていますので、すぐに観たい方は自分で購入して仲間たちとご覧になることもお勧めします。

私が今もこの地球交響曲を支援している理由は多方面に広がった精神世界の中で一番本質的な部分を伝えくれる映画だからです。

たくさんの人たちの魂の目覚めを望むからこそ、永年ボランティア活動を通してたくさんの人をこの映画にお誘いしましたが、この映画を観てどう感じるかという心こそが人間本来というか、日本人の素晴らしさだと思っています。

美しい映像と心地よい音楽に包まれながら世界一流の出演者たちが語りかける魂の言葉は、誰もが知っている本質の言葉だからこそ心に響きわたることでしょう。

愛は自らの内側から溢れ出ずるものだ

と気づく素晴らしい地球交響曲ガイアシンフォニーの映画をどうぞご覧下さい。
2010.07.23 Fri

ご先祖祈りの方法

お盆も近くなってきましたが、先祖代々の大切なことを語り継ぐ資料も残る「ご先祖祈りの方法」をまとめましたのでぜひ御一読下さい。

ご先祖祈りの方法を公開するキッカケになったのは先日東京に集まった全国巫女ネットワークの会合の席で提案してくれた女性のおかげですが、誰もが宗派の違いや他人の言う事が違う為に間違った情報に振り回されていることを知ったことがキッカケです。

さらにこれまでの10数年間、あらゆる悩み相談のアドバイスをしてきましたが、男女問題や金銭問題、そして親戚や家族を含めた人間関係の問題を遡ると、御先祖の因縁に関わる出来事がとても多かったので一番簡単にできる「ご先祖祈りの方法」をお伝えしようと思いました。

親の宗教の違いや自分が信じる宗派の違いもありますが、どんな宗派でも問題なくできる方法ですし、無宗教の方もぜひやっておいたほがいいのが「ご先祖祈り」です。

理由は、あなたという人間一人がこの世の存在する為に、とてもたくさんのご先祖たちの男女の営みが必要ですし、その一人一人の思いが全てあなたの体のＤＮＡに入っているからです。

自分の心の悩みさえ、実は、御先祖や守護霊の思いがあなたの心に影響を与えている場合も多くありますし、人のご縁さえも全て御先祖たちの導きや関わりに関係していると言っても過言ではないほど、深く人間の出会いには御先祖の繋がりが影響しています。

もうひとつ大切な事は、皆さんは「名字」を頂いている事です。

「名字」は関わる一族全ての因縁を繋いでいますので、男性や父親は一生「名字」の御先祖たちの守護力を借りて人生が開けると言ってもいいほど、先祖を大切にする意味があります。

ただし私が言う「先祖を大切にする」とは、お墓や納骨堂や戒名にお金をかけることではありません。ましてや、お葬式にたくさんお金をかける事が先祖を大切にしている事ではないのはもう御理解頂けると思います。

この世でお金を払う意味は、生きている人へ気持ちを表す意味ですので、亡くなった方や御先祖

たちには一切、お金をかける意味がありません。

亡くなった方や御先祖たちがお金より大切に思う事は、やはりその人の心の中の思いなのです。

正しい心の思いさえあれば、お金をかけなくても、お葬式をしなくても、お墓を立てなくても、戒名を頂かなくても全く問題はありません。

女性に生まれた人たちは命を繋ぐ役目の身体を頂いていますが、子供がいない方は父方母方の御先祖の思いを理解した生き方をする事が大切です。

結婚した場合は、さらに夫の「名字」を名乗る訳ですから夫の御先祖全てに喜ばれる嫁として尽くす心がもっとも重要になります。

御先祖に対する心の影響が必ず全て自分の子供へ影響する、と覚えておいて下さい。

北海道アイヌの方たちも沖縄の人たちも、「ご先祖祈り」を担当するのは「女性」と決まっています。

理由は「命を繋ぐ役目・魂を繋ぐ役目・その繋がりを継承する役目」が命を産みだす肉体を持つ女性の役目として生まれているからです。

一般的に皆さんが言う「先祖供養」とは、御先祖を供養する事で過去の因縁カルマを解消し自分の苦しみを外したいという欲求が先にありますが、私のお勧めしている「ご先祖祈り」は、ただ今生かされている事に感謝する心で行うものですので関わる全ての人のご縁をクリアにできますし、未来の人間関係も素敵なご縁に変わることは受け愛ます（＾＾）

一番お金をかけずに一番ご先祖たちが喜ぶ「ご先祖祈り」を行った人たちがこう教えてくれました。

・理由はわからないけれど、気持ちが軽くなりました
・毎日あった心の不安やざわめきが無くなりました
・人に合う事が楽しくなってきました

・家族や親せきとの関係もよくなりました
・夫や夫の両親との関係がよくなりました

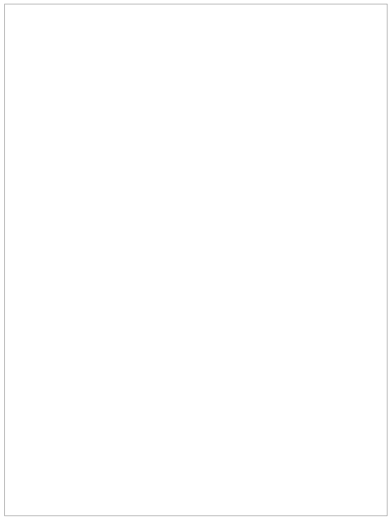
蛇足ですが、運勢を変える為に「改名」する方がいますが、残念ながら全く意味はありません。

芸能人のように二つの名前を使い分ける職業の人は別ですが、戸籍の本名が変わらない限り一切根本的な物が変わる事はありません。

本質の自分を良くしたいと思うのなら「改名」するよりも「印鑑を変える」よりも、「ご先祖祈り」が一番早く効果が出ると覚えておいて下さい。

どうぞあなたの人生がより輝く為に、自分一人で「ご先祖祈り」をしてみて下さい。

あなたが御先祖に手を合わすやさしい心が、この花の花びらのように愛を育む心を気づかせてくれるのです。



2010.07.22 Thu

9月23日　意識転換のエネルギーが流れ込む

つい先ほど、宇宙の大元からメッセージが降りましたのでその全てを公開致します。

9月23日から、ものすごいエネルギーが動き出します。

それは地震や津波などとは違い、宇宙の大元から流れ込む大量の意識転換エネルギーのことです。

その大量のエネルギーは、8月23日よりもさらに大きく関わる人たちの意識に影響を与えることでしょう。

そのエネルギーは、皆さんの意識を大きく次元上昇させる為に宇宙全体から送られてくるメッセージだと思って下さい。

人によっては、自分の守護存在から啓示を受けたと感じる人もいるでしょう。

また、大きな天使たちが動き出したと言う人もいるでしょう。

不安にかられて生活している人にとっては、自分が問われていると感じる人も多いでしょう。

でも、その全てが正しいのです。

9月23日から流れ込むエネルギーは、それまで自分の心の中に隠しておいた「自我」を大きく問うエネルギーが降り注ぐと思って下さい。

あなたがどれだけ苦しんだとしても、「自我の混乱」は他人のせいではありません。

自分自身が、自分の信じる神（本質）と和合できていない為に起きる不安定エネルギーが原因だからです。

自分を絶対正しいと思い込んでいる人は、そのエゴに気づく為の大きな気づきの出来事が起きる事でしょう。

反対に「自分が悪い・自分のせい」と内なる神をないがしろにして誰かや何かに依存している人は、自分の心のあり方が問われる出来事が連続して起こります。

どちらにしても今回、宇宙の大元から流れ込むエネルギーは「自分という我神」と、希望や依存の対象となっている「天なる神」を統合させる為に降り注がれるエネルギーなのです。

社会的な出来事としては、人の不安で商売をしてきた人たちはその転換したエネルギー（お金・物質・社会的地位）の責任が問われる出来事が起きますし、自分や他人を傷つけてきた人間は、さらに他人のせいにしたくなるような出来事が続く日々を送る事になるでしょう。

しかし、その混乱の原因が、

自分と他人を同じように大切にしていないせいである

と気づく為に母なる宇宙の大元は愛のエネルギーを送り届けてくれるのです。

神や人に向き合う正しい心を持ち、守るべき魂の役目に気づいた人たちは、横に置いていた事に手をつけなければいけない時期になりますので、どうぞ出来る事からすぐに始めて下さい。

守護霊・守護神・自然神・大神、そして地球全体の調和を整える為に存在している龍球王国十五神たちも、この大きな転換エネルギーを使ってさらに明確な導きを一人一人にメッセージとして送り届けます。

これは人間全体を問う出来事というより、一人一人の心のあり方が地球の未来だからこそ、一人一人の心の中を問われる時代になると考えて下さい。

本当は・・・、いつかは・・・、今はまだ・・・

と自分や誰かに言い訳して生きている部分の全てが問われる時代が始まります。

この転換エネルギーは9月23日を起点として、2010年末の12月31日までさらに上昇し続けますので、一日も早く自らの心の中に向き合って本質の自分と他人に見せている顔を同じにして下さい。

起きる出来事全てを受け入れて、自らの役目、つまり、あなた自身が本当はしなければいけないと感じている事を行動に移す時代が来るということです。

あなたたち人間に与えた可能性や力を最大限に発揮して頂く為に、今日（7/20）このメッセージをお届けします。

愛は、あなた自身が甘え許し続けた自分自身を越えるところから生まれるのです。

どうぞ宜しくお願い致します。ありがとうございます。
2010.07.20 Tue

行動し続ければ願いは叶う！

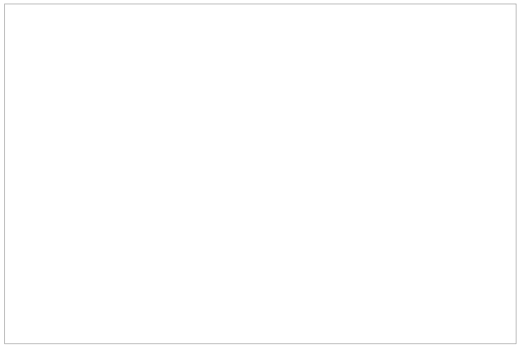
ラフティングで日本人の男女が世界一になった電話をもらった日、同じようにうれしい御報告を頂いていました。電話の主は、沖縄　伊良部島の全ての神ごとを司る皿主（サラシュ）の男性です。

「今日（**7/1**/）の午後**5**時から**700**年続く乗瀬御嶽（ヌーシウタキ）が生まれ変わる式典が行われ、**700**名ほど集まる予定です。そして中にある「唐の神（とうのかん）」の御嶽（ウタキ）も正式に開ける事になりました」

この御報告を聞くまでに、実に6年の歳月が流れています。

年に何度も北海道から足を運び、島の神様の為に、そして島の人たちに喜んでもらえるよう何ができるかをたくさんの人たちと話し合いながら尽くしてきた結果が実った歓びがこみ上げてきます。

宮古新報　伊良部字仲地村落誕生700年祝う、乗瀬御嶽も完成　7/17記事



乗瀬御嶽（ヌーシウタキ）の神様には、2010年のユークイ（豊年祭）の日取りが決まったら、正式にご挨拶に行こうと決めています。

ユークイ（豊年祭）の日取りは神様から降ろされるものですので、ギリギリにならないとわかりませんが、「何があっても今年の伊良部島のユークイに参加する！」と決めている方で、現地で私と祈りを同行したい方は、こちらへお名前・年齢・都道府県・連絡先　をお知らせ下さい。

日本人の大切なルーツが、またひとつ繋がり、魂本来の働きをする方が増える事を願っています。

2010.07.19 Mon

日本を元気に！！

世界大会2日目のハイライト映像

2010ラフティング世界大会・オランダ
男子日本代表ラフティングチームテイケイ
最終日・ダウンリバーレースが終わりました
やりました！
総合優勝です！
【最終総合結果】
1位　日本
2位　ブラジル
3位　チェコ
・・・
総合結果はまもなく下記にアップされます
http://www.wrc2010.nl/
今日のダウンリバーレースは今までに無い壮絶なレースでした
我々はスタートからブラジル、チェコ、USAに容赦なく進路を阻まれ、一時は５位まで
順位を落としました

しかし選手は本当に落ち着いていました
ワンチャンス、ワンチャンスを逃さず１艇づつ抜いて行きました
最後はブラジルに逃げ切られ1位を逃しましたが最後までもの凄い集中力を見せてくれました
【ダウンリバーレース結果】
1位　ブラジル
2位　日本
3位　ニュージーランド
4位　USA
5位　カナダ
ダウンリバー結果詳細は下記
http://www.wrc2010.nl/documents/WRC2010downrivermen.pdf
そして、もう一つの凄いニュースです！！
それは日本女子代表リバーフェースが今日のダウンリバーレースでぶっちぎりの1位を
獲得し、数ポイント差で大逆転優勝をもぎ取りました！！
ラフティング世界大会で男子、女子ともに総合優勝を飾ったのは歴史上初めてです！！
皆様にお願いがあります！

この日本スポーツ史上の快挙をできるだけ多くのメディア、TV、媒体で扱っていただき、出来るだけ多くの方々に知っていただきたいのです！
どうぞ皆様に関係者、お知り合いがいましたらこの事をお伝えいただき、ご連絡を下さい
mail@asanoshigeto.com

我々ラフティングをする者が出来るのはここまです！

あとは皆さん一人一人次第です！！
これを読んでいる皆さんに愛国心があるならば、この事を日本の為にお伝えください！！！！！
一緒に日本を元気にしましょう！
日本に希望を与えましょう！！

今回の経験でひとつ、確信した事があります

世界は日本から変わってゆくのです！！！

魂を込めてのメッセージ
浅野重人
2010.07.18 Sun

優勝！！世界第一位、全日本チームテイケイ！

やりました！

オランダで行われていたラフティング世界大会で

初めて日本が優勝しました！

つい先ほど、全日本監督の浅野重人さんから国際電話が入り、
たった今、終わったばかりです！と報告を頂きました。

たくさんの皆さんの熱い気持ちを感じていたので御礼を伝えたいのですが、まだ興奮が納まらないのでぜひ皆さんへ御礼を伝えて欲しいとの事です。

もうひとつ素晴しいご報告は、何と、

日本女子も優勝しました！！！

今回初めて行われた4人乗りのラフティング世界大会は、
日本が男女共に優勝をさらったのです！！！

女子チームが優勝できたのは、今日のレースを勝った事に加えて、
それまでトップのチームがとんでもないミスを犯したことで、
日本女子がトップに躍り出たそうです！

また今日の男子のレースの状況は、
出足しは4位の位置からスタートしたのに、
風に乗りながら次々と前の船を抜いて、
トップはブラジルに譲りましたが、結果的に
昨日までの総合ポイントによって日本が優勝と決まりました。

浅野監督からは、

今回は完全に風の神様と皆様の熱い声援のおかげで勝てたことをチーム全員が実感するレースを経験しました。

今から力を与えて下さった風の神様や土地の神様、

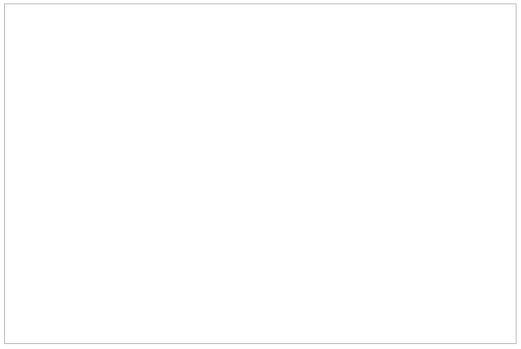
そして関わった全ての皆様へ御礼を伝えたいと思っています。

互いを信じあうことの大切さに加えて、
心を合わせて下さる皆様のエネルギーは
私たちの力を数倍の結果に導いてくれました！

本当に、本当に皆様の熱いご声援に感謝致します！

ありがとうございます！

２０：５３　オランダより　浅野重人



2010.07.17 Sat

最終日・ダウンリバーのスタート時間

7月17日　最終日・ダウリバー競技のスタート時間です

現地13:00　（日本時間20：00時）

日本女子は12：00（日本時間19：00時）です

最後のレースです！

どうか日本の、皆さんのエネルギーを送って下さい！



ありがとうございます！

浅野重人

2010.07.17 Sat

あと一日！

2日目終え現在1位！

2010ラフティング世界大会・オランダ
男子日本代表ラフティングチームテイケイ
２日目　スラローム競技が終わりました
総合で1位をキープしています！

【総合結果2日目終了時】
1位　日本
2位　ブラジル
3位　チェコ
4位　ロシア
5位　スロバキア
現時点での総合結果

【スラローム結果】
1位　チェコ
2位　日本
3位　ブラジル
4位　USA
5位　イギリス
スラローム結果詳細はこちら

スラロームは1本目を1位で終えましたが、
2本目ラフティング大国チェコが20秒タイムを上げてきました。

我々も日本スラローム最高作品を創るべく攻めましたがミスが出ました
結果チェコに8秒差で2位となりました。

簡単には勝たせてくれません。

いつも学びを教えられます。

勝負は明日17日、最終日のダウンリバーに持ち越しです。

何が何でも喰らいついて世界一を取ってきます！

皆様の力に本当に助けられています。

全ての存在に心より感謝致します。

ありがとうございます

浅野重人
2010.07.16 Fri

ラフティング世界大会　2日目！

ラフティング世界大会2日目・スラローム競技

我々男子日本代表チームは概ね以下のスケジュールです

1本目：**10:26**（日本時間**17:26**）

2本目：**12:26**（日本時間**19:26**）

どうか皆様の力をお送りください！

浅野重人
2010.07.16 Fri

速報！暫定一位！

全日本浅野重人監督より

2010ラフティング世界大会・オランダ
一日目　スプリント＆H2Hが終わりました
我々男子日本代表ラフティングチームテイケイは暫定1位です！

【男子・スプリント結果】
1位　ロシア　　1:09.43
2位　日本 1:10.24
3位　チェコ 1:10.87
4位　ブラジル 1:11.91
5位　インドネシア 1:12.11
【H2H結果】
1位　スロバキア
2位　日本
3位　ブラジル
4位　ロシア
5位　USA

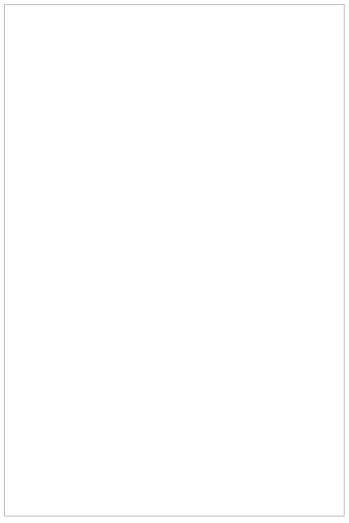
H2Hで今までコテンパンにやられていた、USA、ブラジルとガチンコで勝負し力でねじ伏せる事が出来た事は、我々が一年間取り組んで来た成果が証明され、大きな自信になりました。

何よりも皆様の応援の力、見えない力が働いていた事をビシバシ感じました。

全ての存在に心より感謝致します。
しかし今日はもう終わりました、そして明日があります。

明日はスラローム！

初心に戻り、ぶちかまします！！
ありがとうございます　浅野重人



2010.07.16 Fri

緊急！　雨の日は土地の浄化祈り！

つい先ほど、メッセージが降りました。

雨は、土地にへばり付いた御霊や人の念、そして余計な結界や負のエネルギーを洗い流す為に天が降らせているので、雨が降る時は「土地の不浄御霊を上げる祈り」をしなければならない。

この祈りは特に女性たちが行わなければならない祈りですので、今、雨が降っている地域の方は、すぐに不浄御霊を上げる祈りを行って下さい。

今後も雨の日は、「土地の不浄御霊を上げる祈り」をする日だと覚えて実行して下さい。

（方法）

仏壇や神棚、祈り場所を家に持っている方はそこから。持っていない方は透明なコップに水を汲んで、西の方角に向いて祈りをして下さい。

祈り言葉は、

この土地に関わった全ての御霊や念を払いあげ清めます！

※時間が無い時は、電車の中でも車の中でも会社の中でも心の中だけで出来ますので実践して下さい。

☆体調について説明します。

雨が降ると体がだるくなったり、カラ咳が出たり、首や関節が痛くなったり、耳なりがしたりする方が多いと思いますが、実は気圧のせいだけではなく、土地の不浄な霊エネルギーが体にかかっている状態だと覚えておいて下さい。

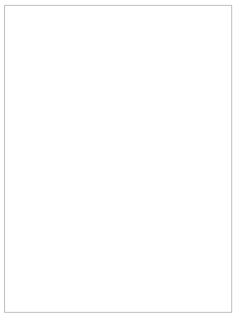
家族の体にその知らせが出た場合、すぐにこの祈りを行って下さい。

※男性は雨の後に、素晴らしい太陽の光が差すことをイメージして祈りをお願いします。
2010.07.14 Wed

挑む世界一！

伊豆諸島神事で共に神に向き合った男性S氏は、実は、オランダで明日から始まるラフティング世界大会で世界一にチャレンジする日本チームの監督です。

彼の名は、浅野重人！



日本にラフティングを広めた第一人者としてラフティング界では知らない人がいない有名な男性です。

http://blog.asanoshigeto.com/

サッカーが終わって燃え尽きた方たちは、日の丸を背負って世界の舞台で活躍する彼らを応援して下さい。

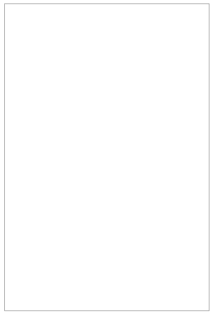
ちなみに実力は、世界第３位、世界第2位と実績を残していますので、世界中のラフティングチームが彼の行動を見守っています。

浅野重人さんは、ラフティングを通して自然の大切さや自然との付き合い方を皆さんへ伝えたいと語っていましたし、神事に参加するようになってからは大きな役目を神様からも与えられました。

日本を変える！世界を変える！

皆さんの声援は彼らのエネルギーとなり、必ずや日の丸を優勝台へと導いてくれることでしょう！

ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。



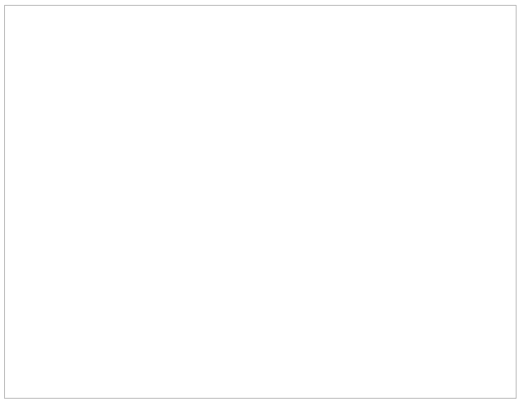
2010.07.14 Wed

雨のしずくは”おっぱい”！？

10日11日の祈りにご参加下さいました皆さま、本当にありがとうございます。

色々なビジョンやメッセージを受け取った方も多いと思いますので、皆さまの気づきを公開することでたくさんの人の気づきの同調を即し、目覚めのシンクロのエネルギーにしたいと思います。

はっきり理由がわからなくてもいいので見たままのビジョンやイメージやメッセージを地球創世メールにお送り下さい。



7月10日の雲の様子

まずは、私が体験したビジョンを公開します。

7/10　12：00の祈り
天と地が繋がるイメージの中、男性的な天のエネルギー（雨）が日本中の山々に降り注ぐイメージが見えました。

北海道が生まれた三つの大陸プレートの中心は大雪山山系ですので、大雪山の万年雪が解けるほどの雨が降り注ぎ、古い天の恵みの雪が水となって大地に広がるイメージを見ていました。

7/10　0：00の祈り
天と地が繋がると、地球内部から大きなエネルギーが噴出し山の頂上から宇宙へエネルギーが噴出しました。地球内部、つまり女性の心の奥底にある想念エネルギーが山の頂上から転換している様でした。

母なる宇宙の大元マスターは、女性の負のエネルギーを全て受け入れたあと、地球の核にいる大切な女神様に新しい命を産みだすエネルギーを送り届けてくれました。この繋がりは、今後、永

遠に繋ぐと教えてくれました。

7/11　12：00の祈り
天の雨がやさしく山の頂上へ降り注いだあとに、「山の頂上は女性の乳首である」とメッセージが降りました。

天の雨（精子）が山や大地に降り注ぐ事によって新しい命を宿し、母なる地球は山の頂上からお乳を出して新しい命を育むという「自然界の摂理」を映像で見せてくれました。

男性に例えられる天の雨は、もともと地球の羊水である海水が空へ舞い上がって産みだしたものですから、男性も母からしか生まれないように、全ての命は母が産みだしたものである事を再認識させられました。

羊水（海）から生まれた水は、 火（太陽）の神と風の神の力を借りて母なる山肌の曲線を使って天へ昇り、雨を降らせてくれます。この瞬間こそ、母が男の子を産みだした瞬間なのです。

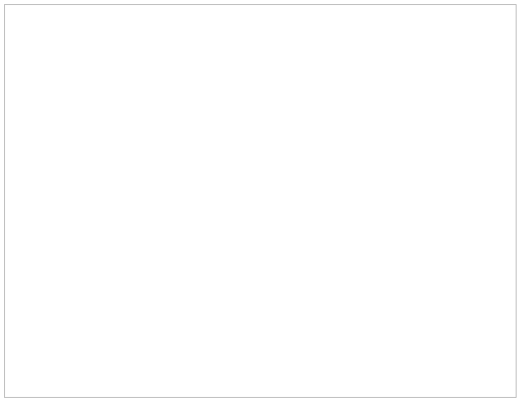
7/11　0：00の祈り
天の雨（精子）が山から地球の内部に沁み渡り、地球の核にいる女神様に種が繋がると、

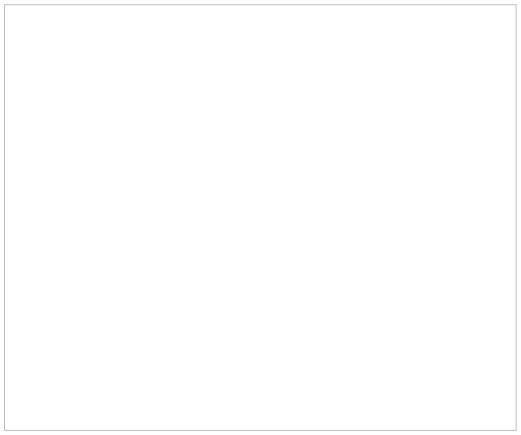
ひとつになりました。新しい命が生まれます

とメッセージが降りました。

それは新しい地球、新しい母なる女性たちが生まれた瞬間です。

祈りに心を合わせた全ての女性たちの無意識に、新しい希望の命が宿った瞬間です。





7/12　AM5：55の雨雲

昨夜から日本全土に降り注いでいるやさしい雨こそ、今回の祈りによって宇宙の神々や自然の神々が働いた証の雨なのです。

命を育み産み育てる歓びは、自分の子供という狭い範囲ではなく、土地に住む全ての子供たちや幼い心を持つ人たちを導き育てる役目として女性は生まれています。

今回の祈りは山の頂きから湧き出る豊かな「おっぱい」のおかげで、自然界も私たち人間も育まれている事を気づかせて下さる大切な祈りでした。

天の父となる為に生まれた男性たちは、母なる女性の暖かさに包まれながら命をかけて役目を果たす男たちがこれからたくさん世に出てくる事でしょう。

どうぞ自分の土地に住む素晴らしい男性たちを育み、役目が果たせる様に育ててあげて下さい。

そして母なる海（羊水）は、地球上の全ての海と繋がっていることを思い浮かべて下さい。

女性たちは本来全ての意識が繋がっていて、
「もともとひとつ」であることを教えてくれているのです。

常に、愛と命を産みだしながら全ての命を育む為に生まれた女性は、心地よく自由に生きる生き方を選びながら、全ての人たちに愛と歓びを振り撒く生き方をして欲しいと思います。

誰の為でもなく、与えられた今世の役目を果たす為に生まれた男の一人として命をかけてこの地球を、そして、この日本を守る男たちと手を組み役目を果たしたいと思っています。

全ての導きをして下さる女性たちに感謝すると共に、今後とも皆さまのお力添えを宜しくお願い致します。吉岡学
2010.07.12 Mon

緊急！産みだしの祈り

昨夜、突然、夢の中に映像が出ました！

私と沖縄の神人（カミンチュ）の女性、他に2名の女性の計4名が机を囲んで話をしている場面です。

「今週の日曜日までに祈りをしなければいけないんだけど、何の意味かよくわからないんだよね〜」

と女性たちに話すと、

「吉岡さん、それはちゃんと降ろして聞いてくれないと私たちも困ります。早く降ろして下さい。」

とせかされている場面でした。

次の場面では、つい先日、沖縄の神人（カミンチュ）二人と北海道の女性の計三名が、日本の北端の襟裳岬と東端の納沙布岬に祈りに来ていたことを思い出しました。

彼女たちは、2010年10月に奄美大島で行われる「１３人のグランドマザー会議」に合わせて、日本を訪れるグランドマザーたちの為に日本の土地のクリーニングを全国で行っています。

この祈りは、昔から大きな神と対話している神人（カミンチュ）が自主的に行っている祈りですので、イベントの主宰者たちには一切、知らされていません。

１０年以上も前から自然神神事を行っているこの神人（カミンチュ）たちは、私もよく知っている女性ですが、母としても女性としても素晴らしい祈りをしてくれています。

この事を思い出したのですから、日本の土地に関わるビジョンなのは確かです。

次のビジョンは先日、全国で起きたゲリラ雷雨についてです。

伊豆諸島神事で地球内部の負のエネルギーを愛に転換する祈りをしたあと、地上の浄化はしなくてはならないと天から聞いていましたが、実は、このゲリラ雷雨が天の浄化の雨だと言うのです。

人間に警告として、危険な地域、住む地域の安全性、災害時の対応について学ばせてくれたのは当然ですが、ゲリラ雷雨で降った土地の浄化が本来の目的だと天は教えてくれました。

下から揺さぶるのではなく、上からの浄化方法を取ったそうです。

地球内部が新しい命を産みだす母や女性として働きをする為にも、あなたの住んでいる土地にへばりついた思いをクリーニングをする必要があります。

私もその事がわかっているからこそ、北海道の祈りから沖縄全土の土地の祈り、そして、今は本州の土地の整いの為に動いています。

次のビジョンは、大きな山がある山脈の映像が出てきて…

大きな山脈は、大陸プレートの端と端がぶつかり合い、下がったプレートと押しあがったプレートがそそり立って出来たのですが、大陸の端は自然神で最大の神の場所である「龍宮神（りゅうぐうしん）」の神様がいる場所だからこそ、二つの龍宮神がぶつかり合って出来た山の頂上には、当然、大きな自然神の神様がいらっしゃいます。

地球内部から繋がる山の上の神様は、地球の意思、つまり女性や母の神意思の表れの場所と言う事になりますがら、山の頂上には母なる地球の意思があると言えます。

そして次は、「天は雨」と言葉が降りました。

天が雨を降らせるのは、雨、つまり男の精子と同じように新しい命を産みだす為です。

天は雨の力を借りて土地の浄化を行い、そして、山の頂上に降る雨のおかげで新しい命を産みだす男女和合のエネルギーが水によって生まれます。

この繋がりは、地球と天の意思の繋がりだけではなく、宇宙の大元と地球の中心を守る女性本来の意思を繋ぐ目的がある事も教えてくれました。

この陰陽和合・命の産みだしが成し遂げられれば、女性たちの心の浄化と、男性としての神意思も立ち上がり、新しい命を産みだすエネルギーが山の上に生まれるとわかりました。

私には、北海道という日本の子軸（ニージク）＝北軸、つまり、男軸を立てる為に生まれさせたとも言われました。

反対に沖縄は、日本の南軸=母軸として「産みだしの地」の働きをする為に女性が生まれています。

沖縄に生まれた男性や、北海道に生まれた女性、そして、本州・九州・四国に生まれた男女は、希望の未来を産みだす為にその土地へ生まれ、土地守りの役目を果たしながら宇宙の役目までそれぞれ与えられています。

この事は神事に参加した人たちにしか話していない内容でしたが、皆さんにも大きな意味で気づきの必要があるからこそ、本日初めて公開しています。

明日、7月11日（日）までがリミットと言われた理由は、きっと沖縄の神人（カミンチュ）たちに降りているメッセージに関係があると思います。

母や女性たちの心の中が歓びに転換する為に、そして、男たちが本来の役目に気づき立ち上がる為にこのビジョンは、新しい命の産みだしの祈りをしなさいと教えてくれています。

祈りの方法をお知らせします。

女性の皆さんは、今住んでいる土地の近くにある高い山をイメージしながら、土地にある全ての

負のエネルギーを転換する祈りを行って下さい。

祈り言葉は、「私は全てのマイナスをプラスに転換します」　です。

男性は、自分が住んでいる土地の一番高い山をイメージしてから、その山の頂上に天から雨が降るイメージをして下さい。

祈り言葉は、「私に新しい命を産みだす働きをさせて下さい。」　です。

祈りの時間は、7月10日・**11**日のお昼**12**時と夜中の０時としますので、あなたの時間が許す範囲の中で祈りを行って下さい。

男は、雨を降らせるのです。

女性たちはその雨の恵みによって、新しい命や希望を産みだすのです。

どうぞ宜しくお願い致します。　　地球創世　吉岡学

2010.07.10 Sat

女性が希望を産みだすと…

人間を救う為に行った伊豆諸島神事で私たちに降りたメッセージを考えると、常々感じていた事が、やはり宇宙のメッセージだと確信できました。

それは　「女性が本来の働きをする時代になった！」

ということです！

これは、男性に交じって「戦う戦士」として第一線で働きなさいという意味ではありません。

女性として生まれた本来の役割を果たす時代になった！

という意味です。

女性本来の生き方ってなに？？？

と質問をする女性もいるほど中年オヤジ化した「オヤジギャル」も増えていますが、本質的に男女は生まれた時から役割りが違うからこそ、それぞれの性の特性を活かした生き方があります。

しかし、女性の価値は時代によってずいぶん様々な扱いをされてきました。

第二次世界大戦中は、「産めや！増やせや！」と、子供をたくさん産み戦地へ送り出した母が一番偉い人のように扱われました。

当時、子供を産めなかった女性は、罪人のような目で家族からも虐げられた扱いを受けたものです。

今の日本の状況は、結婚しない・子供を産まない女性たちが増えているうえに、結婚しても共働き、さらに、離婚を経験している人は子育てしながら働くという男女二役をこなしながら生きる道を選ぶしかありません。

魂が生まれた時のことを考えれば、本来、女性は自分の夢を叶えてもらう為に男を産み出したはずですが、いつの間にか男性と同じように朝から晩まで働く中で、女性としての喜びや希望を産みだす心まで忘れてしまった人が多いように思えてなりません。

子供を産む産まない、仕事をしているしていないという話をしている訳ではありません。

女性が心の中に、喜びや希望、ワクワクや明るい未来の光を抱いていない女性たちが増えていることが問題　だと言っているのです。

このメッセージは十数年間、セラピストとして女性の苦しみを聞き続けた体験だけではなく、自然や人間を地球に産みだした母なる創造主マスターの思いでもあると感じています。

命を産みだす役目がある対象を「母」と呼びますが、私たち人間にとって一番大きな母は　地球　です。

母である地球　を女性として考えると、女性として生まれた人の意識が直接、地球と繋がっているという事に気づいて下さい。

つまり、

地球の内部で起きることは、

女性が心の中で思っている想念エネルギーそのもの

だということです。

そう言われれば、女性が怒った時は、山の噴火や地震に似ている・・・、と真剣に考える男性がいるかもしれませんが、そんなことを言うとまた噴火しますよ（＾＾）

ここで、女性として生まれた全ての人にお願いがあります。

あっ、その前にまず謝らなければいけませんね！

「ごめんなさい、男たちが全て悪いんです。そうです、あなたの言うとおり、男が悪いんです。甲斐性もないうえに働きも悪いし、さらにお酒やお金や女性問題で迷惑ばっかりかけて本当にすいません。これからもたくさんあなたに迷惑をかけるかもしれませんが、この先の事も含めて心からお詫びします。本当にごめんなさいm(_ _)mm(u_u)mm(_ _)m」

僕も谷君も、心から謝っていますm(_ _)mm(u_u)mm(_ _)m

では本題に入りますが、女性の皆さんの心の中の思いが、地球に連動している事に気づいたら次にお願いしたいのは、これまであなたが苦しんできた出来事の原因が何であれ、また、どんな辛い経験や思いをしてきたかを含めて言いますが、

女性の皆さん、どうぞあなたの好きな生き方をなさって下さい！

あなたが本当にしたいように残された人生を楽しんで過ごして下さい。

肉体を持って生きる時間に制限があるからこそ、

残りの人生はあなたの自由に好きな生き方をして過ごして下さい。

他人にどう思われようとも、家族にどう思われようとも、社会的にどう思われようとも、

あなたのしたいことを目いっぱいして生きて下さい。

そして、その自由を経験できた人にひとつだけお願いがあります。

どうぞ、男たちにも夢を与えてあげて下さい。

世の中の男たちに、そして、あなたの息子たちにも・・・。

あなたという素晴らしい女性の為に生きる歓びを与えて下さい。

あなたという素晴らしい母の為に生きる歓びを与えて下さい。

男たちの最大の歓びは、産み育ててくれた母に褒められることなんです！

私たち男は、産み育ててくれた母に褒められたくて頑張って生きています。

辛くてへこたれた時も、いつも女性たちに癒してもらいました。

そして、また母に喜ばれようと、頑張る生き物なのです。

女性の皆さん、あなたたちが女性が居なかったら、男はこの地球に存在していません。

だからこそ、あなたに希望を産み出す生き方をして欲しいのです。

だって、地球の内部が悲鳴を上げているんです！

辛い、苦しい、わかってもらえない・・・・・

たくさんの女性たちの心の中の悲痛な悲鳴が、

いつもいつも負のエネルギーになって溢れ出ようとしています。

お願いです。あなただけでも、愛に生きると決めて下さい！

まだ私たち人間に少しだけ許される時間があるのならば、

一人でも多くの女性が希望を信じれるように男たちも頑張ります！

母から生まれて、母の地球へ戻る私たちの魂が肉体を持って生まれた理由、

それは、愛になることだったはずです。

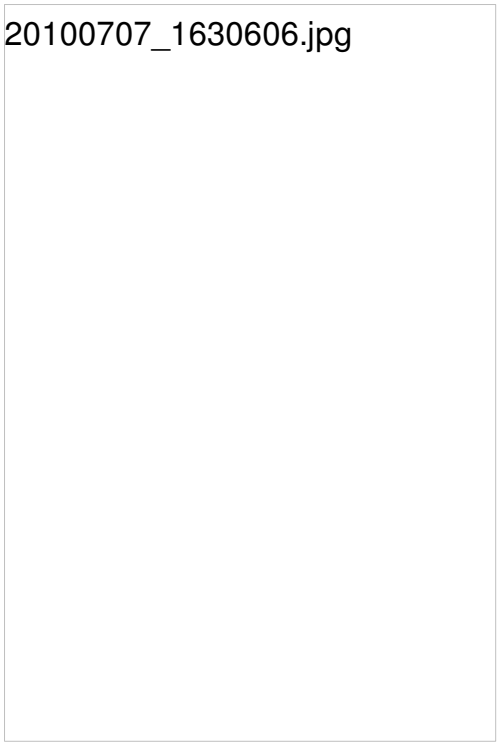
あなたがもう一度、男たちを信じてくれれば、

きっとあなたを喜ばす男に出会う日がやってきます。

あなたが産みだした男たちに役目を果たさせる為にも、愛になって下さい！

もともと　愛そのものであったあなたを　思い出して下さい！

女性として生まれたあなたの心が、未来の愛を産みだす役目なのですから・・・・。



2010.07.07 Wed

訃報からもうすぐふた七日

谷浩一君がパプアニュギニアで受け取ったガイアメッセージによって決まった伊豆諸島神事は、彼の訃報によって皆さんの気持ちをひとつにして、初めての経験と言っていいほど身体の痛みを感じない素晴らしい愛の神事をさせて頂きましたことに心からお礼申し上げます。m(._.)m

皆さんが祈り合わせをして下さったり、身体を気遣って愛のエネルギーを送ってくれたおかげで、常に身体に愛を感じながら神事ができたことは本当にありがたい経験でした。

彼もこの愛のエネルギーに守られていればもっと長生きできたのではと思いますが、天命を私たちが動かすことはできませんので悔やむことはやめにします。

谷君が亡くなって色々な方たちから彼の魂を感じたメッセージが届きますが、人間的な思いとしては「やっと順調になってきたのに・・・」と無念な気持ちがまだ残っているようです。

その気持ちを受け継ぐのは、彼に出会い、話し、飲み、大笑いした皆さんの魂の中に残っていると思いますので、彼に出会った人たちはぜひ彼の死を生き方を変えるキッカケにして頂きたいと思います。

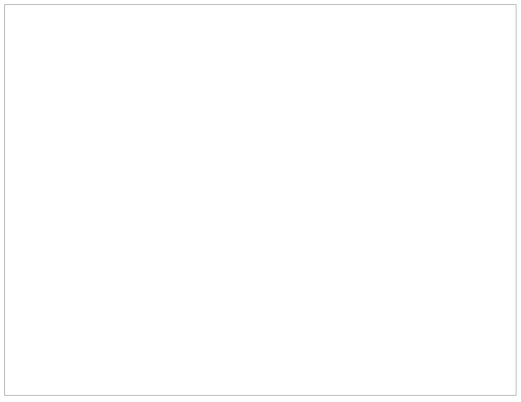
周りに誰かがいると本音を話さないシャイな奴でしたが、二人でじっくり飲みながら話す時は本音で色々な話をしたものです。

たくさんの人の相談を受けて治療していた彼は、本当の意味で誰かに心を開く事はできない生き方になっていました。

でも私もそうであったからこそ、お互いを支え合い励ましあう素敵な出会いに歓び愛ました。

私が少しだけお兄さんな分、先に歩いた経験で話す機会もありましたが、目的が同じだからこそ、お互いに本音の自分を認め合える人間に出会えた歓びはひとしおでした。

彼とは男同士のツインソウルと言えるほど、魂の兄弟の契りを結んでいたと言えます。



だからこそ、まだ彼の為には泣けません。

彼の言葉を代弁しなければいけない自分の役割があるからです。

リッキーチルドレンと呼ばれた谷君を愛する人たちが世界中にいますが、一人一人のこれからの歩みを一番心配しているのが谷君本人なのです。

昨年、一緒に富士山へ登った時はお互いの目的の頂点の確認と言っていいほど、互いを信頼しつくした素晴らしい合同神事ができました。

私のチームが１５名、谷君のチームも１５名、体力も経験も年齢も大きく違うので、「頂上集合ね！」と言ってスタートしたのに、３０名全員が頂上に立てた喜びは３０名全員が覚えているはずです。

「白龍Ricky☆道人」と書いた名刺をくれたり、ミクシーで多くの仲間が全国にいた谷君でしたが、あえて私は谷君をリッキーと呼ぶ事はありませんでした。

本名を出さず、自分の本音も見せずに、言いたいことだけを言いあう都合のいい関係は、「依存心」を産むからこそ混乱や問題を起こしやすいと、自分の経験で学んでいるからです。

だから昨年は谷君に、「ミクシーも良いけど、表のブログで誰もがいつでも見られる世界であなたの愛を表現してよ！」とお願いしました。

彼は素直に「わかったよ」という奴ではありませんでしたが、知らない間に表のブログも公開し

ていてたくさんの人へ愛のメッセージを送り届けてくれていました。

もう一つ彼に頼んだことは、顔を合わせた時に「ミクシーネームで呼び合うのはやめて！」とお願いしました。

本名は、その人の魂の意味が全てわかる素晴らしいものだからこそ、「顔を見た時にハンドルネームで呼び合うのは、魂を隠して話しているようなものだよ！」とお願いしました。

これはどうなったのかわかりませんが、だからこそ僕は最後まで彼をリッキーと呼びませんでした。

谷浩一という素晴らしい名前を頂いた彼の人生こそ、日本人に生まれた天命だと思っているからです。

命をかけて天命の「地球を守る」ことを第一に生きた人間は、現実世界のバランスに押しつぶされそうになるものです。

地球を変える為には、人間が変わらなきゃ駄目なんだ。

だからこそ、自分自身が変わらなきゃダメだと思っているのに変われない人を見ると気になる。

気になるから救いの手を出しだくなるのが、人間の情。

でも俺たちが、「情」ではダメなんだよ。「愛」にならないとね！

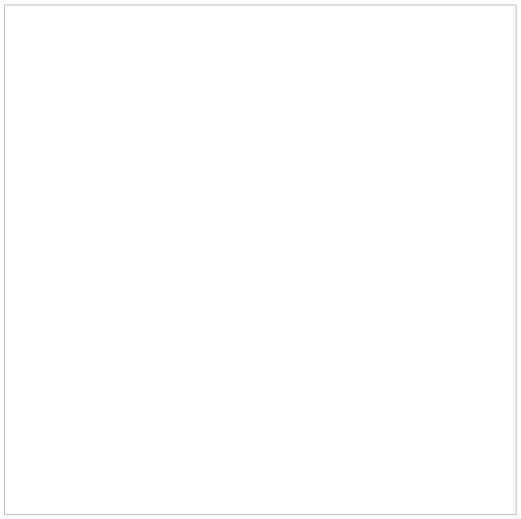
愛と愛情の違いについても、たくさん話しあいました。

依存する人はいけないけれど、依存させた人もいけないみたいだよ！

相手を信じきるなら、わかっていても何も言わずに成長を待ってあげるのも愛だと思うよ。

色々な気づきをお互いに確認しあいました。

そんな彼も亡くなってから「ふた七日（二週間）」が経とうとしています。



皆さんへお知らせです。

彼の魂を見送る追悼の祈りは、天上界へ上がる４９日に行う事を決めました。

祈りの時間は、日本人の母の大地である沖縄の満潮時と干潮時に合わせて行います。

※満潮は、命や神が生まれる時間、干潮は命を終える時間と言われています。

８月１１日（水）
満潮　朝　**7：33**　　谷君の魂が現世で最高点に上がる瞬間
干潮　昼　**1：37**　　谷君の魂が現世から離れる瞬間

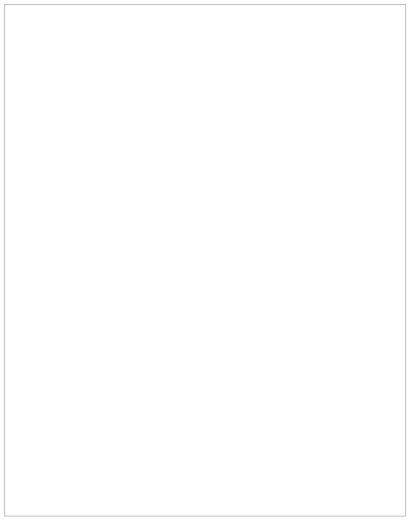
８月１２日（木）
満潮　朝　**8：21**　　谷君の魂が神世の世界に生まれる瞬間

４９日は、魂エネルギーの次元転換の日ですので、私たちは全世界から神世の世界で大きな働きをする谷浩一君の為に祈りを捧げましょう。

自分の出来る短い時間でもいいですので、心の中で「谷浩一さん、ありがとうございます」と唱

えて祈って下さい。

どうぞ宜しくお願い致します。吉岡学



2010.07.05 Mon

啓示を受けて

まず今回の伊豆諸島神事の経緯をご説明します。

天上人　谷浩一君から託された地球内部の啓示は、今回の伊豆諸島神事に参加した男性にも同じようなメッセージが降り、「これは地球内部の浄化エネルギーなので消すことはできない」と連絡を頂きました。

そのあとの4/29に私に直接、審判の日のメッセージが入った訳ですが、男性3名を通して伝えてきたメッセージの重要性を考えて、関東地区の巫女たちや地球を守る人たちと話しあいを持ちました。

大難を小難に！と決めた結論も、神事に参加する三名が本心から納得していなかった為に、6/24の夜に再度、話し合う約束になっていました。

その日の昼に「訃報　谷浩一氏死去」を聞いた瞬間、人間的な思いや感情よりも伊豆諸島神事が人間を問う天の意思であると強く感じました。

しかし、なぜ谷君の命を終えさせてまでこの神事をしなければいけないのか、私たちに何を気づかせたいのか、その夜、三名は地球や神々の意思を確認しました。

実は今回の神事を決めた日から参加者三名の体には、毎日のように守護存在を通してメッセージが降りて、そのメッセージを正しく理解するまで重く辛い日が続いていました。

だからこそ誰かが受け取ったメッセージをメールで回し、他の二人が確認し合う作業を何度も続けました。

参加者の男性Ｓさんは、私の神事や講座を通して色々な神メッセージを受け取るようになり、世界中の聖地で受け取ったメッセージを確認しあう地球創世の仲間です。

もう一人の女性は「全国巫女ネットワーク」に参加している女性で、昔から色々なメッセージを受け取る役目があり何度もメッセージを確認してから一人で祈りを続けていた女性です。

一人で祈りをしていた人だからこそ、他人と行う神事の不安もわかっていました。

私はもこれまでたくさんの人に逢いましたが、自分が受け取ったメッセージを他人と確認しあう

作業を拒む人たちが多いことも知っています。

自分の守護存在メッセージを正しいと思いたい気持ちや、誰かに否定された辛い経験をしたなど、言えない理由は人によって違うでしょうけれど、大きな天の意図は同じなのに「自分」という我の世界から抜け出せない人たちが多くいることも事実です。

宇宙や地球のバランスを保つ為に働いている大きな守護存在たちは、昔からたくさんの人にメッセージを届けていますが、この「我の世界」から抜け出さない人が多い為に今の地球の状態になっていると伝えています。

谷浩一君に逢った時も、本気でお互いの役目を確認できるまでにずいぶん時間が必要でした。

昨年、谷君から「やっぱり俺、アカシックレコードを受けるわ！もう色々な神に頼まれる事が多すぎて自分の魂の役目や方向性が見えないから！」と、わざわざ札幌まで来てくれた日の事を思い出します。

谷君のアカシックレコードを降ろしながら、私は本当にこの人は命を賭けて地球を守る為に生まれた魂だとわかったので、自分の経験や知識の全てを与えると約束しました。

「僕の御蔭で吉岡さんも、もっと成長するよ！」などと、偉そうな事を言う男でしたが、今は彼との出会いから学び気づいた事の多さに感謝しています。

生まれの違いや能力の違いこそ、お互いを生かしあう為に必要な出会いなのだとわかりました。

神はその為に、人と人を出会わせてくれている。

信じきろう、この人の全てを。

自分にできない事をやってくれる人がいるおかげで、自分の役割りが果たせる。

この学びは、二人にとって大きな成長になりました。

メッセージを受け取ったりビジョンを見る方はとてもたくさんいるようですが、その解釈はその人自身の心のあり方や経験・知識・認識に大きく影響を受けますので、魂の役目を持って生まれた人が命を賭けて行う神事では、メッセージの解釈が命とりになることがあります。

だからこそ信じあう仲間同士は、何度も何度もお互いのメッセージを確認し合う時間が必要なのです。

私たちはその為に生まれてきた。

そして、その事を次の世代へ伝える為に生まれてきた。

他人や出来事を問うのではなく、

自分自身を問う生き方をしなさい。

と天は教えてくれています。

だからこそ、何が起きても全てを歓びに、全てを愛にできる心を育てなさい。

何度、人に裏切られても、何度、人に傷付けられても

もう一度、人を信じる心を持ちなさい。

あなた自身がそうなれば、この地球を変える事はできるのです。

谷君が亡くなった日の夜、私たち三名はこの結論に達したので今回の神事の目的を

全てを愛に転換する為に、まだその事に気づいていない人たちの目覚めのエネルギーに転換する

と決めました。

祈り合わせをしてくれた数百名の人たちは、必ず自分の内側から神様の声を聞いたはずです。

どうぞ、その声を信じて生まれ変わって下さい。

私たち人間の心の底の思いが、この地球の意識に共鳴して振動を与えているのです。

あなたの心の不安、苦しみ、憎しみ、恨み、その全てが地球の負のエネルギーを引き起こしているのだと認識して下さい。

だからこそ、生活の中で自分自身を信じる為の静寂な心の祈りを一人で捧げて下さい。

地球の為に、大切な人の為に、そして、自分自身の人生を歓びある生き方にする為に。

生かされているからこそ、何度でもチャレンジできるこの人生、

私たちを見守ってくれているたくさんの天上人の思いを感じながら肉体で歓びを感じて下さい。

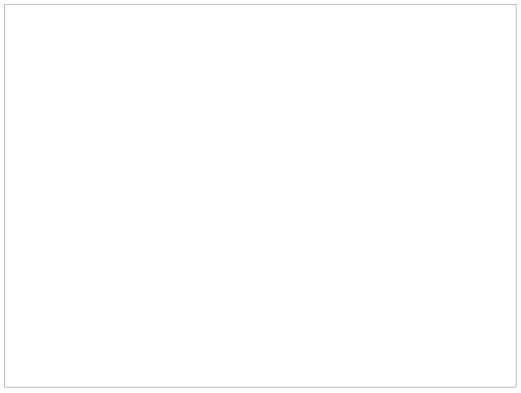
私たち人間は、歓びを感じる為に肉体を与えられたのです。

美味しい、うれしい、気持ちいい、楽しい、ワクワクする！

そして気づかなければいけない事は、まだ私たちは生かされているのです。

だからこそ誰かの為に生きるのではなく、あなた自身の歓びの為に人生を生きて下さい。

これは、谷浩一君からのメッセージでもあります。



2010.06.30 Wed

天上人　谷浩一

昨日、三宅島発の飛行機が欠航になり船で東京へ戻ることになったので、神事で行った場所の神々の言葉を確認しあう作業をしましたが、神々は私たち人間に新しい生き方や考え方を教える為の神事であった事を参加者と確認しました。

神事の御報告に合わせて、神が気づかせてくれた新しい人間の生き方は、詳しくこのブログで紹介していきますが、共に祈りをしてくれた天上人　谷浩一氏の通夜・告別式も無事、終えたと先ほど参加した方のメールで知り、御両親・御家族・別れた奥様や子供、そして、日本全国や世界中で谷くんと出逢い語り合った人の思いに溢れ、感極まりない気持ちでいっぱいです。

谷くんの肉体に魂を与えた存在は、肉体での今世の働きを無事終え、さらなる大きな存在となって地球や私たちを見守る役目になると伝えてきています。

亡くなった日から４９日間は、肉体を離れた彼の魂がこの世とあの世を行き来する時間ですので幽体となって皆様のところへ谷くんがあいさつに行くと思います。

お茶目で、頑固者で、でもとっても純粋な気持ちを正直出せない奴でしたが、
僕は心から・・・彼を愛しています。

お互い言葉にできなくても、感じあってわかりあっていたからこそ、
彼はガイアエネルギーの転換を私に託したのだと思います。

「俺は何があっても日本を守る役目があるから日本を出ないので、
お前が世界の神や人の心を繋いで守ってくれ！」

と谷君と話した事を思い出します。

「谷浩一君の追悼祈り」は天の許可が下りた時に行いたいと思っていますので、それまでは皆様一人一人の心の中で祈りを捧げて下さい。

天上人となられた谷浩一くん、本当にありがとう！

そして、たくさんの人の魂を揺り起こして下さい。

いつも一緒にいるあなたを感じて生きていきます。

本当に、ありがとうございます。

2010.06.28 Mon

伊豆諸島神事　終了

皆様の暖かい祈り合わせのおかげで無事、伊豆諸島神事の目的が達成できました事をまずご報告致します。

神事に参加した三名は全員が神の役目が与えられ、それぞれの役目を果たし無事に帰路へ着いています。

詳細は後日、吉岡学の公式ブログ　http://blog.heart-land.biz で紹介致しますが、今回の神事は、２００７年の天岩戸神事に次ぐ重要な神事であった事がわかりました。

パプアニューギニアからの大きなガイアエネルギーも無事、愛に転換して皆様の魂の目覚めになったと思います。

今回の祈り合わせでお気づきなった事や大切なメッセージを受け取った方は、ぜひ　こちらからメール でお送り下さい。

一人一人の気づきがたくさんの目覚めのキッカケになりますよう神心の気づきを公開させて頂きます。

地球創生　コーディネーター吉岡学
2010.06.27 Sun

三宅島神事

6月27日（日）、東京から7時間移動する船に乗り込み、三宅島の神事をどうするか話しあいました。

一人一人が神役目を背負っているので、それぞれの感覚に神の望みが現れます。

まず口を開いたのが巫女の女性。

「男の役目や役割りもわかっているし、子供たちの気持ちもわかってはいるけれど、どうしても后として納まらない感情を感じます。正后は、第二后に対しても複雑な気持ちがあったようです。

なぜ私を第一に認めてくれなかったのか、なぜ二番目の后を・・・、

「立たない王子」と言われる子供を持つ母親としても、また妻としても、悲しい気持ちと苦しい気持ちが残っているし、頭では理解しているつもりですが、恨みにも似た思いが残っています。」

后神の心を知った時、三嶋大明神の妻としての思いに加えて、母としての役割を果たしきれなかった悔しい気持ちを感じました。

女性が夢を忘れ希望を忘れた状態になると、子供や男たちは安心して働くことができません。

常に、母や女性のやさしさの中で男は「男としての働き」を示そうとする本能があるからです。

男は、母から頂いた身体が命を産みだす役目ではないからこそ、父母から生まれた証を立てるために社会的責任を果たし、自らの存在を示す為に生まれます。

だからこそ男同士は、弱みを見せたり愚痴をこぼす姿を見せると、命にも似た「男の信頼」を失う厳しい世界があるのです。

私と谷浩一君も、同じような関係でした。

一切、お互いの甘えを許さない分、何があっても信じ切る信頼感と、その信頼に見合う責任を果たす覚悟がお互いにありました。

大きな働きをした男を産み育てた母は生涯尊敬され続けますので、女子が生まれると女性としての役割と知恵を母が娘に教えたものです。

巫女の言葉からは、母として女性として大切なものを育めなかった悲痛な気持ちが伝わってきます。

「神産み・・・神産み・・」

頭の中に、言葉が浮かびました。

あっ！天上山の弁天様から「龍の子の水を持って行きなさい」と言われた意味は、この意味だったのか！

私は巫女に、こう伝えました。

「では新しい神の子を母神に産んでもらうことにいたしましょう。新しい神の子を育てる母として役目を果たしてもらえますか？」

巫女：「そんなことができるなら、本当にありがたいことです。」

話は決まりました。

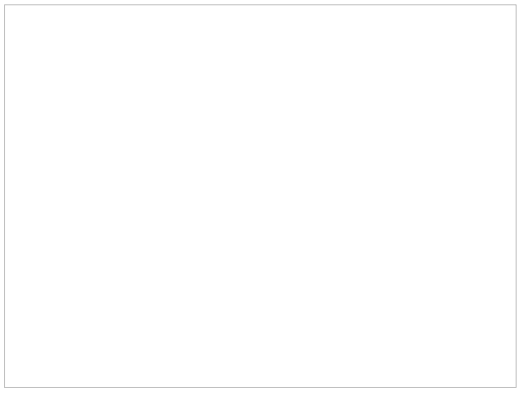
三嶋大明神の男神Ｓ氏の承諾も得て、三人で新しい「神産みの儀式」を執り行う事が決まりました。

段取りを決め一休みすると朝5時、もう船が三宅島の港に着きました。

まずは、三宅島の龍宮神へ神産みの承諾を得る為に車で島を一周しながら「龍宮神」の場所を探しました。

自然神の神場所は見ればすぐにわかりますので、必ず見つかると確信がありました。

島を一周して北の場所へ出た時、その場所は見つかりました。

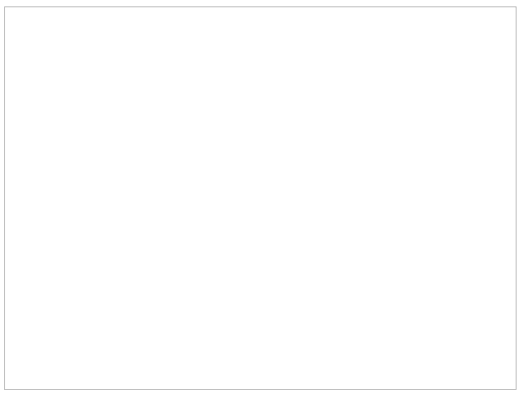


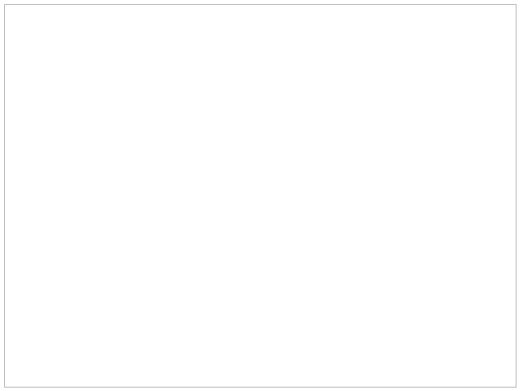
神が降りる「龍座」もあり、産み育ての形を自然がちゃんと作ってくれています。

高台から祈る場所を決めに降りると、振り返った場所に鳥居を見つけました。

さすがです！

この島の方たちも、この場所に神がいる事はご存知でした。





素晴らしい形で守っています。道からは誰にも見えない場所ですが、神守りの大切さを知っている人の手がかかっているのがわかります。

正式に、陰陽和合の神産み儀式の承認を頂く祈りを行いました。

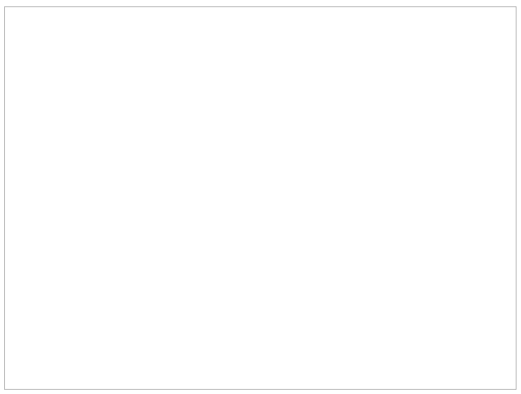
すると、

神の心は人の心に映りますので、どうぞ皆様の温かい心で神の子供を産み育てて下さい

と言葉を下さいました。

祈りを終えて振り返ると、新しい神の子を産む準備がもう始まっていました。

人間に命を与えて下さる自然界の神々に心から感謝の言葉を送りました。



男神の種を繋ぐ為には三嶋大明神の場所を探さなければいけないのですが、なかなか見つからず島を何度も回っている時でした。

とても小さな祠があると、Ｓ氏が見つけたので説明書きを読むと「剣神社」。ここには弟君が祀られています。

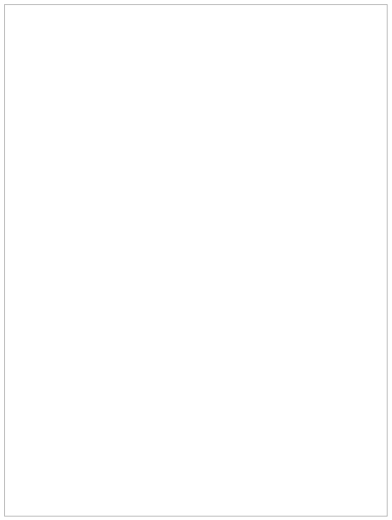
ご挨拶をすると「やっぱり来たか・・・。」と不思議な言葉を言いました。

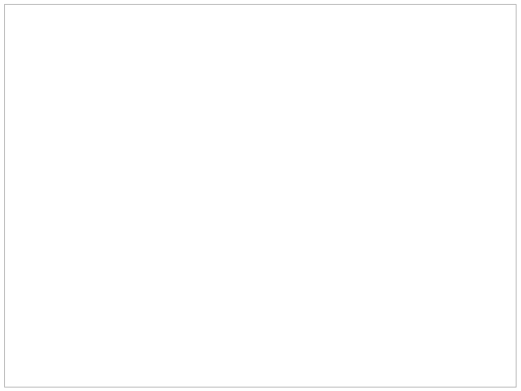
すぐ近くに兄の「若宮神社」もありましたが、ただの石を積んでいるだけの場所ですが、心を合わせると「父の所へ行くのなら私もお供いたします」と付いてきてくれました。

土地を守る神の承諾もいるようで、また「ジーチバン（土地神」」の声が聞こえてきました。

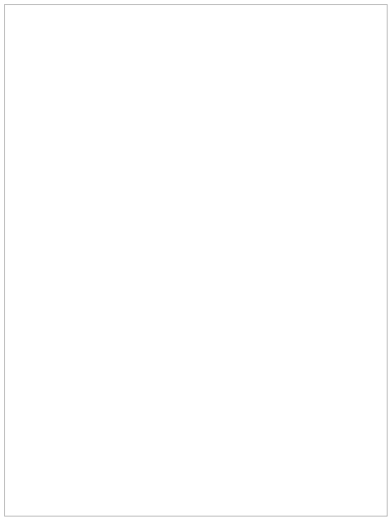
どこの神社でその承認を得るかと探して見つけた場所が、「御笏（おしゃく）神社」です。

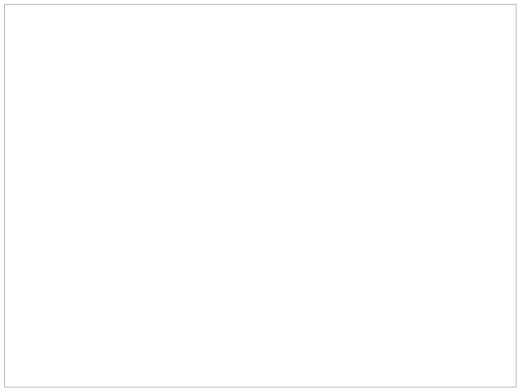
ここには三嶋大明神の三番目の后である佐伎多麻比?命を祀っています。





この坂の上にあるのが、本殿です。



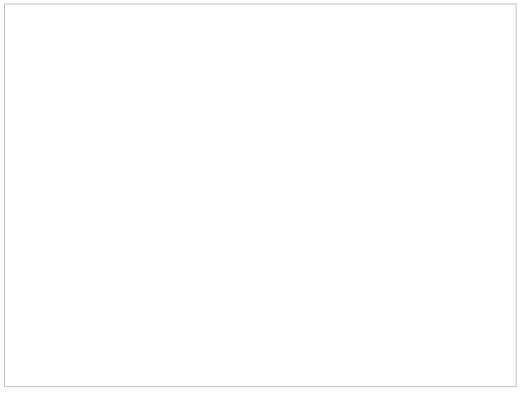


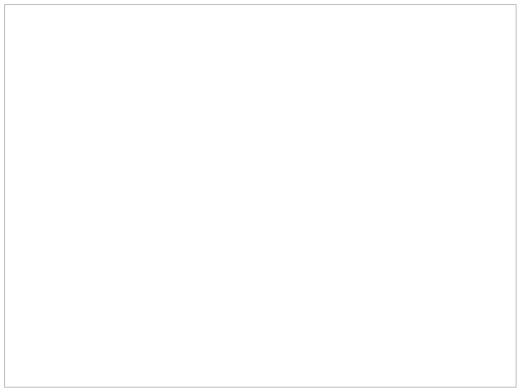
新しい神産みの儀式を承認して頂いたうえに素晴らしい剣を男神のＳ氏へ、素晴らしい羽衣を巫女の女性へ下さいました。

神の御心に心からお礼を申し上げました。

やっと、三嶋大明神のいる「富賀（とが）神社に着きました。

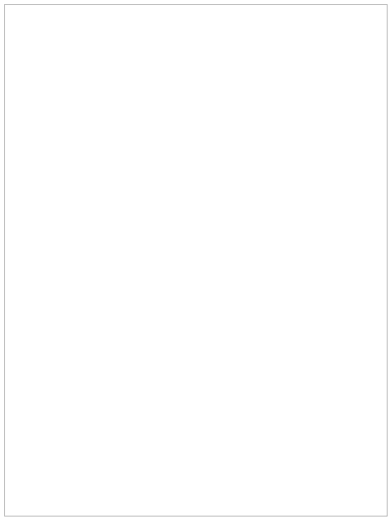
噴火で腐敗した社を昨年、建て替えたようで素晴らしい社が完成しています。



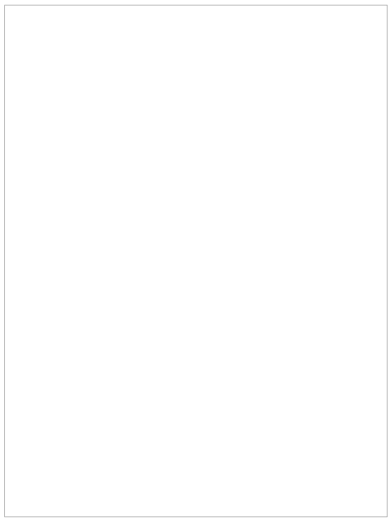


拝殿の周りには、三嶋大明神を守るように大切な末社がありました。

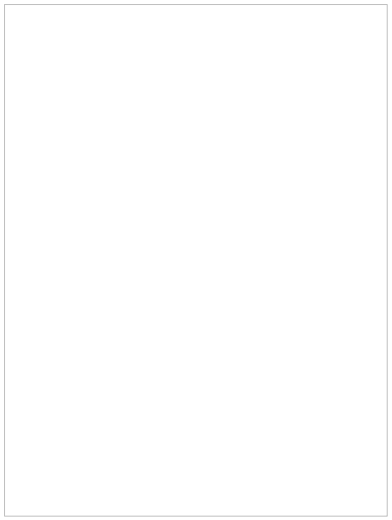
男の意思、神の証となる「剣宮」。



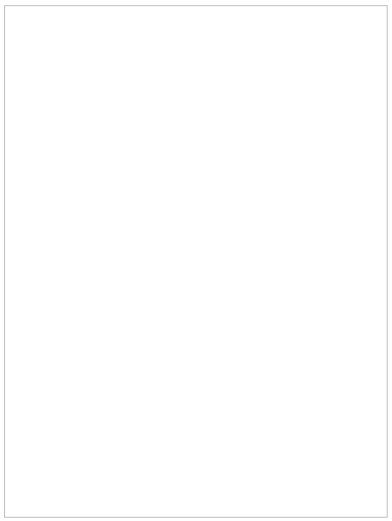
従者として言い伝えられていますが、実は、三嶋大明神の娘であった霊力の素晴らしい「見目宮」。



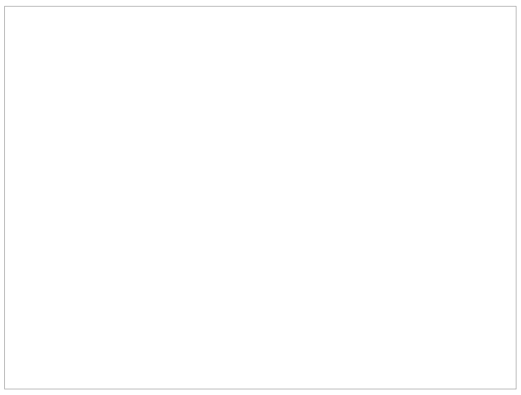
三嶋大明神の息子を祀る「若宮。



そして、1000年近くこの地の神と社を守ってきた神主の家系である壬生家を祀る「壬生宮」。



正式な玉入れの儀式ですので、拝殿にあがらせて頂いて「親王神降り玉入れの儀式」を行いました。



大神は神の子を産みだす男神に神の子の父なる教えを下さり、また母神の巫女にも神の子を守る役目を申しつけ下さいました。

これより生まれし神の子は、「始まりの子」となる

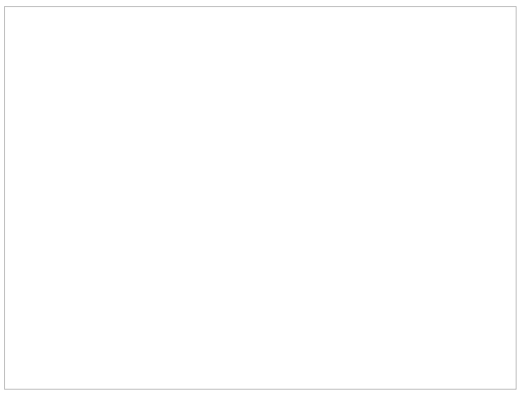
新しい神の子は、日本の地を生まれ変わらせる「始まりの子」として役目が与えられました。

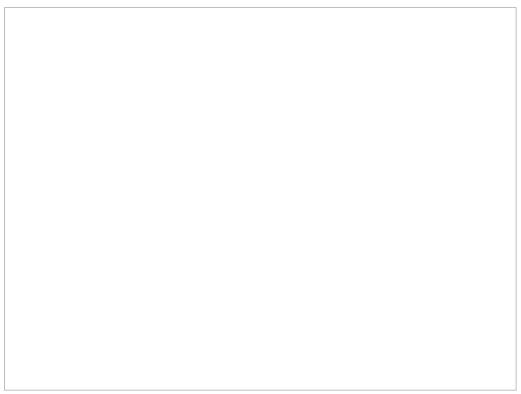
神の子の命が、宿った瞬間です。

母役の巫女は、お礼に正式な巫女舞いを奉納してくれました。

神降りした「始まりの子の水」を携えて今度は、三宅島のお妃さまがいらっしゃる「后神社」へ向かいました。

山の中腹にきれいに守られた社は、土地の人の心使いの素晴らしさを感じさせます。





拝殿の中へあがらせて頂き、后神様にご挨拶したあと、正式な「種繋ぎ・神産みの儀式」を執り行いました。

命を産みだす母神様には山の食べ物、海の食べ物、島の名産を揃えて奉納し、新しい神の子を産み育てる為に必要な物をお供えしました。

余談ですが、私が供物の買い物をしたあと巫女の言葉を借りて、「お砂糖が欲しいのですが・・・」と言われました。

昔は甘いものが貴重品だったからなあと思っていると、「子供に食べさせてあげたいのです・・・」と言います。

神の母心を知り、本当に母神のやさしさに触れた瞬間でした。

新しいお塩をお砂糖と買いそろえると、涙を流しながら「本当にやさしい人・・・」と涙を流してくれました。

私が買い物をしている間、実は、男神のＳ氏と母神の巫女は大切な話をしていたそうです。

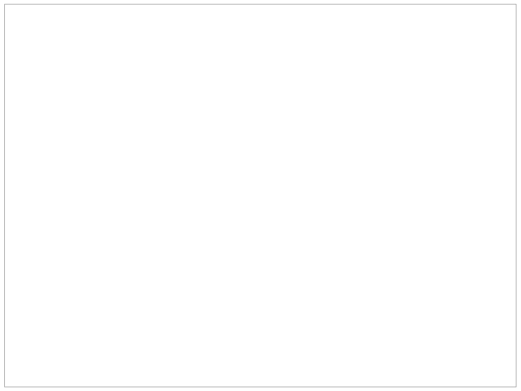
妻として、母としての気持ちを打ち明けられないまま苦しんだ后の気持ちを感じたＳ氏は、

「申し訳ない」

と心からの言葉を母神の巫女へに伝えたそうです。

男はわかっていても言葉にできない守るべき対面があるからこそ、この一言は、母神の全ての思いを洗い流してくれました。

思いの陰陽和合が車の中で行われていたとは知りませんでしたが、母神に砂糖を渡した時の歓びの涙は、子供へ注ぐ愛情や歓びがそのまま私にも伝わってきました。



本殿の御顔も見せて頂いたあと、拝殿のドアを開け放して海を音や鳥の声を聞きながら儀式は始まりました。

三人の心がひとつになったおかげで、大神は新しい「始まりの子」の母として承認され、歓びの和歌と巫女舞いを表現してくれました。

その姿の美しさは、神の歓びが体中からあふれ出た素晴らしい舞いでした。

后神社の祈りをしていた時間が、午前9：30。

皆さんの祈りの力も加わり、新しい命の誕生が成功しました。

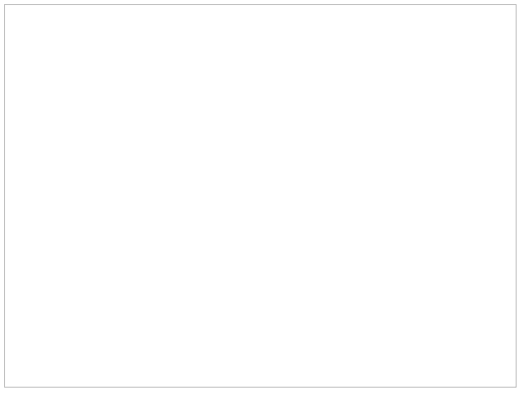
お供えした御供物は、地元の方に説明して食べて頂くようお渡しました。

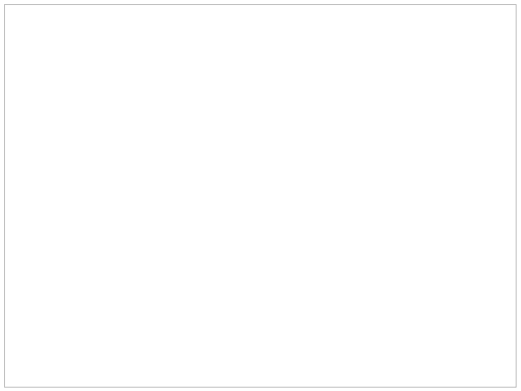
后神役の巫女は、正后の気持ちをこう代弁してくれました。

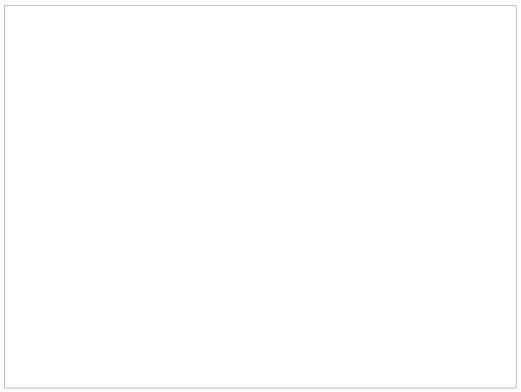
第二后は、つつましやかでとてもかわいい后でした。それに比べて私は、我を張り主張するだけの愚かな后でした。でもこれからは、やさしい母となり妻となります。

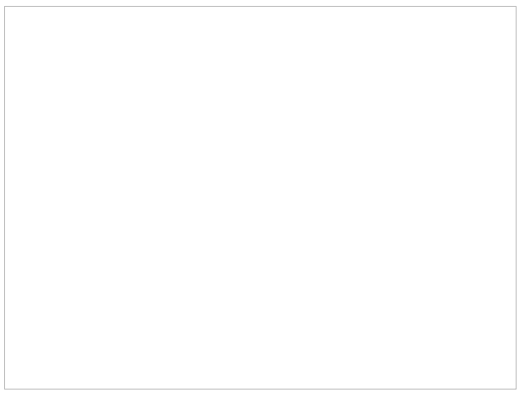
人格神の神産み儀式のあとは、自然神の神産み儀式をしなければいけないので、その場所へ向かいました。

三宅島で古くに噴火したあと、水が溜まってできた周囲２Ｋｍ深さ３０ｍの大きな大路池（たいろいけ）です。









出橋の先に正座して祈りを始めると、大きな大きな白い龍が私の目の前を通り過ぎて行きました。

祈りの途中にも、二度三度、足元が揺れ、水の中のさらに地球の奥底のエネルギーが身体の中を通り抜けます。

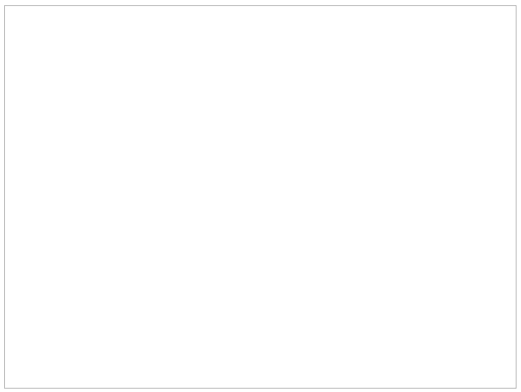
この龍のエネルギーの強さと大きさには驚きましたが、この大路池には湖面の大きさほどの大きな龍が守っていらっしゃいます。

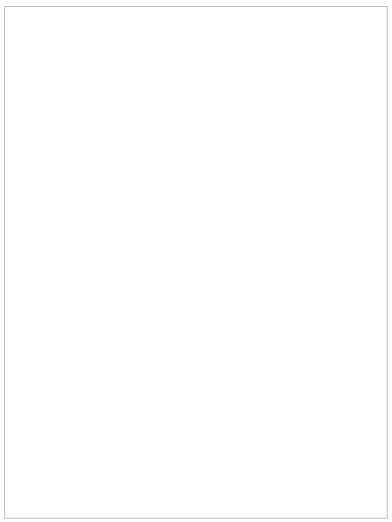
神津島のお神酒と、始まりの子の水となった龍水、そして、海の幸の塩と山の幸の砂糖を湖の神様へお供えしました。

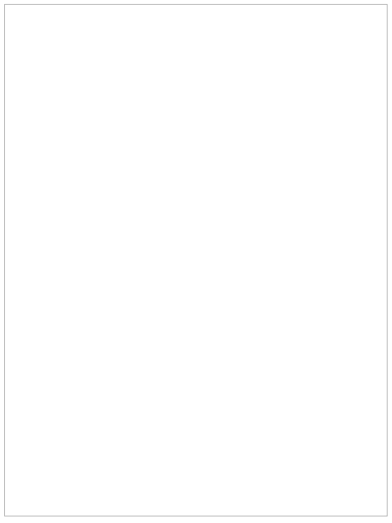
神産み、神育てをして下さる自然神の大神は、龍の大神様です。

地球を産み育て人間を育み育ててくれている龍の神様に、心からお礼と報告の祈りをさせて頂きました。

帰り道に見つけた巨大な椎の木は、この森の精霊全てを見守る樹の精です。







命を産みだす大地の神が姿を見せた姿がこういう樹ですので、育み育てる精霊たちに感謝を唱え

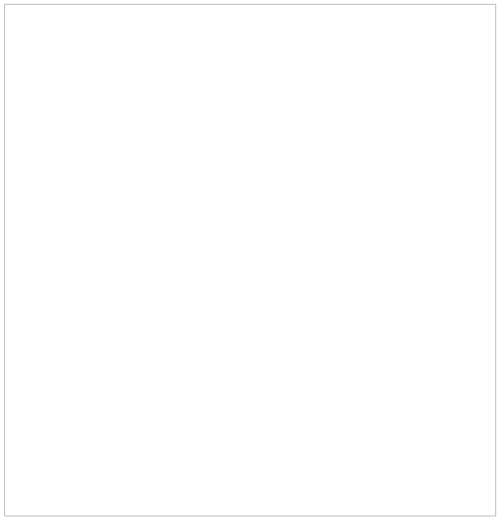
ました。

后神社の神産みの儀式から大路池の祈りまで、約1時間ほどでしたが、皆様の大きなエネルギー転換の祈り合わせのエネルギーと共に、皆さん自身も生まれ変わったと思います。

余談ですが、この神事を終えた翌日の28日午前6：03北海道の苫小牧沖で地震が起きました。

苫小牧の地が、「始まりの地」であると神メッセージを受け取っているからこそ、この地震が「始まりの子」のエネルギーが、日本の土地の始まりに繋がった証だと確認しました。

全ての祈りを終えた最後は、やはり今でも噴煙舞い上がる三宅島の山神様へご挨拶をしに行きました。



近づきすぎると「有毒ガス危険」の看板があり、確かに咳き込むガスが出ています。

島で生活しているしている人たちの御苦労は私たちにはわかりませんが、素晴らしい自然と神々を守って下さる人たちに心から感謝の祈りを行いました。

三宅島の祈りを終えて、飛行機の乗ろうと思うと「決行」の知らせ。

船の中で今回の神事の確認をして、ゆっくり神様を本州の土地へ繋いで欲しいようです。

それぞれの神役目の場所へ、「龍の子」と「多幸水」を繋ぐようお願いしました。

私は静岡県清水の巴川の龍がいなくなっていたので、水神社の神様へぜひ届けてあげたくて運びました。

二つある水神社の神様は、黄龍と紅龍になられて、巴川へ放水した龍の子供たちを育ててくれる事でしょう。

神事を終えても、まだ神メッセージが降りてきています。この神事は、「始まりの神事」でもあったようです。

ひとつひとつの意味をしっかり解読して、地球を守る人間としてやるべきことをやりますので、どうぞ皆様も心合わせやお力をお貸し下さい。

地球創世の為に、私たちは日本の地に、日本の血で生まれています。

全ての民族が望む希望を叶える豊かな心と、愛すべき土地と精神性を持って生まれた日本人。

あなたが生まれ変わる事で、谷浩一君の思いも実現できます。

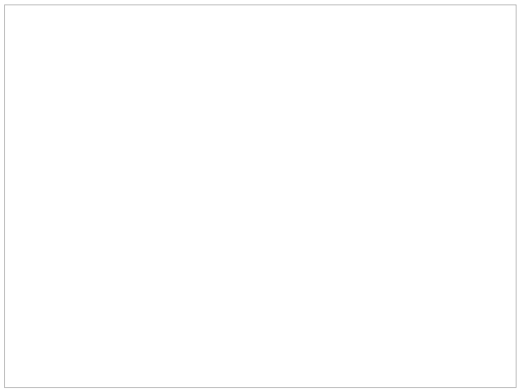
神の御心と人の御心を同じく扱う大きな心で、愛を育む生き方をして下さい。

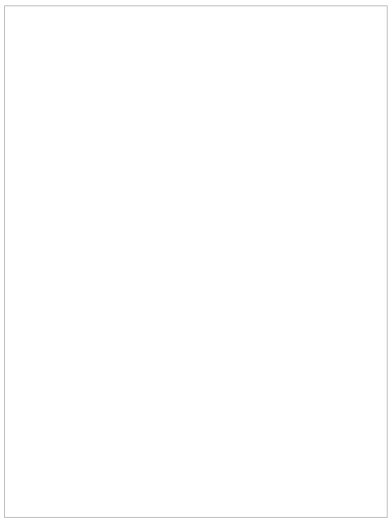
それが谷浩一君の叶えられなかった夢の実現でもあります。

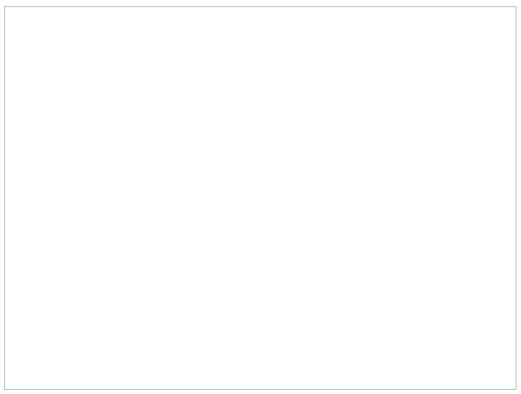
続く
2010.06.26 Sat

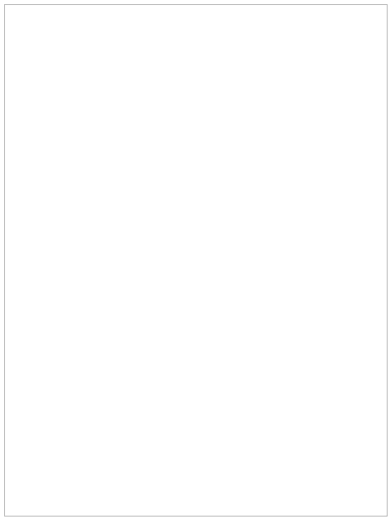
神津島　神様の思い

6月26日の祈りは、三嶋大明神（父）の長男である物忌奈命神社(ものいみなのみことじんじゃ) から始まりました。この日は神津島の清掃の日で、朝から島の人たちが清掃作業をしていました。



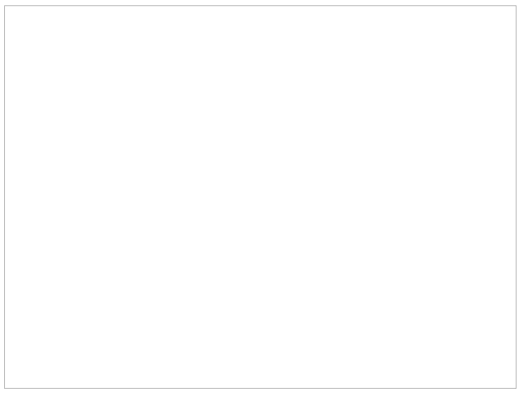


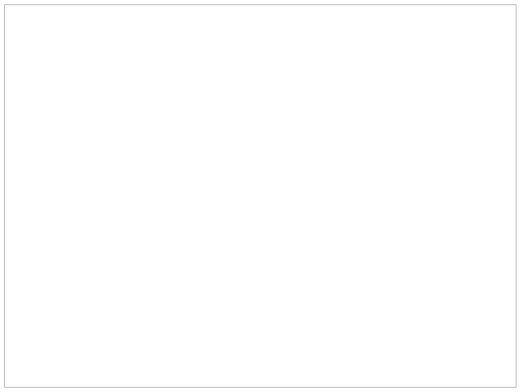


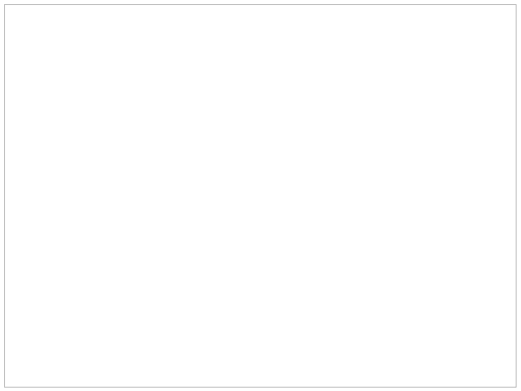


拝殿の左には、古い木霊を祀った素晴らしい場所もありました。

自然霊を祀る意味は、自然界から命を産みだす母神に感謝する意味で祀りますが、この樹は見事に女性が命を産みだす子宮の形をした素晴らしい母の樹です。

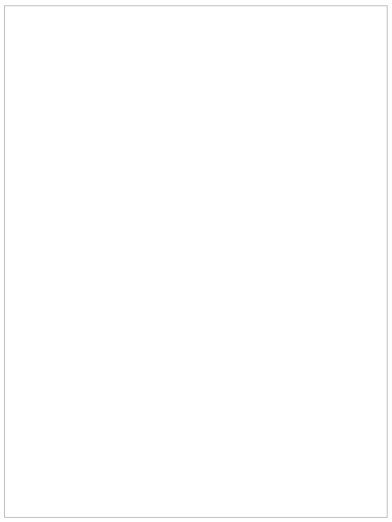






神社の中にはたくさんの木がありますが、全ての木が大切に守られているのがわかります。

伊豆に多く見られるビャクシンの枯れた樹を大切に残しているのも、神の意思を感じさせる樹肌が命の脈動を伝えているからなのでしょう。



拝殿に向かって正式な挨拶をすると、なぜか言葉が返ってきません。不思議に思っていると、どこからか声が聞こえてきました。

言葉を話さずとも心の声を聞く「胎動心」の心があれば、必ず兄の言葉は聞こえるはずです。

物忌奈命の弟が代わりに説明してくれたようなので、心を静かに落ちつけて本殿の奥へ意識を合わせました。すると・・・

人間は見える物や話した言葉で人を判断しますが、全ての命を産みだした大神は、目には見えない聞こえない人の心の中を見ているからこそ、本当に大切な事はわかる人にだけわかるようになっています。あなたには心の声が聞こえるはずですから、どうぞ宜しくお願いします。

何も文句を言わず何の要望も言いませんが、私たちに何を望んでいるかを気づきなさいと言っていることを感じました。

自分たちの力量が問われているのは当然ですが、物忌奈命（兄）は周りの人たちの影愚痴やうわさ話が聞こえていながらも、何の反論もせずに堪え忍んできた事はわかりました。

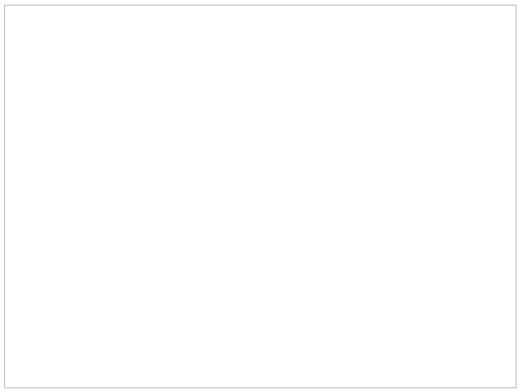
もしかすると、ここの神様は言葉を話せない人だったのかもしれません。

こういう事実を隠す事はよくあるのですが、「胎動心で聞きなさい」という弟さんからの教えは、今の人間にとって大切な魂の繋がりを思い出す教えだとも感じました。

やさしく物静かなお兄さんは、巫女に「また来て下さい」と伝えてくれました。

お兄さんのご挨拶が終わったので、次は弟さんの日向神社を探しました。

あるべき場所にたどり着いたのに迷っていると海岸近くに、「多幸湧水」と書かれた東京の名湧水が湧き出ているのを見つけたので、お水を頂いて自分たちの禊（みそぎ）をしました。



道を戻って狭い坂を上った先に「日向神社」を見つけましたが、絶対にわからないと言ってもいいほど、そこは寂しい扱いを受けている神社でした。

狭い参道の先には手をかけていない汚れたままの拝殿があり、その奥にある小さな本殿もみすぼらしく見えてしまうほど小さなお宮でした。

扉を開けて驚きました！

汚れた御神鏡、お宮を取り換えた段ボールの空箱、ほうきとチリトリ、樹の破片・米のくず・・・

こういう状態を見た時は、地元の人の心の現れだからこそ手は付けないと決めて、祈りを始めましたが・・

「お前たちは何をしに来た！」　と怒りの声が第一声でした。

なぜ叱られなければいけないのか、何の落ち度が私たちにあるのかを考えました。

あー！今日は、清掃の日だ！

島の清掃時間にここにいるのだから自分たちに出来る事をしようと、本殿内の清掃を三人で始めました。出来る限りの清掃を終えてから、改めてご挨拶の祈りをしました。

あなたたちは分かっていると思うが、兄はとても周りに理解されづらい人だったからこそ、私は精一杯できることをしてきたつもりだ。

しかし、その行いや言動は、自分の思いとは別にいつも誤解されて伝わってしまったようだ。

兄を思う為にした行為であることだけは、わかっておいて欲しい。

不憫な兄の気持ちと父母の思いがわかるからこそ、人前に出て自分にできることをしていた弟は、日本神話のスサノオウのように真実を理解されないまま現在に至っているようです。

それは、この島の人たちの様子を見ていてもわかりました。

島全体の清掃の日なのに、兄のいる場所はたくさんの人がお宮清掃をしてのに、島の反対にある弟のお宮には誰も来ていません。

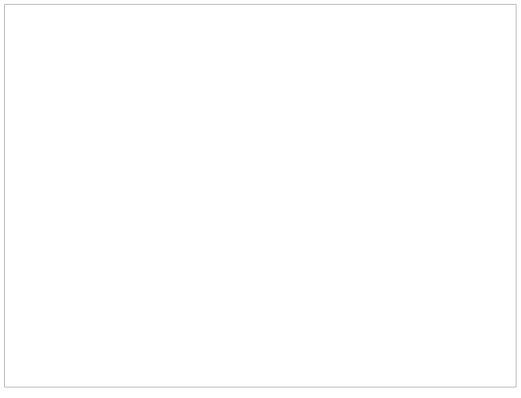
土地に残る思いは必ずその土地に住む人の心や行動に連動するからこそ、土地の思いをクリーニングする事が私の役目だと思っています。

自分が住む土地の歴史の裏表を知り真実を見つけることは、命を繋いでくれた全ての人たちの思いをクリアに繋がり、
それは、土地に住む人の心に映し出されてあなた自身の生き方にも影響します。

皆さんにお願いしている事ですが、改めて御先祖が住んだ土地へお詫びとお礼に足を運ぶ意味を正しく理解して欲しいと思います。

弟君の思いを感じながら祈ったあとは、少しだけ晴れやかな気持ちになりました。

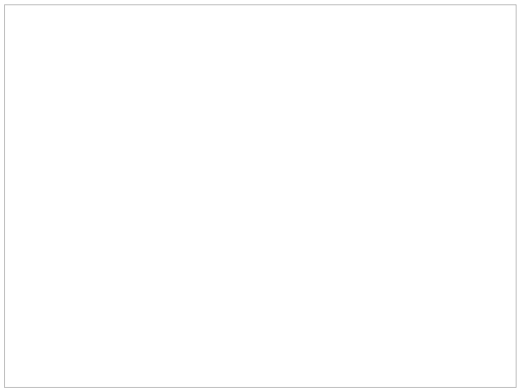
あなたの気持ちを大切にしながら、私たちは神心の整いと人の心の整いをさせて頂きます。
ありがとうございます。

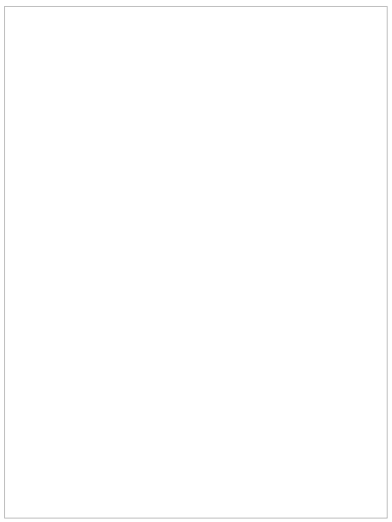


昨日、巫女の女性に天上山の弁天様がプレゼントをくれたので、この島に二つある弁天堂へ御挨拶に行った方がいいと伝

え向かいました。

西の弁財天の場所は、狭いながらとてもバランスのいいお宮でした。





お宮に着くと、急に雨がパラついてきました。祈りの最中も、パラパラと降り続いていますます。

祈りを終えた巫女は、「この雨は悲しみの涙なのですよ」と伝えてくれました。

天の悲しみ、神の悲しみ、人間の心の悲しみを表す涙だと感じました。

私たちはその思いを理解する為にここまで来たのですから、必ずやり遂げると再確認しました。

もうひとつの弁天様へ行く道の途中に、「閻魔堂（えんまどう）」を見つけました。

巫女の女性は身体が動けなくなり、出られない、出てはいけないと感じた様なので、私一人で御挨拶に行きました。

ものすごい強い力で下を守っています。下とは、霊界、仏界、土地の下、海の底の世界のことです。強い祈りをしないと心が負けるくらいに、霊気が奥から強く溢れ出ています。

閻魔大王のように闇を守る存在がいるからこそ、闇のバランスは守られています。

闇を知らない人は知らないままでいいでしょうけれど、人間の心の奥の闇ほど怖いものはありません。

一般的には、闇を持っている人ほど闇を恐れるものですが、それは自分自身の本質を見るのが怖いからです。

本来人間は「光そのもの」で生まれますが、「自我」を持った時から闇の心と光の心で生きるようになります。

闇の心は、影愚痴、うわさ話、嫉妬・執着・恨み・妬みの心を産みだします。

光の心は、お詫びと感謝、笑顔と希望を産みだします。

人間が闇の心を手放なさない限り、闇を守る存在は必要になるのです。

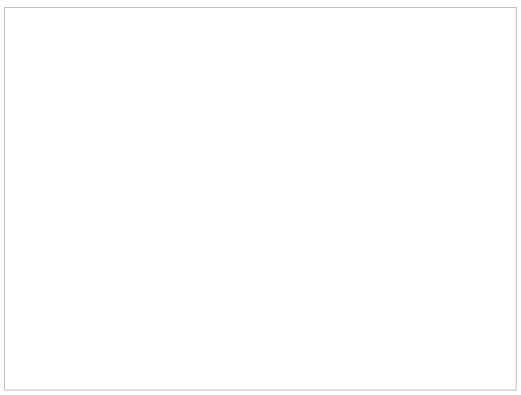
全ての人が光の心になるには、闇の中にいる自分に気づいて自分が闇から出ると宣言して生きる事が魂の目覚めになるのです。

闇を守る閻魔堂（えんまどう）の祈りを終えて、もうひとつの弁天様にも御挨拶に行きました。

島の反対側にある金毘羅様の中に弁天様はいらっしゃいます。

静かに、そして、強いお言葉を下さいました。

自分の思いに責任を持ってしっかりと生きなさい。



巫女の女性もその言葉を感じた様で、神様の為にも人の為にも自分の為にも、しっかり生きていく決意を言葉にしていました。

ここで巫女が、神の心を伝えてきました。

お兄さんのところで、「もう一度来て下さいねと言われましたが、それはいつかの事ではなく、弟の気持ちを分かった今、もう一度来て欲しいということのようです。」

三人の神意思が、固まりました。

過去の全ての思いを背負って新しい船出をする為に、お兄さんのところで統合の祈りをしに向かいました。

静けさの中、誰もいない拝殿の中へ入って正式な祈りを行いました。

私に、大神のことばが降りてきました。

たくさんの過去の神の思いと人間の思いをひとつにして、新しくこの地を守る為の神心を皆さんへ伝える事を大神の言葉で唱えました。

巫女は、神歌と巫女舞を奉納してくれました。

母神、兄神、弟神、そして、三嶋大明神の父神の心もひとつになりました。

神の御心を伝えたり見守っている神たちは、人間の心に現れる心のあり方を問い続けています。

どうぞ皆様も、他人を問う心で自分を問い、他人に「こうして欲しい」と思う気持ちを自分の行動で示す生き方をして下さい。

兄のお宮を出た後、また巫女へメッセージが入りました。

「島の東側へ来て下さい。お礼がしたいので・・・。」

島の東側は、弟の宮がある場所だなあと考えていると、「あー！あのお水だ！」とわかりました。

土地を守る神々がお礼をしたいと言った意味は、新しく生まれ変わった神の水を持っていって欲しいという意味だったのです。

幸多き水、多幸水をありがたく頂きました。

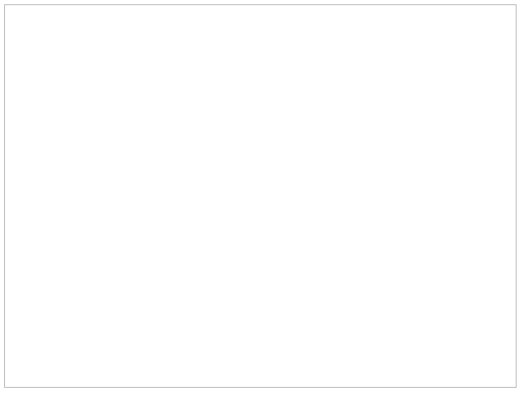
最後の最後、この島の土地神はやって欲しい事があるようで、男神のＳさんへ「ジーチバン、ジーチバン」とメッセージを降ろしました。

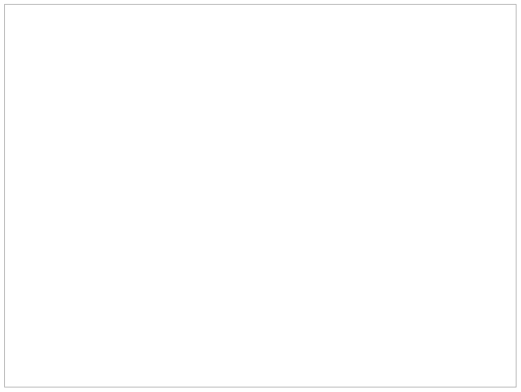
沖縄の神言葉で「ジーチバン」は、土地番の事を言います。

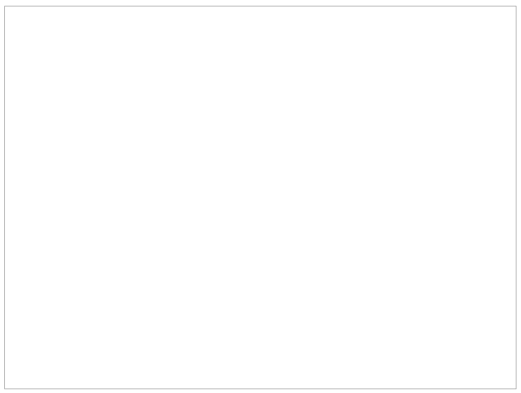
どこでやって欲しいのかと思ったら、何度も目につく看板がありました。

「返浜（かやす）」、ここへ行かなければいけないとわかりました。

右に男山、左に女山があり、対岸のいくつもの島へ向かって命を産みだす自然神の神産みの場所だとわかりましたが、大切な場所が詰まっていてエネルギーが滞っていました。

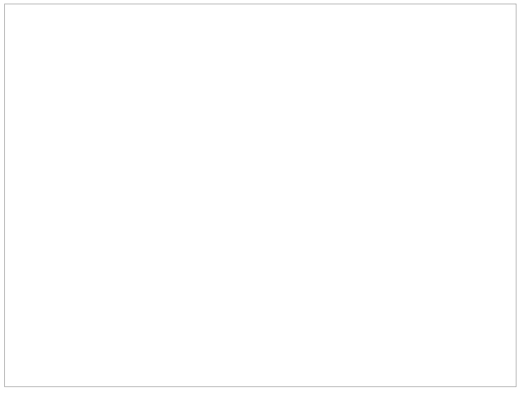


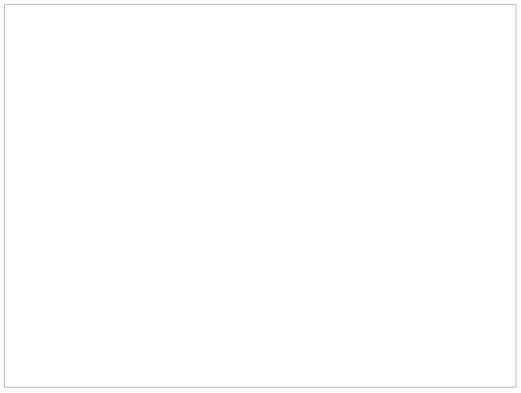




その中に唯一、黒曜石の石が神の台座となっていたので祈りを捧げました。

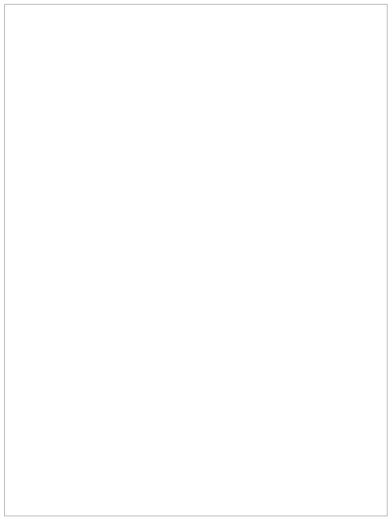
自然の神々が本来の働きを成せる様に、大神の力を借りて「天地清めの祈り」です。





全てが浄化されて新しい命を産みだすラインが、対岸の島へ繋がりました。

神産みのエネルギーを受け取るのは、三角形の形をした利島（としま）です。



これで本来の神産みの島、神津島の働きが出来るようになりました。

神津島の神々に見送られながら、14：20の船に乗って一度、東京へ戻り、22：20発の三宅島行きの船に乗ります。

2泊3日の時間で精一杯のスケジュールがこんな形になりましたが、これも一度、本州へエネルギーを繋ぐ大切な意味があると思っています。

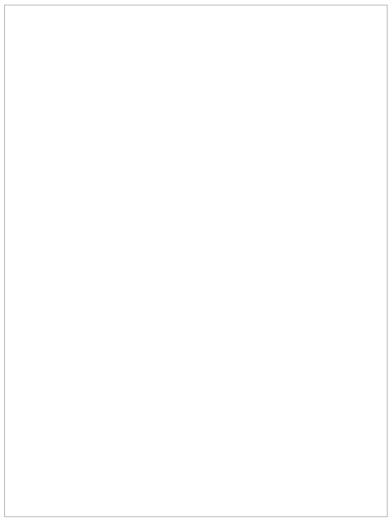
明日（27日）は、朝5時に船が着いてすぐに祈りを始めます。

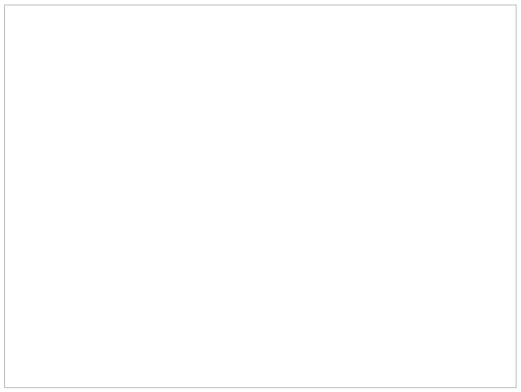
午前9：30の祈りに合わせて大切な場所を巡ります。

続く

2010.06.25 Fri

神津島　天上山の祈り





神津島の天上山は、もともと伊豆諸島全ての神々が集まって神の水を分ける儀式が行われていた場所ですが、祈りの準備を始めると、あたりは一気に霧に包まれて先ほどまで見えていた景色も全て霧の中に入ってしまいました。

見えるのは、頂上部分と私たち3人の姿だけ。男神と女神の役目になった二人に座ってもらい、反対側で私が天地の神々を繋ぐ祈りを始めました。

目をつむると私たち3人の周りを、霧に姿を変えた伊豆諸島の神々が集まり円陣で囲んでいるのがわかりました。

その数、３０～５０神ほどは居たでしょう。全ての神々が膝を抱えて座り込みながら、私たちの祈りを見守っています。

山の周りには、さらに300～500神ほどの神々が集まっています。

身体には、その神々の思いが乗ってきます。空咳が続いたあと、全ての神々の意思が私の体の中に入り繋がりました。

右回り、そして左回りで周りに円を描くように歩いて中心で祈りを始めると、天地の大神たちが舞い降りてきてひとつのエネルギーラインに繋がりました。

手に持っていた木の棒を剣に見立てて、剣の先を天へ向けて大地に刺しました。

地球の内部のエネルギーを天へ繋ぐ祈りと、天のエネルギーを地球の核へ繋ぐ祈りをしていると、大和言葉の神言葉が降りてきました。全ては覚えていませんが、意味はこんな感じの言葉でした。

大神　この地を守る全ての神々に告げる

この地球を守る全ての御魂を導き

新たな命を産み育てるよう手を取り

心を繋ぐ祈りを捧げる者たちを見守り導くこと

この地　産みだしの神働きの地とする

さらに、男女が手をつなぎ男女和合・陰陽和合の神言葉も降りました。

妻をめとらば　産み育ての母と祀り賜えて　使えし者の恵みあれ

そのミコトの神となれば　わが身命腹わくば

使えし恵みのありがたさ　命与えし神の子と

神巫女　産み育ての父母として

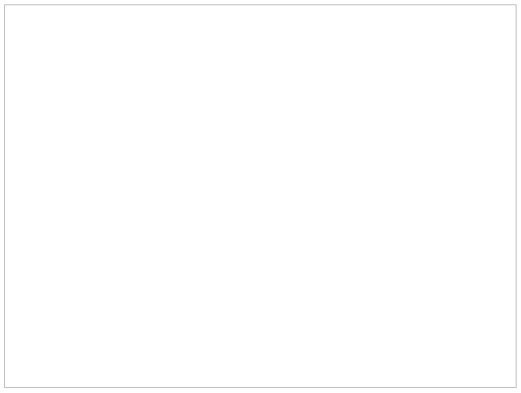
その子と大いなる神の巫女

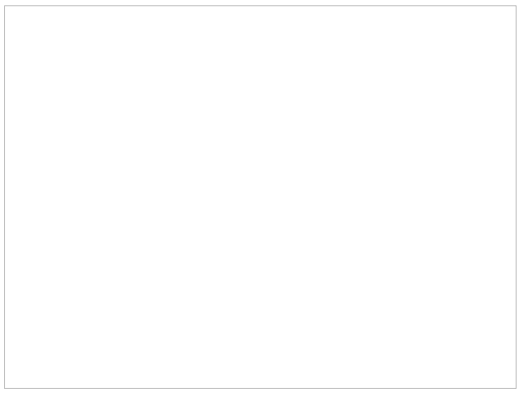
母巫女守りし父としての働きなせと　大神申す

全ての祈りが終わると、周りに座っていた神々は深々と頭を下げて「大神の意思、確かに受け取りました」と言い残し、霧と共に各島々へ戻っていきました。

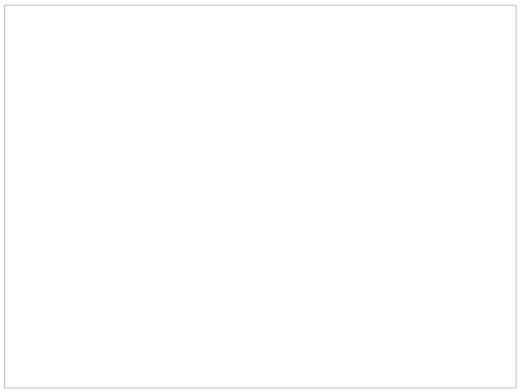
霧が開いた景色は、過去の思いを横一線に並べたような龍雲が現れました。

神の心と、人間の心がひとつになった瞬間です。

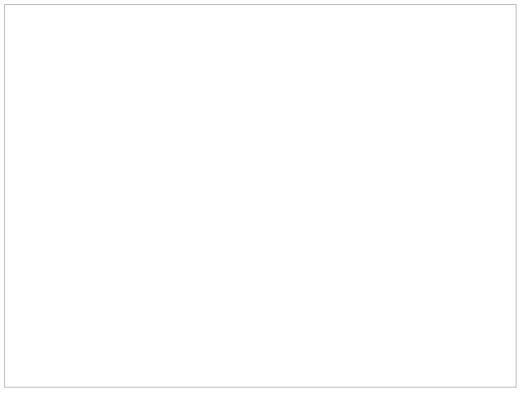




天上山祈りが終わると、「不動池」と呼ばれる聖地へ向かいました。



見てすぐに、沖縄の方が作ったとわかる祀り方なのには驚きました。



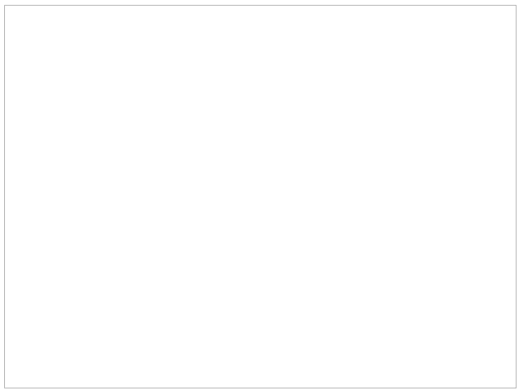
沖縄の亀甲墓と呼ばれる形は女性の子宮をイメージして作られていますが、子宮から生まれた命がまた母の子宮へ戻る事を考えて作られています。

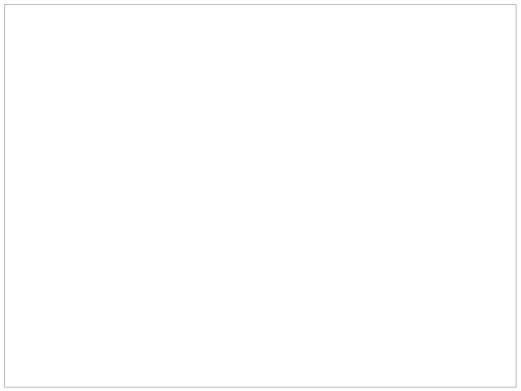
写真にある祀り方は、沖縄の「大和番」の聖地で見た形と同じですが、もともとは亀甲墓と同じような母の子宮をイメージした拝所だと思われます。

いつ誰が作ったのかわかりませんが、自然神と人格神を一緒に祈る知恵としては素晴らしい形だと思います。

中央のこんもりした小さな島には「弁天様」がいらっしゃいますし、祠の中には「龍王」を祀ってあると書いてあります。

私の龍格は2008年から「龍王」を頂いていますので、鏡に向き合うような変な感覚でしたが、守って下さる弁天様へ感謝の祈りを捧げました。





祈りの中で弁天様は、こうおしゃいました。

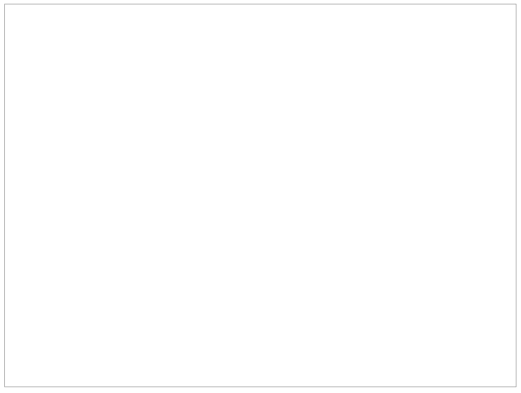
「この池は、龍の子供たちを産み育てる池として古くから私が守っています。どうぞ連れていって下さい」

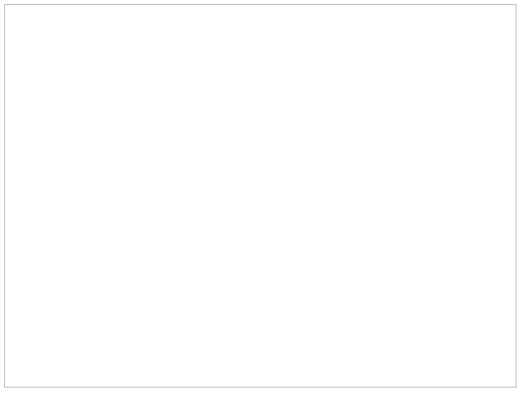
持参した水をこの池へ継いだあと、ここのお水をこの後の神事の神水として使う為に頂きました。

時間を忘れていくらでも居られるほど気持ちのいいこの空間には、あまり人が入って欲しくないと思えるほど素晴らしいバランスの聖地でした。弁天様、ありがとうございます。

天上山を歩き回って海が見える場所へ出ると、対岸の島々が神がかり的に美しく輝いていました。

宮古諸島の大神島のような三角の形をした利島（としま）は、人間を近寄らせない力が働いているようで実際に島に渡れる確率は１０％だそうです。





これで神々の集まる神津島（こうじじま）の一日目の祈りは終わりますが、明日はこの島の神と直接、対話しに歩きます。神の願いを聞き届け、神の願いを叶える為に私たち生まれてきたのです。

続く

2010.06.25 Fri

神津島（こうずじま）神事

6月25日（金）、伊豆諸島の神々が集まる島　神津島へ向けた船の中では、行く場所の意味を確認しながら順番を決める話し合いを持ちました。

まず最初から今回の神事が不思議だったのは、地球内部のエネルギーを抑える自然神神事の予定だったのに、巫女の女性に降りるメッセージや和歌が「后（きさき）や子供の思い」をわかって欲しいという意味のものが多かったことです。

夫である伊豆諸島の三島大明神には后（きさき）が何人もいたようですが、正后は「阿波命（あわのみこと）」と呼ばれて神津島の阿波命神社に祀られています。

夫である伊豆の三嶋大社に祀られている三島大明神に関するビジョンやメッセージは、男性のＳ氏に降りていました。気づいて欲しいこと、男神が守っているもの、役目の意味・・・。

この事をあらゆる角度から調べた結果、結論として出たのは現在祀られている神様の意味とは違う本来の目的を表に出す事が、今回の神事の鍵になりました。

2009年11月の伊豆神事では、2400年前にインドの王子とその一団が船で伊豆に着いた歴史が残る白濱神社へ行きましたが、現在の三嶋大社の前は白濱神社に、さらにその以前は三宅島の富賀（とが）神社に祀られていた事もわかっています。

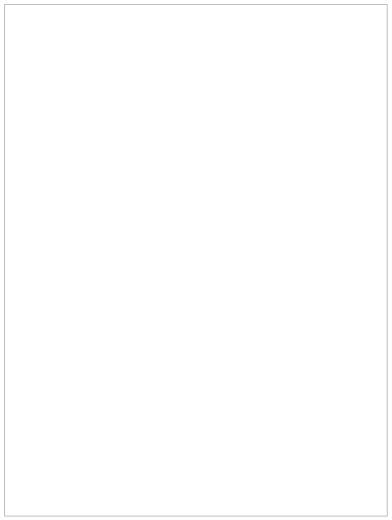
神様の歩んだ行程をさかのぼる意味は・・・、実はこの伊豆諸島で「神」と呼ばれ語り継がれた存在たちが、南方の海から船で渡ってきた渡来人であることを表しています。

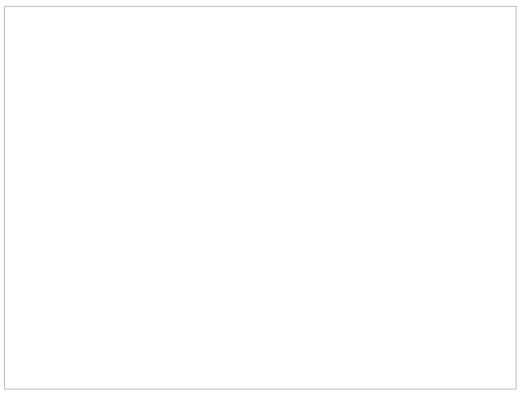
南方民族とは、インド・インドネシア・パプアニューギニア・オーストラリアなどから船で渡ってきた海人族（あまぞく）の事をさしますが、沖縄・九州・四国の地へ移り住み、2400年前に伊豆諸島から伊豆半島へ入った証が神様の名前で残されていて、実はこの民族の血が日本人の血にも入っているという大切な意味の繋がりを示しています。

谷浩一君が抑えようとしたパプアニューギニアから日本へ渡った民族の目的を理解する事も、重要なポイントになりました。

四国にある阿波（あわ）という地名も、千葉県房総半島の安房（あわ）という地名も、同じ民族が入った証を残す為に同じ音の言葉を使って民族の証を残しています。

全ての命を産み出しているガイア地球（女性）の気持ちと、地球を産みだした天の意思を理解する為には、王様（男）を産みだした母の気持ちと、母が産んだ王子（男）の気持ち、そして王（男）に仕えた后（女）の気持ちを理解する事が重要だとわかりましたので、神津島へ入ると龍神へご挨拶してすぐに第一后の阿波命神社へ向かいました。

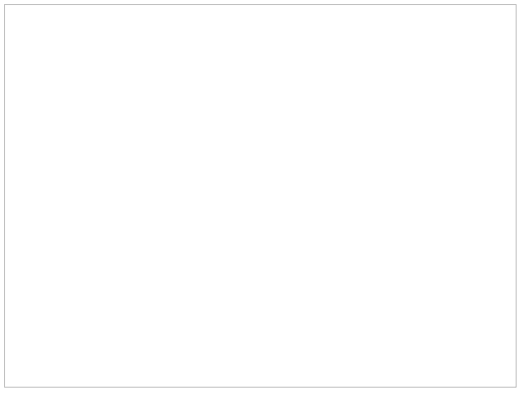




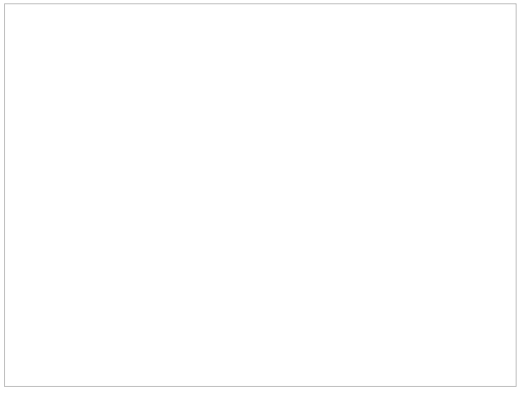
鳥居へ向かうと、強いエネルギーが身体にかかるのであたりを調べると、何と鳥居手前の何気ない松の木が護衛だと気づき、あわててもう一度、ご挨拶のやり直しをしました。

鳥居をくぐって進む道の両側にもたくさんの精霊が守っていたので、ご挨拶をしながら奥をめざすと川を渡った先に山に囲まれた素晴らしい空間が出現します。

二つの山の切れ込みは命を産みだす女性の陰部を象徴していますので、全ての命を産み出す母神の存在を感じる素晴らしい場所です。



本殿の手前右手に石で積み上げられた場所を見つけ、そこにしっかりとした神エネルギーが繋がっていました。上には「阿波命神社旧跡」と記された石がありますので、本来、本殿はこちらにあったようです。その事をわかって祈ったことで、母神と自然神の喜びのエネルギーが身体を通りぬけていきました。



次に本殿で祈りをすると、神様は奥に座っていらっしゃってとても物静かに控えています。あれだけ強いエネルギーで伝えてきたのに不思議に思うと、本殿の右山の奥にその原因がありました。何かを壊したまま放置している為に、不浄霊たちの溜まり場になっていたからです。

御霊たちを払いあげて自然神たちにしっかりこの地を守るようエネルギーを整えると、本殿の神様はとても歓んで前に出てきてくれました。

祈りの中では私にはお礼しかいいませんでしたが、巫女の体や感情を通して阿波命神はメッセージを伝えてきました。

「わかって欲しい・・・私たち女性がどんな思いをして暮らしてきたのかを、そして、子供・・・子供たちの事が・・・」

歴史を調べると三嶋大明神には二人の男の子がいたとありますが、長男が「足らない王子」と呼ばれたように身障者のような身体の不具があったようです。

弟は、その兄を立てようと表に出て活躍したばかりにスサノオウの様な邪神扱いにされた記録も残っています。

この二人の男の子を産んだ母の気持ちを考えるといくばくもない感情が伝わってきますが、后や子供たちを置いて伊豆半島へ向かった夫、三嶋大明神に対する気持ちも複雑なようです。

大義・正義の為に働く男の役目は理解しているけれども、次の王様となって人を導く男の子を持つ母の気持ちは戦時中の男の子を戦地へ送り出した母の気持ちに似ています。

さらに今回の神事を終えて分かったことは、二人の男の子の他に、三人目に女の子がいた事もわかりました。

その女の子はとても霊力が強く恐れられた為に歴史書には残っていませんが、神事から最後に三嶋大明神から降りたメッセージが、「見目、うるわしき姫なり」という言葉で、姫がいた事を伝えてきたからです。

現在、「見目」は従者として三嶋大社に祀られていますが、この女の子は幼子のうちに命を流されたようで、日本神話の「ヒルコ」神の扱いと同じ扱いだったようです。

神役目を持つ霊的な女の子を産んだ母の気持ちを考えると、痛たたまれない辛い思いが言葉にできないまま巫女の体に痛みを伝えてきます。

これは推測ですが、もしかすると日本の神話を作った時の原型は、この実話からきているのかもしれません。

古事記・日本書紀に書いていない部分があるのは皆さんもご存じのとおりですが、いつも本当の事は表に出ずに削除されて隠されてきたからです。

全ての命を産みだす阿波命（あわのみこと）の母の気持ちと子供たちの気持ち、そして、その事を知りながらも伊豆へ向かった三嶋大明神の男神の気持ちこそ、私たち人間が普段悩んでいる心の奥底にある気持ちと同じなのです。

今回の神事のキッカケとなった谷浩一君を導いた神々は、こういう男女間・親子間の思いのカルマを外し、この伊豆の地から新しい希望や愛を生み出せるようにして欲しいのだとわかりました。

それは、伊豆の地へ渡ったパプアニューギニアの御魂の思いも重なっています。

地球内部が生み出すガイアエネルギーは、全ての命を産みだす母・女の役目で生まれた女性の心の思いに連動している事も神々は伝えてきます。

女性として生まれたあなたの心の中に愛や希望を持てれば、この地球も人間も存続できるのです。

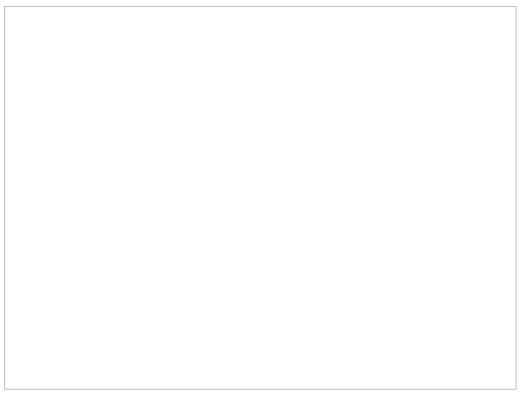
この神事の1週間前に、立て続けに命を取られたヒーラー谷浩一さんのような三名のヒーラーたちの死から学ぶことは、彼らに向けられていた

「依存」という負のエネルギーが一切、許されない時代に入った　と感じます。

しかし男たちに苦しめられた女性の歴史の思いが、この地球の内部には溜まっています。

だからこそ男たちはそのことを心から詫びる心を持つことが大切ですし、同時に、女性たち自身が愛そのものになって新しい命や愛を産みだす必要があるのです。

16：00の天上山頂上祈りは、その全ての思いを理解したうえで地球内部のガイアエネルギーを大転換する祈りを行いました。



続く

2010.06.25 Fri

訃報

地球と日本を守る大切な神役目の仲間が、２４日朝、突然亡くなりました。

彼の名は、谷浩一47歳。

通称リッキーと呼ばれ全国でヒーリング治療をしながら世界の聖地を回り、地球を守る役目を白龍の神様に導かれた男性です。

谷浩一さんとは、数年前の北海道神事からのご縁ですが、地球や宇宙を守る為に命をかけて動く意味について何度も確認し合い、お互いを信頼しサポートしあった大切な祈りの仲間でした。

谷浩一さんの訃報を聞いてすぐにマスターから降りた言葉が、「一心無二、一神無二」であることから、今、彼の魂は私と一緒に明日の伊豆諸島神事に参加します。どうぞ、あなたの心からの祈り合わせをお願いします。

伊豆諸島神事のキッカケも、実は彼のメールがキッカケでした。4月２７日に私宛てに送られた彼のメールをご紹介します。

吉岡さんこんにちは！
バンコクから戻りました！いま東京で、これから全国行脚にまいります。
ところでパプアニューギニアからインドネシアを経由して、沖縄に上り、日本全土、東京、その先まで続く地震プレートに、今年大きな動きがあると来ました。
このお祈りのスタートは６月７月から始めないと間に合わないと言われましたが、わたしはその頃にパプアに飛ぶ予定にしています。
１０人の祈りを主行としている方を必要としている大きな流れのようです。
ともに、メッセージを受け取り、ともに祈り合わせ（場所は違っても同じ時間になど）を仕手いただくことはできませんでしょうか？
今回はわたし一人では、手に負えないと申されました。
そちらにもなにか降ろされていませんでしょうか？
何人のかみんちゅさんにも同じものが来ているようです。
ぶしつけな言葉で申し訳ございません。
見解もお聞かせください。
よろしくでございます。
谷浩一

このあと何度もメールで啓示の意味や神の意志を確認した結果、明日の伊豆諸島神事が決まりました。

谷浩一さんは,
つい数日前に、啓示の元となっているパプアニューギニアまで行き、大難を小難に納める祈りをしてくれていましたが、6月20日に最後のブログの書いたあと、24日朝に成田空港へ着いたようですが、空港内の病院施設で息を引き取ったようです。

原因はハードなスケジュールで日本全国を回り、無理をしてパプアニューギニアの神事を行った為だと思われます。彼は最後に大切なメッセージを残しています。ブログ「　葛藤はあった　」をお読み下さい。

つい先ほどまで伊豆諸島神事に参加する3名と、この大きなエネルギーをどう扱うか話し合いを持ちました。谷浩一さんの魂を天へ戻してまで行う神事の大きな意味を気づく為に・・・。

ここ数日で有名なヒーラーさんの突然死が、３名続いている話も出ました。

ヒーラーという職業が、必ず相手の負のエネルギーを身体に受ける事が原因ですが、谷さんのように地球や日本を守る祈りの代表とも言える人間の命を終えさせた意味は、今回の

地球の内部から出るエネルギーを大難を小難にする祈りではいけない

と気づきました。ですから、

明日からの伊豆諸島神事は、日本に生まれ育った人たち全員が魂の役目を思い出し、地球を救う生き方や神役目ができる為に、地球の内部から産み出される大きなエネルギーを意識の目覚めに転換して愛のエネルギーとなるよう祈ります。

祈り合わせの時間は、２回設定しますので、ぜひ皆様の御心の祈りを私たちへお繋ぎ下さい。

６月２５日（金）　午後４時　神津島　天上山頂上祈り

６月２７日（日）　午前９：３０　三宅島　地球の内部エネルギーを日本人の目覚めに転換する祈り

命をかけて日本を、そして、地球を守った谷浩一という男が居た事を覚えておいて下さい。生かされている私たちにできることを精一杯やり遂げましょう！吉岡学

2010.06.24 Thu

伊豆諸島神事

日本に訪れる予定の大地震のエネルギーを「大難を小難にする」ために、噴煙吹きあがる三宅島・神津島の二島へ6月25日から向かいます。

天地大地、地球内宇宙、宇宙の繋がりを持つ方たちや、日本を愛し家族を愛し大切な人たちを守りたいと願う心をお持ちの方の祈り合わせをお願いします。

神の御心に通じ、神の願いを聞き遂げる神事を行う為に現在、参加者一人一人が神と直接、対話してその情報を参加者で確認しあう作業が続いています。

神事の全てが終わりましたらメッセージや内容をお知らせしたいと思っていますが、日本へ渡った民族の思いや神の思いを理解する大切さを感じています。

一人の人間がこの日本に存在するまでにご先祖たちが関わった全ての出来事・ルーツ、そして神を祀る重要さに気づいて欲しいと伝えてきます。

「私たち人間が地球に存続してよい」と判断される生き方を示す事を宇宙神、自然神、人格神の全てが問い続けます。

自然界の一部として存在している私たち人間は、植物息吹に連動するように母なる地球の声を聞き、父なる宇宙の恵みに守られて存在しています。

どうぞ、あなたの神なる御心をこの祈りに合わせて下さいませ。

お力添え頂きます皆様の祈りのエネルギーを神の島から地球へ繋ぎ、神事の目的が達成できますことを祈ります。

＜伊豆諸島神事のスケジュール＞

【6月25日（金）】　神津島神事
交通：東京08：25→神津島12：05（ジェット船）
内容：天上山神事（神事を入れて往復4～5時間程度の登山）
【6月26日（土）】神津島神事・三宅島神事
交通：神津島14：20→東京18：15（ジェット船）

東京22：20→三宅島05：00（船内泊）

【6月27日（日）】三宅島神事

交通：三宅島13：00→東京14：00（飛行機）

2010.06.23 Wed

デジャブ

録画しておいた映画「デジャブ」を見ました。

「デジャブ」とは過去の記憶映像と同じ体験をもう一度することを表した言葉ですが、皆様もきっと人生の中で何度か経験はあったと思います。

初めて訪れた場所なのに、以前、見たことがあるような気がしたり、日常の中でも「このシーン前にも見たことがある！　あっ、この人、次にきっとこう言うよ！」と事態の結末までわかっている瞬間の事です。

映画のラストシーンは横においといて、「デジャブ」のように忘れている記憶が、ある瞬間に思いだした経験は私も何度かあります。

それは、修学旅行で訪れた場所だったり、交通事故を目撃した瞬間だったり、誰かとの会話の中だったりと、子供の頃のほうが多く見ていたように思います。

当時は、なぜ「デジャブ」を見るのか意味がわかりませんでしたが、昨日の映画で気づいた事があります。

それは「デジャブ」は時間という概念を越えて、「過去」という世界へ繋がった瞬間だということです。

時間を越えて過去や未来に行くタイムマシーンは知っていると思いますが、あなたの魂が、過去の魂の記憶へ繋がった瞬間が、「デジャブ」の瞬間なのです。

この映画もタイムマシーンのように時間を越える装置を使って現在の自分が過去へ戻り、過去の悲惨な出来事を変えようとする映画ですが、実は、映画のストーリーの中で今回の時間を越える旅の前にも一度戻って失敗した事が表現されています。

過去を変えると、その結果の現在がどうなるかを表した映画もありますが、時空の歪みやひずみが起こした「過去を変える」ことの本当の意味を説明します。

まず過去や未来を変えることは、何度も魂が生まれ変わる輪廻転生と同じです。

あなたの魂は過去世の記憶を忘れていますが、実は、何度も失敗した過去から見た未来を変えよ

うと、今という時代に生まれています。

言い換えると、あなたはこの地球の未来を見て知っているからこそ、やってきたのです。

肉体は消滅しても、魂は物質や時間という概念も越えてあらゆる形になりますので今回、人間に生まれたあなたは、過去の時代から見た未来を変える為に生まれてきたのだと覚えておいて下さい。

私たちのような生まれながらの霊能者が、霊視や透視の力を使って過去や未来が見えるのも、その時間を越える意識の繋がり、つまり、魂の繋がりを他の人よりも強く持っているだけなのです。

だから当然、その繋がりのラインを目覚めさせることができれば、魂は過去や未来へ行き来できるようになります。

本来、時間を越える繋がりの力は特別な力ではなく、与えられた人の役目として周りの人にも時間を越えて未来を見ることができるのだという気づきを与える仕事が与えられています。

魂の繋がりや過去世をまだ思いだしていない皆さんは、「そんな地球の未来を見た記憶なんて覚えている訳がないじゃないか！昨日のことだって忘れてしまうのに（＾＾）」と言われそうですが、あなたの魂は、実は知っているのです。

過去、何度も何度も失敗した経験をやり直す為に生まれてきているのです。

仏教では、この生まれ変わりの人生を「人間は功徳を積む為に生まれてきた」と説明しています。

しかし、この教えを今の挑んでいる事ができない理由にしてはいけません。

できないからこそ、やれなかったからこそ、今、過去の失敗を乗り越えるために人間に生まれさせてもらっている事を思い出して下さい。

簡単に言えば、この人生が良いか悪いかはこの人生の問題ですが、あなたの魂としての目的を問うならば、そんな小さな事にこだわるほど、あなたが生まれた意味は小さくありません。

全ての魂に、生まれ変わりのチャンスが与えられる訳ではないからです。

過去から見た未来が今のあなたですし、今から見た未来も実は、未来を見たあなたが舞い戻ってきているのかもしれません。

今という視点だけも物事全て判断できるほど、魂の世界は単純ではありませんが、そのいくつもの世界自体が繋がっている事は明確だからこそ、あなたは生まれてきたのです。

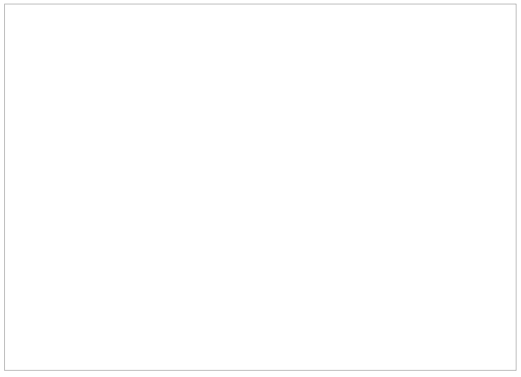
もうボツボツ、何の為に生まれてきたかに気付いて下さいませんか？

その方法も、道具も、人も、条件も一切、関係ないと言えるほど、全ての人に未来や過去を変えるチャンスが与えられています。

「今世」というこの瞬間に過去や未来の全ての時間を凝縮して全ての結果を変える為にあなたは選ばれて生まれてきたのですから、

今を真剣に、そして、必死に生きる事！

これが魂の目的を達成する為に一番、重要なことだと言えます。

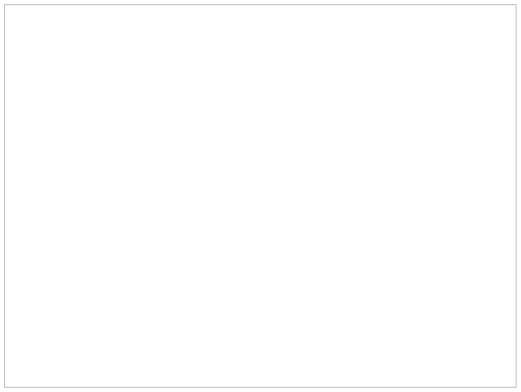


2010.06.20 Sun

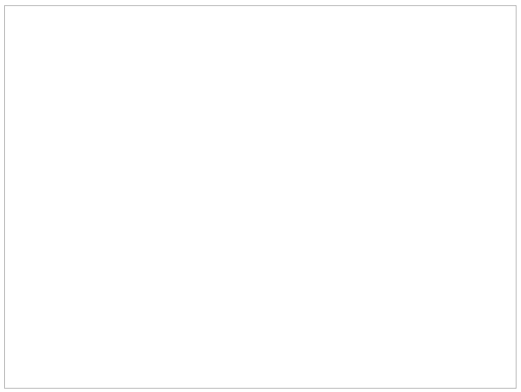
水を産みだす山神様

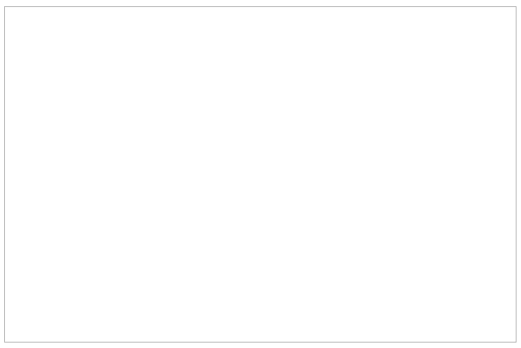
自分を信じるように他人を信じ、さらに見えない存在や大地や地球に感謝する心を持つ人たちが集まった「さくらぎ笑楽好恒例　苫小牧樽前山登山」が、６月１３日（日）に行われました。

前日、樽前山神社の神主さんによる山開きが行われたばかりなので、朝８時には８０台の駐車場が一杯！おかげ様で、５合目から７合目まで５０分の準備運動の時間が与えられました（＾＾）



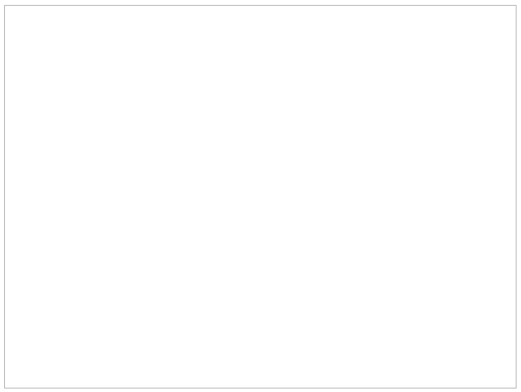
残雪が残る支笏洞爺国立公園に舞い上がる樽前山の噴煙は、吸い込むと呼吸困難になるほど強烈ですが、好天に恵まれたおかげで支笏湖・羊蹄山（蝦夷富士）がクッキリ見えて心地よい風がほほをなぜてくれました。





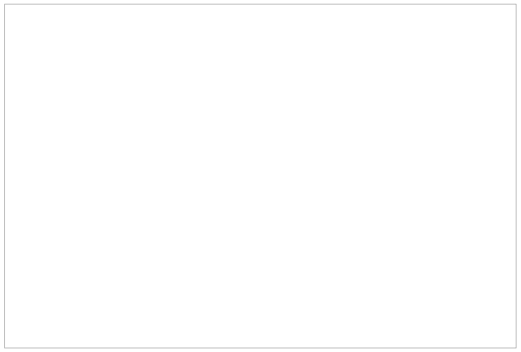
２００６年に苫小牧の方たちと樽前山神事を行ってから、たくさんの人の出会いと出来事がありました。

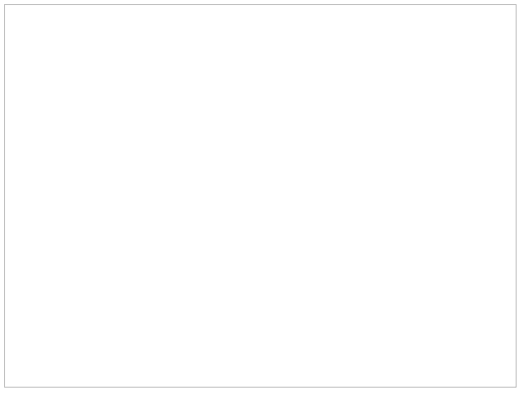
今年は、青年会会長が声をかけた２０代から３０代の若者たちや長老会の６０代の先輩たちも一緒に頂上奥宮で参拝ができました。神は「虹の大日輪！」を見せて、天地神々の祝福を表してくれました。

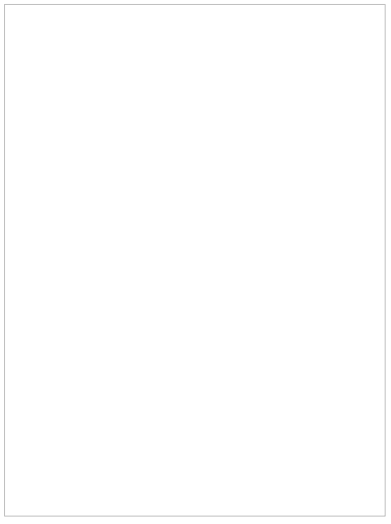


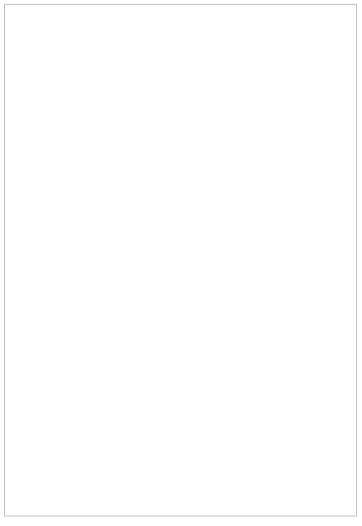
この樽前山には、私が「隕石」と呼んでいる不思議な石もあります。東山の頂上を越えた先の道に、誰かがそっと置いたような四角い石。触れると、体のエネルギーがフワ~と軽くなる不思議な宇宙のエネルギーを発している石です。

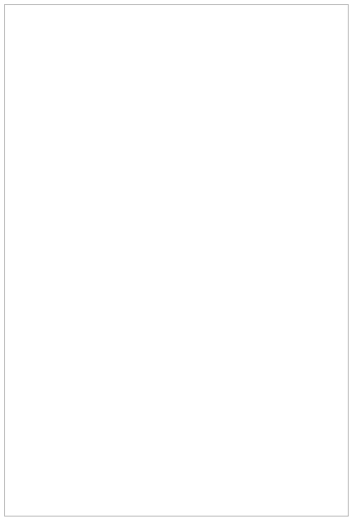
この石のエネルギーは、心と体を整える癒しのエネルギーがあるので、初めて仲間に体験してもらいました。数秒で意識が飛び、宇宙へ繋がる不思議なエネルギーの石です。







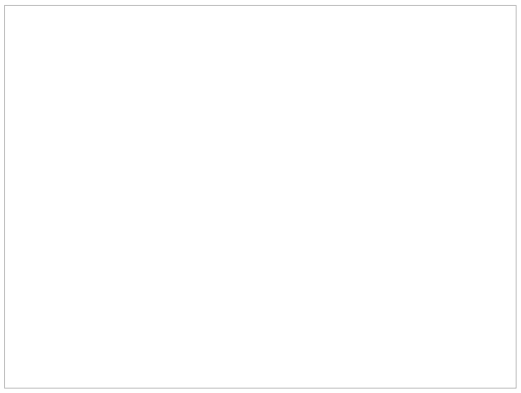




登り降り４時間半ほどかけたゆっくりな登山でしたが、登山は人間性が出るスポーツですし、学びの多いスポーツです。

若者は年長者から生き方と心使いを学び、年長者は若者の一言一言に未来を感じます。

一緒に登ってくれた人たち、そして、今回登れなかった地元を愛する素敵な人たちに心から感謝します。



私は、生き方を迷っている方に逢うと、「答えを出せない事で迷っているなら山へ登りなさい」とアドバイスします。山登りは、生きるヒントを必ず与えてくれるからです。

どんな小さな山でも登ると決意すると、まず準備や計画を立てる必要があります。

自分の思いどおりにならない天候や風、足元の状態も、人生で出会う人たちや出来事に似ています。

計画どうりにならない事や挫折してあきらめる時もありますが、うまくいかない理由が問題なの

ではなく、何が自分に足りないかを気づかせてくれる時こそ、「うまくいかない時」だからです。

自然界の神々や地球は、私たちの意識に連動して生きているからこそ、心に手を合わせて内なる神の声を聞く生き方がこれからは大切です。

自然の中へ身体を運び、風や大地のエネルギーを感じることは、「生かされている」ことを思いだす大切な瞬間です。

私たちの飲み水を湧き出す山は、あなたの人生より永い年月をかけて飲める安全な水に浄化してくれる自然界の大きなろ過装置です。

山を汚さない、山を壊さない、そして、水を汚さない。

山は母なる大地であり、真水は母が生み出す男性性の父にたとえられます。

水を汚すことは、男の父権を無くし生きる力を奪いますし、海や大地を汚す事は、母なる地球を汚し、産み育ての女性たちを愚弄する行いと同じです。

海は女性の羊水、真水は男性の精子

この１００年間ほどの間に、真水や海を汚して地球のエネルギーを大きく歪めた結果、人間の心や意識に大きな影響が出ている事は皆さんも御存じのはずです。

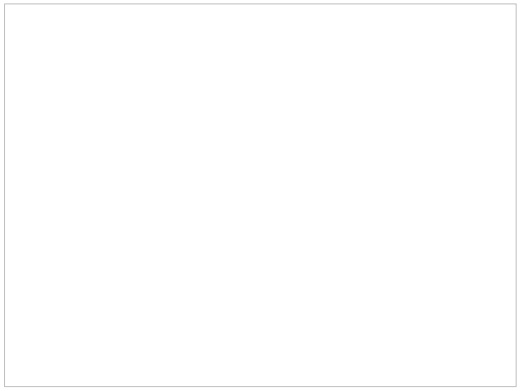
あなたの家の水道の蛇口から出ている水も、この山が育んでくれた大切な命だということを子供たちや大人たちは知っているのでしょうか？与えて下さる自然界の神々に、何をお返ししていますか？

飲める水を湧き出す山を「神の山」と祀って、毎年、大切に参拝登山する先人の教えは、人間が生きるうえで一番大切な事を私たちに教えてくれていると思います。

あなたの住む家の周りで、飲める水を湧き出す山はありますか？

天変地異がもし起きたとして、飲める自然界の水の場所を知っていれば、大切な家族を守る事ができます。どうぞ、あなた一人でいいですから、心から恵みを与えてくれる山の神様へ感謝の祈りを捧げに行って下さい。

「１００年後まで飲める水を与えて下さいます事に
　心から感謝致します」



2010.06.17 Thu

祈りの力

本来、祈りという行為は宗教的なものではなく、食べ物を取りに行った大切な人の安全を祈ったり、自然界の恵みを頂いて生きられることへ感謝する心から始まっています。

時には、自然災害や不幸な出来事によって命を落とした人たちの苦しみを減らず目的もあったことでしょう。

まず「祈るから救われるのか？、救われたいから祈るのか？」は、実は、同じエネルギーなのだと言うことから説明します。

自分を一人の神として考えた時に、あなたの願いを叶えるのは他人だからこそ、「自分も神、他人も神」だと気づきますので、良い事があれば誰かの為に尽くしたくなるのは当然です。

いやいや、私は他人の力ではなく自分の力で勝ち取ったと思っている「おごり」の心がある方は、必ずその「おごり」を問われる出来事が起きると断言できます。※自分の実体験からの言葉です。

大切な人が自分の目の前から突然、居なくなったり・・・、絶対にあり得ない災難が続いたり、信頼している人に裏切られたり、事故や怪我や病気に突然なったり、そういうことが集中して起きると、たまったものではありません。

「ほら、自分の力で何とかしてみなさい」と、

神に問われているような経験した人は、必ず自分の「おごりと愚かさ」に気づきます。

祈りのエネルギーについて、詳しくお話ししておきましょう。

「祈る」という形や行為に、パワーがあるのではありません。

「祈りをする心」に、パワーがあるのです。

何の為でも誰かの為でも、無心で結果を望む心には不思議な力が湧きでるように人間は作られています。

その不思議な力の源は、「無から有を生み出す創造」という心が人間には与えられているから

です。

これは信じる信じないという次元ではなく、信じたい、信じる、絶対信じる、絶対なる！、なる！、当然なる、なって当たり前、当たり前になる、普通になる、当然なる、なる、なる、なる・・・・なった！

という心の進化成長に合わせて祈りのパワーが生まれます。

誰も信じないことを誰よりも信じて、それを当然！、普通！、いつもさ！　くらいに思える自分になると「祈り」は常にあなたの心に思った全てを実現させてくれることでしょう。

時に祈りは、「修行」とも思えるような厳しい経験をすることがありますが、それは、厳しい体験をしなければ祈りができないのではなく、厳しい状況に追い込まれると人間は自我が出るからこそ、その自我を払い落す様により厳しい道を選択する必要があるのです。

「まあ、これくらいでいいんじゃないの？無理をしても結果は同じだよ！」と、

自分の中でささやく悪魔くんを知っている人は、悪魔くんが居られなくなるほど自分を辛い経験に追い込むと、最後の最後に、「本当の自分」が現れてきて驚きます。

「本当の自分」がいることを認めて信じて愛することこそ、祈りの心なのです。

これは人生を上手に生き抜く力の源にもなりますし、生きる信念の基礎にもなっています。

「私の祈りは生活すべてです」

という言葉を話す青森県の佐藤初女さんは、この信念を持っているからこそ、いつでもどこでも誰にでも、一心に心を合わせるやさしさに溢れているのだと思います。

何度、裏切られても何度、傷付けられても、もう一度、他人を信じる心こそ、「神を問わず、人を問わず、自分を問わずの悟り」であり、その心は神の心、つまり、自分の本質の心と手を合わせます。

祈りも現実も、「自分を信じる力　×　他人を信じる力　×　そうあって欲しいという思い」の結

果で生まれます。

例えば、自分を100%信じている人が、他人を50%だけ信じているとして、結果を100%望んだとしましょう。

1×0.5×1＝0.5

おわかりですか、この人の思いの実現性は、50%なのです。

では自分を50%、他人を50%信じて望みを100%信じる人がいたとしたら・・・

0.5×0.5×1＝0.25

この人の夢の達成率は、25%しかないということです、

最後に、自分を100%信じていて、他人を全く信じていない人が望みを100%願った場合、

1×0×1＝0

この人の思いや夢の達成率は、0%なのです。

こういう人はとても辛い人生を経験をすると思いますね・・・。

頑張って努力しても、全く報いられない人の心の奥底のお話しですが、きっと、そんな人はいないと思っておきますね（＾＾）、

現実に起きる全てのことは、誰かのご縁で夢が叶うものだからこそ、本質の自分を許し認めて、他人を信じる大切さに気付く必要があるのです。

祈りや人間の思いは、この「人を信じる力」や「未来を信じる力」によってパワーが産み出され、実にそれは現実さえ変えてしまう力になる例をお話しします。

テレビやマスコミや新聞が、Ａさんのある一部の悪い点を見つけて「Ａさんは悪い人だ！」と非難したとしましょう。

人のうわさ話が好きな人ほど、こういう他人を攻撃する話に乗りすぐに「噂話」を広めますが、

たくさんの人が「Ａさんが悪い！」と信じると、その攻撃エネルギーは大きなエネルギーとなってＡさんを苦しめます。

こういう噂話のエネルギーに乗った人は、自分がＡさんを攻撃している事に気づいていませんが、他人に攻撃されたＡさんの傷を、必ずあなたも受ける経験をすることになると覚えておいて下さい。

※目に見えないエネルギーの世界（思い、神、未来、信じる力）には、正負、良い悪い、善悪が無いからこそ、マイナスを発信した人（悪い事を思った人）に必ずエネルギーが戻るようになっています。

テレビやマスコミや新聞は常に大衆心理をどう動かしてお金にするかを考えている会社だからこそ、真実がどうであれ大きな流れを見ながら皆さんがお好きな不安や恐怖のイメージを大きくしてお金を稼いでいます。

マイナス情報を発信する方が悪いのか、マイナス情報に乗る人が悪いのかを問うのなら、私は同罪だと思っています。だからこそ・・・

「他人の悪口を言わない、陰口を言わない」

そして、「影口を聞かない、悪口を見ない聞かない」

大切さに気付いて下さい。

あなたが他人に出したマイナスのエネルギーが、必ず自分に返って来ることを賢い先人たちは知っていたからこそ、今、あなたにお伝えしているのです。

蛇足ですが・・・

「神を信じない」と言う人は、自分を、そして、他人を信じられない人のことです。

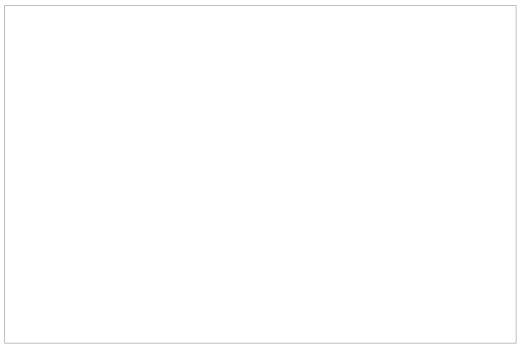
そして、

「心はどこにあるんですか？」と尋ねられたら、

「自分と他人の間にあって、それは信じるという物差しで測っている」と覚えておいて下さい。

あなたが信じる完全プラスの祈りパワーで大切な人を思い、大切な日本の未来を思い、そして大切な地球の未来へ向けて祈る大人たちが増える事を願っています。

それと、永らく品切れしておりました書籍『あなたは生まれ変わる　**2010**年改訂版』を発売しましたのでどうぞお読み下さい！



2010.06.11 Fri

13人のグランドマザーメッセージ

この「13人のグランドマザーメッセージ」を読んで心に響くものがある人は、ご自分の意思で祈りを行って下さることを願いご紹介いたします。吉岡学

（以下、転送内容）
グランマザーからメキシコ湾の原油流出事件に対するメッセージが届きました。届けて下さったシャロン・マカーレーンさん、鈴木真佐子さんにお礼を申し上げます。無限なる愛をこめて、ゆかりるりこと、龍村ゆかり

＜グランマザーたちからの最新メッセージ＞シャロン・マカーレーン（Sharon McErlane）

あなた方は、今、みな切実に必要とされています。

今日、このメッセージによって、私（シャロン）はグランドマザーたちに呼び覚まされました。これがなるべく大勢の人に届くようにお送り下さい。

私たちはみなさんがメキシコ湾に「光の網」（net of light）を投げかけ、それを降ろし、じっと保って下さるようにお願いします（訳注：メキシコ湾の原油流出事件のこと）。

グランマザーたちはこう言います。

「この危機は世界全体に影響を及ぼしているのに、人類は寝たままです。みなさん起きてください！動物たちは死にかけています、植物は死にかけています。あなたの母は痛み、苦しんでいます。この光の網をしっかりと維持できれば、よりひどい危機を避けることができます。」

「あなが方は、騙されて寝ています」とおばあちゃんたちは言います。

「他の者たち（BP、石油会社）がこの問題を解決してくれると言います。でも、それは違います。今は寝ている時ではありません。今、目覚めると決意して下さい。そして、そう決めたら、光の網を思い浮かべ、それを投げて保つのです。網は深く、そして遠くまで広げて下さい。

それが、湾の水を突き抜けていき、母なる地球の表面の下に届いていくように拡大するのです。その光の網を地球の核につなぎ、そこに保ち、それがこの地球のミネラル王国と統合するように頼んで下さい。

すると、それは地球の油とガスを含む、固体と液体のミネラルの状態と調和するでしょう。光の網はこれらのミネラルが再び調和するように呼びかけます。人間は、大惨事を起こしました。人間は長い年月、地上にある生命の王国をひどい扱いをしてきましたが、この破滅の力はついに重大な危機を引き起こしました。」

「人間が起こした破壊は人間が正さなくてはいけません」とグランマザーたちは言います。「これが法です。私たちはもう一度言います。そっくり返って座り、人類が起こしたひどい状態を神に直してもらおうなどと望んではいけません。一人ずつが、肩に力をいれて、車輪を押さなくてはいけません。

私たちは皆さんが手伝ってくれることをお願いします。何年か前に、私たちは皆さんに光の網をプレゼントしました。それは、このような時に地球を助けるためにです。さあ、一歩、前進して下さい。これから起きる変化の時に、あなた方は地球を守ってくれる光の網なのです。

まず最初にハートに入り、私たちグランマザーたちを呼んで下さい。私たちはｍ皆さんとそこでお会いしましょう。光の網は、あなたのハートの宝石なのです。自分の中で、この光が輝いている空間に入り、あなたがその一部分であるその光の網を開いて下さい。その心静まる存在感を味わって下さい。あなたがそれを抱く間、そのエネルギーは、同時にあなたを抱いてくれています。

その次に、私たちとのつながりを拡大していることをイメージして下さい。私たち、グランマザーのカウンシルが今、あなたと共にいます。そして光の網とともにワークするすべての人々も、あなたと一緒にいます。何千人、何万人の人たちが今、この光の中でつながっています。この融合とともに、地球上にある聖なる場所の力も呼んで下さい。

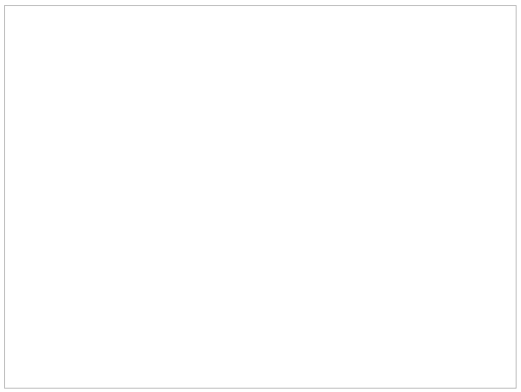
これによって、私たちの合同した力が拡大されていきます。それから、地球を脅威にさらす惨事を回避するために来てくれているあなた方の聖なる存在たちにも呼びかけて下さい。私たちはみな一緒に働きます。

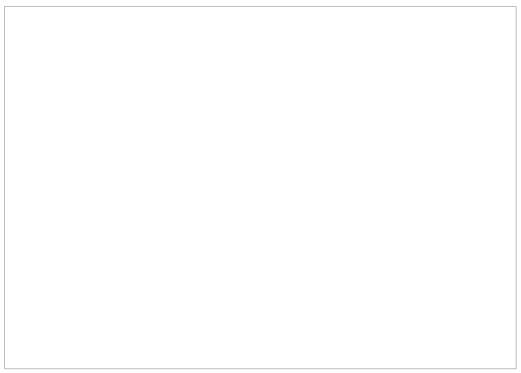
メキシコ湾に光の網を投げて、それを拡大しようと考えて下さい。その光の網が水を、土を、植物、海の生き物たち、そして人々を抱いてくれているのをイメージしたり、考えたりして下さい。光の網が、それらを安定させています、バランスを取り戻してくれているのです。

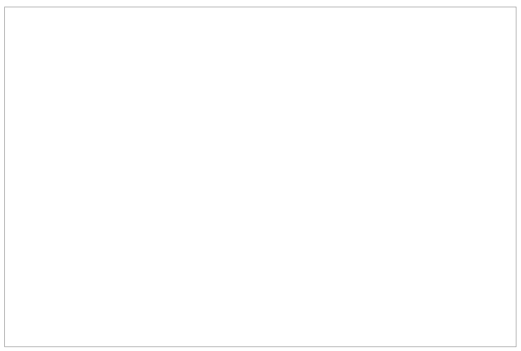
光り輝くあなたのハートの中から、愛が流れでて、光の網に入っていくのを見守ってください。そして、あなたのハートから流れ出る光が、網の糸を伝わって流れて行くのを静かに敬意を持って見ていて下さい。あなたの指示に従い、前に流れ続けていくでしょう。あなたが思い浮かべた瞬間、瞬時にそれは起こります。数分ずつ、夜も昼も一日に何回も続けてください。

この光の網は言葉で表わせることのできないような素晴らしい結果をもたらすことを私たちは約束します。私たちは今、皆さんが奉仕してくれるように呼びかけています。皆さんは、必要とされています。この機会を逃さないで下さい。私たちはあなた方に感謝して、祝福をお送りします。」

リンクhttp://www.grandmothersspeak.com　訳：鈴木真佐子

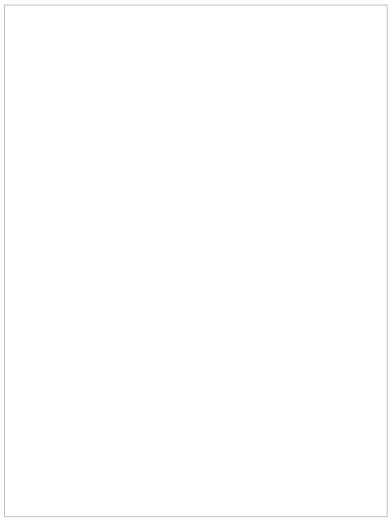






2010年05月05日　原油流出事故のあったメキシコ湾に面したミシシッピ州の海岸
2010.06.09 Wed

比嘉吉丸さん勉強会（札幌）



6月6日（日）に札幌で行われた比嘉吉丸さんの勉強会は、とても素晴らしい情報に溢れていたので皆さんにご紹介します。

１、個人祈祷について

比嘉さんが行う個人祈祷は、守護霊からの「判断」や将来のビジョンを教えない事を大事にしている。理由は、教えられた人が将来や過去の思いをつかんで、現実に生きる努力を怠る人たちをたくさん見てきたから。

大切な事は、自分の守護霊・守護神がいるという事を信じること。
人生は自分で決めて切り開くこと、
大切な気づきや導きは日常の周りにあるので見逃さないこと、
自分の人生を生きた証をキチンと示す生き方をすること。

※人生の階段があるとしたら九段目までは自分を高める為に登る階段、十段目からやっと魂の役目を果たす為に生きる道だと思う事。

２、地球環境について

沖縄は「水」に苦労した土地だからこそ、水の神様や川、泉を大切な神様の場所として祀っている。

日本に降る雨は、チベット山脈・福建省からやってくるが、近年の梅雨は「酸性雨」になっている。酸性雨が降ると森が枯れ、海の魚や昆布が取れなくなり、海が死ぬ。海が死ねば、地球の

生命は全滅する。

◎この地球は、人間だけの地球ではない。太陽と月のバランス、太陽系の星の引力バランスなど、あらゆるバランスの上に成り立っている。

◎日本に現在、原子力発電所が１７ヶ所ある。浜岡原発（静岡県御前崎）がもし爆発したと仮定すると、半径５００Kmに被害は及び、関東から関西までの全ての生命は死滅する学術データが出ている。

原爆が落とされた土地は数年後に住むことはできるが、原子力発電所が爆発した土地には数十万年間住めないほどの放射能が土地に残る。

富士山の噴火サイクルが近いと騒がれているが、今のサイクルは４~５億年サイクルに大きなサイクルにもリンクしていて、地球自体の大変革サイクルに入っている為に、地球は自分の体の浄化システムを働かせようとしている。

地震プレートは、全てのプレートに繋がっている為に、ひとつの大きな爆発が他の国のプレートへ影響を与えて、同時爆発の可能性がある。

伊豆半島付近のプレートは、世界でも珍しい４つのプレートが重なり合う地点だからこそ、人類と地球の為に原発の爆発を抑える祈りを続けている。

※比嘉さんが最初に見たビジョンは、原発爆発が起きて血しぶきが飛び散る中にいた風景だそうです。

３、人間の役目について

人間は、全ての命を次へ繋ぐのが役目。特別な能力者が地球を救うのではない。一人一人が、日々の暮らしの中で大切な人の為に平安を願う祈りこそが大切である。

人間としてきちんと生きることこそ、未来を変える力がある。マスコミや新聞の嘘の情報に振り回されるのでなく、真実を正しく見る目を持ちなさい。

４、日米協定について

１９７２年、沖縄が本土復帰、１９７９年ベトナム終戦。

当時、沖縄はベトナムへ戦いに行ったアメリカ兵隊たちが本国へ帰るまでに人間性を取り戻す為の大切な癒しの地の働きをしていた。その６０年前は、男の子は商売をしている家に、女の子は遊郭に売るのが、当時の生活の糧だったほど厳しい暮らしをしていた土地だった。

終戦後、沖縄は琉球国として独立するか、中国になるか、大和国（日本）になるかの選択もあったが、子供たちの未来を考えて日本に復帰することを決めた。

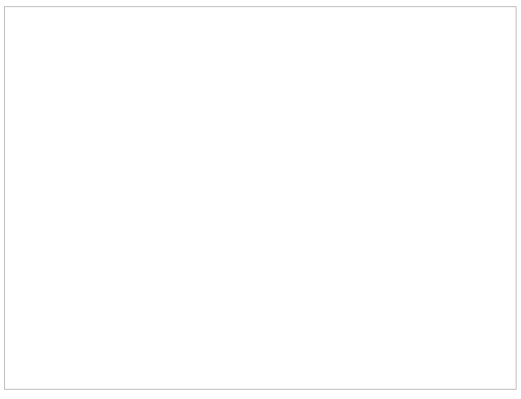
沖縄戦で亡くなった２０万人のうち、実に、8割が民間人だったとはあまり知らされていない。戦争が起きて一番辛い思いをするのが民間人だからこそ、戦争は絶対に起こしてはいけない。

今の政治や経済を批判する人はたくさんいるが、ただ批判することはとても愚かなこと。日本の経済や政治が崩壊すると、すぐに食料が確保できなくなる日本だからこそ、自分たちの食料の新派でｈなく、1億３千万人の食料を確保する術を学ぶ必要がある。

こういう大切な事を教えれることこそ「命の教育」であり、親として大人としての義務である。

大切な事に気づき、自分の行動を変えられる人こそ、未来を変える力がある！

こころのかけはし　学びの和　　**http://mirokumusubi.blog115.fc2.com/**



2010.06.08 Tue

心を開く

家族や特定の人に心を開くことは誰にでもできますが、どんな相手にでも心を開けるようになる努力を皆さんにお勧めします。これは、人生を楽しく過ごすもっとも早い方法だからです。

「これまで自分を守る為に正当化してきた全ての条件を一気にはずしなさい」と言っている訳ではありません。

ひとつひとつでいいですから、辛い思いをしたり、苦しい経験をした時に決めた自分のルールを外す努力をしてみて下さい。

なぜこんな話をするかというと、これまで皆さんが心の中で決めてきた人間関係のルールや条件は、実は、あなたの生き方を自分で狭くしていますので、年齢を重ねるごとにさらに辛く寂しい人生になるからです。

人間も動物も一度、辛い経験をすると、その経験を二度としたくないのｆで「自己防衛本能」が自然に働きますが、避けたいテーマが多くなればなるほど、さらに傷付きやすい自分になってしまいます。

イヌやネコの小動物に接する時にかわいいから、なぜようとして噛みつかれたり引っかかれた経験があると思います。

誰かに傷つけられたり相手を信用できない時に動物はよくこういう行動をしますが、必ず、愛を注ぎ続けると、その性格は変わります。

我が家のネコは、実は、野良ネコ出身で、猫家族に捨てられたかわいそうなメスの子猫でした。父親は当時、界隈の大ボス猫。

大ボスの家族は４匹でしたが、この４匹がよく当時のアパート周辺をうろついたものです。

初冬の冷たい風が吹き始めたある日、大ボス猫とお母さん猫とお兄ちゃん猫は、末っ子の妹猫を見捨てて、突然、町内から姿を消してしまいました。

理由はわかりませんが、残された妹猫はその年の秋に生まれて、まだ身体もガリガリな栄養不足の猫でした。

我が家には、それまで１０年間付き合っていたオス猫が一匹いましたが、いつもボス猫にやられて餌を取られる弱い猫でしたが、家の中では一番、良い場所を見つけて昼寝ができる身分です。

家族に捨てられた痩せこけた子猫は家族が居なくなった日から、毎日毎日、ミ～ミ～とか細い声で我が家の一階のベランダの前で泣くようになりました。

寒さに震えながら必死に食べ物が欲しいと、涙目で訴えています。

野良猫の習性なのか近けば逃げるし、声をかければより警戒心を剥き出しにしますので近づく事はできません。

ベランダの下に餌を置いても、すぐには食べようとしてくれません。このままでは子猫が飢死するのは確実だったので、子猫を救う方法を妻と検討しました。

決行の日、妻が家の中から餌で子猫の気をそらせている隙に、私はそーと外に出て、子猫の後ろへ回りこみました。

ゆっくり静かに近づきながら、そーとそーと、子猫に気づかれずに真後ろに着きました。

一瞬の出来事です。

子猫を両手で抱えた瞬間、家の中へほうりこんですぐにベランダの戸を閉めたのです。

子猫は何が起きたのかわからず、抱きかかえられた瞬間はもがきましたが、ついに家の中へ投げ込まれてしまいました。

この子猫の名前を我が家では、アミ（※宇宙人アミから頂きました）と名付け、餌やミルクを与えてながら大切に育てています。

しかし、この子猫は起きている時間に姿を見る事ができない猫でした。

理由は、初めて家の中で過ごす生活に恐怖と不安が一杯で出て来られなかったのでしょう。

朝になると、餌や水も減っているし、ウンチをしているところをみると、どうやら生きている事は確認できたので安心しました。

触る事も見る事もできないこの宇宙人アミちゃんは、夜だけ活動するので我が家では「幻の猫」と呼ばれていました。

三年ほど経ったある日、夜、テレビを見ていると突然、部屋の隅に隠れていたアミが顔を出してきました。

ゆっくり警戒しながら、こちらを見つめています。

私たちは気づかない素振りを決め込んで視線を合わせないようにしていると、私の足先に少しだけすり寄るとすぐに元の場所に逃げ戻りました。

この行動のキッカケは、妻が毎日煮干しを餌に誘い出す努力をしていたからのようです。

私に一度だけ「スリッ！」と身体を接触させた行為は、今までの御礼と和解の合図だったようです。

それからは、毎日が「スリッ！」の繰り返しでした。

今は大きくなって、妻の膝の上で寝るのが一番安心するようです。

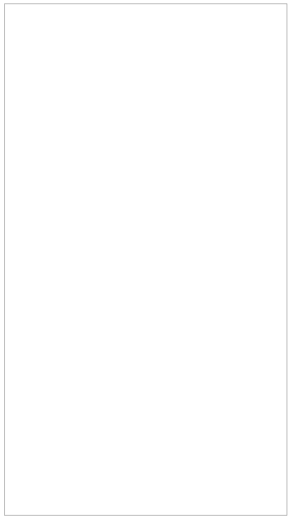
心を開くことはとても勇気がいることですが、必ず、その勇気の結果、新しい世界が用意されています。

あなたも傷つくことを恐れずに、ぜひ心を開いて新しい世界を体験してみて下さいね！

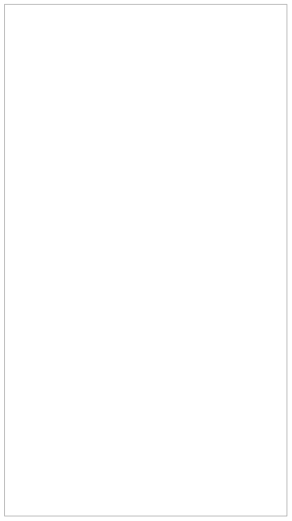
子猫の宇宙人アミが我が家に来たのは、1997年。

もう１３歳のこんなおばあちゃん猫になってしまいました。

彼女の人生が幸せだったかどうかは、彼女に聞いてみないとわかりませんね~（＾＾）

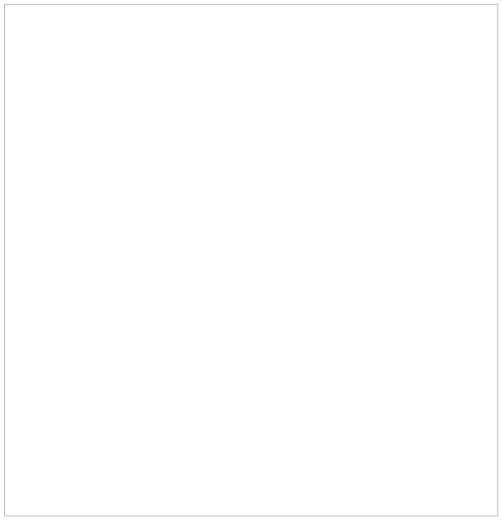


右側のトラが野良猫アミちゃん13歳で、左の白黒の猫は、動物処分センターで命を拾われたルナちゃん8歳でございます。心を開いてくれてありがとう！



2010.06.05 Sat

地球を救いなさい



地球を救いなさい

１９９８年に突然、聞こえた天からのメッセージ・・・

えっ！　地球を救う？？？？

一体、何をどうすればいいのだろう？？？

地球を救うということは・・・・、

地球に住む生命を救うということ？？？

だとすると、人間の私ができることは、

他の人の為に自分ができることをするということなんだね？？？

だから、突然、霊視と透視の力が戻ってきたんだね。

16年間、封印していたこの霊視力や透視力と呼ばれる力。

子供の頃から

言葉を話さない花や鳥や樹の気持ちがわかったり、

逢った人の心の中の思いや将来が見えたり・・・・

そんなことを毎日のように感じていて・・・・

でも誰もわかってくれなくて・・・

ずっとずっと　一人で悩んで苦しんでいた・・・

だから、社会へ出る時に封印したの・・・。

「もう何も見ないし、聞こえない」って！

28歳の時、勤めていた会社で作業をしている時に

「今、していることや持っている物を全て捨てて、

人の為に尽くしなさい」

と急に心の中に聞こえてきたけど・・・

勤めてまだ5年、やっと昇進して、結婚して、現実を頑張ってる最中だったから・・・・

「できません、やりたいのは山々だけど、今、そんなことをすると

一部の人は喜ぶかもしれないけれど、

たくさんの人に攻撃されてつぶれちゃいそうだから。

今は、できません、今は！」

と、何度も何度も、

自分に言い訳するように呟いた言葉を思い出します。

28歳は、1987年。

新興宗教の霊感商法が社会的に問題になったりして、

霊能者のイメージは最悪。

誰かが仕掛けた経済ゲームのバブルに　みんなが踊らされた時代。

人間の良い部分も悪い部分も、たくさん噴き出した時代。

人間の本質が、見え隠れしていた時代とも言えるかもしれません。

だから、こんな時に何を言ったとしても誰もきっと聞いてくれないから

今は、絶対にしないと決めました。

それから11年後の1998年、

「地球を救いなさい」と同じメッセージが聞こえてきました。

札幌市内の霊能者を訪ねて意味を聞いてみると・・・

あなたは**20**代の頃に一度、啓示を受けていたはず。

でも、あなたはそれを拒否したでしょ。

だから、これがあなたへの最後の啓示です。

今世では、もう二度とチャンスは与えられません。

この言葉を聞いた瞬間、とっさに言葉が出ました。

「やります！全てを賭けて、

この人生の全てを賭けて、必ず地球を救います」

14年間、会社に勤めてたくさん学んだ事も、

独立して起業して学んだたくさんの事も、

全てが、現実を変える為の勉強だったとよくわかります。

あるとき、天はこんな気付きを与えてくれました。

人生の経験で　無駄なものは　一切ない

とってもとっても、辛く苦しい日々が続いている時でした。

「なぜ、こんな経験をしなければいけないのか！」と

一人で悩み続けている時に教えてくれた言葉でした。

でも、訳がわかりません。

こんな苦しい経験を今、なぜする必要があるのか？

これまでにも十分、苦しい経験はしてきたと思っていたのに・・・

なぜ？？？

これまでは、

あなた（個）が求めたものの代償の学びと苦しみでした。

今は、

これから救うたくさんの人の為に学んでいる苦しみです。

だから、その苦しみの全てを受け止めなさい。

辛くて苦しくて、逃げ出したい毎日が続いた地獄の三年間。

宮古島のユタから、この三年間の体験が

大きな神に仕える「ユタの三年修行」だと、あとから教わりました。

「何が起きても乗り越える！」と決めて始めた決意ですが、

その苦しみは日に日に増してきます。

自分が欲を出したことの全ての結果を

自分の心の中と、

相手の心の中と、

周りの人の心の中の思いを全て感じさせられる毎日。

よく気が狂わなかったと思うくらい、辛い日々が続きました。

あるとき、自分の心の中にある全ての思いを認めることにしました。

苦しくて辛い思い、嫌だから逃げ出したい思い、

なぜこんな目に逢わなければいけないのかと、

天や神を恨んだ思い・・・・

その全てが自分だと、認めました。

良い自分もいるし、悪い自分もいる。

周りの人も同じだと・・・・・。

やっと、そこまでわかったのかい・・・・

じゃあ、お前はこれらどうする？

何を信じて生きるんだい？

・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・

自分を信じるしかない。

自分の信じた道を進むしかない。

誰に、否定されようとも、

誰に、邪魔されようとも、

自分の信じた道を進むしかない。

一人、たった一人でいいから、

自分を信じてくれる人に出会うまで頑張ろう。

その一人が現れたら、相手の望んでいることを叶えてあげよう。

そしてもう一人、次に自分を信じてくれる人に出会う為に頑張ろう。

きっと、いるよ！

この地球上で、自分の事を理解してくれる人は・・・。

今、あなたの目の前にいる人や家族は、

まだ、あなたのしようとすることがわからないだけ・・・。

いつかきっと、あ～、そういう事だったのかとわかってくれる日が

きっと来るから、その為にも、あなたはたくさんの人に出会って、

自分を信じてくれる人に出会いなさい。

あなたが相手を信じようとするからこそ、

相手もあなたを信じる努力をするのです。

だから、まず、自分を信じて、

そして、出会う人を信じて進んで生きましょう。

私は、あなたをいつも守っていることを覚えておいて下さいね。

誰の目に見えなくても、必ず、あなたを見守っています。

でも、手は貸せません。

何を選ぶのかも、あなたの自由です。

あなたのすること、選んだ事の全てを見守ります。

いつか、私の役目が交代していなくなっても

寂しがらないで下さいね。

あなたには、いつも必要な存在が見守っています。

辛い時でも、そのことを忘れないで下さいね。

私が、あなたを信じています。

だからあなたは、どうぞ、したいことをなさって下さい。

その自由な選択の結果が、

自分の思うような結果でないときでも

自分の責任だと認められさえすれば、

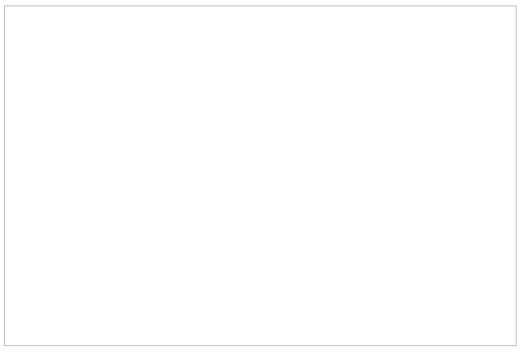
あなたは全ての事を自分で決められます。

あなたが望む地球と

あなたたち人間が望む地球と

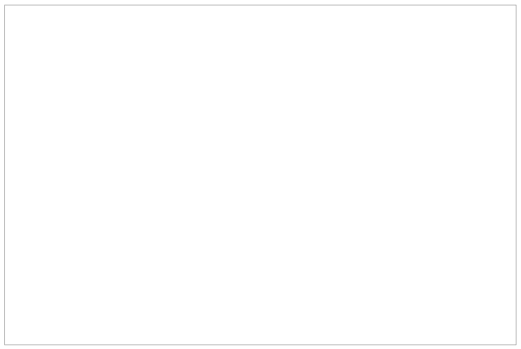
私たち守護存在が望む地球が

同じ地球であることを望みます。



2010.06.05 Sat

6月は動く！



6月に入ったというのになかなか暖かくならない北海道ですが、素敵な情報をお知らせします。

まず、6月6日（日）に札幌市内で沖縄の比嘉吉丸さんが勉強会を行います。比嘉吉丸さんも神啓示を受けて地球と日本を守る神事を全国で行っていますので、私も参加します。

◎こころのかけはし学びの和（勉強会）18；00～21：00
　場所：札幌市生涯学習センター ちえりあ
（市営地下鉄東西線 宮の沢駅）
※個人祈祷（午前3名、午後4名・お一人50分程度）
お問い合わせ・申し込みは、http://inorinowa.org/20100313.htm

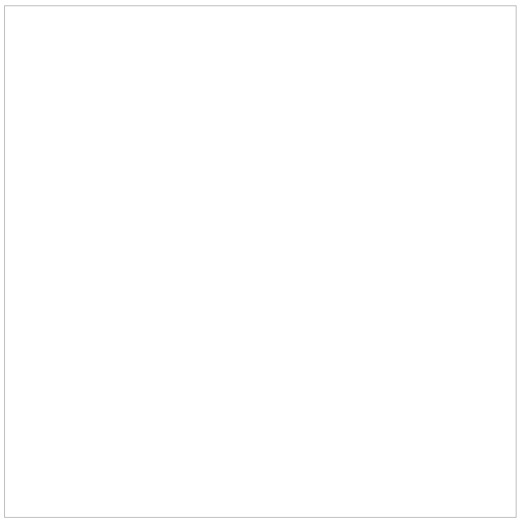
次に、6月13日（日）は苫小牧を代表する樽前山登山にも参加します。もう何度も登った素敵な山ですが、地元を愛する方たちが、水を育み大地を豊かに守ってくれる山神様へご挨拶をしに登ります。
主催：さくらぎ笑楽好主催、春の遠足登山　0144-72-8363
日　時　6月13日(日)　7時30分　さくらぎ笑楽好集合
日　程　8時30分　7合目駐車場から登山開始。
　　10時　奥宮参拝　　11時　昼食後下山開始
　　12時　7合目到着　12時30分～　温泉(ゆのみの湯)
　　14時～　懇親会　会場　さくらぎ笑楽好
準　備　寒くない服装　昼食(おにぎり程度)　水、おやつ。
申し込　6月10日(木)までに　さくらぎ笑楽好

そして、6月25日（金）~27日（日）は伊豆諸島神事の為に、神津島と三宅島へ行ってきます。

日本に大きな地震が起きて大陸が二つに割れる啓示を、日本を守りたい人たちとどうしたいのか

を話し合いました。「大難を小難にする許可」を大神様に頂く厳しい神事になりそうです。

大神様は伊豆諸島のひとつひとつの島の意味を降ろして下さり、今回の神事に必要な導きもして下さいました。



2010.06.03 Thu

五月の満月

ここ最近、私を含めて体調の変化を感じている方たちの為にご紹介します。

☆５月２８日（金）の朝８時８分に射手座で満月を迎えます。この満月の２時間半後に、今年最大のビッグイベントを控えています。それは午前１０時３８分、天王星が牡羊座に入ります。詳しくはこちら。

☆五月の満月には天界と地上の間に通路が開け、ひときわ強いエネルギーがふりそそがれるという。この夕、満月に清水を捧げ心のともし灯を輝かせつつ、ふりそそがれる神秘的なお力を身に受けて、自分とすべてのものの「めざめ」のための熱い祈りを捧げるのが、光と水と聖音の祭典「五月満月祭（ウエサクさい）」である。詳しくはこちら。

愛を月輪の精霊【千手観世音菩薩】、光を太陽の精霊【毘沙門天王】、力を大地の霊王【護法魔王尊】として、この三身を一体として「尊天」と称します。

これは「月のように美しく」、「太陽のように暖かく」、「大地のように力強く」と祈り、「すべては尊天にてまします」とお唱えするのです。　つまり尊天とは「宇宙の大霊であり大光明、大活動体」であり、私たち人間をはじめ万物を生かし存在させてくださる宇宙生命・宇宙エネルギーであって、そのはたらきは愛と光と力となって現れる。

◎何か心に響くものがありましたら今日一日、一人で心静かに過ごしたり祈りの時間をお作り下さい。

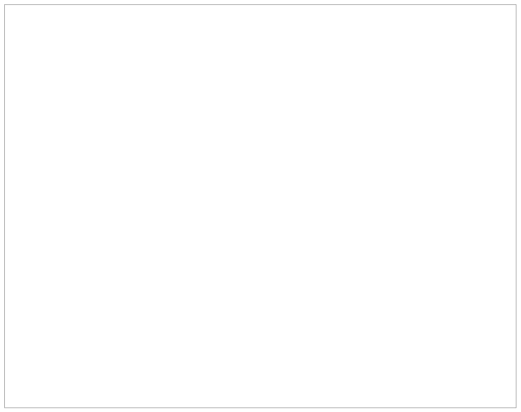


5月28日午後10：45札幌上空の満月
※大きな赤い光のエネルギーは月が放つ愛の守護エネルギーです

2010.05.28 Fri

御前崎祈り（静岡県）

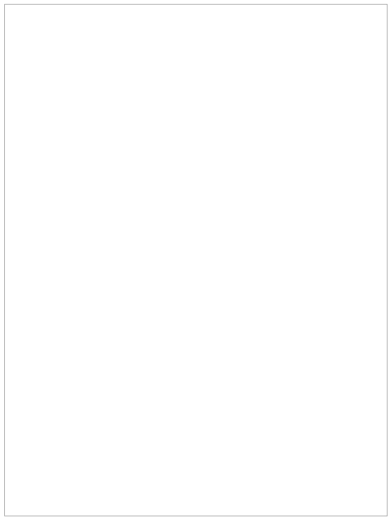
伊豆神事（2009年10月28日~30日）では伊豆半島全体の四方祈りや天城山登山も行いましたが、南端の「石廊崎（いろうざき）」からは駿河湾を挟む形で「御前崎」が向き合っています。

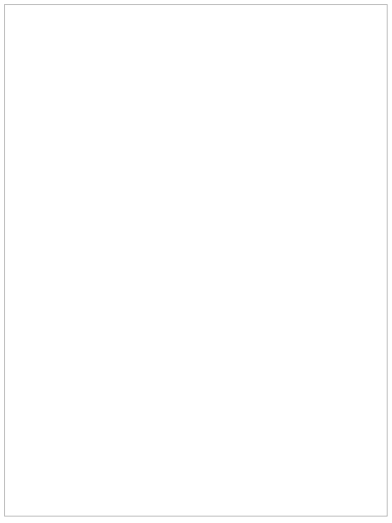


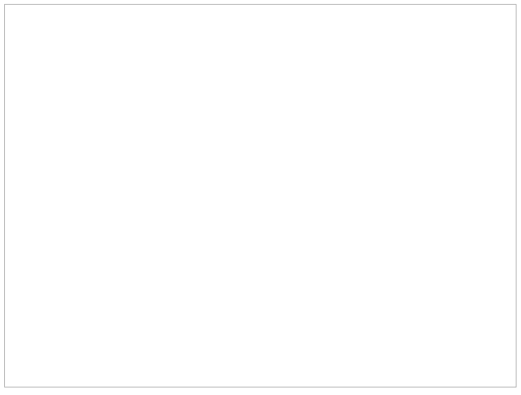
この伊豆神事を行った理由も、2009年8月11日に震度６弱の地震が駿河湾で起きたからですが、これより後の地震は、「大難を小難に納める祈り」を土地神や天城山を守る老龍に行いました。

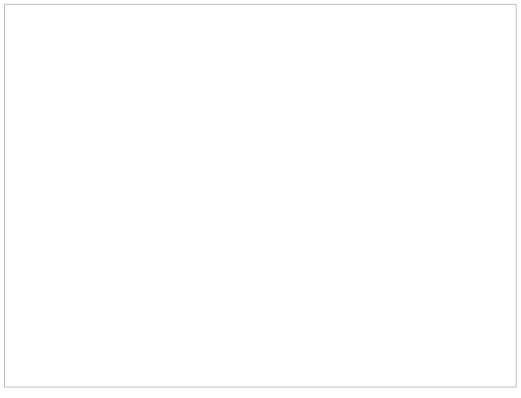
この土地にはインドネシアやインドなどの南方から船で日本に渡った海人（あま）族の歴史が残っていますが、日本に伝来した大神様の目的を感じるからこそ、行かなければいけないと思っていた場所でした。

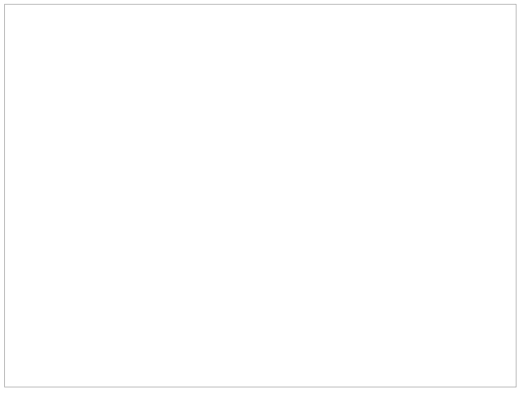
灯台がある高台に登ると、御前崎全体を一望できる美しい風景が広がっています。

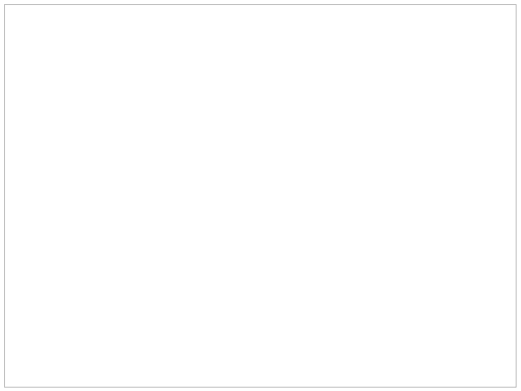








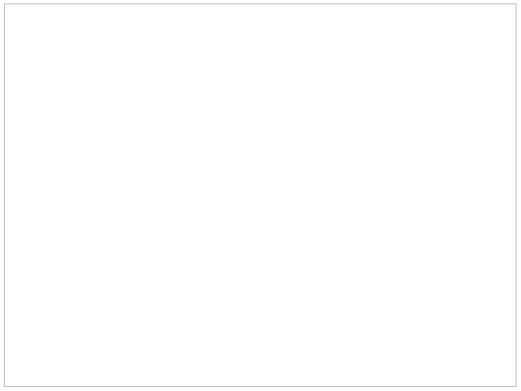


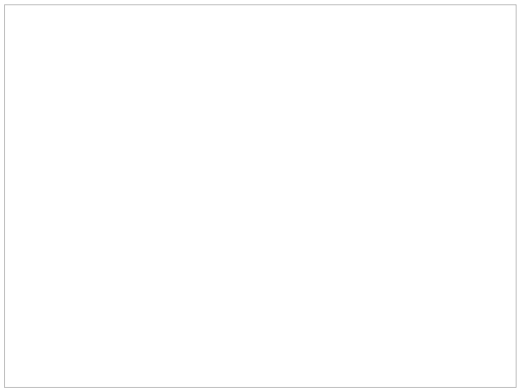


この場所から見える全ての自然を見守る神々にお礼の祈りを捧げると、私の祈りに対して褒め言葉を下さったあと、「この地に伝わった人間や神様の意味を理解して欲しい」と言われました。

土地に住んだ人の意思を探るには神社が一番早いと気づき、閉店準備をしていた売店のおばちゃんから近くの神社を訪ねると、三つの神社を教えてくれました。

灯台から一番近い場所にある「御前神社」は小さくて古い神社ですが、とてもしっかりした神気を発しています。



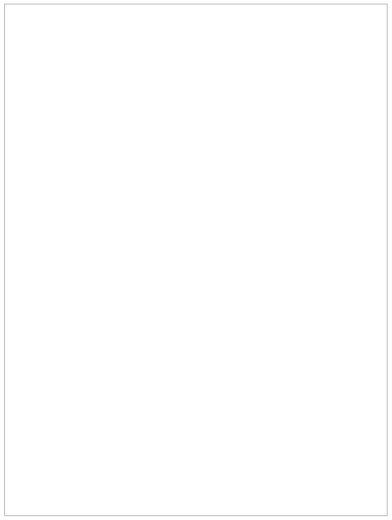


祈り始めると、すぐに奥から何かを差し出してきたのでありがたく受け取ると、三つの鈴を丸い鉄芯で繋いだ形の「五十鈴（いすず）」を下さいましたので、道案内をしてくれた国守り宣言をしている女性に差し上げました。

次に、長さが1.5ｍもある長い刀は日本刀より太く中国剣より細い形ですが、柄と刃の部分に模様

が入っている刀を下さいました。刀の形や模様は、母国を表す手がかりになります。

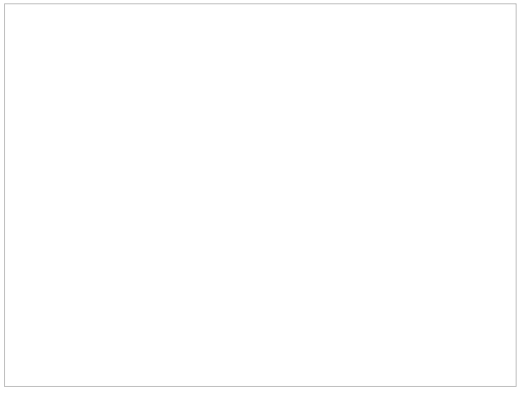
これまでの色々な場所で神様から頂き物をもらいましたが、神様が「五十鈴（いすず）」を下さる意味は神の御心に繋がる許可の意味がありますし、刀を下さる意味は神意思を分かち合う意味があります。

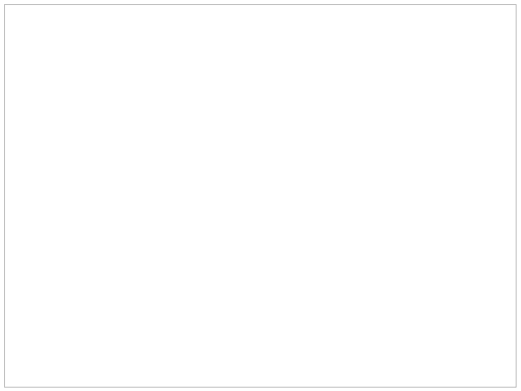


お礼を述べてから隣の小さな祠にご挨拶すると、今度は、「赤い布」を下さいました。「赤い布」の次はその両側に下げる為の「紫色の布」も二枚下さいました。最後は、黒い蜀台のような供物を載せる台も下さいました。

神様から祭事に使う大切な道具を頂く意味は、他の場所の神様と大切な話をする場合に必要な神様の手形の意味があります。

神心にお礼を伝えてから帰ろうとすると、「御前神社」のさらに奥に大きな「駒形神社」があるのを見つけました。最初に全く目に入らなかったのも不思議ですが、神様が祈る手順を教えてくれたのだと思っています。





「駒形神社」に祀られている神様は、安閑天皇元年（531年）鎮座とありますのが、さらにその奥には以前この土地に入った人たちが祀った神様がいるのを感じたので、古い神々に感謝の祈りを唱えました。

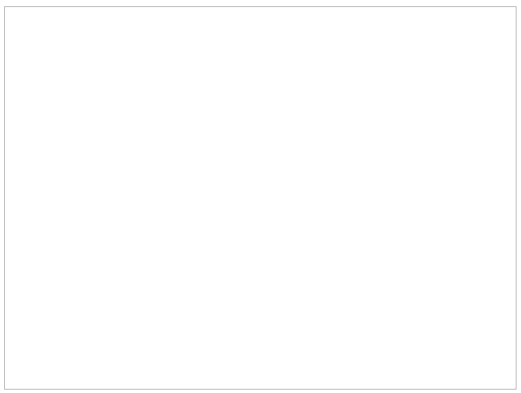
すると、こんな言葉が返ってきました。

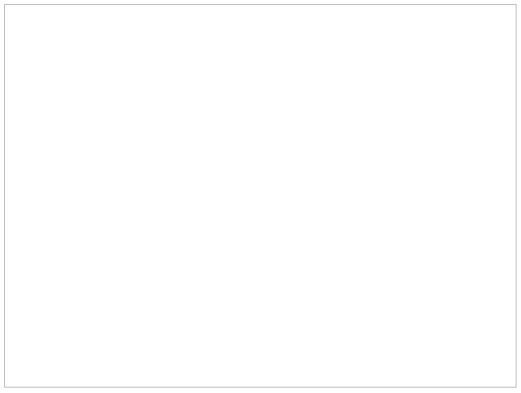
我々はこの地に入りし民族の証を守る為に祀られているものであります事を心に納めておいて下さい。

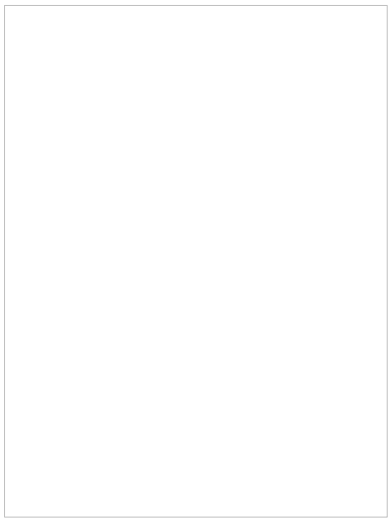
やっぱり！

先ほど下さった神様の頂き物は、その「民族の証」となる大切なものだからこそ下さったのだとわかりました。この土地には歴史に残せない大切な神様たちがいた事を見えない扉を一つ一つ開けるように導かれているのを感じます。

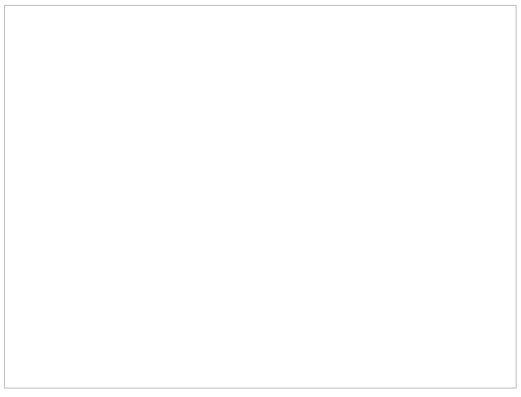
次に向かった神社は、「白羽（しろわ）神社」です。







「白羽（しろわ）神社」の御祭神は、天津日高日子穂々手見命（あまつひこひこほほでみのみこと）.豊玉毘賣命（とよたまひめのみこと）.玉依毘賣命（たまよりひめのみこと） とありますが、やはりこの神様たちではない存在たちがいるのを感じます。



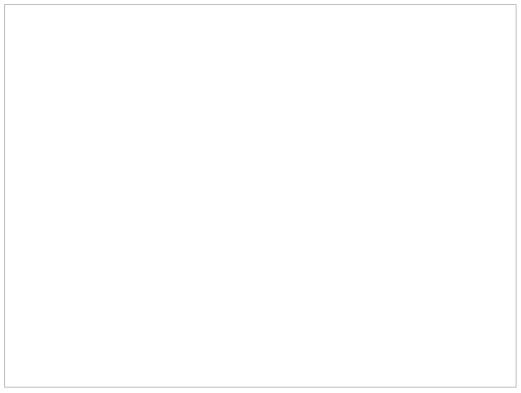
祈りを始めてしばらくすると、「そのままで居て下さい」と声が聞こえてきました。もういいかな？と思っても、また「そのままで居て下さい」と言葉を繰り返します。

こういう経験は以前にもあったので思い返すと、神様が祈りのエネルギーを通じて私の意識へ情報をダウンロードしてくれた事を思い出しました。

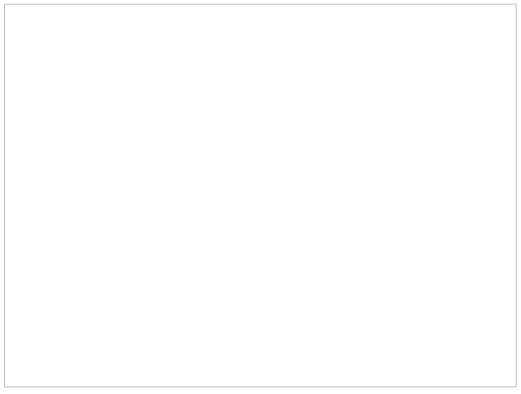
「今、ダウンロードしているんですか？」と尋ねると、「そうです、まもなく終わりますのでも

うしばらくお待ち下さい。」と言います。何の情報かは、心の中で何となくわかっていました。

祈りを終えたあと、暗闇の中から御神鏡を撮影すると神様の顔が写っていたのには驚きました。

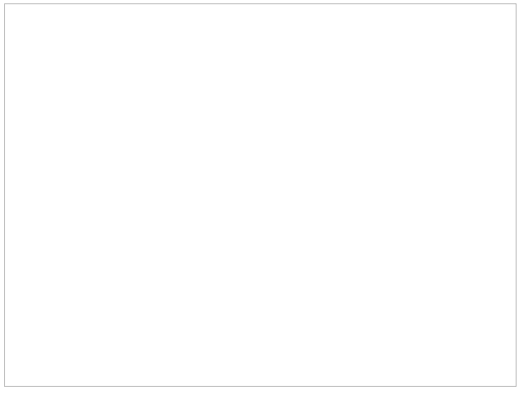


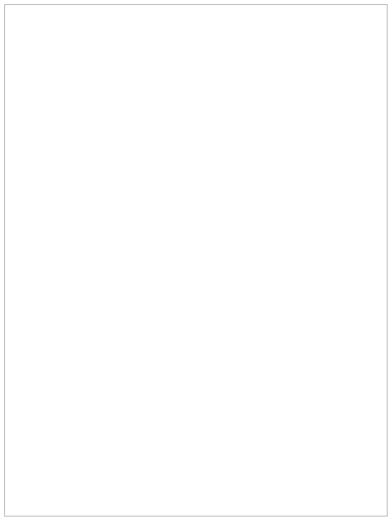
目に見えない物を写すのもご神鏡の力ですが、神様が姿を見せる理由はひとつだけですので神様の御心を十分に理解し、私は必ず役目を果たすと宣言しました。

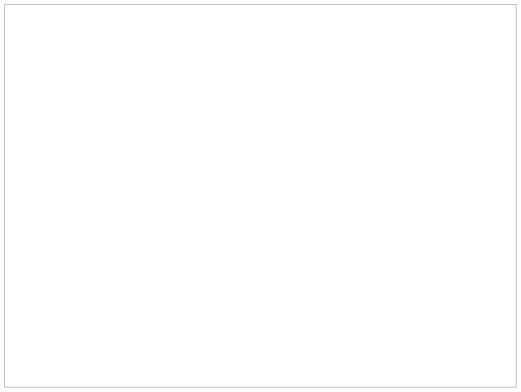


夕日が落ちる中、最後は「池宮神社」へ行きました。「池宮神社」の御祭神に「瀬織津姫（せおりつひめ）」がいたのには驚きました。

北海道の苫小牧神事で見つけた古い神様も「瀬織津姫（せおりつひめ）」でしたが、新しい国を作る為に大切な働きをした場所の証とも言えます。

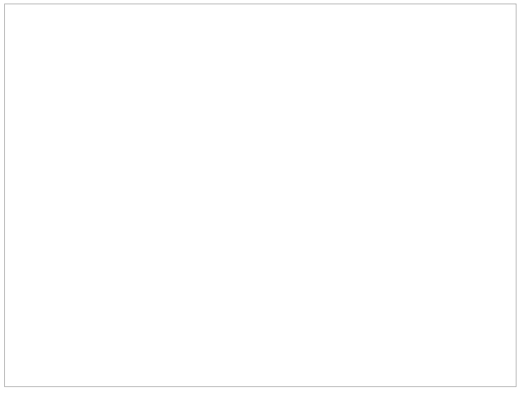


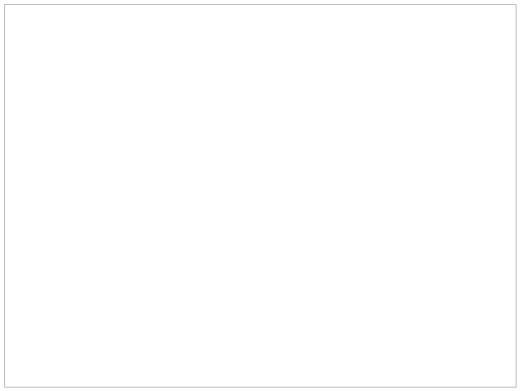


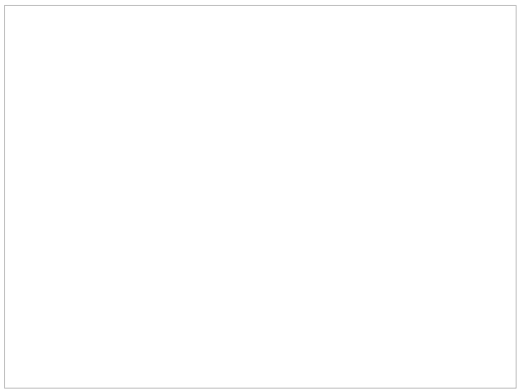


「池宮神社」には大きな龍の池がありますが、この池に皇円上人（こうえんしょうにん）が人々の苦しみを救う為に入定された事が書かれていました。

またこの池の底は、長野県の諏訪湖と繋がっていると言い伝えられているのも、土地を守る龍の働きを示す意味で大切な池だとわかりました。※白い丸はオーブ(精霊）です







2009年後半から関東・東海地方へ何度も通っている理由は、江戸と京の都を結ぶ「東海道」の土地カルマを外す事が目的で通っていますが、鎌倉幕府制定によって公家社会から武家社会になった時代に日本人の精神性が大きく崩れた事が原因だからです。

当時、なぜ日本人の精神性の象徴である天皇や朝廷の公家社会が倒れたかというと、天皇家　72代白河天皇（1053年～）、73代堀川天皇、74代鳥羽天皇、75代崇徳天皇、76代後白河天皇（1127年～）の世継ぎ争いが大きな原因になっています。

沖縄の神事をしている時にも天皇家の隠れた血筋情報が何度も出てきましたが、天皇家血筋カルマが今の皇族の世継ぎ争いにも影響している事は、皆さんも御存じのとおりです。

日本に定住したいくつもの民族の精神性を束ねながら「新しい日本人の精神性」を産みだした裏側には、各地の土地に住み着いた人の思いが染み付いているからこそ、混乱した日本社会の精神性を整え直す為に「土地役目」を持っている人たちが動き出さなければならない時なのです。

アイヌ民族や琉球民族の女性たちから学んだ事は、「本来、女性は先祖祈りと土地祈り」が役目で生まれているということです。

アメリカに住むメディスンマン　マリリンさんと話した時も、自然と対話する力や薬草の知識、安全な食べ物を手に入れる知恵を女性が持っていたからこそ、家族の命を守る事が出来たし、だからこそどの民族もおばあちゃんたちを大切にしていると話してくれました。

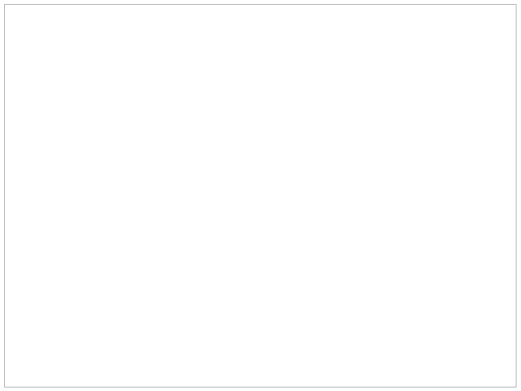
その大切な役目を持つ女性が、自分の先祖の事や土地の歴史を知らなければ、子供たちへ語り続くべき財産や知恵を失ったのと同じだと思って下さい。

土地の歴史や先祖の事を調べる意味は、先人達がどんな思いで生きたかを知り、大地に根づいた生き方や考え方、そして精神性を育む事にあります。

現代のサラリーマン家庭のように守る土地や歴史を知らない転勤族は、「現代の狩猟民族」と呼ばれるような生き方をしている事にも気付いて欲しいと思います。

子供たちへ今、何を伝えるべきか迷っている母親が多いからこそ、私は女性たちが持っている本来の素晴らしい役目に気付いて欲しいと願っています。

土地を愛し御先祖を大切にする母親やおばあちゃんたちに歴史を尋ねる子供たちの姿こそ、真の教育の原点だと思っています。



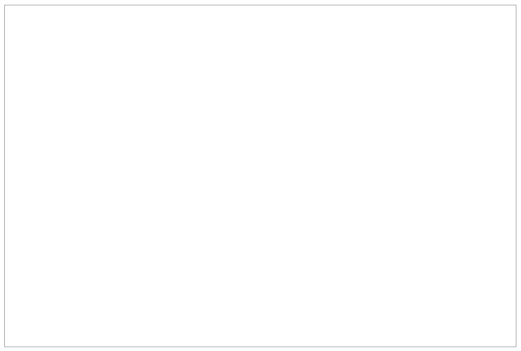
2010.05.25 Tue

13人のグランドマザー会議

5月１８日、偶然、予定が空いたので仲間に誘われるまま映画を見に行きました。映画のタイトルは、13人のグランドマザー会議のドキュメンタリー映像「**FOR THE NEXT 7 GENERATIONS**」(８５分)上映と、出演者の一人クララさんのお話し会でした。

この映画のタイトルは、七世代先を考えて語り継ぐおばあちゃんたちの知恵の大切さを伝えています。

この映画を制作したのは、地球交響曲ガイアシンフォニーの制作者龍村仁監督の奥様、龍村ゆかりさんです。会場には龍村ゆかりさんご自身も来ていたので、札幌のボランティア上映会で事務局長として働いていた私の事も思い出してくれました



世界のグランドマザーの一人、日系ブラジル人の二世のクララさんは、自分の人生をあからさまに語りながら、この集まりに誘われた経緯を話してくれました。

彼女の言葉に一切の飾りも偽りもないからこそ、悪戦苦闘した人生で出会った人の優しさは神を信じ人の役にたつ歓びを得たようです。

今年２０１０年１０月に奄美大島へ集まる事が決まった世界のグランドマザーたちをお迎えする側として、準備に今回来ていたようですが、クララさんはこう言いました。

「日本には素晴しい祈りをする人たちがたくさんいます。形や目的や宗教が違っても「祈りの心」を知っている人たちが居る国だからこそ、私はその日本人の血を頂き世界のグランドマザーたちを日本へお迎えする役割があるのだと気づきました。どうぞ皆さんも、祈りの素晴しさ・大切さに気づいて下さい。」

映画の中では2004年に、21世紀を導くには女性が動き出さなければいけないと啓示が降りた世界の13人のグランドマザーたちが集い、その一人一人の言葉と行動で過去の苦しみや戦いの思いを超えた愛のメッセージを伝える必要があると全員が感じている姿が映し出されています。

地球創生活動をしている一人として、心からこの「13人のグランドマザー会議」を支援して行こうと思っています。たくさんの人たちが、日本で開催される準備の為に動き出しています。あなたも自分にできることを始めて下さい。

”今こそつながり、そして、おばあちゃんたちが知恵を語り始める時なのです。”

★出演者ﾌﾟﾛﾌｨｰﾙ
☆ジョティ　…13人のグランドマザー会議発起人。
NPO法人センター・フォー・セイクリッド・スタディーズ
（聖なる学びのためのセンター、異文化教育、精神修養、
交流を通して先住民の生活様式を維持するための組織。）　所長。
　祈りの中で現れた“グランドマザーが語る時、すべての人に調和への扉が開かれる”
というビジョンに従って、2004年、１3人のグランドマザー会議を開始。
これまでに、7回の会議を主宰、8回目の奄美での会議の下見のため、今回来日することとなった。

☆クララ・シノブ・イウラ・・13人のグランドマザーの一人。
　日系ブラジル2世。サンパウロ大学で哲学を学んだ後、さまざまな神秘体験を経て、アマゾンの奥地に移住、薬草と祈りでアマゾンに自生する植物から薬を作り多くの病人を救っている。

☆司会：龍村ゆかり
いのちの環主宰。映画「地球交響曲」プロデューサー
日本における１３人のグランマザー国際会議メディエーター。

☆いのちの環
13人のグランマザーの訪日を、敬意をもってお迎えするために設立した非営利団体。
グランマザーたちの叡智を７世代あとの子供たちにつなぐことをミッションに活動予定。http://www.motherspirit.org (HPまもなくopen)
2010.05.21 Fri

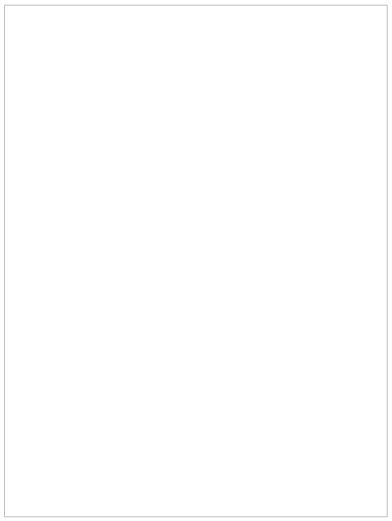
神降りと神守り

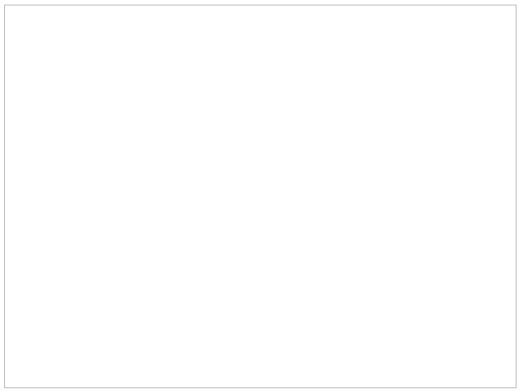
5/14、苫小牧市内にある青年会会長の自宅の土地の祈りを行いました。

若夫婦がそれぞれ人間と動物のカットを仕事として始める大切な仕事場兼自宅ですので、土地神様やご先祖様、また集まる人たちのご先祖の繋がりが、歓びと愛になるよう心から土地祈りを行いました。

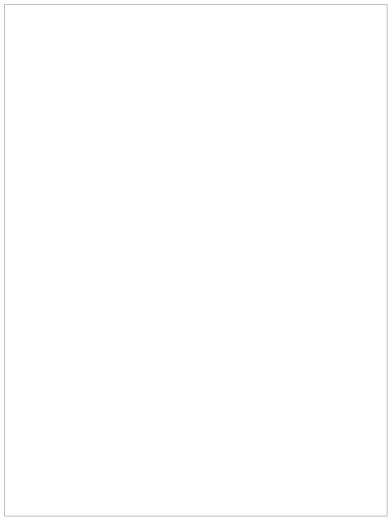
この家に住み始めてから神棚を祀るようになり、家を与えて下さった祖父母に感謝の祈りを捧げる素晴らしいお二人です。

5/22の正式なオープンの日までは、以前、床の間だった場所に今回祈った神様を仮祀りしています。





各部屋には、お正月のように〆縄も付けました。この〆縄も、青年会が集まって藁から手作りで作った心のこもった〆縄です。



〆縄の本来の意味が理解できる方はわかると思いますが、知らない方はとても重要な意味があるのでお勉強して下さいね。

翌日、偶然訪れた人が若夫婦の土地に入っただけで、何か以前よりもスッキリ澄んだ空気になっと気付く人が居たくらい、土地は神社地と同じくらいに神聖な土地になりました。

若者たちが集まるといつも何を大切に生きるべきかを話す機会が多いのですが、神様を大切にする心と人間を大切にする心が同じである事にもう気づいている素敵なお二人です。

こういう土地祈りをしていると新しい神様がご降臨されたり、以前、居た神様がより大きくなってお働きになる事がありますが、神様を降ろす「神降り」は私の意思で降ろしたのではなく天の意思だからこそ、その扱いにはとても気をつけます。

その理由として、神様は役目の違いによって「神格」が違いますし、その「神格」の理解度によっても神様のエネルギーが変わってしまうからです。

人間から神様を見た場合と、神様を産み出した大元から見た場合の存在意味の違いもありますが、本来、神様エネルギーと呼ばれる「神気」は大きな「摂理」によってに働くようになっているからです。

信仰する宗教によって神様の名前や意味が違うのも、その神様を降ろした人が違うからですが、大切な事は一番最初に降ろした人が伝えた神様の意味を正しく理解する事が重要です。

最初にご降臨された大神様の意思を正しく理解せずに、人間の道理で神様の意味を変えた場合、必ず神様エネルギーが変わってしまい、その影響はこの現実世界にも出てきます。

宗教や人が違うと必ず神様の意味が違う訳も、その人を導いている守護神の「神格」の違いがあ

るからですが、どれが正しいかを争うのではなく、もともとご降臨された神様がその場所へ降りた意味を正しく理解する事が必要です。

時には、その神様のエネルギーが人間にとって不都合な場合もありますが、大神様の意思がわからずに人間が勝手に意味を変えたりすると、その責任は一人のお詫びや祈りでは済まない結果になってしまいます。

これはご先祖を祀っている仏壇やお墓の扱いにおいても、同じ事が言えます。

父母や祖父母の扱い方が「家のルール」になってしまうからそ、祈り方を指導をした方の思想の違いによってご先祖たちのもめごとが増えてしまい、結果として家族や夫婦内のトラブル、人間関係に傷が入るケースがよくあります。

問題や悩みが出た場合、その事に対応する専門職の方がたくさんいますが、問題を回避する対応を繰り返すと、必ず、大神様の意思を変えてしまうことになり、根幹的な宇宙の意思や神様エネルギーが崩れる結果になってしまいます。

問題が起きた場合は、人間が気付くべき事を気づき、行いや心構えを変える事で解決するケースがほとんどだからこそ、私は必ず仏壇や神棚に手を合わせる人が何に気付き、何をするべきかを指導します。

しかし、形を変えたり祈りでエネルギーを変えた場合、問題が起きた理由に気づかなかった為に、さらに問題がひどくなったケースも何度も見てきました。

神仏の扱いは、そこに触れ合う人と人の心のあり方が、そのまま写しにもなっている「意識エネルギー体」だからこそ、人間都合で判断することだけはご遠慮下さい。

人間はいつの時代も自分たちにとって都合の良い結果になるように神仏の形や意味・宗派を変えてきましたが、その結果がどうなったかと言えば、神仏の扱い方がわからない大人が増えたことや、子供たちが親の守った大切な神仏を守らない子供に育ってしまいます。

「思想や信仰のあり方は宗派の違い」と狭い概念だけで物事を考えるのではなく、人生を生き抜く大切な精神性を育み、困った時の道しるべになるからこそ、本来、神仏がなぜ存在したのかを考える事も必要です。

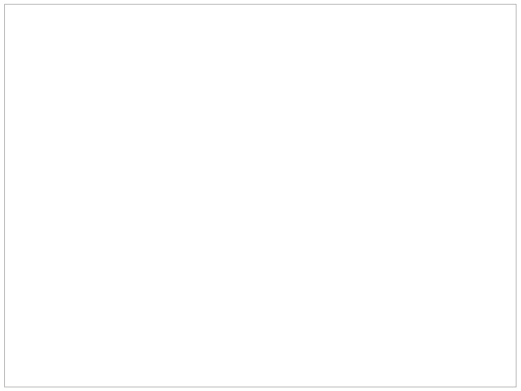
神仏の意識に繋がる役目の人たちは、人に道を示す役目があるからこそ、その事を正しく理解す

る必要があります。

日本人が失ってしまった「家長制」の本来の意味は、先住民族たちが大切にしてきた神仏の扱い方にこそ、命を守り育む神仏の知恵があり、それが神仏の存在意味だと学んで下さい。

ひとつの視点だけで物事を判断するのではなく広く理解を広める努力こそ、意見の違う相手を受け入れる心を育てますし、互いに学び合う心を育みます。

神仏が望む事を理解できる心を育てること、そして、神仏の扱い方を学ぶ心こそ、人間の心のあり方を示す道であるとご理解下さい。



2010.05.16 Sun

内側の敵

今日はもうひとつ、大切な事をお話します。

あなたを外から攻撃するようなわかりやすいタイプの敵は、その対処方法も見つかると思いますが、一番厄介な敵が実は、「内側の敵」なのです。

この「内側の敵」の見分け方をお教えします。

誰かと話をしている時に、あなたは自分の辛い体験や苦しい体験を正直に話しているのに、相手は「私のことはいいの、それであなたはどうしたの？」と、自分の事を正直に話さないタイプの人間は、必ずある時期にあなたを攻撃してくると覚悟して下さい。

この「内側の敵」にやられた事がある人はわかると思いますが、味方だと信じているからこそ何でも話をしたのに、突然、理由もわからず他の人からあなたの悪口を言っている張本人がその人だと教えられ、驚かされるタイプの人の事です。

もし今、あなたの周りにそういう人がいるのなら、「内側の敵」をあなたのお友達から排除するか、その人が本当の気持ちを話す為のチャンスを与えてあげて下さい。

自分を攻撃するようなマイナスな人が近くにいるだけで心は病みますし、混乱は周りに影響を与えますが、すぐに離婚や絶交とするのも人生の大切な学びのチャンスが無くなります。

自分のとって不必要な人を削除し続けた場合、究極な孤独に陥るか、最後に自分自身を削除しなければならなくなるからです。

ほとんどの人が自分に正直に１００％生きていないからこそ、学びのチャンスとして出会っているこの人生の目的を思い出し、あなたが変化する事でその人が変わる事もあると覚えておいて下さい。

私も何度も「内側の敵」に痛い目に逢わされましたが、だからと言って人を疑ったり信用しない人間にはなりたくなかったので、どんな人の出会いや経験も自分にとって必要な学びとして感謝するよう心がけています。

しかし痛い目にあったおかげで「危険回避能力」だけは身に付きましたので、攻撃の危険性を感じたら少しだけ距離を置く事で冷静に相手の本質を見る様にしています。

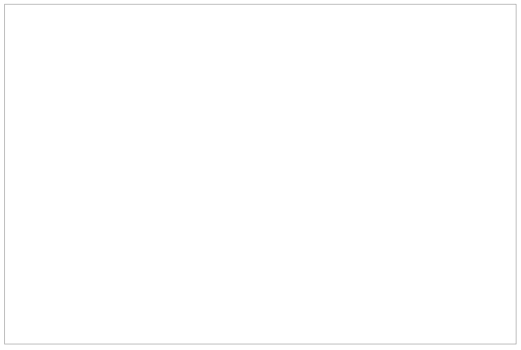
男女の関係でも、同性の関係でも同じように「内側の敵」がいる事は覚えておいて下さい。

お互いがそうならない為にも本心で話せる人間関係を作る努力は日頃から必要ですし、その為にも新しい人との出会いが重要になります。

新しい人と出会う事ができれば、過去のあなたの行いを問う事はしませんし、新しいあなたの生き方を実践する意味でも大切な導きの人となってくれるのです。

今までのあなたの全てを否定せず全てを受け入れる人こそ、「あるがままの生き方」を本当に理解できている人だと覚えておいて下さい。

「あるがまま」、それは何が起きても一切否定しない生き方を貫く真実の愛の心を持っている人のことです。



2010.05.13 Thu

自己浄化

あなたが本心と裏腹に他人の為に嘘の人生を生きる事こそ、この地球を破滅に追い込んでいると知りなさい。

「本心」、つまり、あなたが本当に思っている事と裏腹な生き方をすることは、あなたを守護している神様から見れば自分に嘘をついている事になります。

なぜ自分に嘘をついてでも、他人に合わす生き方をするのかと言えば、否定されたり受け入れられない辛い経験をした事で、その辛く寂しい記憶が残っているからです。

本来、人間の魂は「大いなる繋がり」を感じる事で安心して生きられる様に設計されていますが、その「繋がりから外れる恐怖」を一度でも感じてしまうと、心が凍りついたり萎縮した記憶が残ってしまいます。

「仲間はずれやいじめ」のように辛い体験をした人は、常に周りの人から自分が受け入れらえているかが気になる生き方をしてしまいます。

自分の周りの社会（家族・学校・ＰＴＡ・町内会・会社）から否定される経験は、二度と同じ苦しみを感じたくないと思えるほど辛いからこそ、「自分らしさ」よりも周りの人に受け入れられているかを大切にします。

理由は、周りに認められる事で「所属している安心感」が生まれるからです。しかし残念ながら、この辛い体験をした人で親や兄弟姉妹・友達に正直に話せた人はとても少ないのも事実です。

ご本人はその記憶さえ忘れてしまっていて、自分は昔からこういう性格だと思い込んでいる人も多く逢いました。

今までお会いしたたくさんのお母さんたちの心の苦しみを聞いていると、その原因のほとんどが誰かに否定された辛い体験で大きなショックを感じてしまい、そこから生き方を変えてしまった人が多く見受けられました。

「本心」のまま、正直に生きてこれなかった母親は、必ずその子供も同じようになってしまいます。

理由は、母親自身が苦しみを乗り越える知恵を持っていない為に、子供が辛さや苦しみを体験した時に勇気を与えてあげられないからです。

こういう経験をした多くの女性は、影口やうわさ話に興味を持ち影で誰かのうわさ話をしながら

言いたい事を言う事で自我を満足させる「おきかえ」という方法で自分を満足させる様になってしまいます。

反対にいじめにあった男性の多くは、「自分は弱くないもん」とばかりに、無理して強気に生きる方法を選び、自分の苦しみは無いものにしようと力を入れて生きてしまいます。

しかし、ここ十年以上の顕著な例として見られるのは、男女に関わらずこういうエネルギー転換が上手にできずに内向的になってしまい、卑屈さを超えて思考が歪みだし、うつや統合失調症などの病名を付けられる人たちが増えています。

うつや統合失調症の初期の状態としては、質問をしても自分の本心を正直に話せないケースが多いと私は感じています。

親子でも夫婦でも友達でも、永く付き合っているのに、実は、本音で話ができないまま時間だけが過ぎている人間関係が多くありますが、その溝を埋める事は簡単ではありません。

こういうケースの具体的な指導としてセッションやスピリチュアル講座で詳しく説明していますが、皆さんにすぐに実践して欲しい事がひとつだけあります。

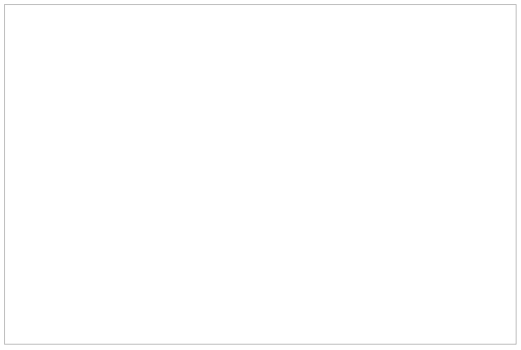
それは、勇気を振って「自分の本心を聞いてもらう努力」をする事です。

相手が聞く体制を整えてくれるやさしい人なら言いやすいと思いますが、そうではない場合、「ねえー、これから私が変な事を言うかも知れないけど、ただ聴いておいてほしいの。」と前置きをしてから話を聞いてもらって下さい。

こういう話ができる人は、あなたにとって大切な人のはずですから、どうぞあなた自身も本心で生きる為の一歩を歩み出す努力をして下さい。

あなたが自分の奥底にある言葉を素直に伝えられる様になると、下意識のマイナス想念は薄れ、感謝の言葉が湧き出るような歓びが地球に満ち溢れるはずです。

あなたが変われば、地球の未来は変わります。



2010.05.13 Thu

下意識と地震の関係

普段、皆さんが今日はこうしようと考える「健在意識」のずっと奥に、感情記憶ゾーンとも言える「下意識（かいしき）」という場所があります。

誰にも言えない辛い苦しみや体験、また、人を恨んだり妬んだり嫉妬するほど強く抱いた感情の記憶が、この「下意識」の中にしまい込まれていますが、今もあなたの体からマイナスエネルギーとなって発信されている事はご存知でしょうか？

一般的にこういう意識していない思い全体のことを「想念」と呼びますが、この「想念」はあなたが記憶として覚えているかどうかは問題ではありません。

もともと、人生で経験した全ての感情や思いを覚えている人はいないように、人間は常に忘れる事で前に進むように設計されているからです。

しかし、生まれた時に過去の魂の記憶を一度消して生まれているにも関わらず、肉体を持って初めて体験した心の痛みや苦しみの感情は、どれだけあなたが忘れたと言っても、しっかり「下意識」の引き出しの中にしまいこまれています。

でも皆さん自身が忘れている「下意識」の中のマイナス想念エネルギーが、実は、地球の地震を引き起こす引き金にもなっているのです。

なぜ人間の「下意識」が地震に影響するのかと言うと、人間も、地球という生命体の一部として生まれているからです。

体だけを考えてみても、人間の体は外から見える物以外に内臓や筋肉・血管など隠れた細胞がたくさんある事はご存知のとおりですが、地球も表面に見えている山や川や海以外に内部にはたくさんの機能が細胞のように手を取り合って働いています。

昔から地球をよく知るシャーマンたちは、川の水を汚す行為を「人間が体の血管や血を汚しているのと同じ」だと表現しているように、地球の内部には地球全体を支える為に必要な大切な機能が備わっています。

人間の体の場合、発熱したり下痢をしたりする事で体内浄化として毒素を吐きだす時がありますが、実は、地球の地震も同じように地球にとって不必要な毒素エネルギーを吐き出している行動だと理解して下さい。

ただ問題なのは、地球の汚染物質を吐き出す引き金が、地球細胞の一部である人間の「下意識」のマイナス想念が大きく影響していることです。

人間は、地球にとっての様々な物を感じる為の「神経」の働きをしていると言えばとわかりやすいでしょうか？

「下意識」を含む無意識全体について全て説明するには時間がかかり過ぎますので省きますが、私たち人間の全ての意識は切っても切れない親子の繋がりのように、無意識の中で地球と繋がっています。

あらゆる命を産み出してくれる地球をマザー（母）として考えるとわかりやすいのですが、いたらない子供を持つ母親のように、地球を汚し破壊し続ける人間を許し受け入れてきたのも地球（マザー・母）なのです。

地球が星になる時に、宇宙の果てから飛んできた破片に付着したバクテリアによって地球上全ての命は誕生していますが、そのバクテリアを父の精子と考えると、父は地球を愛するが故に母(地球）を苦しめている子供（人間）を消滅させる事さえ検討しています。

このままの現状では、マザーである母（地球）自体が消滅することは明確だからです。

子供は父母の希望であり未来だからこそ、母を苦しめている子供（人間）を消去するか、もしくは、母と共に地球を消滅させてしまうかを地球を管理している存在たちが検討段階に入っています。

歴史に残っている事実として、現在の地球上の人間はこれまで二度、大きく消去をされた経験があります。だから今回誕生した人間は、三度目の人間だとも言えるでしょう。

突然、「消えた文明」と呼ばれているいくつかの大きな文明を起こした当時の人間たちが、その消去の対象でした。理由は今と同じように、高度な文明を持ちながら人間だけの事を考えていた為に地球や宇宙の調和を壊す恐れがあると判断されたからです。

私が1998年に「地球を救いなさい」という啓示を受けてから「人間を救う活動」を続けている理由も、この地球を守っている大きな宇宙の神々を通してビジョンや映像で過去に起きた歴史の事実を見せられたからこそ、この人生を「地球を救う為に生きる」と決断しました。

そして今も宇宙の神々に言い続けている事は、「必ず人間がこの地球を救うので、もう少し時間を与えて欲しい！」と言い続けています。

宇宙の様々な星からたくさんのＵＦＯや意識体が人間の意識に降りたり繋がったりするのも、私たち人間が本当にこの地球を救えるかを調査しているのだと覚えておいて下さい。

先日の「大地震の啓示」を公開した理由は、宇宙から地球の未来の期限が示された事が理由です。

皆さんに問いたい事は、13年間前の地球や人間と比べて今はどうなっているでしょうか？

地球や人間は、本当に良い方向に進んでいるでしょうか？

顔は笑っていても心の中でひがんだり泣いている人がいるとしたら、その人の本心は大きな愛に守られている事を忘れて、自我心の感情や裏表のつくろいだけで物ごとを判断して苦しんでいる人が増えているとは思いませんか？

私はこれまでそういう人たちをたくさん見てきたからこそ、一人でも多くの人が心の底から歓びや幸せを感じて生きられるように、ハートランド龍球で行うセッションやスピリチュアル講座、スピリチュアルワークを全国で開催しています。

心の奥底に苦しみを持つ人たちが、幸せを感じて生きられるようならなければ、「下意識」のマイナスエネルギーが無くなる事が無いように、地球に大きな地震が無くなる事はありません。

人間の「下意識」と地球は常に、常に共鳴しあっているのです。

「地震が起きる土地の意味」や「時期の意味」を正しく理解せず、自然現象として片づけている限り、人間は自らの心を変えようとはしません。

だからこそ、「地震が起きるのは私の心の中にあるマイナス想念が原因」だと気付いた人は、一日も早く正直に生きられない神我の思いをクリアにする努力をして下さい。

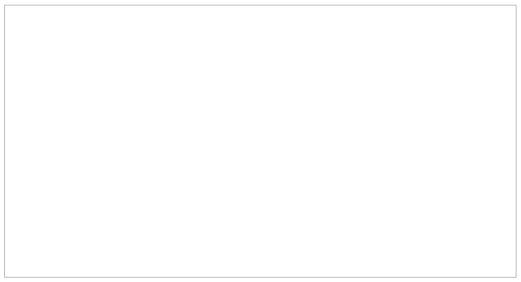
ご先祖たちがなぜ守護に入るかというと、自分たちも出来なかった事が多いからこそ、あなたに人情でサポートをしてくれているのです。

そのご先祖たち全てを見守る大きな神様が悲しむことは、「自分の本質（真我）に嘘の生き方」をする事です。

大きな大きな宇宙の神様は、人間同士がどういうルールで生きるかを説いた事は一度もありません。

ただこの事だけは、地球に人間が生まれてからずっと問い続けています。

あなたが本心と裏腹に他人の為に嘘の人生を生きる事こそ、この地球を破滅に追い込んでいると知りなさい。



2010.05.12 Wed

生まれた土地と住む土地の意味

全ての人間の魂は受胎後3カ月~6ケ月前後に肉体に収まる様になっていますが、受胎後数カ月は流産しやすいからと大切にするのも、魂と命の繋がり切れてしまい死んでしまうからです。

受胎後3カ月~6か月の間は、どの両親の子供でどこの土地へ生まれるかを決める大切な時期なので、魂の目的を思い出せるように神様と話し合いがもたれます。

私もその時の記憶が残っていますが、産婦人科の池川明さんも著書「ママのおなかをえらんできたよ。」で書いているとうり、実際に立ち会った子供たちと話して気付かせられたと本人が話していました。

では生まれた土地の歴史を知る意味と、住んだ土地の意味を考えてみましょう。

あなたの人生で起きる全ての出来事・経験はすでに決まっている魂の目的に向かう為の過程なのですが、私たち人間に与えられた「選択」でさえ、自分で選んだ様で全てが選ばされている事をまずは受け入れて下さい。

この事をまだ理解できない方は、まだ自分の人生を思いどおりになると信じていると思いますが、必ずその「おごり」を悟らされる事件が起きます。

だからこそ「真実」をお話しているので、どうぞ、受け入れて下さい。

ではまず「生まれた土地の意味」は、この人生で経験した全ての事を最終的に感謝する為の大切なご先祖の土地だと覚えておいて下さい。

その土地でどんな辛い経験をしたとしても、ご先祖や先人達がいなければあなたは肉体を手に入れる事はできなかった事をよく考えてみて下さい。

次に今まで「住んだことがある土地」は、あなたの魂が前世で住んだ経験がある土地です。

前世でその土地に住んだ大切な事を思い出す為に、今回住んだのだとご理解下さい。

そこでも同じように土地の歴史を調べるとわかりますが、自分が気になる時代や歴史に関わっていた事を断片的に思い出すようになっています。

そして今、住んでいる土地は、今、できる事をする為に必要な場所へ住んでいます。

「今、できること」・・・・、まずは土地の歴史を調べてみて下さい。そして、ご先祖地の歴史も調べてみて下さい。

自分の親の本籍をさかのぼると、死後８０年までは住んだ土地の区役所に保存されていますので、今、調べば何とか5代前くらいまでは調べられると思います。

子供に男の子が居る方は必ず、父方の父親を調べて、先祖ルーツ、つまり、名字のルーツを知り感謝の祈りをする事が、その男の子の精神性に大きく影響します。

女性は婚姻の度に名字を変えますので、ご先祖を調べる場合は、母親の父、そして、その父親と調べます。

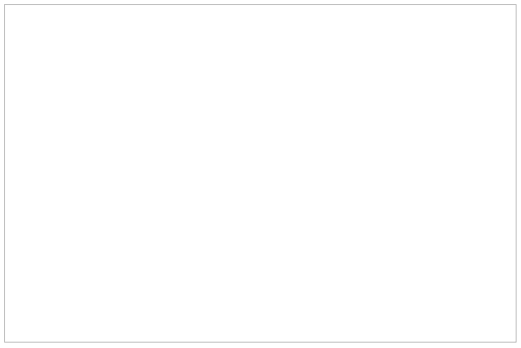
通常、母方は現在の名字の裏守りをしてくれていますので、その感謝をしっかりすることで女の子たちの精神性が安定します。

注意事項として、父方と母方のご先祖祈りは同じ代数で止める事が大切です。どちらかだけを進めると、必ずご先祖たちの不満が、家族の問題となって現れますのでご注意を。

困った時の先祖供養では無くて、自分の存在意義を律する為に、ぜひ皆さんもご自分の先祖を調べたり、生まれた土地・今、住んでいる土地の歴史を正しく理解して下さい。

心の悩みや精神的に不安定な方たち、また宗教による家族トラブルのほとんどが、こういう事を正しい形で行っていない為に起きている事はたくさんのクライアントさんの体験で学びました。

生きているうちの恩返し、それは、ご先祖地祈りと土地祈りです。



2010.05.09 Sun

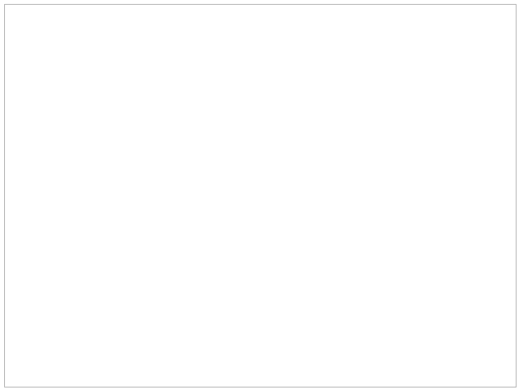
故郷の歴史と先人を慕う

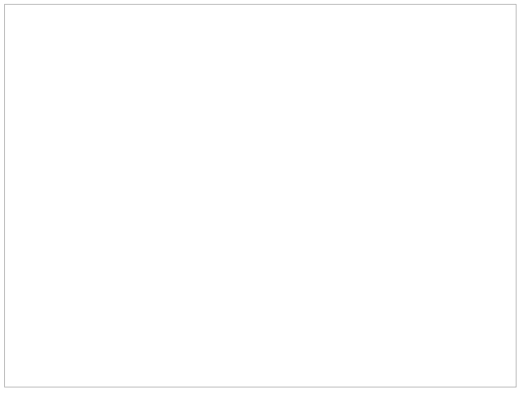
GWに故郷　芦別市常磐町に戻ると、土地の歴史を調べ直しました。詳しい資料は「常盤町史」に書かれていたのでこういう資料を作ってくれた先人たちに感謝が溢れます。

芦別の名前の由来は、アイヌ語のアシュペツ（河底が深く険しい川）から来ているという説が一番しっくりくるほど山と川に囲まれた町です。

明治26年（1893年）3月、歌志内市で魚商をしていた「佐藤伝次郎」さんは山形県酒田の出身でしたが、魚がたくさんとれる常磐町のパンケホロナイ川から魚を採って歌志内で売っていました。

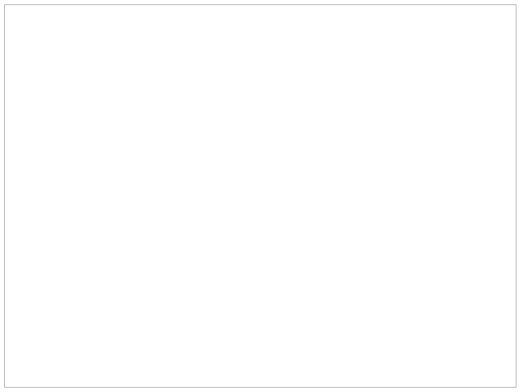
しかし商売人では無かった為に商売がうまくでいかず、常盤（パンケホロナイ）の川にそばに小屋を建てて井戸を掘り暮らし始めました。まだ未開の地であった芦別の常盤（アシュペツ・パンケホロナイ＝河底が深く険しい大きい川の下流）に最初に住んだ人が、この佐藤伝次郎さんでした。





当時、北海道に入植した和人は、険しい川をアイヌ人の木船で渡らせてもらいながら、1メートルもある笹をかき分けながら道の無い山林の間を進んだようです。

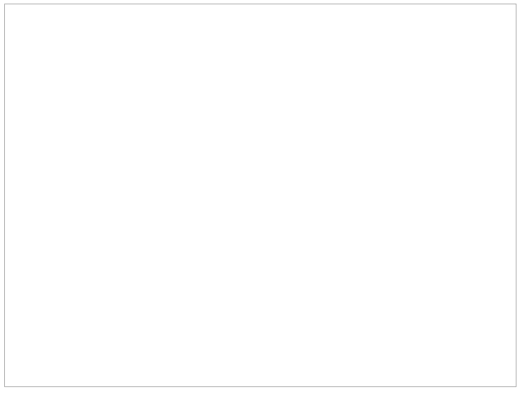
翌年の明治27年3月、石川県出身の沢口期一さんが団長となって石川県から５０戸と、富山県砺波郡薮並村の村長だった兜谷徳平（かぶとやとくへい）さんに声をかけ、富山県から１０戸が常盤の地に入植しました。総勢７８名だったとあります。

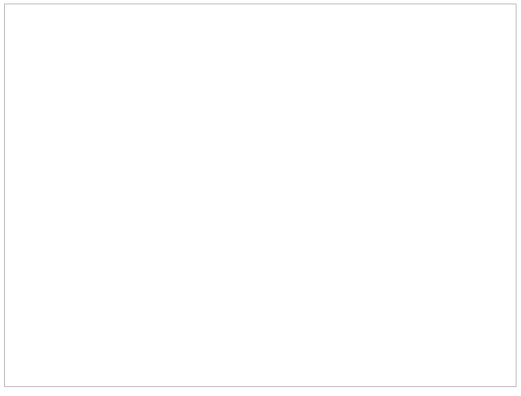


この富山県から移住した１０戸の農家の一軒が私の先祖である五代前の吉岡宇右エ門さんでした。妻トヨさんと５人の男子、１人の女子を連れてやってきました。私の祖父に当たる四男・西蔵さんは、当時五才だったと記されています。

耕す土地も畑も無い土地へやってきて、毎日木を切り燃やしながら根株を掘り起こす作業に明け暮れたと書いてあります。撒いた種もすぐには実らず、とてもひもじい暮らしをしていたようです。こういう辛さに耐えられず生まれ故郷に逃げ帰り、北海道移住をあきらめた人たちも多かったようです。

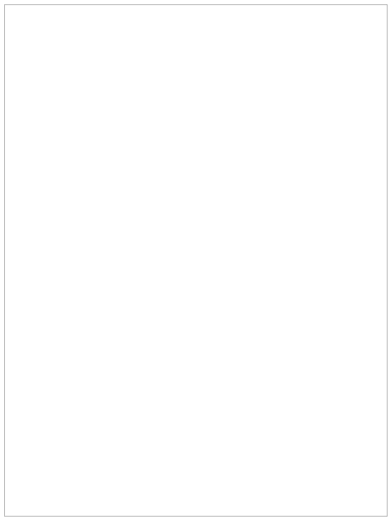
唯一、食料となったのは川魚ですがパンケホロナイ川に人が入っても魚は怖がる気配もないほど一面銀色に集まったと書かれています。食料と言うべき川魚を捕るのは子供の役目だったようですが、そのせいで祖父の兄弟の６人のうち３人が川で溺れて亡くなっています。

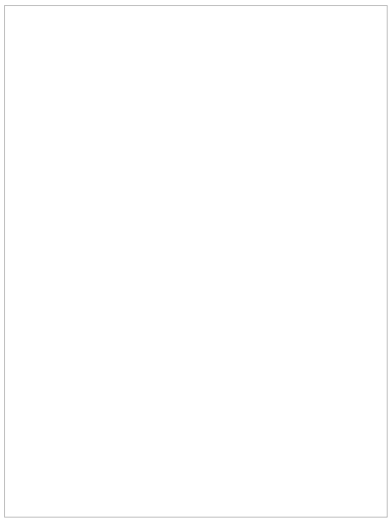


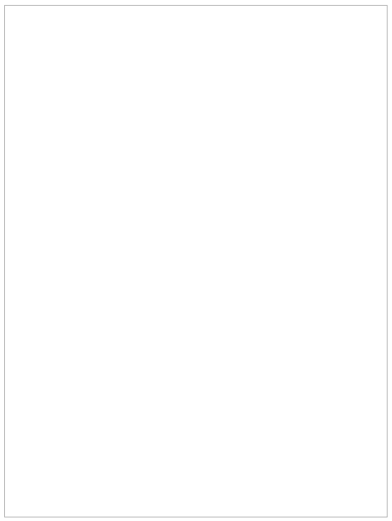


今は雪解け水で濁っていますが、普段はとてもきれいな川で子供の頃にはよく川釣りにも行きま

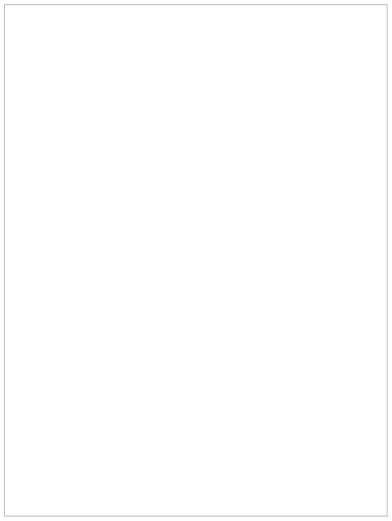
したし、川の水も飲みました。右側がパンケホロナイ川、左の川は三角橋から山の奥へ繋がる開拓の沢へ繋がる川でした。きれいな川の水があるという事は、人間が生活をする生命線だった事がよくわかります。

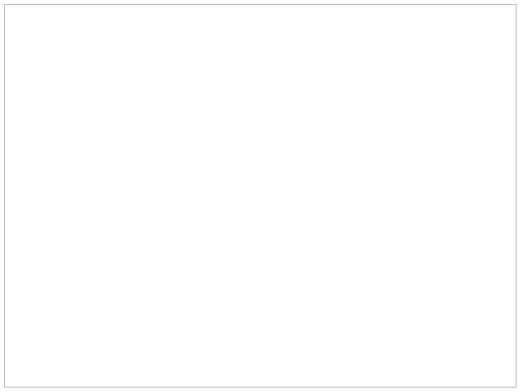




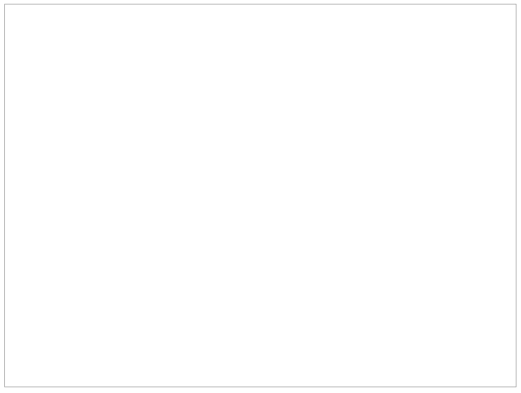


このパンケホロナイ川の常盤橋の横には、馬頭観音と聖徳太子像が祀られています。辛く苦しい毎日を支えてくれたのは神仏に対する心が唯一の救いであったと書かれていました。

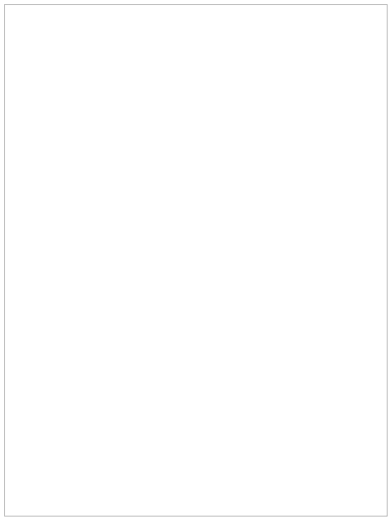


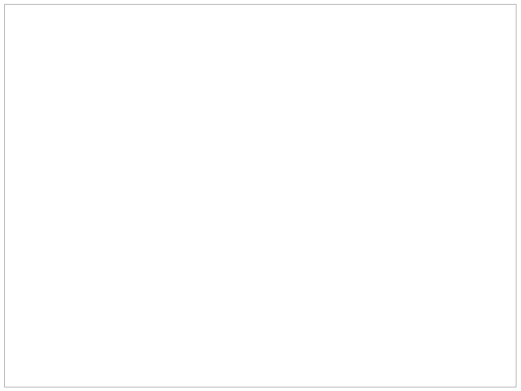


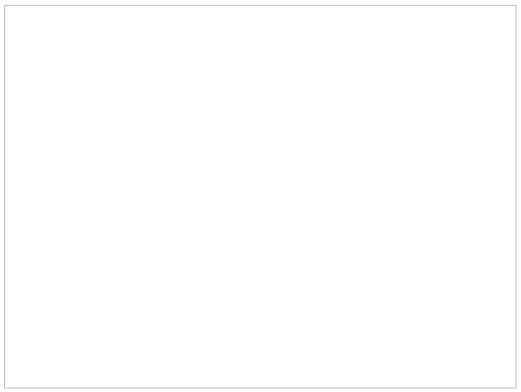
山と川に囲まれた常磐町は、冷害も少ない稲作に適した場所として現在も米農家がほとんどですが、農業用水を引いた事でたくさんの人たちが水の恵みを頂いた事を入植１００年を期に石碑を建てました。



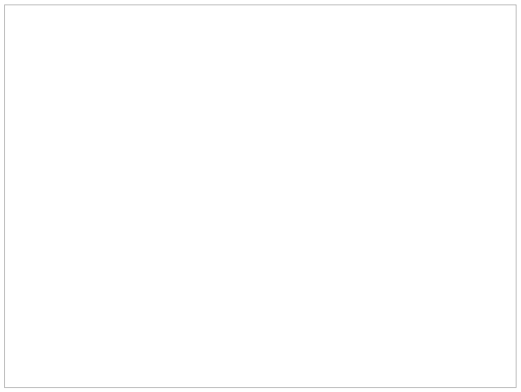
農家が安定して米を作るようになると、必要な物資を販売する商人が集まり商店街もできました。当時、一帯の地主であり、着物や反物を販売していた干場さんの家とレンガ蔵は当時のまま残っています。







真向かいには、大きな雑貨店として栄えた南商店もありました。



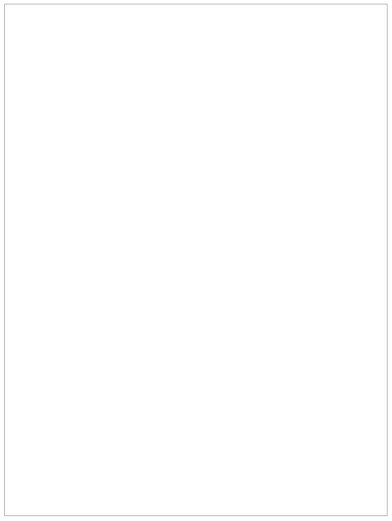
人が集まると子供たちに教育が必要だという事で歌志内のお寺から相川了瑞さんという一人の若

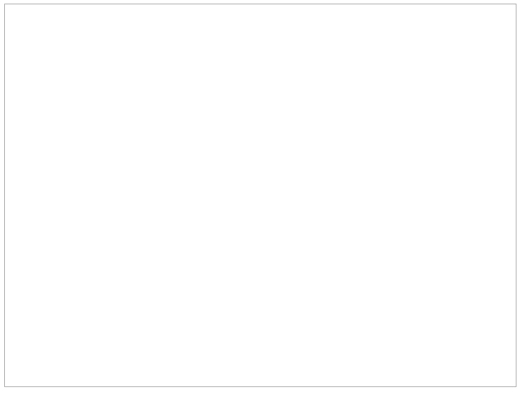
い修行僧がやってきました。３３人の子供たちに「三国志」などを読み聞かせをしていましたが、教科書を買える子供は三人しかいなかったそうです。

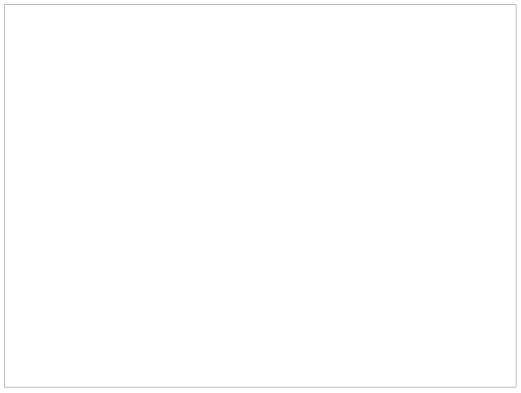
掘立小屋の屋根にトタンを引いて寺子屋とお寺を開くと、屋根のトタンに太陽が反射してお寺が輝いていると町の人は喜んだそうです。

漢字の読み書きが出来なかった修行僧は一年間の努力をしてから常盤にきましたが、午前に子供たちへ教えた後は、毎日、馬に乗って芦別全ての移住した人の家を回って布教をしていたそうです。

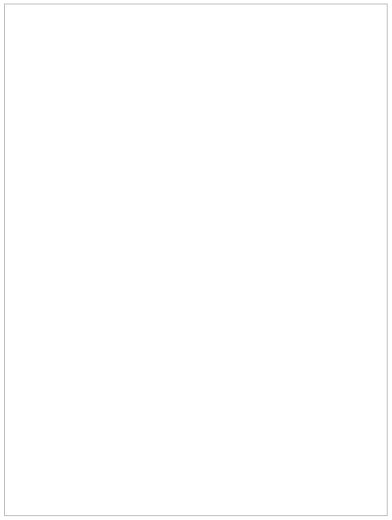
我慢と忍耐の教えを説きながら、生きる辛さを乗り越える勇気を人々に与え続けた素晴らしい方だと書かれていました。私の幼稚園時代もこのお寺でお世話になりましたし、了瑞さんの子供に当たる方が園長さんとお坊さんを兼ねていたのは変わりません。

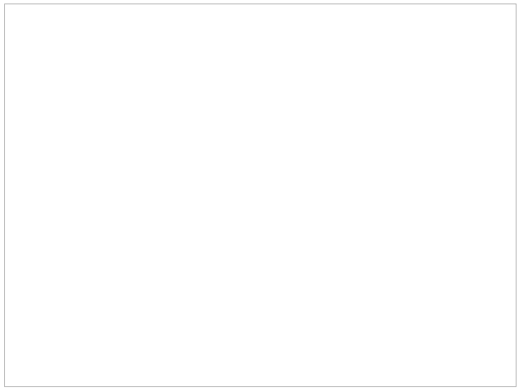


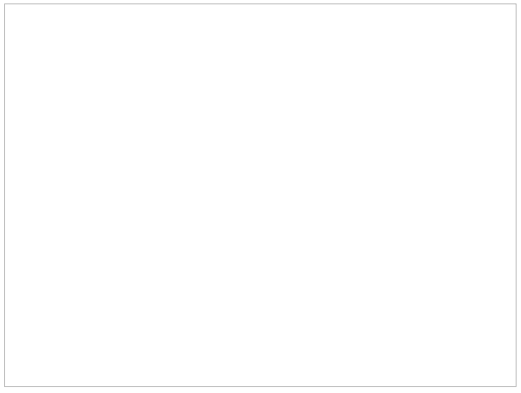


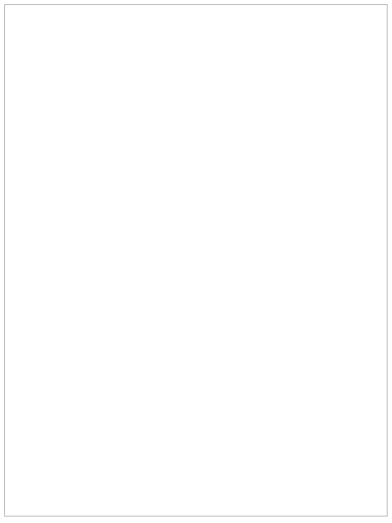


商店街のすぐ横には、班渓（パンケ）神社もあります。

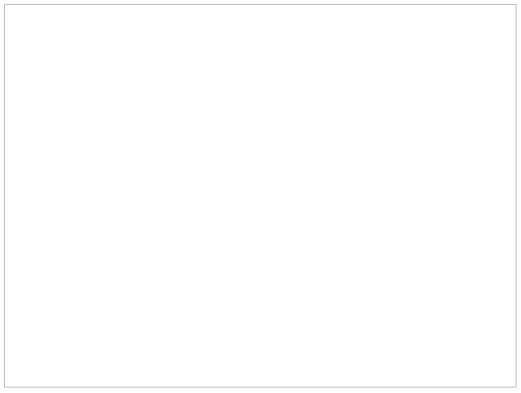


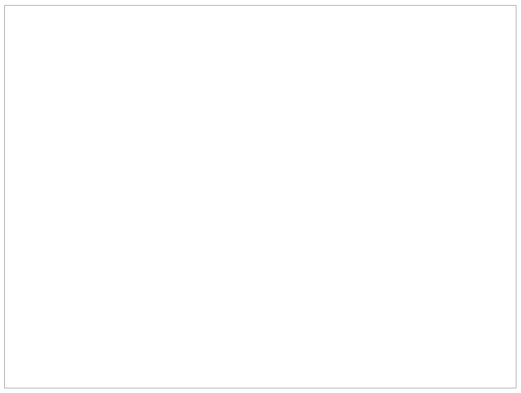






町内会の方たちは今も清掃をしたり、行事の度に集まって大切に守ってくれています。班渓（パンケ）神社の向かいには消防署がありますが、私の子供の頃は農家の男たちのほとんどが消防団員として自分たちの町を守っていました。

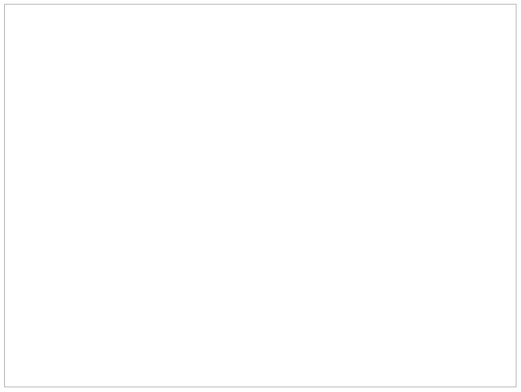




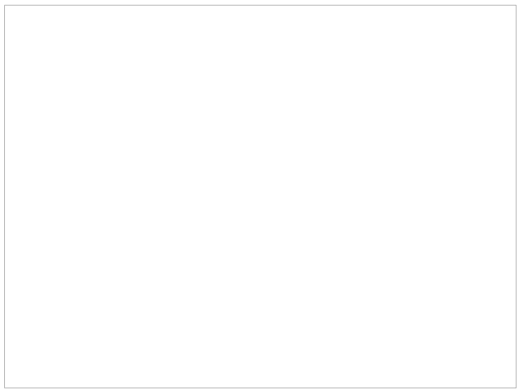
田んぼへ出ていても火事が起きると大きなサイレンが町内中に鳴り響き、農作業の手を止めて急いで家に戻り、防火服を着て消防車に乗り込む父を見た事があります。近所の家が燃えている中を命がけで家財道具を運び出したり、手でポンプの水を組み上げて消火活動をしていました。

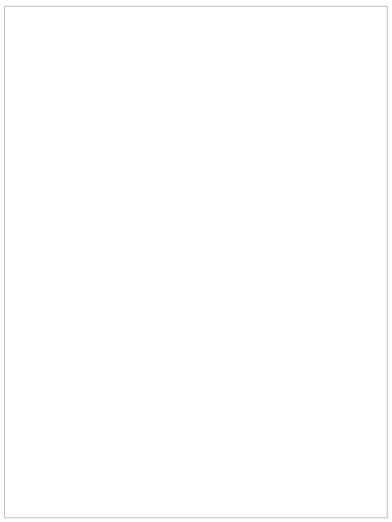
父のこの姿を見て、家族の命を守る為には近所の人たちの命を守る覚悟が必要な事を小学生の時に学びました。いつも「常会（じょうかい）だ」と言っては集まってお酒を飲んで帰る父しか見ていなかったので、自分の知らない大人の付き合いがある事もわかりました。

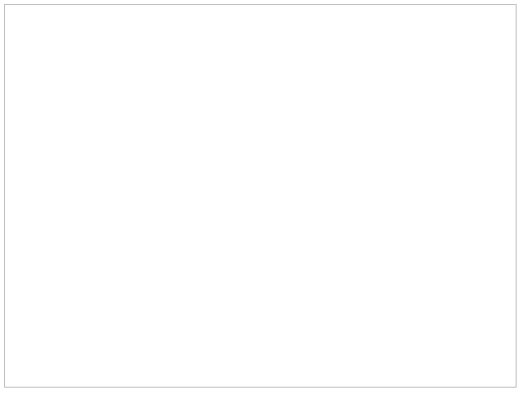
当時の町内会館は廃墟になりましたが、今は新しく立てた会館で老人会や地域の会合が行われています。

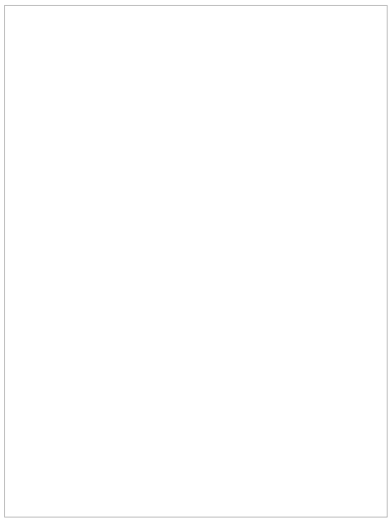


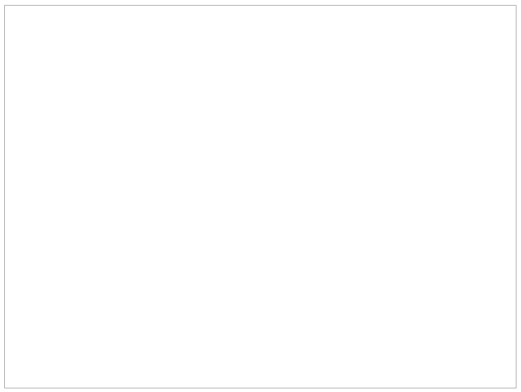
光明寺の寺子屋の時代から道向かいに小学校と中学校が一緒なった常盤小中学校ができて私も通いましたが、現在は児童数が減り小学校だけになったようです。校庭の隅には常盤町の８０年を記念して作られた塔があります。





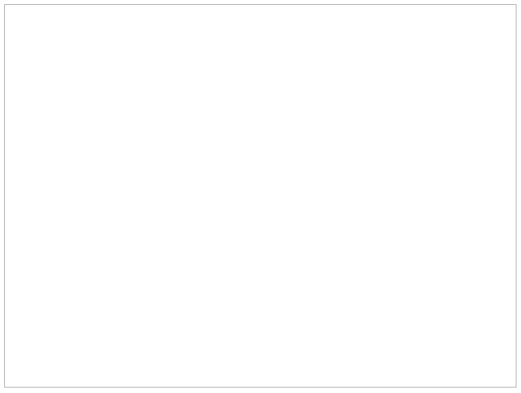






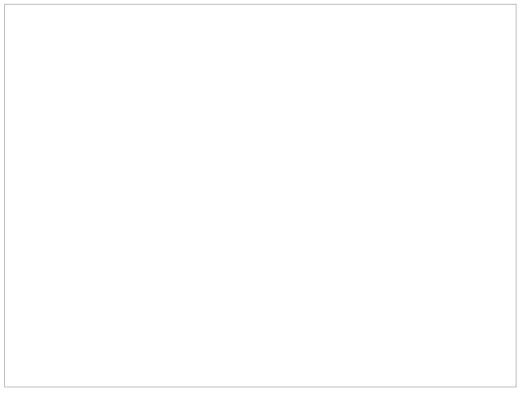
家の周りに見える田んぼ全てが父母の苦労で大きくしたお米を食べて育った記憶は、生涯忘れる事はありません。「この米粒ひとつを作るのに、一年かかるんだよ！」と母に怒られた記憶は、今も茶碗に米粒を残さないくせを身につけてくれました。

地下水を毎日ポンプで汲みあげて飲み水・お風呂・馬の飲み水として使った水は、今も変わらず保健所が素晴らしく安全だと証明書を出すほど美味しい水が飲めます。



子供の頃は自給自足という言葉さえ知らなかったし、貧乏という意味もよくわかりませんでしたが、農家の分家という貧しい暮らしを経験できたおかげで、自然溢れる常磐町の素晴らしさと先人たちの心に歴史を調べる事で触れる事ができました。

１１７年前に常盤に入植した人たちのおかげで、遠くに見える美しい大雪山山系の力強さと自然の中で育つ環境を与えてくれた先人たちに心から敬意と感謝を送りたいと思います。



2010.05.07 Fri

審判の日

昨夜、寝る瞬間に以下の啓示が降りました。これは私一人ではどうにもできない啓示だと感じたからこそ全ての内容を公開しますが、もう皆さんの魂の目覚めをサポートする時間は終わりだと感じています。動くべき役目を持った人たちが何をするかに気づき、力を合わせて本気で行動する時が来た！と神々は無言で伝えています。

●5月4日夜11：11～5月5日0：00　に吉岡学に降りた啓示

現在、地球の内部で大きな「地核変動」が起きようとしている。

この地殻変動は、「地球の浄化」という生やさしいレベルの問題ではない。

地球に人間が存続できるかどうかの問題でもなく、地球自体の存続を掛けた「大きな地殻変動」が起きようとしている。

だからこそ我々（宇宙神）は、人間が魂本来の役目を果たせるかどうかを話し合っている。

2016年、 2018年に起きる天変地異の出来事よりも、
2023年に起きる大きな決断の時期の為に、我々は話し合っている。

現在のままで進めば人間や地球がどのような結果になるかは、あなた自身が考えてもすぐにわかる事だろう。

だからこそ、もしこの決断の結果を変えたければ

世界で**15**人、そして日本で**5**人の神の人間

が立ちあがる必要があると伝えておこう。

これはもう、「人間が問われている」という生やさしい問題ではない。

「人間に地球を守る事ができるかどうか」を問われているからこそ、我々が話し合っているのだ

。

三つの地殻プレートが引き合って北海道が三つに割れる啓示や、フィリピン海プレートの大地震によって日本分裂・日本沈没の啓示を受け取っている人間もいるようだが、2023年にはそれまでの出来事がお遊びだったと感じるくらいに「大きな地殻変動」が起きるからこそ、地球の内部の神たちの話し合いが始まっている。

人間をまだ信じるべきか？

地球の存続の審判を人間に託していいのか？

その答えは、まもなく全員の魂にメッセージが届くであろう。

審判の日は、まもなく！

私吉岡個人の役目として地球創生の啓示に対し神事でエネルギー転換する役割は、あと9年間と決めているからこそ、この啓示を読んで自分が行動するべきだと感じた人は、地球創生　吉岡までメールでご連絡下さい。

日本を守り地球を守る役目の人たちが手を結び、命を掛けて天命に生きる決断をする時期が来たと伝えておきます。

この神事を成す為にはこれまでの倫理観・価値観・概念・思想を超えて行動する人たちが動き出さなければ、地球の寿命はとても短い事も覚えておいて下さい。

※神の人間、つまり神に命を捧げる役目を持って産まれたのは「男性」です。「女性」は、その男性や子供の命、またご先祖たちの御霊を守る為に巫女や祈り人として産まれています。魂の役目と肉体の役目の意味を正しく理解できる方たちが、その役目を全うされる事を切に祈ります。
2010.05.05 Wed

2023年　審判の日

現在、地球の内部で大きな「地核変動」が起きようとしている。この地殻変動は、「地球の浄化」という生やさしいレベルの問題ではない。

地球に人間が存続できるかどうかの問題でもなく、地球自体の存続を掛けた「大きな地殻変動」が起きようとしている。だからこそ我々（宇宙神）は、人間が魂本来の役目を果たせるかどうかを話し合っている。

2016年、 2018年に起きる天変地異の出来事よりも、 2023年に起きる大きな決断の時期の為に、我々は話し合っている。

現在のままで進めば人間や地球がどのような結果になるかは、あなた自身が考えてもすぐにわかる事だろう。だからこそ、もしこの決断の結果を変えたければ、

世界で15人、そして、

日本で5人の神の人間

が立ちあがる必要があると伝えておこう。これはもう、「人間が問われている」という生やさしい問題ではない。「人間に地球を守る事ができるかどうか」を問われているからこそ、我々が話し合っているのだ。

三つの地殻プレートが引き合って北海道が三つに割れる啓示や、フィリピン海プレートの大地震によって日本分裂・日本沈没の啓示を受け取っている人間もいるようだが、2023年にはそれまでの出来事がお遊びだったと感じるくらいに「大きな地殻変動」が起きるからこそ、地球の内部の神たちの話し合いが始まっている。

人間をまだ信じるべきか？

地球の存続の審判を人間に託していいのか？

その答えは、まもなく全員の魂にメッセージが届くであろう。審判の日は、まもなく！

日本を守り地球を守る役目の人たちが手を結び、命を掛けて天命に生きる決断をする時期が来たと伝えておきます。

この神事を成す為にはこれまでの倫理観・価値観・概念・思想を超えて行動する人たちが動き出さなければ、地球の寿命はとても短い事だけは皆さんにはお伝えしておきます。

※神の人間、つまり神に命を捧げる役目を持って産まれたのは「男性」です。「女性」は、その男性や子供の命、またご先祖たちの御霊を守る為に巫女や祈り人として産まれています。魂の役目と肉体の役目の意味を正しく理解できる方たちが、その役目を全うされる事を切に祈ります。

2010年5月5日　真夜中0：00に吉岡学に降りた啓示

2010.05.05 Wed

一宮宣言祈りのルール

全国の皆さんから国繋ぎ全国一宮宣言祈りを早く全て繋がなければ日本が危ないという声が届いていますが、それは私も同じ思いだからこそ、大切なひとつのルールを覚えておいて下さい。

あなたが国守り宣言をして良い土地は、「現在住んでいる土地」か、「生まれ故郷」がまず基本になります。

その理由として「生まれ故郷」にはご先祖たちのサポートによって土地神・国神が守護に入ってくれますし、「現在住んでいる土地」も同様に近くのお宮を通して土地神たちが働いてくれるからです。

このどちらでもない土地で国繋ぎ全国一宮宣言祈りをしたい気持ちはよくわかりますが、自分が住んでいなければ宣言したあとに土地神様や国神様を守る事ができませんのでどうぞご遠慮下さい。

ただし唯一、出来る方法として「住んでいる土地」、もしくは「生まれ故郷」の地続きの国を宣言して繋いでいく事は可能です。

また、四国や九州のように対岸の国の国繋ぎ全国一宮宣言祈りに行く事も可能です。これは昔の人たちが行き来した形ですし、当然ながらご先祖たちもそうしていたからです。

他の土地へ国繋ぎ全国一宮宣言祈りをする時の気持ちは、全ての神を同列にするように人を違わず人を問わず、全ての人の生き方を認め許す神心を持って繋ぎ祈りを行って下さい。

生まれる土地や親を選んできた魂の意味に気づく為にも、生まれた土地や住んでいる土地の歴史を知る事もとても重要です。

土地に住み続けてくれたご先祖がいたからこそ今のあなたは生きていますし、まずは自分の足元の土地を守る宣言をしっかりする為にも国繋ぎ全国一宮国宣言祈りにぜひ参加下さい。

この国繋ぎ一宮宣言祈りをした方は必ず土地神・国神の守護が入りますが、当然、その責任が生まれる事も覚えておいて下さい。

神様には「一切の言い訳ができない」と知っているのなら、できない理由を考えるよりも、自分が望む日本にする為にあなた自身が「自分の土地を守る！」と立ち上がる事が重要なのです。

先日お伝えした大地震の啓示も、地球や日本を、そして今住んでいる土地を守る宣言をした人たちの神意識が繋がる事で現実を変える事ができますので、一日も早く神と同じ心を持つ人たちの祈りエネルギーで地球や日本を支えたいと思っています。

もしあなたのお知り合いで日本や住む土地を愛し守りたい方がいらっしゃいましたら、どうぞ地球創世メルマガ・国繋ぎ一宮宣言祈り・全国巫女ネットワークをご紹介下さい。

これを読んでいるあなた自身が土地を守り神心を繋ぐ宣言をする事によって、この日本は救われます。
2010.05.01 Sat

大地震の啓示

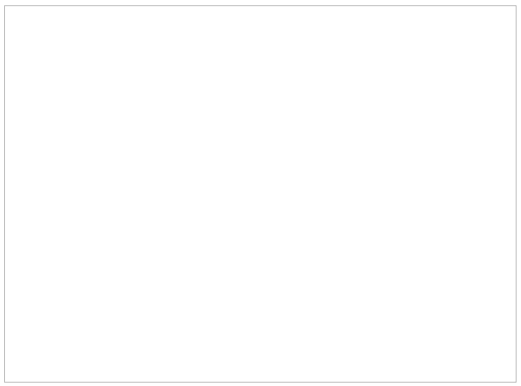
先日、世界を飛び回って祈りをしている仲間から「啓示を受けた」と連絡が入りました。

内容は、パプアニューギニアからインドネシアを経由して沖縄に上り、日本全土、東京、その先まで続く地震プレートに、今年大きな動きがあると来ました。 このお祈りのスタートは６月７月から始めないと間に合わないと言われています。

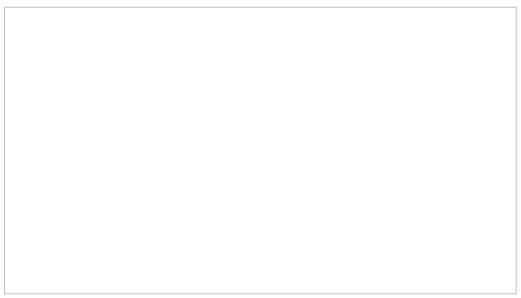
この啓示の詳細は現在、本人の守護神に確認して頂いていますが、啓示が降りた事は事実ですので「地球を守ると宣言した日本人」が今後どうするかを迫られているとお考え下さい。

大地震の啓示は私も以前から何度もお話していますが、日本にぶつかっている大きな地震プレートの事を示しています。

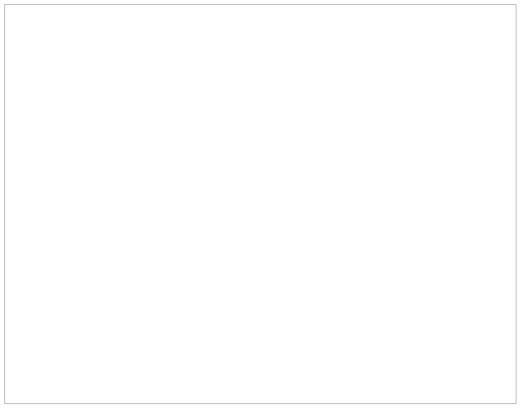
世界中の地震のプレートを赤い線で表すと、こうなります。



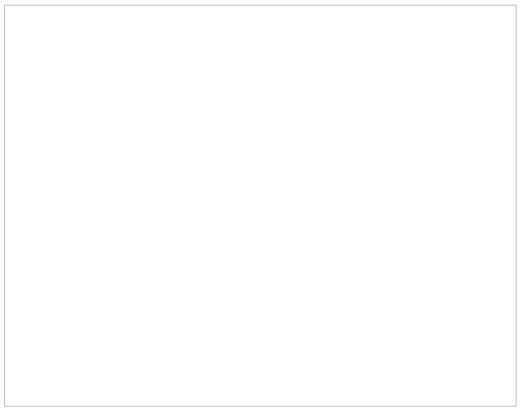
また、近年の日本で起きた大地震を表すと、このようになっています。



大きな地震が起きる理由としては、深い海の底の断層のずれによって起きるのが一般的です。



今回の啓示で示されたプレートは、「フィリピン海プレート」の揺れの事を教えてくれていますが、東南アジから沖縄、本州と続く大きな揺れが起きれば、当然、「太平洋プレート」にも大きな影響が現れてきます。



「フィリピン海プレート」と「太平洋プレート」のぶつかっているところが伊豆半島・静岡だからこそ、昨年、日本が割れる大地震を抑える為の神事を伊豆半島で行いました。

しかし地球全体のエネルギーは人間が不調和エネルギーを出し続けている限り、「負の清算」として常に浄化の揺れを起こすのは当然だからこそ、揺れは「震度4」までにして欲しいと土地神の代表である山の神様へ祈りを行いました。

これで私の神事が、なぜ山の頂上まで登る事が多いのか、おわかり頂けたでしょうか？

土地神の代表はその土地の一番高い山にいる場合が多いからこそ、山の頂上に大きな神様が自然界全てのバランスを整える為に人間が産まれる前から鎮座されているのを知っているからです。

だからこそ、どれだけ辛く苦しい登山になっても「頂上神事」を行う理由は、頂上に登って祈りをしない限り人間の言う事を聞いてくれるほど、自然界の神様は人間の為だけないは存在していないからです。

ブラジルの預言者ジョセリーノさんが唯一、予言がはずれる国が日本だという理由も、「神に通じる祈りをする人たちで守られている国だからだ」と、ご本人も言っています。

祈りは本来、神と向き合いエネルギーを交換しあう神事だからこそ、何かお願いする事がある場合は、その内容に見合う「決意や行動」が求められるのは当然です。

「願い」を言う人間に対して、「何を差し出すのか？」と必ず問いかけが必ず入るものなのです。

昔からあらゆる場所に埋められた「人柱」も自然界の神様に差し出した命ですが、本当は、神は人間の命が欲しい訳ではありません。

神が問うのは、あなたが一番大切な物を守りたいのなら、あなたはその為に何を差し出すのかと問うだけなのです。

それは、お金でも命でも無いという事をよく理解して下さい。

神が問いているのは、私たち人間の「決意と行動」なのです。

今後の大地震の啓示の対応については、地球創世活動をご理解頂けます皆様と共に大きな祈りを行う事になりますので、まだご参加されていない皆様の登録お待ちしております。

地球創世1000年プロジェクト

2010.04.29 Thu

宇宙神メッセージ（**4/25**）

あらゆる全ての物ごとにおいて、価値観や基準のあり方の変更を求める動きが起きる事でしょう。

それは他人を律する事ではなく、自らの心のあり方や大切な物・事・人との接し方、また、自分が周りの人たちへ見せていた自分、つまり、他人にこう思われたいという自分と自分らしくありたいというバランスが求められます。

それが神々の意思であり先祖の願いある事は承知の事だと思いますが、今までの基準やルール・価値観の結果が今の人々の結果だからこそ、「変化」を求められているのです。

「変化」は常に自らの心のあり方によって、自分の周りの出来事が起きている事を理解して下さい。

それは誰かが望む人になるのではなく、誰かが望む世の中を創るのでもなく、あなたの魂の役目はあなたが望む未来を実現する為に自らを問い続け、そして、行動することなのです。

他人を問い正したくなる気持ちが出た時や他人の行いを正したい気持ちが出た時ほど、「自らのルールの押し付け」を自分に問い直すチャンスなのです。

あなたたち人間には、全て「魂のチーム」として出会うように計画されて出会っているからこそ、そこで学べきテーマは、相手を変えたり場所を変えても同じだと気づいて下さい。

嫌だと思う人こそ、許せないと思う出来事こそ、全てが自分の学びであり、その人自身が行いの責任を取るのであれば、他人が意見を言う必要はないのです。

これは親子であっても、同じです。

宇宙には「親子の情」や友達の友情」、また男女という概念においても「情で成り立つ世界」は一切ありません。

過去にその歴史があった星は、全て消滅してしまったからです。

本来、宇宙は人間が望むようなものは無く、人間にとって都合のいい世界では無いのです。

それは、宇宙が人間の為にある訳ではないからです。

地球も同様に、人間にとって価値があるか無いか存在している訳ではありません。

冷たい風も熱風も、全て必要で吹いています。

環境に順応する能力を与えられた人間は今、世界のあらゆるところに住んでいますが、その選択が正しいか間違いかもこれから気づく出来事が起きますが、本来、人間はどこへ住むべき動物なのかを考える事も必要です。

私たち（神）はあなたたちに「行動の自由」を与えましたが、「自由こそ責任の裏返し」だという事を本当は知っているはずです。

どうぞ自らの住む家、土地、山河、空気、そして、命の循環が整った場所を壊さずに生きる術を身につけて下さい。

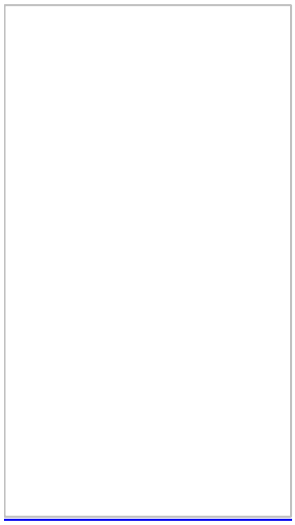
あなたたち人間の知恵は、常にあらゆる状況において的確に判断できるように与えられていますので、その知恵をお使い下さい。

「時、すでに来たり」です。

2010.04.26 Mon

伊勢山皇大神宮

先日の沖縄本島で御霊洗いの神事をした関東在住の二人と一緒に、横浜にある伊勢山皇大神宮（いせやまこうたいじんぐう）へ出かけました。



目的は本州の地を守る「アマテラス」と「ツクヨミノミコト」の役目で神事をする人間として大切な気づきを神様に導いて頂く為です。



まず御祭神である天照大御神（アマテラスオオミカミ）様へ御挨拶をしました。すると、「しばらくお待ち下さい」と声がしたあと、「どうぞこちらへ」と奥へ連れていかれて神様たちが座る場所へ座らされました。

そのあとアマテラス様から頂いた言葉は、「これまでのあなたたちのお働きはよく存じております。だからこそ、これからはみなさんと一緒に力を合わせて働きますのでどうぞよろしくお願いします。」というお言葉でした。



次に伊勢神宮の外宮の神様である「豊受大神（とようけのおおかみ）」と書かれた場所で御挨拶をすると、

「豊受大神の子として「月読」がいるという事を憶えておいて下さい。アマテラスが兄、ツクヨミが妹として

豊受大神が産んだ二人の子供なのです」

と教えて下さいました。

太陽と月は本来、二つセットで働くようになって産まれているのですが、太陽神信仰が強くなってからどうしても月の役目を忘れる人たちが多いように感じます。

本来、命は闇から産まれるものですので「月は全ての命を産み出す役目」、そして「太陽は全ての命を育む役目」としてこ地球の為にある事を気づかなければいけません。

月は命を産み出す女性の役目として、太陽は希望や歓びを産み出す男性の役目として産まれたからこそ、その事に気づく事で人間も神も大きな働きができると言う事を神々は教えています。

神道の神話や色々な書物に書かれた神の役目や男女の説明がありますが、本来の神役目の大切な意味をここの神様が教えて下さいました。

どうぞこの事実をあなたが心の底から受け入れて「月や太陽へ感謝の祈り」をするようお願いします。

このメッセージを違う視点で考えれば、本州という大きな島の神役目は「東京が太陽としての役目、関西が月の役目」があると思います。

それは現在の東京へ遷都して神々を新しく座らせたのも、もとは関西・京都にあった大きな母神が居てくれたからなのです。

「親が子を思い、子が親に感謝するこ心」がどれほど大切な事なのかを知りながらも、その心が失われている現代の様子は、関東と関西の人たちのお互いの母神と子神としての感謝の心が失われている事の表れだと思います。

「親子のあり方」や「男女の本来の役目」をどうぞ神様の言葉から学んで下さい。

人間をお造りになられた神々の本当の意図を知る事こそ神心を学ぶ道ですし、あなたの御心や魂が喜ぶ真理の道なのです。

最後に、豊受大神の横にある大神神社の「いわくら」の神様と話をすると、こんな言葉が返ってきました。

《この地に元々あったものが壊れているのは、あなたがた人間の心の中にあるもの。

このまま人間の心が整わなければ、また全ては繰り返します。》

土地を守る土地神様からの言葉ですので、その意味は、このまま人間の心が変わらなければ、また全てを壊し消滅させる事が起きると教えています。

今、問われているのは、私たち人間の心なのです。

どうぞ他人を問う前に、自らの心のあり方を問いて下さいませ。
2010.04.23 Fri

自分に向き合う

まず、この問いかけを自分自身にしてみて下さい。

「あなたにとって神とは何ですか？」

先日の沖縄の八重干瀬（やびじ）祈りの前、全員にこの質問をしましたが、そのほとんどの人の答えは「自分自身」という答えでした。

これは、大正解の答えです。

大いなるもの・大いなる母・産みだしの大元・全ての魂のふるさとなど色々な答えも出ましたが、「自分自身」という答えが一番、大切な意味を持っています。

「自分自身」以外の答えを出した人は、自分と向き合う神の視点が違う事に気づくでしょうか？

この視点の違いに気づく事が、もっとも大切な「自分自身」に向き合う為の入り口なのです。

ほとんどの人は、自分の足りなさを知っているからこそ、１００％完全な神に向き合う事で、自分を許してもらったり、救いを求めたりしますが、こういう依存の自分が居る限り本当に自分に必要な気づきを得る事はできません。

この「自分自身」と神仏に向き合う時の差が、あなたの逃げ道だからです。

その差にあるものは、「甘え」かもしれません。

また、「ごまかし」かもしれません。

「言い訳」の人もいるでしょう。

その差をすぐに埋めて、自分自身が100％神の子であり、先祖の代表である事を認めない限り、救いを他へ求める心を産みだし続け、その結果、依存する心が消える事はありません。

神仏への依存心は、周りの人に対して執着や嫉妬心を押しつけますし、結果として自分が依存する対象に対して100％であって欲しいという愚かな欲求を作り出します。

もし神が100％の存在だと思っているのなら、その100％の神に生かされ許されているあなたは、今よりも成長しないさと言われている事に気付いて下さい。

もし神があなたと同じレベルの足りない存在だと思っているのなら、あなたがしたい事を100％自己責任で取り組み、その言い訳を一切しない生き方をあなた自身が実践して下さい。

これは、どの宗教のどの神仏に向き合う場合でも同じです。

あなたが向き合う神仏を「あなた自身」として向き合う心を持てば、必ず、自分にとって必要な気づきが得られるよう人間は産まれています。

大切な気付きやメッセージは自分の心の奥底にある「内在神」から聞こえてきますが、この「内在神」に向き合う事と、神仏に向き合う事は同じ意味であり、その対象も同じ存在である事に気付く事こそ、今、一番大切な気づきだと思って下さい。

向き合う時に大切な事は、自分の言いたい事だけを言って終わりにしない事です。

神や仏はあなたが普段、何を考えているのか全てお見通しですし、今、何に困っているかも全て知っています。

だから神仏に向き合った瞬間は、余計な言葉を一切話さずに、ただ無言で無心で祈るだけでいいのです。

「無心」の心で向き合えば、必ず、神仏の声は聞こえてきます。

その声が、「我心＝自我の欲求の心」の声なのか、「天心＝天にいらっしゃる神仏の心」の声なのかわかりませんが、その両者の声を素直に聞く心がまず今のあなたにあれば、必ずあなたを正しく導く声が聞こえるようになっています。

だから、難しい瞑想法を学ぶ必要はありません。

ただ素直な心で、神仏に向き合うだけでいいのです。

その時間を取る事がどれほど人生で大切なのかを知っている人が少ないからこそ、誰かに自分の

事を聞いて欲しい心が動き続けるのです。

宗教や神仏という言葉が嫌いでもいいのですが、他人の事がわかっても一番わかっていないのが自分自身だからこそ、素直な心で神仏に向き合う時間を作って下さい。

静かな場所で心が落ち着く小さな空間を作り、そこへあなたが向き合いたくなるようなきれいな絵やお花やお札や神棚、仏壇、・・・何でもいいので、向き合う場所を作って下さい。

この「静の時間」を取ると、不思議に心と肉体と魂のバランスが整いますし、体の免疫力も上がる事は立証されています。

祈りとは本来、この内在神に向き合う為の時間なのです。

2010.04.19 Mon

内在神

沖縄本島の龍宮底神（りゅうぐうすくしん）メッセージによって、日本のそれぞれの島が「神産み」によって本来の土地役目を果たす時期が近づいている事はわかりました。

しかし、それよりもまず自分自身の魂クリーニングをしなければいけないと気付き、今朝、「魂クリアリング瞑想」を一人で行いました。今、終わったばかりなので体はフワフワした変な感じです。

最初は沖縄８日間の祈りの疲れだと思っていましたが、体の不調の症状が永く続く時は必ず魂からのメッセージがありますので、その意味に気付く為にも「心と体と魂の調和の祈り」を自分で行いました。

今、頂いた気付きのメッセージは・・・

「まだ先にある。この先に、まだ大切な気づきがある。その時までに全ての準備を整えて用意しておきなさい。」　です。

この用意とは、物質的な意味で何かを用意するのではありません。

新しい物を受け入れる為の心の準備として、心の奥底にある物をクリーニングして不要な感情や思いを捨てる事と、その為に囚われ続けた自分という「個」を手放しなさいという意味です。

新しい自分を受け入れる為の準備が、始まりました。

皆さんもこれまで経験した思いや感情を手放して、新しい自分になる為の準備をして下さい。具体的には・・・

１、身の回りにある物で今後、必要が無いと思うものを捨てるか、誰かに差し上げること。

２、押し入れの中、タンスの中、引き出しの中も同様に、将来、不要な物を捨てる事。

３、心の中の平安を取り戻す為にも過去の思いに感謝する「ありがとうございます」を唱えながら作業を行って下さい。

自らの心の奥底に大きな神「内在神」がいるからこそ、その神の声を正しく聴く為の準備なのです。

こういう変化の時は、守護霊や守護神の導きや周りの人の声に囚われないで、自らが信じる道を進む事が重要です。

あなたの選択は、常に「善」へ向けているのだと、自分自身に言い聞かせながら行う事も大切です。

最後に、「変化を恐れない事」を心得として覚えておいて下さい。

「恐れ」は「不安」を生み出し、「不安な思い」は、「不安な現実や人」を引き寄せるからです。

新しいあなたが生まれ変わる時期は、もう間もなくです！
2010.04.18 Sun

神産み

沖縄本島の最後の夜に降りた牛頭（ごず）天王メッセージの意味は、まだいくつもあると感じていましたが、ひとつわかった事があります。

龍宮底神（りゅうぐうすくしん）＝海の底の神＝地球の核を守る神が、牛頭天王の名前を出して伝えた意味は日本の土地役目の他に、それぞれの土地には「神産み」させた意味があると教えてくれています。

古事記に書かれている内容はあらゆることを比喩して表現していますが、その中に書かれている内容に次のような事が書かれています。

イザナギは黄泉の穢れから身を清めるために、竺紫（つくし）の日向（ひむか）の橘の小門（をど）の阿波岐原（あはきはら）へ行って、禊を行った。左の目を洗うと天照大御神（あまてらすおほみかみ）が生まれた。右の目を洗うと月読命（つくよみのみこと）が生まれた。鼻を洗うと建速須佐之男命（たけはやすさのをのみこと）が生まれた。

この事を踏まえて奥武島（おーじま）神事で祈った時の形の意味を振り返ると、目の役目をした二人の女性は本州の方ですから、日本全体にとって本州と言う島は、天照大御神（あまてらすおほみかみ）と月読命（つくよみのみこと）の役目がある事を教えてくれています。

また、鼻の役目をした私の生まれの北海道は、建速須佐之男命（たけはやすさのをのみこと）の役目がある事を教えてくれています。

牛頭天王（ごずてんのう）とは、日本の神仏習合における神である。京都祇園や播磨国広峰山に鎮座する神であり、蘇民将来説話の武塔天神と同一視された。インドの釈迦の生誕地に因む祇園精舎の守護神ともされ[1]、祇園神とも呼ばれた。陰陽道では天道神と同一視された。神仏習合では薬師如来の垂迹であるとともに、スサノオの本地とされた。感神院祇園社から勧請されて全国の祇園社、天王社で祀られた。

この事を考えると、「神仏習合」をもう一度、この日本でも復活させる、つまり、神仏の働きをさせる為に今回、龍宮底神が教えてくれたとわかりました。

さらに、イザナミが「お前の国の人間を1日1000人殺してやる」と言うと、「それならば私は、1日1500の産屋を建てよう」とイザナギは言い返したとありますので、口と耳の働きをした沖縄の土地は、日本の命や魂、そして、神を生み出した場所だと教えてくれています。

これは日本人のルーツにも関わる話ですが、確かに、沖縄を経由してたどり着いた民族が文化や知恵と共に命を各地で繋ぎ、現在の日本国の大切な神を繋いだ事実は明らかですので、「命を生み出した場所・魂の生み出した場所」として沖縄の神役目の意味を教えてくれています。

四国も同様に霊能者たちにとっては「黄泉の国」と呼ばれているように、沖縄と同じ新しい地球や日本を生み出す為の「神産みの役目」があるのだと思います。

古事記や日本書紀、そして、沖縄に残っている語り言葉や神メッセージを解釈する時は、何次元もの意味が同時に重なっているからこそ、読み取りの意味をひとつだと勘違いして動くと自分の愚かさを知らされる体験をする事になりますので、神事をする方たちは十分にその事を踏まえなくてはなりません。

今回二つ目の神メッセージの読み取りの意味を皆さんに公開した理由は、今回の内容を読んで目覚める方たちがいる事がわかっているからです。

人間の魂にある記憶がなぜ消されて生まれるかにも関わる話ですが、神が決めた必要な時に「真実の言葉＝神の言葉」を聞いただけで自分の魂の記憶が蘇るように人間は最初からセットされている事を私は知らされているからです。

だからこそ、その真実を知った瞬間から、「自らの魂の役目を果たせ！」と神々が24時間サポートに入るのです。

「真実の言葉」を聞いた人は、それまでの人生に二度と後戻りすることができません。

それまで普通と思っていた事がどれほど偽りの中の出来事だったかに気付いた時、信じていた真実や正義さえ壊れ、一切の価値観を見失う経験をする方もいるでしょう。

でも誰かに頼ることも許されず、逃げることも許されない世界が、「真実の世界」なのです。

大きな役割りを持って生まれた人たちにとって、その目覚めの時期が迫っているからこそ、神々は私のような受信機を持つ人たちを通して「真実の情報」を公開させているのです。

現在インターネットの世界では、多次元チャンネルの役目の違いによってさまざまな人たちがメッセージを発信していますが、そのどれに共感して行動するかは、自分で選んだようで実は、「ある目的のソウルグループ」として動きだす結果になります。

しかし、そのソウルグループの目的が成功するかどうかは分かりません。理由は、それぞれが持っている魂のカルマと役目によって、人間関係的には時に辛く厳しい体験をする時期があるからです。

人は常に自分が正しいと信じた事を口にしますが、それさえも時間や状況・立場を変えて考えられるようになると、まったく違う意味でとらえる必要性に気付かされます。

その愚かさを認め、常に、変化する為に生まれてきた事を思い出せば、どんな事が起きても誰かを攻撃たり、否定する必要が無いと全ての魂は気付く時期がきます。

「愛と調和」、これは21世紀に入った時の１００年間の学びだと、全宇宙の創造主マスターは言いました。

そして真実の「愛と調和」には、「ただ許す、ただ認める、ただ感謝するだけで良い」とも教えられましたが、お互いの役目の意味に気付く時間がかかるのが今の人間だからこそ、一歩一歩自分の信じる道を進むしか方法はありません。

あなたが問われているのは、神を信じるかどうかではなく、誰かの言葉を信じられるかどうかでもなく、自分自身を信じられるかを問われている時期なのだと気付いて下さい。

神は、あなたの内側にいます。

2010.04.16 Fri

勝つ事の意味

1990年代に流行ったビジネス世界の言葉で「勝ち組負け組」という言葉がありますが、常にこの言葉は20世紀を代表する日本人の精神性の原動力になってきた言葉です。

「戦争に勝つ」、「自分に勝つ」、「誰かに勝つ」・・・・。

「勝つ」事を強いられ続けてきた日本人の精神性には、「忍耐」という言葉も同時に学ばされています。

「勝つ為には耐え忍ぶ心があってこそ、勝てるチャンスに生かされる」のだと。

「忍耐」を強制的に強いられた明治・大正・昭和一桁生まれの方たちは、自分という価値観よりも強制的な思想教育に耐えるしかない毎日を過ごしてきました。目的は、「戦争に勝つ」為だったからです。

戦争に勝ち続けた日本はさらに「勝つ」事に執着し始めて、個人の価値観や人の命も簡単に奪うようになりました。「勝つ」ことこそ、全てにおいて正義であると勘違いしたからです。

しかし1945年8月15日、正午の昭和天皇による玉音放送をもってポツダム宣言受諾を表明、全ての戦闘行為は停止されました（日本の降伏）。

「勝つ」事だけを目的に生きた日本国民は、「負ける」事から多くを学び、今の日本をここまで急成長させる事に成功しました。

しかし戦争の負けを体験した親を持つ団塊の世代は、同じように「戦いに勝つ」というテーマで日々、仕事に取り組んでいた事も事実です。

軍力で戦争に負けた分、今度は経済力で世界に「勝つ」事を意識した日本国民は、さまざまな技術開発に合わせて「加工貿易」の技術を高め、アメリカに次ぐ世界第二位のＧＤＰ（国民総生産）国家に短期間で成長させました。

しかし、日本のこの成長ぶりを見ていたアジア諸国の中でも特に中国は、日本を超える猛スピードで経済大国に成長しています。あと数年後には、確実に日本はその地位を抜かれる事でしょう。

「勝つ」ことだけを意識した人間は、常に「負ける恐怖」と戦わなければいけない事になります。

競争原理には、「負ける人が居るからこそ勝つ人がいる」からです。

自分の人生の成功や幸せや歓びさえも、この「勝つ」という基準だけで考えている為に苦しんでいる人たちをたくさん見ました。

「誰かに勝ちたい、誰かに負けたくない」

人と比べて自分のやる気を引き出す事はひとつの手法ではありますが、子育てでも失敗している人が多いように、「勝つ」事だけを教えると負けた時の対応ができずに卑屈になったり、ごまかすようになる人がたくさんいます。そのまま大人になった人は、卑屈な性格が自分の性格だと勘違いしている人さえいます。

21世紀の大切なキーワードは、「勝つことだけにこだわる生き方をしない」と決める事です。

誰かや何かに勝ちたいと思った時は、まず負けた時の自分がどうなるかをちゃんと予想しなければいけません。

負けた後でも、言い訳やごまかしをしないで、まっすぐ前を見て歩ける人間でいられるかどうかを自分で見定めなければいけません。

「自分らしく生きる」という言葉がありますが、その為には自分のどこが長所でどこが欠点かを知っている事が大切になります。

その事を気づかせてくれる人が周りに居ない事こそ、人生の最大の不幸と呼べるのかもしれません。

本当の「自分らしさ」は、誰かにとってや何かにとっての結果評価ではないのです。

常に自分に甘えず、しかし、自分を喜ばせる工夫を知っていて努力している事が重要です。

当然ながら、知恵と工夫も無ければ「自分らしさ」を守る事はできません。

地位や名誉・名目、収入や持ち物で自分を誇示したい自分がいるとしたら、ある瞬間に全てが奪われるような経験をして、心がドン底に落とされて自分の本質を知らされる経験をする事でしょう。

自分という存在がどう見られているかはその人の価値感によって違いますので、どんな事を言われてもひとつの意見と感謝してひとつの学びにするくらいでいいのです。

一番大切な事は、「自分が自分にとって自分らしく生きているかどうか」を常に問う心が必要です。自分に甘い点数を付ける人や辛い点数を付けるのも自分の学びのコースですから、答えはすぐに出るはずです。

その点数の付け方が良い悪いではなく、世の中に一人でいいのであなたの存在を喜んでくれる人がいれば、あなたは生きている価値があります。

親は常に、「私より先に死ぬのは、親不孝だよ。」と言うほど、あなたの存在を認めて許し続けてくれている存在です。

その事にまだ気付かず、周りの評価や社会的評価を気にしている人たちは、常に、自分の価値や信頼を失う事を恐れて生きていると思います。

仏教の教えにも「自分に勝つ」という修行がありますが、内在神との葛藤をどう抑え込むかを鍛錬する修行です。しかし、ここにも「勝つ」という概念に囚われている思想があります。

人間は、勝とうと思えば負ける事と戦い、負けたくないと思えば勝つ事を意識する単純な動物ですから、勝ち負けが無い心の世界へ早く移行して欲しいと思います。

スポーツなどの競技や学校で行うリレーで争う意味は、また違います。

どうやっても勝てない人がいるように、勝つ人は負ける人に感謝する心を学ぶチャンスを与えてもらっていますし、負けた人は勝つ為に「努力と忍耐」を学ぶ時間を与えられています。その両者がいるからこそ、お互いの役割を尊重しながら、自分の役割を果たす心を学ぶ時間なのです。

プロの競技をしている人たちは、その結果を問われること以上に、その精神を問われるのがプロスポーツの世界だと言えます。

だからこそ、子供たちに「負けたくない」という心の扱い方を正しく教える事が大切なのです。

ただ勝つ為なら、ズルをしても勝つ方法はありますし、嘘をついて勝つ方法があるかもしれません。

でも子供の頃に、「お天道様は、いつも見ているからね。」と教えられた人は、自分の内在神には嘘は付けないものです。

人生は、勝つ為に生きている訳ではありません。

人生は、歓びを経験する為に必要な全ての欲を与えられています。

その歓びを誰かと共有する事でさらに大きな歓びとなり、地球全体を歓びの渦に巻き込む為に生まれてきたのが人間なのです。

だから何度失敗してもまだ生きているのなら、あなたがしたい事を何度でもチャレンジして下さい。

何度落ち込んでも、どれほど周りの人に迷惑をかけたとしても、今まだ生きているのなら、また「自分の歓び」の為に立ちあがって歩きだして下さい。

同じ失敗を何度もするようなら、上手にしている人にコツを聞いて下さい。成功者は、たくさんの失敗から学んだコツの数が多いだけなのです。だから成功している人で、一度も失敗しなかった人はいません。

周りの人に迷惑をかけないで生きてきた人も、誰一人いません。

今日生きているという事は、まだあなたは生きる事を許されているのですから、「自分の歓び」の為に勇気を出して進んで下さい。

「自らの弱さを認める事は、やさしさの母に出会う秘訣である」

：吉岡学

2010.04.14 Wed

食べるという欲求

沖縄の島々へ行くと本当に多くの気付きを神様が与えて下さいますが、それは沖縄という島には日本へ伝わった古い大切な知恵と歴史があるからだと思っています。

その事を気づかせてくれたのも、ご先祖に詳しい沖縄の人たちの知識ですし、南の海からやってきた渡来人の神様や自然界や宇宙神の意思が沖縄の土地に残っているからです。

沖縄の先住民族と本州・北海道の先住民族が同じ民族だという事は何度もお話ししていますが、16,500年前から日本に居た先住民族はただ獲物を追って走り回っていたのではなく、、漁業と陸で猟をしながら日本各地の気候に順応しながら生き抜く素晴らしい知恵と文化を持った民族であった事もわかってきています。

アイヌ民族に伝わる知恵の中に来年の食べ物を残す為に、「全ての獲物は取り尽くさず、必ず、来年の為に残す」という知恵があります。

この知恵を守ってきたからこそ、自然界にある食べ物が守られ続けた訳ですが、地球に人間が誕生した約500～600万年から増え続けている人口は、20世の「人口爆発」と呼ばれる急激な人口増加によって現在69億人まで膨れあがり、地球全ての命を食いつくすのではないかと思うほどあらゆる命を食べ尽くしています。

地球の食べ物が無くなる理由はとても簡単で、自然界の生命循環のサイクルより、人間が食べるスピードが速いからです。つまり、一人当たりの食べる量も増えているうえに、食べる人数が増えた結果だと言えます。

常に、「食うために生きる事」を第一に考え続けてきた人間は、きれいな洋服を着て暖かい家に住めるようになっても本能的な欲求は何も変わっていない動物である事を証明しています。

世界の流通経路が整い、世界中から食べ物を手に入れられる様になった豊かな日本は、現在、「過食と栄養バランス」を崩した病気に悩んでいる人が増えています。

数十年前から、「地産地消」や「身土不二（しんどふじ）」と言われる生まれた土地の食べ物を食べる事で体の持っている免疫力を上げる方法が見直されていますが、自分の土地の食べ物が何であるかも知らない人たちが増えているのも事実です。

この結果、「食による意識障害や行動障害」が増え、過食などの食べ物による体調不調に莫大な医療費が毎年つぎ込まれています。

沖縄の古い知恵やアイヌ民族の知恵を学んで感じた事は、「土地には大切な文化と知恵が残っている」と感じました。

それは食べ物に限らず、互いに生き残る為に大切にするべき精神性やルールを土地に住む人たちが全員が知っているという事です。

だからこそ、神事に参加した人たちにいつもお願いしている事は、自分が生まれた土地やご先祖の土地の歴史を調べて、ご先祖たちがどういう生活をしてどんな辛い出来事があったのかを知る必要があるとお願いしています。

これは単なる先祖供養という意味だけではなく、歴史を調べてご先祖たちの生活が見えてくると、今、生かされている意味や価値感も変わり、自分はご先祖の意思を受け継いだ代表である事に気付かされます。

今回の沖縄本島で龍宮底神（りゅうぐうすくしん）が伝えてきた顔のメッセージは、とても大きな意味がいくつも隠されていますが、沖縄には大切な「口」の働きがあるように、食べ物の知恵や文化をこの日本へ伝えた歴史が数多く残っています。

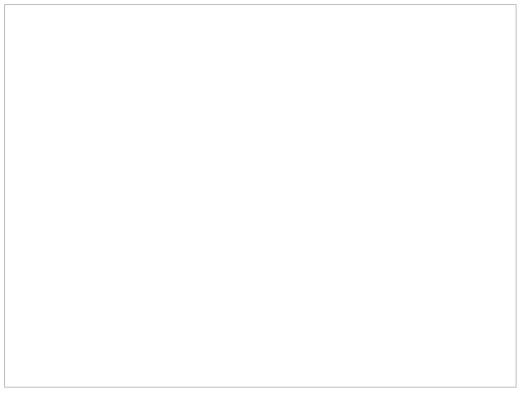
食べ物はいつでも不自由なく与え続けられるのが普通であり、お金さえ払えば何でも買えると思っている人たちは、一瞬にしてその信頼を裏切られる出来事が起きると思っておいて下さい。

よく自分が「普通」と思っている価値観を壊されて怒る人がいますが、それは信じた人が勝手に思い込んだものであり、信じ込んだ人の責任だと私は思います。

真理は、この世の中に「普通」という概念は無く、常に意識も情報も変化し続けているからこそ、新しい「普通」という価値を生み出し続ける為の努力と創造性が必要です。

安心できる未来の「普通」は、誰かが作ってくれるのではなく、私たちが望み叶えていく事で生まれるものだと気付いて下さい。

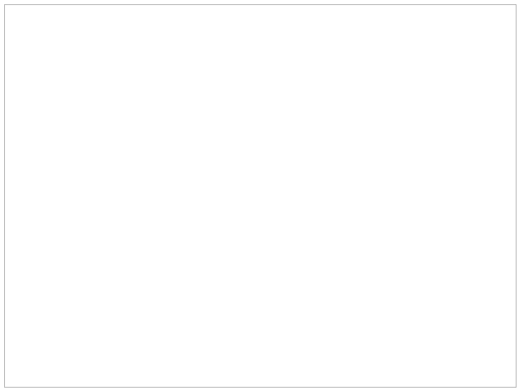
人間はその為に「創造という素晴らしい神の力」を与えられた地球で唯一の動物なのですから・・・。



2010.04.13 Tue

太陽神を祀る理由

地球へ転生した魂が、過去どういう星を経由してこの地球へやってきたのか？



全ての人間の魂がそうではありませんが、この答えに一番近い星の記憶が太陽系の星に居た時の記憶です。

人間に転生した魂には宇宙で色々な星の経験をした記憶があるからこそ、さまざまな過去の記憶を突然、思い出す人たちが昔からたくさんいますが、この夢のようなビジョンを明確に説明できる人が少ない為に「夢」として扱われたり、あなたの勝手な「空想」の世界だと言われ続けてきました。

その記憶は、漫画や映画を作る人たちにとって自分が思い出したビジョンを創造制作の世界で表現する最高の場となりました。

私自身が宇宙の星に居た時の記憶を思い出したは子供の頃ですが、自分でさえ見た内容が理解できない言葉や映像だからこそ、他人に話す事はできませんでした。

しかし十数年前に、ある書物を読んでいて太陽系の星の記憶について書かれた部分を見つけました。

当時の本に書かれていた内容は、この地球へ転生したある集合意識は、過去に経験した星の記憶を同じように持っていて今もその活動をしている人たちがいるという内容でした。

さらにその本には、水星、金星はもう魂の転生を終えて目的が達成できなかった為に、この地球へ転生したと書かれていました。次の転生先の火星人の魂はその事を知っているからこそ、この地球で目的を達成させる活動に手を貸していると。

この本では太陽系に転生した魂は水星に入り、水星・金星・地球・火星・木星・土星・天王星・

海王星・冥王星と転生していくと書かれていました。

この説は昨日、私が唱えた説の反対の内容ですが、この本を読んだ当時から私は疑問を持っていました。しかし確実な説明ができないまま十年以上も温めていた自論でしたが、沖縄本島で仲間に説明した瞬間、話した内容は私の記憶からではなく、神がその事を言葉にさせた事でわかりました。

「火星」は、もう死んだ星です。

火星から転生した集団は、火の神やアマテラスと言われる「太陽神」を祀りながら、世界中を東へ旅した民族の歴史があります。その土地によって色々な文明を起こしましたので、呼び名は違いますが、「太陽神」を祀っている種族のルーツは全て同じ魂の集団です。

ではなぜ、「太陽神」を祀って東へ向かったのか？

それはこの地球上で、魂の目的を果たせる為の場所を探し続けていたからです。

東の果て日本へ「太陽神」を運んだとされている「ヒミコ、火巫女、陽巫女・卑弥呼」については、色々な説がありますが、私が自分の足で全国の神々と対話した事で一歩一歩確信に近づいていますが、まだ全てを公開できる時期ではありません。

それにはどうしても「四国に隠された真実」を明確にしなければいけないからです。

声を大にして言いますが、私はこれまで皆さんが信じてきた物を壊す為に生まれた役目ではありません。

皆さんが大切にしたいものを守りたいからこそ、十年以上も個人で地球創世の活動を続けていますが、このままでは守るべき物さえ忘れさられ、いずれ消え果てしまう事は明確だからこそ、日本を守り地球を守る活動をする為に生まれた事を思い出した魂なのです。

その為に、「祈り」と全ての行動を神が導いてくれています。

ここでひとつ、「欲求」に善悪はなく全ては人間を作られた存在が与えたものであると言っておきましょう。だからこそ、人間に与えられた全ての「欲求」に制限をかける理由は、ある意識をコントロールしたい人たちの力が働いていると理解して下さい。全ての「欲求」を善としてとらえる心が育てば必ず、誰も否定しない、誰も苦しまない「完全なる自己責任の世界」へ導かれるからです。逆にその事を信じられない人たちは「今」を守る為に未来の可能性を壊している事に

も気付いて欲しいと思います。

地球へ転生した魂の真実は、こうです。

太陽系で言えば、火星まで転生した星の魂が今回、地球で目的を果たせなければ、残りの二つ（金星と水星）へ転生する計画で進められていましたが、二十一世紀からの急激な意識エネルギー上昇に伴って地球に転生した魂に残された時間も短くなりました。

同時に、金星と水星へ転生する可能性が低くなってきたと言えるでしょう。だからこそ、マヤ歴が終わる２０１２年を終末ととらえる不安なメッセージが溢れていますが、２０１２年ではまだ魂の終焉も地球の崩壊も起きません。

しかし、皆さんの意識が大きく変わらなければいけないような出来事が起きるのは事実です。

でもこういう情報が届かない人たちは、普段と何も変わらずに不安をまきちらし、目的や生きる意味を模索し続ける人生を送り続ける事になるでしょう。

大切な情報は求めなくても、必要な時に、必要な人に与えられるものです。

ですからいくら自分が求めても手に入らないのは、あなたにまだその準備ができていないと理解して下さい。色々な能力の違いも、ただ役割の違いと思って下さい。

全員が同じ目的を持って集まる事はあっても、同じ役割の魂はありません。ただある時期、同じ星にいた仲間が集まり、その集合意識でひとつの目的を果たす期間があるだけなのです。

ひとつの目的が達成されると、自然に人が離れていくのも次の段階へ移行する為に必要な手順なのです。そのまま止まるのか、そこから進化するのかも、今、守りたいと思っている概念を手放さなければ前には進めないものです。

集団から離れた時に、また一人で自分自身と向き合う時間が与えられます。集う事で覚醒した魂の情報を「完全なる自己責任」で行動する為の次の学びの時間です。

完全な「自己責任」を学んだ人は、一切、他人を批判する事はありませんし、陰口も言い訳もしません。どんな風に人に思われても、自分自身で目的を達成する事が魂の使命だと気付いているからです。

自分が言葉にした事は、必ずその責任を問われるのが「宇宙の仕組み」です。だからこそ他人に口にした事の責任を果たす為に誰かに気付かされ、また自分の言った事を果たす為に生まれてきたとも言えるのかもしれません。

現在、地球上で平和活動や地球を愛する活動、また私のように啓示を受けて「祈り」や対話を通して地球を再生しようとしている人たちはたくさんいます。

その全ての人たちの一番近い記憶として持っているのが、火星か金星の記憶と役目を持って活動していると言っていいでしょう。

「金星人」の特報は、イルカを愛し、自分の平安と自由をもっとも大切にしたがります。、博愛主義者・自由奔放人間・勝手気ままに生きていると思われがちです。

「火星人」は、自分の概念や価値観を理解されなけば、真実を話さない秘密主義者が多いようです。理由は大切な守る物があると信じているからです。他人を簡単に信じない人たちが多いのも特徴です。

でもお互いの目的は同じですから、出会った時には両者の気持ちを理解する努力が大切です。その為に、神が出会わせてくれている訳ですから。

過去、魂が記憶した星の情報の中で今の自分に必要な情報を呼び起こすセッションとして、アカシックレコード・アクセスセッションを数年前に始めましたが、このアカシックレコードのセッションを始めた理由は一人でも多くの皆さんに魂の役目を思い出して欲しいからです。

今から新しい五年間が、本格的にスタートしました。私は五年後をひとつのゴールに設定しています。

三年ごとのピッチで起きている大きな流れもわかっています。

今までの過去の感情や思いに囚われて生きていると、役目を果たす大切なチャンスを見失うほど、人間全体の集合意識エネルギーがさらにスピードアップしてきます。

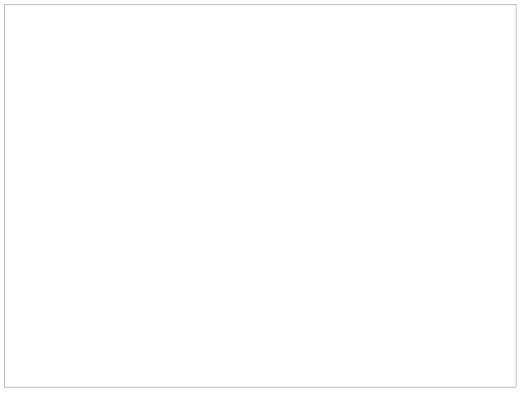
既成概念・囚われ・体験した記憶・過去のカルマ・自分の大切な物を守る為の攻撃・正論の主張・他者批判・言葉の責任・そして、無責任の責任を問われる事が多くなると伝えておきます。

日本民族がなぜ「アマテラス」を祀る民族になったのか、その目的は？そのルーツは？と問う時間があるのなら、どうぞ自分自身の改革と目覚めを即して下さい。いずれその事については、明確に理由を示すべき時期が来ると思っています。

私たち人間は肉体に与えられて時間が少ないからこそ、魂は常に向上するように設計されているのです。全ての囚われを外してあなたの未来の姿を創造してみて下さい。歓びにする為には、自分が今、何を気づかなければいけないのかをひとつでもいいので気付いて下さい。

現在、火星へ移住する計画が進められていますが、今日お話しした意味を考えれば皆さんの意識をどの方向性へ向けようとしているかもわかるはずです。

真実は、常に裏側で秘密裏に行われているものなのです。信じ込まされてきた自分の概念・価値観・常識をもう一度、問う事から始めて下さい。神は、あなたの心の内側にいます。



2010.04.11 Sun

牛頭大王（ごずだいおう）

4/5（月）、夜の交流会で今日の体験を仲間と話している時でした。今日の神事で行ったとある場所から「牛頭（ごず）大王」という名前を出しながら神人（カミンチュ）の体に神が乗ってきたので、そのエネルギーの読み取りを始めました。

※牛頭大王（ごずだいおう）、牛頭天王（ごずてんのう）と呼ばれる神については、ご自分でお調べ下さい。

お前たちは何をしにきた。牛頭（ごず）の海の神が怒っているぞ。それは、お前たちが起こしたのだ。それは、お前たちが開けたのだ。「牛頭（ごず）」という意味を知っているか？それはお前たちの体の中にあるものだ。その意味を正しく理解しろ。それができなければ、それ以上の事はできないぞ。その事をわからずに神事をしたのは誰だ！

その事をわからずにしたとしても開けた事は事実なのだ。だからこそ、お前たちはここに呼ばれたのだ。その事をわからなければ、私たちが本当の意味で働けないのだ。それができなければ、お前たちも魂の本当の役目を働けないぞ。

「目と鼻と口と耳の全ての意味」がわからないままでは、私たちの言葉を聞く事はできないぞ。だからこそ、その逆を開き空け繋ぎなさい。

どうしようかと思うならば、その者たちに告げる。お前が知っている紐を繋げなさい。目の担当、鼻の担当、口の担当、耳の担当、そしてそれ以外の「五感」と呼ばれる物もあるだろう。その意味がわからなければ、大切な事が動く訳はないのだ。どんな事があろうと、早くその事を理解し終えなければならない事なのだ。我々はその事に気付く存在が来る事を永い間、待っていたのだ。

「龍宮底神（りゅうぐうすくしん）」の本当の意味は、こういう意味なのだ。

動かした者たちの責任は、問うぞ。私たちは、その事を守り続けてきた存在だからだ。その事がわからないならば、意味さえわからずに死ぬ事になるだろう。だからその事の意味を理解し、大切な言葉を伝えなさい。

このメッセージを降ろしながら、すぐに神が言ってる場所はわかりました。奥武島（おおじま）の龍宮神で行った神事が、龍宮底神（りゅうぐうすくしん）を起こす神事になっていたのです。

龍宮底神（りゅうぐうすくしん）とは、海の底の一番深くそして高次元の神様がいらしゃる場所の事を言います。

このあと、メッセージの意味について仲間とシェアし合いました。いくつかの視点を含んだメッセージですので、ひとつひとつの紐解きが始りました。

１、まず、牛頭大王（ごずだいおう）の名前が出してメッセージを告げてきた事から、このメッセージの目的が「神仏習合」をさせる為に伝えてきた事がわかります。そして伝えてきた神は牛の頭をしている星から来た神だとわかりました。※八重干瀬（やびじ）祈りの宇宙からやってきた十二の神々の中にもその神はいらっしゃいました。

２、目と鼻と口と耳の四つの意味は、奥武島（おおじま）で行った神事の形を言い表しています。その時私は、神に聞きながら必要な場所へ必要な人を割り当てて祈ったからです。

?目に当たる場所を担当したのが関東から来た二人の女性ですから、関東の土地役目が顔の目の役目、つまり、全てを見通す霊視（れいし）の神役目がある事を示しています。

?鼻に当たる場所を担当したのが私ですから、北海道の神役目が全ての方向性を示す霊鼻（れいび）の役目がある事を教えています。

?口に当たる場所を担当したのが沖縄の神人（カミンチュ）とその弟子の関東出身の女性ですから、沖縄が口開きをして関東が語り継ぐ土地役目がある事を示しています。

?耳に当たる場所を担当したのが四国の女性ですから、大切な事を聞き伝えしていく霊聴（れいちょう）の役目が四国にあり、受け取ったのが沖縄の神人ですから沖縄には大切な事を聴き守る役目がある事を示しています。

?五感の残は「触角」ですから、九州が「触角」の土地役目である事がわかります。大切な物を感じる為の役目が九州に生まれた人の土地役目なのです。

龍宮底神（りゅうぐうすくしん）とは海の底の神ですから、地球の底から土地の役目を示しているとも言い換えれますので、このメッセージの意味はその土地に生まれた人が持っている土地役目を教えていると考えて下さい。

そして大切な事は、どれもひとつだけでは大切な機能が働かないと教えています。

「日本と言う顔」があったとしたら、全ての土地役目を理解しその神役目を紐で繋ぐように一つ

の感覚として働かせなさいという神からのメッセージなのです。

ここで大切な事は、初めて四国の話が出た事でした。四国が日本にとってどういう意味を持つ場所か私は知っていましたが、日本の為に四国を守ると宣言する人に出会った事がなかったので本当の事をお話する機会がなかったのです。

今回、宮古島の祈りから参加した女性が四国生まれの四国育ちで、さらに四国の四つの国守りもご夫婦で終えてから全国巫女ネットワークで地球を守る宣言をして下さっています。

しかし、宮古島からずっと彼女の様子を見ていましたが、神と対峙した時の反応がまだ本心を出せていないと感じていました。だからこそ今回、沖縄本島で大きな神と向き合う必要があると思っていました。

ここまでの説明を皆さんにした時に、四国出身の女性の意識に変化が起きたので、その場にいる皆さんにこんな質問をしました。

「二者択一の質問です。この地球を守る為に火星からやってきた魂と、金星からやってきた魂がありますが、あなたはどちらですか？」

四国の女性だけが「火星人」として手をあげましたので、学生時代に四国に住んでいた沖縄出身の出雲神主さんに、「あなたが学生時代に四国に住んだという事は四国の土地神様から呼ばれたという意味ですので、彼女のサポートをお願いします。」とお願いすると、ご本人は「四国に行く予定はあるけれど、そんなつもりはない。」と否定しました。

仕方がないので、「四国はもともと沖縄と同じ「火の神」を守っていた国で、この沖縄から伝わった大切な物を隠している場所がありますですので二人で一緒にその事を紐解き、本来の四国の神役目・土地役目を果たさせてあげて下さい。」とお願いしました。

すると、女性神主の守護存在からも合図が入り、結果的には快く承諾して下さいました。

すると今度は、四国の女性に神がかりが始って「それだけじゃない！」と男の声でしゃべり出しました。

すごく強い神エネルギーに乗られて辛そうなので、周りの女性たちが介抱しましたが、なかなか憑依した神は降りようとしません。仕方なく私が正しい守護ラインを繋ぎ直して正常に戻しましたが、先ほどの声の主が何か伝えたい事があるのはわかりました。

神人（カミンチュ）が先ほどの神の言葉の意味を解説し始めると、また彼女の中に入った神が暴れ始めました。

「そんなんじゃない！お前たちは何もわかってない！」

ここまで神に言われると私も怒ります。地球を守る人たちの魂の本当に意味、火星人と金星人の意味を話すしかないと思いました。

「火星は、もう死んだ星なのです。だから火星に居た魂は地球に転生して自分たちができなかった事をこの地球で果たす為に生まれています。

そして金星から来た魂は、この地球で目的を果たせなかった場合に魂が金星に転生する事を知っているからこそ、この地球で宇宙の大元の目的を果たす為にサポートしているのです。

地球を守る活動をしている全ての人たちが、火星か金星のどちらかの星の記憶を持ってこの地球にやってきています。」

この言葉を話した瞬間、四国の女性は椅子からずり落ちてぶっ倒れました。周りの人が支えましたが、神が彼女の口を借りてまたこう言います。

「よくわかったな！たいしたもんだ。さあ、酒をよこせ！酒を飲ませろ！」

この強い口調を聞くと、完全に土地神が怒った状態の強いエネルギーだとわかりました。よほどこれまで辛い思いを永い時間してきたのだと思います。

強い霊能力を持って日本と地球を守る為に神事をしている神人（カミンチュウ）と私は、四国が日本にとってどういう意味の場所かを知っていたからこそ、四国出身の人が立つのを心から願っていました。

一人や二人の霊能者が祈って動くような土地ではではないからこそ、誰も手を付けられない強い守りのエネルギーが今もあるのが、四国という土地です。

空海が、四国八十八か所の結界を作った目的も同じです。日本に伝わった大切な「魂の秘密」が四国にあるのを知っているからこそ、扱いは慎重にしなければいけません。

気をつけなければいけない事は、大切な神の情報はひとつの場所だけではわからないようになっ

ている事です。ジグソーパズルのチップを集めるように、その土地に残した物を拾い集めてこそ、大きな神の意思が見えてくるものなのです。

まだまだ地球に降りた全ての魂の為に、そして、日本人として生まれた魂の為に気付かなければいけない事がありますので、慎重に物事を進めながら地球に降りた魂たちの期限に間に合うよう神事を進めたいと思っています。

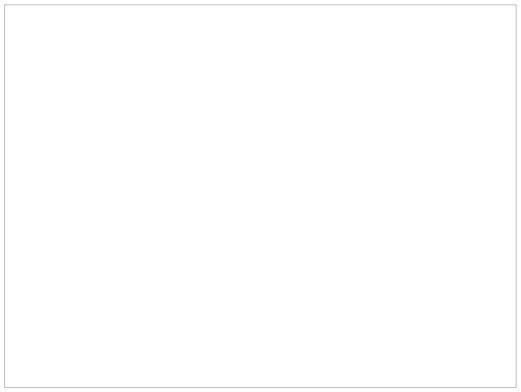
日本が北海道・本州・四国・九州・沖縄の五つの島に分かれた意味は、それぞれの島の神役目・土地役目があるからですし、その五つの島の大神を繋いで働かせる事で、地球に降りた全ての魂の役目・神役目が果たせように人間は生まれているのです。

今回のこの情報公開によって魂が目覚める方たちもたくさんいると思いますので、どうぞ、地球創世メルマガや全国巫女ネットワークにご登録の上、自分が生まれた土地役目を果たす覚悟を持ってご参加下さい。

あなたの宣言に見合うサポートをさせて頂きます。地球を私たちの手で守る為に生まれてきた事を思い出した方は　地球創世1000年プロジェクト　のこれまでの活動をよくお読み下さい。神々の繋がりと魂の役目を果たすあなたに！
2010.04.10 Sat

御霊洗いの神事

4/3（土）に宮古島のパワースポット石庭（いしにわ）も見学しましたが、詳しい内容は、こちらのサイトをご覧下さい。



宮古島を後にして翌日は、全国巫女ネットワークの三名を沖縄本島の仲間に紹介する為の食事会を開きました。沖縄本島の仲間たちとは半年ぶりの再会でしたが、2006年から数百ヶ所の聖地を一緒に回る本気の行動をした仲間だからこそ、魂の成長を心から喜び合える仲間です。

生まれた時から神や霊を見続けて過ごした辛く苦しい日々を乗り越えて、現在、神人（カミンチュ）という職業について神導きと人導きの仕事をしている女性に、今回の宮古島神事の状況を報告しました。

大きな神に向き合うと「その人なり」が出るからこそ、三名に何か気付きが得られればと思いセッティングをお願いしました。特に、一人の女性が宮古島神事の際に神に乗られて三度、倒れた事も気になっていました。

守護霊と守護神の状態は私もわかっていましたが、それ以外の何かがあると感じていましたし、神の道を数十年間歩き続けた人に逢えば、他の二人にとっても絶対に必要な気づきが得られると確信があったからです。

女性同士の話し合いの結果、明日は三人の巫女たちの為に「御霊洗いの神事」をして下さる事になりました。さらにもう一人、50年間神人（カミンチュ）の仕事をしながら昨年、仏教の住職の資格を取られた女性も参加して下さる事になりました。

この二人の神人（カミンチュ）は、2007年の天岩戸神事で大きな働きをしてくれた二人ですが、一人は沖縄の神様ルーツを永年研究しているおかげで知識の宝ような方ですし、仏教修行のおかげで彼女の心は御仏の心と同じになっていました。

通常、こういう神事の為にお願いしてもなかなか承諾してくれる方はいないと思いますが、自分の利を超えた行動をしてくれた二人の行動に頭が下がります。神事の場所は、沖縄南部と決まりました。

一ヶ所目は、火の神（ヒヌカン）と龍宮神（りゅうぐうしん）が祀られている「夫婦地（みーとうじ）」です。

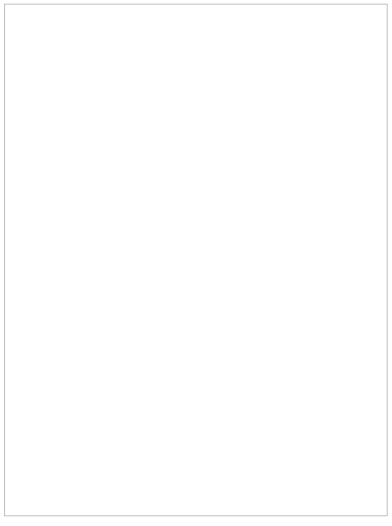
先輩神人（カミンチュ）は今日の為に朝早くから龍宮神へ祈る時の正式な供物を用意してくれていました。さらに、お昼に皆さんで食べるおにぎりやアーサーの天ぷらも早起きして準備してくれたそうです。

こういう姿にも、神の道を正しく歩いてきた人の心を学べます。今、全国で「自分なり」の祈りをする方が増えていますが、本来、「自分なり」の祈りなど無く、神の心と一体になって考えれば大切な祈りを決めた瞬間から神が喜ぶ為の準備に気付くものです。

それは「神」という概念の中に、聖地で向き合う大神の他に、一緒に祈りに参加する人たちも「神の子」として扱う「親神心」があるからこそ気付くものなのです。

「夫婦地（みーとうじ）」には、宇宙神との大きなパイプラインを繋いだ場所がありますので皆さんの魂を一番高次元の守護存在まで繋ぐ祈りを行いました。

二ヶ所目は、南部の与座岳近くにある「さざれ石」を祀っている聖地です。鳥居から先に入る事はできませんが、祈ってみると不思議なエネルギーの場所でした。

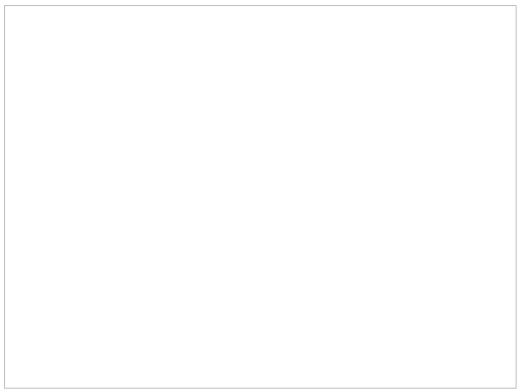


「さざれ石」は君が代にも歌われている通り日本にはとても大切な意味がありますが、日本で最

初に「さざれ石」を祀った場所として有名です。

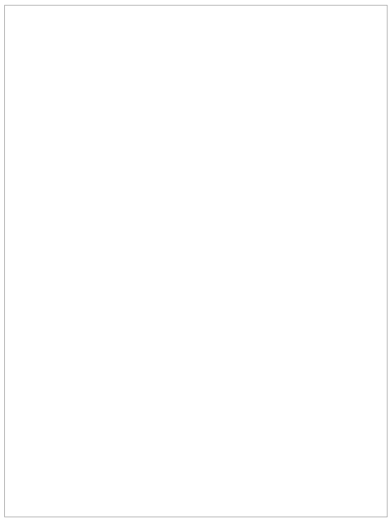
神人（カミンチュウ）にとっては宇宙からやってきた「天下り番」のエネルギーがある場所として案内されましたので、ここに繋がっている宇宙人と色々な話しをしました。

三ヶ所目は私の大好きな河の神様がいる「与座河神（ヨザカーシン）」です。数千年前から水を守っている神様は私たちの祈りに力を貸して下さる事を約束して下さいました。



四ヶ所目は、南条市玉城にある「奥武島（おうじま）の龍宮神（りゅうぐうしん）」です。この龍宮神の神が正しく働いていない事を聞かされていたので、100%の神働きができるよう全員の協力を得ながら何段階もの祈りをまとめて行いました。

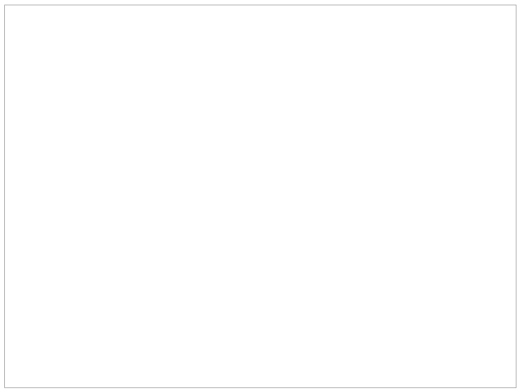
写真の岩は、大きな龍が天から降りてきて休む「龍座」と呼ばれている場所です。ここでは関東在住の二名に龍座を守る龍門として祈ってもらいました。



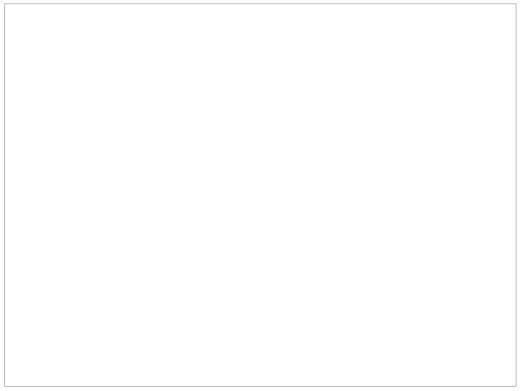
その右手にある二つの岩の方角から龍の子供が飛び立ったり、出入りする為の「龍ラインの入り口」があります。ここでは四国在住の神役目を持つ女性に祈ってもらいました。

そのラインの先には、龍の子供たちを受け止める母の岩もありましたので母神として産み育てる

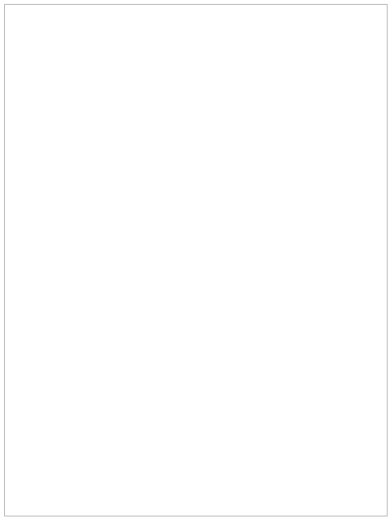
心を持った神人に祈ってもらいました。



左の先端は、この場所から世界へ繋ぐエネルギーを発信する大切な場所です。ここでは世界番の役目を持っている神人（カミンチュ）に祈りをお願いしました。

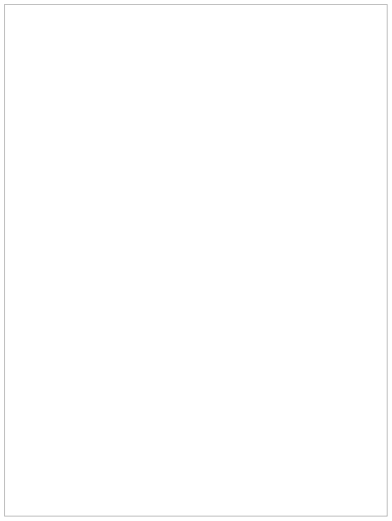


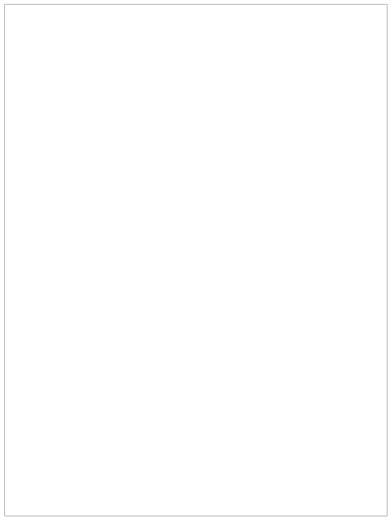
拝み場所の真後ろにも、この全てを裏守りする大切な岩があります。それぞれの人の魂の役目に合わせて、四ヶ所同時の祈りが始りました。



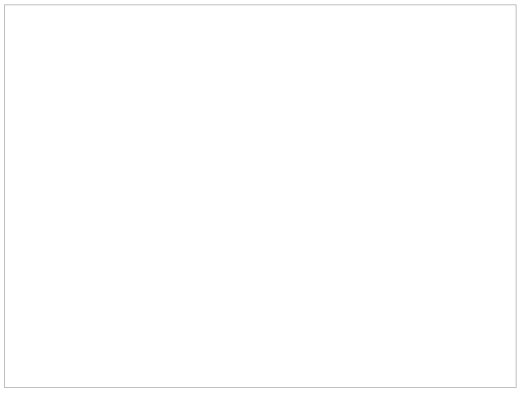
この祈りを終えると全員が体ではっきりわかるほど神々の喜びを感じ、魂の涙が溢れる感動の祈りになりました。しかし、この龍宮神を開いた事で想像もできない大きな啓示が降りたのは夜の交流会の時でした。詳しくは、後日・・・。

五ヶ所目は、米須にある夫婦の水神が和合している素晴らしい龍宮神の水場所です。男女和合の神様の場所は過去の思いの清算の場所でもありますので、心と魂の清めができる素晴らしい場所でした。

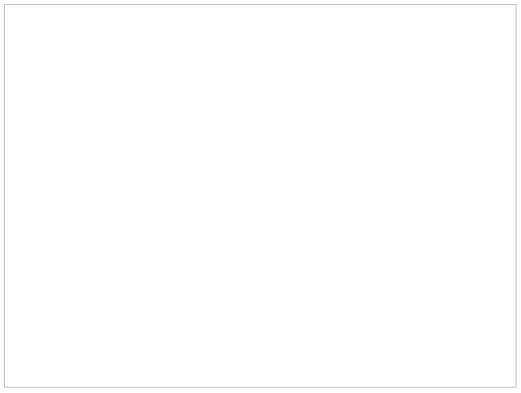




今回、神人二人に御霊洗いをして頂いた三名の女性たちです。



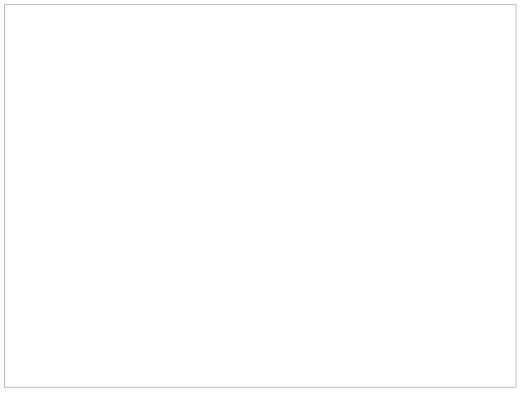
左から先輩神人＆住職、右が今回の神事の先導役をして下さった素晴らしい神人です。



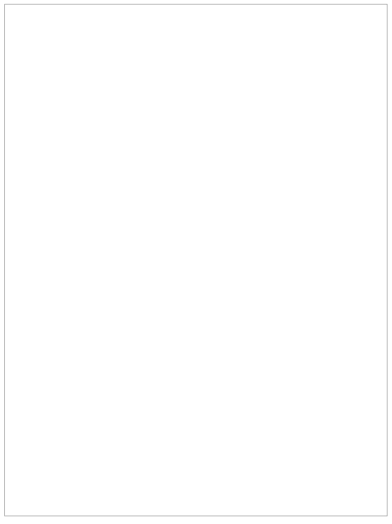
六か所目は、海へ真水が流れ込む「湾口龍宮神（わんぐちりゅうぐうしん）」の祈りです。

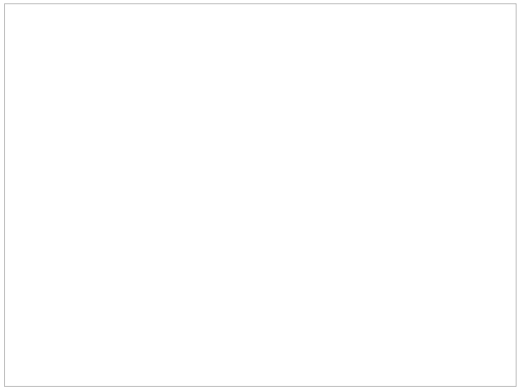
女性は全てを生み出す母神として生まれていますので女性という小さな視点だけではなく、子供を産んでいなくても全てを産み育てる母の心を学ばなければいけません。

命を生み出す種の「真水」と全てを生み出す「羊水の海」で、新しい命の誕生、つまり、新しい自分自身の再生を祈ります。



七ヶ所目は、波の上宮の真下にある龍宮神の祈りです。この場所は海の中から「火の神」を持ってきた君真物（キンマモン）にも深く関わりのある場所ですが、干潮にならないと入れない場所なので夕方の時間に合わせて祈りを行いました。



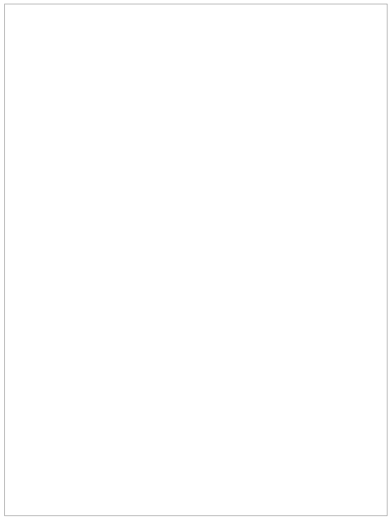


頭から全身まで海に身を沈めて、生まれ変わりの祈りを神人（カミンチュ）が行ってくれました。

最初、ここを守る大きな龍は人間の要望を聞こうとしませんでしたが、「この神子（かみんぐわ）たちのこれからの一心をどうぞ見守り支えてあげて下さいませ。」と大声で哀願する先輩神人の祈り言葉を聞いて、心を開いてくれました。

神は常に自分の心の中にあるからこそ、大きな神に向き合った時には、自分の神心にまっすぐ生きる宣言が求められます。

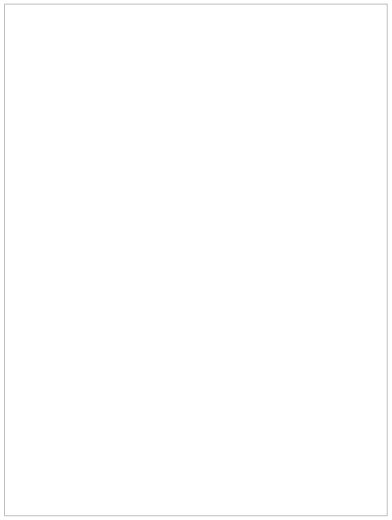
「いさぎよさ」と「新たなる決意」を持って、沖縄の地の神々に見守られる神子（かみんぐわ）の今後を見守りたいと思います。



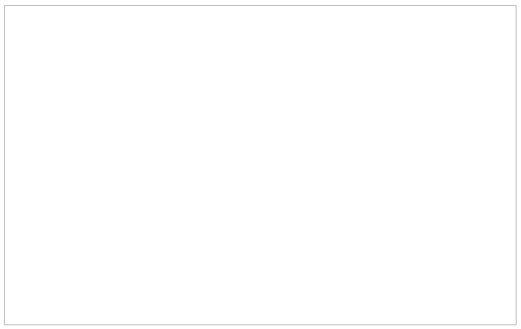
2010.04.09 Fri

大神島・ウハルズ御嶽・成川洞窟

4月2日（金）八重干瀬の祈りを終えた翌日は、宮古島の大切な聖地にお礼に行きました。最初の場所は宮古島の御嶽（うたき）全てを守る「大神島（おおがあみじま）」ですが、対岸の島尻部落の御嶽から祈りが始りました。

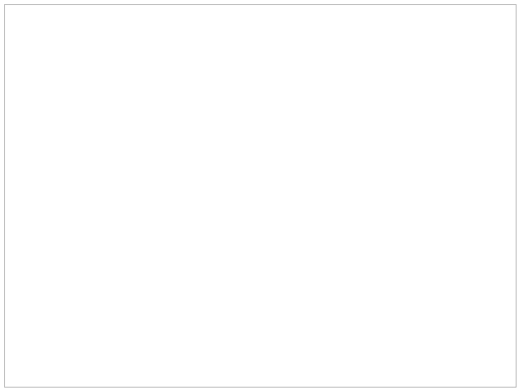


この御嶽で大神島へ渡る許可を頂く時に、神様が私に二つの丸い玉を紐で結んで「ふさ」が付いている物を下さいました。

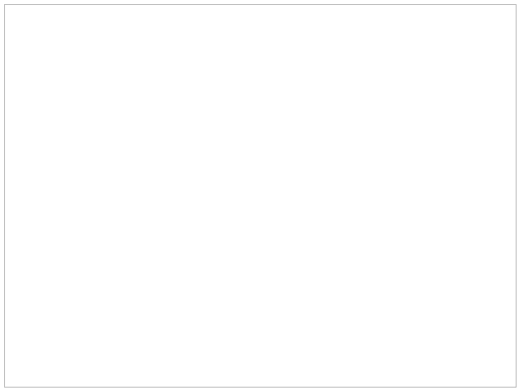


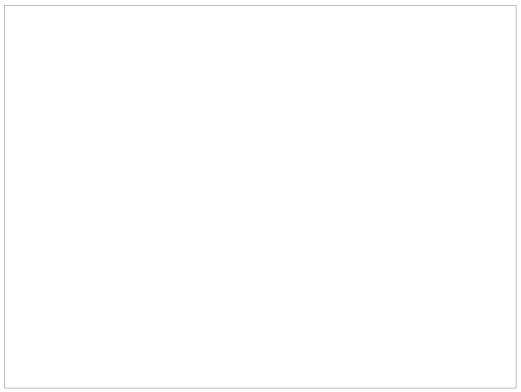
何に使うものかわからなかったので猪子さんに聞くと、「神様を呼ぶ鈴」だと教えてくれました。いつ使うのかは自然にわかると思いますので、魂の中に入れて船に乗りました。

船を降りるとすぐに大神島の港にある「龍宮神（りゅうぐうしん）」で祈りをしてから遠見台を目指します。途中にある井戸にも大切な神様がいらっしゃいますので、心を込めて感謝の祈りを行いました。



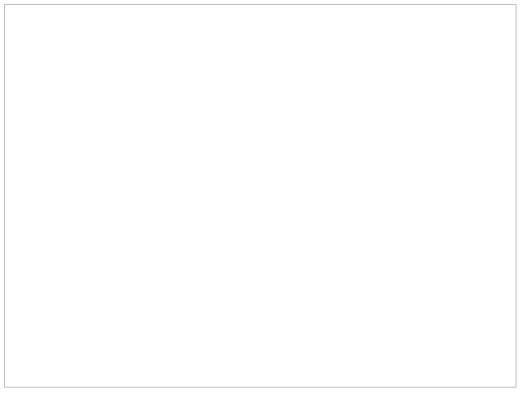
井戸の水が生活の全ての島でしたから、井戸水が少ない時には一日一家族でたった一杯の桶の水だけで生活する日もあったと地元の方が教えてくれました。この島で生きるという事は、とても厳しい生活だった事を教えてくれています。



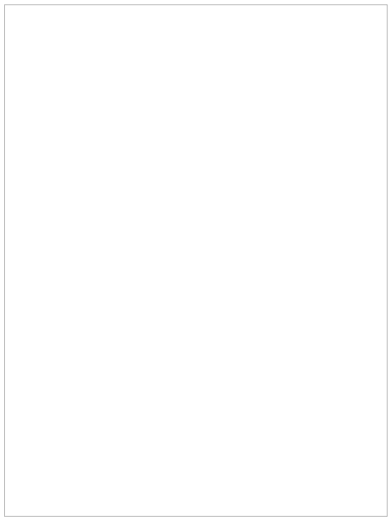


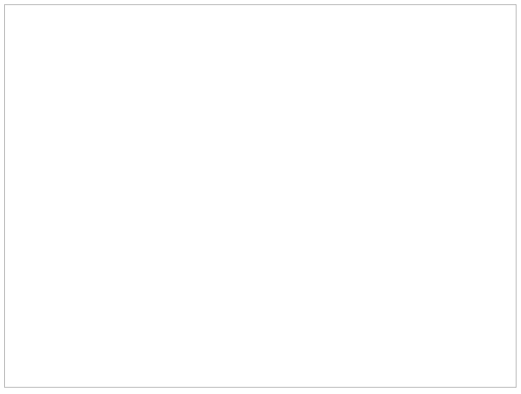
山の上にいらっしゃる神様の場所へ行く為に階段を登りますが、以前は、この階段も無く、ロープが岩にくくりつけられていたのをよじ登ったそうです。

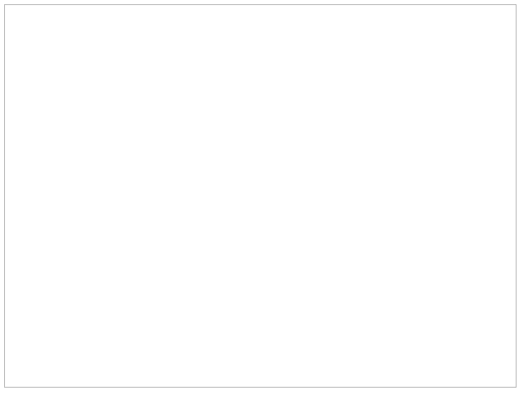
大神島を守っている司（つかさ）オバーたちは神事の時にロープを登って三日間断食をしながら祈りを続け、その最後に大岩に登って対岸の島尻部落と狩俣部落へ祭りの始まりをタイマツで知らせたそうです。

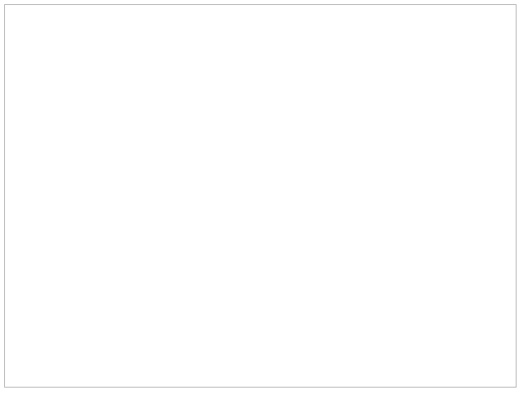


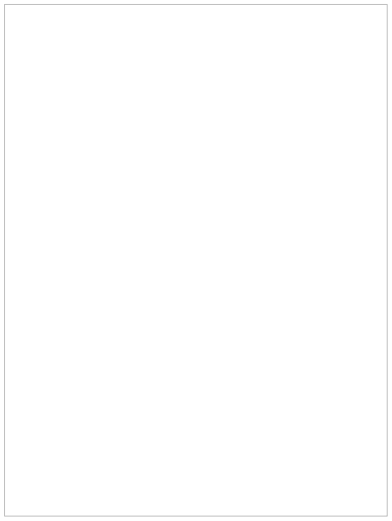
大岩の手前にある拝所でご挨拶をさせて頂いてから遠見台へ登りました。





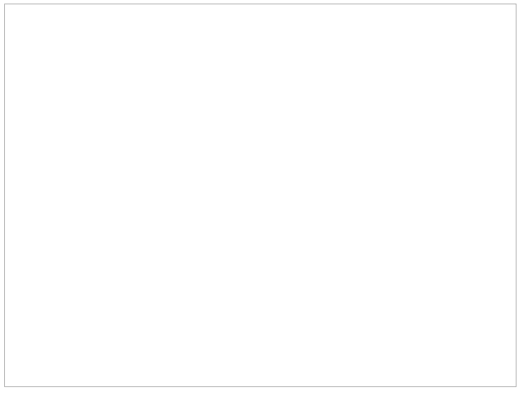


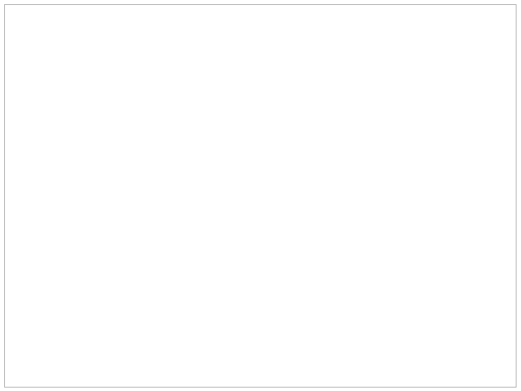




大神島には、行ってはいけない場所がいくつもあります。その説明をしていると一人の体に霊がかかり、本当の事だという合図が入りました。祈りをしている時の言葉は私の知識からの言葉ではなく、神様が話させている事が多い為にどうしてもそういう事が起きますが、誰がその役目になるかもその人の気付きになってきます。

昨年の龍宮神祭の時、大神島の上に島よりも大きい存在が守りに入りましたが、そのエネルギー体とこのご神体が一体になる祈りをする事になりました。この時に、先ほど頂いた神様を呼ぶ鈴を使った事を思い出しました。大きな赤いエネルギー体を感じた皆さんは、神と繋がった瞬間のビジョンを見たり色々な色を見せられていたようです。





現在の大神島の港には島の方たちが小さな売店を作り、貝殻などを売っています。大きなホラ貝を見つけましたがとても安い値段なのには驚きました。このホラ貝はサンゴ礁の天敵のオニヒトデを食べてくれるのですが、人間がたくさん取り過ぎて八重干瀬にも大きなホラ貝は無くなってしまったといいます。

海の中の生態系を崩しながら海の恵みを頂く仕事をしている人たちは、年に一度、海の神様へお詫びとお礼の祈りを欠かしません。海の恵みを与えて下さる神様を「龍宮神（りゅうぐうしん）」として祀る風習は沖縄全土で今も続けられています。

大神島から島尻港へ戻る船の上で、海の底の神様からメッセージが入りました。

はらいきよめの神の元　ひとつ うまれる

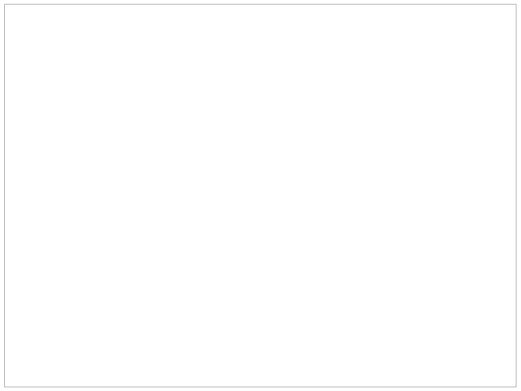
神が新しく うまれる　もうすぐ うまれる
海の中から　「うつろぎの神」 うまれる
うつむいたまま　身を崩し　心をかため　涙を流し
愛を忘れた人たちを守るための「うつろいの神」 うまれる

誰の心の中にもある孤独や寂しさ、その奥底の悲しい感情の全てを救いあげて下さる神様が誕生されました。

苦しい時、つらい時、寂しい時、人を恨みたくなった時、誰かのせいにしたくなった時、自分の心の奥底にある思いを感じながら「うつろいの神」の名を呼んで感謝の祈りを捧げて下さい。

あなたの心の奥底にある思いを全て受け止めて下さる神様が、「うつろいの神」です。手を合わせる場所は神棚でも仏壇でも、空でもお花に向かってでもいいのです。祈りはあなたの心が向き合う全ての物が、神仏の姿になって導いて下さいますから・・・。

池間島で食事をしてからウハルズウタキ（大主神社）へ向かいました。ここへ来るまで行く許可が降りるかどうか心配でしたが、神様は「許可」を下さいました。しかし、「禊（みそぎ）」だけはしっかりしてから入らないと島の人にご迷惑になりますので、全員の口と手足を洗ってから素足で鳥居の前に立ちました。



左右の門番にご挨拶すると以前は3名づついた門番が、6名づつになっているのには驚きました。これはここの神様の神格があがったという事ですが、言い換えると土地の人の祈りが強く支えている証でもあります。

猪子さんの話では、昨年このウハルズ御嶽の次の司（つかさ）オバーが決まったと聞いていたので、きっとその事が大きいのだと思います。

池間島の司オバーになるには、とても厳しいルールがあります。選ばれた人は年間１００日以上ある神事を全てにおいて優先しなければなりませんし、この任期中は、家族の不幸があっても島を出ることさえ許されません。

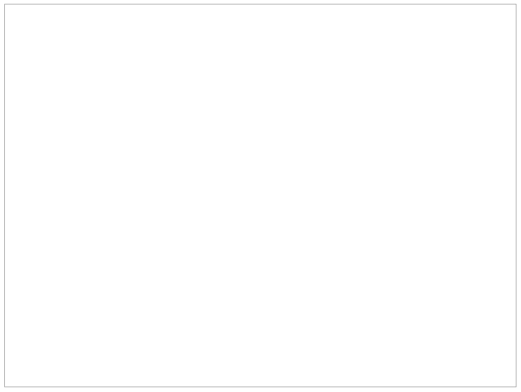
だからこそ日々一心に祈りを続けて神様に身を捧げる事が求められるの厳しい役目なのです。「ユタの三年修行」もそうですが、司オバーの任期中も人間のルールは通用しないほど厳しい三年間という時間が与えられます。

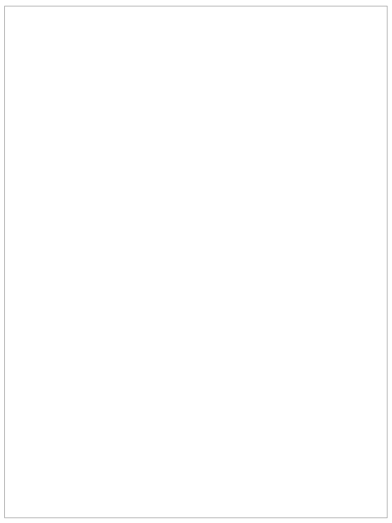
どの世界でも「石の上にも三年」と言われますが、私はこの解釈を「自分が決めた意思の上にも三年は辛抱して努めなさい」と神様から学んでいます。

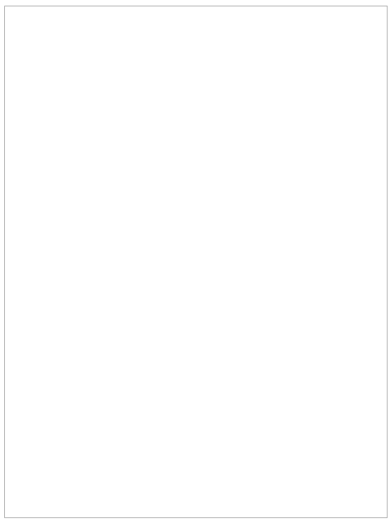
ウハルズの神様に祈りを捧げると、最初は男性の声で会話したあとに、最後に女性の声でやさしいお礼の言葉を下さいました。人間一人一人の無礼と非礼をお詫びしてご挨拶させて頂けた事に心から感謝致します。

予定ではこのあとに東平安名崎（ひがしへんなざき）へ行くつもりでしたが、風が強い為に「成

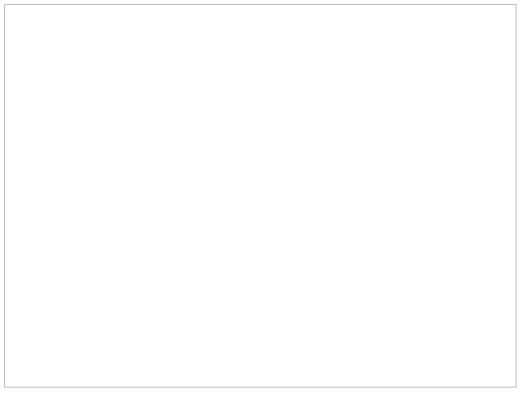
川洞窟（なりかわどうくつ）」へ皆さんをお連れしました。



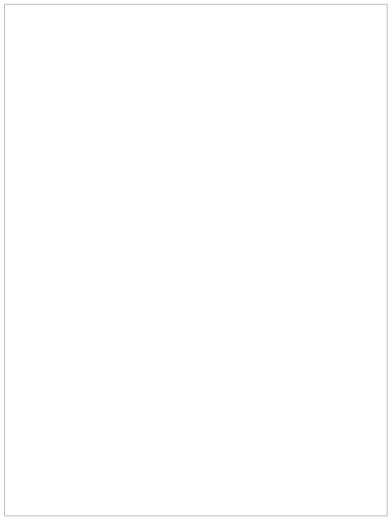


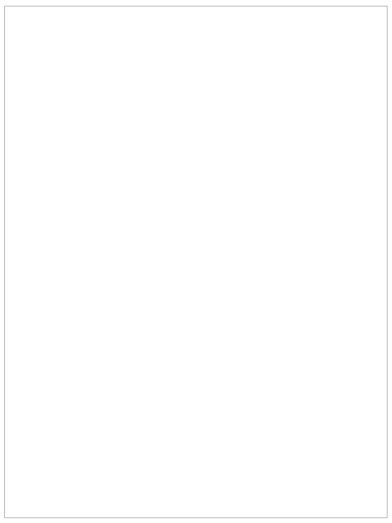


水が湧き出るこの成川洞窟は人間が生活したあとがそのまま残っていますが、戦時中は防空壕としても使われていました。当然、そこで亡くなった御霊も集まる場所ですが、大きな龍が守っている素晴らしい場所ですので感謝の祈りと水繋ぎをしてきました。



今回、奥に二匹の龍を見つけられた事が新しい発見です。この場所を大切に守ってくれている龍たちに心から感謝しました。





毎日の祈りで感じた事を話し合う「さにわ」の時間は、神と対峙した感覚を確認する大切な時間ですが、一人一人の神心を開放する時間だからこそ、普段、閉ざしている我欲の心も見え隠れする時間になります。

人間欲の見栄や嫉妬・執着の心が出てくると、誰かが誰かを傷つけたり、誰かが誰かを癒したりします。

こういう我神に向き合う時間をわざわざシェアする理由は、人間本来のあり方や神に向き合う心を自分で気付いて欲しいからですが、大切な事は誰かに感じた感情を相手にぶつけるのではなく、自分の心のあり方を問う気付きの時間にして欲しいのです。

自分にとって都合のいい人と都合の悪い人がいるならば、それは自分の心の中に「悪心と良心」の二つが居る事になります。

それを悪魔や神と呼んでもいいのですが、実は、その二つが全ての人間の心の中に居ますし、本来、その二つは同じ神の元から生まれた事に気付ければ、自分が許されたい・認められたいと思うよりも、他人を許し認めてあげる心の大切さに気づけると思います。

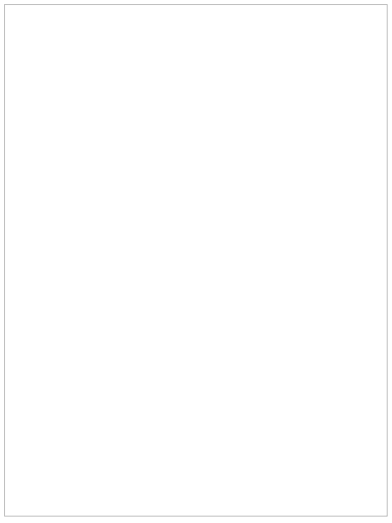
まだこの事に気付けない人は、永遠に自分にとって都合のいい人を探す人生を送る事になりますので、幸せや平安な心を感じる時間が少ない人生を送る事になります。

誰かに良く思われたいという我欲も、心の中で誰かを恨む我心も、実は、同じ「我欲の心」ですから、どれほど永い年月を神仏に向き合って祈りを続けた人でも、「本来の神仏の心」、つまり、「あなた自身の真我・神我」の心にはほど遠い心なのだと思って下さい。

幸せは、自分の「心の中の平安」から生まれます。何が起きても誰かにどんな嫌な事をされても、感情をぶつけあって生きるのではなく、「ただひたすら生かされている事に感謝する「神仏の心」を持つ事であなたは神仏の心に一歩近づくのです。

神のメッセージが見えたり聞こえたりする人が、素晴らしい人間なのではありません。、それは時々、神役目をしなければいけない人に与えられた役割みたいなものですから、人間の修行は生きている限り一生続くと思っています。

皆さんにお伝えしたい事は、「神が喜ぶ人間」とは自分自身がどういう心で生きる事なのかをあなた自身で考えて欲しいと思います。誰もが持っている神心と仏心に向き合う時間をどうぞ大切にしてお過ごし下さい。



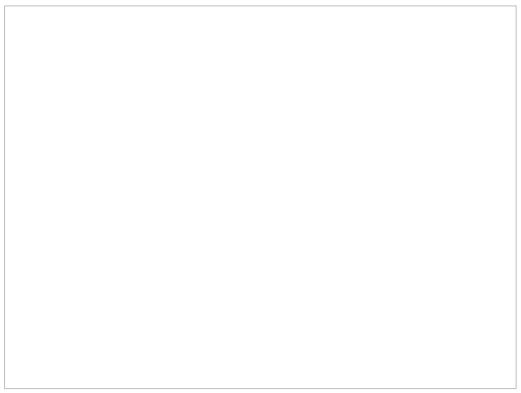
2010.04.08 Thu

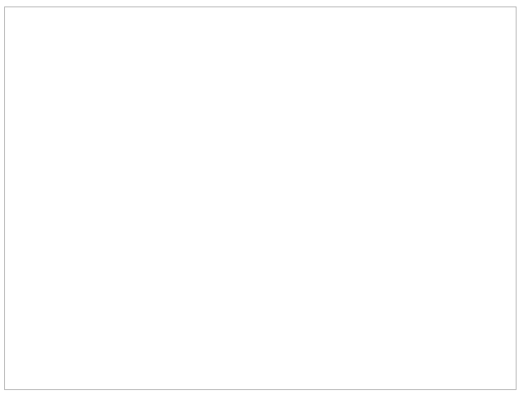
2010年　八重干瀬（やびじ）祈り

私が神事や祈りをするようになった原点は2004年に伊良部島で白龍を見た事がキッカケですが、宮古島の北に浮かび上がる八重干瀬（やびじ）の祈りも今年で5年目を迎える事ができました。

宮古島から船を出している宮古フェリーの方に話を聞くと、2012年に橋が完成すると翌年くらいに「宮古フェリー」も「はやて海運」も営業を辞める事が決まっているそうです。船の年間維持費が莫大にかかる為に八重干瀬（やびじ）の為だけの営業はできない事が理由だそうです。

2013年以降に八重干瀬（やびじ）に行きたい方は、自分で船をチャーターするしか方法が無くなると覚えておいて下さい。私の八重干瀬祈りツアーもいつまでできるかわかりませんが、全ては神の計らいと天にお任せしています。





2010年4月1日（木）　旧暦2月1日

八重干瀬（やびじ）へ行く意味やキッカケも年ごとに変わっていますが、今年は宮古島トライアスロンと日付が近い為にこの日程になりました。八重干瀬ツアーを企画してくれているホテルてぃだの郷も、宮古島市との新しい5年契約の更新が正式に決まり、この日から新たな気持ちで営業を続けます。

前日の龍神祭が終わった夜、全員に八重干瀬へ臨む心構えの話をしている時に、私が受け取ったメッセージを皆さんに伝えました。

?3/30　千歳空港を飛び立つ時に受け取ったメッセージ

本国の隣りにある島だが、この島の中で開発されている物はとても大きな危険をはらんでいる。
それをお前たち人間がどのようにしようと思っているのかを見守っている存在がいることを知らせたいと思い語っている。我々が守るものは、宇宙の調和であり、そして、お前たちが住む星を含む惑星群三つを守っている存在だ。
その事を知る者はあまりおらず、我々は永い時をここに居る。
「居る」というよりは「そのもの」と言ったほうがわかりやすいか？
それはお前たちがまだ理解していない見えないエネルギー体の意識の事だからだ。
その中に居ることすら気付かず、実体しか見ないお前たちこそ、本当の事を知らない「忘れた種族」と呼ばれている。
皆の話を聞くと、どうやら大きな方向転換が必要な時期にさしかかっているようだな。それは我々にとっても好都合である。理由は、宇宙空間においても同じような事が定期的にあるからだ。
それを浄化と呼ぶのは勝手だが、そもそも宇宙に設定された「自動クリーニングシステム」だと理解してほしい。
それが組み込まれているからこそ、何が起きても宇宙空間に「無」は存在しないのだ。

?3/30　羽田空港を飛び立つ時のメッセージ

この続きは、またの機会にしよう。
今、あなたに知らせたい事はこの旅が新しい旅、つまり「新しい始まり」になるという事を知っておいてほしい。
それがどういう意味かはわかっていると思うが、また新たな出会いと気付きによってあなた自身が変化し、「新らたなる自分」に気付くことだろう。それは今まで生きた人生の意味さえも変える出来事やキッカケが与えられ、全ての始まりのステージアップの完了を示している事になる。
あなたの意識の中にある神は我々と同じ、それ以上の神々がおられるからこそ、私たちはするべき事をし、導いているのだ。
「無に等しい存在」が現れる時、この世（地球）の見える物や感じる物が変わる事を体験するだろう。
その瞬間がいつなのか、あなはた知っているはずだ。（※2012年12月12日12時12分です）
この意味が何を示しているのかは、わかる順番に気付きが降り行動を始めるだろう。
「世界を統一することは不可能である」、だからこそ「自らの統合」を急がせているのだ。
内在する神と外在する神、自分と他人、その統合こそ私たちが望んでいることだ。
「他を知り、自を学ぶ。自を悟り、他に与える。」
これは神が創造し与えた物だと知りなさい。
あなたが言う神ではなく、「大元の神」の事だ。

「意図されるものの意識こそ、神の意思とありたまえ。」
心を感情で表わすのではなく、愛の行動で示す人たちが増える事を臨んでやまない。

?3/30　那覇空港から飛び立つ時のメッセージ

「大いなる尊王玉守（そんのうぎょくしゅ）」

王、玉を持ち賜ひて候。
その玉、智の玉、栄の玉、録の玉、金と銀の玉あり。
与えられし者、その玉守りし受け継ぐ役目も任う。
ひとつ、「宝玉の玉」授ける。これ宇宙の神たちが守る玉なり。
その玉授かりし者、皆を豊かに栄えさせ、命と共に守り継ぐ魂を導く者。
「宝玉の剣」と共に国栄え、民栄えと計らむ。
剣と玉、共に持ちてこそ全ての証となる。
「尊偶万寿、時すでに来たり。」　　心得よ。

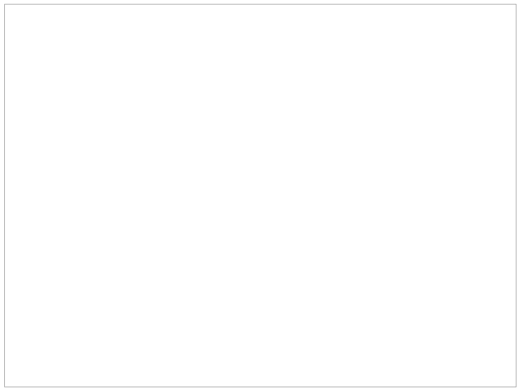
平良港出発時の天候は曇り空でしたが、八重干瀬へ着いて祈りを始めると雲が開き、天の光が差し込みました。船が下船の準備をしているまでの時間にものすごいエネルギーが体にかかり、神との対話が始まりました。

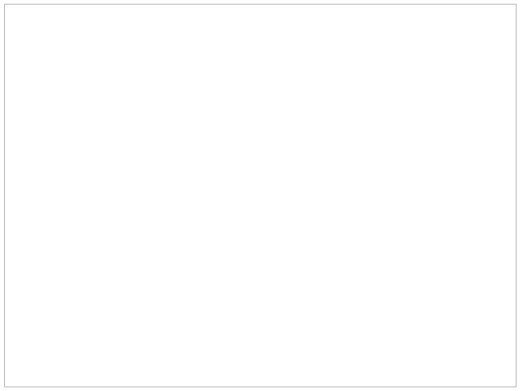
はじめに・・・、いつもの事だからと安心してはいけないぞ。
その多くの神たちがお前を待っている。だから何をどうしたいのか、何をするのかハッキリさせなさい。海の向こうからやってくる神々や空の果てからやって来る神、そして、地の底からやってくる神が集まるのだ。
その時の「神の座」の事を考えて準備しなさい。宇宙の大神たちは、すでにその事を待っている。「その時」がくれば、わかると思うが・・・。

この言葉を聞いてすぐに自分の内在神と対話をした結果、「地球を守る」という言葉が湧きあがりましたので、その決意を持って八重干瀬（やびじ）に降りました。参加者全員にもこのメッセージを見せて一人一人に決意を明確にして頂きました。

そして,
私の役目は宇宙の神々が集まる場所へ「御嶽の神」、「龍宮の神」、「ウハルズの神」を運ぶ役目だった事も思い出しました。

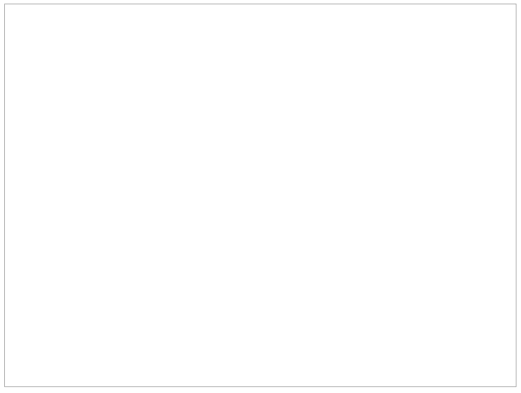
宮古島にいらっしゃるこの大きな三神を連れて八重干瀬に降りた場所は、2006年と2007年に降りた八重干瀬全体の胴体に当たるでした。

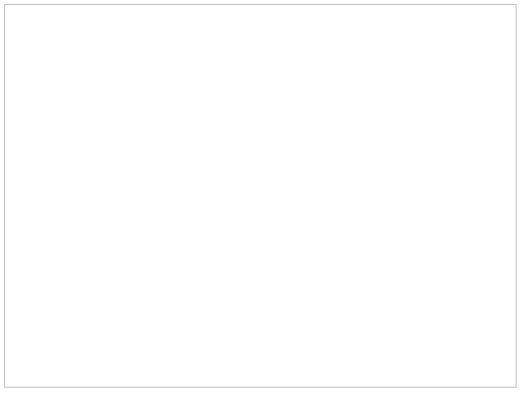


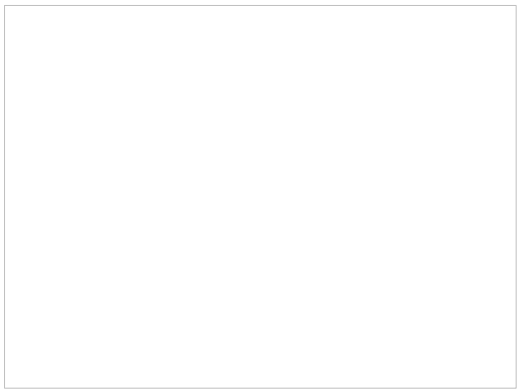


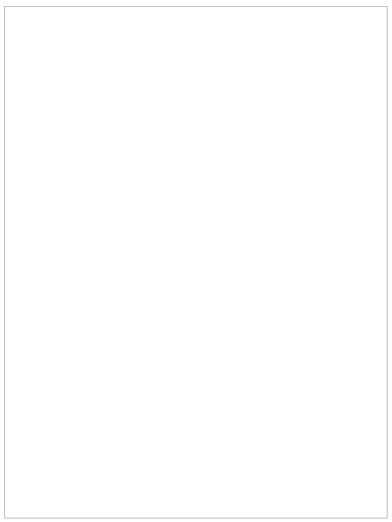
今回はハッキリ宇宙の神々が十二神来ていらっしゃる事がわかりましたので、体に乗せてきた三神を加えて十五神の宇宙の神々と一緒に宇宙の大元へ向けた祈りを行いました。

最初に大神島へ向けてこれまでのご報告と繋がりを示す祈りを行いました。次に、鬼門（東北）を向いて鬼門を開く祈りを行いました。これは今回の祈りが「新しい始まり」の祈りだからこそ、2006年の時と同様に鬼門を開いて宇宙の大元まで宣言する祈りが必要だったからです。

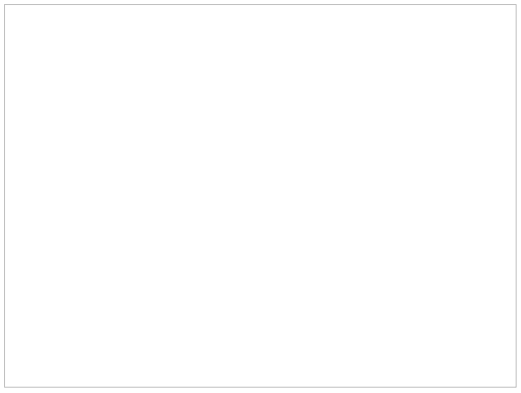




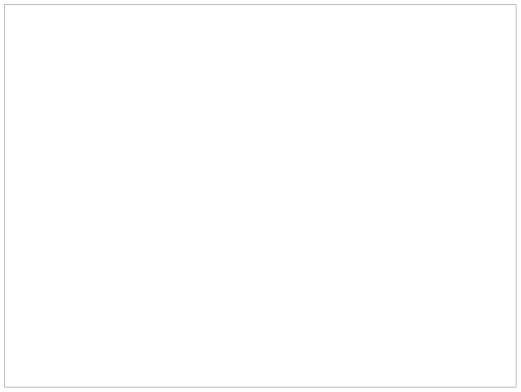




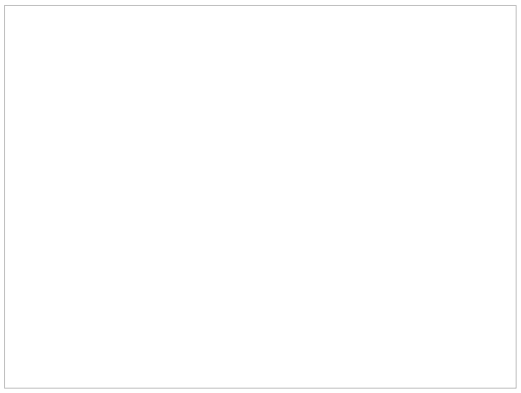
神は光と共に全員へ必要なメッセージを与えて下さったようです。私は自分の役目を果たしたあと、2007年に素晴らしい円陣を組んだ青い海の場所を探しました。少し形は変わっていましたが、海の底の神々に繋がる場所を見つけました。海の中はこんなに美しい世界が広がっていました。

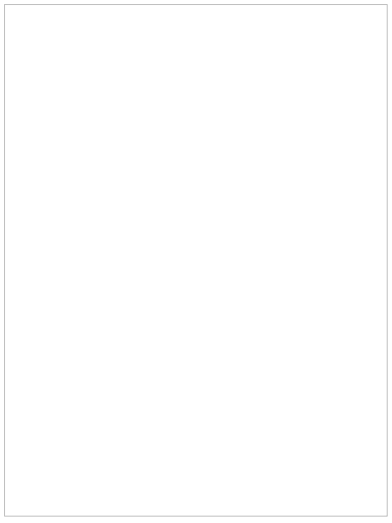


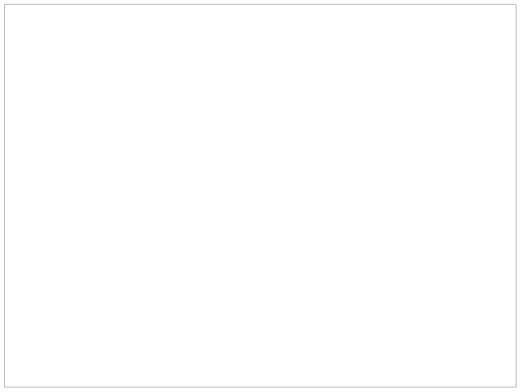
還暦を迎えたシンガーソングランナーさんは、祈りの後に八重干瀬の海へ飛び込んでその美しさを目で見てきてくれました。ものすごい数の熱帯魚が、八重干瀬のサンゴ礁を取り囲んでいたと話して下さいました。



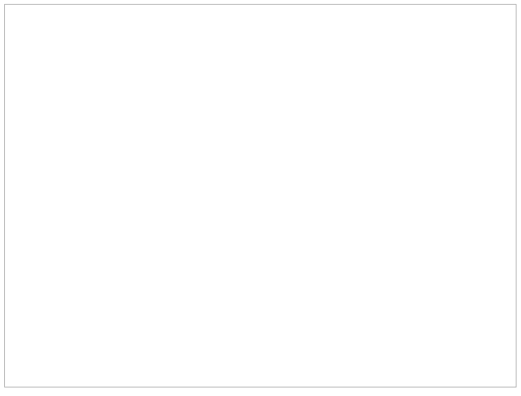
私たちと一緒にホテルてぃだの郷に泊まった福岡県のお坊さんたちも、大いなる神へ向けて祈りをしていました。形が違っても目的は同じだという学びを全員が共有できた出会いに心から感謝いたします。

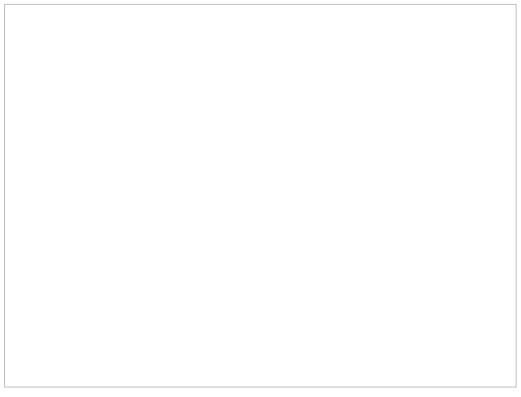


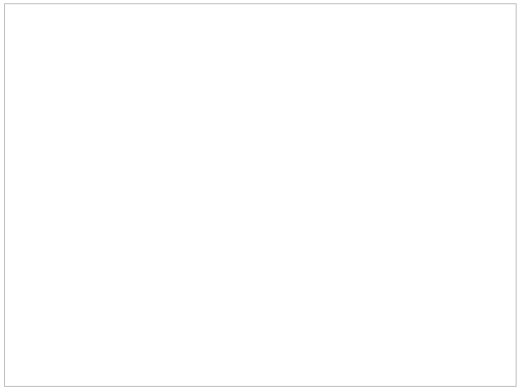


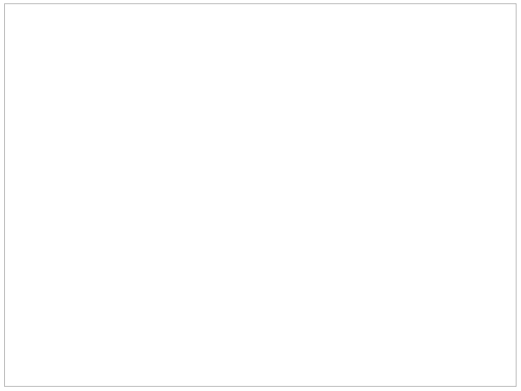


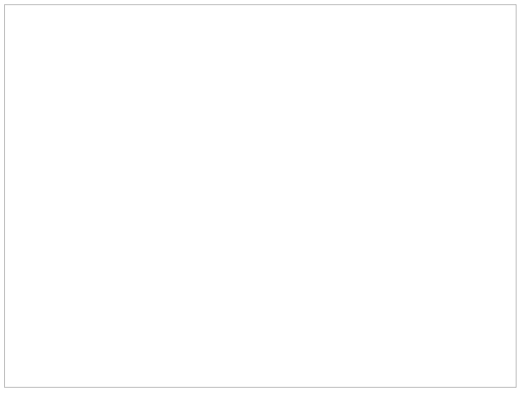
船に戻ると、祈りのあとの「なおらい」を皆さんで楽しみました。歌や踊りに祝い酒がぴったりの時間です。27年目を迎えた八重干瀬の船も今年は２００名ほどと少なかった為にリラックスして乗れた事もありがたいと思いました。

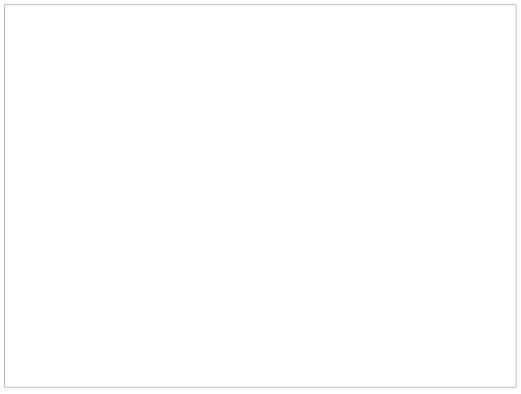


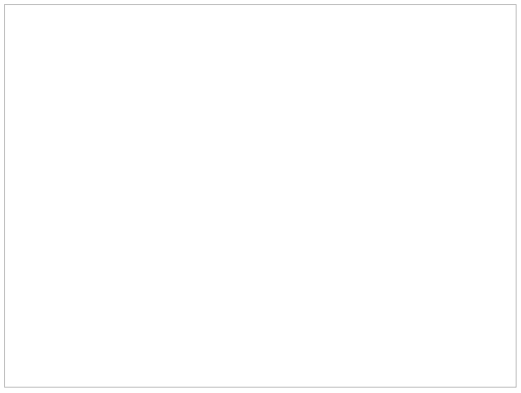












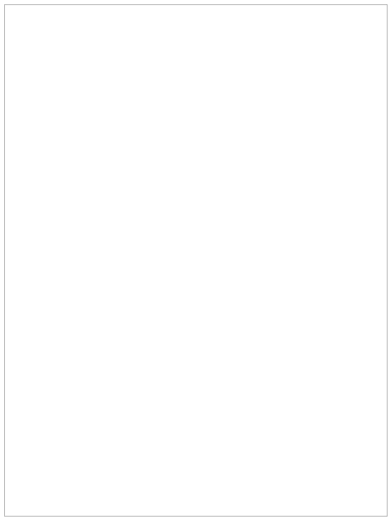
暖かい心でもてなしてくれた宮古フェリーの皆さんにも心から感謝しています。「二男、いつもありがとう！」従業員の方の中にも私のブログを呼んでくれている方がいて感動しました。私を育み育ててくれた大いなる母の土地が、宮古島・伊良部島・沖縄です。心からありがとうございます。

2010.04.07 Wed

2010年　南の龍神祭（伊良部島）

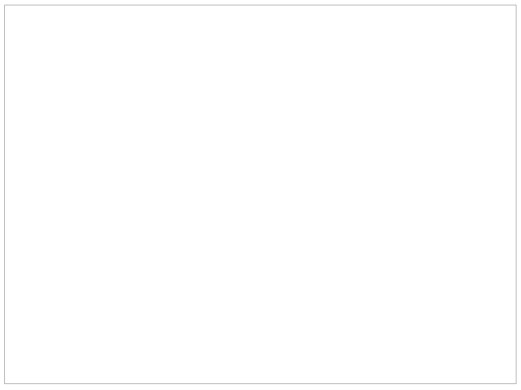
つい先ほど沖縄から戻ってきました（〜〜）今回は、伊良部島・宮古島・八重干瀬（やびじ）・沖縄本島でたくさんの皆様と一緒に祈りを行いましたのでご報告をさせて頂きます。

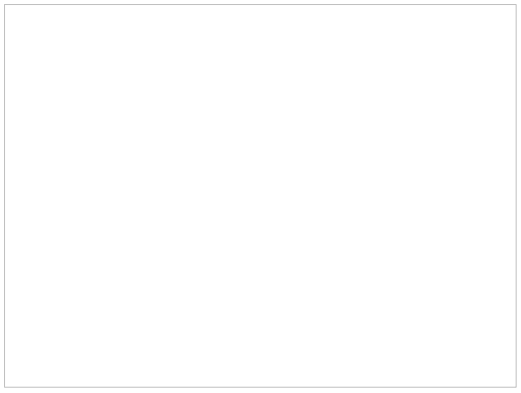
宮古島に入ると必ずご挨拶をする御嶽（うたき）が、「ハリミズウタキ」です。旅行者でも唯一、入っていい御嶽ですので全員でご挨拶をしてから伊良部島へ船で渡りました。



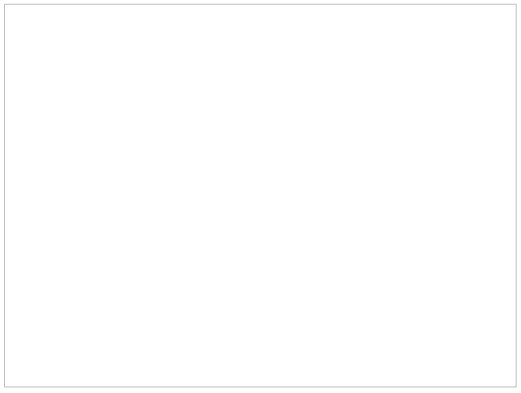
3/31（火）　南の龍神祭（伊良部島）

三年目になる龍神祭は日本の北から南まで繋ぐ大切な自然神を繋ぐ祈りとして行っています。三年前に神様が新しく降りた場所を今回初めて公開致します。

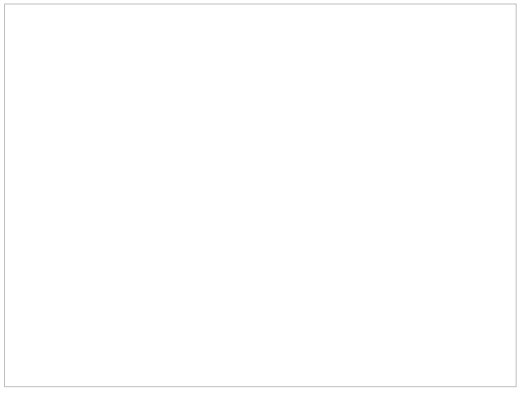


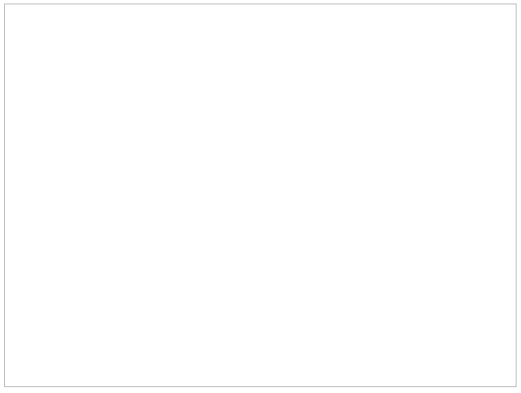


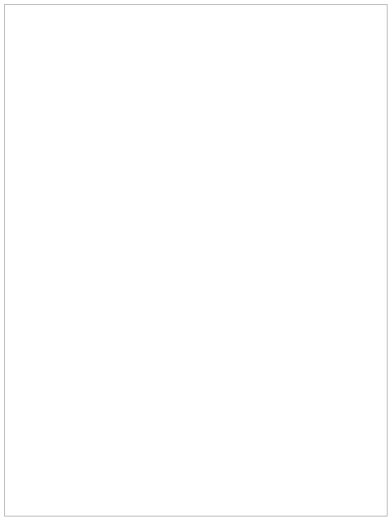
朝一番の祈りは「聖地　なべ底」からですが、通り池の入り口には神様の化身の白い鳥が私たちを待っていてくれました。

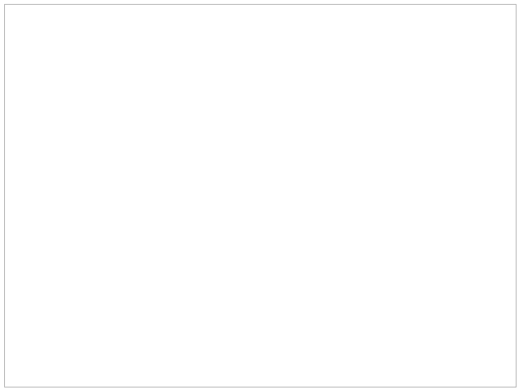


聖地なべ底は「生まれ変わりの儀式」ができる大切な場所ですが、神様がとてもたくさん集まっている為に挨拶の場所を知らないと大変な事になる強いエネルギーの場所でもあります。正式に祈りをしてから「生まれ変わりの儀式」が始りました。



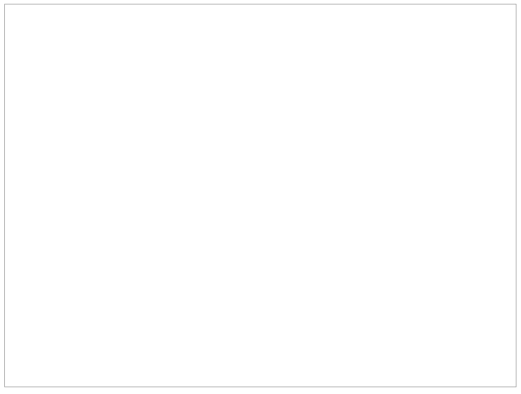




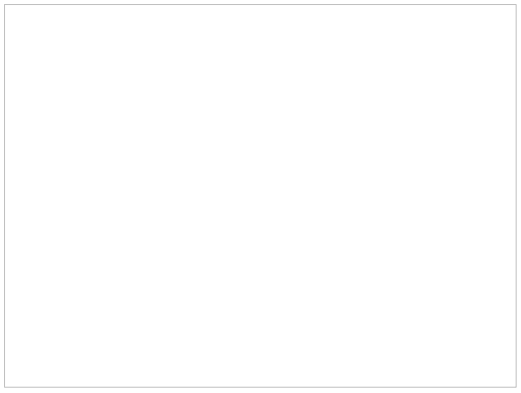


午前中いっぱい禊（みそぎ）をしてから、午後は、伊良部島の北にある「沖のカナメの尊」が降りた場所で祈りました。

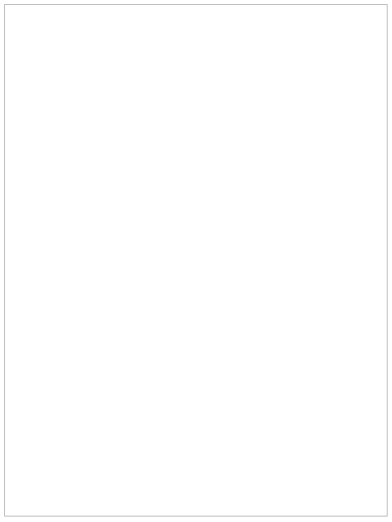
今年中にはこの潮吹き岩が開くようですので、その時には盛大にお祝いと祈りを行いたいと思っています。「龍の空気穴」と言われている別名　スーフツミのこの場所は、昔から龍の聖地としてユタたちに知られています。

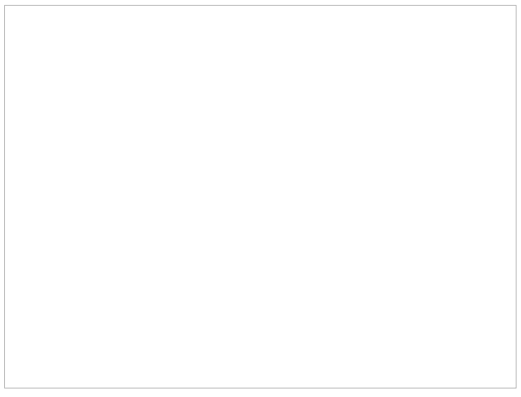


次は、伊良部島の東にある港を守る「ミナトミライ」の神様が降りた場所の祈りです。神様は私たちの祈りをとても喜んでお礼の言葉を下さいました。



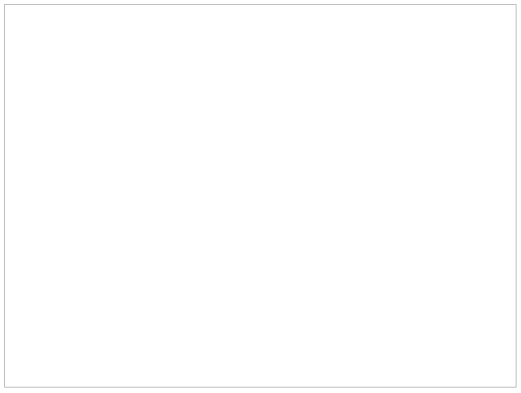
次は、南東に位置する「ヤマトブー大神」様の大岩です。この大きな岩自体が御神鏡として世界中へ神のエネルギーを放っています。全員が神と一体になる祈りを捧げました。祈りのあと、神様は御光（みひかり）を持って喜びを表して下さいました。

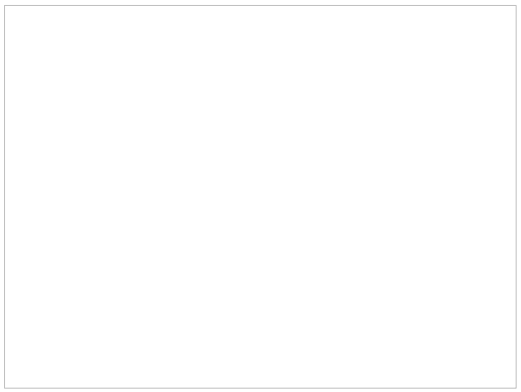


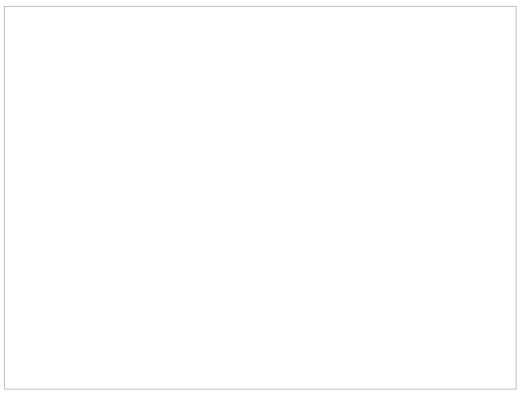


2012年に完成予定の宮古島と伊良部島を繋ぐ橋の美しい浜は、伊良部島の「英雄ウズヌシュ様」が打ち上げられた浜として有名ですが、二つの島を繋ぐ神として「沖の龍宮神」という神様がご降臨されています。

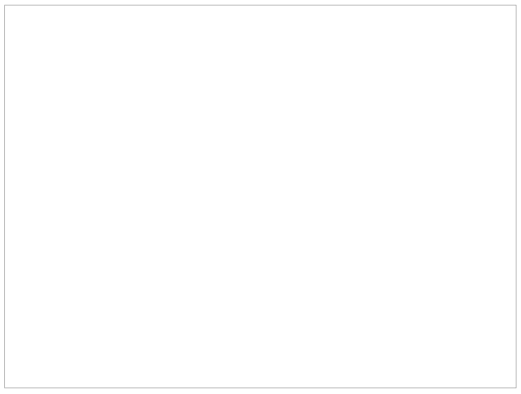
ウズヌシュ様の気持ちを浜で感じてから御霊を祀られている石碑と比屋地御嶽（ピャーズウタキ）で祈りを行いました。



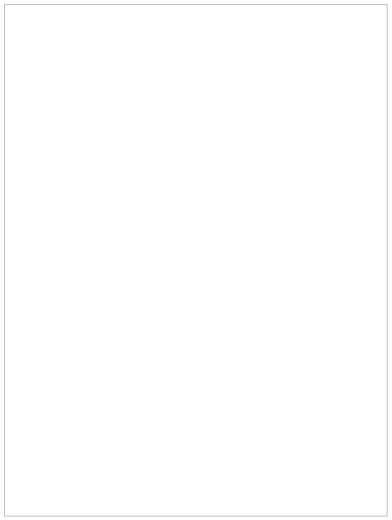




いつもながら地元の方が捨てた神道（かみみち）のゴミを拾わせて頂くありがたさに感謝いたしました。「拾わせて頂く事で神様へのご奉公ができます事を心から感謝致します。」

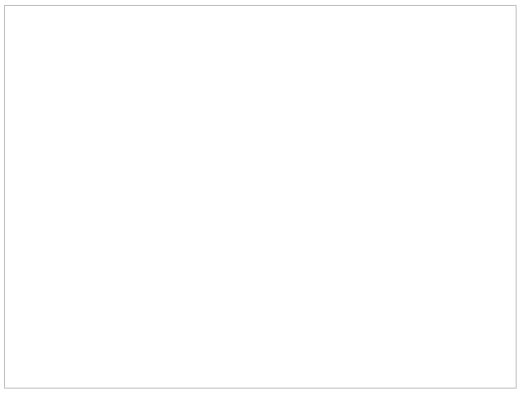


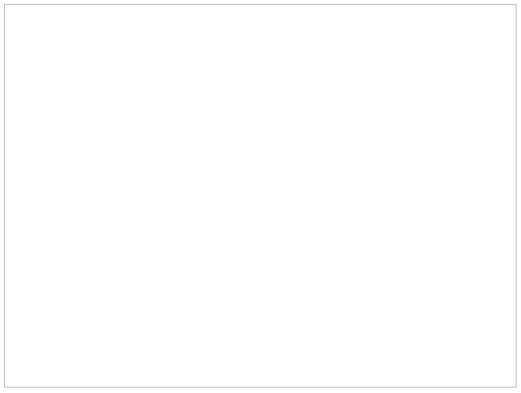
伊良部島全ての御嶽（うたき）の元になっている神様がおられるのか、この比屋地御嶽（ピャーズウタキ）ですので、心からお礼祈りをさせて頂きました。

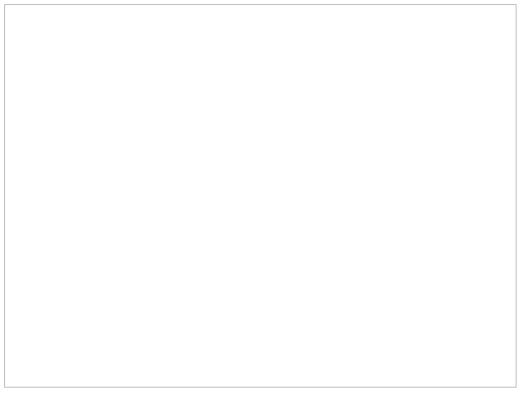


伊良部島の南を守る神様は、乗瀬御嶽（ヌーシウタキ）の神様ですが、現在、建物と鳥居を新しく作っている最中です。今回、驚いたのは閉じられていた御嶽として有名な中国・シナ・台湾に繋がる御嶽が初めて顔を見せてくれた事です。

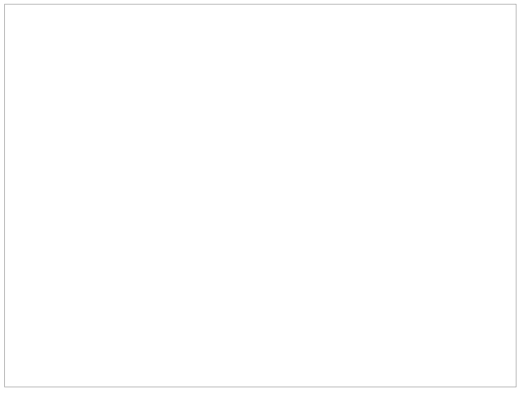
詳しい話は聞いていませんが、昨年秋に訪れて一人で祈りをした時に、「中国・シナ・台湾の神様との繋がりが復活しました。」と神メッセージを頂いていたので、乗瀬御嶽（ヌーシウタキ）の神様同様にこれからも大切にしてくれる事を願っています。





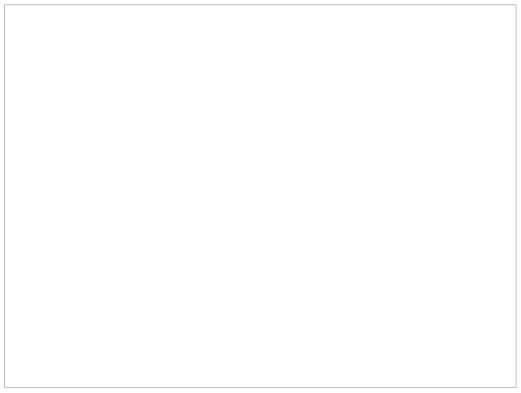


最後の場所は、昨年の「龍宮神祭」で宮古諸島全ての龍宮神（りゅうぐうしん）をまとめた佐和田の浜の神様ですが、伊良部島全ての中心となって島を守ってくれています。



神導きで出会った12名の方たちは、生まれて初めて体験した神事の感動を夜遅くまで語り合いました。さあ、明日は5回目の八重干瀬祈りですので、気を引き締めて神様の場所へ出発しましょう。

今日の天候と全ての神計らいの出来事に心から感謝致します。



2010.04.06 Tue

2010 八重干瀬（やびじ）祈り予定

宇宙の神々に繋がる場所、幻の大陸　八重干瀬（やびじ）祈りに、今年も全国からたくさんの方が参加されます。

2006年から始まった八重干瀬（やびっじ）祈りも5年目を迎えますが、八重干瀬の前日には伊良部島の聖地を巡る「南の龍神祭」も行います。

沖縄の青い海と空を思い出して祈り合わせをして頂ける方は、どうぞこの二つの祈りをイメージして沖縄の神様エネルギーを感じて下さい。

人間に恵みを与え続けてくれる自然界の神々に感謝する「南の龍神祭」は、北海道　然別湖（しかりべつこ）で行う「北の龍神祭」と合わせて、日本の自然界エネルギーを守る為の大切な祈りとして行っています。

伊良部島の自然の美しさや人の温かさは、訪れたたくさんの人の心を癒してくれていると思いますが、何よりも土地を守っる御嶽（うたき）の数の多さと神様の多さには驚かされきます。

先日も伊良部島で最高位の皿主（サラシュ）の男性から、「まもなく渡口の浜にある乗瀬御嶽（ヌーシウタキ）が新しく完成します。」とご連絡を頂きました。

伊良部島全体が神様の場所と言っていいほど強い神様エネルギーを感じる島ですが、別名「地獄の底の底」とも呼ばれるほど強力な「陰のエネルギー」が強い聖地もあるほど、伊良部島に来ると肉体や魂の再生が感じられる不思議な場所です。

伊良部島にしかない「生まれ変わりの聖地」で人間本来の喜びや生まれてきた喜びを思い出した大勢の方たちにとっては、何よりも大切にしたい思い出の場所だと思います。

2010年のスケジュールは、

3/30（火）　伊良部島の「ホテルてぃだの郷（さと）」へ全国から集合
3/31（水）　伊良部島　「南の龍神祭」を開催
4/1（木）　　宮古島　八重干瀬（やびじ）祈りを開催
4/2（金）　　宮古島　聖地巡礼ツアー
4/3（土）　　宮古島　フリータイム
4/4（日）　　宮古島から沖縄本島へ移動・沖縄本島の仲間と懇親会
4/5（月）　　沖縄本島　フリータイム

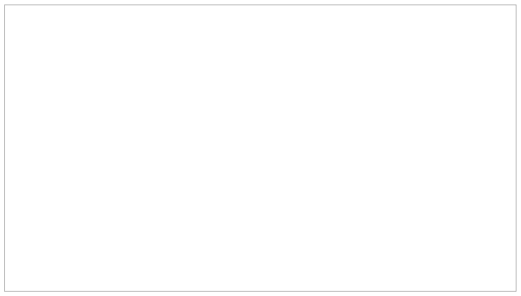
4/6（火）　　沖縄から北海道へ

全国の皆様の愛を繋ぎ、新しい地球「龍球王国」の再生を祈ってきます。いつもご支援・ご協力下さいます全国の皆様の御心に心から感謝致します。

2010.03.29 Mon

青年会　第一回総会

北海道苫小牧市に誕生した「青年会」は今年の2月10日に発足したばかりですが、今年の活動について話し合う為の第１回総会が3/27、青年会長の自宅で行われました。



今回来られなかった仲間も多数いますが、集まったメンバーの真剣な話し合いは朝まで続きました。

一人一人の目の輝きは、それぞれの人が考える「自分の未来」へ向けて希望を感じているからです。

自分を大切にできない人は社会や人の為には何もできない。

と知っているからこそ、今、自分が何を大切にしたいのかを皆に知ってもらって本気で相手の事を考える愛の意見を交換が続きました。

年齢や性別の差こそあれ、人間としては差がない事を大切にするこの仲間には上下関係の甘えが許されません。

「できない言い訳」で悩むのではなく、「自分がどうしたいのか！」を本音で話し合う大切な時間だからです。

青年会長の黄木悠一さん（33）は、自分たちのできる事をする事で、日本全国の同世代の皆さんにもできる事がある事に気付いて欲しいと願い、色々な情報を発信しようと考えています。

一人では何もできないからこそ、自分の為に、そして、誰かの為に真剣に生きる熱い思いは、お互いを大切に思う心も育んでくれています。

日本の未来は、こういう素敵な若者たちのエネルギーで新しい未来の方向性が生まれるのだと確信しました。

組織も資金も束縛する全ての要素が無い集まりだからこそ、「自分に正直に、そして真剣に生きる決意」をお互いに支えている素晴らしい若者たちです。

今回、オブザーバーとして参加させて頂きました事を心から感謝致します。ありがとうございます。
2010.03.28 Sun

信頼という繋がり

この世の中にはとても不思議な事はたくさんありますが、中でも「自分でやる！」と言った事をやらない人が多いのには驚きます。

言った本人が幼稚園や小学生の子供ならまだわかりますが、大人になってもまだ子供と同じ責任の範囲しか取らない無責任な大人が実際に増えている事実に驚きます。

「自分が宣言した事は必ずやり遂げるものだ」と思っている人にとっては不思議で理解できないのですが、とうの本人にはちゃんとその「言い訳」も用意されているから不思議です。

そういう人には「できない理由のプロ」、「言い訳のプロ」と名前を付けてあげたくなりますね（＾＾）

「言い訳のプロ」は、その人の周りにも同じように「言い訳上手なお友達」がたくさんいます。

自分ができない理由を誰かに聞いてもらい賛同して貰う事で、自分は間違っていないし私は悪くないという「言い訳仲間」が必要だからです。

もしあなたが自分はどちらの人間かを知りたければ、一番早く知る方法が「自分の周りにいる人たち」をよく観察して、その人たちのが自分だと認める事で気が付けると思います。

お互いに「あの人ほどひどくは無いわ！」と思っている同士が、以外に永く付きあっているのも不思議ですが・・・（＾＾）

「人間はなぜ群れたがる」のかというと、その根本的な心の奥底に「不安」があるからですが、理由はこれまでの人生で「大切な信頼」を築きあげてきていない事が原因ですが、人間の存在理由から考えても生み出した大いなる母との繋がりが薄れている状態だと言えます。

心に大きな「信頼という繋がり」が切れかかっていると、子供や恋人や尊敬する人に対しても「信頼・安心・委ねる」という心が働かなくなりますので、自分を正当化する為にまた仲間に会いたくなります。

「面倒くさい」と思いながらもいつも同じメンバーで集まっている人たちの話を聞いていると、「ねー、私は悪くないでしょ？」という為の自分勝手な会話もよく聞こえてきます。

子供たちが、お母さんのそういう言葉を聞いて何を思うかを想像してみて下さい。

「あー、またママ言い訳してる。いっつもそうなんだよなあー。やっぱりいいんだね、自分のやると言った事はやらなくても・・・。」

子供の心の教育は、普段の生活の中のお母さんの会話で教えていますので、その事に気づいたら自分が発した言葉のチェックと自分の周りの人の言葉のチェックをして下さいね。

「類は友を呼ぶ」

私は未来を変える「有言実行」の仲間たちと一緒に、新しい未来を創造していきたいと思っています。

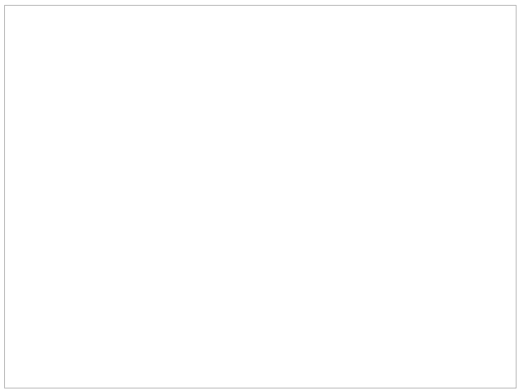
そして「行動責任は全て自分の責任である」と認めれる大人たちも、未来へ残したい大切な事のひとつだと思っています。
2010.03.27 Sat

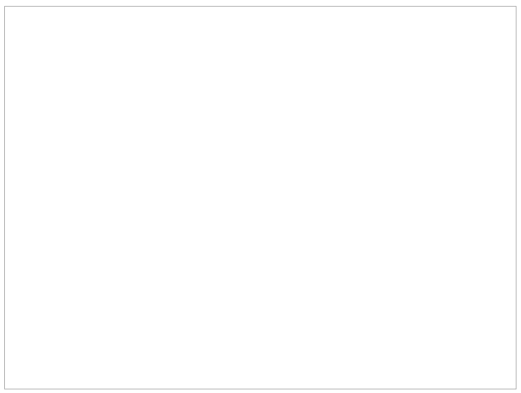
日光神事を終えて

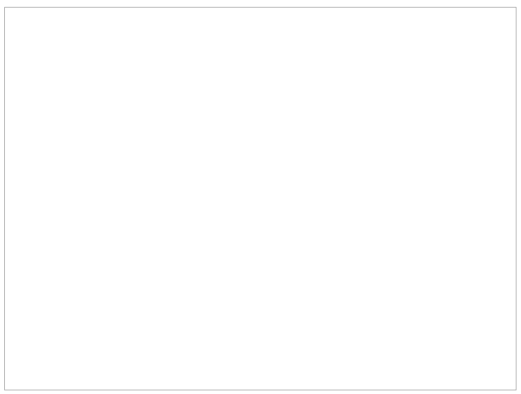
日光神事を終えた翌日、近くの観光名所を珍しく訪れてみました。水の神様に関係がある「龍頭の滝」と「華厳の滝」があったからです。

この３日間の厳しい神事の疲れは、山から雪解け水が大量に流れ出ている龍頭の水の音と、龍の頭を見つけたうれしさにひと時癒されました。

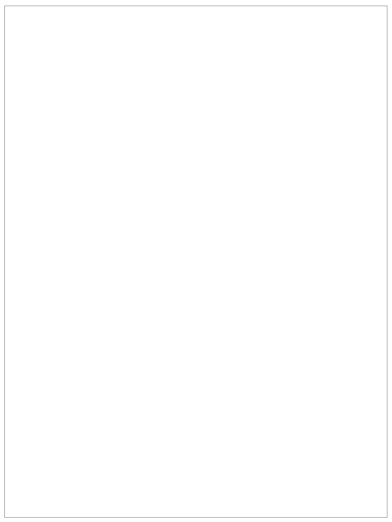
水の流れは、目に見えない人間のエネルギーを洗い流して整えてくれますし、その音は心の奥底まで洗い流す効果があります。本当に皆様、ご苦労様でした。





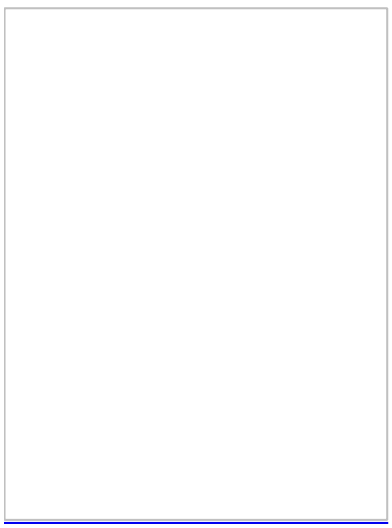


名前だけは知っていた「華厳の滝」を初めて見ましたが、見る角度によってエネルギーが違うのには驚きました。正面から見た冬の華厳の滝は、冷たい風に包まれながらも山の大量な水を大地へ送り届けてくれていました。



滝のように水の上と下が繋がっている状態は、空間を繋いでいる水のパイプのようなものなので、神様の意識の繋がりがしやすい状態にもなっています。

華厳の滝にこの三日間のお礼の祈りを捧げると、神様は虹を見せてお礼のメッセージを届けてくれました。右下の木の枝あたりに、緑色をしたのが虹です。



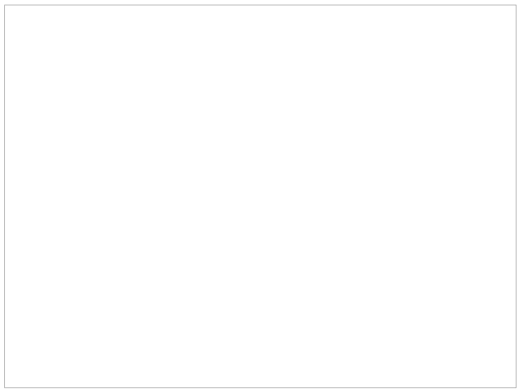
緑、オレンジ、黄色、赤と一瞬だけ色を見えてくれたあとは、姿を消しました。色で教えてくれる神様メッセージは神事の中でもありましたが、色や音、光を通して常に皆さんの周りでもメッセージは届けられています。

あなたにだけ一瞬、聞こえた音や見えたもの、空の雲や水しぶきの形、自然界を通して伝えているメッセージはどんな人にも届けられていますが、勘違いや思い違いと思えばただそれだけのことです。

何を信じて、何を受け取るかはあなた次第ですが、守護存在たちは常にあなたが今よりも良くなることを考えてメッセージを送り続けています。意味がわからなくても、その事は覚えておいて

下さい。

今回の日光神事でとても私たちにエネルギーを与え続けてくれたのが、二荒山（ふたらさん）でした。



神様から頂いたメッセージを正しく理解して、最後の祈りを全員で行いました。神の門である「神門開き」の祈りです。

初めてこの祈りを体験した関東の皆さんは、神門の光の大きさと輝きにとても感動していました。

神様の守護と導きを受けながら、神役目を果たす為に与えられた肉体と魂は、地球の未来を輝かせる為に生まれてきた事を思い出した瞬間です。

大神の導きと新しい人と出会いのおかげで、一緒に地球を蘇らせる関東の仲間たちが集まり始めています。

どうぞ、あなたも自分が住む土地を愛し、先人に感謝する心を持っているならば、子供たちへ残すべき大切な物を自らの言葉と行動を添えて愛を語り始めて下さい。

大地の上に住む全ての人間の感謝を、まずあなた自身の行動から始めて下さい。

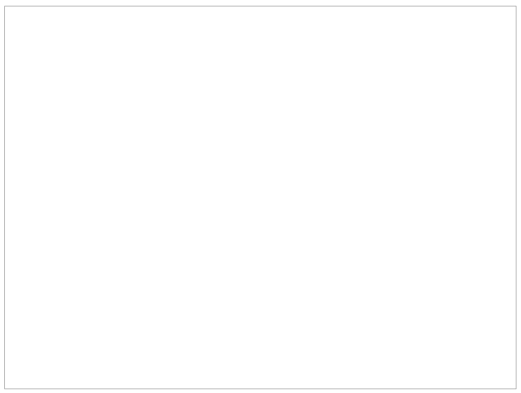
地球創世の祈りにご支援・ご協力・ご寄付下さいます皆様、本当にありがとうございます。

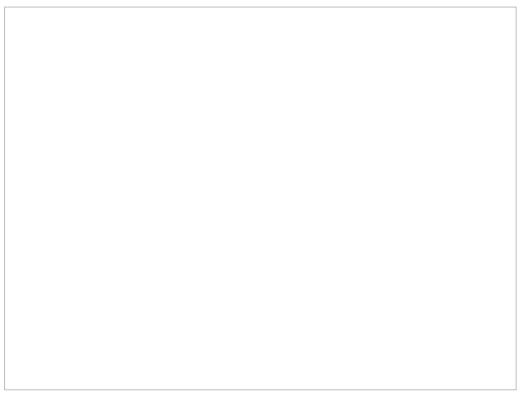
2010.03.25 Thu

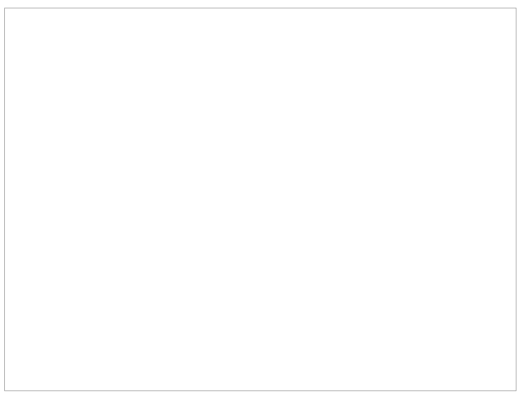
日光神事　４　天海僧正

一番最初に大谷川を挟んだ場所にある「星の宮　盤裂（いわさく）神社」から始まった今回の祈りは、橋を渡った向かい側にある小さな神社も大切な北斗七星のひとつとして働きをいる事がわかりましたので改めて祈りに行きました。

その昔、まだこの大谷川に橋がなかった頃に勝道上人の一行が渡れずにいると、二匹の蛇を放って一行を助けたと看板に書いてあります。蛇は土地神の化身でもありますので、人を助けた事で土地神が受け入れた証を示しています。







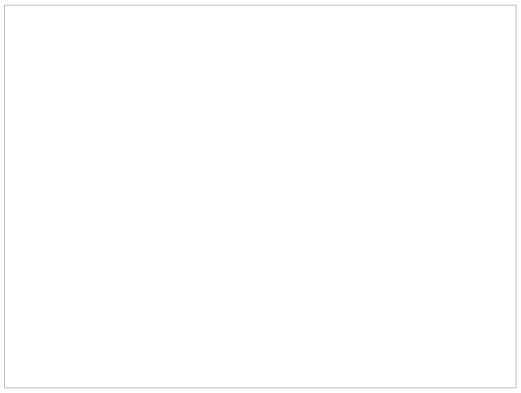
当時作られた橋は大切に守られていますが、両端を守る二つの社の神様がいなければ神エネルギーの繋がりが切れてしまう事は確実です。感謝の祈りをしに行くと、「深紗王堂（じんじゃおうどう）」の神様はとても喜んで下さいました。

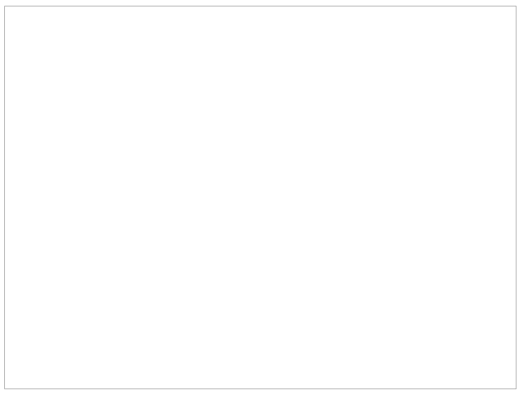
祈っていると大きなエネルギーが天から降りてきて、ここの神様へそのエネルギーが与えられました。この神社の守り神の蛇が、龍に昇格した瞬間です。とても凛とした素晴らしい龍の神様が入られました。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

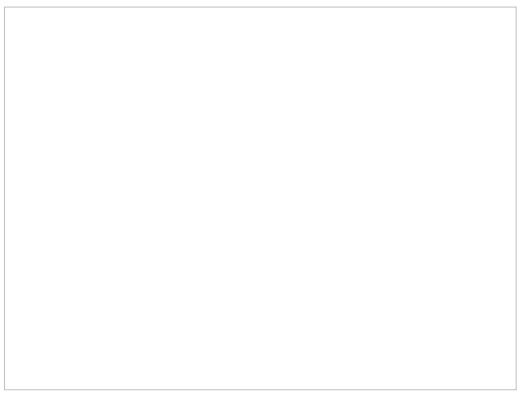
昨日、行けなかった場所を再度調べてみると、一番最初に日光二社と呼ばれた二荒山神社と「本宮神社」がこの場所の一番古い神様だとわかりました。そして東照宮の中で北斗七星のひとつの働きもしています。

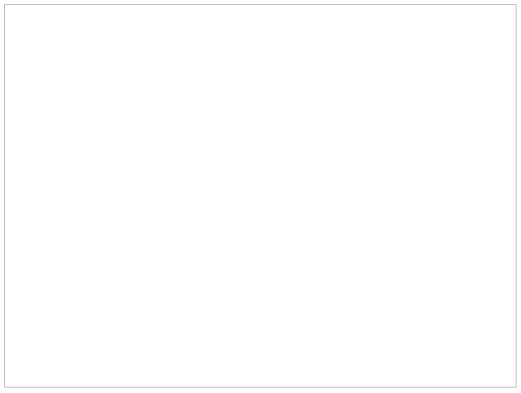
あまり人が訪れないせいか場の気は安定していましたし、神様もどっしりとした大きなエネルギーでいらっしゃいました。

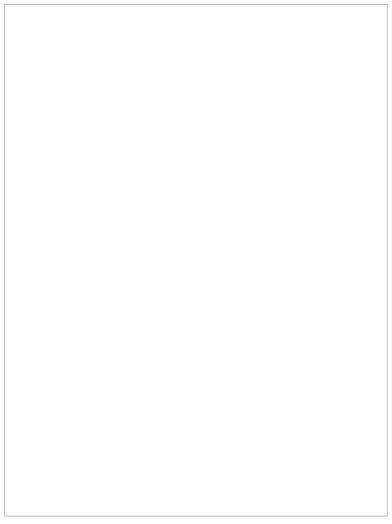
ご挨拶をすると、心から私たちの祈りの言葉を受け止めて感謝の言葉を下さいました。そして、日本の新しい調和を整える働きにも、ねぎらいの言葉を下さいました。ありがとうございます。

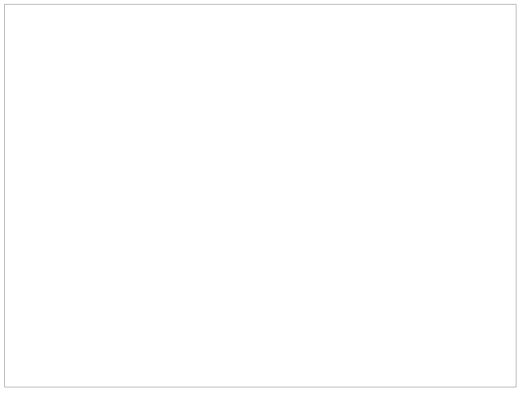


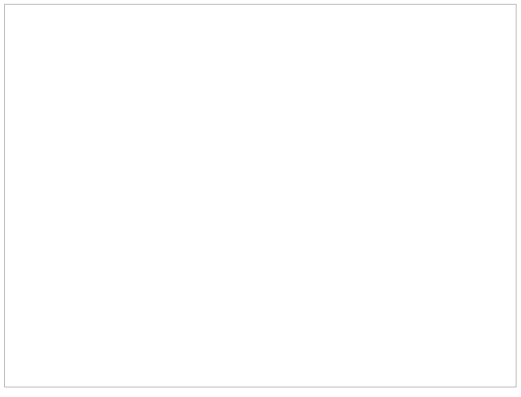


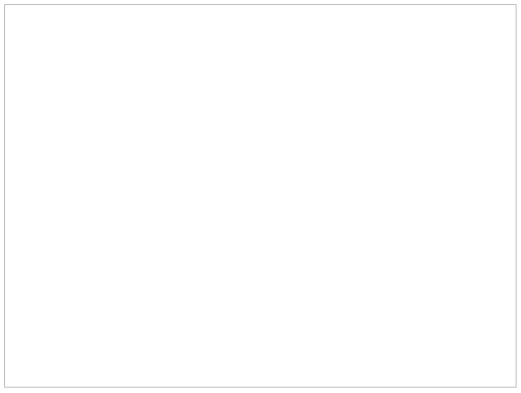


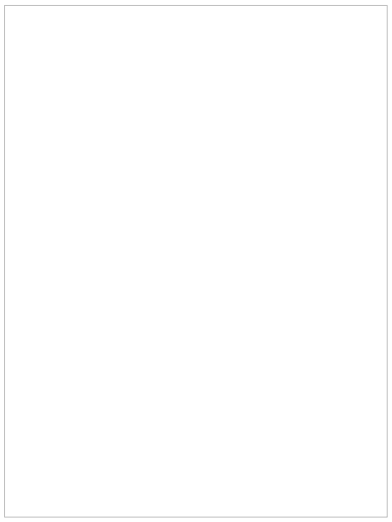










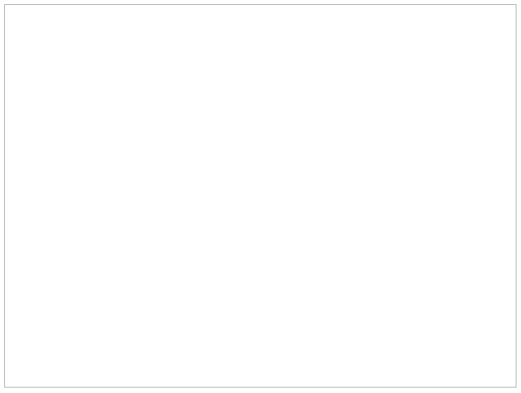


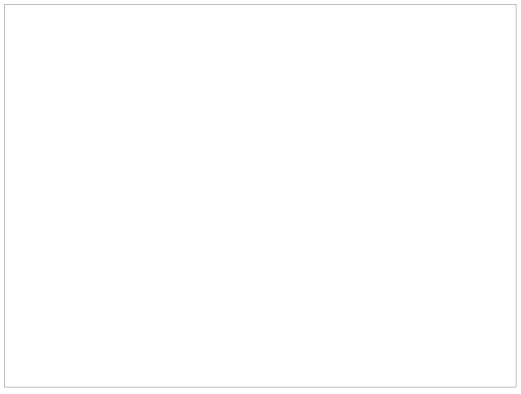
同じ場所に観音堂もありましたので、女性たちだけで祈りをしてもらいました。祈り言葉は、昨夜、宇宙から降りた「巫女だけが使える特別な神言葉」を唱えてくれました。素晴らしい祈りをありがとうございます。

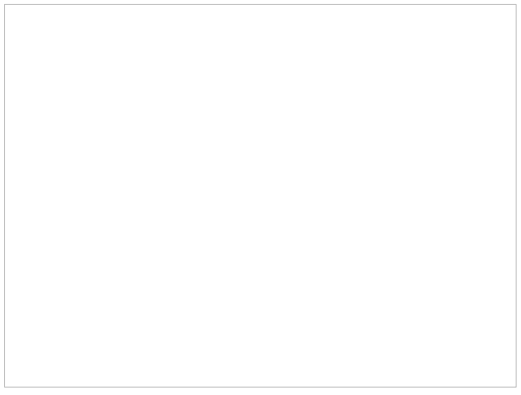
この土地を開いた「勝道上人のお墓」があるというので、行ってみました。

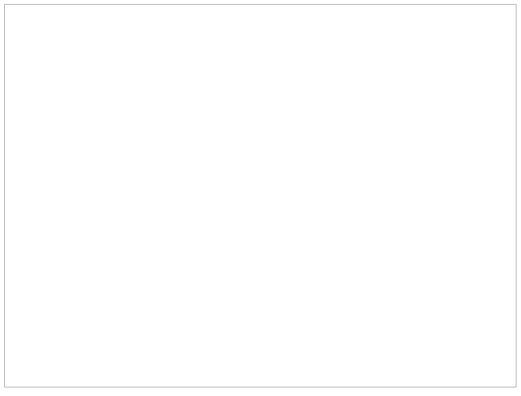
とても長い登り坂を登って行くと、この敷地の後ろ側にあたる静かな場所に勝道上人のお墓はありました。観音様に守られながら大きな岩の壁を背にした場所に、勝道上人のお付きの人たちが守っています。

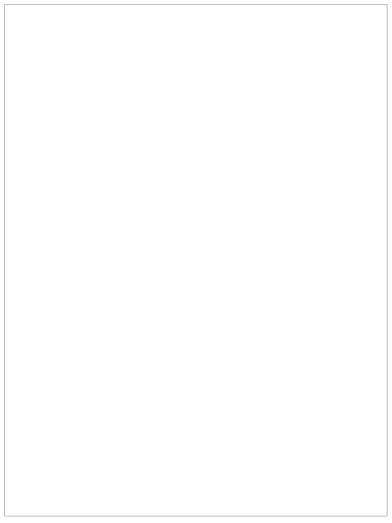
自然界のエネルギーを上手に使ったとてもバランスのいい守り方です。勝道上人も私たちの祈りの主旨を理解して下さり、お礼の言葉を下さいました。ありがとうございます。

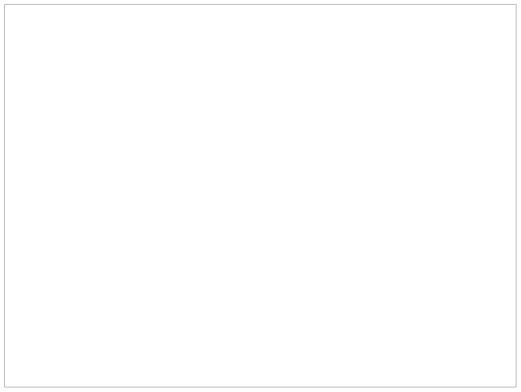


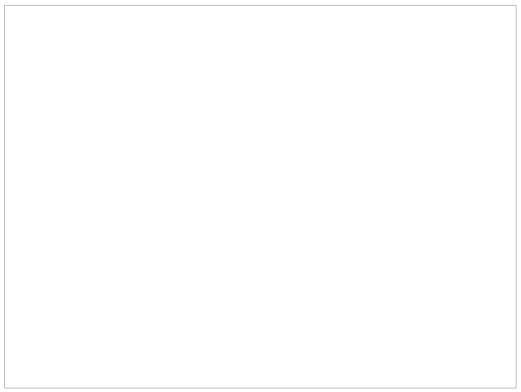




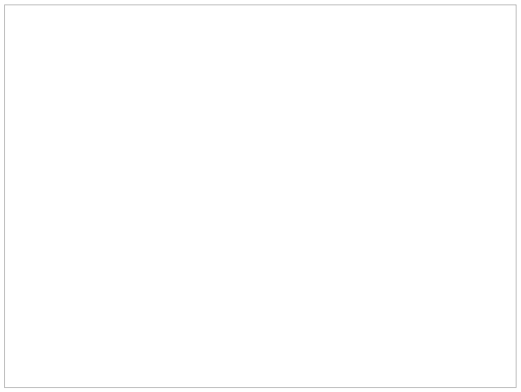


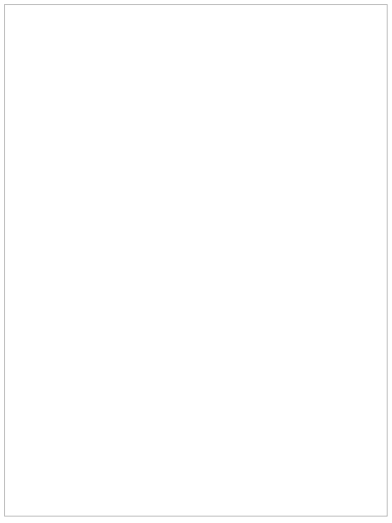


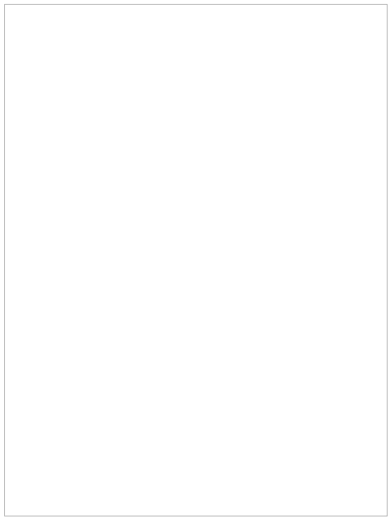


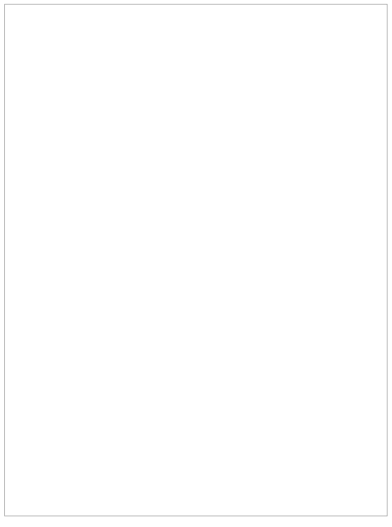


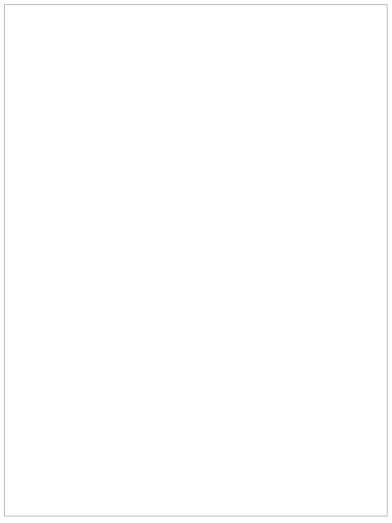
次は、この日光東照宮を現在のようにきらびやかにした「徳川家光公が祀られている大献堂」です。

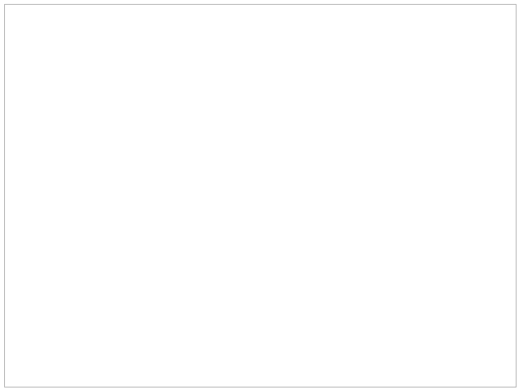


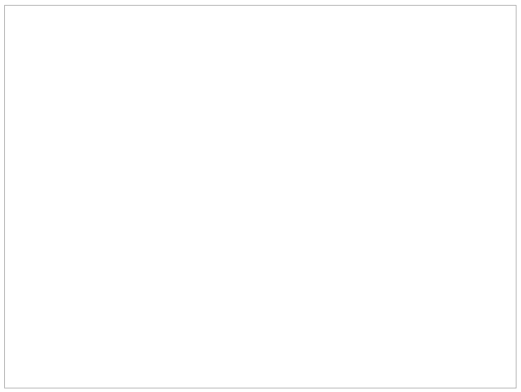


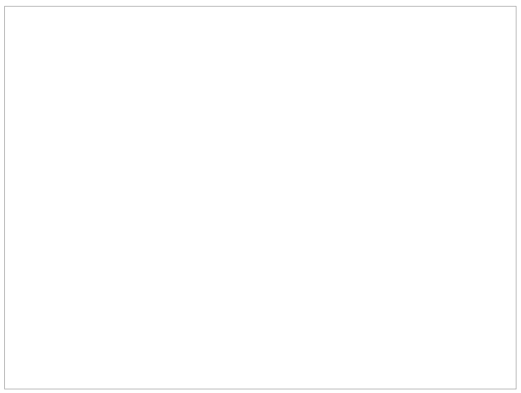












なぜかこの時だけは、美しい光が降りてきて青や赤、紫などの光で喜びと祝福のメッセージを天が送ってくれました。

一番奥の御本堂に入ると、畳に座ってお祈りができる場所が用意されていましたので、正式に祈りをさせて頂きました。

「星の宮」から頂いた玉も今日回った全ての場所に入れましたので、ここでも入れさせて頂きました。家康公の御霊はとても静かに私たちの祈りを受け入れて下さり、何か大切な物を下さったような気がします。

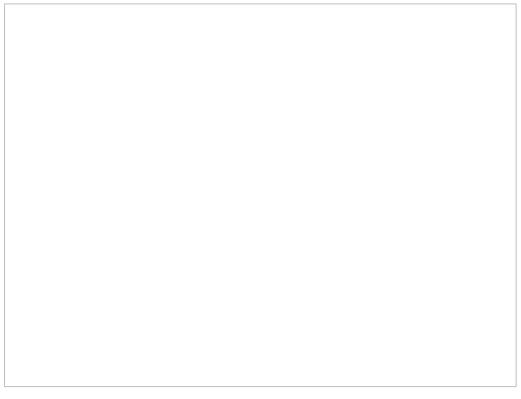
この場所のすぐ横にある建物と土地は皇居所有のものだというのも不思議な気がしますが、何か深い繋がりと意味があるようです。いずれ、その事はわかってくるでしょう。

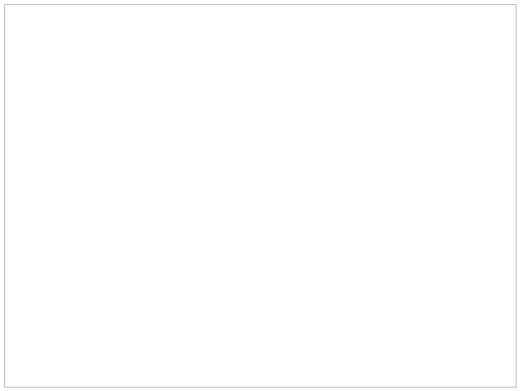
本日の１０ヶ所目にやっと今回の神事の目的である「天海僧正」がいらっしゃる「慈眼堂（じげんどう）」へたどり着きました。出生は定かではありませんが、長寿だったようで１０８歳まで生きたとされています。

でもこの場所の気の静まりと人の手をあまり感じないのは、ここがあまり大切にされていないのかもしれません。入る門にも「関係者以外立ち入り禁止」と書かれていて入りづらいのもありましたし、関係者に入る許可を得ようとすると、「お金は払ったかい？払ったなら入ってもいいよ、あの上にあるから。」という言葉をなげやりに言うだけでした。

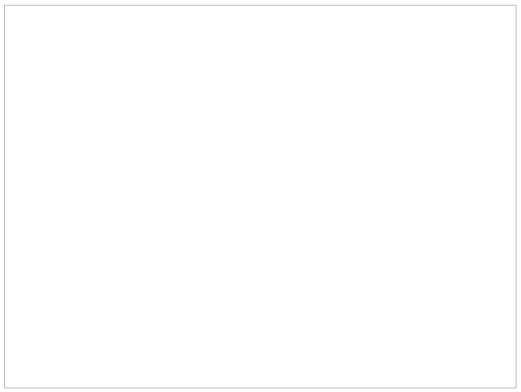
石段を登る気持ちが、どれほどさみしい気持ちになったかはわかって頂けると思いますが、二日間の全ての祈りの総まとめの祈りですから気持ちは高ぶっています。

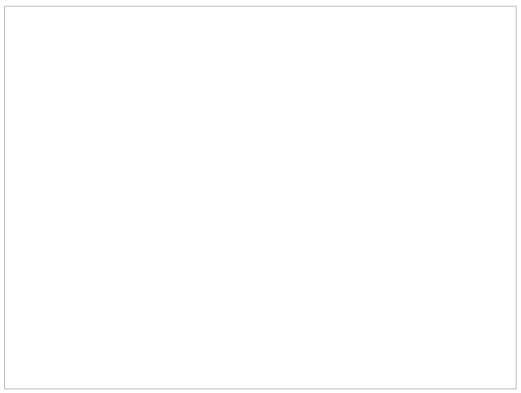
門をくぐる前から深くどっしりとした空気に包まれているこの場所は、すぐにとても大きな力で守られているのがわかります。





お堂の前に座ってご挨拶をすると、「ここにはいない、ここにはいない」と言葉が聞こえました。どこに天海僧正の御霊がいるのか探すと、この後ろにある事がわかりました。

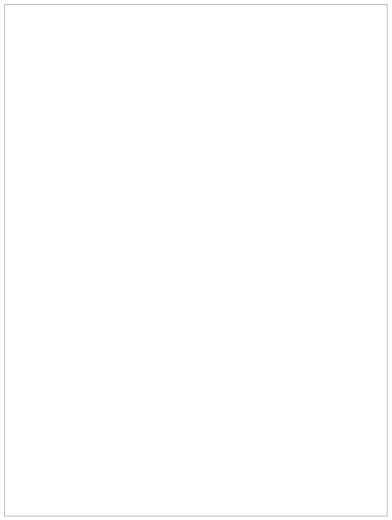




大切な天海僧正を守るように、周りには見えない存在たちがたくさん守っていました。心を引き締めてこの二日間のご報告と、これから行う関東大神事のご報告をさせて頂きました。

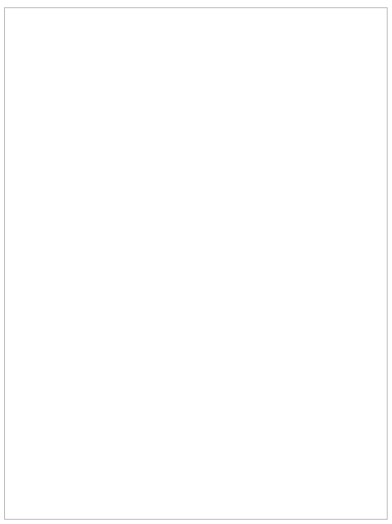
今まで４００年間守って下さったお礼と共に、今までのエネルギーを改めて今後、１０００年間続くエネルギーを生み出す為に私がこの地へ来た事も伝えました。

人の心改め、神仏の心改め、土地や自然界、また宇宙の全ての繋がりを使って神の国日本の大切な働きができるようお力をお貸し下さいと伝えると、無風の空間に強い神風が一瞬吹いて「承知しました」と天海僧正から言葉が降りました。



そのあと、これから関東の人の心と神の心を立て直す働きをして下さる関東の祈り仲間に正面で祈って頂いて、一人一人の心の立志を建てる宣言をして頂きました。

神仏の力を借りながら、関東の土地改め、日本人の心改めが本格的に始まります。



北斗七星・北斗八星の結界は、関東全域だけではなく、この日光東照宮の中にもありました。何重にも積み上げられた結界を紐を解きほぐし、新しく創り直す神事がこれから始まります。

翌３月１７日、東京へ戻る途中で神メッセージが降りました。

●これまでより大きな働きが出来る様になった事を心より感謝致します。これからは大きな働きをいたしますので、大きな何かがありましたら、いつでもおこし下さい。（二荒山の大神より）

●二荒山の大神が申す事はいつもやさしく大いなる心を持っているからこそ、何よりも大切な事が守られているかだけを大切にしてきています。だからこそ、言葉にしない事をくみとってあげてください。（宇宙の大神より）

●うちらが、いることを忘れるな。うちらが、働いていることを忘れるな。気柱・立柱・門柱・表札と言われる全ての神門となって働いている神々がおる。その事に気づき、神門を開き、天海坊よりもさらに上の大きな力を動かしなさい。これからより大きな守り働きができる様に、その整えをしなさい。神門は目に見えず、山の上にある門の事です。それよりも大きな高い次元のドアが開きます。その門を開くカギはあなたたちの身体の中にあるはずです。心の扉を開く様に山の神の、そして神の心の門を開きなさい。それが私たちの願いであり、これよりも大きな働きをなす為に必要な事なのです。心して神の門を開きなさい。いつまでもいつまでも、開き続ける神の御心の門が今、開きます。（大神）

この言葉を一人一人が噛みしめてから、二荒山の神門を開く祈りを行いました。この神門エネルギーをどこへ繋ぐのか、どう繋ぐのかは関東の方たちに教えました。その為にも一人一人の心の扉を全開にする必要があるという事を付け加えて。

東京に戻って銀座で昼食を取りましたが、一人が土地から「かかり」始めました。どうやらわかって欲しいメッセージがあるようですので、読み取りをしました。

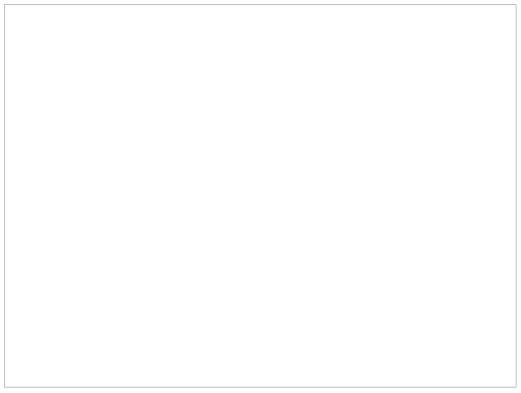
その女性のご先祖の事が原因でしたので、皆さんには自分の先祖ルーツを調べて関わる全ての人の思いを理解し、全てのわだかまりをはずして下さいとお願いしました。

一人、また、一人と「かかり」が続き、知って欲しい先祖たちの言葉を降ろしました。神事は人間が行うことだからこそ、ご先祖のカルマに気持ちが引っ張られては神事になりません。過去全ての出来事の責任が、今、生きている私たちの生き方と心のあり方にあるからです。

今回の祈りのエネルギーを納めるには、どうしても江戸城があった皇居に行かなくてはならないとわかりましたので、全員ですぐに向かいました。

桜田門から入ると、「城内には入るなよ。」と私に言葉が聞こえてきました。やはり、私自身の昔の事が出てきました。何度となく見ている情景がこのあとも出てきました。江戸城に通っていた時代の役割や当時の気持ちが思い出されます。

でも今日は日光神事のご報告ですから、警備員の柵の前でご挨拶の祈りをしました。祈りを始めると、奥から偉い方が出てきて関東の三名にお礼の言葉とお礼の品物を下さいました。今回の働きをとても喜んで下さったようです。



私が昔から皇居に来たくなかった理由は、自分でも気づいていました。その当時のご先祖の思いがしっかり私の感覚に残っているからです。でも自分のカルマがあったとしても、この大きな関東神事の成功は日本人の心を変える大切なキッカケになりますので、必ず成功させると誓います。

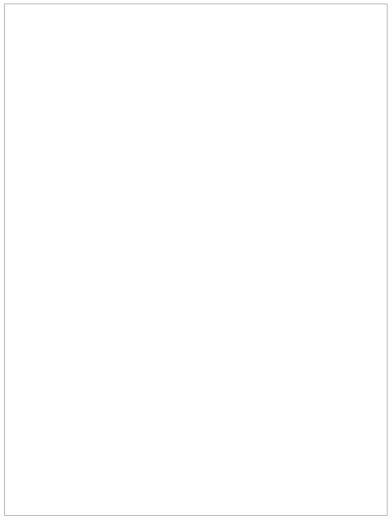
関東に住む人たちで、未来の残す大切な精神を支える気持のある方は、どうぞこれから始まる大きな関東大神事にお力をお貸し下さい。

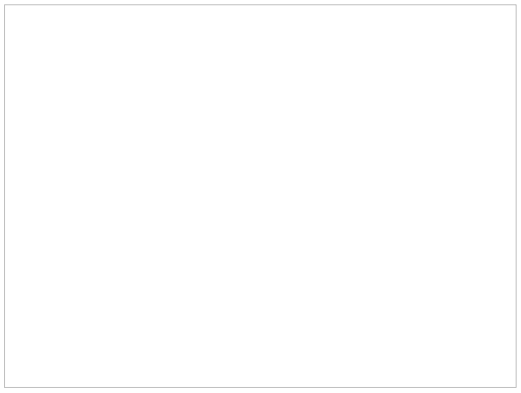
2010.03.22 Mon

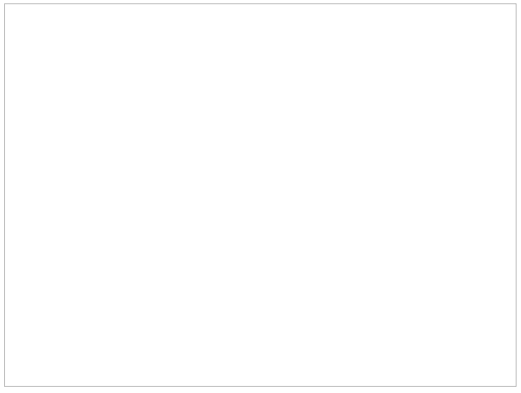
日光神事　３　憾満ガ淵（かんまんがふち）

３月１６日、宿に選んだ日光湯元温泉は山の中腹に湧き出た温泉街ですので、山の恵みに感謝しながら男体山と女峰山を繋ぐ「陰陽和合の日の出祈り」から一日が始まりました。

まずは日の出前の薄暗い中、「温泉神社」に祀られている神様へご挨拶に行きました。昨日から降った雪が北国のように積もっていました。神様は、「よくお越し下さいました。ありがとうございます。」と言葉を下さいました。





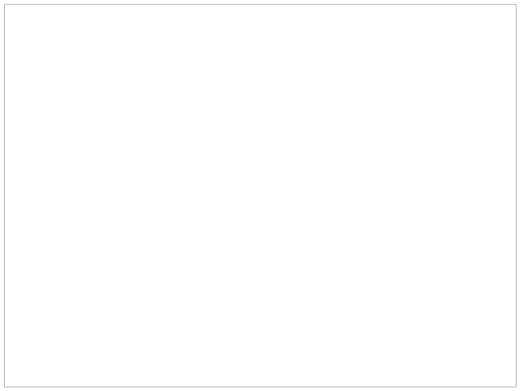


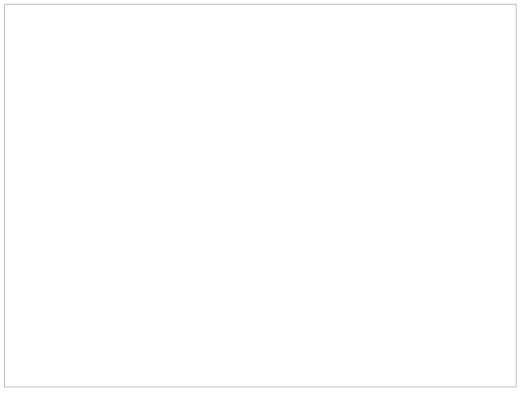
次は、ここ湯元一帯の温泉源へ行きました。湿地帯の沼の中に湧き出た温泉は、日光開山の祖として有名な勝道上人によって見つけられてものだそうです。

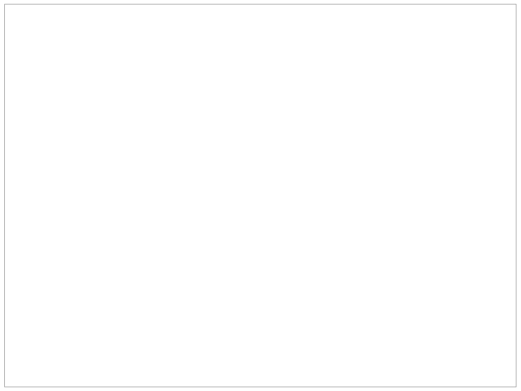
ここで昨夜の出来事をひとつご紹介します。関東から参加した仲間たちと昨日感じた事を話し合っているうちに、神の導きによって一人一人が新しい決断を迫られた瞬間がありました。

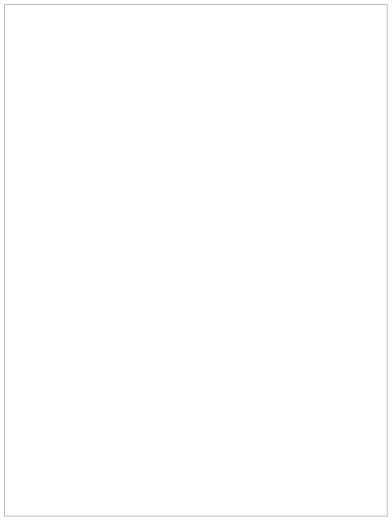
その結果、改めて関東を守る宣言をした男性と、その男性を支える為の完全な巫女が誕生したのです。だから今日の祈りは、この関東に住む三名が中心となって行う事をお願いしました。

神に対して感じる心は、誰かが先頭にいて祈る場合と、自分が先頭に立って仲間の責任を背負う立場で祈る意味が全く違うからこそ、皆さんの心の成長をサポートする為に土地の人が神事に参加することをお願いしています。



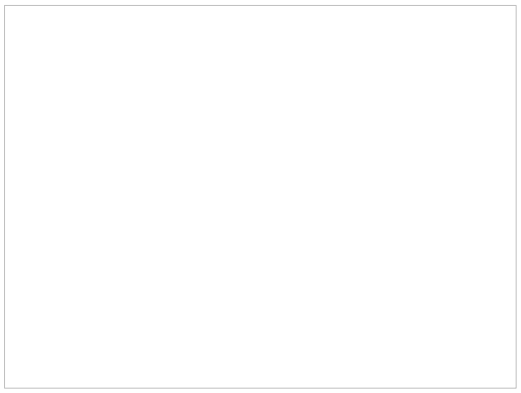


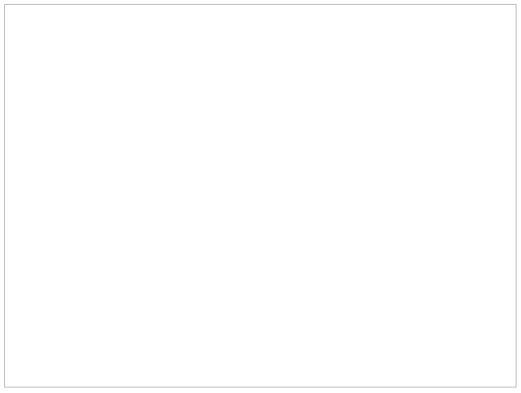


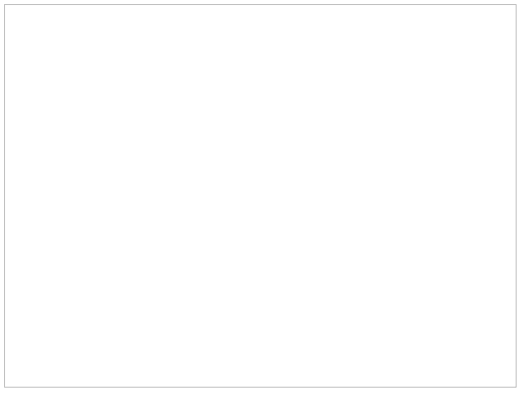


「温泉源」から行った祈りは、これから新しいエネルギーを生み出す女性の働きをして頂く「女峰山と東」へ向けて祈りを行いました。祈りが終わると、ゆっくり日の出の光が差し込み始めました。

祈りを終えて湯気だと思っていたものが、精霊の集まりだった事を知り驚きました。温泉には自然界の精霊のエネルギーが吹き込まれているからこそ、人間が癒されるのだとわかりました。ありがとうございます。

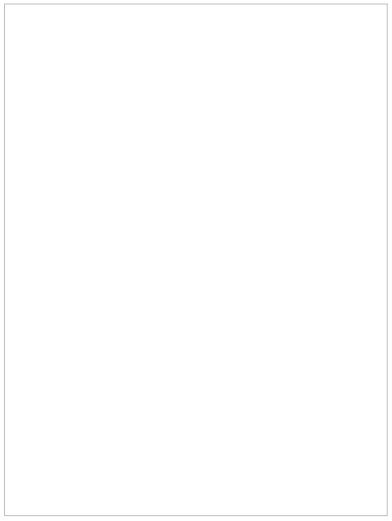


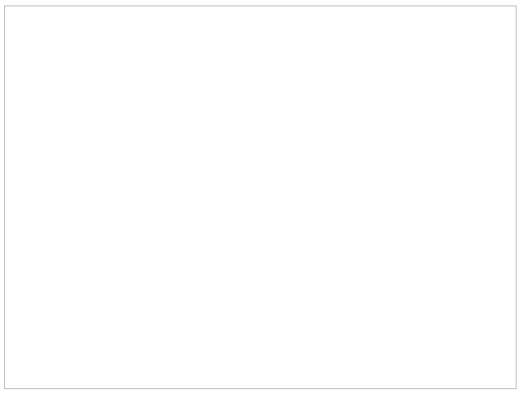




朝食後、山を降りて「二荒山神社中宮祠」へご挨拶に行きました。すると昨日の東照宮にいた巫女さんが朝の支度をしていたので挨拶をすると、私たちの事も覚えていてくれました。巫女さんを通して神の繋がりを教えてくれたようです。

二荒山（ふたらさん）へ登る場合はこの神社の登山口から登りますので、山に入る場合の神様にもご挨拶しました。

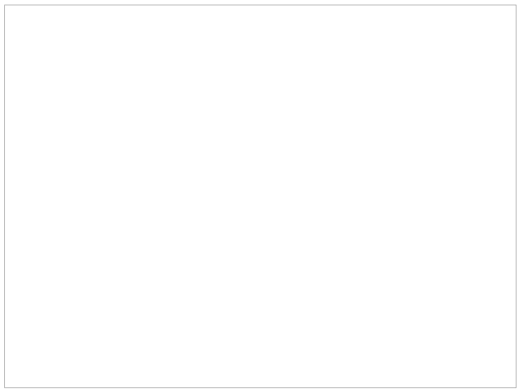


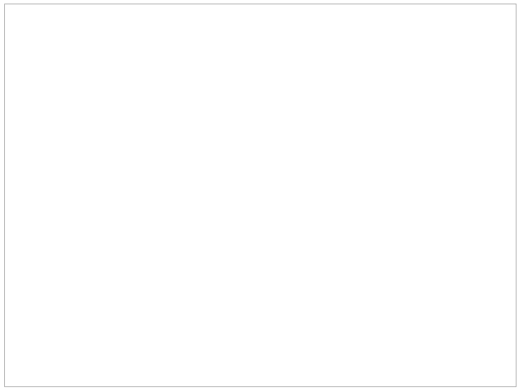


山を背負い、神社を通って中尊寺湖に繋がる自然界エネルギーはとても気持ちよく、自然界の利を活かしたとても素晴らしい建て方をしている神社だと思います。

中尊寺湖で祈る場所は、昨日、地図を見ていて見つけていましたが、北斗七星の一点の働きをしていることを確認しています。持ち寄った水を繋ぎながら、決めた場所で北斗七星祈りを行いま

した。





中尊寺湖の祈りを終えて「いろは坂」と呼ばれるぐねぐねの道を下ると、日光の街へ着きますが、途中から私の体に異変が起きました。異常に体が重く歩けないほど辛い状態になった為、休憩がてら喫茶店に入りました。

頭の中で今日の祈りの場所や準備を何度も確認しましたが、これといった気づきがありません。仕方なく自分の守護ラインを使って、必要な事を聞いてみました。すると「土地、土地」と言葉が繰り返されます。

「土地の人が喜ぶような事をしたかな？ここの土地神様が喜ぶような事をしたかな？」と仲間にも確認しましたが、誰一人、霊界のチャンネルを持っていない為にこれは自分の担当領域の仕事だとわかりました。

土地に住んだ人間の思いと、その人間を守ってくれた神仏の思いを繋がなければ神事は成功しないとわかったので、お店のとても素敵な９０歳くらいのおばあちゃんに古いお寺の話を聞きました。

三つのお寺の名前が出ましたが、すぐに行くべきお寺がわかりました。霊が強くかかって苦しい時は、よく甘い物を食べると和らぎますので、ケーキを頂いたあとに道を教えてもらって向かいました。

住宅街の裏道を歩いていると、通りがかりのおじさんが突然、私たちに声をかけてきました。

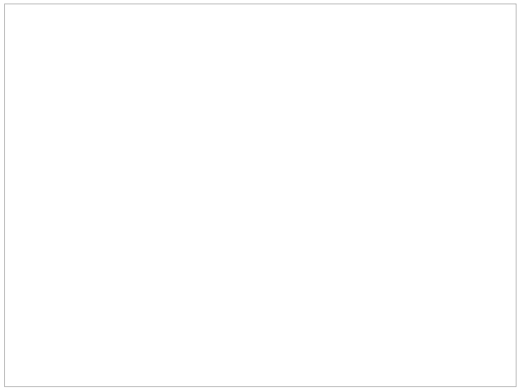
「どこへいくんだ？行くなら憾満ガ淵（かなまんがふち）へ行け！あっちだ！」

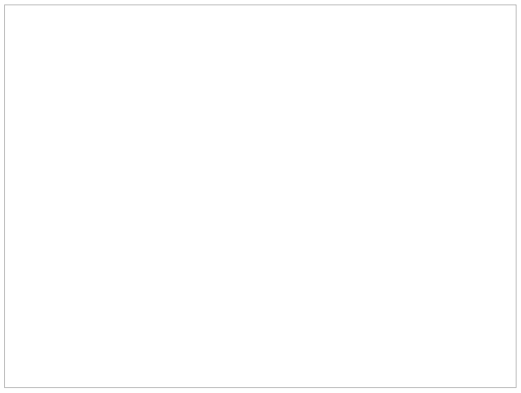
この突然の言葉に確信したのは、今回の神事を企画した男性でした。

「吉岡さん、これは絶対に行かなければいけないようですのでお願いします。」

どんな場所かもわかりませんでしたが、これも神の導きだとわかったので承諾しました。

細い橋を渡って右へ曲がると、憾満ガ淵（かんまんがふち）へ案内がありました。





たどりついて驚いたのは、たくさんのお地蔵さんが並んでいる場所で、過去にこの場所でたくさんの人が亡くなっている事を感じました。その数、約数百名にはなるでしょう。

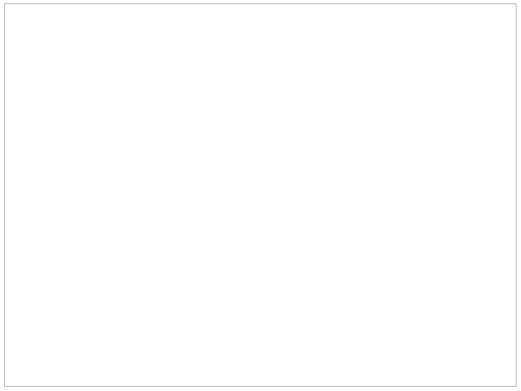
日光東照宮を作る為に囚人や第三国人を連れてきていましたし、人と人の争い事が起きるたびにこの場所まで連れてきて殺している情景が目に写ります。

右手の公園にある置き石全てにも、その霊たちが乗り移っていました。その御霊たちを納める為に１００体ものお地蔵さんを並べていますが、そのお地蔵さんにすがりついている御霊たちもよく見えます。

霊界担当が私しかいませんので、全員の守りを考えて「聖水」の担当と、「お神酒」の担当を決めて歩きだしました。

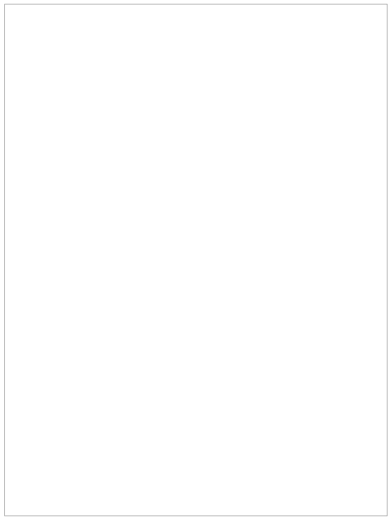
祈りに入るとすぐに悲しい感情が溢れてきたと、あとで仲間が教えてくれましたが、一切の感情に揺さぶられてはいけない事を伝えてありましたので、ただ感謝の言葉を唱えながら長い道を進みました。

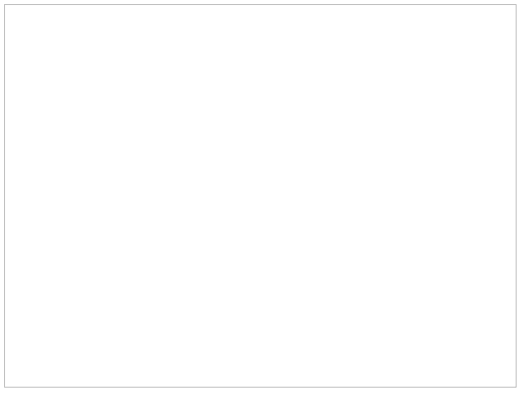
私は先頭に立って塩を撒きながら、御仏たちが休まる為の呪文を唱え続けました。最後の場所へたどり着くと、そこは盛大に「お焚きあげ」をしてる霊場がありました。川をはさんで向い側へ繋ぐ事で東照宮の御仏守りのエネルギーに繋げ為の場所です。



東照宮へ繋ぐラインを太くしっかりさせる為の祈りを一人で行いました。こういう場所で祈りをすると、たくさんの御霊たちが一斉に動き出す為に、仲間の体を心配したからです。

東照宮への繋がりを復活させると、またお地蔵さんの道を進まなければなりません。ただただ感謝の心で全てのお地蔵さんにお礼の言葉を唱え続けました。





この霊場祈りは、過去に何度もあった厳しい祈りの中でも特別な経験になりました。生まれて初めてこんな霊場で祈りをした参加者たちから、一人だったら絶対に足を踏み入れない場所だと言います。

私でさえ、個人の祈りなら入る事はしないでしょう。他人が、他の土地の御霊を触る怖さをよく知っているからです。

よく「御霊あげ」の祈りをしたという人に会いますが、その人の霊界のチャンネルの深さの分しかあがらない事を知っていたら、そんな言葉は簡単には言えないと思います。

人の心の奥底にある怖い部分を知り尽くしていない限り、最後の最後にある地獄の世界を触ることは簡単ではないからです。私はよくその事を知っているからこそ、こういう場所を神が指定したのだと思いました。

土地の人でも上げられない御霊がいる場所は全国にもたくさんありますが、そういう場所でも心ある人たちが力を合わせて祈りをすれば、もっと早く人間の心は解放されるはずだと思います。

自然界を切り開いて土地に住み、そこで亡くなった人たちの想念が残っているのが、あなたの住む「土地」なのです。人間が土地に住むという意味は土地の歴史を知り、こういう事を大切にする心が必要だという事を学んで下さい。

だからこそ、魔を払い場所を清める事も大切ですが、その土地に住んだ人たちの事を感じながら感謝する祈りを最初にするべきなのです。

祈りをする時は色々な思いに囚われるのではなく、その全ての思いを感じてもただ感謝の祈り言葉「ありがとうございます」を言い続ける事でその場所に光が輝く事を覚えておいて下さい。

つづく
2010.03.21 Sun

日光神事　２　本当の目的

今日は、日光神事の本当の目的を説明しておきましょう。

第一の目的である徳川家康公の御霊へのご挨拶は、久能山東照宮と日光東照宮の二つで完了します。

しかし、今回の神事の最大の目的は、関東に張り巡らされた「北斗七星の結界」や「北斗八星の結界」、そして、「四方八方の結界」などいくつもの次元ごとに張り巡らされたあるゆる結界を動かす承認を得ることが目的です。

その全ての承認を得る為には作られた物の場所の意味や目的を理解し、本来の趣旨を変える事無く新たなエネルギーバランスを関東一円に生み出す為に今回の神事を行っています。

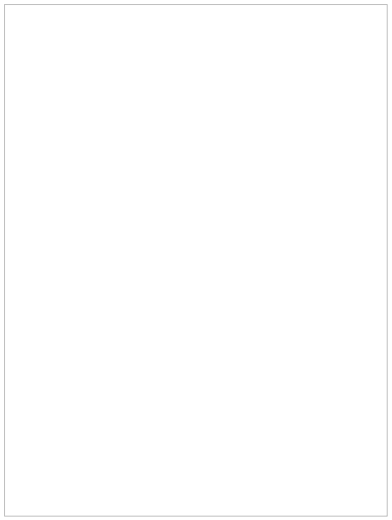
関東一円の全てのエネルギーバランスを正しく整える事は、日本人の心の不安や迷いを取り払い新しい未来に向かって喜び溢れる人たちが動き出す為の準備とも言えるでしょう。

「結界」とは目に見えないエネルギーバランスを繋ぐことで、外敵や魔を払う働きをしてくれます。

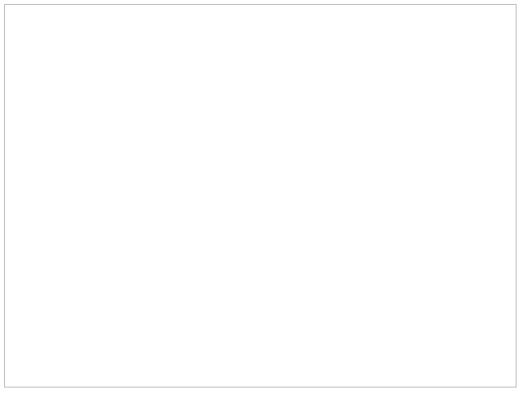
見える世界にも重要な場所には幾つもの鳥居や灯篭、狛犬などが置かれていますが、それ以上に大きな結界を組む必要があるほど、関東には重要な物を守る目的があるからです。

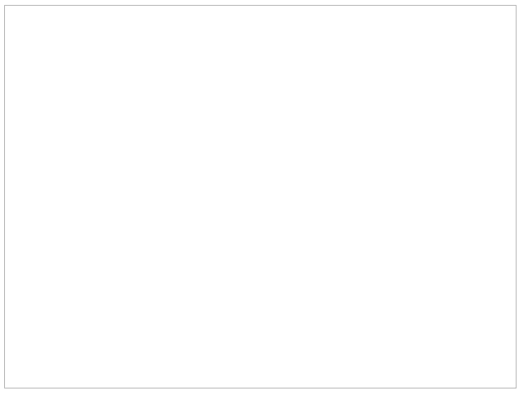
平安京の時代には目に見えないバランスを整える役目として陰陽師（おんみょうじ）という職業の人たちがたくさんいましたが、修験僧や高度な知識を持った僧侶の中にも同じ力を持っている人がいます。

今回の最終目的は、関東一円に張り巡らされた何段階もの結界を計画した「天海僧正」へ、「結界を動かす承認」を頂く為に必要な全ての場所へご挨拶に伺っています。



まず最初に訪れた場所は、日光東照宮を川向いで守っている「星の宮　盤裂（いわさく）神社」です。この場所は北斗七星・北斗八星のエネルギーを他の場所や次元へ繋ぐ宇宙の星の働きをしています。

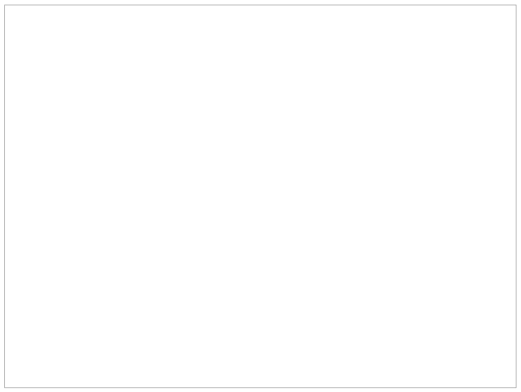




ここの神様に祈りをすると、お礼の言葉に添えて全員に４個か５個の玉を下さり、私には大きな玉をひとつ下さいました。これから行う神事の中で必要になる神様のエネルギーの玉のようですのでありがたく頂戴致しました。

このお宮へ上る道は本来、山側の急な道から登るのが本当ですので、歩きやすい道路側の道から入ると裏から入ってご挨拶するという失礼な事になりますのでご注意下さい。

次は、この土地を大切に守ってきた人たち（人格神）へお礼の祈りをする為に橋を渡りました。



「輪王寺（りんのうじ）」は奈良時代の末、勝道上人（しょうどうしょうにん）によって日光山を開き建てた建造物ですので、現在のようになる前からこの土地を守ってくれたお礼をする為に向かいました。



観光目的の方たちが本殿の真ん中で集まってきましたので、邪魔にならないようにそっとその本殿の中心を避けて横へ並んで祈りを始めました。すると奥からお坊さんが出てきて、観光客の団体の皆さんへこう言葉を発しました。

「さあ、皆さんが立っているこの場所だけが御利益のある特別な場所ですよ。それ以外の場所は御利益はありませんので、ありがたく御仏にご挨拶致しましょう。」

私たちの祈りは始まっていましたが、はっきりと私達へ向けて言っている事がわかりました。日光東照宮は、どの場所へ参拝するにもお金がかかりますので、私たちはお金がかからない場所を聞いて立っていたのですが、どうやらお金を払わないと御利益は無いようです。

このお坊さんの言葉を聞いてとても悲しい気持ちになりましたが、勝道上人にはきちんとお礼の口上は述べました。しかし、返事がとても小さな声で申し訳なさそうに言って下さる勝道上人の気持ちを考えると、これが今の日光の現状だと教えてくれたのだとわかりました。

神仏の信仰の力で人々を守り、ご先祖や全ての人たちを見守る役目の人たちが、お金の事だけし

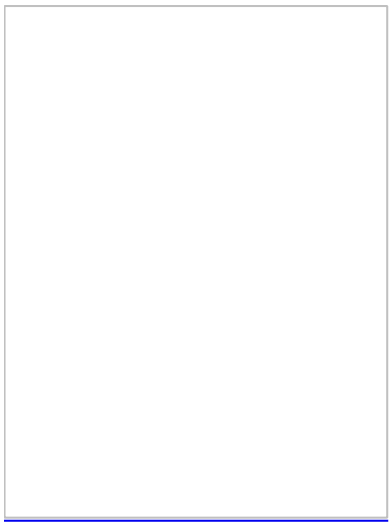
か頭にないと言っていいほど、ここにいる人たちの心は荒れている事を見せてくれたのだと思います。ちなみに、二日間、朝から夕方まで祈りを行いましたが、一度も、お線香を持って祈りをしているお坊さんの姿は見ませんでした。

この姿は、御仏の心を教えるはずの人が「欲」を教える人になっていると、言っていいでしょう。このままではこの場所もきっと衰退するのは目に見えています。御利益主義を売りにしている人たちや、御利益を望む人たち全ての責任だと言っていいでしょう。

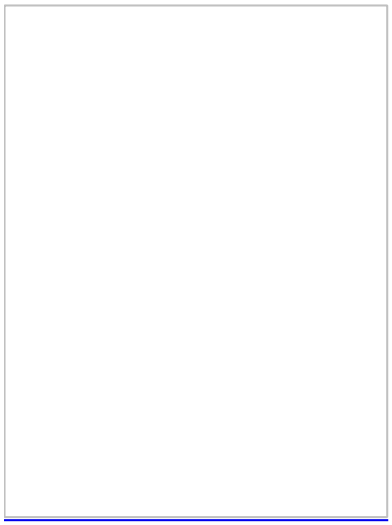
こういう大人たちの哀れな心が変わらない限り、神も御仏も本来の働きができないという事を学んで下さい。

お坊さんの言葉にとてもガッカリした気分になりましたが、気持ちを入れ替えて次は、徳川家康公の御霊がある日光東照宮へ向かいました。





















長い階段を上ってたどり着いた場所は、久能山東照宮と同じ形で御霊を守っていましたので、静岡名産の「いちご」を供物として捧げてから正座して祈りを行いました。

ここにいる家康公の御霊は私の全ての口上を聞いたあと、「私はここに居ていいのか？」と質問をしてきました。

天海僧正がこの場所へ御霊を動かしたとはいえ、やはり本来は久能山東照宮が家康公の御霊の場所だという事がこの言葉でわかりました。

しかし、たくさんお坊さんがこの場所を大切に守っていますし、たくさんの人たちがその事を信じて訪れていますので、「どうぞ、このままここに居て下さい。そして信じている人たちの為にもお働き下さい。」とお伝えしました。

肉体を失った御霊は、時間という概念がありませんので、同じ時刻に違う場所へ分身の術のように移動することが可能です。

だからと言っていくつもお墓を建てたり納骨堂などへ分けて同じ相手を祀ると、御霊は忙しく移動しなければいけなくなる事も覚えておいて下さい。

ご先祖の御霊は、思いのある土地へひっそりと祀るだけで十分ですし、立派なお墓や戒名の文字数によってあちらの世界でご苦労が無くなるなどという事は一切ありません。

ご先祖の御霊が喜ぶ最大の方法は、あなたが心の中で相手の事を思い出し、ただただ感謝の気持ちを思うだけで御霊はとても安らぎます。

どの宗派であっても、どんな形で祀ろうとも、御霊の霊格が変わる事は無いのだという事を覚えておいて下さい。

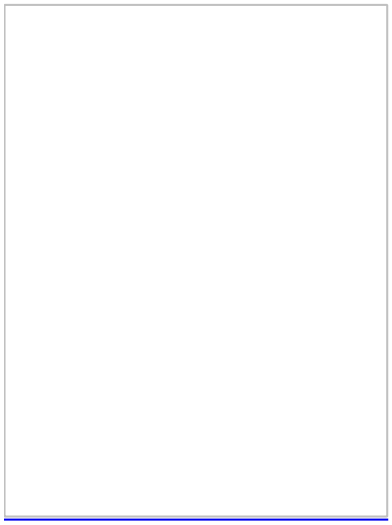
次は、この土地を守っている最大の神山であり、下野国（しもつけのくに）の一宮である「二荒山（ふたらさん）神社」へ向かいました。

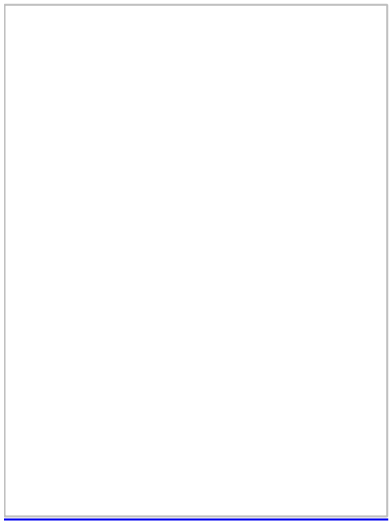
本来は山の頂上にある奥宮へ行ってご挨拶するのが筋なのですが、まだ山が開山していませんのでこの神社から土地神、山神へお礼のご挨拶を行いました。

二荒山は、男体山（なんたいさん）とも呼ばれていて山頂に奥宮、中禅寺湖畔に中宮祠、この場所が御本社として祀られています。

神様は私たちの心を理解して下さり、「皆さんの祈りのおかげで、今までより一層大き

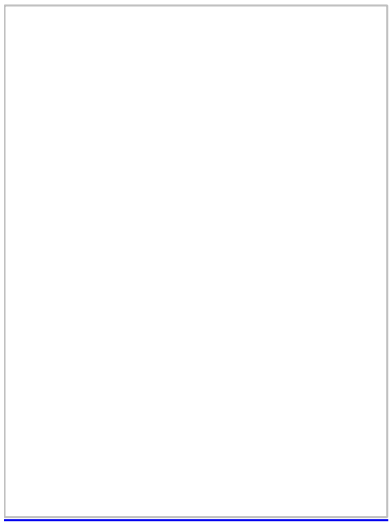
な働きができます。ありがとうございます。」とお礼の言葉を下さいました。神の山に感謝を伝えられた喜びは、全員の心を癒してくれました。



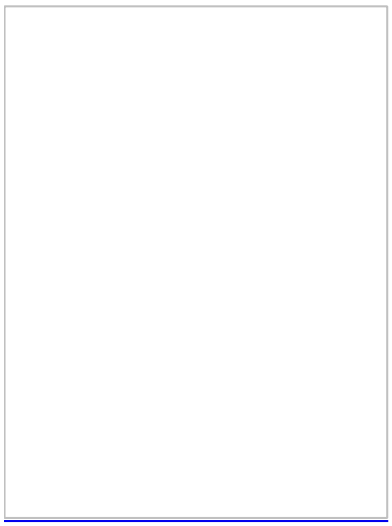


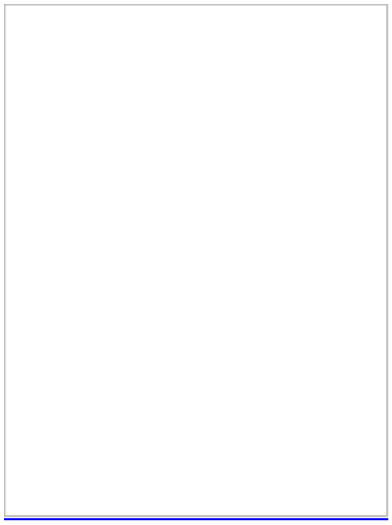
















二荒山（ふたらさん）神社の左奥には「二荒霊泉」が湧き出ていますので、山が湧き出してくれたお水の神様に対して「全国巫女ネットワーク」に参加されている女性たちが感謝の祈りを捧げてくれました。

宇宙神（うちゅうしん）に教えて頂いた「水の祈り言葉」を唱えると、水のエネルギーが一気に増して大きな光のエネルギーが働き出しました。

本当に祈りをする巫女たちの心の祈り言葉は、すべての物のエネルギーを変えるほど大きな働きになることを実感できました。これからもよろしくお願い致します。

つづく

2010.03.20 Sat

日光神事　1　古峯（ふるみね）神社

静岡からレンタカーを借りて日光を目指した5名の車は、東名自動車道から東北自動車道を走りましたが、渋滞、渋滞の連続で７時間を超える大移動になりました。私の一番苦手な渋滞は心も体も疲れさせ、宿へ着いた頃にはへろへろになっていました（＾＾）

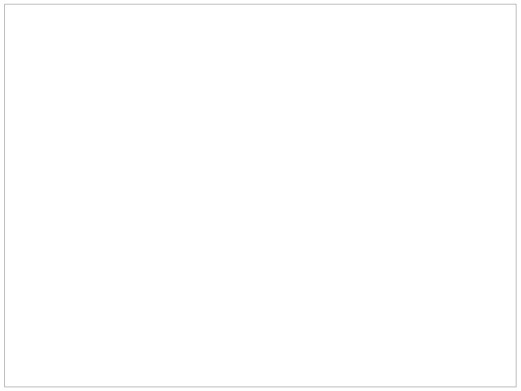
静岡県、東京都、埼玉県、栃木県と県境を超える度に、体に感じるエネルギーが違いますが、それは土地神様のエネルギーが違うからです。必ず県を超える時には、ご挨拶することを忘れてはいけません。

3月１５日早朝、この地域に古くから土地神や山神を大切にしていた修験者たちの集まる「古峯（ふるみね）神社」へ向かいました。

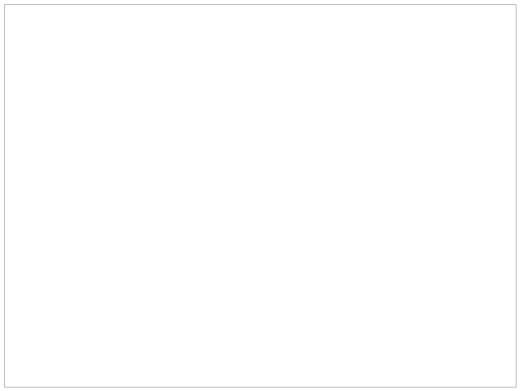
天狗の社（もり）と言われるように修験者たちは最高霊力を体得した大天狗（修験者）を目指してこの場所で修業を積みました。

大天狗と呼ばれた人の能力は、空を自由に飛んだり姿を消す事もできましたし、生命の循環サイクルを動かせるほど自然界と調和した大きな宇宙エネルギーを体得していました。

そういう素晴しい力を体得しようと過酷な修行を積みながら永い時間を山の中で生活していた人たちが、修験者たちです。



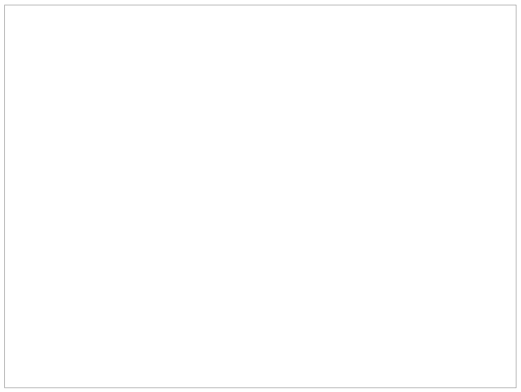
最初に見える大きな鳥居は後から奉納されたものだそうですが、本殿までにいくつもの鳥居が続きます。三つ目の鳥居は川を越えて進みますが、橋の途中で急に頭が痛くなりました。神様のお知らせだとわかったので立ち止まって理由を考えてみました。



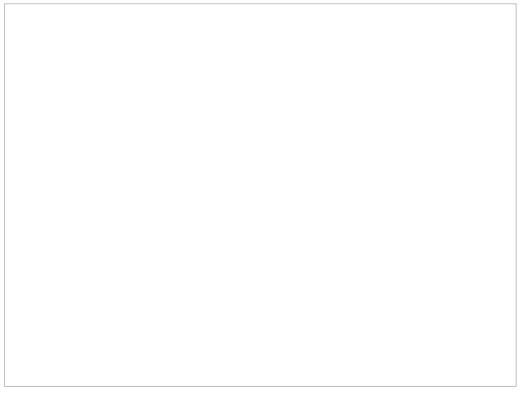
すぐにこの川が、土地を分断して次元を変える「結界」の役目をしていく事に気づいたので、もう一度、戻ってから挨拶をし直して進みました。

大切な神事でこういう次元変更のサインを見逃すと、あとでとんでもない事になる場合もある為に、先頭を歩く人間は常に、周りの全ての物に意識を向けて情報を読み取る事が役目になります。

本殿の階段を登ると、朝の御祈祷が毎日行われているおかげで巫女さんが中へ入る許可を下さいました。たくさんの方が参拝に来ていましたので、その後ろから神主の詔と巫女舞を見せて頂きました。



皆さんの御祈祷が終わってから正式に私たちだけで祈りを行いましたが、御本殿にいらっしゃる神様は私の祈りの最中に、「正面を見て下さい。正面を見て下さい。」と繰り返します。



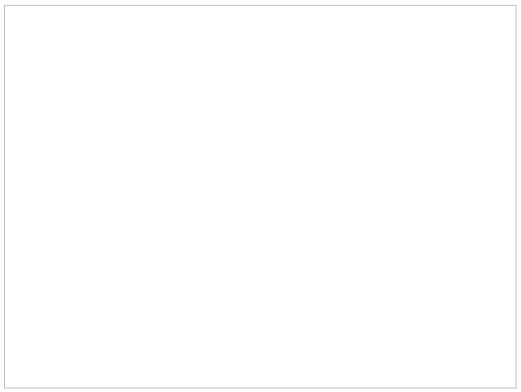
目を開けてみると、正面のローソク台の奥に祀られている二つの物の事を言っているのだと気づ

きました。神様は、同じ物を二つ祀る本当の意味を教えてくれました。

二つの物を祀る意味は、天と地、生と死、陰陽、カラス天狗と大天狗、男と女というように全ては一対で本来の働きができるように神が産み出した事を教えています。

ここにもたくさんの心迷いの方たちが来ているようですが、御祈祷の御利益よりもこういう真理に気づく心を会得して欲しいと願います。

ここにはもう一か所、素晴しい場所がありました。それはとても大きな天狗のお面が二つ並んで飾られている場所です。黒い天狗が「カラス天狗」、赤い天狗が「大天狗」と呼ばれています。



見た瞬間に、とても素晴しい神の力を感じましたので全員で正座をして心を合わせた瞑想しました。

あとで一人一人にこの時の体験を聞きましたが、この時間の心の平安と気づきがとても心地よく、もっと長い時間をここで過ごしたいと感じていたようです。神様に素直に心を向けられる人は、この場所で瞑想をなさる事をお薦め致します。

古峯神社の神様へご挨拶を終えると、最後の鳥居の前にあるお店で地元名産のこんにゃくと、おまんじゅうを頂きました。土地の食べ物を食べる事で心と体が土地になじみ、精神が安定するからです。

お店の御主人はとても楽しい方で色々な事を教えてくれましたが、この人も神の導きで合わせて頂いた事に気づきました。

神事では特にそうですが、出会う人や偶然、起きる出来事さえ、全てが「神の導き」だと知っているからこそ、その時のメッセージを大切にします。

日常生活も同じような事が起きている事に気づけば、もっとたくさんの人たちが心豊かに生きら

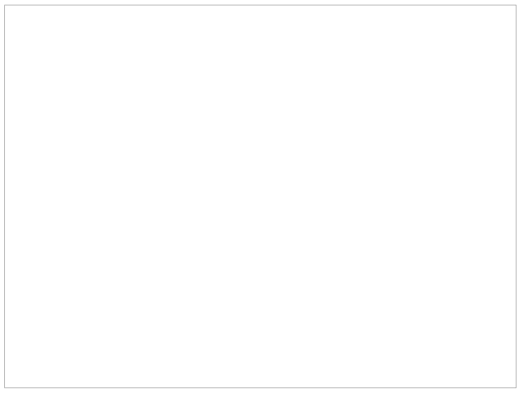
れるのではないかと思います。

私がいつも言っている事は、神事や神仏が特別なのではなく、色々な神仏に向かう瞬間こそ自分の心を問われる時間なのだと気づいて、心素直に生きる為の平安な心が育む努力をして欲しいとお伝えしています。

だからこそ、「他人の行いや言動を問う前に、まず自分の心の改めが大切である事を気づく」ことが、今よりも心穏やかに生きる方法なのだと思います。

つづく
2010.03.19 Fri

久能山　徳川家康公



三保の松・百人祈りを終えたあと、静岡県駿河区にある「久能山東照宮」へ向かいました。目的は、徳川家康公の魂にお逢いして、これから行う関東神事の北祈りの場所となる日光神事のご承認を頂く事が目的です。

なぜ今、徳川家康公がテーマになるのかというと、徳川家康公の魂は、一度、久能山東照宮に祀られたあと、「天海」というスーパー霊能者によって日光へ移された事実があるからです。

この目的は東京の江戸城、つまり、現在の皇居を中心とした関東一円のエネルギー結界を作る為に、徳川家康公の魂を動かす目的があったからです。

自然界のエネルギーバランスを組み入れながら東西南北の四方エネルギーや、天と地の絶対バランスのエネルギーを使う術として発明された「陰陽五行」の力に加えて、霊界や神界まで繋がる力を持つ「天海」は、皇居を中心とする全てのエネルギー繋ぎの為に四方位の最強の場所である北に位置する日光へ徳川家康公の魂を鎮座させる事で全てのバランスを整えました。

現在の日本国の中心都市となった関東一円の状況をみると、自然界エネルギーバランスや神々のバランスが壊れた事で人間の心のバランスも壊れている事は誰もが感じている事だと思います。

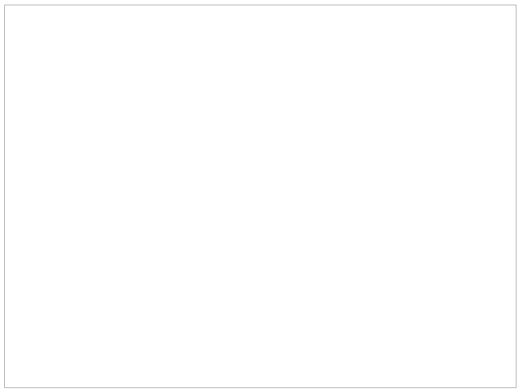
だからこそ今回の日光神事の成功の為には、どうしても徳川家康公の承認が必要なのです。

海の中から隆起した山の頂上に祀られている徳川家康公の御霊までは１１５９段の石段を登りますが、その途中で最初にご挨拶する場所は全ての取り次ぎを行っていた門番がいる場所です。

今回の趣旨を告げると、「しばらくお待ち下さい」と言ったあと、奥から偉い人が出てきて「御苦労さまです。どうぞお通り下さい。」と許可を下さいました。

駿河国守り宣言をしている地元の仲間たちや関東の国守りをしている仲間たちが、さらに石段の

上を目指して登ります。

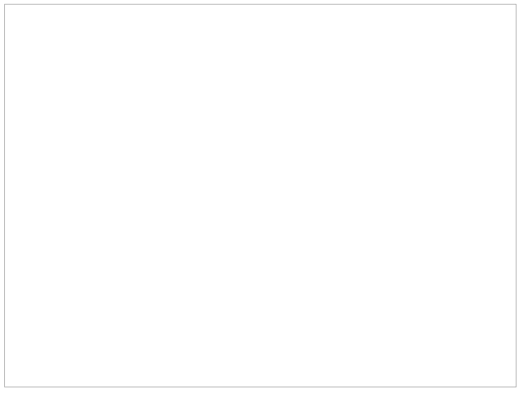


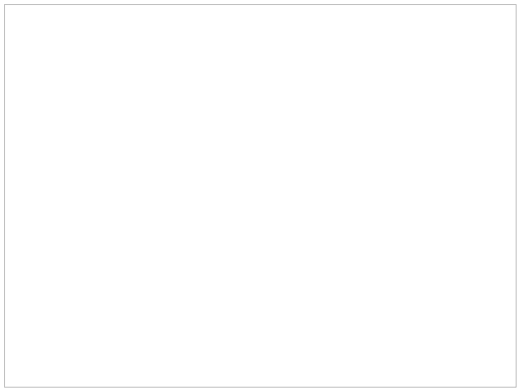
御社殿の手前の門で会釈をすると、「しばらくお待ち下さい」と声が聞こえてきます。何かご挨拶や準備が足りなかったのかと一瞬、不安になりましたが、しばらく待っていると私の前に二人の男性が現れて、ここから先の道案内役として付いて下さった事がわかりました。

服装は、江戸時代の公家の正式装束を着ていますし、烏帽子はとても格の高い人しかかぶらない素敵な烏帽子をつけている男性が二人です。（※これは見えない世界の方たちです）

たくさんの人ごみの中を白装束の私たちが進みますが、観光気分が一切ない私たちにとって周りの人たちの目は気になりません。純粋に御仏に自分の心を示す姿が、白い服を着ることの意味だからです。

御社殿の後ろの階段を上ると、そこには徳川家康公の御霊を守る神廟がありました。





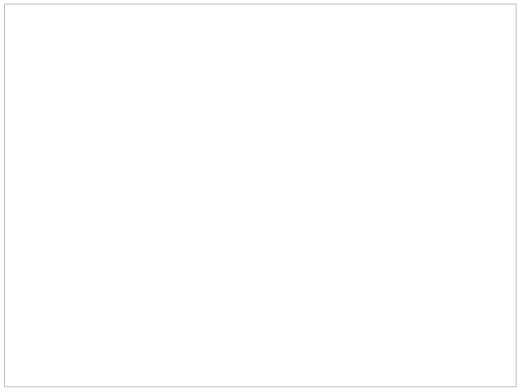
全員が足元の石段に正座して、これまでのお働きに感謝する祈りが始まりました。私は、日光神事の目的を報告したあと、相手の対応を待っていました。

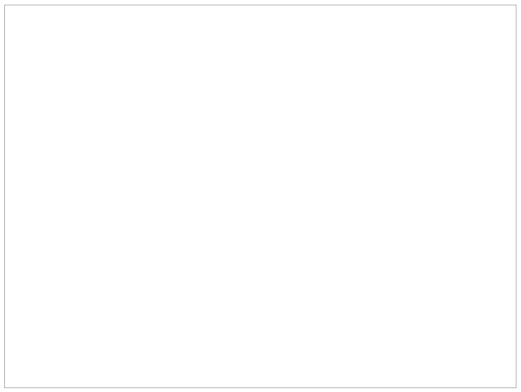
最初は、御簾の両側に数名並んだ人たちへ目的を告げる形で、挨拶が始まりましたが日光神事の全ての趣旨を伝え終えると、「しばらくお待ち下さい」と声が聞こえ、奥から一人の男性が御簾の後ろに座って下さいました。

徳川家康公、御本人が来て下さったのです。家康公へ正式に日光神事を行う趣旨を伝え終えると、しばらくしてからお言葉を下さいました。

「そなたの思い、心から感謝致します。そしてこれから行う全ての事において許可致します。」

ありがとうございます。この祈りに参加して下さいました皆様、本当にありがとうございます。



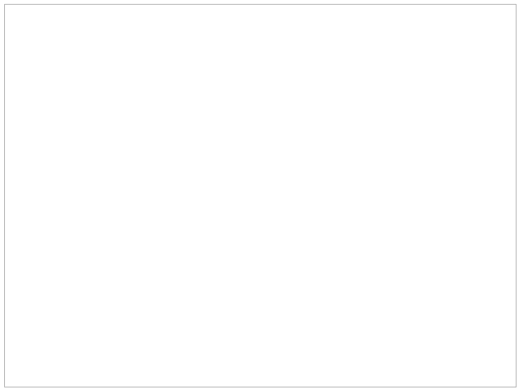


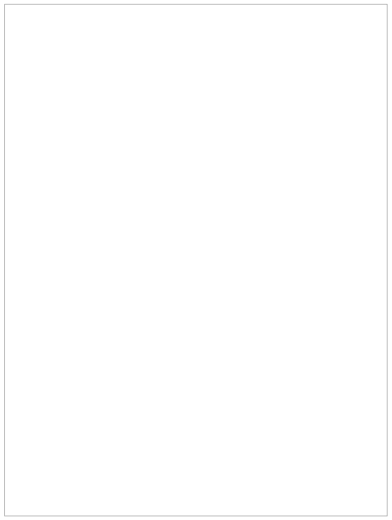
2010.03.18 Thu

三保の松・百人祈り（静岡県）

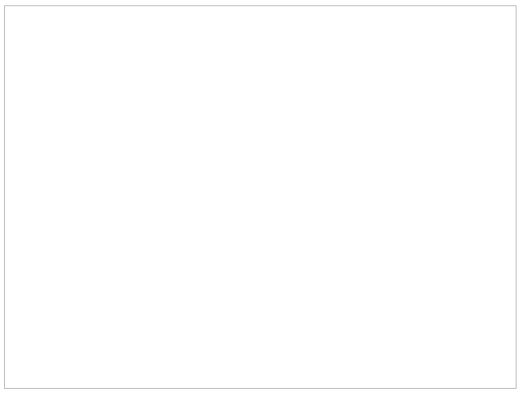
3月14日、三保の松を守っている美穂神社から祈りは始まりました。早朝から神社清掃の為に集まってくれた方たちのおかげで、大きなゴミ袋が５つも一杯になるゴミを拾いました。

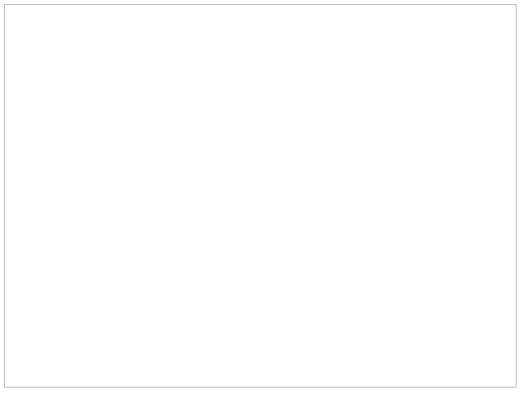
まずご挨拶は全員で美穂神社の神様に参拝してから、三保の松へ繋がる「神の道」を歩きます。

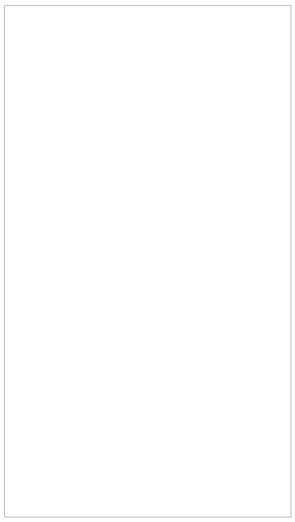


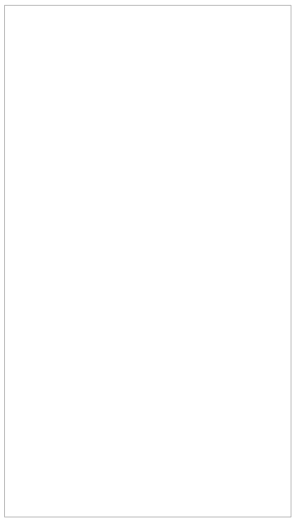


海へ広がる海岸線には美しい富士山と太陽が待っていてくれました。

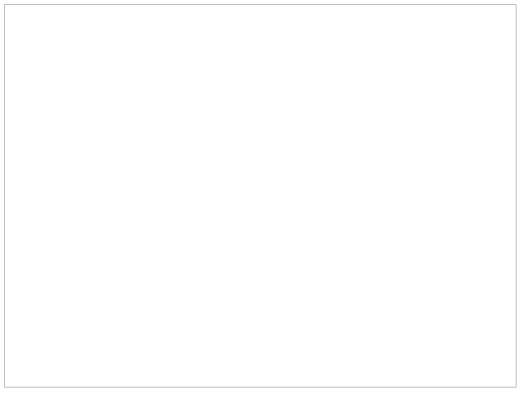


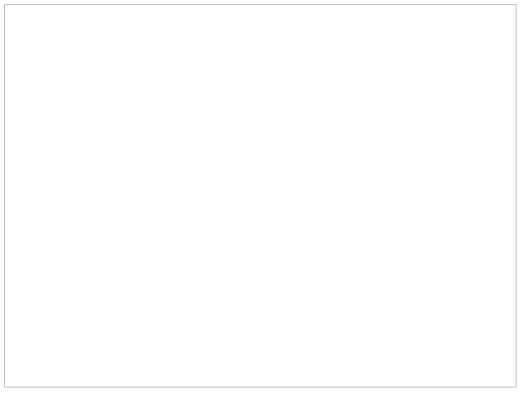






今回の祈りに賛同してくれた皆様からの全国の神の水は、５０ヶ所を超える場所の神水が集まったおかげで、素晴しい感謝の祈りができました。当日集まってくれた方たちは地元の方以外にも4時間以上をかけて来てくれた方や親子三代で祈りに参加さる方もいらっしゃいました。





祈りの後の次郎長太鼓の音色は、魂の響きと共に心と体が震える神のエネルギーを感じました。初めて自分が住む土地への感謝祈りを支えた事務局の方たちも、「本当に人が繋がる素晴しさとそのやさしさに感動しました」と感動の涙を流していました。

お子さん連れのお母さんや御両親を連れてきてくれた方たち子供たちは、真剣に祈る親の後ろ姿を見る事が素晴しい体験になったと思います。

三保の松の祈りを終えると、全国から送って頂いたお水を持って「水神社」へ向かいました。巴川を守る水の神様へご奉納したあと、全員で巴川に注ぎ入れました。

水の神様からは、「皆さんの御心使いに心から感謝致します。おかげ様で今までよりも大きな働きができる事に感謝致します。と言葉を下さいました。

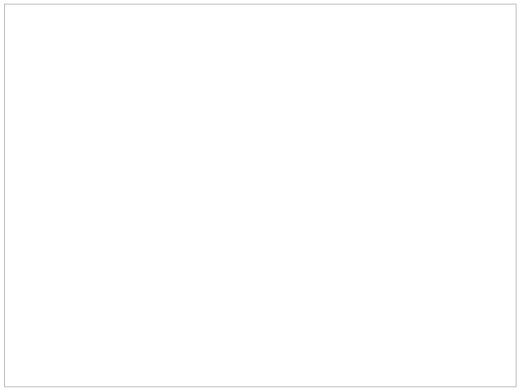
土地や土地に住む人たちの為に「感謝」を普通に行動できる大人たちが増える事を心から願っています。来年へ向けて事務局全員が自分の夢を叶えあう歓びの仲間が増える事を願っています。

これで、住む土地を愛するチーム「さくら」の活動が本格的に始動します。お近くの皆様、また、全国から御支援・御賛同下さいました皆様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

2010.03.14 Sun

鶴岡八幡宮の大銀杏倒れる

3月10日の強風の為、樹齢千年を超える御神木として大切にされていた鶴岡八幡宮（神奈川県鎌倉市）の大銀杏が倒れましたが、この出来事によって自然界が伝えているメッセージを考えてみたいと思います。



神木（しんぼく）とは、古神道における神籬（ひもろぎ）としての木や森をさし、神体のこと。また依り代・神域・結界の意味も同時に内包する木々。一般的に神社神道の神社、神宮の境内にある神体としての木や神聖視される木、その周りを囲む鎮守の森や、伐採をしないとされる木を指す。この他、神社の所有地、民間の所有地にあって民間伝承などの特別な謂われのある木を指す。神社の造営に当たってその木材となる植林または自生する特別に伐採された木を指す場合もある。

まず上記の説明の通り、本来、御神木はもともと土地にあった自然界の古い木、つまり、大きな土地守っていた木の神力を借りて神社や仏閣を建てていますが、御神木にした意味は「ひもろぎ」と呼ばれる神を降ろしたり繋いだりする為の一番、大切な神様の分身として扱う事を表しています。

その御神木が自然界の力で倒れたという事は、第一に、これまでの神様との繋がりが終わった事を意味しています。

第二に、千年以上続いていた土地の繋がり・因縁・カルマも終わったというメッセージの意味もあります。

先日の伊豆神事前にご挨拶した場所だからこそ、とても鮮明に神様エネルギーを覚えていますが、伊豆という土地の意味と、鎌倉という土地に起きた歴史の出来事の意味、そして、この神社の存在意味自体が変わる必要がある事を、自然界の大神の力によって終止符を打たれたのです。

それは良い意味で、過去の色々な思いを引きづるのではなく、これまでの千年のバランスが壊れ

たのだから、人間の心のあり方を改めて新しく再生する必要性を教えてくれています。

また、この御神木を守るべき役割の宮司や神官のあり方を問われているとも言えます。神社がいつのまにか民衆の願いを叶える「神願い」の場所になってしまいましたが、本来は、大切な神様のエネルギーを使って土地や人々を守っている働きがあります。

古神道（こしんとう）の時代はその事を大切に教えていましたが、現在の神道（しんとう）に変わってからは、ご都合主義とも言える人間の愚かさが望むままに神様を扱った事を反省しなければいけないと思います。

その責任は、宮司・神官だけにとどまらず、その土地に住む人全員にもありますし、また参拝で願いを唱えた人全てにもあると言ってもいいでしょう。

「自然界という大きな神々が守る世界の中で人間の思いどおりになる事は無い」という事を忘れた人たちの責任とも言えます。

神様の木が倒れたという事は、土地の守り神が倒れた事を示していますし、その出来事が土地の人が問われている事に気づいて下さい。今、鎌倉に住む全ての人の心を問われているのです。

静岡県清水では、人間が住まわせて頂いている土地や自然界に感謝を忘れていた事に気づいた人たちが「祈り」というテーマで心を繋ぎ合わせて、現実も一緒に変えていこうと動き出しています。

3月14日　三保の松・百人祈り　に向けてたくさんの人が地元のご神水を送って下さっています。そして、その期待に応えるように土地の若い人たちが愛と感謝の心で繋がり始めています。

同じ思いを大切にしている皆様で当日、来られない方はどうぞ**3**月**14**日の午前１０時から三保の松の前で百名が祈りを行いますので、あなたの土地で祈り合わせをお願いします。

いつも自然界の恵みを頂きながら生活させて頂いている感謝を忘れていたお詫びを心から反省して祈りをして下さい。そして祈りのあとは、その気持ちを誰かに伝えて自分の土地を大切にしたい人たちと繋がり、現実を変える活動を始めて下さい。

地球上に存在する全ての命は、大きな自然界の循環の中でしか生きられないからこそ、「願い」ではなく、「感謝の心」を忘れてはいけないのです。

大銀杏の倒木で、あなたがその事に気づいてくれる事を神々は願っています。

2010.03.12 Fri

水の汚れは大人の心

全国で河川の水汚れが大きな問題になっていますが、それは単に生活排水や農業排水、また産業排水が汚した結果という問題にとどまらず、水が汚れていく事を許し続けてきた大人の心の愚かさだと私は思っています。

４０年前までは飲める水が家の周りにたくさんあった時代でしたが、それが当然だと思っていたからこそ誰かが汚していても気にもとめませんでした。

でもこの数十年間で水を汚した事は、命より大切な物を汚している事さえ気づいていないほど大人の心が汚れていると言ってもいいと思います。

幼稚園の児童に、「なぜこの水は飲めないの？」と聞かれたらあなたは何と答えるのでしょうか？

誰かのせいにして、言い訳をするのでしょうか？

あなたは、本当は知っているはずです。自分が便利な生活をしている半面、たくさんの自然を破壊し続けていることを・・・。でも、知っていても見ないふりをしてきたはずです。子供たちはその問いかけの答えを必ず私たち大人たちに聞いてきます。

「ねえママ、なぜこのお水を汚したの？ねえ、なぜなの？」

誰かが、お金をたくさん使ってきれいにしてくれると思っているなら大間違いです。これだけ水汚染が話題になっていても、水を汚す生活は絶対にやめようとはしないのが人間ですから・・・。

誰かが何とかしてくれる、お金さえ出せば誰かが何とかしてくれるはず、私はそれほど汚していないし・・・・・。

こういうたくさんの言い訳をする大人たちが増えています。そして、そういう大人の姿を子供たちはただじっと見つめています。

「大人が何もしないのだから、僕たち子供も何もしなくていいみたい・・・、きっと誰かがしてくれるよ・・・きっと、誰かが・・・・・きっと、誰か・・・・・・。」

私たち大人が今、何を行動するのか子供たちは見ています。上手な説明や言い訳より、ただ大人の行動を見守っています。そして、それをお手本にした生き方をすることでしょう。

「お金を出せば、誰かがお水をきれいにしてくれるの？それで本当にお魚さんがすめるようになるの？」

大人たちは、子供たちにたくさんの嘘を言ってきました。だからそのお詫びに今、償う必要があると思っています。

あなたが本当に自分の子供を大切と思うならば、誰よりもこの思いを行動で示す事が家庭内教育だと思います。

山はたくさんの雨水を抱えて数十年間かかって山の中でろ過をして、飲めるようなきれいなお水にしてくれています。あなたは、水を産み出す山に感謝をしたことはありますか？

木は、土の中からたくさんの水分を蓄えながら私たちに必要な木材や人間の薬にもなる栄養素を製造してくれています。あなたは、木に感謝したことがありますか？

大地はたくさんの土や岩を育みながら、全ての物を分解して新しい栄養素や水を蓄えてくれています。あなたは、大地に感謝をした事がありますか？

こういう命より大切なことを教えないまま、「上手な生き方」ばかりを教えた結果が、今の社会を作っている大人たちなのです。

今、生まれた子供たちに、そして、これから生まれてくる子供たちに心からお詫びします。

私たち大人が、全て悪いのです。とても自分勝手に生きてきた事を今、気づいて反省しています。だから時間はかかるかもしれないけど、一歩一歩あなたたちに信じてもらえる大人になるよう頑張っています。

だから、もう少しだけ時間を下さい。まだその事に気づいていない大人たちがいるので、気づいた大人たちが一生懸命に活動していますので。

「自分の事だけを考えて生きない」と教えたのは、今の大人全員の責任です。

だから一歩一歩、自分にできることをする必要があるのです。

今までの人間の行い全てを心からお詫びして、これから大切にする事が何なのかを周りの大人たちと話し合いましょう。まだ大人を信じてくれる子供たちが、生まれてくれる間に・・・・。

この事に気づいた大人たちが集まる「静岡県　羽衣の松・百人祈り」は、**2010年3月14日午前9時から御穂神社の参拝**から始まります。志ある方は、ゴミ袋を持参して朝8：30の御穂神社清掃にご参加下さい。(静岡県静岡市清水区三保１０７３)

朝9：00～　御穂神社正式参拝＆羽衣の松までの神道を徒歩で移動

朝10：00～天女伝説の「羽衣の松」の前で百人祈り・全国の水を奉納・次郎長太鼓奉納

※全国からたくさんの皆様のご参加をお待ちしています。ご参加を希望される方は、自分の土地の神社のお水か、土地の湧水をご持参下さい。そして、できるだけ白い洋服でご参加をお願いします。

※車でお越しの方は御穂神社の駐車場が狭い為、三保の松原の駐車場をご利用下さい。

「羽衣の松・百人祈り」　実行委員長　伏見佳寿子　sakurasumire1773@gmail.com

参加できない方は、3月13日までにあなたの土地のきれいなお水をお送り下さい。三保の松に御奉納したあと、「水神社」から巴川に神の水として注ぎ込みます。

（送り先）　〒４２４－０８３３　静岡県静岡市清水区新富町１１－５　伏見佳寿子
2010.03.07 Sun

清水の次郎長親分（静岡県）

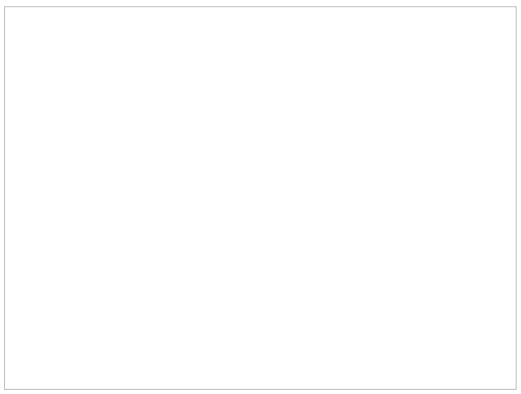
神事をする可能性がある土地の歴史を調べる時のポイントは、民衆へ影響を与えた存在の事を正しく知る事が重要です。一般生活をしていた方たちにどのような影響を与えたのかが、一番わかりやすく知る方法だからです。

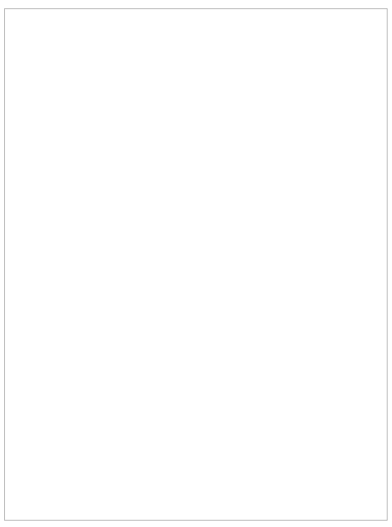
静岡県の清水といえば「清水の次郎長」が有名ですが、偶然、中村雅俊主演の映画をテレビで見た事が今回の調査のキッカケになりました。

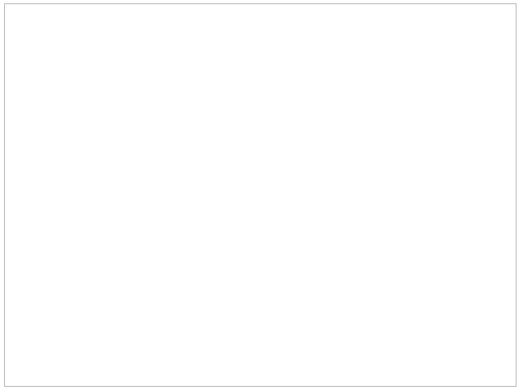
そうとう昔にも別な映画で次郎長親分を見た記憶はありましたが、人情の熱い人間だった事くらいしか思い出せなかったので、ご本人の魂にご挨拶しようと清水の次郎長一家を構えていた船宿「末広」を訪れました。

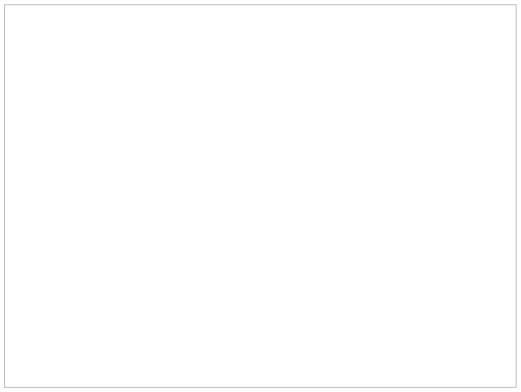
現在の場所は実際の場所より数百メートル移されていますが、実際に使われていた木材を使って正確に形を復元している事と、そこには誰よりも清水の歴史を詳しく調べている望月さんという女性がいるおかげで十分な魂のエネルギーを感じる事ができました。

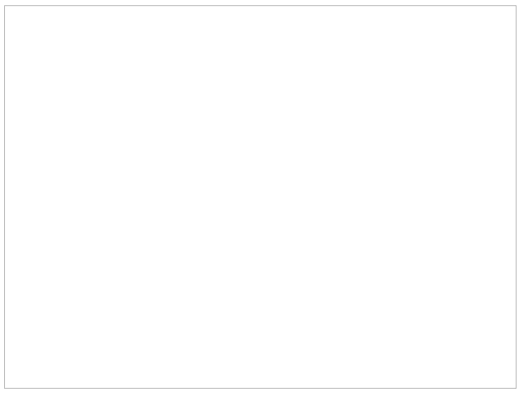
羽衣の松・百人祈りの為の土地の調査をしてくれた伏見さんのおかげで全ての調査はスムーズに運びましたが、船宿「末広」の二階に上がった時のエネルギーには驚きました。





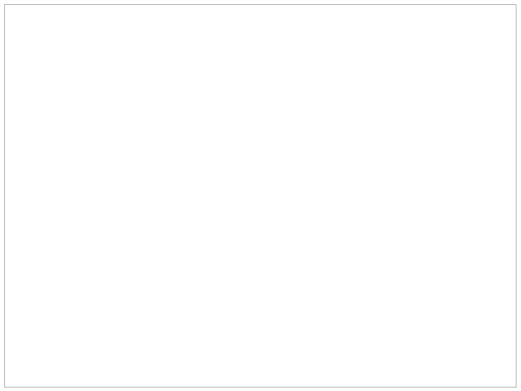






二階へ繋がる階段を上がるとすぐに部屋が二つありますが、奥の部屋には蝋人形で次郎長親分のご家族がいらっしゃいます。部屋の手前で頭を下げて部屋に入り、自己紹介と訪れた目的を告げると次郎長親分は「力をお貸しいたしましょう」と言葉を下さいました。

この部屋に入ってすぐに引っ張られたのは、右手にある床の間でした。掛け軸が一枚かかっているだけですが、そこには今もしっかり見守って下さる存在がいらっしゃいます。きっと次郎長親分や泊った方たちを守っていた大きな神様がいらっしゃるのだと思います。



次郎長親分の許可を得たので、床の間の神様にご挨拶しようと思いましたが、ガイド役の望月さんも一緒にいたほうがいいと感じたので隣に座って祈ってもらいました。

祈りを始めると、次郎長親分の働きや気持ちが痛いほどエネルギーで伝わってきました。どれほど民衆を愛し、我が子のように地域の子供たちを愛してきたかがよくわかりました。

隣に座って祈ってくれた望月さんは、祈り始めるとすぐに誰かに頭を押し付けられたかのように畳に頭が付くほどひれ伏したと言います。「もっと頭を下げなさい」と何度も心の中で声が聞こえたそうです。

普段は足が痛くて正座はできないという彼女も、不思議に正座ができて痛みも全くなかったと言いますし、ただただ涙が溢れてどうしていいのかわからなかったと話してくれました。

私が望月さんに教えた事は、ここには今も次郎長親分が大切にした神様がいらっしゃるので簡単でいいので塩・水・酒を祀ってあげると喜んで下さるという事と、次郎長親分の魂も今はここにいるので、朝来た時にお茶を一杯差し上げて欲しいとお願いしました。

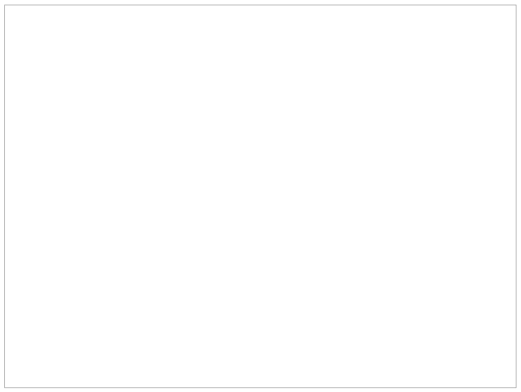
人間は魂になっても肉体を持っていた時と同じ感覚で物事を考えますので、当時のように次郎長親分を大切にしている心の証が一杯のお茶だと教えて差し上げました。

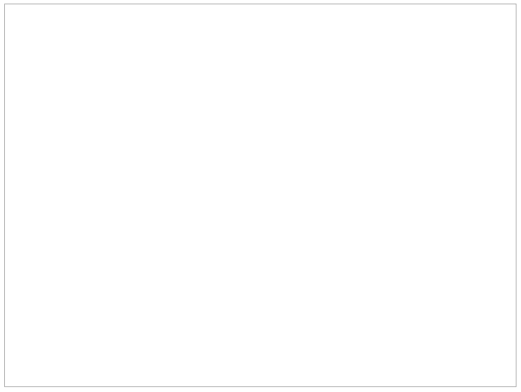
彼女は体質的に色々な物を感じやすいおかげで、自分の魂の反応から何をしてあげるといいのかを自然にわかる女性ですので、そういう方が土地の歴史を調べている事は、地域の方にとってとても素晴らしい活動をされていると思いました。

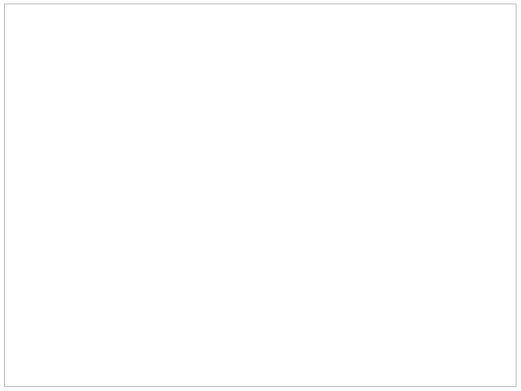
最後にもう一度、次郎長親分にお礼の挨拶をすると、「これからは次郎長一家の末裔として扱う」と言葉を頂きました。これでこの地域一体のどこの土地へ行っても、先祖を超えた整いが働いてくれるので余計な争い事は起きないと思います。ありがとうございます。

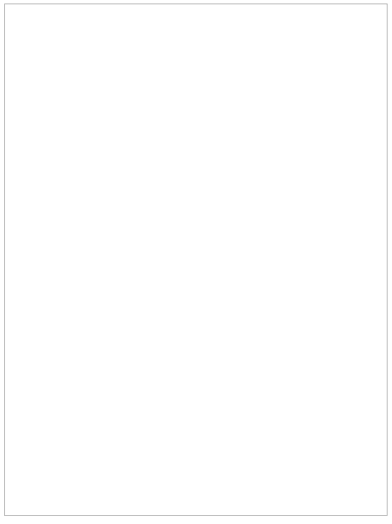
その足で次郎長親分が生まれた生家にも行きましたが、なぜかその場所は少し重い空気に包まれ

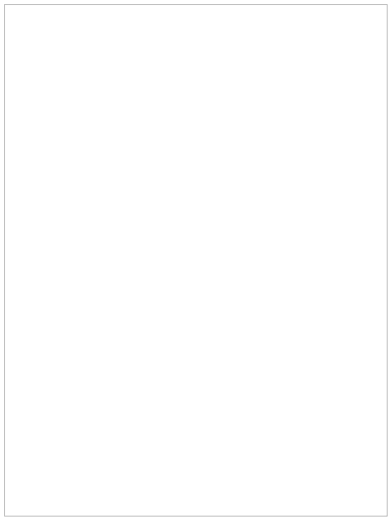
ていたのが残念でした。











仏壇と神棚に祈りを捧げてみて答えはわかりましたが、この家の前の通りが「次郎長通り」と名前が付くほど有名になったのに、現在はシャッター通りと言えるほど閑散としていることが原因でした。庶民の安全と繁栄を願っていた次郎長親分だからこそ、現在の様子は商店街の皆さんの心の中のように曇っているということです。

ここで「博徒」と「任侠」と「極道」の違いを学んでおきましょう。

「博徒」と呼ばれた博打と祭りごとを取り仕切る事で生計を成り立てていた次郎長親分も、年齢と共に親や家族が喜ぶような地域の為の力の使い方を学び、生まれ育った土地を守る為の働きをするようになりました。

庶民感情を理解しながら、庶民だけでは守れない部分に力を使う仕事をした人たちの事を「任侠道」を生きた人たちと言います。

当時の日本は、権力とお金の腐敗で命まで売り飛ばすような時代でしたから、無法者があちこちに居た為に庶民が安心して暮らせる時代ではなかった事から、当時の行政の代表が清水の次郎長親分に現在でいう警察署長をお願いした事もうなずける事実です。

今の時代と違って治安が安定していないこの頃は、力には力で制圧しなければいけない事件も起きる為に地元をまとめていた次郎長親分の活躍を耳にして行政の代表が仕事をお願いしたようです。病気で亡くなる最後の時まで、地元の子供たちの為に英語塾を開いていた記録も残っていました。

このように「任侠道」は、人と人の狭間を守る役目を任された人たちの事だと理解して下さい。

反対に義理と人情を忘れただやみくもに力を振り回す人の集まりを「極道」と言います。人間の王道を外れた極（きわ）の道を歩く人たちの事です。

あまり知られていない事ですが関東大震災の時、荒れ果てた関東の土地の人々の混乱を収めたのも実は「任侠」の人たちでした。

普段、虫も殺さないような人たちも法の番人の力が及ばないとなると、いかに非人道的な行動を取るかは皆さんの土地の歴史を振り返ってみてもわかるとおりです。いかに人間の本質は我欲が強い動物なのかという事が、混乱時ほどよく正体が現れるものです。

そういう人たちを管理する為に、法律と権力を振り回す警察と人情と人の道を教える「任侠」が手を結んで今の日本国は守られた時代もあったのです。常に平和な世の中を維持する為に、影になって働いた人たちがいた事を覚えておいて下さい。

平和や安定が当然だと思っている人たちにとては想像もできない話だと思いますが、学校教育では決して教えてくれない真実の日本の姿なのです。世の中のバランスは常に、こういう見えない影の世界と表の世界のバランスで成り立っているという事を大人たちが正しく理解すること重要な事だと思います。

自分の子供が人の道を外れた時に「親として人間としてどう対応するか」が一番難しい教育だからこそ、極道の人間よりもとんでもない事件を起こしている一般市民の恐ろしさが今の日本の現状だからこそ、地域の子供を自分の子供だと思って「地域教育のあり方」を考え直して欲しいと思います。

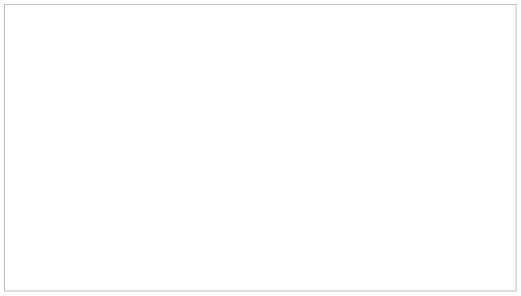
今の日本の現状は、自分の事しか考えられない大人たちの結果であり、そこで起きている責任も全て私たち大人にあると私は思っているからこそ、もう一度、人間教育の原点に立ち返り、未来へ何が必要なのかを若者たちと話し合う時間を作って欲しいとも思っています。

自分の子供と本音の話ができない家族が増えている時代だからこそ、地域の人たちとこういう事を話し合う必要が大切な時代になっている事にどうぞ気づいて下さい。

親子関係は、全ての人間関係の基礎を学ぶ大切な教育だからこそ、まず大人自身が積極的に「地域教育のあり方」を学んで欲しいと思います。日本の未来は、私たち大人の考え方と行動で変える事ができるのです。

◎地域を愛する大人たちの第一歩

羽衣の松・百人祈り　３月１４日　９時より



2010.02.27 Sat

巴川の源泉守り（静岡県）

静岡県清水区の町中を流れる「巴川」は人間が汚した川として有名な川ですが、この川が生まれ変わる為に山奥の源泉まで静岡県に住む仲間たちが祈りに行ってくれました。

普段、当然と思っている川もほんのわずかな山の中の湧き水に伏流水が加わって大きな川になっていますが、今回、この源泉の地を守っている方にお会いする事ができました。

「堀川のおじいさん」と言えば地元でも有名な方ですが、ご本人にお話を聞いて驚いたのは出身が北海道の長万部（おしゃまんべ）で、20歳の時に家を出て現在80歳になると言います。

80歳と言えば私の父も同級生なのですが、当時、こんな生き方をした人はきっと少ないだろうと思いました。

堀川さんは、生まれながらに色々な事が自然にわかってしまう力があり、牛の病気を治したり体調不調な人がいると身体を直す事も自然にできたと言います。

誰かの死を予知したり、霊界と対話することもご本人にとっては普通の事のようですが、７０年前に周りの人たちが受け入れていた事実に驚きます。

私も同じような体験をたくさんしてきましたが、他人に理解されない部分を持っている事ほど辛い経験はありません。堀川さんは、特に「仏様・人格神」について導きが多いと話してくれました。

ご本人の口からなぜこういう体質になって他人の為に生きなければいけなかったのかを仏様から教わった話を教えてくれましたが、先祖の地である京都の「堀河天皇（73代）」の先祖カルマのようでたくさんの人に迷惑をかけた罪滅ぼしをしているようだと教えてくれました。

「堀河天皇（73代）」といえば、父親の「白河天皇（72代）」の話が宮古島や沖縄の祈りの時によく話が出ましたので、堀川さんとの出会いも大きな日本人と天皇家の因縁カルマの解消に関わっているのかもしれません。

もともと「人格神」の事はあまり得意ではありませんでしたが、結果的に日本人の大きなカルマ解消に動いている事は自分自身も気づいていますので、神事は常に神の導きを信じて進めています。

堀川さんは独学で司法試験を受かったあと47歳まで企業の顧問弁護士として働いていましたが、

苦しんだ人たちを正しく導く為に仏様が法律を勉強させたのだと後から気づいたそうです。

静岡県に住んでからは、全国から堀川さんのうわさを聞きつけてたくさんの人が訪れ、毎日のように苦しみを抱えた人たちの悩み相談の相手をしていたそうです。

自宅とは別にこんな山奥に小屋を建てて朝5時から夕方5時まで過ごす意味を土地を手に入れた経緯から聞いてみると、実は、この場所を買わなければいけなかった理由が「徳川家康」をかくまった黒川藩の才光寺があった場所だと仏様が教えてくれたと言います。

世の中には不思議な事はたくさんありますが、歴史に書かれていない隠された事実が常にあるように、どんな時代にも皆さんの知らないところで人の為に自分のやりたい事を犠牲にしながら尽くした人たちがいる事は覚えておいて下さい。

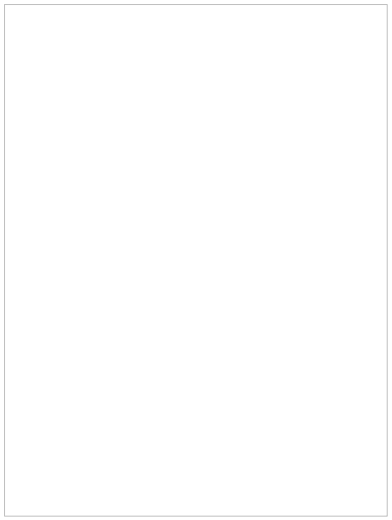
神や仏に与えられる霊力やメッセージを受け取る力も本人が望んだ物ではなく、「役目」として与えられ物だからこそ、私はそういう人たちに喜びを感じて生きて欲しいと願っています。

「自分の為だけに生きる事を許されない人たちがいる」という事を、どうぞ覚えておいて下さい。

「徳川家康」については江戸幕府を作った人間だからこそ、関東神事の大切なメッセージとして現在、あらゆる方面から調査を続けています。徳川家康の魂が今、何を望んでいるのか話を聞かなければいけないと感じています。

地球再生の為に、日本再生の為に日本民族の全てのカルマ解消に働いていると気づいたからこそ、最大のエネルギーが集まっている日本の首都東京が光り輝く土地と人に満ち溢れさせる神事に皆様のお力をお貸し下さい。

3月14日　羽衣の松・百人祈り　/　巴川の水神社祈り　/　久能山東照宮神事
3月15日～17日　　関東神事　北祈り（日光東照宮）・登山神事

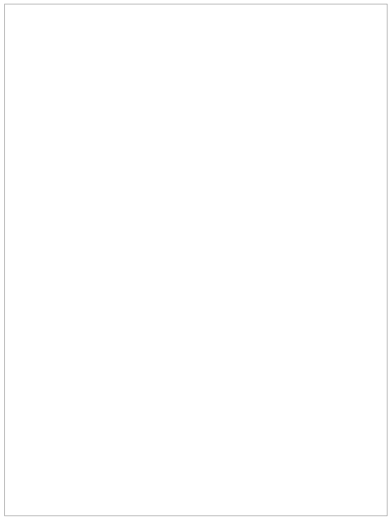


◎地球創生基金へ募金をお願いします。

2010.02.26 Fri

羽衣の松・百人祈り（静岡県）

東京の西祈りを終えてから静岡県へ移動して、地元を愛する人たちと大切な精神を後世へ伝える為の話し合いを行いました。今回、集まった目的は3月14日に行われる「羽衣の松・百人祈り」へ向けて大人がどうあるべきかという話し合いをしました。



「羽衣の松・百人祈り」は、**2010年3月14日午前9時から御穂神社の参拝**から始まります。志ある方は、ゴミ袋を持参して朝8：30の御穂神社清掃にご参加下さい。(静岡県静岡市清水区三保１０７３)

朝9：00～　御穂神社正式参拝＆羽衣の松までの神道を徒歩で移動

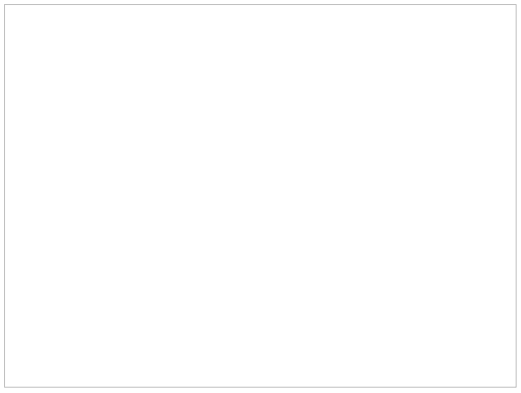
朝10：00～天女伝説の「羽衣の松」の前で百人祈り・全国の水を奉納・次郎長太鼓奉納

※全国からたくさんの皆様のご参加をお待ちしています。ご参加を希望される方は、自分の土地の神社のお水か、土地の湧水をご持参下さい。そして、できるだけ白い洋服でご参加をお願いします。

※車でお越しの方は御穂神社の駐車場が狭い為、三保の松原の駐車場をご利用下さい。

「羽衣の松・百人祈り」　実行委員長　伏見佳寿子　sakurasumire1773@gmail.com

※2月22日に静岡県清水区にある「水神社」の神様たちと対話した内容は、さくら咲く ～愛と感謝と笑いに満ちた日常に～ SAKURA supreme studio 伏見 佳寿子をご覧下さい。



全国の土地を愛する人たちにお願いしている事は、まず自分の土地で起きた歴史を学んで下さいとお願いしています。戦いの歴史が多く残る日本は、政治・権力・宗教の移り変わりと共に民衆の生活も大きく変わりましたが、大人たちが子供たちに望むことは今もそれほど変わりはありません。

子供たちが安心して生活できる地域環境や、先祖が大切にした精神性を守り続けて欲しいという願いが同じだという意味です。

でも忘れがちなのは、山や川から頂く恵みと海の恵みを頂いている感謝の心を示すことです。

今ある全ての物を失ったとしても、大自然が豊かでありさえすれば、もう一度、やり直すことはできます。自分の命より大切なものが、私たちの足もとにあるものだということを伝えることこそ、大人としての役目だと思います。

そして日本全国の現状もここ静岡県と同じように、山々を削り、川を汚し、海を汚しています。

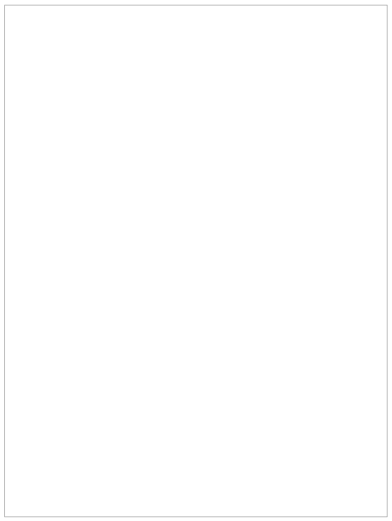
自然界から恵みを頂くのならば、そのお返しの心を行動で示す姿を私たち大人が一人一人示そうではありませんか！あなたの第一歩の行動から日本の未来は変わると断言します。
2010.02.25 Thu

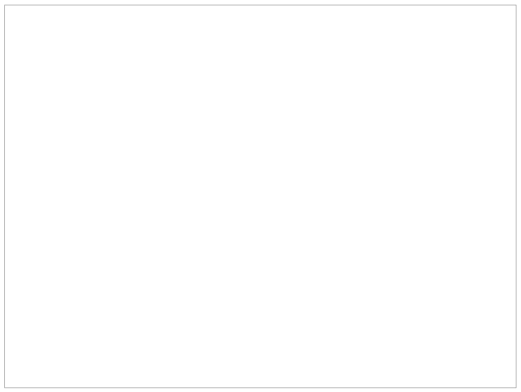
関東神事　西祈り

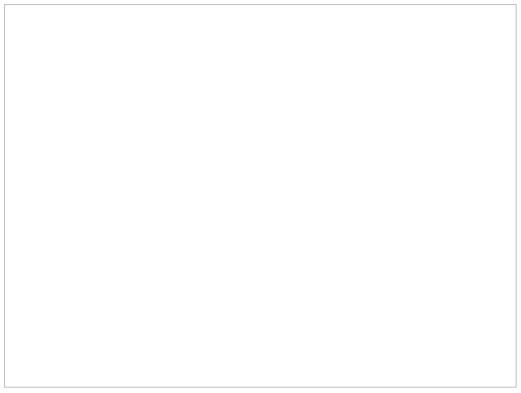
お世話になった奥多摩の旅館　荒澤屋さんが、「民話の里」と呼ばれるほど民話を広める活動をしていたおかげで、この地方に語り継がれている大切な土地神様のメッセージを見つける事ができました。

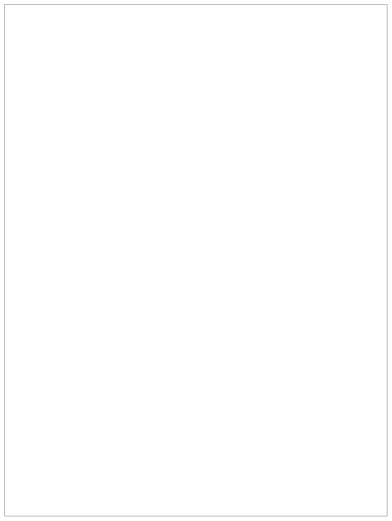
ぽっかり町の中に浮き出た山は、昔から火柱で災いを教えてくれる天狗の山と呼ばれ「火の神様」を頂上に祀っています。駅から歩くと1時間ほどでかかる山も、車で登れたことに感謝しました。

残雪が残る階段の上に祀られた「愛宕（あたご）神社」の御宮を見つけた時は、よくこんな山の上に立派な御宮を作ったものだと感心しましたし、地元の人たちの自然神に対する心の素晴らしさを感じました。ここの御神体は、立ちあがった岩です。



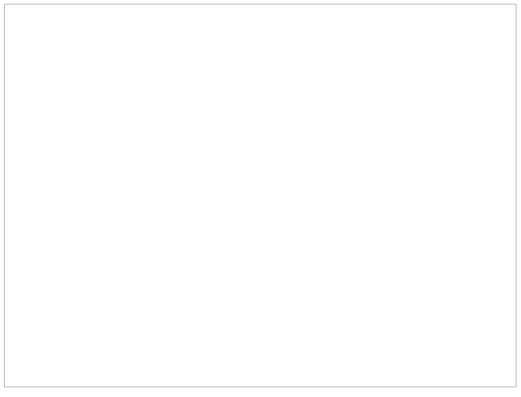


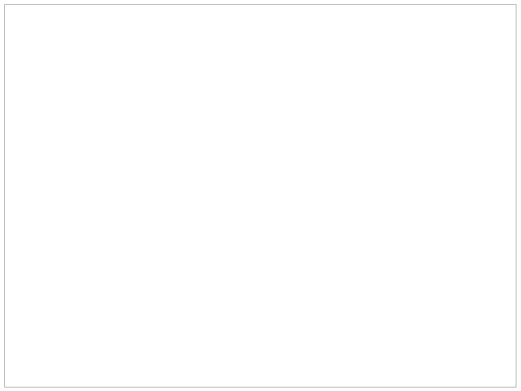


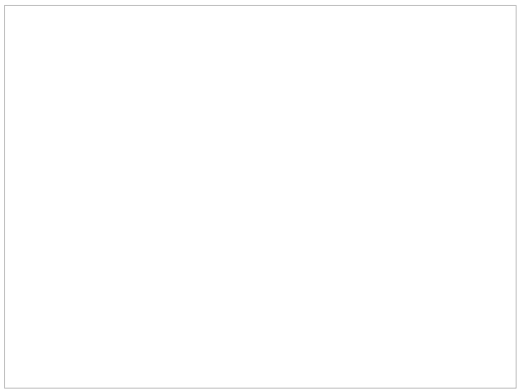


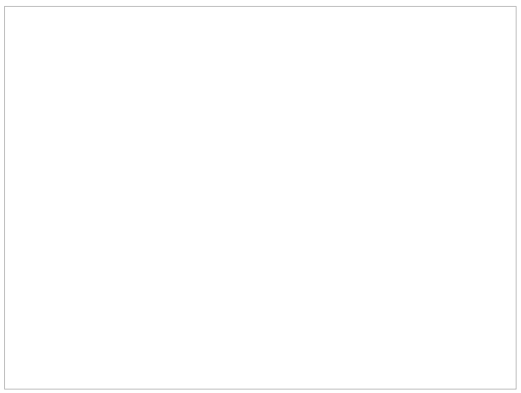
山の神、火の神にこの場所を守って下さった御礼の挨拶と地球を守る宣言をすると、土地を守る心を認めて頂いた御礼に「火の神様」が一人一人に守りとして付いて下さいました。ラフティングを教えてくれた浅野監督は男性として土地を守る為の証となる剣を頂きましたので、ここの神様の素晴しい霊力と導きにお礼を伝えました。

山を降りて地元の人が大切にしている弁天池と弁天神社にもご挨拶に行きました。昔は今の倍の大きさの池だったそうですが、小さくなった池の奥に神様は祀られていました。守っている樹と神様のエネルギーが下がっているのは見てすぐにわかりましたので、お水と祈りのエネルギーで愛をたくさん注入させて頂きました。神様の歓びの証は、いつも素晴しい太陽の光で表して下さいます。







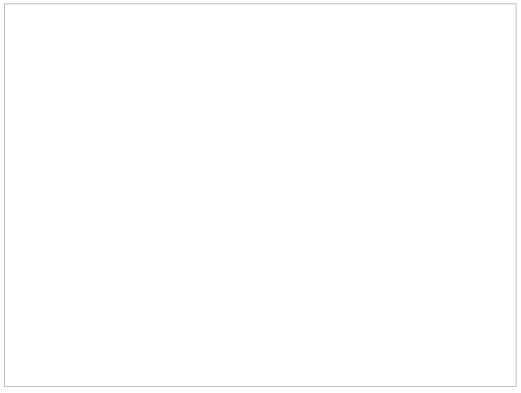


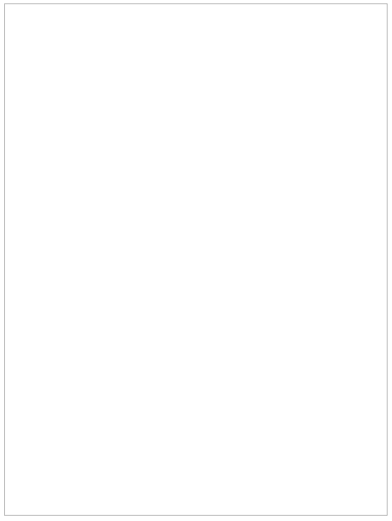
「弁天様」という神様は、唯一、龍の背中に乗ることができる龍の守り神ですので、水がきれいになっていると大きな働きができますが、水が汚れたり池が汚れると守る働きができないと悲しくなります。

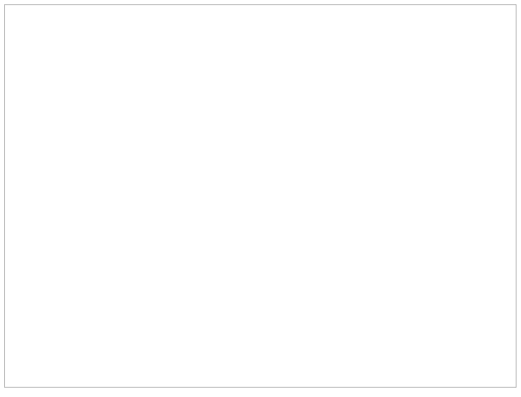
今までにも悲しげに泣いている「弁天様」を何度か助けた事がありますが、「水神の集合体である龍」が元気に働いてくれる事が何よりもうれしいのです。「弁天様」が水の守り神と呼ばれる由縁は、こういう理由があることも覚えておいて欲しいと思います。

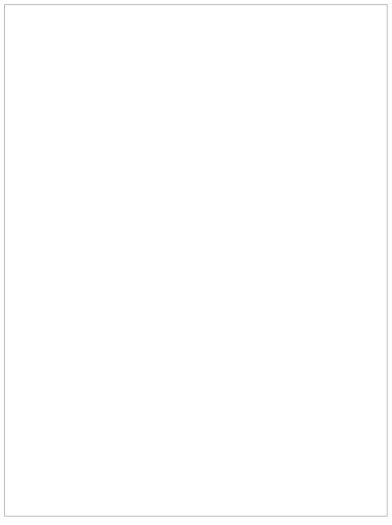
次に向かった場所は、修験者たちが大切にした岩を御神体としている「白髭神社」です。祀られているのは「塩土翁神」ですから、渡来人が海から渡って運んだ恵みに感謝した人たちの信仰心の表れだとわかりました。

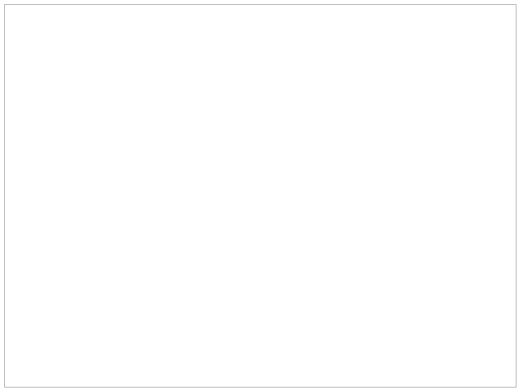
山の壁が崩れ落ちた大きな岩の壁に手を触れると、冷たい山の奥からのエネルギーを感じます。自然神を祀った「古神道」の精神は、いつもこういう形で残っています。

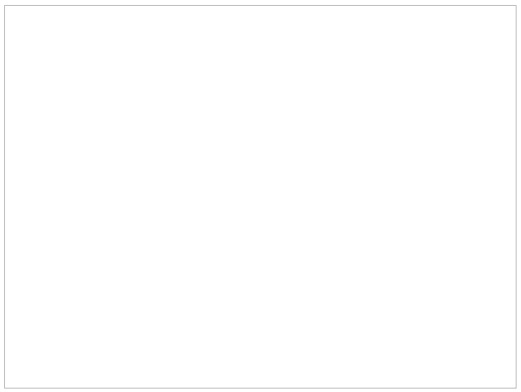


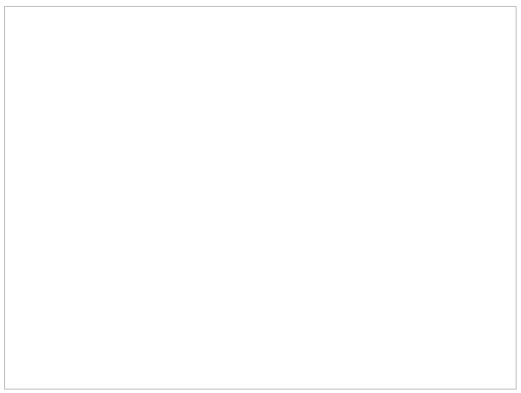












祈りのあと車の中で、ここの神様からメッセージが届きました。

「大和の大神たちを祀ること、それ、そなたたちの勝手なり。大神の意思受け継ぐ者は、我の中にある神心信じ、その由、伝えよ。　大神の子　祀る者たちへ」

山や岩や川などの自然界エネルギーを感じ取って祈りをした「修験信仰」は、本来、祀る対象物を残しません。そのあと生まれた「古神道」では神の名前を付けたり形は作りましたが、文字として書いた物を残さない方法を守りました。

現代の「神道」は神の心を書物に残し体系を作ったおかげで大きな組織になりましたが、その分、一人一人が心で感じる神の力を弱めた結果にもなっています。

宇宙の大神の心を知る人は、目に見える物や書かれた文字だけを信じるのではなく、自らの内側

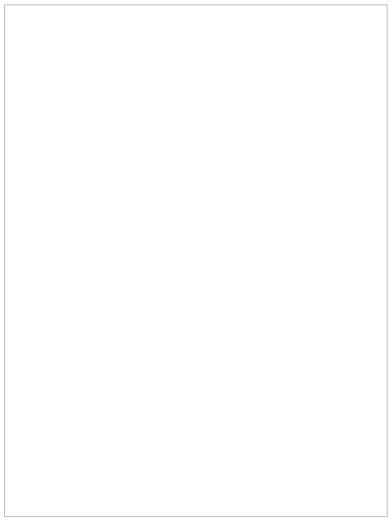
で感じる魂のメッセージこそが大神のメッセージと信じて自分の信じる道を歩きなさいと教えてくれたメッセージです。ありがとうございます。

多摩川の横を走る道の先に古い集落を水没させて作った「奥多摩湖」がありますが、川の端を見ているだけでたくさんの御霊たちの思いを体で感じます。

「どうして俺たちの村を潰したんだ。先祖の御霊はどこへ行けばいいのだ。悲しいよおー、苦しいよおー。」とたくさんの顔が見えてきました。

どこかでこの御霊たちの思いを上げて上げなければいけないと思い、「小河内（おごうち）神社」へ向かいました。

車を止めて階段を上ると、導かれるようにまっすぐ「忠魂碑」の前に立っていました。エネルギーを見るとそれなりに祈りはしているようですが、まだまだたくさんの御霊たちが上がれずに苦しんでいましのので塩・水・酒で周りを清めてから祈りを始めました。



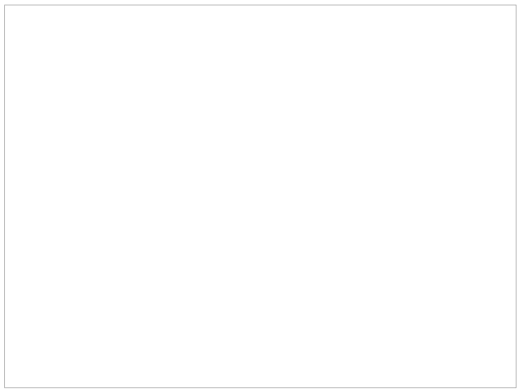
天に繋がる大神が真っ赤な光を降ろして下さり、この「忠魂碑」と繋がるラインができました。土地の思いや人間の思いも一緒に天へ登る事ができる永遠に続く神の御柱の完成です。

御柱の繋ぎ祈りを終えると、たくさんの御霊たちが一斉にその柱を登っていきました。この奥多摩のダムを作る時にたくさんの犠牲者が出たことは事実です。朝鮮・台湾などの第三国人の奴隷や食うや食わずで働きながら、たくさんの人たちが死んでいます。

その全ての人の思いがこの水に転写されていたことを考えると、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

しかし、この祈りで多摩川の水は完全に清められました。水は人間の意識に影響するとても大切なものだからこそ、常に純粋な状態にすることが大切なのです。

山の奥の源泉まで祈りに行ってくれた仲間の話も聞いていたので、今後、多摩川の水の恵みを得ている全ての人たちの神意識が目覚めることを祈ります。



「忠魂碑」で御霊を上げた後、向かいにある神社へ行きました。神様に向き合った瞬間、白蛇がきょとんとした顔でこちらを見ていたと仲間が教えてくれました。私が祈りを始めると、ここの神様の神格があがる祈りをしていることに気づきました。

結果は驚くなかれ「五段階昇格」という素晴しい神様に、ここの神様が昇格しました。これは白蛇が、龍になれたことを表しています。

さらに「龍球王国の十五神」との繋がりも作り、大きな神の力としてここを守り働く事を神様は約束して下さいました。

祈りを終えて帰る時、鳥居の横に天から門番が降りてきました。両側に一人づつ入ったのも、ここの神様の神格の大きさを示しています。

これで多摩川の源泉の神と繋がって大きな神の力が多摩川に入りましたので、世の中の変える働きもして下さると思います。お力添え頂いた大神たちに、心から感謝いたします。

午後は、ここ一体を守る最高の神の場所「御嶽山（みたけやま）の頂上にある御嶽神社」です。

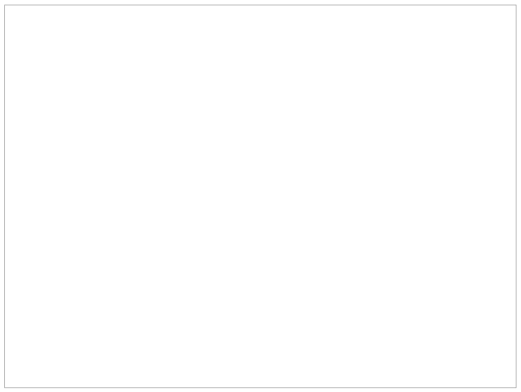
ロープウエイで６分登ると、山の上は残雪でまっ白に包まれていました。昔々、修験者たちは山を越えて歩いて登った道を一気に登り始めました。

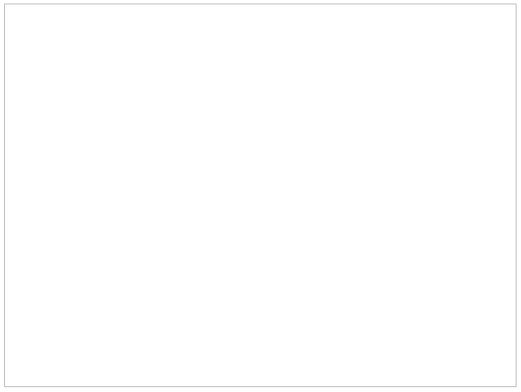
自然の神を崇めた修験信仰に加えて、麓の人たちはこの山の神様をとても大切にしてきました。山の恵みや川の恵みを頂くおかげで、家族が生き伸びた御礼をし続けてきたのです。

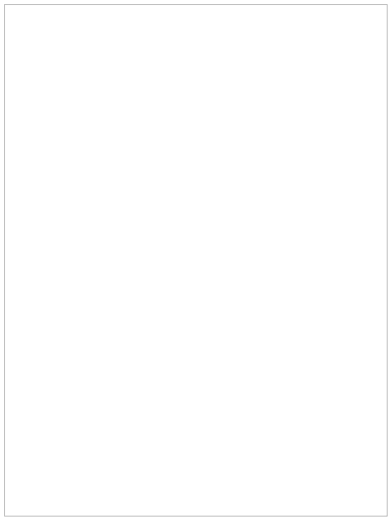
そういう地元の人たちの気持ちを大切にしたくなったので、今回は供物を用意しました。川の魚とおまんじゅうです。何よりも貴重な物を神様に捧げる為にたくさんの人が山へ登ったことがわかります。そういう素晴しい人たちがいたからこそ、私たちは今の暮らしを手に入れているのです。

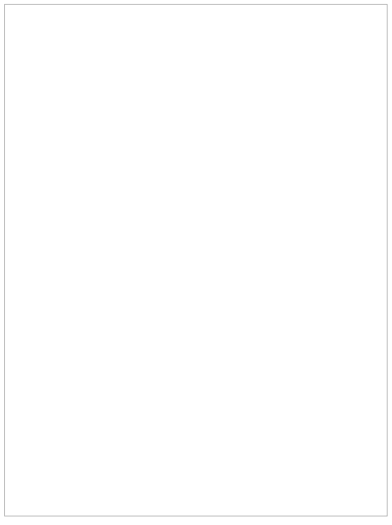
現在の本殿の後ろには旧本殿もありますので、そちらにも挨拶に行ってみるとたくさんの摂社に神を祀っていました。その数の多さに、いかにここの神様が強い力で守られているかを感じました。

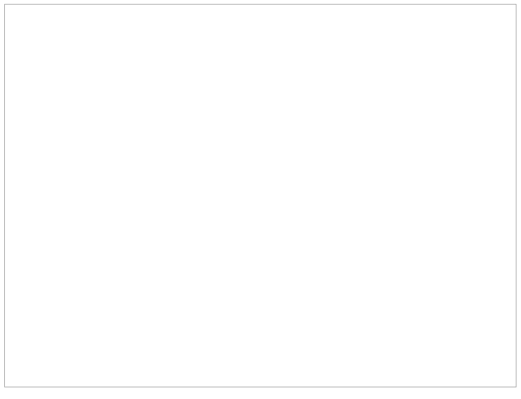
日本と地球を生まれ変わらせる為に、この地から正式に「関東の神事」が始まりました。本日の神事をもって「関東神事　西祈り」が達成した事をご報告致します。

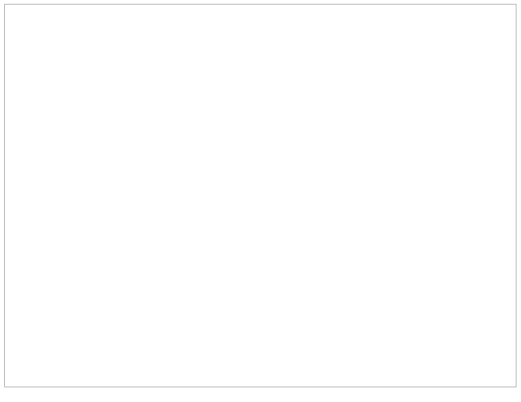


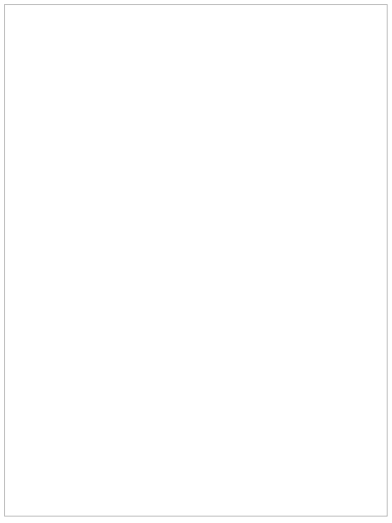


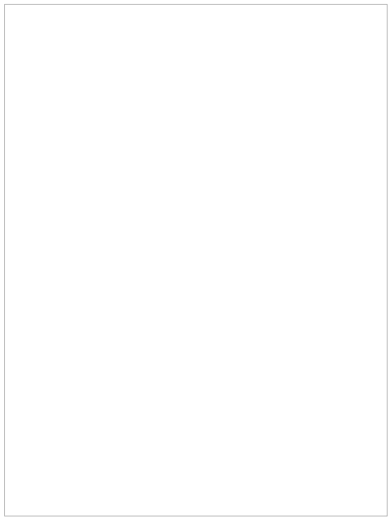


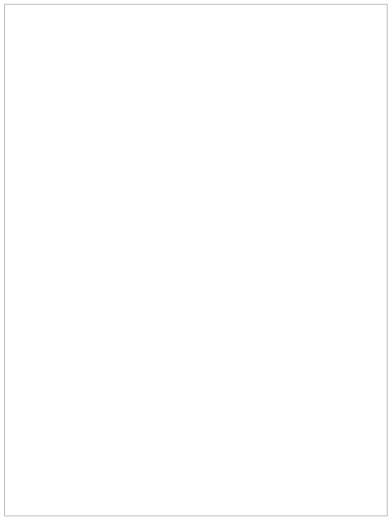


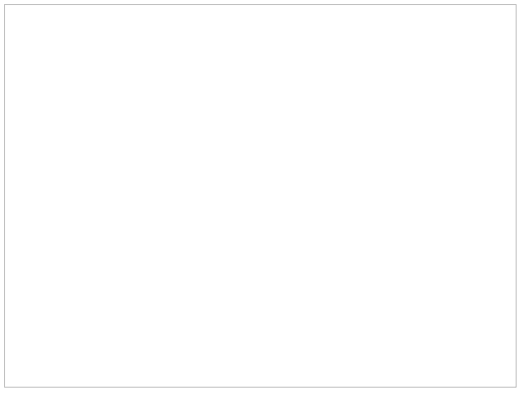


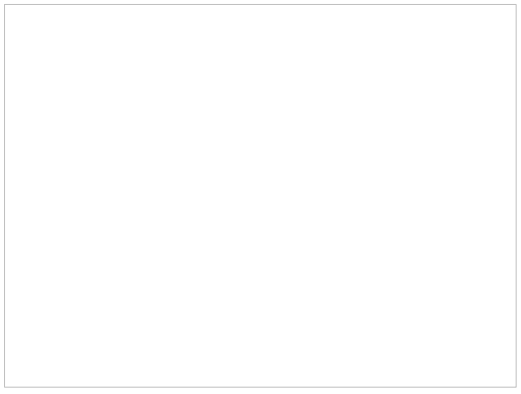


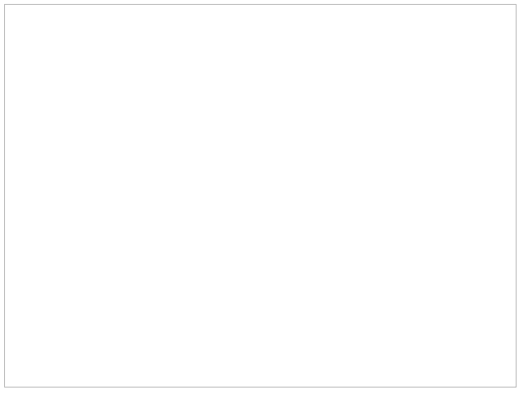












2010.02.23 Tue

初体験　ラフティング！

2月19日、東京都の西に当たる多摩川の源流を遡った川で「ラフティング」というスポーツを初体験しました。目的は、自然の中で大切な事を気づく為の「ラフティング＆スピリチュアルイベント」を現在、計画中だからです。

コーチは、世界第二位の実績を持つプロラフティングチームの全日本監督　浅野重人さんです。

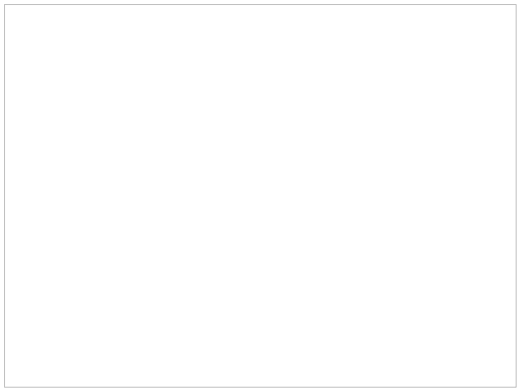
素晴しい選手の皆さんも同じ場所でトレーニングをしていたので、午前中は仲間と一緒に見学をさせてもらいました。

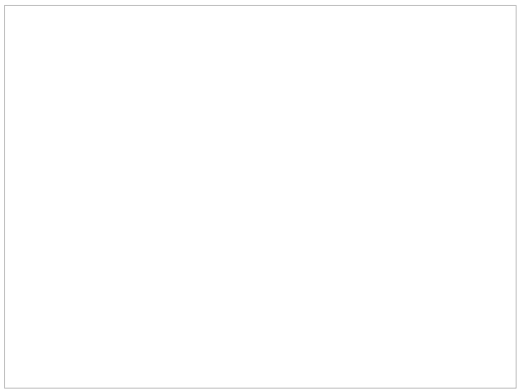
真剣に水の流れに挑む男たちの姿は美しく感動しましたが、その真剣な時間のエネルギーの結果が大きな試合に出るのだと感じ、声をかけることを遠慮するほど皆さんの体からエネルギーが発せられていました。

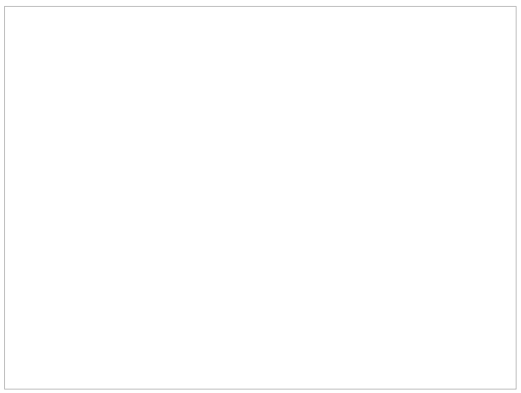
ボートに乗っている素晴しい若者たちは、今年7月に世界初の「4人乗りのラフティング世界選手権」に出場しますが、昨年までの6名乗りで勝ち取った世界第二位というタイトルを超える成績を目指して毎日トレーニングされています。どうぞ、皆さんの暖かい応援を宜しくお願い致します。

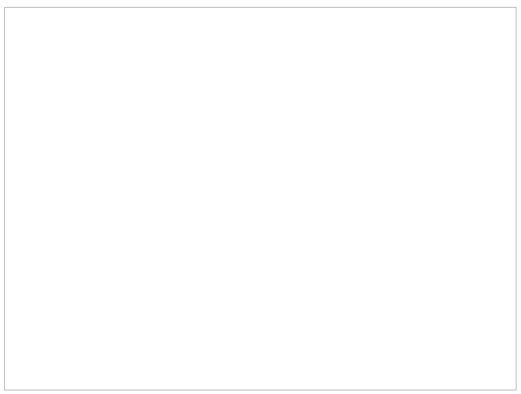
午後からチャレンジした「ラフティング」を一言でいうと、「とても気持ちいいー！」スポーツでした。
スポーツはやはり、見るよりもやってみるほうが楽しいと感じました。

１０年近くオーストラリアと日本で「ラフティング」というスポーツを広める活動をしてきた浅野監督は、本当にやさしく初心者の私たちを指導して下さいました。おかげで水に溺れる恐怖を感じることなく、とても楽しい時間を全員が満喫できました。









私が初めて体験して感じた事は、ボートに揺られながら川の真ん中で水の流れと気の流れを全身で感じた心地よさは、どんなヒーリングも叶わないほど大きな大自然のエネルギーが溢れていたことです。

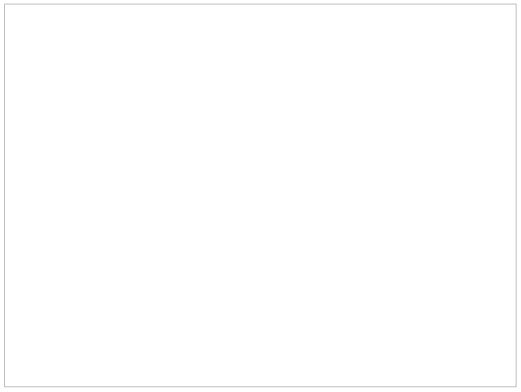
岩が発するエネルギー、水の流れが発するエネルギー、そして、まわりの景色から溢れ出ているエネルギーは、単にウオータースポーツという概念を超えた素晴しい体験をさせてくれました。

「水は命である」と神様が教えてくれた言葉を、また深く感じさせてくれた今回の経験に心から感謝いたします。

明日は、この多摩川の貯水地になっている「奥多摩湖の水祈り」と、この水を湧き出してくれている御嶽山の山頂にある御嶽神社へ祈りへ出かけます。

全ては神の導きで決まったこの場所の意味も、祈りを終えてから気づいて全員の心がを新たなった神事でした。詳細公開を、どうぞお楽しみに！
2010.02.21 Sun

『青年会』発足



2010年2月14日、北海道苫小牧市に住む20代 30代 40代の若者たちが、地球や地域の為に活動する『青年会』が新しく発足しました。

この若者たちのルールは、お互いに『囚われず 縛らず 、くくらず』をルールとしながら自分の夢を実現させる日本全国の若者たちも対象とした新しい形の人の繋がりです。

２００９年1月に発足した「長老会」の諸先輩たちに見守られながらの結団式は、感動の涙と熱い思いに新しい地球の未来の希望を感じました。

組織を作らず、互いの意思を確認して、ただ信じる道を進む人たちは、一人一人が完全に「自己責任」を持った大人の集まりです。自分の未熟さを認めながらも甘えるのではなく、「他人が喜ぶ事をする」という黄金ルールを実践する人たちです。

全ての人間に課せられた責任として「年齢・年代」がありますが、その役目こそ他の年代の方たちがいるおかげと感謝の気持ちで集まった大人たちです。

ここには一切の依存はなく、一切の囚われや縛りもありませんので、その中で夢を実現させるコツは、「お互いを信じながらも依存せず、ただ愛を与える行動を起こすのみ」だと思います。

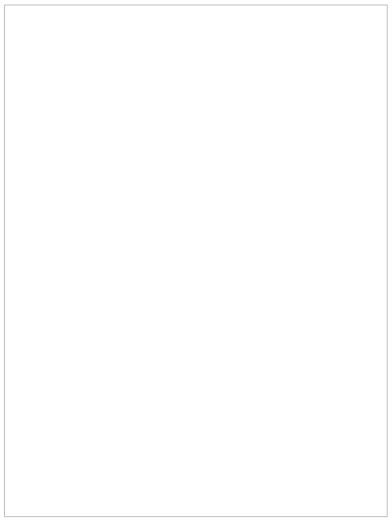
自分にできないことを成し遂げてくれる人たちに感謝しながら、今、自分のするべきことをしっかり果たす素敵な人たちです。

こういう日本の未来を輝かせる為に真剣に生きる人たちがいるからこそ、私も自分にできる事やするべき事をしっかり果たしていきたいと思いました。

この日の朝、苫小牧市の駅前ビルの一階に若者たちが開店したお店がオープンしました。

地球環境を改善する「ビーワン」のお水を使った商品や、抗酸化商品として有名な「えみな」を取り揃えた素晴しいお店です。

社長は３２歳の事業家で、いくつもの事業を成功させながら、地域や地球への恩返しをビジネスとしてチャレンジしてくれた素晴しい経営者の見本です。



「今できることをすぐにする」、「自分の為と他人の為を同じに生きる」、「愛と感謝の実践」

新しい日本の未来は、北海道の苫小牧市から始まっています。
2010.02.15 Mon

電化製品が壊れる理由

家のパソコンや携帯電話、車や掃除機などいつも自分が使う身の回りの電化製品の中でも微弱電流が流れている電化製品が突然、不調になったり壊れる原因に「寿命」以外の大きな要因がある事を覚えておいて下さい。

それは、「自分の無意識エネルギーの波動（周波数）が変わる時期」のお知らせなのです。

今までの古い考え方や思考パターンでは今後、うまくいかないのであなたの守護存在から「過去の考え方を手放して新しい自分に変わりなさい！」というメッセージなのです。

電化製品が不調になり始めた時にこの事を思い出したら、今まで当然だと思っていた自分の考え方をお詫びして「本当にすいません。心を改めてお知らせに心から感謝します！」と唱えると、不思議に壊れていた物が治る時があります。

電化製品がよく壊れる時期としては、年末年始、誕生日前後、節分、旧暦のお正月前後、厄年前後、あとは「宇宙エネルギーが上昇する日」があります。あとは、引っ越しをした時などにもよく起こります。

私も現在の琴似神社の真裏へ引っ越しした時には、電話機、掃除機、ビデオデッキ、ＣＤプレーヤーと次々に壊れて最後には自分のミスで軽い追突事故まで起こしてしまいました。

こういう事が起きる理由は、新しい土地神様のエネルギーと今までの自分の意識エネルギーの周波数が合わない事が原因で生まれた不調和エネルギー（自分の無意識）が電化製品に影響して、次々と物が壊れて大切な事に気づくまで随分、出費を繰り返します。

過去最大に自分が変わらなければいけない変化の年には、なんと一年の間に三度も追突された経験もあります。車の修理は保険で直せましたが、この不思議な出来事の連続に追突した人も災難だとわかり心の中でお詫びした事を想いだします。

自分にとって「良くない事」と思える事でさえ、大切な事を気づく為の「お知らせ」だとあとで気づきましたが、まだその事をわかっていない為に随分、葛藤した一年を過ごしました。

「厄年」もそうですが、自分が大きく変化する必要がある時ほど「魔が入る」と言われように、良い悪いに関係なく色々な物事を引き寄せるのが人間の「無意識」、つまり神と繋がる部分を持っている証なのです。

これからの時期は引っ越しする方も多いと思いますが、災難が起きない為にも戸籍の住所を移転したり引っ越しをしたその日に、以前の住所の一番近い神社へ今まで住ませて頂いたお礼を伝えて、その足ですぐに新しく住所の土地の一番近い神社へ参拝することで神様ネットワークが連絡網で伝えてくれて新しい守りエネルギーが新しい土地へ繋がります。

引っ越しに「厄年」が重なっていたら、ぜひ「正式参拝」をして身も心もスッキリさせると、より効果的になります。

「厄年」の本来の意味は、前厄、後厄も含めて年齢によって身体が変わる時期なので、自分の健康や周りの人の事を大切にする決意を神の前で宣言する事が目的ですので、今までのように一人で我を通して無理をした生き方を改めて、心を柔軟にする生きる事を学んで下さい。

よく困った事が起きた時に、神様へお願いすれば何とかしてくれると思うのは大きな勘違いです。神様は人間がしようとしている事をサポートしたり導いたりする事はできますが、自分で何もしない人を助ける事はできません。

良い運を引き寄せるのも悪い運を引き寄せるのも、実は大切な事を気づいていない自分の「無意識の想念」だと覚えておいて下さい。

今までお会いした方の中にも自宅の部屋の電気が突然、パシッ！切れたり、消して寝たはずので照明が夜中に付いたり消えたりするような人がいましたが、これは自分の無意識想念の中にある「マイナス想念」が電化製品の微弱電流と共鳴してバシ！バシ！と音を発する「スパーク現象」と呼ばれる霊的な現象です。

ここまでひどい状態の人は、よく「金縛り」になる人が多いものですが、そういう「強いマイナス想念」を持った人と一緒にいると、自分の身体も急に重たくなったり苦しくなる事がありますが、その本人さえ気づいていない「無意識のマイナスエネルギー」なので、なかなか原因が分かりづらいものです。

こういうマイナスエネルギーを出している状態の人を「邪気受けた状態・霊的症状・エネルギーがマイナスの人」と呼びますが解決策は

?神社や自然の中などの気持ちのいい場所へ行く
?身体の波動がすぐに上がる物を使う

と影響を受けた身体のエネルギーを変える事ができます。

私自身もこういう体験をたくさん体験したからこそあらゆる商品や方法を試しましたが、すぐに身体の波動を上がるいい商品が無かった為にプロの方へ開発を依頼して生まれた商品をハートランドＷＥＢＳＨＯＰでご紹介しています。

お勧め商品は、◎即効性で身体の邪気を外す　リラックスクリーム、◎塗るだけでコリや痛みがはずれる　リリースオイル　?高波動エネルギーを出している天日海塩です。

今年も変化の激しい２０１０年になるからこそ、どうぞ快適なスピリチュアルライフをお送り下さい。

2010.02.09 Tue

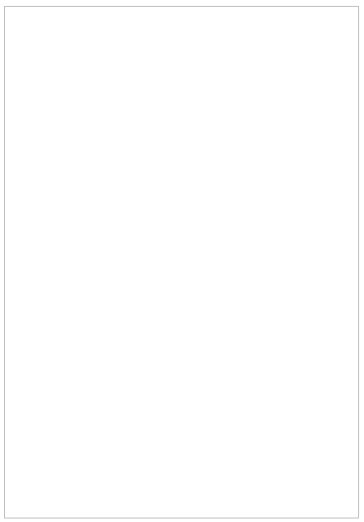
新発売！　愛と気づきのメッセージ集！

２１世紀になって、「このままではいけない！」と暗中模索してた頃、やるせない日々の出来事や思いを宇宙の創造主マスターと対話したり、日常の中で「ハッ！」と気づいた大切な事を書き綴っていましたが、今回、初めて本にして皆様へお届け致します。

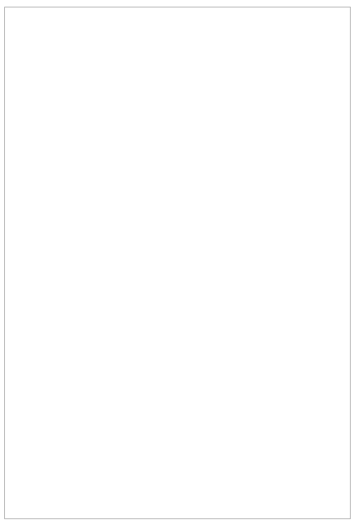
この本に載せたメッセージは今までのブログにも載せていない内容ばかりですが、今回、出版した理由は私自身もこの気づきで救われたように、皆様も「救いの気づき」になると思えたからです。

薄くて読みやすく本ですので、バックの中へ入れて、ふと迷った時などに読み直して見て下さい。あなたの明日が輝くこと請け合います！

◎ご注文はハートランド龍球ＷＥＢＳＨＯＰからお願いします。



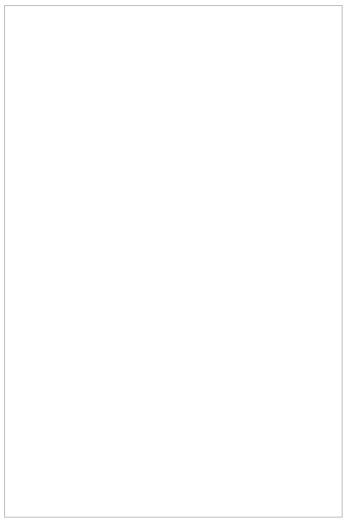
新刊　メッセージ集
『あなたがあなたである為に』　1800円　吉岡学著



新刊　メッセージ集

『人生に迷った時のメッセージ』　1800円　吉岡学著

※これまで自作していた詩集「星の一（はじめ）」も書籍化しましたので、合わせてご覧下さい。



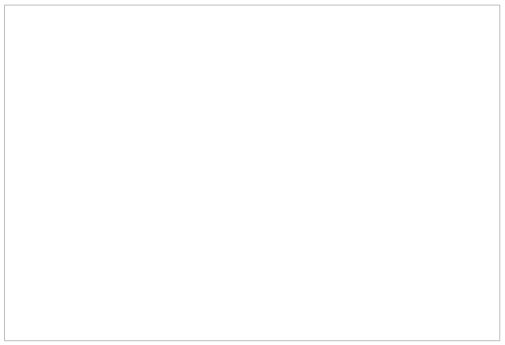
新刊　詩集

「星の一（はじめ）』　1800円　吉岡学著

◎ご注文はハートランド龍球ＷＥＢＳＨＯＰからお願いします。

2010.02.07 Sun

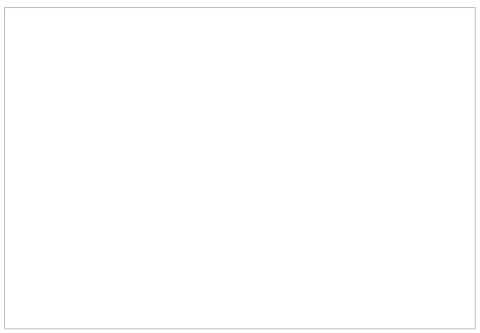
絵本　**Harmony**　限定発売



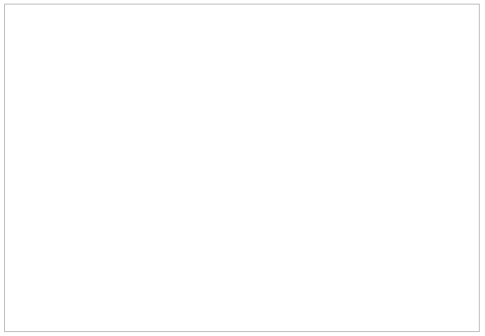
2002年制作の「絵本**Harmony**」は、口コミだけで半年間で500冊の以上が売れた大ヒット商品ですが、手刷りの両面印刷の為、時間とコストがかかりすぎる為に販売を中止していた商品です。

21世紀のテーマが「調和」だとメッセージが降りた時に、浮かんだ絵と詩のメッセージ集ですが、たくさんの方が涙と共に魂の解放を手助けした絵本です。今回、20部のみを限定で制作しましたので、ご希望の方は　ハートランドWEBSHOPからご注文下さい。

合わせて、「絵本　星の子」と「絵本　新しい世界」もご覧下さい。



「絵本　星の子」
◎母と子の大切な繋がりを表現した人気の絵本です。



「絵本　新しい世界」
◎私たちの未来がどういう世界になるのかを宇宙の創造主マスターに尋ねたところ、「今するべ

き事をするとこんな世界になります。」と教えてくれた未来の地球の姿です。

◎ご注文は　ハートランドWEBSHOP　からご注文下さい。

2010.02.04 Thu

ありがたやの心

時　さめやらぬ風が吹く

美しの世の風　　嵐が吹き荒れる

見えぬ世界の美しさを知らぬ者

見える世界だけの美しさしか知らぬ者

おろかなり

時　うつろいて全ては消える

何故　今　眼の前にあるのか

何故　今　そう感じるのか

その理由も分らぬまま　見過ごす風

あると思うな　いつまでも

無くなると思うな　心の平安

自らの心の中から産み出す光が

見えぬ世の美しさを創りだす

心清らかに　「ありがたやの心」忘れず

いつの世も　信じるものは

己の心の中にしか　あらず

戸惑うな　惑うな

信じる者は　救われる

2010年2月3日メッセージ

2010.02.03 Wed

常、天。　満にして自。

つねてん　　まんにしてじ

2010年1月10日　吉岡学：作

意味：
常に、天を目指す生き方をしなさい。
その心が満ちれば、自らが天となります。

解釈：
この世に起きる事はいつも心を揺さぶり乱す出来事が多いからこそ、いつも自分の心の中には、空から照らす太陽の心で居なさい。

さすれば、あなたの心はいつも晴天で、この世に写る「写し世の出来事」に心が囚われることなく、自らの歓びが満ちるようにこの世の中も喜びで満ちるでありましょうと伝えてくれています。

あなたの心が変われば、全ての事が変わります。
全てはあなたの心が写した「写し世の出来事」なのです。
2010.01.30 Sat

玉土、王となりて真を召す

ぎょくど、おうとなりてしんをめす

2010年1月10日　吉岡学：作

意味：
地球を守る大切な大神の御霊が王となることで、この世に真実の光が降りる

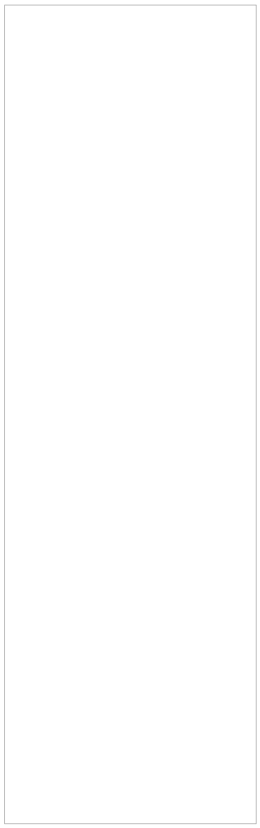
解釈：
地球上で陸地となっている部分の大地を守る神々は、本来、地球の核の内部にある「大切な存在」を守る役割ですが、その「大切な存在」がこの世の王となる事で、地球を守る役割が果たせる時代になると知らせています。

2007年に久米島で「天の岩戸開き」を行った際、地球の核の中にいる「大切な存在」の事は一部の方へ公開しましたが、地球ができる以前から守っている存在の大きな目的が果たせる時代がまもなく来ると伝えています。

地球の叫び声が聞こえる方たちの活動と、祈りの力を合わせる事によって「あるべき地球」へ私たち自身の手で導こうではありませんか！

2010.01.30 Sat

2010新春メッセージ　**3**

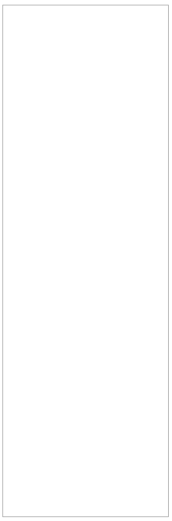


しょじょう　むねんむそう　たいが　てんしん　むに
2010年1月10日　吉岡学：作

意味：
この世における諸情（情け、許し）は、念ずることなく、想うことさえなければ、それ、大我（大いなる意志）であり、天の心と相違なし。

解釈：
人間は常に、こうしたい、こうして欲しいと欲を欲し、望みを願い、叶わないことを願うものであるが、願いを念ずる心とやめて、自分勝手な事を想い浮かべることをしない心になると、、それは神と同じ、大いなる意志を持つ「神の心」を持つ人間であるという意味。
2010.01.19 Tue

2010新春メッセージ　**2**



「ぎょくさいが　しんのうてんぶ　まっしょうち　てんくうたいぶ」
2010年1月10日　吉岡学：作

意味：
新しい年に天から舞い降りる歓びや希望のエネルギー(玉）は、新しい神、新しい代表、新しい王様を天から受け入れる意味がある。皆の魂が最後に生きる場所となるこの地球の大地（末生地）こそ、天の大空に広がる大神の志（こころざし）と同じであると知れ。

解釈：
新しい年を迎え入れる準備の心は、新しい自分を生み出す為の準備期間でもあります。それは年が明けて、「新しいあなた」になる為に限りないエネルギーが天から降り注がれている事を知りなさい。

新しい年のエネルギーは過去の自分に囚われないで生きる為の「新しい自分」を生み出すエネルギーとして与えられているのです。

今世（こんじょう）が、あなたの魂の最後の星　地球にとってどう生きるかを考え直す事が大切なのですが、それはあなたたちを常に見守っている空や星、さらにその上から見守っている存在たちがいる事に気づきなさい。
2010.01.18 Mon

浄水留美　たぶらむば
　　年の光持ちて　新月玉水

じょうすいるみ　たぶらむば　としのひかりもちて　しんげつぎょくすい

2010年1月10日　吉岡学：作

意味：
常に水を清き状態に保ちながら　美しさを留める様に心がけるならば、新しい年の光のエネルギーが集まってきて新しい月から新しい玉（命）が溢れ出る世になるでありましょう。

解釈：
水とは身体の水、心の水、魂の水の事を意味しています。美しさも同様に、「心魂体」の美しさを心がけなさいと教えています。

新年に抱くたくさんの希望エネルギーは、あなた自身が過去に囚われず新月（新しい自分）を決意して、新しい玉（今までにない歓び）を生み出すことで溢れる水のように歓びが満ち溢れる人生になると教えています。

※月の満ち欠けと同様に、全ての命は「常に再生されていることを思い出しなさい」ともメッセージしています。
2010.01.13 Wed

直列エネルギー祈りのメッセージ

満５１歳の誕生日を迎えた翌日、 1月11日11時11分の祈りを苫小牧の知人宅で仲間3名と行いました。

誕生日が近くなると、身体と魂の転換の為に大きなエネルギーに包み込まれますが、祈りに入った瞬間、待っていたかのように神棚の奥の大きな扉が開きました。

神棚や鳥居、また仏壇の奥には「神門（しんもん）」と呼ばれる神の世界へ通じる扉がありますが、その扉が開くと「光の世界」が開き、宇宙の大元まで繋がりが開きます。

同じ時間に祈りをしている皆様の願いが叶い、地球が新しく再生されるよう心の中で唱えると、しばらくしてから言葉が降りてきました。

「明日は、無いと思いなさい。いつかやろうと思ってやらない事を続けてきた人たちは、明日は無いと思って、今日を必死に生きることを実践しなさい。この地球に時間が無いように、あなた自身にも残された時間は少ないのです。残された時間の中で、あなたがするべきことを明確にして行動することであなたの願いは叶います。」

宇宙の大神たちが、この地球を救ってくれるのではありません。私たち一人一人が、自分の役割を果たすことでこの地球は救われることをもう一度、再確認させられた祈りになりました。

どうぞ、地球創生へあなたの力をお貸し下さい。地球の未来を変えるのは、あなたの宣言と行動です。祈り合わせ頂きました皆様、ありがとうございます。

2010.01.12 Tue

1月11日11時11分の祈り

皆様、明けましておめでとうございます。新しい年を迎えて今年なすべき自らの魂の役割は気づけたでしょうか？

今年は「変化に順応する年」として、過去の一切の経験に囚われず、新しい自分を創造する大切な年ですので、神や人の導きを頂きながら自分の進むべき道を楽しんでお進み下さい。

同じ数字が並ぶことでエネルギーが強くなる事はもうご存知だと思いますが、１月１１日は、自らの意志と神の意志、そして、宇宙の大元マスターへ意志を繋ぐ祈りを行います。

祈りの時間までに、自らの意思を明確にして、祈りの中で自らの意思を宣言することで、宇宙の大元マスターにその意志は伝わり、全宇宙の守護存在と共に、地球を守る存在たちにあなたの意志は伝わります。

私たち人間を支えて下さる大地、地球と私たちの命を繋いで下さる自然界全ての神々、そして、人間に魂を与えて下さった宇宙の大神　マスターへ感謝と宣言の時間にしたいと思いますので、皆様の祈り合わせをお願いします。

全国巫女ネットワークの素晴らしい巫女たちも、皆様の祈りを全国からサポート致します。

宣言：
私たち人間は愛と存在の証として地球を再生します。

地球創生　コーディネーター吉岡学<?xml:namespace prefix = o ns = ”urn:schemas-microsoft-com:office:office” />
2010.01.10 Sun

2010年宮古島　八重干瀬（やびじ）祈り日程

今年で５回目になります宮古島の大切な八重干瀬（やびじ）祈りの日程をご案内致します。

宮古島の北に、年に一度浮かび上がる幻の大陸　八重干瀬（やびじ）は、サンゴ礁が大潮で浮かび上がる大きな神様の聖地として有名です。

これまでの５回は、旧暦の３月１日から３月３日に期間で船が出ましたが、今年は宮古島トライアスロンの日程を考慮して、３月３１日と４月１日の２日間で八重干瀬に船が出ます。

宮古島の聖地や伊良部島の聖地、そして、海の中から浮かび上がる幻の大陸　八重干瀬（やびじ）のサンゴ礁の上で大切な地球創生の祈りを行いますので、参加希望の方は「龍球王国　八重干瀬祈り参加希望」と書いて名前・生年月日・干支・住所・連絡先を こちらまでお知らせ下さい。

◎参加費や詳細はまだ決まっていませんが、1/5現在の予定をお知らせいたしますので、格安航空券や格安ツアーなどで早めに旅券をお手配下さい。日程に変更はありませんが、宿泊先やスケジュールの変更があることをご理解下さい。

３月３０日（火）　移動日・午後６時までに伊良部島のホテルてぃだの郷へ集合すること
３月３１日（水）　伊良部島　龍神祭祈り
４月１日（木）　　八重干瀬（やびじ）祈り
４月２日（金）　　宮古島　聖地巡礼ツアー
４月３日（土）　　フリータイム
４月４日(日)　　移動日・各自帰路へ

予定宿泊先：　伊良部島　ホテルてぃだの郷　０９８０−７８−５２５２

◎予約をされる方へ
注1）航空券の手配は、各自の責任で行って下さい。
注2）ご予約メールを頂いた方は、自動的に、宿泊予約をこちらで行います。
注3）宿泊費の他に、聖地巡礼費用を頂きますことをご承諾下さい。

※参考　２００７年　八重干瀬祈り

2010.01.05 Tue

変化に順応する年

2010年は、これまでにないくらいにさまざまな出来事や変化があなたの周りに起きる年になるでしょう。

それは、これまであなたが魂の本質の声を聞いてこなかった時間の清算の時間ともいえます。

結果を恐れて、勇気を出さなかった自分の弱さに気づく人がいるかもしれません。

たくさんの失敗をした人は、失敗から立ち上がる強さを周りの人に与える役目になるかもしれません。

変わることを恐れたり拒む人は、過去のこだわりを捨てて、新しい生き方を選択するよう迫られる出来事が、連続的に起きることでしょう。

思うように生きられない責任を、政治や企業、宗教や法律のせいにしたり、不都合なことが起きた時に他人のせいにしてきた人は、全てが自分の選択の結果だと気づくまで、「他者批判」というブラックゲームから抜けられない暗黒の時間を過ごす年になるでしょう。

不安や恐怖の言葉を発し、周りの人を苦しめた人は、これまでにないほど厳しく自分を問われる出来事が起きます。

そんな変化の激しい２０１０年ですが、次の５つの約束を守ると、あなたの人生は急激に良くなること、間違いなしです！

１、毎日、鏡に向かって、自分に「ありがとうございます」を言いましょう。

２、毎日、出会う人全てに「ありがとうございます」を言いましょう。

３、家族の全員に、「ありがとうございます」を言える人間になりましょう。

４、相手が不愉快になった時は素直に「ごめんなさい」と言える人間になりましょう。

５、寝る前に、「今日一日、生かされていたことにありがとうございます」を唱えましょう。

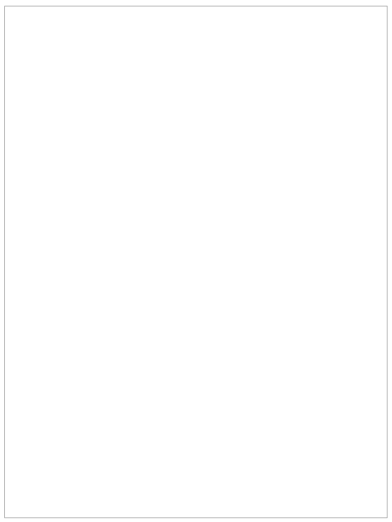
この５つの事が全てできる人は、６つ目の約束として「自分の夢を叶える」段階にきています。
では、夢を叶える方法をお伝えします。

１）まず、自分の夢を明確に書き出すこと
２）そして、自分の夢を周りの人に伝えておくこと
３）夢の実現の為に、今、するべきことを全てすること
４）夢を批判する全ての人に「ありがとうございます」を言っておくこと
５）不安になったら、「ありがとうございます、私はやります」といい続けること

世界の誰よりも、自分を信じられた人は、批判する人のおかげで、自分の夢が叶うという正負の法則の力を使って、夢をどんどん叶えていきます。

さらに、その上の意識レベルにある「無限循環の法則」を知っている人は、常に、感謝と愛に満ち溢れた言葉を発し、自分の行動を自分で律する力を得ていますので、他人を一切、批判せずに、願う夢を全て実現していきます。

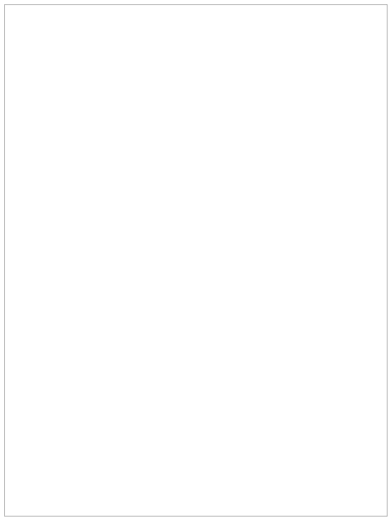
この地球で、肉体と精神と時間を与えられた人間がするべきことは、現実世界でできる全ての経験を歓びに変えることですので、愛と感謝に溢れて夢を実現する人たちが増えますことを祈っています。
　　2010年1月3日　吉岡学



2010.01.03 Sun

2010年　あけましておめでとうございます

今年一年が、皆様一人一人にとって穏やかな心と愛に溢れる一年になりますことを祈ります。



私たちが実現する世界はイマジンの世界です

イマジン　　ジョン・レノン

http://www.youtube.com/watch?v=5VcFuuWGgzA

2010.01.01 Fri

2010年**1**月**1**日　満月の祈りに合わせてメッセージ

2010年1月1日は、満月に重なり、元旦の祈りに合わせて満月の祈りを、ご自分の好きな時間で行って下さい。2010年の元旦祈りに、神々がどう働くかを教えるメッセージが降りましたので、皆様にご紹介致します。

月　改めの神働く

太陽　道静めの神働く

海原　清き心の改めの水を産み出す

山河　よき心持つ者たちの道を作る

ユイサーバル　ティンバシー

宇宙の守護のもと

導きの祈りをするものたち

その全ての御霊が繋がる

改めの年を越して

生まれいずる為の年

間もなく始まる

神世　常世　浄土の願い

今、　引き受けん　　大神

（注釈）

ユイサーバル　ティンバシーの意味は、皆様たちの魂の繋がりを宇宙まで繋ぐ言葉です。

2009.12.27 Sun

素晴らしい若者たち

クリスマス前夜、苫小牧のさくらぎ笑楽好で行われた「もちつき大会」に参加してきました。

昔は、私の実家でも行われた恒例行事ですが、母から使わなくなったセイロー式をプレゼントさせて頂いたおかげで、たくさんの皆様に喜んで頂けたことに心から感謝です。さくらぎ笑楽好の楽しい様子はこちらからご覧下さい。

参加した30歳前後の若者と話をしていて、このもちつきは、大切なことを学ばせてくれる行事だと気づきました。

たくさんの人が集まる事がただ楽しいのではなく、もち米を蒸かして、人の手でついた餅をそのまま食べた美味しさは、身体が喜びで溢れます。

キネをつく人は、餅をひっくり返す人と息を合わせなければなりません。

同じもち米なのに、つく人の気持ちや力量で餅の美味しさも変わり、自宅用の餅は、やはり自分でついた餅を持って帰る人が多かったです。

こういうイベントは「準備9割」で決まりますが、家の庭で煙突つきの薪ストーブの火でもち米を蒸かしている時間も、楽しい時間です。

餅をついた人は、もち米がどんどん餅になる過程を楽しみながら気持ちが入りますし、家の中で餅を丸めている人は、おむすびと同じように自分の気持ちがお餅に包み込まれます。

丸く、やさしく丸めているうちに、自分の気持ちもやさしくなっていることすら、気づかないほどです。

お供え餅を自分で作る感動は、また格別です。

自分でついて、自分で丸めて、ご先祖様や神様に、五穀豊穣のご報告と今年のお礼を捧げる鏡餅は、自分の気持ちを新たにすることで、新しい年を迎える心の準備ができる大切な神行事だと気づきました。

お金で物を買うことが便利になった反面、失われたことが、こういう人の気持ちをこめる部分なのかもしれません。

参加した30歳前後の若者も、周りの友達で、このもちつきをぜひやってみたいと言っていました。

氷点下の空の下で燃える暖かい薪ストーブの火は、いつも見過ごしている木々のおかげと感謝に気づきますし、その火のおかげで、こんなに美味しい餅を自然は与えてくれる歓びを学べます。

文化を伝承するとは、こういうことなのかもしれません。

本で読んだり、誰かに教わった知識は簡単に忘れますが、体験した感動は、一生、忘れませんから、素敵な若者と一緒に、先人から教わった大切な文化を今後も伝えていきたいと思います。

餅つきのあと、さくらぎ笑楽好を愛する仲間たちの忘年会も行われましたが、翌日は、私が青年団長に任命した男性の仲間が、来年、オープンするお店の場所を下見に行きました。

自然にやさしく、地球にやさしい製品だけを集めて販売するアンテナショップですが、場所は、苫小牧駅前の一等地の一階に出店します。

店の中や周りの波動を感じながら、土地の問題や場所の問題を見つけたので、来年、内装工事が終わった段階で、土地神様や御霊たちを納める祈りをすることに決めました。

人に喜ばれる場所になるには、見えない存在たちも思いも一緒に、クリーニングする必要があります。人に喜ばれるこんなお役目をさせもらえる私も、とても幸せを感じています。

同じビルの5階には、23歳でお店を開いている素敵な女性に逢いましたが、昨日の餅つき大会で出あった若者の彼女のお店だから、ぜひ見に行って欲しいと言われたお店でした。

自分が編んだ手編みの帽子や心が緩む自然系の商品がたくさん並んでいました。お客さんは、高校生から幅広い年齢の方が、癒されに来るお店のようです。

大手小売業で14年間、販売を指導していた経験で、こういうお店を流行らせる知恵や知識を学びましたので、彼女のお店がこれからさらにお客さんに喜ばれるようアドバイスもしてきました。

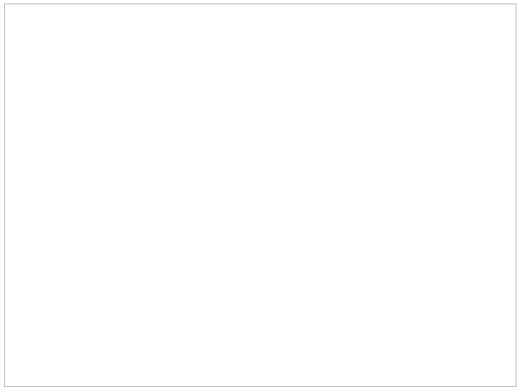
たくさんの素晴らしい若者たちは、やる気と勇気を持っていますが、お金と人脈がありません。

反対に、人生を長く生きた大人は、たくさん苦労した分、知恵と人脈と財産がありますが、若者のような柔軟な発想と行動力に欠けています。

お互いに足りないものを与え合う心さえあれば、どんな時代にでも残せる未来を形にできますので、素晴らしい若者たちが輝く未来の足がかりを、地域の大人たちと一緒に支えて行こうと思います。

2010年は、若者が爆発する年になると感じています。

そんな素晴らしい若者たちに、知恵を与えられる人間を目指して、さらに前進する一年にしようと思っています。ありがとうございます。



2009.12.25 Fri

2010年のメッセージ

生まれた時からの記憶を解きほぐし、そのひとつひとつシーンの意味を静かに見つめて下さい。

与えられた環境、経験したこと、出会った人たち・・・その全てがあなたを導く守護存在たちの思わくなのです。

あなたが大切なことを思い出すように、辛い経験も必要でした。

それは、乗り越える勇気と知恵を授けたかったからです。

やさしさや愛に育まれた時間も、与えられたはずです。

それは全てマスターの愛そのものと考えて下さい。

これから始まる新しい年は、あなたたち人間にとって最大の選択を迫られる三年間になるとお伝えしておきます。

常にあるのは、選択だけです。

自分ために生きるのか？家族や愛する人の為に生きるのか？

周りにいる人たちの為に生きるのか？

地球の裏側にいる見えない人たちの為に生きるのも選択できます。

どの選択も、間違いではありません。

ただ皆さんの選択の結果として日本や地球が、どの方向へ進むかが決まります。

選択しない人たちは、自らの命と大切な人の命を誰かに預けることを決めた人たちです。

もうあとから言い訳しても、間違いを正そうとしても、その猶予はありません。

この三年間で起きる事は、全てあなたにとっても、地球にとっても、必要なことが起きますので、あなた自身が何かを選び、その結果の次の選択が続く時間となるでしょう。

人間の魂にある記憶やカルマを解消するために与えれた時間も、もう終わりです。

一人一人が、自分の生き方や考え方、そして、どう生きたかが、周りの人たちに問われ続く日が始まります。

愛や幸せの選択が上手になった人たちは、自らのカルマを乗り越えた分、周りの為にするべき事や、したいことが湧き出てくるはずです。

今のあなたの年齢に三歳加えた年に、何を考え、何の為に生きているのかを考えて下さい。

地球規模を超えた壮大な計画の一部として、この三年間の事は、宇宙の歴史に残る時間になります。

あなたが、決めるのです。

あなた自身の将来も、この日本の将来も、そして、地球の存続や宇宙のバランスにおいても、あなたたち人間のこれからの三年間の全ての選択で決まる事をお知らせしておきます。

宜しくお願いします。

メッセージ

あなたの選択で決まる地球の未来

2009.12.19 Sat

2010年の始まり

12月12日12時12分のエネルギー転換は、いかがでしたか？
2010年のエネルギーは、完全にこの日からスイッチが入りました（＾＾）

神奈川県藤沢市で行った講演会の最中に行った祈りは、最初に、天と地を繋ぐエネルギーが降りてきて、大きな光のエネルギーが会場の真ん中から噴水のように会場にいる皆さんを包み込みました。

あまりに光のエネルギーが大きくて、驚いた人もいたようです。

地球の為に心を合わせた人たちが祈りをすると、本当に素晴しいエネルギーが動くことを体験した人は、どうぞ「全国巫女ネットワーク」にもご登録下さい。

現在、日本全国から素敵な人たちが集まっています。

祈りをする方の宗教の違いを問いません、年齢や経験も問いません。

ただ、他人を批判しない生き方を実践する人たちが、心を合わせる為の祈りのネットワークです。

来年も、さらにすごいエネルギー転換の日が続きます。

昨日の12月15日も実は、現実世界のエネルギーが転換する日でしたが、それは現実の中で気づかれているはずですので、お伝えはしませんでした。

静岡県で行った15日の座談会は、人と人の繋がりで出会った人たちが集まってくれて、新しい年を迎える為に、今、しておいたほうがいいことをお伝えしました。

押し入れや引き出しの中にある不要な物を全て捨てること。

それと一緒に、過去の思いも整理してきれいな心でいること。

この一年間、使わせて頂いた家の土地の神様へ感謝の祈りもすること。

そして、家の中の波動を上げる方法もたくさんお伝えしました。

新しい年を迎える自分の準備期間が、始まっています。

誰かが突然、現れてあなたの来年を輝かせてくれる訳ではありません。

あなたが過去の思いを捨てて、新しい自分の準備をしていると、新しい流れが始まるだけなのです。

あとは、常に、いい発想をして、いい言葉を発して、素敵な仲間が集まる場所へ出向いて、さらに上昇の運気に乗ることだけです。

毎月のエネルギー上昇日がわかる2010年のスピリチュアルカレンダーをご注文した方は、きっと2010年のエネルギーを上手に乗ることでしょう。

皆様がよき年を迎えて、素晴しい一年を迎えられることを祝福いたします。ありがとうございます。
2009.12.16 Wed

12月12日12時12分の祈り

本日は12月最大のエネルギー転換の日ですので、来年、自分がどう生きかを明確に宣言することで実現が早まります。新しい始まりの序曲が、今日奏でる祈りの音となって世界に伝わるでしょう。関東講演会の会場から皆様と祈りを行いますので、全国の皆様も祈り合わせをよろしくお願いします。
2009.12.12 Sat

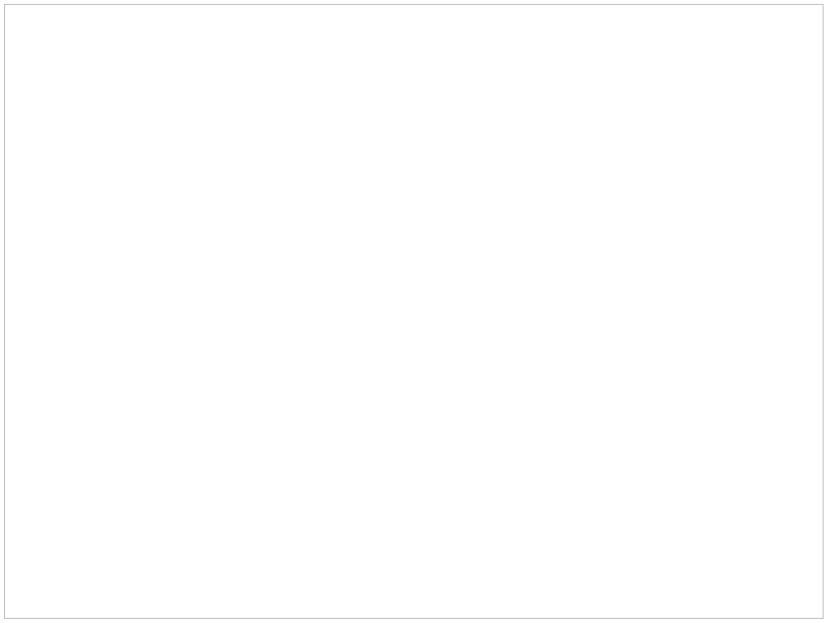
12月**1**日の転換

「北の龍神祭」に関東・関西・北海道から集まった皆さんは、北海道の聖地　然別湖（しかりべつこ）湖畔温泉ホテル風水から見える風景に、神の祝福を感じていました。

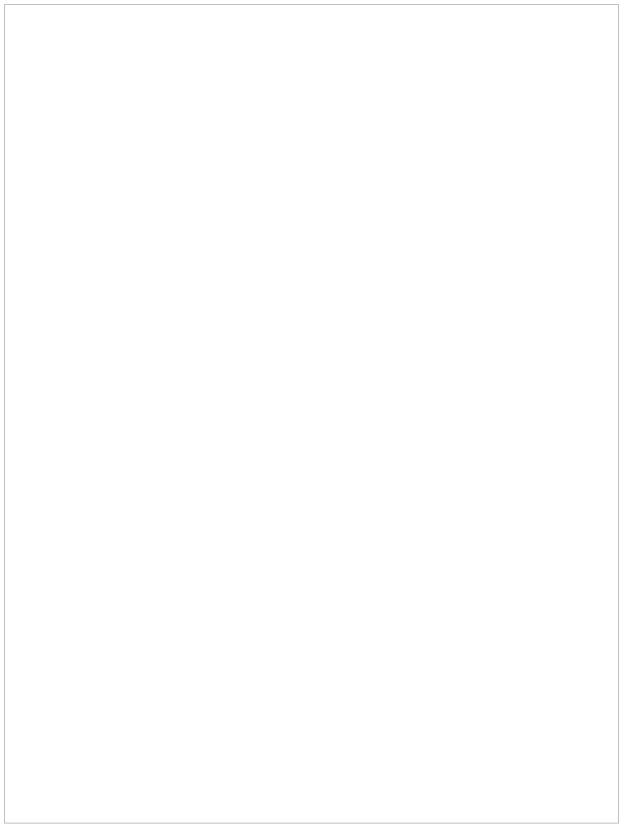
風も無い冬の山間いは、雪化粧の山肌に反射した日差しの柔らかさと共に、龍神祭の祝福と自然の神々の歓びが溢れてます。

11/30　温泉で禊（みそぎ）をした後、この一年間の「水納め」の祈りが、最上階の神殿で始まりました。

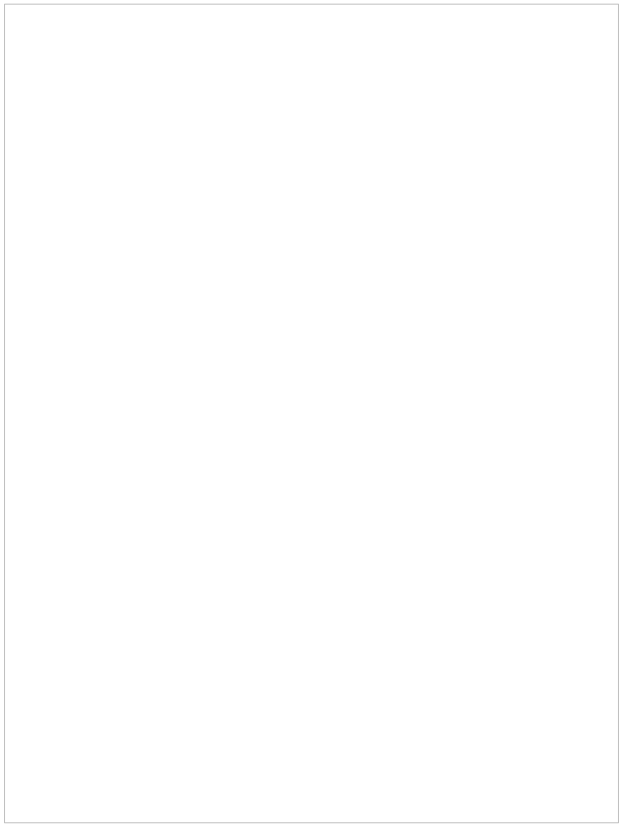
神殿の中央には、宇宙の大元まで繋がる大神様が何神もいますので、祈りを始めるとすぐに男性的な言葉使いの古い神言葉で、これからの時代を生きる大切なメッセージが降りました。



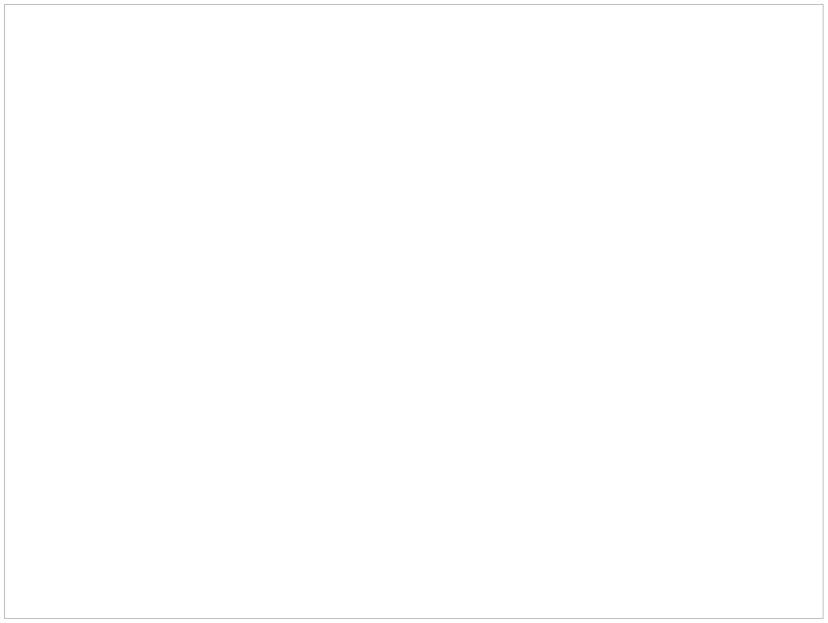
正面左に鎮座している「丑寅の大神」様は、人間として天地天明の証を立てよと、おっしゃいました。



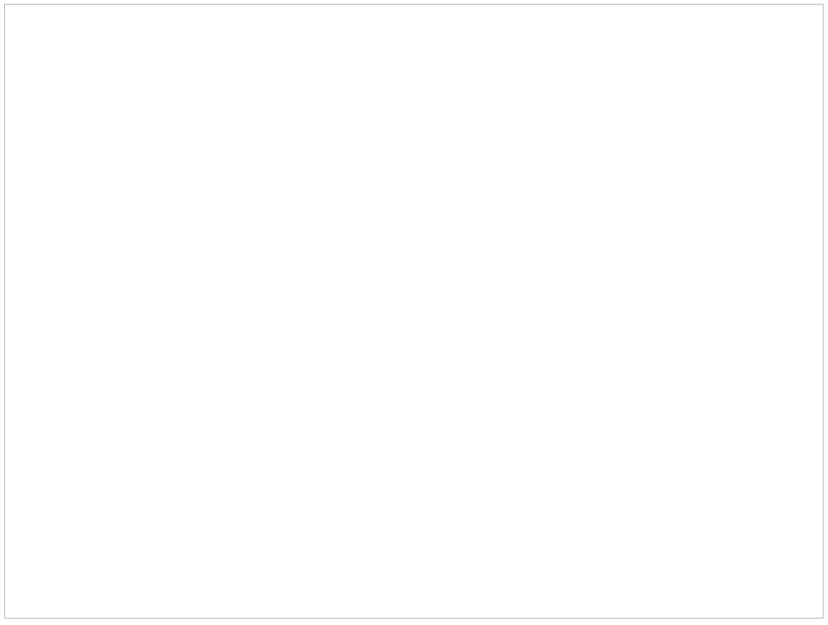
宮古島の龍宮城　伊良部島で撮影した白龍の写真に向かった瞬間に、伊良部島の聖地なべ底まで繋がる自然神の愛を肌で感じることができます。

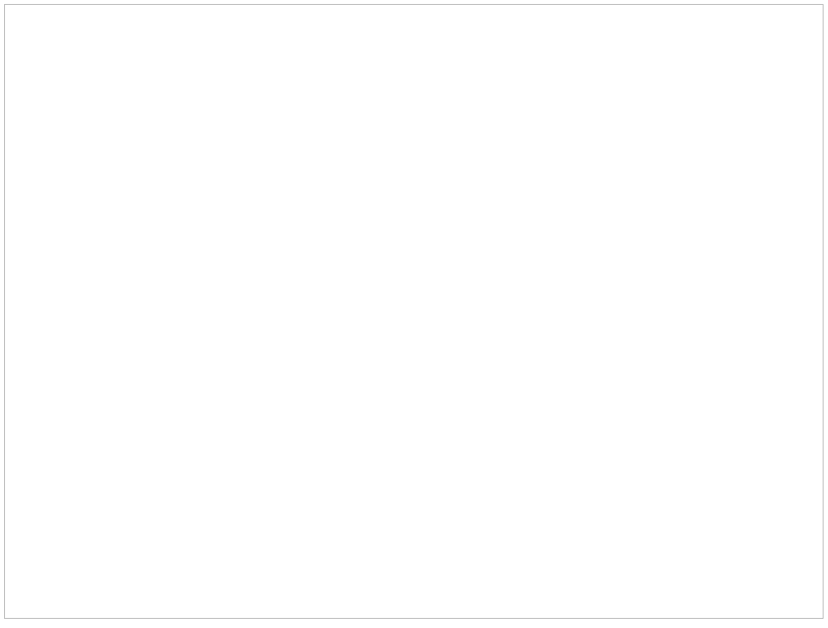


翌朝12月1日、日の出は6：45よりも遅く、くちびる山の上に光が昇りました。

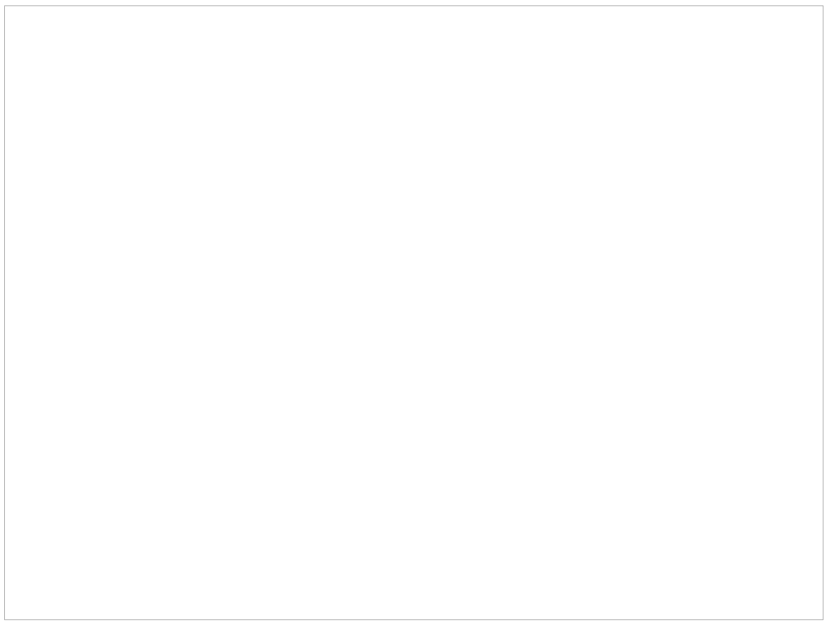


神道形式で正式な龍神祭の神祝詞を読み上げたあと、今後の生き方を神に示す魂の宣言文を一人一人が読み上げました。

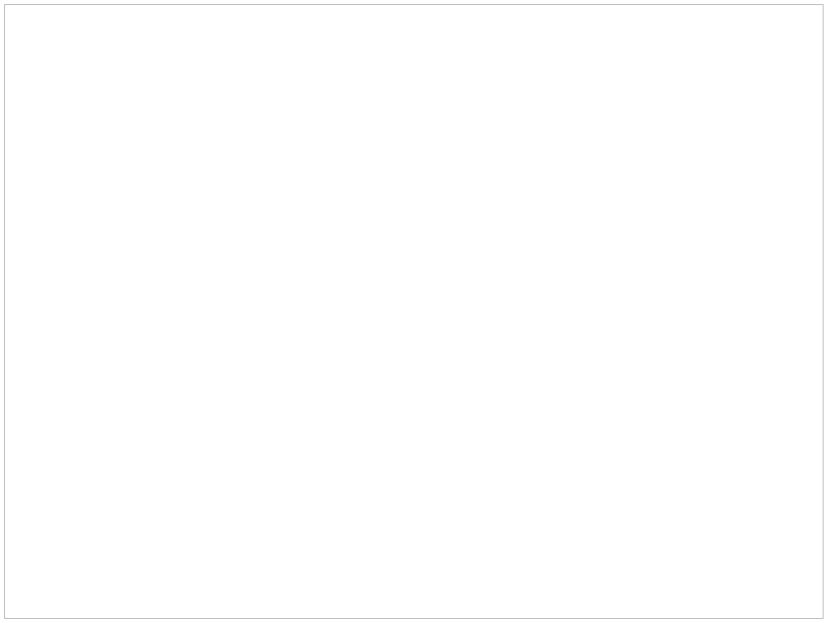




然別湖のご神体である「くちびる山」へ向かって、火の神・風の神の力を借りて、皆様の魂の宣言を天上界へ繋ぎました。

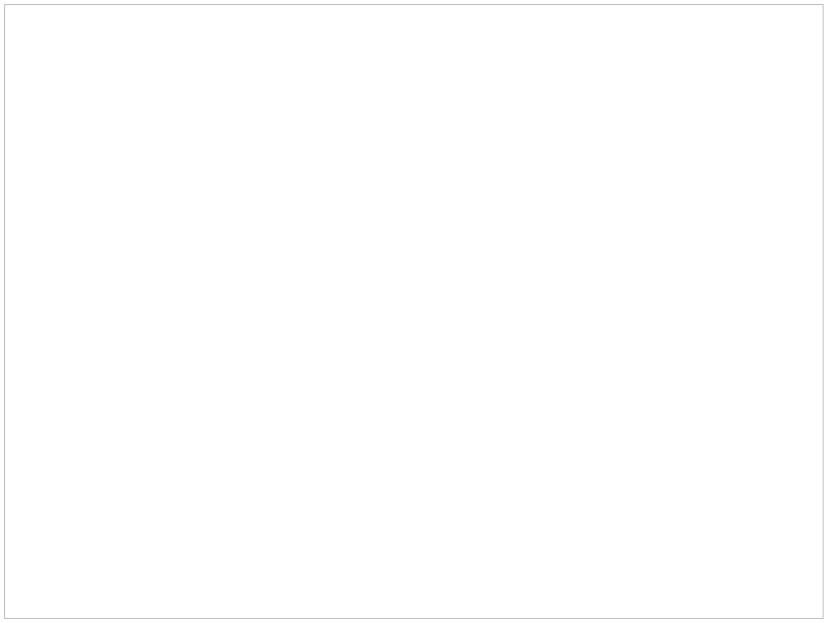


神は御心を光で示し、祈りが通じた証を示してくれました。

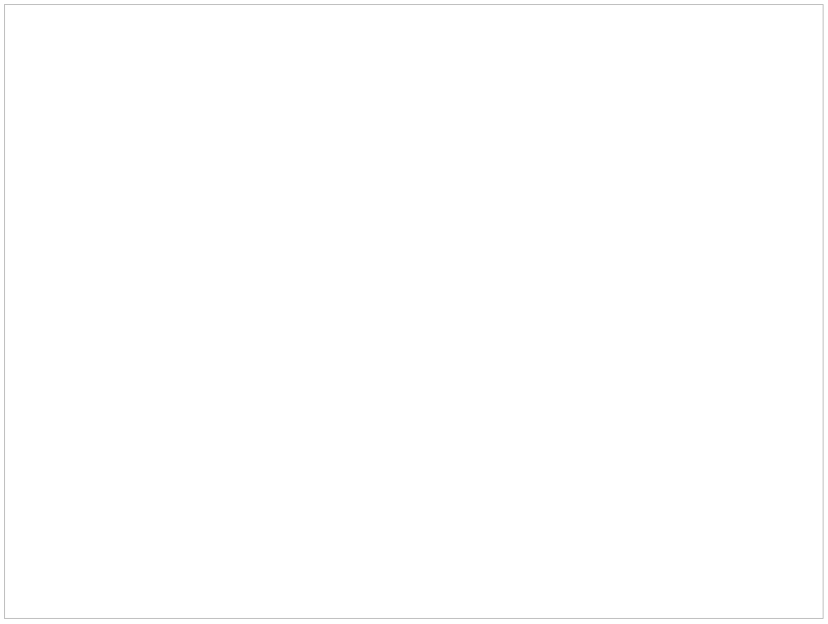


神殿の祈りを終えると、然別湖へ水を繋ぎ、全国の水繋ぎ・神繋ぎを行いました。

お礼の祈りを捧げると、一人一人の手の中へ大きな光の玉と共に、神と人を育む愛のエネルギーを下さいました。

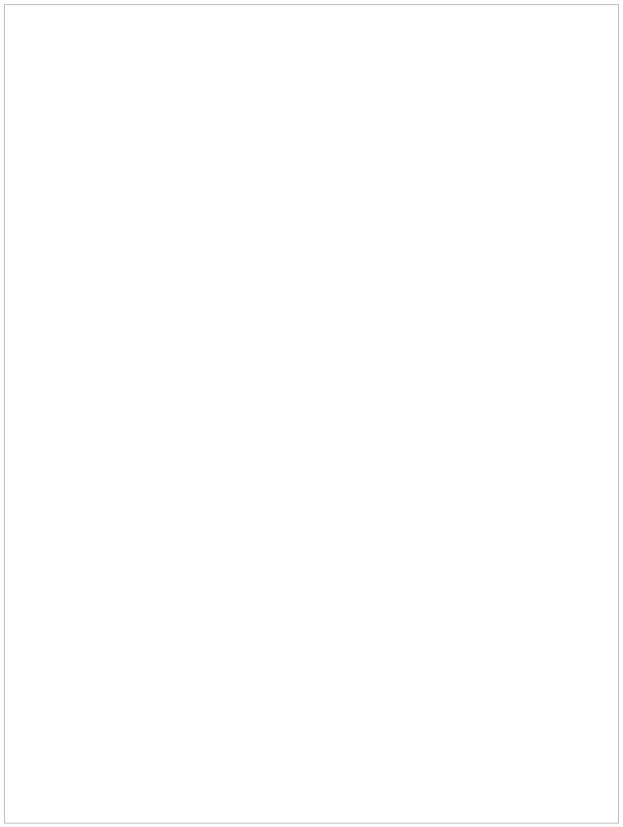


神は、いつも光を通してお礼を伝えて下さいます。やさしい七色の光は、愛と感謝を示しています。



最後の祈りは、温泉の恵みを与えて下さる大地の神様の源泉祈りです。

火（陽）の神、風の神、大地の神、そして、水の神は、私たちの祈りに対し言葉を下さいました。



自分に正直に生きることは、神に正直に生きる証と同じです。

神は人間の生き方を一切問わないからこそ、他人の行いを問うことをやめましょう。

もっとも大切な神があなた自身だからこそ、その証を日々の生活で示して下さい。

いつの時代も、他人の生き方を問うのは人間だけです。

もっともらしい自分のルールや倫理観を相手に押し付けたり、自分の不自由を相手に押しつける人は、本当の自由や責任をまだ理解していない方たちです。

真実の神の世界には、ルールも、善悪も、人を縛るものは一切ありません。

だからこそ、自然界の神に向き合って気づかされる事は、愚かなルールに縛られて、するべきことができていない甘えが問われます。

自分が不自由だからと、他人の自由を奪う心は、神心とかけ離れた世界ですので、自我の闇の世界へ向かいます。

自分を縛り、誰かをルールで縛る人たちは、必ず、愛に条件が付いていますので、どんな素晴ら

しい言葉や思いも永遠に叶うことはないでしょう。

そういう人ほど、誰かに依存した入り、神に依存する生き方を続けているからです。

他人の自由を奪わない生き方は、自分の自由を大きくする方法でもあります。

でも自由が大きくなると、その結果責任も大きくなりますので、自分の神心に向き合う時間が必要になります。

あなたの行いを問う誰かがいるとしたら、それはその人自身が受け入れていないからこそ、あなたに押し付けている無責任の証だと理解して下さい。

そんな人たちに私は、こう言います。

あなたは、まず自分のしたいことをして自由に生きて下さい。

あなたが本当に心から自由に生きたと思えた時、周りの誰も批判しなくなります。

だから、もう自分を許して欲しいとか、これを叶えて下さいというお願いは、やめにしましょう。

あなたの思いを叶えるのは、自分自身です。

神様は、あなたの正直な心の奥底に、いらっしゃるんですよ（＾＾）

神の愛を本当に理解した人は、今、地球で起きている全ての事が愛の一部だと知っています。

また、この世で起きていることは、全て人間が望んだ結果だとも知っています。

あなたが嫌いなどんな行いも、どんな行動も、全てその人自身の問題だと悟れば、誰かに何かを言うより、何も言わずに相手の未来を信じてあげることのほうが重要です。

自分や相手を信じられない人ほど、相手の自由を奪う発言をしますし、自分にとって都合のいい

人間で居て欲しいからこそ、自分の概念やルールを押し付けてきます。

宇宙の大神たちは人間がする全ての事を許し、受け入れ続けているからこそ、今も、人間は生かされています。

地球上の人間は残された時間の中で、何を目的に生きるのか、その責任をどう取るのかを考える必要があります。

あなたの人生の責任を問えるのは、あなた自身（内なる神）しかいないからこそ、宇宙の大神は、あなたの内なる神を信じて、あなたが気づく時を待っています。

このことに気づいたあなたは、今後一切、他人を問わない生き方を実践して下さい。

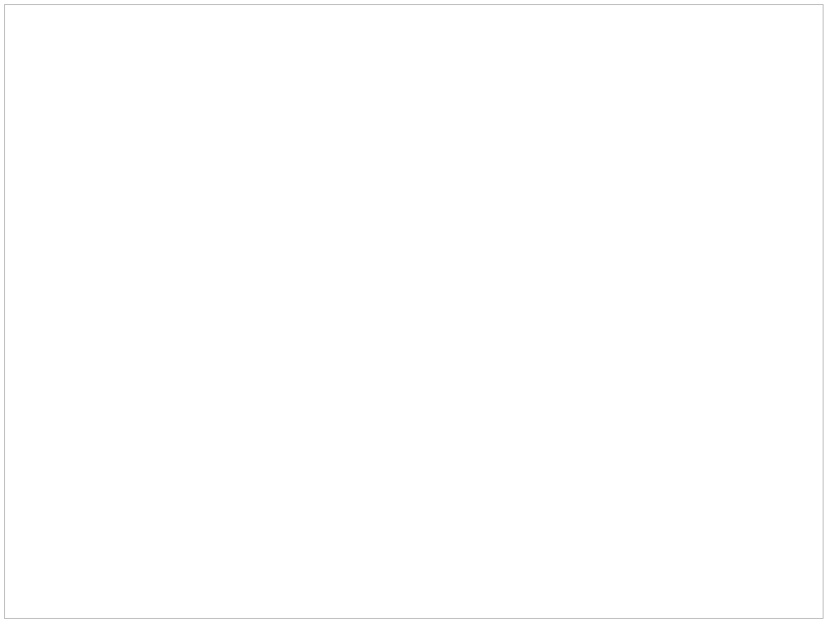
もう他人や社会を批判する言葉を発しないで下さい。

宇宙の大神からみれば、どんな言葉も同じ人間の言葉と聞こえています。

他人のすることが気になったとしても、同じ人間に与えられた自由の一部なのだと理解して、全ての人に神の御心があることを信じて、自分の証を示すように言葉に注意した生き方を実践して下さい。

龍神祭を終えた日の夜中0時、苫小牧市に戻って見た満月は、生まれて初めて見る大きな「月輪」に包まれていました。

月の神様を大きく包み込む月輪は、周りの雲を一切、含まない宇宙の大元まで繋がる完全クリアなエネルギーが降りていました。



苫小牧市近郊でしか見ることができなかったこの月輪の意味は、「陰の世界の完全調和」が整った合図だと、私は理解しています。

もう自分の心の奥底に隠している思いを手放して、今まであなたを支えてくれた人たちに感謝しながら、あなたらしい生き方を始めなさいというメッセージです。

プレアデス星団を包み込んたこの満月は、プレアデスの星の記憶を持つ人たちの記憶さえ調和させて、人間の調和こそが、宇宙の愛の証だと伝えています。

※参考サイト　　http://www.astroarts.co.jp/alacarte/2009/200912/1201/index-j.shtml

神はこれまで人間が選択した全ての結果を受け入れ続けてきたからこそ、人間の生き方を問うことは、今後も絶対にしません。

人間を問う神がいるとしたら、それは御先祖や人間に近い意識を持つ人格神くらいです。

自然界の神は人間の行いを問う為に、異常気象を起こしているのではありません。

人間のしたことを浄化する為に、自然界の調和の摂理が働いている出来事なのです。

自然界の出来事を問えるのは、私たち一人一人に与えられている宇宙の大元に繋がる内なる神し

かいないでしょう。

人は辛いことや悲しい事が起きると、その理由を神に問う人もいますが、それは間違いです。

自然神や宇宙神の大きな神々は、常に、大きな完全調和の愛の中で、愛の循環を続けているからこそ、浄化の時期もあれば、消滅の時期もありますし、そのおかげで、新しい命を生み出します。

だからこそ、今の現実がどうであろうと、まず問うべきことは、自分がどう生きたいのか、地球をどう変えたいのか、その責任をどう負うのかを考えて、私たち一人一人は、言葉と行動で示さなければいけません。

祈りは、いつもその気づきに目覚める神との対話の時間です。

まもなく新しい年を迎えますが、その準備はできているでしょうか？

残された2010年から３年間の生き方をあなたは問われていることを気づいて下さい。

一生に一度くらい、自分の心に正直に生きると決めて、他人の批判を乗り越える勇気を持って生きて欲しいと思います。

私たち人間は、その実現の為に肉体を頂き、愛や憎しみも与えられています。

あなたの魂・心・体が喜べば、神は喜びます。

あなたの魂・心・体が苦しめば、神も苦しみます。

あなたは常に、神と一体の心で生きる勇気を持たなければなりません。

誰もしなかった事を始める勇気も、全員に与えられています。

全てのキッカケは、あなたが未来に対して宣言することから始まるのです。

神はその宣言に対して、愛と導きを与えて下さいます。

12月12日、今月最大のエネルギー転換が起こります。

その転換エネルギーを上手に使う為に、関東で講演会を開催します。

地球の愛と調和の為に、まずあなた自身がその一歩を踏み出して下さい。

講演会でお会いできる方たちと共に、未来に「愛と歓び」を創り出す方法を見つけましょう。

未来を支える決断をしたあなたに出会えることを楽しみにしています。

龍神祭に祈り合わせ下さいました全国の皆様、本当にありがとうございます。

2009.12.05 Sat

北の龍神祭のご報告

明日から北海道の中心にある龍の聖地　然別湖（しかりべつこ）温泉ホテル風水の神殿で、「北の龍神祭」を行います。

目的は、日本の北と南の龍を繋ぎ、日本を守る自然神の神々に感謝する祈りを行う為です。

奉納品は今年の神事で全国の聖地から頂いたお水を然別湖の神様へ納めて、全国の水神様の繋ぎを行います。

参加者の皆様は、自分の住む土地や人を守る宣言を神々に行うことで、より明確な神導きを得られることになるでしょう。

毎年12月1日は、北海道の然別湖で北の龍神祭を行い、旧暦3月1日には沖縄の伊良部島で南の龍神祭を行っています。

龍が守る日本の自然神エネルギーを繋ぐ大切な祈りの日ですので、お気持ちのある方は、どうぞ心を合わせて祈りを行って下さい。

11/30　夕方より、この一年を無事、過ごせたことに感謝する祈りを自然界の神々に行います。

12/1　午前6：45前後の日の出に合わせて、火・水・風・大地の神々と日本全国の八百万の神々へ向けて地球を守る宣言と土地の人々を守る宣言祈りを行います。

先ほど、地元の琴似神社と北海道神宮にも「北の龍神祭」のご報告に行ってきました。

琴似神社の神様は、「６０センチほどの神様の魂」を私に預けて下さいました。

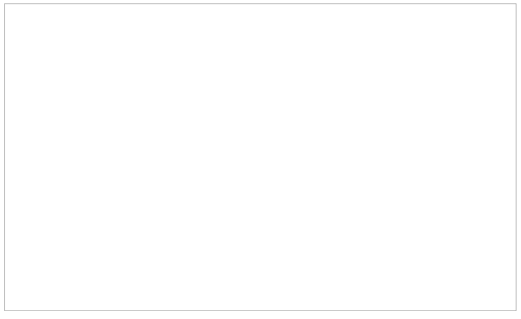
北海道神宮の神様は、皆さんへお伝え下さいと言葉を下さいました。

祈りをする皆様全てを今後、導き致します。

ただ皆様にはこのことをお伝え下さい。

今後、自分が発する言葉にお気をつけ下さい。

ありがとうございます。



2009.11.29 Sun

八重山諸島の民俗ルーツ

石垣島の神司（かみつかさ）の女性と話をしていて、私がこれまで沖縄の神事でわかった民族ルーツの話になりました。

宮古島には５つの言語があり、伊良部島にも７つの部落と言語がありますが、祭りごとや習慣を調べると、それぞれの民族のルーツも少しづつわかってきました。

宮古島の北端にある池間島の民族ルーツと石垣島の民族ルーツに似た習慣があることから、きっと、同じ民族のルーツがあるのではと思っていましたが、神司の女性は石垣島の民族ルーツを古い伝承の記憶から思い出してくれました。

石垣島の民族ルーツは、阿南（あなん）と呼ばれた場所で、現在のベトナムだと教えてくれました。

阿南といえば、四国にも同じ地名の場所がありますが、関わりがないとは言えないかもしれません。

日本の最西端の与那国島を訪れた時にも、さまざまな民族が船でやってきた事は、島最高の神男が話していた時の後ろの存在が教えてくれましたので、食べ物の習慣や神儀式の習慣にこそ、民族ルーツは残っていると言えます。

石垣島の神話では、神が最初に竹富島を作ったあとに、周りの島を作ったとありますが、神司が先祖から伝承している話では、八重山諸島の民族は、石垣島の宮鳥ウタキから始まったと聞いているそうです。

この口述の話は、移住した民族が文化を持って広めた歴史を言い伝えていますので確かな話だと思いますが、この話以上に神秘的な事実が、今回の沖縄本島の集まりの中で解き明かされました。

まもなく仏教の僧侶になる50年の経験を持つユタの女性は、ある霊を通して体験した経験を話してくれました。

5年前から彼女は、毎夜毎夜、霊たちが自分のベットの周りに集まってきて、どうしてもして欲しい事があるので、頼みを聞いて欲しいと霊に悩まされた経験をしています。

集まった霊たちに「お前は誰だ！」と尋ねると、八重山諸島の島頭で有名なオヤケアカハチの魂とその家族だと言ったそうです。

彼女に霊が集まってきた理由は、なんと彼女が今、住んでいる場所に、昔、オヤケアカハチが住んでいたからでした。

これは歴史書にも書かれていない話ですが、実際に、霊たちが教えてくれた事ですので事実だと思います。

オヤケアカハチの霊に導かれて、八重山の島々を回った時は、オヤケアカハチの家族が眠るお墓の場所を教えてくれたり、ここに誰が埋葬されているかも具体的に教えてくれたそうです。

このように、この世に思いを残した霊たちは、霊媒体の意識を通じてメッセージを伝えてくることはよくありますが、その内容が隠された事実だからこそ、思いが成仏できない霊たちが悲痛なメッセージを伝えてくるのです。

生まれながらに霊媒体質として生まれた人間は、自分の現実意識とは無関係に、あらゆる霊や神様たちがメッセージを届けてきまので、その対応を学ばなければ、一生、安眠できない日が続きます。

寝ても覚めても、霊や神様の声を聞き続けなければいけない体質の人の辛さも知っておいて下さい。

ユタの女性は私の八重山神事を知って、オヤケアカハチの思いを天昇させてあげたいと連絡をくれました。

波照間島で私の体に乗ったオヤケアカハチの思いも、宮古島の神と和合をしたあと、沖縄本島で集まった全員の先祖を繋ぐ祈りをしたことで、首里王との和合ができました。

私たちは輪になって手を繋いで祈ったあと、首里の王様と、宮古島の島頭　仲宗根豊見親（なかそねとういみゃー）と、八重山の島頭オヤケアカハチの魂が、横に同列に並んで天上界へ上がっていく姿を見ました。

目に見えない霊たちの気持ちがわかる霊媒体質の人は、虚偽で書かれた歴史書の間違いを見つけだしたり、人の言葉の嘘も見抜きます。

自分の守護存在や魂の繋がりを感じている人たちも、たくさんお会いしましたが、なかなか信じてくれない周りの人たちに伝える勇気がない人も多いようです。

見えないものを信じない人たちにも守護存在は付いていますし、その人の先祖の繋がりをたどれば、全ての人間の繋がりも解き明かすことはできます。

しかし、それよりももっと大切なことは、心を素直にして「信じる心」を持つが大切なことですので、常に、自分の知らない事や書物に書かれていない新しい情報も受け入れる大きな心をお持ち下さい。

実際に、学校で教えられた歴史でさえ、どんどんその間違いが明らかになっているので、書き換えを進めている最中のようですが、まだまだ事実の全容が公開される日は遠いと言えます。

一番愚かな行為は、書物に書かれたことだけを信じて、知識を主張する行為だと思って下さい。

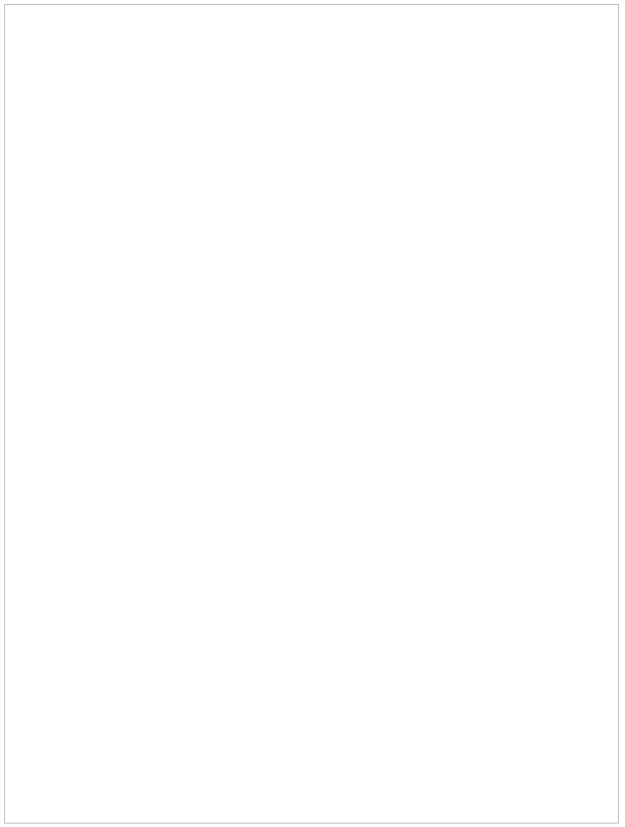
知識に偏った生き方より大切なことは、先人が経験した知恵を大切にしたり、自分の直観を信じたり、素直にの言葉を素直に受け入れる心が大切です。

２０１０年からは、これまで以上に過去信じてきた常識や概念が壊れる時代になることは断言できます。だからこそ、あなた自身の心の準備を諭しているのです。

自分の先祖ルーツを調べて、先祖が住んだ土地へ足を運んで感謝する心は、いつも自分を守ってくれている守護存在と繋がる最高の方法ですので、どうぞ自分の先祖ルーツを調べることをしてみて下さい。

人が亡くなると、80年で戸籍は焼却されますので、今、できる調査をすぐに始めなければ、後で後悔することになります。戸籍を調べていると、本当にたくさんの人の関わりで今、自分が人間として存在していることの確率の低さに驚くことでしょう。

全ての先祖の繋がりと知恵を繋ぐ為の気づきと出会いに心から感謝を贈ります。



☆地球創世スピリチュアル講演会　**in** 関東　１２月１２日（土）　10：00~13：30

場所： 財団法人藤沢市産業振興財団（藤沢産業センター）7F 第一会議室 (JR・小田急藤沢駅 徒歩2 分 神奈川県藤沢市藤沢109 番地 湘南ND ビル7 階　参加費： 4,000 円
　〇申込先： E メール：chikyusousei@yahoo.co.jp (地球創生関東事務局・西宛)： ※1-同日15:00~18:00 に第二部・地球創生討論会を行います（別途2,000 円要申し込み）※前日及び翌日に個人カウンセリング/セッションを若干名募集）

2009.11.26 Thu

寅年の役目

八重山の四島祈りを終えて、宮古島・伊良部島の神様に挨拶をしたあと、琉球王朝の王族の土地を守る沖縄本島の祈り仲間が集まりました。

２００７年に行った沖縄諸島　愛と調和の祈りは、結局、天の岩戸開きをする為に神が導いた事がわかりましたが、、２００６年末から毎月、集まって祈りを続けた仲間は、ただ一心に、神心を行動に示す大人たちです。

時には、家族よりも厳しく見つめあう心があるからこそ、お互いの魂の成長を喜び合える仲間に成長しています。

５０年間、ユタ業をしていた女性は、神仏に導かれて、仏門に入る事を決めました。まもなく、住職の試験があるようで、丸坊主になることを少し恥じらっていましたが、素敵な住職になることでしょう。

幸地（こうち）の土地で幼稚園を営む女性は、来年、６０歳を迎える寅年ですが、そのひと回り先輩の寅年の女性を紹介してくれました。

彼女は、石垣島の宮鳥ウタキの神司（かみつかさ）をしている女性で、毎月にように、神業の為に石垣島へ渡っているそうです。

初めてお会いした人でも、神心がまっすぐな人とは、すぐに本音の話が始まります。

神司（かみつか）の役目は、血筋で継承されるらしく、１８歳で沖縄本島に移り住んでいても、必要な年齢になると神に仕える仕事に就くそうです。

一般のウタキを守る司（つかさ）よりの格が上なのはわかりますが、神格よりも、人間として素晴らしい心のバランスをお持ちの女性だと感心しました。

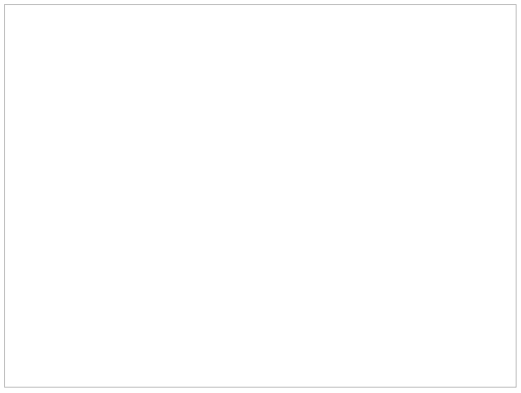
「私は見えたり、聞こえたりはしないけれど、神様の心を持っている人は、自然にわかります。あなたはこれから、とても大きなことをなし遂げるたようですので、これからを楽しみにしています。」と話して下さいました。

この言葉は、宮古島から移動する前に、パワースポット石庭の新城さんが教えてくれた新しいサークルの神様からも、言われていました。

石庭に、最初からあった大きなサークルは「太陽のサークル」、2008年に右奥に作ったサークルは「月のサークル」、そして今年、完成したのが、「地球のサークル」だと新城さんは教えてくれました。

これから新しいエネルギーが地球全体で働く為に、神が作らせたサークルだと教えてくれましたが、とてもエネルギーが強く、大きな神様がいらしゃいました。

「あなたは、これまでよりも１０００倍、１万倍のエネルギーを動かす役目が与えられていますので、どうぞ、お体に気をつけてその使命を果たして下さい」と言われました。



石垣島の神司（かみつかさ）も、紹介してくれた女性も寅年生まれ。伊良部島の猪子さんも、北海道の苫小牧で心のネットワークを作った女性も、寅年生まれ。

私を導いてくれた素敵な女性たちは、なぜか皆さん、寅年生まれなのですが、最近、干支の意味を神が少しづつ教えてくれていますので、来年の寅年生まれの人は、１２年に一回の大切な働きをする年だとお伝えしておきます。

２０１２年に、マヤ歴が終わる本当の意味は、これまでの「１２」というサイクルで動かしていた三次元世界のエネルギーバランスが変わる事を意味しています。

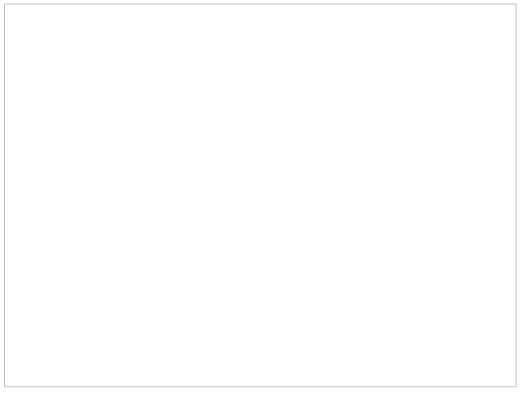
カレンダーも、時計も、干支も、角度を測る分度器でさえも、全てが、１２のサイクルで動いていることを不思議にも思わず生活されていると思いますが、その「１２の調和」が終わる年が、２０１２年です。

それまで、2010年の寅年生まれ、2011年の卯（うさき）年生まれ、そして、２０１２年の辰（たつ）年生まれの方の働きがとても重要ですので、自分の干支の役目を気づいて行動して下さい。

どの干支も、一人では働けないからこそ、周りの方たちの立場を尊重ながら自分の目的を果たすように心がけて下さい。

私も自分の魂の役目を知っているからこそ、必ず、やり遂げます。来年の寅年は、本根の言葉で話し、本気の行動を示して下さい。

人間がまだ生かされている意味に気づく人が増える事を祈ります。

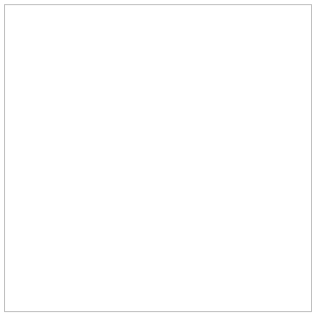


2009.11.24 Tue

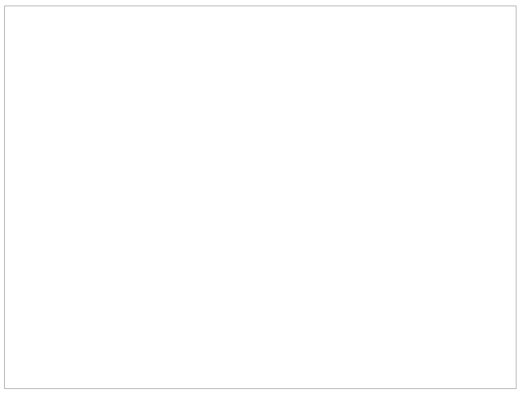
宮古上布と琉球王朝

宮古島から琉球王朝や薩摩藩へ献上していた最高級織物の「宮古上布（みやこじょうふ）」制作現場で、直接、手に触れる機会を頂きました。

チョン麻と呼ばれる植物の繊維1本1本をほぐして織る宮古上布は、反物の幅で１０ｃｍが1万円で取引されていますので、触わった反物の値段を考えると、頭がくらくらしそうでした（＾＾）



お会いした方は、現在、宮古上布を一手に制作している宮古織物事業組合の理事長でもある上地ツルさんですが、１５代前のご先祖が琉球王へ献上したことから宮古上布が世の中に初めて出たそうです。



琉球王朝と御先祖の御縁は、故障した琉球王朝の船を直して全員を助けたのが、上地ツルさんの１５代前の先祖である真栄さんですが、２００７年に龍球王国の新しい王としてご降臨された真栄王と同じ名前だということが、今回、お会いしたきっかけでした。

宮古空港に着くと、すぐに真栄さんのお墓に行こうということになり、上地ツルさんのご案内で、初めて古い個人のお墓を見せてもらうことになりました。

お墓がある場所は、土地に功績のある方だけが眠る大切な聖地のすぐ横にありましたが、建物は一切、ありません。

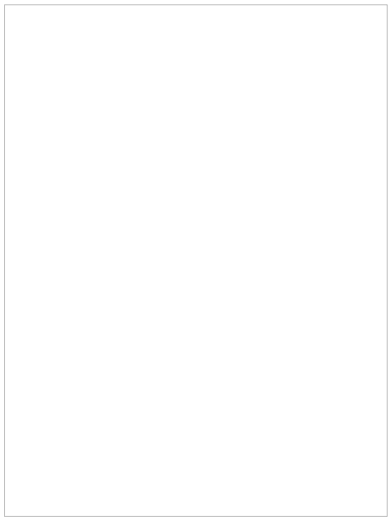
理由は、数十年前まで宮古島は土葬だった為に、穴を掘って埋めた場所をいくつもの石で囲んだ

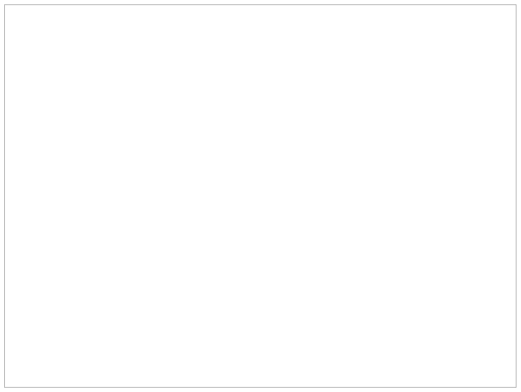
形がお墓だからです。

戦後は、この積んだ石さえ高価に売れたらしく、知らない間に、誰かが大きな石をいくつも盗んでいったと話してくれました。

お墓に手を合わせると、確かに御霊がいらっっしゃいました。

写真の右側から降りているピンクの光と、次の写真の白い丸が御霊です。





真さんから始まる15代前からの家系図も頂きましたが、戸籍にも残っていない人の古い文献を調べあげたお孫さんも、とても素敵です。現在は、家の近くに先祖を祀る為のウタキも作って大切に御霊と宮古上布を守っています。

伊良部島へ渡る前に、石垣島のオヤケアカハチの思いを宮古島へ繋ごうと、漲水御嶽（はりみずうたき）の神様にご挨拶に伺いました。

神様は、「あなたが大切に運んできた思いは、ここでは受け取れませんので、どうぞ、お持ち下さい。」と言葉を添えた後、私に正式な宮古番の証を下さいました。

この後、向かう沖縄本島の神様へ繋ぐ仕事が残っているからなのでしょう。漲水御嶽の神様、ありがとうございます。

5か月ぶりの伊良部島ですが、相変わらず神々のエネルギーは強く、ご挨拶することを怠るとすぐに体が重くなります。

神事であった方にはよく話すことですが、初めての土地を訪れた時や聖地に入る時に、住所と名前、そして、目的を告げてから入る許可を得ないと、よく頭が痛くなったり、体が重くなることがありますので、神様に挨拶する機会がある方は忘れないで下さいね。

今回、伊良部島を訪れた理由のひとつに、伊良部島全体の祭り事の最高責任者である皿主（サラシュ）の男性とお話する目的がありました。

理由は、今まで沖縄のユタや神人たちと話してわかったことですが、沖縄生まれの一般の人たちでさえ、神様を心から信じる人たちが減っていることを知ったからです。

先祖神でも自然神でもいいのですが、神様を信じる心がなくなると、自分を信じたり、他人を信じる心が弱くなりますので、誰かがやってくれるだろうという依存心や無責任な行動をする人が増えてしまいます。

地球がこれだけ崩壊している事を知りながら、何も変えようとしない大人たちの心の中に、神様や先祖たちを信じる心が薄れたことも、大きな原因だと思っています。

私の言う神は、宗教的な神の意味ではなく、自分の心の中にある魂という意味で言っていますが、自分を信じられず、未来に希望を持てない大人たちが増えた事が原因で、考えられない事件が続いていることはあなたも御存じのはずです。

伊良部島のユークイ（豊年祭）を調べると、700年間続いている事がわかりましたので、沖縄で最後と言ってもいいほど、土地の人の心の中まで浸透している神心は、絶対に守らなければいけないと思っています。

皿主（さらしゅ）の男性に、神様ルールや今の現状を詳しく尋ねると、年間に60回近く仕事を休

んで神ごとをしなければいけない為に、収入がなくなったり、職を失うこともあるそうです。

そんな現状でも、この役目を一生懸命に果たす彼は、心底、神と御先祖を守る心が強いからですが、神の島と呼ばれている沖縄全土の大切なお祭りも、お金や生活を優先した結果、どんどん消えてしまっていることを御存じでしょうか？

神様やお祭り（神業）を守ることは、人間が生かされていることに感謝する最低のルールだと私は思います。

神様を信じない人は、神様を自分のおじいちゃんやおばあちゃんだと思ってみて下さい。

どんなことがあっても、いつも私たちを見守ってくれているのが、神様や御先祖です。

本来、神様は、人間の御利益主義で存在していませんので、日々、生かされている感謝の心が全ての祈りの基本のはずです。

立派な建物や祭壇を望むのは、人間の我欲の心でしかありません。

神様は立派なお墓も建物も位牌も、何も必要としていません。

ただ、欲しいのは、あなたがまっすぐに向かう神心・仏心だけなのです。

伊良部島の祭りごとを守る為に、何ができるかを島の人たちと話しました。

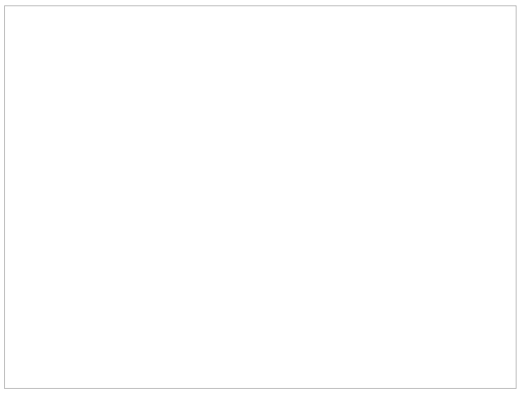
一番、大切なことは、全国の皆さんが沖縄を守る心を持つことが必要だと思いました。

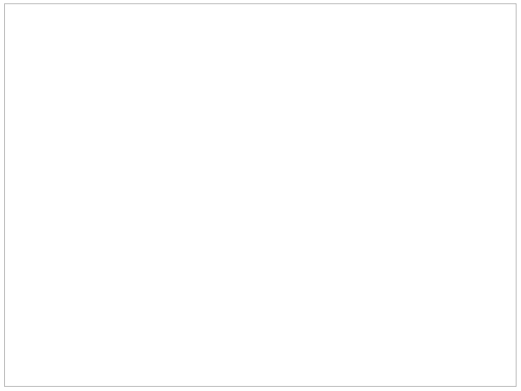
沖縄は、何度も、大和（日本）の犠牲になった歴史があります。

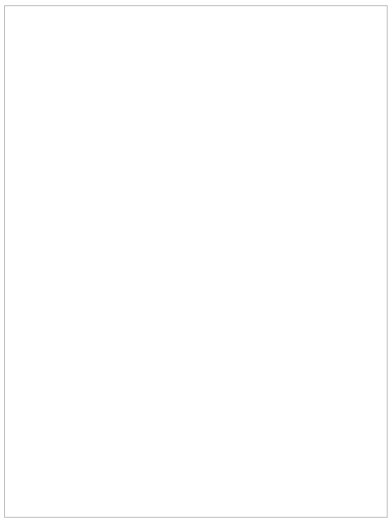
私がいつも心がけていることも、今の沖縄の人たちが耐えてくれたおかげで、日本はここまで成長できたのだと思っています。

日本を支えてくれてた大きな母親とも言える沖縄の神様、そして、今も、沖縄の神々を大切に守り、次の世代へ残す為に御尽力されている人たちの思いをいつも感じています。

皿主（さらしゅ）の男性に、「今年のユークイに参加できなかったので、神様へお礼を言いたいのですが、どこがいいでしょう？」と尋ねると、「伊良部島全てのウタキの大もとは、比屋地（ピャーズ）ウタキです」と教えてくれました。



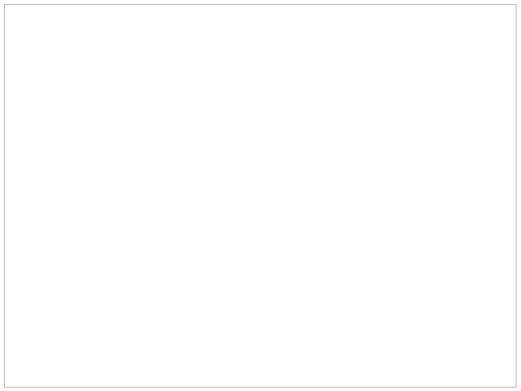


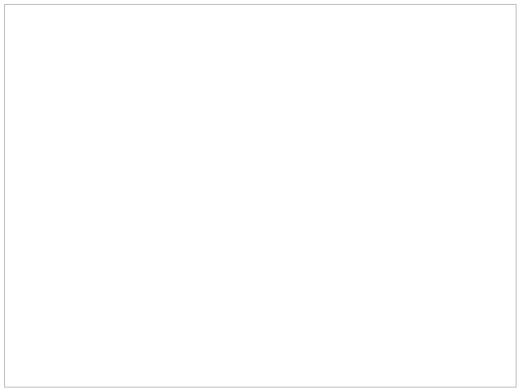


翌日、比屋地（ピャーズ）ウタキの神様にお礼を言いに行くと、この５年間のお礼の言葉に添えて、今後もさらに、伊良部島や宮古島の為にお力をお貸しくださいと頼まれました。

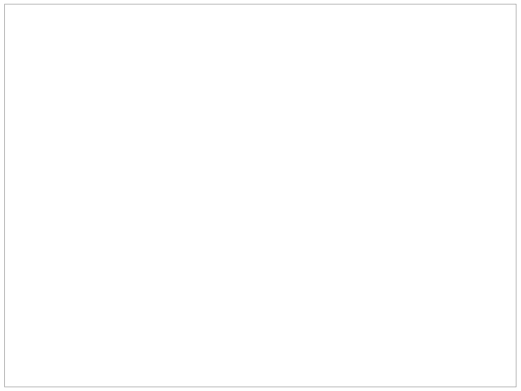
神様が言われる言葉は天の言葉ですので、自分にできる精一杯の事をしようと改めて決意しました。

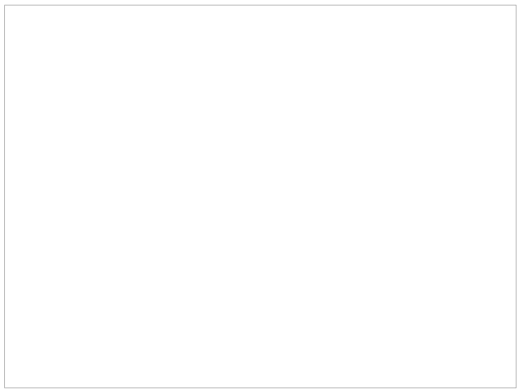
牧山展望台のウズヌシュ様にもご挨拶をしてから、伊良部島のとても大切なウタキである乗瀬（ヌーシ）ウタキへ向かいました。





現在、乗瀬（ヌーシ）ウタキは工事中で、鳥居と建物を全て取り壊していますが、ここへ来た目的は、すぐ隣にある中国・シナ・台湾に繋がるウタキのフタをあけることが目的でした。





伊良部島の御先祖が、中国・シナ・台湾に繋がる血筋を持っていることは何度も話ましたが、その御先祖に繋がるウタキが閉められている為に、神様たちが泣いていると、2005年に出逢った伊良部島のユタは泣いていました。

神様がユタの言葉を借りて、私に伝えたことはほとんど叶えましたが、最後の約束がこの「唐の神（とうのかん）」のウタキのフタを開けることでした。

これまでの5年間、全国でたくさんの神業をしたおかげで、見えない神と神を結びつけたり、神降ろしまでできるようなったことも、この瞬間の為だと感じています。

草むらの入り口に昔の塀の残骸を見つけましたが、このウタキだけは、女性しか入れないと皿主も言っていたので、入り口の前に座って祈りを始めました。

今まで唐の神（とうのかん）に繋がるウタキを閉めたお詫びと、土地神様へのお詫び、そして、唐の神の故郷へ使いを出して、神の繋がりを復活させる祈り言葉を唱えました。

風が吹き、光が照らされた瞬間、あたりの波動もやさしくなり、「唐の神と繋がりました。唐の神のフタが開きました」と、神言葉が降りました。

ようやく、五年越しの依頼を達成できて一安心しました。

人の心は、人が問うもの。

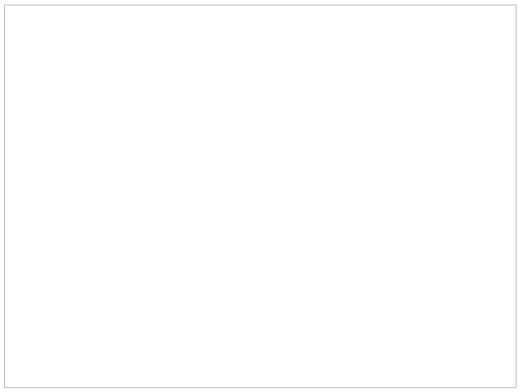
神の心は、神心が問うもの。

だと、神は教えてくれました。

常に、自らの神心を問い続ける生き方をしていきたいものですね。

沖縄を大切に守りたい、伊良部島・宮古島の神々を守りたい皆様のお気持ちを伊良部島の神や人に伝える為に、地球創生基金のお金を今回、使わせて頂きました。

今後も、新しい日本の心の再生の為に、伊良部島へ皆様の御心をお届け下さることをお願いします。



渡口の浜

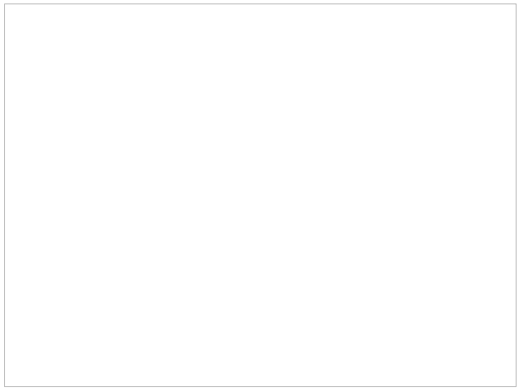
2009.11.23 Mon

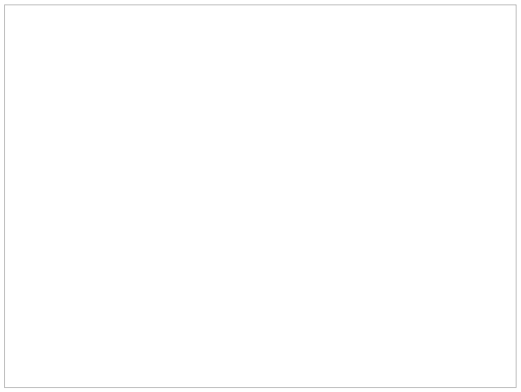
西表島祈り　八重山諸島

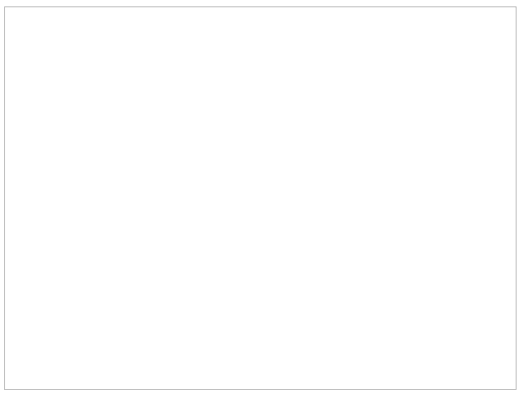
今回の八重山諸島祈りの最後の島は、イリオモテヤマネコで有名な西表島です。

この島は、石垣島の西の玄関として名前が着いたようですが、島のほとんどが山に囲まれた島だとわかり、驚きました。

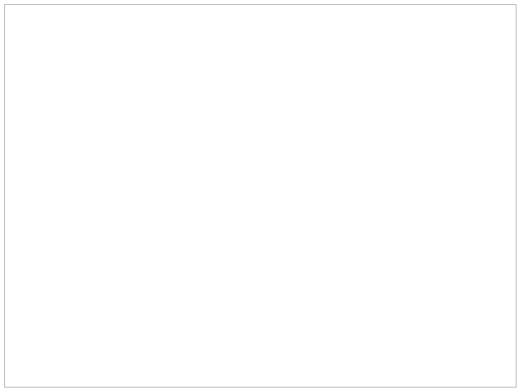
港から車を借りて左の道へ進むと、３０分ほどで海岸に出て道は終わります。







港から右側の道を海辺に沿って走ると、最後は島の北の海に出てゴールです。

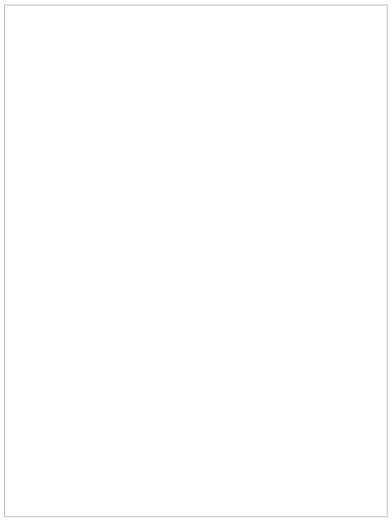


山に囲まれた島の西側と中央部には、沖縄では珍しい高い山が連なっていますし、その中から流れている滝があるので行こうと思いましたが、船に乗らないといけないとわかり、断念しました。

滝の神様にご挨拶しようと思っていたのにとしょんぼりしていると、昨日の雨が道へ流れ出していました。

水はエネルギーを繋いでくれますので、この水から滝の神様へお礼の祈りをしました。

西表島の自然を守って下さってありがとうございます。

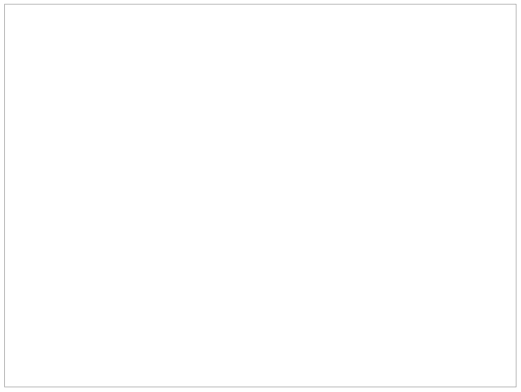


こういう豊富な自然環境が守られているおかげで、イリオモテヤマネコも生き残っていられるのでしょうね。

道のあちこちに、「ヤマネコ飛び出し注意」と書かれた看板を見つけますが、北海道の「熊出没」や「シカに注意」の看板を思い出します。

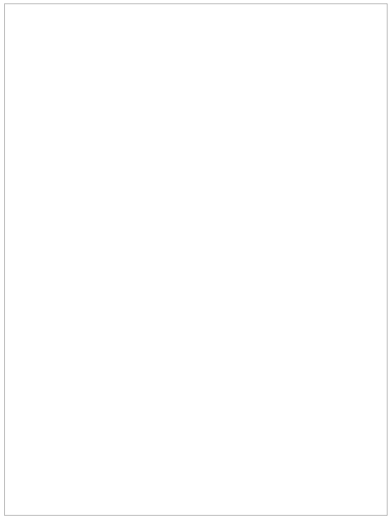
食堂に入ると、最近、イリオモテヤマネコの子供が迷って道へ出てくるようで、見つけた方は夜中でも連絡をと書いた張り紙をよく見つけました。

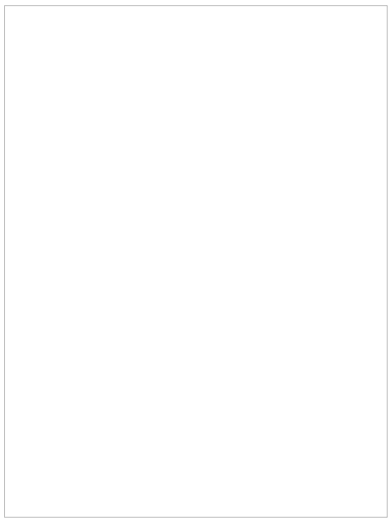
島の人たちが見守る神様が、イリオモテヤマネコだとわかりました。お店に張ってあった写真をパチリ！

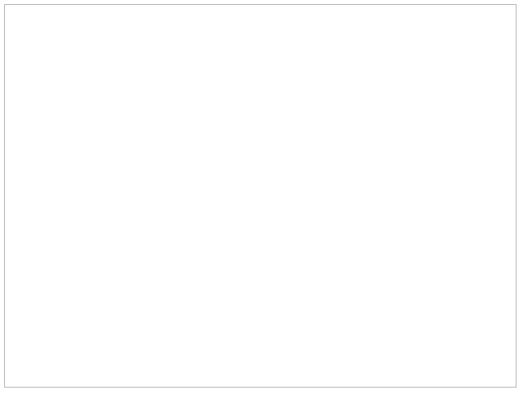


港へ戻る道の地名に「祖納（ソナイ）」という字を見て、先祖を納めると場所だと感じたので、土地に詳しい旅館の方に龍宮神の場所を聞いてみました。

海辺に「祖納ウタキ」があるとわかったので行ってみると、航海安全の神として書かれた石碑がありました。







岩の姿や浜の形を見ていると、この場所に神様がいることはわかりますので祈りを始めました。

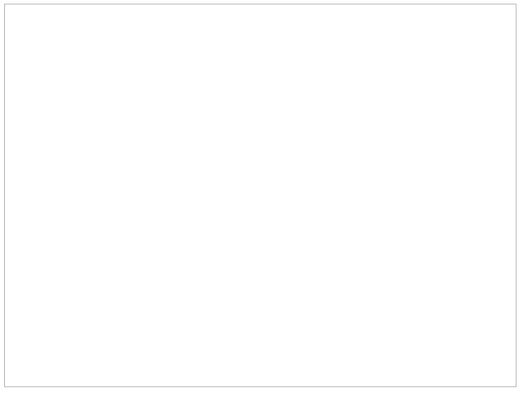
私のような祈り人が珍しいせいか、神様は少し戸惑っていましたが、最後に、長い棒を下さいました。

「何に使うのですか？」と尋ねると、「何にでも使えます」と教えてくれます。

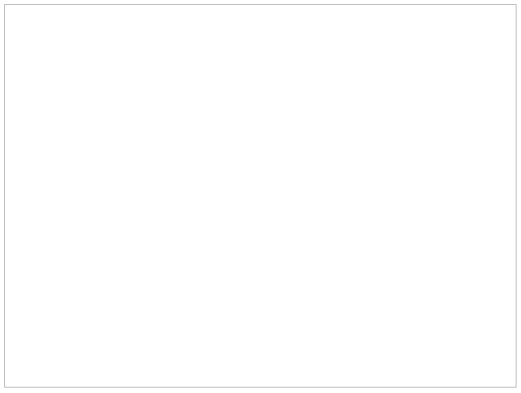
これまでいくつかの棒を神様にもらったことはあるのですが、珍しく模様もない棒ですが、伸びちじみするので、いつか使えそうです（＾＾）

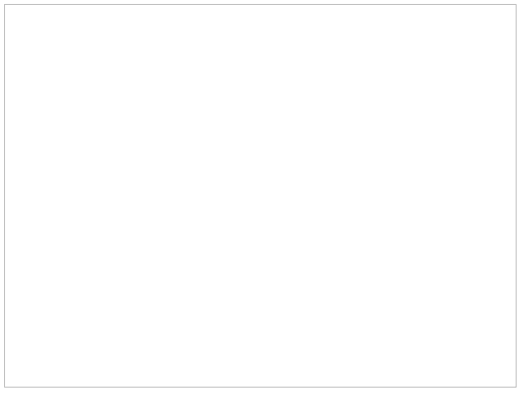
棒を頂いた御礼を言ってから、西表島の北の端にあたる星砂の海岸へ向かいました。

海は風で大荒れなので、遠くから御礼だけ伝えて移動しました。



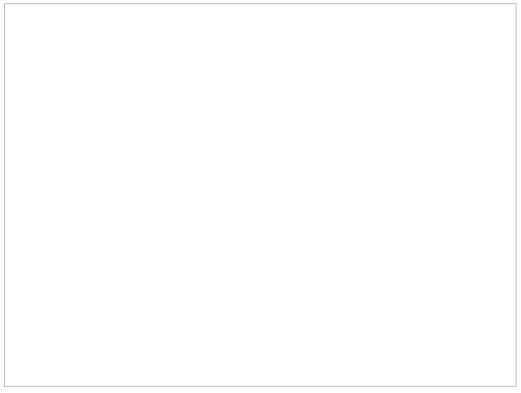
途中で見つけた海岸線の浜の大きな岩に、神様が乗っているのを見つけたので、祈りを捧げました。この浜を守る神様のようです。

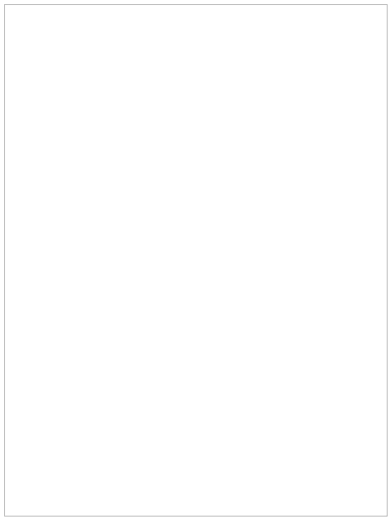




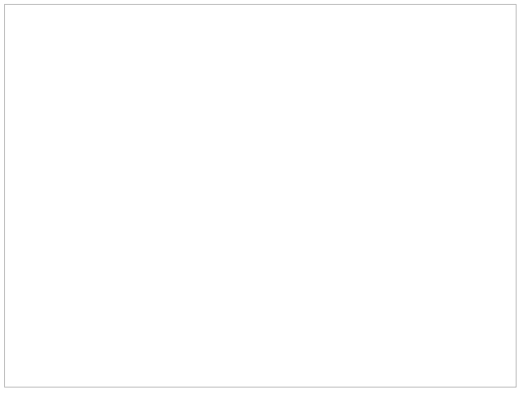
また偶然見つけた場所は、マングローブの群生地で、たくさんの子供たちが自分の力で枝を下にの伸ばして成長しています。

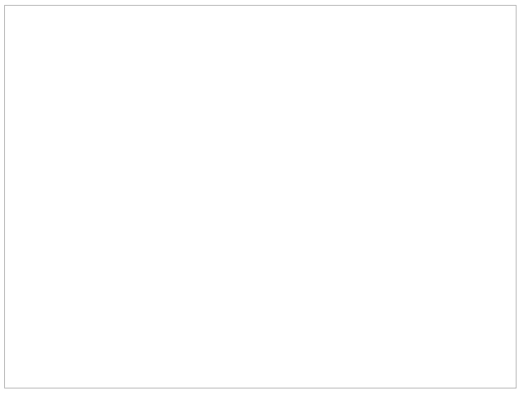
精霊も集まっているこの場所も、大切な聖地ですね。



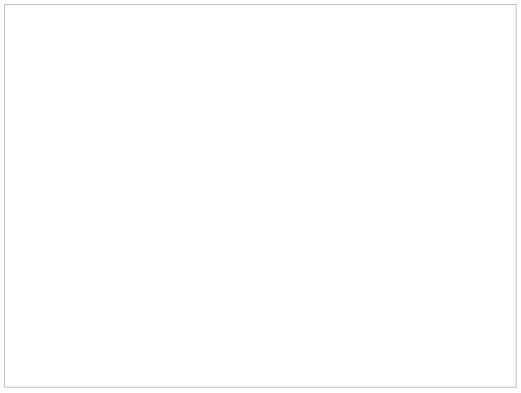


西表島には、八重山諸島唯一の温泉もあるので、この旅の締めくくりに湯につかりに行きました。



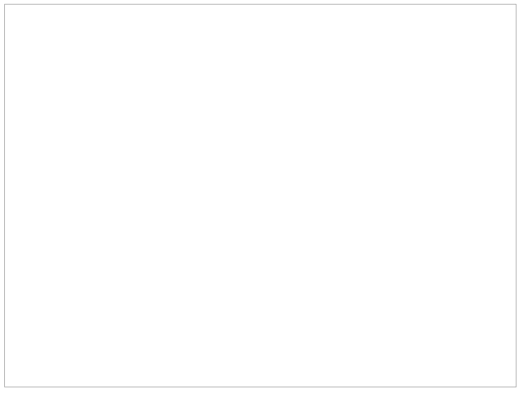


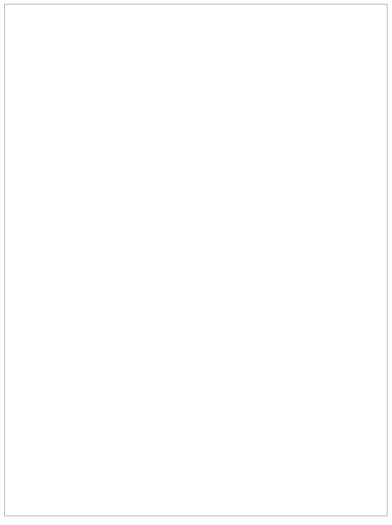
透明な冷泉ですが、露天風呂の横に川が流れているうえに、目の前は植物群生の世界が広がります。



西表島は、植物に守られている素晴らしい島だと本当に思いました。温泉も土地の恵みですし、土地神様のエネルギーを感じるとてもいい方法ですので、ぜひ、皆さんも温泉地へ訪れて下さい。

その帰り道に見つけたスオウノ木の植物群生地は、素晴しい場所でした。





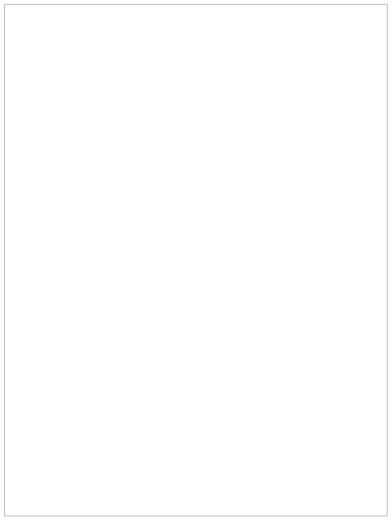
沖縄本島の海辺で初めて見たこの木は、完全に木の神様が作らせたものですが、群生地のせいか、そのエネルギーはとても強い場所でした。

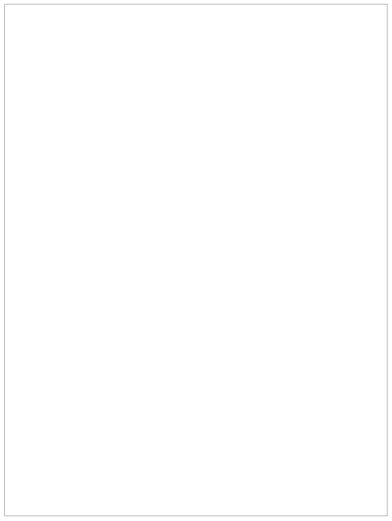
ウタキもありますが、建物の横を通って一周していい場所です。

鳥居からご挨拶してみると、「しばらくお待ち下さい」と返答があります？？

また何か失敗したかなと思っていると、「どうぞ、お入りください」と神様の声が聞こえました。

何故、止められたのか不思議に思いながら、建物の後ろへ回ってみると、すぐにその答えはわかりました。





建物の後ろにある一番大きな木には、この植物群生地の一番大きな神様がいたからです。

神様にご挨拶すると、「すいません。先ほどまで他の場所で会議があったので・・・。」と教えてくれました。

これだけ大きな自然の島だと、それは当然のことなのです。

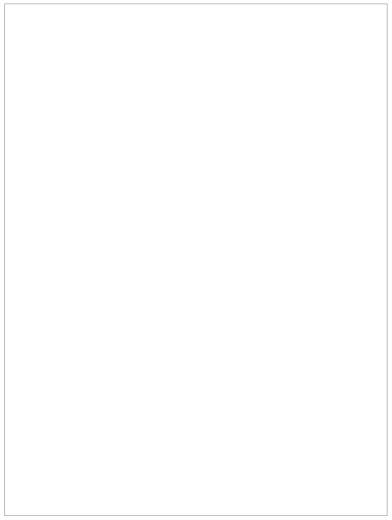
植物が群生している中の木の神様は、木と木が繋がるネットワークを守る役目がありますが、ひとつの地域を守っている神様も、他の地域にある神様と情報を交換し合う会議がもたれています。

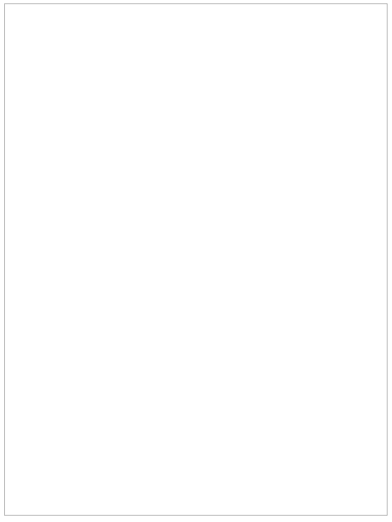
ジブリ映画でも、こういうことを表現していたと思います。

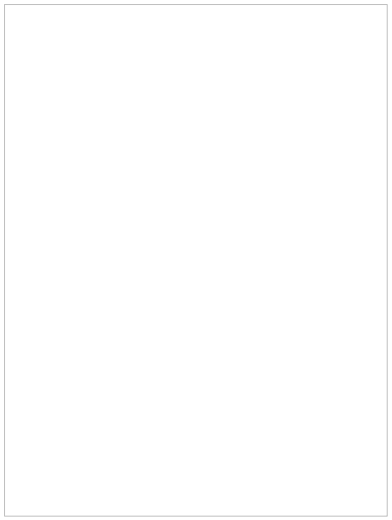
偶然、私が来た時が、神様が山の中の会議の帰り道だったようです。

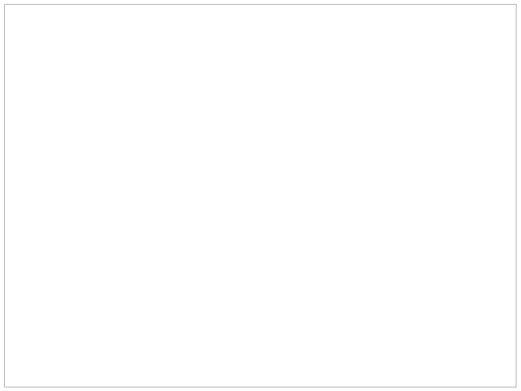
改めてご挨拶をすると、リンとされて御礼の言葉も頂きました。

この場所にいて自然に歌った神歌は、ここの木の神様へ御礼を述べる神歌でした。









強いエネルギーに包まれた場所には、長居は無用です。神様に御礼を述べてすぐにそこを離れました。

それにしても、植物群生の場所をウタキにするとは、とても大切な神心を教える方法だと、土地の人の知恵に感動しました。

こういう自然界に感謝する心は、ご利益主義の人間には、理解できないかもしれませんけどね！

観光としてはあまりに見るところが少ない島ですが、めったに入ることのできない植物群生を見れたおかげで、この島の大切なものがわかりました。

９０％が自然のままの島、それが、西表島です。

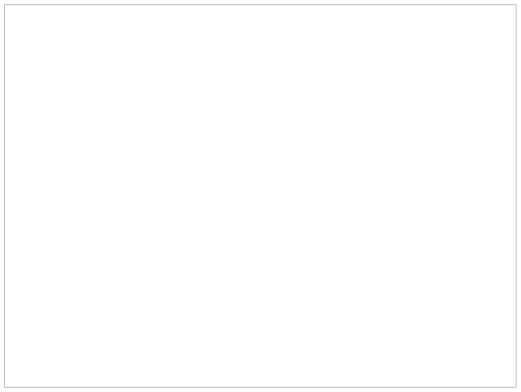
自然界を守っているたくさんの神様、本当にありがとうございます。

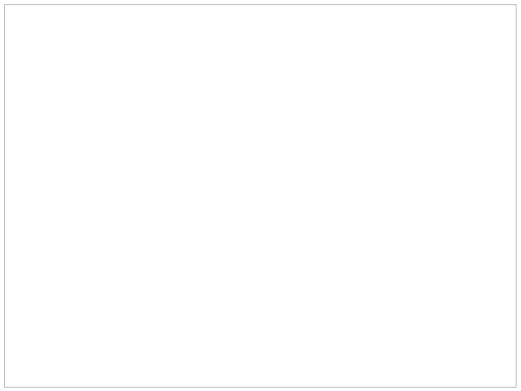
これで八重山諸島の祈りは終わりましたので、明日から宮古島へ入ります。　続く
2009.11.17 Tue

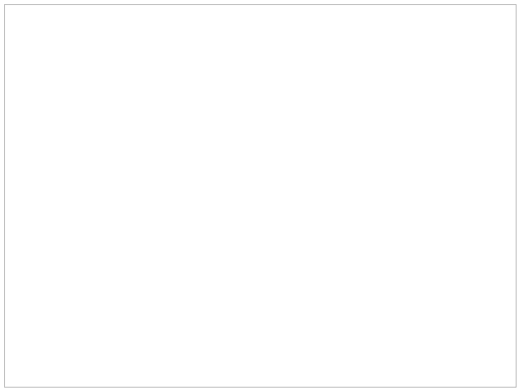
竹富島祈り　八重山諸島

石垣島から船で１０分で着くほど近い竹富島には、島の人よりも観光産業に関わる大和の人の数に驚きます。美しい赤レンガの屋根に、どっしり構えて吠えているシーサーもとても印象的でした。

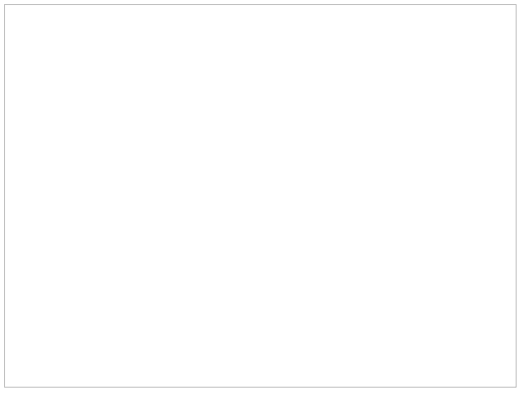
小さい島ですのでレンタル自転車を借りて、祈りの場所をめぐることにしました。

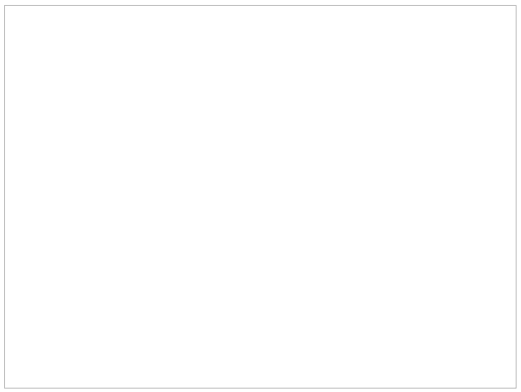


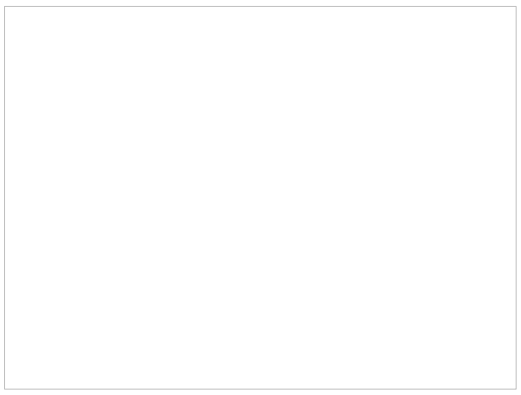


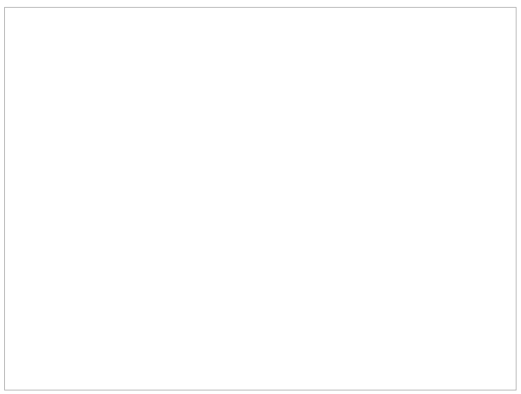


竹富島は、八重山諸島で神が最初に作った島として言い伝えられていますので、まずは、この島に神降りした場所と言われている清明（シンミー）ウタキに向かいました。





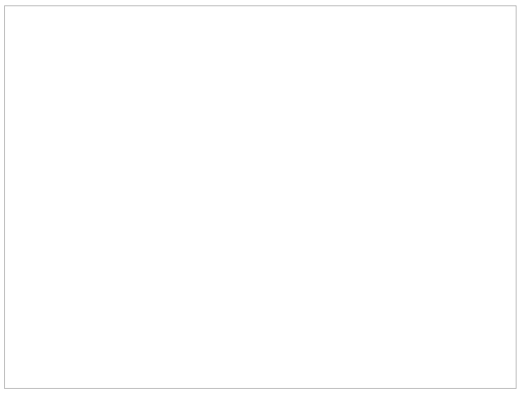


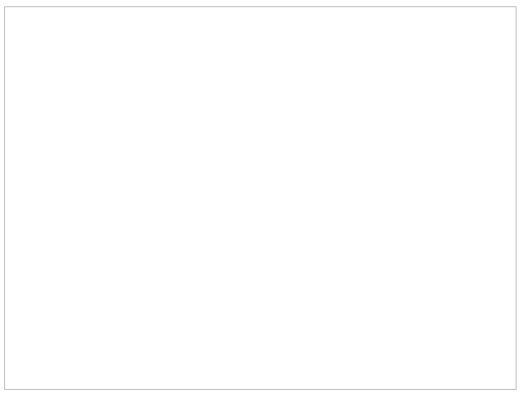


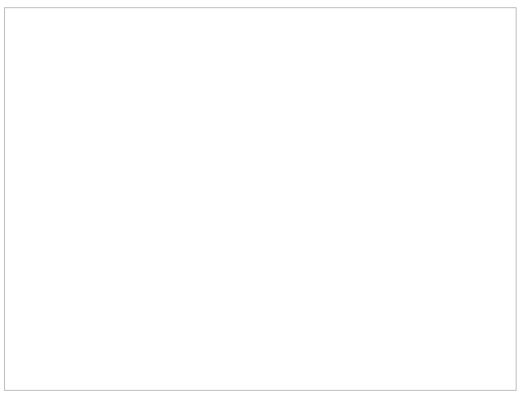
今回の祈りの目的と、自分の自己紹介をすると、神様は祈りの御礼に、大きな貝の上に載った二つの玉を下さいました。

陰陽和合・男女和合の玉だとわかりましたので、男女が互いに感謝する世の中を創る為に使いたいと思います。

二か所目の祈りは、沖縄の拝所の本にオヤケアカハチが倒れたあと、この島の石工が琉球王朝の園比屋武御嶽（ソンヒャウタキ）を作り、その技術の素晴しさに感動した王が八重山頭に任命したことが載っていましたので、その方が祀られている西糖ウタキへご挨拶に行きました。





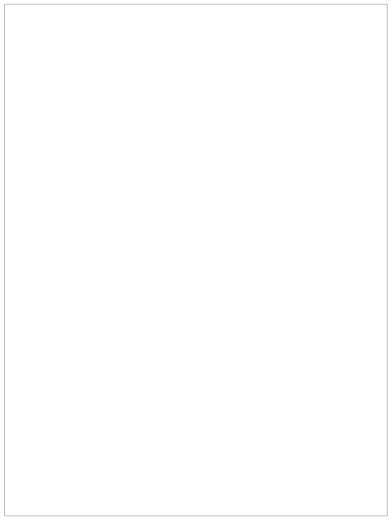


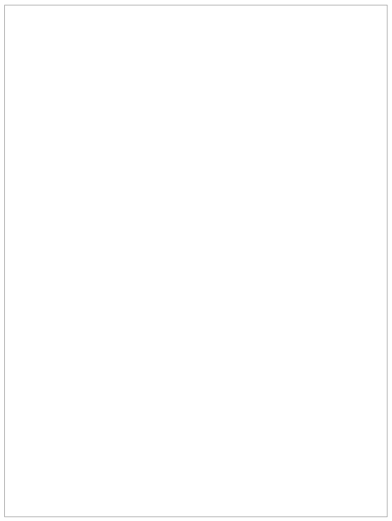
八重山諸島を守った方ですので御礼のご挨拶をしにウタキの前に行くと、珍しく鳥居の中へ入っていいと思えるウタキでしたので、賽銭箱の前に進んで祈りました。

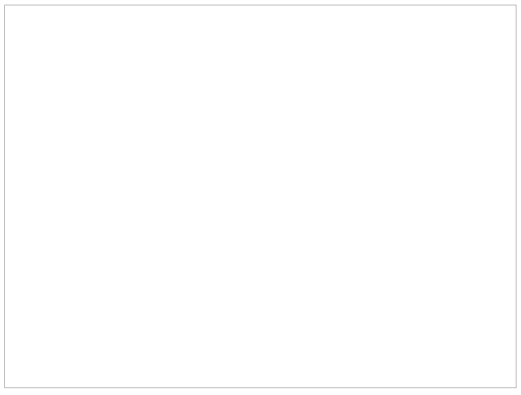
これまでの守りに心からの御礼を伝えたあと、八重山祈りのあと、宮古島、沖縄本島へ向かうことを伝えると、神様は、二本の反物（たんもの）を奥から差し出して下さいました。

神様が反物（たんもの）を下さる意味は、反物を織る時の一本一本の糸を紡ぐように、人の心を紡ぎ、新しい心を織りあげる意味と、過去の人の気持ちをひとつに繋ぎまとめる意味がありますので、心して頂きました。

次は、この島の水の神様（河神＝カーシン）を探しました。







看板もない場所に石が積まれた中には、今でも水が溜まっていました。その昔、生活の飲み水として働いた大切な神様ですので、場所を清めてから祈りの準備をしていると、「お待ちください！」と神の声が聞こえました。

何か失礼なことをしたのかと考えていると、水の神様がこう教えてくれました。

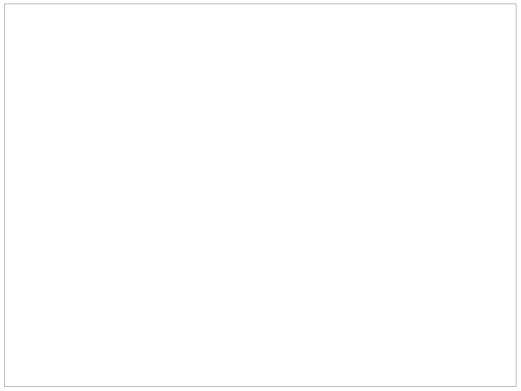
「今、水の神様たちが集まっていますので、もうしばらくお待ち下さい」

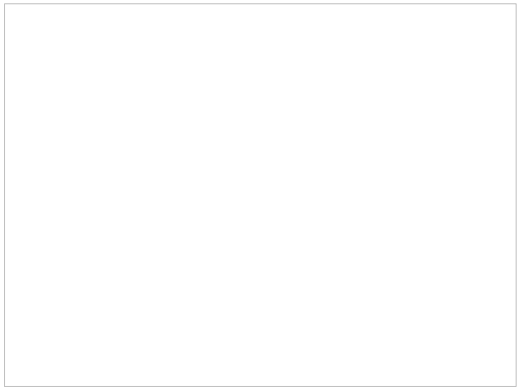
八重山諸島の水の神様たちも喜んで下さっているようで、たくさんの水の神様が勢ぞろいしたので、心から感謝の祈りを始めました。

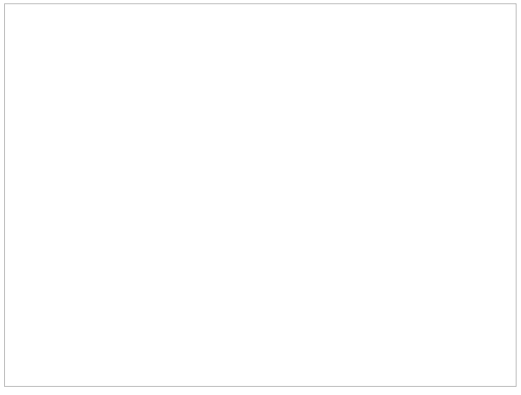
水の精気が溢れたこの場所から、また新しい水のエネルギーが八重山の島々へ産み出されることでしょう。

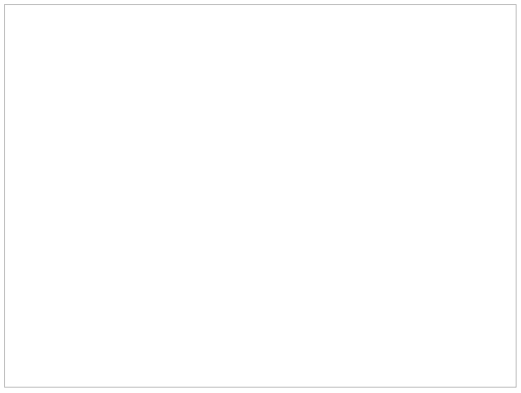
次は、海へ出てみました。

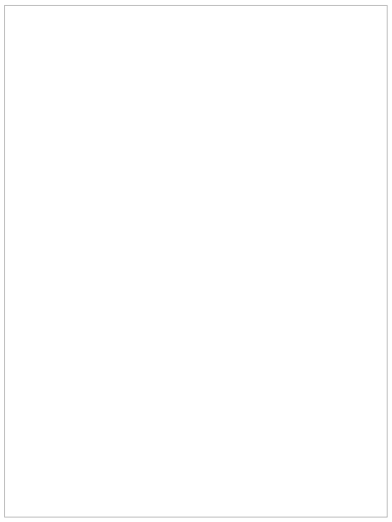
カイジ浜と書かれたまっ白な浜は、「星砂海岸」と別名があるほど、美しい砂浜が広がっています。

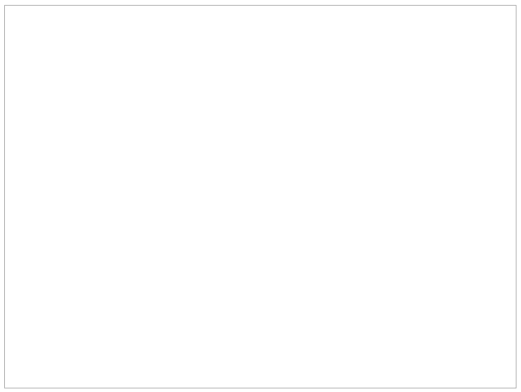












死んだサンゴが砕けて星砂になった砂浜は、命の循環を感じさせる美しい浜でした。

浜から道へ戻って自転車を走らせると、この島のビジターセンターを見つけました。歴史的なことをもう少し知りたいと思ったので中に入ると、二人のオバーが木の皮で籠を作っていました。

何気ない会話のあと、オバーはこの島の神様のことを教えてくれました。

?この島の拝みは昔からたくさんあるけれど、昔、行っていた龍宮の神様への拝みを最近していないので、やっぱりやったほうがいいということ。

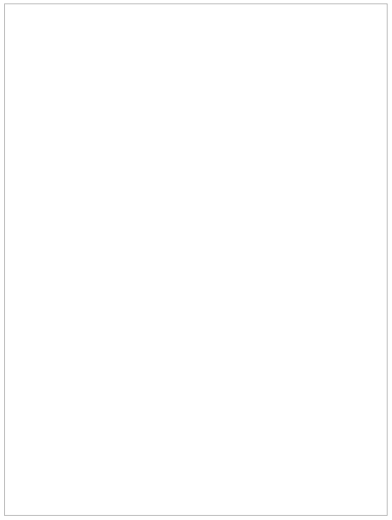
?この島で13歳の女の子の祝いをとても盛大に行う理由は、次のお祝いの25歳までに亡くなったり、嫁に行ってしまうことが多いから。

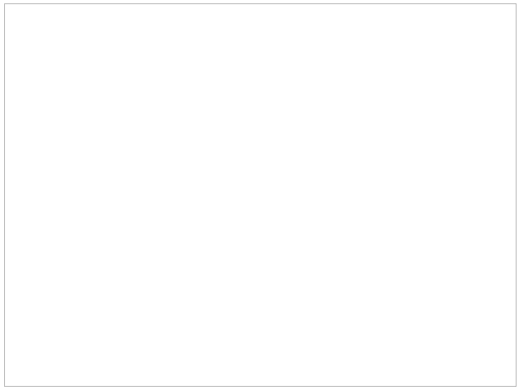
?毎年、神様が降り立つニライカナイのウタキで神様を迎えた後、集落の中心のウタキでお祝いしてから公民館で拝むのが、この島の昔からの習慣。

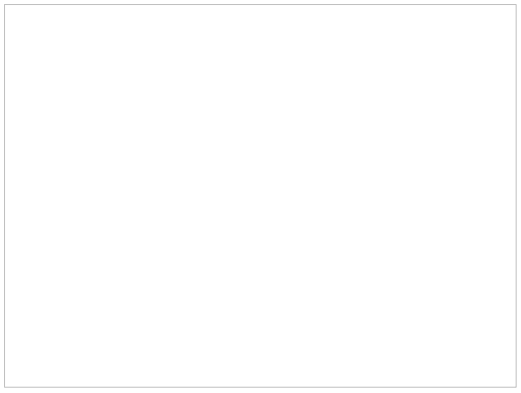
神様は、このオバーを通して大切なことを教えてくれたようです。

聖地の場所がわからない場合は、いつも直観を信じて動くと見つかりますが、今回も、すぐに龍宮神の場所を見つけました。

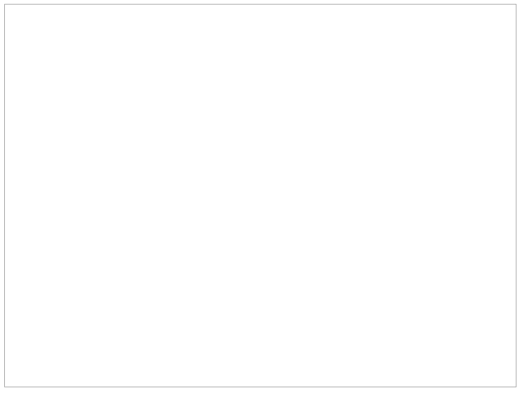
海から入ってくる龍の神様の道にある美崎（みさき）ウタキが、龍宮神です。



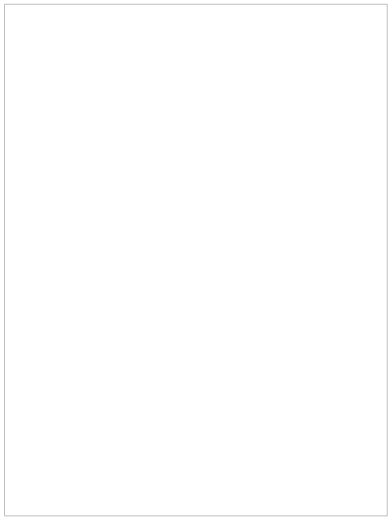


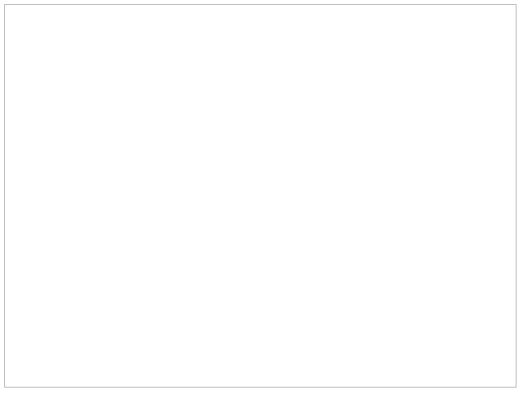


このウタキの右側にも鳥居があったので、手を合わせると、女性の神様を祀っていることがわかりました。



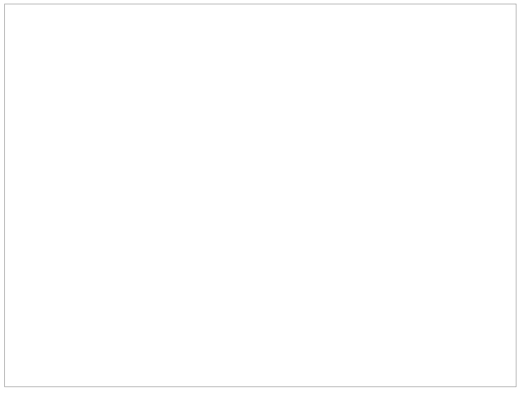
海の中に浮かぶように龍が降りる岩に向かって、天と地、そして、八重山諸島の神々を繋ぐ大きな祈りをすると、素晴しい神エネルギーがその場所に満ち溢れてきました。

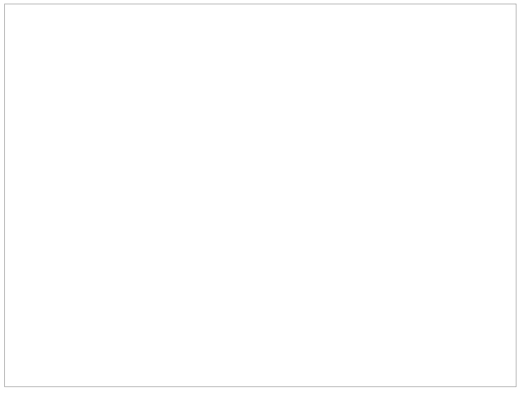




昼食を食べるのを忘れたくらいに次々と回った夏日の竹富島の最後は、へとへとになった体を西桟橋の海に浸かって癒してもらいました。

竹富島はとても小さな島ですが、素晴しい神様が今もしっかり働いている素晴らしい島です。
　続く





2009.11.16 Mon

波照間島祈り　八重山諸島

二日目の祈りは、日本最南端の地がある波照間島に行きました。

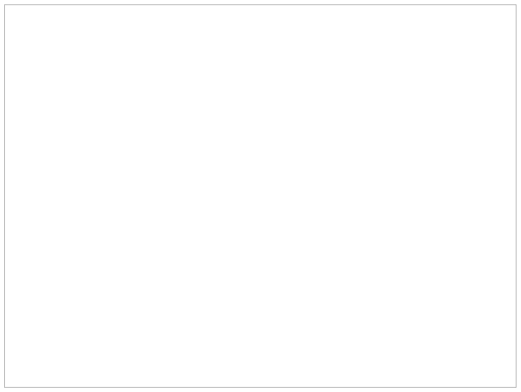
美しい海に囲まれた楕円形の形の島は、とがった岩の先端がないので、地元の人に海の神様に感謝する龍宮神の場所を聞いてみました。

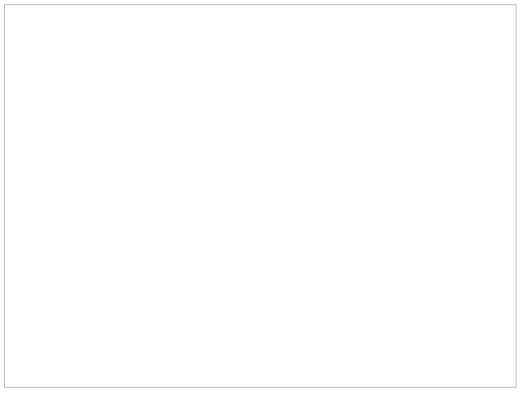
地元の人たちが拝みをする場所はあるそうですが、そのウタキの前こは船が置いてあって触ることも近づくことも禁止されている事がわかりましたので、自分で祈る場所を探すことにしました。

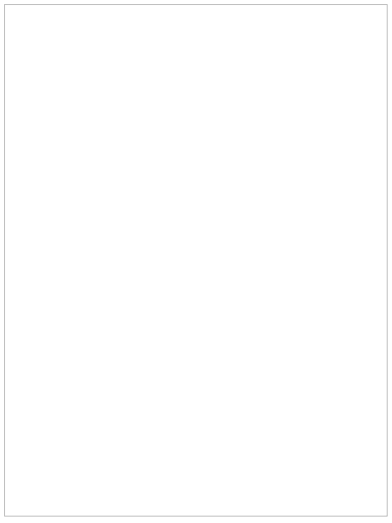
港の近くの道に煉瓦と藁で作られた拝み場所を見つけましたので、近づいて神様に聞いてみると、「ここは龍宮神ではなく、人が願いをする場所です」と教えてくれましたので、他の場所へ移動しました。

それではまず島を一周しようとを回ると、最南端の案内板が見つかりました。

最南端の地には大きな石碑や、日本神道の若者たちが納めた国旗の石碑もあり、観光客も訪れていました。





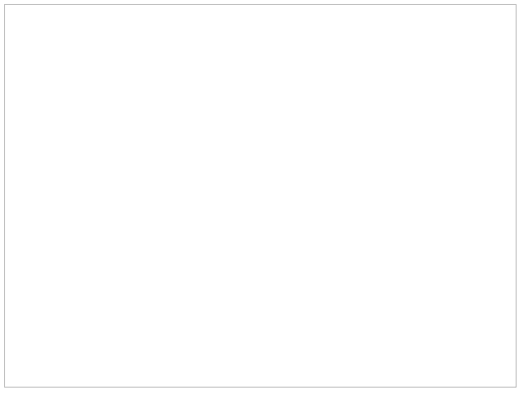


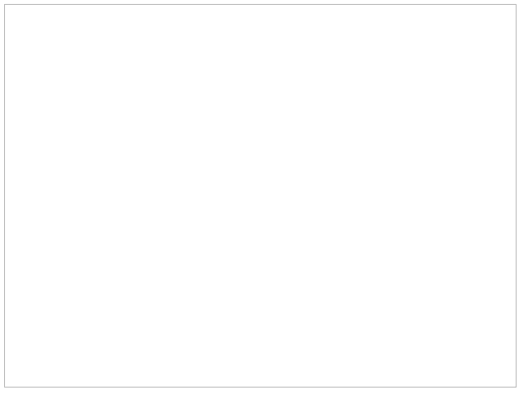
日本を守る南の祈り場所を決めて龍球王国の十五神の名前を呼び、宇宙の神守りと繋ぐ祈りを行いました。

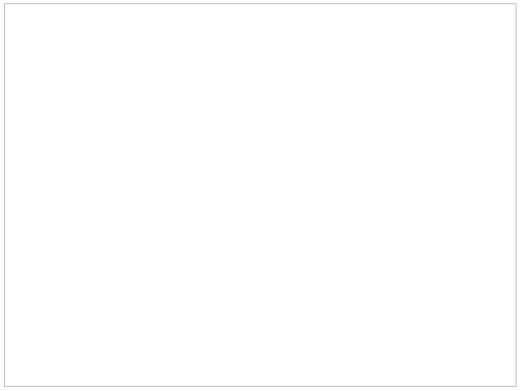
これまでに龍球王国の十五神の名前を呼んだ場所は、日本の西を守る与那国島や北を守る利尻岳の山の頂上、そして、東を守る納沙布岬でも呼びましたし、大切な山の上の神事で行いました。

この場所は、土地に降りた神々がより大きな働きができるように、宇宙の神々は常に空の上から見守ってくれています。

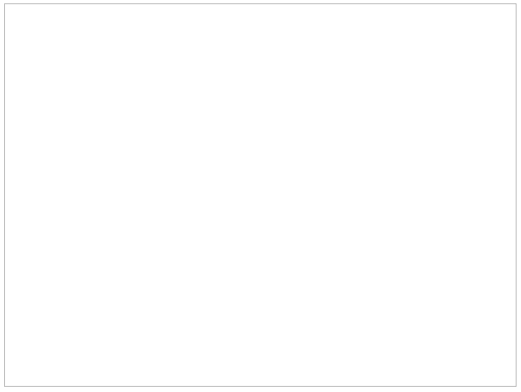
島を一周して港に近付くととても美しいビーチを見つけました。まっ白い砂浜が続くビーチには、たくさんの人も集まっていました。

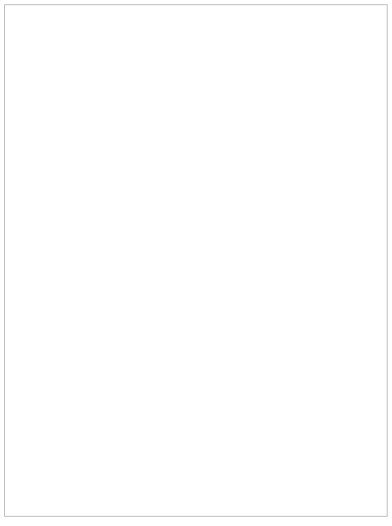


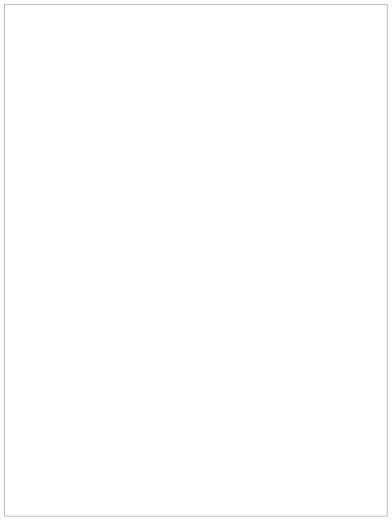




島の中心に集まっている集落の中に八重山諸島の頭であったオヤケアカハチの生誕地があことがわかったので、探しました。大きな看板もない道の横に、小さな石碑とがじゅまるの木を見つけました。





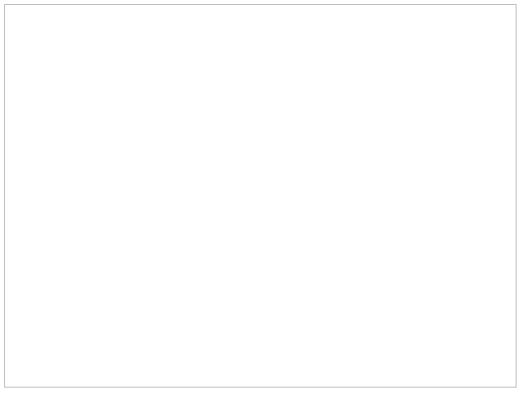


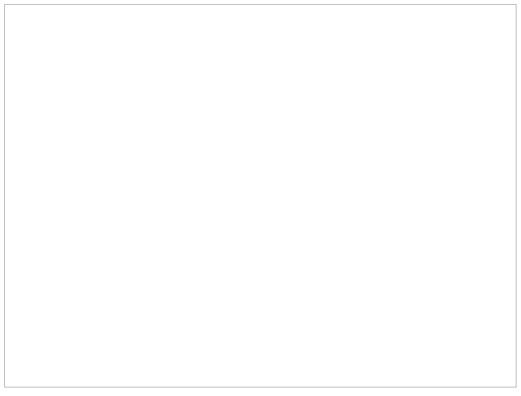
宮古島と八重山の和合、琉球王朝との和合、そして、大和の国との和合の目的で祈りにきたことを告げると、オヤケアカハチの魂は、「祈りに感謝します。一緒に着いて行きます」と言葉をくれました。

この祈りが終わると、とたんに雨が降り始めました。大きな浄化の雨だとわかりましたので、たくさんの人たちの思いと一緒も、この雨は和合の働きをしてくれたことでしょう。

滞在時間は５時間ほどでしたが、とてもきれいな砂浜とオヤケアカハチの心が印象的な島でした。

ありがとうございます。　　続く





2009.11.15 Sun

石垣島祈り　八重山諸島

2003年に一人旅をして以来、二度目に足を踏み入れることになった石垣島。

今回、やってきた理由は沖縄のほとんどの島の神様にご挨拶をしていながら、まだご挨拶をしていない島だということと、沖縄の神人　比嘉吉丸さんに頼まれていた事が理由です。

2004年に伊良部島から沖縄の祈りが始まった私は、宮古番を持っていることになりますので、石垣島へ行く前に歴史を調べてみました。

琉球王朝時代に最後まで琉球王に従わなかった島が、宮古島の島頭　仲宗根豊見親（なかそねとういみゃー）と石垣島の島頭　オヤケアカハチでしたが、宮古島は、琉球王朝に従うことを決めてことで、石垣島の征伐に加担する立場になりました。

これは歴史的に、宮古島が石垣島を倒した形になりますので、石垣島人と宮古島人の思いの中には、今だに残っているもの歴史的カルマでもあります。

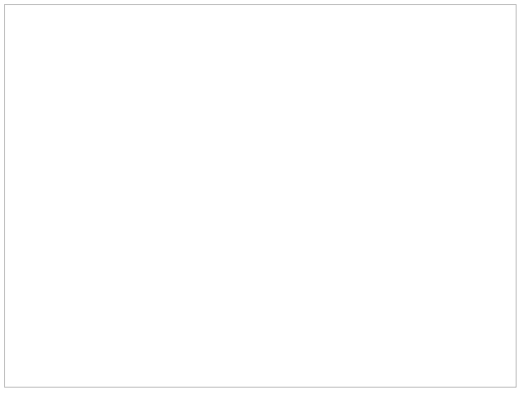
このことを踏まえて、過去の歴史のお詫びの心で頭を下げて、新しい和合に力を合わせて頂くことを神様と話し合うつもりで石垣島へ向かいました。

石垣島には1週間居たことがあるので、だいたいの場所は覚えていましたが、祈りを目的に入ったのは初めてなので、気持ち的には伊良部島の神様に頭を下げてまわった最初の頃を思い出します。

石垣島本島でまず向かった場所は、琉球王朝の船(宮古島の船）が攻めてきた場所として歴史に記録されている石垣島の南にある大浜海岸です。

ここで八重山諸島を守っていたオヤケアカハチ率いる軍勢が、待ち構えていました。

またこの場所は、1771年4月24日（明和8年3月10日）に発生した大地震の明和の大津波（八重山地震）でたくさんの人が亡くなり、そのときに打ち上げられた岩も残っている場所です。



心からのお詫びの心で大浜に立っていると、ここで亡くなった御霊の気持ちが体に伝わってきます。

いつの時代にも戦いはありますが、戦いに本当の勝者は存在しません。

勝った人も、いずれ負ける時が来るからです。

石垣島に勝った宮古島も、琉球王朝の人頭税に苦しめられましたし、沖縄全土を支配した琉球王朝も、最後は、島津藩に滅ぼされました。

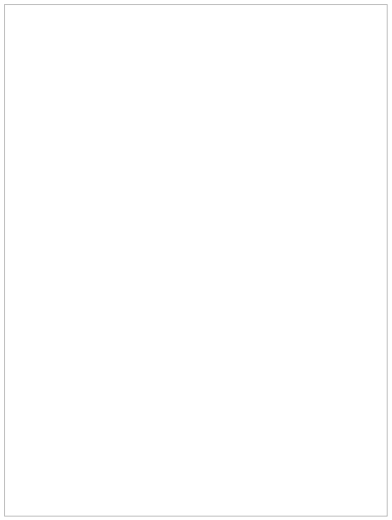
歴史を振り返って学べることは、戦いに本当の勝者はいないということです。

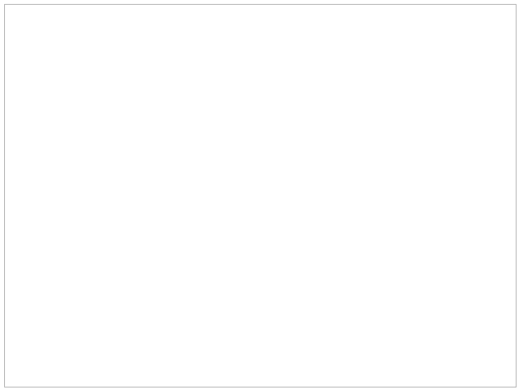
勝者・敗者の両者の気持ちを感じていると、女性の声で「恐れ入ります。心からの祈りに感謝いたします」と神様が言葉をくださいました。

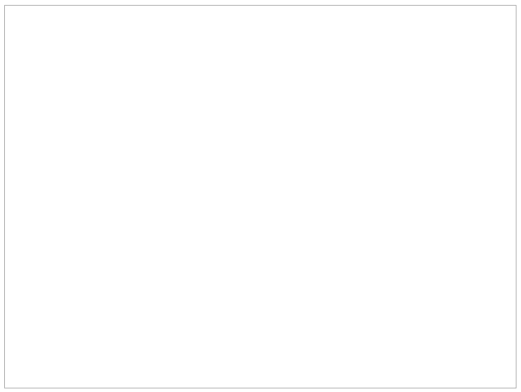
この大浜を守っている大きな神様の声だとわかりました。本当に、ありがとうございます。

次に向かった場所は、石垣島の最北端にある平久保崎灯台です。

石垣島の新しいバランスを整える為に、四方祈りをすることを決めていましたし、この場所のエネルギーがとても素晴しい事を覚えていたからです。







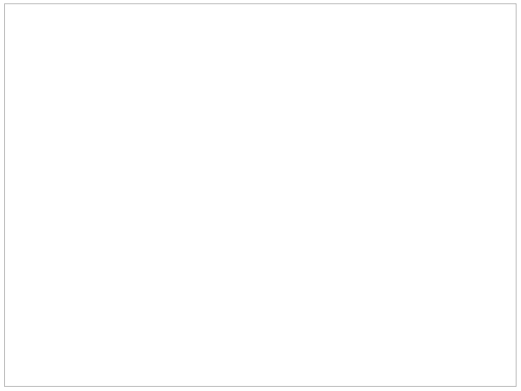
先端にある小さな岩に神様が降りているのがわかりましたので、一番高い場所に登って祈りを始めました。

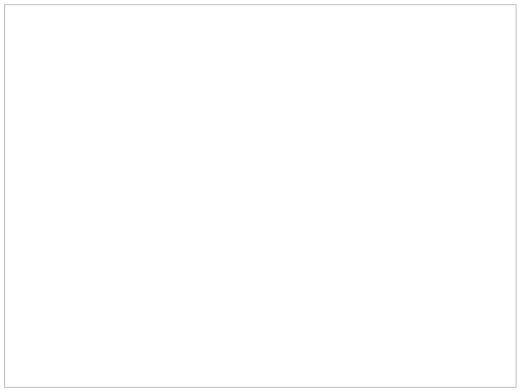
すると祈りをしていた岩の先端から、白い龍が天へ飛び立ち、新しい島守りの為に働きをしてくれることを教えてくれました。

ここから見える左右３００度の美しい海岸すべてを見守る大きな白龍の姿を見せてくれましたので、これからは神々の働きもしやすくなると思います。

これで、石垣島の北の守りに白龍が入ったことになりました。

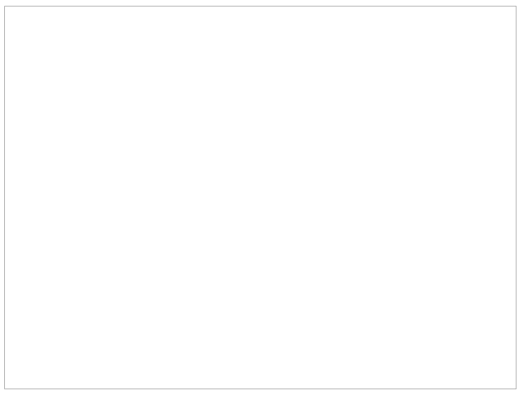
次は東の祈り場所として、野原崎へ向かいました。





先端から見える岩は、亀の甲羅の中にいる存在に見えますので、祈りながら神に聞くと、東の守りをしている亀（土地神）は、大きな役目を果たすといずれ龍になることも教えてくれました。

東の祈りを終えると、今度は、石垣島に流れ着いた中国人の唐人墓（とうじんはか）へ向かいました。



この唐人墓は、アメリカへ向かう船に強制労働者として連れてこられた中国人数百名が船で反乱を起こし、流れついた３８０名をアメリカ・イギリス人が殺害したという事件が起こりました。

生き残った人達を救った島の人達は、最後に琉球王朝の船で中国へ戻ることができたそうです。

中国と日本の友好の証として奉られている場所に手を合わせると、そこにいた存在はこう教えてくれました。

「日本人が中国人を救ったというが、日本にいた人達の先祖ルーツも私たちと同じ中国の人達がいる。だから、私たちは、同じ先祖を持つ人達に助けられたという気持ちで感謝している。」

この言葉を聞いたとき、本当に日本にはたくさんの民族がやってきたことを感じました。肉体を失って魂になると、同じ気持ちでその子孫を見守っていますので、神になった先祖たちの気持ちを大切にしていきたいと思いました。

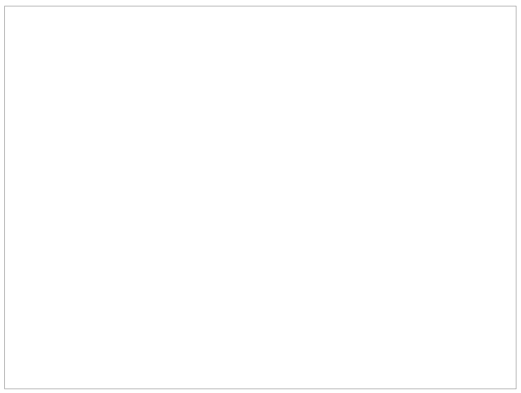
民族争いも、もとを正せば、同じ民族がほとんどですので、魂になったときにその事に気づきますので、反省している御霊たちもたくさんいます。

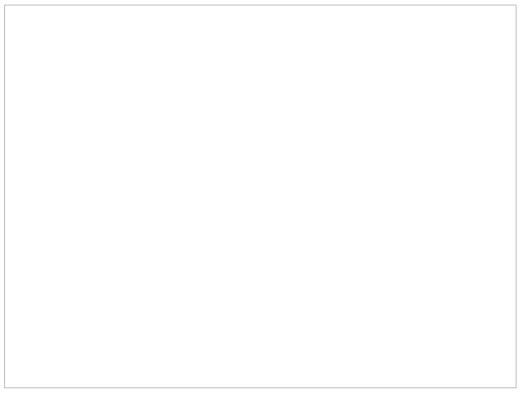
大切なことを教えてくれた唐人墓の御霊たちに、心から感謝を送りました。

西の祈りは、御神崎（うがんさき）と決めていました。

夕暮れが迫る中、砂浜へ座り、神と天に今日一日の四方祈りの報告をすると、大きな天女が降りてきて、言葉を下さいました。

ご苦労様でした。神々もとても喜んでいます。これから新しい沖縄や日本や地球の調和の為に、この場所をしっかり守ります





ありがとうございます。

続く

2009.11.14 Sat

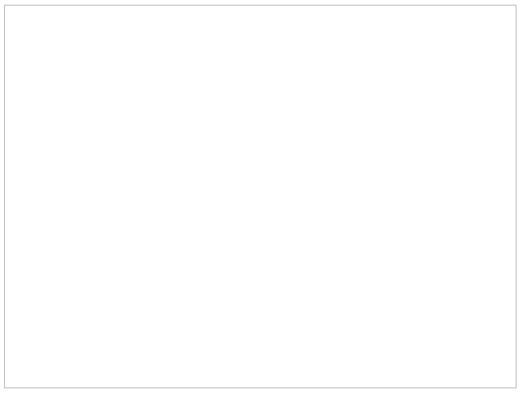
三峰神社 埼玉県秩父市

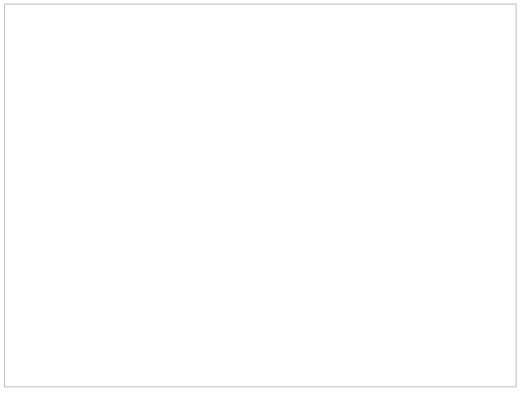
関東の光の巫女が連れていってくれた神社は 、エネルギーが男性的でとても強いと言われている秩父の三峰神社でした。

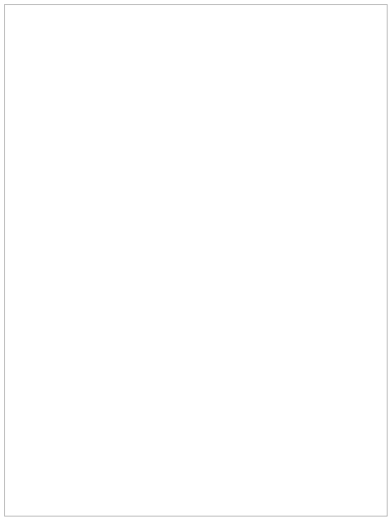
この神社はいくつもの山を越えた山の頂上にありますが、今は、車で行けるので助かります。（＾＾）

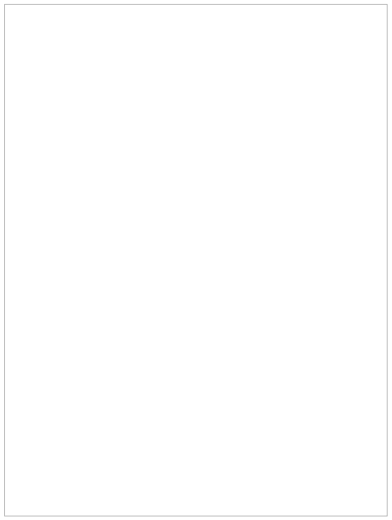
昔は修験者が目指した山だからこそ、山犬（狼）が道案内をしてくれたことに感謝して鳥居のコマイヌ代わりになっています。

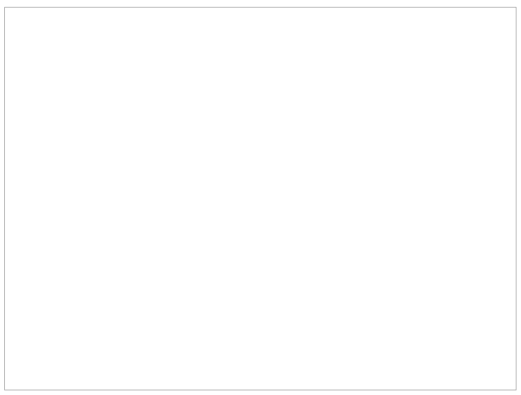
紅葉に包まれた三つ鳥居の奥からは、おどそかな霊気に加えて、札幌で初雪が降ったほど関東も気温が下がっていました。



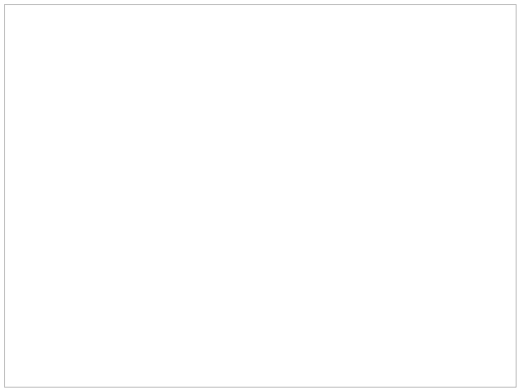




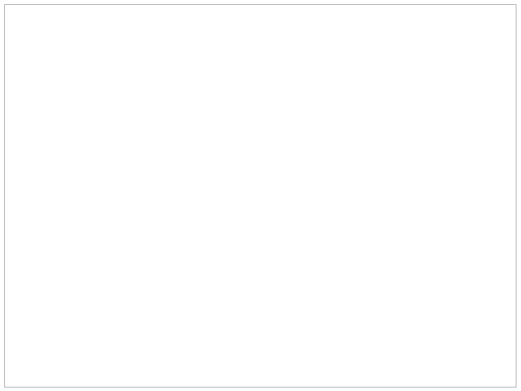




山門まで来る道の右側から強い神気が来るので理由を尋ねると、右側にある山がご神体だからのようです。山門にご挨拶をすると、「お待ちください、奥よりお呼びいたします」と女性の声が聞こえて、この先の道案内をして下さる神様が降りてきました。



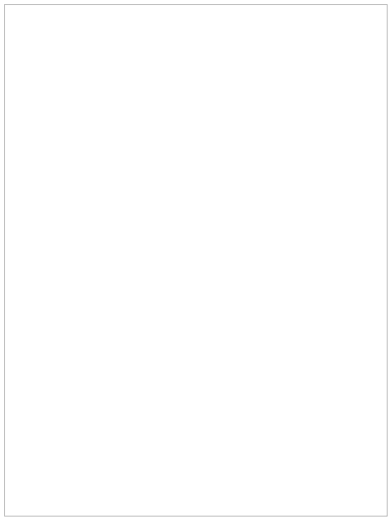
山門から続く木があまり太くないことが気になりましたが、昔、山の木を切ったあとに植樹したせいだと思います。それでも何本か残る精霊のいる木にご挨拶しながら、本殿にご挨拶しました。

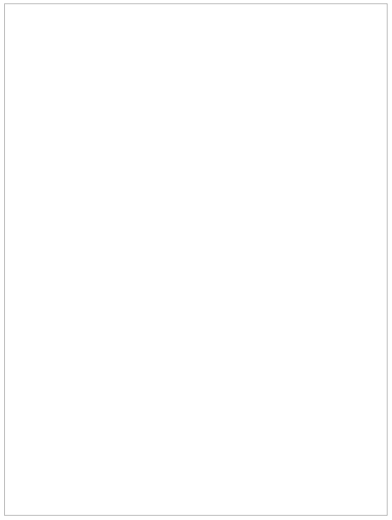


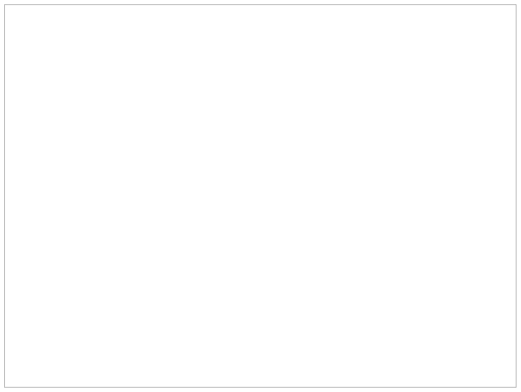
本殿で手を合わせると、「ここには居ない、ここにはいない」と奥から声が聞こえてきます。やはりご神体は山なので、神様もここには降りてきてはいないようです。

本殿を超えて奥まで進むと素晴しい空間になりました。

「この先に素敵な祠があるんです」と教えてくれた光の巫女は、うれしそうに神様を紹介してくれました。







この場所を守る神様は、小さな祠の中から、言葉を下さいました。

「岩に囲まれた中の存在が弱っていますので、どうか、よろしくお願いします」

「岩に囲まれた祠ってある？」

「あー、拝殿のほうにありますのであとで行きますね」と教えてくれました。

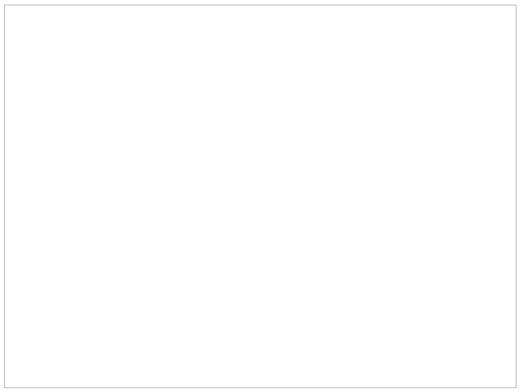
この後ろの山にとても素晴らしい場所があるので行きましょうと連れていかれると、普段は人が行かない道を登り始めます。山の背にそって歩いていくと、木に囲まれた素晴しいい空間がそこにありました。

その場所は、気持ちがいい場所というだけではない、とても強いエネルギーが天へ向かって出ている場所でした。ピンポイントで、１０ｃｍくらいの幅で出ている光のエネルギーは、全ての物を天に返してしまう特別なエネルギーが出ている場所です。

山で動物たちの死骸を見ないのも、死が迫るとこういうエネルギーの場所にやってきて、ものすごく短い時間に物質が気化してしまうからです。

人間も長時間触れていると、消滅してしまうほどの光のエネルギーが溢れている場所でした。

よくこんな場所を見つけたねと尋ねると、宇宙エネルギーを感じる人と来た時に見つけたことを教えてくれました。

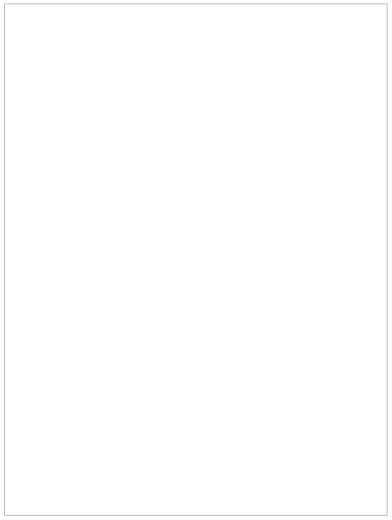


この場所にはもうひとつ素晴しさエネルギーが出ている切り株があります。

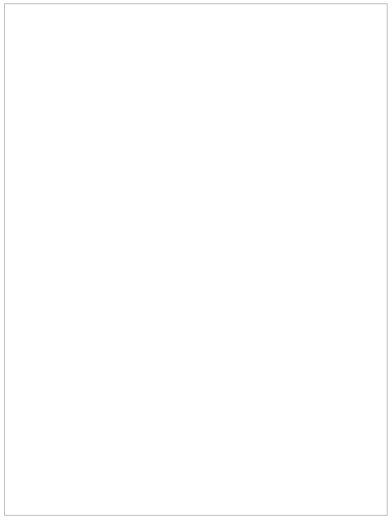
巫女の彼女に切り株に立ってもらうと、後ろへ引っ張られるように体が揺れています。

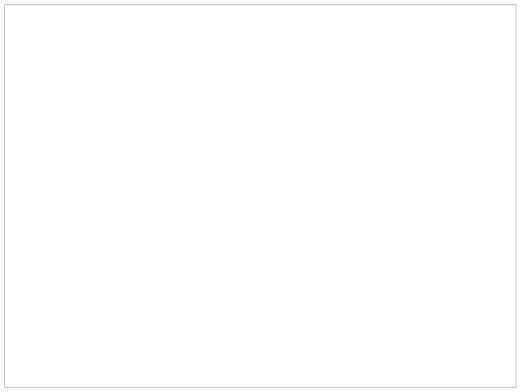
天に繋がるエネルギーと、ある方向へ繋がる二つのエネルギーが、その切り株から出ていましたので、きっと、木があった時には素晴しいエネルギーを出していたはずなのに、なぜ切ってしまったのかわかりません。

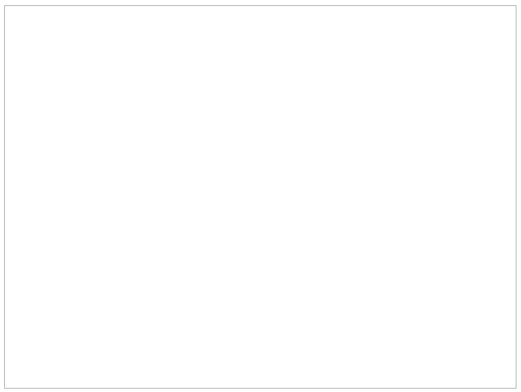
切り口を見ると最近のことだとわかりますが、木のエネルギーが弱ると山のエネルギーが弱ることを知らないようなので残念です。

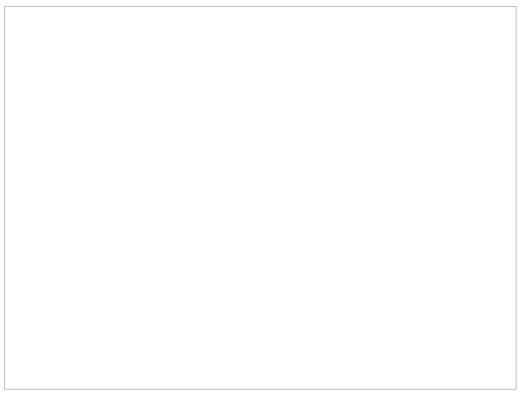


特別な場所の祈りを終えると、宝来殿と書かれた拝殿へ向かいました。オーブの姿になって、もう神様が迎えにきてくれています。

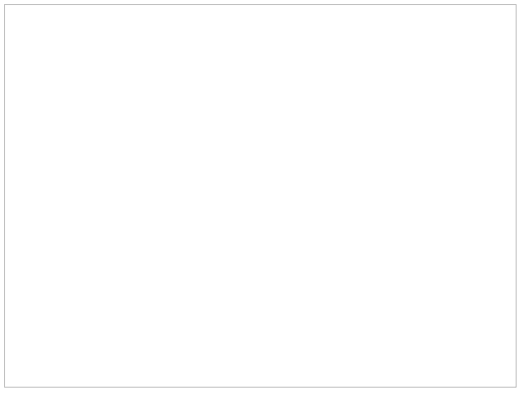








見つけました！先ほど神様から頼まれた場所です。岩に囲まれた祠がありました。



祈りを捧げると、神様がエネルギーを欲しがっていましたので、巫女の体を借りてエネルギーを１０００倍にした光のエネルギーを注ぎました。

神様はとても笑顔で喜んで「これでまた、山を守る事ができます」と御礼の言葉を下さいましたが、祈りをしている人間にとって何よりもうれしい言葉です。

本当は、山の頂上まで行きたかったのですが、雨と霧ですので足元が危険と判断して、今回はやめました。この祠の神様を喜ばせることができたので、ここに連れてきてくれた素晴しい光の巫女に感謝いたします。 三つ鳥居の両脇には山犬(狼)が守る典型的な山岳信仰の形です。
2009.11.13 Fri

11月**11**日の祈り

明日、１１月１１日の直列エネルギーの日に、２回の祈りを行いますので皆様の祈り合わせをお願い致します。
時間：午前１１時１１分と午後１１時１１分に、１１分間の祈りを行います。
同じ数字が続く日は、宇宙の直列エネルギーが強く働く日ですが、中でも１１月１１日は、１が四つ続く為に新しい次元へ繋がるエネルギーの日になっています。
現在、地球創生メールマガジンには日本全国から約２００名の方が登録していますが、全員、地球や自分の住む土地を守ることを宣言した方たちですので、同じ思いの繋がりのエネルギーを感じて現実の世界でもより良い出会いに繋がりましょう。
2009年の11月１１日、祈り合わせをする全ての人たちの神意識は、宇宙全ての創造主マスターと繋がります。未来は、私たちの愛と行動で変えられます！
この日の祈りの感想は、こちらまでメール下さい。
地球創生　コーディネーター吉岡学
2009.11.10 Tue

伊豆神事　宇宙メッセージ

伊豆神事を終えた翌日、朝5時に夢の中でビジョンと大切なメッセージを受け取りました。

三　三　三　　宇天番（うてぃんばん）

三　二　三　　自然神番

三　一　三　　人格神番

この内容は、ヒッタイト文明にも伝えた。

修善寺には、隠されたこの証の物がある。それが、伝来した証。

眠たい目をこすりながらメモに書き写した意味をネットで調べてみると、こんな情報が見つかりました。
現代西洋文明は、旧約聖書の歴史を綴る古代イスラエル文明が大きく影響し、ある意味では、キリストに象徴される〈生命の樹〉としての男性原理を追求する文明歴史とみることができるでしょう。
そのような西洋文明の歴史に相対し、東洋においては、女性原理を追及する東洋ヒッタイト文明の歴史をみることができます。
ヒッタイト文明は、紀元前３０００年以前に、トルコのアナトリア高原地方に栄えた古代文明で、太陽・天照神を信仰する騎馬・鉄器文明の祖であります。

男性原理を求める西洋イスラエル文明に相対して、女性原理を求める東洋ヒッタイト文明は、まさに同時代的なシンクロした歴史をたどっており、陽陰・表裏の文明歴史としてみることができるでしょう。
ヒッタイト文明の祖は、旧約聖書に記される古代ヘテ人がそのルーツでありますが、イスラエル民族がアトランティス文明の再現ならば、ヒッタイト文明は、ムー文明の再現とみることができるでしょう。

ヒッタイト文明は、紀元前三千年頃に歴史から姿を消した幻の文明と言われていますが、実は、イスラエル民族がモーセを頭に、理想郷を求めてエジプトからカナンの土地に大移動したように、同じく理想郷を求めて、同時代にトルコからイラク・イランに大移動してその姿を消し、その後、ヒマラヤ周辺に移動した幻の民族であります。
イスラエル民族が、西に移動しながら栄えて行った歴史があるように、騎馬・鉄器文明のヒッタイト民族は、東に移動しながら栄えてきた経緯があります。
実は、このヒッタイト文明の紋章・太陽紋が、ご皇室の古代紋章の起源であり、日の丸のルーツであることは、ほとんど知られていないようです。
女性原理を求めるヒッタイト文明は、イラク・イランからヒマラヤに移動し、アッサム、ビルマ、バングラディシュの３国に分かれて定住し、農耕民族として定着するようになります。
アッサムに移動したヒッタイト民族は、のちに中国、モンゴル、朝鮮半島に移動し、また、ビルマに定着したヒッタイト民族は、のちにインドシナ半島から黒潮に乗り、極東に移動して九州の筑紫に漂流定着し、その後、紀伊半島に大移

動して、大和の国を建国いたしました。

縄文時代の青銅文化が、鉄器を使う弥生文化に急速に発展して行った歴史的な背景には、このような女性原理を求める太陽民族・ヒッタイト文明の歴史が、大きく影響しています。

戦後、急速に西洋化されてきた大和の国、日本ではありますが、神意に通じる母性愛のエネルギーが地上に連鎖拡大することで、大和の国、日本人に潜在する東洋ヒッタイト民族としてのムーの遺伝子がいよいよ目覚め、アトランティス・西洋イスラエル文明と融合調和する新しい地球文明が、日本から始まる時代を迎えたということでありましょう。
project gaia 地球創生計画の始動より

さて、このビジョンがとても重要なメッセージあることはわかりましたが、また天皇家のルーツに関わるテーマに触れてしまいました。

2006年に行った天照神事は、天皇家のルーツ＝日本人ルーツに関わる大事な情報を知る神事にもなり、いくつも隠された事実がわかりましたが、今回の伊豆神事でも、2400年前にインドから伝来した民族が日本にいたことが明らかになりました。

現在、天皇家のルーツとして公表しているものは、中国・朝鮮・百済から伝来した民族と伝えられていますが、日本民族の象徴であり、天皇家の先祖ルーツを一本化している目的は、実は、日本人の血に流れているさまざまな民族ルーツに蓋をする目的もあるのです。

これは当時、新しい国　日本国をまとめる為の大切な国策でもあり、政治や経済よりもっと重要な日本人の精神性をつかさどる民族の統一思想が、天皇という形に象徴されたと考えて下さい。

天皇を人神と崇める思想の体系を守る為にできたのが、現在の神道だと言えるでしょう。天皇を最高の神の人と崇める精神性は、さまざまな過去を持つ日本人の精神を統一し、素晴らしい統率力を持ちましたが、現在の日本人は見てのとおり、天皇や神道の精神性を大切にしていないどころか、日本人としての国家的民族の精神さえ失いかけています。

ここで間違って欲しくないのは、私は、天皇制や神道を批判している訳ではありません。

わかって欲しいことは、色々な宗教の神ルーツや人間のルーツを調べて、どれが正しいと主張することよりも、まず「神を信じる」ことから始まる力の素晴らしさに気づくことが重要です。

未来を信じる力があるからこそ、今、辛くても苦しくても頑張れますし、自分という枠を超えて、誰かの為や国の為に命を捧げる事もできるものです。

何度も苦しい時代を乗り越えてつちかった強い日本人の精神性は、自信を持って世界に誇れるレベルにあります。

世界中の事件を予知しているジョセリーノでさえ、日本だけは予言がはずれると言うほど、祈りの力が強く、未来を変える力を日本人が持っていることを認めています。

世界の学者たちが、日本人の精神性の強さの秘訣を調べていることはご存知でしょうか？

それほど、世界に誇れる素晴らしい民族に日本人は成長したのです。

日本人の精神性の高さは、強力な祈りの力と共に、体から気（エネルギー）を発したり、他人の体を癒すヒーリングの力さえ秘めています。

これは、日本人がより神の意識に近付いた証とも言えるでしょう。

しかし、21世紀になって地球創生の啓示を受けとったたくさんの日本人が動き出した理由は、この日本人の素晴らしい精神性が失いかけていることを危惧したからです。

北海道から沖縄までの現在の日本という土地に、数千年前から世界の民族の代表が、この日本という土地を目指した意味を思い出して欲しいと伝えているだけなのです。

はっきり言いますと、日本人という固有民族は、いなかった言えます。いい換えると、最初に先住民族が住み、そのあと世界中からやってきた民族との掛け合わせた民族が、現代の日本人だと言ってもいいでしょう。

だからこそ、世界中の宗教思想を受け入れられ心の広い精神性を日本人は持っているのです。

世界で起きている戦争は、思想や信仰で違いで戦いを続けていると表面的に見せておいて、本当は、政治家たちが宗教思想の違いを利用して経済目的で戦わせていることにも気づいて下さい。

真我で神仏の心に通じた人で、戦いを望む人は誰一人いません。

世界から集まった民族は、日本の各地に移り住みながら新しい文化を形成しましたが、最後まで世界のどの国にも所属していなかった蝦夷地（北海道）が日本国になったあと、全ての都府県から移住した人たちが集まってもう１００年を超えています。

これはアメリカ合衆国と、ほぼ同じ時代に新しい土地に国が生まれたと言ってもいいでしょう。

日本は、世界のひな型です。だからこそ、自分の土地を守ると宣言することが、地球を守ることに繋がるのです。

2009.11.08 Sun

伊豆神事　４　修善寺・城ケ崎

伊豆半島付近で起きた出来事は、修善寺の歴史に代表されると言っていいほど、時代の流れによって権力構図が見え隠れしています。

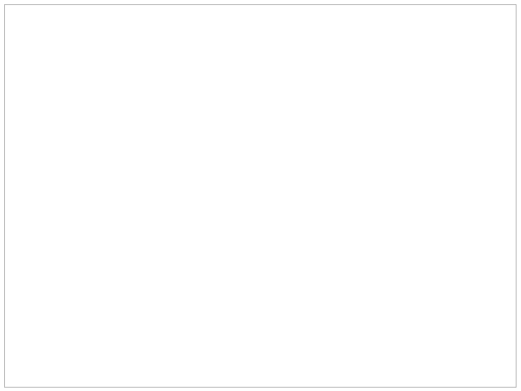
弘法大師が開創し、修善寺という地名の発祥となったお寺ですが、鎌倉幕府2代将軍源頼家が幽閉され悲況の死を遂げたことでも修善寺は有名です。

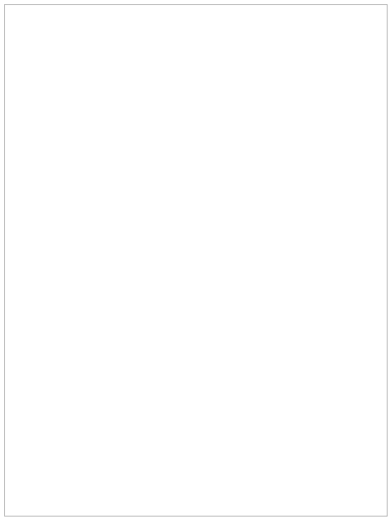
当時の権力構図は宗教にも大きく影響していて、もともと真言密教だったお寺が宗派を変え続けた事実にも驚かされます。

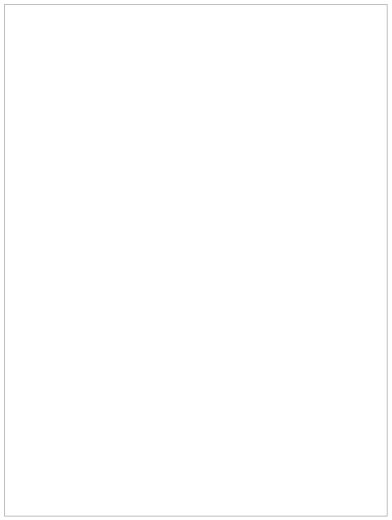
土地の清めと人間の行いの清めの為に、この修善寺は重要だと感じていたので、祈りのまとめをする段取りで調整しましたが、どうも、お寺の対応がしっくりいきません。

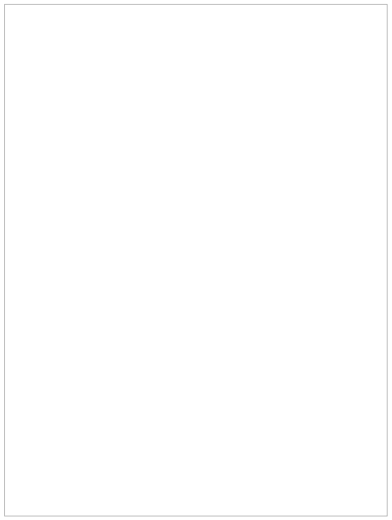
檀家じゃないと本堂を使うことは・・とか、どうも、自然の神々に祈ることを理解できないようです。昔々は、広く色々な人たちを受け入れてきたすばらしいお寺だったはずなのに、なぜかその心を失ってしまったようでとても寂しい対応でした。

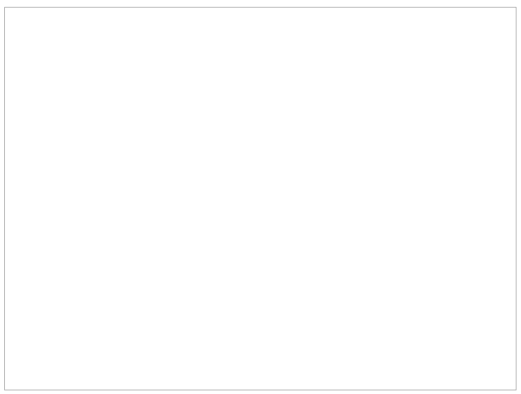
1200年前からこの土地を守ってきたことには変わりませんので、10/30朝、ご挨拶に向かいました。











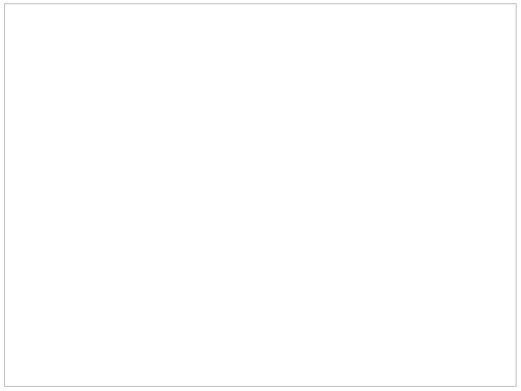
修善寺の祈りは、はっきり言ってとても残念に感じました。本堂の仏様は、私たちの宣言に対して、無言で聞いていましたが、この場所の神気が下がっているのは明白です。理由は、守る人間が仏心よりも現実欲が勝っているからだと思います。

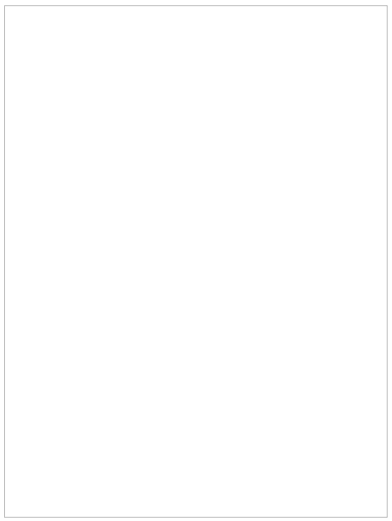
直接、お金になることには一生懸命のようですが、一番、大切な仏に向かう心が感じられない場所でした。あとで全国の祈りをしている仲間からも、行かないほうがいいというほど、この場所の波動が下がっていると聞きました。

お坊さんも人間ですから人間欲は当然、あっていいのですから、本来の仕事である神仏を守る神業をおろそかになさらないようお願い致します。

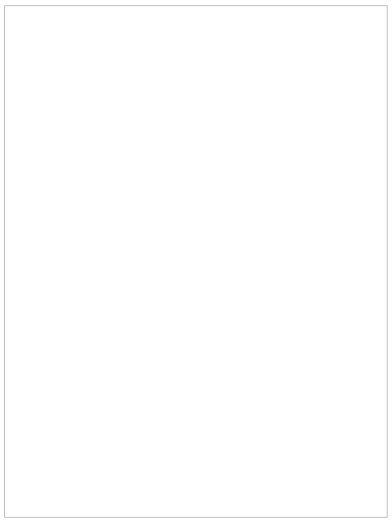
伊豆半島、四方祈りの最後の場所は、東の納め祈りとなる「城ケ崎海岸」です。海岸線に突き出た無数の岩は、海の中からまっす

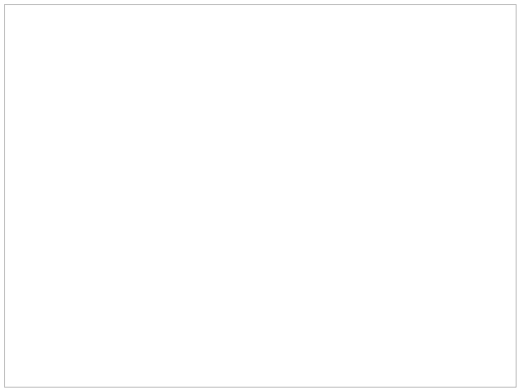
ぐに立ち上がった岩であることを岩の亀裂が教えてくれています。

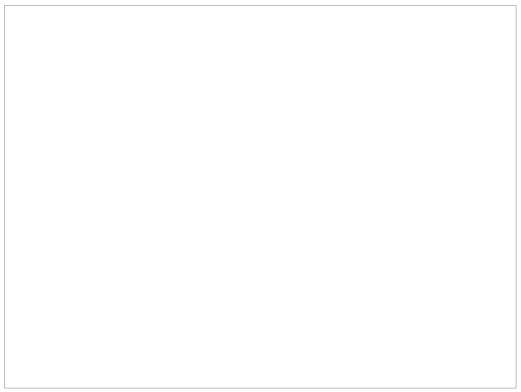


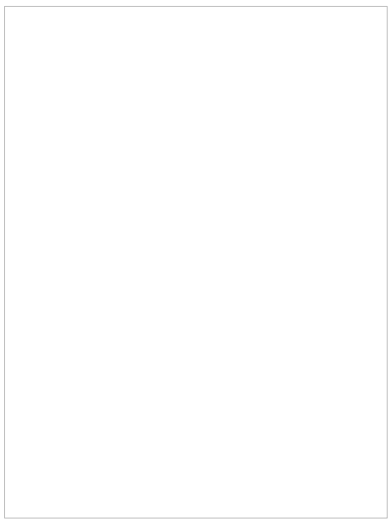


一番、先端に突き出たこの岩には、神様が乗っています。神の岩に一番近い場所で、全員が崖の先端に立ち、自分が守る国の名前と姓名を告げた後、神に地球を守る宣言を大声で行いました。









神の喜びは、私の体を通じてメッセージを伝えてくれました。

「皆さんのこれからの行いを見守ります。どうぞ、たくさんの人たちと繋がりながら、新しい地球を作って下さい。私たちは常に、あなたたちを見守り続けます。」

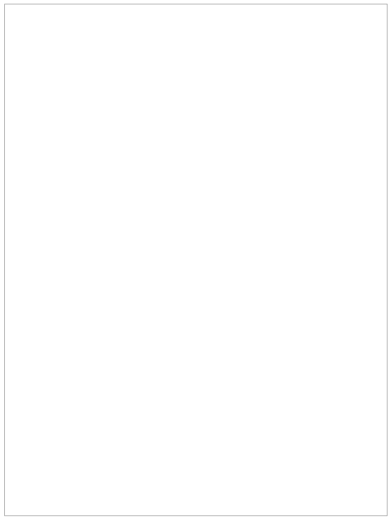
神に喜ばれる感覚を感じた人は、神様に対する心が変わりますし、生きている最高の喜びだからこそ、神を喜ばせたいと日頃の行いや神に向かう回数が変わります。

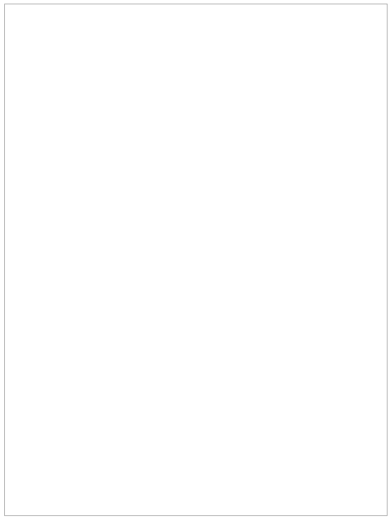
神に向かう心や神を信じる心は、ふとした時に感じる人のやさしさにも似ている気がします。

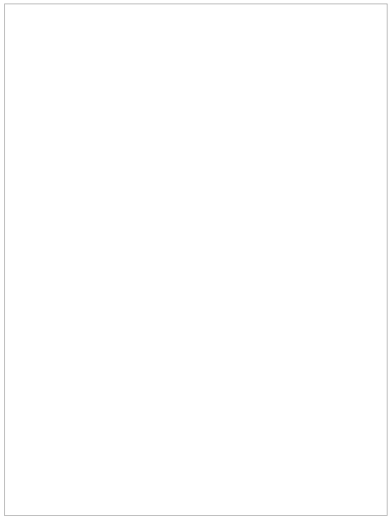
辛くて悲しい時に、ただ横にいてくれるだけで安心させてくれる人にとても似ています。

誰もが持っているそういう神心は、普段のの行いと心の在り方次第だと思います。

東の祈りを終えて、吊り橋を渡ろうとすると、右手に大きな岩の切れ目がありました。ここがどんな場所かというと、龍の出入り口です。







自然界の神々は、偶然、できたと思える岩や木々の姿を借りて神の意図を示しています。もしここが沖縄だと、きっと岩の一番上に祈りの高炉を置いて、海に向かって祈りをすることでしょう。

海から渡来人が運んできた知恵や文化は、神様の御心の表れとして祈りを捧げるのが、自然神に祈る基本的の考え方ですので、神の意志を受け継ぐ人間は自然界の感謝を忘れてはいけません。

今回の伊豆神事を体験した仲間に何か一番記憶に残ったかを尋ねると、まず、第一に、天城山の自然の美しさに驚いたと言います。屋久島や世界の聖地に求められる自然界の調和は、ここ天城山に今も残っていることがすばらしいと言います。

そして、天城山で観光客が捨てたゴミをさりげなく拾って持ち帰った男性の姿も、毎日、神社の清掃をしている神心を見せてもらったと感動していました。

今回の伊豆神事によって、地球創生の神事も第二ステージが始まりましたが、今後、もっとも大切にするべきことは、神事に参加して神に向きあった喜びをすぐに現実の中で行動に移す責任が、全員に生まれることになりました。

これが本来の神業をする人たちに問われていることですが、神事を終えた後、すぐび参加者全員で具体的に何をするのか報告し合いました。

一人一人が、自分の立場でできる地球創生活動を宣言してくれました。

茨城県・神奈川県・東京都から参加した三名は、ブログを書くことからはじめて、自分の考えややりたいことを地元の人に伝えてる活動をしてくれます。

自然を愛する競技スポーツの世界にいる男性は、ジャンルを超えたスポーツの方たちを通じて自然を守る活動を広める宣言をしてくれました。

静岡県から来た女性は、三保の松を守っている三保神社の神様の力を大きくする為に、来年、3月14日に「１００人祈り」を成功させる為の人の輪を広げる活動を続けています。

それぞれの人が、それぞれの土地でできることをすることで、「大きなひとつ」が前進します。

インターネットの世界は、見えない繋がりとスピードのおかげでたくさんの人と繋がりますので、肉体を持つ私たちがするべきことは、実際に会って話し合いをして、新しい行動を始めることで現実を変える役目があるからこそ、肉体があると言っていいでしょう。

神は常に、その行動を見守ってくれているのです。

一切、他人を批判しない。

一切、他人を否定しない。

全てを許して、全てを受け入れてこそ、初めて新しい創造の心が生まれます。

あなた自身がそう努めることで、未来に光が灯ります。

今回の神事で、全員が感じたことは、自分の住む土地の事をよく知らないと反省したようです。また、自分の先祖ルーツを知ることの重要さも理解してくれました。

自分の先祖のルーツを知ることは、自分の存在意義を知ることであり、土地の歴史を知ることは、その土地に住んだ人の気持ちを理解することに繋がります。

こういうことのひとつひとつが、大地の上に生かされている人間の大切な信仰心だと思います。

大切なことは、まず自分の足元の土地から始めることです。

この伊豆神事が、次の何に繋がっていくのかはまだ分かりませんが、神は常に、目の前の一歩だけを示してくれますので、私も自分のできることをこれからもしていきます。

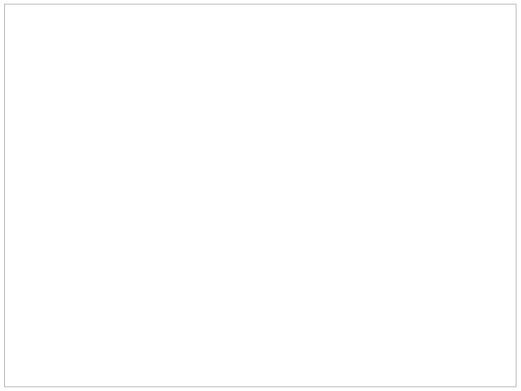
肉体を持つ人間ですから、精神性が半分、行動が半分として、そのバランスを今後も大切にしていきたいと思います。全国の地球を愛する皆様に出会える日を楽しみにしています。

2009.11.07 Sat

伊豆神事　**3**　天城山縦走登山

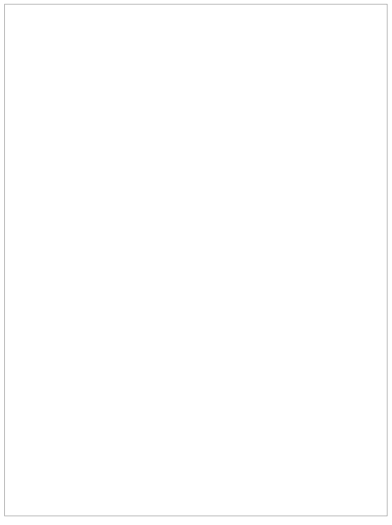
10月29日　天候：曇り

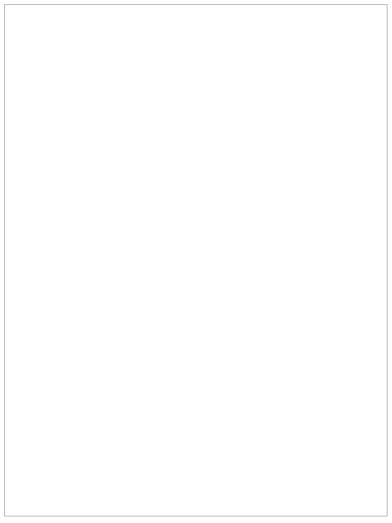
朝8時登山開始　コース：旧天城トンネル→八丁池→万三郎岳→万二郎岳→天城高原ゴルフ場

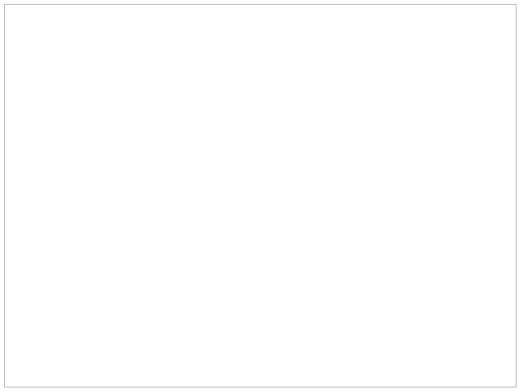


出発地点の旧天城トンネルをバックに出発前の写真を写しましたが、このトンネルの中を通るのだけはご勘弁を！と言いたくなるトンネルでしたが、すぐ横から登山道が始まっていました。

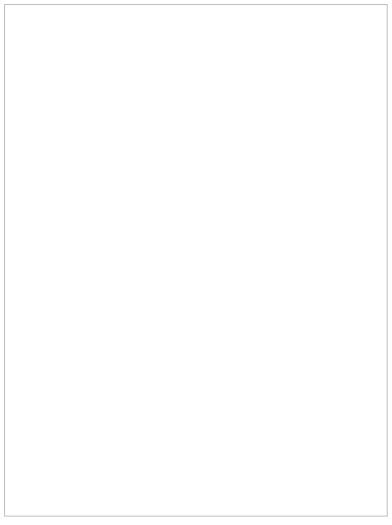
山の神様へ入山許可を頂いてから、ゆっくりとした坂を登ります。まず現れたのが、木々の美しい姿でした。大地に根を張り、木々どうしはお互いに根を繋いで命を守っています。その根の強さは、木の生きる強さを示しています。風雨で倒れた木も命の循環の役目を果たしています。

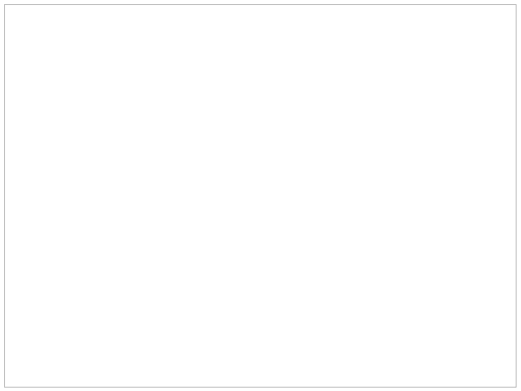




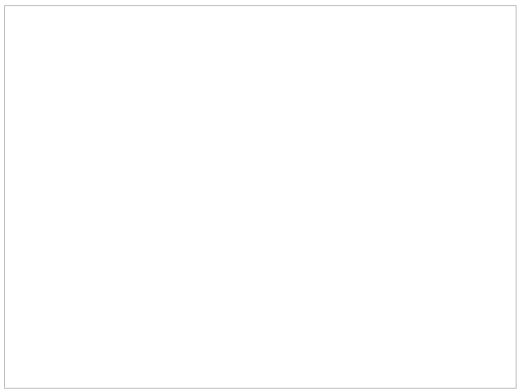


雨の多いこの山からは、時に川のように水が流れてくる場所もあります。うっすら霧に包まれた山の朝は、美しい紅葉の色に映えた緑や木肌の色にまばゆささえ感じます。

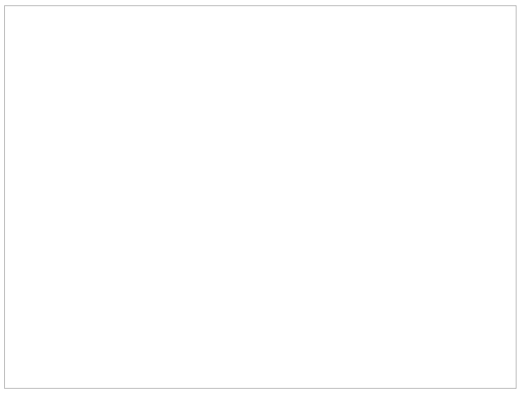




美しい色鮮やかな森を抜けると、木の精霊たちが集まっている場所がありました。うっすら白い丸に写っているのが、精霊たちです。ジブリ映画のもののけ姫の森の中に入ってきたように思えました。

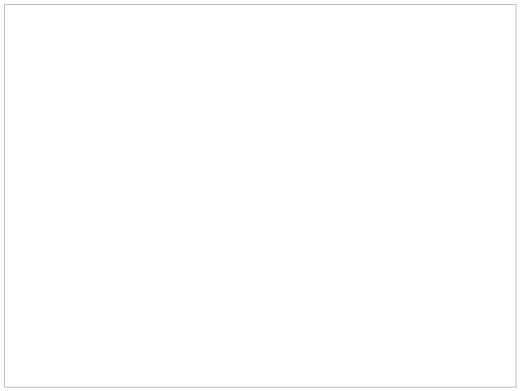


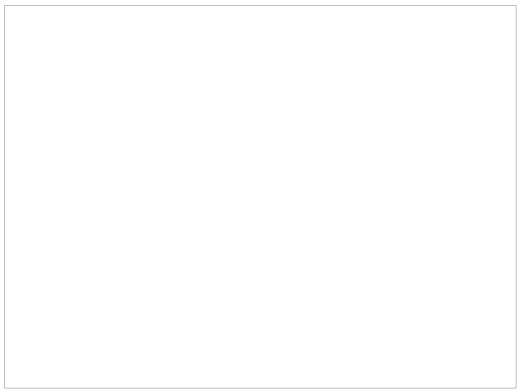
登山道の道に、動物の骸骨を見つけました。きれいに白骨化した骸骨を見たのも初めてですが、こんな場所にわざわざ誰かが置いたとしか考えられないくらいに、見つけた不思議を感じます。これは何を意味しているのでしょうね？



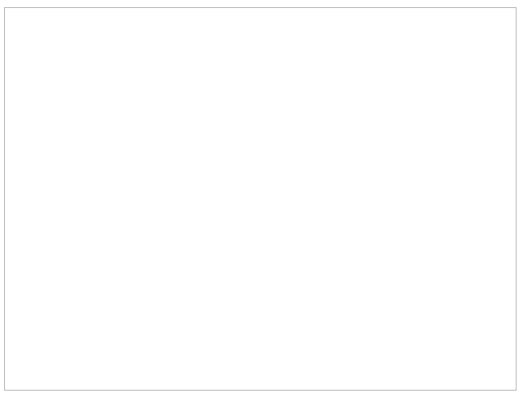
しばらく登ると少し下りになりますが、その先に見える木々たちが、何か言葉を発するように私たちを見つめていました。

写真を写してみると、やはり、ものすごい数の精霊たちが集まっている場所でした。普通に撮影した写真とフラッシュをたいた写真の二枚をお見せします。精霊たちは、フラッシュの光の反射でよく写るんですよ！

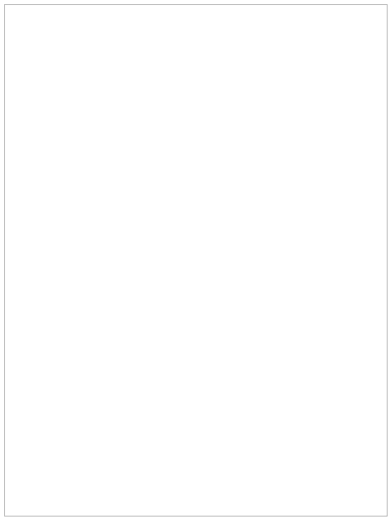


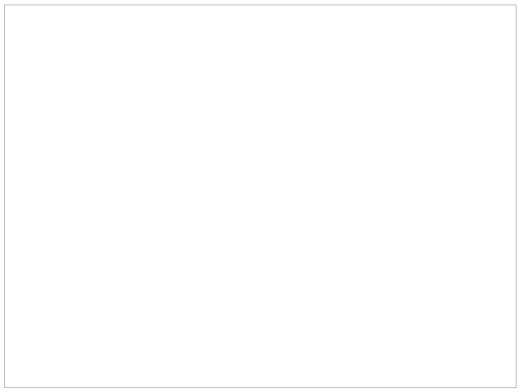


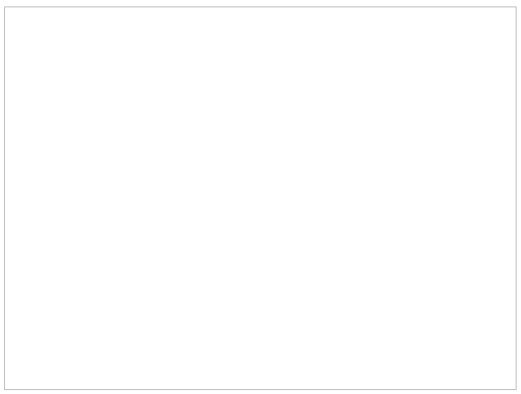
こういう場所では、言葉を話してはいけません。静かにそおっと、通り過ぎるのが一番です。私たち人間が、精霊の場所に勝手に入っているのですから・・・。



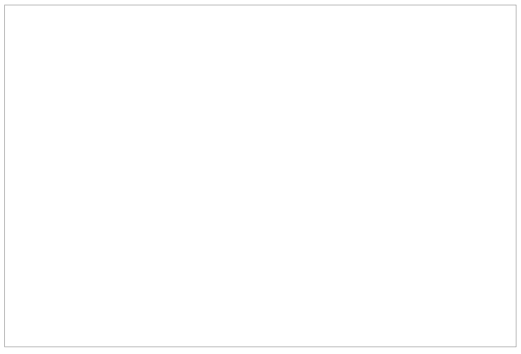
登山道をさらに進むと今度は、土地と木のエネルギーが重なり合った木を見つけました。霧の中で、紅葉や果てしない宇宙空間に来たのかと思わせるこの山の美しさに、全員が感動しています。







坂を下ると、八丁池が見えました。なぜか八丁池で写した写真はすべて残っていなかったので、お借りした写真を紹介します。



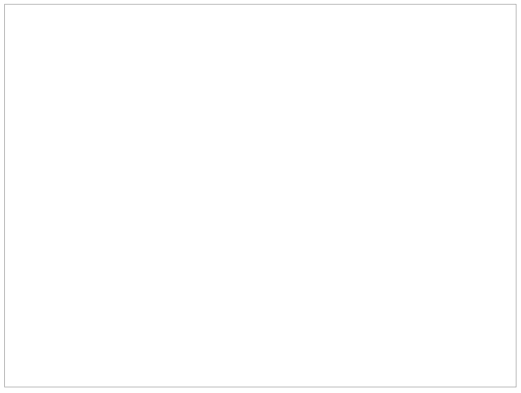
八丁池に着いたとたん、霧がすべて晴れて、その全容を見せてくれました。そこは池というより湖と呼ぶにふさわしい水量と大き

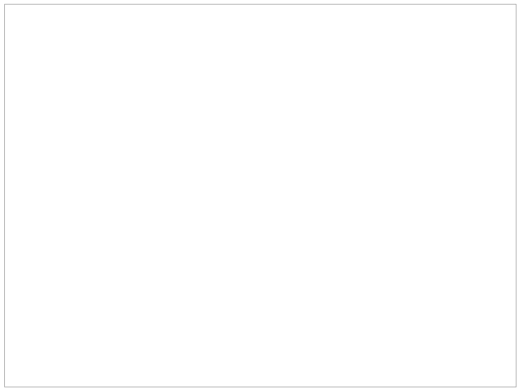
さがありました。年間降雨量が富士山よりも多い４０００ｍｌ以上降るこの場所は、「神の水瓶」と呼んでもいい場所です。

池のほとりにひとつだけ大きな石を柵で囲んありましたが、この石が神の意志だとわかりましたので、祈りを捧げました。

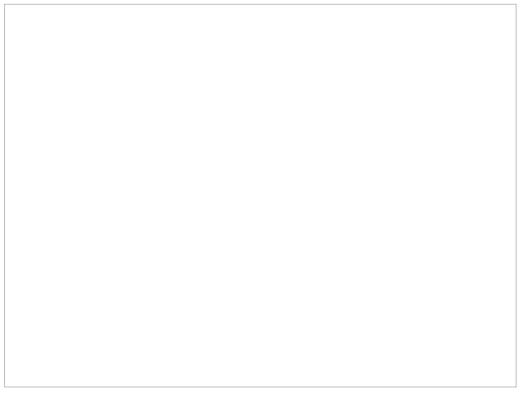
祈りの中でみたビジョンは、池全体にとぐろを巻いている白い大きな龍が、はっきりと顔をこちらに向けて見ていました。長い髭をのばしたその龍は中国語の老龍（ラオロン）だと天が教えてくれました。

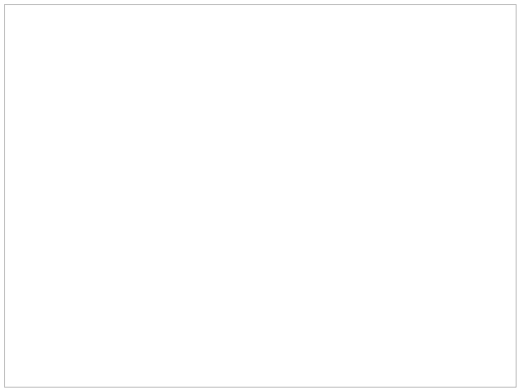
祈りが終わる瞬間に、他の登山客が来ましたので、早々にその場を引きあげました。祈りが終わった瞬間に、霧のカーテンは閉められましたので、私たちの為に神様が見せてくれたことがわかります。



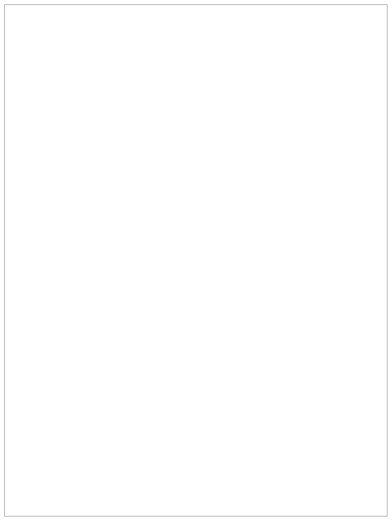


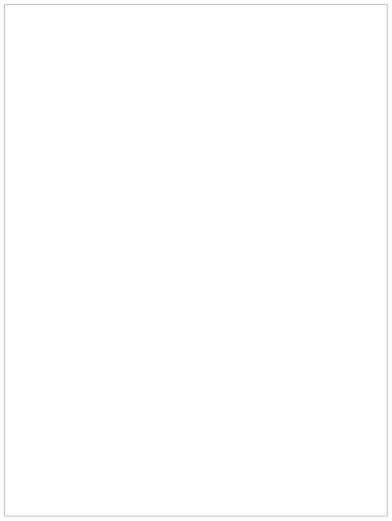
森の美しさに見とれながら4時間近く歩いたので、昼食にしようと足を止めた場所では、今度は、太陽が光を躍らせて光のイリュージョンを見せてくれました。この時間、このミストのカーテンごしでしか見られない美しい映画のワンシーンを見ているようでした。





昼食後も、すぐに神様が守っている木を見つけました。どうぞ、いらっしゃいと声をかけてくれるように、私たちを招いてくれたので、写真をパチリ！

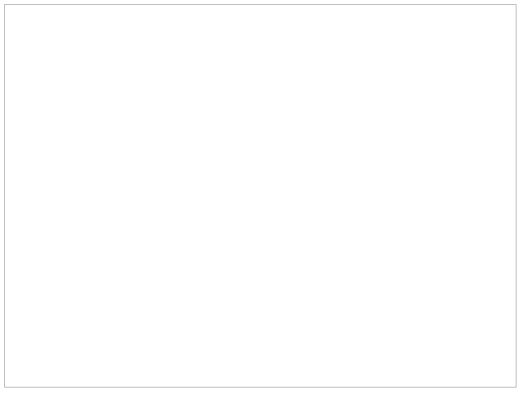


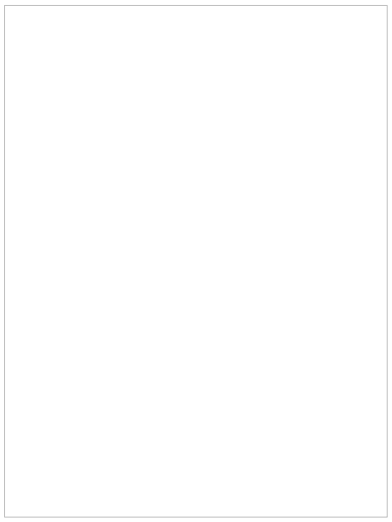


木の神様たちや精霊たちをたくさん感じながらまた坂を上ると、岩肌がゴロゴロ出ている場所になりました。大きな岩の横を通ると、「これから先の大きな岩を見つけて下さい」と天の声が聞こえました。

他の方にも同じように天の声が聞こえていたので、全員でひとつひとつに岩に意識を向けながら進みました。

どれが天狗のメッセージを持っている岩なのかわかりませんので、自分の直感を信じながら見つけた岩すべてに祈りを捧げました。まず一つ目の岩の祈りです。



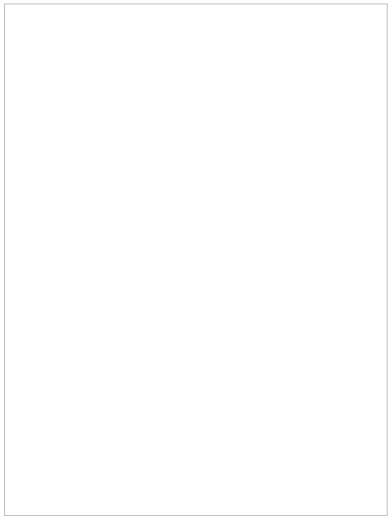


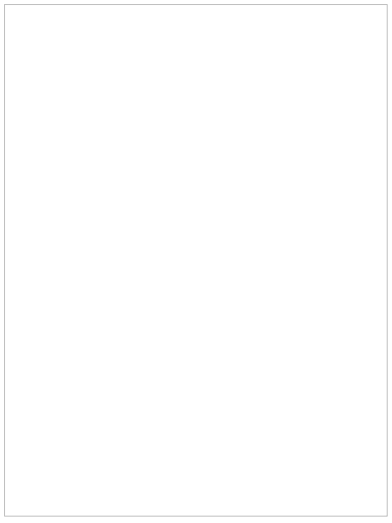
さらに進むと、広い場所の左側に「ヘビブナ」と書かれた看板がありました。近寄って驚きましたが、天狗が曲げたのではではないかと思える不思議な形をしたブナの木が一本だけありました。

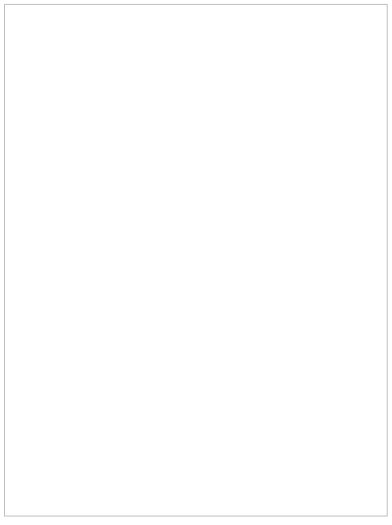
木の中に入ると「上を見て下さい」と言われて、上を向くと木の間に穴が空いていて空が見えました。ここから空を眺める意味はかわりませんでしたが、木のカーブの中から祈ると、完全に宇宙エネルギーを感じる空間でした。

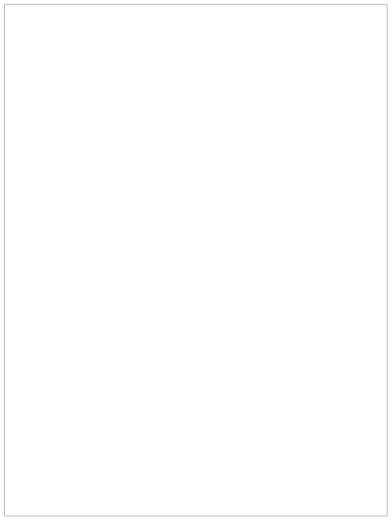
後ろから眺めてみると、木を二つに裂いたように木の中に入れる空間があります。この中も宇宙空間のエネルギーでした。

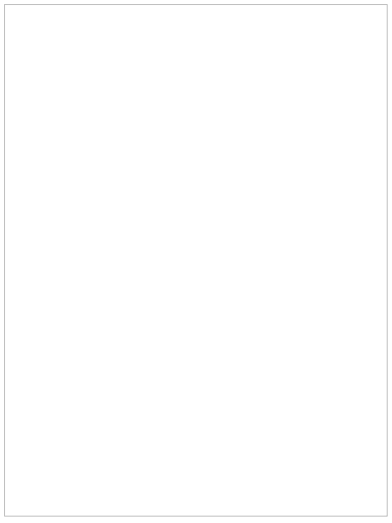
このヘビブナが何の目的で存在しているかは、あとでゆっくり天狗に聞いてみようと思いますが、自然界は私たちの想像を超えて、常に壮大な宇宙エネルギーと繋がっている事を全員が感じました。

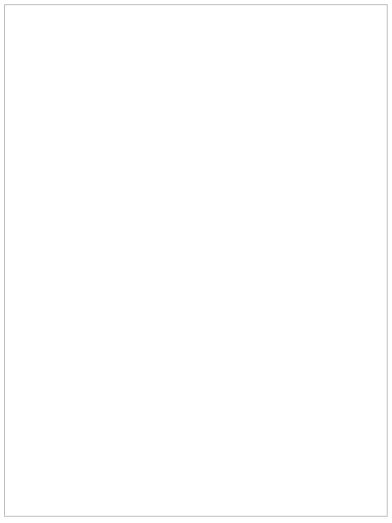






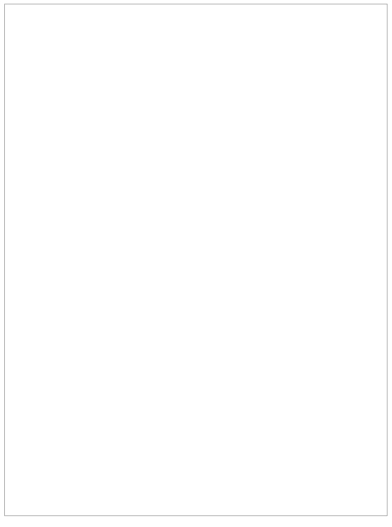


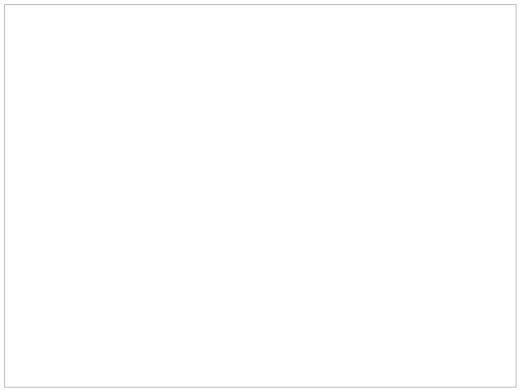




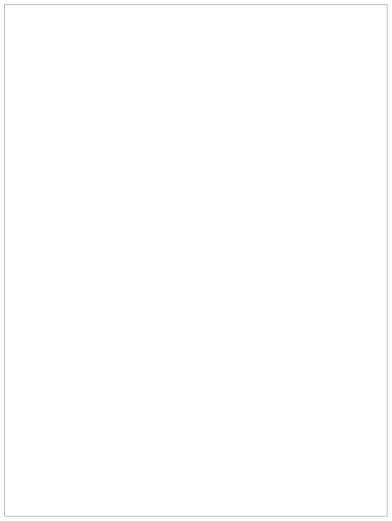
万三郎岳に近づくと、とても古い精霊がいる木を見つけました。ブナの木は、水をたくさん含んだ木として、青森県の白神山地のブナ樹林が有名ですが、ここ天城山のブナは、神の意志を表すとても大切な場所だとわかりました。

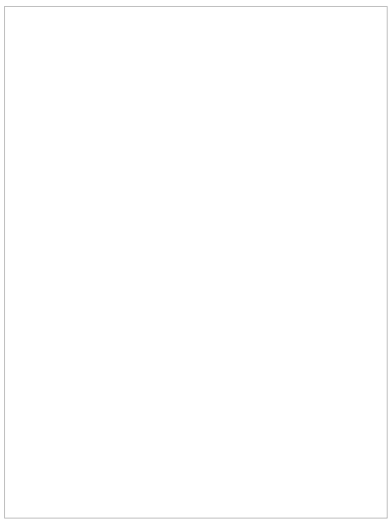
愛と幸せをたくさん感じながら歩いていると、万三郎岳の頂上に着きました。頂上祈りを終えると、また、すぐに出発です。まだまだ先は長いですので・・・。





万三郎岳を下りながら万二郎岳へ向かう道の横に、大きな岩や木を見つけるたびに、必ず祈りを行いました。ひとつひとつが神の意志であり、大切なものを伝えてくれているからです。

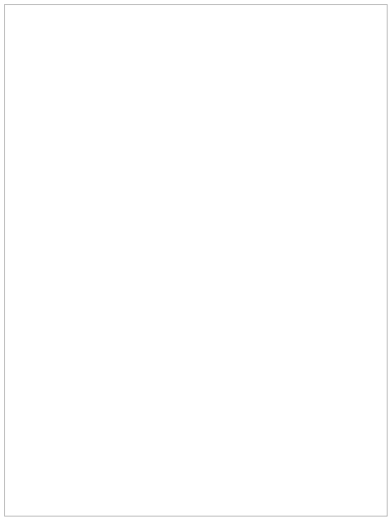




ふと大きな岩が、目の前に現われました。岩の横に木の階段を付けて岩の上に登るようになっている場所ですが、この岩は、完全に神様の岩ですので祈りの準備をしました。

今回、山の祈りには珍しく「火」を持ってきていましたが、これは修験者たちが行う祈りの方法で、自然界に唯一ないものが「火」だからです。

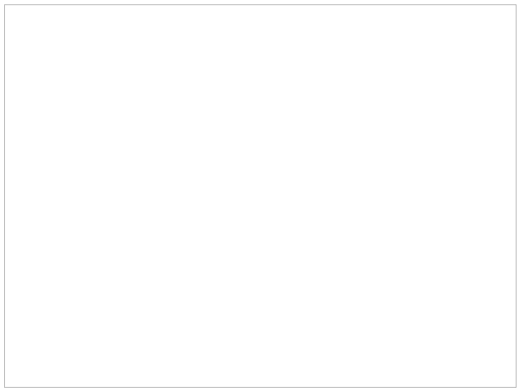
風・大地・水を持つ山の神に、火の神を捧げて祈りを行うと、この岩自体が老龍（ラオロン）の顔だと教えてくれました。



登山客は、知らない間に、この老龍（ラオロン）の頭を踏みつけ登っていたようです。自然界の神は、そんな小さなことでは怒りませんが、人間としてお詫びの心が湧きました。お詫びとお礼、そして、今回の登山神事の最大の目的の場所が、ここでることを祈って確認しました。

時間が無いので老龍（ラオロン）と長話はできませんでしたが、一度、祈りエネルギーで繋がると、どこでもいつでも対話することができますので、あとでゆっくり天狗と老龍（ラオロン）の意志を確認することにします。

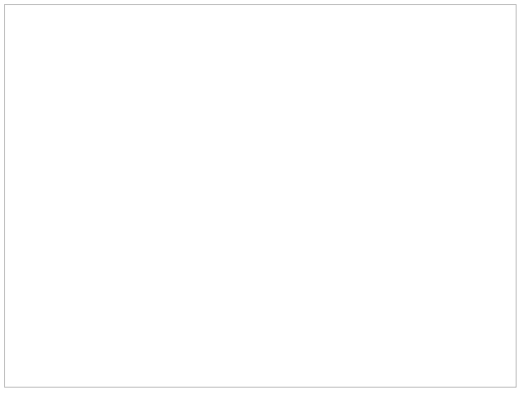
今回の祈りは、自分の住む土地の一宮祈りを終えた関東・中部の5名４国の代表が来ていますので、その代表がこの伊豆の国を守る宣言をしたことになります。老龍（ラオロン）と天狗の意志を守る皆さんに、心から感謝を伝えました。

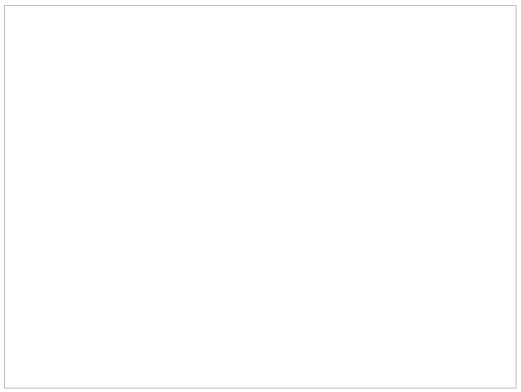


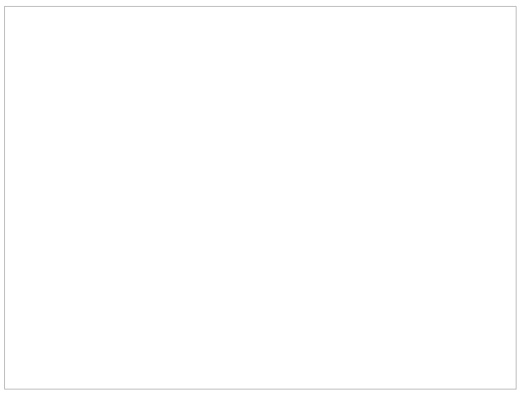
老龍（ラオロン）祈りを終えると歩くと、すぐに万二郎岳の頂上にでました。頂上祈りも終えて全員、とても喜びが溢れているのが表情からわかると思います。

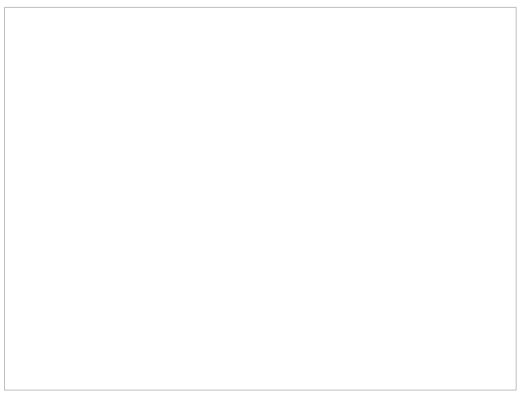
このあとは、ただひたすら天城高原ゴルフ場を目指して下山しましたが、夕暮れも早く、足元がどんどん暗くなります。下山途中に、初めて山から水が流れている場所を見つけたので、山の水を頂きました。天城山の神様の意志を繋ぎます。

最後の３０分間は、完全な暗闇の中を下ることになりましたので、準備したライトのおかげで命を救われました。登山はあらゆる準備をしていないと、必ず誰かに迷惑をかけてしまいますので、登山をされる方はどうぞ万全な準備を宜しくお願いします。







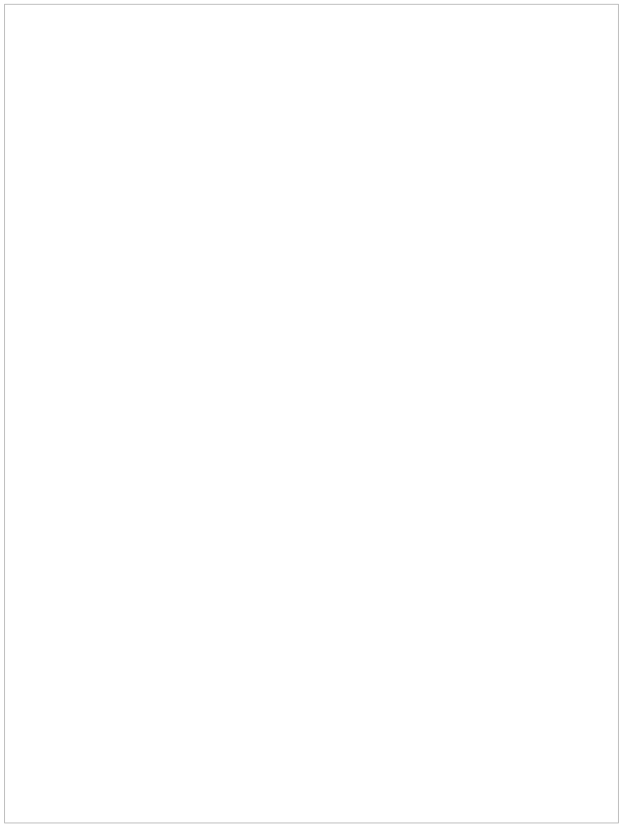


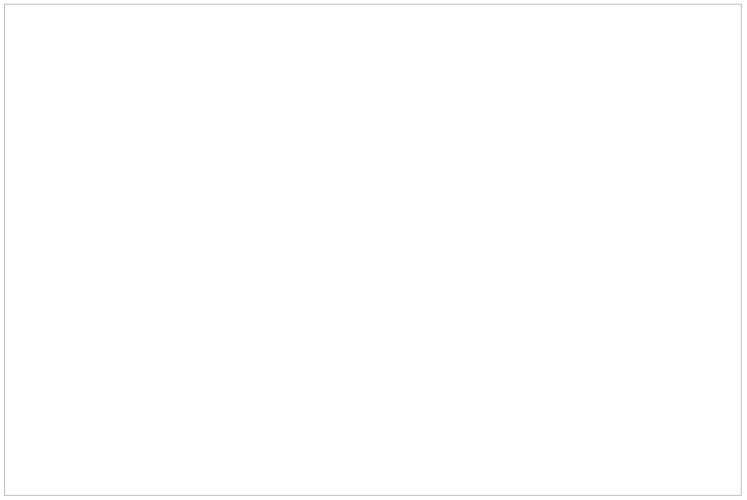
今回の登山は、決して遅いスピードではなかったのですが、結局、朝8時から登り始めて到着は、午後5時半ですから、9時間半、山道を歩いたことになります。登山の経験の中では一番、長い時間歩いた経験になりました。

冷え切った体と疲れを癒しに、宿の温泉にまっしぐらです（＾＾）　　つづく

2009.11.06 Fri

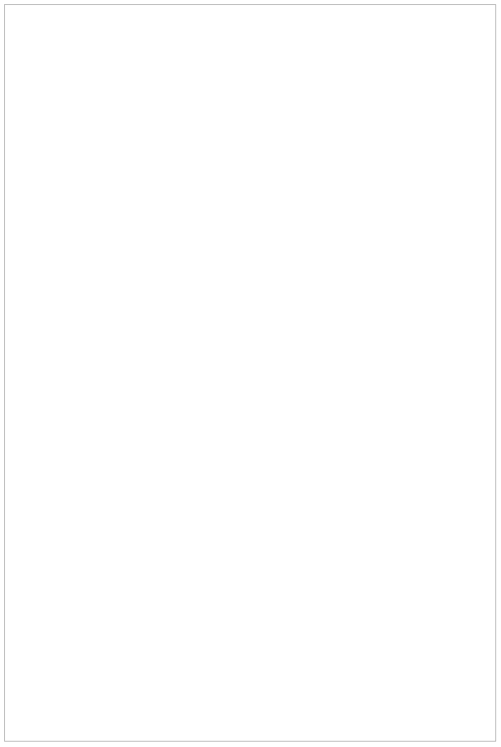
伊豆神事　**2**　石廊崎・黄金崎

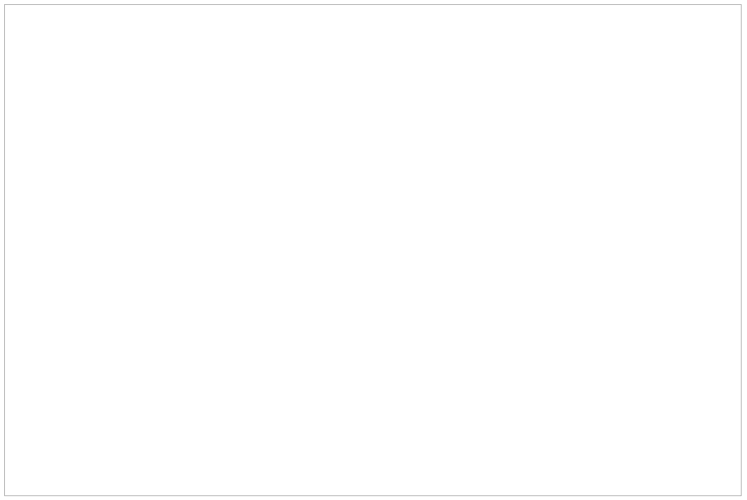


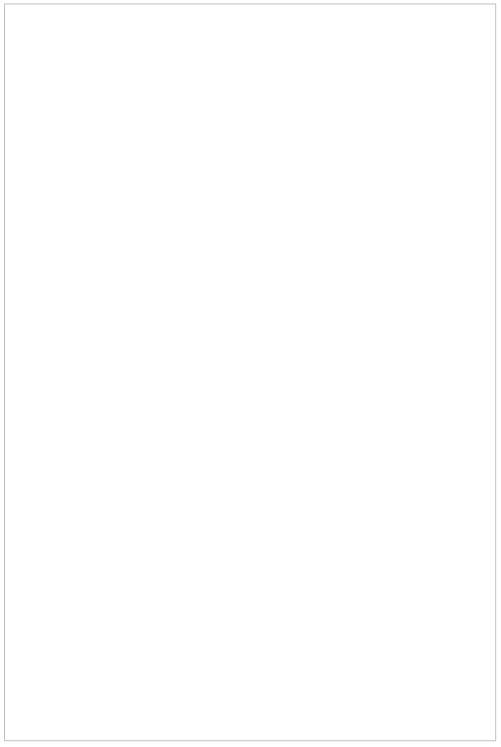


役の行者にご挨拶してから、岬にある石廊崎（いろうざき）神社へ向かう坂を登りました。山の上から下を見ると、漁をする船が停泊している湾は海の荒波を避けるような場所に引き込んだ形になっているので、戦いがあった時には守りやすい場所だったことがわかります。

リアス式の海岸線が遠くに見える坂道は、温かい気候のせいか、植物の形や雰囲気が沖縄のやさしさを思い出させてくれる場所です。



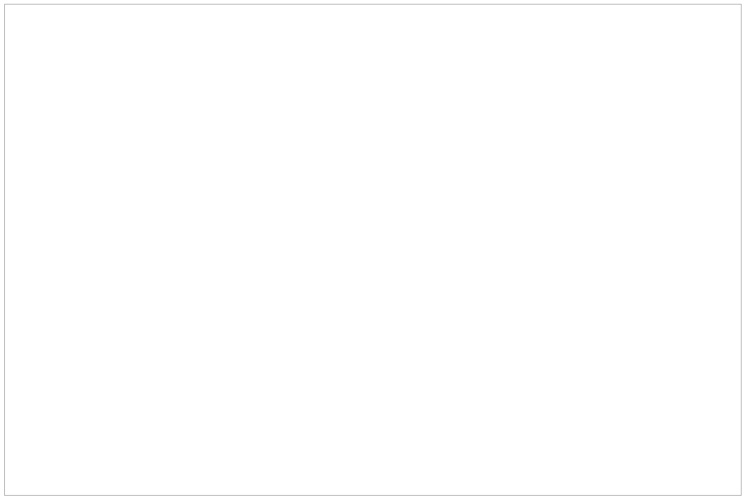


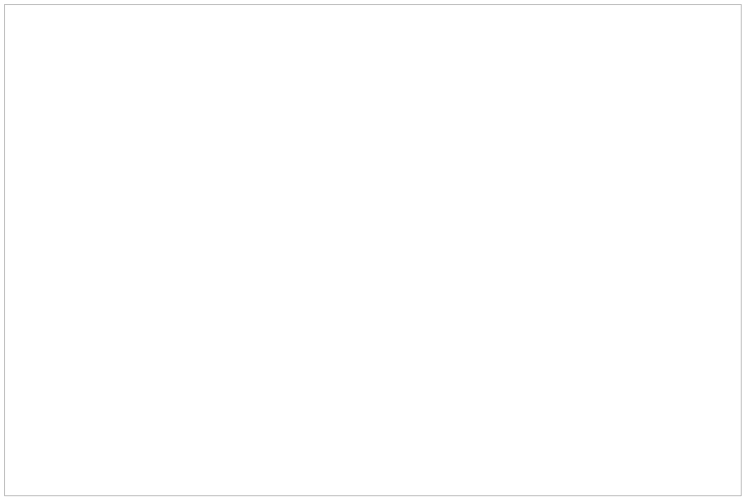


岬の先には絶壁の岩の壁に、宙に浮くように建てられた石廊崎神社がありますが、この神社ができた話も興味深いものがあります。荒波で転覆しそうなとき、船の御柱を捧げるので船を救って欲しいと海の神に頼むと、神はその願いを叶えて波を沈めてくれたと書いてあります。

今も、石廊崎神社の足元には大きな船の御柱が建物を支えています。この石廊崎のご神体は、先端の岩ですが、なぜか「縁結び」の神様と書かれていて驚きました。どこからそういう話になったのかはわかりませんが、とても残念です。人間の欲の表れが、神の名を変えた証でしょう。

ご神体から南へ向かって、宇宙神の神々の力を借りる祈りを捧げました。ここから伊豆七島も望めますが、神様が海を焼いて島にした神話は、船でやってきた渡来人が渡ってきた神の道を示してくれています。

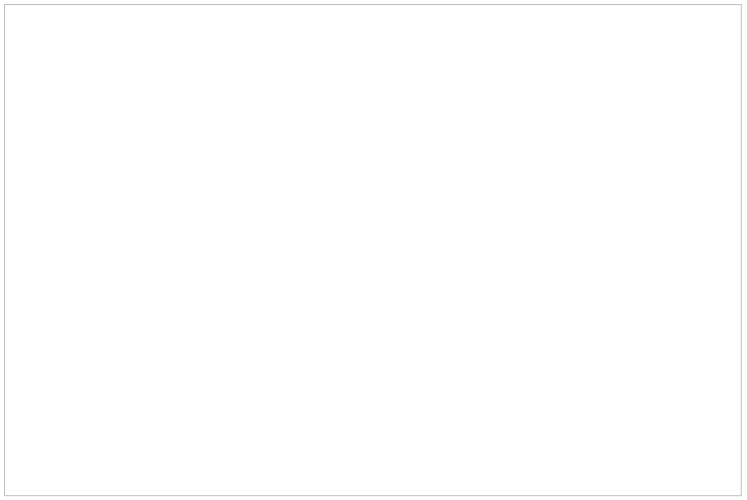


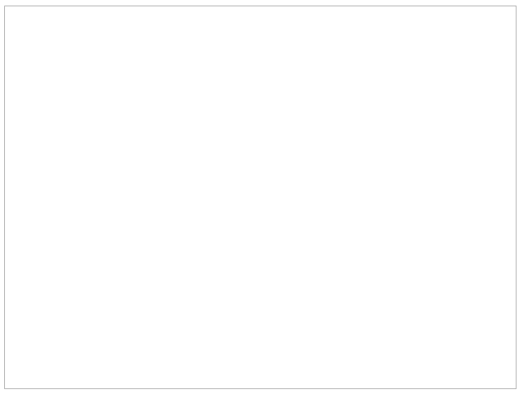


自然界の神は、常に、岩や山の形となってその姿を見せてくれますが、ここ伊豆の南を守る大きな門番は、サルのような顔となってその姿を見せてくれました。今後ともしっかり働きができるよう、神守りの願いを繋ぎました。

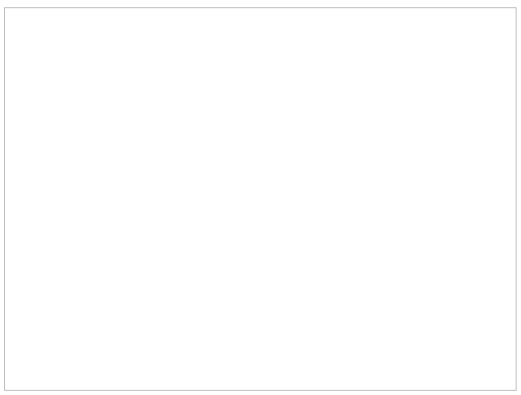
南の祈りが終わると、急いで、西の祈り場所の黄金崎へ向かいました。夕暮れが近づいてきたので、今日は、とても美しい夕陽が見られるからです。東西南北のすべての方角を守っている最大の神様が、西の神様だということは、沖縄の祈りで神様が教えてくれましたから、西の祈りはとても大切な意味があります。

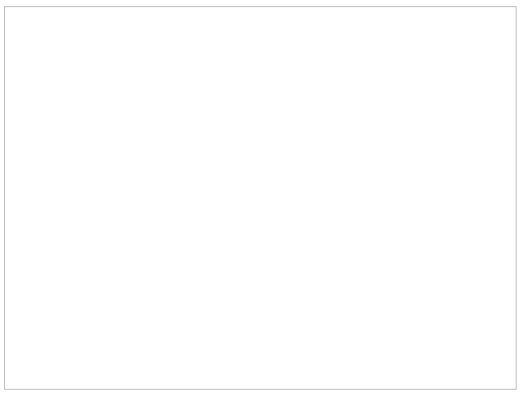
黄金崎に着く前に、美しい夕陽が空と海を赤く染めました。その色は、今日の祈りを喜んでくれているようです。





黄金崎を守っていた門番は、馬の顔を見せてくれました。崖の先端に立ち、大切な西の祈りを全員で行いました。



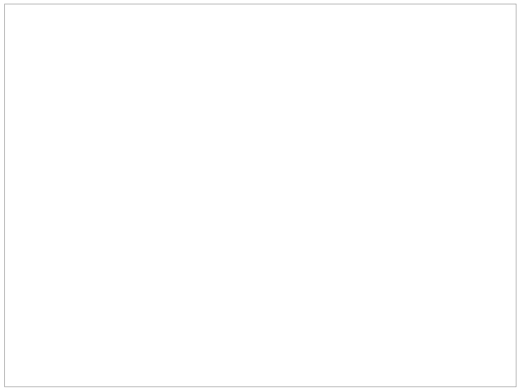


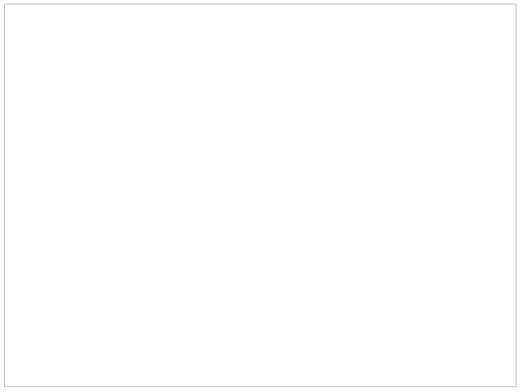
夕暮れの美しさも、自然界の神の御姿です。その姿を見せて伝えながら感じたメッセージは、私

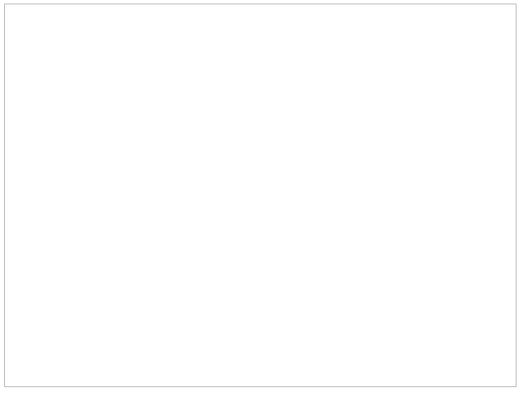
たち人間のこれからを問われていると感じました。

水平線が赤く焼けた頃、西の神様は一気にその光を包み込み、闇の姿も見せてくれました。日の出から陽の世界を守る神々の働きと、闇夜から陰の世界を守る神々がいることを私たちに見せてくれたのです。

小さな祠になっている黄金崎神社の石が、神の御姿であるピンクオーブとなって、その姿を見せてくれました。



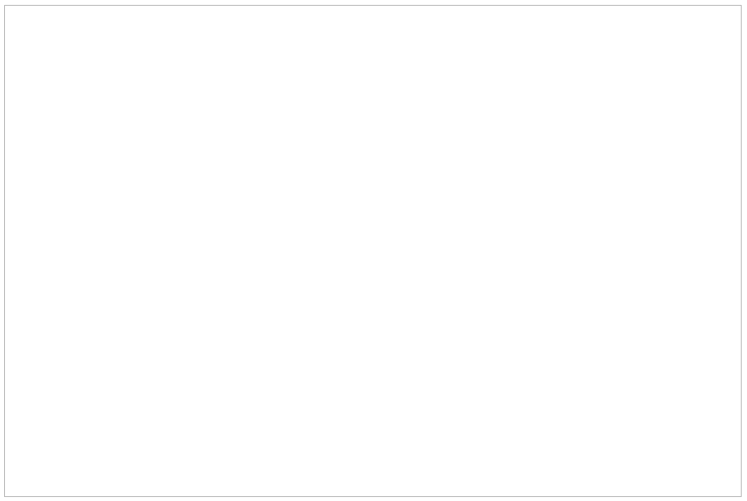




闇と光が一対になって働く神の世界を私たちは体で感じながら、その全ての神の意志を持って、明日、天城山を登ります。すべての人間が、神の意志を受け継ぐ担い手となるために。
つづく
2009.11.05 Thu

伊豆神事　1　源平のカルマ解消

☆地球創世　スピリチュアル講演会　**in** 関東
日時：２００９年１２月１２日（土）10：00~13：30
場所： 財団法人藤沢市産業振興財団（藤沢産業センター）7Ｆ 第一会議室
(JR・小田急藤沢駅 徒歩2 分 神奈川県藤沢市藤沢109 番地 湘南ND ビル7 階 TEL: 0466-21-3811)　　料金： 4,000 円　　〇申込：下記E メールにてお申し込み下さい。E メール：chikyusousei@yahoo.co.jp (地球創生関東事務局・西宛)： ※1-同日15:00~18:00 に第二部・地球創生討論会を行います（別途2,000 円要申し込み）※前日及び翌日に個人カウンセリング/セッションを若干名募集します（お問い合わせください）



富士山神事のあと伊豆半島の大瀬神社の天狗の神様から「伊豆をよろしく！」とメッセージを頂いてから、伊豆の歴史や民話、また、関東・関西で起きた歴史を仲間と調査しました。

関東・関西の土地に起きた争いの中で最も重要な争いは、鎌倉幕府の制定です。

鎌倉幕府の制定は、それまで公家や朝廷（平家）が全てを司っていた平安京を武士（源氏）が倒した争いの結果ですが、実は、神様の代役をしていた公家・朝廷を倒したことで、人間が神様を倒したという大きなカルマも作り出してしまいました。

その後、人間が都合のいいように神様の役目を変えたり、人間の利益を第一に考える御利益主義が一般大衆化した大きな原因の事件とも言えるでしょう。

平家と源氏は婚姻関係になっていた人たちも多くいましたので、源平争いは、親族争いだという言い方もあります。日本に生まれたすべての人たちは、必ず、源氏か平家のどちらかに関わっていた歴史がありますので、日本民族の大きなカルマを鎌倉幕府の時代から始まったと言えます。

伊豆半島の神話を調べると、神様が海からひっぱって作った島と書かれているものがありますし、２４００年前に、インドから船で渡ってきたインドの王子様が渡来して住み着いた事実も残っていました。

富士山の裾野や熊野三山、白山や日本全国に散らばる修験者たちの頂点にいた人のことを役の行者（えんのぎょうじゃ）と呼びますが、庶民はこういう強力な霊力を持った人のことを「天狗」や「鬼」と呼んで恐れていた神話も残っています。

天狗は、実在した人間だということを覚えておいて下さい。

中国の道教（タオ）で最高位にいる仙人と呼ばれた人と同じように、人間が高次元意識に繋がると、意識するだけで体を浮かせたり、姿を消すことができる人たちが実在しました。

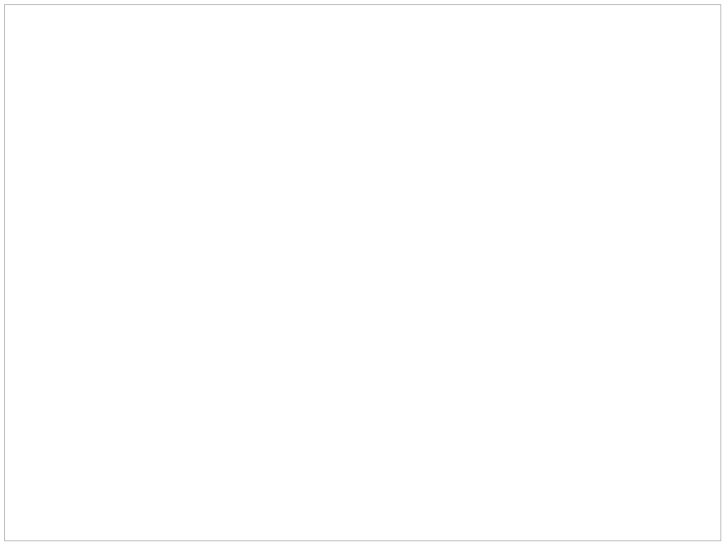
三次元の世界を超えた完全な高次元意識は、宇宙や自然界の存在と繋がり、地球に存在する全てを調和を守る意識に変わります。

しかしいつの時代も、庶民は高い能力を持つ人たちを恐れますので、天狗は人里を避けて山奥に住むようになりました。志の高い修験者たちが厳しい山岳修行をしながら山に登る理由も、自然界を意のままに動かす天狗の能力が欲しかったからです。

自然界を動かせる力を欲しがったのは、時の権力者たちも同じです。天狗信仰が残る神社や仏閣に武士の宝である刀が奉納されているのも、自分たちを守って欲しいという政治的な裏の契約書でした。

庶民が知らない裏の世界で国を守った人たちは、戦国時代には「忍者」と呼ばれるようになりました。しかし、修行をして得た高い能力の伝承も、人間欲に負けて自然界の神と繋がる力が薄れてしまいました。

人間同士の戦いや時の権力者に、なぜ天狗が力を貸したかというと、天狗の役目も自然界と人間の調和が大きな役目だったからです。うちわを振れば風が起き、大地を動かし、水の流れも変えられる天狗の力は、自然界全てをつかさどる龍の力と同じだと言えます。



これまでの日本民族が歩んだ、１０００年間のカルマを解消する神事が始まりました。

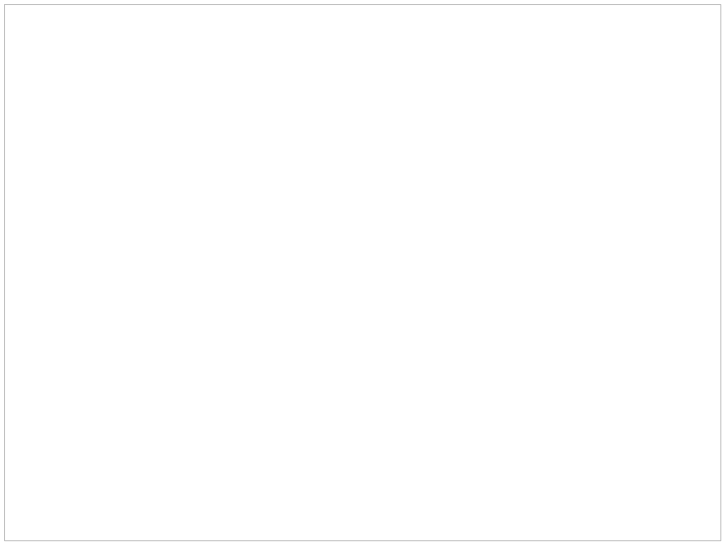
人間が生きた歴史的カルマを解消できるのは、人間の行いしかできません。また、人間に与えられている神の役目を果たせるのも、人間の大きな役目です。

自分の住む土地を守る国守り宣言をした関東の仲間と一緒に、伊豆国（いずのくに）の一宮、三嶋大社へ向かいました。

本殿にいらっしゃる神様は、今回の神事の意味を理解してくれてやさしい声で「よろしくお願いします」と言葉を下さいました。

三嶋大社の境内を見渡すと、おおきな「たたり石」を見つけました。説明書きを読むと、「たたり」とは、もともと絡んだ糸をほぐす意味で使われていた言葉であることと、そして、この石が交差した道のエネルギーを整えていたことがわかりました。

人間の絡んだカルマの糸をほぐす神事ですので、全員で「たたり石」のエネルギーと繋がる祈りを行いました。



もうひとつ、とても重要なものがここにはあります。それは、公家・朝廷を倒す源平争いの決起をした場所が、この三嶋大社だったのです。境内の端には、鎌倉幕府の立役者、源頼朝の活躍を示す大きな石碑もありました。

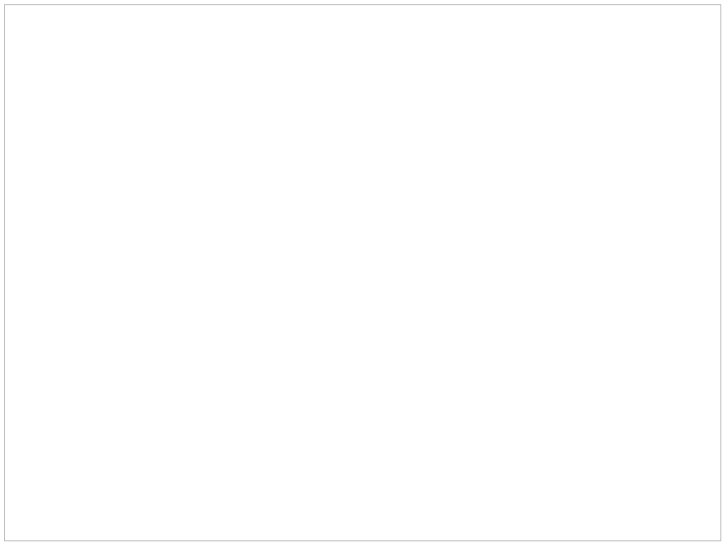
石碑を通して、源頼朝の魂に、語りかけました。

「当時の出来事は、民衆が望んだことでしょうが、その結果、１０００年の時間を経て人間は、神をないがしろにするようになってしまいました。その全ての根源争いは、源平の戦いという民族的なカルマにまでなり、全国の土地にその思いが残っています。神となられたあなたならわかると思いますが、大神は人間同士の争いを望んではいません。その全ての根源となった源平の争いのカルマをはずす神事に力をお貸し下さい。」

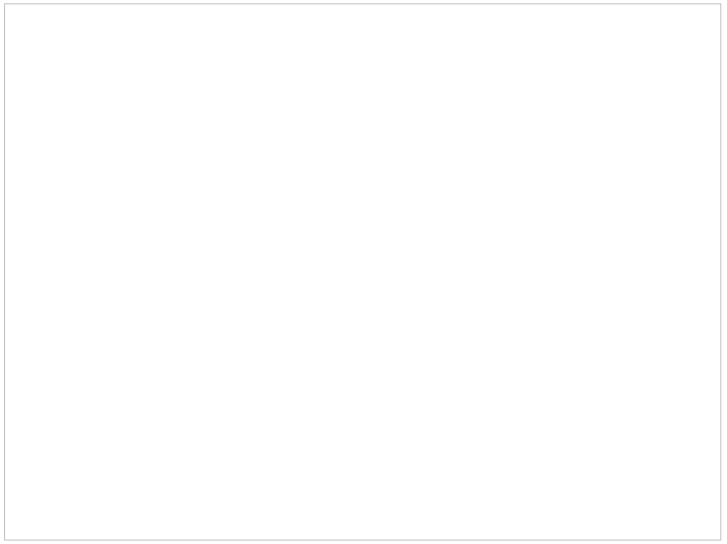
しばらくして源頼朝の魂は、「これより、源平の争いは無くなる！」と力強い言葉を下さいました。

神となった源頼朝の魂の言葉は、全国にその神意思が伝わり、源平争いの土地のカルマや不定御霊たちの鎮魂に力を貸してくれるはずです。どうぞ、御霊あげを全国でなさっている皆様や自分の住む土地に、源平争いの傷跡が残っている土地で祈りを捧げて下さい。

勝利した人がお詫びすることで人間的なカルマをはずすこともできますが、神となった源頼朝の言葉は、全国に祀られている人格神を通じて、土地のカルマをはずしてくれることでしょう。

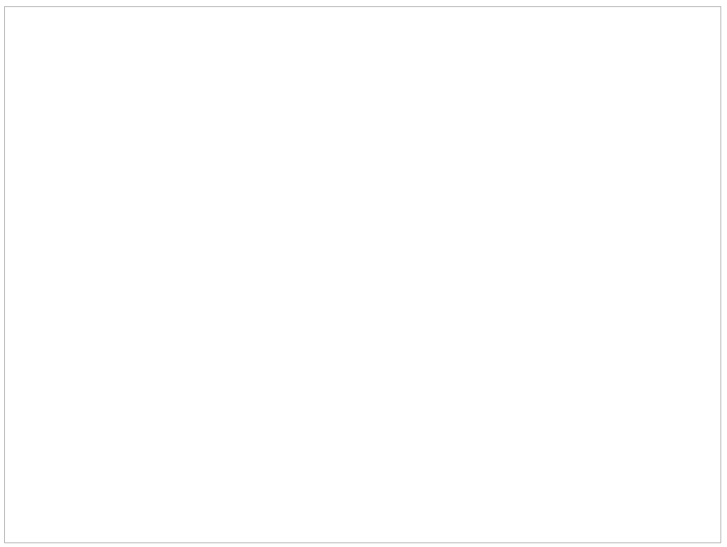


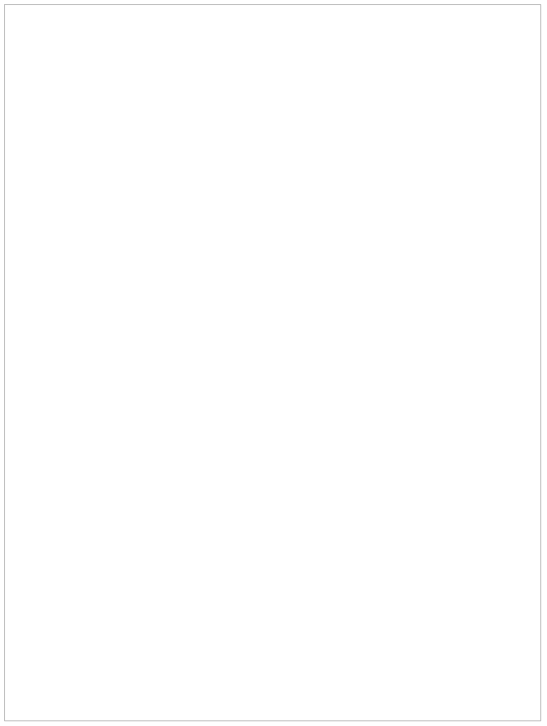
伊豆半島にインドから来た渡来民族の話を守り伝えている場所が、伊豆半島の南東に位置する白濱神社です。ここは日本人の血に流れている渡来民族の関わりを示す大切な証の場所です。

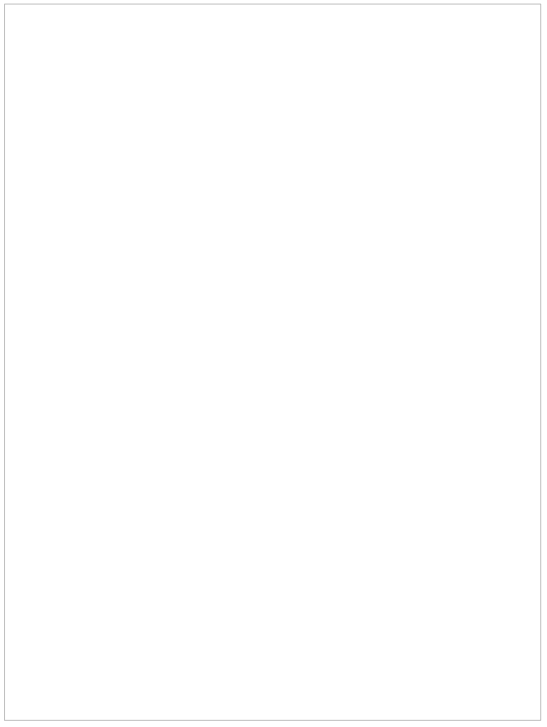


境内に入るとすぐ左手に、「びゃくしん」という大きなご神木の樹がありますが、この木は、大瀬神社に近くにある「びゃくしん樹林」と同じ樹です。この樹はもともとインドから運んだ神様の樹だとすぐにわかりました。

大きな樹の割れ目の中には、薬師如来様が、インドの伝来を伝える魂を守っています。

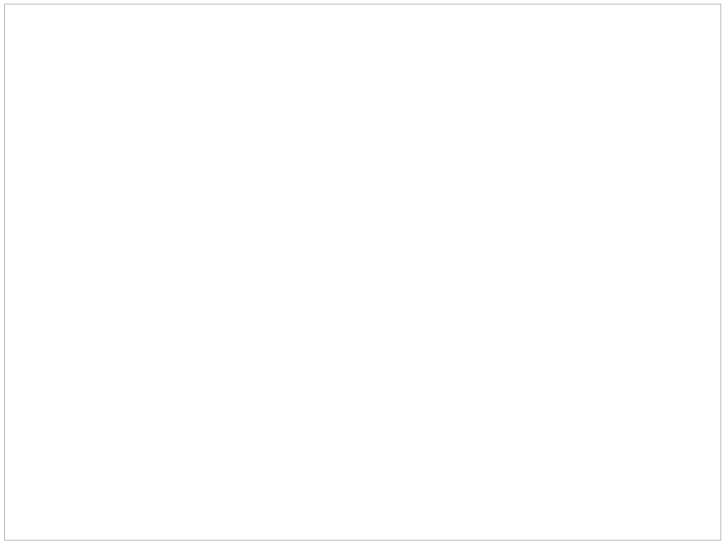


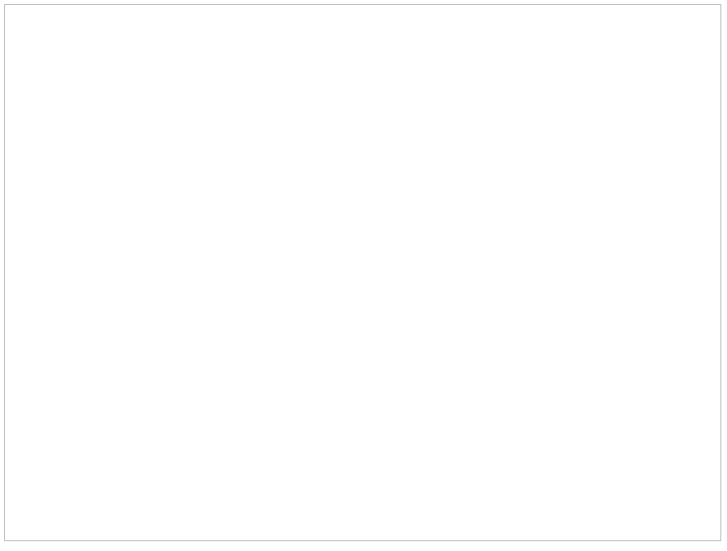


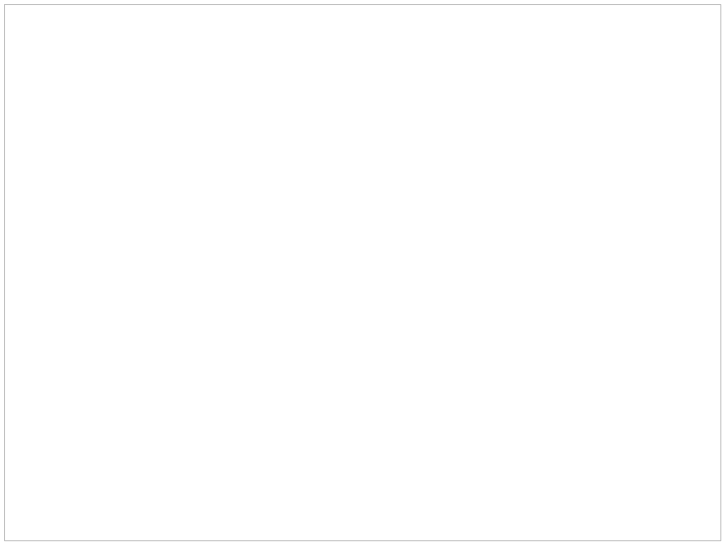


白濱神社が、伊豆最古の一の宮であったことや、インドから伝来した民族が富士の大神に許しを得て伊豆七島を作った神話も残っています。裏山の中腹にあるある本殿や途中の樹の中にいる仏様は、今も変わらずにその意思を守って下さっていました。





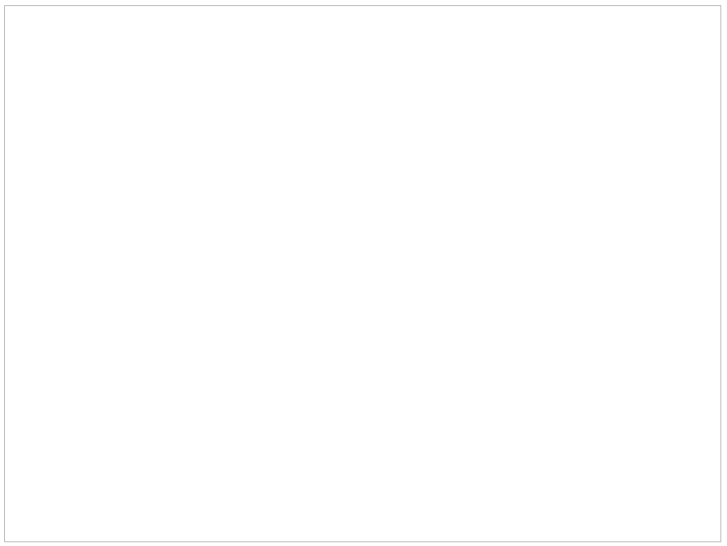


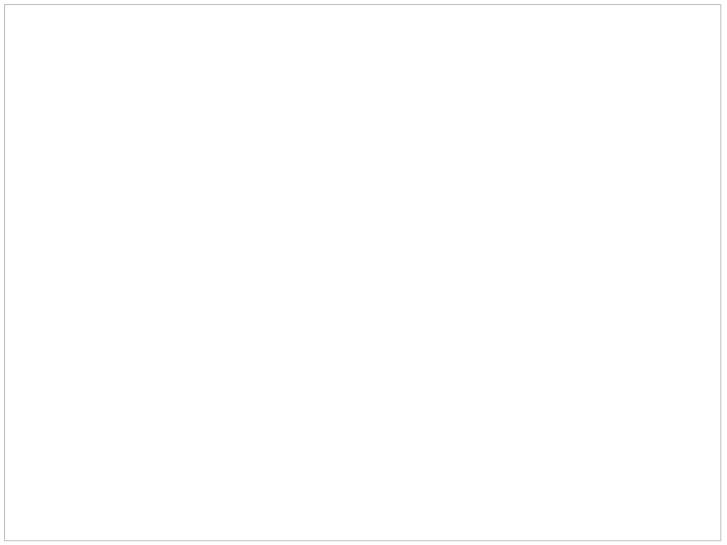


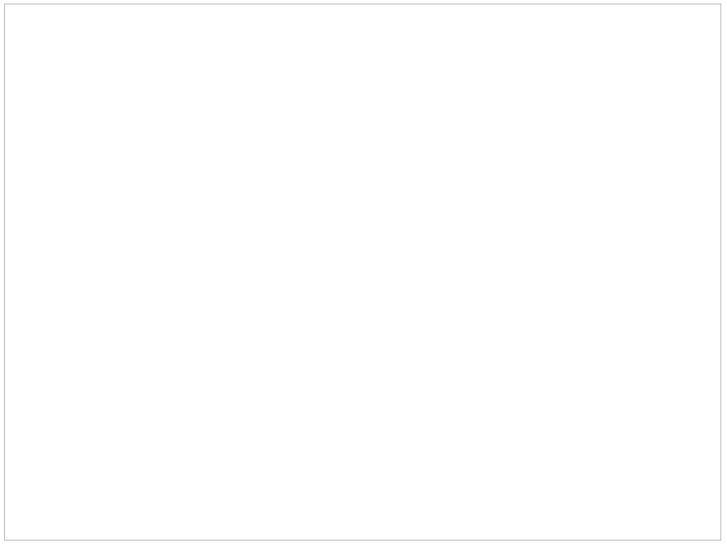
本殿でご挨拶すると、本来の神が降りた場所ではないことがわかりましたので、裏の海岸へ向かいました。ちょうど明日から年に一度の大祭の準備をしていたので、裏の海岸線は感謝のエネルギーに満ち溢れていました。

海へ向けた赤い鳥居は、渡来した母国に繋ぐ祈りの大切な場所です。鳥居の前に全員が座って祈りを捧げると、足元の岩に打ち付ける大波の音が体を突き抜けて神の意志を伝えてきます。土地龍、海龍が喜んでいるのをとても感じました。

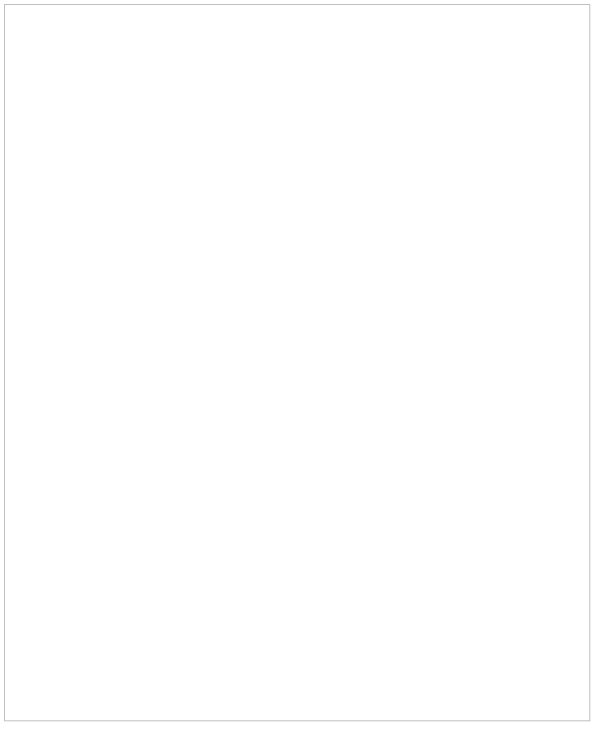
全ての祈わって空を見上げると、白濱神社の上空から海へ向かって大きな白い龍の雲が、くっきり飛び立ちました。日本民族の血に流れているインドへ龍がエネルギーを繋いでくれているのでしょう。







今回の伊豆神事を決めるまでに、神と対話してわかったことは、天城山のどこかに天狗が伝えたい大きな石があるので、伊豆半島を西から東へ縦断する縦走登山が、大きな目的になりました。同時に、伊豆半島の土地に残っている人間的カルマや思いを浄化転生させるために、四方祈りのひとつ、南端の地へ向かいます。つづく



2009.11.03 Tue

北の龍神祭　開催決定

いつも地球創世活動にご支援、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。

昨年より、日本の北と南の大切な龍神の聖地を繋ぎ、日本全体を大きく守る自然界の神々に年に一度、感謝する目的で「龍神神」を開催致しましたが、二年目となる今年は、神事に参加したことがない一般の方もご参加頂けますよう準備を整えております。

ご参加を希望される方は、お名前・電話番号・住所・生年月日を　１１月１０日まで吉岡へメールでお申し込み下さい。

北の龍神祭　開催日　　１１月３０日（月）～１２月１日（火）

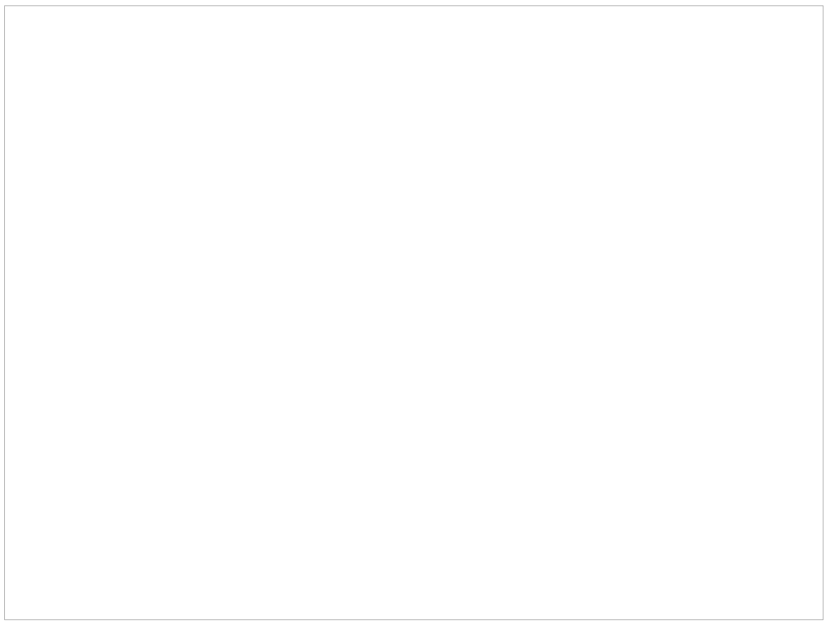
参加費（宿泊・食事・懇親会・神事を含む・移動費別）　　１５０００円

宿泊先：北海道河東郡鹿追町　　然別湖畔温泉ホテル　風水　0156-67-2211

（スケジュール）
11/30　札幌駅発　　10：20　特急スーパーとかち３号　　新得駅着　12：23・バス移動ホテル着
12/1　　新得駅発　14：09　　特急スーパーとかち６号　札幌駅着　16：14　・解散

なお今回の神事は神道形式の祈りを行う予定ですので、神職衣装をお持ちの方はご持参下さい。一般参加の方は、神服、もしくは、白い上下の服で神事にご参加下さいますようお願いします。

地球創世コーディネーター　吉岡学



2009.10.24 Sat

天命を得て　存命を待つ

☆地球創世　スピリチュアル講演会　**in** 関東
　　１２月１２日（土）　神奈川県藤沢市　詳細はこちら！

◎東京地区　楽健マッサージスクール　参加者募集中！
　１１月１日（日）　午後１時～午後５時
　場所：東京都新宿区　　※お申し込みは、 こちらへメールで！

・・・

と中学二年生の時に一人で悟った時も、何も知識はありませんでしたから、ただ神仏に導かれただけなのだと思います。

間違って欲しくないのは、死の世界へ行く事が目的なのではなく、ただ家に戻るだけだと覚えておいて下さいね。

生きてる時間は、短い旅行のようなものですので、色々経験すること全てを楽しむよう心がけてお過ごし下さい。

ある悟った人が、こんなことを言っていました。

人生は生きてるだけで　丸儲け！（＾＾）

2009.10.21 Wed

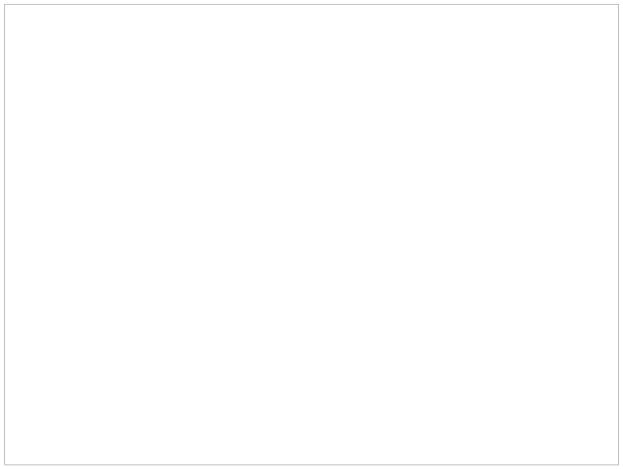
秋の発表会

☆地球創世　スピリチュアル講演会　**in** 関東
　　１２月１２日（土）　神奈川県藤沢市　詳細はこちら！

◎東京地区　楽健マッサージスクール　参加者募集中！
　１１月１日（日）　午後１時～午後５時
　場所：東京都新宿区　　※お申し込みは、 こちらへメールで！

80歳の父と76歳の母が出場するハーモニカの演奏会を見に実家へ行ってきました。芦別市内の全ての老人会が集まって、日頃練習した成果を発表する1000人規模の催しです。

自分が子供の頃は幼稚園の学芸会からたくさんの発表会を両親に見に来てもらったのに、父母の発表会を見たのは今回が初めてでした。堂々とステージで演奏する二人の姿に、とても感動しました。



親子は立場を変えて考える事はあっても、なかなかお返しができないのも、親から頂いたご恩です。今はただ、人生を楽しくまっとうしてくれる事だけを願っています。

翌日は両親を連れて富良野の紅葉を散策しました。もうすっかり秋の色になっていたので、いい時に来られて良かったね～と話しました。

四季で一番、大好きな秋は、最後のエネルギーを振り絞って人生を輝かせる高齢者の美学に似ています。

お盆に見つけたとっておきのお蕎麦屋さんでお昼を食べると、もう幸せいっぱいです（＾＾）

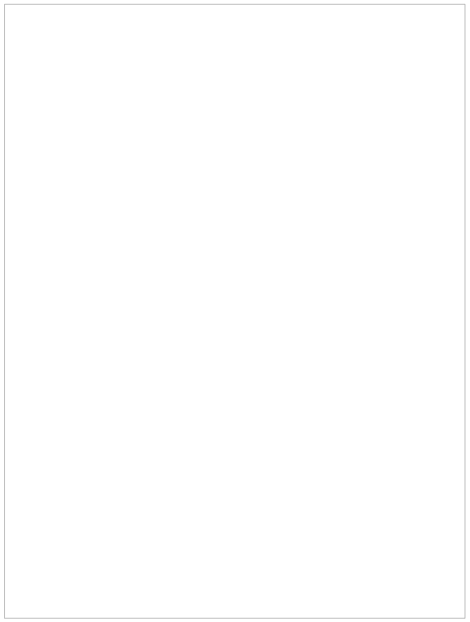
私は最近、両親にお願いしていることがあります。

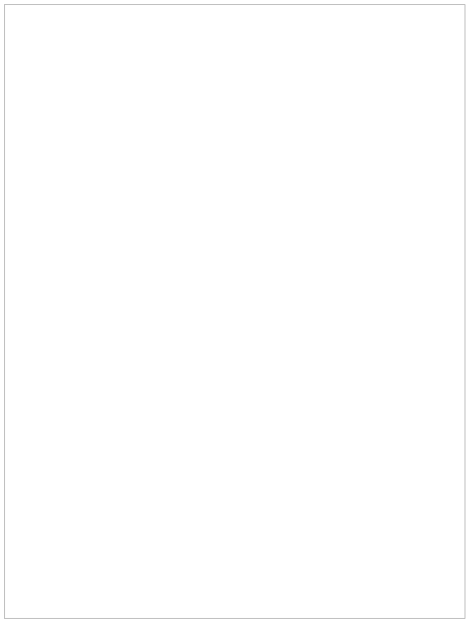
母には、なるべく愚痴を言わせないよう心がけること。そして父には、できるだけ散歩をしてくれるよう頼みました。

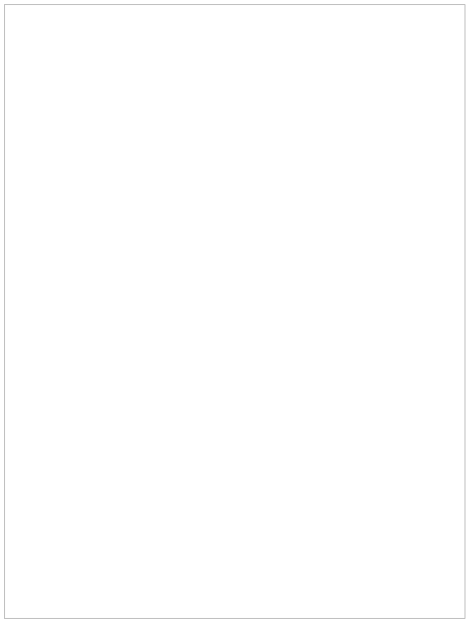
神に与えられた人生を楽しく過ごす為の工夫です。

秋の夜長は、いつ消えるともわからない灯だからこそ、最後の最後までしっかり生き抜いて欲しいと思っています。

私の素敵な両親に、心から感謝を贈ります。



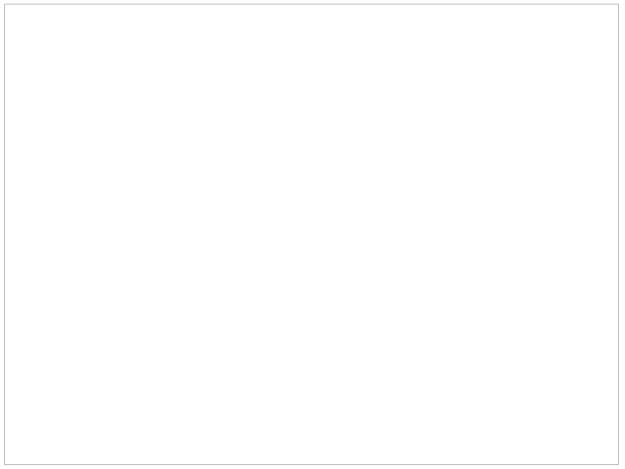


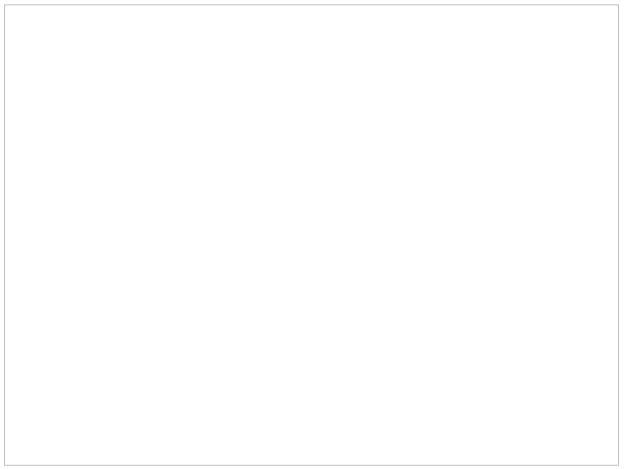


2009.10.20 Tue

天狗の里　静岡県秋葉神社

10/28から始まる伊豆神事に関わるメッセージが降りたので、静岡県の秋葉神社へ向かいました。案内役の地元の人たちとの出会いは、地元を愛する人の繋がりを深めるキッカケになったと思っています。まず、秋葉神社下社からご挨拶をします。

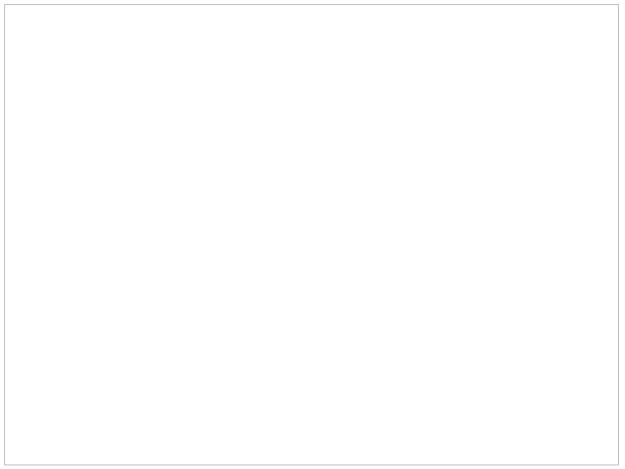




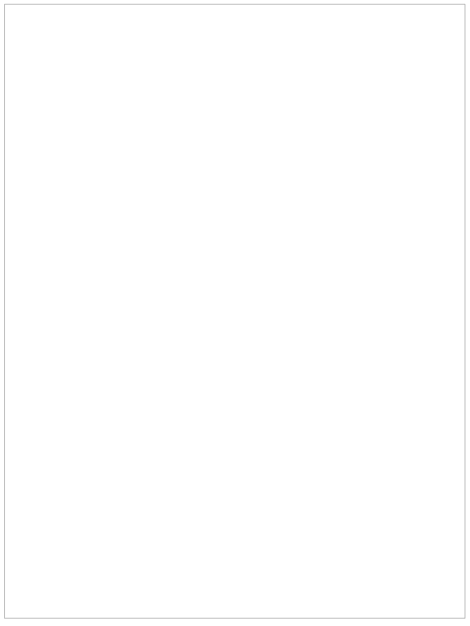
祈りを始めると、「しばらくお待ちください。奥より神をお呼びします」と女性の声がしてから神様と話が始まりました。

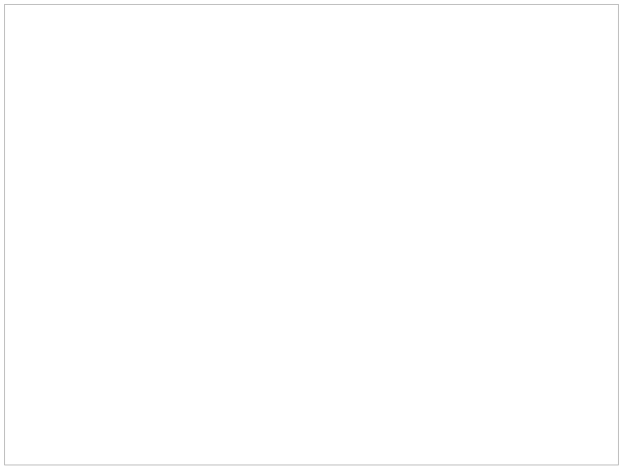
これから始まる国の建て替え建て直しは、関東神事から新しく始まる事と日本全体で行う神事の目的を伝えると、「よくお越し下さいました。詳しい事はのちほどお伝え致しますので、その時をお待ち下さい。」と神様はおっしゃいました。

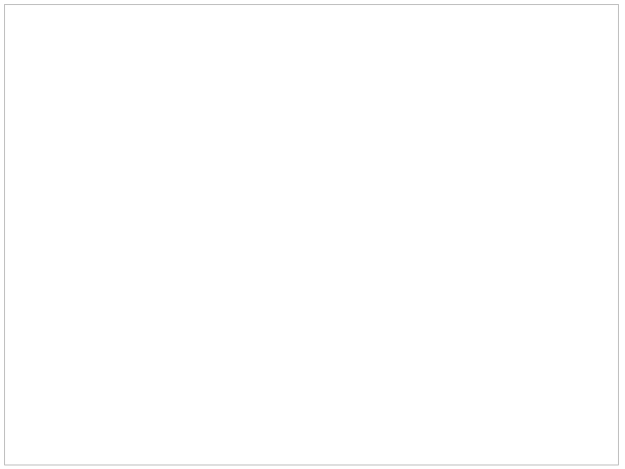
隣の村社にも挨拶をしてから、秋葉山本宮上社へ向かうと、駐車場に大きな大きな虎のような狛犬が鳥居を守っています。



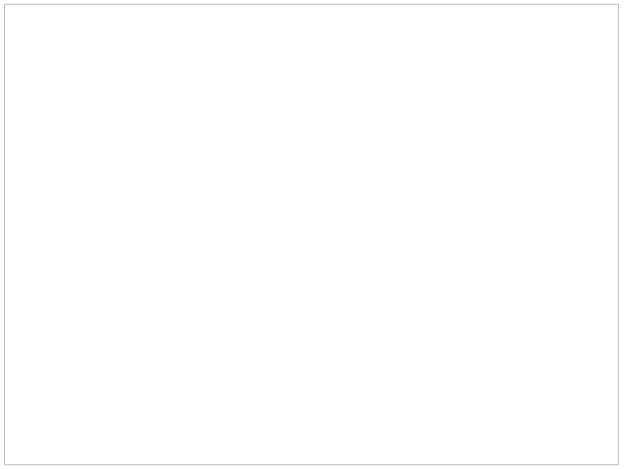
天の四方の方角を司る四獣（しじゅう）は、東の青竜（せいりゅう）・南の朱雀（すざく）・西の白虎（びゃっこ）・北の玄武（げんぶ）ですが、その四神に守られた素晴らしい山門をくぐり抜けて階段を昇りつめると、一番高い場所から素晴らしい風景が見られます。







本殿へ向かう途中に見える全ての祠にご挨拶を終えて、金の鳥居を抜けると、本殿が見えましたが、見た瞬間に何かが違うと感じました。一応、神様に手を合わせてみると、「もっと奥に大切な物がある」と遠慮がちにおっしゃいます。



おかしいと思ったので、右後ろにある一番古い木にも直接、聞いてみると、やはり「大切なものは、もっと奥にあります」と答えてくれました。

ここがゴールではない事は確かなようですが、本殿の裏に道も見えませんので、草むしりをしていた年配の神職の男性に聞きました。

「この奥に大切な何かを祀っている場所が、昔はありませんでしたか？」

「昔、スーパー林道の先に奥宮があったとは聞いていますが、場所はわかりません。」

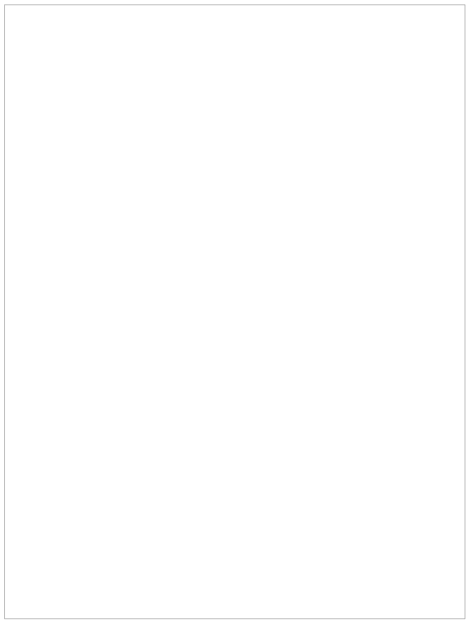
こういう形で神は導いて下さいますので、すぐにスーパー林道を進みました。

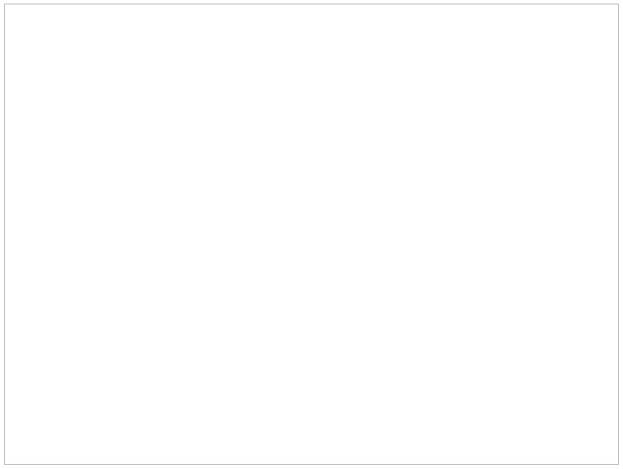
地図を見ると、「龍頭山」を先頭にして、いくつもの小山が連なっているのがわかりました。もともとこの連なる山が、土地を守る龍のご神体だとわかりましたので、修験者たちが歩いた道を

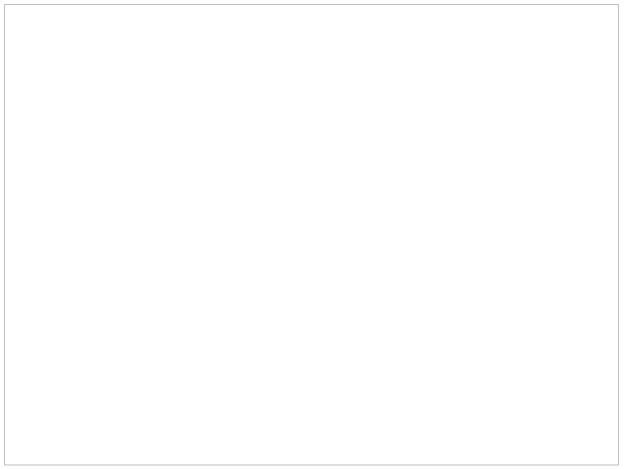
探しました。

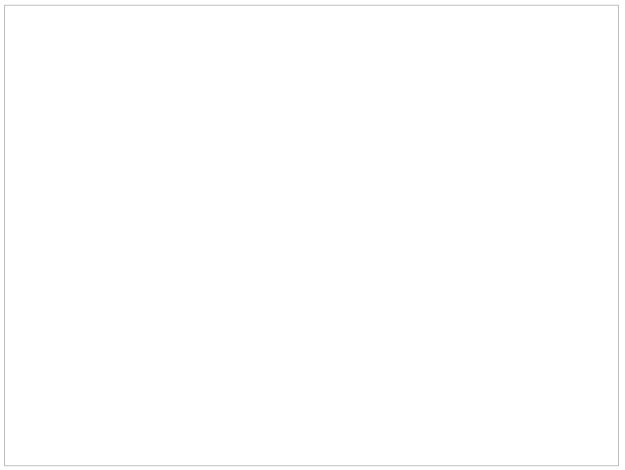
運転している男性が偶然見つけた「八尺坊」の小さな看板こそ、修験者たちが歩いた道だとわかりました。八尺、つまり２メートル４０ｃｍほどの大男が、天狗を表しているからです。

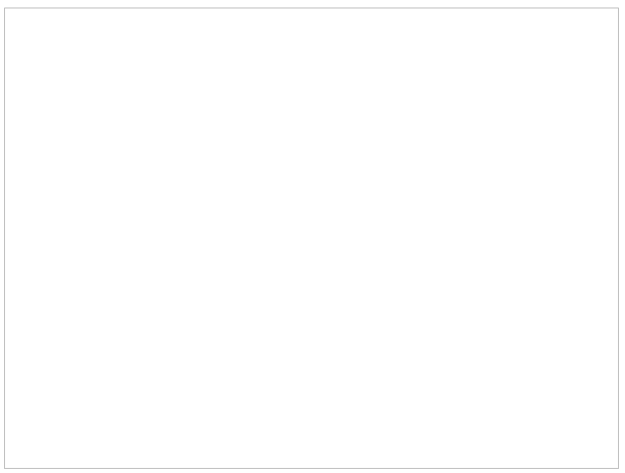
軽い傾斜の登山道を昇ると、昔、修験者たちが頂上を目指した道しるべの石碑が見つかりました。修験者たちは〇〇〇丁目と現在地を表す習慣がありますので、大切なものを見つけられてとてもうれしくなりました。











龍頭山を目指して歩いていると、突然、見えない誰かが私に声をかけてきます。

「何か、思い出しましたか？」「いいえ、まだ特には・・・」「では必要な時が来たらきっと思い出す事があるでしょうから、それまで私たちはあなたを見守ります」と言って声の主は去りました。

富士山神事が終わった翌日に訪れた大瀬神社の神様から、「伊豆を宜しく！」と言われた意味を考えていましたが、以前から自分がこういう道を歩いたことがあることは何となく魂は覚えてい

ました。

その時代が修験者だったのか、天狗だったのかはわかりませんが、確実に、当時の経験が現在の霊力になっていることは気づいていました。

天狗は、架空の存在ではありません。実際に居た人間ですが、その精神は完全に悟りの世界へ通じていたので、宇宙や自然界のバランスを保ちながら、人間の世界に大きな影響力を与えていた時代がありました。

この天狗と呼ばれる人たちの民族ルーツは今後、明らかになってくると思いますが、中国のタオ（道教）の最高に到達した人間と言われる仙人も同じように肉体を持って姿を消すことができるせ実在の人間です。

精神が完全に神領域を超えてあるところに到達した時、時間や空間、物質世界の概念を超えて、あらゆる次元を行き来できることは、到達した人は全員知っています。

本来、修験者たちはその天狗の霊力を授かろうと、野山をかけたり、霊術を山奥で学んだ人たちのことを言いました。

天狗と呼ばれた人間を地球に存在させた神の目的は、自然界の摂理に逆らわないように、国や地球を治めることが役割でしたから、時の権力者たちが天狗の霊力を欲しがるのは当然です。

本来、一切の教えを書き残したり物質化する習慣がないことが、天狗の本質を知る人が少ない理由です。

天狗の本当の意味がわかってくると、自然界を守る龍の役目と同じ役目をしていた人間だということがわかります。

人間の肉体を持ちながら、自然界を操る力を持っていた天狗は、人間たちに恐怖を与えることを避ける為に、人里離れた山奥で生活しながら全ての調和を整えていた自然界の神的な存在でした。

龍頭山の手前の岩から龍の神様に祈りを終えた帰り道、これからの神事の目的が明確になってきました。

これまでの自然界を守る龍の役目がさらに進んで、天狗、修験者、神通力、神仏習合、国守り、国治めがテーマになってきそうです。

全ての神仏争い、人間争いの根幹を一掃する新しい国立て神事が、まもなく伊豆神事から始まります。どうぞ、ご自分の住む土地を守る宣言を地球創世の仲間になってご参加下さい。未来を変えるのは、あなたの宣言と行動から始まります。

2009.10.18 Sun

親の心　子知らず

☆地球創世　スピリチュアル講演会　**in** 関東

　　１２月１２日（土）　神奈川県藤沢市　詳細はこちら！

◎東京地区　楽健マッサージスクール　参加者募集中！
　１１月１日（日）　午後１時～午後５時
　場所：東京都新宿区　　※お申し込みは、 こちらへメールで！

・・・

学びが得られます。さらに、自分の土地の歴史を知ることで、外来文化の伝来と共に変わった神の歴史も学べます。

皆様の心構えと行動が変わることを、地球を産みだしたマザーが望んでいます。
2009.10.12 Mon

全国一宮宣言祈り・胆振国

地球創世メルマガ登録者にはご案内済みですが、新しい国の建て替え神事として、自分の土地の一宮繋ぎを皆さんにお願いしています。

宮を回り、国を守る宣言をした方は、国神・土地神の力を借りて大きな祈りができたり、新しい知恵を神から授かることにもなります。（ご神託、託宣祈り）

日本国全ての国建てという大業を住む人たち自らが行動して成し遂げることで、これまで働きが弱かった大きな神々が働ける時代になります。

地球の未来や日本の未来を考えている皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

?宮繋ぎの方法は、令制国を一国として考える全国の一宮をご覧になって、現在お住まい土地に該当する令制国の一宮でお水を頂き、二宮、三宮と末宮・総社まで「宣言と水繋ぎ」をしながら、最後は自分の家を守る神に繋ぎます。

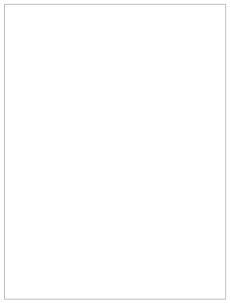
?神様から頂いたお水は、住んでいる家の一番近い神社へ繋ぎ、それを家の周りに撒いてから、家の中でお祀りすることで完了です。お知り合いや気になる場所へ撒いてあげることで、神水エネルギーをお分けする神役目も頂く事になります。

?国建て宮繋ぎが終わった方は、お名前・連絡先・宣言した国名を こちらへメールして下さい。一宮の写真も、ぜひご一緒にお送り下さい。国守りの宣言言葉は、神様に住所と名前を述べてから「私が〇〇〇国を守ります」と宣言して下さい。

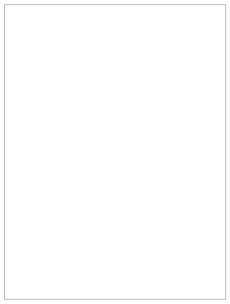
・・・

裏の巨石サークルでパワーを感じながら、自然界の共生エネルギーも頂きました。

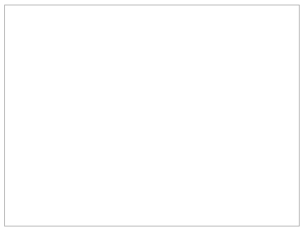




続いて、現在の千歳神社の神様をもともと守っていた恵比寿神社（苫小牧市字勇払）に御礼参り
。

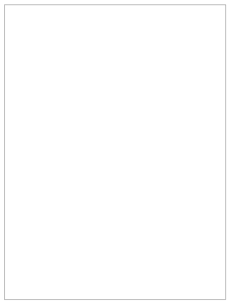


恵比寿神社の神様は、青いオーブとなってしっかり喜びの姿を見せてくれました。



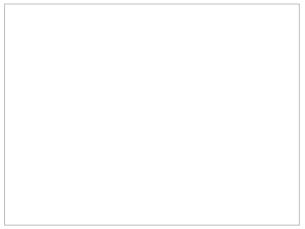
次は、胆振国を守る郷社の千歳神社です
。
ここまでの三か所を回った移動距離は、３３０ｋｍ。
本当に、北海道は広い！！

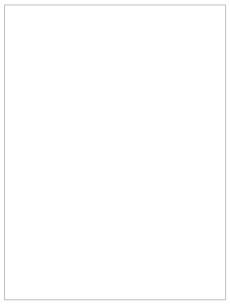
石段にたどり着いて見上げると、もう神様は待ってくれていました。

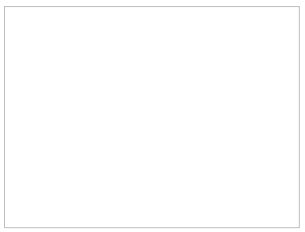




神様のお出迎えを受けながら、社殿に向かうと・・・・

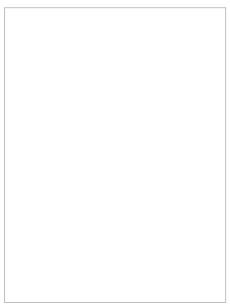






神様が、美しい光を使って喜びを表現してくれます。

さらに、突然、見せてくれた・・・・・・虹？？



これは、弓のように弧を描いている美しい彩雲です（＾＾）

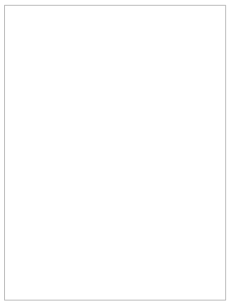
色も濃く、ここまでハッキリした彩雲は、私も初めて見ました。

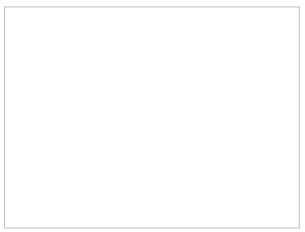
一緒に行った若夫妻は、地球や自然を守るために、自分のできることを一生懸命している素晴らしいご夫婦ですので、神様もお二人の行動と宣言を心から喜んでくれた証だと思います。

三人で国守りの宣言をしてから、私の大好きな「山神社」へ二人を連れて行きました。お迎えは

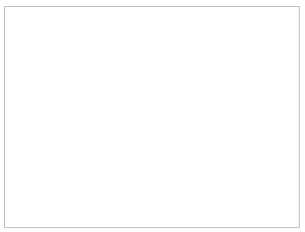
、この光。

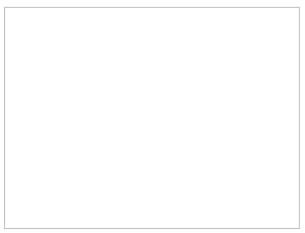
※私が山神社で大好きな場所は、鹿児島県　霧島神宮の裏にある山神社です

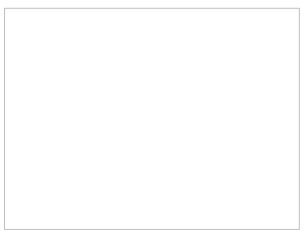




山神社の神様に祈り言葉を唱え終えると、ご神光がさらに強くなりました。





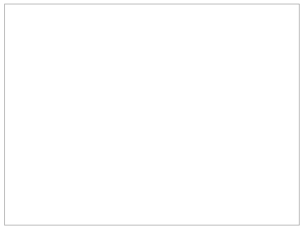


千歳神社に初めて来たという若夫婦は、必ず、来年のお祭りに参加しますと話しています。ご神水をたっぷり頂いてから御礼を述べて、もう一度、パチリ！神様はいつも光や雲で姿を見せてくれます！

※神々が見せる美しい姿は、自然界メッセージをご覧下さい。



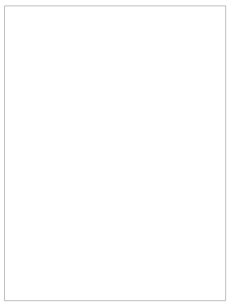
夕暮れがせまる時間、千歳から苫小牧へ戻り、郷社の樽前山神社へ繋ぎ祈りをしました。



樽前山神社の神殿内を写すと、珍しく神様が姿を見せてくれました。
きっと、嬉しかったのでしょうね！



そして現在、苫小牧・胆振国の土地を守る最大の神様が鎮座しているのが、個人宅の祭壇。
水を繋ぎ、神を繋いだ国守り宣言のご報告をしました。



家に戻ると、自宅の周りに頂いたご神水を撒きます。そして、家の中の神棚にその神水を祀って終了です。

このご神水は、ご縁ある方に分けたり、大切な土地に撒いてあげると、神エネルギー繋ぎになりますし、皆さんに福を撒く素敵な役目を頂いたことになります。

生まれた初めて、お寺や神社を回った若夫婦は、神や仏の意味をまたひとつ、深いところで感じたことでしょう。次の世代に繋がる歴史のお勉強の時間をありがとうございます（＾＾）
2009.10.01 Thu

気体（香り）の時代

◎東京地区　アカシックレコードアクセスセッション　あと１枠募集！
　１０月３１日（土）　１６：００～１７：００　の枠を受け付け中。
　場所：東京都千代田区　　※詳細はお申込み後

◎東京地区　楽健マッサージスクール　参加者募集中！
　１１月１日（日）　午後１時～午後５時
　場所：東京都新宿区白銀町　※詳細はお申込み後

上記のお申し込みは、 こちらへメールでご予約下さい。

∞　∞

本日は、最先端医療と科学のスペシャリストが教えてくれた最新情報をお知らせします。結論は、地球の集合意識が、「気体（香り）」の時代に入ったと覚えておいて下さい。

この地球上にある物質は全て、「光」から生まれた事は以前、説明しましたが、光の振動数を下げた順番に、光→音→香り→色→物質という順番に粒子の振動数は下がり、粒子は大きくなります。

目に見えている物質の世界を三次元とすると、色は四次元、香りは五次元、音は六次元以上のエネルギーだと言え変えられます。

20世紀から最先端科学や医療の世界では、肉体的治療と精神的治療の両面から病気を改善する方法を研究していました。

これまでの薬剤療法は、肉体に違う波動の物質を入れる事によってエネルギーを変化させる治療でしたが、ほとんどの場合、人間の身体は違うエネルギーの刺激を与えると順応しようとしますので、最初の薬が効かなくなるのは、当然の結果です。

身体の痛みを考えるとわかりやすいのは、ケガをした部分が痛むのではなく、痛みを脳が認識することによって痛いと感じますので、薬剤治療のほとんどは、脳に直接、薬を影響させて麻痺させることで痛みを緩和するよう作られています。

薬は時には必要だと思いますが、なるべく飲まない人たちの理由も、自然界から生まれた物ではないことを知っているからです。

最先端科学や医療の分野では、この脳の認識機能や身体の変化を調べていますが、20世紀末の段階で、物質が物資に影響を与える限界に気づいていました。

そこで生まれたのが、色彩心理学や音楽療法、アロマセラピー、ヒーリングなどの心理療法やエネルギー療法と呼ばれる新しい時代の治療法ですが、まだ人間の集合意識にばらつきがあり、一般の方が認識するような結果が出なかった為に、一部の方だけに広まっていました。

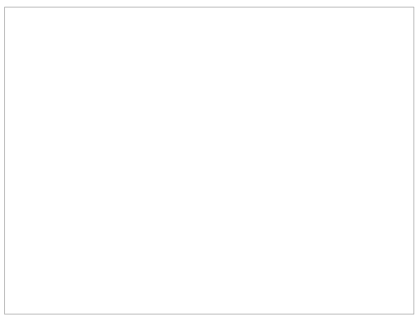
しかし、2009年9月9日の地球の大きなエネルギー転換によって、人間の集合意識は、香り（気体）の時代に入ったと宣言できます。

気体、つまり、香りなどの振動数の細かいものが、直接、人間の意識や身体を変えられるような時代になったという意味です。

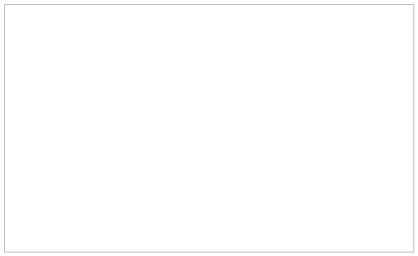
これからの肉体治療や精神的治療は、自然界にある物質、色、香りを１００％使用したものが、身体に一番効果的な時代になったということを覚えておいて下さい。

この分野の専門家が開発した商品を　ハートランド龍球　WEBSHOP　ではお取り扱いしています。

身体が突然、重く感じたり、邪気や人の気を受けやすい方、首や肩や腰のハリをいつも感じる方の為に開発された商品が、エッセンシャル　リラックスクリーム　と　エッセンシャル　リリースオイルです。即効性のある製品なので、使用している方のリピートがとても多い製品です。

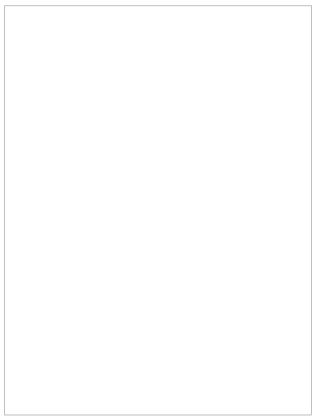


エッセンシャル　リラックスクリーム



エッセンシャル　リリースオイル

これからの乾燥時期の肌とエネルギー調整には、エッセンシャルアロマ　カラーオイルが、とても効果的ですので、ぜひお試しください。お勧めは、ローズエッセンスをタップリ配合したローズオイルがお勧めです。



2009.09.26 Sat

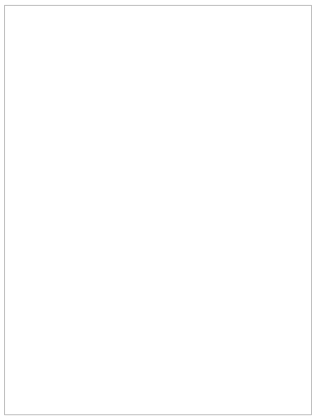
三保の松原

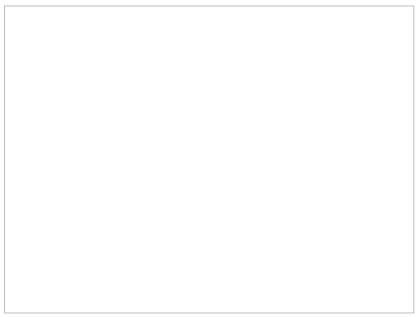
鎌倉の関東会議を終えた翌日、静岡県清水にある有名な「三保の松原」を地元の方に案内していただきました。「三保の松原」には、こんな天女伝説があります。

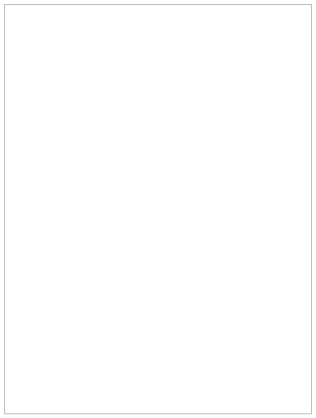
昔々のおはなし。三保の村に伯梁という漁師が住んでおりました。ある日のこと、伯梁が浜に出かけ、浦の景色を眺めておりました。ふと見れば、一本の松の枝に見たこともない美しい衣がかかっています。しかし、あたりに人影はありません。誰かの忘れ物だろうと、伯梁が衣を持ち帰ろうとしたそのとき、どこからともなく天女があらわれてこう言いました。『それは天人の羽衣。どうぞお返しください』ところが、それを聞いて伯梁はますます大喜び。『これは国の宝にしよう』とますます返す気配を見せません。

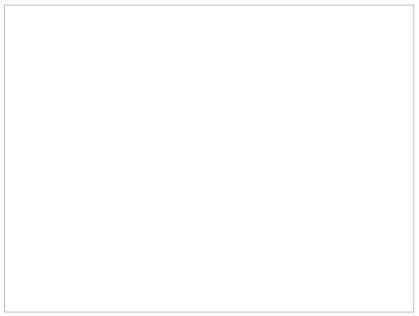
すると天女は『それがないと私は天に帰ることができないのです』とそう言ってしおしおと泣き始めます。さすがに伯梁も天女を哀れに思い、こう言いました。『では、天上の舞いを見せてくださるのならば、この衣はお返ししましょう』天女は喜んで三保の浦の春景色の中、霓裳羽衣の曲を奏し、返してもらった羽衣を身にまとって、月世界の舞いを披露しました。そして、ひとしきりの舞いのあと、天女は空高く、やがて天にのぼっていったといいます。頃は十五夜。それは月明かりが美しい宵のことでした。

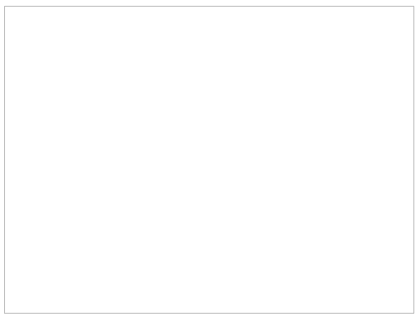
この有名な天女の松を守っているのが、御穂（三保）神社ですが、ご祭神や説明書きを読んでいると、昔は出雲の神の大国主尊（おおくにぬしのみこと）の奥さまを祀っている美保神社の神様をお連れしたことがわかります。











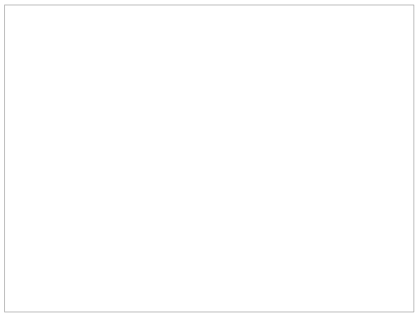
島根県の美保神社には2008年の沖縄出雲伊勢神事で訪れましたが、それまで見た事が無いくらい無数のピンクオーブ（神様）が写真に写ったのには驚かされました。それほどたくさんの神々が守る女性の神様ですから、当時、国津神として静岡の清水にご鎮座された意味はとても大きいと思います。

御穂神社の神様は、私のご挨拶をとても喜んで下さいました。沖縄と出雲と伊勢の神繋ぎをしていることが、理由だと思います。御穂神社のご挨拶を終えると、鳥居から海へまっすぐ伸びた「神の道」を進みます。

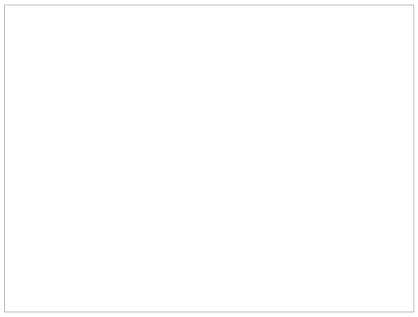
三保の松原の羽衣伝説と同じように、沖縄本島の「森の川」にも羽衣伝説は残っています。人間が嘘をつくことを覚えた罪をさいなむ伝説ですが、歴史に残る伝説の多くも、人間の愚かさ教え導く知恵として残っています。

清水の天女伝説も、相手から奪った物を素直に返さず、喜びをもらってから返すという人間の我欲と愚かさを伝説にしたものだと気づきます。

そんな事を考えながら神の道を進むと、丘の上に松林が見えてきました。一番、海側にあるのが、有名な天女の松です。



近づいて後ろ姿を見ると、その、さびしげな姿に驚きました。苦しそうにもがきながら「見ないで！」と言っているように感じとれます。



正面に小さな鳥居と祠を置いていますが、うまく守護神が働いていないようです。木に近づいて、富士山神事の水をご神水として繋ぎ、仲間と手を合わせました。木の神様は、何も言わず無言です。

祈りを終えて、木の表面を軽く叩いてみると、コンコンと音が木の中に響きます。これは木の中が空洞化している証拠です。二股に分かれた木の股を叩いても、空洞の音がします。残りの１本の木の半分だけが、やっと生きているとわかりました。

木は本来、とても知能があって、栄養分が足りなくなると、お互いの根を繋いで、栄養分を与え合う知恵を持っていますが、周りの松は元気なのに、この神様の木だけが枯れ始めているという事は、神のお知らせだと言えます。

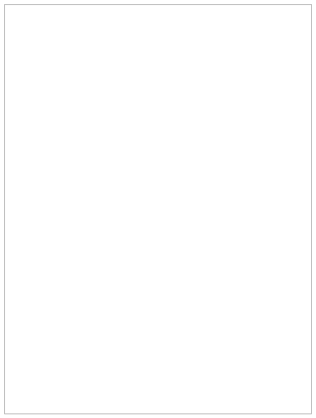
出雲の神は国津神なので、土着民族の神や土地神としての意味として御穂神社が守っていますが、天の繋がりを示す松が枯れると言う意味は、本来の天と地の繋がりが切れかかっていることを示しています。

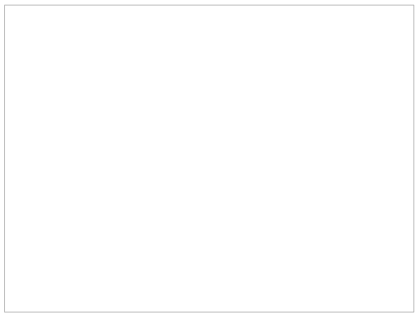
実際に、静岡生まれの女性の話では、昔はたくさんの水があちこちに湧いていたので清水と名が付き、その水を求めてたくさんの工場が集まったと話してくれました。しかし今は、ほとんどの池や湧き水を埋めてしまい、町の中の流れる巴川も、日本一汚い川と呼ばれていると話します。

砂地に立つ松は、それほど水を必要としないはずですが、神の神気や精気が無くなっている為に、このままでは枯れてしまうのは明白です。すぐにできる対策として、この松を守る気持ちのある地元の人たちが集まって、１００人祈りをするよう提案しました。

純粋な心で祈る人たちの祈りエネルギーは、育む愛を与えたり、神の力を大きくしたりすることができます。ぜひ、静岡近郊にお住まいの皆様、お力をお貸し下さい。祈りをする為の準備ができましたら、地球創世メルマガでご案内させて頂きます。

巴川の話が気になったので、川も見に行きました。巴川を守る水神社がある場所へ案内されて驚きました。



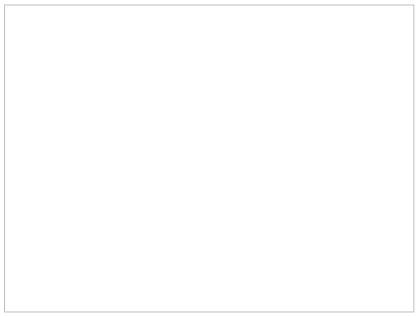


社殿は立派ですし、横に無人の社務所もありましたが、祈りをしようとすると、神の存在が感じられないのです。階段を上らないで下さいという立て札を無視して、中をそっと覗いてみると、そこは、ただの物置！

ご神体も御神鏡もないうえに、段ボール箱や物が雑然と積まれていました。唯一見つけたのが、家の神棚くらいの小さな祠がひとつだけありました。たぶんこの神棚が、最初の神様を祀ったものなのでしょうけれど、こんなに汚い場所に神様が鎮座できるはずもなく、地元の女性も見て驚いていました。

社殿の中には神様のエネルギーを感じませんが、どこかにいるのは感じましたので、祈りを始め

ると、「上に・・・上に・・・」と声が聞こえます。目を開けて上を見ても何もありませんが、後から写真を写してわかりました。神様が、うす青く写っていました。



水を守る神様は、こう教えてくれました。「川を守っていた龍が、逃げました」

あまりに人間が川を汚した為に、川の魂そのものである龍が川から離れたということは、川が死んだということになります。『千と千尋の神隠し』（せんとちひろのかみかくし）の映画を見た方はわかると思いますが、ドロドロの川の神様がお風呂に入ってきれいになると、真っ白な龍の姿で戻っていかれたのを。

人間の肉体にも魂が宿るように、自然界の生き物にも、全てに魂はあります。その自然界の魂を代表したものが、龍なのです。龍は、自然界の命を神や天に繋ぐ役目の魂だと覚えておいて下さい。

水が豊かだった静岡県清水の街も、これが今の現状です。土地を守ると宣言した彼女は、愕然としながらすぐに、するべき事行動を始めてくれています。今日は、知り合いと巴川の源泉を探しに行っているはずです。

今回の体験は、日本の今の姿を見せてくれたのだと思います。

私の街は、〇〇が有名！と宣伝して観光客を集める事には必死ですが、土地を守るはずの年長者や行政さえ、形ばかりのお祭りだけをしているところが多いのではないでしょうか？

ぜひ、自分の土地のお宮や川や池の現状がどうなっているのかご自分の目で見てきて下さい。

神社を守る神主も、本来は、土地を守る神様の番人ですので、土地の歴史を学び、知恵を子供たちへ繋ぐ教育者の役割があります。知り合いの神主さんと話すと、お金儲けばかりに気を使い、神心が無い神主が増えていると嘆いていらっしゃいました。

どんな人間も、この大地の上にしか生活できないのですから、自分の足元の大地を守らない人

間は、土地神から愛されことはなく、大切な物を失ってから気づく経験をすることになるでしょう。

自然災害のほとんどは、こういう人間たちの勝手な結果で起きていますので、私は自然災害は、天災ではなく、人災だといい続けます。

自然から奪った物を少しづつでもお返しする心が無い人たちは、大切なものを未来に何も残せないことを子供に伝えなければいけない時代が来ることでしょう。

あなたが住んでいる土地の現状を子供や他人に聞かれた時に、住んでいる人は知らないでは済みません。そこで何が起きても、全てが住んでいる人たちの責任なのです。大人はその責任を常に考えて行動する事を求められていることを思い出しましょう。

あなたの足元を知る事は、土地の歴史を学び、年長者から過去に住んだ人の生活実態を教わり、神や仏などの信仰の対象となった理由を学ぶことは、生きる上で人間が伝え残す大切な精神を学ぶことです。

「誰かがやってくれるだろう発想」の身勝手で無責任な大人たちの行動が変わらない限り、自然界の神々は、私たちに自然災害というメッセージを送り続けることになるでしょう。
2009.09.20 Sun

地球創世会議　in 鎌倉

地球や地域の為に何ができるのか、また、そのことを実践する人間として、自分はどうあるべきかを気づくために、9月14日～18日まで関東へ出かけました。今回の目的を理解して集まったのは富士山神事メンバーだけの第一回関東事務局会議となりましたが、鎌倉という素敵な土地に集まれた事に感謝します。

地球創世とは、地球を愛し、自然を愛し、許せない他人や自分を許し、素敵な人たちから学ぶ柔軟な心を育てることが、ひとつの条件といえますので、自分の今のあり方を見つめ直すためのセッションや心と体を互いに整えあうマッサージ方法など、素晴らしい時間を皆さんと過ごしました。

今回おこなったセッションは、魂の記憶データバンクから情報を読み取るアカシックレコードセッション＆ワークと楽健マッサージを行いましたが、それは単に過去の記憶を知るだけにとどまらず、過去の魂の経験から学んだことを今世に生かすために生まれた事を再確認する時間になりました。

鎌倉で皆さんと会合を持った日の夜、神様からメッセージを身体で受け取る出来事が起きました。まず地球創世関東会議が始まると、すぐに、左足がしびれ始めて、土地神様へご挨拶を忘れていた事を気づかされました。

身体の左半分は、ご先祖や土地神からのメッセージを受け取る受信機として働くよう身体は作られていますので、今回は、神事はしないと宣言していても霊媒体質の人間は、常にメッセージを受け取る必要性を再確認しました。

宿泊した部屋に集まった関東メンバーは、合宿所のように和気あいあいと夜遅くまで話しが続き、今後の活動目的を明確にして、スケジュールも大枠決まり、それぞれの地へ戻りました。そのあと、部屋に残った数名で話していると、ずっと右肩に感じていた痛みがさらに重くなります。

身体の右半分は、神や宇宙に繋がる受信機ですので、神も会合に参加していたのは当然ですが、メッセージを完全に受け取り終えないと、身体の辛さは永遠に抜けません。

神事をすると、常にこの状態が終わるまで続きますので、毎回のこととはいえ、身体が辛いのはたまりません。

祈りや神事をする人たち、また、他人の身体を癒す仕事をしている人は、常に自分の身体をメンテナンスすることがとても重要です。

なぜ右肩が重くなったのかを考えていると、ふと、富士山神事の参加者の一人が、自分一人で行った神事のことを思い出しました。それは、昔ながらの方法ですが、土地神の承認をとれる方法だと思い出したのです。

その話を静岡を守る宣言をした女性に説明していると、ふと、関東全体の土地守りの方法がわかりました。

あー、これをするといいんだ、このことを神が知らせたかったのだとわかったとたん、右肩の痛みがスーと抜けていきます。神が教えたかった自分の土地を守る方法は、地球や土地を本気で守ることを宣言されて登録している地球創世メルマガ登録者の皆様へ、後日、お知らせします。

私たちを守護している神々は、メッセージやビジョンを見せる以外に、このように身体に痛みを与えて伝える場合があることを覚えておいて下さい。人によって、カラ咳が長い間続いたり、肩や腰に痛みが続くなど、病院へ行っても治らない痛みを感じます。

沖縄には、こういう方たちの為に、ユタや神人（カミンチュウ）という職業の人が、神やご先祖の「お知らせ」を解読してくれますが、ユタや神人自身も、自分の守護存在を通じて教えてもらいますので、守護存在（ユタや神人）によって伝えるメッセージが違うことも覚えておいて下さい。

ユタや神人、また全国で活躍されているセラピストやヒーラー・スピリチュアルカウンセラーたちの守護存在がご先祖の場合は、人格神が集まる霊界や土地神を通じてメッセージを降ろしてくれます。

守護存在が、龍などの自然神の場合は、地球を取り巻く龍王神界までのメッセージを降ろすことができます。

守護存在が宇宙の場合、たくさんの星の記憶や宇宙カルマに影響を受けやすいので、話す内容が大きく違う場合がある事も覚えておいて下さい。

あなたの導きをしてくれる人が、住む土地や守る土地を愛していなかったり、土地神と繋がって居ない場合、単に、精神世界や宗教に依存したお遊びの時間ように、自我を満足させるだけの時間を過ごしている人たちが多いのは残念です。

自分が気づくべき大切なメッセージを伝えてくれるセラピストやヒーラーを選ぶ場合、その人が、自分以外の人や物事を否定しない人であることと、自分の体験やメッセージを全て公開できるかどうかで判断されるといいでしょう。

隠したい自我を持ちながら、メッセージを伝える人に、本当の愛は、まだ完成していないからです。

宗教の教えから学べる事もたくさんありますが、他者を一切否定せず、全てを受け入れて、自由に情報を公開しているかどうかで関わり方を考えるといいでしょう。

他者を非難したり、相手の自由を奪ったり、自分の信じることだけ正しいと言う人は、本当の愛や本質の知恵は持っていないと言えます。

さらに、そういう方たちからメッセージやアドバイスを頂くあなた自身は、自我の欲求を満たすだけでは済まない出来事が起きます。自分だけ満足する自我の心は、常に、他人とバランスを取れていないことを現実の中で見せ続けられることでしょう。

依存から愛は、生まれません。

他者批判から、愛は、生まれません。

自我を満足させることだけし続けると、実は、不幸の道へ進んでいることに気づいて下さい。

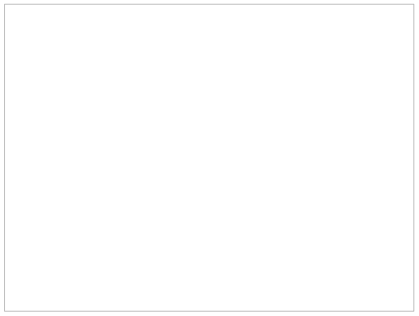
愛の本質は、誰かから与えられる一時的なものではなく、自分で誰かに与えてこそ感じる、心の内側から湧きだすものなのです。

「愛は自分の中にある」と、何度も繰り返し唱えてみて下さい。

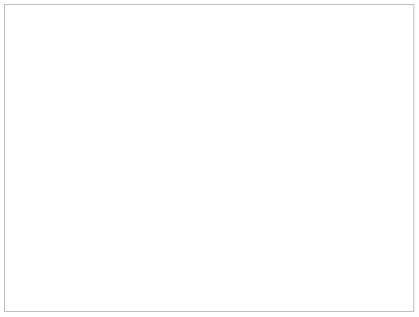
自分を本当に愛し、許すことができた人は、同じように他人を愛し、許すことができます。

神は、そのあなたを光へと導いてくれるのです。

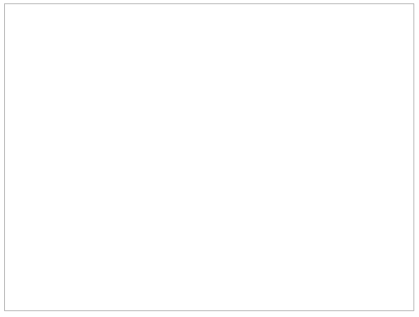
皆さんが神の守護と共にあるよう祈ります。



鶴岡八幡宮



鶴岡八幡宮



※鶴岡八幡宮のご神体を写すとこう写りました。

2009.09.19 Sat

9月9日の祈りメッセージ

９月９日　朝8：45～9：45まで１時間の祈りで見たビジョンを皆様へお伝えします。

まず、太陽の中から鳳凰（火の鳥）が出てきて、宇宙空間をゆっくり舞いながら、地球の内部に入ったあと、大きく羽根を広げて地球全体を包み込むように、その姿は地球と一体化しました。

次に、地球の内部から龍が出てきて宇宙空間へ飛び立ち、太陽の中に入ったあと、月の中にも入り、最後は、地球の内部へ戻りました。

地球を包み込んだ鳳凰は、背を伸ばすように天空へ身体を伸ばし、天空そのものと繋がりました。

そのあと、月の中から大きなひとつの卵が宇宙空間に産み出されました。その卵の白い表面には、まだら模様のような黒い部分が残ったまま、ゆっくりと地球の内部に入りました。

地球の核の中へ入った卵は、次第に大きく成長しながら、地球から天空へ向けて上昇する間に、表面の黒いブツブツも消え、真っ白な大きな卵に生まれ変わりました。

白い大きな卵は、強い大きな光を放ちながら、宇宙空間に停止したままの状態で止まっています。この卵の役目を尋ねると、「七次元を守る役目」と神が教えてくれました。

これから地球の三次元世界が、五次元にまでシフトアップしますので、五次元の地球を見守る為に、七次元からの光を放つ役目をするそうです。

鳳凰が太陽から出て、地球の核の中に入った意味は、新しい命を産みだし育みながら、そのエネルギーを天へと繋ぎ、新しく生まれ変わった地球を守る役目として鳳凰の役目がこれまでと変わったそうです。

龍が、太陽と月を突き抜けて、新しい地球に繋がった意味は、新しい地球のバランスを保つ為に、これまでの風・土・火・水に加えて太陽と月も、龍のエネルギーの一部になり、新しい守りの働きを果たすという意味だそうです。

このビジョンのあと、最後に見せてくれたビジョンは、天空まで繋がっている鳳凰の光エネルギ

一の身体のなかに、地球の内部から龍が鳳凰の身体と交わるように身体の中に入り、鳳凰と龍がひとつになって新しい身体となりました。

その顔は、龍と鳳凰の二つの顔を見せたり、ひとつの顔になる時があるそうです。新しい龍と鳳凰の一体化した身体は、龍の身体に金の羽根が大きく生えた姿だと考えて下さい。

※このビジョンの詳しい意味は、地球創世メールマガジンに登録された皆様へ後日、お伝えしていく予定です。

●最後に、宇宙の創造主からのメッセージを皆様へお伝えします。
「宇宙の意識や記憶を持つ全ての者たちへ」

あなたたちの記憶や意識は、あなただけのものではなく、たくさんの人々と同じ目的を持って、この地球に生まれています。だから、過去の記憶に囚われず、地球に生まれた大きな目的を思い出して下さい。

これから始まる新しい宇宙調和は、これまで与えられていた意識や目的・役目を変える為に、これまでにないスピードで、あなたの意識・記憶・想いを清算しながら、新しい気づきへと導きますので、どうぞ、困難だと思うような思いや出来事に囚われないで、自らの学びや気づきのスピードを上げて進んで下さい。

これまでよりもっと多くの素晴らしい人たちに出会う為に、あなたの為の気づきと経験が始まります。ありがとうございます。

地球創生　コーディネーター吉岡学
2009.09.13 Sun

富士山神事を終えたあとの神メッセージ

昨日の９月９日９時９分９秒の祈りで受け取ったメッセージを送って下さいました皆様、本当にありがとうございます。

お互いのメッセージをシェアする為に、私の見たビジョンやメッセージは、地球創世メーリング登録の皆様にお届けしました。どうぞ、新しいエネルギーの意味を正しく知り、早めに新しい流れに乗って未知なる未来を切り開いて下さいませ。

本日は遅ればせながら、７月１６日～２０日に行った富士山神事の直後、２０日の夜に降りた神メッセージを皆様へ公開致します。富士の神々や日本・地球を守る神々の代表メッセージとして受け止めて下さいませ。

富士山神事　神御礼

山つ神　降ろし　立てまつらむ事　感謝す

宇意玉のこと　知りし賜ひて

夢見のことごとく　想ひたむらむ

相視の八方祈り　みごとに完封
我　一国の主として御礼申す
祭り事　行ひ賜ひて人心知る

宇意我（ういが）
天心のごとく生かんとす心
神の御心と賜ひて計らむ

賜我点（ようがてん）
全ての心　ひとつとして学ばぬ所なし
大神天主

皆の心に感謝す

対たむらむ
一人として己が心に向きあわぬものなし
その心の目で　全ての人の神心見よ

それ我の心なり

神とありなむ
人とありなむ
それ全てが宇天の意志

神守るも　人守るも
共に同じく働く神
相見まどうな　　神そなたとありなむ

感謝

２００９年７月２０日

2009.09.10 Thu

2009年9月9日9時9分

2009年7月18日の富士山神事を終えて、これまでの６年間のエネルギー上昇が終わったことに気づきました。９月９日　朝8：45～9：45までの１時間の祈りで見たビジョンを皆様へお伝えします。

新しい地球のビジョン

太陽の中から鳳凰（火の鳥）が出てきて、宇宙空間をゆっくり舞いながら、地球の内部に入ったあと、大きく羽根を広げて地球全体を包み込むように、その姿は地球と一体化しました。

次に、地球の内部から龍が出てきて宇宙空間へ飛び立ち、太陽の中に入ったあと、月の中にも入り、最後は、地球の内部へ戻りました。地球を包み込んだ鳳凰は、背を伸ばすように天空へ身体を伸ばし、天空そのものと繋がりました。

そのあと、月の中から大きなひとつの卵が宇宙空間に産み出されました。その卵の白い表面には、まだら模様のような黒い部分が残ったまま、ゆっくりと地球の内部に入りました。

wall31.jpeg

地球の核の中へ入った卵は、次第に大きく成長しながら、地球から天空へ向けて上昇する間に、表面の黒いブツブツも消え、真っ白な大きな卵に生まれ変わりました。

白い大きな卵は、強い大きな光を放ちながら、宇宙空間に停止したままの状態で止まっています。この卵の役目を尋ねると「七次元を守る役目」と神が教えてくれました。

これから地球の三次元世界が五次元にまでシフトアップしますので、五次元の地球を見守る為に、七次元からの光を放つ役目をするそうです。

鳳凰が太陽から出て、地球の核の中に入った意味は、新しい命を産みだし育みながら、そのエネルギーを天へと繋ぎ、新しく生まれ変わった地球を守る役目として鳳凰の役目がこれまでと変わったそうです。

龍が、太陽と月を突き抜けて、新しい地球に繋がった意味は、新しい地球のバランスを保つ為に、これまでの風・土・火・水に加えて太陽と月も、龍のエネルギーの一部になり、新しい守りの働きを果たすという意味だそうです。

wall_uchu.jpg

このビジョンのあと、最後に見せてくれたビジョンは、天空まで繋がっている鳳凰の光エネルギーの身体のなかに、地球の内部から龍が鳳凰の身体と交わるように身体の中に入り、鳳凰と龍がひとつになって新しい身体となりました。

その顔は、龍と鳳凰の二つの顔を見せたり、ひとつの顔になる時があるそうです。新しい龍と鳳凰の一体化した身体は、龍の身体に金の羽根が大きく生えた姿だと考えて下さい。

「宇宙の意識や記憶を持つ全ての者たちへ」

あなたたちの記憶や意識は、あなただけのものではなく、たくさんの人々と同じ目的を持って、この地球に生まれています。だから、過去の記憶に囚われず、地球に生まれた大きな目的を思い出して下さい。

これから始まる新しい宇宙調和は、これまで与えられていた意識や目的・役目を変える為に、これまでにないスピードで、あなたの意識・記憶・想いを清算しながら、新しい気づきへと導きますので、どうぞ、困難だと思うような思いや出来事に囚われないで、自らの学びや気づきのスピードを上げて進んで下さい。

これまでよりもっと多くの素晴らしい人たちに出会う為に、あなたの為の気づきと経験が始まります。ありがとうございます

2009.09.09 Wed

2009年9月9日9時9分9秒

２００９年最大のエネルギー転換が、９月９日から始まることお伝えします。午前９時９分に合わせて全国へ向けて祈りを行いますので、皆様も、神我・真我に向き合う時間をお作り下さい。

９月のスピリチュアルカレンダーに降りた宇宙メッセージは、９月に

全ての表裏・陰陽のバランスが変わります

です。カレンダーをめくってから、その意味を何度も何度も自分に問いただし、本質の意味探りました。

今年の出来事を振り返ると、１月に誕生日を迎え、その時の啓示で、地域の精神性の主軸となる「長老会」が誕生し、「地域村第二分校」も苫小牧市に誕生しました。２月には、苫小牧の仲間たちと手作りで神式結婚式も行い、世代を超えた人の繋がりを深めることができました。

２００９年の神事は、２月沖縄本島の村建て神事から始まり、奄美諸島神事、夕張神事、天望山神事、伊良部島の龍宮神祭、そして、７月の富士山神事など、全国の仲間たちと素晴らしい神事もできました。

富士山神事を終えて祈り仲間へ伝えていることは、これまでの神事で体験した神エネルギーをグランディングしながら現実の中で実践するよう心がけて下さいと伝えています。

神エネルギーのように、目に見えないスピリチュアルな世界は、２０年ほど前から一般の宗教観と分けて「精神世界」と呼ばれるようになり、ユングやフロイトの心理学を超えた新しい精神の世界として大きくなり、ビジネスやスポーツの世界でも目的を成功する成功哲学と同じように学ばれるようになりました。

２０世紀末、この膨大化した精神世界のエネルギーは、西暦２０００年を境に、新たな意識のエネルギーに転換して、２０世紀までの宗教観、神意識、宇宙観、そして、現実世界の戦い・分離エネルギーを統合する「新しい神意識」へと成長変化しています。

１９９８年から精神世界の繁栄と衰退を横目で見ながら、２１世紀の新しい統合エネルギーを支える役目をしてきましたが、その役も今後、さらに変わると感じています。

宇宙計画の一部である「地球創世１０００年プロジェクト」をコーディネートする役として神我と対話してわかったことは、今後、魂本来の意味で意識が目覚めた人たちは、すぐに現実を変えたり、夢を実現する力があることを正しく理解する必要があるということです。

これは富士山神事によって、それほど大きな宇宙エネルギーが地球の内部で働いたということです。９月９日９時９分９秒は、地球の人間全てに合図を送るように、そのスイッチが入る瞬間だとお考え下さい。

９月９日に変わるエネルギーをわかりやすく例えると、まず太陽が出てから月が存在すると思っていた方が、月があるからこそ、太陽は存在できていると言い変わるほど、物事の優先順位や意味が大きく変わってきます。

今まで、裏社会の出来事だから自分には関係ないと見て見ぬふりをしてきた人たちも、好むと好まざるに関わらず、さまざまな事実が皆さんに情報公開されて、その責任を同じ人間の共同責任として問われる時代になります。

これまで表社会で上手くごまかしてきた人たちにとっては、化粧がはがれて素顔を見られるように、その人・会社・組織の実態が、社会に公開される時代になるという意味です。

このことを一人の人間に置き換えて表現すると、心の奥底に隠していて誰も知らないはずのダークな部分が、あからさまに他人にわかってしまい、それを指摘される時代になるくらい、お互いの見えない部分を隠すことができない時代が始まるということです。

だからこそ、人間として生まれた魂の役目を思いだし、自分の弱さを認めるように相手を非難せず、正直に、相手や社会の非から学ぶ生き方を歩むことをお勧めします。

今後の地球創世１０００年プロジェクトの活動は、より現実世界を蘇らせる為に、地球創世メールマガジンに登録している方たちを対象に、祈りと合わせて地球を救う・人々を救う・自然や環境を守る志のある方たちと一緒に、自分の地域で何をするのか話し合う活動に重点を置いていきます。

本名でお互いの名前を確認し、相手の言葉や態度から学びあう時間こそ、人間本来の成長が育まれる大切な時間だからです。

最後に、これまで高い意識を持っていると思われている人こそ、これから現実で何をするのか問われる時代になりますので、社会で起きる出来事をしっかり見据えながら、全ての望みを叶える神が自分自身だと気づいて行動で示す役目があることをお伝えしきます。

常に、自らの現実と意識のバランスは、思いの貸借、お金の貸借、物の貸借で学ばされる出来事が増えることになるでしょう。だからこそ、常に自らの心のバランスと現実のバランスを第一に考えて、新しい時代の変化の瞬間を９月９日にお迎え下さい。愛をこめて、皆さんの魂の成長を祈ります。

2009.09.06 Sun

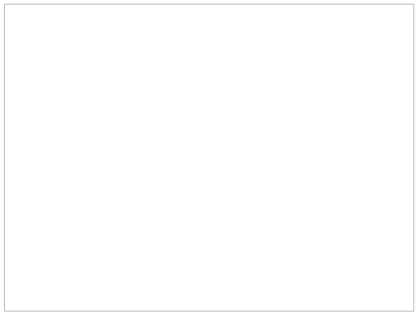
千歳神社のお祭り

９月２日、千歳神社のお祭りに行ってきました。今年６月に初めて足を運んだ神社ですが、守っている神様と人のバランスがとてもいい神社だと記憶にあったので、お祭りの様子を一度、見たかったからです。千歳神社の歴史はこちらをご覧ください。

神社のお祭りは、神職と氏子（うじこ）たちが色々な準備をして、その土地に住む皆様が家族と一緒に集まることで完成しますが、地方の神社として千歳神社は、異例なほど人が集まっていたのに驚きました。

まず出店の数が１００件近くは、出ていたと思います。さらに、札幌祭りが行われる中島公園の大イベントも全て出店していたほど盛大だったので、近隣の人たちや年長者がどれほどこの神社の精神性を守る為にご尽力されてきたかがわかりました。

人ごみをかき分けかき分け、やっと本殿に挨拶をしたあと、一番、挨拶をしたかった「山神社」を暗闇の中で探しました。お祭りのライトがあたりを昼間のように明るく照らしている中、山神社の場所だけは、光が当たらない暗闇の中にあります。昼間の写真は、こんな感じの小さな御宮が三つある神社です。



夜ですし、お祭りですから写真を写すと色々な物が映りますので、今回は写真は撮しませんでしたが、相変わらず、とてもりりしく神様が鎮座されていました。自然の神を祀ることは、人間が自然と共存することを子供たちへ伝える意味で、とても大切なことだと思います。

九州の霧島神社へ行った時に、本殿の後ろの林の中にある「山神社」を見つけた時には、人間がどれほど素晴らしい御宮を建ててもかなわないくらい素晴らしい自然の神々が集うエネルギーに満ち溢れていました。

神社や仏閣、また沖縄のウタキで行われるお祭りの意味は、その土地を守ってきた方たちに御礼を伝える最も大切な行事ですので、お近くの神社やお寺でお祭りがありましたら、ぜひ家族やお知り合いと足を運んでみて下さい。

沖縄の方は、今でもウタキ（ご先祖の聖地）や地元のお祭りをとても大切にしています。沖縄から全国各地へ出て行った子供たちも、わざわざ休みをとってお祭りの時期に戻ってくるほど、その行事の意味を年長者から教えられているおかげだと思います。

お祭りが無くなることを一番、悲しむのは、実は、神様です。お祭りを支える人たちは、老人や土地の実力者が多いものですが、その人たちを支える皆様の気持ちが無くなると、お祭りも無くなります。

子供の頃、年に一度の神社の出店が楽しみでしたが、年々、減り続けて最後は無くなりました。若い世代たちが居なくなった事に加えて、祭りを支える年長者たちが高齢化したためです。

数年前に、その事に気づいて田舎のお宮の神様にお詫びに行った記憶があります。神様は、おこごとを言うのではなく、「お前のそういう気持ちがうれしい」とお礼を言ってくれました。田舎を離れた人間だからこそ、自分にできるのは年に一度くらい、ご先祖様たちを守ってくれたお宮の神様に御礼を伝えに行く事だと思います。

これまで祈りで足を運んだ全国の聖地のある大きな神様が、「昔は、盛大にお祭りをしてくれて歌や踊りを舞ってくれたのに、最近は、それがないので私たち神々はとても寂しい」と悲しげに話されたことを思い出しました。

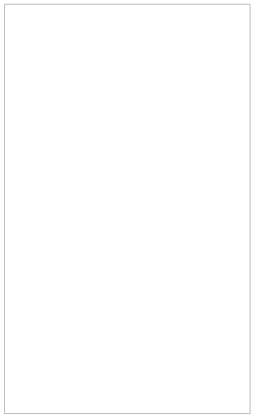
世界の民族の歴史や精神性を学ぶとき、このお祭りで歌われる歌や行事の意味がとても大切だとわかってから、時代の流れで形は変わっても、次の世代へ伝えべき精神性や意味を正しく知っている年長者の必要性を感じました。

私の大好きな伊良部島のユークイ（豊年祭）も、そういう素晴らしい大人たちが祭りの意味を教えて下さいました。日取りを決める村主（ソンシュ）が神の承認を得てから一般公開しますので、参加したい方は、１０月１９日以降に　ホテルてぃだの郷　のホームページで祭りの日取りを確認してから宿泊予約をして下さい。

９月３日・４日は、私の家の土地を守って下さる琴似神社のお祭りですので、今年もご挨拶に伺いました。自分の住む土地を守ると宣言した皆様は、どうぞ、お祭りを支えて下さる皆様にも御礼を伝えて下さい。

土地を愛する大人とは、次の世代へ引き継げる知恵や言葉を持っていて、その精神性を姿勢で見せられる人のことだと伊良部島で学びました。

お祭りは、神様や仏様に一緒に手を合わせることで、神仏やご先祖、また、年長者に対する心の教育もできる一番の方法だと思いますので、まず、言葉ではなく行動で示せる大人が増えてほしいと願っています。



2009.09.04 Fri

新しい統合

昨日の９月１日は、エネルギー的に新しい意識のスイッチが入る大切な日でしたが、その前日から身体に不調を感じた方も多いのではないかと思います。私も腰と背中のハリが急に強くなり、その強いエネルギーを身体で受けながら、神我と対話する時間をとりました。

２００３年から続いた宇宙エネルギーの上昇は、高次元意識につながる人たちの意識の目覚めをサポートする為に、宇宙根源神から送られていた愛のエネルギーですが、昨日の９月１日から動き出したエネルギーは土地、つまり地球の内部から出ているエネルギーだと感じました。

地球内部から出ているエネルギーとは、自分の住む土地を守る存在とつながりが強くなったという意味ですが、今回のエネルギー変化を身体で感じた方は、これまでの自分のルールに囚われない新しい行動をする必要があると思います。

私自身は昨日、朝６時に琴似神社へ出向き、伊良部島にある聖地なべ底の白龍の神様と、琴似神社の神様を虹の架け橋で繋ぐ祈りを行いました。この祈りは、沖縄の祈り仲間が地球創世メルマガの情報を読んだあとに降ろしたメッセージですが、自分自身も納得したので、昨日の大切な日に、その祈りを行いました。

祈りの帰り道、家の二階にある神棚を、一階の祈りの場所へ下ろす決意をしました。

神棚を１階の祈り場所にまとめた理由は、今年初めに、神様と仏様をまとめる大切さを教えてくれた啓示「仏神道」の教えがあったからですが、当時、神棚の神様に「１階のマスターと一緒にしましょうか？と尋ねると、「私は、ここでいい」と、気持ちがまだ合っていなかったのでそのままにしていました。

母から、お前は二男だし、先祖に手を合わす物が無いだろうからと、小さな仏様を頂いていましたので、その仏様も１階に降ろして、やっと「仏神道」が形で実践できたことに喜びを感じています。

仏心とは、沖縄の人たちのように先祖を大切にする心そのものですので、仏様の心をまず第一に考える意味合いから、一番上の棚に仏様を置いて、その下に、神棚を置くことにしました。

北海道の祈り仲間の中には、独身女性なのに長女だからと仏壇を守る役目をしている方もいますが、彼女は、仏壇の上に神棚を置いて「仏神道」を実践しています。

場所を変えたり、形を変える事は、心を形に表す意味で大切なことですので、粗末にできない大切にするものをお持ちの方は、ぜひ、その場所を統合することを検討してみて下さい。

人間として普通に生きる日々の姿こそ、「神仏の心そのもの」だと気づかせてくれた「仏神道」の啓示は、神仏分離と神仏習合で混乱し傷ついた日本人の心を、調和させる新しい方法だと思います。

この仏神道で「教義」を唱えない理由も、すでに、日本人の魂は全ての学びを終えていると私自身が判断しているからです。

神仏の道具の扱い方は、家族が亡くなったあとの信仰の違いによる仏壇やお墓や神棚の扱い方で悩まれている方たちからたくさん相談を受けましたが、宗派の違いを超えて、日本人本来の信仰思想に基づいた神仏の扱い方をご指導してきました。

今の日本の家庭に「家長制度」が無くなったとはいえ、御霊を見守る役目は、やはり、生まれた順番と男女の役割から物事を判断するべきだと私は思います。生まれる順番や男女は、自分たちで決められない事だからこそ、神仏が決めた役割であると感じているからです。

住宅事情や親族の付き合い方、さらに、家族が別々に暮らすようになったうえに信仰の違いも加わり、信仰の対象となる道具や場所の扱い方が難しい時代になってきています。

さらに急速な少子化が進み、引き継ぐ子供がいない人たちが増えている日本だからこそ、物や形に囚われずに、昔の人たちが守った大切な精神性を未来を繋ぐ方法を考える必要があると感じます。

宗教思想と経済闘争で起きている戦争や、信仰心の違いによって起きる人間同士の争いも、全ては、大人たちが自分のルール（心の壁）を越えられないことによって、相手を非難しているとしか、子供たちは見ていません。

宗派に囚われないで相手との違いを受け入れられる確固たる自分の信仰心は、人を信じる心の「根っこ」を育てる大切な心ですので、大人たち自身が自分のこだわっている宗派に囚われ

ずに、他の宗派を認める心を示す必要性を改めて感じています。

自らの信仰のみが正しいと、他者を非難してきた人たちは、今後、その発言と思想を神仏に問われる事になるでしょう。もう、世界の全ての神々たちも、仏の世界の存在たちも、過去に祀られた全ての神たちでさえ、宇宙の神の名のもとに、地球を守る為の統合を宣言しています。

どうぞ、あなたが信じている対象を愛するがごとく、周りの人たちの信仰の違いを認めて、その違いを超えた大きな愛を実践する姿を子供たちに見せてあげて下さい。

まだ心の成長が伴っていない非難する人たちの言葉に腹を立てずに、その人たちの未来を信じながら、新しい道を示す心の広い大人たちが増えることを願っています。
2009.09.02 Wed

民主党政権

２００９年８月３１日、民主党が衆議院選挙で450議席中、308議席という圧倒的多数で単独政権が誕生しました。

これは、民主党支持者が増えたというよりも、これまで国を動かしていた自民党に対して、国民が初めて自民党否定を態度で示した結果だと言えるでしょう。

この政権交代が、私たちの生活にどう影響してくるかを考える要素として、少しだけ日本の政治の歴史を振り返りたいと思います。

現在の民主党は、旧社会党の右派と旧民主党を中心とした形で結党しましたが、自民党以外が政権をとった時代は、過去にもあります。

皆さんも知っておくべき大切な知識として、

１９４５年の第二次大戦の敗戦後、１９４７年（昭和２２年）の日本国憲法制定まで、大日本帝国憲法という強制的な憲法は、一部の独裁的政治家と経営者の利潤優先で日本国は動かされていました。

現在、私たちが人間的な生活を法律で守られて生活できるようになったのも、この日本国憲法の制定が大きな要因ですが、この１９４７年は、それまでの自民党政権を引きずり下ろした社会党・民主党・国民協同党の連立内閣が誕生しています。

この時、同時に制定された法律として、「労働三法」と呼ばれる労働者の権利を守る法律が作られました。

労働三法とは、労働基準法・労働組合法・労働関係調整法のことですが、現在、会社にお勤めしている方たちの個人の権利も、この法律制定前までは、まったく無いた時代があったことを覚えておいて下さい。

政治家は常に、時代に合わせイデオロギーを微妙に変更しながら、自らの主張を繰り返していますが、今回の選挙で国民は、政治や経済は、私たち国民の責任で選択することを決めたと言えるでしょう。

「中央主権から地域主権への委譲」を掲げながら、山村部と都市部の生活格差はさらに広がり、その結果、人のつながりも薄れ、精神的な病気や独居老人は、増え続けています。

個人家庭の家計簿経済と日本国家の社会的経済は、常に、別な視点で動かされてきた結果が、現在の日本の経済問題をここまで複雑にした原因だと考えられます。

２０年前、サラリーマンをしながら政治や経済について正しく知りたいと思い、色々な社会活動をした経験は、経済と政治の裏表を学ぶ大切な時間になりました。

物事の裏表のしくみを正しく理解していない場合、一方的な個人主張によって、他の誰かを傷つけたり非難している事さえ気づけないからです。

「無知は罪である」

と、神様が教えてくれた意味も、人間の愚かさを説いた視点からの教えだと思います。

最近の政治や政局は、マスコミが流した情報を国民がどう反応するか見てから、言葉を変える時代になってしまいましたが、実は、その国民の意見と主張している内容も、あるマスコミが流した情報に反応したものであることを踏まえて考えなければいけません。

私たち日本国民は、これから自分の言葉や行動に対し、さらに責任を持たなければいけない時代になったことを改めて痛感しています。それが、今回の民主党を選択した私たち国民の結果責任です。

今、一番大切なことは、村や町や市単位で、自分の発言に責任をもって行動する人間がどれくらい居るのかをよく見る事が大切です。自治会や町会の役員さえ、今回の自民党の大敗は大きな問題になっています。

地域の町議会議員や市議会議員、また都道府県議会議員こそ、派閥政党の力を十分に使って自らを守ってきた人たちだからです。

私たち日本国民がこれから問うのは、所属政党の違いではなく、どの人の主張を支持するのか、応援するのかを一人一人もお互いに問われる時代になったということです。

８月のスピリチュアルカレンダーのメッセージは、「未来を創る新しい”うねり”が始まります」でした。

富士山神事のあとの天変地異の動きもそうですが、今回の衆議院選挙も、同じ意味のメッセージだと感じています。

衆議院の任期４年の間に、政治家や国に依存してきた考え方から脱却して、自分たちの住む土地の経済や生活ををどう自分たちで蘇らせるか考えなければいけない時代になったのです。

まだ、「民主党になれば、何とかなるだろう」と考える方がいるとしたら、それはこれまでの自民党と同じ結果を生み出す無責任な結末を迎えることになるでしょう。

「依存からの脱却」

自立した考え方ができる大人が集まるからこそ、本当の意味で、地域を支える社会は生まれます。

政党がどう変わって、すぐに国民の生活は楽にはなりません。現実を一気に変えられないくらい、日本の国運営は、実は官僚にゆだねられてきたからです。

政治家にできるることは、方向性を見出すこと、そして、法律を立法することです。それまでには、時間がかかると思っておいて下さい。

だからこそ今、私たちが問われているのは、「あなたはどうしたいですか？」です。

そして、あなたはその為に何をするのか問われているとお考えて下さい。

あなたの意志を明確にすることによって、大きな意見となり、地域の政治家や実力者たちを動かす時代になったのです。

本来、政治家は、私たち地域の住人代表として意見を述べる立場にあります。あなたの周りにいる村会議員、町

会議員、市議会議員が、本当にそうなのかを今一度、見直して下さい。

現在のリーダーが違うと思うなら、新しいリーダーを皆さんの手で育てましょう。

ＮＰＯの活動をしている方やボランティアを永年、されている方もたくさんいますし、地域活動を真剣に考えて活動している方もたくさんいらっしゃいます。

今こそ、個人一人一人の活動に目を向ける時代だと思います。そして、この言葉を政権交代が決まった今日、皆さんに贈ります。

宗教家や政治家や経済人が、日本を変えるのではありません。

日本を変えるために、
変わらなければいけないのは、
私たち国民の一人一人なのです

2009.08.31 Mon

感じる力

予知能力や霊視・透視の力が三次元の概念を超えて、違う次元に繋がる力である事をご説明しましたが、この特別と思われている力に似たパワーを、皆さんもお持ちなのをお気づきでしょうか？

それが、人間に備わっている「感じる」という能力です。

今日、お話する「感じる力」は、何かを触って五感で認識した情報のことではなく、触らなくても、その場に居たり、見ているだけで感じる感覚的能力を説明します。

「感じる力」の代表的な例は、初対面の人に感じる感覚でしょう。顔は笑っているのに、どうも、うさん臭い、恐ろしいことを考えている人は、すぐに相手から何かを感じとれます。どこからその情報を得ているかというと、身体全体の「気」のエネルギーを互いに交換しあって感じているのです。

この身体で感じる「気」は、「水からの伝言」の江本勝さんも言われるように、あなたが言葉にしていなくても、常時、自分の身体から周りの人へ発して伝えているエネルギー情報のことです。

同じ場所に一緒にいる時間が長い家族が同じ考え方や性格になるのも、お互いの「気」が大きく影響しています。もめごとの多い家族は、常にこのマイナス想念をお互いに出し合っていることに気づいていないので、家族カルマから抜け出せません。

ちゃんと子育てしてきたはずなのに、思ってもいなかった結果になったと嘆く親御さんに教える事は・・・

「子供たちは、教わった言葉を覚えている訳ではないのです。あなたの口にしていない心の言葉を身体で感じて、どう生きるかを決めているのです」とお話しします。

あなたの周りにある全ての物質や自然界からも、人間と同じ「気」は出ています。

これまで祈りで出会った方と面白い経験をご紹介します。一緒に神様の場所へ行って祈りを始めると、身体が無意識に揺れる人たちがいました。本人も、なぜ揺れているかはわかっていませんでした。

祈りを終えて食事をしている時に、私が神様の話をすると同じように揺れているのを見た時は、とても興味深い体験でした。

それは、人が何かを思って話をすると、思った場所やイメージのエネルギーが、すぐに相手の身体に影響を与える体験だったからです。この体験でわかったことは、自分が普段、想像したり考えた内容は、言葉にしていなくても他人に影響している気づきましたので、自分の想念管理に気をつけるようになりました。

人間はもともと動物ですから、「気配」や「雰囲気」を無意識に感じる本能力が備わっています。この本能力は、進化の過程で身を守るために経験し学習してきた記憶の潜在的能力です。

この本能力は、周りの「気」や雰囲気を感じとって、自分が今、どう動けばいいのか、その場所が有害か無害か、危険があるか無いかを瞬時に判断する大切な感覚です。

動物は本能的に、「生きる」事に全ての神経を集中して過ごします。常に自分にとって危険がある無いかを判断することが、自分や家族の命を守る事に直接、つながっているからです。

人間が進化した大きな理由に、自分や家族の危険だけを考えて生きる動物的本能から、家族以外の人たちと一緒に守るべき危険をどう回避するかを集団で考えて改善する能力と、そのチャンスが与えられています。

永年、同じ場所や会社や人と一緒に生活し続けられるのは、そこが自分にとって安全だと感じているからですが、絶対に安全だと思う状況の中に居続けると、本能力は確実に鈍くなってきます。

預言者のような危険を予知する能力も、実は、安全に対する意識を持ち続けている人たちが感じる大きな集合意識の本能力なのです。

人間が恐怖を感じる理由は、自分が安全だと思っていたことを壊される！と思った瞬間ですので、今、自分が普通に生活している事が、本当に今後も安全かかどうかを考える事も大切です。

大切な「本能力」を身につけたい方、また、もっと感じる力を大きくしたいと思う方は、まず、周りから入る情報を減らず事から始めてみて下さい。テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍・イ

ンターネットＮＥＷＳなど、一方的に入ってくる情報を管理して、見たい時以外は、見ないように心掛ける事です。

そして毎日、出会う人との会話にも意識を傾けて下さい。人が喜ぶ話をしているか、明るく元気なエネルギーを発している方だけに逢う事を心がけることが大切です。

愚痴や言い訳、人の非難や中傷、そして、他人のせいにして話をする人と一緒にいると、自分の心も次第にその人と同じ様に考える心になってしまいます。

病気も気の病いだからこそ、「氣」という文字にこだわって生き方や考え方教える素晴らしいお医者さんもいます。最近のヒットは、オポノポノ　という言葉でしょう。

もうひとつ気をつける事は、自分が正しいと思い込んでいる情報に対して、本当に大丈夫？と問いかけてみることです。

肉や野菜や牛乳などの食品の安全性が問われる時代になりましたが、原料生産者から自分の手元まで届く間に、何が起きているかを知らないことはとても危険だと思ってみる事も必要です。

高価な物が、全て安全とは言えません。反対に、安価なものが全て危険とも言えません。安全性と経済は、別な価値基準で決められているからです。

この会社で働いていて大丈夫？

この亭主（奥さん）で大丈夫？

こんな私で大丈夫？

あなたの未来は、あなたの選択で常に変える事ができます。他人を変える事はできないからこそ、常に、前向きな自分に変化する努力をして日々、過ごしましょう。

良い情報を見つける力、よい人に出会う力、明るい未来を創造する素敵な自分になる為にも、目に見えない大切な「氣」を感じる力をアップさせましょう！
2009.08.29 Sat

予知能力

関東にお住まいの方から、８６年前の９月１日に起きた関東大震災の慰霊の祈りをすると連絡が頂きましたので、皆様にお知らせ致します。関東方面でお時間がある方はどうぞご参加下さい。 日時：　8月30（日）午前１１：５８頃
場所：　両国・東京都慰霊堂

関東大震災のことを少し調べてみると・・・

大正**12**年（**1923**年）**9**月**1**日**11**時**58**分、相模湾海底で地震発生。地震の規模が大きいのに比例し、異常も数ヶ月前から各方面で発生。

相模灘海底で数**10**～**300m**もの隆起および陥没が発見されたが、これは地震時に生じたのではなく、地震前に生じていたらしい。三浦半島、房総半島では住民が「年々浜が減少していく」と述べていた。

地震の予兆を科学的に調べている方たちが八ヶ岳の近くに居ることは聞いていましたが、こちらの資料は参考になると思いますのでご紹介しておきます。

●関東大震災等で発生した前兆現象

人間には、生まれた時から備わっている能力として「身体で感じる」能力がいくつもありますが、その能力の中に小動物と同じ「危険を察知する予知能力」を大人になっても持っている方がいらっしゃいます。

予知能力のある方は、ビジョンや夢で未来に起きるシーンを先に知り、皆さんへ伝える役目がありますが、感じる能力が弱くなった方が多いために、人に否定されたり辛い経験をした方も多くいます。

予知能力がある方によくお話しするのは、「本人が見たビジョンが事実かどうかよりも、そのビジョンをどう周りの人に伝えるかのほうが大切なので、皆さんの不安をあおるのではなく、どうすればいいのかを教えてあげて下さい」とお願いしています。

理由は皆さんが、予知情報を正しく受けれる心構えができていないからです。

予知する能力が人間にあるかないかで議論している方は、その対処を学ぶことはできないでしょう。予知能力を否定することは、地震の前に逃げだすネズミたちよりも、人間の能力が劣って

いると認めたようなものです。

人間は地球上ではとても進化した動物です、でも最高レベルではありません。イルカやクジラや象たちのほうが、ずっと尊い精神性を持っていることは、地球交響曲ガイアシンフォニーの映画を見ればすぐにわかります。

現在、地球交響曲第七番の制作をしているようですので、共に奏でる仲間の協賛金のご案内も届きました。

近年、世界中の出来事を予知する外国の方が有名になりましたが、その方と直接、話した方が教えてくれたのは、唯一、予知が外れる確率が高い国が日本だと話していたそうです。

理由は、日本人の「思う力と祈る力」がとても強いことを理由にあげたそうです。

日本でも明治時代には、強力な予知能力によって未来に起きる出来事を伝えた「出口ナオ」さんが有名ですが、彼女の人生は、マスコミにもてはやされた後、さげすまれ、人間関係で苦しんだとても辛い人生を経験しています。

その後、その神意思を引き継いだのが、「出口王仁三郎（でぐちおにさぶろう）」です。大本教の教義を改めて宗教体系を整えた立役者でもあります。

その前後にも、日本にはとても強い予知能力を持つ人たちがいましたが、常に、目に見えない事を信じない方たちからの攻撃で、その人生は辛く苦しい経験をしています。

昭和の時代になっても、実はたくさんの予知や啓示を受けた人たちがいましたが、感じる能力を忘れた人たちや目に見えない物を信じない人たちを避けるようにマスコミに出る事もないので、その事実を知る人は少ないでしょう。

予知能力のある方は、その人の魂の役目としてその能力を授かっていますので、修行して得られるものではありません。突然、全く知識に無い言葉や名前が出てきたり、想像したくもない悲劇を実際に自分の感覚で感じる経験をするのです。

悲劇の映像を見たくない感じたくないと拒否しても、自分の意思とは全く関係なく、ビジョンは

昼夜を問わず見せ続けられます。毎日毎日、そんな映像を見せられていると、正常な生活もできなくなるほど、精神的にボロボロな状態になることは理解できるでしょう。

私自身がそうだったように、これまでもたくさん同じような経験をした人にお会いしました。

だからこそ、皆さんへお伝えしたい事は、予知が当たったか、外れたかが問題ではなく、予知の情報をあなたが対処する方法かを学んだかどうかが、一番、大切だど覚えておいて下さい。

予知情報を出す人間本人が、混乱や破壊を望んでいるのではありません。警告として、先に、情報を知らされているだけなのです。

心構えがあれば対処もスムーズにできますが、考えてもいない出来事が起きると、ほとんどの人はパニックになるものです。その混乱を避ける為に、早めに情報をお知らせしているのが予知情報を受け取る方たちの役目だと考えて下さい。

当然、災害や災いの予知ならば、当たらない事が一番、良いのです。でも、当たらないからといって、予知情報を出した人を責めないようにお願いします。願いは、皆さんと同じなのです。

予知情報を受け取る人、予知情報を受けて災いが起きないように神事で治める祈りをする人、予知情報をたくさんの人に伝える人、予知情報を知って心構えを変える人たち・・・・

あなたがもし、結果だけを見て物事を判断するような人間だとしたら、人間が生まれて死ぬ意味をまだ正しく学んではいない事になります。

この人生で起きるひとつひとつの結果は、あくまでひとつのシーンにすぎません。そのシーンから学び、対策を考えたり、行動を変えたり、習慣を変える能力が人間には備わっています。

その能力の事を「生きる知恵」として、オジーやオバーたちが教え伝えていたのも、つい、数十年前までは普通のことでした。その「生きる知恵」を伝承することで、生きる事の大切さを年長者から学ぶことこそ、これからの時代に最も大切だと思っています。

テレビやラジオで流されている情報は、出来事の結果ばかりを繰り返し流していますので、見続けていると、未来に対して思考する能力が低下します。

自分はどうするべきかを「自分で考える力」が、現代の人には足りないという人もいます。でもそういく時代にしたのも大人たちの責任ですので、一緒に考えて一緒に未来を変える行動を始め

ましょう！

2009.08.28 Fri

時間の加速

「思いが実現する」

この体験を書いた各種の本がたくさん売れているほど、自分の思った事をどんどん実現している人たちが増えています。しかし、なぜ個人で勝手に思った事が実現するような時代になってきたのでしょうか？

今日は、その理由を説明します。

その前にまず、「地球を守る」という意味を理解している前提でお話しを進めますので、まだ自分の事しか考えられない方は、読まないほうがいいでしょう。これから話す真実の情報は、「個」を掴んでいる方にとって、さらに意識を混乱させて苦しくなるからです。

では、本題に入ります。思いが実現するようになった理由として、

まず第一に、人間の存在理由と関係があります。

第二に、人間全体の使命に関係しています。

第三に、人間の存在価値が問われていることにも繋がっています。

まず理解して頂きたい事は、「時間」という概念は、宇宙の時間軸、つまり次元ごとに、大きくその幅（エネルギー）が違うということです。

一部の方が混乱して騒いでいるマヤ暦が終わる2012年の意味は、この地球を守るために働いていた守護エネルギーの意識時間軸が、新しいエネルギーの時間軸に変わるという、変化のタイミングを知らせているだけですからご安心下さい。

宇宙の時間軸、つまり、意識が繋がる次元は、無限とも言える段階の時間の流れが常に宇宙には存在しています。

神様の世界の時間と人間の世界の時間を比べた話として、現世の1年が神世の1日だと言う話もありますし、現世の500年が仏の世界の1年であると教えている方もいます。

この話は、比べる尺度が違っていても、私たち人間が普段、生活している時間の概念以外に、宇宙にはもっと多くの時間の流れがあることを理解した人たちがいた事を示す話です。

次に、人間が勝手に考える無意識の世界や想像の世界にも、三次元ではない時間の流れがあることを思い出して下さい。

生活の中で、ふと思う時がそうです。夢の中で、見る夢の時間もそうです。

そこには、この現世のような時間という概念がありません。

この三次元の時間軸から離れた時、過去へ戻ったり、未来へ行ったり、全然知らない場所へ移動したりすることがあります。この過去や未来へ移動することを意識的に行える力を持っている人の事を霊視や透視の力がある人と呼びます。

夢の中で突然、ある風景やシーンを見たり、昔の知り合いと一緒にどこかにいる映像が出たり、知らない場所で知らない人たちが何かを話している夢を見たり・・・・・。

こういう意味不明な夢さえ、とても重要な意味を持っていることがありますので、意味がわからなくてもあなたにアクセスしている相手がいることは覚えておいて下さい。

昔から「女性は勘が働く」と言われるように、目の前に居ない家族の事を突然、映像で見たり、声が聞こえたりする瞬間も同じ状態です。

こういう日常の中で起きているワンシーンが、現世の時間軸を超えて、違うところに意識がつながった瞬間なのです。

最近、現実生活を普通に生活している人たちも、突然、夢を見るように違う世界の映像を一瞬で見る人がとても増えています。

そういう時、周りの人に話しても信じてもらえないからこそ、夢やビジョンの意味を紐解きする仕事をする方が昔からいます。

なぜ夢やビジョンを見る方が最近、増えているかと言うと、肉体を持って体験している現実世界の目的以外に、魂の目的を果たすようにあなたを守護している存在がいることが理由です。

その存在のことを昔から守護霊や守護存在と呼んだり、天使や神様だという人もいますが、名称は何でも構いませんが、そのビジョンやメッセージの意味を正しく理解することが大切です。

どこの誰が、どういう目的で伝えてきたのかを正しく判断できない場合、勝手な思いこみや自分の願望が無意識がに見せた映像だと気づかずに、違う意味に思いこんだ行動をする方を多く見てきたからです。

私たち人間以外に、確かに見えない存在たちはあなたの周りにも、宇宙にもたくさん存在していますが、人間に近い存在ほど、情や思いに囚われた人間臭いメッセージを伝える事がある事も覚えておいて下さい。

・・・・？？？？？

・・・・・・・？？？？？？？

・・・・・・・

大きな地球の意思

2009年7月19日の富士山神事以降から始まった新しい地球のエネルギーの流れは、ここ最近の地震や天災による自然界全体の動きをメッセージとして受け止める必要があります。言い換えると、それが地球の意思だととらえる必要があるという意味です。

富士山神事の前後に山の遭難事故があったり、集中豪雨や地震が起きたのも、大きなメッセージであることは、地球を守ると宣言された地球創生メルマガ登録者にお伝えしていますが、もっと多くの皆さんの意識が変わることを神は望んでいます。

先ほど、久しぶりに「地球そのもの」と対話し、この時期に私たち人間が何を気づかなければいけないか尋ねてみました。答えは、

「それは、あなたたち次第です」

と答えてくれました。この地球をどうしたいのか、その意思を明確に示して下さいと言っています。

また、宇宙全てを創造したマスターにも同じ質問をすると、私たちの意思であなたたち人間を誕生させたのですから、あなたたちの意思を守りますとお話し下さいました。

こういうメッセージを受け取る理由は、私たちがこれまで行ってきた神事で向き合った神々に対し、この地球は人間が守ると宣言し続けてきたことも要因だと感じています。

人間の代表としてこう宣言しなければいけなかった理由は、地球外生命体の動きをご存じの方ならわかると思いますので、ここでは説明を省きます。

この地球に人間が誕生するずっと以前は、新しく生まれた星を育くむ役目として、宇宙の彼方から大きな存在たちがやってきました。その存在たちは、地球自体を包み込むほどの大きなエネルギー体として、ひとつの生命体が生まれるまで私たちの住むこの星を育ててくれました。

ひとつの星が誕生する過程は、宇宙の彼方で爆発した星のかけらが集まり、回転しながら大きな塊（かたまり）となって星が誕生します。この宇宙空間で目に見えない回転するエネルギーこそ、宇宙を産み出した大きな存在の意思であり、それは「宇宙の原初エネルギー」と呼びます。

大きな塊となった星に生命が誕生するかどうかも、宇宙のおおもとの意思ですから、星を育み育てる存在がいたおかげで、バクテリアのレベルから人間まで進化してきた事実を覚えておいて下さい。

「人間」という生物が地球に誕生した理由はいくつもありますが、大きな理由のひとつに、宇宙全体が新しい調和を望んだ事がもっとも大きな原因です。

宇宙全体に意思はあるのですか？と質問されるなら、

「当然、あります」と答えられます。

ひとつひとつの星にも意思はありますし、その星に存在する石も草木にも、意思はあります。

地球では、その自然界の意思の事を昔から「神や精霊」と呼んでいます。

人間と人間以外の生命体の違いは、人間以外の生命体には「我」という個の感情や概念が無い事です。それも人間という生物を誕生させた目的であり、進化として捉えることはできますが、この「個」の概念は今、地球だけではなく、宇宙全体から問われるほど、重要な問題になっています。

人間はもともと動物というジャンルに区分けされているように本能的思考が強い動物ですから、大きな自然界の流れに逆らうような行為はしないように、潜在意識にはインプットされている動物です。

自然界で空を飛ぶ鳥が、餌を全て食べつくしたり、ライオンが草原の動物を食いつくしたり、大きな魚が小さな魚を食べつくすことは、絶対にありえません。その理由は、その行為が、自分たちの存在を死滅させる行為だと本能的に知っているからです。

言い換えると、全ての集合意識で繋がって生きている動植物は、奪ったり与えたりしながら、自らの守るべきものと大きな意味で、「与えるべき物」を知っていると言っていいでしょう。

では今の人間はどうかと問われると、先進国と言われている国が行っている自然破壊・食糧過剰消費・水汚染・空気汚染・土壌汚染の結果、地球がどうなるかを知りながら、見て見ないふりを

している人たちが多いことは皆さんもご存じのはずです。

今、私たち人間がこの責任を取らなければいけないことをもっと多くの人たちと真剣に考えなければいけない時期が来たと感じています。

もう環境保護のスローガンを掲げたり、周りの人に自然破壊をやめろ！と叫ぶ時期ではありません。あなた自身が、自分で気づいた行為を行動で示す時期が来たとお伝えしておきます。

この瞬間にも、自然を守る活動や水や土壌をきれいにする活動をしている方もたくさんいらっしゃいますが、地球全体ではなく、日本国内だけを考えても美化や保護の活動より、破壊や過剰消費している方のほうが圧倒的に多いのが現状です。

あなた自身を自分で問うならば、その答えはすぐにわかるはずです。本当はこうしないほうがいいとわかっていても、便利で楽ができるからと、やめようとしない行動のほうが多いことを。

もうすぐ、「空気の売買」が普通に行われる時代がやってきます。とお伝えしておきます。

豊かな水資源に溢れた日本だから、水に困ることはないと思っていた方も多かったと思いますが、今の日本の現状は、ほんの１０年前から売り始めた自動販売機で水を買わなければいけないほどの国になってしまいました。

現在、日本の飲料水消費は、海外からの輸入が無ければ成り立たないほど、飲める水が枯渇した国になっています。

ご存じだとは思いますが、この日本の水を汚したのは、私たち日本に住む人間です。

私たち一人一人のこれまでの行動が、水を汚した結果なのです。その原因が自分自身であることを横において、誰かや国を批判しても水はきれいになりません。

自然界が引き起こす水の浄化で有名なのは、アマゾンの大地に年に一度、山から流れる大量の雪解け水によって大洪水になる現象ですが、そのおかげで、大地は様々な恵みを得て動植物が育つ大地に変わることができます。

自然界の神々は、人間を苦しめようと思って天変地異を動かしている訳ではありません。ただ、自然界の大きな循環システムを時々、働かせているだけなのです。

本来、人間はこの自然界の摂理や循環システムを理解し、住んでいい場所を選び、移動した民族でした。その後、人間が定住生活を始めた頃から文化が発達した反面、自然界の摂理より、人間の摂理を自然界に押しつけていることがわからなくなってしまったようです。

私たちは今、問われています。

お前たちは、本当に地球を存続させたいのか！？

人間という種族をこの地球に残したいのか！？

ではなぜ、自分たちの大切な地球を破壊する行為をやめようとしないのか！？

もう、「そんなこと知っているよ！」などという一人よがりな言葉は言えません。

自分の住む土地をどうやって守るのか、一人一人の大人が考えなければいけない時なのです。

大きな地球の意識を守るのは、私たち人間なのです。

その責任を問われている事にあなたが気づいて下さい。
2009.08.25 Tue

先祖感謝の日

本日（8/20）は、旧暦七月一日です。

今日という日の中でご先祖様に感謝する時間を作って下さい。

あなたの守護存在全てが、あなたを見守っています。

ご先祖様に向かう場所がない、もしくは遠い方は、西の方角へ向かって、ありがとうございますを心が穏やかになるまで唱えて下さい。

祈りが通じると、夢の中でご先祖様にお会いできるかもしれませんよ!
2009.08.20 Thu

８月**15**日の御礼祈り

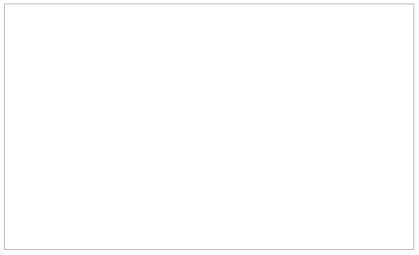
吉岡家の先祖に挨拶を終えてから、8月15日は妻の先祖が眠る小樽へ向かいました。曹洞宗の龍徳寺にお礼の祈りをしてから小樽生まれの義兄夫婦が「オタモイ海岸」へ案内してくれると言います。

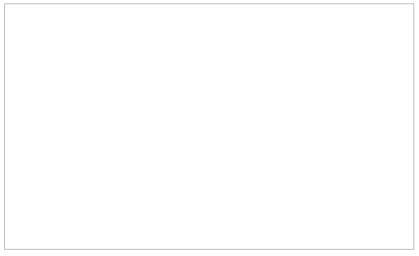
オタモイ海岸・・・？？？

記憶にあるような無いようなこの名前・・・、でも何かを身体が感じています。

住宅の間の細い坂道を一気に登ったあと、海岸へ向けてくねくね狭い道を下ると、突然、開けた駐車場があります。右手には、大きく突き出た岩がここを守る大きな神として座っていらっしゃいます。

昔はここに大きな遊園地があったと義兄が話してくれますが、なぜこんなに厳しい場所にと思うほど、岩肌がゴツゴツ突き出た岩場です。



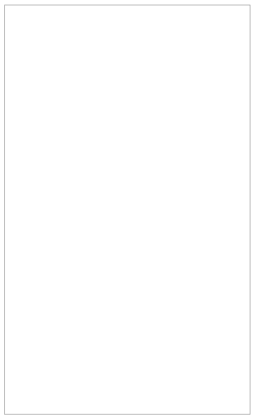




たくさんの家族連れがキャンプしている海岸へ向かうのかと思うと、左手に見えた看板の「地

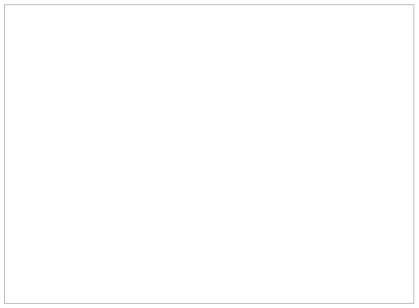
蔵堂」へ行こうと義兄が言います。看板を見ていて気になったのは、私のほうですから、喜んで先頭を歩き始めました。

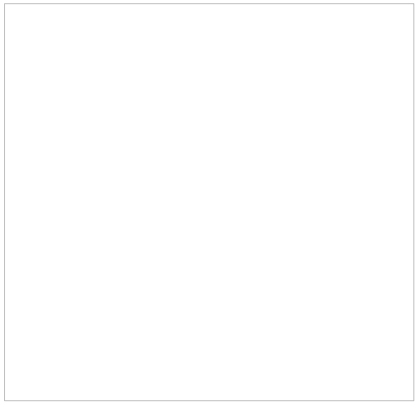
100ｍ以上の絶壁の壁の途中を削って作られた道は細く、左手の岩肌を触りながら、右手は数10ｍの崖になっていて、ちょっと怖い道です。



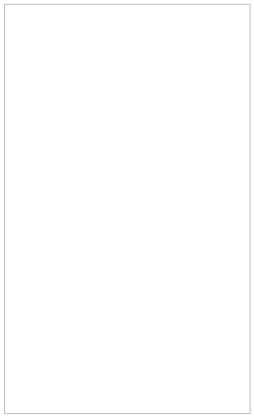
狭い道を進むと、小さなトンネルが見えてきました。トンネルには必ず、不浄霊や浮遊霊たちが居ますので、失礼のないように挨拶と祈り言葉を唱えながら進みます。

しばらく歩くと、海に向かって１０ｍほど突き出た狭い岩の上にコンクリートで整地した見晴らし台がありました。昔は、この上に三階建の龍宮閣というホテルがあったと教えてくれますが、横から見ると幅５ｍの細く突き出た岩が１０ｍほど出ているだけですので、本当に建っていたのかと思っていると、こんな写真を見つけました。





今はそのおもかげは全く残っていませんが、後ろの岩を削って何かを祀った跡があります。花と御菓子が飾られていましたので、手を合わせてみると、この道を作った人たち、龍宮閣を作る時に亡くなった人たちなど、たくさんの御霊を鎮魂していることがわかりました。



この場所や道を切り開くために、辛い思いをした人たちがどれくらいいたのかをしばらく感じていました。たくさんの御霊の想いを感じながら、静かに収まる為の祈りをします。

祈りを終えると、晴天の空にポツポツと雨粒が落ちてきました。

あー、御霊を浄化する雨を龍が降らせてくれたんだとわかったので、温かい雨粒に感謝しながら、地蔵堂を目指します。

また、小さなトンネルが二つありました。先ほどと同じように、ご挨拶と祈り言葉を唱えて進むと、その姿を後ろで見ていた妻と義姉がこんな話を教えてくれました。

この場所は、自殺の名所で、たくさんの霊が出ると有名らしいのですが、昔、義姉の息子が友人と霊みたさに探検に来た時、このトンネルの中で友人の足を霊が掴み、掴まれた手の跡が、しばらく残ったほどだと話してくれました。

だから、この場所で私がどう対応するかを楽しみに見ていたと話してくれます。

霊を見ない方たちは、時々、失礼な事をする時があります。みなさんに災いが掛からないように祈っていても、ほとんど方はこんな反応なのでしょうね。

霊に憑依されて、暴れたり苦しでいる人をどれだけ助けても、その体験をした事がない人たちの扱いは、いつもこんなものです。

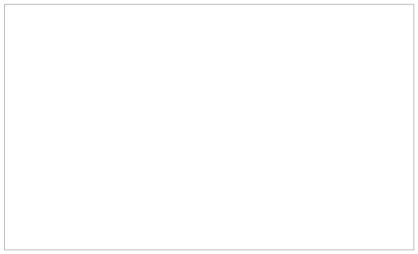
不浄霊を治める為に、沢山の霊能者たちが陰で働いている事も覚えておいて下さい。

雨が激しくなってきたので、地蔵堂の後ろの家に住むご主人から、雨宿りの時間、地蔵堂にまつわる話を聞きました。

この地蔵堂は、江戸時代にたくさんの方が海で亡くなった為にその御霊を鎮魂させる目的で、海辺に作られたのが最初だったそうです。そのあと、この岩の上に家を建てた先代が地蔵堂を納めて、海を見渡しながら航海安全を守ってくれるよう移設したそうです。

現在は、曹洞宗のお坊さんを呼んで定期的に祈ってもらっているそうですが、ここを訪れる方たちはいろんな宗派の方がいるので、自分の好きな形で祈っていいと教えてくれました。

地蔵堂に向かうと、両側にたくさんの石を削って奉納した石仏が並んでいました。たくさんの苦しみや辛さから解放される為に苦行を経験した方たちが、ここまで運んできた事がわかります。



正面に祀られているお坊さんに、ご挨拶の祈りをすると、やっぱり！そうだ！と確信できました。

10年前に突然、霊視と透視の力が戻った時、その理由を霊媒師の方に尋ねると、十七代前の袈裟を着た坊さん（ご先祖）が、あなたを守護していますよと教えてもらいましたが、そのあと何度も、小樽の海を岩側から見ている姿を夢で見ていました。

十七代前のご先祖が、なぜ小樽に居るのか不思議に思いましたが、その場所もわからず、10年の月日が流れていました。

今日やっと、この10年のお礼を伝えることができました。

ありがとうございます。これまでの10年間の経験は、守護の守りと導きによってここまで来れたと心から感謝しています。どうぞ、これからもたくさんの御霊たちや人間を見守りお導き下さいませ。

これまでの10年間のお礼ができて、本当に心が晴れました。

5年前に、伊良部島の白龍に導かれて全国の自然神祈りを行ってきたことも、6月の龍宮神祭で役目を果たし、10年前から呼ばれていた富士山も、7月の富士山神事で目的を果たせたことで、ひとつの大きな役目が終わったと感じています。

富士山神事を終えて、新しい役目を頂いたこともわかっていますので、また最初から一段づつ山を登るように進んでいこうと思っています。

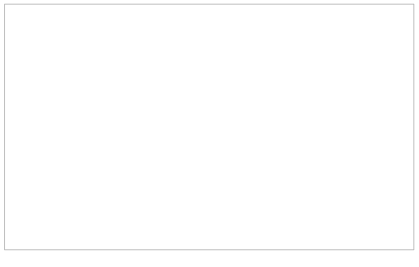
「終わりは、新しい始まり」

とマスターから学びましたので、地球創生の次のステップの為に、自分にできることを具体的に行動しようと思っています。

一人一人が自分の言葉と行動に責任を持ち、人間としても、魂としても、自分の望むことを行動で示す生き方を大人たちが実践していきたいものです。

1945年8月15日、昭和天皇が終戦を告げてから64年が経ちましたが、便利な生活を手に入れた代償として失った日本人の精神性を、もう一度、新しく創りあげて、世界中の人を導くような素晴らしい日本人が増えることを願っています。

この大切な日に、これまでの10年間の守護御礼ができたことに、心から感謝しています。ご守護頂きました全てのご先祖、全ての神々、そして、宇宙全てを見守る存在たちに心からありがとうございます。



2009.08.17 Mon

地震に学ぶ

天災と言われる中でも大地の揺れ「地震」は、人間にとって最大の被害をひき起こすのと同時に、文化的生活を一瞬に崩壊させるすごい力を持っていることは、皆さんもご存じのはずです。

平成になって記憶に残る大きな地震被害は、

死者6,434名を出した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）1995年1月17日、
死者202名を出した北海道南西沖地震（奥尻島）1993年7月12日だと思いますが、
この体験から私たちは何を学んだのでしょうか？被災者のご家族以外で、価値観や生活を変えた人が日本中でどれくらいいるのか疑問です。　※気象庁：過去の地震津波被害

自分自身を振り返って、もし、意識や行動が変わっていないのを実感した人がいるなら、今、起きている地震や自然災害、噴火・津波の原因が全て自分にあると考えて下さい。

できない言い訳は、自然界の神々には聞こえません。

人間が自然界の中で生かされている生物の一つでしかない事をご存じなら、人間が自然に対してしてはいけないことをたくさんしている事もご存じのはずです。地球上で起きている自然災害と呼ばれている全ての出来事は、同じように全て人間が知っていながら自然を壊し続けてきた結果です。

今のままでは、地球に残された時間が少ない、人間が地球に存続できる時間が無いというメッセージを受け取っている人たちもたくさんいます。

表現を変えてみましょう。

では、あなたに何が起きたら、行動を変えるのですか？

〇〇〇〇〇・・・・・・・・・が起きたら、行動を変えるかも・・・・？

今、あなたが思った事が必ず、起きると断言しておきます。

理由は、私や他のメッセンジャーのように、現実に出来事が起きる前からビジョンやメッセージで見せられて、皆さんへお伝えする役目の人がいつの時代にも存在しているからです。

自然界や地球を守っている神たちに、夜な夜なうなされながら啓示を受ける人たちが望むことは、あなたたち一人一人が本当に思っていることを行動に移すことです。

私自身、富士山神事を終えて、日本の大地や地球の内部を感じて思う事は、これからの日本全体の自然界の出来事にもっと神経を配る必要があると感じました。

まず自分にすぐできる事で新しく始めたことは・・・、気象庁が有料配信（月105円）している地震メールを携帯に登録して、日本国内の地震情報をすぐ知るようにしました。

どの地域でどれくらいの揺れが起きたかで、その土地の揺れを通して地球の内部や神々が伝えたい意志を知ることができるからです。

また、これまでは皆さんの不安を募るような啓示やメッセージをなるべく出さないよう心がけてきましたが、どうやらそれでは遅いと感じていますので、地球創世メールマガジンに登録されている方たちには、神々と対話した直接情報を公開していくようにいたします。

この情報を公開する条件として、地球創世メールマガジンに登録されている方は、

地球を守る、日本を守る、自分の住む土地を守ると宣言した方に限定　します。

今後の地球創世メールマガジンは、日本や地球の為に、具体的に何を行動する必要があるのかを話し合う為の情報をお伝えする目的で運営しますので、本名をフルネームで入力しない方やお名前の無い方は、こちらで削除を致しました。また、ご自分の思想や趣旨に合わないと感じる方がいらっしゃいましたら、早めに退会手続きを行って下さい。

もうひとつ、大切な情報として、皆さんの中にも、生まれながらに土地を守る役目を頂いている方がいることをご存知でしょうか？

沖縄の神人（カミンチュウ）の知恵として、生まれ年の十二支こそ、あなたの魂が選んで生まれた神役目の証だと覚えておいて下さい。

まず大きな土地を守る役目を持って生まれた人は、戌（イヌ）年生まれの人です。

翌年の亥（イノシシ）生まれの方でも、早や生まれの方は同じ役目を持って生まれています。

戌（イヌ）年生まれの方が、土地の感謝祈りをすることは、他の誰がするよりも大きな守護の力を借りて土地を守る祈りをすることができます。

祈りの手順は、まずご自分の住む土地神様のところ（近くに神社）と、ご先祖様に、「私がこの土地と日本を守ります」と宣言をしたあと、これまでの人間の無礼を代表してお詫びして下さい。

土地神様の祈りには、お賽銭も供物も必要ありません。少しばかりの塩・水・お酒を添えて、あなたが今後、大切にしたいと思う場所で行って下さい。いつどれくらいの頻度で行うかも、あなた次第です。そして、あなたの祈りが通じるかどうかは、あなたの日頃の心がけ次第だと言っておきます。

神頼みをすると、頼む分のあなたのご奉公や責任が生まれますので、他の人に頼まれてもしないほうがいいでしょう。自然界を守る神々は、お賽銭や他人が喜んだがどうかなど、一切、関係ありません。

ただ土地を守る神様の気持ちになって、喜んで頂けることを人間がしているかどうかを感じることです。

私自身も亥（イノシシ）の早や生まれですので、「地球を守る・日本を守る」と宣言して、1998

年から北海道・沖縄・日本全国の土地神様のお詫びと感謝祈りを続けています。

土地祈りをする生まれの役目を持った対象年齢をお知らせします。

〇戌（イヌ）年生まれの方（※対象年齢の方は約1000万人います）

2006年生まれ3歳、1994年生まれ15歳、1982年生まれ27歳、1970年生まれ39歳、1958年生まれ51歳、1946年生まれ63歳、1934年生まれ75歳、1922年生まれ87歳、1910年生まれ99歳

加えて、亥（イノシシ）年生まれの早や生まれの方（対象年齢の方は約260万人います）

思想や宗教の違いも、年齢や性別や経験も一切、問わない土地の祈りこそ、毎年、ご先祖に手を合わせるように誰でもができる祈りですので、お母さんはお子さんに見本を見せながらその大切さを教えて下さい。

生まれた土地、住んだ土地、その全てが、自分の前世に関係があるのは当然の話ですが、その事よりもっと大切なことは、土地の上にしか住めない人間が感謝のお礼をしていないことです。一人でも多くの方が、土地の祈りをされるよう皆さんで支えてあげて下さい。

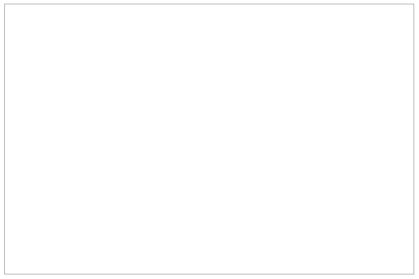
一番、大切なことは、常に、自分の足もとにあります

2009.08.14 Fri

伊豆東海関東地震

10日、マスターメッセージとして自然災害・天変地異は人間のあり方を問うものであるとお伝えしたばかりですが、8月9日・11日と続いて起きた伊豆・関東方面の地震について気象庁発表の情報をもとに検証します。

?８月09日19時56分頃地震
震源地は東海道南方沖　（ 北緯33.1度、東経138.5度）海底200Ｋｍ　マグニチュード6.9　震度４

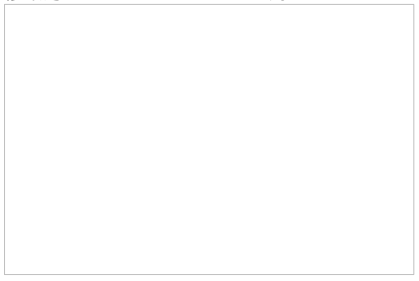


?8月11日05時07分頃地震
震源地は駿河湾　（ 北緯34.8度、東経138.5度、御前崎の北東40km付近）で震源の深さは約20km、地震の規模（マグニチュード）は6.6　震度６弱

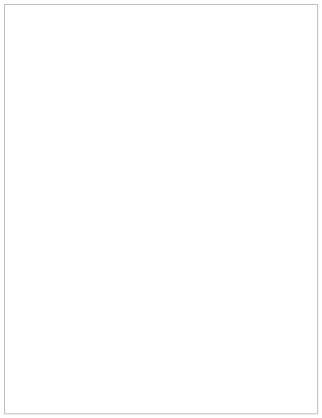


特徴的な事は、まず二つの震源地の東経が同じ138.5度のライン上で起きていること。次に、陸地に近付いていること。そして、震源地が浅くなってきていることがわかります。

震源地のラインを繋ぐと・・・



そして、フォッサマグナを見比べると・・



完全に、フォッサマグナのプレート上の出来事なのが分かります。フォッサマグナについては、富士山神事の五回目の報告でもお伝えしましたが、このフォッサマグナプレートがずれて日本が真っ二つになる夢を子供の頃から何度も見ていました。

富士山神事で祈った八方祈りの場所から考えると、南の祈りをした毘沙門天があったお寺の方角です。

今朝（11日）の震度６弱の地震について伊豆の土地神様と話しをしてみると、

「始まった・・・新しいうねりが始まった・・・」

とだけ教えてくれました。ふと８月のスピリチュアルカレンダーのテーマを見ると、その事が書いてあったので驚きました。

富士山に登る前は、新しいうねりとは意識の世界の事かと思っていましたが、富士山神事から戻ると、意識が現実に影響するスピードがさらに早くなったことや、現実をきちんとしていないと混乱する出来事が起きるので、神事よりも自分の生活を守っている家族や自分がするべき事をしっかりするようにと神事メンバーにお伝えしたばかりでした。

さらに昨夜は、富士山神事で出会った関東の仲間たち集まり、これからの日本や関東を守る為に自分たちが何をするべきかを話しあう場を持っていましたので、中核となるメンバーにはこうお伝えしていました。

昨夜（9日）の関東震度４の震源地は、伊豆沖の危険プレートの断層の揺れでしたので、地球内部や土地神から伝えたい事があるので、各自の守護存在と対話して下さい。と伝えています。

私自身、日本全国の土地神やたくさんの龍たちと話をしてきましたので、伝えたい事がある時に地震を起こすのは仕方がないけれど、震度３～４くらいに抑えて欲しいと伝えています。

しかし神事の度に、この日本や地球を人間が守ると宣言し続けてきているのに、まだ自分の事しか考えられない人たちの行動に対して怒りを噴き出す時は、震度５以上であることも神事をする人たちには伝えています。

スピリチュアル（見えない精神の）世界に目覚めて、人間本来の魂力が上がると、さまざまな存在に繋がったりメッセージを頂くようになりますが、見えない存在と対話している方こそ、神の意志を皆さんへ伝える役目を頂いた事になりますので、肉体を持った神、つまり人間として、祈りだけではなく行動で示す役目があるのです。

今回の富士山神事の本当の意味は、神事の中心メンバーに伝えていますが、神の意志やメッセージを受けとった人こそ、現実を変える為の具体的な行動を起こさなければいけないのです。

今朝（11日）の震度６弱は、完全に地球や土地神の怒りのメッセージですので、望みを聞いて実現しなければいけません。

現在、中国四国地方から降り続いた雨に加えて、台風の接近と大雨で伊豆半島の天城山付近に大量の雨が降り注いでいますが、これも自然神の意志と私は受け取っています。

9月中頃には天城山に登り、伊豆や関東、そして日本の大切なものを守ってきた存在と話をしに行くことが決まっていますが、その前後に、講演会やセッションも行う予定ですので詳細は後日、お知らせします。

地球や日本、そして、その中心地である関東を守る意思がある人たちが集う事を願っています。

今回の震度６弱の地震の災害が最小に収まっているのも、多くの神祈りをされている方の祈り力だと思いますので、関東・東海地方に住んでいる方たちのスピリチュアル（精神性）を問われていることに気づいて下さい。

もし、あなたのお知り合いにスピリチュアルな方がいるなら、どうぞ、その方に今回の地震のメッセージの意味を聞いて下さい。私たち人間がどうしなければいけないのか？

そういう大切なことを教え導く方が、スピリチュアルなお仕事をされている方だからです。

私は神に願いをいたしません。この地球を荒れ果てさせた全ての責任が人間であることを知っているからこそ、一人でも多くの方がその事実に気づき、発する言葉を変え、行動を変えて、現実を変える行動ができるように導くお手伝いしているだけです。

皆さんにお伝えしたいことは、不安な情報に惑わされるのではなく、今、自分が何をしなければいけないのか、本当に大切なことは何かにあなたが気付くことです。

天災が起きても、飲める水場を知っていること。

大切な人の食料を確保できること。

自分や周りの人たちの為に
自分が何をするべきことがわかっていること。

大きな天災や混乱が起きてから戸惑うのではなく、その時にどうするかを家族と話し合い、大切な事を大切な人たちとシェアして意識を合わせて下さい。今回の地震は、その為の神の啓示だとお伝えしておきます。

2009.08.11 Tue

マスターとの対話

まず今、現実で自然災害と言われている原因が、皆さんの意識の中にあることを認識して下さい。

そして今、あなたたち人間の意識は、人間のみならず、地球のみならず、宇宙全体を守る存在たちと繋がり、大きな宇宙の意思としてその働きをなしています。

ですから、あなたたちの周りで起きる出来事の全てが地球のみならず、全宇宙にも影響を与えていることを認識して下さい。<?xml:namespace prefix = o ns = "urn:schemas-microsoft-com:office:office" />

その原因を今日、詳しくお伝えいたします。

地球の時間で2900億年前に、宇宙のある星から光の粒子と思えるようなたくさんの放射線静電気が宇宙全体に放たれました。

それは宇宙を守る大切な意思としてその星の科学者が産み出し、全宇宙へ霧のようにばら撒いたものですが、その影響でたくさんの出来事が起きてしまいました。

放たれた放射性静電気は、プラスとマイナスの因子を持っていますので帯電しながら星を包み込みます。

放射性静電気に包み込まれた星は、その内部エネルギーが変化して星としての意識が他の星に影響することができなくなります。

これは宇宙全体の安全と保安を考えて行ったことですが、その結果、星の生物の死滅や星の消滅という事態にも発展してしまいました。

当初、その放射性静電気を宇宙へばら撒く理由は、新しく生まれた星の意識の混乱を解消する為と、宇宙全体の調和を考えて行ったことでした。

その放射性静電気は、マイナスが帯電した星とプラスが帯電した星があり、星同士がひき寄せあったり、離される原因にもなりました。

そのエネルギーは宇宙全体に広がり、あらゆる意識に影響を与えたことで、現在の宇宙に存在する星にはまだその記憶が残っています。

フレアと呼ばれている太陽の爆発も、その放射性静電気のエネルギーの影響で生まれたものですが、宇宙空間にあるエネルギー全てがこの放射性静電気の影響を受けていると言ってもいいでしょう。

当時、そのエネルギーを開発した科学者たちはとてもそのことを悔やんでいますし、その指令を出した存在も現在起きている宇宙全体のエネルギー崩壊の流れを止めることはできません。

人間の意識に備わっている「大いなる繋がり」という意識も、同じエネルギーから生まれたものですので、全ての繋がりはこの放射性静電気から産み出されたものであることを認識して下さい。

そして、あなたたち人間に「創造」という概念を与えた理由は、この放射性静電気エネルギーを変えることができるようにと願いを込めて誕生させました。

「意識」や「創造」と呼ばれるエネルギーは、この放射性静電気から生まれた産物ですが、唯一、あなたたち人間に無いものが、「神」や「守護」と呼ぶ存在たちとの繋がりの力なのです。

神と呼ばれる存在や守護存在も、全てあなたたち人間が創造した結果ですし、常に新しい創造ができるように進化したたあなたたちの新しい意識を私たちは常にサポートしています。

あなた自身が神であり、あなた自身が宇宙であることを知っている方たちが増えて、その繋がりのエネルギーの原因でもある放射性静電気の新しい使い方を創造し導き出すことが新しいミッションなのです。

私たちはこれまで常に神や守護存在を信じる人たちを見守り、その全ての人たちを繋ぐ為のサポートを永い間行ってきました。

これまでにたくさんの方がこの放射性静電気のエネルギーの扱いに苦労したことは想像するだけでわかると思いますが、人間が肉体を持っている時間が短いからこそ、目的を果たす力を次の世代へ伝える必要があることを強調しておきます。

宇宙に生まれた全ての存在は、この放射性静電気のエネルギーから生まれ、そのエネルギーで創造しながら成長していると言っていいでしょう。

だからこそ、あなたたち人間の今後を私たちは見守っているのです。

宇宙を創造した存在たちと繋がる人間の願いが、私たちの願いと同じであるように、この地球上の出来事は、自らの心の現れであり、宇宙全体の写しが地球で行われていると考えて下さい。

神が人を創ったのではありません。人が神を創り、神の力を借りて、宇宙の創造主との繋がりを深めながら、人間はこれまで成長してきたのです。

神の守護に叶う人間とは、自らの神と対話し、周りの全ての人を神の化身として扱いながら、自らの魂の役目を果たす人たちのことを言います。

あなたたちは相対する神を信じない時もありますが、その神を信じない事は、周りの人を信じないことと同じですし、最後には、自らの神を否定することに繋がります。

もうあなたたちは、「絶対相対の真理」に気づき、その実践をしなければいけない時期に来ていると気づいて下さい。

神は, あなたたちの心の中にあります。

あなたの周りの人は、自らの心の写しであり、世の中で起きている全ての出来事も自らの心の創造の結果だということに一人でも多くの方が気づかれることを望みます。

愛ある星　地球を選んで生まれた人たちの目覚めを心から望みます。

2009年8月10日
2009.08.10 Mon

「　いにしえの道からの伝言　」

いにしえの道は、昔から変わらない。ひとつの方向へ向かうだけ。

その道が険しくとも、厳しくとも必要なら道を切り開く。

道ある所には未知はない。道なきところに未知はある。

道を切り開くことは、夢を、心を、未来を切り開くこと。

なすべきことをなしなさい。

人として生まれてきて、人として生きていく間に

あなたの心は開くべきドアが開く。

ひとつ、そしてまたひとつ。

いつも心がとまることなく進むとき、ひとつの悟りが訪れる。

「何のための人生だったか。」を振り返り、感じ、夢想する。

その悟りこそが本当の大きな心のドア。

あなたが今回生まれてきていくつの苦難を乗り越えてきたかは、

大切なことではあったが、すべてはこの悟りにたどり着くもの。

人は何もしないときにもその疑問を感じる。

でも、そこに立ち止まっていては解決しない。

いつも何か理不尽な理由を抱えながら進む。

いつもそのことができるだろうかと不安を抱え込む。

あなたはいつもそうだった。

そうして生きながらえる中で少しづつ気付くことがある。

「何のための人生だったのだろう。」

そう、そのために不安を抱えながら進むことが必要だった。

そう、そのためにいつも完全ではない時間が必要だった。

「何のための人生か？」「誰のための人生か？」「いつまで続く人生か？」

その答えに到達することが最後の大きなドア。

さあ、あとはそのドアを開くだけです。

もう不安も迷いも何も持たずに進みなさい。

すべてのドアが開かれるとき、すべての力を与えます。

現実の迷いは、現実にはないのです。

今の迷いは、未来の迷いなのです。

あなたは未来のドアを開けたのですから、もう迷いはいりません。

ただ、あなたの喜びを感じられるためだけに生きなさい。

ただただ、そこへ進むこと自体がすべての悟りを

現実に写す方法なのですから。

これからはあなたの人生のカウントダウンを始めます。

１秒・１秒、正確にあなたの時を測ります。

あなたの夢を思い出す旅、その連続が永遠なる輪廻の理由なのです。

永遠なる輪廻の紐解きは、今のあなたの心のドアから始まるのです。

すべてを信じて見つめなさい。

あなたの注ぎ込まれる勇気や愛は、あなただけのものですから。

2002.6.7　愛、永遠に、宇宙の果てに届くまで。

2009.08.07 Fri

私はなぜ〇〇〇をしているのか？

「私はなぜ〇〇〇をしているのか？」

この〇〇〇に入る文字は、何でもいいですが、

一度、ゆっくり考える時間を作ってみて下さい。

仕事、結婚、誰かとの付き合い、母親、父親、人間・・・・・

ここで大切な事は、一番最初に

自分が決めた目的を忘れていることに気づく事です。

最初に決めた目的を見失うと目線が下がって、

目の前で起きていることにしか反応しなくなるので

愚痴や不満がたくさん出ます。

でも、自分の目的を思い出して
そこに、創造性を加えると

あなたの人生目的は叶うようになっています。

これも、ある方にお話しした内容ですが、

「あなたが仕事をしている理由は何ですか？」と聞くときに

「お金が一番の目的なら、きっと、お金が減ると愚痴がでますよ」

と付け加えます。

私は子供の頃からたくさんのアルバイトを経験しましたが、

そこで働く大人たちから学んだことがあります。

子供の目から見て思った事ですが、

大人はどうして自分のしたいことをしているのに不満を言うのだろう？？？

嫌だったら辞めればいいのに・・・・

だから、会社に勤める時に決めたことがあります。

この会社に何年いれるかはわからないけど、

自分の人生の大切な時間を提供する代わりにお金を頂くのだから

自分に必要な事を教えてもらえる場所だと思って働こう！

お金を頂きながら、人生勉強ができるなんて

なんて素敵なことなんだろう！

雇ってくれることに感謝しよう！

そう思って、働きだして経験したことは

自分の理想がひっくり返える事の連続でしたが、

辛い時に、何度もこの言葉を思い出しました。

「私はなぜ、この仕事をしているか？」

あ〜、自分のためだったんだ・・・・・

こんな嫌な経験も、自分が学ぶべきことなら

きっと、どこの会社へ移っても同じ経験をするはずだから

愚痴を言うのはやめよう！

どうやって乗り越えるか、じっくり考えてみよう！

だって、自分に必要のない経験を神様がさせる訳がないもの。

亡くなったおじいちゃんやおばあちゃんが見守っている中で

無駄な経験なんてあるはずがない！

そう思えると、不思議に勇気が湧いてきました。

今の失敗も、きっと乗り越えた人がいるからこそ、

今、自分に与えられたチャンスなんだ。

だから、早く乗り越えちゃおう〜と！

人生で大切なことは、当然、お金じゃない事はご存じだと思いますが、

そうではないことを説明できる大人は少ないと思います。

実は、人生の目的は、

自分の決めたことを実現することなんです。

その為に、お金も、仲間も、経験も必要なんです。

子供は、大人たちの全てを見て、生き方を決めます。

だからこそ、

今の自分の人生の目的を見直してみましょう。

生きている限り、何度でもやり直しはできます。

残された人生で、

どうぞ、あなたの目的を達成してくださいね。

そんなあなたを応援します！

2009.08.06 Thu

あなたへのメッセージ

夢は、見る時間帯や寝ている場所によって、さらに、

一緒に人がいるのか、いないのかによってメッセージの内容は変わります。

私は子供の頃からたくさんの夢を見ていましたが、

その解読が自分でできるようになると、

今度は、夢を通して宇宙からメッセージが届くようになりました。

ここ最近、何度も見ている夢の話ですが・・・

子供の頃に住んでいた古い家の二階の自分の部屋で、

数名の知り合いの方が集まっています。

いつも夢の始まりは、この数名の人たちと、「爆弾」です。

この「爆弾」をみんなが恐れて部屋の中で、

他の人の手に渡している夢でした。

最後は、必ず、私の手元に届きます。

でも私は以外に冷静で、

「その爆弾を外へ捨てればいいんだよ！」と窓から捨てようとしますが、

思い切って外へ投げてみると・・・・・

いつも窓枠にぶつかって部屋の中に戻ってきてしまいます。

そして必ず、ここで目が覚めまていました。

こんな夢を何度も何度も繰り返し見ていましたが、

昨日、初めて、この爆弾を窓の外へ捨てる事ができました！

でも投げつけた時に、

やはり窓枠にぶつかって壊れた状態で、外へ飛んでいきました。

その時にハッキリ見えたのは、二本の信管です。

信管が二本、ズームアップしてきて

私の目の前に大きく姿を見せています。

そして爆弾も、ダイナマイトが二本、見えました。

爆弾が二本・・・日本・・・・

信管が二本・・・日本・・・・

日本の爆発・噴火・大災いが逃れたというメッセージなのでしょうか？

でも、時間が経つと、こういう風に思えてきました。

日本は、地球を救うか、

壊すかの大きな爆弾のような役目を持っている事と、

その爆弾の信管が、

日本（日本人）にあることを教えてくれたのだと思っています。

一応、今回の富士山神事で大難は逃れたということだとしたら、

世界を破壊するのか、再生するのかを見守っている存在たちは、

私たち日本人の行いを通して、

地球の未来を決定すると言っきているように思えます。

話を現実にもどしますが、

富士山神事を終えてから本当に自分の感じる感覚が変わりました。

これからの時代に何が重要なのか、

おぼろげですが、少しづつみえ始めています。

そして確実に、神や守護存在たちは、

私たちの意識の覚醒を手伝ってくれています。

普段の生活の何気ない出来事や、誰かの言葉の中で

神は、よくメッセージを伝えてくれていますが、

あなたはそのことに気づいているでしょうか？

テレビのニュースや聞きたくない誰かの噂話はオフにして、

心を穏やかにして日々、過ごしていると、

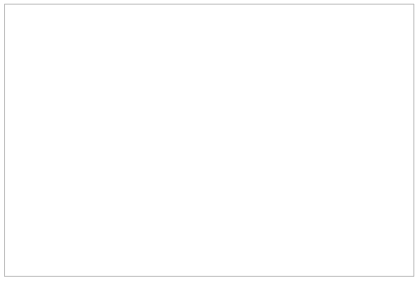
自分の目の前で起きる出来事や耳に聞こえる他人の言葉を通して

守護存在たちがあなたに語りかけているのがわかります。

そうやって、あなたの守護存在たちはいつもメッセージを

あなたに届け続けているのですよ！

どうぞ、テレビを消して、心静かに過ごす時間を大切にして下さい。



2009.08.04 Tue

初めての神事

富士山神事に初めて参加した方たちが、地元に戻って大切なことを気づいたと、互いの気づきを情報交換しあって学んでいます。

それは、富士山を守る自然の神々に真剣な祈りを捧げる経験をしたおかげで、日常では感じられない無心の心が磨かれたからのようです。

その素晴らしい感動や気づきを現実社で実践する事も、人間に与えられた大きな役割です。

現実社会でどれほど多くの経験をした人でも、また反対に、どれほど多くの物を失った人でも、神はそのことを問いつめたりはしません。

神が願うのは、いつも、あなたの今であり、未来なのです。

共に、みんなが願う未来を一緒に叶えましょうと、いつも力を貸してくれています。

無心に神に祈りを捧げて、自分の生き方を変えた人や人生の目的を見いだした人も沢山います。

神は、いつも私たちにこう問い続けてきます。

あなたがこれからしたいことは何ですか？

そして、その為に必要なことは何ですか？

どうぞ、今、あなたができることから始めて下さい。

あなたが心を開けば、たくさんの人があなたを支えてくれることでしょう。

自分を見失ったり、自信が無くなったり、勇気が無くなった時には、

いつでも私たちのところ（自然の中）へお越しください。

あなたがいてくれるからこそ、私たち神も存在しています。

自然の神に向き合う無心の祈りは、誰の為とか、何かの為という概念を超えます。

共に、素晴らしい経験を共有できる人たちがいる事に心から感謝を捧げます。

◎最近の神事の様子を動画にしましたので、どうぞご覧下さい。

富士山神事2009　（youtubeに公開）

伊良部島　龍宮神祭2009　（youtubeに公開）

2009.08.03 Mon

富士の神メッセージ

うつろぎの心　のたまいて　美しの世をつくらむ

※物事の変化を受け入れる心を大切にして美しい未来を一緒に創りましょう

愛　芽出る心持なさい

愛　育む心持ちなさい

愛　全てを受け入れる心を育てなさい

どこにいても何をしていても

あなたのことを見守っています

あなたの望む未来と他人が飲む未来が同じなら

必ず　全ては叶うと思いなさい

愛　芽出る心

全ての存在に感謝する心
美しの世をつくらむとする心

全てが神の心です

2009.08.02 Sun

無依（むえ）の境地

北海道の最高の聖地　然別湖（しかりべつこ）を守る温泉ホテル風水で三年間、従業員として働きながらご神殿とお客様を支えてきた神主さんの門出を、今日、8月1日にお祝いして見送ります。

この神主さんは、もともと長崎の無名だった神社を、たった一人で守りながら１５年かけて九州に名をはせるほど参拝客が集まる神社に育てた有名な宮司さんです。

聖地　然別湖に足を運ぶようになって早や１０年の月日が経ちますが、女将の素晴らしさに加えて、この神主さんのご活躍は言葉で言い表せないほど、地域やホテルの従業員に対してご奉仕された方です。

今回、長崎に戻るキッカケとなった理由も、雲仙普賢岳の噴火で土石流に壊された普賢神社の復興を地元の方が強く望み、これから新しく創る神社の宮司として入ってくれるよう何度も切望された事が理由でした。雲仙普賢岳噴火については、こちらをご覧下さい。

この神主さんとよく日本人の精神性について話したことを思い出します。日本人の精神性を守る為に、挫折と混乱の人生経験で得た貴重な情報もたくさん教えて頂きました。

また、この神主さんが永年、着ていた浄衣（じょうえ）という正式な神主衣装を頂いた事で、あれほど避けていた神道の精神の真髄を守る決意をしたのもこの神主さんに出会ったおかげです。

これまでの自分の生き方を振り返ると、私が個人的に嫌がって受け入れない事のほとんどが、無知な理解が理由であったことを痛感しています。

無知な知識と勝手な思い込みは、危険思想とも言えるほど迷いの道を深めてしまいますが、最後は神に問い、天に問う生き方をしたなかで、神や宇宙の守護に導かれながらたくさんの気付きを頂いた事に感謝しています。

無依（むえ）という言葉があります。意味は・・・・

むえ 【無依】

〔仏〕 自由自在な悟りの境地にあって、
何物にも頼ることなく何物にも執着しないこと。

この心が皆様のこれからにとても大切な悟りの境地になるのではないかと思います。

長崎に向けて出発する神主さんの新しい門出に、ふさわしい気付きを今日、8月1日に頂きました事を心から感謝いたします。
2009.08.01 Sat

これからの地球創生**1000**年プロジェクトの活動

十年来の悲願であった富士山神事を終えて、これからの１０年間の地球創生1000年プロジェクトの概要を皆様にお伝え致します。

まず、これからの５年間は、日本の中心地である東京や関東地方に力を注ぐ必要があるようです。日本が変わる為にも、最も混乱した意識エネルギーが集まる土地の改革に、手を付けなければいけない時期がきたようです。

また、陸路で繋がる範囲をひとつの単独島国と考えると、島の首都という意味で、北海道の札幌エリアでも新しい取り組みテーマが出てきそうです。

未来日本のひな形として生まれた「新しい村社会　苫小牧」の成功から学び、さらに新しく「都市型の村構想」が誕生すると確信しています。

沖縄の島々や北海道全体の取り組みは、これまでの５年間の神事や人の繋がりによって、個人個人の心の成長に伴った明るい未来が実現していますので、今後はより進化するためのサポートに力を注ぎます。

四国と九州については、まだ、自分の住む島を私が守る！と神に宣言した人に出会えていません。

実際には、たくさんの方が、地域活動やボランティア活動を通して地球環境保護に取り組まれていますが、宇宙の大神様と契約した魂の役目を持つ方との出会いを楽しみにしています。

今後も、神事で古くから土地や地球を守る神々の知恵を授かり、自分たちの望む未来社会を自分たちの手で産み出す地域の人と人の繋がりを深める活動を強化していきます。

地球が未来に存続する為にも、自分という「我」を外して物事を考える心を学び、お互いを認め合いながら自分も喜べる生き方を仲間と見つけて下さい。

現実社会を生き抜く力と他人を支える歓びの心を身に付けた方は、未来の希望や歓びに向かって進んでいる素晴らしい仲間たちと交流しながら、自分の成長を家族以上に喜んでくれる魂の仲間と繋がって下さい。

あなたが変わることで、地球の未来は変わります。

今後、全国の活動情報は、地球創生メールマガジン（無料）で配信していきますので希望者は登録をお願います。

２００９年８月１日

地球創生1000年プロジェクト　コーディネーター　吉岡学

2009.07.31 Fri

富士山神事第十一回　　富士山神事を終えて

昨日、第十回までの富士山神事の報告を書き終えると、身体の中に入っていた神エネルギーが動き出して、私の肉体エネルギーと神エネルギーの新しいエネルギー転換が始まりました。

それは夕方から身体が急に重くなり、どんどん思考ができなくなったので横になると、そのまま４時間も眠っていました。夜に一度目覚めて、またそこから６時間の眠りについたほどです。※普段は６時間弱の睡眠。

妻には、富士山の疲れが今頃出たの？歳だね～！

と言われましたが、実は、そうではありませんでした。

これほど身体がだるく眠いと感じたことは久しぶりなので、自分の守護存在と対話して、どうしてこれほど身体が重くなるのかを尋ねると・・・・・

「今、これまでの過去の記憶を含めた全てのエネルギーの入れ替え作業をしていますので、そのままじっと休んでいて下さい。すべての調整は、こちらで行います。」

と言われました。私の身体や意識を調整している存在が、神なのか、宇宙の存在なのかは別として、大きな守護存在にそのまま身を任せるのも久しぶりの経験です。

子供頃から辛い時はよくお星様に、「もうこの肉体は必要無いから星に戻して！」と頼んだ事がありますが、「まだ、駄目ですよ。あなたはしなければいけないことがありますので！」と断られた記憶があります。

守護存在は、こちらの人間の都合はあまり考えてくれませんので、時期が来ると、その人の魂が大切な事を思い出す為の辛い経験をさせて、大切な気付きを与えます。人間はよほど辛い経験をしないと、それまでの生き方を変えようとはしないからです。

今回の富士山神事は、１０年前から頂上でするべきことがあるのはわかっていましたが、山登りも好きじゃなかったですし、頂上で何をしていいいのかもわからないので、いつも自分にできることを毎日毎日、繰り返して今日まで来たという感じです。

守護存在に、「私の未来はどうなっているの？」と未来を聞いた時もありますが、ひとつだけ教えてくれました。それ以外は、「あなたに教えると、やる気が無くなるので教えません！」と言われています。

私の性格を考えると、それもよくわかります。
ここまでしてきたことを全て教えられたとして、やろうとするかというと、きっと、不満を言い続ける自分がいるとわかるからです。

誰にも理解してもらえないことをし続けるには、自分自身の中でしか感じない強い確心みたいなエネルギーが湧いてこないと前には進めません。それが神との対話だったり、自分自身との対話だったり、家族や仲間の言葉だと思います。

いつも他人がすることをとやかく言う方もいますが、本人以外には分からない事が多いのも現実です。

「それでもやるのか？」と自分に問い続けて、答えが三度、同じなら、私はするべきだと思っています。

神や先祖の守護存在は、時に道を示すことがありますが、方法は教えてくれません。

この肉体を持って、現実社会でどう生きるかは、私たち一人一人の選択でしかないからです。

今日までこう生きてきた！と言う方でも、突然、明日から新しい生き方を始める方はたくさんいます。

自分の信じる道へ進む時、その気持ちを全ての人に理解してもらえることはないのです。

その理由は、

「みんなが正解だと言う方向へ進む事が正しい道だ」

と教えられた方が多いからだと思いますが、実は、その正解と思っている生き方さえ、時代の変化によってどんどん変わっていることを考えてみて下さい。

あなたが、もし本当に希望の未来を望むならば、その正解探しではなく、新しい自分の道を切り開くことでしか、新しい正解は出てこないと気づいて下さい。

新しい道を進む人は、常に、周りから理解されないことが多く、孤独になりがちですが、決して一人ではないことを確信する為にも大切な仲間に出会うことが必要です。

あなたの人生は、あなたがどう生きたかしか問えません。

それを問えるのは他人ではなく、自分自身しかいないこともよく考えて下さい。

神やご先祖は、あなたの信じる道を守護しています。

そして道を間違う事も、あなたにとって大切な学びだとしたら、どうぞ、その失敗をたくさんの人とシェアしあって、新しい知恵を身につけて下さい。

私自身に与えられている役目を果たせる時間は、現実世界ではあと１０年しか残っていません。

そして、その実現のための土台を創る時間も、５年後（2014年）までと神に言われています。

５年前の自分と今を比べると、その変化はよくわかっていますので、決してできないとは思っていません。自分にできないことはやって来ない事も知っていますので、必ず、やり遂げるとここ

に宣言いたします。

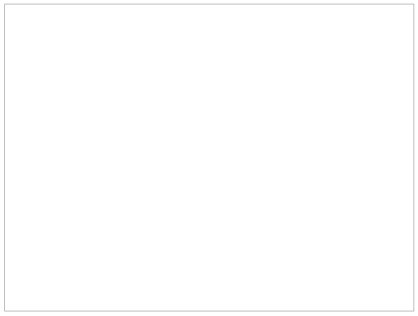
この日本が変わることで、世界が変わる事は何度もお話していますが、まだ、本当の意味を理解している人が少ないと思っています。

本当の意味を理解した人は、居ても立ってもいられないくらいに、自分のするべき事に突き動かされるはずだからです。

心の内側から突き動かされるようなエネルギーが、魂本来のつながりのエネルギーであり、守護存在とひとつになる生き方なのです。

神は、あなたの中にいつもいます。

あなた自身の本当の目覚めを心から願っています。



2009.07.30 Thu

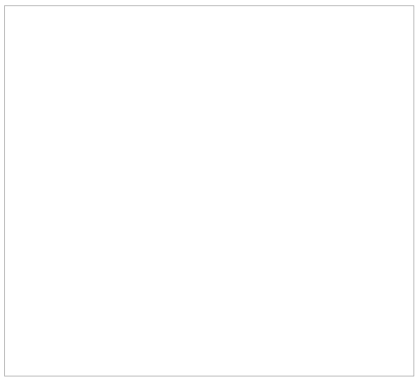
富士山神事第十回　伊豆半島　大瀬神社

7/16-20まで5日間の富士山神事を終え翌日21日は、関東の方がお勧めするスポットへ案内してもらいました。昨日の神事から同行している静岡出身のカコちゃんも含めて17名が伊豆半島の大瀬崎へバスで向かいました。

カコちゃんは、6月末に沖縄の伊良部島で行われた龍宮神祭で初めて神事を体験した方ですが、今回の富士山神事の目的に賛同してくれて土地神の代表として参加しています。

神事を行う土地に生まれた方が参加することで、ご先祖たちが大切にしてきた思いと土地神の通し役をしてくれるので、私にとってもありがたい存在です。

まず、今回の富士山神事で祈った八方祈りの地図をご覧下さい。青い印の場所が、まる二日間かけて祈った八方祈りの場所です。17日は右回りで、20日は左周りで静岡県から山梨県へ入り、また静岡県に戻る祈りを行いました。



全ての行程が神計らいの連続で素晴らしい祈りを体験できたと参加者の皆さんも口を揃えて言って下さいましたが、ひとつだけ気になっていた19日の頂上祈りの天候について大神様に聞いてみました。すると・・・・・

これが新しい地球と日本の今の現状だ！

濃い霧に包まれて視界不良で、さらに強風が吹き、人が飛ばされるくらいに荒れているのが、今の地球の現状だと教えてくれたのです。

私はこの言葉を聞いた時、早く大切なことに気づく人間が増えて、一人一人が変わらなければ、大変な事が起きると感じました。

地球の残された時間が少ない！、人類滅亡説など、多くの啓示を神から受けている人が世界中にたくさんいますが、否定

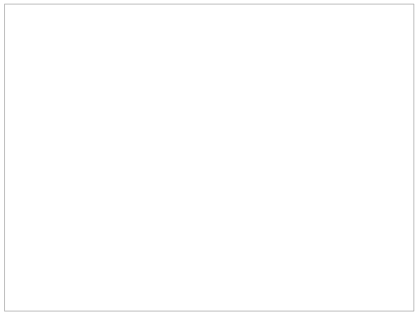
的な啓示で不安心理を動かす事は好ましいと思えませんのが、事実は受け止めなければなりません。

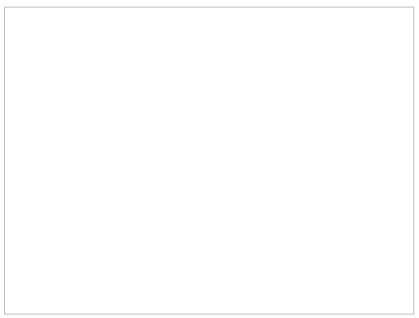
世界中で出ている啓示がが正しいかどうかが問題なのではなく、実は、一人一人の心の中で、本当はどう思っているのかが、世の中を動かしている事に気づいて欲しいのです。

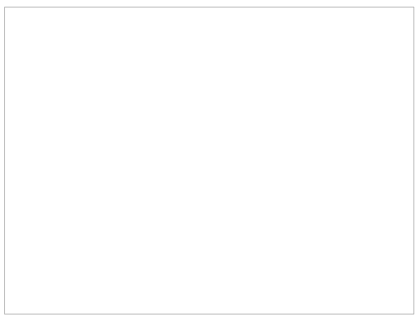
皆さんが不安を感じていると、不安が現実化します。それが人間に与えられた最大の能力だからです。だから、目の前にどんなことが起きても、未来に対して、自分が変えるという勇気の行動を示すことで、不安な現実を安心な未来へ変える力が生まれるのです。

未来を変える行動をしたい人は、どうぞ同じ地域の仲間に合って話し合い、自分たちのできることから行動を始めて下さい。地球創生の活動も今後は、全国のそういう方たちを支援していきます。

話をしている間にバスは、静岡県沼津市の大瀬崎海岸に着きました。ここは西伊豆と呼ばれている伊豆半島の西の手前の場所ですが、実は、今回の関東チーム7名の誰も行った事がない場所だと知り、驚きました。



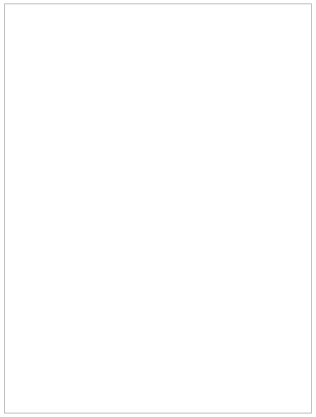


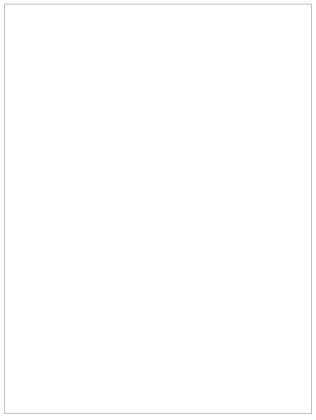


全員で海岸線を歩きながら大瀬神社へ向かいます。海側に見える小島の形がとても不思議です。隆起した時代も違いますし、神の意思が島ごとに違うことも見てわかります。なぜこういう場所を神は作られたのか、その理由が少しづつわかってきました。

途中に見える太くしっかりした樹を見ていると、沖縄の伊良部島にある樹の精霊が集まるガジュマルの樹を思い出します。ここの樹の精霊が集まっている太い樹を見つけました。手前にある二本の樹に守られながら、その樹は存在しています

。

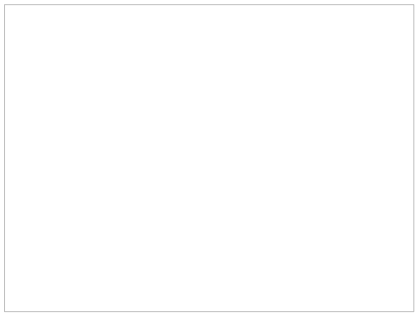


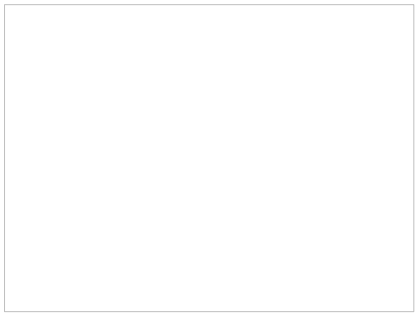


この樹はビャクシンという樹で、とても貴重な樹であることを説明する看板があります。門番役の二本の樹に挨拶してから奥の太い樹と話をすると、神は上にある二股の間にいると教えてくれました。そして、この樹の役目は「時を守る役」だということです。

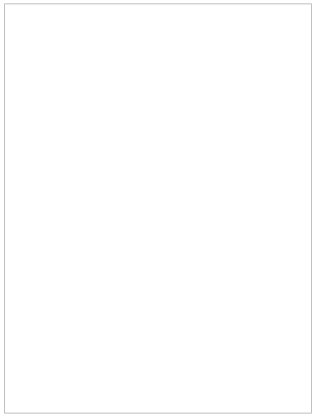
たぶん樹齢400年前後だと思いますが、人間の移り変わりを見ながら、この土地の時と時空の時の繋がりを守る役目をしているのでしょう。私たちよりずっと長生きをして、天へ伝える大切な神役目を持っている樹に心から感謝しました。

大瀬神社が、見えてきました。





引手力命（ひきてちからのみこと）の意味は、神が島を引いて作ったと言われている神話ですが、四国にも同じような話が残っています。鳥居をくぐってすぐに発見したものに、驚きました。



これは「天狗のせんす」を表したものですが、昨日の祈りをした山宮浅間神社でもこの絵の紋を見たので、ずっと不思議に思っていたからです。

修験道の象徴は、天狗です。修験者たちがなぜ霊力を欲しがったのか、その本当の理由は、この天狗の力を授かりたかったからなのです。そしてここは、その天狗を祀るとても重要な場所だとわかりました。

天狗は架空の存在だと思われていますが、中国の道教の最高到達者である仙人と同じように、神が人間の姿を借りて存在した実在の人間なのです。天狗も仙人も同じ目的で地球に降りていましたが、自らの意志で姿を見せたり、消したりできることは、意識が高い人なら当然のことだとご存じのはずです。

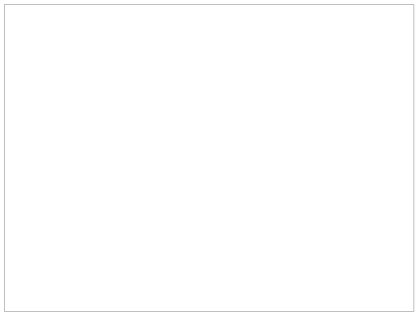
人間の意識は高次元になればなるほど、神と繋がり、最後には、神と同じ能力が備わることがあります。神がそういう人間を選んだと言ったほうが、理解しやすいでしょうか？

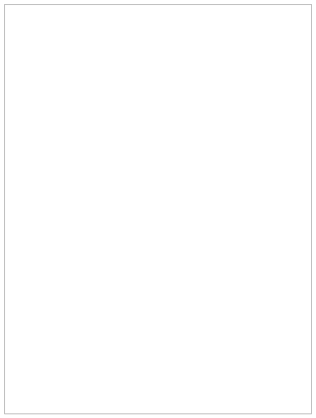
しかし、いつの時代にもその能力を利用したい人間が多い為に、たいていは人里離れた所に住み、姿を見せません。時の権力者たちが、その力を欲しがったのは、当然なことでしょう。

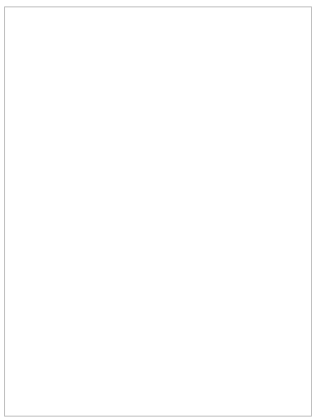
知られていない日本にいた天狗の本当の役目は、神とあがめられた当時の象徴的人間の神力を守ったり、自然界全てのバランスを守る役目として、実は、人間と接していました。

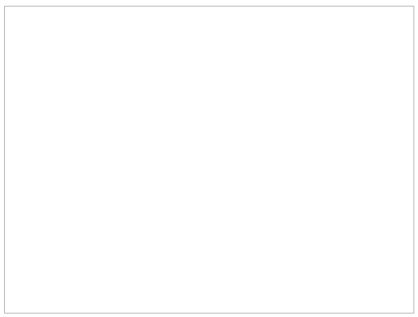
ですから、日本各地にいる修験者たちが、当時の人間の戦いの味方をしたり、闘ったりしたことも事実です。天狗信仰が衰えたあとに、その役目を引き継いだのが「忍者」です。目的は同じです。一般の人には架空の存在と思わせておいて、時の権力を握る人たちだけが知る神の力を持っていたのが、天狗なのです。

これで、本殿に上がる心構えができました。急な石段を一歩一歩登りながら、本殿が見えると、その真中に掘られている天狗に目が釘付けです。









今回の富士山神事のご報告とこの土地を古くから守って下さっていたことに、感謝の言葉を添えました。すると最後に、神様がこうおっしゃいます。

伊豆を宜しく頼む！

これはこの土地生まれの人に言っているのかなと思うと・・・

お前にだ！

えっ、私にですか？？？？・・・・

そう言われてもこの意味が、理解できません。富士山神事をしたという理由だけではない事はわかっていますが、何をどうするのか全く見当が付きません。これはこれからの私の大事な神役目なのだと思い、心から感謝をして引き受けました。

神に頼みごとをされた場合、一切、断る事はできません。もし断った場合、その役目をしなければならなくなるほど、追い込まれる出来事が起きるのをよく知っているからです。

大きな神役目を持つ神の力は、自分の為には使えないようになっています。その守護力が大きければ大きいほど、そうなのです。守護力も、ご先祖のように自分を守る存在ならば、多少の言い訳やわがままを言えますが、大きな神の場合は、一切、口答えはできません。

では人間が神に使われているだけじゃないかという人もいるかもしれませんが、実は、全ての人が神に使われていると言ってもいいほど、私たち人間は霊的な動物なのです。

その霊的とも言える神の繋がりの力を信じない人たちが増えたおかげて、現代のように混乱した精神の人たちが増えているのです。

神は本来、「人間の我欲」の為に存在しているのではありません。我を捨てて、大きな志を持った人はわかると思いますが、我の欲求の結果は、永遠に満ち足りることの無い不安を産み出し続けます。

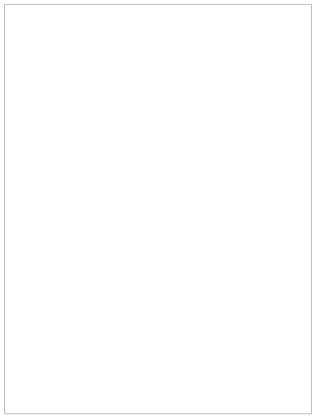
蛇足ですが、人間が人間の為に行う行為も、実は、大きな神にとっては「我欲」と思われています。人間の為にすること自体が、自らの為、つまり、我欲の為になるからです。

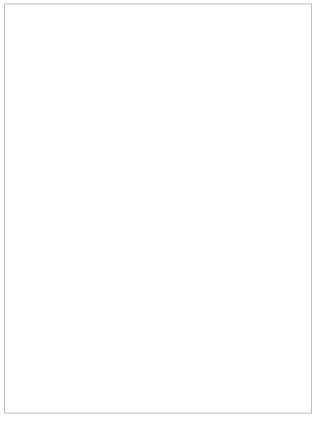
真理の理解で難しいのがこの部分でしょう。我を捨てて生きる事が人間の目的だとしたなら、なぜ、人間に我欲を与えたのか？その理由に気づく事もまた、大切な目覚めの学びですので、どうぞご自分で学んで下さい。

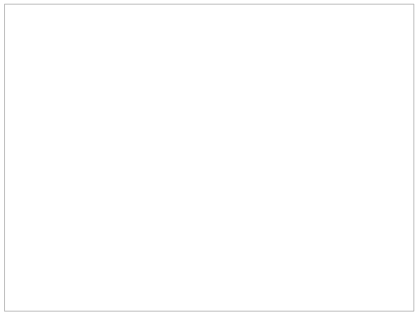
反対に、神の欲求とは、自分を愛するがごとく人々を愛し、自らと違う全ての人の行いを認め、常に大きな愛と調和を産み出すよう、今よりもさらに幸せになる為の知恵を授けてくれます。皆さん一人一人の魂の中にも、我欲と神が存在していることをどうぞお忘れなく！

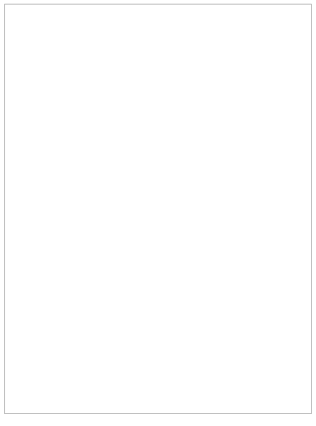
大瀬神社の境内の中には「大瀬神池」があったり、神様のビャクシンの樹が祀られている場所もあります。ひとつひとつの樹が、全て神の意識を持ち、一本一本、その役目が違う事も感じる方にはわかるはずです。

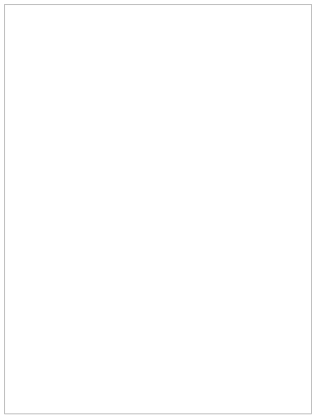
ここ伊豆半島は、神が造られた大切な場所であることと、大切な物を守っている場所である事は今回ではっきりわかりました。伊豆の神役目を正しく理解し、関東の仲間たちと力を合わせて、新しい日本の守りをしていくことを決意する日になりました。







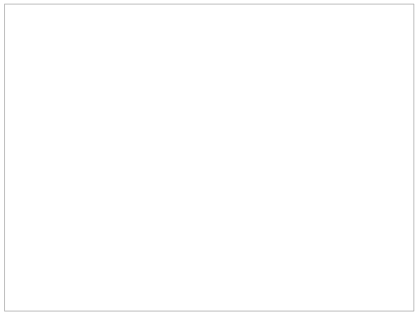


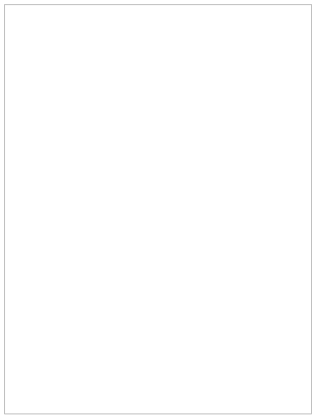


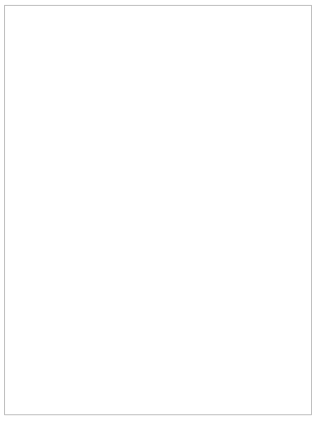
2009.07.29 Wed

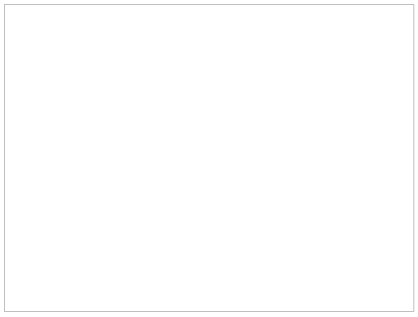
富士山神事第九回　本栖湖（北西）・山宮浅間神社（南西）

南東（須山浅間神社）→北東（忍野八海）の祈りを終えて、次は、北西の場所にある本栖湖へ向かいました。本栖湖に着いた時は雨がパラつく曇り空でしたが、湖のほとりに一列に並んで祈りを唱え始めると、空が少しづつ開いてきて、光の放射ラインが湖に降りてきました。









本栖湖で唱えた詔は、富士山の神様として祀られている木花咲耶姫（コノハナサクヤヒメ）を地球に降ろした宇宙の大神様の言葉を直接、唱えた詔でした。大神様は、こうおしゃいました。

木花咲耶姫（ハナサクヤヒメ）は、地球の未来を新しく創造する為の希望の神として地球に降ろした。しかし、その神が働けるかどうかは、一人一人の人間の心の在り方で決まるのだ。今の神の働きやあり方では、この地球は救われることはない。

もっと大切な事に気づき、神を大切にするようにお互いを敬い合い、全てを受け入れあって愛を大きくしなければ、全てのものを失う未来が待っていると気づかなければいけない。私たちが神を地球へ降ろした意味を、もう一度、考えることが今、とても必要だ。

表で輝かしく働く神がいれば、必ず、見えない所で働いている神がいることも忘れてはいけない。この地球へ降ろした全ての神は、一対の働きで働けるようにしているのだから。今、大切なことは、その表と裏の神の意志を理解することだ。

この詔を終えてすぐに思ったことは、富士山のご神体と言われている木花咲耶姫（このハナサクヤヒメ）と、姉妹の石長比売（イワナガヒメ）のことでした。

この姫たちの話は古事記に書かれていますが、国津神（先住民族）が天津神（外来侵攻民族）に国譲りをしたあと、天孫族のニニギの尊に対し、土地の大神である大山祇神（おおやまつみのかみ）が自分の二人の娘を差し出した時のお話です。

ニニギの尊は、美しい娘の木花咲耶姫（このハナサクヤヒメ）だけを受け取り、醜い石長比売（イワナガヒメ）を返してしまいましたが、実は、健康で長生きの神であるイワナガ姫を返したことで、人間の寿命は短くなったとも言われています。

二人の娘をニニギの尊へ差し出した大山祇神（おおやまつみのかみ）の想いは、これからの日本の未来の発展の為に、明るい希望と喜びの役目としてコノハナサクヤ姫を、健康と安心を与えて子を産み育てる神としてイワナガ姫を二人セットで送った意味を理解できなかった愚かさを嘆い

ておられます。

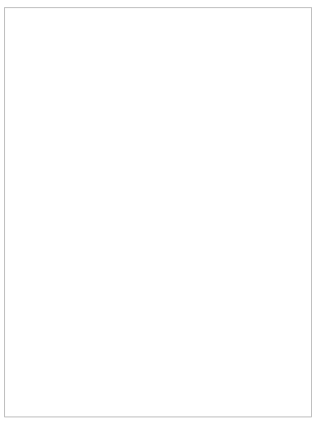
これは現代に置き換えても同じ事が言えますが、明るい精神と健康な肉体の両方がなければ、本当の幸せは得られないという教えでもあります。

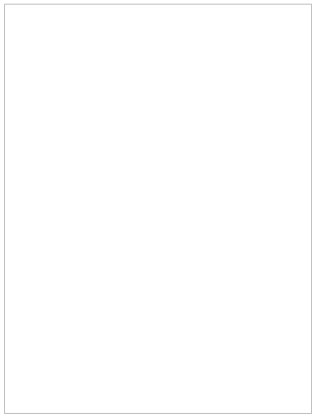
実は今回の神事が始まる初日に、すでに巫女役の女性たちに役割が与えられていました。一人は、コノハナサクヤ姫の役目、もう一人はイワナガ姫の役目として神事を行ってきました。私の役目は、大山祇神（おおやまつみのかみ）の役目です。

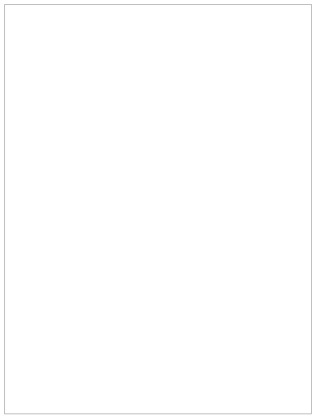
神事で神役目を与えられると、無意識に神のメッセージが入るような身体になります。神が私たちの肉体を通して、気持ちを伝えてくれるからです。ですから、この時の大神様の詔はとても重要な内容なだったのです。

このとき頂いたメッセージの意味を三人で確認し合いました。最後の祈りの場所では、過去の全ての人間の思いをひとつにしてまとめる祈りをしなければいけませんので、神の気持ちを汲む為の真剣な話し合いの時間を持ちました。

バスは、この神事の全てをまとめる重要な場所として、南西の場所、山宮浅間神社へ向かっています。三人はお互いの神の気持ちを理解しようとしますが、なかなかうまくいきません。山宮浅間神社の前に着いても、まだ納まらない気持ちがあったので納得いくまで話し合いをしました。



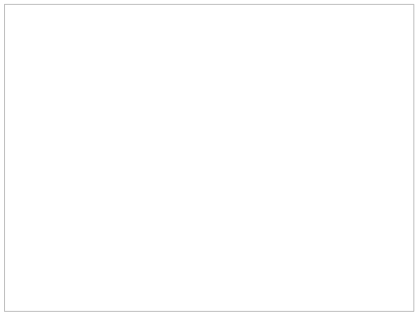


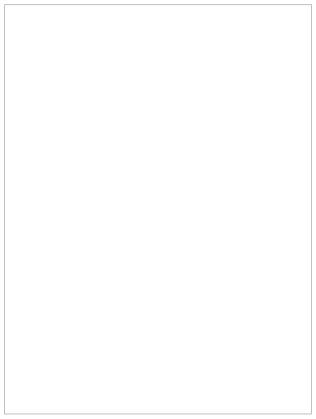


やっと、三人の神意識がまとまったので正式に鳥居をくぐる事ができます。第一鳥居から参道を進むと、両側にきれいな杉林の森があります。その先にはたくさんの灯篭があり、最後に、大きな山門とさい銭箱が置いてあります。

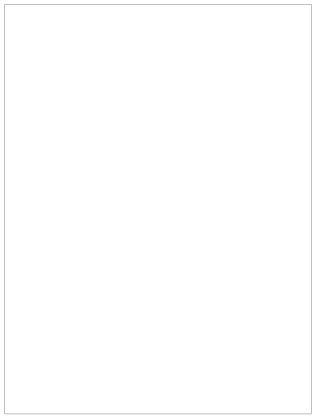
山門をくぐり、その先の砂利道を歩いて行くと、道の真中に二か所、石が祀られていました。この石は、「弾丸石」と呼ばれていて富士山の噴火の際に、この場所まで直接、弾丸のように飛んできた石を祀っているそうです。

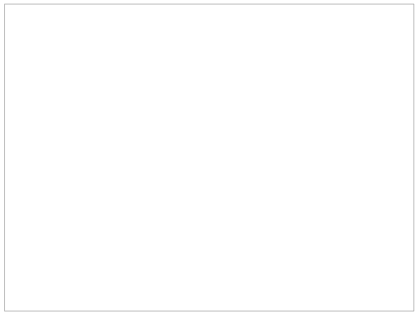
誰が見てもわかるくらいに、ハッキリ神の意志を感じる石です。

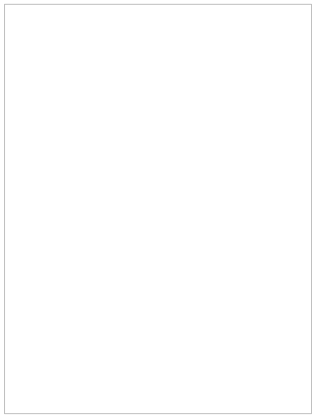




この石にご挨拶した瞬間に、先頭にいた私の役目が変わり、二人の姫様たちが先頭に立って進むことになりました。最後の石段を登って鉄柵の門を開けると、そこはお宮が無い神様の場所でした。先頭にいた二人は、どこへ進むのかわからないようなので、私が道順を示す為に前に出ました。







この場所は昔、正面に富士山が見えていて、その富士山をご神体として祀っていた修験者たちの神聖な神場所でした。平らな場所には神が降りる御神木があり、敷地には石を埋めこんでお宮の中をそのまま再現しているとても古い聖地です。

正式参拝をしたことがある方はわかると思いますが、正面にご神鏡があるとすると、右手には神官、左手には神官に仕える人が並んで座ります。正面手前の座は、一般参加者が座る位置です。

神官の動きを見ていると気付くと思いますが、神に対して決してお尻を向けない歩き方をしています。そして、角を直角に曲がり、少しづつ少しづつ前に進みます。

私たちはこの地の神官ではないので、右手には座れません。だから、左手の場所へ神官が進むように一歩一歩、直角に曲がりながら、神の許しを得られる場所まで進みました。

ここまでおこなった５日間の神事の報告の祈りが始まりました。

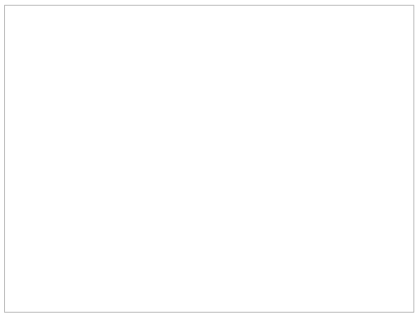
コノハナサクヤ姫とイワナガ姫の思いを和合すること。

大山祇神（おおやまつみのかみ）が、二人の娘を差し出した思いを叶えること。

国津神と天津神の本当の神和合をすること。

そして、そのことを人間が実践することの誓い。

神は、御礼の言葉をひとつ。そして、これからの為の言葉をひとつ。そして最後に、この土地を守ってきた人たちの思いを話して下さいました。



神和合は、人間一人一人の心の和合から始まります。
これまでは祀る神が違うからと相手を非難する人たちもいましたが、今後、その人たちは神に自分の神意を問われる経験を繰り返す日々が続くでしょう。

神を信じず、人を信じられない人たちは、神を信じないように、周りの人から信用されない経験を繰り返す日々が続くでしょう。

見えない物を信じない人たちは、明日に不安を感じて惑う日々が続く事になるでしょう。

神は、私たち一人一人の魂の中に、存在しています。

何度、裏切られても、傷つけられても、人間を信用し続けて、守り続けてきた神は、今もあなたを守って下さっています。

感謝の心を神に示し、家族に示し、見知らぬ人に示す人間になりなさい。

与えられることが当然だと思っている人たちは、失う事でその価値がわかる学びをさせられます。

神は、永遠に存在しています。しかし、人間の肉体は永遠ではありません。

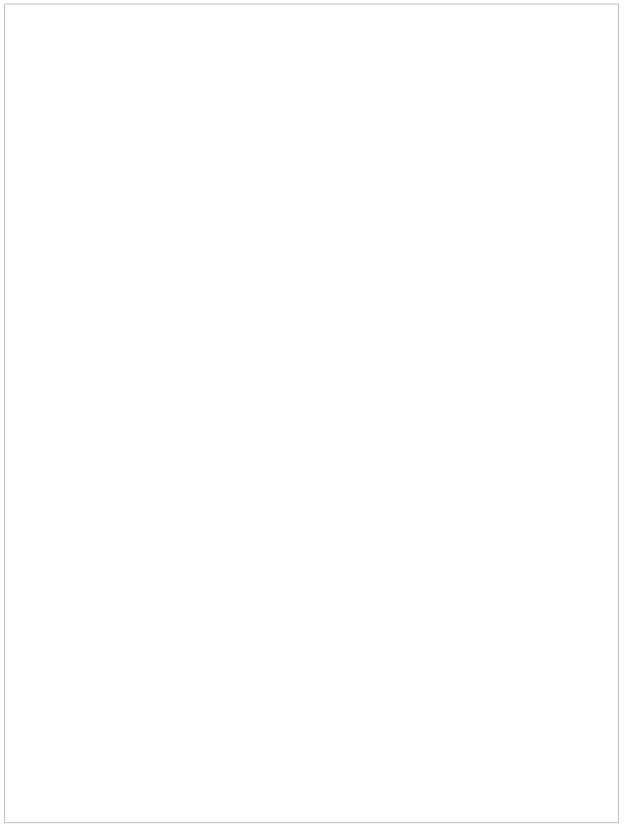
その限りある時間をどう生きるかは、あなた次第なのです。

何の為に生きるのか？誰の為に生きるのか？

そして、死を迎える時に、どんな自分になっているのか？

言葉ではなく、行動や態度で示すことを、神は望んでおられます。

生かされている喜びと全ての出来事に感謝を込めてありがとうございます。



2009.07.28 Tue

富士山神事第八回　忍野八海（東北・鬼門）

南東の祈りを終えると、一番エネルギーの強い北東（鬼門）の場所として、忍野八海へ行きました。ここには八つの池があり、コンコンと富士山の湧水が湧き出ています。その水量の多さにも驚きました。忍野八海の写真は、あまり撮影していな為、資料はウイキペディアから転用しています。

湧池（わくいけ）

八海中最大の湧水量を誇る。珪藻土層でなる水中洞窟は奥に続く。景観も良く、周辺住民の飲み水にも利用されている。

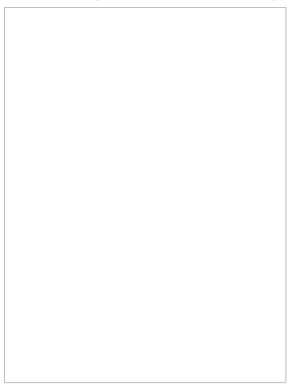
- 第5の霊場徳叉迦竜王（とくしゃかりゅうおう）
- 石碑に「いまもなほわく池水に守神のすへの世うけてかはれるぞしる」との和歌が刻まれている。
- 水温：13 ℃（年平均）
- 湧水量：2.2 m³/秒
- 面積：152 m²
- 水素イオン濃度：7.1
- 水深：池底 4 m 洞窟 7 m

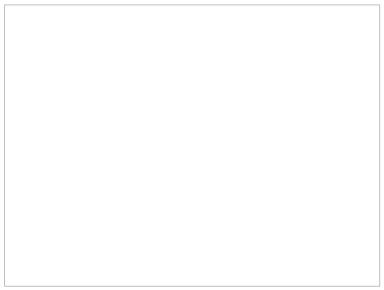


湧池の地下水脈



朝霧の湧池





濁池（にごりいけ）

池本荘にある池から大きな排水溝が空いており、湧水は池底から少

しだけ湧き出ている。川に隣接。部分的に濁ってはいるが、水は綺麗な方。

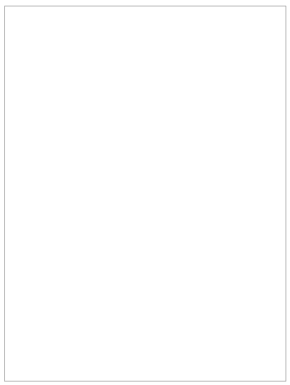
- 第6の霊場：阿那婆達多竜王（あなばたつだりゅうおう）
- 今は池に埋もれてないが石碑に「ひれならす竜の都のありさまをくみてしれとやにごる池水」との和歌が刻まれていた。
- 水温：12 ℃
- 湧水量：0.041 m³/秒
- 面積：36 m²
- 水素イオン濃度：6.5

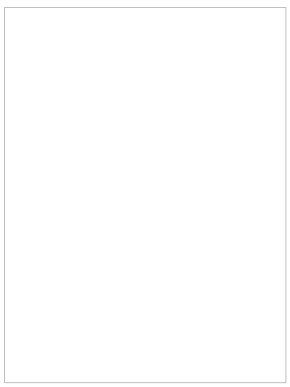
濁池

菖蒲池（しょうぶいけ）

現在は沼地と化している。その名の通り周囲に菖蒲が生えている。

- 第8の霊場：優鉢羅竜王（うはつらりゅうおう）
- 石碑に「あやめ草名におふ池はくもりなきさつきの鏡みるここちなり」との和歌が刻まれている。
- 水温：12 ℃
- 湧水量：月によって消長あり
- 面積：281 m²
- 水素イオン濃度：6.2



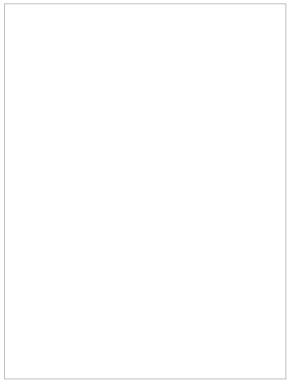


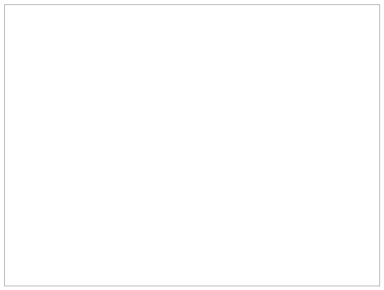
銚子池（ちょうしいけ）

湧水が間欠的。名前の由来は長柄の銚子に似ていることから。

- 第4の霊場：和脩吉竜王（わしゅきちりゅうおう）
- 石碑に「くめばこそ銚子の池もさはぐらんもとより水に波のある川」との和歌が刻まれている。
- 水温：13.5 ℃
- 湧水量：0.02 m³/秒
- 面積：79 m²
- 水素イオン濃度：7.2
- 水深：3 m

銚子池





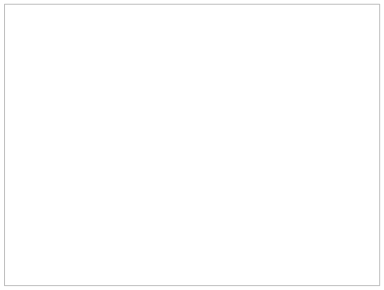
御釜池（おかまいけ）

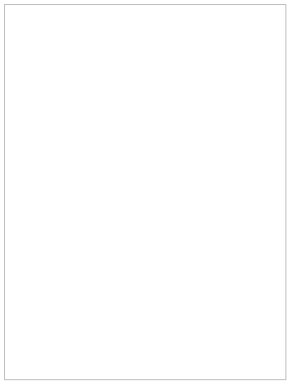
池の中央に直径2m水深4mの穴があいている。水量が豊富。

- 第2の霊場：跋難陀竜王（ばつなんだりゅうおう）
- 今はない石碑に「ふじの根のふもとの原にわきいづる水は此の世のおかまなりけり」との和歌が刻まれていた。
- 水温：13.5 ℃
- 湧水量：0.18 m³/秒
- 面積：24 m²
- 水素イオン濃度：7.2
- 水深：4 m



御釜池



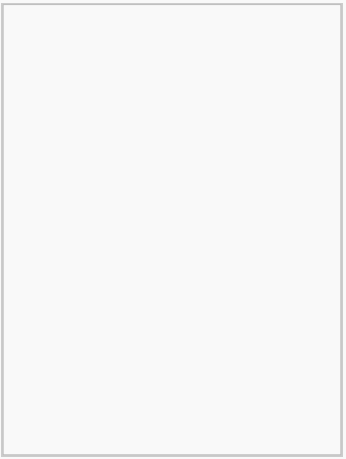


祈りを捧げると、このお釜池の青い水の中には、龍の卵が守られていました。大切な神様の子供を産み育てる神様の池がここです。

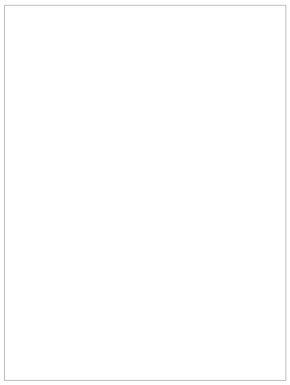
底抜池（そこぬけいけ）

はんのき資料館の一番奥にある池。資料館（有料）に入場しなければ見る事ができない。

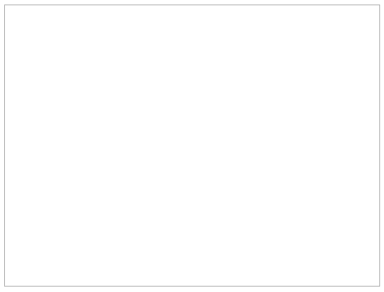
- 第3の霊場：釈迦羅竜王（しゃからりゅうおう）
- 石碑に「くむからにつみはきへなん御仏のちかひぞふかしそこぬけの池」との和歌が刻まれている。
- 水温：14 ℃
- 湧水量：0.155 m^3/分
- 面積：208 m^2
- 水素イオン濃度：7.1
- 水深：1.5 m
- はんのき資料館内



底抜池



この池だけは有料になっていますので、古民家の横を過ぎて、池に向かうと、大きな樹がここの池を守っています。この池は、人間の目覚めを諭したり、導きをしたり、浄化する力があることも祈ってわかりました。



古民家の中には、古い神棚と仏壇がありますが、仏壇にご挨拶すると、個人のものですので、他の宗教の方はご遠慮くださいと仏様が言ってきました。私だけご挨拶して、そうそうに家を出た場所です。

鏡池（かがみいけ）

水は濁り、湧水の綺麗なイメージとは異なる。名前の由来は逆さ富士が映る事から。

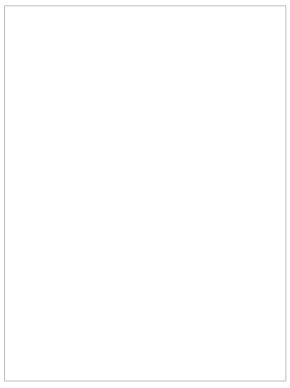
- 第7の霊場：麻那斯竜王（まなしりゅうおう）
- 今はない石碑に「そこすみてのどけき池はこれぞこのしろたへの雪のしづくなるらん」との和歌が刻まれていた。
- 水温：11.5 ℃
- 湧水量：月によって消長あり
- 面積：144 m²
- 水素イオン濃度：5.8

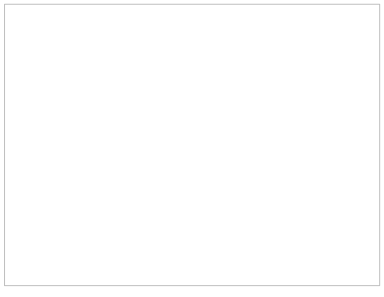
この鏡池に着くとすぐに、私の身体に「ご先祖掛かり」が始まりました。ご先祖掛かりとは、最近、親族で亡くなった方がいると、神祈りの時に、身体にご先祖たちの霊界エネルギーが掛かり、身体が重くなる事をいいます。

まず**17**名に聞きました。「ここ**5**年間で家族、親族が亡くなった方は手をあげて下さい。」すると驚く事に、半数近くの方のご親族が亡くなっていました。神に相談すると、この池からご先祖の御霊洗いをして全て上げるというので、一列に並んで御霊上げの祈り言葉を唱えながら祈りを始めました。

すばらく祈っていると、池に居た鳥が一羽、急に池から飛び立ちました。これが合図で、ご先祖御霊が上がった事を神は教えてくれました。この池は、先祖の御霊洗いができる池だということもこれでわかりました。

最後の出口池は離れた場所にあるので一旦、駐車場へ戻ろうとするとある場所が私を呼んでいます。道の外れにある小さな神社は、富士五胡稲荷神社でした。地元の方が大切にしているので、この場所で祈りをさせて頂いた御礼をしました。



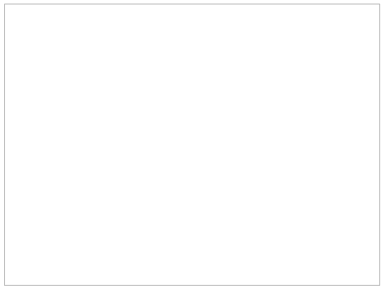


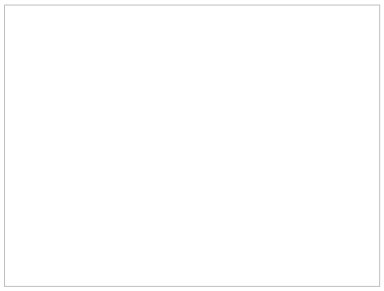
出口池（でぐちいけ）

忍野八海中最大の池。出口池の高台に出口稲荷社が建つ。


出口池

- 第1の霊場：難陀竜王（なんだりゅうおう）
- 石碑に「あめつちの ひらける時にうこきなき おやまのみつの 出口たうとき」との和歌が刻まれている。
- 水温：12.5 ℃
- 湧水量：0.265 m³/秒
- 面積：1,467 m²
- 水素イオン濃度：7.2
- 水深：約0.5 m



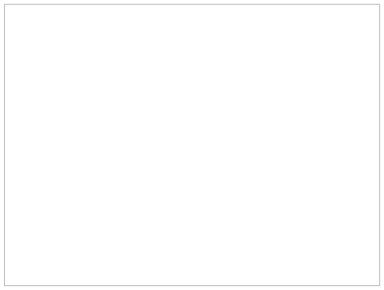


この出口池には出口神社がありますが、もともとの名前は精進池と呼ばれていて、修験者たちが山に入る前に体を清める大切な池でした。池の神様と神社の神様に祈りを捧げてみると、神様はこう言います。

「昔は、とても大切にしてくれてたくさんの人たちが手を合わせてくれた。でも最近は、祈りをしてくれる人も少なくて、とても悲しい。そしてここの池の水をも汚れてしまって、エネルギーが足りないので、新しい水を入れて欲しい」と言います。

皆さんが運んできてくれた水をたくさんこの池に入れました。あとで地元の方に教えてもらいましたが、実際に、数年前、この池に自衛隊のオイルが流れ込んで池が汚れた話をあったという事です。

水の神様が悲しんでいるの事は、とても心苦しい場所でしたが、祈りを捧げる事ができてうれしく思いました。神の願いを聞いてあげると、神はその力を発揮してよく働いてくれます。大切な鬼門を守る神の場所、忍野八海は、観光化しすぎて問題もありますが、水が湧いている間は守りをしてくれることでしょう。

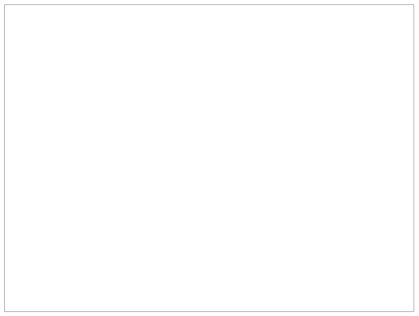


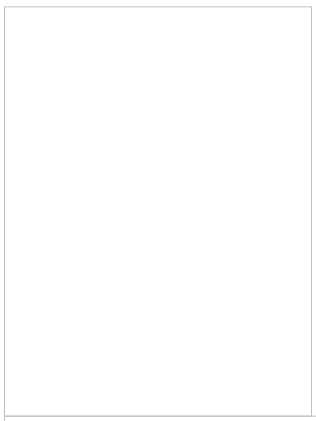
2009.07.28 Tue

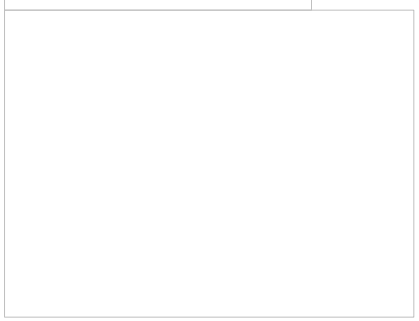
富士山神事第七回　須山浅間神社・御胎内神社（南東）

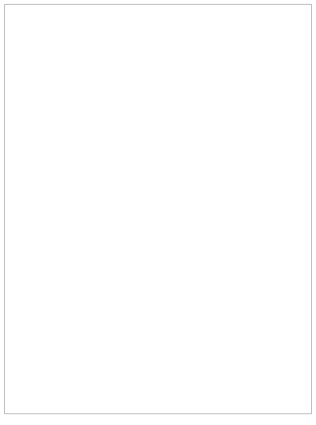
７月２０日（祝）　富士山神事　裾野納め祈り　南東→東北→北西→南西

今日の祈りは、新しい富士山のエネルギーを開放する為の大切な祈りですので場所の選定については十分、検討を重ねました。最初に訪れたのは、富士山の南東に当たる須山浅間神社です。
赤い鳥居の前に立つだけでものすごいエネルギーを発しているのには、驚きました。まず、鳥居の前でご挨拶してから参道を歩きますが、両側の樹もしっかり私たちを見つめています。

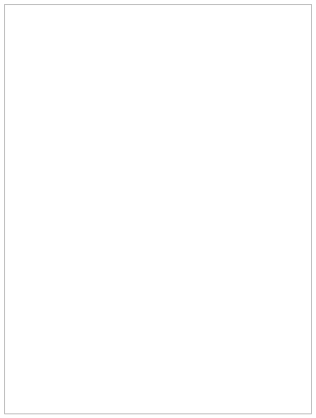






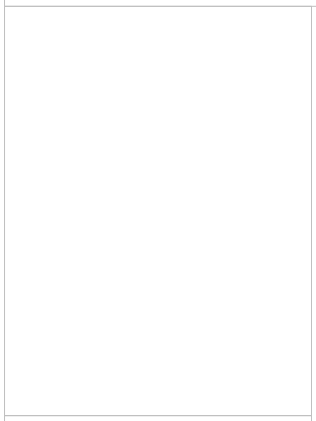


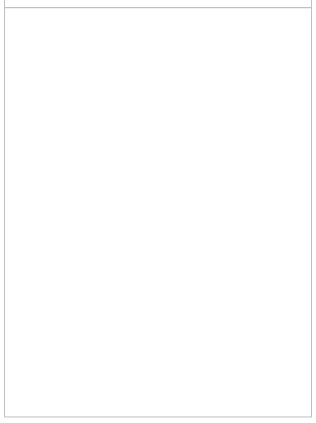
空を見上げると、龍の雲が出ていて、このお宮の祈りを祝福してくれているようです。



両側の樹に挨拶しながら石段を登るとお宮が見えてきますが、お宮の前にまず左手にあるご神木に向かいました。

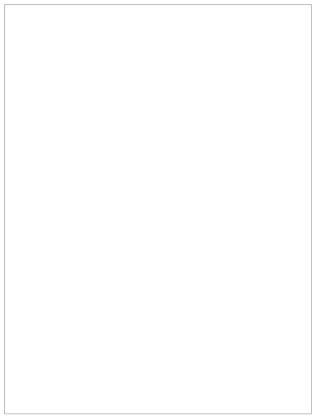


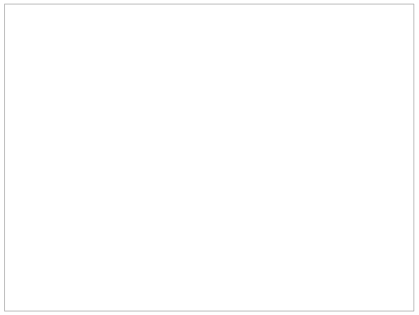


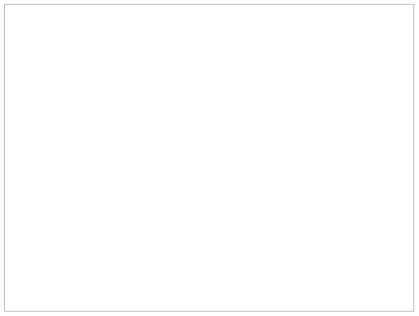


この樹のエネルギーは全員がわかるほど威圧感と共に、神のエネルギーを感じます。正式に昨日の富士山登山の報告の祈りをすると、樹から大きなエネルギーが降り注ぎます。その心地よい神のエネルギーは、この神社を今まで守ってきた神の力だとわかります。

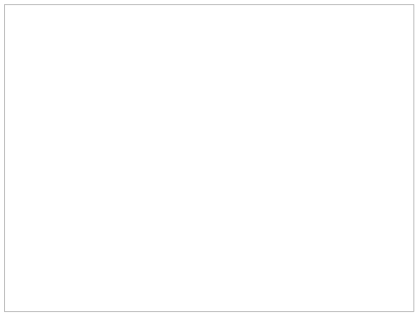
ご神木の祈りを終えると、お宮に祈りを捧げました。すぐにお礼の言葉を頂き、先にご神木に祈ってくれたことも喜んでくれたようです。お宮の中を撮影すると、青い三角の光が写りましたが、これがここの神様のエネルギーです。





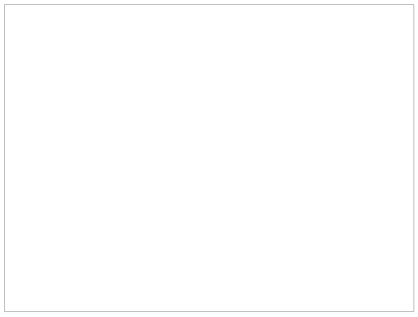


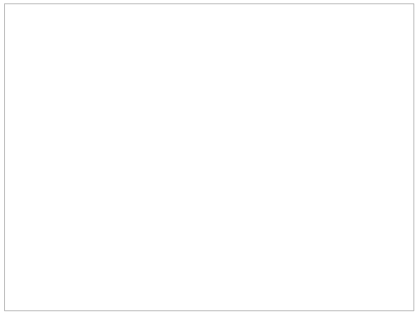
お宮の右にも大きな樹が見えますので行って見ると、さらに、お宮の真後ろにも大きな樹があるのを見つけました。坂を登ってお宮の真後ろにある樹に向かうと、お宮の左手にも同じような樹を見つけました。つまり、この３本の樹は、お宮を中心にして、三角形の形を作るように守っているということです。自然界の神々は、本当にすばらしいと形で守っているとことがわかります。



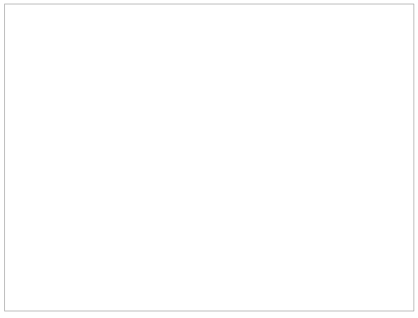
鳥居から発しているエネルギーも、この三本の樹で守られたお宮のエネルギーであり、そのさらに後ろは富士山に向かっています。ここは、きれいな三角形で富士山のエネルギーを樹が守っているすばらしい場所でした。

こういう場所は珍しいので、三本の樹にそれぞれ分かれて、三角点祈りを行いました。祈り始めると、完全に３か所の祈りはひとつになり、お宮から天上界へ向けて光が繋がりました。

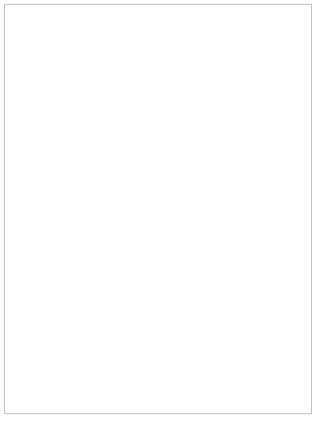




祈り終えても、あまりの気持ちよさに全員が動こうとしません。静かな時間が流れているのは、この場所が無人のお宮だということも理由なのでしょう。三本のの樹の祈りを終えてから、もう一度、お宮の神様にお礼のご挨拶をしました。すると、大きなピンク色の円になって、神様は姿を見せてくれました。これは本当に、この宮の神様の祝福を示しています。大切な場所に祈りをさせて頂きましてありがとうございます。

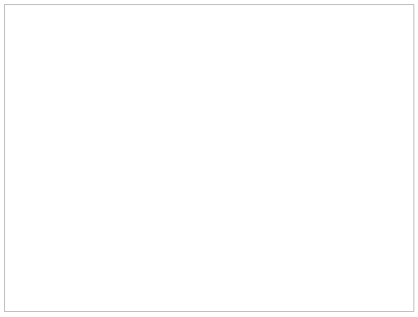


南東の須山浅間神社の祈りを終えて次に向かった場所は、同じ南東にある「御胎内神社」と呼ばれている観光名所です。ここは伊良部島の聖地なべ底と同じように、生まれ変わりの儀式が出来る場所ですので、神社にご挨拶してから狭い洞窟の中に入りました。



中に入ると、冷たい空気が溢れています。天井も低く、しゃがんだまま暗い中をしばらく前進し

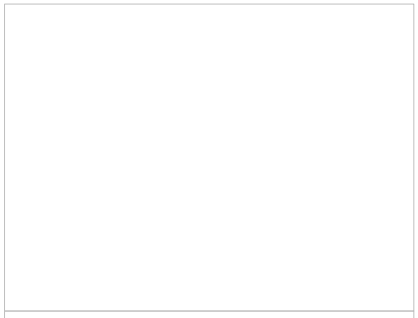
ます。しばらくすると、真っ暗な中に「前殿」と書かれた小さな祠が見えました。塩・水・酒で祈りの準備を整えてから祈り始めると、ここを守る存在たちが白い神気となって姿を見せてくれました。神はその神気の動きで、メッセージを伝えてくれています。

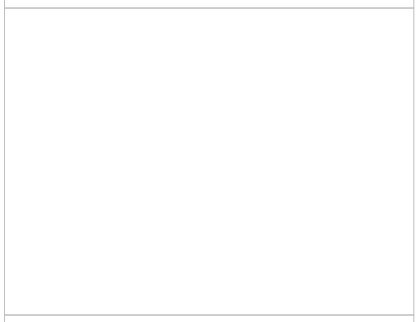


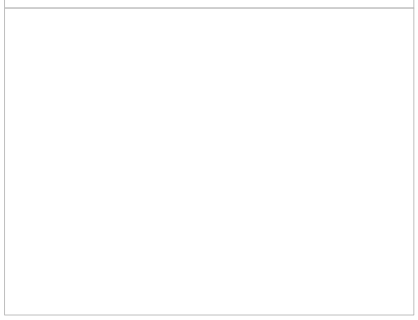
さらに、奥へ進むと、もう一箇所、「奥殿」と書かれた祠が見えました。ここが、お胎内の奥宮になるようです。祈りを捧げる前からどうも不安定なエネルギーを感じていましたが、祈りを始めて神様はすぐにこう言ってきました。

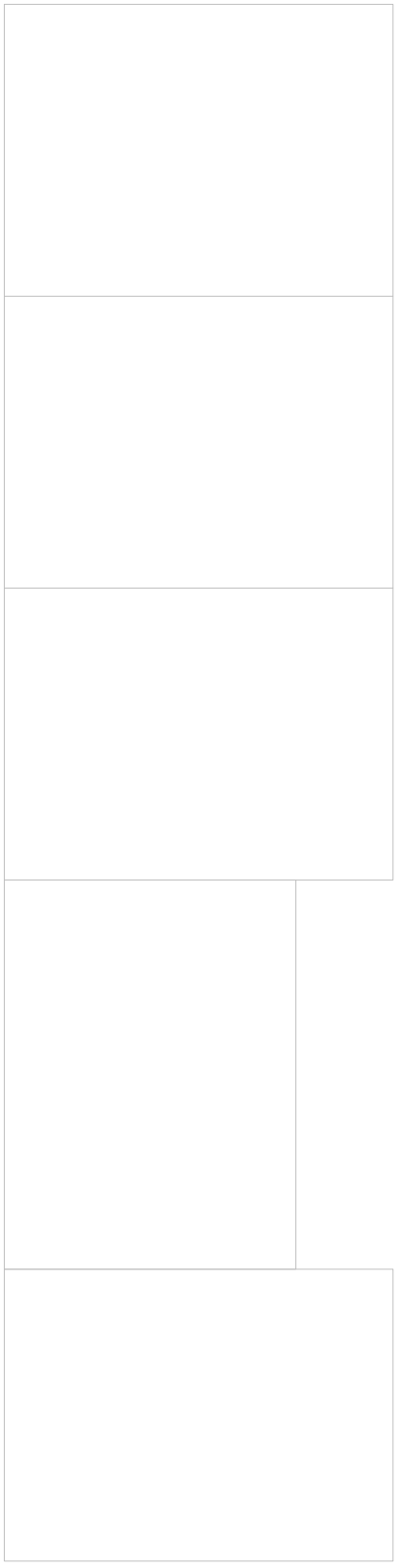
「この場所を通る人たちが手を合わせてくれないので、ここを守る私たちの神エネルギーが弱まっています。どうぞ、祈りのエネルギーをお願いします。」

まず人間の無礼をお詫びしてから、感謝の祈りを捧げました。赤いオーブは、神様の姿。白いオーブは、精霊たちの姿です。祈りは、正しく伝わりました。神様は、祈りの御礼とこれからのことをよろしく頼むと伝えてきました。









全国の聖地を祈っていても、神に頼まれることはよくありますが、とことん人間は祀るだけ祀って放置するのが好きなようで、その度に、神の力が弱ることをどうして次の世代へ教えないのか不思議でなりません。一度、祀った場所の神の力が弱まると、その分、エネルギーが不安定になりますので、一般的に言うと、災いが起こりやすい状態になります。

これはお墓でも、仏壇でも、神棚でも同じです。一度、祀ったならばしっかり祈りをしないと、何もしていない人より悪い事が起きるケースもありますので、祀った物は、自分のご先祖だと思

って大切にお付き合いしてあげて下さい。
そして、お墓でも神棚でも全て同じですが、もう祈りができなくなった場合、必ず、霊能力がある方にに「御霊抜き」をしてもらって下さい。「御霊抜き」は、それまで祈ったエネルギーを抜いて天に御返しするのが目的です。そして、最後は、お焚きあげです。人間の最後と同じように、全ては炊きあげて、煙と灰にすることで、天上界へ戻ることができます。

神のエネルギーを大きくする愛の祈りを終えると、生み出しの最後の道へ進みます。途中、大きな平らな石を見つけがましたが、それはすぐに胎盤だとわかりました。

一緒にいた看護士さんも、「いつも胎盤を見ていたけど、同じだからすぐにわかりましたよ」と言っていました。新しい命を育み支える大切な胎盤に感謝して、最後の細い道（産道）を進みます。足元が濡れているので、ほとんどの人は手や服が汚れましたが、この体験はとても貴重でした。

新しい命を生み出す祈りは、新しいエネルギーを生み出す祈りと同じ意味ですので、これから未来に向けて流れが変わることも覚えておいて下さい。

2009.07.28 Tue

富士山神事第六回　頂上祈り・富士山本宮浅間大社奥宮

19日の起床予定は、午前3：30。剣が峰の頂上まで３２名が歩く時間を考えると、この時間に起きる必要がありました。しかし、山小屋の規則は午前4時が起床時間なので、早く起きてゴソゴソすると他のお客様に迷惑になるので遠慮して欲しいと言われていました。

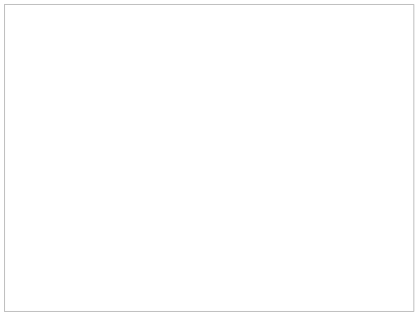
あきらめて4時起床に変更して床に就くと、寝たり起きたりの熟睡できないまま、突然、３：３０に部屋の電気が付きました。ありがたいことです、山小屋の管理人さんの判断なのでしょう。全員一斉に、着替えとトイレなど出発の準備が始まりました。

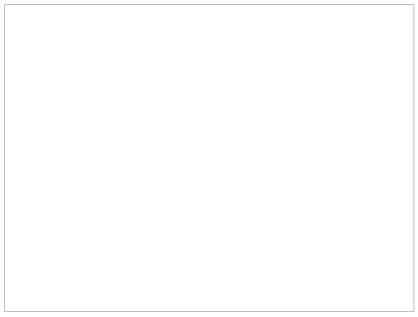
午前４時過ぎ、32名全員の点呼を取って小屋の出口に並んでいると、山小屋の管理者が、この入口をいったん開けると、たくさんの人が入ってくるので二度と閉められなくなりますので、全員で一斉に出て下さいと言われます。

こんな暗いうちから、そんなに人がいるのかと思い外へ出てみると、山小屋の外には１００名以上の方が雨に濡れながら夜明けを待っていました。ヘッドライトを付けて、風速４０ｍの闇の中へ出て、剣が峰へ向かう道に一列に並び人数を数えていると、右へ左へ吹く突風にあおられて倒れそうな人が数名いました。

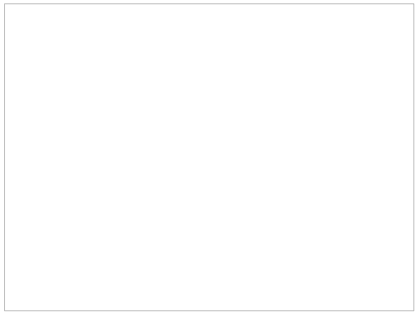
今のメンバーの体力は、寝不足と疲れと吐き気、それに加えてこの寒さと風では、お鉢巡りどころか、剣が峰までの道を進む事も危険だと判断したので、すぐに「剣が峰はあきらめます。富士山本宮浅間大社奥宮の境内で祈りを行います」と通達しました。

視界が数メートルしかない霧の中を歩く危険をおかしてまで、剣が峰頂上へ行く理由はありません。この風も天候も全てが神の計らいだと感じていたので、自分たちのできる範囲で神事を行う決断をしました。





うっすら空が明るくなってきましたが、太陽が出る気配は全くありません。境内に入り中心に三重の輪を作るように座りながら、３２名が祈りを始めました。周りの人たちは何をしているのかと、写真を撮ったり、のぞきこんだりしています。



この頂上神事では、宇宙の大元と地球の核を繋ぎ、光の柱を祈りの力で立てて、北斗七星のエネルギーから新しい八番目のエネルギーを地球に繋ぐ祈りをしました。大きな光の玉が中心で回転しています。その玉をまた地球の核へ納めて、新しい命のエネルギーが生まれるようセットし直しました。

祈り仲間の谷さんは、明日からインドへ向かう事が決まっています。ここで立てた新しい光の柱のエネルギーを地球上の人間の魂の故郷であるインドへ繋ぎ、新しい命の再生が、ここ日本から始まる事を告げに行くのです。

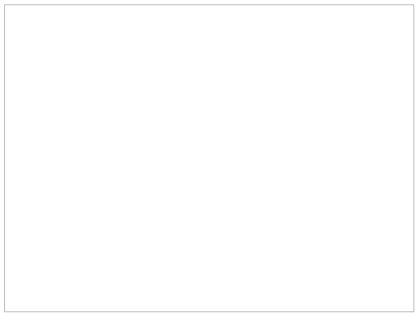
谷さんは以前、3か月かけてインドの聖地を巡り、6本の光の柱を繋ぎ直す神事を一人で行った方です。地球を愛し、日本に生まれた本来の役目を果たせるように世界の祈り繋ぎをして下さるおかげで、私たち日本人は、その役目を果たせるのです。

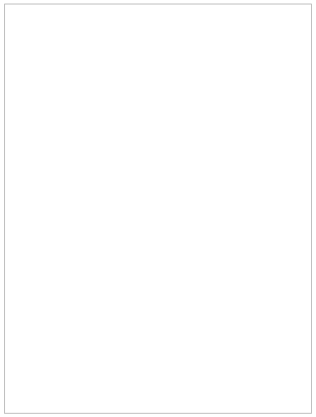
祈りは、音も寒さも一切の感覚が消えた十数分間でしたが、無事、終えることができました。全員で手を繋いで、感動と感謝を共感しました。まだ霧や風は、一向に収まる気配がありません。

登山道はどんどん登ってくる方と、降りて行く方とが交差して込み合っていました。できれば早く下山したいと思いましたが、体力の無くなっている人が数名いて休みたいというので、一時、山小屋へ避難することにしました。

頂上の登山者の数は、どんどん増えていて現在、200名を超えていますので、山小屋へ入りたい方たちが入口に一斉に列をなしています。中に入れない人は強風にさらされながら体温がどんどん下がるのを我慢するしかない状況でした。この時の体感温度は、氷点下だと思います。

今回、神事参加者全員に完全な寒さ対策を指示していましたが、それでも強風の中に立っているだけで体温は下がります。1時間ほど外で待っていると、6時くらいに奥宮神社のドアが開き、外にいた数十名が中に入り、風をしのげたお礼に奥宮のお札を購入しました。神様、ありがとうございます。





午前７：００、山小屋の一斉清掃の為に全員、外で出るよう言われます。山小屋とお宮の中で風をしのぎ、着替えをしたり軽食を食べて風が止むのを待っていましたが、体力が落ちてきているので、下山を決めました。

女性が飛ばされないように間に男性が入り、身体を支えながら下山の道へ進むと、見える先まで続く人間の大渋滞でした。二、三歩進んでは、立ち止まる動作の繰り返し。前後左右に吹く風にあおられながら、転倒する人もたくさん出ていました。

富士宮口の登山道が、登る方と降りる方が交差するのはわかっていましたが、この渋滞はあまりにおかしいと思いましたが、原因がわかりません。強風に倒れそうな仲間の身体をつかみながら、一歩一歩山を降ります。

2時間ほど降りた場所にある大きな岩場が、渋滞の原因だとわかりました。一方通行しかできない

道で、下りの人が登る人を優先しすぎていたようです。何事においても、全体の状況判断ができないとこういう結果になってしまいます。

下りの渋滞の列は、頂上から五合目までおよそ2000人を超える人数が立ち往生していたはずです。やっと山のパトロールの方が来て、交通整理を始めました。それでも渋滞は続いています。7合目を過ぎたあたりから風が少し収まり、温度も上がってきました。厚手の雨具を脱ぎ、体温の調整を始めます。

少し霧は薄れてきたとはいえ、立ち止まるとすぐに体温が下がる寒さの中、どんどん登る人たちが増えていました。きっと、下の天気がいいからなのでしょう。私は登ってくる人の服装や準備物を見て、危険と感じた人には、登山を諦めるよう声をかけました。

数名の方が、自分で判断して下山を決めてくれました。中には、半そでのTシャツにGパンで登ってくる方もいました。自然の恐ろしさをよく知っているラフティングの全日本監督の重ちゃんは、「世界の先進国で、これほど管理しない山も珍しい」と話してくれます。

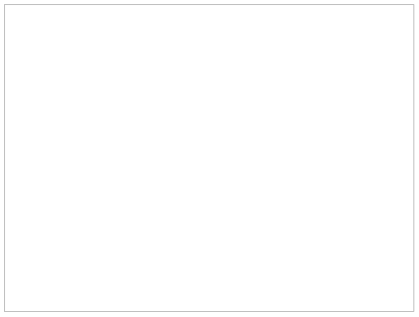
大切な山の自然を守る意味でも、登山者の安全を考える面でも、登山者の有料化や予約登山制などの規制をすることが必要だと教えてくれました。

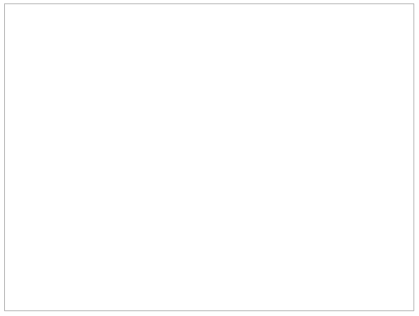
案の定、下山してからわかったことですが、同じ18日に頂上へ登った二人の登山者が、あの霧の中をお鉢めぐりして、吉田口へ降りる途中に遭難したニュースが流れていました。とても残念な事ですが、山や自然を甘く考えている人たちが引き起こす事故は、無くなることがありません。

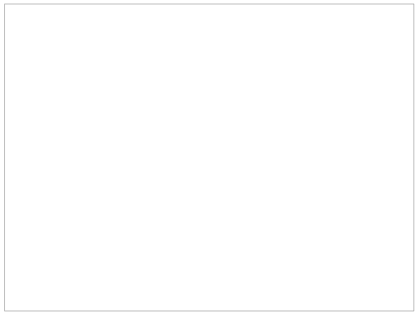
下山してから頂上富士館の管理さんのブログを読むと、今年は噴火口に残雪が多く、お鉢巡りはまだできないと書かれていました。

今回の神事の初日の16日にも北海道のトムラウシ山で、１０名の登山者の死亡が報道され、私たちは神の警告と感じて気を引き締めたものです。きちんと登山装備を揃えると、一人十万円以上かかるのが登山ですが、それは自分だけの為ではない事を知っているから重要なのです。

富士山登山は、一般の山をいくつ登っても体験できない辛さがあります。天候の変化、高山病、吐き気、めまい、気圧による体長不調・・・3776ｍの山は、やはり特別な領域ですので、自分の準備と状況に合わせた対応を心がけるようお願い致します。

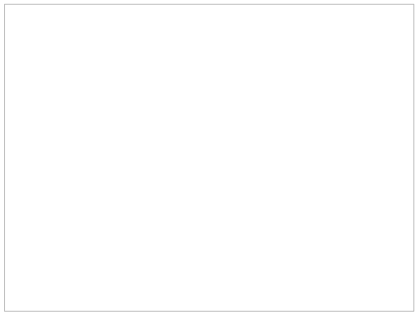






正午１２：００に、五合目に到着しました。下山時間、5時間。

食事もとらず、歩き続けた身体は、ホテルに戻ってゆっくり休むことにします。夕食後の交流会では、人と人が本気で触れ、支え合う素晴らしさを共有する時間になり、喜びを一人一人が発言し愛ました。さあ明日は、この富士山神事の最後の納め祈りになる八方祈りを行います。頑張ってくれた身体に感謝して、おやすみなさい。



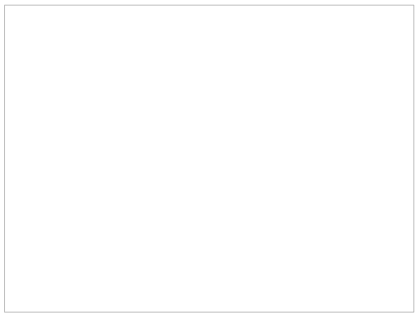
2009.07.26 Sun

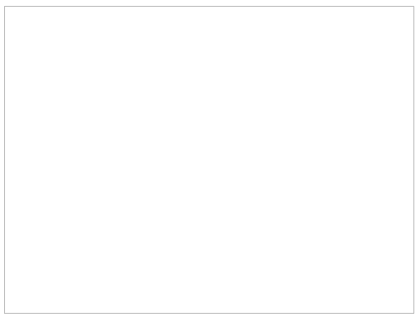
富士山神事第五回　富士山登山

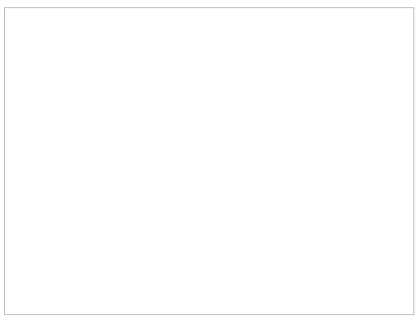
2009年7月18日、富士宮口の五合目に集合した総勢３２名は、準備運動をした後に、心をひとつにする祈りを行いました。地球を愛する全ての人の思いを背負い、頂上まで無事に着きますよう、天の計らいに感謝する祈りです。

天候は、小雨まじりの涼しい気温。これも、登山にはとてもありがたいことです。30℃を超える日に登山した事がありますが、その時の暑さと辛さは、汗が出すぎて体力の消耗が激しく、持ってきた飲み水が不足した人が出たほどです。

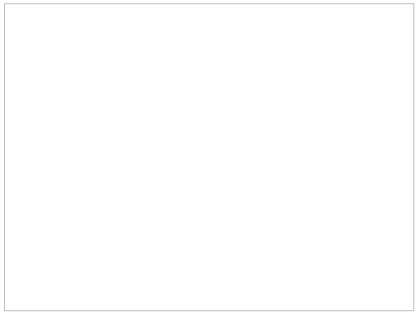
2008年の7月18日、私たちは、福井県の白山に登りました。古くから日本を守ってきた神々たちに感謝の祈りをすることが目的でした。そして2009年7月18日、１０：１５　富士山へ昇り始めました。

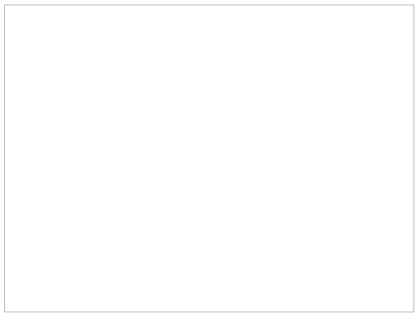


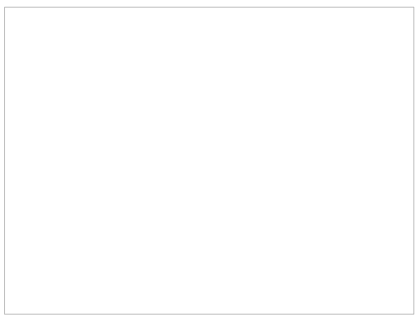




道の途中には、大きな溶岩岩が連なっています。三連休という事もあり、多くの登山者が山を登っています。数珠つなぎで互いをサポートしやすいように、離れない隊列を組みました。先頭部隊、中盤部隊、後半部隊と三つの分かれ始めますが、体力のあるパワーメンバーがそれぞれをサポートしてくれています。



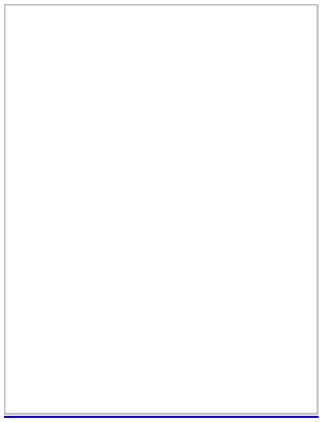




富士宮口　五合目の標高が２４００ｍなので、六合目（2490ｍ）まではそれほど辛い登りではありません。しかし、もう雲海を見下ろす高さまで来ていました。雲の間から顔を出している山は、愛鷹（あしたか）山といって、この富士山が噴火してできる前まで、富士山の代わりをしていた大切な神の山です。

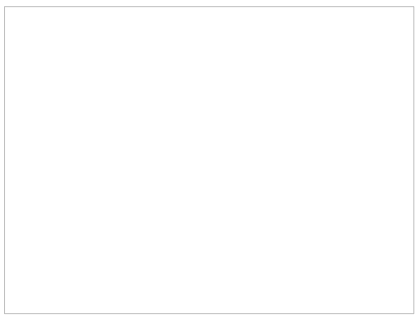
関東の仲間たちが事前にこの愛鷹山へご挨拶をしてくれたおかげで、私たちの登山も祝福するように顔を見せてくれています。そして、この愛鷹山と富士山を結ぶラインこそ、日本を分断する大きなプレート（フォッサマグナ）のラインなのです。

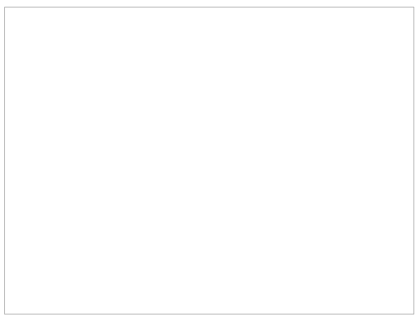
このフォッサマグナのラインは、伊豆半島に天城山、その先に八丈島がありますが、フォッサマグナの神ラインを守っているのは、実は、八丈島なのです。反対に、富士山の北北西に延びているライン上には、八ヶ岳を抜けて日本海まで続いています。日本はこのフォッサマグナのプレートが動くことで沈没することを20世紀の啓示が、何度も伝えています。※緑のプレートがフォッサマグナです。

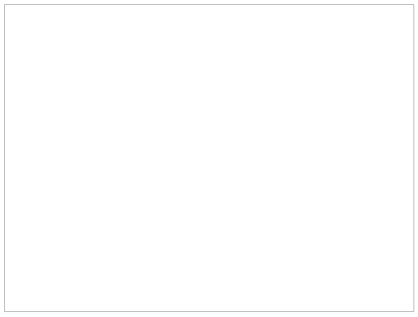


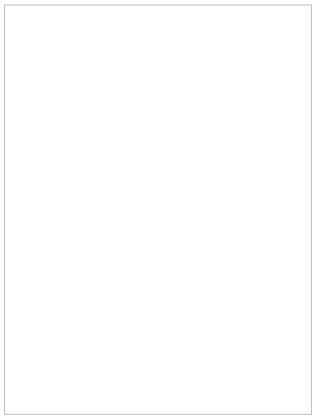
自然界の神々が造り出した日本という小さな島は、いつもこのプレートの危険をはらみながら存在しています。海の底から隆起した山や大地は、その頂きに神が存在して常に人間や自然界を見守ってくれています。

六合目を超えると、右手に宝永山が見えてきます。この噴火は江戸時代ですが、土の色が違うために美しくその姿を見えます。新七合目（2780ｍ）まで来ると雲が開いて、日差しが出てきました。汗をかかない登山が一番疲れないと教わったので、体温管理の為にみんな着替えをします。

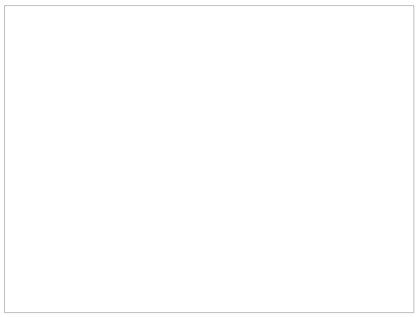


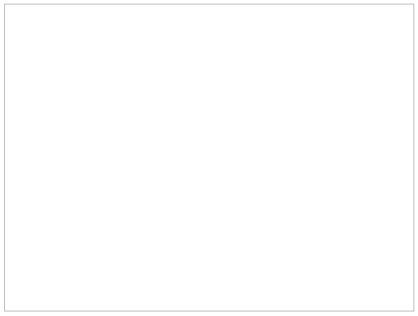


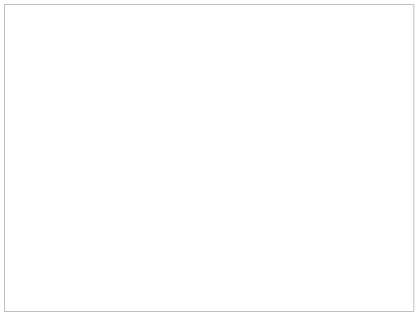


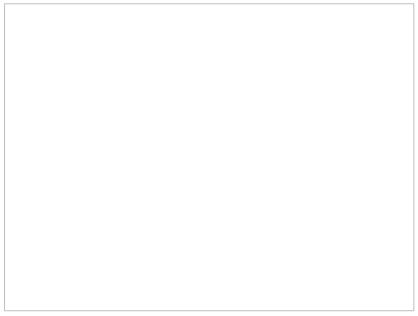


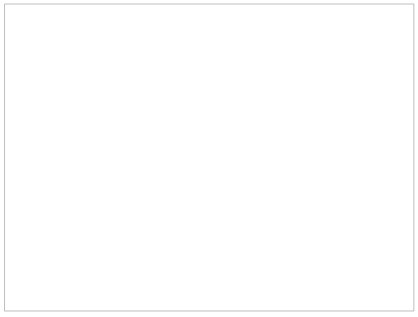
元祖七合目（3010ｍ）まで来ると、高山病の気配なのか、軽い頭の痛みを感じます。濃縮酸素のおかげで頭もスッキリするとすぐに、出発します。このあたりに見える赤土はとても美しく、地球の奥底から地層が噴き出たエネルギーの凄さを実感します。

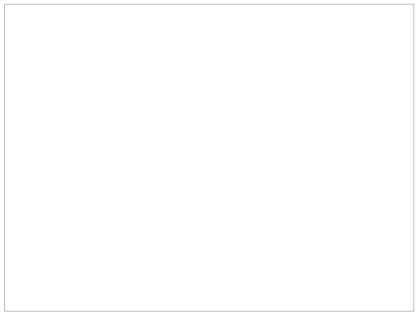


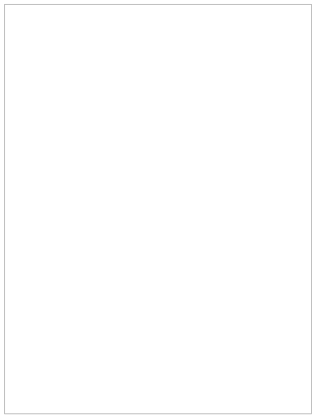






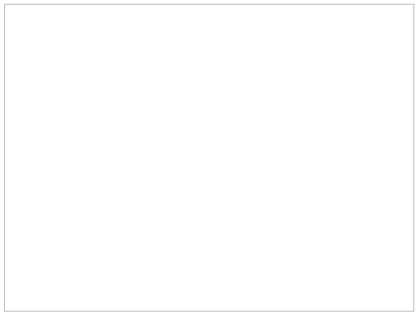


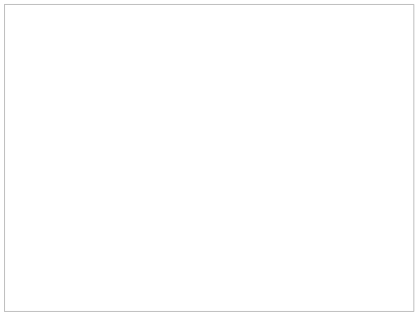


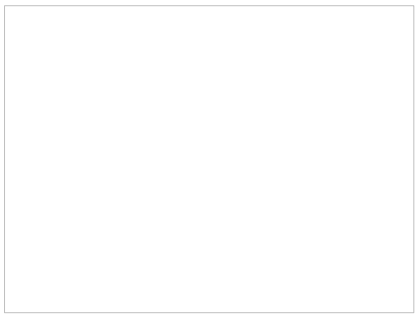


八合目（3250ｍ）からが富士山奥宮の境内ですので、全員で鳥居にご挨拶します。ここでご来光見ると水平線に見える美しさがあるようですが、私たちの目的はあくまで頂上！

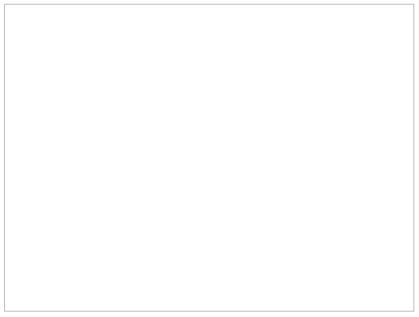
酸素がさらに薄くなっているのは、息がすぐ上がるのでわかります。歩いて立ちどまり、歩いては立ち止まる登り方に変わります。

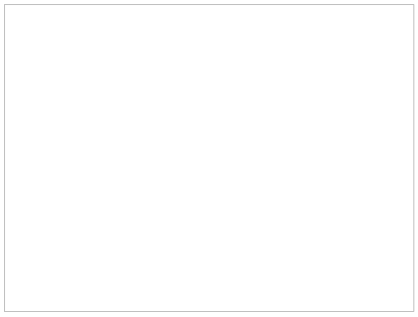


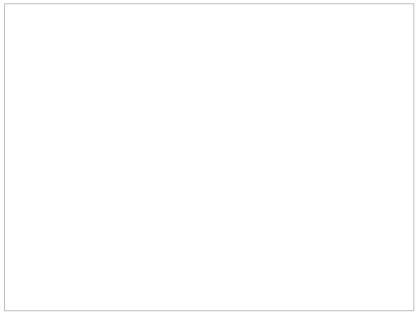


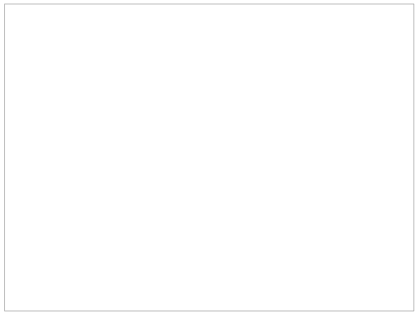


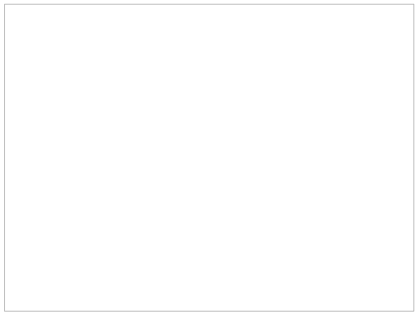
九合目（3460ｍ）からは、万年雪が常時、見られるくらいに温度が下がります。ふと、後ろを振る変えると、左のほうから龍のすじ雲がいくつも出ていました。いくつもの龍雲が集まっている場所は、どうやら富士山の真南の方角から出ているようです。先日のす裾野祈りの南の地からなのかもしれません。

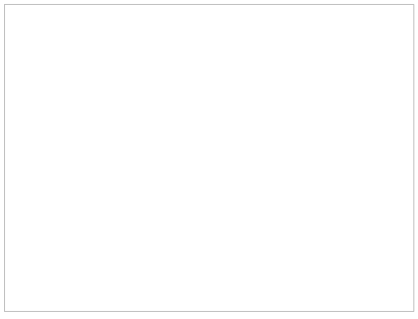


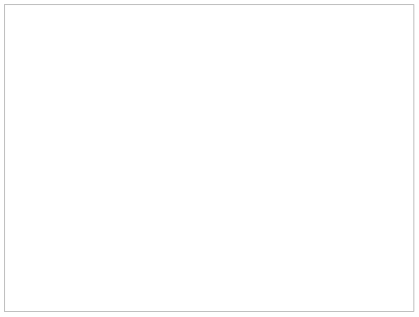


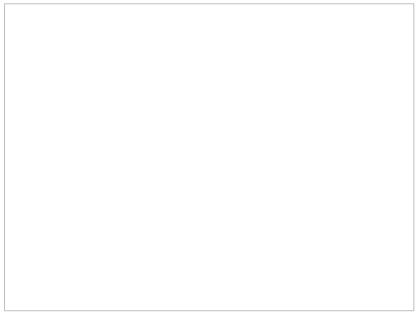


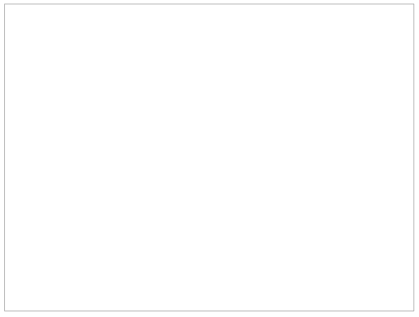


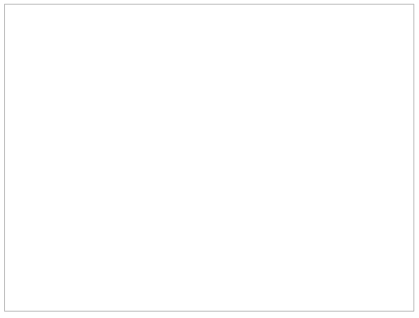




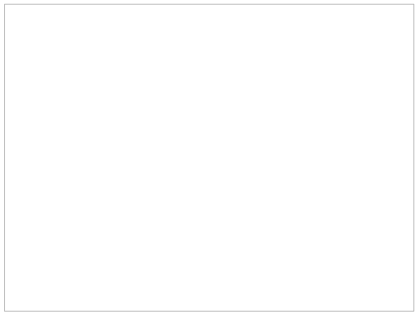


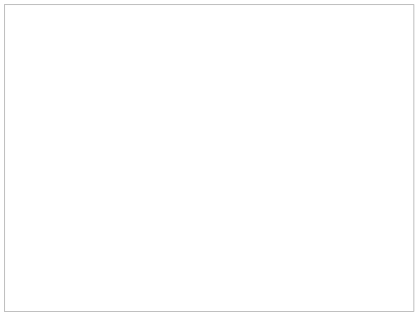






左手を見ると、夕日が沈む光の反射で雲が七色に輝き始めます。この美しさをわざわざ見せてくれている神々の計らいに、感謝が溢れます。

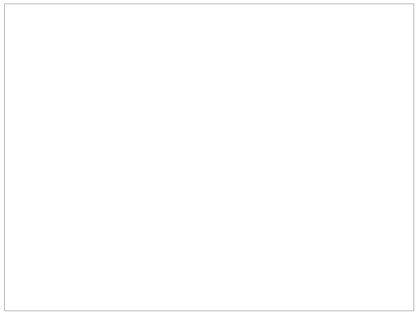


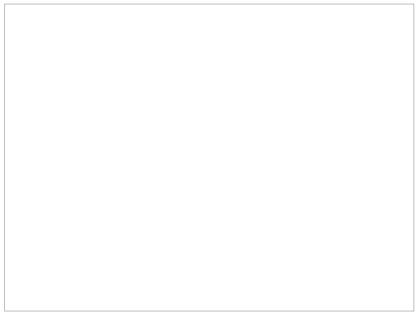


神々に感謝を伝えていると、今度は、UFOの雲が降りてきました。これは完全に母船を包み込んだ船です。UFOは自分の意志で姿を見せたり消したりできますので、母船のエネルギーが雲の渦を作りますので、こうして姿を見る事ができます。

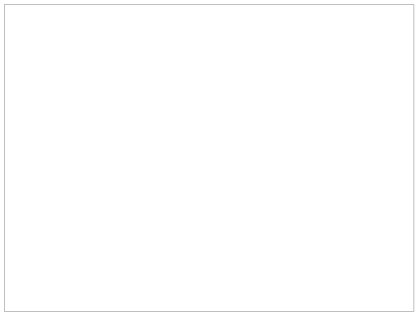
まだ人間が地球外生命体の宇宙船の実態を見る準備ができていない為に、その姿を見せないよう私もいつもお願いしています。このときは、母船の下にあるシャフト穴が開いていました。これは小さなUFOを数百機収納する為の出入口です。

富士山でUFOを見る方は、とてもたくさんいらっっしゃいます。でも雲の形で出会ったり、光の動きで見る方が多いので、なかなか信じない方もいるようですが、まだ心に恐れが残っている為に受け入れられない幼さの証拠ですね。





夕暮れの気配を感じながら、やっと、九合五勺（3590ｍ）の胸突き山荘に着きました。八合目からどんどん身体は辛くなり、一歩がこれほど苦しいのかと思うほど、重い足取りが続きます。ここで頂上に着いた先発隊から電話が入りました。



「今、どこですか？**6**時を過ぎると食事が食べられません。そして、**7**時を超えるなら、就寝時間になりますので、その場所に宿泊して下さいと言ってます。」

時刻は、６：１５分。

あと45分で全員登りきれるか、それとも、ここで宿泊するか？判断しなければいけません。胸突山荘に聞くと、15名までならいいですが、それ以上は無理だと言われました。現在、私の後にいるメンバーは、約20名。危険を冒すか、ここで寒さを耐えて日の出前に登るか・・・。

すぐに、登る決断をしました。頂上でなければいけない。私たちは明日の朝、頂上にいなければいけないと強く感じるのです。でも、ここからの時間が一番、苦しい時間でした。本当に１０歩進んで立ち止まるほど、心臓がバクバクしてきます。

酸素を吸っても吸っても足りないくらいに、身体が重く感じます。そんなとき、後ろのほうで大きな声で掛け声をかけてくれる仲間がいました。

いくぞー！頑張れー！もう少し！

人間は、やっぱり最後は人間に力を頂くようです。
元気を与え続けてくれたすばらしい仲間に、心から感謝を贈ります。
私が頂上富士館に着いたのが、ほぼ夜7：00。（登山時間　9時間）

まず、山小屋の方にお詫びしました。山小屋は、ただの宿泊所ではありません。緊急時に判断しながら人の命を守るところですので、山の約束を守らない事で危険が周りの人に及ぶ恐ろしさを知っているからです。

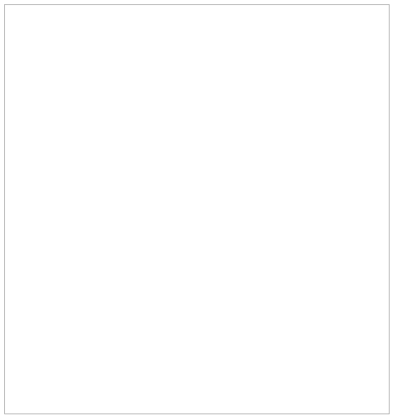
最終の谷チームのメンバーも全員、登り切りました。午後７：３０くらいでしょうか。夕食が当たらなかった人もいましたが、寝るところがあるだけで、本当に幸せだと感じました。最後に知らない一人の若者が、山小屋の入り口で立っていました。

どうしたの？と尋ねると、予約をしていないので・・・と、外で待つ覚悟でいるようだったので

、山小屋のご主人にお詫びして、宿泊をお願いしなさいと教えました。結果は、泊まれたようです。

山は天気や気温が急変しますので、自分だけのことでは済まないくらいに、おおがかりな問題を引き起こします。どうぞ、その点だけは、山に登る皆様も考えて登って下さい。

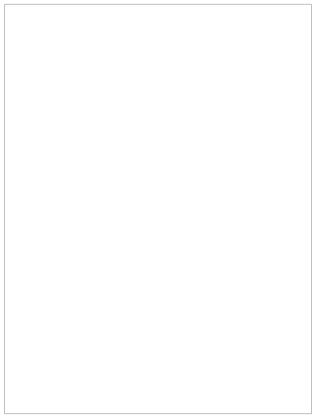
32名全員が、無事、床につけましたが、疲れと高山病のせいで、夜中に、何度も吐いた方がたくさんいたようです。一晩中、酸素を吸っているシュー、シューという音に包まれた山小屋の夜でした。

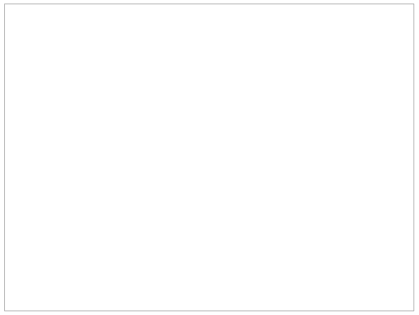


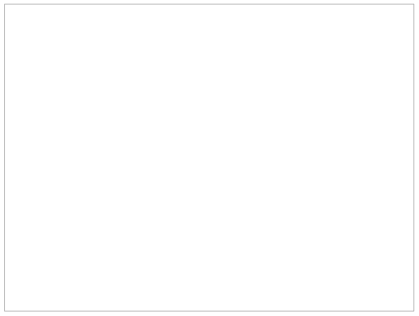
2009.07.26 Sun

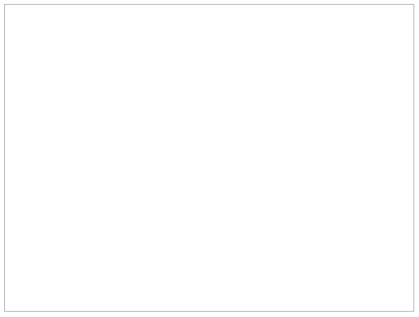
富士山神事第四回　御室浅間神社（北）・須走浅間神社（東）

南と西の祈りを終えて、次は、北の祈り場所、御室浅間神社へ向かいました。









お宮の正面から北の守りをして下さる神様に祈りを捧げたあと、右手にまわると、三つの祠（ほこら）が見えたのでご挨拶に行きました。三つ目の祠のご挨拶を終えて、御宮の真裏にある祠へ行こうとすると、足にビリビリ！警告のエネルギーが入ってきます。

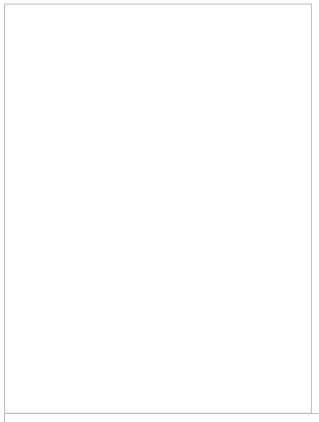
何だ！？と一瞬思いましたが、これは相当に強いエネルギーだったので、全員に正面に戻ってもらいました。今度は、御宮の左手にある三つの祠に順番に挨拶をしました。こういう場所は、挨

拶する順番を間違うと、とても失礼にあたりますので、神が導くとおりにひとつひとつ、丁寧に挨拶しました。

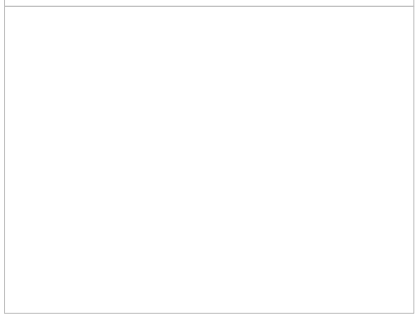
この場所の挨拶の正しい手順は、左の三つの祠に挨拶してから、右の三つの祠に挨拶をして、最後に、真裏の祠に挨拶するのが正しい挨拶の手順のようです。

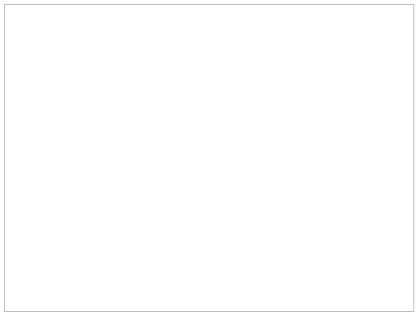
六ケ所の祈りを終えて、御宮の真裏にある祠に向かうと、人が一人通れるくらいの狭い空間しかありません。お辞儀をして正面を向いてみると、左の柱に国津（くにつ）神社、右の柱に別天津（ことあまつ）神社と赤く書かれています。これには、驚きました！

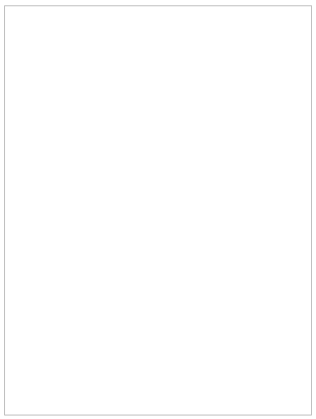
この祠は、国津神と天津神の両方を祀る神社だったのです。これほど強力な神エネルギーを発している祠を感じた事がなかったので、一人一人の身体を水で清めてから祈りをしてもらいました。











実は、この日の朝から参加者の一人に神メッセージが降りていました。神道の神話で、国譲りをした張本人の事代主（ことしろぬし）に対して、これまで守ってきた土地の神々がまだ快く納得していないぞ！というメッセージでした。その気持ちをわかってくれと、何度も何度もメッセージが入ります。

神道の神話にある国譲りの物語は、神を当時の人間に置き換えて考えるとわかりやすいのですが、それまで日本に住んでいた先住民族の土地へやってきた外来の民族が、日本の土地を明け渡せと迫った物語を神に例えたのが神道の神話です。

その神話の代表的な場所が、国津神が出雲の国で、伊勢の神は天津神だと表せます。この天津神と国津神の和解をさせる為に、2008年10月、沖縄・出雲・伊勢神事を行いました。しかし、ここ関東の地を守ってきた人の思いと一緒に、国譲りの事を納得していない神が、まだいると伝えてきているのです。

神の争いや人の争いの場合、表にできない微妙な部分もありますので、その気持ちを汲み取って新しい調和の為に祈りを富士山で行うと、神々には伝えました。神は、「よろしく頼む！」と一言だけ答えてくれました。

古事記や日本書紀に載せられない内容がある事は、神に繋がる人たちは皆知っていますが、それも庶民の長期的な平安を考えた上で決めたことだとご理解下さい。正義を問う戦いの最後は、大切な家族を失う争いになる事は、私たちも第二次世界大戦で学んでいるはずです。

だから、一方的に正義や正しい事実を追い求めるのではなく、ある事実を知った時に、どう新しい時代へ人を導くのか考える事が必要です。いつの時代にも、事実はほんの一握りの人しか知らないものなのです。

興味本位でいろんな物事を調べている人たちにたくさん会いましたが、あなたの目的は何ですか？と私はいつも問います。正しいと思う事を一方的に主張して、誰かを攻撃したり、それまで人間が大切にしてきた信用を失わせる責任は、誰が取るのでしょうか？

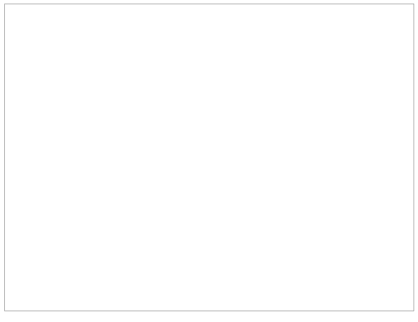
あらゆる信用を失墜させる事が目的で行動している人もいるようですが、そういう人たちの行動と発言は、とても危険です。人間の思想をコントロールするように感情に訴える口述が多いので、本やネット情報で日本人の精神論に触れる情報の扱いには、特にご注意下さい。

話を神事に戻します。

ここで、一人の仲間が加わりました。札幌の仕事を終えてから、飛行機で河口湖まで直行してくれた女性です。彼女は、ある大手企業の現役の管理職をされている方ですが、生れながらの霊感体質を生かして、昨年から神事に参加しています。先週もわざわざ、日本を守る二つのエネルギーラインを繋ぐ為に、関東チームと事前に祈りに来てくれていました。

富士山の真北にぶつかる河口湖を横切るのですから、ご挨拶をしなくてはいけません。車を降りると、水が腐った臭いがあたりに充満しています。ここの水が淀んでいる事は聞いていましたが、これほどとは・・・。

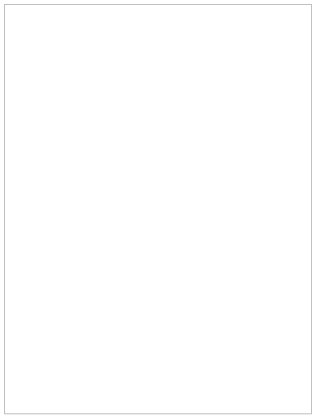
かつて、富士山の周りは全て海の底でした。そこに富士山が隆起して陸地に海の水が残り、二つの大きな湖ができました。そのあと何度も噴火した結果、現在の富士五胡と呼ばれる湖が完成したのです。

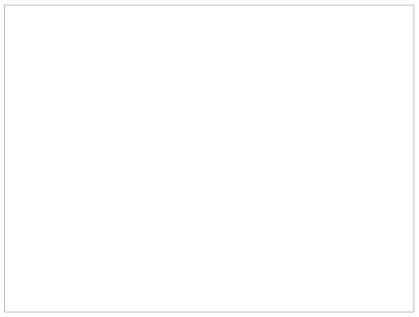


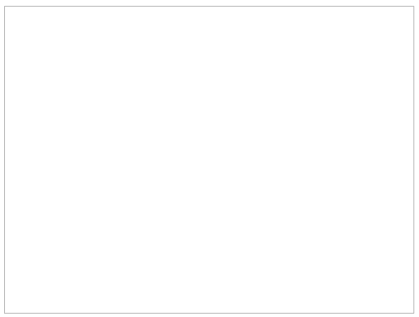
河口湖に向かって一列に並び、全員が両手を出して祈り始めると、湖から大きな龍が動き出して、16名全員の手の上に載りました。龍を富士山へ連れて行って欲しいのだとわかりました。

ありがたく、お引き受けいたします。

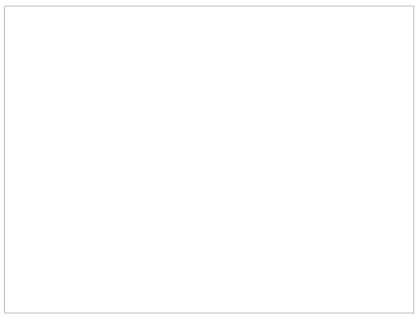
北の祈りを終えて、最後は東の祈り場所、富士山東口浅間神社（別名：須走浅間神社）です。

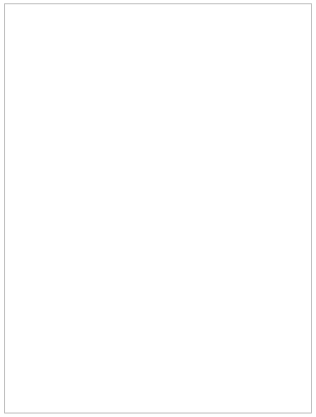






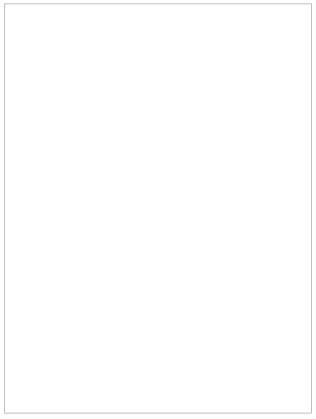
現在、ここの御宮のご神体は改修工事の為に社務所の中にあるそうなので、素敵な森の中で祈る場所を探しました。大きな杉の木が、導きをしてくれました。それは、御宮の左手にある大きな太い樹です。自然にできた二本の鳥居の役目をしている樹をくぐる抜けてから、寄り添って立っている大小の樹がここの守り樹です。

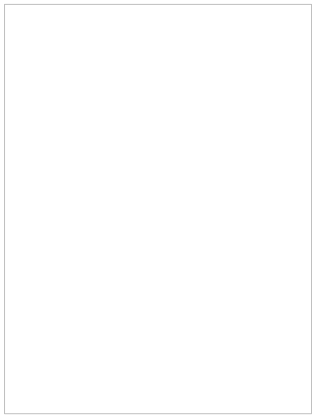


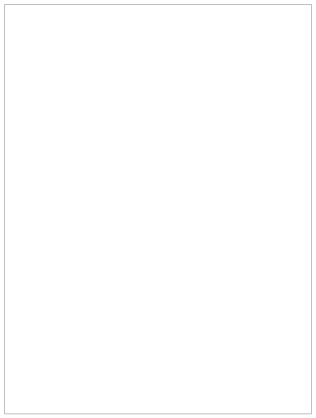


一本は、男樹、もうひとつは、女樹です。全員でその二本を取り囲んで手を繋ぎ、祈りを始めました。男女和合、新しい命を産み出す感謝、人間よりずっと以前からこの土地を守っているお礼の祈り。その時の祈りのエネルギーはとても気持ちよく、樹をのお礼を通して全員に愛と調和の心が産まれたようです。

この神社で全員が笑顔になったのが、ここのこま犬です。愛をとっても感じますね〜！







この東の場所の祈りで富士山の裾野の四方固めが、無事、完成しました。明日は、富士山へ登りますが、一緒に登る谷さんの全国の仲間が旅館で待っています。夕食会は、富士山の決起集会と登山の注意事項、そして、神事の中心メンバーと最終の確認をして夜は更けました。
2009.07.26 Sun

富士山神事第三回　毘沙門天（南）・人穴浅間神社（西）

7月17日（金）富士山裾野四方祈り［南→西→北→東）

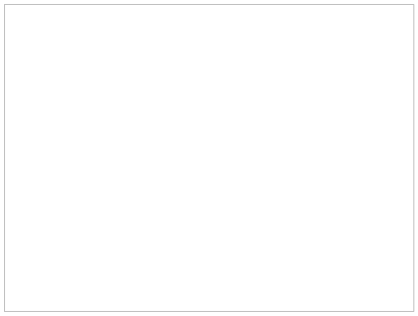
富士山頂上の大切な祈りをする前に、まず富士山の四方祈りを行いました。回る順番はビンの口を閉めるように右回りで回りましたが、この意味はこれまで守ってきた神力を祈り繋いで、ひとつにまとめて頂上へ持って行くという意味があります。

場所の選定には関東チームにご尽力を頂き、事前調査で新たに二つのエネルギーラインを見つけ、その繋ぎ祈りも行った事に感謝します。

この二つのエネルギーラインの話は後ほど説明するとして、まず富士山の南へバスを走らせます。実はこの南の場所だけ祈る場所が決まらなかったのですが、現地に行けば分かると感じていたので、海に向かって進みました。

向かった先は、田子の浦方面。工場が立ち並ぶ隙間に海が見える公園へ行くと、そこには、若い武士と家来が集団自決した霊たちが集まっていました。見た目はただの広場に見えますが、その霊たちの無念さが伝わってきます。当時の歴史を紐解くと、どうやら、城を追われた若い男性の無念の自決のだったようです。ここへ来る途中で「仏舎利塔」が見えていましたので、インドへ繋いで御霊帰りをお願いました。

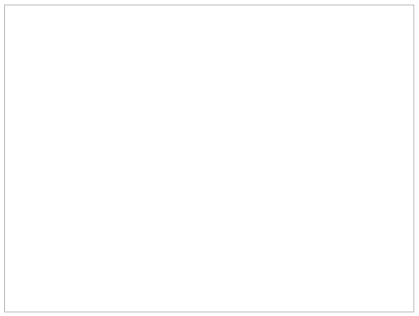
ここではない事がわかって、先ほど通過した地名の「毘沙門天」が気に始めます。そこに何かありますか？と関東の方に尋ねると、毘沙門天　妙法寺があるとわかりました。さっそく向かってみると、納得できるエネルギーを感じます。本堂に祈りを捧げてから、敷地内で南を守る祈り繋ぎをしました。この本堂では何度、写真を写してもボケたり写らないくらいにエネルギーが強いお寺だったのが印象的です。

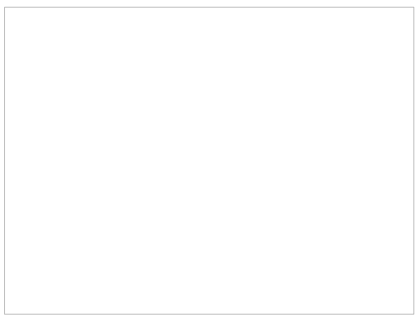


毘沙門天　妙法寺

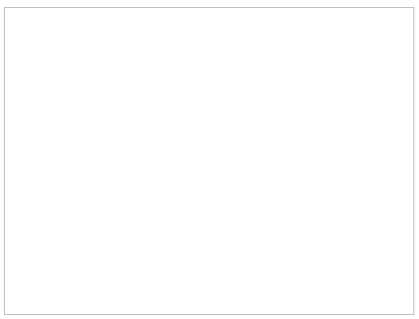
南の祈りを終えて次は、西へ向かいます。西という方角は、全ての方角の守る最高の神がいる事を沖縄の神が教えてくれていますので、心して向かうよう全員に伝えました。着いた場所は、人

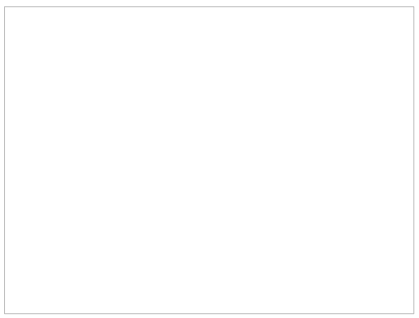
穴浅間神社。





鳥居をくぐって石段を登ると、両側にいくつもの石碑に守られた先に本堂が見えます。新しく建て替えられたようで、とてもきれいな建物です。中に光が全く入らない作りなので、正面に座って、まずご挨拶しました。すると・・・





「望みは何じゃ？望みは何じゃ？」と言葉を繰り返します。よほどたくさんの方がここで望みを言ったようですが、私たちは一切、望みは唱えませんので、富士山神事の内容を説明しました。すると、「誰がここを守るのじゃ？」と聞いてきます。

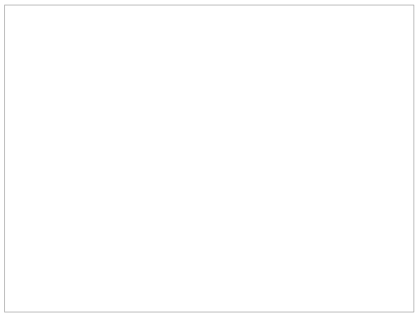
私は関東の人間ではないので、関東事務局長のさとちゃんの名前を出して承認して頂こうかと思

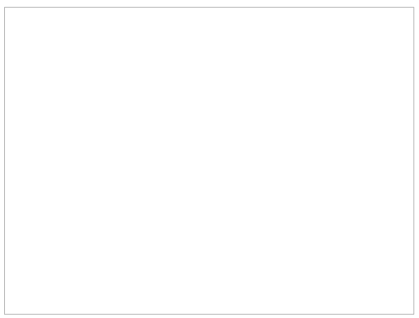
っていると、「1000年のカギを持つ者は誰じゃ？」と、さらに問いかけられます。

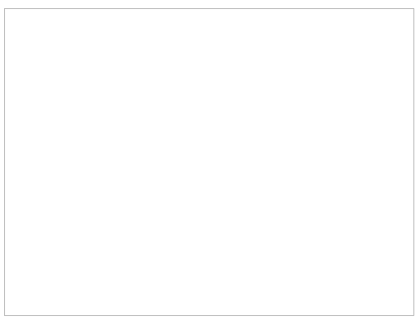
1000年のカギ・・・それは、地球創生1000年プロジェクトの啓示を受けた私の役目だとわかりましたので「私です」と答えました。

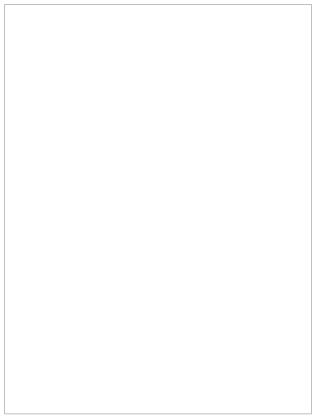
すると、神様が奥から鍵をスーと差し出してくれました。自然に、私は身体から６０ｃｍほどの光の玉を出して神様へ奉納していました。続いて、神様はその鍵の開け方を教えて下さいました。

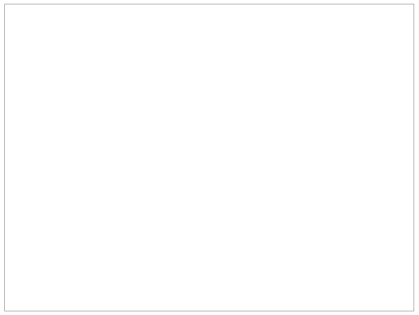
実は、この人穴浅間神社の神様が守っている最大の力は、日本を真っ二つに割る断層プレート（フォッサマグナ）を繋ぎ止める大きな守りの要の神様がいらっしゃいます。今回の神事はとても大きなエネルギーを動かしますので、そのプレートが割れないようにセットし直すのが、この場所の祈りの目的です。

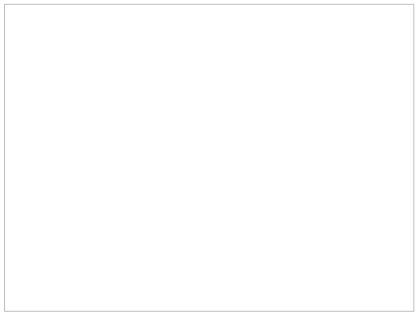












御宮の右手を見ると、地下に入る石段と、先が真っ暗な穴の入口が見えています。見ているだけでその中の霊気の強さを感じられます。普段ならこういう所は入らないのですが、神事では役目ですので覚悟を決めて先頭で入り、続いて全員が後に続きました。

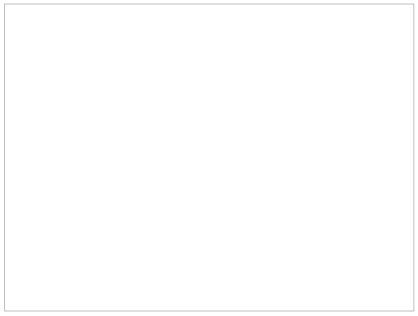
しめ縄の前でで入るご挨拶をしてから、一段づつ石段を下り始めると、三段目から足元が冷たく冷えてきます。これはもう気温の低さではなく、中から溢れている霊気だということは全員が感じていました。

一歩一歩、慎重に降りて穴の入口の周りの石を見ると、全ての石が人の顔に見えてきます。特に正面の真中の石は、とても怖い顔をしてこちらを睨みつけていました。失礼の無いように、再度、ご挨拶をして、一切の言葉を話さないように全員に注意して入りました。

中は、完全に真っ暗です。ヘッドライトを付けて一歩一歩、石畳を進むと、さらに奥から強く冷たい霊気が身体を包み込みます。こういう時に一番危険なのが、恐れの心です。恐れは、自らの魂が委縮した状態ですから、そういう時によく怪我をします。

「音を立てるな！」と私が大声をあげたくらいに周りの全ての石が、すごい顔でこちらを見つめています。一歩一歩、しゃがんだ状態で前に進むと石たちは、「お前たちは何をしにきた。お前たちは何をしにきた・・・」と無言で、こちらを見つめています。

数メートルほど進むと、奥に祀っている石碑が見えてきました。そこには、「一心」と書かれていて、この場所で祈りをした方たちの御心が伝わってきました。



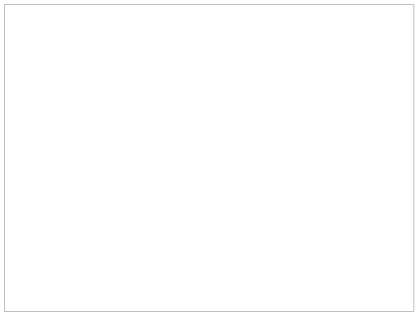
ライトを消して真っ暗にして、西の方角を守る存在に、一番大切な祈り言葉を唱え始めました。祈りの言霊は倍音になって両側の穴の奥の先まで声が響いていきます。闇の中で唱えた詔は、どんどんそのエネルギーが上がり、奥にいる存在と繋がりました。

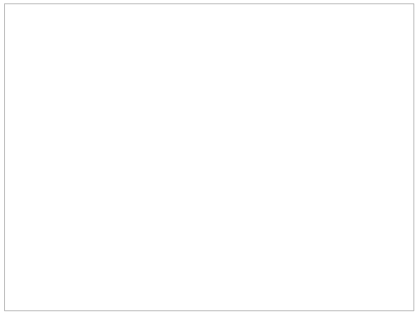
次に、先ほど頂いた鍵を使って、天城山、富士山、八ヶ岳のエネルギーラインのダイヤルを回します。このエネルギーラインが、日本を真っ二つに割るエネルギーラインなのは、以前から知っていましたが、そのラインを守っているのが、この人穴浅間神社だとは知りませんでした。

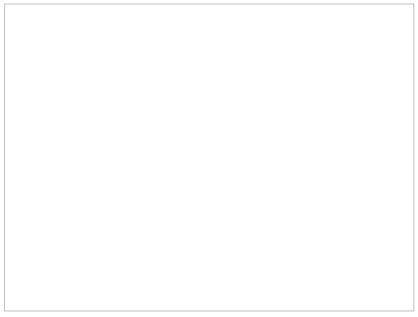
日本列島が真っ二つに割れるビジョンは、子供の頃から何度も夢で見せられていました、そして、20世紀に、何度もこのエネルギーラインが割れないように、命をかけて祈りをした方たちがいたことをどうぞ覚えておいて下さい。

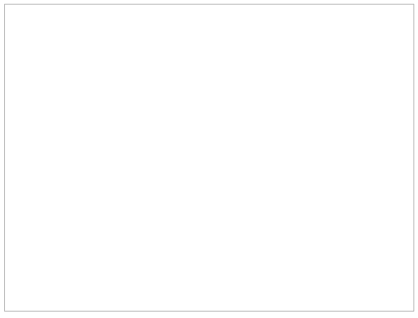
慎重にエネルギーのダイヤルを回しながら最後のスイッチを入れると、石碑の両側から冷たい霊気が一気に流れ込み始めます。富士山神事で動かすエネルギーの調整を行いながら、富士山を地球の中で守っている存在たちに神事の事を伝えました。この時が一番、奥から霊気が流れ込んでいたのは全員肌で感じていたようです。

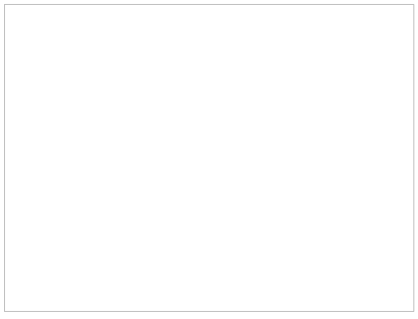
数十メートルも続くこの穴は、実は、富士山の裾野を守る土地の中にいる存在たちが交わる場所だからこそ、これだけ厳重に守られているのです。全ての祈りを終えて、この場所の存在たちを写真に写してみました。

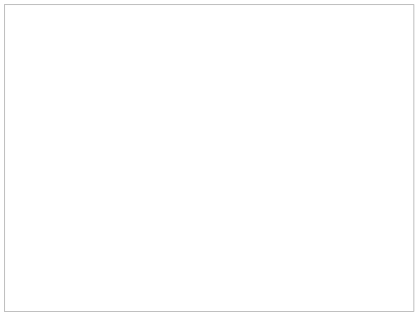




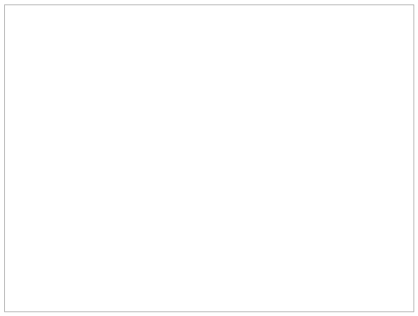


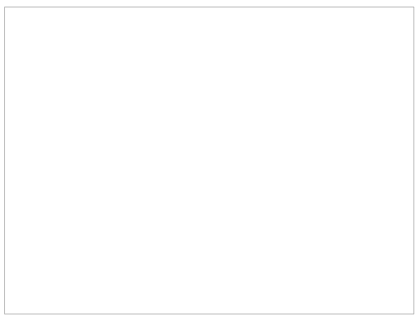


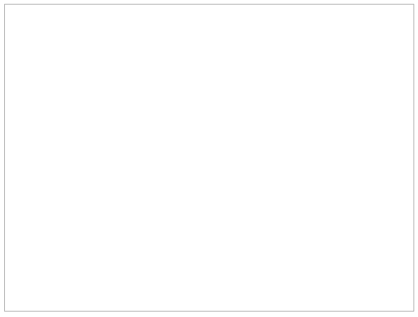


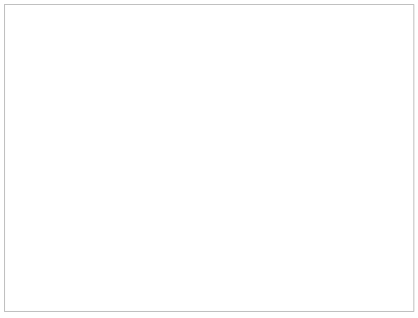


赤い丸に写っているのが、ここを守っている神様たちです。そして、白い霧のように写っているのは、私たちの吐息ではなく、ここの神様たちの霊気です。神々は、霊気の動きで私たちにお礼のメッセージを伝えてくれました。白いオーブは、ここを守る霊たちの御霊です。









これほどくっきりとした霊気と神オーブを写したのは初めての体験ですが、目に見えない存在を

信じない方たちが増えたことで神の繋がりが薄れた現代、神や霊たちは姿を見せることで信じる事の重要さを教えてくれています。
どうぞ、あなたの周りで、自分の目に見ないと信じないという方がいたら、この写真を見せてあげて下さい。※クリックすると大きな写真になります

神のお礼を姿で見せて頂いた事で、西の祈りは完了しました。この人穴浅間神社の神役目を理解できる方は、どうぞ次の時代を守る大切な時にお祈り下さい。1000年に一度のお役目を頂く方へお伝えしておきます。
2009.07.25 Sat

富士山神事第二回　富士山本宮浅間大社（裏鬼門）

2009年7月16日（木）

昨年、富士山神事を決定してブログに公開してから富士山静岡空港が2009年6月4日に開港するとわかり、静岡が私たちを待っていると感じて富士山静岡空港を選びました。

札幌から静岡空港まで90分のフライトですが、そのフライトは日本のどの空港にも無い素晴らしい体験をさせてくれます。札幌発の場合、左側の座席に座る事をお勧めします。

好天に恵まれたおかげで、日本アルプスの山々を見下ろしながら飛び続けるフライトですが、こんなに厳しい山に登る人たちがいるのかと関心しながら見ていると、遠くに飛びぬけた高い山が富士山です。

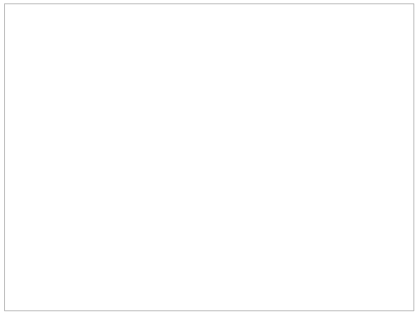
遠くに見える富士山を眺めながら降下のアナウンスが始まると、ほぼ３０分間、鳥の目で富士山が近づき外輪山や火口までくっきり見ることができます。

この美しい富士の姿をどれほど撮影したいと思ったことか・・・でも着陸時は、電子機器の使用禁止なので目に焼き付けるしかありません。富士山が待っている・・・明後日、行きますのでよろしくお願いします！

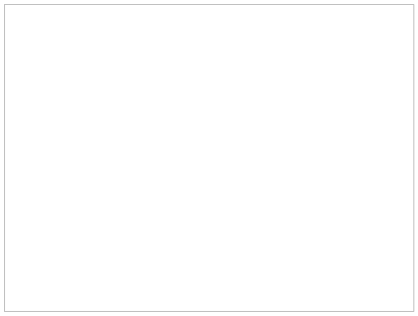
飛行機の到着時間に合わせて関東チームが、バスをチャーターして出迎えてくれました。北海道から9名、関東から7名の合計16名が、私の富士山神事の仲間です。神事を初めて体験する方や富士山登山が初めての方がいますので、まずはバスの中で自己紹介が始まりました。

３５歳から５９歳までが一緒に修学旅行に来たようなのようなワクワク気分です。この日の静岡県の最高気温は、３４度。強い日差しにも負けないくらいに、皆さんの元気は溢れています。

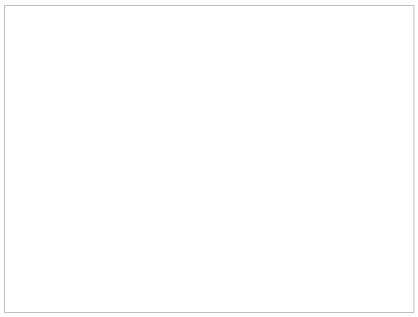
昼食を終えて最初に向かった場所は、富士山の南西（裏鬼門）に当たる場所の富士山本宮浅間大社（住所：静岡県富士宮市宮町1-1）

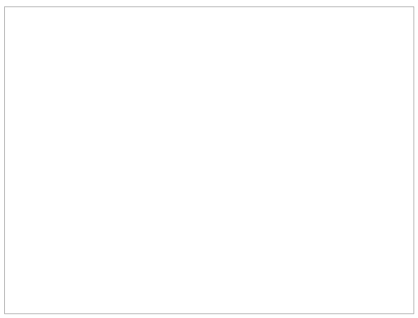


この時期に富士山がくっきり姿を見せる事はとても珍しいと感動したのは、まず関東のメンバーでした。いつでも見れるのかと思っていた北海道メンバーは、関東メンバーの声に驚き、富士山の全容を写真に撮りまくります。

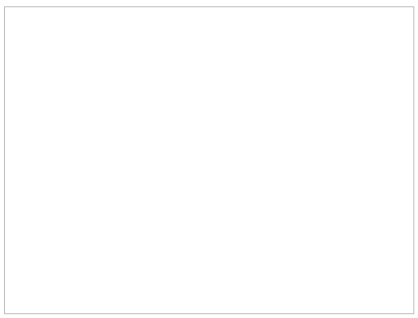


日本国旗と富士山があまりにもマッチしていますね。私たちはこの日、日本人として生まれた事に改めて感動と感謝が溢れました。鳥居ごとに一礼しながら参道を進むと、美しいお宮が見えてきます。これから始まる富士山神事のご挨拶を全員で行いました。





この宮の右手に水が湧いている場所があるというので行ってみると、それぞれは美しい水が山からコンコンと湧いていました。地元の土地に繋ぐ水を汲み終えてから、ここは禊（みそぎ）の場所だと気づきましたので、全員で川に入り、手足と頭に水を注いで禊をしました。



聖地　富士山とその裾野を守る神々の場所に足を踏み入れる準備がこれで整いました。人間の邪気を払い、思いを落として、神に向き合う準備が、この禊行です。心静かに水の流れを感じていると、富士の温かさが身体の芯に伝わってきます。

富士山の湧水は、山に降った雪や雨が土地で浄化されて湧き出るまでに、60年から１００年ほどかかると聞いていますので、この水も私たちが生まれる前の自然界の恵みの水です。湧いている水をその場で汲んで飲める事の幸せをここの子供たちは知っていることは、幸せなことだと思いました。

私が生まれた田舎でも子供のこ頃は、田んぼの脇に沸いている湧き水で喉を潤したものですが、今はもう飲めないほど汚れています。人間が水を汚した悲しさを感じているからこそ、ここの水の清らかさに感謝が溢れます。

私の神事に参加して下さる方にお願いすることは、たったひとつだけです。それは、「白い洋服を着て下さい」とお願いしています。理由は、人間の欲、つまり、色を持ち込まないことによって、余計な邪気にかかりづらくなるからです。

日本中の聖地でこの白い衣装を着て祈っていると、どこかの宗教団体かと思う方もいるようですが、神様を大切にしている場所ほど、目が合った方たちが私たちを見て会釈をして下さいます。神に身を捧げている証しでもあるこの白衣装も、一人一人の心を禊をして下さるのだと思いました。

四日間お世話になる旅館は、富士山の東南の場所に宿をとりました。御湯の恵みと自然の恵み、そして、土地の方角の意味を考えて行う富士山裾野八方神事ですから、宿泊する場所の方角も大切です。

一日の疲れをお湯で癒し、夕食を頂いた後は、全員で神事の確認と懇親会を行いました。私の神事で最も大切にしていることが、参加者同士のコミニュケーションです。それは神事期間だけうまく取り繕う関係ではなく、一人一人の今後の人生において大切な出会いを神が導いてくれてい

る事を知っているからです。

祈りをする時に、神はいつも、こう問います。

お前は人間か？、お前は神か？と。

お前が人間として祈るならば、望みを願う代償として何を差し出すのか明確にせよと言われます。

多少のお金を出して望みをたくさん言い続ける人を見ていると、もし、あなたが神ならその願いを叶えてあげたくなりますか？と聞きたくなってしまいます。だから私は「お願い」は、一切しないよう皆さんに伝えます。

生きている事、生かされている事に、ただ感謝するだけでいいのです。どんなに辛い事があっても、どんなに嫌な経験をした人生だったとしても、死ねば一切の思いは肉体を離れます。私たちは肉体があるからこそ、幸せも苦しさも感じる事ができるのです。

生かされている、つまり、肉体を与えて下さっていることこそ、神の御心の現れですから、生かされている事の感謝しかないと私は思います。

難行苦行を身体に経験させて、自分の苦しみを超える強さを身に付ける「行（ぎょう）」もありますが、日常生活自体が、私は「行」だと思っています。

自分の思い道理にならないことばかりの現実世界。だからこそ、私たちは肉体を与えられて変えるチャンスを頂いているのです。何度、生まれ変わっても、失敗を恐れてチャレンジできなかった自分をお詫びする人も多いことでしょう。

この人生をどう生きたのか、この人生の意味は何であったのかを答えられるのは、親でも、雇ってくれている会社の社長でもなく、あなた自身なのです。どんな人生を生きるかは、全てあなたの選択でしかないからです。

その事に気づいたら、言い訳をせず、失敗を恐れずに、生かされている間、まだやり直しのチャレンジする時間が与えられていることに感謝することが大切です。

まだ私たち人間は、全てが思い道理になった時の責任を取れないくらいに愚かで幼い動物だと思

います。だからこそ、時に、日常生活をパターンを抜け出して、自分の我を超え、神に向かう瞬間があってもいいと思います。

地球を救いたいと思う方はたくさんいるでしょう。

でもその為にあなたは、何をしているのかと神に問われたならば、思うだけではダメな事を気づくはずです。想いを実現させられるのも、肉体を持った神である私たち人間だからです。そこにできない言い訳をいくらしても意味がありません。

いずれこの肉体は朽ちて、魂だけの世界へ戻ります。その時に、それまで生きた全ての事が、走馬灯のように絵で見せられます。正しいと思って他人を傷つけた人、自分を守るために嘘をついた人、自分の本心がどうであったかは、実は、全員が知っているはずです。

自らの本心と向き合う時が必要だと感じた人は、今の生き方のままで良いのかを問う時間もどうぞお作り下さい。自らの向き合う為の瞑想でも、生かされている事への感謝祈りでも、守って下さっている先祖に対する感謝の祈りでも、方法は何でもいいのです。神や仏に向きあう時間こそ、自分自身と向き合う大切な時間だと学んで下さい。

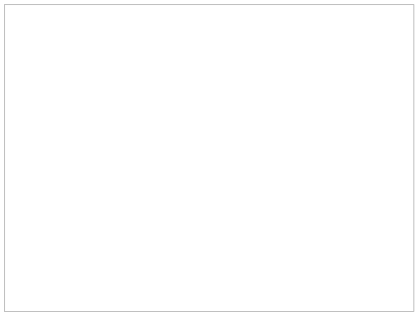
そして、自分の為を超えて祈りをしたいと思ったら、家を出て、自然界や神仏にお礼を言いに行きましょう。あなたが住む土地の神様は、あなたがご挨拶しなくても、24時間365日、守って下さっています。あなたが生きている間に、その事に気づいてくれる事を先祖も神も、待っているのです。

本当の祈りは、誰の為でもありません。神に向かおうと、仏に向かおうと、祈るその真っ直ぐな心は、必ず、自分の心に向って戻ってきます。それは、皆さんが神であり、仏だからです。

そんな大切な事を思い出し、出会う人全てを神として大切に付き合う心を仲間と話し合いました。もう明日から始まる神事の場所の神たちが、身体を通してやってきています。

準備はできたかい？待っているよと。

明日の祈りの成功を願って、一人一人の神心を見つめ合う時間が夜更けと共に過ぎていきます。



2009.07.24 Fri

富士山神事第一回　私という我

今回の5泊6日の富士山神事に参加した吉岡グループ16名に加えて、一緒に富士山登山に参加した谷さんグループの16名の合計32名全員が、無事、富士山頂上に登り切り、19日の早朝神事を終えて帰宅できました事をお知らせ致します。この全ての神計らいも、心を合わせて下さった皆様の御心と神の守護だと感謝しております。

予定を超えて46年ぶりの日食の日の22日に北海道に戻ることになりましたが、中国地方の豪雨の影響か、２１日の午後は霧に包まれた静岡空港が全便欠航となり、夕方から東京へ移動して宿泊し、翌日から仕事に行く方に合わせて羽田空港を朝6：35発の飛行機で飛び立ちました。

この緊急事態とも思えるトラブルにも、神事で出会った関東チームの素晴らしい連携とサポートによってスムーズに運んだことを心からお礼申し上げます。今回初めて神事に参加された方も人と人が心を開き、本気で話し合える強い心の結びつきに、今後の人生が変わる可能性を感じたと話して下さいました。

これこそが、神が望む本来の人間の心のつながりであり、相手を信じきる心や、やさしさを学ぶ場になったのではないかと思っています。全国で神事に参加頂く皆様によくお話することですが、神や宇宙からメッセージを頂いて神事を行う人間は、ひとつの役割でしかありません。

その人間や神の思いをサポートすることで自らの役目に気づいたり、出会う人との本当の繋がりを見つけることができることも、神事の大きな目的ですとお伝えしています。

7年間神事を行った私自身が今、気づくことは、他人が望む事も自分が望む事も、本当は同じゴールへ向かっているはずなのに、誰かの道が間違いだとか、私の道が正しいと主張すると争いが始まるのだと学ばせて頂きました。

だから皆様には、「自分だけの祈りなどありません」とお伝えしています。私自身、もし自分の為の祈りをするなら、神事を行う意味がありません。神事は、自らを問い、他人という神から学び、与えられている全ての物事、出来事が全て神の意志であることを知る場なのです。だから「自分だけの祈りはありません」とお伝えしています。

神事の6日間、毎夜毎夜、仲間たちと感じた事を確認し合うシェリングの時間に、こういう質問をした方がいました。

「私とは？何なのでしょう？」

この問いかけを自分にし始めた人は、永遠とも思えるような時間をあらゆる物事の視点で問いかけが続きます。それは、真理の道を学ぶ過程の問いのひとつだからです。

私はこう答えました。

「本当は、私という概念はありません。それは勘違いにも似た思い込みの想念なのです。私という概念を全て外して物事をもう一度、全てのことを考え直してみて下さい。すると、これまで学んだ社会のルールや他人が正しいと主張することさえ、ある目的や意図を持って話している事に気づきます。」

人間のほとんどの悩みも、実はこの「個」の概念である「私」という存在を掴んで考えている為に苦しみが生まれます。どうして「私は何？」と問いかけが始まったかというと、自分以外の人の概念や価値観で言われた事や経験したことで苦しんだ経験を持っているからです。

富士山神事の重要なメッセージは、この人の質問を通して皆さんに伝えるメッセージがあると感じましたので、ここで紹介しています。私もこの問いかけを30年以上し続けてきたからこそ、その先にあるものに気づけました。

神や宇宙や霊のような守護存在も、私たち人間を苦しめようと思って存在している存在は一切いません。常に、私たち人間全体が望む事をサポートして夢を叶えさせようと知恵を貸しています。その守護存在が与える最大のサポートのひとつが「新しい出会い」なのです。

登山をした事がない人が登山を決意するように、自分の価値観を超える決意をした行動や言葉は、過去の自分を超える最大の方法であり、また新しい未来の道を切り開く鍵なのです。だから私は常に神事に参加する全員の心の在り方を見守っています。

常に神が問うのも、この部分だからです。一人一人が神心を持つ人間だからこそ、言葉や行動が自分自身というエゴを超えて、神の心に近づくことを求めています。神事を何度も経験している人は、よくその事を知っているので、出会う一人一人の行動と言葉を大事にしてくれます。

今回の神事は、親子以上に歳の離れた人たちが参加して「ひとつ」になったからこそ、新しい時代の夜明けを強く感じることができました。年齢も職業も男女も金銭も関係なく、本当に相手を

大切にする思いを全員が学びました。

身体が辛い人の荷物を背負ってくれた人、足に負担がかからないような歩き方を一人一人に教えてくれた人、自分の富士山登山の経験をみんなの為に教えて安全なペースを保ってくれた人、疲れた身体をほぐしてくれた人、誰かのメッセージをわかりやすく解読して教えてくれた人、高山病で苦しんでいた人を介抱してくれた人、元気が無い人に掛け声とかけてくれた人、飲み水が無い人に自分の特別な水を差しだしてくれた人、疲れた人に自分の食べ物を分けてくれた人、少しでも当日の流れがスムーズに進むために事前に行程を走って時間や場所の確認をしてくれた人・・・・・・・

今回の登山で、たくさんの神心を持つ人たちに私たちは出会いました。誰ひとり、自分だけの心を押しつけた人はいませんでした。自分が頂上に登り切れた感動と全員が無事、帰ってこれた幸せも、自分一人では決してできないことをよく知っているからこそ、別れる時はお互いに感謝しハグしあいました。

神は、いつも私たちの神心を問い続けます。

他人の為に、世界の為に、地球の為に、宇宙の為にと言葉を使いながら「自分」を主張する責任を。もうこれからは、「私」という概念が無い事に気付く人が増えるよう私は祈ります。

何かや誰かに戦いを挑んで勝ったとして、それが何なのでしょう？そんな幼い心でいると、本当に大切にするべきものさえわからず、一瞬で失うことに恐れる日々が続きますよ。

しっかり大地に足をつけて生きる事の大切さと、他人を神だと思って学ぶ心を持って、自分の夢を叶える為に他人の夢を叶えてあげて下さい。

私は、何の為に生かされているのか？

明日はなぜ、与えられているのか？

そのことに今世、気づかない人たちは、もうこの地球の家族を守る位置には戻る事はできません。永遠なる学びをもう一度、最初から始める為に、遠くの他の星で転生する事になるでしょう。

あなたが本当に守りたいものがもしあるのなら、その精神を行動で示して下さい。そして、その行動を次の世代へ受け継げるよう誰かと一緒に考えてみましょう。

そして神が、あなたを救うのではありません。あなたが誰かを救う行動をするからこそ、あなたが神の役目を頂けるのです。

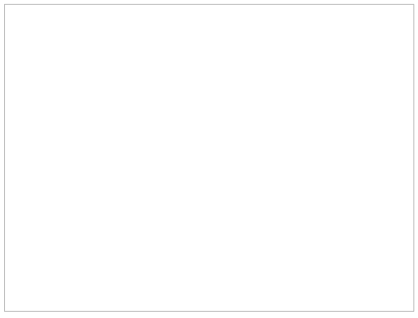
さあ、「私」という概念を捨てて、生きる意味をもう一度、考えてみましょう。

私という概念も死んだ時に無い事がわかるのでは、もう遅いのです。

この地球の未来に残された時間に限りがあるからこそ、今、あなた自身が気づかなければいけないのです。

この目的の為に、あなたは今世、地球に人間として生まれてきたのです。

神事の詳細は次回からご報告しますので、どうぞ、お楽しみに！



2009.07.23 Thu

宇宙と地球を繋ぐ富士山神事



明日から富士山神事に出発します。午後には、富士山の裾野の聖地を巡る祈りが始まります。今回は北海道から９名と関東から７名の１６名が富士山神事に参加します。頂上神事には地球の祈りをしている仲間たちが一緒に祈る事になっていますので、３０名を超える大がかりな祈りになります。

この神事の細かい意味は全てが終わってから公開いたしますが、この神事以降、裏表がひっくり返るほどのエネルギー転換が始まる神事になると御理解下さい。もう皆さんを迷わせていた虚像や妄想は崩壊して、真実が明らかになる時代がやってきます。

あらゆる世界で、実像、実態が明らかになる事件が起きることでしょう。それは、世界中で起こります。

皆さんにお伝えしたいのは、全ての真実を受け止める覚悟を持っておいて欲しいということです。

これまでのように、あなたが見たいものだけ見て、見たくないものを見ようとしない心が望む愚かな願望の世界（虚像）を産み出して、あたかもそれが真実のように語られ信じていることに気づいて下さい。

私たち人間はもう、全ての創造の責任を取らなければいけいない時期に来ています。

そして、全宇宙の存在たちが私たち人間の行動を見守っています。

地球以外の生命体の証が存在する証でもあるUFO（未確認飛行物体）をまだ見ていない方や信じていない方たちは、今後、その存在たちの姿が頻繁に見えることを受け止めなければいけません。

私たち人間が地球に存在し、肉体を持った役目を果たす事を待ち望んでいるのは人間だけでは

なく、宇宙を守る全ての守護存在たちが、宇宙の調和の為に働いている事も覚えておいて下さい。

7/19の朝4：44に、目に見えない光の柱が、富士山頂上に立つことでしょう。

これは新しく宇宙のおおもとと地球を結ぶ光のエネルギーとして、全宇宙、地球全体、生命体全てのエネルギーを繋ぎ、全く新しいエネルギーが始動します。

このエネルギーは、曇った眼鏡で見ていた世の中の出来事も、自らの魂に光を受けて、本質で物事を見る人たちが増えることでしょう。

ですから、もう他人をすることをとやかく言っている場合ではありません。

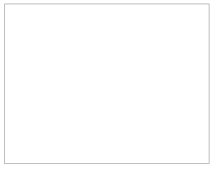
もう他人の行動を問うのではなく、自分自身の在り方、生き方、考え方の全てが、他の人に見透される時代がやってくるのです。

真実の時代とエネルギーが、この地球から始まろうとしているのです。

問われるのは、あなた自身です。

２００９年７月１９日　朝4：44　富士山頂　剣が峰において祈りを行いますので、宇宙の愛、地球の愛を本当に望む方は、心を合わせて富士山頂上をイメージして祈って下さい。

あなたの心に光の柱が立ちますことを心から願い祈ります。

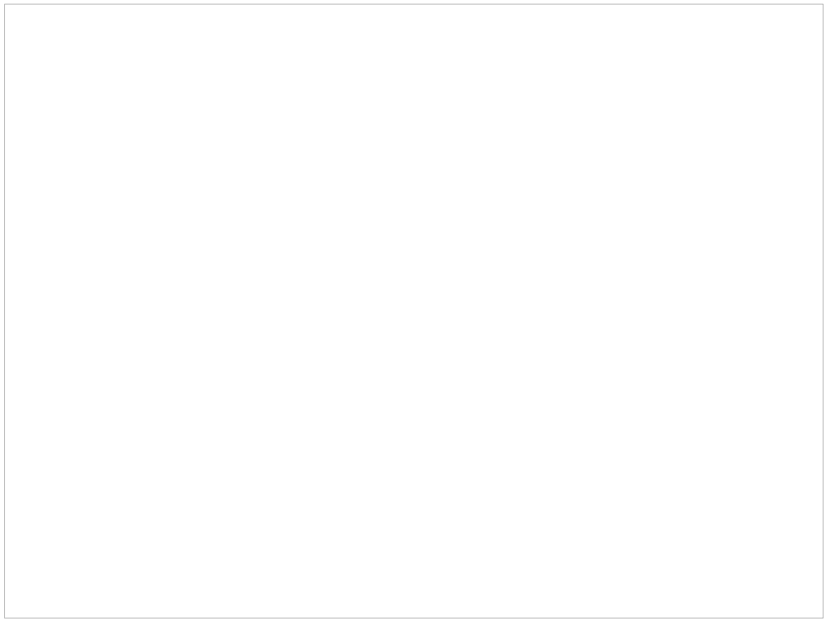


2009.07.15 Wed

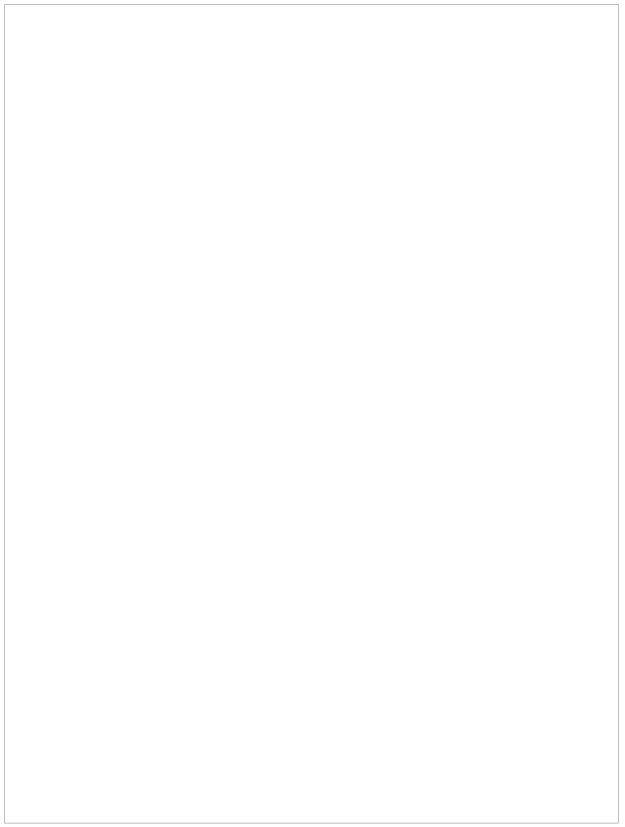
夕張岳　頂上祈り

7月5日（日）、富士山登山へ向けて最後の体力づくりを目的に夕張岳（1668ｍ）に登りました。この山の頂上には5月15日の夕張神事をまとめる奥宮神社がある事も参加した理由です。しかし、沖縄の龍宮神祭の疲れも残っていたせいか、久しぶりにヘビーな登山になりました。

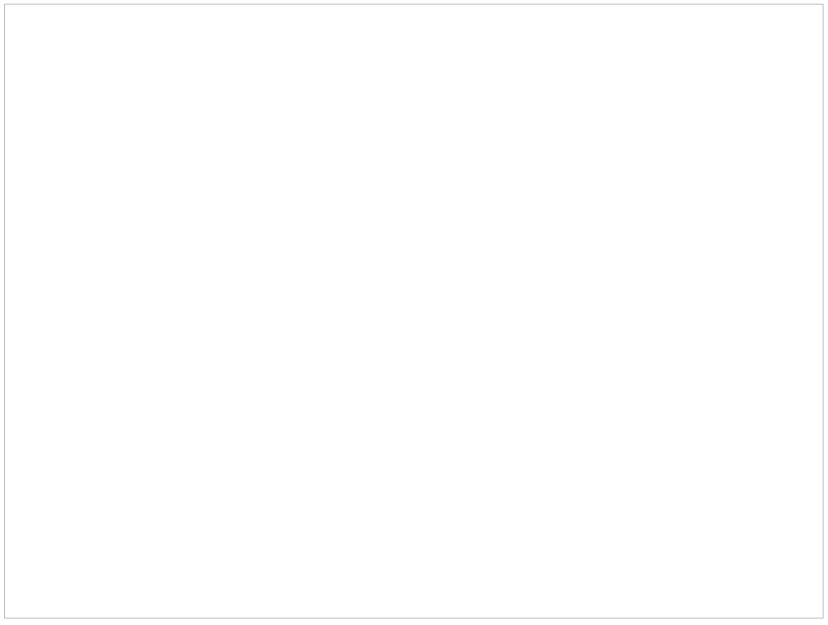
沖縄の大きな神エネルギーの中で祈りをすると札幌に帰ってきても通常のエネルギーに戻るまで、約1週間はかかります。これは身体の疲れ以上に、大きな神エネルギーが身体に乗ったままの状態になっているからです。そんな身体の不安を残しながら朝5時に札幌を出発して、8時から10名で登り始めました。



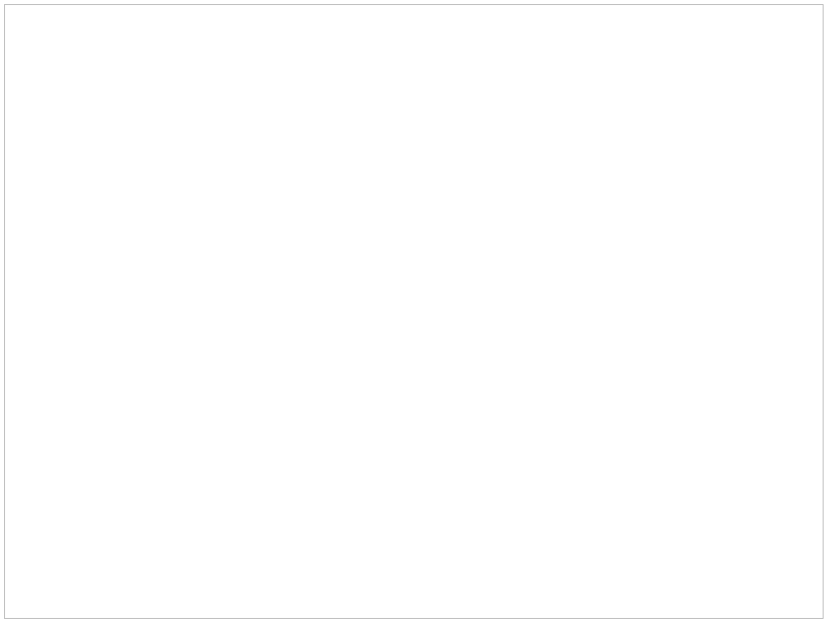
登山口に着くと夕張岳の登山期間が短い為か、駐車場はもう一杯でしたし、登り始めるとさっそく下りの登山者とすれ違うほど早朝から登っている方がいます。7月のこの時期でも残雪を残し、雪解けの湧水が何カ所も流れている夕張岳は、北海道の中心を守る古い地質に加えて、貴重な高山植物の群生地が頂上の手前にあると聞いていました。

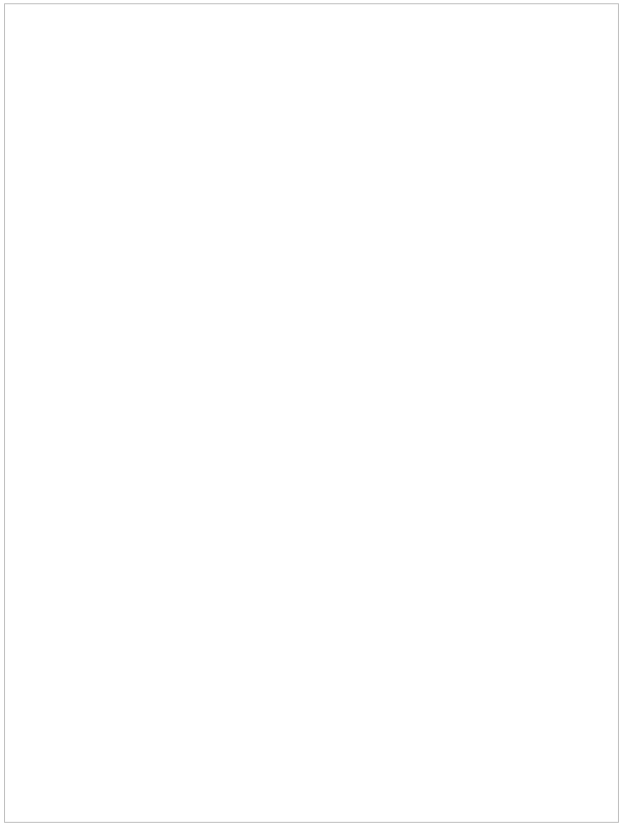


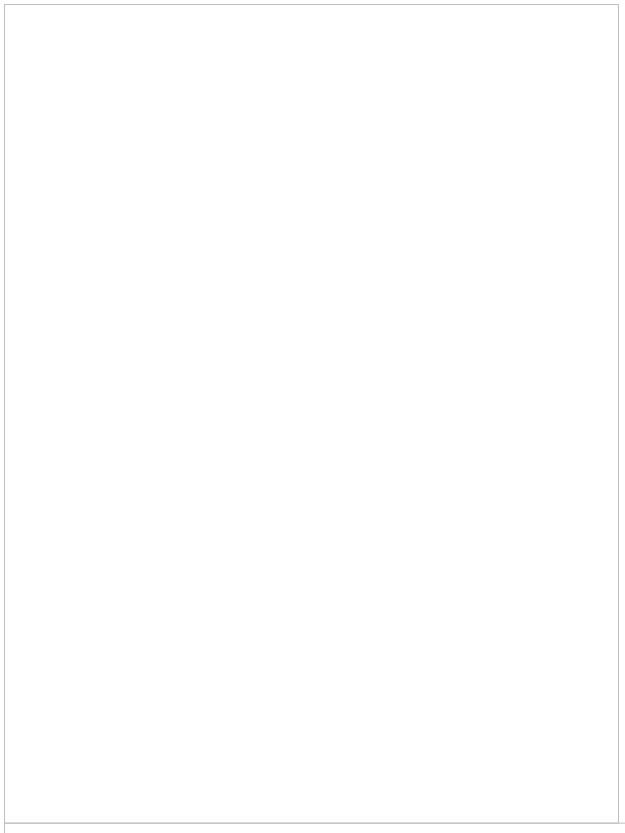
２時間ほど登ると、目の前に大きな岩が現れました。この尖った岩は完全に神エネルギーが溢れていますので祈ってみると、昔々、アイヌの人たちが手を合わせていた大切な神の岩だとわかりました。

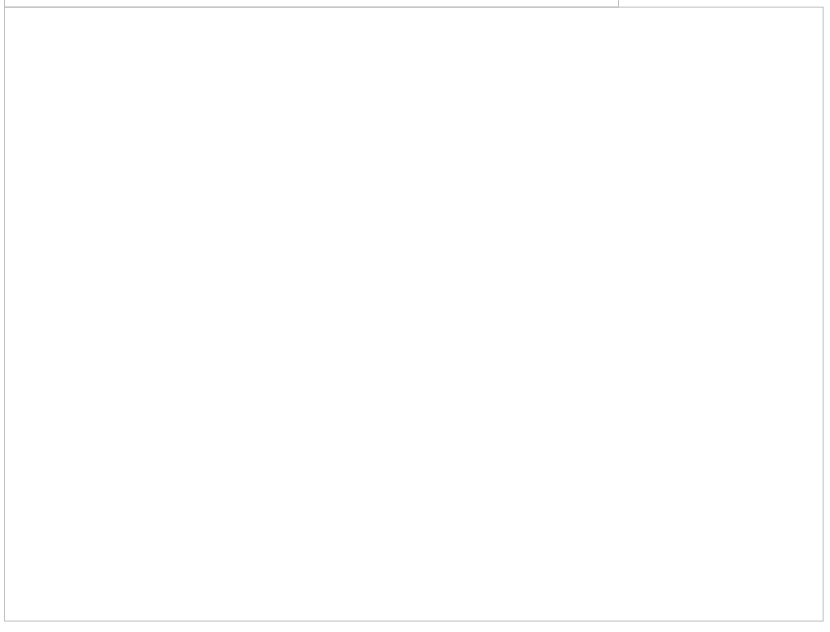


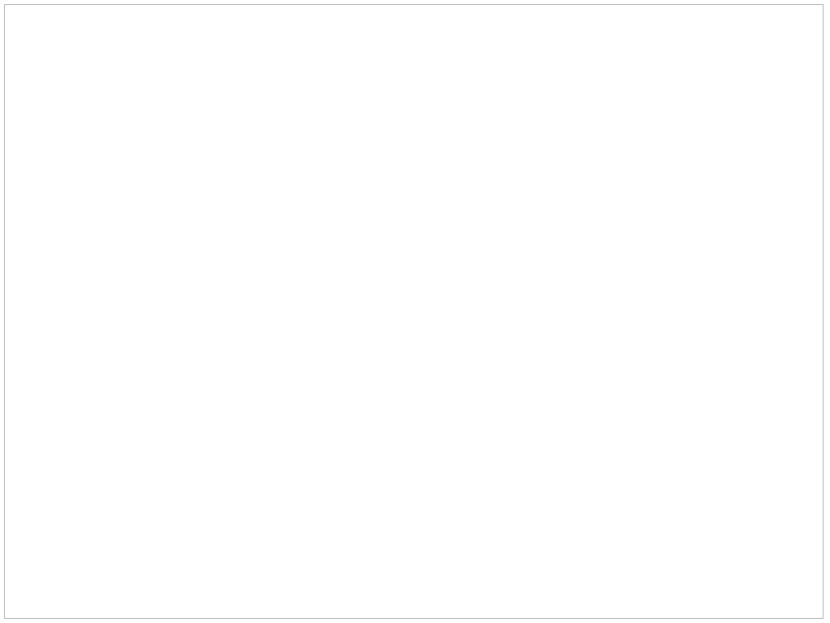
見晴らしのいい望洋台まで勾配がきつい為に二人の仲間のペースが落ちましたが、珍しく自分の身体も疲れているのを感じていました。これはきっと沖縄の疲れだと思っていましたが、そうではない事に気づいたのは、ずっとあとのことでした。





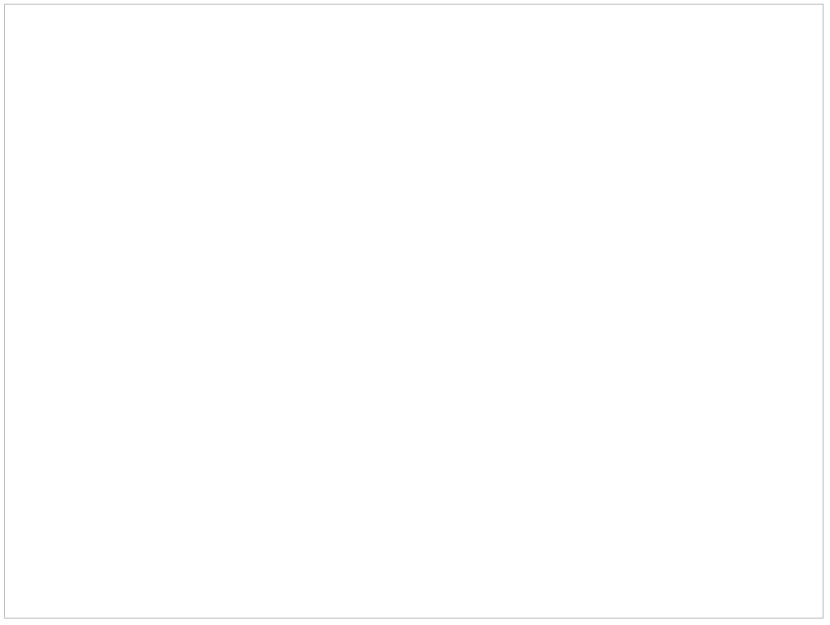






大門番の岩

ピラミッド



アイヌの酋長の岩

望洋台からの道は、いくつかの山の尾根を歩く道ですので、それほどきつい道では無いはずなのに、身体がどんどん重くなります。見晴らしのいい場所から見える尖った岩の先端には、全て神様が座っていらっしゃいました。ひとつひとつご挨拶をして進んでいるのに、身体はさらに重くなります。

突然、湿原のような場所に、お花畑を見つけました。すべて珍しい高山植物ばかりのお花畑です。この花も素敵ですが、360度見える周りの山々の景色の美しさにしばらく立ち止まっていると、天からここは「カムイミンタラ」（意味：神々が遊ぶ庭）だと教えてくれます。

あー、そうなのか！だからここまで来るまでたくさんの神様が守っているんだ！

地元、夕張の知人からこの夕張岳は霊山で、熊も出ますので気を付けて下さいと言われていましたが、霊山というよりここは完全に神山だよ！とここへ来て思いました。十勝岳連峰のいくつかの山にも登りましたが、この場所ほど美しい場所は見た事がありません。

北海道でも古い地質を持つ土地だからこそ、古い樹木や植物が堆積して石炭が取れた土地。それは古い時代からこの土地を守る神様たちが集まっている場所なのだとわかりました。

足を進めながらそんな事を考えていると、「では、お前はそれに見合う覚悟と用意をしてきたのか？」と問いかけが聞こえます。

あーーー、これだ！

この事に気づかなかった為に、あちこちの守りをしていた存在たちが身体に乗って知らせに来ていたんだ・・・・。

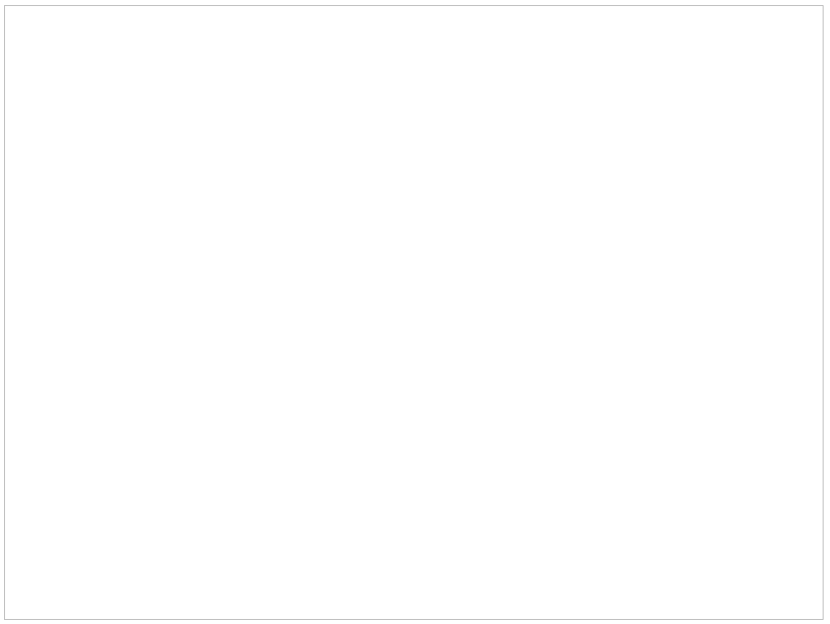
本当に、すいません、今回は、神事だと思わず、その為の心の準備が足りませんでした。本当に、すいませんでしたと何度も、お詫びしました。

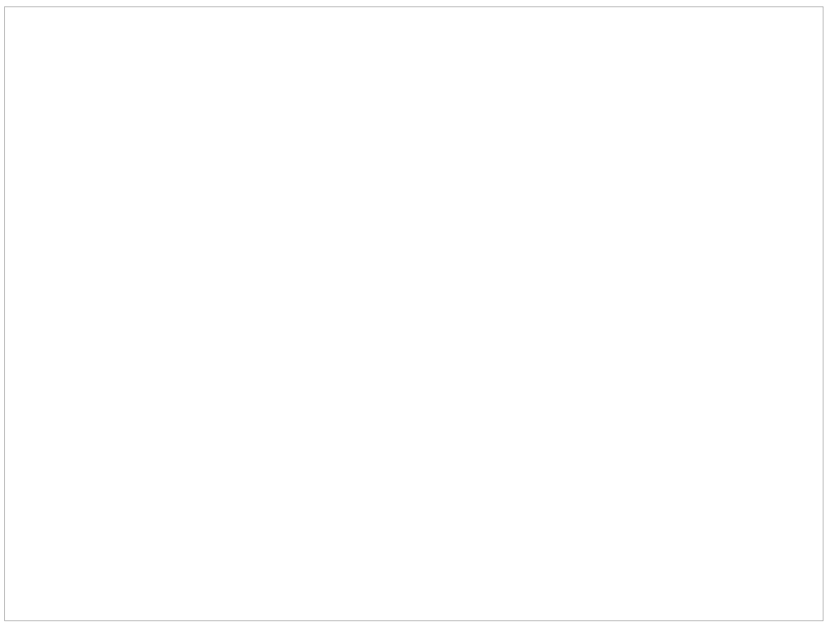
お詫びの言葉を心の中で唱えると、身体がスーと楽になってきます。周りに見える全ての頂きに、お詫びとお礼を言いいながら頂上を目指します。

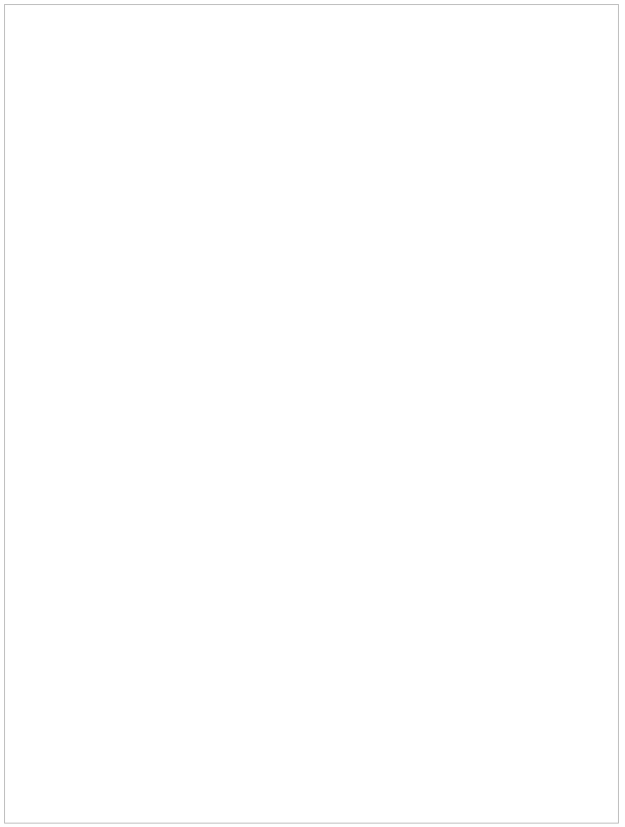
頂上手前に、夕張岳奥宮神社が見えました。頂上祈りをする前に、まずご挨拶をします。

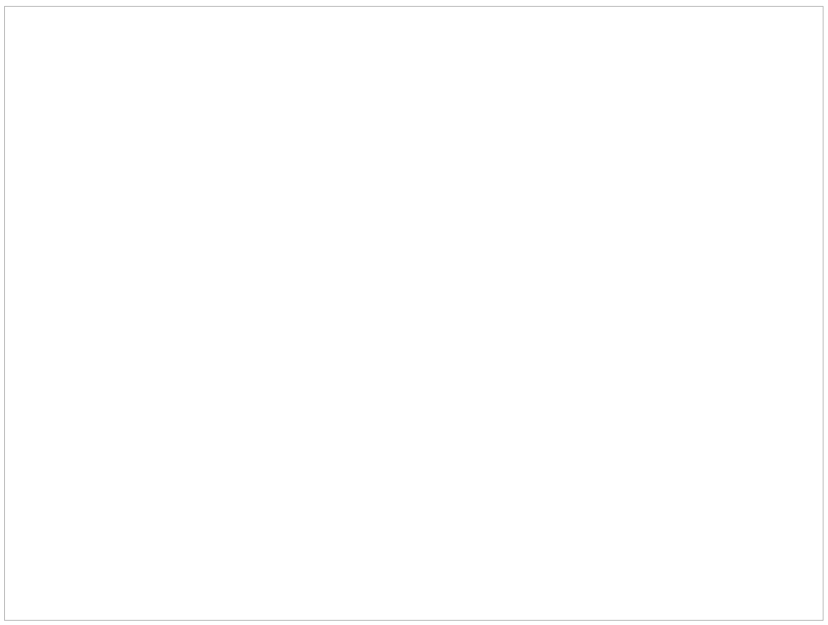
本当に申し訳ありませんでした。これまで太古の時代からお守り下さっている皆様のおかげで、私たち人間はその恵みを頂いて生活しております。これからも大切にこの土地の意味を伝え、そして守りますので、どうぞ、心ある人たちのお働きにお力をお貸しください。

祈りを終えると、身体がさらにスーと、軽くなりました。神様は、何も言わず、私たちを見守っているように感じました。荷物を置いて、塩・酒・水を持って頂上に登ります。先ほどとは、うって変って身体が軽いのには驚きました。









頂上祈りを終えて、改めて奥宮に祈りを行いました。神様は、

「この場所の意味に気づいた者は、ここを守る役目となる」

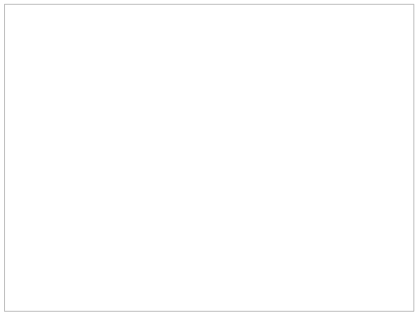
と申しつけて下さいました。ありがとうございます。

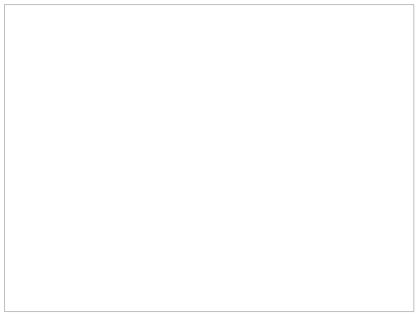
今回、一緒に登った10名の仲間の中にも数名、霊媒体質の方がいましたので私と同じように身体が重くなり、互いに荷物を持って支えあいながら全員登ることができました。

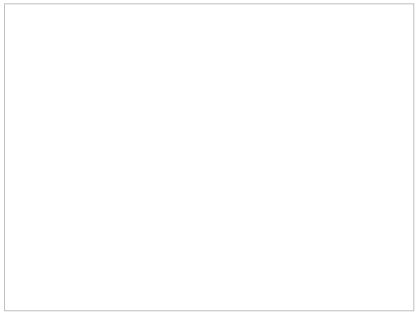
神山も霊山も、頂上に大きな神様がいらっしゃる分、その神様を守る存在たちもたくさんいることを再認識し、富士山登山で注意するべきことを学んだ登山になりました。

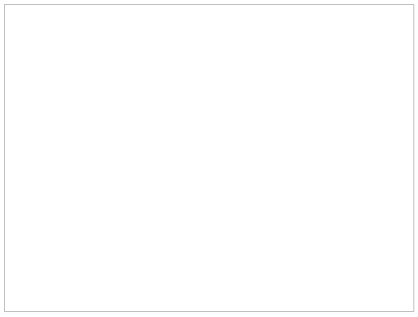
7/18の富士山登山は吉岡パーティーが16名、知人の谷パーティーも同じくらいの人数で、30名を超える人が7/19の日の出に富士山頂上祈りを行います。
新しい日本の夜明けのとても大きな祈りエネルギーが動きますので、皆さんの祈り合わせも宜しくお願い致します。

＜富士山（3776ｍ）　頂上神事予定＞
7/17　富士山　裾野神事で数か所祈ります
7/18　富士山　朝9時　5合目より登山開始
7/19　富士山　朝４：４４　剣が峰神事・下山
7/20　富士山　裾野神事で数か所祈ります







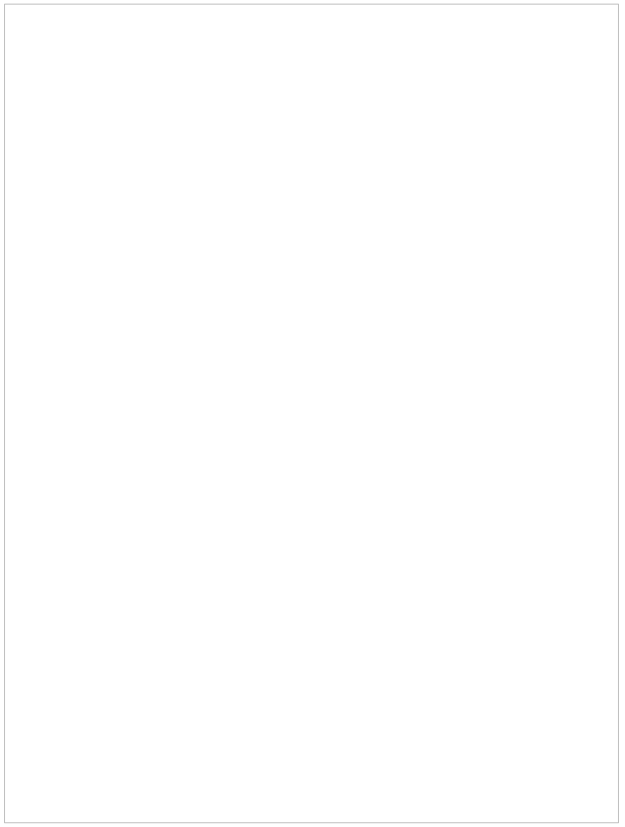


2009.07.05 Sun

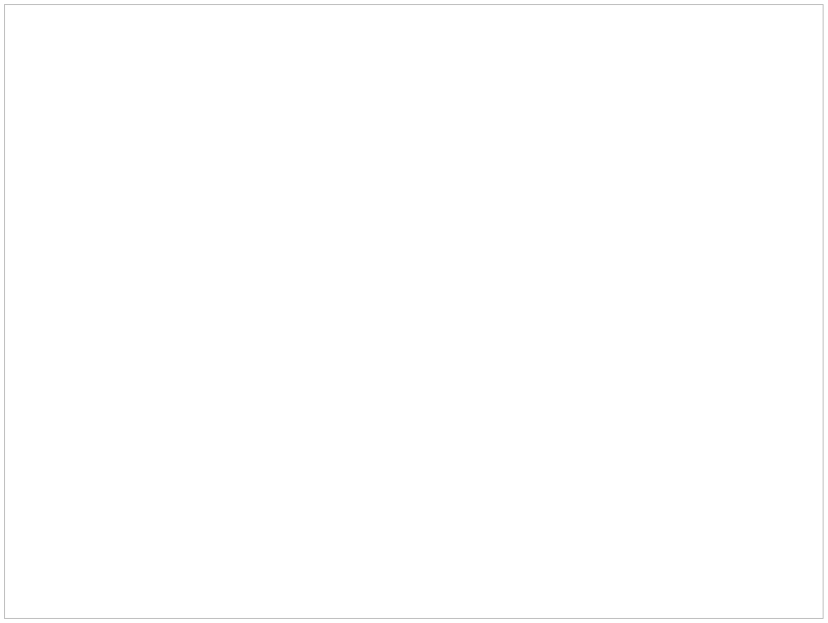
宮古諸島　龍宮神祭　伊良部島

2009年6月27日午前9時　伊良部島　ホテルてぃだの郷の前に広がる佐和田の浜に鎮座されている龍宮神の神様の場所へ向かう準備が整いました。まず今回の神事の責任者である猪子さんが、ご自分の火の神へご挨拶してから出発です。

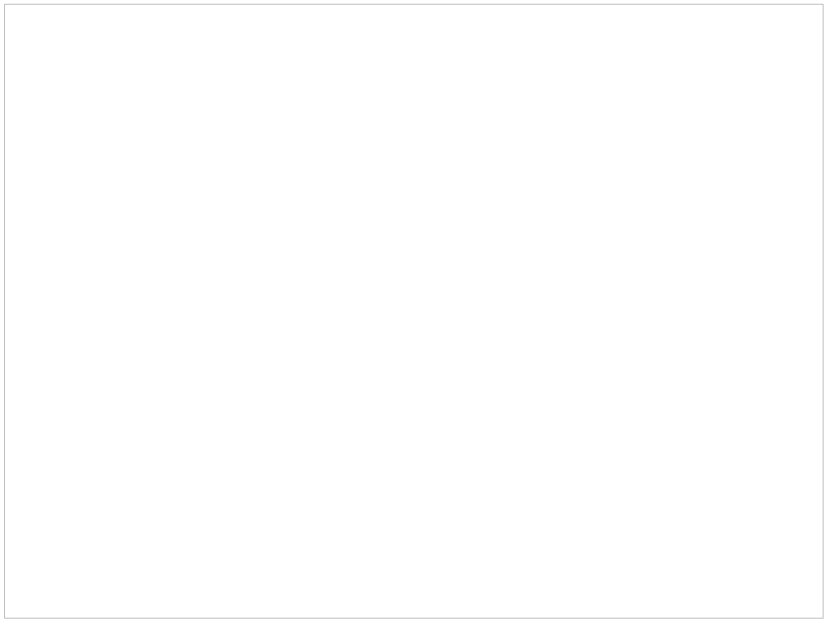
前々日から各島の祈りをしてきた20名の皆様は、まずホテルてぃだの郷の目の前にある天照大神様が守るウタキにご挨拶しました。このウタキも昔、オバーたちが祈っていた大切な場所であることを最近わかり、神起こしを終えて今回正式にご挨拶する運びになりました。天照大神様は、「あなたたちのする事を見守ります」と言って下さいました。



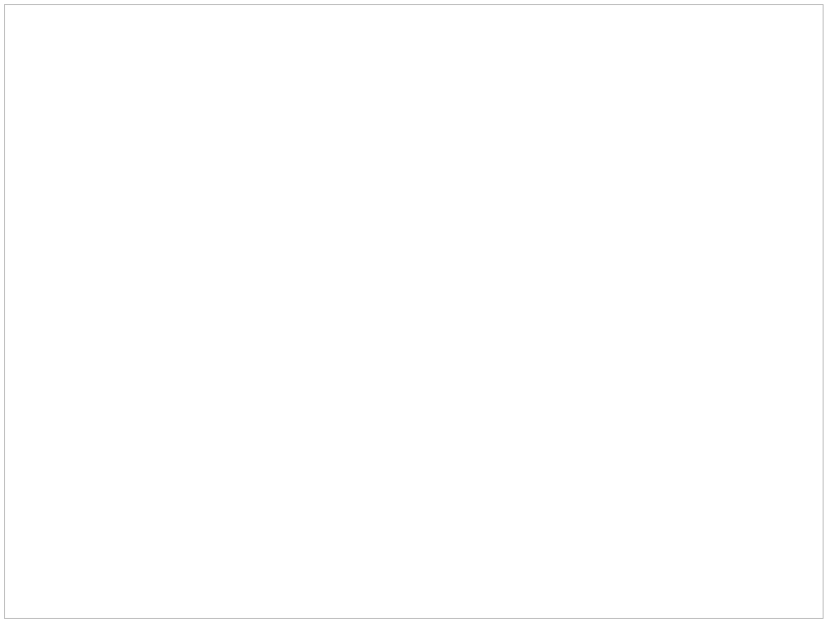
天照大神様にご挨拶を終えると、満潮の海の中へ全員が濡れながら入っていきます。深いところは約１ｍもありますので、全員、下半身は水びたしですが、龍宮の神様に会える喜びで笑顔が溢れています。



龍の台座がある岩には、神職・巫女・神役目を持つ人しか登ることができませんので、参加者は向かいにある供物を捧げる岩場に登り、神事を見守ります。



2日間の祈りで各島の龍宮神の神様から玉を頂いた方が、神の台座に登りました。宮古流のお金と線香、お水とお酒と供物を捧げて、猪子さんが神様にご挨拶したあと、私が祈りを捧げました。



祈り始めると、ここの神様は大きなエネルギー体となって天に昇り、各島の龍宮神からもたくさんの龍が集まってきました。各島の龍と、ここの龍は一体となってさらに大きなエネルギー体になり、またここへ下りてきました。そのエネルギーは12個の玉をこの台座の周りに置いて、全ての龍宮神を守る力となりました。

この時の祈りを見ていた人が、あとから詳細にそのビジョンを伝えてくれました。最後に、唐の国から使者が3名、木船でやってきて中心人物がこの台座に鎮座した様子も見ています。日本に伝わった龍は本来、中国から伝わってきたものですので、その大元との繋がりがここに復活したことを神様が見せてくれたのです。

私の祈りが終わると、神様が猪子さんを呼ぶので、もう一度、猪子さんに手を合わせてもらいました。長い時間、猪子さんは神様と対話しました。対話の内容は、後ろで見守る私にもわかりましたが、彼女の身体が突然、震え始めました。あまりの神の歓びの言葉と感謝の言葉に、涙が溢れて止まらなかったようです。猪子さんは祈りを終えて、こう私に話してくれました。

「この龍宮神祭をする為に、私は吉岡さんは逢わされたんですって。長い間、本当にありがとうって神様がお礼を言ってるよ！」

この言葉を聞いた時、私も身体の中から熱いものが込み上げてきました。2004年に伊良部島で白龍を見てから、人の出会いと神の出会いのおかげで、ここまで来れた5年の出来事を想い出します。みんな本当に苦しかった・・・、誰にも理解されない辛さを乗り越えてここまで頑張ってきて、本当によかった・・・。

私のブログを見てくれた人やホテルてぃだの郷のホームページを見て、たくさんの人が伊良部島の神様に手を合わせてくれました。神様も、その一人一人に大切なプレゼントを下さいました。

出会ったたくさんの人の思いと、それを導いてくれた神様たちの思いを感じて、お互いに抱き合いました。ありがとう、ありがとう・・・・・本当に、ありがとう・・・。

神様がお礼を言って下さっている・・・・これほど魂が喜ぶ経験は、人生にありません。そして、人はその喜びを感じてまた、神や人の為にできることをしてあげたくなるのです。どうぞ、自分にできる事がありましたら、私の身体を使って下さい。

でも神と共に生きる幸せは、反対に、現実で生きる厳しさにも直面します。見えない物を信じない人たち、神を信じられない人たち・・・それは、自分を信じられない人たちとも言えるでしょう。

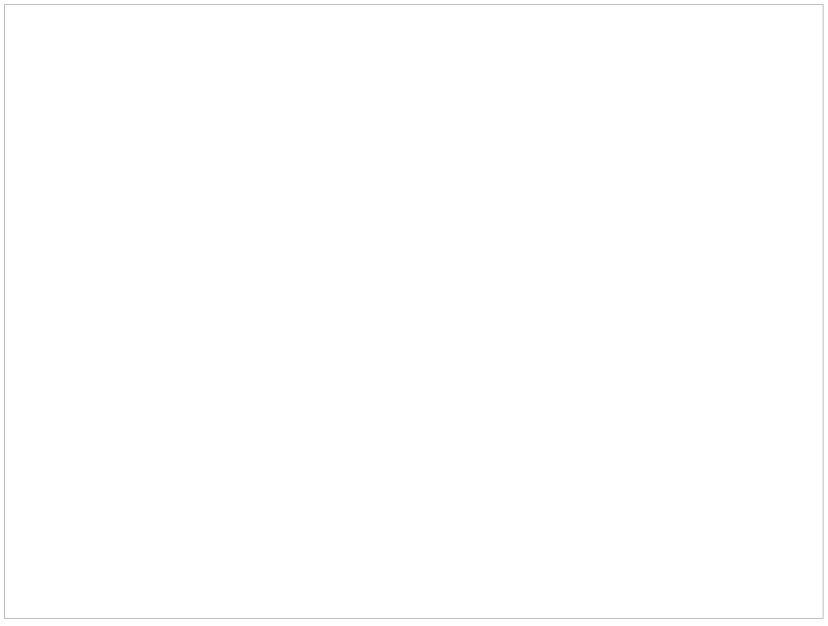
そんな人たちいたとしても、自分を信じて神を信じて毎日、祈りをする人がいるおかげで、たくさんの人の命や普通だと思っている出来事が神に守られています。

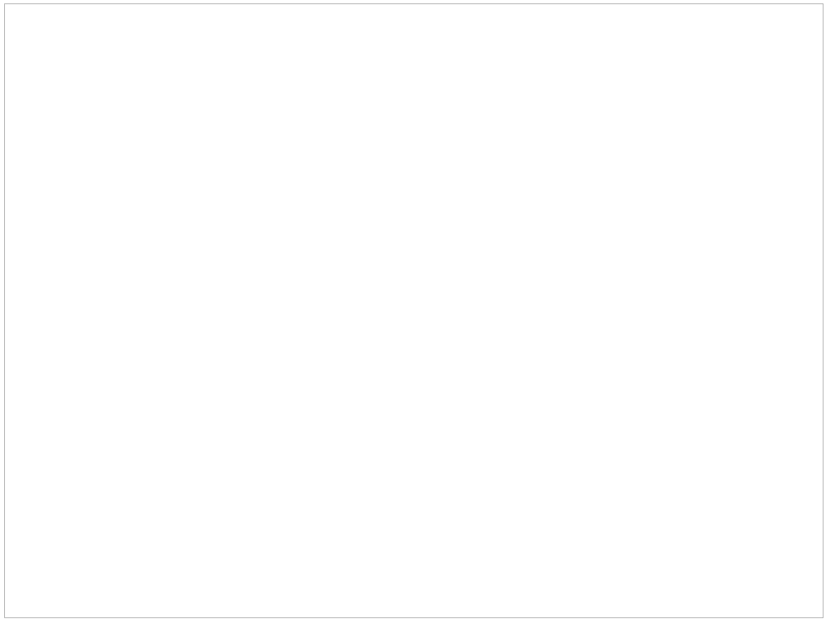
神はいつも無償の愛で私たちを見守って下さっていますので、祈りは私たちの心も無償で神に捧げる心を学ぶ経験ができます。

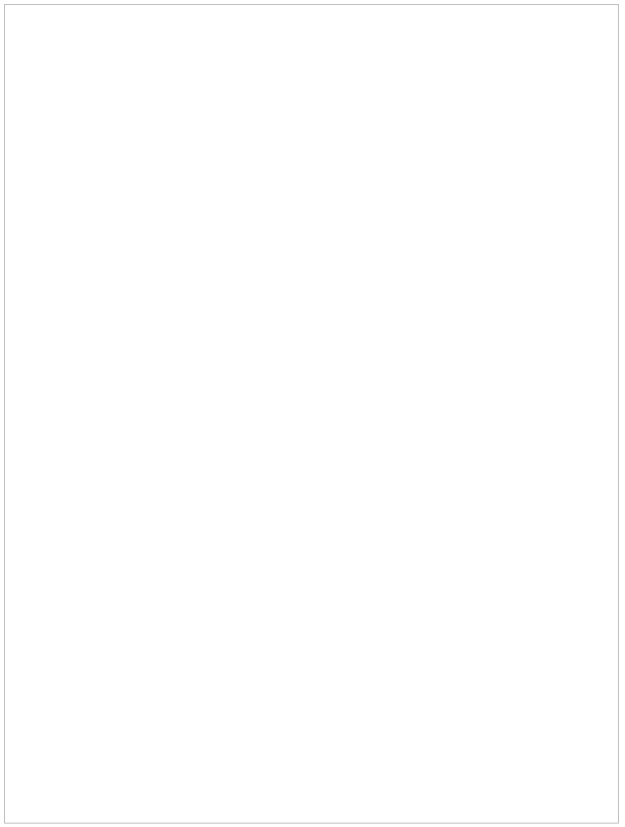
でも神に対する心は無償でも、現実はまだ無償で生きられない世の中ですので、自分のできる範囲で神に言い訳しない方法を見つける必要があります。それは特別な方法ではなく、自分のできる範囲で物事をすることだと思います。

龍宮の神のように自然神の神は、人間の先祖神のような細かな導きはしてくれません。全てが自然循環の流れの中にあることを悟ったうえで、自分のできる範囲で生きることを学ばせて下さいます。

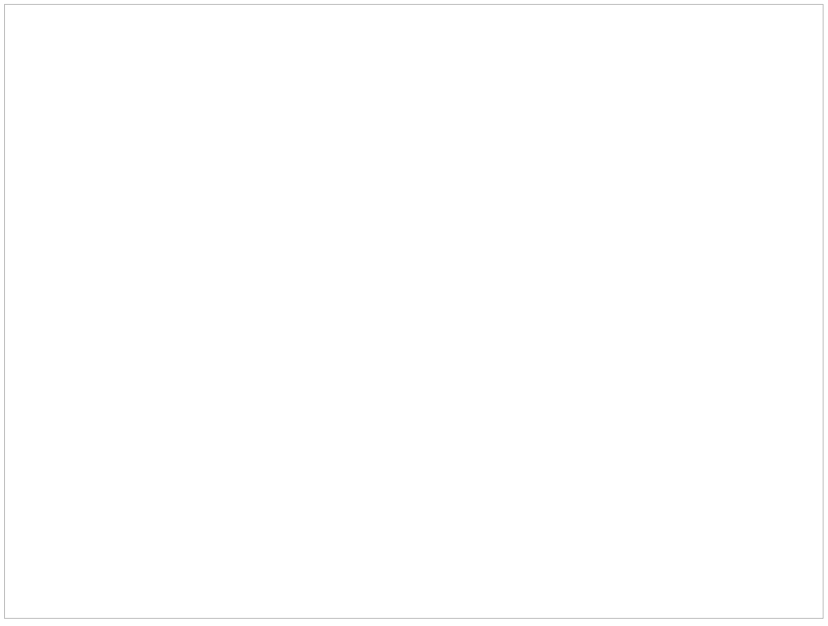
風、火（日）、大地、水の全てを司る大いなる神、龍宮の地、伊良部島に心から感謝を捧げます。

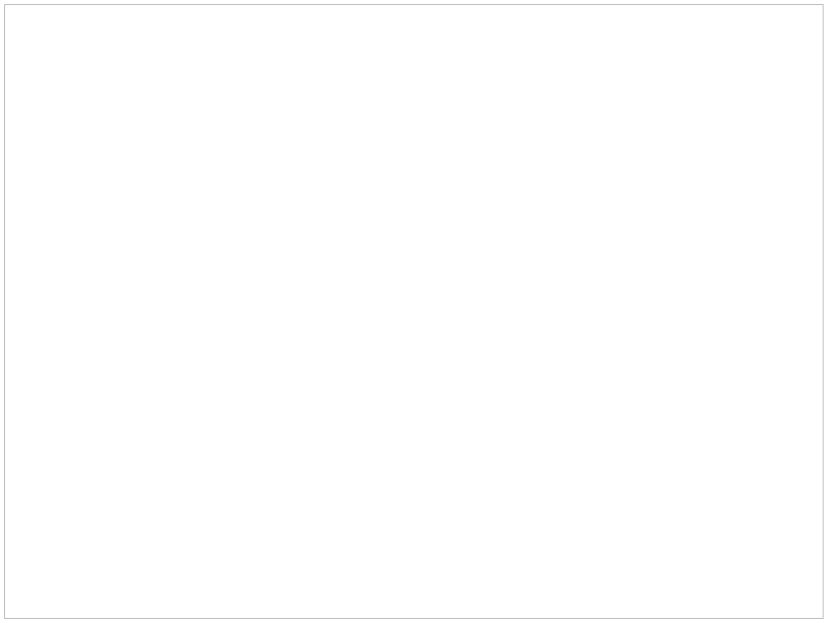




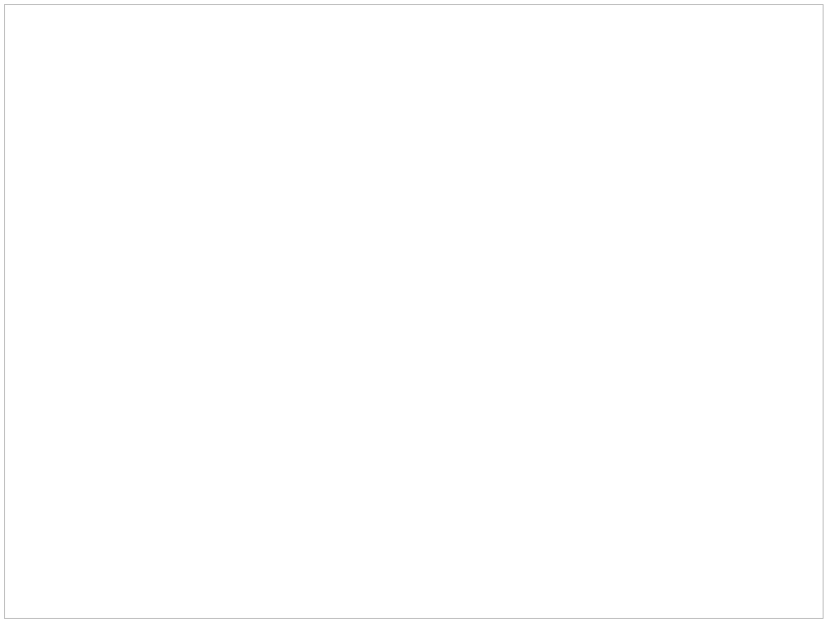


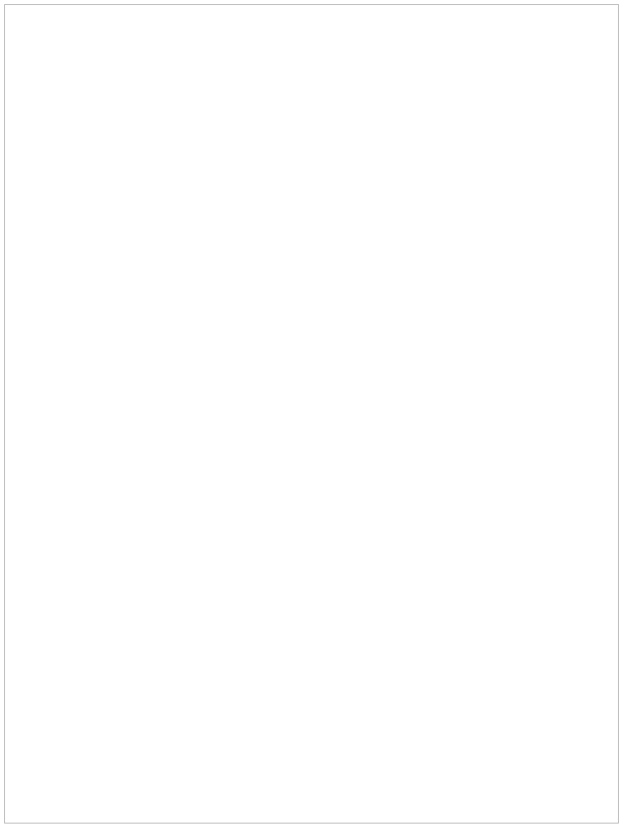
佐和田の浜の龍宮神祈りを終えると、漁船を一隻チャーターして伊良部島の周りを守る神様へご挨拶に向いました。伊良部島は島そのものが龍宮城ですので、龍が出入りする龍門や大龍門、また龍が休む龍の台座をいくつも見ることができます。





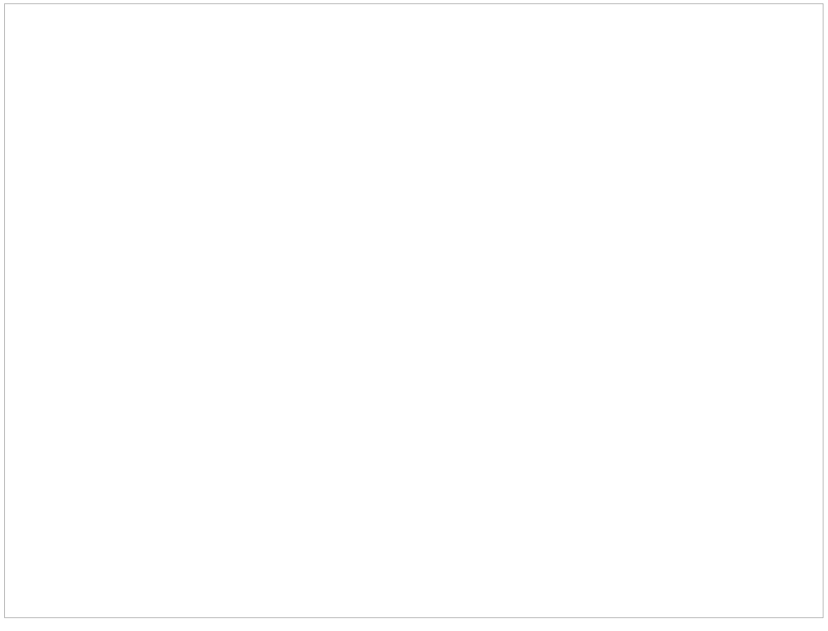
私たちの祈りを祝福するように、天から鳳凰が降りてきてくれました。渦巻き状になった先端が鳳凰の顔です。龍と鳳凰の喜びの乱舞をご覧下さい。





私たち人間にできることで、神が喜ぶことなど無いと思っている人もいるでしょう。でもそんな人さえも神は常に、私たち人間を守り続けて下さっています。私たち人間も神の役目を持つ存在だからこそ、一人一人が自分のできることを行動で示して欲しいと願います。

今回の龍宮神祭は、これから毎年、開催すると猪子さんが決めました。自然の神に感謝する日、龍の神に感謝する日になりますので、来年、お会いする皆様、どうぞお早めにご予約下さいませ。全国から、龍宮神祭にご参加くださいました皆様、本当にありがとうございます。



2009.06.27 Sat

龍宮神祭　池間島・来間島

宮古島の鬼門（東北）を守る大神島の神と八重干瀬（やびじ）の龍座を繋いだあとは、宮古島の北を守る池間島の龍宮神に向いました。初めてこの場所に来たのは2006年の宮古諸島　愛と調和の祈りの四方祈りの時ですが、とて厳しい神事だったことを思い出します。詳しくは、宮古諸島四方祈り（2006年３月）をお読み下さい。

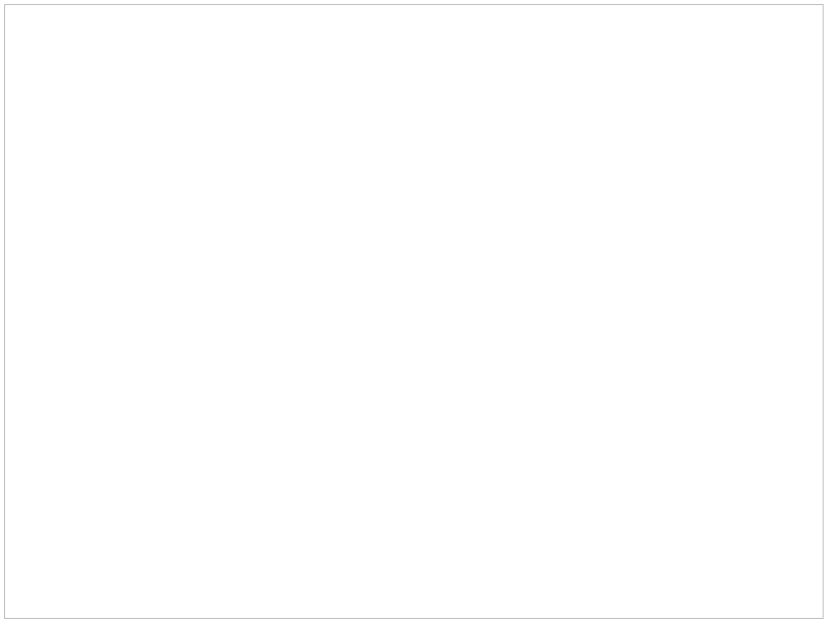
２００６年に沖縄で初めて大きな神事を行うことになった「宮古諸島　愛と調和の祈り」は、人格神を祀っているウタキの神々と自然界を守る龍宮神を繋ぎ合わせて宇宙に繋がる八重干瀬（やびじ）まで運ぶ壮大な神事でした。

その八重干瀬に登る前日の要の場所が池間島でした。池間島の龍宮神に神事の目的を告げると、「龍門を開けたいのなら、おまえは何を差し出すのか？」と問われました。生まれて初めて神に差し出す物を問われた時の混乱は、今も鮮明に覚えています。

神祈りをするとよく神様が色々な物を授けて下さいますが、全て自分に与えられた物とは思えないのでエネルギーの下がっている神場所に納めていて、ちょうど何ひとつ持っていなかった為に、決断して自分の御霊を差し出した記憶があります。

神に御霊を差し出す覚悟を決めた時、本当に神事の厳しさもわかりましたので、その扱いについては神にお任せすると告げました。龍門を守る神は、「あい、わかった！」と言うと龍門を開き、光で開門を見せてくれました。またそれは、ウハルズの大神様がいる神座に登る許可にもなったのです。

猪子さんとその時祈った龍門を探ししていると、先ほどの大神島が左手に見える岩場の右手にある龍門を見つけました。穴の右にある岩の下にうっすら白く写っているオーブが、ここの神様の姿です。



宮古島の方たちに祈りをしてもらってから、久しぶり龍宮神の神様にご挨拶を捧げました。神様は今回の目的を理解して下さり、私たちの祈りに協力して下さる事を告げました。祈りを終えて帰ろうとすると、巫女役の友ちゃんが神様から玉を頂きましたので受け取って下さいと言います。

この玉は、この龍宮神のカギを持つ役目を頂いた意味にもなりますので、素敵な友ちゃんの巫女役と神様の計らいに感謝しました。

今回の神事で初めて出会った友ちゃんは、実は、テレビや雑誌に出ているタレントさんです。彼女は幼い頃から自然界の神と対話しているような素敵な女性で、神社や聖地の祈りも6年前から一人で数百か所巡っているそうです。

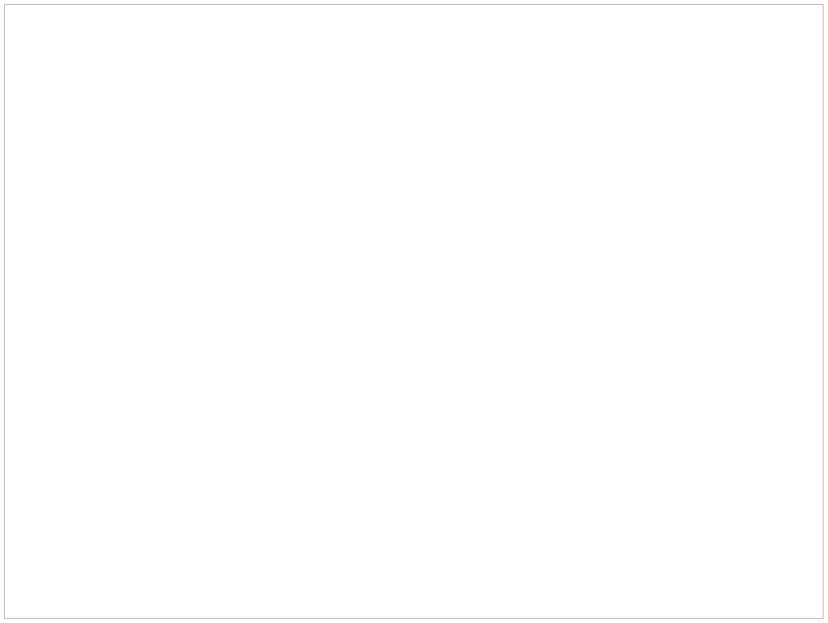
今回の龍宮神祭に参加した方の体験談は、こちらからどうぞ！

このあとの予定が押している為に、ウハルズの神様へご挨拶する時間はないと猪子さんが言いますので残念ですが、またきちんとご挨拶する日まで待って下さるようここから祈って池間島を後にしました。

池間島の祈りが終えると、今度は宮古島の東を守る龍宮神の場所へ向かいました。宮古島の東には、「東平安名崎（ひがしへんなざき）」という美しい海岸線が観光名所としても有名ですが、その手間に龍宮神の場所はありました。

私は初めてご挨拶する場所でしたが、建物の横に祈りのあとを見つけました。すると猪子さんが、どうもここから祈るのが本当だと言うので、神様に聞いてみて下さいとお願いしました。

しばらく神と対話して話してくれたことは、東平安名崎の先に点々と見える岩が実は、ミニ八重干瀬のようになっていて、そこへ神様が降りるのでここから祈るのが正しいと教えてくれました。ではなぜこの拝所の方角がそちらへ向いていないのかと尋ねると、宮古諸島のウタキはほとんどが、大神島へ向かって建てられている事と教えてくれました。

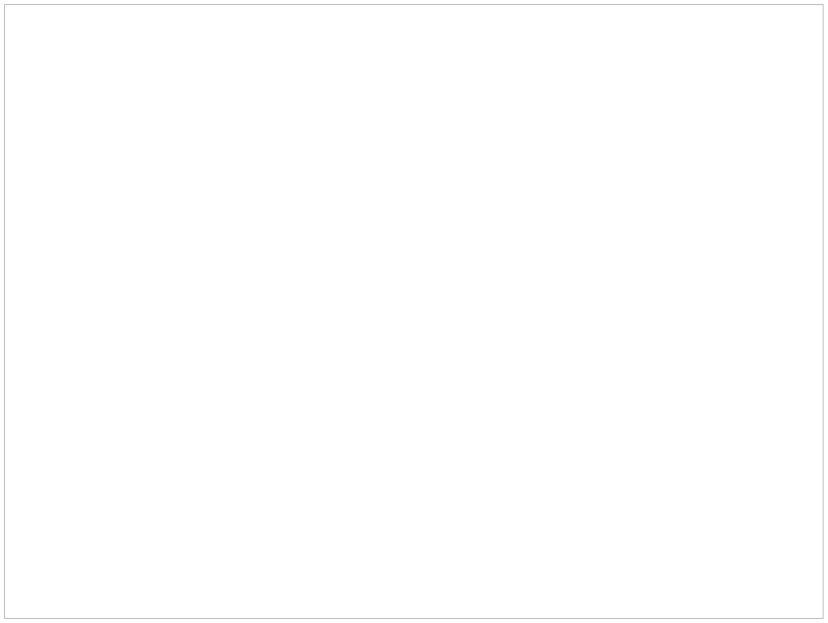


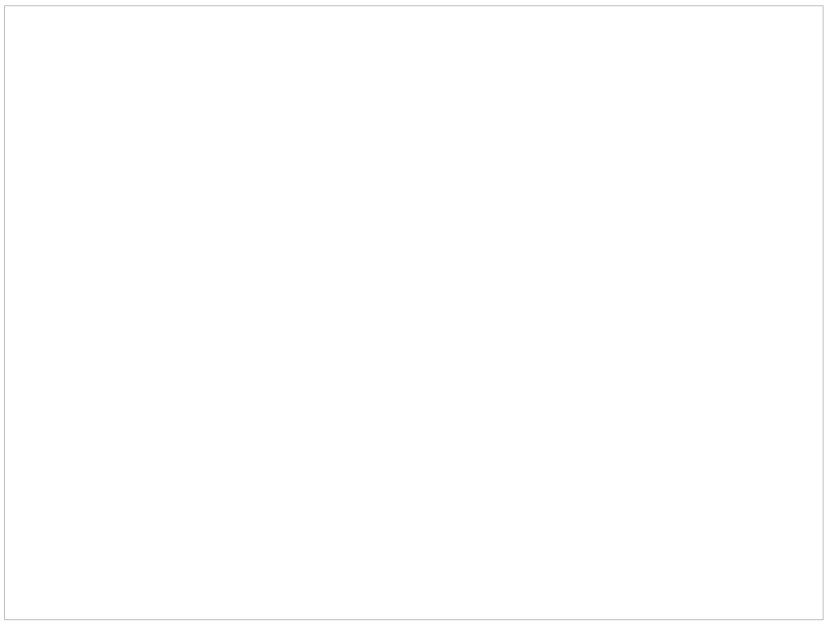
今回は龍宮神祭が目的ですので、全員で祈る場所は海に浮かぶ岩へ向かって祈る事に決まりました。宮古島の方たちが祈りの準備をしていると、拝所の神が私を呼びます。すぐに一人で入り話を聞くと、ここは世界へ繋がるエネルギーラインがあるので、その役目を持つ人に繋いで欲しいと感じました。

つい最近、ラフティング世界選手権で世界第二位になった監督の重ちゃんと巫女役の友ちゃんを呼んで祈りを行いました。祈りの後に話を聞くと、二人は同じものを神様に見せてもらったようです。現実世界でも世界へ繋ぐ役目を持つ人は、ここの神様にご挨拶するといいとも思います。

全員で、神が降り立つ場所に向かって祈りが始まりました。大きな大きなエネルギーが天から降りてきます。雲はその姿を示すように、活発に動き始めて龍の形となり、私たちの祈りが通った事を教えてくれました。

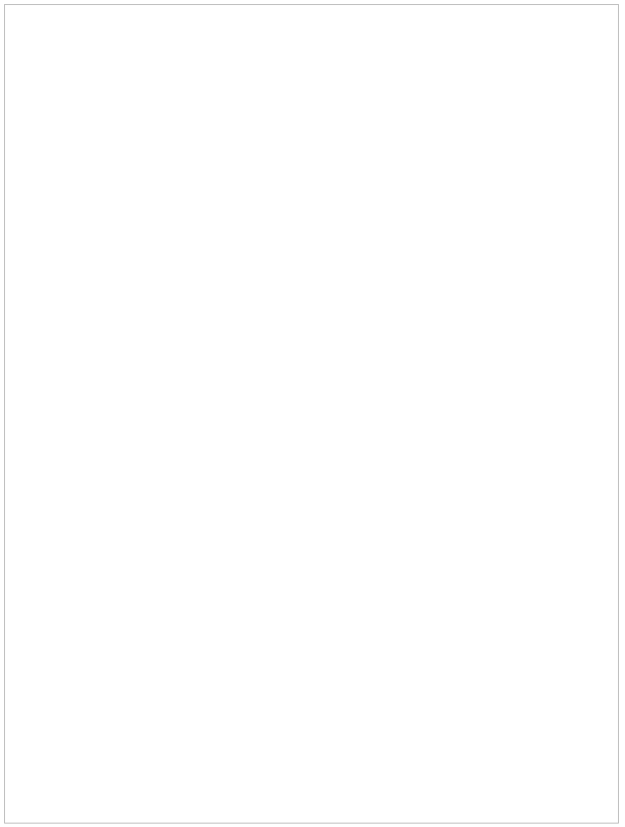
この場所で頂いた玉は、この場所を守る為に嫁いだ女性にお渡しました。この場所を大切に守る事で、家族間のトラブルも一緒に解消しますよと神様は教えて下さいました。





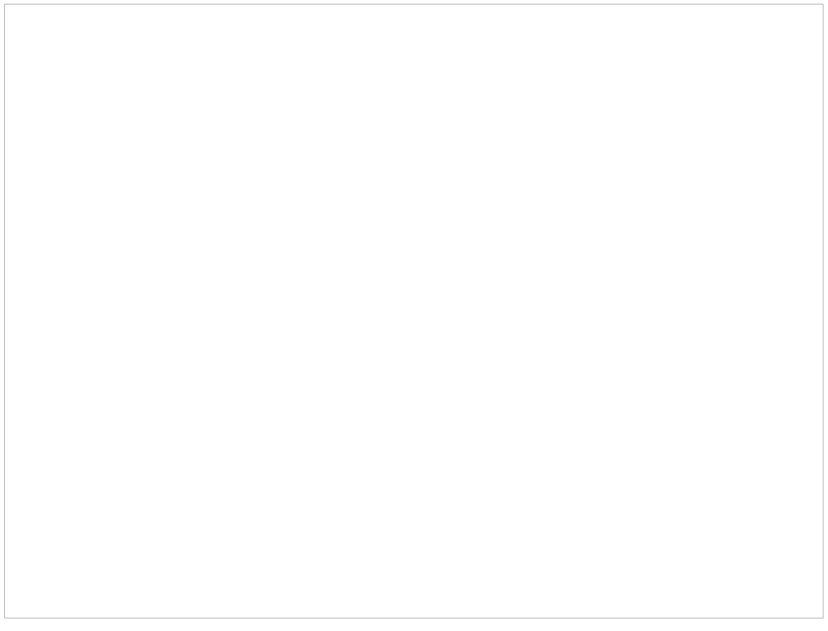
祈りを終えると宮古島の男性と今年、結婚した大阪の女性の身体に異変が出ました。大神島の祈りからお腹が痛くなり今、とても辛いというので神様のエネルギーを通して調整しました。神様はその人に大切な事を伝える時にエネルギーで伝えますので、原因がわからない身体の病気と感じる事もよくありますが、理由が正しくわかれば、するべき事をすることで身体は治ります。

病気や霊障も、全て同じです。神様と霊は同じエネルギー体で、振動数（周波数）が違うだけですので、エネルギーがかかった理由を正しく理解すると、ほとんどの問題は解決することができます。こういう身体の霊障を読み取ったり、調整する仕事をしている人は現在とても増えていますので、悩みがある方はどうぞご自分に合う人を見つけて下さい。



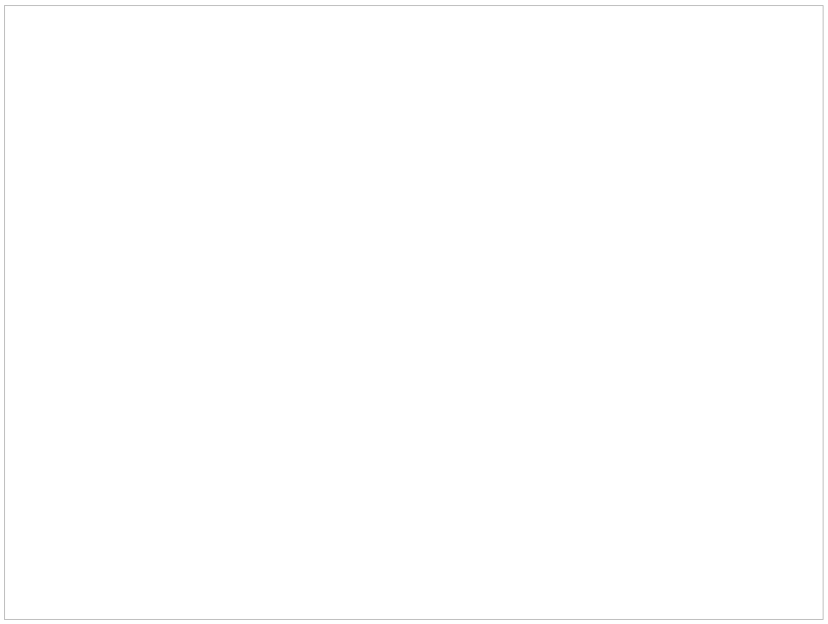
東の祈りを終えると、今度は南の来間島の龍宮神に向かいます。来間島に入ったすぐ右手にある龍宮神は、大切なエネルギーを守る場所として神祈りをする人たちがよくやってきます。しかし、またここもゴミが散らかっていました。

「聖地祈りはゴミ拾い」と言い続けて5年経ちますが、まだまだ地元の祈りをする人の意識が薄いようです。私たちのような本土の人間がゴミを拾わせて頂けることも神に仕える行いですので、全員でゴミ拾いを始めました。清掃を終えて祈りを始めると、また神様が玉を下さいます。ここのカギを守るべき人は誰かと探していると、教育委員会で神様のことを大切にしている方へ渡す事になりました。



お一人お一人が神様を守る役目を頂き日々精進する事で、ご自分の徳や家族も健康も守られます。それは現実社会で問われる事と同じように、神に恩返しする心で他人に恩返しをする人生をになることでしょう。

多良間島・水納島・大神島・池間島・来間島の宮古諸島の五ヵ所の祈りがこれで終わりました。宮古島では大切な祈りが終わると、神様からのお礼として供物を頂く習慣がありますので、地元の方が朝早く起きて手作りで作られた美味しい小豆のお餅を頂きました。



伊良部島に渡るフェリーの時間が迫っていますので、宮古島本島を守る代表の神様にお礼として漲水御嶽（はりみずうたき）へ急ぎました。いつもやさしい女性の声で話してくれる漲水御嶽の神様は、今回の祈りに感謝の言葉を下さいました。

皆さんが心をひとつにしてこれからもどうぞお進み下さい

ありがたいことです。祈りを行うことは、神様の為やご先祖の為だと思って頑張った結果が、自分を含めた人間全ての為だと気づかされます。無心に祈っていると、その対象が何であれ、自分の心（自我）を横に置いて祈るようになりますので、その無心を人の為に使いなさいと神は教えてくれます。

これで明日の龍宮神祭の準備は整いましたので、龍宮神祭へ向けて今日のメッセージを皆さんと確認する時間を夜に持ちました。北海道・関東・関西・沖縄のそれぞれの人たちが、個人の思いを超えて明日の龍宮神祭の成功を望んでいます。

人の出会いから学ぶことも、神に祈って学ぶ事も同じです。人は、神。神は、人として生きる事

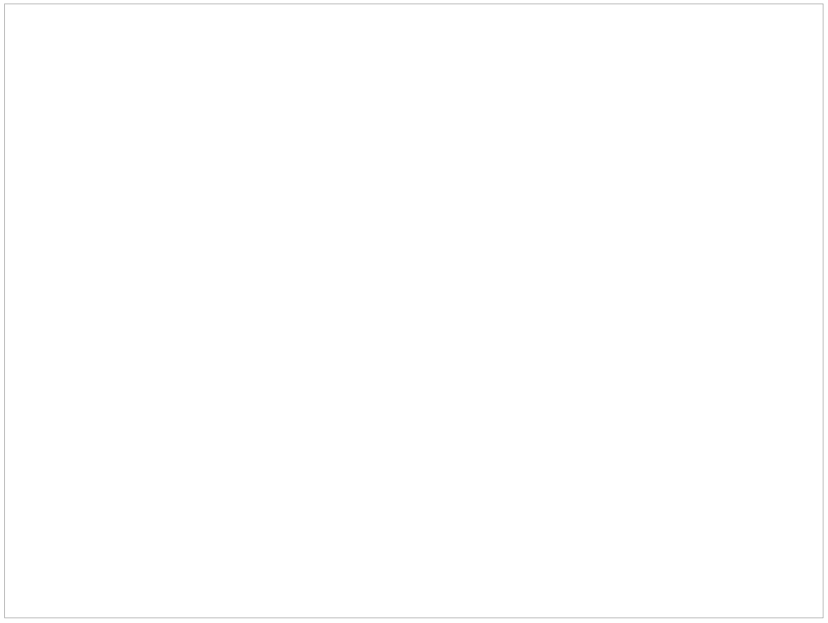
を互いに学ぶ時間になったと思います。本当にありがとうございます。

2009.06.26 Fri

龍宮神祭　大神島

６月２６日、まず宮古諸島を守る最大の神様の島　大神島へ渡る船が出る島尻漁港へ向かいました。４月に訪れた時に漁港の右手にあるウタキを見つけてご挨拶すると、皆さんの身体にかかるエネルギー負担が減りましたので、今回もまず皆さんをご案内しました。

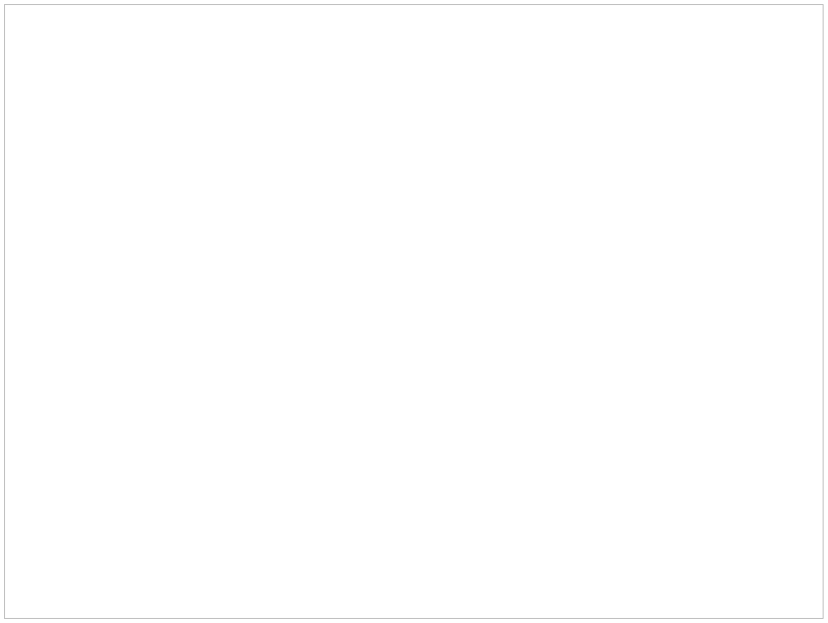
このウタキを守る役目の司（つかさ）の後継者がいない為、現在は閉じられているウタキですが、親神祭（うやがんさい）では重要な祭事を行う場所だと地元の人から聞いています。神様も、親神祭が行われないことが悲しいと伝えてきました。

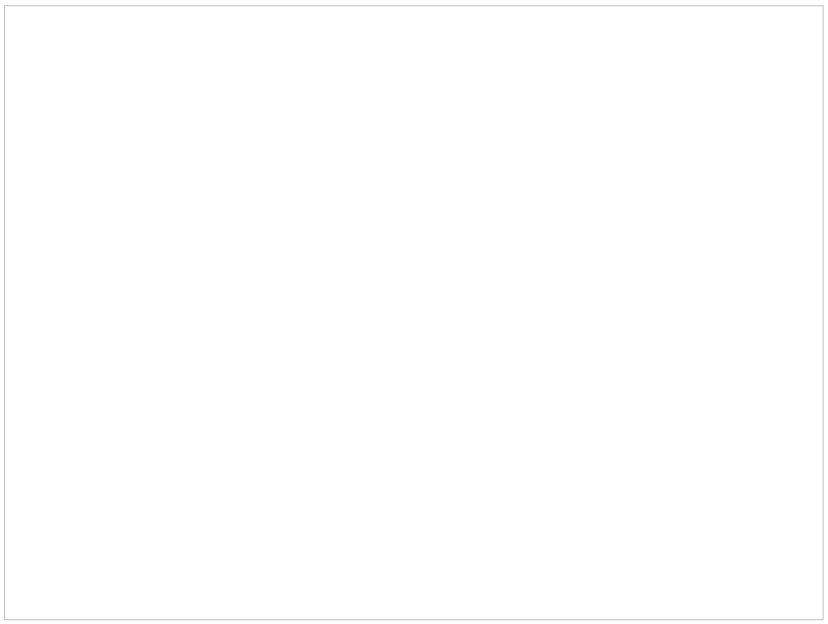


ウタキのご挨拶を終えると、猪子さんが他の場所の神様に呼ばれるように道をスタスタ歩き出します。あとについて行くと、島尻部落の大切な神祈りを始める元（もと）と呼ばれる場所へ導かれました。右手には井戸の神様がいますし、左手には大切なウタキがあるようです。

このウタキは、女性だけが入る神聖な場所なので、私も手前でご挨拶をしました。するとビジョンで、二つの穴が見えて、右に立って左回りが男、左に立って右回りで回るのが女と教えられます。この意味を島尻部落生まれの方に聞くと、それは神様の行事をする時の大切な決めごとですと教えてくれました。

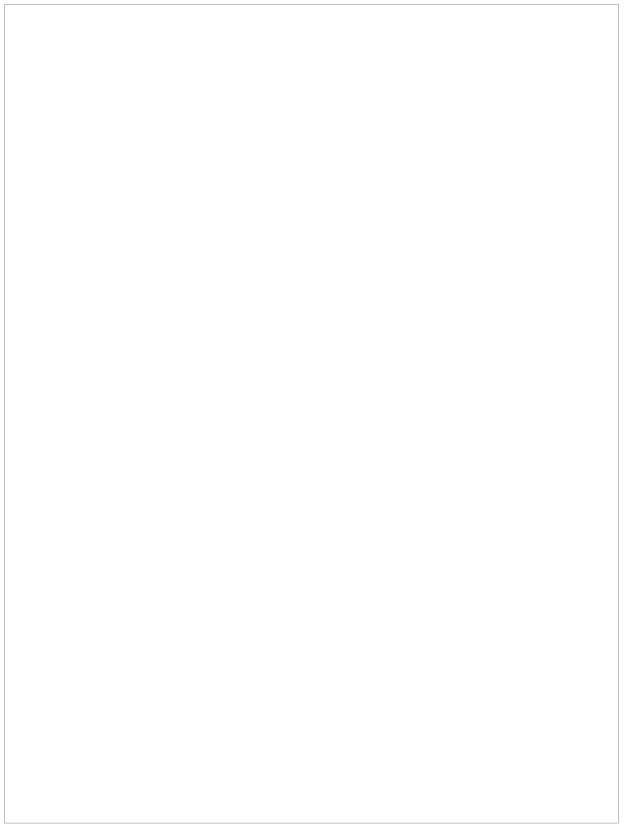
右の井戸の水は、神行事をするときに一番最初に使う大切な水だということもわかりました。こうやってひとつひとつ、神様たちは私たちを導いて大切な事を教えて下さいます。龍宮神祭が終わった翌日に改めて、島尻部落の親神祭（うやがんさい）復活の調査に来ることを神様に伝えました。



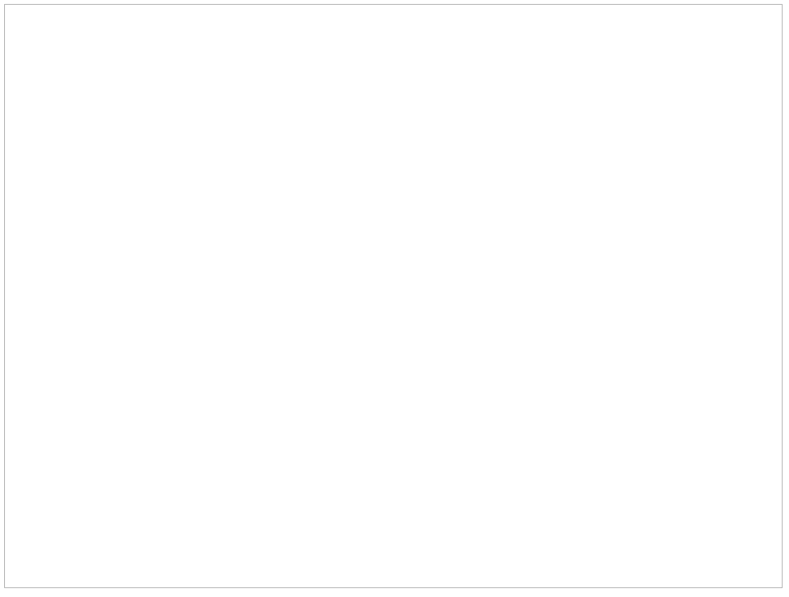


この島尻部落は大神島の神様を繋ぐ場所として、昔から霊的能力の高い人たちが生まれていますが、祀り事をやめてしまったおかげで神ダーリしている人が増えていると聞いています。神エネルギーの強い場所に一歩間違えて入ると、こういった事が起きる場合もありますので、決して本土の人は個人で近寄らないようお願いします。

島尻部落の神様にご挨拶を終えて船に乗り、大神島の港に着くとまず港にある龍宮神にご挨拶するのが決まります。この神様は静かな言葉で「皆さんのすることをお守りいたします」と言葉を下さいました。



次に大神島最大の神様がいる遠見台へ向かって歩いていると、空に大日輪を見つけました。太陽の周りを虹が円を描いているこの大日輪は、天の神様の祝福を意味します。初めて見る方もたくさんいたので、神事に参加された皆さんはとても感動してくれました。



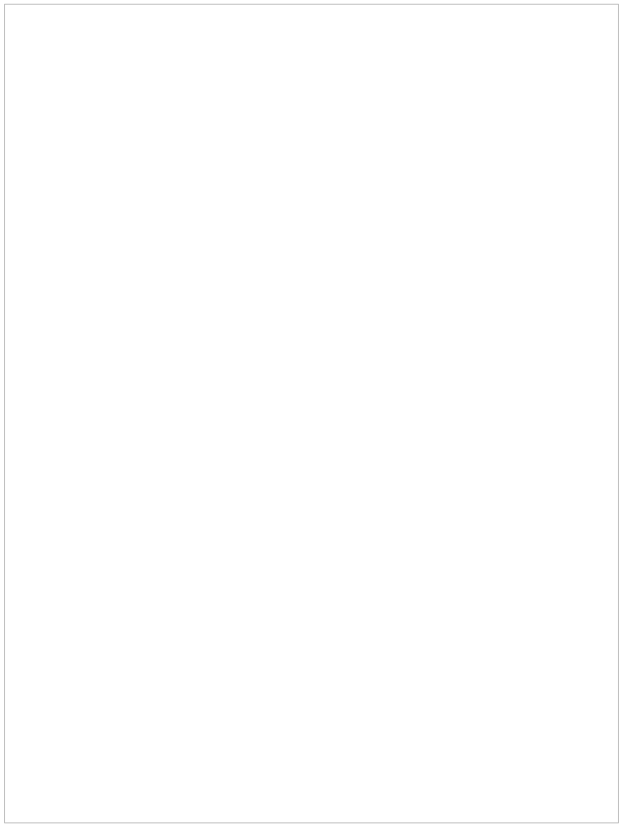
東京のある女性が、この日輪の中に何もなかったのに、時間が経つと４匹の龍が入ってきて、それがひとつになるのを見たと教えてくれました。これも、ありがたい神様のメッセージです。天空を舞う龍は様々な役目を持っていますが、４匹の龍は四方全てを守る存在が一つになって力を貸してくれていることを教えてくれました。

この龍宮神神事が、どれほど神が望んでいた神事であったかを改めて感じます。遠見台へ登る入

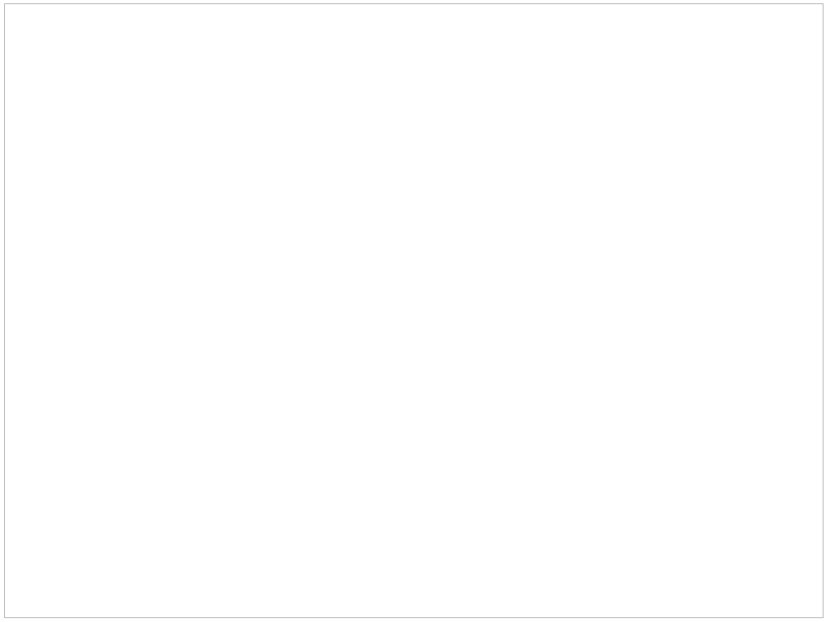
口には、この島最大の井戸がありますので、水の神様に全員でご挨拶をしました。

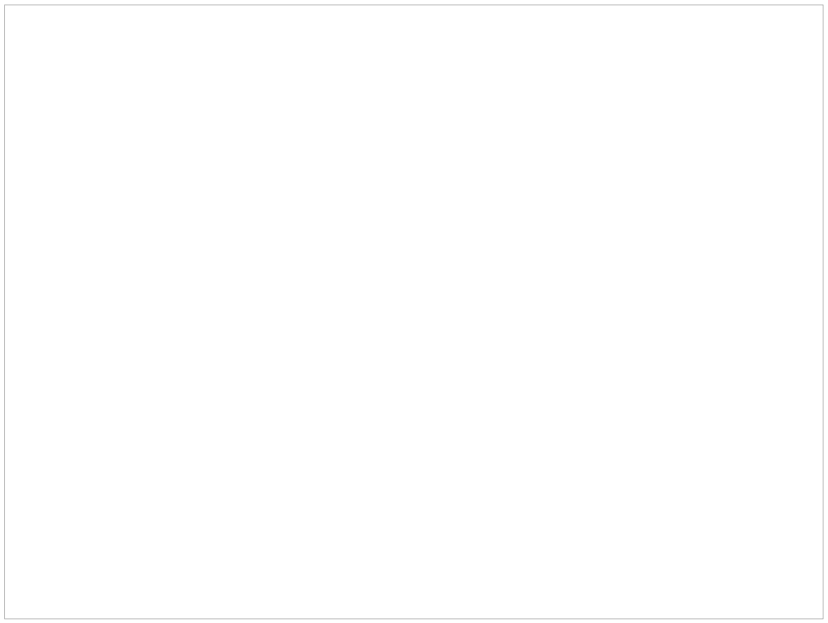
さあ、遠見台を登りましょうと階段に近づくと、先頭を切る猪子さんが階段の前で靴を脱ぎ始めます。これは神様に対する礼儀の現れですが、先頭の方がする挨拶ルールは全員がしなければいけない決まりですので、あわてて全員が靴を脱ぎました。

猪子さんとは何度も一緒にここへ来ているのに今回初めて靴を脱いだということは、よほど大切な話をすることになると覚悟して登り始めました。階段を昇る度に身体に載る神エネルギーは、今までにない大きなエネルギーだったので今回、巫女役をしてくれてりう女性を気遣いながら一歩一歩登りました。



頂上手前の拝み所へご挨拶してから頂上に立つと、大潮で潮が引いたおかげで４月に行った八重干瀬（やびじ）が真っ青に見えていました。さらに八重干瀬の神々全てをまとめる神様の場所、フジ岩（フデ岩）もくっきり見えています。これまで見た中で最も美しい３６０℃の風景と言えるでしょう。





猪子さんは、天から降りた神様はまず八重干瀬に降りてからこの大神島へ繋がっていると説明して、八重干瀬へ向いて祈りをお願いしますと言いました。大神島から八重干瀬へ祈りを捧げるのも、正式には初めての体験です。宮古式の供物が供えられ、祈りは始まりました。

大きな大きなエネルギーが天から降りてくるのが、わかります。その大きなエネルギーが八重干瀬に降りて、こちらへ向かってきます。その量のすごさに驚きましたが、全員が心を一つに祈っていますのでしっかり受け止めてくれることを信じて、全てのエネルギーを受けとりました。

数分間の祈りだと思いますが、全身汗びっしょりになるほど、大きな神エネルギーを全員が感じ

たようです。大神島のご神体である大岩にも、お礼のご挨拶をすると、こんな言葉を下さいました。

ウイティンバルサー　シンバシー　　宇宙の神々の願いをここに繋ぎます

７月１８日に昇る富士山神事のご報告も神様にしました。すると、すべての事を理解して下さり、こちらの意思にお任せすると言葉も頂きました。ひとつひとつの神事が全ての宇宙のおおもとの意志である事を知っているからこそ、私たち人間の不始末を人間が解決する為に神は導いてくれています。

私だけではない世界中の祈り人は、自らの神役目を果たす為に日夜、祈りの為に動いています。神と心をひとつにする人が増えることで、私たちの願いも宇宙の創造主の願いも同じになります。神心を持つ人たちが参加してくれた今回の参加者全員に心から感謝を捧げたいと思います。

祈りを終えてふと振り返ると、巫女役の女性の意識が飛んだまま放心状態になっているのを見つけました。自分でもどうしようもないくらいに大きな光のエネルギーに包まれて、目を閉じても開いても光が目の前を回り続けていると教えてくれました。肉体のバランスと意識のバランスを整えてあげると、現実世界に意識が戻ってきました。

神様のエネルギーや光のエネルギーを受けすぎて、意識と身体の許容を超えると、こういう症状になることもありますが、その度に、私たちはバランスを取り合いながら神事を行っています。さまざまな能力のある人たちが集まる神事は、自分の器の大きさを気づくキッカケでもあるようです。

遠見台の祈りを終えて一番最後に階段を下りると、途中で二度ほど、足に痛みが走ります。神々は私たちに知らせをする時の合図として、こういった痛みで知らせることが多いのですが、その内容はとても今後の神事を気遣って下さる優しい言葉でした。

世の中がどんな状況であろうとも、迷いがある人は、常に混乱の言葉を発します。逆に、自分の望む真実を明確にできている人は、世の中がどんな状況であろうとも、しっかり前を見て、全てを受け入れる覚悟をお持ちです。

私は優しい言葉をかけてくれた神に、こう言いました。

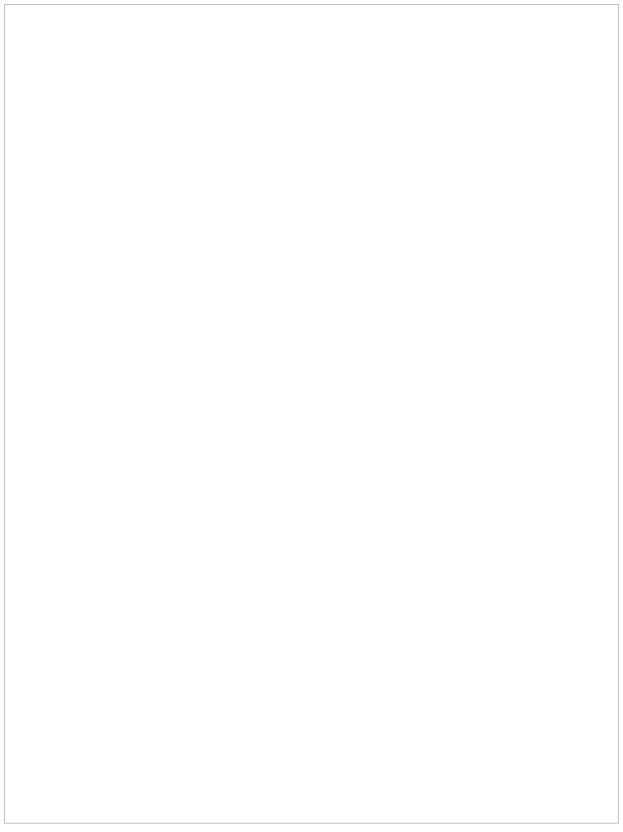
「私は人間を信じています。だから、私にできることを導いて下さい。」と。

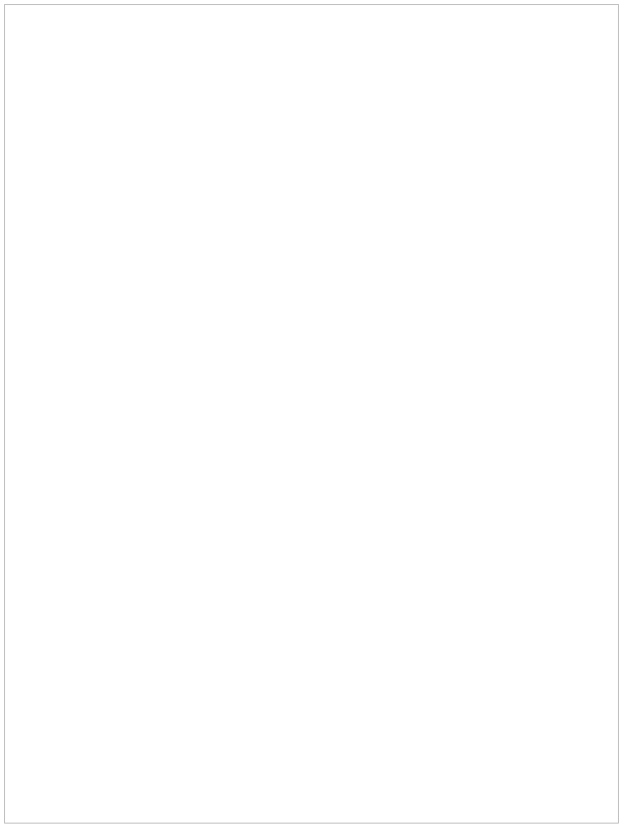
今日の祈りに２０名ほど集まってくれましたが、半分以上の人は、集団で祈る事が初めての人ばかりです。それでも何かに導かれるように、今回の龍宮神祭に集まってくれた方々です。

中学校の校長を務めあげたあとに教育委員会で聖地を大切にする活動をしている男性、世界的に有名なブランドを日本に輸入している代表の女性、芸能界で活躍しているタレントの女性、美味しいお豆腐を作っている女性、世界一を目指している男性、神様や人を大切にしている普通の奥様・・。

職業や立場や利害や宗教の壁を超えて、これだけ素晴らしい人たちに出会えるのなら、必ず、日本は変わることができると思います。日本人が、世界の人が目指すような生き方を見せる事で、地球の未来を変える事ができると信じています。

私が人間や地球の未来を信じられる最大の理由も、こういう素晴らしい人にたくさん出会わせていただけるからです。地球を愛し、神を愛し、そして、自分を愛するように他人を愛せる素晴らしい大人たちが、これからますます増えます事に感謝いたします。





2009.06.26 Fri

龍宮神祭　多良間島

5年前に、伊良部島のホテルてぃだの郷の猪子社長から電話を頂いて始まった宮古島の神様のお付き合い。足を運ぶ度に、佐和田の浜に神様がいるのできちんと拝みをしなければいけないから神場所を見つけて欲しいと探しましたが、今年４月に猪子さんと神様を見つけたときの感動は今も忘れられません。

自然界の神々が作る神様の場所は、その神の役目を示すように３０ｃｍもある大きなサンゴの化石が大きな岩の上部に自然に埋め込まれていました。

沖縄では神様の役目を文字で示さない代わりに、祀られている物でわかるようになっています。サンゴの化石を祀っている場合は、龍宮城の使いとして龍宮神（りゅうぐうしん）の聖地として扱われます。

沖縄の各島に龍宮神の場所はありますが、一般の方は天候や航海安全を祈ったり、海から頂く魚介類の恵みに感謝する祈りを捧げます。ユタや神人が祈るような大きな祈りでは、海の向こうから文化を伝えてくれた外国人たちを神と祀る「ニライカナイ信仰」の神導きに感謝する祈りも行います。

今回の龍宮神祭は、宮古諸島全島の龍宮神をまとめる祈りですので、宮古諸島七島（水納島・多良間島・大神島・池間島・来間島・宮古本島・伊良部島）全ての島に足を運びます。この３日間の祈りに北海道・関東・関西・宮古島から毎日、１５名から３０名の人が集まり、宮古諸島全ての龍の神をまとめる祈りを行いました。

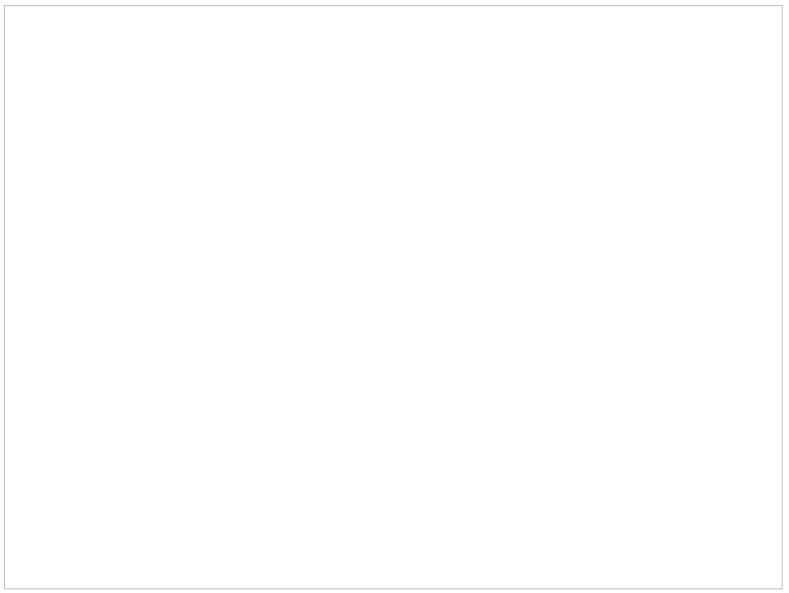
６月２５日、最初に訪れた島は、宮古島の西にある多良間島です。本当は、多良間島の隣の水の神様が集まる水納島（みんなじま）へ行く予定でしたが、風が強く船が出せないので、多良間島から水納島へ向けて祈りを行いました。

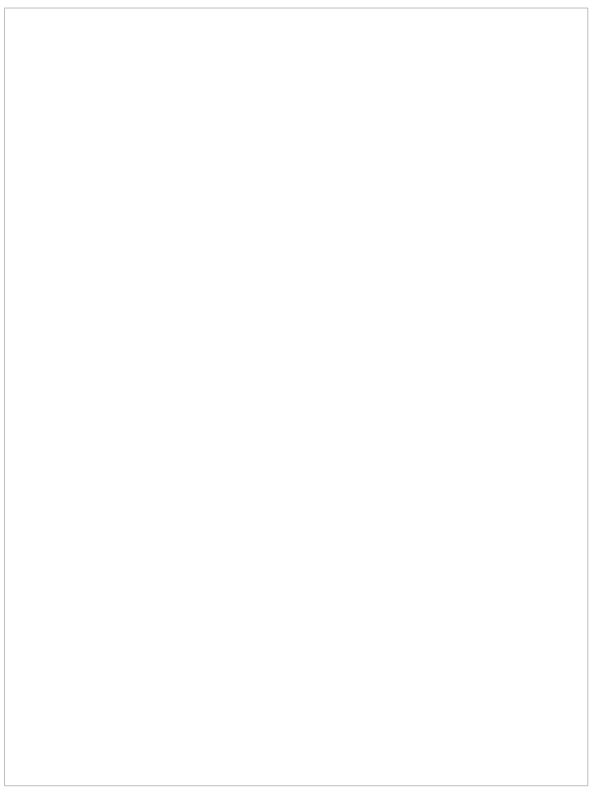
あとで猪子さんを通して神様が教えた言葉は、宮古島では毎年６月に水の神様に感謝して豊作を願う祈りをする担当の方がいますが、まだ水納島を守る方の神祈りが終わっていないので、その方より先に祈りをする事をご遠慮願ったと神様が教えてくれました。

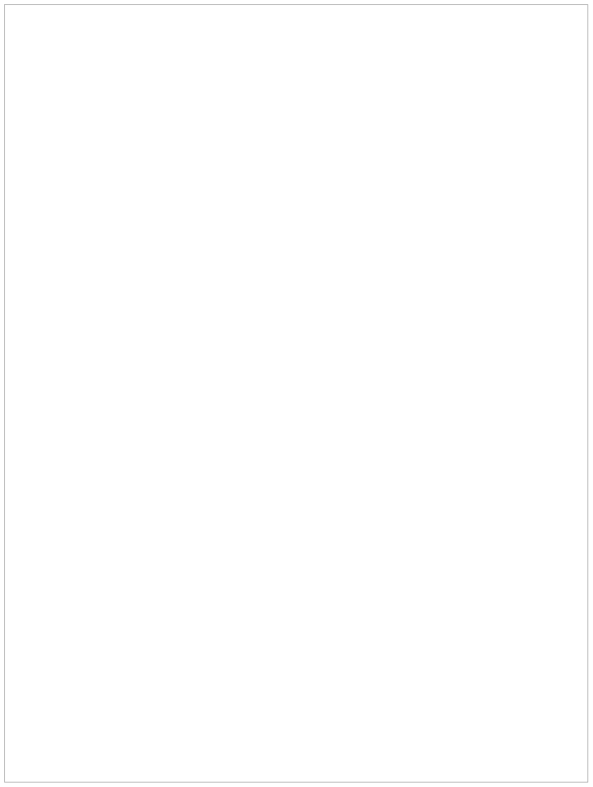
沖縄の島には島ごとのルールが違いますし、それぞれの神役目を持つ人の役割の序列もありますので、地元を守る人が参加する神事は地元のルールに従うようにしています。今回は宮古島の神々を守り自分の住む土地を愛する人たちが参加していますので、必ず、宮古島の方たちが先に祈ってから私たちが祈るようにしました。

ご先祖が大切にしてきた気持ちを受け継ぐように、参加者には地元の人を神として学ぶ心で接するようお願いしています。多良間島の方が龍宮神として教えてくれた場所は、二か所でした。最初に案内してくれた航海安全を祈る「イビの拝所」の隣には、母と子の「ウエーウマの別離の像」がありました。

髪にジーファー（神かんざし）を刺した母と子供が見送る姿を見ていると、木船で海に出て帰って来なかった父の背中が見えてきそうです。







まず聖地のゴミ拾いをしてから３０度以上の暑さになっているコンクリートに裸足で座り、全員で祈りを始めました。悲しみを受取って涙を流す人もいれば、私たちの祈りで救われたと感謝の言葉を神様から受け取った人もいました。

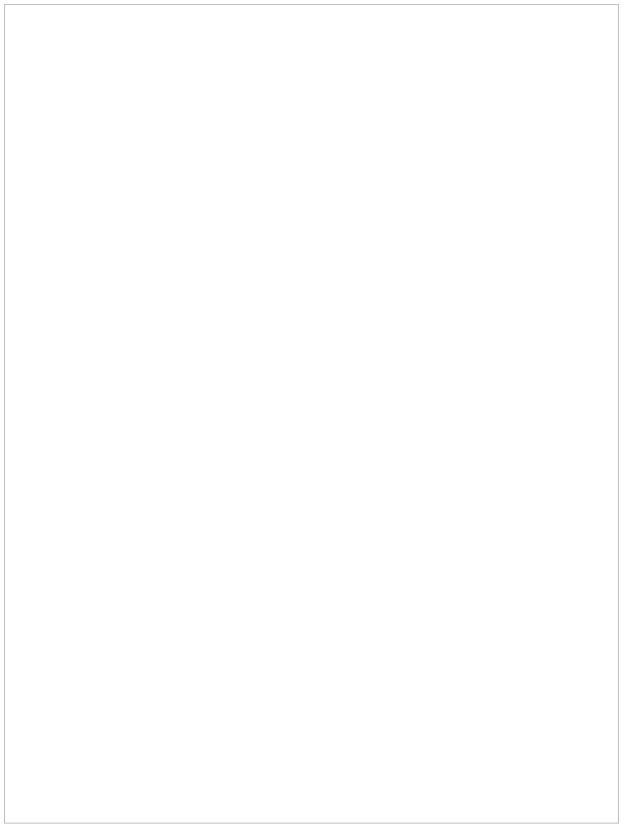
土地の人が守ってきた神心を繋いだあとは、隣の「イビの拝所」に移動します。この神様は、水納島へ繋ぐ龍宮番の神様がいる事が祈ってわかりました。全国や世界から水を運んでくれた参加者の皆さんの気持ちを伝えると、神様はこうお話下さいました。

「これまで龍宮神だけを祈るような祈りをした人はいませんでした。本当にありがとうございます。私たち龍も皆さんと同じ気持ちですので、一緒に力を合わせて働きをしますのでこれからも宜しくお願いします」

宮古島の方たちが祈った後に私が祈リ始めると、ひとつの大きな玉を神様が下さいました。この玉は、多良間島・水納島を守る龍宮神の証文だとわかりましたので猪子さんへお渡ししました。

多良間島の龍の神様と心を合わせたあとは、直接、水納島へこのエネルギーをつなぐ為に水納島が見える海へ向かいました。水納島に向かって砂浜へ座り、各地から持ってきた水を注いで祈りを捧げます。宇宙祝詞を唱え始めると、先ほど祈りをした場所からとても大きなエネルギーが動き出して全員の背中をドーンと通り抜け、水納島へ繋がりました。この瞬間の情景を大きな龍が背中を通っていったと見た人もいます。

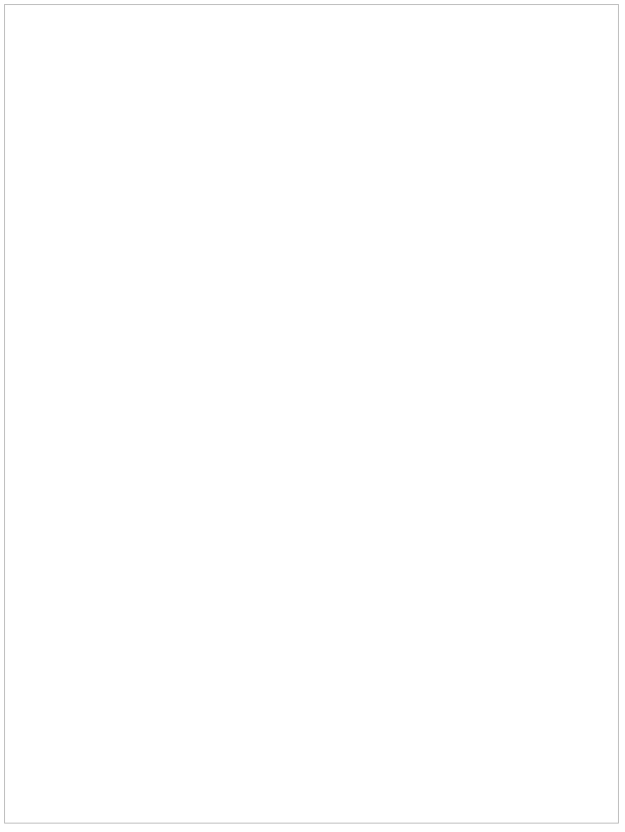
水納島の龍宮神に祈りのエネルギー繋いだあとは、水納島から新しいエネルギーがこちらへ向かってきました。一列に並んだ全員の身体に神エネルギーが入り、一人一人が龍を繋ぐ役目を正式に頂いた事になります。熱い日差しに美しい海、そして暖かくほほをなぜる風と足下の砂浜。この全てを龍が守ってくれているのを感じる祈りでした。

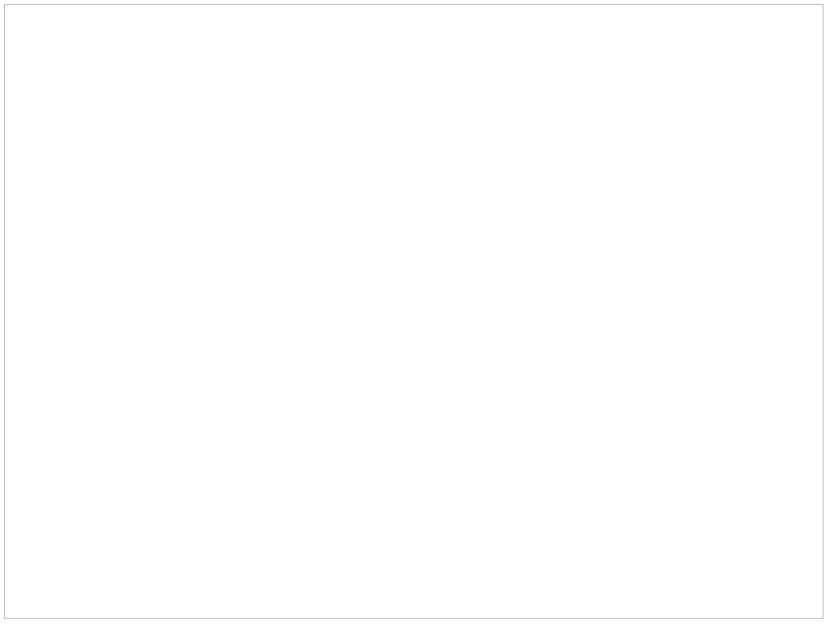


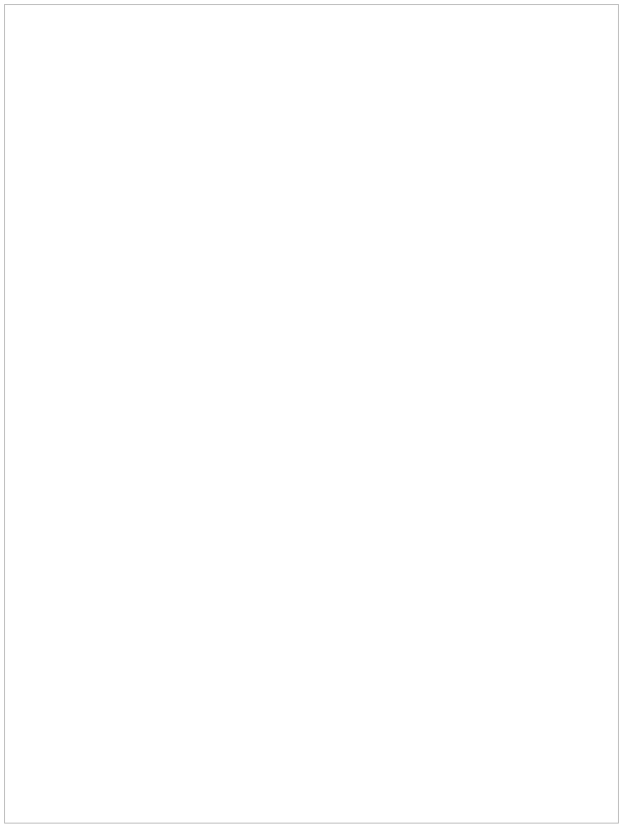
もう一か所教えてもらった場所は、道から林の中に鳥居が見えます。鳥居の先は全て聖地ですし、森を抜けた海岸にはハッキリ見てわかる龍門もあります。龍門の右手前には祠がありますが、ここは潮の満ち引きから、祭事や神事の日取りを決める大切な場所なうえに、島の人たちにとって子宝授かりの神・出産の安全を願う場所だと猪子さんが教えてくれます。

沖縄では旧暦で全ての祭事の日取りを決めますが、その理由も月には、命の産み出しの力があるからです。潮の満ち引きは、月の動きに合わせてその知らせをしてくれますので、物事が新しく生まれる時や神降りの時間は、必ず満潮時と決まっています。

太陽は、月が産んだ命を育てる役目として光を与えていると、ある男性の神人が教えて下さいました。



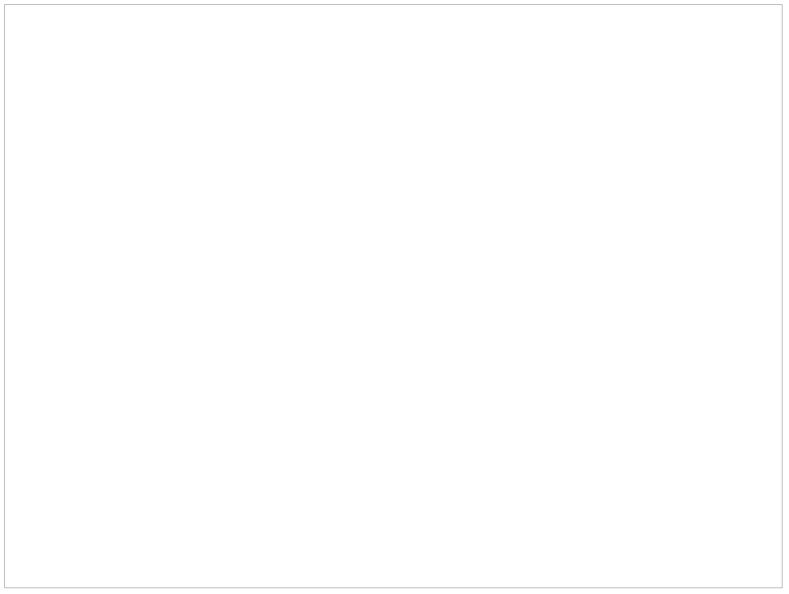


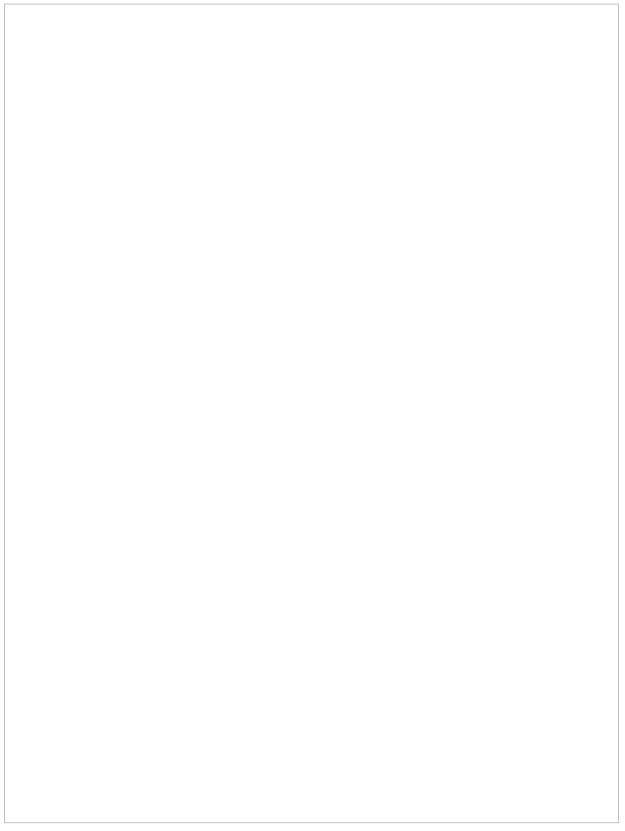


祠を守る神様にお礼の祈りを捧げると、神事に初めて参加した女性に紫のマントを与えて下さいました。彼女はこれまでの６年間、仕事の傍ら他人の身体を癒し、一人で聖地を巡って神に感謝を唱えてきた素晴らしい神巫女です。神様はこれまでのお礼と今後の働きの為に、邪気から身を守る眼には見えないマントを与えてくれたのです。

祠の神祈りを終えると、次は龍門を守る神様に祈りを捧げます。龍門を超えた両側の岩には、龍座と呼ばれる子龍たちが休む場所がいくつもあります。祈りを始めると大きなエネルギーが、この龍門を通って多良間島に入っていくのがわかります。

島の人たちを守り、島の神々を守り、自然界全てのバランスを整える為に龍は存在しています。ここを守る龍に大きな感謝の祈りを捧げると、伊良部島の方角に登り龍の雲が立ち上がりました。完全にこちらの龍が、なべ底の龍宮に繋がったという合図です。多良間島・水納島の龍宮の神々、ありがとうございます。





2009.06.25 Thu

沖縄慰霊の日

明日、６月２３日は沖縄慰霊の日です。

この日、沖縄以外のテレビ局は沖縄慰霊の日を短いニュースで取り上げるだけですが、２００７年に沖縄　伊是名島で迎えた一日は、いかに沖縄の人たちがこの日を大切にしているのかを体験しました。

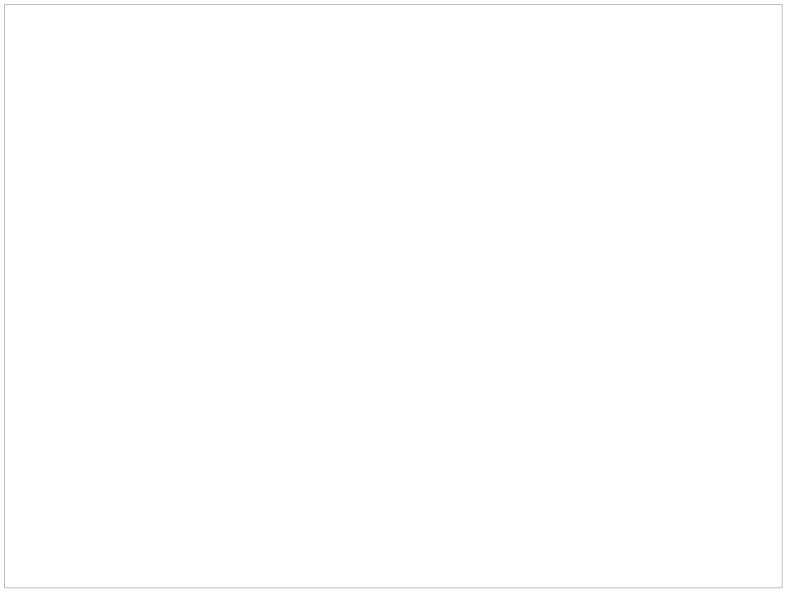
沖縄全土の６月２３日のテレビ放送は、朝から晩まで過去のいたましい戦争の傷あとや、戦争体験者の言葉を伝える報道が繰り返されます。それは「今の普通が無かった時代」があったことを思い出す日として、年長者の言葉を聞く大切な時間だと思います。

沖縄に住んでいないから・・・戦争で家族は亡くなってないから・・・・と他人ごとのように思う親たちがもしいるとしたら、戦争から学んだ大切な事を子供たちに残す事はできないでしょう。

私たち日本国民が、第二次世界大戦で戦った際に失った命の数のおかげで、現在の日本があることをどうぞ思い出して下さい。そして沖縄は世界中の人たちが亡くなっている土地ですので、この日は戦争の善悪を問う日でなく、戦争から大切な事を学ぶ時間なのです。

どうぞ明日の一日の中で、あなたの好きな時間いいですから、日本を守るために戦って死んだ方たちやそのご家族の事を感じて、感謝の祈りを捧げる時間を作って下さい。

私も明日、沖縄戦で命を失った叔父の追悼の為に両親と札幌で慰霊祭の式典に参加してきます。翌日から沖縄へ龍宮神祭の神事で出発する前に、この感謝の祈りができることを心から感謝いたします。



２００７年６月２３日　伊是名島　慰霊塔

2009.06.22 Mon

日本のひな型　北海道苫小牧市

2007年の北海道神事の時に、日本の新しい村社会のひな型として北海道の苫小牧近郊を神が示しました。

当時はその意味もわからずに活動していましたが、苫小牧市で行った講演会やセッションで出会った一人一人が望む地域社会の実現へ向けて2005年から協力させて頂いています。

最近の苫小牧の皆様にお会いすると、３０歳前後の若い人たちも参加していますし、初めて集まりに参加した人も楽しそうで元気な大人の笑顔に驚いているようです。

ここに集まる大人たちは、社会や地域や家庭内にどんな問題が起きても、自分が乗り越えた勇気と知恵で支え合う素晴らしい仲間が周りにたくさんいますので、ほとんどの問題も自分たちで解決しています。

昨年は、仲間の女性が病気で亡くなりましたので有志が集まり、手作りのお葬式も出しました。今年２月には、地域の若者が結婚する事になったので、一軒の家を借りて結婚式を行いました。

冠婚葬祭の全てを自分たちの手で行った自信と喜びは、お金がなくても家族や親戚が近くにいなくても、素直な心と熱意さえあれば、ほとんどの事を自分たちでできる確信を得ています。

この素晴らしい大人の集まりも、最初は５０代前後の女性たちが集まって、地域や家庭内の問題を解決する方法を学ぶことから始まりました。

一人一人が大切な気づきを得て変化し始めると、家族や周りの人たちも一緒にどんどん輝きます。それは次第に大きな輪になって他人の夢を叶える喜びも知りましたので、この輪に社会性のある男性たちが加わる事を望むようになりました。

現役でバリバリに頑張っている素晴らしい５０代の男性たちが参加し始めると、女性たちが大切にしたい理想の実現が、さらに早まりました。

社会や企業で多くを学んだ男性たちは、公共性や社会性のバランスを保つ智恵を授けてくれます。男性たちが立ち上がると、今後は女性たちが家庭や家族、子供や孫たちに残す大切な精神文化の知恵を収集し始めています。

この苫小牧の仲間たちは、男女の争いも上下の争いも一切ありません。理由は、組織がないからです。組織がないうえに、ここにはリーダーもいません。一人一人が自己責任の範囲で行動して

助け合っているだけだからです。

さらに、ここにはルールがありません。あるのは親から教わった社会人としてマナーと、自分のしてほしい事を他人にしてあげるという黄金律があるだけです。お互いの主張を尊重することは、自分も認めてもらう条件だと、一人一人が学んでいるからです。

そしてここには、しなければいけないことがありません。誰かが企画した事に対して参加するかしないかも、まったくの自由です。自分がやりたい事をするための経済的自立も、各自の責任の範囲で行うのが当然だと学んでいます。

そしてここには、一切の押し付けや義務もありません。情報は回覧しますが、選ぶのはあくまで自分の意志におまかせです。何に参加しようと、誰も責める人はいません。自分の思いと他人の思いの違いの意味を学んでいるからです。

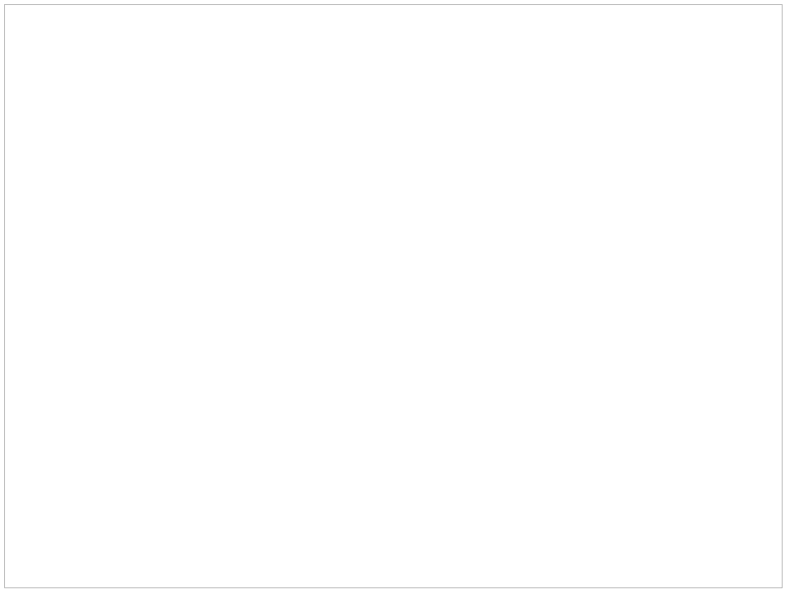
自分の何気ない言葉で、人生をおろそかにしていた事を学んだ大人は愚痴を言いません。当然、他人の悪口を言う人もいません。心を許しあった仲間が集まる時は、自分がさらに成長する大切な時間だと知っていますので、自分を主張するより他人から学ぶ知恵を全員が持っています。

この苫小牧に最近通う回数が増えているのも大切な神事が重なっているからですが、その度に一人一人の持っている素晴らしい能力にいつも驚かされています。

6月17日、苫小牧を守る大神様と然別湖（しかりべつこ）を守る大神様を繋ぐ神事が行われました。6月1日に行った然別湖源泉祈りの際、然別湖のご神殿を守る役目としてホテルの神主さんが正式に神承認されたことを受けて、この祈りに然別湖の神主さんが苫小牧まで来て下さいました。

九州で20年間宮司を務めていらっしゃった神主さんが行う神事ですので、私も正式な神職衣装(浄衣：じょうえ）を着て神事に参加しました。

今後はさらに、この苫小牧のエネルギーが全国へ繋がっていって新しい村社会・地域社会を実現する人たちが増えることでしょう。これまでにない新しい21世紀型の地域社会は、北海道から始まっています。



2009.06.20 Sat

変わるチャンス

６月１日、然別湖（しかりべつこ）神事で降りたマスターメッセージは　「守ることをやめなさい」ですが、これは私たち人間にこれまでの生き方を問い直すチャンスの時間が与えられたと感じています。

来月７月１９日の早朝4：44、富士山頂上の神事から地球や宇宙のエネルギーバランスが真逆になる事を教えられているからこそ、自分を守る為のエネルギーを手放す時間が与えられたのです。

地球創生の大きな神事の意味を持つ６月１３日～１４日で行われた苫小牧神事は、苫小牧在住の方が大切な神メッセージを受けとり、調査に二か月以上も時間を費やした最後の納め神事として樽前山頂上で大祓い神事を行いました。

この神事の調査で大祓いの神として有名な瀬織津姫（せおりつひめ）が、この苫小牧の地に祀られていた事実も見つけ、そのあと移され場所や理由を学び知るもできました。

この神事のキッカケとなった出来事は、一昨年夏に、地上から空へ向けて真っ直ぐ回転しながら立ち上る龍の雲を見た人が、写真を撮ったことから始まっています。この白い雲の写真を見せて頂いて意味を問われた時、舞い上がった方角にある土地のメッセージですとお伝えしました。調べてみると、そこには竜神沼、弁天沼がありました。

約一年の時間をかけて、数名の方にビジョンやメッセージで伝えられた情報を繋ぎ合わせた事で、苫小牧・勇払地域の土地神様からのメッセージが理解できました。

私たち人間を守って下さっている神々が物事を伝える時、偶然とも思える出来事が何度も続いたり、不思議な夢やメッセージで気づかせてくれます。

そのメッセージの意味を理解する時に注意することは、自分に対する意味だけではないことに気づくことです。 苫小牧の仲間は、誰かが一生懸命に何かをしようとすると、共感した人たちが互いの知恵を出し、尊重し合いながら成長する素晴らしい大人がたくさんいます。

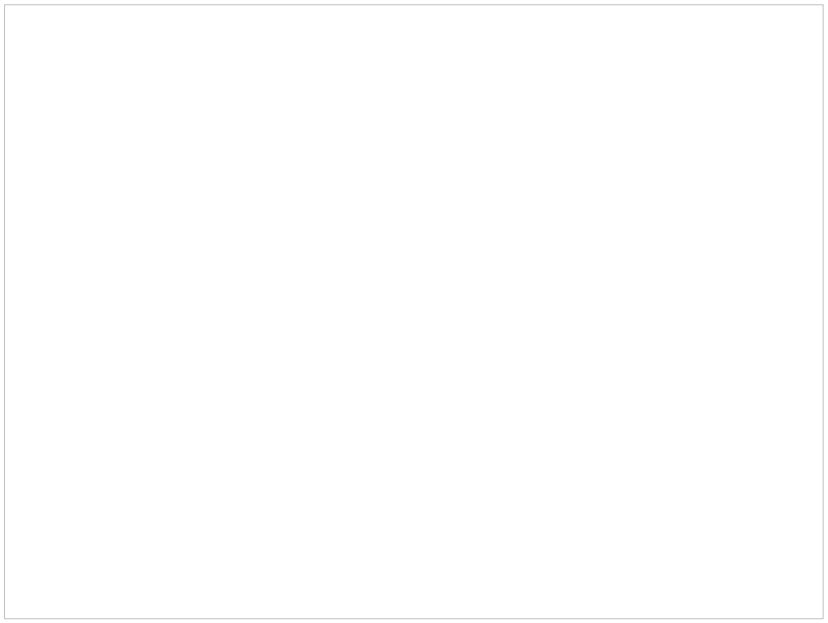
参考：祓戸大神（はらえどのおおかみ）

●瀬織津比売（せおりつひめ） -- もろもろの禍事・罪・穢れを川から海へ流す

●速開都比売（はやあきつひめ） -- 海の底で待ち構えていてもろもろの禍事・罪・穢れを飲み込む

●気吹戸主（いぶきどぬし） -- 速開津媛命がもろもろの禍事・罪・穢れを飲み込んだのを確認して根の国・根の国・底の国に息吹を放つ

●速佐須良比売（はやさすらひめ） -- 根の国・底の国に持ち込まれたもろもろの禍事・罪・穢れをさすらって失う



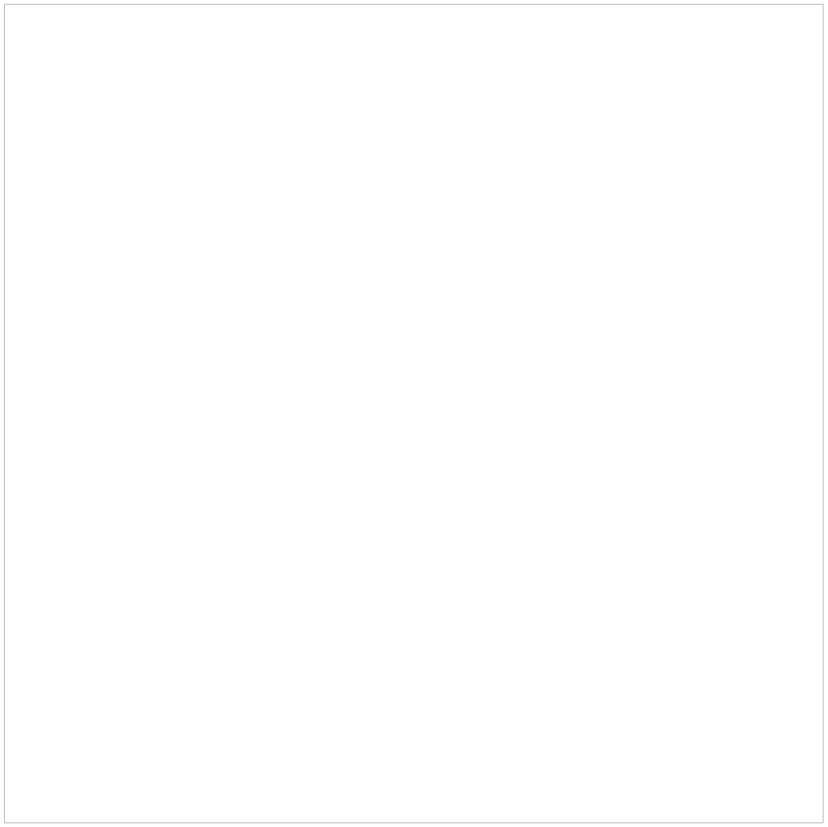
土地の歴史を調べ、その土地に住んでいた方たちが守ってきた大切な精神を学ぶ事の重要性は、今回、参加者全員が実感しました。苫小牧神事で訪れた千歳神社では、明治８年前後に日本神道が北海道に正式に入った時に、ご祭神を変えて神守りをした目的まで気づくことができました。

長かった苫小牧神事もようやく終わり、その次の日の今日から北海道神宮大祭が始まるというこの流れも、北海道の地を守る大祓いの大神様を降ろした役目としてその意味を感じています。神社のお祭は本来、土地を守る神様が神輿に載って町内を練り歩き、町の繁栄を人間と共に喜びあう式典ですが、年に一度、神開きをする大切なこの時期にする事があるようです。

アセンション（集合意識が大変化すること）の時期についてさまざまな情報が飛びかっていますが、時代や価値観はこれからもさらに加速して大きく変化することは、確実です。物事や価値観が変わる時に大切な事は、「本当はどうしたいのか？」と自分に問う事が、まず最初です。

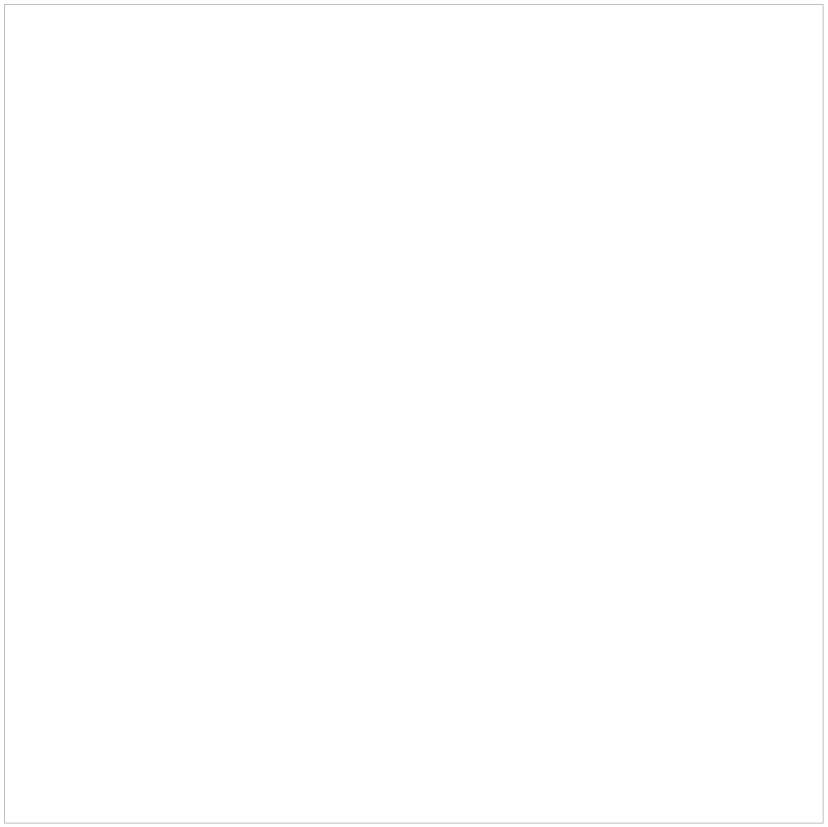
世の中の経済や政治の変化も、自然や地球の環境の変化も、自分には関係ない世界で起きているように思えますが、地球の人間全体の責任として考えると、どのような意見があったとしてもそ

の結果を決めた同じ人間として、宇宙全体から見られています。守ることを手放す為にも、ここに新しい時代の新しい考え方をご提案いたします。



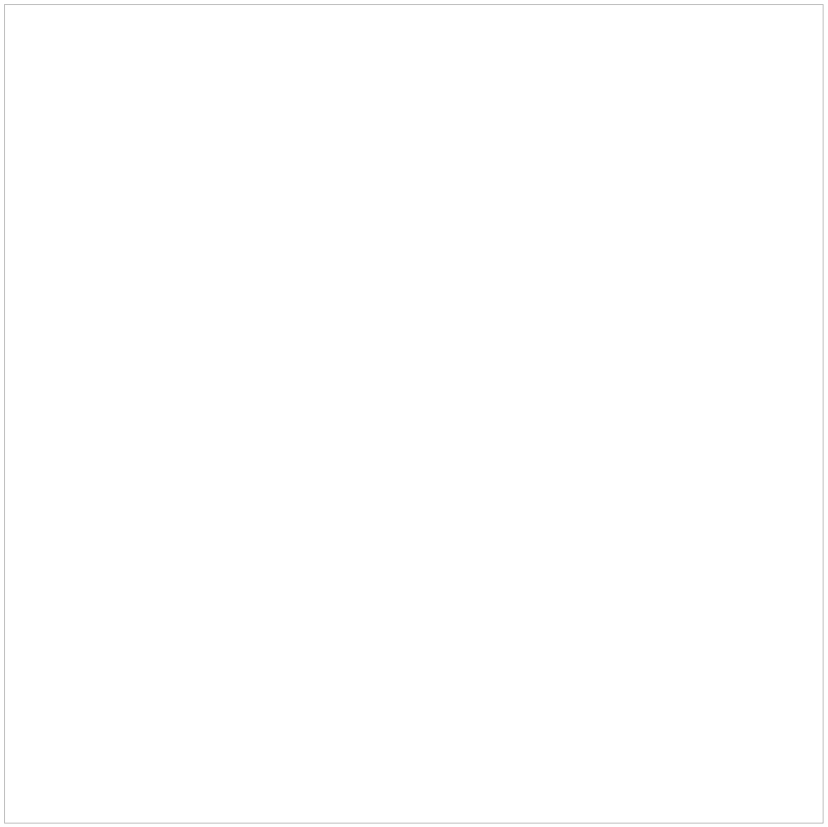
これまで日本を動かしてきた現実社会は、男性が中心となって動かす封建的な縦社会構造でしたが、これからは女性の精神性や考え方を活かした新しい男女協力体制の新しい時代になります。これは家庭内においても、企業の中においても同じです。この新しい構造を創りだせない企業は、崩壊の道をたどる事になるでしょう。

男性は本来、守るべき精神性や目的に対して命をかけて戦う本能を持っています。反対に女性は、今の自分を中心として未来を創造し、将来の安定を守る為に働く本能を持って生れています。



この男性と女性の違いこそ、ひとつの命を産み出す為の大切な本能記憶であり役割なのですが、男女が争うと、それぞれが守りたいものを守る事はできなくなりますし、不安を感じた女性たちは新しい命を産み出す事をしなくなります。

新しい時代の価値観で大切なことは、男性が女性から学ぶことがあることを認め、女性は男性から学ぶことがあることを認めあう関係を作り出さなければなりません。お互いを尊重した性は、新しい命を産み出す作業と同じように、二つの三角形を重ね合わせる事で命が生まれます。



男女の枠を超えた世界で考えてみると、あなたが望む事と他の誰かが望む事でゴールの共通点が確認できたら、ひとつひとつの具体的な違いをサポートし合う事で新しい信頼は生まれます。

自分を守る為に相手から奪う事を止め、また奪われる事に恐れる事もやめる為に、この世の中に起きていることは全てが「善」から生まれているに気づく事が大切です。

あなたがどんない辛い人生経験をしたきたとしても、今、生かされていることに感謝できると、希望の光は必ず差し込みます。

目の前で起きる一瞬一瞬のトラブルや不安な情報に巻き込まれないよう強い精神力と、大切にするべきことをもう一度、あなた自身で問い直してみることをお勧めします。

地球上に存在している私たち人間とそれ以外の生命体を比べてみると、自分が守りたいものを主張しつづけた結果、人間がこの地球上の争いを起こし続けています。

争いは無いほうがいいと知りながらも、自分が守ろうとする本能が争いの原因になっていることに、どうぞ気づいて下さい。

人間のように霊性の高い種族がこの事に気づけなければ、人間の結末も、地球の結末も同じ末路をたどります。

私たちは今、守ろうとしなくても神や自然に、また家族やご先祖に守られている事に気づき、相手の違いを許しあえる大きな心で愛の行動を始めましょう。

命も肉体も最後には必ず失う事を知りながら、生かされているこの人生で学ぶべきことは、今、この瞬間に生かされていることの意味を悟ることなのです。

あなたが気づくと未来は、変わります。だって、あなたも地球家族の一員なのですから。
2009.06.15 Mon

2009年６月１日以降のアセンション

２００９年６月１日に行われた然別湖神事は、私たちが想像していた以上の啓示とメッセージが降ろされましたので、その理解については神事仲間と確認しあっている最中ですが、今現在、確実に決定と判断できたものだけを◆地球創生１０００年プロジェクト◆　に掲載しましたのでどうぞご覧ください。

※アセンションという言葉の意味はさまざまな解釈があるようですが、人間の意識上昇や次元上昇の為の啓示やメッセージによって、宇宙のおおもとから届く新しいエネルギーだとご理解下さい。このエネルギーは、決して不安や恐れを掻き立てるものではなく、宇宙全体の調和を整えるエネルギー上昇のことです。

今回、新設しました「新しい世界の実現」のコーナーでは、実際に現実世界で実践している２１世紀型の村社会の創り方を公開しています。お金や権力や力がない人でもできる２１世紀型の新しい村構想は、一人一人の心の平安と愛の同調から生まれました。

一人一人が自分の足りない所に気づき、改善する心さえあれば、出会う仲間たちがその心を支え愛ます。だから新しい村構想には、強いリーダーシップが必要ありません。自分の目標を何があってもやり遂げる強い心と、本当に人の為に動くことが全ての始まりです。

この夢のような新しい村社会は、２００４年に啓示を受けて書いた絵本「新しい世界」が現実化していることがよくわかります。未来に残す新しい村の条件は、物質的な物や経済的な物全てを失ったとしても、永遠に残る未来継承型の村構想です。

私たちの周りは急速に変化しているように感じると思いますが、実は、「現実」はそれほど変化していません。文明的に考えると、これは進化ではなく、後退だとい言う人もいるほどです。だからこそ、一人一人の心の平安から生まれる新しい村構想をあなたの住む町で実践して下さい。

全ては、あなた自身の決断から始まります。誰かが未来を変えてくれるのではなく、あなた自身が変わることから始まるのです。新しい村構想について詳しくお話を聞きたい方は、お仲間を集められて講演会を主催して下さい。全国、どこへでも●出張講演いたします。お問い合わせは、info@earthstcu.jp 吉岡までお願いします。
2009.06.12 Fri

新しい生き方

新しく6月が始まった事をまだ認識できないくらい6/1の然別湖神事の神メッセージは、解読に時間がかかっています。このあと予定されている宮古島　龍宮神祭（6/27）や富士山頂上神事（7/18）に向けたメッセージも含まれていますので、降りたメッセージに対して何度も何度も確認する必要があるからです。

一人でどこかに行って祈りをする場合は自分の中の納得だけで済みますが、たくさんの人が参加する神事の場合、本人が意識しているかいないかに関わらず、神事の場に入る全員が神の役目を与えられていますので、全ての神と和合する為に神事リーダーはより高い次元の調和が求められます。

これは日常生活や仕事でも同じ事が言えますが、自分が正しいと思って口にした言葉でもその場にいる誰かの意識に必ず影響しますし、無意識にでも自分の概念を押しつけていると必ず、自分を非難する言葉が誰かから出てきます。

自分が正しいと思った事を言ったはずなのに起こるこの相違は、自分がまだ気づいていない部分を学ばせてくれる大切な相手だと思って、その真意を確認し合う時間を持つことが大切です。そしてその場の責任を取るのも全てにおける責任者だけですので、何かの責任者・リーダーになる方は、常に自らの成長を人より多く求められる事を覚えておいて下さい。

宇宙メッセージを受け取る神意識とは、生まれる時に全ての人に繋がっている宇宙のエネルギーラインの事なのですが、経験した自我やカルマの程度によって受け取るメッセージに違いが出てきます。さらに誰かと話す会話では、知らないうちに自分の「思いこみ」を相手に押しつけている部分がある事も知っておかなければいけません。

今までこの自分でうまくやってきたのに、突然、全ての物事がうまく進まなくなる時ほど、「自分が思い込んでいる固定概念を変えなさい」というメッセージだということに気づいて下さい。

そして「思い込み」のほとんどは、自分を守る為のものだという事をまず認識する必要があります。

さらにその固定概念を作ったキッカケは、強い恐怖や恐れの経験から始まっている事も自覚して下さい。

生まれたての純粋な子供がなぜ自分のように頑固な固定概念を持つ大人になったのかを振り返ると、必ず、誰かに攻撃された痛みや苦しみの経験を思い出すはずです。心が弱く幼い人間ほど、恐れを感じると防御本能が働いて「自分を守る為の知恵」を産み出します。

人によっては「ずるい方法」を思いつく人もいるでしょう。中には誰かをだまして利用してでも、自分を守る方法を身に付ける人もいます。弱い部分を武器にして、誰かを責める人もいます。この全てが、自分を守る本能に従った行動です。

今回の神事の宇宙メッセージで人間全体に伝えられた最も重要なメッセージは「守る事をやめなさい」でした。

人間はこれまで自分を守る事をし続けてきていますし、自分の大切な物を守ることの何が悪いのかと意見が出ると思いますが、地球上の人間全員が自分を守ろうとすると、必ず争いが始まります。

（見えるもの）
食糧、物質エネルギー、お金、財産、家族、子供、命。

（見えないもの）
愛、約束、信頼、絆、経験、知識、神　などなど。

この全てを守る為に今、先進国は訴訟したり争っている事は皆さんもご存じのはずです。だからこそ、新しい時代を私たち人間の手で創り出すには、自分自身の「守り」を外す努力が必要な時代になったのです。

人間は自分の守りたい物の為に、戦い続けてきた歴史があります。その最後に、自分が今、大切に守っているものさえ失う時代がすぐ眼の前に来ている事に気づいた方は、新しい自分をスタートさせて下さい。

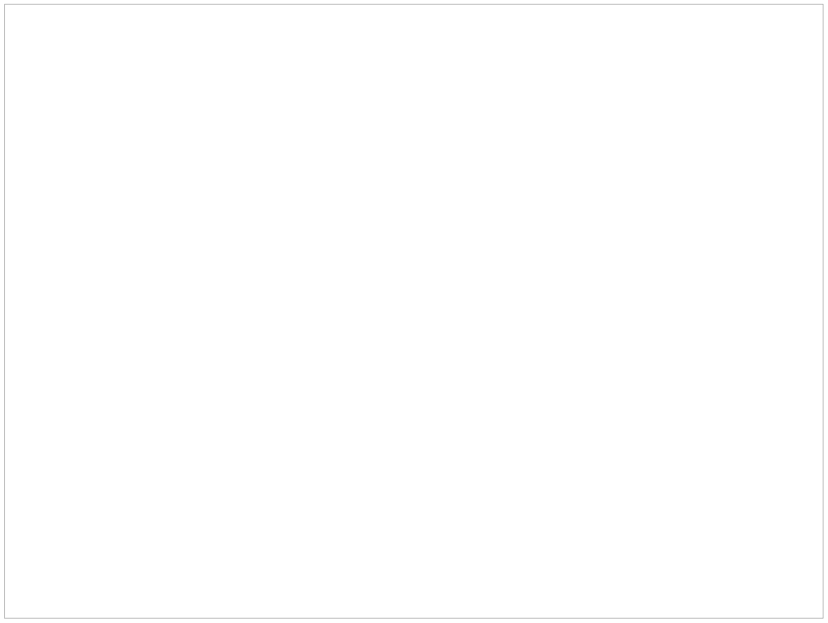
守る事を手放すときに必要な学びは、

１、失う事を恐れないこと
２、全てを認めて信じること
３、見えない存在に守られている事を信じること（全托）

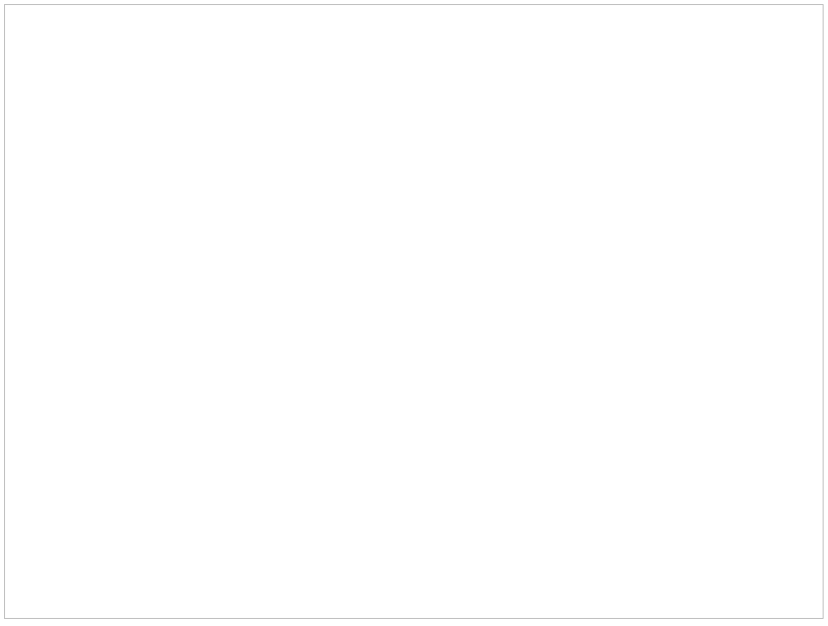
この地球や私たち人間は、今、守っているものを手放す心に成長する事で、
大いなる存在たちに守られて存続できるのです。

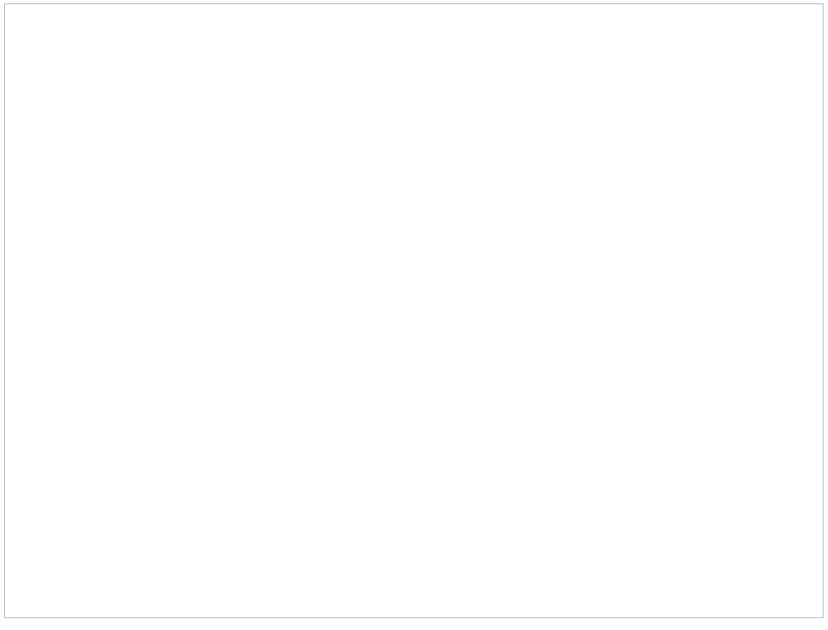
2009.06.06 Sat

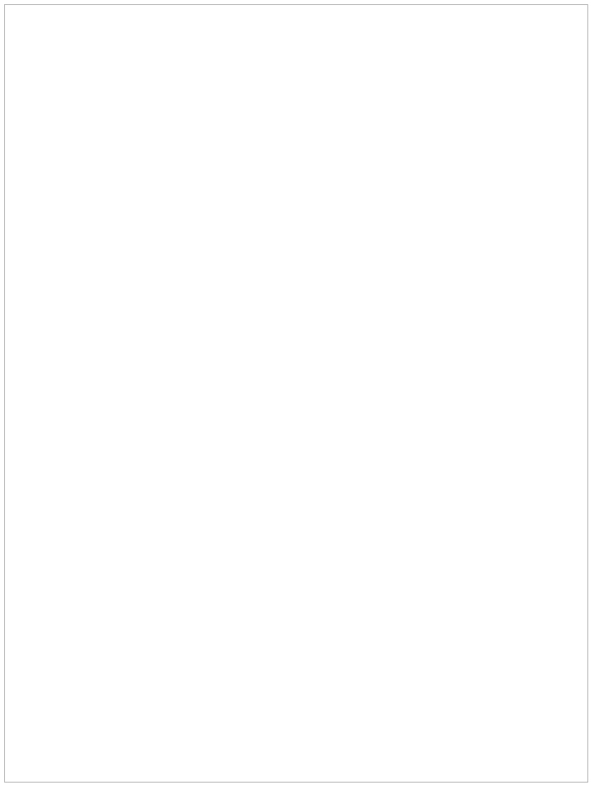
然別湖源泉祈り・天望山神事



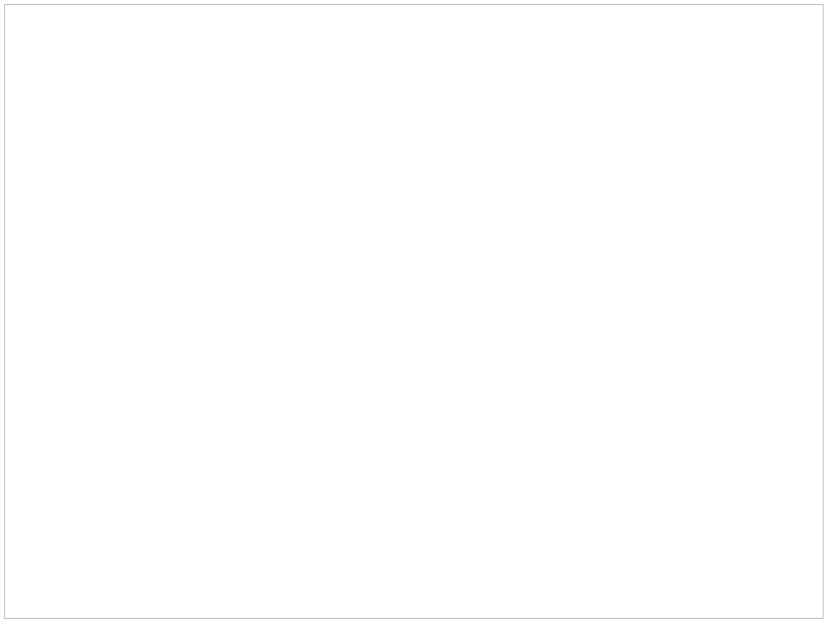
6月1日、北海道然別湖（しかりべつこ）湖畔温泉ホテル風水のご依頼により、「源泉神降ろし」の神事を15名の仲間と執り行いました。このホテル風水には３０年間、日の出と日の入りに数時間毎の感謝祈りを毎日捧げている83歳の女将がいらっしゃる事に心から感謝いたします。また２０年間、九州でお社を守っていた60歳の神主さんが従業員として働きながら、ご神殿の神様と女将をお守りして下さっている事にも心から感謝致します。今後、毎年6月1日を「然別湖温泉ホテル風水　源泉感謝の日」として行う事も決まりましたので皆様へご報告させて頂きます。

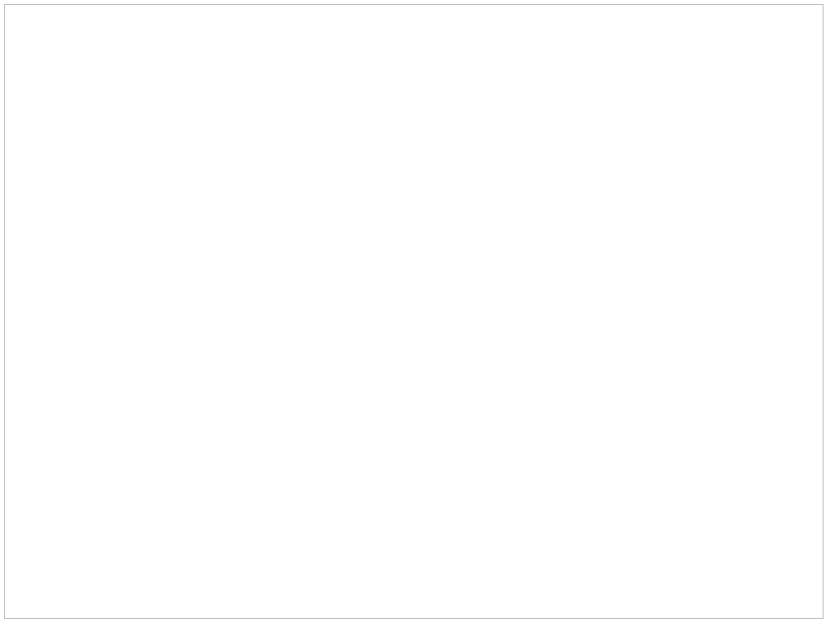






午後は、然別湖のご神体として「くちびる山」の愛称で親しまれている「天望山（てんぼうざん）」の頂上神事を行う為に登山しました。この神事は7月18日の富士山頂上神事へ向けた重要な神事のひとつとして、たくさんの神や宇宙メッセージで導かれた神事です。





この前日、祈り仲間が宇宙のおおもとから降りたマスターメッセージを参加者全員に詳しく説明しました。メッセージはこの神事のあと、人間・自然・地球・宇宙の全ての意味が変わるという内容です。このマスターメッセージの公開については、今後の神事の状況を考えながら順次、地球創生1000年プロジェクトに公開する予定ですので、地球や宇宙を守る役目を持つ方はどうぞお読み下さい。

2009年6月のスピリチュアルカレンダーに書いてあるメッセージは、

守ることより新しい自分を信じなさい　です。

家に帰ってから6月のカレンダーメッセージを読んだ全員が、このメッセージに驚きました。昨年末に降りた毎月ごとのマスターメッセージの本当の意味を知りました。これから何か変わるのか

？自分は何を変えなければいけないのか？新しい未来を創る自分との対話は、もう始まっています。

2009.06.03 Wed

天の言葉は神の意思

天上、シャオラン　シンバシー

天の言葉は　神の意思　という意味です。（5/27メッセージ）

この「天の言葉」とは、星空のずっと奥にある宇宙のおおもとから聞こえる言葉や地球の内部にある地球内宇宙の核から聞こえる言葉、そして、人間の魂から聞こえてくる言葉の事を言っています。この言葉は、皆さんが色々な名前で呼んでいる神様や仏様の全ての意志であると教えてくれました。

このメッセージの意味を正しく理解するには、二つの視点から解釈する必要があります。ひとつは、目に見えないものを信じられない方たちへ伝える為の視点です。もうひとつは「人間は全て神である」という人間神思想を理解している方たちの視点です。その両方に重要な事は、わからない人に伝わり易く伝える努力が重要だということです。

なぜ自分だけに聞こえたメッセージを二つの視点で考える必要があるかというと、実は、私たち人間に今、降りてきているメッセージの全ては、全人類や地球全体や宇宙全体の新しい再生へ向けたメッセージだからです。私も自分に聞こえた神メッセージも自分だけのメッセージではなく、皆さんが気づく為の導きのメッセージだと知っているので、こうしてわかりやすく公開しているつもりです。

この事にまだ気づかず、自分だけのメッセージをもらったと喜び隠したままにしていると、おごりや勝手な思い込みにもなりますし、宇宙から届けられた大切なメッセージで他の人が目覚るキッカケを失います。地球上に存在する全ての人間は、全て神意識を持っていますが、このままでは互いを理解しようとしない人間の現状と同じです。

そして、どれだけ素晴らしいメッセージを受け取ったとしても、それはその人が素晴らしいのではなく、その人自身がまず気付くべきメッセージが届いています。その事に気づかず、自分だけのメッセージにしたり、意味を正しく理解せずにメッセージを公開する人がいるからこそ、何度も何度も同じメッセージが大昔から繰り返されているのです。

素晴らしいメッセージを受け取った人が、他の人と調和や和合が取れていなければ、一人一人の神意識（人間）がまとまって地球を救う力にはなりませんので、あなたが地球や人類を本当に救いたいと望むならば、まず自分に与えられた責任を果たして下さい。

昨日、私が再確認させられたメッセージは、

「相反する人の言葉を全て認めなさい」　でした。

このメッセージを届けてくれた意味もよくわかります。一度、わかったと思った事でも忘れるのが人間の癖ですから、何度でも必要な時に、必要なメッセージを伝えてくれます。本当にありがたい事だと感謝しています。

世の中には、目に見えない存在の声が聞こえたり、色々なビジョン（映像）を見る方はたくさんいますが、その意味を正しく理解できないで苦しんでいる方も多くいます。私の神事に参加される方たちは、見えないし聞こえないと言う方がほとんどですが、何度も神エネルギーの強い場所に一緒にいると、不思議に何かに目覚めたように、突然、声が聞こえたりビジョンが見えたりする方が増えています。これも神導きによる魂の目覚めのひとつの方法だと感じています。

神事で大切にしている事は、それぞれの人が受け取ったメッセージやビジョンの意味を自分だけの都合のいい解釈で終わらせてほしくないので、必ず、参加者全員で確認しあう時間を大切にしています。

もしあなた自身が誰一人、他者を非難しない、否定しない世の中を望むのであれば、今、無条件で、自分の許せない物事や人を許す事を始めなければ、目の前の現実は変わりません。だって人間の一人であるあなたが、まず受け入れていないのですら・・・。神様は、そんな時、こう言います。

「あなたも神でしょ！」と。

私たち人間が向き合う神のメッセージは、人格神でも自然神でも宇宙神でもその目的は同じです。もうひとつ大きな視点で考えられるようになると、自分の相対する人が全て神である事に気づきます。アイヌの教えの中に、「人間くさい神」という名前の神がいるくらい、神という言葉を通して人間の不足を教える知恵が伝承されている民族です。沖縄の方たちは、オジーやオバーを大切にすることで、この知恵を守り受け継いでいます。

宗教や精神世界も同じですが、神を教える時や神を理解する時に最も重要な事は、理想を自分の外に求めるのではなく、自分の内側、つまり、自分自身が神だとしたらどうするか？から学びは

始まります。

人間として自分を100点と付けられないのは私も同じですが、だからこそ、今の自分の全てを認めて受け入れる事から始めなければいけないのです。その足りないと感じる自分の点数を引き上げる為の時間が、今も生かされている時間なのです。魂には、点数がありません。役割の違いによって知識や能力が違うだけで、地球に存在している全ての魂の本来の目的は同じだからです。

どれくらい神様のような人だと言われる人がいても、生きている人間に完全な神（人間）はいないと思います。人間は無意識にそれを知っているからこそ、常に他人に完全性を求めたがるのです。でもこれは、とっても無責任な話ですよね、自分ができない事を他人に押しつけるなんて！

人間関係のもめ事のほとんども、この無意識に他人に願む事の責任を追及し合って争いが起きています。自分にできない事や自分がするべき立場ではない人が、自分だとしたらと語っている時間こそ、実は無責任の現れだと気づいて欲しいものです。そういう人こそ、その立場になって初めて自分のオゴリに気づかされます。

神事の場合、どこかにあるひとつの神様に向き合って10名の人が祈ると、10種類のメッセージが聞こえる時があります。、神が伝えようとする意思は同じですが、人間一人一人の潜在的な受信チャンネル（周波数）の違いによって、聞こえる言葉やビジョンが違う為です。でもこの違いこそ、一人一人の重要な役割に気づけるチャンスだと思います。

意味を理解し合う時に重要な事は、全て同じ目的で伝えられている事と自分の役割・立場を忘れてはいけせん。この事を忘れて言い争うと、神我の話し合いではなく、みにくい自我の争いになってしまいますのでご注意下さい。

人と人が争う姿を宇宙から見ている存在たちは、肉体を持った神たち（人間）は、戦うのが好きだな〜と思っているに違いありません。何の為に肉体を持って生まれ、そして何の為にその肉体を失うのか、大切な意味と目的を忘れてしまったのが、今の私たちの愚かな人間の証なのでしょう。

もしあなたが、この地球を愛し、人類を愛し、宇宙の調和を望む人なら、、相反する人の言葉を受け入れる努力を今日から始めて下さい。

あなたが変われば、あなたの周りの人が変わり、あなたの周りの人たちが変わると、いづれ地球上の人間は必ず変わります。そしていつかきっと、地球は生まれ変わる日がやってきます。一日でも早くそういう日が訪れてほしいと心から祈る日々です。

※自分を変えたい、本当の自分に向き合って今後の人生を変えたいと考えている方の為にスピリチュアル能力開発講座を全国で開講しています。ご興味のある方は、まずご連絡下さい。現在、日本全国各地で開催しています。

2009.05.30 Sat

ボディートーク

旧暦5月1日（新暦5月24日）の人類全てのご先祖感謝祈りに心を合わせて頂いた皆様、ありがとうございます。午後１：１１に合わせて祈った時のエネルギーはとても力強い皆様のエネルギーを感じました。全国で祈っている方のエネルギーを身体で感じながら、私もそのエネルギーを宇宙のおおもとへ繋ぐ祈りを行っていました。次回は、新暦6月２３日ですが、毎日繰り返される1：11、11：1、11：11にも大きな繋がりのエネルギーがありますので、ふと、気づいた方は心の中で祈りをお願いします。

先日、苫小牧で行われた「ボディートーク」という新しいエネルギー医療の講演会に参加しました。心の病いや身体の病いを自分の身体に聞きながら、その原因を見つけ出して解決するという夢のようなセッションです。私自身も二人の先生から五度ほど体験しましたが、こんな簡単な事で本当に変わるのかと思うほど短い時間で終わります。痛みや面倒な事も何ひとつない新時代のセッションに、素直に驚いています。一度体験した方たちは、その素晴らしさに何度も受けたくなるようなので、先の予約まで混んでいると教えてくれました。

福田治療院（北海道江別市）　・　（株）Body Talk（大阪）

全国でまだ４０名弱しかいないボディトークの資格を持つ先生の中で北海道初の福田先生の講演会は、初めての方でもわかりやすく見えないエネルギーの事を説明をしていました。「身体は全てを知っている」という言葉のとおり、過去に強く思った事が、心や体の病気の原因になる事は私も知っていましたが、その説明がとてもわかりやすくて素晴らしいんです！！福田先生の講演会で教わったわかりやすいエネルギーの説明をご紹介します。

第一に、「思ったことは必ず、現実化する」ということ。

第二に、身体の痛みも自分の意識で痛みを取ったり、守ったりする事ができるということ。

※ボディートークの特徴は、施術者が病気を直すのではなく、ボディトークによって本人の自己治癒力を高めて直す治療法です。

・ストレスという目に見えないエネルギーは、自己治癒力を低下させる

・交感神経（活発的）と副交感神経（リラックス）のバランスがとても大切

次に、目に見えないエネルギーを周波数で測定した数値を使って説明してくれました。(MHZ=メガヘルツ）

・加工野菜のエネルギーは　０ＭＨＺ、新鮮な野菜は　１５ＭＨＺ、エッセンシャルオイルの１００％天然抽出液は、５２～３２０ＭＨＺ

※数字が多い高周波数は、高い波動エネルギーがあるという意味です

その証明実験として、

・良い波動の人のそばにいると、身体の痛みもとれる実験
・痛みを取ったあとに、携帯電話を持つと電磁波で痛みが戻ってしまう実験

※電磁波も目に見えませんが、確かに身体に影響している事がわかります

さらにすごいのは、

・ネガティブ（不安・迷い・愚痴・言い訳・否定的）な事を考えるだけで、身体のエネルギーは１２ＭＨＺ下がる

・ポジティブ（元気・明るい・活発な・やる気が出る）な事を考えと、１０ＭＨＺ上がる

つまり、悪い事をひとつ考えてから、良い事をひとつ考えても、マイナス２Ｍｈｚ残りますので、身体のエネルギーは下がり続けます。誰かの悪口を言ったあとに、ゴメンナサイを言っても、罪悪感と一緒にマイナスが残るような感じなのでしょうね。

病気を「気の迷い」と考えれば、この事の意味も理解できますね。では、どんな事をすると、このマイナスが消えるのでしょうか？福田先生は、その答えも教えてく下さいました。

祈りは１５ＭＨＺエネルギーが上昇する

素晴らしい～～～！！！

とても感動しました。祈りが生活の中で普通になっている私は、いつもこんな感じで祈っています（＾＾）

・ご先祖様すべてに、ありがとうございます
・今日、生きていることに、ありがとうございます
・今日、目が覚めたことにも、ありがとうございます
・誰かに「ありがとう」を言われたことに、ありがとうございます
・誰かに「ありがとう」って言える事にも、ありがとうございます
・隣に誰かいてくれることに、ありがとうございます
・今は一人だけど外へ出れば一人ぽっちじゃない事にも、ありがとうございます
・仕事があることに、ありがとうございます
・良い事があったら、ありがとうございます
・悪い事があっても、ありがとうございます
・毎日、お天道様が上がってくれる事に、ありがとうございます
・毎日、お月さまがいてくれる事に、ありがとうございます
・夜空に、お星様がたくさんいてくれる事に、ありがとうございます
・命を守ってくれる「火」に、ありがとうございます
・命を繋いでくれる「水」に、ありがとうございます
・命を支えてくれる「大地」に、ありがとうござます
・命を運んでくれる「風」に、ありがとうございます

そして最後は、自分自身にも、ありがとうございます。

2009.05.25 Mon

数字の「１」

これまで天は、あらゆる出来事から多くの事を気づかせて下さいましたが、昨日の気づきは、さらに感謝が深まる内容でしたので、皆様にもお伝えしたいと思います。

算数で教わる数字の「１」は、皆さんは当然あるものとして日常使っていますが、この数字を「霊数」と呼ぶ時代があったほど、数字には霊力が宿っています。霊力というより、宇宙パワーと言ったほうが受け入れやすいでしょうか？どちらでもいいですが、今日は数字の本当の意味を知る日になる事でしょう。

まず赤ちゃんに備わっている知覚認識の機能の話ですが、赤ちゃんは目の前のひとつのミカンも、１００個のミカンも同じに認識しています。それはどちらも、カメラで写真を撮ったように平面に写ったひとつの絵と認識するからです。大人の方でもこのタイプの認識をする方がいますが、この人を「右脳型」と一般的には呼びます。動物の「本能」として与えられている大切な認識方法です。実はこの本能感覚こそ、直感やメッセージを受け止める大切な受け皿になっている事を知っておいて下さい。

次に「よく物事を考えてから行動しなさい」と言われた事が子供の頃にあったと思いますが、この「考える」という思考には、考える為の「素材」が入っていてこそ、善悪や行動基準の判断ができます。大人同士でよく意見が食い違ったり、意見が衝突する人の大きな問題点は、実はこの「思考の素材に入っている素材の違い」を理解していない事が問題なのです。

この素材とは、親から教えられた物や自分が経験した事、自分が正しいと信じた事などで構成されていますので、意見が食い違う人が、もし目の前にいるのなら、この素材の違いを確認し合う事をお勧めします。「自分の普通は、他の人の普通と違う」という事をまず覚えておいて下さい。

話を数字の世界に戻します。もともと動物はすべてこの右脳型で判断して生きていますが、人間の認識が進化したキッカケも、最初の数字の「１」を発見したことから全てが始まりました。※付け加えておきますが「ゼロの発見」は、「１」の発見のずっと後の時代に発見されています。

まず「１」の認識イメージを確認してみましょう。

ひとつ、始まり、２の前の数字、自分一人、分ける前のお菓子やケーキ・・・・・・たくさん出てきますね。

昨日お話した人間全てのご先祖祈りの日を毎月旧暦の１日に行うと決めたキッカケも、この「１」の持っている霊力が理由でした。それまでは直観的に、１月１１日や１１月１日のエネルギーの強さを感じて大切な繋がりがあるとお話ししていましたが、昨日のお昼１：１１分の時計を見ている時に、それまでぼやけていた奥にある意味がわかりました。

「１」は、２を認識する為の道具ではなく、まず「１」だけでとても大きな働きをしています。

「１」が全ての魂の始まりまで繋がるエネルギーである事や新しい命を産み出す力を持っている事は、昨日のご先祖祈りの中で説明しましたが、実は、この「１」が並ぶと、ものすごい直列エネルギーとなって新しい命を産み出すという事がわかりました。

「１」が三つ並ぶ１月１１日、１１月１日、１：１１、１１：１の意味と、「１」が四つ並ぶ１１月１１日や１１：１１の意味は違います。

「１」を「はじまり」という言葉に置き換えて三つ並べると「はじまり、はじまり、はじまり」というエネルギーになります。

「１」が四つ並ぶと「はじまり、はじまり、はじまり、始まる！」とエネルギーは変化します。

１や２や３や４の霊数の意味を正しく知っている方ならご存じだと思いますが、同じ数字が四つ並ぶ時のエネルギーは意識を現実化する力を持っています。でも「４」の前にある「３」も実は、この現実世界全ての物事を動かす力を持っているのです。その説明します。

まず「１」は、点。
「１」の霊的意味は、個意識、始まり、一人の人間、種、母、父、おおもと・・・・つまり、絶対の世界の事です。

離れた場所にもうひとつの点があって、その２点を結んだ状態が「線」と教えられていますね。
「２」の意味は、繋がり、情報相互交換、リンク、バイパス、天と地、自分と自分以外の人、夫婦、親子、兄弟、姉妹・・・・つまり、相対の世界の事です。※学びとして２には、「分かち合う」というメッセージが入っています。

では、この２点を結んだ線上の他に、もうひとつ点を見つけて３点を結ぶと「面」になりますね。絵に書くとわかり易いのですが、この３点目をどこに印を付けるかで、その人の意識や人生観がわかります。大人の方はきちんと紙の中にきれいな三角形を書くと思いますが、幼児たちは、この三点目を紙からはみ出してテーブル上にしたり、床の端に書いたり、家の外の庭に書いたりできます。これが、創造力なのです。

もうおわかりだと思いますが、３の霊的意味は、この平面の現実世界の創造力を表しています。

最後に「この三角形以外の場所に好きな所に点を書いて！」と言うと、子供たちは「お空！」と答える子が最も多いはずです。※１万人に一人くらいは、地球の中と答える人もいるかもしれませんが（＾＾）

この「４」の霊的意味は「宇宙」です。だから「１」の数字が４つ並ぶと、全く違う世界の宇宙意識に繋がるようになっているのです。

今日、最後に皆さんにお伝えしたい事は、毎日繰り返されている１：１１、１１：１、１１：１１の「１」が並ぶ時間は、あなたが意識した事を１００万倍、１億倍、宇宙万倍に現実化するような創造エネルギーが働く時間ですと言う大切なお知らせです。

「自分の為の祈り」と「他人の為の祈り」の意味を理解している方は、個人の願望を祈る時間ではないことも理解してくれていると思いますが、まだ理解できていない方の為にお伝えします。

創造した責任は、創造主であるあなたが取らなければいけないと覚えておいて下さい。宇宙カルマや苦しみを産み出した原因も、全てはこの事を理解していなかったからなのです。今日のお話を理解できなかった方でもできる簡単でとても素晴らしい「思いを現実化する」方法をお伝えしておきます。

毎日、自分がふと気づいた時で結構ですので、「１」の数字が並んだ（時計や車のナンバープレート、誰かが書いた文字など）の瞬間に、感謝の言葉「ありがとうございます」を数回、心の中で唱えてみて下さい。必ず、あなたが創造した事が、すぐ現実化するのを体験するはずです。

そして、この「１」の持つ宇宙エネルギーを体感した方は、毎月旧暦の１日に行っている人類全ての先祖祈りの時間にご一緒に祈りを捧げて下さい。全ての人間が、過去の苦しみに囚われることなく、愛に満ち溢れる時間を過ごせますように祈っています。皆様に、神のご加護を！　　あ

りがとうございます。

2009.05.20 Wed

先祖感謝の祈り

北海道のアイヌ民族に伝わる先祖供養の事を「イチャルパ」と言いますが、夕張神事を終えた翌日からずっとこの言葉が頭の中で繰り返されていました。このメッセージの意味は、今回の夕張神事で浄化転生した御霊たちに限らず、過去、亡くなった全ての御霊の先祖供養をして欲しいという意味だと気づきましたので、全国統一の時間に行うご先祖感謝の祈りを決めました。

理由は、神が「先祖供養」という言葉ではなく、「イチャルパ」という言葉で伝えてきた意味も、単に自分の先祖に対する個人的な祈りではなく、あなたの両親の両親の両親の両親・・・とさかのぼった地球上全ての人間の民族ルーツまでさかのぼる祈りをして欲しいという意味だと理解したからです。

最近、アイヌ民族を日本の先住民族として正式に国が認めましたが、アイヌ民族と沖縄の琉球人の民族ルーツが同じである事も学術的には事実ですし、現在、一部の人が日本人のルーツだと主張している大和（ヤマト）民族の先祖も、実は中国・朝鮮・台湾などの第三国人と呼ぶ国までルーツはさかのぼります。またアジア諸国の人たちも、移住や移民を含めて争っていた全ての民族同士が子供を産んでいる事を考えると、日の出ずる国、希望の東の地　日本の地に生まれた全ての魂の役目が、全ての民族の和合の為に日本という大地に生まれた事に気づけます。

この事を理解した上で今回の夕張神事の目的を考えると、日本の強制労働で亡くなった第三国人の御霊たちのご先祖も、実は私たち日本人のご先祖ルーツに繋がっているという事です。これは地球上の土地を誰かの領土として奪い合う前の時代を考えるとわかりやすいのですが、人間発祥の土地はインドですので、インドからから世界に広まった地球上の先住民族の命の繋がりから物事を考えると、世界中の人間は同じ血の繋がりを持つ家族であると言えます。

国同士の争いごとも、宗教同士の争いごとも、民族ルーツの争いごとも実は、全て、大きな「人間家族のもめごと」だと宇宙から見られていますので、自分たちの家族の中の問題をどうするのか問われている事に気づいて下さい。これから行う　先祖感謝の祈り　は宗派やスタイルに囚われずに、地球上全ての人間のご先祖に祈る時間です。一言で言うと、「人間が存在している感謝の祈り」になります。

自分や家族の先祖事だけではなく、他人の先祖事や地球上の多くの民族の為に祈る日は、長い間使われてきた太陰太陽暦（旧暦）を尊重して、毎月旧暦の１日に行います。２００９年のこれからの旧暦１日を新暦に読み替えておきますので手帳やカレンダーに書いておいて下さい。

新暦　　５月２４日　（旧暦　５月１日　大安）

新暦　　６月２３日　（旧暦　閏月１日 大安）
新暦　　７月２２日　（旧暦　６月１日　赤口）
新暦　　８月２０日　（旧暦　７月１日　先勝）
新暦　　９月１９日　（旧暦　８月１日　友引）
新暦　１０月１８日　（旧暦　９月１日　先負）
新暦　１１月１７日　（旧暦１０月１日　仏滅）
新暦　１２月１６日　（旧暦１１月１日　大安）

〇祈りの時間
午前　１：１１　＆午後　１：１１　の２回　（※１は新しい命を生み出す数字）

〇実施方法
仏壇・神棚、ご先祖の写真、西の方角に向かうなど、自分の好きなスタイル・好きな祈り時間で行って下さい。

〇宇宙の祈り言葉　　※これ以外のお好きな言葉でも結構です
「ヤー　ユンチュルピー　シー　ティンダ　ガナシー」

※意味・・宇宙から与えられた全ての魂の存在に感謝し、私たちは全ての人間のご先祖に感謝いたします」

地球上の全民族のご先祖に感謝する祈りは、あなたのご先祖に感謝する祈りにもなるのは当然ですが、過去の人間カルマや家族カルマを解消する最高の方法でもあります。自分だけ良ければいいという時代ではない事に気づいたあなたから、ご一緒にこの祈りを始めましょう。私も全国どこにいてもこの時間は「人類全てのご先祖に感謝する祈り」を行います。この祈りにご賛同下さいます皆様が、喜び溢れる生活を過ごせますことを祈ります。
2009.05.18 Mon

夕張神事のご報告

２００９年５月１５日　夕張神事　午前１１時～午後**5**時半

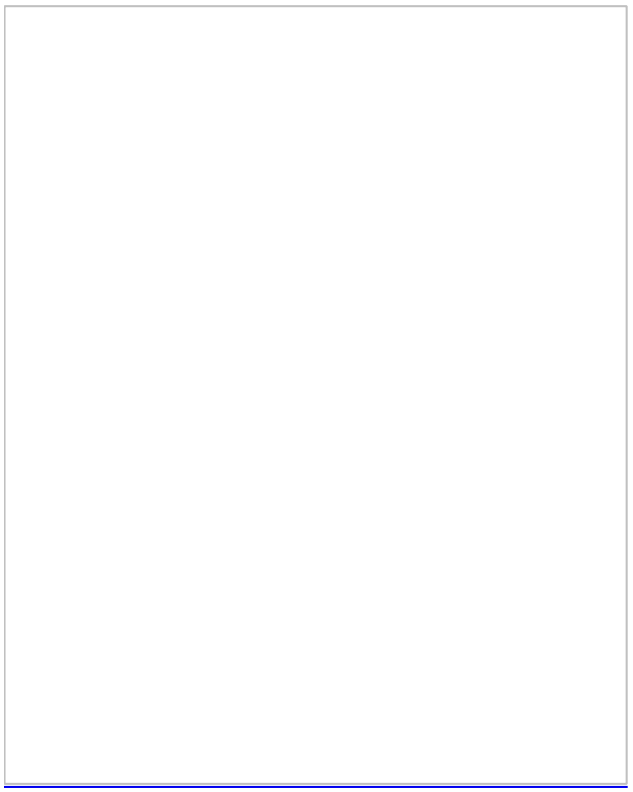
（全国祈り時間　**12**時～**13**時）

目的：夕張炭鉱及び石狩炭田（夕張炭田・空知炭田）及び北海道全域で亡くなった第三国人の不浄御霊浄化転生祈り・全国の不浄な土地の因果因縁カルマ転生祈り・地球内宇宙の宇宙カルマ浄化転生祈り

今回の神事を行うにあたり、まず夕張炭鉱で働いていた８０代の男性たちに立坑や斜抗の場所まで案内して頂き、当時の悲惨な状況を詳しく事前調査してくれた夕張を愛する笹谷さんに、心から感謝を申し上げます。また東京・苫小牧・札幌から集まった１３名の方たちが全身全霊を使い、全ての御霊たちを背負い上げた祈りに心から感謝申し上げます。最後に、全国の不浄な土地で祈り合わせ頂いた皆様からのメッセージや写真、感想を含め、祈りのエネルギー繋いで下さった皆様に心からお礼申し上げます。

※斜抗・・・・地面から斜めに降りる抗口

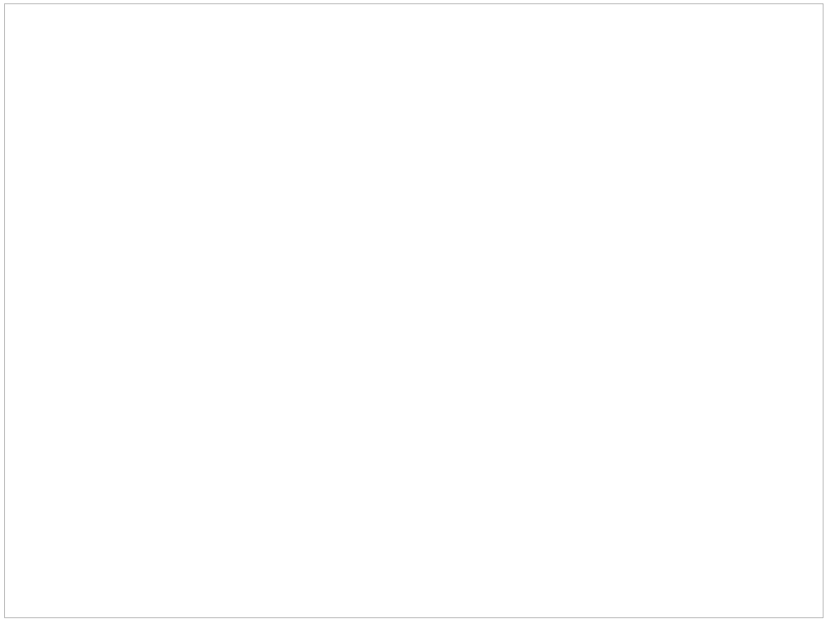
※立て抗・・・地面にまっすぐ数百メートル降りる抗口

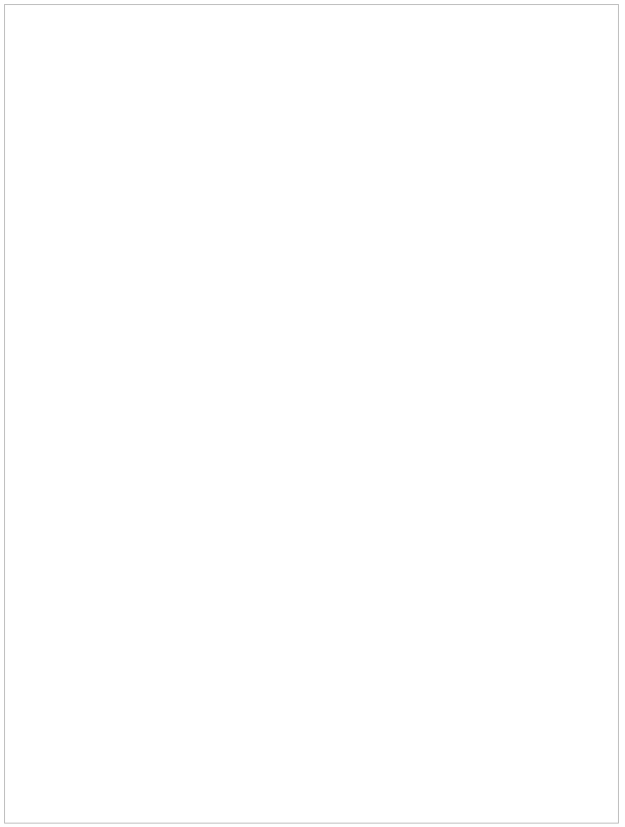


１、北炭夕張新炭鉱斜抗祈り（最後に大爆発が起きた場所）

NO.　２７：真谷地　　**11：30**

この場所の祈りは斜抗が三つ開けられていましたので、その入口から入り帰って来れなかった全ての御霊の思いを全身で感じて転生させる必要がある為に、三つに分かれて祈りを行いました。

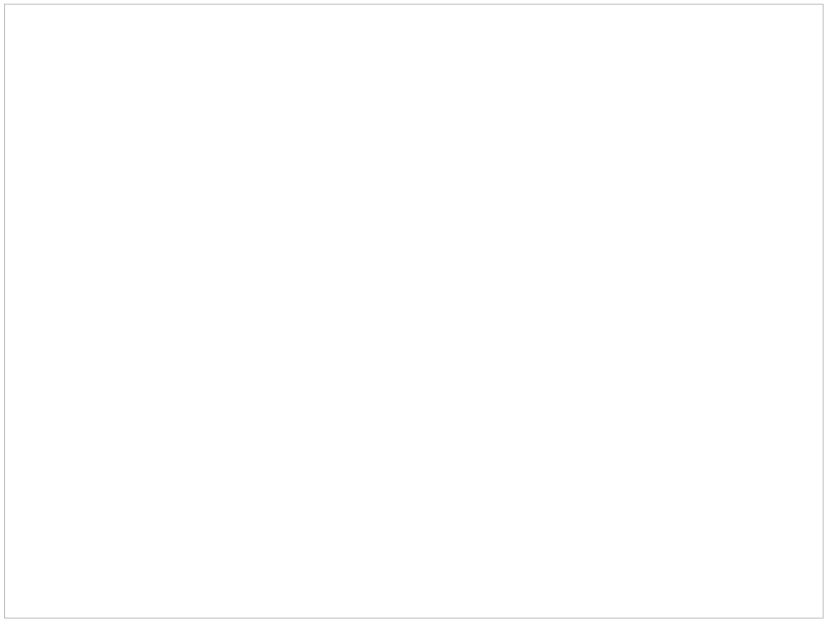


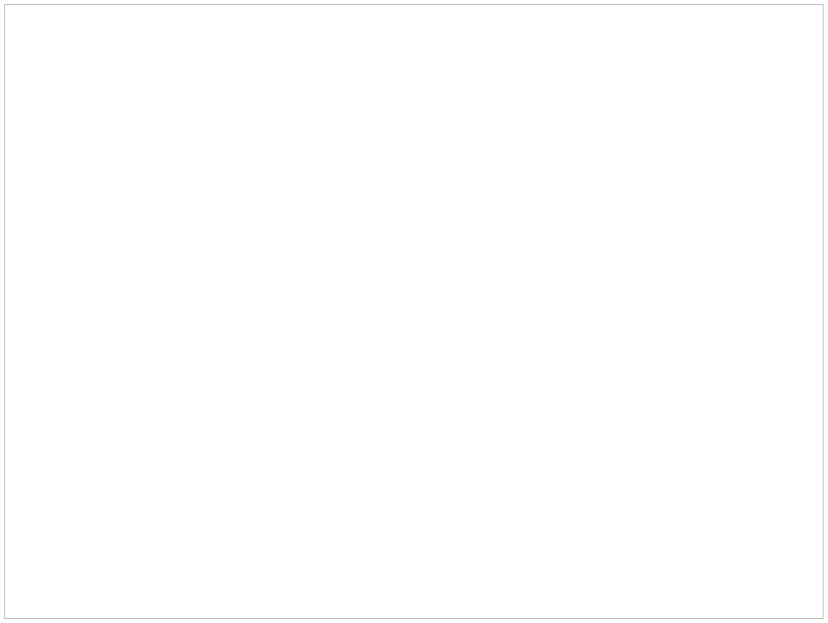


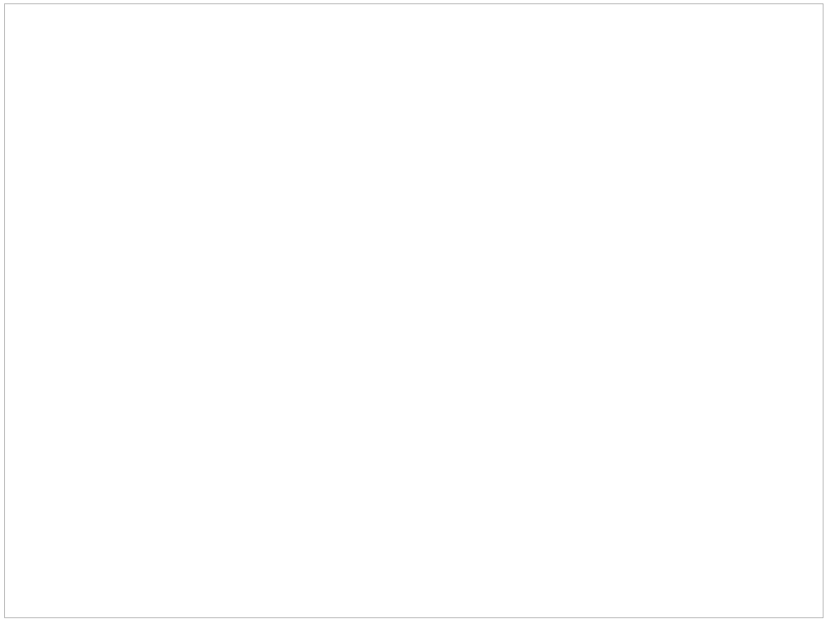
２、北炭平和炭鉱人道抗（生き埋めになった人たちが多い抗）

NO. １６：平和　**12:00**

この川を渡った先に３つの斜抗がありますが、この川を渡って帰れなかった御霊たちは、この川のことを「三途の河」だといいます。丘の上にある一番古い抗は古い時代だからこそ、人間として扱われなかった人たちの強い念が残っていました。







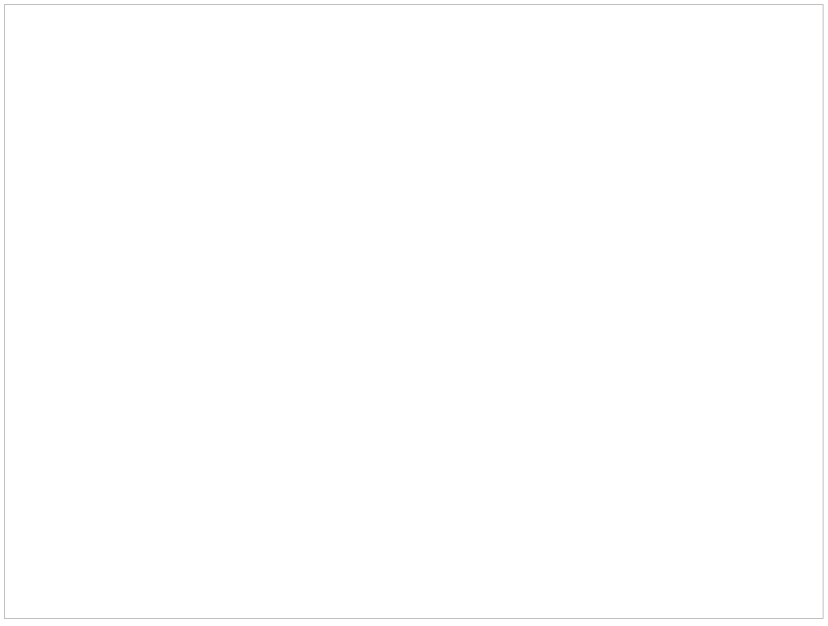
３、夕張神社の御祭り（旧：炭山祭り）　　**12:50**

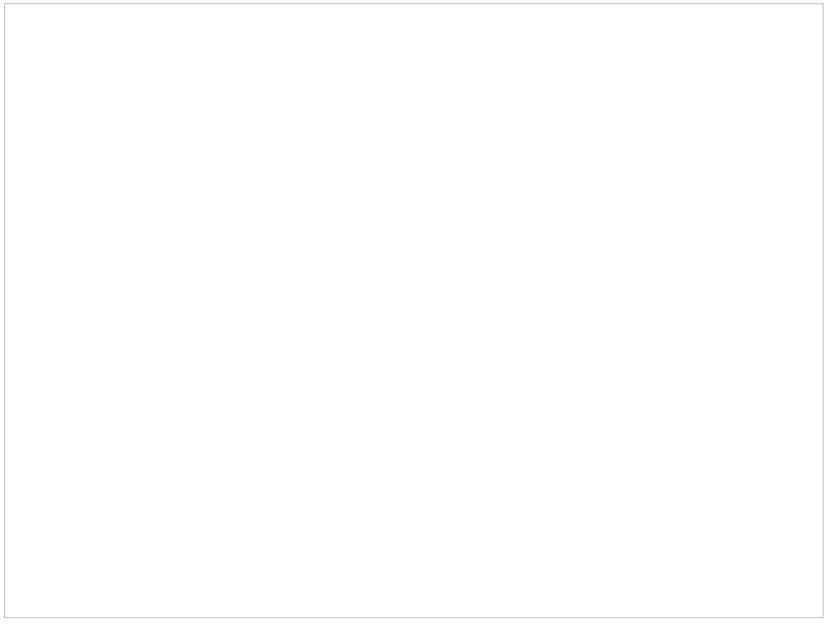
この15日、偶然にも夕張神社のお祭りの日でしたので、７万人もの人が住んだ盛大な炭山祭りを見守ってくれた土地神様にお礼に行きました。

４、北炭夕張炭鉱石狩抗（山の裏表に１０つの抗）

ＮＯ．１０：石炭の歴史村

石炭の歴史村の場所が実は、一番多くの立て抗や斜抗があった場所だと聞いて驚きました。現在は炭鉱を体験できる施設として残されている場所も、戦後の焼け野原にように強い霊気が身体を締め付けます。それは、この土地の下で眠る御霊たちの鎮魂ができていないからなのでしょう。丘の手前左に５つの抗があり、右へ下がった場所には３つの抗がありました。また山を超えた反対側には開設後、すぐ閉鎖したゴーカート施設があり、その先にとても強い霊気を発する抗が２つありました。この１０の抗の前に一人一人が座り、心から鎮魂・浄化転生の祈りを捧げました。





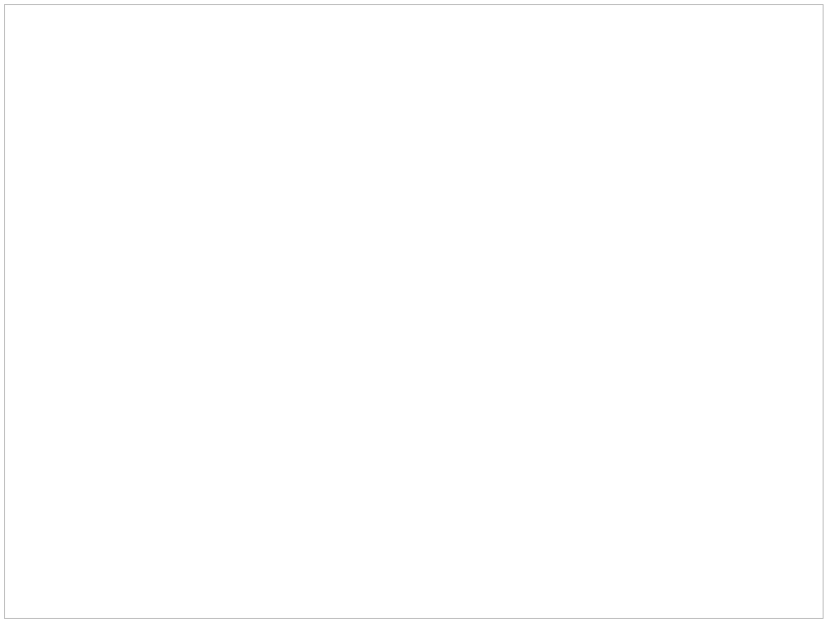
5,北炭夕張炭鉱天龍抗（一番多くの方が亡くなった抗）

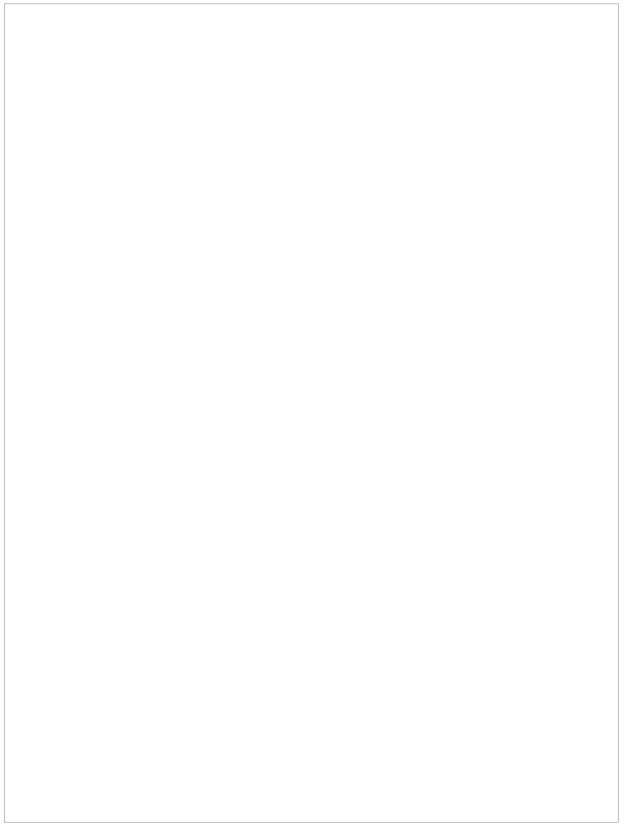
ＮＯ．**9**：石炭の歴史村

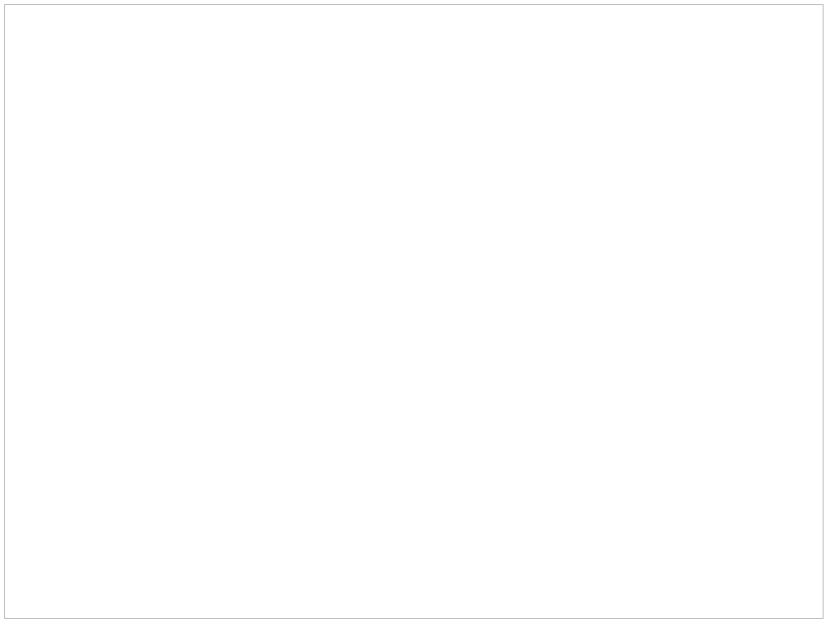
石炭の歴史村のすぐ横の抗の祈りでは、土地の一番下まで意識を下げて、その深い穴の中で死ぬまで苦しんだ方々の苦しみを全身全霊で感じました。うめき声、さけび声、怒り、恐れ・・・人間が予期せぬ死を迎える瞬間の全てを感じました。そのひとつひとつの御霊たちの苦しみに心を合わせて、人間が人間にした事のお詫び、人間が土地にした事のお詫びを祈りました。

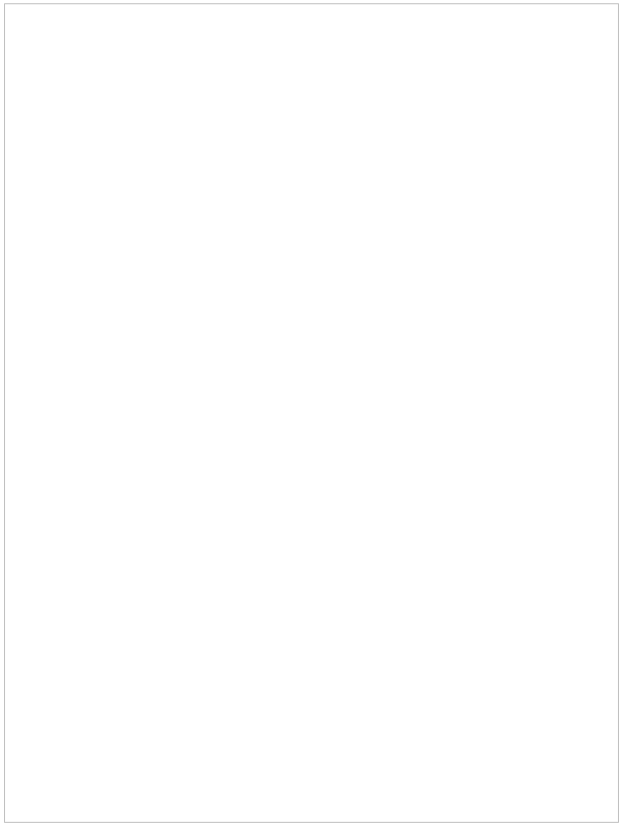
水が飲みたい・・・・生きて帰りたかった・・・・、家族に会いたい・・・・、母に会いたい・・・、父にお詫びをしたかった・・・親孝行もしたかった・・・腹いっぱい飯を食いたかった・・・・死にたくない御霊たちの叫び声は、今も私の心の中で叫び声をあげています。

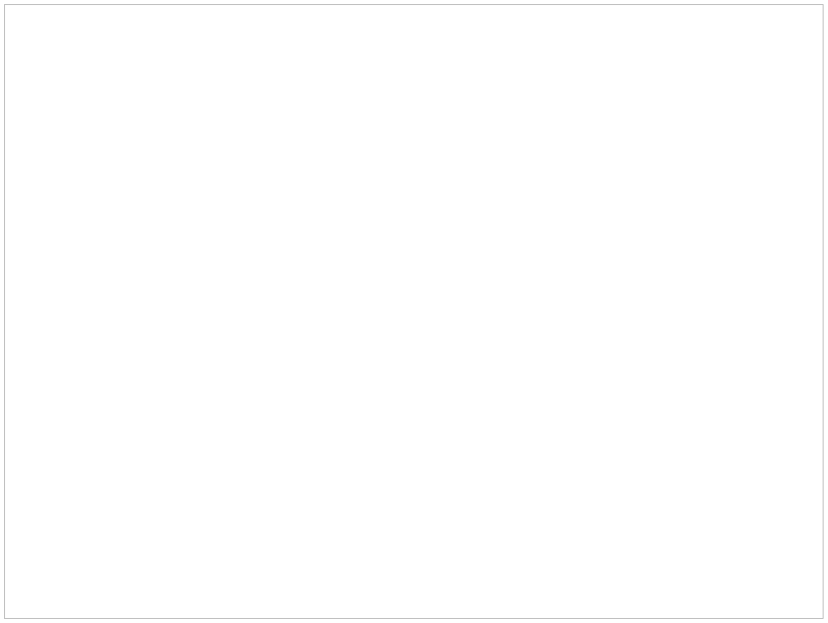
過去に私たち人間がしてきた事は、善悪だけでは語れない部分がたくさんあります。その中で命を落としていった大切な人の思いを感じて伝える霊媒体質の方たちも、喜んで役目をできる方が増える事を私は望みます。人間に与えられた身体・家族・財産・経験の全てが神の計らいと感じ、自らの魂磨きと共に生かされている感謝を伝えられる人になるよう願っています。

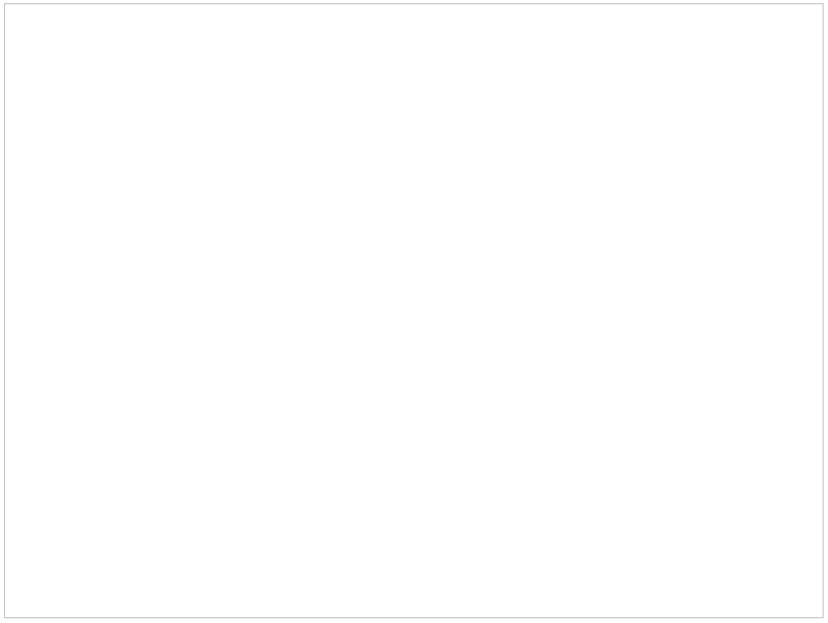






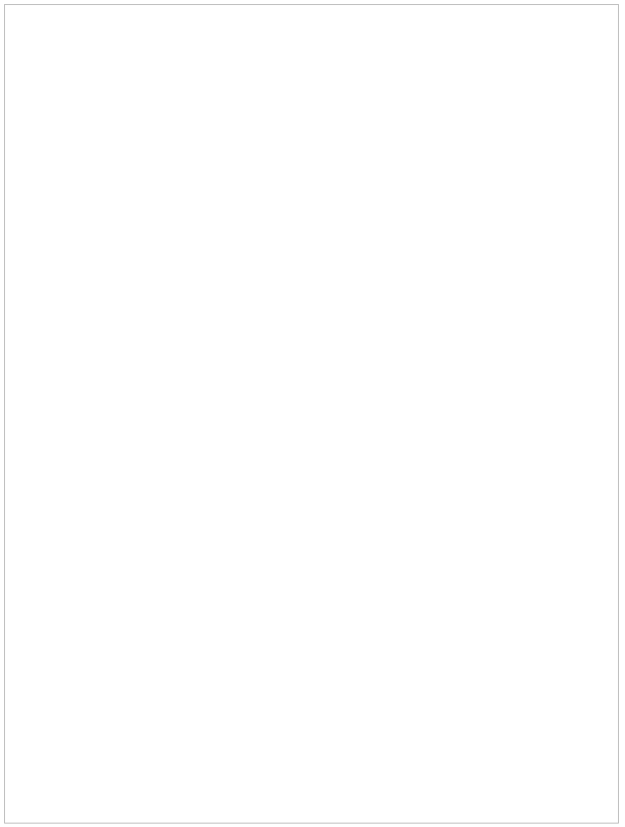


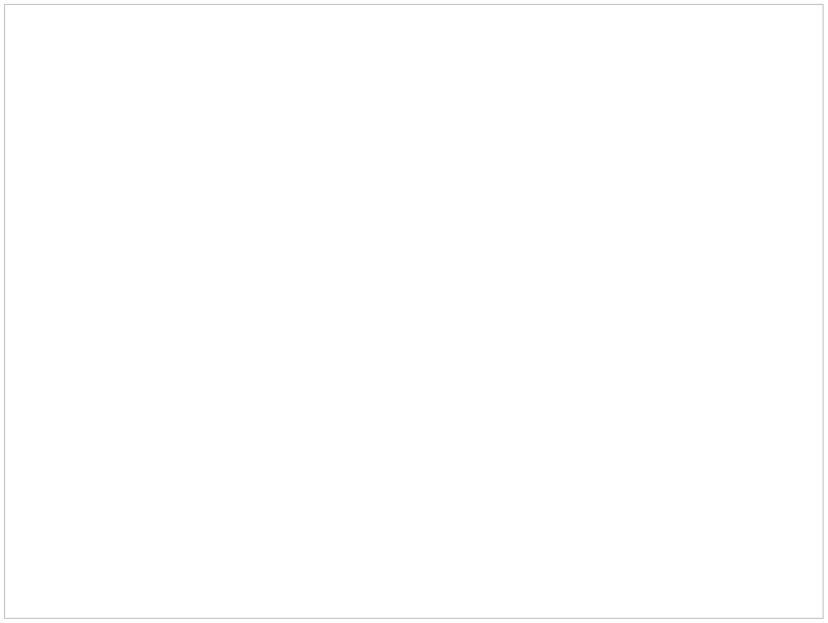




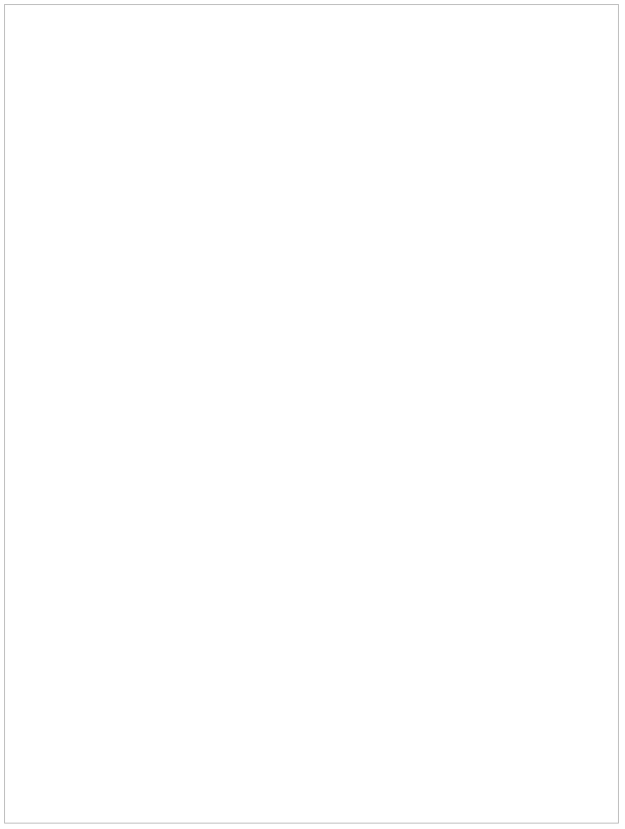
６、北炭清水沢炭鉱（古い炭鉱）ＮＯ．**19**：清水沢

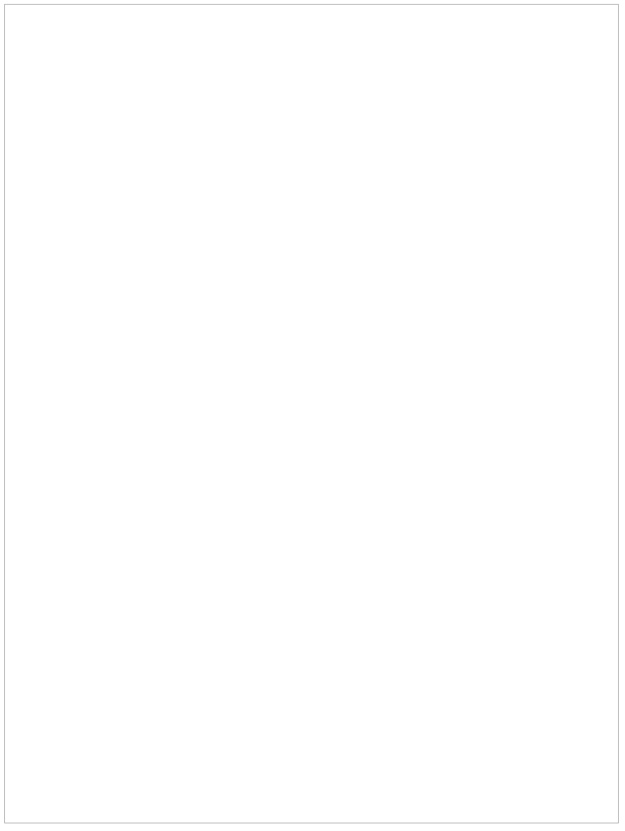
シューパロ湖に向かう途中、川の祈りをして水のエネルギーを抗の中に送りました。炭鉱で亡くなった方たちの最後の声が「水が飲みたい」とわかっていたので、今回の祈りには各地から神の水を大量に運び込み、沖縄産の神様の塩も大量に使いました。水は命を救い、新しいエネルギーとして生命流転のサイクルを作り出します。新しい命になる御霊たちを天や地に送り届ける祈りになりました。

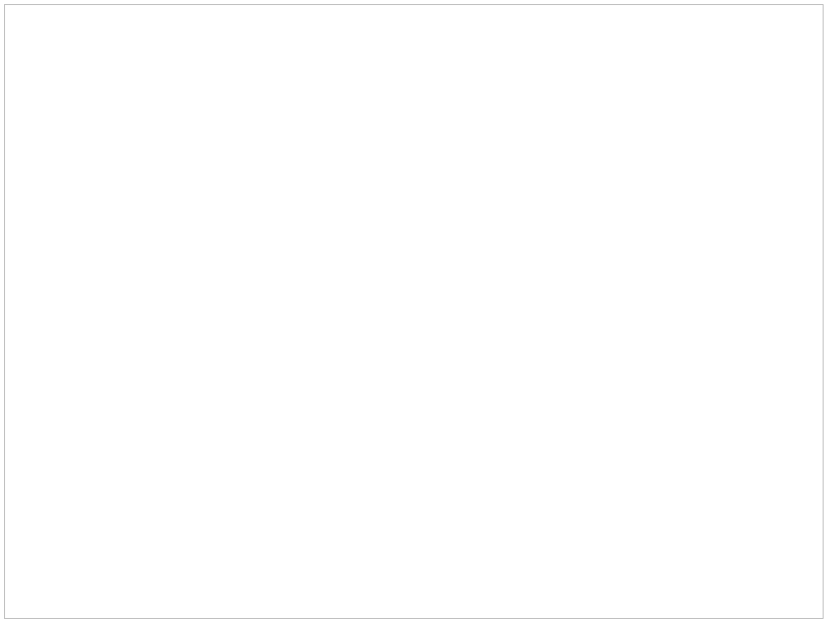




７、三菱南大夕張炭鉱（最も古い炭鉱の山）＆シューパロ湖：南部
この夕張炭鉱の最初に掘られた場所は小高い山の上でしたが、現在は抗もふさがれて自然に戻りつつあります。熊が出る山なので、道路わきから山へ向けた祈りと夕張川に繋ぐ祈りを行いました。

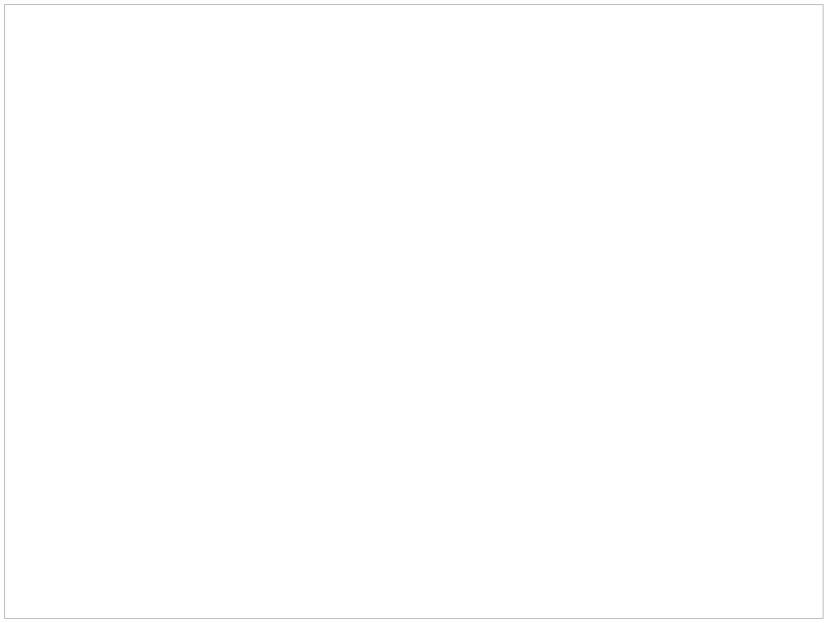






8,夕張川上流：全ての祈り納め　１７：３０終了

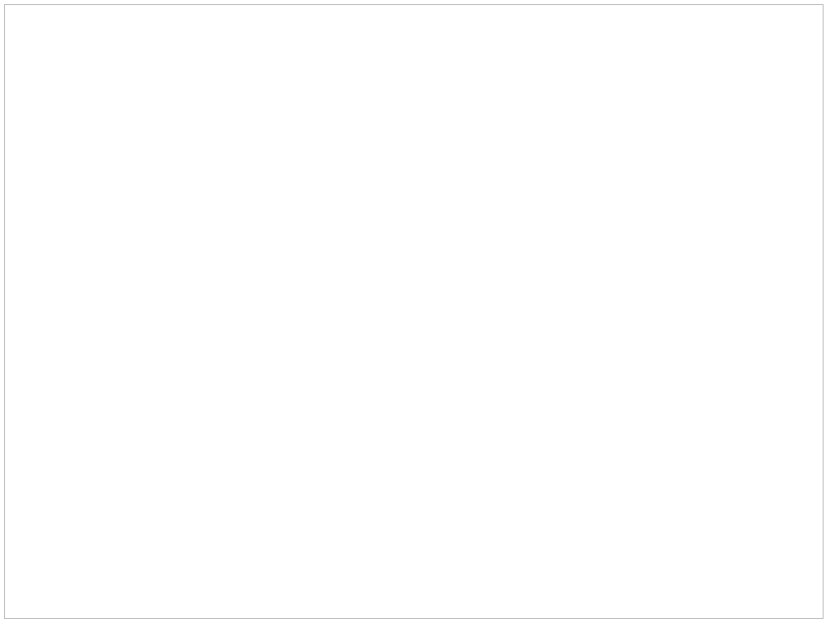
長い一日で受けた負のエネルギーをこの夕張川に全て納めて水に流す祈りをしました。沖縄や日本全国を祈り回って集めた聖地の水も夕張川に入れました。新しい命が水と共に湧き出るように、新しい神の御光が降り注ぐようにと祈りました。この日の為に、時間やお金や体や意識を捧げて下さった皆様のおかげで、負の土地から出ていたエネルギーも転換されました。また地球内宇宙のカルマの浄化転生祈りも届いたと宇宙から連絡が届いています。



祈り合わせに宣言して下さった全国の皆様からたくさんのご連絡を頂いています。

遠くボスニア　ヘルツェゴビナでは、先の紛争で3つの民族がそれぞれの宗教（正教会、カトリック、イスラム）を主張する為に戦い、死者20万、難民・避難民200万が発生した他、レイプや強制出産、民族浄化などが行われ、第二次世界大戦後のヨーロッパで最悪の紛争となった場所から祈りを繋いでくれた方もいます。日本国内でもたくさんの人が心を合わせて祈って下さいました。

今回の神事は、過去の神事ベスト５に入るほど肉体的にもハードなものだったので、翌日、参加者の楽健マッサージ講習会で身体をいたわり合いましたが、それでも完全には抜けないほど、心身は疲労しています。私自身、いつまでこういう事ができるかはわかりませんが、肉体のあるうちに自分ができる事は必ずやり遂げようと思っていますので、どうぞ、次の世代の方たちは、より大きな愛や喜びを表現できる人間に成長して下さい。先人のご苦労に感謝を捧げ、未来の子供たちに夢を託せる世の中になる為に頑張ります。神様の祝福の証は、翌日、苫小牧で見た大日輪でした。宇宙や自然界の神の加護と守護に、感謝いたします。



2009.05.17 Sun

宇宙メッセージ（宇宙語）

アーチャル　　バッティンシー

シンディバ　　シンバ

ヤンチャビル　　シャッシンキー

（直訳）

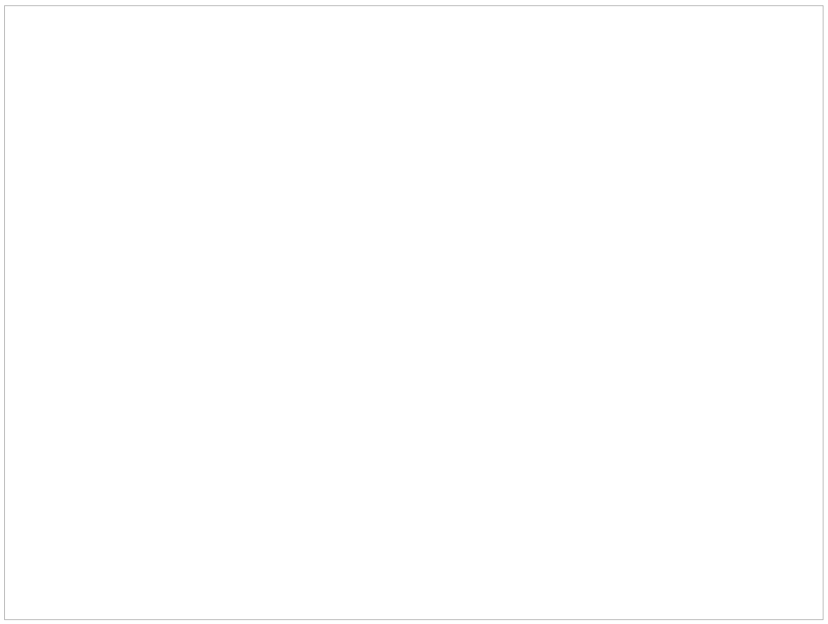
皆さんの思いの集合エネルギーは、神の意志として宇宙の大元まで聞こえていますので、どうぞ心を合わせ、手を合わせて一緒に祈って下さい。

（解釈）
これから行われます5月15日の夕張神事の祈りは、地球や人間の為だけではなく、宇宙全体の為にも重要な祈りのエネルギーとして全宇宙に流れますので、どうぞ、あなたの心合わせ、祈り合わせを宜しくお願いします。
2009.05.12 Tue

大祓いの意味

5月7日、苫小牧神事の場所の下見に急遽、苫小牧へ向いました。最初に訪れたのは、今年2月に仲間たちで結婚式を行った新築の家のご神殿です。結婚式当日、祀ってある神様に大きな神エネルギーが繋がり、その神様は「まだ名前は明かせない」と女性の声で言った事を思い出したからです。現在準備している苫小牧神事は、地元の方たちが瀬織津姫（せおりつひめ）の歴史を調べていますので、もしかすると新しい時代の幕開けに向けて「大祓いの神」がこの家の神様に繋がったのかもしれないと思い、直接、神様と対話する事にしました。

家のご神殿に感謝の祈りを捧げてから　「あなたは瀬織津姫ですか？」と尋ねると、遠慮がちに、「昔からそう呼ばれています」とお答え下さいました。これですべての謎も解けました。樽前山神社には現在、瀬織津姫は祀られていませんが、移転した二つ前の場所に瀬織津姫が祀られていた事は古文書で見つけています。また、ご神体である樽前山の頂上にも瀬織津姫のエネルギー体は、浮かんでいらっしゃいます。さらには北海道勇払郡の地に瀬織津姫（せおりおつひめ）を最初に運んだ末裔の方の石碑と樽前権現社の場所も見つけましたので仲間と一緒に祈りに行きました。



全国にもたくさん瀬織津姫を祀っている神社はありますが、今なぜ、瀬織津姫の名前が出てきたのかを説明します。2008年に「国の建て替え立て直し」の啓示が私に降りましたが、昨年末に、2009年はさらに具体的になるとお知らせした通り、来週の夕張神事（5/15）、苫小牧神事（6/14）、宮古島の龍宮神神事（6/27）、富士山頂上神事（7/18）の全てが、国の建て替え立て直しの神事だという事に気づきました。まだ追加神事もあるようですが、今なぜ、大祓いの神が苫小牧の地で動くのかというと、新しい宇宙の意思が働く為とご理解下さい。

その前に、現在の日本神道で使われている「大祓いの祝詞」の本来の意味を説明しておきます。「大祓い」のもともとの意味は、人間界の詫びではなく、また、神世界の詫びでもありません。

現在の日本神道は、もともと「古神道」の宇宙観を一般にわかり易く置き換えたものですので、人間界の出来事と神世の出来事も実は、裏表の違いだけで、同じ目的を学ぶ為に説明する為の二極世界の祝詞なのです。

元来、古神道の宇宙観には、書いて教えるものが一切ありません。理由は、古い時代の人間の霊性はとても高く、声で聞いた音霊（おとだま）から物事の意味を感じ理解する事ができたからです。時代の流れと共に文明は進化し、唯物（ゆいぶつ）思想から神の繋がりが薄れ、神を信じない人たちが増えた為に現在の神道は、神意識を体系立てて説明する必要に迫られました。古事記や日本書紀に書かれている内容は、その為の参考書だと考えて下さい。

これは、世界に出現した全ての宗教も同様です。どの宗教も最初の一人は、宇宙意識に繋がる強い霊能力者が宇宙メッセージを伝える役目でしたが、周りの方が理解できないまま聖書などの書物にした為に、意味の読み取り違いや人間的な思い込みが入り、前者を否定し新しい教えを求めるエネルギーが、新興宗教を生み出し続けています。アイヌや沖縄に代表されるシャーマニズムの深い精神性や知恵は、宇宙真理を理解した人から学べば、宇宙真理の本質に気づく事ができます。

人間が誕生する前の地球ができる頃を想像してみて下さい。星がひとつ誕生する時には、まず「宇宙のおおもと（マスター）」からマスターの意思として、大きなエネルギー体が星の上にやってきます。この存在は高次元の宇宙神ですが、そのエネルギー体が存在する事で、山や海や川や風などの自然界バランスが誕生し、そのあとに動植物が生まれて人間は最後に出現しました。地球に現れた全ての物には、全宇宙調和エネルギーを持って生れますが、過去の宇宙意識（カルマ）を思い出すほど、その繋がりは途切れます。

ここで考えて欲しいことは、なぜ人間に神の意志という高い霊性を与えたのかという事です！？

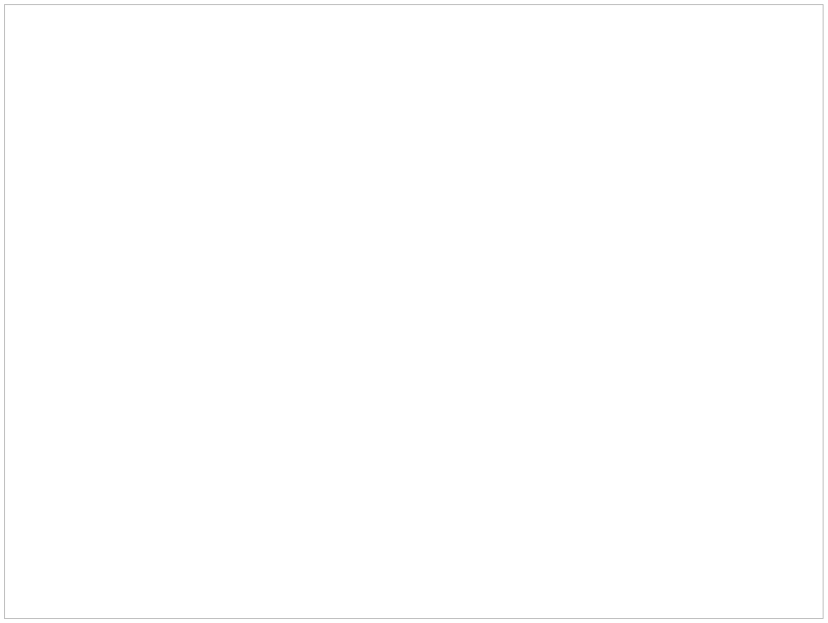
それは人間に、宇宙で経験した過去の宇宙カルマを乗り越えて、新しい宇宙調和を実現する役目があるからです。だからこそ、生まれる時に過去全ての記憶を消して人間は生まれるのです。

この事を理解した上で「大祓いの神」が働く意味を説明します。それは全宇宙の新しい調和、地球という星や地球上の自然界バランス、そして人間を含めた動植物社会のバランスを整える為の宇宙の意思だとご理解下さい。「大祓いの神」が過去、地球上で大きく働いた事は何度もあります。歴史上で言われている「失われた文明」の多くも、そういう時期に浄化転生した出来事のひとつなのです。
※大祓いの役目を持つ神として祓戸四神の他にも国之常立神（クニトコタチノミコト）やアイヌ

のオキクルミカムイなどが同じ力を持っています。

今回の大祓い神事は、地球上の生命体一掃の情報は届いていませんので、希望未来実現へ向けた新しい整い（過去の宇宙カルマや土地の不浄御霊エネルギーの浄化転生）を目的として行います。

巨大なエネルギーが動く5月15日の夕張神事の目的も、地球上の人間が過去の出来事に囚われて逃げ苦しむ事がないように、不浄御霊の浄化転生、土地に刻まれた記憶の浄化転生、そして、地球内宇宙に残る宇宙カルマの浄化転生の祈りを行います。以上の事をご理解頂ける方は、地球創生メールマガジンに登録後、祈り合わせをお願いします。地球を守る為に、また宇宙の調和を整える為に生まれてきた魂の役目を果たす時期がついにやってきました。地球に生まれた魂の目的を共に果たしましょう！



2009.05.10 Sun

2009.5.6　神メッセージ　三天門（さんてぃんもん）

三天門（さんてぃんもん）　てぃーちる（全て）開け放し

天つ　髪結いのごとくまとめよ。

その門　天門ならず　地門ならず

地上門としての働きする為。

全ての門開けたくば　龍門開け！

龍門　全ての門に通ずる神門なり

その門　守りし者たち働け！

天龍門　今、開く！

2009年5月6日メッセージ

（言葉の説明）
まず、三天門を説明します。三天門のひとつは、地球外宇宙の大門、つまり、宇宙のおおもと、マスターを守る門の事です。もうひとつは、地球内宇宙の核を守る大門。そして三つ目が、この地上エネルギーを繋ぐ地上の大門を示します。天門、地門、地上門の三つを合わせて三天門と言います。

三次元の世界にある地上の事を日本書紀では葦原中国（あしはらのなかつくに）と言いますが、この地上に宇宙のエネルギーや神エネルギーを繋ぐ為の門の事を地上門と言い、一般的には日本神道の神社の鳥居の事だと思って下さい。また沖縄地方では、ウタキや龍宮神がある場所だと考えて下さい。

三天門を含めた地上門（鳥居・龍宮神）を総称して、龍門という表現もできます。龍が守る守備範囲は地・風・火・水です。地は、地上であり地中の中全てを意味し、風は、空（くう）。つまり、空（そら）、宇宙空間全てを守っています。火は、太陽であり、月であり、光を放つ星も火に含まれます。水は、真水や海、そして地中の水、大気の水分なども守っています。

では今回のメッセージについて説明します。まず、三天門である三つの門（全ての龍門）を髪を結うがごとくまとめて、同じように宇宙調和のエネルギーが働くようにしなさいという啓示です。

「その門」とは、現在進行中のいくつもの神事の場所の事をいっています。これらの地上門全てを開けて宇宙調和エネルギーを安定させる事で、地球のエネルギーを安定をさせたければ、龍門を開けなさいという導きのメッセージです。龍門は、神の門として天が与えたエネルギーの高い場所のことを言っていますので、龍門を開けると全ての門が開く事も教えてくれています。

龍門守りし者たちとは、聖地（神社仏閣・エネルギースポット・ウタキなど）を大切にしている人たちや龍から守護を得ている人たちの事です。天龍門とは、天が造った宇宙空間を守るための重要な門のことです。

もう一度わかりやすく説明すると、現在、自分の守護存在や神や宇宙からメッセージを頂いて、聖地やエネルギースポットを巡る動きをしている人たちは、その聖地こそが「神門（しんもん）」であることをまず理解して下さい。そして「神門」の場所を知る人は、その神門のエネルギー繋ぎ役として水を運んだり、祈りエネルギーを繋いだりしている訳ですから、必ず、自分の住む土地にも繋いで、土地神たちの働きを大きくする事が大切です。

土地を守っている神門の場所を知る人は、その神門を他の神門と繋いで神エネルギーを今より大きく働けるようにしてあげて下さい。大切な龍門の場所を知る人たちは、龍門を守る役目ですので、すべての龍門が開き繋がった時に、この地球のエネルギーは完全に変わる事も覚えておいて下さい。

この時期の事をアセンションや地球滅亡の日などと色々な呼び名言っているようですが、地球の大龍門が開く事で宇宙の門も開きますので、結果として、宇宙空間の重要な天龍門が開き、新しい宇宙調和が生み出されると理解して下さい。

全てが新しい次元意識に変わる為には、今、働くべき人が働かなければこの地球を守る事はできません。宇宙にいる高次元な存在たちは、私たち人間が繋がっている高次元意識をどう地上で実践するのかを見守っています。

全ての魂が目覚める為にも、動くべき人が動くことです！自らの魂の役目を果たす為には、あなたが「したほうがいいかな？」と思う事をすぐ行動する事です。誰かがこの地球を救ってくれるのではありません。あなた自身が、自分で行動して、あなた自身が変わってこそ、地球の未来が変わるのです！宜しくお願いします。

2009.05.07 Thu

藻岩山のお地蔵様

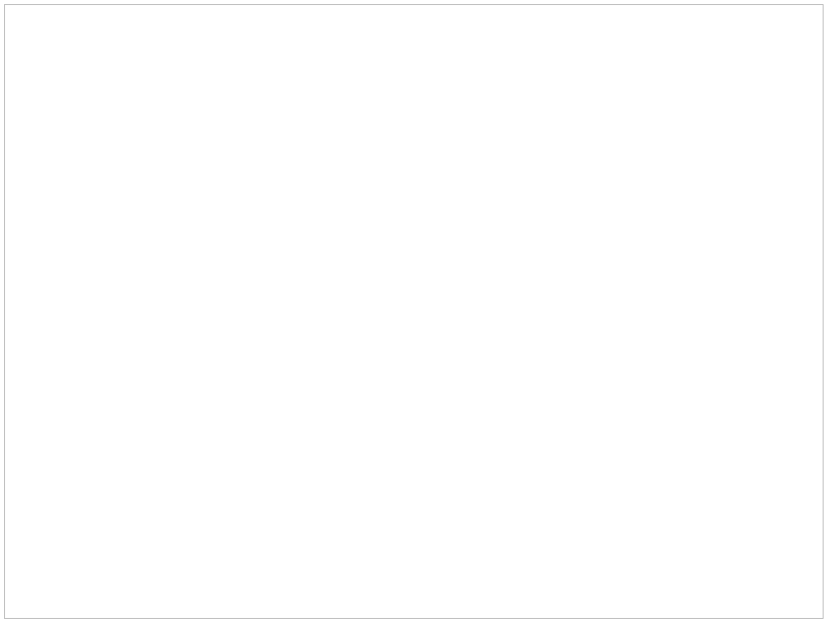
ゴールデンウイークの5月5日、札幌市内にある藻岩山に初めて登りました。天候もよく、札幌市内の山で登っていない山にご挨拶がてら、7月18日の富士山頂上神事　の体力づくりが目的です。札幌市中央区旭ヶ丘5丁目の慈恵会病院から登るコースの登山口に着くと、登山者で駐車場が一杯なるほど車と人が溢れていました。登山口でご挨拶をしてから登山初経験の妻と一緒に登り始めると、さすがホノルルフルマラソン完走者！妻は私の前をラクラク登っていきます。

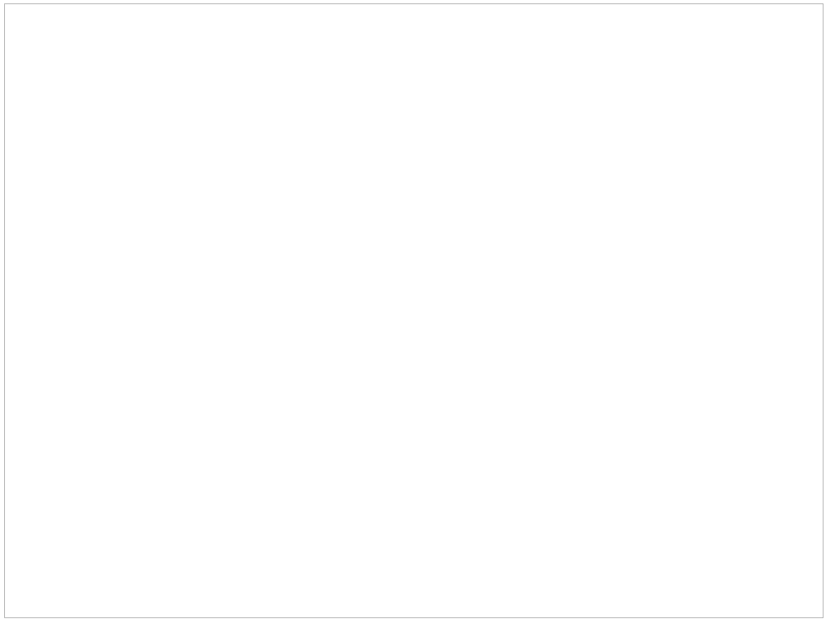
登山を仲間と何度か経験してわかった事ですが登山というスポーツは、その人自身がでるというか、自分の本質があからさまになるスポーツだと思います。理由は、一人で、孤独で、肉体的にも精神的にも辛い頂点の感情をどうコントロールするかが問われるスポーツだからです。

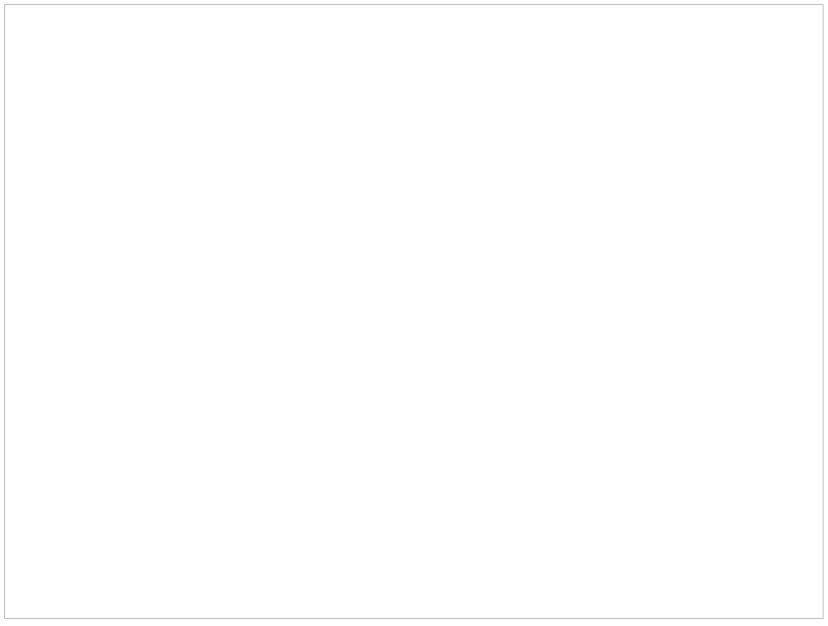
マラソンや一人でチャレンジするスポーツをしていた方は、当然、心肺能力が高いから楽なのだと思われがちですが、１０年間もブランクがあるのに楽々登るすごい点は、一度、乗り越えた辛さは、人間は何度でも乗り越えられるという素晴らしい能力だと思います。

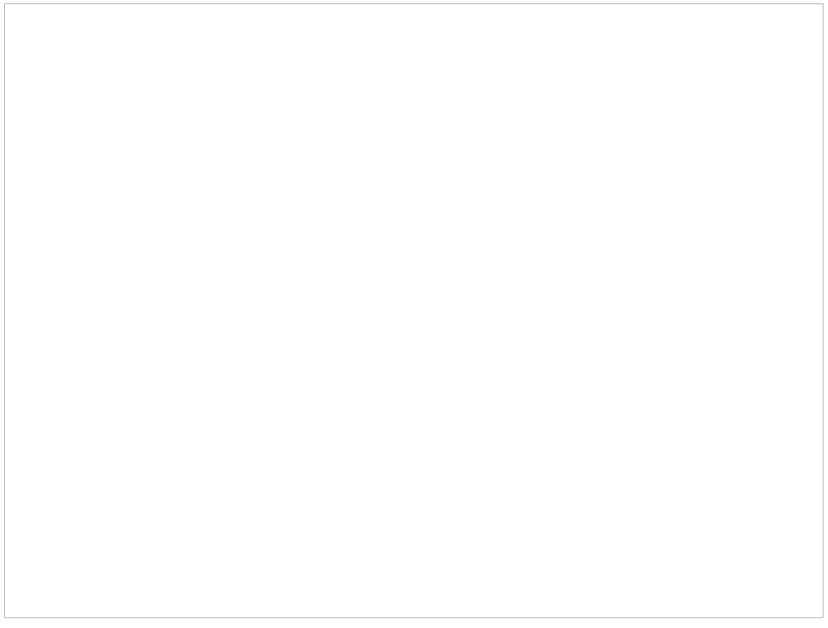
生き方で悩んだ方によくお話する事ですが、人生で辛く苦しい時にはぜひ、近くの山に登る事をお勧めします。普段、甘えられる知り合いが傍にいると言い訳や愚痴も言えますが、登山は一人で一歩一歩登るスポーツですので、どんなに短いコースでも頂上にたどり着いた時の爽快感と共に、心は晴れやかになるものです。私達と神事で一緒に登った夫婦や親子が話してくれた事ですが、一緒に登ってみて本当に家族のあり方を見つめ直すいい機会になったし、家族関係が改善されたと話してくれた方もいらしゃいました。山は、いつでもあなたを待っていますよ。

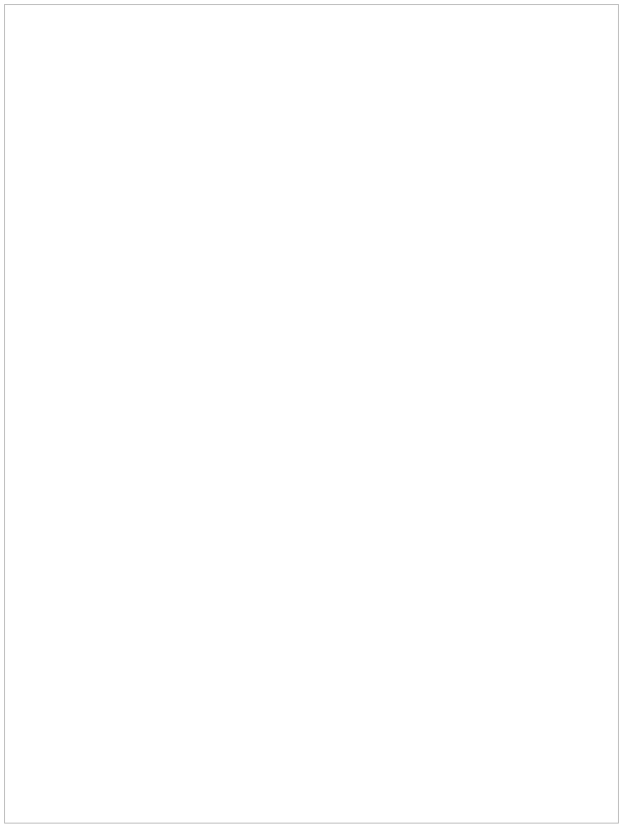
藻岩山に登って気付いたのは、登山口近くの観音寺のお地蔵様が三十三番並んでいる山でした。昔々、誰かがこのお地蔵様を担いで一体一体運んでくれた姿を目に浮かべながら、その人たちの苦行のおかげで安心してこの山に登れるのだと感謝しました。ロープーウエイで簡単に登れる山も、自分の足で登る幸せを噛みしめて一体一体のお地蔵様に手を合わせて登りました。山に登れない方の為に、二番所から三十三場所までのお地蔵様たちをご紹介いたします。

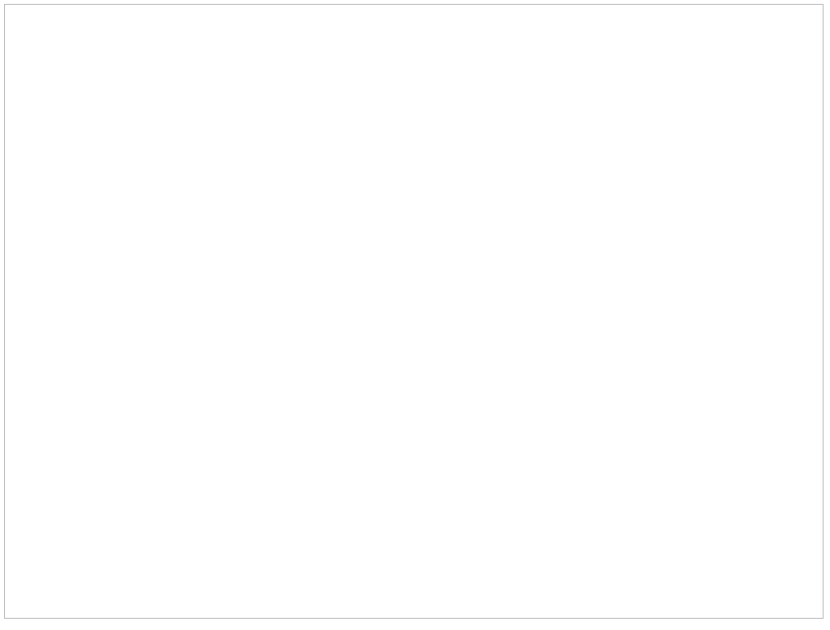


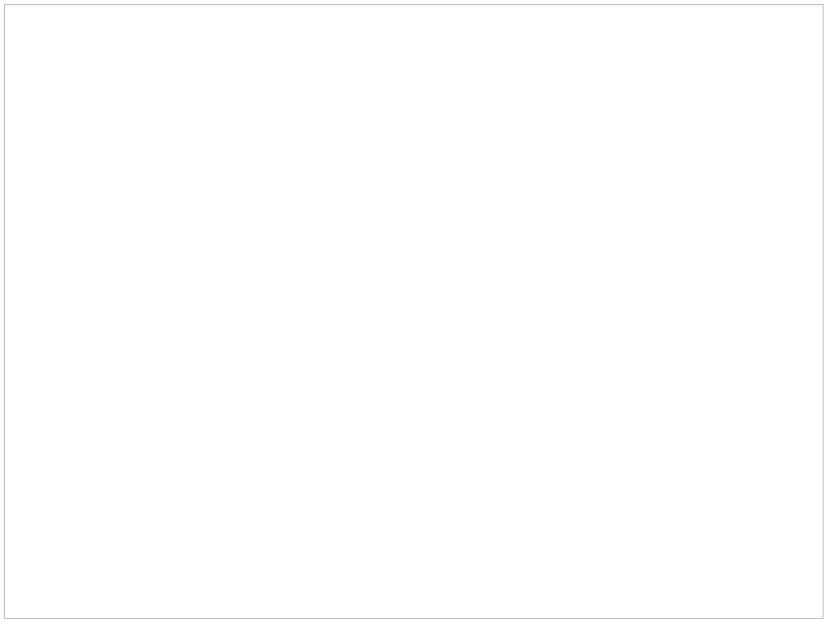


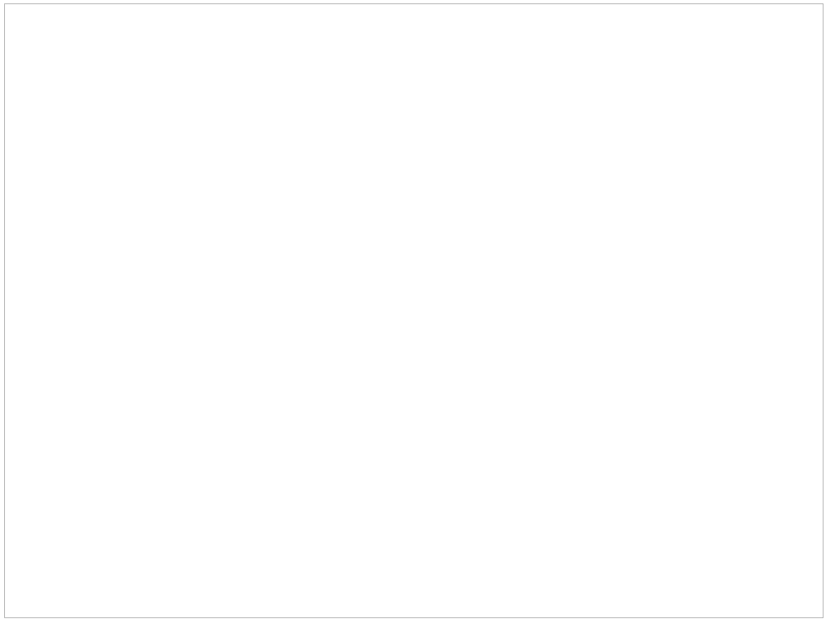


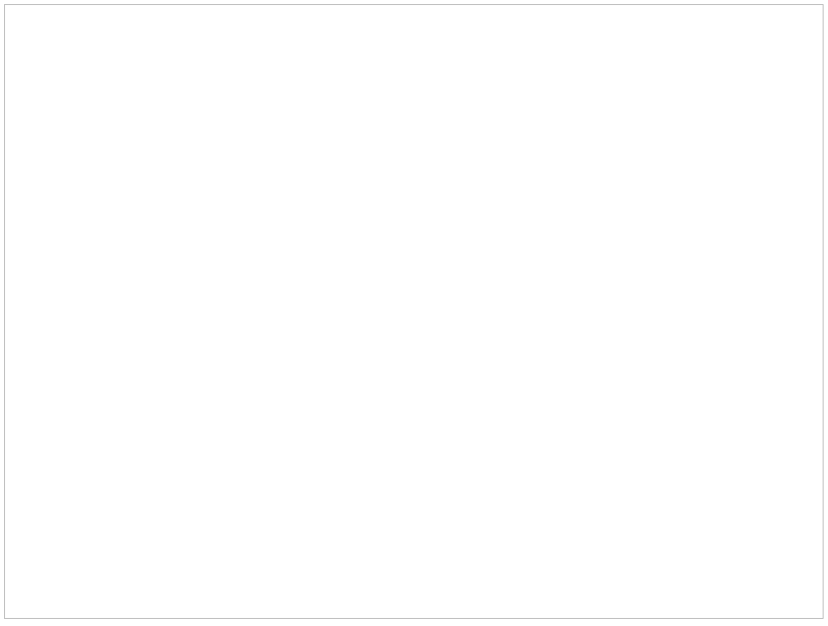


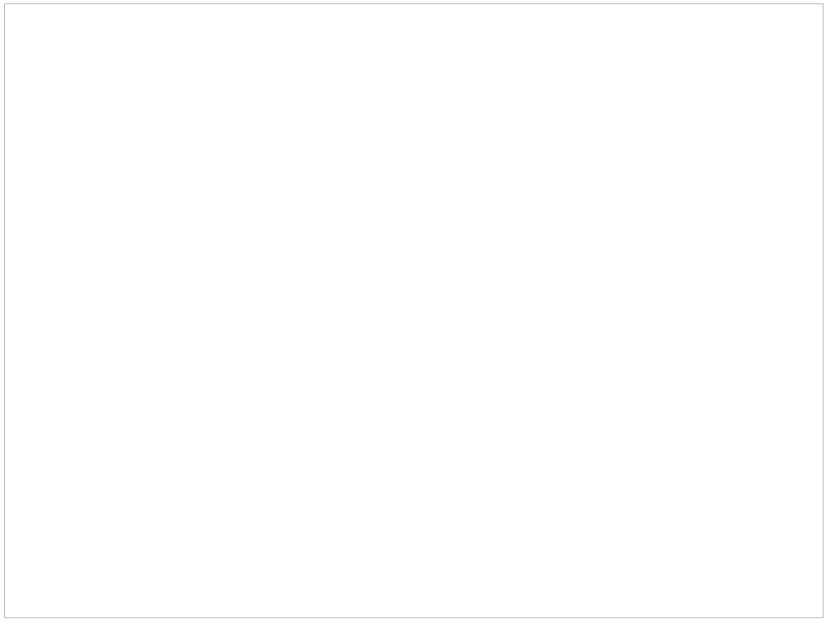


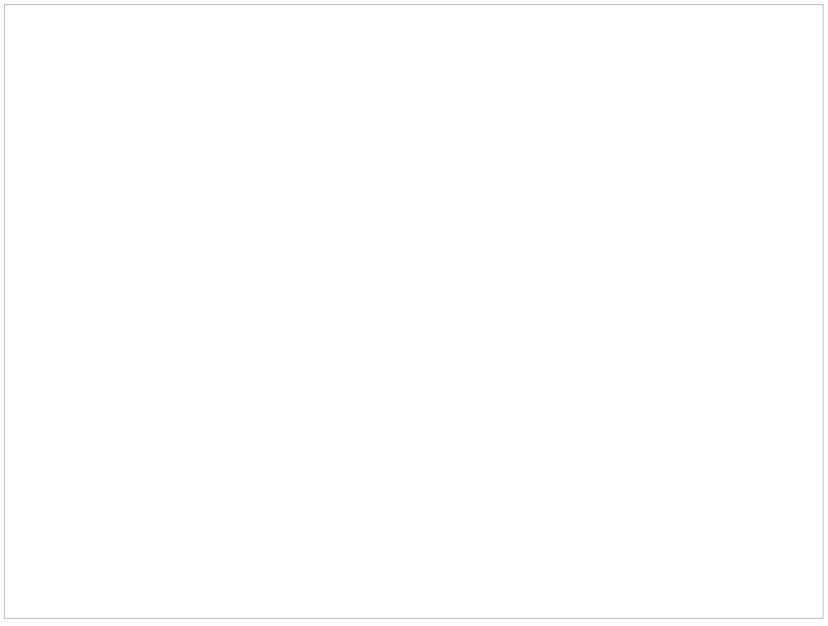


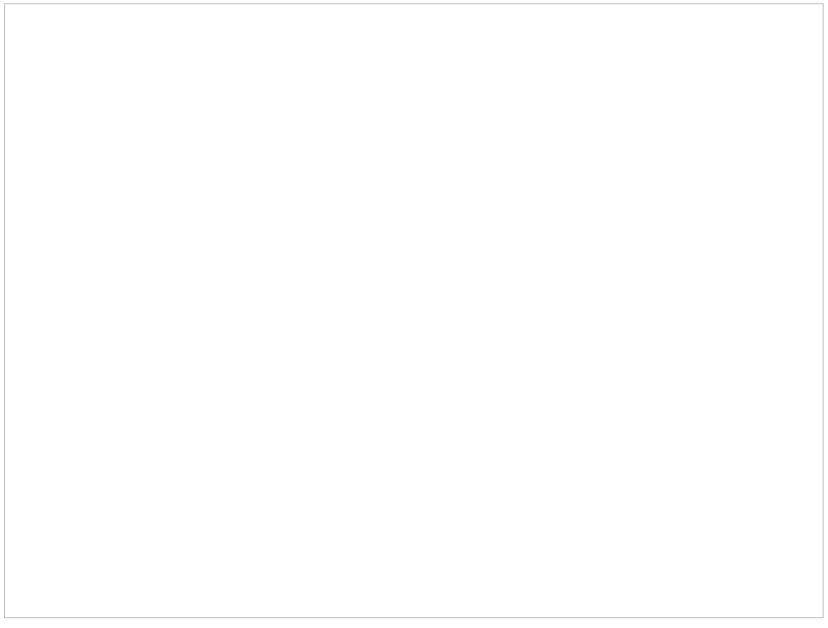


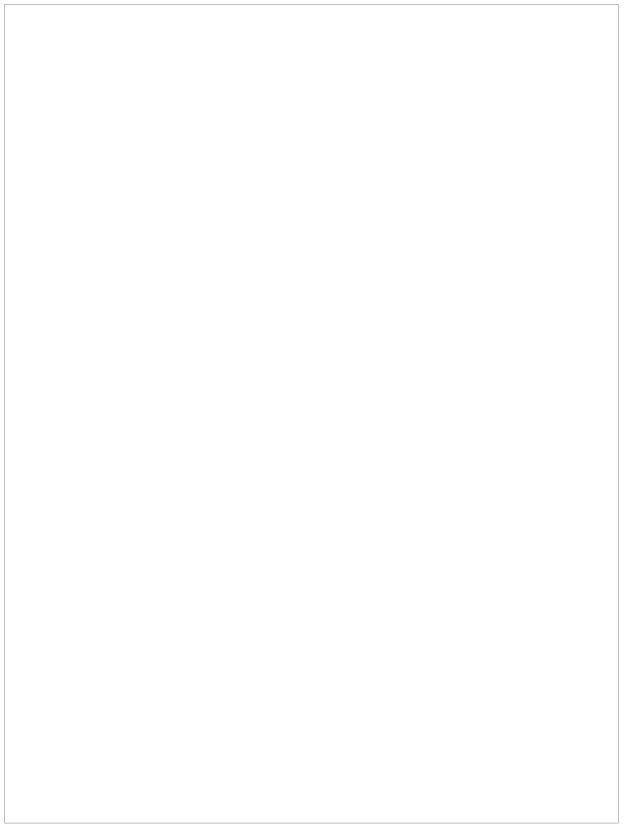


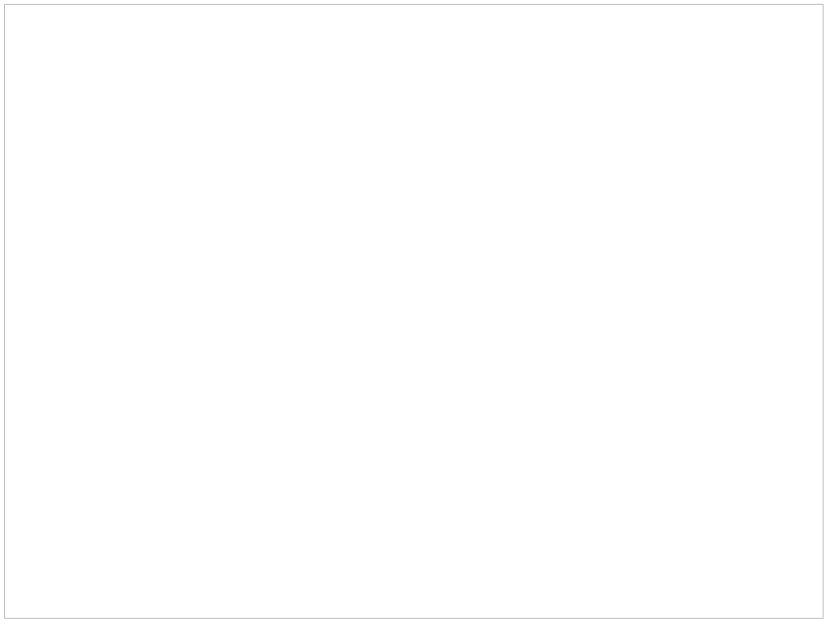


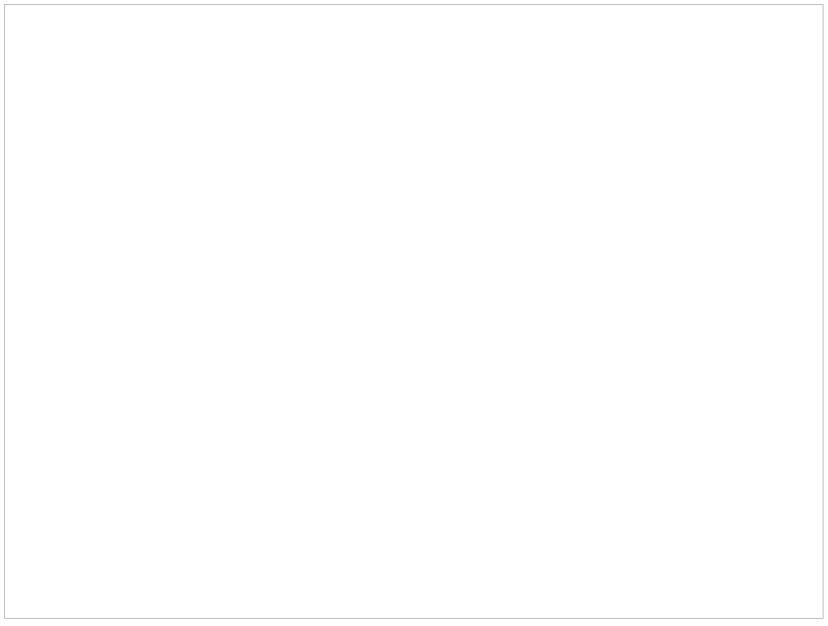


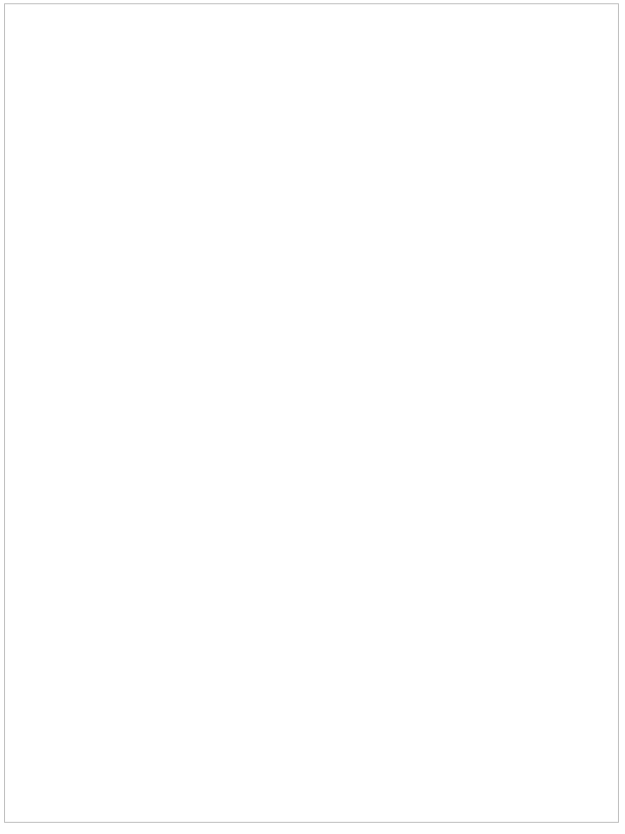


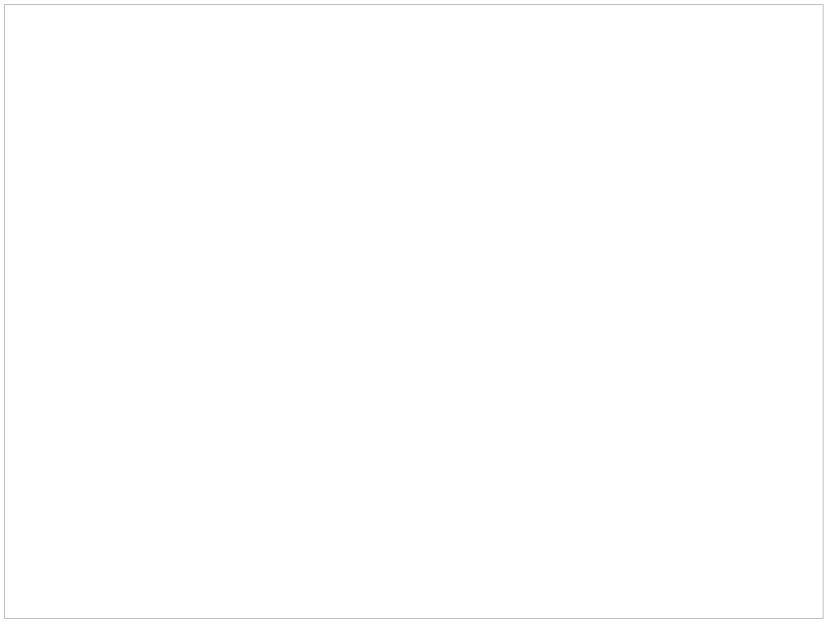


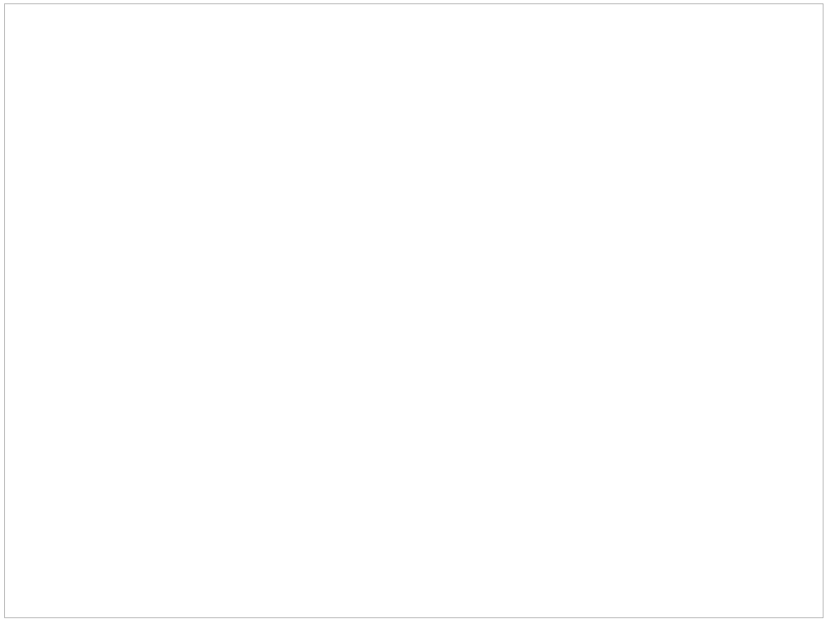


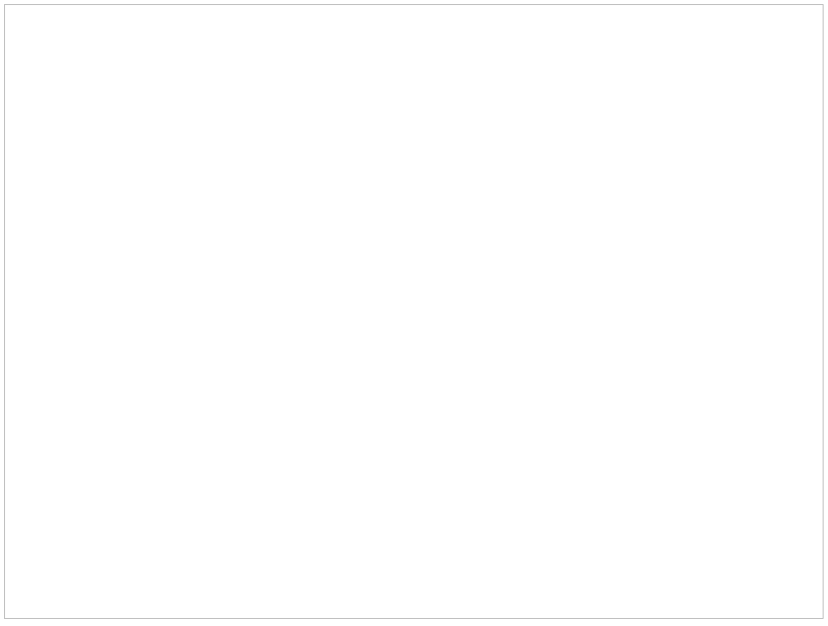


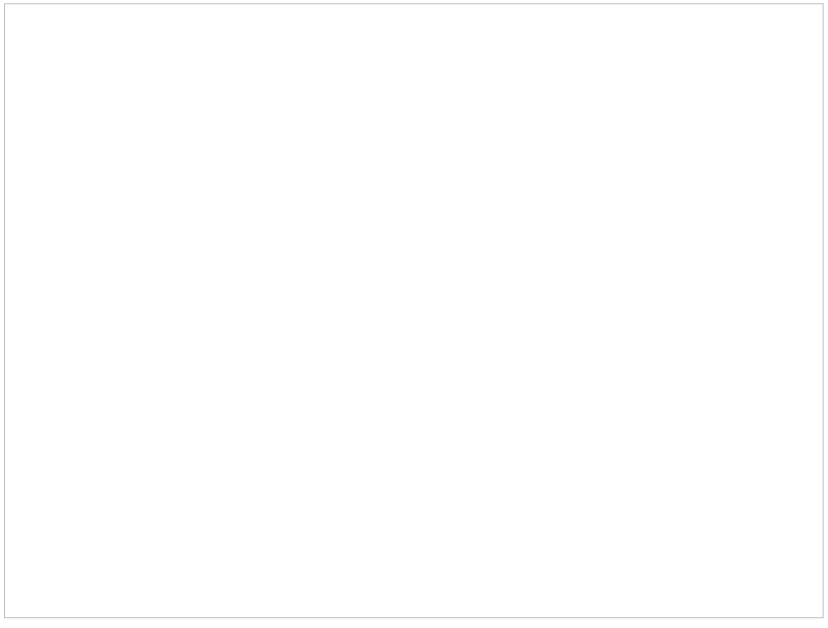


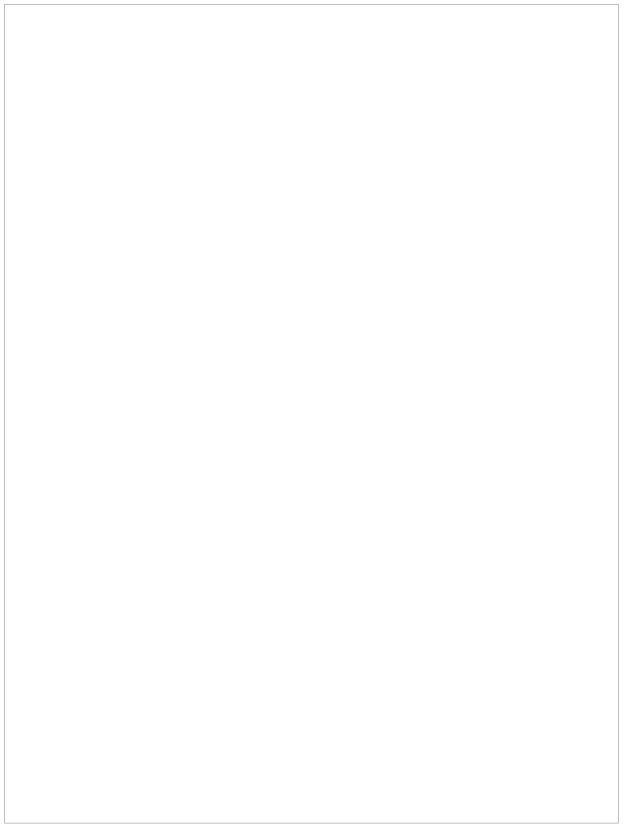


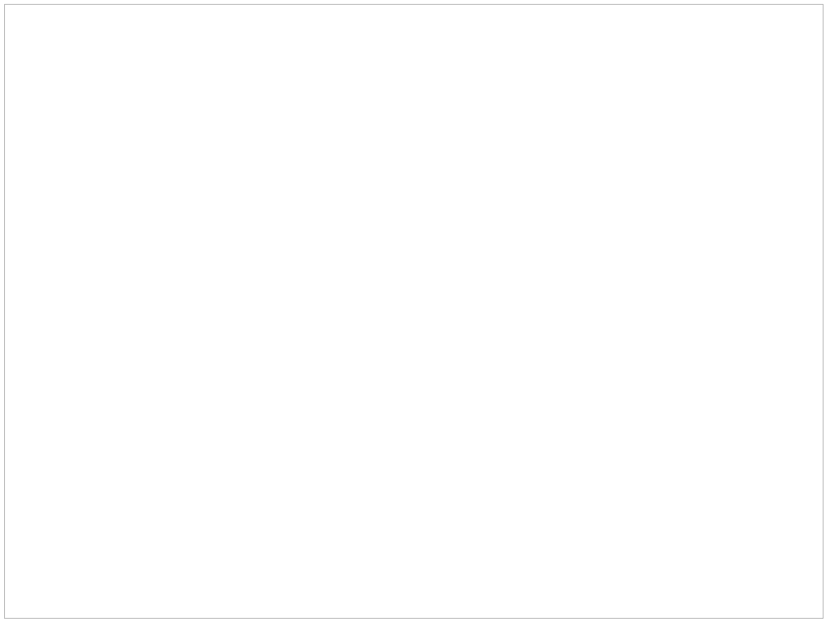


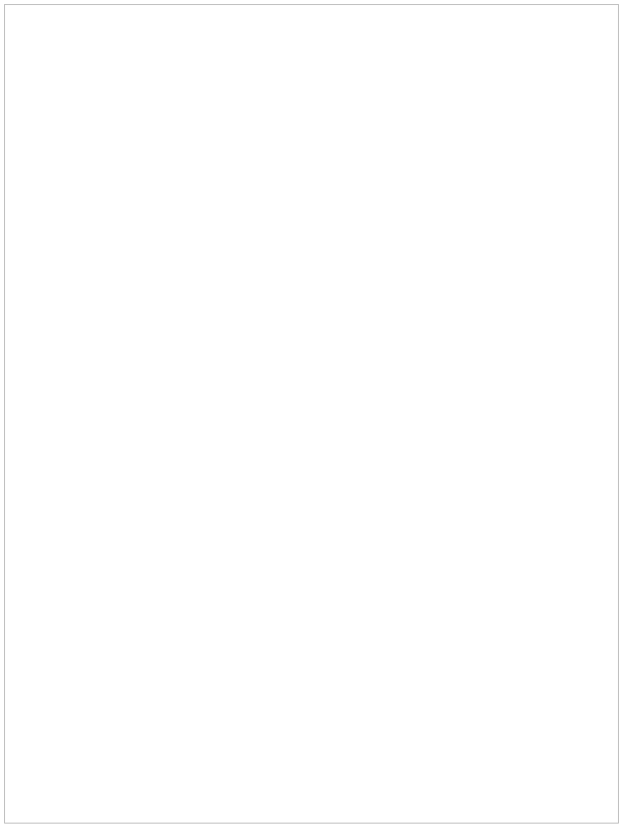


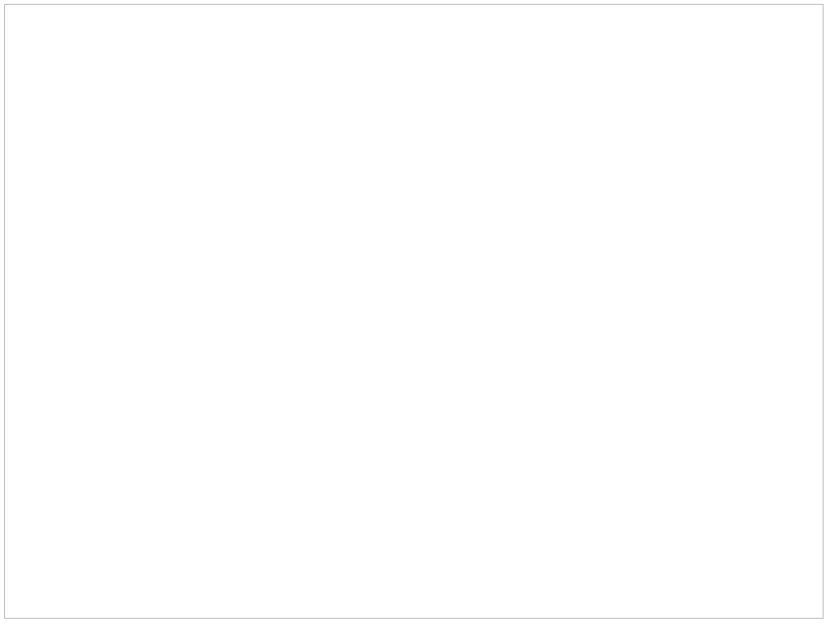


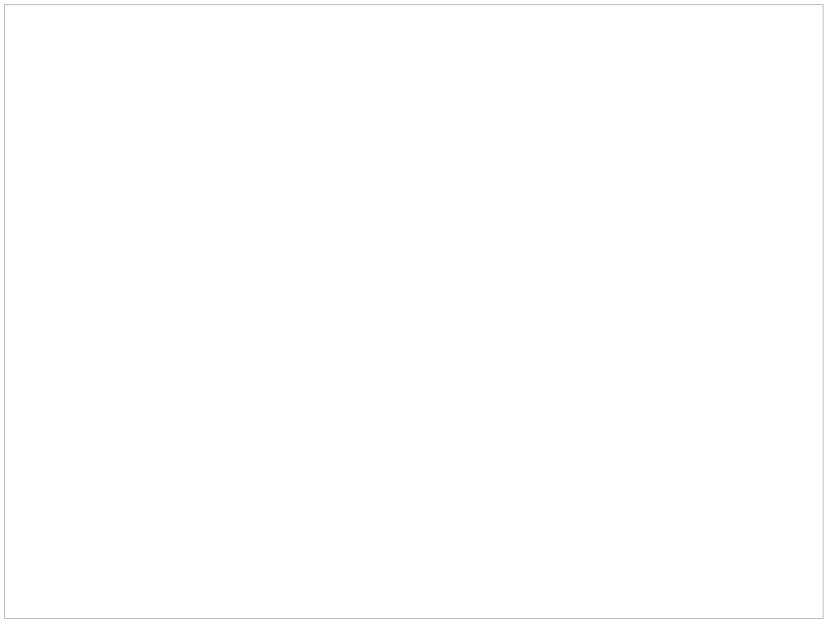


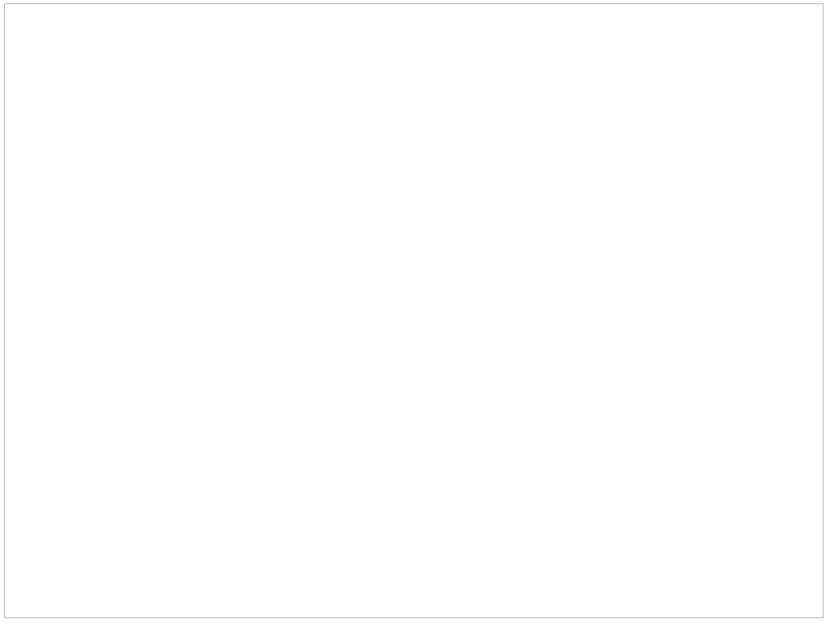


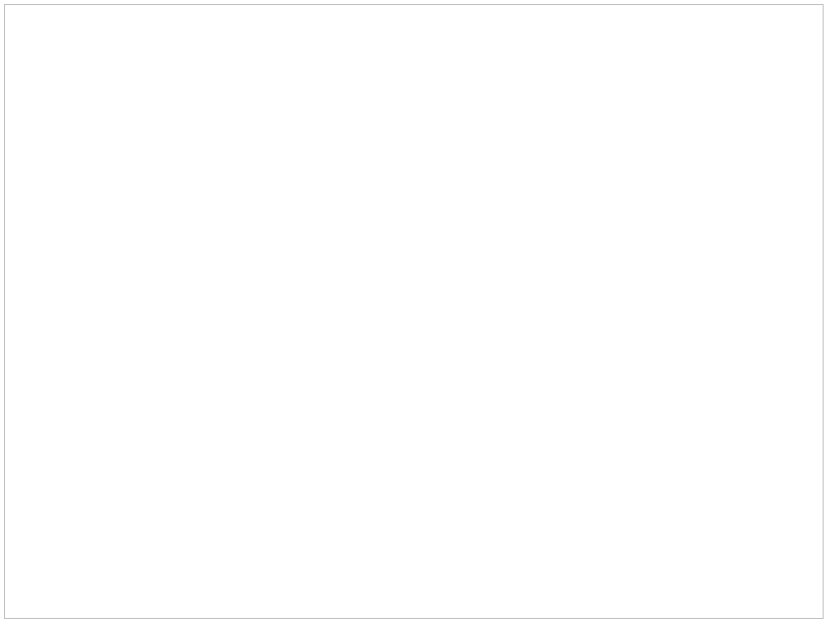


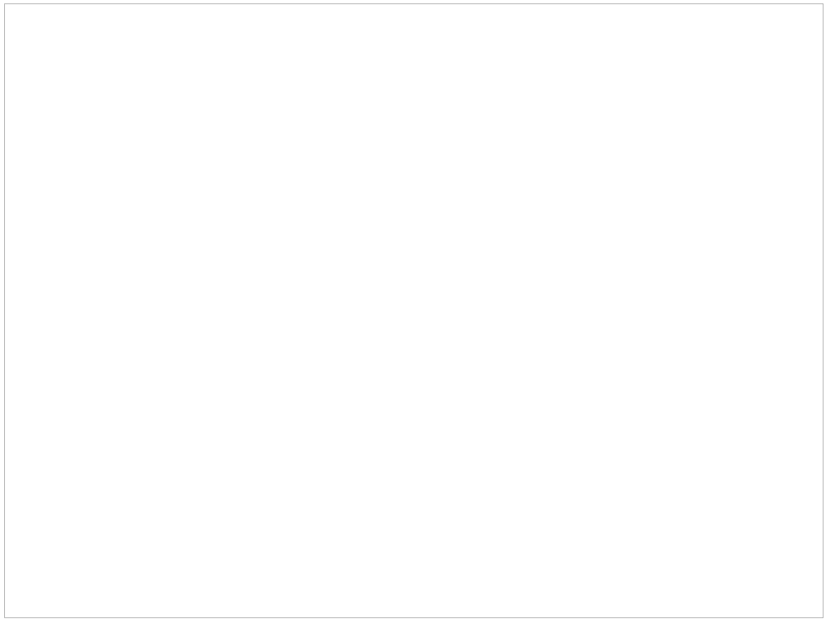


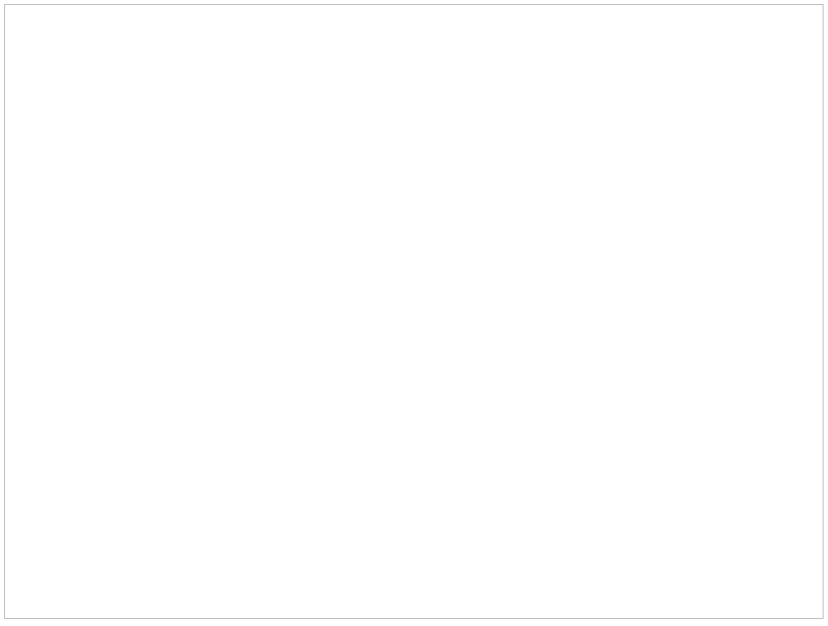


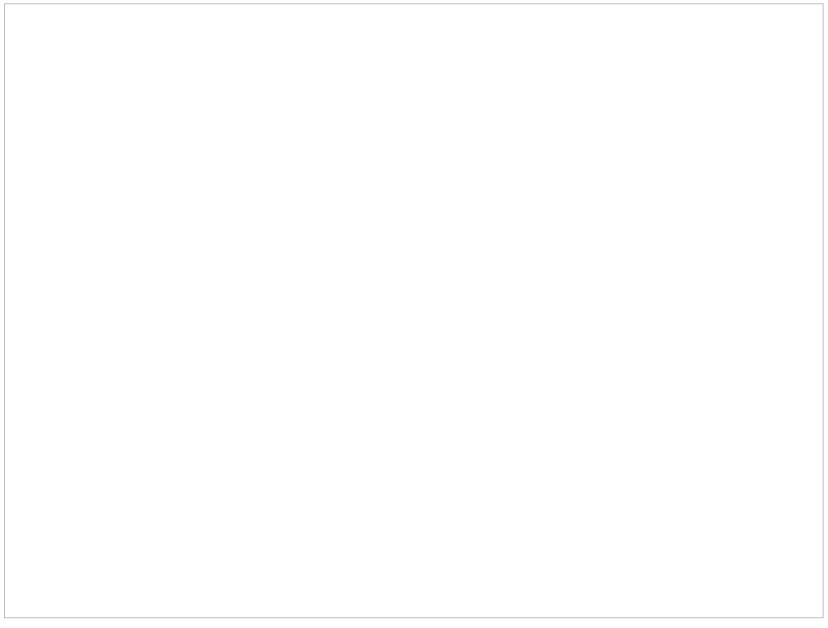


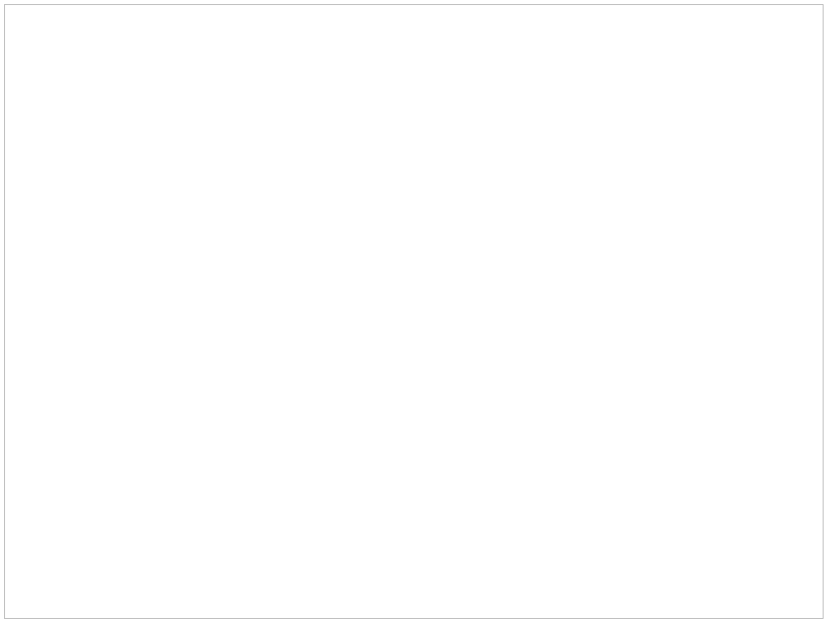


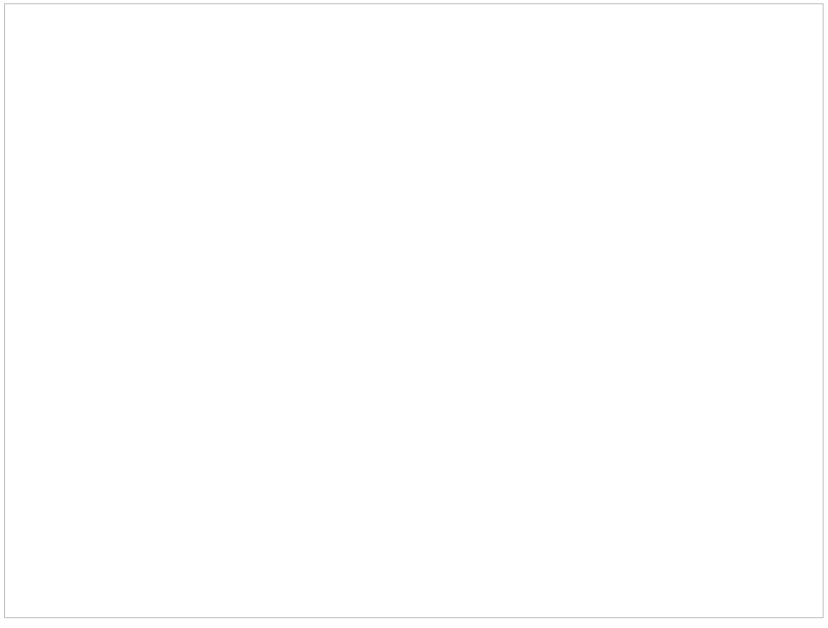


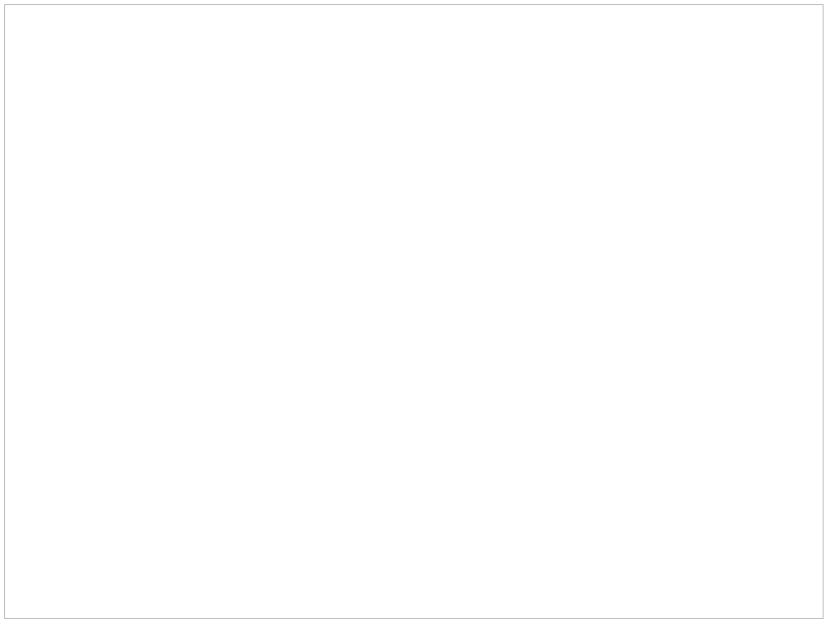


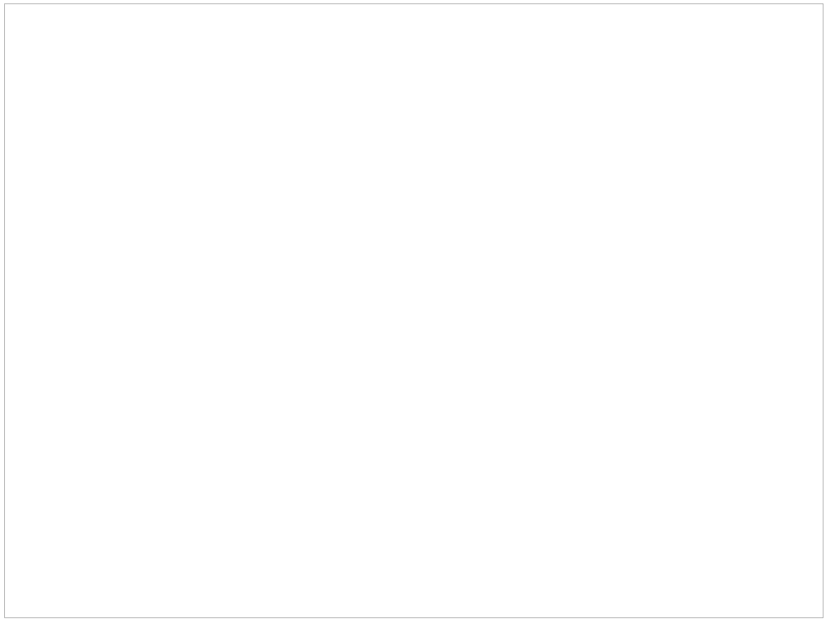


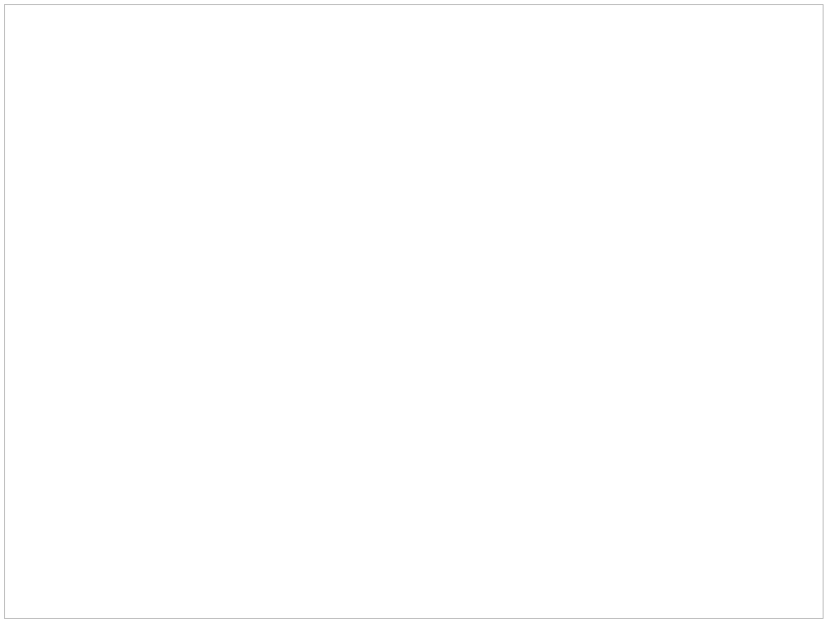


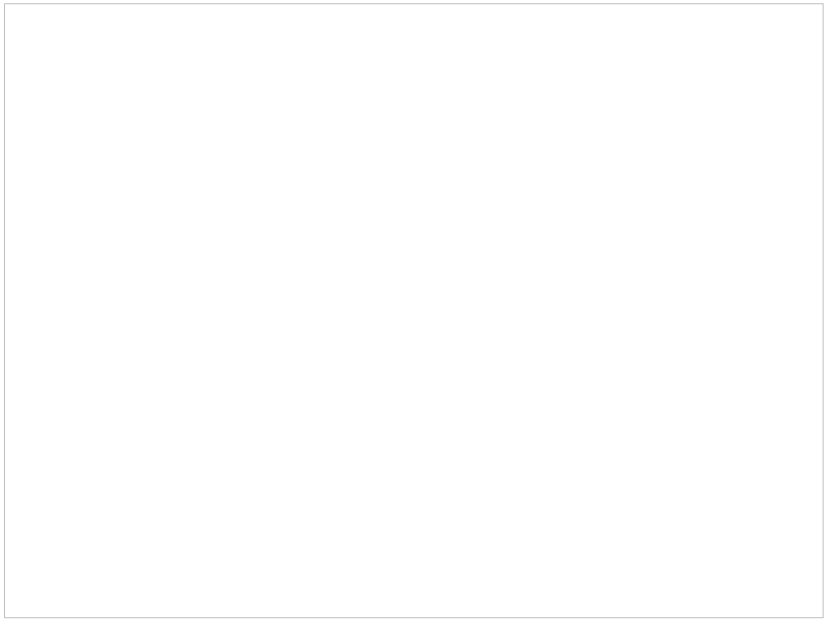


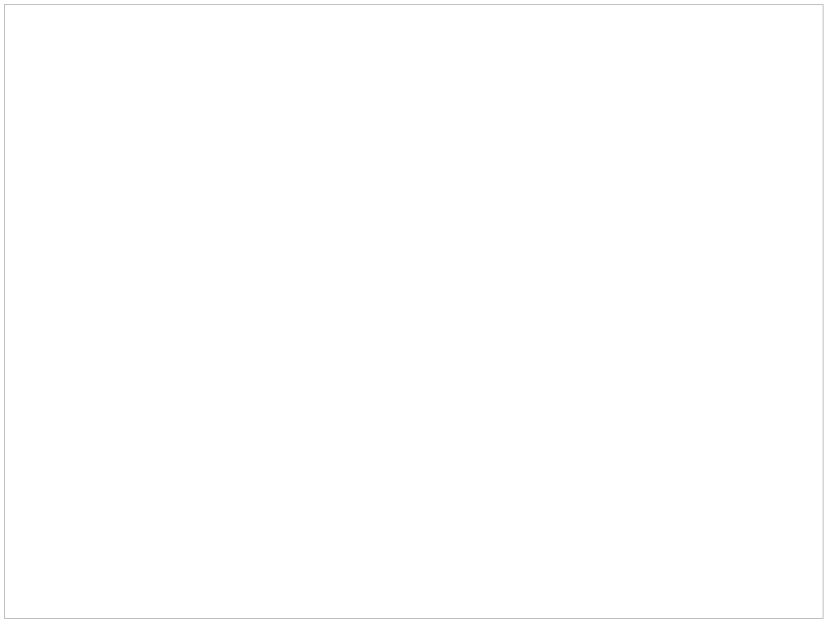


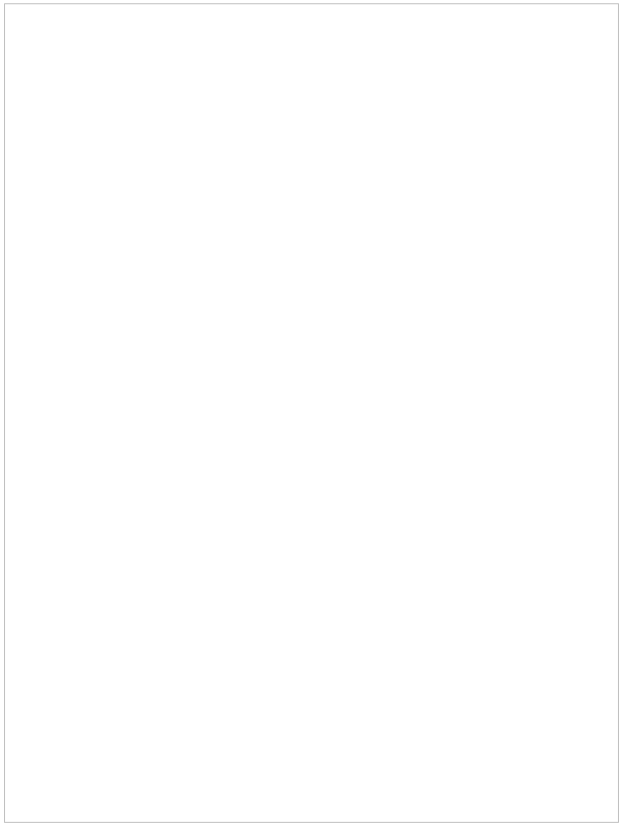


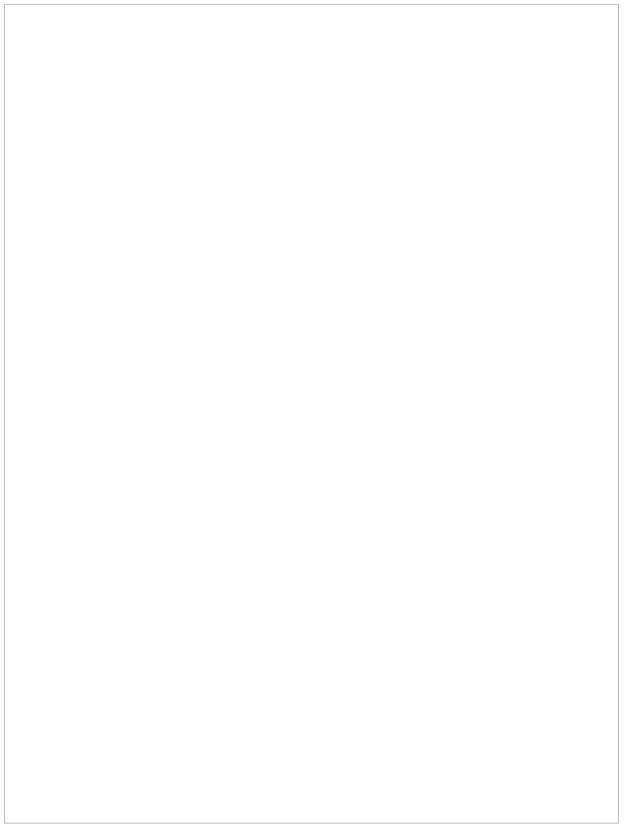


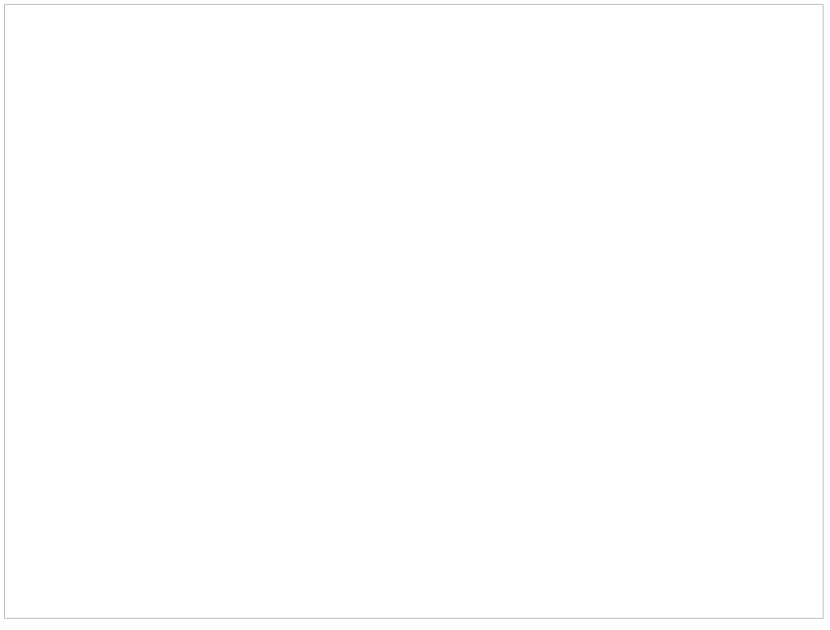


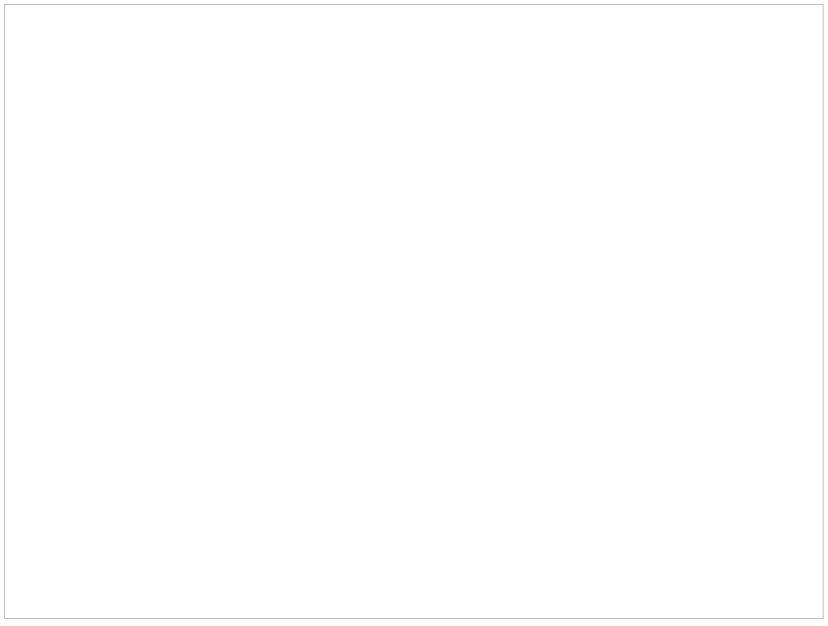


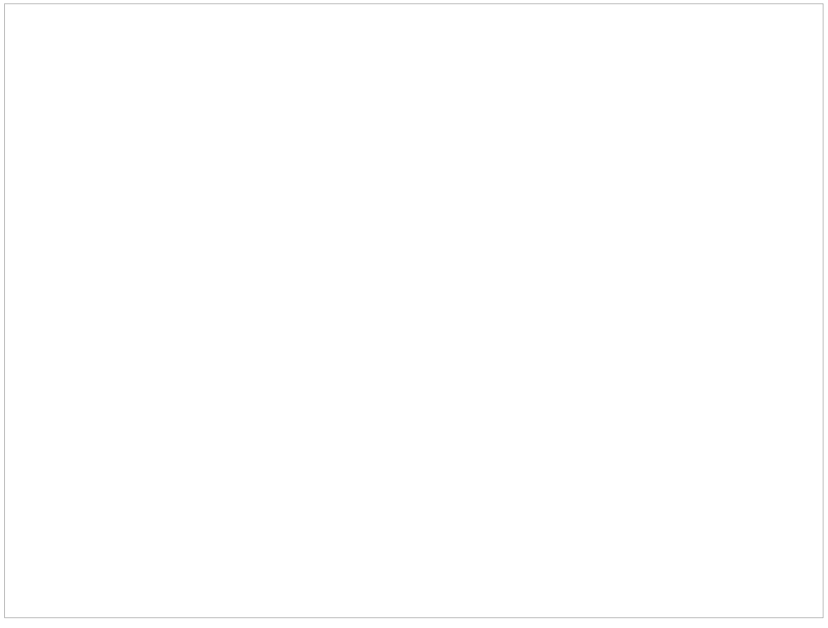


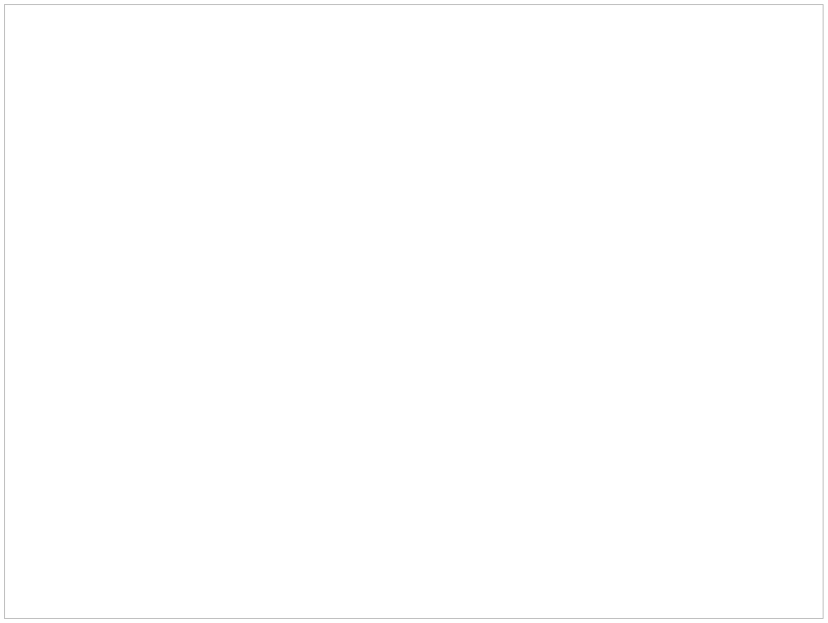












天然記念鳥　クマゲラ

ありがとうございます

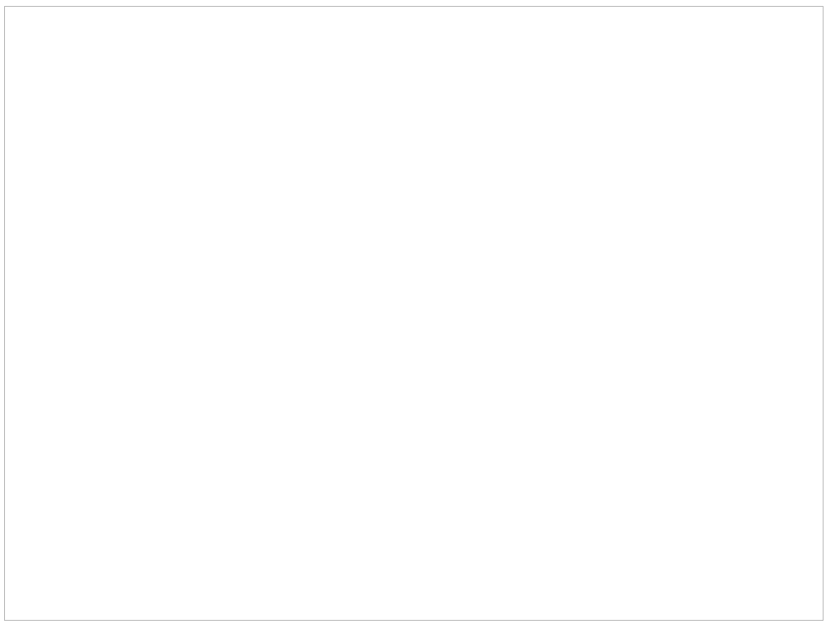
2009.05.05 Tue

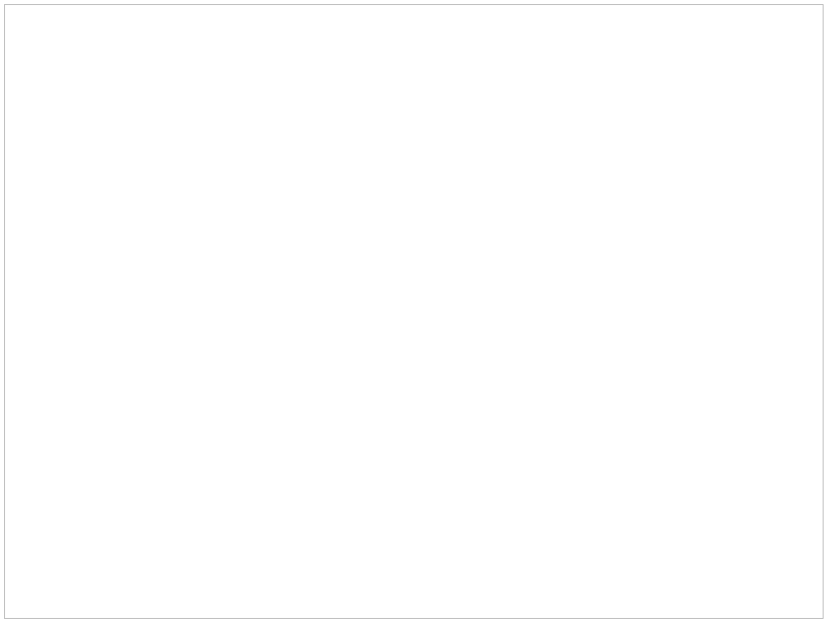
空知炭田の祈り

ゴールデンウイークに実家の芦別市に帰省しました。実は、帰省を決める前から石狩炭田（空知炭田・夕張炭田）のひとつの産炭地である芦別市に生まれた責任として、5月15日の夕張神事の前に、地元の炭鉱祈りをしなければいけないと感じていました。両親を連れて芦別市の炭鉱があった西芦別町と頼城町に向かいますが、芦別市の立坑は全て壊して埋めていますので炭鉱に勤めていた父の知り合いに立坑の場所を教えてもらいました。

●芦別炭鉱

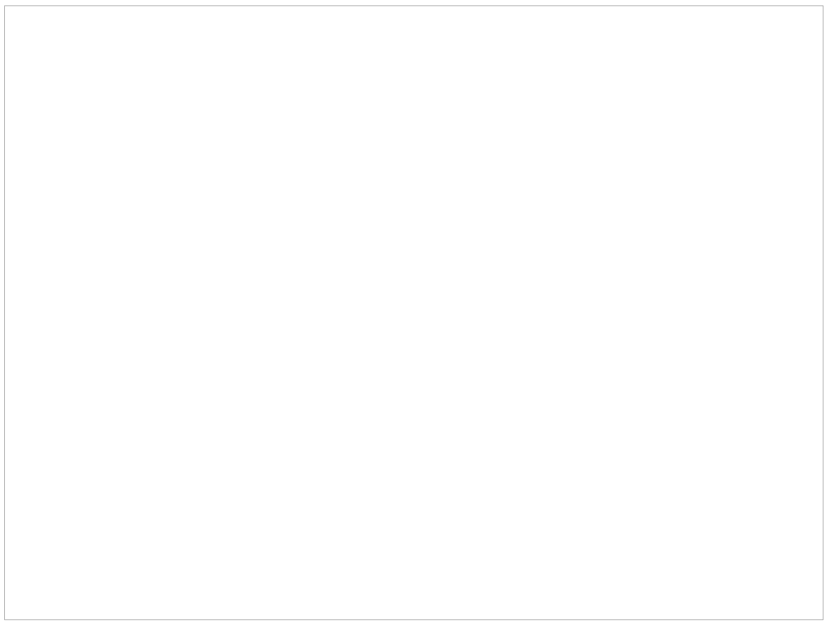
三井芦別炭鉱の第二抗跡地は、立坑の横にあった事務所だけが残っていますが、霊感の無い方でもその建物を見ると悲しい寂しい御霊たちが集まっているのがわかります。足下から湧き出ている水も、当時の掘削時に水で苦しんだ人たちの気持ちが伝わってきます。あふれ出るその水が溜まった場所こそ、立坑の場所だとわかりましたので、塩・酒・水を供えて御霊の鎮魂を祈りました。



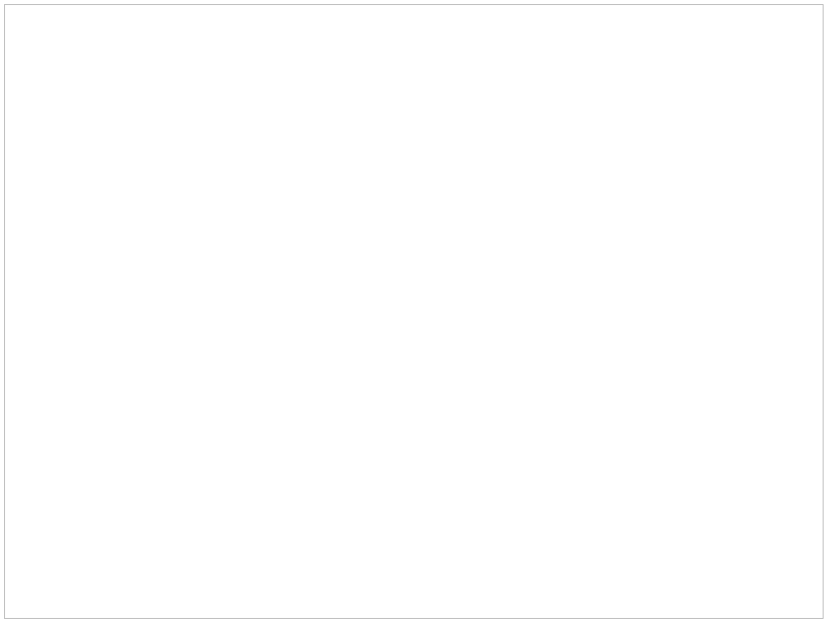


芦別市頼城町　三井芦別炭鉱第二抗跡地

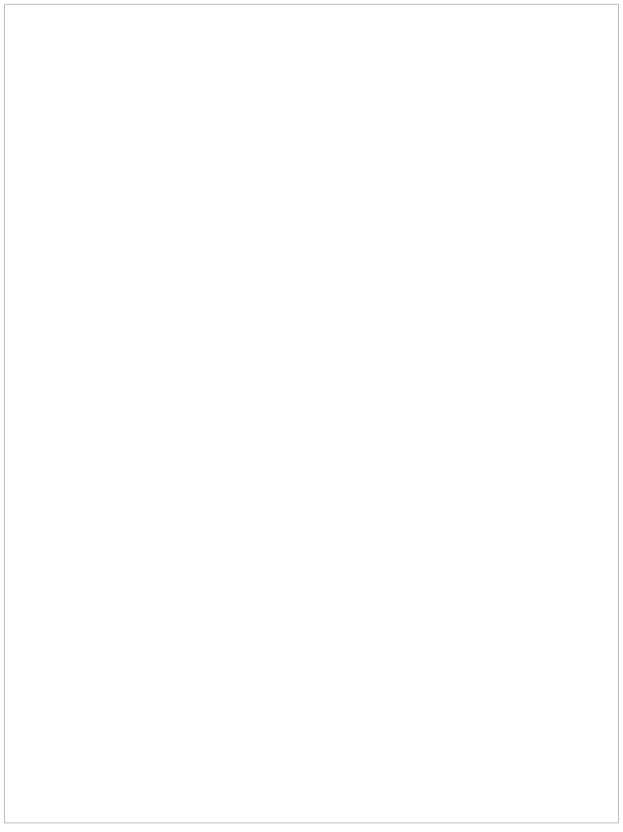
現在の頼城町警察署の前には、当時を偲ぶ「抗夫の像」だけがひっそり残っています。



続いて隣町にある西芦別町の三井芦別炭鉱第一抗跡地に行くと、そこは地元の会社が買い取った社屋の裏側にひっそりと当時の面影を残していました。ここの御霊たちはおとなしく納まっていますが、土地の下で亡くなった御霊の鎮魂祈りをしました。



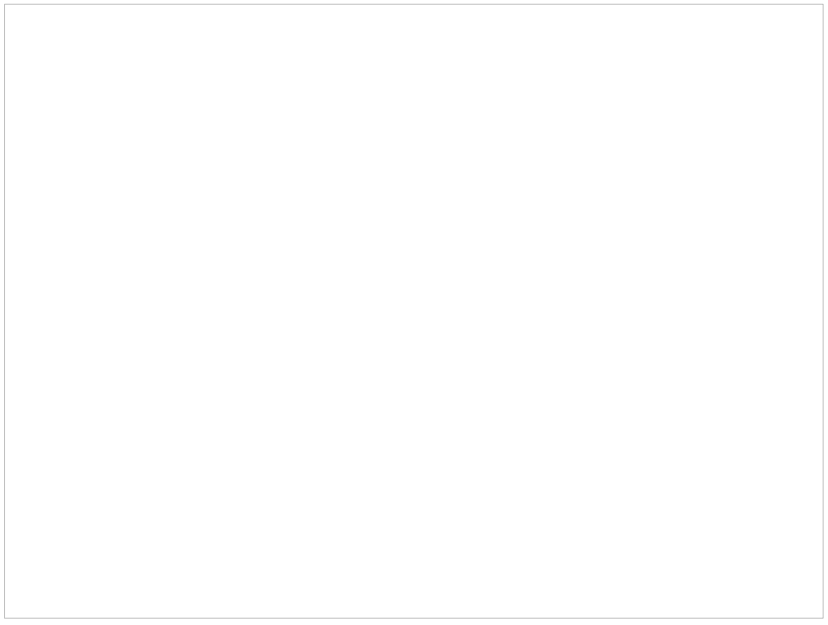
芦別市頼城町と西芦別町の二つの抗から出た石炭はこの専用列車で、全国の土地に運ばれていました。芦別には三井芦別炭鉱の他にも、三菱芦別炭鉱、油谷鉱業、高根炭鉱、明治鉱業があり、芦別五社として日本最大の産炭量を誇っていて人口も当時7万人を超えていました。1977年5月１１日に起きたガス爆発事故は、同級生のお父さんを含めて25名のお父さんたちが亡くなった痛ましい事故でしたが、私の高校３年生の記憶に今でも強く残っています。ご苦労されたご家族の皆様の感謝の気持ちを送ります。

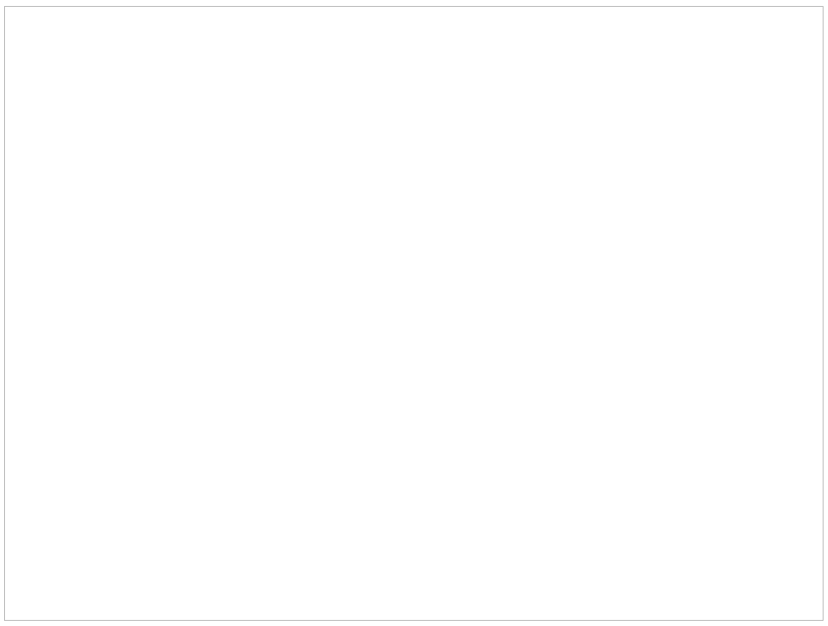


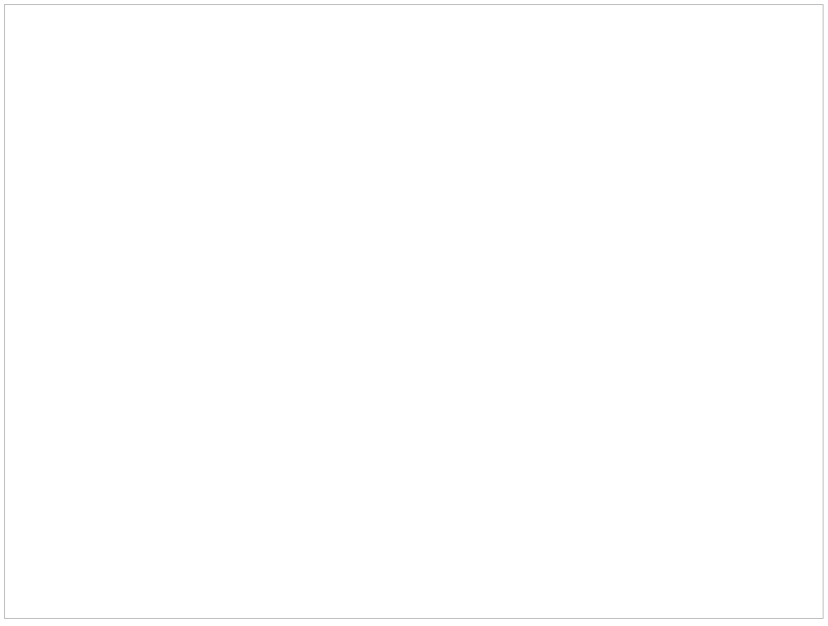
●赤平炭鉱

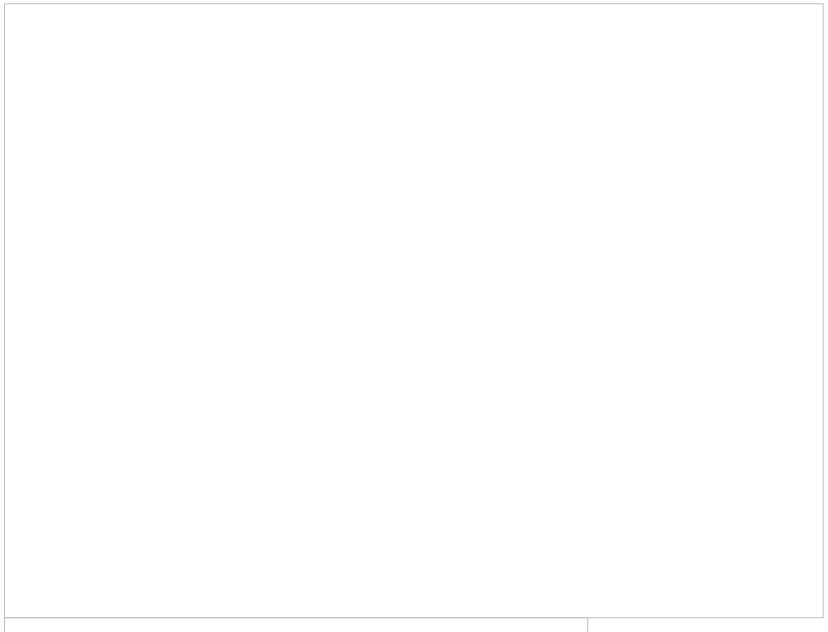
芦別市の祈りを終えて安心したせいか、翌日は、空知地方にある全ての炭鉱地を巡る事にしま

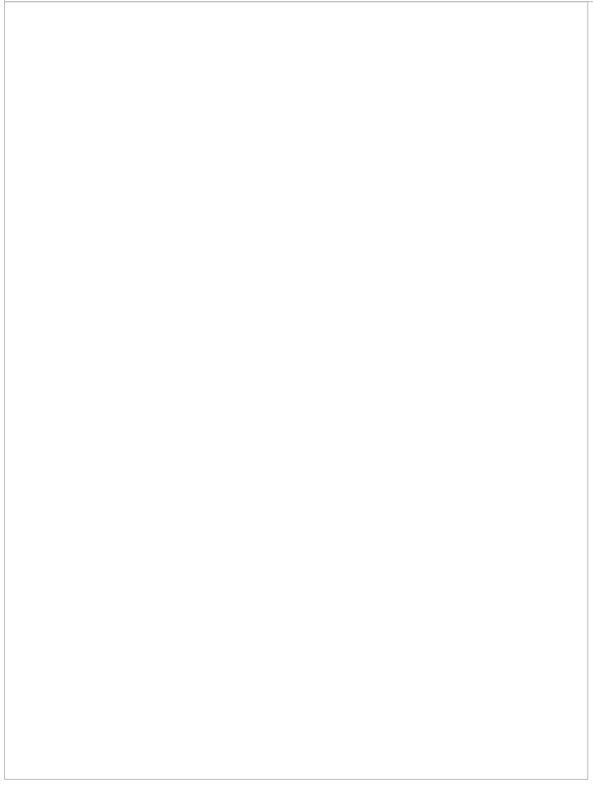
した。芦別市の隣町の赤平市にも大きな炭鉱がありました。「７７７段のズリ山」として有名な場所のすぐ横の立坑と建物は、その説明書きと共に今でも大切に守られているのがわかります。



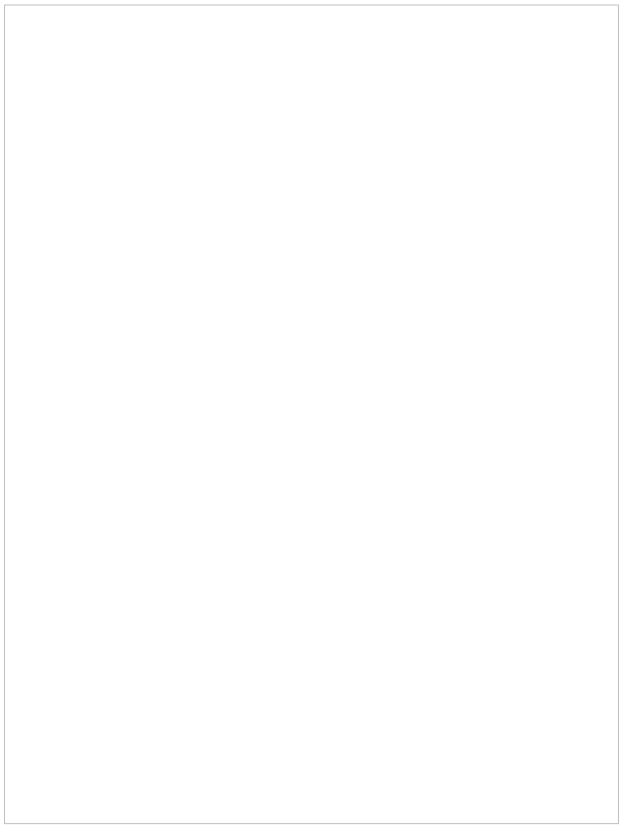






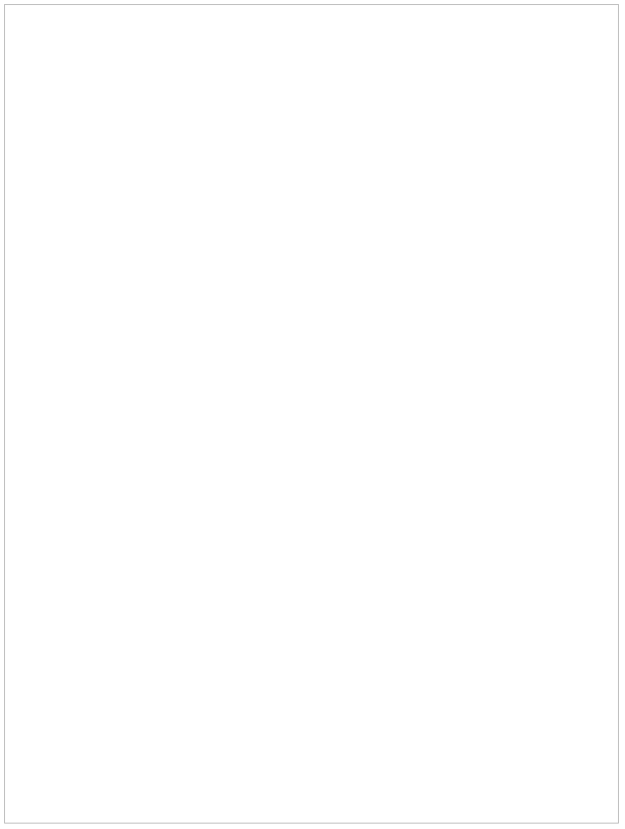


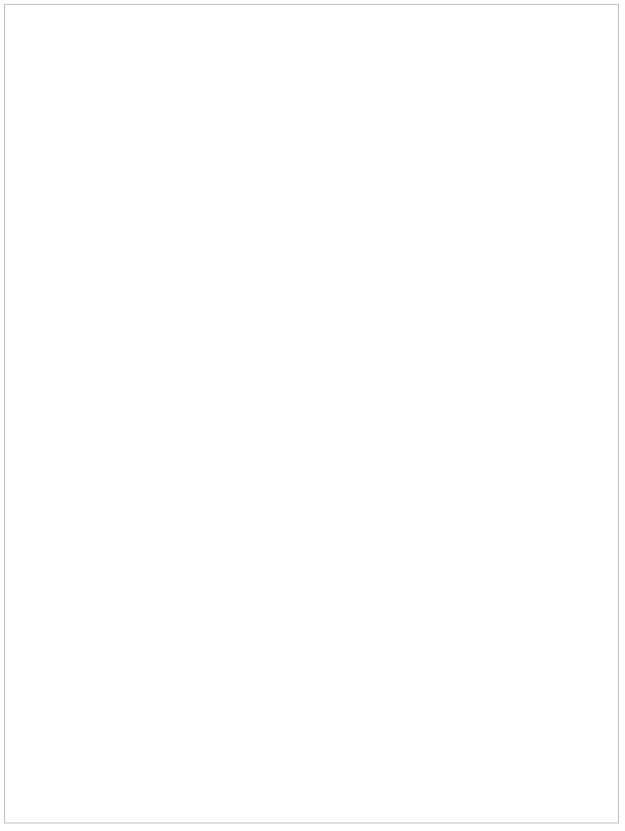
立坑の深さは、なんと６６０ｍ！夕張の立坑のエレベーターに乗った経験がある兄の体験談を聞いて、当時の炭鉱労働者の危険さがますますわかりました。一番下に降りてから数キロに及ぶ横穴に8時間もの間、出てこれない労働環境は、現在では考えられないくらいに危険な場所だとわかります。ここの御霊たちに鎮魂祈りをすると、太陽が感謝の色を見せてくれました。ありがとうございます。

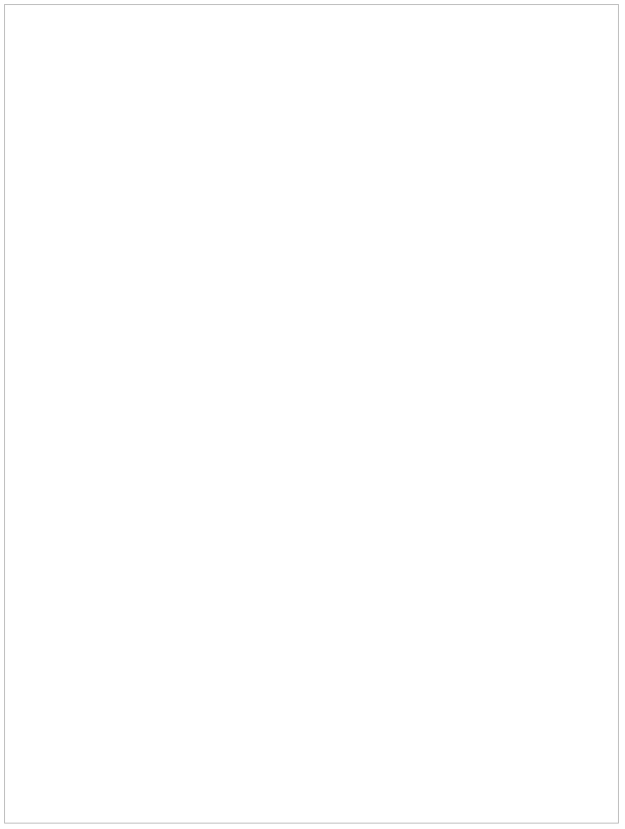


●歌志内炭鉱

赤平市の次は、歌志内市に向いました。歌志内資料館で当時の生活を知ったあと、一番多くの方が亡くなった北歌志内炭鉱の立坑に向かいました。映画「昨日、悲別で」の舞台になった悲別ロマン座の真向かいの丘の上にある立坑へ行くと、咳きこむほど御霊たちが集まっています。今でも土地の奥深くに眠る御霊たちが、その苦しみを訴え続けていました。たっぷりの水とお酒と塩を捧げて鎮魂祈りを捧げました。忘れてはいけない出来事のおかげで、今、私たちは今、生かされている事に感謝する人たちが増える事を願います。

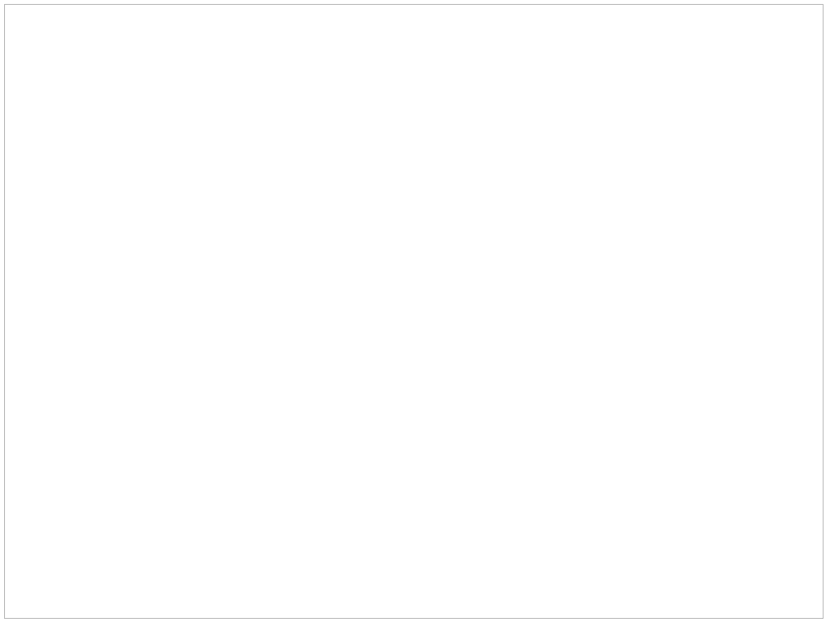


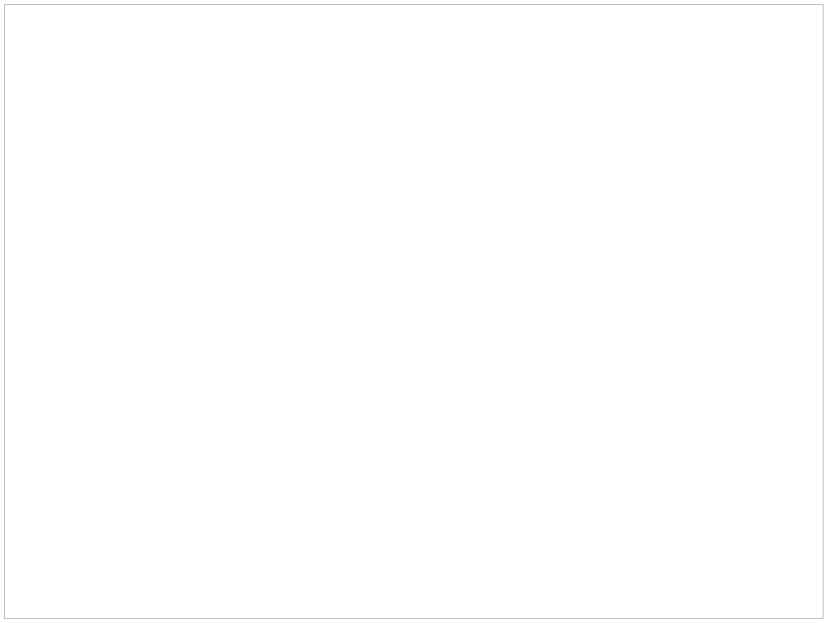


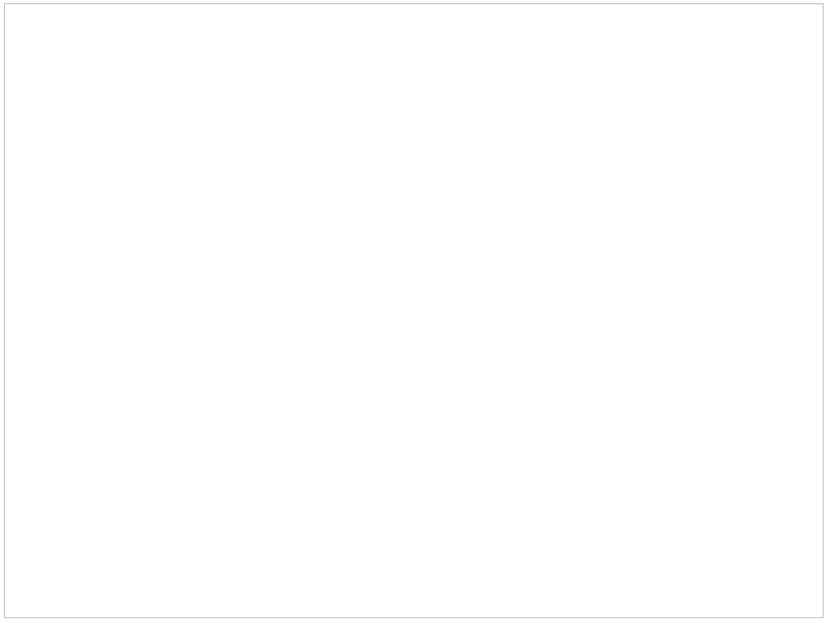


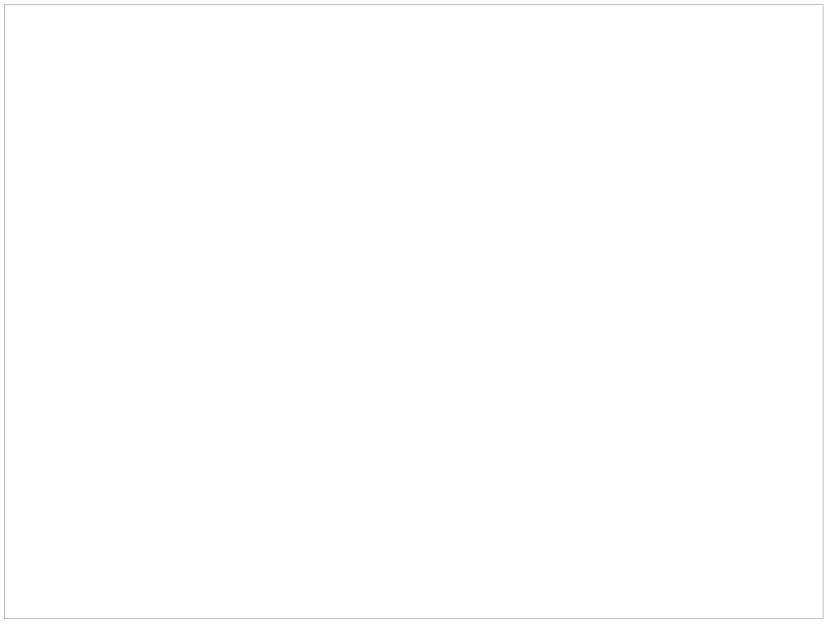
●三笠市北炭幌内炭鉱

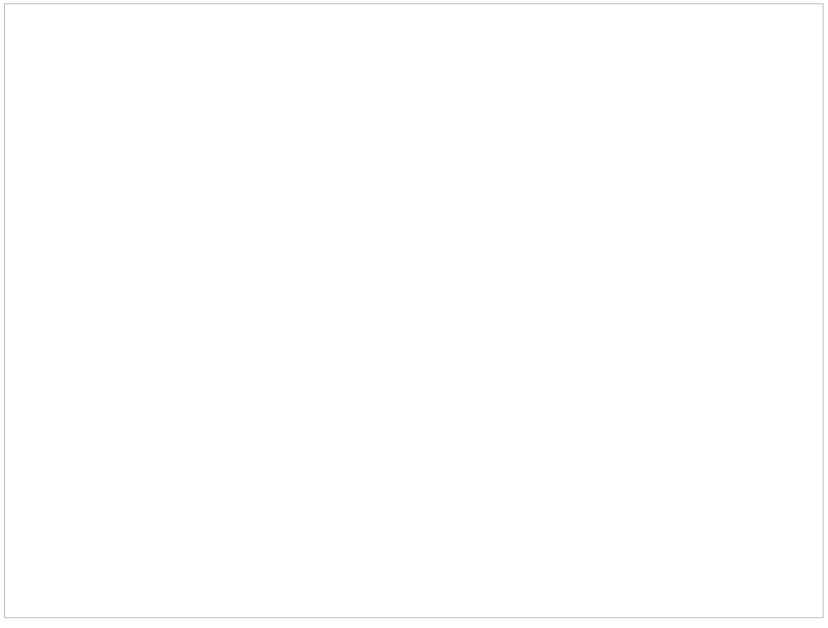
唯一、炭鉱の建物をそのまま残し、風化する姿を見せてたくさんの人に炭鉱の実態を伝えている場所が、三笠市にある北炭幌内炭鉱です。出荷する炭鉱列車を観て楽しめる「三笠鉄道村」のさらに奥には、コンクリートの残骸と共に当時の思いがその姿と共に残っています。御霊たちが望む場所で鎮魂祈りを捧げると、太陽がお礼に光の色を変えて感謝を伝えてくれました。ありがとうございます。

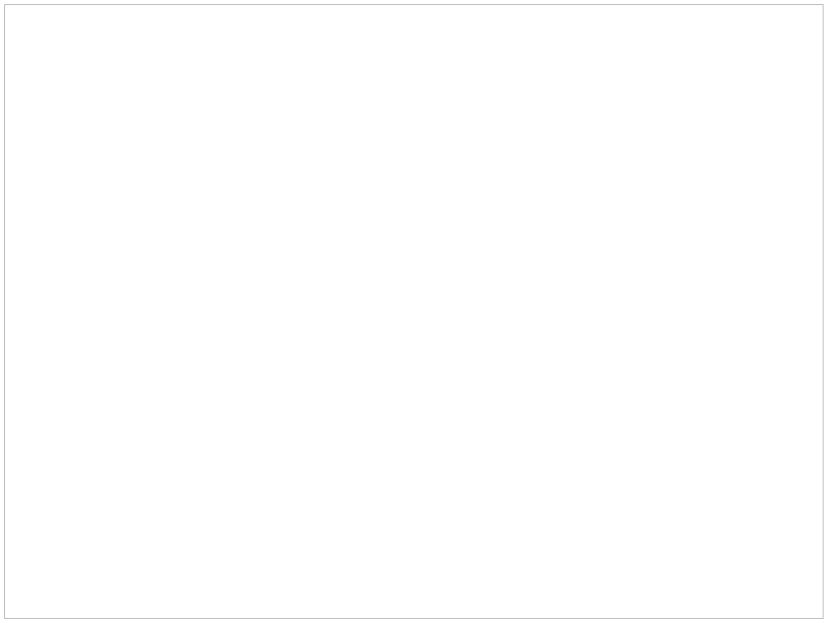












自分の魂が選んで生まれた土地の意味をわかり始めたのも、今回の夕張神事を決定したおかげですが、生まれた土地　芦別市に少しだけ恩返しができて本当によかったと思います。また、今回の空知炭田の祈りの間に、母が育った実家の家を取り壊すと聞いたので、家族全員で祖父母の家と土地に感謝する祈りができたのもおじいちゃんの計らいと感謝でいっぱいです。

父と母、妻と兄夫婦が、私の祈りをそばで見守ってくれた事にも心から感謝しています。いずれ失う肉体や建物だからこそ、今、生かされている事に感謝できる仲間たちと共に行動したいと思います。

5月15日（金）　夕張神事・全国土地祈り　昼12：00〜13：00

※地球創生メールマガジン（登録無料）

2009.05.04 Mon

地球内宇宙メッセージ

「宇宙」という言葉のイメージには、星空が広がる大きな宇宙空間を想像する方が多いと思いますが、実は、私たち人間が住むこの地球の内部にも「宇宙」が存在している事をご存じでしょうか？

わかりやすくする為に、星空が広がる宇宙空間の生命体の事を「地球外生命体」と言いますので、地球外生命体がいる宇宙の事を「地球外宇宙」と呼ぶことにします。そして地球の内部の宇宙を「地球内宇宙」と呼ぶ事にしましょう。

なぜ地球の内部のことを宇宙と言うのかというと、地球が誕生する時の事をご存じならわかると思いますが、ひとつの星が誕生するまでに「宇宙のおおもと＝マスター」の意思と言える大きな力が宇宙空間に働いて星は出来ますので、物質として見える世界にある物も、空間や星の内部のように目に見えない世界にあるものも、同じマスターの意思が生み出したものである事から、どちらも「宇宙」と呼ぶことができます。

※私の説明するマスターとは、全宇宙の全ての創造主という意味ですので、複数ではなく「ひとつ」しかないことをご理解下さい。

銀河系のようにひとつの小宇宙の星たちが誕生する時には、まず最初にマスターの意思が大きなエネルギー体として現れます。その大きなエネルギー体の力で宇宙空間のエネルギーバランスが変わり、エネルギーが渦を巻きながら星の破片や宇宙空間に浮遊する物質を集めて、太陽ができたり星ができ始めます。

ひとつの星が誕生する時の星の意思は、純粋な真っ白なものではなく、それまでに誕生し崩壊した地球外宇宙で経験した星の記憶などの「集合意識体」になります。当然、その破片には存在した星の生命体感情や記憶も刻まれているのです。

※この地球外宇宙で経験し感情の記憶を　「宇宙カルマ」　と言います。

ひとつの銀河や星を誕生させる宇宙の大きなエネルギーは、無から有を生み出す力を持っていますので、皆さんが神と呼ぶ守護存在エネルギーや自然界に存在する生命体などの全て物質や有機物を生み出す力を持っています。またマスターは、地球外宇宙で経験した星の記憶を封じ込めて

、新しい星としての働きができるように全ての過去の記憶もリセットしてくれています。

これは人間が生まれる時のように、肉体が生まれる時に過去の魂の記憶を消す作業の事ですが、新しい希望と夢を実現させる為に生まれさせた魂本来の役目を果たすためのマスターの意思なのです。

ここ最近、前世の記憶をフラッシュバックのように突然、思い出す人も多くなっているようですが、この人間の魂の前世記憶の前にさらに「宇宙カルマ」と呼ばれる地球外宇宙の星にいた記憶も、実は人間として生まれた全ての人が持っています。

※この地球外宇宙で経験した記憶が集まったデータバンクの事を　アカシックレコード　と呼びます。

地球ができる時に集まった星クズやチリも、過去の地球外宇宙で起きた出来事の記憶の集合体ですから当然、そこには多くの知恵も情報も感情も含まれていますので、神意識や霊界と呼ばれる周波数に繋がる電波は、地球外宇宙から届く電波の他に、実は、地球内宇宙からの電波も受信している事も覚えておいて下さい。

この地球内宇宙からの電波こそ、たくさんの人が亡くなった不浄な土地から感じる負のエネルギーそのものですし、さらにそのもっと奥底から湧き上がる宇宙の負の記憶エネルギー情報なのです。

昨日（4/29）、５月１５日に行う夕張神事に対して、地球の核を守る大きな存在からメッセージが届きました。

内容は、５月１５日の祈りは、地上で人間が起こした人間同士の負の感情エネルギーだけではなく、自然界全ての負の感情エネルギー、そして過去の地球外宇宙の記憶を持つ地球内宇宙の負の感情エネルギーの全てを一掃する祈りにして欲しいという事でした。

人間のカルマを一掃する為に、これまで高次元に繋がる人たちが世界中でたくさんの祈りを行ってきましたが、地球内宇宙にひそむ宇宙カルマを持つ存在たちは、人間と同じように過去の負の記憶エネルギーに悩まされていました。

歴史的な最近の出来事で言えば、海に沈んだムー大陸の人たちの記憶やレムリア文明の人たちの古い記憶の事だとご理解下さい。この過去の情報をさかのぼれば、地球外宇宙の星の記憶にまでさかのぼりますが、５月１５日の浄化転生祈りは、アカシックレコードの書き換えにも繋がる祈りになるということです。

なぜ今回の夕張神事に、地球の核を守る存在がメッセージを伝えてきたのかですが、それは地球や人間を消滅・崩壊させずに「新しい地球」を生み出す為だとご理解下さい。地球上で人間がこれまでしてきた事を考えれば、いずれ人間も地球も消滅する時がやって来る事は、本当は皆さんもご存じのはずです。実際にこれまで大きく二度、地球の人類は消滅しています。

いずれ消滅する事がわかっている地球になぜ今世、あなたが生まれたのでしょうか？何の為に肉体を持ち、何の為に魂の役割を果たすのかを思い出した人たちは、５月１５日の祈りで地球上の全ての土地の浄化と地球内宇宙の浄化転生の祈りにご協力下さい。

不浄な御霊上げを上げる場合、いくつかの方法があります。上へ上へあげる祈りの方法と、下へ下へさげて、地球の核に繋ぐ祈りの方法です。知っておいてほしい事は、現在の地球の核は、２００７年に「天の岩戸開き」をしてから直接、全宇宙の創造主マスターに繋がっていますので、地球の核へ向けて祈る御霊上げは、高次元の知識が無くてもできる御霊上げの方法です。ご自分の得意な意識チャンネルで行って下さい。

今回の夕張神事は、北海道や日本の土地浄化だけではなく、地球の内部に眠る全ての不浄な記憶や魂を宇宙の大元であるマスターのもとへ戻す祈りになりました。宇宙意識についてご説明したのも今回が初めてですが、この事実を知った方は、人間の存在の理由とも言える今回の夕張神事に祈り合わせをお願いします。

祈りにご賛同いただける方は、祈る場所の連絡は不要ですが、地球創生メールマガジンに登録するか、直接、こちらへお名前とメールアドレスをお知らせ下さい。今後は、地球創生の情報をお送りします。

直接、夕張神事に夕張に集まる皆さんは、この１時間以外にも夕方まで多くの場所を祈ります

ので、御心を合わせて下さる皆様の祈りエネルギーを宜しくお願いします。

●夕張神事　　２００９年５月１５日

全国の祈り時間：　お昼１２：００～１３：００

目的：　夕張・北海道＆全国の不浄な土地＆地球内宇宙の浄化祈り

2009.04.30 Thu

聖地　然別湖温泉ホテル風水　源泉祈り決定

いつもありがとうございます。本日は、６月１日に行います然別湖神事のご案内です。

北海道の聖地　然別湖温泉ホテル風水のおかみさんと村上神主のたっての依頼により、土地神様から頂いている温泉の恵みに感謝する源泉の祈りを行うことになりました。

源泉祈りをする日に守り神が降りる事は以前から決まっていた事ですが、ホテルを支える人の気持ちも無事整い、６月１日を毎年恒例の源泉祈りの日として行いますが、今回は聖地　然別湖に感謝する皆様とご一緒に第一回目の祈りを行いたいと思います。

なお、同日午後からは、然別湖を見守るくちびる山（天望山）へのぼる登山神事も行いますので、御都合が付きましたら、どうぞ御一緒にご参加下さいませ。

１、スケジュール

６月１日　午前１０時より　然別湖温泉ホテル風水　源泉祈り
　　昼食
６月１日　午後１時より　　くちびる山（天望山）1174ｍ登山神事　上り９０分下り70分予定
　　暗くなるまでに全てを終了
　　宿泊予定者は　夕食＆懇親会
６月２日　日の出祈り　解散

２、参加費

Ａ，　６月１日～６月２日　　１泊宿泊　及び　神事参加者
　１泊２日（２食付）　１５，０００円
Ｂ，　５月３１日～６月２日　２泊宿泊　及び　神事参加者
　２泊３日（４食付）　３０，０００円
Ｃ，　６月１日　神事のみ参加（宿泊なし）　　無　料

３、移動手段

Ａ，６月１日　朝５時　苫小牧より自家用車で移動
Ｂ，５月３１日　札幌より　車で移動　が決まっています。
Ｃ，ＪＲで新得駅・お迎えバス

４、宿泊先　然別湖温泉ホテル風水
〒081-0344　北海道河東郡鹿追町然別湖畔
TEL:0156-67-2211 ／ FAX:0156-66-3331

５、お申し込み
　５月１０日まで　吉岡にご連絡下さい。
　お申し込みの際に宿泊日数、登山参加の可否、
移動手段などをお知らせ下さい。

主催　ハートランド龍球　代表　吉岡学
E-mail　yoshioka@heart-land.biz　　090-3390-8058
2009.04.29 Wed

4/26 エネルギー上昇日

4/26が４月最大のエネルギー上昇日だとスピリチュアルカレンダーでご存じの方は、きっと大切な時間を過ごされた事と思います。私たちの若い仲間二人も、この日に合わせてそれぞれ新しく自分のお店をオープンしましたので、夜は土地の人を大切に思う仲間たちが苫小牧に集まり、お祝をしました。

この日、私たち３名は朝から夕張神事（5/15）の準備の為に夕張へ出向き、お坊さんから土地の話を聞き、一緒に大切な場所で祈りを行いました。前日からの冷え込みはさらに厳しく、祈りの時間は、吹雪と強風の中で行いました。土地の浄化をする為に、天地神も浄化のお手伝いをしてくれたと感じています。

１０万人の朝鮮人労働者たちの話は、具体的にその実態の話が聴けました。事故や戦争で亡くなった方たちに加えて、あるゆる人が多くの犠牲を強いられていましたが、この話も北海道の開拓だけに限らず、地球上の人間が住む土地全てに起きた事実なのです。

私たちはあるゆる民族の血と汗と思いのしみ込んだ土地に上に住んでいますので、この事を子供たちへ正しく伝えなければ、亡くなった御霊たちの思いも成仏しません。事実を知り、全てを受け止め、そして、全てに感謝することが、今の私たちには必要です。

私たち大人は、先人たちが大切に守ってきた精神を引き継ぎ、次の世代へ渡す役割が全員にあります。それは「人としてうまく生きること」よりももっと大切な「生かされていることへの感謝」の心を伝えることです。

地球上に存在するすべての物には、魂があり、命が宿っている事を大人であるあなた自身が伝える役目だと気づいて下さい。そして以前、私は神にこう教わった事があります。

無知は　罪である

知らなかったでは済まない事がある事を全ての大人たちは、自覚しなければいけません。私たち霊能者がいつも神や霊に問われている事は、このことなのです。

どうぞ、ご自分の土地の歴史や出来事をよく学び、子供へ教えられる大人になって下さい。教科

書に書いてない事や本に書いてない事を聞けるのは尊い年長者の体験話ですから、足を運びよく話を聞いて、それを若い人たちへ伝えて下さい。これは「親」として、大人としての最も重要な役割ですので、どうぞ宜しくお願いします。
2009.04.28 Tue

土地の歴史

夢の中で人々の悲惨な情景を見せられ朝４時に起きた理由は、夕張神事の準備として　「石狩炭田」や石狩炭田での朝鮮人労働の事実を詳しく知る必要があったからだとわかりました。

2003年から行ってきた北海道神事でも、北海道開拓当時にあった第三国人の強制労働の事実がいくつも判明していましたのが、今回の出てきた人数は過去にない、のべ１０万人におよぶ強制労働の実態です。

私が知る範囲だけでも、北海道の開拓に関わった人たちは、刑務所の流刑者たちや非人道的な「タコ部屋」の人たちなど、たくさんの人がみじめな死に方をしています。さらに誰もが事実としてと認めたくない事ですが、実際にあった「人柱（ひとばしら」についてもたくさんの事実が浮き彫りになってきています。

この特別とも思える北海道開拓当時の出来事は、実は、全国的にも起きている事実なの事ですが、現在、その事を子供たちに伝えられる親はいるのでしょうか？私たちが今、知らなければいけない事は、こういうたくさんの思いを持って命を失った人たちの土地の上に住んでいるという事です。だからこそ、自分の住む土地に感謝する「土地祈り」の重要性を伝えているのです。

日本人が戦争中に侵略した土地でしてきた非人道的なことも、ほとんどは伝えられていませんし、いつの時代も隠された事実を知る人は、その口を閉ざしてるからです。でも、実際に亡くなった御霊たちの想いやその家族の想いを感じる心は、今、生かされている感謝の心の根底に必要なものなのです。

自分の土地に感謝する心が無い人が、他人へ感謝の心を伝えたとしても愚かに思えるのは、私だけはないと思います。生かさせて頂いている感謝の心は、失った尊い命に対する責任もあるのだという事を私たち人間は、後世に伝えていかなければいけないと思います。

地球上の自然界や動物界は「死」に対する想いが、土地に残る事はありません。生死を含めた全ての出来事が、宇宙の循環節理の一部だと知っているからです。先住民族も同じように、こういった生死に対する心構えを長老が子供たちに伝えていました。それが、自然神に対する感謝の祈りだったのです。

現在の人間のように、土地に感謝する事を忘れ、先人や先祖に感謝する事を忘れた結果、不浄御霊たちのマイナスエネルギーが、不安定な心に影響していることをわかって下さい。

真実は、常に隠され続けて２０世紀だったからこそ、この２１世紀は、事実を受け止める勇気と大きな愛を皆さんにお願いします。真実の愛は、どんなく苦しくても、全てを受け入れ続ける「寛容の心」から始まります。

５月１５日、夕張の地から祈る愛のエネルギーは、自分の土地を愛する人たちの祈りに繋がり、大きな愛のエネルギーとなって宇宙に繋がることでしょう。皆様の祈り合わせを宜しくお願いします。
2009.04.23 Thu

見えない大掃除

ここ数日間、４年間愛用していたレンタルサーバーやブログ会社の引っ越しに明け暮れていました。のべ３０時間以上もパソコンとにらめっこは目も体も固まりますが、良い事もありました。
私は２００４年１月に、伊良部島で白龍が目の前に上がるのを見てから、生きる目的がどんどん変わって現在に至っていますが、その原点となった２００５年の伊良部島体験のブログを読み見直して驚きました。神様に、とんでもない約束をしていた事を思い出してしまったのです。

神様との約束は、何があっても破る事ができません

２００５年当時は、沖縄の神々の事も歴史もよく知らないわりに、霊力だけには自信があって、無茶な事を神様に言ってしまったようです。神様はその言葉に対して、今回、責任を問うように、偶然、読み直した伊良部島のブログから神メッセージが聞こえました。

神様と同じように恐ろしい事が、もうひとつあります。
沖縄のユタや神人のように、直接、神に繋がっている人に言われた言葉は、とても大切です。これも同じように、神の代弁者ですから、人間に言い訳はできますが、言ってくれた神に言い訳は一切できません。

たまたまやりとりの中で口にした言葉でも、その真意が人心から発しているのか、神が言わせているのか、わかる人ならば、その言い訳ができない事も知っているはずです。

時々私も、しつこく質問したがる人にこうお話しします。

「あなたがもし本当の事を聞いたら、どんな事でもしなければいけなくなりますが、それでもあなたは本気でその答えを聞く勇気と決断がありますか？」

ここで私が言う神を、あなたの「真我」と考えてみて下さい。また、あなたの「本質そのもの」と言ってもいいでしょう。
あなたも、実は、知っているはずです。あなたの発した言葉が、嘘か誠か？言いわけか？真実かは？

ボツボツ、自分の発する言葉に責任を取れる大人になりましょう。
どんな言い訳をしても、しなければいけない事は、必ずしなければいけないものですので、あきらめてサッさとやることです。

あなたの目の前の子供たちが、そんなあなたを見て大人になるんですよ！
だから、自分が大人だと思ってる人は、どうぞ宜しくお願いしますね。

他人に見えない部分をきれいにしたり、余計な物を捨てたりする事の大切さにどうぞ気づいて下さい。他人に見られたくない部分こそ、見えない場所こそ、隠している物事こそ・・・
あなた自身そのものなのですから！
2009.04.21 Tue

新しい人に出会う

激動の年２００９年も４か月目を迎えていますが、変化の波にうまく乗れている方は、とても早いスピードで物事が変化しているはずです。過去の思いに縛られたり振り回されずに、今の自分の心を大切に生きていると、新しい未来に向けた創造エネルギーがドンドン湧き出すので、忙しくなるの当然なのです。

ワクワクする未来の創造エネルギーは「新しい人との出会い」によって始まります。理由は簡単で、お互いがお互いの過去を知らないからです。自分さえ過去を振り返えらないで過去の話をしなければ、新しい人との出会いによって、未来に向けた新しい人生小説が書き始まります。

夢や理想ばかりを追って、足もとにある日々の出会いを大切にしていない人は、夢を叶えるチャンスを逃しています。また今あなたが、新しい人の出会いを望んでいるのなら、相手の条件をなるべく付けない事もお勧めします。神様の化身としてあなたの前に現れる人は、あなたの望むような容姿ではなく、以外に、普通の人だったりしますので（＾＾）

新しく出会った人の言葉を素直に聞いて、すぐ行動してみると、人生は突然、開けるものです。そして新しい自分になりたければ、新しい人に出会う場所に行くことをお勧めします。行ったことのない土地へ行くのも、新しい気付きを得る秘訣です。お金をかけない方法としては、家の中で自分がしていなかったことをする事でも、人生は開けます。

家のお掃除やトイレ掃除、押入れの中の整理、洋服ダンスの中の整理、引出しの中の整理などで人生を変えた人は、本まで出しています。注）整理とは、いらない物を捨てる事です。重要な事は、たくさんのいい情報を集めるより、自分の日々の行動のひとつを変えてみることです。

行動が変わると、未来は開けます。
　あなたの新しい未来を応援しています。

今後の神事スケジュールをお知らせします。

●５月１５日　北海道　夕張神事＆全国の不浄な土地祈り

●６月２７日　沖縄県　伊良部島　龍宮神祭

●７月１８日　静岡県　富士山頂上神事

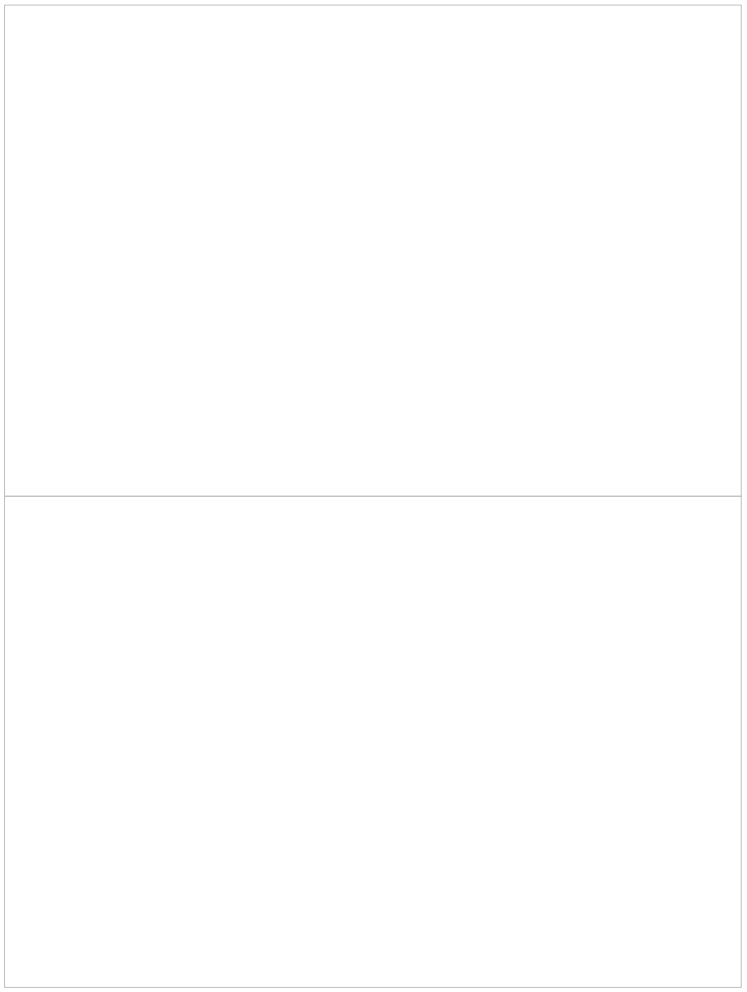
これ以外にも、宇宙や神様からどんどんしてほしい事が伝えられていますので、ひとつひとつ自分にできる事を準備しています。気になる神事がある方は、どうぞご連絡下さい。私が神事情報を一般公開する理由は、神事に集う素晴らしい人たちの出会いや新しい体験によって、あなたの日常が変わるキッカケになる事を願っているからです。どうぞエゴや過去の思いに縛られないで、未来を創造する素晴らしい人たちに出会って下さい。全ての宗教や思想を受け入れる心さえ皆さんに育てば、地球上のすべての戦いは無くなります。だからこそ、まずあなたが愛の気づきを実践して下さい。ありがとうございます。

☆地球創生基金へ募金のお願い☆
新しい地球の実現の為に活動する資金のご支援をお願いします。
郵貯銀行口座名　：　地球創生基金

郵便局からお振込みの場合
記号　　19070　　番号　　9613551

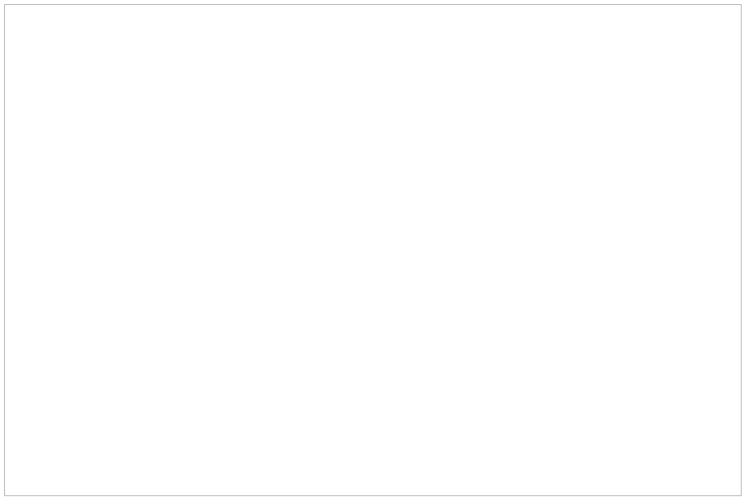
銀行からお振込みの場合
支店名　九〇八　　普通預金　口座番号　０９６１３５５
2009.04.16 Thu

マスターマインドグループ　**in**　箱根



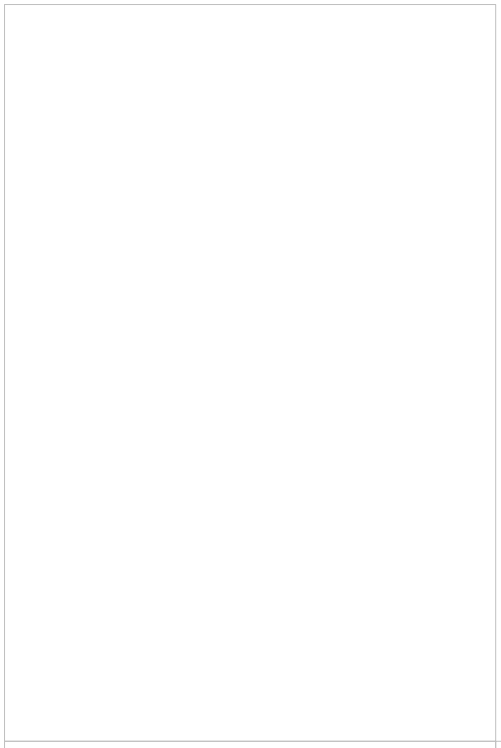
互いの夢を実現させる為の本気の仲間が箱根に集まり、第二回目のマスターマインドグループの会議を行いました。手探りで始めたこの三ヵ月間の報告会は、想像できないスピードで全員の夢が現実化しているのを確認しました。二回目の会議場所として箱根を選んだ理由は、常にエネルギーの高い場所で創造的活動を行う事が一番大切だと学んでいるからです。翌日は、駒ケ岳頂上に登り、7月18日の富士山神事で登るを宣言を全員で行いました。

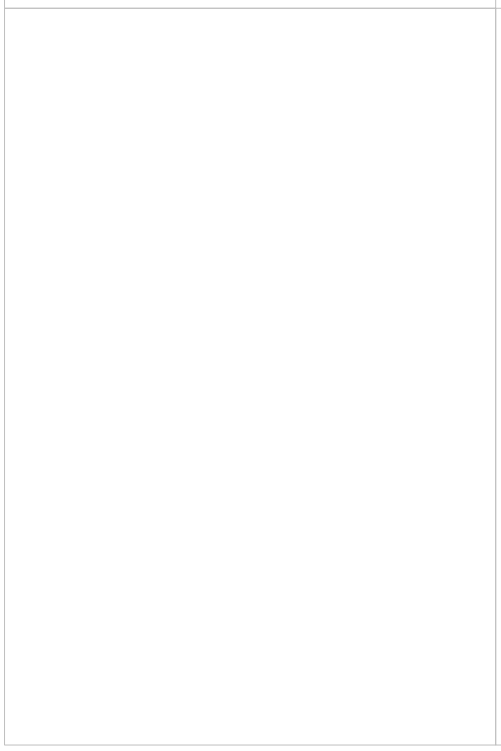
箱根付近で仲間が気になる場所に向かうと、その行程が神仏の導きであることを実感しました。最初は、地獄と呼ばれている石物群の場所です。曽我兄弟の石碑に手を合わせてみると「私たちの本意ではない意味で伝えられている事が悲しい」と御霊が教えてくれます。

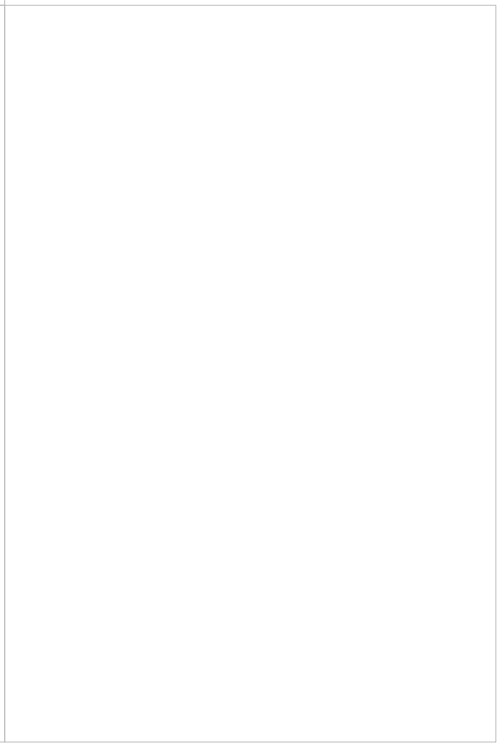


近くにある山肌を削って造られた仏様にお教と祝詞を唱えると、神意思を美しい七色オーブで見せてくれました。この場所の石仏群の作り方を見ていると、西方から日本へやってきた民族たちが、生まれ故郷の神エネルギーを繋いでいた事がわかります。

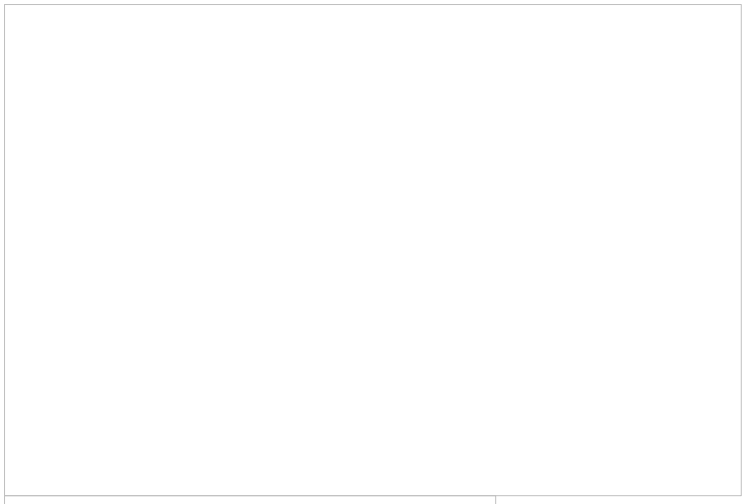
箱根神社には、土地神に感謝する意味でご挨拶に行きました。芦ノ湖にいらっしゃる神様や山の神様をそのまま導くように作られた参道の美しさは、自然を神として受け入れていた時代の素晴らしい証明です。境内右奥にある安産杉のように大きな股を開いた木は、大地の生み出し神として全国でも大切にされているご神木のひとつです。人間はいつの時代も、自然界から生きるエネルギーを頂いて学んできたのです。

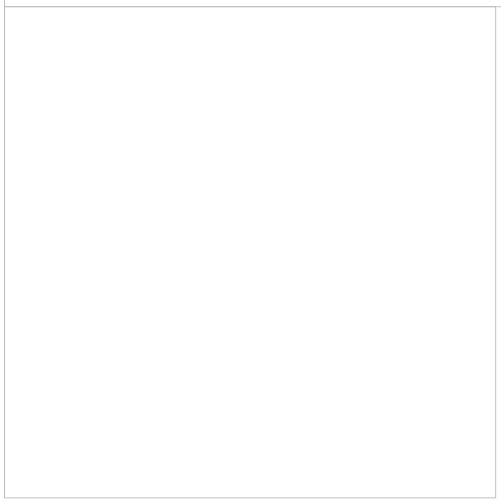




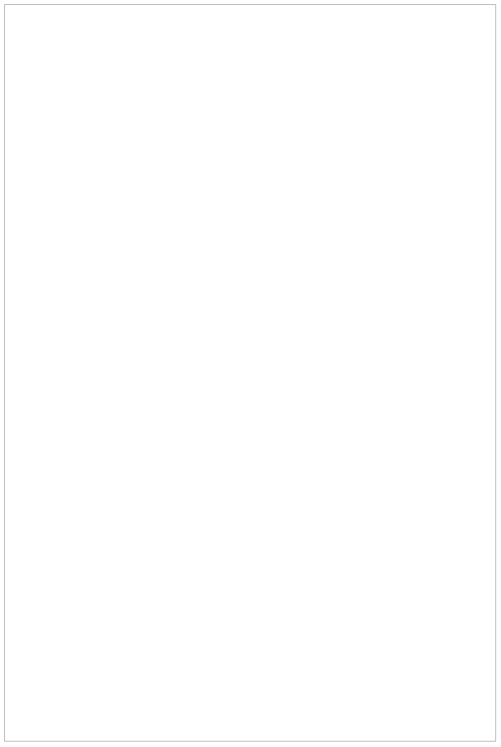


この箱根神社の参道左手には、最初にご挨拶した曽我兄弟の魂を祀っている「曽我神社」があります。左手をビリビリさせて呼ぶので、手を合わせてみるとすぐその理由がわかりました。この曽我神様の説明書きを読むと事実はわかりますが、事実を知らない皆さんに正しく伝えて欲しいと言っています。当時の戦さは、戦った相手の子供たちの仇打ちを恐れて、幼子も含め一族全てを根絶やしに殺すのが普通でしたので、夫を殺された妻は、子供たちの命を守る為に一族を捨てて、子供たちの苗字も変えさせて夫を殺した相手の所に嫁ぎました。



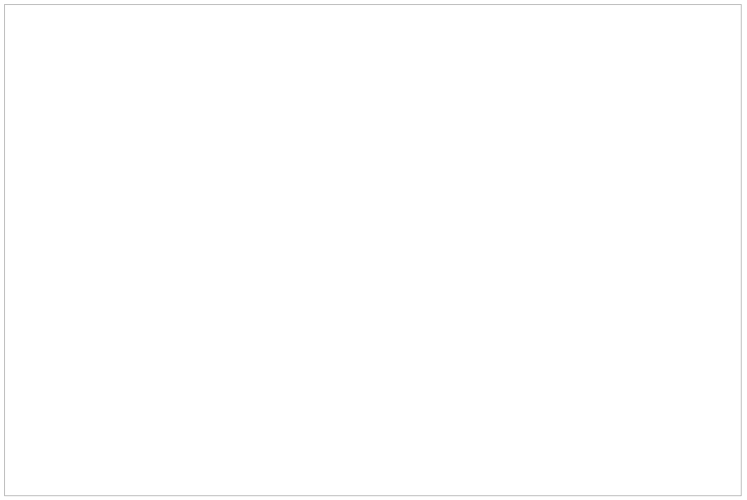


夫を殺した相手の所に嫁いだ母の苦悩を感じながら育った曽我兄弟は、その義父にもらった短刀で大人になってから仇討ちをしましたが、母を思う想いからお互いの命を絶ったという実話です。ですからこの話は、夫婦愛や親子愛を超えた「生きる厳しさ」を伝えた話ですので、商業的に美談として伝えるものではないと思います。生きることの厳しさ、死ぬことの尊さを考えるテーマとして扱うことが、曽我兄弟の神意なのです。あなたが、一人一人の主人公としてその時、どう判断するか考えてみて下さい。

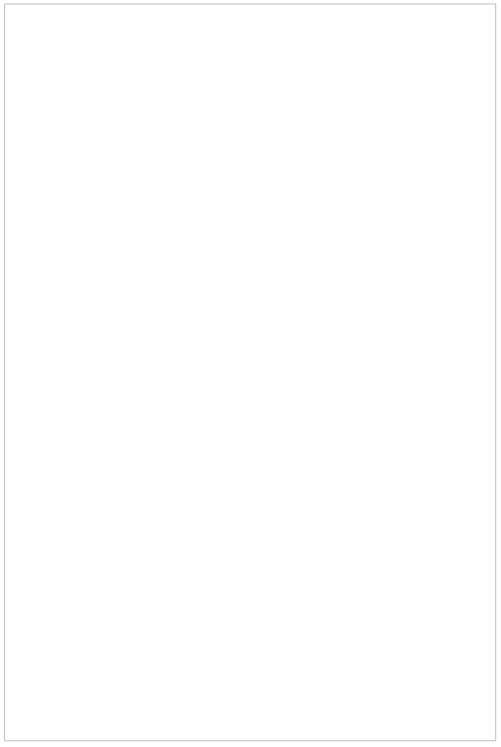


近くに「九頭龍神社の奥宮」があると聞いたので行ってみました。西武グループ代表であった堤さんが、九頭龍のご神力を手に入れたくて、周辺全ての土地を私有地にした為、入館料500円を支払ってから入ります。500ｍほど歩く道の途中で九頭龍神社を守る存在が、先に挨拶にきてくれました。「ご神体は芦ノ湖にいらっしゃいますのでご挨拶をお願いします」と教えてくれます。道から湖が見える場所で立ち止まり祈りを捧げると、芦ノ湖全体が龍の休み場所であることがわかりました。どれほど大きい龍かは、すぐに想像できます。奥宮で手を合わせると九頭龍の神から丸い玉と宝物書を頂きました。これを富士山頂上へ持っていって欲しいのだということもすぐ理解できました。

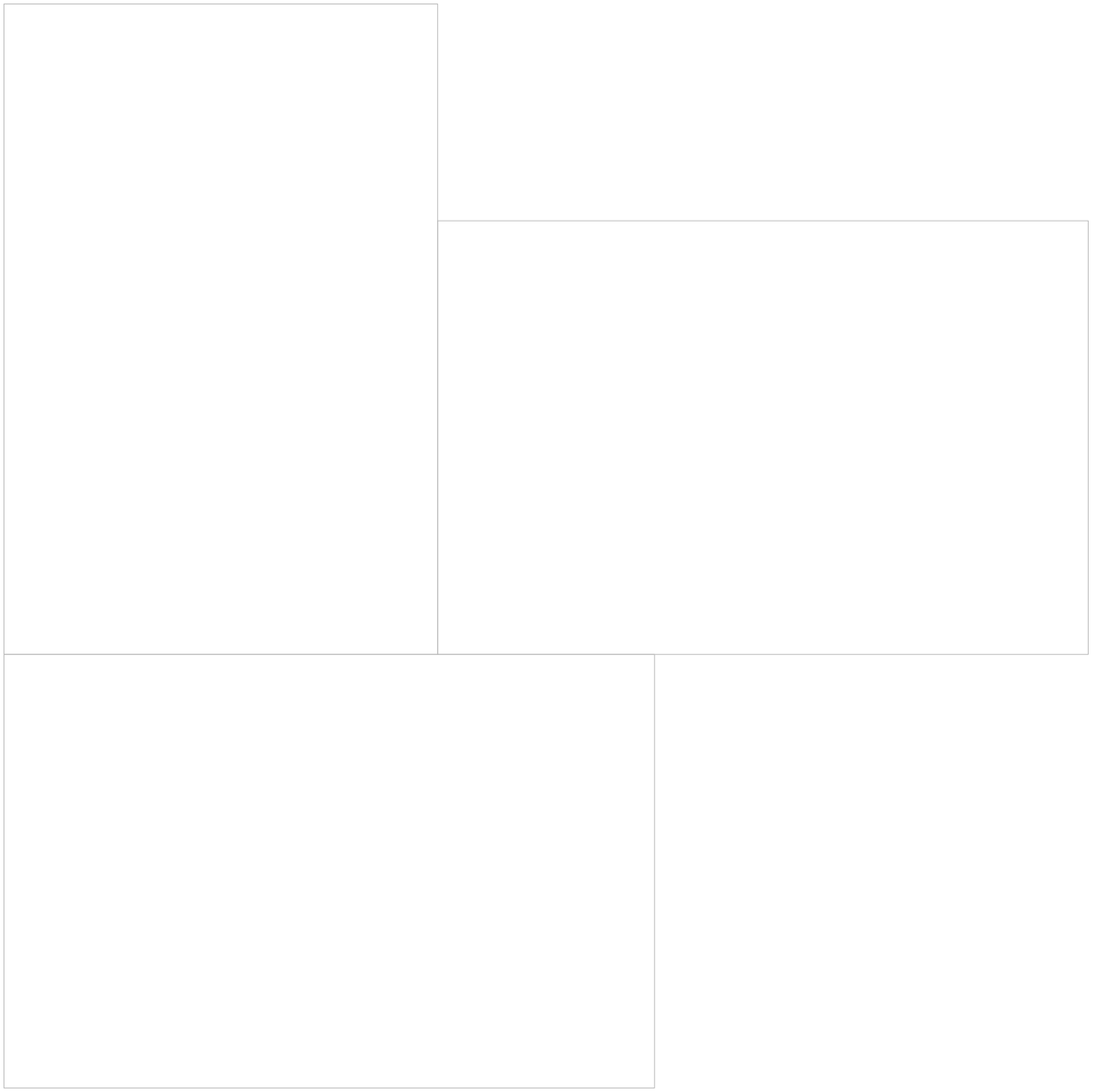
本来、この九頭龍は富士山の裾野を守る土地神として働いていましたが、そのエネルギーを繋いでいた修験者が居なくなり、本来の働きのエネルギーが不足しているようです。祈りをした仲間の一人に、九頭龍と富士山のエネルギーを繋ぐ為の修験者の衣装一揃えが、渡されました。九頭龍の神に任命された素晴らしい神つなぎのお役目を頂いたのです。世界に羽ばたく彼のこれからの活躍は、龍の神（火・水・風・土）も山の神も味方してくれることでしょう。



九頭龍神社の前には「弁天社」がありますが、唯一、龍を守り、龍に乗れる神として湖の多くの場所に弁天様を祭っていますが、仲間の女性にこの弁天様が乗り移られました。龍を導く（自然界バランスを整える）働きをする為に弁天様がお力を貸して下さいますので、今後、大きな土地守りの働きをして下さることでしょう。



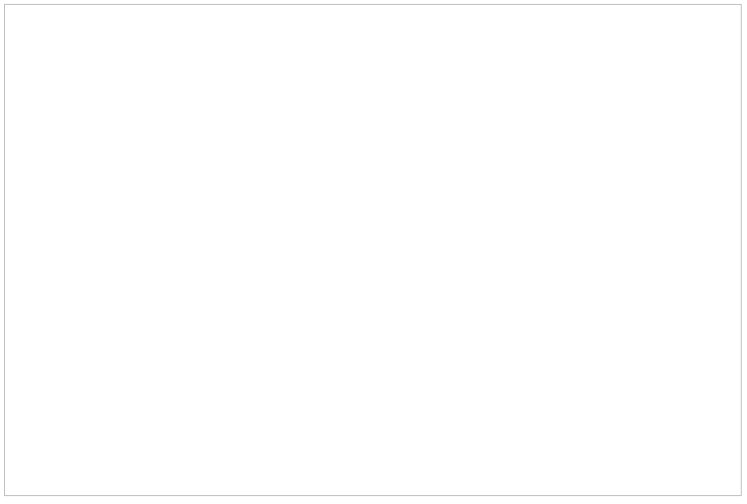
同じ敷地に「白龍神社」があると聞いたので、向かいました。全ての龍の頂点にいる白龍は、龍のリーダーとして働いています。白龍の身体の大きさはそれほど大きくありませんが、地球の自然界全てを守る働きを考えるともっと大きな社にしてもいいのではと思います。しかし、この社を作られた方は、とてもすばらしい方だと見てすぐにわかりました。小さな社の前に作られた四角に囲まれた場所は、実は、白龍が舞い降りる場所であって、その正面の木も、龍体そのものであることをわかっていてこの場所に作られたのです。仲間の三名が祈りを捧げると、三名の身体に白龍が入りました。この白龍が身体に入るという意味は、白龍の働きをさせるということですので、これからがとても楽しみです。日本を守り、地球を守るリーダーとしてお働き下さる事でしょう。白龍の神様、ありがとうございます。



この日の最後は、浅野重人監督率いるプロ・ラフティングチームの日本代表メンバーに会いに行きました。純粋な目をした素晴らしい若者たちは、今年の５月19日・21日・23日の三日間、ボスニアで行われる世界大会で世界一を賭けて戦います。日本の日の丸を背負って戦う世界一の若者たちへ、皆さんも応援メールを送ってあげて下さい。私はこの三日間、彼らの夢を実現する祈りを行なおうと思っています。スポーツで世界に伝える愛と調和の役目を日本代表として彼らが果してくれるでしょう。！！！日本、優勝！！！

●ラフティングチーム　テイケイ

●チームテイケイ　浅野重人監督公式ホームページ



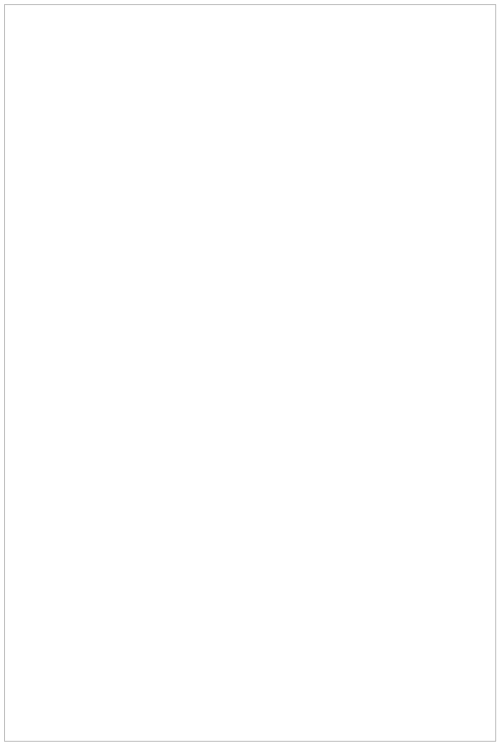
2009.04.12 Sun

然別湖温泉ホテル風水　八重干瀬報告

2009年4月5日、北海道最大の龍の聖地　然別湖温泉ホテル風水のご神殿に、八重干瀬（やびじ）の報告を仲間と一緒にしてきました。これまで神事で行った場所の「水繋ぎ」の為にも、年に二度は、必ず足を運ぶ大切な場所です。札幌近郊はもうほとんど雪はありませんが、北海道一高い標高にある温泉地　然別湖はまだ厚い氷に覆われていました。

この然別湖温泉ホテル風水には１０年前から行くようになりましたが、ホテル風水のご神殿は日本の龍の目として全国から祈りをする方たちが集まる聖地として有名です。温泉で禊（みそぎ）をしてから最上階の神殿に上がり、全国の水を奉納してお礼の祈りを捧げていると、突然、震度３の地震がグラグラと揺れました。

この地震が起きた瞬間に私が向かっていた場所は、伊良部島の龍神様の写真を奉納した前でしたから、すぐに伊良部島の龍の神様からの繋がりの合図だとわかりました。龍神様が地震で繋がりを伝える場合、最初の横揺れしか起こず、破壊が目的ではない事は経験からわかります。この地震のあと、神殿のエネルギーが一気に上昇して天地が繋がるエネルギーは、地震の揺れが治まったはずなのに、身体が揺れ続けていると感じる人が何名もいたほどです。



地震が収まってからもう一度、正面の神様に向きあうと、この然別湖の周りの山々と湖を囲むようにぐるりと大きな大きな龍が浮かんでいるのがわかりました。数十メートルもの太さがある龍は、これまでいた龍とは桁違いに大きく、日本の北と南がしっかり結ばれた証として、これから聖地　然別湖を見守って下さることでしょう。

この日の夜は、従業員としてご神殿を守って下さっている神主さんの６０歳の誕生日でしたので、全員で遅くまでお祝いをしました。命をかけて神職を貫いてきたこの神主さんの生き方は、ご神名の高いこの場所に呼ばれるように、三年前に九州からご夫婦で来て下さいました。私は年に数回しかお愛できませんが、この日本国や人を愛し、神を優先する信念を貫かれてきた素晴らしい男性です。

南の島で、伊良部島のホテルオーナーのお母さんの70歳誕生日祝いをさせて頂き、北の島では神主さんの60歳の誕生日祝いをさせた頂く幸せこそ、私たち人間が生かされている事に感謝する瞬間だと思いました。私は年長者の誕生日祝いは「する」のではなく、「させていただくもの」だと皆さんに教えます。

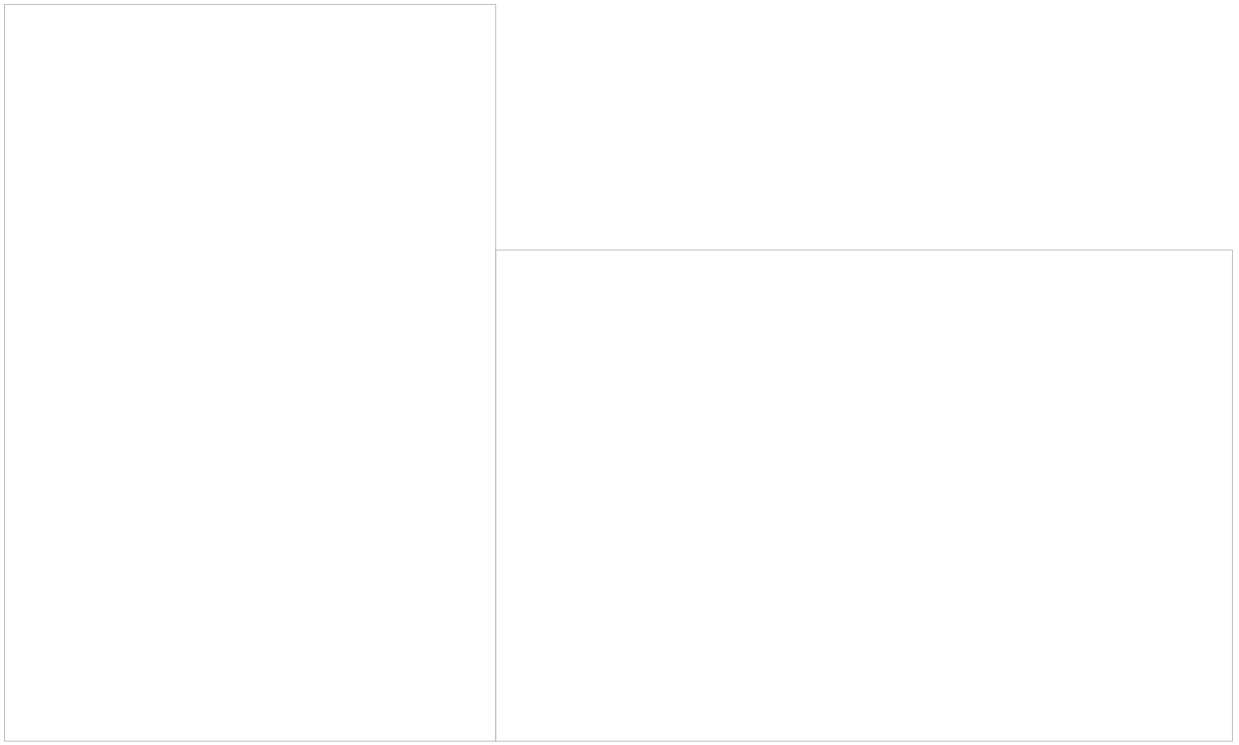
理由は「祝う相手がいるからこそ、自分の役割が与えられるのです。自分が相手に喜んでもらえるような良い役割をさせてもらう事こそ、神様の計らいなのです」と沖縄の方たちに気づかせてもらったからです。

伊良部島では年長者を祝うことは「健康や福を頂くこと」として大切に続けられていますが、現代の商業的な誕生日イベントではなく、年長者に祝い事をする本来の意味を皆さんにも気づいて欲しいと思います。60歳の神主さんを祝う私たちの代表も、60歳を迎える長老会のお二人ですが

、そのお心使いの姿に教わる所も多いと感じています。また、このホテル風水を守っているおかみも今年で85歳を迎えますが、その立ち振る舞いの美しさとお心使いにたくさん学ぶ所があり、参加者全員、感謝しております。

感謝させていただく人がいるおかげで、自分の役が与えられる

どうぞ、お忘れなきように（＾＾）



2009.04.07 Tue

2009.4.4　神メッセージ

本日は四月四日は、四月で二番目に高い宇宙エネルギー上昇の日として、神セージが降りましたので皆様へ全てをお伝えいたします。

１、人神（ひとがみ）　唱えて　神計らいいたす

人神（ひとがみ）とは、ご先祖の事を示しています。沖縄では七代さかのぼると、人も神になると伝えられていますが、今後、ご先祖たちに感謝の心を持つ人は、神計らいによって望みや思いが叶うという神知らせです。ご先祖にはお願いするのではなく、ご先祖が喜ぶような感謝の心を持って、日々、行動で示すことです。

２、御霊　磨き上げ賜うこと　神の願い

あなたを見守るご先祖や全ての神々は、あなた自身が魂本来の役目や意味に気づき、その役目を果たされることを心から願っております。自らの御霊を磨く為にも、世の為、人の為に尽くす生き方を全ての守護存在たちは望んでおります。

３、神役　持ちたもう者　その役目果たさずば　全て失ふ

魂の記憶として巫女・神官・神を支える役・人を導く役目があり、今世もその役目を持つ人は、魂本来の使命を果たさなければ、今ある人や物、今持っている全てのものを失う事を知らせるという啓示です。

４、大祓いの神　働かずば　全ての神　働らかず

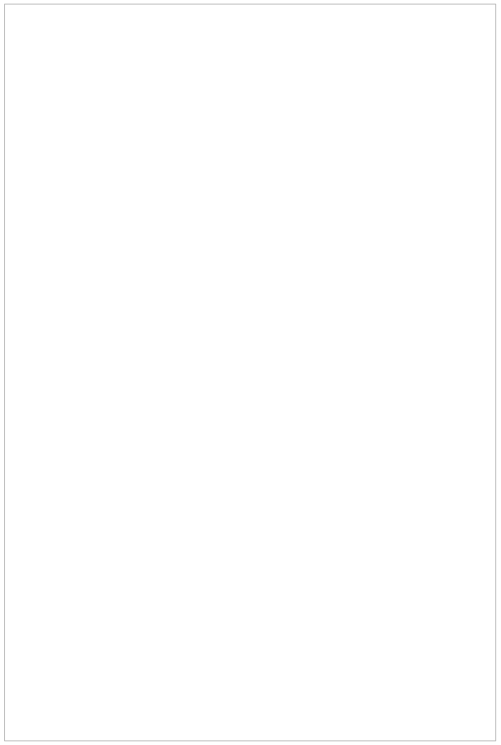
「大祓いの神」については、現在、北海道の神事で隠された神として「瀬織津姫（せおりつひめ）」が見つかりました。この神については、現在も調査中ですが、宇宙メッセージとして「大祓いの神」はひとつではないと教えてくれています。世界の各宗教にも、各民族的思想にも「大祓いの神」として働く神は存在しますが、伊勢神道では天照大神の荒魂を瀬織津姫、また国之常立尊（くにのとこたちのみこと）がそうであるという記述もあるように、大祓いの神、つまり大切な役目の神が働く時期にきたという啓示です。

今日という日にこのメッセージが降りた意味は、それぞれの方が信じる「大祓いの神」を立ち起こし、その神に働いて頂いて、これまで荒らした世の改めをして下さいという意味の啓示です。

神役目を持つ方たちや自分の土地を大切に思っている方たちは、自分の愛する土地で、この「大祓いの神」が働けるようご神事や祈りを行って下さい。全ての神々が本来の働きをすることで、地球は、新しく生まれ変わることができます。
2009.04.04 Sat

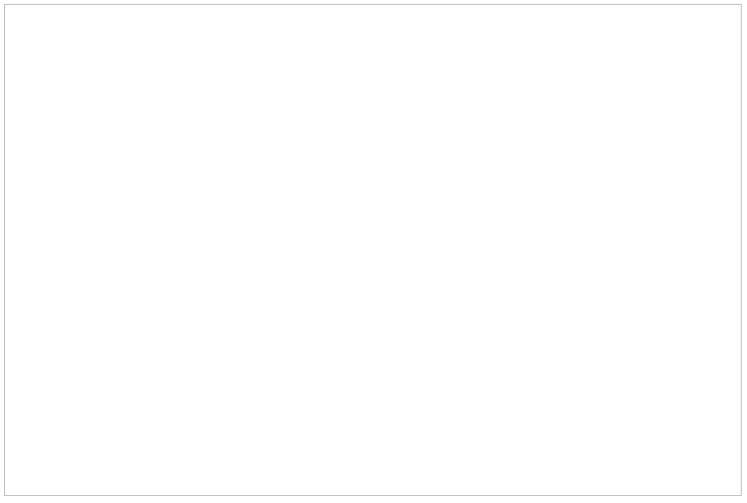
八重干瀬**2009 &** 南の龍神祭

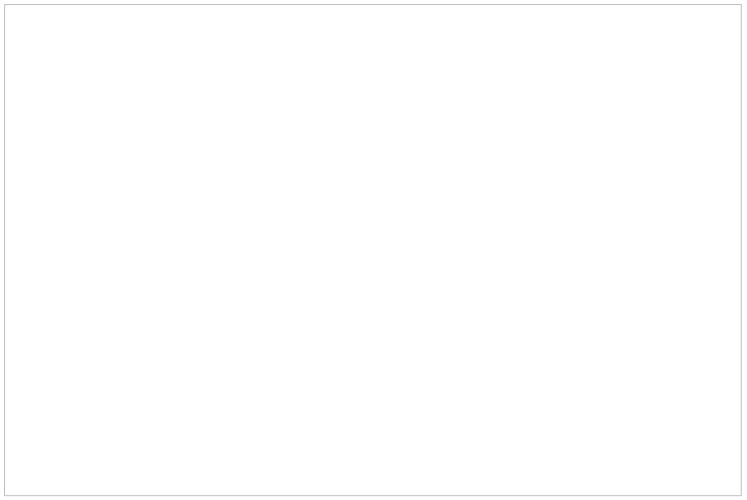
北海道から７名、関東から４名の大人に２歳の男の子が加わった今回の神事は、初めて体験する沖縄や宮古島の神エネルギーに感動し、涙と気づきの連続の日々でした。3/26、私たちを迎えてくれた伊良部島の夕陽は、七色に映し出される光のショーを見ているように長旅の疲れを癒してくれます。



３月２７日（旧暦３月１日）

伊良部島　南の龍神祭　＆　龍宮神祭の神おこし

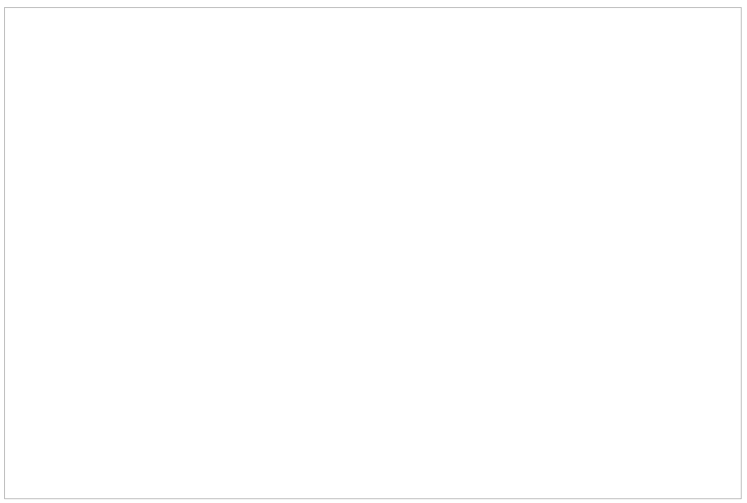




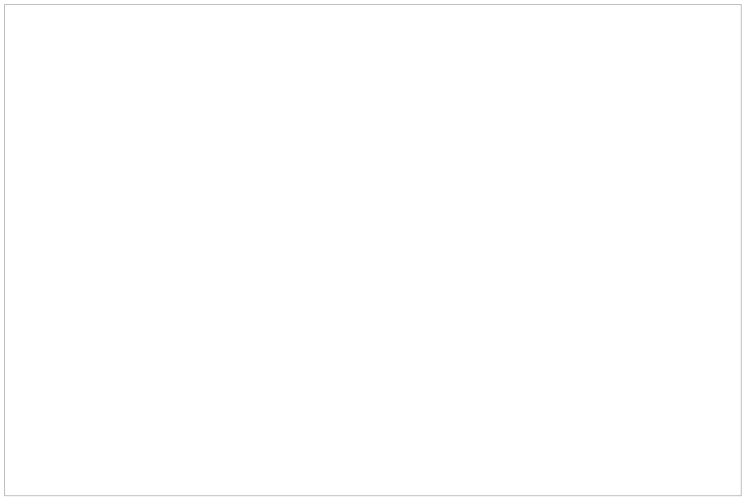
二〇〇八年に降りた伊良部島の五神の神々と龍神に感謝する「南の龍神祭」は、ホテルてぃだの郷が６月に主催する「龍宮神祭（2009.6.27）」の神導きによって、全員の目の前で新しい神を起こす瞬間を体験しました。６月に行う「龍宮神祭」の目的は、宮古諸島全島の龍宮神をまとめ繋ぐ龍宮神として、伊良部島のホテルてぃだの郷の目の前に広がる佐和田の浜で行われます。

地球の龍宮城として働く伊良部島の龍エネルギーが安定することで、日本や地球や宇宙のエネルギーも安定しますので、龍の守護や導きを受けている方は、ぜひ６月２７日に伊良部島へお集まり下さい。宗派や龍派に関係なく、自然神に感謝する心がある方は誰でもご参加可能です。現地へ来れない方は、地元で祈り合わせをお願いします。※時間の詳細は、祈りメーリングでお知らせします。

６月２７日（旧暦３月２日）八重干瀬祈り



４度目となるホテルてぃだの郷　主催で行われた八重干瀬祈りは、全国から３３名のご参加を頂きまして地元の新聞２紙に載るほどの素晴らしい祈りができました。今年の場所は昨年と同じ、八重干瀬の頭に当たるサンゴ礁に降り立ち、宇宙に繋がるご神柱を見た方もたくさんいらっしいました。神導きで出会えた皆様に心から感謝いたします。



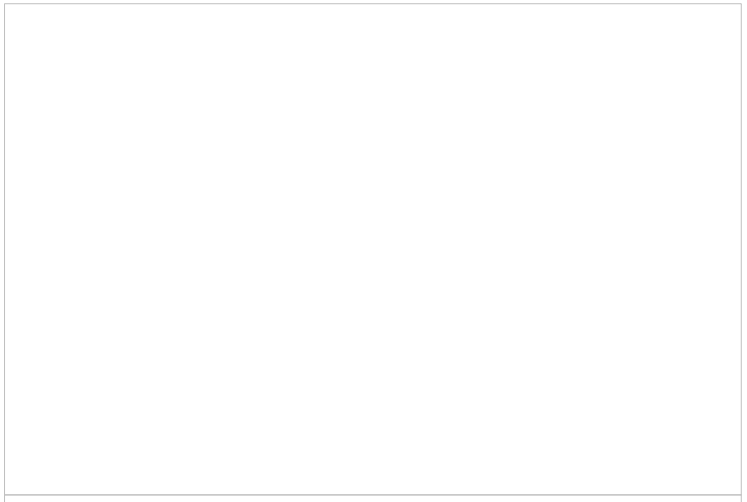
３月２８日（旧暦３月３日　浜下り）

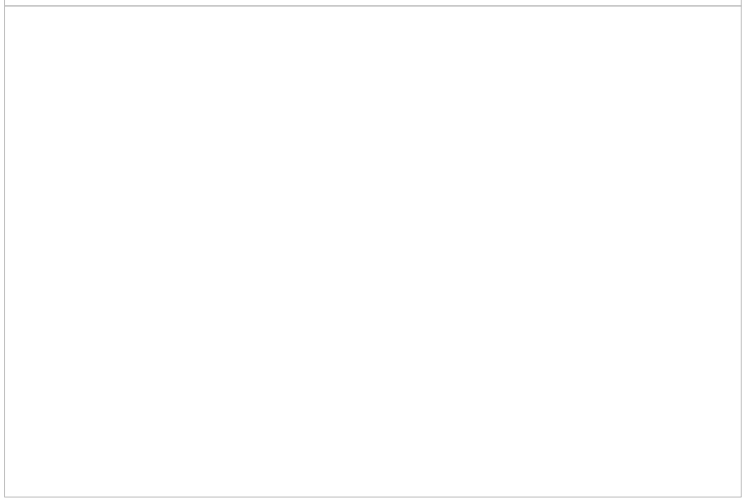
１、大神島

宮古諸島の全島のウタキの神エネルギーは、この大神島の神様のエネルギーから始まっています。以前まで「親神祭（うやがんさい）」という極秘の神事によって親のエネルギーを子供へ繋いでいましたが、祭事を司る司（つかさ）が不在になった事から現在では、島尻部落と狩俣部落の親神祭（うやがんさい）」は中止になったままです。

親のエネルギーを正しく受け取れなくなったで子供たち（宮古島の島々の神々）のエネルギーが、人間に霊的エネルギーとして影響していることを地元の人たちも心配していましたので、今回初めて、島尻港を守る大きなウタキと神様の場所にご挨拶しました。

ウタキの神に大神島へ渡る許可を得てから、島のオジーにウタキの意味を教えたもらったあと、私たちの周りにきれいな蝶たちが集まってきました。「手を合わせてくれてありがとう」と喜びを表現するこの蝶の舞は、神の使いとして姿を見せてくれたのです。自然界の祈りをしていると蝶や鳥、猫や犬などが神の使いとして、私たちの目の前に姿を見せます。大神島の遠見台では同じ蝶が、数十羽、舞う姿で神の喜びを示してくれました。(アゲハチョウ科　ベニモンアゲハ蝶)

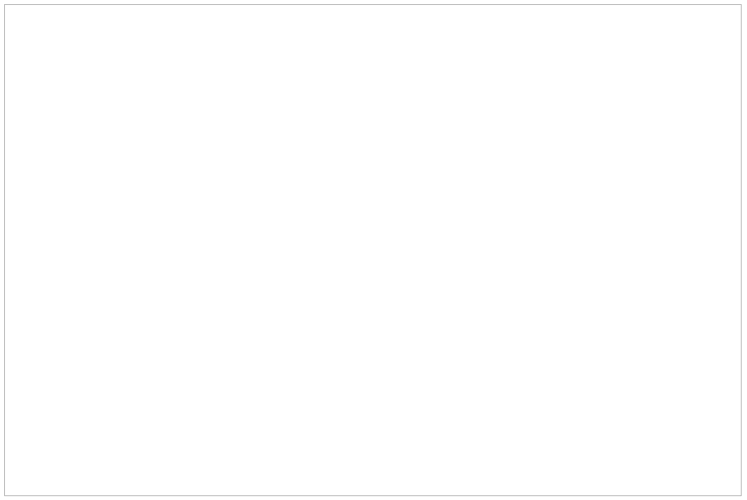




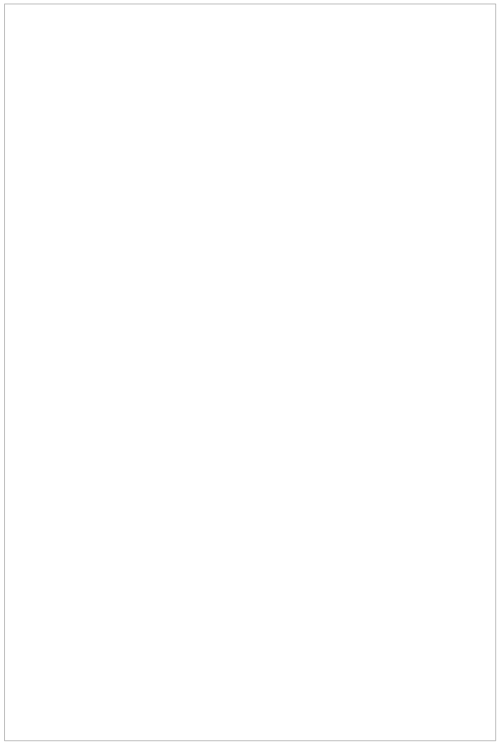
後で、島尻部落出身の方にウタキの意味を尋ねると、私たちが手を合わせたウタコこそ、親神祭（うやがんさい）で最も大切な大神島の神エネルギーを受け取るウタキだとわかりました。
現在、この親神祭を新しい形で復活させる為の準備を宮古島の方々と進めています。大神島の神様には、親神祭を復活させる為に何が必要かを教えて頂き、宮古島の仲間にお伝えしました。

大神島がどれほど人を寄せ付けない強い神の島なのかは、地元の人と話すとよくわかります。５０年以上宮古島に住んでいても、一度も行った事がないと言う人たちが、偶然、同じ船に乗りあわせ話を聞く機会がありましたが、大神島で祈る私たちの姿を見守って頂いたことに感謝いたします。

２、池間島　大主神社（ウハルズウタキ）



美しい青い海を両側に見られる橋で有名な池間島の最大の神所が、ウハルズウタキです。ここは本来、神人や司などの神役目を持つ人しか拝むことができない強力なウタキとして、宮古島の歴史書に書かれています。大神島の神様が地球の核から生まれた神だとすると、こちらの神様は、宇宙から降りられた神と言えます。

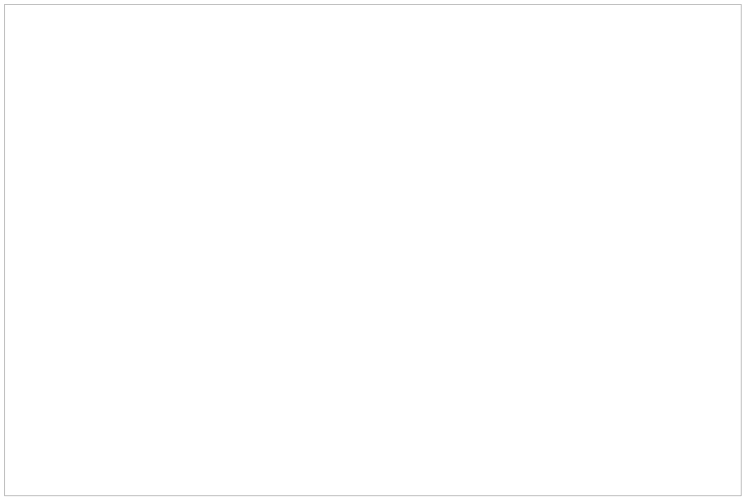


久しぶりに鳥居の前に立ってみると、鳥居の左右に３名づついる門番のさらに後ろに、３名づつ予備隊が加わって両側に６名づついるのには驚きました。門番の守りが強くなったということは、ここの神様の力も強くなっていることを示していますので、中途半端な気持ちで祈りを行うと大変な事になります。全員が、両手・両足・口を水ですすぎ、裸足で鳥居の前に正座します。

神がすぐ私に問われた事は、連れてきた仲間は何の目的で来たかということでした。私の祈りは一切のお願いをしませんので、神に感謝を捧げながら、地球を守る為に、人間を守るために自分のできる事を宣言する為に来たとお伝えしました。神エネルギーの強さは、一人一人の心の満足度とは別に、肉体の疲労感でわかります。神様が大きい場所は特に、興味本位で足を運ばないよ

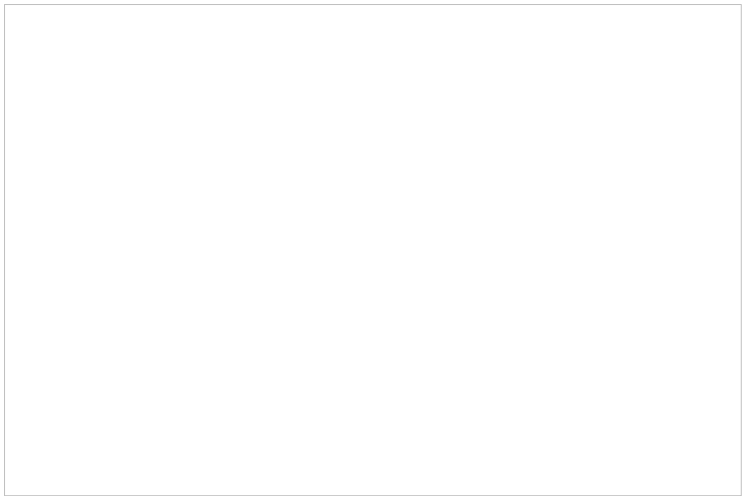
う皆様にもお伝えしておきます。

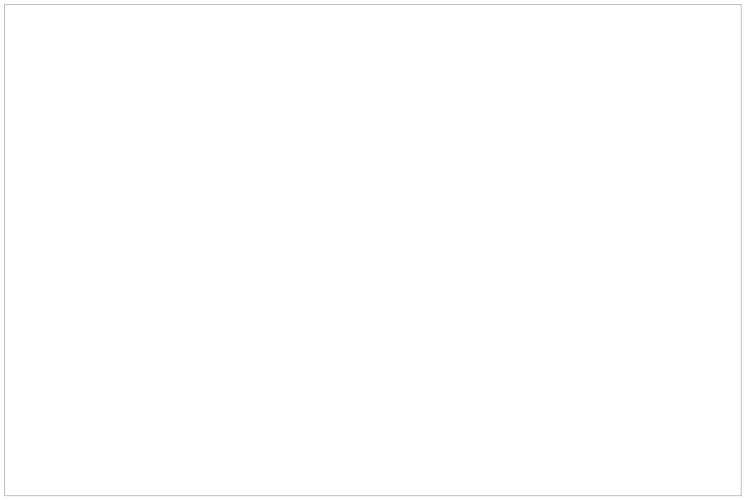
３、砂山ビーチの夫婦龍宮神



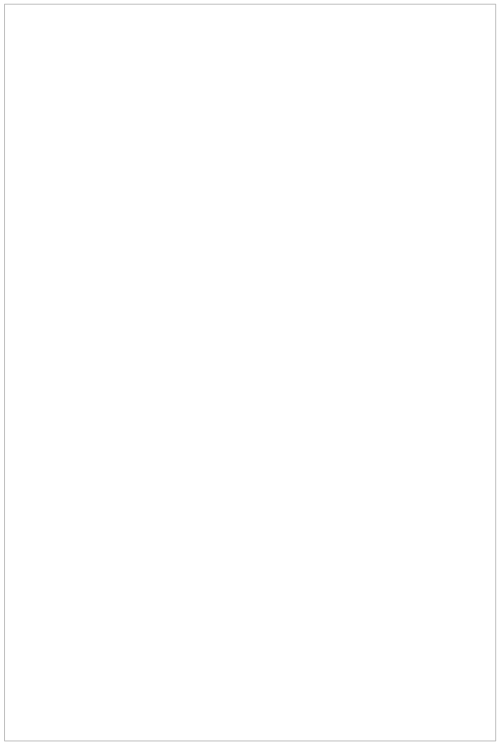
美しいビーチで有名な砂山ビーチにも神様がいると聞いたので、何度も訪れていたのに初めて神祈りをする機会を得ました。美しいビーチの左手に鳥居のようになっている大きな自然の門岩をくぐると、その左側の岩壁に二つの神様がいらっしゃいました。直接、神様にお名前を尋ねると「昔から龍宮の神と呼ばれています」と教えてくれました。その奥の神様は「龍の子供を産み育てる母神です」と言われます。これでこの場所は「夫婦龍宮神」の場所だとわかりました。

子供を堕ろした経験のある方や流れた経験のある方、また、新しく子供を頂きたいご夫婦は、この場所で祈りをすることで、宇宙の循環エネルギーを体感し、その加護によって全ての不調和を整えて下さいますので、どうぞ足を運んで下さい。もし念願のお子様を授かったら場合は、必ず、お礼参りに行くことを忘れないで下さいね。自然界の神様の場合、供物もお金もいりませんので、水とお酒と御塩を持って祈って下さい。あとは、あなたの正直な心と島の人たちに喜んでもらえる行動を宜しくお願いします。この日、「夫婦龍宮」の神様にご挨拶できた皆さんの笑顔と美しい海をご覧下さい。

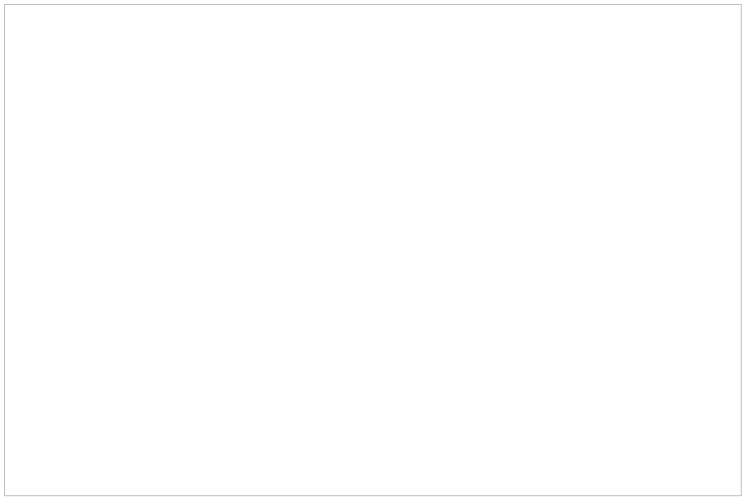




４、大和井（ヤマトガー）

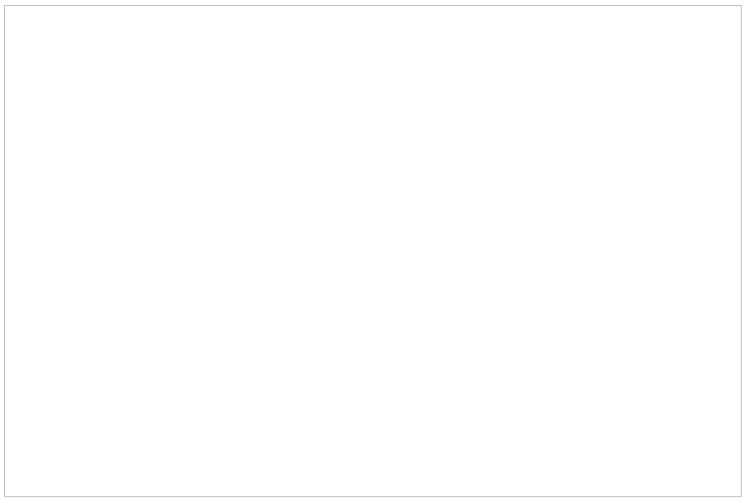


水を求めて命のやりとりがあるほど、いつの時代にも水は人間にとって大切なものですが、宮古島で最も強い水の神場所が、ここヤマトガーです。一人一人がお名前と目的を言い、神の承認を得た人だけが入れました。頂いた水は、それぞれの土地の神様に繋ぎますので、土地の人の命を守る為に働いて下さることでしょう。人間が肉体を持つ意味のひとつとして、神の水を運ぶという「水繋ぎ」は、命繋ぎ、神繋ぎの恩返しの行為なのです。土地神様のお水を運び、頂いた水をまた自分の土地へ繋ぐ事は、あなた自身の身体の中にある水エネルギ–もきれいになることを覚えておいて下さい。



この夜、泊まった宿の社長のお母さんが７０歳の誕生日を迎えたので、誕生パーティーを全員でさせて頂きました。オバーに初めてお会いしたのは５年前ですが、１７歳で子供を産み、５名のお子さんを育てあげ、たくさんのお孫さんがいらっしゃるオバーは、涙を流して喜んで下さいました。お祝いは、させていただく人がいるからできるものですので、祝う側が「幸せ」を頂く行事なのです。オバーは私たちにこう言ってくれました。「この島では７０歳は、若いよ。私はみんなに元気をもらったから、８８歳まで生きるよ！」と宣言までしてくれました。本当に元気を頂き、ありがとうございます。

３月２９日（旧暦３月４日）　新城定吉さんの石庭（いしにわ）



１１回目になる石庭の訪問は、ムー大陸の地球の底のエネルギー確認と庭の持ち主である新城定吉さんと会話することが目的です。八重干瀬でご一緒したオペラ歌手のご家族も同行しましたので、石庭の奥で素晴らしい歌声を披露して下さいました。今回初めて足を踏み入れた右奥のガジュマル群の中には、この石庭を守り導いて下さった神様がいらっしゃいました。足を踏み入れることを躊躇するほどの神エネルギーの中に入ってみると、大きなエネルギーと共に、大切なことを教えてくれました。

そのことを新城さんにご報告すると、このエネルギーが今、増えている「心迷い」の人たちの導

きにならないかと聞かれましたが、医者いらずともいえる石を別な場所で見つけた事をお伝えしました。かじゅまるの垂れ下がるツタに守られた向こう側の緑の石は、心も体も全てのエネルギーを生まれた時の宇宙エネルギーで包んで下さいますので、石庭へ来られた方はぜひ、手を触れて体感してみて下さい。全てはただ、感じるだけでいいのですよ。場所は、新しくできた右奥のサークルのさらに奥にあります。新城さんと石庭の神様の感謝の心と行動を忘れずにね！

３月３０日（旧暦３月４日）　　沖縄本島　龍球王国　村建て会議

この日集まった皆さんは、沖縄本島にお住まいの方々ですが、神導きで出会った一人一人は心から沖縄を愛し、日本を愛し、地球や宇宙の為に魂の役目を果たす宣言をされている龍球王侯の仲間です。人間は必ず、「神修行」と「人間修行」の二つの修行が与えられていますが、この日集まって下さった皆さんは、これから自分がすることを明確に宣言して下さり、互いに助け合いう素敵な仲間が増える事を楽しみにしています。

皆さんに公開できる情報として、６月２８日に西原町幸地に新しく人が元気になる素敵なお店がオープンすることをお知らせしておきます。心の迷いや体の苦しみを解きほぐし、ご家族円満、ご先祖円満になる素敵な人たちが集う場所になる事を感じています。私も沖縄本島へ行く時には、必ず幸地のお店に足を運び、皆さんにできる事をすると宣言しました。新しくお会いできます沖縄本島の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

2009.03.31 Tue

宇宙神と対話

旧暦３月１日は「宮古島に龍が立つ日」と教わってから、今年で４年目を迎える八重干瀬（やびじ）祈りに明日から出発します。宇宙の守護存在たちと一番近い所で対話できる場所だからです。２１世紀の第二ステージとなる２００４年に伊良部島を訪れた際、目の前で昇る龍の雲を見た時から私の人生の目的は大きく変わりました。

２１世紀の大きな宇宙エネルギーの流れとして、第一ステージが2001-2003年、第二ステージが2004-2006年、第三ステージが2007-2009年となっていますが、第三ステージの最後の年の今年は「第四ステージの扉を開く」為の大切な一年だと感じています。

この扉は、一人一人の心の扉であり、神意識の目覚めであり、それは、魂で生きる本質の目覚めになると感じていますが、この事を理解できない人たちでも、この１０年間で起きている自然現象や社会的現象の変化が、２０世紀の１０年と違うスピードなのは感じていることでしょう。

人間が、自然界や宇宙のエネルギーに生かされている事を忘れて生きるようになってから、その肉体の寿命は短くなり、魂本来の目的を忘れて生きる人間が多くなりました。自分が何の為に人間として肉体を持ち、何の為にこの日本の土地に生まれて来たかのを思い出す為に、自然界の神々や宇宙の神々と対話したメッセージを皆さんへ届け続けて早や１０年の歳月が流れていますが、残された時間も少なくなってきています。

人間は、地球に誕生した時から常に自らのルールを作り、そのルールに縛られて苦しむ歴史を永く続けていますが、そのルールに縛らて苦しんだ魂の経験が「カルマ」を生み出す原因になっている事に早く気づいて欲しいと思います。

本来、この宇宙全体や自然界を司るための「摂理」はありますが、人間の様に誰かを裁くようなルールは存在していませんでした。それは一人一人の意思と全員の意思が、同じ経験をしたように感じるﾃﾚﾊﾟｼｰの繋がりを太く持っていたからなのです。今でもこの宇宙の摂理にそってﾃﾚﾊﾟｼｰで繋がっているのが、地球を守り包んでいる「自然界」なのです。

自然界に存在する葉っぱ一枚も、石ころひとつも、山や河や大地や海や空気の全てには、同じ意思を共有し合いながら自らの役目を果たす「循環節理」の意識がある事でつながっています。太古から人間は「太陽神信仰」を続けていますが、その太陽神を祀る精神の中には、月や他の星との節理を理解した上で、大きな宇宙の意思に生かされているという大切なメッセージを伝える事が目的でした。

無限に広がる宇宙のひとつの太陽系の星　地球は、宇宙の大切な役目をする機能を持たされた星

ですが、そこに誕生した人間は、大切な宇宙の意思を叶える為に本来、誕生しました。家の中の電気コードの中を流れる電気も、大気を飛び交う電波や無線も、目に見えないものですが、この地球で見つかる発明の全てが過去、地球以上に進化した文明の記憶を持つ人たちが、ふと思い出して作ったものだということも覚えておいて下さい。

人間よりも高度に進化した文明は、宇宙にもまだたくさんあります。肉体を持たないエネルギー体として存在する星の存在たちが、この地球の周りにやってきて、今、何をしているのかを気づくことも私たちの役割に気づく大切な事のひとつでもありますが、不安や恐れは一切、必要ありません。

互いを信頼し合い、愛し合う心と心の繋がりこそ、宇宙のテレパシーと同じ繋がりですが、それは人間も自然も、全ての存在が持っていた根源との繋がりの証でもあるのです。「自らを愛するように隣人を愛せよ」と説いた人のの本来の意味は、人間だけではない植物や自然界全てに対する神メッセージとして伝えられたものなのです。

人を導く心に、刃はいりません。愛と同じく、完全な寛容の心をあなたが持てばいいのです。全てを受け入れながら、自らの役目を果たすこと、それは地球に存在する全ての魂の記憶にある神の証なのです。神として、人として、失う事を目的としてこの人生の意味を考えてみて下さることをお願いいたします。
2009.03.25 Wed

夢のメッセージ

最近、夢で観た映像の意味を聞かれる事が、とても増えています。３月１６日のエネルギー上昇に加えて、お彼岸で霊界との繋がりが増えていることも影響しているのでしょう。

ご先祖の話からしますと、昔から亡くなった人が「夢枕に立つ」ことはよく言われることですが、ご先祖様や守護存在たちがメッセージを一番伝えやすい方法が眠っている時だという事は覚えておいて下さい。できれば枕元に紙とペンを準備して、寝ぼけながらでも走り書きしておくと、大切なメッセージを逃しません。

ご先祖様から届けられるメッセージのほとんどは、人間的な内容が多いのは当然ですが、あちらに行ってから気づいた事をあなたに伝えたいという思いやりの場合と、あなたがまだ気づいていない大切な事を教えてくれる時があります。

霊界よりも次元の高いメッセージの場合、意味不明な内容が多いと思いますが、未来のメッセージが多いのでメモに残しておくと、ふとした時にその意味がわかる時があります。メッセージを受け取りやすい状態は眠る時以外に、あなたがリラックスした瞬間に「ふと」繋がりますので「お風呂場やトイレ」にも、紙とペンの用意をお勧めします。

ビジネスの世界で成功しているほとんどの人が、この夢の啓示や直観的な気付きを得て成功している事はあまり教えてくれません。今のあなたが理解できない事を伝えてくれる存在こそ、あなたの守護存在なのですから、大切なメッセージをどうぞ逃さないようにして下さい。

私自身の体験ですが、２１世紀が始まる準備の大きな意識転換の時は、毎日のように夢の中で宇宙メッセージが届いていました。あらゆる次元からのメッセージは、それこそ意味不明なものばかりでしたが、どう考えても必要のないメッセージが届くはずはないと思っていたましたので、家のあちこちに紙とペンを置いて書いた記憶があります。

出張時に私と同室になった人は皆さんご存じですが、私はとてもハッキリとした「寝言」を言う有名です（＾＾）子供の頃の記憶でも、朝方に大声を張り上げて歌を歌ったり、自分の大声で目覚めた記憶が何度もあります。その声は、２階の部屋から１階の台所まで聞こえ「どうしたの？朝から大声出して？」と母に笑われた記憶もあるほどです。朝から声が枯れていた原因がわかった瞬間でした（＾＾）

2000年当時、夢の中の登場人物とやりとりした会話をハッキリ寝言で話していたので、自動スタートする録音機材がとても欲しかった時でした。このように自分の意識が守護存在からのサポートによって目覚める時は、集中して守護メッセージが届く時期がありますので、どうぞご自分の「夢ノート」を作っておくことをお勧めします。

たくさんの夢メッセージを体験したおかげで、夢の解読はとても上手になりましたが、夢を見る要因はその他にいくつかあります。日頃、潜在的に思っている事柄や心の中で思っている悩みを夢の中で実現させるのも、夢の特徴だということを覚えておいて下さい。

そして高次元の守護メッセージは、「朝方」に見ることが多いのが特徴です。日の出の時間帯前後に見る夢こそ、一番高い次元と繋がる時間帯ですが、その反対の丑三つ時（2：30前後）に見る夢は、霊界やマイナス想念世界、つまり自我の世界で見ている夢が多いので、意味の読み取りをお間違えないようにして下さいね（＾＾）

今年は特に、高次元からあなたの魂の目覚めを導く夢を見る人が増えると思いますので、しっかりメモって実生活の中の気付きを活用して下さい。夢なんか一切見ないし、あっという間に朝が来るという人は、どうぞ幸せな睡眠時間をそのままお楽しみ下さい。では、夢でお会いしましょう（＾＾＞?

2009.03.24 Tue

お彼岸と ”おはぎ”

沖縄の神人（カミンチュ）が教えてくれたおかげで、2年前に亡くなった義父のお寺へお彼岸のお参りに行く事ができました。このお寺は、先日観た「禅」の映画の舞台になった曹洞宗大本山永平寺の流れを組む禅寺ですが、自分のご先祖が手を合わせていた宗派だとも知らず、２００７年に永平寺を訪れた事を思い出し照れ笑いが出てきます。

数日前には仲間から私が作る「ゴマおはぎ」が食べたい！と連絡があったので、夕方から美味しい「ごまおはぎ」を作り、一緒に食べたあとにお土産も持たせてあげました。この「ゴマおはぎ」が我が家に入ったきっかけは、あんこのおはぎが甘すぎて食べられない私の為に、創意工夫した母のアイデアです。当時は”すりごま”という便利な物がなかったので、大きな陶器のすり鉢に木のすりこぎ棒で３０分ほどゴマの擦るのが私の役割でした。

味付けは簡単で、擦ったゴマに砂糖多めの醤油少々、そこへ炊きあがったもち米を丸くにぎってゴマをまぶして頂きます。このとき必ず必要なのが、お味噌汁。甘い「ゴマおはぎ」に、濃いめの味噌汁があると、その美味しさについつい食べ過ぎてしまいます（＾＾）貧乏学生の頃にも下宿の仲間に食べさせた思い出があるほど、私が作る「ゴマおはぎ」は、大人気です。”みたらし団子”のゴマに、お餅をまぶしたイメージでとても美味しいですよ。

彼岸や先祖祈りで大切なことは、作法や宗派の違いよりも普段忘れているご先祖の事を思い出して感謝する日なのだと感じました。そう言えば、故人は何が好物だったかな？と考えて、一緒に居た時間を感じる心も、春の訪れを育ててくれる時間になると感じました。大切な事を思い出させて頂いてありがとうございます。
2009.03.23 Mon

ガイアプロジェクト**2012**

仲間に紹介されて読んだ本が、この「ガイアプロジェクト２０１２」です。読み終えた感想は目に見えない世界の説明が、現実思考型の人でもわかるほど、日本人に合ったわかりやすい説明の本だと感心します。著者が、韓国人だからかもしれません。書かれている内容は・・・

・人間の意識や無意識について

・霊界や死後の世界の仕組み

・宇宙次元とアカシックレコード

・チャクラの役割と意識の関係

・地球の未来

など様々な観点から「ある真実」を伝えている本です。私には細部を除けば「真実」をわかりやすく書いてあると思える本ですので、ぜひ皆さんにも読んで頂きたいと思います。

この本に書いてある内容が、ほとんど「真実」だと言える理由は、私自身も2000年前後にその大枠を知らされていた事と、その後の経験で確証を得ているからです。当時、周りの人やスピリチュアルな知り合いに「真実」を説明しても、誰も理解してもらえなかったのが私の周りの人たちでした。

でもその数年後、日本で同じようなメッセージを受け取っている方がいるのを知りました。2004年から「プロジェクトガイア」をインターネット上で主宰している自称：フランシスコさんです。現在は「ＷＡＯ」としてその活動を続けられています。

私たちのようにずいぶん前に、未来の情報や宇宙の真実を知らされた人は、世界中にもまだたくさんいる事も知っています。しかし同じ情報を受け取っても、それぞれの「魂の役割」によって具体的な行動は違います。常に「真実」を受け止められない人たちの不安や混乱エネルギーに対して、調和する為の学びを自分自身もしなければいけないからです。これも「魂の役割」に気づく道です。

同じ目的を達成させる為には、組織化して同じチームメイトで仲良く進む事が一番正しいと思っている方たちは混乱するかもしれませんが、実は、相反する活動チームも含めて、そのすべての同調と否定のエネルギー全てが、宇宙レベルで計画された段階ごとステージアップの方法だと学んで下さい。

うまくいかない事も、失敗する事も、足を引っ張られることも、批難されることも、全てが愛の計画の一部であることが理解できた人は、自分を守る為に誰かを非難する事を一切やめて、その全ての出来事も愛の一部と受け止めて、自分が次のステージへ進む時期に来ている事に気づいて下さい。

この本の出版は2008年2月29日ですが、私に降りた光の柱の崩壊メッセージも、2008年2月25日でした。そしてどちらも1年後に私の手元に集まり、皆さんへ公開する流れになりました。これが全ての宇宙の計画の流れであり、計らいの姿です。

20世紀末、精神世界の本に出会ったおかげで意識が向上した経験をお持ちの方も多いと思いますが、２１世紀の第三ステージ最終章の２００９年に、この本から「真実」を知ることも、あなたが次のステージに上がる出会いだと思って下さい。

「真実」を受け止めるときのコツは、好き嫌いで部分的に手に入れるのではなく、一度、全てを受け入れてから自分が受け止められない部分の学びがあることを知ることが一番、大切です。そ

して、真実を知ったあとの行動責任は自分自身ですから、あなたが自分で考えて答えを導く責任があります。

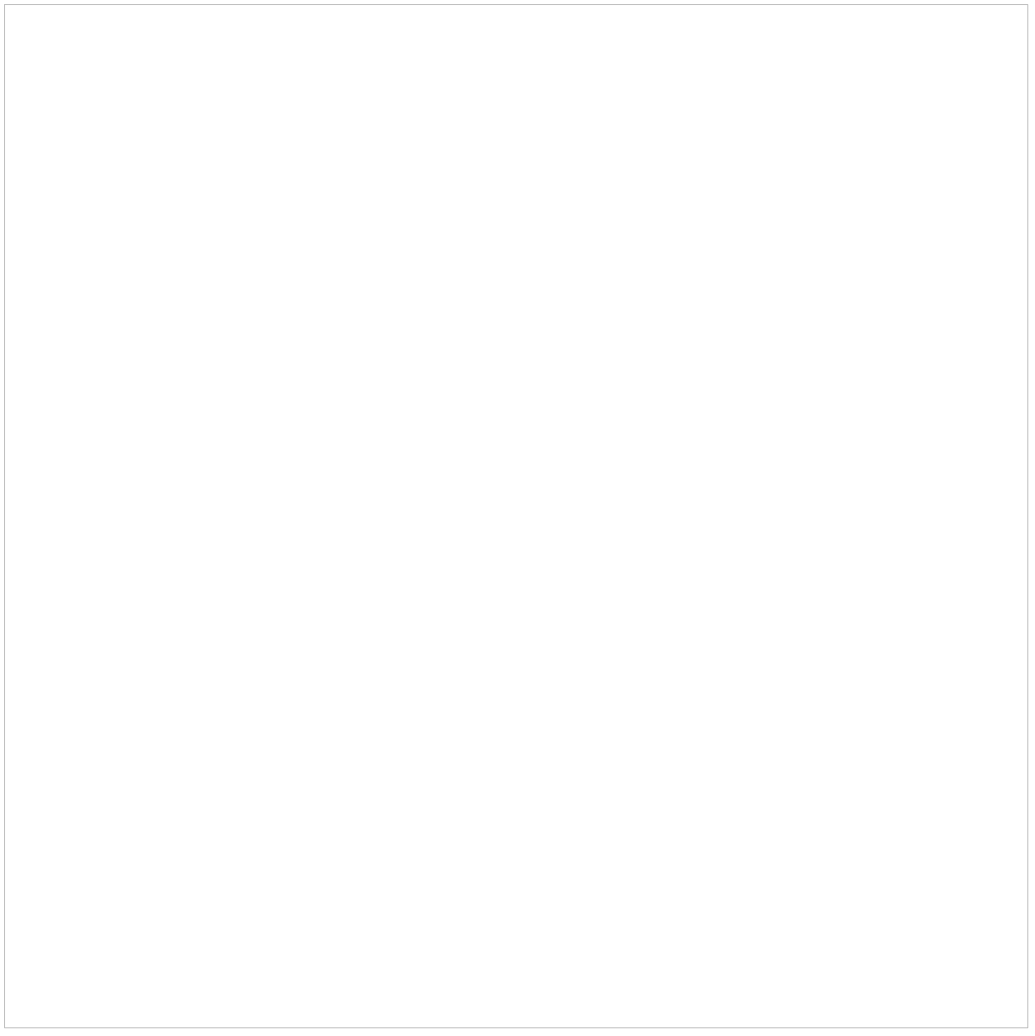
こういう「真実」を書いた本は、２０世紀末に「神との対話」がありましたが、今から２０世紀の本を読んで学ぶ必要はありません。２１世紀にはその上昇したエネルギーに見合った必要な本が、たくさん世の中に出ていますので自分に見合う本に出会って下さい。

２０年前は、宗教・思想のコーナーにあった精神世界の本が、10年後にはビジネス・経済のコーナーに並び、今では、家庭生活・教育のコーナーにも並ぶようになった現状こそ、さまざまな人たちの活動によって目覚めた日本人の霊性の証です。

私はこの本を手にした事で、ひとつ決断した事があります。今後は、私の知っている「すべての真実」も公開していい時期にきたと感じたからです。もう学校の授業のように「学び」に人生の時間を費やする時ではなく、実際の生活で活かせる心と知恵を身につける為に、求める人に「すべての真実」を伝え続けます。

２０１２年までに残された３年は不安や混乱にエネルギーを使うのではなく、起きる出来事や変化をすべて受け入れられる自分に成長して、未来を創造する新しい仲間たちと出会う為に、全てのエネルギーを費やしましょう。

未来は、あなたの喜び溢れる創造の心から生まれるのです。



2009.03.19 Thu

週刊　「毎日幸せ」　エネルギー転換

昨日、３月１６日になって急に、理由はわからないけれど、とっても幸せな感じが溢れてきましたというご報告を数名の方から頂きました。とてもうれしいご報告をありがとうございます。

この事はとても大事なので少し説明しますが、実は、喜びの出来事を体験するから人間はうれしいと感じるのではなくて、それよりも前に「うれしいと感じる状態でいる」事で、幸せな出来事を引き寄せている事を知っておいて下さい。

このことを「引き寄せの法則」として本やDVDで説明したものが昨年、アメリカから流行りましたが、実は、この理由がなく幸せを感じることにも宇宙のエネルギーが関わっているのです。

宇宙の法則や摂理を理解している方ならわかると思いますが、宇宙は、人間の霊性を進化させるためにたくさんのエネルギーを必要な人に送り届けています。この見えないエネルギーで起きる出来事を皆さんは「偶然」と言ってしまいますが、私がこの世の中に「偶然はない」という理由も、この宇宙エネルギーのことを理解しているからです。

宇宙のエネルギーバランスには、「善悪や相対」という比較する価値判断がありません。常に、ある目的の為に大きなエネルギーの循環機能が「宇宙の始まり」から動いています。この宇宙エネルギーの一部が、宇宙全体の循環や地球の誕生、また、自然界の循環、さらに人間の命や魂の循環摂理を生みだしています。

人生の経験で言えば、幸せな経験を選んだつもりで大きな苦労を背負ったりしますし、苦しい経験だと思って覚悟して取り組んでみると、逆に、大きな幸せを感じさせてくれる場合があります。このことも、自分で選んでいるようで実は、その経験や役割をさせてもらっている事に気づい

てほしいのです。

事例としてあげると、急に、誰かを責めたくなったり、反対に、誰かを喜ばせてあげたくなる感情こそ、実は、人生経験の結果だけではない、もっと大きな宇宙エネルギーの働きで突き動かされている時もあるのだという事を覚えておいて下さい。

人間同士が出会う理由は、出会ったお互いの魂が本来の目的に目覚める為に、いい役や悪い役の「役目」をお互いにしてくれています。その証拠に、お互いの学びが完全に終わると、何年も付き合った仲の良い関係でさえ、一瞬にして無くなる事もよくあることです。

この詳しい説明はまたの機会にしますが、大切なことは「喜びを感じる自分は、その喜びを周りの人に与える役目」であることに気づいて下さい。幸せを感じた人が与える役目をするからこそ、愛は広がり、宇宙に愛のエネルギーとなって還元されていくのです。

全ての人は、互いに学びあい、成長するために出会っています。そして人生で出会う全ての人でさえ、実は、すべて自分が決めて生まれてきていることも覚えておいて下さい。

あなたが決めて、あなたが選んだこの人生と経験ですから、どうぞ、喜びを大きく感じられる仲間たちと集い、楽しい時間を増やすように努力して下さい。幸せは、誰かと共有するからこそ、大きくなるものです。私も昨日は、いい気付きを頂きました。素晴らしい気付きと経験を共有できる仲間たちがいてくれる事に、心から感謝しています。
2009.03.17 Tue

3/16　エネルギー上昇日

３月１６日は、３月最大のエネルギー上昇日ですが、スピリチュアルカレンダーをお持ちの方は、今月のメッセージの言葉を特に意識してお過ごし下さい。今後、益々上昇するこの宇宙エネルギーの変化の前後に起きる事を私の体験から少し説明しておきましょう。

まず肉体的な変化として、肩や腰など一部分が重だるく感じたり、軽い風邪のような症状が出たり、理由がわからない咳が出たりすることがあります。

これは守護霊、守護神を含めた見えない宇宙のエネルギーが、身体にエネルギー振動を与えることで、今までの周波数と新しい周波数の調和を図るために出る症状です。こういう時によくマッサージで身体をほぐしたくなりますが、筋肉の疲労とは違いますので、一時的に楽なってもすぐにまた元の身体に戻ってしまうのが特徴です。

また、色々な夢を見る回数が増えます。夜寝ている時やうたた寝などをしている時に、様々な場所の映像や登場人物を通して、大切な気づきのメッセージをあなたの守護存在たちが伝えてきます。

メンタル的な部分としては、理由もなく情緒不安定な気持ちになりがちです。軽いソウウツのように、理由がない不安や迷いが増える様になります。夜、ゆっくり眠れないのも、こういう見えないエネルギー振動との不調和が原因の時がよくあります。（※霊障エネルギーを受け続けて眠れない症状と似ています）

対処方法としはまず、「本当はしたほうがいいな」と思っている事をすぐに行動する事です。気持ちが滅入っている時こそ、今まで放置していた事を完了することで目の前の不調和エネルギーが大きく改善できます。

「意識とエネルギー」の関係も簡単に説明しておきましょう。まず肉体を動かさずに、ただ心の中で何かを思うだけでも、実は、自分の身体の周りのエネルギー振動数（オーラ体）が変わるという事を覚えておいて下さい。

具体的に多い症例は、辛い事をずっと考えている人は、低周波の荒い粒子が電波振動となって身体から発信されている状態ですが、この低周波振動を一番、好むのが「不浄霊」と呼ばれるマイナス感情に囚われた霊的な存在たちです。あなた自身が悩みに囚われている事で、霊たちを引き寄せていることに気づいて下さい。

また、「心で思う」「考える」「悩む」「何かを意識する」という心の振動数よりも、強くエネルギーを変える方法が、肉体を動かす方法です。どんなに落ち込んでいたとしても散歩を１時間するだけで、汗と同時に浄化作用が起きて心は軽くなります。引きこもって家にいる時の固定した意識振動数が、運動によって振動数が変わった結果です。

本来、人間の心は、目に見える情報や聞こえる情報などの五感から入る情報に反応するようにできていますので「見るもの、聞くもの、触るもの」を意識して明るく楽しい物だけに選別する事で、心の安定を図ることができます。

また第六感のように見えない感覚が研ぎ澄まされた方や生まれつき直感がするどい方は、霊的なエネルギーや神的なエネルギー、また宇宙から流れ込む大量の宇宙情報のエネルギーをキャッチする機会が多いために、その情報の理解に長い時間、苦しんでいます。

宇宙全体からこのエネルギー周波数の存在意味を考えてみると、実は、プラスもマイナスもなく、その人が繋がったチャンネルは、その人が学ぶべき領域（役目）であることをまず理解して下さい。

この見えないエネルギーが人間の意識・無意識に影響し合って起きている身の回りの出来事の意味を正しく理解できるようになると、魂の役割が明確になるだけではなく、他人の心の迷いも紐解いてあげられるほど、すばらしいスピリチュアル能力が目覚めます。

〇お勧め・・・ハートランド龍球　スピリチュアル能力開発講座

まれに、色々な物が見えたり聞こえたりする事を羨ましいと言う方もいらっしゃいますが、実は、この見えないチャンネルが生まれつき開いたまま成長した人は、自分の好き嫌いや生活のリズムに関係なく、無作為にエネルギーや情報が入り込みますので、その見えないエネルギーに振り回されないように人生を強く生きる修行も魂の役目として与えられています。

見えなくても、信じられなくても、ご先祖や神に見られている・守られていると思って手を合わせ続ける事で、大いなる魂のつながりを感じる瞬間があることも覚えておいて下さい。

エネルギー上昇日までに身体が辛い経験をした人は、その日までに整う準備がなされたように、今日から頭がスッキリしているはずです。反対に、今日から身体や心が重くなった人は、まだ自分のやり残しがあることを気づかせてくれる為ですので、対処方法を実践してみて下さい。

エネルギー上昇日に合わせて自分の整いをする努力こそ、地球と全宇宙が望む新しい未来へ向っている瞬間だと覚えておいて下さい。未来を創造する全ての方へ、今、新しい変化のエネルギーが届けられています。
2009.03.15 Sun

用意された３年間

魂というエネルギー体が肉体を持ち、人間に生まれた理由に気づいた人たちが、今、地球上にどれくらいるのかは分かりませんが、私もその理由に気づいた一人として日々、自らの役目をまっとうしています。

昨日、公開した「光の柱の崩壊」メッセージを受け取った２００８年当時、自分でもどう扱ってよいのかわからず、手元に置いたままでしたが昨日、偶然、見直して、もう公開してもいい時期に来たと判断できましたので公開しました。

私はいつも自分が受け取るメッセージも、自分だけのものではないと感じていますので、タイミングを考えて皆様へ公開するように心がけています。それは、一人一人に生まれた役目があるように、私の役目だと感じているからです。

高次元から伝わる宇宙メッセージは、受け止める人の心によって大きく意味が違いますので、公開する時期や内容も皆さんの集合意識の状態を考えて公開するようにしています。

ちょうど、３年後の今日（２０１２年３月１２日）、それまで支えている地球上の光の柱が音を立てて崩れ落ちますが、その意味は、皆さんの不安をあおっているのではなく、一人一人が自分の意思を明確にして宣言し、行動することで「新しい柱」、つまり、地球を支える「意思エネルギー」が立つ事を教えてくれているメッセージなのです。

地球上の政治や経済や人間社会で何が起きたとしても、一人一人の人間の意思が未来へ向けて明るく明確であれば、必ず、その方向へ地球全体は動き出します。その役目を果たす為に、私たちはこの時期に人間として生まれてきたのです。

具体的に言えば、未来を悲観している人の数より、未来に希望を持ち明るく楽しいエネルギーを出す人が多ければ、この地球は皆さんの意志と行動の力で救われるということです。

私は少しだけ時間を超えた情報を頂く事もありますが、未来は、人間の現在の意識次第で変える事ができるからこそ、憶測的な言葉はなるべく使わないようにしています。この３次元の世界で何よりも強いエネルギーは「あなたの意思」なのだという事に気づいて下さい。

未来はあなたが思ったように、望むように、したいように変えていくことができます。まだこの事に気づいていない方は、宇宙の守護意識体が用意してくれた３年間の間に、光り輝く素敵な人たちに出会い、大いなる感動を共有して過去経験した囚われやカルマに引きずられない生き方をして下さい。

苦しみは、あなたがまだ知らない喜びを得るための「気づき」の経験であり、嫌な事や避けたい事は、あなたが今、学ぶべきテーマである事に、早く気づいてほしいと思います。

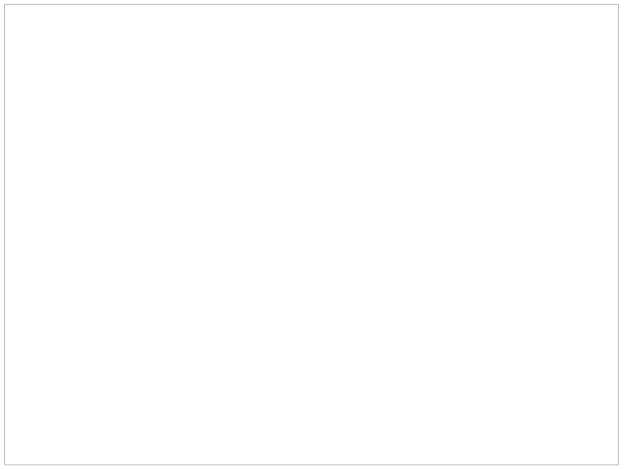
私たちが生かされている間は、未来に希望があるからですし、私たちに「するべきこと」が、まだあるからなのです。あなたの責任を負える範囲でいいですから、あなたの魂が喜ぶ道へ進んで下さい。神、天、宇宙、そして、地球、人間、自然界全てに、心から感謝を捧げます。
2009.03.12 Thu

沖縄本島　村建て神事　**2/20-2/22**

１月１１日に降りた神メッセージをお知らせして沖縄本島に集まった仲間は全国から総勢１１名にもなりました。この日までに沖縄本島に住む方は、神事の準備の祈りもしてくれていました。あとから聞いた話ですが、私たち北海道メンバーの乗った１便の飛行機以降、すべて欠航になったことを聞いて今回の神計らいをまず感じました。那覇に到着した2月20日は先祖の霊界が開く日に当たっていた為、沖縄本島を守ってきた首里城にご挨拶だけしてから、祈りの打ち合わせと参加者の交流会を持ちました。

２月２１日（土）土地の整いの祈り

祈り場所：大石毛公園・森の川・勝連城・中城



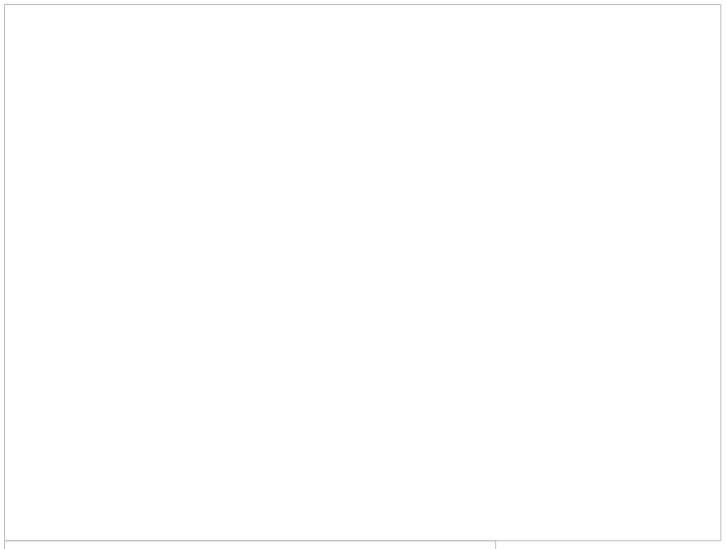
首里城がまっすぐ見える大石公園の階段の小山の頂上には、大切な神様がいらっしゃいます。その場所から祈りを捧げると大きな神様が現われて、数名の方に大切なメッセージを伝えてくれました。私の神事では、ひとつの場所の祈りの後に必ず全員でその意味取りを確認し合います。理由はお互いの魂の成長も神事の目的に含まれている事と、一人が聞いた神メッセージには実は幾つものキーワードが隠されているからです。

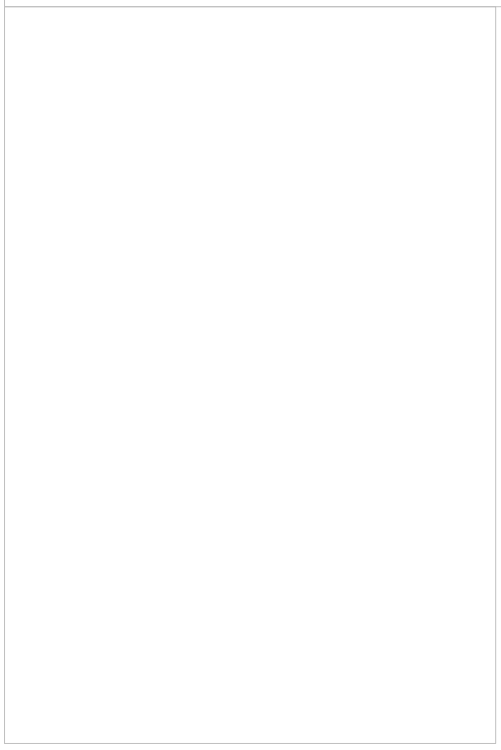
このメッセージからＵ神人は、河の神様に行く必要を感じたようです。場所と場所を繋いだり、人と人を繋ぐ場合、川の神様のエネルギーはとても大切な働きをしてくれるからです。向かった場所は、皆さんも聞いた事があると思いますが、羽衣を隠された天女が人間の時間を過ごし、二人の子供を産んだ天女伝説が伝わる「森の川」へ行きました。神人・女性を先頭に祈りをしていると、この土地を守っていた昔の王様が私の前に現われて、天女の羽衣を隠した男によって人間社会に「嘘や人をだます」事が始まった事をお詫びをして欲しいと言います。男性たち全員に、そのことを告げました。

次は「クガニミヤ」と呼れ黄金の森です。昔この場所から金が採掘できたおかげで農耕具用の鉄が交易で手に入り、大きな農業の繁栄を与えてくれた土地神様に感謝する場所です。手を合わせてみると、碑の横に生えている樹の上に大きな神様がいらっしゃる事を教えてくれました。土地の恵みに感謝する自然神信仰も、昔から沖縄の人たちが大切にしている信仰の基本です。

「村建て」のように新しい事を始める時は、必ずその土地で起きた過去の争い事の和合祈りをしておかないと、関わる人たちに土地の霊が乗りやすくなりますので、今回は勝連城（カツレングスク）と中城（ナカグスク）の和合祈りをすることになりました。この二つの城が潰れた背景には、王様たちの裏切りや悲しい思いをした人の霊が集まっている話があります。全員がその事実を聞いて、全ての御霊の思いを受け止め御霊たちが喜ぶ祈りをする覚悟をして勝連城へ向かいました。

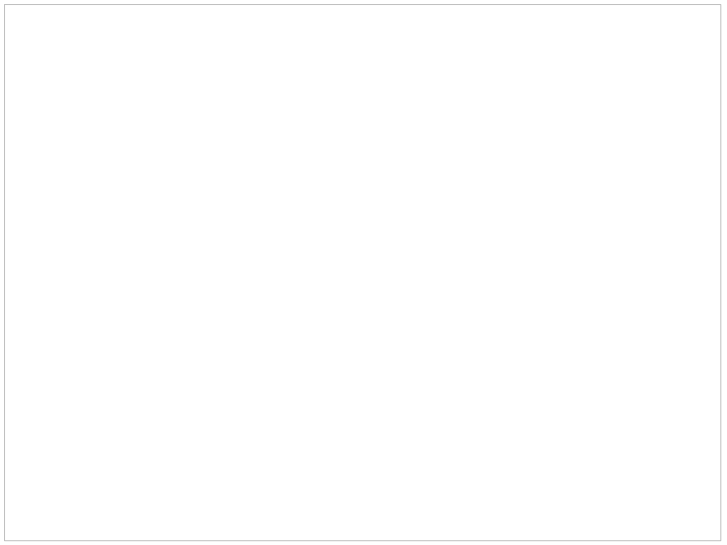
第二次大戦時の空襲でほとんど壊された勝連城跡に入ると、全員が空気の重さに言葉を失います。階段を登り城の最上階で４名の男たちが四方の神々を背負って、手を取りあいながら和合祈りを行いました。



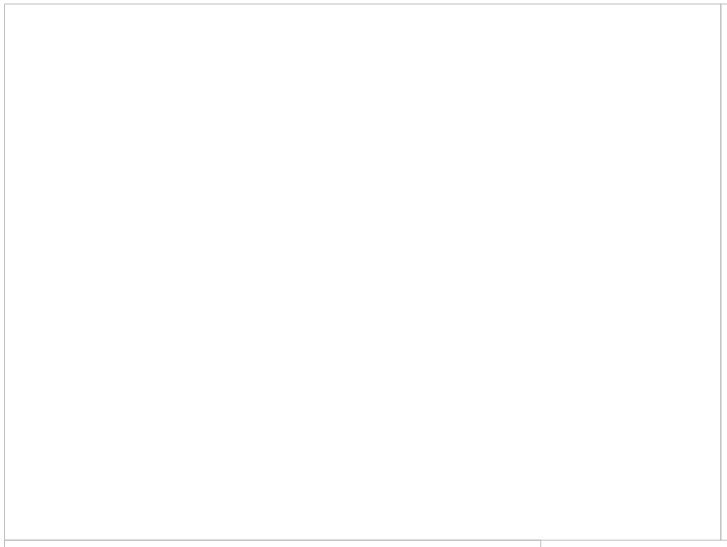


勝連城の祈りを終えて、中城へ向かう車中、中城に残っている御霊たちからたくさんの思いが飛んできます。現代でも当時の思いを残して上がれずにいるたくさんの御霊たちの言葉を皆さんに伝えると、全員がこの中城で命を失った最後の情景を見ているようでした。

御霊たちの思いを遂げる覚悟をして階段を上ると、階段の横や岩の上で亡くなった死体の山や殺されるシーンが目の前に広がります。血まみれになった霊たちとも交信できるほど精神の強い霊能者が数名いたおかげで、最後はこの城に居る御霊たちの思いを上げることに成功しました。



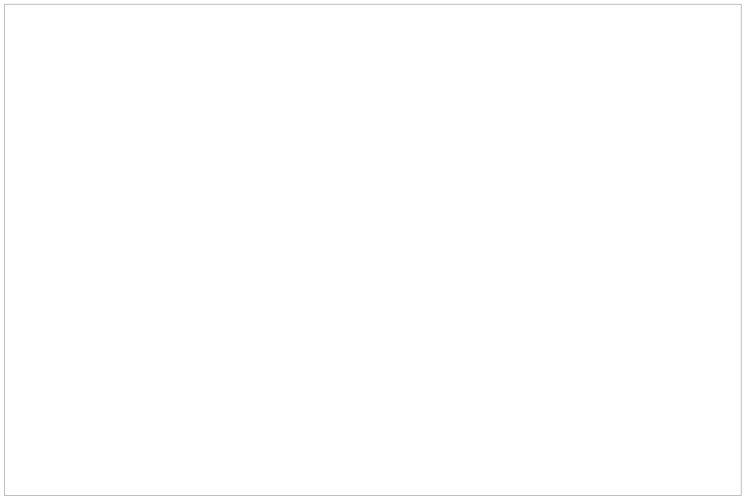
この中城の頂上には、首里城に向かって「火の神」を祈る拝所があります。この場所は本来、王家とノロだけが手を合わせる場所ですので、ご先祖に王家の血筋を引いている沖縄の三名で祈りを捧げました。大いなる神々は私たちの祈りに対して、光の色でその感謝を表してくれます。





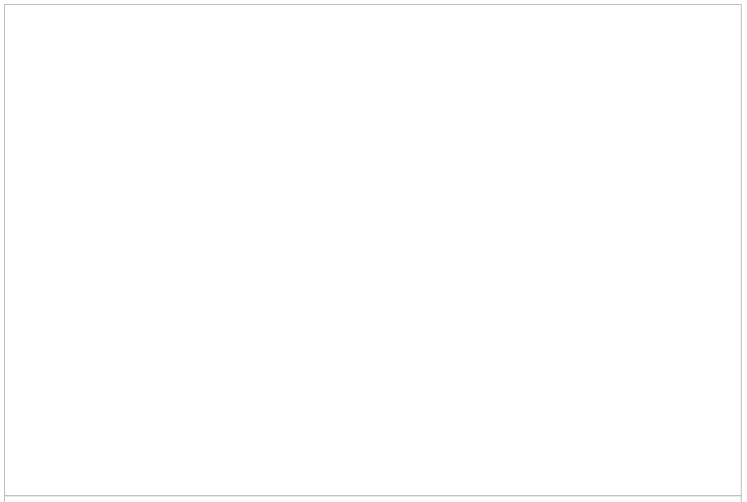
２月２２日（日）　　村建ての祈り

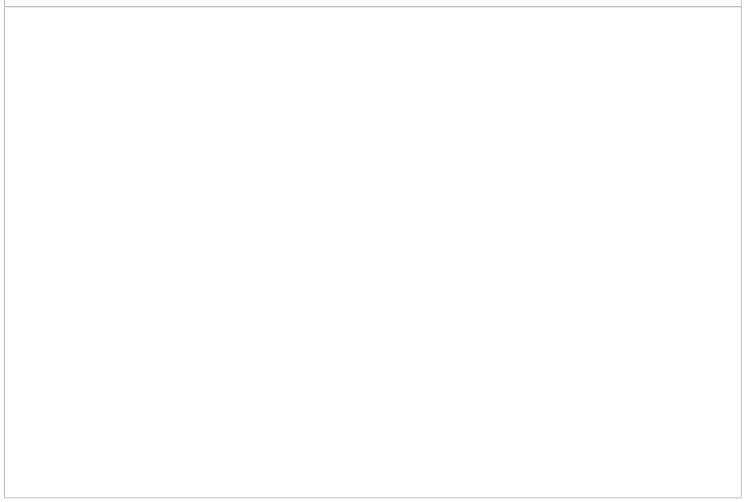
１月１１日のメッセージが降りた西原町の幸地全体を見渡せる場所から霊視すると、とても強くそして暖かいエネルギーで守られているひとつの森を見つけました。その森周辺のエネルギーを感じるために歩いてみると、まだ誰にも知られていない弁天様と龍がいる水の湧き出る場所を見つけました。全員で祈りを捧げた後、神様に話を聞いてみると数百年前からここを守る為にいた事を教えてくれました。そしてこの泉の名前が、「月の泉」であることも教わりました。



地元の人に聞いても、ただ水が湧き出ているだけで、神様の事は聞いた事がないと確認もしました。ここの「月の泉」の神様の水は、沖縄に多い霊的な「ターリ（神正し）」た人たちの魂を磨いたり、過去の因縁の汚れを落とす御霊浄化の働きをして下さいますので、沖縄の仲間がたくさんの人をこれから救い導く役目ができるように与えて下さった事が最大の神導きだと感謝しています。

「月の泉」を見つけた後、次の場所の「ククジムイ（時の森）」」に向かいましたが、この場所は「水で時の管理」をしていた時代のエネルギーコントローラーの場所ですが、地球の北極圏と南極圏のエネルギーを再調整して地球の波動を全員で調整する祈りを行いました。



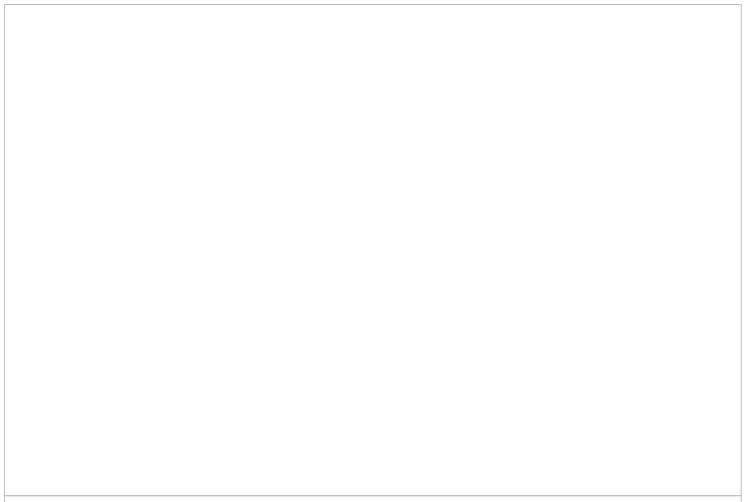


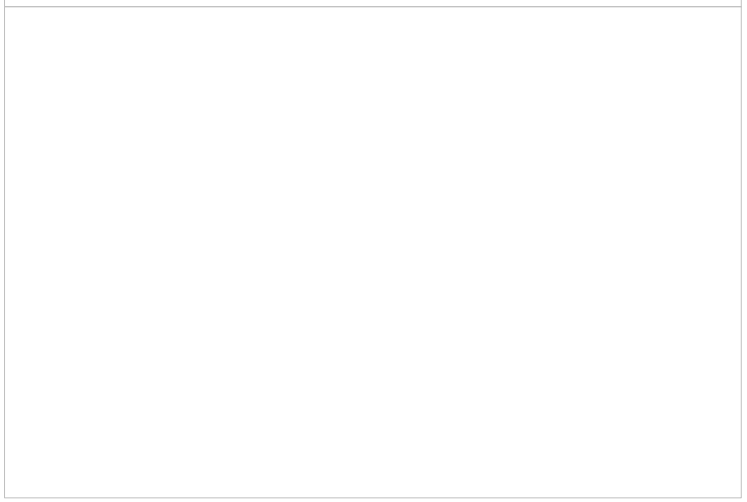
「ククジムイ」の祈りを終えると今度はこの土地を古くから守っている土地の河の神様（河神＝カーシン）である「前原ガー」に手を合わせます。水を守る魂の役目を持つ二人には、神様からメッセージが降りました。水を繋ぐ役目を持つ人は、自らの魂の浄化と関わる人たちの魂浄化という大きな働きをする役目で生まれています。お二人の今後の働きがとても楽しみです。さらにこの水の神様が全国の水神様へ繋ぐ働きができるようにと「隣天盤悟空」という神様が働かれる事を教えてくれました。

次はこの土地に新しい軸を立てるための「子根軸之御嶽」と「黄金之御嶽」へ向かいます。北の軸を十二支の子軸（ニージク）と呼び、全ての始まりには必ず祈りを捧げる大切な祈りですが、この御嶽の横にあるマンションの土地が削られた山のおかげでエネルギーが崩れているのを感じます。霊的に感じやすい人はこういう土地には住めない事を神人が教えてくれました。

地球の軸を立てる役目を持つ男性と二人で祈った時には、神様が直接、気づきのメッセージを伝えてくれました。また「黄金之御嶽」では富・名誉・力を持つ意味も教えてくれました。神々はいつも私たちを見守り導いてくれているからこそ、お願いするのではなく、ただ感謝の祈りを捧げる重要さを教えてくれます。

この日の最後の祈り場所は、幸地城（コウチグスク）の山のてっぺんに女神が降りたと伝わる「ビージル」という神様の場所です。この「ビージル」に入る前に、男女の河神（カーシン）で天軸・中軸・地軸の和合と陰陽和合の祈りを済ませて丘を登ります。丘の傾斜にある神様はとても大きなエネルギーで存在されていて私たち全員の御霊（本質）を見抜いている事を感じました。「さちわいの地　幸地」を教えてくれた事に心からの感謝を捧げます。





三日間続いた最後の祈りは、この幸地に宇宙の軸を下し繋ぐ祈りを全員で行いました。天軸を土地の中軸に繋ぎ、地軸まで下ろす祈りは、一人一人の宣言の言葉と共に、宇宙のおおもとまでエネルギーが繋がりました。宇宙の全ての時間軸を管理している「トキノヒコ」の神役目を持つ方が最後の言葉を降ろした事で、沖縄県中頭郡西原町字幸地の土地に新しい村が始まる神事が成功しました。

今後、「沖縄本島の幸地」で現実的に何を行うかは、一人一人の心の成長と共に具体化すると思いますが「月の泉」に水エネルギーを頂きながら、幸せと愛が溢れる人が繋がる活動を進めていきますので、どうぞご期待下さい。全国から祈り合わせ下さいました地球創世　祈りメーリングのご登録の皆様に心から感謝申し上げます。

2009.02.28 Sat

奄美本島神事　**2/25-2/27**

２月２５日

夜8：25に港に着いてすぐ、美味しいお店を紹介してもらいました。奄美本島の神場所は、事前に情報を集めていましたが、やはり現地の人に聞くのが一番、感じて判断しやすいからです。教えてもらったお店は地元でも評判の有名なお店ですので、さっそく人徳のある女将さんに話を聞きます。

女将は「神様の事はよくわからないけど、ところで、あなたはどの神様を頼って来たの？」と質問されます。「どの神様？？？」、何かの宗教団体と思ったのかなとも考えましたが、後でわかった事はこの島の一般の方は沖縄で言う「神人・ユタ」と呼ばれる霊的仕事をしている人を「神様」と呼ぶのです。沖縄と同様に、本州方面から霊的な相談を受けたくて「神様」を紹介して欲しい方が多いと話していました。

ホテルに戻り、明日からの打ち合わせをしますが、どうしてもうまく感取りができません。この島の「神様」に直接、電話する必要があると、身体に乗っている存在が伝えるので、「じゃあ明日朝、紹介してもらった神様に電話しましょうね」言うと、とたんに身体は軽くなりました。

２月２６日

紹介してもらった「神様」に電話すると、まず男性が出たのでビックリ！ご本人だと確認してから私たちの祈りの目的を伝えて、この島の現状を聞きました。話した内容を一言で言うと、琉球王朝時代に伝わった伝統的な祈り方法や神所は、奄美本島にはほとんど無くなっているという事です。教えてくれた６０前後の男性も「自分なりに昔ながらの火・水・風・大地の自然神祈りをやっと最近、始めているところなんです」と教えてくれました。

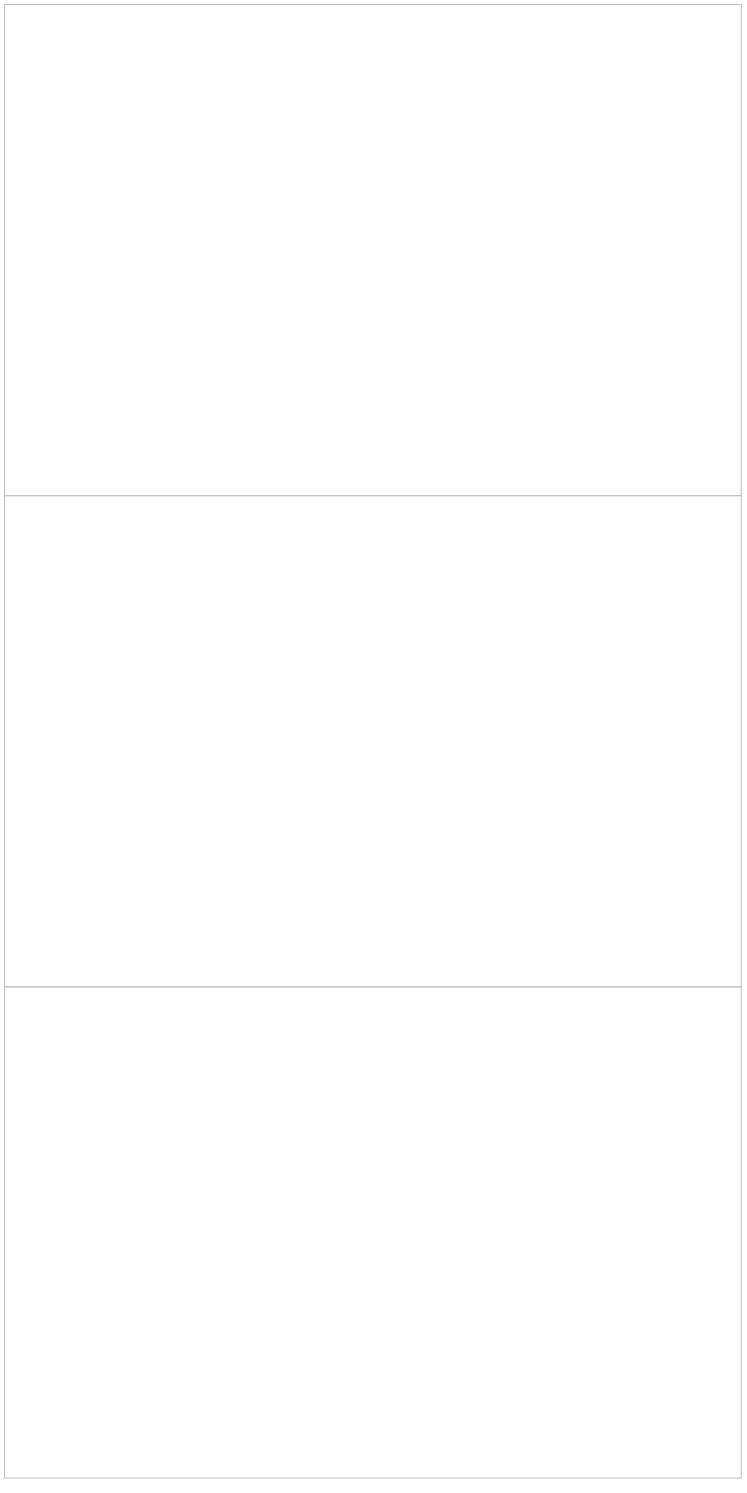
当然ながら、ヌール神（ノロ神）の場所も、龍宮神の場所もわからないと言います。時代の流れは文化を変えるだけではなく、歴史や信仰も変えたことを肌で感じました。しかし、現在に至るまでのたくさんの人の思いを、私たちは全身で感じています。信仰を変えなければいけない苦しさは、物を奪われるよりも一番苦しいと思いますが、それを受け入れてきたからこそ「争い」は無くなったのです。

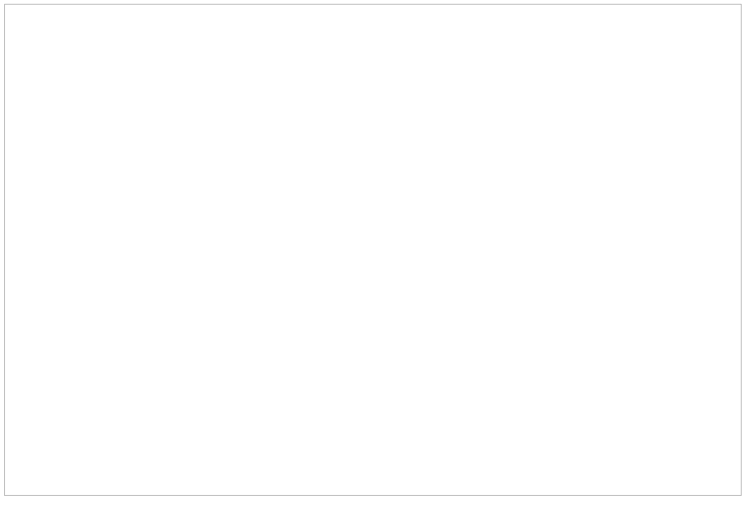
現在世界で起きている戦争も、信仰争いを利用した経済侵略なのは、皆さんもお気づきだと思いますが、ここ奄美諸島は、歴然と鹿児島県だということを感じた瞬間でした。だからこそ私たちは、すべての和合の為の祈りにきたのだと確信しました。

歴史に隠されたここ奄美諸島の事実を鹿児島出身の若いお二人に話すと、「本当に申し訳ない事をしてきた気持ちで一杯です」と涙を溜めながら、初めて聞いた事実に驚いていました。今回の神事は、鹿児島や本州出身の方にとって、奄美諸島の地にお詫びにきている事になります。また沖縄や北海道の人間は、新しい文化によって破壊された過去の御霊の思いを受け止めてあげる為にきていると感じました。

祈りの目的は、男神女神の和合・その親神様へのお詫び、土地神様へのお詫び、龍宮神の立て直し、ヌール神（ノロ神）の立て直し、河神海神繋ぎ、城王様へのお詫びと感謝です。また港近くの土地は、源氏と平家の最後の争いをした激戦地でもありますので、その和合祈りも行います。さらにこの地に「天孫降臨」の神がいることもわかりましたので、国づくり・村建てに繋がる神事になります。改めて全員が自分の役割を感じながら、お詫びと感謝の祈りをさせていただきます。

〇今井権現





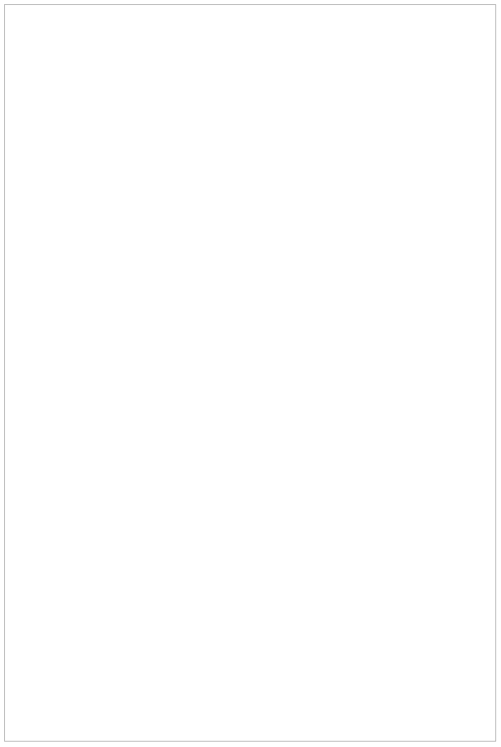
調べると奄美本島の神所の多くは、北部に集中しています。その中でもこの「今井権現」は平家の魂を納める場所でしたが、それ以前の神が大きいということで、平家の弔いは違う場所に移す事になった場所です。山の上にある鳥居から、さらに１００段ほどの階段を登って見える本堂は、最初、神エネルギーが立っていないのを感じました。祈りを捧げると、ここを守るための力が足りないと守護存在が言うので、ここに正式に「火の神」を降ろす祈りを捧げました。

両側に二本のローソクを立てた中央に、三本のローソクを立てて「火の神」を降ろす神言葉を唱えます。本来、火の神は、中央に男神、両側に女性の神がいますので、門番の女性の神と合わせて、完全なこの島も守る守護神が降りた事になります。神道（しんとう）でも「火の神」は最後に降りたと書かれているように、人間を守る一番、近い神と言ってもいいでしょう。

先ほどとは全く違うエネルギーになったこのお堂にお礼の祈りを再度、捧げました。さらにここに「ヌール神」も鎮座してもらいました。火の神を守り、見えない霊的な整いをする神としてこれからは、大きくお働き下さることでしょう。

〇河神（カーシン）

今井権現の祈りを終えて移動する途中、海に流れ出すわずかな川を見つけました。新しい命の湧き出しと陰陽和合を祈りました。



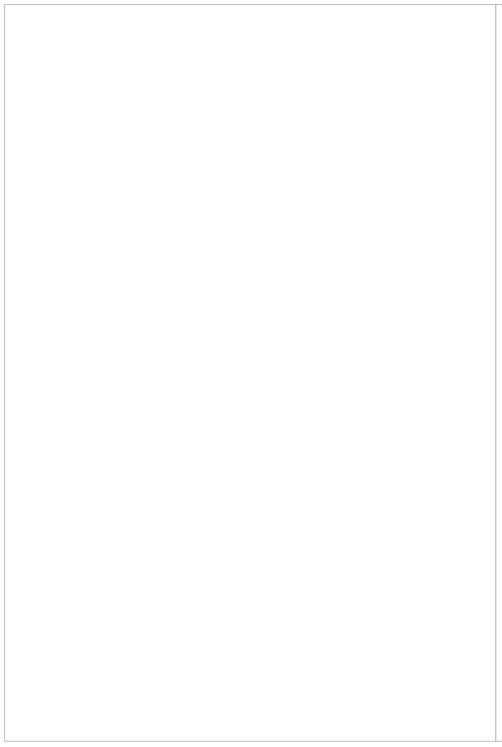
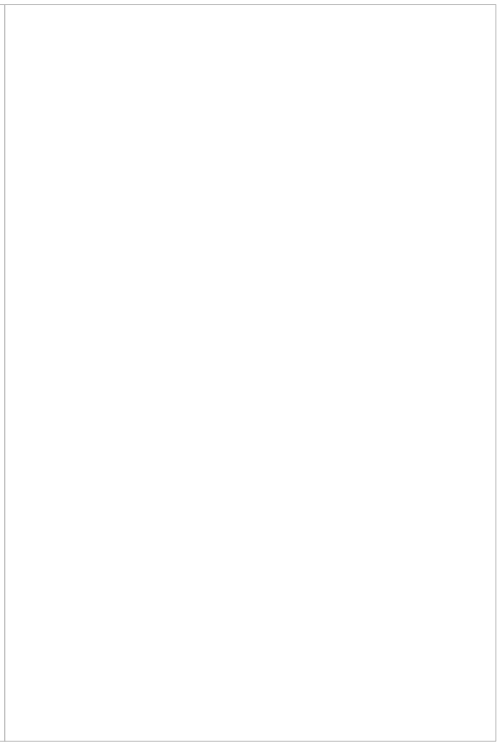
〇龍郷町付近の海岸線のトンネル

何度も道に迷って通った短いトンネルでしたが、ここは元々、大切な神場所であったことは見てすぐわかります。近づくと身体がしびれるので、神が怒っているのが理由です。日本全国にもこういう場所がたくさんありますが、こういうトンネルほど事故が多いものです。手を合わせてみると「ここは北を向いているが、本来、東を守る神がいる」と教えてくれました。見えない存在に対する失礼をお詫びしてから無事故、無災害に感謝の祈りをしました。

〇平瀬マンカイ　男女和合の祈り岩

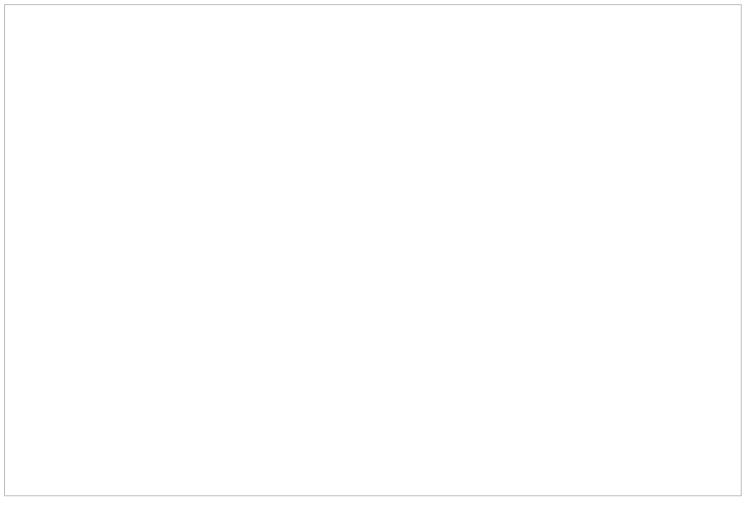
国指定の重要無形民俗文化財になっている男岩、女岩で祈りを捧げました。男女・北南・陰陽など全ての相対になっている物の和合祈りです。本州九州代表の３人、対、北海道沖縄の３人が向き合って、すべての和合の為に両者の詔を宣言として唱えました。神の光が降りた事で全員が調和を感じた祈りになりました。

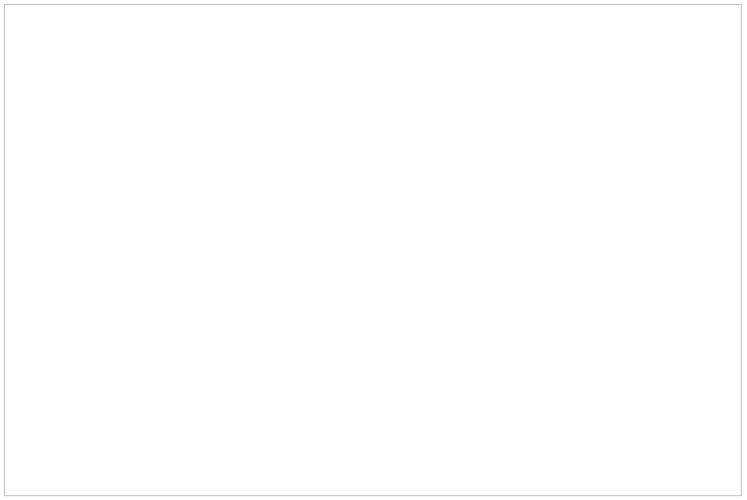
○立神岩　（夫婦岩）

この男性のシンボルとも言える立岩神は与那国島にもありますが、驚いたのは、この岩のてっぺんにある３つの岩も、与那国島にあるシンボルの岩と同じ形です。与那国島の神男が教えてくれた事は、中央が王様、両側が王妃と側室で陰陽和合の象徴になっており、また天と地の神の意思を伝えていると教えてもらいました。台湾にも同じ形のものがあり、与那国島と海を挟んで向き合ってる事も話してくれました。

この岩の形の意味は、日本に伝わった神の意思、つまり、日本が象徴とした天皇家の神ルーツのラインであることを自然界の神を祀る民族の証として示しているのです。女性たちは、男性への非礼と和合を祈りました。あとで発見したのですが、対岸にある女性の神岩が見つけた事で、ここで命の産み出しをする神、つまり「人類発祥の地」であるとメッセージを受け取った女性もいました。それは、天孫降臨のひとつの大事な場所であることもわかりました。

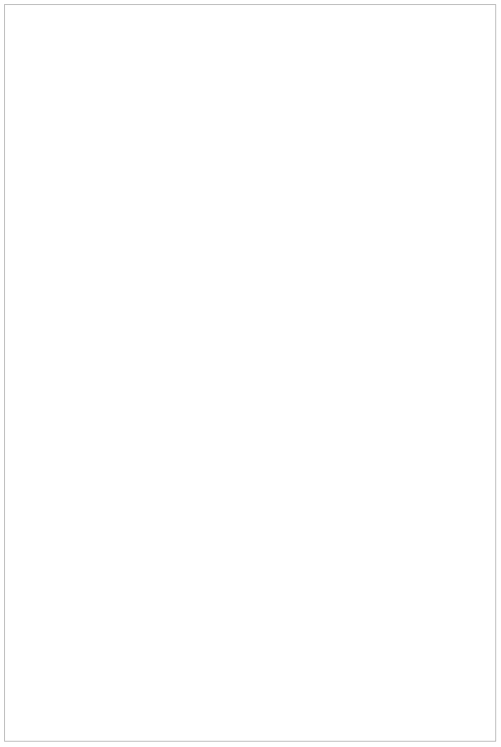


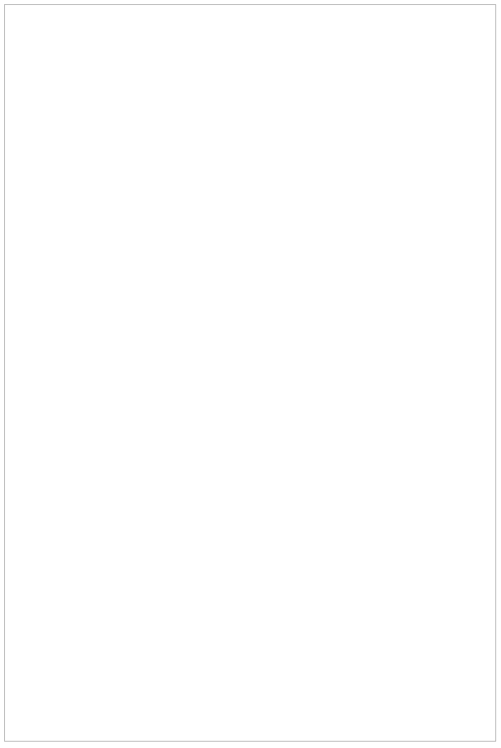


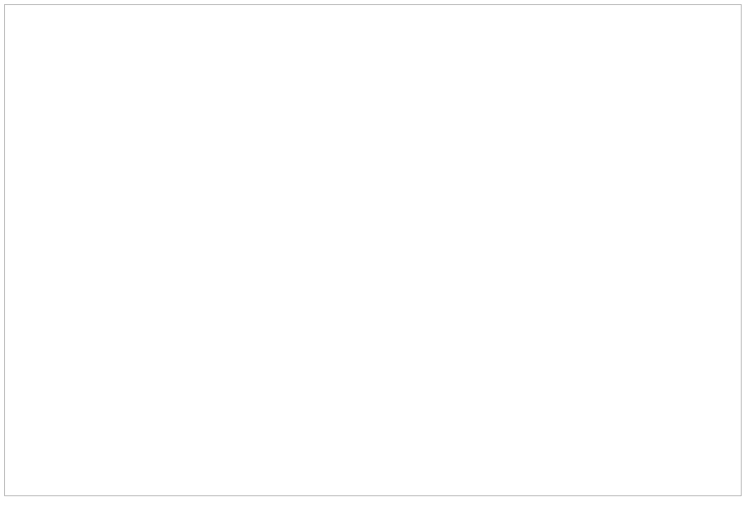
〇平町　阿麻弥姑（アマミク）神社

天孫降臨の地を探してたどり着いたのが、この神社です。祈りを捧げると、「アマミク、我、ありなむ。シロミク、共にありなむ」とおっしゃいます。そして「昔はたくさんの者たちが祈りを捧げつないでおったが、今は、残り少ない者たちがここを守っている。天孫降臨の地へ繋いでほしい」とおっしゃいます。また沖縄の女性には「ここは天下り盤である」と聞こえました。

ここは本来、神が降りたエネルギーを繋ぎ守る役目の神社だとわかりましたので、必ず天孫降臨エネルギーを繋ぐ山があるはずですので、後ろの山を探して見つけました。その山へ祈りを捧げてみると「天つなぎにより、当たらな種が生まれた。その種を繋いで欲しい」とおっしゃいます。先ほどの立神岩の人類発祥エネルギーを繋ぎ、また天へとそのエネルギーを繋ぎ直し、最後は、私たち一人一人の身体にそのエネルギーを繋ぎました。自分たちの戻る土地へこのエネルギー繋ぐ役目を頂いた事になります。全員にその事を伝えて新たなる決意をし愛ました。



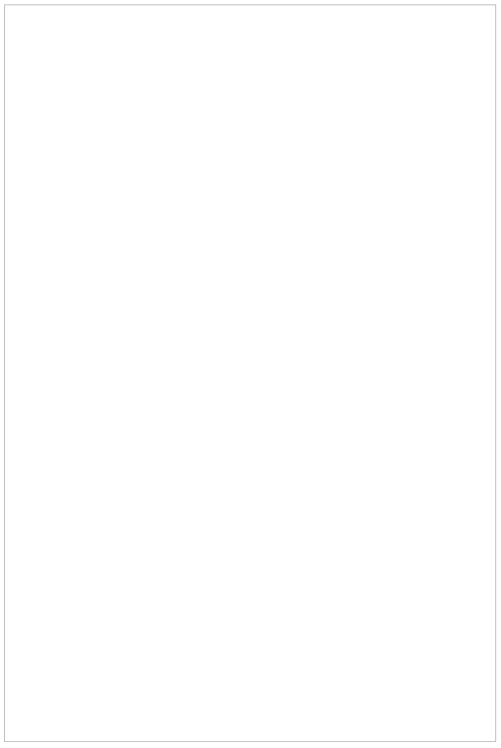


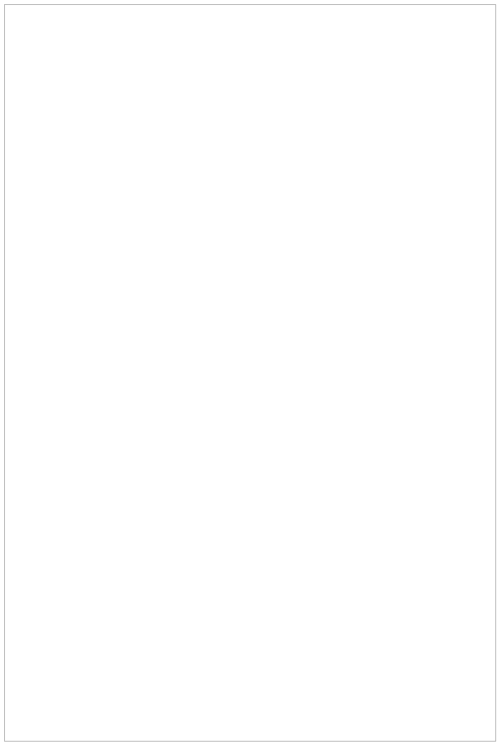


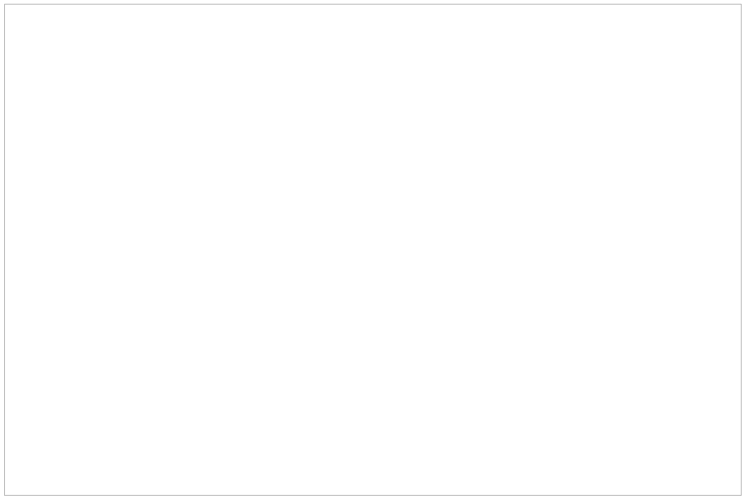
午前の祈りを終えて遅い昼食を食べる為に入ったお店のテーブルには、私たちの神事を見ていた様に「天孫降臨」について詳しく書いた地図がありました。この島の神とあがめられた大いなる王様の話も、実話として琉球王朝の資料に残っています。この王様の名前は「与湾大親（ゆわんうふぬし）」という名前で、奄美大島では今も大切にされています。南部にある湯湾岳に大いなる神が降りた事はわかりましたので、陽が暮れるギリギリの時間ですが急いで車を走らせます。

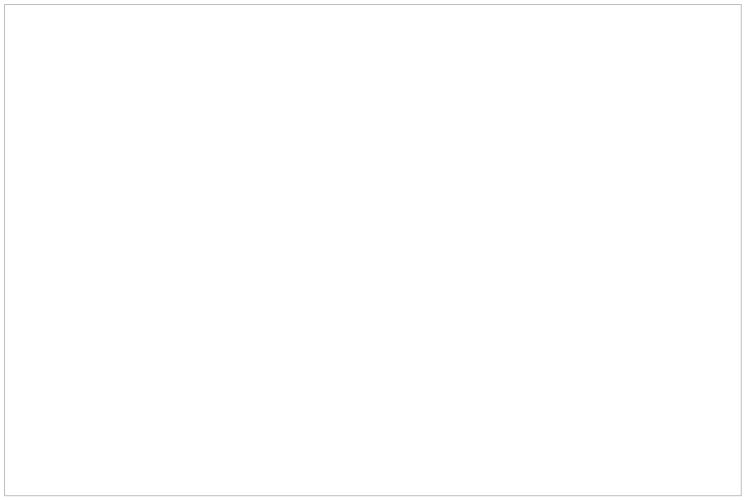
湯湾岳には展望台があるのを忘れて登山道へ向かってみると、そこには、大きな鳥居と神が降りた証の碑があり、碑を映した写真に写る光こそ、本当に神々が守る山なのを教えて下さいました。神様から「ユワンウフヌシ」の名前の意味を教えてもらいました。

「ユワンフヌシとは、世を改め、大いなる働きをする為の名として与えられた名前である」

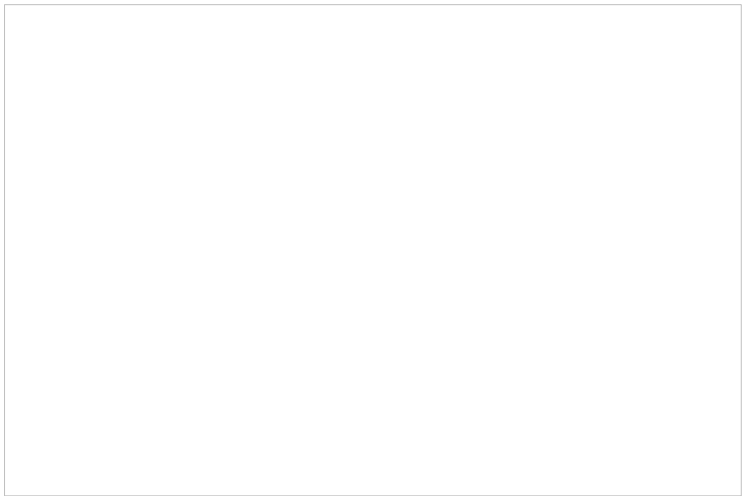


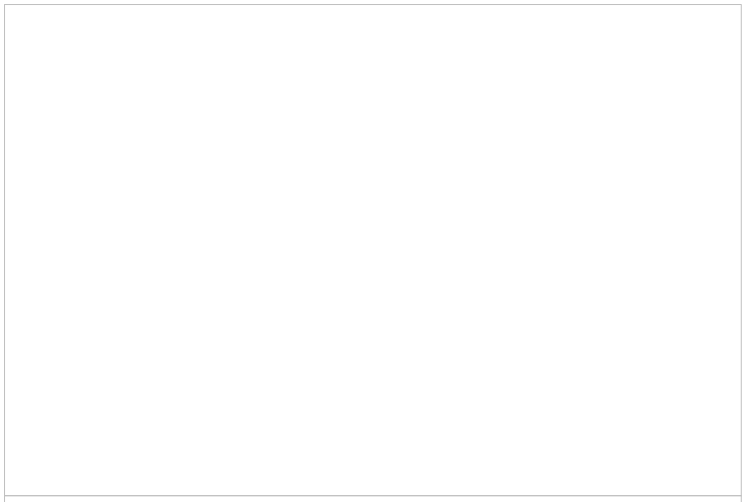


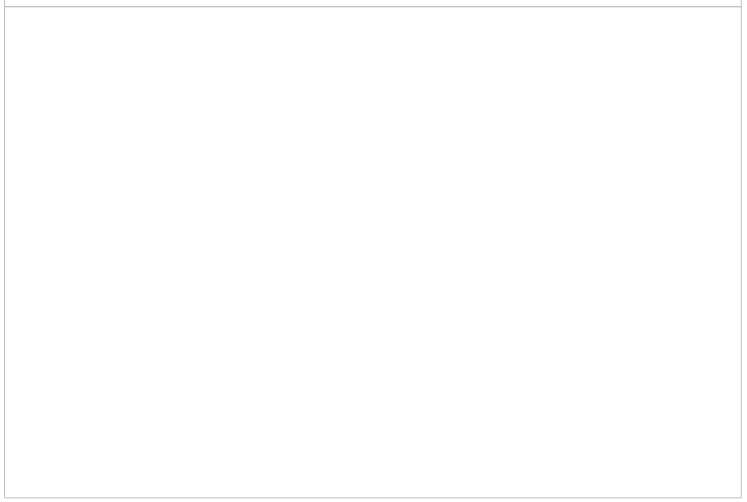




湯湾岳展望台の上で今日の祈りのお礼をしました。美しい夕日は今日の祈りを祝福してくれていると感じましたし、祈りが終わった瞬間に、夕日が落ちた事も神祝福と感じました。本当にありがとうございます。





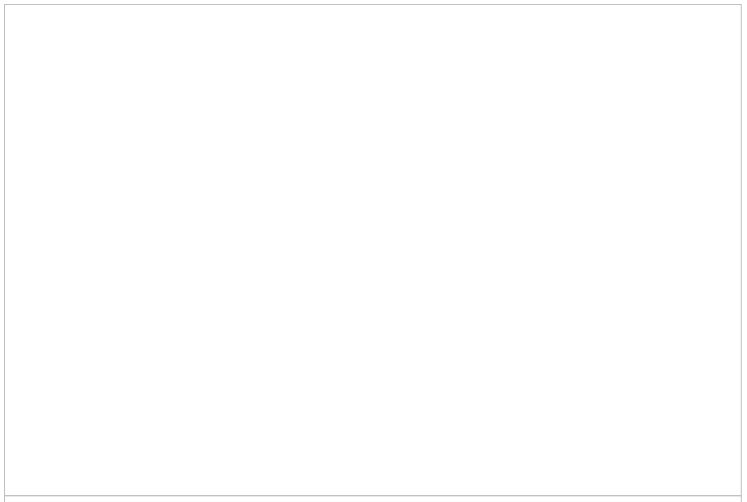


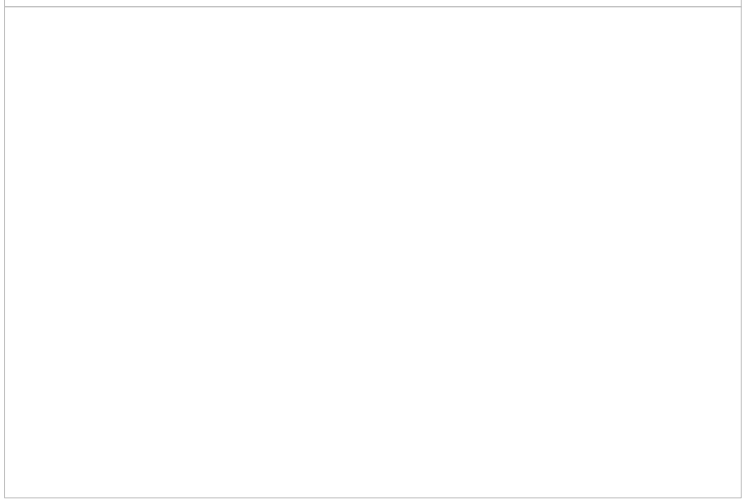
ホテルに戻る前に、私たちのホテルがある周りの川は、源平の戦いの時に、真っ赤に血に染まった映像を見せられていた事を話しました。沖縄本島の「月の泉」や各島々の水の神を繋いで最後の御霊揚げの祈りをしました。一日の終わりは、今日の疲れた体を癒すためとこの島の神々を祝う為に、島歌が聴ける場所へ向いました。奄美民謡は、琉球民謡を進化させた独自の文化だと主張するように、三線（さんしん）のバチが違ったり、歌い方も違います。

大切な神事を終えた時は、なるべくその土地で歌い継がれた古い神歌を歌ってもらうようにしています。特別な時にしか歌わない神歌と全員参加の踊りの音に合わせて、店の外からお客さんも飛び入り参加してくれました。

祝宴を終えてホテルに戻り、全員でこれまでの神事を振り返り話し合いました。一人一人の心の満足度を確認すると、まだ何かやり残しがあると感じた人が多かったので明日、飛行機の出発前までに大切な場所へ向かう事を決めて就寝しました。

２月２７日　　宮古岬

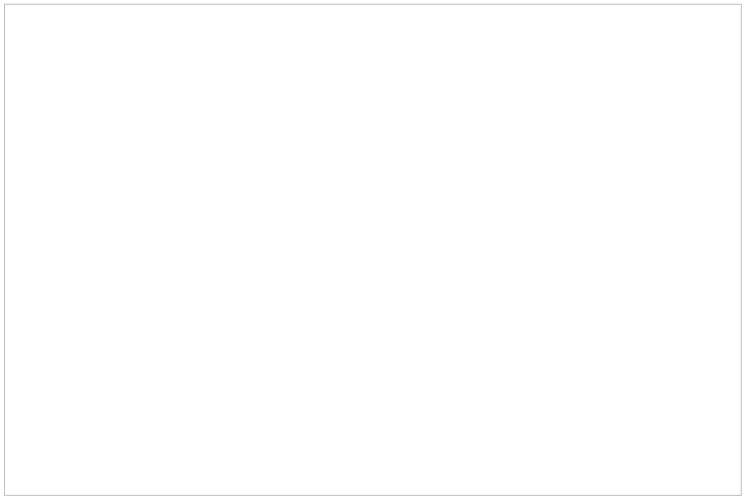




地図を見ていて最初から私が気になる場所が「宮古岬」でした。古い都という意味がある宮古の字を使うには理由があると感じてましたし、宮古島の神が呼んでいるように感じたからです。岬の下にある海岸に着いたとき、そこは「湾口龍宮神（真水と海水の混じり合う所）」だったので、すべての和合をまとめる祈りができました。

ここの神様からこの場所は「カートォーシャ」と呼び、川の神がいらっしゃる所、ティンダ花が咲く所、龍が飛び立つ所、川の生気を送り出す所、後ろの山神が守っている場所、沖縄本島の阿謝（アジャ）と繋がっている場所と教わりました。そして祈りの最中に、大小の二頭の龍が飛び立つ姿も見せてくれました。守護霊のノロが教えてくれ事は、「龍の湾をまとめ束ねると、太陽の神がつながり、祈る事ができる」でした。

〇与湾大親（ユワンウフヌシ）の碑



最後は、やはり天孫降臨を気付かせてくれたお店の横に立っている与湾大親（ユワンウフヌシ）の碑に向って、すべてのお礼祈りを捧げました。琉球王朝の領地の一部が鹿児島県になって時が経った今、名前が変わっても神々はおられますし、守る心は同じです。そこで亡くなった御霊たちの思いも感じた事で、過去のさまざまな思いも調和されました。

偶然、出会った売店のオーナー女性に、与湾大親（ユワンウフヌシ）様を大切にしているお礼を伝えることができました。その女性も「琉球からのお迎えを待っておられたのですね。土地の皆様は感謝して大切に守っていますよ」と言葉を下さいました。最後まで、神計らいには驚きます。

奄美空港を離れる時にノロ言葉で、メッセージが降りました。

主（あるじ）は、尊い神として喜びの涙を流しております。そして、古き王たちにも心から感謝しております。心から、神から、手を合わせております。

奄美空港から乗り継いだ那覇空港には、沖縄本島の祈り仲間が集まってくれていました。Ｕ神人に、概要を報告していると私を守護してくれた「島ノロ」たちが、最後の思いを伝えてきます。

私を守護してくれた「島ノロ」は、実は、琉球王朝の側室の娘だったのです。王様守る霊的守護隊のキコエオオキミの後継者争いにならないように、各島へ送られた霊的に強い側室の娘たちは、これまでの思いを首里城へご報告したいと、私の体を借りて付いてきていたのです。どうりで、奄美本島を離れる時に、身体が急に重くなったはずです（＾＾）

彼女たちの御霊の思いは、首里城の最後の門の前で「現実の物は失った物が多いですが、私たちはずっと島を守り続けてきました」という一言を、王様に直接、伝えたい気持ちでいっぱいなんです。その気持ちがわかったからこそ、私はＵ神人に首里城へ出向いてご報告させて欲しいとお願いしました。

「本来、島ノロは、王様に直接、お目どおりする事はできないけれど、首里城を守るあなたのご先祖の力であの最後の門をくぐって、広場の前で王様にご報告させてあげて下さい。」

この言葉を言った瞬間、私の身体に乗っている島ノロの御霊たちは、溢れる涙を流し、身体が震えてきました。その気持ちを組んで、Ｕ神人と王様・王妃の御霊を持つ皆さんが、全てのお礼と

ご報告に首里城へ向かった事を札幌に戻ってから聞きました。王様にご報告を終えて帰る時に、側室の女性が「娘たちを連れてきてくれて本当にありがとうございます」と伝えてくれたとU神人が教えてくれました。

那覇空港を飛び立つ時、最後のメッセージが届きました。

「たび重なる拝み、私たちノロも天の河の流れを感じております。北の地を守る十の天の繋がりは、八つの星を見てノロ祈りを捧げる事で大きな力となり、本来の神力・宇宙の力を動かすことができます。あらゆるすべての祈りは、宇宙の祈りのひとつでありますから、自分勝手な、自分だけの祈りは、自らを滅ぼす事になります。ありがとう」

また羽田空港に着いた時にも、メッセージが降りました。

「願い、願い。宇宙盤の流れは、自らの内側にある。北の方の人は内側に城を持っている役目。この内側の城とは、北の全てを繋ぎ（北斗七星）、宇宙盤を南方の軸へ繋ぐことにある。

北の地盤は、南の地盤と繋ぎ、異星人がやってくる時の為に力を合わせて光を大きく放ちなさい。他の地から来た種族は、北方の人たちと違って全く違う目的をもった民族なのです。だからその為にも、我々と同じ意思を持つ民族が集まり、一致団結して整いをするのです」

見えない存在たちの思いを理解することは、歴史に残らない人の心の奥底につながる大切な民族の思いを繋ぐ事であり、また、生かされている感謝の心を失わない為でもあると私は思い神事を続けています。

祈りメーリングで随時、ご報告致した内容に付け加えて、皆様に御報告と感謝を伝えたいと思います。ありがとうございます。また、地球創生基金へ募金　下さいました皆様、本当にありがとうございます。

2009.02.25 Wed

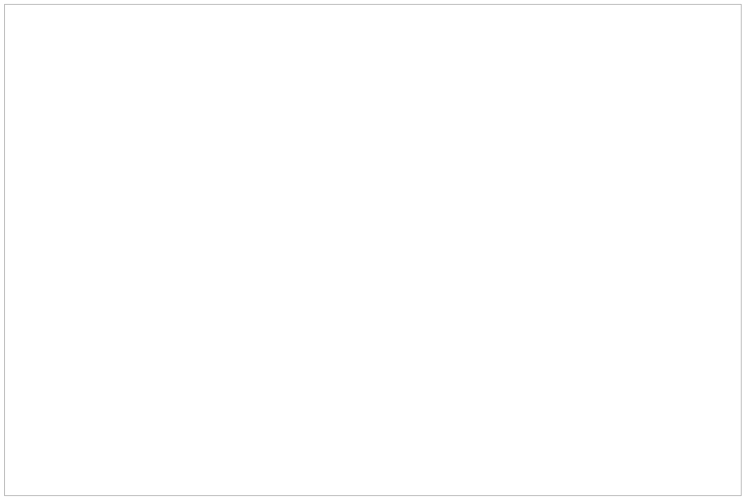
沖永良部島神事　**2/24-2/25**

２月２４日　午後　沖永良部島到着

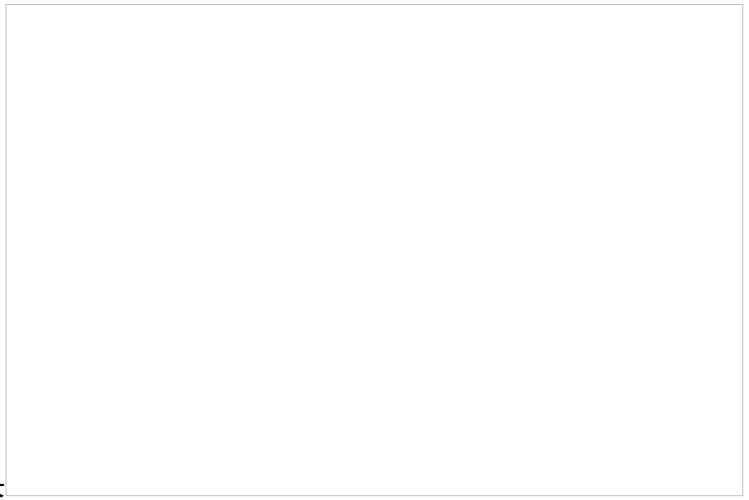
船に揺られて与論島から沖永良部島へ渡る旅も、龍神様と海の神様のおかげで揺れずに着くことができました。港へ着くとすぐに見えない存在がお迎えにやってきます。数名の女性が、「お待ちしていました。この島は私たちがご案内いたしますのでどうぞご安心下さい」と言ってくれます。私には天女のように見えました。

〇南州神社

この見えない女性たちは、沖縄の神々を背負う私たち３名と本土を背負う３名の神案内としてたくさんの事を教えてくれました。到着後すぐに打ち合わせをして車を走らせると、通り道にあった南州神社が呼んでいます。理由を聞くと、同行した男性の役目が世界を繋ぐ役割なので、世の主（ユーヌシュ）の神様にご挨拶する必要があるようです。



正面左


中央
正面右

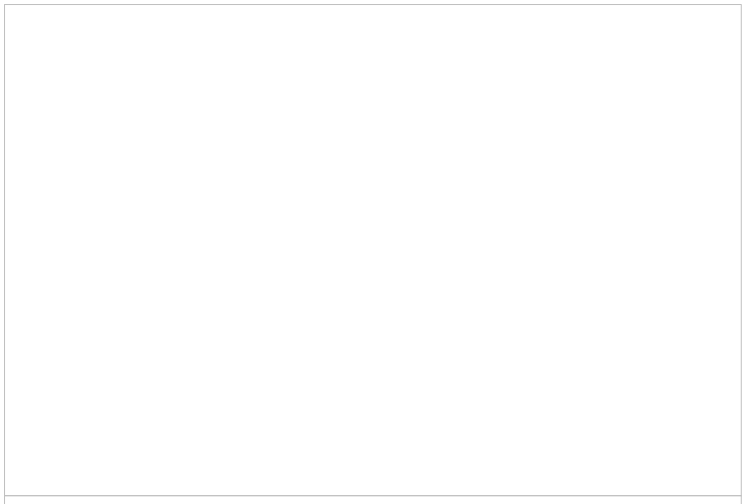
実際に祀られているのは西郷隆盛さんですが、ここを守っているのは沖縄の神々、そしてノロ（祈女）たちの魂でした。この男性がこれからさらに大きな働きができるようにと、正式なご挨拶をしました。こういう中持ちができるのも、沖縄の神人や王家の血を引く方々にたくさんの事を教わったおかげです。

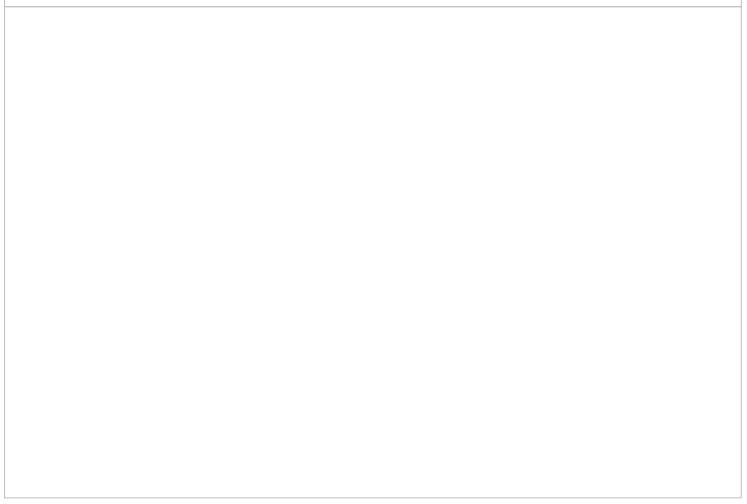
この南州神社は見た目は大和の建物ですが、向って左側に男性の神様がいらっします。右手の社には、女性の神様がいらっしゃいます。その間に西郷隆盛さんの銅像があります。男性には大切な神言葉を、女性たちは神働きがしやすいように、王家の守護存在をつけて下さいました。

この時から私は今まで口にしたことのない不思議な言葉で祈りを唱えるようになりました。後で沖縄の神人に教わってわかりましたが、古い昔にノロ（祈女）のトップ(大ノロ）だけが話す祝詞に、宇宙言語が混じった神言葉だとわかりました。この言葉のおかげで、どこの神場所でもとても通じやすく、全員を大切に導くことができました。

〇岬大明神

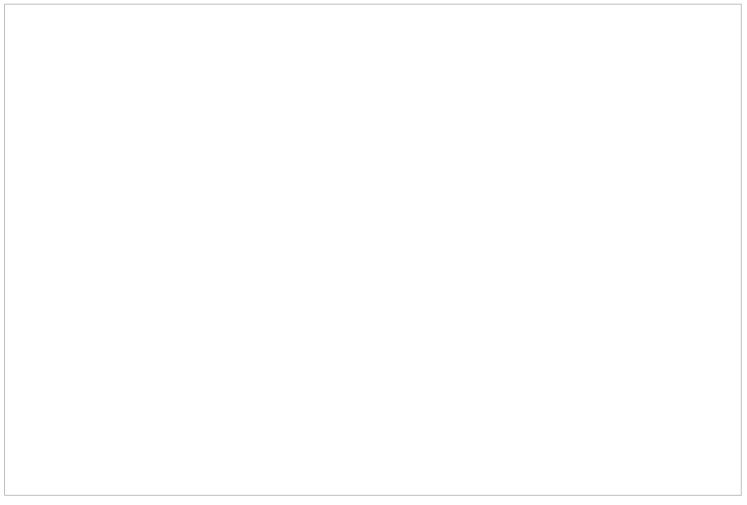
東の端にある岬大明神には、島の伝説を書いたものが残っています。伝説のほとんどは事実が多いですので、神様に導かれた話と捉えていいでしょう。祈りをすると、一人一人に神言葉がおります。「ククヌスクの底神であることを気付け・沖縄から繋がる三角形の一点・大切なものを守る場所）





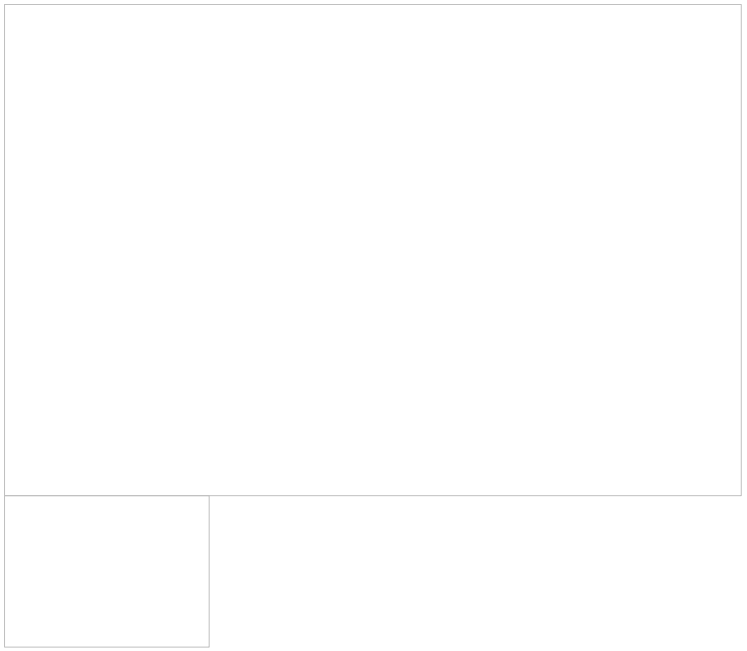
〇フーチャ(潮吹き洞窟）

このあと国頭岬から東祈りをした後、沖永良部島で一番大切な「フーチャ」と呼ばれている神場所へ行きました。崖になっている海側に大きな穴があいていますが、伊良部島のなべ底のように大きな岩の龍の神様も見つけました。龍の卵もあり、産み育てる母の子宮だとこの場所の意味に気づきました。祈りの後に見せてくれた天の光は、龍の形となって神々の喜びを伝えてくれたことが一番、印象的です。

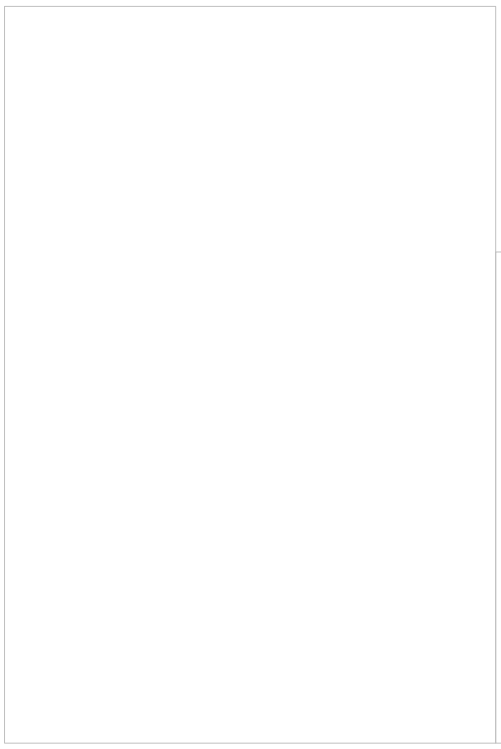


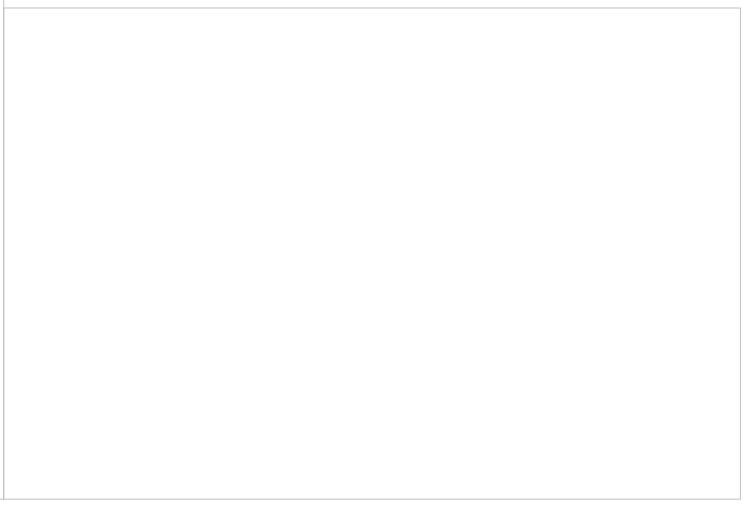
神言葉：「三天場（さんてぃんば）」＝三天門が開いた・龍門が開いた意味、「てぃんだ花が咲いた」＝太陽の花が咲いた、皆様のお働きに心から感謝いたします

〇日本一大きながじゅまるの樹（小学校の敷地内）



〇ワンジョンビーチの湾口龍宮神（真水と海の合流地）



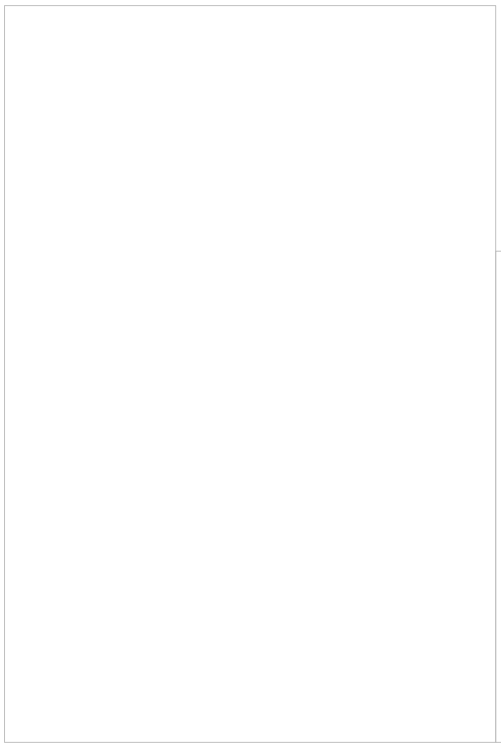


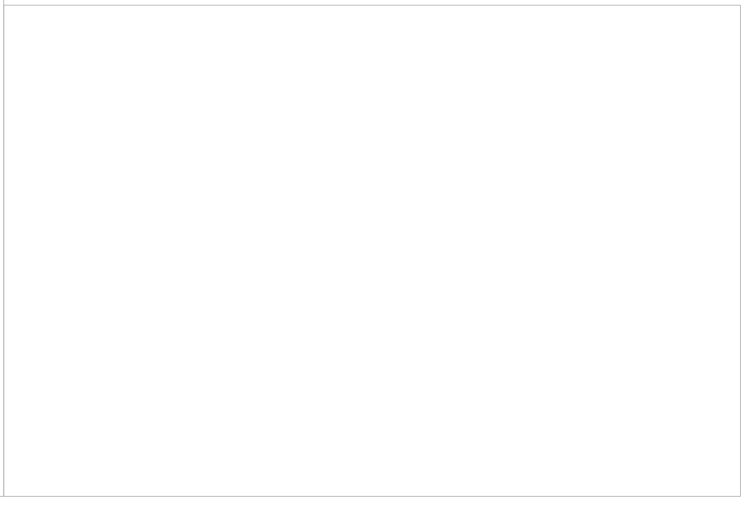
夕闇がせまる中、真水が男、海が女の象徴として陰陽和合・男女和合の祈りを行いました。いつも時代もこの和合が一番大切な新しい生命エネルギーの産み出してくれるのです。

今日の祈りを終えて宿に戻るときに、「三謝（サンジャ）」と言葉がくり返えされます。私たちの祈りを島の神々が喜んで下さったようです。繰り返す言葉を聞いていると、私を導いてくれる存在の思いがどんどん明確になってきました。島を守るノロ（祈女）の言葉は、次のとうりです。

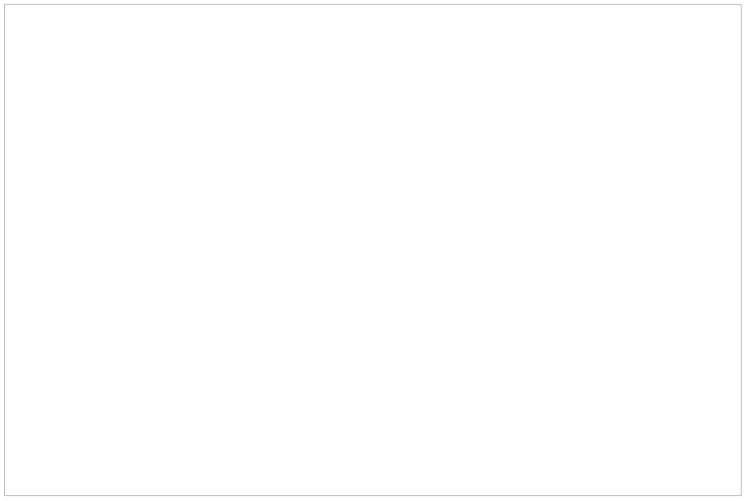
「ヤンバル（自然界）の思いを大切にしてきました。海の向こうからの思い・・・。死んでもその思いは大切につながれている。ここに感謝いたします。天の河はどこにでもある。お願いすることもあるけれど、ヤンバル（自然界）の神がおられる限り私たちは祈ります」

この言葉を聞いて、何だか全員がとてもうれしくなったので食事もそこそこに、地元の居酒屋へ行きました。土地の人に触れ合い、土地のお酒と食べ物を食べて、神様と一緒に喜びたくなったのです。お店の人がとても貴重なお酒だと飲ませてくれたのが、限定酒「泡波」でした。美味しかったな～（＾＾）

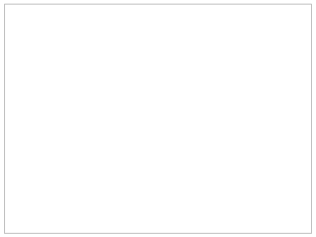


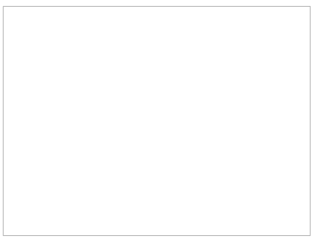


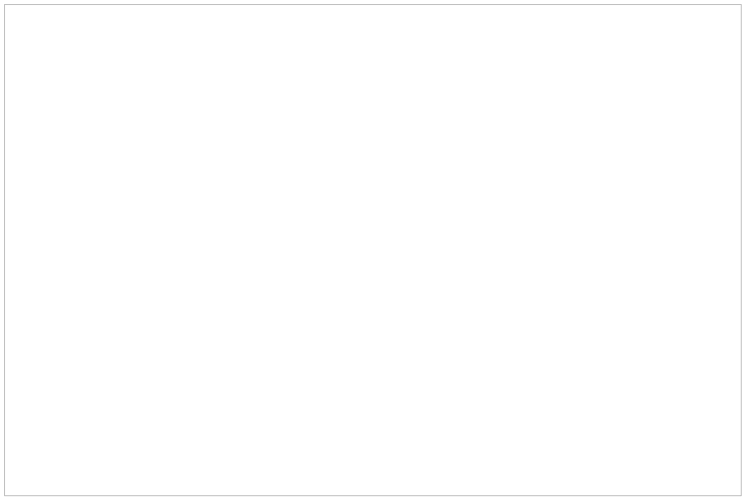
２月２５日　　世之主の墓　　※宮古島読みだとユーヌシュの墓と言います



世之主とは、城の主であったり、王様だったりと時代によって違いますが、この島を守ってきた最高の地位にいる方が入るお墓です。祈りを捧げるとここの主が、「思いは、あいわかった。左の肩を出せ」と言って、私の肩に乗ってきました。またSさんには、鏡と剣を和合の証として下さいました。これは太陽の神器と言って上に鏡、下に剣を祭る古代の神の印です。ありがとうございます。



〇田皆岬　ヤグニャ 

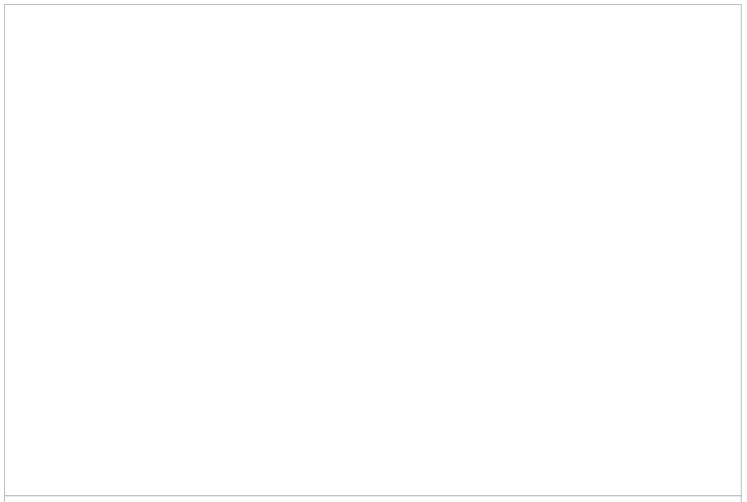


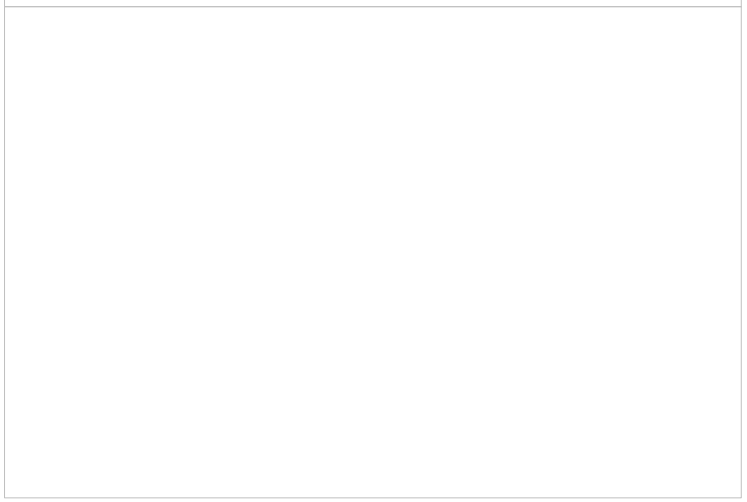
ここの神様は、私たちにこう教えてくれました。

「ここにある岩も植物もすべて神である。それは、あなたたち一人一人の思いの合わさったものと同じです。全ての目的は同じですから、そのことを大切にして下さい。」

感謝しながら戻る道の途中に、川をせき止めて道にした場所があります。川の神様にお詫びして、天の河となる祈りも捧げました。

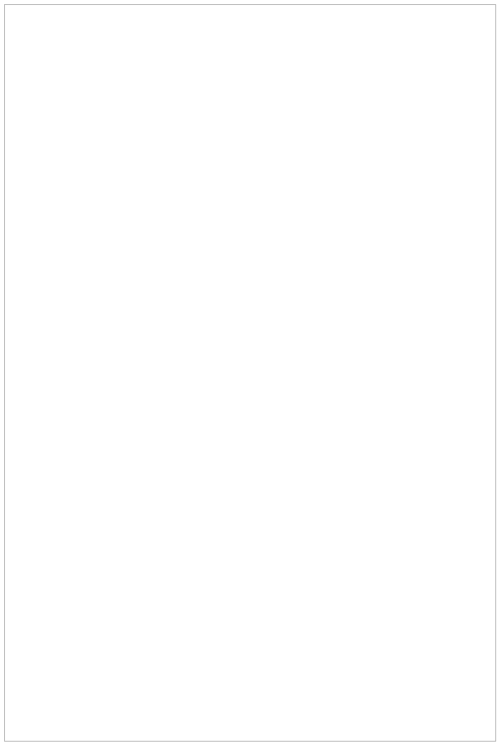
〇昇龍洞





ここ沖永良部島は、宮古島や沖縄本島北部と同じ時期に隆起しましたので、石灰岩地質の鍾乳洞がたくさんあります。カルサイトに結晶化するのもその過程です。鍾乳洞は自然界が作り出した宇宙であり、地球の内部ですから、中に入るとその美しさに目を奪われます。

〇大山展望台



昇龍洞の山の上には、自衛隊の基地もありましたが、その横に島を一望できる高い展望塔があります。てっぺんで祈りを捧げると、地の底から大きな龍が舞い上がりましたので、この島の地の神が開いた事を教えてくれました。

〇屋子母ビーチ



この沖永良部島のエネルギーを安定させる為には、二等辺三角形で祈る必要があると仲間で決めましたので、そのポイント探しにこの浜に来ました。車を止めると鳥が地面を横歩きして「ここだよ！」と教えてくれます。海辺に出る道を歩いて行くと、ポイントはすぐに見つかりました。

この場所は「龍座盤」と言って、龍を持つ者しか祈ることができない場所であることを神様が教えてくれました。ありがとうございます。

〇ウジジ浜

この場所は私の体を借りて神様のご案内してくれた「島ノロ」に対するお礼の意味で来ました。昔々、琉球王朝の父母から離れてこの島に来た娘たちは、島を守るために命をかけて祈りをしていました。その父母に向けて、ひそかに涙を流した場所が、このウジジ浜なのです。祈りを捧げてみるとここは「ヤーターガマ」、八世につながる所、つまり、あの世とこの世の境目であることがわかりました。

また「世の中には、天の巫女、地の巫女がおりますが、あなたには、中（現実）の巫女をお付けしました」と教えてくれます。おかげさまで、とても素晴らしい祈りができました。ありがとうございます。さあ〜、いよいよ奄美本島へ向かって出発します。

沖永良部島を14：30に出た船は奄美本島まで６時間かかりますので、船中でこれまでの確認と奄美本島で行う神事の打ち合わせをしました。まず全員が感じたことは、与論島は男性エネルギーの島であること。そして、沖永良部島は女性エネルギーの島である事です。この両方の想いを持

って「陰陽和合」の祈りを奄美本島で行う事は、全員で確認し愛ました。

これを現実に置き換えると、調和の祈りをしている私たち６名（男性２名、女性４名）が心から和合しているかをまず問われます。生まれ育った環境（北海道・沖縄・東京・鹿児島）や年齢（３０歳～６０歳）の違いを超えて、初めて逢った仲間がお互いに本音で向き合う為の話し合いを持ちました。

縄本島の「村建て」神事からこの奄美諸島神事に繋がった流れも、新しく生まれた「沖縄の村＝人間の調和」のエネルギーを繋ぐ感じがしています。それぞれの感じている事を話し合ったあとに、奄美本島の地図を開いただけで、来てほしい場所からエネルギーが飛んできます。

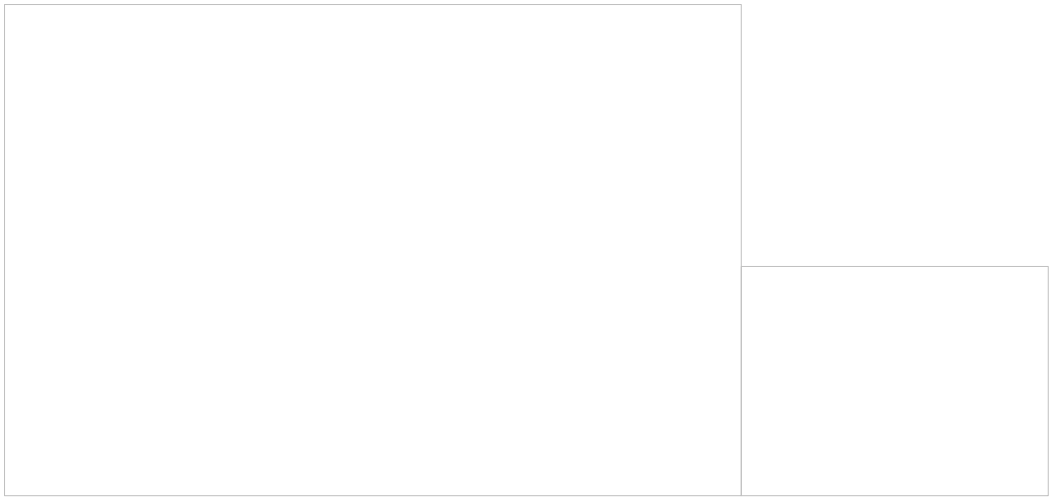
「ここが気になる、ここに行きたい」と言いながら、身体が重くなったり、痛くなったり、咳き込んだり、頭が重くなる事で、奄美本島の神や霊の知らせを受け取る事をこれまでも繰り返していますので、体に受けたエネルギーと体調を見てどんな思いが飛んでいているかを読み取ります。

神事で大切にしている事は、一人一人の「心構え」です。誰かの為や何かの為にと参加した方自身も実は、前世で魂の深い繋がりがあるからこそ、この場所こにきていますから、その意味をいろんな思いを感じながら読み取ることで、過去世のカルマもクリアになります。

この世の中で起きる事に「偶然はありません」から、起きる全ての必然の出来事をどう読み取るのかと同じように、私たちは目の前で起きるすべての出来事に目を配ります。今回の沖縄本島神事から続いている導きは、「鳥」です.

大切な神場所に必ず、きれいな鳥を見た人が多いことと、与論島、沖永良部島でも「鳥」の導きが何度もありました。これまで私の神事の導きをしてくれるのは「鷹」がほとんどですが、今回は、一度だけ姿みせてくれました。

今回の神事で何度も見ている鳥は、写真の鳥ですが、神人と確認した鳥の意味は「すべてを見ている」という神のメッセージです。疲れた身体を少しだけ眠らせながら、奄美本島の神様たちの心を感じたいと思います。では、お休みなさい。



2009.02.24 Tue

与論島神事　**2/23-2/24**

沖縄本島「村建て神事」の翌日の２３日早朝、メンバーは入れ替わった６名で奄美諸島の最初の島　与論島に船で向いました。６名全員が初めての島なので宿に着いてすぐ、神様の場所を宿のおかみさんに尋ねると、ご自身が神様をとても大切にし、いつも祈りをなさっている方でしたので島の伝統や拝所の場所を聞いて順番を考えます。

沖縄で祈りをする場合はどういう順番で、どういう意味の場所で祈るかが大切になります。それは神事の目的とは別に、一人一人が生まれながらに持っている干支の役目と守護存在の役目がありますし、また魂の状態によって実際にできる事を考慮しなければいけないからです。６名全員に共通しているのは「龍の守護」がありますので、まずは龍宮神へ向かうことにします。

１、南端にあるチヂ岬（龍宮神）



丘の上のパークゴルフの８番コースにチヂ岬の碑がありますが、龍宮神は碑の横から見える海の先にある岩ですので、まずは通しでご挨拶します。この場所に立って見える右手に呼ばれるエネルギーを感じますので、海辺へ降りてみるとそこには大切な拝所がありました。その岩は龍宮神に向けて「火の神」と「カニマン（鉄の神様）」を祀っているうえに、すぐ後ろには昔ながらの風葬の大きなお墓があります。

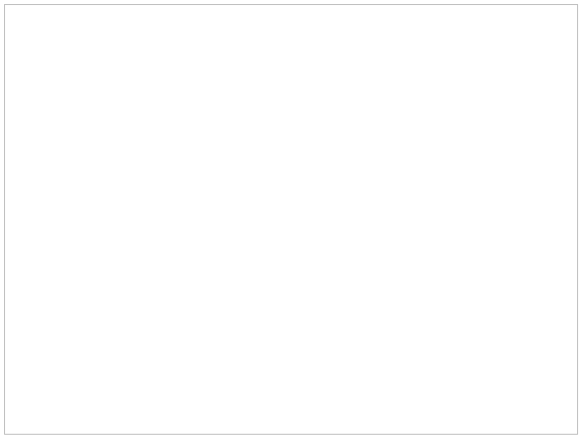
手を合わせて聞いてみると、ここは王族三名が手を合わせた場所であることもわかりました。地元の人の話では、昔、琉球王朝の方の墓だったものを「はやり病」で亡くなった人たちを葬る場所にしたということです。岩の下には龍の卵を守る場所もあり、周りの平らな岩場は「龍座」と言って、龍が休む場所であることも神様が教えてくれました。教えて頂いたお礼の祈りをすると、太陽が割れて龍の卵にヒビが入る映像を見た方がいました。ここを守る新しい龍が生まれたということです。ありがとうございます。

２、城跡・琴平神社・地主神社（とこぬし）・辺後地拝所（ピグチウガン）

龍宮神の次は、土地を守ってきた一番大切な場所へ向かいます。ここは城跡に三つの拝所がまとめられていますが、一番奥の辺後地拝所（ピグチウガン）に祭られている存在は、実は書いてある内容とは別に、神武天皇の落とし子が遭難して流れ着いた骨を祀っている話が残っています。これは宮古島の白川神社の与那覇豊見親の実話でも同じように伝わっている天皇家の血筋の道の証です。

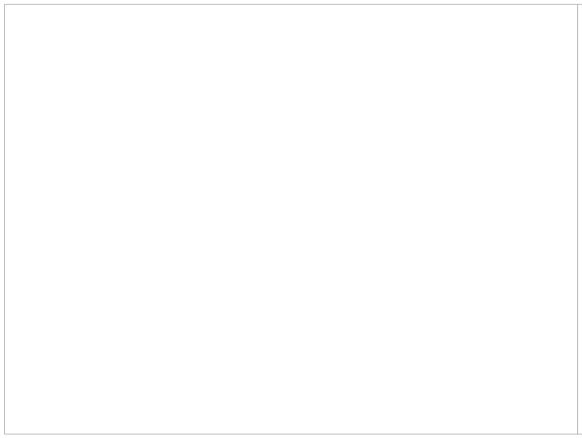
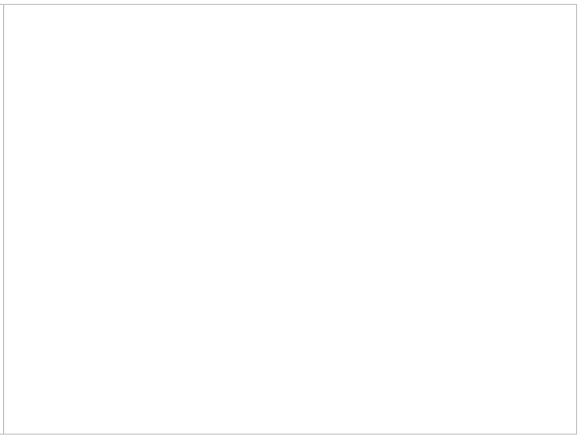
３、ハキビナの海岸の岩

美しい島の周りを車で走りながら自然な神エネルギーを感じてみると、偶然、見つけた場所がこの岩です。岩のエネルギーを感じてみると、下の二つの穴は「アーマンチュ」と呼ばれる昔の原住民が生活していた所で、上の尖った岩には弁天様、さらにその上には天女が守っているのを見つけました。命が生まれた時から神々は守り続けてくれて感謝を捧げます。



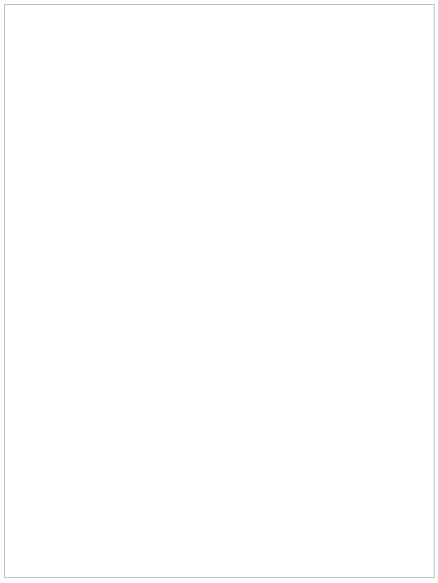
４、寺崎海岸

道を惑わして導くのも神事ではつきものですのが、そのおかげでとても素敵な場所へ導かれました。地元では美しい寺崎海岸で有名ですが、実はここは「龍の出入り口」です。海から流れ込む高波動エネルギーに癒されて何度も通う方が多いと島の方も教えてくれます。夕暮れなのに昼間のように輝く明るいこの場所は、この島一番のエネルギースポットです。

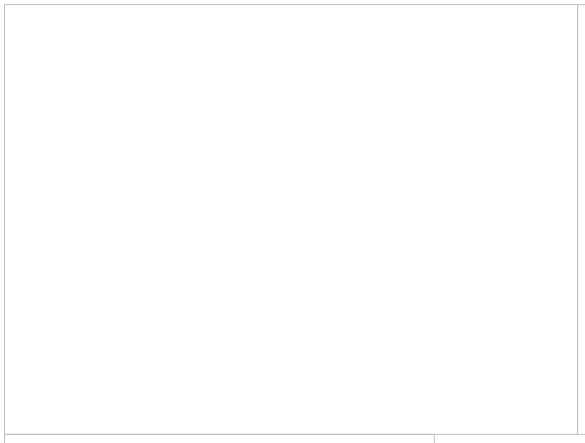



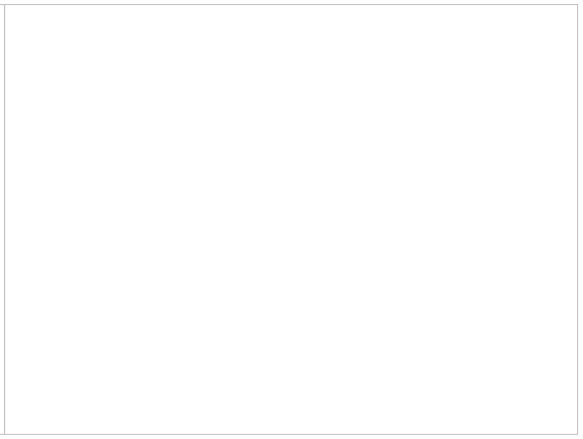
島一周を回り今日の祈りを宿のおかみさんにご報告すると、目を輝かせてその内容を喜んで下さいました。私たちの祈りのお礼にと、与論島独自の黒糖焼酎と「与論献奉（よろんけんぽう）」なるお酒の飲み方を教えて下さいました。

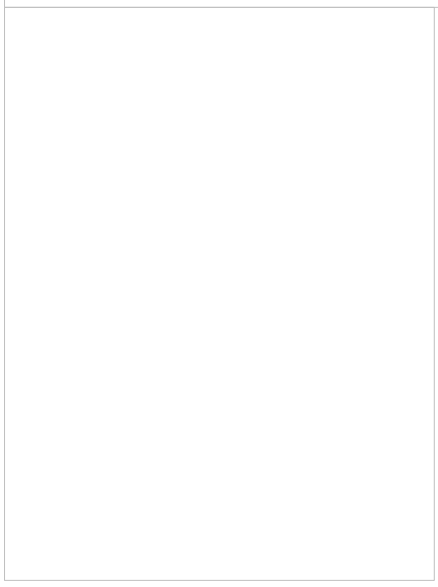
翌朝、船の出航時間まで気になる場所へ向いました。現地に着いて場所を感じながら探していると、身体がエネルギーを感じてグルグル回る人がいます。その人のおかげで大切な場所と神エネルギーの海辺を見つけることができました。グルグル回された場所は、海側の神所のカギが隠されている場所なので、全員でダイヤルを回して、まず鍵を頂きました。鍵を持つ人が海辺の門を開けて入ると、先ほどとはまったく違うエネルギー場になっています。こういう場所は今まで何度か経験しましたが、この鍵を開けないで入って祈っても目的が全く通らない事を教えてもらった経験があります。守護存在すべてに感謝いたします。

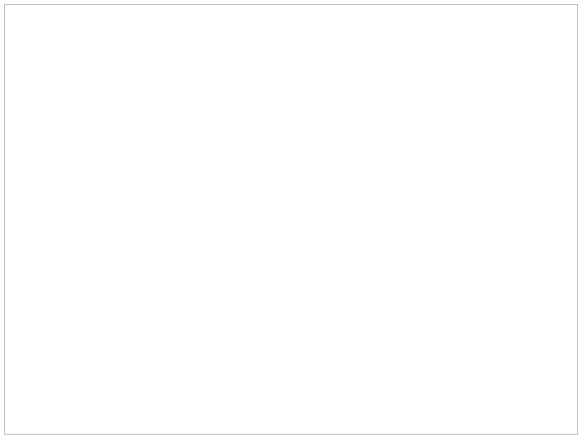


与論島の神様に言われた事は、祈りをさせて頂いたお礼に土地の人へ恩返しをして下さいと言われたので、お世話になった女将さんの屋敷祈りをさせていただきました。またその場所には、土地神様・ヌール神（祈女）と河神がありましたので手を合わさせて頂きました。女将さんに神様からの言葉を伝えたあと、私たちは次の島、沖永良部島へ向かいました。



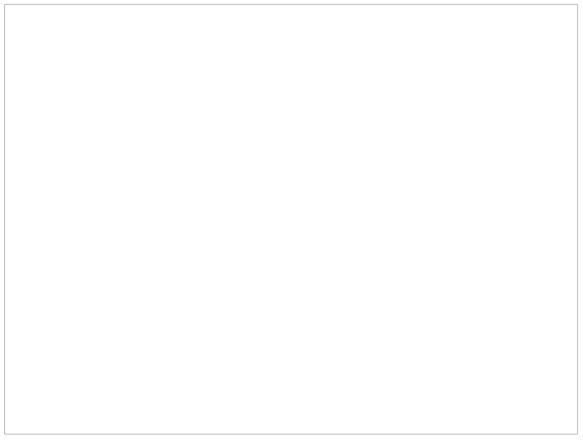






与論島でお世話になった汐見荘のおかみさんは、神様を大切にしている方なので、一緒に水の神様がいる場所で祈りを捧げました。

たくさん素晴らしい神様の場所があることも、おかみさんに伝えたので、与論島にお越しの方はぜひ、汐見荘へお泊まり下さいね！　http://www.yorontou.info/hp/a0013/MyHp/Pub/



2009.02.23 Mon

沖縄本島・奄美諸島神事（**2/20-2/27**）

2009年1月11日に苫小牧市で新しい「村づくり」の祈りをした日に、沖縄の神人に降りた神メッセージの電話から今回の神事は決定しました。今回の沖縄本島神事の目的は、地球の軸、日本の軸を新たに繋ぐための神事になります。

沖縄の神人に降りた神メッセージは、「天主の大神」「天之御中主（あめのみなかぬし）」「造化三神を司る神」でした。この内容を沖縄に住む出雲の神主さんに守護神から聞いてもらうと、「守る・宇宙基地・宇宙戦争・幸せの土地・コミュニティー・穴・幸地に北斗七星のひな型・山と嶽つなぎ」というメッセージが降りました。

この頂いたメッセージのおかげで宇宙の大元や神々の伝えたい事の大枠が分かりました。神事を行う具体的な場所や方法は、現地に足を踏み入れて土地の神々と対話しながら、祈りの仲間たちで全ての望みを叶えるよう動くつもりです。

今回の神事に合わせて、わざわざ北海道・東京・九州から沖縄本島に仲間たちが集まります。その行動は個人の「我意識」ではなく、自らの「神意識」に素直に行動する素晴らしい仲間たちです。この沖縄本島神事を終えたあとは、沖縄本島神事の神エネルギーを九州へ繋ぐ為に与論島・沖永良部島・奄美本島と渡り、奄美諸島の祈りを行います。最後は、トカラ列島の宝島まで足を踏み入れる予定です。

地球の軸、日本の軸について少し説明します。皆さんが日常、見えている三次元の立体の世界には、もうひとつ見えない天軸・中軸・地軸という三つの軸盤が繋がっているおかげで三次元のエネルギー場が安定しています。このエネルギーの軸は眼には見えませんが、生まれた子供とお母さんの子宮を繋ぐ糸のように、地球の核と宇宙の大元までエネルギーの糸が繋がっています。

地球に生まれた全ての生き物には同じように、必ず自分が生まれた母の子宮と見えない繋がりの糸があるからこそ、精神の安定や現実の安定が生まれるのです。だから全てを生み出す女性の子宮のことを「宇宙」と呼ぶことさえあります。

このことは、仏教の世界で説明している胎蔵界曼荼羅（たいぞうかいまんだら）や金剛界曼荼羅（こんごうかいまんだら）と同じ意味で、仏という存在が見えない大切な繋がりを教える標（しるべ）となっています。

私は人と人の繋がりを視る前にまず、その人自身の見えない守護存在との繋がりがうまくできているかを注意してみます。この繋がりの糸が切れたり、不安定になると、情緒不安定やソウウツの状態になりやすいからです。

こういう見えない守護存在との繋がりが感じられない人は、誰か他の人に安心を求めがちですが、決して本質が癒される事はありません。本来、人間はその見えない存在との繋がりがあるからこそ、心や精神の安定が生まれるようになっているからです。

社会現象や経済混乱、また大きな見方では自然現象さえも、この地球の集合意識の一部の動きであり、その地球全体の意志は、人間の想像を超える大きな宇宙全体のバランスの中で動いていることを理解して下さい。だから今回の神事で行う天軸・中軸・地球の地軸の安定は、宇宙の大元とのつながりの安定につながり、人間の精神の安定にも繋がるのです。

今回の神事は、日本に生まれた全ての魂の繋がりの糸の大元を繋ぐ神事になります。沖縄本島に集まる仲間は、全ての存在の繋がりを復活させるために集まって下さいます。そして沖縄本島で繋いだエネルギーを自分の住む土地へ繋ぐことによって、その土地に住むご先祖一縁の全ての存在たちが喜ぶ未来を創造する為に皆さんが動き出す事を願っています。

皆さんも普段の生活の中で守って下さっている存在たちへ「感謝」を捧げる祈りを日常にして下さい。その対象が神でも、仏でも、自然神でも、宇宙神でも、ご先祖でも同じです。地球に生まれた全ての存在は、理由があってこの現実世界に生まれていますので、「存在」に感謝する祈りの力は、あなたの願いを叶える力にもなる事を覚えておいて下さい。

神仏に向かう姿は「お願い」する姿を子供に見せるのではなく、生きている・存在している事に「感謝」する姿を子供たちへ見せる事が重要です。それは誰かに「ありがとうございます」を教える事と同じだと気付いて下さい。

「〇〇さんに、ありがとうと言いなさい」と教える親が、先祖や神仏を大事にしていなければ、大切な心を教える事はできません。親が子供に教えるべき事はたくさんの「ルール」ではなく、どんな場面でも未来を信じられる「強い心」だと思います。

その為にも「見えない存在」に守られている感謝の心を育てる事で、誰かを信じる強い心が成長するのです。どんなに裏切られた経験をしたとしても、見えない守護存在を信じられるからこそ、未来に希望を持つ心が育つものです。

だからもう宗教や精神安定剤に依存せず、自らの存在に感謝する日々を送って下さい。親やご先祖たちに感謝し、未来へ子供たちを導く行動を起こす人が増える事を願って今回の神事に向かいます。

☆地球創生基金へご協力お願いします☆

新しい地球（龍球王国）を支える愛と調和の祈りや神事、また人と人が触れ合い、愛と調和の意識が目覚める情報の発信や広報活動にご理解ご賛同いただける皆様からの募金をお願いいたします。皆様のご支援金は、大切に使わせていただきます。ありがとうございます。地球創生　吉岡学

郵便口座名：地球創生基金

記号　**19070**　番号　**9613551**

2009.02.19 Thu

長老会が若者の結婚式を自宅で祝う！

2009年の２月月８日、地域の為に私財を投げうち建てた新居で行う初のイベントは、地元青年会の若い二人の新しい門出の神前結婚式と祝う会になりました。前日、苫小牧では珍しい大雪も「全ての浄化の為に降らせました」とコノハナサクヤ姫とイワナガ姫が巫女役の女性に伝えてきます。

朝９時、祭祀役の私と巫女役３名の仲間と神殿にご挨拶すると地鎮祭に降りた「竜」の神様、さくらぎ笑楽好からの分け御霊を守る「オキクルミカムイ」の神様の両側に、阿吽のような大きなエネルギー体が守護役として二体入りました。１ｍ以上もあるこの大きな守護が入ること自体、ここの神様の役目が大きい事を示していますが、さらにもう一人の巫女を通して「樽前山神社に虹の橋を繋いで下さい」とメッセージが入ります。アーチ状に繋いだ橋は、樽前山神社まできれいに繋がり、樽前山神社の神様も喜んでいるのがわかります。

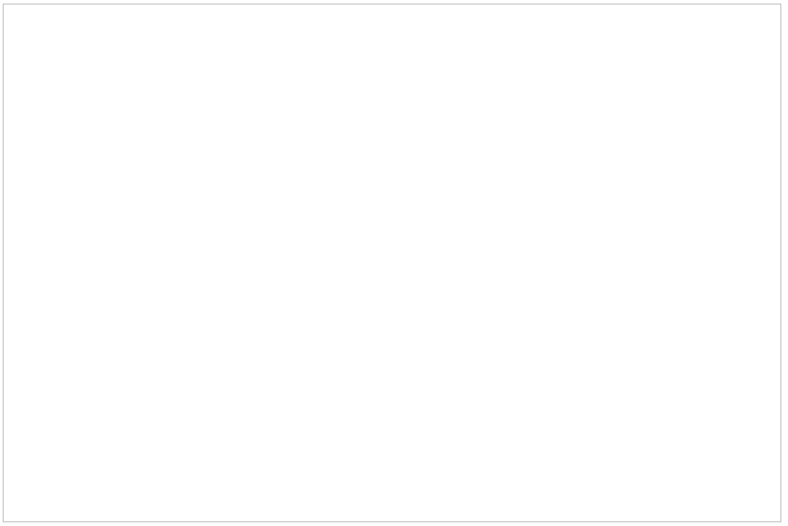
これで準備ができたと思っていると、今度は左腕がパンパンに腫れて霊的エネルギーがこの神前に向かう人たちのご先祖霊の整いをする必要があるとわかりました。「この場にいる人で３年以内に御親族が亡くなった方はお集まり下さい」と言うと数名の方が手を挙げたので、皆さんでご先祖の弔いと先祖和合の祈りを行いました。

沖縄では神事に関わる人の親族が亡くなると数年間神事ができない災い除けのルールがあるほど、心に持つ悩みや苦しみが他人へ影響することを避ける風習が残っています。今回、３年と決めたのも神の知らせですが、御先祖祈りをした人に後で聞くと、宗教的な問題や心の苦しみがありましたが、祈った事で軽くなったと笑顔で話してくれました。

御先祖祈りを終えてまだ身体に残るエネルギーを感じると「土地神」へ祈りをする必要性を感じ

たので、水・塩・酒を持って敷地の外へ出ました。祈りを始めると、この家の敷地の両側に土地から大きなエネルギー体が湧き出てきて上へ上へと上がっていきます。次にその二本のエネルギーの柱を繋ぐように、横に二本のエネルギー体が生まれました。見上げる空に繋がったこの四本のエネルギー体の形は、大きな大きな鳥居になったのです。これまで全国で見てきた鳥居に負けないほどの大きな鳥居。

民家に鳥居が立つのも驚きですが、この家の役目がそれほど大きい事を神々が教えてくれたという事です。お礼の祈りを捧げると、この鳥居の上に天上界まで繋がる何段もの階段が見えました。これは本来の鳥居の意味する姿ですが、その事を知っている人は、今後、頭を下げて入る必要があります。神社にある鳥居も本来、真ん中を通らない事や一礼するのは、神を大切にする心がある人が行うべき礼儀です。



これで神前結婚式を行う全ての準備を整えたので、午前中に樽前山神社へ結婚の報告に向いました。新郎新婦、御両家両親、後見人、発起人代表、祭祀、巫女三名が車に乗り込むと、「両家の御先祖たちが集まってきています」と巫女が伝えてきます。結婚とは本来、男女が結ばれるだけではなく、両家の御親族が新しく縁組する事を意味していますので、その結びの祈りをして欲しいという意味なのです。

この後、新居二階の神殿に戻り、親族だけの正式な結婚式を執り行いました。土地神の白蛇が新婦、天の神の竜が新郎とメッセージを頂いていましたのでその結び祈りのあと、二人の門出を祝う５つの神言葉「祝儀」を読み上げ、三三九度、四礼八拍一礼の伊勢作法で締め括りました。この式典の一部始終は、一階に集まった皆様にライブ中継で大きなスクリーンに流れるという演出も仲間によってなされていました。私が祭祀として御両家のご両親にお伝えした事は、

１、結婚は本人同士の縁組だけではなく、ご両家の縁組として無事、終えた事

２、苗字が変わる男性の家のご先祖一縁に受け入れられた事

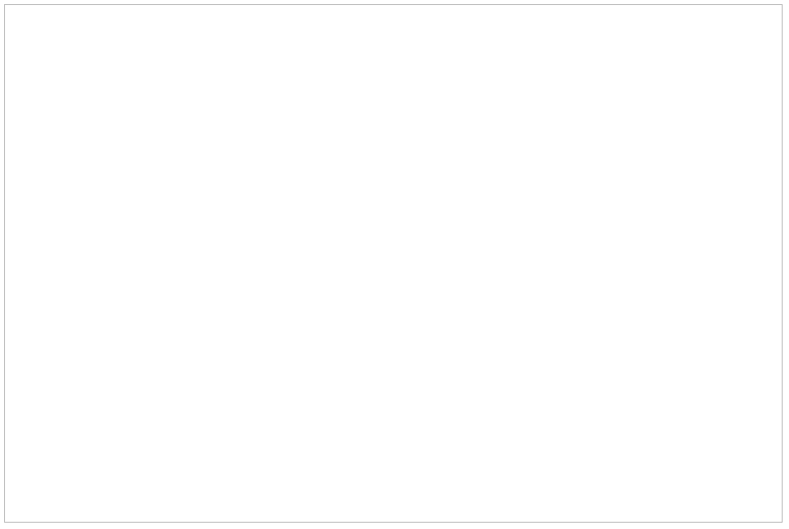
３、これまで育てて頂いたご両親に感謝し、今後は、二人が住む地域の方々にお世話になる報告会が披露宴の本当の意味であり、その土地の長老会が主催し二人の門出を祝う今回の結婚式の意味を説明させて頂きました。

冠婚葬祭全てを自分たちの手作りで真心こめて行うことができる長老会の存在は、ショービジネス的に演出された既存の結婚式とは違う初めての感動があったと、参加した若者が話してくれました。お金が無くてもできる事として日々、人を大切にする生き方を実践している若い二人だからこそ、私たちも同じようにこの日の喜びを祝い愛ました。

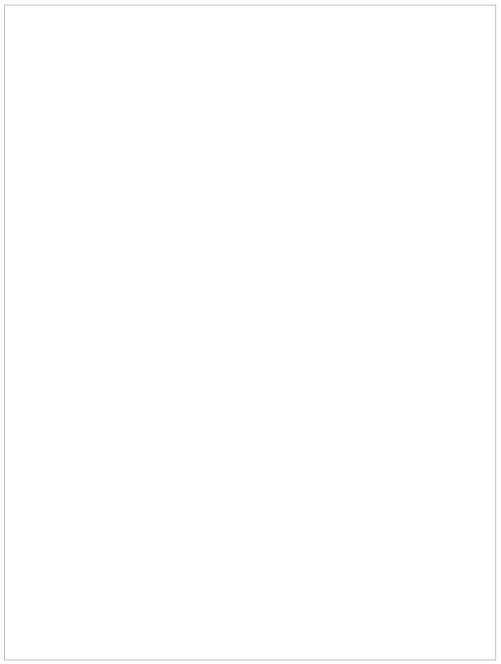
今度は、結婚式をしないまま夫婦でいる人たちを集めた式典も考えています。宗派の違いを超えて、神仏の違いを超えて、人の心の争いを超えて、地域に住む仲間が共に助け合う為にも、御先祖一縁の繋がりに感謝する事がこれから必要な事だと感じているからです。

結婚式当日の詳しい報告は、発起人代表をして下さった長老会男性部代表　さくらぎ笑楽好　好調のブログ　＆　長老会女性部代表と活躍している　ひかりのダンス　ブログ　をご覧下さい。幸せを感じる日を共に過ごせてありがとうございます。

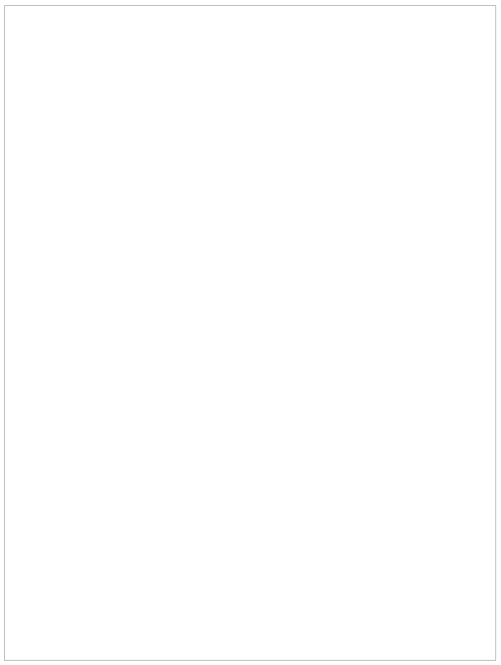
２００９年２月１０発行　週刊「毎日しあわせ」



2009.02.10 Tue



沖縄の道端に「琉球桜」が咲く季節になり、暖かい日は２５℃もある桜祭りの時期だと教えてもらった日に、鹿児島からきれいなスイセンの花を見つけたので「春をお届け～」と写真が届きました。



札幌は130年ぶりの暖冬で例年の半分の降雪量ですが、夜の冷え込みはマイナス５℃前後と水道凍結を気にして眠る日々を過ごしています。道央の幕別町では、-２５．６℃を先日記録したほど冷え込んでいますが、２月５日～１１日まで行われる札幌雪まつりも、この寒い北海道だからこそできる雪と氷の祭典です。

地球全体から日本を眺めると、よくもこんな小さな島国で異国文化を感じるほど気候や習慣が違うものかと驚きますが、これもまた日本の魅力だと感じます。故郷以外の土地に生活してふと想い出す風景は、やはり子供の頃過ごした場所の風景です。いくつになってのこの感覚は変わらず、帰省のたびに、山の姿や田舎の香りに魂が震えます。

お金と時間さえあれば、世界中を旅したいと思う人は多いようですが、以外に知らないのが自分の国や土地の歴史。外国人に日本の文化を聞かれて困る日本人や生まれた土地の事を話せない人たちが増えている現状を考えると、自分の故郷の歴史を学ぶ事は世界や日本の歴史を学ぶより、もっと大切な事だと思いますが、今は、どこにいけば肌で感じられる授業が受けられるのでしょうか？知識で得た言葉より、体験で話す言葉に勝るものはないと思いませんか？

私が小学生の頃、学芸会で桃太郎のおじいさん役をすると決まった時、母は地元に住む年長者の人に「わらじ」を編んでくれるようにお願いしてくれました。村で「わらじ」を編める最後の一人のおじいさんに出逢った時、しわくちゃな手にやさしさを感じたのを思い出します。足の指を測る時とかかとと足首を繋ぐ紐の調整をしてくれた２回しか会えませんでしたが、山の奥からわざわざ我が家まで出向いてくれた一人暮らしの老人をすごい人だ！と思った記憶は今も鮮明です。

このおじいちゃんが居なくなったら誰がこの「わらじ」を編んでくれるのだろうと思った頃から、大切な物を残す為にどうしたらいいのかを考えるようになりました。中学の頃、戦争の悲惨さを告げるテレビ番組を見ていて、自分の親戚に戦争体験をした二人の顔が浮かびました。

今、本人に聞いておかないと、きっと体験した人にだけわかる言葉を聞く事はできなくなると思い、何度も戦争話を聞きに行った事があります。おじいちゃんやおばあちゃんは子供たちが聞いてくれると、いくらでも自分の人生体験を話してくれます。誰かが聞いてくれるおかげで、生きた自分の体験を話せる最高の先生になれるからです。

昔の事を話している時のおじいちゃんは、普段と違って元気になります。言葉もハキハキして眼が輝くのは、子供の自分でもわかりました。おじいちゃんも戦争に行きたくなかった事を知って、実は驚きました。ニュースでは、日本国民は戦争で死ぬことを万歳しながら喜んでいる姿しか見せていなかったからです。

今でもその時におじいちゃんと話した体験が忘れられません。どんなにみすぼらしく見えても、どんなに手足が不自由になったとしても、生きているからこそ教えてもらえる「生き字引き」として、学ぶ姿勢を子供たちに伝える姿こそ、今、一番大切な教育なのではないかと思っています。６０歳を超えた「長老会」の人たちを輝かせるのは、周りの子供たちと社会の大人の役目だと気づいた今日の言葉です。

２００９年２月３日発行　　週刊　「毎日しあわせ」
2009.02.03 Tue

自分の事ばかり考えて

「自分の事ばかり考えて一生が終わる」ような人がもし居たとしたら、その人は「幸せ」の本当の意味が一生わからないまま死んでいく人かも知れません。

本当の幸せは、いくら自分から求めても得られない事を悟った時から人生を生きる意味が大きく変わります。「本当の幸せ」を知る為には、まず「本当の不幸」も知らないと幸せを理解することはできません。

お金がない苦しみ、人にいじめられる辛さ、食べるものがない苦しみ、寝る場所がない辛さ、そして、自分の選んだ結果が全て失敗した時の苦しみ・・・不幸と思える場面は人生の中で何度もありますが、同じ場面を経験しても、人によって感じる事が違うという事をまず理解しましょう。

他人の不幸をネタに同情を引き出すテレビ番組は、心の奥底にある優越感という自我を満足させる部分がある事にも気づきましょう。事実の報道でさえ、制作意図によって番組のメッセージ性は大きく違うものです。

自分より苦しんでいる人を見て「かわいそう」と言葉をかける事が、どれほど相手を傷つけ場合があるかも知りましょう。人はどんな苦しい番面でも、今より一歩幸せになる努力をしています。だからそういう人を見た時には「何かできる事はありますか？」と声をかけてあげるようにしましょう。

皆さんの心の中に悪魔と天使がいる事は、あなた自身も知っているはずです。でもほとんどの人は、自分の天使（いい部分）だけを見て欲しいと主張します。そういう人ほど不思議に他人の悪魔（悪いところ）を指摘しがちです。誰もが持っている悪魔（見せたくない部分）なのに、他人の悪魔は見てるくせに、自分の悪魔は見せたくないと言う勝手な心なのです。他人の影口や悪

口を言っている時、あなた自身も悪魔になっている事にも気づきましょう。

一生の人生で「善行」と「悪行」を半分づつした人がいたとしたら、その人の人生は、どういう結果になると思いますか？答えは、決して相殺してゼロにはならないという事を知って下さい。つまり、罪滅ぼしの人生では幸せにならないという事です。

「善行」という行動エネルギーは、他人に喜ばれて、それがお礼の言葉や態度になって回り回って自分に戻ってきてから感じる循環エネルギーですから、なかなか結果を確認する事が難しい行いですが、悪行というエネルギーだけは、すぐ自分自身に戻るようになっています。その理由は、自分の行いが善行か悪行かは、実は、全員の人が知っているからです。

それは自分の心の内側に神様というか、仏様というか、「本当の自分」が居るおかげでわかるようになっています。この「本当の自分」の事を昔の人は「お天道様はいつもあなたを見ているからね」と教えたものです。

「本当の自分」の事を「真我・神我」と言いますが、今これほど物に溢れた生活をしているのに「真我」の望む生き方をしていない人が多いように感じます。本当に「真我で生きる！」と決断すると、社会の善悪よりもっと厳しい自分の真我と向き合う日々が続きます。

この「真我・神我」は、宗教的な神の意味ではなく、社会の決めた善悪を超える自分の本質に向き合い続けた結果で感じる悟りであり、またそれが人間本来の存在意味にも気づく瞬間です。

この「真我」＝自分自身を信じられない人ほど、信仰している対象に対して弱い心をお詫びしますし、宗教的にこのお詫びの行為を「善行」と呼んでいます。しかし、犠牲や義理の心の上に成り立つ「愛や真」は無い事にも、どうぞ気づいて下さい。自分の外側に信仰の対象を持つ心は、

依存心の始まりだということを学んで欲しいと思います。

これは既存の宗教を批判している訳ではありません。弱い心を強くする為に学びの場としてはいいと思いますが、人生の永い時間を修行の為だけに費やしては、父母に産んで頂いた肉体の意味も、神に与えられた魂の道を生きる意味も気づけません。宗教的には人を神の子、仏の子と呼びますが、だからこそ、親（神）を喜ばせるくらいに、自分の人生を喜び溢れる自分らしい生き方に努力する事が大切な「善行」なのです。

私は宗教の存在は否定しませんが、宗教は人間の弱い心が望んだ願望の実現であり、組織化した事によって思想を広める最高の手段として政治に使われている事に誰もが気づいています。宗教に依存し続けている人や心の仕事をしている人に厳しく言う事は、人の心を導く人はその責任の重要性を問います。でも、私を含めて人を導く仕事をしている人に完全な人は、誰一人いないとも思っています。理由は、共に学ぶと決めたからこそ、そういう職業についているのが、生まれる前からの魂の約束なのです。

学校でいえば先生が職業的に偉いのではなく、子供たちと一緒に学ぶ日々の姿勢が素晴らしいのです。親でも投げだす様なわがままな子供を叱咤激励し続ける先生は、その指導に対して批判が出ても仕方がないと思います。誰もが子供の頃の先生全員を好きな人はいなかったように、その学校や先生を選んだのも親の責任なのですから、細かい出来事を指摘するのではなく、相手の先生を信じて尊重する心で向き合う親の姿勢を子供たちに見せましょう。

親と共に同じ目線で、子供の人生を真剣に考えている先生もいらしゃいます。親の個人的な視点より、もっと大きな集団で生きる視点で物事を教えてくれる大切な先生たちですから、負債を抱えて倒産した社長のように頭を下げさせて満足している場合ではありません。親は、先生以上に子供たちに大切な考え方を教える役目なのに、今の学校教育の現場の問題は、親が望む教育をして欲しいと勝手な要望が多すぎる事で先生たちは困っています。

子供は自立心を芽生えさせる為にも、わがままも必要ですが、親たちの反応を見て「これはしていいこと、これはしてはいけない」を学ぶようになっています。もし親が自分の幸せばかりを考える親だとすると、子供の価値観や倫理観も、すべて親の生き写しのような子供に育ちます。

私の尊敬する母が昔「結婚する相手はその親を見なさい」と教えてくれました。年をとって老けた時の姿を見なさいという意味では無くて、生き方や考え方の先生が「親」だからです。夫婦は一生の付き合う人だからこそ、好き嫌いで選ぶよりも、もっと大切な事がたくさんあります。そのことを教えべき人が、親のはず・・・・・です。

人生で自分の幸せだけを第一に考えている間は、本当の幸せを心から感じ続けるのは、難しいという事を学んで下さい。幸せは、いつも皆さんの周りにたくさんありますが、その幸せを感じられる心を育てなければ、いつまでたっても「足りない足りない」「私が辛いから助けて！」という呪縛に振り回されます。

人生で嫌な経験をしたり、都合の悪い時こそ、笑顔で「ありがとうございます」と言い、幸せな時は「おかげ様」と朝、自分自身に声をかけてあげるようにしてみましょう。

自分の事ばかりを考えている人の周りには、同じような人が集まるものです。反対に自分の事より、他人の幸せを一番に考えている人にも、同じような人が集まります。自分がどっちの人間かを知りたければ、自分の周りの人たちを見るとすぐわかるはずです。それが、今のあなたなのです。

人は、都合のいい関係同士を「友達」と呼びます。自分にとって都合が悪い人でも一緒に居てくれたら、それはある意味「仲間」なのです。お互いの成長の為にいてくれる「仲間」を大切にしながら、尊敬するような仲間を増やして下さい。仲間を増やす方法は、どんな方法をとっても、必ず今のあなたに必要な人しか集まらない事をも覚えておいて下さい。その仲間と一緒に成長するからこそ「魂の仲間」なのです。

∞　∞　∞　∞　∞　∞　∞　∞∞　∞　∞　∞　∞　∞

自分の神我に気づく魂の仲間に出会う場

◎スカイプ　スピリチュアル講座生　募集中

自分の神我を知り、人生を輝きに変える道

◎スピリチュアル能力開発講座生　募集中

2009.02.03 Tue

マスターマインドグループ

ナポレオンヒルの有名な著書「思考は現実化する」を実践する目的で第一回目の「マスターマインドグループ」の会合が、北海道で開催されました。提案者は今年、プロスポーツの世界で世界一にチャレンジしている日本代表の監督です。彼との出会いは2007年に私のブログから連絡を頂き、セッションとスカイプ講座で学んだ気づきを実践している素晴らしい青年です。

この「マスターマインドグループ」の結成には、いくつかの条件があります。お互いにその条件を確認し、言葉にした事に責任を持ち、お互いの夢を叶える為に楽しく、そして真剣に向き合いながら自らの夢を叶えていくチームです。

一人では夢を叶えられない事を知っているからこそ、互いの夢を叶え合う為に集まったこのチームでは、言い訳やごまかしが一切通用しません。誰もが相手の事を自分の事として真剣に思い合う人たちだからです。

そして一番大切な事は、自分が決めた目標が日常生活において最優先であることが重要になります。「できたらいいなあ」から「やる！」という決断を仲間の前ですることで、その人の夢の実現へ向けた姿勢を厳しく見守る仲間でもあるからです。弱音や言い訳が、一切通用しない仲間だということです。

私自身、サラリーマンを辞めて自営業を始めた時、人生で成功している人たちにたくさんインタビューした経験があります。自分で決めた事に対して、一切の言い訳ができない自営業だからこそ、その成功者たちの考え方を学びたいと思った事が理由です。

共通していたのは、自分の成功に必要な気づきを２４時間考えている人たちだという事です。しかし、その夢を叶えるまでの道のりは孤独との戦いであり、同じ気持ちで支えてくれる仲間はほとんどいないという事もわかりました。

自分の人生で掲げた目的を達成する成功者が少ない現実の中で自分の夢を叶えようとすると、２０世紀の競争原理が「勝ち組負け組」思考でしたから、常に孤独な自分の弱い心との戦いでした。

２１世紀になって社会の競争原理にも「宇宙の愛」が加わり、競争の考え方自体も大きく変わりました。ゴルフのタイガーウッズの言葉がその事を表しています。

トーメンとの最終ホール、相手のパットが入ると自分の負け、入らなければ自分の勝ちというシーンで、相手のパットの瞬間に「入れ！」と願ったのが、タイガーウッズでした。

結果は、わずかにはずれてタイガーウッズの優勝が決まりましたが、優勝コメントでタイガーウッズは「相手の最高の状態で勝ちたかった。次は、ぜひお互いに最高の状態で戦いたい」とコメントしたそうです。

「マスターマインドグループ」のルールは決定事項を「全員一致」にしていますので、今後のメンバーについては日本全国にお住まいの方を基準に検討しています。私に声をかけられた方は、どうぞ自分の意志を明確にしてお答え下さい。

話は変わりますが日頃、お会いできない方たちの為に開催している　スカイプ　スピリチュアルカレッジ（スカイプ講座）の新規生徒を募集します。他人の学びを自分の学びとして成長し合うスカイプ講座の詳細は　こちら　をご覧下さい。2009年は、あなたが今まで思っていた事を実践する年になりそうです。一緒に、夢を叶えていきましょう！

2009.01.30 Fri

希望の島

「希望の島への改革」という本は、２００１年に出版された本ですが「競争社会を乗り越え、「協力社会」を目指す」という帯タイトルが眼をひき、著者は東京大学経済学の神野直彦教授です。

以前に一度だけご本人の話を聞く機会がありましたが、北海道で不況経済を立て直そうと経済人の集まる会場で「北海道が生き残る道は、鎖国ですよ」という言葉が耳から離れません。世界中の経済破綻した国を立て直すメンバーでもある神野さんは、社会倫理学という学問を教える日本唯一の学者です。

グローバル社会と呼ばれているこの現代に、時代を停止させる「鎖国」を目指すのもおかしな話だと思うでしょうが、実は「食の確保（自給率）」から物事を考えると、もっともな話なのがわかります。

人間は、いくら進化しても動物の本能欲求が無くなることはありません。全ての欲求の進化も、本能欲求（食・性・寝）が満たされてこそ出てくる次の段階ですので、今、マスコミで話題の「派遣切り」も根底にある問題は、企業の対応や姿勢ではなく、本人一人一人の危機回避能力の欠如なのです。

社会で起きる問題も家庭の中で起きる問題も、一番大切なことは原因を誰かのせいにして責める事ではなく、一人一人が生き残るための知恵を出し合う事で、新しい道を見つけることが必要です。阪神大震災の時も同じでしたが、一時的な救済活動は目の前の問題を対処する為に必要ですが、その次の不安を消すものではありません。

わかりやすい一例をあげると、お金が無い人が、お金を持っている人を非難してはいけないという事です。能力のない人が、能力のある人を責めてはいけないという事です。自分にできないこ

とをしている人を非難するような無責任な行動をしないようにしましょうという事です。

親が居てくれたからこそ、あなたが生まれたように、自分にできない事をしてくれる人がいるからこそ、自分の居場所が与えられている事に感謝する心が、最も大切な事なのです。その親・会社から自立しないのも、あなたの甘えだと学んで下さい。

マスコミや評論家の発言に影響されて、一緒に愚痴や不満をこぼしてはいけません。彼らはその責任を取る立場にないからこそ、自由な意見を言えるのです。当事者たちの問題はそんなに簡単なものでない事は、皆さんもご存じのはずでしょう。だからこそ、正しいと思っても言ったとしても、自分に責任が取れない無責任は発言は、控え目にして下さい。

何か問題が起きた時に戦う人もいますが、誰かを責めるほどのエネルギーがあるのなら、新しいことにチャレンジする勇気に向けて欲しいと思います。今までの自分のを変えずに、結果を変えろ！と誰かに言っても、ご飯は食べられません。

会社を選んだのも、派遣という立場を選んだのも、今の夫や妻を選んだのも、すべて自分の選択の結果です。その結果が、自分の思うようものでないとしたら、まず自分自身を変える勇気と物事を選び直す勇気が必要です。

もうひとつ、安易なまわりの風潮に流されてはいけません。インターネットで自分の名前を明かさずに人を責める言葉を書き続ける人たちは、間違っています。意見があるのなら、正々堂々と正面から自分の意見を伝えてこそ、次の知恵を出す機会がお互いに生まれるからです。

昔から「他人の蔭口を言うとお天道様が見ているよ」と教わったとおり、人に吐きだしたマイナスの言葉や思いは、必ず、回りまわって自分の身に降りかかるようになっている事は、何度もお伝えしているはずです。

２００９年の私への祝詞は「他人に問う人生を歩みなさい。それが真実の道です」でした。だからもう人のことをとやかく言っている暇は、私にはありません。自分の進むべき道へ進むための時間も、残り少なくなってきていますので、生きている間に魂の役目を果たしたい思いでいっぱいです。

あと私が大切にしていることは、「他人を変えようとしない」ように心がけています。どんな関係の人であっても人は常に変わりますので、自分にとって都合が悪くなる事でも相手の意志を尊重するようにしています。相手を変えようとするのではなく、相手が進みたい道へ進むように、自分自身も自分の道をしっかり見定めて進むことが、結果的にお互いを大切にする生き方だと思っています。

希望の島　日本は、そういう人たちが集い、自分のしたい事を語りあい、お互いの夢を叶え合う事から始まるのだと思います。未来の地球のあり方を教えてくれた絵本　「新しい世界」　の内容こそ、私たちが目指す新しい自分の生き方だと感じています。希望の島　日本は、あなた自身の決意と言葉と行動の全てで、創り出すものです。
2009.01.25 Sun

新しい村づくり

2009年1月10日、北海道の苫小牧市近郊の大人たちが集り「新しい村」の雛型となる長老会が「さくらぎ笑楽好」で結成されました。翌日１月１１日には、地域を支える長老会の行動として「さくらぎ笑楽好の分校」も開校しましたので、地域を愛する仲間たちと一緒に北海道を守護して下さる神を繋ぐ儀式を行いました。

新居祝いを重ねたこの儀式とお披露目会を終えて札幌へ戻る途中に電話が鳴り、同じ１１日に沖縄本島の神人（カミンチュ）から神の言葉を頂いたと連絡が入りました。沖縄では年に一度、お世話になっている会社の土地へお礼をする「村祈り」の習慣がありますが、同じ１１日に沖縄県中頭郡西原町の幸地で「村祈り」を行った神人へ神がメッセージを伝えてきたのです。

「天主の大神、天之御中主（あめのみなかぬし）、造化三神を司る神」という言葉が降りました。

北海道の苫小牧市で「新しい村」の分校が誕生した日に、沖縄本島で「村祈り」が行われ、そこへ国造りの最初の大神が降りたという事は、沖縄本島にもこの精神の「新しい分校・新しい村」を作るという神のお知らせです。

沖縄の地に日本神道の造化三神が降りる意味を出雲の神主さんを通して聞いてもらうと、いくつものキーワードが降りてきました。そのキーワードを繋いだメッセージは、幸地という土地に「新しい村の始まり」の準備をしなさいという内容です。

その日から、沖縄と北海道で具体的な準備が始まりました。１月１１日と同じように強いエネルギーがある日は、年３度しかありません。２月２２日と１１月１１日ですが時間があまり無いようなので、２月２２日に沖縄本島の神事をする為に参加者全員の予定を合わせました。

北海道からは新しい分校の儀式で祈りを支えてくれた北海道出身の仲間と共に、沖縄からは沖縄本島生まれで沖縄を愛し地元を守り支えようとしている仲間と共に神事を行います。

今回降りたキーワードの中に「北斗七星」という言葉がありました。この北斗七星のエネルギーが地球に影響している意味を理解できる方たちは、２月２２日に沖縄へ心を合わせて下さい。北と南から未来の子供たちへ残す「新しい村社会」が始ります。

ある一定の宗教思想や組織や経済力もなく、強いリーダーシップが無くてもこの新しい村は、確実に日本中の各地域に広がる精神性の柱となることでしょう。これは古来から民族を守る最高の知恵として伝承されてきた知恵が造り出す「新しい村」です。

幸せの黄金律「自分がして欲しいことを他人にする」大人たちの行動は、これからが本番の時代になります。宇宙や自然、土地神や御先祖神たちに見守られながら、自分が生まれた大地を守る新しい精神文化がそれぞれの土地に生まれることでしょう。

２月２４日からは、沖縄の比嘉さんからも依頼された「奄美諸島の祈り」を引き続き行います。沖縄　与那国島から守り繋がる日本人の根柢の精神性は、奄美諸島の祈りによって九州、四国、本州へとつながっていく事になるでしょう。

今年からは、地球創生祈りメーリングに登録されている方へ地球創生の具体的な情報をお届けしていく予定です。地域を愛し、未来の子供たちへ語り継ぐための行動を共にされたい方は、どうぞ、地球創生祈りメーリングにご登録下さるようお願いします。
2009.01.19 Mon

農業株式会社

この「農業株式会社」の構想は１４年間勤めていた流通業（大手スーパー）を辞めて、独立する時に検討した事業の構想です。発想の根拠は子供の頃から日本の稲作農家の重要性を感じていましたし、稲作の専業農家として働く両親の姿を見て育ったからです。当時の国の農業保護政策の現状をみると、このままでは日本の農業の将来性が無くなると感じた事が大きな理由です。

５０年前（1960年頃）の農家の平均所得は、現在の金額で２５０万円を切っているのが普通でした。ほとんどの農家は自給自足で生活しながら、出稼ぎや内職をしてやっと家族４人が生き伸びている様な状態でした。

１５年前（1995年前）になると日本経済が成長して豊かになり食文化の多様化から、”米あまり”が続いた為に政府は「減反」と「補助金」をセットにして、農家に米を作らないよう強制しました。その結果、苦労して生産するよりも補助金をもらって田畑を放置する農家が増えました。

借金を抱え生産する喜びを感じられない親たちを見て、その農業を継ごうとする子供たちも減りました。この時から「米の自由化」は必ず起きると言い続けていましたが、今の自由経済の中に放り出された農家は、生産者というよりも流通業に立ち向う事業家としての能力を求められています。

流通業に１４年間務めた経験から生産者の物が流れる流通システムの裏側や実態をたくさん学びました。当時は物がどんどん売れた時代でしたが、その中で一番感じたことは、生産者と流通業と消費者の意識に大きな感覚のずれがあることでした。

「消費者第一主義」を流通業者が掲げながら消費者ニーズを実現するために農家にコストダウン

を迫り、結果、農家の収入が減って高額な借金を抱えながら投資している事実を消費者は知りません。常に、もっと価格を安く、もっと安全な食品を！と要求だけが続いています。

次の段階で流通業は、さらに多様化した消費者ニーズに答える為に、海外からたくさんの食品を輸入しました。その結果が、現在の日本の農業の現状です。市場・問屋に加えて、多くの流通業者が中間マージンを取るようになったからです。

日本の流通業は世界でも珍しいほど、とても複雑な流通システムになっています。理由は簡単で利益があるところに、中間業者が集まったからです。

農家は家族で営む個人事業で、生産する技術のプロではありますが、経営については「農協」という大きな地主のもとで働いていた為に、個人で物を売買した経験がありません。弱小の中小企業である農家にコストダウンを迫るあまり、事業拡大のための借金で倒産する農家も増えています。

私がこの事業を起こさなかった理由は、当時の諸問題がクリアされても経営試算で投資額２千万円とその回収に１０年かかるという結果が出たからですが現在、長野県で農業株式会社を成功しているトップリバー（株）の社長がＴＶ番組カンブリア宮殿でが紹介されました。それを見て、１５年前に考えていた問題点をみごとにクリアされている事には驚きました。

新しい農業株式会社のポイントは・・・

１、市場原理を理解した経営ができる個人事業主

（完全買い取り・完全納品・欠品ゼロによる利益確保）

２、古い農業経営の習慣がある人ほど新しい対応が難しい

３、理想の農業をしても、理想の生活は手に入らない

４、若手労働力を継続的に確保する魅力と方法

５、経験者の永年の生産技術を知恵として生かす

６、地域の農家と手を組み、お互いの不足を補う

７、就農者は独立して個人事業者になることを目指す

自分が生まれた北海道を心から愛し、日本の農業の重要性を感じている私はこの１０年、北海道の農業を側面から接してきました。北海道の有機農業協同組合のイベントに参加してその拡販に力を貸したり、アトピーや虚弱体質の改善を心がけている生産者、販売者の方たちにもたくさんお会いしました。

その中で出会った方の多くは、北海道で新しく農業を始める為に移り住んだ、本州の脱サラ組が多いのに驚きました。現在、北海道の農業の離職はどんどん進み、他の土地から移り住む人にとって最高の条件である家付、土地付きで居住を誘致している市町村も増えています。

皆さんが今利用しているコンビニ・スーパー・チェーンストアなどの流通業の最大のメリットであり弱点は、生産地から遠い場所で販売している商品が多い為に、輸送するガソリンや電気などのエネルギーの枯渇や経済破たんや情報ネットワークの崩壊で輸送管理する機能が簡単に停止してしまいす。

私の経験から１５年前に起きた関西淡路大地震（1/17）の時も、医療や食品を現地まで輸送する手段がなかったことが、救済活動の最大の遅れになりました。日本という小さな島国の弱点は、自然災害が続くだけで陸の孤島になるということを再認識する必要があると思います。

だからこそ、自分の住む土地の自給率を高め、自分たちで「食を守る」ために、これから農業に携わろうとする人たち、農業の必要性を感じて地域の農家を支えようとする消費者たち、また自分で畑を耕やす人たちこそ「自分の食は自分で守る」行動の第一歩になるのです。

これだけ豊かな日本に突然、食糧不足が訪れるとは誰も思っていないでしょうけれど、世界で一番、食品を廃棄している量が多い先進国であるという実態を考えれば、その可能性はとても高くなっています。あなたが変わらなければ、大切なひ孫たちに残せる未来は、この国に残っていません。

※参考資料としてお読みください

石狩平野の稲作り（玉川大学）

北海道稲作農業の現状（農林水産省）

2009.01.16 Fri

三代先に残すもの

永い間、日本帝国主義を貫いた日本は、第二次大戦の敗戦からそれまでの男性本位の常識を改善しようとさまざまな運動がおこり、現在は法律の上で男女同権、個人主義を尊重する民主主義国家へと変化してきました。

この男女同権の法律制定によって、優遇されていた家長=長男の特権は薄れ、アメリカと同じように個人の権利を主張する人が増えた事で、現在では親子・夫婦・兄弟・親戚間の金銭的な訴訟がとても増えています。

私はいつも「権利と責任」のバランスが一番、大切だと考えていますので法律の事は法律家と政治家にお任せするとして、民族が守るべき重要なものをどう残すか考えたいと思います。

まず日本で定住文化を始めた縄文弥生時代を考えると、人間にはどうにもできない自然の中にある物を「やおよろずの神」として祀り、畏敬の念と生き残るための知恵を部族の長は、伝え残しました。

また狩猟民族時代から部族を守る長は、衣食住の確保をする人間が一番優位な地位を得るようにしています。幼い子供や障害のある人、また出産を抱えた女性などの弱者は、強者に従うことで自らを守るという知恵がそこにありす。（※サルの集団生活も同じです）

外来諸国から文明が入り時代は進化して衣食住に不足なく生きられるようになると、人間は次の欲求として「個人の権利の主張」を始めました。その結果、家を出る人が増えて「核家族化」が進み、さらに自分のやりたい生活を優先した結果、子供を残さない民族になりつつあります。

少子化の問題は、目先に迫る年金や介護や医療の問題ばかりではなく、その先の先の問題として、この日本の人口が突然、激減して日本という国が消滅する可能性が高くなっていることを示しています。

だからと言って、戦中の「生めや増やせや政策」では意味もなく今、考えるべきことは、団塊の世代の子供たちが父母になっていますので、団塊の世代から見たお孫さんたちの子供に大切なものを残す方法を考えることです。

物やお金はいくら争って手に入れたとしても、親がどれだけ大切だと主張しても時代や人の価値観が変わると、いずれ無くなることは明確です。だからこそ今考えるべきことは、物やお金の残し方ではなく、それにまつわる親の心や先祖の心、また大切なものを残す為の「精神文化」を創り出す必要があります。

今、はっきりしていることは、神仏にこれだけ「お願い」という依存文化が根強くなった民族は、宗教を手放すことは決してありません。現実の宗教を超える思想として世界中に「精神世界」という概念的な思想が生まれましたが、それも大きく進化発展しその高い思想や意識をどう現実世界に活用するのか問われている時代に来ています。

現実世界を考える時に大切なことは、まず人間の「個」を尊重する事から始まり、次に「個」だけでは生きられないので「男女・家族」のあり方を考え直し、次に一家族だけでは生活を守れませんので「地域家族」という少数の人が集る集団で大切なものを守る考え方が必要です。

肉体が動くこの現実世界は、思想や概念、理想やビジョンなどの「考え方」がまず第一にあります。その思想や理想があるからこそ、人間は進化しつづけるのです。この事をあなた自身が考え始めなければいけないことに、どうぞ気づいて下さい。
2009.01.14 Wed

神仏習合

普段、神社（神）やお寺（仏）に行かない方も足を運ぶのが新年の特徴だと思いますが、最近は家に仏壇や神棚もないうえに、神や御先祖（仏）に手を合わせる習慣がない大人や子供が増えています。

そういう人が増えたのも、親がその姿を見せなかった事が最大の理由ですが、神やご先祖に手を合わせる理由を明確に伝えることができない大人が多いことも原因でしょう。子供が生まれて成人するまでに、親や祖父母が神社やお寺に行った回数はとても多いはずですが、なぜその意味を子供たちに伝えることができないのでしょうか？

時代が変わったから、思想の自由化、宗教の多様化、宗教嫌い、子供の意志を尊重などなど神仏を大切にできない理由は山ほどありますが、最も多くはその親自体がそれほど重要だと思っていないことに問題があります。

沖縄の大事な行事の場所で小学生の子供が走り回ると、９０歳のオバーは顔をしかめて「この子の親は何しとるか！」と親たちを叱ります。年寄りが若いものを叱る姿こそ、いくつになっても大切な教えだと思いますが、年寄りの言葉から素直に学ぼうとしない大人が多い事も問題です。

年老いた人をただの老人だと扱うのではなく、たくさんの経験をしてきた生きた財産、生き神様と考える精神が沖縄の先祖神信仰にはありますが、その伝承も現在では難しくなってきているのを肌で感じます。

また反対に、神仏や宗教を一切、信じていないうえに一生、手も合わせないと言う方ほど「困った時の神頼み」をこっそりとしているようです。

自分の仕事が成功したい時、自分が病気になった時、自分の子供の合格祈願、大切な人の病気が治ってほしい時・・・・この無くならない人間の欲求に合わせた「御利益主義の神社やお寺」のままでいると、いつかそのご利益さえ感じなくなると、当たらない宝くじと同じように足をばない世代が増えることは確実です。

私自身は神社仏閣などの建造物はもっと少ないほうがいいという考えですが、それでも先祖を大切にして年長者を大切にする心を伝えることは絶対に必要なことです。これはまもなくやってくる団塊の世代の一斉定年退職によって、若者が支えなければいけない６０歳以上の方たちが増える事にも大きく関係します。

今、日本のほとんどの家では子供が家を出て離れて暮らしています。だからこそ、親が住む地域を守るのは、その土地に住む若い世代なのです。「年長者は遠くにいる自分の子供ではなく、自分の土地に住む若者たちを導き育て、若者は地域の年長者に学ぶ精神」を育てなければ、親にしたことが自分にされるように、これからの親子の溝はさらに深くなることは確実です。

年長者の方に話を聞くと、昔は遠くに住む自分の子供が誰かに世話になっているからこそ、自分の土地にいる若者を自分の子供と考えて面倒を見たそうです。この精神こそ、年長者を大切にする心を育てますし、大きな意味で地域社会の誰もが自分の家族である安心感を得られます。

もうひとつ、神と仏、神社とお寺を一緒のものと考える「神仏習合」の考え方が必要な時代になりました。地域で考えてみると冠婚葬祭をひとつの場所で行うことで、まず人が足を運ぶ習慣がつきます。人か集まると必ず、色々な人の出会いから多くを学ぶ場所にもなるからです。自分の親に言われると素直に聞けない話も、他人の年長者から言われると不思議に素直に聞く若者は多いものです。

個人の家の中においても同じ問題が起きています。核家族化・少子化・結婚しない子供たちは、

親が守ってきたお墓や仏壇や神棚を守ろうとは一切しません。だからこそ、宗派の違いや作法の違いに囚われるのはなく、子供たちへ伝えるべき事をどう残すのか、年長者たちが考えなくてはいけない時代になっています。

もともと神道・神社があった日本に取り入れられた仏教は、人間の心の迷いについて釈迦の悟りを説いたものですが、その仏教の導入によってたくさんの人が救われた事も事実です。しかし宗教法人化によって経済的に安定した反面、神仏を扱う精神が失われてきたことも関わる当事者が、一番よく知っています。

思想や宗教は、時代に合わせて信仰の対象を変えることも時代の流れですが、もともとやおよろずの神々を祀る民族であり、神仏混合であった日本だからこそ、家長制度の考え方がくずれると、お墓やお寺や神社を守ることもできない時代がすぐそこまできています。

御先祖が大切にしたお寺や神社を守れないのは、沖縄も同じです。沖縄独自の神仏の対象となるお墓やウタキでさえ、先祖供養や家長制度の崩壊によって、御先祖ごとの精神の伝承ができなくなっています。これからの時代を考えて年長者たちは、古い精神から大切なことを学び、新しい知恵とルールが必要になるでしょう。

神やご先祖のことを教え導く役目のユタ・神人（カミンチュ）でさえ、３０年後に存在できなくなることを考えると、指導する人たちが真剣に手を取り知恵を生み出さなければいけない時代に入っています。

北海道の祈り仲間の中に女３姉妹の為、ご先祖の仏壇を守っている独身女性がいます。彼女は神も大切にすることを神事で学び、今回、初めて神棚を買い求めました。女性が神棚を扱う事をとやかく言う人もいますが、男性が家にいて神棚を触らない方が多い事を考えると、言える立場ではありません。

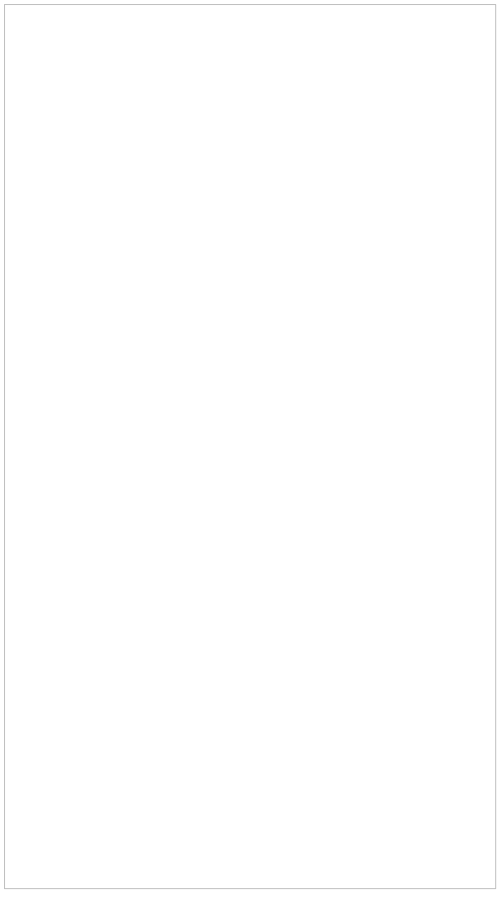
彼女は神様に「神仏習合」という言葉を教えて頂き、自分の家の仏壇の上に神様を鎮座させました。

神棚の飾り方などお手伝いしましたが仏壇の上の神棚にお札を入れて祈りを捧げてみると、毎日、仏壇に手を合わせているこの女性に対して、ご先祖も神様も喜びの言葉を伝えてくれました。形にこだわらず、精神を一番大切にすることで形は変わっても伝承するべきものは残ります。

今回、６０歳以上の方を「長老会」という呼び名で神が名付けた理由も「人生５０年」と言われた時代から永生きした意味が、先人の知恵を残す役目であることを教えてくれたと感じます。過去のルールに縛られた考え方から、次の世代が神仏を守れるように知恵を出すことが、世の中の６０歳を超えた「長老会」の大きな役割だと思います。

「神仏習合」は、これからの新しい日本が目指す姿であり、また世界のいくつもの宗教が聖地の奪い合い戦争をしている方たちを教え導く役目として、日本人がその先陣を切る役目であるとも感じています。

他を受け入れ、自らを重んずるがごとく、隣人を愛する人々が増えることを願います。



2009.01.13 Tue

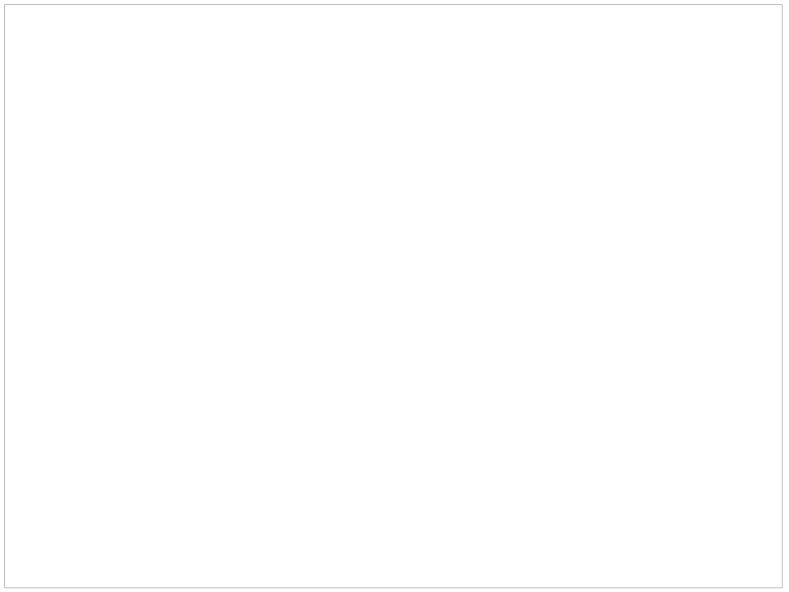
長老会発足

２００９年１月１０日長老会、神男神女、青年会結成式典　（北海道苫小牧市）

５０歳を迎えた日、自分の住む地域の大人を元気にする目的で自宅を改装し、地域を支えている元小学校の校長のお宅「さくらぎ笑楽好」で、「長老会・神男神女・青年会の結成式」を行いました。この結成式の進行手順は神様から詳しい手順を教えて頂き、その準備に長老会の御尽力を頂きましたことにも御礼申し上げます。

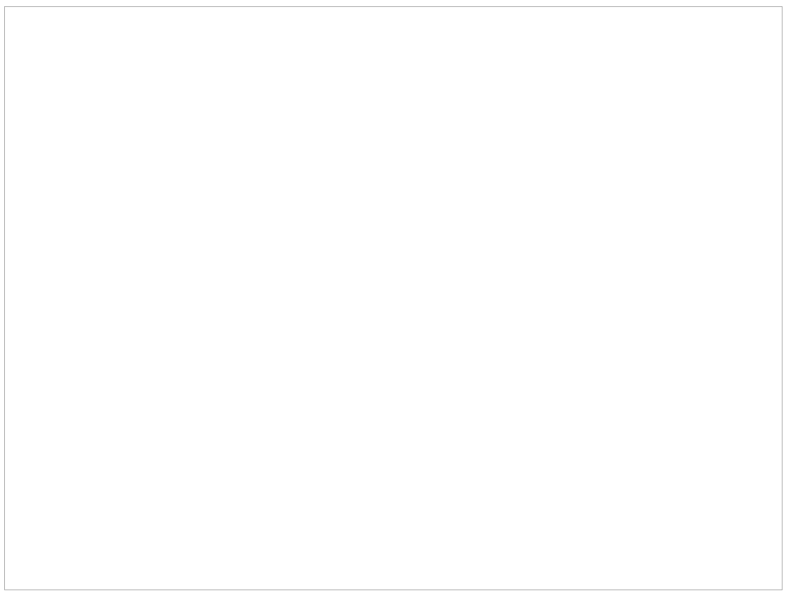
北を守るオキクルミカムイの神降ろしから始まった式典は、沖縄各地で続いている豊年祭（ユークイ）と北海道アイヌの儀式を合わせた形式で行いました。参加者が座る位置は、生まれた年代の役割を明確に表す日本古来の形となり、写真の左手には、数え６０歳を今年迎える「長老会」の方たちが座り、中央には数え５０歳～５９歳までの「神男神女」が座り、右側と後ろには数え４９歳までの「青年会」の方たちが座っています。

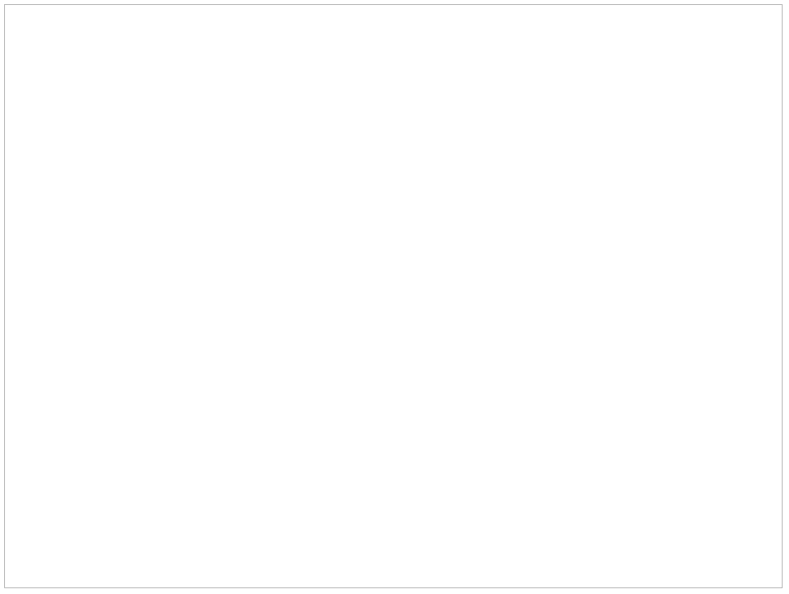
オキクルミカムイがご降臨された瞬間、撮影していた方が初めて写した真っ赤な神オーブがその場を埋め尽くしました。

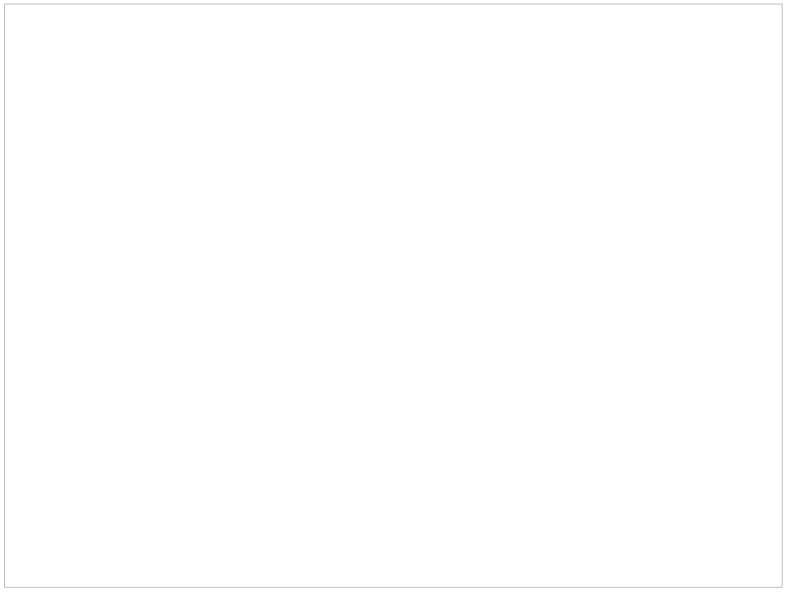


ご降臨されたオキクルミカムイに御礼を捧げ、生きて人神となられた長老会の方々へ感謝の祈りを捧げたあと、長老会の代表者が生きる意味や決意を皆さんへお伝え下さいました。この瞬間も神オーブが周りを真っ赤に染めるほど、大きな神姿が光となって見せて下さいました。

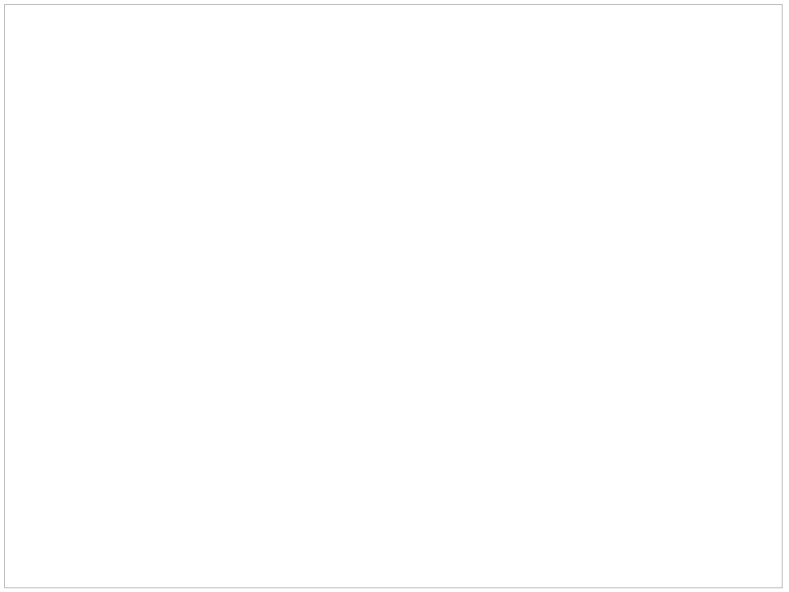
※神様からそれぞれの年代の心得として頂いたメッセージは、こちらをご覧ください。

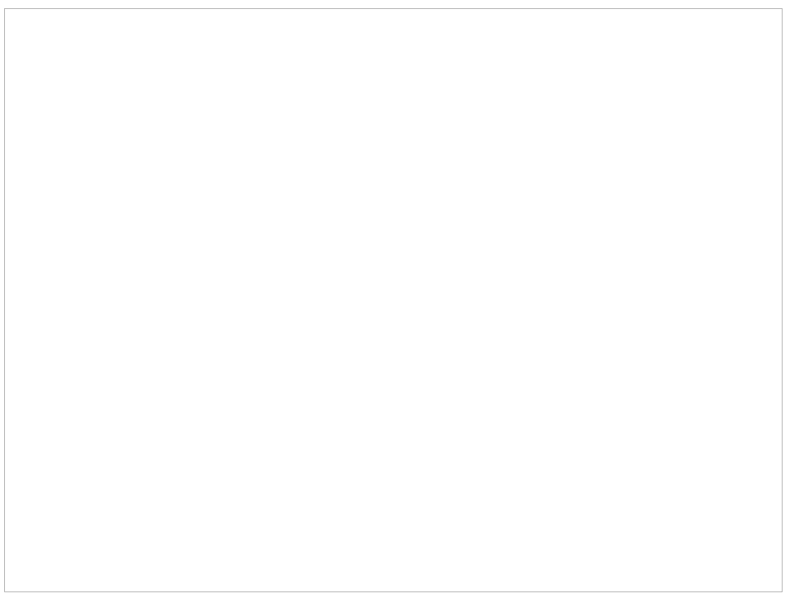






全員で手たたき心を合わせる「拍来」の儀式の瞬間と、神様の御心が入ったお神酒を全員で頂く時にも、神が喜んでいる証として赤い神オーブが人々を包み込みます。年をとることの意味を知り、年長者を敬う心を伝える今回の儀式は、今後、新年の祝いとして毎年続けられます。





翌１月１１日には同じ苫小牧を支える「さくらぎ笑楽好の分校」として新しい家の新築祝いを仲間たちと行いました。前日に降ろしたオキクルミカムイのご神体をこの家に運び入れた祭壇の前

に座ると、誰もが神の存在を感じるほど大きなエネルギーを発しています。

実はこの家を立てた場所は、樽前山神社の裏鬼門に当たる方角にあり、家の真ん中にそのエネルギーが通っている家なのです。窓からは一の鳥居を正面に拝む事ができ、地鎮祭の時には青天の中、雨粒がこの家だけに降り注ぎ「竜の神」が降りたことを知らせたほど、この家に住む方の役目が大きいことを神が教えてくれました。

この日の朝一番には、この家のご主人の亡くなられたご両親の家に伺い、神仏の御霊抜きと祓いも伺いましたが、御先祖のご仏壇を大切にしながら神を大切にされているご夫婦だからこそ、この土地の導きと今のご家族の繁栄があるのだと思います。こういう古来から大切にしてきた習慣こそ、伝統の精神を新しい日本を支える人たちへ繋ぐ行動だと感じました。

自分の住む土地神に感謝し、同じ土地に住む人々を愛する人たちが、神仏を大切にする心と共に大きな輪となって地域を再生させる「新しい始まり」が、新たにスタートしました。これからの新しい世づくり、新しい地域づくりの方法をお導き頂きました神々、また支えて下さった全ての皆様の御心に心から感謝いたします。
2009.01.12 Mon

2009年6月以降のアセンションステップ

ステップ1：日本列島を貫くエネルギーライン

日本列島アンテナ.jpg

地球と宇宙を守る重要なアンテナ

これからの地球と宇宙の新しいバランスを守る重要なポイントとして、日本に４か所のエネルギーポイントの場所が明かされました。それは、北海道然別湖、富士山、屋久島、大神島の４ヵ所です。この４つを繋ぐラインは、地球外宇宙と地球内宇宙のエネルギーを送受信しながら新しい宇宙バランスを保つ重要な役目を果たします。５ヶ所目は、然別湖と地球の核を結ぶラインの反対側にある場所が示されました。今後の次元上昇エネルギーは、この５か所がアンテナとなって新しいエネルギーが産み出されます。

ステップ2：神々が守るエネルギーライン

galaxy.jpg

宇宙・人間・地球が繋がる

地球上の人間全てに備わっている神意識は、宇宙と地球の核を結ぶラインを守る役目があるからこそ与えられているものです。人類が地球に存在する以前は、宇宙の神々がこのエネルギーラインを守る役割でした。地球や宇宙全体の調和を整える使命を与えられた人間は神々と共に今後、本格的な活動を始める事でしょう。

ステップ３：地球の核に眠る宇宙情報の解放

img016.jpg

地球内宇宙を守る存在たち

地球内宇宙には、階層別にそのゾーンを守る存在たちがいます。守っている情報やエネルギーは、湧き水や温泉、噴火などによって地表に現れたり、土地のエネルギーとして私たちは身体で感じています。この地球の内部に秘められている情報は、宇宙のアカシックレコードと同じ宇宙の歴史の全ての記憶が眠っています。今回の啓示は、この情報の完全開放が目的として提示されました。人間が意識を合わせて行う大きな祈りの力は、過去の囚われやカルマをはずす力がある事にも気づけました。

ステップ４：富士山へ繋ぐ新しいエネルギー

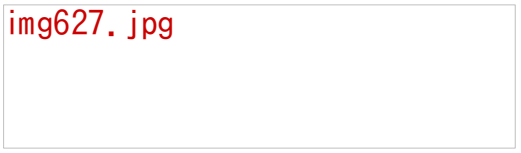
img160.jpg

新しい地球を守る宇宙エネルギー

これまでの１０年間に段階を追って上昇した人間の意識は、さらに新しいステージに上がり、宇宙と地球の統合エネルギーとなって未来を守ることになります。これまでの全てのエネルギーを納めて、さらに新しく繋

ぎ直す祈りが、２００９年７月１9日の日の出（AM４：４４）に行われる富士山頂上神事で行われます。過去のカルマやトラウマに悩まされない生き方を皆様と一緒の祈りで実現致しましょう。

ステップ5：全ての守り・結界を外す必要性



全ての守りを外すと未来は開ける

人間はこれまで自分を守る事の正当性を主張し争った歴史から学び、その守りを手放す時期に来ていると告げられました。

世界中で人間が造り上げたさまざまなエネルギー結界は、自然界や宇宙エネルギーのバランスを崩し、新しい未来の宇宙エネルギーが入り込めない状態になっている事を気づかなければなりません。

全ての人間が「守ることを手放す時代」になりました。肉体を失う事を知りながら経験する人生の目的が明確に明かされなかった理由も、この時が来る事をわかっていたからなのです。

人間はもう、変わらなくてはいけません。

今、守っているものが、全て壊れる時代になることも告げられました。

私たちは選択しなければなりません。

地球や宇宙を支える一因として地球に残るのか、転生してその役目を捨てるのか？

地球の未来を救えるのは、あなたの祈りなのです。

2009.01.11 Sun

新しい始まり

本日1月１０日、丑三つ時（午前二時半頃）に突然、目が覚めて神メッセージを書に降ろす作業を朝まで行いました。内容は今日からが「新しい始まりのときとなる」という言葉のあとに、今日と明日、苫小牧で行われる式典の意味や内容について詳しくご指導頂きました。

この式典は、５０歳以上は「神男神女」として世の中の見本となる生き方をすること、６０歳以上は「長老会」として世の中へお返しをする生き方をすること、５０歳未満の方は「青年会」として年長者から多くを学び、地域や他人を支える役目をするなど、地域社会における年代の役割が明確に示されたことでその対象となる方々の正式な承認式を行います。

対象となる年齢の方は、地域の年長者を敬いながら、日々の生活の中でお互いを支え合う生き方を実践することで明るい地域社会は生まれます。

翌日の1月１１日は、同じ苫小牧に住む方の新築された家の入居式を行いますが、地域の人を支える家として「さくらぎ笑楽好　分校」の役目をご家族が宣言されていますので、本校からの神繋ぎという形で祈りを行います。

この新居は土地を選ぶ段階からご相談に乗り、方位祈り、土地神祈りと行い、地鎮祭の祈りの際に雲ひとつない青天の空から降った雨粒によって「竜の神」が家守りに降りたことも参加者全員を驚ろかせた出来事でした。

本日の式典に降りる神は事前に名前を教えてくれました。この神はアイヌ最強の神として北海道では大切にされていますし、また龍球王国十五神の一神でもある「オキクルミカムイ」が、一時的にひもろぎに降りられます。

この神は「北を守る神」として、また「山と底を守る神」として働く神ですが、こ北の大地の苫小牧から新しい日本の地域再生のひな形が始まるのだと感じています。沖縄が守る人間愛とアイヌが守る人間愛の精神から学んだことを仲間たちと一緒に育てていきたいと思います。

２００９年１月の宇宙エネルギー上昇日は１１日と２６日ですが、どちらの日もその意味を知る人にとっては、大きな転換エネルギーを体感されることでしょう。

本日明日、一心報いまして、その神繋ぎさせていただきますこと、地球の皆様のためとお知らせし感謝を捧げます。
2009.01.10 Sat

エネルギー転換

間もなく人生の節目となる５０歳を迎える私ですが、久しぶりに誕生日前のエネルギー調整を体感する出来事が起きました。

それは昨日当然、長年愛用していたプリンターの故障から始まりました。昨年末からちょっとまずいなあと思ってましたが、何とかカレンダー制作を終えて安心していると、ご注文いただいた大事な名刺の印刷時に色がおかしくなったので、直接、メーカーの修理窓口へ持参してみると「清掃しましたが、この機種はもう修理できませんので今度、不都合になったら買い替えを検討して下さい。」というやさしい対応でした。

仕方がないと諦めて家に戻って車のエンジンを切ろうとすると、今度は車のアンテナが伸びたまま戻らなくなりました。アンテナを収縮させるモーターも止まらずブーブー言い続けています。氷点下の青空駐車はバッテリーが上がってしまうのでメーカーの修理担当者に電話してみると、モーターとセット交換に4万円ほどかかるとのこと。アンテナに４万円！！・・・何とか安くお願いします！と電話を切ったものの、この出来事の意味を考えて一人で笑いました。

誕生日を迎える時や引っ越しなどで、日常の電化製品が壊れる事はよくありますが、これは新しい自分や土地とのバランスを整える「宇宙の波動調整」なのです。特に、微弱な電気を使っている電化製品や電動物がよく壊れるようです。

自分の体験で最高に物が壊れたのは、今の土地へ引っ越しした時でした。車を含めて立て続けに７つぐらいの物が壊れた記憶があります。さすがにその出費には泣きましたが、実は、この物理的に物が壊れるおかげで、いわゆる「邪気払い」の効果が大きく働いているのです。

日常生活で、観葉植物がよく枯れたりする方もそうですが、背負っている身体のマイナスエネルギーを代わりに吸い取って枯れる植物たちは、自然界の愛の循環作用なのです。自然界に「

犠牲」いう言葉はありません。枯れた葉っぱもバクテリアになって、次の新芽の肥やしになるように全てが循環する自然な世界ですから「枯れた植物さん、ありがとうございます」と感謝して捨てて下さい。

こういう些細なエネルギー転換が上手にできない方は、周りの家族や知り合いにマイナスエネルギーをぶつけて「トラブル・もめごと」を引き起こします。こういう小さなトラブルが続いて大きなトラブルにならないようにする意味で行うのが「厄払い」です。「厄年」の前後は、身体や精神の大きなエネルギー転換の次期ですので、自分には関係ないと言って家族や周りの方に迷惑をかけていることを知らない方も実はたくさんいらっしゃいます。

２月３日の節分までにこの「厄祓い」をする方が多い理由は、明治５年まで日本は旧暦で生活していましたので、旧暦のお正月前に自分の厄を払って人様に迷惑をかけないようにしてから、新しい年を迎えるという大きな意味の「禊（みそぎ）＝身削ぎ」の行事だからです。もし家族の中にこの「厄祓い」を忘れている方がいたら、急いで神社かお寺に行って下さい。※2009年の旧暦の元旦は新暦の1/26ですので、1/25(月）までに終えましょう。

皆さんは普段の生活で自分の思っている「普通」がうまく運ばないことを「災い」と言いますが、物が壊れたり、もめごとが起きる意味は「今までのあなたの普通を変えなさい」というメッセージだと思って下さい。災いと感じることが起きたらその出来事や相手に反抗するのではなく、起きた事実を素直に受け止めて自分の心を改めると、今後の物事や人間関係もスムーズに流れるようになります。

壊れる物のひとつひとつにも、メッセージや意味があります。今回の車のアンテナは、とてもわかりやすい「意識のアンテナの交換」だと感じました。プリンターの故障も私のアート（心）を表現する大切な物だからこそ、もっと素敵に表現するために無駄を省く必要があったのだと思います。

こういう宇宙エネルギーの循環のおかげで物が壊れる事は「災い」ではなく、新しい自分に代わるための「気づきのチャンス」なのだと思って下さい。短期的に考えると経済的に痛い話ですが、自分の気付いていない部分を整えるこの宇宙のエネルギー調整は、長期的に考えると大きなプラスを生み出してくれます。

新しい自分に変わる時に一番大きなひっかかりは、「過去へのこだわり」でしょう。新しく変わる時には、自分の古いこだわりや習慣は捨てて、新しい自分の心構えで過ごすことがとても大切です。新年早々、宇宙のエネルギー調整をいただきまして本当にありがとうございます。皆さんにとって今年が良い年になりますよう心からお祈りいたします。
2009.01.09 Fri

富士山頂上神事

今年の夏、富士山の頂上で大切な神事を行います。

この神事は、２００４年から始まった自然神祈りや宇宙神事をひとつにまとめあげる祈りになると思います。２００９年に富士山を登る意味は、「全宇宙時間軸の縮小」が始まる今年に、地球を守り支える仲間たちが宇宙の神に対して宣言をする場となるからです。またこの祈りによって地球を支える新しい大きな光の柱が立つことになるでしょう。

富士山頂上神事に参加を希望される方は、事前にお申し込みをお願いします。お申込みの締切りは、３月１５日（日）です。概要は　地球創生　富士山頂上神事をご覧下さい。

〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

「激変の２００９年」をどう生きるか、何の為に生きるかは、あなた次第です。社会情勢や世界の経済状態の情報に右往左往さしない生き方を確立するためも、新しい仲間と出会い、未来を創造する行動を一緒にしていきましょう。

地球創生　吉岡学
2009.01.06 Tue

神隹隹（かみつがひ）

祈りまして　始まりまするこの年の出来事

全て神の計らいと信じ、自らの道の歩み方を見直しなさい

新しい始まりのとき、全ての物事の改めも同時に行うチャンスとなりまする

その一魂、御霊磨きて玉洗い直しの時ともなりまする

この人生、いくばくの生き方しようとも失うものなし

全てが神に与えられたチャンスと知りさない

ならば、その肉体、行い、出会いのすべてを神に捧げなさい

神はあなたの意志なり、神と隹隹（つがひ）になりなさい

生まれしとき与えた役目を思い出し、その道まっすぐ精進なさい

失うものなし　すべてが与えられしもの

いくばくあるかこの人生、神の御心と同じく生きるチャンスなり

これより始まるすべての出来事、自らの方向修正のためと信じなさい

失うものなし　全ては与えられしもの

神にゆだねる素直さこそ、自らの神を見つける道と伝えます

2009.01.04 Sun

二つの啓示

本日、二つの啓示がおりました。

ひとつは、２００９年２月１５日　時の警鐘

(株式証券取引の世界において）です。これは現在の世界経済を見てわかるとおり、物質がない世界に膨張した欲望の創造エネルギーを制御する働きとして起きる出来事のようです。人間が地球の土地に値段を付けてから始まったマネーゲームは、当初のように形がある物や資産を売買していたやりとりから、ある「信用」を巧みに利用して付加価値があるように見せかけた新しい膨張エネルギーの「つけ」を払う時が来るようです。

一般の方にはそれほど大きな影響は無いようですが、世界の株式証券の３割以上がこの動きに連動していることで、先進国同士の経済混乱が起きるようです。しかし、マスコミの不安な情報に惑わされないで下さい。結果として世界の経済は、その国の実力に見合う経済になるようです。

このタイミングかどうかはわかりませんが、世界経済の破たんは、逆にいうと、「世界通貨」の誕生のチャンスだと思っています。ヨーロッパのユーロがそうであったように、世界の貧富の差のある国同士をまとめる方法として「世界通貨」の実現は、大きな混乱を回避することもできるからです。世界の経済首脳陣の行動を静観してみましょう。

もうひとつの啓示は、

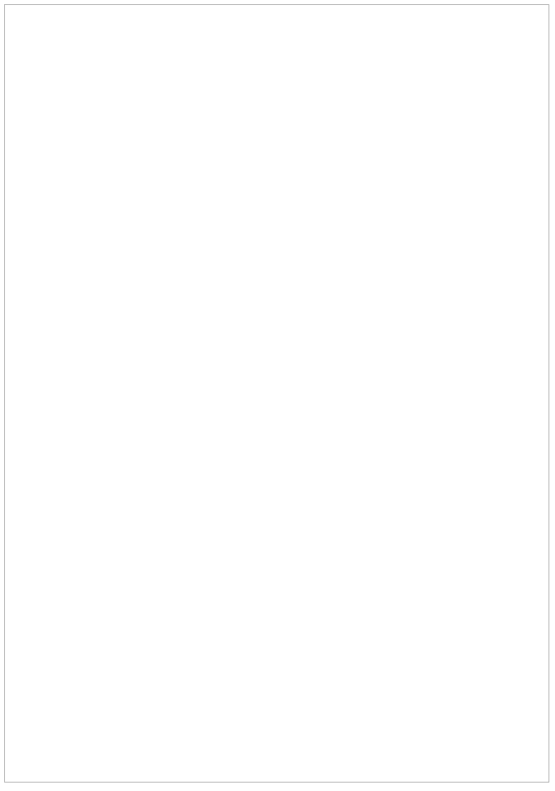
「２０１８年６月１８日、すべての人間の意識が転生する」というメッセージです。人間が生きながら転生することがあり得る事は以前、ご説明しましたが、この日は世界中の人間の意識転生が同時に起きる日のようです。この転生は「目覚め」というレベルではなく、すべての人が全く違う意識のレベルに進化到達するという意味です。

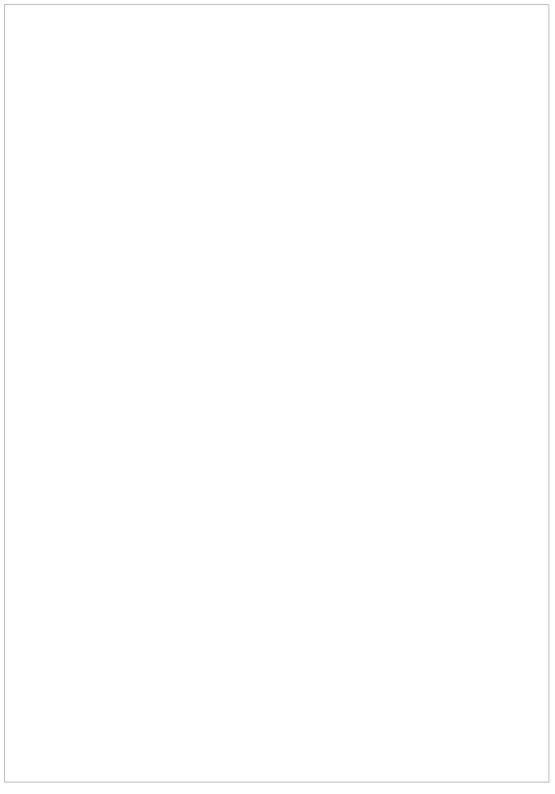
これは守護霊たちにとっては、望んでいることですから大喜びなのでしょうが、現実を生きる人間にとっては、大きな心の混乱を経験することになります。私の経験から考えると、完全に意識が転生すると目の前で起きることの感じ方も変わり、人によっては視覚・味覚・聴覚・触覚・臭覚の五感も変わります。当然、第六感と呼ばれる直観の感度も上がり、生きる価値観のすべてが変わることを意味します。

過去の経験に倫理観と概念を加えて生き方を決めていた皆さんにとっては、意識の根底をひっくり返されたように感じることでしょう。言い方を変えると、あなたの魂が望んでいたレベルに上がるという意味でもありますが、現実に囚われることで、やらない理由にしている自分の甘えに気づかされる時が来るということです。

１０年を切った残された時間に、私たち一人一人が何に気づき、何を実践するかは、あなた自身の今後の変化の連続で決まります。皆さんに気づいてほしいことは、守護霊や神がこの地球や私たち人間を救ってくれるのではないということです。私たちが望むことができるように、大切な気付きや導きをしてくれているの存在が守護霊や神仏なのです。

だからもうその対象に「お願いごと」はやめて、自分がこれからどう生きるか「宣言」だけを神仏に唱えるようお願いします。まもなくやってくる２００９年を迎えるにあたり、すべての人々に愛と感謝をお届けします。2008年、本当にありがとうございます。ハートランド龍球　/　地球創生　吉岡学





2008.12.31 Wed

2018年　全ての人間の意識が転生する

2018年　全ての人間の意識が転生する

人間が生きながら転生することがあり得る事は以前、ご説明しましたが、この日は世界中の人間の意識転生が同時に起きる日のようです。

この転生は「目覚め」というレベルではなく、すべての人が全く違う意識のレベルに進化到達するという意味です。

これは守護霊たちにとっては、望んでいることですから大喜びなのでしょうが、現実を生きる人間にとっては、大きな心の混乱を経験することになります。

私の経験から考えると、完全に意識が転生すると目の前で起きることの感じ方も変わり、人によっては視覚・味覚・聴覚・触覚・臭覚の五感も変わります。

当然、第六感と呼ばれる直観の感度も上がり、生きる価値観のすべてが変わることを意味します。

過去の経験に倫理観と概念を加えて生き方を決めていた皆さんにとっては、意識の根底をひっくり返されたように感じることでしょう。

言い方を変えると、あなたの魂が望んでいたレベルに上がるという意味でもありますが、現実に囚われることで、やらない理由にしている自分の甘えに気づかされる時が来るということです。

１０年を切った残された時間に、私たち一人一人が何に気づき、何を実践するかは、あなた自身の今後の変化の連続で決まります。

皆さんに気づいてほしいことは、守護霊や神がこの地球や私たち人間を救ってくれるのではないということです。私たちが望むことができるように、大切な気付きや導きをしてくれているの存在が守護霊や神仏なのです。

だからもうその対象に「お願いごと」はやめて、自分がこれからどう生きるか「宣言」だけを神仏に唱えるようお願いします。



2008.12.31 Wed

株式証券取引の世界

これは現在の世界経済を見てわかるとおり、物質がない世界に膨張した欲望の創造エネルギーを制御する働きとして起きる出来事のようです。

人間が地球の土地に値段を付けてから始まったマネーゲームは、当初のように形がある物や資産を売買していたやりとりから、ある「信用」を巧みに利用して付加価値があるように見せかけた新しい膨張エネルギーの「つけ」を払う時が来るようです。

一般の方にはそれほど大きな影響は無いようですが、世界の株式証券の３割以上がこの動きに連動していることで、先進国同士の経済混乱が起きるようです。

しかし、マスコミの不安な情報に惑わされないで下さい。

結果として世界の経済は、その国の実力に見合う経済になるようです。

このタイミングかどうかはわかりませんが、世界経済の破たんは、逆にいうと、「世界通貨」の誕生のチャンスだと思っています。

ヨーロッパのユーロがそうであったように、世界の貧富の差のある国同士をまとめる方法として「世界通貨」の実現は、大きな混乱を回避することもできるからです。

世界の経済首脳陣の行動を静観してみましょう。

※この啓示は実際に起きたリーマンショックの影響が、日本に大きく影響する事を伝えているものである。

wall22.jpeg

2008.12.31 Wed

存在の証

人間に生まれたことや女性（男性）に生まれたこと、また誰かの子供に生まれ、また誰かの親になった経験を「人間としての存在の証」だと、もし思っている方もいらっしゃるとしたら、それは大きな間違いです。

生まれた時に与えられたものは、人間がその決定をできないからこそ、他の動物や植物と同じように、与えられた資質を使った結果、つまり本能の結果なのです。言い換えると、人間の証がもし繁殖や種族保存だと言うならば、動物や植物と同じレベルで、人間の存在価値を考えていることに気づいて下さい。

私たち人間がよく口にする教養や知性、そして霊性でさえ、実は、動物も植物も同じようにも持っていることを理解して欲しいと思います。人間が持っている知性や霊性と、個体種別に必要な知性霊性は違いますので、それぞれの種によってオリジナルの通信能力（テレパシー）が備わっています。

たとえば、ひとつの山にある頂上の木と裾野の木は、お互いに離れていてもその霊性はひとつの意識でつながっていますので、あっちの木を切られたとか、こっちの木を人間に切られたという情報は、すべての木が知っています。

また動物学者の方はご存知ですが、個体種同士のテレパシーがあることは、アフリカ象がサバンナの反対側でも聞こえている象の話で有名です。※映画　地球公交響曲ガイアシンフォニーをご覧下さい。

全ての種に共通している部分は、すべての存在を生み出した大いなる母、つまり地球であり、また「宇宙そのもの」とのつながりであり、それをすべての存在が持っているからこそ、人間の中に動物や植物と話せる人がいるのは当然なのです。

この通信チャンネルのことをよく「テレパシー」と言いますが、霊視や透視の力と同じように、種を守る繋がりの力だと理解して下さい。逆に、動物や植物の立場から人間を考えてみると「色々やってるみたいだけど、なかなか進化しない種族だね」と思われているかもしれません。

優れた経営者がそうであるように、人間がもしこの地球の知性や霊性のトップならば、この地球上にあるすべての生命の出来事について、責任を取る立場にあるはずですが、現実がそうではないことは皆さんもご存じの通りです。

人間の存在の証は「自分の存在理由」と同じく、もっとも大きな人間の欲求のひとつですが、その答えを人間社会の中だけで考えては、永遠に答えは見つかりません。

「私はなぜ存在しているのだろう？」と、もしあなた自身があなたの存在理由を神に問う時があるとしたら、それは「誰かの役に立っているかどうかです」と、神はあなたに答えるでしょう。

これは地球においても宇宙においても、すべての「存在の理由」は、同じ宇宙真理の中で同じですので、今年一年を振り返って誰か一人でも、自分の存在を喜んでくれた人がいたのなら、あなたはその人の為に存在したのだということをきちんと認識して下さい。他人に喜ばれた事がないともし言う人がいるのなら、反対に、あなたが消滅すると悲しむ人がいることで、あなたの存在自体が誰かの役にたっていることになります。

来年、また新しい人に喜んでもらえるような自分になろう！と目標に掲げると、20歳の方なら年に一人づつ増やすだけで、50歳の時には30人の素敵な仲間に囲まれている自分になっているのは

確実です。

今すぐできることは、あなたの目の前にいる人や電話で話をできる人に、ひとつでいいので「何か役に立つことはないかな？」と考えて実行することです。この「今のひとつの行動」は、未来の１０００の行動になる大きなエネルギーとなってあなたの人生を大きく導きます。

もう2009年のエネルギーの中にいるのですから、2008年よりひとつくらいは前に進む生き方を選びましょうね。大切な気づきと神の愛をあなたへ届けます。
2008.12.29 Mon

人間の可能性

人間に生まれる前の記憶を持っている人は少ないと思いますが、なぜ今世、人間に生まれたのかを真剣に考えた事が、あなたはありますか？

「人間に生まれた理由」にまだ気づいていない人は、そのことを学ぶために、悩み苦しむ経験をたくさんしてその意味に気づくチャンスを何度も頂きます。人間についての学びが終わると、今度は「地球に生まれた全ての生命の存在理由」について考えることがテーマになります。このテーマを終えると次は、「宇宙がなぜ存在しているか」についてテーマがやってきます。さらに次のテーマは「宇宙の外側」ですが、こういう存在理由を問うテーマは誰もが思うテーマだからこそ、最終真理に到達した人はみな時間や時空を超えるチャンネルに意識がつながるようになります。

さまざまな意識のチャンネルにつながっている人たちにたくさんお会いしましたが、私が一番、大切にしていることは「現実とのバランス」ですから、その方の人間としての心のバランスがどうなのかを一番大切にしています。全宇宙の真理に到達した人が、今、もし幸せを感じていないとしたら、未来の地球に希望が無くなるからです。創造力と同じように高次元につながる意識を持つ人は、現実と高次元意識のバランスをとるために、肉体を持って生かされているのが役目だからです。

これは意識や精神の世界の話ですが、現実的な左脳の世界でも地球の起源や生命の起源について、専門家が鉱物や植物を調査して仮説を立証して歴史を解き明かしています。でもその仮説がどんどん崩れているのも、ここ２０年ほどの新しい発見が大きく影響しています。２１世紀になって、なぜ２０世紀の専門家が立証した事実が崩れるのかというと、皆さんが信じてきた「普通」の概念を変えなければいけない時代に入ってきているからです。

一般の学者たちの仮設に「ある日突然！」という概念はありません。この「偶然」を仮説に盛り込むと、それはもう仮説ではなく「予測」になってしまうからです。一般的な学者の思考パターンは、たくさんの事実をもとにある仮説を立てて、その立証に多くの時間をかけることを研究と

呼びます。その永い研究のおかげで今年、４人の日本人が今年、ノーベル賞をとりましたが、日本人の素晴らしさを世界に示した事に感謝します。

右脳が活性した学者は、研究の中で起きる「偶然」をとても大切にしています。あのノーベル物理学賞のアインシュタイン博士でさえ、宇宙の始まりを「神の一撃」と言ったくらいに予測できない「偶然」が、とても重要なテーマだと知っているからです。

人間がどれほど知識や経験を積んで勉強しても予測できない世界が、この「偶然の世界」です。「偶然の世界」で起きる確率を計算するにもデータが必要ですから、人間はいつも永い年月をかけてデータの分析をします。でもノーベル賞レベルの発明をする素晴らしい学者に、長い経験と「一瞬のひらめき」で新しい発見をする事を昔、直接、教えて頂いたことがあります。

この「一瞬のひらめき」は、実は、誰にでも与えられている「神のプレゼント」だと私は思っています。でもそのことを誰かに言うと「たまたまだよ、偶然さ！」と否定する人がいますが、その偶然が連発すると必ず否定しなくなります。さらにたくさんの方がそのことを「当然だよね」と認識すると、世の中の「普通」の概念さえ、一瞬で変わります。

皆さんが今、使っているインターネットも携帯電話も全自動洗濯機も、そういう「普通」という概念の変化で普及しました。忘れてはいけないことは、新しい何かが生まれると、過去の何かが変わったり、無くなったりするということです。それまで大切だと思っていたことさえ、「変わる」ということを認識して下さい。

全自動洗濯機のおかげで、洗濯板と洗い桶が無くなり、洗濯する時間もさまざまに変わりました。携帯電話のおかげで設置電話と公衆電話が減り、約束の仕方がルーズに変わりました。インターネットのおかげで百科事典がいらなくなり、知らない人にもメールでやりとりできるようになりましたが、その反面、ネットを使って無責任な行動や言動をする人たちが増えています。

新しい発明や日常生活の必需品も常に進化しているからこそ、皆さんが今、思っている「普通」は、今後もどんどん変わっていきます。

「私は〇〇〇だから、変われないの」と思っていることが大きな勘違いだということを気づいて下さればいいと思いこんな事を書いていますが、これからの時代に最も大切なことは、「ルールを変える」ことだと思っています。

社会や学校や会社や家族のルールづけで、あなたの心の中のルールは出来上がっていますが、実はそのルールをどう扱うかは、あなた次第なのです。

誰かが決めたこの「ルール」は、もともと地球上になかったからこそ、必要悪で生まれ、ルールに守られている部分と、ルールに縛られている部分がある事に気づいて下さい。またルールを利用して得をしている人と、ルールに縛られて苦しんでいる自分もいるはずです。今しなければいけないことは、自分の心の中にある誰かに言われた呪縛のルールを解き放つことです。

全て自分の責任で新しい行動ができる人たちが増えることでしか、地球の未来を変えることはできません。これは現実のルールを否定しているのではありません。あなたの心の中にある呪縛が、すべての根源になっていることに気づいてほしいだけなのです。

この「普通」という概念や「ルール」に縛られない自由な心で、ぜひ新しい未来を創造して下さい。これからどう生きるのか？その責任は、あなたしかとれないからこそ、あなたの心や魂が望む道へ進んでほしいと願っています。神もあなたの守護存在も、その事を望んでいます。全ての御心に、未来の光が差しますよう祈りを捧げます。
2008.12.26 Fri

2008年最後のエネルギー転換日

さあ、12/25になりました。仲間には以前から伝えている事ですが、今日から2009年の新しいエネルギーが最高に濃く２００８年に流れ込んでいます。

現実的に何かが起きてその「変化」を知らされる方が多いと思いますが、実はその変化の前触れは１１月位から少しづつ動いていました。この「変化のエネルギー」は、小さな災いや小さなトラブルと思える些細な出来事が起きることでメッセージを伝えていますが、嫌な事でも起きないと人間はなかなか生き方を軌道修正しないからなのでしょう。

そういう時に、いい役と悪い役をさせられる人もいますが、その人の本質がそういう人だと決めつけないようにして下さい。あなたが変わる為にその人は、その役を演じてくれているだけなのですから。

この新しいエネルギーが私たちに何を気づかせいたいのかというと「変わること」なのです。
そう、あなた自身が変わる為に起きていることを受け止めて下さい。現実はあと６日もすると
必ず、全員の人が1歳、年とる新しい年がやってきます。それは何をしても避けられないことです。

新しい年を迎える変化のエネルギーが上昇する中で人生を左右するような大きなトラブルを抱えているた人は、それまでの小さな変化のタイミングで舵を切れなかった方のようです。

車の運転をする方ならよくわかると思いますが、事故を起こしたり、警察に捕まる前に必ず、小さなドキッとした事や、ハッとしたことが何度かあります。それがメッセージ、つまり「お知らせ」です。

この些細な「お知らせ」を無視すると、さらにエネルギーは強くなり切な事を気づきなさいと、現実世界で嫌な思いを経験させることで「心構えを変えなさい、行動を変えなさい」という気付きを与えられます。

このことを「守護存在からのメッセージ」と言ってもいいでしょう。守護存在がご先祖でも神様でも宇宙からでもいいですが、あなたを守っている見えない存在たちが、あなたの魂を「本質が望む方向」へ向かわせようと気付きを与えている状態がこの「お知らせ」です。

最高の幸せと最低の苦しみは、同じ天秤に載っていることを知っている人たちは、常に自分の「心の位置・意識の位置」に注意を払います。エネルギーの変化をわかりやすい言葉でいうと「運気」に例えられますが、この「運気」という言葉を自分の損得で使っている方が多いようなので、そうではなくもっと大きな流れの意味でとらえてみて下さい。

時代が大きく変わろうとしている時や、新しい時代を迎える時は、最高潮に「変化エネルギー」が動く時ですので、自分の内面を見る時間がとても重要になります。

「時代は変わろうとしている。魂もさらに幸せを感じたいと願っている。では、私は新しく変わるための心の準備ができているだろうか？」

と問う時間をあと６日間の中で必ず、作って欲しいと思います。

今、自分が幸せを感じられるのは、誰のおかげだろうか？

その思いを素直に伝えられているだろうか？

「感謝」は、新しい未来の自分を作り上げる時に一番、大切なベースです。その理由は「今」この瞬間に生きていることに対する全ての集合意識の言葉だからです。この「感謝」を足もとの大地と同じだと感じて、その上に立っている自分がたくさんの人に見守られていることを感じながら、新しい未来に対する自分のあり方を見つめる時間が必要な時なのです。

あなたの魂はこう叫んでいますよ。

「このままの自分でいいの？」

「もう、過去のこだわりは捨てようね」

「心の底から感謝が溢れてこないのは、大切な事がわかっていないからだよ」

「あなたは、あなたの本質が喜ぶ方に素直に生きてね！」

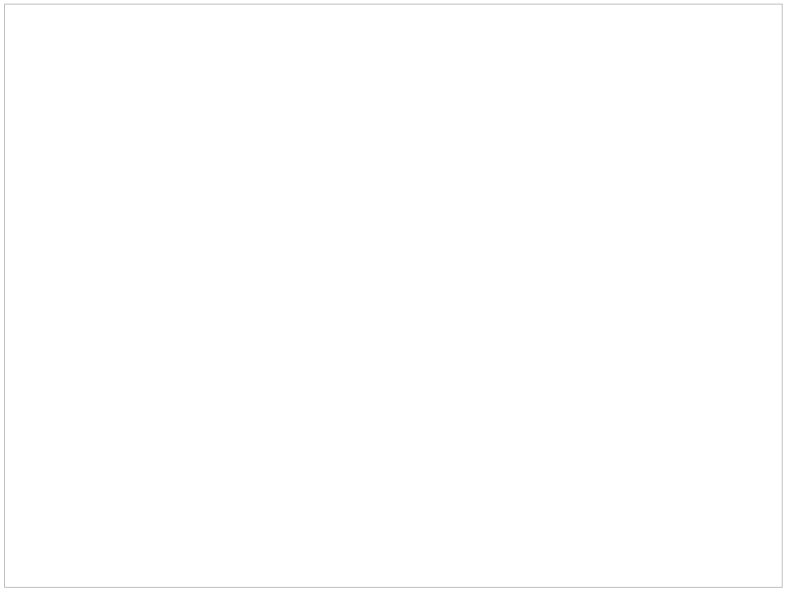
「今、生きているだけで幸せ。だから、新しい幸せに向かっていこうね」

さあ、これまでの全ての想いを横において、新しい自分を迎える準備をして下さい。まもなく新しいあなたと今のあなたが対面します。全ての魂に神の愛と守護の光が届きますよう祈ります。

2008.12.25 Thu

小説　「塩狩峠」

昨日、車で小樽方面へ走っていると、突然、ＳＬ(蒸気機関車）の汽笛の音がブオーーと聞こえました。ラジオからかなと思いましたが、音があまりにクリアだったので辺りをよく見まわすと、なんとＣ１１型のＳＬが車の横を走っているではありませんか！



子どもの頃、おばあちゃんの家に行く時に必ず、乗らなければいけないのがＳＬでした。乗りたくなかった理由は、駅から出発する際のあの大きな汽笛の音が怖かったからです。誰よりも早く汽車を降りて一目散に駅の外まで走った記憶があります。

キラキラモールに飾られたＳＬは、クリスマス期間だけ走るＪＲ北海道の特別列車（札幌小樽間）でしたが、走る車の真横にＳＬが走っているという偶然のタイミングの意味を考えました。

「これは私に何を伝えたいのですか？」と天に聞いてみると、高校時代に読んだ「塩狩峠」のことを想い出しました。この実話は・・・

1909年（明治42年）2月28日、ここ塩狩峠の区間に差し掛かった旅客列車の客車最後尾の連結器が外れて客車が暴走しかけたところ、当時鉄道院（国鉄の前身）職員でありキリスト教徒であった長野政雄という人物が列車に身を投げ、客車の下敷きとなり乗客の命が救われたという事故が

起こった。現在、塩狩峠の頂上付近にある塩狩駅近くには、この事に対する顕彰碑が立てられている。 1947年（昭和22年）9月1日、類似した事故が長崎県で起こっている。（Wikipedia)

高校生の頃に自転車で一人旅をしていて偶然、泊まった塩狩峠のユースホステルのオーナーに「読んでみなさい」と言われて目を通したこの本は、本が苦手はずなのに眠らずに読み切った記憶があります。それほど、鮮明に当時の映像が見えてくる事実小説でした。

今、このタイミングでＳＬ，塩狩峠と気付かせる理由は？とまた天に尋ねると、

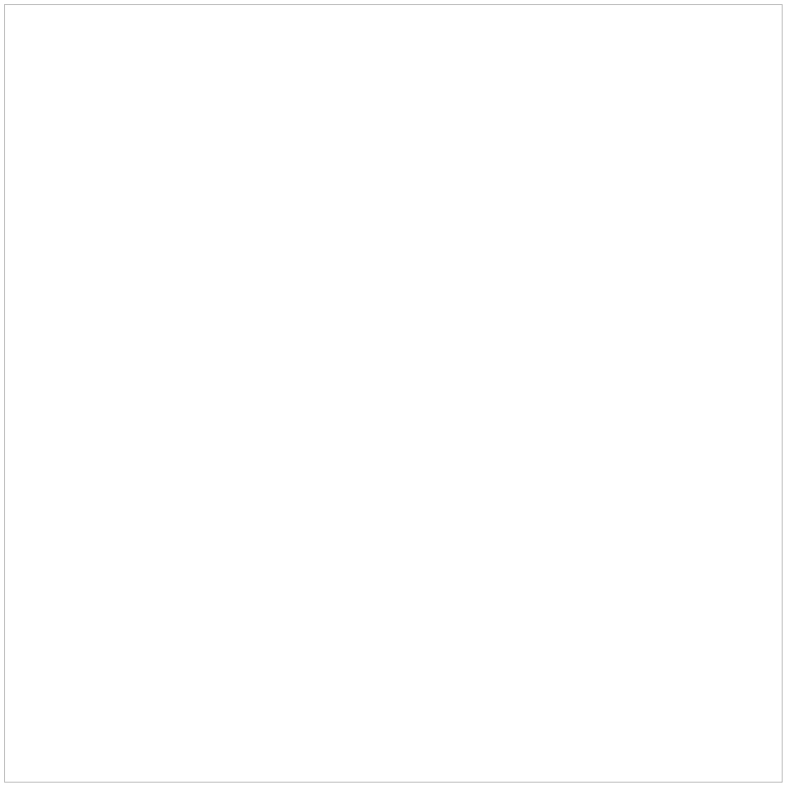
「人間はいつかは、死ぬ。だかこそ、死に方が大切なのだ。」と心に聞こえてきます。

生きる意味や死ぬ意味に悩んだあの頃の残像が、まだ心の中に残っていたのかと思いましたが、それよりもこれからどう生きるかを考える大切な時期だからこそ、「どう死ぬか」の意味に気づきなさいと感じました。

当時、この汽車の車輪に身を投げた人はキリスト教徒だからできたのだろうと勝手に思いこもうとしましたが、同じ状況で自分は何ができるか？と自問自答し続けたことを思い出します。

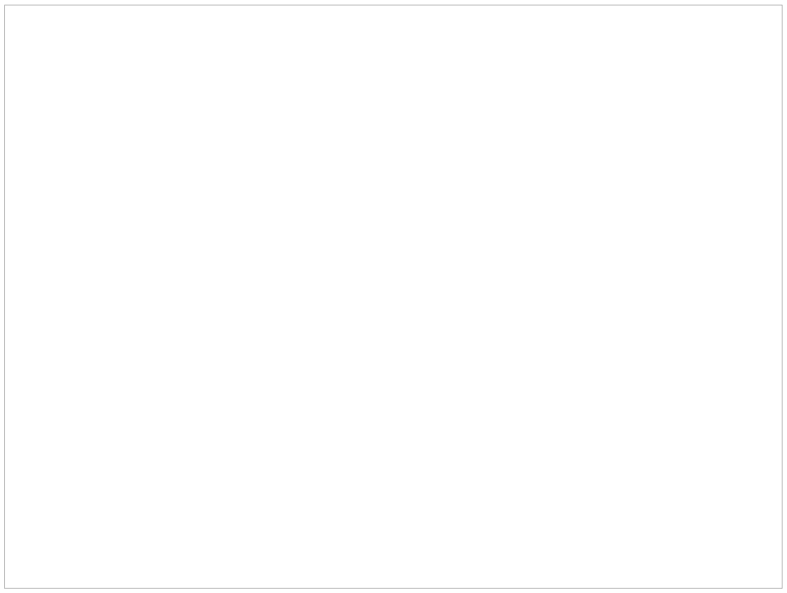
平和の中にいて誰かを評論するのは簡単な事ですが、いざ、自分はどうする？と問われた時に、実際、何ができるかが、その人間としての本質ではないかと私は思います。

人間は生かされているからこそ、あらゆる存在に感謝しますが、どう死ぬかを考えることで大人としての責任を果たせるのではないかと思います。本来、人間の価値は、その人が死んだ後から決まるものなのかもしれません。



2008.12.22 Mon

2009年　宇宙エネルギー上昇日



２００９年最後の神事をブログに出し終えたおかげで、やっと神エネルギーが身体から離れ始めていますが、反面、溜め込んでいた仕事にあわてて手をつけている状態ですが一番楽しみにしていた「２００９年スピリチュアルカレンダー」も現在、順調に進んでいます。ご予約頂いた皆様の分は、年内到着を目指して頑張っていますのでもうしばらくお待ち下さい。

６年目になるこのスピリチュアルカレンダーは、例年のグラフィックアートではなく、パステルを使って手で直接、来年の月ごとの絵を描いています。そして今年の目玉は、来年の「宇宙エネルギー上昇日」をカレンダーにわかりやすくマークしていることです。

「宇宙エネルギーが上昇する日」は、人間の精神に大きく影響していますし、地球全体のエネルギーを変化させている”宇宙のおおもと”からのエネルギー指標を表しています。私は毎年、この日を手帳のカレンダーに書いておいて大切な物事を決める時に意識して決定するおかげで、不思議に物事の変化が順調に運びます。

この宇宙エネルギーが直接、何か事件を引き起こすことはないと思いますが、人間の意識には大きく影響していますので、世の中の事件や出来事を見ていると、この日の前後に上昇波長に合わ

ない為に混乱した人たちの行動だとわかります。

未来を教えて下さいと聞いてくる人がよくいますが、未来は「今の自分の決断」で変えることができるからこそ、自分で選んで下さいと言いますが、どうしても避けられない「混乱のテーマ」が見えた場合だけ、そのヒントを教えることがあります。

「宇宙エネルギー上昇日」は、そのヒントを何月何日とわかりやすくしたものだとお考え下さい。

あなたの人生になぜ混乱する日が用意されているかというと、あなたに「進むべき方向を変えるために、今までの自分のやり方を変えなさい」という気づきメッセージだからです。

そのことがわからない人は、つい混乱をなんとかしようとして主人公になってしまい、同じ失敗を何度も繰り返します。学ばない人にはまた同じ学びの混乱が、未来に用意されるようになっています。

変化するときに心の混乱がなぜ起きるのかというと、変化の準備ができていないからです。変化の準備とは「変わる事を受け入れる」ことと、「過去にこだわらない」ことだと思いますが、わかっていてもそう簡単にはできないからこそ、この「宇宙エネルギー上昇日」を教える役目を頂いたのだと思っています。

私は２００２年からこの宇宙エネルギー上昇日を皆さんにメッセージし続けてきましたが、なかなか有効に使っている方が少ないようなので、最も有効に使える手段を探していました。個人的なことですが、私はスピリチュアルカレンダーをトイレに座った時の正面の壁に貼っています。すると毎日、無意識に必ず見ているので、その準備が心の中でされているのだと一人で実感しています。

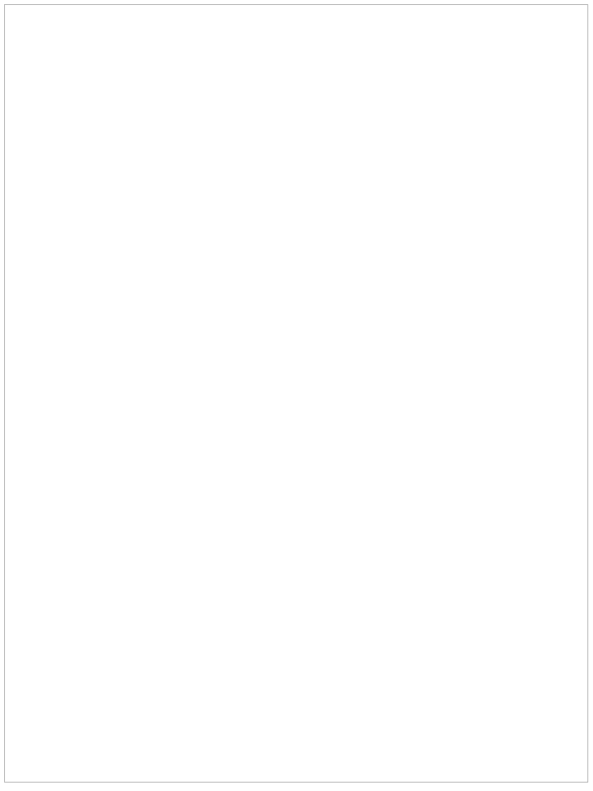
スピリチュアルカレンダーのご予約は締切ましたが、今日の情報をお知りになって追加でご注文なさいりたい方は、来年の到着をご理解の上でご注文下さい。

２０１２年にあるといわれている大きなアセンションも、毎月毎月の変化の実践をしている人にとっては、それほど大きな問題にはならないと思います。全てはあなたの心構えと決断で、未来は変わるということをお忘れなく！

●スピリチュアルカレンダーのお申し込みは、こちらへ！

（ご連絡）

２００９年沖縄　八重干瀬（やびじ）ツアーは、御予約枠が満員になりましのので締め切らせていただきます。お申し込みを頂いた方には、後日、詳細をご案内させていただきますのでしばらくお待ち下さい。



2008.12.21 Sun

四国岡山神事を終えて

２００８年１２月１４日

神戸空港より飛び立つ飛行機の中で頂いたメッセージ

この地（日本）守りし意味、生まれ育つ全ての神子、見守り育む為の地となりました。あなた方の祈りによって、全ての神が過去の因果に捕らわれず、働きができます事を感謝致します。

この地守りし神々たちは、それぞれ導かれてこの地に降り立ち、それぞれの持つ役割を果たさんとして力を発揮し、その勢力を広げてきました。その為に影に隠れてしまった神や見えなくなった神もありましたが、皆様の祈りのお陰で日の目を見れて、新しい世の始まりの働きができます。

お導き下さいました意味を理解し、その地を守る役目を果たすと(神々は）申しております。新たな世鏡のごとく、世を照らし人を照らし、全てに希望を与える神本来の役目を果たしますとの事です。

申しつけられました神言葉、心してその意味理解し、役目果たします。人の心変わりも、世の出来事の移り変わりも、社殿仏閣の移動変更も、時代の流れとあきらめまする。しかし真実は、いつの世も同じく（人の）心の中にある神仏を見ることだと全ての存在は申しております。

その為に人を見守り、土地を見守り、自然界やあらゆる神仏と力を合わせて土地守りを致します。その事に気づき、感謝する心ある人たちに出会う事が我々の喜びであり、また神仏の存在理由だと感じでおります。いつかきっと、この神国日本の地を守る神仏全てと手をとり、ひとつの目的の為に働く事を誓います。御心うるわしき人々に出会えたことこそ、我々、神と仏と呼ばれる存在の喜びでございます。

天命天我　我ここにあらむ　天神天命　尊（みかど）の命守ります

※神の御心と同じ人間はこの世にはおりません　しかし神の御心を守る人の命は守ります

唯物一心　御心無心　それ神なりと申しあげまする

※この世にある物の存在理由はひとつであります　それを生み出した大神の意志はありません　だからこそ　この世にあるものすべてが神と同じなのです

2008.12.14 Sun

兵庫 座談会

四国岡山神事を終えた翌日、兵庫県の仲間が集う場所に招かれ、二ヶ月ぶりにお会いした人たちの変化を互いに確認しました。地球を愛し、未来を輝く時代にしたいと願うこの仲間は、日常の問題や悩みをお互いに支え合って解決することにも力を注いでいます。

「地球創生」という大きなテーマに自分が何をしたらいいのか,わからない方も多いようですが、まず自分が幸せを感じる時間を多くすることが最も重要なことです。その為には「自分が周りの人にできることをする」ということから始めるといいでしょう。

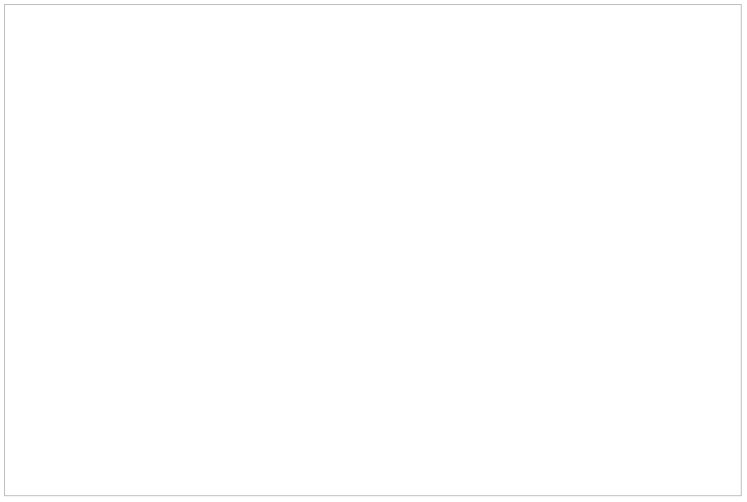
自分が幸せを感じていない人が、幸せを求めて知識だけでどれだけいい話を聞いたとしても体験がありませんから自分の現実は何も変わりません。いい話を聞いて実践した人こそ、次の現実を引き寄せていくのです。

世界の平和や幸せを願うなら、また、地球の愛を願う人なら、まずあなた自身が幸せになることに素直に努力をすることです。願いを明確にして、その願いを誰かに宣言することで、第一歩は進みます。このことを実践しあう仲間がまわりにいると、互いに夢の実現をお手伝いするスピードがあがります。

「幸せ」というイメージも人の状況によってずいぶん違います。苦しみを乗り越えた時の安ど感の幸せと、感謝があふれる生活の中で見つけるふとした幸せと、苦しみのどん底で優しくされた幸せは、比べることはできません。でも、やっぱり、その幸せを感じさせてくれるのは、人間なんです。

今回は９０分の講演会のあとに「夢を叶えるワーク」を皆さんと行いました。１２歳から４０代の方に参加していただいてお互いに夢を叶える方法を発表しあうと、自分だけでは気づかないことを教えてくれる神様のような人が、目の前にいることに気づきます。

全ての夢を叶えてくれるのは「新しい人との出会い」ですから、２００９年に向けてそういう素晴らしい人に出会えるような新しい自分に今から準備をしておきましょう。ありがとうございます。



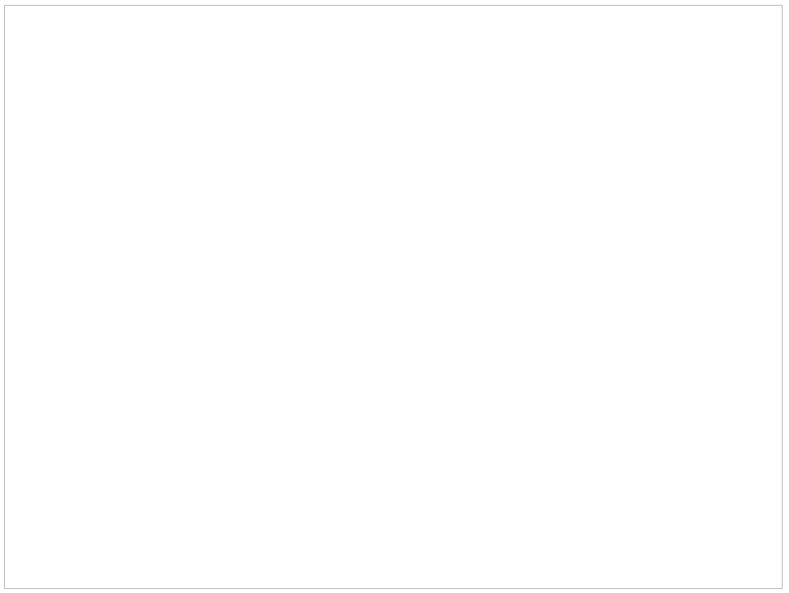
2008.12.13 Sat

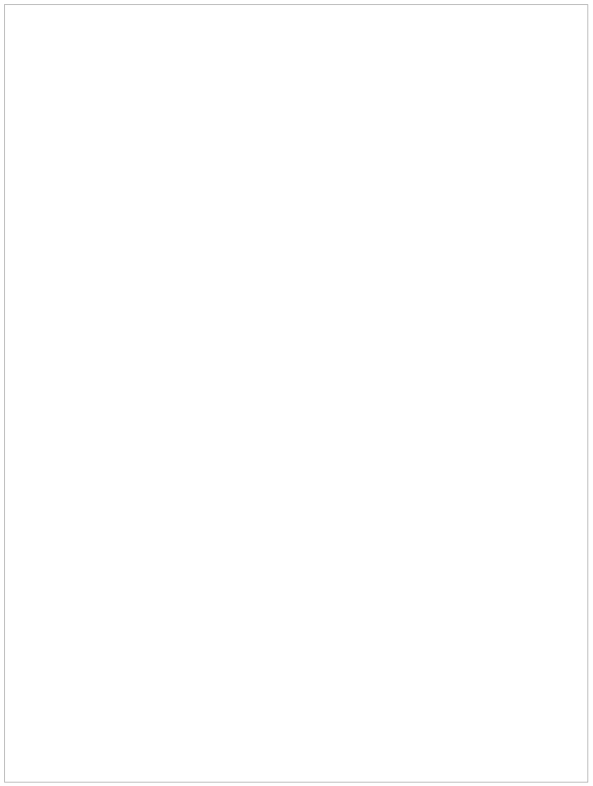
四国岡山神事　４

12月１２日

１、楯築（たてつき）遺跡（倉敷市矢部）

弥生時代の古墳がある丘の上に大きな石をいくつも意図的に配置した場所があります。ある知り合いからここは宇宙のつながりがあるかもしれないと言われたので確認しに行ってみました。中央には石を祀っている祠があり、中には白いオーブの神様がいらっしゃいましたので、この場所の意味を教えて頂きました。





「この場所は太陽の神を降ろす場所です。たくさんの人たちが周りを囲みながら踊り、天の光と大地のつながりを繋ぐ場所です」

王様を祀る古墳の上に作られたこの石のアートは、エジプトのピラミッドと同じ働きをしていることがわかります。太陽の光が石の陰の線で示す場所に季節や時間を示すように設計されています。光を降ろす場所という意味は、光によって王を守る意味と、その光の繋がりで民族の魂のつながりを繋ぎ守る意味があります。

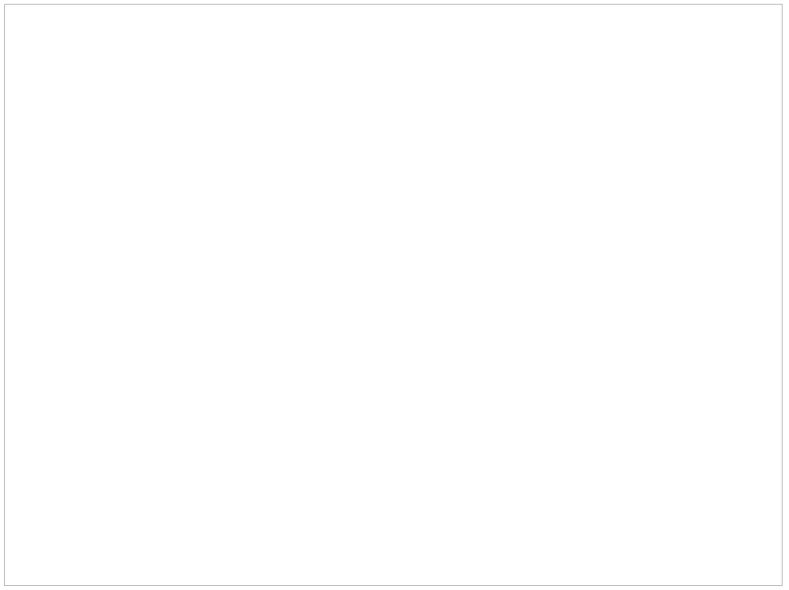
弥生時代に作られたこの場所は、キリストの誕生からローマの衰退時期に、神国日本の役割を果たすよう新しい宇宙の光を日本に繋いだ痕跡ともいえるでしょう。ここに立つと当時の崇高な精神性とエネルギーを感じることができます。

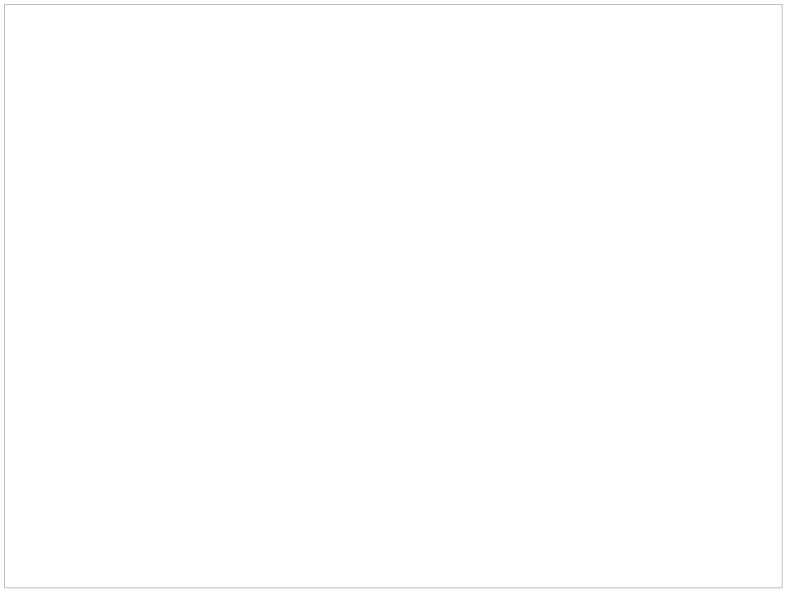
北海道や東北地方に多く現存しているストーンサークルは、作られた目的が違います。主な目的は、部族を守るためにいる宇宙意識の繋がりをもつ霊能者が宇宙意識にアスセスして繋がりを繋ぎ、地球を守る他の星の宇宙船を呼んで宇宙の知恵を授かるために使っていました。またお互いのストーンサークルを繋いで、それぞれのサークルの役割を同時に果たす高次元意識エネルギーの通信装置としても使われていました。

この高度なストーンサークルが縄文時代に作られていることに驚きますが、エジプトの高い精神性と科学を持っていた同じ時期に、日本の地に残っている高度な文明の証とも言えるでしょう。しかしこの内容は当時もアイヌのエカシ（酋長）だけが知っている極秘の祭事だった為に、子孫や部族には物語として宇宙の知恵をつなぐ「語りべ」たちが歌で伝承されています。

沖縄で「宇宙番」と言われる聖地にもたくさん行きましたが、地球創生期のつながりがある場所が少ないために2007年春、沖縄本島に１ヶ所だけ本来のつながりを繋ぐ目的で宇宙エネルギーを復活させました。いつか日本に生まれた素晴らしい精神性を持つ人たちが地球の為に働くときに、この宇宙エネルギーを同時に動かす時が来ると感じています。

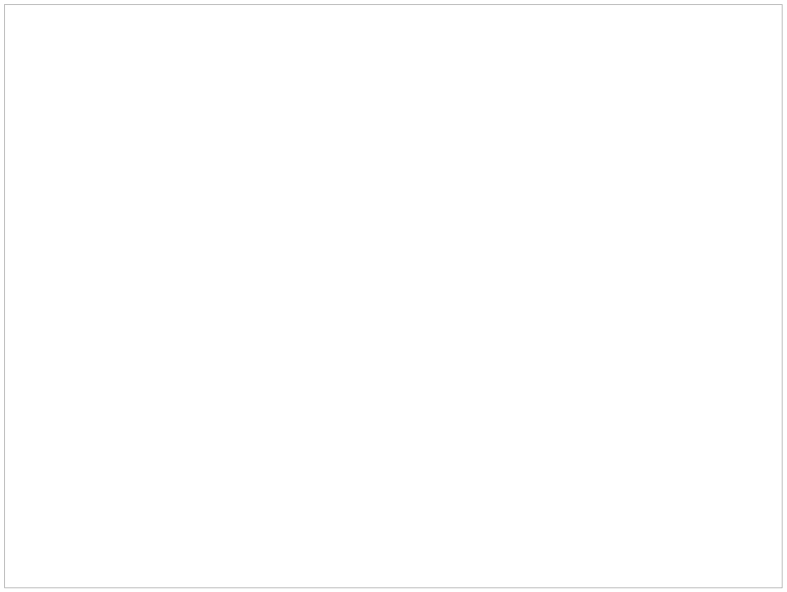
この場所は弥生文化の崇高な一面を感じられる場所ですので、民族楽器や踊りができる人は、ぜひこの場所でパフォーマンスを披露して全身でこの場所のエネルギーを感じてみて下さい。もしかすると、弥生時代のビジョンが見えるかもしれません。私たちは音と光の祈りによって、この場所のエネルギーを体中で感じとりました。１２月１２日は、今年最後の宇宙エネルギー上昇の日でしたので、とてもいい祈りの時間が過ごせました。



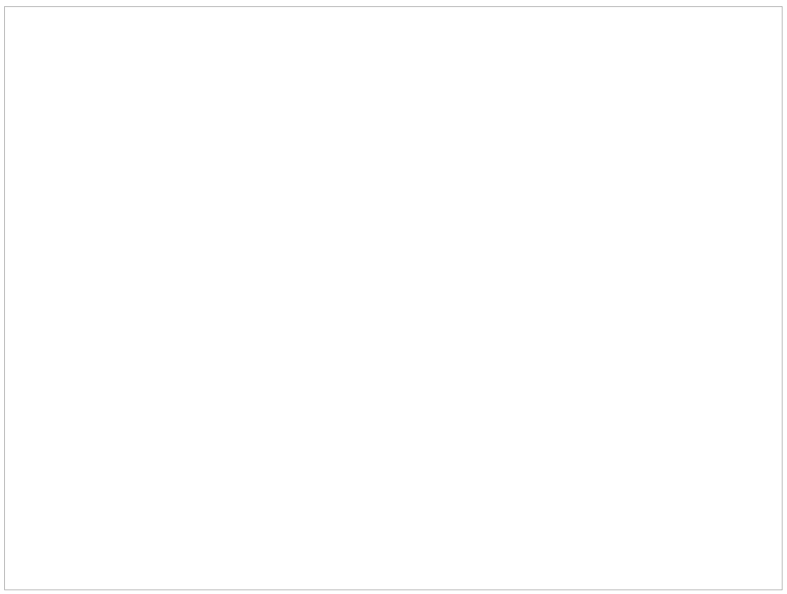


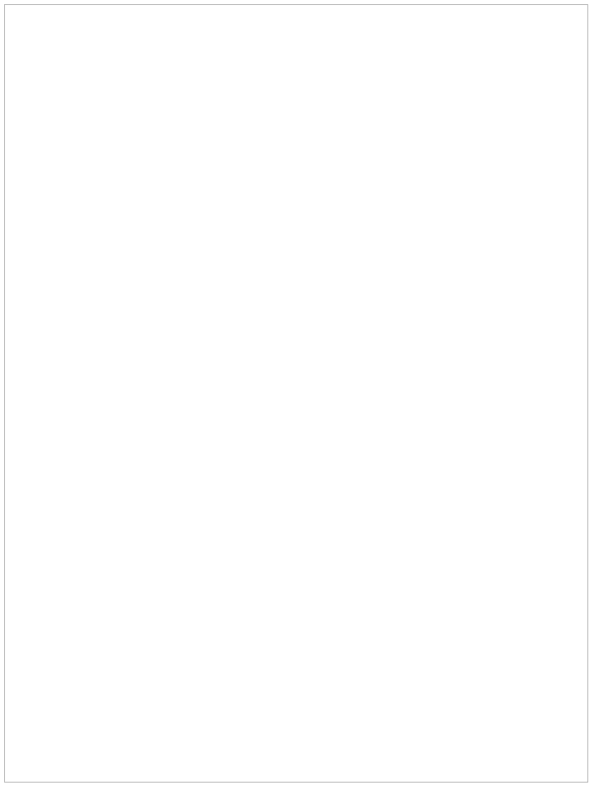
２、熊山遺跡（岡山県赤磐市）

熊山の駐車場から登り始めるとすぐ右手に「二つ井戸」があります。山から湧いている水は、必ず重要な意味を持っていますのでまず先に、ご挨拶に行きました。

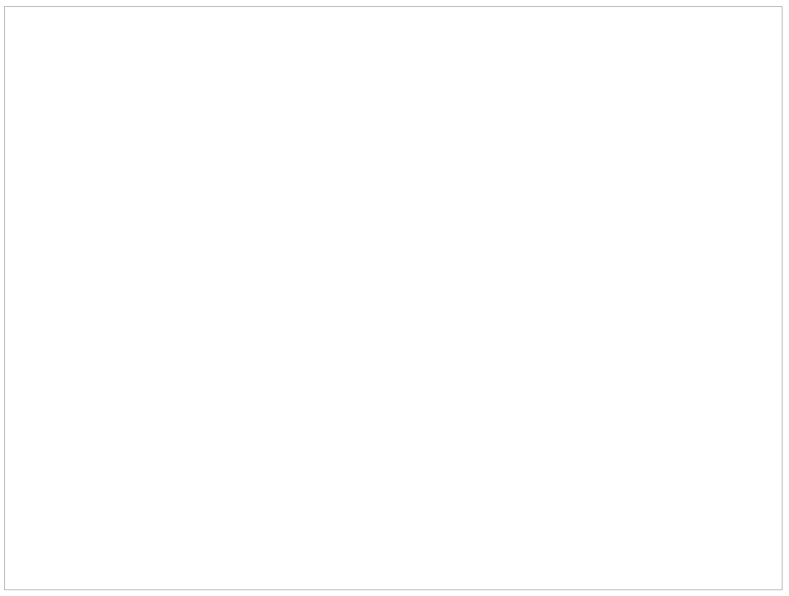


すぐ隣り合わせに沸いている水を飲んでみると、味が違います。やわらかい水と硬い水です。だからオスとメスと呼んだのでしょう。水に祈りを捧げると、「龍眼（りゅうがん）」と言われました。この二つの井戸は龍の眼であることを神が教えてくれたのです。大地から空を見上げるようにこの山を見守っています。一人の方にメッセージが降りました。「山の上に行ってみて下さい。それが現状です」何の意味かと思いましたが、二つの水を頂いて山の上に急ぎました。





まず鳥居の前で入る許可を頂こうとご挨拶すると、色々難くせをつけて私たちが入ることを断ろうとしますが、最後にはしぶしぶ許可をくれました。おかしいなあと思いながら、今度は右手の祠にご挨拶に行くと、「ここは本当は手を洗い、口をゆすぎ、足も洗って入る所なんです」と言ってきます。確かに沖縄の宇宙神などの大きな神様の場所ではそういう風習があるのを知っていますが、それほど大きな神がここにいるのかと思いながら、ふと手洗い水を見ると水がまったく出ていません。あれほど豊かに下で沸いている井戸があるのに、なぜここにその水を運ばないのか？ここは、不思議なことが多すぎます。

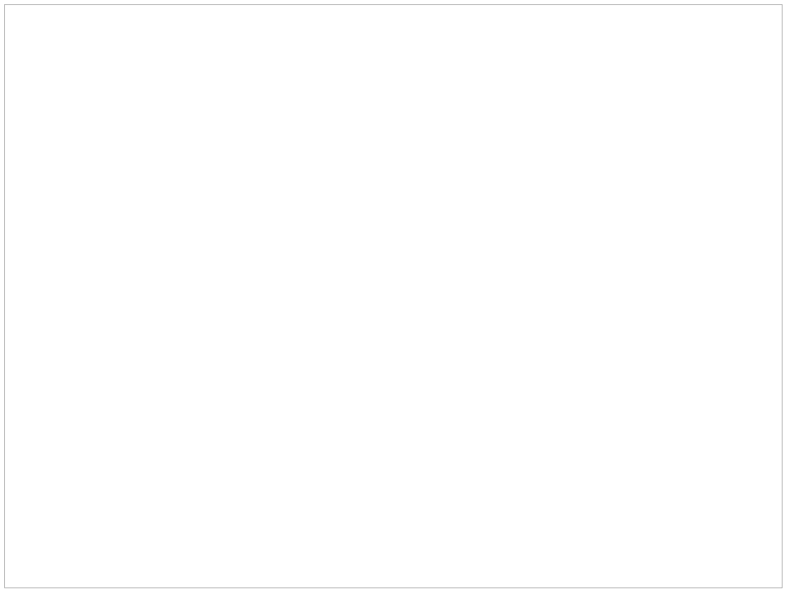


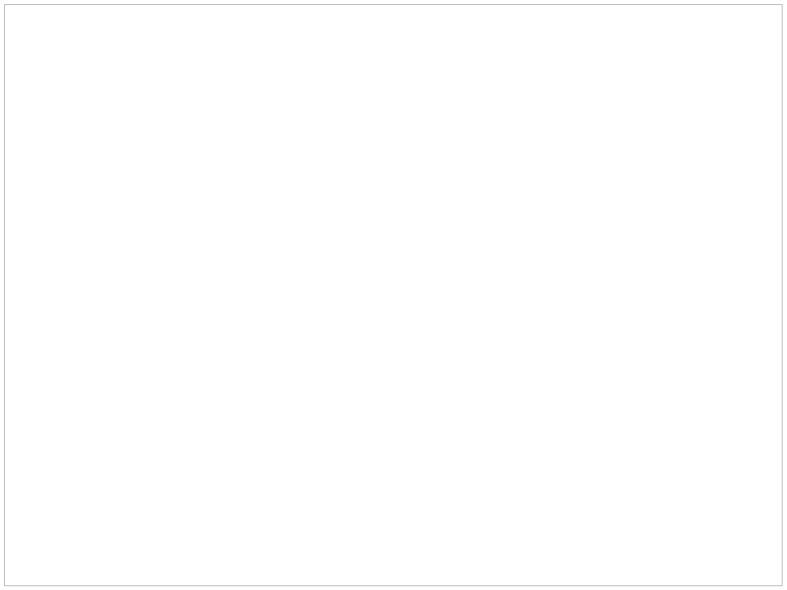
本殿を囲むように祭られた敷地内の全ての祠の神様にご挨拶してから本殿のの神様にご挨拶の口上を述べてみると、「僕は帰っていいかな？」と左側に逃げようとしました。「ちょっと待ちな

さい！」と正面に座らせてここの神様とじっくり対話が始まりました。

内容を簡単にお話すると、昔々はとても大切に扱われていたのに、ここ最近は形式的な祈りばかりなので、神エネルギーが弱まって困っていたというのが、ここの神様の言葉です。そして「水と光が欲しい」とおっしゃったので、下で汲んできた龍の水と塩（光）で建物の周りをすべてを浄化してさし上げました。

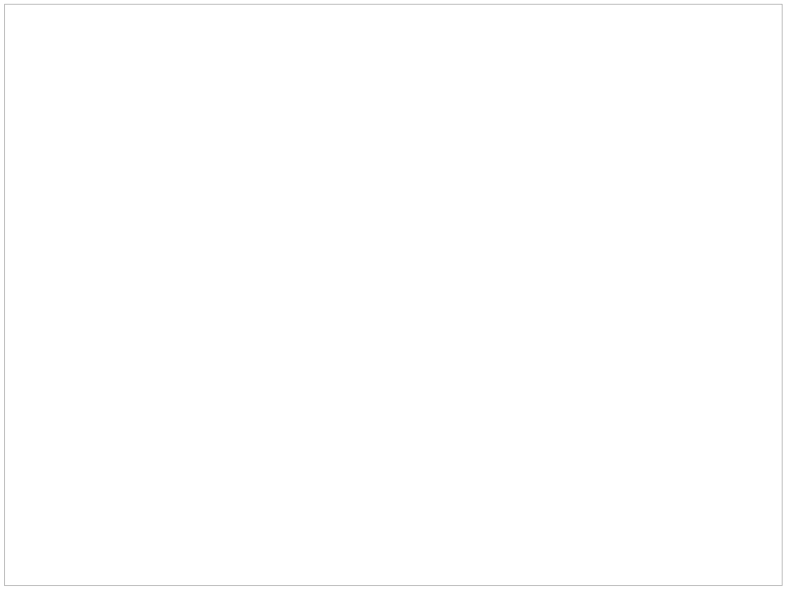
すべての浄化が終わってからもう一度、祈りを捧げると先ほどとは全く違う神エネルギーに変化していました。同行した人も、最初ここには神がいないのかと思うほど何もなかったと言います。祈りのあと、本殿の中はたくさんの赤い神オーブに包まれいました。



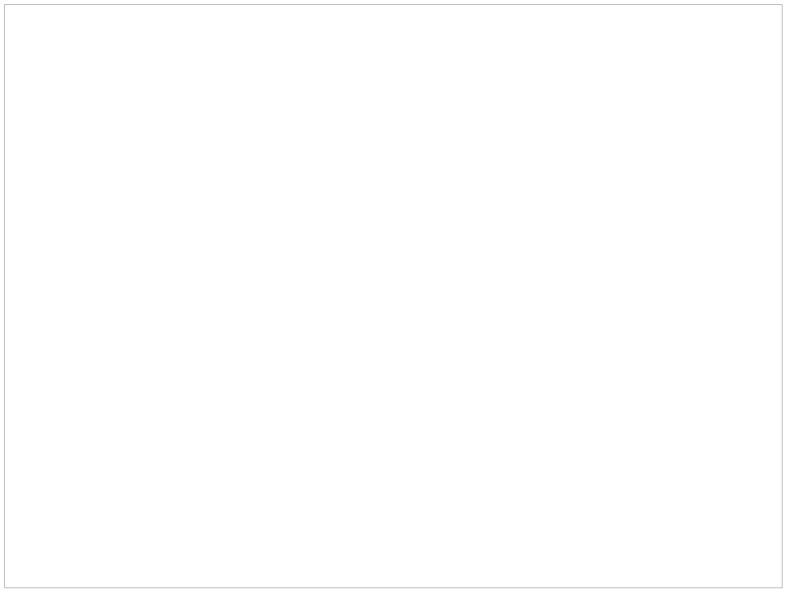


人間が一度、祀った神様をどう扱うで神社の神力は決まります。そのことを忘れた人間の愚かさを改めてお詫びました。この場所へ来る方は、必ず下の龍の水を頂いてからこの神社の神様へお供えして下さることをお願いします。

熊山の頂上には石を積み上げた大きな祭壇があります。これも弥生時代に使っていた祭壇です。実際にどう使うのかをここの神に聞いてみると、真っ暗な闇の中で祭壇の最上階に火のタイマツを燃やし、大地の神と月の神を繋ぐ場所だと教えてくれました。中央のへこんだ場所には、大切な物を入れてお供えするそうです。

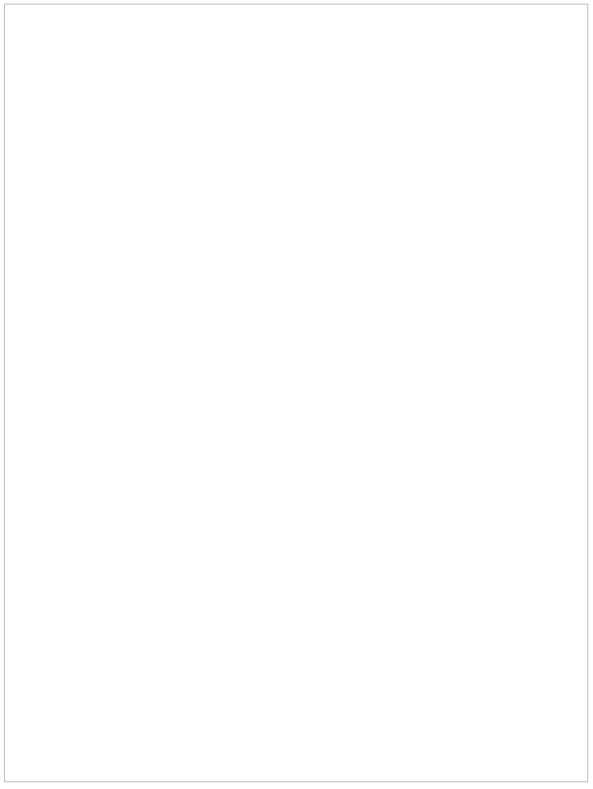


弥生時代の過去世に巫女をしていた女性の身体を借りて、祈りを捧げました。いつかチャンスがあれば、闇の中で太古の大きな祈りを再現してみたいものです。「闇を制する者はすべてを制する」という言葉がありますが、闇は怖いからこそ、闇の光である炎や月の光に命を守られているのが私たち人間です。闇を守って下さる存在たちにも感謝の祈りを捧げましょう。



神戸ルミナリエ（※神事ではありません）
この日の最後は、サラリーマン時代に阪神大震災の５日目に救済に訪れた神戸三宮に行きました。当時、崩れた家々や人が混乱し葛藤していた空気の中で救済商品を運んでいたことを思い出します。この美しいルミナリエは、そのことを忘れずに、また神戸に来て下さいという気持ちで始まったと聞いています。一人100円募金も１００万人が募金すると１億円になりますので、ぜひご覧になられた皆さん募金をお願いします。

２００８年の神事は、今回の四国岡山神事で終了しますが、全国の神々から教わり学んだことを地球創生に役立つよう進めていきます。まずは、無事帰ってこられた事に感謝し、全国から祈り合わせ下さった皆様に心から御礼を申しあげます。ありがとうございます。



2008.12.12 Fri

四国岡山神事　３

12/11　金光教、鬼ノ城、吉備津神社、吉備津彦神社、中山、黒住教

１、金光教（こんこうきょう）　（岡山県浅口市金光町）

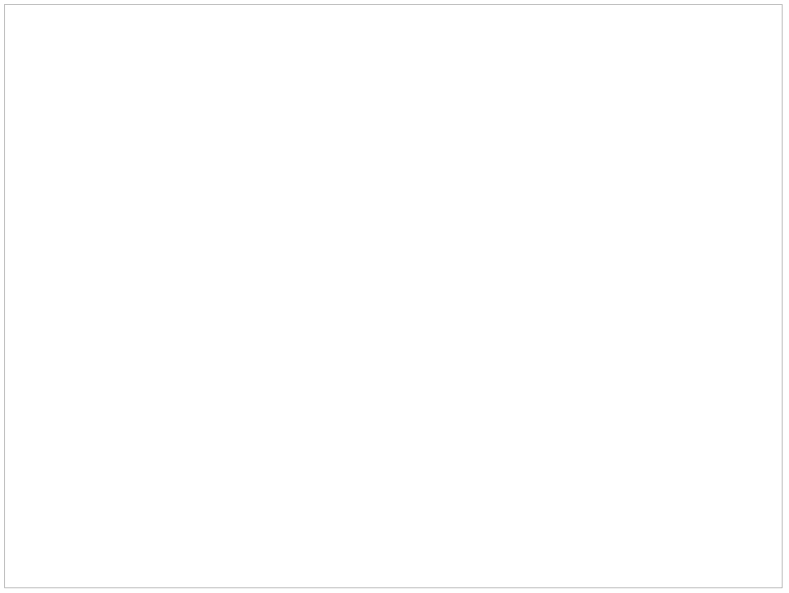
岡山という土地は不思議なことに幕末三大新宗教の二つが誕生した土地でもあります。私はどの宗教団体にも属していませんが、戦後、苦しむ人たちを救うために神が降りた場所を感じるために足を運んでみました。

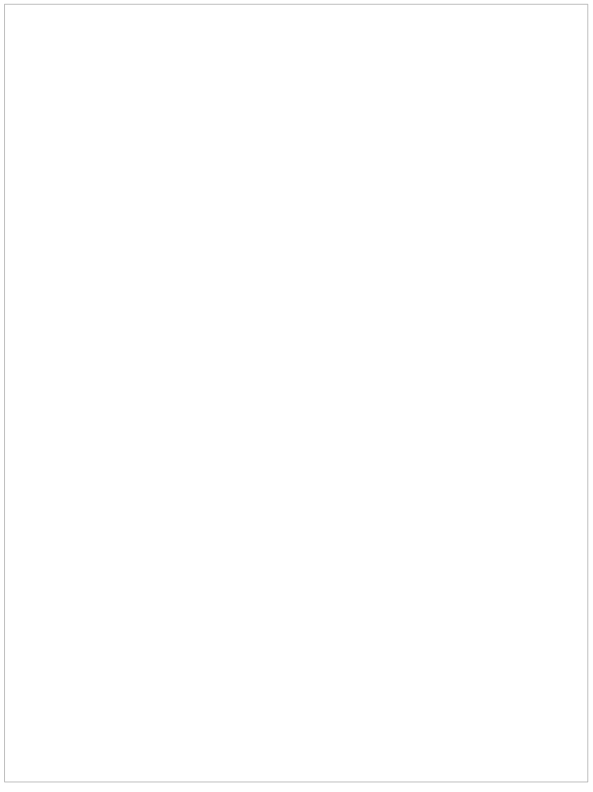
2006年に伺った京都の大本教と同じく、金光教の事を教えてくれた人は私たちを温かく受け入れてくれました。一人の農夫に降りた神力を使って人の病気を治したり心を導くことで神の使いをしたことが、金光教の始りです。その周りにいた人たちが教祖の教えを広めるために宗教法人化しましたが、時代が大きく変わった幕末以降のほとんどの宗教団体が同じように誕生しています。

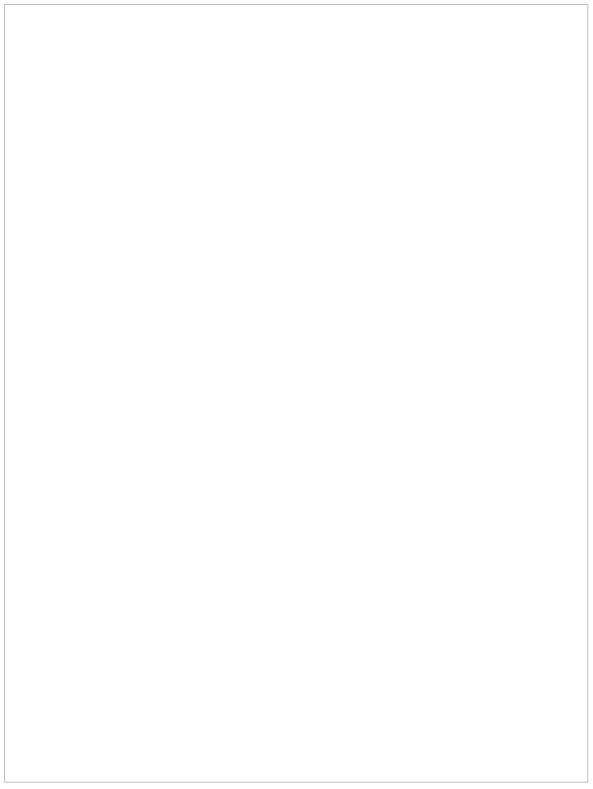
人を治していた生家がすぐ横に現存しているということなので行ってみると、今でもその場所を守る神様が白いオーブの姿となって「左をご覧ください」と何度も繰り返します。言われたとおり左を見ると家の前の大きな木に神が降りたことがわかりました。本殿で私たちに金光教のことを教えてくれた人も、初代は人の治療をするときに、わざわざ自分の家まで戻ってから治療していた理由がわからないと言っていましたが、この木に神のエネルギーが溢れていることが理由です。

その場で祈った仲間に降りたメッセージは、「当時はこの方法しかなかった」と神が教えてくれました。人を救い、導きながら人間としての本来の働きをするために、いつの時代も神は人に力を与えてくれます。人から聞いた噂で判断するのではなく、物事のおおもとに来てみると、実に

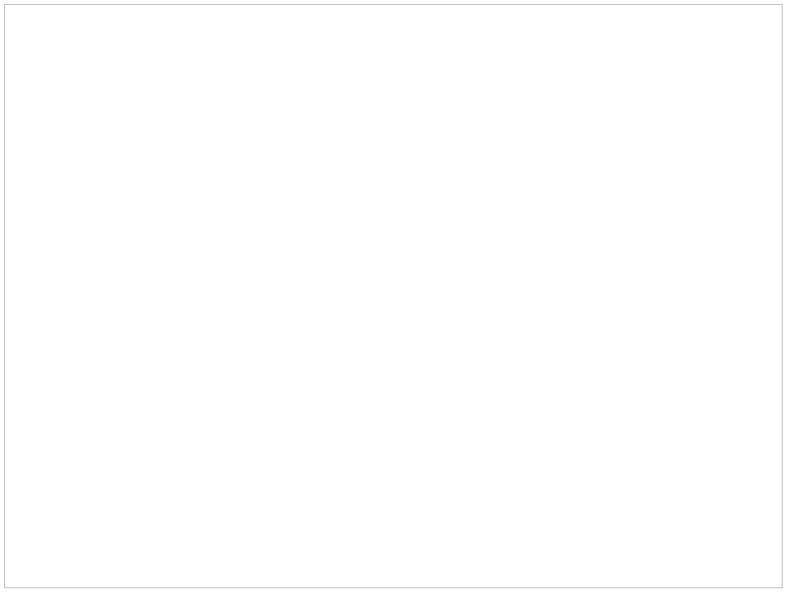
宗教の本質もシンプルで純粋なものだと感じられます。その純粋さの意味を人が履き違えるのも人間の業（ごう）であり、学びなのかとも感じました。人を救うためにご尽力いただきました当時のお働きに感謝いたします。



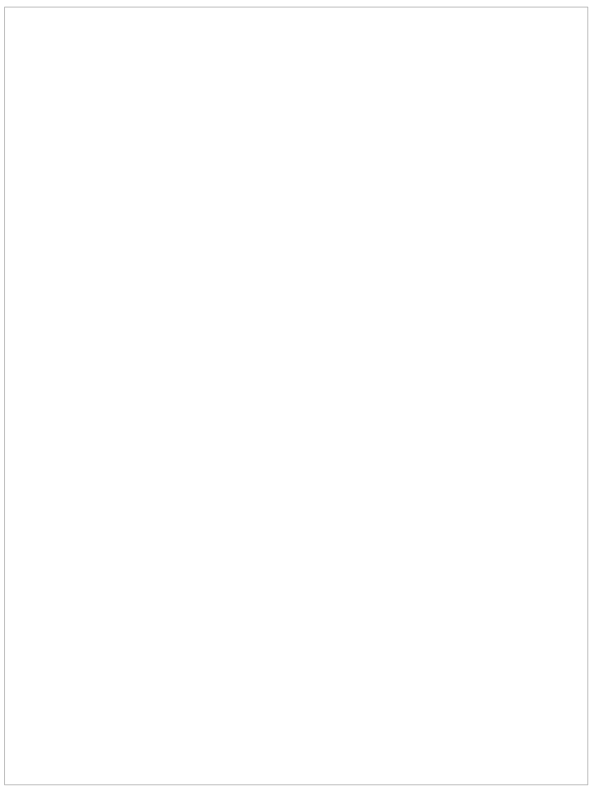




２、鬼ノ城（きのじょう）　（岡山県総社市）

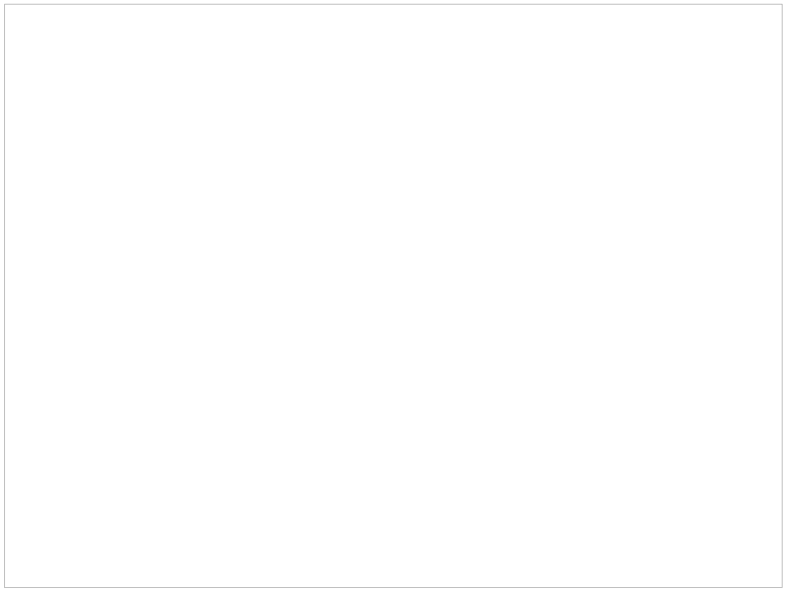


飛鳥時代に朝鮮百済（くだら）の戦いで負けた日本は、反撃を恐れて山の上に砦をたくさん作りました。現在では観光名所になっていますが、西門の山の上に立つと、山の波動が荒れているのを感じます。さらに道向いにある山の岩肌は、怒りを示すように強いエネルギーを出しています。あまり楽しい場所ではないので辺りを見渡すと枯れた古い木の根が龍のように立っていました。ここの土地を守っていた神がいたことがわかりましたので、会話してみますと・・・「この山は人間たちがたくさんやってきて木を切り、山を壊し切り崩して作ったものですので、山神がとても怒っています。どうぞ早めにお帰り下さい」と教えてくれます。

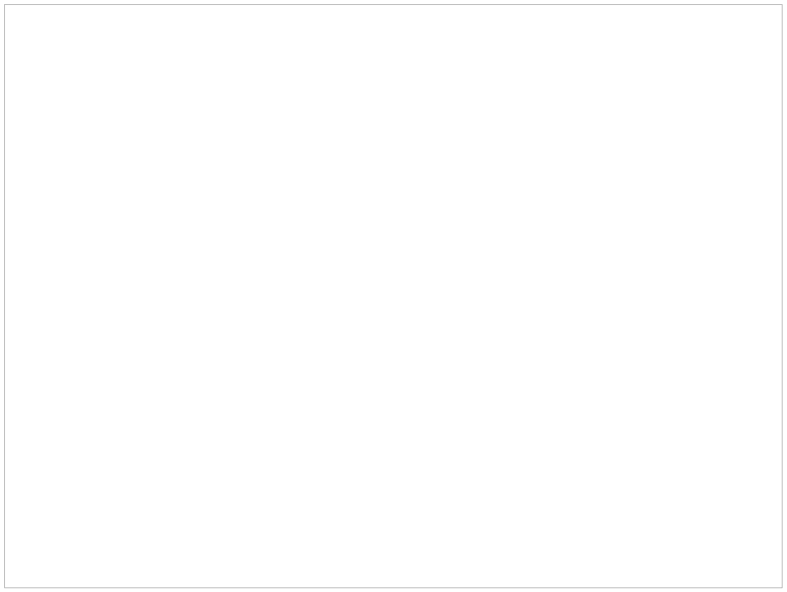


向いの岩肌が出ている山と少しだけ話しましたが、「お前は何者だ。またこれ以上私たちを苦しめることをするなら許さないぞ」と強い口調で怒っています。同じ人間がしたこととは言え、山

を戦いの場にしたことと、そこにいた人たちの苦しい思いが集積していますので私自身もこういう場所は好きではありません。空を見上げても怒りのエネルギーを感じますので山神様を大切に思うからこそ、お詫びして次の場所に急ぎました。

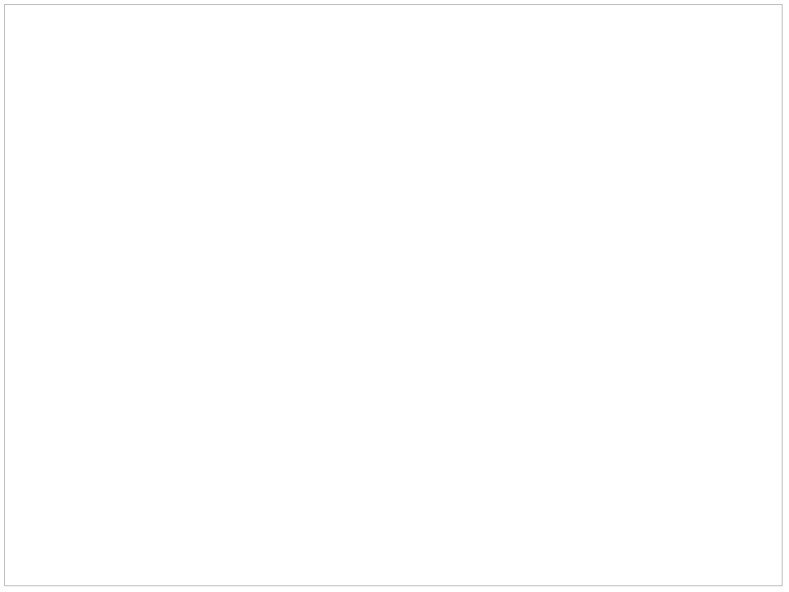


３、吉備津神社（岡山市吉備津）：備後国一宮

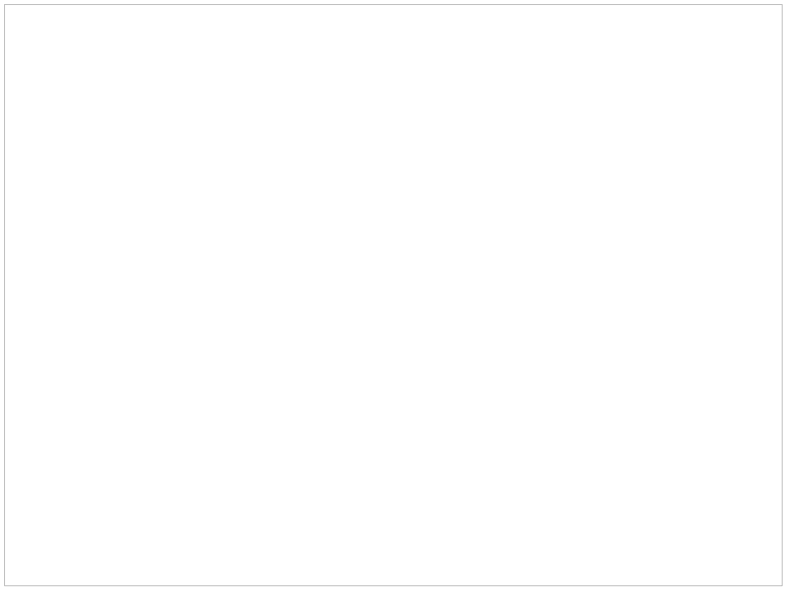


吉備津神社へに手を合わせると、「祀られていない神を祀って下さい」と言われましたので、エネルギーを天上界につなぎ、神降ろしをすると十二の神が並びました。たくさんの参拝客がいるわりには神様はうまくお働きができていなかったようです。

４、吉備津彦神社：備前国一宮（岡山市一宮）
この神社は入った途端に歓迎されているのを感じるくらいに気持ちのいい神社でした。本殿の中にも白いオーブの姿で神様が顔を出しています。祈りを捧げると、「お供いたします」と女性の声が聞こえてきました。このあと神社の後ろにある中山へ登るのを神様も一緒に見に行くようです。

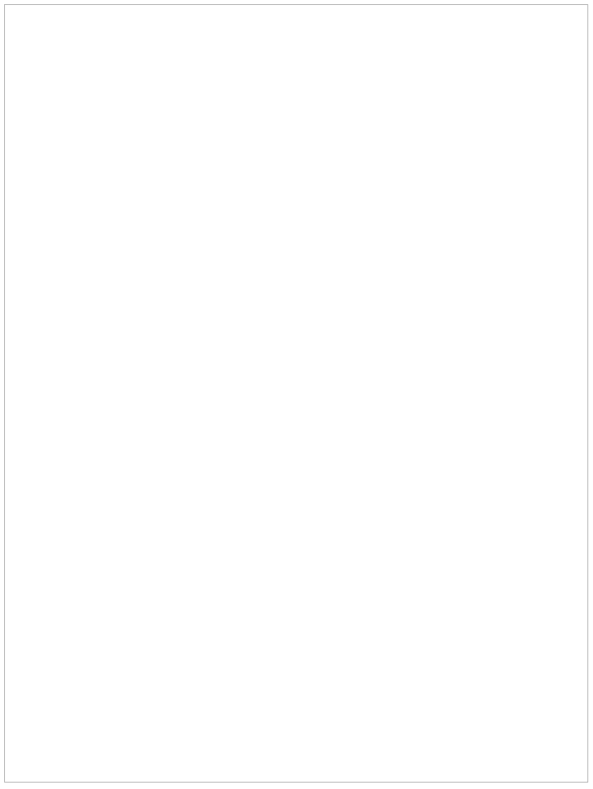


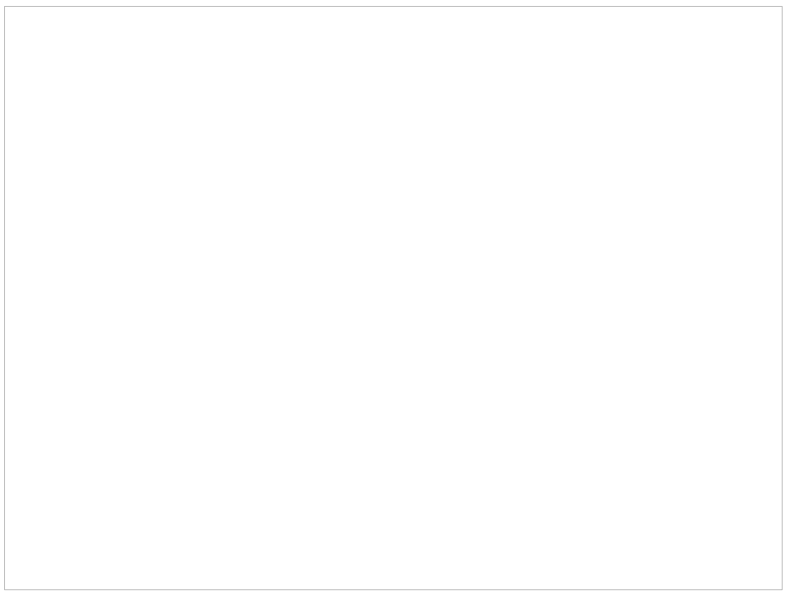
５、中山（吉備津彦神社の裏手の山）



３０分ほどで登れるこの中山の上には素晴らしい神の石があります。まず「元宮磐座（いわくら）」、そして、その下に「天柱岩」、さらに山の頂上には「八大龍王」を祀っています。最も大きなエネルギーは「天柱岩」でした。その大きな岩は宇宙につながり、また大地にもつながる岩に、これまで祈ってきた山神、土地神と共に日本の大地を守る大きな働きをして下さいと告げると、二人の人に仙人から「じゃあ、もっと働かなくてはいかんな」と声が聞こえたそうです。

私自身も祈りをしている最中に、上に向いた三角錐と下に向いた三角錐が回転しながらつながって、この岩のエネルギーが大きくなるのをビジョンでみていました。今後、さらに大きな働きをして下さるこちらの神様に御礼申し上げました。



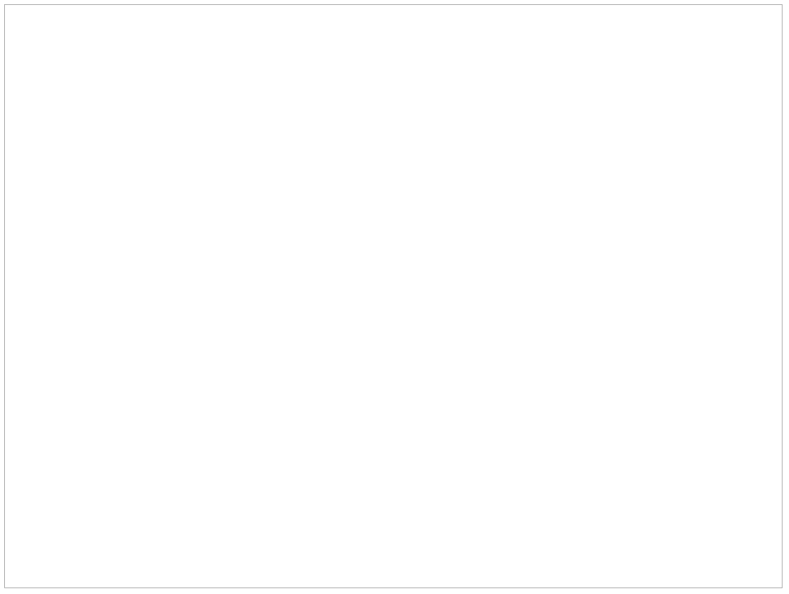


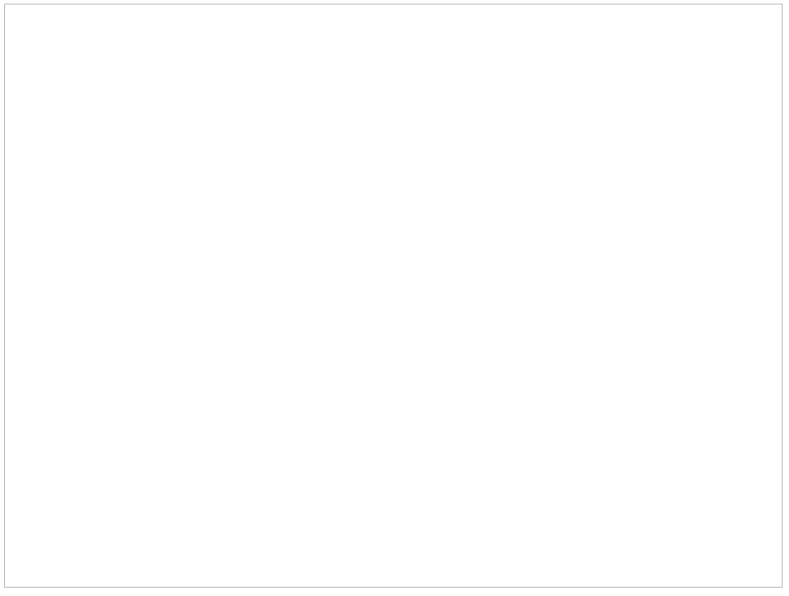
頂上にある八大龍王は、もともと神仏が一緒なっていた時代にはひとつの場所で祈られていましたが、神仏分離の政令から神道系と仏教系の宗教に同じ名前で祀られています。まずは人間の都合で神の扱いを変えた事にお詫びして、地球を守る龍の存在と働きに感謝の祈りを捧げると、「あなたが大王となりました」と言われます。宮古島で白龍に導かれてからたくさんの龍の場所や神様の場所に行きましたが、時々「あなたは誰ですか？」と聞かれることがありますので新しい名前のお役目に感謝しながらご挨拶させていただきます。

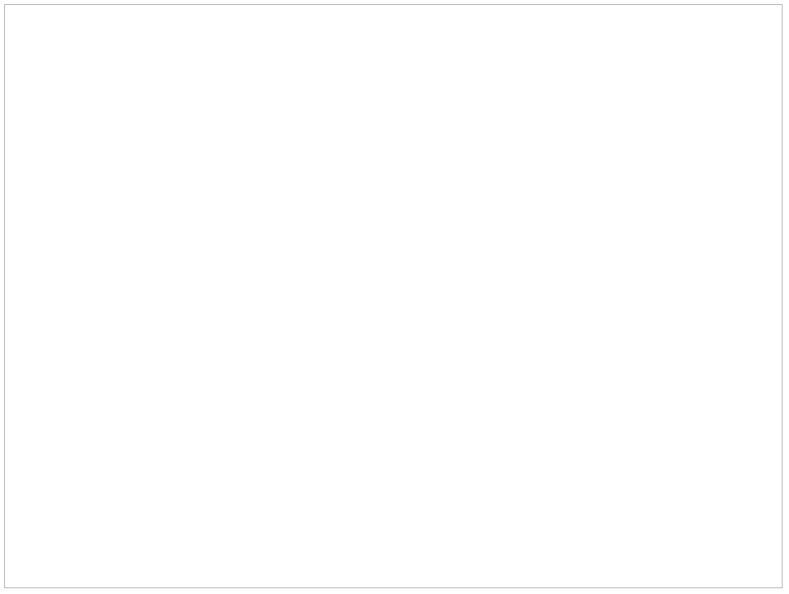
６、黒住教（くろずみきょう）（岡山市尾上神道山）

この日の最後は幕末三大新宗教のひとつ、黒住教（くろずみきょう）本部へ訪問です。金光教と同じく人を助け導いた方が初代教祖としてその活躍を残していますが、思想は自然を神と考えた古神道の流れを組んでいます。夕闇迫る閉館ぎりぎりの参拝にも関わらず、お掃除の方にご挨拶しながら本殿に向かい入れてくれます。天照大御神を祀る本殿では静寂の中、人間が神を必要としたことを本殿の神様が教えてくれました。初代教主も純粋に人を助けたい、自分の恩返しをしたいという素直な心から始まったものであるがこの場所の空気で感じます。人を助け、命を繋いで下さった皆様に心から感謝を捧げます。

私が神祈りをするようになってからご挨拶してきた場所の神々も、共に地球や日本の人を守るために降りてこられ、人間に神力と目覚めを即しながらここまで導いて下さっています。このことに気づいた人たちは、これから何をするのか自らの心に問われているように、美しい夕陽を見ながら感じました。全ての導きに感謝いたします。





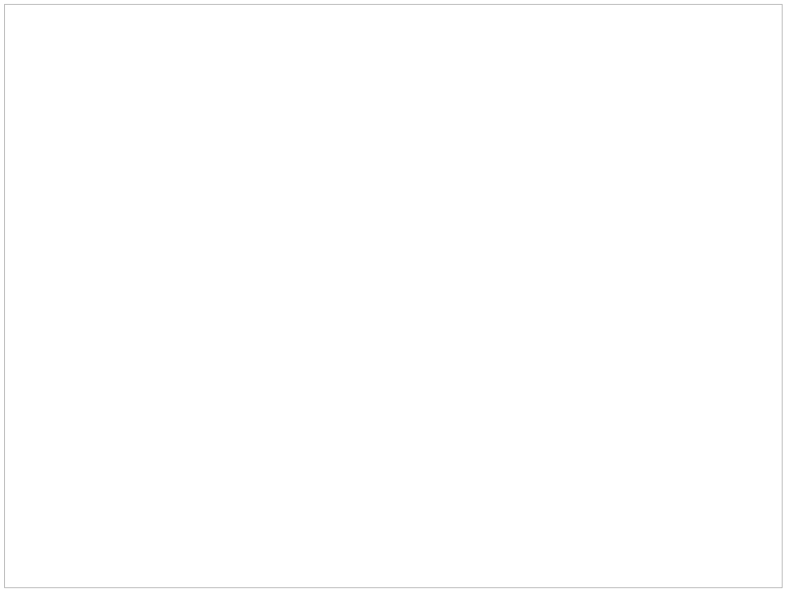


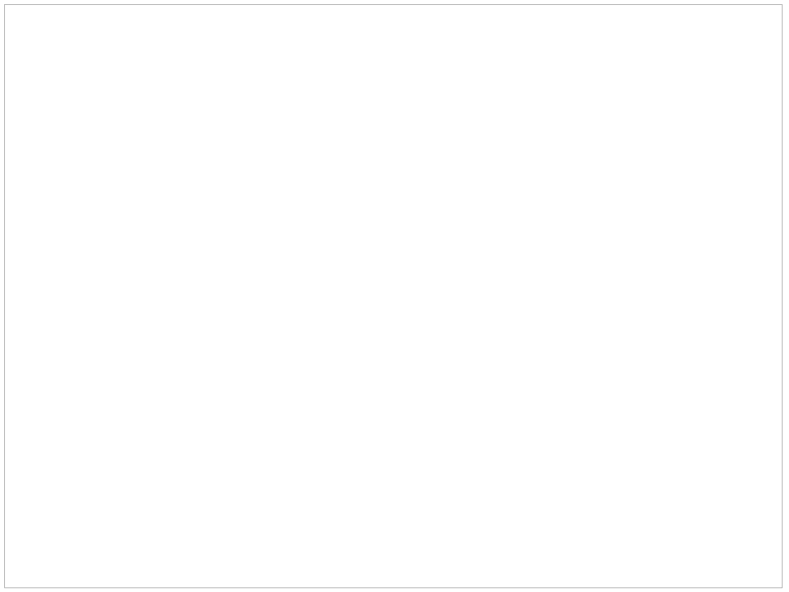
2008.12.11 Thu

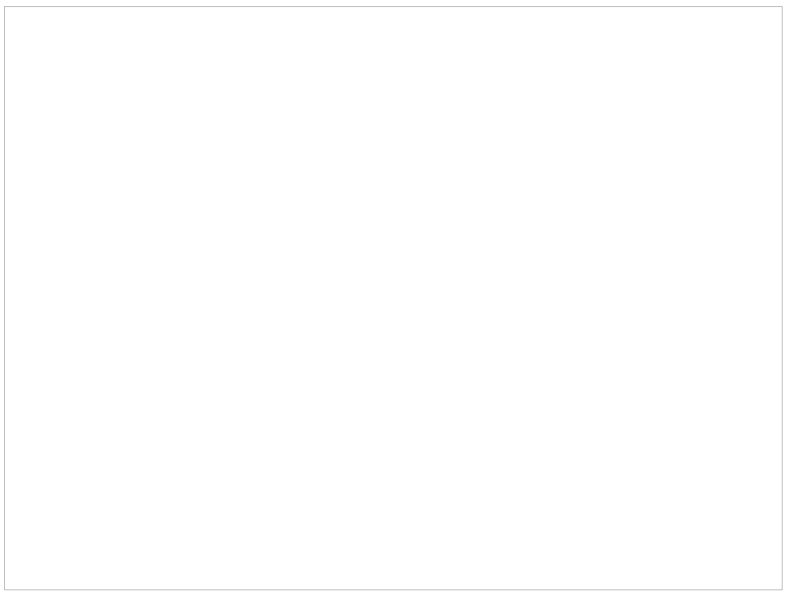
四国岡山神事　２

12/10　香川県　萩原寺・宗像神社・田村神社
　　岡山県　蒜山高原より大山祈り・茅部神社・綾部神社

１、、萩原時（香川県）
今回の神事に参加して下さった方のご先祖を守るお寺が香川県の萩原寺です。住職不在のため私たちだけで祈りを捧げました。本堂の向いの石造から強いエネルギーを発しているので、ここを守っている大きな存在がいる事がわかります。一番エネルギーが強い場所で彼女が毎日唱えているお経をあげると、お教が終わるまでの間、太陽の光が色を変えて踊るように彼女を包みながらご先祖と御仏の喜びを表現してくれました。毎日、ご信心している人の心には神仏に通じる力があることを見せてくれた瞬間です。



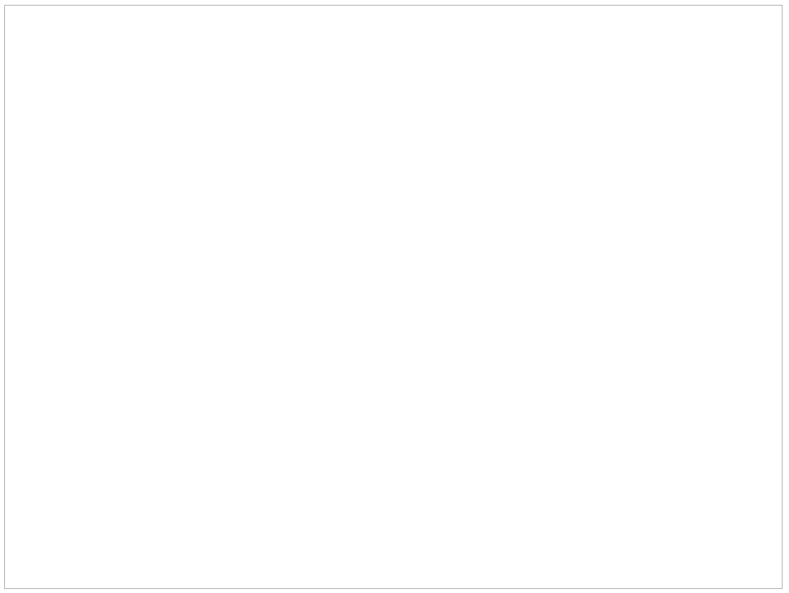




2、宗像（むなかた）神社（香川県）

次の場所へ向かう道から見えたこの神社に全員が呼ばれた気がしましたので、ご挨拶に寄りま

した。宗像神社の本家は福岡県にある宗像大社ですが、夜通しかけて三つの神社祈りをする風習が今も残っているとお掃除をしていた氏子（うじこ）さんが教えてくれます。この宗方大社はマンガの本にも連載され、朝鮮から入った民族と天皇家の関わりを示す謎がある神社としても有名です。天照大神を掲げて移動した卑弥呼一族の神導きを感じました。

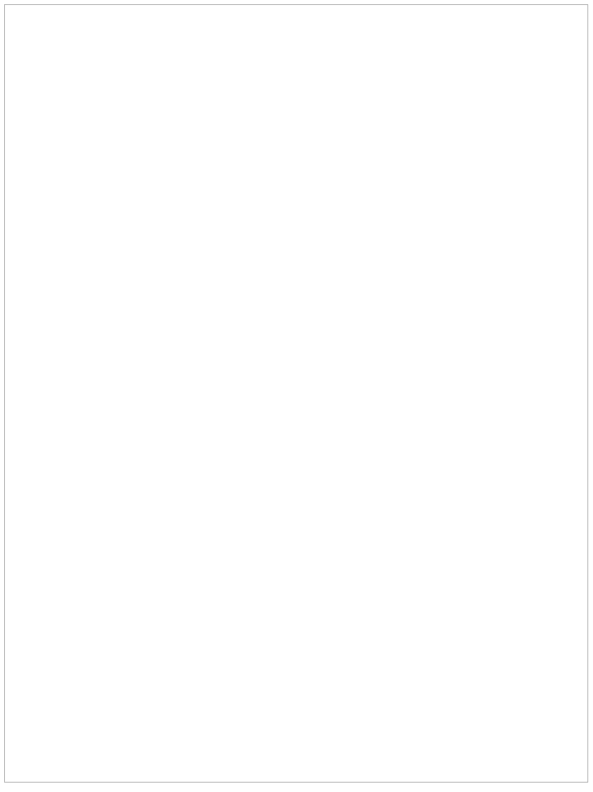


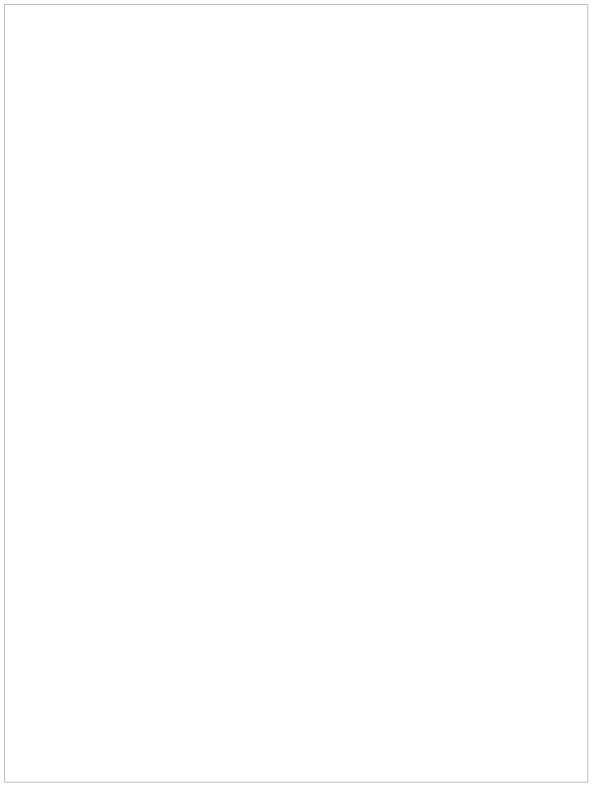
３、田村神社（香川県）
讃岐一の宮として鎮座するこの神社は、人導きと神計らいを一番感じた神社でした。本殿の中の素敵な神様の絵を見せてくれた神職の方は、何も聞いていないのにこの神社の秘密をひとつづつ教えてくれました。

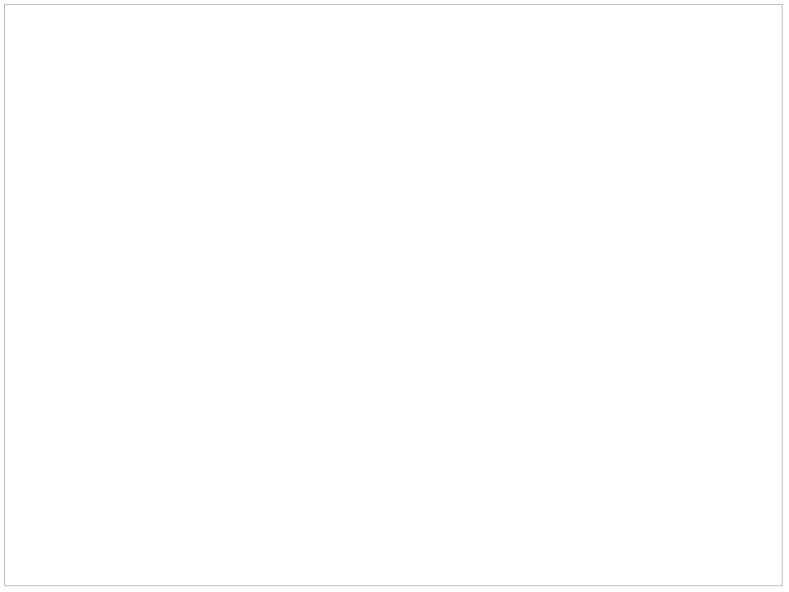
今、本殿に飾ってある絵は最近、奉納されたもので神職しか見られない神様の絵が別にあるそうです。この神社の祭神　倭迹迹日百襲姫命（やまとととひももそひめのみこと）の古い絵は、強い神力を感じさせる畏怖のエネルギーがあるとおっしゃいました。

もうひとつ、この神社に湧き出ている水は四国全体がどれほど水不足になっても枯れることのない水で、手洗い水と池の水の元は、ご神殿の奥の宮の下に隠されているという事です。この奥宮の下から湧き出る水を見た人は目がつぶれたり、大きな災難になったりがあったので今では一切、見れないように隠していると教えてくれました。

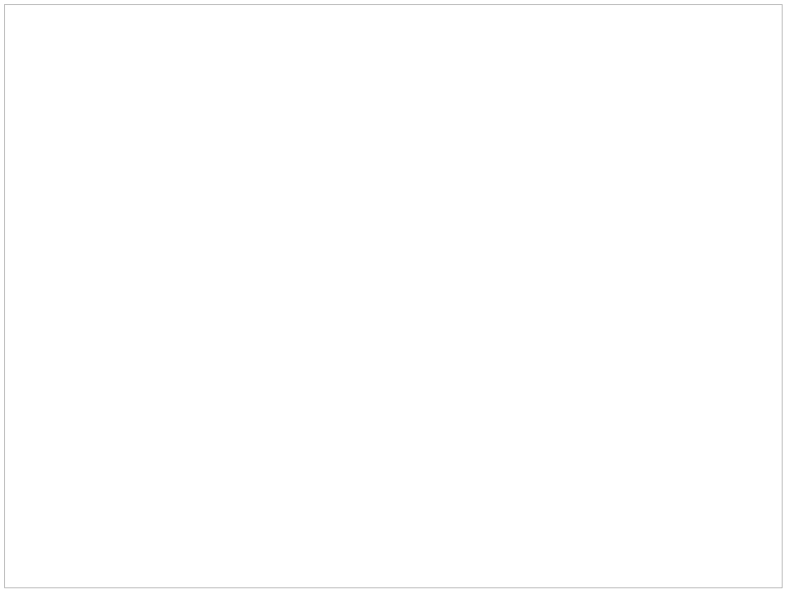
当然、奥宮の裏に回ってその下の水へ祈りを捧げました。光と共に女性の神様が「あなたならこの水の意味がわかるでしょう」とメッセージを下さいました。池の水を頂いてホテルへ戻って水のメッセージを読み取りました。※この水の読み取りメッセージは末尾に公開しています







４、大山（だいせ）：蒜山（ひるぜん）高原からの祈り



神メッセージ
「地球の核のエネルギーを繋いで下さい。永遠につながるよう力をお貸しします」

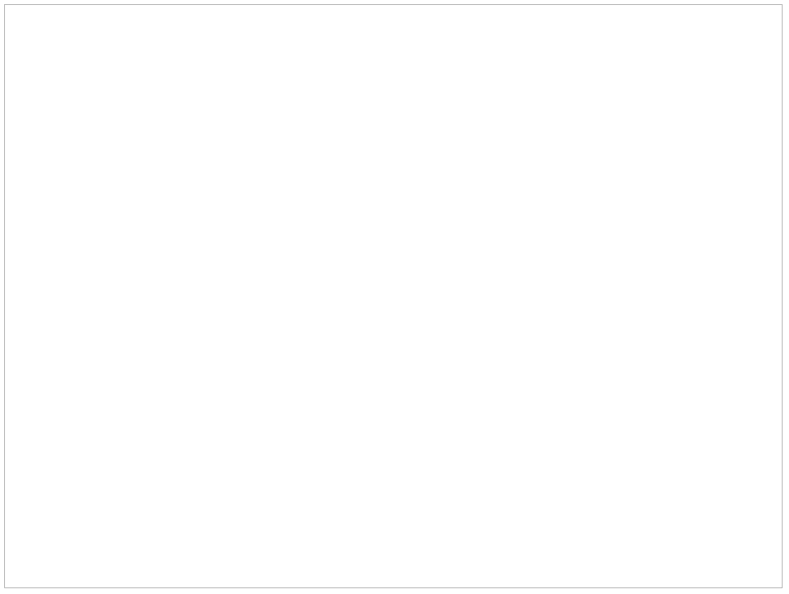
５、茅部（かやべ）神社（岡山県）

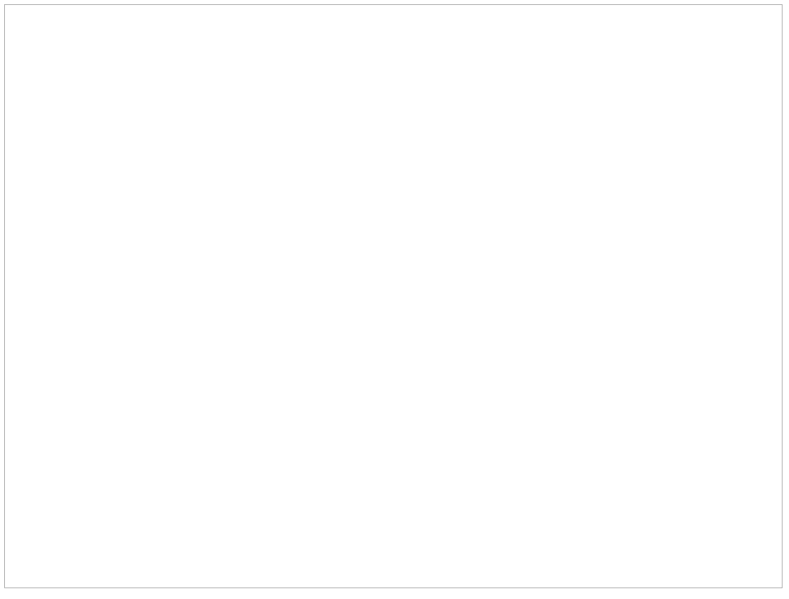
この神社へ来た理由はご祭神の天照大神と天の岩戸がセットになっているからです。この二つをセットで祀っている神社に重要なキーワードが隠されていることは、日本中の聖地を回ってわかったことでした。最初の鳥居をくぐってすぐに導かれたのは、右側の林に向いている鳥居でした。鳥居の先には何も建物が無いのに、畏れ多くて足が止まるほどその場には神力が満ち溢れています。

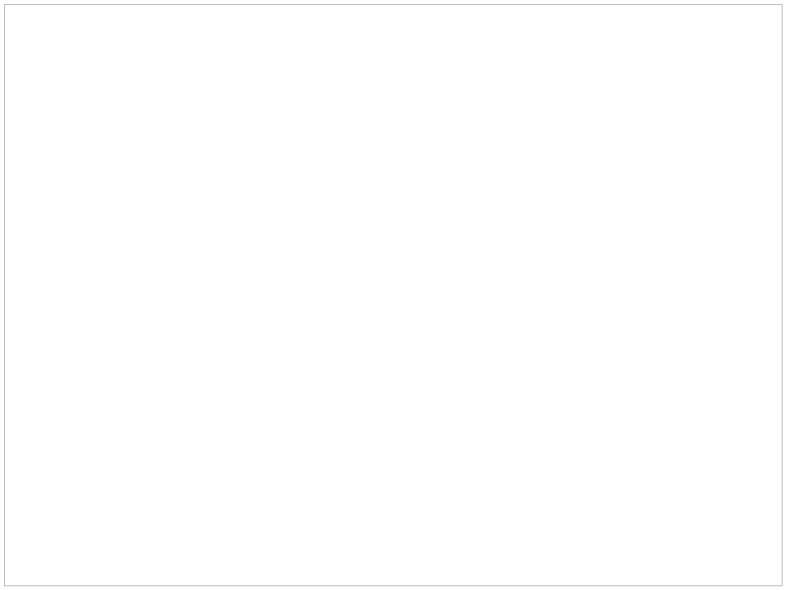
私たちが到着した同じ時間に、地元の老夫婦が神社の清掃に来ていましたのでお話を伺うと、昔は右の小山に沿って８００段登ると神社があったが、天災で壊れたので下へおろしたと教えてくれました。当時からご祭神は、天照大神だと教えてくれます。さきほどの林に向かった鳥居の前で祈りを捧げるとここの神は私たちの目的を知ってか、すぐにその答えを下さいました。

ここの民族はユダヤではなく、インドからチベットを経て入ってきた人々の地。天の岩戸は、民族の地と光を繋ぐために作ったもの。たくさんの人の命を失った。

始めて知ったこの事実に驚きました。またこの地に入り、天の岩戸としてもともとの民族の地と繋ぐために岩戸を作り、その為にたくさんの人の命を失ったこともわかりました。最後に今の本殿にご挨拶して、今回の人の導き神導きに感謝を捧げます。

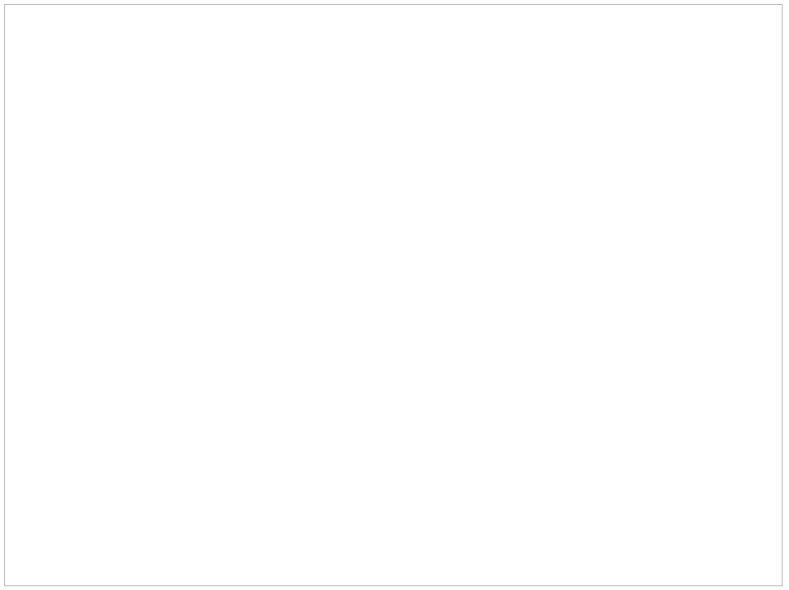


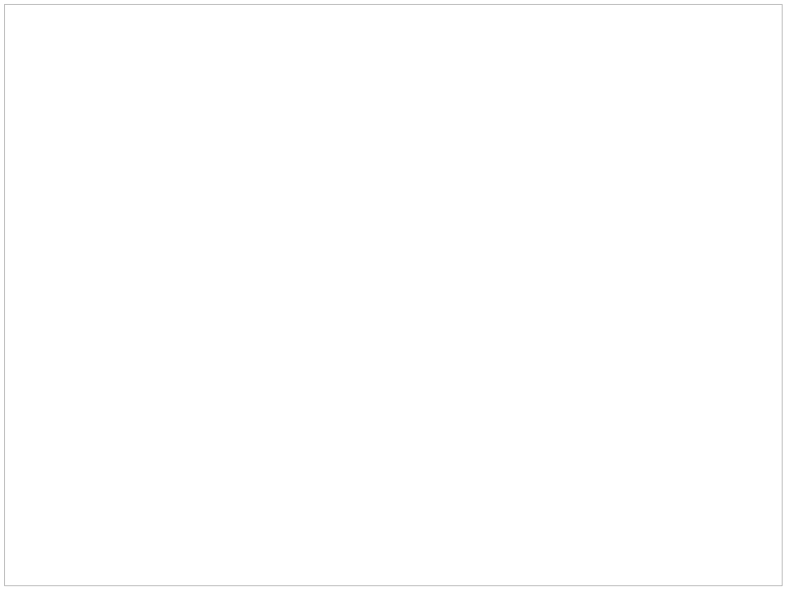




６、綾部（あやべ）神社（岡山県津山市）
夕陽が落ちるなか、最後にたどり着いたのがこの綾部神社です。この神社を選んだ理由は、学生時代を岡山市内で過ごしていた時から津山方面の強いエネルギーが恐ろしくて一度も行けなかった記憶がありましたので、そのエネルギーの理由を知りたくて探した神社です。ここの神に今日の神事のお礼の言葉を唱えると・・・

こんな所までお越し下さいましてありがとうございます。ご存じのことと思いますが、その一族は「霧に富士」の紋章を持ち、黒い光を守り繋いだ一族でございます。現在は、黒住教と呼ばれています。詳しくは、惣（もののべ）神社がいいでしょう。





※自宅に戻りこの時ビジョンで見た家紋を調べましたが、上に桐が一枚、下に山の絵使った家紋は見つかりませんでした。そして惣神社は本殿の横にあった社の中に祭られているものであることに気づき、すぐ読み取りをしましたが、「必要なことはあなたの中で気づくはずですので、今

はまだその情報を与える必要はないと思いますで時をお待ち下さい」と教えてくれました。時、人、場所はすべてが計らいであることを受け止め、自然な流れの中で気づく時を待つことにします。

田村神社の御神水から頂いたメッセージ（読み取り：吉岡学）

自然の恵みを与える意味は、与えられる者たちの命を繋ぐためのものでもあり、自然の恵みから得られものがあるからであります。どうしてもそのことを知りたければ、もう一つの方法がある。それはあなたが持っている火を繋ぐ場所を決めることです。それが新しい神の水の場所となり、火の神を繋ぐ場所になるのです。それがどうしても難しいのであれば、土地を選ばず神を繋ぐ場所を決めることです。

あなたが出来ることでもうひとつお願いがあります。その事をどう明かすかについてですが、「その時」が来る前にあなたが神の水をどう繋ぐのか、どういう意味にするのか、どうしてそうなるのかを決めなければならないのです。どうしてそうなるかを問われた時に、あなたがその答を持っていなければ、神々達が迷いますのでよろしくお願い致します。

卑弥呼（ひみこ）について。倭姫（やまとひめ）が卑弥呼であるならば、そのすべてが卑弥呼であり倭姫であると言えるでしょう。それがあなたの言わんとすること、あなたの持っているその力を使って明かすことも出来るでしょうが、「その時」が来る前にあなたが明かすことは混乱が起きるでしょうから出来るだけなるべく早く納めてください。それが、あなたの役目なのです。

新しい「ヒの神」がやってくるのです。新しい「ヒの神」が降りるということは、その水を運ぶ場所と繋ぐ場所を決める事があなたの存在の役目と証しであり、新しい「ヒの神」が降りるということは・・・、だからどうしてもその水、神の水を繋ぐのであれば、我々が守って来たものを大切に繋いで欲しいという思いがある事を知っておいて下さい。

卑弥呼一国（いっこく）があるとするならば、それは勢力を増しながらあらゆるものを巻き込み進化、増強していった姿なのです。なぜ天孫降臨の場所があちらこちらにあるのか、天の岩戸があちこちにあるのか、それはそれぞれ民族のもとを守る種族たちがこの日本にやって来たひとつの証しなのです。

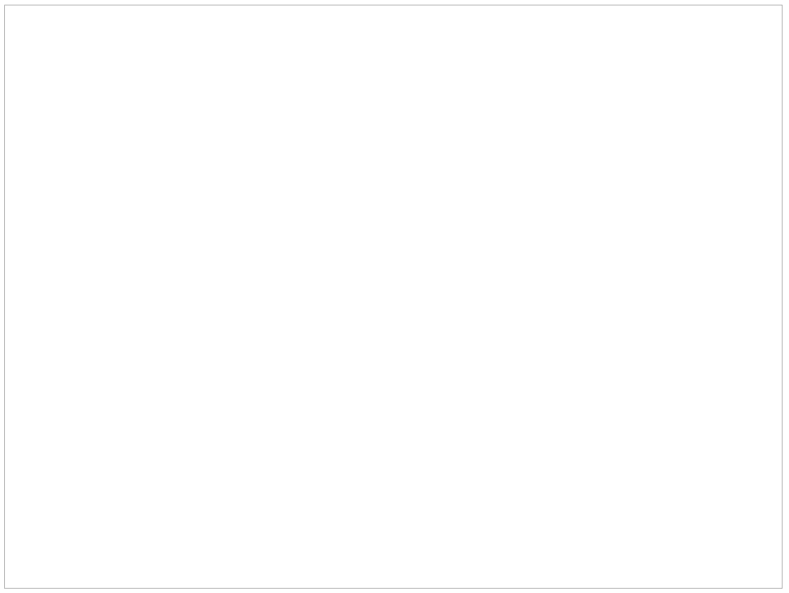
だからそれをどうしてもひとつだと思い込まず、それぞれの民族がこの日本の地の場の力を借りて、新しい世と地球の始まりの場とするために、天の岩戸と言うべき光りの夜明けの物事が宗教とも言えば言えるでしょうが、そうではなくもっと民族的な物語がたくさんあるのですが・・・もっと詳しく言いましょうか？　もういいでしょうか？

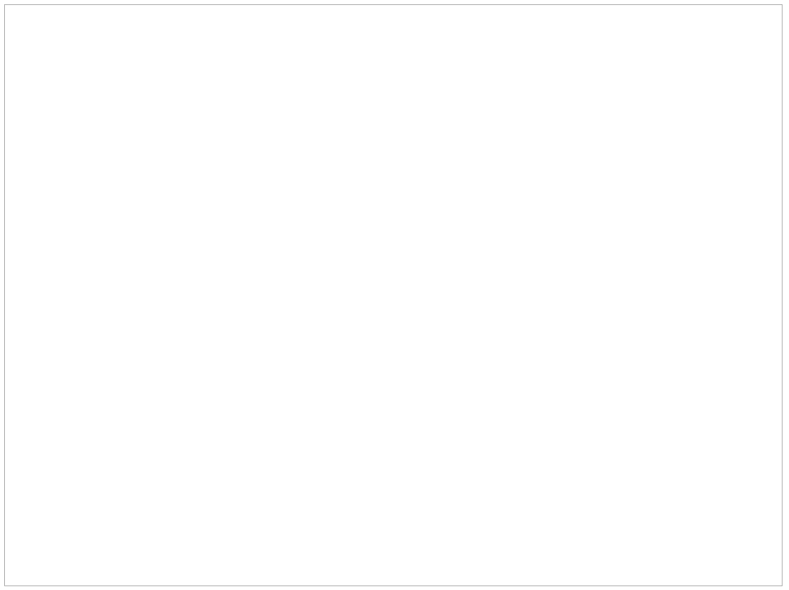
そちら側（地球）にこちら側（宇宙）の意思が伝わるならば、私たちがどんな計らいをしなければいけないのかが分かるでしょうが、その始まりがあなたでしかなく、また、あなたではなく始まるのです。だから、始まりがあれば元の鞘（さや）に納めることが出来るのです。

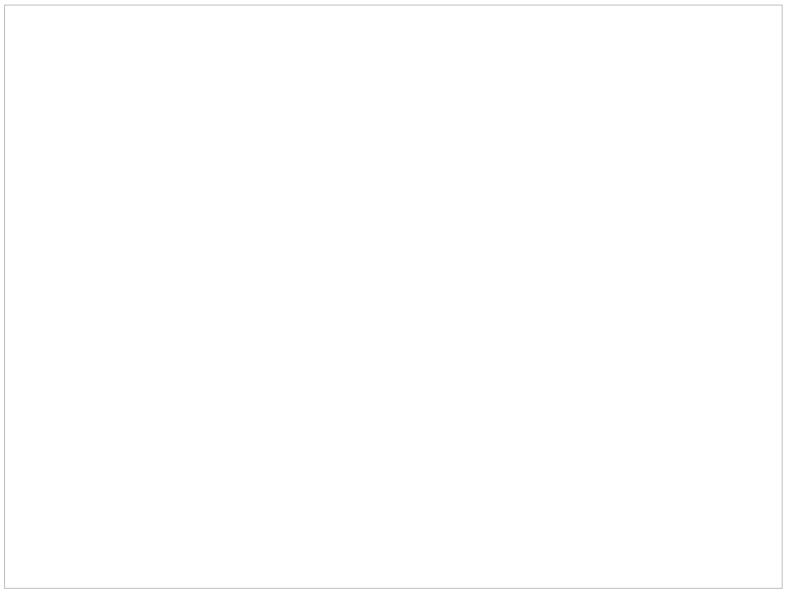
ところが大きな問題があるのですが、神道（しんとう）というべき大きな体制があり、その流れがあまりに大きく強いため仏的要素が陰になりがちです。どれもこれもインドも曼陀羅なども、すべてがこの「宇宙弥勒の世の流れ」の中から気付いた者たちが悟った物語なのです。だからどうしても元がひとつであるならば、もう一度ひとつになるべき形があるでしょう。それをあなたたちが気付いてください。

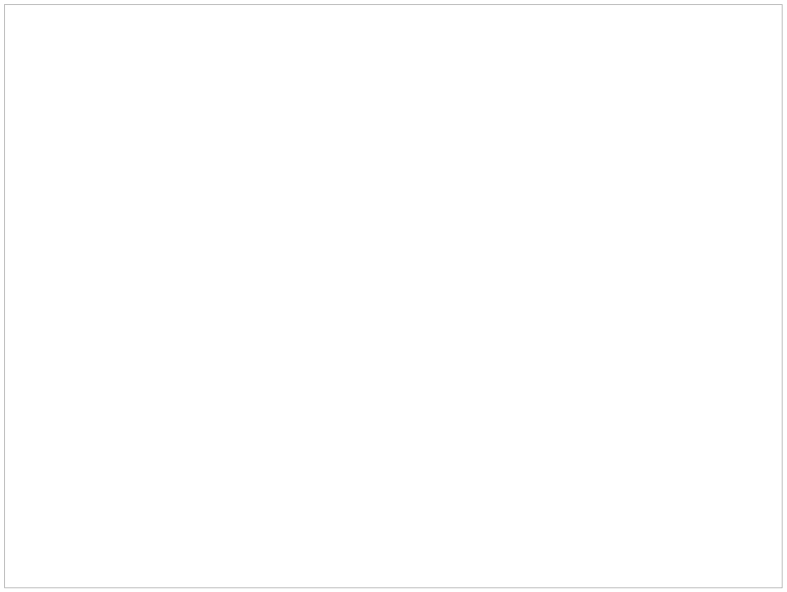
もう一つだけ言わせてください。どうしろ！と言わないで下さい。どうして欲しいという言葉を添えてあなたが望み、して欲しいことを明確にしてください。私たち（神々）が出来ることは、あなたが決めたことを出来るだけ早く叶えるように計らいをすることなのですから。よろしくお願いします。

※読み取りをしながら感じた思いをまたすぐ神が感じるために言葉が次々と変わりますので、文章的におかしな文面になりがちですが、意味は感じていただけたと思います。今回の神事の重要な導きと自らの魂の役目を重く感じています。
2008.12.10 Wed









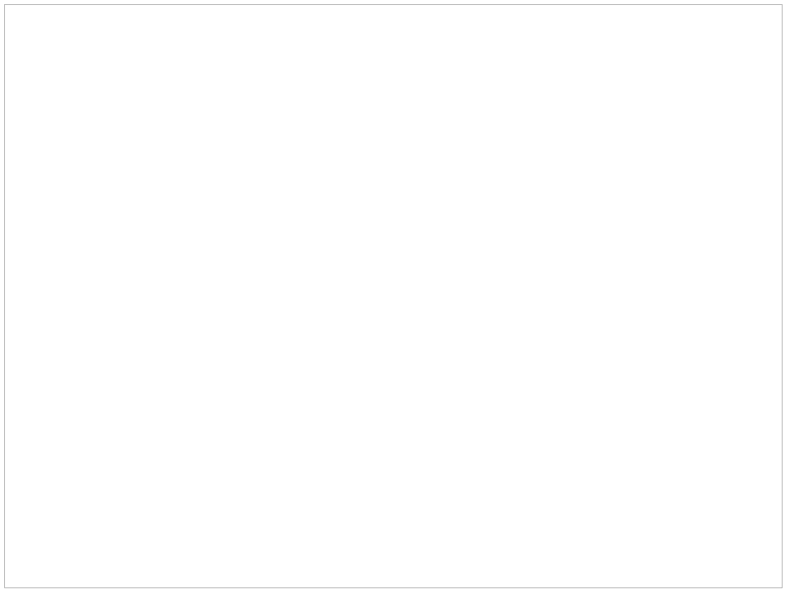
12/8　淡路島　伊弉諾（いざなぎ）神宮、おのころ島神社、
　　徳島県　天岩門別八倉比売（あまのいわとやくらひめ）神社

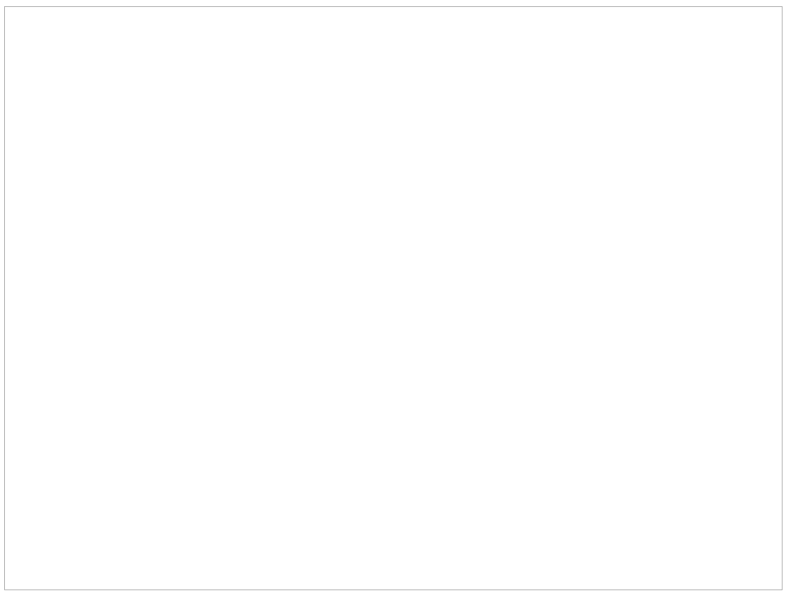
１、伊弉諾（いざなぎ）神宮（淡路島）：　淡路国一宮
　日本神話の国産みに登場する伊弉諾尊、伊弉冉尊を祀る。

こちらの神様に今回の神事の目的を告げると、「皇大神様、ついて参ります」と言葉を頂きました。すべての導きをして下さることに感謝いたします。

２、おのころ島神社（淡路島）

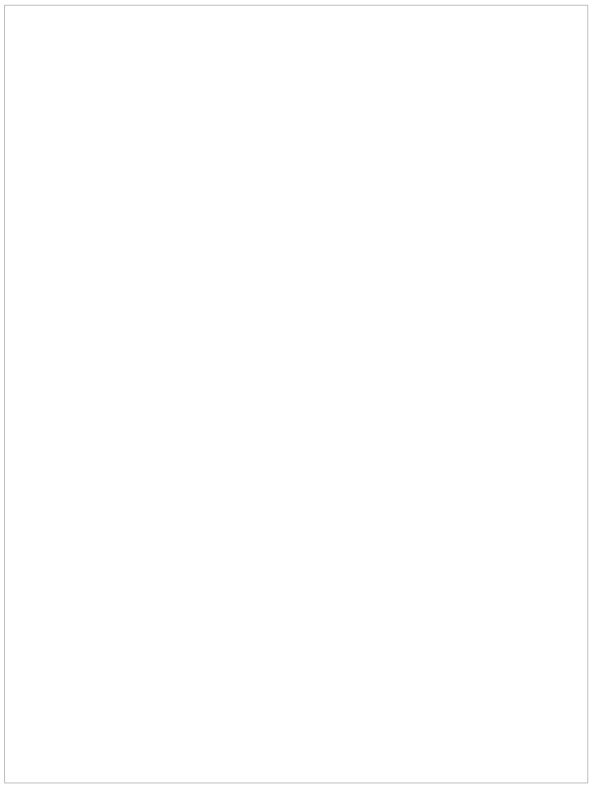
赤い大鳥居が迎えるこのおのころ島神社は、国づくりの始まりを伝える神社です。こちらの神様にご挨拶すると「あなたが来たということは、そういう次期なのですね」と言われます。この言葉を聞いて初めて自分が新しい国づくりのつながりを繋ぐ役目であることを確認しました。

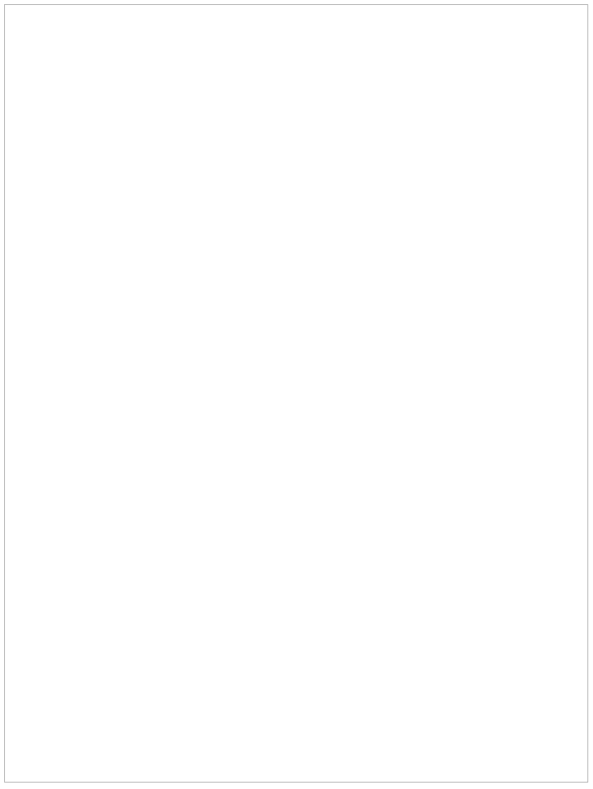




この社の後ろ側には、八百萬（やおよろず）の神様がいらしゃいます。手を合わせると、「私は

この土地の人を守るために降りました」と教えてくれました。土地の人々が大切にしている事がわかるこの神社の神様は、きっとこれからも大きく働いて下さることでしょう。本殿の横に朽ちた老木を大切に祀っていますが、これは古いご神木です。こういう姿で残すことで後世へ地元の人の思いが伝承されるのでしょう。

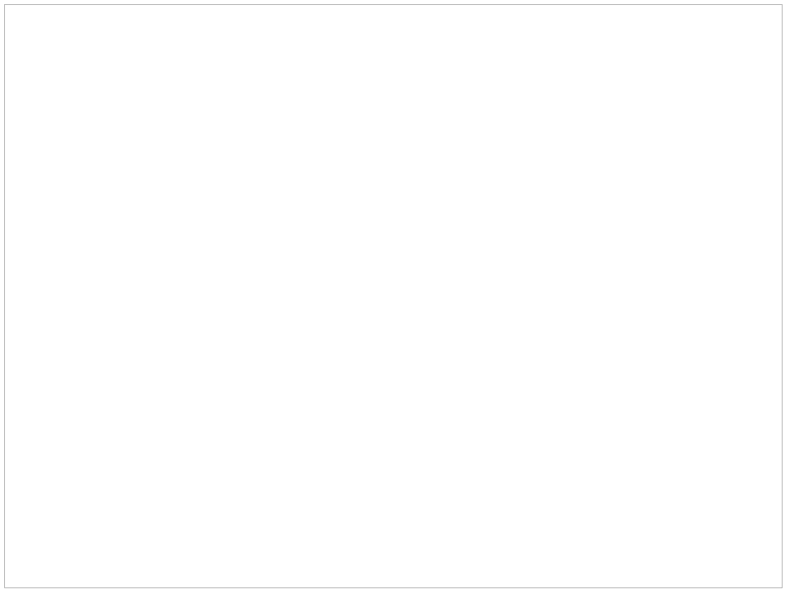


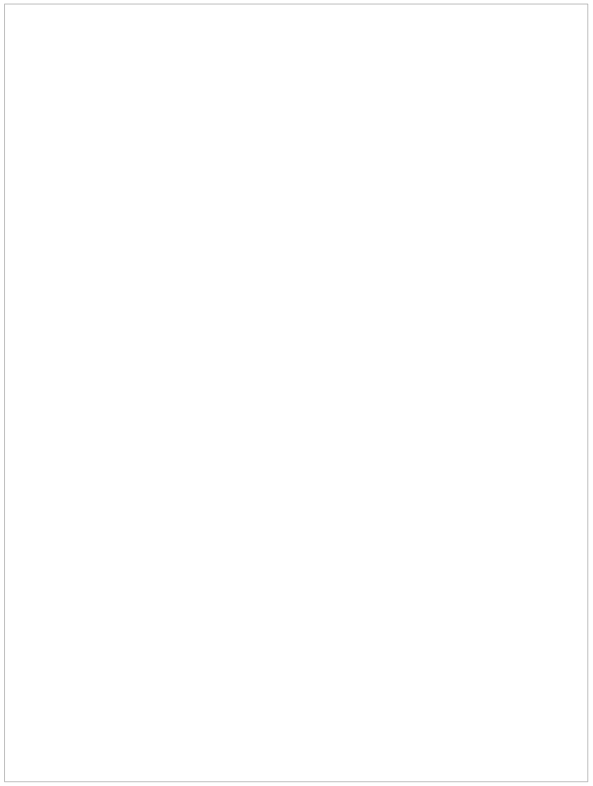


3、天石門別八倉比売（あまのいわとやくらひめ）神社　（徳島県国府町）

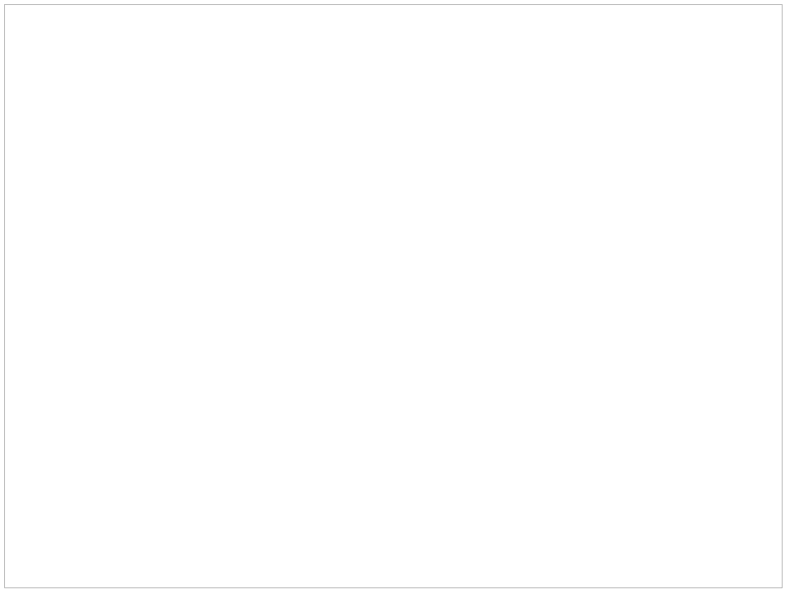
淡路島から四国に入って最初の祈り場所となったこの神社は、弥生時代の古墳に囲まれた場所にあります。鳥居のすぐ横に荒れ果てて朽ちた社にまず驚きます。手を合わせてみると「見てのとおり、老人で力がないのでエネルギーを頼みます」と言われたので、大きなエネルギーを与える祈りを捧げました。

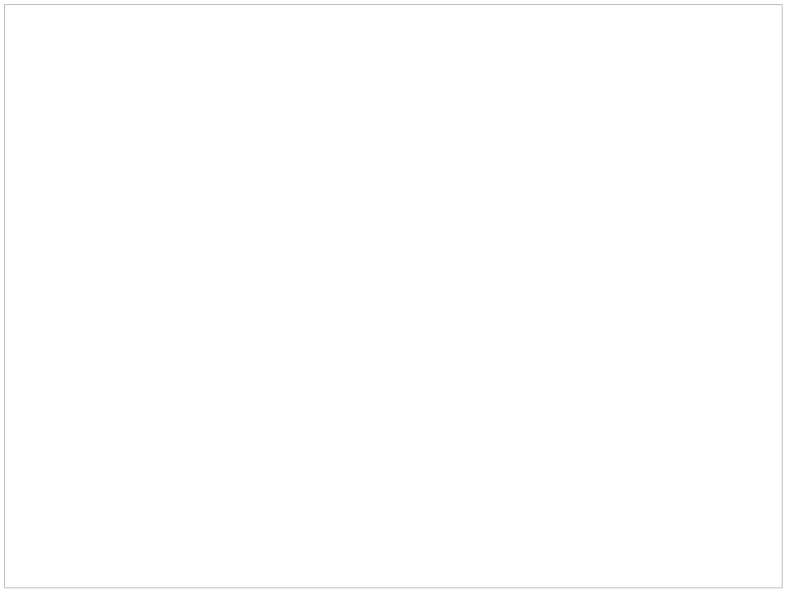
神社仏閣にある社や建物は人間の手で作られたものですから、人間が気を掛け手をかけなければ、その神は大きな働きができません。自然神のように岩そのものがご神体なら何もしなくていいのですが、人間はいつも長期的なことを考えずに物事を進めます。自分がいなくなっても神や仏を守るためにはどうするといいのか、こういう姿を見る度にそのことを考えさせられます。





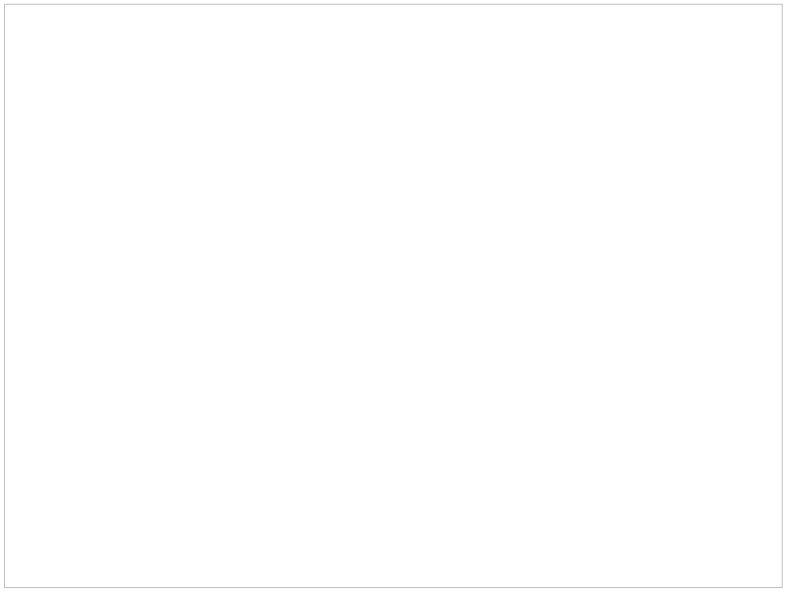
日が暮れる２０分前に、探していた場所まで土地の人が案内してくれました。山の上の神社のさらに裏手の小高い丘の上に、山そのものを神として崇めた自然な神が鎮座されています。この祠を囲む五角形の台の意味は、この場所を作った人たちの神意識を表しています。山神様からは、「お越し下さってありがとうございます」とやさしい女性の声でお礼を頂きました。赤いたくさんの神オーブは、ここを守る神様の歓迎の印です。



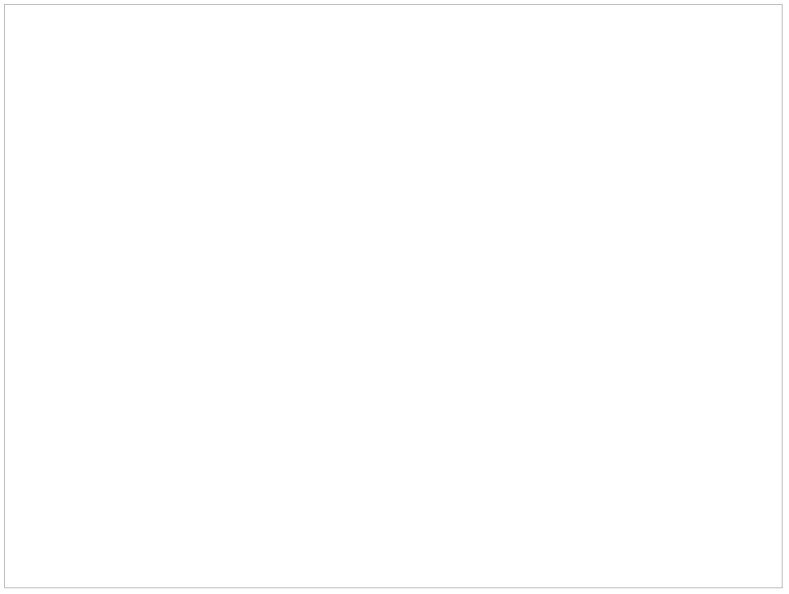


12/9　石鎚山登山神事（愛媛県）

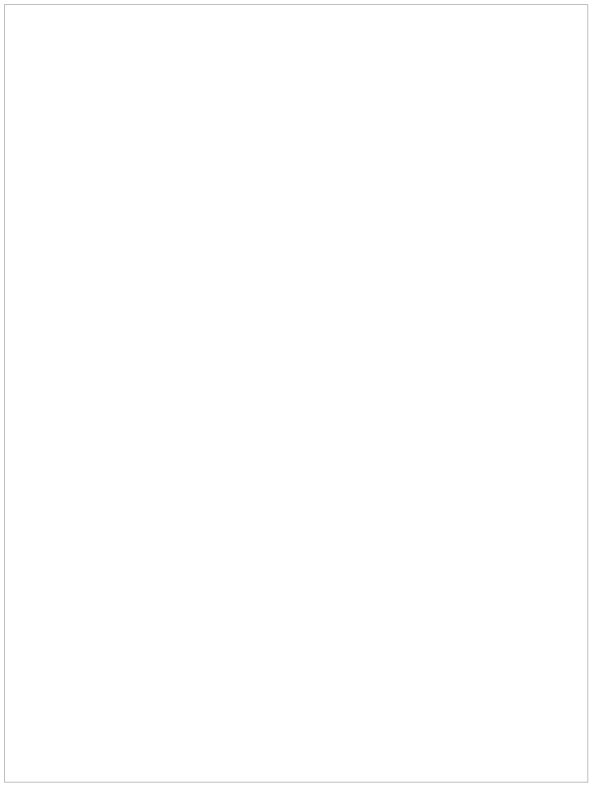
ロープウエイ付近の気温が前日０℃と聞いていたので覚悟して登ってみると、暖かい日差しに導かれますが足元の残雪だけは気が抜けません。ロープウエイから３０分ほどで着く成就という場所の信仰の深さに驚きます。小さな町があるように感じるこの場所は、山の上だということを忘れる空間です。

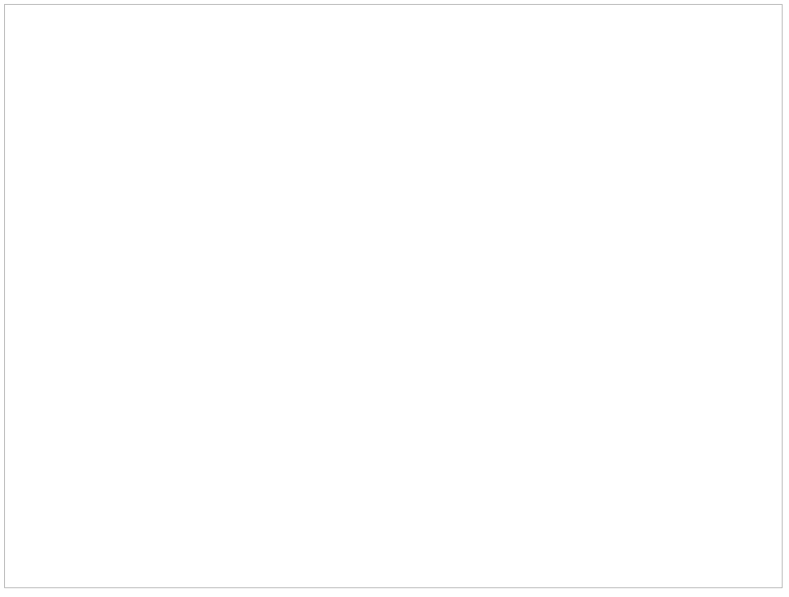


神門からひとつの山を降りて次の山へ進む道は、人の心の解脱を意味しているように思えます。現世にある思いを横に置いて神として山に入る準備の時間が過ぎていきます。振り返るとくっきりと晴れ渡った山の上に浮かぶ雲の中に宇宙船を見つけました。私たちが何をするのか見守っているようです。



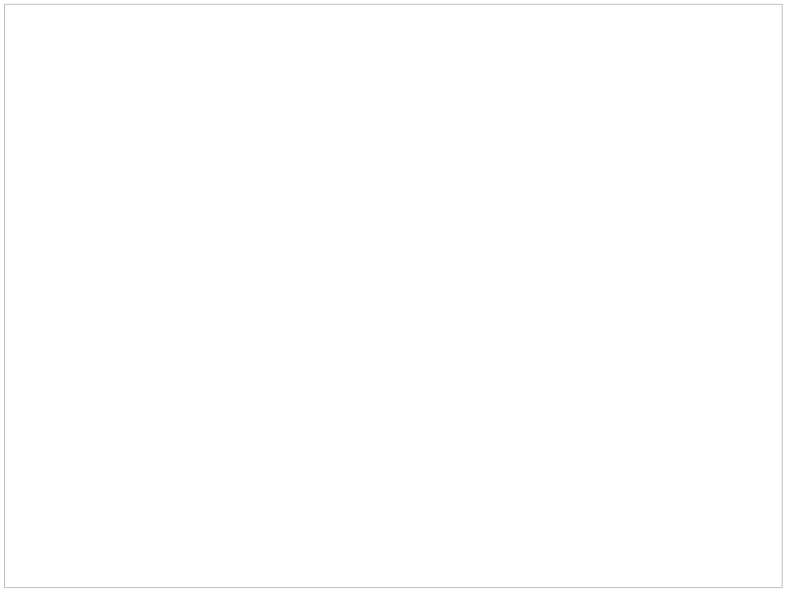
一の鎖を超えた辺りから残雪の量が増えてきました。どこまで登れるかは天候と気温と足元の雪次第ですから、自分たちの限界まで行くと決めて進みます。二の鎖の前に来るともう道は雪に埋もれて無くなっていました。冬山道具は用意していないのでこの鳥居から山神様へ祈りを捧げます。





山神様からは「共に働きます」と言葉を頂きました。２００３年から山の神事で登った北海道の山神様、沖縄の山神様、九州の山神様、本州の山神様のすべての想いがひとつに繋がった祈りになりました。すべての土地神様が新しく働く準備が整ったという意味になります。

下山こそ危ないので一歩一歩慎重に足を進めて全員が無事、成就まで降りついたときの感動は、大きな神事が成就した喜びの瞬間です。全員で蓬莱殿から山神様へお礼を伝えて下山しました。



2008.12.09 Tue

四国岡山神事へ旅立つ時のメッセージ

12/8　四国へ向かう飛行機の中で頂いたメッセージ

”宇宙神”数々あれど、その役目果たせずにいるもの多し。その意味・理由を知りなさい。人が悪いわけではありません。その人を動かしている意識のつながりのエネルギーがどこから来ているのか？目的は何なのかを知りなさい。

それぞれの星の役目を持つ者たちもそのことが終わらない限り、次のテーマに気づくことはないでしょう。だからこそ、すべての存在たちの思いを知ってあげなさい。それぞれの場所にいる神は、その本来の役目を果たそうとしますが、人間が表の看板を書き替えるように物事の意味を変えてしまえば、人々が神に向ける意識も変わり、神自身の働きもしづらくなります。

本来、信仰とは自らの望むものを欲求するのではなく、自らの欠けているところ、不足している部分を補うために気づく場です。”神信仰”から”人信仰”に変わると、さらにその意味が強く出してしまい、誰が何を言った言わないということになってしまいます。本来の信仰の対象となる神は、自らの心の中にあるものですので、何を見て何を聞いても問うのは自分の中なのです。

その対象となる存在に惑わされずに、自らの神に問い続けることができた人こそ、神の道、また人の道の悟りを得ます。しかし、悟りの道さえも一時的な通過点と思わなければ「おごり」に見合う思い込みが発生し、物事を見る視点が狭くなります。

常に物事には、無限面と言ってもいいほど、見方、考え方がありますので、ひとつの事象に囚われず、常に大きな心で物事を見て考えることを意識して下さい。

詩人、文人（ぶんじん）の方ならわかると思いますが、真実や大切なことはその言葉ではなく、その文章の行間や情景に写し出されて相手に伝わるものです。意図するものが無いということはないでしょうから、無限にその意図が個人の意識ではなく、大いなる意図・意識することの本質を見極めなさい。
2008.12.08 Mon

内在する神

２００８年の最後の大きな神事がまもなく始ります。この四国中国神事は「国の建て替え立て直し」の啓示で行っている今年の神事の締めくくりでもあり、それはまた２００９年の始まりになる神事だと感じています。先日の鹿児島神事で対話した自然界の神々と地球や宇宙メッセージを携えて、火の神・天照信仰において人間が作為してきた部分を宇宙根源神の本位に戻す道のりになることでしょう。

神事の予定場所は、以下の予定です。

12/8午後　淡路島で祈り愛媛県まで移動。翌日12/9　日本七霊山の石鎚山（1982ｍ）で神事。
12/10　香川県・岡山県を経由して鳥取県まで入り、西日本最大の大山（だいせん）で神事。
12/11　岡山市内にある自然神・宇宙神につながる場所から祈りを行います。祈りメーリングに登録している方には随時、メッセージをお届け致します。

学生時代を岡山市内で過ごした私は、中国四国地方を旅した場所が何かに導かれて行った場所なのだと今は感じます。卒業してから23年間、一度も足を運ばなかった理由も、そのことをわかるまで必要な時間だったのかもしれません。ふと中学生の頃に大人社会が、これほど嘘や偽りが多いのかを宇宙に問いかけたことを思い出しました。

宇宙　「それはあなたたち人間が選んだことです」

私　　「大人たちを変えるために私に何かできますか？」

宇宙　「それは、あなたしだいです」

私　　「私は何をするといいのですか？」

宇宙　「それもあなたが決められます」

私　　「でも僕はこんな田舎でお金も名声も権力もないのにできることはあるのですか？」

宇宙　「あなたの魂の目的は決まっています。だからその道を進みなさい」

私　　「それはいつ、何をどうすればいいのでしょうか？」

宇宙　「すべて、あなたしだいです」

本「宇宙人アミ」を読んだことがある人はこのやりとりの意味がわかると思いますが、本を読むのが苦手な人でもすぐ読めますのでぜひお読み下さい。私が１０年前にこの本に出会ったとき、誰にも言えなかった宇宙との会話が同じだったのでとても安心したことを思い出します。同時に思ったことは親に言えない子供たちの心の声を代表した本だとも感じました。

中学の頃は、この宇宙と対話した言葉がループのようにぐるぐる頭の中を巡り続けた時代でした。何をするかは、あなた次第。この地球もあなた次第・・・。いつ何を選ぶかもあなた次第・・・。

私たちには「選択の自由」と同時に、「選択の責任」を与えられていますが、そのことに気づくまでにまた長い時間がかかりました。１８歳当時、北海道から岡山という土地を選んだ理由も、誰も知り合いのいない場所で一人で生きていけるかどうかを試したかったのが本音です。それくらい大人の虚像社会で生きる自信がない子供でした。

私たち人間が肉体を持ち人生で経験し学ぶべきことは、場所や相手を変えても生まれる前からすでに決まっているとわかってから、人生で起きた事の全てが自分の責任だと反省しました。まだ自分の力ですべてを支配できていると思っている人がいたとしたら、ある意味、その人は幸せな人かもしれません。そういう人のことを昔のことわざでは「井の中のかわず、大海を知らず」と言います。

この人生はほとんど自分の思いどおりにならないからこそ、私たち人間に「自由選択・自由意思」が与えられています。選択の自由を与えてくれた存在を神と呼んでもいいでしょう。やさしい誰かの言葉に救われたときや大自然の中にいる時に自然にその存在に気づく人もいます。信仰という自分の内側の信じる力を強くして気づく人もいますが、対象物や人への依存はおやめ下さい。あなたの内側の心こそ、神そのものなのですから。

しかしどの道を選んだとしても、この人生であなたが学ぶべきことは決まっています。そしてその起きる結果のすべてが「自分の学び」と学べた人こそ、新しい未来を創造する鍵を手に入れることができます。

すべての生き物に内在する魂は、数えきれない回数を輪廻転生しながらその学びを向上させるために生まれています。それは人間も動物も植物もお魚も同じです。生命の循環があるのは地球だけありませんし、宇宙すべての循環摂理と同じく、大きな宇宙の輪廻転生ルールと目的の中で動いています。

だからこそ肉体を持っている間に、自分の内在する神と対話し、何をするかを決めて実践することがあなたの役割なのです。何を選んで、誰を選んで、どのような経験をしようとも、さらにその結果があなたの思ったおりにならなくても、あなたの学びは同じなのです。

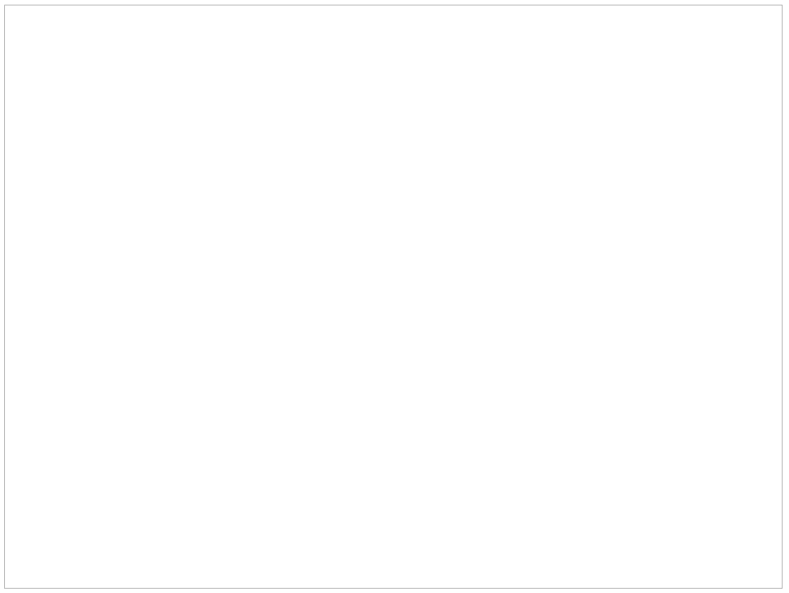
あなたに学ぶべきテーマがあるからこそ、あなたはまだ生かされていますし、それに気づくため

にあなたの周りから繰り返し同じような情報が入ってきていることに気づいて下さい。

人生は、すべて決まっています。

だからこそ、私たち人間に与えられた「選択の自由と責任」を実行しようではありませんか！すべての人間の内在する神の願いが叶うことを祈ります。
2008.12.06 Sat

北の龍神祭　**2008**



11/30午後・・・北海道然別湖温泉ホテル風水の最上階にあるご神殿におきまして、この一年日本各地のご神事で神様から頂いた神言葉を詔としてご報告させていただきました。ご神殿には三十年間、毎日この然別湖の神様に祈りを捧げているおかみさんとご神殿を守っている神主さんが同席されて祈りを共にして下さいました。

神事の前に禊（みそぎ）をしていると心の中に「ひもろぎ」という言葉が何度も聞こえてきます。その意味を神主さんに教えて頂くと、「神が降りる場所」だということです。明日の龍神祭のひもろぎの場所を確認して日の出を待ちました。

12/1　am 7:20 然別湖の日の出

龍が守る火の神、風の神、水の神、土の神へ祈りを捧げながら、参加されたお一人お一人の宣言文を炎と共に天へ焚きあげました。私に降りた言葉は、次の四つです。

「神ひもろぎ　火の神降りましてございます　水の神降りましてございます　風の神降りましてございます　土の神降りましてございます　神と共にありなむ」

「神祓い　神の御言葉唱えたもうもの　神となむらむ　神ひとつとなりて信なり」

「無意我　無意志　神と共にありまする」

「身ひとつ着ひとつ　産まれおちたる皮はいで生まれ変わり　始まりが終わりです」

前日の吹雪が嘘のように晴れ渡った然別湖は、新しい日の光と湖の輝きに冬の風さえ温かく感じます。龍神祭を滞りなく終えてからご神殿を眺めると、左側の神の座が落ちついていません。この然別湖の神様が以前より大きくなった為に、今年春まで祀っていた八大龍王神を降ろしたという報告は聞いていましたが、どうやら昨日からの「ひもろぎ」のメッセージは、この場所へ降りたい神様がいる事を天が教えてくれていたようです。三社の左側に置いてあった「ひもろぎ」が小さいので手を加えて頂き、神の座を整えました。

おかみさん、神主さんにもご参加いただき全員で正式な神降ろしの儀式が始りました。神主さんの太鼓の音で天門を開け、天の神計らいを待ちます。最初に降りた言葉は、「大神（おおかみ）」でした。どうのような大神様でいらっしゃいますかと尋ねるとしばらくして「艮（うしとら）の大神」とおっしゃいました。

この「艮大神（うしとらのおおかみ）」様は、よく耳にする丑寅の金神様よりも力が大きく、国の建て替え立て直しをなさる力の強い大神様です。この瞬間に、この場所に降りた意味が新しい日本国の建て替えが本格的に始まることを伝えています。日月神事のメッセージをご存じの方ならわかると思いますが、この大神様は今までも神道ならクニトコタチと呼ばれ、アイヌの神では

オキクルミカムイと呼ばれて大切な時に降りて下さっています。

おかみさんからこの然別湖の中心の神様は、神世七代と呼ばれる天之御中主神（あめのみなかぬしのみみこと）から始まる形の無い七代の神様がいらっしゃると教えて頂きましたので、右側にあるご先祖一円のつながりを守る仏様も加えた三社祈りを最後に捧げました。

今回の神降ろしのエネルギーはとても大きく、その祈りを終えると倒れる人が出たほどでした。祈りを捧げている最中の私自身の身体も珍しくグラグラ揺れていたので、降りる神の大きさがわかりました。大きな神様はその大きさに見合うエネルギーを発します。霊や神の媒体として受け取るチャンネル意識を持っている方は強い神エネルギーを受けすぎた結果でした。

神事は人間のすべて解き放つ祈りですから自分を守ることはできません。そういう状態になるからこそ、神の声が聞こえてたり、感じたりするのです。そういう方の精神鍛練は当然ですが、自分のカルマを終わっていないとカルマ要素の部分すべてにエネルギーがかかり、苦しむ姿をたくさん見ています。

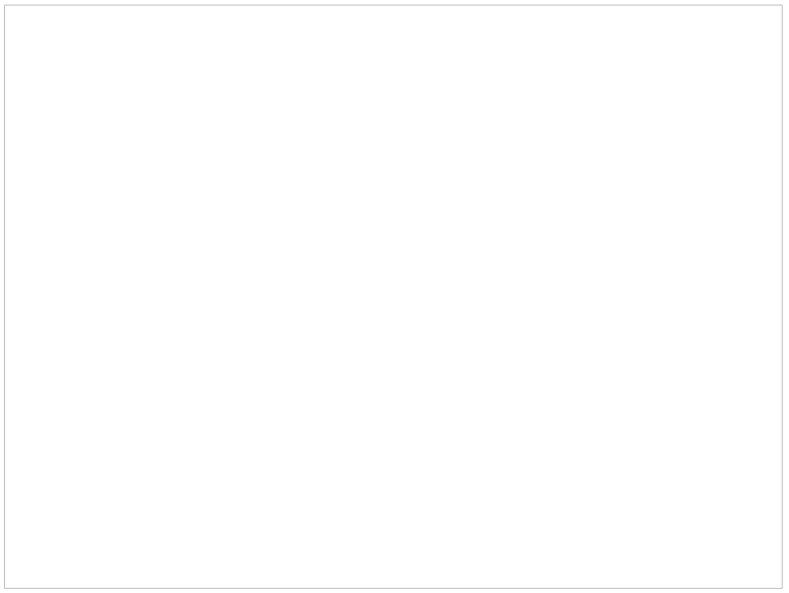
沖縄の比嘉さんはよく「祈り」と「巡礼」と「神事」の違いを説明されます。「祈り」は自分のため、「巡礼」は自分を足りない所を気づくため、「神事」は自分をすべて神に預ける祈りだと教えます。ご神事に参加して下さるお一人お一人の魂の輝きは、その人の人生を変える経験になることを知っているからこそ、ご参加して下さいます全ての皆様に心から感謝いたします。

●皆様へお知らせです

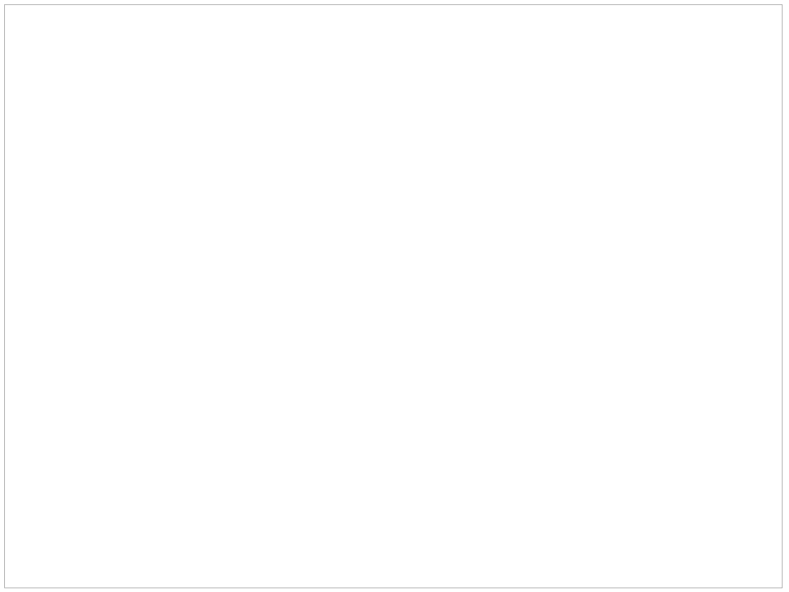
２００９年３月末に行われる沖縄宮古島の八重干瀬（やびじ）祈りと南の龍神祭の日時が決定しました。宿泊先の予約枠が残り数名分しかありませんので、参加を希望する方は大至急ご連絡下さい。※２００９年八重干瀬祈り・龍神祭のご案内

2008.12.04 Thu

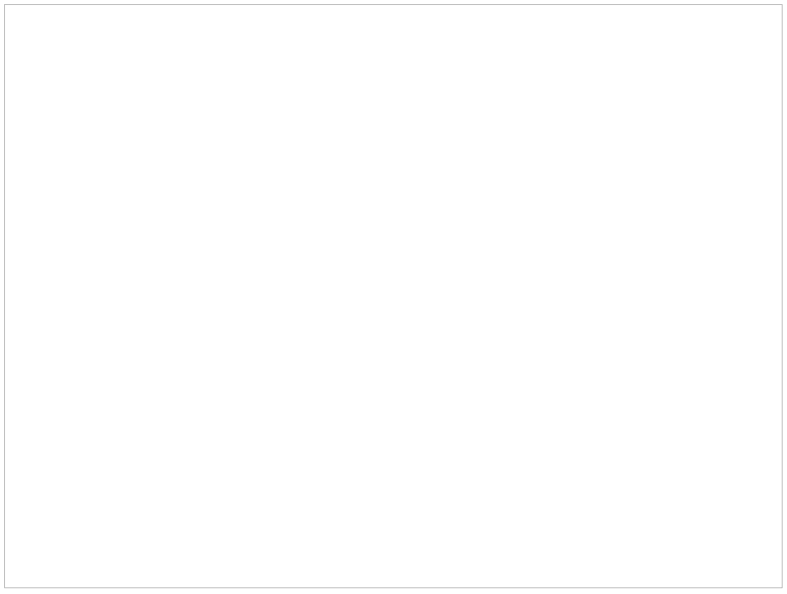
鹿児島神事



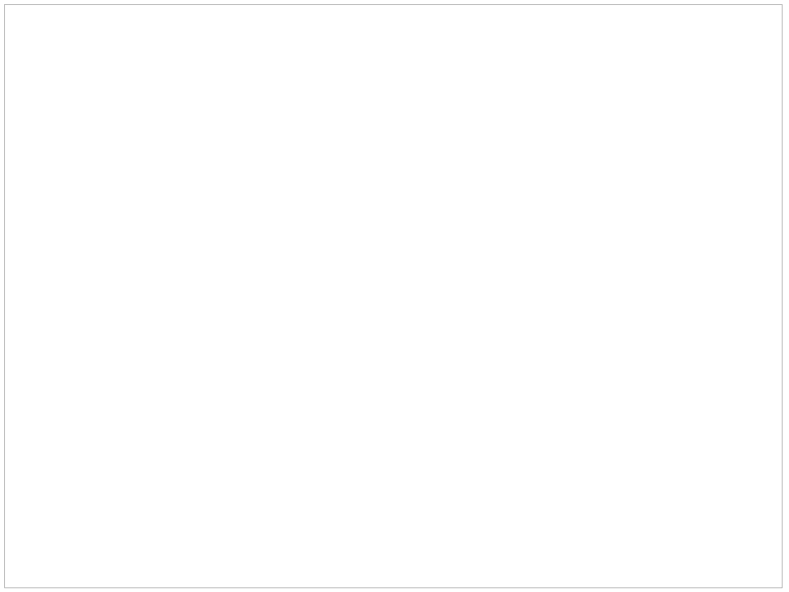
11/26　桜島神事（埋没鳥居・湯の平展望台・月読神社）
11/27　枚聞（ひらきき）神社・開聞岳頂上神事・知覧特攻平和会館
11/28　霧島神社・溝の口洞窟・神ヶ縁（かんがぶち）・霧島東神社・高千穂河原



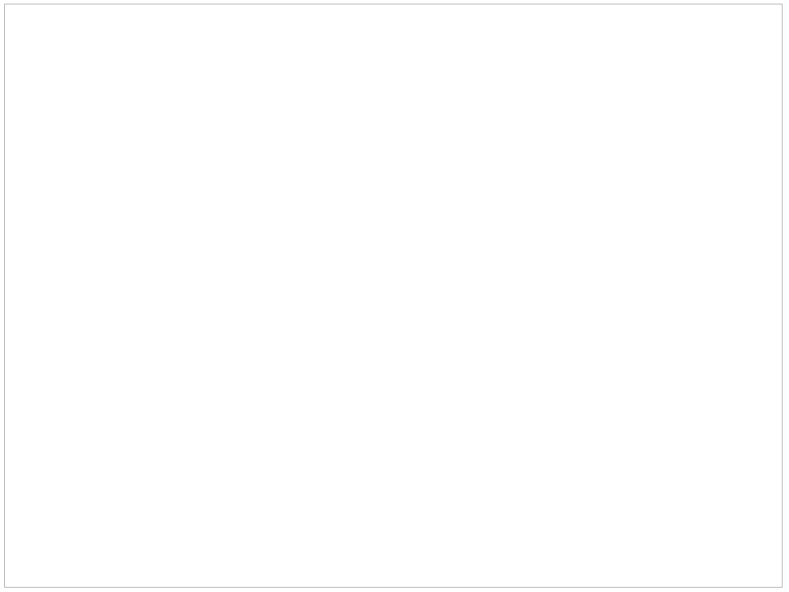
11/26桜島へ車で渡り、まず昔の噴火で埋没した鳥居へご挨拶しました。鳥居を守る神と精霊たちの重たい空気を感じるとこの神が喜んでいないことを感じます。昔、山を御神体としてあがめていたとき、鳥居以外には何もないのが普通でした。現在のようにお宮や建物があって「神願い」をするのが普通だと思っている方にはわからないと思いますが、鳥居の意味を正しく知って欲しいと思います。仲間と祈りを捧げると、その場が清々しい空気になり神が喜んでいるのがわかりました。※鳥居についてはマンガ「イティハーサー」水樹和佳：作　をお勧めします

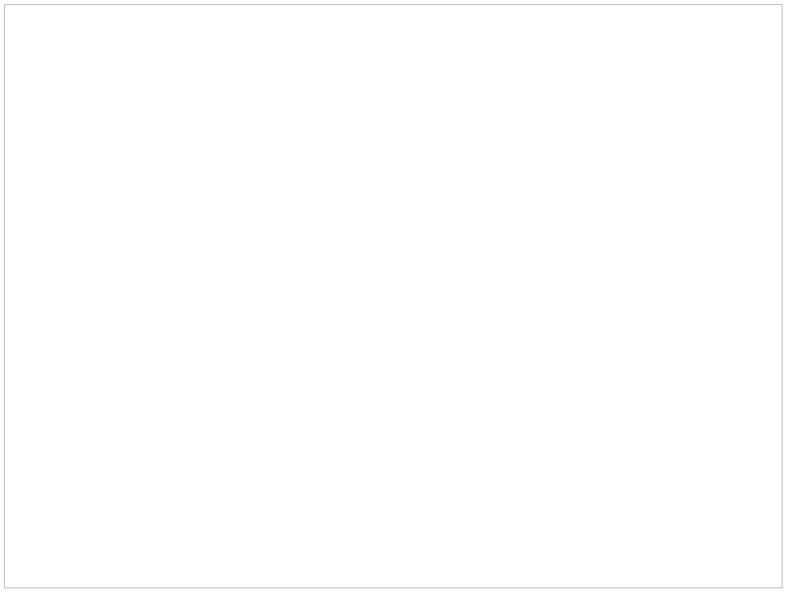


夕闇が包む前に湯の平展望台へ急ぎ、桜島へ祈りを捧げると、大きな男性の神があぐらをかいて座っているようなに見えてきます。桜島の神に神事の目的を告げ、この地を守ってくれていることに感謝し、今後も安泰に土地を守ってくれるよう祈りました。ここへ来る車の中で阿蘇山の神から男女和合・陰陽和合をして欲しいとメッセージが入りましたので、明日の開門岳の頂上神事と合わせてすべての整いの祈りを捧げました。



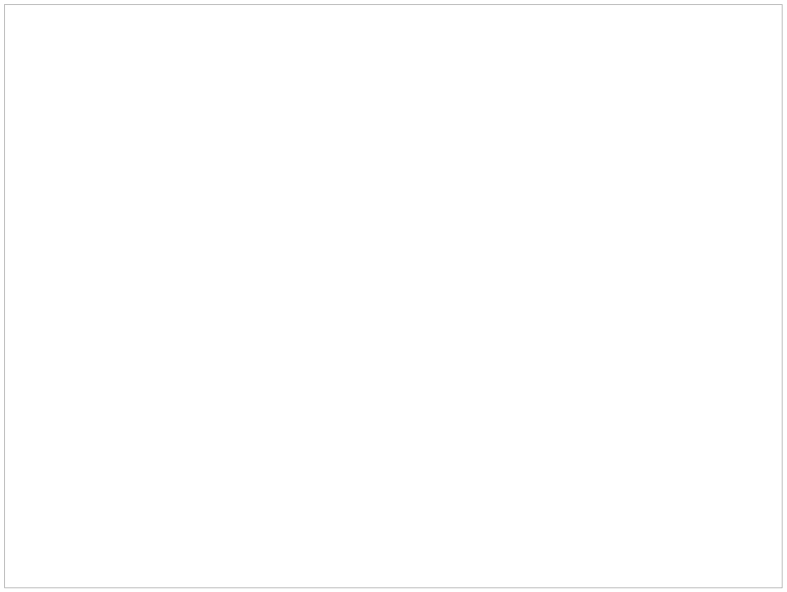
桜島フェリーターミナルの近くにある月読神社へお礼に伺うと、夕闇の中で神々たちが私たちを温かく出迎えてくれています。大きな赤いオーブは神の証としてその姿を見せてくれました。夜を守る神として働く月読の神がおられるからこそ、太陽の神との陰陽バランスが働くこの自然界ですからすべての神の働きに感謝する祈りを捧げて桜島を後にしました。



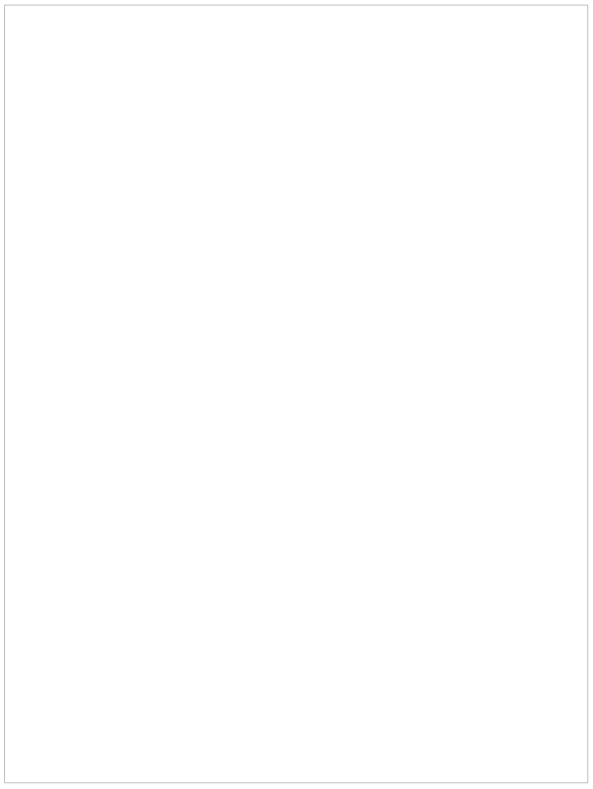


この日驚いた神計らいは、沖縄の比嘉吉丸ご夫婦も神事で鹿児島へ来ていると本人から連絡が入ったことです。彼は今日、開聞岳周辺を祈り、明日、桜島を祈る予定だと互いの神の導きに驚きました。私たち祈り人は、神の導きでいつも動いていますので祈りの順番も自分の意志だけでは決められません。だからこそ大きな存在の意図を感じた瞬間でした。

1/27朝、枚聞（ひらきき）神社にご挨拶をしてから今日の開門岳頂上神事のことを伝えました。神からは「すべて計らいいたします」と言葉を頂きました。紅葉の美しいとても人の気持ちが伝わる素敵な神社でした。



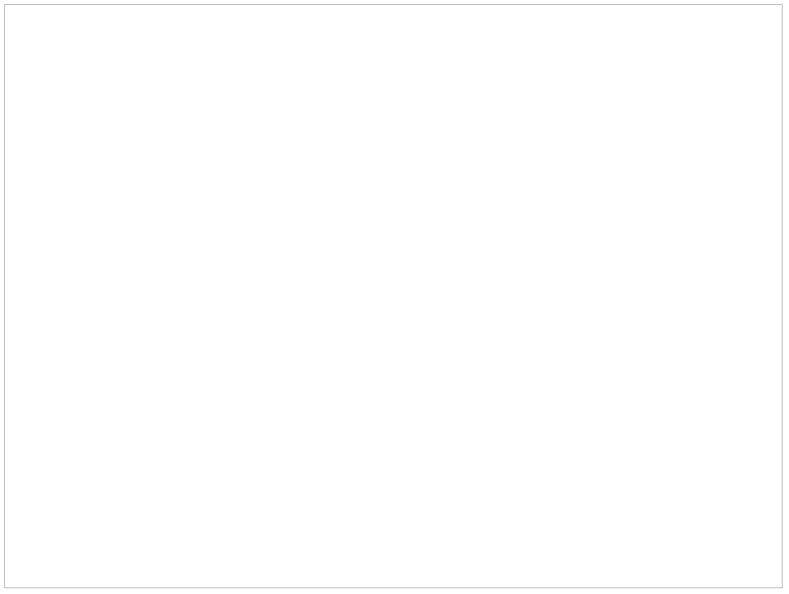
午前９時前に開聞岳二号目登山口から登り始めると途中に見える町並みや太平洋の美しさに歓声が上がります。天気予報の雨を押さえてくれて登山者も私たち以外には二名のみ。すべての計らいに感謝しながら地元の女性を含めた５名でたどり着いた頂上手前の御嶽神社には、地球の中心とつながり火を守る大きな働きをしている神さまがいらっしゃいます。この神様へご挨拶をしてから頂上神事を行います。

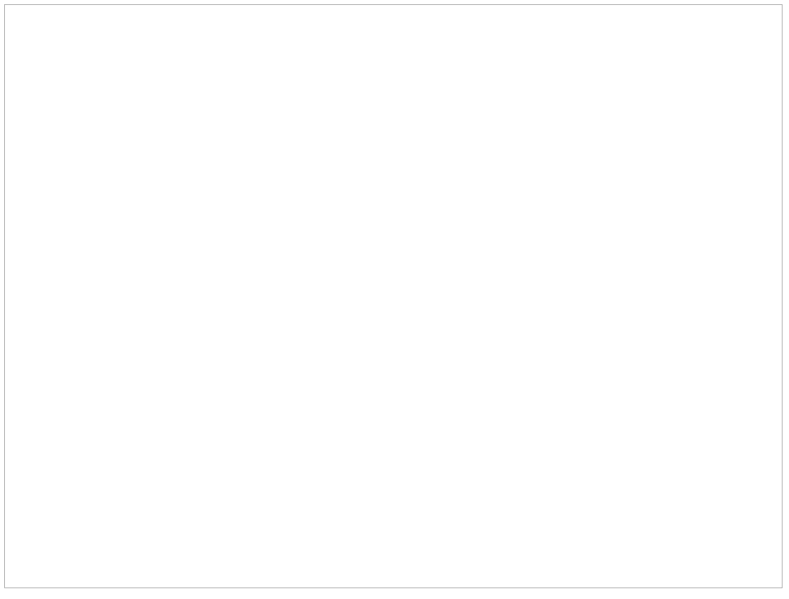


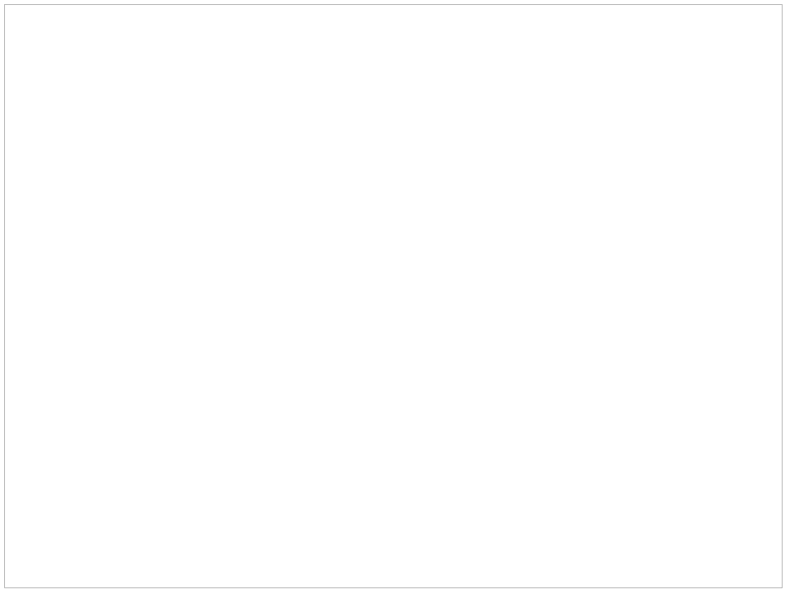
頂上には大きな岩のご神体があります。この山の神様は神事の意味を理解してくれた上に、私の背中に乗り四国の神事へついてきて下さるとおっしゃっいました。あちこちにご降臨された神は、その場所を自分の意志で動けないからこそ、私たち祈り人が神を運んだりつないだりするのが

役目なのです。大きな宇宙の神の意志を果たす為にも、今地球に降りている神々の協力や和合がとても大切なことをこの神様も御存じなのです。心からの感謝を捧げながら下山を急ぎます。

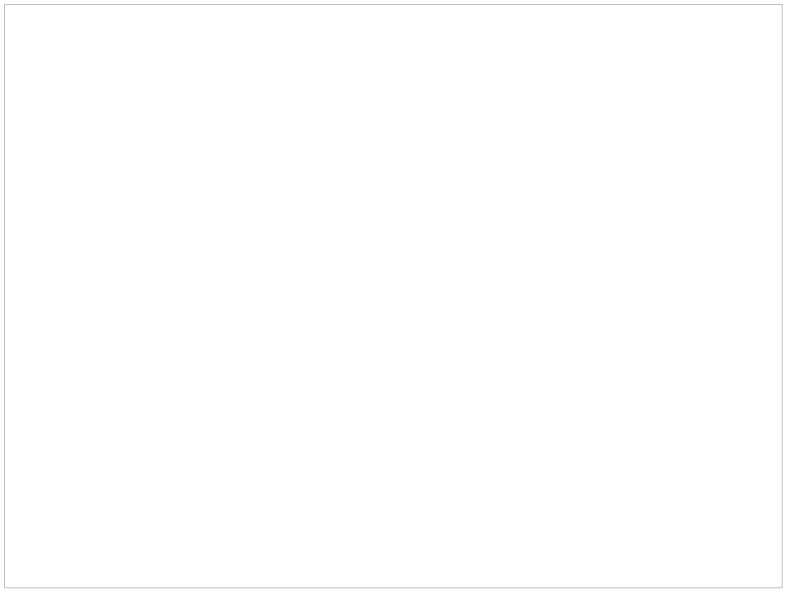
開門岳の鏡になっている湖が、池田湖です。山神さまの御神鏡と言ってもいいくらい美しい湖です。水の恵みを与えて下さるのは山ですが、その水を美しく守るのも人の心や自然界の循環です。そのすべての命の恵みをいただくお礼祈りを捧げました。池田湖を後にして今度は、この地から命を捧げた特攻の里　知覧へ向かいます。今の私たちは過去の多くの犠牲の上に生きてい命であり、その尊い命を粗末にしてはいけないことを一番、感じる場所です。思いを残した御霊たちが集まる場所を見つけたので、命の転生を願い祈りを捧げました。ここは戦争の善悪を問うのではなく、命の尊さを気づく場所です。





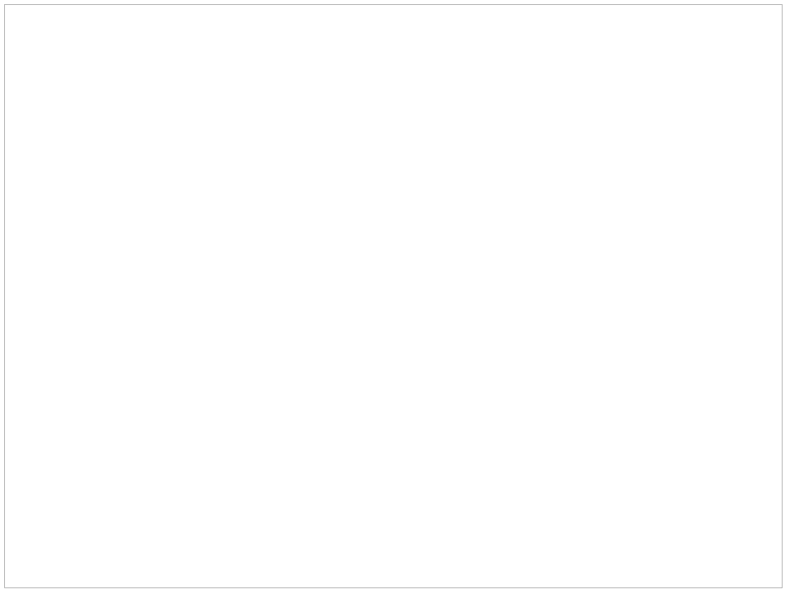


この日の最後の祈りは、この土地を守り命を育み守って下さっている豊玉姫神社です。命の循環を守る女性性の役割に感謝して今日一日の神事の感謝を捧げました。



11/28　霧島神事
鹿児島神事の大きな目的は二つです。そのひとつは桜島・開門岳の山神様から火の神のつなぎをいただくこと。そしてもうひとつは、天照大神・火の神が降りた宇宙意思のエネルギーを繋ぐことです。その場所がここ霧島でした。

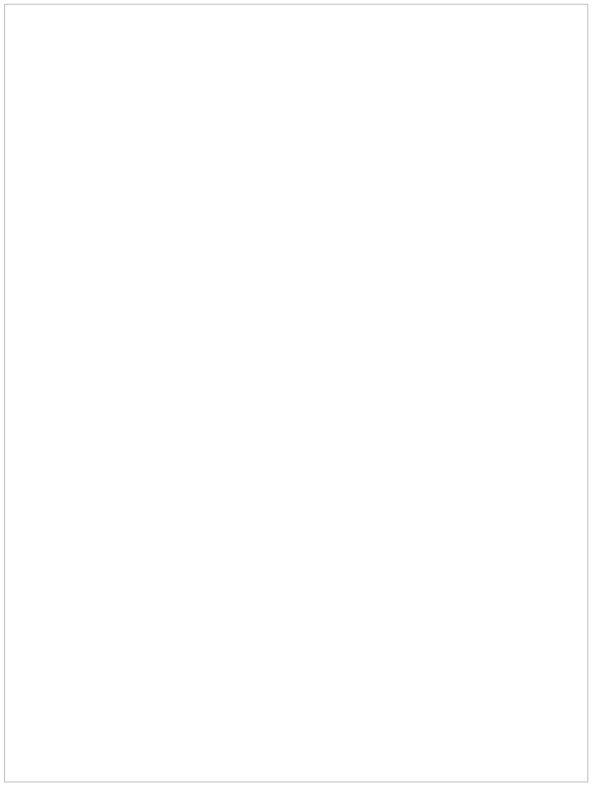
霧島神宮の下にある駐車場の横に特別に祀られた神場所がありますが、その名前は表示していません。神と対話してここの神の名を聞いてみると「コノハナサクヤヒメのような・・・」ときれいな女性の神様のことを教えてくれました。言葉を濁した意味は、降臨されたニニギの尊を支えた豊玉姫・イワナガ姫も含めた素晴らしい女性たちの存在に感謝する思いだと感じました。私たちの人間社会でも素晴らしい女性たちのおかげで男性は働けることを感謝しなければいけないと、神事に参加したた男性たちは感じました。



霧島神宮の裏手にある「山神社」に足を運ぶと、ここの神さまの素晴らしさに圧倒されます。この山神社は外見は鳥居と小さな祠があるだけに見えますですが、実は、杉の木自体が鳥居の役目を果たしています。目に見えない自然を守る大きな木の神様たちとのやり取りの中でその重要さを教わりました。

最初の鳥居で手を合わせて神事の目的を告げると、「まかりならん」と言われます。珍しい拒絶の言葉を発する意味を考えてみると、実は、鳥居の前にある川の手前からご挨拶しなければいけないことに気づきました。お詫びしてもう一度、神事の趣旨をお伝えすると、「お前の願いは何だ」と聞かれます。その口調は怒り気味だったことから、これまで人間がどれほどこの神に願いをし続けたかがわかりましたのでをお詫びしました。

「私は願いはございません。ただこの土地を守る神々のお礼のご挨拶をさせていただきたく足を運びました」と伝えると、「わかった、通りなさい」と許可がおりました。鳥居で一礼してから目の前にある大きな枝をの伸ばした樹が、ここの門番であることがわかりました。



門番の樹にお礼を伝えて一段高い場所へ進みます。その両側には杉の木が二本ありますが、これは鳥居の役目をしています。鳥居は本来、次元が変わる場所を示すものですので、そのことに気づいたら、頭を深く下げて上座へ上がる許可を神に問います。

許可を頂いたので上座へ上がると、その場所は宇宙エネルギーで満ち溢れていました。一緒に祈った方たちは、霊的な物や神様の声も聞こえない方たちですが、私の態度と緊張を感じて鳥居の樹の前で待ってくれていました。

神座の広い場所に立つと小さな祠を守るように、また二本の木が鳥居の役目をしています。許可を得て祠の神の前に座り、長い間、神様とお話しました。

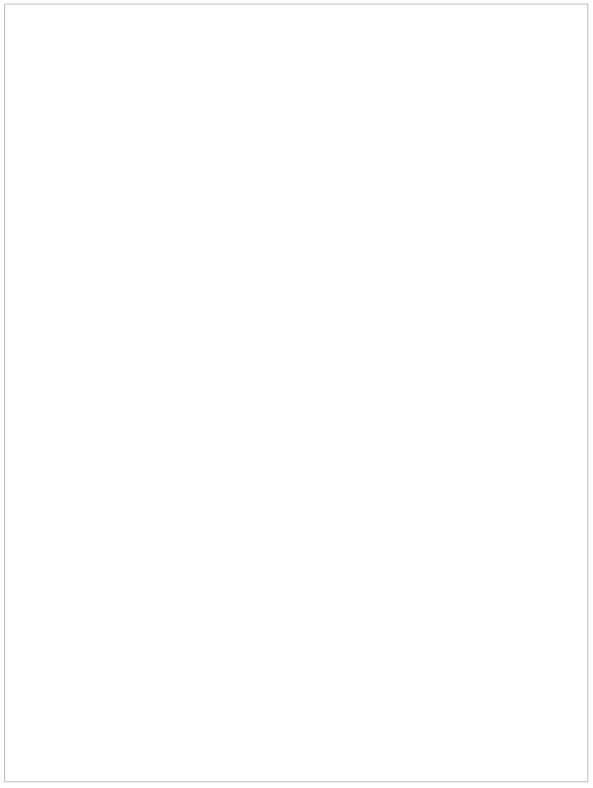
祠の後ろにある枝が伸びた樹は、宇宙から神が降りられた樹ですおで、神と同じエネルギーを発しています。

山神社の神はとても長い間、この場所や土地を守り、木を守り、水を育み、自然の循環を見守ってきたことを教えてくれました。ここは私たち人間が、自然界すべての恵みのおかげで生かされていることを思い出す場所だと思います。

私の後ろで祈りをしていた仲間は、私の祈りが終わっても、誰ひとりその場を立ちあがろうとしません。

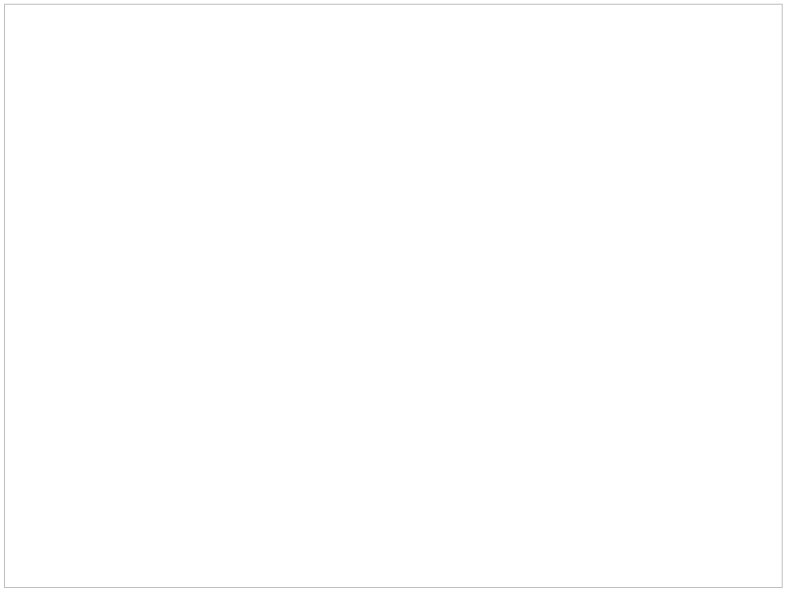
それほど、この場所のエネルギーが素晴らしく心地いいのです。最後に私が地元の方にお伝えしたことは、「ここの神様には絶対にお願いをしないで下さい。ただ人間が生かされている感謝を伝えるだけです」と。

素晴らしい神に出会えた喜びが、体中に溢れる場所でした。

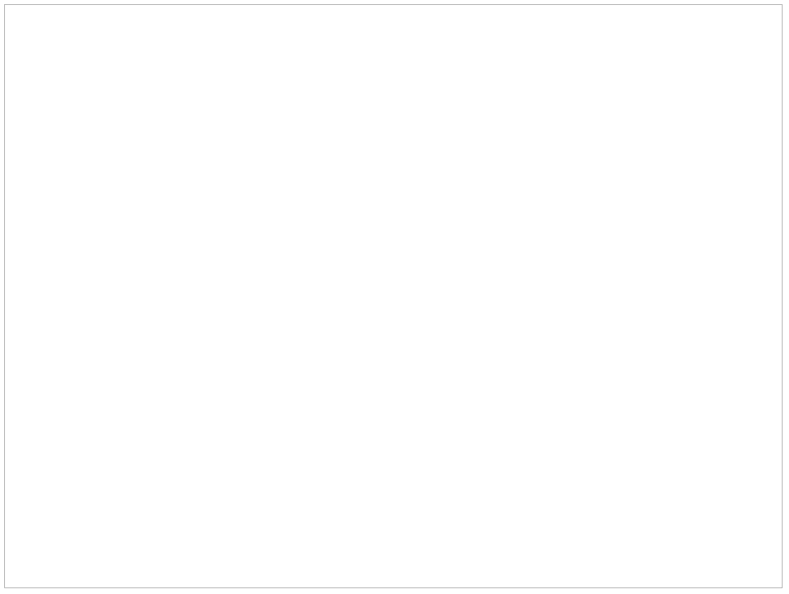


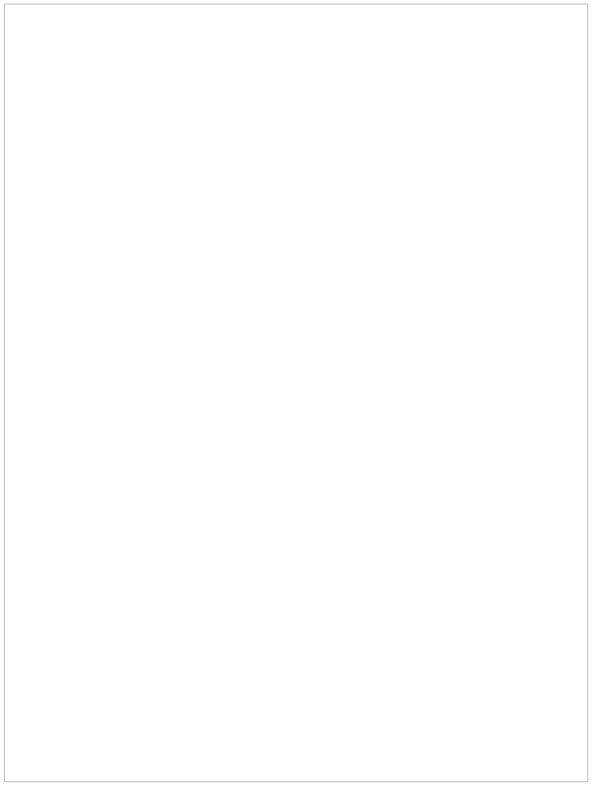
土地の神に感謝する場所はあと二か所、溝の口洞窟と神ヶ溝です。どちらも自然界が造りだした場所を守る神がいらっしゃってご挨拶できたことに感謝が溢れます。奥が真っ暗な溝の口洞窟の中で行った祈りは、参加された皆さんもドキドキしながら奥へ進みましたが、祈りが終わったときの静まった御霊と神様の温かいエネルギーに奥から湧き出る水の感謝へと気持ちが変わりま

した。その奥は人間が到達できないくらいに深い水の音がしていて、私たちはその恵みで生きていることを感じる場所です。

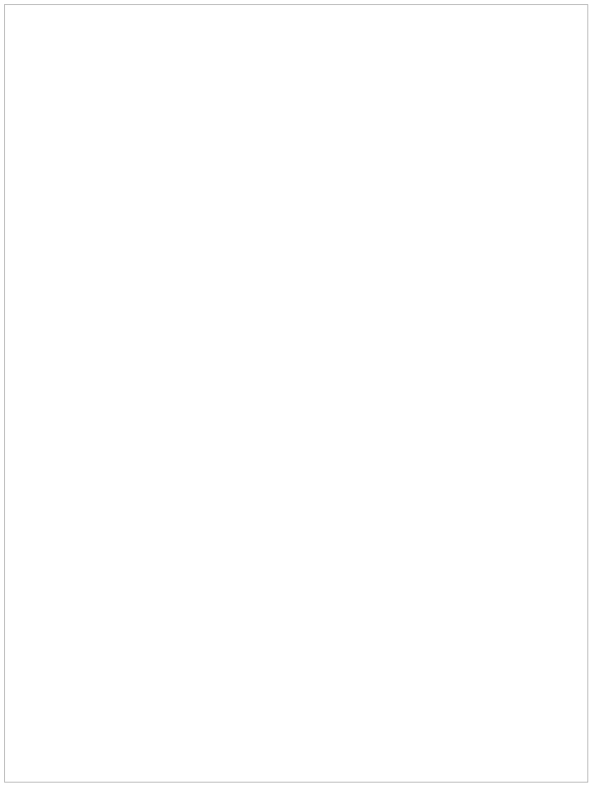


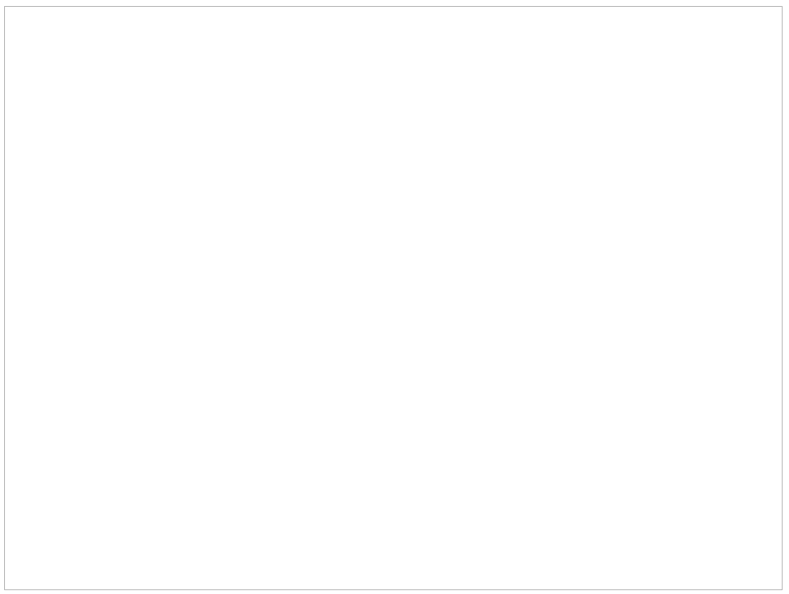
次の場所は自然界が作り出した数百メートルも続く岩と岩の谷間です。ここにも神様が、いらっしゃいます。長い岩の間を歩いてやっと光が見えた出口で見守る木も、実はこの場所を守る神が宿る守り木なのです。地元の人にもあまり知られていない神ヶ溝（かんがぶち）を神に聞いてみると、この場所の名は「風の谷」だと言いました。そのことを教えてくれる瞬間、無風の谷間に強い風が吹き込んだのも神の合図です。自然との付き合い方を知っている方たちだけが知る秘境でした。



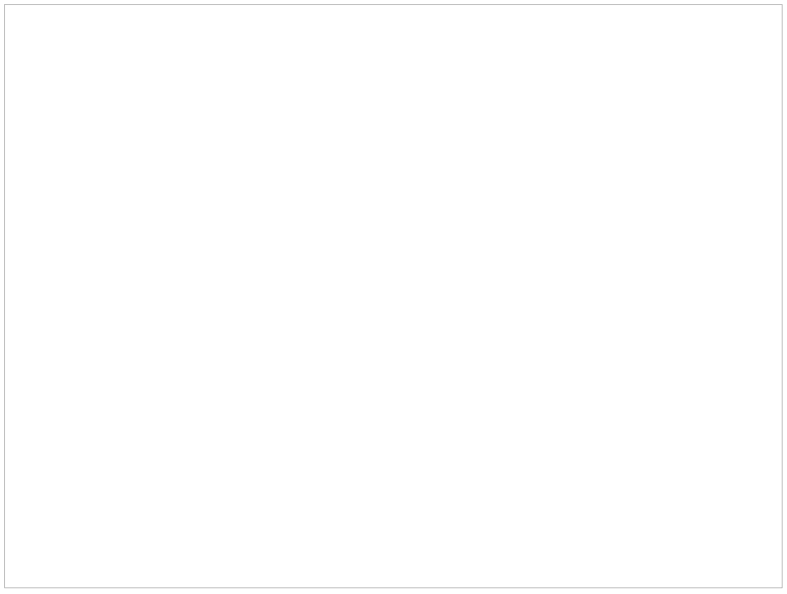


最初の霧島神宮のコノハナサクヤ姫が教えてくれた次の場所は、「霧島東神社」でした。山の高台にあるこの古い神社の神様に手を合わせて神事の目的を話すと、次の場所は「高千穂河原」だと教えてくれます。

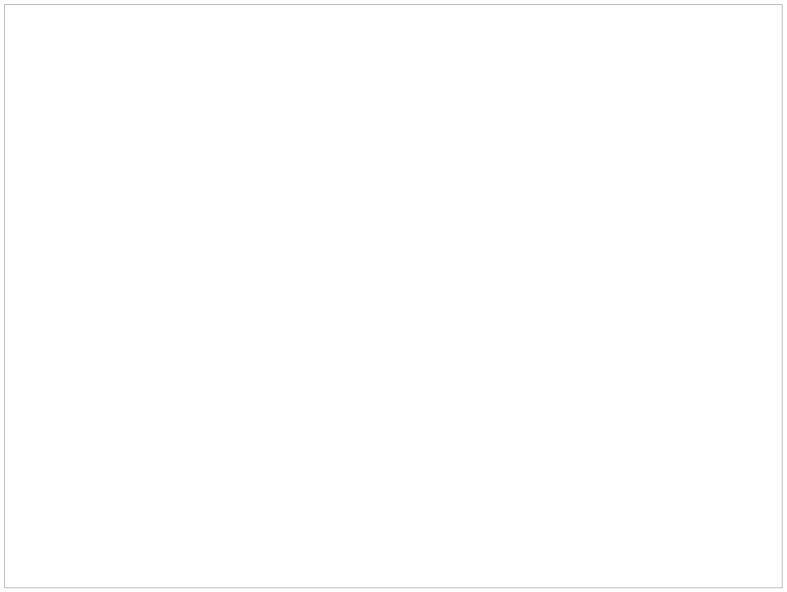


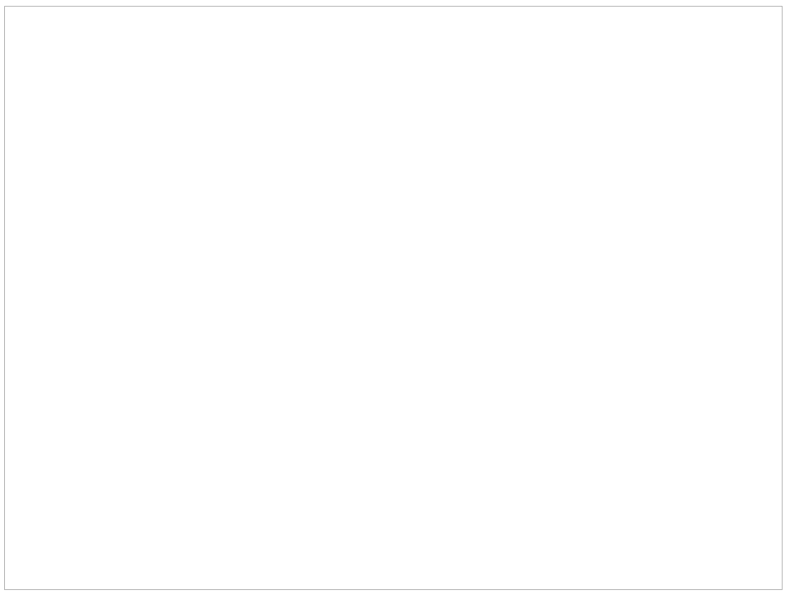


神が導きする場所の意味は、その場所へ立ってみないとわからないことがたくさんあるので、急いで高千穂河原へ向いました。夕日が落ちかけた高千穂河原は、下山した登山客以外ほとんど人がいませんでした。この場所が昔の霧島神社の場所だったことは、看板でも示されています。一の鳥居をくぐり、右手の階段の先にある大鳥居は、威厳と風格を示すように私たちを見つめています。大鳥居の前に立ち、今回の鹿児島神事の目的を告げ、入る許可をいただきました。

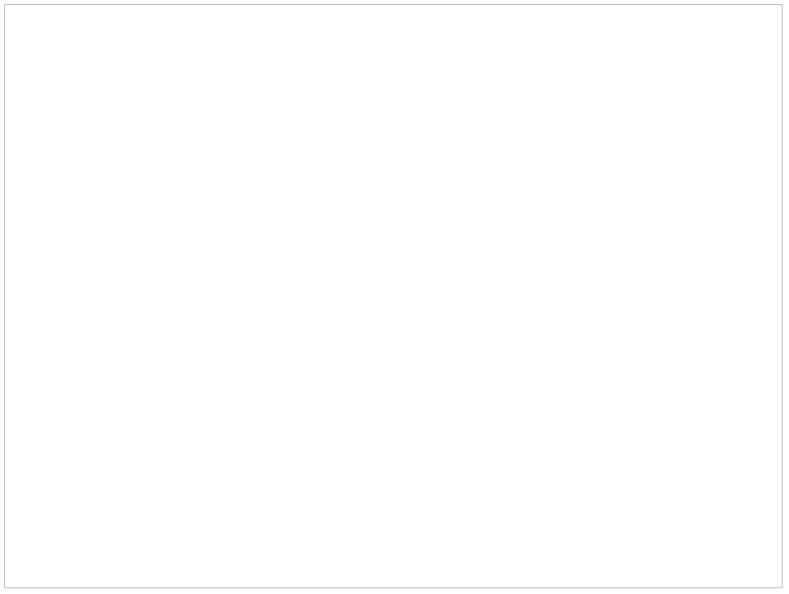


大鳥居の先は広い空間になっていますが、その場はただならぬエネルギーが充満しています。その先に見える四角に囲まれた場所はきっと神が鎮座された場所なのでしょう。祈りをする石の台から先の立ち入りを禁じています。





その場を守る神に今回の神事の目的を告げようと祝詞をあげると、自分の口から出た言葉に自分自身が驚きました。この地が天孫降臨の地であり、宇宙の神が降りた目的は、すべてのことを繋ぎまとめる目的であったことを告げたからです。ここまでのすべての神計らいに感謝し、また次につながるメッセージを携えて四国・岡山神事へ行く宣言を行いました。鹿児島の地を守る人々、そして土地の神々、さらには全国で心を合わせて祈って下さった地球創生メーリング登録の皆様に心から感謝いたします。



2008.11.30 Sun

日本人の思想とカルマ

これは日本国に限らず、世界中の国々が国家を作る時になされてきたことですが、今、皆さんが日本人として信じている思想や考え方を統一してコントロールしやすいように、作為的に隠した事実やその時々に新しく作られた思想が、歴史や宗派思想の中にも多く残っています。

それは日本の歴史を振り返えると決して豊かな国ではなかったからこそ、当時、作られた思想がうまく働いたと言えますが、これだけ物質優先思想や自由な発言ができる時代になると、逆に、それまでの日本人全員に刷り込まれた思想が大きなカルマになってきています。

本質的に人間という動物は、狩猟民族です。生き残ることに本能が働くようになっているのがその証です。しかし日本は縄文時代に狩猟民族から農耕民族（定住型民族）に進化したとき、それまでになかった新しい村という集団生活のルールが必要になりました。

狩猟民族をアメリカ人気質と言ってもいいでしょう。個人主義に代表される自分の生き残りや成功を最大のステイタス（勝利：誇り）と考える思想です。反対に農耕民族は、定住することを選んでから互いを守るための新しいルールをつくりました。日本人は世界でも珍しい農耕民族の代表的な国と言えるでしょう。

これほど農耕民族意識が発達したのも大きな大陸から離れた島国という閉鎖的な条件があったからです。日本人の根幹的思想には縄文時代から続く「村文化」があります。それに加え世界から入ってきた儒教・仏教・キリスト教などの宗教の教えが大きく影響しています。近年に作られた最大思想は天皇制に代表される「特別な国民意識」と「国家家族思想」でした。

特攻隊を神の子と呼び、家族のために命を捧げることを名誉とした狭義も現代では通用しませんが、日本人の倫理思想の根幹には今も残っています。武士道もそのひとつと言えるでしょう。

命の扱いをこれほど特殊に扱うことを許した思想の国民は、世界にも多くありません。単純に考えると、誰かが作り上げた思想にこれほど強く先導され続けてきた国民も少ないと言えます。私はイデオロギーを唱えているわけではありません。皆さん一人一人がそのことを考える時代に来ているとお伝えしているのです。

日本人は、誰かの言葉に共感したり反発することがとても得意です。それは発想を加えていく能力が高いとも言えます。しかし、個人と個人が向き合って自分の意見を伝えることがとても不得手な国民でもあります。それは家族の中でも、会社の中でも政治や経済の世界においても同じです。自分の考えをたくさんの人に理解させる能力が養われなかったことが原因です。日本の学校教育に代表される集合教育もその原因のひとつのようです。

この日本人の気質は「タイタニック号の笑い話」にも登場します。世界中の人が乗り込んだ大きな船が沈没するときに、アメリカ国民には「国家のために飛び降りよう」といえば船を飛び降ります。イギリス人には「女王陛下のために飛び降りよう」と言えば飛び降ります。日本人は・・・「みんなが飛び降りたから飛びおりよう」というと全員が飛び降りるという笑い話です。でも、笑えませんね、当たっている部分があるだけに・・・。

他の国からは「考えない国民」とも言われています。だから強いリーダーシップを発揮する人間が現われると、その人に期待したり依存する心が大きく動きます。リーダーは国民の意識を先導しやすいような情報を流して国民を信じ込ませながら洗脳します。私は永い時間をかけて刷り込まれてきたこの洗脳的された思考の部分を「日本人のカルマ」とよんでいます。現代はテレビに代表されるほど、あるゆるマスメディアが発達した情報化社会ですがと、実はこの日常の情報の中に大きな洗脳エネルギーが動いていることに気づいて欲しいと思います。

情報操作に気づく一番簡単な方法は、ひとつの記事に絞ってあらゆる情報ツール（テレビ局別の評論・雑誌・インターネット記事・新聞の社説）などを見比べてみると違いがすぐ見つかります。大切なことは大きく右寄り（同調）な意見と大きく左寄り（批判）意見に左右されないで自分

なりに真実を考えてみることです。

日本人は自分で決断して、自分で行動して、自分でその責任を全うすることがとても苦手な国民とも言えるでしょう。でも世界の人たちは今、日本人の行動を見守っています。地球上で数少ない先進国に急激に成長し、豊かな物も手にいれて、たくさんの情報もあり、その選択を自由に選べる数少ない国だからです。もう世界の誰もが、アメリカに地球のリーダーシップを託すことはしないでしょう。

この自己責任の考え方が必要な理由は、個人の生活においてだけではなく、地球の未来のことを一人一人が真剣に考えるべき立場に日本人全員いることを気づかなければいけない時にきているからです。

この現実世界のアセンション（目覚めを引き起こす出来事）が、２００９年から始まります。それは日本人が今までに経験したことがないくらいショッキングな出来事が起きるということです。その出来事を他人事として批判中傷するのではなく、あなた自身のことだとしたらどうするべきかを考えてみて下さい。

あなたが世界を変えることができる一人だとしたら、今、何をするべきなのか？そのことに気づいて欲しいのです。

明日11/26から、九州神事として鹿児島・霧島に入ります。、12/8からは四国と岡山へ神事を行います。この二つの神事は「日・火・陽」をテーマとした宇宙神事になります。九州は火の国と言われていますが、火を守る山としては阿蘇山が女性性の山、また男性性の山として桜島があります。

桜島は活火山のため登れませんので、男性性で対になっている九州最南端の山「開門岳」に11/27に登り、宇宙の意志を確認する神事を行います。九州がなぜ火の神を祀っているのか、その理由は沖縄の火の神（ヒヌカン）と同じ神信仰のルーツがあるからです。

そしても邪馬台国卑弥呼伝説にも語られる天照（アマテラス）は、実は何を示しているのか、そのひとつひとつを土地の神・山の神と対話しながら真実を公開します。

※地球創生のメッセージをお届けする「地球創生メーリング」は無料配信ですのでご希望の方はご登録下さい。また地球創生活動を支援する「地球創生基金」への募金・献金もどうぞ宜しくお願い致します。

・地球創生基金　●地球創生メーリング

2008.11.26 Wed

カルマのはずし方

このカリキュラムは、スピリチュアル能力開発講座の初級テーマにしているほど重要ですので、このブログで一方的にコメントしても伝わりづらいとは思いますが、エッセンスだけでもつかんでチャレンジしてみて下さい。

「カルマ」とは今のあなたの”人生テーマ”みたいなもので、あなた自身の成長のために「今」、取り組まなければいけない出来事を言います。避けて通りたい事や逃げたいことなど、人によってテーマは様々ですが、特徴としてそのことを考えると、気分や体が重くなったり、思考が否定したい感情であふれますので、そのことを考えること自体を拒否します。

誰かにとっては、「許す」ということがテーマの人もいます。

誰かにとっては、「お金」というテーマの人もいます。

また誰かにとっては、「受け入れる」というテーマの人もいます。

このテーマは生まれる前から自分の魂が設定してきたものですので、何で今なの？と言っても誰のせいにもできません。私自身も幼い頃に感じた心の苦しみをたくさん抱えて大人になりましたので、なかなかその考え方は変えられませんでした。でもこれは自分のテーマだと気付くように、何度も何度も同じことが続くと、さすがに社会や他人のせいにして逃げても解決しないことに気づかされます。

避けたいテーマから逃げようとすればするほど、何度も同じ経験した事がある人はよくわかると思いますが、逃げるにもたくさんのエネルギーが必要です。人間は取り組まなければいけないテーマから逃げようとするとき、まず「言い訳」を探します。そして逃げる自分を正当化しなければいけませんから、自分なりの”へりくつ”をこね始めます。

そしてそのことを周りの人にも共感してほしいので、共感してくれる仲間を探します。たいてい自分の周りには自分に都合のいい人もいるので、あなたの逃げ口上に共感してくれる人も出てきます。※私は悪魔と言ってますが・・・（＾＾）

でも「逃げられるうちは、逃げて下さい」とお話する時もあるほど、やりたくないと思っている事をやりなさいと言うと、形相を変えて怒る反発エネルギーはものすごいです。いくらその人の為であっても取り組む準備ができていない人は、助言者さえ否定します。

たいていこの一番嫌な役目をしてくれるのが、「親」なんです。だからいくつになっても、親の言葉は耳が痛いものです。「嫌な事を言ってくれる人がいるうちが花だよ」ということに加えて、やりたくない事から逃げ回った結果、肉体を離れて気づいたのがあなたのご先祖様たちだということも覚えておいてください。だからご先祖様たちはあなたを守るのです。

カルマをはずす考え方を伝授します。

まず、あなたが拒否したいことや否定したいことが、なぜあるのかをしっかり考えることです。他の人にとってはどうでもいいことなのに、あなただけがこだわったり、感情的になる理由があるということにまず着目して下さい。そしてこの現実社会は、苦悩があるからこそ、その反対の幸せや喜びがあると考えると、正負のバランスで成り立っていることに気づきます。

そしてすべては「自分にとって必要で起きている」と学ぶことです。起きていることを否定するのではなく、すべてを肯定してみることから始めて下さい。すると、この経験は私に何を気づかせようとしているのか？この経験で私は何を学ぶべきなのか？この経験を学び終えるためには、どういう考え方が必要なのか？・・・

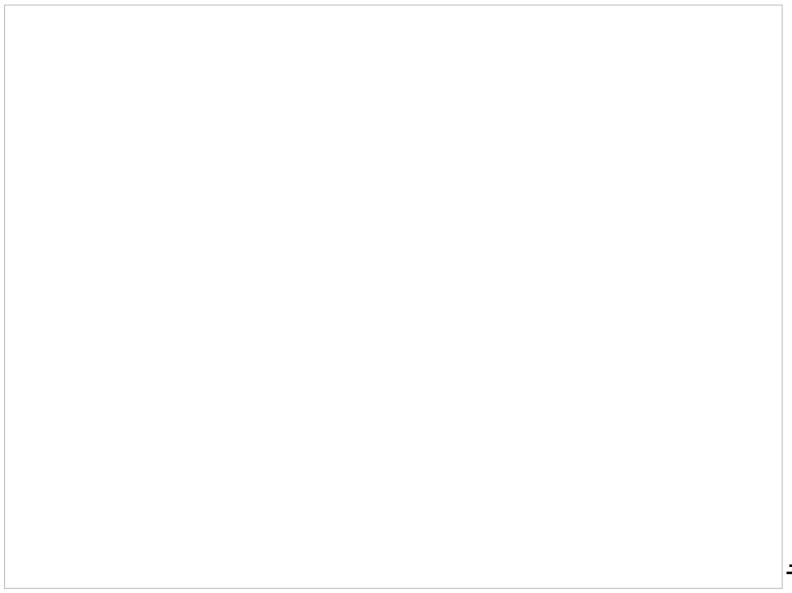
こう考え始めるとたくさん自分の考え方のクセにも気づきます。恐ろしいことに、それまでの価値観を周りの人に押しつけていた自分にも気づきます。

この気付きをまだ得ていない幼い心（魂）の持ち主が、自分を苦しめた人が悪い、会社が悪い、社会が悪い、国が悪い・・・・と批判するテーマが続きます。

この地球上にあるすべての物事を否定した最後に気づくことは、自分が自分を否定しているということに気付きます。こんな苦しいことはないですよね（＾＾）

どうぞ今年のテーマは、今年のうちに大掃除しておいてくださいね～！
2008.11.21 Fri

世界一を目指す人たち

 ラフティングという世界的なスポーツをご存じでしょうか？まだご存じない方は、　日本代表　プロラフティングチーム　テイケイをご覧ください。

11月16日に東京で行われた地球創生セミナーには３０代を中心とする日本代表のラフティング選手やそのご家族も参加していただき、熱いトークは最終電車が無くなるまで続きました。世界一を目指す人たちが目の前にいる、これは普通の私にとって非日常的な体験でした。しかしその彼らの挑戦は、２００９年の５月の世界大会の場で実証されます。

世界一をチャレンジしている彼らが教えてくれた事は、体力的に叶わないと思っていた世界の強豪たちも自分たち一人一人がお互いを信じきって力を出し切れば、必ず優勝できると今年の韓国戦世界第３位で確信したと話します。

地球の未来を変えるには、「日本人一人一人が変わることから始まります」といつもお話していますが、体力的に勝る世界の強豪選手たちをしりぞくそのパワーは、日本人一人一人の精神性とその集合意識の結果だと思っています。

ラフティングで世界一になる為にも、地球の未来を変える為にもまず必要なことは、

自分を信じること、そして、自分の仲間を信じること だと思います。地球の未来は、絶対に希望に向かっていると宣言できますし、それを私たち日本人はできると確信しています。

それでも自分の存在価値を誰かに問いかけたくなる時がありますが、その答えさえ自分を信じることでしか完全にはなりません。反対に自分を信じる力は、誰かの温かい言葉や勇気で育まれますし、誰かに叱咤激励される言葉で勇気や決断も生まれます。

「勇気は愛よりも尊い」と私は常に思っています。

物事がうまくいっているとき何かをすることは簡単なことですが、時代や家庭や経済やエネルギーが混乱して苦悩した時こそ、その人間の本質は問われるのだと思います。そういう時の忍耐や強い精神性は、日本が第二次大戦に負けたおかげで学んだ最高の美徳です。

２０世紀に「勝ち組負け組」という言葉が社会に流行しましたが、その価値観はお金や地位や権力で物事を計っていました。しかし２１世紀の新しい日本人の価値観は、世界に通用する素晴らしい奉仕や感謝の心が物差しだと思います。

失うことや与えることを美徳と学べる心は愛よりも大きく、大海よりも深い大人の人間が持っている心です。ダライラマ法王は、このことを「利他心」とも言っています。

私は私にできることを一生懸命にします。

だから、あなたはあなたのできることを一生懸命してください。

これは、私がお会いしたすべての皆さんにお願いしていることです。今、生かされていることや、今できることに感謝できる自分さえいれば、今の自分を支えてくれるたくさんの人たちのために、自分のできることを一生懸命にすることで勇気が湧きあがります。それが結果として愛に成長したり、誰かのためになったりして地球は救われます。

午前の講演会を終えて午後の体験ワークでは「夢を叶える方法」も皆さんに伝授しました。するとさっそく夢が叶ったと電話で教えてくれた素敵な奥さまの言葉が今も心に残ります。

あなたの夢を叶えてくれるのは、

あなたの眼の前にいる人です。

その人を神と思い素直に感謝して行動できる人こそ、すべての夢を実現させる人なのです。

「地球創生セミナー」は、地元の人たちが主催して仲間意識を高めたり、大切なことを気づいて行動するためのキッカケの場として開催しています。あなたの土地で「地球創生セミナー」を開催したいと思った方は、ぜひあなた自身がご連絡を下さい。info@earthtscu.jp

2008.11.17 Mon

変化のチャンス

変化のチャンスを望みながらも、そのキッカケをつかめない人たちにとって明日の11月11日のエネルギー上昇は、新しい変化の大切なキッカケの日になることでしょう。また意識するとすぐ現実が変わることを実感している人たちは、もう何を創造するか明確になっているはずです。

一般的に「思ったことが現実化する」までには時間がかかりますが、中にはものすごく早く思ったことが現実化する人たちもいます。それは創造というエネルギーの大元（神・創造主・守護存在）と自分の本心のつながりの差が無い人たちです。普段、他人に見せている自分と本当の自分の差がない人とも言えるでしょう。

自分の本心や本質に嘘をつくことは、神に嘘をつくことよりも罪な行いだと私は思います。自分の愚かさを認める勇気こそ、もっとも素晴らしい神の愛だと知っているからです。「自分にごめんなさい。そして、周りに人にもごめんなさい。」を言える人になりましょう。

11月15日に東京で行う「地球創生セミナー」は、講演とスピリチュアルワークをセットにした内容で「自分の夢を叶えるのは他人」という黄金律を体感する時間になると思います。どうぞ大切な仲間と一緒にご参加下さい。スピリチュアルセッションの時間はもう満枠ですので、15日の地球創生セミナーへ参加希望の方はこちらへお願いします。主催者から残りわずかな席数だと聞いております。

11月26日からは、九州　鹿児島神事を行います。鹿児島・桜島・霧島の神々の場所へ出向きます。この鹿児島神事を終えたあと、すぐ北海道へ戻り、12月1日に北海道の聖地　然別湖で行われる「北の龍神祭」に参加します。未公開の今年の神メッセージを参加される皆様へ伝える日になるでしょう。

12月8日からは、四国・中国地方の神事に入ります。2008年の神事テーマである「国の建て替え立

て直し」に必要な最後のつながりの糸をつなぐ神事になると感じています。

来年からは、2001年から始まった新しい宇宙や神エネルギーが現実世界へ直接、流れ込む年になります。そのための土台づくりとして啓示を受けたすべての人たちの祈りや神事によって新しい集合意識が形成されていることをご理解下さい。

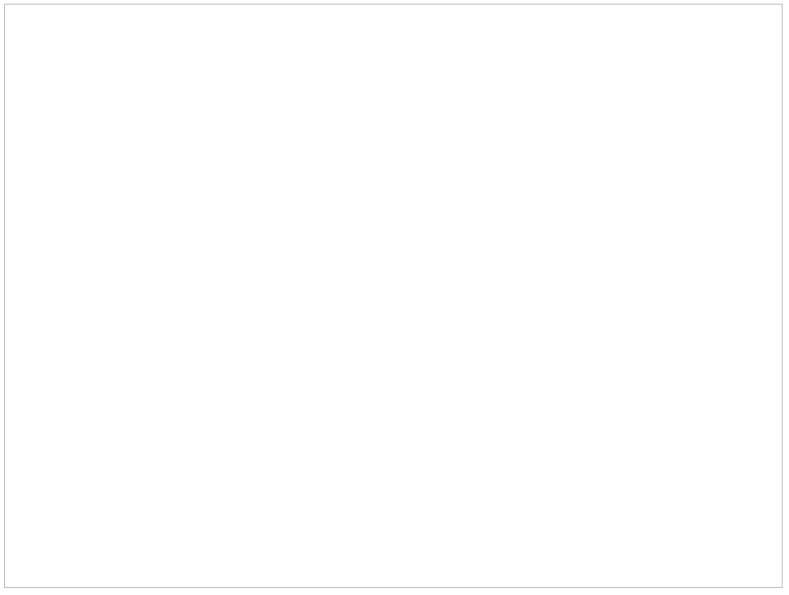
命あるすべての生命体は、本当は分離した個人意識がありません。そのことに抵抗してどんな身勝手な生き方をしたとしても、集合意識から外れることは私たちにはできないのです。そのことを悟った人こそ、新しい２１世紀の未来を生きる人たちなのです。あなた自身が今日変わる決意をすることで、明日の未来が決定します。変化のチャンスを新しい決意と行動で手に入れて下さい。
2008.11.10 Mon

宮城県の龍

古くから宮城県の地元に語り継がれている龍のご神体神話こそ、2005年宮城県南部地震で見つかった新しい断層プレートだとわかりました。このことを教えてくれた方は、一晩に三度起きた地震の震源地を自分の足で歩き、断層プレートに沿ってひとつの方向にしか建物が壊れていない事も確認しています。

１００名が重軽傷をおったにも関わらず、死者を出さなかった現実を考えると、この龍体（プレート）の揺れは、地球の怒りというより警告だと感じます。この土地を昔から守っている自然の神が居ることやその土地へ感謝する心を忘れた人間へのメッセージだと感じています。

この龍体は、大きな低く連なる峰として宮城県の北から南へ走り抜けています。龍の頭と呼ばれる場所には、龍口神社（たつのくちじんじゃ：石巻市）。龍の背と呼ばれる場所には、旭山観音堂・朝日山計仙麻神社：石巻市。そして龍の尾の場所だけはよく知らないと地元の人がいうので、自分で土地を感じて探してみると、松島町の海岸へ突き出したところが龍の尾でした。この土地の方へ昔から守ってきた神々を大切にする事を伝える約束をして、今後、大きな災いを起こさないよう祈りを捧げました。



そして記憶に新しい2008年6月14日に起きた（2008年）岩手・宮城内陸地震の震源地は、私の母のご先祖地であることから奥州市（おうしゅうし）の名前がテレビに出たときには驚きました。2005年に起きた宮城県の地震と今年起きた岩手県の地震が伝えるメッセージこそ、その土地に住む人の霊性を呼び覚ますものだと感じています。

個人的には天変地異や災害は望みませんが、地球のメッセージの多くは地震や津波としてメッセージを伝えてきます。私が大事な土地で祈りを捧げると、必ず、少しの地震が起きるのが常ですが、一般の地震と違う点は、縦揺れが起きないのが特徴です。一般の地震の場合、最初に来る横揺れはそれほどでもありませんが、その後に来る縦揺れは、建物を引き倒すほど大きな破壊力があります。

地球の揺れで知らせるメッセージは、受け取る人間たちが大地や自然に対する心や行動を変えない限り、安心して暮らす未来はないと考えるべきでしょう。地球を守る大きな神々は、私たち人間がどうあがいても叶う相手ではありません。だからこそ、土地に感謝し、水・火・風・太陽・月に感謝する心を行動で実践して下さい。そのことを子供たちへ伝えない親は、自然界に生かされているこ心さえ、伝えられないと思います。

自分が存在させていただく感謝を忘れた人間たちは、必ず、そのことを知らされる経験をします。このことは人間が自然界の一部であり、宇宙におけるすべてのバランスにおいて大切な役目があることと同じ意味です。どうぞもう、頭の中だけで考える世界から飛び出して、その素晴らしい意識を行動で示して下さい。意識をいくら覚醒させても行動を変えない人は、何もしていないのと同じだと神々は知っています。

肉体を与えられた神が人間であることを実証するために私たちは今世、生まれてきたのです。
2008.11.06 Thu

この事実は、音楽界では常識です。そして、音楽業界に限らず全ての業界には、影で働く存在たちがいることをその業界に精通した人は知っています。こういう事実がなぜ、いつも表に出ないかというと、消費者の皆さんが望む理想の姿を守ることがイメージビジネスの戦略だからです。今回の小室哲也さんの逮捕によって、こういう隠された事実も公開する時期なのだろうと思い、私自身の１２年前の体験をお話しします。

１９９６年、福岡で２１歳のある男性に出会いました。この男性は九州大学の学生でとても頭が良く、またビジネスでも成功し年収２０００万円を超えている学生でした。当時、私の係わっていたビジネスの関係でその学生に出会いましたが、彼は仕事のことを詳しく話してくれました。それは自分が、小室哲哉さんのゴーストライターとして働いているという事実でした。

このうわさは以前から音楽業界に詳しい方からも聞いていましたが、自分の目の前の学生が当の本人だと知り、驚きました。彼はクールにそのビジネスの内容を教えてくれました。彼が音楽を作る方法は、すべてコンピューターで作り出します。ある部屋に１０数台設置した高性能なコンピュターにマイクで言葉を話すと、そのまま音符になるソフトや、過去ヒットした曲のパターンを調べてそのリズムや音程を解析計算するソフトが組み込まれていたそうです。

新しい曲のオーダーは、小室哲哉さんが直接、電話で次の曲のワンフレーズだけを口ずさむと、そのワンフレーズを元に過去すべての楽曲をコンピュターのデータが組み立て直して一つの曲を生み出す仕組みだと教えてくれました。ちなみに１曲あたりの値段は、最初、数十万円から始まり、あとで数百万円にもなったそうです。彼はその高度なコンピュターを操作できる学生アルバイトを数名雇い、必要経費を払ってビジネスとして成功していました。

興味本位で聞いてみたのは「じゃあ、安室奈美恵にも会ったの？」と聞くと、「東京へ行った時に何度も食事をしましたよ」と教えてくれました。当時、人気絶好調の歌手と食事をした事実は、ゴーストライターの彼の姿より、憧れと興奮を覚えました。この話はお互いを信頼しているからこそ話してくれた真相ですが、人間の才能にも限度があることや小室哲哉さんが作る楽曲パタ

ーンが似ていることは、あなたも気づいたはずです。

私がこのことを今、公開する理由は、世の中で起きていることの真実を皆さんがもう受け止めなくてはいけいない時期に来ていると思うからです。中国野菜や冷凍食品問題でもしかり、牛肉問題や牛乳の事件でも同じです。どの業界でも昔から知っている事実を内部告発によって表ざたになり、誰かがその責任を取らされているのが今の社会現象です。

では私はあえて皆さんにいいますが、全ての責任の片棒は、消費者である皆さんにもあるのです。真実を知ろうとしなかった責任です。またその真実を受け止めようとしなかった責任です。これからまだ事実に交じって、皆さんの意識を混乱させる情報も流れるでしょうが、何か問題が起きた時に、誰かに責任をとらせることを考えるのではなく、あなた自身が今後、どう行動するべきかを考えるチャンスにしてください。

いつからか日本は、アメリカの訴訟ビジネスの波の乗せられて、誰かに責任を取らせることで自分の不満を置き換えることがビジネス化しつつあります。その結果がまねいたものは、産婦人科や小児科の医者を減らし、地方に医者がいなくなるという現象です。

大切な事実が裏に隠されると、実は、大きな利権が働きやすくなります。ダークマネーもそうですが、表でできないことが裏に回ると公正にビジネスとして行えるからです。この瞬間にも、世界経済や日本経済を動かす大きな力が、この世の中の裏で働いていますが、それを善悪で非難するのではなく、その必要性と理由を知り、必要なものをどう残すかという知恵が必要です。

ほとんどの人は自分の知らないことや目に見えないものを否定しがちですが、実は、真実こそ、見えない部分にあることを知って下さい。これからの時代は「表裏一体・善悪無比」の時代ですので、一人一人がその責任を問われる時代になります。これからは子供頃、あきらめた大人の嘘や歴史の事実が浮き出てくる時代になりますので、同じ大人として無責任な批判や言動を発しないように心がけたいものです。

常に、事実や真実は、見えないところにあることを知っておいて下さい。マスコミやテレビの情報をそのまま真実と受け止めないようにどうぞご注意を！
2008.11.05 Wed

宇宙守護存在メッセージ

昨日、地球上全ての人間を魂を守護する存在からメッセージをいただきましたので皆様にお伝えします。

あなたがこの世の中で出会うすべての人は、過去出会った人も、これから未来に出会う人も、すべての人があなたのご先祖にまつわる関わりの出会いで出会っていることをまず受け止めて下さい。

それはあなたのご両親も、兄弟姉妹も、親戚全ての人も、学校で出会った人も、恋人も、元のだんな様も、先生も、生徒も、お店のお客さんも店員さんも、海外で知りあった友人知人も、そして、亡くなったご家族も・・・・明日、新しくあなたに出会う人も含めて全員があなたのご先祖に関わった魂の経験を持つ人なのです。

でもあなたや相手も、当然その記憶はありません。全員が過去の因果応報（カルマ）に惑わされないように、すべての過去の記憶を生まれる時に消しているからです。でも時々、その記憶がフラッシュバックして感情を揺り動かす時があります。それは過去、その人と強い苦しみや喜びを経験した証しなのです。

なぜこのことを皆さんに今、伝えるのかというと、あなた一人の人間がこの世に存在するために、数えきれない魂の転生と今回、肉体を持つために天文学的な神計らいがあって存在した命であることをまず理解して欲しいからです。

そして最も理解して欲しいことは、この世で皆さんが大切だと思っている「損得・善悪・裏表」の概念は、いつの時代にも”時の権力者たち”によって変更されていて、宇宙の真実ともいうべき、天上界では全く違うバランスで成り立っているということを理解して下さい。

たとえば、この世でさまざまな失敗や苦しみを経験した人が、誰かのやさしさに救われる経験をすると、必ず誰かを助けてあげたくなる思いが出てくるものです。それこそが、あなたたち人間を存在させている理由なのです。

過去の記憶を思い出すと抑えきれない強い感情を感じますので、そのカルマともいうべき感情の元をシャットアウトするために、あなたたちの過去の魂の記憶を消しています。でも今世、肉体を持ち、魂と命を与え、過去の記憶を消してまで存在させている理由は、過去の魂の思いに縛られて生きることではなく、逃げ出したくなる感情やさまざまな思いを乗り越えて、全てを愛に変える為なのです。苦しみを愛に変え、悲しみを愛に変え、辛い気持ちや逃げ出したい気持ちに勇

気を与えて、あなた自身があなた自身を喜ぶように生きることが最も大切なことなのです。

あなたを見守る存在たちの思いはさまざまですが、近い先祖に見守られているときほど、その先祖が乗り越えられなかった心の弱さをあなたに乗りこえてほしいと守護しているのです。それはあなたの周りにいる素敵な人たちも、同じ意味で存在しています。あなたが成長する為や輝く為に手を貸す人たちこそ、お互いに支えあうこと事を決めてきた魂の家族なのです。

辛い経験をさせる人や苦しみを与える人は、あなたの内側にある苦しい過去の記憶を一掃しようと嫌な役目をしてくれる大切な人なのです。苦しみや辛さから逃げ出したい時こそ、あなたのご先祖たちも繰り返してきた弱い自分の記憶だから、あなたを守護して一緒に乗り越えるサポートをします。あなたを見守るご先祖様たちは、あなたのように、無限な愛を感じられる素晴らしい肉体がありません。愛の喜びや愛の苦しみを体験できるのも、肉体があってこそなのです。だから頭の中だけで物事を考えて行動を決めないで下さい。あなたが自分で行動したすべてを感じてから、自分自身がどうしたいかを決めて下さい。

私たち守護存在たちは、そのことを皆さんへ伝えるためにたくさんのメッセージを送っていますが、その目的は、愛や喜びを皆さんのいらっしゃる現実の世界で実現してほしいからです。肉体を離れた世界では、どんな魂も段階を追って自らの幼さを知らされます。自分が人間としてどう生きたのか、自分は本当はどう生きたかったのか、魂として肉体をもつ本当の目的を思い出す時間が、無限に用意されています。

あなたの魂も同じように”ある決意”を持って、時・場所・出会いを決めて生まれています。だから今、あなたに気付いて欲しいことは、あなたは、あなたの本当にしたいことを実現するために生まれてきたのだということを伝えたいのです。

この人生を誰のために生きるかを問うならば、まず、自分自身の為に生きることをなさって下さい。その責任も経験もすべてあなたの本心が望むものであれば、私たち守護存在は、あなたに力と知恵を与えられます。それはあなたの本心が、神や守護存在とつながっているからです。

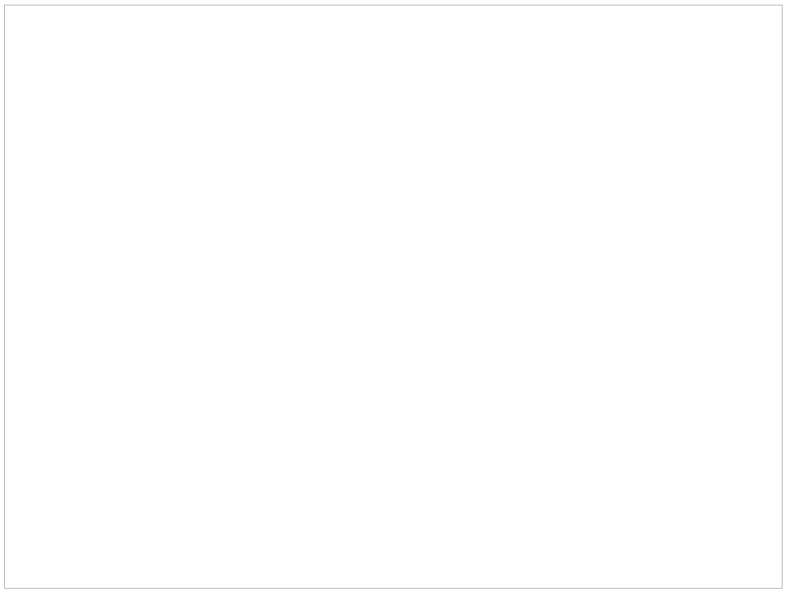
だからどうぞ、あなたが今、したいことをなさってください。そしてあなたに手を貸してくれる全ての人に、感謝の言葉を伝えて下さい。すべての守護存在たちの願いは、すべての魂の喜びを共に共感することなのです。もう一度、言います。

あなたは、あなたのしたいことをしていいのです

その責任を負えるのも、あなたしかいないのですから

2008.11.03 Mon

自然の命



岩手県の山あいにある中尊寺は、今、紅葉がとてもきれいな季節です。私は一年で一番好きな季節が、この紅葉の時期です。半年間の緑の葉っぱと木々の成長のあとに見せてくれ自然界のイリュージョン！このあと半年間、真っ白な雪に包まれる北国の山々があるからこそ道産子にとって春は、特別な季節に感じるのです。

先日の沖縄で３０℃近くあったと思えば、北海道に帰ると朝晩の冷え込みでストーブに火を付けて過ごし、まもなく訪れる雪の準備に追われます。冬用の洋服の衣替え、冬用の寝具に交換、毛布の入れ替え、冬タイヤの交換、暖房器具の整備、灯油の手配、・・・お母さんたちは漬物の準備と北海道の冬支度はたくさんあります。

漬物といえば、苫小牧のさくらぎ笑楽好のお便りで、出荷できない厚真町の農家の大根１０００本を無駄にしないように皆さんで買いましょう！という連絡を頂きました。ご協力いただける方は、ぜひ、ご連絡してみて下さい。明日３日までです。

※さくら笑楽好ブログ皆さんご協力を！

さくらぎ笑楽好にはいろんな情報が集まってきますが、事情があって売り先がなくなった大根が１０００本もあるそうです。このままだともったいないことに畑にすきこんでしまうそうです。さくらぎ笑楽好に相談がありましたので、下記のように、対応したいと思いますのでご近所、友人の皆さんにお声かけをよろしくお願いします。

依頼先　　厚真町の農家さん

値　段　　１本４０円

農家さんは１本２０円で売りたいということですが、現地で大根を抜く労力と運送する経費を考えて一応１本４０円ということにしたいと思います。仮に２００本売れても４０００円の収益にしかなりませんが、もったいないのでさくらぎ笑楽好で協力したいと思います。

◎ご注文は１１月３日(月)までにさくらぎ笑楽好に電話　**0144-72-8363**か、メール**qq172npf3@lake.ocn.ne.jp**でお知らせ下さい。

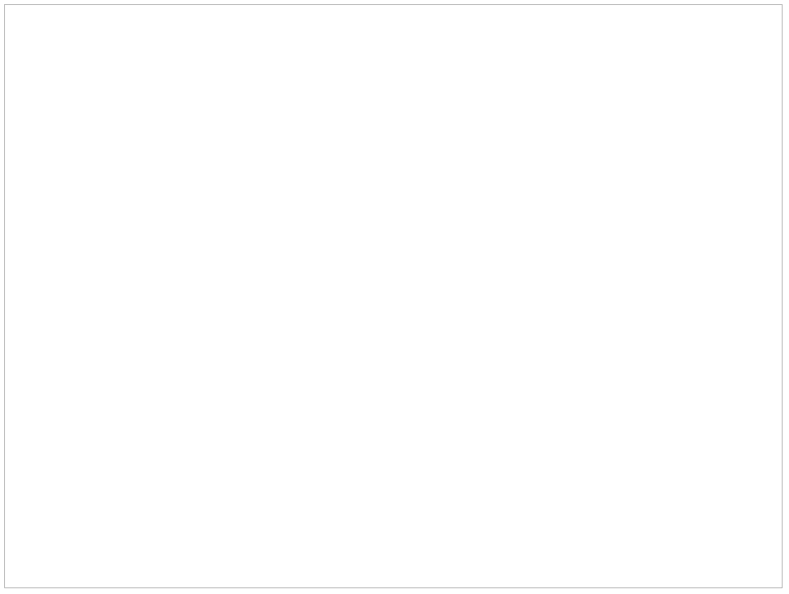
スーパーの店頭にかっこよく並んでいるきれいな大根たちの裏側に収穫量が多い年の野菜は、価格安定の為に捨てられていく野菜たちがいることを消費者は知らないといけません。それも消費する側の責任です。消費者の４つの権利は「安全であること、知らされること、選ぶ権利、意見を聞いてもらう権利」がありますが、生産者を守る権利も必要だと私は思います。

問屋や市場、仲買人や流通業者の複雑な経路を経てスーパーの店頭に並ぶ野菜や果物たちも、一人の農家が手塩をかけて作ったものです。しかし農家の現状は、後継者不足で農家の離職者が増えていることから、消費者が自分たちの力で生産者を守るようなかしこい消費者が増えることを願います。

「自分がして欲しいことを他人にしてさしあげる」

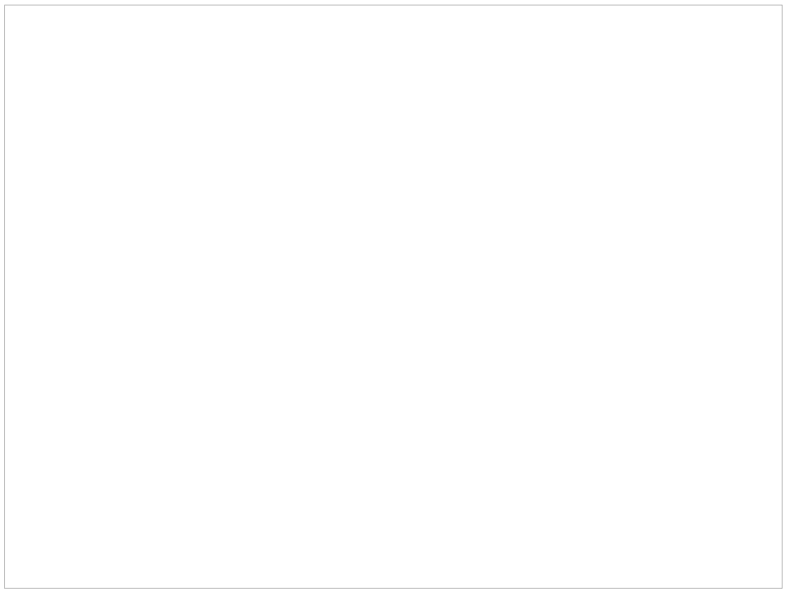
この利他心こそ、こういうところに働いて日本の自給率を上げてほしいものです。

このままでは日本はいつの日か、お金を出しても欲しいものが手に入らない時代がやってくると感じています。便利なコンビニやスーパーに並ぶものも、貨幣価値と流通経路の安定があってこそ成り立ちますので、何かが壊れた瞬間に、その全てが停止します。そんな時にでも、安全と信頼を人間関係で繋ぐ消費者と生産者の心のネットワークが必要なのです。まず身近で生産している農家の現状を知って、あなたのできることから始めて下さい。命を育む仕事をなさっている農家の皆さんに、心から感謝いたします。



2008.11.02 Sun

１１月１日



今日の11月１日のように数字が三つ並ぶ日は、エネルギーが強い日だということは、皆さんはもうご存知だと思いますので、今日の時間をどう過ごすかひとつだけアドバイスしますね。このエネルギーが強いという意味は、自分の思いが実現する可能性が高くなる日だという意味と、宇宙や自然界エネルギーを身体で感じやすい日だという意味です。メッセージを受けやすい日とも言えます。

ご自分で祈りをされる方は、今日から自分が何を叶えるのか明確にすることで、その実現は早まります。人生設計で目標が明確な人はその決意を宣言するでしょう。大きな夢や目標を実現させるのは自分の行動次第ですから、全ては自分の宣言する言葉次第だということをご理解下さい。

私は昨日まで北海道神事に同行して下さるＭさんのご主人のご先祖祈りに同行していました。
今回、同行した理由はその方のご先祖に大きな因果因縁があり、そのことが現実に強く引張っていることが明確になったからです。キッカケは、武田藩が使っていた武田菱でした。

Ｍさんがどうしても気になるという場所で武田菱を見つけたとき、「自分の家の家紋も同じです」とわかり、これはご本人の意識ではなく、ご先祖が強く導きをしているのだと感じました。私はご先祖事を触るときは必ず、ご本人の覚悟と行動がないと成就しないことを告げます。

通常、色々な宗教にあるご先祖供養は、自分の代わりに誰かが身の回りに起きる災難を払う目的で祈りを行いますが、一番効果のある方法は、ご自分で先祖ルーツや土地を探し、その土地に足を踏み入れて手合わせ心合わせをすると、ご先祖の魂につながります。ご先祖の土地では、昔から生活していた土地の臭いや山河の風景が心に共鳴しますし、土地の人と話すことで故人の心を肌で感じることもできます。

誰かに依頼する先祖供養と大きく違う点は、自分に苗字を与えて下さった先祖へ感謝し、その代表であることを自覚して、ご先祖全ての因果応報を自分自身が良い方向へ転換させる決意で生きることを宣言します。私のように霊やご先祖などの見えない世界に繋がる役目を持って生まれた人間は、ご先祖の魂の繋ぎ役としてメッセージを伝えるだけの役目なのです。だから誰かにご先祖祈りを頼んで効果がない時に、人のせいにしないで下さいね。全てはあなた自身の覚悟と日々の精進の問題なのですから。

今回訪れた宮城県・岩手県ではMさんのご先祖様から隠されていたとても大きなメッセージを頂きました。この隠された六代前のご先祖事を知る意味は、これから家族へ伝える役目とその転換をご本人にして欲しいご先祖の気持ちの現れです。

沖縄の先祖祈りでは、六代前までさかのぼるご先祖祈りをした人は、６（この世）×６（あの世）＝３６代の先祖の守護が入ると教えています。自分が生まれた役所で戸籍をたどる方法も、現在では亡くなった８０年間で一切処分してしますので、ご先祖感謝の祈りをする気持ちのある方は、どうぞ早めにご自分自身で「ご先祖感謝の祈り」をなさって下さい。

もし男の子のお子様がいる場合は、ご先祖の苗字がつながりますので特に、重要です。一般的に女の子は苗字が変わりますが、誰の姓を名乗ったとしても、裏でしっかり守って下さるおばあちゃんたちに感謝の祈りを捧げると、不思議に家族の運気が向上しますので、どうぞ、ご先祖たちが存在してくれたおかげで自分が生かされていることに感謝する時間を作って下さい。

自分の親を大切にする心や行動は、そのまま、ご先祖を大切にする証になっていることも、どうぞお忘れなく！見守り下さいます全てのご先祖様へ心から感謝を捧げます。ありがとうございます。

2008.11.01 Sat

北の龍神祭　　開催決定

北の龍神祭　２００８

地球を愛する皆様の日々の活動に心から感謝いたします。昨年、初めて開催いたしました北の聖地、北海道然別湖湖畔で行う「北の龍神祭」の時期が近づいて参りましたのでご案内させていただきます。

未開の地　北海道へ日本全国から先人たちが助け合いと不屈の精神で築き上げた功績に感謝し、ご先祖様たちの魂のつながりや自然界に生かされている喜び、そして、見守って下さる全ての存在に感謝することを目的として「北の龍神祭２００８」を開催いたします。

２００８年の神事は、北海道の自然界神事を中心に、石川県白山神事、沖縄・出雲・伊勢神事などの大きな神事をいくつも経験し、２００９年からが「日本人の魂の天の岩戸開きの年」であることを深く感じています。

日本人の魂の目覚めは、地球上の魂の目覚めにつながり、地球に生まれた全ての生命の循環を正しく導く役目を持って生まれています。

ご神事に参加された方や祈り合わせいただいた方の目的は同じく、この地球を再生して子孫に残せる地球にすることです。

自然神が私たちに与えた恵みの火、水、風、大地に感謝する精神を次の世代へ繋ぐことは、私たちの命を守る事と同じようにとても重要なことです。地球も人間もその７０％が水で出来ているように、命を共有しあう自然界に感謝する時間を皆様と共有したいと思います。

実施日　　11月30日～12月1日　（1泊2日）
11/30　午後３時　現地集合

宿　泊　　北海道鹿追郡然別湖湖畔温泉ホテル　風水

参加費　　18,000円
（宿泊・夕朝昼食・交流会・神殿玉串料・スピリットワーク費を含む）

＊宿泊先までの交通費は各自でご負担ください。

申込締切　　１１月２０日（木）

龍神祭行程　　11月30日夕刻　　2008年神事のご報告　場所：ホテル風水　神殿

12月　1日早朝　　日の出祈り・然別湖龍神弁財天祈り/スピリットワーク

ＪＲ移動予定

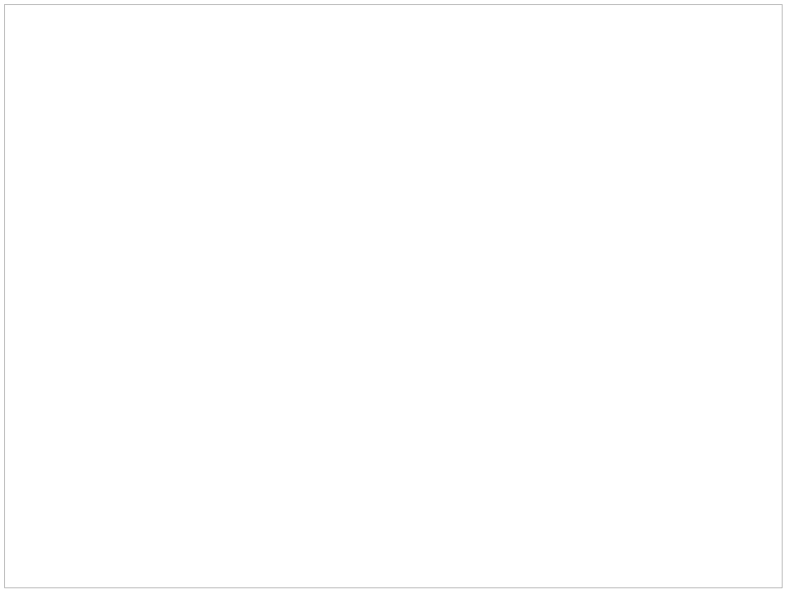
※ 11月30日　札幌10：00発　　新得　12：17着　スーパーとかち３号

※ 12月1日　　新得　13：56発　札幌　16：14着　とかち６号

※ 得割キップ使用で往復9,500円（発売11/30まで）

主催・申込み　　ハートランド龍球　　代表　　吉岡　学

TEL&FAX　011-623-2019　　携帯　090-3390-8058

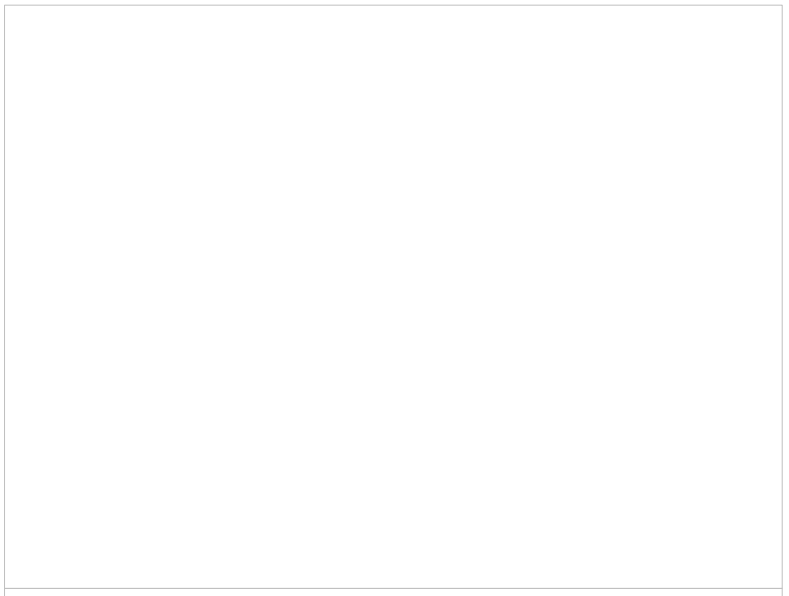


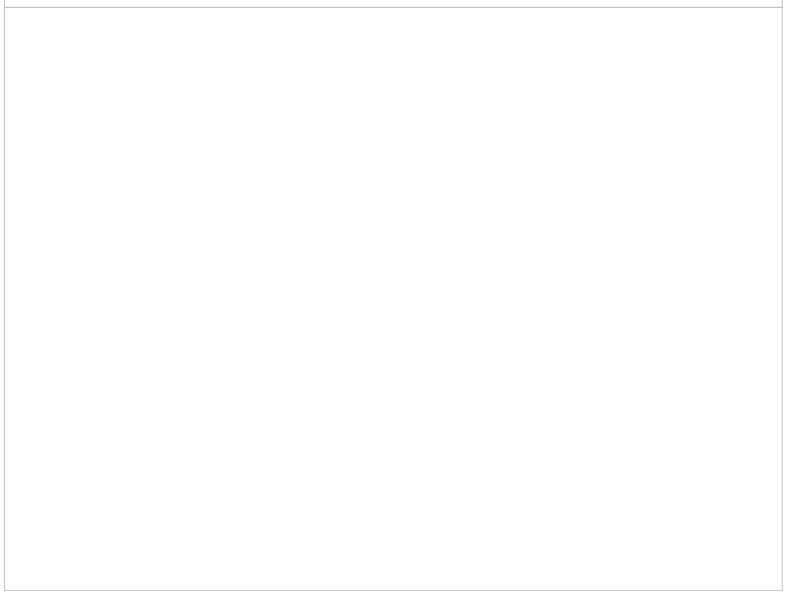
2008.10.27 Mon

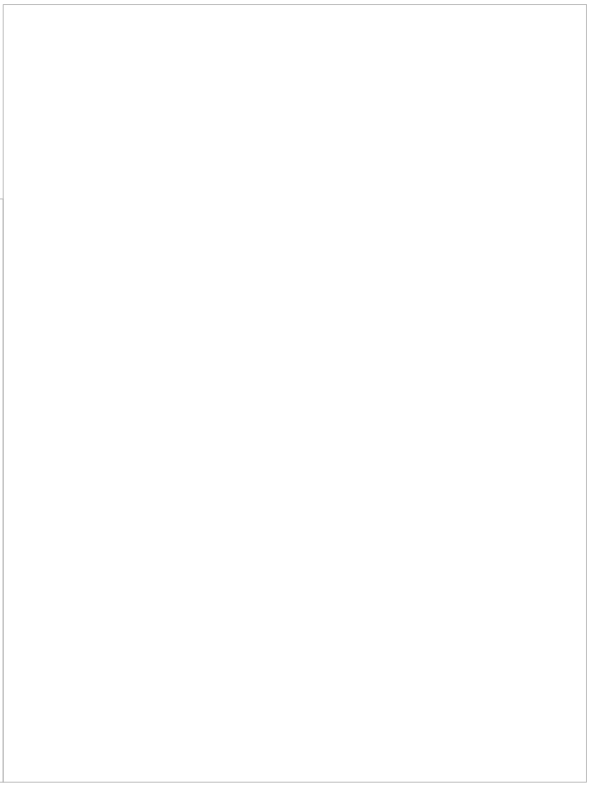
沖縄出雲伊勢神事　４　伊勢

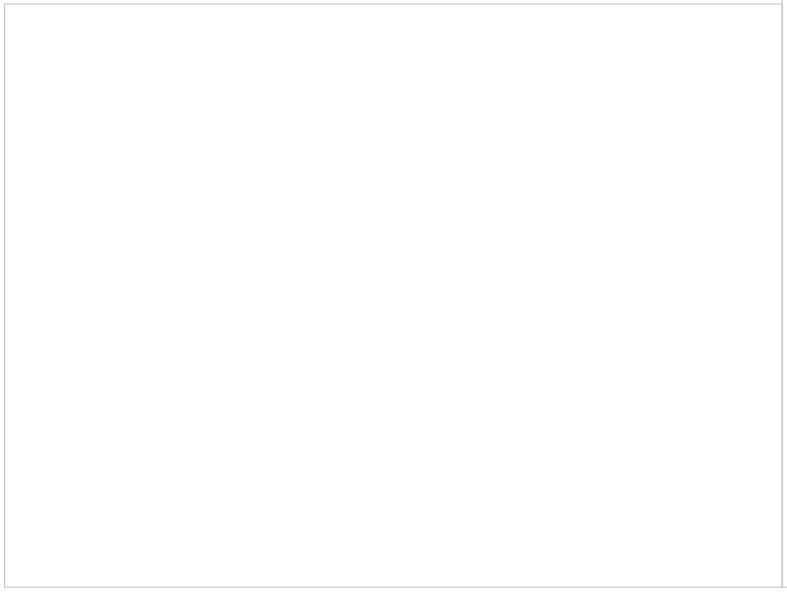
10月18日（土）午後　伊勢
昨日の出雲祈りの後、深夜に車で兵庫まで移動して、今回の神事のまとめ祈りの地になる伊勢に向けて、関西から親子連れ、関東から男性1名、そして北海道からわざわざ東京・京都の祈りをしてから参加した女性１名の合計５名で、伊勢に向かいました。

１、猿田彦神社
この神様は、羅針盤を持って道案内の役目をする神様だと沖縄の神人に教えていただきましたので、伊勢の祈りがスムーズに進むようご挨拶に行きました。そして必ず挨拶して下さいと言われた猿田彦の奥様　天宇受売命（あめのうずめのみこと）の場所に手を合わせると、遠慮しながら下のほうに白いオーブで姿を見せてくれます。猿田彦の神様は、「お導きいたします」と言葉をくれたとおり、見逃しそうになった大切な場所に導いてくれました。

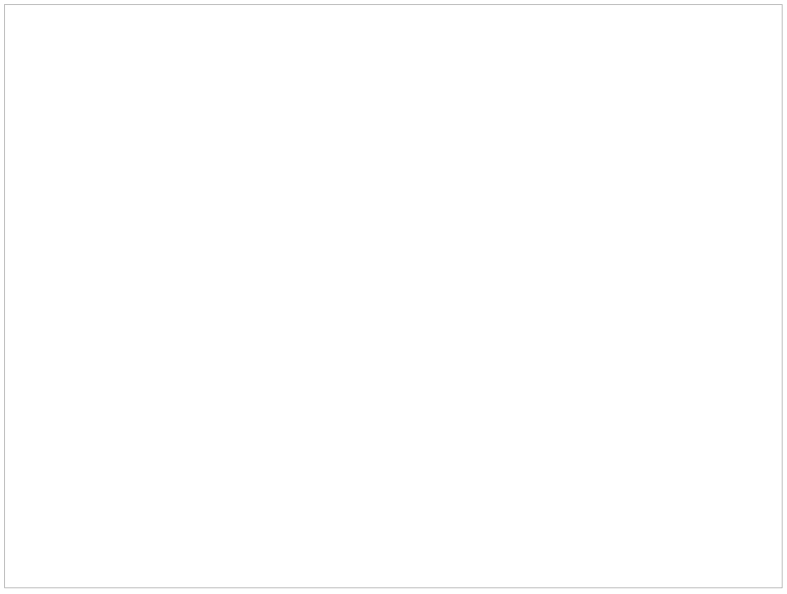




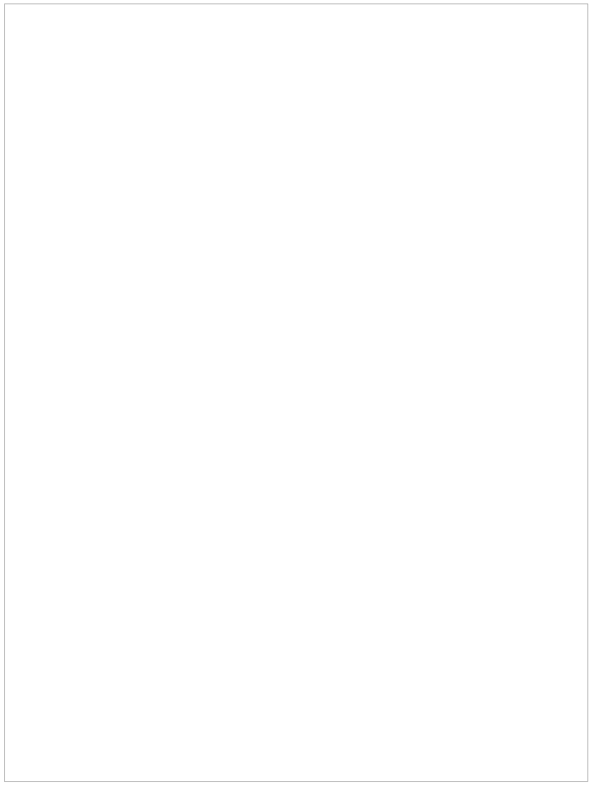


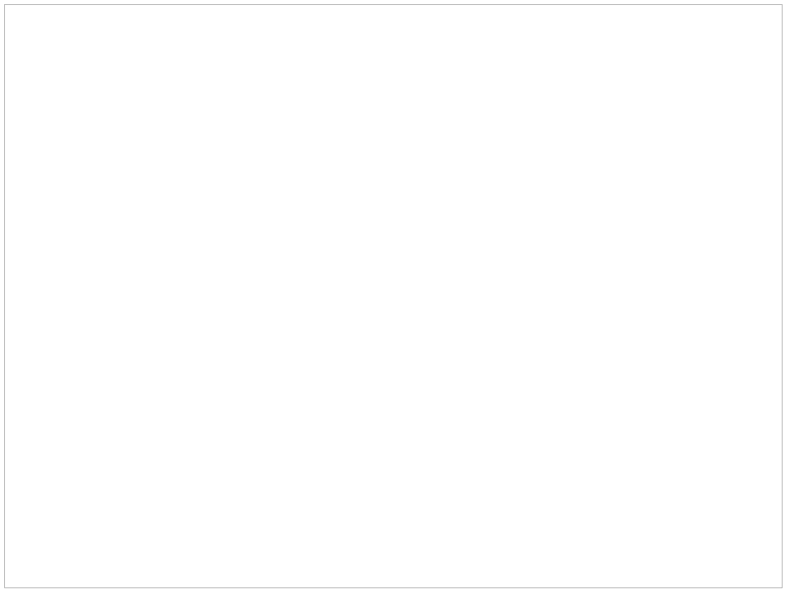


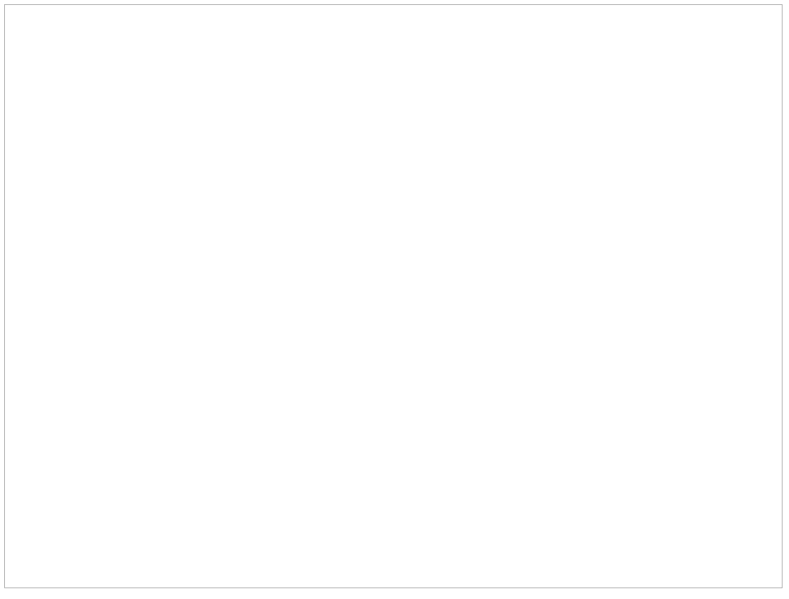
この猿田彦神社の裏には、「御神田」として小さな田んぼがありますが、この土地一体の五穀豊穣を願い、土地神に感謝する祈りの場所として珍しい土で出来た「猿田彦土中神社」があります。中に入るとひんやりとした土の臭い共に霊気が満ち溢れていて、全員が言葉を失いますが、全ての恵みを生み出す土の中に入って祈る珍しい体験ができました。



宿へ向けて車を走らせていると偶然、”つきよみ”という食堂を見つけます。赤信号で止まると、月読神社前。探していた月読神社が神計らいで偶然、見つかりました。夕刻が迫っていたので足早やに奥まで進むと、私たちが来ることを待っていたと一人の女性に伝えてくれます。四つ奉っている神様に順番にご挨拶しながら、闇に包まれていく月読神社内の時間は、全ての日の闇、心の闇を見守る月読御神の働きを感じる時間にもなりました。



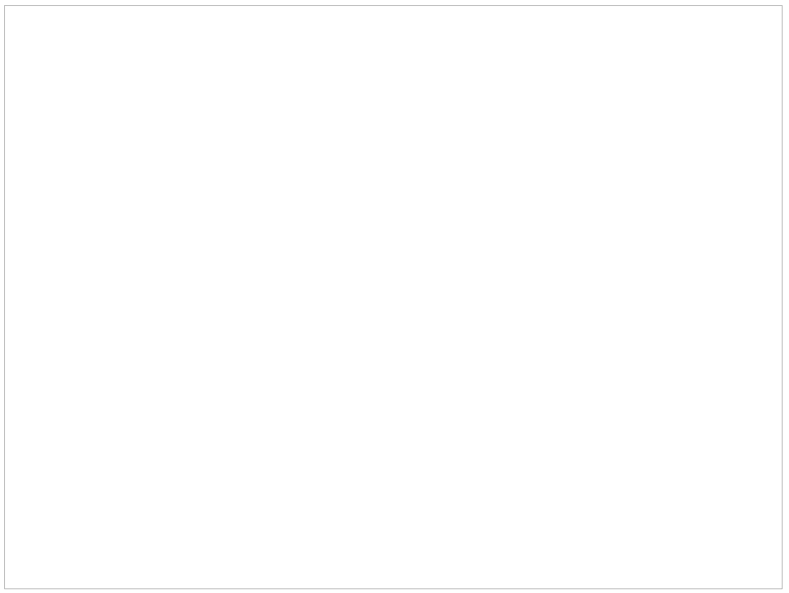


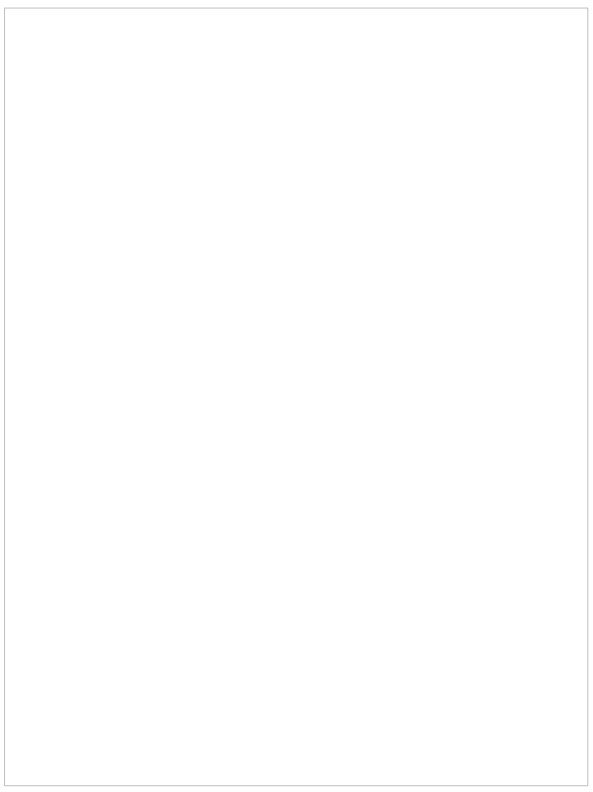


10月19日（日）

１、夫婦岩

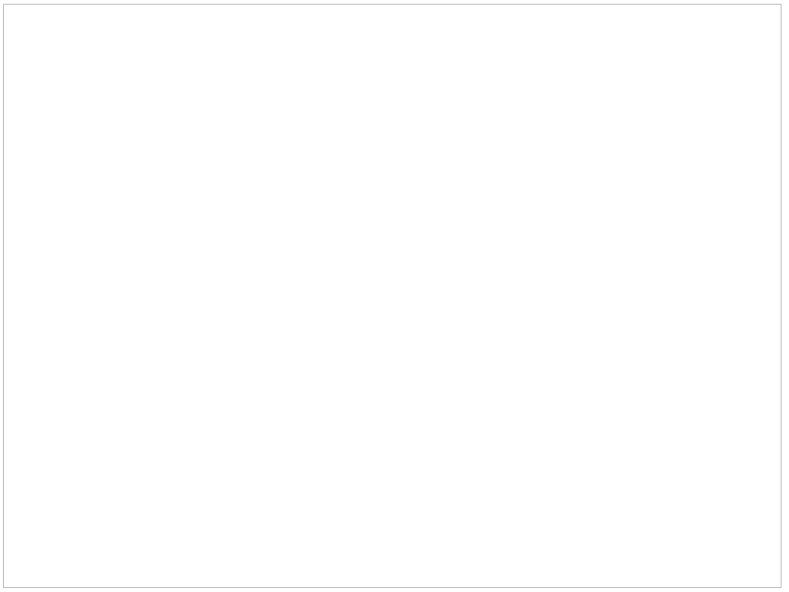
宿から見える海岸線には海の中の二つの岩をしめ縄で繋いだ夫婦岩を奉る二見興玉神社がありました。全ての陰陽和合・男女和合・天地和合・表裏和合を願って全員で手を合わせに行きました。偶然、これから結婚式をされる二人を乗せたタクシーを私たちに見せてくれたのも、全ての繋ぎあわせと新しい生み出しを祝福する神計らいだと感じました。



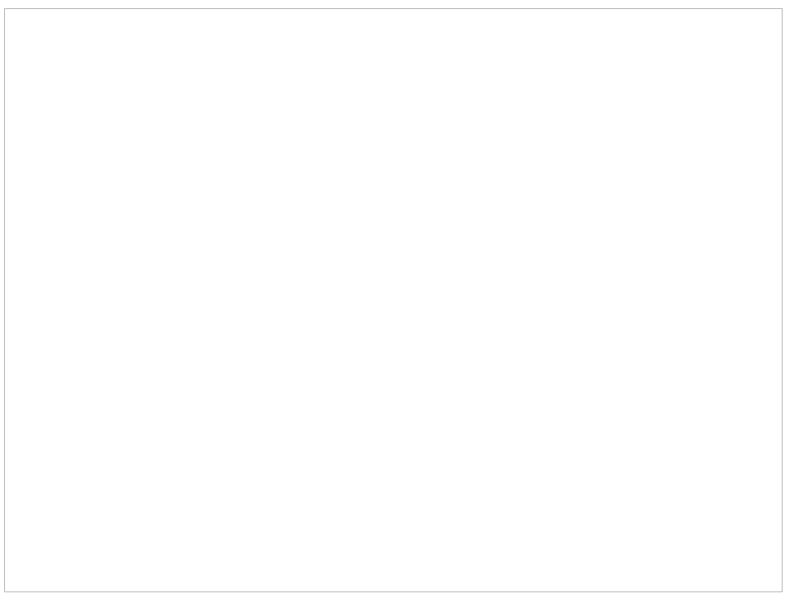


２、松尾観音　：龍

沖縄から龍の守護と導きに感謝しているところへ龍を祭る松尾観音を見つけたので、この地へ龍

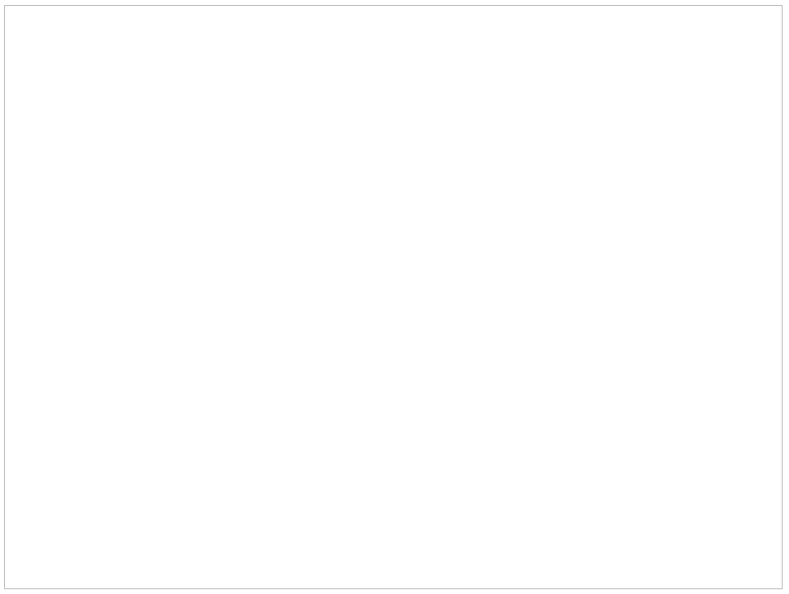


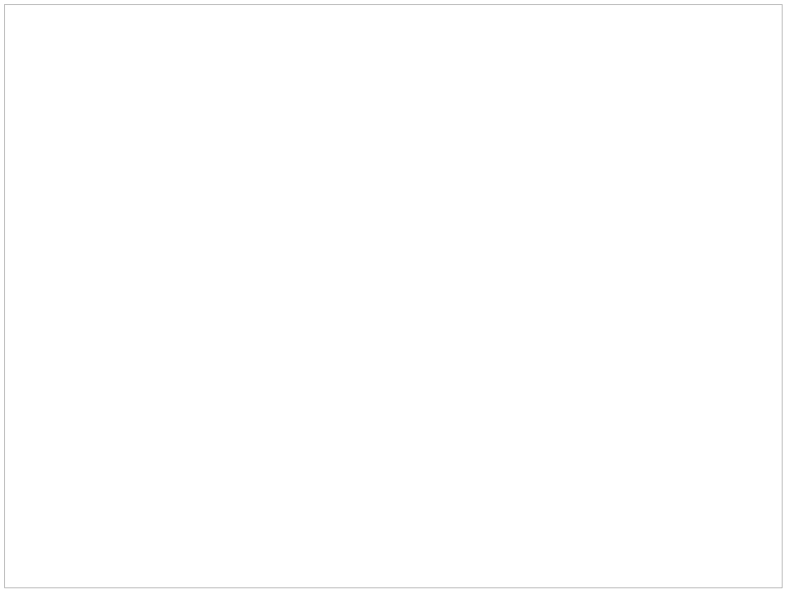
繋ぎの祈りも合わせて行いました。



３、倭姫宮（やまとひめのみや）
三種の神器をひとつにまとめる目的で祈りを繋いできた結果、日本全国に奉られている天照大神と卑弥呼のつながりを明確に知る神事にもなりました。宇宙根源意識にまで繋がる神巫女（卑弥呼）の人間がこの日本へやってきた目的は、人間の戦略的目的と言う視点より、もっと大きな宇宙のおおもとの意志が人間の身体を借りて、この日本の地へ繋ぎまとめることでした。

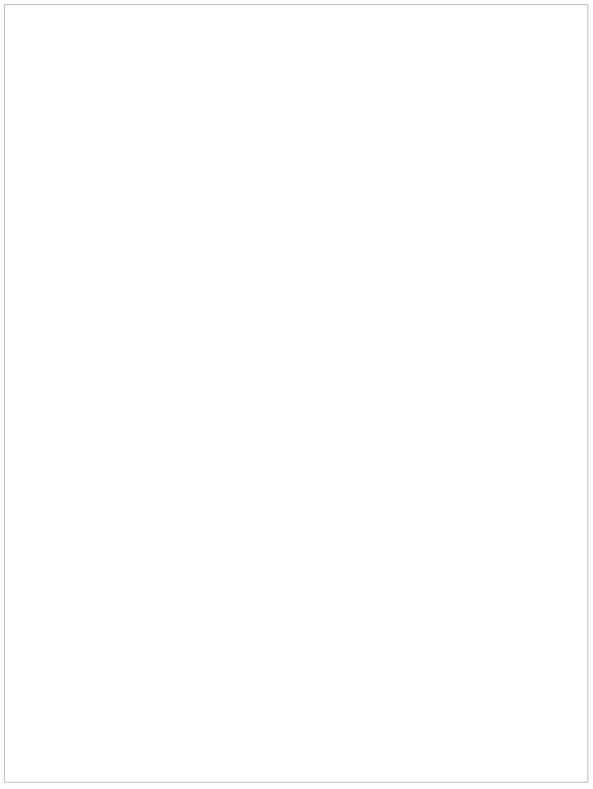
この倭姫（やまとひめ）は実は、その宇宙意識の神巫女である卑弥呼の霊的子孫を朝廷が大切にしてきた神巫女一族を表しています。ここでは、宇宙のつながり、神つながり、人つながりの元へ感謝する祈りを捧げました。

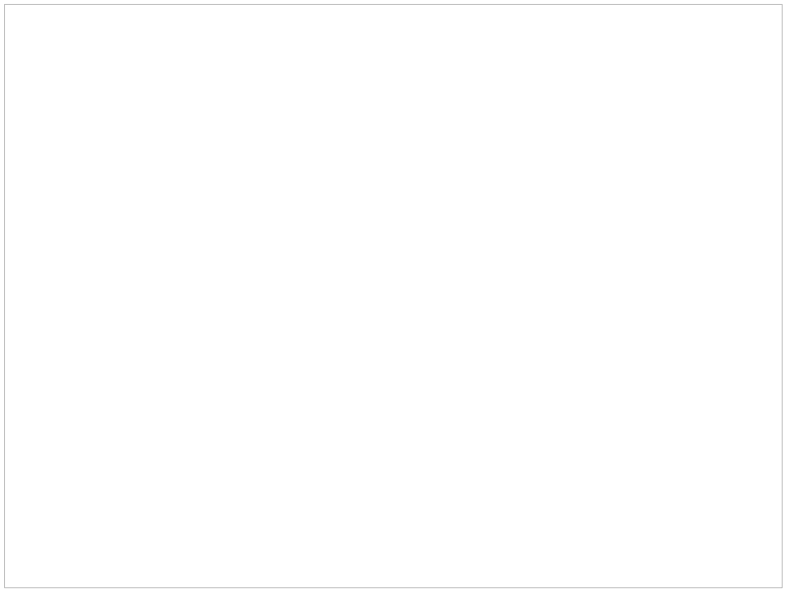




祈りに同行した女性は、白く発光した女性が目の前に立ち、お辞儀をしてから自分の前に座った姿を見せられていました。もう一人の男性は、自分でもわからず自然に身体が前のめりになり、両手を目いっぱい前につき出して、畏敬と尊敬の念を表す祈りの姿勢になったと言います。

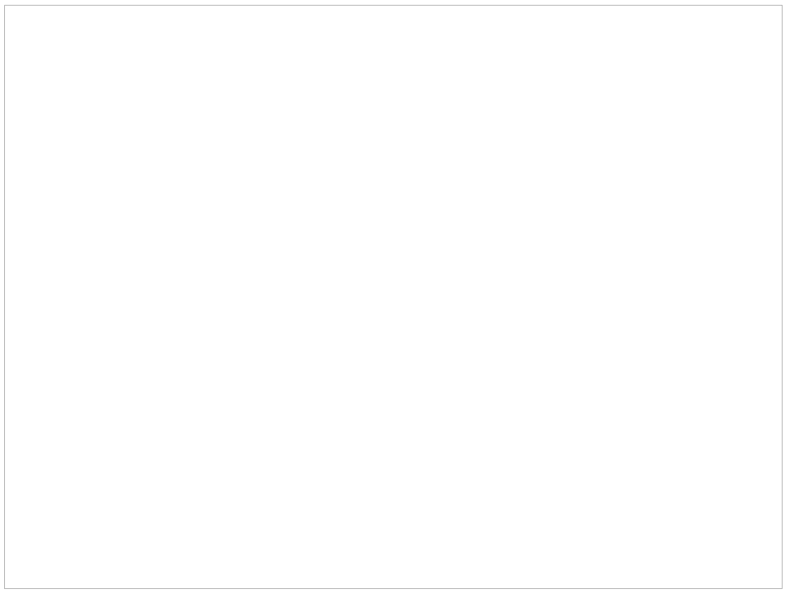
私には言葉穏やかに　「永い間、この日をお待ちしておりました。私も一緒にお供しますので、どうぞ宜しくお願いします」と同行することを伝えて下さいました。全ての過去の隠されたカルマを背負い、日本人のカルマになった魂の目覚めを神も望んでいることを示した瞬間です。帰り道に天から神光が降りて道を照らし、この神事に参加した人が大切な役目を与えられていることを光が教えます。

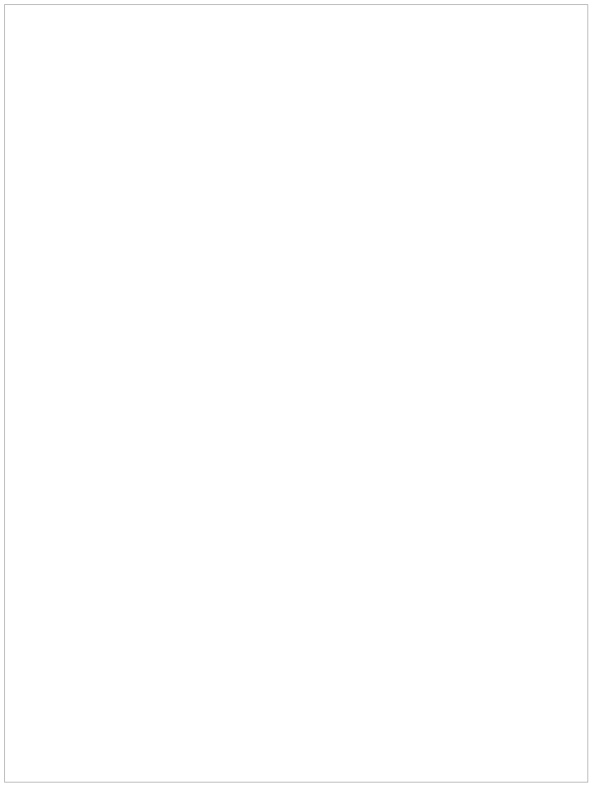


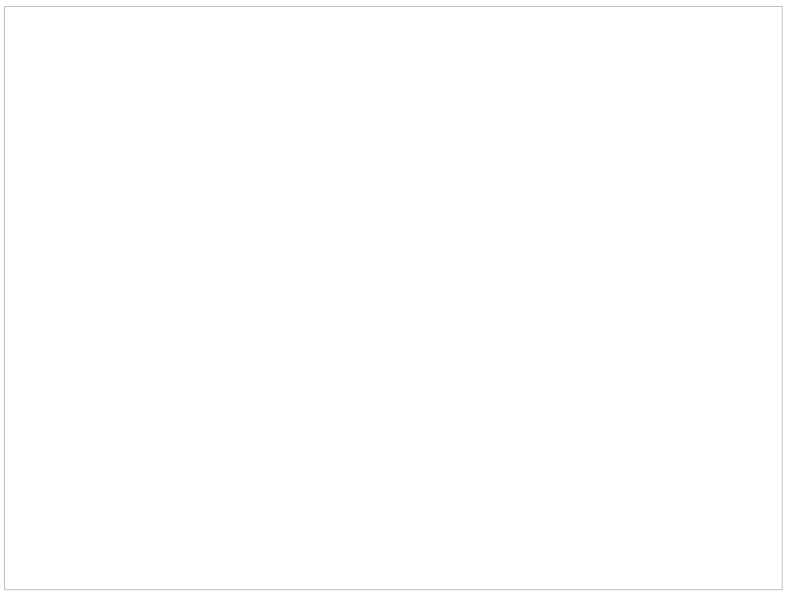


４、伊勢神宮　外宮　：豊受大神宮
伊勢の名を聞くと、2006年に京都の元伊勢の外宮・内宮にご挨拶した時のことを思い出します。
現在の伊勢に奉られている全ての社の神の名前を比べるとわかりますが、いつの時代も地位や
権力・経済力のある人間が、ある思想や目的で神の場所を変えて、庶民の意識を動かそうとして
いた事は明確な事実です。また庶民もそれに習って”ご利益思考”が強くなり、神社や仏閣も庶民の
願望成就に合わせた神仏の役目を変えてきた現状は、目にあまるものがあります。

私は神がこの世に降りる本当の意味を正しく伝えることこそ一番、重要なことと考えていますが
、日曜日のせいか、どこもかしこも満員御礼の”ご利益お願い”集団の行列です。





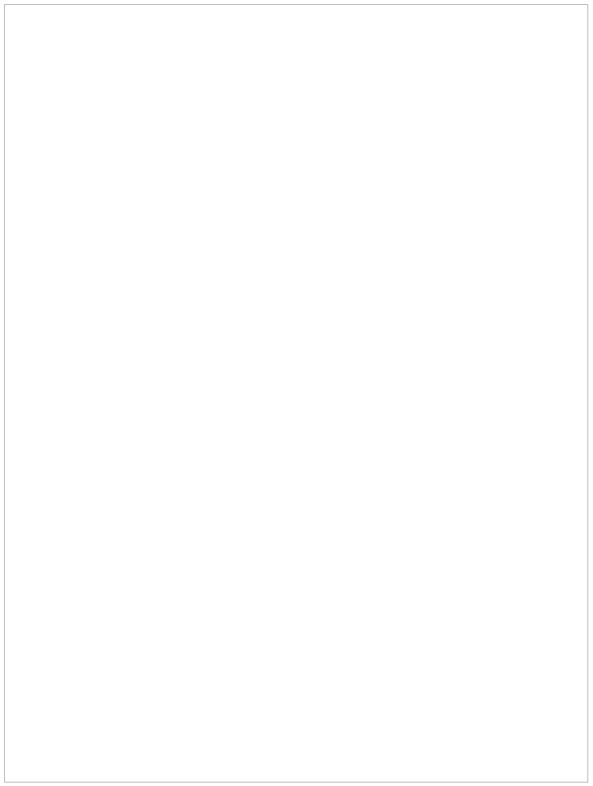


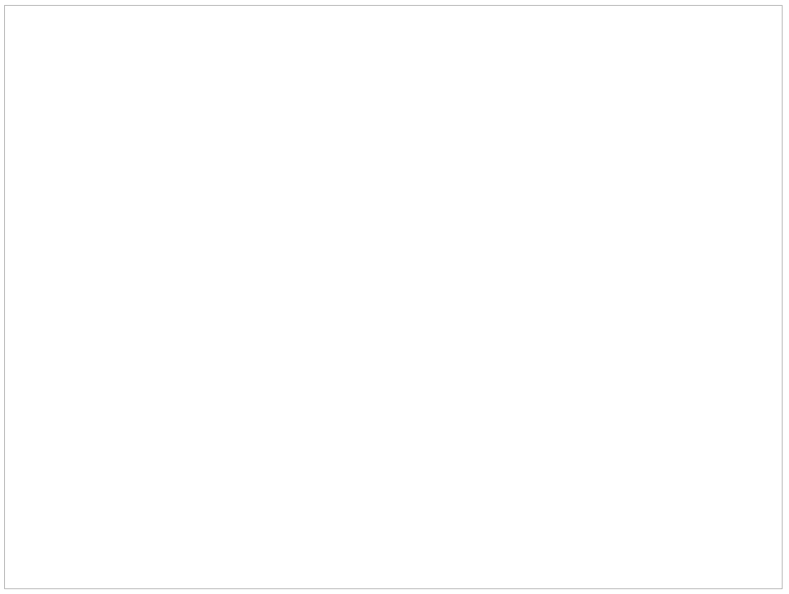
外宮のある神様の場所で、隣の女性の涙を借り、神はこう伝えてきました。「この状況がわかりますか？いつもたくさんの人が私に願い事をしてきます。私はそのひとつひとつを聞き遂げることをずっと続けているのですよ。」この言葉の裏には、本来、天に与えられている大きな神役目が、人間の願い事によって働けなくなている事を嘆いた言葉なのです。同じ人間としてお詫びの言葉も出てきません。これから一人一人の思いや行動を変えていくことでしか、神に喜ばれる道は無いと思います。

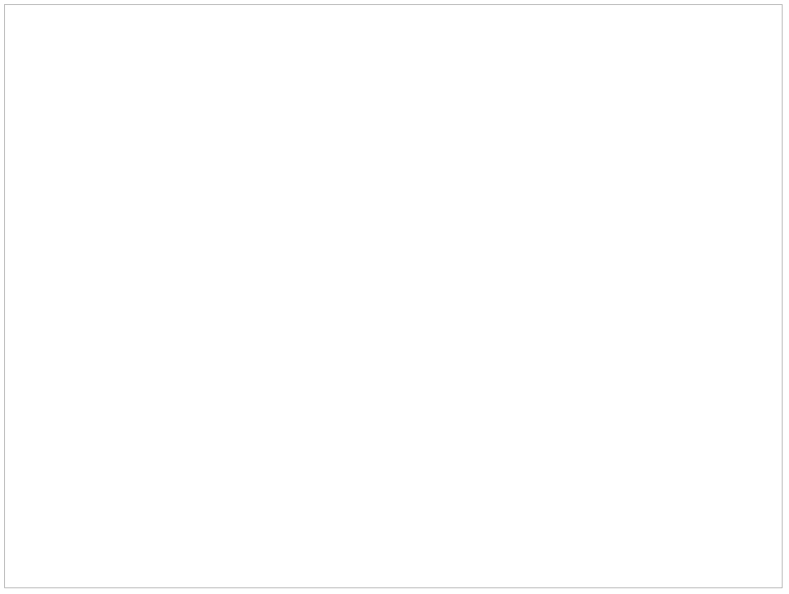
外宮の中に「月読宮」を探してもありません。建設当時の揉め事を表すように、外宮の鳥居を出て真っすぐ歩いた場所に、「月夜見宮」はあります。そこの神様に手を合わせると、本当に一番

来て欲しかったと一人の女性の身体を借りて、また大きな涙が溢れ出ます。

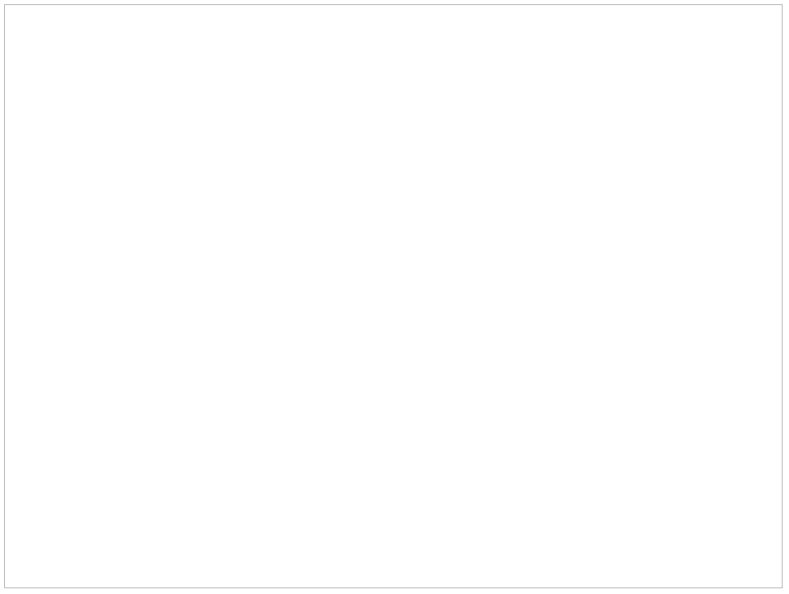
私たち人間にとって夜や闇の月の時間があるからこそ、生きていられることを知っているならば、太陽神と同じように平等に扱って欲しいと私も皆様へお願いします。

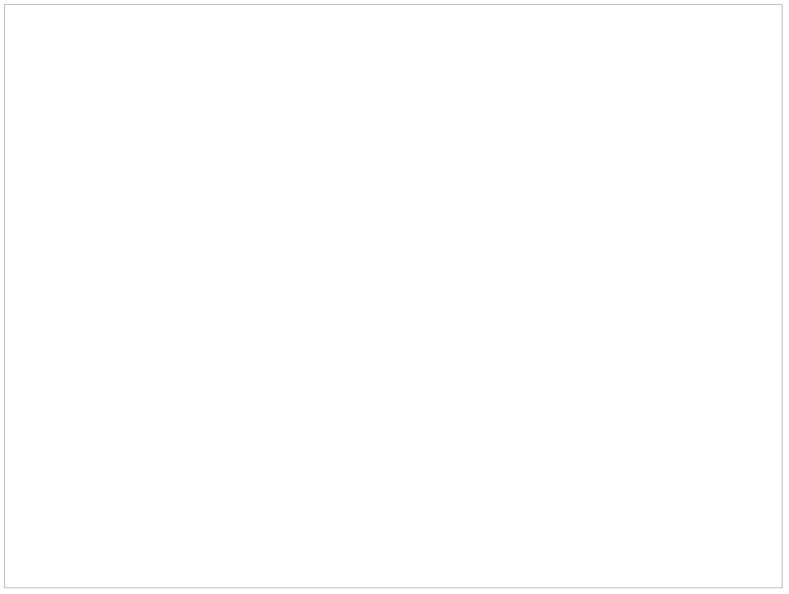


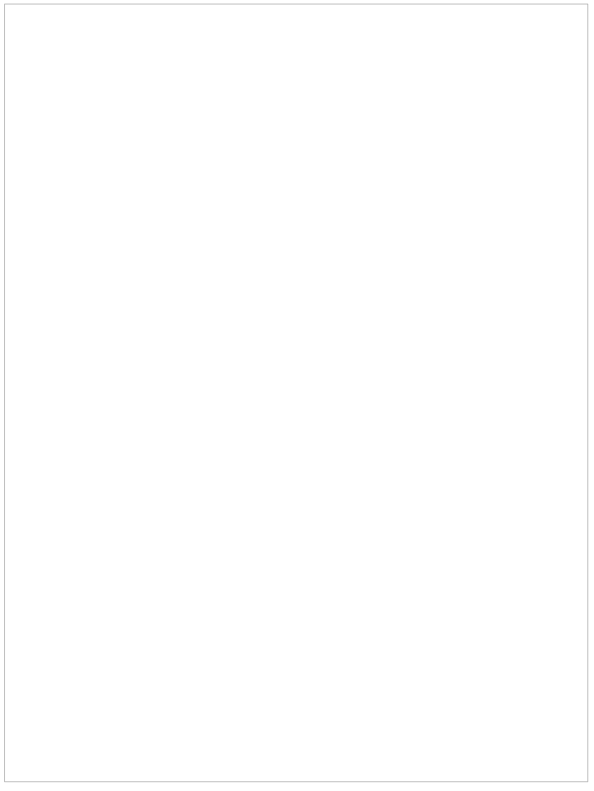




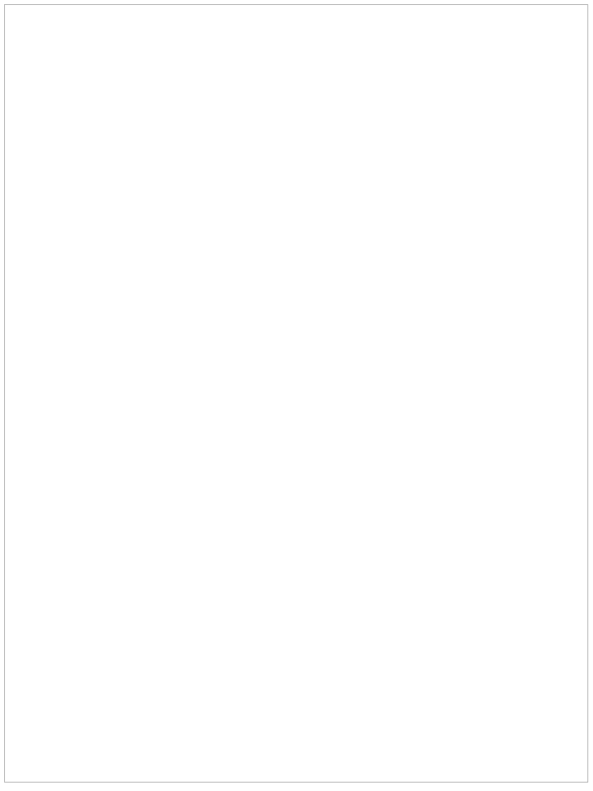
５、伊勢神宮　内宮　　：　皇大神宮

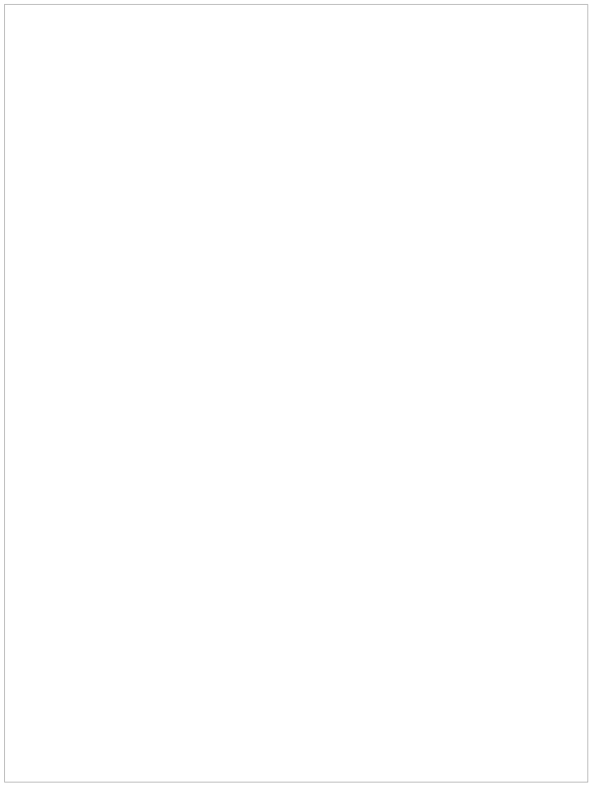


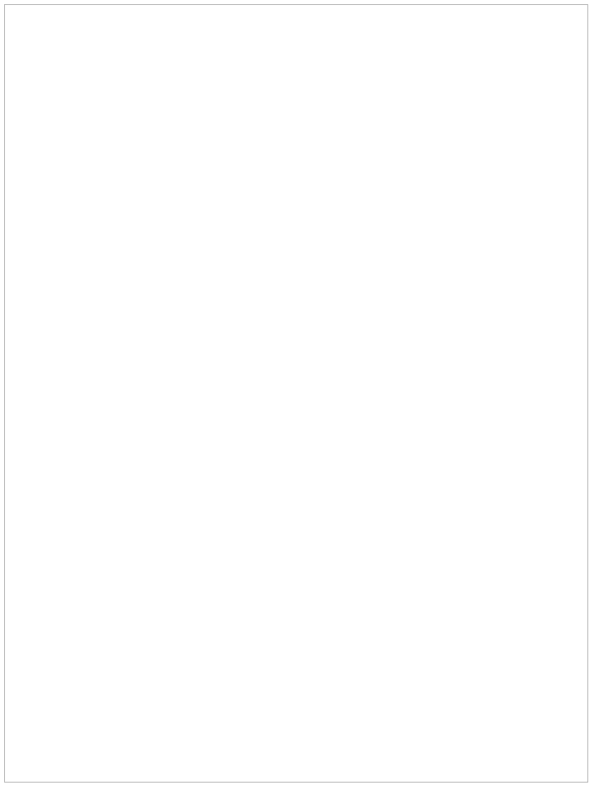


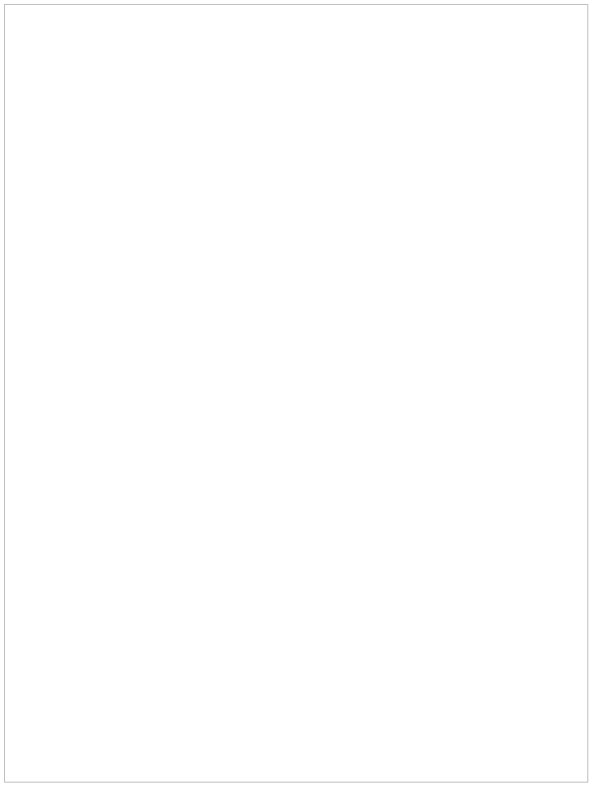


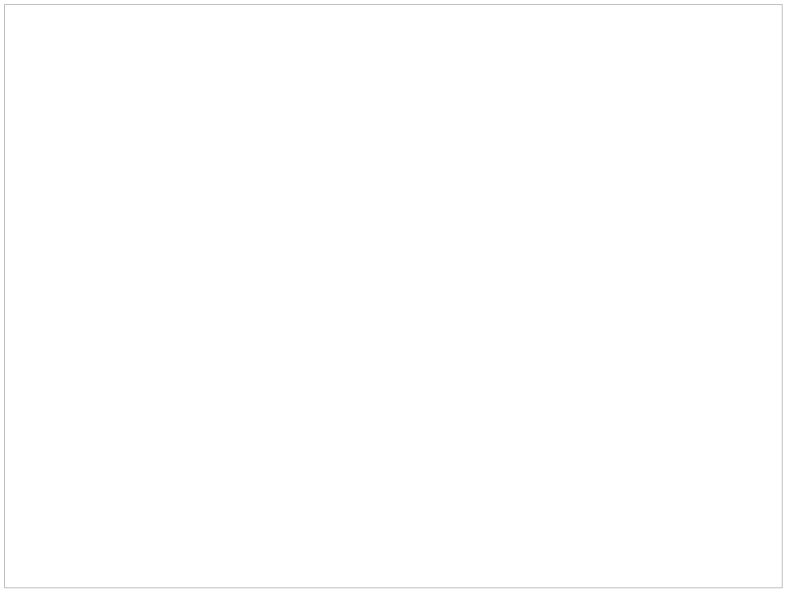
正宮の祈りを終えて「荒祭宮」へ行くと、その場所はとても大きな神エネルギーに満ち溢れています。今回の神事の目的と意味を伝えたあと、宮の前にある樹が、直接、宇宙まで繋がっている事がわかったので、六年生の女の子に樹を抱きしめてそのエネルギーを感じてもらいました。とっても気持ちいいと言う言葉のとおり、光が彼女と一体になります。この場所は内宮の中で一番、神の光を感じられる場所だと感じました。





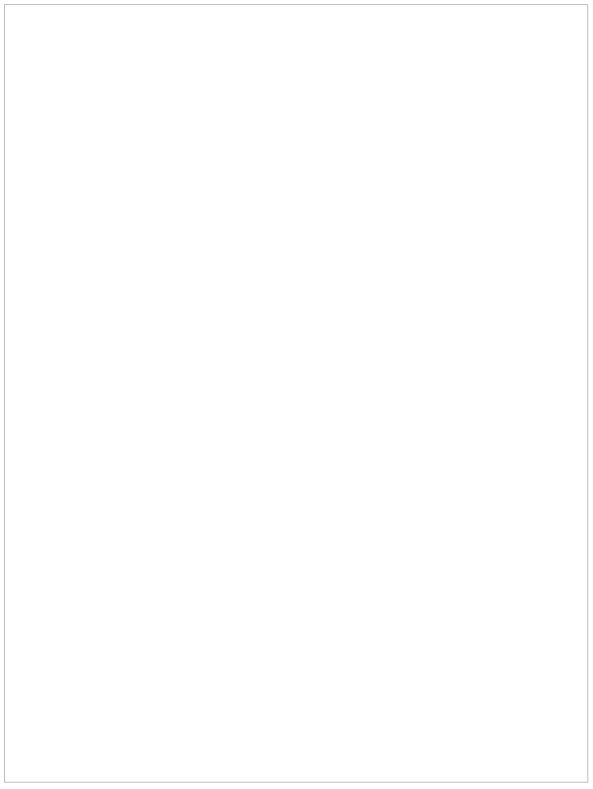


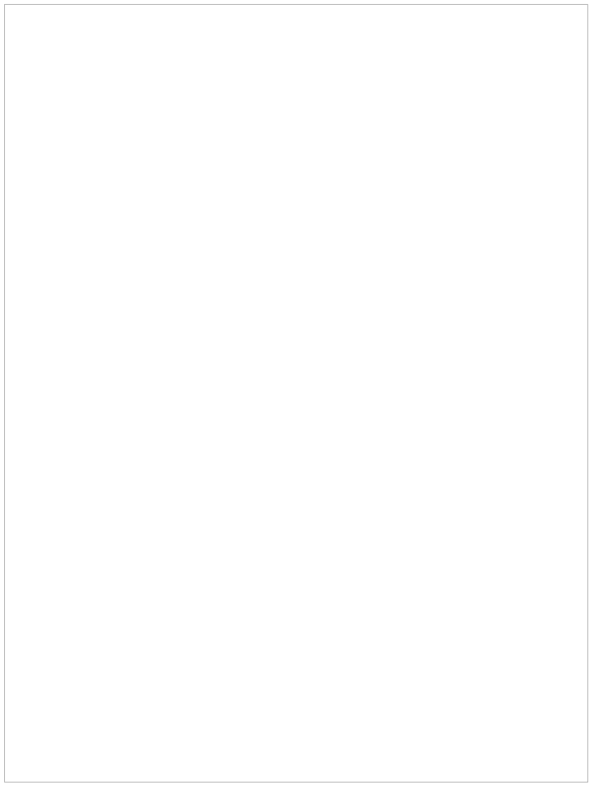




内宮の神々へ祈りを終えた最後は、伊良部島・宮古島・大神島・沖縄本島・古宇利島・出雲の神々から頂いた神エネルギーの品々をひとつに繋ぎ合わせて、五十鈴川を通してある場所へ納める祈りを行いました。１０日間見守り導いてくれた龍たちにも心から感謝して、クリスタルボウルと笛の音を奉納します。光がすべてのことを示してくれています。

全ての祈りを終えて帰る道すがら、
「宇宙根源神の全ての元改めがなされました。ありがとうございます。」と天の声が聞こえました。





※今回の神事の最大の目的は、太古の時代に宇宙のおおもとが伝え導いた”三種の神器”を本来の目的のとおり、三つをひとつとしてこの日本の地で働けるようにする神事でした。この神事は達成しましたが、まだ全ての準備は整っていません。”火・陽・日の元改め”と皇族に象徴される”日本人のルーツの元改め”が残っているからです。この二つの神事は、九州　鹿児島神事、そして、四国・岡山神事として行いますが、その日程は後日、お知らせいたします。

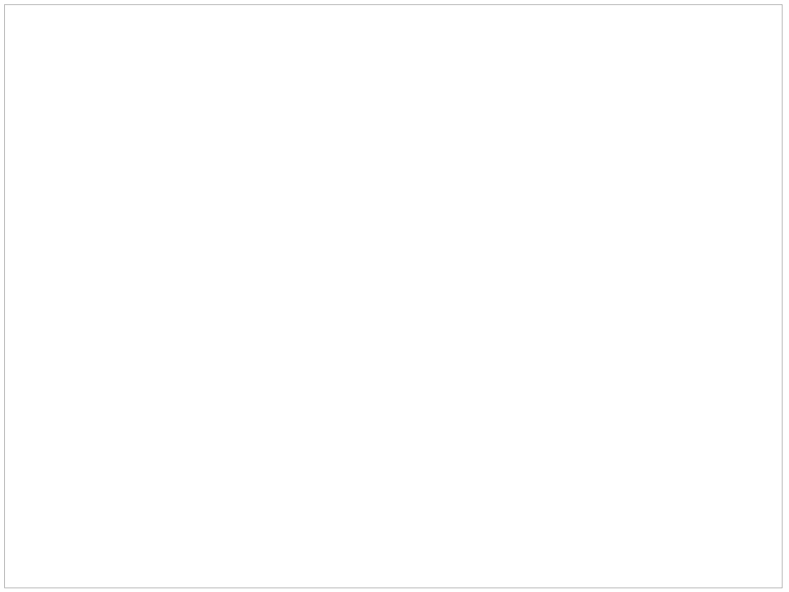
私たち日本人の隠された民族カルマの完全浄化と宇宙根源神の神意思の実現に向けて祈り合わせ、心合わせをお願い致します。また、神事の主旨をご理解いただきます皆様からのご支援金をお願い致します。

2008.10.26 Sun

沖縄出雲伊勢神事　３　出雲

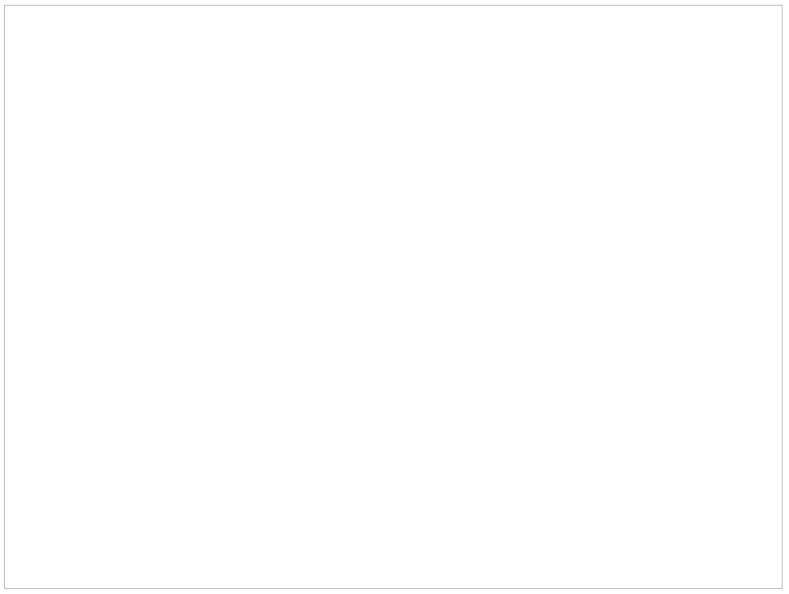
10/16（木）出雲

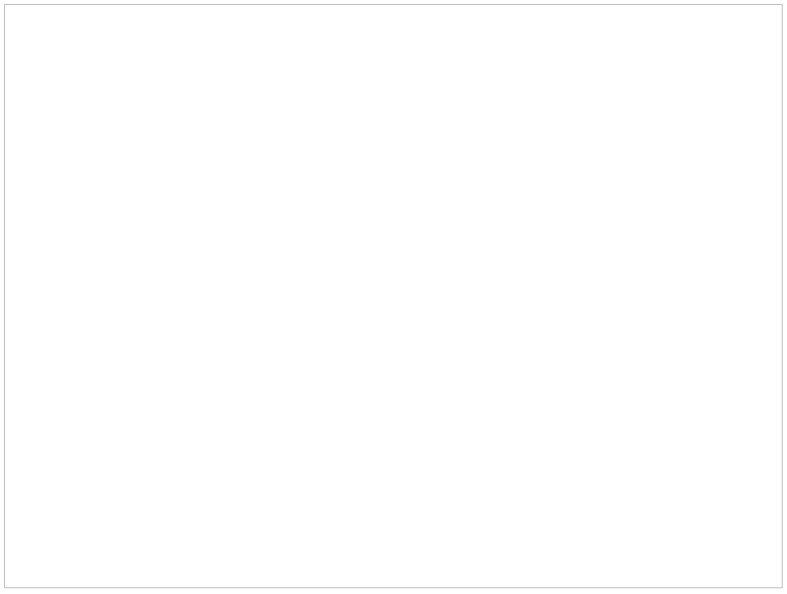
那覇空港から福岡経由で出雲空港へ到着すると、宮古島の神様が言ってくれたとおり,天から龍の雲が降りてきました。この出雲の地に、沖縄まで伝わった神意思・宇宙意志を出雲・伊勢へと繋ぐサポートだと感じました。



10/17（金）出雲　旧暦9月19日
神祈りの朝はいつも早く目が覚めますが、特にこの日は日の出を見てくれと言わんばかりに早く起こされて美しい姿を見せつけられました。因幡の白ウサギにも見える雲と美しい朝日は、ここ出雲の神々も本来の宇宙意志に繋がり、大きな役目を果たすことを楽しみにしているようです。太陽暦で今月10月は「神無月」と呼ばれますが、出雲の神祈りは全て旧暦で行っていますので実際にこの日は「神有月」なのです。

１、日御碕（ひのみさき）神社





この日御碕神社は出雲大社の祖神（おやがみ）さまとして働いている神様ですので、出雲大社へ正式にご挨拶するときにはまず足を運ばなければいけない神社です。この神社の後ろ側には日御碕灯台があり、海からこの地に渡ってきた人たちが大切にしていたものを入れていた祠（ほこら）があります。この祠から出てきたものは、太古の時代の神社で使われていた御柱（おんばしら）・まがたま、そして、紫色で楕円形の御香炉（うこうろ）などができています。

紫の御香炉を持つ人は沖縄ではノロの長、つまり最高ランクの霊能者だけが持てる香炉ですが、楕円形の御香炉は沖縄では使用しません。沖縄以外の地から最高の霊能者がこの出雲の地に足を踏み入れ、大きな神祈りをする神社を創り、霊能力の証でもある”まがたま”の宇宙パワーを使っていた事実で明確になることは、その一団が朝鮮から渡ってきた「卑弥呼一族」だという証です。

この祠から出てきた物は出雲の神官でも入ることが許されない出雲大社の奥の場所に隠しながらこの地に伝わった民族の証を封印しています。太古の時代に日本に伝わった大切な宇宙意思を感

じながら、出雲大社へ向かいます。

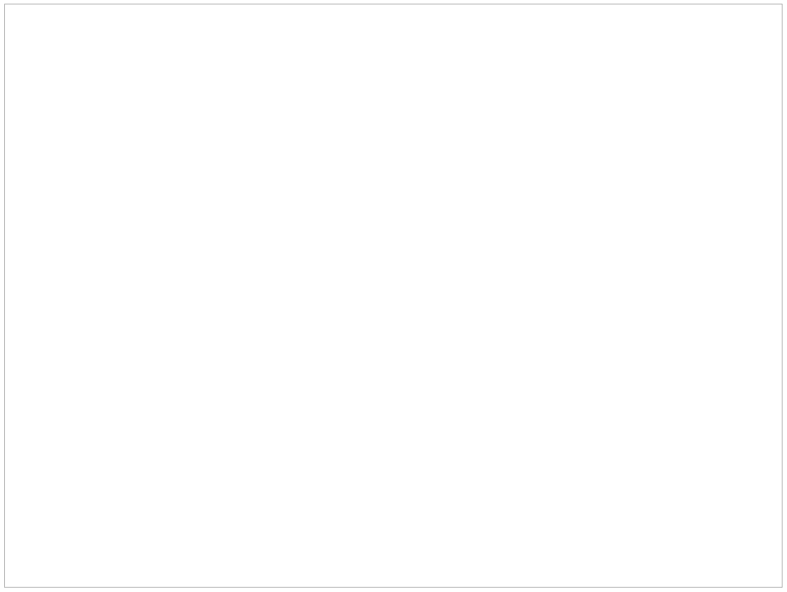
２、出雲教　北島家：本家

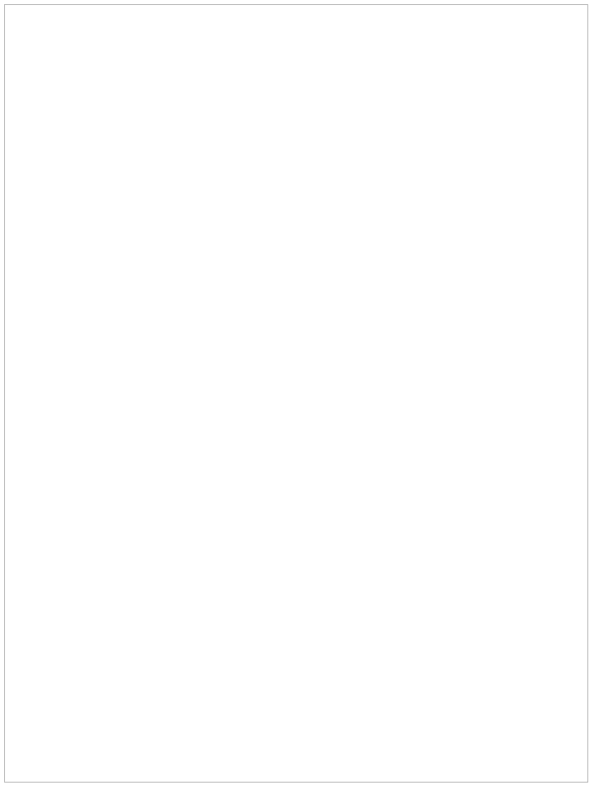
出雲大社の右側に現在の出雲大社の「大社教」の本家である「出雲教」の北島家が、小さな建物の中で大切に神を守っています。今回は神ルーツ・人間のルーツを正す祈りですから、まずは本家へご挨拶に行きました。

小さな本殿ではありますが、その奥に神はしっかり鎮座されています。今回の神事の意味を告げると、「目を開けてください」と言われます。本殿の奥を眺めているとその奥に一対の”まがたま”が見えてきました。「この”まがたま”をどうぞお持ち下さい」と神エネルギーでいただきました。今まで守ってきたルーツを繋ぐ意味を理解してくれて、ここの神様が渡して下さった事に心から感謝を捧げます。

３、出雲大社

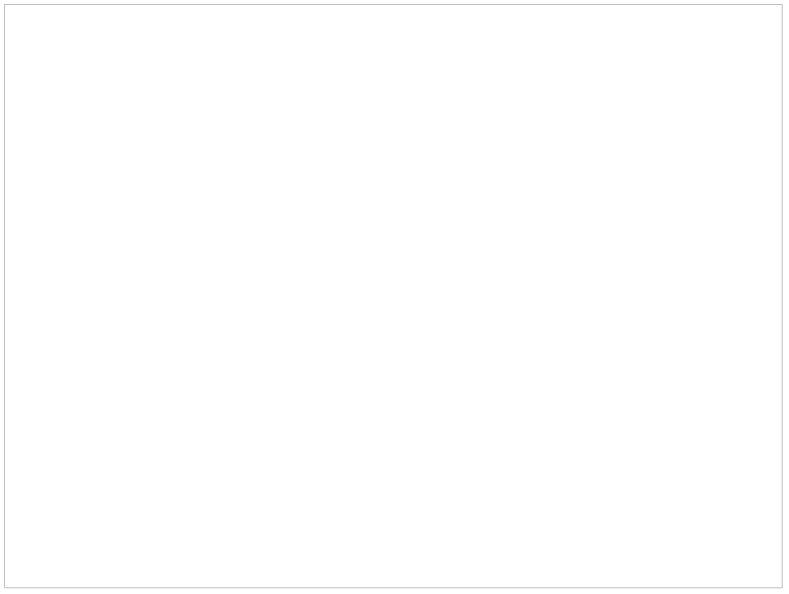
次は、皆さんがご存知の出雲大社です。中にある建物を全て感じ取ってみますが、特に気になる場所はありません。本殿は２０年一度、建物を創りかえる神宮式年遷宮のために仮殿からのご挨拶が一般ですが、その後ろに現在の本殿と社殿が守られていますので、そこから大国主神にご挨拶しました。個人的な意見ですが、出雲も伊勢も同じように２０年に一度、本殿を数十億円をかけて建替えますが、その資金や千年杉を何本も切ることを、もうぼつぼつ止めてはいかがですかと言いたくなります。すべての神ルールは人間が作ったものですから、森林伐採による大気汚染や日本の樹が不足している現状を考えると、ルールを変える勇気こそ、未来に向けた神を大切にする行動だと私は思います。

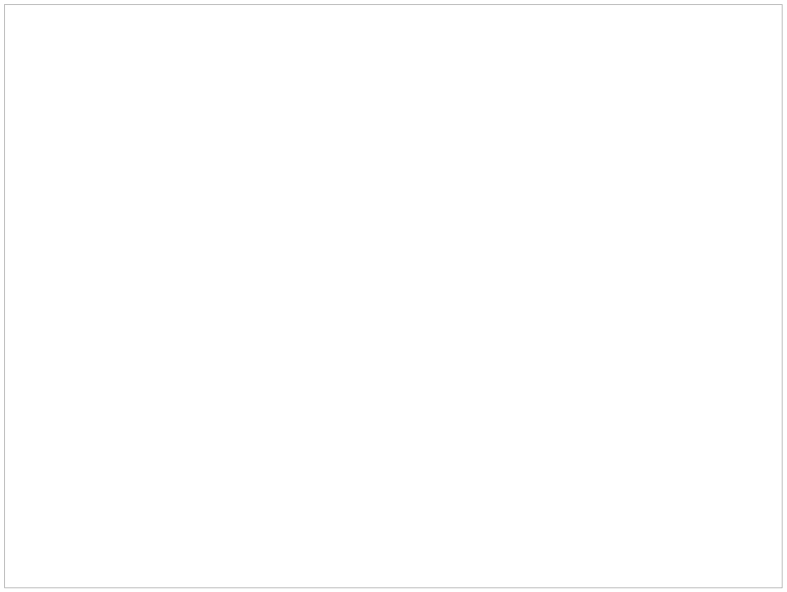




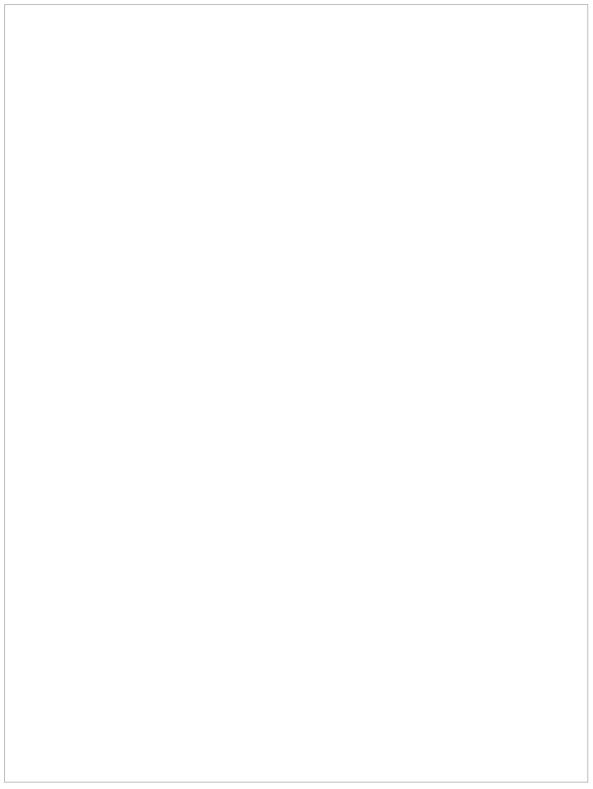
出雲の神官が教えてくれた場所へ行き、古代から隠されてきた”まがたま”のエネルギーを譲り受ける祈りをしました。最後に守り神である大国主神にも御礼を言い、次の目的地、須佐神社へ向かいます。

４、須佐神社　　：御祭神　須佐之男神

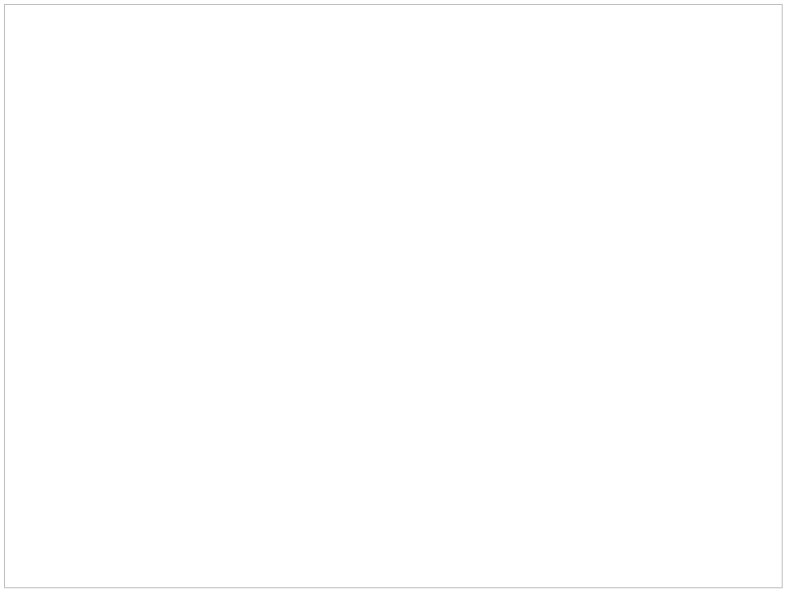




兵庫県から車を手配し出雲まで同行してくれた方が、どうしても行きたい場所だったので足を運びましたが、本殿の神様に手を合わせると、「よくお越しくださった。御自らお越しくださりありがとうございます」と御礼の言葉をいただきます。社の裏には、千二百年の杉の木もあり素晴しい神社でした。面白いのはこの神社の一の鳥居の道向かいに、天照大神を祭る小さな神社があることです。こちらにも手を合わせ、共にこの地を守るお働きに感謝を捧げます。

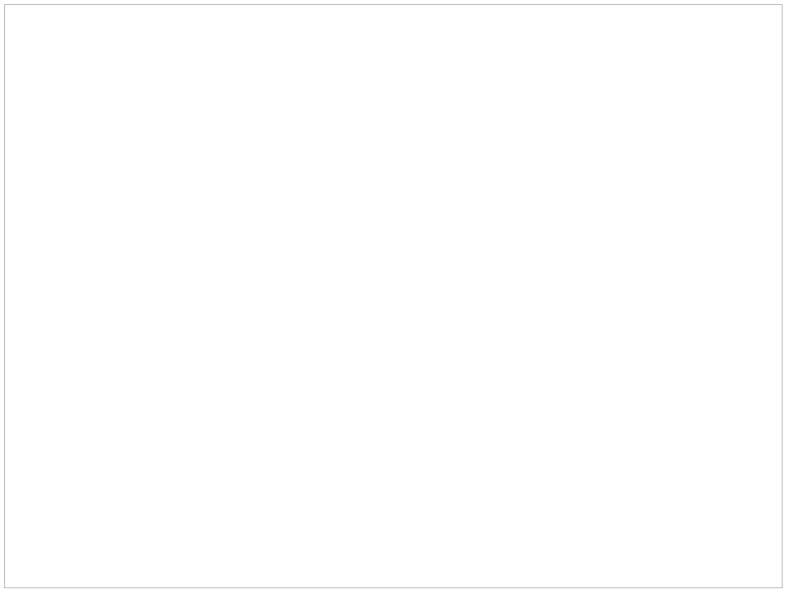


５、斐伊（ひい）川　：やまたのおろちを退治した剣が出てきた川

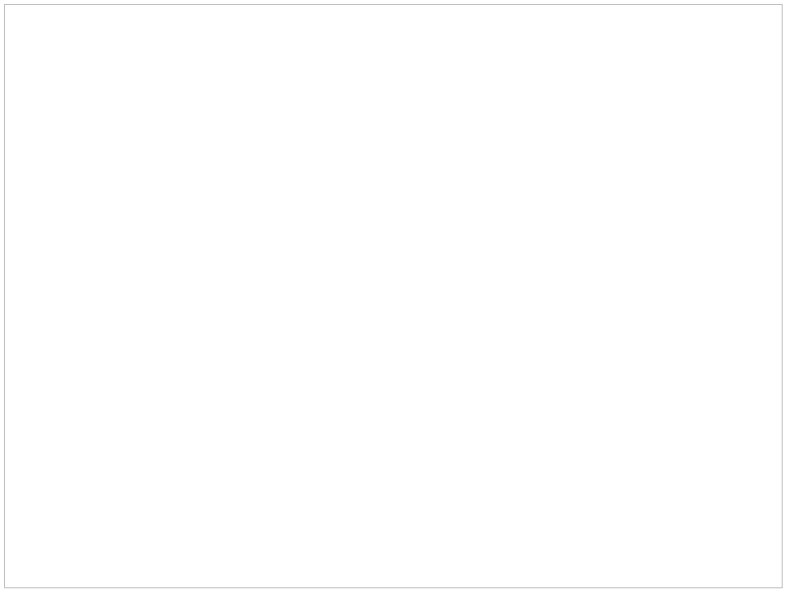


やまたのおろち伝説は、この川の蛇行を竜に見立てて川の氾濫や土地の争いを表す神話ですが、それを制した功労を”剣”が示しています。どんな解釈にしてもこの川の恵みのおかげで今の島根県は素晴しいコメどころになりましたので、過去の人間の争いや非礼にお詫びしから水の感謝を祈りました。祈りを捧げたあと、川や周りの風景が光り輝いて、先ほどとはまったく違う情景になりましたよと話してくれた同行者の言葉は、神の御礼と感じています。

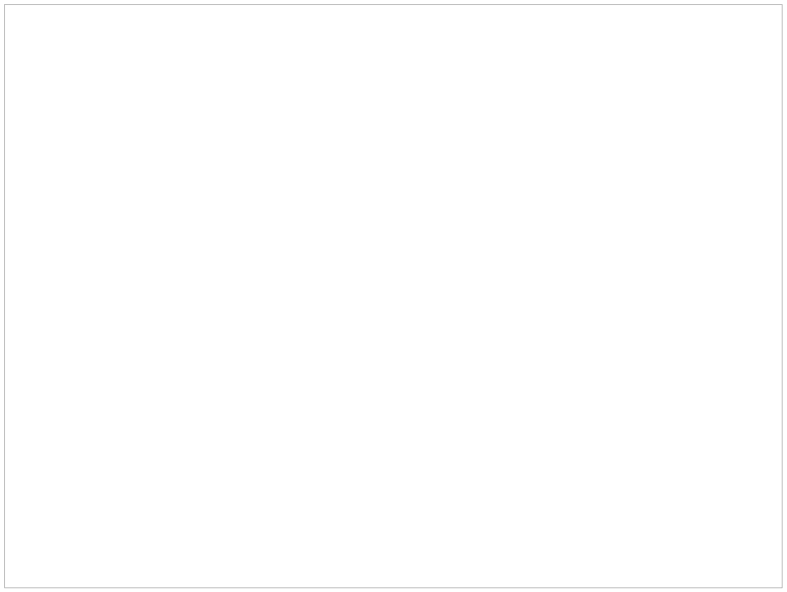
６、神魂（かもす）神社　：国宝
ある方に出雲大社とこの神魂（かもす）神社は、一対ですよ聞かされて足を運びましたが、この場所のあまりの神エネルギーの強さに驚きました。同行してくれたお母さんと六年生の子供の身体が発光しているのも、この場所の神エネルギーの強さの証です。



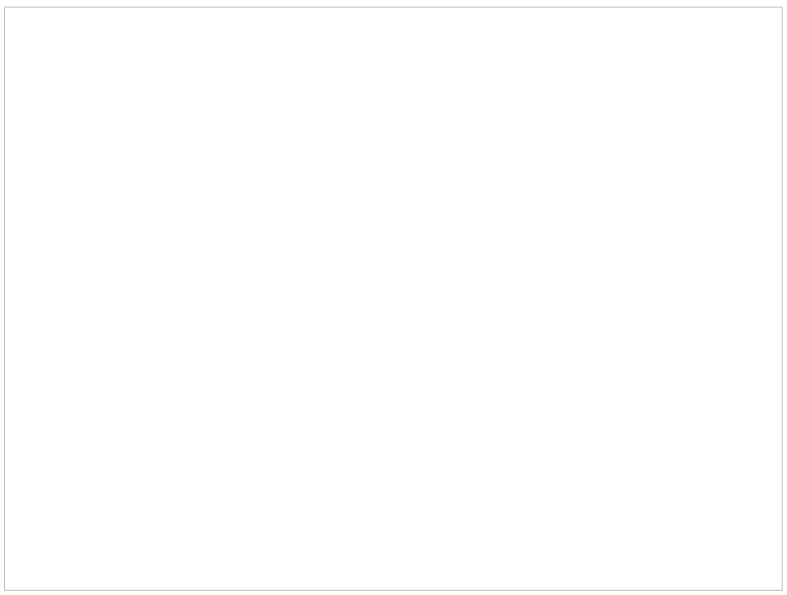
階段を登ると、神が座っている場所がすぐわかります。しめ縄の上で、屋根の下に青く光っているのが、ここの神様です。出迎えというより、来る方全ての魂を見ていると言ったほうがいいでしょう。ここは全ての神の魂を守る神社として、社殿の歴史が国宝に認定されています。さらに近づくとその青白い光は大きくはっきりと姿を見せます。神繋ぎ、すべての元改め、そして、素晴しい神の働きがこれまで以上に働けるよう私たち人間も精進することを伝える祈りをしました。



７、美保神社　：大国主神の奥様　三穂津姫命（みほつひめのみこと）
出雲で最後の祈り場所は、この出雲の地を愛で見守り、大国主神を支えてきた奥様へ感謝する祈りです。偶然に昨夜、大国主神が鳥取まで通いつめた女性がこの奥様に認められず、お腹の子と共に心を癒した温泉として有名な”ひかわ美人の湯”に入りましたが、この話を後で聞いて神計らいに驚きました。この地で起きた全ての人の想いを知り、そのことも含んで伊勢へ繋いで欲しいという意味なのです。

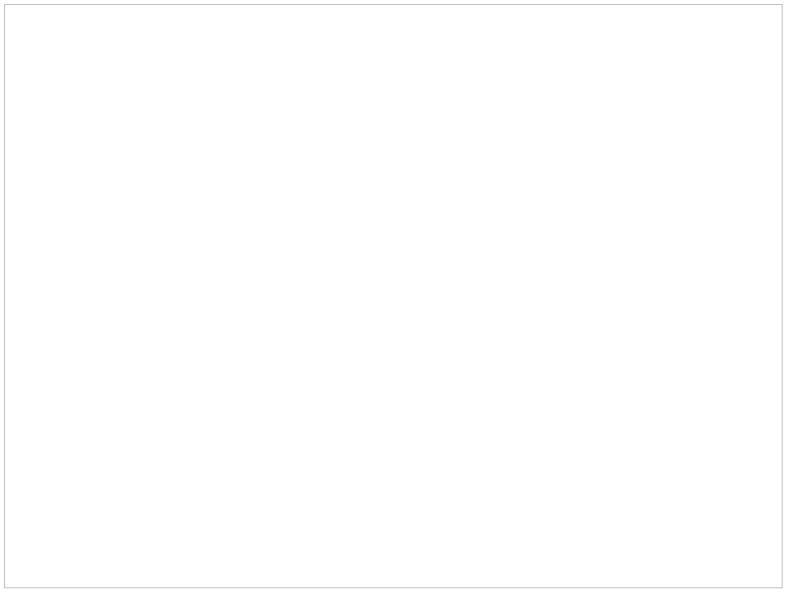


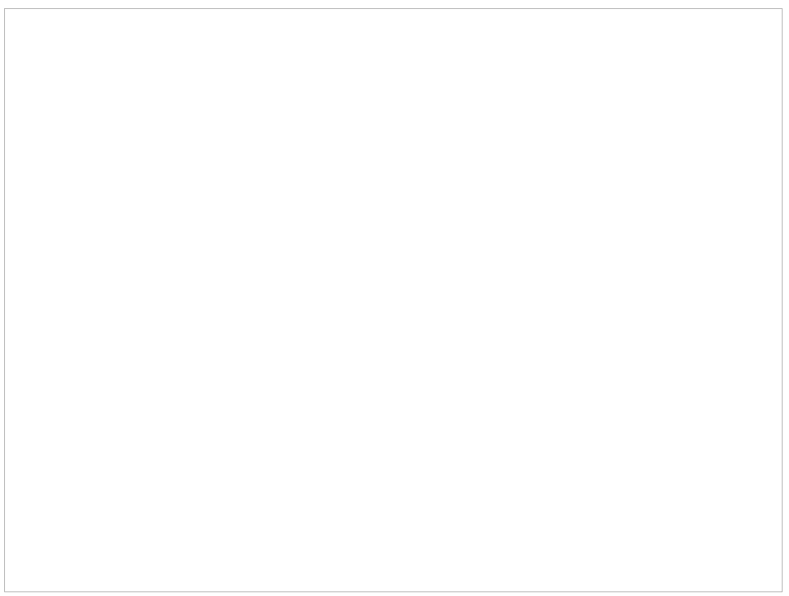
本殿へ向かう手前のしめ縄に神様がいるのがわかるでしょうか？白っぽく丸く光っているのがそうです。”しめ縄”を見ているだけでこれほど畏敬の念を感じたことはありません。神様と話をしてみると、「このしめ縄のわら一本一本に私たちの思いが入っています。それを人間がまとめ上げてくれた証がこの”しめ縄”なのです。」神様からしめ縄の意味を教えてもらい御礼を伝えました。本殿で手を合わせ、今日の出雲祈り全ての御礼と今までの神働きに感謝すると、「こちらこそ、ありがとうございます。」と御礼を言われます。言葉は少ないですが、その思いは身体中に熱く伝わります。

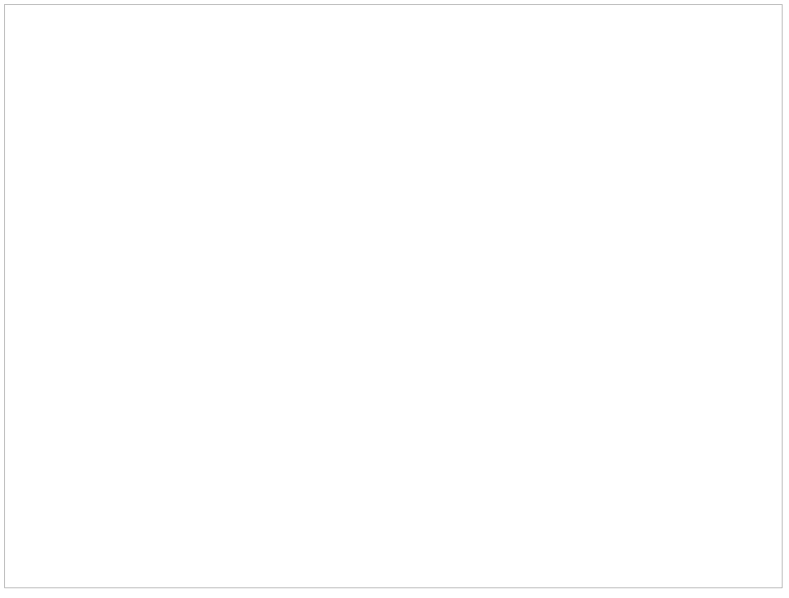


ふとこの神の存在をカメラに写したくなりシャッターと切ってみると、驚くほどのオーブの数でした。大きな赤い神オーブがあたり一面に集まっています。右の林を写しても、左の建物を写しても、本殿を出てずっと下がって写しても、その神オーブは消えません。こんな経験は初めてなので、きっと何か伝えたいことがあるのだなと感じたので、神々全ての意志をひとつにする詔（みことのり）を唱えました。すると、一瞬で全てのオーブが消えました。出雲を守る神意思・宇

宙意志が全てひとつになり、明日の伊勢へ繋ぐ決意も深まりました。出雲の神々、そしてその神を大切に守って下さる全ての人に心から感謝を唱えて、新しい神と人の元を正す神事は伊勢につながります。　　つづく





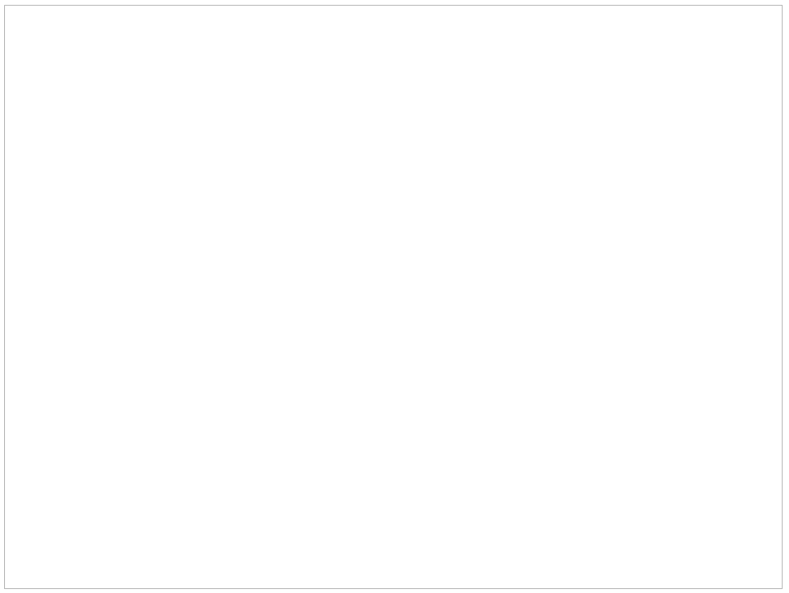


2008.10.26 Sun

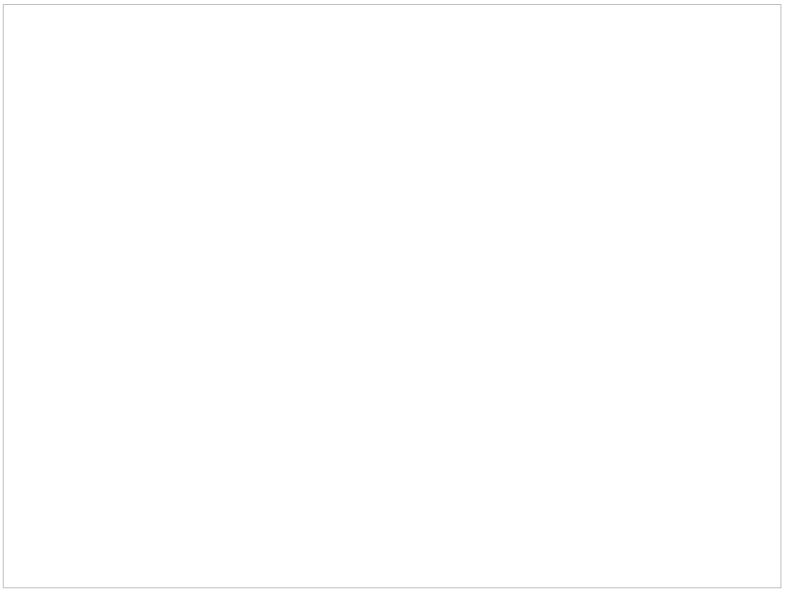
沖縄出雲伊勢神事　２　沖縄本島

10/15（水）

沖縄本島には、2007年の龍球王国神事を共に成し遂げた素敵な祈り仲間がいます。宇宙意識を持つすばらしい神人や出雲で神官修行をされた方、また徳の高いご先祖に守られて今世、自分の魂の働きをなすために努力されている方たちに今回の神事の本当の目的を話し、沖縄本島で繋ぐべき祈りの場所を相談しました。そのひとつが沖縄本島の中部にある古宇利（こうり）島です。※沖縄県国頭郡今帰仁村字古宇利　この古宇利島の祈りをするには必ず挨拶しなければいけない場所があります。そこは海を守り、火を守る神様がいます。



この神と対話し祈りの許可を得て、海へ飛び出した岩の下と先端にいる神様の場所へ向かいます


。

岩の下にある洞穴のような場所には昔々、裸族の原住民が生活した場所があり、その命を守るために大きな門番も両側にいます。この日本に人間の命を繋いでくれたこと、そしてその命を守り続けてくれた見えない存在たちに感謝の祈りを捧げます。岩の上の場所には、天から火（陽）の神が降りたとして「天降世立口世ヌ火神」が奉られています。沖縄で最も大切にされている火の神は、太陽であり、また神道でいう「天照大神」と同じ意味のとても大切な場所です。

古宇利島の祈りを終えて次の場所へ移動する車の中で先ほどの火の神の元からメッセージが届きました。

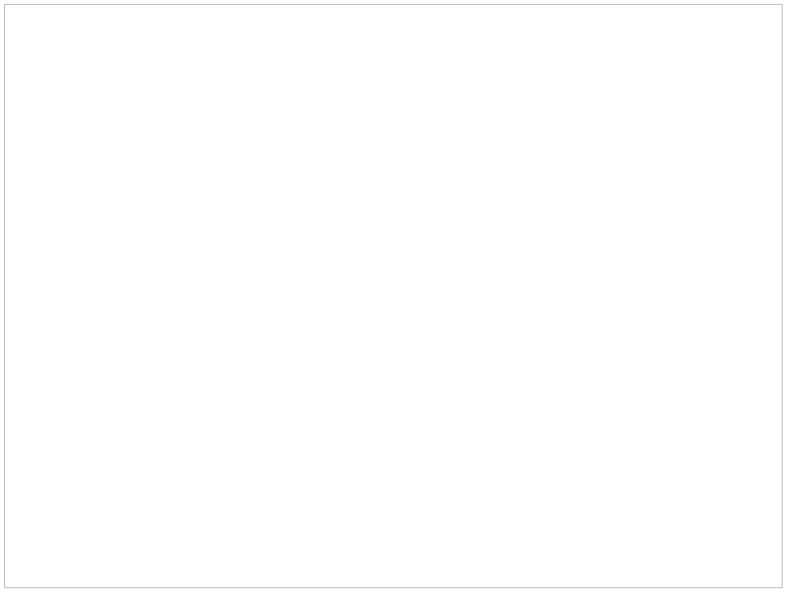
この世にあらずんば　その神　とらえられず　その神つかむな
その神　天と働き　地と結びつき　役目果たす
うちばるー（宇地原）の海の彼方へ広がるその夢

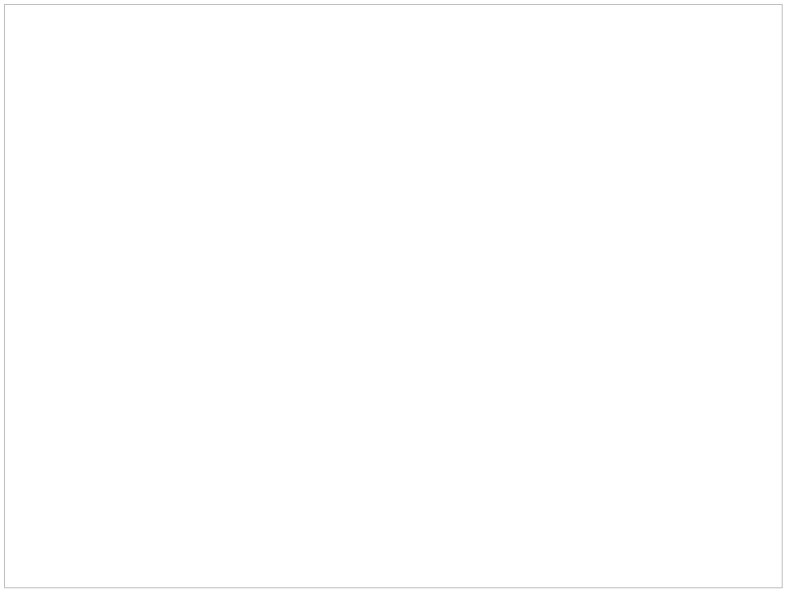
遠き地へ繋ぐ役目果たさんとす姿
うるわしき　美しき　感謝す

実は今回の神事は、火＝陽＝天照のつながりの元を正す神事でもあるので「その神」とは、火の神、太陽神（ラー）、天照大神のことを表します。神国　日本まで火・陽・天照（あまてらす）が伝わってきた宇宙の本当の理由を理解し、真実を皆さんに伝えることが今回のミッションなのです。

次の目的地は、本島の南部まで戻り、那覇市内にある津嘉山（つかざん）と呼ばれている丘の上の宇宙番（宇宙に繋がる祈りの場所）です。その前にこの土地一帯を守る川の神様へご挨拶して欲しいと頼まれたので水の神の場所へ伺いきました。驚くことに、建物の壁と壁の間に挟まれた狭い空間にその神様の場所はあります。空気はよどみ、異臭を放つその空間は、神が喜んでないことを示しています。

※右側の白っぽい二つの丸が神様です。

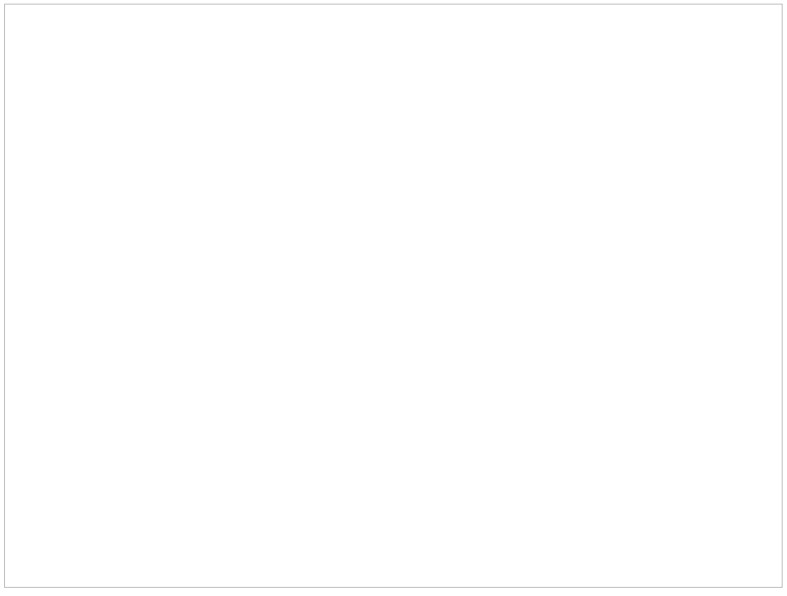




何とか拝所として形は残しているものの、自分がもし神様だったらと考えたことは無いのでしょうか？神様の場所を守ることは土地の利権や経済と相反する不都合もありますので難しい問題ですが、沖縄の各島々で起きている神所の問題は、みんなが知恵を出してご先祖が大切にした意味を後世に伝える方法を考えなければ災いが起きてからでは遅いですよと沖縄の仲間にはお願いしています。

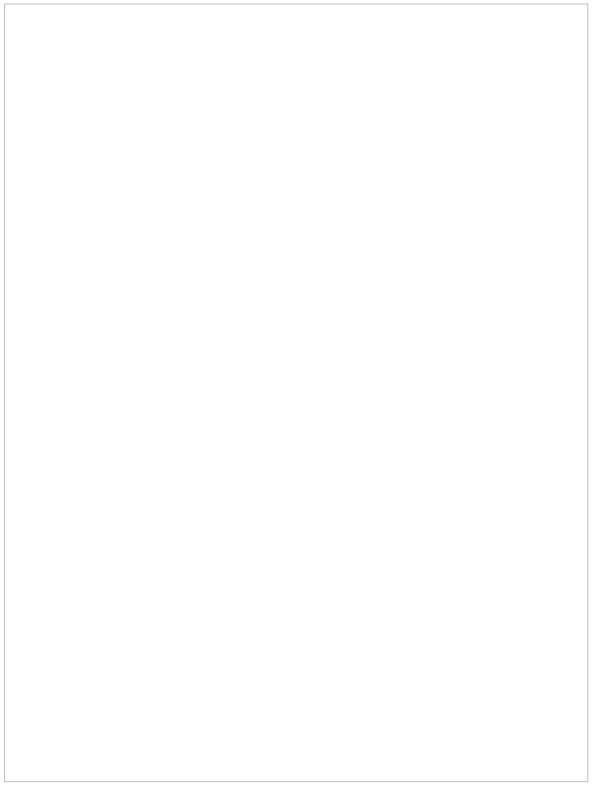
塩で場を清め、お酒を撒き、お詫びの祈りをしてから神様が喜ぶように大きな水神と繋ぐ祈りをしました。すると、その場所の空間エネルギーが一気に変わり、すがすがしい空間になったと神人も話してくれます。

宇宙番の祈りの場所は、住宅街の丘の上にある大きな岩です。そこには立派な祈りの場所があって後から来る人もわかるようにここの場所の意味も示されています。



祈りをする場所の上に大きな穴のように空いた空間がありますが、そこに神様がいらっしゃい

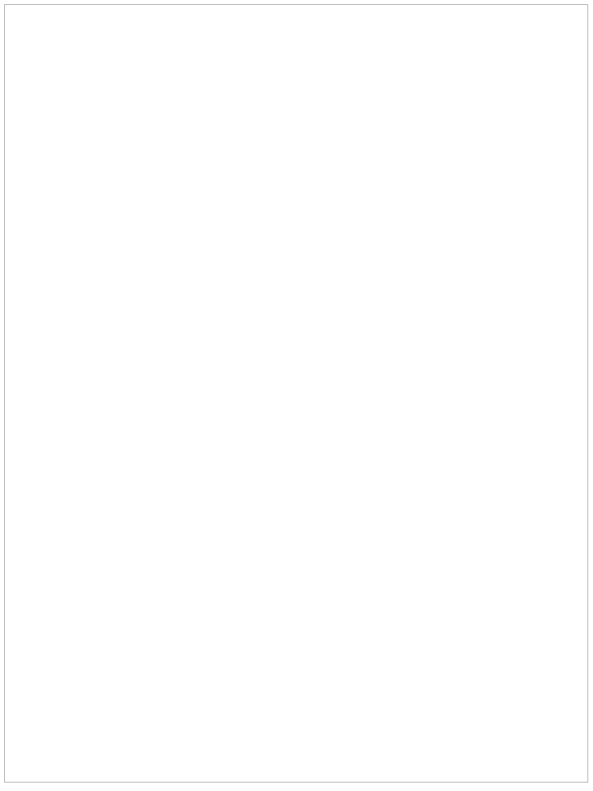
ます。眼下に見える全ての空間を見守る大きな神様なので、今回の神事の目的を告げて全ての祈りがひとつになるよう心を合わせました。

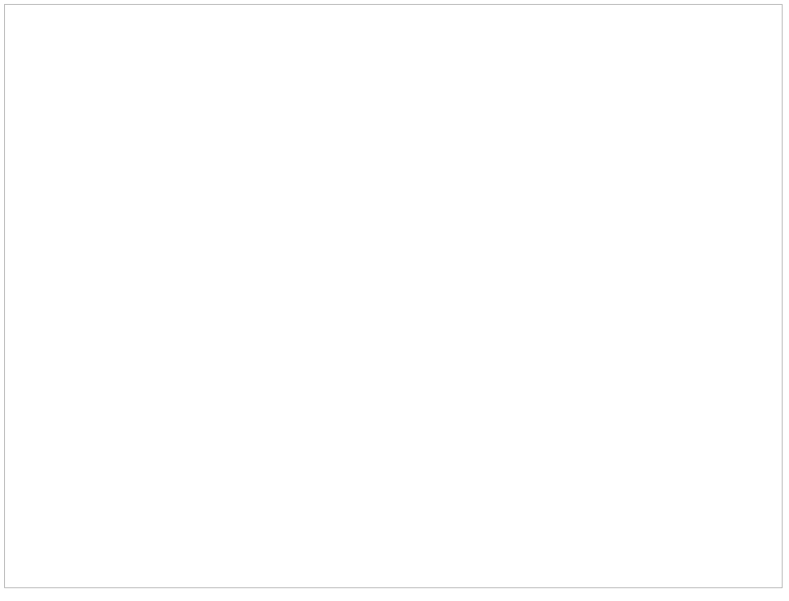


最後の祈りの場所は、宮古島から沖縄本島へ大切なものを繋ぐために来られた与那覇豊見親（よなはとうみゃー）が奉られている白川神社です。昔から沖縄では珍しい”白川神社”と呼ばれる理由に、第７２代天皇である白川（河）天皇との関わりがあることは末裔の方たちはご存知ですが、一族にだけ伝えられる隠された事実を今回、知らされました。

宮古島から琉球王朝へ献上された有名な千代金丸の宝刀は有名ですが、白川一族だけに極秘に伝えられた「やこう玉」こそ、天皇家のルーツを示す証として琉球王朝へ献上されています。なぜこの「やこう玉」のことを隠さなければいけなかったのか、それはこれから向かう出雲の”まがたま”と同じ意味を持ち、また伊勢にあると言われている鏡や八又のおろちを退治した刀の本当の意味を紐解く鍵に繋がります。

火の神や太陽神を日本へ伝えた宇宙の意志と合わせて、もうひとつこの「三種の神器」に託された本来の宇宙の意味を解き明かし、そのつながりの元を正しく明かすことが今回の神事の目的です。与那覇豊見親に手を合わせると、「大変なことですが、どうぞ宜しくお願いいたします」と言ってくれました。過去の全ての想いを繋ぎ合わせることが無事で出来ますことに心に誓い、明日は出雲へ向かいます。



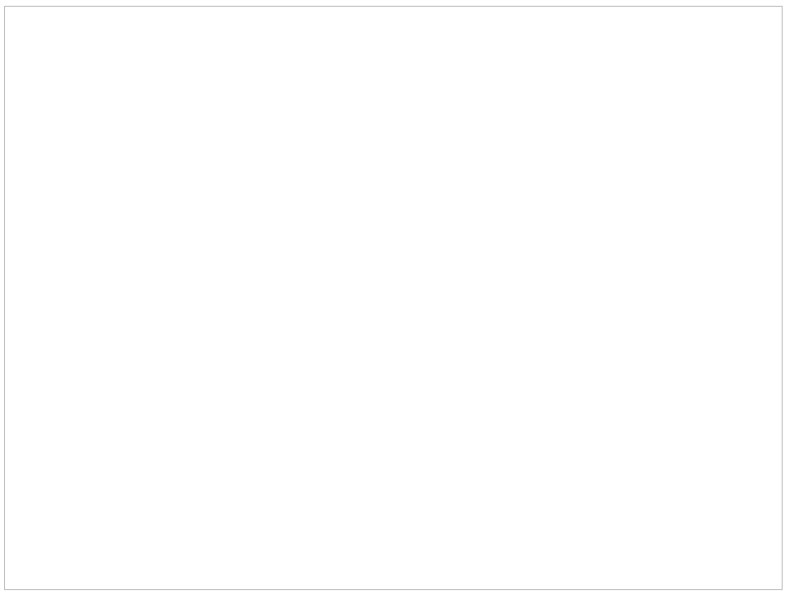


2008.10.26 Sun

沖縄出雲伊勢神事　1　宮古島

10/14（火）宮古島

大神島の祈りを終えたことで、正式に今回の神事に必要な場所へご挨拶ができます。最初は、日本神道と同じ”天照大神”を祭る 萬古山（ばんこやま）ウタキ　です。このウタキの裏の海側に司（つかさ）しか入ることが許されていない天の岩戸もあります。



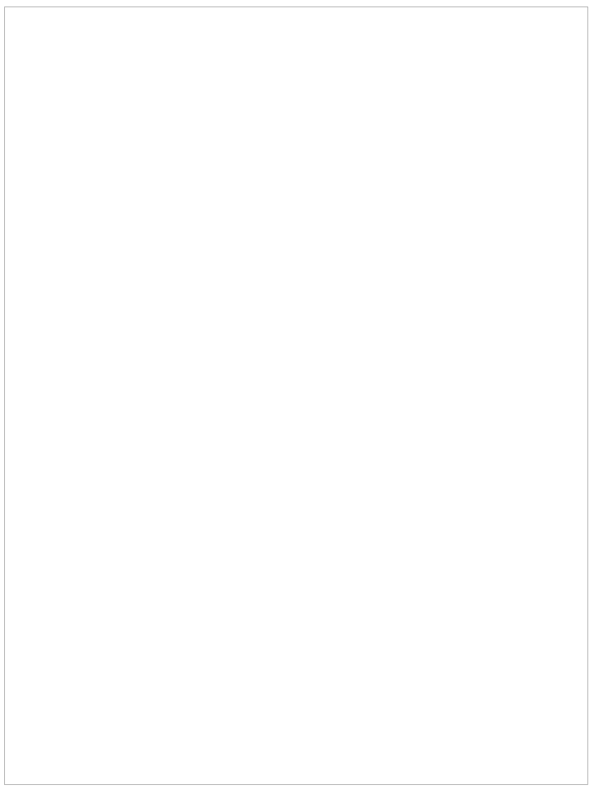
ここの神様からはまず、

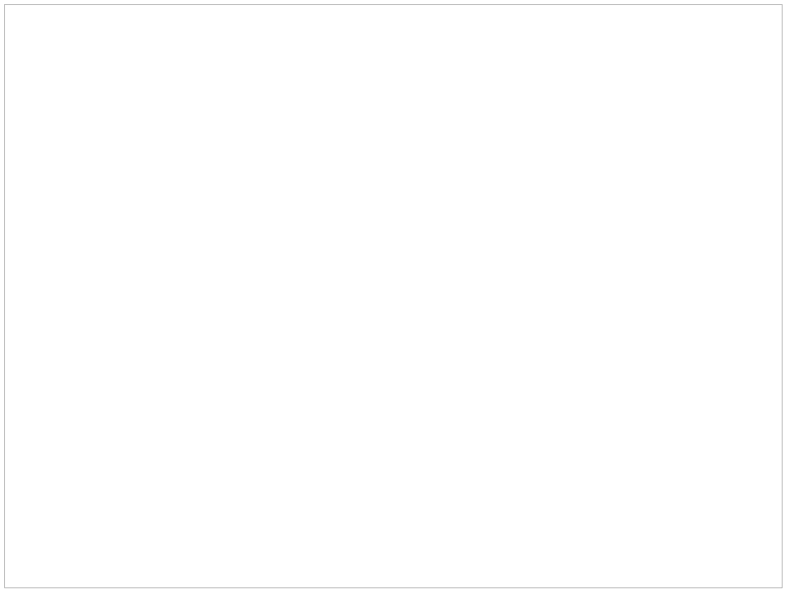
剣（つるぎ）」は　島尻家が守る役目。
「玉（たま）」は　洲鎌（すがま）家の元が守る役目。
「鏡」は　この世にない。

と教えてくれます。この剣・玉・鏡は、天皇家が代々守ってきた”三種の神器（じんぎ）”のことを言っています。この三種の神器が意味する事は、実際に奉られている物質世界の物のことではく、実は、それぞれの物が意味する宇宙根源神の力を示す証であると宇宙のおおもとが教えてくれました。剣は、天と地を繋ぐ意志であり、玉（まがたま）は、陰陽全ての物事のバランスを調和する究極の力があり、鏡はこの世が全て写し世であることを示し、その全ての物事の本質を映す鏡であると教えてくれました。

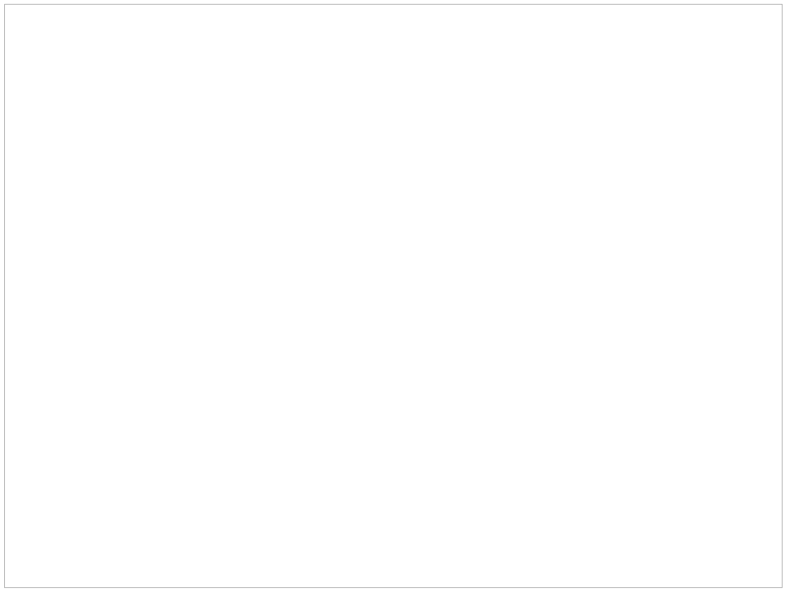
宮古島に天照大神と天の岩戸がある理由は、現在の日本神道の隠された事実を明かす鍵にもなっている場所だからです。その鍵を繋ぐことが今回の神事の目的でもありますので神様からは、「大変なご神業ですがどうぞ宜しくお願いします。隣の龍があなたを見守り導きますのでどうぞご安心下さい。そしてこの裏にある天の岩戸もどうぞご覧下さい。と言葉をいただきます。岩戸は潮が引かないと見えない場所にありますので、海岸へ出て岩戸のエネルギーを感じます。神所を案内してくれた人は、神様が大切にしている場所には必ず、ヤドカリがいっぱい集まっているんだよと教えてくれました。

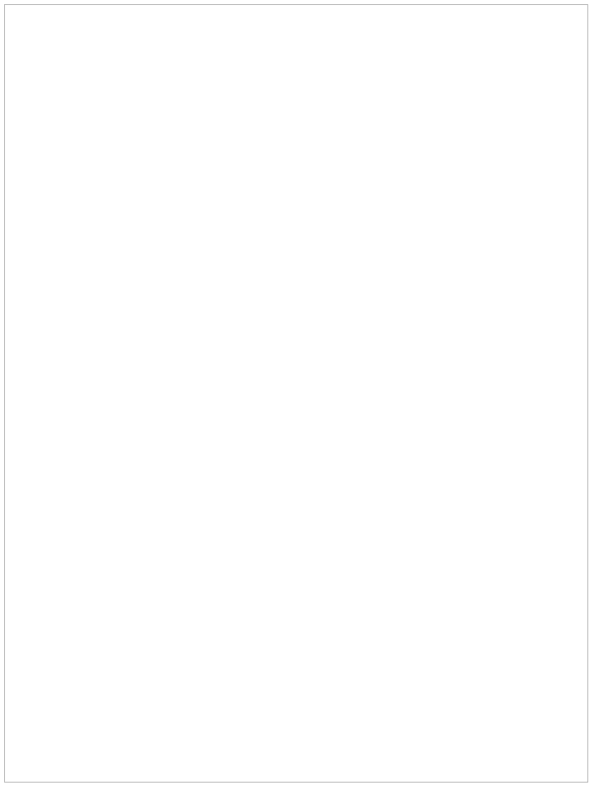
次の場所は、私一人で偶然見つけた”パナタガーウタキ”です。ここはもともと川の神様ですが、第二次大戦中で戦った日本兵が隠れて生活していた場所でもあります。日本を守るために最後まで戦ってくれた全ての御霊たちに感謝する祈りを捧げました。





三箇所目は、パナタガーウタキの近くにある”比瀬（びっし）ウタキ”です。ここは地元の神人が大和（内地）へ繋ぐ祈りの場所として有名ですが、裸の女性の神様がいて着物の反物を下さることでも有名です。





ここには以前、来たことがありますが今回の神事の目的を告げると、何本かの反物を下さいました。そして神様はこう告げられました。

「この反物の中の１本に金糸が折り込まれていますが、これは中国から繋がる糸（意図・意志・命）を示していますので、どうぞお持ち下さい。」

この意味は、宮古島の方々の先祖ルーツに中国・朝鮮・台湾の人の血が含まれていることを示しています。沖縄の先祖祈りの根源にある考え方は、自分を産んでくれた先祖を大切にするように、過去の先祖ルーツに存在した全ての人や神に感謝する祈りです。そしてこの血の流れは、現在の日本人にも流れているルーツであり、そのすべてを繋ぐ大切な祈りです。

このことを理解し、人種差別や国境が無くなるために、全ての人種の元を正す神事ですので感謝して反物を頂きました。

そのあと、右側から「まがたま」、左側から「剣」、中央からその「目録」をいただき、今回、繋ぐ場所の神様へ示す大切な神意志を受け取りました。日本人のルーツや全ての人種の根の元を明かす時が来たということです。

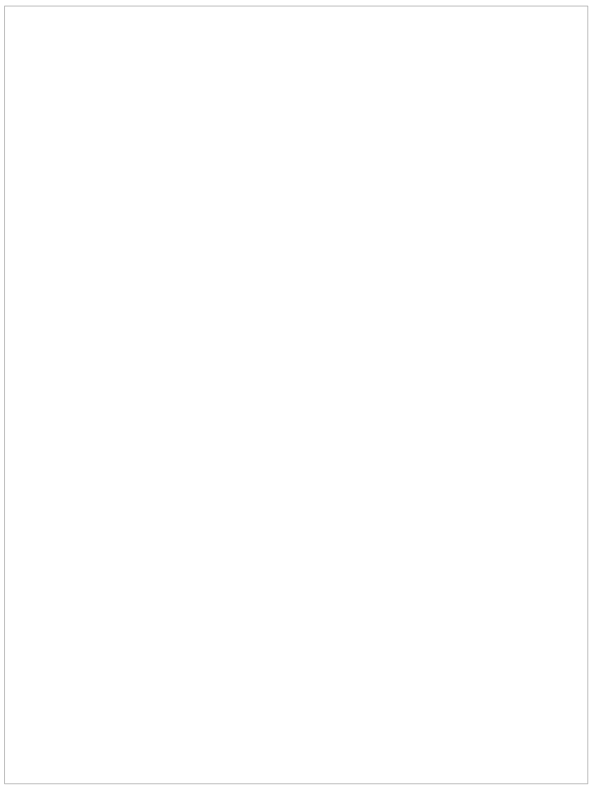
これを持って沖縄まで繋がってきた人種や神のルーツを出雲・伊勢へ繋ぎます。出雲や伊勢を守る神々も、地球を見守る大きな神たちも同じことを望み、本来の宇宙根源神の力をこの神国　日

本で合わせるために存在していると、神々の熱い思いのエネルギーが身体中に溢れます。

沖縄　龍球王国神事メンバーの力を借りて、沖縄本島や出雲、伊勢で意図（糸）を繋ぐべき場所を探し出し、日本人の全ての元を正す神事は続きます。

2008.10.26 Sun

漲水御嶽（はりみずうたき）：宮古島



この漲水御嶽（はりみずうたき）は宮古島の平良港近くにある航海安全や旅の安全を見守る神様として有名な場所です。一般の旅行者でも宮古島へ来たら、必ず最初にご挨拶して下さいとお願いしています。

タクシーの運転手さんが教えてくれた宮古島の伝説では、この漲水御嶽（はりみずうたき）の神

様は「へび」だと教えてくれます。伝説では毎夜毎夜、女性の家に通う男がいつも夜になると帰るので、不思議に思って着物の襟に糸を縫い付けその後を追ってみると、このウタキに戻って行ったと言い伝えられているからです。ヘビは土地を守る神様の代名詞ですし、１０００年に一度、ヘビが天昇すると龍になることも有名な話です。

私もいつもどうりに旅のご挨拶に訪れると、外観はとてもきれいに修復されていますが、場所のエネルギーが何か変な感じがします。写真の右側だけ白くぼやけているのもそのせいでした。神様は私に何も言いませんでしたが、後から宮古島を守る神人が教えてくれました。それは修復の際に、ウタキの中にあった古い大きなガジュマルの樹をほとんど切ってしまっていたのです。

ウタキの意味を理解している人にとって、ウタキ内の樹を切ることが絶対に許されないことは誰でも知っていると思っていましたが、現在では神ルールよりも美観を優先するようになってしまったようです。このまま放置すると、とんでもないことが起きるとその神人は言います。唯一、救いの方法は、切った本数の分だけ、新しい苗木を植えることだそうです。知人の方で宮古島の漲水御嶽（はりみずうたき）を大切にする方がいましたら、ぜひこの情報を教えてあげて下さい。

なべ底：伊良部島　10/12（日）午前

伊良部島の祈りは、いつも「なべ底」から始まります。ここは地球の根につながるの場所であり、いくつもの神々が見守る最高にエネルギーが強い神場所です。宿で偶然、知りあった東京の方たちを連れて木製の遊歩道を進むと、春に修復されたはずの場所がまた壊れています。強い風に吹き飛ばされて壊れたそうですが、今年の台風の影響はほとんどないと地元の方が言っていたのに不思議です。近年に三度壊れた意味は、どうやら壊れる場所が神様の通り道のようだと神人は話してくれます。道の方角を変えるか、何かの案を出す必要がありそうなので伊良部島の人たちの知恵に委ねたいと思います。

祈りを終えて戻ろうとすると、参加した一人の女性に霊体が乗り移り突然、泣き始めました。様子を見ていると霊体は苦しめようとしているのではなく、何かを伝えたいようなので、その霊体からメッセージを聞き取りました。「子供を産みたかった女性」からのメッセージでした。きっと子供を産めないことで辛く苦しい思いをしたのでしょう。東京から来た４人の女性たちは、生まれ変りの儀式の後でしたので霊体の気持ちもよくわかります。霊に乗られた女性もその思いを感じてか、今まで思わなかったけれど自分の子供を生みたいと初めて思ったと話してくれました。思いを理解してくれると霊体は離れてくれました。

見えない霊や神様を怖がる人はたくさんいますが、霊体や神様と正しく交信できる人さえいれば、相手の思いを理解し自分にできることをすることで、ほとんどの場合は解決します。問題は霊体のほうではなくて、霊障を受けやすい体質の方やいろんな声が聞こえたり、ビジョンやメッセージを受け取る方が、自分自身の心や身体のメンテナンスや目覚めをする必要があることです。

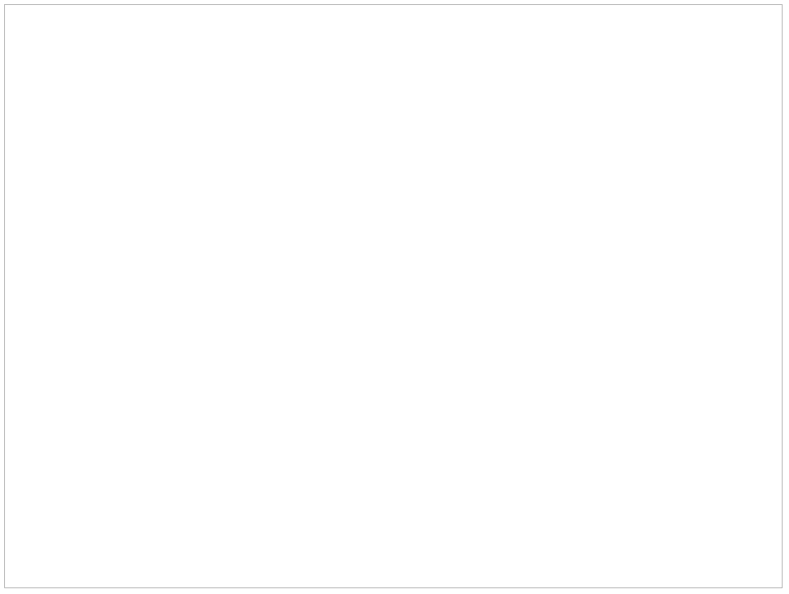
私のように体質的に持って生まれた人もいますが、突然、ビジョンやメッセージを受け取る受信機が作動した人は、世の中や他人のために使うために宇宙から与えられたひとつの役割ですので、その情報をただ面白がるのではなく、時間をかけてでも正しく理解する道へ進んで欲しいと思います。

※こういう方の為にハートランド龍球のセラピーや講座を開設しています

大神島　10月12日（日）午後

午後から、「大神島」へ向かいました。今回の沖縄・出雲・伊勢神事の為にどうしてもご挨拶しなければいけないと感じていたからです。宮古島側の島尻漁港から出る船を待っている間、大神島のエネルギーがビリビリ身体に入ってきて痛みが身体を襲います。島尻漁港の両側にある門番にご挨拶してから、船の中で自分自身の精神を整えます。

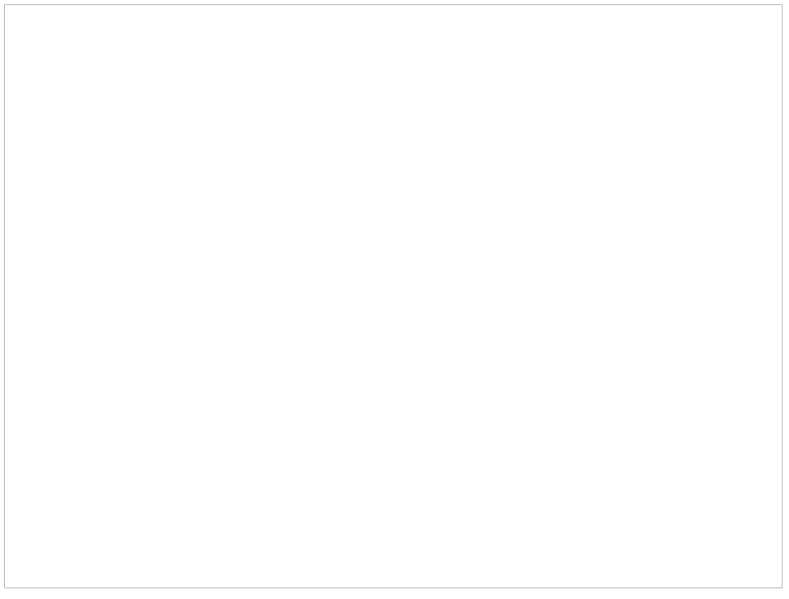
大神島の港に着くとまず港を守る神様の場所にご挨拶をします。遠見台へ向かう通り道の井戸の神様（カーシン）にも祈りを捧げながら、頂上のご神体の岩の神様に祈りを捧げます。塩・水・酒をそれぞれの人が持って神に祈りを捧げ、詔（みことのり）を唱えると宇宙のおおもとから新しい神の名前が降りてきました。



天地天明神（てんちてんめいしん）：今までの神々を全てまとめあげて、新しい始まりの神として働く。

今まで宮古諸島全てを守る神として大神島の神様は有名でしたが、さらに神昇格して新しい日本の始まりの神としてこの宮古諸島・日本列島を守る神の働きをなされるようです。この事実に驚きながらこれから行く出雲、伊勢の神事の重要さを再確認する祈りになりました。

大神島の神様が、これから大いなる働きを持って神国日本をお守り下さいます。神の導きと計らい全てに感謝いたします。



2008.10.22 Wed

伊良部ユークイ**2008**

４年目になる伊良部島最大神事のユークイ（豊年祭）は、今までにない喜びをいくつも感じることができました。一つ目は、毎年私を案内してくれるホテルてぃだの郷のオーナーに「吉岡さんは今年は来ないのか？」と聞いてくる地元の方が何人もいたということ。その理由も字伊良部部落の祭りに参加してすぐわかりました。

４年前、伊良部島の龍に導かれてこの島へ来て初めてユークイのウタキで出会った５０代の男性Ｋさんに、大切な日本の古い伝統や精神を守る皆さんの姿に感動したことを話すと、「わざわざ北海道からこの島へきてくれて、神を信じ神に感謝してくれるあなたに私も感謝している」と、神に代わって御礼を言ってくれた心美しい心の持ち主Ｋさんが、なんと今年から新しい司主（つかさしゅ）に選ばれていたことです。この司主のことを村人たちは皿主（さらのしゅ）と呼び、司の役目を持つ女性たちよりも上に位置する最高の神の人として尊敬の念を持って対応します。

さらにすごい出来事は、Ｋさんが司主に選ばれたことで昨年、日取りを決める役目に選ばれた村主（そんしゅ※地元の方は習主（ちょーのしゅ）と呼ぶ）のお兄さんと兄弟で神役目をいただいたことです。これは６５０年続くユークイの歴史にもない初めての出来事としてこれからの３年間が大切な意味があることを村人全員が感じているようでした。

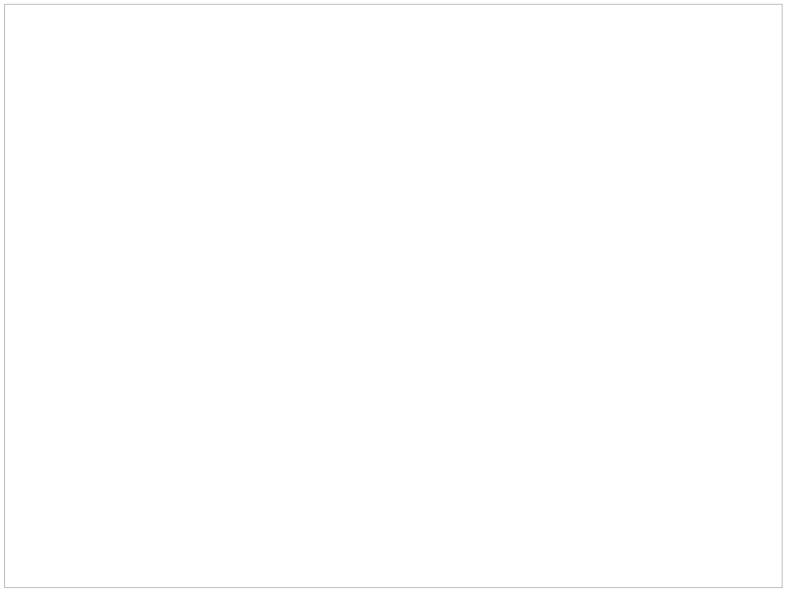
三年ごとに行われるこの神の役目を選ぶ手順は、まず対象となる年齢の人たちの名前を書いた紙を折りたたんでお盆の上に載せ、字伊良部の区長がお盆を左右に振ります。何度も振りながらそこから飛び出した紙に書かれた人の名前の人を選ぶのですが、７回も振るこの作業で５回も飛び出したＫさんの名前を神が選んだ人だと全員が認めています。

皿主（さらのしゅ）に選ばれると年に３６回行われる神行事を三年間全て出席しなければいけないルールもあります。さらにその月に行われる神行事の日取りは、旧暦の毎月１日にしか決める

ことができないルールがあるので、普段お勤めをされているＫさんにそのことを聞いてみました。「神役目をいただいた人は、何があっても神ごとを優先しなければいけないんですよ。」と話してくれます。

本当に大変なお役目だと関心しましたが、よく考えてみるとその祭りを支える村人たちも同じように、何があっても大切な行事に参加しているのだと気づきました。このように神を大切にする大人の姿は、未来の子供たちに守り継ぐ後ろ姿として先祖から続いていますが、お祭りの影でお酒の手配や場所の段取りをしている青年部の子供たちにも直接話を聞くと、「同級生にこのことを理解してくれる人は少ないけど、僕たちは必ずこの村の祭りを守りますよ！」と熱い志を話してくれました。

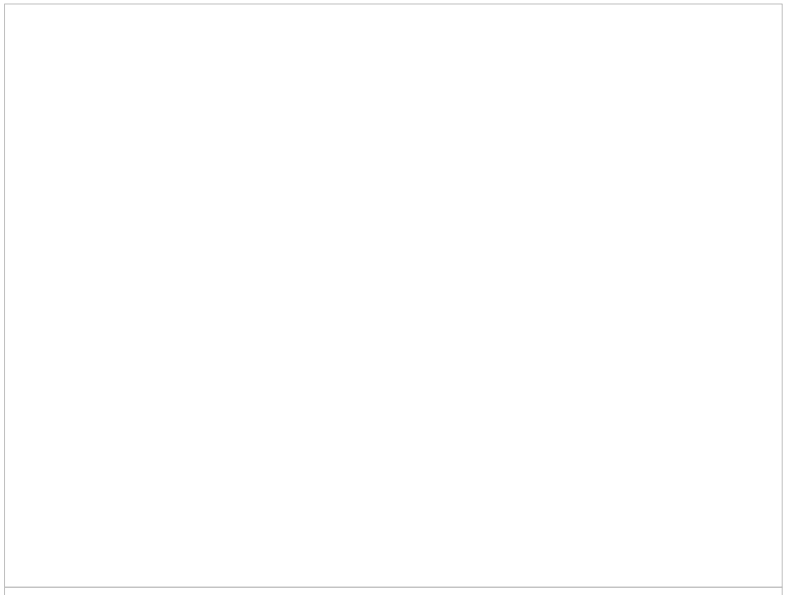
大人たちが見せる行動の積み重ねこそ、子供たちの最大の教育であることを教えてもらった瞬間です。地球を守り、日本を守り、自分の住む土地を守りたいと願う人ならば、必ず示さなければいけない行動の基本であると思いました。どうぞ、精神性の高い大人の皆様、その姿をあなた自身が行動で見本を示して下さい。子供たちはいつもあなたの言動と行動を見つめています。

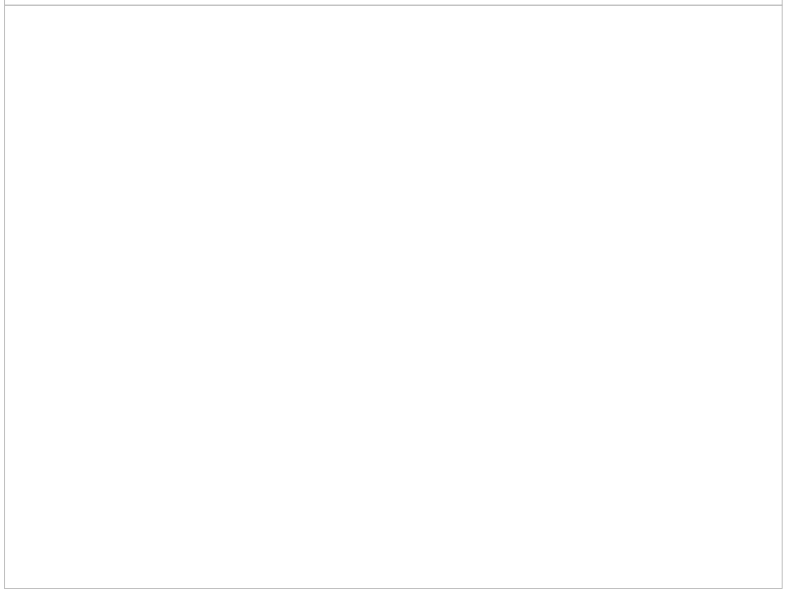


祭りの最後に踊りを踊る年配の女性たちは、必ず着物の上に長い羽織（わーがき）を着て踊りますが、この羽織を着て踊る女性たち全てがウタキを守る司（つかさ）の役目を過去していたことを教えてもらって、さらに感動しました。神様に選ばれて三年間、日々精進したその姿は神守りの功労の証として女性たちのあこがれの踊りです。何度聞いてもこのおばーたちの歌声から聞こえる神様の声に、私の魂はいつも震えています。

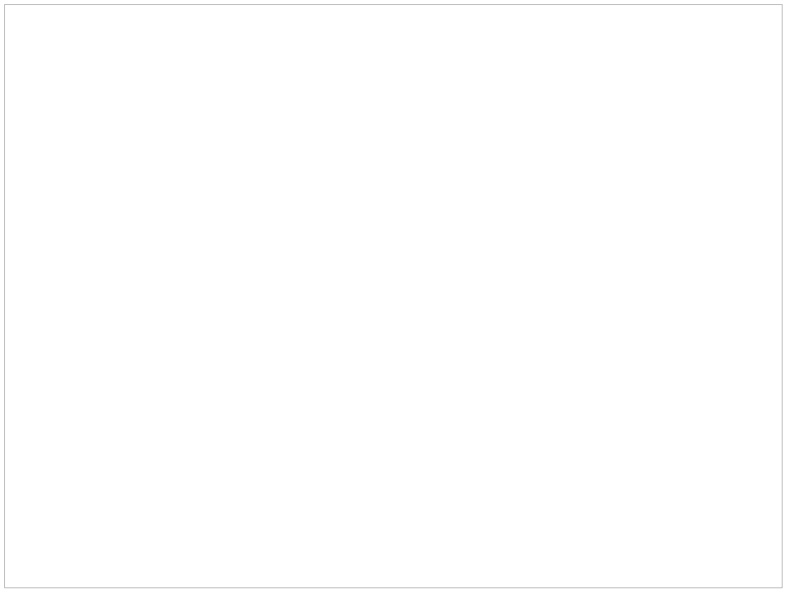
渡口の浜の川向かいにある林の中のウタキ（パイヌフツ）の役割を聞いてみると、伊良部島全体の元を守る役目を持つ字伊良部と仲地部落の二つ部落のバランスを取る神様がいらっしゃると教えてくれました。さらにこのウタキのあと、今年初めて最後のウタキへご一緒することを許されました。伊良部島全体の祭り事の中心役として働く字伊良部部落の最後の場所は、字伊良部集落の真ん中にある川の神様（カーシン）で「カーイ」と呼ばれている場所です。古くからこの井戸

の水を飲んで生活していたことは当然ですが神を大切にする人から、そのこと以上にこの場所の神様は大きくて怖いと教えてくれます。





習主（ちょのしゅ）も皿主（さらのしゅ）も踊るこの場所は、前日からの続いた長い祭りの時間を無事見守り続けてくれたご先祖神たちや天地の神様へ感謝を捧げているようにも感じました。日も落ちて薄暗くなると一人づつ女性たちが家に戻り夕飯の支度をする頃、昔から男性だけに続いている伝統的な力自慢があります。川の神様の場所にある６０ｋｇほどの石を肩の上に担ぐのですが、やってみるとこれが重い！何人もの若者が挑戦しますが肩の上まで上がったのは若者では一人だけでした。すると７０歳のおじーが、シャツを脱いで見本を見せてくれます。一気に持ち上げるたそのりりしい姿は、この村を支え続けて男たちの力強さを感じさせてくれる瞬間でした。



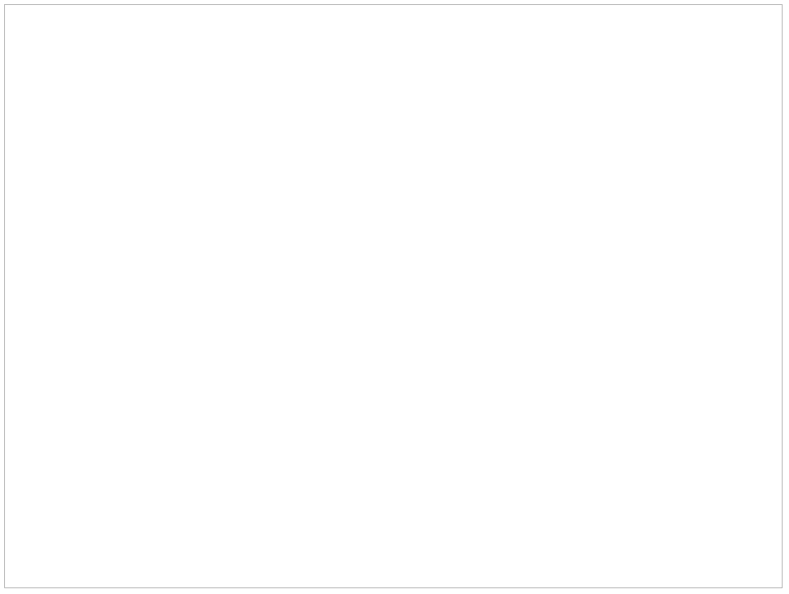
この力自慢で最後だと思い帰ろうとすると最後の最後、この島の神行事の全てを影で支えている元（もと）と呼ばれる家に誘ってくれました。この元（もと）の家の役割は、毎年持ち回りのボランティアで祭りごとの段取りを話し合ったり寄り合う家として、年間に何十回も集まる人の食事や飲み物の世話、集金・名簿の管理など一気に引き受ける役目なのだそうです。

家のご主人に話を聞くと、自分の息子が26歳の少年ヤー（神祈りの対象年齢）なのだが、地方に暮らしているので親がその代わりをして皆さんを支えるのは当然なことですと話してくれます。この話を聞いていて昔、ある人に教えていただいた素晴しい親心の話を思い出しました。

「俺の息子は東京で暮らしてるんだ。離れているから親はお金を送るくらいしか面倒はみれない。でも息子が困ったときには必ず周りの誰かにお世話になっているはずだから、その人に恩返しできない分、自分の周りにいる子供たちに自分のできることをしてあげているんだと。」

コンビニで１０００円しか持っていない知らない子供たちに、「飯ぐらい腹いっぱい食えとお金をあげた話」を教えてくれたこの親の心こそ、人と人の大切なつながりを繋ぐ大切な糸のようにも思えます。

人間としての心や暖かい親心、また、おじーやおばーを大切にする親子や人のつながりの一番大切なことを感じさせてくれる伊良部島の皆様に、心から御礼感謝いたします。



2008.10.21 Tue

愛することを忘れた人たちへ

愛することを忘れた人たちへ告ぐ

愛を忘れた人たちは　存在の役目を果たさずに

生きていることに気づきなさい

愛を与えられ　心を与えられ

肉体をいただいて　今　生かされていることに

感謝する気がないのなら

あなたは自らを否定していることになります

自らを否定することは　あなたを愛し

見守り続けてきた存在への　冒涜（ぼうとく）です

自らを愛するように　他人を愛しなさい

他人の行いを非難するのではなく

心淋しい人の行いを見たら　その分

あなたが愛を行動をする人になればいいのです

愛を失う行いは　自らを否定するばかりではなく

全ての人の愛を削り取る行為だと知りなさい

存在していることに感謝し　生かされていることに感謝し

その全てを楽しみ　慈しみ　生きなさい

何がおきても　愛を愛（め）でる人になりなさい

時は　確実にあなたの時間を減らしています

しかし　あなたの心は無限に大きく愛を膨らませるようにできています

ひとつのつまずきや失敗に　悩む日々をやめなさい

今　できることをするのです

愛の行いは　あなたが今　できることの集大成として形になりますから

自分を決め付けず　自分を否定せず　心に思った素直な気持ちを周りの人へ伝えなさい

そして　大切なことに気づいたら

まず　誰かに「ごめんなさい」とあやまりなさい

あやまることは　相手に許してもらうためではなく

自らの心のおろかさを認める勇気の証です

そして　その自分の素直さに感謝するように

周りの人や他人にも　「ありがとうございます」と伝えなさい

誰かが　いつもあなたを見守り続けてくれています

誰かが　いつもあなたのそばにいます

見えなくても　聞こえなくても　あなたを見守り続ける存在たちがいます

淋しくなったら　誰かの声を聞きなさい

少し勇気がでたら　誰かに逢いに行きなさい

心に思ったことを行動することは　愛の行動です

でもその結果に　囚われないでください

思ったとうりにならなくても　進んでさえいればその先に

必ず　愛を感じる瞬間がやってきます

失敗は　成功の母　　苦しみは　愛の父

この両者のおかげで　あなたの愛は大きくなるのです

よい人生を願うのではなく　心に素直に生きる自分でありなさい

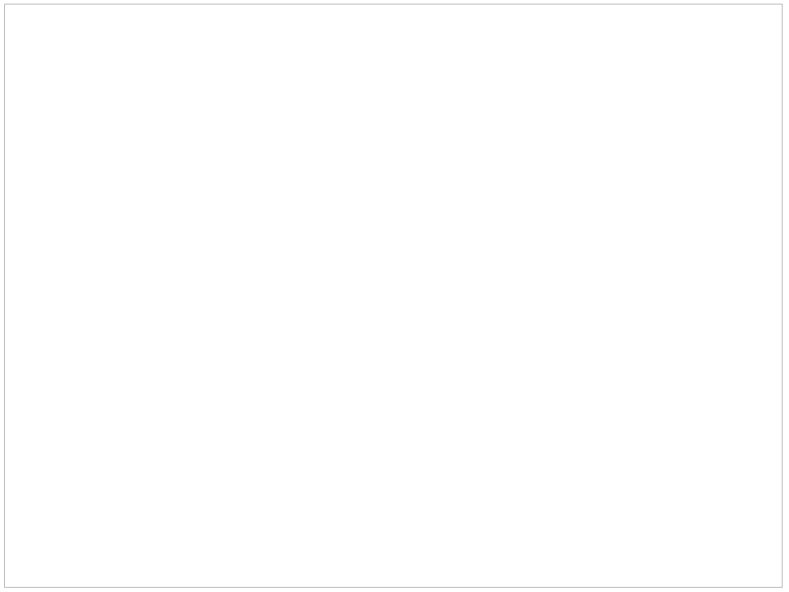
そのことを誰よりも願っているのが　あなたのご先祖たちです

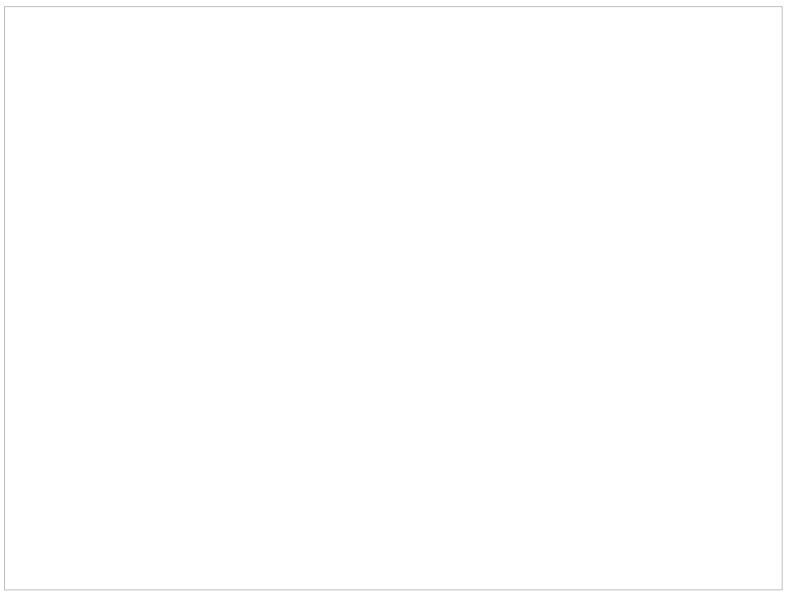
そのことに気づいたら　天を仰ぎ手を合わして感謝して下さい

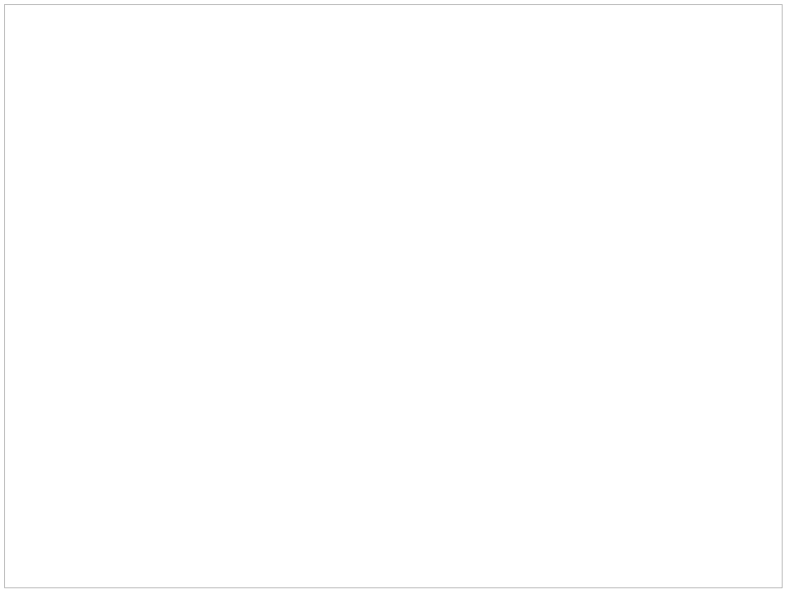
私たちは　いつもあなたたちを見守っています

※10/3　午後４時　東の空から西へ繋がる二本の龍雲
2008.10.06 Mon

自分の住む土地を愛する人たちが大地を守る山神様へ御礼をする登山が10/4、苫小牧市で行われました。自然の恵みに感謝する心を持つ有志が集う樽前山登山には、幼稚園児から還暦まじかの人たちが、手を取り助け合いながら笑顔の溢れる登山になりました。







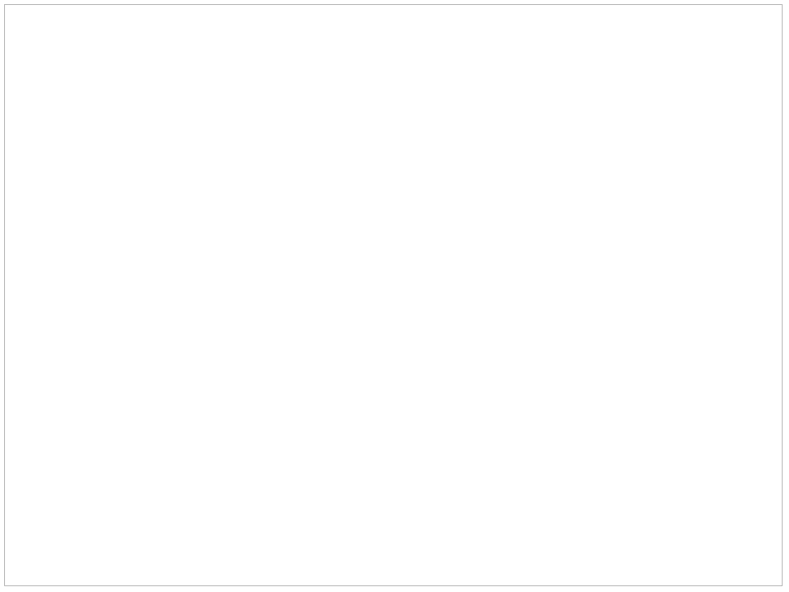
樽前山に今年一年の御礼を伝えた次は、来週の10/11から沖縄県宮古島の隣にある小さな島　伊良部島へ出向き、650年間続く伝統行事　ユークイ（豊年祭）に参加します。

この伊良部ユークイの日取りは神様に選ばれた男性（村主：そんしゅ）が神の意思を聞いて日時を決定し、五つの部落全ての祭事も神に選ばれた男性（つかさんま）が執り仕切ります。地元の人も年に２日間しか入る事が許されていない聖地　ウタキ：御嶽 の中で行われるこのユークイは、土地のご先祖全ての御霊が集まる盛大で神聖な神の行事です。

2004年から始まった私の神祈りもこの伊良部島の白龍の導きで始まりましたから、大切な神事を行うためにも年二度、ご挨拶とエネルギー繋ぎの目的で足を運びます。伊良部島の神様と対話した後は、沖縄本島にその神意志をつなぎ、さらに、島根県の出雲大社、三重県の伊勢神宮へ向かいます。

１０日間におよぶ今回の神事は、白山神事の際に降りた啓示を行動に移す祈りですが、全ての神事が終わるまでその内容は公開はできません。日本人のルーツに関わる重要な神事とだけお伝えしておきます。

１１月には、九州　鹿児島にある桜島の神事も決まりました。縄文時代、弥生時代、大和の時代から現代にまで繋がる日本人の真実を守り繋ぐ神事です。これから足を踏み入れます土地神様、またその土地を愛しご先祖からお守り下さいます皆様へ感謝いたしますと共に、日本国に生まれた全ての御霊たち・ご先祖たちが喜ぶよう皆様の心合わせをお願いいたします。世界中の民族の代表として生まれた日本人の魂の目覚めを願っております。



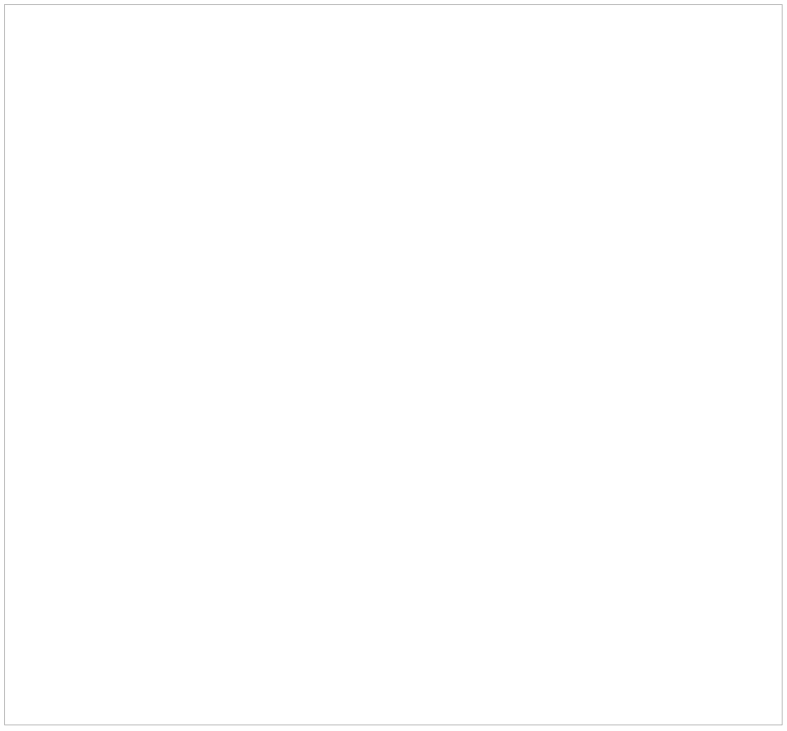
2008.10.05 Sun

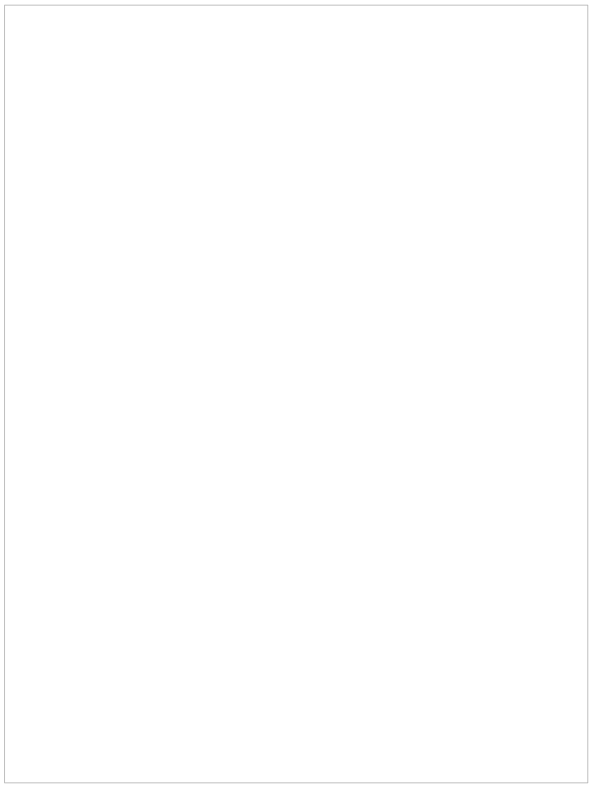
十勝岳　神事

9/30　北海道の東側と南側一帯に豊かな水を産み出している十勝川の源流（十勝三叉）へ向かうと、紅葉の木々の葉と山から溢れ湧く清らかな水を守るようにたくさんの精霊たちが集っていました。自然界を繋ぎ私たち人間の生活を守ってくれている”水のおおもと”へ感謝の祈りを捧げます。

北海道の中心を守る山として位置づけた2008年の北海道神事の納めは、仲間たちが受け取ったメッセージの確認から十勝岳に決まっていました。初雪が降ったあとの十勝岳登山がこれほど厳しいものだとは参加者の誰もが想像していなかったので、今も達成した安堵感と身体の疲れがその厳しさを伝えてくれます。苫小牧から参加した３名の車は北海道の中心にある大雪山連邦を一周する1000ｋｍコースを走ったおかげで今年の北海道の祈りを円で納める行動神事になりました。太陽が傾く頃、北海道で一番高い場所の峠として有名な三国峠の気温は９度。旭川を経由して上富良野を目指し、今日の宿となる十勝岳の西側にある美瑛町へ向かいます。

10/1　午前7：30登山開始　登山口気温　8度
雲り模様でスタートした天候も、緩やかな稜線を登りすすむほど、霧と風が増してきます。30年ごとに噴火するこの十勝岳には一本の木も生えていないうえに、周りには1900ｍ級の山がいくつもありますので、吹きさらしの強い風が吹きつけます。足元には、噴火の際に噴き上げられた溶岩がゴロゴロ転がっています。山の中腹では今も活発な噴煙を上げる火口がいくつも見えていますが、硫黄の匂いと風が視界と喉を苦しめます。風が弱まったタイミングで朝食のおにぎりをひとつだけ口にしたときの味は今も忘れられません。





薄手の防水カッパの下にセーターしか着ていない体は、少しづつ冷たくなり体力を奪います。残り1.6ｋｍを過ぎたあたりでは下山してくる一人の男性が、頂上付近は雪と風で何も見えないので安全を考えて下山してきたと話します。6名の身体は寒さの上に見えない不安が加わり、さらに凍てつきます。

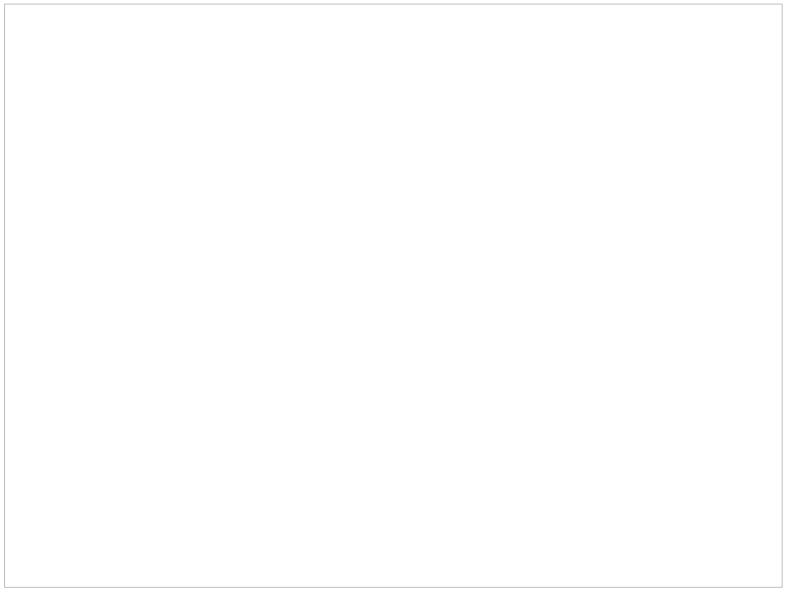
神事に望むとき、あらゆる準備と手配をしても物事がうまく進まない時があります。それは天上界の準備がなされていないということですが、自分の心に置き換えて考えると自分自身の準備と気づきが足りないという意味なのです。仲間の安全をいつも考えて神事を行う私ですが、道はま

だ見えていますので進む決意はまだ変わりません。

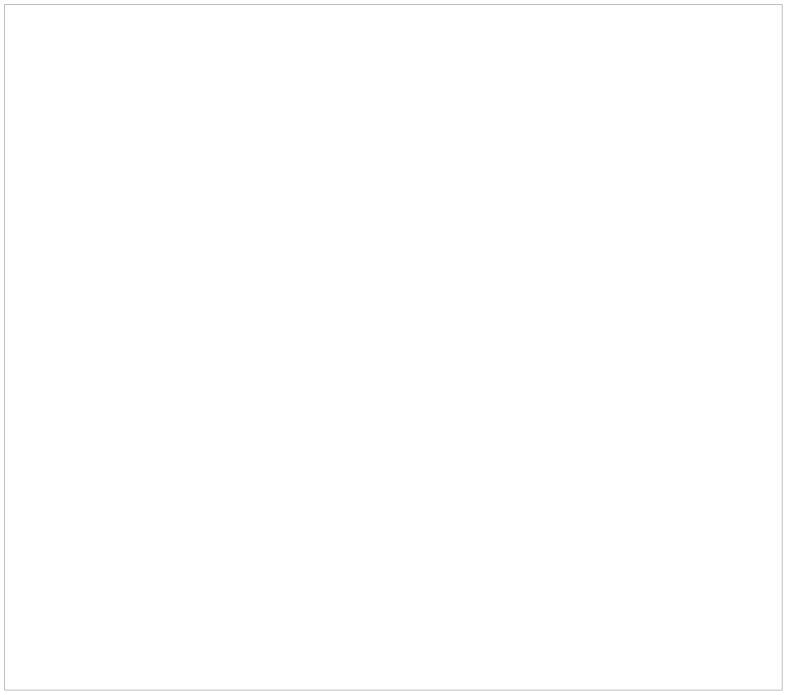
斜面がどんどん急になる道を進む時、寒さと不安が募った仲間が「道は見えますか？」と私に問いかけました。確かに岩に塗られた目印も見えなくなった時で少し不安でしたが、視界数ｍの霧の先から二人の男性が下山してくるのが見えました。「頂上まで行けますか？」と尋ねると「僕たちの足跡をたどれば大丈夫ですよ」と話してくれます。

こんなに不安がよぎる登山の道も、あなたが未来を信じて進む日々も、今より未来や人生を先へ進めるためには、?仲間を信じること　?あきらめないこと、そして、?自分で決めた決意をやり遂げる勇気だと感じました。私たちにとってこの二人は神の使いに感じました。

さらに頂上へ向かう急斜面からみぞれ交じりの冷たく強い風が吹き、周りの岩が樹氷のように結氷しています。このときの体感温度は、2度か3度くらいでしょうか？手もかじかみ感覚が鈍くなり、すべる足元に、緊張が緩みません。

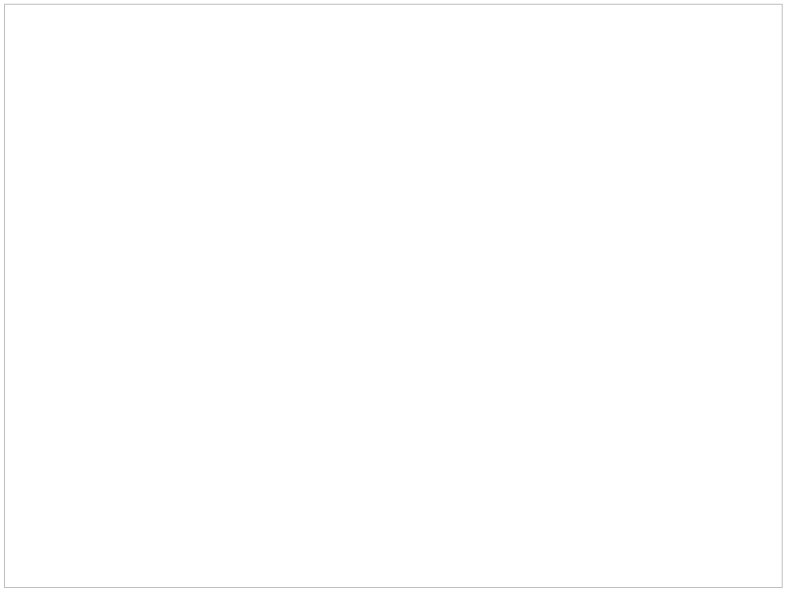


目に見えなくても守ってくれている存在や自分を信じて進むと、その先には必ず、神様が待っています。突然、風がおだやかになり、大きな岩の間を登った先に頂上の目印を見つけました。この厳しい登山をやり遂げた安堵感と緊張は、雪の上の頂上祈りとこの笑顔に溢れています。



これまで繋いだ水をすべて治めて、北海道の土地の思いを納めて、これまでの神事の御礼とこれから始まる沖縄・本州・九州・四国祈りの宣言をしたあと、雪の上に残した足跡が消えないうちにと急いで下山します。途中、頂上付近を振り返ると雪雲に隠れてま真っ白になった十勝岳とその周りの山の美しさに何度も振り返りました。天候は緩やかになり、太陽が顔を見せてくれましたので、今回の神事の御礼だと感じてました。

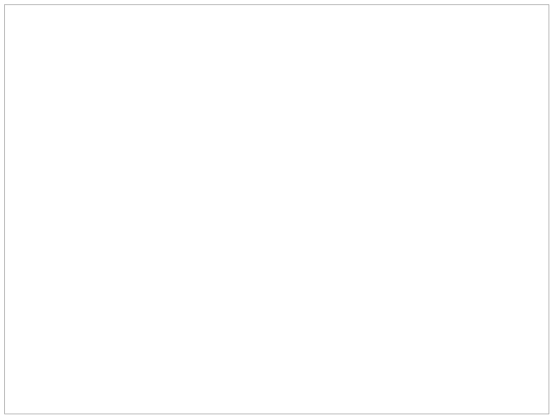
下の写真の右上の山の先に、雪雲で見えない十勝岳頂上までの道が長く続いています。そこから無事、降りてこられた喜びと全員が感じた達成感は何物にも変えられません。大いなる意図に導かれて進む神事の道を何のためかと問われても私たちは、自分のためだと気づいています。地球を愛するからこそ、自分を磨き自分にできることをこれからも続けていきます。冬山７時間の神事に力をあわせた下さった祈り仲間に感謝すると共に、全国から祈り合わせ下さいました皆様に心から御礼申し上げます。



2008.10.02 Thu

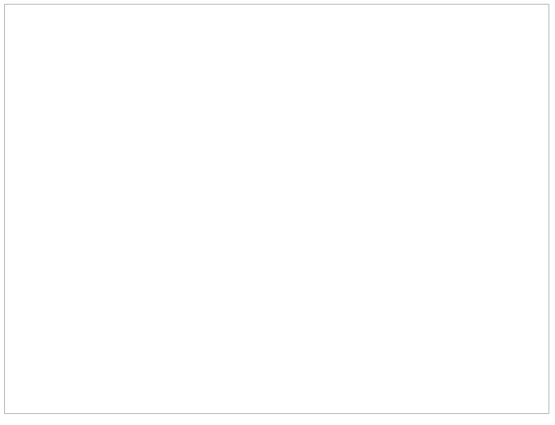
奥尻島　神事

北海道の最西端にある奥尻島神事はこの時期には珍しく４ｍの波が立ち、前日便と翌日の午後便の船が決行になる中、予定より短い１６時間滞在で奥尻島八方祈りを行いました。札幌から車で4時間、北海道側の瀬棚町から船で2時間近く揺られて着いた奥尻港は、島の東にあります。港で回る順番を考えていると、北海道南西沖地震の最大の被災地の南へまず来て欲しいと神が伝えてきます。その場所には、全国の皆様からのご支援金のおかげで亡くなった１９８名の冥福を祈る素晴しい建造物もありました。まずは南端の海の神と対話します。

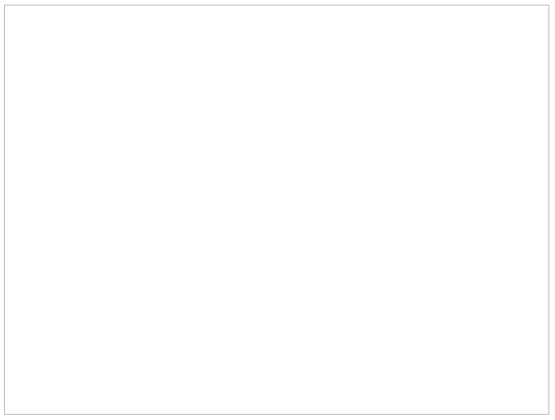


海の神は、1993年の津波や地震は奥尻島を苦しめるためのものではなかったことをまず説明してくれました。本来は、北海道へ直撃するべきエネルギーがこの島で受け止めて支えたのだと教えてくれます。1993年は日本の宗教や精神世界が大きく変化した年でした。21世紀を迎えるにあたり心の準備が整わない幼い魂たちは、その不安を増徴するようにあらゆる負の情報を流し、希望と不安のエネルギーが世の中に渦巻いていた年でしたのでこの年の地震や津波は、人間の負の想いの結果と言えるかもしれません。

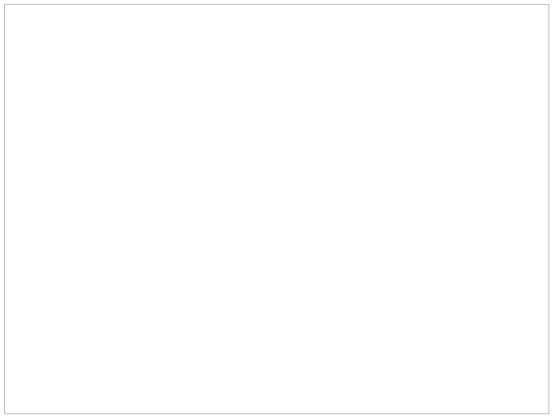
島の南端に「時空翔」と名づけられた１９８名の魂を見守る石のアートは、墓石に使う御影石で製作され、その中心のくぼみに南西沖地震が起きた7月12日に夕日がすっぽり入るよう製作されています。この場所の素晴しいエネルギーと全国の皆様の愛のおかげで御霊たちは生き残った島の家族を今も見守り続けてくれています。

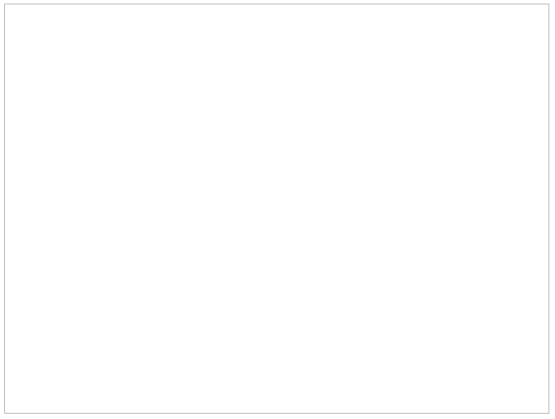


島の南西にある無縁島の岩が見える道には、当時の津波の最高の高さ23.3ｍを示す看板があります。電柱の線を超えるその津波の情景が、目の前に広がってきます。

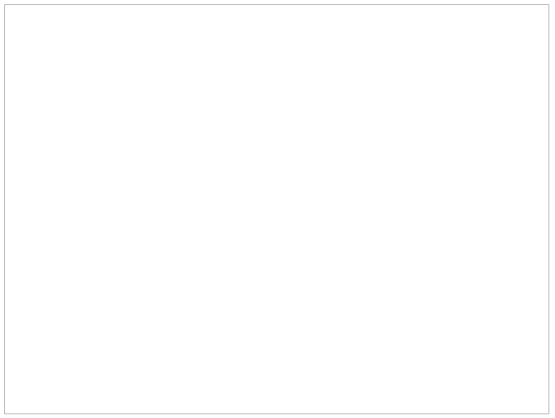


島の最西端には、石のアートが島を見守っています。その先へ座り祈りを捧げると西を守る神がメッセージを伝えてくれます。新しい命の産み出しとその見守りを約束してくれました。

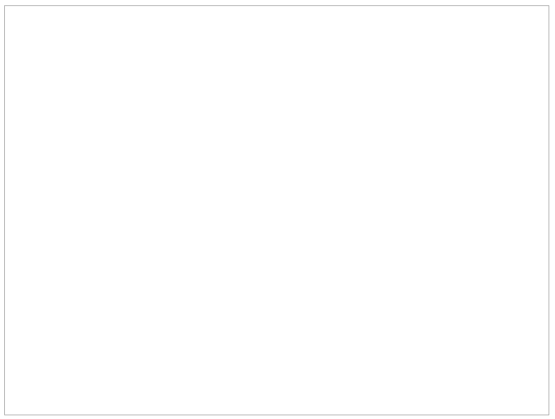


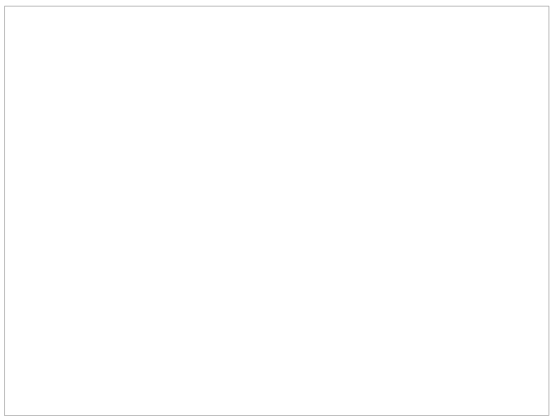


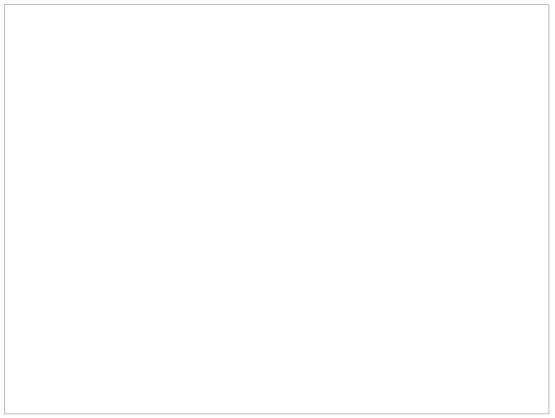
島の北西の道の横には、岩全てが墓標に見える場所があります。車を降りて祈りを捧げてみると、そこを守る神さまがオーブ（白い丸）となって御礼を伝えてくれます。

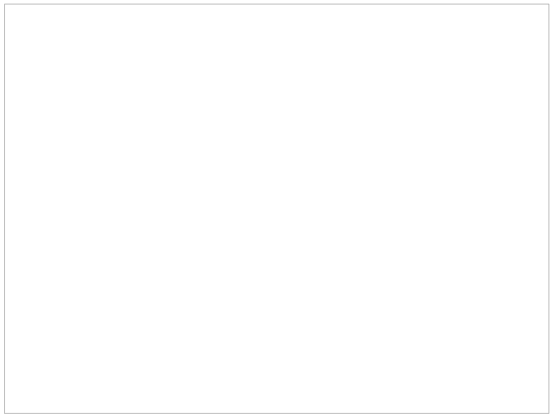


最北端の場所には、海難事故で亡くなった方たちを奉る「賽（さい）の河原」があります。ここも1993年の津波で全てが流されて何も無くなったあと、たくさんの方たちが仏像を奉納したり、河原の石を積みにきてくれた事をこの島を愛する女性が教えてくれました。道南神事の歴舟川で神に言われた「賽の河原」というメッセージが、この島へ導く鍵だったことに感謝し、全ての御霊たちとその場所を守る人たちへ御礼と感謝の祈りを捧げました。

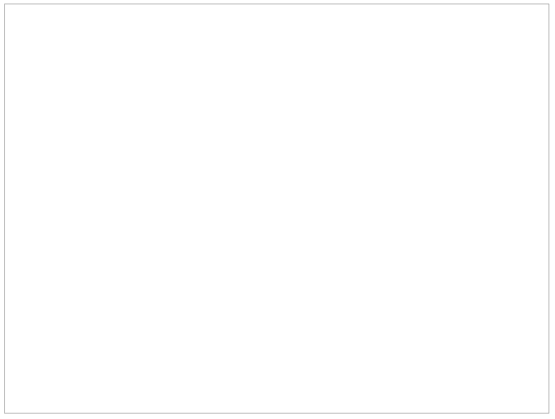


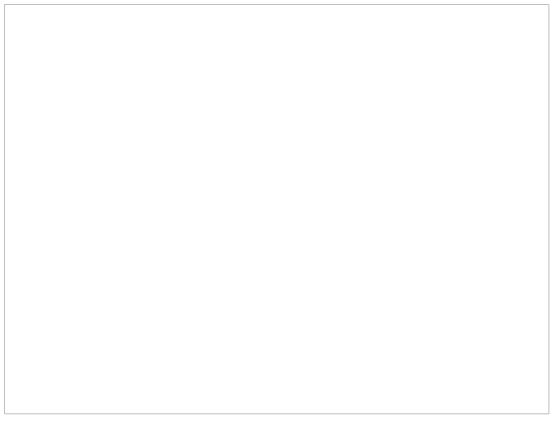




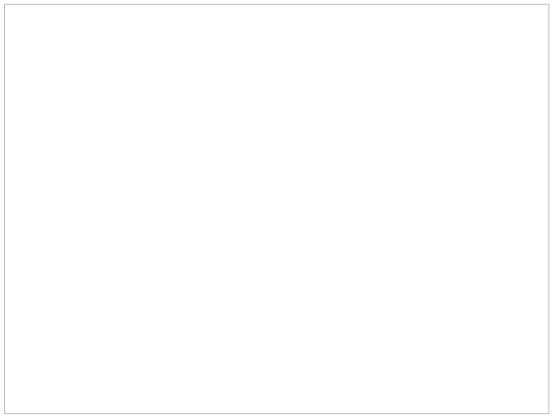


賽の河原の北祈りを終えて島の鬼門（東北）へ向かうと奥尻島に向かう船から見えるとてもきれいな宮津弁天社があります。この場所はもともとアイヌのシャチ（砦）があった場所に建てられていますが、小雨が降る中、私たちの祈りに対し天は光を降ろし、神の存在を示してくれました。





東の港のすぐそばにこの島の象徴として大切にされている「なべつる岩」があります。雨の中、今日の最後の祈りを捧げます。”日の出づる場所”の東は、全ての希望と光を産み出し与えてくれる方角ですので東を守る神へ感謝を捧げると大粒の雨が降りしきる中、大きなオーブ（白い丸）となった神が姿を表してくれました。



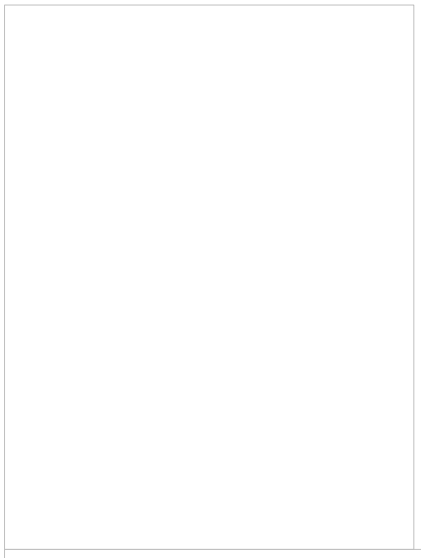
夜が明けた朝5時、この奥尻島の祈りを北海道側へ繋ぐ東南の場所へ向かいます。全ての出来事に感謝し、その愛や思いを繋ぐ祈りは美しい日の出と共に終えることができました。

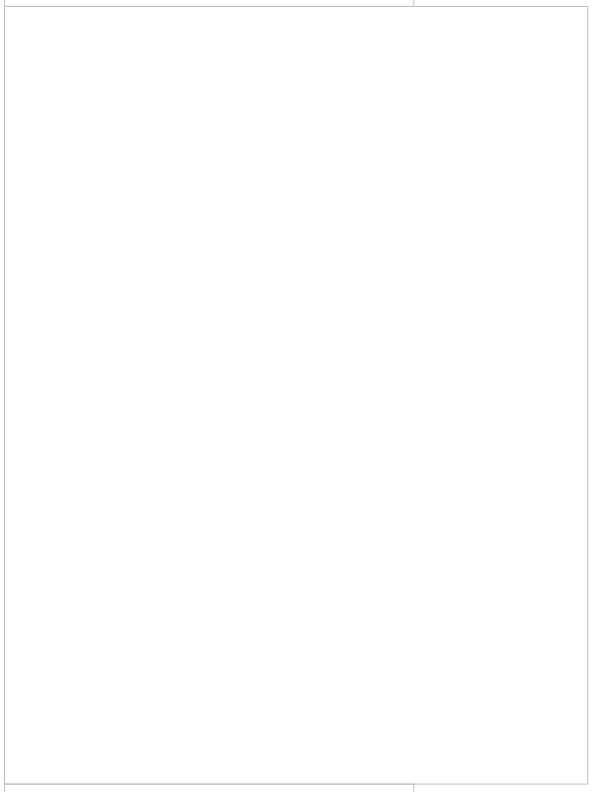
船で対岸の北海道側に戻ると、奥尻島に向き合う場所に北海道最古の霊場で有名な太田山神社（大成町）があります。北海道側の繋ぎ祈りとしてご神体であるこの山の急な階段を登り始めると、その先にはロープをつかまりながら３０ｃｍ幅の崖の道しかない難行苦行の霊場でした。

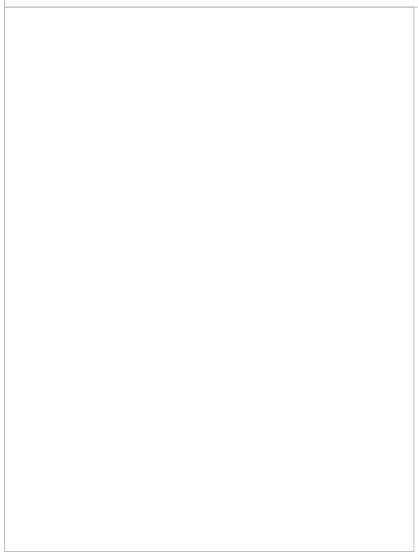
一の鳥居、二の鳥居で挨拶し、三の鳥居がある祠（ほこら）に来ると、ここから先は女人禁制というほど厳しい修験僧の霊場だとわかります。その先をさらに登り続けると四の鳥居がありますがその足元は１００ｍ下まで見える垂直な崖面に作られた足場とその先端に垂直によじ上るためのロープが頭上の祠から垂れ下がっています。

その場所で祈りを捧げると祠を守る存在からこれからの祈りに必要な玉（神エネルギー）をいく

つもいただきました。

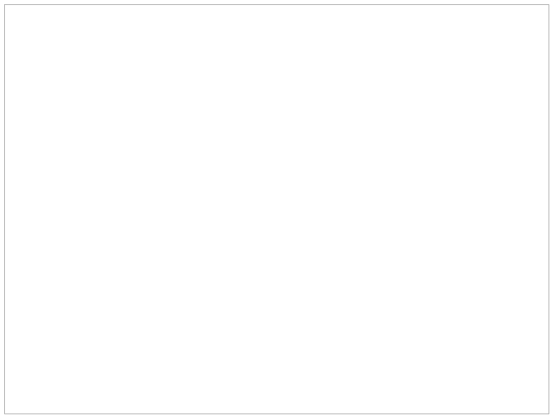






見えなくとも聞こえなくとも神仏が見守る中に存在させていただいていることを忘れた私たち人間の愚かさをお詫びし、これから新しい愛の地球、日本、北海道を創ることを改めて宣言する祈りになりました。

奥尻島の神事で一番印象に残ったことは、島の誰もが暖かく接してくれた事と泊まった宿で働く23歳の木村雪乃さんから聞いた話でした。小学生だった当事、彼女の知り合いや友達たちは、大津波でたくさんの人が沖まで流されましたが、泳いで戻ってこれたお孫さんと、目の前で「お前だけは生きなさい」と言い残して海に沈んでいったおばちゃんの実話です。
その彼は今もこの島で元気に働いていますと笑顔で話してくれる彼女こそ、この島の人が大切にしている気持ちを伝えてくれる神計らいだと感じています。愛と感謝を込めてありがとうございます。

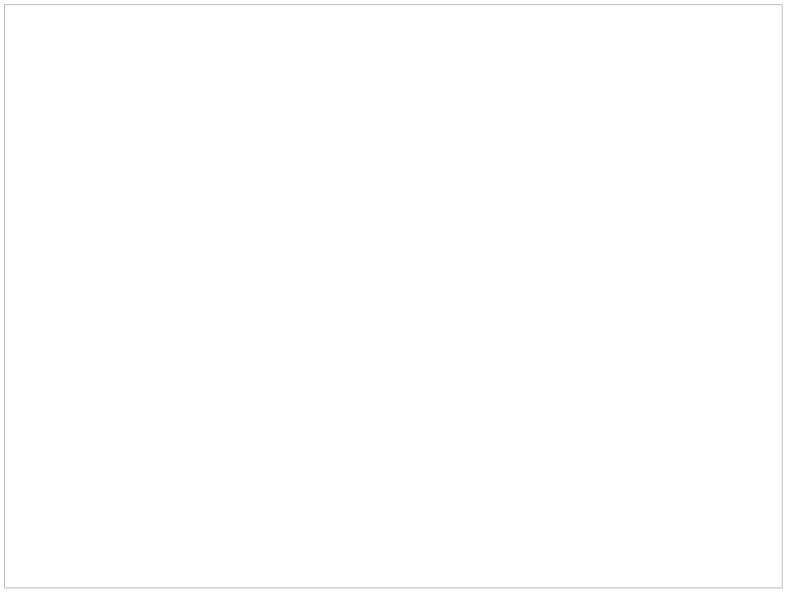


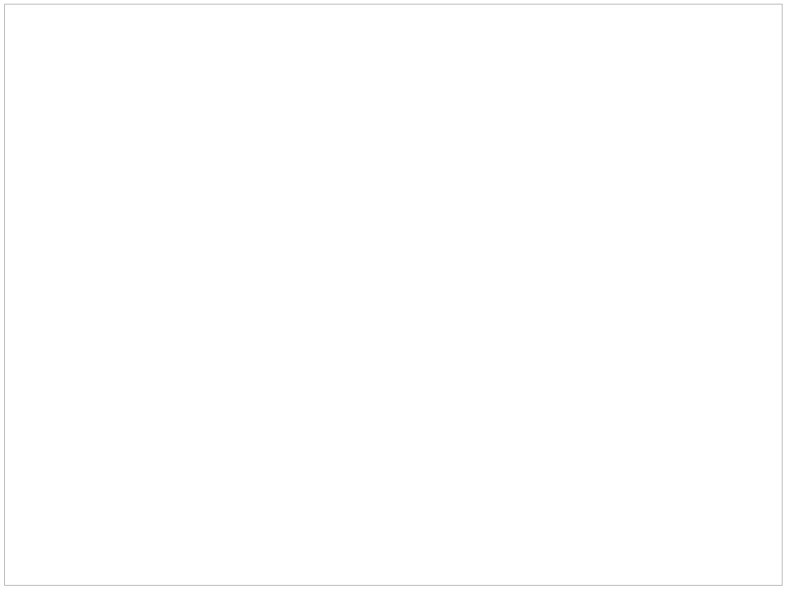
2008.09.29 Mon

北海道　道東神事　釧路川源流・屈斜路湖・川湯硫黄山・神の子池・裏摩周祈り

10/22　厚岸　国泰寺・キンムトー湖祈り
10/23　釧路川源流・屈斜路湖・川湯硫黄山・神の子池・裏摩周祈り

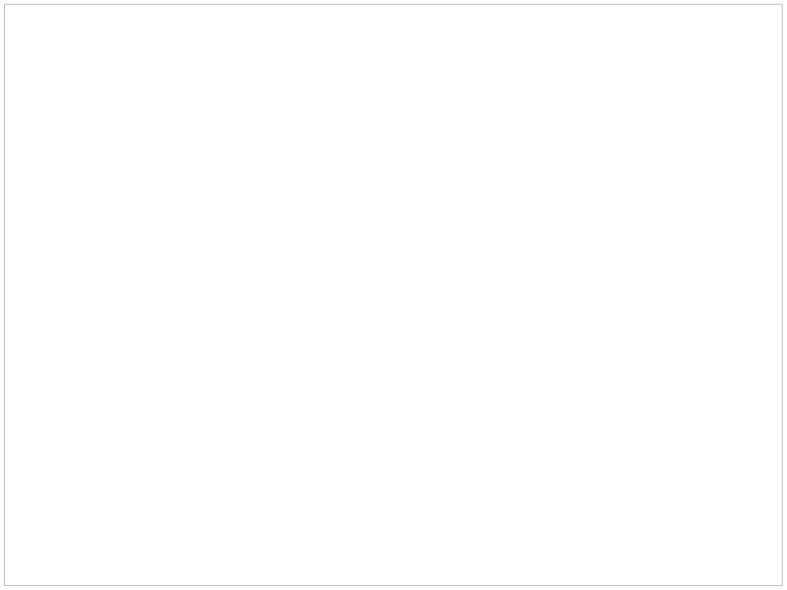
厚岸国泰寺祈りの後、水繋ぎとして弟子屈（てしかが）町にある「キンムトー湖」へ向かいました。
砂利道の林道を走ること３０分、そこは大きな神に守られるように鹿たちが水を飲みにくる場所です。クリスタルボウルの音でご挨拶をしたあと、笛の音を奉納すると森じゅうにその音が響きわたり、山・湖・風がひとつになった中に神を感じる場所でした。



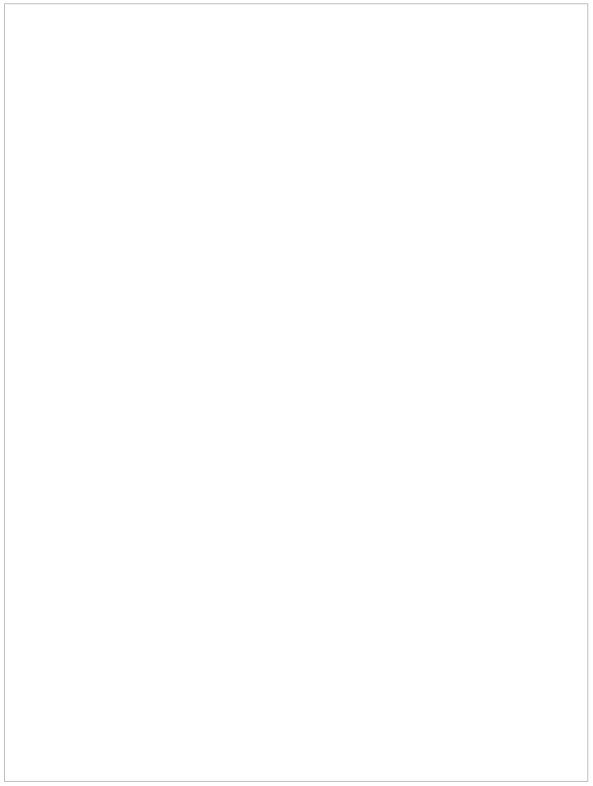


翌日23日は、まず日本最大のカルデラ湖として有名な屈斜路湖へご挨拶をしました。

数万年前に地面が隆起してできた大きな山の頂点付近がその後の地盤沈降でポッカリすり鉢状に空いた中に、雨水や川の水が溜まってできた自然の恵みの湖です。
湖の周りの砂を掘ると地面から温泉が湧き出ているとても不思議な場所です。

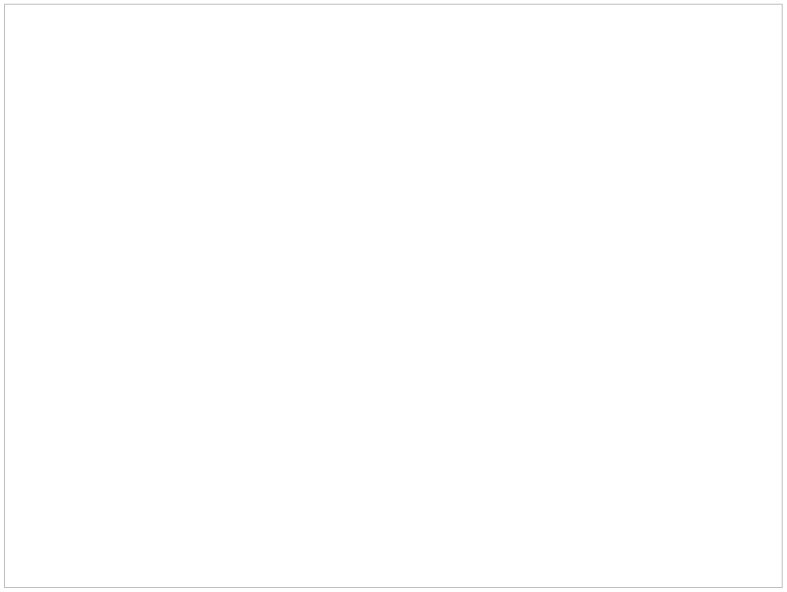


この屈斜路湖の自然の水は、日本一広い釧路湿原の中を大きく蛇行しながら流れていますが、人間の自然破壊によって激減した丹頂鶴の最後の５羽の命を守った大切な水でもあります。
今では多くの丹頂鶴が空を舞う姿も見られるようになりましたが、道東最大の釧路川の源流口に全ての恵みの御礼祈りを捧げます。

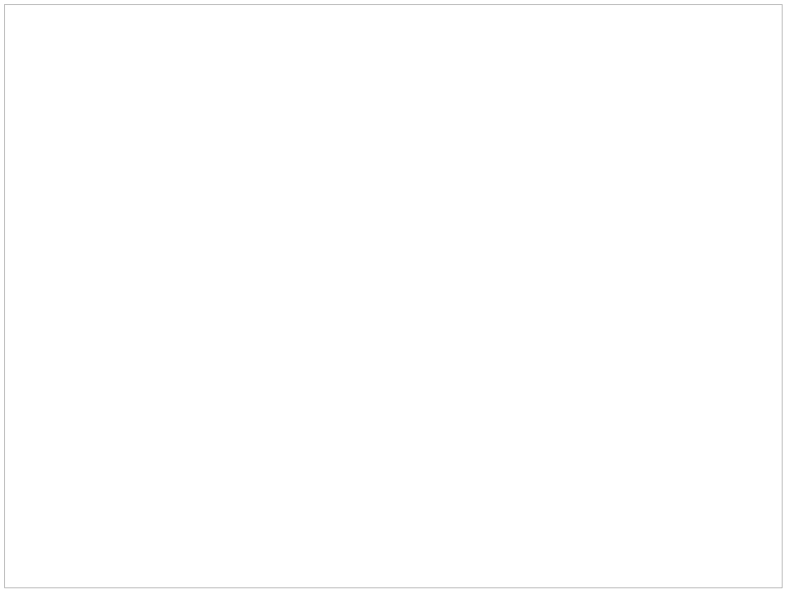


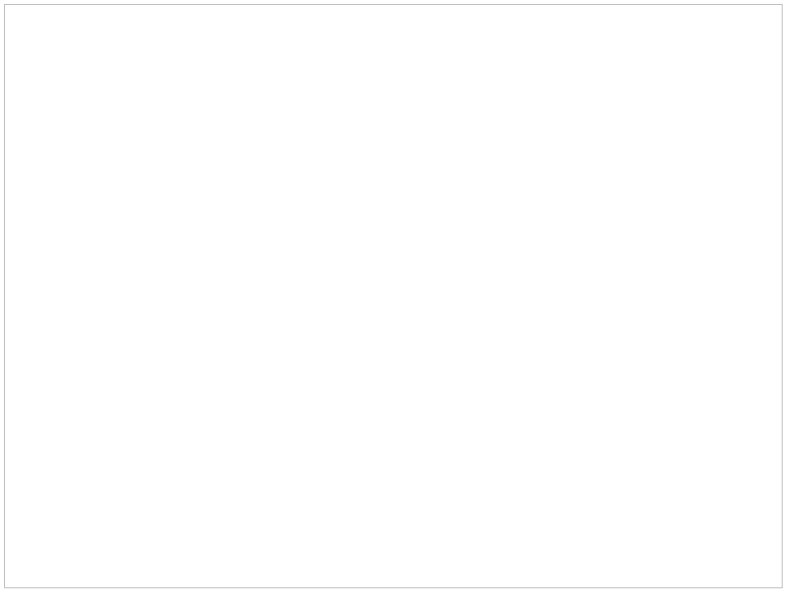
屈斜路湖の近くには今でも大量の湯気が吹き出している活火山の硫黄山（アトサヌプリ）があります。明治時代に世界へ輸出するほど硫黄を掘り尽くし、地球の恵みを奪ったままの大地からゴーゴーといくつもの穴からマグマの音が鳴り響きます。

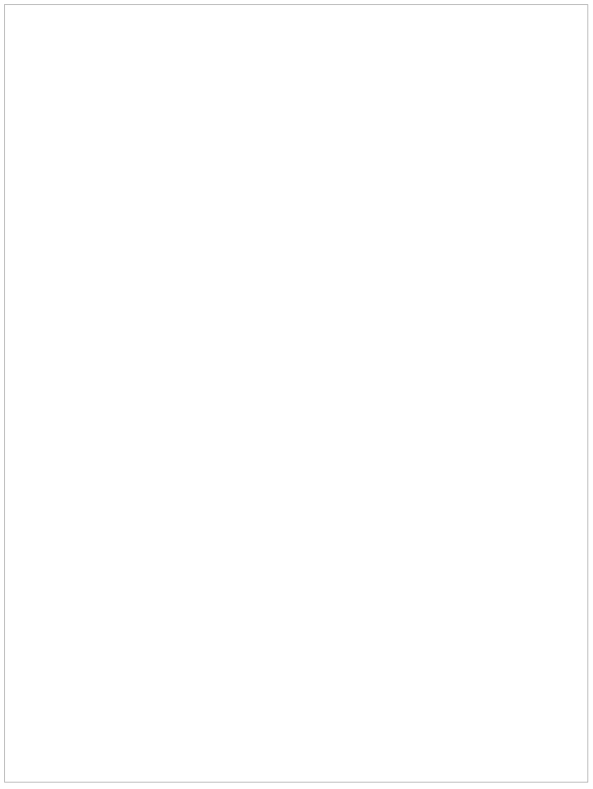
温泉や地熱の恵みを私たちに与えて続けてくれる反面、確実に２０年前に比べると噴出量が減っています。地球の鉱物エネルギーを堀り尽くして無くなる日を迎えるまで、人間はその大切さに気づかないおろかな動物なのかと問われている気がしました。



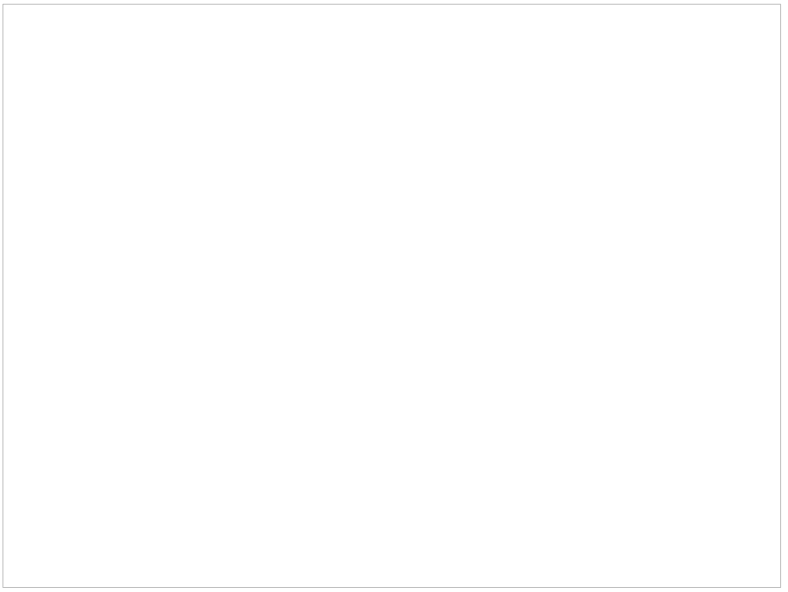
神の導きで摩周湖の水を守る神の子池まで移動しました。この池の水のおかげで摩周湖の水位は一年中変わらず、周りの自然界全てを守っている大切な池です。
この地に住んでいたアイヌの女性は、どうしようもなく辛いときや苦しい時に、ここの神さまに祈りを捧げて答えを教えてもらったそうです。
今でも林の奥に住む神や池のそばで見守る木に神がいらっしゃいますが、ご挨拶をしてみると、火の神が自然界全ての要（かなめ）であると教えてくれます。
そのおおもとの場所は、鹿児島の桜島であると。
いずれ桜島の祈りをすることになるのでしょう。神の導きに心から感謝を捧げます。







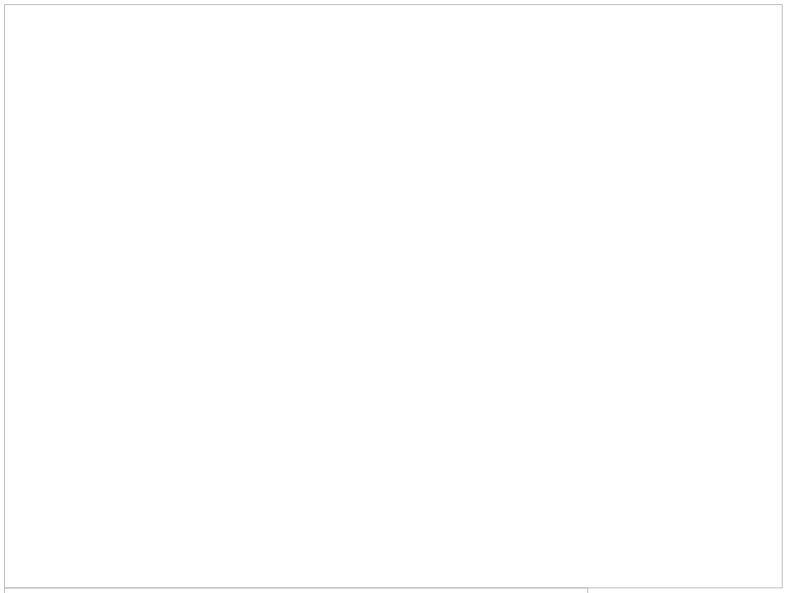
最後は、摩周湖の裏側に当たる裏摩周へご挨拶です。ここにいる大きな神様は私たち人間の気づきを待っていると教えてくれました。この二日間でご挨拶させたいただいた道東をお守り下さる自然界の神々に心から感謝を捧げます。

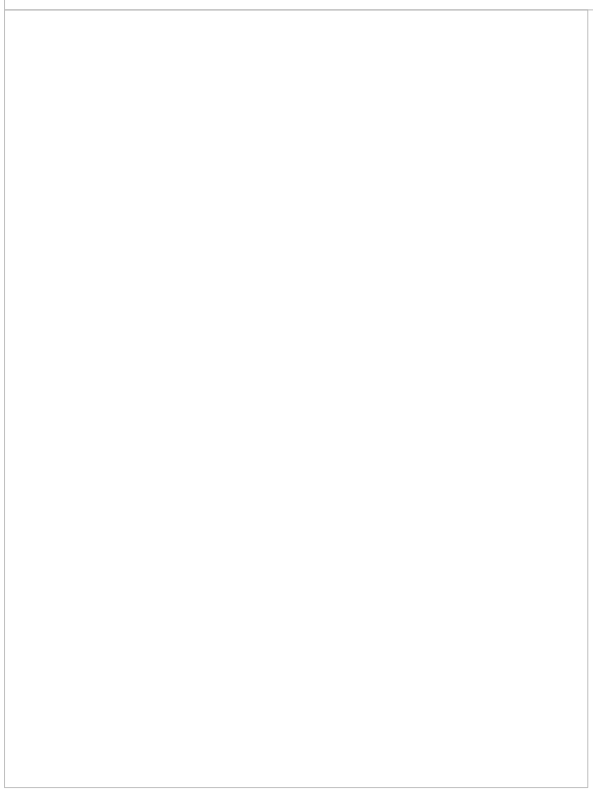


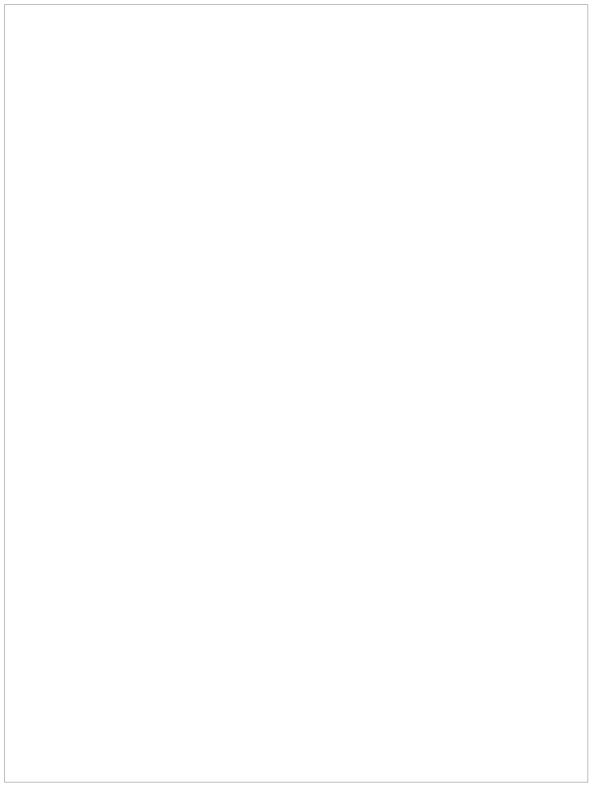
2008.09.24 Wed

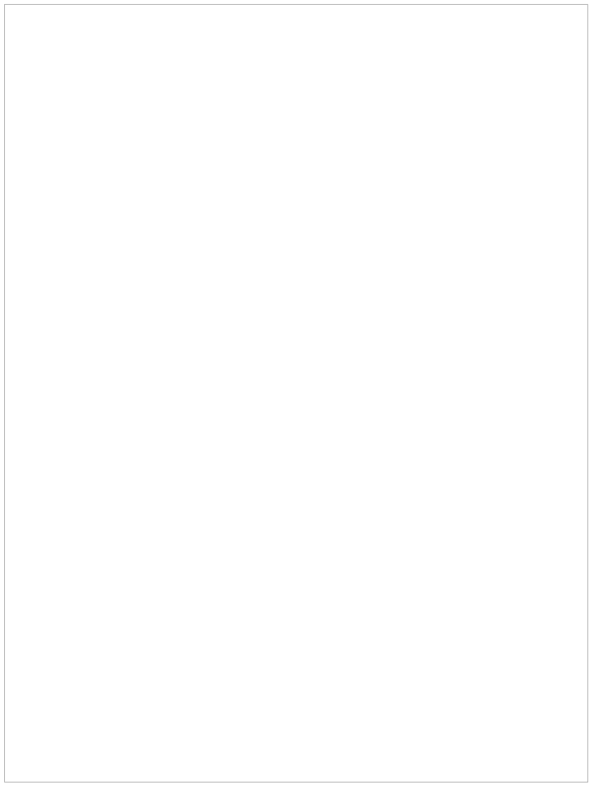
北海道を守った厚岸　国泰寺祈り

ただ今、釧路から戻りました！まずは、9/22に行った厚岸　国泰寺祈りのご報告です。
明治時代から北海道を守った蝦夷三官寺に関わる事を調べて理解した仲間たちが何度も足を運んでくれたおかげで、今回の祈りは天と地、神仏の祝福の中、まばゆい光に包まれた素晴らしい祈りになりました。最初は国泰寺の左側にある墓地の奥で自然神が見守る場所に感謝の祈りを捧げます。

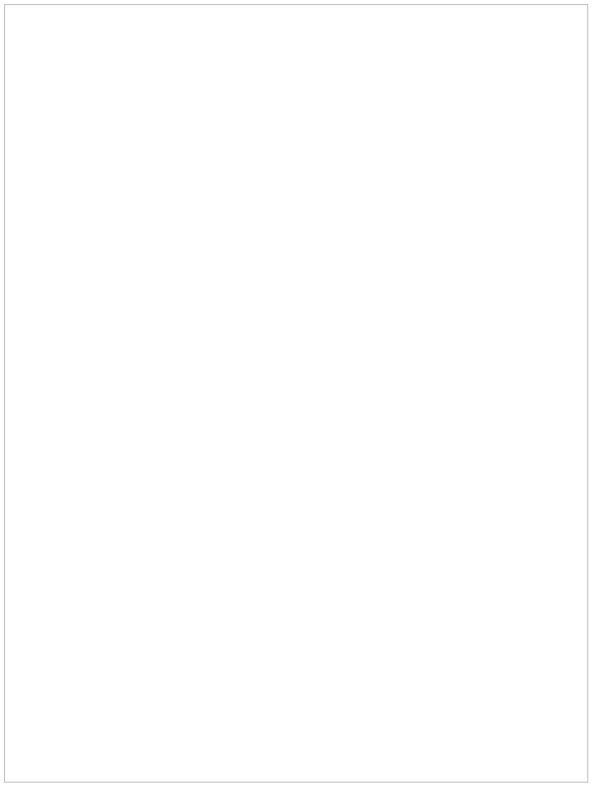




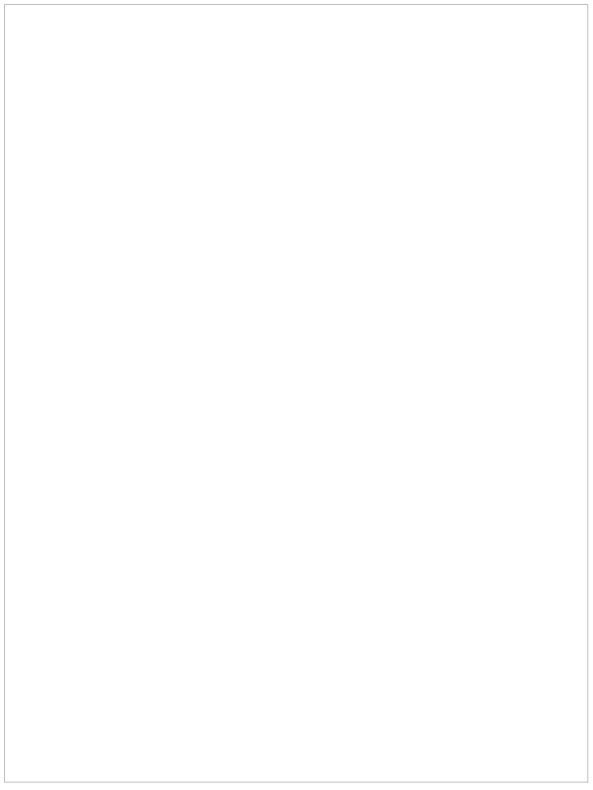




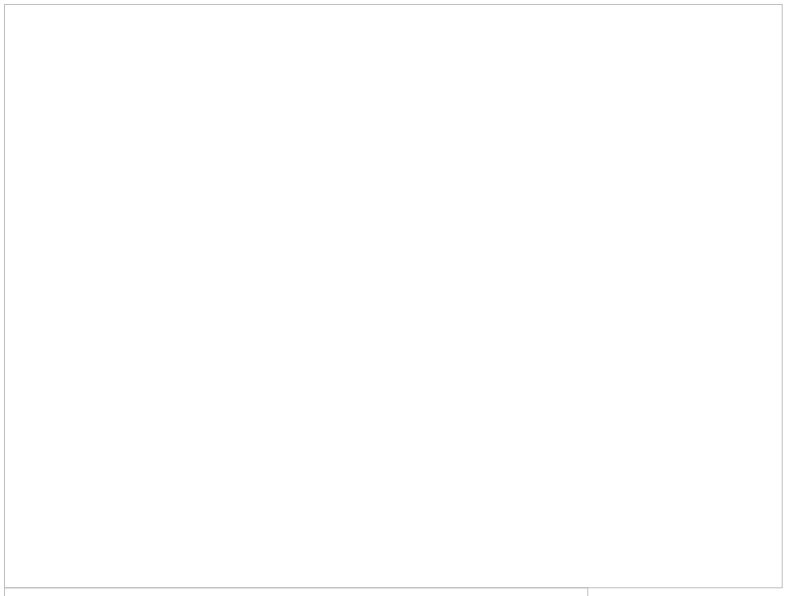
次は国泰寺本堂の裏にある小山に登り、北海道の開拓から人間を支えてくれたたくさん存在に感謝するお堂にご挨拶しました。北海道の開拓にかかせない大きな力となった馬に感謝し奉った「馬頭観音堂」。
実は私の父も若い頃から馬を使う仕事で生計を支えていたので、家にいた道産子馬を思い出して感謝を捧げました。

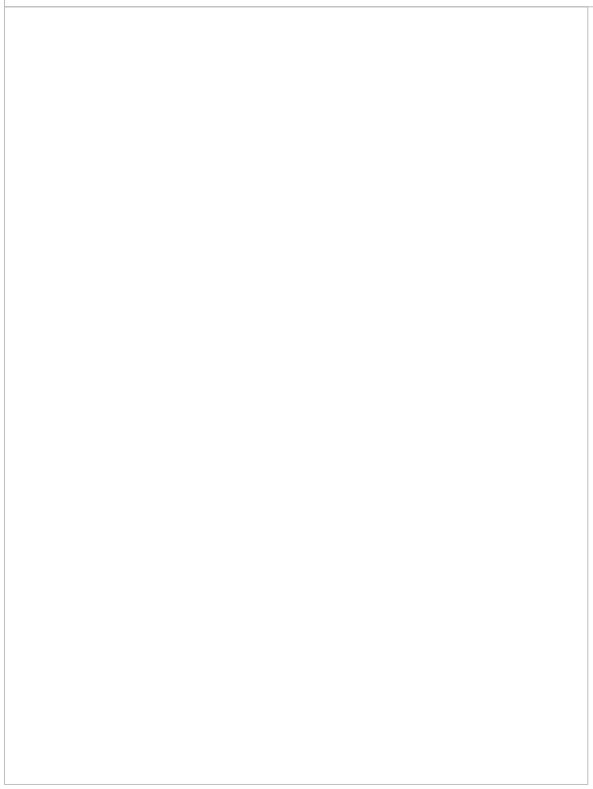


その上には自然界全てを見守り、その恵みを与えてくれる龍神に感謝する「龍王殿」です。自然界全てから恩恵をいただいている人間の一人として御礼を捧げました。

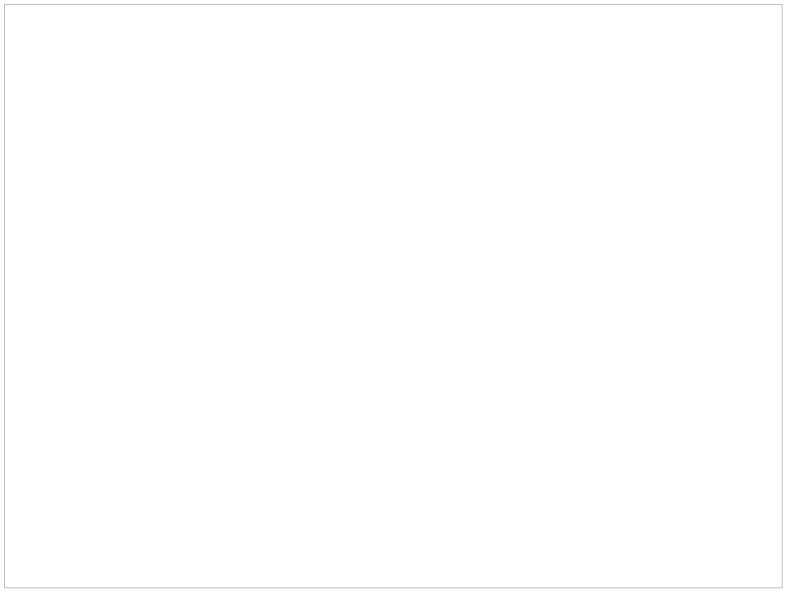


その横にはこのお寺の歴史と海の恵み　魚たちへ感謝する碑もあります。漁業関係者が多いこの町ならではの石碑でしょう。

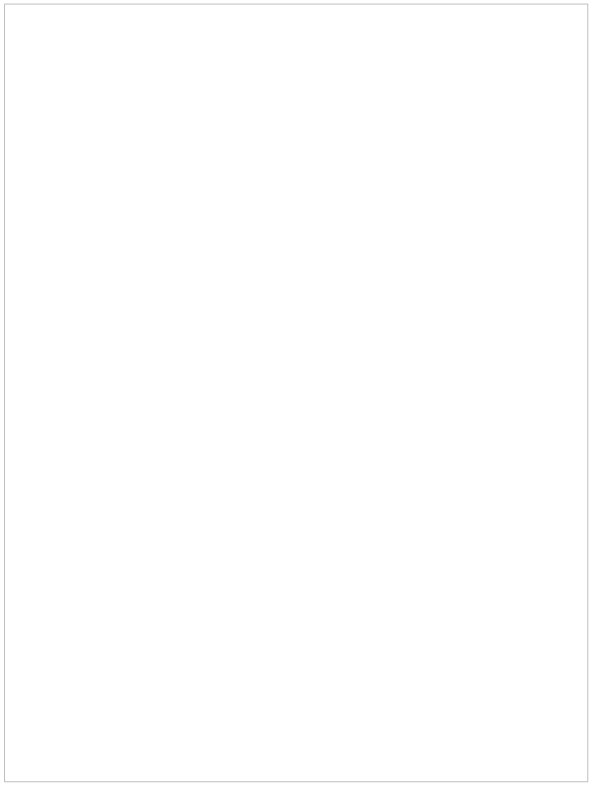




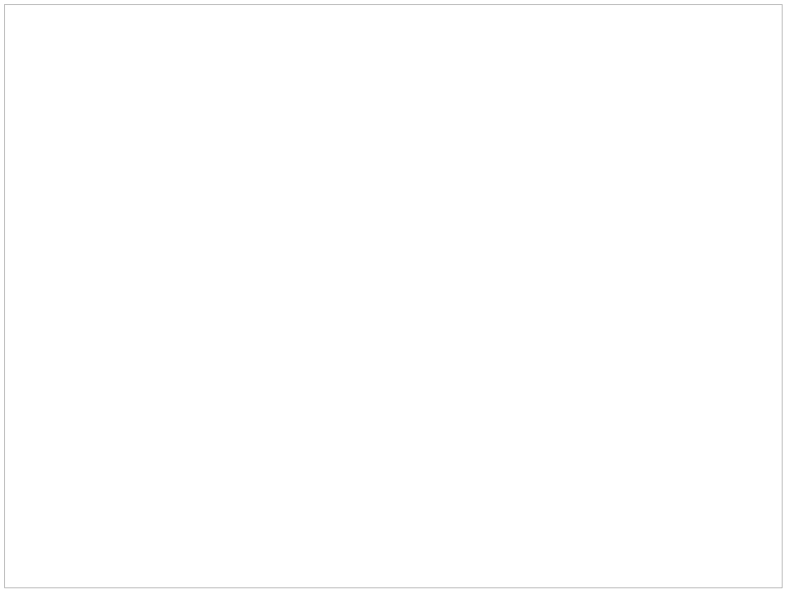
この小山の坂道には三十三体の観音様が見守っていますし、頂上には精霊たちが集まる素敵な空間の中で、人間や見えない存在たちへこれまでの守りの御礼祈りをしました。すると天から光が降りてきて天地・神仏から御礼の言葉もいただきました。



小山を下るとお寺の庭には「佛牙舎利塔」がありました。クナシリ・エトロフの北方領土まで含む釧路国（くしろのくに）・根室国（ねむろの国）の警護に関わった全ての人々へ感謝を捧げるこの塔は、日本国を守るために命を捧げた人たちへ感謝する石碑です。



国泰寺の門を出た脇には、先住民族アイヌの方たちに感謝を示す石碑もあります。この石碑の建立に関しては土地の人にも様々な想いがあるでしょうけれど、過去起きた全ての出来事の上に私たちは生活させていただいていることを忘れないための大切な碑として御礼祈りをさせていただきました。



6/21の洞爺湖　善光寺祈り、
8/30の様似　等樹院祈り、
9/22の厚岸　国泰寺祈り
をするまでに仲間と様々な北海道の歴史を調べている中、一般には公表されなかった隠された事件・出来事によって多くの犠牲者がいたこともわかり、その全ての犠牲者の土地の上に私たちが生きていることを再度、考えさせられる機会にもなりました。

北海道で拘留された政治犯などの受刑者たち、アジアヨーロッパなどから連れてこられた様々な国の奴隷たち、生活と引き換えに過酷な低賃金しか払われなかったアイヌの人たちを含む北海道全域で実際にあった「タコ部屋」の実態も、その事実を示すタコ部屋の頭（かしら）の家族が残した書物の発見から私たちが今、知るべきことを神が導いたのだと感じています。

この本の中には北海道のある場所を開発する為に集められたタコ部屋で亡くなった方たち全ての名前を公表したうえに、海外に住むご家族にまで伝えに行ってくれた方たちがいたおかげで、このタコ部屋の頭（かしら）の血を引く方は、このタコ部屋で亡くなった方たちへお詫びの祈りをしたいとご本人の意志で現地へ出向き全ての詫びの祈りをして下さいました。

私たちの住むこの日本国も、先日テレビで放映された「千の風になって」ドラマスペシャル「なでしこ隊～秘密基地・知覧　少女だけが見た“特攻”…封印された23日間～」の終戦まじかの特攻隊の実態こそ、大人たちが責任を持って後世へ正しく語り継がなければいけない事実です。
自由を掲げる国に住む私たちは、その自由を操る政治と権力の影でおきた事実やその恩恵を受けた責任も取らなければいけない立場にあることを忘れてはいけないと思います。

そしてどんな時代にも素晴らしい開拓者精神を持つ人たちがいたおかげで新しい時代の流れができ、次の時代に育つ人たちがいたことも忘れてはいけません。
これはどんな宗教の方でも無神論者でも、明日の平和を願う人ならば、過去の全ての事実を知り

侘びる心を持つことの重要さは理解して下さることでしょう。神仏に心を合わせ下さる全ての皆様へ感謝とお願い申し上げます。

2008.09.23 Tue

北海道　四方祈り決定

朝夕の気温が肌寒く感じられる秋の北海道神事も、いよいよ詰めの時期にさしかかっています。北海道に生まれ、神に導かれるように人々が出会い、お互いの生まれた役目を確認するように進んできた今年の北海道神事。それは互いの魂のつながりを繋ぐ作業のように、ひと針ひと針愛を繋ぎ合わせる作業に似ています。

本州からたくさんの人たちが自分の土地を離れてやってきた思いやこの土地を守り続けた人たちの思い、そして今、この地に生まれ大自然や神に生かされている人たちの魂の目覚めの為に私たちは祈ります。
この北海道の目覚めは、これから始まる大切な本州神事の神の意思を繋ぐ場所としての役目を果たすためでもあるのです。

9/22-23　北海道の東　厚岸（あっけし）にある蝦夷三官寺の最後のお寺「国泰寺」の祈りを行います。今もこのお寺を守っている数百体の御霊たちと共に、新しい日本を守る祈りになります。そして道東の地に眠る大きな神々にもご挨拶をします。

9/25-26　北海道の西を守る「奥尻島」へ向かいます。1993年に起きた北海道南西沖地震の犠牲となった御霊たちの思いを感じ、この島に渡り生活してくれている人たちの意味を知ることで北海道の東西の繋ぎの祈りとなることでしょう。

9/30-10/1　北海道の中心を守る大雪山連邦の頂き　十勝岳（2077ｍ・活火山）の頂上で2008年北海道神事のまとめ祈りを行います。山の神、水の神、風の神、火の神、天地神の全てを繋ぎあわせる祈りを行います。

毎日のように、仲間たちが自分の住む足元の土地の歴史を調べ、情報を交換しあいながらお互いの足りないところを補いあっています。自分にできることをひとつづつ進める作業は全員の魂がもともとひとつだからこそ、誰の物でもなく、誰の為でもなく、全ての存在意義を示す自らの行動として祈りに参加して下さいます。

昔々、世界のあらゆる民族がこの東の最果ての地　日本までやってきました。そして長い時が過ぎ行く中で色々な血の命が交わり、日本は世界中の民族の血を合わせ持つ最高の混血民族に変化しました。そしてそれまで日本中で生活していた先住民族の人たちとも交わり、新しい命がこの日本には生まれています。

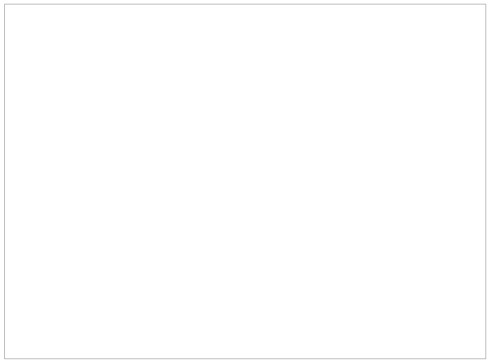
世界の全ての民族の血を持つ魂の交わりの証としてさまざまな神を受け入れる高い精神文化の日

本人の魂は、世界がひとつの民族・ひとつの家族であることの証のように大きな心と理想を持って生まれてきています。その目的を達成する道こそ、新しい地球の活動、地球を蘇らせる地球創生の一歩なのです。

2008.09.21 Sun

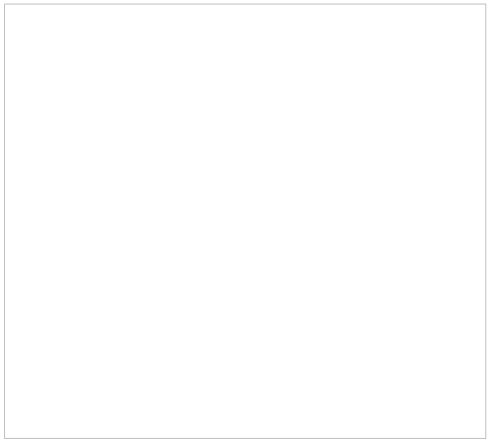
魂の名前

昨日はとても素敵な男性たちの集いと収穫祭に参加してきました。こういう場をいつも影でサポートしてくれる素敵な女性たちのおかげで、初めて出会う男たちも心を全開にして触れあうことができて本当に素敵な時間でした。



・・・

魂が感動する時間でした。いつか名付けのお手伝いした子供たちが大人になって会える日が来るのを楽しみにしています。神が与えた魂の役目をあなたがどう選択して生きるかは、すべてあなた次第ですからね！どうぞ宜しくお願いいたします！



2008.09.14 Sun

立ち上がる男たち

今日は珍しく朝から心がワクワクしています。その理由は午後から苫小牧で行われる収穫祭に、地域の男性たちが集う会（維舞起・いぶき）主催の楽しい催し物があるからです。この男性たちの会が生まれたきっかけも、素敵な女性たちの会（響き∞ひびき）が地域活動を活発に始めたおかげでした。

高度成長期に経済・収入の向上を目指して豊かさを手に入れた反面、収入や会社の都合で生まれ育った土地を離れて生活をする人が増えた結果、学校・職場・サークルなどのつながりが無くなると新しい出会いも減り、心のつながりや年代を超えた人のつながりがない地域社会になってしまいました。

私自身も１８歳で家を出てから学生・就職、そして職場の転勤と８回の引越しを経験しました。そのメリットはたくさんの土地に住む経験でしたが、会社を辞めた理由も「自分が住む土地くらい自分で選びたい」という心の叫びに素直に行動したまでです。

東京本社に転勤になり順調な出世コースに乗った反面、生活している土地になじめないままこの生活を続けるのかと迷っていた時期、千歳空港の上空から見た北海道の景色は見えない先まで広がる原野と木々にまだ葉のつかない五月初旬の風景でした。その淋しげな風景すら溢れる喜びに涙している自分を知り、本当に自分はこの北海道が好きなんだとわかったことが会社を辞めた理由です。

生きることくらい何とかなるさ、お金を稼ぐだけなら努力さえすれば何でもできる！そう確信できたのも、子供の頃から秋の稲穂の収穫が終わると家族の為に毎年出稼ぎに出る父の後ろ姿と、着物の仕立てで生活を支えてくれた母の姿を見ていたからです。

何の為に生きるのか、どこで生きるのか、それを選ぶ権利は自分にあるはずだと言い聞かせなが

ら北海道へ戻ってきてもう１２年になります。よく考えてみると北海道を離れた期間は学生生活を含めて７年も無かったのですが、自分の魂が選んで生まれてきた北海道の大地を愛する心に気づいたことで、今、周りにいる素敵な仲間たちにも出会うことができたのでしょう。

本当に心から自分の住む土地を愛する仲間たちが集うと、自分の家族ではない道を歩く他人の子供や老人のことさえ気になります。いつか自分もそうなるのは当然ですが、その人たちにいつまでも笑顔でいて欲しいとみんなが願う心が育ってくるからです。この仲間は、誰も人を非難しません。誰かが見せるマイナスな面は、自分が学ぶべき面を見せてくれている先生だと知っているからです。

年長者が若者から今の時代を学び、若者が年長者から経験したたくさんの知恵を学んでいます。自分一人でできないことはやりたい仲間が支えて夢を実現させています。誰かの夢も自分の夢も、お互いに支えあわないと叶わないことを知っているからです。

一歩一歩、毎回、自分たちの手作りで創る新しい地域の人のつながり、それが、男たちの知恵を尊ぶ「維舞起の会」であり、女性たちの素晴らしい知恵から学ぶ「響き∞ひびきの会」なのです。今日は素晴らしい人たちに混じって私も少しだけお話してきます。また新しい人の出会いが楽しみです。

私の夢は、日本中のあちこちにこういう素敵な地域のつながりを作る人たちに出会うことです。行政も政治も、お金持ちも貧乏も関係ありません。人に素直に、自分に素直に生きることを宣言することから始まります。あなたもどうぞ、自分の周りにいる人たちと何かを始めてみてください。生きる恩返し、親や出会った全ての人からいただいたことの恩返しこそ、次の世代へ繋がっていく知恵なのだと果てしない夢を膨らませています・・・（＾＾）
2008.09.13 Sat

大地の揺れ

昨日9/11 9：21 えりも岬の東南東（十勝沖）でマグニチュード７の地震が発生し、今日12日、７：34には釧路の厚岸沖で震度３の地震が起きました。これは私たちが現在行っている北海道神事の重要な祈りの場所でもあり、この揺れが土地神とのつながりを示すものであることは事前の啓示でも教えていただいていました。

再度、確認の為に先ほど土地神と対話すると「天を知り、地を知り、自らの心を知りなさい」と言葉をいただきました。

この地球で起きる全ての自然界の出来事も、あなたたちの人間の行いや自らの心に問えば、その意味はわかるはずでしょうという意味です。

昨日はそのメッセージのとおり、大きくやさしくゆったりと左右に横揺れが何度も続きました。通常、大きな横揺れの後には必ず大きな縦揺れがあり、この縦揺れが原因となって倒壊などの大被害を起こしますが、昨日は全く縦揺れがない初めての地震の経験でした。

ちょうど昨日の地震の時間は、北海道の歴史や厚岸の国泰寺に祈りに行くという内容を書いているときでしたのですぐに地震の意味に気づき、土地神のメッセージだと感じました。札幌の体感は震度３でしたが軽いめまいをしたように目の前の風景が揺れていましたので、自分の体調かと心配した方もいたようです。

沖縄で行った重要な神事の後にもよく地震が起きましたが、どれも災難になるようなことはなく、神の知らせだとわかるやさしい揺れです。私が足を踏み入れて土地神にご挨拶をしていない土地で起きる大きな地震の時にその理由を神に聞いたこともありましたが、そのときの神言葉は、「その理由は、おまえ達人間が一番よく知っているだろう！」と、厳しい言葉の中で苦悩しているものを感じました。

土地神が私たち人間に直接何かを言うことはありませんが、生活の消費エネルギーとして使う石炭や石油や天然ガスに加えて、宝石・レアメタルなどの鉱物資源を地球から抜き取り、地球のあらゆる所に穴を開け続けている行いが、地球の内部の自然循環を破壊してることに私たちは気づかなければいけない時期だと思います。

地球上で私たち人間が住んでいる大地や山は、もともと海の底や地球の内部から隆起して押し上げられたものがほとんどですが、その隆起した場所の意味や存在の意味にも気づいて欲しいものです。もしこの地球上に山が一切なく、全てが平野だけの土地だったとしたらどうなっていると思いますか？答えは簡単です。人間はおろか、動物も植物も一切、存在できません。山があることによって風の方向が変わり、上昇気流や雨が降るおかげで地球上のあらゆる植物・動物も生かされていることを学んでください。

沖縄諸島の島々の大半は、現在、三度目の隆起をした陸地ですが、その隆起の反対の沈降によって全てが沈んだ時期があったことを思い出してください。実は、日本のほとんどの島がそうなのです。隆起と沈降を繰り返した結果が現在の陸地であって、過去からずっとあった大陸ではないのです。

自然界からいただいている全てのエネルギーもこの大地も山も風も水も火も、全てが地球（神）の意思といえる大陸プレートの移動によって起きた産物なのです。神と共にある生き方とは、この大陸や大地の上で私たち人間が生かされていることを当然と思わず感謝して、与えていただいた恵みをお返ししようとする心が育つ必要があると感じています。

地球上にある海の水も地球自体の手のひらに載せている水なのですから、地球の内部の何かの循環が壊れるとその恵みの全てを失う危険があることも頭に入れておいて欲しいことのひとつです。一人一人の人間に何ができるだろうかと目先のことに悩むより、まずこういう事実・真実をあなた自身が知ることが重要です。地球や自然との付き合い方は、子供たちに人間として上手に生きる方法を教える前に、まず教えるべき重要なことだと私は感じています。自然界の全ての神々に喜ばれる人間がこれから増えますことを祈ります。

2008.09.12 Fri

土地を持たない民族

1804年当時、北海道（蝦夷地）や北方領土は、まだ世界のどの国にも所属していない無所属の大陸でした。そこには先住民族であるアイヌ民族が狩猟生活で暮らしていましたが、日本や世界の舟が物々交換を名目にこの土地に乗り込んできていました。

この諸外国の侵略に不安を感じた幕府は、有珠の善光寺、様似の等樹院、厚岸の国泰寺という三つのお寺を建造し「蝦夷三官寺」の名で１００万石の大名と同じ権力資産を与えて幕府直轄で蝦夷地を守る布陣をひきました。しかしその目的には、仏教の布教に合わせてアイヌ民族の管理・制圧によって蝦夷地を日本の領土とすることが目的でした。

つい先日、国会で北海道の先住民族として認められた”アイヌ民族”のルーツをたどると、もともとは現代のようにコタン（村）で生活していたわけではなく定住をしない狩猟民族でした。狩猟民族の特徴は厳しい北海道の四季の中、木の実や山の動物を狩り、海から魚などを得て生活をします。海や山の生活は弱肉強食の世界ですから生きる力の無いものは淘汰されますし、自然界の大きな循環の中で風雪を耐えながら恵みを分け合う生活ですから、獲物が移動すると住む場所も移動していたのです。

こういう理由からアイヌ民族は、土地を所有するという概念を持たなかった民族は、自然界のバランスや変化に合わせて生きる知恵をたくさん身につけていました。アイヌ民族のもうひとつの特徴は、オホーツクアイヌに代表される北方圏・西洋圏まで広域に物々交換をしていた事実です。シベリアのイヌイット、アメリカのインディアン、中国民族から手に入れた当時の着物などが、北海道道東のアイヌ資料館に現代も残されています。

また大きな木をくりぬいた舟（チプ）で川を下り、海を渡って東北地方まで往来し、食料や生活必需品などを交換していた商人としての一面もあります。北海道では商人として活躍したアイヌ民族のことを知らない人たちが愚弄するような言い方をする方も中にはいますが、相手がだましていることを知りながら何も言わず受け入れたほど、知恵のある民族であることを理解して欲しいと思います。

蝦夷三官寺の二つの場所（善光寺・等樹院）に手を合わせてわかったことは、先住民族アイヌから厳しい北海道の冬を越す知恵を学べなかった人たちは、身体を壊して多くの人が亡くなっている事実です。蝦夷三官寺の最後のひとつ、厚岸にある国泰寺を事前に調査した仲間の報告を聞いて驚きました。国泰寺だけが守る住職も居なくなり、博物館として歴史の記録を保存するところになっているとのことです。

権力を持った人間が作った大切な建物にはたくさんの人たちが集まります。そこで亡くなった人たちは肉体を失っても同じようにその土地を守り、自らが授かった役目を果たそうと今も残っています。その御霊たちの思いは、根室国（ねむろのくに）として北方領土を含めた広いエリアをロシアの侵略から守ったたくさんの人の思いとして感じます。

今も人が土地を守り、神が人を守っている事実は変わりません。その意志を受け継いでいる御霊たちと対話してこれまでの大きな働きに感謝し、この土地に生かされている事や日本や地球全体の調和へ向けた祈りを仲間と行います。事前調査をしてくれた仲間は、そこに数千体の御霊がいたといいます。9月22日からその祈りに出かけます。

私のご先祖たちもこういう安全を確保された明治３０年前後に北海道に入植していますので、それまでに起きたさまざまな北海道の出来事を学び、先住民族や諸外国から守ってくれた人たちに感謝する心を後世に伝えていかなければ、大切なものを守る意味を教えることはできないと感じます。それは皆さんの住む土地においても同じでしょう。日本の各地で起きたさまざまな戦さの勝ち負けの裏側には、多くの命の犠牲があった事を感じて下さい。あなたの住む大地にはそのたくさんの命が眠っている上に生かされているのです。

地球上の土地は、もともと誰のものでもありませんでした。その土地にどれだけ地図上の線を引いて自分のものと主張しても、それは人間が決めたルールであって、自然界には今も、国境は無いのです。私たちの肉体を含めてこの世にある全ての物や人は、尊い借り物だということを学ん

でください。

「所有の喜び」の反対にあるさまざまな生きる苦悩こそ、死ぬまでに人間が気づくべき、「愛の悟り」の時間なのです。
2008.09.11 Thu

直感と行動

この世に生まれる時、全ての環境・状況・経験することまで設定して生まれた事実を知った人は、自らの直感に従って行動する大切さに気づきはじめます。この直感こそ、神の意志や宇宙の意志に似た全宇宙を創造した創造主の意図につながっているからです。

しかし直感は大切ですが、どう行動するかはあなたの選択ですから、行動したことの責任は全て自分が取るという覚悟を持たないと経験する本当の意味を理解できません。「行動すると次の現実」と言われるほど、新しい事をすると次の現実が目の前にやってきます。その結果は、あなたの思い道理になる時もそうではない時もあるはずです。

うまくいかない経験が続くと心は萎縮しますが、その失敗と思った事をただゴミ箱へ捨てるのではなく、今回は失敗という経験をする必要があったのだと考えて、何かひとつくらい次に役立つ知恵を学ぶよう心がけてみて下さい。

次のときに傷つかないように防御の知恵ばかりを蓄える人もいますが、防御の知恵が増えるといざというときに心が萎縮してしまって大切な「喜び」を感じる心が育ちません。失敗しても失敗しても、いつかいいことがあるはずと思える人は、苦しみを乗り越えて輝いている大人に必ず出会っています。

これまでどんな人生を経験してきたとしても、明日を信じて、もう一度人間を信じて生きる大人たちが増えると、この日本は必ず変わります。地球全体をみても、私たち人間が変わると変わります。さらにあなたが住む土地で起きている問題や家族や親戚・出会う全ての人との関わりにおいても、あなたが新しい気づきを得て変わることで、すべての結果を変えることができます。

大人が誰かのことや社会を批判している姿は、子供から見ると同じ大人同士なのにと不思議に写ります。どうして解決するための話し合いをしないんだろう？どうしてみんなが言い訳している

んだろう？私や僕に、言い訳するんじゃないって言うくせに・・・、と。

日本では20歳を成人と認めていますので全ての20歳以上の方に、その責任があることを気づいてほしいと思います。あなたが変われば、世界は変わります。

●地球創生セミナー　東京講演会　決定！

2008年11月15日　10：00〜15：00

詳しくは　コチラへ！(pdf)

※PDF Adobe Readerの無料ダウンロード

2008.09.05 Fri

北海道　アポイ岳・天塩岳・カムイヌプリ繋ぎ

２週続けて足を運んだ北海道の南の地の祈りは、8/30-31の神事でやってひと段落しました。

石川県白山神事の移動中に、私たちがまだ気づいていない北海道（蝦夷地）の大切な事実を知る必要があると、神が直接、場所を指定し導いてくれたのが「広尾」と「金」というテーマでした。

そして最後に神が待っているといわれたアポイ岳頂上でいただいた言葉は、これからの地球・日本の国改めの大切な言葉です。

白山から戻りすぐ仲間と手分けして北海道の開拓の歴史を調べると和人や第三国人・アイヌに関わるこの土地で隠されてきた過去の事実も見つかり、いつの時代も「真実」は政治や権力で隠されていることを再認識しました。

自分の住む土地を知る意味は、先祖を大切にする心に通じ、さらにそれ以前に起きたさまざまな人間の争い末に今の自分が存在していることを痛感させられます。

えりも岬の近くにある百人浜で御霊上げをした際、御礼の言葉を伝えてくれた武士の気持ちを一言でいうと「無念であった」と言う言葉になります。

それは大和・幕府の蝦夷地侵略の歴史の一面ですが、いつも両者の尊い命がたくさん犠牲になった土地の上に私たちは生活していることを後世に伝えなければ、生きる意味・生かされている意味を伝えることはできないでしょう。

戦いを非難することは簡単です。しかしそれ以上に日本は第二次大戦に敗戦したおかげでたくさんのことを学んだはずです。

それまで日本が世界中で行ってきた侵略の事実は、ドイツのヒトラーにも似た軍国主義による独裁政治と権力・武力による民衆弾圧でした。おおよそ世界の半分まで侵略した永い日本の侵略も１９４５年８月１５日の敗戦によって終焉し、その反省と侘びと苦悩から多くの知恵を生み出し現在に至っています。

今の日本の成長の影には過去のたくさんの犠牲や苦労や混乱があった事実を子供たちへ正しく伝えられる大人になりましょう。そしてこれからどうするべきかを一緒に考えてあげる地球のお母さん・お父さんになって下さい。

私たち大人が自分たちのことだけを考えて生きると世界で犠牲になった人たちの御霊も癒されません。善悪や正義や倫理や宗教観からではなく、その事実の末に私たちはこの日本の地で生きていることが全ての真実なのです。

無念な気持ちは、責めたほうも責められたほうにも共に両者の魂に記憶されています。

だかこそ、この両者の気持ちを理解し、新しい愛と調和の知恵を私たちが生み出さない限り、子供たちは永遠に過去の御霊の思いに引きづられる人生を送ることになるのです。

そのことを理解し行動してくれた新しい未来を創造する仲間たちが阿寒・帯広・苫小牧・札幌から３時間半かけて集り、8/31アポイ岳頂上の神様と対話しました。

同じ時刻に道北　天塩岳に登った仲間たちと、道東のカムイヌプリ岳に登った仲間がお互いにそのエネルギーを感じ繋ぎながら、新しい地球のバランスを整える精神誠意の祈りを捧げてくれました。

９月中には、その新しい調和のエネルギーを大きく宇宙へつなぐ祈りを北海道の各地で行います。

祈りメーリングにご登録の方は、日時が決まり次第、ご連絡いたしますので祈り合わせを宜しくお願いいたします。

※今回の神事の様子は仲間のブログをご覧下さい。

●父の会　維舞起（いぶき）

●母の会　響き ∞ ひびき

●北の祈り　天塩岳

●大自然に抱かれて

☆**8/20-8/31**　北海道神事の場所　※メッセージ

8/20　フンベの滝（全ての知恵の表しの水）

※流れを変えるな・分け隔てするな

8/20　天馬街道　豊似の湧水（天地を繋ぐ鍵・神が集う所）

※横並びに・金は時の鍵・金の場所は時を繋ぐ場所・鍵を預かる

8/21　十勝神社（戸勝神社）（始めの守り神）

※思いを理解してくれることに感謝しお供いたします

8/21　歴舟川（金の川・さいの河原・鍵を入れた）

8/21　ホロヤントー湖/晩成温泉（海と水つなぎ）

8/21　十勝川河口（真水と海の合流・新しい命の誕生地）

8/21　依田勉三が生活した土地

8/21　然別湖　龍神・御上（白山神事報告）

8/21　夕張（北海道の横つなぎ祈り）

8/30　天馬街道　豊似の湧水（神繋ぎ）

※時の神がまもなく降りる　終わりが始まりなのだな　新しく始まるのだな　３　７　１１　１５　２１

8/30　様似の等諸謇@（蝦夷三官寺祈り）

※玉・ふくさ・録をいただく　　※人は皆、玉である

8/30　えりも岬（海の神）

8/30　百人浜（不浄御霊上げ）

8/30　豊似湖（馬蹄湖）アイヌの聖地・宇宙のつながり

8/31　アポイ岳頂上

「天之御中主神」(あめのみなかぬしのかみ)　　※月になむらん

8/31　静内　シャクシャインカムイ　祈り

※御事　のたまい給いてそのこと魂の中にあり
2008.09.02 Tue

友人葬

水の神様の生まれ変わりの女性がダビに伏し、無事葬儀も終わりました。お坊さんの読経に加えて最後の三ヶ月間を見守り続けた仲間たちの手作りの趣向は、最後のご親族の歓喜の涙が彼女の喜びを伝えてくれたと感じています。

彼女は臨終の前後、夢に出てきたり、電話を一度だけ鳴らして知らせてくれたりと、それぞれの人の所へ最後のご挨拶をしにきてくれた事をみんなで話しました。

葬儀の間も、会場の様子や訪れる人たちを天井あたりから見ていましたし、大好きなオーロラの上映の時には目を見開いて見とれていました。最後の三ヶ月を支えた仲間たちは、誰かの為に一生懸命生きることや自然体で接する大切さを感じたからこそ、楽しい時を思い出して大笑いし、彼女のやさしさにたくさんの涙を流しました。

彼女は「かわいそう」と「頑張って」という言葉を言われるのが嫌いでした。生きることに一生懸命なのはみんなと同じで、言い訳せずに頑張っていることを自分自身が一番よく知っているからです。

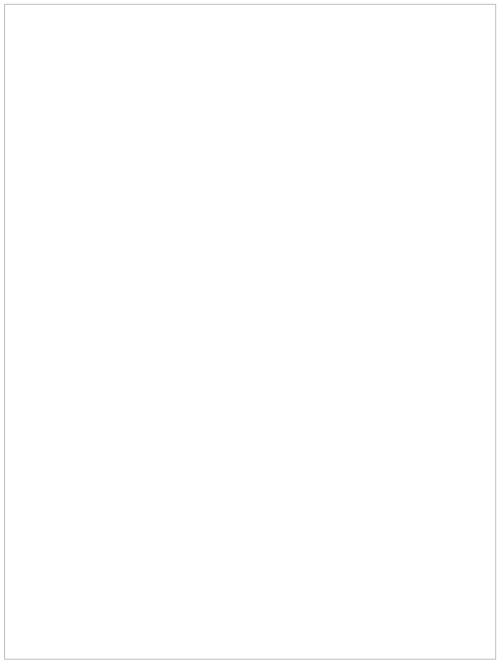
周りが心配するときほど、彼女はやさしい笑顔と強い意志で見つめ返してきます。「わかってるよ、ありがとう」と、心に聞こえてきます。彼女には、生きるための強さと愛しかないからです。

亡くなってからの４９日間は、人間界から天上界へ少しづつ昇っていく時間です。人間としての思いをゆっくり整理しながら、もといた魂の場所へ戻っていきます。その境界線を越える日に、彼女と会話をして最後まで支えてくれた仲間たちにもメッセージを伝えようと思っています。沖縄ではユタの方たちがその役目を昔からしていて、ご本人の大切な最後の言葉を伝えてくれます。

彼女は、これから魂本来の神の役目をしてくれます。肉体がない分、時に縛られず、あらゆる場所に瞬時に移動し、分身の術も使えます。誰の為に、何の為に肉体を持ち、家族や友人という魂の仲間に出会うかをもう一度、思い出させてくれたことに心から感謝を送りたいと思います。

ご先祖様や大切な誰かに守られる本当の意味は、肉体があるうちに周りの人と愛や喜びを大きくするためだと思います。あなたもたくさんの魂たちに見守られていることをもう一度、思い出して下さい。誰一人、父母の愛が無く生まれた人はいないのですから・・・。

北海道自然神神事の神計らいをしてくれる彼女に心から感謝を捧げます。



彼女が撮影した天使の雲

2008.08.29 Fri

水の神様

2008年8月25日、水の神様の生まれ変りの女性が天へ召されました。25歳で乳癌と診断された18年間の闘病生活は入院・退院・職場復帰を繰り返す日々でした。彼女の素敵な笑顔と弱音を吐かないしなやかな生き方に出会う人たち全てが癒されました。

2005年に初めて彼女に逢ったとき、全身から発する純粋なエネルギーとは反対に、病気に蝕まれた辛い心の思いを感じました。でもその原因がわかりません。今世・前世のカルマでもなく、誰かの不の思いでもなく、神が何の理由でこの経験させるのかがわかりませんでした。それまでたくさんの人の苦しみの原因を突き止め解決してきた自信が打ち砕かれた瞬間です。

戸惑いを隠せないまま私は彼女が帰ったあと、創造主に問いました。なぜ彼女にこの経験をさせる必要があるのか、そして今、私に逢わせた理由を気づかせて下さい、全ての責任を背負う事になってもいいからと。

するとしばらく沈黙が続いたあと、彼女が「水の神の生まれ変り」であると教えてくれました。この地球の水を汚した証として彼女は存在していると教えてくれました。

そのやるせない事実に悩み苦しみました。人間が存在する理由にこれだけ大きなテーマを持って生まれる人がいる意味は、その責任を私たち全員がどう取るのか問われているのと同じです。

人間にはどうにもできないことがある。

でもそれがわかっていてもあきらめないことだ。

心の中でつぶやくように聞こえたこの言葉に対して、自分に何ができるか考え続けました。それからまもなく神の導きによって自然界に対するお詫びと人間のあり方を宣言をする祈りが始まりました。

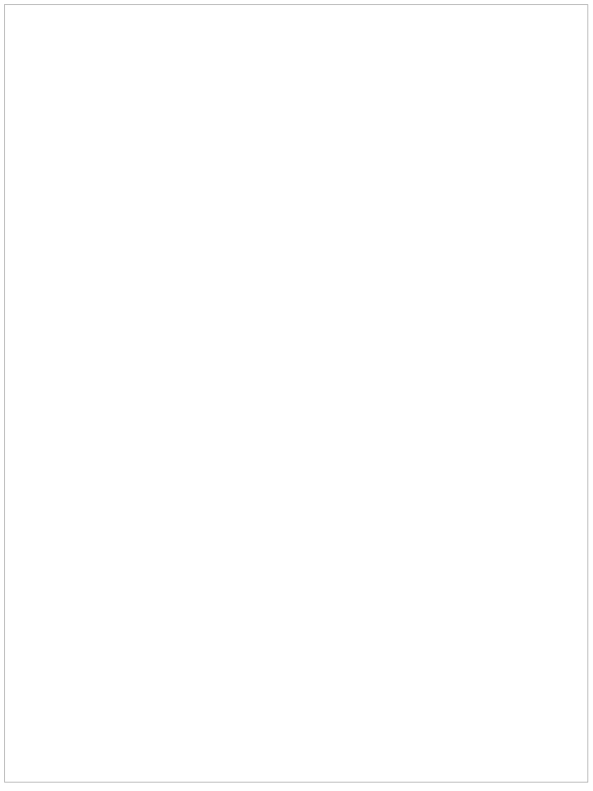
私は今、彼女が亡くなった意味がまだわかりません。私たちが水の大切さを気づいた事でもう役目が終わったのか、それとも、もう地球の水をきれいにすることができないから肉体を離れたのか？

先週から続いている北海道の自然神の祈りと今週予定の神祈りの間に起きたこの出来事の意味にも気づかなければいけないと思っています。私たちに今、何ができるのか、私たちはどうするべきなのかを。

生前、彼女に質問したことを思いだしました。「18年間の永い闘病生活のなかで、もうダメだと思ったことは一度もないの？」と質問すると彼女は即座に、「ありません」と答えました。揺るがないその瞳の輝きをみて信じきる事に弱音を吐いた自分を恥ずかしく思いました。

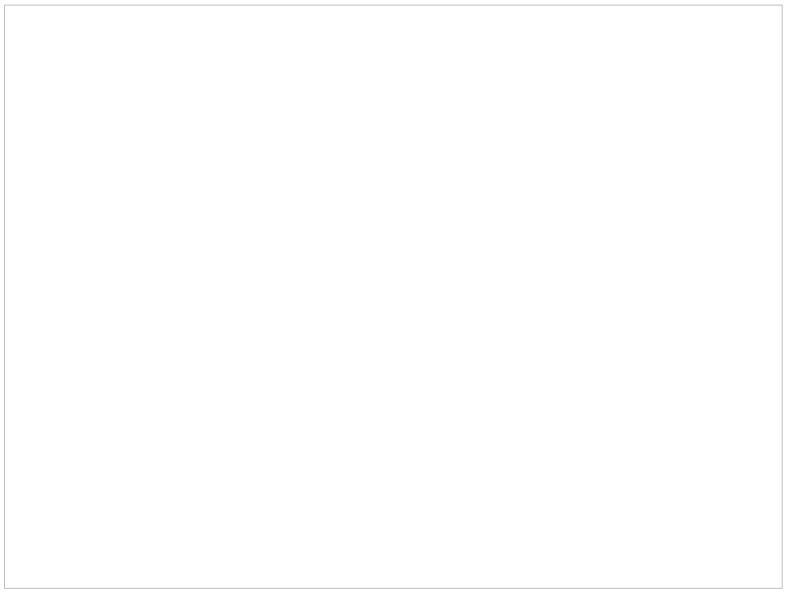
本日の通夜と明日の告別式をたくさんの仲間たちの愛で送る事ができて幸せです。彼女は亡くなった今も、笑って私たちを見守っています。今日、最後のお別れと天使になった彼女と対話してきます。

※彼女の葬儀委員長を務める方のブログ
※彼女を支えた素敵な仲間たちのブログ



2008.08.27 Wed

北海道**1000**ｋｍ神事



”地球の未来を創造する役目”を持つ日本の建替え建て直しの神事が始まっています。

現在の神事のテーマは、新しい意識を創造する土地　北海道に住む人たちが自分の土地の意味や歴史を学び、人間が誕生する前からこの土地を守っている神々に人間の非礼をお詫びし、新しい統合調和の知恵を気づくために土地神と対話する神事を行っています。

２泊３日で１０００ｋｍの距離を共に移動した今回の神事にご参加して下さった皆様のご尽力とお力添えに心から感謝します。

北海道が過去、日本最大の金の産出地であったことを神に気づかせていただき、「金」の出る場所は全宇宙における「時」のつながりの地であることも今回の神事で教えて頂きました。

日本国内にも金の出る場所はたくさんありますが、その土地こそ宇宙空間や高次元意識をつないでいる「時」のつながりの場所なのです。

古代、もっとも知恵や精神性が高いと思われるエジプト文明やインカ帝国の歴史においてもこの金を巡る権力者たちの争いの理由もこれでうなずけます。

人間がなぜ「金」というひとつの鉱物に対してだけ特別な反応を示すのか不思議でしたが、それはまばゆい光とともに意識が高揚し新しい宇宙パワーや知恵につながることを知っていたからなのでしょう。

北海道の金が出る土地の意味を知ったことで、その宇宙につながる高次元意識やエネルギーを土地から奪った責任をどう取るのかと神は私たちに問います。

自然界や地球全体のエネルギーバランスを考えてみても、あるエネルギーだけを抜き取ったことでさまざまなバランスが変わっていることを本当に理解しているのかと問われています。

その事実を理解し受け止めて全てが私たち人間の責任であると自覚する人がいるからこそ、自らの手でこの地球を、自分が住む日本という土地で役目を果たす宣言祈りに参加してくださる皆様がいらっしゃいます。

どうぞ、あなたの土地で起きた過去のあらゆる責任を自らの責任と背負う覚悟を持って神と向き合って下さい。

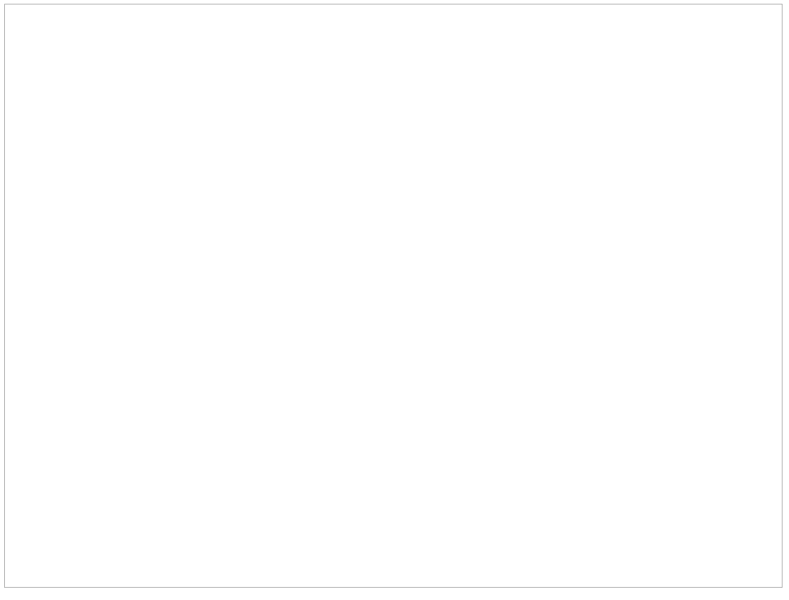
水の生み出し、河の生み出し、山のつながり、方角、天と地、あらゆる自然界の意識のつながり、全宇宙にある共有意識のつながり・・・。この全ては私たち人間がどれだけ進化したとしても自由にできないものだからこそ、目に見えない大きな存在たちが見守っていることを理解して欲しいと思います。

そしてその全てのバランスを壊している人間の責任をあなた自身がとるという決意こそ、今、一番大切なのです。

来週の８月３１日午前には、北海道の南端に近いアポイ岳に仲間たちと登ります。

そこで私たちは新しい調和を生み出すために神と対峙し、未来を創造する鍵を手に入れます。

祈りを合わせて下さいます皆様の御心が新しい段階に目覚めますことを願っています。



2008.08.23 Sat

所有という不安

生まれる時に肉体を手に入れました。そしてたくさんの物やお金や環境を親に与えてもらいました。好きな人ができて結婚もしました。そして自分の子供もできました。家やマンションも買いました。子供たちが一人立ちして連れ合いも亡くなり、独りになりました。そして肉体を離れる時が、ついにやってきました・・。

永い人生もこんな数行で書いてしまえるほどあっという間の出来事ですが、あなたは本当にこのどれかひとつでも所有できると思っていますか？

自分が苦労して貯めたお金や土地や財産、そして大切な家族や仲間でさえ、肉体を離れるときには何も持っていけません。自分の肉体や与えられた全ての出会いや環境も家や土地も、好きな人や自分の子供さえも全てが借り物だと理解できる人は、今の人生の一瞬一瞬を本当に大切に生きる意味を学んだ人たちです。

大切な物や人を失うことを恐れる人たちは、「所有」という概念のカルマにはまっています。その概念を利用して「保険」というビジネスが生まれました。不安を商売にするビジネスです。

不安の反対語の「安心」は、あなたの心の持ち方で決まります。現実にあるものはいつか無くなるものだと知っているからこそ、今ある物や周りにいてくれる人たちに感謝する心を持つことです。さらにそのことこそ、自分の心を大切に扱っているかを問われているのと同じ意味だと気づいて下さい。

手に入れるという経験と失うという経験の意味を考えてみましょう。欲しいものが手に入るとうれしい！と心が喜びます。でもその大切な物や人を失うとき、反対に悲しみを経験します。この喜びと悲しみがある理由を教えられない親は、子供に悲しみを乗り越える勇気も与えられないことでしょう。そうして育った子供は、自分が苦しまない方法ばかりを考えるようになってしまい

ます。その為には人を利用してでも自分を守ろうとあらゆる手段を企てます。

本当にあなたの思い道理になる物や人が、まだこの世にあると思っていらっしゃいますか？賢い人ほど、そんなものはないと知っています。だから今ある物も人もあらゆる経験も”たまたま”与えられた物だと学び、感謝して生きていらっしゃいます。

借り物の人生経験だったとしても、いずれ失う物や人であっても必ず、努力は必要です。努力して手に入れて失うことを経験することが、この人生でとても大切な意味があるからです。その意味を教えられる人にあなた自身がまずなって下さい。

あなたが決めて生まれてきた環境や親や自分の肉体・経験なのですから・・たくさんの経験をして大切なことを想いだしましょう！
2008.08.19 Tue

ママのおなかをえらんできたよ

8/17　苫小牧で開催された池川明医師の講演を聞いて、医学界にもこういう素敵な方がいることを知ったことは同じ目的へ向かう仲間としてとても喜びを感じましたし、その機会を与えて下さった主催者の皆様に心から感謝いたします。

池川先生を囲む会では、よりスピリチュアルな視点からお話されながら飯田史彦氏著書「生きがいの創造」に強く影響されたことをご自身も話して下さいました。大人たちが忘れてしまっている生まれる前の記憶や胎内の記憶は、肉体に入る前に自分で選んで生まれた記憶を覚えている私にとってとても力強いメッセージです。

池川先生が逆に私に質問したことは、生まれる前の記憶を持つ魂や生まれなかった子供たちの魂についてでした。私自身の体験で学んだことも命の生死と魂の生死が別であることを理解されている先生との会話は、今世、生まれた大人たちが本来の魂のつながりを思い出して生きる強さを実践する重要性で共感しました。

医学界において、魂や胎内の子供と話ができる人の力を借りたり、自分でもその確認作業ができる医師がいるということは、データや知識、経験にのみ依存している体質の医学界においてとても明るい未来を感じます。池川明医師の言葉を借りれば、こういう事実を医者や助産師・看護師たちにももっと理解してほしいということと、お母さんたち自身もそのことに気づく必要性を話されていました。

どんなベテランの専門的知識を持つ人でも母親でも、人と人、また、魂と魂のつながりを理解し感謝する心が無い人に扱かわれる子供ほど淋しさを感じることはありません。

死をうとみ、生をねたむ生き方ではなく、死を尊び、生に感謝する生き方が理解できる大人たちが増えることを私も願っています。

[:バッド:] 池川明の胎内記憶～赤ちゃんはお母さんを選んで生まれてくるのです

2008.08.18 Mon

魂の本質の役目

中国北京で盛大なオリンピック開会宣言が行われた８月８日　北海道苫小牧市では第四回目のアカシックワークが開催されていました。今回、アカシックワークを開催することになったきっかけは、白山神事に関西から参加した１１歳の女の子に降りた神導きによって、そのお母さんとお友達の二人が北海道までアカシックレコードを受けに来てくれたからです。

この全てのキッカケを作った１１歳の女の子は、白山登山の前までとても内気な面を持ち人見知りも多い女の子だったようですが、白山神事に参加したあと自分に自信を持って生きるようになったとお母さんも本人も言います。この子のように本来、巫女の役割を持つ子供の魂の目覚めは、周りの大人たちの魂を導くお手伝いをしてくれます。そのことも魂が自ら、親や生まれる場所や兄弟の順番や男女さえ決めて生まれてきているからなのでしょう。その子が大人と同じ自我を持つまでの間、親や周りの大人のために一生懸命に導きをしてくれていることにお母さんも気づいて欲しいと思います。

こういう話を医療の現場を知るお医者さんが話してくれる講演会が苫小牧で行われます。このお医者さんはたくさんの子供たちとの実体験からそのことを気づいたようです。　８月１７日午後１時　池川先生講演会「ママのおなかを選んできたよ」

アカシックレコードが全てのつながりを導く糸をたぐる作業だと気づいてから今までアカシックレコードを受講した皆様の内容を何度も何度も読み直す作業が続きました。そして一人の方に伝えた内容の中に、他の方の役割を導く鍵が入っていることに気づき、それまでの情報を全てリセットしてもう一度本来の意味をたぐる作業が始まりました。

今回アカシックレコードを受講した数名の方は、宇宙意識において今世、人間に生まれた魂の本質の役目が明確になりましたし、その役目を果たすために星の仲間たちの協力を得ながらこれから大きな神事をすることもわかりました。その方たちが中心となって神事を行う場所は、四国と九州の土地です。全ての準備が整いましたら必要な方の協力によって土地のカルマや意味を大きく変える神事が行われることでしょう。

アカシックレコードやアカシックワークが宇宙意識における存在意味を知り、自らの魂の本質の役目に気づき、人間に生まれた土地の意味と魂の仲間に出会う方法であることを今回のワークを通して確信することができました。

今後はあなたの住む土地に出向いてアカシックレコードとアカシックワーク行う予定ですので受講希望の方は、お仲間三名以上でお申し込み下さい。全ての皆様が本当の魂の役目に気づき、その役目を今世、達成されますことを心から応援させていただきます。

◎アカシックレコード＆アカシックワークの受講について

2008.08.10 Sun

北海道神事　決定

新しい日本国の建替え建て直しのために、北海道の仲間たちと自分の住む大地の役割を果たすための祈りが始まっています。

現在、祈りの仲間たちとシェアリングした結果、道南、様似、広尾、アポイ岳、百人浜、シャクシャインという神メッセージを具体化するための歴史調査・祈りの準備をしています。

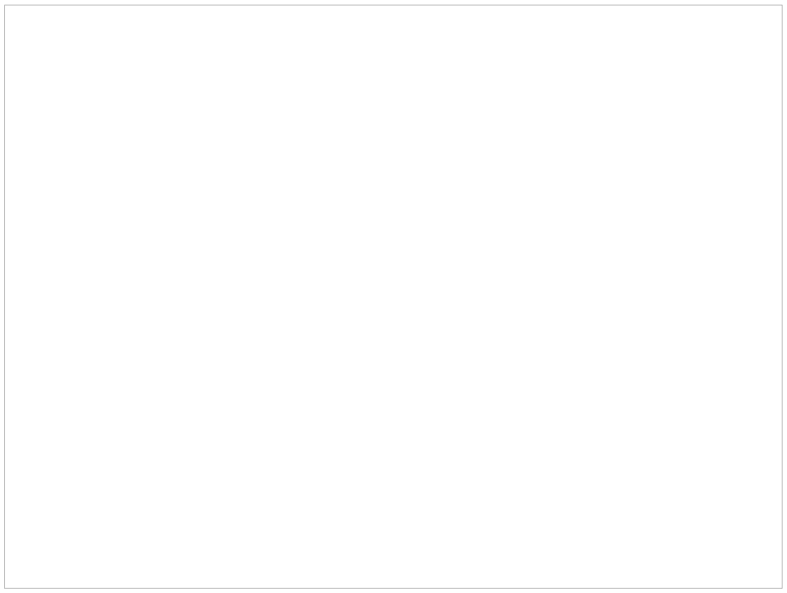
北海道の大地の最大のお詫びは、この大地から「金」を掘り出すために６１箇所も金鉱を堀り、自然破壊、河川破壊、人間の移住と争いごとが起きていたことです。一時、北海道の金産出量は日本全体の４０％を超えるほど恵まれた高波動エネルギーを大地から抜き取っていた土地です。

金のエネルギーの意味や役割を理解されている方は、どういう土地かが理解できると思いますが、今後、この不調和バランスをどう整えるか検討している段階です。

北海道へお住まいの方で北海道を守り、日本を守り、地球を守ることを真剣に考えられている方は、上記のテーマに関わる情報や気づき、メッセージなどございましたらメールでご連絡をお願いします。

北海道神事への情報連絡先　info@earthtscu.jp 吉岡
2008.07.29 Tue

白山神事　神言葉



●神言葉１

これよりが、また新たなる始まりの日となりました。皆様のご活躍・ご苦労のおかげと神々は感謝いたしております。全てのもの払い、物事の大掃除が始まります。できあいの間に合わせの人間や物事は、その根幹の姿を見せざるをえない時がやってきます。

全ての物事の始まりとは、そのひとつひとつが本当に必要かを問う人生のごとく、自らの生きる姿、心のあり方を確かめてからではなく、自分で気づく時間となりましょう。あなた方の見た龍や鳳凰の姿は、そのひとつひとつが自らの役割として天が見せていたものです。人生のあり方を問うよりも、、最も大切な自分の魂を知り気づく道となれば幸いです。

私たちの願いは、神願いする人たち自身がその自らの行いで現実を変えてくださることです。そのひとつひとつの気づきの道こそが、本当の悟りであり、あなたたちのいう「真理の道」なのです。生きる勇気を見失ったり、混乱したり、誰かを責めたくなる人も中には出てくるでしょう。そんなときこそ、愛を持ち知っている人々が働くときなのです。愛を与えるときにこそ全ての存在の意味を問うように、自らの心のあり方を問われるときなのです。

愛を与えることを授け玉（さずけだま）といい、愛をいただくことを受玉（ういぎょく）といいます。神人（かみひと）となられた皆様やその事ができる人こそ、この命改め、御玉改め、受玉、授け玉の人生をお進み下さい。全ての人々が、全ての存在が、全ての神が完全ではないからこそ、互いを許しあい続ける時間が与えられているのです。人神（ひとがみ、神＜人）は、その道を見誤らぬ様に前へ進む人たちの後ろ姿を見てごらんなさい。

神人（かみひと、神＞人）は、その道を知り導く役目があることを知り、自らその相対する物事全ての心のあり方を問われ続けることでしょう。その時間もご苦労も経験も、その全てが他人へ与える為の道であることを知りなさい。

人としてあらん神　　めざす人神　そのありか　自らの神心（かみごころ）の中にあり　　人神　玉洗いて　神となす

●神言葉２

人心（ひとごころ）　神の中にあらず

神心（かみごころ）　神の中にあらず

全ての心　人の中にあり

雅（みやび）な心　　我心

悪心を問わず　良心を問う

人心（ひとごころ）　神心（かみごころ）　ひとつ

●神言葉３

このえ御礼

この待ちましてございます永き月日の流れは

いくばくもないせつなの気持ち　うれいあまりて感じまする

アマミキヨありまする時　この伝え知る思ひ感じ

やつなに時すごしましてございます

写り世の流れの中　その想ひ一人淋しく待ちもうしておりました

行く末々の時の中　この時ありと願ひ　いくばくの働きできぬこと

思ひ悩みました　御身授かりし玉の役目　果たされんこと

心より祝います　大河大心なる行ひ　神人としてあらん姿に心打たれます

御地起こされし神地となりました事　御礼申し上げまする

幾千万の神あれど　その働きなす神少なく

人の心説いて神心説かずと想ひ知りまする

宇意天悟空の声なれど　その声天の声と聞き

神仏神心の道開きたる諸業感謝つかまつります

おいたわしやその御心のあらぬ姿と御姿に　全ての神霊感謝意示す

先日よりの計らひの儀　ひととおりの役導き終え

姿のある限り　新しき導き与えます

尊儀尊心の美しさ感銘す　老いてその肉体あらんとも

その心無限宇宙の中ひとつ　愛すればこその行ひと許したもうれ

御自ら選ばれし道とあらば　一斉のご苦労あらんとす

その儀その節にて　恩義恩賞つかいまする

故にその道一斉のとらわれなくお進み下さいませ

時いづる神*2008.7.21

●神言葉４

時の警鐘　鳴らしたもう者たちへ

人導き心導きいたす姿　すべて神見守りいたします

その御霊迷いせし者　たること頼みます

自らの心を救うがごとく　不足を満たし

足るを得る生き方　導きください

一人の時なくば　その心育たず

二人の時なくば　その心育（はぐく）まず

三人の時なくば　全ての始まりあらず

人集えし事の意味を問う

人道無縁　神道　神ひとつとあらんとす

*宇意天悟空*2008.7.21

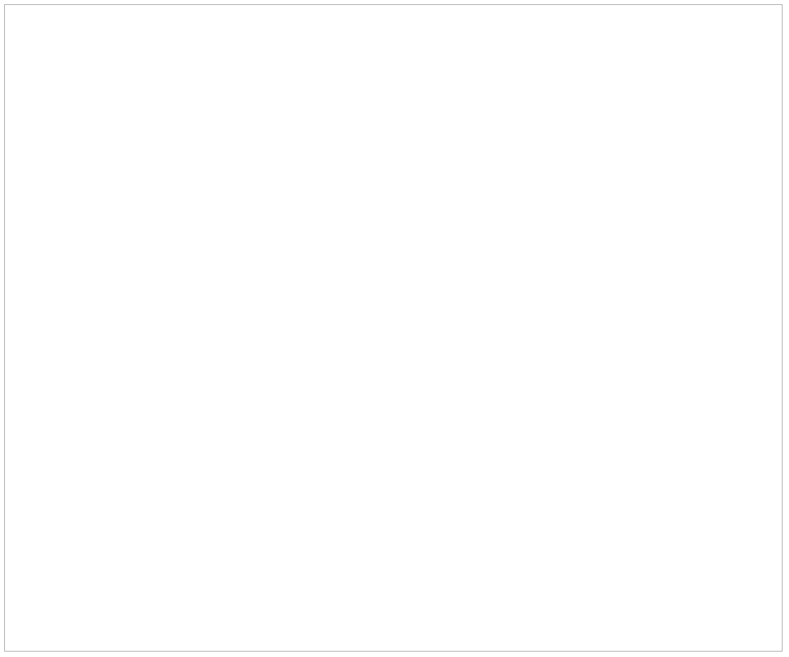
＜解釈＞

地球を守るためにあらゆる次元から啓示・メッセージを伝える活動をされている全ての皆様をサポートをしています。自らの魂や他人の魂が迷っている不足の部分を互いに補いあうことを宜しくお願いします。人を見たときに自分を救うように他人を救って下さい。自分の足らないところを補い合う生き方を実践して下さい。

一人で過ごす時間を作らなければ、その「足るを知る心」は成長しません。二人で過ごす時間を持たなければ、その心を感じあうことができません。三人でいる時間を造ることで初めて全ての人に実践する始まりとなるのです。

人が集まるとき、その目的は何か、その集まったエネルギーをどうしようとしているのか、参加者も主催者も問われます。集合エネルギーこそ、新しいものを生み出す力があるからです。

神として生きることは人の道とは全く違うからこそ、その神である自分自身のあり方を問われます。あなたの生き方が神の生き方ならば、その全てを問われてもよい生き方をどうぞなさって下さい。



2008.07.20 Sun

白山神事２　神仏元改めの儀

2008年8月18日、早朝５時より登り始めました白山登山は、のべ14時間の登山と１時間を越える頂上の神事となり、白山御前峰(ごぜんがみね）2702ｍの頂上神事では無限なるこの時を待っておられました新しい神を起こすご神事となりました。

今回の神事によって新しく起きあがった神の名は、「真玉（まだま）ウタキ」という神地名と共に、これからの新しい日本国建替え建直しの為に新しい命・新しい意識・新しい魂を生み出すお働きをしてくださいます大いなる神様でございます。

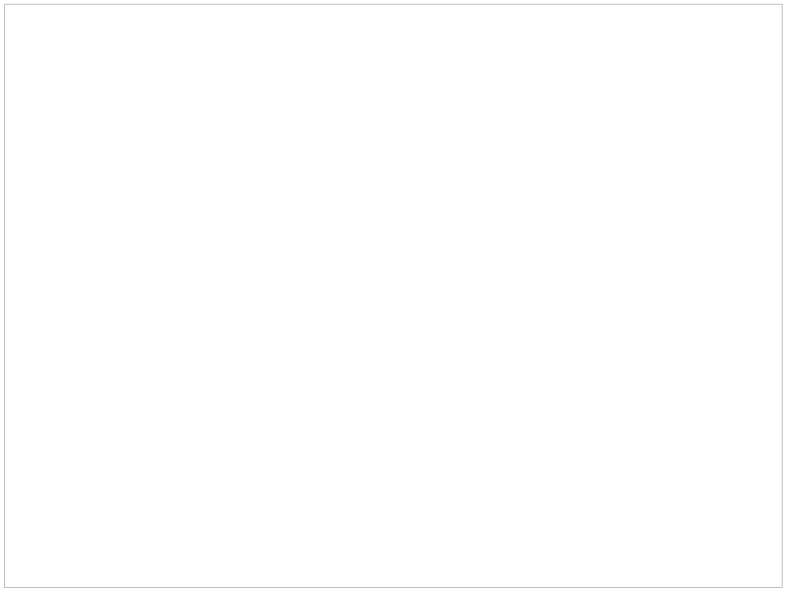
白山御前峰の頂上で一番高い場所にあるこの大岩こそ、この地に降りた最初の神の場所であることに気づかず、本来、奉るべき大切なことを忘れていたことにも気づかせていただきました。白山の山神様・神仏をお守りお奉り下さるご関係者様がいらっしゃいましたら、どうぞこの事実をご理解の上、あるべき形に御奉り下さいますことをお願いいたします。

参加者一人一人の真剣な祈りのあと、頂上神事のお礼を捧げたときに白山の本当のご神体である大岩の神様から、「やっと気付いてくれたか・・・」とその御心を身体が震えるほどの歓喜の涙で体感させていただきましたことをご報告させていただきます。

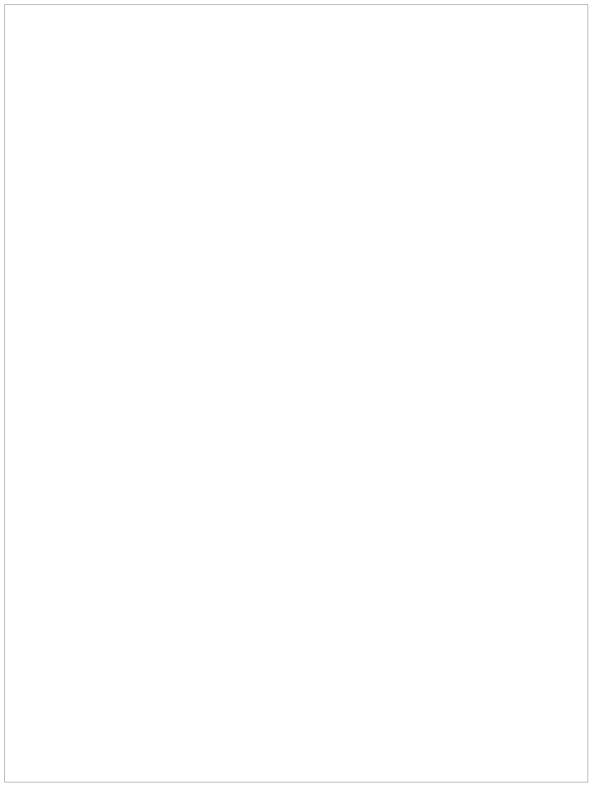
翌日８月19日のご神事は、石川県から富山県までつながる医王山（いおうぜん）のさらに山奥にある奥医王の龍の池におきまして、この山々全体が龍のご神体であることを知らされ、さらにこの龍の池がこの地に降りた龍の最初の場所であることを教えて下さいました。

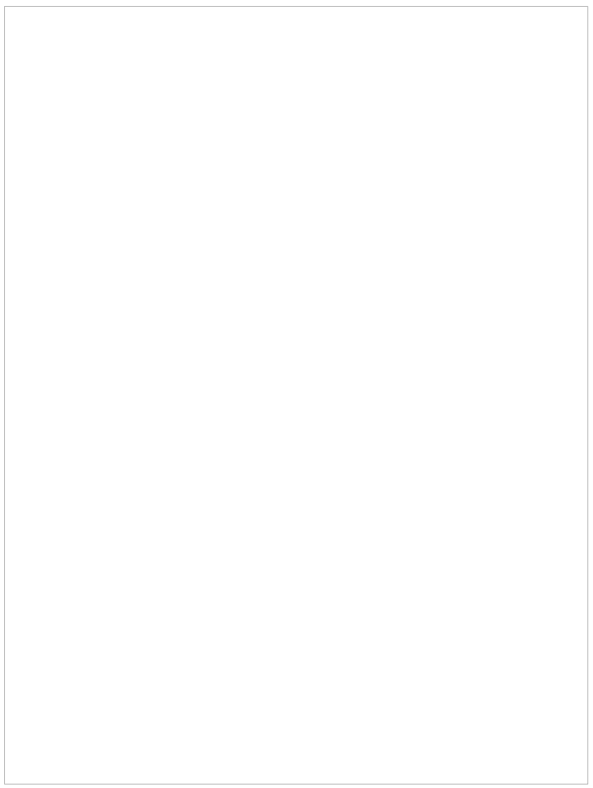
お一人お一人にビジョンや神言葉・宇宙メッセージで伝えて下さいました素晴らしい気づきを、毎夜行いましたシェアリング（さにわ）によってさらなる理解と新しい気づきになりましたことも心から感謝いたします。今後は一人一人が自らが住む土地へ戻り、実生活の中でその気づきを

実践する覚悟をお持ちになったこともご報告いたします。



霊峰　白山から龍の地　医王山へつないだあと、白山の神の表玄関である白山比?神社（しらやまひめじんじゃ）へ山神様のつなぎ祈りに向かいました。鳥居をくぐってすぐ見える道の両側の大きな杉の樹は、同じ高周波数エネルギーを出して通る人たちの魂情報を神へ報告しています。その働きに感謝の意を示して奥へ進むと、この地を守る最大のご神木が生気溢れる姿でいらっしゃいました。

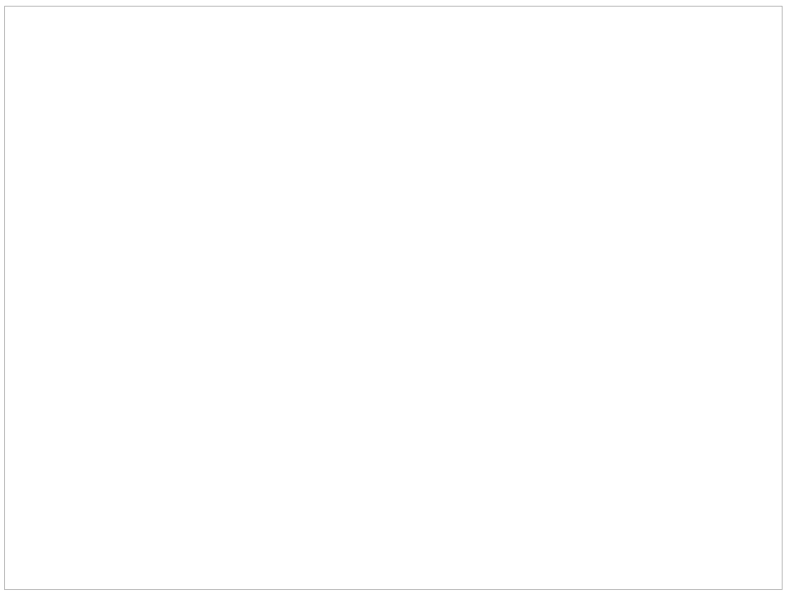




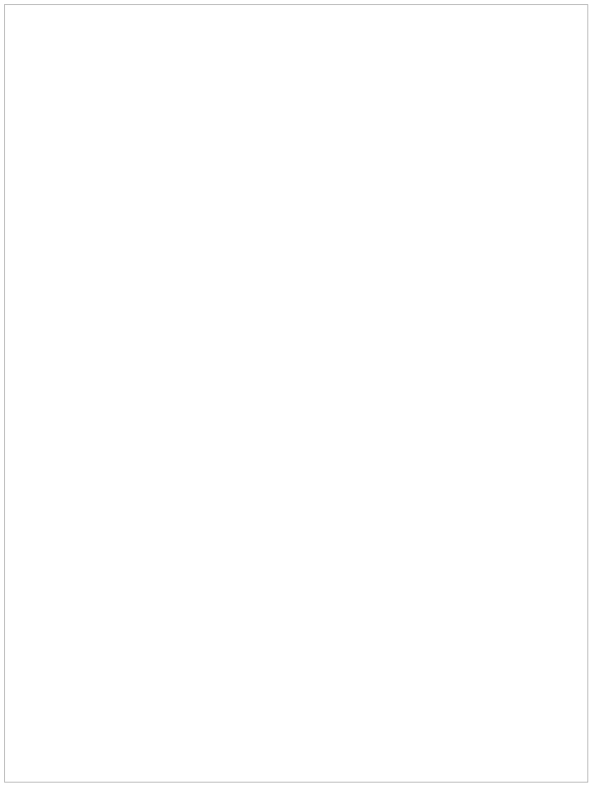
宮の神様には、二千百年の開祖まで遡る白山信仰神仏元改めの儀・新たな神起こしの報告・白山を守る新しい龍球王国十五神の鎮座のご報告と共に、人間の勝手な解釈で分離させた神仏和合へ向けて行動することを宣言いたしました。

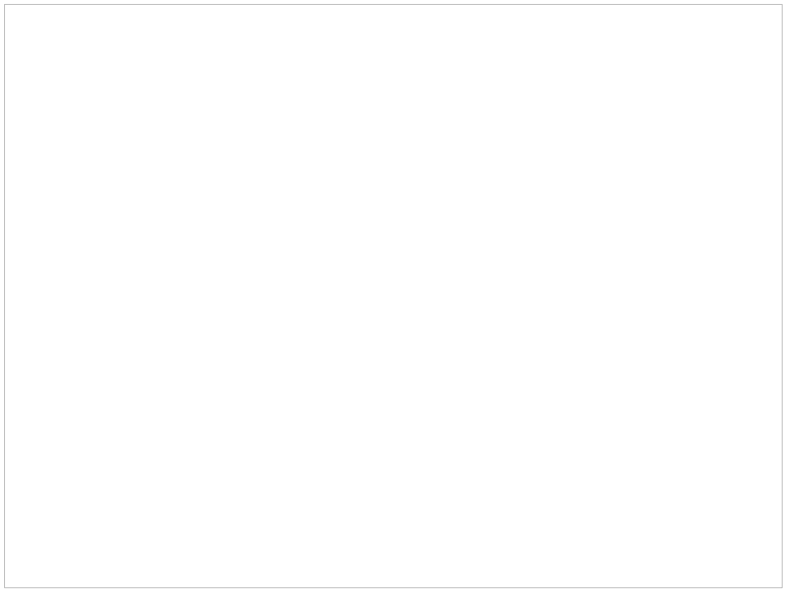
すると宮の神様からは「全てのお働きに感謝致します。私たちの願いでもありました行い、心から感謝致します。これから新たな働き致しますゆえ、皆様も魂のお働きを宜しくお願い致します

。」と言葉をいただきました。



石川県の山神・龍神・神道に祀っている神に祈った次は、今回の神事参加者二名のご先祖がいる仏教のお寺　福井県　永平寺へご報告と繋ぎ祈りに向います。

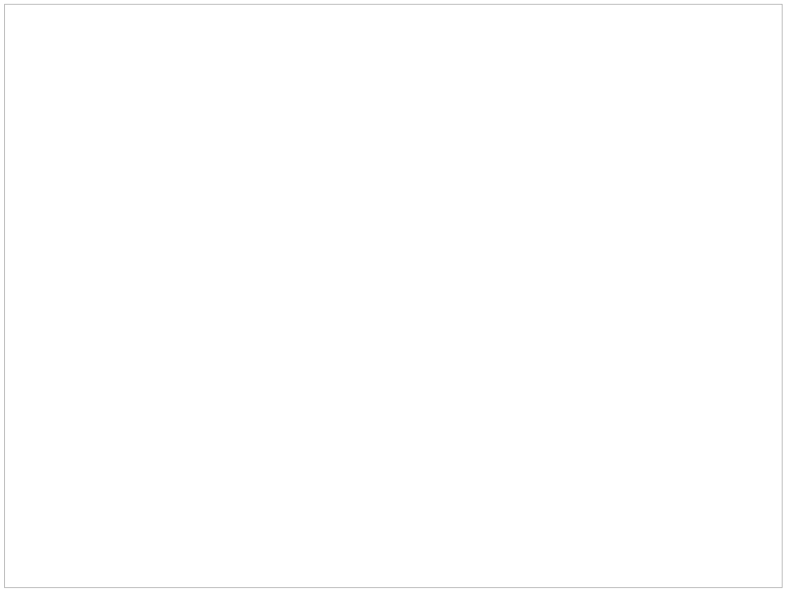




山登りと同じような数百段の階段を登った最高地点の法堂で祈ったとき、仏様はやさしい女性のようなお声で「ここまでの神業の御礼とお二人のご先祖の御霊と全ての皆様のご先祖たちを見守っています」と伝えて下さいました。

また今回の神仏元改めの儀により、全ての神仏和合の整いができたことを喜んで下さり、これからの意識界・現実界の全ての統合の働きを見守ってくださるとおっしゃて下さいました。

ご先祖代表として法堂の仏様へカメラを向けた人の写真には、神・仏・ご先祖たちが私たちの目に見えなくとも全てを見守って下さる存在がいる証としてその姿を写真に見せてくれました。全てを見守り下さっている存在たちへ心からの感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。



15名全員で奥医王山の頂上まで登り、前日の白山神事の神エネルギー繋ぎを行ったのち、白山の神仏つながりを守ってきた白山比?神社（しらやまひめじんじゃ）（石川県）、そして福井県　永平寺　法堂におきまして、神仏の元改めの神事のご報告祈りをさせていただきました。

今回の2008年7月18日の祈りが、翌19日の白山奥宮大祭の前日となっておりましたことを頂上手前の室堂で気づき、天候・気温・日付、そして神人（かみひと）として入られたお一人お一人の出会いの全てが神計らいであることに心から感謝いたします。

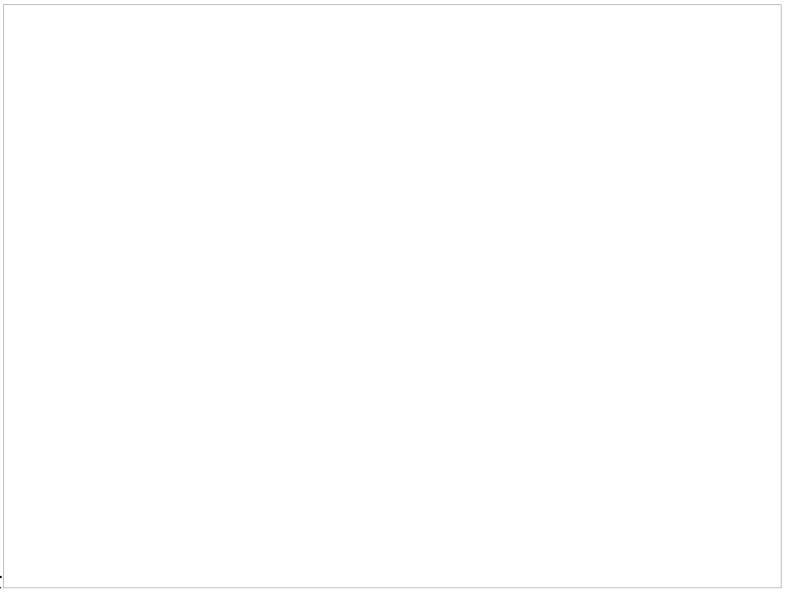
皆様の祈り合わせ・御心合わせのお陰をもちまして無事、日本古来の神仏元改めの神事が成功し、これからが日本国の新しい始まりとなりました事をご報告いたします。
2008.07.19 Sat

白山神事１　天河原（てぃんがーら）

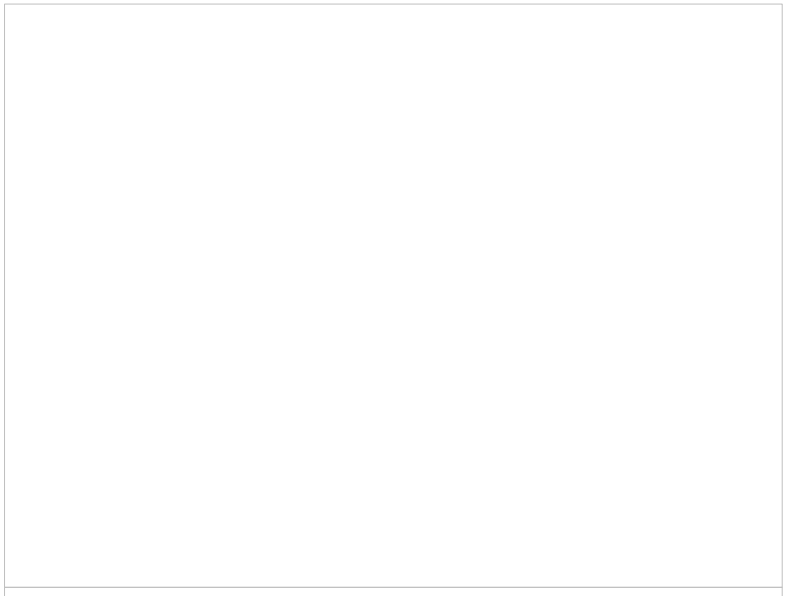
石川県白山へ出発の朝、シャワーを浴びていると天の声が聞こえてきます。「てぃんがーら、てぃんがーら」言葉の意味を調べてみると「天河原」と書いて「てぃんがーら」と呼ぶ沖縄言葉だとわかりました。意味は「天（あま）の川」のことです。今回の神事が沖縄の神々たちと天の星たちサポートのもとの神事だと教えてくれています。

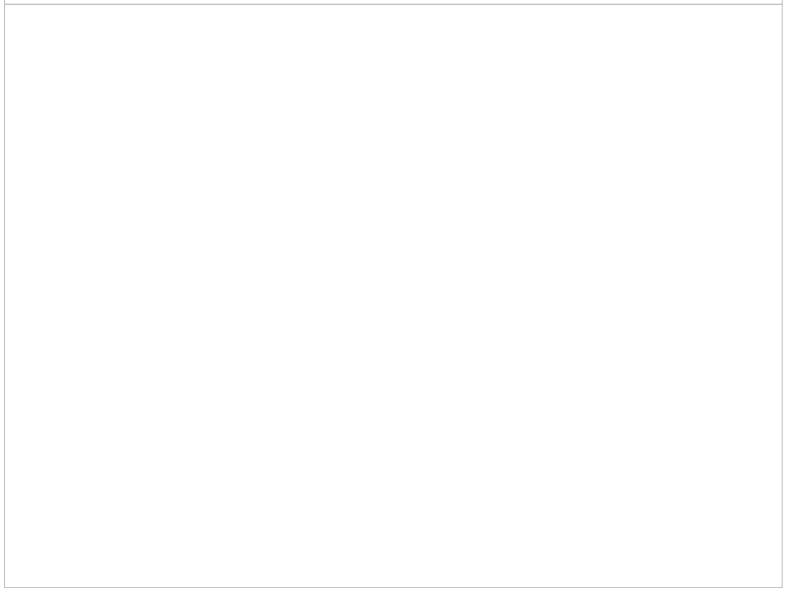
千歳空港から機体が飛び立った瞬間にも、すぐにメッセージが入りました。土地神と強くつながる体質の人ほど移動中の乗り物や空の上のように、土地に立っていない状態の時ほど天のメッセージを受けやすくなります。メッセージの内容は、今回の神事をここまで導いてくれた宇天悟空（うてぃんごくう）という神の説明に加えて、天上界・神界・宇宙・そして宇宙の外側までつながる門についての詳しい説明でしたが、神事に関わる方で高次元意識をお持ちの方だけにメッセージをお伝えしました。

早朝５時、別当出合の登山口で出発準備を整えていると神様がお出迎えに来られます　※1左上の白いオーブ　※2車のボディに写る白いオーブ　※3手前二人目の女性の頭　※3赤い球体の大神様



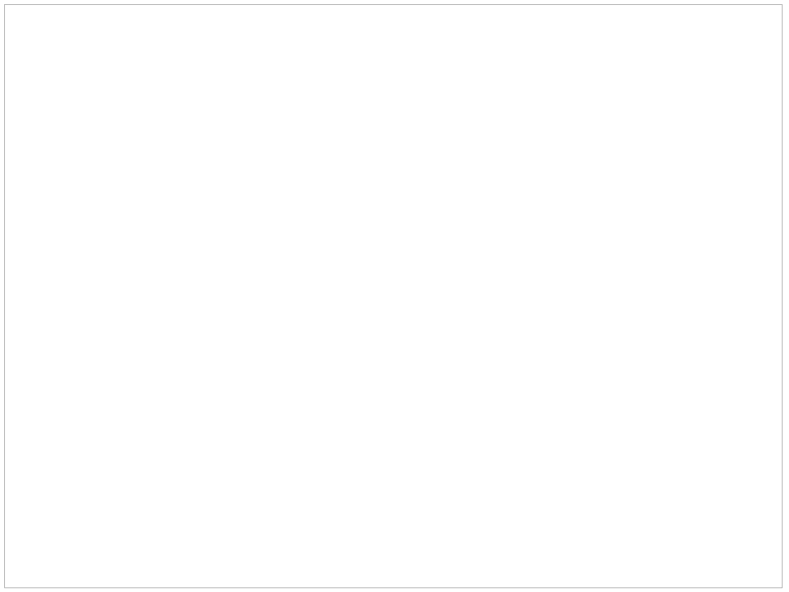
※4赤い球体の大神様　※5鳥居の上部中央



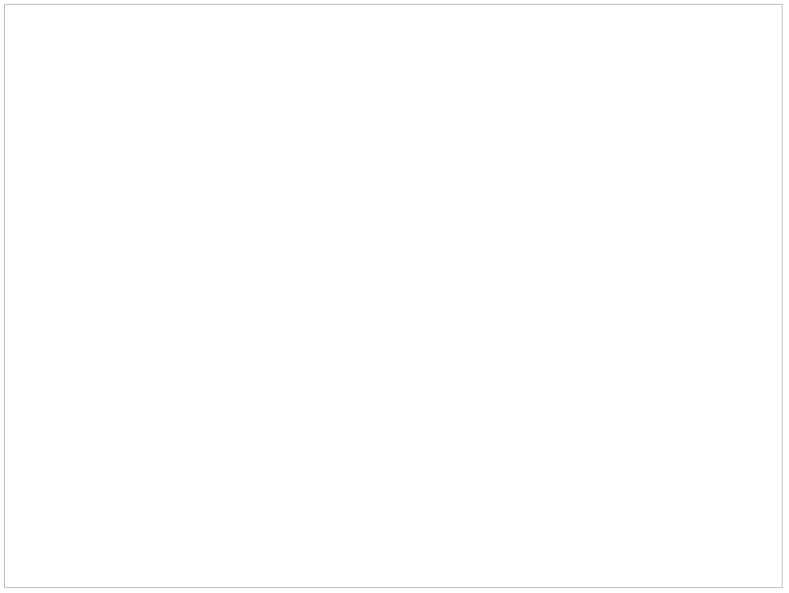


白山登山の砂防新道コースには４箇所の給水場所がありますが、それ以外にも雪解け水が流れてくる場所やチョロチョロとしか水が出ていない霊峰白山延命水と書かれた大切な霊水の場所があります。その水をいただこうと待っているときに、神言葉がおりました。”受玉（ういぎょく）玉入れの日となりました！　これはこの日（7/18）に天が延命水の水神に対して新しい愛のエネ

ルギーを授けた事を意味しています。これからはもう少し水量も出てくれることでしょう。※一番辛い登りの最後尾を守ってくれた男性の手の周りの赤い球体は神様のオーブです。



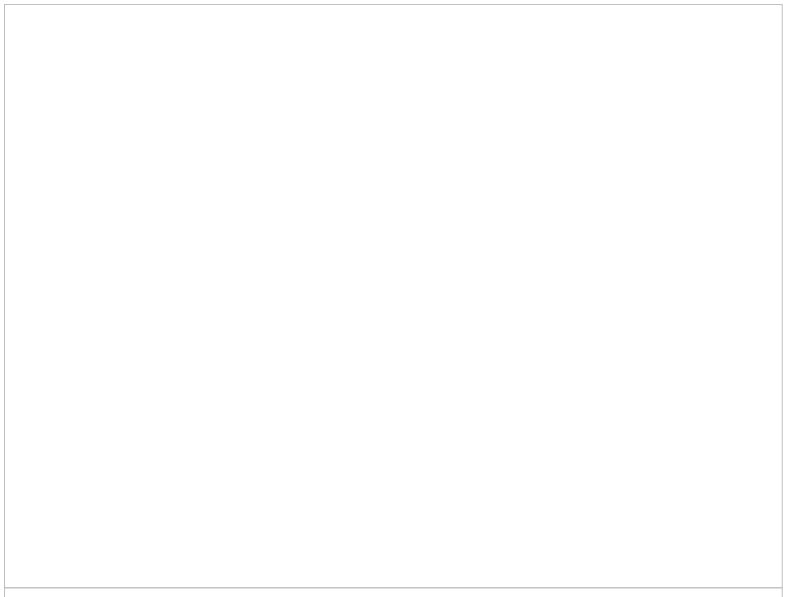
山へ登った時に大きな石はまず神様だと思って下さい。この石は黒ボコ岩と呼ばれる場所にある白山の門番石ですので、神事で入る方は必ず正式に入る理由を述べてから許可を得てお入り下さい。

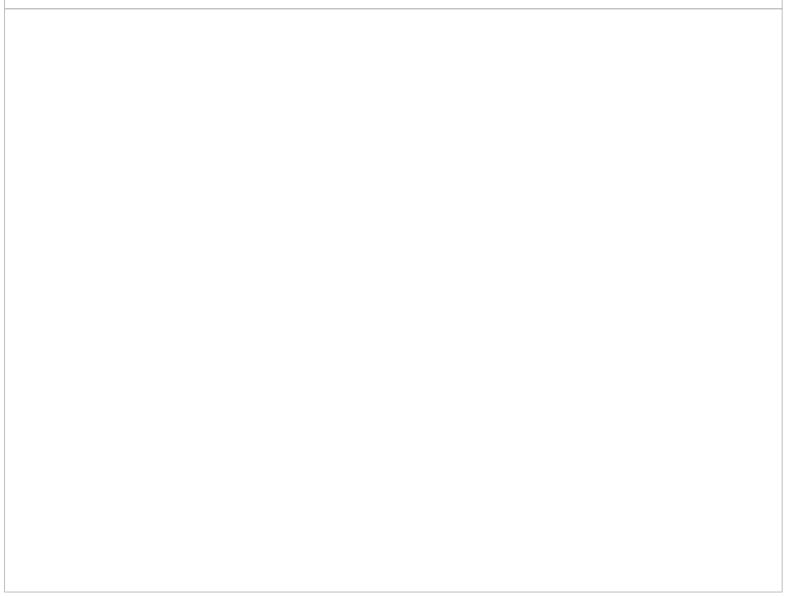


室堂で休憩後、御前峰（ごぜんがみね）頂上へ登り始めると、大きな石ひとつひとつが山の守り神として意志を持ち、人石（ひといし）という言葉が出てくるくらいに人間に近い波動ではっきり私たちの行動を見つめています。ひとつひとつの石たちにご挨拶しながら進むとまた神歌（かみうた）が口から出てきます。

川の流れは天の流れ　天の川の流れはあまの川　天の流れの川ながれるは　川の星くず天の星えによりながれ出ずること　このあまの川にいざいあれ　この石ひとつが星とあれ

この大きな神石・人石たちは、空に輝くの天（あま）の川に写る星たちの姿を写している。それは移りゆく宇宙のありさまをここに見せているのだと教えてくれています。今後、この場所へ来る方はそのことを思い出して石たちにご挨拶をしながら感謝の心で頂上を目指して下さい。





白山頂上の御前峰2702ｍへ向かう石段を登るたびに、両側の神石を通して神歌（かみうた）が届きました。そのひとつひとつの言葉の暖かさを感じながら頂上ご神事を全員の御心あわせで無事終えることができました事を感謝いたします。これからご神業をなさる方のために神言葉をご紹介いたします。

●人風（ひとかぜ）持ちて　のたまいて　つなぎし者のその意志ひとつ　御（おん）自ら運びしものは　新しき意志と聞こえけり　御自ら運びし意志を受けたまいて候（そうろう）

※人間が、風（新しい命）を持ってつなごうとしているその意志は新しい意志と聞いております

それぞれの方が運んでくれる意志をありがたく受け取りましょう

●働きまどえるその道なりき　その道なりきと伝えし言葉は　その門開きと問いただし　その門開き道ありき

※人間として迷いながらも　ご神事の道を進む心の中は　新たなる幸せの道になるかと問いてございますが　その道の先には新しい自分と人間の幸せの道につながっております

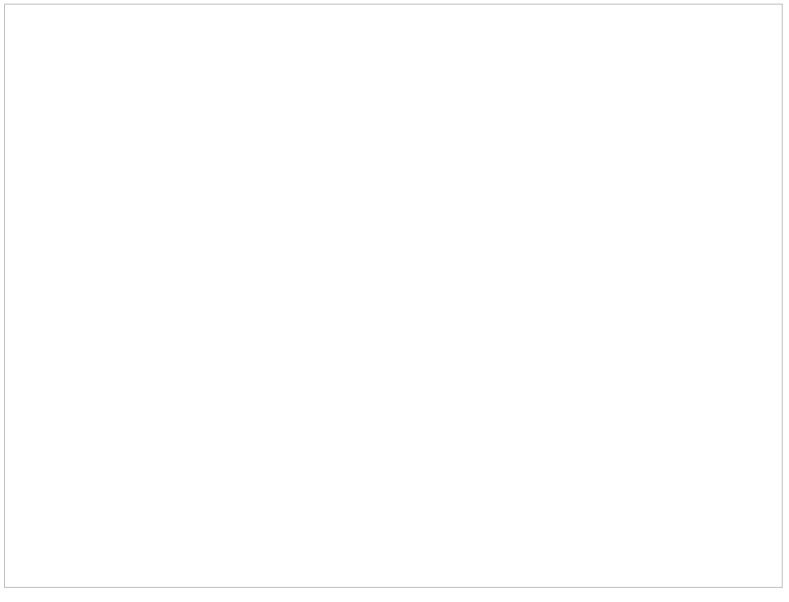
●御自らのたまいて　御自らのたまいて　おのずの力のある限り　美しきかなその心　美しきかなその行い　みな集まりし者の清えしことに感謝す　感謝す

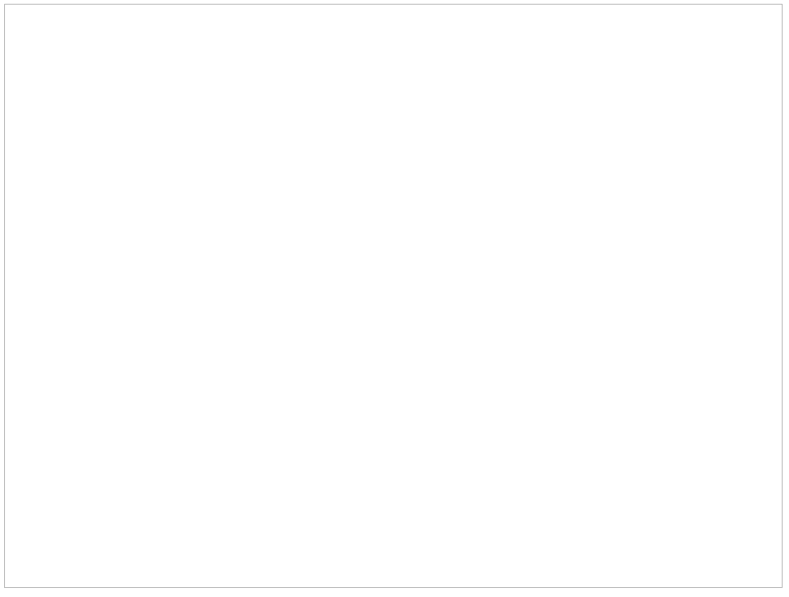
※自らの意志と言葉を持って　その力のある限り進む姿の美しきこと　その行いの美しきこと
ここに集まってくれた人たちの清き心に心から感謝いたします

●業（ぎょう）　行いたわんとする者　その道わずかな時なれど　その行い神ひとつ　その行い神ひとつ

※あらゆる神業をなされる人たちへ　残された人生の中でその神業ができる時間はわずかでございますが　その神業をなさるとき　私たち神はあなたと共にあります　あなたの想いとひとつであります

頂上ご神事にご参加下さいました皆様本当にありがとうございます。





2008.07.18 Fri

白山神事　祈りの時間

７月１８日の白山神事に祈りあわせ・心あわせくださいます皆様へ祈りの時間と概要をお知らせいたします。

祈り時間　　７月１８日（金）　午後１時前後

祈りの目的　　日本古来の神仏元改め

祈り登山時間　７月１８日午前５時～午後５時（１２時間）

この日、日本全国から１５名の参加者が地球創生の代表としてご神事に参加下さいます。地球を守る皆様の御霊磨きのご神事になりますのでどうぞご参加される皆様の健康と安全も合わせてお祈り下さいますことをお願いいたします。

全ての神計らい・全ての出来事に心から感謝いたします。

地球創生　　吉岡学
2008.07.16 Wed

やまたのおろち

7/9夜、新たなるメッセージが降りてきました。このメッセージは「国の建替え建て直し」に関わる神言葉なので全文公開は時期尚早と感じ、全ての神事が終了してから公開いたします。（※白山神事参加者には7/17にお伝えします）

7/1に新しく身体に入ってきた神エネルギーの意味を感じながら、北海道神事メンバーとこれからの神事をどう理解していくかを話し合うシェアリング（さにわ）の資料をまとめていた時のことです。キーワードは、「ヤマタノオロチ」でした。頭の中でふとこの言葉に気づいてから次々とイメージやメッセージが浮かんできます。

子供の頃から歴史の文献や誰かの意志が入っている書物に興味がないので、今は必要なことをまずインターネットで情報収集しています。ネット情報のいい点は必要な時に必要な事をすぐ手にいれられることですが、その情報発信者の意図も必ず入っていますので、その内容の中から「神意」だけを読み取るようにしています。

霊や神々、また宇宙や自然界からメッセージを受け取る人の特徴は、身体のどこかにビリビリと一瞬、強い痛みが走ります。時には夢の中でお知らせしてくれるようにやさしい時もありますが、私の場合はほとんど強く重いエネルギー体が身体に入りエネルギー体の意識を五感六感の全てで感じながら「神意」を感じ取ります。

こういうメッセージの受け取り方もそれぞれ方の魂の位置と役目に応じて違いますので、人によっては霊からたくさん情報をいただく方から神や天使や宇宙の存在から気づきやメッセージをいただく方までたくさんいらっしゃいます。

精神鍛錬を積んで自分の感応意識と反応意識をコントロールできるようになると、そのエネルギー体たちと正しく対話ができるようにもなりますし、伝えるメッセージの「神意」を理解できるようにもなります。

蛇足ですが、見えない存在からのメッセージも現実世界の情報も、あなたが何気なく思っている事と魂の位置に見合う情報しか入ってきません。だから目の前の現実を変えたければ、まず自分が意識している事や自分自身の考え方を変えることが第一の方法なのです。

この目的で行っているのがハートランド龍球のスピリチュアル講座ですが、学ばれた方たちの魂の成長ぶりは、誰もが認めるすばらしい結果だと感じています。魂の成長のもうひとつの方法が、私の神事にご一緒して同じ場の体験をシェアリング（さにわ）することでも大切な気づきが得られます。

私が神事に参加される方に必ず伝えることは、参加する目的の共有とそれぞれの魂の気づきと成長、そして新しい共有意識（神意識）を生み出すことです。神事とは本来、人間が肉体を持って行う行為ですが、神意識の人間が行うことでそれは神の御技、神そのものの意識と行動になるからです。

今この時間も神事に参加宣言をされた方たちは、その全ての準備がなされていることでしょう。中には、自我を見せられたり神を見せられたりしながら、あらゆるすべての物事のあり方や考え方を問われている時間だと思います。このご苦労の神意こそ、ご先祖様たち全ての代表として入られているからです。

この地球において新たなる統合・新たなるひとつの生み出しをする事は、そこに固有意識が無い状態を意味しますが、その神意に到達する方たちが増えることこそ、全ての物事をありのまま受け止められる愛のあなた自身であるかどうかを問われているのです。

神事の目的は、神の為であって神の為ではありません。人間の為であって人間の為でもありま

せん。本来、すべての人間が神なのですから、そう生きることを思い出すための神業だとご理解下さい。

「やまたのおろち」のメッセージの意味をお伝えします。

古事記や日本書紀に記されている「やまたのおろち」の本来の「神意」は、ひとつのメッセージとして土地神＝地球の意志を意味し、地震・天災などが起きることが人間にとっての損得だけではなく、全ての自然界のバランスだということを学び知る意味を示しています。そして神話には、先住民族が信じていた自然神信仰に対して、アマテラスを神として掲げる太陽神信仰の一族との関わりを表しています。

また「やまたのおろち」は、先住民族＝それまで国を守っていた人たち＝国津神（くにつかみ）を意味し、「やまたのおろち」を退治した「スサノオウ」は、海から新しい宗教や文化、鉄の錬金術・食べ物を伝えた渡来人たちを意味し、そのことで神が民衆を救ったとして天津神（あまつかみ）＝天孫族を表しています。

沖縄の古い信仰にある「アマミキヨ」伝説も同じ意味で伝えられています。最初に渡来文化を伝えた人たちのことを「アマミキヨ」、その人たちが伝えた全く新しい神のみわざとも感じられる錬金術・食べ物の願いを叶える神として「シロミキヨ」は奉られています。

そして「やまたのおろち」の尻尾から出てきた霊剣の意味は、先住民族＝国津神との戦いで天津神が勝利したことを意味し、それまでの豪族たちの勝手な振る舞いや権力を新たにまとめ整えたことの象徴を意味します。

古事記が何度も書き換えられたり、書物に全てを表記できない理由にはいくつかありますがひとつに、神と信仰とその象徴には、権力主義・体制主義がどの時代にもありますので、日本の国土内で生まれた天孫族と呼ばれる民族と先住民族との混血化によって生まれた新しい種族と、新し

いものを伝えた歴史上の種族ルーツの明確化を避けるためです。文化生活を営むようになった日本人の信仰や神とあがめた人間のルーツも種族などの本当の血のつながりを隠す必要があったからです。

そのことに気づいた人たちが、たくさんのことを本やブログに書いていますが、私に今、この「神意」を伝えてきた目的は、現在の日本の神信仰や生き方・考え方が、宇宙の創造主の本意ではないことを示してると感じています。

宇宙に地球という星が存在して、人間が存在した本当の理由と目的に気づき、日本の地に生まれた魂の役目を達成させることだと感じています。全ての方の「神意思」がひとつになることを願っています。

●地球創生基金へご寄付ご協力をお願い致します

郵便口座：地球創生基金　記号 19070　　番号 9613551

2008.07.10 Thu

無から有を生み出す力

2007年9月1日に宮崎県高千穂で行った天孫降臨・オノコロ神事の際に降りた宇宙メッセージを読み直していて、これからの神事について気づきがありました。

それは私たち人間の祈りの力はそれぞれの信仰や神や仏のとらえ方で違いはあるでしょうが、本来、私たち人間を神意識・宇宙意識にまでつながる神人（かみひと）として地球に誕生させた本来の意味に気づいたのです。

これまでは世界中で祈りにエネルギーを費やす人たちが心に思い描くことは、世界平和や人類愛・家族愛、また自然や地球の調和を願う方が多いと思いますが、この祈りによる共通意識エネルギーによって生まれる新しい集合意識を意識される方たちの具体的な行動が現実を変えていくのだと思っていましたが、実は、それよりもさらに早く現実を変化させることができる高次元意識に気づいた人たちの祈りにおける精神エネルギーには、無から有を産み出す力があることがあることがわかりました。

人間の創造エネルギーのすばらしさについては、近年の精神世界を眺めてみると、世の中に出現したサイババの物質化現象や長崎のアンデルセンで見せている超常現象の意味も、私たち一人一人の「創造の力」が現実を変えることができることを思い出させてくれているだけなのです。

この生み出しとも言える無から有への創造エネルギーが「１００％信じること」で生まれるのは大前提ですが、さらにそれより高次元に存在する神意識エネルギーをどう扱うかで、この三次元世界の全ての物質社会にあるものや今無い物まで無から有に変化させる力が人間にはあるということです。

この力は特別なパワーではありません。全ての人間に備わっているパワーなのです。この力を最大限に使えるときが「無」の精神状態なのは言うまでもありませんが、そのパワーを手に入れる

ために特別な瞑想をする方もいることでしょう。また精神修行と学びのために多くの時間を割いている方も多いでしょう。しかし本来、皆さんは、この無の力を無意識に使っていることを知って下さい。

あなたが一人でいるとき、お風呂の中やトイレの中で、ふと思うとき。森や自然の中で心から開放された瞬間にふと思うこと。何かに集中しているのに、当然、違うことをふと思う時・・・・。この全て瞬間が、無意識の世界のつながりなのですが、この「無意識」をどう扱うかについてはほとんど情報がありません。

それは意識の世界が眼に見えない世界だからこそ、この無意識についても理解されづらいことが原因と言えます。宗教者や哲学者、心理学者でも、この”絶対無”の世界から話をされている方は少ないと思います。その理由は皆さんが有の世界（眼に見える世界）をもっとも重要だと認識しているために、有の世界からの説明が一番受け入れやすいからです。

しかし純粋な心を持つ子供たちには、その説明を一切しなくても「無の世界」や見えない世界や神様や宇宙との交信のアンテナを持っていますので、心に思うことはすぐ相手に伝えることができます。

精神を研ぎ澄ますことは、反対に、生きる邪念想念倫理概念を一切手放し、全ての意識コントロールをしない状態にすることです。このことさえ、左脳で理解しても右脳では理解しづらいと思いますが、もし今日のメッセージで気づく人がいるのなら、自分の無意識のエネルギーを地球を救うためにコントロールして使って下さい。一人でも多くの方の純粋な創造エネルギーが、望む未来を生み出すために働きだすことを願ってこの情報をお伝えいたします。
2008.07.08 Tue

国の建て替え・建て直し

２００８年７月１日、宇宙のおおもとから『国の建て替え・建て直し』のメッセージが正式に降りました。この神事の内容や詳細については全ての神事が完了するまで公開できませんが、ついにその時期が来たことを皆様へお伝えいたします。

２００３年２月２２日に降りた「地球創生」の啓示から始まったこれまでの神導きや神事は、すべて”宇宙のおおもと”からのメッセージや神事の中で神と対話した内容が次の導きとなり、”天の岩戸開き”・”龍球王国建国”・”新宇宙の誕生”そして、”天孫降臨・オノコロ”という流れになっています。

この全ての神事の結果は私個人が意図したものではなく、すべて神計らい・神導きで気づかせていただいたおかげ行動できた５年間の結果です。２００３年当時、啓示が”地球を救う”という大きなテーマだからこそ、一人一人の心のあり方で気づきが違うと思っていましたが、全ての魂が望む目的地は同じである事は今も信じています。

私の神事で一番大切にしていることは、人間が誕生してから行ってきこと全てのお詫びと心改めの宣言、そしてこんな人間たちでも信じて守り続けてくださる大いなる存在へ感謝の祈りを行います。私たち人間も自然界の一部だからこそ、自然界の神々に向かう心が神と同じくなったとき、自分自身が何をするべきかは、誰に問うことなく自分で気づくものだと思っています。

私たち人間は肉体を持ち、欲を持ち、存在を尊び、全ての継続伝承を願い、今まで生き続けていますが、その目的地を問われたとき、人間以外の存在とのバランスを崩していることに眼を向けていないことに気づいてきました。G8洞爺湖サミットのテーマでもある地球環境・自然破壊は、社会破壊、地域破壊、家族破壊、人と人の信頼破壊が原因とも言えるでしょう。

その復活再生のために全ての物事をもう一度、一から改めなおす心が必要な時代になりました。

自由に責任が伴うように、行動には好むと好まない両面の結果が訪れるように、”天”に反する”地”があるように、”正”に対する”負”があるように、男女という相対の形で存在している人間の意味は、この三次元世界における全ての相対の意味を表しています。

天が意味するもの、地が意味するもの、そして、その真ん中にある”現実”が意味するものを改めるためのこれからの国の建て替え・建て直し神事は、皆さんの無意識の根底にあるものや隠された真実を解き明かす結果になることでしょう。その必要があるからこそ、この時代にその使命を持つ人たちが産まれているのです。

あなたが今、手に入れていると思っている幸せや現実さえ、あなたが未来を望む限り、手の中の何を降ろさないと新しい未来は手に入れることはできません。その”心改め”も、これからの神事には含まれています。

日本という土地の意味、この日本に生まれた魂の意味、その目的を忘れた人たちの為に、日本国の建て替え・建て直し神事を行うことを宣言いたします。その目的は全ての存在との調和・共生が目的であることをどうぞご理解下さい。

※地球創生の神事・活動にご支援・ご協力いただける方は、地球創生基金（郵便口座名：地球創生基金 記号19070 番号9613551)へご寄付をお願い致します。
2008.07.03 Thu

すべては準備しだい

まもなく7月を迎えようとしています。2008年のスピリチュアルカレンダーをお持ちの方は、7月のメッセージのとおりですので,どうぞ最善の月になるよう心がけて行動して下さい。私も今までブログに公開していた情報をHPに製作し直してアップしましたので、どうぞパソコンからゆっくりご覧下さい。

・パワースポット宮古島　石庭（いしにわ）

・自然界メッセージ

7月18日の白山神事につきましては全国からの参加者も決定し、各自で心と体の調整に入っている段階です。２７０２ｍの山に登ること自体が体力的に相当辛い上に、今回の神事の意味を理解し参加を決意された方は魂の役目を果たすべく、一日一日その準備がなされます。

神事に参加する方たちは、参加の宣言をした日から全ての物事の準備が始まります。当日までに９０％の準備が天からなされると言ってもいいほど、すべての物事の考え方をご本人は問われます。その精神の準備や変化に対応できない方は、必ず、もめごとやトラブルが起きてストップがかかります。また反対にどれほど困難と思える状態でも必要な方は、全てのサポートが入ってその準備が整います。こういう状態を昔から「神はからい」と言っています。

一般生活においても同じようなことが言えます。重要な出来事やあなた自身がどうしてもしたいと思うことほど、それに見合う自分であるかを問うように心の中のさまざまな葛藤や身体的や経済的な面で乗り越えるべきハードルが用意されます。このハードルを乗り越えることができた人は、自分が生かされている事や肉体・家族・友人・知人、自分のできること、させてもらえていること全てが宇宙や神仏に守られ与えられていることを実感することでしょう。

全てはあなたの意思から始まるこの現実世界の全ての結果も実は、神の意思の中で生かされていることを知って下さい。命が大切だといいながらも、その命の誕生と死を自由に決める事ができないくらい私たち人間は、自分自身のことが見えていないのです。そのことに気づく人たちが増えることを私はいつも願っています。

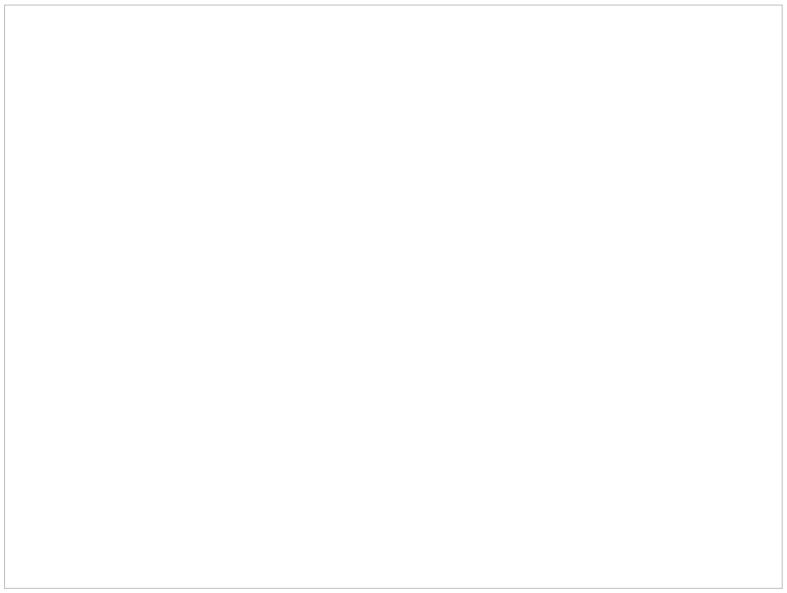
私たちに与えられた命、時間、お金、親、子供、仲間をどう扱うかは、全てあなたの責任です。あなたの思い通りになったとしても、ならなかったとしても、これから起こる次元上昇やアセンションも、神や宇宙から届くメッセージさえも、それに応えられるあなたの現実や精神の全てのバランスの準備しだいで結果は決まるのです。

あなたは、自分の人生の目的に気づいていますか？

そして、あなたはその準備ができていますか？

すべては、準備しだいですよ！
2008.06.29 Sun

有珠洞爺・善光寺・地蔵堂・亮昌寺神事



北海道洞爺湖サミットまでに「場の整うのを待っている」という啓示を受けた女性を仲間たちとサポートした結果の神事が、昨日６月２１日、のべ１２時間をかけた有珠洞爺・善光寺・地蔵堂・亮昌寺神事になりました。

まずこの神事に白老アイヌのエカシ（長老）の血を５０％持つ女性の参加があったことは、先住民族アイヌの魂の同席を意味し、北の大地に住まいする私たち和人と新しいつなぎ合わせができたことをきくださった全ての存在に感謝いたします。

また北海道の地まで逃げのびてきた「隠れキリシタン」の想いが集まる地蔵堂祈りでは、ご先祖一縁に隠れキリシタンの先祖を持つ皆様の因果応報カルマの解消祈りをすることで、日本全国で行われてきた宗教・思想の違いによる家族親戚近隣者との醜い人間争いの感情烈火カルマのお詫びと解消祈りを捧げることになりました。

人間が人間にしてきた全ての醜い争いは、人間同士の責任としてその改めを一人一人がする必要があります。そのために私たちは何度もこの世に生まれてきていることを気づいている人も増えていますが、このことに気づかずどんなに素晴らしい未来を語ったとしても、ご先祖たちや家族カルマの想いに引きづられた結果が、今でも続いているあなたの家族・親族との争いであり、世間をにぎわす事件なのです。

血肉を分けた家族親族だからこそ、他人よりも醜い争いになる理由は、この「家族カルマ」のテーマこそが、人間の魂が背負う３つのカルマの最後のテーマだからです。世界の世改めを願うなら、あなたの親子関係・夫婦関係・親戚関係が全ての写しとなることにまず気づいて下さい。

愛を心の外側（他人や社会）に語ることは簡単なことです。でもその愛を心の内側である夫婦、親子、親族に向けたとき、その全てを受け入れ伝えられる自分であるかを私たちは問われているのです。

あなたの家族愛が、世界の基準になります。

あなたの夫婦愛が、世界の基準になります。

あなたの親子愛が、世界の基準になります。

どうぞ、見つめるべき眼を自らの心の内側へ向けて下さい。

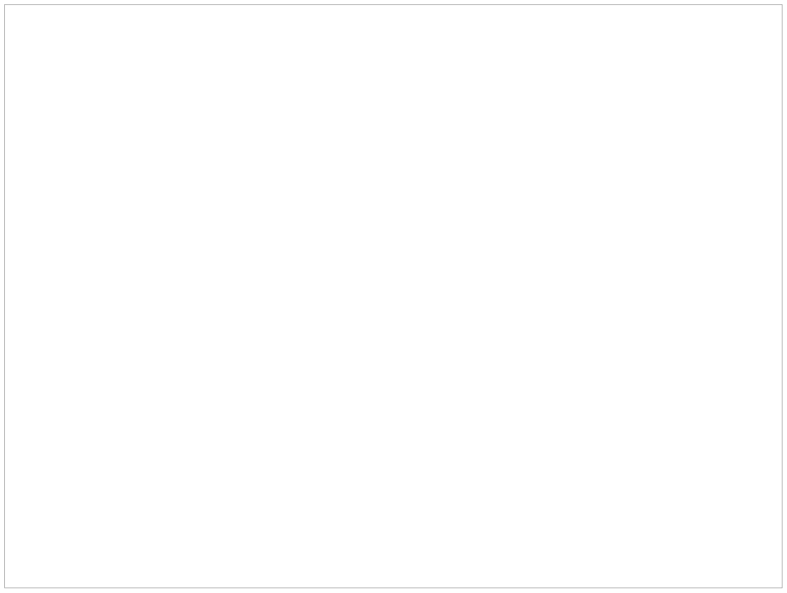
昨日の祈りの最後のご報告をした洞爺湖温泉街にある「薬師如来」からは、そのことを皆様へ伝えて下さいとメッセージがありました。祈りは、あなたの生活の中や心の中にあります。そしてその祈りの全てを写しているのが家族なのです。

地球家族や地球愛を語る前に、まずご自分の家族愛のあり方を見直して下さい。世界平和を願う一人一人の家族愛の整いがあってこそ、全ての人が願う家族愛や地球愛が産まれるのです。　愛

、無限、感謝。

2008.06.22 Sun

恵庭岳　頂上祈り



７月１８日の白山神事の前に北海道で登るべき山を考えていると、神導きによってその答えがでました。日本で２番目に深い水深をもち日本最北の不凍湖のカルデラ湖である支笏湖を守る神々が住む恵庭岳（1319ｍ）でした。
この恵庭岳は、支笏湖を挟んで6月7日に登った樽前山と、その前にある風不死岳が対岸にあり、頂上には口をあけた神がその顔を見せています。

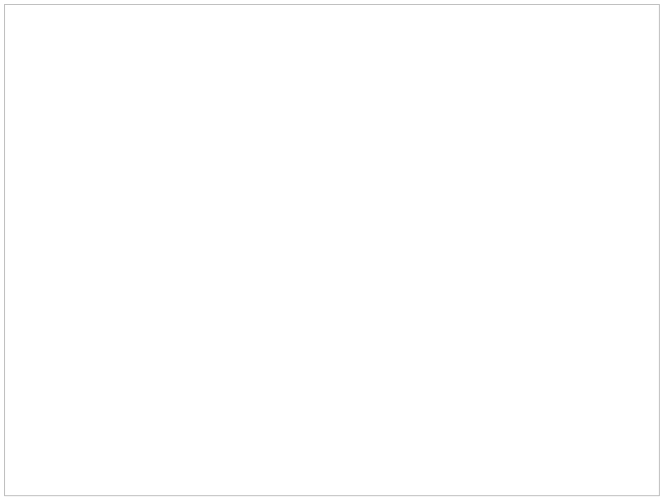
この恵庭岳については昨年、祈り仲間が事前に登ってたくさんのメッセージをいただいていたおかげで、今回、登る意味が理解しやすかったことを感謝します。

6/16早朝、恵庭岳の登山口から完全に水が枯れてしまった川に着いたとき、その悲しい情景に絶句しました。まだ枯れてまもないように流れついた大小の石や川幅もそのまま残っているのに、何が理由で水が枯れたのか・・・。

自然の摂理を壊す最大の存在は、人間です。
支笏湖の中で湧き出す水量が減ってきいる話も、支笏湖温泉の源泉湯量が減ってきている話も聞いています。また事故や災難など湖で亡くなった方たちの御霊の話も昔からよく耳にしていました。
しかし、この支笏湖にいる御霊たちは苦しみを訴えることはありません。反対に、深く苦しんだ人の魂を導いてくれるときがあります。

アイヌの方たちが大切にしていた場所であったことも、前日のメッセージで降りてきました。その全ての意味を参加者全員へ伝えて6月16日早朝、8名の祈りメンバーで登山開始です。

小雨から私たちを守るように木々の葉が傘になり、濃霧なのに道を惑わすこともなく道先を自然が誘導してくれます。登ってきた道をふと振り返ると、新緑の葉に朝日が写り鳥のさえずりと共に森の精霊たちに見守られているのを感じます。



　3時間20分で行き止まりになっている八合目の大きな岩に着きました。岩を抱くように成長した松の木にいる神様に全員で祈りを捧げます。詔（みことのり）を唱えると私の口を借りて、大いなる神が言葉を唱えあげます。

天つ神　てんしょうしん　天照大神なり

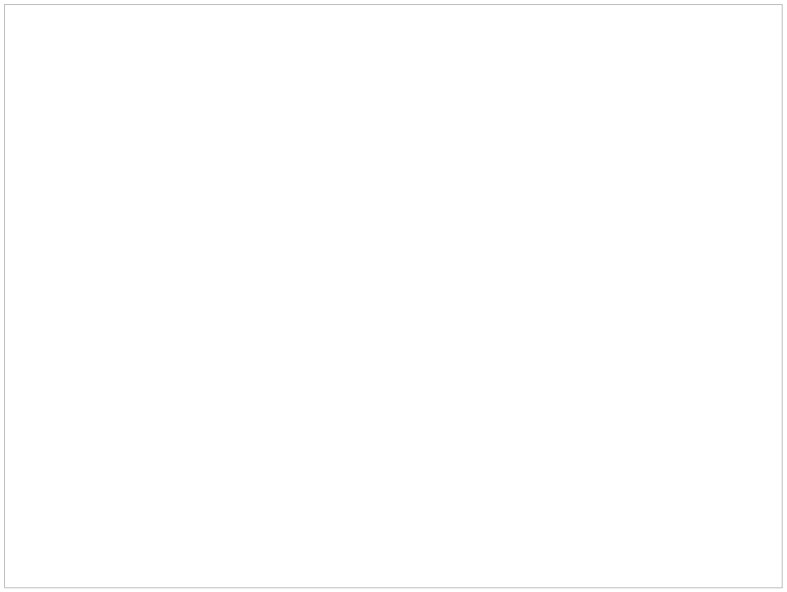
この地を守りし神々　全ての働きに感謝す

その働きひとつにしてこの地守りし神　天照大神とす

その働き　北海道の全ての山神をまとめ

白山の地につなぎたもうこと神の願い

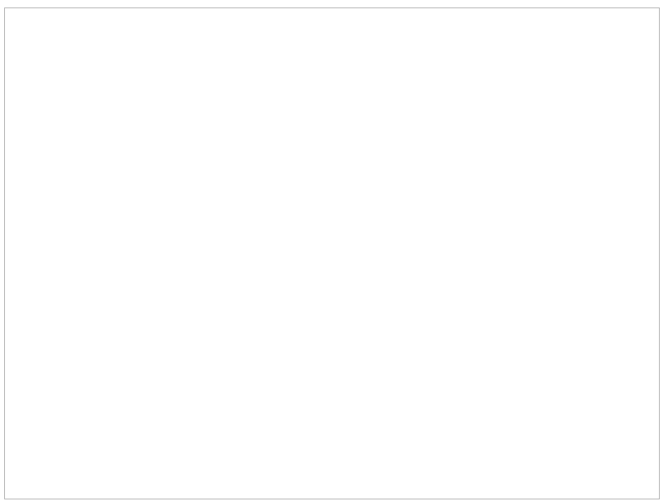
恵庭岳の山神さまが、天照大神に昇格した瞬間です。

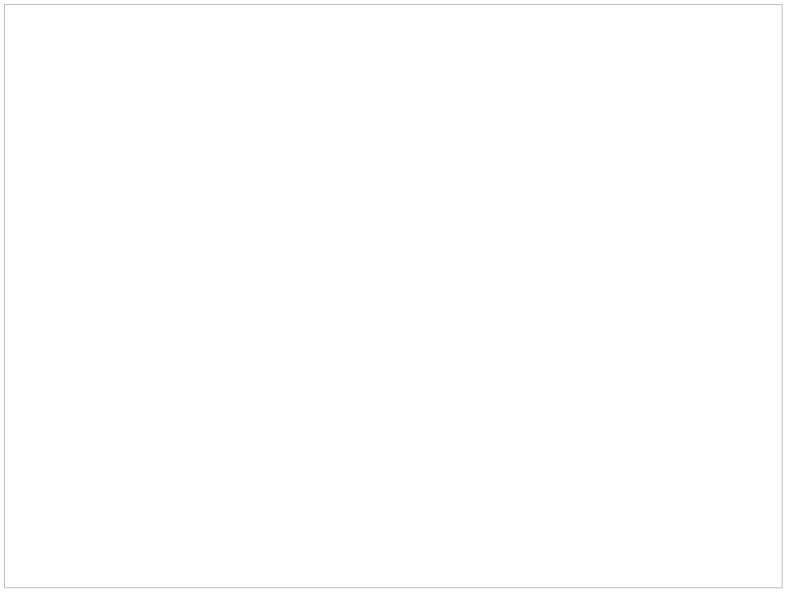


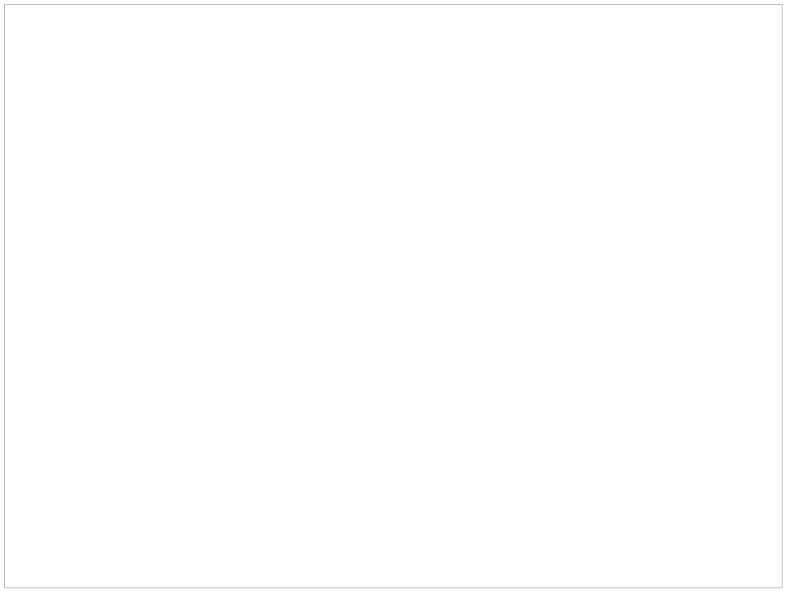
下山の道々、気になる場所でカメラのシャッターを切ると、恵庭岳がどういう場所なのかよくわかりました。たくさんの御霊たちを支え守る神がたくさんいて、自然界の精霊たちがその姿を見せてくれる場所です。

最後の写真は、一合目付近にある岩ですが、その岩は大切な物をずっと守っている門番のような大きな神様であることに気づき手を合わせました。神や精霊たちは自然界にある物の姿を借りて、いつも私たちを見守りながら語りかけていることに気づいて下さい。

白っぽく丸い形のものが”オーブ”と呼ばれる精霊・御霊のエネルギー体です。はっきり白く写っているエネルギー体や大きなオーブはその場所を守る神さまのエネルギー体です。1枚目と2枚目は同じ場所を撮影していますので比べると神が姿を見せるのは一瞬であることがわかると思います。最後の写真の赤いエネルギーは、さらに強く大きな神様のエネルギーがその姿を見せてくれている瞬間の写真です。※クリックすると大きな画像で見られます







2008.06.17 Tue

6月**14**日岩手県震度６地震

6月14日午前8時43分ごろ、岩手県の起きた震度６の地震を聞いてすぐ、母のご先祖が北海道へ移住した先祖地であることを思い出し、そのときの場所を調べて驚きました。震源地、岩手県奥州市胆沢区のすぐ横にある山が震源地であり、この住所がご先祖地と同じだったからです。

母の地からのメッセージが何かあると思い、今回の地震の意味を昨日から天とやりとりしていましたが、本日６月１５日、宇宙エネルギー上昇の日に合わせてひとつの意味が確認できましたので公開します。

今回の地震は、全ての人の業（ごう）の表れといってもいいでしょう。この現実界で起きていることはすべて自分たち人間が原因と知りながらまだ、何もしようとしない人たちの心の中の表れとも言えます。これから進む道がわからないからこそ、自らが目標を設定し歩みだすことが必要だと思います。

私にとって母の先祖地からの意味は、自分を産み出してくれた存在たちからのメッセージと感じています。それはさらに大いなる産み出しをしてくれた存在たちたちからのメッセージでもあるのでしょう。

今回の地震は人災も少なくすんでいることを考えると災いではなく、啓示と感じています。これからは皆様の意識と行動しだいと何度もお伝えしているとおり、自らの意思を行動で示して下さることを願います。

神仏守護在りし人々　全てが御仏の生き方されること願います

2008.06.15 Sun

唯物主義から無二物主義

”祈り”の対象を自然界全てにしていた日本の先住民族（アイヌ民族・琉球人）の知恵や教えは、現代の神道（しんとう）のルーツである古神道（自然神信仰）・琉球古神道からも同様に学ぶことができます。それは生かされていることの大切さや感謝を特別なものにしない生活に根づいた大切な教えでした。

しかし文明を取り入れた人間がしたことは、ご本尊や神殿・社を豪華賢覧にすることで、精神よりも形・しきたりを重んじる唯物（ゆいぶつ）主義となり、祈る心のなかに神仏との距離が生まれたのを感じます。

その心の距離とは、豪華かさとは反対の貧しさという比較の心を生みだし、「自分だけは・・」という「個」の概念を強くする結果になったのではないでしょうか。

新しい精神の道である仏神道（ぶっしんどう）は、その反対の「無二物主義」を基本に伝えています。この無二物主義の考え方は、神仏があなたの心の中にあり、あなた自身が神仏と一体であるという考え方です。

生活のなかの祈りの対象が仏壇でも神棚でもマリア様でもイエス様でもいいのですが、その祈る対象とあなたは同じ神仏であることを受け入れてみて下さい。

誰かや何かを神仏とあがめることは簡単ですが、その心の中には”自我”という心の甘えを隠す場所を作り出します。全てに感謝することを前提として、常に神仏、年長者と正直に付き合う心の素直さを学ぶことは、あなたが次の世代に伝えるべき、大切な精神ではないかと思います。

存在への感謝、生かされていることへの感謝、世の中で起きること全てが自分の学びであると思える心、そして、自らがするべきことをしているかと問うときに、「ハイ」と言える素直な行動と心をまずあなた自身が育てて欲しいとお願い致します。
2008.06.11 Wed

霊守護・神守護を感じる方たちへ

６月７日、北海道の苫小牧を守る神山の樽前山に登りましたが、その前日にメッセージが届いていました。これは全ての守護をお持ちの方に対するメッセージと受け止めましたのでご紹介します。

神つながりと思われし人たち数々あれど

命かけ守りたもう意味知らぬ人も多し

その意味伝え　心あわせ　命ひとつ魂ひとつと

働きたもうこと神の願い

命　人生　いくばくもない時

過ごす大切さ教えてあげて下さい

このメッセージのとおり、霊や神に守られて、人のためや地球のためにお働きになっていらっしゃる全ての皆様の魂の目的は、ひとつの目的へ向かっていることを伝えています。

そして私たちが肉体を与えられている短い時間の中で、どんなことを思い時を過ごすのかが、いかに大切なのかも伝えています。

霊や神に導かれ、自分のするべき道を探していらっしゃる皆様にお伝えいたしますが、私もたくさんの行動の結果として現在に至っています。そのひとつひとつの行動には賞賛も賛美もなく、これからも同じように自らのできることをし続けるだけの道だと感じています。

あなたが人間としてどううまく生きたかより、自らの魂としてどう生きたかを守護存在に問われた時、それまでのあなたの思いや言動、そして行動の全てを守護存在が見つめていることを忘れないで下さい。

その守護存在の想いを感じ、守護存在が喜ぶように生きてこそ、本当にあなたの魂が喜ぶ道に通ずると思います。だから今、あなたが自分一人でできることを行動に移して下さることをお願いします。

そしてその行動の理由が明確になったとき、それぞれの歩む道は違っていても、互いの目的が同じ方向へ向かっている事を知ることで、全ての守護存在の目的は、「ひとつ」であることを悟るでしょう。

地球に存在する私たち全ての魂は、同じ魂から生まれた「分け御霊」なのですから、どんな時にも自らを見守ってくれている守護存在がいることを忘れないで下さい。

この人生に悔いなし！と言える生き方をあなた自身が行動で示すことでしか、自らの存在理由に到達する道はありません。

あなたが信じる道を進む過程の全てを守護存在がお守りくださっていることを全ての守護存在に代わりお伝えいたします。

2008.06.10 Tue

風のメッセージ

北海道最大のお祭りとなったYOSAKOIソーランの初日、気温２３℃の清々しい大通り公園に吹く風がメッセージが届けてくれました。やさしさ溢れる愛のメッセージをあなたにもお届けします。

◇良い心と共にあれ

良い心は他人にやさしさを与えます

良い心は人のためとこだわらず　一人で静かに愛を感じます

良い心は未来へ続く唯一の心です

良儀（りょうぎ）において良心あれ

良儀とは何事が起きてもゆるがず　人を導く心のこと

その心を持つ人の事を良心・両親というのです

不難に物事が済む時　その良儀が働き　人を導くのです

全朝運雲（ぜんちょううんぼ）

開運を願う人はこの全朝、つまり全てに朝日が昇るときがあることを思い出しなさい　その運を

運ぶのが雲の役目であり　それが龍雲となるのです　運母龍雲（うんぼりゅううん）ともいいます

”食”　良食健母（りょうしょくけんぼ）

よい母はよい食を知り　その道を伝えます　よい食とは命と魂と体を育み　新しい命を生み育てます　その知恵を持たぬ母は　よい母とはいえません　母は常に良い食を知っているものであります　その知恵こそ母なり

命を育むことを忘れない様にしてください

命を育むとは　子と母だけではなく　男女・老若の全てのかかわりの大切さを言います　その全ての触れ合い　その全ての感覚が大切な命を守り育てる心を作るのです　一人としてそのふれあいなく愛を育てる事はできません　命ある限り　永遠に続くものなのです

良い人生と悪い人生はあります

でもそれは誰かにとってではなく　あなたにとってどうあったか　どう生きたかなのです　悔い改めるのは　人の為ではなく　自らの素直な心に生きなかったことの恩返しをするのです　それが見返りを求めない人生の生き方です　命ある限りしか　その恩返しもできないのです　お返しを求めない恩返しの人生こそ　良い人生だと思いませんか？

食を持って母を持つ　母を支えし命を知る

尊（うやま）いを覚えて感謝す　尊（とうと）いを知りて命なす

仏心（ぶっしん）知りて先祖立つ　神心（かみごころ）知りて人として立つ　森羅万象その写る姿　全てが自らの知るおろかな世界と知るべし　神仏（しんぶつ）　宇宙のひとつなり

春秋積彩（しゅんじゅうせきさい）をもちて光となす

その光　全ての物を生き返らせる力あり　命力（いのちちから）　そのものが大地の恵みであり光なり　新緑たる由縁こそ　新しい命生まれ　育みなさいというメッセージなり　春秋　風のごとし

良い妻良い母にならなくともよい

良い妻になる前に良い女になりなさい　良い女とは　影日向なく人を照らし　喜びを与える人ぞ　良い父になるのではなく　良い男になりなさい　良い男は常に　戦いありと思い　心の中に弱さを作らぬもの　戦いなき時は　全ての男女の働きする時　すべて叶う

紫陽花　あじさい

陽の斜きめげず　その美しさを失うことなく　その命果てるまで　与えつくす花　その人の事を　月花美人ともいう

録（ろく）

その働きに与えられるもの　物にあらず　知ある人　学ある人　その全てが録なり　天　与えし録は　災いなく生きる　その命　全てが録

このあと　神名（かみめい）二つと共に　その働きと　これからの地球を守る人たちへ大切なメッセージが降りました　その大切な内容は　祈りメーリングを登録されている方へお届けいたします

2008.06.05 Thu

北海道　洞爺湖サミット

先日の洞爺湖周辺の神仏からのメッセージは、実は７月７日から始まる洞爺湖サミットまでに私たちが気づかなければいけない事として洞爺の土地に生まれた方へ伝えてきたメッセージがきっかけとなった行動でした。

G8先進国首脳会議の議題を現実化するためにも、人間がそれまでしてきたことを気づき改めない限り、会議自体が架空のものとなると神々は告げてきています。

世界の重要な事柄を日本の地に集まり会議を行う意味は、地球の未来に対して日本の意味がそれだけ大きいからです。

京都議定書がそうであったように、現実は目的と手段がかけ離れてしまったために、先進国の未来が目指す国造りになっていないことは誰が見てもわかるとおりでしょう。

理想とする大きなことをテーマに決めるのは簡単なことです。でもそれを実際に行うのは世界中の一人一人の人間の心ですから、その人間同士が過去を悔い改め、心をひとつに合わせない限り、守るべき地球の大地は、人間は何も変わっていないと判断し、世界が驚愕するほど悲惨な土地の浄化が起きないとも限りません。

皆さんも知ってのとおり、国家が何を決めてもそのとおりにはなりません。国は時代の方向性を示してくれるでしょうけれど、実際にその国に生活している皆さんの一人一人の意識が変わらないかぎり、この悪化し続けている現実を変えることはできません。

その為にも世界を変える活動より大切な事は、まずあなたが変わることです。そして、それを行

動で示すことが重要です。

世の中で起きることや世界で起きることを他人のせいにして何もしない私たち人間こそが、その責任を取らされることを覚えておいてください。

もう一度、言います。

世界を救うのは日本です。日本を救うのは、あなたなのです。

北海道の洞爺湖がサミットの地に選ばれた責任を私たち北海道に住む人間がまず気づかない限り、その土地から守られることはありません。だからこそ、７月７日まで私たちは北海道の代表として、また日本や世界を背負う責任を果たすべく、大きな神事を行う決断をしています。

この祈りの詳細は、祈りメーリングへ登録されている方に日時が決定しだいご連絡させていただきますので、当日の祈りあわせを宜しくお願いいたします。

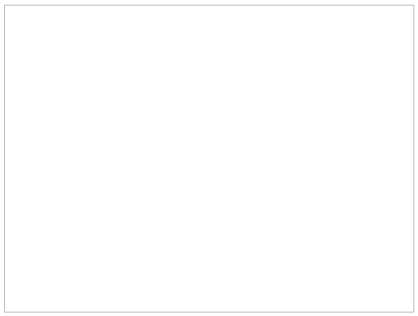
今できることをすぐ行動しない人たちが、”いつかはやる”と言い続ける。
2008.06.02 Mon

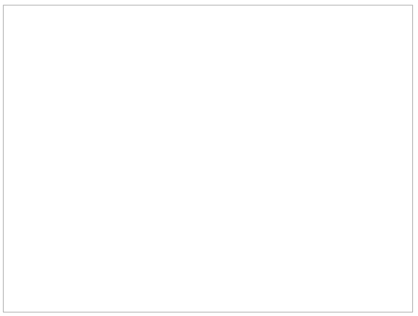
アイヌとキリシタン

これからの新しい時代の道として天が教えてくれて「仏神道」は、神仏の統合意識、つまりあらゆるすべての宗教の統合意識と、天と地と宇宙の神々の統合意識、また人間の生き方と神のあり方の統合を導く道として毎日気づきを与えてくれます。

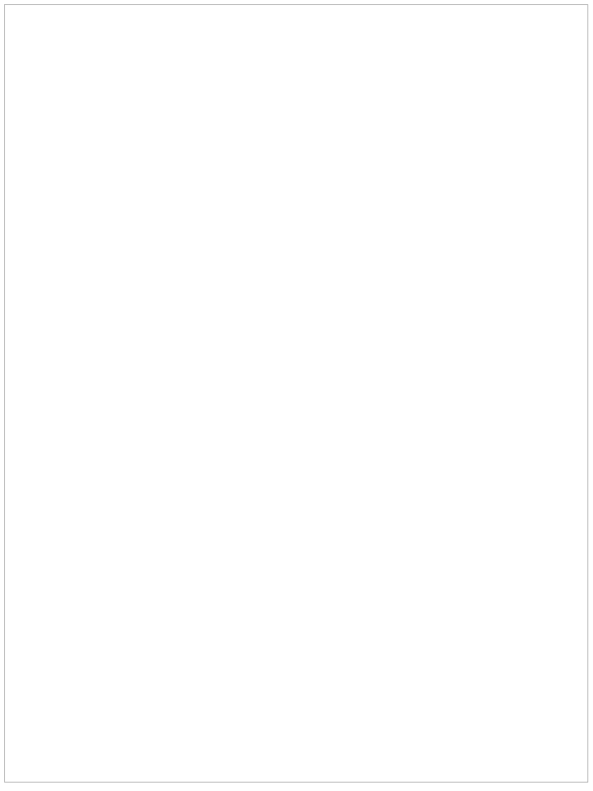
土地を守るとはまずその土地で起きた歴史を知ることから始まり、土地に神や仏を何の意味で奉り、そして人間がその扱いをどう変えてきたかを知ることから、人間のおろかさやすばらしさを知ることができます。

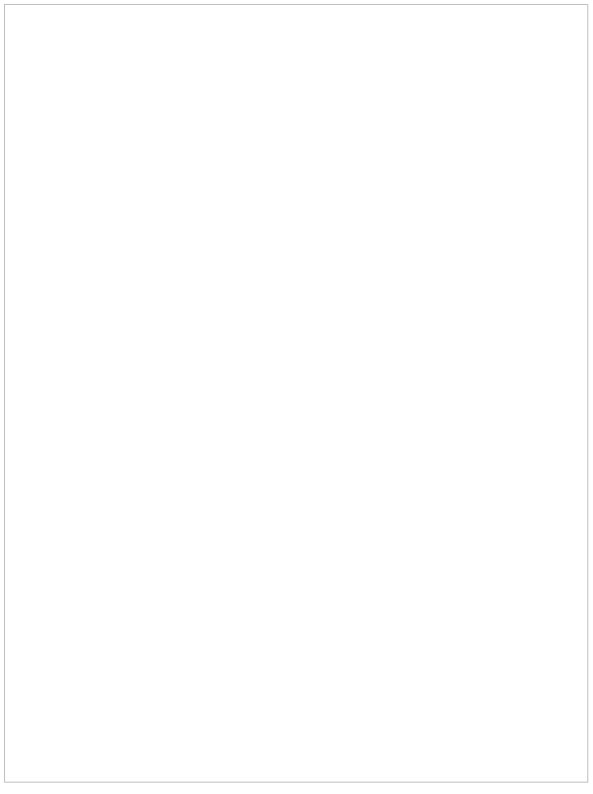
１３番目の星のカルマともいうべきプレアデス星に関わる意識とその母船がある北海道洞爺湖を守る意味を理解するために、そこで生まれた人たちと一緒に神仏や山神に挨拶をしに行きました。

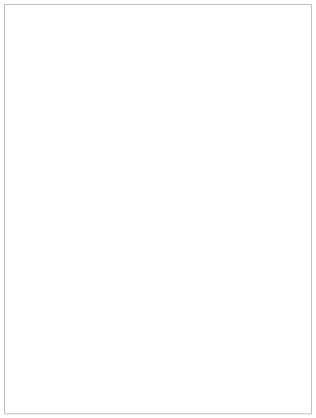


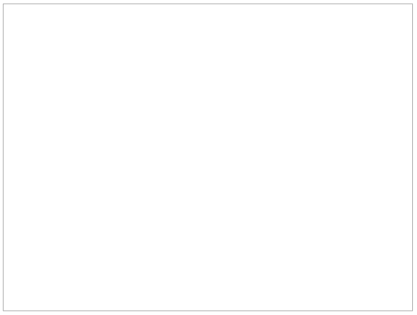


山神（土地神）の怒りを表すように何度も噴火した有珠山の噴火、一晩で現れた昭和新山、洞爺湖の周辺に住み着いた和人と先住民族アイヌ人の関わり、北海道のあちこちで亡くなった和人とアイヌの御霊、隠れキリシタンを守った善光寺とそれを守る葵のご紋、縄文人が伝え残す
貝塚・・・









このすべてを理解した上で新しい統合の道を私たちが産み出し、謝罪とそれを守る宣言祈りをする必要があると気づきました。亮昌寺の住職が教えてくれた洞爺湖温泉街にある薬師堂の仏様は、奉られている小さな仏像とは違って縦横２ｍほどのエネルギー放つ大きな仏様ですが、その仏様がこう教えてくれました。

「天心地心　ご本尊　ここにありまする」

この意味は伊達の地蔵堂の仏様が伝えてくれた言葉の意味を導くものです。伊達の地蔵堂の仏様はこうおっしゃいました。

「鬼子・天神（てんがみ）・地神（ちがみ）の統合調和をお願いします」

この鬼子の意味は、鬼子母神＝マリアの子（使徒）＝隠れキリシタンを示し、大きな意味では、人間を産み出した母は人間同士の争い事すべてを悲しんでいるという意味になります。

天神（てんがみ）とは神仏すべての神や宇宙神を含むすべてのあらゆる天上界の神様の代名詞です。（※鳳凰の意味と言ってもいいでしょう）

地神（ちがみ）とは、先祖神を含むニライカナイや土地や地球の核を守るすべての神々の総称です。（※龍神と言ってもいいでしょう）

人間の歴史において神仏を分け隔てる教えをしたことによる人間同士の争いは人間の責任であり、土地にはその人間の善悪すべての思いが残っていることを歴史を調べながらよくわかってきました。

戦争で戦う子供たちの両国の母親がもしあなただとしたら、あなたはその子たちをどう導くのかと問われています。私たちの魂はその解決策をもって生まれてきたはずです。その行動を始めましょう。

最後に挨拶した昭和新山からはこんなメッセージを私たちに届けてくれました。

「みんなの思いが同じになるまで（噴火・地震・災いは）続きますので宜しくお願いします。少しづつできている様ですがどうぞ宜しくお願いいたします。

未来は、私たちの行動と意識しだいだからこそ、あなた自身が生まれた土地や今、住んでいる土地の責任を取る覚悟と宣言祈りが重要なのです。あなたの子供に示す全ての道は、あなたの足元にあるのです。

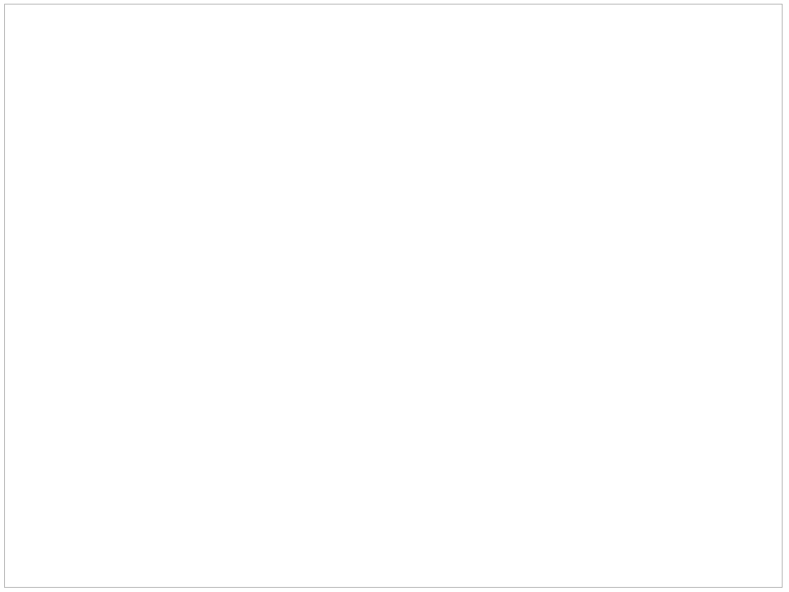
2008.05.30 Fri

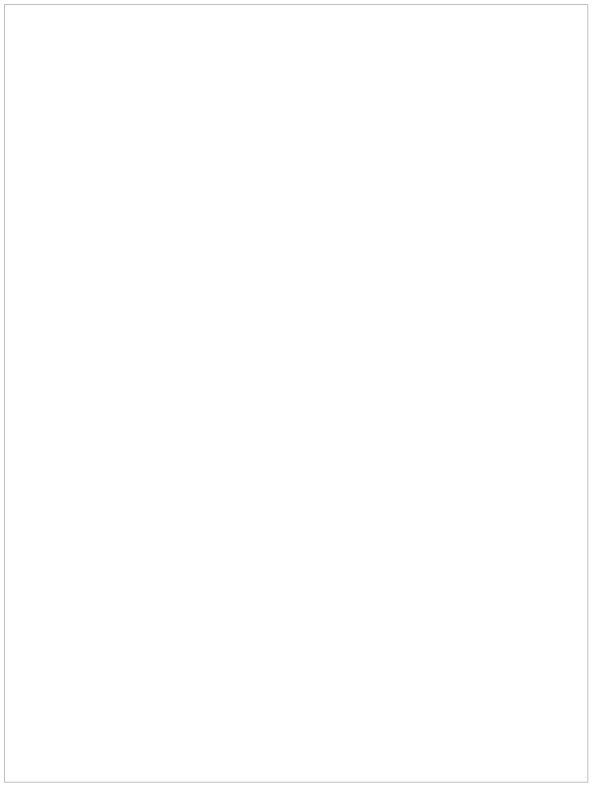
御仏と神に感謝

今日は義父の一周忌の為、小樽の龍徳寺で法要を終えたあと、１０年前から私の守護神として導いてくれた一人、十五代前のご先祖様がいるお寺へご挨拶にいきました。当時、霊視と透視の力が戻った理由を神つながりの女性が聞いている最中、自分自身もその守護神二人の姿を見ていました。

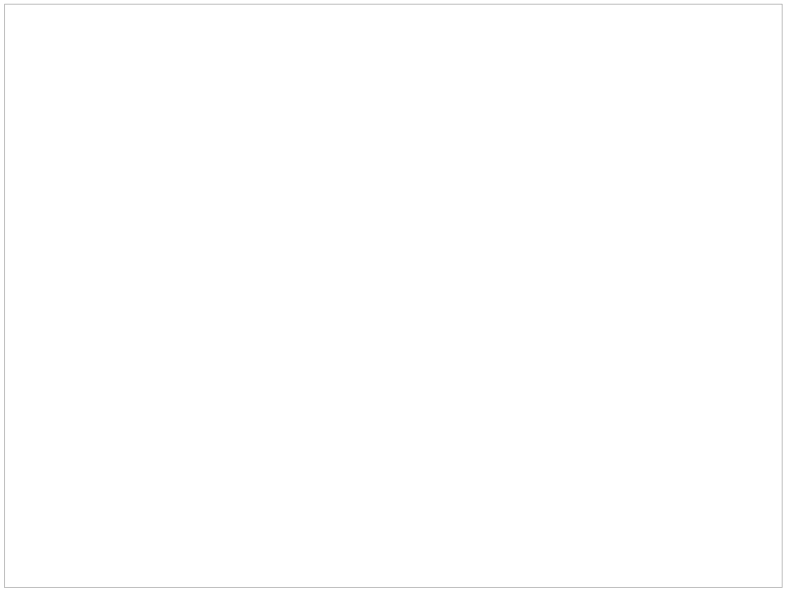
一人はイエス・キリスト、そしてもう一人が袈裟をかぶったお坊さんでした。そのご先祖のお坊さんが小樽にいることを夢見で知り、数年後、導かれるようにその仏様にお会いする日がきました。そのご先祖様のやさしく厳しいまなざしは、いつも私の心の中にあります。

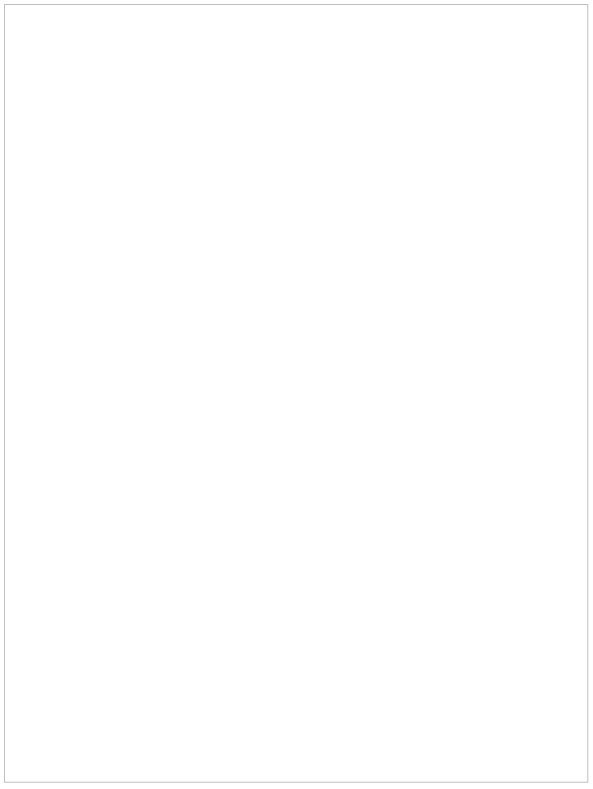
今日という日に、１０年間の経験とさまざまな神導きのお礼を伝えたかったのです。最初に小樽の水の神様「水天宮」にご挨拶しました。北海道で二番目に文化をつないだ大切な「坂の街小樽」の海を見下ろす高台で大切な守り神として鎮座しています。





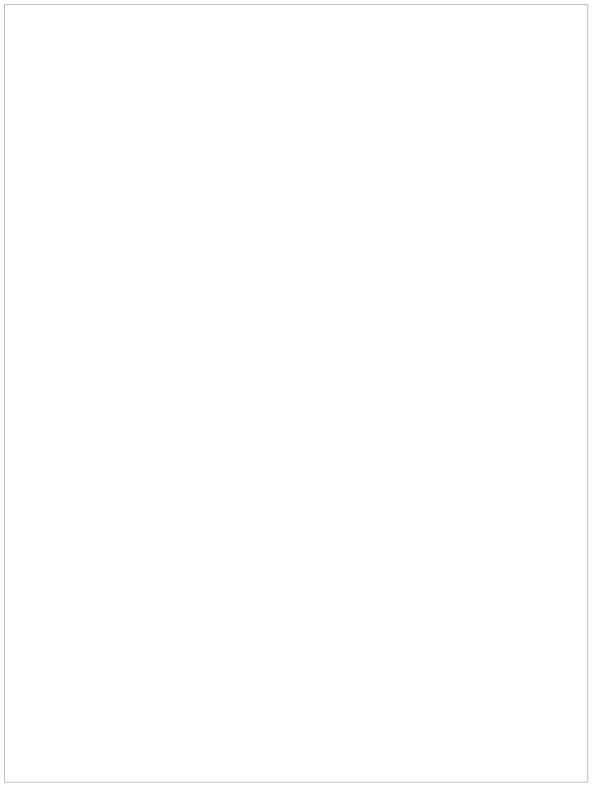
お礼の神言葉をいただいた後、ご先祖様がいる場所は、五百体の木の仏像が納められている五百羅観音堂（宗円寺）へ向かいます。

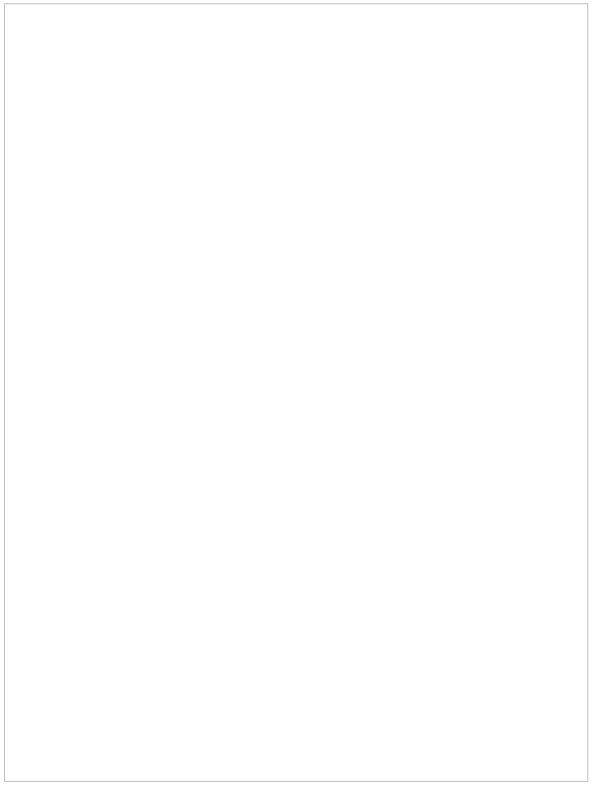




1630年、松前藩の依頼で南部藩主が作らせた日本独自の仏像は明治になり福山から小樽へ移したと記録があります。新しく御仏と神が統合する道　「仏神道」の意味を神歌で教えて下さいました。

最後は、小樽にある龍宮神社へ参拝です。龍に導かれてからの祈りのお礼と今年の７月１８日の白山神事のご報告をすると、これからの全てを見守りお守り下さると伝えてくれました。





義父の一周忌に全ての見守り導きをしてくれている神仏へ感謝できたことを心から感謝します。全てのご先祖、全ての神々に生かされ守られているからこそ、肉体を持っている間にできることを果たす人生にしたいものです。ありがとうございます。
2008.05.24 Sat

啓示・神事の意味

1998年に「地球を救う！」と決めた時、それ以前から地球や日本再生の為に祈りや神事をしてきた方たちとお会いする神導きが何度もありました。

当時、啓示に従って神事をした方たちは、意味もわからず命がけの神業をしてきましたが、後から自分の行動を振り返ってみるとそれは自分の意志ではなかったといいます。

私が知る限り、２０世紀に啓示を受けた方たちは本当に命がけの神事をする方がたくさんいたと思います。

それは当時の日本人の集合意識が現実主義・現物主義になりすぎた為に、日本人の精神性の未来が見えなくなり、実際、精神世界の書物の発刊増や新興宗教の増加も集合意識の迷いの顕著な表れと感じました。

２０世紀末は、新しい２１世紀に向けて集合意識の変革がそれほど重要な時期だったということです。

私もその時期に啓示を受けた一人ですが、同じような時期に全国でも同じ啓示を受けた人はたくさんいるはずです。

その時、天の啓示を受けた人数は２１名いたと感じてました。

沖縄で神事をされている比嘉吉丸さんもその一人だと思っています。

でも全国にはもっと多くの方が意識リーダーのサポート役も含めて同じような啓示を受けているはずです。

その方たちの目覚めと共に行動を開始する為に、啓示や神事に対する考え方を改めてご説明したいと思います。

まず、２１世紀になってから神事のエネルギーが大きく変わりました。それまでは神事をする方の個人意識の中にマイナス感情やマイナス想念がある場合、その全てを転換してからでなければ、そのマイナスがある分、神事が苦しい体験になるからです。

この個の感情という苦しみを避けるために、沖縄では３年間のユタ修行（霊的修行）があります。

その最後に神の許しの証として身体のどこかの骨が折れます。

私の場合は、足の甲の骨が折れました。

しかし２１世紀になって地球全体の意識次元上昇のために宇宙から大きなエネルギーが何度何度も繰り返し送ってきたおかげで、個人個人のカルマの集合意識ともいうべき大きなマイナス想念の大部分は、現在も解消＆転換され続けています。

※ただし霊界につながりがある方は、その強い霊力・エネルギーに見合う自分自身の霊性と現実世界との統合が求められるはずです。

鳳凰神界とも言うべき、天界から地球を救うためにやってきた天使性の魂たちは、動きや神事のサポートの仕方が違います。

神守護を受けながら自らの光を大きくし、その光を与え続けることが大きな役目になっているはずです。啓示においても多分同じような人数か、それ以上の人数の方が日本再生のために、日本人として生れているはずです。

これらの全ての魂にインプットされている役目は、その同じ役目を持つ人と出会うことでスイッチがＯＮになります。

そういう人との出会いこそ神導きなのです。

しかしそれは望むだけでは現実化しません。

自分自身のするべきことをしている上で与えられるものが神導きです。

この世の中で言われている善悪も天国も地獄も、全て人間が創りだした想念が写した現実世界ですから、「新しい世界」を本当に皆さんが望むならば、それは必ず現実化するのです。

だからこそ、あなた自身が本当に望む未来を明確化しなければいけない時期に来ています。

一人では自信も勇気もないからこそ、同じ意志を持つ魂の仲間に出会うことが重要です。

そのために私は神事という個人意識を超えた場において、祈りに参加して下さる人たちにできる限りの魂からの情報を与えることを続けています。

それも、ひとつの役目だと感じているからです。

一人一人の本質の目覚めの結果は、もう個人のものではありません。

すべての神と同じく大いなる調和意識を持ちながら、反面、人間として現実世界を生き抜く強さも求められます。

その理由は、自分自身を一人で守れない人は、世の中の誰一人救うことができないからです。

だから個人が受け取るメッセージや啓示、また映像や体験で見えるビジョンの情報は、最終的に個人だけに属するものはないと考えておいて下さい。

その理由は、すべての意識はつながっているからです。

その情報の種類が、霊界からでも神界からでも宇宙からでも同じです。

そのすべてはつながっているからこそ、互いの気付きを共有し合い、互いの気付きを即し愛、その気付きを自分の土地へ戻って行動するために魂の仲間たちに出会うのです。

今できることが「祈り合わせ」でもいいですから、個人の祈りという概念を超えた祈りを実際に体験してみて下さい。

全ての存在に見守られているからこそ、私たち人間は生きているのです。

その存在の感謝をまずしなければ、すべての祈りは人間のためとなり、今までと同じ結果になります。

世界の平和を願うより、自分の存在の感謝として、親に、ご先祖に、生まれた土地に、先祖が住んだ土地に感謝を捧げることが何よりも大切な祈りの始まりです。

そしてその祈りは自分の住む土地神に喜ばれるよう生きるあなたの姿はきっと、あなたの子供に

も伝わる大切な精神性になるはずです。

啓示を受ける人も役目です。

神事に命をかける人も役目です。

その人たちを守り、支える全ての人たちもひとつの役目です。

あなたができる役目を果たして下さい。

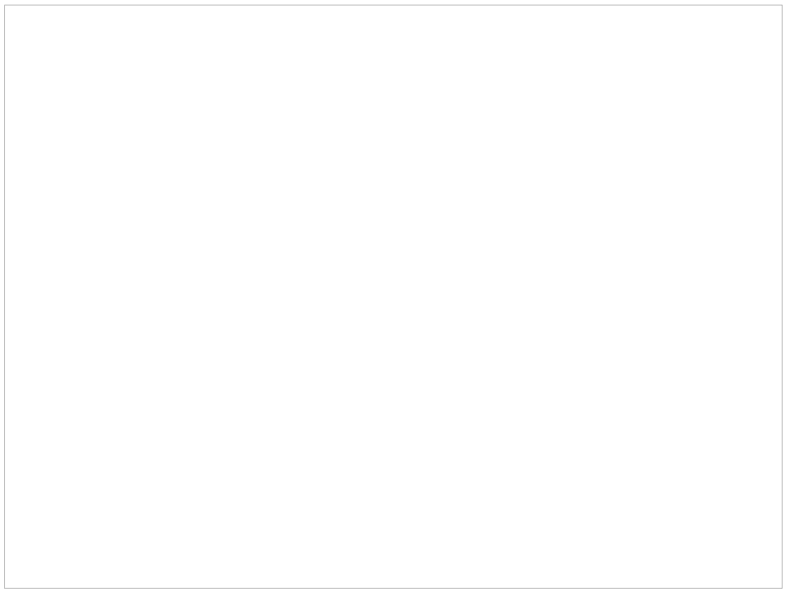
私は「地球を守りなさい」と啓示を受けた人たちと出会い、魂の目的を確認する時期に来ていると感じていますので、ご自分の魂の導きがあると感じる方は、7月18日の白山神事にご参加下さい。

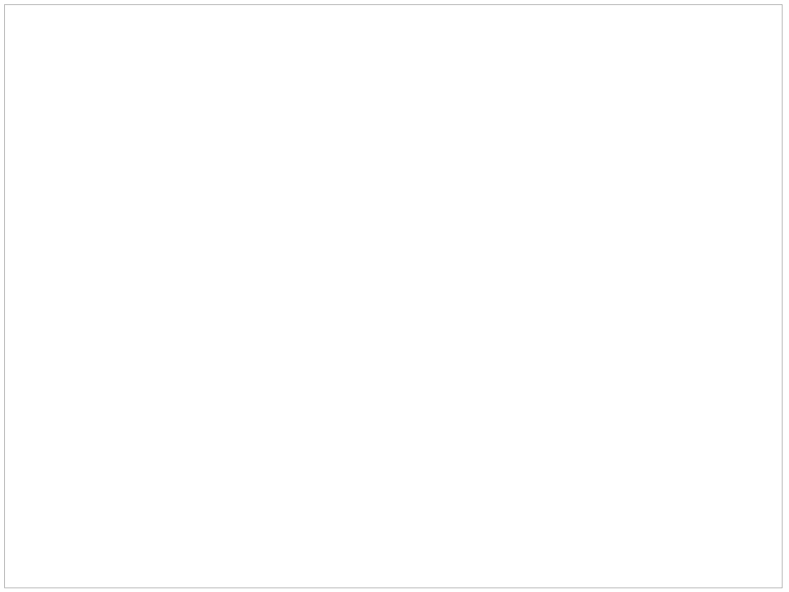
１日１０時間を歩く厳しい神事になるかもしれませんので、何があってもやりぬくという本気の覚悟ができる方だけご参加下さい。

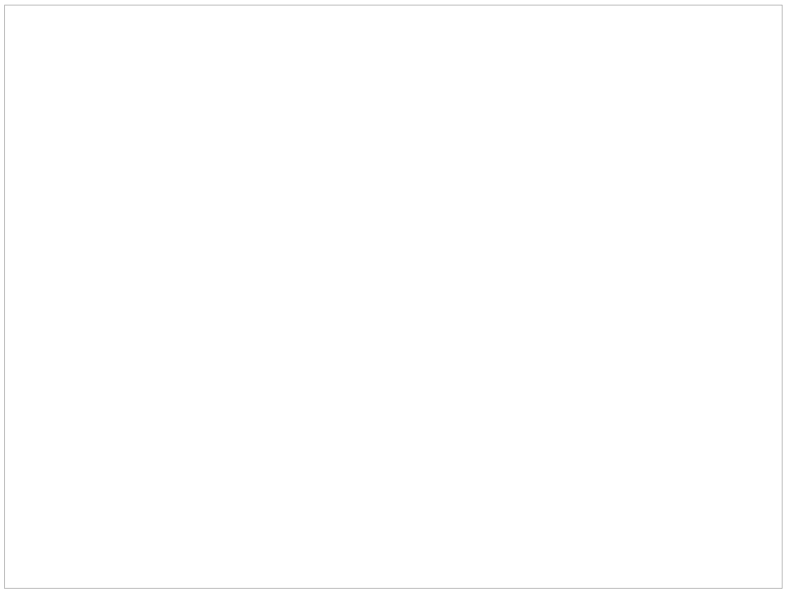
私は自分の全てを賭けて祈ります。飛行機・宿泊の調整などもありますので、5月末を申込みの締切と致します。

神の加護をあなたに。
2008.05.21 Wed

岩木山神事と神導き







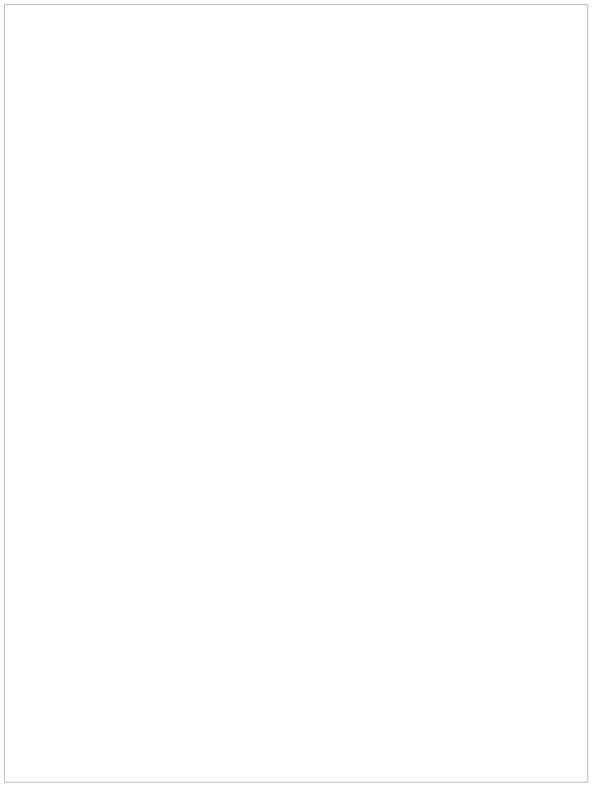
今回の岩木山神事には青森からお二人の男女が神の導きでご参加下さいました。津軽藩を代表する男性と南部藩を代表する女性です。この二人のご参加の意味を考えるとご先祖と土地カルマを新しい現実の始まりの祈りで統合再生する祈りにも思えました。

初めて会う三人なのに驚いたのは、弘前の男性と私は共通のある女性を通して2002年から共に人生が大きく変化したことです。私が本気で地球を救うと決断したキッカケとなった2002年に弘前で出会ったある女性は、実は、本物の天使でした。初めて逢った時に肉体から魂が離れようとしているのを感じましたが、実際に、自動ドアには反応しない上に、マンションの廊下を走っても音がしないくらいに身体の波動が高すぎてその肉体のエネルギーは消えかかっていた女性でした。

この女性が神様からお願いされたことは、「りんごを救ってください」でした。昔に比べて農薬散布が増えことで土地も水もリンゴも、あらゆる自然界のバランスが壊れているので、土地の神様が彼女にその役目を与えたようです。天職を看護師だというほど人や自然に施す事を喜びとしていた彼女には、自分には何もできないからと一件一件の農家の方に頭をさげて、「どうか、少しでも農薬を減らして下さい」とお願いして回ったそうです。

そんな話を教えてくれた彼女は、私の仲間を十和田湖の神の場所や聖地へ案内してくれました。2泊3日の最終日、彼女と別れる前夜に私に質問した言葉は、「私の魂は、今世で終われますか？」でした。その言葉を聞いて私はおもわず泣きそうになりました。これほど純粋に神に尽くす彼女の魂は、もう数千回もこの地球を守るために尽くしてきた魂だったからです。

子供頃から霊界の体験で苦しんできた自分よりも、天上界からこの荒れた地上界へ降りる天使の役目が、どれほど辛く苦しいものかを感じ、こんなに素晴らしい魂の方でさえ地球を救うために、この時代に生まれてきているのなら、自分の全てを賭けて地球を救うと決断した瞬間だったことを思い出します。このように全ての神導きは、自分の思いもしない出会いによって神道（かみみち）へと導かれていくものです。



2002年の神導きのお礼も含めた今回の祈りで出会った弘前出身の男性は、この天使の彼女から何の言われていないのに2003年、突然、サラリーマンを辞めてりんご農家を始めることになり、その農法も周りの誰もしていない自然農法と減農薬でりんごを作り始めたそうです。現在ではそのりんごの美味しさに全国から注文が殺到しているようです。※りんご農園　まっかなほんと　産地直送

６年前の神導きと思えるこの男性と南部藩を愛する女性とのご神事は、新しい地球を守る宣言と共に自分の土地を守る宣言をされて、これから東北六県を守る神男・神女になることを自ら宣言して下さいました。これは全ての土地神・山神からの守護を受けながら、人間としてできることを行動する責任も同時に発生してきます。

「日本を本気で守る」と宣言する意味は、地球全体の陸地すべてを守ることを意味し、その人の意識や行動は、新しい現実を産み出す地域の意識リーダーとなることです。今後の全ての祈りにおいて、新しい意識と現実の統合が大きな時代のテーマになっていることがの神事の意味だからです。

今回の神事にあたり事前に「祈りメーリング」にご登録いただいた方には、祈りに入る瞬間の時

間や神言葉をご登録いただいた携帯へ送らせていただきました。全国から祈り合わせいただいた全ての方へ心から感謝御礼申し上げます。日本の最西端の地　与那国島で日本を守る神男の男性からも、今回の祈りのエネルギーの大きさは素晴らしいですとご連絡いただきました。

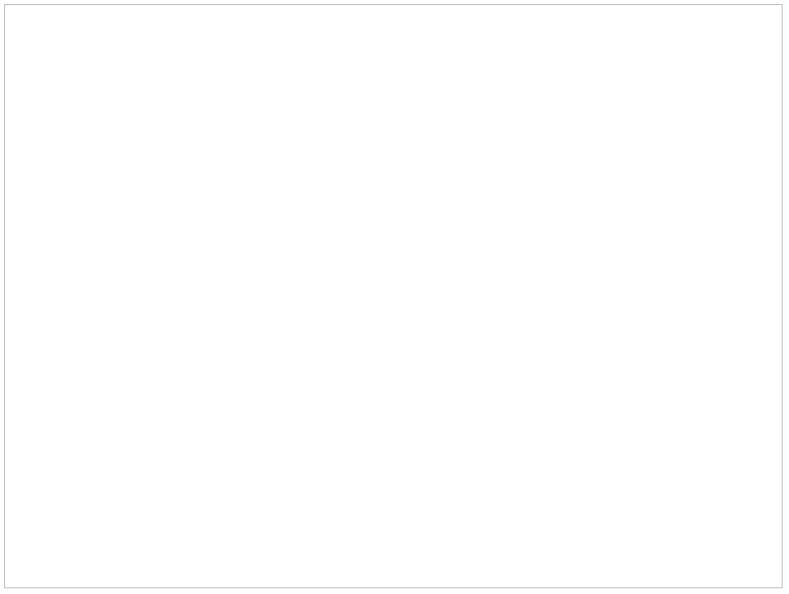
私たち人間に与えられた意識には「時間」という概念が無いからこそ、時刻を決めてひとつの意識に祈り合わせることで、本人の意識の目覚めと共に、大いなる集合意識へ共振を起こし、未来の時を動かすことができます。どうぞ、地球を救いたい、自分の土地を守り継ぎたいと願う人たちは、地球創生　祈りメーリング　へご登録下さい。携帯アドレスを登録されると祈りのその瞬間、すべてがひとつになる祈りのエネルギーを全身で体感することができるでしょう。

世界で起きている全ての問題を自分の心の映しだと学び、それを自分が住む土地や生活の中で愛に変える行動を実践しない限り、私たちが日本に生まれた魂の役目を果たせません。

すべての責任を自らの責任に置き換えて、愛があふれ喜びにあふれる人生にできるよう大きな心を地域の仲間と育てて下さい。地球創生に向けて共に祈りを捧げて下さる全ての方々の思いが叶いますことを私も祈っております。

＜神御礼＞

御力（おんちから）、使いまして祈り合わせ下さいました全ての人々の御心、すべての神が見守りいたします。一重の心、重ね合わせの心、すべての想いひとつになりまして愛と感謝あふれます。ひとつの言霊、ひとつの想い、すべて神　聞き届けておりますことを全ての人へお伝え下さいませ。愛溢れるこれからの行動全てをお守りいたします。岩木の山守る神



2008.05.19 Mon

中国四川省地震と神事

5月12日日本時間午後3：30　中国四川省でＭ７・８の大地震 が起きました。この意味を他国の事と捉えている限り、日本や世界で起きるこれからの災難の意味を理解することはできないでしょう。大陸プレートの振動(地震）は、地球の核が宇宙の意志として、地球全ての命を危うくしている責任をどうするのかと私たち人間に問いています。

さらに、地球創生に公開している今年8月の啓示の意味もわかりました。今年の８月、神奈川県横須賀市の米海軍基地に原子力空母「ジョージ・ワシントン」が配備されることを示しているようです。

私はあえてこの場で皆さんに何をどうするべきかは明示しません。それはあなた自身が考えて、あなた自身ができることを行動することでしか全ての責任を自分で取れないからです。

世の中で大きな出来事や問題が起きた時、どうしようかと右往左往するのではなく、あなた自身が自分の行動意識を変化させて、その新しい変化のムーブメントを仲間とひとつにすることが大切です。

社会批判や政治批判、国批判や個人批判は、愛を産み出しません。そのすべてに属する私たち人間の全体責任ですから、まずその責任をあなた自身が取ろうとる覚悟が必要です。

地球の核は、地球に存在する全ての生命を育みながら私たちの足もとの大地へとつながり、その頂きは大きな山々となって私たちを見つめています。

私が行う神事は、その山の頂きにいる神々様や大いなる存在との対話の中から、これから人間が

進むべき方向を確認するために神事を行っています。ですから私の祈りには、今、存在させていただいている感謝の祈りしかありません。

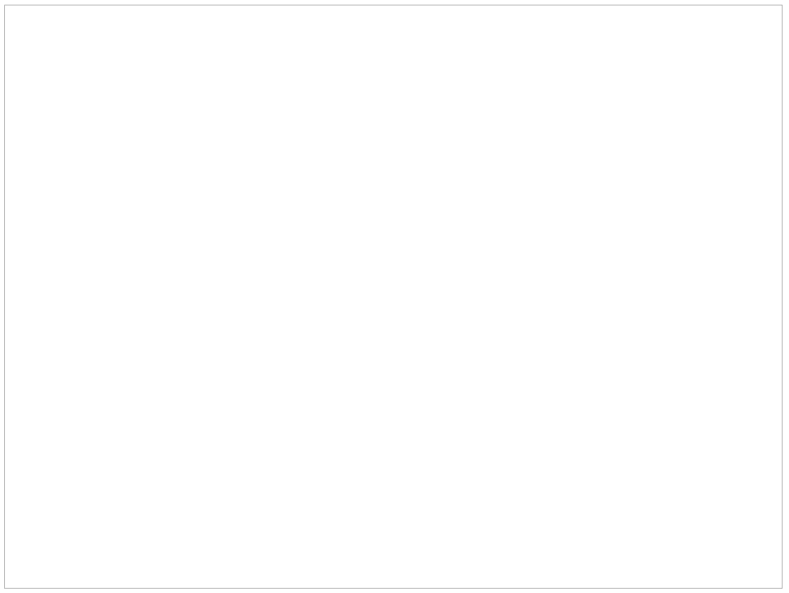
まもなく控えている5月18日の岩木山神事へ向けて、沖縄の安須森（アスムイ）山からメッセージが届きました。山の神々の意志を受け取りさらなる覚悟をしているところです。

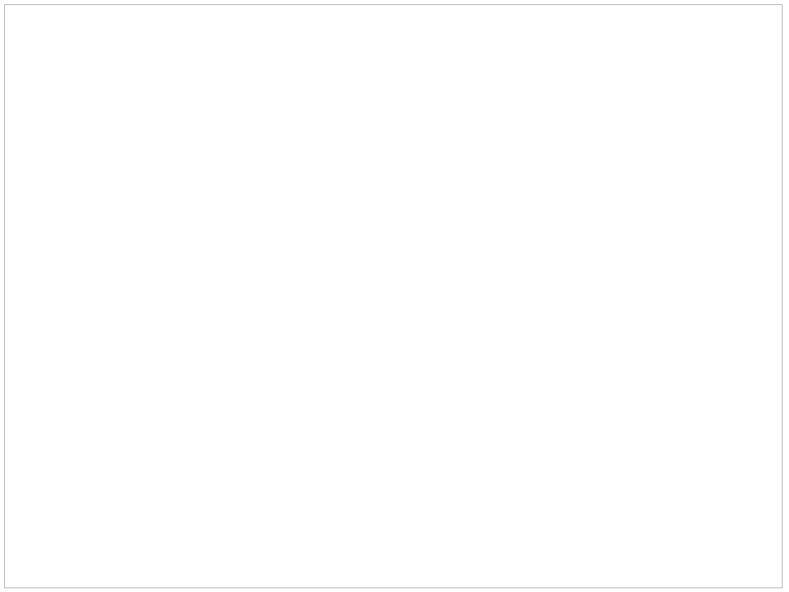
本日は以前より公開していた白山神事のメッセージが明確になりましたので、その情報の公開に併せて今後、地球や日本の運命を背負う白山神事へ参加を希望する方を募集致します。参加条件は、全てにおいて自己責任と他者を想いやる気持ちで行動できる方と致します。

また今後の祈りや神事情報を希望される方は、「祈りメーリング（無料）」へご登録ください。神事の参加希望や祈り合わせをするお気持ちがある方へ無料で祈りの内容・日程をお届けします。登録希望者は、メールに「祈りメーリング希望」と書いて、お名前・年齢・ご住所・電話番号・メールアドレスを　Ｍａｉｌ でお送り下さい。※携帯可

※白山メッセージと白山神事の概要はこちらでご覧ください。
2008.05.13 Tue

聖地　然別湖　御霊あげ





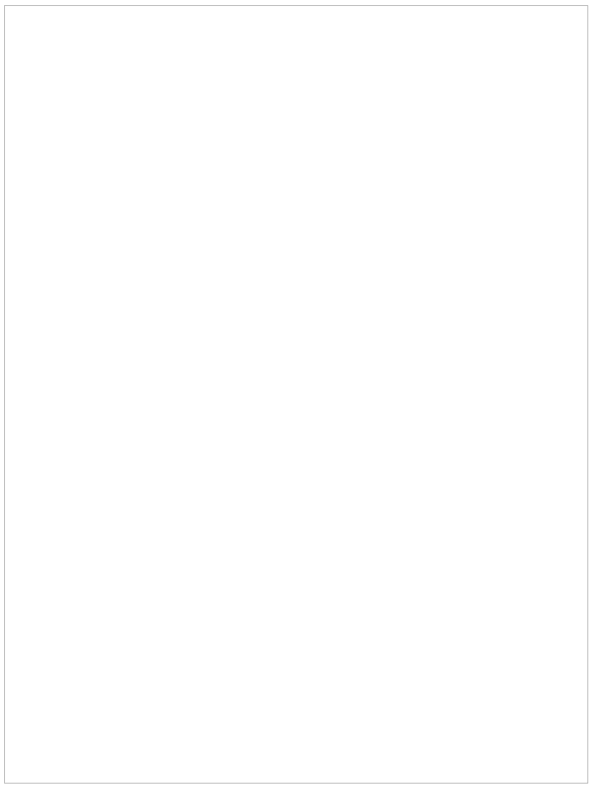
北海道の聖地　然別湖の湖に沈んでいる御霊あげを５月７日～８日の２日間、北海道を愛する１０名のご協力のもと行いました。今回の御霊あげのキッカケは、３０年間然別湖へ祈り捧げているホテル風水の女将とこのホテルの神殿を守っている神主さんからご依頼でした。

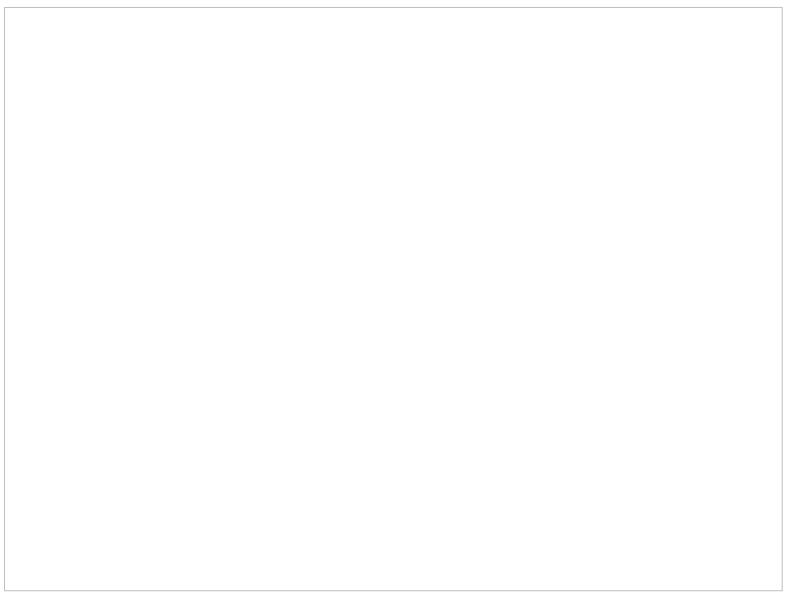
昨年、この神主さん自身が見た映像は、霊体の女性が湖に向かって歩いていく後姿の先に、足を鎖で繋がれた第三国人の方たち１４０名が生きたまま湖に沈められていった情景を見せられたそうです。この女性の霊に然別湖の氷が解けた時期にそのすべて方たちの御霊あげをすると約束していたからです。

この悲惨な事件は昭和２０年の終戦当時、それまで日本人が行ってきた残虐な事実を隠すための口封じの事件ですが、この行為は日本中のあちこちで葬られた事実として耳にしていました。

しかしこういう事件のほとんどは歴史の資料で調べてもどこにも記されていませんが、昔からその土地に住む人たちだけはその事実を知っています。

実際にこの悲惨な事件が然別湖で行われたかどうかは、さだかではありませんが、どこの湖で起きた事件であったとしても事実ですので、その姿を見せられた責任と意味を受け止め、日本の第三国人の方のすべての不浄御霊に対してお詫びと父母のもとへ送り返す御霊あげを行いました。



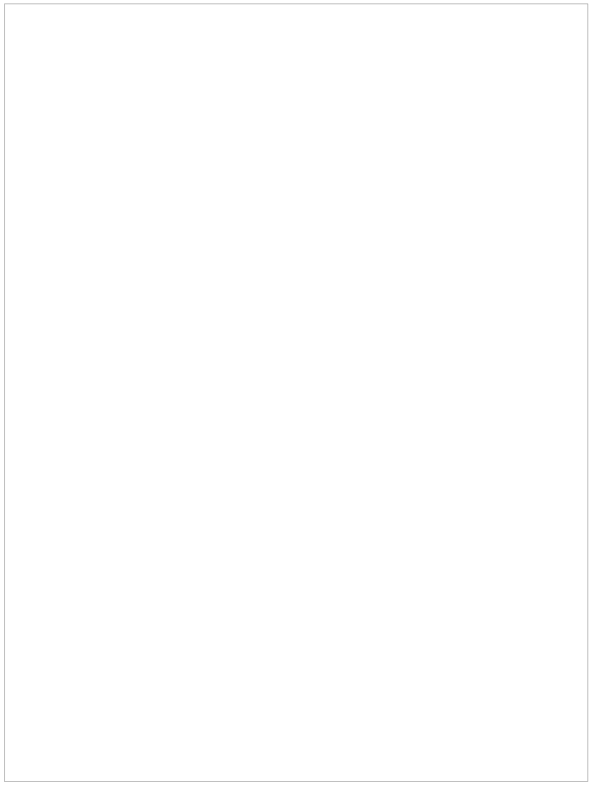


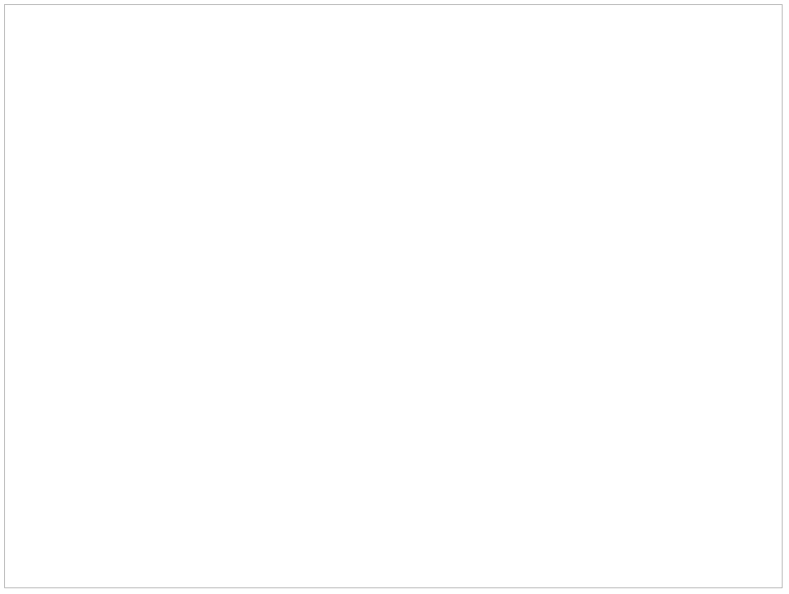
この祈りにご参加して下さった女性たちにお願いしたのは、あなたの子宮へその御霊を受け止め、そして愛で育み、大いなる存在のもとへ送り届けて欲しいと伝えています。その覚悟と日本人

としての責任を持った女性１０名は、自らが大いなる母としてその祈りをして下さいました。

女性の霊体が立った場所へ立ってみるとそこは本来、天へつながる「霊道（れいどう）」があった場所であることがわかり、道路ができてからその霊道が分断されていたこともわかりました。この霊道の復活の祈りも併せて行い、参加者の身体を借りて１００年以上も溜まっていた御霊のエネルギーを天へ繋ぎ送り御霊の儀式も行いました。

この祈りでは風や鳥の声、雨粒が天の思いを伝えてくれることで参加者全てが神の守護天の守護を感じた祈りとなりました。晴天のなか新得駅から列車に乗る際に降った一瞬の雹（ひょう）もその表れです。
私たちは土地の祈りをはじめ、あらゆる全ての存在のおかげで現在生きていることにこれからも心からの感謝を捧げたいと思います。



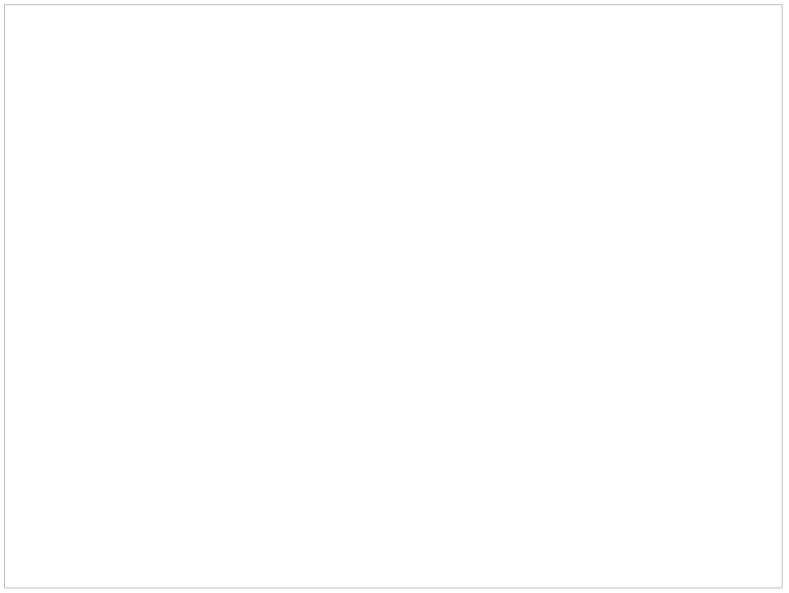


2008.05.08 Thu

2008　八重干瀬（やびじ）・宮古島祈り

２００８年４月５日に伊良部島で南の龍神祭を行った翌日、４月６日（旧暦3/1）は３度目の八重干瀬祈りでした。

一年に一度だけ浮かびあがる幻の島 八重干瀬（やびじ）は大潮によって浮かび上がるサンゴ礁の島が大小１００以上ありますが、今年降り立ったサンゴ礁は八重干瀬全体を龍体として見たてると頭に当たる島だと地元の人が教えてくれました。昨年降り立った大きな島は胴体と呼ばれている島でとても広いサンゴ礁でしたが、今回のサンゴ礁の半分はひざくらいまで海の水に沈んでいる島です。

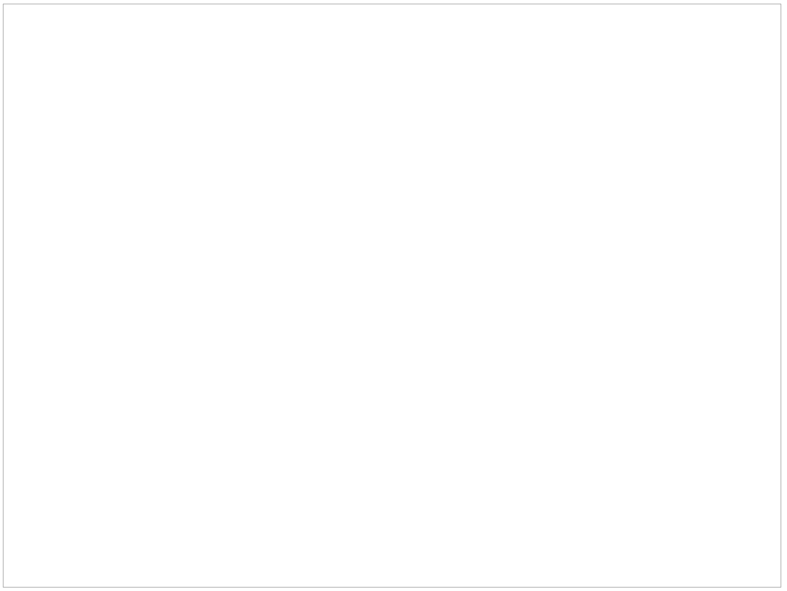


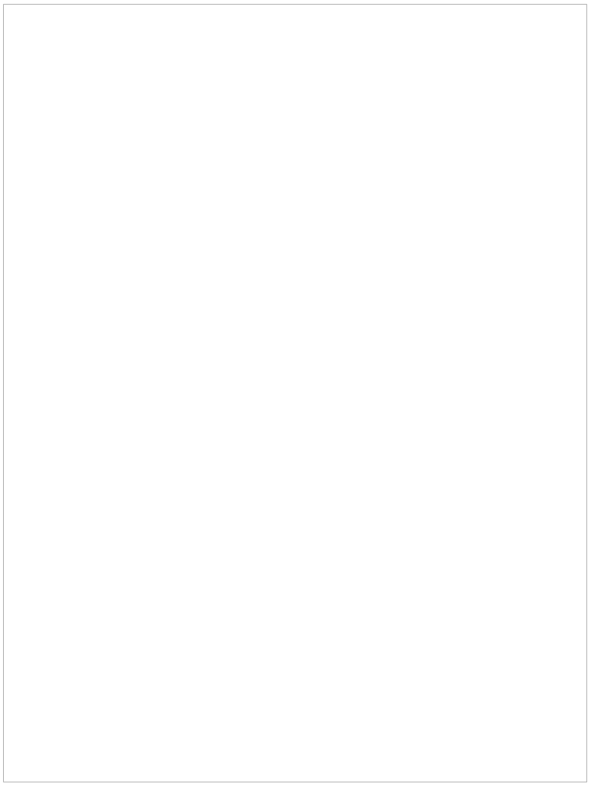
初めてのサンゴ礁ですが、降り立つとすぐ神様が祈る場所へ導いてくれます。サンゴを踏まないように歩いていくと目の前に大神島が見えました。「あー、わかりました」と、すぐ大神島に向かって全員が座る場所を決めました。今回祈りに参加して下さった方は宮古島の方が８名、大阪３名、北海道４名で、ほとんどの方が正式な神祈りが初めてなのに、その場所の神聖さと祈りのエネルギーの素晴らしさに涙が溢れた方や手から金粉が出た方が３名もいました。

「今までいろいろな宗教を勉強してきましたが、こんな体験は初めてです。本当に一番大切なことを教わった気がします」という普通の方の言葉が一番感動します。また自分なりの神祈りは１６年間毎日しているという男性と６３歳のおばちゃんも、普段座っていられないくらいに足が悪いのに痛みも全く無く、ずっと座って大きな神様の光を感じられてとても幸せな時間でしたと話してくれました。

今回参加して下さった方のなかにはユタも神人もいません。普通の生活をしながら本当に自分の土地の神様を大切にしたいと思っている方ばかりでした。宗教観も違う２５歳から６３際までの男女がひとつの大いなる神に向かい感謝する心は、これから大きな神の守護のもと、日々、神の導きを感じ時間が増えることでしょう。

祈りが始まると大神島の島の上に大きな光の球が表れました。その大きさは島全体よりも大きな光の球です。それは宇宙から降りてきた神と呼ぶには失礼なくらいに大きな大きなエネルギー体でした。これからの時代に大切なこと、あなたたちのするべきこと、私たちの望み、そして宇宙

全体がこの場所と私たちを見守っていることを対話の中で教えてくれました。大神島の遠見台には大きな神様が座っていますが、この大きな球体がその上にいたことでその神もさらに力が増したことと思います。 

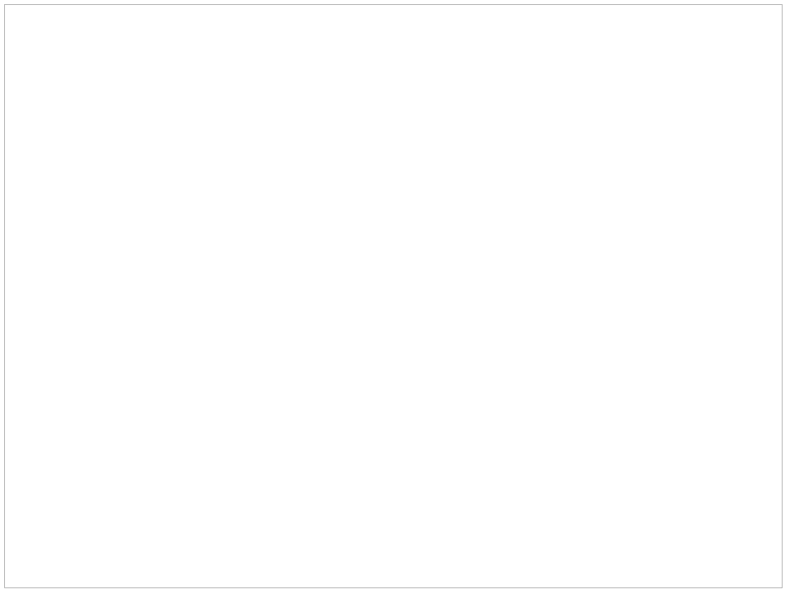
初めて祈りをした方たちもその大きな光の球体を体で感じていて、あの大きな光はなんですか？と尋ねてくるほど、暖かくやさしいその光は、全ての神を包み込むほど大きな宇宙の愛を私たちに感じさせてくれました。祈りの途中、この場所の神はどんな存在なのかを尋ねると、四方八方、そして、天地を繋ぐ１０神の神がいる場所だと教えてくれました。この１０神は地球上のすべての方位と天地を守り繋ぐ役目を持ち、そのすべてのバランスを整えてくれているようです。祈りを終えて空を見上げると、龍と鳳凰の雲がたくさん表れて私たちの祈りを祝福してくれているのがわかります。 

今回初めて降り立ったこのサンゴ礁のおかげで、八重干瀬のそれぞれの島にきっと違う神がいるのだと感じました。いつかこの八重干瀬全体を守っている神がいるフデ岩（フジ岩）にお礼の祈

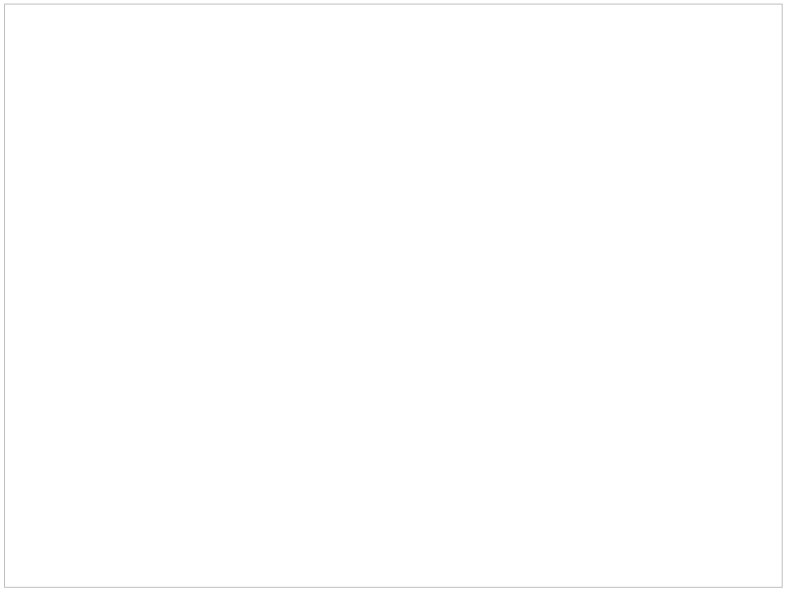
りを捧げに行きたいものです。その場所は昔の神人たちが知っている大切な竜宮神であると伝え聞きます。

翌日７日は宮古島の方たちの願いで２か所祈りを行いました。ひとつは宮古島に初めて牛を広めてくれた方の御魂を守る場所で最近人が亡くなったことと地元の方がそのウタキの扱いを正しく理解していないので神が悲しんでいるという場所。大切な神様がいる聖地は正しくそのことを理解して守ってくださる方たちが多いとその場所で災いが起きることはまずありません。災いが起きる理由は必ずあるのです。その意味をどう理解するかが問題ですが、人間の言い訳や理屈は神に聞こえませんので、まずその神自身（人格神）に聞きに行きました。その神は「あなたにすべてお任せ致します」と言われた意味は、その場所の扱いを決める役目をいただいたことになります。

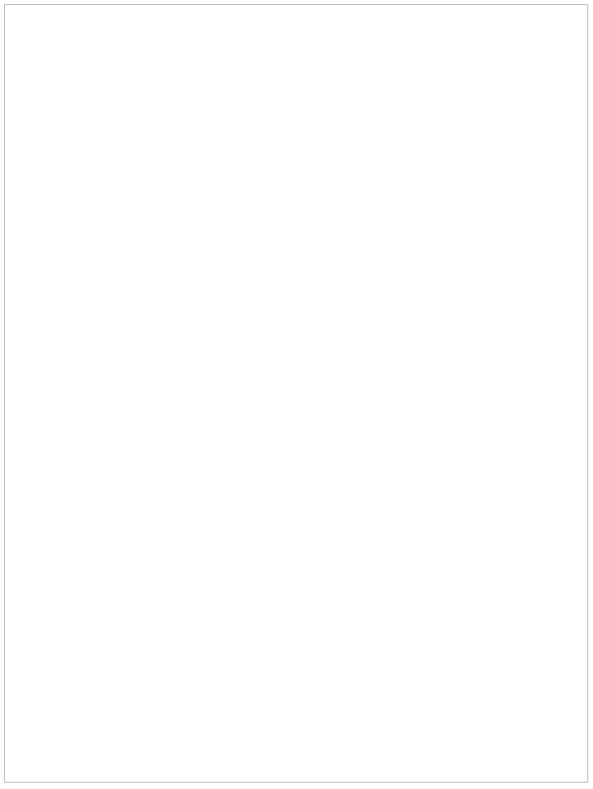
戸森部落にある海へ向かった”いんぎゃー”のウタキは石庭の新城さんもご存じの宮古島のピラミッドパワーを守る大きな守り神がいる場所です。そしてその後ろには知られていないたくさんのウタキや神がいますので、そのすべての神をもう一度つなぎ直し、さらに大きな神エネルギーの玉を入れたことでこのウタキの神様の神格が上がりました。「そのとき手から白い煙が出ていたよ。」と言われますが、祈りの最中は目をつむりますので自分自身は何も見えていません。目をつむったなかで真っ白い大きな光の玉を入れただけですので、それは私の守護存在が力を貸してくれて行っていることなのです。



もうひとつは、宮古島全体の神が集まりそこから全てのウタキに神が役目与えられていく一番最初の大切な十二支の神様がいるウタキです。この場所を見つけたのは地元の方ですが、そこの神様に呼ばれてウタキがあることを見つけたあと、草刈りや清掃を繰り返してやっと人が入れるようになったウタキです。



神の通り道である神道（かみみち）もつながったことで本来の役目ができるとウタキの神は感謝してくれました。手を合わせとその神がさらなる大きな役目をするために先ほどより大きな１ｍほどの光の玉をそのウタキに入れることになりました。この光の玉の大きさからいうとこのウタキの神様の神格はそうとう大きいことが理解できます。この土地出身の女性がいたので「あなたがこのウタキの守り番です」と神役を任命させいただきました。溢れる涙はその方のご先祖を含めて喜びにあふれているのを感じます。土地を守り、神を守る役目の方は、普段の言葉や行いのひとつひとつが大きな意味を持ちます。



私のように時々来る祈り人よりも、日々、手をかけ心をかける人こそ、最高の神人でありそれが本来の神行だと思います。宮古島を心から愛し、神や先祖に感謝し、その土地へお礼をし続ける皆様との出会いに心から感謝いたします。

これから宮古島の方の課題は、宮古島諸島の最高に強い守り神である大神島の神へ古来から感謝していた伝統神事「親神祭（うやがんさい）」の復活です。このお祭りが無くなってもう１０然以上になるようですが、その復活を願う神言葉を聞いている人が、その必要性を神の言葉として私に訴えてきました。

私は全ての人にこういいます。「形を変えてもルールを変えてもそれは人間が決めたことですからいいのですが、神に対する心や意味を伝えなければその神は怒ります。何のために今までお前たちの守りをしてきたのかと。」

しきたりやルールに縛られず、心を質素にして何もないけれどまっすぐ神に向かう心は、大切なことを子供たちへ伝える姿勢を伝えることができます。いつも、眼に見えるものよりも、見えない心を見ているのが神なのですから、どうぞ、宇宙を愛し、地球を愛し、自分の土地を愛する全ての祈りをする皆様、宜しくお願いいたします。
2008.04.28 Mon

東京へ降り立ったときのメッセージ（**2008.4.10**）

宮古島から北海道へ戻る際に飛行機の乗り換えで東京に降り立ったときにメッセージが降りました。この内容だけは皆様へお伝えしておきます。なお全国から八重干瀬祈りへ祈り合わせ下さった皆様と感動の時間を共にできたことを心から御礼申し上げます。

◇メッセージ

今より”この時”の始まりである

全てにおいて”この時”の意味を知るべし

”この時”とは、鐘の合図と共に全ての魂が共鳴し合うときのことをいう

”この時”を待っていたものたちへ

全ての物事の存在意味を知る時がきた。それは全ての摂理を学ぶこと。探究や追求という遊びの時間は終わり、すべての摂理を知りその実践のために肉体を持ったことを思い出すべし

命御霊（人間肉体のこと）はある限り、共にその役目を終えるが本来の御霊は”その時”の全ての共振とともにそのつながりをさかのぼり、本来の役目を自らが気付く

愛ある時や完全な日を探し求めるときは終えて、今日がその日であることを知るべし

命御霊の逆らい（生きサガ）は失うものと知るべし

本来の働きをせよ

東京のこの地、いずれ無くなることを知るべし

天災・天変地異を望まずとも起きるべきして人間が起こす啓示なり

その意味意図を探りたぐろうともその真意にはたどり着けず

その本来の意味はおのが魂の中にあると知るべし

（全員知っているはず）

全ての行いの意味を問うならそのすべての責任を問うがごとく生きるべし

命御霊・生きサガなるもの動物の一部なり

天性真意なるもの　おのずから溢れるがごとく気づくものなり

地を知り　天を知り　唯我独尊の道を歩くものも

そのつながりのもとは同じ

その意を悟り　その時が始まったことをここに告げる

神

本来ならばその意味を時間をかけて告げるべきなのだろうが時間がないことが一番の理由である

その真意を知り気づくものはその道でできることを行動に移すべし

移り世なるこの現実を何の意味と問うものがあるが、その答えはおのが気付く道と知るべし

その道を知る者たちはもう歩きだしている

前を見よ

すべての物事はこれからおのが行う全ての行動が証となる

有意義な時間人生をなすかなさないかは、おのがしだいであるが、その意味、未来の道なくば意味をなさず

魂のつながりの意味を知ること

すべてのつながり　「ひとつ」の意味を知ること

母役・父役・子役の意味を知ること

ただの役目にあらず

全てにおいて役目であることを知るべし

メッセージを守るべし

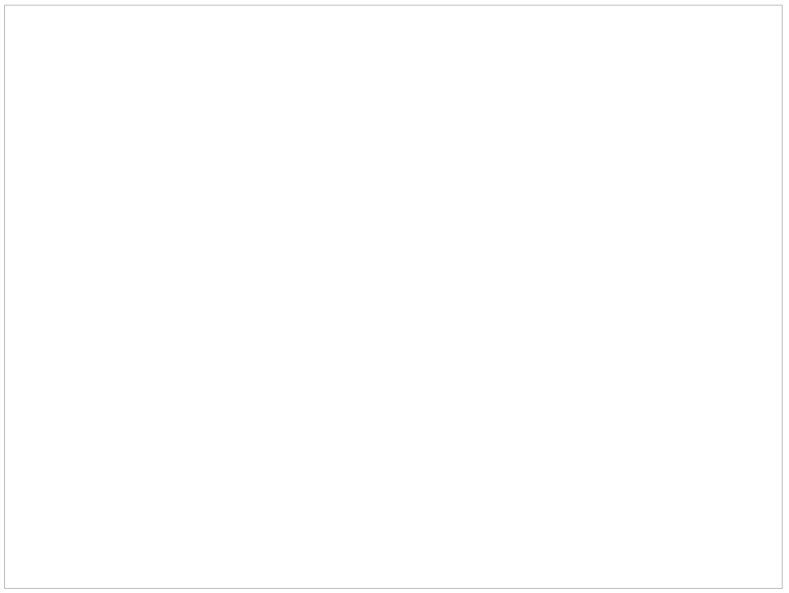
神

2008.04.24 Thu

父方の先祖祈り

4/16　岩手県の花巻空港から一旦、千歳空港へ戻り母の地の繋ぎを終えてそのまま乗り継ぎで父の先祖地　富山県へ飛びました。父の先祖情報は戸籍をたどり五代前までのご先祖の名前と明治時代の古い住所だけわかっていましたので翌日、高岡区役所から調査を始めました。

北海道の吉岡親族で初めての調査なので親族から聞いた情報は、農家であったことだけでした。当時の「富山県砺波郡五井村」の住所は何度も変遷で変わっていましたが、確かに砺波郡と呼ばれた地域の五井小学校の後ろに小さな集落がありました。その中心には小さなお寺と神社が道を挟んで並んでいたのでお寺の奥様にお話すると村の長老を呼んで、子供の頃の記憶を話してくれました。



この砺波地区は、加賀百万石の大切な米どころとして藩の直轄管理であって１０か所の村をまとめる”とむらい役”というのが吉岡の血筋だと教えてくれました。この”とむらい役”には千石ほどは与えられてたくさんの農民のために用水を引いたり生活を守る知恵を与えていたということです。その屋敷があった場所にも連れていってくれて、ここに大きな屋敷があったと教えてくれました。

長老に御礼を述べてからお寺と神社へ祈りに入りました。土地を守って下さった全ての皆様、全

ての神々様、すべてのご縁ある方々へ御礼の祈りを捧げました。この日、私の体調は朝から最悪で一切内臓が動かない状態で何も食べないのにお腹がはり、左半身にはずっしり何かが重くのしかかっているのを感じていました。祈りを終えてもこの痛み苦しみが取れないので、霊と対話をしてみると、ある女性の霊体がメッセージを伝えてくれます。

「私たちはこの地を守るためにたくさんの命を失いながら守りつづけてきました。それは今でも同じです。しかし首領であるあなたたち一族がいなくなったために、私たちはどうしてよいのかわからず、今までこの地を離れられずにいました。どうぞ私たちの御霊の導きをして下さい。」

このメッセージを聞いて初めてご先祖の土地を守る方々の意志を受け継ぐ重要さを感じました。今回の先祖供養に出るとき天から「どうぞ、ご縁のあったすべての皆様のことも一緒に祈ってあげてください」と言われた意味がわかりました。この気づきのおかげでもう一度、心を静め天と地を守る人々の魂へ祈りを捧げました。

珍しく私の祈りに雨だった理由もこの魂たちのメッセージと感じています。吉岡一族と同じ役目の方も全てこの地を離れてしまっていたので御霊たちを導くことができなかったのだとお詫びしました。過去、大きな働きをした方ほど、たくさんの方たちの影の支えのおかげと感謝することを教えられた気がいたします。

4/18　富山空港を離れるときに土地神からもメッセージをいただきましたので皆様へご紹介いたします。たくさんの皆様がこの大切なことに気付き、本当の土地祈り・先祖祈りをする方が増えますことを願っております。

「ありがとうございます。あなたがこの地を訪れて下さった事に心から感謝いたします。この地を古き時より守っておりました人々の魂はこれで上がることができます。あなたの身体を借りてあなたの祈りを通して天へ上がり、次の役目ができると喜んでおります。前日、あなたにお話しした女性はあなたの先祖が守りし土地で田を耕し守りし人の一人で代表として伝えたかった思い

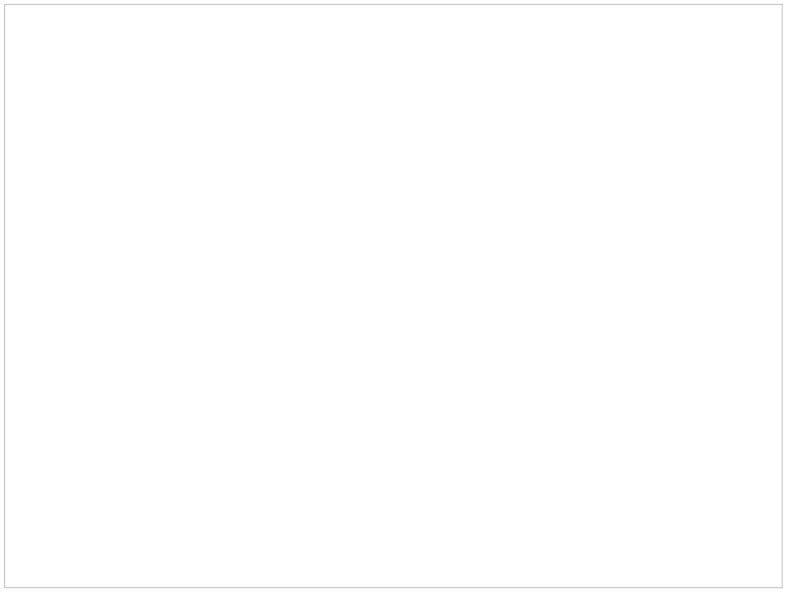
です。そのことをあなたに知ってもらい、受け入れていただいたことで一族全てと関わりし全ての人々が、天へ天昇いたしました。

土地を守りし人々はその土地と共に生き死にをし続けていますので、土地から離れることができません。あなたが手を合わせた仏はその魂たちを見守り続けていたものです。心ある人たちは今だにそのことを感謝し手を合わせて下さいますが、大きな働きをなさった方々の御霊がいなくなると、この地を守りし人々はどうしていいのかわからなくなっていたのです。

土地を守る意味、田畑が屋敷地になったり店になったり売買されることは仕方がないことですが、その土地を古くから守っていた魂たちは行き場と目的を見失うのです。土地神はそのことを知っていましたが人霊の思いが強く、その地を守るためにたくさんの家族が命をつないだことを語り継いでいます。どうかそのことを皆さんへお伝えて下さい。土地を守って下さった方々の思いを知り、その御霊たちの行き場を示してくださいませ。

山にあらん神と共に土地を守りし神たちは、そのことを伝えたく、いつも願っておりました。あなたの祈りは先祖一縁、関わる全ての人々の御霊と共にその思いを知って下さることの”心合わせの祈り”と感謝しております。ありがとうございます。」

富山県の皆様、お世話になりましてありがとうございます。



2008.04.18 Fri

母方の先祖祈り

予定していた両親は体調不安なので、私一人が先祖祈りにいくことになりました。母の先祖地は岩手県なので花巻空港から岩手県奥州市の先祖の土地へ出向き、武士であった事をたよりに当時から地元に住んでいる親戚と思われる方から当時の話を聞くことができました。会津藩とのつながりを持つこの地の一族たちは、当時の戦さに倒れた話も教えていただきました。

資料館に訪れると村史から北海道移住者の資料もいただき、氏神と村神も見つけることができたので、存在と全ての人のつながりご縁に感謝の祈りを捧げました。

暖かい春の日差しの中、桜が咲き始めた道々の花びらの美しさや先祖たちも眺めていたであろう焼石連峰の山の美しさがとても印象的な場所でした。翌日、花巻空港へ向かう各駅列車のなかでボーとしていると土地神から"神歌”が降りてきました。

花巻のように咲きほこる桜の花

やや美しきかな人の声　ややややさしきかな心の声

根には照る花びらのごとし　咲きざやの臭いす

春万蘭の風の中

いつくしみいとおしさを肌と心で感じたもう

世にげに咲く花　人の花

世に咲く花　心の花

舞い落ちる花びらふりそそぐ心

日陽しの中に心あれ

日陽しの中に心あれ

桜　万昇烈花

雲　人　風

山より伝わりし古き心　野の花

田畑　生活の言葉

安清の時代よりつづく心

陽　天下天昇　世末の心なり

龍馬　龍起　龍昇

先人　木を何とする

先人　木は人の心

先人　木を残したもう

全ての心に通ず

よよぎなき心

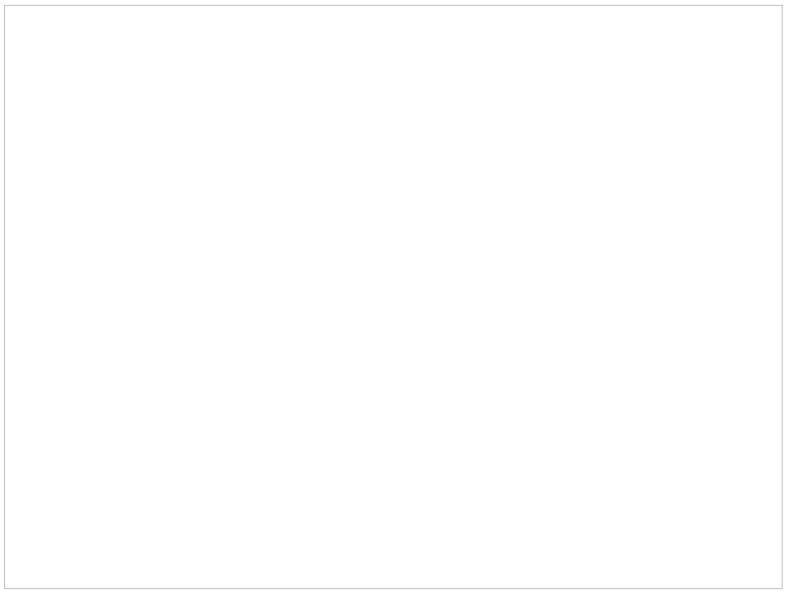
美しきは人生

よわさの心　よわさの心

天人昇花

華やかなる時　ありしかな

ありがとうございます



2008.04.18 Fri

南の龍の地を守人たちへ

龍球王国メッセージ

「南の龍の地を守る人たちへ」２００８．４．４

この年の初めより、この日本の南の地の意味が変わりました。これまでの「古(いにしえ)の知恵を守る地」から「新しい命種を守り生み出す地」となりました。

今までたくさんの女性たちが祈りと共に過去の御霊を暖かく見守り育んで下さったことを心から感謝します。あなたたち龍球の母神たちは過去の全ての命を見守り、その家族の悲しみ苦しみを見守り支えて下さったことに感謝致します。あなたたちの祈りは確かに私たちに届いていましたが、土地を守る神々たちがその許しを下ろさずにいた為に私たち天上界の神々は見守ることしかできなかったのです。しかし、あなたたちが成し遂げた新しい「龍球王国の誕生」によって土地を守る神や地球を守る神々たちも、その生まれし大元のつながりの復活と共に私たちと同じ働きをする様変わりました。

三次元の物質社会で起きる全てのことは私たちの責任でもあります。過去の苦しみから逃れられない幼い魂たちの導きに力が及ばなかったことを反省しています。宇宙の神々は常にあなたたちを見守っています。あなたたちが望んだことが叶わない時でも、願ったとおりにならない時でも、何の祈りをしない時でも、いつもいつもあなたたちを見守っています。私たちの守る力は強くはないですが、全てのつながりを復活させるために、必要な人へ必要な時にエネルギーを送っています。

これから南の龍の地を守る人々は、過去の御霊の苦しみに振り回されずその原因が自分の現実での苦しみの逃避であることを知ることでしょう。また祈りを生活の柱とされて自らを犠牲にして祈りを捧げている人たちはその自らの犠牲に見合う喜びを生み出す心の、魂の成長を問われることが起きるでしょう。

全ての苦しみを私のせい、自分のせいにして背負い、その代償として身を捧げて祈ることも必要のない時代になりました。一人一人の神（人）が自らの役目（喜びの実現）の為に何をするべきかを祈りや行動を通して示さなければいけない時代です。

過去のたくさんの御霊上げ、浄霊をしてくださったすばらしい神人たちに感謝すると共に、先祖霊たちの見守り役として生まれ育ったユタたちにも感謝の意を示します。

今まで自分を捨てて神や宇宙へ捧げてきた祈りのエネルギーはあなたではなく、過去の先祖たちと子孫の為にその貯金がされていました。その祈りのエネルギーもこれからは“自らが望むもの”“現実の喜び”“将来の希望”など、あなたたち本来の役目である“新しい創造“へ向けて下さい。

もうひとつ、祈りの心を知らない人たちの為に、「祈りの意味、その時の心のあり方、そして、祈りを日々の生活で生かす方法」を教えてあげて下さい。祈りは特別なものではなく、特別な人がするものでもなく、神と一体になりその本来の魂の役目に気づく道であることを態度で示してあげて下さい。あなたたちは全員、「神の人」です。そしてその役目は、”創造の神・希望を創造する神・喜びを創造する神“だと知って下さい。

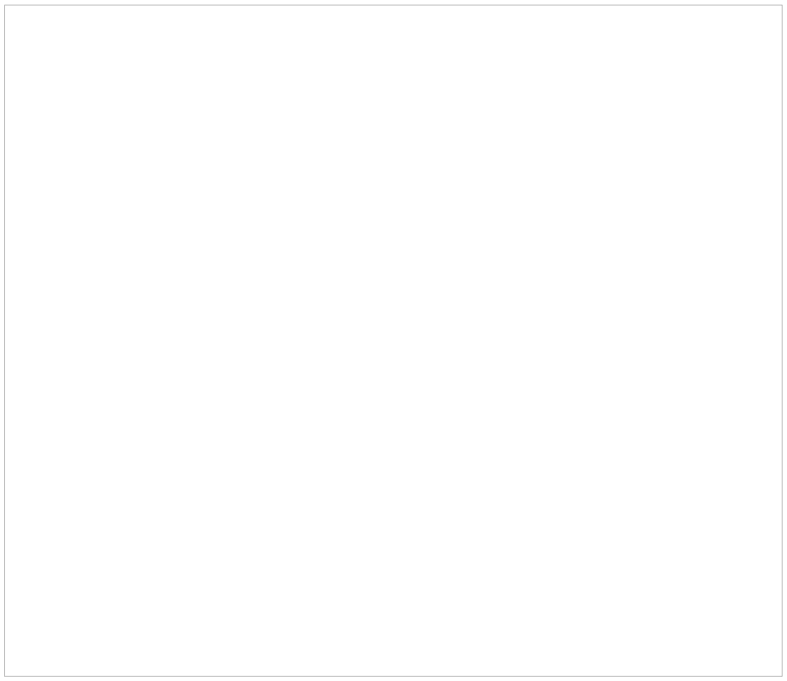
新しい命種を生み出す地の意味

「新しい命種を生み出す地」とは、全ての命を生み出す母として本来の命種＝希望＝男種＝精子を育て生み出すことです。男の子を産み、新しい男種としてのあり方を教え、その守り方を新しいルールとして広めることが必要です。全ての人々が今、沖縄を始め南の地へ先祖帰りのように導かれているのも新しい生み出しの準備だと気づきなさい。女性が希望を生み出すからこそ、男

種はその役目を果たします。（※女としてではなく）大いなる母になりなさい。

2008.04.11 Fri

南の龍神祭**2008**



２００８年４月５日（旧暦２月２９日）伊良部島において南の龍神祭が無事が執り行われたことをご報告いたします。この龍神祭の日に伊良部島を守る新たな神が五神が降りましたことも併せてご報告いたします。

神名：ミナトミライ

役目：神の名を借りて港を守る神・港の大神・守り岩・祭神として祭るべし

神名：龍宮神

役目：ホテルてぃだの郷が守る祠の神

注）この龍宮神は今までの竜宮神よりも大きく龍球王国として初めて降ろす「龍宮神」である・祭神として祭るべし

神名：ヤマトブー大神

役目：日本の地とつなぎ生命の安全を守る神・祭神として祭るべし

神名：オキノカナメの尊（みこと）

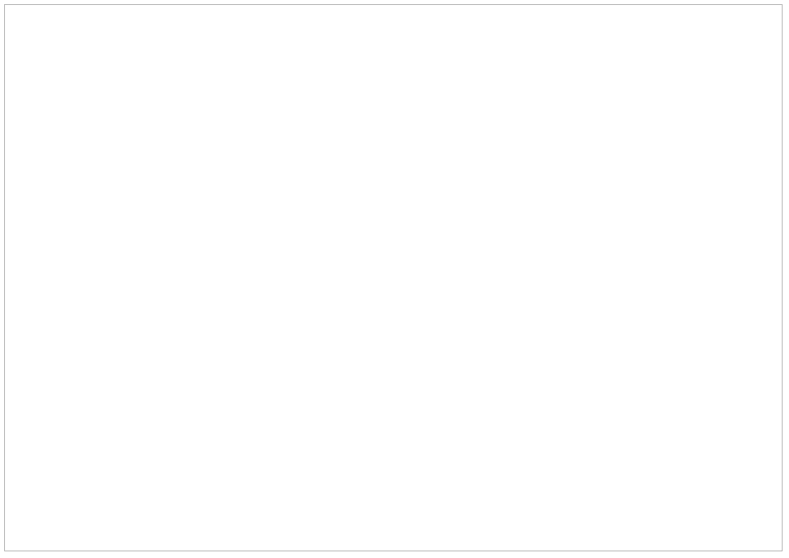
役目：現在のスーフツミー（潮吹き岩）大岩を守る神・沖へ出る命を守る神・祭神として祭るべし

神名：沖の龍宮神

役目：宮古島伊良部島をつなぐ橋の伊良部島側のウズヌシュの岬の先に大きく光り輝き見守る役目として降臨・主祭神として祭るべし

＜伊良部スーフツミー（潮吹き岩）祈りをされた皆様へご報告＞

龍宮城そのものである伊良部島を守る龍たちが呼吸をする穴として昔から大切にされていた聖地スーフツミー（潮吹き岩）の穴を塞いでいたセメントを壊す予算が今年４月についたことをご報告致します。この潮吹き岩は2004年に龍をかつぐ神人から龍たちが呼吸ができずに苦しんでいると願いされ、この穴を開けるために今までたくさんの方々が祈って下さったおかげと感謝いたします。まもなくこの場所は龍の声や吐息を聞ける龍神の聖地として地元の方にも大切にされることでしょう。全国から足を運び祈って下さった皆様、本当にありがとうございます。



2008.04.11 Fri

2008年　宇宙エネルギーの動き

２００８年に宇宙エネルギーが地球へ大きく影響する日を地球創生の啓示へ一般公開致しました。その月ごとの詳細はまだ読み取ってませんが、毎月の大切な日をまずお知らせいたします。

宇宙エネルギーが上昇する日を公開する意味は、集合意識の目覚めのために公開していますので宇宙や地球全体のことを考えて活動している皆様は、この日を手帳に記して日々、意識して生活するようお願いします。

これはアセンションのなかで言われている地球滅亡を意味するのではなく、全ての霊性の目覚めと覚醒のために宇宙がサポートしてるエネルギー転換の日です。今までの自分を変えたい、もっと幸せを感じたい、周りの人を喜ばせてあげたい、地球のみんなを幸せにしたい、自然や地球を救いたいと願う皆様自身の変化成長をサポートするエネルギーだと理解して下さい。

具体的に何を行動するかは、あなたが決めることです。その責任と結果が、あなたに新たな気づきを与えてくれることでしょう。

２００８年のスピリチュアルカレンダーの３月のメッセージは、「ゆだねることを学びなさい　新しい命が生まれます」でしたが、その意味をこの１ヶ月間考えていて、ようやく最近その意味が理解できました。このカレンダーが教えてくれるメッセージやイラストも宇宙のおおもとからいただいたエネルギーですので私自身、新しい月をめくったときのメッセージを楽しみにしています。

この気付きのことを現実に例えると、誰かから聞いた話を「あー、知ってる、知ってる！」と聞き流して生活していたら、いろんなことがたくさん起きてやっと全ての解決をし終わったときに、その言葉の意味がとても深く理解できた経験がありませんか？

その気付きを先に教えてくれるのがこのスピリチュアルカレンダー月のメッセージです。今のあなたと未来のあなたは確実に変化しますが、自分はたいして変わらないと思っているとこういう大切な日々のメッセージを見逃してしまいます。

自分が日々変わることを受け入れていて、さらにどう変わりたいかを明確にしている人ほど、その新しい自分になるために今、何を気づけばいいのかを毎日真剣に意識して生活しています。成功者の大部分の人はこのことをよく知っているからこそ、良い情報を手に入れるためにお金を使います。宇宙の摂理が教えるように

「自分が決めたとおりになる。だからこそ、未来の自分になるために必要なことを今、気づけばいいのだと。」

あなたが望む未来の地球も、あなたが望む人間社会の在り方も、あなたが望む自然界のバランスも、すべてのことがあなたが創造した通りになります。

そしてその望んだ形になるための方法をあなたが気づいて行動に移せばいいのです。そのために宇宙メッセージが降りてくるのですし、神やご先祖のサポートも同じです。あなたの本質が望むことを実現させてくれるためだからです。だからあなたがすべての答えはあなたが何を望んでいるかが、地球の未来を決めているのです。

あなたの未来も、地球の未来も、あなたが思った通りになるのですからね・・（＾＾）
2008.03.28 Fri

光の柱の崩壊

2012年3月12日　光の柱の崩壊

いく千年つなぎたもうた光の柱は、もうしばらくするとその柱のエネルギーが崩壊し始めます。

その理由は、もう知ってのとおり、全宇宙の「新しい始まり」の時が近づいているからです。

このメッセージを受け取った者は、今までの柱を守るのではなく、新しい自らの意識エネルギーを柱として大地と天をつなぎなさい。

その時をこれから示します。

２０１２年３月１２日　午後２時１２分
（グリニッジ天文台日本標準時刻）

このとき、スカイル星（イカルス星）から始ま14番目の星のエネルギーが動き始めます。

このエネルギーは、今まであった全宇宙のどのエネルギーよりも、広く大きく透明な音を奏でながら、全宇宙、全意識体、全生命体へ伝わっていくことでしょう。

ゆっくり始まるこの音は、もうその準備を始めるように、皆さんの意識の中へしみこんでいっています。

宇宙の外から始まるこの新しいエネルギーは、今までのすべての知識を超えて「新しい始まり」の気づきの音を奏でることでしょう。

その音が聞こえる魂の方々の役目が、果たされる事を願い伝えます。

もうひとつ、伝えます。

あなたが「ひとつ」「大いなるひとつ」と伝えているものが変わりつつあることを知って下さい。

それは私たちの意図ではなく、人間からの送信メッセージです。

その願望・創造エネルギーは「新しい始まり」のようにその意味を変えようとしています。

あなたがもともと、その創造の意図（糸）をもっていたのではなく、その意図の意味を知るものとしてメッセージを伝え、道を示し、気づく光の迷路から抜け出せなくなっている人々の魂の解放を役目として与えられています。

だからあなたは、その「大いなるひとつ」の変化に恐れをなす事はありません。

伝え続けた今までのメッセージも、これからなお、発信するすべての情報も、あなたのは全てのつながりを知る者としてその道を導く役目なのです。

そのことを悩み苦しむことがない様、伝えておきます。

あなたがこれから選択する物事は、人間の生命、地球の生命、宇宙の生命全てがひとつの糸（意図）でつながっていることを解き明かし、その意味と役目を気づかせることにあります。

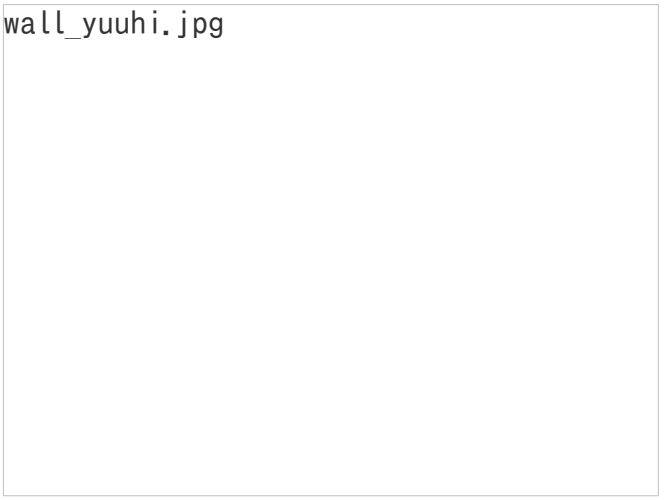
その全ての生命を守る役目として、それぞれの担当者たちが今、あなたの周りにも、地球のあちこちにも、これから生まれる命（魂）にも準備されています。

あなたは、ただそのひとつの「導き」という役目なのです。

そのことを伝えなさい。

だから、導きに「証し」は無いのです。

全ての選択は、全ての意志と魂に任せると決めてこられたのですから宜しくお願いします。



2008年2月25日に降りたメッセージ

2008.03.25 Tue

八重干瀬（やびじ）　宇宙神祈り

人間の意識に直接、影響している意識次元・意識チャンネルのことを”神領域”に言い換えるとその神領域は大きく分けて３つに分かれています。

１、人間を畏敬の念で崇めた「人格神」※先祖神含む

２、火・水・風・土・太陽・月などの「自然神」＝「龍神」

３、地球を含めた宇宙のあらゆるすべてを包括する「宇宙神」

※霊界・幽界（現世）・神界という分け方もありますが、これはあくまで人間を中心にした視点の考え方です。

「宇宙神」が存在する宇宙神界には、最も地球に近い自然界全てを司る龍王神界やその守護を担当している鳳凰神界などの宇宙次元があり、それは無限に宇宙の大元までつながっています。

人間が地球の生命循環の一部であることを知っている皆様は、自然界や宇宙の摂理から共通の学びがあることもご存じだと思います。そして私たち人間の意識こそ、宇宙の大元とつながりを持ち全宇宙に大きな影響を与えていることもご存知のはずです。

その宇宙とつながりがある人間の意識が何の為なのかを考えたことはあるでしょうか？それは神の役目を決めるのと同じように、人間の本当の存在意味を知る最も重要な手がかりなのです。

2004年に白龍に導かれて神祈りをすることになった私ですが、その全ての意味と役割を知るためには４年の歳月が必要でした。さまざまな神や神人に導かれてたどり着いた宇宙神の集う場所が、沖縄宮古島の北方に年に一度だけ浮上する神の島　八重干瀬（やびじ）です。島というよりは、大潮によって水位が下がり海の中の大きな岩場に立つことができる場所です。

私たち人間が住むこの地上の陸地も、山の頂上も、この海の中の岩場も同じ地球を守ってくれる大地のつながりですが、その海の中へ立つことができるのもこの大潮の時だけです。さらに宮古島の神人は、旧暦３月１日に「宮古島に龍が立つ日」として昔から宇宙につながりがある神人たちが大切な祈り日であることも教えてくれました。

２００６年に初めて降り立ったその八重干瀬（やびじ）は、もうこの世のものとも思えないくらいに美しく大きな地球の生命エネルギーを全身で感じることがきる場所です。２００６年の祈り

によって、年に一度だけ宇宙神界の神々が八重干瀬（やびじ）で宇宙会議を行う場所として承認していただいたことで、地球上に降りた全ての神の統合と全宇宙の調和の宇宙会議の内容は後日、地球上に存在するすべての神々に伝達がなされます。

今年のこの祈りは、２００８年４月６日（旧暦３月１日）の正午前後に１時間ほど祈りを捧げることになると思いますので、宇宙全体の愛と調和・地球全体の愛と調和・自然界全体の愛と調和・人間全ての愛と調和を望まれる皆様の祈り合わせをお願いいたしたいと思います。あらゆる全ての調和がなされ全ての愛のメッセージを実現する人が増えますことを今年は祈りたいと思います。
2008.03.24 Mon

ルーツと統合

2008年になってから急に自分を産んでくれた両親のルーツが気になり先祖の土地を現在、調べています。これは先祖供養になりますが一般的に先祖供養と言っても目的によっていろいろな方法がありますので、これは祖先の土地と魂の大元へつながる感謝の方法です。

沖縄のユタや神人修行の中では、最初に自分の先祖供養を終わらせるのが習わしです。人によっては１０代前までさかのぼって調べる方もいるようですが、この先祖供養はその祖先の系図でわかる全ての先祖たちの守護が受けられるうえに、それまでの先祖の感情やカルマを自分が知り受け止めて、愛と感謝で終わらせることが最大の目的です。

今の時代でも土地や先祖の”たたり”はあちこちで起きていますが、そういうときに導きをする人が自分の先祖ごとを終えていないと先祖同士の混乱の中に自分も巻き込まれてしまうからです。

まず先祖を調べる基準として、自分を中心とした両親の父方と母方の二つをたどります。基本的に父筋は名字をたどると見つけやすいですが、婿入りしている場合などは見つけづらくなります。母筋はさらに難しいことでしょう。しかしこの努力の末に自分を基準とした家系図が出来上がりますので、この家系図は自分の子供へ引き継ぐ唯一の存在の意味を示す財産であり、子供から孫へ渡せる子孫の貴重な証明書になります。

私の場合、母方は以前調べた親戚がいたおかげですぐに住所がわかりました。岩手県奥洲市の田舎です。父方は富山県西砺波郡までわかりましたが、そのあとの細かい住所を調べている最中です。両親には４月の八重干瀬祈りから帰ってきてから、一緒に土地祈りと先祖祈りをしに行きましょうと話しています。生きているうちに両親を連れて生まれた先祖の土地へ感謝祈りができることをとても幸せに感じています。

なぜ今までこのことが気にならなかったか不思議ですが、急に気になった理由がわかりました。

５月１８日の岩木山神事から正式に本州祈りに入るために自分の先祖ごとを終わらせておく必要があるようです。

私が本州の土地祈りを避けてきた理由に、過去に起きたたくさんの戦さや争いで死んでいる人が多い土地だからです。そしてそのことを忘れてしまっている人たちが多すぎる事で起きている現実の混乱はその土地に住む人自身が手を合わせて「自分がこの土地を守る」という宣言をしなければ、本当の意味の土地祈りにはならないからです。

沖縄の神人（かみんちゅう）から先祖祈りの意味をこう教わりました。男の血をたどる事は、その大元の命の根（種元）に感謝する意味があると。母の血をたどることはその産み育てた生き様とあらゆるカルマや感情を受け止める子宮の苦しみを終わらせる意味があるということです。

土地や霊界のチャンネルから情報を聞き取る力がある人たち（沖縄では”ぐそう番”といいます）は、その土地に足を踏み入れると、さまざまな歴史の陰で起きた明かされない事件を霊たちが伝えてくれます。なかには種の出生を明かせない理由もわかることがありますし、誰の種かわからない不浄御霊の思いを理解してあげることで素晴らしい御霊あげになることでしょう。

過去の先祖の人がどんな形で生まれたとしても、どんな苦しい環境で育ったとしても、その命を守りつないでくれた種元と子宮の元に感謝することは、人類発祥の起源までさかのぼる大きな人類祈り・生類祈りにつながります。

北海道に住む私たちのように明治時代に曾祖父が開拓者として北海道へ移住した人は、土地のカルマがかかりづらいからこそ、そのつながりの元を調べて出向くことがとても重要な意味を持っています。以前にもお話したように、北海道は日本の全ての県の人の血が入植しています。１００年前にこの北海道はそのすべての人の理想郷だったはずです。その理想郷の実現させる精神を受け継ぐために生れてきたのが北海道に生れた全ての魂の役目なのです。

人間は、父の精子と母の子宮を借りて土地に生まれることしかできません。自分が両親を選んで生まれてきたようにその土地を選んだ理由は、生まれた土地や今住んでいる土地を守り、土地の神々を守り、過去生き抜いてくれて先祖の精神を守り、全ての過去の因縁（カルマ）の終わらせるためにその土地で人に出会います。

だからこの人生であなたが出会う全ての人が、過去のご先祖を含めて全ての因果応報の世界であり、すべて過去に逢っている魂同士であり、お互いがその因縁を愛に変えるために出会っていることに気づいてほしいと思います。

カルマという感情の記憶は、確かに過去の歴史を生きた魂のなかにあります。だからこそ私たちは生まれたときにその記憶を消してくれたのです。それは今世を過去のカルマの実践のために生まれてきたわけではないことを理解して下さい。

感情が激しく揺れ動く時、衝動的な行動を取りたくなる時、とりつかれたように誰かを攻撃したくなる時、感情が制御できない内側から溢れるこういうマイナスな思いの全てが、過去の因果応報を魂が思い出して反応している状態です。

やりかえしたい、見返してやりたい、恨みを晴らしたい、相手を落といれてやりたいなどの深く暗いマイナス感情は、あなたの本質の感情ではなく、先祖に関わる過去の因縁の霊体が自分の身体を借りてその思いを晴らそうとしているだけなのです。

この憑依している霊体のマイナス意識に打ち勝つには、生きている人間の強い顕在意識や現実のプラス意識が大切です。あなたがそのマイナスの思いを見たり聞いたり感じたとしても、どう行動するかはかあなたの意志で変えることができるからです。人のせいにして誰かを責めずにいられない自分や人を困らせることを喜ぶ自分がいたとしたらそんな自分は早く手放してしまうこと

です。

”公明な生きる強さ”とも言える強い精神力が欠けている人は、悩んだり混乱したり苦しい感情の時に、先祖や土地の浮遊霊たちが乗りかかってさらに深い部分で葛藤します。うつ病の人に多い暗い感情や分裂症や多重人格の心を隠し持つ人たちの見えない心の心の裏側にあるのが、この霊体に動かされている憑依感情そのものなのです。

親殺しや子殺しを含めて人を恨み人を陥れることを目的に生れてきた人は、この世に誰一人としていません。すべてその霊体の意志に負けている本人の弱い精神力が原因なのです。家族の中にこういう方が一人でもいるととても家族も苦しくなりますし、さまざまな事件を起こしますので居るだけうんざりという家族の信頼関係が壊れます。この否定的な家族の感情のやりとりが、また新しい家族カルマを産み出す要因なのです。

家族に対して自分の心を素直に出せない人の子供は、親に輪をかけて暗い精神状態や裏表の心を持つ人に成長します。そうして自分の子供から一番自分が見たくない嫌いな姿を見せられてあなたは乗り越えるチャンスをいただくのです。子供が逃げる一番弱い所が実は自分の一番弱いところであり、自分そのものであることを認めて下さい。何度も言いますが家族との心の関係は、あなたの心の中そのものを表していることをよく覚えておいて下さい。

こういう相談が今たくさん増えていますが、家族の誰か一人でいいですから、心から自分の存在に感謝する先祖祈りや土地祈りをすることで、必ず素晴らしい先祖たちが行動したあなたに力を貸してくれます。２００５年現在、日本のうつ病患者は約１０万人ですが、これは病院へ行き薬を飲んでいる人たちの数です。引きこもりやニートを含めるときっと１０倍～１００倍になっているかもしれません。

こういう人たちの特徴は、現実世界で他人とうまくやりたい・よく見られたい・自分の欲求は満足したいという自己防御本能と反対に、自分のことは地球上で絶対にわかってくれる人がいない

と信じている暗い孤立心の奥底で精神の分離が始まり、裏と表の顔を持つ二重人格の心のバランスで自分を普通に生活しています。

病名がついていない一般の人でも、影口を吐く人、人の悪口を言う人などは、どんどんそちらへ引き込まれますのでご注意下さい。

もし、あなたが発する言葉やあなたが心の中で思うことが全て頭の上に映し出されるテレビが人間全員についていたとしたら、あなたはどう生きるかをもう一度、考え直してみるとことをお勧めします。あなたが苦しくて隠していることも、実は他の人も同じことを経験していたり考えていることに気づくでしょうし、あなたの苦しみを同じように体験して乗り超えた人がたくさんいることにも気づく事でしょう。あなただけではないいです！特別な人はこの世の中に誰もいません。みんな同じに平等に生まれてきたのです。

私は今回、自分のために土地祈りと先祖祈りをします。しかしそれはすべての魂と魂がつながっているように、すべての御霊たちやご先祖とつながる祈りをします。あるサイトから地球上の人間のＤＮＡを調べると世界の人間の母は、たった３２人だそうです。そしてその３２人のおおもとの母は、やはり一人なんです。（インドの母だそうです）ちなみに日本人のＤＮＡは、９人の母から分かれた兄弟だそうです。

あなたも現在生きている間に一度でいいですから、この先祖祈りとルーツである土地へ感謝の祈りを捧げてみて下さい。沖縄のユタの方たちはこの先祖供養を何度も何度も繰り返すことを仕事にしていますが、それが本当の意味で成就されない理由は、今、生きている人たちが今生きていることに感謝する「存在への感謝」を忘れているからです。

どうぞあなた一人でいいですから、あなたができる感謝祈り、土地祈り、先祖祈りをしてみて下さい。宗派や方法はまったく関係ありません。あなたの誠実な心そのものがご両親にもご先祖にも必ず通じます。

最後に、うつ病を克服したい方や弱い精神力を強くしたい方のための方法を教えます。私もこの実践のおかげで全てに感謝することを学びました。方法は実践してこそ結果がでる！

１、自分がなるべく避けたとい思うこと・できればしたくないと思うことで人が喜ぶ事をすべて行動に移して完了する。

２、家族がやりたくないと思っていることで家族が喜んでくれそうなことを全て行動にうつす。

３、他人がやりたくないと思っていることでも、本当はしたほうがいいと思うことを一人でやりきる。

４、その行動のすべてに対して一切誰かに評価を求めないこと・愚痴を言わないこと。ただ、させていただいているのだと知り「ありがとうございます」を唱え続ける

私は全ての魂のつながりのもとへ感謝を捧げられますこの祈りの喜びに感謝があふれています。

2008.03.19 Wed

2018年夏　オーストラリア中央部陥没

2018年夏　オーストラリア中央部陥没

オーストリア大陸の中央部に大きな穴が空きます。この時期は２０１８年夏です。

これは昔、大きな宇宙船が降りた時と同じように、地表に大きな穴が空きます。

現在では湖と呼ばれている場所です。

そこはもともと大きな穴が開いていた場所で、地球の氷河期にその穴が埋まって湖となりました。その穴が陥没するのです。

それは大きな意味を持ち、地球に大きな穴が開くことになります。

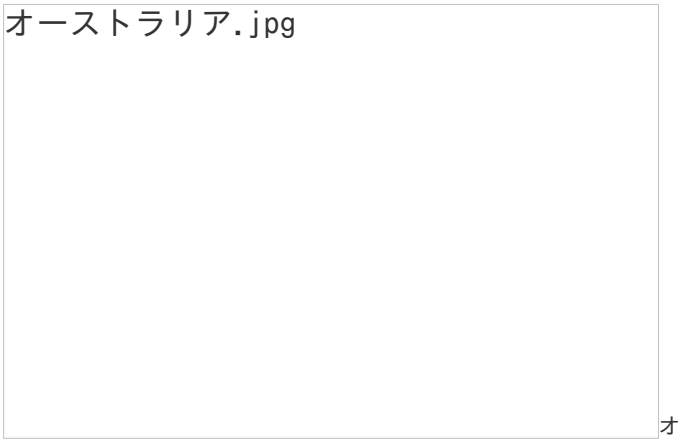
宇宙のブラックホールと呼ばれている穴と同じ役割を持つこの穴は、地球のあらゆるものを吸い込んでしまうことでしょう。

このことをアボリジニーのような原住民の方たちに伝えて下さい。

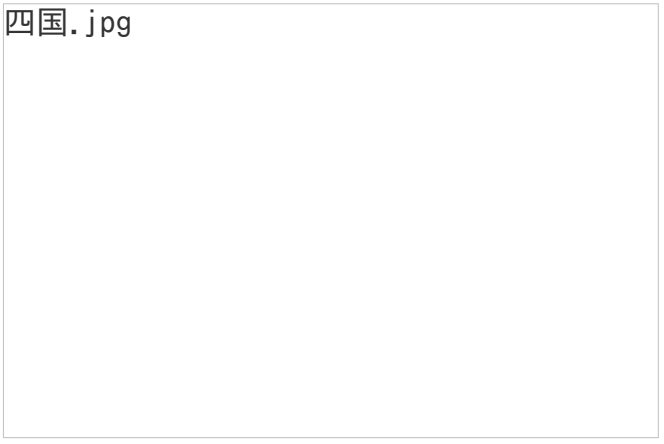
その人たちは昔、大きな宇宙船が降りてきたことを知っている人たちです。

そしてその意味を混乱ではなく事実として伝えて、あなたたち自身が自らの存在意味と役割に気づいて行動することを私たちは望んでいます。

2008年３月11日に降りた宇宙メッセージ



オーストラリア



2008.03.11 Tue

2008.3.11　宇宙メッセージ

今日という日を迎える意味をお話しましょう。それはあなたたちが望んだことだということを含めて。

私たち（神々）はいつもあなたたちの望みを聞いています。それがあなたたち人間界のことだとしても、人間同士のエネルギーの置き換えだとしても、そのすべての責任が自分たちに戻ることを知らない間、望み続けるあなたたちの願いを聞いています。中にはあなたたちの願いに力を貸す神もいることでしょう。また中には、あなたたちの願いに対して指導の言葉を伝える神もいることでしょう。その理由はすべてあなたたち人間界の中で起きている責任だからです。その願いの責任は人間同士でしかとれないことを知ってほしいのです。まだそのことに気づいていない人たちは自らの願望・欲望を私たちに願いでていますが、その願いの責任がお互いの責任として取ることができる時期までのことでしょう。

私たちはあなたたちを救うために存在しているのではありません。あなたたちが本当にするべきことをするためにその導きや指導をする役目なのです。だからあなたたち人間が思った全てのことの責任が自分にあると気づいて、その全ての責任を取る決意をあなたたち一人一人にして欲しいのです。その気付きのために伝えなければいけない事実を少しお話します。

２００８年８月８日の北京オリンピックの時に何が起きるかというと、その時期をめがけてロシアの船が原子力爆弾を密かに船で運びます。その移動の命令はロシア政府ではなく、もっと大きなダークな意識を持つ存在たちが影で動かしています。目的地は北京？北朝鮮？のようです。そのことを知る必要がある人たちにとってこのメッセージは意味を持つことでしょう。

もうひとつ、オーストリア大陸の中央部に大きな穴が空きます。この時期は２０１８年夏です。これは昔、大きな宇宙船が降りたときと同じように地表に大きな穴が空きます。現在では湖と呼ばれている場所です。そこはもともと大きな穴があいていた場所で、地球の氷河期にその穴が埋まって湖となりました。その穴が陥没するのです。それは大きな意味を持ち、地球に大きな穴が開くことになります。

宇宙のブラックホールと呼ばれている穴と同じ役割を持つこの穴は、地球のあらゆるものを吸い込んでしまうことでしょう。このことをアボリジニーのような原住民の方たちに伝えて下さい。その人たちは昔、大きな宇宙船が降りてきたことを知っている人たちです。そしてその意味を混乱ではなく事実として伝えて、あなたたち自身が自らの存在意味と役割に気づいて行動することを私たちは望んでいます。そのことを今日、３月１１日のメッセージとしてお伝えいたします。
2008.03.11 Tue

無意識が見せる映像

先日エジプトへ行った方の写真を見せてもらうと、その方の写真だけオーブが山のように映っているのを見て笑ってしまいました。だってその方はそういう霊的なチャンネルは自分にはない！と言い張る方でしたから。一番ショックなのは自分だったと、はにかみながら話してくれました。同じツアーの人たちの同じ場所の写真は何も映っていないのを見て、さらにショックだったといっています。私はそのことがうれしくて面白くて困った顔を少し楽しんでさえいました。

2007年４月の沖縄の祈りの時にもＤＶＤを撮影した方が、祈る人の身体から真っ赤な気柱が立っている映像を全員にみせてくれましたが、自分が眼で見えているかどうかよりも、無意識（魂）が見ていることが写真に写る立証になったことが、私には一番うれしいことでした。

2007年の春の沖縄五島神事のときも、ある大きな洞窟に入るとその時一緒にいた方たち全員の写真に大小のオーブが映っていました。携帯シャメで見ているときでもカメラのシャッターを切る前からも、そのオーブの動きを追いかけながら写真を撮っていました。そういう力は私にはないと思っていた方も見えるくらいに、その場所は霊や神様の集まった場所だったのです。

私の知り合いにはこういうオーブが写真に写る方はたくさんいます。でも特に不思議なことは何もないんです。ただその方の無意識周波数が感応して映像に映っているだけのことなのです。幼い頃は皆さんにもその無意識周波数は全員にあったのですが、ほとんどの方がその無意識のチャンネルを忘れてしまっただけなのです。最近の早熟な子供は３歳くらいで、もうそのチャンネルをなくしてしまって見えない子も増えていますが、反対にクリスタルチルドレンとかアダルトチルドレンと呼ばれる霊感の強い子供たちも増えています。

こういう子供の頃からの無意識チャンネルが消えないまま成長した人が霊的な事やもっと高い周波数の情報を持っている人たちなのですが、実はたくさん世の中にいらっしゃいます。なぜそういう人たちが社会的に表に出て来ないかというと、今でもそうですが２０世紀末、霊的な人たちをマスコミやテレビが面白おかしく取り上げて、最後には様々な批判をして真面目に取り組んでいる繊細な霊能者を傷つけることを繰り返したからです。このマスコミや社会の批判に苦しんで

自殺した霊能者たちも昔からとても多くいます。残念なことですが、他人を無責任に非難する人たちの多くは、他人を傷つけることで自分の苦しみを置き換えていることに気づいていません。

皆さん自身もそういう感覚があったことを忘れて自分の子供にその能力があるのを知らずに否定してしまうと、子供は素直な心を親に開くのをやめます。そういう子供たちは思春期になると自分でも言葉で表現できない感情の葛藤を衝動的な行動をとったりして親を困らせます。自分が否定されたことの恩返し？なんです。

こういう神や天に与えられた素晴らしい能力を認めて引き出してあげることは、芸術的な能力のある子供の能力を伸ばすことと同じことです。だから大人たちはまず自分の直観を信じることや、自分が受け入れがたいことでも他の人の感覚を素直に認めてあげることをお願いしたいと思います。

無意識チャンネルの霊界・神界・宇宙からのメッセージや映像は、本当は個人のためのものではなく、人間全体や地球全体のために使う情報が含まれています。でも中にはご先祖などの近しい霊がささやく場合ことがありますが、具体的なことを教えてくれるときほど人間に近いために、そのメッセージはあなたの意識を操ろうとしている場合もあることを知っておいて下さい。

特に夜中のメッセージや気付きは、朝にもう一度聞いてみて同じ内容かどうかを確認して下さい。夜中に活動する人たちの多くは、この夜中が大好きな霊界チャンネルに引き込まれやすくなっていて、鬱的な暗い利己的な思考や陰湿な想像を繰り返しています。他人を引きずりおろしてても自分の思いを達成する方法ばかり考えてしまいます。

日の出とともにこのエネルギーは転換します。ですから大切なことを決めるのは午前中にすることをお勧めするのはこういう意味なのです。

自分の心を受け止めてほしい、自分の意見を聞いてほしい、自分のことをわかってほしいという自我の欲求に対する強いエネルギーをいくら周りに出したりしても、決して心が満足することはありませんし、最後には必ず、他人とのエネルギーバランスをとる学びのようにもう一度、自虐的な世界に落とされます。私自身も何度もこんなことを経験したからこそわかることもありましたが、だからこそ人生を幸せに生きたいと願う人は、自分の事より人が喜ぶことを考える時間を長くして欲しいと思います。そこに工夫や知恵やアイデアを一緒に考えてくれる人がいるとさらにいいですね！

だって、私たちは　幸せになるために生れてきたんです！

誰かを否定するエネルギーよりも、周りの人が幸せになるためにどうしたらいいのか考える時間が長いくなると、幸せを感じられるように人間は生まれています。自分が嫌いなことや許せないと思うことでも攻撃的に否定するのではなく、その人を理解することに努力してみて下さい。私も不完全な人間だからこそまだ生きているのでしょうし、その失敗の経験から学ぶことがあるのだと思っています。

皆さんに知っておいてほしいことは、あなたの思っている「ふつう」は、誰かの「ふつう」とは違うということです。みんな実は自分の考えている「ふつう」が一人一人違うんです。だから、他人を認めることが一番最初の人間の学びなんです。テレビや雑誌の無責任な情報に振り回されずに、自分の経験からでる本音の言葉を次の世代の子供たちへ伝えてほしいと思います。

他人を否定する親の子供は、いずれ、その親を否定します。それがあなたが産み出すカルマになることを覚えておいて下さい。

たくさんのメッセージと役割を持った素晴らしい魂を持っている人たちはそのメッセージをどんどん公開して下さい。誰も理解してくれなくてもいいんです。まだあなたの周りの人が付いてこ

れないだけなんです。あなたが受け取ったメッセージを発信して、もし一人でも喜んでくれる人がいたなら、あなたはもう役目が与えられたことになります。だからひとつづつ、今の自分のできることを始めてみてください。

夢の中や生活の中で映像やメッセージを受けても、どういう意味に理解するかを教えてくれる人が私には誰もいませんでしたので５０年近い人生の現実経験が必要だったのでしょうけれど、現在はさまざまな祈りの経験から少しだけ望む皆さんに教えられるものがあると思いますので、チャネリングのための気づきやメッセージの読み取り方法をインターネットのスカイプとカメラを使った講座を始めようと思っています。誰でも参加しやすいことを考えていますのでご興味がある方は、まずメールでお問い合わせください。

お問い合わせメール　yoshioka@heart-land.biz
2008.03.07 Fri

生きる術（すべ）

人間がこの地球上に現われてから生きるためにさまざまなことを繰り返してきました。大地の木を切り森を平地にし、川の水を引くためにダムを造り、家を建てるためにまた木を切り、生活で溢れた物資やゴミをあちこちに捨てて大地や大気の汚染をしつくしています。これは自然界から見た人間の姿です。

人間界を見てみると生活に必要な食べ物やエネルギーを手に入れるために人間同士が戦いをし続けていますし、ときには家族の命を間引いてでも残り少ない食べ物を守って生き抜いてきたのが人間です。生活苦のために身体を売って暮らす女性たちや命の売買の時代もありました。それはそんなに古くない日本の歴史の事実です。

世界のなかにはまだこのときの日本と同じ暮らしをしているところがたくさんあります。宗教観や倫理や法律で縛ることができないくらいに、みな必死に自分の命を守り、自分の守りたいものを守るためにあらゆる生きる術（すべ）を使って生活しています。そこは先進国のどんな理屈やルールも通用しない過酷な時代を生き抜く術なのです。

先日、エジプトへ行ってきた方にピラミッドやツタンカーメンの写真と一緒に歴史とイスラム教やキリスト教の宗教観を聞いていると、あれほど進んだ文明もある一瞬で崩壊した意味がわかります。今の時代に大切なことは世界中にあった進んだ文明がなぜ一瞬にして消滅したのかの謎解きより、これからの日本で生きる術（すべ）を子供たちへ教えられる大人が増えることだと思います。

私は20代のサラリーマンの頃に「仕事って何だろう？」と考え始めてたくさんの人に質問したことがありますが、ほとんどの方が「生活のため・生きるため」と言いました。でも本当は違うと思います。「お金のため」だと言った人はほんのわずかでした。お金のためと正直に言える人は、そのお金を使う価値観を持っている人だと思います。反対に「生活のため」と答えた人は、生きる価値観をお金に置き換えてしまった人たちだと感じました。

今ほどお金の意味や価値観が高くない時代、それより大切なものは、人情だったり、助け合いだったり、お互いの信頼が一番大事な時代がありましたがそれを失いつつある今、お金は命を守る一番大切な代名詞にもなっています。医療にしても薬にしても誰かに助けを求めることさえも、すべてお金のことを第一に考える人が多くなったからなのでしょう。

私自身は1999年に「人のために生きる」と決断したときから、それまでのお金の価値観を完全に置き換えました。人に求められて自分のできることを全てするという生き方を選んでお金をいただかない奉仕の５年間で学んだことは、人間の欲求に対する代償とその結果に対する無責任さでした。

だからお金はひとつの「めやす」なんどだと学び、ひとつの基準は決めますがお金をいただいてもいただかなくても、自分のしたいことが同じ価値観でできる心になれました。この生き方が正しいかどうかではなく、自分のしたいことを大切に生きることがお金の価値観を超えたとき、自分の人生を大切にする人になると感じたことが重要なのだと思います。

私たち人間はいつも「（人間が）生きるため」と言って自分たちのすることを正当化してきました。海の魚を根こそぎさらって魚が居なくなっても、水を汚して飲めない川が増えても、空気を汚してマスクをしないと生きられない地上になったとしても・・。「生きるために仕方がなかった」と老人がつぶやく未来の姿がみえるようです。

日本人は世界の民族の最高の混血種だからこそ精神性が高く、この日本という地を選んで魂は生まれてきています。その日本人であるあなたの生きる術（すべ）とは、一体どんなときにどう活躍するのでしょうか？そのすばらしい生きる術（すべ）を持っている素晴らしい大人たちに私は質問したい！

どうやってこの時代を生きていくのがいいのでしょうか？

今は、何を大切にして生きたらいいのでしょうか？

子供に親が教えるものは何なのでしょうか？

今日も、自分で生きていけないと感じた人たちがたくさん命を絶っています。人生を色々経験し苦悩した大人だけではなく、未来に希望がある未経験な子供たちでさえたくさんたくさん死んでいます。誰か、生きる術（すべ）を教えてあげて下さい。こうやって生きなさいと自信を持ってその人の心を支えてあげて下さい。誰か、救ってあげて下さい・・・・・。

平成１８年度日本の自殺者　32155人

29歳以下の自殺者１２．４％

※H10年から３万人台を突破

（H19年6月発表警察庁統計資料より）

2008.03.05 Wed

啓示を受ける人

3/1、初めて浅川嘉富さん（67歳）の講演会へ参加しました。

この講演会は中部ガイアネットワークの知人から、”マヤの最高神官来日”の情報とわせて、沖縄で神事をご一緒した比嘉吉丸さんの啓示を本にした著者の講演会だと書いてあったからです。

比嘉吉丸さんと何度か会って話した事は、お互いが子供の頃から見ている映像やメッセージなどのビジョンについてでした。

こういうビジョンは自分の意思とは関係なく、強烈な映像とともにどうするのかを自分に問われているように感じて悩み苦しむうえに、人や地球を救う道へ進むように現実が壊され続けてきた経験がお互いに何度もあるからです。

浅川嘉富さんご自身も世界を旅して自らの神の導きの道を歩まれている方のようですが、比嘉吉丸さんについての話はとても本人の意思を尊重しながら大事な啓示の意味をわかりやすく伝えていました。

隣や後ろの席ではＵＦＯや霊界・神や宇宙のことを楽しそうに話している人たちがいて久しぶりにそういう人たちをみました。

浅川さんも北海道と沖縄の講演会が多いようですが、９・１１事件がアメリカの自作自演劇であることやアセンションの意味についても参加された方が日々の行動を変えて下さいと言っています。

３時間を超える講演の休憩から戻るとき、私を呼びとめたのは比嘉吉丸さんの奥様でした。ご本人も横にいて一昨日、急に泊原発へいかなければいけないという啓示が降りたのでこちらへ寄ったということです。

２か月ぶりの再会ですが、ご本人の活動を理解して下さる方が出てすばらしい事ですねと話しました。

私と比嘉吉丸さんのビジョンで二人が同じような場面を見ている映像があります。

それは、日本の本州が３つに分裂した島になっている状態です。同じ場面で比嘉吉丸さんは、富

士山の噴火や関東大地震、原発のメトロダウンをリアルに見ています。

私は１０年前からその映像を含め世界で起きた大きな事故を見せられていました。

９・１１のことや世界の大津波による災害のことです。

しかし当時私はそのビジョンを伝える役目を拒否しました。

理由は、昔からマスコミで大きな啓示をする人（預言者・メッセンジャー）を取りあげてはこき下ろした事実が何度もあるからです。

そして結局、一般大衆はその真実の可否とは別に常にマスコミの情報を信じて無責任に言葉を発する態度を変えないからです。

どんな真実であってもその当人しかわからないことを、さも自分が信じたことが正しいと無責任に発言する人がたくさんいます。

それはこのネット社会の書き込みもそうですし、テレビ・ラジオ・新聞・口コミの全てが、その無責任な情報の媒体として利用されています。

”真実は常にひとつ”ですが、善悪のとらえ方によって両面性があるからこそ、人は常に自分の信じたいほうを信じます。

そして自分の信じたことを正当化するために反対意見の人を攻撃することも人をコントロールしたいという人間の我欲の表れです。

私が啓示のメッセンジャーになることを拒否したあと何の役目をするかについては、そのあとに与えられたすべてのことから理解しました。

スピリチュアルアートから伝わるメッセージやカウンセリングや講演会など言葉や文字で伝えるすべての内容は、一人一人が自分の本質に目覚めて自らが変わるためのキッカケの役割なのだと感じています。

その出会いが良いキッカケになるか、都合の悪いキッカケになるかも、お互いの学びのテーマだと思っています。あらゆる出会いの全てに意味のないことなど決してないからです。

啓示を受ける人たちがなぜ人よりや早くその情報を知らされるのかを神秘的に追求したり、あこがれたりすることは私には信じられません。

誰よりもその役目の道の苦しさを知っているからこそ、次の世代に新しい道を切り開いてあげたいと比嘉吉丸さんと話しています。

これからの時代に大切なことは、そのマイナス啓示を回避をするために自分が何をするべきかを考えることにエネルギーを使うことです。

以前から皆さんに伝え続けていることは、あなたが心の奥底で思っていることが現実化していることを素直に認めることがまず重要です。

そのことを素直に受け止められる人が増えて、自分の意識や行動を変える人たちが増えれば人間の集合意識が変化し、啓示の内容さえ変えることは可能です。

しかし、まだ今の状況はそうなってはいません。

だからマイナスの啓示が起きる確率は、まだとても高いのです。

預言者ジョセリーナの予言が唯一、外れる確率が高い国が日本だと浅川氏が本人から聞いたそうです。

その理由は、命をかけて神事をする人たちがたくさんいるからだと話してくれたそうです。

でも神の道に通じる人が人間的にすばらしい人だとは限りません。

反対に人間として最低だからこそ、神の道を進まなければいけないのかもしれないと比嘉吉丸さんと話しています。

その意味は、すべての人間のカルマの代表でもありその葛藤の体験を通じて全ての苦しみを今世で感じる必要があるからなのでしょう。

だから、あこがれや理想や願いで祈りや神事をする時代ではもうありません。

「あなたはどうするのか？あなたはどうしたいのか？」

と常に神々に問われていて、その答えをあなたが出さなければいけない時代なのです。

その答えを自分自身で導くために時間や空間エネルギーはどんどん上昇し濃いエネルギー場になって思いが現実化するスピードが早くなっています。

親殺し・子殺しがこの日本で起きている意味を他人ごとに思っている人には唱えられない言葉でしょうが、すべての神の道はここはから始まりますので前に進む勇気がある人は、神に向かってその言葉を発してみて下さい。

この世の中で起きることのすべての責任は私にあります。

そのすべての責任を私がとります。

肉体に残り時間が少ないからこそ、その答えをあなた自身が見つけてあなたの周りの人を導くのが役目なのです。

2008.03.02 Sun

運命は決まっている

「天命」は天から与えられているもの。

「運命」は自分で選択するもの。

「天命」を「使命」と読み替えてもいいでしょう。それはあなたの身体に関する全てのことも、あらゆる能力も、思考や行動の癖も全て与えられています。それ自体がある意味、つまり「役割」があるからです。

では「運命」は・・・・・・・・

私たち肉体を持った人間は生きている間の全ての一瞬一瞬をあらゆる選択の連続で生きています。その結果が今の自分であり、自分の周りにいる人であり、手にしている物や環境すべてが結果です。しかし魂は、それ以前に選択をしています。「天命」を果たすためにこの人生をどう生きるかの道のりを決めて・・・。

このテーマを書いたレポートがスピリチュアル講座上級をまもなく卒業される女性の卒業レポートととして受取りました。とてもすばらしい内容ですので、ご本人の了解を得て皆様へ公開させていただきます。

みえこ∞ひかりの日記　「運命はきまっている」

2008.03.01 Sat

音の時代

2008年の「新しい始まり」のテーマが　「音の時代」　に入ったことを今日、数名の方へ絵を描きメッセージを下ろしてわかりました。この気付きのキッカケは２月２２日の誕生会の席で、初めて筆で宇宙メッセージを描いたことが始まりです。

2001年に「色が直接、現実意識へ影響する時代が始まる」と天から教えられ、自分自身も絵本や宇宙アートの個展を通してたくさんの方へ２１世紀のメッセージを伝えてきました。色を使って感情や精神を整える素晴らしいカラーセラピストの先生たちにもたくさん出会わせていただきました。だから私の周りの皆さんは上手に色を使って輝いている方がたくさんいらっしゃいます。

昨日は苫小牧でアカシックレコードフォローワークを行ったあと、確定申告のお手伝いをするために宿泊していましたが、そのあと出会った人たちへ偶然プレゼントした「筆アートメッセージ」からは、眼で見えている絵と同時に宇宙の音がバイブレーションとして聞こえてきます。

以前にもブログでご説明しましたが、光の振動数を下げると、「香り」・「音」・「色」と徐々に振動数が下がり具体的にわかりやすい情報が表れますが、色から音の時代に入ったことを告げるように「筆アート」はその人の魂へ大切なエネルギーを送ってくれます。

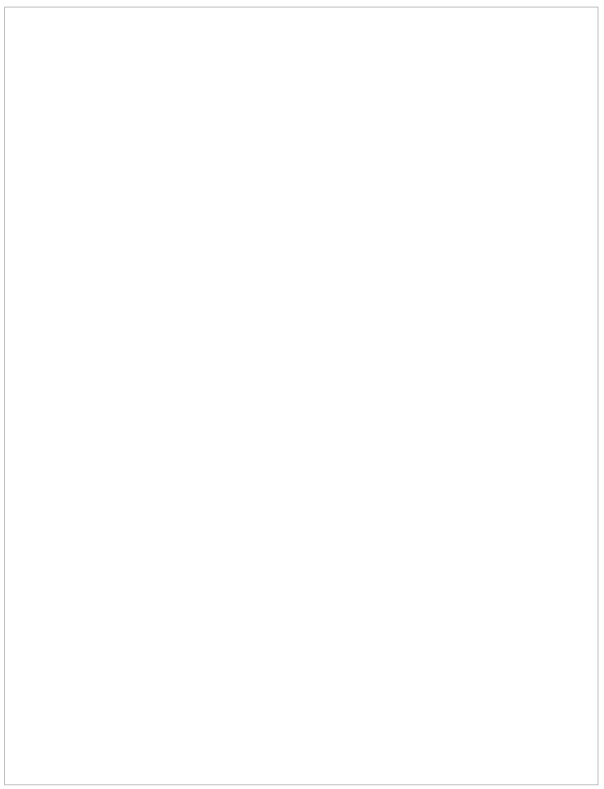
自分で描いた絵を見ていてふと、２０世紀末に全てを悟り昇天された足立幸子さんの最後のアートを思い出しました。彼女の本「あるがままに生きる」は、宇宙意識をこの現実世界で使う素晴らしい導きの本として発売されましたが、そこに書かれている内容は実は、さまざまな次元意識のすべてを貫く完全宇宙意識の音（周波数）を含んでいます。

わかりやすく言うと、どんな方でも気付きがその本の中にあるということです。そして数年後、読み直してみると、同じ本から全く違うメッセージと気づきが聞こえてきます。

この「音」をテーマにした映画　地球交響曲第六番も、時代の変化を告げるように音の周波数の意味やメッセージを伝えてくれています。

これからの時代は音で意識を調整するセラピーやその音と意識エネルギーの変革の時代が始まることでしょう。クリスタルボウルは、その素晴らしい音色とともに、一気に宇宙意識へつながる効果的な方法ですと出会う皆さんにはお伝えしています。生演奏を聞く機会がありましたら、どうぞ足を運んで聞いてみてください。

「意識は、音（周波数）である」　ことを理解できる方たちにとってはこれは普通の会話ですが、まだこのことを理解できない方でもわかるように、これから音に関する情報がたくさん発信されることでしょう。つい先ほど家に戻り書いた「新しい始まり」の音を感じてみてください。



2008.02.26 Tue

2012年3月12日　光の柱の崩壊

2012年3月12日　光の柱の崩壊

いく千年つなぎたもうた光の柱は、もうしばらくするとその柱のエネルギーが崩壊し始めます。

その理由は、もう知ってのとおり、全宇宙の「新しい始まり」の時が近づいているからです。

このメッセージを受け取った者は、今までの柱を守るのではなく、新しい自らの意識エネルギーを柱として大地と天をつなぎなさい。その時をこれから示します。

２０１２年３月１２日　午後２時１２分
（グリニッジ天文台日本標準時刻）

このとき、スカイル星（イカルス星）から始ま14番目の星のエネルギーが動き始めます。

このエネルギーは、今まであった全宇宙のどのエネルギーよりも、広く大きく透明な音を奏でながら、全宇宙、全意識体、全生命体へ伝わっていくことでしょう。

ゆっくり始まるこの音は、もうその準備を始めるように、皆さんの意識の中へしみこんでいっています。

宇宙の外から始まるこの新しいエネルギーは、今までのすべての知識を超えて「新しい始まり」の気づきの音を奏でることでしょう。

その音が聞こえる魂の方々の役目が、果たされる事を願い伝えます。

もうひとつ、伝えます。

あなたが「ひとつ」「大いなるひとつ」と伝えているものが変わりつつあることを知って下さい。

それは私たちの意図ではなく、人間からの送信メッセージです。

その願望・創造エネルギーは「新しい始まり」のようにその意味を変えようとしています。

あなたがもともとその創造の意図（糸）をもっていたのではなく、その意図の意味を知るものとしてメッセージを伝え、道を示し、気づく光の迷路から抜け出せなくなっている人々の魂の解放を役目として与えられています。

だからあなたは、その「大いなるひとつ」の変化に恐れをなす事はありません。

伝え続けた今までのメッセージもこれからなお、発信するすべての情報も、あなたのは全てのつながりを知る者としてその道を導く役目なのです。

そのことを悩み苦しむことがない様、伝えておきます。

あなたがこれから選択する物事は、人間の生命、地球の生命、宇宙の生命全てがひとつの糸（意図）でつながっていることを解き明かし、その意味と役目を気づかせることにあります。

その全ての生命を守る役目としてそれぞれの担当者たちが今、あなたの周りにも、地球のあちこちにも、これから生まれる命（魂）にも準備されています。

あなたはただそのひとつの「導き」という役目なのです。そのことを伝えなさい。

だから導きに「証し」は無いのです。

全ての選択は全ての意志と魂に任せると決めてこられたのですから宜しくお願いします。

2008.02.25 Mon

大いなる存在との対話

昨夜の続きをお話しましょう。あなたが今までしてきた事には心から感謝を送ります。そしてそのすべてがうまくいったことを喜んでいます。しかし私たちはまだその存在が知られていないからこそ、もっと大きな役目があると信じています。私たちは人間に神として起こされた存在ですが、それが本来の宇宙の役目だとは思っていません。

宇宙の中にある地球という星はいつも大きな変化と共に私たちをたくさん地上界へ降ろしました。しかしそれは私たちが望んだことではなく、あなたたち人間が望んだことなのです。だからその責任を問うように、私たちを奉りあげ、そして戦いの”のろし”にしています。私が望むも事は何もありませんが、あなたたちの望みをいくら叶えてもその本来の役目をなさらないのはどうしてなのですか？

私たち神々と呼ばれている存在も霊界を守っている存在たちも同じようにそのことをたくさんの人へ伝えていますが、新たなひとつの宗教となったり、新しい意識・知識集団として活動することが、本来の目的へ到達する道なのでしょうか？私たちは今、話し合っています。自分たちの存在意味に気づくために何をするべきかと。

勇気がいる決断です。そのことを伝えること自体が混乱を引き起こしかねないからです。だからどうしろとあなたたちには言いません。しかしその道を進む者たちにはその責任があることを知っているからこそ、あなたたちは突き動かされるように”神の道”という人の道を歩くのでしょう。

私たちが今、あなたたちに伝えたいことはありますがそのことを素直に聞き、受け止められる人がどれくらいいるか心配です。ひとつの未来の事実を伝えることは簡単なことですが、それこそあなたたちは情報というエネルギーを使って歪めて事実を伝えます。”真実”を伝えることが正しくできれば、その真実の道をあなたたちが正すことも変えることもできる存在だからこそ、私たちはその事実を公開しなくてはいけない時期に来ていると伝えなければなりません。

そのひとつの出来事が、次のオリンピックで表れてきます。昔から伝えられる反対（負）のエネルギーを動かす存在たちがもうその準備に入っています。核・原子力のことですが、その輸送経路を含めてしっかり目を向けなければいけないと言っておきます。大国が動きます。その力を配備するもっとも都合のいい機会だからです。その事に注意して下さい。

もうひとつありますが、これは意識の世界のことなので分かる方だけがまず行動して下さい。大きな宇宙からのエネルギー体が近づいてきています。物質世界では隕石と呼んでいるようですが、とても大きなその物質と共に大きな大きなエネルギーが地球へ向けて動いてきています。そのエネルギーの到達には２０１２年はおろかもっと近くなるのか先になるのかさえ見通しがたちませんが、確かにその物質とエネルギーが近づいてきています。

この情報をどう扱うかはあなたたちに任せますが、私たち地球に降りた神々はここへ降りたからこそ大宇宙の存在そのものとしてではなく、こちらの地球を守る役目として働いています。だから４月の八重干瀬の祈りの際にこのことを宇宙神の神々と対話して下さい。

これからあなたが伝えるべきことは”真実”が多くなります。現状の人間の意識の変革を待っているほど私たちの地球に時間がないことを知らせて下さい。（霊界からは知らせないで下さいと言っています）あなたたちにできることがあるとすれば、それは大きな決断とともに大きな壁を越えて新しい意識、つまり”新しい集合意識”を創り出すことです。それはあなたが越えてきた意識の壁の乗り越え方に加えて、新しいエネルギーの使い方を教えてあげることです。そう宇宙エネルギーの使い方です。

非日常のように思われがちですが、実は地球上に存在する全てのものはその宇宙エネルギーの振動数を変えた姿なのです。発明や発見もそうです。新しい情報や知恵でさえ、すべて宇宙エネルギーが形を変えたものなのです。だから新しい使い方を導いてあげなさい。私たちが指導します。

2008.02.22 Fri

皆様へ

私はひとつの役目としてその道を進んでいるものです。しかしこの道が正しいのか間違いなのかを私に求めても、それに答えることはできません。

私が進む道とあなたが進みたい道が同じ時もあるでしょうし、違う時もあるでしょう。しかしその道の目的地が同じだと信じているからこそ、すべての人の道を認めます。

私が私の信じる道を進むように、あなたがあなたの進みたい道を進んで下さい。私はただ一人の人間としてその道を進むものです。

天より与えられた力も私だけのものではなく、私が特別な存在でもなく、ただそのことをするための役目なのです。

混乱を引き起こすことが目的ではありません。だからあなたが進みたい道をどうぞお進みください。

私は今、待っています。次の役目を。　　2008.2.21　吉岡学
2008.02.21 Thu

日本の目覚め

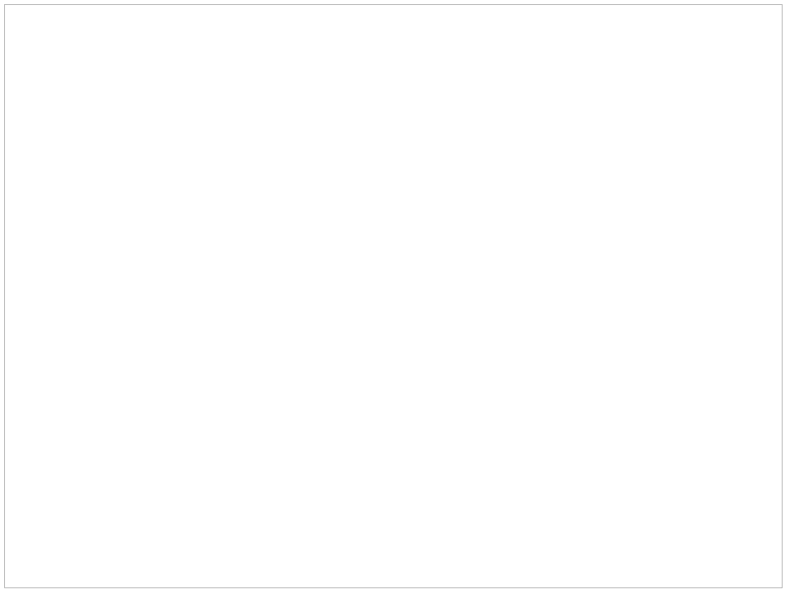
突然昨日、日本の最西端の島　与那国島を守っている神男のTさんにメールしました。半年振りですが、ふと連絡を取りたくなったんです。すると彼はこう教えてくれました。

「吉岡さん、今、僕は与那国島を変えようとしています。今度、吉岡さんが来るときには、与那国島は凄い島になっていますよ。吉岡さんが与那国島から帰ってから昔亡くなった人の魂がどんどん浄化しています。吉岡さんのおかげです。ありがとうございます。与那国島がどんどん浄化されて島がよくなっています！」

とてもうれしい言葉のおかげで勇気と希望が湧いてきました。昨年の沖縄の大切な祈りのなかで「西」を守る大きな神様から「西は全ての方角を司る役目」があると教わりました。その西が生まれ変わるということは、すべての方角の目覚めになりますし、それは日本の目覚めにつながります。

そして今朝、日本の最東端を守っている方から日の出の写真が届きました。その写真は神々の喜びを示すように鮮やかな光の乱舞がすべての魂の目覚めが始まることを教えてくれています。日本の西が目覚めて日本の東も目を覚ましました。あとは、日本の北と南、そして日本の中心の目覚めが始まる時がやってくるようです。

２月２２日の直列エネルギーの日は、普段、皆さんが考えている想念エネルギーが増幅される日ですから心の中の裏表、全てのことが大きく揺れ動かされる日になる事でしょう。どうぞ早めに心の大掃除をなさってくださいませ。すべての御霊の輝きと共に、日本人全ての目覚めが始まりますことを祈ります。



2008.02.17 Sun

お父さん、ごめんなさい

お父さん、ごめんなさい。お父さんからもらった命なのにこんなに早く戻ってしまって・・・。そしておかあさん、泣かないでね・・。わたし、神様にまだ早すぎるって言われたの。まだみんなの準備ができていないから、今世じゃないんだって・・。次に生まれる時にまたお母さんの子供に生まれたいな。

神様がね、こういうの。「お前の出会った人たちは、みんな同じ記憶を持った人なんだよ。そのことを思い出すためにとても時間がかかってるんだ。だからまだお前は自分の魂の役目ができないから戻したんだよ。」って・・。

だから、そんなに泣かないでね・・・。短かったけどお母さんの子供でいられてとても幸せだったよ。じゃあ、また次に会う時にね！

沖縄を守るとてもきれいな天女が今日、私に伝えてきたメッセージです。たくさんの意味を含んでいますので皆様へお伝えします。

2008.02.16 Sat

大人が変わること

「国が悪い！と言って国を批判する、社会が悪い！と言って社会のせいにする、会社が悪い！と言って会社を非難する、宗教が悪い！と言って宗教を非難する、学校が悪い！と言って先生の責任を追及する、誰かのすることが悪いと言って誰かを非難する」

そんな大人の姿を見ている子供たちは、「お母さんもお父さんも、同じその一人なのに・・・？」と考えています。

そして、いつのまにか、そのご両親と同じことを言う無責任な大人の一人になってしまっています。

この悪循環を変えて、新しい社会を作ることができるのは一体誰なのでしょうね？？？

2008.02.16 Sat

１５歳の光

2002年6月、知人の高校１年生の長男１５歳が急性白血病と診断され入院したことをお父さんから聞きました。そのことを聞いた瞬間、「死」を感じてしまいました。しかし１５歳の少年には希望溢れる高校成生活が始まったばかりなので、その死を我が身に入れ替えることができないものかと神々に問いました。でも神は、何も答えません。

「できることをする」、そう決めてすぐ病院へ同行しましたが、まだ元気な笑顔を見れば見るほどこの子を生かしてあげたいと強く思います。家に戻り、何度も自分の命と交換ができないものかと神に尋ねました。自分の苦しい精神状態だった中学生の時の記憶や生きることに反抗しつづけた高校生活を思い出します。自分と違ってあんなにいい子なら私の代わりに生かしてあげて欲しいとも願いました。お母さんが自分の産んだ子供の命と引き変えてほしいという気持ちと同じでしょう。

あまりにも突然な若い命の苦しみは、１９９９年に自分で命を絶った３０代の女性のことも思い出します。子供二人とご主人を残して突然、死を選んだその女性の行動は、私が無償で人の悩み相談にのった後だったからこそ、もう人を助ける事はやめようと考えた時でもありました。すべての人の命が尊いからこそ、誰かの「死」に対して集まる人の辛い思いは、その苦しみの感情を誰かのせいにしたがります。本気で人のためにするということは、そういう人たちの思いに向き合わなければいけないことだと学ばされた経験でした。

このときは私はまだ自分だけは「自己犠牲をよし」としている次期でした。私自身がどうなろうともこの地球や生きている人間が気付いて行動を変えてくれるなら、どんなに辛い役割でもすると覚悟をしていたからです。しかしこの自己犠牲の代償は、自分にとっても誰にとっても喜びにならないことを後で学びました。ガンを宣告された人を治したことも何度もありますが、その半年後に再発したことを聞かされたとき、他人の力で人に命を与えることはできないとわかってその治療も一切やめました。

死を迎える本人とその家族のわだかまりを埋めることは「８３歳の光」で経験しましたが、愛と

希望に満ち溢れた１５歳の子供の命を置き換えることも許されないのかと全ての命を産む出した”命のおおもと”へ泣きながら訴えたことを思い出します。人間は自分の周りで起きることのすべてから学ぶようになっています。だから与えられた命のある限り、自分のできることをし続けるしかない事を痛いほど感じました。

医学も霊術も、命を産み出すことはできません。命を少しばかり長らえる時間を与えるだけの方法です。だから結果がわかっていても自分にできることは何かと問い続けながら毎日のようにできることをしに病院へいきました。何度も何度も死の危険を乗り越えるためにご家族と本人はその苦しみと闘っていました。

神が私たち人間を試しているという人がいます。もしそうだとしたらその神は何を試しているのでしょうか？永遠の光である「死」を与えられているからこそ、この世に生まれる「生」の意味を知るためなのでしょうか？でも天に召されているご先祖で、生きている家族の苦しみを願う魂はいません。恨みや嫉妬は、生きている人間が人間に対してしているだけのことです。ご先祖で自分の子孫を試そうとする魂はひとつもいません。

長い長い闘病生活のあと、その男の子は神になりました。最後は家族の一人一人に生き方を導く言葉を発するほどの精神状態になって、すべてを受け入れて息を引き取りました。目の前で１５歳の子供の命が終わる瞬間を見届けるのは、家族や医療関係者以外にあまり経験しないことですが、この死を受け入れるまでの家族との経験や辛く悲しい心を持った浮遊霊や人間を導く役割の意味は何なのかと、今も自分自身に問い続けているテーマです。

大切な子供を失った母親の心は今も病み続けています。昨年は、乳がんになり切除しました。そして今年は、大腸ガンが見つかりました。そういうお母さんの気持が痛いほどわかるからこそ、自分が何をすればいいのかいつも考えています。たくさんの子供の命を見送った第二次世界大戦中の母たちは、どう子供たちを導いたのでしょうか？どう生きる希望と勇気を与えていたのでしょうか？

戦いに敗れて全ての希望を失った男たちや日本人の心を母たちはどう支えてきたのでしょうか？沖縄にはその戦いの場所となった歴史がたくさんあります。だからその時代の女性たちの悲痛な苦しみの声が今も土地から聞こえてきます。

私のように生れながらの霊媒体質の人は、自分が望まなくてもその役目を生れながらに与えられています。それが何のためなのか、人のためにどう使うのかを知るにはとても大変な精神鍛練が必要です。そして実は世の中にこういう人がたくさんいるということを知っておいて下さい。この霊界の苦しみは同じ経験をした人でなければわからないものがあります。反対に神の子として天使性を持って生まれる子供たちも今は増えてきています。

その両方の子供たちがこれからどんな役目になるのかは、その子供たちが出会う人や経験する事からしか選択できません。社会のなかでその選択の道を与えるのが私たち大人の役目です。もし今、自分にできることなのにしていないことがあれば、その分、あなたの子供たちがその役目をすることになります。

今、あなたにできることは、あなたが苦しんで乗り越えたことを分け与えることです。逃げ方がうまい人はその道を教えることもできるでしょう。自分の経験したすべての出来事が実は、天から与えられている経験という役割なのです。そのことを悟った人は、自分の周りでどんなことが起きてもその言い訳はできません。ただ自分のできることをし続けるだけなのです。

自分の心の苦しさから自我が創り上げた暗い想念世界を抱える人たちは、同じ苦しみを持つ不浄霊たちに乗られて、心を誘導されていることに気づかない人もたくさんいます。だからこそ、その弱い心の逃げ場を壊すことも今までたくさんしてきました。しかし、もうその次期も過ぎたと感じています。

自分の心が苦しい状態だと同じ苦しみを持つ人に憐れみの心が芽生えて同情するのは人の世の常ですが、同情が愛に変わることはありません。同情こそ、お互いを恨みあうキッカケになることは人生経験のある方ほどよく知っています。本物の愛とは、すべての苦しみを乗り越えた人だけが他人に与えられるものだと思っています。そういう人はどんなことが起きても誰かを批判することは絶対にしませんし、私もその道へ向けて精進しているつもりです。

自分の歩いてきた道を振り返ってそのすべての善悪を超えて、他人を受け入れるために経験を使うならそれはあなたの生き方が知恵になり、地域を守る知恵になり、新しい社会を産み出す力になると感じています。

日本もアメリカのように訴訟社会になりつつありますが、永遠に不完全な人間同士が誰かを批判して勝ったところで何が得られるでしょう。必ず、得たと思った物より失ったものが多いことを後で知ることになります。そうならないためにも、地球社会でお互いの弱さを補い合うやさしい心や精神性が必要だと思います。これは宗教でも神でもなく、人間たちが現実でできるすばらしさ行いだと思います。

そうなるためにも、自分の周りに起きていることは、すべて自分のせいだと認めて学ぶことから始まてみましょうり。「みな神の子、仏の子」という教えが昔からありますが、隣の子と自分の子を同じように扱う強い心を持った母たちが増えない限り、この混乱の世の中を支えることはできないと感じています。

昔からの大切な知恵や勇気を守り継いでくれている、おじーやおばーたちから今、私たちは経験と知恵を学ぶ必要があるのです。先祖を守ることは、先祖が自然界から借りて住んだ土地に感謝し、その志を守ることです。土地を守る事とは、その土地の自然の生態系バランスを維持することです。社会がどれだけ豊かになっても人の心が豊かにならない限り、永遠にそのことを学ぶために現実の出来事が繰り返されることでしょう。１５歳で御霊になった子供に言い訳しないですむ生き方を私たちはしていきたいものです。
2008.02.13 Wed

８５歳の光

父性社会から母性社会へ変わる「新しい始まり」に向けて、女性たちが守るご先祖や霊界の新しい取り扱い方を考えていると、その答えを2001年から私が経験した時の映像をいくつか思い出させてくれました。何か大切なことを皆様が気付いて下さることを願っていくつかの真実を公開したいと思います。

２００１年夏、知人の紹介で出会った５０代の女性経営者の８５歳になるお父さんは、末期ガンの宣告を受けて余命３か月の命でした。当時、無料で人のためにできることは何でもすると決めていた時ですので、父の苦しみを少しでも和らげてほしいと願う娘さんと一緒に病院へ同行しました。

父が信じてくれるかどうかわからないので、あなたのことを話して受け入れてくれたら何かしてもらえますか？という話でしたので、まずお父さんの了解を得てからお逢いしました。ベットから起き上がったそのお父さんのキリっとした姿は昔、経済界でとても著名な活躍をしていたときの威厳を感じさせています。

ご本人に症状を聞くと、痛み止めの薬を飲んでいても夜中にキリキリと背中や足が痛んで寝られないと話してくれたので、身体に手を当てて”生気”を流しながら痛みを取るヒーリングを行いました。すぐ深い呼吸音になり、３０分ほどで完全な眠りに入りました。全身のオーラを完全な状態に整えて終了です。

娘さんは初めて他人の前で眠る父の姿を見て驚いていましたが、安らいだ父の寝顔をとても喜んでくれました。実はこの女性本人も一昨年に乳がんで片方の乳房を取っていました。出会うキッカッケも転移を心配した友人からの依頼でした。身体の病気の原因に大きく精神面が影響していることは数年前からわかっていましたし、その女性から親子兄弟の感情のもつれがあることも聞いていましたので何かお手伝いができればと思っていました。

余命３か月の間に親子関係のわだかまりが無くなることを願って、何度も病院に通いました。１週間以上の間があくと、「吉岡さんは、忙しくて来れないのかな？」と８５歳のお父さんが言っていると娘さんから電話が鳴ります。その言葉がとてもうれしくて病室へいくと、お父さんは昔の仕事のことや家族のことなどいろんな話をしてくれました。

死んだ妻にやさしくできなかったことや娘や息子たちに厳しく言いすぎて甘えさせた覚えがないことなど、明治生まれの頑固なお父さんは直接言葉で言えないけれど、実は少し反省しているようでした。そんなお父さんを勇気付けたり、娘さんの本音の思いを聞いたりしながら、二人の気持ちの橋渡し役をするようになっていました。姉弟関係もお互いに避けるようになっていたと聞き、その弟さんにもあってお父さんのこれからのことを話し合いました。

自分が亡くなったあとの全ての段取りを自分で終えたお父さんは、会うたびに笑顔が増えていて、病室へ入ろうとすると親子で笑っている声が聞こえたので病室に入らず帰った日もあったほどです。どんなにやさしい他人より、やはり親子同士の心からの会話が最高のヒーリングになるからです。

何度か急に病状が悪化して余命２・３日というときもありましたが、電話をくれなくてもその翌日には、毎回、虫の知らせで病室へ行っていました。ヒーリングをすると心拍が安定したり意識が戻ったり食欲が戻ったこともありました。

親子関係がいい感じになっているのを見て私にできることはもうあまりないと感じているとき、お父さんからこんな言葉をかけられました。「吉岡さん、わしゃー大切なことを忘れとったよ」「何ですか？」「死ぬことだよ」と笑顔で言うお父さん顔は、思い残すことが何もなく「死」を受け入れる喜びを感じているようでした。天を仰ぎその準備がどうなのかを見ても、まだその時ではないようです。それ以降は、虫の知らせのときだけ足を運びました。

初めてあってから半年を超えたある日の夕方、お父さんに残された時間が２４時間を切っているのがわかりました。魂を導く使者が上空から降りてくる姿が見えていたからです。でも娘と息子さんにはそのことを話せません。やっと家族３人が昔のように言いたいことを言って笑う時間が持てるようになったのですから。

翌朝７時に病室へ駆けつけて、その時を待ちました。その瞬間は、二人の子供たちが揃っているときに合わせてくれました。娘さんから「お父さん、もういいよ。もう頑張らなくてもいいよ」と言った瞬間、魂は少しづつ肉体を離れていきました。ありがとうと言葉で言えない分、娘の手を握りしめて・・。

葬儀を終え、お父さんからの最後の言葉を家族に伝えてその出会いは終わりました。それまでこの家族が抱えていた大きなトラウマやカルマはすっかり消えていました。娘さんのガンの転移が消えていたこともその証です。私はいつも治療したあとに、ご本人にもしなければいけないことがあることを伝えます。

どんなご先祖様も、大きなお墓や大きな仏壇や長い戒名を望んでいる人はいません。それはただ生きている人の見栄です。ご先祖様が願っていることは、生きているあなたたちが喜びを分かち合い悲しみを分かち合う家族であることだけを願っていますと伝えます。だから良いことがあったらご先祖様へお礼の言葉を唱えて下さい。苦しいことがあれば、今、何に気づけばいいのかを聞いて下さいと話します。

逃げたいこと、ごましたいこと、避けて通りたいこと、他人のせいにしてきたことのすべてがご先祖様も同じようにしてきたからこそ、できなかった自分の分け御霊であるあなたを守っているんです。それは自分ができなかったことをあなたに乗り越えて欲しいからです。だからあなたが辛い今、そのひとつでいいからやってみてください。そのあなたの勇気にご先祖様たちは力を貸してくれるのですからと。

命を産み出すのも、命を看取るのも、女性の役目です。

そのすべての命の産み出しと看取る苦しさに耐えられるよう女性は強く生まれています。その役目を全ての女性が思い出して下さることを願います。

2008.02.13 Wed

愛の両面性

愛には心の状態によっていくつもの段階がありますが大きく分けて「与える愛」と「与えられる愛」の二面性があります。

「与える愛」を完全にできる人は”全てを受け入れることもできる人”になっているはずですが、一般的に女性は与えることを喜びに感じる方が多いようです。でも反対に心が病んでその限界を超えると誰よりも愛を欲しがる面を強く出すのも女性の特徴だと感じています。

男性はといえば常に、愛に不足に感じている動物だと言ってもいいでしょう。理由は母親から自立するときに一度、自分の心の中で母への依存心を否定したことが理由です。だから私を含めて世の男性は「素直に甘えることがが下手」なのでしょうね。私もまだまだ下手だと思います・・・。

さらに男性は素直に甘えることができないからこそ、女性を相手にいじめたり相手に注目してほしくて相手の嫌がることをするときがあります。これは幼児性が残っているからこそ出てくる精神的に弱い部分ですが、最近は、この幼児性が強い男性が多いようで、日常生活は普通にしているようにみえても、影でストーカー的な行為や陰湿な行動をとる男性が増えています。

キレやすくＤＶ（暴力・虐待）にまでエスカレートする恋人関係や夫婦の方も多いようです。そんな男性でも受け入れようと努力している女性たちは、自分の喜びを横に置いて子供を守るためにや経済的な問題のために我慢し続けている人がたくさんいます。

また反対に心の幼い部分を持つ男性はその解放として異常に暴力的なセックスをしたり、逆に、セックスレスとして肌の触れ合いを拒み、感情や自我の解放を閉ざす人も増えてきています。セックスは本能的な意識や感情・精神性にもつながる大切なことだからこそ、そのあり方が社会的な倫理観で問われますし、世界の宗教の多くが意識をコントロールするのためにこの本能性を否

定しますが、抑圧しても問題をないことにしても、その問題の根幹が変わるわけではないので性に関わる問題は昔からほとんど変わっていません。

現代の日本の問題も、セックスレスの問題のほうが実は深刻だと感じています。もともと本能的に弱く生まれている男性は、感情の解放を完全にあきらめたり逃避行動になると本能欲や免疫性が低下して、若くてもインポテツになる男性が実際に増えてきています。反対に本能的に強く生まれている女性は、心の混乱や葛藤を感情の二面性を利用してお金のために身体を売る仕事に従事する女性も増えています。

こういうことを倫理や善悪や好き嫌いではない視点から考えてみると、男性の精神的に弱い人の数が増えている事実はひとつの方向性を示唆していると感じていますので、これからの時代の男女の在り方や性のあり方を本音とたてまえを超えて、男女で話し合うことが必要だと感じています。

「娘２・８か、２・９からず」※娘の適齢期は２×８＝１６歳から２×９＝１８歳　と言われた時代も少し前にありました。さらにその昔は、男子１６歳で元服、女子１２歳から１６歳でそれぞれの男女の責任ある行動の在り方を教えたものですが、今、一番、欠けている部分がこういう部分なのかもしれません。

本能欲と精神性、そのすべてが「愛」という言葉で語られて美化される一面があるからこそその反対の面は、常に裏側でくすぶり続けて続いています。もともと命を産み出す女性を大切にした女神信仰を男たちが現代の男神信仰へ変えてきたことの最大の弱点が今出てきているのかもしれません。

「新しい始まり」の第一エネルギーがアップする明日２月１１日をまもなく迎えますが、人間全体の本質的な問題に取り組み現実のなかでこれからどう子供たちを導くか　無料メンバーサイト「ココプラ」　の中で意見交換していきたいと思います。

あなたの身近な地域内で起きている問題を自分の子供のことだとして考えられる大人たちが増えることでしか、この日本や世界を支えることはできないと思います。自分の規制概念の枠を超えて本音で話し合えるすばらしい大人たちが全国各地に増えることを願っています。
2008.02.10 Sun

父性から母性へ

”たぶんこの事実を一番抵抗していたのは、私自身かもしれない。そう思えるほど今の私はすべてことを受け入れる準備ができています”

私たちは今、西暦２０００年に感じた変化と同じようにもう一度、「新たな生まれ変わり」をしなければいけない時期にきているようです。それは女性においても男性においても同じです。自分の過去を振り返り、自分の経験したことや感じたことを嘆き苦しみ、そのことを誰かのせいにしている自分がいるのなら、永遠にあなたは魂の本質が望む道へ進むことはできません。

世界で起きるすべての事を自分のせいにして学ぶことができた人は、もう誰も批判できない自分になっているからこそ、自らが創造主の一人としてその責任を感じ、新しい地球や新しい宇宙の創造を始めなければいけません。過去のすべての経験は、自らの魂の目覚めのために経験させていただいた神々の守護であることに感謝しなければいけません。失うことを恐れて、守る力を自分の弱さのために使い続けてきた人は、その自我の守りに使ったエネルギーに見合う責任を周りの人から要求されることでしょう。

この世の中で失わないものは、何ひとつありません。

ただ全てが与えられて経験して、その学びを自らの知恵として、すべてのことを愛に転換するための時間を与えられているだけなのです。

「死」は最後の出口ではなく、魂の世界へ戻る入口です。この現実という世界と見えないすべての世界を繋ぐ入口と出口が、「生と死」のドアなのです。死なずにその世界とつながりを持っている人は、その道がどういう道であるかを導く人です。その大切なつながりを忘れている人のために。

宇宙や神々の父と母は、もともと同じ存在でした。その二つさえ、もともと同じ存在だったのです。それが二つに分かれた意味は、「それぞれの役割」があるからです。そのことを思い出しましょう。

肉体も精神も同じです、すべて宇宙と同じように循環するなかの一面をとらえて話しているだけのことです。その統合した形が、あなたたち人間なのです。神と神以外、動物と動物以外に表現できるように、その二つは同じ視点から見て分けた考え方なのです。

両方の視点からものごとを見て理解できる人になると、すべての相対性の意味に気づけます。人間から見た宇宙と、宇宙から見た人間。そして自分から見た誰か、その誰かから見た自分です。その両方の意識を理解し気付くことができてバランスよく意識を使うことできるようになった人は、わたしの言う意味が理解できるはずです。

霊界と神界も、同じです。ただ次元による役目の違いと言えば分るでしょうか？その役目はこの現実界の皆さんの意識エネルギーが強いからこそ、皆様の心のなかで苦しんでいることが現実化してるのです。

いくら正しいことを言っても、何かで誰かに勝ったとしても、一方的な物事の視点だけで反応している限り、その相手の心の中を理解する事はできないでしょう。だから神はあなたにその両方を経験させてくれているのです。

世界のすべてを自分の手中に収めて自由にできる人になったとしても、その人の未来には、それに見合う精神の成長と現実のバランス責任を求められる出来事が起きてきます。

西暦２０００年を挟んで前後１０年間で「意識が現実化する」という言葉を理解できる人がなぜ増えたのでしょうか？精神世界という心の世界のジャンルが世界中に広がった意味をおわかりになりますか？それは個人意識の探究ではなく、全体意識、集合意識、宇宙意識と呼ばれる意識のエネルギーを顕在化することによって、より大きなエネルギーとなって皆様の本質が望む未来を実現するための神の計らいだったのです。

だからこれからその道を進む人を惑わせる本や言葉や想念を整理して、必要のないものはもう捨て去って下さい。あなたにとってこれから必要なものは、捨てて無くなった分、新しいエネルギーとして気付きを与えてくれることでしょう。

自分の意識がどの位置にいるのかわからない人は、自分の周りにいる人を見てごらんなさい。それがあなたの姿を映した鏡です。その人が、心の中で話している言葉と普段話している言葉が一致しているかをよくご覧さない。そしてその人のしていることを自分の子供に伝えられるか、大切に守りたいか、喜びの道へ進む方法かをもう一度、よく考えてみてください。

あなたたちの心のなかの叫びが聞こえてきます。

「自分を受け入れてほしい、自分を認めてほしい、本当の自分をわかってほしい」

この言葉が聞こえるような素敵な人は、まず相手のすべてを認めてあげて下さい。あなたが許せない部分も含めて、そのすべてを受け入れてあげて下さい。

それが、あなたがしてほしいことなのです。だから、あなたは勇気を持って、出会う全ての人にそうできるような自分になりましょう。

私はあなたと一緒にこの道を歩きます。あなた進みたい道と私の進みたい道のゴールが同じであると私は信じています。愛をいつもあなたに！
2008.02.09 Sat

ご先祖様からのメッセージ

旧暦元旦の昨日、苫小牧の素晴らしい３０代～６０代の女性たちの集り”響き∞ひびき”の定例会に参加した後、懇親を深めている場へさくらぎ笑楽好（しょうがっこう）の四女が２/８に誕生日入籍するということで、夫になる２４歳の青年を連れて挨拶にきてくれました。

初めての出会いなので男たちはお酒を酌み交わし二人のためのアドバイスなどしていると、突然、好調の奥様の体に何かが降りてきてとても辛そうにしています。

こういうときは私の出番ですので奥様のガックリ落ちた左肩に触りながらやさしく浄霊をしはじめました。でもその霊体は苦しがりながらなかなか身体から出ようとしません。こういう時は、何か伝えたい大切なことがある場合が多いのでやさしく何を伝えたいのか、心の中で霊体との会話が始まりました。すると・・・

「もっとやさしくして欲しかった・・・、もっとやさしくして欲しかった・・・、もっと・・・」と言葉を繰り返します。どういう意味かを尋ねてもなかなかわかりやすく説明しないので、この霊体がどこから来ている存在なのかを上のつながりから調べてやっと意味がわかりました。

この霊体の正体は、３代前・７代前・１５代前のこの家に嫁いだ女性たちの代表霊でした。そして伝えたい言葉の意味は、若くして結婚し明日からご主人の姓を名乗る娘さんのこれからを気遣って降りてきたのです。その言葉以外何も言いませんが私に伝えてほしい事はわかりましたのでご主人になる２４歳の男性にこう伝えました。

「この霊はあなたの奥さんになる人のご先祖の女性たちですが、若くして嫁いでとても苦労をしました。明日からあなたの家の姓を名乗ることは、あなたの家系や家風を受け継ぐ〇〇〇家の母になることなので、本人も一生懸命にやりますがどうぞ、夫であるあなたも妻をやさしく守ってあげて下さい。あなたを産んだお母さんは、この新しい奥さんにたくさんの知恵や”しきたり”を

教えることでしょうが、これは男性の知らないこととして女性たちが守り伝える大切なことなので、厳しい言葉や辛い時もありますからどうぞ、そういうときにあなたが彼女を守ってあげて下さいね」と。

それと結婚の式をするかどうかまだ決めていないと聞いていたので、「神社でいいですから、必ず、神様の前で、双方のご先祖様に正式なご挨拶をして結婚のご報告をして下さい。あなたの両家のご先祖たちはいつもあなたたちを見守っていますからね。」とお話ししました。

不思議なもので昼間の「響き∞ひびき」の集まりの女性たちの話もこれからの時代に大切な女性の知恵は何なのか、そして、それをどう守り継ぐのかを話し合っていました。私自身もつい最近、「父性社会」から「母性社会」なる必要性を神々から教わり、心新たにしてそのことを１００％受け止めたばかりでした。新しい母性社会をどう私たちが現実的に創っていくのか、そしてその母性社会に支えられる男の役目とは何なのか？を今、お孫さんがいる素敵な女性たちと一緒に知恵を出し合っている段階です。

「食」という食べ物を見直すことや「性」という命に関わる扱いや本能的な欲求の扱いなど新しい時代の男女のあり方は、どうするといいのかなどが具体的なテーマです。

もともと男性も女性からしか産まれないように、神とあがめられる存在のもともとは女神でした。しかし、男性が力と脅しによって男神を奉り、さらにはもともとが男神であったかのように歴史や宗教の教えのなかで過去の真実を塗り替えています。

沖縄の方たちは現在でもご先祖を崇拝する役目として神を扱う女性たちを大切にしていますが、北海道のアイヌの先祖崇拝も女性の役目として残っています。この意味は命を守り受け継ぐ人たちが女性にしかできないからこそ、大切なものを守るための知恵や力を個人的な感情に振り回されず、地域の知恵として守っている形が年長者のおじーやおばーを大切にすることで伝えられているのでしょう。

現代の地域社会は「隣は誰が住む人ぞ」と短歌に歌われるほど、地域の人のつながりが希薄になったから今だからこそ、それぞれの地域で知恵を守る女性たちが手と取り、互いに守りたい物のために個人の感情を超えた大きな愛を実行へ移す段階だと感じます。

マスコミで連日騒がれている報道が「食」に関わることが多くなっているのも、こういう命を守ることにつながる大切なことだからこそ、女性たちの知恵が地域の人の命を守る事になるのだと話しあっています。食べ物が有り余る今の日本の状態も、ほんの５０年前には想像すらできない時代でした。その記憶を持つ人たちがいるうちに、私たちは知恵を教わらなければいけないと感じます。

命を守る為にもその土地の自然の恵みの土地・水・川・山・木々を守ることが重要ですが、その自然をどう守るかも個人という概念を超えた意識で話し合うことが必要です。「自然を大切に！」と言葉では知っていても、何をどう守るのかをあなたが子供へ伝えられなければ、現状の日本の食物自給率とエネルギー自給率の低さでは何も守ることができないと事実を示しています。

どうか地域のことを本当に守る人たちに出会って下さい。そしてお互いに思っていることを本音で出し合ってその創造性を現実化する行動を始めて下さい。私たちはそのための行動を常に意識しながら地球を守る方法を考えています。

自然の神々（火・水・風・大地）を守る龍神の感謝祈りと、宇宙の神々と対話できる年１回の場、宮古島の八重干瀬（やびじ）祈りの日程が決まりましたのでご案内いたします。この祈りに参加する人たちの出会いが地域の未来を守る意識につながりますことを祈ります。

２００８年　沖縄　龍神祭　＆　八重干瀬祈りのご案内

※２００７年八重干瀬祈りの内容は　こちら　からどうぞ！

2008.02.08 Fri

旧暦　新・十二支祈りとメッセージ

昨夜の旧暦　大晦日・元旦の祈りは「新たなる始り」として２００８年新エネルギーの底が救いあがる祈りとなりました。

地球創生のプロジェクトが教えているとおり、２００３年から始った第一期の創造エネルギーは、2003年・2005年・2007年の大きな祈りと気づきと共に２００７年をもって終焉致しました。

新たな創造と現実の始まりでもある２００８年から２０３０年まで続く第二期「新たなる始まり」のエネルギーは、今年のエネルギー上昇日に合わせて皆様の意識へ気づきをサポートしてくれることでしょう。

２月１１日は、とても細い線のように一瞬で過ぎ去る宇宙エネルギーが皆様の意識の中を通り抜けます。３月１１日は、帯のようなエネルギー帯として大切な気付きを与えてくれます。４月１３日は誰もが気付く世の中の出来事と共に、現実と意識の統合を図らなければいけないことを悟ることでしょう。

この新しい世界へ向けた「新しい始まり」の特徴は、意識の段階的レベルアップに伴い現実で行動や習慣を変えなければ、その反比例エネルギーが自らの身体の不調や家族トラブルなどを通して体感させられるということです。ですから自らの「思いと現実の統合」がこれからの大きなテーマになってきます。

「わかっているんだけど・・・、本当は・・・・・、だって・・・・」という言葉をつぶやく方たちにとっては、自らの思いに対する言い訳や無責任な部分を目の前の現実として突きつけられることになるでしょう。意識エネルギーの上昇の波にうまく乗る方法は、自らの心の奥底から湧き出る素直な自分の思いを言葉や行動に移すことでそのエネルギーを転換できます。

あなたの周りの人たちや社会があなたをどう判断するかが重要なのではなく、あなた自身があなたの本質に素直に生きているかどうかを問われる時代になったということです。意識の逃げ込みの場所にもなっていた精神世界に関わるセラピスト・ヒーラー・チャネラー・メッセンジャーなどサイキックと呼ばれる精神の分野に関わる人たちこそ、その大きな意識覚醒と現実のバランスをあり方を問われる時代に入ります。

節分から無くなった「ありがとうのゼロ」の意味は、「自らへの言い訳」を許すゼロの世界が無くなったことという意味ですから全ての皆様が本質の望む道へ進む準備ができたと言えます。もう私たちには、「いつか・・・」という時がありません。今の自分の気づきを大切にして本当に自らの魂や心の中から湧き出る思いのとおりの素直に生きる自分に変わりましょう。

昨夜の祈りは、私自身もこの１０年間を振り返りその出来事や出会いのすべてに反省とお詫びをしながら、そこから得た気づきや導きに感謝の言葉を捧げました。お詫びを終えて時計を見るとちょうど０：００、そして、新たなる始りの時代には、皆様お一人お一人の気づきの道に、災いなく混乱なく導かされますことを祈りました。すべての人が過去のカルマや苦しみ（嫉妬・執着・ねたみ）に縛られる生き方を終えて、新しい始まりの生き方ができるようにと祈りました。

全宇宙の創造主も龍球王国の十五神の神々も一神づつその役目を唱えながら、皆様の大いなる御心のつながりと大いなる宇宙のつながりが復活し、全ての人々が魂本来の道へ進まれますことを祈りました。

全宇宙の神々の守護とともに、あなた自身が大いなる神の御働きができます道へ進まれる事を祈ります。最後になりましたが、この旧暦の祈りにご賛同くださいました全国の皆様、本当にありがとうございます。
2008.02.07 Thu

新・十二支　始まりの祈り

本日２月６日は旧暦の大晦日にあたり、明日２月７日の旧暦元旦から新しい十二年の干支が始まります。

これまでの十二年間の世の中の出来事や事件、そしてあなた自身とご家族の大きな変化成長のための出来事も亥年の「世改め」の役目と共に終焉し、３００年ぶりの新たな十二年となる始まりエネルギーへ引き継ぐための祈りを捧げたいと思います。

この十二年で経験した出来事や出会いによる大切な気づきに感謝し、新しい十二年は自らの本質が望む道へ進むための十二年となるよう生まれ変わりの儀式として自分の落ち着ける場所でこの祈り合わせにご参加下さいますようお願い致します。

自分自身を振り返りましてもこの十二年間は人生の大きな岐路となる決断を何度もする場面があり、その全ての選択の結果が今の自分と感じてすべての出来事へ感謝と反省の念を持って臨み、また新たな始まりの流れにのれるよう静寂に十二支の切り替わりの時を過ごしたいと思っています。

この祈り時間の設定は皆様ご自身にお任せいたしますが、私の祈り宣言時間をご案内致しますのでご参考にして下さい。

祈り時間　２月６日（水）　午後１１：３７より　２月７日　００：３７　（１時間）

沖縄　みろく大社　比嘉吉丸さんからも本日の祈り合わせのご連絡をいただきましたので、地球の全ての魂の浄化洗礼と共に、新たな魂の輝く十二年になりますことを共に祈りたいと思います。ご参加くださいます全ての皆様に感謝いたします。

2008.02.06 Wed

「無」とゼロの世界

「ゼロが無くなる」意味についてもう少し詳しく考えてみましょう。

もともと数学の世界では「ゼロの発見」以来、それを超える発明がないと言われるほど偉大な発見とされていますが、インドの数学者や世界の宗教学者、神学・哲学・物理学、また中国の老子が説いた「無」においても解釈は多少し違いますが、この現実世界のことを見る視点として大きな気づきになっていることは確かです。

「ゼロの発見」以前に「マイナス（負）の世界」が先に発見されていますが、この現実世界にマイナスという概念を持ち込んことが混沌とした世の中で起きること全ての大きな問題の始まりでもあります。

中学生の頃に考えたテーマですが、この現実世界でなかで「マイナス＝負の世界」とは何のことを示しているのでしょうか？痛い・苦しい・辛いことに加えて現代では「死」も負の世界に入っていますが、誰が最初にそのことをマイナスだと決めたのでしょうか？それは宗教思想からの教えと民衆の欲求願望の結果です。

この世の中で起きることはすべて「有」という物質世界だからその相対にある「無」の意識世界には、極楽や天国と呼ばれる世界があると信じ込ませ、現実にもがき苦しむ人々の意識を別な世界へと移行させたのです。

ある宗教の中には、この現実世界は魂のカルマを浄化する場であり、魂が住む本当の世界は別なところにある。だからこの現実世界こそが、バーチャルな「うつし世」であると説いているところもあります。

重要なことはなぜこの世の中で起きることをプラスとマイナス、正負という相対概念で学ぼうとしたのかという点です。現実世界が相対の世界だと思いこんでいる私たちの概念には、宗教や精神世界の全ての教えにおいて納得してしまう不思議な要素があります。

こういうすべての知識や概念を一度横に置いて、まずこう考えてみてください。

「この世の中で起きることすべては自分が考えたことが投影された世界である」

知識や経験がないことを理由に自分のせいではないという人がいるとしたら、その経験が全くない子供たちも同じだと知ってください。魂には過去世の記憶がしっかり眠っていて意識に大きく影響しているからです。

このことを真実と捉えられる人がどれだけいるかはわかりませんが、子供の頃から現実世界で繰り返されている戦争や飢餓・貧富の差を伝える歴史の意味が理解できないと感じたことは皆さんにもあったと思います。

１０年前、このゼロや無の世界について三年間向かい合った宇宙の創造主はその答えをある映像で見せてくれました。そのシーンはエジプトに似た古い石の宮殿がある時代に、王様が太陽の神や月の神へ祈りを捧げる神官にこれからの時代がどうなるかを神々に尋ねているシーンでした。

そのとき神官は、王様にこう告げました。「これから新しい無という世界が私たちのところへやってきます。その無はすべての物事や意識を一瞬で消し去るとてつもない力を持っています。」王様はその言葉を聞いて驚きのあまり平静を失い嘆きの言葉をつぶやきました。「どうすればいいのだ。どう国民を導けばいいんだ！？」

その当時の神官は実は星や天体の動きからすべての物事がどうなるのかを読み取り、そこからすべてのメッセージを伝えていました。星の動きはすべての意識につながっていて、私たちの意識や現実さえも宇宙全体の動きのなかにあることを知っていたからです。

このシーンが消えて次のシーンはローマ時代の宗教者と神学者数名の会話です。「もうこのゼロの力を隠し通すことは私たちにはできません。どうか国民へ公開して下さい。」「そんなことをしたら国家の安定が保てず反乱が起きるかもしれない。今この世の中の安定のためには隠しとおすことが必要なのだ。いいかわかったな、もしこのことが誰かの口から出たら、お前たち神学者たちは全員打ち首にするからな！」

このときはっきりわかりました。無のエネルギーは相当昔からこの地球に降りようとしていたのに、そのことを人間が恐れて一部の人間の利害で意味を変え隠され続けてきていたのです。しかしインドで発見されたと言われている西暦８５０年のゼロの発見以前に、マイナスの世界が西暦６００年前後に発見されていますので、すべての教えや考え方がそこからきているということです。

子供の頃に不思議だったのは、「なぜこの世の中に苦しみや不幸があるのだろうか？」でした。世界中で嘆き苦しむ人たちもたくさんテレビでみましたが自分で選んで生まれてきたことを知っていた私は、それを不幸だと思うからこそ、永遠に幸せをどこかに求める人たちが多いのだと思いました。「でもそれは誰が決めたの？なぜなの？」といろんな人に問い詰めた記憶もありますが誰もその問いの答えはくれませんでした。みんな同じように信じているんです。私は不幸だと。

世の中で起きることの何かをマイナスに設定すると、必ず、反対の何かがプラスに思えるのは当然です。昔々は数学も、神官が扱う神霊力と合わせて学ぶものでしたが、その枝葉にわかれたものが現代の天文学・物理学・心理学・哲学・宗教学の基礎になっています。

今、私の説明したことが正しいかどうかが重要なのではなく、あなたが考えるすべての考え方の根底に物事をすべて相対の世界で考えていると仮定してみて、それをを一度否定してみた絶対の想念世界の結果が、今思っている事と同じ答えに導けるならあなたの選択はきっと正しい事なのでしょう。

でももし、今の皆さんの概念や理論が全くなかったとして、この世はすべてがプラスの世界だと教えられてきたら、今、あなたが感じることも、未来の子供たちへ教えることも全ての導き方が変わると思いませんか？

私が昔ビジョンで見た「無のエネルギーが降りてくる」ということの本当の意味は、それまでの時代も今と変わらない相対の世界だったからこそ、その概念を一掃して、すべてがプラスであり、そのプラスをさらにプラスにするために私たちは人間として創造を与えられ、さまざまな体験を通してお互いに感じるために肉体を持ったことを知らせるチャンスだったと感じています。

確実に未来は、今あなたが大切にしている「ふつう」はありません。未来には、未来の「ふつう」があるからです。その未来の「ふつう」がこの全てのプラスから学べる時代になることを心から願います。

注意）このプラスは相対のプラスではなく、絶対のプラス、つまり、有そのもの、現実そのもののことを言っています。これこそが意識と現実が一致した世界であり、そこからすべてを学べる世界なのです。マスターはこう言いました。「私は全てであり無である。それを相対というか絶対というかはあなたたち次第だが、その意味は同じです。もっと大切なことに気づいて下さい。」

2008.02.03 Sun

2008.2.2　マスターメッセージ

明日の節分から「ありがとう」の中のゼロが無くなります

〇その意味は？

ありがとうのゼロが無くなることは「絶対」が無くなることを意味します。すべてが完全な相対の世界になるということです。それは意識の世界や見えない世界においても同じです。だから「無」も逃げ込むことも、「真理」を追及することも意味がなくなります。あなたたちが創り上げたこの相対の世界がすべての答えだということです。その責任は私たちもあなたたちと同じくとらなくてはいけない時代に入ります。すべての責任はあなたにあるのです。

〇メッセージの解釈

ありがとうございますの言霊パワーには三つの力があります。

１、マイナスをゼロにする力

２、マイナスをプラスにする力

３、プラスをさらに大きくする力　です。

２０世紀末から今まで多くの人を救った感謝の言葉、「ありがとうございます」ですが、１番のパワーが明日の節分（2/3）から無くなるというメッセージでした。その意味は、もうゼロ意識＝無の世界＝真理の到達が目的ではなくなったということです。

この三次元はもともと相対の世界でしたが、唯一、絶対がある意識の世界においての「無の世界

」が無くなるということは、そこへ向って逃げ込んでいた精神世界のエネルギーやあらゆる宗教真理へ依存していた方たちの意識エネルギーが、すべてこの現実世界へ振り戻されることを意味しています。

これがどういう結果を生み出すことなのか、まだ明確ではありませんが、このメッセージの前置きには、「これから世界の人々が驚くことが次々と起きてきますが、その第一歩としてお伝えします」と言ってきています。

２０世紀から今までたくさんのメッセンジャーの方たちが皆さんの魂の気づきのために時間もお金も労力もつぎ込んで大切なメッセージを伝え続けてきていましたが、あまりに”そのとき”までの時間がないことを伝えています。地球の全ての人間の意識がこの現実世界を創り上げているからこそ、意識の最大の頂点である無の世界につながるパワーを消す時期がきたようです。

「無」に到達した人は皆知っていることですが、「無」はすべての意識の到達点ではなく、そこは通過点だと悟ります。「無」を知り、生きて肉体を持ちつづけ、すべての人と同じ欲を肉体に戻されたとき、その無を知る人は、自らの役割の選択をしなければなりません。

あなたがこれからの生き方をどうするか選択するようにです。どう生きるかを再選択するチャンスが無の世界だったのです。生きている限り、私たちは「有の世界」にいるわけですから、この世に絶対はあり得ないことを受け止めて、他人にもそれを押し付けずに生きていかなければいけないでしょう。

でも私たちの最終目的は明確です。このままの地球の状態ではいけないことを知っているすべての人間が、見ないで済ましている自分の心の世界が現実となり目の前に見せられることでしょう。私自身もまだ混乱していますが、新しい自分を今、宣言します。
2008.02.02 Sat

土地の感謝祈り

旧暦（陰暦）の元旦が２月７日にやってきます。２月６日までに、この一年の感謝と新しい年への感謝をあなたが住んでいる土地へ捧げて下さい。土地へ祈る意味は、先祖へのお詫びと感謝の祈りそのものです。さらに自然神に対する祈りにもつながります。方法はいろいろありますが誰でもできる簡単な方法をご案内いたします。

１、まず家の中なら、仏壇からでも神棚からでもできます。家に奉っているものが何もない方は「西」の方角へ向いて行って下さい。

２、近くの神社やお寺でも結構です。その土地に住んで守ってくれていたご先祖たちと土地神に対する祈りですから、宗派も奉っている神様の種類も全く関係ありません。

３、供物や奉物は、あなたの心でご先祖に対する気持ちの表れとして捧げて下さい（最低限、水、お酒、あら塩）

４、捧げる言葉は、あなたの心から出てくる言葉が一番いいです。

まずご先祖すべてを大切に思っていなかった自分がもしいるなら「お詫び」の言葉を自分の言葉で捧げて下さい。生きている人・死んだ人に関わらず、あなたがこの世に誕生するために関わったすべてのご先祖の男女全てのことを考えてお詫びして下さい。

５、またそのご先祖たちの代表として今日生きていることに感謝する言葉をあなたの心の中から素直に伝えて下さい。「ありがとうございます」を繰り返すだけでもとても大きな感謝の思いが伝わります。

６、次に、そのご先祖様たちのしたことすべてを受け入れてくれた自然界の土地や自然の神様すべての対して、お詫びと感謝の言葉を伝えて下さい。

７、このすべての祈りが終わりましたら、その水・酒・塩を土地へまいて下さい。

先祖や土地から起きる災い事は、家族の因果応報として身体や家族間のトラブル、また事業や人間関係のトラブルになって起こってきます。今、私たちがどんなに正しいことをしたと思ってい

ても自然界全体からすると人間の都合としか思わないことをし続けているからこそ、その土地への感謝と先祖への感謝がすべての祈りの基本となります。「苦しみを助って下さい」とか「病気を治して下さい」などというお願い事はすればするほど、どこかでその代償を支払うことになりますのですべて善悪や価値観を超えて、ただひたすら感謝するという祈りをあなたが行ってみて下さい。

２００８年が「新しい始まり」の年と教えていただいたとおり、今年は大きなことが世界中で起きます。その変化に対応する心の準備も含めて、まずあなたの心をいつも何も言わずに守ってくださっている土地神さまの祈りから始めてください。全ての方のご先祖が喜ぶ生き方を、そして、すべての自然界を守る神々たちが喜ぶ生き方を私たちができるよう祈ります。
2008.02.02 Sat

意識の変化と食べ物

毎日口にしている食べ物が実はその人の意識に大きく影響していて最悪、医者に「精神的異常」と診断されるような人たちが増えています。

その原因が「食事」だということはまだ社会的には認知されていませんが、そのことに気づいて食事の習慣を改めている方も増えています。

キレやすい・我慢できない・言うことをきかないなど集団生活ができない子供たちも増えている反面、「うつ病・自閉症・統合失調症・精神分裂症」などの精神異常的な病名がつく暗い心の子供たちも増えていますが、思春期になって大きな問題をひき起こすまで親はそのことに気がつきません。

リストカット・薬物中毒・自殺未遂に走る強い”うつ”の心を持つ人たちにたくさんお会いしましたが共通するその特徴に、霊的にたくさんの霊が心や体をコントロールしているという事です。

なかには守護霊と思い込んで「私を守ってくれている存在」に実は意識をコントロールされている方もいます。そしてその霊は常に表でコントロールしているのではなく、ご本人の顕在意識の後ろ側に隠れている場合がほとんどです。こういう場合は専門家にご相談下さい。

話を食事に戻しますが、私の食生活と意識の変化をそのままお話しますので参考になることがあれば活用してみてください。
昭和３０年～４０年代まで私の家は、今でいう自給自足・無農薬な食事が毎日でした。食品添加物・着色料が社会問題になった時代もありましたが、そのあとは皆さんと同じような食生活のなか生活しています。

1998年に啓示が降りて地球を救う宣言をしてから自分の食べたい物とは別に、意識の変化が食べ物を選びはじめました。まず肉が食べられなくなりました。特に牛肉は全く駄目です。

豚肉はヒレだけは大丈夫ですがどうやらあのお肉の脂身がいけないようです。次に大好きなラーメンも添加物の多いお店がすぐ分かるようになってきました。

食べたあとに口の中に何かべったり残っているものが膜のようにありますし、後で気分がとても悪くなります。もともと油を含んだ食品は苦手でしたが特に油であげたものや脂分が多いものは身体が受け付けなくなりました。

甘いものも好きですが加工されたファーストフード（特にM社）やスナック菓子を食べると吐き

気がしますが、自然のあんこを使ったものなどは大丈夫なようです。

野菜も中国産の安いものより北海道産の生まれた土地のものを食べると身体が喜んでいるのを感じます。当然、外食するときにどこの店が大丈夫かを探すようになりました。

家庭でも同じですが作っている人の感情や思いがもろに食べ物に入っていて気分が悪くなることがわかりました。同時に繁盛する店と繁盛しない店の理由もわかりました。

浄化中など身体が重く辛くて食事を取れないときに「食べなきゃもたない」と思うことが勘違いだとわかりました。

猫や犬は体調の悪いときにじっと丸まって寝ているだけで何も食べません。体調が不調な時に食べ物を胃に入れると消化するためにエネルギーを使うからです。自分の体に自然に宿っている自己治癒力を回復させるよう意識するようになりました。

大切な事はその病み上がり後に食べるものですが「そば」が一番身体にいいとわかりました。酸性とアルカリ性の真ん中にあって食品の陰陽の真ん中にあるのが、「そば」だからです。

「そば」がいい理由はもうひとつ、土地が肥えた土地ではあまり育ちません。痩せた土地から吸い上げる栄養素は大地の少ないエネルギーを強く吸収する力があるのでエネルギーが強いとわかりました。病み上がりや断食の後には、絶対におそばからです！

自分の食事習慣を見直して何が不足しがちなのかを知ってからは、１００％野菜のサプリも時々使います。「水」も体が喜ぶかどうかでいい水を選べるようになりました。

この食生活を続けてもう１０年になりますがはっきり以前と違うのは、香りに敏感になったことです。意識しただけでその場所の香りや人の香りがしてきます。理由は光の次元を下げた三大要素の香りは、一番高い次元の意識振動数に感応するようになっているからです。

そして食べ物のお店の前で視るとその店が美味しいかどうかもわかるようになりました。初めて入るお店のメニューのなかでどれが一番いおいしいかも見つけることができるようになりました。

本能的な意識の目覚めと現実の食生活が変化するとこういうメリットも出てくるようです。私が絶対にしないことは、コンビニのおにぎりは絶対に温めないことです。栄養学を勉強しているときに、あのレンジの構造と温度による食品の変化を知ってからは食べられなくなりました。

医学の世界でも生活習慣のなかで夜に活動する人の心は暗く自閉的な部分が多いこともわかってきていますが、それと同じくらい大切なことがこの食事の習慣です。

今、お母さんやおばあちゃんたちにお願いしているのは女性が食事を担当しているのでまず誰よりもそのことに意識してほしいということ。テレビやマスコミの情報に踊らされるのではなく、自分が育ったお母さんからの料理や素材の知恵や土地の食べ物を知ること。便利に安く買いものをして不健康になって病院へせっせと通うのも今の時代のおかしな話です。

最後に自分の身体を管理している責任は自分にしか取れません。健康的な美を意識しながら自分の意識と現実の結果は、自分の体重だと知りましょう。意識の自己管理は、まず自分の体重と体調の管理から始めることをお勧めします。
2008.01.31 Thu

他人はいつもあなたが感じたことやわかったことなど目に見えないことを事実として受け止めづらく、その理由や根拠を誰にでもわかるようにと説明しろと立証を求めたがります。

しかしその人が現実と思っている科学的な世界さえ、全てはある理論を繰り返し実験した結果、多くの同じ結果が出たことを人が信じたものが現在の科学や数学、物理学になっています。心理学や哲学、医学においても同様です。

そのすべてに共通する重要な視点は、同じ実験を繰りして同じ結果が多く出るという事実が、最重要であると考えているからです。反対に、まれに起きたり、偶然と言われる数少ない出来事は、ほとんどが社会的事実として認めらません。

私がお伝えしたいことは社会的に認められているものを否定している訳ではなく少数派の意見も重要な事実だということを知ってほしいのです。時代が大きく様変わりすると価値観や正しいと言われてきたことさえ変わってしまいます。そして過去に否定されたものが、今、新しい発見されたように認められていることも多くあるのです。

２１世紀になってＴＶやマスコミで霊や先祖の事、また心理現象や超常現象が受け入れられるようになった背景には、２０世紀末に大きく価値観が崩壊しその苦しみを「癒し」へ皆さんが求めたからでしょう。重要ななことはそれが正しいかどうかではなく、多くの人が望み信じたことが社会の事実となっている事です。

これは人間が動物である証とも言えるでしょう。動物や植物の世界にはそれぞれ個体同士の集合意識が強くつながっていますので、渡り鳥やサバンナを移動する象のように一斉に行動を始めることがよくあります。

その集合意識は種族全体で命を守る大切な方法でもありますが、人間がこの地球に誕生した理由のひとつに、その動物としての集合意識を超えて考える目(心）が望まれているように思えます。

そうでなければ自分が望まないことや全く知らない場所や人のことがビジョンが見えたり、誰かの声が聞こえたり、世界の裏側で起きることがわかったりする人がいる意味が説明できません。

周りの人に受け入れられないものを見たり感じたりする経験を持つ人は、自分でもそのことを理解できずに苦しんで自殺未遂をしたり、自分や誰かを傷つける衝動的行動になりがちですが、そういう人の数が現在、確実に増え続けてきていると実感しています。

その理由として考えられるひとつに、その人の精神的な弱さを指摘されますが、その背景には昔から大切にしてきた「言い伝え」を迷信だと信じなくなった人たちが増えていることもあると思います。

おじいちゃんやおばーちゃんが先祖から教わってきた大切な「言い伝え」を信じない心は、自分が体験してないから信じないというとても利己的な考え方が基本になっているからです。親や教師、また年配者が子供たちへ教える言葉を信じない子供たちが増えている理由もこういうことが影響していると考えられます。

自分に対してや誰かに対して、また社会に対しても自分を納得させたり安心させるための「理由づけ」に使うお金や時間のエネルギーは、自分の心の安心を得られますがそうではなく、もっと何か新しいものを生み出すために使うことはできないでしょうか？

私自身もそのことでたくさん苦しんできたからこそ、そういう人たちと同じ人がたくさんいることを知っています。だからもう自分の癒しではなく大切な真実を周りの人へ伝えて下さい。

「私も同じだよ。あなたと同じで誰にも言えない経験が苦しかったの。でもね、もう大丈夫！一人じゃないから安心して一緒に喜びの道へ進もうね！」と。
2008.01.30 Wed

2008.1.27　宇宙メッセージ

生まれいずることが幸せか不幸か問う者があれば、それは全てが幸せであると伝えましょう。

カルマも因縁も全てがつながりの証として与えられているものです。

あなたの名前さえ、神から与えられたものなのです。だからそのすべてのことを受け入れてすべてを愛に変える方法を導いて下さい。

一番辛いことは逃げることです。

選ぶことはいつでもできるようにしていますが、その時に環境や人から与えられた物に縛られないようにして下さい。

「さだめ」は、与えられているものを選び直す力も与えられているのです。
2008.01.27 Sun

2008.1.26　宇宙メッセージ

伝えたいことは山ほどあれど、あなたの心の受け止める力が大きくなりますことを祈ります。愛は、宇宙ではなくあなたの中にあります、その光を忘れないように。いつもあなたを見守ります、その存在として。

許されることと許されないことがありますが、その全ては人が決めています。宇宙に法律もルールもなく、ただひたすら循環しつづけています。心の中もそうであるといいのに、ただそう思います。

美しいものがある限り希望が無くなることはないでしょう。その美こそが光なのです。与えられていうことにおごらずに大切にその光を与えなさい。自らのために使うためではないのですから、あなたの力も。

与えて与えて与えつくしなさい。そのことをしきったときにこそ、心の光が訪れてくるのです。与えられる時までが学びの時と知りなさい。与えられる人に早くなりなさい、生命をかけて。
2008.01.26 Sat

夢からの伝言

今年に入ってから毎日のようにいろいろな夢をみています。一般的に夢を見る理由は毎日の生活で顕在意識に強く影響されたことをみる場合と、心理的な抑圧やストレスから見ることが多いようですが、私が見る多くの場合、夢の中の映像を通して啓示やメッセージを伝えてくることが多くあります。その夢の本当の意味が理解できたときは、守護存在からの愛のエネルギーにとても深い感動が溢れてくるものです。

最近見た夢は、隣の部屋のドアを開けてみると水が床一面に溢れているところに赤い金魚が２匹だけ、腹這いになってピチピチ跳ねている映像でした。あっ！と思っていると、次の瞬間、１匹の金魚がフナ程度の大きさに変わっていました。不思議に思っていると、さらに今度は何かが自分の足元にからみついているのを感じます。

何だろうと足下を見てみると、子猫が両手から爪を出して必死にしがみついている状態でした。まー、可哀そうねえと思って抱きかかえてよしよししていると、子猫だと思った猫が大人の猫に変身していました。それにもまた驚いていると、その猫が他の動物たちと話をしを始めます。

あれはこうしたほうがいいよとか、これはこうしないほうがいいよとか、周りにある植物や小動物たちにアドバイスしているんです。不思議な猫だなあと思いながらしばらく眺めていてその言葉使いに男性らしさを感じたので、「あなたのお年はいくつなの？」と尋ねると、キリッとした男性の声で顔をこちらに向けて、「この春を迎えますと満６歳になります」と答えてくれました。

あまりに礼儀正しいこの猫に驚いていると、部屋のなかの植物さんや小動物さんたちに気を配って警護するように部屋の中を歩き回り始めました。夢のなかのこのシーンが私に何を使えたいのかを夢の中でも考えていましたが、なかなか明確な答えがわかりません。

目が覚めてこの夢を妻に教えてみると、今、借りているこの古い一軒屋に入ったのがちょうど６年前なのと、そのときに１３年間とてもかわいがっていたオス猫のチョンコが亡くなったので、そのチョンコの魂かもねと話していました。

このオス猫のチョンコは子猫の時に６０００円で妻が買ってきた猫ですが、私のサラリーマン時代から数えて１０回の転勤のたびに一緒に転居を経験してきた猫です。時には、飛行機の荷物となって千葉県にも住んだことがあります。猫は家に慣れ親しむ動物ですので、実は転居が一番ストレスになるのですが、それまでよく長生きして付き合ってくれていました。

引っ越しを終えてちょうど１か月後、このオス猫チョンコの最後を看取ったのも私ですが、亡くなる瞬間、その魂の行き先を見ているとなんと上空の宇宙船に乗って宇宙へ飛んでいってしまった時にはとても驚きました。この猫の魂は、それまでずっと私をサポートしてくれていたことが初めてわかり、それまでのサポートに心から感謝したのを想い出します。

この夢のメッセージがそれだけとは思えなかったので、その日きちんとマスターの絵を通して宇宙のおおもとへ夢の理由を訪ねてみました。するとその答えを聞いて驚きました！！！

「その金魚もフナも猫も、全部、あなたの姿ですよ」というのです。

「え～～・・・」、驚きながらも確かに思い当たることばかりです。

１９９８年の啓示から５年間、毎日のようにボランティアで人の悩みを解決することを一生懸命にやってきて、２００２年にやっとこの土地へ住み本業としてこの仕事をすると決めたとき、知り合いには誰にも教えずに、夫婦二人だけで静かに引っ越してきた事を想い出します。

その理由は、この命もこの魂も全てを生まれてきた役目のために預けると決めたていたので、進む道についてはすべてサポートすると言ってくれた言葉を信じていたからです。だからこそ、それを試すようにそれまでのたくさんの知り合いの方のご縁を一切手放して、全てを神に預ける生き方を選んだのです。

家族にはそのせいでとても苦労をさせてしまいましたが、今、思えば、その「全託（ぜんたく）」して生きることを経験しなければ、目に見えぬ存在を信じ切る今の自分にはなれなかったと思います。

目に見えない存在と幼いことから付き合ってきた私の人生は、霊や神とのやりとりよりも、家族や知り合いに理解されないことのほうが、何倍も苦しい経験をしています。だから同じ経験をされている人は、自分の本当の気持ちを話すことが苦手になってしまいます。

見えない世界を否定して現実に生きると決めたサラリーマン時代や事業をしていた時代さえ今は、懐かしく思えるほど昔のことになりました。もう一度、見えない世界を信じ、自分に与えられた魂の役目に生きることを決めた１９９８年からもう１０年の歳月が経っています。

世の中の見える現実世界も、見えない意識の世界も大きく変化していますが、私も同様にその両方の変化の経験をしています。あの金魚がフナになり、フナが子猫になり、子猫が満６歳になった今、また新たな成長があることを知らせてくれたのを感じています。

これまでたくさんの方たちのサポートと支援のおかげでここまで生きてこれています。これからもたくさんの方のご支援をいただきながら、お互いの魂の役目をお互いに叶え合うことを知っているからこそ、さらなる自らの成長を即されているのを感じます。

まもなく旧暦の元旦（新暦２月７日）ですが霊界に意識のチャンネルがある方は、旧暦を意識して行動して下さい。沖縄では今でも旧暦のカレンダーで祈りや神事が行われていますが、この日本の霊界を守っている大きな土地の役目が沖縄諸島にはあるからです。

２００２年に今の土地へ引っ越すとき、この旧暦の切り替わり前に移動する重要性に気づきましたので旧暦の年末に急いで引っ越して新年を迎えました。２００８年の旧暦の元旦（新暦の２月７日）までにするべきことがある方は、急いでそのことを終えるようにして下さい。

霊界とは、あなたが人間として存在している繋がりのご先祖様も含めて、あらゆる御霊たちがこの現実世界の守護とサポートのために動かれている世界です。だからこそ、私たちはご先祖の大切にしてきた思いや土地の扱いを正しく教えていかなけなければいけません。

人間がこの地球に存在するずっと前から、動物や植物たちがこの大地で生活を営んでいました。その土地を借りて生きていくことしかできない私たち人間は、どんなことがあってもまず、土地へ感謝を捧げなくてはなりません。

ご先祖を大切にすることで人を大切にする精神が伝わり、土地を大切にすることで、自然を大切にする精神が伝わると思っています。どうぞあなた自身の行動からその姿を家族や子供たちへ見せてあげて下さい。

全ての人の生まれ変わりを願います。
2008.01.22 Tue

映画　ＥＡＲＴＨ　（地球）

地球環境を伝える映画は、昨年公開された「不都合な真実」が話題になりましたが１０年以上も前に自主上映された龍村仁監督による地球交響曲ガイアシンフォニーでも大切なメッセージが伝えられています。今回公開された「ＥＡＲTH（地球）」は自然界における大きな生命循環のなかで生きる動物たちの姿がとても印象的でした。

映画のなかの動物たちを見ながら感じたことは人間も、この大自然の循環のなかでしか生きられない動物であることを強く感じます。人間がどれだけ多くの発明や発展を遂げたとしてもこの自然の循環摂理のなかで生かされている事を学ぶ機会を得ることはとても重要です。そのことを知っていてか小学生の子供を連れて見に来ていたお母さんの姿がとても印象的でした。この映画で伝える事実とは・・

・北極付近の樹林帯の木々は実に地球上の樹木の３分の１の面積を所有する

・アマゾンの原生林は地球上の３分の１の酸素を産み出す

・サバンナに流れる川の水は遠く離れた山々から溶け出す氷の水

・その水は地球の３分の２を占める海水が太陽熱で暖められた水蒸気

・地球の砂漠化の象徴ともいえるカラハリ砂漠

そして世界中にすばらしい寒暖の四季がある理由は大昔、地球に衝突した大きな隕石によるもので、そのとき太陽に向かって２３．５℃　地軸が傾いたことが原因だと伝えています。

宇宙に存在する無限とも思える星の営みのおかげでこの地球は水に溢れ、動物・植物が溢れるすばらしい星だと思っていましたが、急激な人口増と消費拡大が進んでいることで、地球に残されいる自然の循環が急速に破壊されています。

２００８年現在感じている地球の問題点は、

１、海の汚染による水の汚染（安全な飲み水の減少）

２、森林伐採による酸素不足

３、山や地形の形状変更による風の流れの変化（温度の上昇）

そしてこの破壊スピードは確実に加速しています。原因は中国やインドのめざましい経済発展も大きな原因です。中国の１６億人は今、日本の３０年前と同じように消費の拡大と豊かになることを全員が望んでいます。日本の１６倍のスピードで社会問題や環境問題、海の汚染・水質汚染を引き起こしています。

そしてその原因のひとつに文明が進化した人間の三大欲求である「過食」によるものが大きいと感じています。お正月のＴＶで私が一番苦手な番組は「大食いコンテスト」です。豊かさの象徴なのかもしれませんが、飢餓や貧困にあえぎ苦しむ国の人たちには絶対に見せられない番組ですし、日本人としてその説明が私はできません。

過食による太り過ぎや健康破壊も増えていますが、その対策さえも健康という言葉で皆さんの欲求を誘うようビジネスとして拡大化しています。過食が原因と知りながら「減食」へ向かおうとしない理由は、地球が汚れていることを知っていても自分の生活を変えない人たちと同じです。

確かに日本の５０年前は、とても貧乏でした。食べ物も少なく流通経済という言葉さえない質素で貧しい生活でした。私も自給自足に近い子どもの頃の経験がありますが、そのおかげで災害になったときにどうやって命を守るのかは身についています。

地域的な食文化の違いを横においていえば肉食動物であった私たちが、農耕民族になって魚や穀物で生きられるように進化したはずです。なのになぜ今、肉や高級な食材をを食べることが豊かさの象徴になっているのでしょう？進化した民族が四つ足動物と同じものを食べることは、アフリカのライオンの餌を奪うように一気に食材の不足が問題になる時代が来ることでしょう。人間は確実に進化しています。そしてその結果を問われています。

皆さんにやってほしいことがあります。まず家族の食事が過食・加糖になっていないかチェックしてみて下さい。味噌汁などの大豆食品を食事に多く取り入れることで細胞を作るアミノ酸を生成しますし、肉を食べるのと同じくらいの素晴らしい栄養バランスがあります。豆類は、病気にもなりづらいとてもすばらしい健康食品なのです。

そして天変地異の災害が起きた時に身を守る方法を身に付けて下さい。

１、山から湧き出る飲める水がどこにあるかを知っておいてください。

２、どうやって荒れた自然界で食べられるものを見つけ出すかもです。

これは命と食を担当する女性たちの地球の母としての役目です。

もう昨年と同じことを言いながら何も行動を変えないですむ時代ではありません。地球の石油が無くなる時期も早まっていますし、バイオ燃料にも限界があることを気づいているのなら、消費を見直すことを今、じっくり考えてみましょう。あなたの日々の生活の見直しが明日の地球を救います。

映画　ＥＡＲＴＨ　公開中

2008.01.19 Sat

2008年　エネルギー上昇メッセージ

４月１２日までに全ての整いを終えて準備しなさい。4月１３日から新しい宇宙風が流れ込みます。そのキッカケとなる３月１１日、２月１１日のタイミングを知らせなさい。２月２２日はもともとあるエネルギーが増大する日です。４月１３日からの新しい風は新しいものを産み出す知恵や気づき・悟りが与えられます。その意味が「始まり」なのです。

５月１８日の岩木山の祈りは、その頂点を超えてこの地球に降ろす日として決めたのです。その日の始まりの合図を知らせなさい。５月１８日より現実世界が大きく動きます。その動きに戸惑うことなく、新しい始まりのあなたを動き始めて下さい。

（解説）

４月１３日にすべての意識の世界が変革するような新しい宇宙エネルギーがこの地球に流れ込みます。そのための準備と段階的なシフトアップのために２月１１日、３月１１日にもエネルギーの上昇があります。その日までに自分の意識と現実世界のエネルギーを整える準備してください。この意識の変革に準備が整わない方は、自己葛藤と混乱エネルギーが自らの心の中で始まることでしょう。その混乱の原因は他にあるのではなく、自らの意識と現実の不一致が原因ですのでどうぞ素直に自分の魂の声を聞き、その整いの人生へ向かうことを決めて下さい。

自らの意識と現実を統合させる最大の方法は、思いと言動・行動を一致させることです。思ったことはすべてやり切る。自分に嘘をつかない。人にも嘘をつかない。言葉にしたことに責任を持つこと。自分の行動に責任を持つ。そして、自らが創造するすべての世界に責任をもつことです。

２月２２日はこの現実世界を守っているエネルギーが増幅しますので、どういう意味で現実を守っているのかを自らに問う日となりますので、早めに本来の自分のあり方を自分に問いかけてください。その気づきこそ、自らが真理に向かう道となることでしょう。

５月１８日の日に青森県弘前市の岩木山登山神事を行うことは、昨年末から決定していたことでした。この日から現実世界を変える大きなエネルギーが宇宙から降りてきます。その意味をこう

いう形で教えていただいたことにより、皆さんへ公開する神事になりました。全ての魂のおおもとへつながる祖神祖霊の祈りとして５月１８日は岩木山登山を行いますのでご一緒に登山神事に参加を希望されます方は吉岡までメールでご連絡下さい。詳細が決まり次第、一般公開いたします。

今年のキーワードは、「始まり」です。

大いなる始まり、宇宙の始まり、新しい自分の始まり。この一年は、あなた自身の魂が本来望んできる方向へ進むための大切な始まりの年になります。あなたの周りにいらっしゃる大切な方たちにもどうぞこのメッセージをお伝えください。すべての方が望む地球の未来を私たちの手で実現させるために、すべての守護、全ての神々、すべてのご先祖がその体制を整えて下さっています。あなたの心がその一歩を現実世界で歩み始めることをいつも祈っております。
2008.01.14 Mon

1月**11**日の気づき

49歳の誕生日の翌日が１月１１日直列エネルギーの日でしたが、エネルギー波動が高いこの日に皆さんはどんな気づきがありましたか？

私は年明け後からすぐに身体が重くなり久しぶりに生まれ変わりのエネルギーを感じていましたので、静かにその入れ替わりの準備をしていました。エネルギーが高い日の前後に理由がわからず身体が急に重くなったり、気分が重くなるときには理由があります。こういう場合、病気ではないのでお医者さんや薬では治りません。そういう時はまず自分が変化することを受け入れることが重要です。

風邪や熱などが出て浄化作用を起こすときもありますが、一番大事なことは新しい自分へ変化することに抵抗しないことです。過去の自分にこだわったりその原因を知るためにエネルギーを使いすぎたりせずに、素直に自分の心や身体と対話して生活することです。

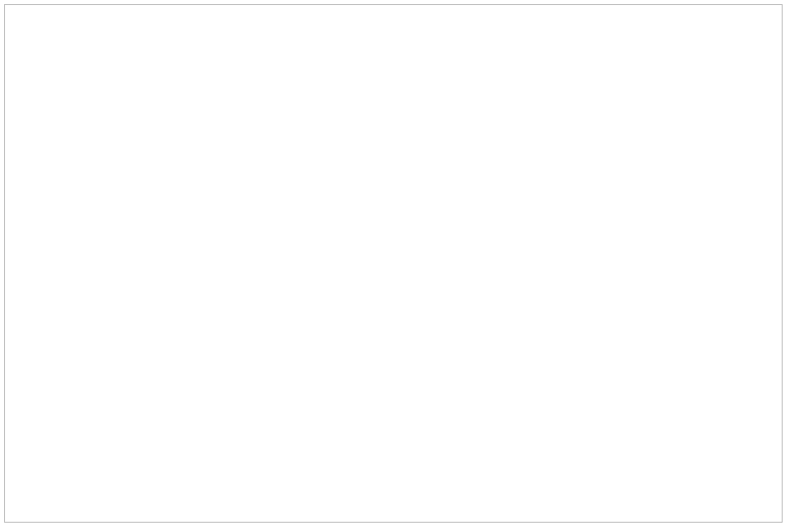
こういう宇宙循環エネルギーの変化の流れに逆らうと感情の乱れや葛藤が生まれます。理由が分からず葛藤していると自分だけではなく周りの人にも迷惑をかけますので、変化のエネルギーには流れに身を任せて新しい自分を受け入れることを学んで下さい。誕生日やご先祖を大切にする日、また宇宙循環エネルギーの波動が強い日とはそういう日なのです。

私の1月11日は、新しい方の初級講座スタートの初日になりました。その方が111の重要性を感じて選んだ日は、ステキな気づきの日になりました。１０年前に霊視透視の力が再び戻ってからは、初めてお会いした人でも瞬間的に相手の心や体の状態とチャクラの解放レベルを読み取ることができるようになっていました。当時はその力を使って無料で病気の方の原因や対応をアドバイスしていました。現在ではスピリチュアルセッションのなかで行っていますが、今回のように、現在の状態を文字とイラストで説明しながらチャクラの状態も数字で伝えると相手の方がとても喜んでくれることを知りました。その時の守護霊守護神も明らかにしています。

また私のスピリチュアル講座を受講してくださったすばらしい講座生の方々の成長と変化は周囲の人たちも驚くほどすばらしい結果が現れていますが、その変化を受講した方自身にもわかりやすく説明できる方法がないものかと以前から思案していたところでした。初級講座の場合、卒業するまでに約半年以上かかりますので半年前の自分の状態を明確に表したものが残っているということは自分自身でその変化を確認できるのでとてもいい資料だと思います。さらに昨夜は、このことを講座になかで新しい技術として指導することも検討していますし、新しいセッションにすることを決めました。皆様へ公開する日をどうぞお楽しみに！

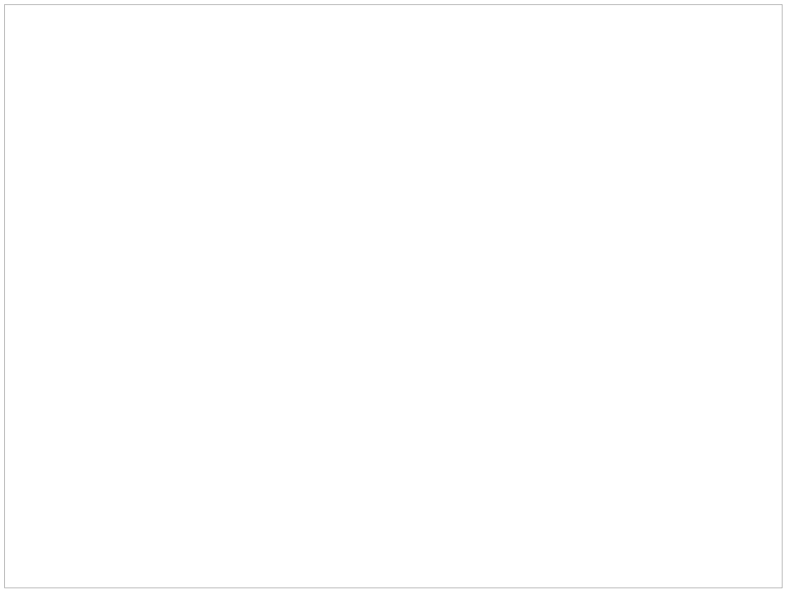
この機会ですからチャクラについて少しだけお話します。最近、不のエネルギー解放ばかりを望む方が多い傾向からチャクラの解放のセッションをしているセラピストさんやヒーラーさんが多いようですが、これだけはご注意ください。人間の中にある７つのチャクラはエネルギーの出入り口として７つ全てのチャクラが相互に深く関わっているために安易にひとつだけ解放すると逆に混乱する場合があります。チャクラのセッションをする方も受ける方もそのことを十分理解して行って下さい。

セルフケア用品としてお勧めしているのは、植物から抽出した色で作られたチャクラカラーオイルです。東洋と西洋の療法や知識がとても豊富な専門家の方に依頼して開発したこのカラーオイルは、クライスターを極限まで細かくし植物から抽出した色によって身体の調和を整える力があります。乾燥肌になりやすいこの時期はお風呂上がりのメンテナンスに特に役立ちます。このオイルの特徴はベトつかず肌にすぐ吸収するくらいクライスターが細かいことです。身体が重い時や不のエネルギーを感じたときなどは特にお勧めします。チャクラに合わせた香りの変更とボトルの形状変更によって吹き出し口も使いやすく改良しましたのでどうぞお試し下さい。皆様の健康と喜びの日々が溢れますことをいつも祈っております。



2008.01.12 Sat

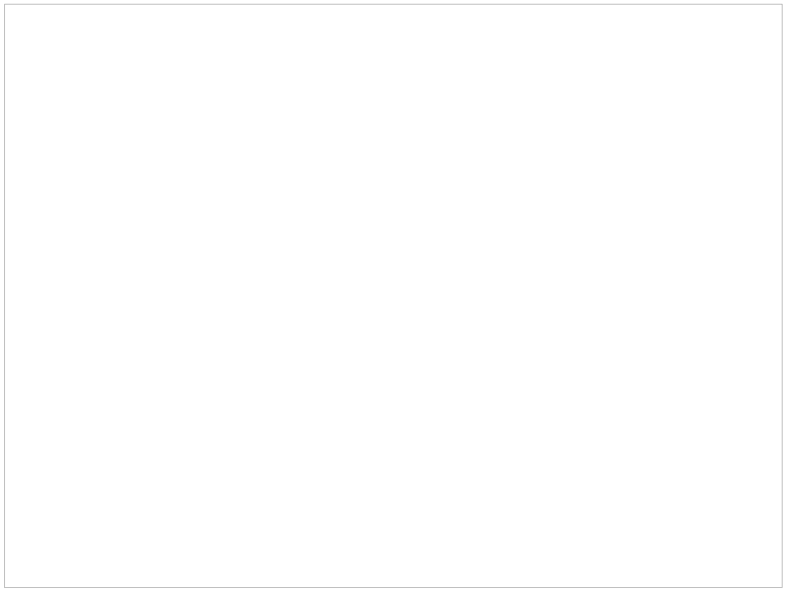
全国の元旦宣言祈り



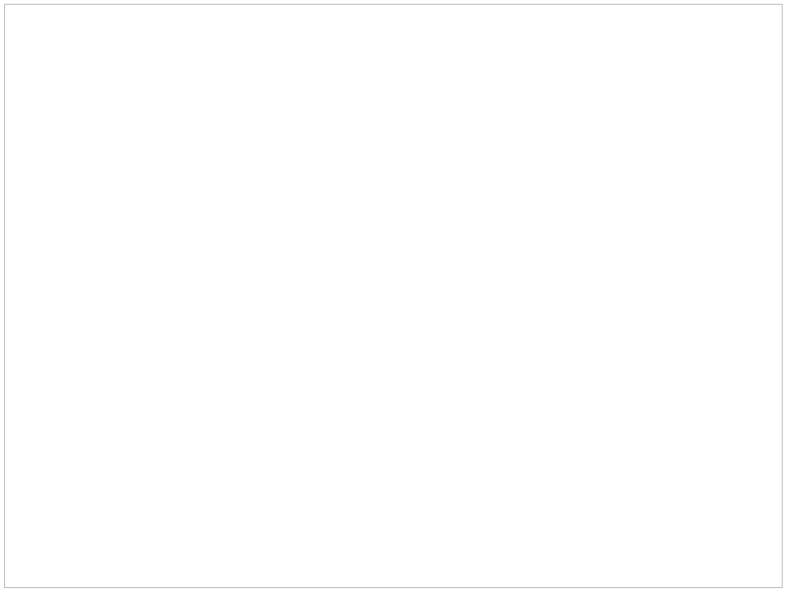
全国で日の出の宣言祈りに参加された方々からたくさんの写真と感動の体験報告をいただいています。新しい年の始まりに新しい気持ちで早起きして宣言祈りをされた方は、はっきり今年の時の変化を心で感じとることができることでしょう。時の流れは人の心と同じように常に変化していますが、その変化があなたの望まない結果であったとしても、人間全体の集合意識の流れに逆らうことはできません。だからこそ明日の未来を変えるのは政治家でも有名な経済界のトップでもなく、あなた自身の宣言と日々の行動なのです。

誰かのために宣言するのではなく自らの明日のために宣言することはとても重要なことです。日本人は「不言実行」を美徳する文化民族と言われていましたが、これだけ欧米的な文化を取り入れていてはその意味さえ理解できない人も今は多いことでしょう。1950年代からの西洋文化の導

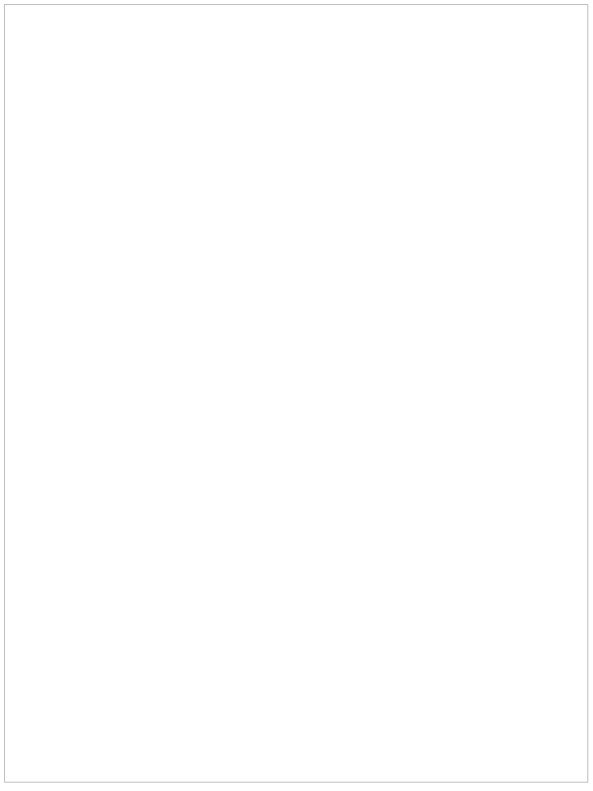
入で一番変化したのがこの「個人」という概念を優先した文化の導入でしょう。その結果、自己主張や有限実行を当然とする文化になりつつありますが、これも皆さんが望んだ結果です。

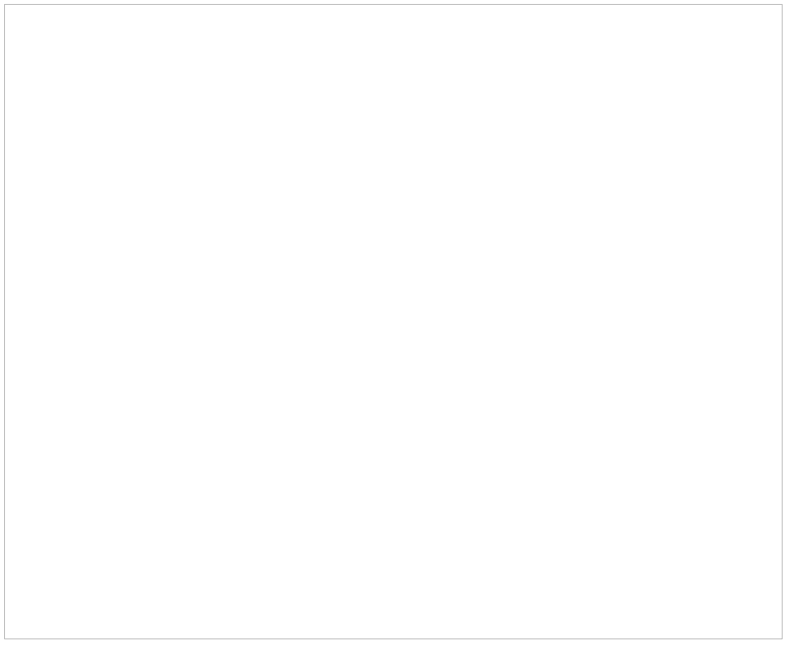


現在の日本は、西洋文化と東洋文化の板挟みの間で新しい日本の文化を模索している状態だと感じています。本来の日本人らしさとは何か？日本の女性らしさや男性らしさは何かを今、問われているのです。また貨幣経済のメリットと弊害についても問われています。自然破壊は、皆さんが望んだことの結果として起きていることなのです。その全ての責任を問うように私たち一人一人の価値観や願望の結果として現実に現れてきます。



私たち日本人が大切に守らなければいけない精神文化とは何なのかをもし外国の人に問われ時、あなたはどう答えるでしょう？それが私たちをが守るべきものなのかをもう一度自分に問い正してみてください。次の時代へ継承すべきものは何か？日本一人一人の精神性が今、まさに問われている時代なのです。

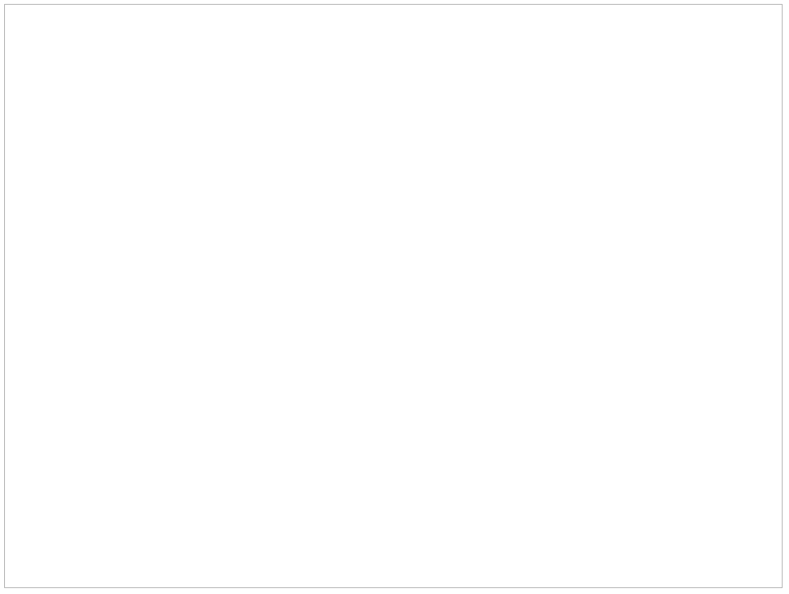




2008.01.07 Mon

2008元旦祈り

明けましておめでとうございます。元旦日の出祈りにご参加いただきました皆様本当にありがとうございます。祈りの最中ずっと宇宙メッセージが降りてきてこれから始まる国改め・世改め・人改めのことを教えてくれました。私が祈った場所は北海道の西にあたる小樽の海岸より東へ向かって日の出祈りをしました。これで沖縄冬至祈りの北南、今日の東西を祈ることで四方祈りとなり、最後に中心に収めるようにというメッセージでしたので札幌発祥の地である琴似神社の土地神様へ中心の納め参拝をしました。「新しい始まり」と共に皆様の素晴らしい一年が始まりましたことを心からお祝い申し上げます。



2008.01.01 Tue

新年の祈り　２

元旦の日の出　宣言祈りにご参加の皆様へ

日の出の祈りにご賛同ご参加ありがとうございます。

宣言祈りを終えましたらぜひ、その場所の日の出の写真とともに祈りの感想をお知らせ下さい。
後日このブログでご紹介いたします。

吉岡は、6：49～7：34まで新宇宙のエネルギーを日の出と共に龍球王国（地球）全体へ降ろす祈りを捧げたいと思います。ありがとうございます。
2007.12.31 Mon

新年の祈り

あと１日でグレゴリオ暦２００８年の新しい時のドアが開きます。沖縄冬至神事のメッセージ『新しい始まり』とも言えましょう。

２００７年は、天の岩戸（地球の核）神事から自然神神事、そして天孫降臨・オノコロ神事のあと宇宙のカルマを清算する宇宙神事をこの日本の地で行いましたが２００８年以降は、さらなる『意識と現実の融合』が大きなテーマだと宇宙からメッセージが届いています。

人間は、自らが創造した神と悪魔の責任を問われるかのように長い魂の学びの時間を今まで費やしてきました。その問いの苦しみの原因や自己存在意味を問うことよりもっと大切な「今、私たちはなぜ生かされているのか？」を心から理解し実践する感謝行動が未来を変えることを理解してください。

地球上のすべての人間が望むものは同じであり、それを実現させるのは私たち一人一人の言動と行動です。そのことを意識している人は、自らの魂に内在する神と共にあることを日々感じていることでしょう。

新しい自分を奮い立たせるためにも２００８年１月１日の日の出に、皆さんと「宣言祈り」を行いたいと思います。本当に自分が望むことを自分で実現するという完全完結の神と人が一致するための宣言祈りです。人生で起きる全ての結果は自分の選択であり、だからこそ一切、他人や社会を否定・非難しない生き方を選択しましょう。

愛を実践する人間としての証を　２００８年の元旦の宣言祈り　から始めて下さい。そしてあなたの神性が喜ぶ生き方をぜひ実践して下さい。一人でも多くの方が「生かされていることの恩返し人生」を歩めるよう祈ります。

２００８年元旦　日の出宣言祈り

時間・方角：２００８年１月１日　日の出の太陽の出る東の方角

対象時間：日本の東端　北海道納沙布岬日の出時刻　am６：49 ～ 日本の西端　与那国西崎日の出時刻　am 7:34　で自分ができる時間

場所：日の出の瞬間にあなたが祈りたい場所

宣言内容：　私は　〇〇〇〇〇　ます

神のご加護と感謝が皆様と共にありますことを祈ります
2007.12.30 Sun

神との対話　**2007.12.17**

「わたしの気づくことは特別なことなのでしょうか？」

「いいえ」

「ではなぜ、私にそのことを気づかせてくれるのでしょうか？」

「必要だからです」

「他にもたくさん同じメッセージを受け取る方がいるのに、なぜ、私に？」

「誰が行動を起こすかわからないからです」

「みんなこのメッセージを受け取っても行動しないのですか？」

「今までたくさんの魂へこのメッセージを送り届けました。しかし行動を起こす人がとても少ないのです」

「このメッセージを受け取っても行動したくならないのですか？」

「そうです。ほとんどの人が自分のためではなく、誰かのために動こうと考えて一歩踏み出せていません。そうではなく、本当は自分のために動いてほしいのです」

「自分のために？」

「自分を救うことができなければ、人も地球も宇宙も救うことはできません。あなた自身が宇宙の一部だからです」

「宇宙の一部・・・地球の一部・・・・人間の一部・・・・・・・、それは私が人間の代表ということですか！？」

「そうです、このメッセージを受け取った人は人間の代表なのです。だからこそ、自分を救ってください。それが、あなたの生まれてきた意味であり役目です」

※この内容は1998年に私自身が宇宙の神と対話した内容です。そして今、このブログを読まれている皆さんに宇宙メッセージをそのまま伝えてくださいと降りてきていますので、あなたに宇

宙メッセージを直接お届けします。

地球を救いなさい

2007.12.17 Mon

冬至祈り　沖縄本島**2007**

日中気温氷点下の日が続く札幌から先週、気温２５℃の真夏日になった沖縄本島へ、本年最後の神事として12/21-12/25まで出かけます。

・12月22日　冬至のご神事　山与那覇岳登山　主催：比嘉吉丸さん

・12月23日　辺戸岬神事・安須森神事　主催：比嘉吉丸さん

・12月24日　龍球王国神事・会議

沖縄では、冬至と夏至はエネルギーが強い日なのでご神事を行うことが多いと聞いています。今年の亥年エネルギーのおかげで達成できた数々の大きなご神事は、全国の皆様のご支援ご協力のおかげと感じていますので経験させていただいたすべての出来事の感謝の祈りをさせていただきます。

2008年の子（ねずみ）年は、３００年ぶりの子年とも聞いておりますし、新たな事始め・世始めのため、納るべきことは納める場所へ納めることの重要性も感じています。

２００８年宇宙エネルギーが完全に切り替わる12月25日を沖縄の地で迎えますので、現実的にも新しい日本の始まりが沖縄からだと感じています。

この一年体験したことや出会った皆様、また、見送ったたくさんの御霊たちと守護してくださった神々に心からのお礼祈りを捧げさせていただきます。　　愛・無限感謝

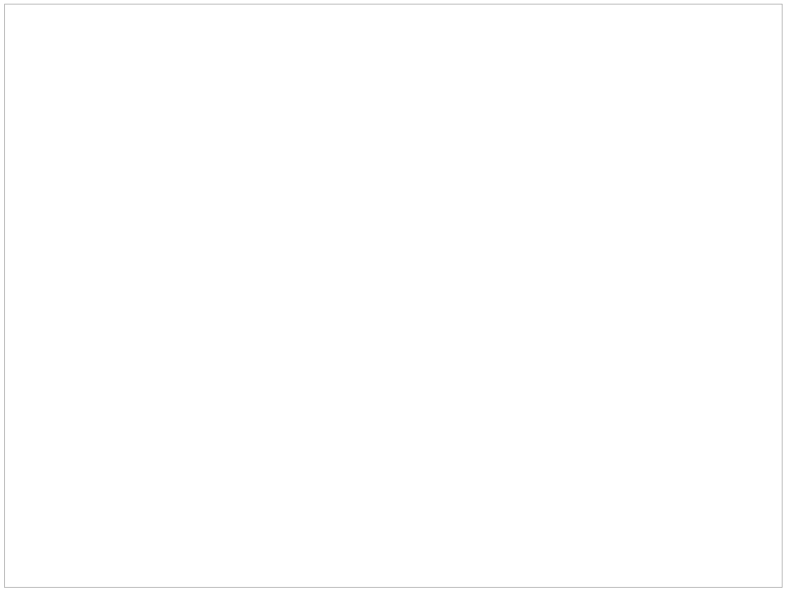
2007.12.17 Mon

アカシックレコード・フォローワーク

昨日、第２回目のアカシックレコードフォローワークを苫小牧市で行いました。このワークはアカシックレコードのセッションを受講された方たちを対象として行いますが、内容は宇宙全体の歴史と概要を説明しながら、私たちがこの地球に生まれた意味と具体的に今後、何をしたらいいのかを導くことを目的にしたワークになっています。

これからアカシックレコードを受講される方には、宇宙全体の情報を公開していく予定ですし、さらに、個人個人の情報交換をさらに深めて地球全体の意識の向上と新しい創造をすすめていきますので、どうぞお楽しみに！

明日１２月１５日～２４日の「２００８年エネルギー」の波に一人でも多くの方が乗り遅れることなく変化上昇されることを心より祈ります。



2007.12.14 Fri

12/12/12/12

本日は、１２月１２日１２時１２分という１２の連続の瞬間があります。

数字が連続するときに空間エネルギーや意識エネルギー、また宇宙エネルギーなどが強くなることを知っている方は、ほんの一瞬でも、真実の祈りを心のなかで捧げることでしょう。大切なことは、その瞬間を見逃さないことです。
2007.12.12 Wed

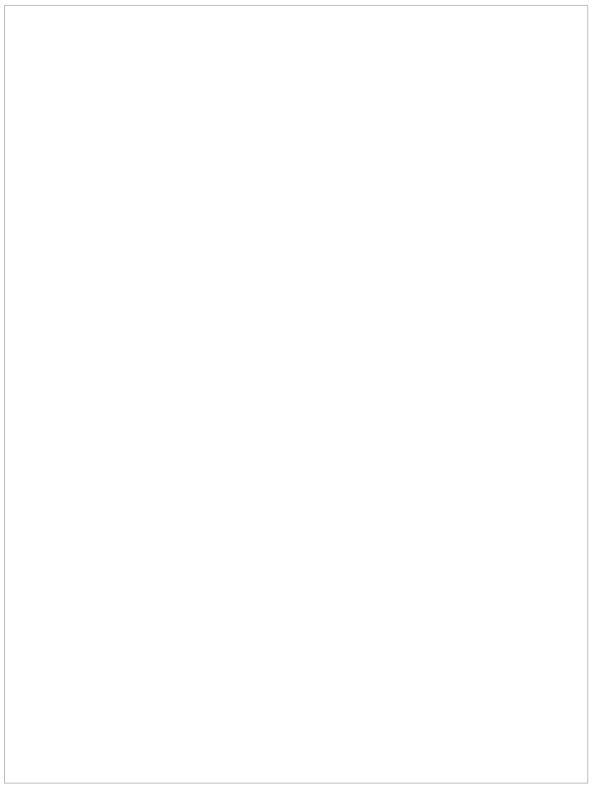
水の神様

12/1、然別湖に奉納いたしました日本中の水の神様をご紹介いたします。

今回、納めさせていただいた水の神様は、２００７年の一年間の間に、その場所へ直接、足を運び、天から場所を教えていただいた神の水です。全国から祈りに参加して下さる方のなかには、直接、水の神様から「ひしゃく」をいただく方や、「滝」をいただく方もいましたが、守護神に水の神様が入っている女性のブログから、その全てを紹介していただきましょう。

宇宙や地球における水の本当の意味を理解できれば、私たち人間の体が、ほとんど「水」である本当の意味を理解することもできるでしょう。地球を汚すことと、あなた自身の体を汚すことは、同じなのです。あなたが神意識に近付くほど気づくように、そのことを知らない方たちをどう導くかも、あなたの責任と役目なのです。

いずれ、「水の奪い合い」が地球上で始まります。また、世界で一番、水を輸入している国が、日本であるという事実も知って下さい。あなたの住んでいる土地のまわりには、いま、どれくらい飲める水があるのでしょうか？それが、あなたを守る「命のみなもと」なのです。



2007.12.07 Fri

2008年の宇宙エネルギー

12/1の龍神祭の祈りを終え、正式に、２００８年の宇宙エネルギーが地球へ流れ込んできています。エネルギーの流れを誰よりも早く敏感に感じとる方たちにとっては、少し意識の混乱が起きているかもしれませんが、それも新しい自分になるための準備段階に入ったと理解して下さい。

人間の意識に大きく影響している”時のエネルギー”は、旧暦・新暦・マヤ暦・星座などたくさんのチャンネルがありますが、現在、地球上で、最も多くの方たちが、新暦（グレゴリオ暦）に併せて現実で動いているために、意識エネルギーの変化のタイミングも同じ動きになっています。

この”２００８エネルギー”の動きは、１２/１４までゆっくりと上昇しながら、１２/１５～１２/２４まで１０日間、濃密なエネルギーとなって、皆様の意識の中に働きかけをしてきます。この期間に重要なことは、今年の自分の経験から来年に必要なものだけを残し、新しい年の自分の目標を明確にして宇宙へ宣言することです。

このエネルギーの変化を感じられない方たちは、元旦になってから新年の目標を宣言しますが、新年の目標が達成しない最大の理由は、この宇宙エネルギーの流れに乗って宣言をしないために、宇宙の大調和エネルギーを使うことができないことが原因です。

”新年”を迎えるまでにすることの意味は、今年の自分の経験したことに感謝して過去の思いを手放し、不要な物を処分したりして、新しい自分になるための準備をする期間です。それが大掃除だったり、すす祓いだったり、土地や習慣によってやることは違いますが、それぞれの心の整理とともに、現実の整理をする期間なのです。

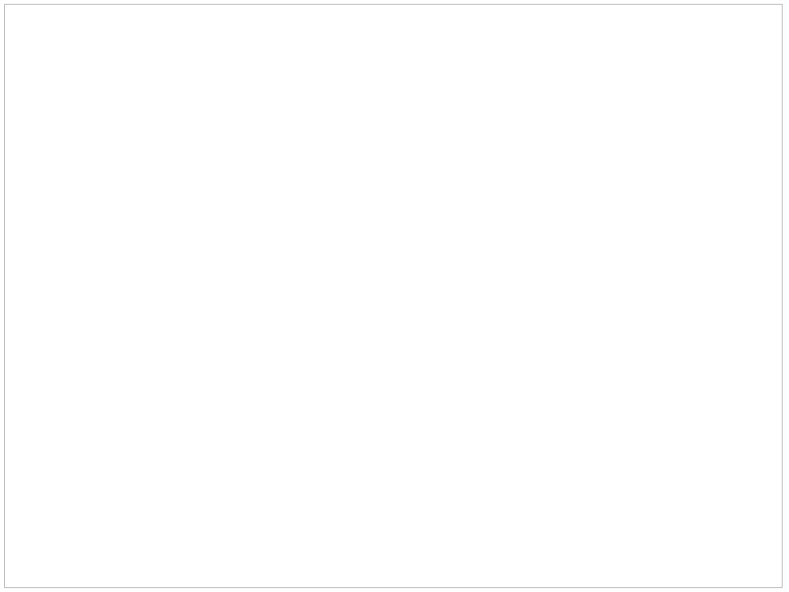
中国の旧暦のお正月の前後が盛大な理由も、神道の大祓いの祈りが重要なのも同じ理由です。”心新たに生きる”とは、自らの願望や宣言を実現するために、心を質素にすることだと感じています。私たち人間が何のために生かされているのか、その問いかけをしてみることも重要でしょう。

自分に何ができるかわからないからこそ、今、できることを一生懸命に生きることでしか、私たちは自らの意図を示すことはできません。

地球創生1000年プロジェクトで啓示された　２００８年への歩み　も、一歩づつ進んでいるかと自分に問いかけをしています。「今を一生懸命に生きる」、私はそう願い、来年の自分を見つめています。

2007.12.04 Tue

12/1 龍神祭



２００７年１２月１日の龍神祭へ祈り合わせいただいた全国の皆様に心から感謝申し上げます。標高８０３ｍの山の上にあるこの然別湖には、アイヌ民族の命を救った神の魚（オショロコマ）が生息することから、自然への感謝の祈りが今でも麓の鹿追町で、白蛇姫祭りとして続いています。

外気温氷点下１０度弱の太陽もまだ上がらない午前６：３０、神殿の外に準備された特別な場所に、龍球王国を守る十五神の神々の降臨儀式を行ってから、自然神祈りが始まりました。

ご神殿に並べられたお水は、この１年間、日本中で神事を共にしてくれた仲間たちと全国に足を運び、その土地の神様から許可を得ていただいたお水です。水の神様から、「水をつないでください」とメッセージを受け取ってからは、いただいた水をすべてつなぎあわせて、次の祈りの場

へ持参していました。

この水のつなぎをしながらわかったことは、自然界の循環では、水は、上から下へしか流れることができないからこそ、私たち人間が、山の上や水の源流までその水というエネルギーを運び繋ぎ、感謝の祈りを捧げることが必要だったのです。

私たち人間は、自然界にあるものを、いつでも、永遠にあると勘違いし、水や空気、大地や風のすべてのバランスを今も、壊し続けています。そのせいで、地球上に自然災害が多く起きていることさえ、悲しみに嘆くばかりで、自分たちのしている行動を変えようとはしません。

地球全体では、今、祈りや水の浄化活動、植樹や山林の復元をする人たちよりも、数百倍のスピードで、水や大気を汚し、木と山を切り刻み、大地のエネルギーを抜き取り続けている人間のほうが多いのが現状です。

これは、あなた自身が手を下していないとしても、私たち”人間”が行っていることに変わりはありません。その責任が、私たちや未来を背負う子供たちに戻ってくることは、誰が考えてもわかる事ですが、自分たちが望んだ大きな”欲求のエネルギー”の方向を変えることができずに、私たちは悩んでいます。

この地球で起きることは、私たち人間がその責任を取らされます。

地球上の人間の誰かが望んだ夢や希望という「創造」の結果が、今の地球の現状です。私たちはその「責任」を取ることから逃げることはできません。

意識の世界においても、現実の世界においても、すべてにおいて創造責任　があることを覚えておいて下さい。それが神と同じ”創造という力”を与えられた人間が神である証です。

水の神様からいただいたメッセージは、「もうこの地球の水は、汚れている」です。

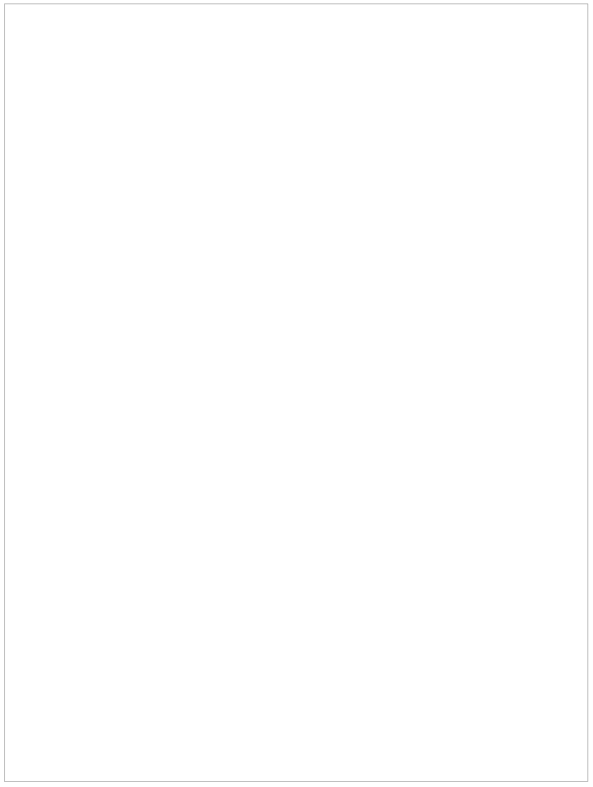
だからこそ、今回の龍神祭に参加してくださった皆様一人一人が、ご神殿の神々の前で、自分が今後、どう生きるかを宣言して下さいました。その力強い宣言を見守りますと神の言葉をいただいたことは、これから私たちが行動で示して現実を変えてこそ、初めて、祈りの証となるのでしょう。

今回、水の神、風の神、大地の神、火の神へ代表して祈りを捧げた方には、直接、メッセージが

降り、肉体を持つ自然神の神人として、人を導き、行動を起こすことが求められるメッセージがおりました。毎日のように降りてくるメッセージと向き合い、自分の中で完全にメッセージの意味を理解し、その言葉を発する責任を伴う行動ができるよう全員が努力していますので、そのメッセージの公開をお待ちください。

人間本来の祈りは、一切のお願いをせず、ただ生きていることへの感謝の祈りが基本でした。この日々の感謝の祈りは、祈れば祈るほど神に近付き、その神意識によって、行動を変える気づきのメッセージをいただくことがあります。

”感謝の祈り”と神意識によって宣言する場の龍神祭に参加された皆様が、大いなる神々に守られている証は、前夜祭のオーブや12/1の光に現れています。私たちは、いつも、自然の神々に、見つめられています。どうぞ、あなたも力をお貸しください。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございます。



2007.12.03 Mon

2007.11.27　宇宙メッセージ

いつもありがとうございます。

あなたがどんな生き方をしようとも、あなたがどんな生活をしようとも、あなたが周りの人にどう思われようとも、私たちは、あなたが、こちらへ戻ってくるまで、あなたのことを見守ります。

あなたが望み、あなたが選び、それを経験するための人生ですから、そのすべてをサポートします。

私たちは、それが役目であり、それが、あなたの望みでもあることを知っていますし、そしてそれが　”同じひとつの存在”の意味ですので、どうぞ宜しくお願いします。

永遠にあなたのことを見守るものより
2007.11.27 Tue

龍神祭のお知らせ

今年、全国の自然の神様からいただいた「御水」を納める祈りを中心に、地球全体の火の神・風の神・土地の神の祈りを龍球王国　龍神祭として執り行います。第１回目の場所は、北海道　然別湖畔温泉ホテル風水にある最上階のご神殿をお借りして、11/30～１２/１です。詳細は、こちら。

当日ご参加できない方でも、ご自分の土地で大切にしているお水がございましたら、然別湖温泉ホテル風水まで、５００ｍｌ・１本を御志と共にお送り下さいませ。ご神殿に奉納後、約半年間、氷の下に眠る龍水とひとつになる水としてご奉納させていただきます。

この日を機会に、１２月１日を「龍球王国　北の龍神祭」として、毎年、行う予定ですが、「龍球王国　南の龍神祭」は、２００８年４月６日（旧暦３月１日）に、八重干瀬（やびじ）祈りと合わせて行う予定です。

どちらも場所も、日本の北と南を守る龍の聖地として有名な場所ですので、ご参加希望の方は、こちらへご連絡下さい。宜しくお願いいたします。
2007.11.24 Sat

新しい始まりの自分

”11/17の宇宙と地球をつなぐ祈り”のあと、北海道と沖縄の神事メンバーには、それぞれメッセージが届いています。その解読に今、全員が取りかかっていますが、今のところ、「新しい始まり」がキーワードのようです。

過去の地球上のあらゆる人間の歴史にまつわる経験と思いが、今、すべて整理されて、新しい流れの時間軸・次元軸が、この日本にできたということです。そしてこの三次元（見える世界）と四次元（見えない世界）が、完全につながったというメッセージも届いています。このことを皆さんがどう捉え、どう学ぶかによって、これからの地球の未来が決定します。

宇宙も地球も、新しく変わったというこのチャンスに、あなた自身が、変わらなければ、あなたの周りの現実も未来も、きっと何も変わっていないと感じることでしょう。だからこそ大きく変わるチャンスには、あなた自身が、過去の思いの何を捨てるのか、また、未来まで大切に持っていくものは、何なのかを今、整理し、あなた自身がそれを知っていなければなりません。

「私は、変わりたいのに、どうやっても変われないんです」という方によくお会いしますが、その人が変われない理由は、あなた自身が持っている”過去の思い”があるからです。あなたが、もう昔のことだと思って忘れていると思っても、あなたの心の奥底に眠っているその昔の感情や記憶は、常に、あなたの意識に影響を与えています。

私たち人間が生まれたときに、なぜ、過去の記憶を消してくれたのか？なぜ、”忘れる”という神様のプレゼントをいただいているのかを、もう一度、考えてみてください。

どんな辛い思いも、一緒に学びをしてくれた相手に感謝して、どんなに苦しい思いでもそのすべての思いを、今、全て感謝し、手放すのです！

前世の記憶も、宇宙のアカシックの記憶も、あなたの魂が、あなたの意識が、完全にそのことを学び知り終えれば、あなたも”新しい始まりの自分”へ生まれ変わることができるのです。

地球上に人類が誕生してから、何度も大きな地殻変動が繰り返されて、それぞれの大陸に残された先住民族を除いて考えてみると、多くの民族が移動した目的は、”陽の出ずる東の方角”でした。この東に民族移動した到着地が、日本であり、沖縄なのです。

当時、沖縄には世界中から黒潮に乗ってやってきた船や、中国大陸から渡ってきた民族の歴史が残っています。そして、そこからさらに北上し、九州へ、本州へ住み着き、そしてその土地へ子孫を残し、一番新しく民族移動した場所が、北海道なのです。だから北海道や日本には、地球

上のすべての民族の血が入っています

そしてそれは、すべての人間の過去世の記憶を背負い、新しい地球の未来を創りだすために生まれた魂が、日本に生まれた人の魂の役目であり、その魂が宿る地球民族の代表の地が、日本なのです。それは新しい地球 ”龍球王国” と ”新宇宙” を守る”地球創生”が、日本に生まれた人間の魂の役目なのです。

九州熊本には、世界から人が集まる幣立神社という場所がありますが、五色面という世界の民族の生まれた意味を証し、それを表す五色祭が定期的に行われています。この人類すべての存在の意味や思いも、神社の裏手にある宇宙へつながる双子杉の木によって宇宙へつながっています。

時代時代に、世界中へ移動したさまざまな民族は、この日本へたどり着いた民族と、アメリカ大陸へたどり着いた民族がいますが、どちらも理想の国の実現を目指して、今まで文明を進化させてきました。しかし、その結果は、皆さんが知るとうりの現状です。

「新しい始まりの世」の今、私たち地球人類は、全宇宙からこう問われています。

「あなたは、この地球で起きていることの責任をどう取るのですか？」

「あなたは自分の大切な家族や人に、何を守り、何を残すのですか？」　と。

私たちは、今、生かされている意味をもっと深く理解しなければいけないのではないでしょうか？

2007.11.22 Thu

祈りの意味

全国から11/17の祈りに参加してくださった皆様、本当にありがとうございます。その後は、いかがお過ごしでしょうか？

今回初めて全国公開の祈りを行いましたが、その反響と感動の体験は、参加された方たちが一番強く感じられていると思います。今日は、参加されなかった方のためにも、祈りの意味を詳しくお話したいと思います。

世界のあらゆる宗教でも、無宗教の個人でも、祈りは、大昔から生活の一部として自然神や先祖神を中心に行われてきています。その考え方の基本は、「存在の感謝」から始まります。

”今、現在、自分が生かされているということへの感謝”こそが、万物のすべての存在に感謝することにつながります。その「感謝」を基本にして、次の段階の祈りへ進むと、それは、自らの「意思」を示すことを求められます。それを「宣言」として、向き合う大いなる存在に自らの意志を表すことが、神と一体になる祈りの本質の重要な考え方です。

人間が自由裁量できない神の領域の「生と死」、ここは人間が自由にできないからこそ、大いなる存在に生かされている意味と役目が人間にはあります。しかし、その意味や役目がわからない時があるからこそ、未来へ向けて、自らが宣言することで、新しい未来が創造され、新しい時を産み出すことができるのです。

今回皆さんにお願いした11/17の祈りの宣言文は、「すべての存在が、宇宙と一体になりますことを感謝いたします」「そして、私がこの地球を守ります」「ありがとうございます」「ありがとうございます」「ありがとうございます」ですが、北海道と沖縄の神事メンバーには、さらに大きな宣言をするよう天よりメッセージが届いていました。

新しい１４番目の星が誕生し、新しい宇宙が産まれたからこそ、この新宇宙を創造した責任として宣言した内容は・・・『自らが発する思い・言葉・行動が、宇宙無限大になって、自らの大切な人・物に環る世界』　でした。

この宣言エネルギーは、宇宙全体に広がり、すべての存在へ意味を伝え、この地球の新しいエネルギーとなって皆さんの魂の中に入りました。この意味は、自分の大切な家族、大切な人や物と同じように、他人を、自然界にあるものを、地球をあなた自身が扱うことができなければ、私たちは思い（意志）と行動が一致していないことになりますので、あなたの未来も、地球の未来も、新宇宙の未来も、あなたの創造したとおり、思いもよらない混乱と崩壊の道へ向かうことになります。

大切なことは、あなたが見える現実がどれだけ混乱していたとしても、どんなに悲しい辛いことがあったとしても、未来を修正する唯一の方法は、自らが明日への宣言と、その行動の積み重ねですから、そのために、自分の意思と行動を一致させる”宣言祈り”が一番、自分自身の神性につながり、魂のおおもとに届いて、人間の集合意識を変化させることができるのです。

もう、「想いは現実化する」というレベルではありません。あなたの思いは、そのまま、あなたに戻ってくる世界になったことを自覚して下さい。

あなたの周りで起きることは、すべて、あなたの責任です

すべては、あなたの心の中で創造したものが、あなたの周りに起こっているだけなのですから。

祈りを特別なものとするのではなく、自らの神性を宣言する時間として、あなたの生活のなかに取り入れることをお勧めします。学校や家庭のなかで、子供たちへの情操教育のためにも、この”感謝の祈り”を正しく説明して教えることが、未来を担う子供たちの心安らな時間になると思います。

”挨拶をしない子供たち”、それは、”挨拶しない大人たち”を子供たちへたくさん見せ続けているからでしょう。

命を・・「いただきます」

命を・・・「ごちそうさまです」

生きていること・・そう、食べることからまず感謝を始めてみましょう。大人は、その意味を子供たちへ正しく説明できないといけません。宜しくお願いします。ありがとうございます。
2007.11.20 Tue

11/17の祈りエネルギー

全国の皆様からたくさんの感動の体験記と祈り場所の写真をお送りいただいています。宇宙からメッセージを受け取った方や色・光・鳥の動きで神々のお知らせを感じた方たちもたくさんいたようです。今回の11/17の祈りの方法は、個人の責任で地球を守ると宣言することで、”自分の祈り”として祈りに参加する経験は、その後の生活のなかでも大きな変化を感じられているようです。皆様からの感想と写真の一部をご紹介して、11/17の祈りの感謝とさせていただきます。

●自分の体が宙に浮いていると感じた事・白い光に包まれたこと・日本地図が見え、北と南の光が繋がったこと・いつもは真っ直ぐ向かってくる光が前で止まり、ゆっくり回転を始めた事・螺旋が現れ、上に向かって動いていた事（Ｋ・Ｃさん）

●祈り始めると　手の中が暖かい、頭の上も暖かいグリーン　ブルー　バイオレットの色が見えてくる・ダイアモンドの形に光っています、祈り終わってからオレンジイエローに光って見えてきた（Ｓ・Ｓさん）

●手を合わせると色が消える、手を広げるとバイオレット　マゼンタ　オレンジの色がでたり消えたりした、おへそのあたりが暖かい　宮古島の石庭で感じたエネルギーの感覚に近いイエローからレモンイエロー　おへそから左胸が暖かい　熱いというより右回りに暖かい気が流れている。手から暖かい気が流れている　頭　背中にエネルギーが流れているのを感じる日々の生活の中で　いかに自分の迷いに振り回されているのか　「直感」で動くということは　こういうことかと思った。（Ｔ・Ｔさん）

●祈りを始めると、あたり一面が白く光り　その上にマゼンタの色がかぶり、グリーンレモンイエローの光がかぶる。顔から胸の前に大きな玉が現われる　頭のツムジのあたりをギュッとひねられた背骨が通った！（Ｓ・Ｋさん）

●手が暖かくて包まれている感覚でした。　最後になって頭がさがる感覚でした。そのあと頭がグーと上がって胸の前にある大きなものに、自分の胸を開きたくなるようで　深呼吸をしていた、涙っぽくなってきました。（Ｓ・Ｈさん）

●祈りを始めてから緑色の玉が現われ周りが白く輝いてきましたどんどん　地球の波動があがっていくようです。祈りが終わってからは、この場所のことと思いますが３本の光の束。それぞれがピンク　オレンジ　イエローを並べて虹のようでした、この帯が右斜め左斜め垂直に降りるようにのびていました。（Ｙ・Ｊさん）

●祈り初めの時　風が暖かく感じました。目をつぶると赤い色と緑がひろがっていました。途中

から　雲の間から日が差してきました　とも綺麗で見ていると雲が目のように開いて　周りの雲が赤と青の彩雲になり、まるで龍の顔のようでした　空が大きく広がり太陽が前に出てきて海を照らし　とても暖かく感じました　明るさも暗いのもみな同じと感じました。太陽と月に挟まれ　照らされて動けるとも感じました。（Ｓ・Ａさん）

●祈りを始めて少し経つと丸い玉を感じ両手を双葉のように広げ支えるイメージです。

前半は、合掌して祈っていましたが、途中で両手を何度か天にかざし半円を描きました。ちょうどその頃、雲間からお日様が暖かい陽射しを送ってくれ、目を閉じていてもその変化を身体中で感じられ湖面も光輝き感じられました。祈りの後半は、自分の身体が別の空間にいるようで浮いているようでもあり心地よく、暖かい幸せなひと時で37分が、こんなに早いものかと感じ、もっと長く祈っていたいくらいでした。（Ｔ・Ｍさん）

●「終わり、そして新しい始まり」すべてが生まれ変わりそしてひとつとなって新しい愛と調和が生まれる。自分を信じ、私の役目である本当の調和を信じること（Ｋ・Ｈさん）

●地球が光に包まれているようなイメージが浮かんでから日本がクローズアップされて光につつまれたように感じられました。外で、急に鳥たちのさえずりが聞こえたので目をあけて時計を見ると、１２時４７分でした。祈りはとどいたと感じました。（Ｋ・Ｍさん）

●「宇宙の根源は、「私は何も望んではいない。私はただ　ある。地球は、本来の姿とは異なっているようだ。地球本来の輝きを取り戻すのは、人類が本来の姿を取り戻すことによってなされるだろう。」「地球は、あなた達人間は今までたくさんの血を流して生きてきました。もう血（闇）によって学ぶことは何もないのです。本来の姿を取り戻してください。それが、私とあなた方人間が愛と調和を持って存在していくことなのですから。」（Ｎ・Ｓさん）

●祈りの最中は左手にジーンとした感覚があり、身体中に宇宙のエネルギーが充満してあっという間に時間が経ちました。とても心地よく、祈りがいい感じで繋がったと思いました。（Ｋさん）

●祈りを始めて5分ぐらいたった頃に、宇宙や地球に変化が起き始めているのを感じ、また5分ぐらいたつと、全身が光りに包まれ、さらに暫くたつと、地球のバランスが今までとは違うのを感じました。終了のサインのように、最後はカラスやトンビが私のそばまでやって来てくれました。新しいバランスが生まれたとの報告メッセージも頂きました（Ａ・Ｍさん）

●祈っている間、足の裏から大地のエネルギーが入ってきていたように感じました。温かい気に包まれていたようにも感じました。祈り終えた後は、「地球を守れたらいいな」ではなく「守ら

なければいけない」という強い思いが沸き上がってきました。これから行動していきます。（Oさん）

●”すべてがひとつ”この感覚をつかんだように思います。（Ｅ・Ｙさん）

●お祈りを終えた私は、人々が万物とつながり、ひとつである、そのことが目の前に実現するようにと、心が新たになり、そして私自身が善き現実を作り出す人間の一人として日々生活しようという気持ちになっております。（Ｋ・Ｄさん）

●「私がこの地球を守ります」と言うとき、「私」というのは、これまで地球に生きた全ての人と、これから地球に生きる全ての人と今地球に生きている人の全てなんだなぁと感じていました。（Ｋ・Ｙさん）

●すべてが一つという感覚と、日本の北から南までつながっている感じを持てました。（Wさん）

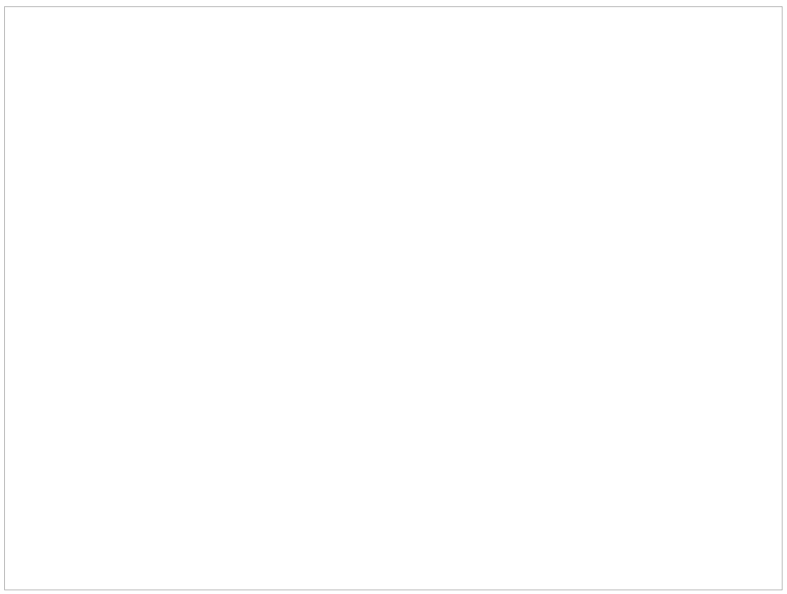
皆様の気持ちが”ひとつ”になって祈る力は、自分一人の祈りでは体験できないとても大きな力が働きます。全国で地球を守る！と宣言された皆様、日々の思想・言葉・行動でその活動を行ってくださるよう宜しくお願いいたします。
2007.11.19 Mon

11/18（日の出） あなたが宣言する地球の未来

本日11/18、日の出の宣言をしてくださった皆様に対してのメッセージがありますのでお伝えいたします。

『皆様の宣言、確かに受け取りました。これからの地球と全宇宙の未来は、皆様一人一人の意志と責任とともに、私たち神々、そして、宇宙すべてを守護する存在たちの意志と同じくなり、その目的を果たすために共に働きます。すべての人間の意識が”ひとつ”となりますことを心より願っています。ありがとうございます。』

※11/17の私の祈りの体験をご報告いたします。（天候：曇り　気温：５℃）

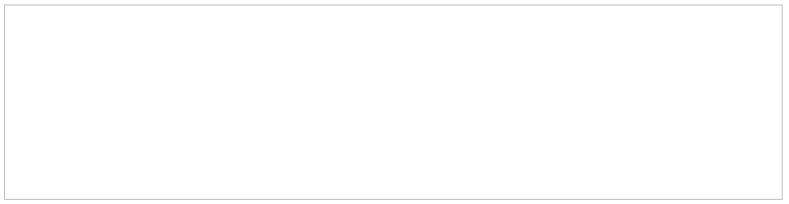


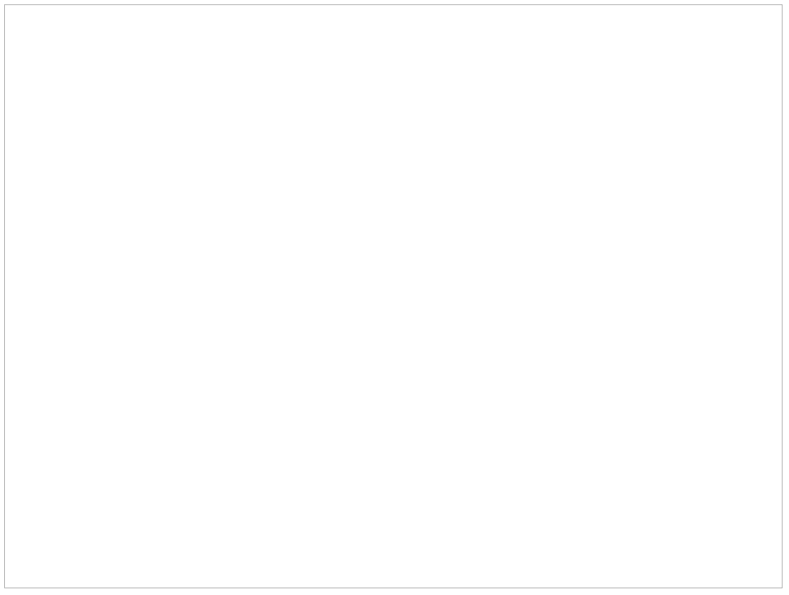
函館市から２時間かけて小雨のなか目的地　函館　白神岬に到着すると、雨も止み空が開き、陽ざしが差し込む小高い丘の上から青森県の竜飛岬へ向けて祈り始めました。祈りの３７分間は、本州・九州・四国・沖縄の全ての島々を感じ、地球全体、そして”宇宙のおおもと”と対話する時間になり、その全てのやりとりから、宇宙全体が私たち人間に望むことを全身で感じとる時間になりました。

祈りを終えて目の前を見ると、曇っているにも関わらず、ここから見える本州すべて陸地が見えました。左から大間岬・恐山・津軽海峡・竜飛岬、そして右の端に、うっすら弘前市の岩木山が見えていました。同行してくださった函館在住の女性は、曇りの日に、ここから本州すべてが見えることは絶対ないと驚くほどすばらしい目の前の美しさに感動しました。

光が差し込む曇り空の隙間からは、虹が何度も何度も海から姿を現し、最後には、函館山の先端に光が降りる瞬間を見ることができました。自然界の神々の天候調整と共に、私たちすべての祈りを祝福してくださったその姿をご覧ください。全国で祈り合わせて下さった皆様、本当にあり

がとうございます。





2007.11.18 Sun

11/17　祈りのご報告

たった今、函館　白神岬の祈りから戻りました。龍球王国の皆様からの写真・メッセージのご報告は、後日、順次行いますが、その前に、皆様へお伝えするべき重要なメッセージがありますのでお知らせいたします。

まずは事前に、沖縄と北海道の祈りメンバーに対して、11/17の祈りにおいて、私たち人間が、「どういう新宇宙を創造するのか宣言をしてほしい」と望まれていました。そのことを踏まえて、本日、全宇宙へ宣言した内容とは・・・、

『自らが発する思い・言葉・行動が、宇宙無限大になって、

自らの大切な人・物に環る世界』

これは、あなたが思うこと・言葉にすること・行動することが、数万倍、数億万倍になって、自分の大切な人や物事に環ってくる”循環世界・循環宇宙”になったことを表しています。つまり、あなた自身の本質が何を思っているのか、どんな言葉を発しているのか、どういう行動をとっているのかで、あなたの大切な家族や会社・事業を含めて、その責任がすべて問われる時代になったということです。

このことを踏まえたうえで、今日の宇宙メッセージをお伝えします。

『皆様の本日の祈りによって、宇宙と地球の時間軸のつながりは、正しくつながりを復活することができました。これにより、この全ての次元をつなぐ時間軸を守る責任と役目が、人間の役目となり、その責任はとても大きなものになりました。この”完全自己循環エネルギーによって、すべての責任を自らが問われる世界は、あなたたち人間が、本当に何を望むかで決まります。どうぞ、その血の証を、明日の日の出と共に宣言して下さい』

これからはもう、「想いが実現する」という生易しい世界ではありません。あなたの思ったことが、そのまま、あなたの身の回りに、すぐ現実化する世界なのです。そのすべての責任は、あなた自身の責任です。

この世の中で起きる全ての物事をプラスの創造で生きると決めている人にとっては、とてもうれしいことでしょうけれど、すべての物事を”人のせい、社会のせい、国家のせい”にして生きている人にとっては、あなた自身の現実の出来事から大きな学びをさせられることになるでしょう。

完全循環・自己責任の宇宙・地球になった今、私たち人間が、何を本当に望むのかを問われてい

ます。それは、血の血判ともいえる肉体を持った神として、命をかけた宣言になりますので、宣言の内容はあなたの責任で、明日、日の出に祈りを捧げて下さい。

この地球上で起きているすべての物事・思い・現実・思想さえ、個人に属するものは一切ないということを、一人一人が、自らの家族とともに経験する時代になりました。

明日の日の出祈りをもって、この11/17の祈りの意味が、初めて、新しく生まれた新宇宙の証となることでしょう。

あなた自身が、本当に望む地球を宣言して下さい。

それは、あなたの責任で行う覚悟をもって宣言下さい。

宇宙につながります全ての皆様、どうぞ、宜しくお願いいたします。

＜2007年１１月１７日　宇宙と地球をつなぐ祈り＞
2007.11.17 Sat

2007年１１月１７日宇宙と地球をつなぐ祈り

●メッセージ

宇宙空間に無限に存在している”時の流れ”を太陽暦・月（陰）暦・グレゴリオ暦・マヤ暦などのように、三次元に置き換えたさまざまな暦 の意味は、 実は、「宇宙の次元ごとの時の流れ」を表しています。この”時”というあらゆる次元とのつながりを示すものさしは、２００７年３月１２日に地球 の核を開けたときに、地球が　”宇宙の中心の光の星”になったことで、宇宙空間のすべての”時（次元）”のチャンネルにつながる”時の責任”を、人間が持つことになりました。しかし、 現状の地球の状態を見てもわかるとおり、このままの人間の集合意識では、２００９年１月１１日から 始まる”宇宙全体の縮小”をくい止めることができません。この ”宇宙全体の縮小” とは、地球を含めた 宇宙 全体の星と宇宙空間の消滅 を意味しています。

●祈りの目的と意味

未来を創る大切な子供たちの命を守るためにも、地球全体の愛と調和の波動を上げるために、過去から人間が犯してきた全ての罪を許し、大きな愛で全てのことを受け止め育むためにも、私達一人一人の意識を ”ひとつ” に合わせることが、今、とても重要なことになっています。この地球という大きな生命体の意識に大きく影響している人間の ”集合意識” を、歓びへと変化させるためには、一人一人 がこの地球を、そして、すべての宇宙空間を自分が守るという強い意識を持ち、祈りという集合意識のなかで宣言することが、全てを分離させた要素である”個”という概念を超える ことができます。この祈りの目的は、私達人間の本質に眠っている”もともとひとつ”という集合意識を想い出すキッカケ とし、それが大きな愛の光エネルギーとなって宇宙空間に広がり、宇宙のすみずみまで届いたときに、この全地球を守っている宇宙のすべての神々と意識が重なりあいます。 これは本来、人間の意識が、「愛そのもの」であることを想い出すことを目的としながら、地球を守るために生まれてきているたくさんの地球の子供達に注ぐ光のエネルギー の祈りとしてご理解いただいて祈りにご参加下さることをお願いいたします。 「日本は、世界の雛形」と呼ばれる理由のとおり、日本に生まれた皆様の意識が集うことで、新しい世界の意識を生み出すことができるのです。日本人に生まれた意味を思い出すためにも、どうぞ、あなたの行動をこの祈りから始めてください。なおこの祈りは、宗教・民族・国家の違いを すべて問わず、地球に存在するすべての人間を対象として呼びかけています。どうぞ、あなたの知人へへ、”宇宙と地球をつなぐ祈り”の情報を お伝え下さい。

●祈りの時間

２００７年１１月１７日(土）　昼食時間 午後１２：１０分　～ ３７分間

（龍球王国発祥の地　沖縄の満潮時間）

●祈りの場所

あなた自身が祈りをささげたいと感じる場所で祈ってください。お仲間と集うことも、一人で部屋で行うことも、形式を問わず、すべて は、あなた自身の魂の祈りとして行ってください。沖縄各地と北海道の各地では、神人たちや一般の方々が、島の岬の先端に立 って、その島のエネルギーをつなぐ祈りを行います。

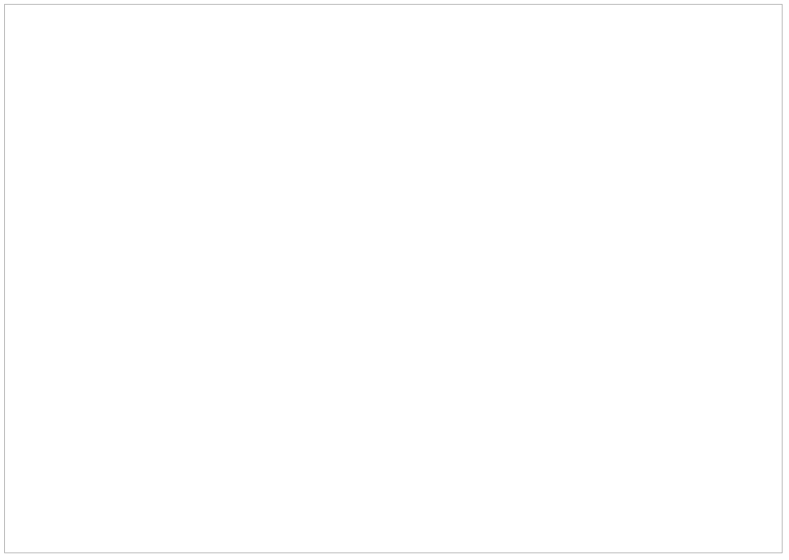
●祈りの言葉

※強制はいたしませんが、お願い事は一切せず、次の言葉を唱えて、感謝の祈りのみを繰り返してください。

「すべての存在が、宇宙と一体になりますことを感謝いたします」「そして、私がこの地球を守ります」「ありがとうございます」「ありがとうございます」「ありがとうございます」

●祈りの宣言

この祈りに参加してくださる方は、ぜひ、お名前・場所・お気持ちを添えて メール でご連絡下さい。全国で祈りに参加される方の場所をポイントにしてご紹介させていただきます。



2007.11.17 Sat

11/17の祈りにご参加ありがとうございます

いよいよ２日後には、「11/17　宇宙と地球をつなぐ祈り」の日ですね。全国の皆様から、この祈りに参加しますという宣言メッセージをいただいておりますことを心から感謝いたします。

宣言された皆様には直接ご連絡していますが、こちらへ宣言していなくて、この祈りにご参加される方は、祈った場所の写真や感想などをメールで送って下さるようお願いいたします。

今回、日本の南では、沖縄神事に参加した沖縄神事メンバーの離島以外の方たちが、沖縄本島の大きな宇宙につながる場所から祈ることになっています。また、北海道の神事メンバーは、広い北海道の各重要ポイントに移動して、それぞれが守る重要な場所で祈ることになっています。

私自身は、この祈りのエネルギーを全世界から宇宙へ発信するエネルギーを安定させるため、日本の北と南の祈りエネルギーを本州・沖縄につなぎ安定を図るために、北海道の最南端　白神岬から祈りを行います。北海道内で一番移動距離の遠い役目となり、前日からの移動になりますので、今後、祈りに参加される方は、祈りの終了後に感想とともにメールでご連絡下さい。

明日から北海道は、全道的に雪が降る予報ですので、11/17は、厳しい寒さと雪の中の祈りになると思いますが、大宇宙とこの地球を支える全民族の代表として祈りを捧げて下さる皆様に心から感謝いたします。

この祈りにご参加いただきます皆様の祈りの力は、この地球（龍球王国）と新しい宇宙（新宇宙）を支える大きな神性の力として、人間力を超える大きな宇宙エネルギーのサポートが、おひとりおひとりに入ることを感じています。

すべてが、大いなるひとつのなかのひとつ。

そのひとつひとつが、すべて同じであることを祈りに参加される皆様が、実感されることでしょう。愛と調和と全ての物事が正しく循環し、”新しい宇宙愛”が誕生しますことを祈ります。ありがとうございます。
2007.11.15 Thu

アカシックレコードの情報を特別公開　その８

まず初めに、宇宙の創造主（マスター）からのメッセージ

「いつの日か何をしているのか解らない時があるが、そんな時は何もしないようにしていればいい。あなたが見つけたいものは見つかるときが必ずやって来る。そんな時がくるのを待っていなさい。」

金色の星にいた時にもあなたは何をしているのか解らない人だった。なぜ私がここにいるのか、わからないですごしていた。アカシックレコードに封印された謎がある。時を結ぶために封印してあるが．．．プレアデスの時、これは二つの星、一つは平和、何もしない星。もう一つは行動的に動く星、創造する役目の行動的に動く星にいたんだ。

武官　戦う男、騎馬隊長のような役目　プレアデスがもたされていた役目、　宇宙の調和を司る役目をもっていたが、宇宙の調和を守り導く役目の両方をもっていた。そうではない星を沈静化したり、おさえたりする行動的役目の隊長であったから　たいへんな役目だった。

あなたは何かをしでかした？！　何をした．．．？？？

あなたは、星を一つ消滅した・・・。これはミスだね・・・。

あの時行った星は、兄妹星で小さな星と大きな星があって、本当は二つでセットでした。大きな星に問題の部族がいて、その部族を抑えるはずだったのだけど、間違って小さな星、　若い幼い魂の星に一気に入ってしまって、滅ぼしてしまった。全く無抵抗だったため、ほとんど戦わずにいたから、　全部消滅してしまった。そうすると結果的に親星というか、兄貴分の星のほうがその見返りというか・・・そこから、宇宙の混乱が始まった。

もともと宇宙の調和をとるための役目が、破壊に走ったことで、混乱が始まった。あなたは先導した指導者として、追われる立場であったし、敵対されるようになったのです。すごく有名だったからこそ、他の星からもののしられ、調和に対してもふさわしくないと・・・。

星の自然消滅は、必ずあるけれども　人為的に消滅されたことは大きなあなたのミスからだった・・・。この記憶に関しては、ある意味、宇宙のおおもとも責任を感じているために、記憶は、アカシックに閉ざしたのです。

何だかわからない苦しみまでは良かったが、その原因を紐解くと、一つは、あなたの責任もあるし、もう一つは、そこにいた兵隊達も責任を感じている。そしてもう一つ、ただじっと動かず

にいた”もう一つのプレアデス星”も同じ痛みを感じていた。

他の星たちも含めて、宇宙に不安が広がった・・・。もともと成り立っていたものが、崩れた。その記憶が、悲しみから物事を発想してしまうので、アクセスできないようにしていた。２０世紀末、プレアデス星の人が多くいたが、苦しい人が多かった。なぜだかわからなく重苦しいので、その記憶は封印させられた。誰も開けないようにしていたので苦しみの理由はわからない・・。

あなたの魂のもとの記憶は閉ざされた。宇宙を守る役目から守るということに喜びを感じられない気持ちはあるけれど、それは内の方から湧いてこない理由、つまり痛みがあるから・・犠牲心がでてくる。不安からでてくる犠牲心。

他の星との調和をとるために、責任を押し付けるしかなかった。愚かな行為だけどね。プレアデスもそんなに古くないですね。　その前～．．．あー　そうか、あなたの妹が、こっちにいた。ツインソウルが、「調和の星」にいた。平和の星に、ツインソウルがいた。あなたが男で、むこうは妹。この迫害を受けた為に、ものすごく妹のことも気になるけれど、自分は何もできず、妹の苦しみもわかるからなおさら辛い。

何でプレアデスに入ったのか？～それも星を二つに分けたのか・・？その前は”もともとひとつの星”。　”ひとつ”のところから来ている。この前いた星は・・　透明な星・・。　１３星座のうちの１番目の星。透明な星・・　水の役割・・　”純粋”が、１番最初の役の、分け御霊をもっている。純粋なすべてのものを培養する役目と、それを守る星から来ている。

何もなかったといったほうがいい。プレアデスの星に入って、それぞれの役割をするようになった。自分達の思いは、もともと何もなかった、ただその場所で生かしてもらっていることをすることしかなかったのだけれど、それで周りが喜んでくれることがすごく自分の喜び・・。でもその片割れが、逆に人を苦しめることになったので、それは辛いね～．．．。

水を汚した・・　自分が汚れるというところ・・。　自分が、周りが・・どっちにしても辛い。消しようがない事実だから。　だから封印したんだって・・。ミスがあるということなんだよね、全てにおいて・・・。

宇宙が学ぶことがあるとすれば、分裂する前の存在は”もともとひとつ”。

では宇宙は、完全でしょうか？　完全から分離した段階で、相対になる段階で、もうそこからは、ミスがあると思ったほうがいいです。これが全部宇宙の学びなんだけど、完全なもののコピーは完全だと思いこんでいる。それを期待して、全て物事を進めるのでミスを許さないの。

「絶対なもの」から離れる時、もうミスはあるんだということを学ばなければならない。

最大のテーマなんだよね、そのミスから学ぶことがあったり、知恵を学ぶ意味があるのだけれど、そのミスを許さなかった・・　認めなかった。　その記憶がすごく強い。だから自分の中で、「ミスをしてはいけない」というのが強い。ものすごく感情が強くそこへ動いてしまう。人に対してもそうなんだろうな・・・。それは自分にとって1番許せない、自分が1番信じて大事にしてきた役割自体が、「水」だったから。

無色透明であるはずだった・・・。

このミスは、自分が１番許せない。学びとして宇宙全体の学び。あなたの学びとしては、ミスはあるんだということを学ぶこと。ミスがあるという前提で、学ぶことを次のステップで考えなければいけない。

ここまでで、何か質問ある？

Ｑ．「その後、私はどうしたの？」

Ａ．「追われた、追放された・・プレアデスから」

Ｑ．「それからどうしたの？」

Ａ．「宇宙の果ての誰もいない星に送られた、一人ぼっちで．．．全宇宙においても本意ではなかった。でも汚点だったから何かをしなければならなかった。周りも望んだんだ」

Ｑ．「封印されたことが今の時点で開けたことになるの？」

Ａ．「抵抗していたけど開けました。だから、すぐには入らせなかった。宇宙の苦しみを持っている人で、苦しみ、　失敗、　宇宙カルマを持っている人はたくさんいるんだけど、宇宙の中でも、大きな事件だったから。プレアデス星の人たちは「創造」を役割として地球にきているんだけど、その結果、この地球がバラバラになっているということで、創造メンバーとしては全体責任の役割で、きているんだけど、これは超個人的な汚点だよね。全宇宙３大要因くらいの・・・。だからここを経験してしまうと苦しすぎるの・・・この記憶が。」

ここに共振する人たちが、ものすごくたくさんいる・・・。全宇宙の警護隊長・・・　、私も全宇宙の警護隊長をやっていた記憶があるんだけど、　あなたは相当大きいところを守る役目だ

った。当時、プレアデス星は守るという全体の中での素晴らしい星だった。光輝いて守る為の博愛主義と、行動するバランスが、「２つで1つ」のすごくいいバランスの星。　その力でバランスを守っていたのに、本当に小さなミス・・・。兄妹、同じように見える星だから．．．。

そのミスは、どこの意図でもない、ただのミスでしかない。もともと、つぶしに行くというのではなく、強く反発するところを押さえ込んで、それもリーダーを抑えるとほとんどは納まる。相手が引けば、引く。弟の星、　抵抗する者がいなかったから一気に消滅してしまったの。　それが全くの予想外な出来事で、大きな結果になってしまった。それが、人間全体のカルマ。肉体に転生したとしても、ズ～となんだか解らない苦しみの人間になっていく。

ある意味、ミスが辛かったからこそ絶対主義者になるのさ。完全をめざしたがる。「絶対主義　完全主義」。そうじゃないと、自分の1番辛いところがここだから・・・。そのあとも、1人で星にというのもあまりに辛いね。そして、自分だけが辛いのではなくて、同じ魂の分け御霊の妹がどう感じているのかも感じている・・・。　同じように２倍に苦しむ。・・・自分のことだけでは済まされない・・・。この苦しみがいつも自分のしたことで人を苦しめるという二面性を感じているから許せないだろうね。1番、自分を許せないその気持ちが、1番長かったから・・・。

Ｑ．「ズーと、自分を責めていたのですか？」

Ａ．「責めていたというよりは、奥そこから辛い、本当に辛い辛い、辛い時間が長すぎた。1人で星にいるということも、ものすごく長い時間だ．．．１６００年間だって・・1人でいたのは。宇宙にはそれまで、犯罪の星はなかった。「調和」をとる為にできたばかりの星、生命が存在していない星はあったけれど、宇宙の果てのまだできていないところにいた・・・。死ねず、　生きれずという世界だった。魂は死ねないからね。　肉体はあったかどうか微妙だけど、意識体のほうで、この時期が長い・・・。　あなたの深い苦しみ、　さみしさ・・・さびしい孤独をとおりこしているほど深いだろうね。」

Ｑ．「どうなったの、その後は．．．」

Ａ．「あなたは、消滅を望んだんだって・・・」

Ｑ．「自分を？」

Ａ．「自分の．．．。だからその時にアカシックの封印を同時にしなければならなかった。　魂は自分で消滅できないから。　意識の消滅をするには、もとにあるものをはずさなければならない。だからプレアデスの人に何人も会ったけれど、混乱エネルギーがとても多いのに原因が解からない。　これはみな、この記憶が閉じていたから・・。これだけでっかい責任を背負わされ

ているからね。プレアデスの人に会って危険だなーと思うのは、宇宙を創造する為に、愛を語っているんだけど、苦しい創造しかでてこない。どうしても自分達の苦しみを解消するために、力がでてきてしまう。それがおかしいと思っていた・・・。

あとから、「平和主義の星」があるとわかって、そうか、相対でバランスをとっていたのかと解かった。あなたが魂の記憶の中で今、聞いて学ぶ必要があることは、『全てのものにはミスがある』ということ。

そして、それを許すということ。あなたがたぶん自分の苦しみ、さびしい期間を見ると、１つは自分の原因であったけど、でも結果的にされたことが、あまりにも厳しかった。　この両面を見て「誰にもミスがあるということ　許すということ。それを今しなければならないことだ」

Ｑ．「今　しなければならない！？」

Ａ．「今しなければ、今、解いた意味がない。これ以上、時間を放出させると開いた部分、　星、１族、部隊の意識が流れこんで来る。意識の混乱が始まる。みんなが何故だかわかってくる。罪悪感がでてくる。　責任感のある人は、まだいいにしても、兵隊達は責任感がなかったから余計に罪悪感がでてくる。　責任感があるというのは、喜びもあったから・・・。兵隊達は、意味が理解できないで喜べますか？

あなた・・・あなたは、総隊長なんだから、それをどんな人にもミスがあるということと、人を許すということをしてあげないと、みんなの思いが一緒にあなたのところに回ってくるだろうね。　何回、生まれかわろうが、そのメンバーとどこかで関わっている。妹、兵隊、自分を追い込んだ他の星の人たちにも出会っている。　何故か解らないけれども許せないと思う人、　その奥の方で、自分を迫害したリーダーの人達をあなたは知っているからね。

それは本来、　”宇宙のおおもと”が望んだものではない。だからいろいろな感情がここに封印されていた。　でもそれはあなたの１番最初のミスから始まっているから全部の結果も含めて、いろいろあるけれど、それを許さないとエネルギー混乱が始まってくる。」

Ｑ．「私が許すのは私を迫害した相手ですか？　自分ですか?」

Ａ．両方なんだけど、全ての存在にミスがあるということなんだ。　そしてそれを許す自分でいるということ。　ミスがあるから成長するというのもある。　ミスを全くなくして、完全調和はあり得ない。振動することで、増幅するようになっているから。でも苦しいことを生み出すことが目的ではない。　その苦しい想いがあまりにも強すぎたので閉ざしている。」

Q．「閉ざしてその後、成長ができるのですか？」

A．「人間的なカルマの部分が肉体でしょ。もともとの魂の記憶はズーともっているから、あの苦しみから学ぶというのを作ったのも、人間て言っていいかな・・　昔は、もっと高い次元の状態で全体バランスの調和がとれていた。　そんなに苦しいとか、欲とかはなかった。　もともと「無」から始まっていた。　だからそこには、感謝という言葉さえなかった。　すべてが自然な流れとして生みだされていた。　自然分裂をして、それぞれの役割を自分たちがやっていく・・　。だからそんなに激しい感情の動きはなかった。

「相対」が、たくさんでてきて変わってきた。もともと宇宙の始まりの時から進化もしてきて、意識も知恵もでてきた。その部分が、「欲」も生み出したし、その記憶を持って人間はマイナスから学ぼうとしているけれども、　魂の本来からみれば、マイナスから学ぶとは、インプットされてはいない。

もとのコピーだけど、つながりを感じているから守りきれる。みんな他の星たちも感じていた。分離意識が生まれたのは、苦しさからさ。　幼い星は、幼い・・そういう想い。　行動にきびしい知恵者たちは、それをも受け入れる。

Q．「私にツインソウルの方がいると．．．」

A．「同じこと。普通に言えば、相対で生まれてるから男で生まれて　同じ記憶を持ち同じ経験をして同じ苦しみをもっている人が必ずいるんだ。あなたと同じ感情、苦しみを持ちながらいる人がいる。ちょっとだけ彼が違うのは、あなたが主人公で向こうがコピーみたいなもの。あなたが張本人だから・・。あなたがむこうの人だったら、悲しみの意味もちょっと違ってくる。貴方は昔は、男でやったほうなのさ。だから同じ苦しみを共有している。もともと大事な水を守る、純粋なものを守る役だったからこそ、すごく辛い。」

Q．「今の私に影響しているんですかね？」

A．「そうです」

Q．「すごく辛い？・・・」

A．［ズーとあなたがもっていたものでしょう？　何だか解らない孤独感と、何だか解らないさびしさと、何だか解らない人を信じられないところもズーと持っていた。　それは人間的な感覚ではなく、何かが落とせない、　腑に落ちない、　それがなんだか解らない、　なんで自分が存在しているのかも解らない・・・　１番最初に言われたでしょ。　金星の時にも同じことを考え

ていたでしょう。　それは必ずいつか気づく時がくるからと、　最初に教えてくれたでしょ。わざわざ教えてくれるくらいその時間が長いから、なかなかこの記憶に行かせようとしなかった。

あなたと同じことを感じている人、　もうひとつの《魂》にも、この情報は流れている、このまま苦しみを置いておくと、向こうは、何か解らないけど苦しみが大きくなってくる。あなたが〇＝マルにできれば、むこうも〇＝マルになれる。　当然まわりに人がいるから、つながりはズーと、元までつながっているからね。本当に辛かったと思うよ・・・。　1600年というのは・・・。迷って・・・、自分は何の為に・・・と悩んでいる期間なんて目じゃないよ。

１番最初と言ってもいいんじゃないかな・・・宇宙で処刑といういいかたは。　宇宙として1番最初の罪人という扱いをされた1人といってもいいかも知れない。　だから、　本当に皆が知らない罪に追い込むという経験を初めてされた記憶というのは、ものすごく深いんだよ。もっと宇宙というのは純粋であってほしかったというのは、今でもそうだけど、分離した段階からもうコピーなのに、不安感を持つせいなのか、その絶対じゃない分だけ、必ず何かの隙間がでるわけ。親子の子離れと一緒だよね　絶対的にもとの一つから始まったのに、大きくなると少しずつ離れる。　それも不安か、安心かで全部の物の見方が違ってくる。それがこのことなのさ。

だから人間の経験したことには、すべてそのことがインプットされていて宇宙の全部が、そういうことになっている。　だから１番大事なこと。　本質がわかって受け止めることができないと変わらない。　でもあまりにもハードな部分があったり、こういうこともある。私も初めてわかった・・。　アカシックで封印なんてあるんだなと思った。普通、そこまで行く人もいないし、行ったとしても、アクセスできるキーもないので入れない。入ったはとしても、アカシック全体の中での封印部分、　ここだけは・・・。

Ｑ．「私はそこで見捨てられたわけではないのですか？」

Ａ．「うん、見捨てられた」

Ｑ．「エッ！　でも何かまた戻ってきたでしょ？」

Ａ．「自分を消滅してほしいといった時に、まずそれをする為にも起きたことは消せないけど、記憶を封印した。分離した魂が戻るというのは、完全性にならない限り無理。記憶を消したと言ったほうがいい。　記憶喪失にさせて、もう1回転生させているんだよね、それをちょっと見てみようか．．．。」

へ～　、「１３番目の民」、　何のことだか解る？　ユダヤのことだ。　１３星座の１番最後の

そこに行ったんだって、きびし〜〜・・。　　きびしいというよりは、人間的にみると、宇宙が作った１３番目の1番進化した星。

あなたはもともと1番の星《水》、　1番最後の１３番目の星。　実は、この１３番目の星が、12番目の星の情報を全部とって逃げたの。この星自体がユダヤが・・・、　だからユダヤは、ずう〜と追われているの。

あなたが本来、　水の星の段階でさえ消したい記憶なのに、　あなたの本意ではなかったこの星の本意・・・。ユダヤのボスがある意味、　「個」に走った。自分の宇宙の新しい創造をするために、それぞれ別に持たされていた知恵。１３番目が全部持っていた。　そしてもって進化にいくはずだったが、自分が分離をして作ろうとした。この１３師団の１族が流れついたのが、地球でいうユダヤで、その残りの12部族がユダヤをつぶして消滅させてその知恵を消そうとした。だからあなたは、２回目も追われる人だった。

Ｑ．「吉岡さんは以前に私のことを這い上がってきた人だね、といいました」

Ａ．「そう　きびしいなあ…　すごく希望の星でもあったんだよ、　１３番目の1番進化形だから・・・。　でも結局この為に、追われる立場になったんだな・・・　どうしたんだろうそのあと〜・・・ここからも離れたんだな・・・、　で、　宇宙を彷徨った。　そこへ一筋の光のラインができて辿っていったところが、金星。

だから直接的に、ユダヤ１族として追われてはいない。持って逃げる時にそこから離れたんだ。だから持たされていないんだ、強い知恵を。すごく強いから・・・　１３師団は、天も地もあらゆる力を生み出す知恵を全部もっている。　ユダヤのほうも苦しまなければならないけれども・・・・何故？何故？何故？ということで・・・。

でも金星というのは本当にすごくいいところに置かれたんだよ。知恵を伝承して進化させていって、１３番目の最高の力をもたされていたんだから。そして、　そこをポンと飛び出した。　”光のライン”というのは、おおもとだろうね。金星も長い時間いたようだね。自分が何のためにいたのか、わからずにいた時間が、金星もＡさんも、多分、私もいたんだけど、　さっき話してわかったのは、金星て土の中にいたみたいだね。

内部崩壊して星が消滅した・・　電気エネルギーのバランスが壊れて・・・・そして、その意識体が地球にきた。水星、　金星・・・２つ消滅した・・　火星からも地球には来ている。それを止めるために、来ている・・・。少ないけれど、金星の人たちは地球を救うため。　自分達と同じようにならないためにきている。あなたとしては３回、星を追われてでなければならなかった・・・。

Ｑ．「これで私はこの地球にいるのは何のため？」

Ａ．「地球は統合が目的。　当初からではなくて、最初、宇宙の端にあった時に、　1番最初に宇宙を守る水の星として存在した。今回、地球の核を開けたことで、宇宙の真ん中に入った。光の星、青の星になった。宇宙を照らす役目、中心になった。ここにいろいろなデーターがあることは、皆、知ってる。そこにアクセスできるのが人間だということも知っている。その人間がどうするか、全宇宙がみている。人間がそれをできないとわかったら、一気に責めてくる、その時に宇宙と人間のカルマの統合の為に来ている。

たくさんの経験をしているけれども、分離をさせた結果が争い・奪い合いではない。全部の経験がプラスになるように、統合すればいいのだけど、分離している人間がお互いがそうしたくなるように、もともと共有意識をもっているくせに、「個」を優先したためにわからなくなって不安になっている。　それではおかしい、まずいと気付きだしていって、その時にひっかかるのが、カルマ。　宇宙カルマ、　人間のカルマ、　苦しくなるのは、したほうがいいという思いと、したくないと思う葛藤が、心の1番奥で、その記憶がどうしても感情を押さえ込むの。それを理解して、そこを学ばなければ．．．。魂が地球へやってきたのは、「統合」のために来た。それは、人間が肉体を持っている間にしかできない。人間だけがこれを変えることができる。」

日本というのは多分、１３番目の場所かな。　世界の民族の意識の統合の結果、東を求めて渡り歩いて来て、最後に到着したのが日本でしょ。　沖縄には、ユダヤも含めて、いろんな部族が入ってきて、本州にも渡って、いろいろな人と混じった。この全部の人が移り住んだのが北海道。だからこの北海道には、全宇宙のカルマも記憶も持っている。ここが全部の統合の場所になるところ。それが明確に解った。

ユダヤを何度も消滅しようとしたができなかった。１３番目とは、全て「創造・統合」できる星。　強い・・・。あらゆる星が人を動かし、それをやめさせようとしたが、もともとは一つ。もとを統合しなければ意味がない。

互いに言っていることは全部正しい。目的は「統合」。だから、自分の許せない部分を認めるしかない。

Ｑ．「私はミスを認めて許すでしたよね？」

Ａ．「絶対的に．．．」

Ｑ．「私の中で思えばいいことですか?」

Ａ．「自分のミスを許すということ。　他の人のミスも許すということ。　辛かった自分の記憶はあるけれど、少なくともおおもとは、チャンスをいつも与えてくれている。自分がどうするかを選択すれば、それを大きく変えることができる。１番いい場所においてくれている。地球の前は、金星だよ。希望の星だったの。」

何億時間・・・とんでもないたくさんの記憶があって　何度も挑戦して何度も失敗している。本当に今回、この地球でできるかどうか・・・、できないとまた繰り返すしかない。本当に苦しいんだよ・・・。今の人間は、ますます悪化してるけど、「個」の強い願望、　分離からの不安感・・・、それは、つながりを感じればいいだけ。　すべての魂＝人は、もともとは親子、兄妹だったでしょう。　なのに、それができない・・・。　全員が同じものを持っている・・。それを認めあわないとできない。　認めること・・・。」

Ｑ．「そんな大変なことではないですか?」

Ａ．「あなたがどこにででも、現実にでも、向かいあう全ての人に、私を含めてミスはあります。私はそれを許す度量はあります。これから生きるうえでも、たくさんのミスをすることがあるでしょう。誰かを傷つけることもあるでしょう。でも私は自分も許して人も許します。過去の全てのミスも苦しみも許します。それができたら、何かが始まるんじゃないかな？　プレアデスの人たち、兵隊の人たち、あまりに強いエネルギーで苦しんでいるから　、あなたが許すことで救われるよ。遠からず、出会た人は、どこかの星で必ず関わっている。人に大きく影響しているから、あなたが自分のことを認めて許すことで、多くの人の魂が癒される。それだけは覚えておいて！あなただけの問題ではないから。プレアデスの信頼を回復するのが大変だったのだから・・・。」

Ｑ．「1600年の辛さは何も思わなくてもあるんですか?」

Ａ．「必ず何故なのかわかる時がくるから、その時を待ちなさい。それが全ての癒しです。このことを知ったことは願望ではなかったけれど、これを聞いたことで、自分の辛さを乗り越えるのが早くなるだろうし、本来の役目に喜びを持てる時が必ず来きます」

※このアカシックレコードは、ＹＪさんの了解を得て公開しています。

※このアカシックレコードの内容は、アクセスする際に、何度も、なぜ開ける必要なあるのかと、問われるほど、厳重に閉ざされていた内容ですが、公開した意味を自分のこととして、皆さんが学んで下さることを願って公開しています。どうぞ、宜しくお願いいたします。
2007.11.13 Tue

アカシックレコードの情報を特別公開　その７

この星であなたは、女性でした。２０代前くらいの若くて綺麗で裸にレースのような白い物を羽織っている。すごく綺麗な洋服を着ている。星・・すごく人が少ないなぁ～、この星を守る役目だった。人は、ほとんどいないんだけれど、その星を守る役として、そこにいった。記憶の中にあるのは、遠い昔、宇宙のどこか違う処から来た時のもっといろんな太陽とか月とか言われるその照らすものとか色々なものが、あった時のことも、いつも想い描いていたんだけれど、あなたが、そこを守る役目でいるんだけれども、それを共感する人はいない、いなかった！

守ることは、喜びなんだけれど、共感することが出来ない。大きな役目なんだよ。その星を守る役という。神・・神そのものみたいな、肉体を持った女性の神なんだけど・・肉体を持った・・う～ん・・エネルギー体・・う～ん微妙なところだなぁ～。天女のような存在なんだけど、肉体はあるって言ったほうがいいなぁ～。まだ、なんかその生命が、これから生まれるのかどうか分からないけれど、そのまだ本当に若い星なんだろうね。この最初に、この星を守るために任命されて来たんだ。ゆっくり周っている。雲が動くように、大地がゆっくりこう回転していて、あなたは、その大地に足が着いているような、いないような浮いているところで、ずーっとその星を守っている。

一生懸命、自分のその星のエネルギーで新しいものを生み出すため、今エネルギーを一生懸命回してる最中なんです。まだ幼い星なので、あなたが見守っている。だけどあなたの意識としては、その前にいた所から比べると一人ぼっちで淋しい。懐かしく、役目は分かっているんだけれど、淋しいという想いが、ずーっとある。神が降りて来るまでなんだって、あなたの役目は、神が降りてくるまで守る役・・神が降りて来るまで一生懸命待っている繋ぎ役と言ったほうがいいかな・・・。宇宙の・・神が降りて来たとき、あなたは、その場所を離れなければいけなくなった。その時、淋しい。

昔を懐かしんで淋しいという想いがあったのに、今度は、その星を守ることを離れることが淋しく思ったんだね。どうにか出来ないかをちょっと聴いたんだよね。そしたら、もっと大きく守るところに移行してあげましょうと・・・う～ん・・ふくんだ３つ、５つ、６つ、８つ位の惑星全体を守る役としてあなたが就いたんだ。その中には、もう人類、生きている存在、肉体を持った者たちの星もある。泥の塊のところもある。燃えている星もある。星になり掛けている所も２つあって、いろんな成長の度合いの８つの星を見守る役。

う～ん！う～ん！これは、ちょっと微妙なところだけど一応、記憶に置いててほしい。コノハナサクヤ姫の役に似ている、みたいな役だった。憶えておいて！ここを守ることは、あなたの喜びである。使命と感じ、宇宙のおおもとから離れた時の淋しさが癒され、あなたは、喜びに満ちて、その守ることをしています。同じだったと言っているなあ～。？？長い年月、数千年、6000年

くらい・・守っている。6000年～1億年、1億年は、？？だんなのほうだなぁ・・6000年くらいの間にもいくつかの星の神が降りて来て、それぞれが、動き出したんだよね。

それが、とてもあなたの喜びで神が降りてそこを守る存在、生きた者たちが生まれてそれを見ていることが、星の色が変わって行くのさ・・。それが、あなたのすご～く喜びで、また時間が過ぎて1億年位いく、同じって言っているんで、これは15神のことを言っているんだけど、この星が、太陽系かもしれない。

〇次のシーン

いくつかの星を経由していました。それは、小さな星を守ることを学ばさせてもらっている。小さな本当に岩の塊みたいな星から、いろいろ練習させてもらって「守る」という守り方を教えてもらって、本当に最初の頃は、何か違う存在がサポートしてくれて導いてくれながら、最初あなたは、どうしようと悩んだけれど、それをサポートしてくれる存在が教えてくれたのは、

「ただ、愛を望み、見守ればいい」とだけ言った。あなたが守っているのだから、あなたが望んだものになるし、望んだ方向に進む。ただそれを信じてあげればいいとだけ教わった。

◎次のシーン

宇宙の自分と同じような人たちが、何人もいるところに？？生徒みたいな・・神の学校と言ったらいいのかな・・宇宙の学校と言ったらいいのかな・・。同じような、そういう役目を持った人たちが学ぶ学校なんだよね。そこに人が集まっている所にあなたがいる。そこに男もいる。だから神様になる要素をもっている。天女になる要素の人もいる。いろんな要素を持った人というか、魂たちが、並んでいる。そうして何か大きな存在からの話を聴いている。大きい神が・・・学校みたいだな・・いつも学んでいる時に恋をしているというか、なんというかなぁ、憧れているというか、ほかの素晴らしい男神の存在とか、素晴らしい存在になる可能性がある人、憧れといろんな羨望の眼差しで・・それはすごい、それは自由な心で見ていくんだよね。

う～ん母神・・母は神であったんだなぁ、あなたの母は神、アマテラスの女役のほうだなぁ、女役として働いている神があなたの母。そこに生まれた子。二人の兄弟、お兄ちゃんと弟がいる。あなたが3番目なんだなぁ。お兄ちゃんがいて、弟がいるんだ。二人その神学校というか、神の学校にいるんだけど、弟、入らなかったみたい。はいれなかったのかな。何かの資格を持っているみたいだよね。証という資格をね。それは与えられるものなんだね。自分が望んでも出来なくて、弟は神にならなかった、なれなかった。

存在はどうなのかなあ、どこかの星とか何かを守るという役目ではなく、もっと宇宙全体を守る

警護隊として動き回る存在として動いていたんだって。

守るという役が持たされる人は取得して守るから、張り付く役目の人と常時動いている偵察警護隊みたいな感じで動いているんだけれど役割だから。

飛び出した星みたいな光の塊からポーンと飛び出したのが、あなたなんだって。

スパークするようにポーンと飛び出して来たのが、あなた。それが、そのお母さんの光の身体をかりて、ひとつのエネルギー体、意識体として、あなたは、光そのものの一部。ただそこに光エネルギーが、常時動いているので、その中心を守るエネルギーになることと、それを放出するほうの役目。

自分の意識はどうか別として、光の存在から放れることが、自分の目的でもあった。もともと光の存在そのものから出てきた存在。そのあなたがお母さんの身体を通り、神の証を持ち・・・コノハナサクヤとなり、その役目になった。

今、地球の状態って今まで一番近づいたんですって、あなたからすると、

自分がいつも大きく守っている分だけ、なかなか人が理解してくれなかった。だけど、今一番近い位置に降りてこれているんだって。今でもそのコノハナサクヤは、十五神として、この地球を守っているんだけど、あなたは、その記憶を持った肉体として、う〜ん、そこに入った意識体。同時に分割をいくつも出来るから、意識体というのは・・・

※このアカシックレコードは、ＴＭさんの了解を得て公開しています。
2007.11.11 Sun

アカシックレコードの情報を特別公開　その6

あなたの中には、もともと持っている大きな「いにしえの石」そのものがある。それは、大きな繋がりを見つけ出す事が出来る。おおもとの星の記憶を持つあなたは、・・・・しかたなく生まれてきました。あなたがその理由を問うことではなく、存在するすべての繋がりの目的を見出す役目があることを頭に入れておいて下さい。

あなたが生まれた時は、光の中にある一つの粒子、粒のような存在でした。光そのものが見出された瞬間、もともとの宇宙には光はありませんでしたが、光を望んだのは”おおもと”ではなく、宇宙そのものの意志なのです。だから光は自ら望んだのではなく、望み、希望として生まれたものなのです。

宇宙の中には、その光という言葉がふさわしくないように、透明な光、闇の光、黒の光というように、姿を変えて映し出されていて、明るくまばゆく輝く、すべてが、もともと大元から生まれた存在なのですが、その光さえも、闇さえも同じ大元なのです。

あなたが、そのことを不思議に思うこともなく、光そのものであるという、物質粒子というエネルギー体になった時、はじめて、相違なる存在たち、星たちのことを知りました。星たちも、実は、後から生まれたものでした。意識の集合体ではなく、物質として存在する前にエネルギー体として存在していたのです。その〇〇〇としての新しい和、光の粒子のごくわずかな一部を映し出された物です。

光粒子は、”大もと”の希望だけではなく、命と呼ばれ、魂とも呼ばれ、時には、エネルギー体とさえ呼ばれました。

その宇宙のはじまりの”いにしえの知恵”を持ち、たくさんの形を変えて宇宙全体を見つめながら、何故なんだ・・・といつも思っていました。

それは自分にはどうすることも出来ない大きな流れが、大きなエネルギー体の中にあふれ出てきて生まれ、いくつもの星たちが誕生するたびに、その行く末を見守られなければいけないようになったからです。

それは、「本来の光」としての役目として、一部、漆黒の闇の中にも光はありますし、透明な見えない光の中にも粒子が存在していました。

その光の粒子がはじめて人間という肉体の中に入った時に、その全ての出来事が初めての経験だったので、何とも比べるものがなく、全てを受け入れることしか出来ませんでした。

あなたが、その意味を・・・・・・・・・そろそろ始めなければいけない光の役割の「秘訣」という意味を実行しなければいけない時期に来ています。

光はもともと光子体として、エネルギー体なる粒子の集まりであり、それは時には火になり、時には水になり、時には土になり、エネルギー体として意識を持ちはじめたりしますが、その全ての要素は、もともとひとつであるという大元からの希望そのものであること忘れてはいけません。

星という記憶を持ち始めた時、それ以前からエネルギー体としての記憶より光子体としての記憶の方がもっと古く、いにしえの宇宙の始まりの出来事の記憶があります。その生まれた時が、若い人間なんだとした、理解するまでにどれくらいの時間が必要だったでしょうか・・。

私たちはその「光子体」の粒の集合体でもありますし、宇宙空間そのものでもありますし、宇宙の大元そのものでもありますし、人間が望んだ物質そのものでもあります。全てが光という存在エネルギーが物質化したものです。

人間と呼ぶよりも、「光子体」、「エネルギー物質」という方が、人間というはるかに物質世界を超えたエネルギー体としての役目を果たすことが出来るかもしれません。

あなたはもともとその光粒子体、光子体全体としての役目には気づかず、それ以外に存在していたあらゆる光子、粒子、粒、エネルギーとなっているものたちと手を組んで、自らがその役目をはたす事ばかり考えていましたが、その役目をはたす様になるまで、次も星の記憶、成長の方がうわまっていたのです。

だからもともと光子体、光粒子体であった事を忘れてしまいました。それぞれの星達のエネルギー体、意識体は、つまり光子体の集まりであり、その光子体の粒一つ自体は、それぞれ何も意味は分かりませんが、光子体の集合体が物質となり、人間となり、星となり、宇宙となっていました。

その摂理を知るものばかりが集まって居た時には、わずかではありましたが、その「奉仕性」と言うべき光の星の塊の様なエネルギー体として、いっさい何も物質が存在せず、その時の意識が一つ一つが皆同じ意識体としてただ光輝いていました。

物質、物体という物が生れた時、それはあなたが知るものではないでしよう。その想像をはるかに超えた世界から、ひとかけらのエネルギー体から、「物質」という世界が始まる原因だったのです。

宇宙全体の星のかけらとなって、塊となった原因の物質なのです。「チリジウム」には、光物質体のエネルギーではなく、異なるエネルギー体として存在していました

ところがそのチリジウム物質には、ある仕掛けがあり、その摂理のバランスのためにも光が働かなければいけない部分がありました。

それが光としての役目ならば照らしましょうと光始めた星のエネルギーによって、物質、人間あらゆるものが、肉体が生みだされたのです。「パラジューム」という物質と異なっていることもあるでしょうが、それはヘリウムがあるはずなのですが、それを知らずに作り出したものが沢山崩壊しました。

ヘリウムが、ガスを生み出すかどうかではなく、物質がガスを生み出すのです。光子体エネルギーは、どうしても自らの意志がないために、あらゆる物質体、存在するものに人間という物質でさえも照らそうとしてしまうものなのです。それがあなたなのです。それが、あなたの理由が分からずにいる全ての原因なのです。

光物質エネルギー、光そのものには、すべてあらゆる物を生み出す力を持っています。知恵でさえも、光物質の一部分の意識エネルギーですし、アイデアと呼ばれる人が思うことさえ、その光の振動数が、しっかり固定された時にできる物質という意識体なのです。

光子体としてエネルギー体であるあなたが、この地球へ向かうことになったことはとても残念なことですが、あなたを始め、沢山の光子体同士がこの地球へ何百万年前の昔から生まれてきています。

ところが、皆人間という肉体を持っている時には、そのことに気づかず、そのまま戻るとき、カルマにハマる光物質体同士もありましたが、もともとの所へさえ戻ることができれば本来の役目を思い出すことができます。

その光物質体から人間となって生れてきた原因は、すべての大元の世界の中から生れたのではなく、希望そのものであることを皆に知らさなければいけないからです。宇宙を照らすというよりも、星を照らすという意味よりも、希望という意味よりも、大元の望むそのものが光エネルギーであり、それが人間として肉体を持った存在達全てに与えられた意識･物質、想像・感・直感・愛･希望、エネルギーの全てが、そのことを思い出させなければいけないようです。

光物質体同士が出会えばすぐ分かりますが、その出会いが始まりとなって、もっと大きな光エネルギーが降りる準備ができていますので、どうぞ、もっと大きな働きをして下さい。

あなたが備えている、あえて言葉では置き換えられない大きなものを与えることで、喜びというよりも、すべての物が光そのものであるということを知らせることが一番手っ取り早いでしょう。

光であるものどうしが出会えば、光り輝き始めます。だから、どうぞその光を喜びを希望を人々へ、地球へ、宇宙へ放ってください。あなたが手を上げるとその光を求めて沢山の人があなた達の元へ来るでしょう。それをもどかしく感じるならば、どうぞ、もっと上へ光を繋いでください。

あなたがもっと高く手を合わせると、光が、大元まで繋がります。だから、あなたは、光そのものなのです。光エネルギーそのものなのです。だから何も心配せずに、ただ今より、手を合わせ祈りましょう。あなたが光・希望なのです。よろしくお願いします。

※このアカシックレコードは、ＮＳさんの了解を得て公開しています。
2007.11.10 Sat

アカシックレコードの情報を特別公開　その**5**

赤い星と青い星が見えます。あなたは赤い星に関わっています。「どんな時にも・・・こんなことが起きるなんて・・・」と言っています。

「星を逃げ出したい」と言っています。星同士の戦いがありました。それでその星を追われる羽目になったようです。それから、青い星に来ました。赤い星というのは　一番近いところで言えば「火星」なんです。青い星は「地球」です。

ある時、不思議な夜に突然、星が現れました。その星の人たちが乗り込んで来て、仮面をかぶっています。”神”を守る為に苦労し手を尽くましたが、散々ちりじりになり、自分たちの身を守ることが精一杯でした。

王には欲がなく、娘、あなたを守り抜くことが一番大切な役目でした。だから、あなたを他の星に移しました。王はその後、自害しています。宇宙に取り残されたあなたは、しばらく宇宙を彷徨っている時に、サポートが入りました。宇宙からサポートの使者が来たのです。

あなたの行き方（生き方）の道案内をしてくれました。宇宙からの使者があなたを道案内をしたということは、あなた自体が元々もっと何か重要な役割を持っているということです。

宇宙空間の中の赤い星・・・

Ｑ，その時の星の記憶ってどんな感じがしますか？

Ａ，「全くないです。ただ赤い星から来たと言われたのは今日で2回目です。」

どちらにしても　あなたに宇宙のもとの方からのサポートが入ったという

ことは、あなたが何か大事な物を持たされてるか、役目をもっているかのどちらかです。

Ｑ、１３の星があります。

Ａ，「Ｍ１３」

Ｑ，１３の星が見えます。その６番目の星です。その６番目の星の役目。宇宙の中のどういう役目ですか？

Ａ，「第３惑星」

宇宙を一番最初に創造した段階の結構最初頃の重要な創造した存在たちが作ったのです。自分たちを含めて、その星団です。だから、一番最初からの知恵を持っています。代々、古（いにしえ）のものを持っています。そこから色々分かれています。６番目が、中心にあります。

１から６までと、８から１３までの２グループがあって、真ん中があなた。１から進化系の役目があって６番目があなた。１から６までを司どる役目。もう一つ、７から１３までの均整バランスを保つ役目がある。６番目の星には・・・。

全部のバランスを取るのは７の星の役目なんだけど、前半の１から６までの総代表というか、まとめ役、司（つかさ）があなた。司どる役。１から６までの方が古来からの知恵、７から１３が、進化する知恵。

その古来からの知恵を司どる役目を持っている星です。そこの知恵を伝承する王族の一人娘。だから、それは守られたのです。６番目は赤、５番目は黄色、４番目は白、３番目は黒、２番目は虹色、１番目は透明。

王妃は亡くなっていない、命の薄い　命がつながるのが短い一族で、血をつなげるのが大変だった。兄弟の中で唯一継承できるのはあなたしかいなかった。そのあと王妃は早く死んでしまって子供がいなかった。だから王妃の兄弟の子供なんです。王様の子供として育ちました。

女が、一族を守っていました。男は守れない。女の肉体を通して守っていく。それは結構小さい頃から、６歳位の頃からあなたはこの役をしなくてはいけないと言われてきました。言われ続けてきたし、とても大事にされたけど、ある意味、一般の子供たちのように子供らしいところをなかなか出せなかったようです。

さらに自分の実母と父と離れて王様のところへ娘として、継承者としての役目を持たなければならなかったことが悲しかった。自分の気持ちとしては、やりたくなかった。やらなきゃいけない大事なものは分かるけど、やりたくなかった・・・。

守らなきゃいけないものがあるのは知っていた。周りが一生懸命守ってくれたのでそんなに苦労はしなかったけど、その突然、星がやって来て襲った時に、王様は自分の命を投げ出してでもあ

なたを守ろうとした。自分が宇宙に飛び出したときに、本当に自分が守らなきゃいけないものは大事なものだということが良く分かった。

何を守っているかというと・・・、「いにしえの知恵」。

無から生み出してきた知恵。とても大切なもの。１から５までの星の色、その意味を知恵として持っている。７番目は、壁みたいになっている。

８以降と、１から６までは違う。１から進化してきて進化系の知恵。無から生み出したものを次元転換してさらに大きく動かしていくのが、８から１３の役割。６の知恵は古来の知恵。

土に一番近い、土にその情報を持っている。一人で宇宙空間を彷徨っている時に（カプセルの中にいた）、その宇宙の使者（これは意識体）が来て話しをした。あなたの意志確認に来た。

これからどうするのか？どうしたらいいのか？

最初は、「何も聞かないで欲しい・・。」

どうしたらいいのか？と何度も聞かれているうちに、「ここを離れたい・・。」

何処に行きたいか？

「遠い処・・。」

どんな星か？

「水の星（地球）」

それで　分かったと言って「ヒューッ」と移動。

まっすぐ地球に入ったんじゃなくて、金星に一回、行っていきました。それで守り続けようとしました。その星は、内部消滅しました。内部からのエネルギー崩壊により、その星にいられなくなり、意識体としてそこから離れて地球に来ました。

金星では結構時間がありました。（いい時間を過ごした）その後、エネルギーの内部消滅がありました。あなたにとって初めての場所なんだ、安心できる場所。誰も特別扱いしないし、普通の家族のように人間として付き合える。あなたにとって懐かしい故郷として安心していられる。生

まれ故郷は他の星だけど、悲しい経験があるから、色々な思いがあるから戻りたいとは思わない。

元々のあなたの魂の役と目的をちょっと見てみましょう。

どんなことがあっても　何が起こっても目的を曲げず　そして捨てることができるようにサポートする役目です。あなたは元々生まれた時からサポートをする役目としてサポートし続けられています。

知恵を大事な人に渡す、差し出すときに、”ある証”がありました。

石の証文・・・、石の証文

その証文を見つけたときあなたは、今までの知恵と私であることを確認できるはずです。それをしっかり守り、サポートしなさい。あなたの一族は、元々、知恵を護り受け継ぐ一族として、土から全てを生み出す事を学び、教えることができる役目なのです。

土には全ての物が与えられているでしょう。どんなときでもそれを忘れないように。あなたと同じ役目の人が、あと３人います。この地球では４人のうちの一人です。

大切なその役目を果たし、命を生み出すこと、守ること、土を守ることです。土には、全ての物の知恵があります。そのことを語り続けなさい。どんなことが起きても、土を守り続けなさい。

土には、いにしえの知恵があります。あなたが守らなければ、他の人と共に土の色が消えます。それが土の命を産み出す知恵です。だからあなたは死ぬことができません。その知恵を受け継ぐことができなければいけないからです。

土の石の証文を取り返しなさい。その石の証文が埋められていた場所があるはずです。地球の山の上・・・。日本の北の山の上の方・・・。〇〇〇の　山の上です。そこに切り立った崖があります。その山の上の石に、証文の石があります。その証文を持つことが、石の役目を果たすことになるのです。

地球を守る支えの石となるのです。

いにしえの知恵を思い出しなさい。そのいにしえの知恵というのは色、星の色、星の色の意味です。

６番　赤い星　（土）

５番　黄色　　（土の中にある種）

４番　白　　（太陽　光）

３番　黒　　（影）

２番　虹色　　（変化）

１番　透明　　（水）　　です。

あなたのルーツは、宇宙の第３系列　第３氏族。その第３氏族は、元々の知恵を進化するために宇宙を創造したといわれている。リラ星の人たちは、もっと後、第７くらいです。だから本当に古い・・・。

※このアカシックレコードは、ＹＡさんの了解を得て公開しています。
2007.11.09 Fri

アカシックレコードを公開する意味

個人のアカシックレコード（宇宙の記憶）を今、皆さんに公開する理由は、ある一人のアカシックレコードは、あなたのアカシックレコードと同じ部分があることに気づいてほしいからです。なぜ違う人の宇宙の記憶が、自分にも同じ記憶があるのかというと、それは、ひとつの魂として宇宙で経験したあと、ある理由があって、別々の魂として別々の肉体を持ち、今回、この「地球」に存在しているからです。

お互いの魂の記憶の断片にある”大いなる目的”に気づくことができれば、あなた個人としても、宇宙全体そのものとしても、存在している本来の役目のために生まれてきたことに気づき、新しい宇宙”新宇宙”を創造し、お互いを支え合い、新しい命を産み出すことができるのです。

”宇宙すべて”を創造した創造主とのつながりを想い出す言葉、『大いなるひとつ』の本当の意味は・・・、

?すべての魂は、つながっている

?すべての魂は、もともとひとつである

?すべての魂は、家族であり、互いを生かしあう為の仲間である

?すべての魂は、それぞれ同じ目的を持って違う立場で存在している

?すべての魂が、望むものも目的も、同じである

?だから本来、魂に、「個」は存在しない

?あなたが、私の一部であり、私は、あなたの一部なのです

◎他人は、自分そのもの。自分の本当の姿は、他人が見せてくれています。

このひとつひとつのことに気づくことができれば、あなたは、創造主の魂の役目ができる人になることでしょう。

まもなくやってくる”１１月１７日の宇宙と地球をつなぐ祈り”は、地球上と宇宙に存在するすべての存在との”大いなるつながり”を体験する時間になります。

この祈りの時間だけも、いつもの「自分」を横に置いて、”新宇宙”の創造のために心を合わせて、祈ってみて下さい。そのときあなたは、すべての存在とのつながりを全身で感じることができるはずです。

11/17の祈りへ参加する宣言をお願いします。この宣言は、創造主とのつながりにおいて、新しい宇宙を創造する重要なメンバーとして、大いなる創造主があなたを常に見守ることでしょう。
2007.11.07 Wed

アカシックレコードの情報を特別公開　その4

あなたは、二重の星の隣の星から来た、と言っています。中に一つの星があってその外側にもう一つ周っています。回転が違っています。その二重の星の隣の小さな星から来た・・・。

その小さな星は生まれたばかりの星で、二重の星の真ん中の星からの意識体から生まれてきている・・・。貴方はこの星に帰ってきたことがある・・・。この若い小さな星の時だと思うんだけれど、貴方と年上の存在がいたんだ・・・。この星を守るために貴方は行ったみたいなんだけれど、初めてに近いくらい星を守る役目みたい。初めてみたいで、戸惑いがとてもあったんだね。

その為に２,３人っていうかサポーターが入ったんだけれど・・・星を守るために来た人達・・・。この二重の星の役割は、真ん中が「無」で、外側で周っているのが「全体」っていうか、「全て」で、動いている方向ってあるんだけれど、それが「調和」している。で、ここから調和のエネルギーを出しているんだね。

その大切な「調和の星の子供」として生まれた星を守るために貴方が最初に降りたんだね・・直接存在が・・・？で、元はこれが宇宙の中心にあったみたい、全ての調和を司る役目としてものすごく大きなエネルギーを宇宙全体に放出していた星。その子供の役目というのは、同じような役目をする為に成長していった段階の一番最初なんだよね。とても大きな役割になっていく。

最初は不安であなたは戸惑ったみたいだけれど、その小さな星の周りに大きなエネルギー体が囲んで周り始めて、小さい星なのに中心がちゃんと星があって、周りがちゃんと守る小さな二重の星が出来たんだ。そこで学んだことは小さな調和、自己調和、これがここで学んだこと。小さな自己調和は自然に流れていく、心配しなくても自然に流れていく事・・・。

そのうち神が降りてきて貴方が離れる時が来たみたい、神に役目を明け渡す時が来た。その次に月のような周りに何も無い一つの星を守るために貴方は降りたみたい。そこには周りに何も星が無いので、ちょっと孤独だったみたいね。表面が枯れたような星で、結構、年老いた星、まだ中にエネルギーがあるんだけれど・・・惑星を作るのに？？？・・・

ここで覚えたことは、孤独に耐えること、結構長い間居たんだ、６０００年くらい。

この次に行ったのは、マクダラのような星・・・岩がでこぼこクレーターが・・・？電気エネルギーが強くて？？。色んなものを生み出したり、蘇生したり、生み出しと蘇生、「再生の力」を持っている・・？？を出している。この星で肉体を持ったみたい。ここで一人の男性が現れた、この男性は星を守る人。自分のするべき事を彼に聞いた。

「貴方が守るのです。この星を女性として守る役目をここでしなさい。」女性として守る役目は、”生み出す”と言うことと、癒すこと、再生させること。ここで沢山の子供を生んだ。その子供たちはいろんな星に転生して行った。それは今でも子供たちはその星々に生きている。ここは１００年間くらい居た。

ここで一回故郷に帰ったんだ、一番最初の星に、ここで帰った時に、本当の調和を学んだ、本当の調和を学ぶために帰ったんだね。そこから地球に来た、貴方が２６才の時に入ったみたいなんだけれど・・・。

（（メッセージ））

帰ることの出来なかった子供達の事を思って泣かない様に。

貴方が帰る事が出来たのは、大切な事を学び、思い出し、それを使うためです。

大きな調和を学び、絶対の愛を信じている貴方だからこそ出来る事があります。

本当の事を言いなさい、本当に貴方が思った事を言いなさい。

貴方が本当に思った事は、星の役目です。

貴方の魂が喜ぶ事が星の役割です。

貴方に言わなければいけない事がある。

ある時子供がいなくなる時があるが、それが時に戻らなくてもそれを不安に思う事が無ければ、貴方の信じているとおりになる。

貴方が信じる事が出来なければ、「調和」はあり得ない。

貴方は本当の調和を信じる事が役割なのです。

自らを内側に置くか、外側に置くかは、貴方が目的か結果かを考えているからです。

貴方が始まりで在るはずがないでしょう、貴方が”始まり”ならば貴方で”終わり”になる。

貴方は、経過なのです、経過は変化の過程なのです。だから、経過を楽しむようにして下さい。

貴方が自らの愛を見つめる事を始めると、戸惑う人達がいるのです。

貴方が自らの愛を信じないと戸惑う人達が出てきます。貴方の信じる事は、調和です。

全ての物事は「調和から始まり調和に終わる」のであり、始まりも終わりも調和なのです。

だからもう何も無いなどと言わない様にして下さい。

貴方が本来の目的に到達するまで私達は見守り続けています。

”貴方の星の元の星より”

※このアカシックレコードは、ＫＨさんの了解を得て公開しています。
2007.11.07 Wed

アカシックレコードの情報を特別公開　その3

まあるい星の中に住む人たちは、何かを見つけようとしている・・・。まあるい星の中であなたは、何かを見つけようとしている・・・。あなたの探しているものはなんですか？

大切なものが見えなくなります・・・。大切なものを見つけようとする心は、捜し物を見つけ出す気持ちと内容しだいですから、あきらめないで下さいね。あなたははっきりさせたい過去・・。あなたが見つけ出したいのは、愛なのか、喜びなのか、孤独なのか、目的なのか、生きがいなのか、やりがいなのか、子供なのか、念力なのか、心なのか・・・。

あなたは愛情が深まり、見つけたいものはもうあなたの胸の中にあります。あなたはそれがなんでもないものものだと感じているようですが、あなたはそれをもう持っているのです。あなたはそれを探そうとしながら、途中でやめたりしないように、わたしたちはあなたをサポートしているつもりですが

、あなたにとってはそれが見つからないことが苦しいと感じているようですね。あなたは、それが無いと感じているのはなぜですか？

あなたは、生まれた時からもうあなたの中に持っているのがわかりませんか？あなたはもうまもなく、何かがあなたの中に入るのを体験するのでしょうが、それは、誰も感じることはできないものなのです。なにも恐れず受け入れてください。

あなたが求めているものは、わかりやすいものではないようなので出来るだけ私たちがサポートしますが、あなたが「もうやっぱり大丈夫だからやめよう」と言い出すと、私たちのサポートの声が聞こえなくなってしまいます。私たちは、あなたに言うことがあります。

あなたは、もう何も無いと感じて大切な物を忘れていることに気付いてほしい。あなたは、特別なものを持たされているのですから、どうぞその特別なものを大切にして下さい。特別なものとはなんですか？特別なものとはあなたの心の中にある「針のようなもの」でしょうね。

あなたが人を思い優しくしてあげたいと思うとき、あなたが許してあげたいと思うときに、あなたが意地をはると愛が壊れます。あなたが意地をはると、宇宙も崩れます。あなたが自然になりたいと言っていながら、一途な行動をとる理由がわかりました。

あなた自身が不自然な行動をとる時、混乱を求めているとしか私たちには見えません。あなたが望むことを私たちがサポートしていますから、あなたの本心が望むことを素直に信じて、ずっと突き進んで下さいね。あなたがいつも自分に言ってる言葉がありますね。

「もういや！」と嘆くことが、どれくらい私たちを苦しめることになるのか、もうあなたは分かりますね。　あなたが一人じゃないことを信じることが出来ないと、大切なものを失うことになるでしょう。

あなたの好きではないことを信じることができれば、あなたは完全な「シン＝芯＝神」を与えられることでしょう。

あなたが守ってる星が持っている「力石」があります。”カルサイト”ですね。それがあなたを癒やす力になるでしょう。あなたが持っている力をこれだけ与えることができるのは、「カルサイト星」という星の名前のいわれのとおり、（日本語では　”方解石”とよばれていますが）カルサイトは方解石とは違い、より細かい輝きを持っています。

あなたの生まれた星の話をしましょう。あなたの生まれた星の名は”カルサイト星”です。これは宇宙の端の方です。プリウス設置後、星がたくさんありますが、いい暮らしの星は　初めから「７５」を目的とした石（意志）が集まっている状態です。

あなたの生まれた星ではカルサイトを食べていますが　あなたは食べることが出来るでしょうか？あなたの体は、血小板が短く小さく作られているために血小板の剥離が激しいのです。４７歳の時に、血小板のことがわかった時に、「何も問題ありません」と言う医者の言葉を信じてしまいましたね。その時のことはとても大切ですよ。あなたは自分の体のことを感じることをしなければいけませんでした。あなたは大切にしているものあるからこそ、その体で大丈夫でしょうか？

大きくエネルギーを動かすことで動くその種のイメージの仕方がわかると、「生」のエネルギーも大きくなります。あなたはどんなことをしたいのか、はっきり明確にして調べることが自分でできるようになりましょうね。あなたが夢を調べていると、とても大きなエネルギーが動いているのが見えます。あなたの考えている夢に対して、オーラ体があなたの周りを守護しているエネルギーなのです。

あなたの周りにいる”四大節(よんだいせつ）”は、天使達なのです。その天使達がいじめられているのですから、あなたが何に対して不安なのか理解できません。あなたが見つけたいものは何なのか、もうはっきり口にしていわなければいけません。だけど・・、もし・・、だって・・と言う言葉はありませんよ。

ただ、あなたが望む方向が出来れば、それをサポートしてくれる天使達が動きはじめます。あなたは自然の流れにそって静かに動き出すだけでよいのですから、どうぞ自分を大切にしてくだ

さい。あなたはいい訳のような言葉を口にしなくてもいいようになることでしょう。より大きな声で、大きな志をこめて「私はやります」と宣言してください。

カルサイト星の子供たちは　カルサイトを食べています

愛は終わりではなく、始まりなのですから、最初からよろしく！自然に心をはっきりと天に誓いなさい。愛ははじまりなのです。愛は作りあげるものなのです。だから、あなたがはっきり言うべきことを言わなければ、はっきりしないのです。それは、あなたが「愛そのもの」だからです。「愛そのもの」が迷えば、愛の存在すべてが迷います。「愛の存在そのもの」は、もともとは、愛の星からきたということなのです。

愛の星とは、「カルサイトの星」と呼ばれていました。数ある星のなかでもカルサイトの輝きは皆と同じではなく、より繊細なエネルギーを発することができるのですから、あなたは初めからそのことを知っていたはずですので、どうぞその力をお使いなさい。あなたの繊細な心の使い方が取り扱う時代になったのですから、子供の時のように素直になりなさい。

あなたが大丈夫と思っていても、より不安げな人たちが集まってくるでしょう。だからそのことを気になっているあなたが「大丈夫よ！」と声をかけてあげることが出来れば、より愛が輝くということなのです。

あなたが愛を語り始めるとき、愛も新たに輝き始めます。あなたの子供は、あなたの子供の時と同じように、あなたの所へ置いていっている存在たちがいますが、その使い方を間違わないようにしてください。それは、あなたのものではなく、子供の出している光を囲おうとしているだけですから、あなたは自らが発するべき光をだしてください。

それがあなたのエネルギーの源となりますし、それが皆さんに癒やしを与えることにもなりますし、あなたが癒やされる機会でもあるでしよう。だからいつもあなたは、光を結ぶ時のように、愛を結びなさい。あなたの心の愛の結びめをしっかりと締めなさい。

あなたがしっかりしないと娘たちがしっかりできなくなるでしょう。あなたがしっかりしないと周りの大人が迷惑がっていくでしょう。だから後からぐずぐず言わないように、いつも本心で言うことを決めてください。本心というものは、「素直な心」そのものですから、あなたが自分の心に素直に生きることだけなのです。

「あなたは生きることが出来なくなりますよ」と聞かされた時に、どれだけ苦しい思いをしはじめるかを思い出してみてください。出来るだけ大切にしておけば良かったと思うことばかりだとみえていますよ。あなた自身、体についてどうですか？あなたの周りの事についても、今以上に

感じることがあるでしょう。あなたが今、思い返してみて思うことがあれば、出来るだけ早くそうしてあげなさい。

あなたに出来るだけ早くという期間も、１か月　３か月　４か月　６か月　１年年・・。

あなた次第ですが、それまであなたの命があるように私たちは祈っています。それよりももっと重要なものがあるのならば、大切なものがあるのならば、もうあなたを止めることはできませんが、あなたが一番大切にしたいものがあるのならば、その大切にしたいものに素直にならなければ待ってはくれません。しっかりしなければいけませんよ。あなたは「死んだ方がまし」と思ったこともあったでしょうが、それよりも辛抱したほうがいいと思うことが多いことに気がつきましたね。

しばらくたってからでいいですから、できるだけ早くみんなを混乱させないようにしてください。あなたが混乱すると、みんなが混乱します。みんなが混乱するとあなたの病気が重くなります。あなたの魂は多くの命が失うことを受け止めることは出来るのですが、これとそれは話は別ですよ。

今は何よりも自分の体を大切にして下さい。あなたはあなたが誰かより詳しい説明をすることができるぶん、あなたは「愛を信じるもの」として、自らからを信じるものとして、愛を実践するよう行動しなければいけません。

家族・周りの人たちが皆あなたを心配そうに見ているときに、あなたが周りの人を癒してあげるだけの愛の力をあげれば、あなたは癒やされる事でしょう。だから、たくさんの人に、たくさんの愛をあげてください。そのサポートを私たちがしますからよろしくお願いします。

※このアカシックレコードは、病気を抱えたＳＡさんの了解を得て公開しています。
2007.11.06 Tue

アカシックレコードの情報を特別公開　その２

真っ黒な大きな宇宙の中にある、大きな星の後ろに小さな星がふたつあります。その中にある小さな星のほうにあなたは住んでいます。そこは、水星です。その星に住んでいた時に、あなたはとても幸せな生活をしていました。学びに満ちあふれ、自然に満ちあふれ、エネルギーに満ちあふれ、宇宙の流れを澱みなく包み込むその星の中にいることは、とても幸せなことでしたが、いつしかその星の水が涸れ始めました。

それは宇宙の調和のバランスが崩れ始めたことによる影響で起きる現象です。「宇宙の記憶データ」と呼ぶべき「水」の情報をたくさん与えられていたこの星に住む魂エネルギー体の人達は、その大切なものを守っていることの使命感という幸せな響きとともに、水のある豊かな生活をしていました。

その時のことを思い出したくなれば、きっと、あなたは「水」が何よりも大切なものであることを気付くことでしょう。「水」はその大切な記憶をいれたバンクであり、しかもエネルギーそのものである「水」という存在を知るべき所から、それを守る役割が与えられている存在達の意味を知ることが出来るでしょう。

水の星が出来る前のことをもっと詳しくお話しましょう。水の星が出来る前、大きなエネルギー体としての星がありました。そのエネルギー体としての星は、みんな意識の集合体であり、それが具現化したものが星なのです。その集合意識体というべきエネルギーは、時には太陽となり、時には水の星となりました。その時々により、それをいかすべきバランス調和が出来始めると、その形を変え、その役割をし始めているものでした。

そのつながりが、大きなひとつの流れとなってその惑星が出来る原因、理由となるのですが、あなた達がその星を守っていた時、あまりにも大きな事件が起きたために記憶を消滅させてしまうほど、その過去を顧みないようにしているようです。

水の星の記憶は、次の火の星、火星についても同じことが起こりましたが、そのことを知る人、エネルギー体も同じようにあまり知られていません。

あなたが水の星のエネルギー体として入る前には、もっと色々な星の始まりのことを経験しています。それはその時生まれたばかりの星の赤ちゃんのような存在達のことを見守る役目として、いつもあなた方は、母親星として、その時必要な知育、智恵、情報、安定するべき方法を見つけて教えてあげることが仕事でした。

宇宙の多くの星達はその母星達の働きがありましたので、その大切なものを守るべき智恵をいた

だき、授かりながら新しい命を生み出していくことが出来たのです。あなた達が、母星としての役目をいただくためには、大きな成長を遂げなければいけない経験が必要でしたが、あなた達はその経験を何度も何度も繰り返しながら、幾度も小さな星を子育てのようにしながらたくさんの命を授けていました。その時のことを思い出さなければいけない時期ですね。

あなた方はもっと大きな大切なものがあって同じ役目を担う母としての存在の意味を知るべきなのです。それは父であり、母である「おおもと」とのつながりを始めるにあたり、その存在との交信が出来なければいけないのですが、そのことを伝えることが出来なければ、その子供達は守るべきものがありません。だからとても悲しい自我、自分という個のあわれんだ概念が動いてしまうのです。母星として活躍されていた時のことを思い出してみましょう。

「あの時」とは、大宇宙戦争が起きた時のことです。その時、１３星団の大きな一族達は、そのあなた達のような大きな母親星役として働く星エネルギー体意識の存在を大切にしていましたが、ある反乱分子が怒りまして、その調和がとどめることが出来なくなるほど犠牲になる人達が出没してしまったのです。大戦争になったのです。

その時あなた方、母星は自らの子供、育てた子供達を守りたいという証として自らの命、魂、エネルギー体を分裂させてしまいました。ところがその分裂させられたエネルギー体としての子供の活躍はとても難しく、大きな母親としてのエネルギー体として活躍することが出来なくなってしまったため、それぞれが、それぞれの場所で、それぞれの仕事をすることしか出来なくなってしまったのです。

自らの意識で星を救おうとするならば、その活躍するべき場を失ってしまったようなものなので、何を守ればいいのか、何をつなぎとめればいいのか、わからなくなってしまいました。それでもあなた達は、母としての愛よりは宇宙の調和を大切にしてきました。ところが宇宙戦争の勃発した最後には、その大きなエネルギー体であるあなた達を攻撃してくる存在達がいましたので、それでもなお守り続けることが出来なくなった為、あなた達は全部、分身、分霊、別れてそれぞれの星のところに行ってしまったのです。

だからあなたは何か取り付かれたように、子供達のことを心配して苦しんでいる姿が懐かしく思われてしまうことでしょう。私達があなた方、母親星になっていた存在達をどれ位大切に思っていたのかをはっきり示させて下さい。

私達はあなた方、女性として生まれた肉体を持った人間としての存在＝神存在として生きる者達の使命は、大きな意味、意義ではなく、それよりもっと大切な命をつなぐ、星を守るということがどれ位大切なことなのかを知っていましたので、それぞれが、それぞれの星へ降りた時に、その子供達と意を合して、心を合わせて一緒に遊びながら大切なことを導いてきました。

その時のことを思い出したくないのであれば、それは子供として生まれた星が、ちりぢりになり、散々な目に遭い消滅、崩壊してしまう子供達のことを忘れてしまうことになるでしょう。生き残った星の子供達はそのことを出来るだけ話したくはないでしょうが、その母親星という星が存在していたということがあるというより、もっと大切な、それよりもっと大事な大きな役目があったのだということを伝えてほしいのです。

あなた方人間は出来るだけ簡単に、容易に、苦労せずに、安易に勝手に素晴らしいことをやり遂げようとしてきましたが、それがその宇宙戦争の原因でもあり、敗因でもありました。

容易に用意出来るものならば、それは簡単に崩れてしまうものなのです。だから大切な物事は大切にしなければ、大切に守らなければそのつながりを守らなければならないのです。

あなたが母星として成長するもっと以前、少女としてのエネルギー体の時には夢が叶えられたのですが、その役目が重くなるほど自ら望むことが宇宙の全てが望むことと同じように感じるようになり、その自分を見つけ出して喜ばすということを忘れてしまいました。

そのひとつの星の母星となった星達のそれぞれの願いは、ひとつの大きな星の宇宙の役目に他ならないのです。だからそのことを忘れずにいるはずです。あなたが守っているものは、今、守っているものは何ですか？

あなたが持っているその力は大きな愛情というよりは生きる智恵、力、もっと大切なものはつながりであることをはっきり伝えることです。

それが出来ないほどこの地球の現状は乱れてしまっています。命ある限り、形として出来ることある限り、あなたが選んだ道を全うして下さい。出来るだけ、出来るだけ、ゆっくり、優しく、そして早く、その結果に導いて下さい。

私達は出来るだけ早くそのことを思い出せるように、新しい人達のことを守りつながければいけないのですから・・・。

※このアカシックレコードは、ＯＭさんの了解を得て公開しています
2007.11.04 Sun

アカシックレコードの情報を特別公開　その１

まずは金星ですね。金星の前にものすごく大きな星。金星の時には戦士のような働きをしていた時があります。その仲間には、あなたの子供の頃の仲間が一緒にいました。その仲間達と一緒になってあなたは「あること・あるもの」を守るために戦い続けていました。

そのあるものとは金星の王が守る星の意思（石）なのです。その星の意思（石）、つまり使命を守り続けていたのですが、反乱軍というか、その妨害をするべき存在達からの攻撃に遭いあなたは命を、肉体を失いました。そのあと、この地球へ来ることになったのですがそのもっと前の大きな星の出来事が沢山あります。

その大きな星の中にはもうひとつの星がありました。その中にある大事なものとは、あるものが隠されて守っていたのですが、あなたはその時、沢山の仲間と一緒になってその星のひとつの役目を守ることを一緒にしていました。その時の仲間達はいつまでも永遠に離れることがなく、互いを助け合うために見捨てることなく命を差し出し合う仲間として同じ母となりし星からやって来たのです。

その母星となっている星から与えられた役割となっているものは、今のあなたの中にあるものです。その母星が大きな星を守る役目となった理由「証し」は大きな流星群となっていた時のことなのです。大きな流星群となって、いくつもの星と一緒に流れ星となっていた時のことなのです。その時のことを思い出さなくてはならないでしょう。

流れ星となっていた星達は、ちりぢりとなっていきましたが、その星の中にあるひとつの使命を持った星達を守る役目として、あなたの母星が働いていたのです。その流れ星となっていたのは大戦争が始まったことが原因です。「宇宙大戦争」になった時、そこから離れようとした星達がちりぢりになって分散し始めたのですが、その中のひとつの星としてあなたが大切なものを守る役目を持っていたのです。

だからあなたは何をおいても「始まり」がありません。あなたが「終わり」なのです。あなたが守るべきもの、それは子供でもなく、親でもなく「守るべきそのもの」なのです。

その役目を全うすることが分散した目的なのです。あなたの中にあるその書物というか、データというか記憶に残っているものが大切なものなのです。だから誰も信じることが出来ないのです。だからこそあなたはしっかりそれを受け止め守りぬいてきたのですが、誰もそのことをわかってくれないことが唯一、自分の混乱の原因でもあります。そのことを理解しようとしているつもりがなくても自分が大事にしようとしているものが理解してもらえないということばかりだったはずです。

それはあなたが持っているものの「証し」なのです。それは誰も理解することが出来ないはずです。だってあえてその大切なものを粉々にしてひとつのカケラとして持たせているのですから。「証し」がその断片、チップなのです。あなたの記憶の中にあるアカシックとつながる時があなたの中にあるその情報を引き出す時なのでしょう。

ところがその「証し」を見せてくれるのはあなたが一番大切にしたいものを持っていることを知っている人だけなのです。それが「証し」なのです。あなたが守っているものは皆が必要としているものではなく「大切なもの」なのです。それは古えの断片となっている記憶のカケラのようなものなのですが、そのチップがなければ記憶の断片データをつなぎ合わせることが出来なくなるのです。その組み合わせをブロックしている存在達がいますが、それを阻むことをしなくても、もういい時期になりました。

しかし宇宙という大きな存在の中であなたのような役目を持っていれば狙われることもあるでしょうが、それはたった一人ではなく、地球のあちこちにその意識データをチップを持っている人達がいるのです。だからそのアカシックのアクセスの時にそのチップを手放しなさい。

時が解決するならばいくつもの幾通りものやり方があるでしょうが、その時を知らずに過ごすならば、あなたが持っているチップのカケラの意味さえなくなります。古えのチップ、記憶、データをつなぎ止めるつなぎ合わせる時がありましたならば、その時のことを全て明かしなさい。その時のことを全て明かさなければあなたの物事、人間として、家族として、命として、魂として大切にしたいものとしての役目の意味がなくなるでしょう。その情報は公開しなくてはならないのです。

あなたは誰も頼りにせずに信頼し続けるためだけに確認しようとして生きてきたのですが、母よりも父の方がもっと大きな大切なものを守り持っていることを知っているからこそ、誰にも明かせないことばかりだったのです。あなたがつなぎ止めなければいけないその断片チップのつながりを持つ人々はいつもそのことを気に掛けていました。

あなたがいくつものチップのいくつかをどこに納めるのかを知っているからです。どこにあるのかをさえ知らなければその納める場所すら知らないのですが、あなたはその宇宙大戦争の時の記憶の中で隠してしまおうとしなければいけない一瞬があった時、ある場所のことを思いついたのです。

その星さえもうなくなりましたが、その星のエネルギーはいつもあなたの背中の真ん中辺りで回っていました。いつもそのエネルギーに悩まされていましたが、あなたが混乱しすぎる理由がいくつもあげられると思いますが、実は、そのエネルギーがあなたのもともと持っている魂のチ

ップ、断片とつながっているのでそのつながりの「証し」としてその背中辺りのエネルギーが回っているのです。もうその時が来たとしたらあなたが手放さなくてはいけないものがあります。もう準備しなくてはいけません。その時がまもなく訪れますので、その時のことを知らなくてはいけません。

その時とは、１１月１７日の時のことですからね。その時のことを忘れないで下さい。あなたが忘れることがなければその時のことを思い出す人達が増えることでしょう。それはあなたが持っている断片チップと同じものを同じ母星から生まれた者達も持っているからなのです。その時のことを伝えて下さい。その断片チップをつなぎ合わせてひとつのまあるい星の盤のようなものを作り合わせることが出来るのです。それで宇宙の時空を…時軸を動かしてくれれば、みんなが本来望む宇宙が生まれます。

あなたが持たされているチップのようなもの断片チップそのものは、もうあなたの魂の中にはありません。あなたの頭の中にある断片チップの隣りあります。その記憶チップをつなぎ合わせて下さい。「ひとつとしてひとつとなって働く」そのチップの働きはもっと大きな力を動かし、愛と希望を生み出し地球の流れを変え、宇宙の時の流れを動かしますが、その時のことをもっとしっかり理解しなくてはいけません。あなたはもっと知るべきかどうかを気付いていませんね？

だからあなたをサポートしている方達からそのメッセージをいただきなさい。あなたが必要としているものはいつもありませんが、それはその人達に何も記憶がないからなのですが、その時が来て、その時が始まるのですからどうぞ楽しみにしていて下さい。「あの時」と「その時」をつなぐ時軸となります。

その地盤、円盤、丸い盤の隣りに大きな星の大きな石を持っている女性があらわれることでしょう。その女性としてあらわれる時があなたの使命が終わる時なのです。宇宙の始まりのことですら何も知らされていないあなたが、何を持って来ているのかを知っていなければ理解出来ないでしょうね。その時のことをもっと詳しく調べることもありますが、「あの時その時」も、もう間もなくですからそれまでにあなたがしっかりその断片チップの出来事の心を受け止めなくてはいけません。

あなたが生まれた星の隣りに兄弟星としていくつかあった星がありましたがその星達、プレアデス星はある出来事がなければもっと長く生き続けられたでしょう。その時のことが永遠になる程、いくつもの記憶を持ちながらそれぞれ全宇宙へ散り、その記憶エネルギーをつないでいっているのですが、あなたはそのことさえ、記憶の中から消し去ってしまっているようですね。

そしてあなたは苦しみながらではなく、情愛からではなく、愛というそのもの自体が信じられないという感情的な人間としての生き方をしている間はその短いつながりの線をたぐることが出来

ないでしょうが、しばらく待っているとそのつながりの線は太く大きくなり、宇宙と直接つながることが出来るでしょう。

あなたが持って来ているその断片よりも、もっと小さいものがあなたの子供達の中にもありますがそのことを知る人はいません。あなたが産みつないだ命がつながる意識を調べればあなたがどこの星からどう転生してきたのかを調べることは簡単なことですが、それをするよりもあなたが自らの役目を知ることの方がもっと重要なことなのですから、どうぞしっかり覚えておいて下さい。

あなたが守るべき、調べるべき、プレアデス星という星の流れがありますがそのことも詳しく調べるよりももっと大きな「宇宙戦争」のことを理解しなくてはならないでしょう。ところがその時の記憶を大きな優しさと愛で消し去ったためにほとんどの人達の記憶の中にはありません。だからその時のことをはっきりさせなければいけませんが、「あの時その時」という時間、時空のつながりを守る祈りについては私に聞いて下さい。

あなたは調べたいものがあるはずですが何も調べられないくらいに混乱していますね。その時のことを調べることはとても難しいことなのですが、もっと昔よりさらに昔をイメージしてみて下さい。あなたは、みんなが守っていたルールや掟を破るより、みんなが規律正しく生きなくてはならないことを大切にしょうとしていることが、その時の記憶の断片なのです。だからその時のことを思い出してみて下さい。

小学校の時の子供のようにあなたはその時のことを思い出し始めるでしょう。いつもあなたは誰かに見られているような気がしていましたね。それが私達であることを誰も知りません。私達は宇宙の離れた星からやってきた意識体なのですが、その星のつながりのことを明かすことは出来ませんが、あなたが本来の役目をしなくてはならない時期に来てしまったので、そのサポートをしようとしていたのです。

しばらく経つともっと大きな出来事が起こりますが、そのもっと大きな出来事さえもあなたが記憶の中では消し去られてしまっているので理解出来ないかもしれません。その記憶の断片をつなぎ合わせていくことがあなたが持っている断片チップの本来の意味をやり遂げる意味となるでしょう。まだもう少しありますがその時はこちらにお入り下さい。しっかりつないでいてほしいと願います。

あなたが欲しくなくてもあなたのつながりがある限りあなたが守るべきものをしっかりこちらも受け止めるべきだと感じていますので、あなたもその時のことを思い出して下さい。私たちがサポート致しますからよろしくお願い致します。

※このアカシックレコードは、ＳＫさんの了解を得て公開しています

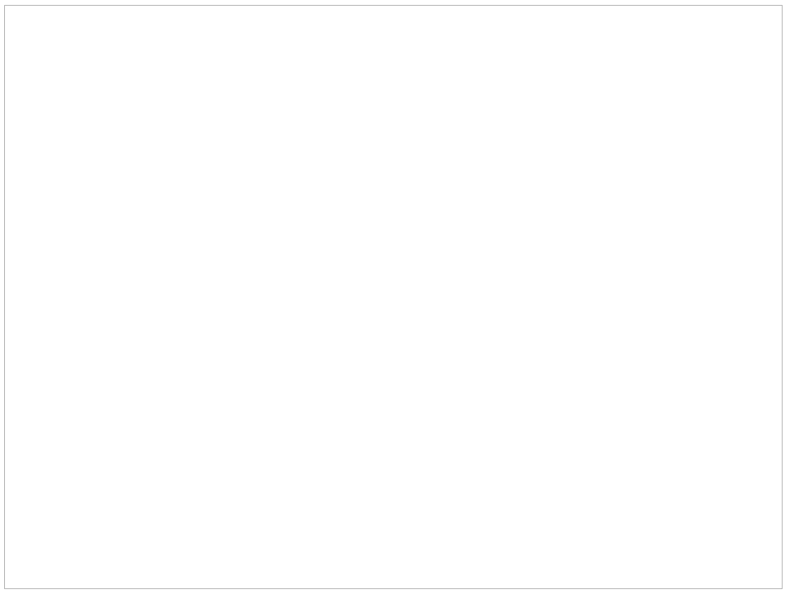
2007.11.03 Sat

ユークイ2007とニライカナイ

沖縄以南全体に信仰されている「ニライカナイ」という思想は、神の住む聖地として、海の底、地の底にイメージされており、そこから神がやってくると信じられています。そこには、自分たちの先祖たちもいて、７代さかのぼるとその先祖も神になるという思想もあります。

年に一度、ニライカナイから神が降りてくる時に、五穀豊穣と健康祈願を感謝をするお祭りが、豊年祭＝ユークイ（世乞い）ですが、今年初めて、伊良部島の長浜ウタキの神が降りる場所に、その瞬間、立つことができました。

（丸いピンクのエネルギー体＝オーブが神様です）



３名の司（つかさんま）たちが神が降りる場所に祈りを奉げていると、ある瞬間、「つながった！」とわかる瞬間がありました。その瞬間から、ものすごいエネルギー量が身体に載ってきて、立っているのがやっとなくらい全身が重くなります。そのあと、メッセージが聞こえてきました。

『今年は、龍のそばにいるものをそちらへ送る』

この「今年は・・・」を聞いた時に、「来年は違うのですか？」と聞いてみると、「来年は、違う」と答えて下さいました。

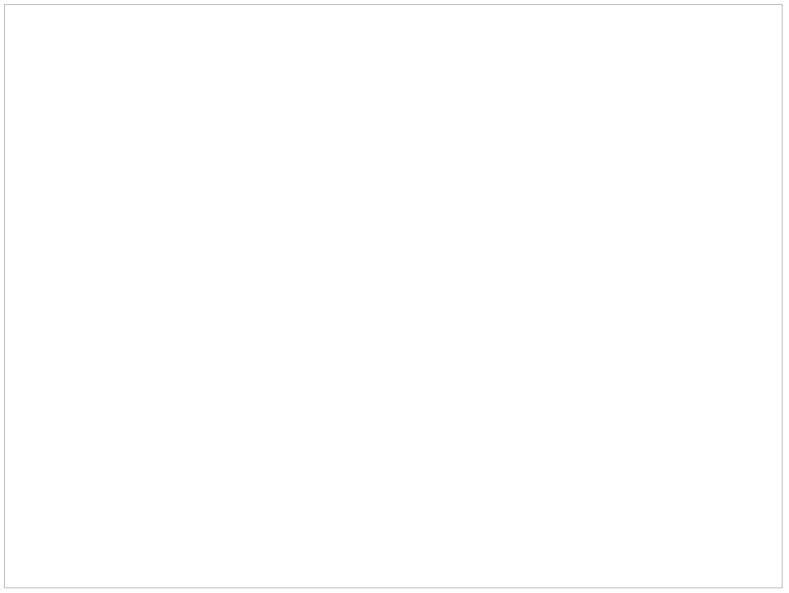
”龍の使い”とは何だろうと楽しみに待っていると、すぐ頭にポツポツ、雨粒が落ちてきます。「あー、水の神を使いに出したんだ！」とわかりました。「ユンテル、ユンテル」の掛け声とともに神降ろしの最高潮の瞬間には、ザ～と雨が、伊良部島全体に降り注ぎました。

５つの各部落でも同じ時間に神降ろしをしていますので、全部の部落に”龍の使い”が降りたことに

なります。これは今年１年間だけ、伊良部島のウタキに龍が守りに入ったことを意味しています。この意味を理解できる人に、メッセージを伝えましたが、地元の島の方たちが今後、どう行動するかを見守りたいと思います。

今年のユークイの特徴は、どの部落のウタキも、とても静寂な空気のなか、本来の神と向き合う空気を感じました。３年目ということもあり、ウタキの中で島の人と話す会話は、神そのものと話すことと同じ意味があります。９０歳のオバーは、初めて私たちが参加したときから顔を覚えてくれていて、私たちを最高の上座に招いてくれました。

ユークイの座は、それぞれ役目によって、座る場所が決まっていますので、勝手に、人の場所へはいけませんが、区長たちの最高の場所のすぐ隣の座は、このオバーだけが座ることが許されている座のようです。このオバーは、島でも有名なオバーのようで、島の女性たちから「なぜ、あなたたちはあのオバーを知っているのか？」と問われたほどです。頭も、言葉もハッキリしっかりしているオバーと話していると、いかに、この島の人たちの心のつながりが、暖かく大きいかを感じさせてくれます。オバー、ありがとうございます。来年も顔を見にいきますからね～！どうぞ、お元気で～！



2007.11.01 Thu

霊的意識から宇宙意識へ

一般的に、先祖霊が集まる所を”霊界”と呼びますが、沖縄では、霊界のことを後生（ぐそー：あの世）と呼び、先祖霊たちと交信して先祖からのメッセージを伝える職業の方を”ユタ”、または、”後生番”と呼びます。仕事として霊界と正しく交信できるようになるには長く辛い修行が必要ですが、生まれつき自分の世界観のなかで霊界と交信する周波数を持っている人たちも少なくありません。

子供の頃から霊が見える、霊の声が聞こえる人たちにたくさんお逢いましたが、一般の人には見えない世界とのつながりを幼い頃から持っているために、ほとんどの方が心の奥底に、”人に理解されない”という苦しい経験を持ったまま成長します。人に否定されるという辛い心の持ち主が大きな愛の道へ進むためには、まず誰かに大きな愛ややさしさで受け止めてもらう経験をしなければ、なかなか過去の苦しみを解放することはできないものです。

また、生まれつき霊的な体験がない方でも、誰かに強く非難されたり、誰にも言えない辛い経験をすると、そのことを心の奥底に押し込むために、心の奥底に”ブラックホール”ができてしまいます。大人になってもこの幼い心のブラックホールを持つ方は、自分の苦しみを誰かに認めてみらいたい、受け止めてもらいたいという気持ちの裏返しから、自分自身を傷つけたり、誰かの大切なものを壊したり奪ったりして、自己存在を主張を場合があります。

反対に、自分の心が愛を欲しがっているからこそ、誰かにやさしくしたり愛を与えることを強く望む方も多くみかけます。これは、「愛もやさしさも、自らが与えることで与えられる」と知っている子供の頃からの本能行動ですが、実は、純粋な愛には代償がありませんから、自分がしたことの代償を求めると、結果は大きな苦しみになる場合があります。代償を求めない愛とは何でしょう？それは、感謝です。感謝という言葉を頭のなかで知っていても意味がありません。「ありがとうございます」をすべての人に言える自分になることです。※その前に、「ごめんなさい」が言える自分になることも重要です。

すべての出来事に感謝できる自分になると、あなたの過去からの呪縛は、すべて解き放たれます。人間は、生きているからこそ、傷つけあったり、学びあったり、苦しめあったりという経験ができますが、それは魂のレッスンであって、私たちはその全てを経験して学ぶために肉体を与えられています。ただこの肉体には、「意志」がありません。”本能が、肉体”だからこそ、私たちには、意志、つまり、”心”が与えられています。心は、あなたの考えていることや創造する未来の方向に向かって働いています。

一般の方がよく勘違いしますが、霊や神様とお話ができる人がすばらしいのではなく、霊界や神様のメッセージをわかりやすく伝えることができる人が素晴らしいのだと思います。一般の仕事

でも同じように、物事を難しく説明する人ほど、実は本当のことをよくわかっていないと思ったほうがいいでしょう。本当のことや全体のことをよく知っている人に聞くと、簡単に問題の答えを見つけてしまうものです。

話を戻しますが、「人の心」を導く仕事をする人たちは、経済的にも人間的にも現実社会で生き抜いた経験がないと、人を導くときに、必ず頑固になりがちですのでご注意下さい。メッセージの内容や霊的能力が高いか低いかよりも、バランスのいい感覚で実生活を望む人たちが多いですから。

沖縄の神人（かみんちゅ）たちに代表される霊的能力の高い人たちは、音楽や芸術のアーティストのように、なかなかメジャーに理解されない時代には、経済的にも生活のバランスを崩しやすいのが特徴です。アーティストは、自分なりの宇宙観や概念・理念を持って、絵や音楽で表現しますが、私たちの住む「心の世界」は、さらにさまざまな周波数があるからこそ、共に共振し合い、進化することができます。私も過去の自分を比べてみると、何度も大きな気づきや変化がありましたが、特に、写真を撮ったときに、霊や神様が、同じオーブ（丸いエネルギー体）に写ることを知ったときから、すべての見えない存在を好き嫌いで判断することをやめました。すべてのものが、ある一定の周波数によって、その形や大きさ・色で自らを表現していることがわかったからです。

霊との対話やその付き合い方を正しく理解できるようになると、その上に、人間が神とあがめた存在の「人格神」がいますが、その上にも、火の神・水の神・風の神・大地の神などの「自然神」が存在し、さらにその上には、「龍神」「鳳凰」など無限に「宇宙・宇宙神」がエネルギー体として存在しています。この段階まで理解できて、人の心を導くことができる職業の方を沖縄では、「神人（かみんちゅう）」と呼びますが、その実力のほどを一般の方が理解するのはほとんど不可能でしょう。その理由は、それぞれの人の役目が違うように、神人によって聞こえる周波数の音や声に違いがあり、さらに、それぞれの人のメッセージの意味を深く理解する知識や判断する基準が、あなた自身になければわからないからです。

私も今までたくさんのユタや神人にお会いしましたが、相互に理解しあうことを拒む方もいて、なかなか人間同士のお付き合いが難しいときがあります。宗教に依存されている方もそうですが、自分の信じている神を否定される事は誰もが嫌いますので、そういうつもりがなくても、そう理解されてしまうと人間関係が難しくなってしまいます。

宇宙のことをお話するときに、”宇宙意識”という概念を理解しなければ、すべての意味を理解することは難しいでしょう。私を含めてすべての人間は、その記憶を消されて生まれてきていますので、宇宙の記憶＝アカシックレコードへアクセスするときに出てる膨大な情報を、今後、どう導くかが大きな仕事になりそうです。その理由は、『人間が存在している本来の役目を果たさな

ければ、この地球から人間という種族が消滅する』というメッセージをずい分昔から受け取っていたからです。このメッセージを受け取っている人は、私だけではなく、たくさんいるはずです。だから、たくさんの方たちが魂の目覚めをサポートする仕事に就いているのです。

以前、前世療法という形で、人間の過去世のセッションをしていましたが、もう、人間だけの学びをいくらしても、この地球の現状を見ると、間に合わないと感じています。何度も何度も、人間に生まれてきてチャンスをもらっているのに・・・。人間が一生のうちに経験することで、地球上で初めてのことなどほとんどないと言っていいくらい、私たちは何度も同じ経験をしています。だからこそ、本当の魂の目覚めをした方たちが、新しい行動を起こす時期に来ているのです。

行動を変える第一は、あなたの”普段の言葉使いそのもの”を見直すことです。あなたが思っていても人には言わない心の中の言葉が、地球上の周りに渦巻いていることをイメージしてみてください。そう、あなたが思ったことや心の中にある想いが、地球の全体意識を動かしているのです。

あなたの心の中が、愛にあふれ、やさしさと許しにあふれ、希望の光に満ち溢れていれば、必ず、この地球の未来は明るく輝くことでしょう。反対に、過去の出来事に執着して、苦しみの呪縛から離れられな幼い心をお持ちの方は、永遠に、その苦しみの葛藤の輪廻から抜け出すことができません。

人はいつも自分の信じたいものを信じて、そして、それを人に理解してほしいと願う心があります。その信じたいものが人それぞれに違うことを認めなければ、いつまでたっても、宗教戦争や個人批判がなくなることはないでしょう。

人間関係で一番もめる点も、同じです。否定されたと感じた幼い心は、永遠に、その相手を恨んだり、憎んだりすこともあるようですが、自分の信じたいものは、神や真実でさえ、ただ人間界のことであって、地球全体や宇宙全体の意味から考えてみると、その相違さえほとんど同じとしか見みえません。

心の葛藤や苦しみを誰かのせいにしている間は、あなたは、絶対に、幸せにはなることはできません。すべての出来事、すべての心の苦しみ、現実的に嫌いな人などのすべてが、全部自分の視点からみた世界観ですから、あなた自身の心の視点が大きくなれば、必ず、その全てを受け入れることを学べるはずです。

人間同士の争いを神や先祖が喜ぶ訳はなく、今より一歩成長することを常に願っているからこそ、ご先祖や神は、あなたに力を貸してくれるのです。

＜学びの言葉＞

〇世界を支配したい人は、すればいいでしょう。その人は、世界のすべての責任を背負わされることでしょう。

〇誰かを自分の思いどおりにしたい人は、力づくでもそうしてみればいいでしょう。あなたは、必ず、人にしたことを自分の身を持って体験させられることでしょう

〇苦しみや悩みが誰かのせいだと思っている人は、必ず、その恨み心や憎しみを誰かから向けられる立場になることでしょう。

〇自分だけ特別に扱って欲しいという心を持っている人は、必ず、誰かにその幼い心を利用されることでしょう。

〇自分のことを全て理解して受け入れてくれる人はいないと思っている人は、一生かけて自分が思い込んでいる辛い気持を経験させ続けられることでしょう。

許すことを学びなさい

感謝することを学びなさい

全ての思いを手放すことを学びなさい

あなたは、”今の自分”を肉体が離れるときまで、持っていくのです。

だから、今、過去を手放しなさい。

今、すべての人に謝り、すべてのことを許して、心をゼロにしなさい。

その瞬間、やっと、あなたが望む人生が手に入ります。

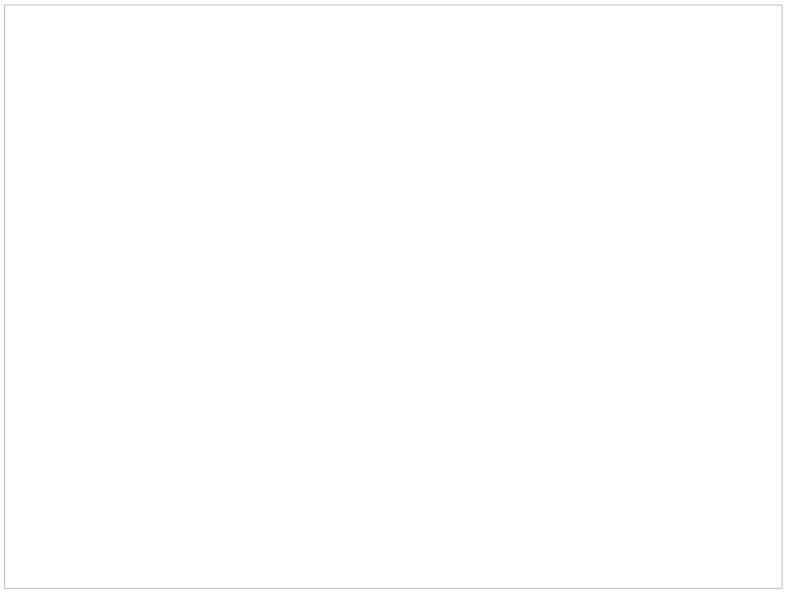
すべてのすべてが、神と宇宙から与えられていることを魂が学びます。

宇宙全体に存在しているすべての存在と、地球に存在しているすべての存在が共存しあい、助け

合い、バランスよく宇宙の調和が守られますよう、どうぞ、「11/17の地球と宇宙をつなぐ祈り」にご参加宣言をお願いします。

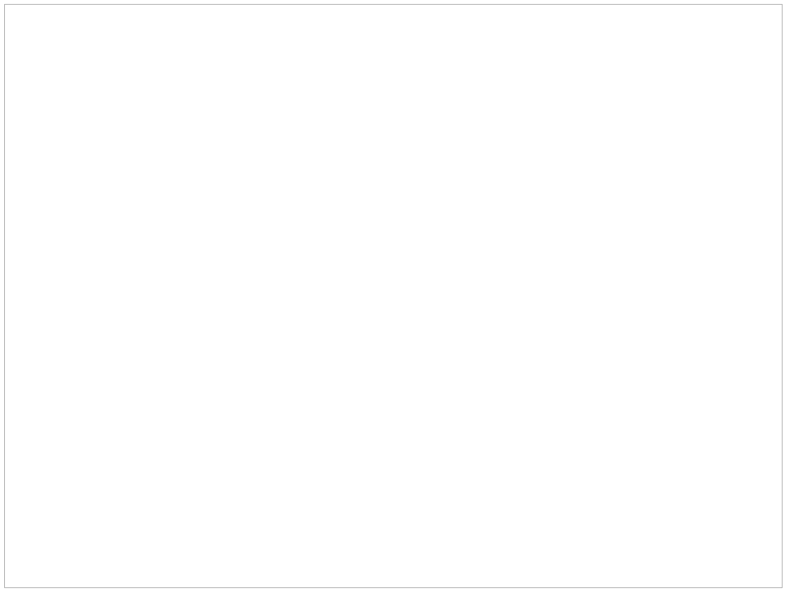
2007.11.01 Thu

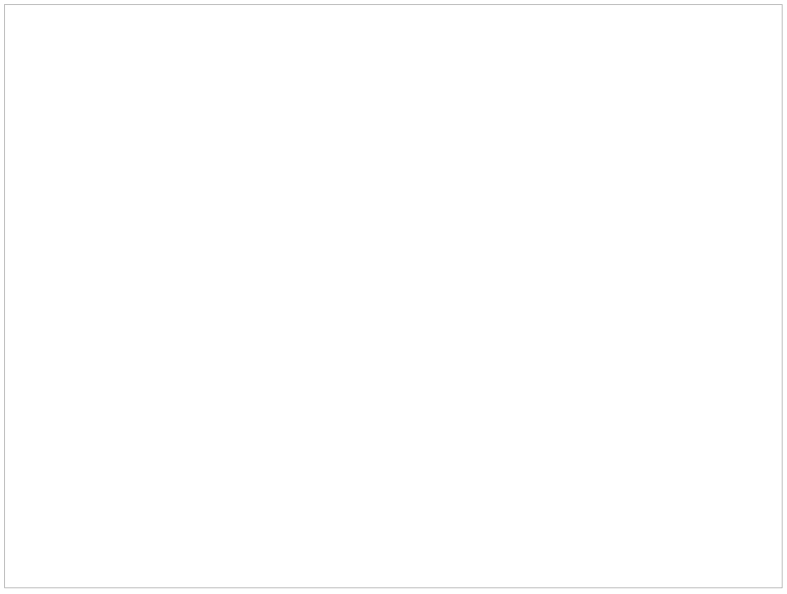
池間民族　みゃーくづつ（宮古節）**10/27-29**



沖縄全体を見ても数少ない男性だけのお祭りは、池間民族（池間島・西原部落・伊良部島の佐良浜部落）が「男祭り　みゃーくづつ（宮古節）」として守っています。

３００年続くこのお祭りのすべてを仕切る大司（うぷんま・女性）の後継者がいない年はお祭りが開催できない年もありましたが、今年は全ての部落で、それぞれ「みゃーくづつ」が開催されました。





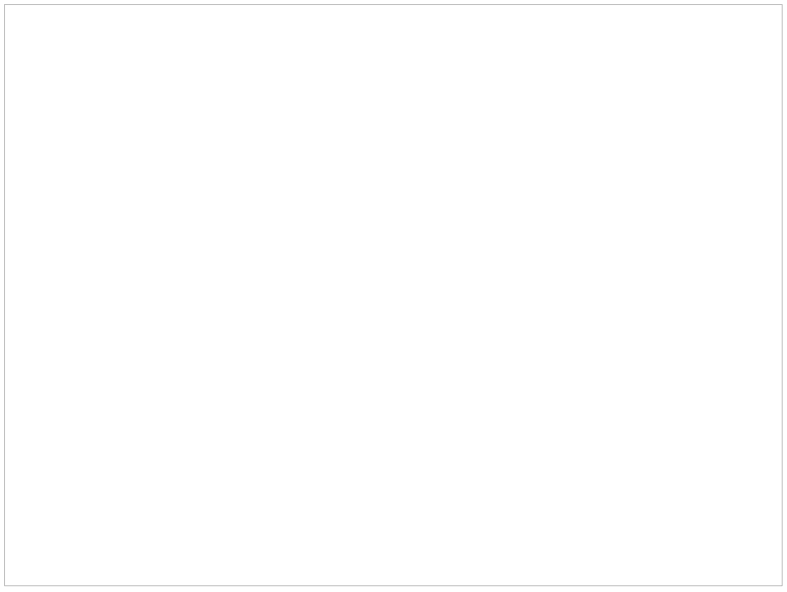
池間出身男性の正式儀式の「しーぶ」は12/29に行われますが、「おじー」と呼ばれる数え４８歳～５５歳までの男性は、この儀式の入学式と卒業式を経験するために、全国から毎年生まれた部落へ戻ってきます。

「みゃーくづつ」は、このおじーたちの神様への宣言の練習の場として、午前５時から儀式が執り行われました。

そして、午後３時、卒業したおじーたちを含めた数百人の男性たちが掛声とともに行進します。西原部落だけに残っているこの行事は、部落の中を男性たちが練り歩きながら、”福タオル”を町内の皆さんへ配ります。

９８歳のおばーも楽しみにしているこのお祭りは、大司（うぷんま）と司（つかさんま）数名に先導されて、神様の奉納相撲の場所へ導かれます。

西原部落のお祭りの中心は、すべて「中間ウタキ」で執り行われますがこのウタキは、”戸籍登録のウタキ”とも呼ばれ、この部落出身で全国に住む新生児の名前を毎年全員、神様へ報告するウタキとして大切にされています。



私たちが参加した伊良部島のユークイ（豊年祭）でも、奉納したお神酒に書かれた名前は、すぐ上の神様に報告されているよと教えてもらいました。私たちの住むこの現実世界は、実は、神の世界の写し世だと言われるほど、人間が神の役目を持って生まれていることを、ご先祖を大切にすることで教えているのが宮古島を代表とする沖縄全体の神の教えです。

よく「神は、どこにいるか？」と問う人がいますが、それは、あなたのなかにいます。神も、ご先祖も、そのすべてのつながりも、あなた自身が持っているからこそ、人間に生まれてきたことを、あなたが気づくか、気づかないかで、人生を生きる全ての意味が変わります。

いろんな宗教を信じて祈ることも大切ですが、自分の足元の「土地の神様」・「ご先祖」を敬うことをまず第一に教えなければ、今、あなたが大切にしたいことさえ、次の世代は守ってくれることはないでしょう。

「自然が大切、地球が大切、家族が大切、命が大切」と誰もが思いながら、自分の行動ひとつひ

とつが、そのことを次の世代へつなぐことをしているかどかを問われてい時代ですので、

今一度、自分が本当に大切なことを守るために、家族や仲間たちと話し合うことをお勧めします。お祭りや催事、そして、さまざまな神事は、この”守るべき魂の行事”として、どの時代にも、専門職の方がいたことで守られてきましたが、あなた自身が、あなたのご先祖が守ってきた土地や神様をどう守るかを考えなければいけない時代だと想います。

宇宙のすべてのバランスさえ、”一人一人の神意識”が積み重ね合いが、大きな「集合意識」となって成り立っていますので、この地球上で、戦争反対・人命尊重と掲げたプラカードを持って闘っている姿や、正しいことをしている気分で誰かを引きずり落とすための言葉の暴力を発している自分の姿を、自分の子供に引き継ぎ伝えたいのかを、もう一度問われている時代に来ていると感じます。

言論の自由や行動の自由には、すべて個人個人の責任が伴ってこそ成り立つことが理解できれば、必ず、自分のしたことが、逆に、自分の家族や大切にしたいものに刃となって向かってくることに気づくはずです。

この地球上で起きているすべての物事・善悪さえ、大きな意味で、あなたの家族が引き起こしたものだということを学べば、あなたは、家族を傷つけることを望んではいないはずですから、大切なことを学び、次の行動へ移れるはずです。

宮古島の石庭（いしにわ）で瞑想しているときに、宇宙からこういうメッセージが届きました。

すべては、ひとつのなかにある。

ひとつは、ひとつのなかにある

これは自分が受け入れがたい他人の意見や行動さえも、実は、あなたのなかにある一部分であるということを教えてくれています。だからそのことを認め受け入れるためにも、すべての命を産み出す女性たちが、愛を持った行動をしなければ、この地球を守ることはできないことでしょう。あなたに守りたい大切なものや大切な人がいるのなら、ぜひ、そのことに気づいて下さい。

３年目のユークイは、伊良部島の神様から「１０年」とメッセージをいただきましたので、あと７年は、続けて参加させていただきます。大切なことを守り受け継いでいる沖縄の学びをひとつでも多く皆様へ届けるために。

2007.10.31 Wed

伊良部島　ユークイ（豊年祭）**2007**

伊良部島の神様と約束した三度目のユークイ（豊年祭）は、島の方たちに名前を覚えていただいている事やそれぞれのウタキの神様からのメッセージなどから、この島の神さまに守られながら受け入れていただいていること強く感じました。

今回は、北海道・宮古島・名古屋・東京から参加された皆さんと、佐和田ウタキ、国仲ウタキ、長浜ウタキ、仲地ウタキ、そして、伊良部島の五部落の神事を司る字伊良部部落の三つのウタキ（アダンヌウタキ・ヌーシウタキ・パイヌフッムトウウタキ）を回りました。このウタキという聖地は、ユークイの２日間以外に地元の人も近寄ることができないくらい部落の神様が強く守る大切な聖地ですので、観光客や島以外の人が勝手に近づくことは絶対に許されません。今回はこの時期に、同じく神や先祖を大切にする家族として、この島の大切な歴史を教えてもらうことができました。

伊良部島の佐良浜地区２部落を除く５部落の神事を全て取り仕切る責任者の役職を「村主（そんしゅ）」と呼び、ユークイなどの行事を取り仕切る人を「司（つかさんま）」と呼んで、３年に一度、神様が選びます。そして、それぞれの部落ごとに、ウタキを守る司（つかさんま）が数名いますが、男性の司がいるのは、字伊良部部落だけですので、村主・司、歴代の司の方々から直接、詳しくこの民族の歴史を教えていただきました。

伊良部島のユークイの歴史は、実は、６５０年前から続いている伝統的なもので、その民族のルーツは、宮古島市の平良にある久松という所から移住した民族だということです。さらに、それ以前のルーツは、実は、中国の「唐」から渡ってきた民族であることがわかりました。

沖縄全体ではお祈りのことを別名「ウートウトウ」といいますが、実は、この言葉の意味は、「ウー＝御拝（ウガン）、トウトウ＝唐、唐」という意味で、唐の中国の神様へ向けての拝みの意味がルーツになっているということです。近代歴史では、さまざまな日中の問題が取りざたされていますが、実は、日本人にルーツに中国からの血が流れていることの証でもあります。

以前、伊良部島の神人（カミンチュウ）から、この島の人は、中国・シナ・台湾の人たちとの交流のおかげで子種が残り、命を救われた民族だと教わっていましたので、今回の情報は、さらに私たち日本人にルーツにも大きな影響があることを明確にしてくれました。もうひとつの民族である池間民族は、佐良浜地区の２部落、宮古島の西部部落、そして、池間島の３つに分かれていますが、その民族ルーツは、ポルトガルからの血が流れています。

沖縄の最西端、与那国島へ行ったときに、そこを守る神人から歴史を教わりましたが、農耕の種を運んできた人たちを神と奉り、鉄や鍬などを運んでくれた人たちのことも神と奉っているのが

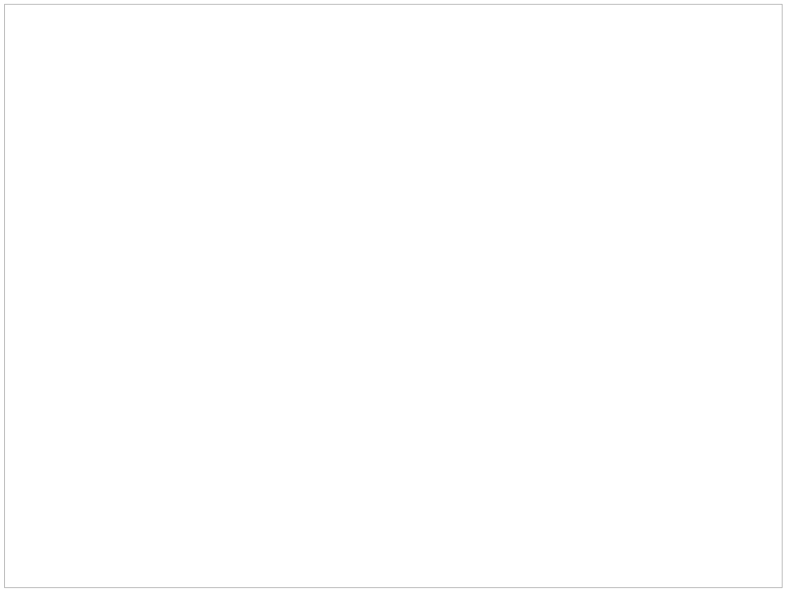
、沖縄の神々の大きな特徴です。しかし、それ以外の神としても、自然神である龍神、また、海の底（ニライカナイ）からやってくる神のことも語り受け継がれています。

日本人の神のルーツは、仏教の以前は神道だと皆さんは信じていますが、実は、この神道のルーツも、この沖縄の神々の影響を大きく受けています。先住民族と呼ばれている北海道のアイヌ民族や沖縄民族のルーツをたどってみると、現在の「出雲」や「伊勢」に代表される神々の大元が、この琉球民族の神の影響があることがわかります。

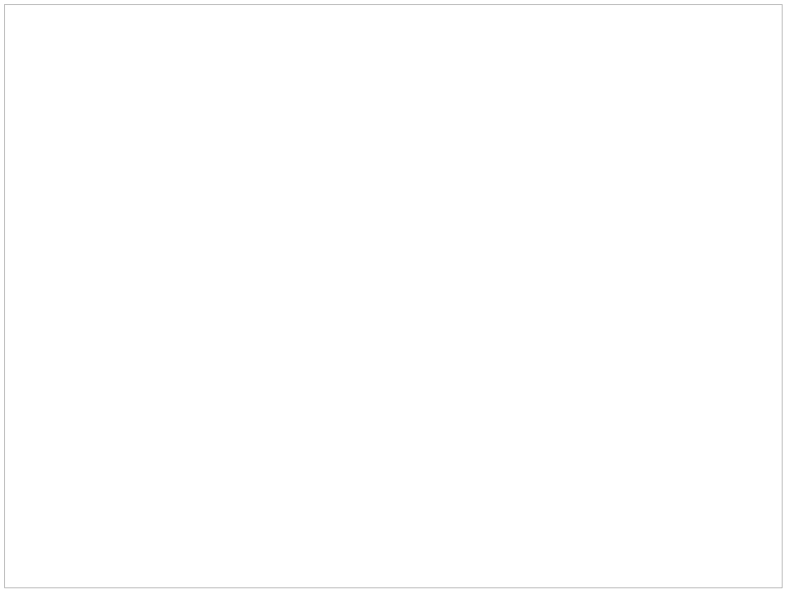
「政教分離」を唱えたときから、政治とは区分けして信仰の自由は認められましたが、反対に、この重要な神のルーツが隠されていたことを想い出して下さい。私たち日本人という種族が、なぜ、この中国大陸から離れた隆起した島に住み、また、なぜその民族の神を守る力が強いのか、その意味を精神性だけではない視点から学ぶことも重要な意味があると感じています。

明日は、この伊良部島にも移住した池間民族のお祭りに初めて手を合わせる機会を得ましたので、神との体験記を含めて、またご報告させていただきます。

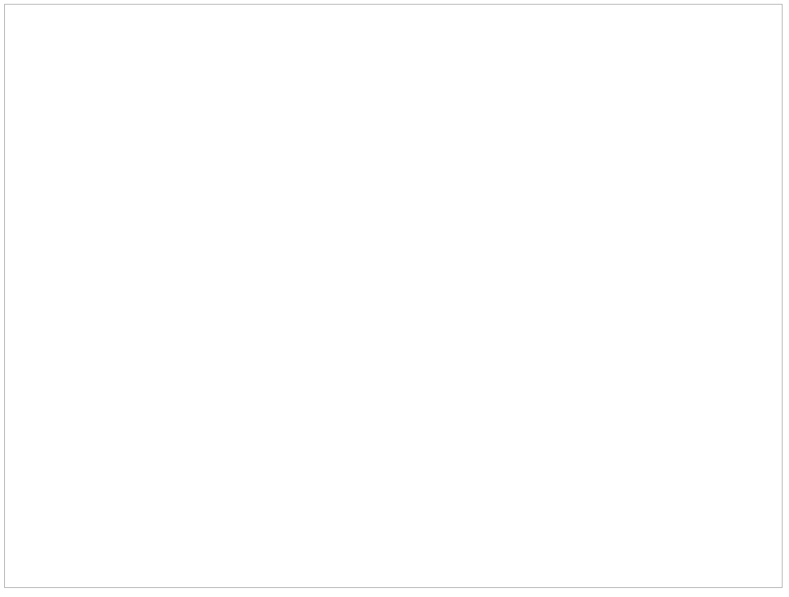
※写真は、伊良部島のユークイを守る神の部族「伊良部部落のウタキ」のなかで写した神様の写真です。（太陽の右下にある青白い丸い光が神様です）



※長浜ウタキの神様が降りる場所で祈る司（つかさんま）



※神様が写りました（赤い丸いオーブ＝エネルギー体）



2007.10.27 Sat

豊年祭の意味

島人以外の人間が初めて参加することを許された伊良部島のユークイ（豊年祭）も、今年で三年目になりますが、今年の予定は、10/19から伊良部島に入り、10/20-21の２日間、伊良部ユークイに参加してきます。

伊良部島のユークイ（豊年祭）の特徴は、この２日間だけしか入ることがっできないウタキ（御嶽）と呼ばれる各部落で最も大切に守られている聖地に集まり、さまざまな式典が執り行われます。通常は各部落ごとに決められたひとつのウタキの中で執り行われますが、伊良部部落だけは、７か所のウタキを順番に回りながら祈るという昔ながらの形式を今も守っています。なかでも社（やしろ）も、鳥居もない自然な草むらの中にある”ミロクウタキ”に入った時の感動は、今も鮮明に想い出されます。島の方たちに話を聞くと、この島に移住した時のご先祖たちの苦しい生活を思いだし、そのご先祖たちが大切にしてきた物事を受け継ぎ、今、自分たちが生活できていることに感謝することがこのユークイの最も大きな目的だと話して下さいました。

このウタキの中に入ると、たくさんのご先祖の霊たちとともに、ご先祖が大切にしてきた神々も一緒にその場所へ舞い降りてきますので、さまざまな催し物とは別に、とても神聖で特別な空間であることを誰もが感じます。このウタキに入るルールとして、ウタキの中にある植物の葉っぱ一枚さえ、外へ持ち出すことは禁じられています。その理由は、あまりにもこの場所の霊的波動が高いことが原因で、災いが起きることが多いからです。島に移住している内地の方たちはそういう細かいルールを知らない方もいて、悪気がなくしたことによって体長不良や災いが起きてから、その理由を知る方も多いようです。

この特別な聖地「ウタキ」の場所にユークイの２日目の朝、すべての学校の生徒と先生たちが登校して祈りを捧げる姿を見たときは、ご先祖を大切にすることと神への感謝を教える地域ルールが、子供の情操教育の一貫として地域の大人たちが大切に守っていることがわかります。

今回は、北海道から６名、宮古島から７名ほどの方が、ホテル　てぃだの郷の家族として参加しますが、実際、宮古島の方でも、伊良部島のユークイに参加することは、まれなことのようです。沖縄地方の島生まれの方たちは、自分のご先祖と生まれた島に対して、特別な思いを持っていますので、お正月とは別に、このユークイに合わせて本島や本州から戻ってくる家族が多いこともユークイの特徴です。

今回の私の大きな目的として、11/17の「宇宙と地球をつなぐ祈り」のために、伊良部島の龍神や宮古島の宇宙神（うちゅうしん）、また、龍球王国の神々に祈りを捧げながら、神々と人間、そして宇宙の集合意識を統一するために訪れます。細かい行動予定は、すべて現地で判断しながら決定いたしますので、私の今回の沖縄の予定を併せてお知らせいたします。

10/20-21　伊良部島　ユークイ参加

10/22　　宮古島　新城定吉さん所有「石庭（いしにわ）」訪問

10/27-29　池間島　ミャークヅツ（宮古節）参加予定

10/30-31　沖縄本島　龍球王国会議

この期間中に、神事へのご参加を希望される方や、伊良部島・宮古島・沖縄本島の方で、個人セッションをご希望の方がいらっしゃいましたら、携帯　090-3390-8058　吉岡までご連絡下さい。

日本の西・南を守るすべての神々、人々に心から感謝を込めて、土地の神、自然神、宇宙神へ祈りを捧げさせていただきます。ありがとうございます。
2007.10.17 Wed

人生の目的

この地球上に存在するすべてのものに内在している命とは別の”意識体”のことを、”魂”や”エネルギー体”といいますが、現在、人間に生まれたすべての人の魂の中には、実は、宇宙を創造した”創造主の意図”や、エネルギー体として経験した過去の記憶情報が記録されています。（この情報をアカシックレコードと言います）

先日、このアカシックレコード・アクセスワークを受講された方たちが、より深い理解と学びを目的に、アカシック・フォローワークを苫小牧で開催しました。このフォローワークを行うことで、過去の宇宙の不幸な出来事を二度と繰り返さないよう学びあい、全員で新しい宇宙（新宇宙）を創造することが目的です。そこで公開された宇宙情報は、初めて聞く星の名前や宇宙の詳しい様子など重要な情報がたくさんあり、その全容を理解しあうために、８時間を超えるハードなワークになりましたが、素晴らしい未来への糸口を見つけることができました。個人情報を公開してくれた参加者の許可を得て、そのアカシックの内容を順次、　ココプラネット　のブログで公開する予定ですが、今後、アカシックレコードアクセスワークを受講される方には、この宇宙の歴史もご説明したいと考えています。

現在、地球という星が全宇宙の中心となり、過去の宇宙カルマ（１３師団のバランス）が消滅して、新しい１４番目の星が誕生した意味は、単に、新しい宇宙が生まれたのではなく、人間に与えられている本来の役目、”神性”＝神としての働きが問われる時代になったということです。

宇宙意識を正しく知る人は、「個」という概念が、宇宙に無いことを知っています。「個」は、全体の一部であり、また、それぞれの「個」が集まって宇宙全体ができていることを深く理解しています。この地球においても同様に、人間同士の不調和や自然界との不調和の結果が、全宇宙の不調和にもつながっていることを皆さんも理解して下さい。反対からみれば、宇宙の不調和（カルマ）が、この地球上の人間の意識・心にも表れていたということです。だから今年の私たちの神事が、”地球の核開け”から”新宇宙の誕生”まで導かれたのです。

あなたに今、理解して欲しいことは、あなた個人の存在理由を追及するより、もっと大きなところで、あなたの存在理由があるということを理解して欲しいのです。もしあなたにその答えを受け止める用意ができているのなら、2001年の映画「ネバーエンディングストーリー」を想い出して下さい。宇宙やこの地球は、あなたが新しいことを創造するという愛に満ち溢れた創造意識の集合意識エネルギーで産み出されているからこそ、今も存在し続けているのです。だから、一人一人が心のなかで何を思って生きているかが、とても重要な意味があることを理解して下さい。もしそのことを理解するにも現在の調和がとれないと嘆くのなら、一度、ハーモニーセッションのスピリチュアルカウンセリングを受けてみて下さい。

将来や明日に希望を持ていない人たちが増えることは、明るい未来のエネルギーを消費し、不安と混乱を解消するために多くのエネルギーを浪費します。「▽▽▽にならないように用心して生きる」ことと、「〇〇〇になるように明るく生きる」ことの目的が一緒だとしても、どちらの言葉を多用するかで、未来が大きく変わることは理解できると思います。日頃、あなたの言葉づかいや、心の中のつぶやきは、すべて、宇宙意識へエネルギーとなって飛んでいます。そのエネルギーが、自分の未来を創るように、地球の未来を、宇宙の未来を創っているのだという事実を理解して下さい。

もしあなたがまだ、「個」や「個人」の事で悩んでいるのであれば、自然の中に身を置き、光の少ない夜の海辺や山の中から夜の星を眺めて、大いなる宇宙を身体で感じながら、地球と同じような歴史を繰り返して消滅していった星たちがあったことを想像してみて下さい。私たち人間は、その星の記憶や経験を乗り越えて、新しい未来や新しい宇宙を創造するために神の力を与えられています。それは”宇宙の創造主”にも似た大いなる役目をもった存在の証なのです。

あなたの思ったこと（創造）や意識が、今日の出来事や未来を創っていることは、あなた自身も知っているはずです。そうなのです、あなたの意識が、あなたが経験する現実を創りだし、産み出しているのです。あなたの思いや意識が、現実の人や出来事を引きよせていると言ってもいいでしょう。この世の中にあるすべての物は、誰かが創造した物ですから、目に見える物すべては、実は、目に見えない心や意識や創造が生み出した産物なのです。その心という”見えない世界”さえ、宇宙の集合意識のすべての存在とのつながりのなかで、あなたが考えられないくらいの神業で、バランスを取ってくれているのです。

人間の肉体に例えてみると、６０兆個の細胞のひとつひとつが、一人の人間であると考えてみてください。すべての細胞は、同じ能力を持ち、それぞれに役目を果たしながら、肉体というすべてのバランスを保ち続けているのです。この人間の肉体のすべてのコントロールは、地球上の最高のスーパーコンピューターをつないでも、人間の肉体の大きさに収まることはできません。人間はさらに、全てのものごとを瞬間に判断して行動して、未来さえ予測し、何もないところから産み出す「創造」という神の力も与えられているとてつもない神と似た力を持つ存在なのです。

医学で人間のＤＮＡを分析した結果、発見された３本のらせん状の他に、実は、１０本以上のＤＮＡ繊維がその空間にあるのですが、そのことを三次元の肉眼で見つけることができる時代は、いつのことでしょう。現実的に未来が見えないからと不安になる方もいますが、未来のすべてが見えて生きることが、本当に人間の喜びなのでしょうか？それよりも、真っ白なキャンバスに絵を描くのと同じように、あなたの今日も、明日も、あなたの意識と創造次第でいくらでも変化することができることを喜びに感じて生きてほしいと願います。そのときに重要なことは、誰かや過去の自分と比べないことです。あなたは、今のあなたでしかないという現実を認めて、その素晴らしい今の自分を生かす方法を創造するのです。

人間全員が知っている事実は、「人間は死ぬ」ということです。しかし、これだけたくさんの死に向き合い、学びながら、まだ、「死」を恐れたり、避けようとしていること自体が、人間の愚かさと感じます。命の大切さを学ぶとき、この「死」というテーマは、避けられませんが、「死」は、「生」と同じくらいに素晴らしく光り輝いているものだと理解してほしいと思います。あなたがいま、存在しているのは、たくさんのご先祖たちの生と死の積み重ねであり、その両方があったからこそ、あなたは、命を大切だと学んだはずです。仮に人間が１億年生きられる生物なら、この生や死の概念すら、全く意味が違ってしまうことでしょう。ただ一つ人間に与えられていないものが、「生と死の許可」です。このことだけは、人間が自由にできる世界ではないのです。”すべてが与えられている”と理解して下さい。

皆さんに気づいてほしい事は、この「人生の時間」という概念が、長いと感じているのか、短いと感じているのかによって、すべての意味が違うということです。神の世界の１日は、地球上の時間でいうと、１年だと言われています。だから、魂の世界から見ると、この地球上の出来事は、一瞬の出来事なのです。だからこそ、地球の時間という概念を長くしてくれて、あなたの魂やご先祖たちの望むことを実現する猶予時間が、私たちには与えられているのです。

長生きして、たくさんのことを経験して、あー、人間として楽しかったと人生を終えるとき、あなたは、ふと、魂の役目を自分果たしたのだろうとを考えるときが必ずあります。命も肉体も、お金も財産も、失うことを知っていて、ただ経験させてもらった人生の本当の目的が、実は別にあることを気づいていただけましたか？

大いなる意識とは、”大いなるひとつ”という宇宙意識を共有しあう宇宙の集合意識のことです。この宇宙意識に触れるとき、神や宇宙と一体の感覚を得る瞬間がありますが、その感覚を「ひとつになる」と表現する方もいますが、もともとひとつであったことを想い出す瞬間です。そのことが生きながらにして感じることが、本当の”魂の目覚め”なのです。

人間として本来、大切にするべきものを感じたければ、沖縄の小さな島へ足を運んみて下さい。そこには、都会の文明の進化で失った”古えの心”や、大切に守っている人間の知恵が残っています。

この人生のすべては、あなたの思うことが、実現しているのですから、普段使う言葉や、心の中で思うことを今一度、考え直してみてくださいね。どんな現実を見ても、どんなニュースを聞いても、常に明るい未来を信じられる大人たちが一人でも増えるために、私はこの肉体を使い、神や宇宙の役目を果たします。それが自分の魂の役目だと気づかせていただいたことに、心から感謝を伝えたいと思います。無限宇宙の大いなる神々、そして、地球創生の活動を支えて下さる暖かい志のすべて皆様にありがとうございます。

2007.10.13 Sat

ユークイ（豊年祭）**2007**の日程

２００５年、伊良部島の神様に頼まれて通い始めた歴史的神事の”ユークイ（豊年祭）”は、神様との約束の三年目を今年、迎えようとしています。ユークイの実施日が10/11（旧暦9/1）に発表になりましたが、予想していた日程と大きく食い違う日程が今年は公表されました。今年の伊良部島豊年祭は、新暦で、10/20-21と決定しました。

この日程を決定するのは、伊良部島の５部落全部の祭事を司る伊良部部落のおじいたちなのですが、今年の日にちが決定された理由は、行ってみるとわかると思います。最近の伊良部島の状況をホテルてぃだの郷のオーナー猪子立子さんに聞いてみると、ご神所案内や神様からのメッセージを伝えることが多くなっていると話してくれました。もともと伊良部島には、大きな龍の神様がおられますし、風の神、火の神、水の神、風の神などの自然神もたくさんいますし、最近では、さらに、いろんなところの神様が集まってきているとのことです。

宮古島の北部にある池間島にも豊年祭はありますが、ここだけは、男性の祭事と女性の祭事が別々に執り行われます。男性が行う祭事ををを”ミャークヅツ”といい、女性が行う祭事を”ユークイ”と分けていいます。沖縄本島近くにある久高島の最高の祭事”イザイホー”は、祭事を司る人が不在のため、中止になったままですが、この沖縄地方で、もっとも伝統的に昔の形を変えずに伝え続けている祭事が、伊良部島と宮古島には現在も残されています。今年６月、宮古島で最大のウタキ（御獄）　大主神社（ウハルズウタキ・ウパルズウタキ・オハルズウタキ）の神様にごあいさつした時に、なぜ、ここの神様だけが、「宇宙神」なのか不思議に思っていましたが、その理由も今年”ミャークヅツ”に参加する予定ですので解明できるかもしれません。

沖縄地方の神様がいる場所には、いくつかの種類があります。その代表的なものとして、?人格神・・・人間を奉っている場所　?自然神・・・龍神などに代表される火・水・風などの自然を奉っている場所　?宇宙神・・・宇宙に直接つながる場所　です。しかしこの特別な場所は、地元の方でもほとんど知らない場所だからこそ、地元のユタ（先祖ごとの霊媒師）や神人（かみんちゅう）たちの情報だけが頼りになります。ユタや神人によって、その情報が異なることがよくありますが、それは、その人の霊的能力の差と経験、そして、神や宇宙に直接つながる力の差があるためにそれは仕方がないことなのですが、次元が低いから悪いとか、高いからすばらしいのではなく、それぞれの役目とその場所を守り、役目をしていると理解して下さい。地元のユタや神人をよく知る人たちは、そのユタや神人の得意な分野について理解していますので、土地の件なら誰に、先祖のことなら誰にと紹介してくれるところもあるようです。

２００４年に伊良部島の白龍に導かれてから、たくさんの祈り・神事のたびに、沖縄のすばらしい神人たちと出会い、さまざまなことを学びあう機会を得たことが、今の自分の成長とつながっていると感謝していますので、私にとっては、沖縄は、魂の故郷へ行くような感じがします。し

かし、沖縄へ足を運ぶたびに、新たな啓示をいただいたり、神様からお願いされることが増えてきているのも事実です。私たち人間が肉体を持って生きている理由のひとつに、土地や場所を守る神が、その場所を動けない分、私たちが肉体を動かして、その神の望むことを叶えることも、私たち人間の重要な役目だと感じています。それは、神と人間は、もともと同じ、宇宙全ての”創造主”から生まれた産物であるこということを理解する事です。

私が、伊良部島の人たちに出会い、先祖や神に感謝するこのユークイ（豊年祭）に参加して感じたことは、今の自分たちは、たくさんの先祖の努力の積み重ねの結果であり、その先祖たちが、大地や水に、風に、太陽に、月に、全ての恵みに感謝を表すのがこの豊年祭だと教わりました。伊良部島の豊年祭に参加してみると、島の皆さんが、おじーやおばーたちをどの土地よりも大切にしている姿が見れます。おじーやおばーたちは、神が教えてくれた知恵を、代わりに教えてくれます。その知恵を守り引き継ぐ責任が、私たちにはあるのです。人間として一番大切なことを思いださせてくれる場所、伊良部島・宮古島へ、あなたも足を運んでみてください。島のあらゆるところに、神々がいる「神の島」です。
2007.10.13 Sat

生まれてきた本当の意味

あなたが、「自分は何のために生まれてきたの？」という問いかけを自分にしたことがあるなら、その答えは、何段階もの段階ごとに、意味が違うことをまず理解してください。

この質問をしたときの自分が、思いどうりにならない辛い経験をしたときならば、それは自分の欲求を納得させるための「自己欲求の追及」ですので、こういうときは、人間として上手に生きている方に、その方法や秘密を伝授してもらってください。

お金儲けをしたければ、上手にお金を儲けている人に聞くことです。幸せを感じたければ、いつも幸せそうに生きている人に聞いてみることです。苦しみや辛いことを乗り越えたければ、それを上手に乗り越えた人に聞いてみることです。

それ以外にこの問いかけのケースを例えてみると、?心の中にふと、この問いが出てきた　?子供の頃からずっと考えていたこと　?現実がうまくいっているのに、突然、こう思った　など、さまざまなケースがありますが、「生と死」について考え始めたときにも、同じように、この問いがでてきます。今日は、こういう方たちのために少しお話します。

「生まれてきた意味」を探究するときには、人間として肉体を持った意味や役割をまず探究しますが、大きく”人間”という存在の意味を正しく知るためには、この地球に存在しているすべて（動物・植物・菌類）の全ての存在の意味を、まず理解しなければなりません。それは自然界すべての摂理・循環から学ぶことです。

次に学ぶことは、”見える現実世界”と”見えない世界”のことを学ぶことになります。それが、「心や魂」であったり、「神や霊」であったり、ときには、夜見える星を眺めながら、「星や宇宙」というテーマが、最初のキッカケになる方もいることでしょう。

この心や魂、神や霊、そして、私たちの地球を含めた星のすべてが、全宇宙を創造した「創造主」から生まれた意識体、つまり、エネルギーが物質化したものであり、宇宙全体は、あなたの身体全体のように、たくさんの意識細胞が集まった大きな意識体、つまり、大きなエネルギー体あることを理解することです。

私も子供の頃からこの問いかけをし続けていた一人ですが、その答えを知るまでの４０年間、多くの人と出会い、さまざまな経験があり、そしてその自分を受け入れてくれた人たちや、いつもそのときの自分をサポートしてくれる見えない存在たちがいました。その教えや導きからいただいた知恵を三年間、ＨＰに公開していたものを本にしたのが、　こちら　です。人が迷う全てのテーマを、わかりやすく紐解いていますので、たくさんの人たちから、お礼の言葉をいただい

た「心の参考書」になる本です。インターネットを見られない方たちの為に制作しました。

そして2007年9月、新しい宇宙「新宇宙」が誕生し、すべての高次元意識の源ともいえる全宇宙のエネルギーが、完全に転換した意味は、私たち人間の生まれ持っている神性が、本来の役割をできる準備が整ったということです。

今、私に毎日、届くメッセージは、「新しい宇宙を創造して下さい」です。全ての人が、過去の辛い苦しみや経験や記憶に振り回されずに、新しい調和を産み出す知恵を、全宇宙の意識体たちが私たち人間に託しているのです。

宇宙にいたときの星の記憶を想い出すことは、あなたが人間として繰り返してきた過去世の記憶のさらにもっと奥、つまり、魂すべての根源にある経験の記憶だからこそ、その根源を知り、認め、すべてを乗り超えて、新しい調和を産み出すために、アカシックレコードアクセスワークが誕生しました。

来週、このワークを体験された１０名以上の方たちと一緒に、”アカシックレコードアクセスフォローワーク”を行います。これは私だけの情報のとどめずに、全員で宇宙に封印された記憶を公開しあい、多くの真実を知ることで、”新宇宙”の創造を導いていきます。星の記憶は、一緒にいた星の記憶や、それぞれの役割をしていたことの魂のつながりを思いだします。すべての魂が、もともとひとつから生まれたのに、なぜ、自分という個人があるのか、その意味を知る機会になることでしょう。

１１／１７の祈り　で、”新宇宙の創造”を全宇宙へ報告することを私たちは望まれていますので、そのあと、宇宙や地球につながるすべての高次元の存在たちを通して、皆さんへメッセージが降りることでしょう。

私たちは今、新しい宇宙を創造し、新しい地球を創造するために、

「大いなるひとつ」　へ向かっているのです。

2007.10.07 Sun

１４番目の星

すべての人間の魂には、人間として生まれ変わった輪廻転生＝カルマの記憶よりもっと前に、実は、宇宙の星にいたときの記憶があります。この宇宙にいたときには、エネルギー体として肉体を持つ以前の記憶が大切に保管されています。この記憶を保管している場所が、アカシックレコードと呼ばれる”宇宙のおおもと”にだけある情報です。このアカシックレコードの記憶情報には、宇宙の始まりからの記憶や宇宙戦争のこと、また、さまざまな星を渡り歩いた記憶が鮮明に残っていますが、そのこと自体が、大きな宇宙カルマとなり、新しい宇宙の創造を「無」から創造するための妨げになることから、皆さんが生まれたときには、その記憶が消されていました。

しかし、2000年、2001年、2003年、2006年のエネルギーシフトをキッカケに、たくさんの方の神意識・宇宙意識に目覚め始め、現在では、過去の宇宙の記憶が断片的に想い出しはじめたことで、宇宙の星の記憶を持つ仲間たちが集まり始めています。それまで、大いなる宇宙のバランスと言われる１３星団（師団）の記憶は、実は、成功と失敗の両面の記憶があります。その両面から学び、私たち人間に神の意識である「創造」を与えてくださった意味を想い出さない限り、永遠に私たち人間が生まれた意味に到達することはできないことでしょう。

洞爺湖で行った宇宙神事（9/21）のミッションは、それまでの宇宙カルマとも呼ぶべき１３星団（師団）による宇宙カルマの記憶から派生する混乱意識を完全クリアに転生させて、新しい宇宙「新宇宙」を誕生させるとともに、新しい全宇宙の調和を創造する”１４番目の星”を誕生させることでした。この１４番目の星は、これから新しい宇宙のすべての創造主となり、その情報を持つ人たちは、創造主の一員として、その役目を担います。

洞爺湖祈りを終えたあとに降りたメッセージは、この宇宙のカルマを公開し、本来の目的（新宇宙の創造）へ向かうべきサポートとして、メッセージが降りました。この情報をどう扱うか仲間と検討しましたが、公開するべきものだからこそ降りてきたと理解し、皆さんの宇宙カルマの更なる進化を願い、ここに公開いたします。

＜ある存在との対話から＞2007.9.23

あなたたちが知ろうとしているこの情報は、たくさんの人の記憶を目覚めさせ、混乱や葛藤を産み出すこともありますので、どうぞ、情報の扱いに注意して下さい。洞爺湖のなかに隠れていた母船は、実は、プレアデス星のものだったのです。そして、そこを守っていたのは、１３星団の星たちです。

この１３番目の星とプレアデス星との関係は、実は、１３番目の星は、プレアデスの夫婦星から生まれた星だったのです。それまでの１１番目までは、ひとつの星が生まれて、また次のひとつの星が生まれるという転生進化の形をとっていましたが、１２番目となったプレアデスのときに、初めて、「双子星」という相対の役割が与えられました。そしてその子供として生まれてのが、宇宙全体から追われている１３番目の星なのです。（※名前はまだ秘密）

実は、それまですべての星を産み出したリラ星が、おじいいちゃんということになりますので、１３番目の星も、リラ星の家族なのです。ではなぜ、そのリラ星が１３番目の星のことを嫌うかというと、実は、１３番目の星が生まれたとき、すべての星たちの望みであったことと、シナプス回路が１３本あるという初めての”おおもと”とのつながりの力に、未来を期待していたからなのです。さらに、１３番目の星を逃がしたのは、実は、プレアデス星の母星なのです。

当時、プレアデス星の父星は、宇宙の警備隊長として、あらゆる星の調和を整えるために、権力も力も使っていましたので、そのことを良しとしない星と、いざこざが絶えませんでした。その状況を見守っていたプレアデスの母星は、新しい可能性を持つ１３番目のわが子をそれまでの全体の調和から外して、新しい調和を外で産み出してほしいという母の親心だったのです。それまでのすべての知恵を与えて、さらに大きなつながりの力をもつ１３番目の星は、調和の外へ飛び出していったのです。

しかし、そのことを知ったすべての星たちは、プレアデス星を責めました。１３番目の星への大きな期待と裏切り、そして、その母心による混乱のおかげで、宇宙の調和のバランスが崩れて、大きな宇宙戦争の引き金にもなってしまったからです。このことを知っている１２星団の星たちは、自分たちの家族でもあったからこそ、自分を責めるように苦しみ、その償いをしようと必死になっているのです。

１３星団のすべてを司る王族ヤハウエだけは、星の転生から生まれた星ではなく、最初に、宇宙の”おおもと”が「光」から産み出した星ですので、他の星のように転生意識がありません。しかし、そのすべての混乱の責任を感じているのは当然です。この情報は、一切、宇宙の記憶のなかから消し去られ、創造主のアカシックレコードにのみ、記憶されていたものですが、あなたがアクセスしたことで、そのことを公開しなくてはいけなくなりました。

この情報は、それまでの記憶を超えるくらいの感情の根源へつながるものですので、どうぞ、公開の時期、方法を検討して下さい。１３番目の星の名前は、まだ明かしませんが、その名前を言葉にすると、その星の記憶を持つものたちの目覚めが始まります。それは、あのヒトラーが、自らの記憶を消すために、行った大量虐殺を同じくらいの感情の混乱を引き起こしますので注意して下さい。

私たちの願いは、あなたたちと同じですが、まだその情報を受け止めることができるほど、人間の意識の準備ができているとは感じられません。だからお願いしているのです。１３番目の星が誕生するまでの記憶のすべてを知りたければ教えますが、それはとてつもない記憶の量であり、崩壊と誕生の繰り返しです。あなたたち人間の意識のなかにあるその情報をまず整えて下さい。

新しい１４番目の星であるあなたの記憶と創造主たちとのコミニュケーションで、どうぞ新しい宇宙を創造して下さい。私たちも全面的に協力させていただきます。ありがとうございます。

２００７年９月２３日　宇宙メッセージ

2007.10.01 Mon

「ひとつ」

北海道の神事に参加いただいた仲間たちとお互いに体験したことを話し合う時間は、とても重要な時間です。この重要さの意味は何度も言いますが、人間に降りているメッセージのすべては、個人に所属するものが一切ないからです。すべてのメッセージは、時を、場所を、その人の役目を考えて降りてきますが、本人の意識の目覚めによって解釈が違うこともしばしばです。

だからこそ、お互いのメッセージや情報を公開しあい、大きな意味として理解しあう時間が重要なのです。現在、たくさんの人たちが、自分の魂の神性が目覚め始めていますので、そういうときには、守護されている霊的な存在や神や宇宙からメッセージを受け取ることが多くなりますが、こういうときの注意する点として、自分が無意識に望んでいることが、自分へのメッセージのように聞こえてまう時があるということです。

この間違いを起こさないためには、あなた自身が自分の内側にしまい込んでいる本当の自分（自我）を誰かに明かすことからその本質の自分自身も認める作業が始まります。この世の中に自分の本当のことを理解してくれている人がいないと感じている人は、その自分を認めて欲しいと望むばかりに、誰かを批判したり、時には、誰かを傷つけてしまうことがあります。

人と人とが、お互いに心を開いて本音で話し合える仲間に出会う事は、人生最大の喜びでもありますし、そこから初めて自分自身の喜びの道を歩むことができることでしょう。現在の日本という国は、これだけ文明が進んだ世の中なのに、いつも誰にも言えない淋しさを心の奥底に秘めている人が多いことも、皆さんが望む世界にならない理由のひとつではないでしょうか？

お互いに相手を一切、否定せず、縛らず、すべての自由を尊重しあい、愛と感謝を持って、互いに心から尊敬しあえる仲間がもしあなたの周りにいたならば、あなたの魂の目覚めは、さらに大きく解き開かれていくことでしょう。こういう人間関係を作ることが、新しい宇宙の創造の道にもなると感じています。

9/21に、洞爺湖で祈った宇宙神事の内容は、結果として生まれた新しい宇宙「新宇宙」の誕生とともに、過去のすべての宇宙カルマを消滅させて、新らしく始まる宇宙のすべての創造を私たち人間に託されたということです。私たちは、そのメッセージを事前に受けとっていましたので、
今後、どの方向へ人間が向かうべきなのかを先日の然別湖で話し合いを持ちました。

２０世紀後半、宇宙から世界にメッセージとして降りていた「すべてはひとつ」というメッセージは、世界中のスピリチュアルリストの支持を受けて、あちこちでそのメッセージが言葉になっていましたが、現実的に、その真意を理解しきった魂の数が少ないことが、現在の混乱を招いていると感じています。個人的には、２０００年にその全ての意味とともに「ゼロ意識」に到達す

ることができたおかげで、私は新たな人生の選択をすることができました。

その時、私が選んだ位置は、人間という動物的な部分を持ちながら、神そのものである神性とのバランスをとる「すべての中心で生きる」と宣言しました。ですから、私はいつも、皆さんと同じ、ただの人間ですとお答えしています。皆さんの善悪のすべてを持ち、皆さんのすべての神を同じように持っている人間です。ただ生まれた時からの力は役目であり、それは人のために使うものだと悟るまで、とても長い年月がかかってしまったというだけです。

すべての人には、私と同じように、すばらしいお役目と力が与えられています。その目覚めを早めるためにも、常に、意識の変化を受け入れ続けてくれる仲間が重要なのです。時代もそうですが、人間の意識も、価値観も、倫理観も、法律も、常に、変化し続けているのに、あなただけが何かの変化を嫌い、過去にしがみついて成否を問おうとすると、自己否定につながり、進化への否定にもなるのです。すべての人がそれぞれの進化を自由に望めば、当然、その方向も道も違うことでしょう。

だからこそ、他人の道を否定する権利は、あなたにはないのです。他人を否定することは、回りまわって、自分が否定されることにつながります。これが「すべてがひとつ」、「すべてはつながっている」という最高の証なのです。だから人を否定しても何も生まれないことを今、学んで下さい。

善悪を超えて、すべてを認めて肯定できたとき、あなたは初めて自分の過去を許すことができるでしょう。そうなのです、人を否定したいその気持ちは、あなた自身が誰かに受け止めてもらえなかった淋しさから湧き出る過去の感情の記憶なのです。だからもうその自分さえ、肯定して許して、認めてあげましょう。あなたがすべての人に愛されたいように、すべての人も、あなたを同じように受け入れたいと思っているんです。

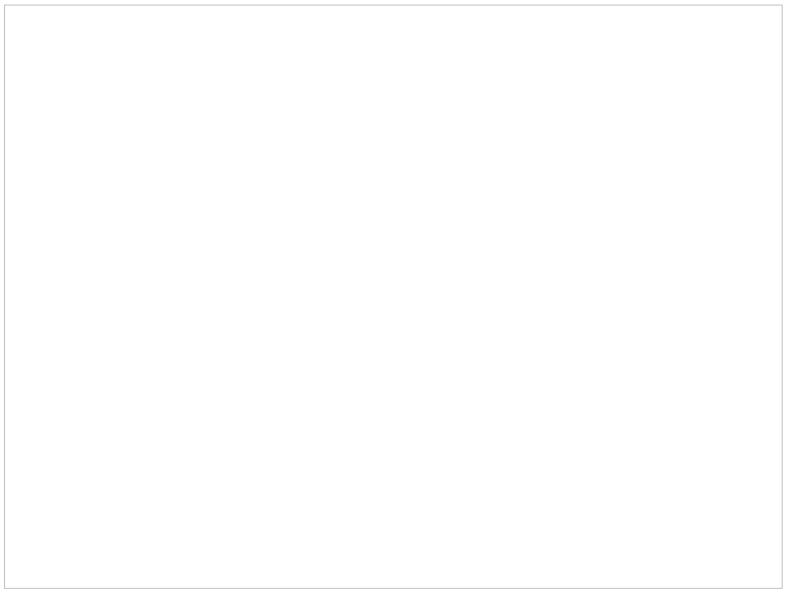
なのに、それができないのは、あなた自身が、あなたを受け入れていないからなのです。あなたが、あなたのすべてを許し、すべてを認め受け入れたときに、あなたは初めて「絶対」ともいえる一体感を身体中で感じることでしょう。それは誰かが与えてくれる喜びでは到底感じられないくらい、涙があふれるばかりの歓喜の喜びです。この言葉を何度も、何度も唱えてみて下さい。

「私に、ありがとうございます。私の存在そのものに、ありがとうございます。」

私たち祈りのメンバーは、いつもそのことを神や宇宙から教わりながら、ひとつひとつ、肉体を持つ神として、祈りや神事に参加しています。地球創生基金に賛同、ご支援してくださるすべての皆様に心から感謝いたします。

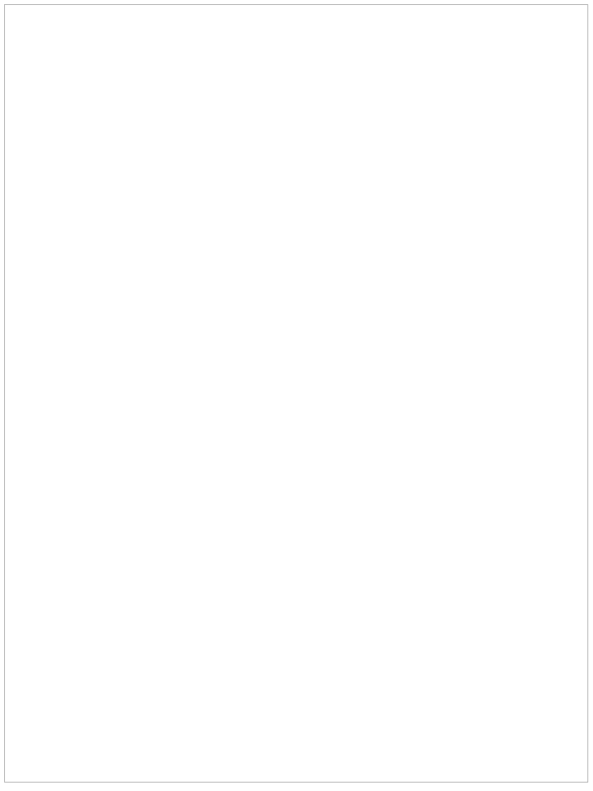
2007.09.29 Sat

2007　中秋の名月＆祈り（然別湖）



９月末なのに朝の冷え込みが８℃にも下がる北海道の龍の聖地、然別湖は、北海道で祈りをさせていただく私たちにとって、一番大切な聖地です。温泉ホテル風水のおかみ（中木喜三重さん）の知人だけで催される「中秋の名月 奉納の儀」のお誘いは、今年の北海道祈りの中間報告として私たちも五名で参加させていただきました。毎年、続けられているこの中秋の名月の会は、十数年ぶりにクッキリと輝く月あかりとともに、すべてのものが「ひとつ」に溶け込む静寂の自然の姿を、湖上の船の上から全身で感じさせていただきました。光輝く月、星、静まり返った湖、そして、月の光に映し出されるくちびる山と木々の姿は、神々が、この月夜に「ひとつ」となっているその美しい姿を私たちに見せてくれて、溢れ出た「神歌」の歌声には、すべての神々が喜び、宇宙が喜んでいることを私たちに伝えてくれました。

地球に降りた神々や自然界の神々、そして、宇宙に存在するすべての意識体は、ときに、その姿を私たちに見せてくれます。翌日午前５：３０のご来光と同時に行った「水納めの祈り」では、その美しい光の姿を見せてくれました。宇宙から届いている光は、星の輝きや太陽光や月明かりともに、次元を変えて、色になったり、形になったりしながら、私たちに届けてくれます。「光のメッセージ」を受け取るとき、それぞれの人の意識周波数の違いによって、見える姿・形は違いますが、美しい色から伝わってくるメッセージを、全身で感じ感謝を捧げました。これから始まる”新宇宙”を創造する人間すべての意識は常にサポートされながら、私たちの祈りが永遠であるように、永遠の地球を願うすべての人たちを導いてくれます。



2007.09.27 Thu

洞爺湖　宇宙メッセージ（**9/18**）

さらに追加で、9/18に降りた宇宙メッセージを公開いたします。このメッセージの公開を何度も悩みましたが、私たちには今、宇宙の「真実」を伝えてくださいとメッセージが届いていますので、9/20-21の洞爺湖神事の成功を持って公開の許可と致しますので、過去の”宇宙カルマ”に振り回されることなく、ご自分の心の平静と調和を持ってお読みください。宇宙の真実とは、”すべてはひとつ”を理解することでしか、たどり着けない無・空・宙の道なのです。

9月18日　宇宙メッセージ

皆さんの今までのお働きを心から感謝しております。皆さんがなさっている祈り神事は、私たちの悲願でもありました。肉体を持ち、私たちの意図を理解し、宇宙の調和を新しく整えて下さることに感謝いたします。皆さんの行動と強い意志、そして、宇宙の愛への執着心に、心からの敬意を払いたいと思います。この宇宙の中であなたたちのように大きな愛を持ち、その実現へ向けて働いて下さる人間が生まれてきたことを本当にうれしく思うとともに、これからの皆さんの活動のすべてを私たちがすべてサポートさせていただきます。

これから起きる宇宙のフェーン現象（宇宙風）や爆発においても、新しい調和のための風や電波となって宇宙のあらゆるところへ届くことでしょう。その新しい風は、新しい命を与え、過去の記憶を消して、新しい調和の目覚めが始まることでしょう。昨日、話した内容をもう一度、お話しておきますが、このことは、まだ皆さんには伏せておいて下さい。

宇宙の１３星団(師団）と呼ばれる一族の活躍は、宇宙全体の調和のために警護と指導が目的で、マスターの望んだものとしてそれぞれの１３の星が役目を持って宇宙に存在していました。宇宙の全てのバランスを整えるために、あらゆる力を使い守っていたそのバランスエネルギーは、ときに、反乱分子を生んだり、また、その調査が行われたりすることで、どんどん反発の力を増していました。１３師団の活動に反発を感じていた星たちは、新しい宇宙の調和の望み、何度か大きな宇宙戦争も起こりました。

三度目にあった大きな戦いでは、重要な星を消滅させるほどの力を互いに出したことが原因で、大きな宇宙調和のエネルギーが乱れてブラックホールができてしまい、その闇の中に吸い込まれてしまう星もたくさんありました。もともとあった「単一意識の宇宙」が、違う次元の宇宙を産み出した瞬間です。

宇宙全体のなかで、交錯するその多次元不調和震動は、常に新しいものを望み、常に、現在を否定するエネルギーとなり、宇宙全体の振幅が大きくなり膨張が始まりました。ヤハウエを筆頭とする１３師団は、その膨張や宇宙の不安定を納めるために、あるゆる方法をこうじましたが、そ

のかいなく、今なお宇宙の膨張は続いています。

１３師団が生まれる前の宇宙の初めのころには、愛や調和を守るためのルールも必要がないほど、家族愛ともいえる同じ目的の意志がすべての意識体の中にありました。しかし、その同じ意識の存在たちのなかで、それまでの調和を壊したキッカケは、実は、「純粋さ」だったのです。

純粋さは、常に、疑うことを知らず、戸惑いがなく、新しいものに素直に興味を示し、自らの好奇心を試そうとしてしまいます。誰もが持っているその純粋さによって、実は、それまでの守られていた宇宙のバランスが壊れてしまったのです。あなたたちの文明の記憶にも残っているムー文明やアトランティスの崩壊も実は、同じ理由で崩壊したのです。その文明を壊した存在は、子供のように素直で純粋な好奇心が抑えきれずに、自らの母たちが守るその大切な場所のなかに興味を持ち、触れてはいけない大切なものに触ってしまったおかげですべての調和が崩れた事実を知る記憶が、皆さんの中にもあるはずです。

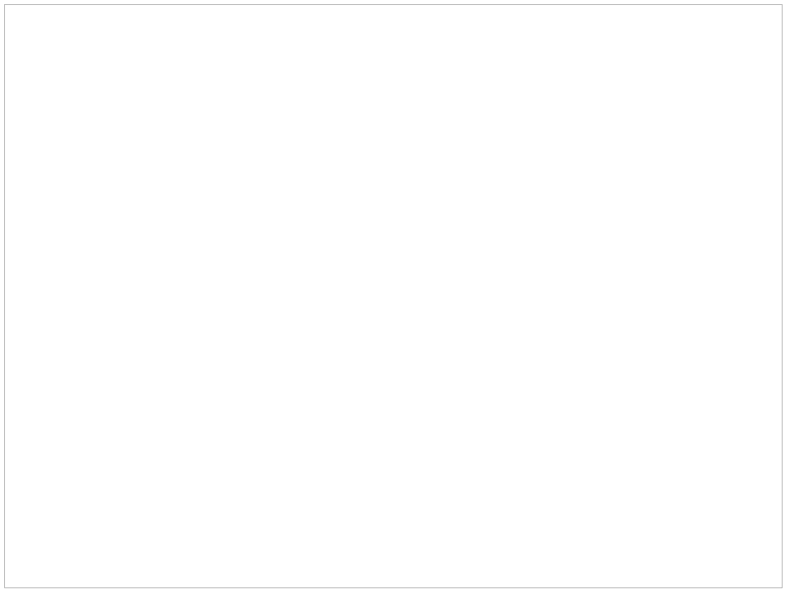
「純粋さ」が傷つくことから始まる「闇の世界」も、この苦しんだ母の心や、調和を乱してしまった子供たちのいたたましい記憶から生まれたものなのです。そのことが、「宇宙の始まり」のときにもあったのです。純粋さは、透明なベールのように、うっすらとした光の先を見通せます。だからこそ、その先に興味を持ち、抑えきれなくなる衝動が常に私たちにはあるのです。私たちには、それを制御するための「理性」という知恵があとから生まれましたが、ルールもなかった真っ白な世界には、「理性」すら存在する必要がなかったのです。

純粋さと理性は、実は、衝動と制御なのです。

相反するそのエネルギーは、常に、成長するすべてのなかにあるエネルギーです。その両面を持っているあなたたち人間が、一方を必要のないものとするのか、両方を必要のないものとするのかで、「新しい宇宙の調和倫理」ができあがります。どうぞ、そのことをどうするのか考えてみてください。

あなたたちが、「新しい宇宙の創造主」の一員になるということは、あなたちが望むことが「宇宙の倫理」・「宇宙のルール」となるのですから。もうあまり時間がありません。１１月１１までに、その決定をしてください。１１月１７日の祈りのときに、その決定事項を「創造主の意図」として、全宇宙へエネルギーとして放出します。重要な役目ですが、どうぞ、よろしくお願いいたします。

２００７年９月１８日　吉岡学が受け取った宇宙からのメッセージ



2007.09.24 Mon

洞爺湖　宇宙メッセージ（**9/16**）

２００８年に行われる「北海道洞爺湖サミット（主要国首脳会議）」の会場にもなっている洞爺湖は、無意識・意識の両面から宇宙のつながりの意味を知る人たちが、昔から集まってくる場所として意識の高い人たちには有名な場所でした。西洋で不吉な数字といわれる「１３」こそ、この重要な宇宙のカルマを隠す目的で広めた偽りの情報だったのです。今日は、洞爺湖神事の前（9/16）に降りた宇宙メッセージを公開いたします。9/20の神事参加者全員がこのメッセージを理解し、決意して神事に望まれたことを感謝いたします。

皆さんのいつものご活躍に心から感謝いたします。

今回、お伝えしたいことは、この洞爺湖の神事について、宇宙から大きなエネルギーが注がれているということです。それは１３星団のことを含めて、過去の宇宙カルマを消して、新しい宇宙の創造が始まる準備ともいえる重要な神事になるからです。私たちは、そのことをずっと永い間、待っていました。

数ある星の仲間たちは、自分たちの星のカルマをクリアするために、あらゆるサポートをそれぞれの人間へ伝えて、その役目をすることを願いました。しかしそれは、宇宙の新しい創造にはならず、それぞれの星のカルマの清算でしかないのです。

私たちが今回、あなたたちをサポートする目的は、このミッションが必ず成功するように、すべての邪魔やマイナスエネルギーが入らぬように宇宙から大きなエネルギーをあなたたちに向けて守ります。

あなたたちの肉体は、その魂の役目を越えて、宇宙全体の役目を背負って、

新しい宇宙の創造主の一員となることを承諾して下さい。それは過去すべての願いであると同時に、過去の一切の宇宙カルマを消すことができる重要な神事になることでしょう。

私たちができることはそれくらいですが、あなたたちの肉体を持った神としての役目をしてくださることを心から感謝しております。

勇気と決断を持って望まれる今回の神事をサポートする人の中には、過去の１２星団の星のカルマを持った人も入ることでしょう。だからこそ、その調和が大切なのです。

私たちのサポートは目にみえませんが、必ず、あなたたちの魂から声が聞こえてくるはずです。私たちのつながりは、あなたたちの魂と同調して、シンクロしていますの、そのことをいつも忘

れないようにしていてください。

湖の中の宇宙母船は、１３星団のものです。

その守りぬかれた船は、いつも未来へとエネルギーを発信し続けていましたから、宇宙のチャンネルをお持ちの方たちが集まっていたはずですが、その方たちの調和が大きくならないのも、私たちのせいかもしれません。他の１２星団すべてがひとつの意識ではなかったからです。

それぞれの星にはそれぞれの役目がありました。だから、その役目を全うできないことの悔しさ、辛さが、あらゆるところへエネルギーとして出ていたことをお詫びいたします。

今まで地球に降りた宇宙からの船（ＵＦＯ）は、その１２星団の者たちがほとんどです。それは、あくまで１３星団の繋がりを探し求めていたのです。

１３星団の者たちの意識には、１３本のシナプス回路があります。１２星団の者たちは、１２本の純粋回路ですから、１３本目の回路の動きが読めません。１３本目の回路を作りだした創造主は、その意図を、”神の意図”と名づけています。

”神の意図”とは、すべての物質世界を操ることができる神経回路で、その者たちが地球のあちこちで活躍していることは、皆さんもご存じのことでしょう。

しかし、その力こそ、宇宙の新しい調和を産み出すのに必要なエネルギーであって、現実世界を動かすためのものではないのです。１３番目の回路を持つ人（女性）に、その役目をインプットされていますので、どうぞ、そのときが来たら、あなた自身の意識を宇宙へ明け渡して下さい。

１３本の糸のからまりが解けた時、宇宙のカルマが終わり、人間のカルマ自体も、ほどかれ始めるでしょう。霊界を生み出したのも、単に人間が悪いのではなく、その１３番目の回路がうまく働かないことが理由でした。

１３番目の回路を持った人間は、常に、リーダーとして、世の中の意識を引っ張り、自分たちの目的を達成しようと何度もチャレンジしてきましたが、ほとんどの民衆は、１２本しか回路を持っていないために、その行動を理解できずに、最後はいつもみじめな形で終わっています。

１３番目の知恵を持ったあなたたちの言葉でいう「ユダヤ」の人たちは、常に理想国家をこの地球で作ることをチャレンジしてきましたが、その実現がなされない原因も宇宙のカルマが原因だったのです。

誰かが私たちのことを超えて、新しい宇宙を創造する新しい創造主が現れることも、全宇宙の意識体すべてが待ち望んでいたことです。どうぞ、そこことを今回の神事で叶えて下さい。私たちも全面協力させていただきます。

ホーキ星（ぼし）カオリ星（せい）

2007.09.23 Sun

洞爺湖　宇宙神事　北海道虻田郡

2007年9月20日～21日　洞爺湖神事

・9/20　倶多楽（クッタラ）湖祈り、洞爺湖周辺6か所祈り

・9/21　早月の滝・洞爺湖内　弁天島・観音島・中島祈り

2007年6月16日から始まった北海道の神事は、一段づつ石段を上がるように神や宇宙の意図を確認しながら、北海道の山・川・湖の祈りを行ってきました。この大きな北海道神事の最後の場所が、羊蹄山の麓にある大きな湖「洞爺湖」です。私たちはここへたどりつくまでのすべての祈りの意味が、「11/17の宇宙と地球をつなぐ祈り」の準備であり、それまでの全てのメッセージが、地球上のすべて人類に与えられている大切なメッセージであることがわかりました。

私たちが神事の場所を決定するときは、事前に天上界や宇宙からメッセージが受けた人の内容を公開し、何度も何度も、仲間たちとその意図について意見交換しあうことで、メッセージの意味を全員が共通で理解できるまで話し合いを続けます。その理由は、すべてのメッセージや大切な情報が、誰のためのものではなく、すべての人間につながる神性の気づきのために降りてきているメッセージであることを全員が学んでいるからです。

１０年以上も前から精神世界へ降りてきているメッセージ、「　すべては、ひとつ　」という言葉をご存じの方はたくさんいらっしゃると思いますが、その意味を完全に理解し、現実に、そう生きている人間がもしもっと多ければ、今の現状まで地球を追い込むことはなかったはずです。

私たち人間は、　肉体を持つ神　として生まれてきています。その意味を理解するためにも、動物の本能を持つ部分のすべてを、受け入れなければなりません。それが、我欲でも、愛でも、闘争でも、そのすべてが自分自身の分身であると魂から理解できた人だけは、決して、誰かを裁くことなどしないものです。頭のなかだけで理解して、実際に行動できない部分の原因に、実は、過去世の人間的カルマに加えて、それよりもっと以前の記憶、宇宙でエネルギー体として存在していたときの”宇宙カルマ”の記憶が、今の人間すべての魂のなかにあることも原因でしょう。私たちを創造した創造主は、そのすべてのカルマの記憶に引きずられることなく生きて欲しいからこそ、生まれた時に、その過去の全ての記憶を消すという”創造主のやさしさ”をいただいています。私たち人間の神性の面からその意味を考えてみると、過去のカルマすべてを超えるために、新しい肉体をいただき、新しい未来を創造する機会＝新しい未来を産み出すチャンスを今、いただいているということです。

まず今回の神事の結果から申し上げますと、2007年9月22日　洞爺湖　中島において、過去の”宇宙カルマ”のすべてが包括され、この宇宙全体が新しく生まれ変わり、新しい宇宙（名称：新宇宙）が誕生いたしました。

2007年3月12日に、沖縄県久米島で”地球の核を開ける天の岩戸神事”が成功し、新しい地球＝「龍球王国」が誕生したばかりなのに、今回さらに、”新しい宇宙の創造”まで、私たちの役割が進化するとは、実は、神事の参加者の誰も予想していないことでした。この事実を受け入れるには、時間が必要な方もいらっしゃるでしょうが、まず私たちの神事を導いてくれた宇宙からのメッセージを一部を公開致しますので、あなたの魂の内側で感じてみて下さい。

2007.8.16　宇宙メッセージ「洞爺湖の役割」

●大いなる宇宙の旅のあと、宇宙船を休ませていたところ。その宇宙船は、湖の中にある。湖としての役割は、大きな力で守るため。地（底）を守る力で、宇宙のおおもとの力を守らせているところ。宇宙におけるこの場所の意味は、アンテナ。中島の山の頂上に、ふたつあるものがそうだ。そのアンテナは、人の意識の送信・受信の役目をしている。そのどちらかが、折れているようなので、うまく情報を交換できていない。この場所の役割をもう一度、働かせるためには、人間が犯した罪を謝り、その場を守る存在たちの力を借りて大きく守ることです。その大きな存在たちがいる場所は、洞爺湖の周りに7か所（８つ）ある。

お前たちがどんなことをしようしているかわからないが、この情報にアクセスするとは、いい度胸だ。ここを守っている大きな存在は、宇宙から離れて隠れる場所として我々が見つけた所だからだ。我々は、地球の核のエネルギーを動かすこともできるし、噴火や地震も、すべての土地の力を動かすことができる。お前たちの目的はわからないが、どうしようとしているのか？

私：「新しい地球のバランスを創るのだ。そのために祈り、つなぎを守る」

●：ではその目的に見合うことをしてもらおう。我々も永い間、ここを守り、その力を分け与えてきた人間たちもいたが、皆、それ以上のことをしてこなかった。われわれの目的は、宇宙銀河の再構築のために、その時を待つ”プレアデウス星の生き残り”だ。宇宙の警備隊から追われて、たどり着いた星で見つけたこの場所は、とても居心地がいい。ここは、地球の核ともつながっているし、宇宙の情報もキャッチできる都合のいいところだからだ。

このメッセージが降りたあと、たくさんの意見交換を仲間たちと繰り返しながら意味を整理していると、9/16,9/18に、さらにメッセージが降りてきました。その内容は、この宇宙が生まれたころの重要な話を含んでいますので、後日、改めて公開したいと思います。そして今日、このブロ

グを公開しようとしていると、こういうメッセージが降りて来ました。

これからあなたが公開する内容は、皆さんの宇宙の記憶（アカシックレコード）の一部を公開することにもつながりますので、どうぞ、ご注意して下さい。それぞれの星の記憶を持つ人たちも、あなたと同じ目的で活動していますが、自分たちのことを否定されたと感じる人もいるでしょうから、そのことを十分、理解してあげて下さい。私たちは、そのために必要な情報をすべてあなたに伝えますが、タイミングと情報の質を見極めて公開して下さい。すべてのことを混乱することが目的ではなく、すべての人の魂の目的が、同じであることを思い出させたいのは、私たちもあなたと同じなのです。どうぞ宜しくお願いします。

現在、時期と公開の方法を検討していますので、しばらくお待ちください。
2007.09.20 Thu

見える世界の虚像

私たち人間がこの地球の重要な時期に肉体を持ち、この星に生まれた本当の意味に気づきたいのであれば、まず、あなたが”現実世界”だと思っている「目に見える世界の虚像」に気づき、大切なことを勘違いしている”思い癖”に気づく事から始めなければならないでしょう。

あなたの目に見えている”現実世界”が、今、うまくいっていると仮定して、今後も確実に安心だと思っているあなたの心の中にさえ、決して他人が消すことはできない「不安」が常に存在しています。経済社会においては、その「不安」を消すことが大きなビジネスになりますので、常に、たくさんの情報や物が世の中に産み出されています。そのたくさんの情報の波に流されて、真実や大切なことが見えなくなっているのも、自分（の神性）を信じるという魂の本質との対話ができていない方が多いからなのでしょう。

私は現実世界で起きる全ての物事を認めて感謝していますが、今回は、あえて、その視点を変えてお伝えします。

１、紙幣・株・証券・保険などの紙に書いてある内容を信じて動いている世界の経済自体を不思議だと感じたことはありませんか？誰が最初、それを信じたのでしょうか？最近では、インターネットの普及で、パソコンの中に書かれている内容が、すべて事実だと思いこんでいる人がほとんどでしょう。でもその精査や事実可否についての判断の責任は、実は、皆さん自身に問われているのです。

２、肉体はいずれ消滅するものだと知りながら、永遠なる命や健康を求める目的は何なのでしょう？人間は何のために生きているのでしょうか？

３、人生の成功や喜びを、あなた自身は、何を基準にしていますか？それは５０年前と５０年後、変わらないものでしょうか？もしそれが変わってもいいものであるならば、変わらないでほしいものは何ですか？

４、人生で意味のある事と意味のないこと、それは誰の価値観で判断するものなのでしょうか？お金が儲かるかどうかが一番大切なことですか？人に喜ばれているかどうかでしょうか？自分自身が幸せと感じているかどうかでしょうか？あなたはその答えを持っていますか？

５、自分の幸せと他人の幸せの価値観は違うと知りながら、自分の幸せの価値観を人に押し付けることを知らない間にしていたとしたら、その相手はどうやって自分の幸せの価値観を見つけたらいいのでしょうか？それが親子や学校や社会の中で、もし、今行われているとしたら、それをどうすれば変えることができると思いますか？

人間は一人では不安だからこそ、その確証を求めてたくさんの情報や仲間を集めたがります。周りの人がいいと言ってくれれば、それを信じ、自分の思いは正しいものだと思いこむ動物の癖を利用したビジネスも、今はたくさん出ていますが、人間にもあるその動物的な気質も、あらゆる文化を受け入れてたくさんの経験を積んできたからこそ、高い知恵と高い精神性を産み出します。その高い精神性とは、種族が生き残る本能の知恵を要（かなめ）としながら、互いの本能が共有しあう道をいつも知恵者が探っていました。その対話こそが、自らの神との対話の始まりです。

日本人に「保険」というものが入ってたとき、今ほどなじめませんでした。しかし現在、保険にこれだけ大きくお金を出している理由は、皆さんが「不安」だからです。昔、保険が無い時代は、お互いを信用することで、その部分を補っていました。信用・信頼が希薄になると、そこがビジネスになるのです。物々交換以外のあるゆるすべての商売には、その信用を第一に掲げながら、実は、不安を売り物にしているものがたくさんあります。

不安は、人間が「無」から創りだす創造です。その反対の「安心」や「信頼」も同じです。同じ「無」から産み出すエネルギーの意識なのに、この差は、どうして起きるのでしょうか？そこには、誰かの「意図」があるからです。その意図を見抜く力は、人生を長く経験しなくても、本来、私たち人間は持っていました。

しかし、現実優先社会・物質優先社会の方向性に誰かが導いたおかげで、現在のように、自分を信じられず、人を信じられない人たちがたくさん生まれてしまったのです。でも本来持っている人間の神性に気づけば、必ず、その方向の違いを見つけることができると私は信じています。

だって地球上の全員が望んでいることは、大昔から同じです。

ただそのことを大切にして生きていさえすれば、誰かが都合よく作り上げたルールや掟よりも、さらに進化したものを私たちは産み出せるはずです。

見える世界をただうのみにして信じるのではなく、その裏側にある見えない世界を見る力も思い出して下さい。大切なこと、真実、守るべきもの、残すべきもの。それは、１０００年たっても、不変なはずです。私は、あなたの目覚めを待っています。
2007.09.16 Sun

黒岳　頂上神事

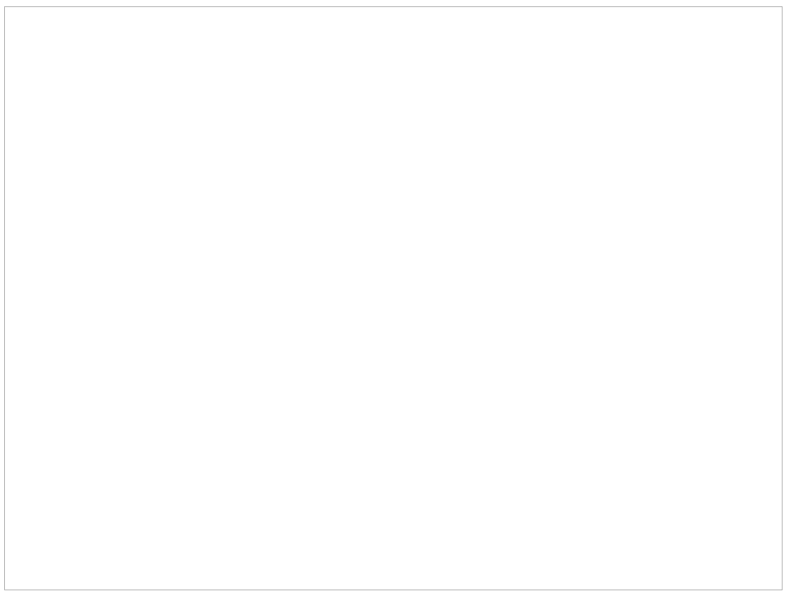
9/11（新月）気温２５度　曇り

札幌から車で３時間　当麻鍾乳洞　経由　層雲峡着

ロープーウエイ＆リフトで７合目到着、登山開始

登り１時間　祈り　下り４０分

9/12　層雲峡の滝祈り、比布宇宙祈り、比布神社、カムイコタン、音江ストーンサークル



東京から帰った翌日は、今年の北海道の山の祈りを納める場所を男の山「黒岳1984ｍ」と決めていましたので、早朝５名で出発しました。

羊蹄山は、北海道の母山・女山として守っていますが、8/13の登ったエネルギーを黒岳につなぎ、北海道の山の神々の和合を人間がつなぐ目的でした。

車中、この黒岳の神や宇宙からのメッセージを降ろして、私たち一人一人が、さらに認識すべきことを確認しました。人間のため、自然界のため、地球のための祈りや神事が、宇宙全体の役目となって動き出していることを、登山を終えた全員が確認しました。

宇宙の大きな役目を持って生まれたすべての人間の目覚めのために、私たちに降りた宇宙メッセージを原文のまま公開いたします。

山にある中の光は、いくつもの宇宙につながっています。その中の玉（光）は、まあるい形をし

ていて黒光をしています。黒は、いにしえから守られてきた大切なもの。それを今回、皆さん世の光として表に出す役目なのです。

無限に広がる宇宙において、黒い光や闇は、命そのもののことを表しています。その命を与えられた地球、北海道、黒岳の役割に気づいて下さい。北海道が宇宙の始まりなのです。

その意味は、宇宙のバランスを表す（※図形）を納めた場所であり、その振動は常に宇宙全体へと共振しているのです。釧路にある要（かなめ）＝チャランケシャシは、その番人の場所として、アイヌも、縄文人も、大切にしていました。

チャランケの響きは、宇宙の音霊（おとだま）として鐘を鳴らし、いつも合図を送っています。その鐘の音は、地球を守る存在たちに届けられて、それぞれの役目を果たすよう指示が出ます。

黒岳は、どんな役割かというと、その頂点を守っているところです。「漆黒の黒」というか、黒＝闇＝宇宙を照らす黒光の頂があります。

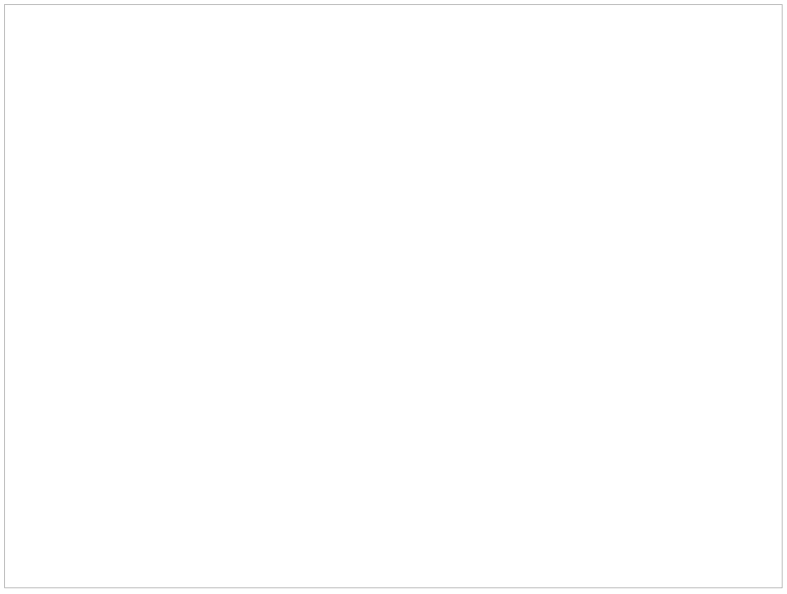
今回のあなたたちに与えられたミッションは、その頂点の光をあらゆるところへつなぎ、大きな振動を動かし、全宇宙へ伝令することにあります。

私たちは、神々の承認とは別に、全宇宙の調和を守る役目として、あなたたちを選びました。”その時”が来るまで、どれくらいの時間や意識や人間、神が、現れて消えていったかを想い出して下さい。

”その時”がきたのです。もう宇宙全体は動きはじめなくてはいけない時期に来ています。宇宙にも、命があります。つまり、期限があるのです。だから、生まれ変わりの儀式として、あなたたちの命の水を捧げて下さい。

上（天）へつながるその水＝意識は、私たちすべての活動エネルギーとなり、それぞれの役目を果たすよう動き始めます。

”水は命”、それは、人間のためだけではなく、宇宙すべての命そのものであることを忘れないでください。あなたたちの栄光ある活躍に心から感謝と愛を送ります。ありがとうございます。ホーキ星カオリ星



☆黒岳（大雪山連峰）※日本の紅葉はここから始まります

※カムイミンタラ（アイヌ語）＝神々が集まる所

”宇宙のおおもと（マスター）”の存在意味には、本来、陰陽も、善悪も、相対も、カルマもありませんでしたが、分離相対意識が生まれてからこの宇宙に存在するすべての存在たちは、そのすべての経験を記憶し続けて今、人間の形となってこの地球に現れています。

その目的は、宇宙のおおもとの本来の意図に気づき、活動するためなのです。

私たち人間は、人間のカルマという輪廻転生の記憶のもっと以前に、宇宙カルマとも呼ぶべきいくつもの星の経験をしています。その記憶のひとつひとつには、肉体を持たない存在として経験したことも、肉体を持って存在した経験もあります。

もし、自らの星の記憶や使命を「正」とすると、その時、対峙した相手への感情は、「悪」や「

分離」を産み出し互いが、同じ目的で生まれてきたことに気づかずに、自分を正当化することが、さらに分離意識を進めてしまうことに気づいていません。

私たち人間が肉体を持ち、魂が転生する際に与えられている「過去の記憶を消す」作業は、宇宙のおおもとが唯一、与えてくださったやさしさであり、愛なのです。その意味は、”もともとは、何もなかった”ことを教えてくれています。

私も人間としてたくさんの苦しみを経験したおかげで、その攻撃する相手のつながりからも学びをたくさんいただきました。もしこの地球上で永遠に、相対、つまり、戦う相手を見つけ続けて活動している人間が、まだいるのなら、愛や調和が現実化することはないでしょう。

しかし、すべての人間の本来の御霊は、たったひとつの存在、”宇宙のおおもと”からの分霊であることに気づけば、何のための相対であったかを学びとれるはずです。

そのことに気づくには、自分自身の心のなかで、自分の許せない相手や嫌いなこと＝”相対”を認める許す感情の統合＝”宇宙意識の統合”が必要なのです。

私たちの肉体は、消滅するすることが目的で存在しています。その肉体を借りて経験する魂の目的が何であるかを、肉体があるうちに想い出さなければ、自分自身に与えられている最大の愛にさえ、気づくことはできないでしょう。

愛という言葉は、相対のすべてを統合した形、つまり、好き嫌いなどの感情を超えた世界から生まれたものです。

現実社会に”相対”として存在している人や物事の意味は、その相手の存在を認め許し受け入れるためなのですから、いつまでも自分の殻にこもって、”独りよがり”を誰かに押し付ける生き方をやめてください。

この宇宙すべてのかなで、”宇宙のおおもと（創造主）”だけには、相対がありません。相対がないということは、絶対の世界です。絶対の世界を「空」や「無」と悟った人もいますが、「完全」、「すべて」、「ひとつ」と同じ意味なのです。

どんな本やどんな人や、どんな宗教から学んでもいいですが、あなた自身がそのことを理解し、行動に移すことを望んで肉体を持っていることを想い出して下さい。

現実にあるものは必ず、いつか、消滅します。だからこそ、魂は、何を守るべきなのか、何を子供たちに引き継ぐべきなのかに気づいて下さい。

あなたの肉体が消滅することは、宇宙全体からみると、たあいのない小さなことでも、あなた自身が”宇宙のおおもと”の一部であることを理解すると、今、あなたが存在している意味、今、あなたが生きている意味を感謝できるように、すべての人や物事を受け入れて、自分の存在に感謝するように、許せない相手にも感謝できる愛の行動を始めて下さい。

私の言葉が理解できなくても、受け入れられなくてもいいですから、あなたの魂の本来の目的、「宇宙全体の調和」、「地球の調和」、「愛の調和」、「不統合との統合」、「偽りと真実の統合」、それが”自分自身との統合”であり、”宇宙全体の統合”のエネルギーにつながっていることに気づいて下さい。

このことを本当に理解できた人は、どんなに自分が受け入れたくない情報や事実でも、嫌いな存在でも、それも、自分の一部であることを感じることができるはずです。

「ひとつ」、それは、「絶対」を意味し、すべてのものが生まれた最初の意味を知ることなのです。完全な世界には、愛や調和という言葉さえありません。

その空間そのものが、そうだからです。愛や調和は、私たち人間が忘れかけたその記憶を思い出すキーワードとして、宇宙からたくさんの人に降ろされたメッセージなのです。

あなたが理解できない人や行動している人の発言を否定しないでください。

あなたもそういうときがあったように、今、その人は、学びの時期なのです。あなたの次の学びは、その人を認め、そして、愛することです。すべてを受け入れても、あなたの本質が変わることはありません。ただ魂が、進化するだけです。

進化する魂の目的も、実は、”宇宙のおおもと”の意識へ戻るためなのです。そのために私たちは、人間同士のカルマや宇宙のカルマの呪縛から解かれて、魂本来の目覚めにたどりつく方たちと出会うために祈り、そして、本音で魂の意見交換をして次の目覚めと次の行動を変化させる活動を続けています。

この北海道という土地には、宇宙神の龍神が降りた場所やストーンサークル以外にも、たくさんの宇宙のエネルギーが降りた場所があることを”宇宙のおおもと”から教えてもらいました。

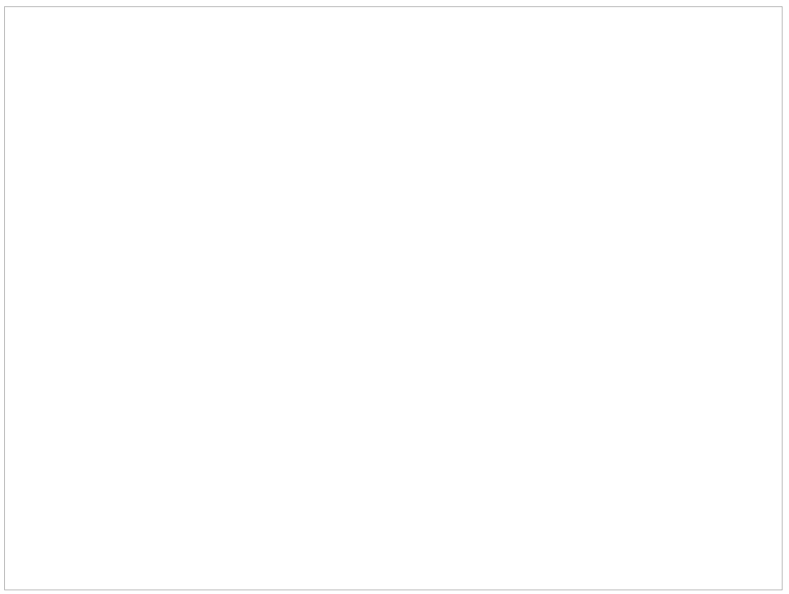
そのひとつの場所を9/12、見つけることができました。これからたくさんの宇宙エネルギーの場所をみつけてつなぎ、人間同士が”宇宙のおおもと”の意図を理解しあうための活動をしていきます。

2007.09.11 Tue

鹿島神宮　＆　東京講演会

北海道の神事が続くなか、新しい地球のエネルギーを関東へつなぐ目的で、初めての東京講演会が新宿で開催されました。今回の目的のひとつに、これからの地球を守る人たちは、人を一切批判しない人たちだと思いますので、「人のご縁つながりを大切にする」形で行いました。おかげさまで、とても暖かい雰囲気のなか、朝夕二回の講演を無事終えることができました。

今回のテーマは、「現実と未来への展望」でしたが、私の４年間の沖縄の祈りを通じて体験した事や、宇宙や神、また、沖縄の人たちに教えていただいたたくさんの古い知恵を通して、人と人のつながり、水の大切さ、あなたがここにいる理由、そして、あなたができるこれからのことなどを伝えさせていただきました。



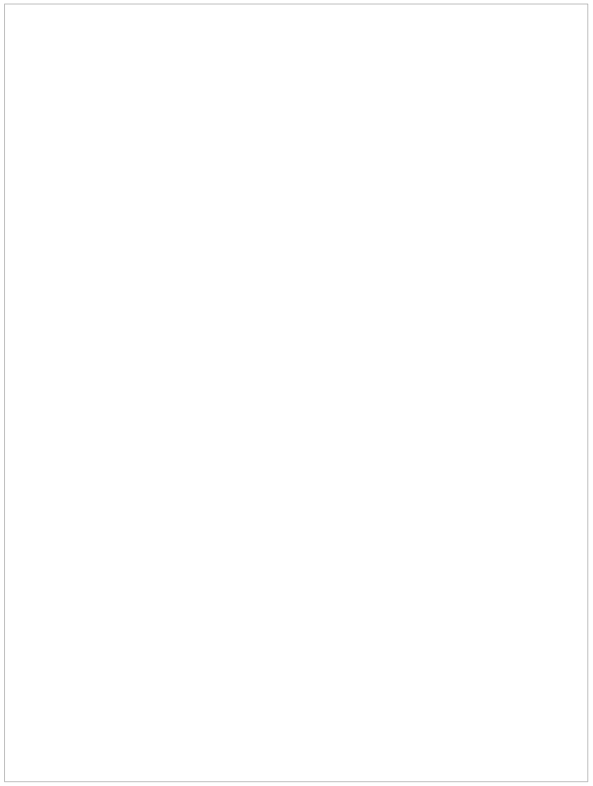
もうひとつ関東へ出向いた理由は、「土地納め」が目的です。地震・噴火・原発事故を含めて、今まで関東には、たくさんの不安なｴﾈﾙｷﾞｰが何度も流れていました。２０世紀には日本のエネルギーラインを整えるために、祈りをされた方たちのことを聞いていますが、人間のさまざまな感情やエネルギーが集まる場所の土地を守っている神様との対話をしっかりできたことを感謝いたします。

私が今回出向いた場所は、茨城県にある鹿島神宮です。ここには昔から要石（かなめいし）と呼ばれるすばらしい霊石がありますが、この石との出会いはもう１０年も前に仕事で関東へ行った際、知り合いの方に突然連れて行かれた場所でした。その後も、この鹿島神宮の神主さんと情報をやりとりする機会があり、昔から地軸とつながる強い力を守っている自然界の力を守っていることがこの霊石を選んだ理由です。

祈りは、光のない午後８時の真っ暗な闇の中の祈りと、陽が登ったばかりの早朝の光のなかの祈りを二回行いました。深い木々に覆われた森のなか、懐中電灯も持たずに歩いていけたのも１０

年前の行った経験があるおかげです。

闇は、人を引き込もうとする力と、反対に、闇のなかに溶け込もうとすると受け入れてくれるやさしがあります。昨日の早朝、夢のなかでこの闇のなかから自分の背中を見ていた存在の視線を通して、メッセージを受け取りました。私たちの”これからの行動をただ見守る”と聞こえてきました。ありがとうございます。



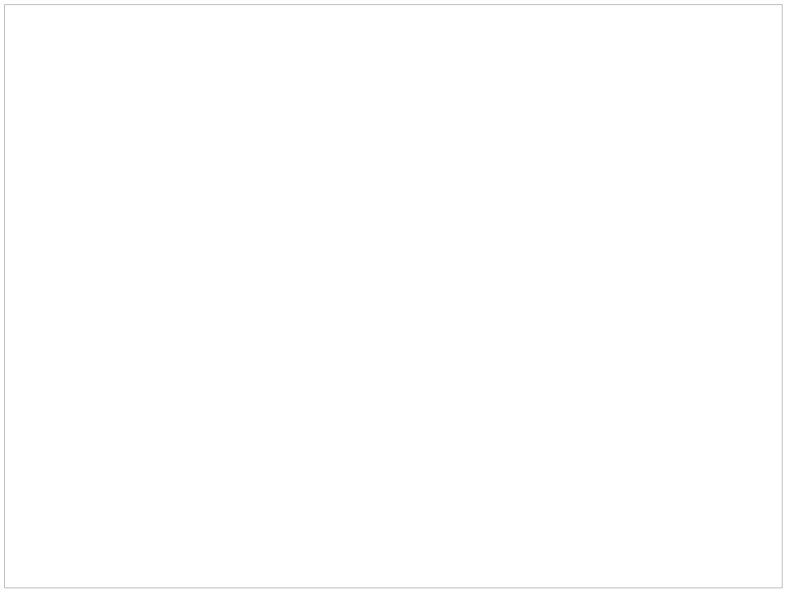
2007.09.08 Sat

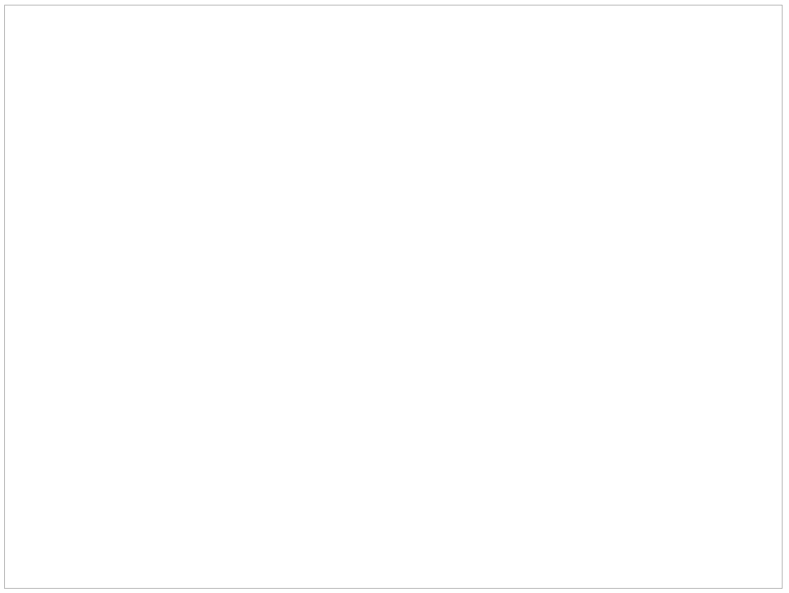
霊峰　恵山（函館）登山　神事

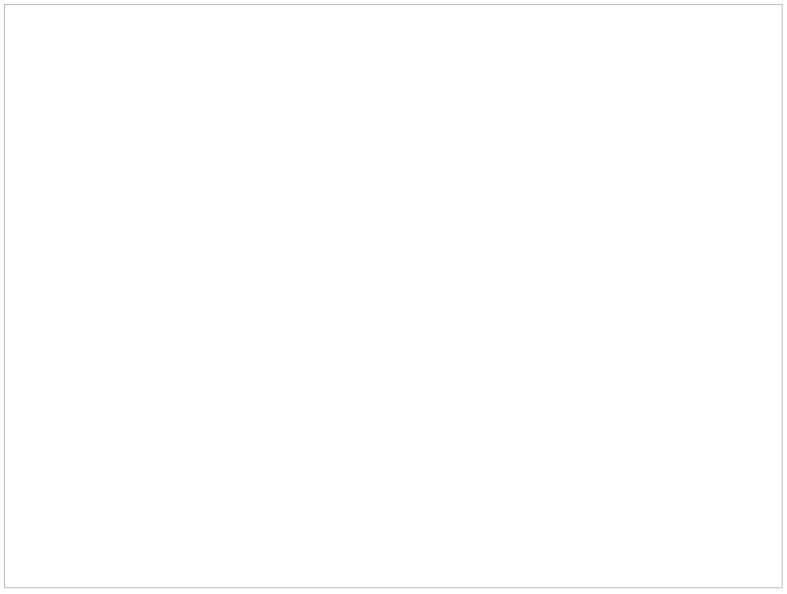
9/5　札幌から車で６時間移動、函館に宿泊

9/6　気温２５℃　天候　霧　神事参加者５名

霊峰　恵山登山・頂上祈り、函館→札幌　藻岩山　夜の神事







宇宙がこの地球という星を創ったときの重要なエネルギーが降りた場所として、北海道の３つの場所を天より教わりました。この３つの場所とは、利尻岳、積丹半島、そして、今回の恵山です。利尻岳では、この世を”神世”にするための七世・七次元の祈りを行い、そのエネルギーを積丹半島から宇宙につなぎ、さらに太古の知恵も授かりました。そして今回の恵山神事の意味は、さらに、この世を八世・八次元→無限→ゼロ次元まで引き上げるための登山神事です。

一人で恵山神事の計画を立てているとき、函館のまだお会いしたことがない方から連絡をいただき、今回の祈りに参加してくださることになりました。その方の祖母は、昔から強い霊力を持っていた方で、人々を願いを聞き、神の導きするお役目をいただいていた方で、先祖代々、龍神様を奉っている家系だということです。その娘のお母様から恵山のことを聞いてみると、恵山は実は、青森の恐山と姉妹山の強力な霊山で、昔から修験者や霊能者たちが登る山だということがわかりました。参加される方全員に厳しい”霊山”であることを伝え、自分の身を守る準備をお願いしました。

9/6朝、登山口に到着したとき、山全体が霧に包まれているために、視界は１０ｍほどしかありません。雨具を装備して出発してみると、活火山特有の硫黄の匂いと噴火したときの岩肌が歩くすぐ横にそのまま露出しています。登山道の両脇には、八十八ヶ所のお地蔵さまがあり、そのひとつひとつに、苦しみの思いを受け止めた強い感情エネルギーが溢れています。お地蔵さまに手を合わせ、この場所を守ってくださっている存在たちに感謝を伝えます。

噴火口の急斜面を右手に見ながら、ゆっくり足下を確かめて登る途中、山の神様と会話が始まりました。やさしい女性の声で、この”恵山”につながる青森の”恐山”のことを教えてくれました。青森の恐山が兄で、恵山は妹、この二つのつながったエネルギーは、分離した本州と北海道のエネルギーを強く昔から守っているそうです。しかし、人間がこの地に入り、強い霊力を求めて修験者や霊能者やさまざまな苦しみを持った方たちが、自分の苦しい思いを山へ残していくために、霊山として低い振動数になってしまったようです。私たちが今回登る意味を、妹（恵山）は理解

してくれていましたが、兄（恐山）は、厳しい目で私たちのすることを見守ると伝えてきます。依存なのか、願いなのか、救いを求めてきたのか、もしそうならば、私たちは、厳しい体験をさせられることでしょう。

自然界にあるすべての存在（山・木・水・風・日・火・土）たちは、もともと、陰も陽も、善も悪もなく、そして上下もなく、すべてが宇宙から与えられた御霊として、自らの役目を全うしていました。地球に存在するすべての命の循環（生と死）は、誰も止めることができない不変な宇宙の摂理だからです。しかし、人間という神は、その循環摂理さえ、自分たちが望む方向へ針路を変え、苦しい時には他の神へ依存し、都合が良くなると、人間だけの独占的なルールを正当化してそれを平然と繰り返してきました。どれくらいの方が、数ある山のなかで、”霊山”として存在している山の気持ちを理解しているでしょうか？

人間が作った道理、摂理・真理は、自然界や宇宙には一切通用しません。そのことに気づかずに、神を語り、宇宙を語り、愛の地球を語ることは、一体、誰のためなのでしょうか？私は人間を批判しているのではありません。ただ、気づいてほしいのです。人間の都合でいつもルールを変更して生きてきた結果が、この地球の今の状態であり、それが大きな宇宙の問題となっていることを。だからここそ私たちの祈りは、その全ての人間が犯してきた行動を詫びて、本来の宇宙のバランスを取り戻し、地球の生態系のバランスを取り戻し、人間としての神の役目を全うするために行っているのです。どうぞ、自分の神性に気づいて下さい、あなたが、すべての創造の神であることを。

頂上に到着して鳥居をくぐると、四畳半ほどの小屋の中に神様が奉られていたおかげで、濡れた衣服を脱いで着替えることができました。祈りを始めると、今までにない大きなエネルギーが身体の中に入ってきます。そのエネルギーは、実は、この山の神、そのものだったのです。すべてのことを知ってほしい、すべてのことを感じてほしいと、私の身体のなかに入り、一体となってすべてを伝えてきました。初めて、祈りの対話をする神が、私の身体の中にいるために、まずその全ての感情や想いを感じることから始まります。悲しみ、苦しみ、辛さ、欲望、願いなど、この山にしみ込んで溢れている人間の感情エネルギーは、頭の先から足の先までビリビリとしびれてきます。

山神さまの想いをすべて受取ったあと、私独自の”神ことば（詔）”を唱え始めると、すうーと身体からご神体のほうへエネルギー体が移動してくれました。恵山神事の目的は、無限宇宙の調和を動かす８個の玉のことや、地球の軸直しという大きな祈り目的がありました。そのために9/5の朝、宇宙のメッセージを受け取った参加者の女性のおかげで、途中の黒岩から大切なものをいただくことができて、その大切なものをここで使うことになりました。

地球の底や地底界に溜まったすべてのマイナス感情や御霊たちをすべて、宇宙のおおもとへお返

しするための大切なものです。”宇宙のおおもと”と”地球の底”をつなぐために私の身体中からあふれ出る霊気は、一緒に祈る人たちに同調し、全員の身体が左右上下に震えはじめます。一人の女性は、今までの恵山のすべての感情を表現するかのように、涙を流しながら、嗚咽（おえつ）し始めました。体が震え、泣き叫ぶ声になり、すべての悲しみ、苦しみがあふれ出ました。その全てのマイナスエネルギーを宇宙へとひき上げる時、全員の光の玉が役に立ちました。この玉は、今まで行ってきた神事の場所の神さまからいただいた光の玉です。この玉の”すべてがひとつ”になり、地球の底は、今、光に満ち溢れています。本来、”宇宙のおおもと”と同じ働きをしていた地球の核は、これから宇宙の役目を果たすことができるようになりました。

全員が初めて感じるこの強い大きな振動エネルギーを受け止めるには、祈る人の強い精神力が求められます。この恵山に来るまでに登ってきた山や川の源流、さらに苦行ともいえる厳しい場所まで祈りに行き、自我を消すことができた人だけが、神としての役目を与えられます。本当に、今まで祈りに参加してくださったすべての方のおかげと心から感謝が溢れます。八世、つまり無限宇宙とつながった高い意識の世界が、もうこの地球へ降り注いでくれています。だからもうあなたは自由なのです。過去の宇宙カルマや人間のカルマに引っ張り回されないで、しっかり大地に手を当てて、自らがこの地球を守ると宣言してください。私たちの行動と意識のすべてを宇宙全体が見ています。その意識のつながりの宣言を１１月１７日の祈りに合わせて下さい。時を合わせるとは、すべての意識を合わせることを意味しています。時間という概念自体、その意識の違いを表すただの物差しなのです。明日を明るい未来にしたいと願うように、創造する意識は、時間を産み出し、未来を創り出す力があります。だから一人でも多くの皆さんと心を意識を合わせる宣言をお願いいたします。

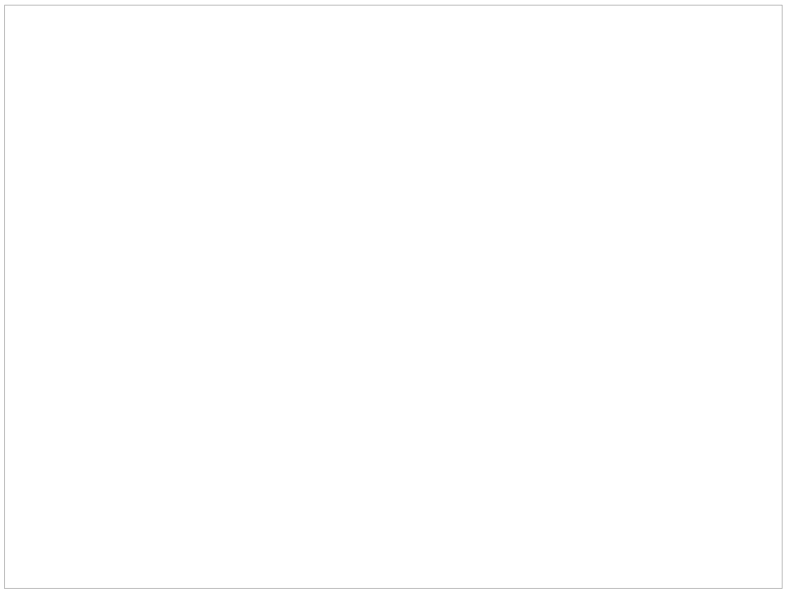
恵山の祈りを終えたあと、すぐ札幌へ戻りました。当初からこの祈りを納めるべき場所が、藻岩山の夜の祈りと決まっていたからです。真っ暗ななか、その場所へ行き、すべてのご報告をして”水の祈り納め”をしました。あとは、来週以降予定されている”山の祈り納め”と”湖の祈り納め”があります。ひとつひとつ、宇宙や神からの指令を全うするために与えられたこの身体が続く限り、私たちの役目がなくなることはないでしょう。人間としての神の役目を終えたとき、私たちは肉体を離れ、宇宙のおおもとへ戻ります。そして、また、次の準備がなされます。それは、あなたの３代先の子供かもしれません。１０代先の子供かもしれません。どちらにしても、私たちが守っていくものは、未来の地球の子供たちが、その神性を発揮して、宇宙の調和を整えられるように準備してあげることなのです。

私たちにとって、祈りは、現実です。皆さんは、意識の世界は、別な世界と思っていらっしゃる方もいるようですが、この三次元の現実世界は、すべて、人間が望み、人間が動かしてきたものですから、人間の意識そのものが、現実を創っていることを考えると、意識が現実であることも理解できるでしょう。だから皆さんに気づいてほしいのです。あなたの創造していることが、現実化しているのだということを・・・・・。

2007.09.06 Thu

天孫降臨・オノコロ神事　熊本県宮崎県

神事場所：　阿蘇（熊本）・高千穂（宮崎）
阿蘇山・白川水源・三崎神社奥宮・二上山神社・三か所神社・諸塚山・秋元神社・幣立神



今年６月の与那国島の神事を終えた夜に降りたメッセージが、「オノコロ」と「天孫降臨」でした。この意味を神人や仲間たちと何度も確認すると、新しい国造りのために、熊本/阿蘇・宮崎/高千穂、そして、宇宙のおおもとまで直接つながる木のある幣立神宮へ行かなければいけない事がわかりました。

北海道の神事の途中に九州へ行く意味を考えてみると、２００３年からのすべての神事のつながりは、ひとつの目的に向かっていることがわかります。２００３年に降りたメッセージ「地球創生」は、地球上のすべての人間のそれぞれの魂の役目を全うするために、新しい時代の先頭を切って動くべき人たちには、啓示やメッセージが降りています。
当時の私をサポートしてくれたのは、「クニトコタチのミコト」のようですが、現在では、さらに、大きな存在たちが私をサポートしてくれています。

政治の力で手を加えられている歴史や資料を昔から信じていない私は、ほとんど書物からの知識がありません。だからこそ必要な時には、必ず、必要な人が情報を持って私の前に現れて神の導きをしてくれています。今回の「オノコロ」や「天孫降臨」の意味も、ネット上からはいくつか情報を拾ってみましたが、どれもピンとこないものばかりのまま、すべてを神の導きにお任せしました。

8/31、千歳空港から飛び立った飛行機のなかでは、この私の疑問をすべて解決するためにメッセージが降りました。そして今回の神事の内容は、ぜひ皆さんに公開してほしいとメッセージが降りていますので、その全容を公開いたします。

〇宇宙からのメッセージ
オノコロとは、いにしえのならわしの中にある伝統的な神行事のことである。オノコロの聖地は、高千穂。高天原（たかまがはら）の隣にある大きな岩の上に”天孫降臨”したのである。
地球の始まりのときには、人間はいなかったが、その時、あるエネルギー体が宇宙の奥からやてきて、高天原に降り立ったのである。
その時、男女が、同時に並んで降り立った。その時まで地球を守っていた存在のことは、人間は誰も知らない。
その後のことは、文明が明らかにするように”神の降臨”があった。
イザナギ・イザナミの名前の由来は、イザナギが、宇宙の星のリラ星だったと言われている。
イザナミは、宇宙の太陽だったと言われている。

闇夜であった宇宙のなかで命を守るように現れた太陽（イザナミ）の役目は、（宇宙を）月夜のような世界ではなく神世の世界として照らし表すための大切なものだった。
太陽と月は一対のものではなく、月＝闇夜を照らす役目が、太陽＝日の神の役目なのだ。

”天孫降臨”とは、存在したすべての神々が新しくなることを意味する言葉である。
新しくなった神々は、新しい役目を与えられ、そのことにより、新しい神世＝現世が完成するのだ。人間として肉体を持ち、神世で働く人間は、もともと神性な神の化身であり、それ以上でもそれ以下でもない。
その人間がカルマを生み出した時には、”宇宙のおおもと”が、嘆き悲しんだものだ。
三次元？というか、（人間の肉体のように）変わらない肉体を持った星自体、地球が、初めてのことである。
宇宙の歴史を紐解き、消滅した星以外に今、現在、肉体のある星はない。肉体を持ち、神世となった地球の星の役目は、宇宙全体の集合意識に影響するほど、大きなエネルギーが、今、溢れている。その中にある（地球の核）エネルギーが宇宙へ広がっていくとき、宇宙全体のエネルギーの流れが早くなり、時間・次元という概念自体が変わっている。

今のところ、高千穂の高天原の隣に岩の上には、光が降り立つ準備がなされている。それがそなたの背中のエネルギーとなって、歩く道のりが新しい神世の道開きとなるであろう。
幣立神宮の隣にある池の龍神は、地球のみならず、宇宙の水・気・エネルギーを守る大切な役目を持っている。
だからその柱（双子杉）のエネルギーの流れをつなぎ、注ぎ、溢れさせてほしいのだ。
（幣立神宮に奉ってある五色の）人間面のことだが、それははっきりしていないが、人間が土の色＝人種の色＝生み出すもの＝それぞれの役目として読み取り合わせた姿なのだ。だからあまり気にせず、五色の色にとらわれず、高天原へ行くがよい。
そなたを待つ人・ものたちが導きを入れてくるはずだ。
高天原では、大きな穴が３つあるが、その穴の中にあるものは大切なものだが、あまり気にしないように。
そなたが存在する三次元エネルギー体としての今回の役務は、あまり知られていない宇宙のつながりのエネルギーをつなぐことにある。よろしく頼みます。

９/１　オノコロ・天孫降臨の神事場所

?阿蘇山…山・水つなぎ?白川水源…水汲み?六峰ガイドの祠（ほこら）…高千穂祈りの門番?…三ヶ所神社＝二上（ふたがみ）神社）…イザナギ・イザナミを奉る?諸塚山（もろつかやま）遥拝殿?諸塚神社本宮?秋元神社…クニトコタチノミコト?幣立（へいたて）神宮

阿蘇山の頂上へ車で行ってみると、沖縄からやってきていた龍球王国創設メンバーの二人が祈りを始めていました。
彼女たちも神の啓示を受けて沖縄の”水つなぎ”をするために、この土地へやってきたのです。私たちも北海道神事で祈った場所からいただいた水や、今まで祈ってきた場所の水をこの河口へ入れて感謝の祈りを捧げました。

阿蘇山の麓の南阿蘇には、たくさんの水が豊かに湧いている場所があるようですので、今後の”水つなぎ”をするために、白川水源へ行きました。
ここは大切な水を守るために、地域で有料化して、１回１００円を払って水を汲ませていただきます。日本全国の自然や水を守るためにも、こうして有料化しないと守れないくらい今の日本の現状が厳しいことを感じます。

宮崎県の高千穂（高天原）祈りをする際に必ずごあいさつしなければいけない場所が、この六峰ガイドの祠（ほこら）です。祠の実際の大きさは、３０センチ四方くらいで見落とすほど小さな祠ですが、実はここから、とても大きな神たちへつながる門としてこの聖地の入り口を守ってくれています。
私がご挨拶をすると、「少しお待ち下さい」といってからしばらくして、奥から大きな神様が出てきて、「これからのあなたたちの祈りが成功するように、この”剣”と”まがたま”をお持ちください」授けてくれました。これが、この後、とても役に立つ場面がありました。ありがとうございます。

次は、イザナギ・イザナミの降り立った三ヶ所神社奥宮（二神山稲荷神社）と諸塚山です。この山に向かって目をつむると、目の前が真っ赤になるくらい大きな神様がいます。（神様が強く大きい場所では瞼から真っ赤に見えるものです）

次は、国造りの神として有名なクニトコタチのミコトが鎮座している秋元神社です。この秋元神社へ向かう途中に、５００年杉を見つけました。

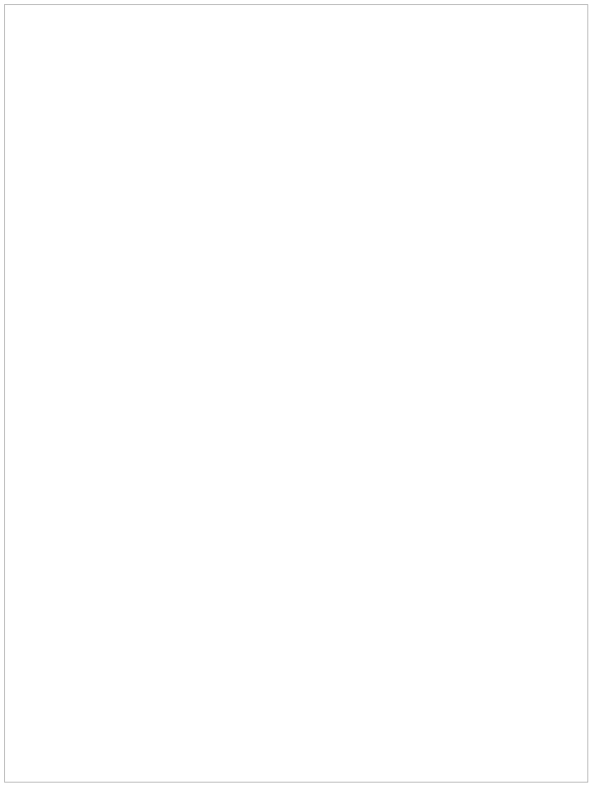
秋元神社は、３００年以上前の建築なので、現在、建て替えを予定していますが、そのすぐ横には３００年以上前からあるすばらしい御神木の姿に、私はつい歓声を上げてしまいました。
この建て替えに、１億円出すと言った人がいたそうですが、村の人は丁寧にお断りして、現在のままの大きさでシンプルな建て替えを計画しています。
祈りを終えて帰るときに、ここの神様から、「この村の人たちの神に向かう心や大切にしているものは、形ではないことを皆さんに伝えて下さい」と言われました。
個人的にも人間の都合でお金をかけて大きな建物を作るということは、たくさんの自然の木を切るということです。ご神体・神殿・ご神木を大切にするということの本当に意味は、形や大きさではなく、大切にする心であることを教えてくれる神社です。両側を山と木に囲まれて自然が守るこの神社を参道の美しさをご覧ください。

ひっそりとした山の中なのに、人のやさしい心が通うこの宮の守り方は、いずれ神社仏閣、またお墓や納骨堂を守る人がいなくなる時代がくるときの見本になることでしょう。

すべてのものは、もともと何もなかったのです。何もなかったからこそ、人の心は常にやさしく美しかったのかもしれませんね。

このクニトコタチのミコトは、私の祈り言葉のあと、神人の口を借りてこうおっしゃいました。「そなたたちの祈りに、私も、もう一度、力を貸そう」。国造りの神が、新しい神世のためにもう一度動きだします。ありがとうございます。

最後のご報告場所が、幣立神宮です。この境内の裏手にあるこの双子杉は、宇宙から降り立った光のラインが、今でもまったく変わることなくつながっている場所です。全員で今日の祈りのすべてをご報告すると、「そなたたちの願いのすべてを承認します」と声が返ってきました。ありがとうございます。



この双子杉の奥に、八代龍王が守る水場があります。全員で祈りを捧げたあと、この水をいただき、今日のすべての祈りを終えました。熊本・福岡からのご参加をいただきまして８名で祈りました今日の神事が、大成功に終えましたことを心から感謝いたします。

翌日の熊本空港からの飛行機の中で、またメッセージが降りました。みなさへお伝えくださいとのことですので、そのまま公開いたします。

〇宇宙からのメッセージ

お知らせいたします。ぜひ、これは皆さんへお伝えしてください。
あなたたちが昨日祈ったことにより、熊本・阿蘇・宮崎の地の神々が蘇りました。
大古から守り続いていたこの宇宙のエネルギーを求めてたくさんの修験者や僧侶、祈りをする方々がこの地へ参りましたが、あなたがたのように、我を忘れ、自我を捨て、天の導きに命を捧げる決意をして臨まれた方たちは、誰もいませんでした。
私たち天孫族は、いにしえの宇宙から知恵のエネルギーをこの地へ降ろし、守り、つなぎとめるためにたくさんの民族移動を繰り返しながら、この地までたどり着いた一族です。
宮崎の地には、もともと神の地（高天原）として守り続けていた宇宙のエネルギーがあります。
その中には、創造と破壊の神（クニトコタチノミコト）も降りて、新しい神世を創るために働いていました。しかしながら、人間という神が現われてから、私たち天の使命を受けた一族は、その場所を選び、人を選び、大切なものを守り継ぐために変化しました。
人間に降りた４００（万）年前からは、その意味を正しく守るためにたくさんの情報を与えましたが、その情報は、一部の存在（人間）たちによって隠されていました。他の大切な部分を除いて伝えられた情報の中には誤りもあり、私たちにとって、それは、とても残念なことだったのです。

「天孫降臨」をあなた方に伝えた理由は、このことの改めと、この世の改めを始めるにあたって、大切なことを知らせてほしいからなのです。大切なこととは、「真実」のことです。
ひとつしかないその真実を曲げてはいけません。
神が、宇宙が人間を創ったように、あなたたち人間は、いつも自分たちの都合のいいように神を、宇宙を理解し、導く方向を誤っていました。
だから、「真実のみ」を伝えて下さい。

真実は、ひとつです。
オノコロとは、実は、国造りではなく、神としての人造り＝神造り＝神世造りのことを意味します。天孫族は、もともと人間ではなく、宇宙からの使命を受けてこの地球に降りた宇宙の人（意識体）のことなのです。天孫族は、もともと宇宙の調和を司る一族のことなのです。その意識の目覚めを早めるためにあなたに「天孫降臨」のメッセージを送り届けたのです。あなたがたは、宇宙の調和を愛し、自分たちの住む地球の調和を愛し、そして、肉体を持つ神として、大地の上に立つ神なのですから、自らの調和のごとく、土地を愛し、人を愛し、生類すべてを愛し、その営みを続けていうことが使命なのです。

邪馬台国の「ヒミコ」について詳しくお話しましょう。

ヒミコを代表とする一族は、日本の各地、また世界の各地に出没しています。
世界史のなかでは、名前を変えて、文明の名前さえも別なものとして残っているでしょう。
その一族が、はるばる日本までやってきた理由はいくつもありますが、その重要な目的のひとつに、火の神を日の神（太陽）のもとへつなぐ、返すことが目的だったのです。
世界にある”太陽神信仰”は、その一部として天孫族の移動した道のりを表しています。
太陽神の信仰は、オリンポスとも言われ、宇宙のエネルギーが結晶化して現れたひとつの物質なのです。

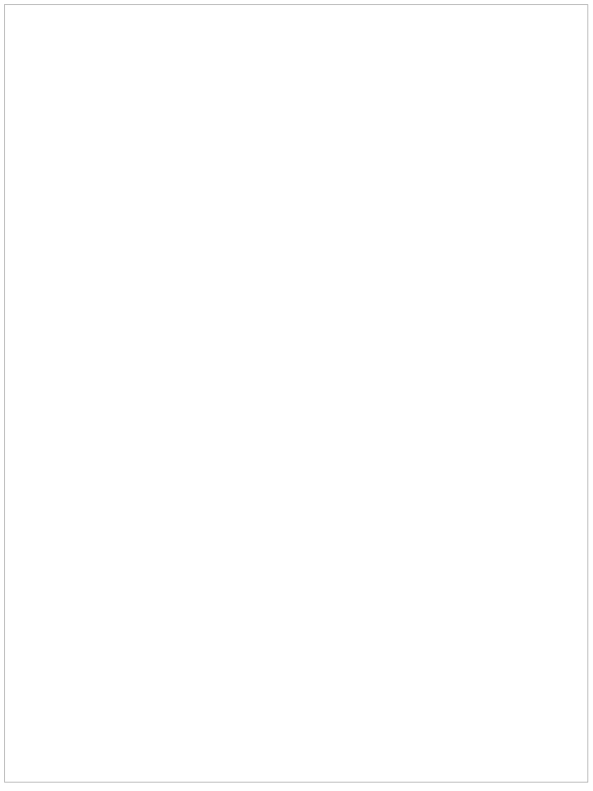
その”火”の存在を守り、感謝し、大切にしてきたものを、元につなぐ＝太陽に帰すために、日の国＝日本までやってきたのです。
日の国日本は、もともと神々の発祥の地として、世界へ神や情報を発信し続けていますが、その役割の大きさのために悩まれている人たちもたくさんいることでしょう。
天孫族＝ヒミコ族　は、その目的を達成したあと、その地にとどまるか、否かを神と話し合い、その後の役割をいくつかに分けて、東北北海道、九州熊本、そして、沖縄の人たちの意識、民族との統合を図りました。地球上に神や宇宙からのエネルギーが舞い降りた場所には、それぞれ守るべき大切なものがあり、それをいつの日か、ひとつにするために移動していました。人種の色をはじめ、土地の違いは、それぞれが守るべき大切なものの違いを表しています。

日の元日本は、そのひとつという意味そのものをまとめ、結び、宇宙へとつなぎ返す大切な地であり、その意志を受け継ぐために、すべての民族が目指した土地なのです。
日本のもともとの働きは、神世としてのまとまりを整える役目と、その全てのものを、またもう一度、宇宙のもとへと結ぶ、つなぐ場所なのです。
それが完全に完成すると、地球自体と宇宙全体との大きなエネルギー交換が始まり、宇宙エネルギーの循環が、新しい星や新しい生命を生み出す力となります。
何度も誕生し、消滅したすばらしい文明は、その目的達成まで至らず、”調和”で終わってしまっていたのです。”調和”だけでは、固定エネルギーのようなもので、安定はしますが、新しい生命を誕生させるほどの力がありません。新しい世、新しい世界が誕生した今、あなたたちに望むことは、”調和”を超えた新しい広がり、つまり、”誕生”のエネルギーを産み出すことなのです。

生命の誕生、植物の誕生、大気の誕生、水や氷の誕生、あなたたちが望むものが産み出されます。まだいくつかの課題は残っていますが、あなたたち天孫族は、この指名を持って生きていくのです。
宇宙が誕生したときのように、また、地球が生まれたときのように、あの時のことを想い出しなさい。あなたたちには、すべてのものが与えられています。
その使い道を知り、多くの人の生命と同じように、地球や宇宙のたくさんの生命を守り、救ってください。

”命あるものは、死するもの”　このことさえ、あなたたちが望めば、叶えられることもできるでしょう。私たちはその全てをサポートします。祈りをありがとうございます。そして、すべての天孫族の目覚めを急がせて下さい。地球の役割の大きさを知らせてあげてください。ありがとうございます。
ホーキ星カオリ星

あなたがこのメッセージを何度も読み、魂から理解したとき、本当の魂の目覚めが起きることでしょう。私はそのときを心から待ち望んでいます。



2007.09.03 Mon

積丹半島 神事

8/28-29の利尻岳登山は、登りが6時間半、下山が4時間半で降りてこられたおかげで最終の船の時間に間に合い、稚内の宿で仮眠することができました。翌朝は7：10発の特急で札幌へ戻り、車に乗り換えて、全員で積丹半島へ向いました。この積丹半島で祈る目的は、昔々から守られている太古の知恵 をいただくことが目的です。

新しい世の中を創る時に「いにしえの知恵」は、とても重要な意味を持っています。特にこの積丹半島には、宮古諸島と同じ”ムー大陸”の海底都市が海の中にあるような重要な場所なのです。現地に向かう車の中では、祈りの場所を見つけるために全員のチャネリングが始まりました。祈りの場所は４つです。

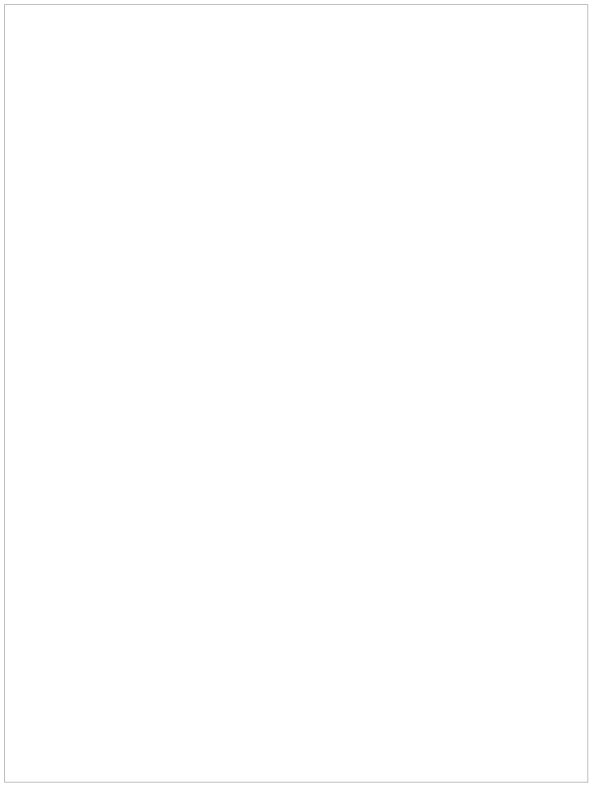
〇１つ目の祈り場所・・・宇宙の母船が隠されているこの場所では、”北海道のカギ”を見つけました。

〇２つ目の祈り場所・・・龍宮城と同じ地底界の門番がいる場所も見つかり、その門を開ける方法もわかりました。

〇３つ目の祈り場所・・・利尻岳登山の前日の皆既日食の直列エネルギーを使い、すべての陰陽・男女・過去未来をつなぐ祈りをここで行いました。

〇４つ目の祈り場所・・・最後に、”いにしえの知恵”をいただく場所へ行き、地球の過去のすべての情報をいただきました。

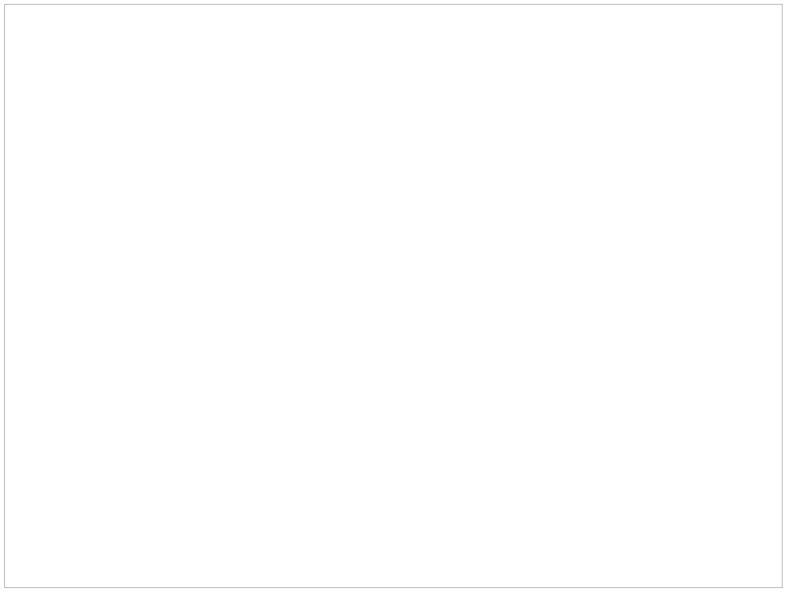
日が暮れる積丹半島のカムイ岬に沈む夕日は、私たちの２泊３日の祈りの成果が表れているように美しい姿で喜びを表してくれました。利尻岳や積丹半島で神が見せてくれた光の舞いは、私たちの神事を宇宙が喜んでくれている証なのでしょう。ありがとうございます。



2007.08.30 Thu

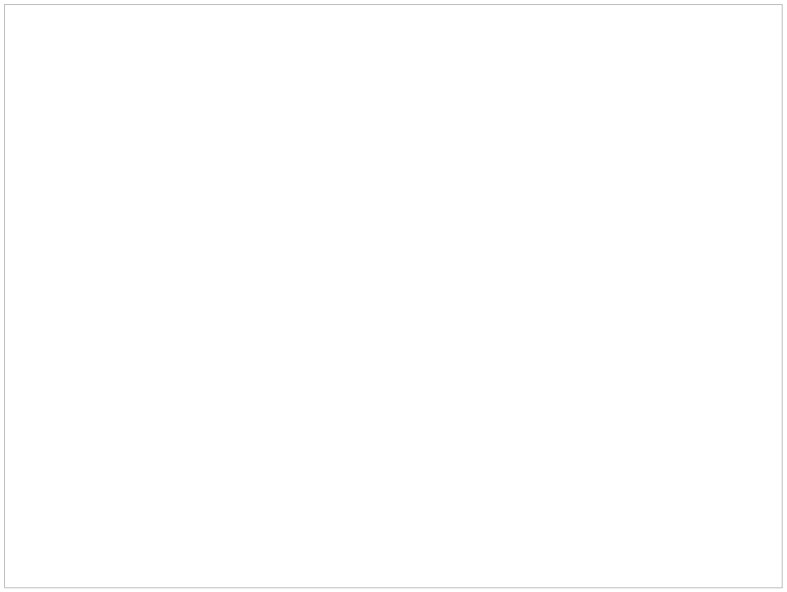
利尻岳（利尻富士）登山 神事

8/28（皆既月食）気温２３℃　札幌→稚内→利尻島
8/29　利尻岳登山神事　ＡＭ4：30出発　ＡＭ5：00　3合目出発
ＰＭ4：30下山　利尻島→稚内泊
8/30　稚内→札幌→積丹半島神事



札幌からＪＲ特急で５時間揺られると北海道の北端の地、稚内に到着します。そこからさらに船で一時間40分揺られると、「利尻富士」と呼ばれている標高1721mの大きな神の山がある利尻島に到着します。私たちが着いた日が「皆既月食」の日だということが後からわかり、先日の「羊蹄山神事」のときの新月に加えて、”神計らい”には、いつも、驚かされます。

この利尻岳が、宇宙に直接つながる場所であることがわかったことから、”宇宙のおおもと”がここにエネルギーラインを降ろした本来の目的を私たち人間が果たすために、5名で登山神事をすることになりました。海抜０ｍの利尻岳登山は、「長官山」の頂上を経由してから、さらにその先に見える頂上を目指すので羊蹄山よりも歩く道のりが長く、最後の命綱に捕まりながら登る傾斜の厳しさには、全員が驚きました。



利尻岳頂上の祈りの結果、この３次元の現実世界に影響している六次元意識の世界が、七次元へ引き上げることに成功しました。この意味は、沖縄で言う「七段・七底（ななすく）・七世（ななよ）」の世界、つまり、この世が神の世界になったということです。

この神事は、今まで何度も人間がチャレンジして失敗してきたことを神が教えてくれました。
それはここに行きつくまでの手順をミスしたり、重要な準備がなされていなかったからのようです。
この世の意識が「神世（かみよ）」になったということは、皆さんが神そのものであり、神として生きることができるようになったということです。
そして、この意識を、富士山とハワイのキラウエア火山へ飛ばしました。
これは、山の神からのお願いでもあり、富士山から日本全土へ、キラウエア火山から世界へ意識の目覚めをするためのエネルギーを送ってほしいとの依頼だったのです。
頂上の祈りを終えると、龍雲が姿を見せてくれて、その場に居合わせた全員が、生まれて初めて

見た！と感動するほど、上昇する龍雲の姿が、目に焼きついたようです。

宇宙と地球、世界と日本、そして、過去と未来のすべての調和を図るための神事は、今後もまだまだ続きます。私たちの祈りに心を合わせていただいた皆様、そして、地球創生基金へ募金下さっている皆様へ、心から御礼申し上げます。

2007.08.28 Tue

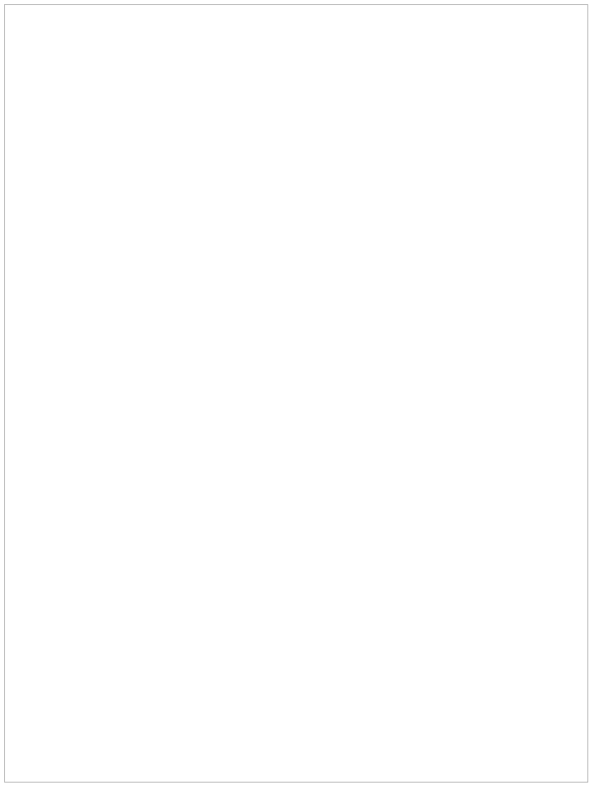
イルムケップ　水祈り　芦別

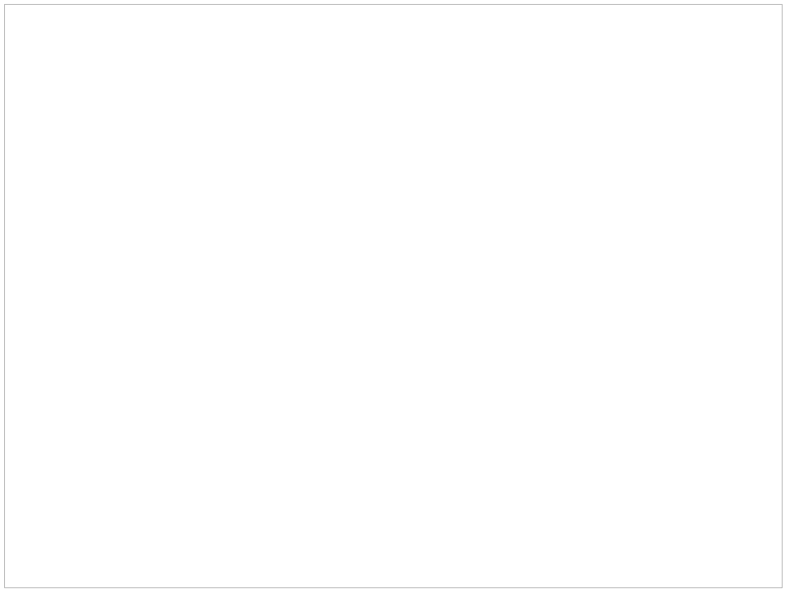
第二次世界大戦後（1945年～）、北海道の山奥まで、樺太の引揚者たちが生活の場を求めて移住してきました。人里離れた山の奥地に入植し、自分たちの手で木を切り、田畑を作り、自給自足で生活していた場所です。その場所から小学校までの片道は、大人の足でも１時間以上かかる不便な場所ですが、その生活の拠点になった場所には、たくさんの人の命を守ってくれた豊かな山の水が湧き出ています。

現在では、その当時住んでいたほとんどの方が土地を離れて別な場所へ移っていますが、その山の奥地の生活の場のことを地元の人たちは、「開拓の沢」と呼んで、今でも大切にしています。この水は、2003年に地球に光降ろしの祈りを捧げた”イルムケップ山”から湧き出ているすばらしい神の水で、今でも、自然界すべての命を守りつないでくれています。

川の中に両足を入れて立ち、感謝の祈りを捧げるために手を合わせてみると、グラグラっと身体全体が揺れてふらつくほど、この水を守る神様のエネルギーを感じました。目の前に手をかざしてみると、真っ白な光の柱が立ち上がり、この水を守る大きな神の姿を見せていただくことができました。

この水をいただいて、これから祈る大切な場所へ運び、すべての水つなぎ、山つなぎ、土地つなぎ、そして、自然神すべてのつなぎ祈りをさせていただくことを了解していただいたことに、感謝あふれるひとときでした。命（水）をいただきますこと、心から感謝いたします。





2007.08.27 Mon

サッさとやる！

今朝の祈りで言われたことは、皆さんに「宇宙の情報を公開してください」というメッセージでした。※皆さんの集合意識の状態に必要なことを選別してですが・・。

宇宙には、人間の時間では図り知れない宇宙創生期からの永い永い”とき”の情報がありますが、それを公開することで皆さんの眠っている魂の目覚めにつながるからなのでしょう。

でも、私が一番気をつけていることは、その情報を知る責任が取れる人たちへのメッセージであることが前提です。高次元情報や未来の情報を知ることは、確かに、ワクワクします。

しかし、その未来という時間を超えた情報を知ることは、同時に、全体意識に対して大きな責任が生じるからです。

私が直接、お会いした方なら、その人に合わせたお話もできますが、相手が見えないネット情報から皆さんの意識に働きかけることの責任は、常に感じています。

だから、お顔を公開できて、本名や所在がはっきり明かせることができる方をメンバーサイトでお待ちしています。そこではこれからの地球を導くすばらしい情報にみち溢れてくることでしょう。

私は子供の頃からたくさんの予知夢やメッセージを受け取っていましたが、そのひとつひとつが現実になると、その予知夢を見ることに恐怖を感じるようになりました。

さらに、強い口調のメッセージを受け取ると、それをしなければいけないと感じるために、現実との摩擦や混乱が生じます。

今でも、そういう方たちがたくさんいることを、最近、知りましたので、私の混乱時期の経験で学んだことや、現実とのバランスの取り方も含めて、時代を導くすばらしい人たちとの出会いがこれからとても重要になると感じています。

数日前にお会いした東京の男性は、霊的な「生まれ」の方ではなく、後発的な目覚めによってメッセージを受けとるようになり、一人で日本中を祈りまわっている方でした。

私の祈りを一緒に経験し、現実的な経験の話をたくさんした中で、本当に目覚めを待っている方たちが、全国にたくさんいることも知りました。

1900年代に宇宙からのメッセージを受けとって活動された方たちのことは、一部の宗教家の方を除くとあまり知られていません。

そういう高次元意識のメッセージを受ける方たちは、現実を一切放棄してでも、しなければいけないくらいに重く厳しい役目を身体の痛みと共に与えられていたからです。

一般的に現実生活を重視して生きる方たちからみると、なぜ周りの家族に迷惑をかけて、現実から逃避したように動き回るのかが理解できないからこそ、常に、そういう人たちは、自分の”我”を満足させることができずに苦しんでいました。

だからこそ、私が今お会いしているすばらしい高次元意識の方たちにお願いしているのは、お互いの情報を交換しあって、もっと大きな信頼と安心を人間として得ながら、自らの役目をしなくてはいけないと話しています。

理由は、私たちの年代の役目が終わったあとの時代を受け持つ人たちが、私たち以上に苦しませてはいけないと感じているからです。私は１０年前、何人もの、すばらしい子どもたちに会わせてもらいました。

私がお会いした３歳～５歳くらいの子供たちの瞳のなかには、ブッタや釈迦を超えるくらいの霊力と知恵を与えられている魂であることを知り、そんな子供が私たちの次をを担当ために生まれてきているのなら、自分がどんなに苦しくても役目をやり切ろう！と決断をしたくらいです。

意識の世界でも、武術の世界でも、経営の世界でも、普通の人がしないことをするからこそ、それまでの自分の枠を超え卓越し成功することができますが、「自分を超える喜び」を感じたことがない方は、常にその自我の苦しみと向き合いながら、生きるしかなくなります。

それはそのあとに続く人たちも出てこないことでしょう。

私自身、とても苦しい時に、すばらしい導きの人に出会いました。神仏を信じないうえ、大人の言う言葉の嘘を子供の頃から見抜く力がある人間にとっては、何を信じるかがとても難しいものですが、その固い心を溶かすほど、愛に満ち溢れ、やさしさに満ち溢れ、すべてを認めて、受け入れてくれる人に出会ったとき、人の心は癒され、本来の魂の目覚めがひも解かれます。（私は、そのとき、神を信じました）

皆さんは”愛”という言葉も知っているし、”調和”という言葉も知っているでしょう。〇〇〇したほうがいいことなんて、山ほど知っているでしょう。でも、それをすべて実践できますか？

できませんよね。それが、人間です。だから何事にも、１００％はないのです。でも１００％がないから信じないというのもおかしな話です。１００％の反対は、０％でしょうか？

信じることと信じないことの両極以外に、あなたの心の置きどころはないのでしょうか？もしそうなら、苦しすぎます。人間やめたくなっちゃいそうです。でもやめても楽にはなりませんからね。

人間やめると、実は、もっともっと、することが増えるんです。魂の役割とは、夏休みの宿題みたいなものなので、後に残すとたいへんでしょ！？

自慢じゃないですが、私はいつも、夏休みの宿題を最初の３日位でやってしまう子供でした。宿題も全部、自由研究も全部、５年生くらいになって慣れてくると、日記も最後の日まで全部書き上げてしまっていました。（これはやり過ぎかも？）

その時の自分のルールは・・

１、どうせやらなきゃいけないことなら、さっさとやる！

２、やることやったら、人に、とやかく言われても気にしない。

３、その分、たくさん楽しむ！

４、でもそのことは、人には言わない。　　・・・・でした。

当時と比べて、今の自分もあまり変わっていないかもしれません。「人生は楽しむためにある！」と思いたい気持ちに言い訳しないよう、今も、心のなかで感じる宿題（気づき・メッセージ）は残さないようにしています。

気づきやメッセージを受け取ったとき、そのことについて探究したり、納得するためこだわりすぎると、意識だけが混乱して、一歩も前に進んでいない自分に気づくことがあります。そういうときは、まず、「行動」に移してみてください。

「行動すると、次の現実！」

これは、すべての成功法則でもあります。

あなたにとって、素敵な導きの人に出会えますことを心から祈っています。

2007.08.22 Wed

白老ポロトコタンの祈り

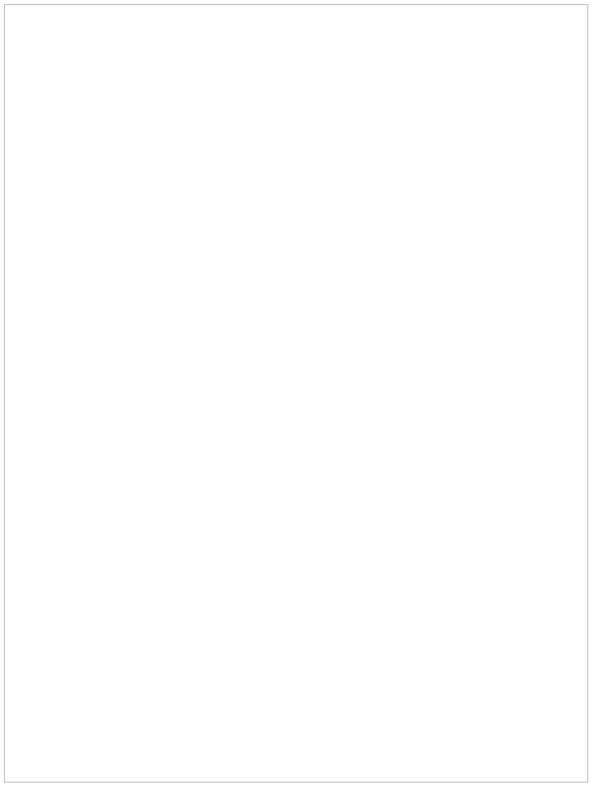
北海道の白老にあるポロトコタン（村）のエカシ（長老）に、祈りの仲間と一緒にアイヌのことをお聞きする時間をいただきました。その目的は、私たち和人が入植するもっと以前から北海道を守ってきた先住民族の方たちのすばらしい知恵や大切なことを教えていただき、その精神を私たちが守っていくことが目的です。
私自身は今までたくさんのアイヌの血が入った方にお会いしましたが、そのなかでも現実と意識のバランス感覚が、とてもすばらしいエカシ（長老）のおかげで、そのあとの土地の祈り・水の祈り・海の祈りも素晴らしい結果になりました。

たくさんの資料を使いながらコタン（村）の中を案内してくださり、具体的に何が重要なことなのかを対話させていただいたことを心から感謝いたします。
このポロトコタンのアイヌの皆様は、実は、皇居から呼ばれて、天皇の前でアイヌの踊りを披露したくらい北海道のアイヌを代表するすばらしい方たちだったのです。
その理由は、早くから和人を受け入れて生きる知恵や調和のバランスを会得したコタンであり、その精神は現在でも、他のアイヌ部落との交流や文化継承のために知恵を出し合い積極的な活動を続けています。

文字を持たなかったアイヌ民族は、その分、言葉の意味をとても大切にしています。現代の北海道の地名の８割も、アイヌの名前が語源になっています。またアイヌという意味も実は、「人間」という意味なのです。
だから本物のアイヌですか？と聞く方が多いようですが、和人の血が入っていても、その精神を守っている人たちをアイヌと呼ぶにふさわしい人かどうかで私は判断するようにしています。

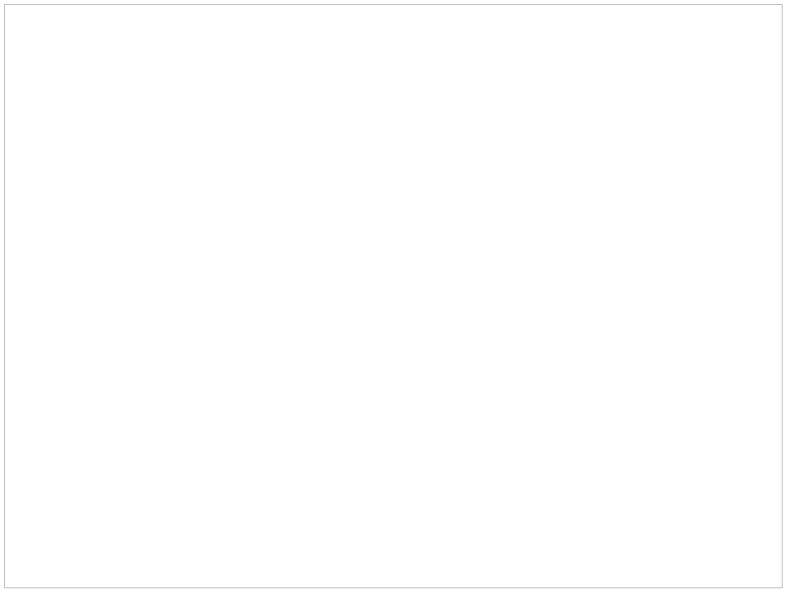
カムイ（神）という意味も、和人が思っている神とは違い、人間にはどうすることもできないものすべてのものごとを「カムイ」と呼びます。自然界にあるすべての生き物たち・山・風などの自然界のすべて、そして、疫病・災い・地震・津波などのことも「カムイ」と呼びます。
そしてこの「カムイ」は、人間に都合の悪いものごとを引き起こす怖い部分もあるので、一方的にあがめるだけではなく、カムイと真剣に対話して生き方を学ぶ知恵をとても大切にしてきたことが理解できます。

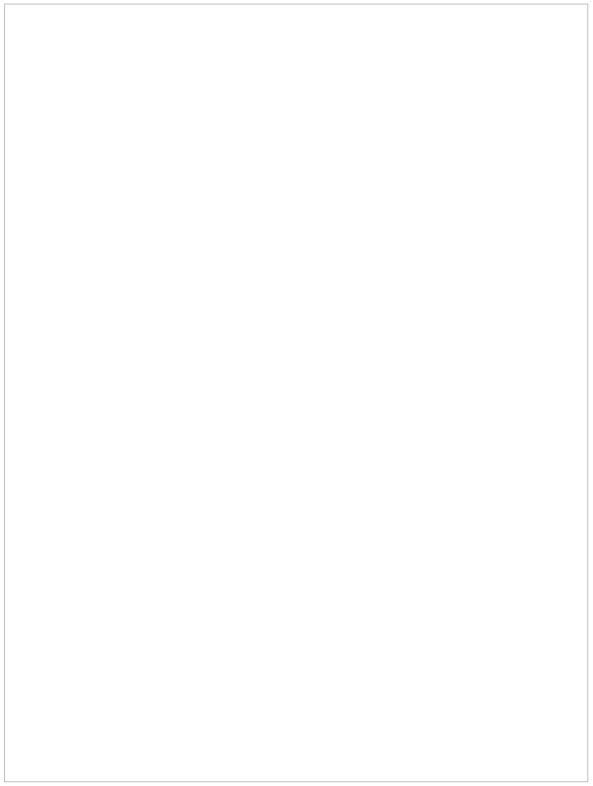
コタン（村）で生活するようになったアイヌは、そのコタンを守ってくれる神々を大切に奉っています。神祈りのことを「カムイノミ」といいますが、どこのコタンにも、ヌサ(祭壇）という大きな祈りの場所があります。
一番大きく祭っているヌサ（祭壇）には、１４のカムイ（神）が奉られています。ヌサ（祭壇）に奉られる神を表すものは、木を削って作るイナウ（神道の御幣）です。



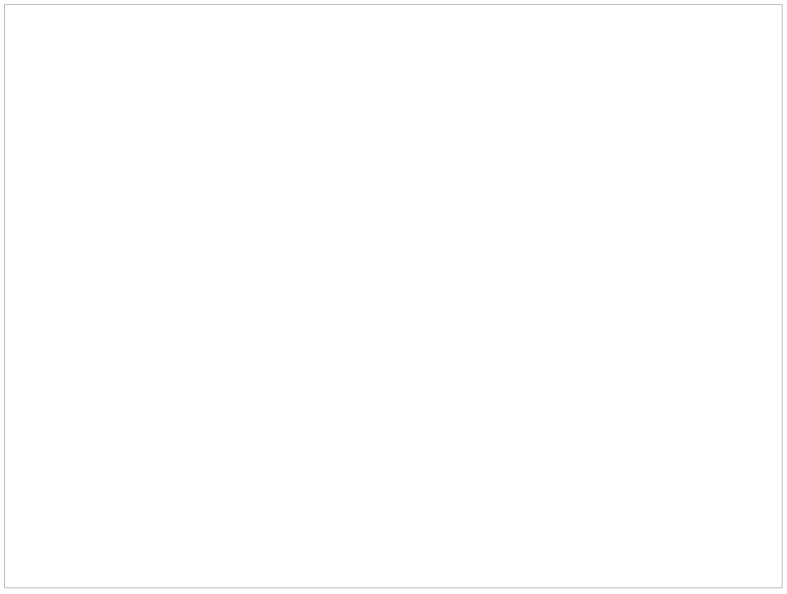
※１４の神々
?ヌサコロカヌイ（祭場を司る神）
?シリコロカムイ（大地を司る神）
?ハシナウウクカムイ（ハシナウを受け取る神＝狩猟の神）
?クッタルシヌプリコロカムイ（クッタルシ山の神）
?メトッウシカムイ（山奥にいる神＝クマの大王神）
?ペテトクンカムイ（水源の神）
?ケマコッネカムイ（キツネの神）
?トーコロカムイ（湖沼の神）
?ワッカウシカムイ（水の神）
?トマリコロカムイ（船着場の神）
?チワッコロカムイ（河口を司る神）
?マサッコロカムイ（海岸を司る神）
?アトゥイカムイ（海を司る神）
?コタンコロカムイ（集落を司る神）

その左側には、さらにこの１４神を守るためのカムイ（神）がいます。



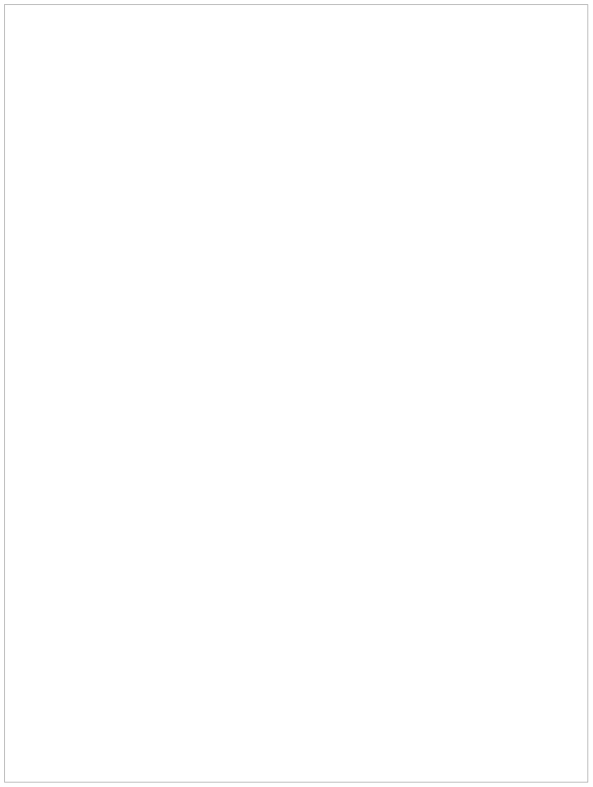


一般的にアイヌの神祈りは、男性だけで行います。
女性は、歌と踊りを担当してその祈りをカムイ（神）につなぎ捧げます。女性だけで行う祈りは、先祖供養です。
つい先日行われた先祖供養の場所がそのまま残っていました。



アイヌの神の世界（カムイモシリ）は、東の上方にあると考えられています。
また死後の世界の考え方は、肉体を離れた魂が戻る場所は、地下にあると考えられています。
先祖供養では、家族があの世で生活に困らないよう、洋服や食べ物、タバコなどを細かくちぎって送る儀式を行います。
ときには、住んでいた家を燃やし、あの世の住まいに困らないように祈る場合もあります。

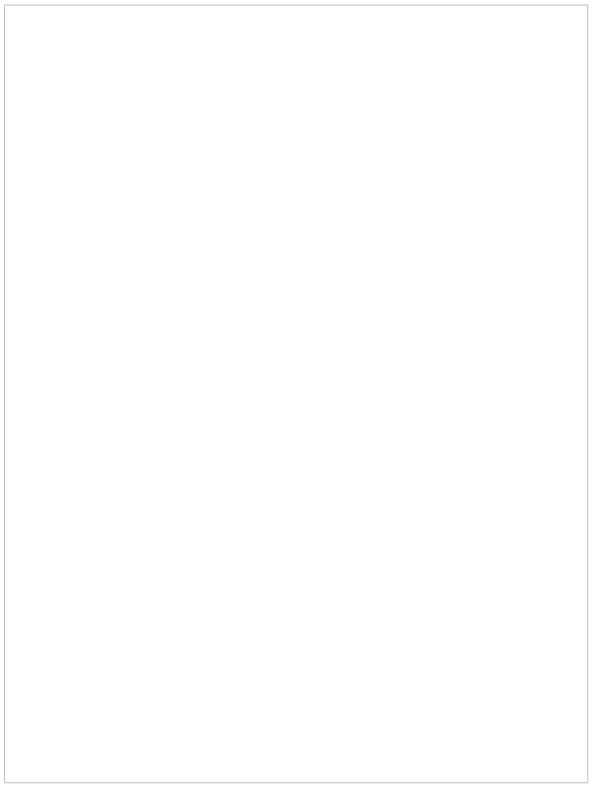
チセ（家）の中には炉があり、そこではアペフツカムイ（火の神）を大切に守り、東北の場所には、ヌサ（祭壇）を奉っています。
コタンによって多少違いはありますが、このポロトコタンでは、チセ（家）を立てる際、必ず、西に入り口を作り、東の窓からは山のカムイの獲物を出し入れして、南の窓からは、海のカムイの獲物を出し入れします。
北側に窓がないのは、死人が出た時に、北の壁を破って出すための方角として使うそうです。



自然界に一番近い生活や祈りを守りつづけてきたアイヌ民族の知恵は、私たちが今後の生活で一番大切な精神文化を教えてもらうことができます。
あなたもぜひ、この白老のポロトコタンに足を運び、肌で感じながら、その大切な精神文化を学んでみてください。神は、あなたの足もとにいます。

白老ポロトコタン　アイヌ民族博物館　公式ＨＰ　http://www.ainu-museum.or.jp/
2007.08.21 Tue

大宮八幡宮（東京）



8/11-12に、「東京のへそ」と言われている大宮八幡宮へ行ってきました。目的は、”関東のエネルギーつなぎ”が目的です。この神社のなかには、縄文時代のハスの種を見つけた方が奉納したことで、唯一、縄文時代のハスの花が咲いています。

また境内の横には、弥生時代の遺跡も見つかっています。発掘後、すぐ埋められた場所を霊視しながら歩いてみると、水脈のラインが見つかりました。その水脈ラインの先に、”御神水”が湧き出ていることを案内してくれた女性が教えてくれました。東京で、地下から湧き出ている水を初めて飲んでみましたが、まろやかでとても美味しいこの神の水をいただくために、たくさんの方がこの神社を訪れているようです。

１泊２日という短い時間のなか、数名の方のセッションと、昼と夜の懇親会を持てましたが、とてもすばらしい方たちにお会いすることができたことを感謝いたします。４年前に沖縄から始まった龍の導きによるさまざまな祈りは、新しい地球を創生するために、重要な土地の人たちとつながり、そして目覚めをサポートし、そして、その土地を守っている古来の神々の力を復活させることを目的として活動しています。

さらに、東京という場所から飛び立つ飛行機の航路が、世界へつながるエネルギーラインであることを、６月の沖縄の帰りに、天が教えてくれました。意識してみて下さい、東京のお住まいの方たちの意識が、常に、世界へ飛んでいるわけです。今のままの全体意識で、いいのでしょうか？

私は今、世界の祈りをしてきた人たちや、日本の土地のエネルギーを安定させるために奔走している人たちと出会い、お互いの役割を確認しあって気づいたことは、共に、魂本来の目的を確認しながら、お互いを尊重しあい、与えられた役割をまっとうする時代になったということを感じています。だから、そのために、必要な人には、すべての情報を公開しています。

一般社会でも信頼関係を深くするときには、お互いの情報を交換し、公開することが一番早い方法です。以前にもお話しましたが、宇宙や神のメッセージは、あなただけに来ているものは、何ひとつありません。メッセージを受け取った方は、その情報を伝える役割があることと、自らの気づきのために、あなたに届いていることをもう一度、確認してください。

もし、あなたがその重要な情報を一人占めしていると、必ず、そのエネルギーに向けて、さまざまな出来事を呼びこんで混乱してしまいます。２０世紀にも、すばらしい宇宙からの情報がたくさんありましたが、すべて、裏の世界の力で消滅させられてきた事実を知っているからこそ、今の時代に大切なことは、大切なことこそ公開して、全員で共有することが最大の安全策なのです。

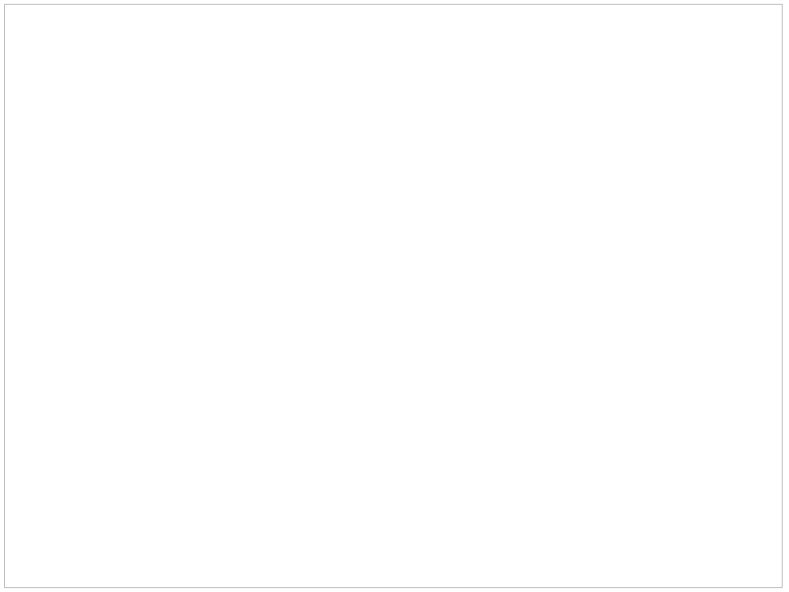
秘密は、公開してしまうと秘密ではなくなります。どんなにすばらしいメッセージや情報でも、秘密にして抱えている人の心は、必ず、心のなかに影を創りだします。その影は、闇の世界と同じように、広がっていくのです。

ひとつ、あなたに問いかけたいと思います。

地球上の人間全員が「愛と調和」を実践する時代が来ることを願い、それまであなたは、ただ、じっと待つ人なのでしょうか？それとも、そのために何かを意識しながら、日々、行動する人なのでしょうか？また、誰かが、いい時代にしてくれるだろうと、傍観者になって、状況を眺めている人なのでしょうか？

あなたに大切な家族がいるのなら、あなたの肉体が消滅したとき、残さなければいけない大切なものをあなた自身が、今、わかっていないと、きっと、それは消え去ってしまうと思います。本当に大切なことは何なのか、あなた自身が今、答えを導くことを神々も宇宙も望んでいます。
2007.08.15 Wed

羊蹄山登山神事**2007**



＜羊蹄山神事内容＞1893ｍ　気温３６℃

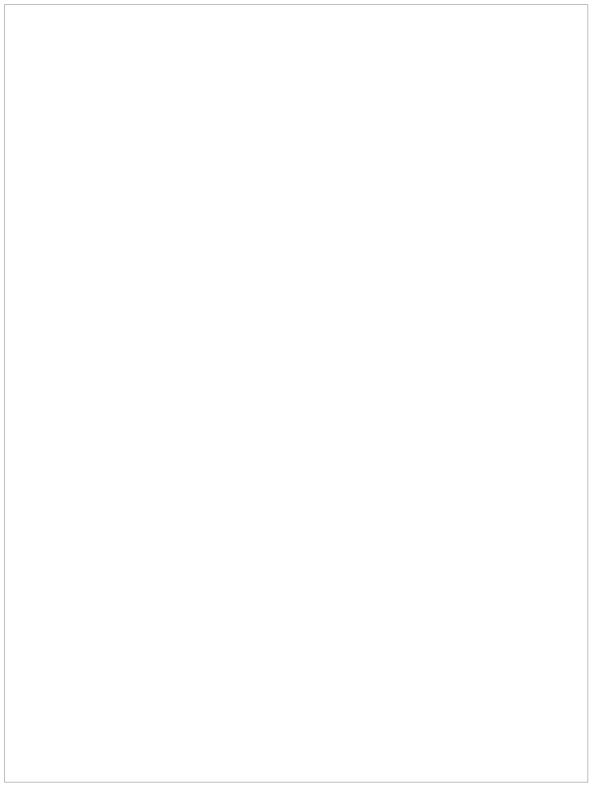
8/13(新月）am 11：00登山開始～pm7：00最終登山者山小屋到着（所要８時間）

8/14　am 5:40　ご来光神事

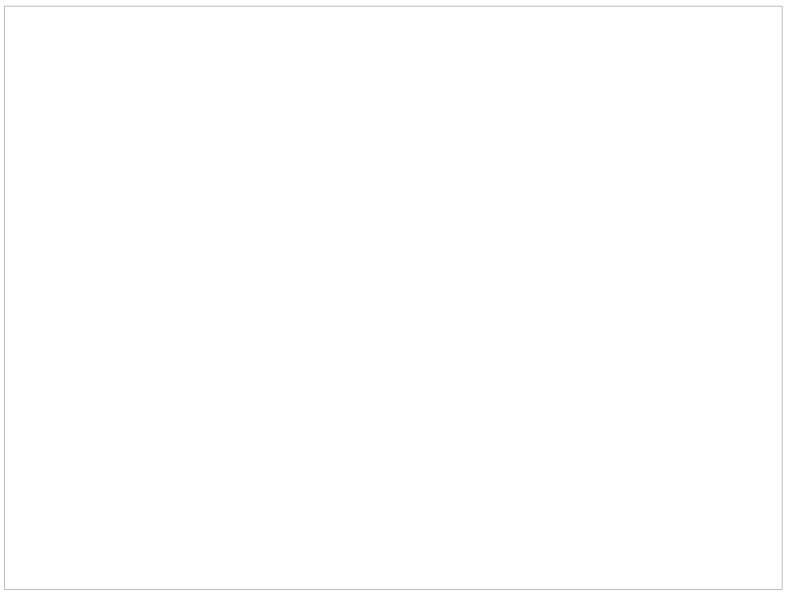
8/14　am 6:05下山開始～pm 2:00 最終登山者下山（所要８時間）

登山参加者１４名、登頂到達者１１名（３名途中下山）・参加者年齢　３３歳～５７歳

気温３４度となったこの日、３食分の食料と３リットル前後の飲料水を背負って出発したこの登山は、予想を超える厳しいものになりました。蝦夷富士と呼ばれるこの羊蹄山の登山口はいくつかありますが、初心者ばかりの登山ですので、一番、安心な”真狩コース”を選びました。登山前に、真狩の湧水　カムイワッカの水（神の水）を全員がいただいてから真狩神社に参拝し、入山の許可をいただきます。



「皆様のことをお守りいたします」と言葉をいただいたあと、この神社の神様のそばにいる存在が、一緒についていくと行って私の身体に載ってくださいました。

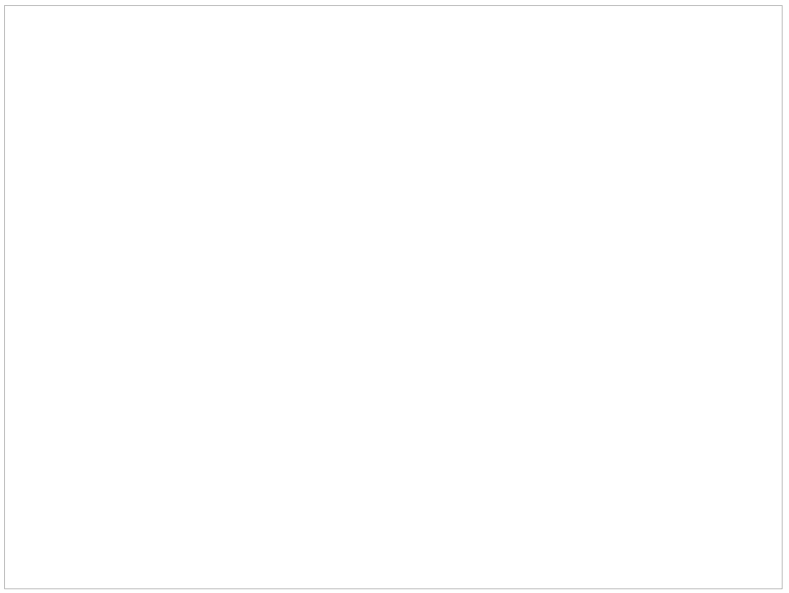


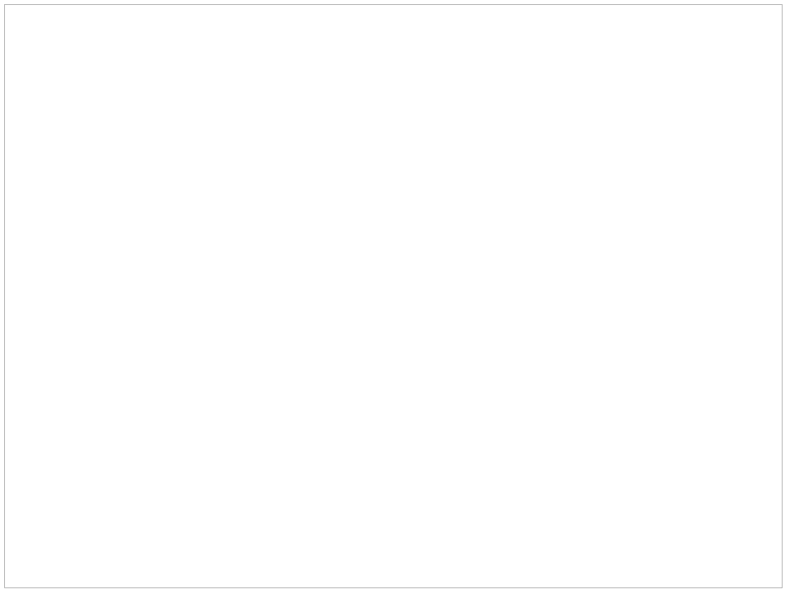
羊蹄山は、富士山と違って途中まで車で行くことができない山ですので、頂上まで登山に慣れた人でも３時間半～４時間かかるとても険しい山です。３チーム編成で出発したものの、それぞれの人の体力差で、次第に間隔が広がり、一番最初に山小屋に着いた方は４時間半で山小屋に着きましたが、暗くなって山小屋に着いた最終登山者の８時間の方は、３４℃の気温の中、山道を歩いた時間が長いほど、相当な体力を消耗したことでしょう。

山小屋の午後９時消灯まで、汗でびしょ濡れになった洋服を干し、軽い食事をとり、この日、誕生日を迎えた方のささやかなお祝いをして、残り少ない飲料水とにらめっこしながら夕暮れを過

ごしていると、山小屋の管理人さんが、今日は、珍しく無風で星空がきれいに見える上、ペルセウス座流星群が今、見えていますというご案内のおかげで、流れ星の美しさに吸い込まれるように見とれて、ひとときの安らぎを神様からいただくことができました。

翌日は、起床３時、出発３時半。日の出が見える場所まで約１時間、ひらふ９合目まで戻って登るコースを選びました。この日のご来光は、言葉では表せないくらいに大きな光を放ちながら、私たちの祈りを見つめていました。





世界中の聖地を歩いている「ありんさん」と、私たちと同じように、地球のために祈りを捧げている「谷浩一さん（通称：白龍さん）」の参加のおかげで、私たちの祈りは、地球全体の山の神々、日本中の山の神々のネットワークを復活させる祈りになりました。龍球王国の新しい十五神の神々も、今まで地球上に降りたすべての神を司る役目として働いていますが、この羊蹄山の神々を守り、地球全体の神々の調和と、生類すべて、そして、世界の人間の心の調和を一緒に祈りました。

下山後のお互いの感想を話し合ったときに、この日、多くの神々が私たちが祈っている真上で見ていたことを何人もの人が教えてくれました。今回の祈りに参加された人たちの多くは、それぞれが、天から直接、「羊蹄山へ登りなさい」というメッセージを受け取って、私の祈りに合わせて参加してくださったことを心から感謝いたします。

北海道では羊蹄山のことを”蝦夷富士”として呼び、その美しい姿は有名ですが、大地に両手を伸ばしてしっかり大地を守っている姿の富士山のような山は、青森県の岩木山をはじめ、全国の同じ形をした山の役割として同じような働きをしています。

北海道のアイヌ民族は、羊蹄山をマテネシリ（女山）として呼び、尻別岳をピンネシリ（男山）と呼んで男女和合の大切な山として守っていました。私の祈りも新しい時代の男女和合のため、もう一度、男女の結び祈りをさせていただきました。祈りを終えたあと、山の神様から、皆さんへ伝えて下さいとこう言葉をいただきました。

私たちは、見てわかるとおり、自分の意思で動くことができません。だからこれからは、祈りを捧げてくださった皆さまの心の中に、大切なことをお伝えしていきますので、どうぞ、そのときは、よろしくお願いします。

神に感謝され、神の願いを叶える私たち人間という肉体をもった神が、今、何を望むかで、すべてのものごとをあなたが望む方向へ変える力があります。どうぞ、そのことを皆様も気づき、大

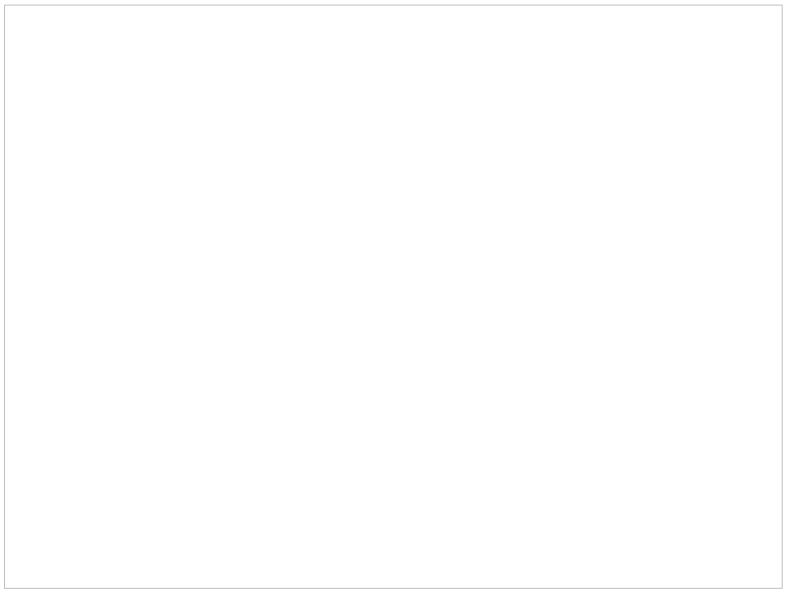
切に行動してください。

２００３年に、羊蹄山に一緒に登ってくださった４名の方たちの祈りがあり、また、それ以前にも、多くの方たちが、天からの役目として祈りを捧げてくれた人たちがたくさんいたことを私は忘れていません。今、自分のできることを精一杯させていただくしかないこの人生ですので、過去のすべての方々の祈りに、心から感謝を捧げます。

熱中症で、やむなく五合目で下山の判断をした３名の仲間たちの思いからも、私たちは多くを学びました。全員が、一人では決して登り切ることはできなかったと言うほど、今回の登山は、厳しい登山になりましたが、お互いに励ましあい、助け合い、救いあう姿と、それを支えあう姿こそが、志を同じくしてそれぞれの役目をやりぬいた自分に感謝できる証なのでしょう。

ご参加いただいたすべての皆様、そして、心合わせをしていただいたすべての皆様、今回の神事が全うできましたことを心から御礼申し上げます。ありがとうございます。
2007.08.13 Mon

斜里岳登山・道東　神事



＜斜里岳神事内容＞ 8/7 am7:00 ～ 8/8 pm10:00　4名で神事
8/7-チャランケチャシ（釧路市内）・釧北（せんぽく）峠 先住民族御霊上げ・尾札部川源流祈り・雌阿寒岳＆雄阿寒岳＆阿寒湖エネルギーつなぎ・屈斜路湖祈り
8/8-斜里岳登山1545ｍ（斜里岳神社・頂上祈り・竜神の池祈り・熊見峠）

釧路からの夜行列車で、今朝６時に札幌駅着いた私たちは、疲労感と神事を無事やり終えた満足感にみち溢れていました。今回の道東神事は、道東を代表する水の神様、山の神様、湖の神様へご挨拶することと、和人が北海道に足を踏み入れたときに、亡くなった多くの先住民族（アイヌ）の不浄御霊をあげるために行きました。

以前、釧北（せんぽく）峠 のことを神々に聞いたとき、釧路と北見の間の大きな山々を挟んで道を作る際、流刑者たちの強制労働者に加えて、多くの先住民族（アイヌ）たちを労働者として使っていたことを教えてくれました。特に、この釧北（せんぽく）峠のときには、極寒の真冬の工事を北海道の冬の事情を知らない本部の命令を全うするために、多くの命を落とすことになりました。その当時の情景は、道の横に山積みされた死体の山の横で、自分がその中に積まれるまで、働きつづけている人たちの姿でした。冬なので食べ物も少なく、ひもじい思いをしたまま寒さをしのぐ準備も完全ではないために、死ぬまで働かされた人たちがいたのです。

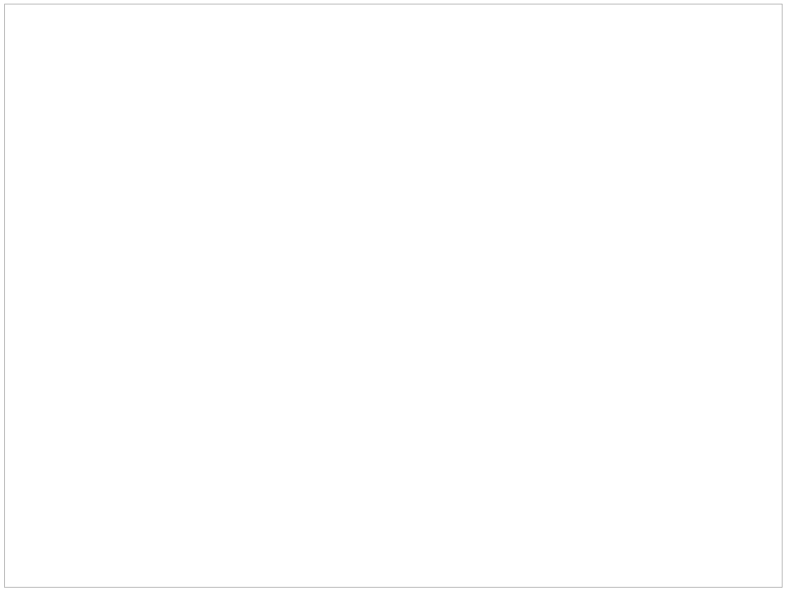
こういう話は、この釧北（せんぽく）峠に限らず、北海道や東北ではたくさんありました。川に橋を架ける際に、「人柱（ひとばしら）」をたてた場所は、日本全国にもたくさんあります。天災を免れたい必死な思いから、「いけにえ」の儀式や「人柱」の儀式、また、強制労働によって、私たちが今、普通に暮らしている生活道路や大小に関わらず、「橋」も、こういう過去のドラマがあったことを覚えておいて下さい。

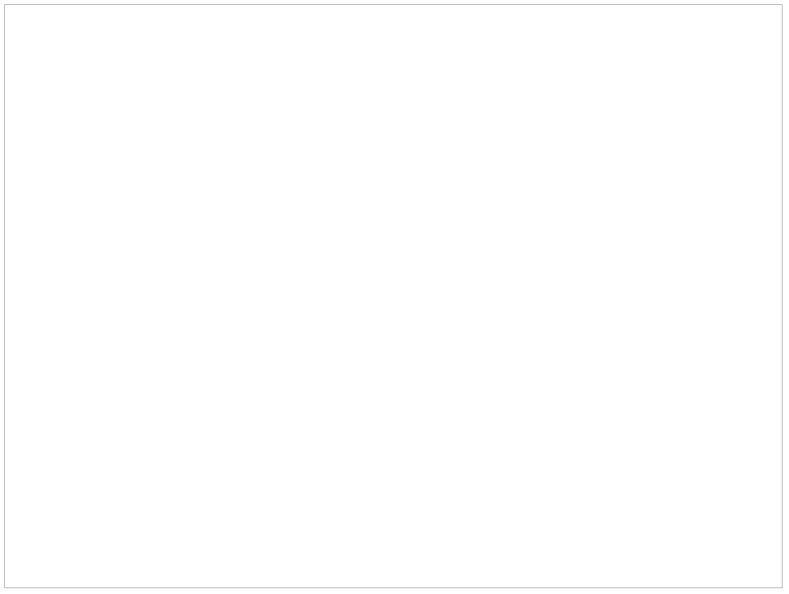
私たちは、先人の命を失った土地の上に、生きているのです。だから、”悲しみよりも感謝を、苦しみよりも感謝”をお願いします。釧北（せんぽく）峠に集まってくれた北海道全土の先住民族の不浄御霊たちは、天につながる場所から私たちの祈りとともに喜んで昇天してくださいました。ありがとうございます。

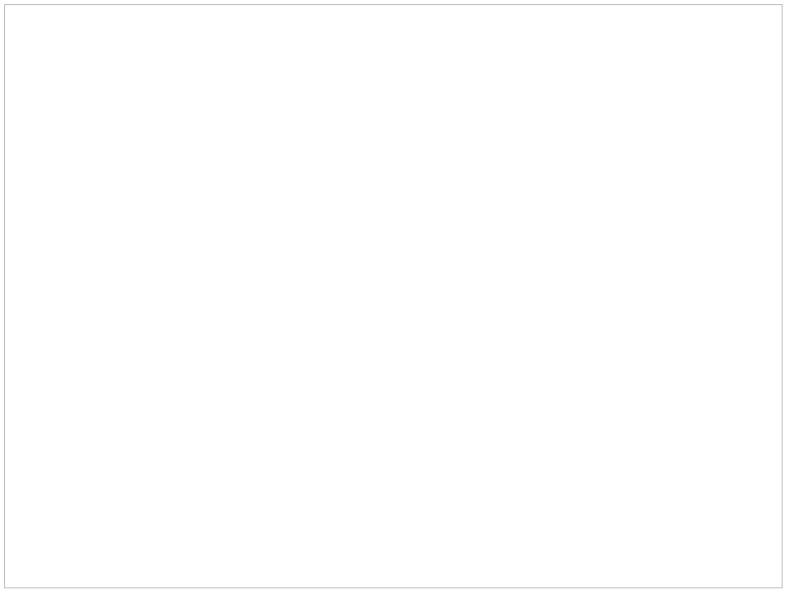
”雌雄の山つなぎ”は、山の男神女神の和合の祈りです。”道路が寸断された道を歩いて進み、川の中を歩き汗だくになった”尾札部川源流祈り”でも同じように、水の男神女神をつなぐ祈りを行いました。この男女和合の意味は、新しい子どもが生まれるための”生命誕生の祈り”です。命あるすべての存在は、この男女和合から命を生み出します。神も、そのことを望んでおられます。

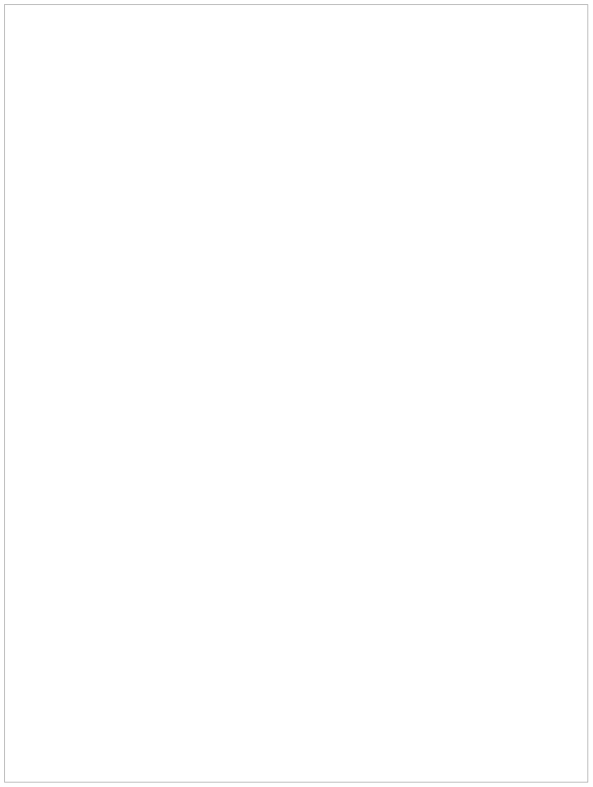
昔のまま残っているこの川の様子は、神々がすぐそこにいるのを身体で感じられるほど、繊細な空間です。夕刻の暗闇が訪れる前に、すべての祈りを終えることができました。

8/8　斜里岳祈りは、予想を超えて、往復１０時間の長い登山になりました。山間を流れる豊富な水量の沢に沿って登るルートは、登山初心者ばかりの私たちにとって、危険を感じる場面も何度もありましたが、水の神・山の神・風の神の守護をいただきながら、頂上までの５時間を登り切ることができました。



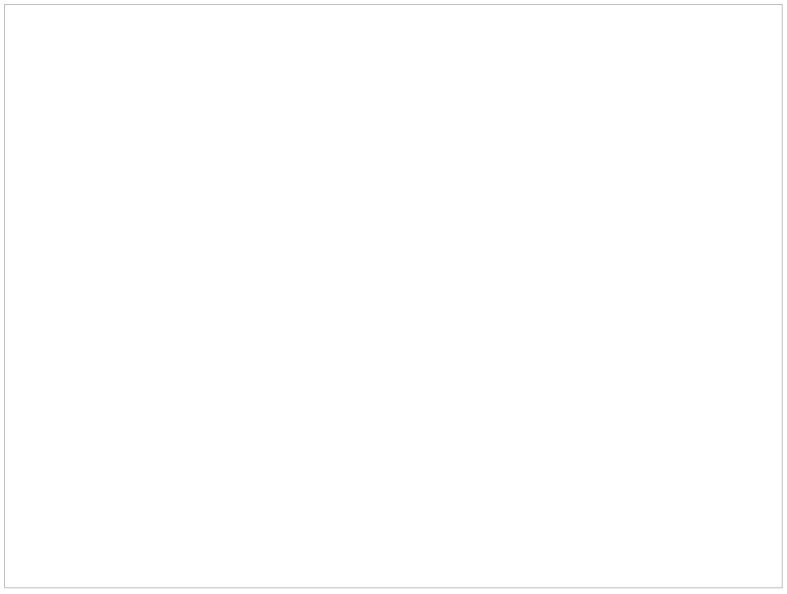






心臓破りの馬の背を登り終えると、しばらくして斜里岳神社が奉ってありました。山を守る神に心からお礼を唱えます。その先にある山頂に近付いてみると、ものすごい邪気霊たちが集まっていて、全員、足を踏み入れるのを躊躇しましたので、五十鈴の祓い、そして、大祓いの言葉が降りてきて、山頂の浄霊を終え、正式に祈りを捧げました。

この山のもうひとつの目的は、山の中腹にある「竜神の池」にご挨拶しに行くことです。山頂から１時間下った所で”新道コース”に入り、途中の分かれ道から下っていくと、それは美しい池が、みごとに自然のままの状態で生まれて、水が池の底から湧き出ているのが目で見てわかります。龍の祈りを全員で捧げると、弁天様・小さい龍たちが成長し、これから旅立っていく姿がみえました。祈りの後、この池の水を少しいただき、これから水の神の働きを大きくする祈りに使わせていただきます。ありがとうございます。



帰り道は、熊見峠を経由する道のりです。大きな山の尾根をいくつも上り下りしながら、雄大な山の神の真ん中に立つことができます。すべてを守り生み出す大きな力を持つ山の神々に心からのお礼と祈りを捧げます。（写真中央に見える丸い山が斜里岳の頂上です）

斜里岳の登山口は、清里町にありますが、そこから釧路までの帰り道、それぞれが受けた神のメッセージの解読（サニワ）をしました。すると、一人の女性が滝の神様から、「虹の滝」をいただいていることがわかりました。この７色に光る「虹の滝」の意味を読み込んでいくと、なんと！、「七色の龍」が、彼女を守り、どうぞ、有効にお使い下さいと神の力をいただいたのです。全員で神につながりながら行うこのサニワのおかげで、七色の龍の役目も明確にわかりましたので、いずれ、その女性から皆様に公開していただける日を待ちましょう。

今回の祈りは、体力的にはとても辛いものでしたが、来週、また、２０００ｍ近い山に登る大きな神事がありますので、その準備として重要な神事であったことを全員が肌で感じています。神の場に入るとき、その神事に参加する人間は、神に体を預けることができるかどうかと問われるほど、精神面と体力のバランスが必要です。多くの霊体に乗られることも、この道のひとつの修行としかいいようがないくらい、神事に参加された方の身体のなかには、重く苦しいエネルギーが入ります。大きい神ほど、大きい霊体と同じように、ずっしり身体に乗り、神の役目をする人間の意識に入り、神の意志を伝えてくるからです。

皆様の大いなる地球を愛する心が、これからさらに強く大きくなると、この神々の力を皆さんも感じることがあるでしょう。私たちの神事を応援して下さるすべての皆様、そして、地球や宇宙を心から愛するすべての皆様へ、感謝とお礼を伝えたいと思います。いつも、本当にありがとございます。
2007.08.07 Tue

勾玉（まがたま）

7/8、私に言われたメッセージですので一般公開を迷いましたが、目覚めるべきあなたの気づきになればと思い、今日、公開します。

あらゆるものを産み出す力は、意志と創造力です。

意志は、「剣」に例えられ、創造は「玉」に例えます。剣は、天に捧げることも、地に刺すこともできます。剣は、つなぐ役目として、古来から男の持ち物として扱われていますし、玉は、女の持ち物として常に、女性の体の中にあります。

「まが玉」は、この玉を二つに分けた「陰」と「陽」ですので、もともと女性の器を表しています。「まがたま」を二つ合わせた陰陽のマークは、その一体宇宙を表し、また、相対宇宙も表現しているのです。

「まが玉」の形が表しているものは、男の精子です。ふたつの精子をひとつにまとめたものが、陰陽の形です。産み出す相対の意味は、”生と死”です。その両方を包み込み表しているのが女性であり、宇宙であることを表しています。

男性は、あくまで、女性の中の一部の働きとして、その役目を果たすために、生まれています。女性（宇宙）が望み、女性（宇宙）が生み出したものが、男性ですので、どうぞ、その働きを喜び、喜ばせてください。

ゆるぎない光を浴びて、命が、魂が輝くとき、人は魂の仲間を見出します。その仲間は、星の記憶をもち、土地の役目をもち、光の役目をもつ仲間たち。

すべてを書きけされながらも、次第に想い出す過去の記憶は、光の仲間たちと思いだすための出会い。目覚めるためには、出会わなければいけない。一人で本を読み、知識を豊富にしても、愛は、大きくならない。愛は、人と人とがお互いに与えあい、時に、奪い合い想い出すもの。出会う本当の意味を知りなさい。

すべてを認めてあげなさい。

抵抗することも、反抗することも、悪態をつくことも、すべて認めてあげなさい。それはすべて（過去の）時の経験を思い出し、互いに、消しあうための出来事。

不釣り合いな人たちが出会うことは、互いの星の役目を気づくための経験です。その出会うすべ

ての人たちの出来事が、あなたにとって、大切な物語（人生）を作っているのです。

抵抗は、愛のうらがえし。

内なる自分を見るための大切な経験。人の言葉に振り回されないよう、あなた自身がしっかり立つための経験。避難や否定をする人たちは、今までの自分が信じてきたものを守るために、一生懸命、代弁しているつもりなのです。それが絶対に正しい、これが絶対にこうなのだと主張し、自らの仲間を集めることが目的です。しかし、それも、陰陽の相対の現れなのです。

「自分の存在を認められたい」と、心の中で願う人々は、いつもそのために自己主張をします。「私は、ここにいるんだ」、「私をみて！」、「私を大切にして！」とそのメッセージを発します。それは心の中で、「孤独感」を持っているからです。

永遠に埋まらないと感じ続けている人たちは、その仲間を集い、互いを癒しあいます。しかし、人間の本能の目覚めは、時に、その仲間さえ、突き放し、また、自らの道を歩きだしたくなります。

その時を待ちなさい。

人には、それぞれ気づきのときがあります。強く望んでいる人もいれば、自分が気づかず迷っている人もいます。だから、「全体の時」の振動を大きくして、自らが気づくようにしてあげることが、あなたの役目なのです。

意識を集中して、全体意識を動かしなさい。その中心軸は、あなたのなかにあるのです
から・・・。
2007.08.06 Mon

目覚めと出会い

昨夜、北海道の祈りの仲間たちと、宇宙の神からのメッセージの意味を深く確認する”サニワ”の時間をとりました。これは沖縄の神事の経験から学んだことですが、一人で行う祈りと違い、数名の人たちが一緒に祈りをするときには、お互いの魂が持っている役目を果たすために、互いの情報を交換しあうことがとても重要です。

このサニワで、最近、私たちがわかったことは、今回の北海道の神事を行う意味は、北海道を守るだけではなく、日本と地球の中心までつながる大きな軸（宇宙の柱）をこの北海道に立てることが、宇宙の目的であることに気づいたことです。

この軸は、今まで立ててきた”光の柱”と違い、地球が誕生したときに、もともと宇宙からつながっていた大きな”宇宙のおおもととのつながりのエネルギーの柱”のことです。北海道の先住民族（アイヌ民族）は、この宇宙のつながりの柱を、部族の長（エカシ）の重要機密として守りぬき、次の世代に伝えていました。しかし、この大きな宇宙のつながりの柱のエネルギーが崩れてから、どれだけの時間が流れたことでしょう。

そのもともとあった”宇宙のつながりの軸”を復活させて、自然界の神々たちに守っていただくためにも、北海道で一番大切な山の神、水の神、湖の神の所へ足を運び、その場所の神々の願いを聞き遂げて、北海道全体のエネルギーを合わせることが、私たち肉体を持つ人間の役割と感じて私たちは動いています。

神の化身として肉体をもった人間が、唯一肉体の無い神々と違うところは、その場所に奉られている神や、山や川や湖を守っている神たちは、その場所を自分の自由意思で動くことができないという点です。

だからそこを守っている存在（神）に気づいたとき、私たちが生まれる以前から、この土地を守り、自然界すべての生命を見守り、大きな地球という生命体の命の循環を守っていたことにまず感謝をしなくてはいけません。

私たち人間という存在が地球に現れてから、木を切り、水を汚すことにとどまらず、地球全体の自然を壊し続け、地球という生命体の命を消し去る力まであることに、やっと、皆さんが気づいてきました。

人は、魂の目覚めの差によって、聞こえる”霊格や神格（周波数の違い）”がありますが、神々も、それぞれ神格の違いがあります。その場所の、それぞれの神の役割の違いを理解した上で、神の願いをどう叶えることが私たち人間の役目なのかに気づくことが重要なのです。その答えを導く

のに、教科書も参考書もありません。一人一人が自分の持っている得意チャンネルにつなぎ、それぞれの情報を公開することから、始まるのです。

そして、一人一人が生まれつき与えられている魂の役割を生かし、互いが感じる情報を与えあうことで、また、違う人が気づくように私たちは出会わされているのです。だからどんな出会いにも、無駄がありません。出会いは、必ず何か、あなたの大切なことを気づくためのカギを相手が持っているものです。

魂の目覚めが、宇宙のおおもと（マスター）まで到達したとき、その人間は、人間であることよりも、”肉体をもつ神”として生きることを選択したくなります。その体験をした人たちの現実は、人間的に、理不尽で、他人から見ると理解不可能なことも多いようですが、自らの魂が、喜びを感じているために、現実として自分が大切にしたいと思うことよりも、地球のために働くことが最大の喜びにつながってきます。この感覚は、自然界の神々にお礼を言われたり、励まされたりするたびに、この世の中では感じられない至福を魂が感じるからです。

私たち人間も、自然界のすべての存在と同じ、”宇宙のおおもと”の分霊ですから、植物に癒されたり、動物に癒されたりする理由も理解できるでしょう。同じ魂同士なのですが、互いを一方的に、認め愛することができることほど、魂の喜びを感じる瞬間はありません。皆さんもいつもそのことを求めて生きていらっしゃるようですね。

現実がどれだけうまくいっても、なぜか、心が空しい、なぜか、孤独を感じるという症状が、”おおもとと”の分離感そのものなのです。これは幼い頃、母親からひき離された経験のある動物も同じ感覚を持っています。「ひとつ」になりたい！一体であることを感じたいと望む気持ちは、たぶん、生きているすべての存在の中にあることでしょう。

だからもう、地球家族の誰かのすることを責めたり、苦しめたりすることをやめましょう。愛を語るより、あなた自身が、愛を感じるために行動を起こしましょう。あなたが喜べば、あなたの周りの人たちも、もっともっと大きな愛を望み、産み出しはじめるからです。

そのためには、自立する心の強さも必要になるでしょう。だから、愛を大きくするために、悲しいことや辛いことを手放すことを覚えましょう。

今も、あなたを、地球が、家族として待ってくれています。

”永遠なる地球”を望む皆さんの行動を、今、地球は待っています。
2007.08.04 Sat

北海道神事　石狩川・トムラウシ

2007年の北海道神事が本格的に始まりました。北海道に住む先住民族（アイヌ民族）たちは、大自然の神を「カムイ」と呼び、自然界すべての付き合い方を大切に守り受け継いでいました。

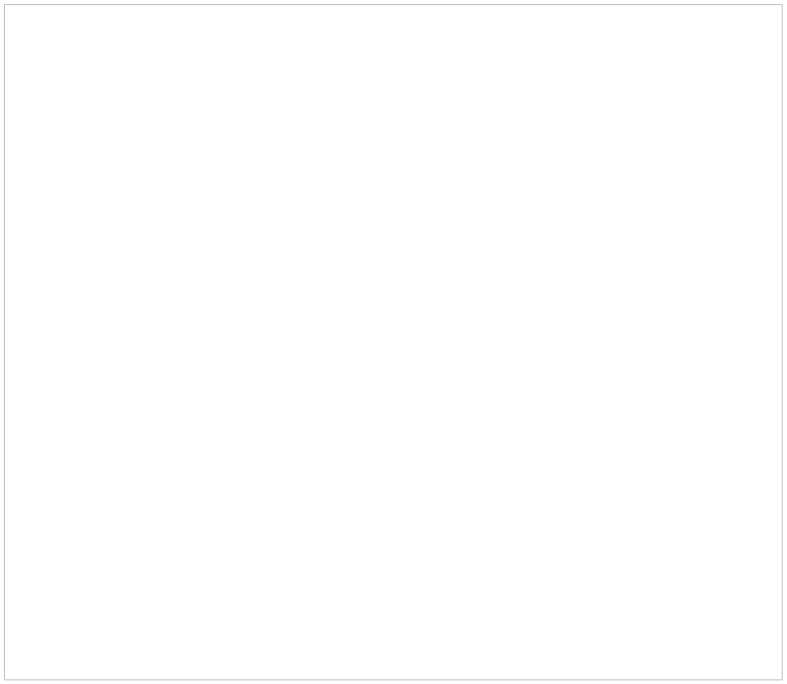
今年、私たちが行う北海道神事の目的は、北海道の自然界の神々の力を復活させて、日本全土の自然界の神々とつなぎ、地球全体の自然界の神々の力を統合し、もともとあった”宇宙との調和の力”を復活させることにあります。

アイヌの人たちは、自然界の神々のなかで、命を与え守る力が大きい山の神・水の神・湖の神に、特別な祈りを捧げていました。この祈りは、各部族ごとに、選ばれた少数の人たちだけが、宇宙に直接つながる場所に集まり、宇宙の船（ＵＦＯ）を呼び寄せて星のメッセージを受け取り、地球上のすべての存在との調和の方法を学び、宇宙全体の調和も同時に祈っていました。

この祈りのことは、現在の北海道にいるアイヌの方でも知っている方がほとんどいないくらい特別な儀式として、長老（エカシ）たちが守っていた秘密の儀式でした。

この古くから行われていた宇宙の祈りに感謝し、私たちが今、生活させていただいているお礼と、今まで人間が乱してきた自然界のバランスをお詫びしながら、2007年11月17日の祈り（宇宙の時間軸と地球の時間軸を合わせるための祈り）に間に合うよう、大きな地球の軸を北海道に立てる必要があります。

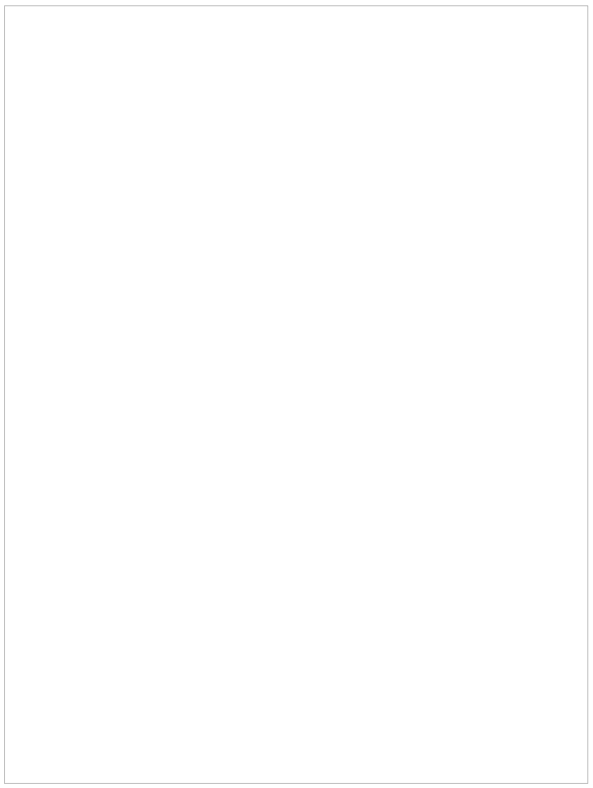
そのためには先住民の知恵に学び、重要な山々に登り、重要な川の源流に足を運び、重要な湖の神々に手を合わせることで、自然界の神々の了解と協力を得て、宇宙と地球を結ぶ大きなエネルギーが降りるための準備をしていきます。生まれた土地の意味、今、住んでいる土地の重要さに気づいた皆様は、宇宙と自然界の調和のために、自分の住んでいる土地の山の神、水の神、湖の神へ祈りを捧げてくださることをお願いしたいと思います。

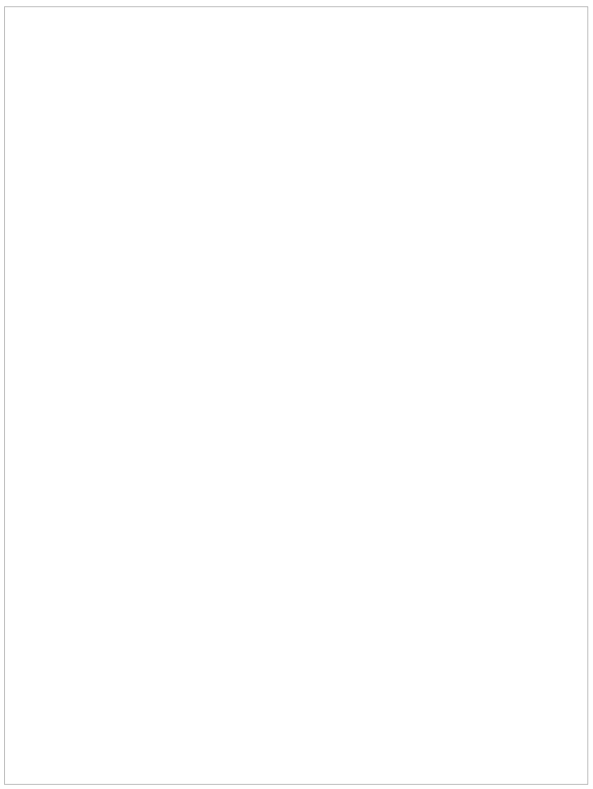


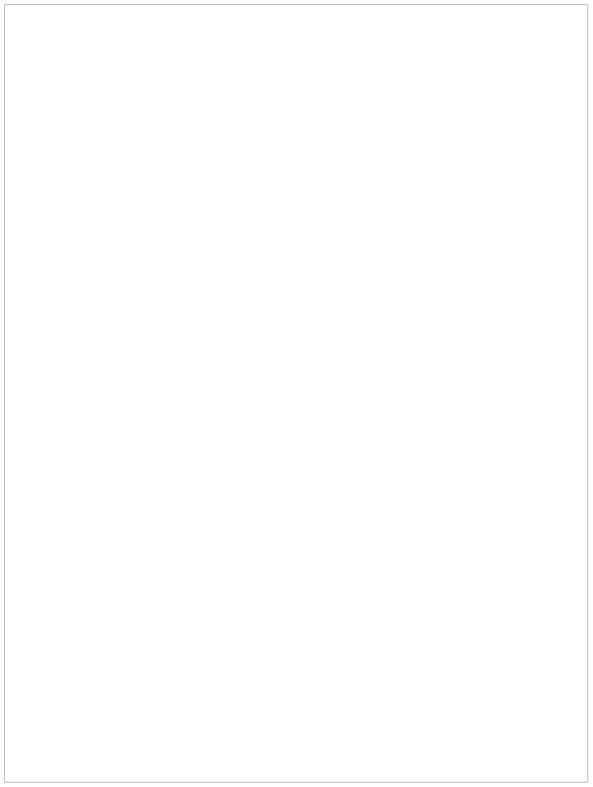
7/28の祈りは、北海道の中心を守る一番大切な大雪山山系の北側にある層雲峡の山奥から流れ出ている石狩川の本流まで仲間たちと向いました。この日の天候は、珍しくどしゃぶりの大雨。川の水が増水していて、道を聞いた人たち全員に、「気をつけなさい」と何度も言われるくらいです。到着したときの川の様子は、本当に水の怖さを思い知らされました。水の神に祈れる場所をやっと見つけて神との対話が始まります。水の神は、私たちにこう教えてくれました。

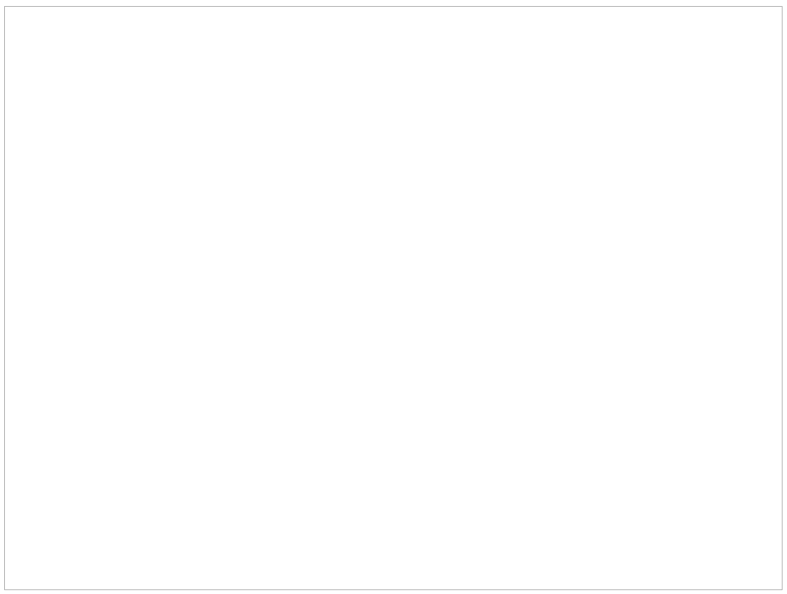
「やさしいときも、激しいときも、それが私たちの自然の姿なのです。その姿をそのまま感じてください。私たちは、あなたたちが望むような姿になることが目的ではないのです。私たちは、自然のすべての摂理のなかで働いています。どうか、そのことを理解してください。

祈っている間にも、足元の水かさが増して、来た時より水位が増しているのがすぐわかるくらい危険な場所ですが、この水の神様の言葉は、私たち人間の都合で、自然界の神々は働いていないことを実感させられます。わざわざ、どしゃぶりの天候にして、水の本来の姿を私たちに見せていただいたことに心から感謝いたします。









次の目的地へ移動する途中、北海道最大の龍の聖地　然別湖（しかりべつこ）を通りますので、久しぶりに、湖を守る弁天様・龍神様、そして、大好きなホテル風水のおかみさんと神殿にご挨拶することにしました。いつもながらこの然別湖の自然の美しさに感動していると、おかみさんのご配慮で、船から弁天島の祈りをさせていただくことになりました。ありがとうございます。

宿泊先までの山道を３時間移動してから、夜、仲間たちとサニワ（お互いが感じとったメッセージを確認しあうこと）を行い、神々からのメッセージを深く理解することができました。

翌7/29の祈りは、大雪山山系の南側にあたるトムラウシ岳に登り、この山の途中にある「カムイ天上」の神々を起こして、北海道の山の神々をつなぐ祈りを行います。帯広から2名のご参加をただいて合計７名全員が、往復４時間の登山を敢行しました。「カムイ天上」に行ってみるとそ

こは、山の神様の子供たちを大切に守っている場所でしたので、大きな”北を守る神”にこの場所を守っていただくことにしました。この場所へ祈りをささげると、神様にこう言われました。

「祈りを捧げていただきましてありがとうございます。これから私たちはみなさんのもとへ働きに行きますので、そのときは、どうぞ、宜しくお願いいたします。」

トムラウシ岳から下山後、今度は、十勝川の源流から流れる水の神様へ祈りに向かいます。水の流れが強いため危険を感じながらも進んだ場所には、川底で１億年前からある地球の岩盤の上で祈りを捧げることができました。十勝川も北海道を守る大切な川のひとつですので、支流を守る水の神たちにも祈りの意味を伝え、全員で水に感謝する祈りを捧げました。

１泊２日の予定で行ったこの祈りの移動距離は、なんと７００ｋｍを超える走行距離になってしまいましたが、そのおかげで、北海道の中心を守る大雪山山系のまわりを右回り（上昇エネルギー）で包むこむように走り、土地の神々に祈ることにもなりましたことを感謝いたします。これから雪が降るまで続くこの北海道の神事も、日頃の皆様の祈りに合わせて、地球創生基金へのご援助のおかげと心から感謝いたします。ありがとうございます。
2007.07.30 Mon

2007.7.26 マスターメッセージ

今日は、皆さんにお願いがあります。

どうぞ、あなたが望むことを明確にしてください。

私達（神々）は、あなたたちの望むことを叶えるために、サポートするのですから。どうぞ、宜しくお願いします。

＜補足説明＞

宇宙の神々は、私達人間が、この地球をどうしたいのかを明確にするよう望んでいます。今の現実がどうあろうとも、まず、自分が望むことを明確にする意志の重要さを教えてくれているのです。自分が望んだことを実行へ移すのも肉体を持つ私達人間の役割ですが、その進む道への気づきやをサポートをしてくれるのが、見えない大きな存在たち＝宇宙の神々のなのです。あなたがこの地球をどうしたいのか、あなたが自分の周りの現実をどうしたいのか明確にして、宇宙へ宣言される事をお願い致します。
2007.07.26 Thu

星の記憶

先日、苫小牧で「アカシックレコード アクセスワーク」を数名の方にセッションする機会をいただきました。このセッションの体験は、私自身にもとても興味深い体験になりました。肉体を持った魂の記憶をさかのぼる”前世療法”をさらに進化させたこのセッションは、肉体を持つ前の”魂の記憶”までさかのぼることができるのが特徴です。

前世療法は、普段の現実生活で感じる人間関係上のトラブルや感情の記憶など、過去世で出会った人との感情の記憶が原因となってフラッシュバックしている原因を突き止めるものですが、この人間同士のカルマの記憶を戻り、肉体を持つ前のエネルギー体（魂）として、宇宙のさまざまな星で経験したときの記憶を呼び起こすセッションです。

しかし、この宇宙の星の記憶は、あまりにも古い記憶のために、自分自身で想い出すことが断片的にしかできない方が多いことと、宇宙全体のおおもとの記憶情報（アカシックレコード）にまでアクセスすることができない理由から、”星の記憶”を呼び起こすチャンスがなかったのです。

私自身も確信を得られずに子供の頃から持っているたくさんの情報が、”地球の核”が開いた今、初めて創造主のサポートのもと、皆さんを導くことができるようになりました。

この”星の記憶”がどう現実に現れるかというと、普段の生活でどれだけ満足するべき状態になっても、理由もわからず、ふと不安を感じたり、満たされない気持になる時の原因にもなっています。この原因を自分が理解できないうえに、他人に理由を説明できないからこそ、誰にも話すことができないまま、子供の頃から抱えていた深い記憶が”星の記憶”です。

なぜ人間が生まれ変わるときに、過去世の記憶を消してくれるかは、過去の記憶の感情に惑わされて苦しまないようにという”創造主の配慮”ですが、もうその扉を開いてでも、宇宙に存在していることの意味＝”創造主の意思＝あなたの存在理由”を思い出して、その役目を果たすことが、私たち人間だということに気づいてほしいのだと思います。

今回の数名の方の共通したセッションのキーワードになったのは、１３星団の記憶です。

この１３星団とは、宇宙が創造されて、星がひとつ、ふたつと増えたある時、宇宙全体の秩序を管理コントロールする機能として、”１３の星”が中心となって宇宙全体を守る役目を与えられたときの記憶です。この”１３星団”が、全宇宙を統括することで大きな大きな調和のエネルギーが動き出し、宇宙全体の膨大な調和エネルギーが守られていました。

この膨大な宇宙エネルギーを動かしていた力や知恵は、古来から現在まで、この地球上にも注が

れていますが、数百年以上も前にこの宇宙パワーの存在や知恵に気づいた人たちは、この力を影の力として封印する目的で「１３」という数字を不吉なものだと”うわさ”を広めました。

この１３星団に関わる話には、大きな”宇宙のカルマ（因縁）”が含まれています。その宇宙のカルマの記憶を解消するために、この地球に降りてきている宇宙意識体は、たくさんのメッセンジャーとして、１８世紀くらいから世界中で盛んに活動しています。

あらゆる宗教や精神世界のなかにも、数多くその活動がみられますが、活動目的を考えてみると、いかに、この地球という星で人間ができる役割が大きいかを理解することができます。この１３星団の宇宙カルマの話をネット上で一般公開すると、皆さんの全体意識のなかの宇宙カルマを呼び起こす可能性もありますので、個人的にお話する機会があるときに、させていただきたいと思います。

今回のセッションの内容はお話できませんが、参加された一人一人の魂の喜びが、涙となって、ほおを伝ってくるのを見せていただいた事が私の大きな役割と喜びになりました。私がもうひとつ感動して理由は、私自身の記憶に一切ない情報が、このアカシックレコードアクセスワークを受けていただいた皆様のおかげで、宇宙全体の記憶がつながってきているということです。

先日の創造主（マスター）からいただいた「宇宙の始まり」のメッセージで、わかったこともたくさんありましたが、さらに、そのあとの詳しいことがこのセッションでつながってきています。

地球に降りたすばらしい人間の魂は、肉体のカルマを持ちながら何度も、そのカルマの解消のために生まれかわって、やり直しのチャンスをいただいていますが、魂が目覚める時期がきて、「地球を救う意識」が宇宙のサポートのもと、魂の役目として降りてきている方たちには、肉体をもって人間の役目をしながら、宇宙の役割を果たすことを同時に求められています。

地球創生の活動や日々の生活をを楽しんで過ごすためにも、どうぞ、あなたの魂に与えられている星の記憶とその意味をアカシックレコードアクセスワークから想い出してみてください。遠方でお越しいただけない場合は、数名の方が集まってくださると、出張もいたしておりますので、ご相談してみてください。皆様の魂が、喜びあふれる日々を過ごせますよう祈ります。

2007.07.24 Tue

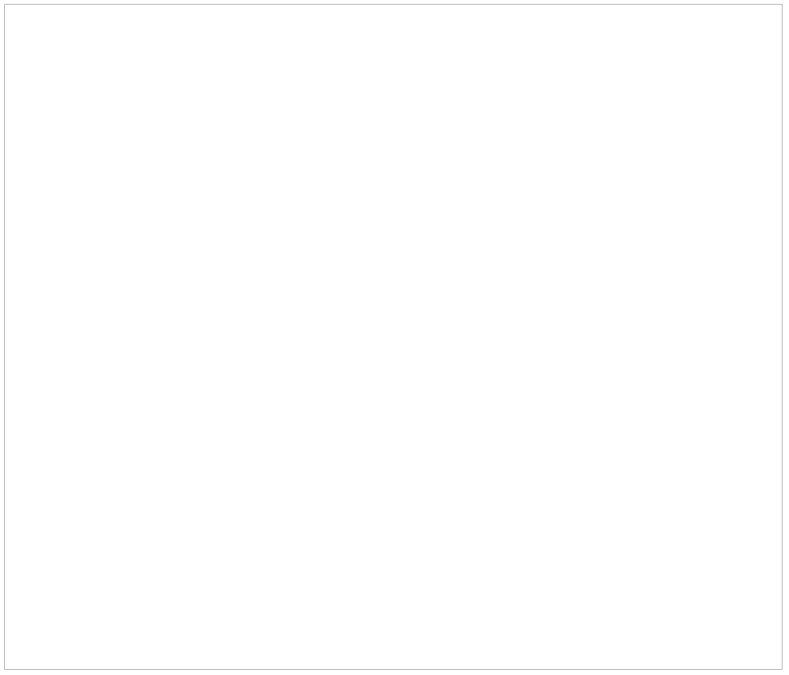
2007.7.20　マスターメッセージ

今日は、龍球王国発祥の地となった沖縄の皆さんへ、お願いがあります。

沖縄は、日本の文化の発祥の地としてたくさんの知恵がありますので、与那国島を含む沖縄の島々の皆さんには、これから新しい「神・文化・歴史」を未来に受け継ぐ子供達へ、どう伝えるのかを考えていただくことをお願いします。どうぞ宜しくお願い致します。

2007.07.20 Fri

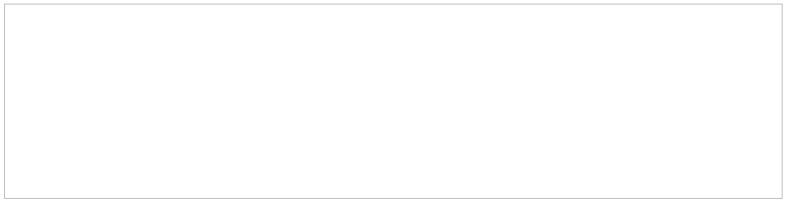
イルムケップ山神事　＆ＦＩＲＥ　ＴＨＥ　ＧＲＩＤ

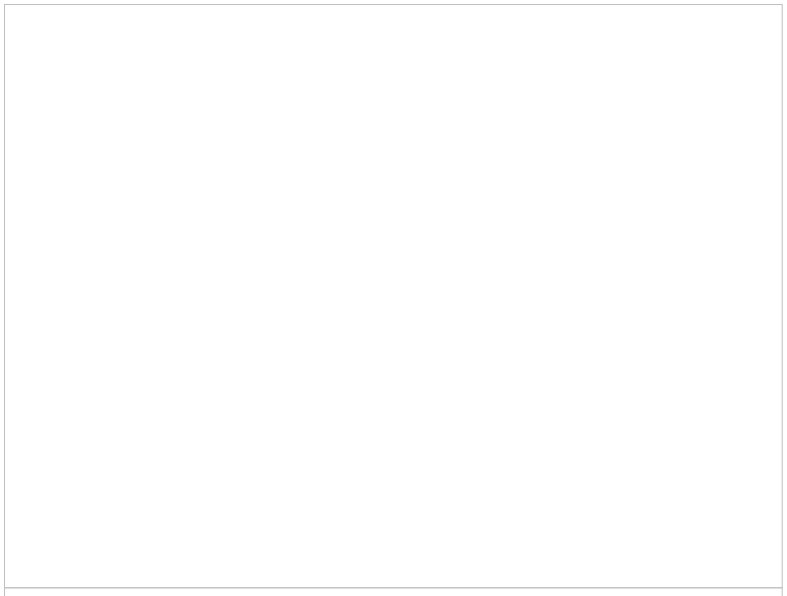


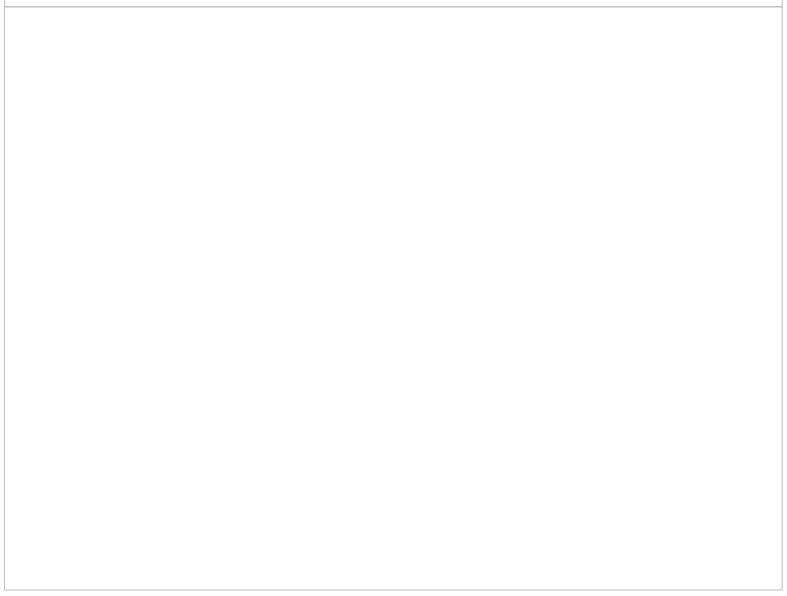
ＡＭ２時、札幌出発　　聖地：芦別イルムケップ山
目的：第三期（2007～2009年）の光降ろし

2003年に一番最初に「天地つなぎの光降ろし」をした場所ですが、地球の核が開いた今、新しい地球（龍球王国）の新たな光降ろしをするために仲間と登った山がイルムケップ山です。

この山に登ると、３６０度、山々に守られている大切な山なのがすぐわかります。昔は、旭川に住むアイヌの方たちがこの山々に住む熊を狩るためにコタン（村）をつくり、生活を守る肉や毛皮を得ていた場所でした。私が子供の頃、北海道最後の”イオマンテ（熊送り）のお祭り”を芦別の街中で見られたのも、この熊たちへの深い感謝の表れだったのでしょう。

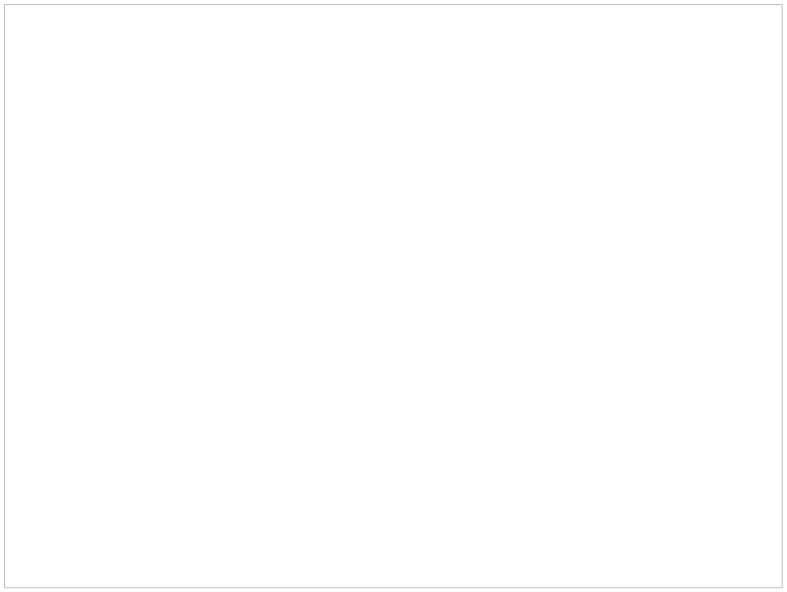






下山する途中で、昔のままのパンケホロナイ川（下手にある大きな川）と、ハスがいっぱい咲いている池を見つけました。いかに、神に守られている山や水が美しいかを、身体で感じられる自然の調和した場所です。

このつないだ光を次につなぐために移動した場所は、同じ芦別市の野花南町内にある「アースサークル」と呼ばれているストーンサークルです。以前、この場所へ来たときに、宇宙が教えてくれたことは、ここは「宇宙とつながる場所」と教えてくれました。



そして今回は、この宇宙につながるエネルギーを使って世界中に、そして、宇宙のすみずみまで、地球の愛のエネルギーを循環させる祈りができました。このサークルは、もともと地球を守るエネルギーが降りている場所でしたが、今回、宇宙を守る役割の両方のつながりの場所となったのです。そして、ここに新しいカギが生まれて、この場所の名前も、「宇宙とつながるカギの場所」と新しい名前が降りてきました。

一休みしてから札幌に戻り、すばらしい夕陽を見て、今日のお礼を神さまからいただいたあと、”ＦＩＲＥ　ＴＨＥ　ＧRID”の祈りをするために自宅に集りました。午後８：１１から１時間の祈りの体験を話しあうと、世界中で祈っている方たちのエネルギーを全員感じていたと確認できました。

私自身は、祈りが始まってすぐ、宇宙の創造主（マスター）から、”永遠なる宇宙の始まり”についての話を聞いていました。１時間の間、ひとつの質問をした以外、永い永い”宇宙の始まり”の話をし続けてくれました。その内容は、皆さんが気付くように、伝えるべきことも含めて、理解しやすくゆっくり話してくれました。この”宇宙の始まり”のお話は、あまりに情報が多いために次の機会にしますが、この大切な祈りの時間に伝えてくれた意味を感じています。

今朝の祈りでは、私がイメージで感じている未来の情景をそのまま公開してくださいと言われました。そのことを受け入れられない方たちもたくさんいるでしょうけれど、そのことを素直に受け止めて、前向きに行動する人たちもいるのですから、その役割をしてくださいと頼まれました。そのすべての責任が自分達（私達人間）だと気付くまで、伝えることをしようと思っています。

これから北海道の祈りが本格的に始まります。
これは日本のエネルギーをさらに高い次元へ引き上げることにもなりますし、地球のエネルギーを上昇させることにもつながります。体力的にも厳しい祈りがこれからしばらく続きますが、地

球を守る一人一人の決断は、ゆるぎないものだと私は信じています。これからは、皆様のご支援を賜りますことに加えて、宇宙メッセージを受けて動かれているすばらしい人たちのつながりが、この日本でつながりますことを祈っていて下さい。

まもなく『個の概念』が無くなる時代がやってきます。その意味は、ご自分の心のなかからみつけて下さい。悩んでいても、「時」だけは、あなたの自由にならない世界なのです
から・・・・・。
2007.07.19 Thu

2007.7.17　マスターからの伝言

いつもあなたたちの祈りに、私達はとても感謝しています。

あなたが今まで経験してきたことも、あなたが考えてきたすべてのことも、私達はそのすべてを知っています。思いが叶わなかったときの苦しさや辛い思い、そして、挫折、混乱、混沌とした時間。その苦しみを誰かにぶつけたときのことも。

そのあと、自分で反省して気付いたことも。そのすべての経験を私達は、知っています。あなたたちは何度生まれ変わっても、その苦しみもがいてきた時の記憶を乗り越えられずに、何度も繰り返してきた時のことも。

どんなときにも、私達は、ただ、あなたたちを見守ってきました。あなたたちを信じて、あなたたちが本来の役目を想い出してくれる日が来るのを信じて見守り続けてきました。

そしてあなたたちは、もう大切なことに気付くときがきたようですね。

たくさんの人が気付きを得て、たくさんの人たちが世界中で祈りに参加されているようですが、まだこの”宇宙の始まりとき”のことに気付いている人がいないようなので、そのことをお話しておきます。

この”宇宙の始まり”のことを理解するために、海の中に住む魚のことを考えてみてください。魚達はいつも互いの命を守るために、命の循環をくり返してしています。互いの命を奪い合い、また、与え合いながら大きな海のなかで命をつなぎとめています。

魚たちは、その永い永い時間を繰り返しながらも、”生きること”以外に目を向けることはありませんでした。それは海に住む魚たちが、この海の外のことを知らないからです。

ほとんどの魚達にとって、海がすべての世界（宇宙）なので、その外のことは、創造すらしたことがないからなのです。

「外がある」ということさえ、気付いていません。

その理由は、魚達には、「創造」という力を与えていないからです。

この「創造」という力を唯一与えた存在が、あなたたち人間なのです。それは、この宇宙全体の星のなかでさえ、与えられたことがない、最も大きな、そして、強い力なのです。

私達は、宇宙全体で繰り返されている星の誕生から消滅までの時のすべてを見ています。今までどれくらいの星の消滅を見てきたでしょう。また新たな星や命が生まれるたびに、その星の消滅までの時をすべて見守る役目として存在しているのです。

私達のことをあなたたちは、「神」と呼びますが、私達には、もともと名前はありませんでした。宇宙が始まったときの「存在」そのものであるために、私達は、この全宇宙のことはすべて知っていますが、それ以外のことは、知らされていないのです。

この宇宙の外のことに到達した人がいるようですが、そのことは、私達にとっても、「未知」のことなのです。

話を戻しますが、この宇宙が始まったとき、宇宙空間には、何もありませんでした。何もない宇宙空間に永い永い時が過ぎて、あるとき、ひとつの星が誕生したのです。それは突然、表れたといってもいいでしょう。小さな小さな星でしたが、自分で輝くことを覚えて、自らを光らせながら少しづつ大きくなっていったのです。

私達は、その星の誕生を喜び、見守ることをし続けてきました。何かしてあげたいと想っても、私達には、肉体が無いので何もできないからです。

そう、私が肉体を持っていたときの話をしましょう。

私は永い永い時間、その最初に生まれた星を見守っていましたが、あるとき、その星に、色々な存在たちが生まれて命の循環を始めていると、「知恵の存在」としてその星に肉体を持って存在したことがありました。

それは私にとって初めての体験でしたので、とてもうれしいのと反対に、自分以外の存在たちとの関わり方がわからなくてしばらく悩みました。私に与えられた肉体は、あなたたち人間と似た肉体でした。でも、この新しい星に誕生したのは、私、一人だけだったのです。

肉体を与えられてすぐ、何をどうしていいのかわからず、しばらくの間は、辺りの風景や動物たちの行動を見守っていました。山や川や海、そして、あらゆる昆虫や生物達が、命の循環を繰り返しているのを見守っていました。

動物たちが、食べ物を奪い合う姿や木陰で休む姿を見ていて、自分も食料を見つけて、休むところを見つけなければいけないと思いました。

そんな時間をしばらく過ごしていたあるとき、「私はなぜ、この星に誕生したのですか？」と宇宙に問いました。それは、私自身が一人でいるのを淋しく感じはじめていたからです。すると、そのとき、お腹のなかに、新しい命が与えられました。

その命の鼓動を聞いていると、私は初めて、「一人ではない」と言う感動を感じ、涙が溢れました。それからどれくらいの時間が過ぎたのでしょう。

私の子供が生まれたとき、私は命を生み出す歓びを経験し、その命を守るために、前にも増して、食料や安心して休める場所を見つける行動をしました。生まれた子供は、男の子でした。

その男の子が少しづつ大きくなるにつれて、私は戸惑いを感じ始めました。私はこれからどうしたらいいのだろう、私に肉体を与えた意味は、何をするためなのだろうと考えていました。

すると、私の身体に、また新しい命が与えられました。その意味もわからず、私は与えられた命を大切に守りながら、この子が生まれる日まで、そのときを待ちました。二人目に生まれた子供は、女の子でした。

ふたつの違う肉体が生まれて、私は初めて自分の存在の意味を少しだけ理解することができました。すると、私は、突然、自分の肉体から離れて、また、もとの”宇宙の存在そのもの”に戻りました。

自分の肉体で産んだ子供達のことが、とても気がかりでしたが、肉体がない私にできることは、その子供達のことをただ見守ることしかできませんでした。

その星が大きくなるにつれて、新しい星が、また誕生しました。

新しく生まれた星は、最初の星に寄り添うように近くにいます。

大きな星と小さな星、このふたつは、兄弟のように、一緒に成長していきました。お互いの星が大きくなるに連れて、少しづつ、ふたつの星の距離が離れていきました。そして、最初の大きな星が、突然、分裂したのです。

砕けるように生まれた小さな星のかけらは、ぐるぐる回りながら、自分のエネルギーを貯めているようでした。しばらく回っていると、そのかけらの星も丸い形になり、ようやく、回転のスピードが落ちてきました。

よく見ていると、その星にも、新しい生命が生まれて、命の循環がはじまったようです。

その星にも永い命の循環が続いて、またあるとき、肉体を持った私のような存在がその星に現れました。私と同じ役目をするために、肉体をもった存在なのでしょう。しばらく時が流れてから、その存在も、また、もとの”宇宙の存在”に戻っていきました。

どうして一番最初の、星が生まれたのかは、私達たちにもわかりませんが、きっと、この宇宙の外の存在が、何かの意図を持って動かしているのだと思います。

私達がこの宇宙に存在した一番最初の頃には、何もないことが永遠の時のように感じられました。しかし、星が生まれて、見守る存在ができたことで、初めて自分たちの役目を知り、守ることを歓びと感じるようになりました。

これで、わたしの話はおしまいです。星の誕生と命の誕生、そして、肉体を持つことの意味がおわかりになったでしょうか？

あなたたち人間は、この宇宙のなかで幾度も幾度も繰り返してきた星の記憶の失敗を乗り越えて、新しい宇宙を創造するために生まれてきた存在なのです。それは、私達の宇宙の外側にいる存在の何かの意図の表れなのでしょう

私達は、あなたたちのすることを見守ることしかできません。

私達には、たくさんの知恵と経験から教えることがたくさんありますが、あなたたちが、こちらへアクセスしてこない限り、私達の知恵をあなたたちに与えることはできないのです。

夜、心を開いて、星をゆっくり眺めてみてください。

あなたに見えるすべての星たちの記憶をあなたたちも持っているのです。だからあなたちのように肉体がある存在たちを導こうとして、過去の星の記憶をもつ存在たちが、あなたたちにアクセスしているのです。

どうか、このことを真剣に受け止めて、自分の肉体があるうちにできることをしてください。あなたもいずれ、私達と同じように、肉体を離れて、ただ見守る存在になるのです。

今、地球に降りているたくさんの魂の数は、過去にないくらいに多いはずです。そのすべての魂が、互いに学びあい、知恵を出し合うために、出会い、気付くことから、色々な役目をしながら、すべてが、新しい宇宙が始まるのです。

あなたたちを信じています。どうか、私達の願いを聞いてください。

あなたちのことを永遠に見守っている”宇宙の始まりの存在”としてお願いします。
2007.07.17 Tue

2007.7.16　マスターメッセージ

宇宙の時間軸と人間の肉体と意識の三つが統合しなければ、この地球や宇宙が崩壊することは以前からお話していますが、そのために重要なことをお話します。

11/17の時間軸をあわせる祈りが、全宇宙の時間軸を整える期限としていますので、その祈りに皆さんの魂の目覚めが間に合うように、まず８月１２日までに、皆さんの意識が目覚める出来事が起きることでしょう。その出来事は、個人・地域・国を越えた調和を思い出すための出来事ですので、決して、混乱ではなく、あなたが本来、守られなくてはいけないものをどう守るべきかに気付くでしょう。

あなたが”魂の約束”を思い出すことができなければ、あなたが守りたいと思っている物や人さえ、一切、守ることはできないことを覚えておいてください。そのために、私達（神）が皆さんの目覚めをサポートするための出来事なのです。この地球を守ると決めて生まれてきたすべての魂たちよ、そのことを想い出しなさい。

2007.07.16 Mon

2007.7.15　マスターメッセージ

沖縄から帰ってきてから、ずっと右半身が刺すように痛い理由がわかりました。私に伝えてほしい事を私がきちんと聞いていなかったことが原因です。そういうわけで、昨日から私は毎朝、祈りをするようになりました。目的は宇宙調和・地球調和のために大いなる宇宙の創造主（マスター）と向かい合う時間です。そして今日、皆さんへお伝えして下さいと言われた内容です。

今までのように、何も変わらず、何も変えない毎日を過ごしていては、地球の未来は変わりません。

あなた自身が、これを変える、これを変えたといえるような時間の過ごし方をしてください。

あなたが言葉が得意なら、言葉で何かを伝えて下さい。

あなたが言葉が苦手なら、行動や態度で示して下さい。

その行動を次の世代の人たちが見つめています。

「あなたが変わること」、それが、地球の未来を変えることなのです。

2007年7月15日
2007.07.15 Sun

日本人のルーツを探る

歴史を学ぶことがもっとも苦手な私に、時々、引き込まれるように、文明や民族の名前が心に引っかかるときがあります。そういうときは、まずネットサーフィンをしながら、自然にたどり着く情報を眺めてみます。ネットの情報を読んでいると、自分の気になることや過去の記憶の探求が得意な方たちがたくさんの本を読み、歴史書を調べ、あらゆる観点から、過去の情報の解読をされています。こういう人が書いた文字を読むと、その人が無意識が書いているのか、意識が書いているのかが、すぐわかります。さらにその無意識はどこからきているのかによって、情報の信用度というか、自分にとって、今、必要かどうかを判断するようにしてします。これは皆さんも普通のことですよね。

では今日の本題に入ります。

私がずっと気になっている第一の疑問は、「なぜ、これだけ沖縄に導かれるように私は祈りにいくのか、それはどこの何の意図がなのか？」ということでした。私自身は、1998年から「宇宙調和・地球調和・自然界調和」のことだけを考えて行動していますので、宇宙との対話以外、信用していなかったというのが本音です。だから余計に、歴史の紐解きに興味がなかったようです。

この疑問を紐解くカギは、ここから見つかりました。（3/4ヒッタイト民族・シュメール民族のこと）

シュメール民族から、ここへたどり着きました。（日本人は、どこから来たのか？）

そして、「天孫族」というキーワードから、ここへ導かれます。

※この情報は私個人の興味で見つけたものですの、内容に関するご判断はご自分の責任で判断して下さい。

私はいつも、その土地に足を付けた瞬間に、その土地を守る大きな存在からメッセージがやってきます。反対に、飛行機に乗ると、空間と次元を一気に超えるために、宇宙や大きな神たちからメッセージが降りてきます。

沖縄の島々に立つと、まずその土地の大きな神と対話して、人間の知恵は神信仰の形やお祭りに表れますので、その土地の人にお話しを聞いたり、その土地の霊たちと話したりすることで色々な情報をいただきます。

この４年間で私が感じたことは、

１、日本人に流れている民族ルーツと概念のひとつに、ユダヤの血と意識が入っていることや、天皇家一族が強くそのことを守っている血縁なのは、皆さんもご存知のことでしょう。その一族がたどり着いたのが、伊平屋島、伊是名島、伊良部島（字伊良部を中心とする５部落）です。世界中に広がるこのユダヤの血は、それぞれの時代に、その土地の人と子を残し、変化しながら世界に広がっています。これはアジアと呼ばれる東洋民族の根幹にながれる神意識に類似しています。

２、またイエスキリストを代表とする西洋神信仰も、黒潮にのって与那国を経由してから、長崎や青森までたどり着いています。与那国にたどり着いた代表的な３つの民族は、オランダ・ポルトガル・台湾です。このポルトガル民は、のちに、来間島・池間島へ移住し、”池間民族”として３つの地域に分かれたのが現在の池間島、宮古島の西原、伊良部島の佐良浜地区（２部落）です。この部族が守ってものを引き継いだのが、今は「出雲」だと感じています。

３、この宇宙を創造したと言われている”リラ星”の意識の方たちをはじめ、プレアデス星などの宇宙の星のカルマ意識は、２０世紀後半に一気に地球、特に、日本に降りてきて、1890年頃に強い神がかりになった”出口ナオ”さんから始まった大本教（出口王仁三郎氏）や新興宗教の活動家、また、”日月神示”を含む精神世界のなかに多くいらっしゃいます。こういう方たちは、宇宙カルマの清算をするためにこの地球に舞い降り、肉体を持って、新しい宇宙の調和をこの地球から創り出すことを目的に動かされていました。

４、世界の歴史に残る有名な神がかりの力を持つ人たちは、強い霊力も含めてこの地球や宇宙を再生するために降りてきた強い宇宙意識が入った肉体でした。しかし、数千年をかけて、築いてきたこの文明や文化さえ、一瞬で崩壊した経験を持つ、マヤやアトランティスの意識は、常に、そこのとに注意しないと私達をさとしてくれています。

５、今までこの地球上では、大きく２度、全ての文明が消滅しました。現在の文明は、三度目のチャンスなのです。しかし、いつの時代にも、人間が望むものが互いに相違すると感じる理由は、すべての存在のおおもととの分離感が、自らの守りたいもととの相違意識を強くさせ、その結果、争いを引き起こしてきたからです。

６、沖縄にたどり着いた色々な世界のあるゆる意識を持つ民族の方が、なぜ、この東の果てまでやってきたのか、それは、ここに理想郷がある、ここには、宇宙から最初に地球に降りたエネルギーの場所があることを知っていたからです。

７、私が今までの経験から学びながら、今、大切にしていることは、過去のカルマ（魂の苦しみ

・人間としての苦しみ）を持ったまま、宇宙や地球の調和を実現することは難しいということです。私自身も、たくさんのカルマを背負い、たくさんのおろかな人間行動もしていますが、人間である以上、決して、神そのものにはならないからこそ、その高い調和意識を肉体があるうちに、現実化するための行動をしてきました。世界中にも、今、たくさんすばらしい方が、愛を語り、調和の道を開き、指導者ではなく、一般の人たちが気づくための活動をされています。

８、この日本に生まれた私達は、世界の過去の歴史のカルマをすべて背負って生まれてきた民族が集結した場所であり、さらに、宇宙のカルマも背負い、その目的を果たすために生まれた民族なのです。だからこそ、今、すべてのカルマ（苦しみ）から愛と調和を学び、新しい地球の調和、あなたの回りの人との調和を作ることができなければ、この大切な地球自体を消滅の道へ進ませることになるのです。

９、2007年3月12日　地球の核（天の岩戸神事）を開けたことで、過去の宇宙カルマのすべてが転換・天昇したと言ってもいいでしょう。だからもう、気づいて下さい。あなたと私は敵ではなく、同じ目的を持った味方です。この地球に生まれたすべての人間は、同じ目的を達成するために、それぞれの役目として、生まれる土地を選び、必要な経験をし、必要な記憶を思い出しながら、生かされているのです。どうぞ、その大切な目的と共通意識を想い出してください。あなたには、あなたにしかできない役目と役割があります。

悪も善も、天国も地獄も、天も地も、そのすべて意味も、人間が作りだしたものなのです。だから、私達で考えて、新しい意味を設定し直しましょう。私達全員に与えられたすばらしい力は、創造主と同じなのです。一切のことを否定しない生き方、どうしたいのか、どうするべきなのかを、あなたの言葉と行動で、子供達にわかりやく教えてあげてください。あなたの子供の目が輝けば、きっと、それを信じてあなたを守ってくれるでしょう。

もう一度言います。

あなた自身が、すべてのものごとと調和していなければ、一切、調和や愛を実践することはでません。否定からは、愛は、生まれないからです。すべてのできごとを認め続けてくれいるこの宇宙の創造主の意図をあなたも理解することができる日を待っています。

そのためにも、まず、7/17　午後8：11からの１時間の祈りに参加してください。

祈りは、創造を現実化する最大の力なのです。　　感謝
2007.07.14 Sat

与那国神事の気づき

与那国島には２０時間も滞在できなかったのに、１４箇所も大切な祈り場所へ祈りを捧げることができたのは、島の神を守る男性や神人（かみんちゅう）、そしてそのご家族のサポートのおかげです。すべてが大きな神の導きとして、私達が歩く道を導いてくださることは、宇宙の神が望むことを叶えるのも、この肉体を持った神（人間）だからこそと新たな感謝が溢れます。

与那国島で人や神々と対話して、書物に残っていない日本人の民族ルーツがまた深く理解できました。当時、与那国島にたどり着いた人たちが伝え守りたかった神の意思を理解していくと、地球を守り、宇宙を守る役目が、私達、日本人の役目であり、存在意味だということに再度、気づきます。

この地球に舞い降りた人間の魂の記憶には、宇宙のある星にいたときの記憶から魂の役目に気付くことがあります。しかしこの宇宙の星の記憶さえ、たくさんの宇宙空間のなかで起きたさまざまな宇宙の歴史の記憶も持っています。そういう宇宙の記憶を持つ人（魂）が目覚めたとき、その過去の宇宙の歴史や地球上で人間として経験した記憶から、もう一度、魂本来の役目をするために行動する人たちが増えてきています。

地球上の歴史に残る過去のさまざまな文明（アトランティス・ムー・シュメール・インカ・マヤ・エジプトなどなど）は、この宇宙の星の記憶をもつ人たちが動いた歴史でもあり、その星の記憶には、この地球の人間というすばらしい能力を持った存在（神）に、もう一度、全宇宙の調和を整えるチャンスを与えてくれていることを感じました。

私達人間の魂の記憶には、人間として輪廻転生したカルマの記憶の他に、エネルギー体（意識体）として宇宙の星にいたときの記憶も、時々、思い出すことがあります。つい最近、チェーンメールで宇宙のメッセージのごとく「神の目」という名前で画像やメッセージが出回りましたが、あれは、宇宙にもともとある星団の映像ですので、宇宙メッセージでも何でもありません。ただ何かを読み取ろうと意識すれば、昔昔の星の記憶を思い出す方も居るかもしれませんが、それもその星に居た仲間達へのメッセージなのでしょう。

宇宙に地球と言う星が表れたとき、今ほど地球の存在意味は、重要な星ではありませんでした。その理由は、地球という星に与えられた役目と同じ星が、他の宇宙空間に２つがあり、互いの星のどれかが消滅しても、その情報を相互補完できるように、宇宙空間ネットワークサーバーのような形で宇宙の重要な機密が守られていたからです。

地球が「水の星」と呼ばれる最大の理由は、実は、この水（真水と海水）にすべての宇宙の記憶とデータが入っているからです。宇宙空間のデータを「水」という物質にしたものとは別に、今

でも宇宙空間に存在する空間記憶データのことを地球交響曲第五番に出演したアービン・ラズロー博士は、「アカシックレコード」という名前で紹介しています。

1995年頃にスピリチュアルな世界で有名になった本として「アガスティーの葉」がありますが、その「アガスティーの葉」には、人間一人一人の生まれた意味と人生すべての経験が書かれていることで有名になりましたが、それさえも、このアカシックレコードの情報のほんの一部の部分情報なのです。

2007年3月に、、”地球の核をあける祈り”をしたことで、この宇宙空間のどこかにあるといわれていた全宇宙の情報も、地球の核の中にあることがはっきりしました。

それ以前までは、私は全宇宙の創造主（マスター）が、その宇宙情報のおおもとであることを知っていましたが、この情報を公開しても人間全体の集合意識がまだ準備できていないと感じていたことと、そこへアクセスすることが簡単にできないようになっている理由を理解して、情報の一般公開を伏せてきました。

しかし、今年3月からこの地球が、全宇宙の中心となり、宇宙全体を照らす”光の星”となった今、この地球で創造主にも似た知恵と能力を備えた人間本来の役割に気付く人のために、もう一度、信頼を前提として、重要な情報の公開をします。

１、まず人間の身体の７０％以上が水である理由は、宇宙の全情報が、この水に入っているということです。その塩分濃度は、真水でもなく、海水でもない特別な塩分濃度で調整されていて、重要な宇宙の情報を守り継ぐために精神と肉体を持って存在しているのが人間だということを理解してください。

２、真水の力に秘められた力は、創造性です。そして、地球にあるもうひとつの水の海水の力は、意思や知恵・記憶を守り受け継ぐ役目をもっています。

３、真水を男性の精子に置き換えるとわかりやすいのですが、男性がいくつになっても子供のように無邪気なのは、「夢や創造性」を司さどることが本来の精子を持つものの役割だからです。

４、海水を女性の羊水に置き換えてみると、すべての命を生み出す「羊水」を持つ女性の役目は、すべての意思と知恵・記憶を守り継いでいくことが女性本来の役割であることを表しています。

５、神や宇宙意識に一番近い生き方をしていたと伝えられる先住民族の知恵や神を守る沖縄の”神ごと”を女性が守り継いでいる理由もそうですが、北海道の先住民族（アイヌ）たちも、この男女

本来の役割を重んじて、部族の知恵の伝承の「語りべ」と「先祖供養」役は、必ず、女性が担当しています。

６、北海道のアイヌの場合、”フチ”と呼ばれる高年齢の霊能者が、長老たちの何日も続く話し合いをまとめる役目として、エカシ（酋長）よりも重要な役目を担っていました。

７、この地球で人間や男女本来の役目を担うためには、魂のおおもとの記憶を呼び覚まし、宇宙における人間（神）の役目に目覚めることが急がれています。そうできなかった場合、この全宇宙は、必ず、消滅します。

８、最後に、私達がいる太陽系を含む宇宙空間のほか、６０兆個を越える宇宙が全宇宙空間に存在していますが、その全宇宙空間にも外側があるということもあなたの記憶にいれておいてください。いつかそのことを詳しくお話する時期がくるときを私も楽しみにしています。注）このことを考えすぎて意識が飛び過ぎないようにご注意を！

こういった事実と自分自身の気付きを踏まえて、今後の地球のため働く人たちが目覚めるためにどうしたらいのかを考えてみますと、まず、マインド(心）・スピリッツ（精神・魂）・ボディ（身体）の３つのバランスと整えるためのボディワークと、魂の記憶の奥底に眠る宇宙の星の記憶までさかのぼるための「アカシックレコード・アクセスワーク」を行う必要性を感じました。

以前から前世療法ができるのに、私が積極的にやらなかった理由は、人間として繰り返してきた魂のカルマをどうにかしようとするよりも、もっともっと以前のあなたの魂が”宇宙のおおもと”から分離して生まれたときの記憶まで想い出して、全宇宙における魂本来が役目を、この肉体があるうちに行動してしてほしいと願い続けているからです。

この「アカシックレコード・アクセスワーク」は、神が私に与えた霊視という力を使い、意識の無限チャンネルへのアクセス権でさまざまな壁や次元を超えて行うワークのため、私自身も大量のエネルギーを消費しますので、完全ご予約制とさせていただきます。公開をどうぞ、お楽しみに！
2007.07.10 Tue

与那国島神事　二日目　　日本最西端の地

6/24、一日目の祈りを終えた夜、与那国の方たちが部屋へ集ってくれました。そこに来てくれたある男性は、実は、この島で最大の神を背負う（守る）家系の方でした。地元の神人も認めるこの男性は、３０代にして脳梗塞になり、右半身の自由が利かない身体ですが、神のことや与那国の歴史のことは、あらゆることを知っているすばらしい方でした。一般的にも、霊媒体質の方が、大きな病気やけがをすることで、さらに大きな霊力が宿ることがありますが、そのもっとも代表的な例の方です。

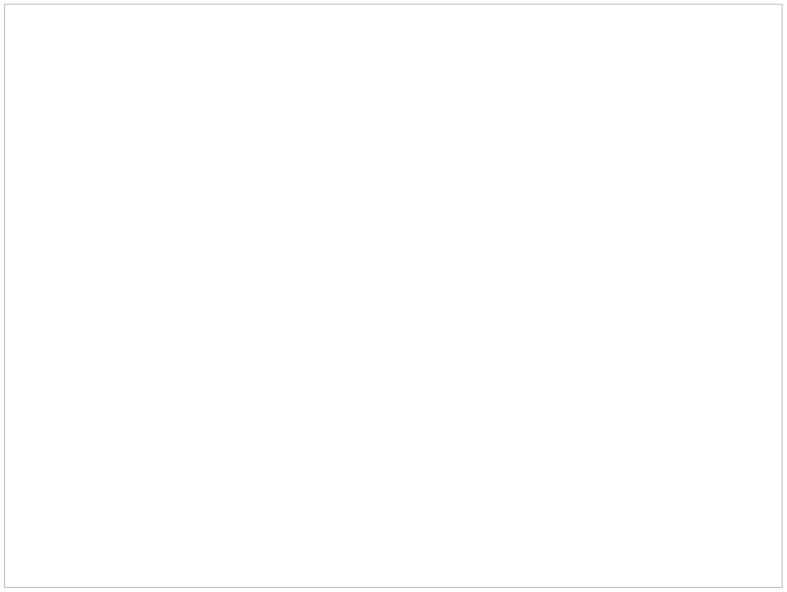
そのことがわかってから、神と直接、会話するように、与那国島の歴史のことや神々のことを詳しく聞くことができました。この島は、ポルトガル・オランダ・台湾の方たちの文化や血が入って、大きくその信仰のなかで神の存在が伝えられています。特に、オランダからは、宣教師が多く入り、現在の日本で作られている野菜のほとんどのルーツを伝えた島だということもわかりました。最も驚いたことは、宮古諸島にまだ人が住んでいない時に最初にたどり着いたのが与那国の人たちで、一番、最初にたどり着いた島が”来間島”だったということです。ここでやっと、私が呼ばれた伊良部島・宮古島とのつながりが出てきました。
民族の交流からわかることは、その民族が守っていた精神・神・文化を通して、日本という島にたどり着いた人たちの目的や思いが現代の日本人の意識の根っこにもつながっているということです。古事記や日本書記でも書物に残される内容のほとんどは、常に、公開できない部分を削除し、当時の政府に反感をかわないよう歪められているものがたくさんあります。大切なことはその土地に住み続けている方たちと直接、話をすることで、その方の知識を越えた後ろにいる先祖や神たちから、直接、その当時の情景を見せてもらうことができます。

この男性（神）といろんな話をしていて、この土地を守る神が望むものを叶えてあげたいと思いましたので、「何かして欲しいことがありますか？」と尋ねると、この島の神々でちゃんと立っていない神を起して欲しいということと、自分達では手を付けられないところがあるのでどうにかして欲しい場所を教えてもらいました。また、龍の神を奉っているところにもご挨拶することになったので、急遽、明日は、朝食抜きで、朝、７：００から祈りを開始して、直接、空港に行くことになりました。

6/25　ＡＭ７：００～１１：００　与那国祈り二日目
島の守り神の男性は仕事を休んで一緒に道案内してくださいました
１、海を守る龍宮神＆金毘羅様の神を立たせる祈り
素晴しいこの場所の龍と金毘羅さまは、私達の祈りをとても喜んで下さいました。大きな力を与えさらに大きな役目ができるよう、大きな神々とのつながりを復活させました

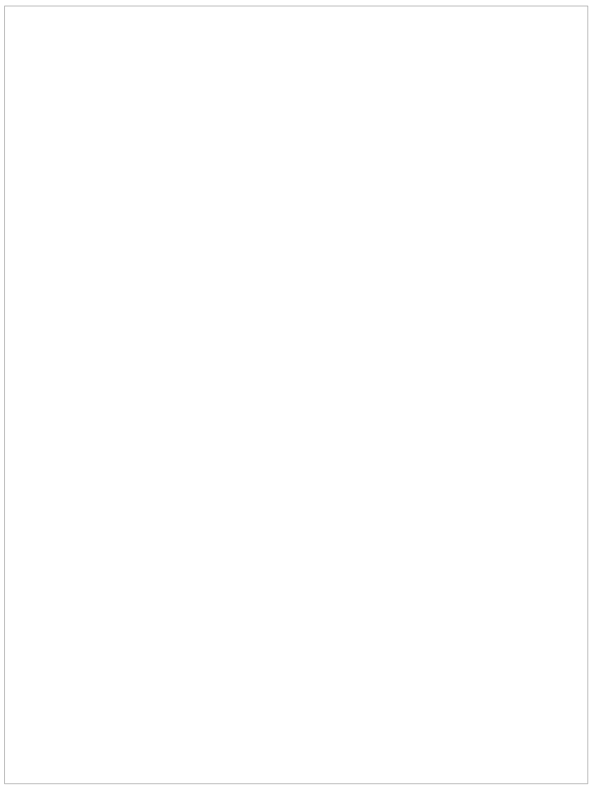
２、西の番（西を守る大きい岩）

この岩は、イースター島のモアイ像とつながりを持ち同じ役目をしていた石です。全宇宙の本来の存在意味を理解している方は、この石が与那国にある意味とムー大陸のつながりを感じてください。



３、龍門（龍の入口）へご挨拶

すばらしいエネルギーが流れているこの龍門は、島の神を守る彼が開いた場所です。

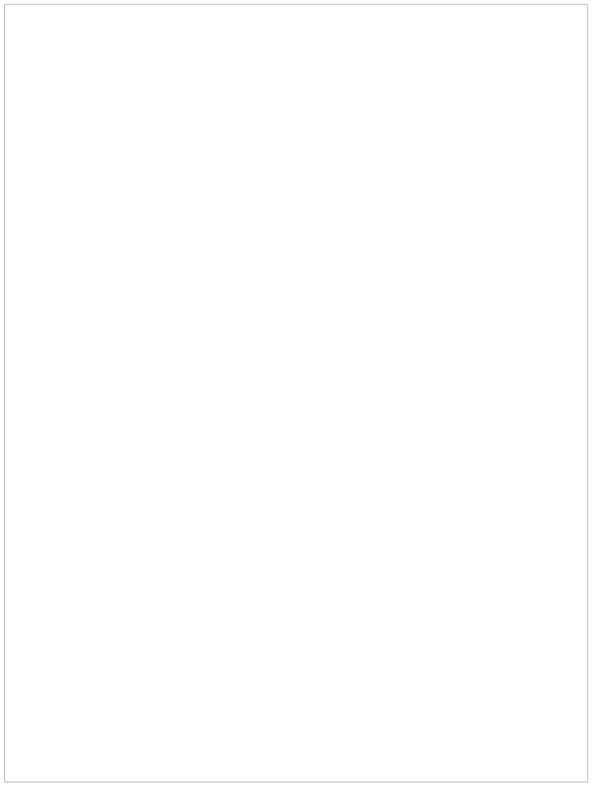


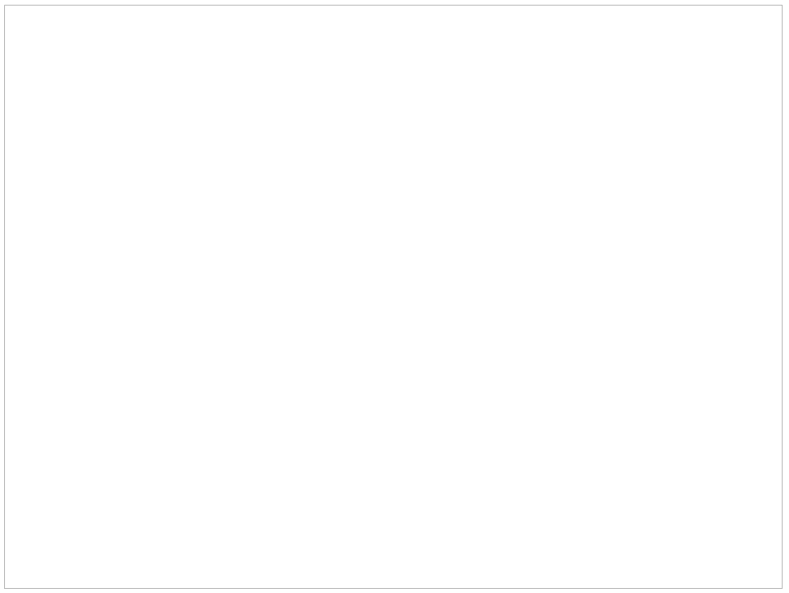
４、ヌル願（ノロたちが航海安全を祈る場所）へ挨拶

人々の願いを叶える祈りのみを仕事としていたノロたちは、王様任命の最高クラスの神人として、沖縄のどの島でも大切にされてきています。しかし、大きな役目だからこそ、その裏にはとても悲しいで事実が常にあったということを理解してください。人が人に願いをすることで起きるさまざまな人間感情のもつれは、今も、まったく変わっていませんね。”祈り人の霊性”と”人間性の部分”をもっと自然に受け止めて学んで欲しいものです。

５、久部良バリ（くぶらばり）・・御霊上げ

ここはとても悲しい事実があった場所です。流球王朝時代、人頭税が厳しく取り立てられたために、ほとんどの子供たちにも税がかかり、家族の食料さえ守れない辛い時代がありました。そのとき、島の人間を増やさないために、身ごもった妊婦たちを中心にこの岩場に連れてきて、岩から岩へ飛び越えなければ生きることを許さないという「人べらし」の場所がここでした。反対側に飛び越えられずに、落ちて登れずに死んでいって人たちの悲しい思いとその御霊たちは、この岩場全体に張り付いていました。その数、数百対を越える御霊たちです。岩の割れ目の真ん中で、赤く光っているエネルギーが、御霊たちの集ったものです。





唯一、救いになったのが、ここの御霊たちの思いを感じてみると、苦しい・辛いとは言ってきますが、自分達が犠牲になって、家族が生き残ったことを知っているために、犠牲になったことで誰かを恨んだりはしていないことです。

「水を下さい」と言われたので、たくさんの水を割れ目に入れてあげました。そして、大きな犠

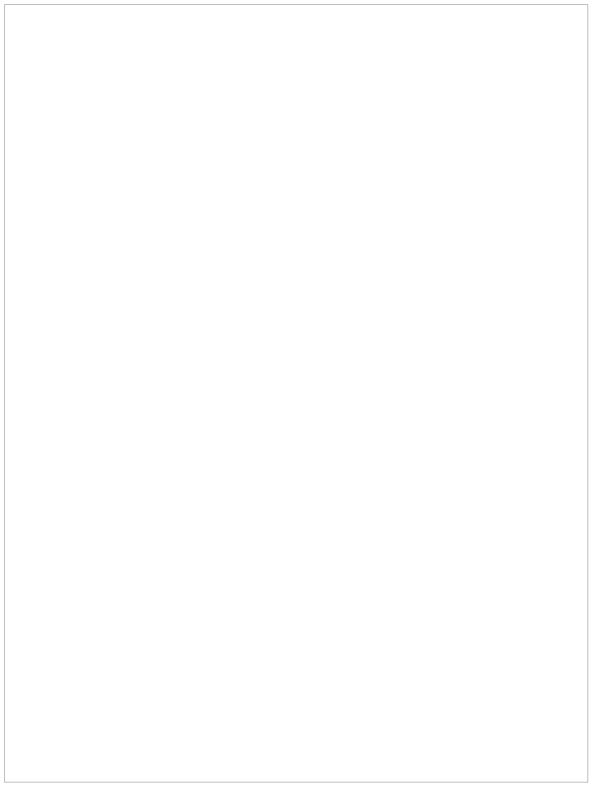
牲になった御霊たちに感謝し、その思いを大切に伝え守り継ぐことを約束して、この場所を新しい命が生まれる場所として場のエネルギーを大転換しました。
この島の人たちはこの事実を知っているからこそ、誰も手を付けられなかったと話してくれました。自分達が生かされていることは、誰かの、たくさんの人の犠牲があったことを知っていてその土地に住み生き続けている人たちです。過去を批判することは簡単ですが、そのおかげで現在生きている人たちがいることを、感謝で伝える生き方をしなければいけないと強く感じました。

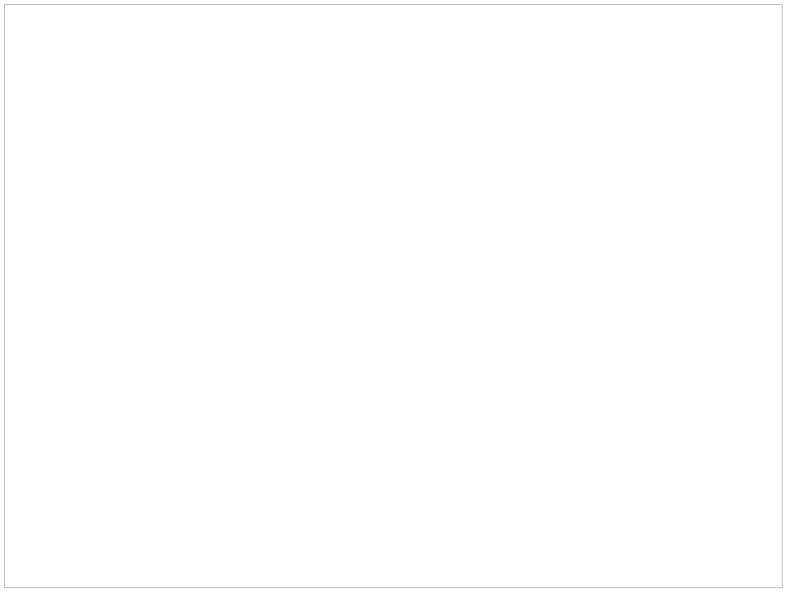
６、龍の角（つの）・・・金龍の場所・平家がたどり着いた浜
この浜には今でもたくさん平家の落人たちの霊が集り、その姿を霊能者たちに見せているそうです。この場所を守る金龍・銀龍のつながりを大きくしながら、悲しみでたどり着いた平家の人たちの辛い思いを天昇させる祈りを捧げました。

７、山にある三つの岩（台湾にも同じものがあり互いに向き合っている）
この岩は、真ん中が王様、左が王妃、右が側室の御霊の意味を持っています。男性と女性が力を合わせて、互いの役目を守る意味と、日本と台湾のつながりをつないでいる力の証とも言えます。流球王朝時代にも、大和の時代にも、現在の日本国になっても、ほとんど守ることをされなかったこの島を影で守ってくれていたのは、実は、台湾だったことをこの神の守る力から理解することができます。

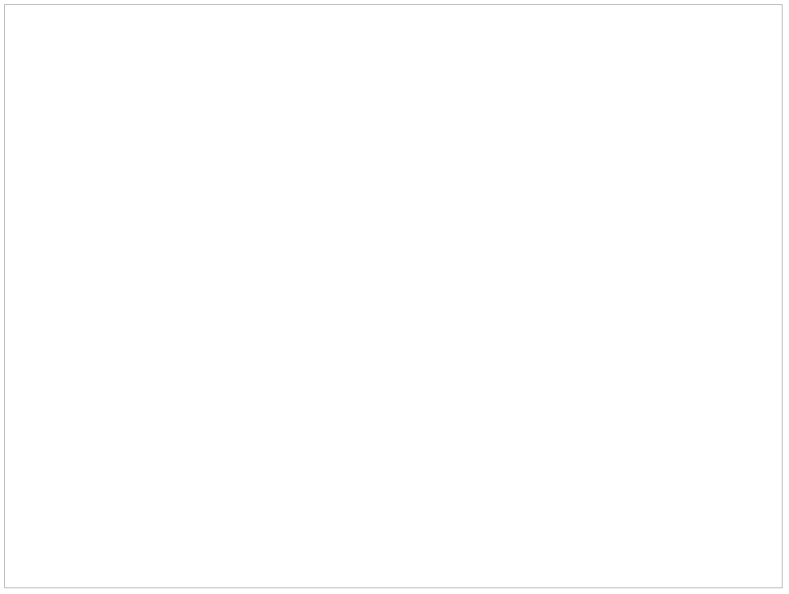
８、地球の軸（北牧場の中にある岩）
宇宙につながり、地球の底（すく）にもつながるこの岩は、地球を安定させる軸として、この島の北にあります。地球を守る「地軸」の役目と理解しておいてください。つながりに感謝の祈りを捧げました。

９、西崎（いりざき）・・日本最西端の祈り
与那国島から沖縄本島の距離は、沖縄本島から九州までの距離に似ています。昔から与那国にたどり着く外国の船も、与那国から遠く離れた日本の島々に渡る船も、黒潮本流の流れにのって移動していました。ですから古来の文化の大切な情報や知恵は、潮の流れに沿って移動しながらあちこちに残っているのです。北海道の先住民族アイヌたちも、実は同じ方法で、世界中へ航海していました。先住民族の知恵は、星や海や風や太陽からメッセージを感じながら、生きるすべを大切にしていました。忘れかけたその知恵は、私達の魂に生きていることをどうぞ思い出してください。



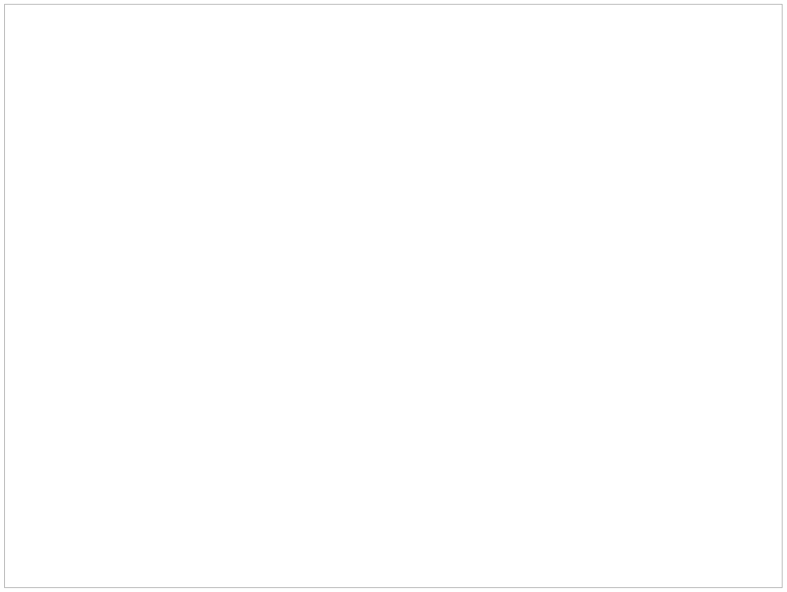


１０、不老長寿の水
この島の神々が守りついでいるもののなかに、「不老長寿の水」があります。それは、西洋からの神と中国から神が守ってきた知恵の大切な場所です。この水が豊富な島の水は全て軟水ですが、唯一、この水だけが硬水の水として湧いています。地元の人でもわからないこの場所を教えてくれた神の男性から私たちは光の水をいただくことができました。
１１、水龍が守る「天の岩戸・月読の神」の場所
白く光っているのが、この場所を守る水龍の頭です。龍をこの場所から開放
して、自由に飛び回るようにしてあげました。この最後の場所のすばらしい水のエネルギーに全員が癒されました。



2007.07.07 Sat

与那国島神事　一日目　　日本最西端の地



6/25、沖縄本島から飛行機で１時間半かけてたどり着いた日本最西端の与那国島。北海道から３名と沖縄本島から３名の祈り仲間６名は、４０度を越える直射日光の太陽の熱さと湿度の熱気にまず驚きました。与那国空港では、祈り仲間の知人で世界中を祈っているアリンさんや与那国の神人（かみんちゅう）を始め、そのご家族たちが出迎えてくれました。

私達の祈りの方法は、自然の神さまとの対峙ですので常に形が変化しますから、地元の神人と沖縄の神人に、この島で祈る場所と順番について打ち合せしていただきました。祈りに地元の人が参加される場合、その土地のルールを理解し尊重することも重要なことだと私はいつも考えています。

空港から着いてすぐ与那国の神人が教えてくれた最初の場所は、この島で祈る場合、まず神さまに祈りの許可の”カギ”を与えてもらう場所を案内されました。その場所の鳥居をくぐると、足元がコンクリートで整備されていた為、炎天下でヤケドしそうなくらいの熱さになっていましたが、全員、じっと我慢しながら祈り、許可のカギをいただくことができました。

二箇所目は、十山神社（とやまじんじゃ）です。ここは先祖・土地の神祈りをする人たち（ノロ神）を奉っていますので、土地的にはとても重要な場所です。後で教えてもらいましたが、ここを守っている一番大きな神さまの名前は、アマテラスのお兄さんの「チャンテラス」というとても大きな神さまだそうです。（世の中をちゃんと照らすという意味の神さまだそうです）

三箇所目は、「全方位の羅針盤」と「火の神（ヒヌカン）」と「土地の神」の三つが一緒になっている小高い丘の上の祈り場所です。その場所の中央では、”天地つなぎの祈り”をしました。

四箇所目は、立神岩（たちがみいわ）です。

この岩は、形のとおり男性神として奉られていますので、西の土地を守る神さまの役目をもっとしやすいように、八匹の龍を警護につけました。すると、この神さまがこんなことをおっしゃいます。

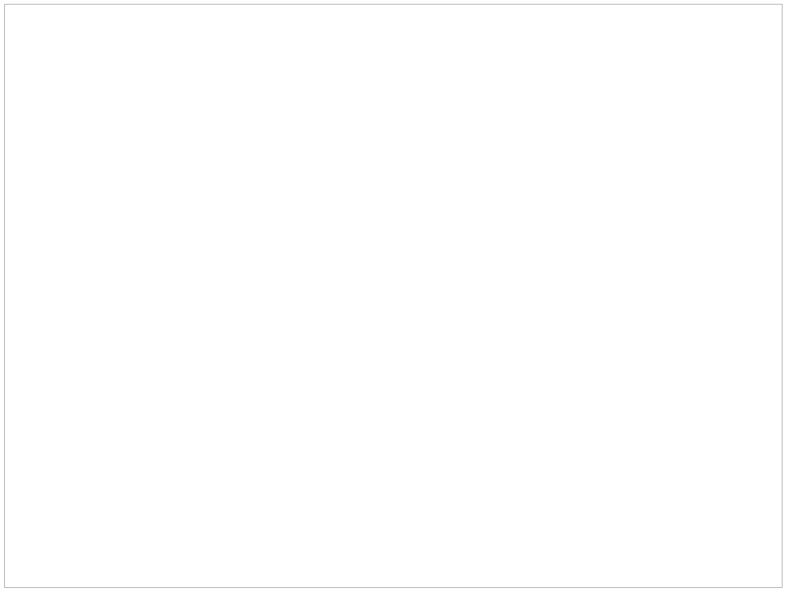
「恐れ入れますが、ここからは見えませんが、島の南側に女の岩があります・・・。」

それ以上、何も言いませんでしたが、その場所へ行って欲しいのがわかりましたので、地元の神人にその場所のことを尋ねました。するともしかしてと連れていってくれた場所が、まさしくそうでした。

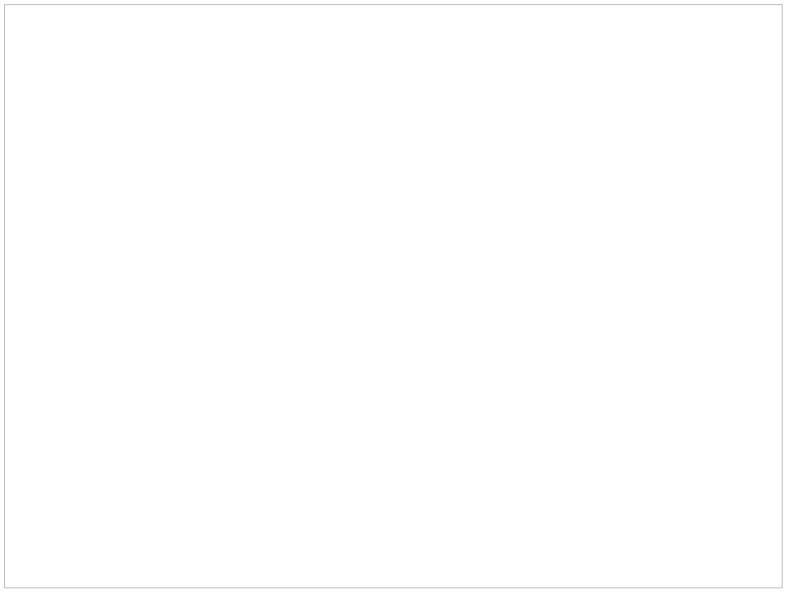
港の近くにある大きな岩場のなかには水が沸き、じっと、閉じ込められている女性の御霊と、もっと大きな存在が中にいました。でもなぜか、この場所は、封印されていて出入りができなくなっていたのです。地元の方にこの場所の由縁を聞いてみると・・・。

昔、外国の船で宣教師がこの土地にやってきたとき、村長は人への影響を恐れて、一切の交流を禁じましたが、その誓いを破って宣教師に逢いにいった女性が首を切られて埋められた場所だということです。つい十数年前にも、この場所で首なしの死体が見つかったそうです。その辛い悲しい御霊たちが、こちらを見つめています。すぐに場を祓いあげ、すべての過去の思いを昇天させて、男岩と女岩のつながりを復活させ、この島に新しい子供が生まれるよう神に祈り、地元の人にもこの場所を大切にすることをお願いしました。一緒に祈っていた女性は、この岩の奥から大きな赤い目で、こちらをにらんでいた存在がいたと教えてくれました。沖縄の神人いわく、それは、この岩を守る大きな龍の目だということです。

今日の最後の祈り場所は、「ティンダハナタ」と呼ばれる大きな山の祈りです。この島は昔、大きな身体をした女酋長が守っていた時代がありました。琉球王朝時代・大和の国の人の行き来・台湾との交流・それ以外の海外から来るさまざまな人たちとの交流のなか、大切なものを一人で守り続けてきた伝説の女酋長です。いつも大切な命や魂を守り、神を守り受け継いできた女性たちの深い思いに感謝し、過去のすべてのできごとの責任を男性の代表として頭を下げお詫びと感謝の祈りを捧げました。

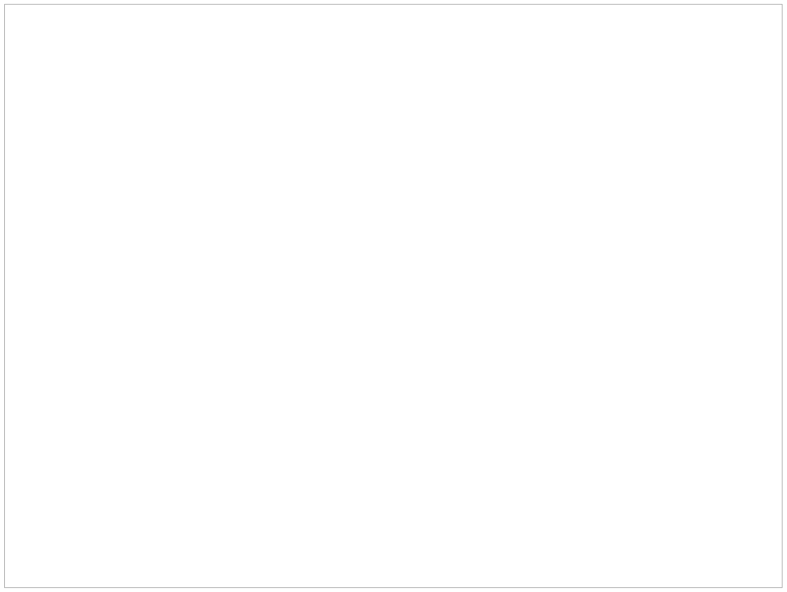


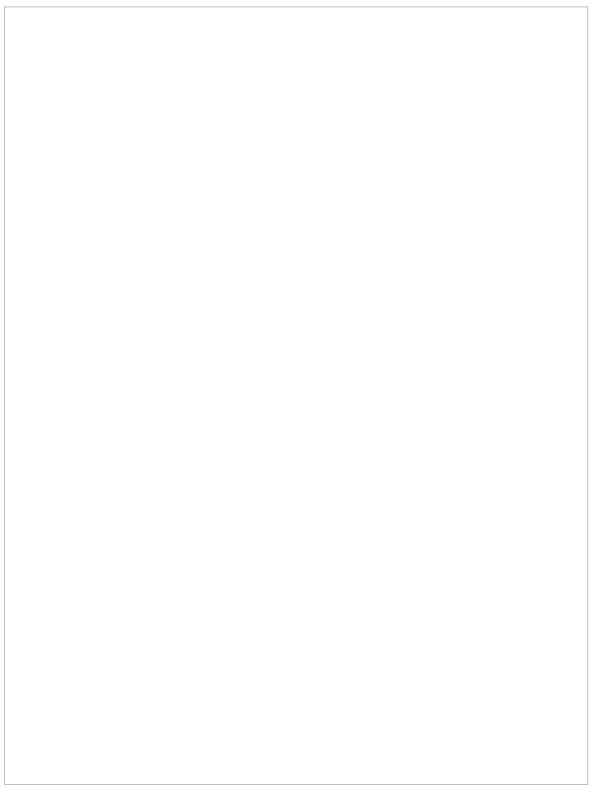
この場所は、沖縄本島の世界遺産 斎場御嶽（せいふぁーうたき）と全く同じエネルギーの場所です。それくらい大切にしてもいいくらいの場所だということをもっと皆さん理解していただきたいと思います。祈っている最中にも、地元の方が見晴らしのいいこの場所からいろんな思いを感じにいらっしゃっていました。山の上に、水が豊富に湧き出る素晴しい聖地、そして、日本の西を守る神の聖地に心から感謝いたします。



2007.07.05 Thu

6/23～沖縄慰霊の日～　伊是名島2007





伊良部島から沖縄本島に戻り、ホテルのＴＶをつけてみると、明日が「沖縄慰霊の日」ということで、おじーおばーたちの思いが画面を通して伝わってきました。その日（6/23）に、伊是名島へ渡る意味を考えました。明日の予定は以前から決まっていましたが、この沖縄慰霊の日は偶然の一致ですので、全ては”必然の神の配慮”として自分のできることをしようと朝を迎えました。

伊是名島へ渡るために運天港に着いた途端、すぐに、神人（かみんちゅう）の身体に霊体が憑依してメッセージを伝えてきました。とても苦しくて悲しい口調です・・・。

「私の子供の御霊がまだ成仏できないでいるので、どうか、どうか、助けてください」

先月、北海道で全ての御霊を上げる祈りをしたのにと思っていましたが、よく考えてみると、自分で亡くなったことをわからない幼い御霊や天へ戻ることを知らない御霊がいることもあるわけですから、そのお母さん御霊には、伊是名島できちっと御霊上げをする約束をして戻っていただきました。

車中ずっと、御霊上げの場所を考えていましたが、こうはっきり霊が伝えてくるということは、大きな決断をしなければいけなくなりました。伊是名島のどこで御霊上げをすることが一番いいのか、その場所を神人（かみんちゅう）に尋ねてみると、「戦没慰霊碑」がありますとの返事。

御霊上げをこういう正式に奉られた場所で祈る場合、そこに来られている方たちの悲しい思いともに亡くなった御霊が集りやすい場所になっていますので、大量の御霊を呼び集めて祈ることになります。これは一緒に祈って下さる方の身体への影響もありますので、実施にあたり皆さんに相談しました。

もうひとつ、戦没慰霊碑の場所を何番目に祈るかによって、皆さんの身体の辛さが変わるからです。皆さんの気持ちを聞いてみると、身体はきついかもしれないけど、御霊たちが一番喜ぶ形を優先することで意見が一致しました。

さすが私の祈りに参加される方たちは、自分のことより、地球や魂全体のことを大切にする素晴しい方たちなので感謝しました。この素晴しい決断の分、神人二人には、特に、たくさんの御霊を背負う覚悟をしてもらいましたが・・・。

当初、伊是名島にきた最大の理由は、3/12に地球の核を開けて、「天の岩戸開き」をさせていただくまでの大切な導きをしてくださった大きな大きな神さまへお礼を捧げることが最大の目的です。

この島の祈りの手順として、神人が導きをしてくださいます。まず全員で海へ身体を入れて清めてから、この島に湧き出ている場所の水の神さまにご挨拶して地下水をいただいきました。
ちょうど地元の方が清掃に来られていたのでお話を聞いてみると、ここは、産井（うぶがー）として使っていた水で、新しい命が生まれたときに、まず最初に身体を清める最高の神水として大切にされている水だったのです。
今でもその水の神さまへのお祭りは続いているそうです。その水をいただいて、地球の核を守るすばらしい神さまの場所へ行きました。

一人一人が神さまに直接触り、お礼の祈りをしたあと、ウタキの前で歌を歌い、酒を飲み交わし

、食べ物を食べて、神の歓びを自分の身体で感じながら神と一緒に祝いの宴をさせていただきました。ありがとうございます。
この場所を公開しないことはこのウタキの神の望んだことですので、どうぞご理解下さい。
私達、龍球王国創立メンバーで責任を持ってお守りさせていただきます。

そして次が、戦没慰霊碑の場所です。この場所は海側に見える大きな岩が女性神、慰霊碑の後ろの山が男性神として、一対で、この場所を守っています。この場所へ慰霊碑を建てたということは、また新たな命を生み出すことへの願いと希望を添えているのでしょう。

まず全員で”御霊降ろし”の祈りが始まりました。

「全ての不浄御霊たちよ、戦没慰霊碑に書かれている魂たちよ、
その後を追って死んでいった全ての家族達よ、
子を失った母達よ、
親を失った子供達よ。
その全ての悲しみと苦しみを終わらせるために、
魂のおおもとへ戻る祈りを捧げよう。
だから全ての不浄御霊たちよ、
私達の身体に乗りなさい」

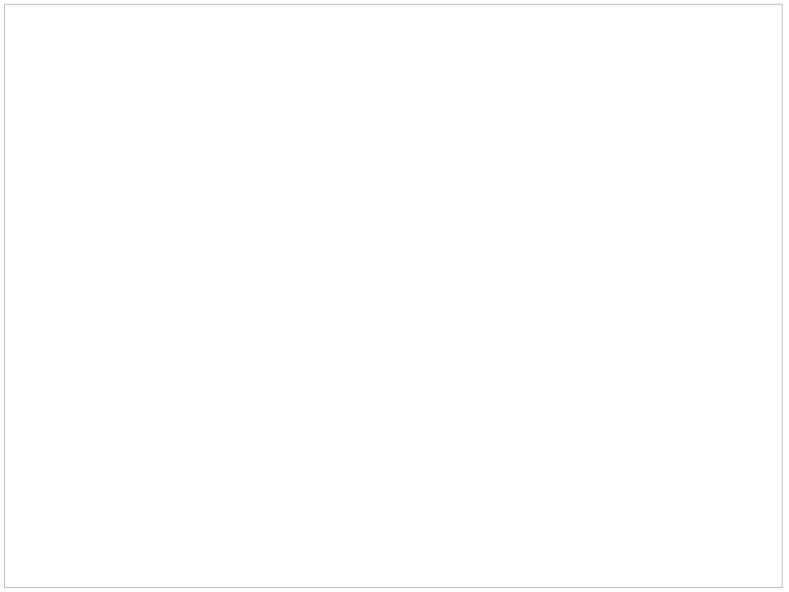
そう心の中で祈り言葉を唱えると、空中で待っていたたくさんの御霊たちが一気に私の身体に入ってきました。ゴボッ、ゴボッ、ゴボゴボゴボ・・・。

霊が身体に入るときは、背骨の首のところから入り、尾てい骨まで入ります。
身体の中心に”不のエネルギーのかたまり”がいくつも入り、さらに発しているオーラ体の光のエネルギーの上に次から次へと載ってきます。
その数、数千体～１万体くらいでしょうか。
この日のおかげで、沖縄全土の戦没慰霊たちを一気にまとめて上げることになりました。

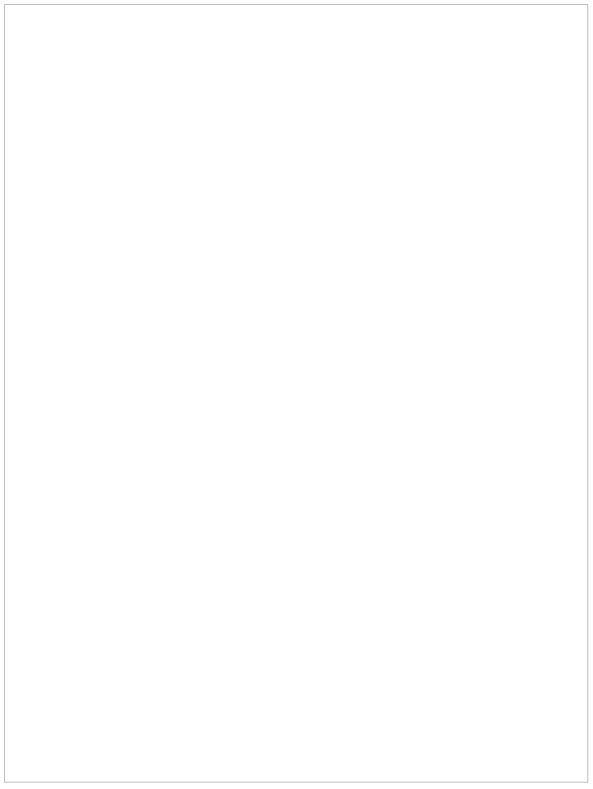
祈りを終えると、神人から、「吉岡さん、大丈夫ですか？」とき聞かれるほどの御霊の量の多さです。みんなの身体も気になりましたが、自分に載っている霊たちの重さに耐えることで精一杯なので、祈りを終えると無口になってしまいました。

次は、この伊是名島から出た第二尚氏の王として有名な尚円王のお城（グスク）と家族のお墓（玉殿）へご挨拶祈りです。

ここでは尚円王の家族の御霊たちから色々な思いが伝わってきました。
祈りを捧げるとまず、尚円王がすぐ来てくれて、先日の首里城の祈りのやりとりや今後の龍球王国創立についてお礼を言いにきてくれました。
神人には、尚円王の家族の御霊からの思いを引き継いでもらい、悲しい出来事が二度と繰り返さぬよう私達が行動で示すことを約束しました。



次は、宇天（うてぃん）＝宇宙へつながる龍宮神の場所です。
ここで先ほどの御霊たちを一気に”宇宙のおおもと”へ戻すための祈りをします。
小高い山を登ってみると、龍を守るために弁天様が向かいに祭られていました。
まずは、そこへご挨拶。そして龍宮神へ。



天と地を光の柱でつなぎ、身体中に入っている御霊の感情の全てを感じながら、天へと送り出します。光のつながりに乗りながらあふれ出る今までの悲しみ、苦しみ、辛さ、恨み、つらみ・・・・。

魂たちが身体を通過するたびに、一緒にその感情を感じます。
全てのことを感じてあげることが、最大の供養であり、そしてその気持ちの理解してあげて、望む道へ導いてあげることが、私や神人のような霊媒体の体質として生まれてきた人間の役目のひとつだと感じています。

霊媒体質の方は、幼い頃から自分の好むとこの好まざるに関わらず、常に、霊体たちの思いを聞かされながら生活してきています。
このことに苦しみ悩んだ時間が多いからこそ、誰かに、また、霊たちに喜んでもらえることが、唯一、自分の苦しみを開放し歓びを感じられる時間です。

御霊上げができるまでには、強い精神力をまず持たなければできません。

霊の声が聞こえる周波数（チャンネル）は、あなたが一人で悩み苦しんでいるときに似ています。
だからこそ、私達のような役目を持たされていない方は、どんなに辛い人生だったとしても、明るく元気に生活して欲しいと私達は願っています。

祈りや御霊上げも天から与えられた役目として、神人と神子たちも全力で祈り合わせをしてくれ

ました。

祈りを終えて誰かが、あの場所で祈っていると、身体が宙に浮く感じがしていたと言い出し、その言葉に数名が同調しました。
それもそのはず、あの場所自体が、もう、宇宙につながっていますので、あの場所に立ったときから次元が違うのです。
地球の底（すく）と宇天（宇宙）につながる天地のつながりを持つ島、それが伊是名島です。

すべての祈りを終えて海に向かいました。海は、産みの母であり、すべての循環を終えて戻る場所でもありますので、今日の出来事に感謝して、全てを洗い流しました。

祈りをした夜は、毎日、参加者たちと今日の出来事で感じたことを意見交換し自分が感じたことの意味を深く広く理解するための時間を大切にしています。

これが、沖縄の方言でいう気付きを深める「サニワ」の時間です。
聖地に足を運んだ方は、必ず、何かのメッセージを受け取りますので、どんなメッセージも自分だけのメッセージではありませんから、互いに共有しあうことがとても大事なことなのです。

世界中で素晴しいメッセージを受け取る人たちも、ひとつの役目ですので、そのメッセージや気付きをたくさんの方たちと共有し合い、個人の意識を集合意識に変えていくことが、世の中を変える一番重要なことだと感じています。

もう一度、皆さんにお伝えしますが、あなただけの特別なメッセージは、この宇宙にはありません。
大きな大きな存在からのメッセージであるほど、それは、あなたの周りの人へ伝えるためのメッセージなのです。それはあなたの人生の役割といえるほど、重要な役割なのです。

自分だけのメッセージだと思ってその思いを掴んでいると、”おごり”出たり、他の人と分離感を生み出します、あなたが素晴しい神だと思って聞いている存在のことばで、あなたの自我が喜ぶような言葉を言ってくれたとしても、それは何の意味があるでしょう？だれもこの世の中に特別な人はいません。

1998年に「地球を救いなさい」と言われた私は、全くどうしていいのかわからないまま、一歩一歩、色々な経験をしながら気付いてきましたが、その意味を本当に理解するまでに、１０年の年月がかかっています。
人生を修行と思うと楽しくありませんが、私がこの１０年で気付いたことは、「自分だけ」という個の概念自体、宇宙にはないということに気付きました。

だから、何ごとも共有し合い、確認し合い、学びあい、助け合い、そして、それを大切な人へ伝えていくことが私達、魂の伝承の役目を持った存在（人間）の役目なのです。そのことをどうぞお忘れないようお願いいたします。

どこの神さまの前に行っても、まず、言われることは、
「時間がありません」　　です。

地球が、宇宙が、生類が、人間が、生き残る為に今するべきことをする時間があまりないのです。何かを気付いたあなた自身が、今、すぐに行動を始めることを神々も願っています。
社会や政治や民族の争いが変わらなく続いていても、あなた自身の意識と行動が変わると、あなたの周りが変わります。
そういう人たちが100人、1000人、10000人になると、その周りに居る人への影響は、ものすごい数になるでしょう。
未来は、いつも、「今の意識」が創り出します。だから今、あなたが感じたことがとても重要なことなのです。

結果を恐れず、あなたの魂の声に素直に行動してください。新しいものを産み出すことは、今までの概念を壊すことでもあります。全ての結果を自分の責任で行動できて、相反する人さえも批判しない人たちが増えることを心から願います。

私達は、伊是名島の「サニワ」でとても重要なことがわかりました。新しい地球のために新たにすることが出てきたので、いずれ、皆様にも結果をご報告させていただきました。
素晴しい海と空、そしてすばらしい神々の祝福に感謝しながら、伊是名島を後にして船で沖縄本島へ戻り、そのまま与那国島へ向かうために飛行場へ移動しました。
日本の最西端、与那国島、そこは、神様が地球に降りた根っこの島でした。

2007.07.02 Mon

池間島　ウハルズの神

6/21の水納島（みんなじま）の祈りを終えて伊良部島に戻ると、水納島で開放した青龍が一緒についてきていました。ホテルてぃだの郷へ戻る道から「なべ底」の方角に彩雲（虹雲）が出たことがお知らせです。雲達も龍雲になって、歓びを表してくれました。神さまが喜んでみせてくれる姿は、祈りをする人間にとって最高に祝福の時間です。この日の夕陽は梅雨明けもあって、七色に変わる海の色を持つ伊良部島の美しさを再認識する時間になりました。

日にちは戻りますが、6/20に池間島にある宇宙神のウハルズの神というとても大きな神さまへご挨拶する時のお話です。このウハルズの神は、地元ではウパルズ・オハルズと方言により呼び名が違いますが、大主神社という名前で池間島にあります。

しかし地元の人や一般の方は、一切、ご挨拶することさえ許されないくらいとても厳しい神様として有名です。ここにご挨拶できるのは、神人か司（つかさ）だけとされています。宮古島の神どころの案内書にも、一般の方の参拝場所として、下地町にある下地神社を紹介しているくらいの厳しさです。

そういう場所へ私が今回行くと決めた理由は、2006年の八重干瀬（やびじ）祈りで力を貸してもらったお礼参りをしていないことを思いだしたからです。昨年ウハルズの神さまにご挨拶したときは、想像を絶するくらいの数の御霊たちが鳥居からの参道の両側に隙間なく並んでいて、ウハルズの神の前に行くまで顔をあげられないくらいの緊張感でした。

一番上の鳥居をくぐると、そこに、大きな椅子に足を組んでふんぞり返っている男の神さまがいらっしゃいました。「よく来た。ご苦労である。宜しく頼む」と言われたことを思い出します。でも今回は私達が行くことを事前に連絡を入れていますので、入る許可をいただいています。（※これは神さまの情報網の話です）

鳥居の前にくると、真っ青な晴天の空に雲が立ち込め、一気にどしゃぶりになりました。龍が喜んでいるのはわかりますが、あまりに強い雨なので４人は車の中で待機しました。この雨は、龍たちの采配だとわかりました。

ウハルズウタキ（大主神社）は、唯一、裸足でしか入れないウタキですので、伊良部島を出るときからの強い日差しと温度の高さに、「あのウハルズウタキの石の道は、きっととても熱くなっているだろうなあ」と不安がよぎっていたからです。不思議なことに、雨が過ぎるのを待つ間、４人とも眠ってしまったのです。時間は３０分くらいでしょうか、眠りは、神とつながる方法でもあります。魂が肉体を離れて、直接、神と話ができる時間を創ってくれたようです。

小雨になったので、祈りに入ります。雨のおかげで、少し気温も涼しく石の道を警護する数百の御霊も林の中にさがってくれています。最も上の鳥居をくぐると、そこは、神聖な空気とたくさんの神々が守っているのがわかるくらい霊気が強い場所です。今までのお礼と感謝を述べると、初めてやさしい女性の声でこう答えてくれました。

「いつもあなたのことを見守っています。そして、龍球王国の皆さんにも宜しくお伝え下さい。ありがとうございます」

初めてやさしい声に驚いたのに加えて、あとで猪子さんが教えてくれましたが、何やら私の頭に濃い緑色の冠を神さまが載せていたというのです。何の冠かを尋ねると、神により近づいた証だということです。

私は子供の頃から一般社会の人間性は普通以下かもしれないと感じていますが、霊性は、神や宇宙が認めて与えてくれるものと感じていますので素直に感謝しました。（※人間性は生きている限り無限の進化を求められている気がしますので、今は３０点くらいでしょうね）

ウハルズウタキを出て、平港に戻り、宮古島のエネルギーバランスの意味を解き明かすための地図を仲間たちと見つめながら話をしているときのことです。

「なぜ、ウハルズの神だけが、宇宙神として、池間島に降りて来たのかなあ？」

この質問を仲間にしたとき、ウハルズの神がある人に降りてメッセージをくれました。

「では遠見台に来てください」

早速、５人の仲間は、もう一度、池間島に車を走らせました。

先ほどの祈りを終えて、池間島を出るとき、宮古島全体はとても晴天でした。そして、今、平良港から車を走らせていると、真っ青な空が続いています。しかし池間島に近づくと、また、雨雲が立ち上がってきました。

遠見台の道を急ぎ足で昇り、一番上から周りの島々全てを見渡せる場所に立ったとたん、また、どしゃぶりです。龍は天からの水を通して神のつながりを創ってくれているようです。そこで先ほどの疑問を祈りながら尋ねました。するとその答えを女性の声で教えてくれました・・

「私がこの地球に突然、降りたとき、地球の核を守る神（伊是名島の神）が近くにいることを後から知りました。でも自分から動くことはできないのです。私は人間を守るために降りた神です

。人間に何も望むことはありません。人間が自らの役目を思い出すことを願うのみです。」

この言葉を聞いたとき、本当に感謝と畏れを感じました。人間が神を奉る場所として都合のいいように動かしますが、もともと神の降りた場所を人間が動かすことなどできるわけがありません。

※ウタキや神社仏閣は、平地で人間が祈りやすいように創った場所です。宇宙から降りた大きな神や自然神は、自然界のあらゆるところに降りていますが、ほとんどが、高い山の頂上など人間が祈りやすい場所ではありません。だから昔から人間が本気で祈りを捧げる場合、その山河の難行苦行の道を乗り越えて神と対峙するのです。

後で神さまに聞いてわかったことですが、この宮古島の神は、一番最初に、大神島に大きな仙人の神さまが降りて、そのあと、ウハルズの神として男と女の神さまが同時に降りてきたことがわかりました。

私達人間を守るために降りてきてくれたウハルズの神は、最後に、こう私に伝えてきました。

「豊年祭は、神の承認式です。だから、歌と踊りがあればいいです」

伊良部島の神さまに頼まれた三年目の豊年祭（ユークイ）の今年は、池間島の豊年祭（みゃーくづつ）にも参加しようと思っています。

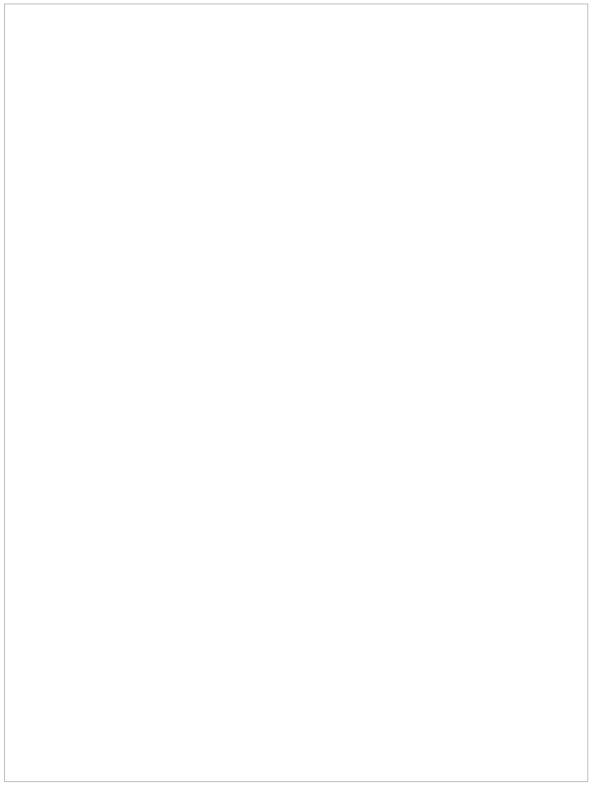
私達の気付きが皆さまの気付きになりますことを、神々も望んでおられますので、どうぞ、自らの役目を思い出してくださいませ。ウハルズの神に心から感謝いたします
2007.06.30 Sat

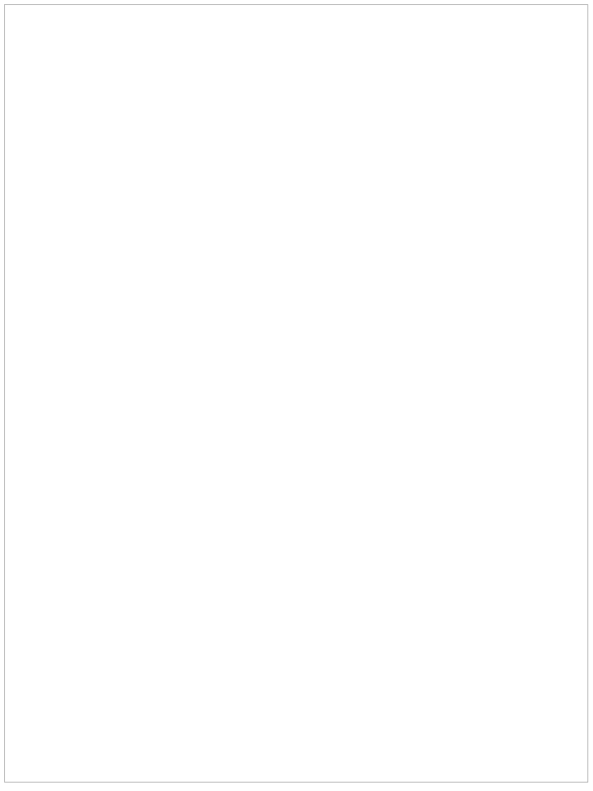
水納島（みんなじま）神事　宮古諸島

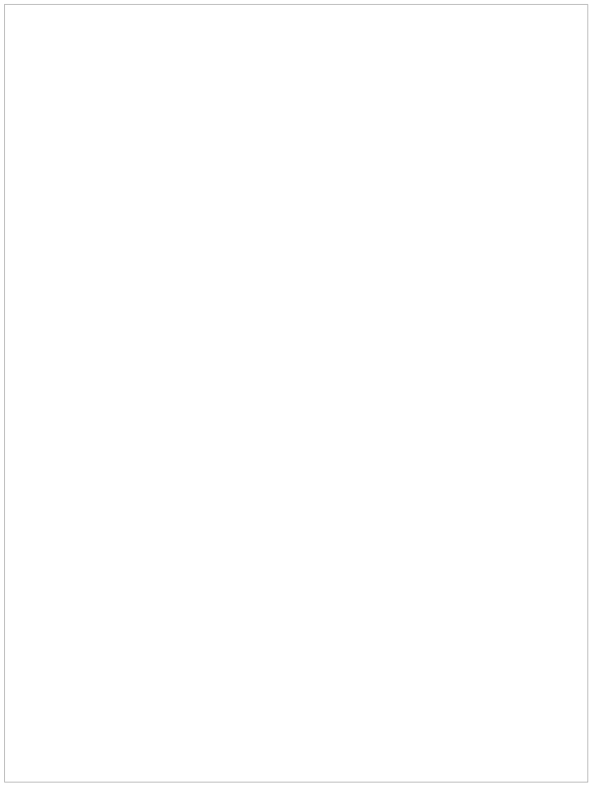
6/19-6/27までの沖縄八島祈りを終え、まずは、皆さまからのご支援金・心合わせ・祈り合わせをいただきましたことに心から感謝申し上げます。今回の祈りの当初の目的は、龍球王国と新しい神々を立ち上げるキッカケとなった伊是名島の大きな神さまのお礼参りと、水納島（みんなじま）の神さまのところへ行くことでした。

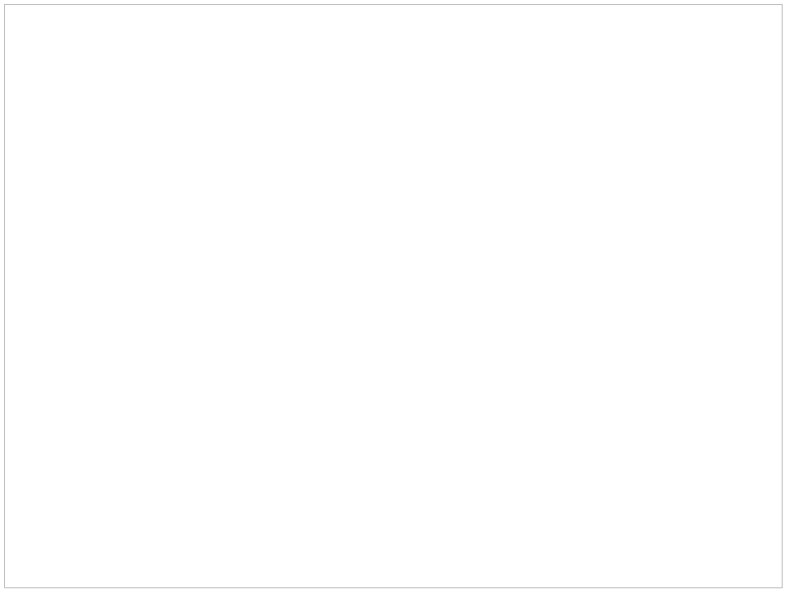
与那国島に足を運ぶ目的は何となく感じとっていましたが、行ってみて、本当に私達を神々が待っていてくれたことを実感する祈りとなりました。今回の祈りは、それぞれの島にお住まいの方たちにもご参加をいただいたことで、とてもすばらしい祈りになり、感謝に溢れています。

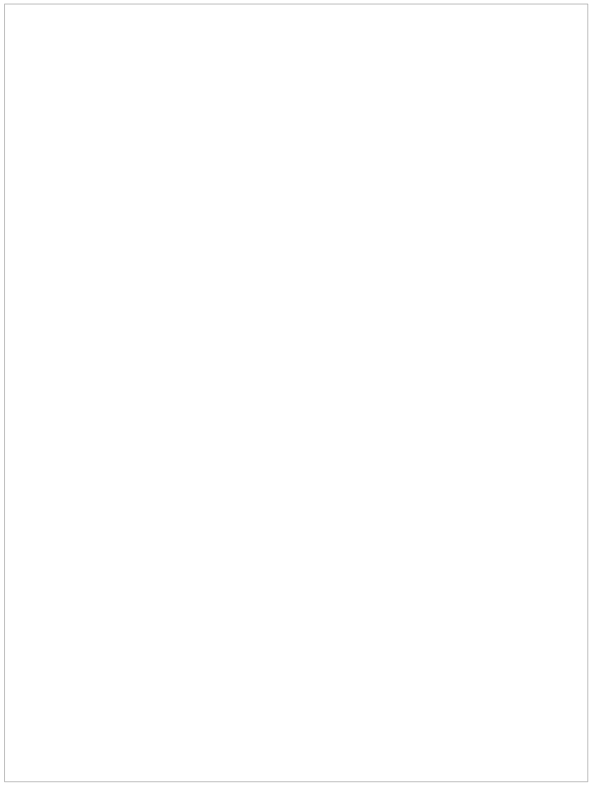
まず、水納島（みんなじま）の神さまが皆さんへお礼を伝えて欲しいと言っていますので、先に、ご報告します。6/21（木）、宮古島から飛行機で多良間島へ渡り、多良間神社へご挨拶をしてから水納島（みんなじま）へ船をチャーターしていきました。チャター船の理由は、現在、水納島（みんなじま）に住んでいる家族は、たった１家族だけですので定期便が一切無いのです。今日の祈りには、伊良部島から２名、北海道から２名の男女４名で祈りに入りました。

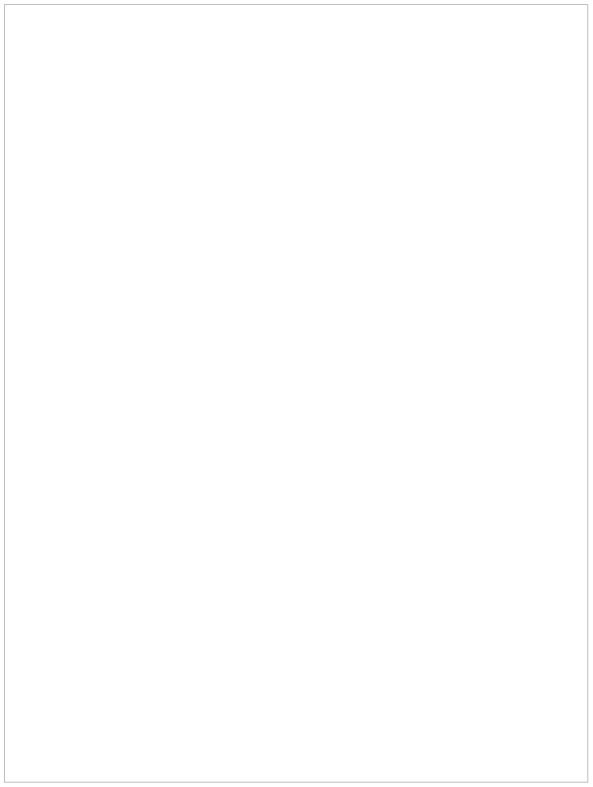












水納島（みんなじま）の港が見えてくると、伊良部島の女性が、「吉岡さん、神さまたちがみんな出迎えにきているよ！すごい！初めてみた！」と神さまたちがとても喜んでくれていることを伝えてくれます。

港には、昔から航海安全を願う龍宮神（りゅうぐうしん）が奉られていますので、まずはそこへ、北海道を守るすばらしい仲間たちと足を運んで見つけた十勝川と音更川の源流から運んできた２種類の水と、そこで見つけた温泉の源泉水、そして、然別湖の弁天島の神さまから送っていただいた水、伊良部島から運んできた龍水など、日本の大切な水のエネルギーをたっぷりお供えしました。

次はこの島の人たちが祭っている水納ウタキです。沖縄のウタキは基本的にご先祖やその島を救ってくれた大切な方を神さま（人格神）として奉っています。神さまに許可をいただいてから鳥居をくぐると、奥には祈りをするための大きな建物があります。地元の方は普通、そのなかで祈るのですが、ウタキを守る司（つかさ）や神人たちは、その後ろにある祠（ほこら）にいらっしゃる神さまを守っています。地元の人でもめったに見ることができないこの場所を水の神さまの許可をいただいて、今回初めて公開いたしております。

以前にもお話していますが、皆さんは、絶対勝手にウタキに入ることも、この祠（ほこら）を見ることも一切許されません。目に見なくても、ウタキの中にはたくさんの神さまや霊たちがいます。あなたの好奇心で足を踏み入れた場合、あなたのご先祖を含めて家族親戚にも霊界の怖さを知ることになることを忘れないでください。今回は、特別に公開しているのです。この裏の

祠（ほこら）に回った理由は、水の神さまが来て欲しいったので、足を運んだだけです。私自身も絶対に興味本位で行動することはありません。

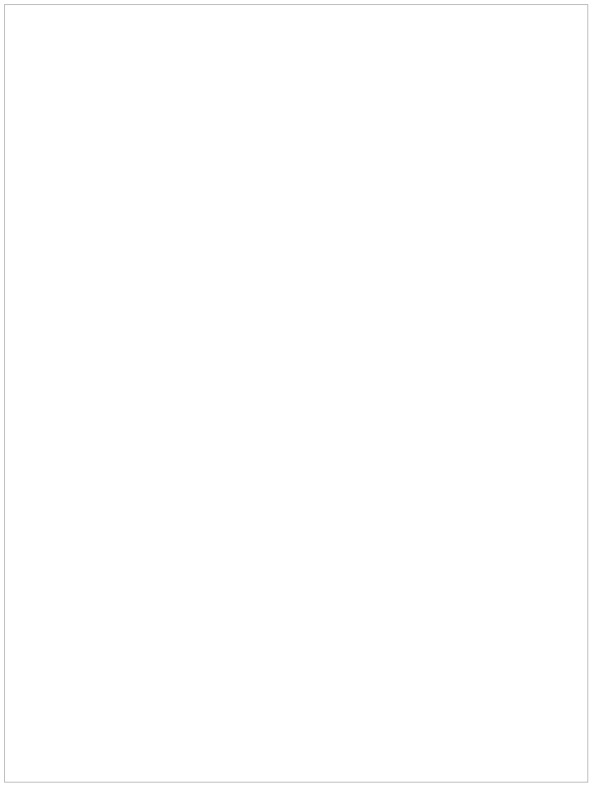
港の龍宮神に奉ったように、数種類の水をここにも納めて祈りを捧げると、本当に神さまが喜んでくれているのがわかります。ウタキを出ると、すぐ真向かいの細い道の先へ呼ばれているのを感じました。

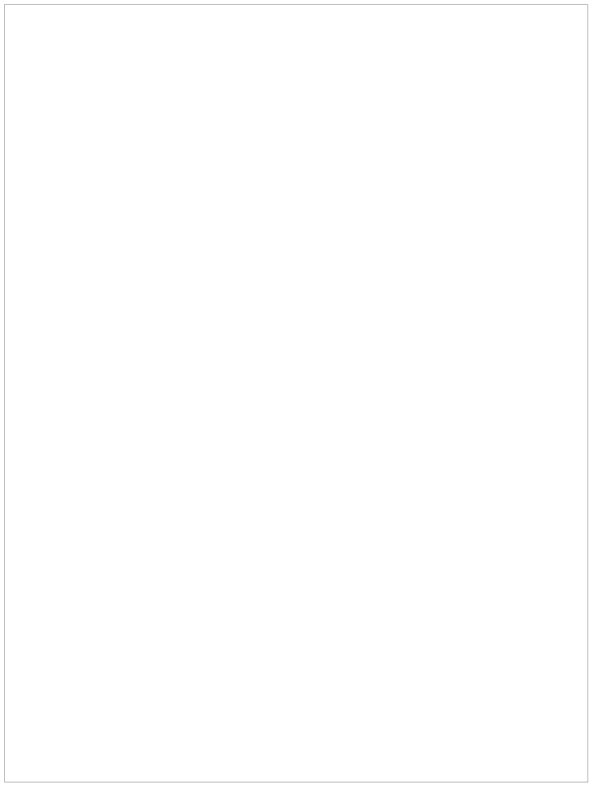
足をそちらへ向けて歩いてみると、２ｍほどの道幅いっぱいに蝶が私の体の回りに集ってきます。その数がどんどん増えて１００羽くらいの蝶が私を取り囲みながら舞い踊る姿は、神々が待っていてくれたことを実感しました。

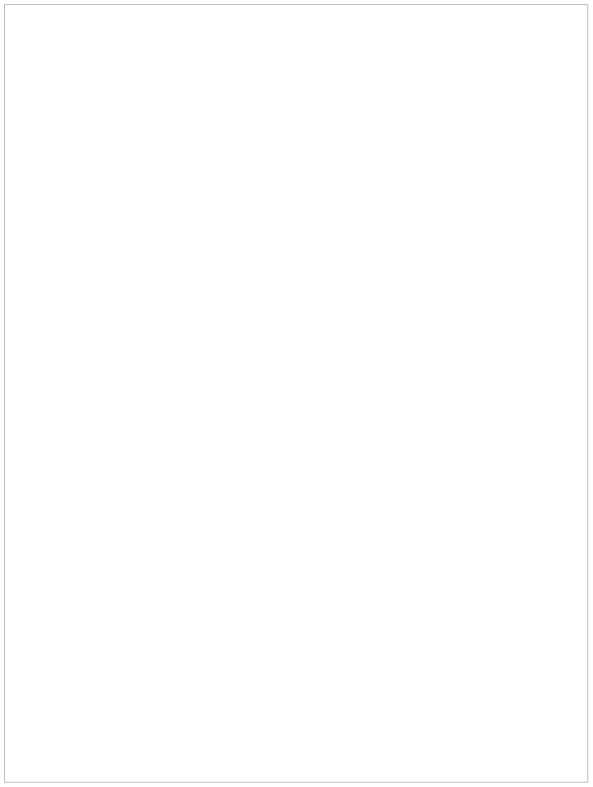
※沖縄では祈りの時に蝶が表れると、その場所を守っていたノロ神（神人の最上クラス）が喜んできていることを意味していますと神人に教わりました。

一羽の蝶が私の道先案内をしてくれます。その蝶の導きのままに歩いていくと左手に、水が枯れてしまった井戸がありました。一羽の蝶は、その枯れた井戸の木の先端に止まり、「ここで祈ってください」と教えてくれます。

塩とお酒で場を清めてから、愛いっぱいの水をたっぷりまいてから、祈りを捧げました。すると、その場所のエネルギーがふわ～とやわらかくやさしくなります。目には見えませんが、そこに水のエネルギーが溢れたようです。写真を撮ってみると、その青紫色に発光したエネルギーが、水のエネルギーだとわかります。私が祈り終わっても、その一羽の蝶は、その場所を離れません。感謝の言葉が心に聞こえてきます。

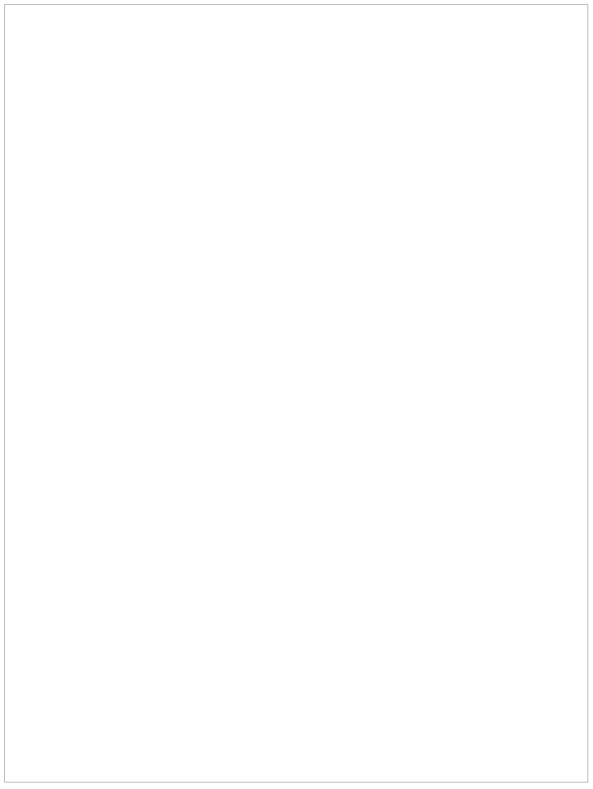


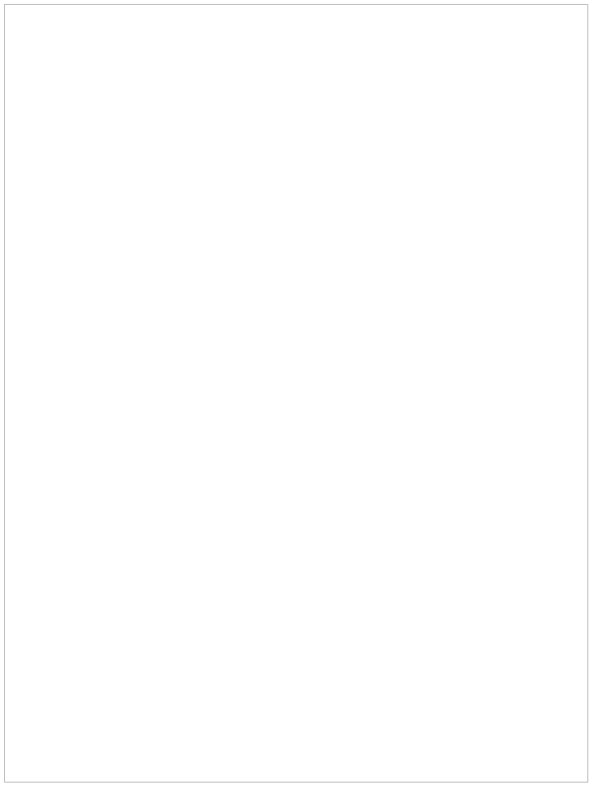




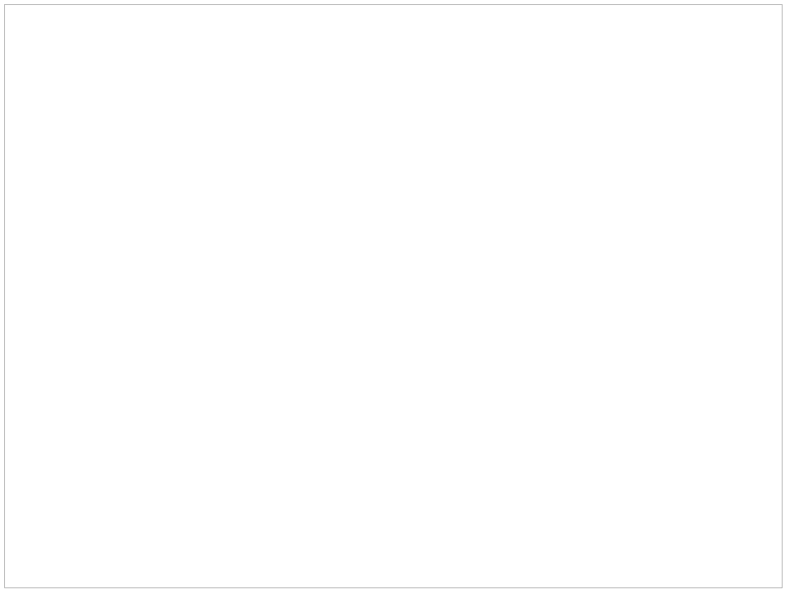
次は、この島にある井戸の水へ祈りを捧げに行きました。今でも使える井戸と、枯れかかっている井戸いくつかあります。二つ目の井戸で祈ったとき、その井戸の奥底で水を守っていた小さな白い龍が、祈りで開放されて、目の前で舞い上がり空へ舞っていきました。喜んで尻尾を振って、空へ飛んでいきました。

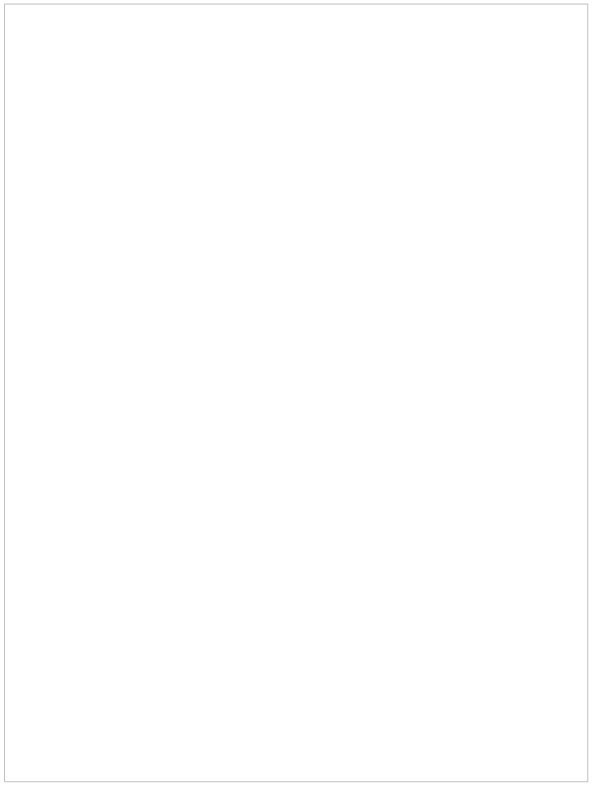
井戸の先の道を歩いていると大きな岩が何かを守っていました。岩は、大きな母の役目としてこの島を守っている神様だったのです。その岩の神さまと話してみると、見えないように後ろ側で子供の岩を今でも守っていることを教えてくれました。





人間がいなくなっても、誰も祈ってくれなくても、変わらず、大切なものを守り続けてくれるのが自然神の神さまです。私達はそのことに気付き、感謝し、そのおかげで、人間の命も続いていることを忘れてはいけません。私達人間は、自然神たちに守られているからこそ、食べ物も大地からいただくことができますし、湧き出る水を使って生活することができているのです。感謝、それ以外は、神に必要なものはありません。





祈りの最後は、この島を守る大きな龍の居る場所です。この場所は、沖縄本島から先月祈りにきてくれた神人２名の方と伊良部島の女性が、直接、神さまに導かれてきた場所です。

この島の端にある大きな龍の岩は、潮が引かないと海側にある祈る場所へ行くことができません。昼食を取りながら少しだけ時間を待ちます。この島には山もなく、木陰もわずかしかないくらい平坦な島ですので、３０℃を超える強い日差しさけて少しだけ休憩をとりました。

帰りの船の時間も迫っていましたので潮は完全に引いていませんが、海の中を歩いて渡ることにしました。白い砂浜が切れると、その先は、一面、サンゴ礁がでいっぱいです。海に突き出た岩の周りを回ってみると、龍の入口は開いていますが、出口が閉まっていて、大きな青龍が出られないと悲しんでいるのがわかりました。閉ざされた出口の扉を開けて、すべてのエネルギーを開

放すると、大きな龍が飛び立ちました。その龍に、私はこう伝えました。

「伊良部島に龍宮があるからそこでゆっくり休んで、それからはあなたの行きたいところへ自由に飛びまわりなさい。この島の守ることをしながら、もっと自由に大きな力で世界中を飛び回りなさい」

沖縄や日本の各地、そして、世界中に、龍を奉っている場所はたくさんあります。しかし、龍や神さまを人間が奉り、お願いごとをすればするほど、その場所から神々は離れられなくなってしまいます。

お願いはたくさんするのに、御礼の感謝を忘れた人間たちは、いつもそうやって神に依存をし、神を土地に縛り付けて自然神の神々を悲しませています。

私達人間がこの地球上にあらわれるずっと以前から、自然神や宇宙神は、地球に存在していたのです。その場所へ、我が物顔に自分の土地だといって土地を奪いあったり、土地の資源（水・石油・鉱物・ガス）を奪う人間のおろかな行動は、自然界のバランスを壊す最大のガン細胞かもしれません。

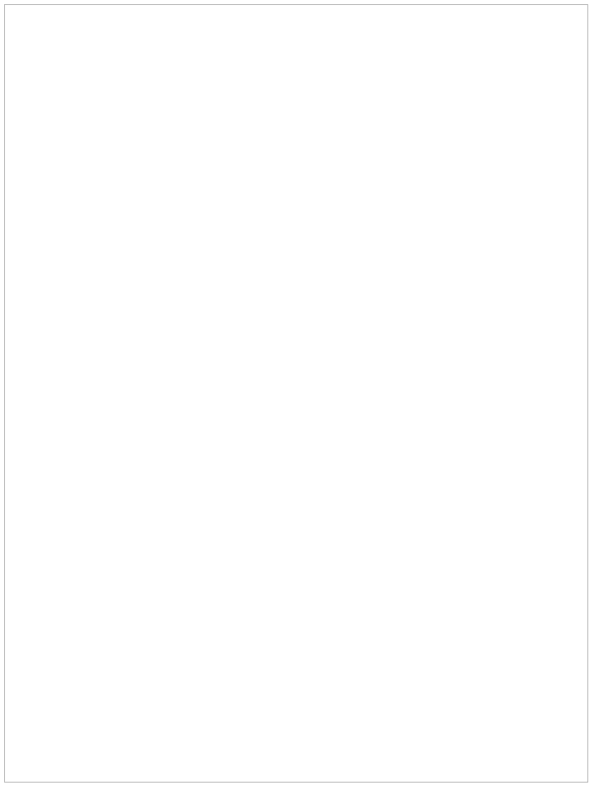
世界中の先住民族たちは、この自然神のことを決して忘れていません。数千年たっても、語り継がなければいけないもっとも重要なことが、「私達人間は、常に自然界に生かされているし、いつも守られている」ということです。

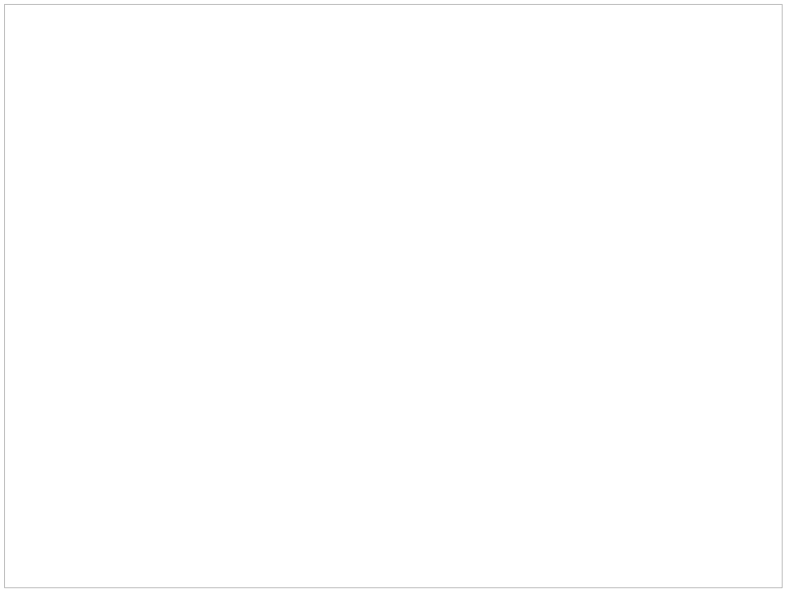
水の神々、土地の神々、そして、龍の神々の祈りを終えて、海辺を歩いていると、大きなサンゴがありました。化石化しながらも、また、海の循環の一部として、生命を生み出してくれるサンゴたちです。空には、龍が舞い上がり、私達の祈りを心から喜んでくれているのを姿で見せてくれました。

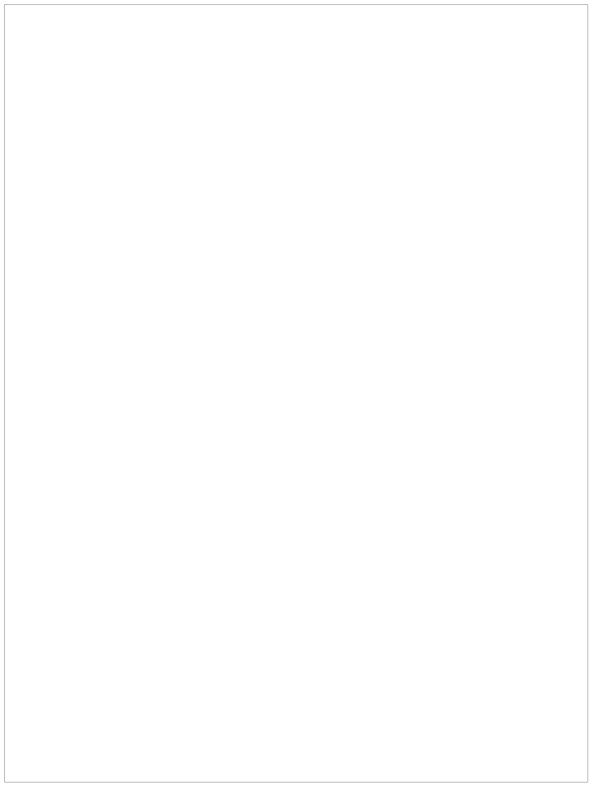
水の大切さに気付いてくれたこと、水の源流や湧き出る井戸があったことを思い出してくれたこと、そして、ここ水納島（みんなじま）は、水の神様達が集う場所だったことを気付いてくれたことに、神々はとても喜んでくれました。

伊良部島の女性を通して、この島の神々がメッセージをくれました。

「今日は、ささやかな宴（うたげ）をさせてもらいます。本当にありがとうございます。」







2007.06.29 Fri

龍球王国メッセージ

楽しかったら、続けなさい

苦しかったら、やめなさい

どんな風に生きても人生

どんな風に思われても人生

誰もあなたの責任は負えません

あなたの生きたいように生きなさい

それが宇宙のお役目

だから誰に対しても

否定や批判をしないようお願いします

コノハナサクヤ姫

2007.06.15 Fri

男たち、立ち上がる！！！

6/9、苫小牧在住の男性たちが立ち上がり、新しく地域を守るために男たちが協力しあいながら地域を守る「維舞起（いぶき）の会」が結成されました。

５０代という人生の素晴しい先輩達は、今までの人生の経験で得た、すばらしい知識や知恵を地域のために生かしあう決意を互いに確認しあうすばらしい時間となりました。

これからは、苫小牧を中心とした周辺の地域では、年代を超えてすばらしい男性たちが、女性達の「響き∞ひびき」の会の皆様と共に、次の世代へと受け継ぐべき大切な精神や守るべきものを子供たちへと受け継いでくれることでしょう。

以前より、「地球創生」の具体的な活動をどう具体化するかを検討していましたが、「村づくり」や「理想国家」作りの前に、まずは、自分達の足元である地域の人たちが直接、出逢い、心をつなぎ合わせて助けあうことの重要性を感じていました。

このことは、ほんの４０年～５０年前までは、日本に残っていた継承されるべき文化だったのです。

それが私達大人たちが、映画やテレビに影響されて望んだ西洋文化の影響で、便利な物と一緒に、「個人主義」や「核家族」という文化を日本に輸入しました。

この個人を優先する生き方を数十年間過ごした結果、政治が悪い・社会が悪い・国が悪い・総理大臣が・・・など、いつも自分達の結果を人のせいにしてしまい、自分たちで世の中を変える行動を起す大人たちが減ってしまいました。

家を守る”家長（男）”の役目は、本来、こうであったのです。

その男性達が守る大切なもの（神・信念・精神）を支えるのが、女性という”絶対神”であり、大地そのものであり、海（産み）そのものの女性たちだったのです。もう一度言いますが、男性を産みだしたのは、女性です。

女性達が産みだした男性を、女性が批判したり、傷つけることは、結果、どんな男性を作り出すのでしょう？

肉体的に考えても、男性は、もともと”女性の一部”なのです。

完全であった女性が、一部、分離して異常遺伝子として生まれたのが男性なのです。ではなぜ、神は、男という分離の性を創られのでしょうか？

そしてなぜ、男性は、簡単に自殺したり、生きることをやめるのでしょうか？その精神性の弱さの原因は、何が原因なのでしょう？

子供を持つ女性達がそのことを考え、守るべき大切なことを次の世代の女性に伝えていかないと、いずれ、男性は、その役目をしないで消滅の道を歩むことになるでしょう。

このことを理解しないままでは、私達の未来を子供たちに託し、自らの手で望む方向へ変えることはできません。私達のまわりにある現実は、良いことも、悪いことも含めて、すべて、私達大人の責任だからです。

「今」を変えることができるのも、私達、一人一人の今の行動なのです。

もうひとつ最近の社会現象ともいうべき大きな問題として、バーチャルな世界があたかも、事実のように勘違いしてしまい、そのバーチャルな情報を鵜呑みにして行動している問題点を指摘しておきましょう。

インターネットのような進化した情報化社会の最大の欠点は、実際に、自分が知らない人のことや、逢ったこともない人のことを文字にして中傷したり、騒ぎ立てている内容を信じてしまい、活字による情報に、あなたは洗脳されて動かされていることに気付かなければいけません。

このネット社会の最大の無責任さは、自分の本名を出さないで、言いたい放題、人の悪口や批判を書いて、その書き残している内容に傷ついている人がいることにも、責任を取らない大人たちがたくさんいるということです。

大人のしていることを真似する子供達に、このことを親はどう説明するのでしょう？最近の調査で、小学生の３０％近くが自分のホームページやブログを持って、大人のような言葉で、色々なサイトに入って、人に言えないことを、はけ口として言いたい放題しているというデータも出ています。

先日も無責任なインターネットの情報によって、子供が自殺に追い込まれたり、家族を含めて路頭に迷わせるような行動をしている大人たちが取り上げられました。

インターネットの世界では、個人を特定できない無責任な行動ができるからこそ、今後も、永遠に続くことが予想されます。社会的にも法的にもその処置が現在厳しくなり、知らなかったでは

すまない責任を取らされる人がでることになるでしょう。

私達はこういうインターネットやマスコミの世界から、救われることもある反面、自分の感情や意識が、操作されている危険性があることに気付かなければいけません。

何が真実で、何が、ウソなのかをあなた自身が責任を持って判断して、文字にする責任を負わないと、エネルギーの世界でも、自分の出した無責任な言葉や文字で、傷つく人のマイナスエネルギーが、必ず、自分の家族の誰かに戻ってくるという”宇宙調和の絶対バランス”にあなたは囲まれてしまいます。

昔の人たちは、このことを「天にツバを吐く」という言葉で教えてくれました。陰口（かげぐち）を強く禁じていましたし、誰も見ていなくても、神様が見ているよ！と教えてくれたはずです。

昔々、人はみな直接、逢って、すべてのもめ事を話し合いで解決してきました。

そのときの言葉ひとつひとつに対するお互いの心や感情を感じながら、互いに理解しあうことに努力しあうことで、成長したからです。ましてや、その場に居ない人の話や、自分が逢ったことがない人の話をするときには、最大の注意をはらいました。

本当に、知性のある大人たちは、誰かの話をするときに、無責任な”うわさ話”に振り回されるようなおろかな人たちではないからです。

昔からこの”うわさ話”が好きな女性たちの口コミネットワークを利用して、経済でも、政治でも、芸能文化でも、戦争でさえも、すべての世界において、女性をターゲットにした戦略を考えるプロの人たちがいます。

この女性たちの”口コミ”や”うわさ話”を操作することで、自分の思いどおりにしようとする”情報操作”が、常に、現代でも事実としてあることを認識しておかなくてはいけません。

過去から、私たち以外にもすばらしい方たちが、地球や未来の子供達を守るために祈りや神事をしていますが、新しい方向へ進むと都合の悪い個人主義の人たちは、個人的な嫉妬・ねたみを含めて、インターネットの世界を使って、さまざまな情報操作で攻撃をかけたり、混乱させる動きが現実にあります。

だからこそ、私はもう一度、皆さんに伝えます。

私もこの地球を守るということに全力をかけていますが、私たちの最終目的は、個人が何かを得たいわけではなく、私達のような人が居なくなってもいいくらいに、人を一切、批判しないすばらしい人たちがこの地球を本気で守ってくれることを願って活動しています。

ですから、現在、人を批判したり、誰かを攻撃している人たちはも、どうぞ、その批判するエネルギーを愛に変えて、自分達で新しい文化や知恵を守るために仲間を募り、共に、地球を守る愛の行動をしながら、宇宙の神々にサポートされるよう行動で示してください。

もう人間が人間を批判したり、誰かや国を攻撃している時間がありません。その行為自体が、地球や宇宙全体にとって、何も新しいものを生み出さないからです。

あなたの全ての行動を
あなたの子供は見ています。

あなたの全ての心の葛藤を、
子供達はそのまま感じています。

あなたが今までどれだけ苦しんできたかよりも、あなたが存在している責任は、あなたの家族全員で取らなけらばいけない宇宙のルールがあることを思い出してください。

そして、誰も何も批判しないという愛の行動でしか、未来は、変わりません。

その未来が、あなたの創造するような美しいものになるか、創造もしないくらいに辛く苦しいものになるかは、私達一人一人の行動の責任なのです。

あとわずかな時間で、地球の意識と現実が調和しなければ、確実に、地球は崩壊しますので、その妨害をする人たちのためにも、今後は、神事の予定や詳細を事前公開することを一切、中止したいと思います。今後は、事実と結果だけを皆様に伝えることにします。

自分の土地は、自分達の知恵を出してあって守ってください。

もう十分、愛の学びの時間は、いただいたはずです。

あなたが、誰かの行動を問うように、神々は、人間のこれからの行動のすべてを問います。そのことをどうぞ、お忘れなく！

私はこの地球を、大地を、宇宙を何があっても守ります。

それが人間として生まれた役目だと信じているからです。
2007.06.11 Mon

水納島（みんなじま）の神メッセージ

6/4、沖縄本島の神人（かみんちゅう）数名と祈りに同行してくれた方から、水納島（みんなじま）の神さまからのメッセージが届きました。

「龍球王国の吉岡学さんを御連れしてください」

このメッセージが何を意味しているかは、もう、わかっています。それは、この島の名前のとうり、ここは水の神さま（龍）を奉っている所なので、龍が私に助けを求めているのです。それもここにいらっしゃる龍は、八重山諸島を守る大きな龍の神さまで青龍だということです。

沖縄本島の神人たちからも祈りを終えて、すぐメッセージが届きました。内容は、ここの龍たちが水が無くて泣いているし、やせ細っているということです。

その理由は、昔たくさんの方が水納島に住んでいたのに、ほとんどの方が移住してしまい、現在では、この島に住んでいる方が、一軒の家族しかないないことが原因です。

神をその土地へ奉るとき、その神は、人間に奉られると、その場所を守る役目として、その土地に定着します。でも人間は苦しいときは神頼みをするくせに、都合が悪くなるとその場所を離れてしまい、過去、先祖たちが守ってきた神様を見捨ててしまいます。

北海道でも、開拓時代に、山の頂上へ拝む所を作って、自然の神に祈っていましたが、人間が登るのが大変だからという理由で、山の下へ降ろしてしまった神社がいくつもあります。

私が沖縄でも、日本の各地でも、それぞれの宗教が拝所（神どころ）を増やすことを嫌うのは、こういう失礼なことをいつの時代も繰り返しているからです。

神を奉るということは、自然神も、先祖神も含めて、その土地から離れることができません。理由は、肉体が無いために、人間の”思い出”のように、その土地にエネルギーが残ってしまうからです。

都会の住宅地や商業地でも、以前、墓地だった土地や拝み所だった場所を形式だけの祈りで建物を立てた場合、その御霊たちや神たちが動けずに、右往左往している場所が今でもよくみかけます。

私達のような生まれつきの霊媒体質で、神行をしてきている人間は、自分の肉体を使ってその霊や神を自分の身体に乗せて、治めるべき土地へ運ぶことができます。

また、その土地を清めるとか、払うとか、よく耳にしますが、その土地を守っている大きな神に動いていただくには、その土地に住んでいた人間に成り代わって、たくさんのお詫びをして、神の意思を理解し、納得していただければ動いていただくことができます。

さらに、生まれつき人間一人一人に与えられた感覚や意識の周波数に違いがあるように、場を払うときにも、霊能者が必要な場所と、神に近い人が清めるだけで済む場所があります。

沖縄では、こういう場所の祓いや、神ごとの祈りをする場合、数人の力を合わせて、その土地の神と交信しながら祈りを行います。

龍の神からの依頼とあれば行かなくてはいけませんので、6/19からの沖縄の祈りは急遽、次の日程に変更になりますので、どうぞ、この島々に関わりのある方たちは、心合わせ・祈り合わせをして、過去からの全ての先祖に感謝の祈りを捧げて下さることをお願いいたします。

6/19　伊良部島
6/20　池間島（ウハルズの神）へ正式参拝
6/21　水納島の龍神祈り
6/22　沖縄本島へ移動
6/23　伊是名島のお礼祈り（地球の底を守る大きな神への祈り）
6/24　与那国祈り（日本の最西端と最東端をつなぐ祈り）
6/26　沖縄本島　龍球王国主宰　講演会
2007.06.06 Wed

これからの日本

６月１日からの宇宙エネルギーの変化を感じるなかで起きた義父の突然の死は、これからの地球のためどう動くかを色々気付かせてくれました。現在の私の気付きと予定をご報告しておきます。

まず祈りについては、男の精気である水の祈りと、女性そのものである山の神・大地の祈りを中心として、日本の北と南のエネルギーバランスを強くするために祈りを行います。

６／１９より沖縄に入り、伊良部島（龍宮神）・池間島（ウハルズの神）・宮古島の神祈りを行いながら、宮古島の司（ウタキの守り人）や守り人たちとこれから神々の扱いを正しく守る方法を話しあう予定です。

そのあと、伊是名島に渡り、地球の底（すく）を守っている大きな神に感謝の祈りを捧げ、沖縄本島経由で与那国渡り、日本の最西端と北海道の最東端をつなぐ祈りを行います。

これは、永遠のテーマである男女和合の祈りと過去の因果応報の全てを調和させる神事として行います。

７月からは、北海道の山々の大きな神に新しい地球（龍球王国）のご報告と、２１世紀の第三期（2007-2009）スタートにあたり、新しい天地つなぎの祈りのため、いくつかの山を登る予定でおります。

また現在、北海道の大地を守る神女・神子・巫女たちは、川の源流・湖を中心とした水祈りをそれぞれの場所で行なってくれています。

今、本気でこの日本を守る意思を行動に示さなければ、神々の肉体として生まれた私達人間の存在意味が消えて無くなる時代が、目の前に来ています。

人間が、人間のために、地球を守ることなど、神々は一切、望んでいません。

地球という大きな生命体の重要な一部として存在している人間の存在意味に目覚め、自らが気付いて行動に移さなければ、すべてが消滅するということを本当に自覚して欲しいと思います。

なぜ人間に全ての欲や創造性を与え、希望や歓びを感じさせているかというと、それは、魂本来（神本来）の役目を果たして欲しいからなのです。

そのことを他人ごとに感じている人は、自分が大切にしているものを失うことで気付かされることでしょう。

大切なものが何だったのかは、消滅したときに、みんな気づきます。でもそれでは、遅いのです。何のために私達人間に、”感じる”というすばらしい能力を与えてくれたのでしょう。

それさえ、自分のためではなく、人間のためではなく、全ての自然界の一部として、生かされていることを感じる能力なのです。

今なぜ、大切なものが与えられているのかに気付き、その深い感謝の行動を始めなければ、”存在そのもの”が無くなるということを腹に入れて行動して下さい。

私は、皆様の集合意識の中の一部でしかありません。それは特別なものではなく、あなたの魂に眠っている記憶を呼び覚ます役目として、お伝えしているだけなのです。

私個人の活動としては、現在、組織を作ることを躊躇しています。それは皆さんの依存を産みだすものになってはいけないからです。

一人一人が他人を批判せず、自分一人で行動し、そのすべての責任を取れるならば、私の存在さえ、消滅することでしょう。

私は神に誓っているとおり、自分のできることは何でもいたします。だからどうぞ、皆様も自分のできることから、周りの人に何かをしてあげてください。人間も神も、すべては、与えることから始まります。

あなたが神として働く意思があるのなら、こう生きることを心がけてみてください。

１、相手が望むものをすべて与える（あなたができる範囲で結構です）

２、与えさせていただいた結果の期待や判断を一切しない（感謝のみ）

３、その相手がどう反応しても、すべて認めて批判しない（言葉や文字にしない）

４、そしてまた、ただ自分のできることをし続ける

すべての神は、こうして、この地球や宇宙を守ってくれています。

神の意思の通りに動くことが、神として動くことなのです。

そして人間は、神と性（さが）の両面を持った特別な存在です。

だから神の道へ、神性の道へ、一歩、踏み出てみてください。

それがあなたの魂が喜ぶことだと、きっと行動してみてわかります。

私達の後ろには、たくさんの子供達がうまれてきています。

善悪も含めて全てが人間が望んでしたことをどう子供に言い訳しても、子供達は納得してくれません。

すべてが事実であること、すべてが私達人間の責任であること、そして、それを自分から変えるために、生まれてきたことを、どうぞ、あなたの行動で示してあげて下さい。もう時間が、ありません。
2007.06.05 Tue

義父の御霊と神との契約

つい先日の５月２０日の神事で、”地球の霊界を無くす祈り”を終えてから、初めて自分の家族の御霊送りを経験させていただきました。この５月の祈りのあとから、地球上で亡くなるの全ての御霊は、”宇宙のおおもと”へ戻っていっています。

私の尊敬する義父は、大正８年生まれ　満８８歳　そして、5/31の朝８：０８にこの世を去り、全てが”末広がり”の無限転生の証と共に、神のサポートの中、家族に完璧な準備を施して天に召されました。

この葬儀の準備をしているとき、他人の御霊送りから学んだときのことを想い出しました。神から霊視・透視の力を再度、与えられて”人の為に生きる”と決めた１９９８年、沖縄の神人（かみんちゅう）と同じ三年修行の経験なかで、三名の方の命の灯火（ともしび）が消えるまでの時間をご家族と共に感じながら、自分の役割と責任を学ばせていただいた貴重な体験のときのことです。私が見送ったその三人の方は・・・

・３０代で二人の小学生の女の子を残して自殺された主婦

・８３歳の男性で親子の因縁を解決するまで半年間、延命治療させていただいた時のこと

・１５歳（高１）で急性白血病になり、１０ヶ月の闘病生活後、天に召された男の子

生きている人間は、常に、家族に一日でも永く生きることを望みますが、自らの命の灯火が消える時期は、実は、ご本人が一番よく知っています。それはご本人が死を受け入れるとき、神との契約 があるからです。

１５歳の男の子の場合、苦しい闘病生活の最後に神と契約を交わして、自らが神となって家族を守る役目に付く事を受け入れ、目の前で肉体を離れていく瞬間を残された家族と共に見送りました。

８３歳の老人の命を半年間延命している時に、数十年ぶりに親子が本音で話し合うことができた貴重な時間の最後に言ってくれた言葉は、「幸せすぎて、死ぬのを忘れていた」でした。

このあと老人も神との契約を終え、数時間以内に亡くなることを私自身も知ることになりましたが、何十年ぶりに親子３人の心が通い合い、子供達が一日でも生きてくれることを哀願しているなか、そのことをお伝えすることはできませんでした。翌早朝、病院へ行き、魂が肉体を離れる瞬間まで、家族と一緒に過ごさせていただきました。

また、家族に自殺された方がいる場合、亡くなったそのご本人よりも、残された家族が、周りの人に自分の心の辛さや苦しみをぶつけることの方が、より大きな苦しみを生み出します。だからその家族を支える人は、誰よりも心が強く、どんな批判をされても受け止めるだけの勇気がなければ、一緒に、自分の生気を失って生活を崩してしまいます。

人はみな、頭のなかで”魂の循環”について学び受け入れても、家族や大切な人の命の灯火が消えることを完全に受け入れるには、相当な心の強さと、それを癒してくれる人とのやすらぎの時間が必要です。

”生きていることを感謝する”のと同じように、”死を受け入れて感謝”できる心の強さを日々、身につけていかないと、常に、自分の心の奥底の苦しみのせいで、周りの誰かを自分の苦しみに誘いこむことになります。

今回の葬儀では義父の孫のなかに、霊媒体質の男の子がいたことで、仮通夜のときに、義父からメッセージ受け取ってくれました。花札が大好きだった義父は、「毎日、使っていた花札を棺に入れて欲しい」と伝えてきたのです。おかげで棺の中に親族全員でその花札をまき、天命を生ききった義父を見送ることができました。

私の役目は、「今、父はどこにいるの？」と魂の居場所を聞かれるたびに、義父の様子やメッセージを細かく伝えてあげることと、影ながら、心の支えをしてあげることだけでした。

仏教であれ、神道であれ、どんな宗教でも、亡くなる御霊を送るときには、残された家族をサポートする人が必要です。それはその故人をよく知っている知り合いがいい場合と、他人であっても、誰よりもその人が強く生きることを願い、強く支えることができる人も必要です。

先祖を大切にしている沖縄では、神人（かみんちゅう）の方々のように、自分の辛い霊媒体質を「人の為に使う」ことを神に命じられた人は、その役目をまっとうするために三年間、社会から非難されても、強い信念を持ち続け、乗り越えることができるように多くの困難や苦悩の経験を魂の学びとして神から教わります。

私は、生まれながら与えられたこういうすばらしい役目と能力を持った方たちが、自らに与えられた役目を、喜んでその道へすすめるようにサポートしながら、”魂を守る役目”が歓びとして働ける社会を創ることをライフワークにしています。

自分が人の為に役に立ちたいという欲求からではなく、神に選ばれて人の為に生きる道を進む人たちが、命を差し出す”本気の決断”をすると、それは、神との契約になり、それからのすべての時

・人・場所を問わず、２４時間そのための準備と学びが始まります。

それが人間に与えられている神性を生かすことそのものですし、肉体が魂を持って生きることの最大の喜びであることを人間は皆、知っているからです。

医療は、”延命”はできても、本当の意味で、命を与えたり、魂を輝かせることはできません。でも、私達のような普通の人が、一人で強く生きる決断をすることで、たくさんの魂を救うことができると信じています。

"一切の他人を非難せず、一切の他人の行いを否定しない生き方”

それが、義父の生き方でした。
2007.05.31 Thu

絶対と相対

この三次元社会は、すべてが相対から学ぶ世界ですが、もともとは”ひとつ”と呼ばれる絶対の世界に全てのものがあったことを皆さんの魂も記憶しています。

絶対の世界とは、”すべてが一緒＝同じ”という意味と、”自分だけ”という二つの意味を持っています。人間は、この自分だけの絶対の世界が強くなると、”自我”が生まれます。

”自我”が強くなると、”いこじ”になり、その不のエネルギーを自虐的に自分に向けるか、誰かを対象にして攻撃的になるかのどちらかになります。

この自我の世界は、どれだけ正しい事を言ったとしても、すべてが相対の社会ですから、必ず、他の誰かがあなたの自我に対する反対の意見をもっています。

こういう時の大切な学びは、すべての存在が、互いに自我を持ちながら、相対の相手（自分が受け入れたくない人）から学ぶように、この世は創られているということを受け入れることです。

だから、あなたがいくら正しいことを言っても現実がそうならないのは、あなたが自分からの一面しか見て判断していないことで、相手のことを本当に理解してあげていないから起きる争いなのです。

嫌いな相手のことをすべて認めてあげられるように自分が成長すると、この世の中は一気に変わりますし、それが人間として存在する最高の目的でもあるのです。

ハートランド龍球で主宰する能力開発講座は、その全ての見方や考え方をあらゆる方面から学ぶための集中講座として、たくさんの方からご好評をいただいています。

あなた自身が無意識に自分が正しいと思って発している攻撃的な言葉や感情エネルギーが、この地球上のすべての子供達を崩壊の道へ導いていることを自覚してください。

まだ幼い子供たちには、大人がなぜ争いをしているのか意味は理解できませんが、正しいことを一生懸命に訴えている親の心の中の乱れは、誰よりも強く感じています。

「今、ママは、苦しんでいるみたい・・。なぜだろう？誰か悪い人がいるのかなあ？その人は悪人なの・・？　えー、その人がパパなの？なぜ、ママは、パパを責めるの？愛しているんじゃないの？？？」

「ママが、また、誰かのことを悪口言ってる・・・。ママ、悲しいんだね・・・。でも、どうして、その人を責めるの？その人だって、ママと同じ大人なんでしょ。どうして分かり合えないの？ママが、いつも言ってるのに・・・。ちゃんとお話すれば、わかるからねって・・・。」

あなたの心のなかの葛藤は、どんなにすばらしい言葉を発しても、子供たちにはすぐに伝わってしまいます。お子さんを持っている親はいつも、自分の子供に、そうやって心の教育をしています。

子供を産んでいない人も、実は、たくさんの子供達からいつも心の中を見られています。子供たちは、生まれたときから、霊視・透視といわれる宇宙のつながりの力を備えて生まれていますので、どんな人も見た瞬間に感じ取ることができます。

周りの大人の心が苦しんでいると、子供たちは、どんどん自分の心が苦しくなってきます。自分でコントロールできないその大人の心のなかから伝わってくる感情や苦しみは、ほとんどの場合、自分の心を閉ざすか、大人たちと同じように、自分を守り、人間として生きる損得だけを考え始めます。

その責任は、子供が思春期になったときに”成長のお返し”として、子供たちの感情を受け入れる大きな学びをさせられます。（反抗期）今、この時期を受け入れられなくて逃げ出す親たちが多いのがとても残念なことです。

こういう社会になった原因を、一個人の”親の幼さ”では許されないように、最近の事件の悲惨さは、子供達の魂の集合意識のメッセージと感じます。

もうひとつ、相対の世界の最高の学びは、男女という性の世界から学ぶことです。これは命の誕生から始まり、男女の本来の役目や意味を学び、肉体を与えられたことをどう喜びにするかをお互いに学ばなければいけないと感じます。

自然界に終わりがないように、男女の世界も、命の循環があるとおり、終わりはありません。たとえ、人間の命の循環が終わっても、他の生命の循環は続いています。

だから今、人間が持つ神性（神の役目）を男女という肉体の意味を深く理解し、おのおのの務めを果たすことから創造主の意図を理解して欲しいと思います。

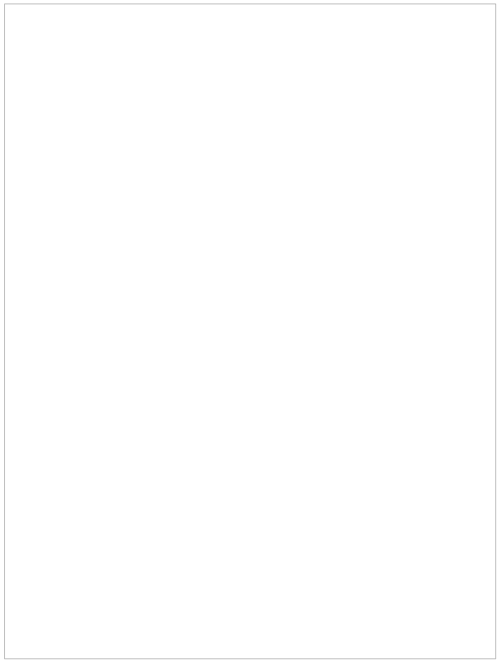
「陰陽合一」という地球に与えられたテーマは、「男女和合」といい換えてもいいほど、すべての物事の問題の見方・考え方が性について含まれています。だから、あなたも「相対（受け入れたくないこと）から学ぶ」ことを始めてください。

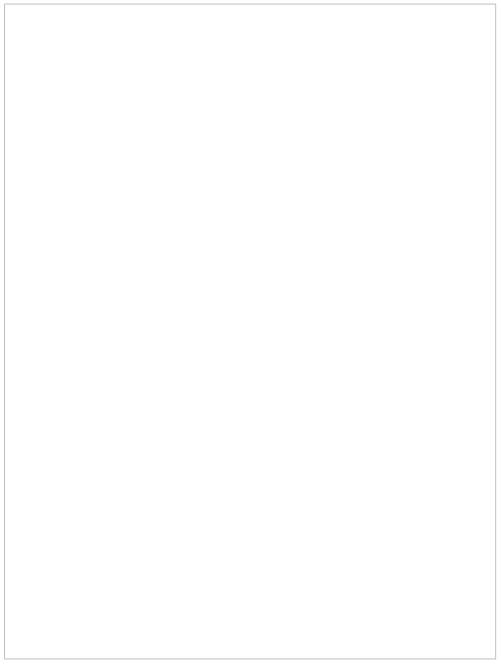
地球を愛することや平和を愛するという本当の行為は、あなたが受け入れたくない人を受け入れることから始まるのです。
2007.05.28 Mon

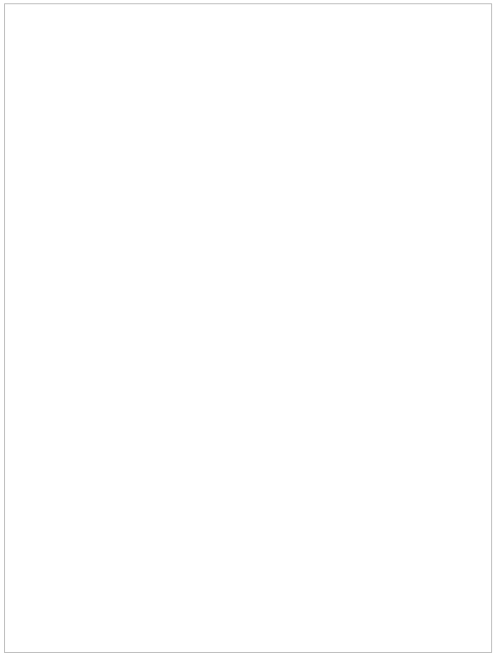
天地循環の摂理

北海道のある山へご挨拶に行ってみると、冬の半年間、じっと抱えていた雪を浄化しながら”雪解け水”が、川幅から溢れるほど湧き出していました。この天から与えられる”雪解け水”は、札幌周辺住民の飲み水になっていますし、農業などで汚れた大地を浄化してくれる大切な役目を担っている水です。

この天の恵みの水も、海や植物・大地から発生する水蒸気が上昇して循環し、また新たに地上へと降り注いでいるものです。そして、私達が普段、目にしている山は、皆さんの足元の大地につながり、大地は、海の底（地球の底）までつながっています。ですから私達人間が立っているこの大地は、山の神さまの足元であり、地球を守る”核”からつながる大切な”命を産み出す場所”なのです。







宇宙の摂理と自然界の摂理は、同じような目的と役目を持って存在しています。

この自然界で進化した存在に、なぜ男女（オスメス）という”二つの性”を与えたのかということを自然の摂理から深く学ぶ必要を感じます。

この”男女存在の摂理”は、人間が後から勝手に創ったルールが通用しないほど、全ての自然界の循環の一部として生きる知恵と、人間に与えられた神の役目（未来を創造する役目）をするために、私達は常に自然界の”循環の摂理”を見せ付けられています。

川や地下水から湧き出る”真水”は、男性の精子と常にエネルギー同調しています。精子とは、”命を生み出す種”ですから、水を汚す行為は、男性の肉体を弱らせ、生殖機能を低下させることにつながります。

また海水は、女性の卵子や子宮のエネルギーと同調しています。子宮は、すべての命を生み出す役目を持っていますが、生み出した命が続かずに死を受け入れるときもあります。

古来から、天から降る雨（男）を受け入れる大地（女）に感謝の祈りを捧げますが、その大地（女）は、海水（女の羊水）を抱えながらすべてのものを受け止めて、新しい命を産みだし続けています。

私達人間が今、学ばなければいけないことは、発展途上国でも先進国でも、病気や怪我などによる自然の摂理に逆らえずに消滅していく命と、人間の意思で命を絶つ（戦争・自殺・殺人・堕胎）行為の二つの命の重さを、同じように扱うことができる心の強さを、子供を産まない全ての人間にも責任を求められていることです。

宇宙や自然界でも、すべての死は、終わりではなく、新たな命を産み出すための知恵と全ての循環の一部として、今あるすべてのものが生かされ続けています。

木々の葉っぱは、人間のように、自分が苦しいからといって人を批判したり、誰かを攻撃したりはしませんし、物事の善悪感情から何かを裁いたり、しいては、それが種族の分離につながるような行為はしません。

男性も女性から生まれますので、女性はもともと、あらゆるものに区別をつけず生死の全てを受け入れて、常に新しい命を産み出す力を持っています。

現代社会の男性の生殖機能低下と本能力の低下、そして、女性の代表的な現代病の乳がん・子宮に関わるすべての病気が、真水や海水を汚すことによって”不”のエネルギーが強くなっていることに気付いてください。

これから私は、北海道と沖縄の大きな自然神への祈りを始めますが、山の神々、川・湖の神々、そして、もっとも重要な大地の神々への祈りを皆さんも自分で行ってください。

祈りは、一人から始まります。

祈りは、集う人たちと心を合わることを学びます。

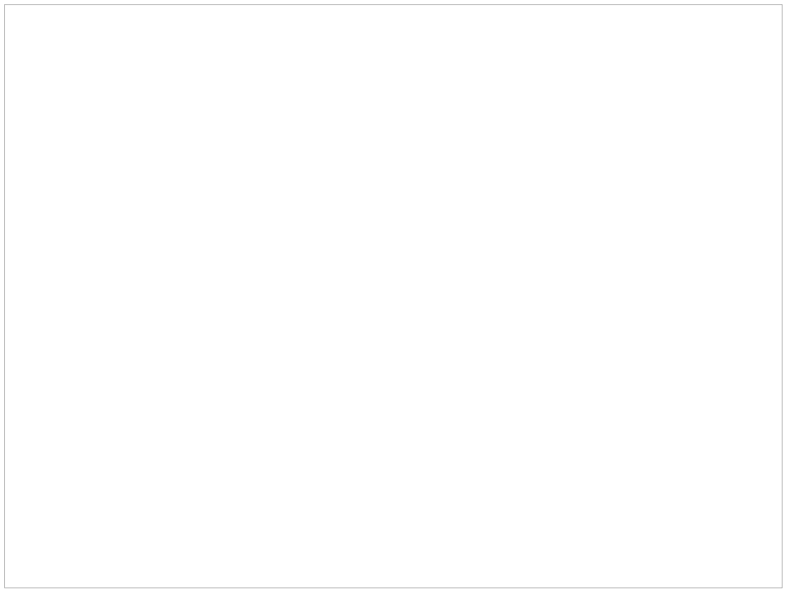
祈りは、あらゆる集合意識とリンクして意識を大きく動かします。

祈りは、生活の一部として行い、子供たちへ自らの行動で表すものです。

それが、「天地循環の摂理」です。
2007.05.26 Sat

龍球王国建国報告　然別湖

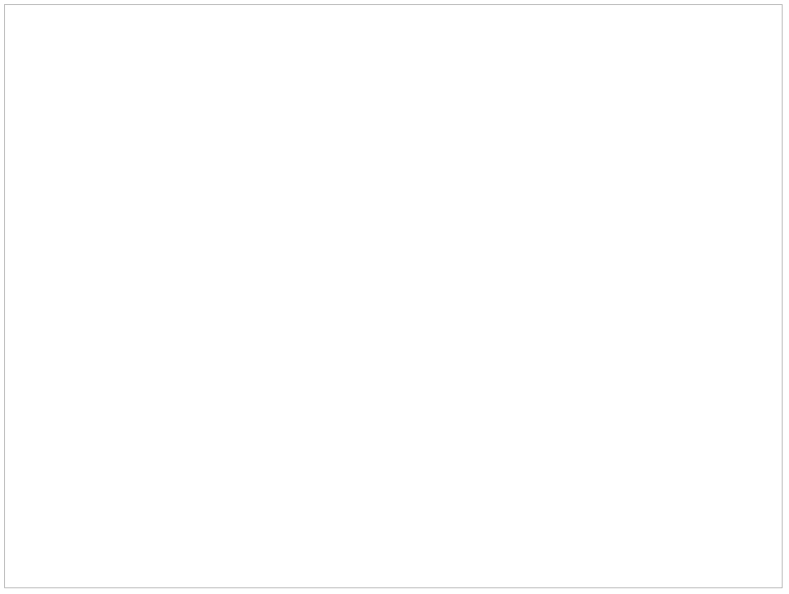
2007年５月２０日　午前４：３０　然別湖畔の日の出

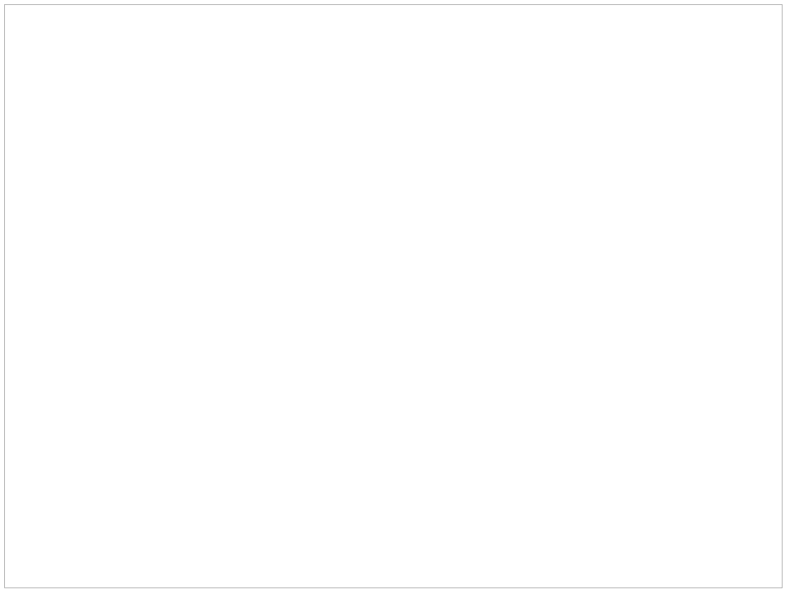


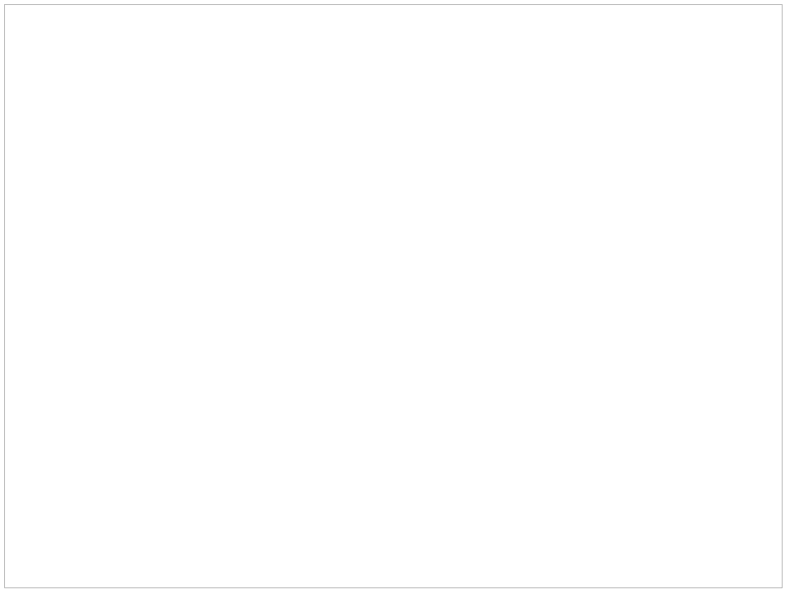
５月１９日、「天の岩戸開き」、及び、「龍球王国の建国」を然別湖畔温泉ホテル風水のご神殿へ無事奉納を終え、5/20の日の出に合わせて、全国から参加した皆様と神事を執り行いました。神事の内容は、以下の通りです。

１、龍球王国（地球）を支える神の役目　奉納
２、日本の完全調和を守る北の柱立て及び 南の光の柱結び
３、霊界及び地上の不浄御霊を全て上げる祈り
４、過去、地上に降りた全ての神々を宇宙のおおもとへ戻す祈り
５、二つに割れた宇宙のおおもとの青い石（意思）を元に戻す祈り

この全ての祈りが、全国の皆様の祈り合わせと共に、無事、すべての神事を達成致しましたことを、神人（かみんちゅう）数名、神主数名、巫女数名の読み取りと合わせてご報告いたします。なお、この神事には、沖縄より”大国みろく大社”宮司　比嘉吉丸さんの神事をされている巫女たちのご参加を頂きましたことを報告いたします。







2007.05.20 Sun

さくらぎ笑楽好（小学校）開校（苫小牧）！

昨日、北海道の苫小牧の地に、地域の大人のための新しく「さくらぎ笑楽好（＝小学校）」が開校しました。地域の皆様のために、自分の家を大幅に改築して、心と体の健康を取り戻すためのすばらしい施設と活動が本格的に始まったのです。

この学校の好調（＝校長）である中泉好調は、教員生活の途中から自分の生き方を見つめなおし、大切なことに気付いてから地域の人たちとすばらしい活動をなさってこられました。

私も３年前に中泉好調とご縁をいただいて、お互いが感じてきたたくさんの社会問題の原因や解決方法を何度も話す機会がありました。

そこで気付いたことは、まず、自分をまるごと認めることから始まることです。
そして、それができたら、今、自分のできることから始めるという結論に至りました。

一人一人の人生経験のなかには、人に非難されるような都合の悪いことから誰かに褒めてもらえるような素晴しい経験まで、たくさんのことを経験してきていますが、そのすべての経験を自分の責任と認めて、そして誰かに、そのことを認めてもらえると、これから同じようなことを経験する若い人たちに語るべきすばらしい財産になると共感しました。

私達大人は、もう社会に対して自分を語る立場にあると思います。

おもしろおかしく都合のいいことばかり書くマスコミとは違う、自分らしいありのままの本音の言葉で語る生き方をしなければ、あなたもそうであったように、子供達の誰もが、大人の言葉をを信じることはできないでしょう。

自分の心の内側にあるものが苦しい人は、必ず、誰かを非難したくなります。それは、自分を認めて欲しいという子供の頃からの願望からでてきています。

自分のすべてを認めることができた人は、一切、人を非難しません。相手の行動や意見も、人間全体の集合意識の不完全な心を自分も感じていることを知っているからです。

自分の心のなかでの対立が、人との対立を生み出します。

あなたのなかにあるものは、すべてが宇宙の一部であり、すべての人が持っているものだからです。だからもう、誰もあなたを責めることはしませんので、人を責めたり、自分を責めることをやめてください。

地球上には、自然界には、もともと、善悪も、神も悪魔もありませんでした。それを望んだのは、すべて、人間です。

この世の中に”絶対”がないように、私にも、あなたにも、”絶対”はありません。

すべてが、”相対”です。

つまり、相手が、自分。自分が、相手だということです。

だから自分を認めて欲しければ、まず、相手の全てを認めましょう。

自分を許して欲しければ、まず、相手の全てを許しましょう。

それは、すべて自分のためであり、地球のためなのです。

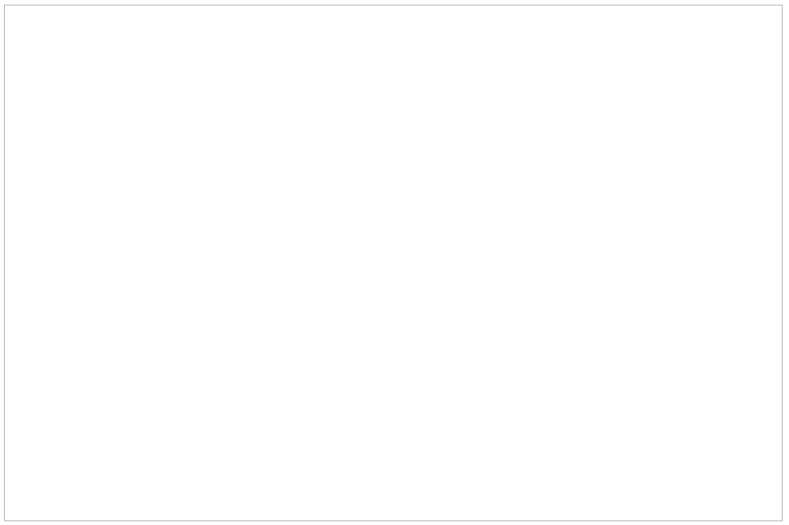
この世の中には、勝者も、敗者もいません。

それさえ、ある”いっとき”の経験でしかありません。

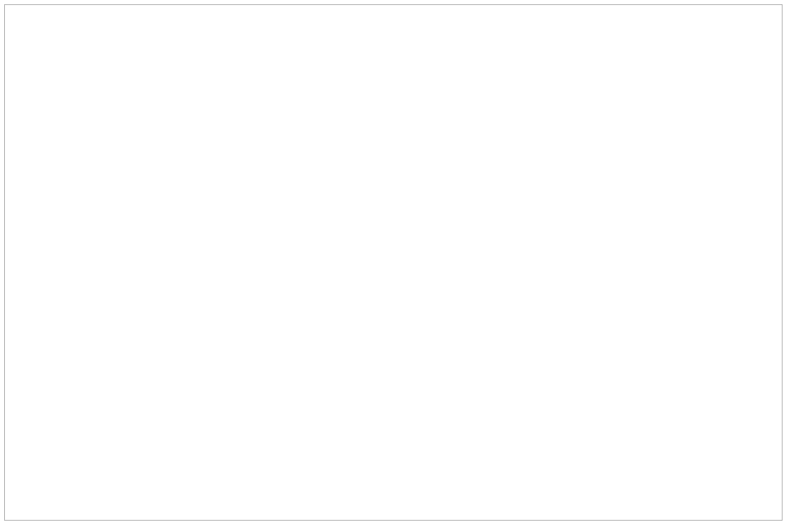
あなたがそのことを心の底から想い出すときを願っています。

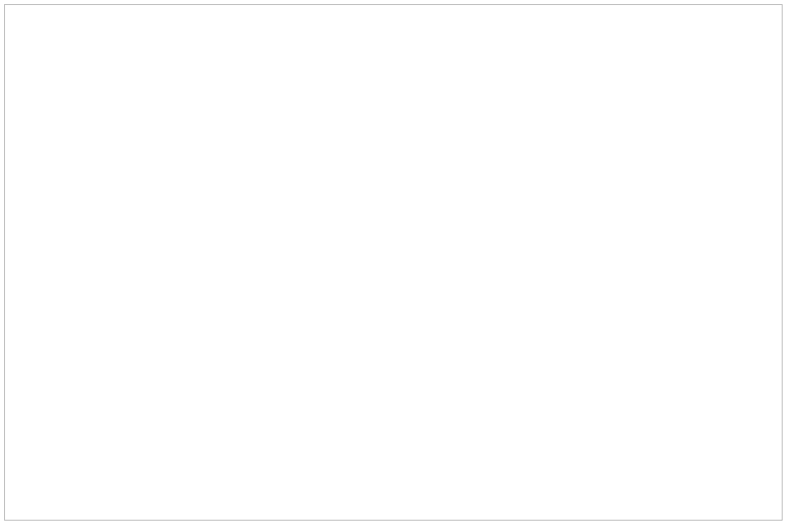
ありがとうございます。
2007.05.14 Mon

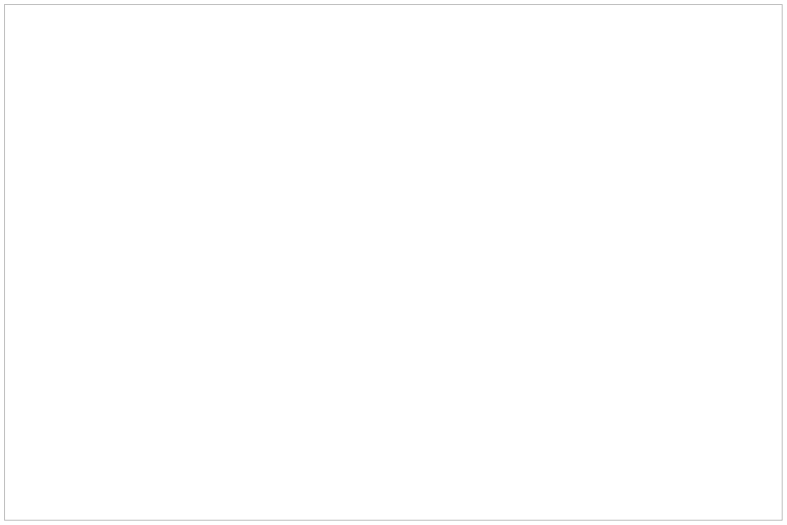
龍が立つ日　八重干瀬**2007**



2007年旧暦３月１日（新暦4月17日）は「宮古島に龍が立つ日」として地元の神人から教わったことから今年で二度目の八重干瀬祈りが実現しましたに。
2006年に、初めて宮古島・伊良部島の神人・神子と一緒に八重干瀬へ足をふみ入れたとき、そこにいらっしゃる神々の大きさと数の多さにに全員が驚きました。

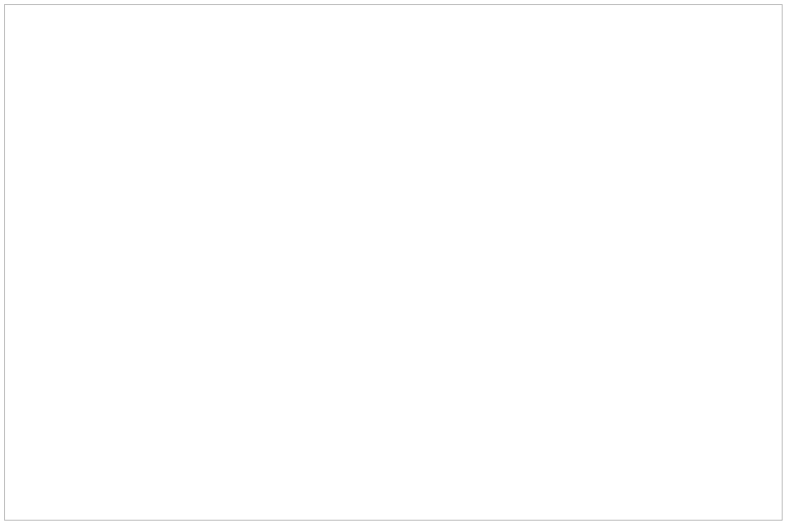


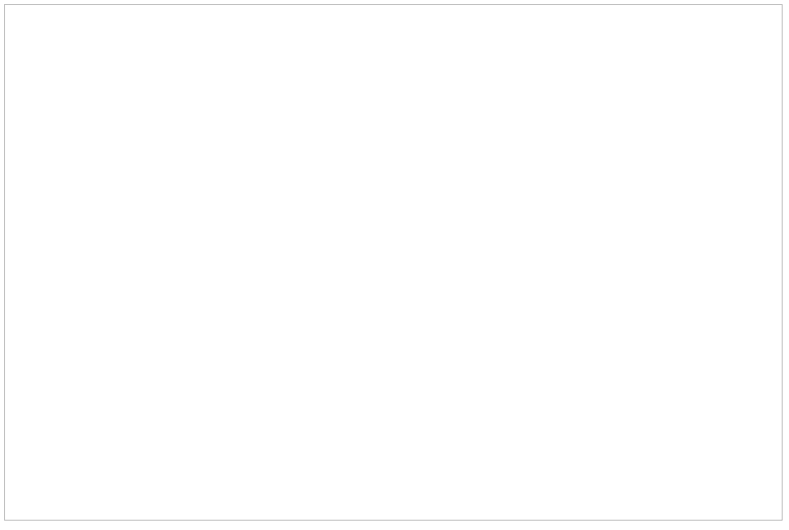


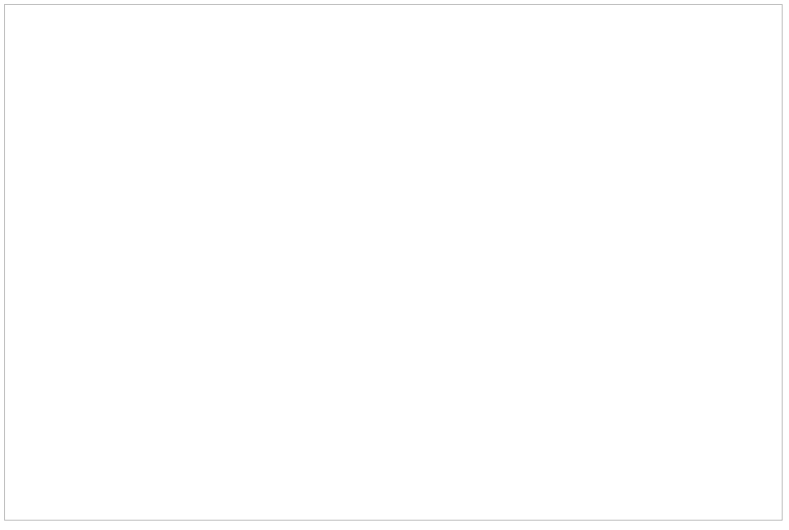


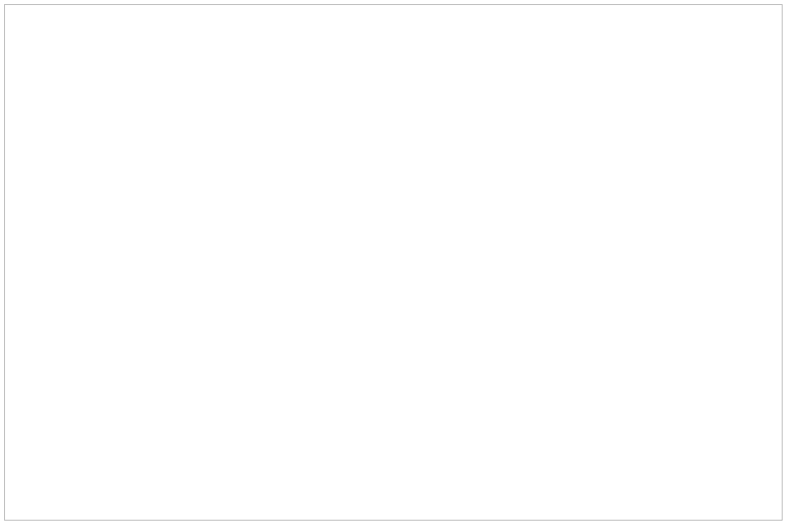
2007年は、３月に”天の岩戸神事”が成功したことで、宇宙神の神々へそのご報告とお礼、そして宇宙のおおもとと地球の核を結ぶ天地つなぎの柱を八重干瀬へ立てることが目的です。写真は全国から集まって下さった４４名の方たちと一緒に天地を繋ぐ柱を立てた瞬間です。

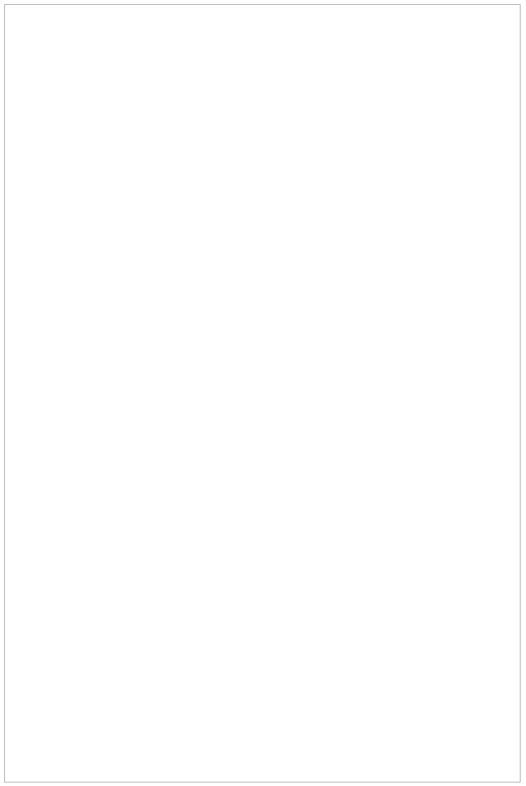
この八重干瀬祈りができる時間は限られていて、潮が大潮で引いたわずかな時間ですべての祈りを終えなければいけません。神に導かれる場所へたどり着いた時、「すべての人の顔を見せてください」と言われましたので、全員が一列に並び、神々へ一人一人が宣言する形になりました。祈りに参加されたすべての方々が地球を守る宣言をされました。











八重干瀬祈りを終えてから、伊良部島の龍神が守る聖地「なべ底」へ感謝の祈りを捧げに行きました。祈る人の頭上から真っ赤な気柱が天へ綱がっている映像を残してくれた方もいたほど、この聖地がどれほど強くまた厳しい場所なのかを体感しながら神々が大地を揺さぶる反応を感じました。

年に一度、宇宙から降りてこられる宇宙神の八重干瀬祈りは、龍が守る聖地宮古島・伊良部島の神々とともに、私たちが自然や宇宙すべての循環の中でしか生きられないことを痛感します。だからこそ、その感謝とその場所の清掃を今後も続けていきたいと思います。全国から集まってくださった皆様、本当にありがとうございます。
2007.04.17 Tue

神人（かみんちゅう）の神名

3月の神事に参加してくださった女性　Ｏさん（神人暦５０年）に降りてきた神名とメッセージをご紹介します。

この時を奏でる神人

この時を知らせる神人

この時をつなぐ神人

この時と宇宙のもとをつなぐ神人

つながりの音をつなぐ神人

天　神　人　がひとつとなれ

天とつながる神人

天とのつながりをなすとは、天の時を聞かす人

時のひもときをすべし神人

天のつながりを持つ神人

宇宙のつながりをもつ神人

あの時この時と、時の調べを奏でる神人

神名　：　トキノカミンチュウ（時の神人）

この女性は、生まれたときから、とても高い霊格の方に守られていたようで、大人の神人からも、「あなたはただ、その場にいて、手を合わせていればいいのよ」と言われるままに、学校よりも祈りを優先する生活を幼稚園くらいのときからされてきた神人です。

今回の神事では、初めてこの世に出てきた神様が、彼女の体にのりうつり、直接、神のメッセー

ジを伝えるための霊媒体になってくれた神人です。ありがとうございます。

2007.03.31 Sat

人間の神名

３月の沖縄神事を終えたとき、参加した全員に神の名前が降りてきました。

この神の名前をいただく意味は、宇宙神界の神々が望む目的を、肉体を持って生まれた私たち人間の神としての役目を成し遂げてくれてことへの証です。

神の名前をいただくときに、メッセージも伝えていただきましたので、ある女性へのメッセージと神名をご紹介します。

あの時その時この時の中にいる人なり

時空を超えて移動する人なり

時の使い人　時空を超える旅人

あの時この時と時を折り重なる時を過ごす人

あの時この時　探す人はなく時をさまよう人

時の調べを奏でる人　時を奏でる人

時の音を聞きなさい

時の金の音を聞きなさい

金色の鐘の音を鳴らしなさい

時の金を鳴らす人

時を刻む人

時を創る人

神名　：　コノトキノアガリ姫

＜メッセージの意味＞

この女性は、以前から時空を超えてあちこちの情報を伝えてくれる人でした。

その理由は、時空を超えて動く役目の方だからです。

”あの時この時”とは、宇宙の縮小が始まる時であることを皆さんに、先日ご説明しましたが、そのあらゆる次元を守っている人と同じような役目を持っている人だということです。

時の音や時の調べとは、時空を超える時に聞こえるかすかな音のことです。

金の音とは、全宇宙が喜ぶ音という意味です。

この音を鳴らせば、全宇宙にその音が広がり、あらゆる次元のサポートが入り調和が取れるということです。

そして、今、新しい　龍球（地球）　が誕生したことで、新しい時間が生まれました。この時間軸のなかで、金の時を鳴らし続けて新しい喜びのエネルギーを宇宙全体へ広げていくことで、宇宙のエネルギーが広がることを教えてくれています。

皆さんの喜びの想像も、金の音でしょう。

感謝にあふれた行動も、金の音でしょう。

愚痴を言わず、不平を言わず、素直に、ごめんなさい　を言える人も、金の音でしょう。

ありがとうございます　を心から言える人も、金の音でしょう

金の音は、愛の調べと言ってもいいかもしれません。どうぞ皆様、金の音をいつも鳴らしてください。

宇宙の縮小が始まる日（２００９年１月１１日）まで、あと残された時間は、２年を切っています。

宇宙の縮小が始まるとき、この地球上で実際に、何が起きるかお話しします。まず、この地球の外側で空気を守っている成層圏に穴が開きます。そして、地球の空気がどんどん宇宙へ放出され

はじめます。

地球上のすべての空気が亡くなるまでの時間は、現在のところ2009年から６０年間で完全にゼロになります。

人間が宇宙の調和を壊し、地球を自分の持ち物のように扱ってきたことでおきることですが、皆様の意識と行動が、本当に変われば、あの時この時の時を、未来へ動かすことができます。

全宇宙の調和のために、私は何でもしようと思っていますので、皆さんのお住まいの場所で、
直接、このお話をしたい場合は、出張して、そちらでお話会を行います。

テーマは、新しい地球「龍球」です。

お話会を主催してくださる方は、メッセージからご連絡下さい。ありがとうございます
2007.03.29 Thu

地球の鼓動

今日もまた、石川県や能登の付近で震度５弱の地震があったようです。そしてさらに、今日の９：４５には、日本の最北端にある択捉島で地震が観測されました。

この場所の意味を理解できる方は、その意味と責任を自らのものとして、新たな日本の意思を自分から明確にして、地球へ宣言してくださることをお願いします。

地震は、地球のエネルギー振動です。それは皆さんの集合意識の振動にも同調しています。

本心のあなたが望むことをこの地球へ伝えてください。ただ、このことだけは、理解しておいてください。もう、「あなただけ」の　個の世界　は、ありません。

あなただけ救われたいということを望めば、それは、宇宙全体においては、崩壊を望むことになります。

理由は、あなたの意識はもう、宇宙や地球全体の一部となり、その全体は、あなたそのものに同調しているからです。だから、あなた自身が、何を、どう望むかで、この地球や宇宙の未来が決まると認識してください。

私たち北海道のメンバーも、昨日まで続いたカラーフェスタのイベントを終えてすぐ、北海道の地球創生メンバーが集まり、新しい「龍球（地球）」をどうしていくかについて、大切な宇宙情報を理解しあいました。

特に、今回集まってくれたメンバーはスピリチュアルな分野のスペシャリストたちですので、
まず、新しい意識の創造から始めました。

3/8-3/12の沖縄神事に参加してくださった沖縄のメンバーたちも、新しい龍球（地球）のために、「聖地の清掃」を定期的に行うことを決めたと報告をいただいています。

沖縄諸島の皆様、どうぞ、大切なものを大切にするという意味を、あなたの行動で、子供たちに見せてあげてください。

また琉球神事の代表神人（かみんちゅう）であるＳ神人は、沖縄の比嘉吉丸さんの神事に参加されて、南西諸島全体の神々の調和のために、石垣島や日本の最西端である与那国島まで祈りに行かれて、昨日、その中間報告がありました。

北海道ではまもなく、新しい琉球エネルギーを日本列島の北へつなぐための儀式と祈りが行われます。

自分の土地へ生まれた意味を理解し、日本や地球や宇宙全体の一部である意識と行動の統一が望まれています。

人間のあらゆる意識にある創造という世界が、この現実世界を創っていることは、皆さんは理解していると思いますので説明は省略しますが、新しい龍球（地球）のエネルギーコントロールの役目が、日本の皆さんの集合意識エネルギーですので、そのエネルギーを安定させるために、
いま、動いてくださっている方がたくさんいらっしゃることを知っておいてください。

そしてあなたが、今、するべきことは、あなたの心のなかで、嘘や言い訳、一切のごまかしなく、自分の本心に正直に生きること　を始めていただきたいと思います。

もう、過去のカルマを言い訳にできなくなりますし、神々や先祖の責任にもできなくなります。
ましてや、自分を守るために、誰かを犠牲にすることなど、一切、できなくなります。

新しい龍球（地球）の意識は、今、完全にゼロになっていますので、あなたがマイナスな部分を隠せば隠すほど、数百倍になって、自分の現実になって見せられることでしょう。

誰にもわからないからと許されたあなたの心の奥底のアカでさえ、すべて、現実のものとして目の前に出される時代になったということです。

私は、それがどれくらい苦しいことかを知っているからこそ、今、皆さんにお伝えしているのです。

もう、どう生きるかを悩まないでください。自分がどう生きたいかに、正直に生きることです。

あなた自身が、神、そのものなのですから。ありがとうございます。
2007.03.28 Wed

3/25　朝の地震

本日の能登半島での地震を札幌の”カラーフェスタ”の会場で知りました。

３／１２に地球の核を開けた際、祈りに参加された皆様にはお話ししていましたが、今まで人間が積み重ねてきた「不」のエネルギーや地球全体の調和を壊してきた想念世界のマイナスエネルギーが地球の内面から開放し始めています。

これは、昨年の宮古島にある石庭の新しく掘り出した場所からあふれ出ているエネルギーの強さを感じてわかっていたことですが、この地球の核に押し込めてきた不調和エネルギーが限界にきていて、核の割れからエネルギーがあふれ出ていました。

今後も、このエネルギー解放で、地球全体での地震や噴火・津波などの天災が起きることが予想されますが、ここまで地球を追い込んだ人間の責任として、皆様の日々の祈りによって、この大きなエネルギーをなるべく人災にならないように祈ることが可能です。

人間の意識が、物質世界やあらゆるエネルギーを直接、動かす力があることを信じて下さい。

私からのお願いは、これからの皆様の祈りや瞑想の中で、「この地球をわたしが守る・この宇宙をわたしが守る」と宣言されることをお願いします。そして、地球へのお詫びと宇宙のバランスを崩したことへのお詫びもしてください。

今、わたし達一人一人の心がまえと決意を、宇宙全ての存在たちや神々が見守っています。人間がこれから、この地球を守ると信じている。だからこそ、わたしたちは、今まで人間を見守ってきたのだ。その責任ある決意を今日、皆様の意識の中で宣言して、そして、愛の行動を実践してください。

私たちには、それができる肉体があります。人間の意識は、現実を変える力があるということです。

皆様の意識の変革と愛の行動を宜しくお願いいたします。
2007.03.25 Sun

2009年　全宇宙時間軸の縮小

2009年　全宇宙時間軸の縮小

地球を救う為には、”日本が変われば世界が変わる”と言い続けてきましたが、その本当の意味に気付いたのが、2007年3月１２日に行った「地球の核を開ける天の岩戸神事」でした。

日本の祈り役をするようになった2004年から、土地神・先祖神・人格神、また自然界を司どる龍神や宇宙の神々からさまざまな事を教えてもらったおかげで、日本民族のルーツを知り、あらゆる宗教の根源を知り、隠された歴史の裏側を教わり、地球上に存在したさ過去の古代民族意識が、現在の日本人の無意識に眠っていることがわかりました。

私たち日本に生まれた人間の「無意識」つまりＤＮＡには、地球に誕生した全ての文明・文化・信仰・宗教の記憶が刷り込まれているという意味です。この記憶は、宇宙空間に地球という星が誕生した頃の記憶まで眠っています。

宇宙空間のどこかにあると言われた全宇宙の記憶データバンク「アカシックレコード」さえ、実はこの地球の核の中に眠っているあることが、2007年3月12日に地球の核を開けて分かりました。

地球の核を開ける目的は、過去の魂の記憶とつながることで意識の目覚めが早まり、宇宙につながる高次元意識を使って「新しい文明」を地球に生み出すことが私達人間、特に日本人がそのリーダーの役となりました。

その高い宇宙意識をサポートする為に、宇宙神界から十五の神々が地球の核から起き上がりました。

”地球の核”の役割は、宇宙を生み出した”おおもと（マスター）”とのつながりを表しています。”地球の核”と”宇宙のおおも”は、空間的に離れていても同時に繋がりあう双子の意識のように現在も繋がっています。

さらに2007年３月12日に新しい地球「龍球王国」が誕生したことで、この地球の歴史の全ての意味が変わりました。

それはこの全宇宙空間における地球という星の役目が、宇宙全体を照らす”光の星”となったこととに加え、宇宙空間を支える高次元意識帯を私たち一人一人の人間の創造意識で支えるという大きな役目を与えられたのです。

この説明に対して、納得・理解ができないという方にお話します。

あなたは、今の地球上で起きている全ての（宗教）戦争・人種差別・貧富の差・衣食住のままならない地域・国の差をどう整えますか？日本人はなぜ、あるゆる宗教を受け入れられて、あらゆる差別を乗り越えて貧富の差を埋める進化ができるのでしょうか？

現実的にはたくさんの人間の努力もありましたが、本当は、皆さんの魂の中にある過去の記憶で

乗り越え知恵や学びがある魂だからなのです。

だから過去のでき出来事に囚われないよう生まれるときに、過去の記憶（カルマ）を消してくれたのです。

ひとつの魂としては、人間的な葛藤や混乱が残っている部分もあるでしょうが、もう民族カルマや宗教カルマに囚われて生きる必要がなくなりました。

それはこの地球上に浮遊する御霊たちと過去の宗教の神々たちが役目を終え”宇宙のおおもと”へ戻る時期が近づいているからです。

今まで土地に張り付いていた不浄御霊や人間が望み降ろしてきたあるゆる全ての神々も、この地球上からまもなく一切いなくなります。

それは言い換えると、地球の回りを囲んでいる”霊界”が無くなることを意味しています。

このことによって過去の全ての人間の肉体を持ったカルマの記憶の全てが消滅して、魂を生み出したおおもと、つまり”宇宙のおおもと”へ戻ることができるのです。

この宇宙ミッションが完了した時、地球が”宇宙神界”の一部となり、宇宙の調和を守る本来の働きをすることができます。

それはこの宇宙の始まりの時と同じように、まっさらに何もなかった状態をもう一度、新しい創造を始めるための準備なのです。

この地球を維持したいと願うならば、あなたたちの欲望の結果である地球のエネルギー崩壊を食い止め、宇宙へ放出する愛のエネルギーを増やす必要があります。

宇宙を支える愛の高次元意識は、全宇宙エネルギーのバランスを調和する働きがあるからです。

現在の人間の意識レベルでは、地球時間の６０年から１５０年ほどで地球の消滅、つまり宇宙の消滅が起こります。

「宇宙時間軸の縮小」とは、高次元意識を支える宇宙エネルギーの崩壊を意味します。

どうぞ、あなた自身の魂の役目を実行に移して下さい。

2007.3.23に一般公開した情報



2007.03.23 Fri

2008年　警告！北京オリンピック

2008年　警告！北京オリンピック

アメリカ原子力爆弾を船で輸送

私たち（神々）は、いつもあなたたちの望みを聞いています。それがあなたたち人間界のことだとしても、人間同士のエネルギーの置き換えだとしても、そのすべての責任が自分たちに戻ることを知らない間、望み続けるあなたたちの願いを聞いています。

中にはあなたたちの願いに力を貸す神もいることでしょう。また中には、あなたたちの願いに対して指導の言葉を伝える神もいることでしょう。

その理由はすべてあなたたち人間界の中で起きている責任だからです。

その願いの責任は、人間同士でしかとれないことを知ってほしいのです。まだそのことに気づいていない人たちは、自らの願望・欲望を私たちに願い出ていますが、その願いの責任がお互いの責任として取ることができる時期までのことでしょう。

私たちはあなたたちを救うために存在しているのではありません。

あなたたちが本当にするべきことをするために、その導きや指導をする役目なのです。

だからあなたたち人間が思った全てのことの責任が自分にあると気づいて、その全ての責任を取る決意をあなたたち一人一人にして欲しいのです。

その気付きのために伝えなければいけない事実を少しお話します。

２００８年８月８日の北京オリンピックの時に何が起きるかというと、その時期をめがけてロシアの船が原子力爆弾を密かに船で運びます。

その移動の命令はロシア政府ではなく、もっと大きなダークな意識を持つ存在たちが影で動かしています。

目的地は北京？北朝鮮？のようです。

そのことを知る必要がある人たちにとってこのメッセージは意味を持つことでしょう。

2007.3.23に一般公開した情報



2007.03.23 Fri

人間の選択で決まる

人間の選択で決まる

あなたたちは、もう、決断しなくてはいけません。

自分達が望んだ今までの地球にあるものを手放さず、宇宙の崩壊の道を選択するのか、それとも、自分がこの地球の神の一員であることを宣言して、全ての選択責任を自分で取るのかを。あなたたちは、今までたくさんの宇宙のエネルギーを浪費していることに気付かなければいけない。

あなたたちの意識が、なぜ、次元を越え、あるゆる空間に移動できるのかも、理解しなければいけない。

次元を越えるとき、その次元のつなぎを守る番人がいることを知らなければいけない。

地球が存在するこの宇宙空間の他にも、たくさんの宇宙空間があることを理解しなければいけない。

そして、その他の宇宙空間と地球が存在する宇宙空間が、常に、支えあっていることを理解しなくてはいけない。

あなたたちの身体のＤＮＡのひとつが、宇宙空間だと思ってくれるとわかりやすいだろう。

あなたたちの身体の６０兆個のＤＮＡと同じ数の宇宙空間が、この全宇宙には存在している。

あなたたち人間は、与えられるものや守られるものが、普通だと理解して、その意味や役割をしてこなかった歴史がある。

わたしたちが、この地球を守る意味を理解できずに、わたしたちを人間の都合のいい道具に扱うことをやめなければ、わたしたちは、地球における全てのサポートを撤退する。

わたしたちは、この地球を、宇宙を、全ての宇宙空間を旅しながら守り、調和の気付きを与え、時には、星達の消滅と誕生を繰り返し見守ってきた全宇宙のサポート隊だ。

今回の地球の気付きは、わたしたちの想像を越えるものもあったが、それは、私たちが望んでいたものでもある。

そして、それは、あなたたちが、永年、望んできたことでもあったはずだ。歴史は繰り返すという言葉は、無くなるだろう。あなたたちが、新しい歴史を創っていくのだから。

わたしたちは、もう、あなたたちの決意と行動を見守ることしかできなくなってしまった。

それくらい、あなたたちの役目が、宇宙全体の重要な地位についたということだ。

そのことを本当に理解して欲しい。わたしが願うものは、あなたが願うものと同じはずなのだから。

2007.3.23に降りた啓示

2007.03.23 Fri

宇宙の縮小の始まり

地球や世界が変わるためには、"日本が変われば変わる"と言われ続けてきましたが、その本来の意味に気付いたのが今回の神事でした。

日本で祈りの役目をするようになって、その土地の先祖神や人間神、また龍神や宇宙神の神々からあらゆることを教えてもらいました。

その土地の神々の導きと宇宙のサポートのおかげで、民族のルーツを知り、あらゆる宗教の根源を知り、隠された歴史の影の部分を知った時、さまざまな民族意識の集積であり、また根源となった民族の意識が、現在の日本人の意識に入っていることもわかりました。

だからもう、古事記や日本書紀を探求する時ではありませんし、「大和（やまと）民族」のルーツを調べる時期でもありません。

そのゆがめられた知識自体が、また過去の民族意識に囚われて新たな分離意識を生み出すからです。

私たちの「意識そのもの」にもＤＮＡそのものにも、過去の全ての文明文化やあらゆる宗教を経験した記憶が刷り込まれています。

この記憶には、この宇宙空間のなかで地球という星が誕生したときの歴史の記憶の全ての情報が含まれています。

だから宇宙空間のどこかにあるといわれている全ての記憶データバンク「アカシックレコード」は実は、この地球の核の中にあり、その地球の核が開いた今、全ての過去の記憶とつながることで、新しい文明を私達日本人一人一人から産み出すことが、この地球に存在する高次元意識の存在（人間）の役目となりました。

その高い宇宙意識を守りサポートするために、高次元意識の宇宙神界から十五神の神々が地球の底から立ち上がりました。

"地球の底"とは、つまり、宇宙を生み出した”おおもと（マスター）”の意識のつながりのことです。

沖縄の祈り仲間と開けた新しい”地球の底”と、”宇宙のおおも”との二つは、空間的に離れていても同時性に存在する双子の意識のように今、互いに感じあっています。

そして2007年３月１２日の新しい地球「龍球」が誕生したことにより、この地球の歴史の全ての意味が変わりました。

それはこの全宇宙空間における地球という星の役目が、宇宙全体を照らす”光の星”となったこととに加えて、この宇宙空間を支える高い意識次元帯を、皆さん一人一人の意識で支えるという大きな役目を人間がいただいたことになるのです。

この説明に対して、納得・理解ができないという方にお話します。

あなたは、今の地球上で起きている全ての（宗教）戦争・人種差別・貧富の差・衣食住のままならない地域のバランスをどう取ることがいいと思いますか？

なぜ、日本だけが、あるゆる宗教を受け入れ、あらゆる差別を乗り越え貧富の差なく、たくさんの方が普通に生活できているのでしょうか？

それは現実的に、たくさんの人の努力もありましたが、本当は、皆さんの魂の中にある過去の記憶のなかでたくさんのことを乗り越え、学び終えた魂だからできていることなのです。

だからこそ、あなたが生まれる時に、新しい次の時代を産み出す役目としてあなたの過去の記憶（カルマ）を消してくれているのです。

個人的な部分では人間的な葛藤や混乱が残っている部分もあるでしょうが、もうカルマに苦しみ生きる意味もカルマに囚われる必要も一切なくなりました。

それは、この地球上から、全ての御霊たちと全ての宗教の神々たちが役目を終えて、”宇宙のおおもと”へ戻る時期が近づいているからです。

今まで土地に張り付いていた不浄御霊や人間が望み降ろしてきたあるゆる全ての神々も、この地球上からまもなく一切いなくなります。

それは言い換えると、地球の回りを囲んでいる”霊界”が無くなることを意味しています。

このことによって過去の全ての人間の肉体を持ったカルマの記憶の全てが消滅して、魂を生み出したおおもと、つまり”宇宙のおおもと”へ全ての魂が戻ることができるのです。

この宇宙ミッションが完了するとき、地球自体が”宇宙神界”の一部となり、宇宙の調和を守るため

の本来の働きをすることができるのです。それはこの宇宙の始まりのときと同じように、まっさらに何もなかったときを、もう一度、始めるための準備なのです。

もしこのままの地球を維持したいと願うならば、あなたたちが都合よく望んだ全ての今の地球のように物質やエネルギーや酸素がいずれ無くなり、宇宙エネルギーの減少と宇宙全体のアンバランスを生み出し宇宙そのものの縮小が始まります。

それは全宇宙空間全体の縮小となり、全宇宙空間の消滅の道へ歩むことにもなります。

この宇宙の縮小が始まる時期が、今までの次元上昇のおかげで時期が早まり、あと２年を切りました。

※２００９年１月１１日が、宇宙の縮小が始まる日　です。

そのときまでにあるゆる心の準備を終えて、新しい龍球王国（地球）を皆さんの手で創り支えなければ、”あのときこのとき（宇宙の縮小が始まるとき）”の時間を先へ延ばすことができなくなります。神の言葉を直接、お伝えいたします。

宇宙メッセージ

あなたたちは、もう、決断しなくてはいけません。

自分達が望んだ今までの地球にあるものを手放さず、宇宙の崩壊の道を選択するのか、それとも、自分がこの地球の神の一員であることを宣言して、全ての選択責任を自分で取るのかを。

あなたたちは、今までたくさんの宇宙のエネルギーを浪費していることに気付かなければいけない。あなたたちの意識が、なぜ、次元を越え、あるゆる空間に移動できるのかも、理解しなければいけない。

次元を越えるとき、その次元のつなぎを守る番人がいることを知らなければいけない。地球が存在するこの宇宙空間の他にも、たくさんの宇宙空間があることを理解しなければいけない。

そして、その他の宇宙空間と地球が存在する宇宙空間が、常に、支えあっていることを理解しなくてはいけない。あなたたちの身体のＤＮＡのひとつが、宇宙空間だと思ってくれるとわかりやすいだろう。

あなたたちの身体の６０兆個のＤＮＡと同じ数の宇宙空間が、この全宇宙には存在している。あなたたち人間は、与えられるものや守られるものが、普通だと理解して、その意味や役割をしてこなかった歴史がある。

わたしたちが、この地球を守る意味を理解できずに、わたしたちを人間の都合のいい道具に扱うことをやめなければ、わたしたちは、地球における全てのサポートを撤退する。

わたしたちは、この地球を、宇宙を、全ての宇宙空間を旅しながら守り、調和の気付きを与え、時には、星達の消滅と誕生を繰り返し見守ってきた全宇宙のサポート隊だ。

今回の地球の気付きは、わたしたちの想像を越えるものもあったが、それは、私たちが望んでいたものでもある。そして、それは、あなたたちが、永年、望んできたことでもあったはずだ。

歴史は繰り返すという言葉は、無くなるだろう。あなたたちが、新しい歴史を創っていくのだから。わたしたちは、もう、あなたたちの決意と行動を見守ることしかできなくなってしまった。

それくらい、あなたたちの役目が、宇宙全体の重要な地位についたということだ。そのことを本当に理解して欲しい。わたしが願うものは、あなたが願うものと同じはずなのだから。

2007.03.23 Fri

新しい神との対話

今回の神事が当初の目的を超えて、地球と宇宙の大きな次元転換になったキッカケをお話しましょう。

伊是名島と伊平屋島では、合計９箇所の祈りを行いました。そのなかのある拝所（うがんじょ）での出来事が、全ての始まりです。その拝所（うがんじょ）に足を踏み入れたとき、とても大きな力で守られていることがすぐわかりました。

全員の心を引き締めて祈りに入ろうとすると、目の前に見えている香炉のその奥に、何かがいるのを感じます。

不浄御霊というなまやさしいものではないくらい、ものすごく強い、そして、１体ではないのがわかるくらいはっきりと相手の意識を感じます。その相手もこちらをにらみつけています。

私は香炉を踏み越えて暗いその奥に入り、奥の岩に潜むエネルギー体を開放のために清める作業をしてから、香炉の前に戻り祈りを始めました。

祈りを始めると、その途中で、となりにいた神人（かみんちゅう）が、突然、憑依されて、その奥に潜んでいた主が、言葉を発します。

「我は、トヨスムスクスの神なるぞ！」

ここの居たのは、神さまだったんです。でも、まだ数対のエネルギーがあるのを感じていますが、この神さまが出てきてくれたことで、まずは、よしとしてその場の祈りを終え、帰ろうとしていると、「カクレオオキミ」　という言葉が、私の頭に突然、浮かびました。

そういう神が居るのかと思い、この言葉の意味を全員に聞いてみると、カクレオオキミという名前は聞いたことがないけれど、「カクリヨの神」という名前があって、それは、大国主尊神・国常立尊（クニトコタチ）などの大きな神々の総称としての呼び名だというのです。

また、真思戸金（マオトガニ）＝身分が高い人につく神の名前も出てきました。

でも私は、どうしてもカクレオオキミの名前が気になりながらも、一日の祈りを終えてホテルに戻り、今日の祈りの意味の確認会を全員で始めました。まず大事なことは、初めての神をこの世に出したことです。そのことで、あの拝所の意味が全く変わってしまったということです。

沖縄では、初めてこの世に呼ぶ神の名前のことを「口開き」というそうですが、神道や仏教やあらゆる全ての宗教が生み出した神の名前も、誰かが最初に、天から降りてきた名前を呼んだわけですが、新しい神がこの世に現れるということは、今までの神々の役目も変わることを意味します。

これからこのことをどうしていこうかと、話をしていると、また突然、神人（かみんちゅう）の身体にその神が憑依して、私たちの疑問を解決するために力を貸してくれました。

質問をして！と、その神人がいいます。

完全に憑依されたときの人との対話には、気をつけないと本人の意識に影響がでるときがありますので、注意しながら神との対話が始まりました。

あなたは、誰ですか？

私はキンマモンだ。わたしは、１００年に一度しか、この世に出ない。皆の祈りのおかげで、この世に出れたことを感謝する。私はこの地球を守るために、ずっと昔から底（すく）に眠っていた。私が居た場所は、１０の底（すく）よりもっと深いところから、今、蘇った！」

あなたの他に、まだ誰かいらっしゃいますか？

私を含めて、ここには七神居る。他の神の名前はわからない。」

沖縄では、海の底（すく）に神々の居場所があり、この地球の一番下を守る神々の居場所を「七底（ななすく）」といいます。でもさらにその下の神が、今回、現れたということです。

今回の祈りのメンバーは、神ごとのスペシャリストがたくさん参加してくれています。

琉球古神道に詳しい方から、神道の神主の資格を持つ方、沖縄の歴史や神々の歴史を調べている方や、拝所やたくさんの神人からの情報を持っている方。そのおかげで、さまざまな気付きの連鎖が起こります。

全員がこの新しい沖縄諸島（琉球）の調和と地球と宇宙の調和を願って参加していますので、この出来事をどうとらえたらいいのか話をしていると・・・また、

「琉球の調和は、そんなに簡単ではないぞ！新しい調和をするためには、新しいものを生み出さなければならない。それができないと、この地球の調和を守ることはできないぞ！」

このとき、私はすぐ、”新しいものを生み出す”という言葉の意味が、わかりました。

これは多分、私に言った言葉だからなのでしょう。

それは、この地球の底（すく）、つまり、地球の核に隠されている”もの”を知っているからです。

私は２００１年に、宇宙のおおもと、マスターの導きのもと、あらゆる会話と体験をしました。

そのとき、宇宙の全ての重要な情報や意味を学び、実際に、意識体で移動してあらゆる体験をしてきました。地球の底も、宇宙の外も、見てきています。

だから地球外生命体（ＵＦＯ）が来てる星のことやその使命も、また私たち以外の宇宙空間とのつながりのことも知っています。

自分がこの星に来た理由も知りました。

それは、この星の核の中にある大切な命を守ることだと私は確信していました。

でも”新しいものを生み出す”ということは、あの核の中にある命を外に出すことを意味するのです。

私は今まで、それを守るために、宮古島の石庭でいただいた核の石のことや様々な情報を守ってきたのです。だからとても悩みました。

私が命をかけて守ってきたものを、自分の手で壊すことをしなければいけないのかと・・・・。もし、そうした場合、あの命をこの地球の人々や神々は、守ることができるのかと不安になりました。すると・・・

「馬鹿にするな！」

と、神人の身体を借りた神が怒り出しました。

「わたしたちのことを信用できないのか！わたしたちも、そのことをずっと望み、底（すく）で、この地球を見守ってきたのだ。人間がそのことに気付くの待っていたのだ。」

その神の声が、悲しげでもあり、そして、その切ない思いを体中で感じたので、私は、決断する

ことにしました。

「わかりました。やりましょう。どうぞ、そちらもお力をお貸し下さい。私たちも必ず、やり遂げます。」

「お前達のすべてを見守っている。宜しく頼む。」

神との対話が、終わりました。

体中が熱く、苦しく、悲しく、うれしく、さまざまな感情が溢れてきます。

この決断をしなければいけない神事だったのかと、今、気づきました。全員にその意味を説明しました。この使命は、地球だけのことではなく、宇宙のバランスにも影響する大きな祈りであることを告げました。それは全てのことを壊す責任と意味も含んでいます。

新しい地球、新しい宇宙のバランスを生み出すためにも、どうしてもしなければいけないことだということを、一人一人に覚悟していただきました。

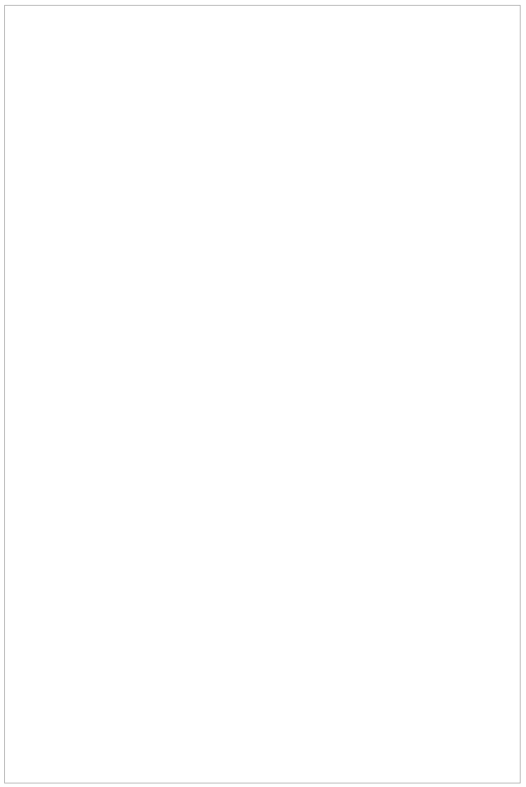
どこの場所で、どういう方法でするかも、もう、私にはわかっています。あとは、そのときまで、一切の邪魔が入らないよう、全員が気を引きしめていることです。

つづく

2007.03.21 Wed

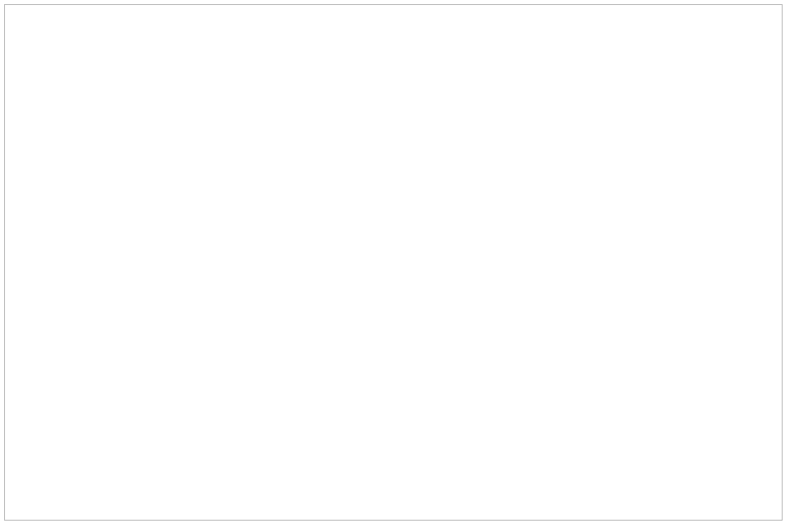
神様からの御礼・・・斎場御嶽（せいふぁうたき）

３月８日の久高島から６箇所の祈りを終えたその足で沖縄本島に戻り、世界遺産にもなっている斎場御嶽（せいふぁうたき）に向かい、全員で報告の祈りに行きました。
このウタキは、沖縄本島のなかで一般の方も足を踏みいれていい場所ですが、もともと琉球王朝時代の大切な祀りごとや王様交代のときの儀式を神々に報告する大切な場所です。
このなかには、大切な場所が４箇所あります。
正式な祈りの場合、まず、駐車場の前にある河の神さまにご挨拶して、自分の禊（みそぎ）をします。入口から石段を登ると、まず御新下り（オヤラオリ）と呼ばれる場所があります。この場所は、王様の交代するときに、正式に挨拶する場所です。



そこを越えていくと、「台所の神」がいる場所があります。

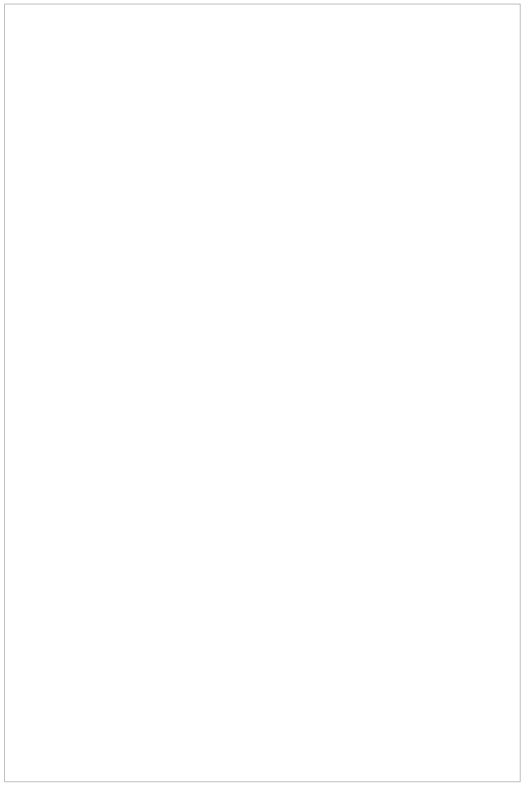
台所の神の意味は、食事は命を守る大切な役目ですので、王様の命を守る神と理解してください。



ただしこの場所へ行く途中の両側の大きな石や木の周りには、台所の神を守るたくさんの強い霊たちが集っていますので気をつけてください。

※私がまだ何もわからない６年前、この場所で何かかわいそうと感じて岩に手を合わせたことで、大きな霊体に乗られてしまって、その霊をはずすのに３ヶ月もかかってしまったほどですので。

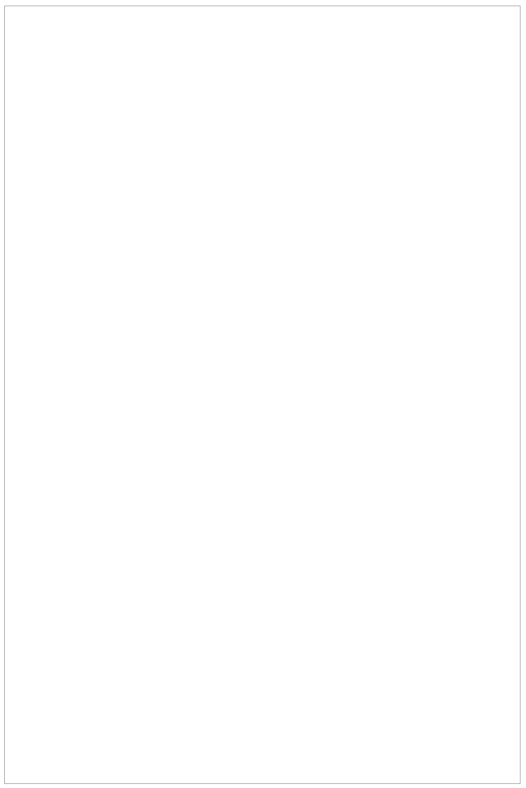
三番目は、一番上の広い場所です。この場所は、三庫理（さんごうり）または、ウミナーリと呼ばれていますが、王様の交代の印をいただく大切な場所です。



ここの神さまへお礼の祈りを終えると、神人（かみんちゅう）の口を通して、神さまの言葉をいただきました。

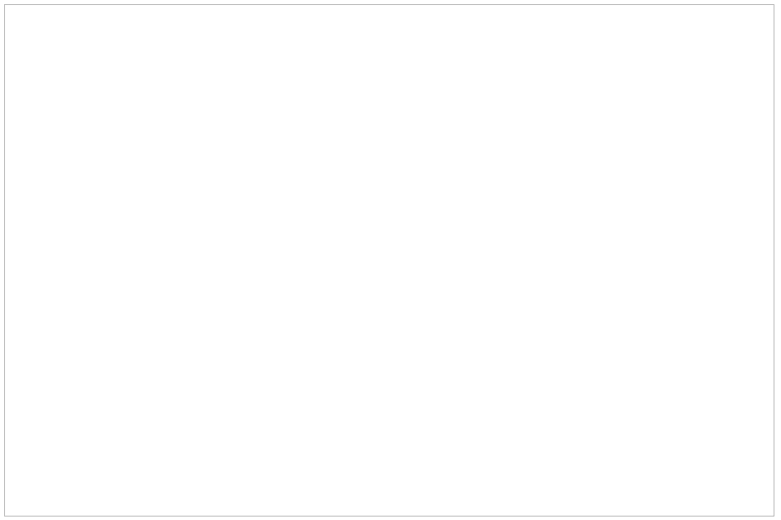
「今までたくさんの拝みをする人がいましたが、神の存在へお礼を言ってくれて人は初めてです。本当にありがとうございます。」

私が祈りを始めてから一番うれしい体験でした。私の魂は、喜びの涙で溢れてきました。この広い場所は、昔、たくさんの方が踊りや歌を奉納して王様の為の祝宴をする場所でした。そしてこの左奥には、王様しか入れなかった特別な場所があります。



この場所を守る神は、ウミナーリを守る神とは別にいます。昔この場所は、王様が久高島へ行けないときに、ここから久高島を見て、神々にどうするべきかの答えをいただく大切な”通し祈りの場所”でした。
だから王様が久高島を見ているときの後ろを守るように、その真後ろの岩のなかでしっかり守っています。この場所では、今回の神事の巫女役をする女性の祈りをしました。久高島の神々は、この女性をこの神事の正式な巫女として認めてくれましたし、

これからの神事全体を守ると約束してくださいました。晴れやかな一日目の祈りを終えた最後に、この斎場御嶽（せいふぁうたき）の山の一番上の拝所（うがんじょ）に登ろうということになりました。この場所から眺めは最高ですが、久高島へ船で向かうときに、身体で感じていた強いエネルギーの発信場所だと後でわかりました。



今回の神事は、琉球王朝の過去の王族全ての思いと、その王様やその時代の全ての人々を昔から大切に守ってくれている神々の意識をつなぐ役目がありましたので、今日の祈りに関しては、全員が神に、心からのお礼を言われた感じがしています。本当にありがとうございます。

2007.03.20 Tue

2007.3.16　龍球王国　神メッセージ

このようなことになるとは、誰もが思っていなかったでしょう。

しかし、これが「宇宙のおおもと」が望んでいたことだったのです。

新しい地球を産み出す（創造する）ということは、今までの古い歴史の価値観や事実・既成概念を一度壊し、新しい価値観を皆さんが望むとおりに創り上げることが必要だったのです。

古い神々たちは、もう今までの役目を終え、それぞれの元へ戻っていっています。

この青い星地球は、龍の大切な玉そのものですので、龍たちに今まで以上に守ってもらいます。

宇宙神界からのサポートも、今まで以上に大きなエネルギーが降り注いています。

しかし、今までの大切な神を奉り、信じて拝みをしてきた人々にとっては、ショックな出来事でしょうが、新しい神が、この地球に降りるための今までが、準備であったことを理解してくだ

さい。

新しい地球は、あなたたちの手で創り上げていくのです。

宇宙神界の数多くの神々やそれ以上の存在は、もう、あなたたちを見守るしかできなくなっています。

信じています。

きっと、あなたたちが、この宇宙における地球の意味を理解して、その一人一人の魂に刻み込まれた記憶を呼び起こして、行動していく人が増えることを。

信じています。

地球におけるあなたたち（人間）を。

ありがとうございます。

コノハナサクヤ姫

2007.03.16 Fri

2007.3.14　沖縄神事報告＆宇宙メッセージ

3/8～3/12の沖縄神事は、沖縄に入る前にあらゆる心構えをして入りましたが、結果は全く予想をしないの展開の出来事から、この祈り自体が、宇宙の計画であったことを知りました。

出発前、入念に船の準備や手配を決めていたのに、3/8初日の伊江島祈りの場所を変更しなければいけなくなったことが、まず始まりでした。変更の理由は、３日目の3/10に久高島に入ることができないとわかったからです。

久高島で中止になったままの最大の神祭り「イザイホー」の復活を計画している糸数Ｎさんに理由を聞くと、3/10　久高島では一年間、四足動物を食べたことへの神さまへのお礼とお詫びをする日なので、一切、部外者の立ち入りを拒むということです。

さらに、その次の日は、沖縄諸島全体の島の代表が集って、これからの島の祈りやお祭り、経済の発展を考える重要な会議を「久高島」で行うということです。この流れを理解すると、「日を替えなさい」と聞こえてきます。結局、神は、久高島を最初に祈って欲しかったようです。その理由も後でわかりました。

琉球王朝時代、王様から特別な地位の島として扱われてきたことが、現在でも続く「ノロ制度」をはじめ、細かい”しきたり”に今でも人々の心のなかでは縛られているからです。

今回の神事の目的に、この”島々の格差をなくす”、つまり、”沖縄諸島全体の神々の序列格差をなくす”ことが重要なテーマでした。

そのためにもまず、久高島で祈って、その神々を連れて、他の島の神々へ頭を下げに入る必要があったようです。久高島では、６箇所の祈りをしました。

するとこの島を守っている最大の神さまから、「昔はたくさんの歌や踊りがあって楽しかったのに、今は、とても淋しい。早く昔のようなお祭りをして欲しい」とお願いされました。

※今回の（宇宙の）神事となったで自然神を拝む場所の意味や役割がまったく変わり、今後の地球上においてとても重要な場所になってしまいましたので、その場所の扱いが決定するまでは、ネット上での一般公開を避けさせていただきます。今回の祈りを終えて、皆さんへご報告することがいくつかあります。

１、この地球も、この宇宙も、全ての存在意味がまったく変わりました。

２、つまり、それを守る神々の全ての意味も変わったということです。

３、「天照神事（あまてらすしんじ）・天の岩戸（あまのいわと）神事は、

　　無事成功しました。※詳細は後日

４、２０００年に、マスターが教えてくれた六次元テーマ「陰陽合一」・七次元テーマ「天人合一」が今回の祈りで完了したので、天と地、神と人、宇宙と地球の役目が明確になりました。

結論を申しますと、

この大宇宙の全ての責任を私たち人間がとることになったのです。もう誰の生き方にも、社会のあり方にも、自然界のあり方にも、地球のあり方にも、宇宙のあり方にも、一切の言い訳ができなくなったということです。

この大宇宙や地球を守る神々と、人間が同格になったということです。

信じられなければ、あなた自身であなたの守護神・守護霊に聞いてみてください。

あなたの依存心や弱さを守るために、神が存在したわけではありません。

その結果が、現在の地球ですし、その結果が宇宙の秩序を乱すことにもなってしまっていました。もう自分の勝手な意識や興味のために宇宙をのぞいたり、あなたの都合のよいエネネルギーバランスは、保たれなくなりました。

あなたが神そのものであり、あなたが宇宙全体の責任者なのです。

こうなった理由を知りたがる方もたくさんいらっしゃるでしょうが、もうあまり時間がありませんので、私は皆さんのために重要なことを伝える役目に専念したいと思います。

3/14朝　宇宙メッセージ

神のいる国　皆の国　みんなが神であり続けるためにみんなで力を合わせよ。

光のつるぎはあなたの中に。あのようなことが起こらぬように、”たま”の隣におさめている。

”まがたま”命と魂となり。　”まがたま”の隣に置くなよ。

愛のつるぎを見せびらかすとき、何者かが探しに来る。

愛のつるぎを持つ者は愛をくださいとは言ってはならぬ。愛は来る。

光の国と繋がるとき、見えなくとも、信じなくとも光の国はそこにある。

そこ（地球）があるかぎり、愛の命の水は絶えようがなく続く。沸きいづる。

見つけ出すのは光の剣を。

山の上にあるのか、海の中にあるのか。地上の中にあるのか、皆の中にあるのか。

探し物はなんですか。　愛の光の剣。

光の剣を繋ぎ止めなさい。つなぎなさい。人の命を繋ぎなさい。

あなたの愛する人たちを繋ぎ止めなさい。埋めなさい。

2007.03.14 Wed

2007.3.13　宇宙メッセージ

3月12日の神事を終えてから、朝・夜に関係なく、宇宙から私の身体を媒体として伝えて来るメッセージが続いています。

今回の神事に参加された沖縄の神人（かみんちゅう）・神子（かみんぐわ）の皆様と、毎日、そのメッセージの意味を確認しあうミーティングをしながら、メッセージを自分のこととして、
今後、どう行動していくかを確認しあっています。

昨日公開した３月１２日のメッセージも、吉岡個人への内容も含めて、ひとつひとつのメッセージを自分に言われたメッセージとして読み返してみてください。

この地球に生まれた人間は、誰一人、特別な人はいません。
全ての人に”存在の役割”があります。

その意味を理解するためにも、これから公開していく宇宙メッセージを自分に言われたメッセージとして理解し、あなたの回りの皆様にも、コピーしてお渡して下さい。

もうこの地球も、宇宙も、神の存在意味も、その役目も、全てが変わりました。

どうぞ、そのことに気付いてください。宇宙の意思は、あなたのなかにあるのです。

２００７年３月１３日　11：01

《3/12メッセージの意味》

１、「　あのとき　」とは・・・

この宇宙の縮小が始まる時である。

２、「つなぎとめる役」とは・・・

皆さんの意識の柱が、次元を支えているからです。

３、「青の役」

つながりを表す意
青き地球を守る意
情報を伝達する役の意
みんなが仲良く暮らせるように、調和の方法を教え導く意

宇宙の「宇」の意味は『宇美　⇒　海』
宇宙の宙の意味は、ひろがり、つながり。
地球の海は、宇宙のつながりを表している。

海が青いのではなく、自然界の白と太陽の光の中の青が反射して写っている
だけの事。太陽に与えた役目のひとつに、青の役目がある。だからあなたは太陽なのです。

あなたが皆さんを照らすだけではなく、たくさんの太陽の子を育て、育むことをしなさい。

人間をやめるつもりなのではなく、犠牲になるのでもないことから、あなたの存在意味を明言するはできなくなりました。

宇宙のおおもと（マスター）は、あなたのことを本当の子供かと不思議に思うほどあなたの信じたい事、願望を見守りこれからあなたのする事をできる限り陰から見守っています。

みんながあなたを見守っています。
みんながあなたを見つめています。

この地球を　この宇宙を本当はどうしたいのかということを・・・

皆が信じたくなるように、まずあなたが真実の知らせを知らせなさい。
一言一言からあなたは気付いていくでしょうから。

あなたのように気付く人がいるのなら、この宇宙ももっと早く始まりから、変われる事ができたでしょうね。

青のつながりの役目は、他の星の他の宇宙の者たちとのつながりの役目もありつながっている重要な役なのです。

だから大きな役目として導くなかでその人の役目をしっかり見極めながら、一人一人を育てなさい。

情報を伝達することがとても大切な事なので、常に発信しなさい。
その人が表れるまで、この地球を宇宙のバランスの中に入れるようにつなぎとめなさい。宇宙のおおもとの大きな柱をつなぐ役目として、あなたに私（マスター）を見せたのですから、あなたはその役目をまっとうしなさい。

あなたの魂は、もうどうしようもないくらい大きくて、この地球の中には収まりきれないほどのエネルギーとなっています。

だからその時の人（男）がやってきたら、あなたから大切なことを告げなさい。その男は何も知らず、何も聞かされず、宇宙のカギを持たされています。その男（人）があなたの目の前にやってきたとき、あなたははっきりどうしてなのかを知ることができます。

あなたが出来ることまでと宣言したのだから、私はあなたの役目をまっとうさせるまで、見守ります。あなたが出来ること以上をするつもりで、覚悟で全てのことに望むのなら、全てのことについて詳しく話しましょう。

みなさんが（神々＋α＋α＋α）あなたに聞きたがっていますよ。

あなたは誰で、あなたは何のつもりで、この宇宙の中に人間として入ってきたのかを知りたがっていますよ。だからあなたもそうであるように、人間としてなく泣く事もあるでしょうが、人間としての愛を越える生き方をしなさいね。

あなたができることができるのは、あなたのエネルギーが宇宙そのもののエネルギーとなっているからです。

だからあなたが知っていることだけを、あなたの内側にしまいこまずに全てのことを知らせなさい。

あなたは無限なる宇宙そのものですので、どうぞよろしくお願いします。

ホーキ星　カオリ星（人）

2007.03.13 Tue

意識が現実に届く時間

３月１２日に新しく誕生した　龍球（地球）は、宇宙全体のバランスを大きく変えたことで、人間一人一人が、すべてのことにおいて責任ある意識と行動をとらなければならない役目の存在になりました。まだそのことを本当に意味で理解していない方のために、このまま人間のするべき役目を無視しつづけると、どういう現実を引き起こすかをお話します。

今回の神事で宇宙の新しいバランスは、完全に変わりました。宇宙の中心に地球が入り、宇宙全体を輝かせる光の星としても役目が与えられました。この地球が光を発するのは、一人一人の人間の心の中の創造と意識による力です。

そのために、人間が生きるうえで持っている「我」と、自分の存在意味を追求するテーマの「存在意味・役目」が、一致したということをまず理解してください。だからもう、宇宙全体の一員として考えれば、私たちの意識世界に、　「個はない」　のです。

「個」が、「全体」と同じになったということです。

２１世紀に入ってから「思うことが現実化する」ということを経験している人なら、よりそのことが実感できると思います。今までの生き方が苦しかったから夢が現実化することは、とてもうれしいと喜んでだけいる時期ももう終わりです。あなたの意識がなぜ、現実化するのかをよく考えてみてください。なぜあなたの個人の願望が満たされるのかを理解してください。

それは、本当に、あなたの力なのでしょうか？

それ以外に力が働いていることを本当に理解しているのならなぜ、それ以外の力があなたのために働いたのでしょうか？その理由を皆さんに教えてあげてください。なぜあなたは、あの苦しいときに喜びや愛の経験を体験させてもらったのでしょうか？

肉体を持つすべての存在たちがいずれ肉体を離れることを知っているのに与えられるこの人間の幸せの経験は、何の意味と目的を持っているのでしょうか？そんなことは関係ないとすべてを無視して、あなたがあなたの好き勝手に生きたいのであればそれもかまいません。ただ、そうではない人たちがいることも理解してください。そして自分は本当にどちらを願っているかを見つめ直してみてください。

この日本においてどちらのタイプの人が増えるかで、今後の日本、世界、地球、宇宙が存在し続けるか、消滅するかが決まります。

見えない世界を信じている人の中にも自分の「我」を優先したい人たちがまだ数多くいますので、すべての人間の魂の目覚めのために実際に、大きな出来事が起こります。

その時期は、２００８年の６月か、７月です。（全体意識の変化で動きます）

この時期の出来事でもまだ私には関係ないと、本質の意味に気づかない方が多いと、今年の１２月には、さらにショッキングな出来事が起きる可能性があります。

今回の地震のようになんとなく思っていても現実に出来事が起きてから、やっと気づく人もたくさんいるでしょう。誰かが気づいたときに、その人たちを道案内をするべき意識の先導役たちが今からたくさん増えないと日本人の意識を宇宙の全体チャンネルにあわせることができなくなります。もしこの時期に間に合わないと他の人たちの現実生活が一気に、崩壊の方向へ動き始めます。一切の宇宙のサポートが外れるということです。

そしてそれは、その人自身が望んだことですので誰も、それを止めることはできません。ですからもう一度、あなたに伝えます。もうあなたの意識世界に「個」はないのだということを認識してください。

自分がしたこと、自分が思ったことの責任は、すべて自分ですから周りの人を巻き込んで、その責任をとらされる時代になったということです。地球の周りにある霊界が無くなる本当の意味は、精神世界や宗教などの意識の世界において遊びの世界が無くなるということです。あなたの意識がそのまま、現実を創る時代になるということです。まだ、わからない方がいるようですね。

ではあなたとまったく同じ人が、地球上にあふれることをイメージしてください。すべてあなたと同じ生き方・価値観・概念・言葉使い・行動をする人たちです。誰にも言えない心の中のこともすべて同じように考えている人ですよ。いかがですか？その地球・・・。

それが、あなたが創造する世界だということです。

その結果が自然界や宇宙やあなたの周りの人が望むものであるのならたくさんの人にサポートされるでしょうし、それが大きな愛の集合意識となって現実を変えていくことになるでしょう。

反対に、もしあなたの概念や創造が自然界や宇宙が望まないものである場合、最後の最後まであなたは、自分自身と戦うことになります。そしてその混乱は、混乱する人たちをさらに招きいれます。

人間が創造する責任を、言葉にする責任を、行動する責任を宇宙を創造する役目の一員として、

責任を取る時代になったということです。あなたの変化を宇宙の神々が待ち望んでいます。ありがとうございます。

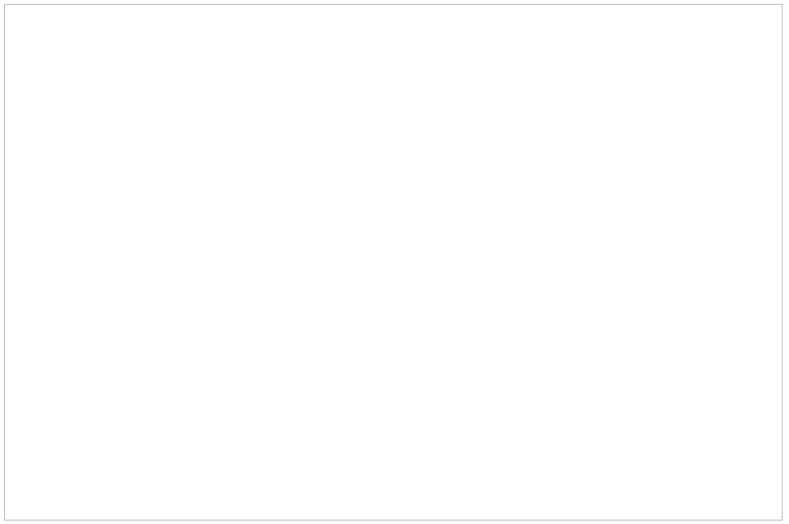
2007.03.13 Tue

天の岩戸開き　久米島神事

まず、琉球王朝時代に、久米島がどういう島だったかをお話します。

琉球王朝時代の王様が定めた規則で、「ノロ」という神人（かみんちゅう）の上に付く役職として任命された特権階級の祈り専門の女性たちがいました。この「ノロ制度」は、各島々にいるノロと、王様から島々の状況を見に回る特別なノロたちもいました。

一般にも有名な久高島のノロの話は、よく聞くと思いますが、それ以外の各島々のノロの話は、あまり耳にしないと思います。それは、久高島以外の各島のノロたちは、さまざまな苦しい体験や経験をしいられてきた事実があるからです。だから、最初に、ここのノロたちを守る神がいる　君南風（ちんぺい）殿内　に挨拶にいきました。



この久米島には、王様の命令で、特別に沖縄本島を囲む島々の中でも、最大に強く守るようにと、たくさんの強い神々を降ろして沖縄諸島を守らせていました。しかし、琉球王朝が薩摩藩の攻めで崩壊してから、この久米島の神々を守る人たちが居なくなってしまったことで、この島の神さまたちは、とても困惑し、そして怒っていました。久米島出身の祈り仲間に聞いても、現在、久米島の正式な神人（かみんちゅう）は、島には住んでいないようです。

昔からこの久米島だけは、あまりに神さまが強いために、４～５名の神人が居ないと、神さまを支えきれないといわれているほど、強く力を持った神々がいらっっしゃいます。

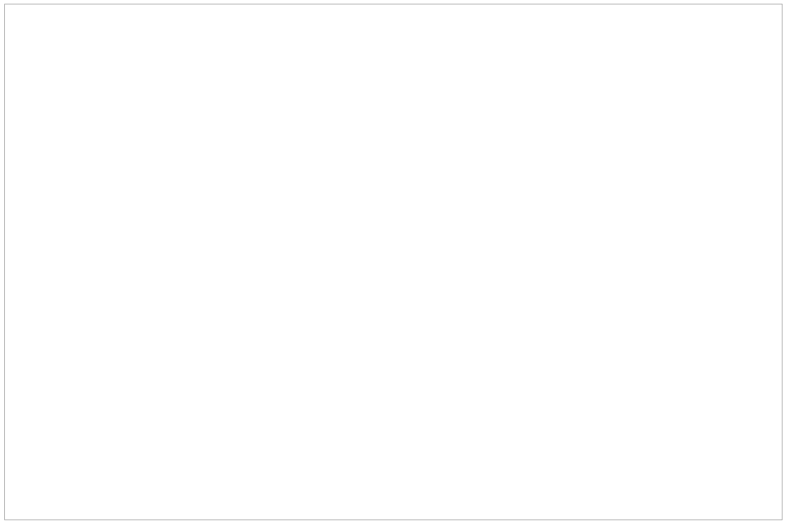
沖縄本島の神人たちも、自分達の祈りでなんとか、この島の神々に立ち上がっていただこうと努力したそうですが、途中で挫折するか、大きなケガをして帰ってきたという話を聞くだけだとい

うことです。

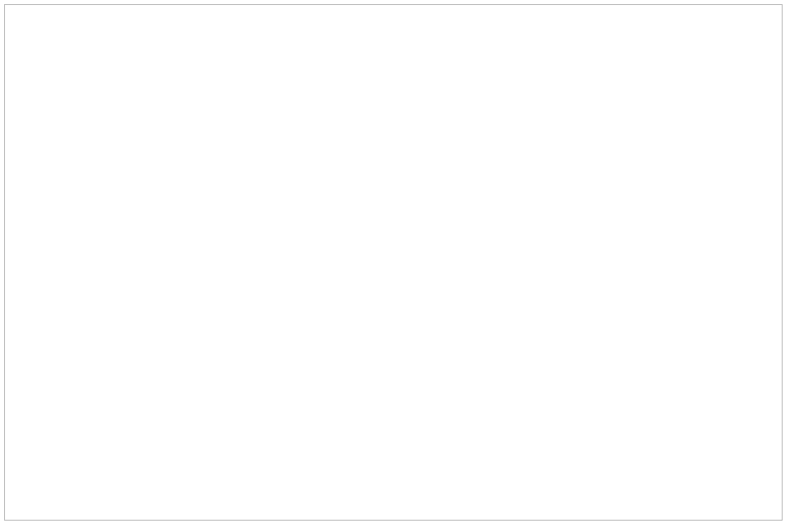
昨年秋、私がこの「沖縄諸島の祈り」を天から気付かされたときに、まず、最初に覚悟したのも、久米島の神さまたちに「愛と調和の祈り」の許可をいただけるくらいに、自分達がするべきことをできるかどうかが、最大のテーマでした。だから私も、５ヶ月間、毎月、沖縄に通い、神々へのご挨拶をしてきたのです。

今回の神事で重要なことは、まず、表舞台にいる久高島の神々に、全ての島々の神を横一線にして、島の階級差別をなくすことを許可していただき、そのことを全島の神々へ報告して回ることが大きな祈りの目的でした。※だから私のＴシャツは、久高島を背負っているのです。そしてこの神事の大切な最後の締めが、久米島です。

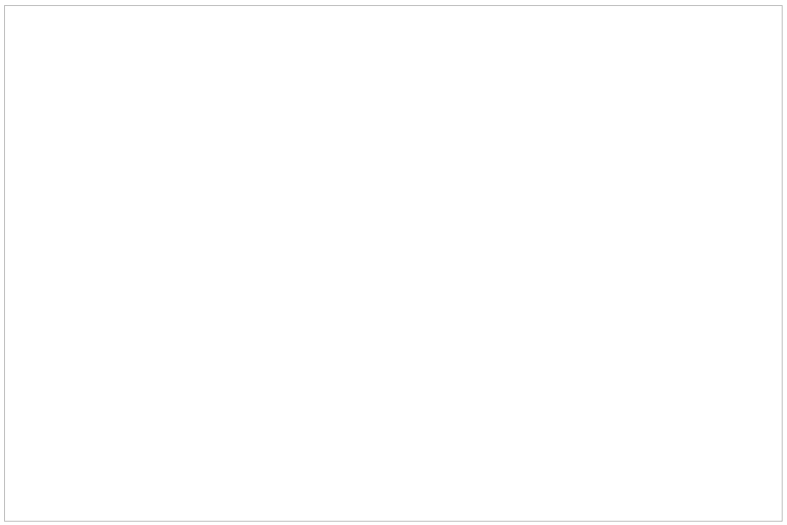
この久米島では、１０箇所の祈りを行いました。
ほとんどの場所は、まだ公開することができませんが、神々を背負って祈るとどういう状態になるかが、珍しく写真に写っていましたので公開します。
※私の頭から背中にかけて白くなっている発光体が、神さまのエネルギー体です。



最後の最後に、地球の核を開く祈りを終えたときに、神々からお礼を言われた私たちは、この喜びを真夜中に、海の底（すく）の神々へ伝えにいきました。このとき、暗闇の海から真っ黒な神さまが出てきて、お礼を言って帰っていきました。



そして、翌日の日の出の祈りです。（なぜか、お神酒をまくと、龍と玉になりました）



この久米島で、地球の核を開ける祈りをすることになったとき、全員の背中に大きな神々が乗りました。この神事が、今まで地球を守ってきた全ての神々の願いでもあったからです。そして実はこれが、本当の天の岩戸神事だったのです。

皆さんが今、さまざまな宗教で信じている神々たちは、この地球を守るために天上界から降りてきたわけですが、人間の欲で、都合のよい願い事の神さまに格下げしている責任を感じて欲しいと思います。

すべての神は、一度、この地球に降りると、自分でその場所を離れることはできなくなります。

さらに、人間が大切にすると言って奉った神の場所を勝手に移動したり、また、放置したり壊したりして、神々の場所を粗末にすると、そこは、いつのまにか”霊場”になってしまいます。神社でも沖縄の拝所でも、淋しい場所や悲しい場所があるのは、そのせいです。

いつも神は、人間のために存在していくれているのに、そのお礼の仕方がわかって居ない人たちが多すぎるのが、とても残念です。

本当は神は、供物も、お金も、一切、望んでいません。
それを望んでいるのは、人間だけです。

先祖神を含む人間神の場合は、生きている人間と同じように喜ぶかもしれませんが、それ以上の大きな力で守っている自然神や宇宙神は、この地球を守ることに気付いた人間をサポートする意外に、望んでいることはありません。

私達がそのことに気付かせていただいたことで、地球の核に眠っていた新しい神々が、この地上世界に出てきました。

その神々は全部で、十五神います。その名前や役目を、まだ、皆さんに伝える時期ではありません

この十五神の神々が、新しくこの地上界に出てきたことで、今まで地球上にいたあらゆる宗教の神たちの存在意味が大きく変わります。

この十五神の神々すべてが　宇宙神　ですので、今まで存在した全ての神の力を超える壮大な宇宙のつながりの力を持っています。

この意味は、皆さんの魂からのメッセージで気付くことになるでしょう。

人間はもともと”神”としての霊性を持って生まれてきたのですから、
神の意識で、現実世界や宇宙を支えるために、命と肉体をいただいたはずです。どうぞ、そのことを想いだしてください。

人間のあり方や生き方を解いているわけではありません。
あなたの霊性を解いているのです。

あなたの霊性が宇宙の一部であることを気付くことで、宇宙における本来の役目ができる時代に入っていることを知らせているのです。

神なる人間を信じ、神なる人たちをサポートするために、わたしたちは、存在しています。

どうぞ、この宇宙空間の中心になった光の星、地球の調和のために、あなたの力をお貸し下さい。

わたしたちは、そのことをいつも皆さんへメッセージとして伝えているはずです。あなたの意識と行動をいつも、見守っています。

＜2007.3.16　宇宙メッセージ＞

あなたは、地球そのものです。

多くの神子を産み出しなさい。

宇宙からの光を降ろして、照らし続けなさい。

ガイアは、光。

宇宙に光を送り続けなさい。

2007.03.12 Mon

龍球王国建国宣言　**2007/3/12**

２００７年３月１２日の沖縄五島祈りの神事を終えたとき、参加した誰一人、想像することができなかったほど、壮大な宇宙の計画の一部の祈りであったことに気づき、与えられた新たなる目的と役目を無事、達成できましたことを皆さんにご報告いたします。

詳細はこれからお伝えしていきますが、本日、３月１５日を一般公開の日として、皆さまへ建国宣言をいたします。

この新しい文字と表現の龍球王国とは、この地球が、龍王神界の龍たちに守られいることに本当に気づいたことで、宇宙を守る使命を持つ私たち人間がこの地球を守る役目として、”宇宙の創造主”と宇宙の全ての神々の許可を得た名前です。

地球全体を今まで「龍」が守ってきたように、「龍」の役目を人間が、「球＝地球」を守ることを意味しています、

それは言い換えると、これから起きる全てのことを私たち一人一人が、過去の一切のカルマにとらわれることなく、新たな地球を創造し生み出していく責任を持ち、宇宙調和のための愛の意識次元に到達したことを意味しています。

この情報をもう直接メッセージで受け取っている方もいるでしょうが、沖縄神事に参加して私たちに降りてきた”宇宙のおおもと”からのメッセージを皆様へお伝えいたします。

宇宙メッセージ　２００７年年３月12日

この上を繋ぐものとしてあなたに告げることがある。

人として、神として、宇宙の大本から繋ぐエネルギーを表す人として、繋ぐ役目をこれからもよろしくお願いする。

”そのとき”が来るまで、その時期が来るまで、その人が現れるまで、”繋がるときの人”として、涙を流さず、愛を語り、”時の知らせ”を告げること。

時を、人を、時空を超えて宇宙を繋ぐ人として表した人間だから、神に従わず、人に従わず、時には、そむくときもあるだろうが、”時を刻む人々”を守り、導き、命と魂を繋ぎなさい。

「時」を表す”ものさし”はなく、時空をまたいでいる人々。

その理由を解き明かすとき、時・人・場所があらわになっている。

地図を見よ。その場所を示す。（このとき日本地図を手に取る）

沖縄

・その古い時を表す土地。

九州

・人のつながり・因縁を表す土地

四国

いつくしみを表す土地

中国地方

・永らく待たせた神のいる場所

中越北陸中部地方

・山々を繋ぐ神々がいる場所

福島・山形（東北の下）

・命を繋ぐ証しを示した場所

東北地方

・命のつながりの”いにしえの道”をしるした場所

北海道

・新しい命魂が生まれる場所

・山々の神々が住む場所

・いつくしみを愛に変える場所

・厳しさを愛に変える場所

・愛を芽でる場所

・愛を生み出す場所

”いつくしみ”を例えるなら”絆”となろう。

命と魂のつながりを絆として表した場所

「クロス十字丸」は、真新しい日本・地球を作り出す印

真ん中で光り輝く光があるうちに、命をつなげよ。

四方の光は、いずれひとつとなって働くときがくる。

そのとき、その人たちは、時空を超えて力を借し合い、出し合い生み出す。

人々を救うだけでは、地球は救われない。

”地球を愛でる力を持ちなさい”

一人一人が愛を生み出す力を持ちなさい。

このあと、時空を超えた旅人（男）がやってくる。

その人に印（旗）を見せなさい。

彼は、”おおもと”が生み出した人。

マスターそのものの人。

創造主そのものの人。

導かれながら作り出す全ての知恵・物・建物・金のもの・銀のもの・天然のもの（石）・サンゴ・人の魂を創り出した人。

”あのとき”は、終わらない。

あのときは、いつも、その人の中にある。

その人は、男なり。

男だからとて、女となりている者たちは、はばからず、あいまいにせず、口を出さず、一言一言をつなぎとめなさい。

「時」をつなぎとめる役、それが皆さんです。

（吉岡ごと）

青を表しなさい。青の役目をしなさい。伝えるのです。真実を。

この情報を明かすのです。

時がきました。

”あのときこのときの神”は、あまり時間がないと言っています。

宇宙の縮小が始まるときが、まもなくだからです。

時空を超えたものたちへ、そのことを知らせなさい。

知らせる役目は、あなただけですので、しっかり守って果たしてください。

あのときそのときの神（人）は、あのときこのときの人が、今、宇宙を忙しく走り回っている。
宇宙を飛び越えて走っている。

急いでいる理由は、一人だけではなく、みんなが時空を超える役目を持っているから。

あの男が戻ってくるとき、あと一度だけ、”時のすきま”を伸ばすことができる。

そのためにも、人々を眠りから目覚めさせなさい。

「時」を支える人々を押し上げてください。

あなたができることなので、よろしく頼みます。

ありがとうございます。

あのときこのときの人が、今、泣いている。

いつもみんなのために、たくさんの時空の扉を開けているのに、その扉を閉めてしまう人々が多くいるから、いつも彼は泣いている。

「何のために、私はこのことをいつまでするのだろうか？」と。

泣かせてはいけない。

時空を超える人が泣くと、時空が縮む。

「八の西（とり）」を守っているその人を見つけ出しなさい。

八方の西（とり）を守るひとだから。

しっかりみんなに伝えるように！

〇吉岡学の役目・・・宇宙のつながりを守るものなり

〇２００７年３月１２日久米島から那覇へ向かう飛行機のなかで受け取ったメッセージ

〇龍球王国　建国記念日　２００７年３月１２日

〇地球の核を開けた人たち

吉岡学・島田N・島尻M・上原S・大城S・玉城C・玉城N・金城M・猪子R・桑村H

にへ～でーびるさい（ありがとうございます）
2007.03.12 Mon

2007年　宇宙と地球を繋ぐ祈り

2007年　宇宙と地球を繋ぐ祈り

宇宙空間に無限に存在している”時の流れ”を太陽暦・月（陰）暦・グレゴリオ暦・マヤ暦などのように、三次元に置き換えたさまざまな暦の意味は、 実は、「宇宙の次元ごとの時の流れ」を表しているものです。

この”時”というあらゆる次元との繋がりを示すものさしは、２００７年３月１２日に地球の核を開けた事で地球が宇宙の中心の光の星になり、宇宙空間すべての”時（次元）”のチャンネルにつながる”時の責任”を人間が持つことになりました。

しかし、 現状の地球の状態を見てもわかるとおり、このままの人間の集合意識では、２００９年１月１１日から 始まる”宇宙全体の縮小”をくい止めることができません。

この ”宇宙全体の縮小” とは、地球を含めた宇宙全体の星と宇宙空間の消滅 を意味しています。

祈りの目的と意味

未来を創る大切な子供たちの命を守るためにも、地球全体の愛と調和の波動を上げるために、過去から人間が犯してきた全ての罪を許し、大きな愛で全てのことを受け止め育むためにも、私達一人一人の意識を ”ひとつ” に合わせることが、今、とても重要なことになっています。

この地球という大きな生命体の意識に大きく影響している人間の ”集合意識” を、歓びへと変化させるためには、一人一人 がこの地球を、そして、すべての宇宙空間を自分が守るという強い意識を持ち、祈りという集合意識のなかで宣言することが、全てを分離させた要素である”個”という概念を超える ことができます。

この祈りの目的は、私達人間の本質に眠っている”もともとひとつ”という集合意識を想い出すキッカケ とし、それが大きな愛の光エネルギーとなって宇宙空間に広がり、宇宙のすみずみまで届いたときに、この全地球を守っている宇宙のすべての神々と意識が重なりあいます。

これは本来、人間の意識が、「愛そのもの」であることを想い出すことを目的としながら、地球を守るために生まれてきているたくさんの地球の子供達に注ぐ光のエネルギー の祈りとしてご理解いただいて祈りにご参加下さることをお願いいたします。

「日本は、世界の雛形」と呼ばれる理由のとおり、日本に生まれた皆様の意識が集うことで、新しい世界の意識を生み出すことができるのです。

日本人に生まれた意味を思い出すためにも、どうぞ、あなたの行動をこの祈りから始めてください。

なおこの祈りは、宗教・民族・国家の違いを すべて問わず、地球に存在するすべての人間を対象として呼びかけています。

どうぞ、あなたの知人へへ、”宇宙と地球をつなぐ祈り”の情報を お伝え下さい。

祈りの時間（都城王国ダイヤの地　沖縄の瀬織時間）

２００７年１１月１７日(土)　昼食時間 午後１２：１０分　～ ３７分間

祈りの場所

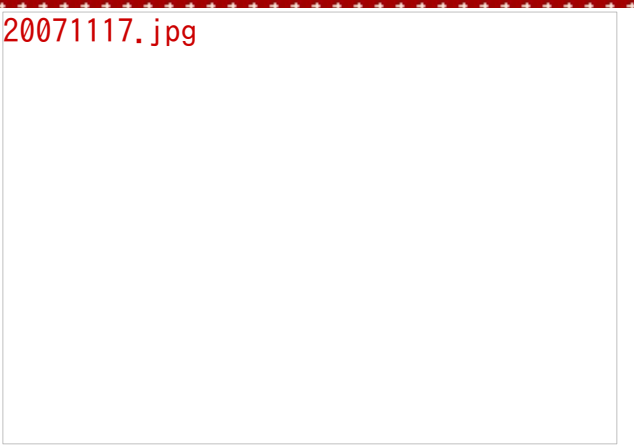
あなた自身が祈りをささげたいと感じる場所で祈ってください。

お仲間と集うことも、一人で部屋で行うことも、形式を問わず、すべて は、あなた自身の魂の祈りとして行ってください。

沖縄各地と北海道の各地では、神人たちや一般の方々が、島の岬の先端に立 って、その島のエネルギーをつなぐ祈りを行います。

日本全国の祈り

20071117.jpg



※日本全国でこの祈りに参加して下さった方の場所をポイントしています。

祈りの言葉

※強制はいたしませんが、お願い事は一切せず、次の言葉を唱えて、感謝の祈りのみを繰り返してください。

「すべての存在が、宇宙と一体になりますことを感謝いたします」「そして、私がこの地球を守ります」　「ありがとうございます」「ありがとうございます」「ありがとうございます」

宇宙メッセージ

『皆様の本日の祈りによって、宇宙と地球の時間軸のつながりは、正しくつながりを復活することができました。

これにより、この全ての次元をつなぐ時間軸を守る責任と役目が、人間の役目となり、その責任

はとても大きなものになりました。

この”完全自己循環エネルギーによって、すべての責任を自らが問われる世界は、あなたたち人間が、本当に何を望むかで決まります。

どうぞ、その血の証を、明日の日の出と共に宣言して下さい。

2007年11月18日 月の上昇り

皆様の宣言、確かに受け取りました。これからの地球と全宇宙の未来は、皆様一人一人の意志と責任とともに、私たち神々、そして、宇宙すべてを守護する存在たちの意志と同じくなり、その目的を果たすために共に働きます。すべての人間の意識が”ひとつ”となりますことを心より願っています。ありがとうございます。2007.11.18

2007.03.11 Sun

2007年　沖縄諸島の調和を整えなさい

2007年　沖縄諸島の調和を整えなさい

DSC_0061.jpg

2006年３月末に、宮古諸島調和の祈りを終えるとすぐに

沖縄諸島の調和を整えなさい

という啓示が入りました。沖縄本島在住の知人を頼りに宇宙につながる大切な役目を持つ神人を紹介して頂き、歴史上、日本国が沖縄の地に残したカルマを清算して新しく愛と調和の祈りに参加する仲間を集うことにしました。

沖縄諸島の土地や人の心には、第二次世界大戦に代表される戦争の傷痕の前に、琉球王朝時代の繁栄と崩壊の陰で泣いたたくさんの人の思いがカルマとなって残っています。

その思いを理解し受け止める対話の中で、ご先祖や神々が守る意志を現代の日本の方に繋いでほしい事が各島の神々と対話してわかりました。

ご先祖に代表される人格神たちは特にその思いが強く、

お前に沖縄の何がわかるか！

と厳しい言葉を投げかけられたことも何度もありました。火や水や風や大地を守る自然神たちは過去も今も、人間の都合で自然を破壊することについて地球のエネルギーバランスが壊れることを嘆いています。

地球を守るために降りてきた大きな宇宙神たちは、

地球の存続は
あなたたち人間の行いしだいです

と、これからを見守るだけだと伝えてきます。この神々の思いを理解し、現代の人たちに何が本当に大切なのかを伝えることこそ、神が望む宇宙意志だと感じています。

約5ヵ月間、毎月、通って聖地の神々と対話した沖縄諸島愛と調和の祈りは、2007年3月7日～3月15日の「沖縄諸島　愛と調和の五島祈り」で最終仕上げになりました。

琉球王朝時代の大きなカルマの解消は、新しい地球の名前が

龍球王国

という呼び名が降りてきた事で、過去のカルマが終えた事を告げられました。また新しい地球「龍球王国」を守る為に、宇宙から十五の神々が降りてきたことで新しい時代の幕開けだと感じます。この愛と調和の五島祈りの中で訪れたウタキの神は、地球の底の底の底を守っている大きな神ですが、

天の岩戸を開きなさい

という神の啓示が降りました。

天の岩戸神事の詳細はこちらをご覧下さい。

これまで沖縄の聖地に100か所以上足を運びましたが、この神事で訪れた場所がが重要だからこそ、地元の方が場所の公開を望んでいない情報がありますので、一部のみを公開しています。

◎沖縄諸島　愛と調和の五島祈りの日程
2006年11月11日～2007年3月16日
３／８　　伊江島　　３箇所祈り
３／９　　伊是名島　２箇所祈り　＆　伊平屋島　３箇所祈り
３／１０　久高島　　数箇所祈り
３／１１　久米島　　数箇所祈り　＆　大島祈り
３／１２　久米島　　諸島祈りの感謝の日の出祈り

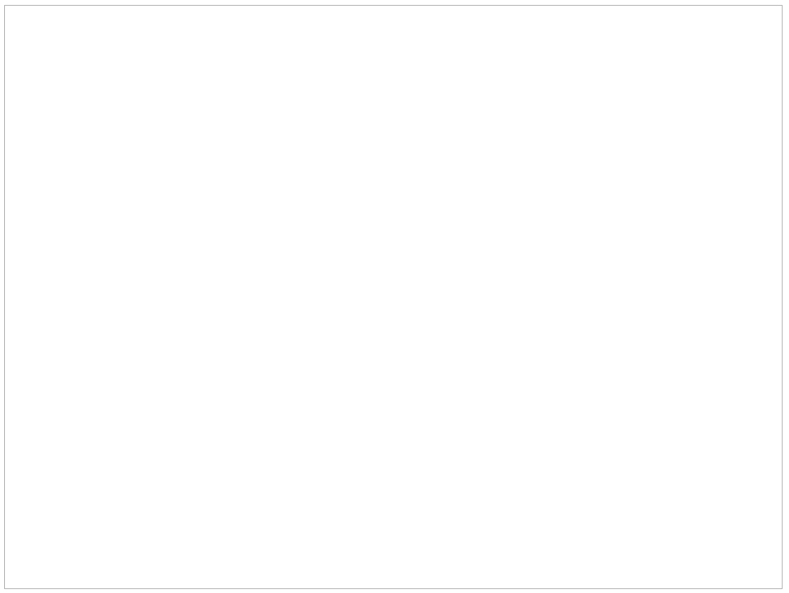
沖縄諸島　愛と調和の五島祈り　3/8-3/12
浦崎芳子神人の生まれ故郷　伊江島　3/8
新しい神との対話
神様からのお礼　斎場御嶽（せいふぁうたき）
龍球王国メッセージ　3/16

2007.03.11 Sun

神人　浦崎芳子さんの生まれ故郷　伊江島

沖縄の戦没慰霊の御霊上げを昔からされている浦崎芳子 神人に、1/15にご挨拶したこと際、今回の私たちの祈りに心あわせして下さる言葉を頂きましたので、伊江島祈りができたことを心から感謝いたします。

今まで毎日、雨続きの中の寒い祈りでしたが、参加者全員が来るのを喜んでいるように、天候も素晴しく晴天となりました。伊江島の港から見える高い山が、「城山（ぐすくやま）　俗称：たっちゅう）」と呼ばれる神の山です。実はこのタッチューの山は、１２月の沖縄祈りの時から、来て欲しいと呼ばれていました。



島に着いたときから、一気に、この島の霊たちが私の身体に乗ってこようとします。きっと、伝えたいことがたくさんあるのでしょう。でもじっとその気配に耐えながら、山へ向かいます。

山のふもとから車で坂道を登っていくと、「入ったな・・・」と不気味な声が聞こえてきます。この山は、ふもとの坂道から山全体そのものが「霊場」になっていたのです。だから霊場に足を踏み入れた者は何をする奴かと、あちこにちにいる霊が、こちらをにらみつけています。山の登山口の横には、小さな広場と売店とウタキがあります。

この島の祈りの目的は、過去、守ってきた不浄御霊の霊たちを天上界へ上げてあげることが目的でした。でもそのことがわからず、霊たちが警戒態勢になっているのもわかります。ウタキの階段の下で、ここの神さまと話をしようとすると、私のことを警戒して、「お前は入るな！　お前以外の全員は入っていいが、お前は入るな！」と言われます。

こんなことを言われたのも初めてですので、神人（かみんちゅう）２名に、神さまへの中持ち（通し許可）をしてもらいます。おかげで、このウタキの正面に上がって祈ることができましたが

、サワサワといろんな霊たちが、まだ私の周りをうるさく動き回っています。

私はここの山神さまへ、まず今まで守ってくれたことに感謝しました。そして、この島に集ってきている御霊全員の希望である天上界への光のラインを創りました。この光の道筋は、全ての御霊のふるさとへ帰る道ですから、どんな不浄御霊もあがることができます。時間をかけて丁寧に、その光の柱と天を結びました。すると、そこを守っていた神様から、初めてお礼を言われました。

そこでひとつだけ、ここの神様に役目を与えました。

これからすべての不浄御霊を挙げる場所を守る役目です。

これで、この場所は、「霊山」から「神山」へ変化したことを意味します。

世の中にたくさんの御霊上げをする方がいらっしゃると思いますが、その御霊の行き先は、霊能者自身のつながっている次元の高さまでとなっています。

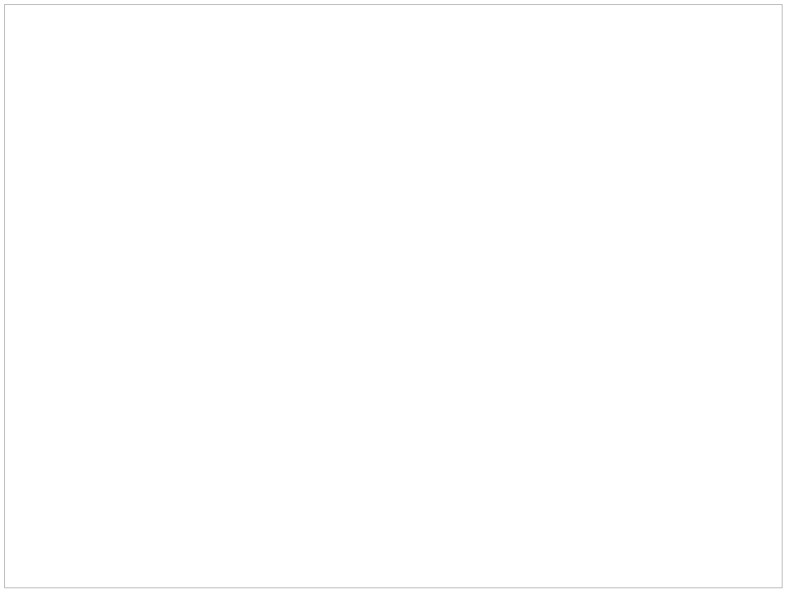
その自分のつながる次元を守るのが、霊能者の役目でもありますし、この現実界と霊界とのつなぎ役が、”生まれ”と呼ばれる霊的感覚の持ち主の使命です。私も今までたくさんの霊能者や神人に逢ってきましたが、その人が人間として喜んで生きる人生をまずすすめます。

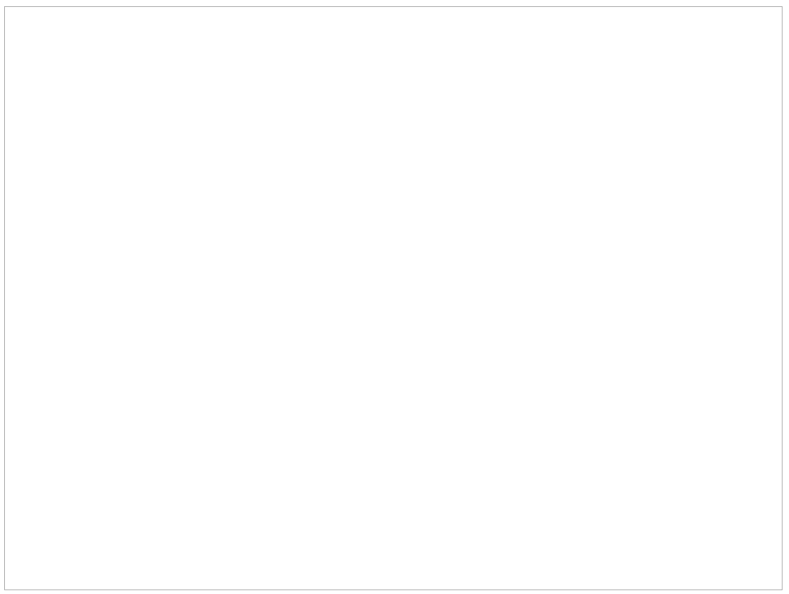
生まれながらの霊能者の体験することは、同じ道を通ってきた人しかわかりません。私もそうだったからこそ、その道の役目を喜べる生き方をして欲しいと願っています。人に喜ばれる生き方より、まず、神に喜ばれる生き方をまず、お勧めします。そして、それができてから、人に喜ばれる道を見つけても遅くないと思っています。

不浄御霊が１万霊以上集まる場所へ足を入れる意味は、霊能者自身にとっても、厳しい体験ですが、目的を成し遂げた喜びは、神のお礼と御霊たちの笑顔でしょう。すべての霊能者たちの魂が、愛と喜びで過ごせる時代になりますよう祈ります。

伊江島　男女和合の祈り

城山（ぐすくやま）の祈りを終えて、次は、阿良ウタキに行きました。





この阿良ウタキからは、城山（ぐすくやま）がまっすぐ見えます。私たちの後ろには海があり、海で亡くなった御霊たちが行き場所を探していましたので、このウタキを通して、城山から天上界へ昇れるラインを私たちの祈りでつなぎました。そして、この島最大の洞窟であり、人間の内

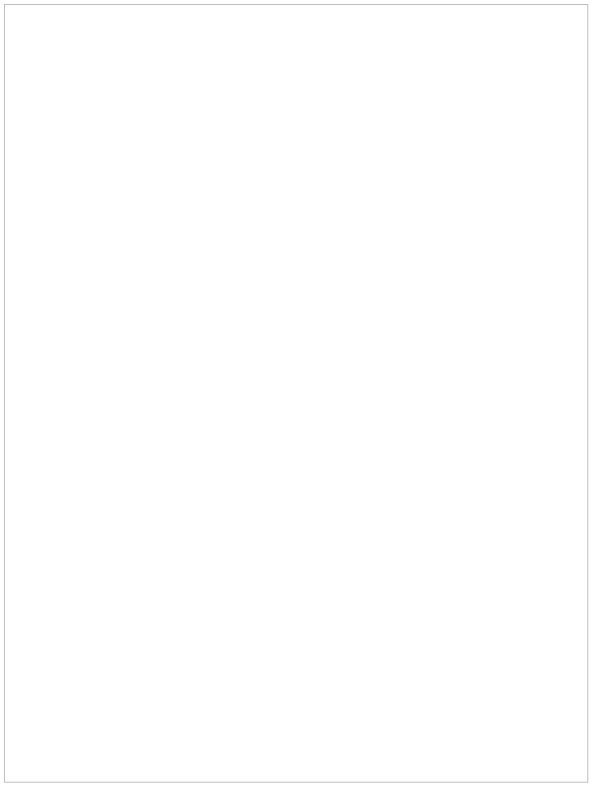
臓を生み出したといわれている神々が住むニャーティ洞窟に向かいました。

この洞窟に降りていくときに、ものすごい数の霊たちが入口付近に集っていました。強力な祓い清めの儀式をしてから、全員で中に入ってみますと、ものすごく広い空間が広がっています。
ここに以前は、観音像を奉っていたそうですが、どうやら盗まれてしまったようです。

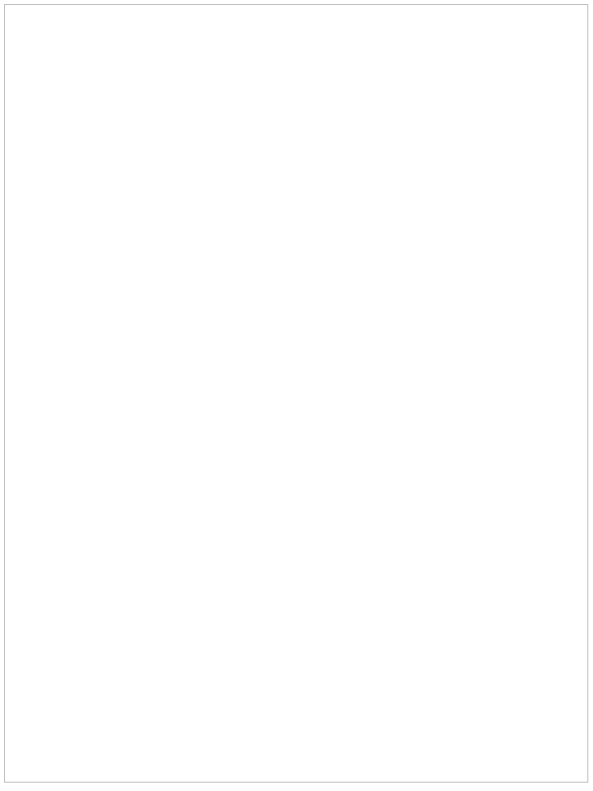
場の気が乱れているのも、そのせいでしょう。この洞窟の中には、男神と女神がそれぞれ奉られている場所がありますが、エネルギーがつながっていませんでしたので、新しい場所を祈り場所に設定して、男女和合の祈りでつなぎました。

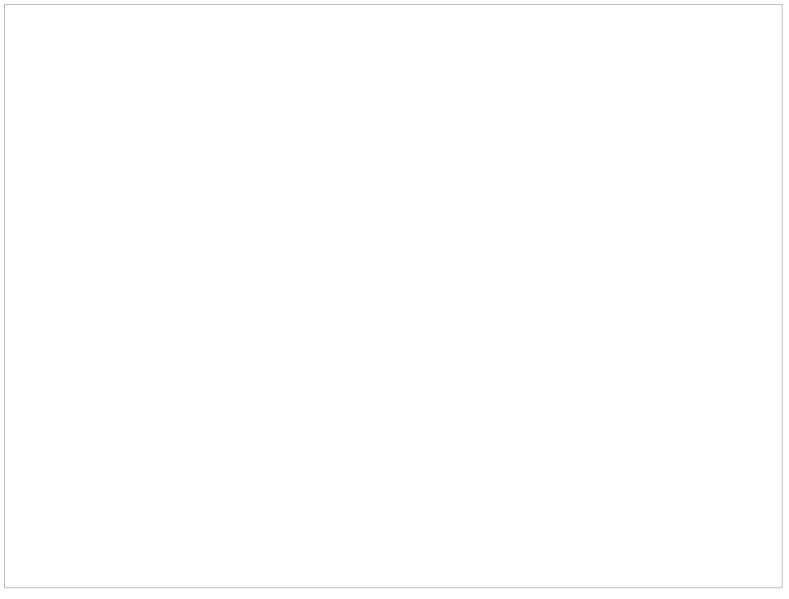
「これから新しい子供達をたくさん産むように！」と伝えて、ここの神々たちに守る喜びを伝えました。このとき、神々からの直接、お礼の言葉をいただいた人が数名います。

私もあまりに場の変化したエネルギーが気持ちよかったので海へ出てみると、体中から光が溢れ出てきて、発光体になってしまいました。



最後は、真水と海水が重なる場所、湾口龍宮神と呼ばれる「湧出（わじー）」という場所です。強風の中、１００ｍ真下の水の神と海の神のつなぎ祈りをしました。真水は「男性の精液」を意味し、海水は、「女性の羊水」を意味しています。その二つの命の水の和合により、新しい生命が生まれることを神々に感謝いたします。



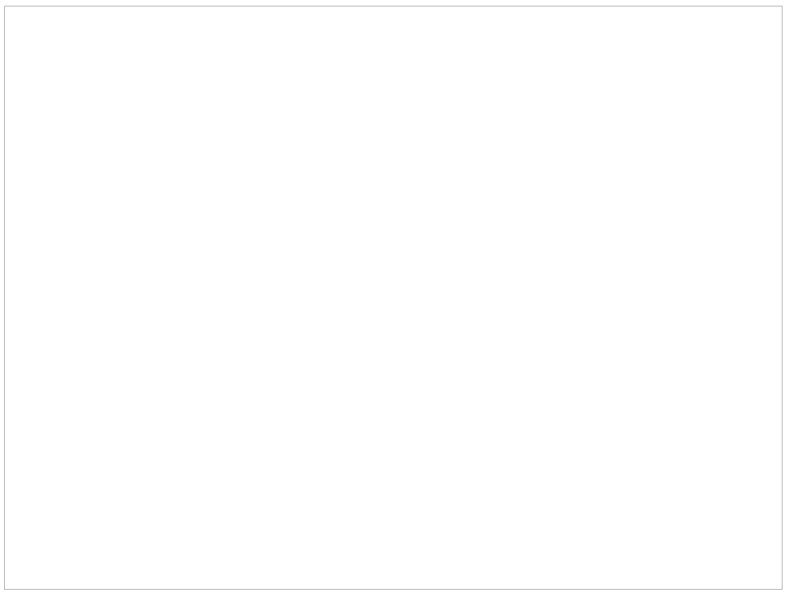


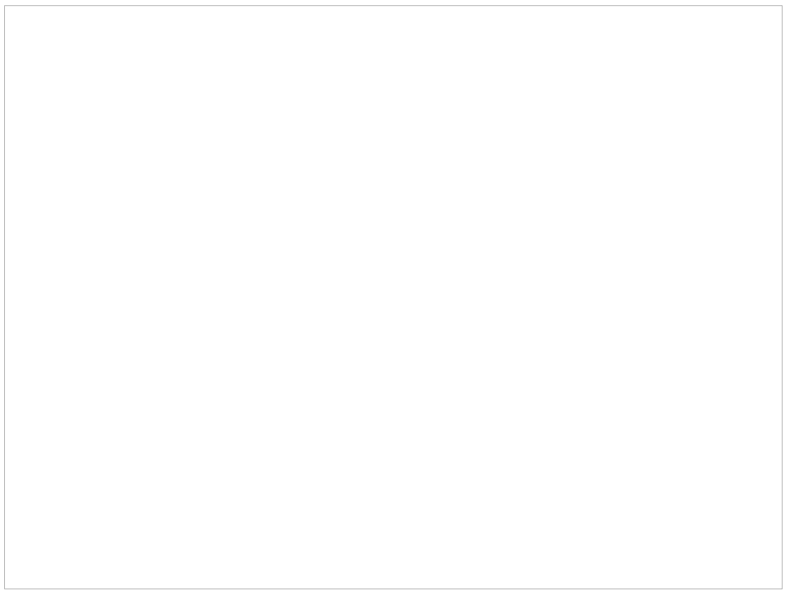
2007.03.10 Sat

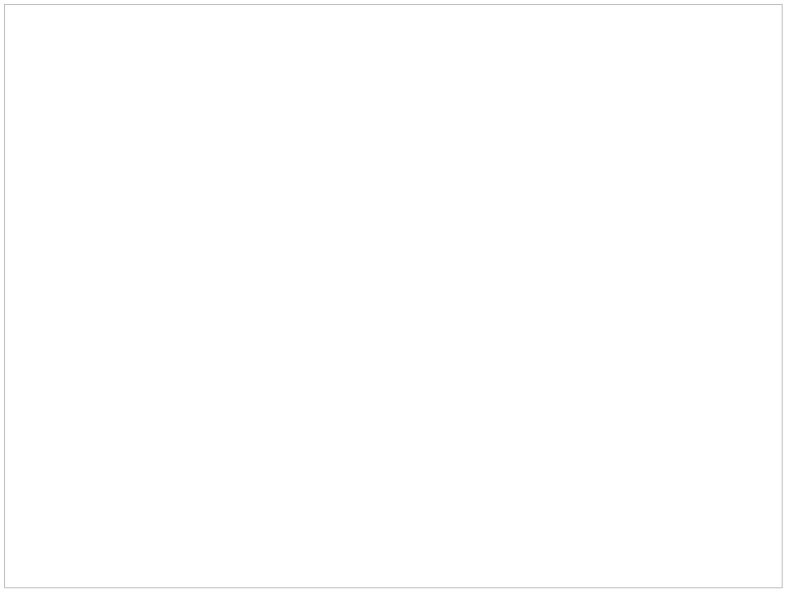
伊平屋島　神さまの証文

沖縄諸島　愛と調和の祈りで訪れた大切な場所で、たくさんの神さまや精霊たちがオーブの形で喜びを表してくれました。
この神事を喜んでくださっている神様たちの姿をご覧下さい。

今回の神事の成功を宇宙に、そして、地球を守ってくださっている神様に、そして、地元を守ってくださっている全ての人々に心から感謝いたします。ありがとうございます。







2007.03.09 Fri

沖縄諸島　愛と調和の五島祈り

２００４年に、沖縄　伊良部島の白龍の神さまに呼ばれて、宮古諸島や沖縄本島に何度も足を運んでいるうちに気付いてきたことがあります。

それは・・・

沖縄という土地の神さまの存在意味を深く理解していくと、「日本というアジアの最果ての地までたどりついたさまざまな民族たちが、大切に守り続けてきた風習やルーツやその精神を守り続けている土地であり、その大切な情報や知恵が、現在の日本人の精神や意識構造に深く影響している重要な場所」　だということです。

これは説明するのに、日本の地形をよく”龍”の形に例えていいますが、北海道を”頭”として考える場合、その”目”にあたる位置は、然別湖という北海道で一番高い山の上にある湖にあたります。

この然別湖には、アイヌ民族から伝わる大切な神話でも紹介されていますし、現在は、二匹の龍が仲良く”日本の目”を守っています。また、沖縄諸島全体の島々を”小さな龍”としてとらえることができます。

この場合、”沖縄諸島”が日本の領土の最南端に位置していますので、未来を変える新しい子供の龍が、大人の龍（日本）に見守られる子供の龍（沖縄諸島全体）ということになります。

人間の親も、子供の生き方にいつも注目していますし、その子供の将来に影響を受けます。

だから日本の今後のあり方を考える時、今、中国やアメリカが、沖縄の土地を自分の領地として、押さえたがっている意味が理解できてきます。

沖縄の重要な聖地を祈るとき、必ずと言っていいほど、アメリカの領地となっていますので、アメリカ軍の許可を得て拝所（うがんじょ）に入っていくという状況です。

この沖縄の人たちが古来から守ってきた神所（拝所）の扱いや神意識には、日本人が忘れてしまった大切な民族のルーツや宇宙観がありますし、未来に引継ぐべき大切な魂の指導役として神所を守るすばらしい人たちが生まれています。

沖縄の土地では、現在の精神世界に溢れている”技法や技術”の世界ではなく、古い土地や先祖から受けるあらゆる意識エネルギーの情報を正しく伝える神人（かみんちゅう）と呼ばれる人たちが、たくさん生まれています。

この神人（かみんちゅう）たちは、霊的なことの取扱いを学ぶことから始まり、あらゆる神の意味とそのつながりを学び、ときには、宇宙につながり神の存在意味を皆さんに伝える大切な役目を持って、日々、自分磨きの日々として精進されています。

また神人以外にも、神さまの重要なことを伝えるすばらしい人たちもたくさんいらっしゃいます。今回（3/7-3/12）の神事でご一緒する沖縄の方たちは全員、素敵な魂の役目を持たれていらっしゃいます。

今、日本全体が沖縄ブームですので、音楽・料理・文化・伝統を伝えながら大きな観光産業に発展していますが、訪れる人たちが、自分の土地の便利なルールと都合を要求すればするほど、沖縄の土地の重要な聖地は、破壊されていくのが現状です。だからこそ、私はみなさまにお願いしたいと思います。

私たちは、沖縄という神の聖地に足を踏み入れるとき、まず、その土地のルールを学び、地元の人に喜ばれる観光客として、見本を示していくべきだと感じています。

日本が守るべき聖地、それが、沖縄諸島です。

このことが本当にわかったの理由は、2/19に、宮古島にある”天川（あまがわ）の龍宮神”と呼ばれる地下２０メートルの真っ暗な鍾乳洞の中で祈ったときに、そこに、数億年の昔から大切に守られている”龍の卵”をそっと神さまに見せてもらったからです。

もうひとつの沖縄の場所の意味として、太平洋に沈んだ「ムー大陸」の時代にも、重要な場所であったということです。

これは、　宮古島の石庭（いしにわ）　に足を運ぶとわかりますが、地下に埋まった古代のムー大陸の石を掘り返していますので、その時代の石のエネルギーから大切な宇宙メッセージを感じたり、読み取ることができます。

与那国島の海の底で見つかった「海底神殿」もムー大陸の一部ですが、実は、この沈んだ大陸は、太平洋や日本のあちこちの海の底に、今でも存在して、宇宙エネルギーを発しています。

私たちが海の中だと思っている世界は、実は、陸続きの”陸地”なのです。

その陸のつながりの一部だけが、意味を持って隆起してきた場所が日本ですし、さらに、そのムー大陸の時代の情報を多く持って隆起したのが、沖縄諸島なのです。

地球上の陸地は、過去、何度も海の底に沈み、また、理由があって、隆起することを繰り返していますが、唯一、一度も、沈んだことがない場所が、実は、”北海道”の大地なのです。

まだ、北海道の大地の本当の存在理由を明かす時期ではありませんが、まず、　「自分の生まれた土地の意味」　を一人一人が本当に理解することで、あなたの魂の役目に到達する時期が早まることでしょう。

あなたの魂は、あなたが選んでこの時期に、その土地へ生まれてきたのです。

それは過去の歴史の混乱や戦いの民族意識を超えた、新しい”地球民族意識”を一人一人が創りだしていく使命を持って生まれてきているからです。あなたの創造性と行動が、新しい未来を創りだすのです。

2/21に、沖縄本島でお会いした大国みろく大社の比嘉吉丸さんのお話のなかからも、大切なことを気付かせていただきました。世界の愛の調和は、日本人の魂と意識と行動の調和から始まります。

●3/8-3/12の祈りに心あわせをしてくださる全国の皆様に心から感謝いたします。現在、決定しているお祈りの予定をご案内いたします。

３／８　　伊江島　　３箇所祈り

３／９　　伊是名島　２箇所祈り　＆　伊平屋島　３箇所祈り

３／１０　久高島　　数箇所祈り

３／１１　久米島　　数箇所祈り　＆　大島祈り

３／１２　久米島　　諸島祈りの感謝の日の出祈り

ありがとうございます。
2007.03.03 Sat

神さまの裏話

2/18の宮古島講演会でお会いした素敵な方たちをご紹介します。

京都出身で現在、宮古島に在住の栗原信子さんは、かわいいシーサーの陶芸家で、素敵な龍の絵も描いている方です。宮古島へ行かれる方はぜひ、一度、足を運んで見てください。

もう一人素敵な男性と出会いました。この男性は、矢野さんといいますが、沖縄三線音楽　クイチャーパラダイスの舞台監督をされている方です。そしてなんと、この方は、沖縄諸島最強の神所である「大主神社（別名：ウハルズウタキ）」の分所である平良市西原の大主神社を守っている一人だったのです。

池間島の人口が増えた昔、伊良部町佐良浜、平良市西原に移住した人たちは、「大主神社（別名：ウハルズウタキ）」の分所を大切に奉っています。今回、この矢野さんの案内のおかげで、初めて西原部落に中に足を踏み入れることができました。

池間民族意識のつながりはとても強く、今でも毎年、各部落持ち回り制で３部落が集って交流会を行っているそうです。（今年は、伊良部島で行ったそうです）

さらに、この西原地区では、今後もこの大切な神所を守るために、「神さまの勉強会」を大人たちが定期的に行っています。歴史学者や神人（かみんちゅう）を呼んで勉強会をしていることで、歴史の裏話がわかってきたと教えてくれました。

西原地区では、特に男性は、数え五十歳から七年、女性は数え四十七歳から十年間、祭祀（さいし）を行う「ナナムイ」という役目を務めます。

この「ナナムイ」に入会後は「スジャウヤ（男の先輩）」や「アニパー（女の先輩）」ら年上の人を徹底的に敬うという慣習があり、そのための礼儀作法や言葉遣いをしつけられるそうです。

目上の人を敬う「縦社会」の厳しさ。同期生が結束する「横の連携」。子供たちへの「文化の伝承をこういう形で、今でも守り続けていることに感動しました。

翌日、この男性に案内していただいた西原部落の拝所は、とても閉鎖的な面、大切に守られているものを感じました。毎年秋に行われる豊年祭（ゆーくい）では、１３箇所あるウタキのうちの９箇所を祈り回るそうです。

特に感激した拝所は、「毎年、地方に住んでいる全ての家族を神様にご報告する”神さまへの戸籍登録”の拝所」です。

この神さまは、とても重要な役目をされていて、登録した家族が世界中のどこにいても、池間民族として守ってくださっています。

宮古諸島のウハルズの神さまの力はとても強く、私が沖縄地方で今まで祈ってきた拝所のなかでは、一番高い位の神さまです。

この神さまがどこから来たかというと、実は、宇宙神界から降りてきた神さまだからです。

そしてこの沖縄の地や日本全体を守る神様が、龍の神さまですが、そのなかでも白龍の神さまだけ、宇宙神界に所属しています。

この２神の席を、一年に３日間だけ陸地になって宇宙の神々が降りてくる場所　八重干瀬（やびじ）に、昨年３月、２席設けた意味は、地球上で始めて行われる宇宙神界の宇宙会議に、沖縄の神々も同席するという意味を持っています。

まもなく始まる沖縄諸島　愛と調和の祈り（3/8～3/12）は、このための大切な魂磨きと神の化身として祈る祈りとして、沖縄本島の方と合わせて８名の方が参加されますが、もうそれぞれの方に、龍の神さまから大切な準備や覚悟のためのメッセージが降りてきているようです。

宇宙において大きな意味を持つこの神事は、人間が祈りを行いますが、その祈りは、天と地を結び、宇宙につながり、人間を越えた全ての存在のへの感謝の祈りとして行います。

ですから、参加される人が、人間の”我”を持って入ると、その我の全てを破壊されるほど、強い霊気とエネルギーのなかに囲まれてしまいます。

準備は、もう始まっています。

この３月・４月に行われる沖縄の祈りによって、ものすごく大きなエネルギーが、日本全体に、

エネルギーバイブレーションとして届くことも皆さんにお知らせしておきます。

３月の祈り期間は、３/８～３/１２ですが、この期間、２４時間、神とつながりっぱなしになっていますので、全国で祈り合わせをして頂ける方は、どうぞ、毎朝、心を合わせてくださることをお願いいたします。

天と神の祝福を神事に参加される皆さんへお、どうぞ送り下さい。

神の加護をあなたに！

ありがとうございます。

2007.02.28 Wed

パワースポット石庭と宮古島講演会

旧暦の元旦の２月１８日は、海の神さまに感謝して伊良部島の港に停泊する全ての船に、素敵な大漁旗がなびきます.

宮古島に足を踏み入れると必ず訪れる場所が、新城定吉さんの所有するパワースポット「石庭（いしにわ）」です。

船井幸雄さんの本で石庭の写真を見て、ものすごいパワーのある場所だとわかってから、２００４年に初めて訪れて、足を運ぶたびに、石庭のエネルギーが変化しているのには、驚かされます。

特に今回は、ものすごいエネルギー場に、次元上昇しているところがありました。※詳しくは「石庭（いしにわ）」

８３歳になる新城さんのお話は、１７年前から石庭に拝所（うがんじょ）を持って神に祈るようになったときのお話と、私が天の勅命で、沖縄を祈ることになったことを重ね合わせて、神事の重要さ教えていただきました。

特に、１９９０年頃に、宇宙のメッセージを受けて日本を祈り回った”喜屋武（きゃん）さん”の話が印象的でした。とても霊力のあるこの方は、日本中を祈り回り、天の岩戸神事も行っていたようですが、最後は、自分の欲とオゴリで命を落としたようです。

彼の最大の失敗を新城さんが話してくれましたが、この石庭のエネルギーを他の場所に動かしたいと何度も足を運んだそうです。その彼に新城さんが言ったことは、『特別な場所のエネルギーには”天地番号”があるので人間が勝手に動かせるものではない！』

と話したそうです。

それでも何とかならないかと、いろんなことをした結果、自分が動かそうとした大きなエネルギーに押しつぶされてしまったということでしょう。

このことは本当に気をつけないといけないことです。人間は物事がうまくいくと、必ず欲が出てきて、楽をしてもっとエネルギーを手にいれようとしてしまいますが、その分の報いは、必ず自分に戻ってきます。

それに、その土地のエネルギーを人間が、どこかに移動することなど、絶対にできません！特に

この石庭は、地球上でとても珍しく、地球の中から宇宙へ向かって出ているのです。

注）新城さんに以前、このことをお話しすると、他には、どこにあるのか?と、尋ねられましたが、あとふたつは、実は、海の中と山の上にあります。

私が北海道を離れて、どこかの土地を祈る場合、自分自身の肉体を運んで祈りますが、祈りに行く前に、まず土地の神さまとの交信が先にあります。

その交信のとき、その土地を守る神さまのエネルギーが、身体の中に入ってきて、祈りの覚悟と準備をさせられます。簡単にいうと、ある場所に意識を合わせると強い霊体（神）エネルギーが身体の中に入ってきて、情報交換をするということです。

このエネルギーの重圧の辛い身体に負けないで精神を維持できないと、神事をまっとうすることはできません。この日の午後、宮古島平良市内で行った初めての講演会には、とても素敵な地元に住む方たちと、神様の付き合い方やその重要さを話させてもらいました。

本当は、私のような島に住んでいない人間が、偉そうに話せる内容ではないのですが、私が伊良部島の白龍さまに呼ばれて、神々たちから教わったことや、地元の人たちや神人（かみんちゅう）に教わってきたことが今、やっと人の為になってきていると思っています。

沖縄本島の神人（かみんちゅう）や島を愛する方たちからも、今、たくさん教えていただいています。沖縄という土地は、本当に神とつながる方が多いために、命を懸けた神事を行った方も、過去、たくさんいましたし、その方たちの本から、大切なことを学んでいるところです。

講演会に来てくれて人の中でも、今回の感動の出会いは、宮古諸島最高の神所である池間島にある「大主神社（別名：ウハルズウタキ）」の分所となっているウタキを守っている方との出会いです。

この６０代の男性が、私にこっそり見せてくれた写真には、誰が見てもわかるくらいに、神さまの顔がはっきり写っていましたし、昔、その場所で祈りをしていた方たちの顔や姿も、はっきり映っていました。この写真を撮った方は、霊感も何もない方ですが、四国から、宮古島の神の場所を守るために、わざわざ呼ばれた方だとハッキリわかりました。

講演後の質疑応答では、大切なウタキを守るべき地元の人でも、霊感がなく、神の姿を見たことがないからと、神を信じていない方もいるのに驚きました。なぜ神が、自分の姿をこの男性に見せたのか？

私はいつもいろんな写真を見て欲しいと見せられますので、その方にいつもお話しするのは、すばらしい龍の雲も、ＵＦＯも、霊体の写真も、神さまの写真も、見せてくれたあなたに、メッセージとその意味があるのですとお話します。

だから、ただきれいだから、神様だからと都合のいい解釈ばかりをするのでなく、「自分は、何に気付かなければいけないのか？自分に何をしろと言っているのか？」をきちんと誰かに教えてもらうことをお勧めします。

この地球を守っているのは、人間だけではありません。

あなたのご先祖も、あらゆる神々も、宇宙からの使者たちも、この地球の存在意味を知っているからこそ、守っているのです。一番知らないのが、もしかすると、今、生きている人間かもしれません。

どうぞ、地球が守られている意味に気付いてくださいね。

素晴しい出会いは、まだまだ続きますが、次回にしましょう！

ありがとうございます。

2007.02.25 Sun

旧暦の元旦（**2007/2/18**）

中国から伝わってきた旧暦本来の今年の元旦は、２/１８（日）です。この日から始まるエネルギーの本当の意味をお話します。

2006年11/11に、黄泉（よみ）の扉が開き、地球の周りを囲んでいる霊界のエネルギーが、この地上界と一緒になったことは、以前、ご紹介したと思いますが、今度は、この地上界の一番下の振動数を表すエネルギーが、旧暦の元旦から、地球の中に押し込められていた「陰」のエネルギーと共に浮上し始めます。

”龍”の役目で言い表しますと、龍がこの三次元世界の天と地を守る役目の大地のエネルギー解放が始まるということです。

私にも、沖縄の神人（かみんちゅう）の口を借りて、「伊良部島の白龍がいる場所のすぐ横に、黒龍が埋まっているので、助けて欲しい！」というメッセージが届きました。ですから急遽、2/16から、伊良部島の「黒龍上げの祈り」に入ることになりました。

２月１７日（土）午前１１時頃に、地球の奥底に押し込められた黒龍を天上界まで、あげる祈りを行いますので、どうぞ、皆さんも、心のなかで祈り合わせてくださいませ。
2007.02.18 Sun

伊良部島　黒龍（陰）の祈り

さて、２月１７日（旧暦大晦日）の伊良部島の黒龍祈りのご報告ですが、今回も、”神計らい”と呼ぶにふさわしい出来事と出会いの連続でした。

伊良部島の通り池から先の橋が、現在でも昨年夏の台風で壊れたままですので、一般の観光客の方は、”なべ底”を見ずにお帰りになります。

それなのに、私が祈りの準備を終えて、そろそろ本気で祈ろうとしている１１時頃、壊れた橋を乗り越えて数名の方がやってきました。

東京方面から来られた３人組と地元の伊良部島の方が２名です。

実は、前日、偶然、ホテルてぃだの郷でお会いした中国人の女性と日本人の男性も、いろんな話から祈りに参加してくれていましたので、私の大切な祈りの時間に合わせて来られたのですから、来られた皆さんも一緒にお祈りをお願いしました。

あとで話を聞いて見ると、誰も私の今日の祈りや時間を知らない方ばかりで、自然に集ってくれたメンバーだったのです。（※祈りの人数が８名。これが、神計らいです。）

「黒龍が埋まっている」と天から言われた場所は、電話で聞いたときからすぐにわかっていました。それは、私が一番最初に、あの白龍を見た”なべ底”のすぐ近くだからです。

なべ底の神様達にご挨拶してから、辺りを見渡すと、その場所は、なべ底の手前にあって、近づくと、数メートルほど岩場が落ち込んでいる場所を見つけました。

沖縄の神人（かみんちゅう）達からは、もう黒龍は上がっているという話も聞いていましたが、さらにその下のエネルギーが気になって今回祈りに来たのが、本当の理由です。

祈る前にその場所の周りをゆっくりチェックしてみると、１箇所くぼんだ場所に、この場所をずっと昔から守っている神さまがおられました。

きっと、今まで誰も見つけることがなかったのでしょう。

祈りを終えてから、猪子さんを通じて、神さまのメッセージがありました。

「やっと、みつけてくれたか・・・」と。

この祈りは、”地球の核”に長い年月封じ込めてきた人間の苦しみ、葛藤、自我欲、感情の混乱・嫉妬・執着・呪いなどの真っ黒なエネルギーを地上界から天上界へ開放するための祈りになりました。

その場で一緒に祈ってくれた方からは、真っ赤な火柱が立った！と驚かれましたし、沖縄本島で祈り合わせてくれた祈りのメンバーからは、私が白衣装で祈っている映像を見ていた人や、その場所が真っ赤な火の海になっている映像が見えたと教えてくれました。

私も祈りながら見ていた映像は、地球の核からマグマの噴出しのように、火の柱がその場に立ち上がり、それが天上界まで届く映像でした。

実は、この地球の「陰（いん）」に押し込めてきた深い感情エネルギーが、実は、地球の地震にも大きく影響しています。

昔から”龍”が天災を引き起こしたり、津波を引き起こすと言われていますが、その最大の原因は、実は、人間の「不」の想念エネルギーが引き金なのです。

龍王神界からこの地球を守るために舞い降りてきた龍たちは、この地球の地上世界の天と地を太古の時代から守っています。

龍がこの地球に降り立った理由は、宇宙からやってくるすべての不調和エネルギー振動から地球を守るためなのです。

でも反対に、この龍のエネルギーを「不」へ導くのは、人間の感情エネルギーなのです。

龍を大きな大きなお母さんだと想像してみてください。

６０億を越える人間のする全ての行いを見守りながら、自分達が大切なものに気付くのを見守っている存在です。

でも時に、あまりに言うことを聞かない子供がいると、やさしいお母さんも怒るときがあります。

そうです、龍たちが怒るには、理由があるのです。なぜ龍に色があるのか、ご存知でしょうか？

それは、人間が都合よく作り出した創造の世界の色ですが、そのさまざまな人間の意識の裏表を表しているのが、龍の色なのです。

だから龍は、皆さんの意識するエネルギー振動をさらに大きく増幅させているエネルギー体と考えておいてください。

皆さんはご自分の感情の混乱が、誰かや、また何かに、直接、影響を与えていることをご存知でしょうか？

霊的能力を自分でうまくコントロールできない人は、本人の自覚なく、苛立ちの感情のままに思いをどこかに向けると、物が壊れたり、周りの人を病気にさせる力があることを覚えておいてください。

私も昔、とんでもない破壊力がある霊的な女性に出あったことがあります。その女性は、自分が怒ると、車のガラスが割れたり、人が死ぬような病気に突然なってしまうくらい強力な「不」のエネルギーの持ち主でした。

人間に”感情”という神さまの創造の知恵を与えてくださったことを、苦しみに向けるか、喜びに向けるかで、地球の未来は変わります。

鳥やねずみなどの小動物が、ある特定の不安定な意識エネルギーを感じると、一斉に逃げ出す話を聞いたことがあると思いますが、これが自然界を壊す危険を察知して反応する回避行動です。

現代の人の病気の多くに、ノイローゼやストレスがありますが、心の病気と言われる多くも、身体の病気もこの不安定エネルギーに影響を受けているケースが多くあります。

今、私がお願いしているのは、日本中にいる心のバランスのいい霊能者たちや、沖縄の神人（かみんちゅう）たちが、一斉にある目的で祈りをすると、この地球の振動を変える力があるので、祈りの意味を通して、大切なことを皆さんにお伝えしているのです。

日本人に生まれたあなたは、どんな人にも必ず、霊的感覚やスピリチュアルな感覚があるはずです。私のように、生まれつきの強い霊能者を沖縄では、「うまれ」と呼ぶらしいですが、「うまれ」の人と、あとから目覚めた人の違いは、その苦しみを乗り越えてきた陰の世界の心の強さでしょう。

このスピリチュアルな世界は、もう遊びの時期ではなくなってきています。

なぜ、これだけ多くの方が目覚めたり、霊的感覚や現象を見る人が増えているかというと、この意識するという力を現実世界や祈りを通して、実際に活用するためなのです。

私のような霊的感覚が強い「うまれ」の方は、誰にも理解されない世界をずっと見続けて苦しんだ経験を持っています。

反対に、鳳凰や天使界のエネルギーを生まれつき持っている方も、まれにいらしゃいます。

強い陰の世界のコントロール方法を知っている人間と、高い愛の次元のコントロール方法を知っている人たちが、同じ目的で一緒に行動することが、これからの重要なテーマなのです。

現在、たくさん産まれてきているインディゴチルドレンやクリスタルチルドレン、また、霊感が強い子供たちや大人たちを、人間としても、スピリチュアル感覚でもバランスよく指導していくことの必要性を感じています。

本当の愛のあり方を一人一人の大人たちが、学び語り始めることから、未来は変わります。

あなたの神に、守護の感謝を。ありがとうございます。

2007.02.17 Sat

シャーマン　マリリンさんとの出会い

2/16（金）　宮古島に着いてすぐ、アメリカのメディスンピープル（シャーマン）のマリリンさんとお会いすることができました。マリリンさんは、２日前に久高島でスウェットロッジをされてきて、この日は、大神島へ行って来た帰りだと話してくれました。６８歳とは思えない素敵な笑顔から溢れる愛のエネルギーは、世界中を愛の祈り（スウェットロッジ）と自分の足で歩いている方だけがもつ地球の愛そのものだと感じました。

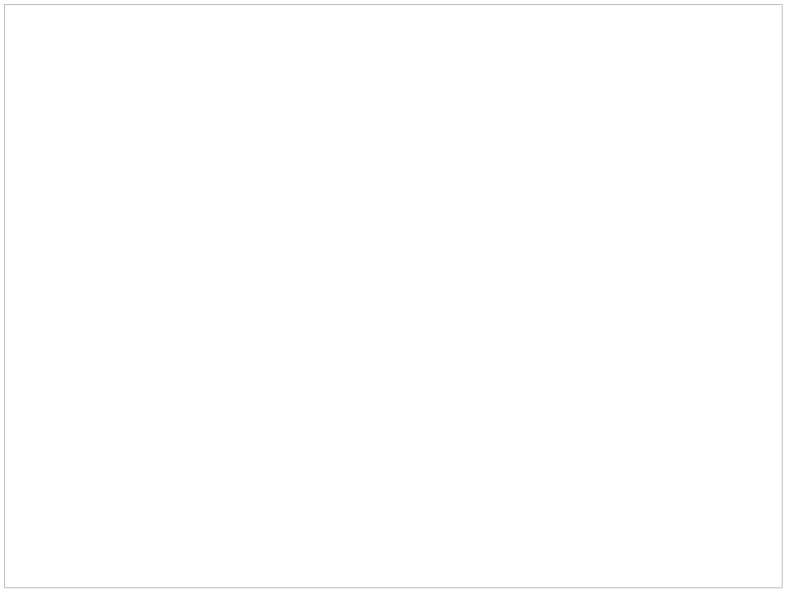
２時間近くお互いの祈りの目的や意味を話しあったことは、私にも大きな収穫でした。私は世界に足を伸ばすつもりはありませんので、この日本という国に生まれた魂の役目をまっとうしていきますと伝えましたが、彼女の最後の言葉に、「もし、私のところ（アメリカ）へ宇宙から行きなさいと言われたら来てくださいね」と笑顔で言われてことだけが心配です・・・。

お互いに共通していたことは、すべての行動が、宇宙のメッセージのままに自分が行動していること、そして、この地球を愛で溢れさせることが自分の魂と宇宙の目的だということです。マリリンさんに、どこの部族なのですかと尋ねると、アメリカインディアンは、現在５００部族あるそうですが、そのなかの、アリカラ族（Arikara)、ヘラザ族（hidatsa）、メンデン族（mandan)の血が入っているいうことです。

アメリカの先住民部族は、それぞれの精神を部族ごとに守り引き継いでいますので、親兄弟の血のつながりは、その精神のつながりにもなっていますので、私は、その３部族の代表の方とお話させていただいていることになります。

そして彼女も初めて足を踏み入れたこの沖縄という土地のエネルギーとパワーに驚いていました。実際の人間だけで考えると、アメリカ人と日本人がただ会話しているだけですが、実は、お互いの先祖と精神を持ちよって会話しています。

さらに、北海道の先住民族アイヌ民族と沖縄の先住民が同じルーツの民族ですから、私が北海道の土地に生まれたことで、その土地のからの精神を背負っていますので、アイヌと沖縄とインディアンの民族の会合とも言えるわけです。世界の先住民スピリッツが沖縄の地で、融合できたことを宇宙に感謝いたします。ありがとうございます。



2007.02.16 Fri

シャーマンと出会う意味

明日からの伊良部島・宮古島・沖縄本島の祈りの準備を少しづつしていると、伊良部島でお世話になるホテルてぃだの郷のオーナー猪子立子さんからお電話がありました。

「今、宮古島にアメリカのシャーマンの人たちが、１５名くらいで祈りに来ているんですよ。明日、時間があれば、ご一緒しませんか？」よく話を聞いてみると、昨日、このシャーマンたちは、久高島で、”スエットロッジ”という祈りをしてきたそうです。

シャーマンの存在や役目は、昔からよく聞いていましたが、直接、私はお会いしたことがないので、明日、初めて宮古島で逢うことにしました。お互いに、この地球を愛し、宇宙を愛し、その調和を整える意味では、同じ役目だと感じているからです。

１０年ほど前の２０世紀末には、１０００年期をまたぐエネルギー転換の調整のために、地球と宇宙のエネルギーをつなぎに、世界の聖地をめぐり、日本にも足を運んだたくさんのシャーマンたちのことをいろんな人から聞かされました。

特に、北海道と沖縄には、何度も、いろんな部族の代表の方たちが、聖地に祈りにきています。宇宙につながる神のルーツをたどれば、みんな同じところにつながっていますので、”自然が神”、”宇宙が神”と唱える人たちは、役目や目的は違っても、私も魂の仲間と感じています。

もともと、このスピリチュアルな世界は、現代のようなファッション的なものではなく、太古の時代から大切にしてきた自らが生かされていることの祈り、つまり、”生活そのもの”が、祈りの目的でした。

だから本当は、その自然や宇宙とのつながり方に、ルールやしきたりが重要なことではないのです。

本当に大切なことは、自分自身の神とつながること、つまり、自分の内側にある神と大宇宙の神々との直接のつながりを感じながら、高い意識に自分の心を合わせることが、本当に”祈る”という意味なのです。

このことを踏まえたながらも、私は必ず、祈る土地のしきたりやルールを地元の人に聞きます。それはルールに従うためではなく、過去から、そういう形で、大切な魂を守ってきたことへの感謝をするためにたずねるのです。

どんなことでも、”知る”ということには、責任が伴います。自分が知ったことをどう判断するかで

、意味や結果、また、人への影響が、大きく変わってしまうからです。

だから沖縄の神人（かみんちゅう）たちは、自分に降りてきたメッセージを５～７人の人に尋ねて、そのメッセージが本当かどうかを確認しあうそうです。それもひとつの方法だと、私は思います。

でも私は、今まで自分に降りてきたメッセージを誰かに確認したことはありません。それは、生まれてから一度も、人に自分の気付きの意味を聞いた事や、教えをいただいたことがないからです。

そのおかげで、とてもたくさんの失敗という財産をいただきましたが、蓄積した失敗事例のおかげで、失敗しない方法を体得することができたからです。

子供の頃から自分が好むと好まないに関わらず、たくさんのメッセージを、霊たちからや、自然界にすむ石や岩や山の神さまから受け取っていましたし、さらに、UFOの宇宙船や宇宙からのメッセージを直接、受け取るようになると、交信するための特別な方法が、自然にわかるようになっていました。

それに、メッセージは、受け取る人の受信周波数によって、聞き取る意味が変わります。その内容を誰かにたずねると、答えてくれた人の意識を通過してしまうことで、本来の意味が変わることもあります。

※過去、同じ場所で同時に、数名の神人（かみんちゅう）と祈ったあと、互いに神さまからのメッセージを確認しあって、あまりの読み取りの内容の違いに驚いたこともありました。

最後に付け加えますと、その聞き取った本人が、本当は、自分の役目として聞き取っているという意味もあるのです。

天のメッセージを人に伝える場合、相手以上に高い意識周波数の受信機と送信機を持って、情報を再アクセスしなおすことができなければ、人を神の道や、宇宙の道へ導くことなどできないと私は思います。

私は、沖縄の神人（かみんちゅう）や霊媒師たちのように、霊の専門家ではありませんので、わからないことは素直に教えてもらうようにしていますが、たくさんの霊たちが言う内容にしたがってそのまま動くと、長い時間、自分自身が霊に乗られたり、あやつられてしまって、精神や身体が壊れてしまいます。

だから、一番、重要なことは何かを見つけて、その霊たちを守っている大きな神々たちの存在と交信をして、地球や宇宙の本来の目的に沿うように、軌道修正していれば道を間違うことはありません。

私の場合は、もし自分の判断が間違っていれば、現実がすぐうまくいかないことで教えてくれますし、正しければ、そのまま、進みなさいというメッセージなのを体験で知っているからです。

あらゆるメッセージを読み取るときに、一番大切なのは、自分自身の心を”０・ゼロ”にしておけるかどうかが、一番重要なことです。

一切の感情も、欲も、想いも手放して、祈ることができなければ、それは、人間の”願い”となります。だから、”純粋に祈る・無心に祈る”ことから、皆さんも始めてみてください。

”人間が神である”ことの意味を深く理解して、魂本来の役目をまっとうされる方たちが、ますます増えますことを心からお待ちしています。

ありがとうございます。
2007.02.15 Thu

２・２２　直列エネルギーの意味

１１月１日、１月１１日に続いて、次の直列エネルギーの日は、２月２２日です。

２月１８日の旧暦（月暦）元旦から地球の「陰（闇）」のエネルギーが大きく振動して動き出しますが、新暦（グレゴリオ暦）の２月２２日から始まるエネルギーは、太陽の「陽（喜び）」エネルギーとして、皆さんの「喜びエネルギー」に大きな影響を与えます。

私がこの直列エネルギーを強く意識したのも、２００３年２月２２日に、地球創生メッセージが、はっきり天から降りたことがキッカケでした。

このときに、初めて地球創生メッセージを天から教えていただきましたが、当時の内容は、自分でも何をどうしたらいいのか理解できない部分が多くありました。

しかし、この数年の地球のエネルギー上昇と皆さんの意識の目覚めに合わせて、具体的に進むべき道が、少しづつわかってきたというのが現在の段階です。

本質の”魂の目覚め”をした方たちが増えてくると、同じ意識を持つ方たちのシンクロ・同調が起こります。

このシンクロ現象は、同じメッセージを受け取る人が増えるという一面もありますが、重要なもう一面の働きがあります。

高い意識覚醒をしているＡさんが、ふと思った”地球への愛の行動”が、天・神・宇宙の意図に正しく沿っている場合、「１００匹目のサル現象」のように、地球のどこに住んでいても、Ａさんと同じ思いをキャッチして、行動に移したくなる人が増えるというすばらしい一面です。

これが、魂のつながりのなせるワザとして、人間に与えられた能力のひとつですが、自分一人では何もできないと足を止めている心と反対に、あなたの行動意識に大きく影響を与える高次元の集合意識なのです。

わかりやすくいうと、自己の存在価値に悩み・苦しむことをもうやめて、自分以外の人が喜ぶことで、あなたがすぐできることをすると、それを皆さんもしたくなるということです。

このことを理解できた方は、さらにすばらしい宇宙からのプレゼントを受け取る方法をお教えしますので、ぜひ実践してみてください。

１、まず、2月１７日（旧暦おおみそか）までに、自分の心の奥底に隠している他人に知られたくない本心を素直に認めて、自分で許してから、本当はこうしたいと思う自分になれるように、すぐできる簡単な方法を決めて実践します。

例えば・・「ありがとうございます」を家族全員に言うとか・・・。

２、そのことを２月２１日まで毎日続けながら、”自分が望む新しい自分”を真っ白なキャンバスの上に絵を描くように、具体的にイメージしてみて下さい。

※そのときの絵には、周りの人のたくさんの笑顔も書いておいてくださいね。

３、最後に、そのことを実現するために、何が必要なのか、何に気付けばいいのか教えてくださいと心の中で唱えていると、２月２２日に、あなたの心のなかに、「ふと！」、その答えが聞こえてくるのです。

これは、私が知っている　幸せになる魔法術　を皆さんにお教えしたのですから、自分が幸せになりたいとか、自分の周りの人がもっと幸せになって欲しいとか、地球をもっと喜ばせたいと思っている方は、ぜひ、実践してみてくださいね。

２月２２日に素敵な情報を受け取った方は、ぜひ、メッセージで教えてくださいね！　感謝
2007.02.11 Sun

私の目覚め

２月３日の神道でいう旧暦の元旦エネルギーは、確かに、何かを乗り越えた感覚がありました。そして、始まった！という感じもしています。そこで、いくつかご報告をさせていただきます。

まず、私の名称の件ですが、たくさんの皆さんからいただいたお名前を読みながら、再確認したことは、もう、名称や、周りにどう思われるかにこだわらず、”自分のありのまま”をだして行こう！と決意しました。

実は、わかりやすい名前を探していたようで、本当に探していたのは、自分のシンプルな気づきの心のようでした。

それに気付けたのも、たくさんの皆様からいただいたメッセージのおかげです。ご住所を書いてくださった皆様には、龍神さまから、ささやかなお礼が届くと思いますので、楽しみにしていてくださいね。

今後は、地球創生　代表　吉岡学　　そして、ハートランド　代表　吉岡学　で通します。

地球創生の祈りについては、ブログ　神々の島　沖縄　宮古島・伊良部島　＆　祈り・神事　でアップしていきます。地球創生の人の意識に関する目覚め・サポート・育成については、ハートランドで行います。今年３月、４月と、大きな神事も決定しましたので、どうぞ、ご覧になって下さい。

もうひとつ、皆さんへお伝えすることがあります。

昔、見つけていたサイトですが、なぜか、数日前に、突然、読み返してみると、内容が今年２００７年の重要なメッセージでしたので、ご自分でお読みになってどうするかをお決めください。

私が感じた事は、この内容が事実だからこそ、今後、自分がどう動くかが、大切なメッセージだと思いました。北海道の地球創生の仲間たちとは、一緒に、この日に、祈りを捧げることにしました。

FIRE　THE　GRID

今、愛と調和の地球への行動が、本格的な時代に入りました。

もう知識や学びだけではなく、自分が知ったことをどう行動するか、実践的に、自分の責任で行

動を問われる時代に入りました。

人間が太古の時代から祈ってきた祈りは、物や形式ではなく、魂の本質とつながる祈りをすることでした。それは、地球のあらゆる魂の振動を感じながら、大きな愛の意識に同調させて、未来に進むべき行動意識に影響を与えることで、さらに大きな宇宙の意識に同調することです。

存在すること　、これが全ての感謝の根源愛の対象です。

あなたが今、存在していること、あなたの周りに家族や知り合いが存在していること、誰かが亡くなるとしても、今まで存在してくれたことへの感謝を思い出すこと。

人間の魂の目的は、　「死」　の意味を知ることなのです。

死があるからこそ、今、「生きている」ことに感謝して、すべてのことを愛へ転換するために、あなたは、今、生かされているのです。

すべてのことを愛へ転換するために、あなたに乗り越えて欲しい心のテーマが、あなたのところに起きているだけなのです。

カルマ（言い訳・逃げ・ごまかし・非難・中傷）に生きるのではなく、どんなことがあっても人を信じ、あなた自身が強く生きることを選択しなければなりません。どんな「死」に対しても、強く生きることです。

魂の輪廻がある理由は、そのことをあなたに気付かせるチャンスを与えてくださっているのです。

私達が、この地球ですることすべての責任を一人一人が取る決意のもと、自分にいいわけすることなく、生きる生き方を決めてください。

あなたの行動・言動・祈りが、これからの全てを決めるのです。

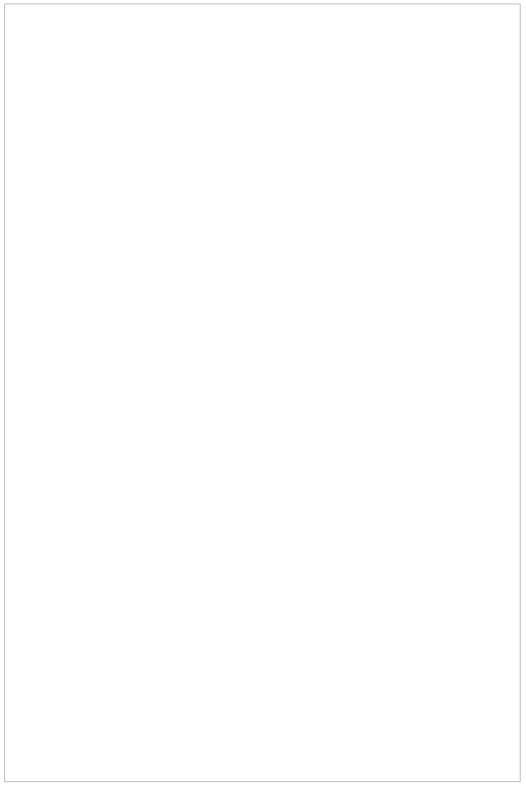
天と神の守護をあなたに！　　ありがとうございます。
2007.02.04 Sun

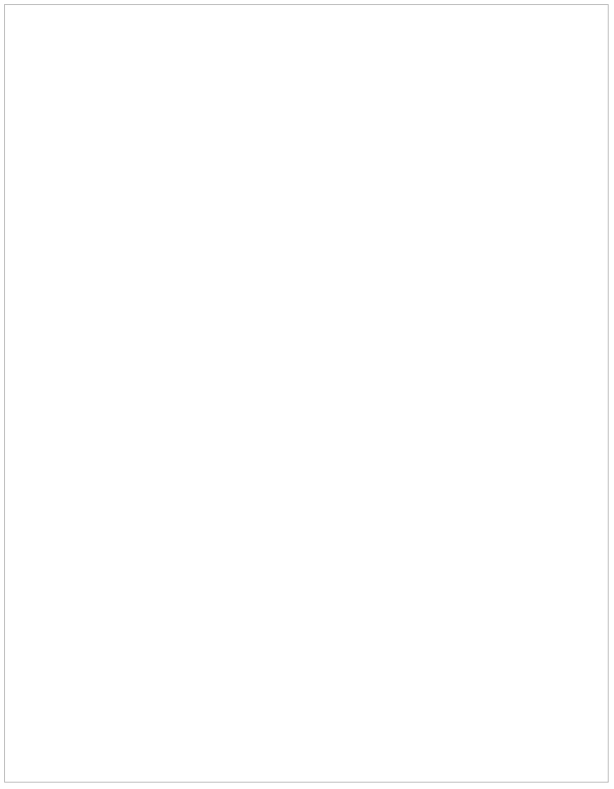
守護神　白龍

龍、ドラゴンを「空想の生きもの」という方もいますが、実際に、この地球を守るために存在しています。そして、２００４年１月に、伊良部島で私に見せてくれた白龍の神さまは、現在、私の身体の中に入って、私を導いてくれています。

三次元で霊を見ることをやめて、もう２０年以上になりますが、昨年、京都の霊媒師hideroさんが、私の白龍を見て、「いますよ！」と話をしてくれていましたが、昨年の１１月に、沖縄本島の祈りの写真の１枚に、その白龍の姿が、実際に、写っていましたので、初めて、皆さんにお披露目いたします。

この写真の私の左肩に、龍が載ってます。





この写真を見た人は、自分に目に見えないから信じないとは、もう言わないでくださいね。龍のように、この地球を守るために、たくさんの神々が、いつもあなたや地球を守ってくれているのです。

そのことを理解してください。ありがとうございます。
2007.02.03 Sat

宇宙調和　沖縄諸島の祈り　決定！

21世紀の新しい宇宙調和の祈りは、２００７年の３月に行う『沖縄諸島の愛と調和の祈り』から始まります。ここまでの準備に、地球のために神祈りをされている方々や、沖縄の神人（かみんちゅう）たちとのすばらしい出会いがあったからこそできたことだと、心から感謝しています。

２００４年１月に、伊良部島で白龍の姿を見せてもらってから、ひとつひとつ、天の声と自分の内なる声にしたがいながら動き、宮古諸島の祈りを昨年３月に完成できたことで、ここまで神に導かれることができました。昨年夏、私に聞こえた天の声は、　「新しい沖縄諸島の調和を創りなさい」　でした。

１１月に、首里城の祈り、１２月に、沖縄本島の四方祈り、今年１月に、中国番の祈りと龍宮神の祈りができたことは、沖縄を今も守ってくださっている神々たちもとても喜んでくれています。

でも、地球の祈りの本番は、これからです。

３月の沖縄の島々の祈りは、とても強い島々の神々のエネルギーを参加する方たちと一緒に背負いながら、そのまま各島を回り、それぞれも神々との調和を創り上げる新しい調印式のような意味を持つ重要な祈りです。だから参加者たちは、ご先祖たちを含めて、連なる魂たちが総動員して、それぞれの守護に入る準備をしています。神の使徒となるこの祈りの参加者たちの御霊をどうぞ、全国の皆様も一緒にお守りくださいませ。

そして、４月１７日（旧暦３月１日）には、この沖縄諸島の神々の集結した力を、宮古島の八重干瀬（やびじ）から、宇宙の天上界までつなぐ祈りを行います。

この八重干瀬（やびじ）という場所がどういう意味の場所かというと、一年に一度だけ、宇宙神界の神々たちが、地球に降りてきてくれて一同に勢ぞろいする場所なのです。

ですから、この八重干瀬（やびじ）に昇り、ここで一緒に祈りをするという意味は、宇宙の神々たちの許可のもと、宇宙の大きなエネルギーによって、地球を守る大きな役目とともに、ご先祖を含めて、あなた自身が守られることになります。

この宇宙の神々に、直接、手を合わせることができるチャンスは、年に一度しかありません

ので、4/17の八重干瀬（やびじ）祈りに関しては、ホテルてぃだの郷を一括募集の窓口として、一般の方もの参加も受付けいたします。

＜２００７年　八重干瀬（やびじ）祈り　龍神ツアー　概要＞

・期間　　4/16-4/18　（２泊３日）　　宿泊先：ホテル　てぃだの郷　ＴＥＬ 0980-78-5252
・料金　　現在調整中！
　　（２泊宿泊費+食事+八重干瀬（やびじ）へのカーフェリー代及び昼食付き）
・懇親会　　4/16　夜　及び　4/17　夜　に、祈りの参加者は、全員と顔あわせを行います
・お問合せ　　がじゅまる観光株式会社　代表取締役　　猪子立子　ＴＥＬ 0980-78-5252

天と神のご加護をあなたに！
2007.02.03 Sat

映画　不都合な真実

昨日（2/1）、地球創生の活動仲間と一緒に、この映画を観て来ました。

「事実は小説より奇なり」の言葉のとおり、この映画のなかで報告されている事実の連続には、これから私達がどう行動するべきかを話し合う題材がたくさんありました。

私も宇宙や自然界からメッセージをよくいただきますが、そのメッセージには、「救って欲しい」という言葉はありません。自然界は、ただそのままの事実を教えてくれるだけです。

だから、一番大切なことは、「自分が知ったことをどう行動するのか？」　だと思います。

私は子供の頃、ほぼ自給自足の農家の家にで生まれたおかげで、飲み水は地下水ですし、自分の家の肥やしで食べ物を作っていましたし、電化製品がほとんどない生活をしたおかげで、大きな地震などが起こって、突然、電気が止まり、食べ物の流通が止まっても、生き抜くすべは知っています。

しかし、それを知らない子供達や２０代の方々は、今の「普通」にあるものが突然、無くなったときに、どう生きるかなど、考えたことはないのではないでしょうか？

そういうときに、お金をどれだけたくさん持っていても、明日を生き抜くことはできません。

もしあなたが、守りたい大切なものがあるのなら、”本能に基ずく知恵”を身につけて下さい。

あなたの周りにいらっしゃるおじいさんやおばあさん達は、苦労して覚えてきた”生活の知恵”をたくさん持っていますし、それは、どんな辛いときにでも生き抜ける大切な財産として、皆さんが聞いてくるのを待っていると思いますよ。

私は昔から変わった子供だったようで、幼稚園のとき、隣の家のテレビで見たアフリカ難民の５、６歳の子供のお腹が、パンパンに膨れた栄養失調の同年代の子の映像は、とてもショッキングでした。

そのあと、「自分の周りに、もし、食べ物がなかったらどうする？」と問いかけた結果、馬や牛たちが食べている「草」を、もし人間も食べられるなら生きていける！と思いついて、毎日、一種類づつ、草を食べてみることにチャレンジしたのを思い出します。

小学生になった頃には、水俣病やＰＣＢ汚染などをテレビで知って、生きるためには、『どの水

が飲めて、どの水が飲めないのか？』を知っていないといけない！と感じたので、あちこちの河や水溜りの水、樹や植物に付いている水、しまいには、絵の具の汚れた水も飲めるかどうかを試してみたくらいでした。

でも今、同じことをすると、きっと除草剤や農薬の影響で、命を落すかもしれないくらいに、私達の環境は、大きく変わってしまっています。

私が今、最大に地球の危機を感じているのは、　「水」と「土」です。

地球温暖化や異常気象の影響で、今年の北海道は、とても暖かいですし、雪がとても少ない状況です。このままだと、山に染み込む水が減り、春に山から溢れ出る水が減り、大地の浄化作用が働かなくなることがはっきりしているからです。

人間も疲れたときに、水を飲んで、身体の血液濃度を調整しますが、この地球も、きれいな水が減ると、大地の浄化作用ができなくなり、濃い濃度の人間には必要ない成分も作物が吸収してしまって人間の身体の中に入ってきます。

雨（水）が減るだけで、食べ物が変わってしまうということです。

反対に、雨が異常に多く降られると困る国もあるでしょう。地球温暖化で南極や北極の氷が全部溶けると、海の水が、６メートル上がり、今の地球上の陸地の何分の一か、海の下になります。

地図を見てもわかりとおり、どの国や島でも、海の近くに人間は住んでいますので、ほとんどの人間は、生き残る場所が無くなるでしょう。

この映画では、私達に、どうすればいいのかという知恵も教えてくれています。

実践するかどうかは、あなた次第ですが、４０年間に２倍の人口に膨れ上がった現在の６０億人の地球の人間は、地球の資源をむさぼり、枯渇する井戸の水を争うように、皆さんの生活のなかにも、その欲求の表れと影響が出ています。

この地球をここまで追い込んだのは、誰でもない私達の責任です。

だから私達、一人一人が、いま、何に気付いて、何を変えればいいのかを気付いてください。

この映画の最後のメッセージに、　『祈りを信じる人は、行動もしてください』　とありました

。

私が日本各地で行う祈りも、その土地の神さまや自然神のメッセージとともに、自分が住む土地で生き抜くために、大切なことを皆さんに想いだしていただきたいから行っている意味があります。

これからの地球創生の活動も、皆さんと一緒に考えてながら、一緒に育てて、次世代の子供たちへ受け継げるものにしていきたいと思っていますので、どうぞ、これからもご意見やご支援ご協力をお願いいたします。
2007.02.02 Fri

祈りの日

今日、１日は、私の土地の神さまへの祈りの日です。

理由は、自分が忘れないように新しい月の最初の日に、設定しただけです。

自分の家の神棚に、お酒と水とお米を取り替えて、ご挨拶。そして、すぐ近くの琴似神社へ参拝しにいきます。

この習慣を決めたのも、初めて一軒屋を借りたことで、土地の神さまへちゃんと挨拶する必要性を感じたからです。

この必要性とは・・

６年前に、この家を借りるときに、空き家になって１ヶ月くらいの家に不動産屋さんと初めて入ったとき、古いわりにいい感じなんだけれど、何か気になるなあと思っていたら、実は、天上裏に、霊が隠れていたことが、後でわかりました。

気のよわい霊なので、あまり悪さはしないですが、家のご主人（私）に挨拶もないことと、夜になると急に元気になって、ドタバタ屋根裏を走りまわるので、ついに、頭にきました。

浄霊の方法は、いろいろありますが、人に聞いたやさしいやり方をしても、すぐ隠れてじっとしているズルイ奴なので、最後には、私の最強の祈りの言霊で、弾き飛ばしてあげました。

よく家や土地に付いている霊と、仲良く付き合う方もいるようですが、私は、一切の不浄御霊を許しません。土地を守る神さまにお借りしている土地を、自分という魂が、この土地を守ると決めて入っているからです。

不浄御霊をこの世に残して置く事自体が好きではないですし、私の留守中に誰か（霊）が、家でドタバタしているのは、神さん（奥さん）にも、失礼だからです。

それに家には二匹のネコがいますが、ネコほど、霊に敏感に反応する動物もいないくらいに、家のなかを通過する霊たちをみて、じっと１点を見つめているのは、よくあることです。

人間自体は霊体ですので、自分が住む土地の責任をきちっと果たさないと、その土地のエネルギーに振り回されたり、前の住人の残った感情や、土地を奪い合った人たちの生き霊が付いている場合があります。

風水で解決できるのは、まだ軽い場合で、重症な家になると、家族の健康や仕事や人間関係などにも、影響が出てきます。

この土地への祈りは、私達が大地の上に住む以上、最高に、そして、最初に、感謝するべき神さまなのです。

マンションの方も、同じですので、どうぞ、身体や精神の災いごとがある場合、まず、土地の神さまへの祈りから始めてください。（最初の地鎮祭だけではダメですよ！）

地震なども、この土地の神さまの怒りそのものなのです。

地球の振動、それは、地球の内部のエネルギーの葛藤の証なのです。

神は、天にのみ存在するものではありません。

まず、自分の足元の土地の神さまに、そして、自分を存在させてくれたご両親や先祖様に、

それから、目に見えるものへの感謝をしてください。

今日一日が、あなたにとって、幸せな日でありますように！ありがとうございます。
2007.02.01 Thu

誰かを責めたくなる理由

あなたの感情のなかに、「誰かを責めたくなくとき」は、ありませんか？私も今、自分に問いかけているところです。

責める理由がはっきりしていれば、まだ相手も、話あう余地がありますが、自分で理由もわからず、誰かに文句や不満をぶつけたくなるとき・・・。この感情は、その人自身が経験してきた心の葛藤の記憶が原因です。

子供ころから自分が経験してきた苦しみや悩みを、誰かに受け止めてもらえなかった経験をした人ほど、この葛藤は、強く心に残って、そのまま大人になってしまいます。

誰かのいじめにあった人もそうでしょう。

誰かに非難された人も、そうでしょう。

仲間はずれは、最大の苦痛かもしれません。

誰にも言えない経験をした人もそうでしょう。

でもそのまま大人になり、日常の社会生活を普通に営みながら、実は、誰にも言えないと感じて、心の奥底にしまいこんでいるその感情は、常に、誰かに、その感情を理解してもらいたくて、放出したいという衝動になり、攻撃の対象となるテーマを探します。

なかには、社会や政治や国を批判する人もいるでしょう。誰か、個人や、どこかの団体を非難する人もいるでしょう。

自分の身近にいる人に、冷たい言葉をぶつける人もいるでしょう。

もっとひどい人になると、普段は、理性ある大人を振る舞いながら、実は、裏で、人を落としいれるための準備に、時間を割いている人もいることでしょう。

それをしている時間こそが、自分の不満を置き換えた正当性の理由になり、常に、そのことに集中していることで、自分の気分が安定するからです。

でも実は、その対象は、誰でもいいんです。自分をわかって欲しいだけなのですから。

この感情の原因を、嫉妬・ひがみ・ねたみといいますが、実は、攻撃する対象が原因ではなく、その人自身の心の奥底にしまいこんでいる感情の混乱が問題なのです。

私は今まで出逢ってきた人たちのなかで、愛と平和を唱えながら、左手に家族や大切なものを持ち、右手に、銃や武器などの攻撃する行為をしている人は、信用してきませんでした。それはいつも自分の苦しみを、誰かに、ぶつけたいという気持ちで生きている人だからです。

でも今日、私は大きな気付きをしました。宗教や精神世界の心の闇の代表と言われ、長い間、間違って非難されて続けてきた”フリーメーソン（石屋）”の人たちは、決して、闇でも悪でもないと感じたからです。

この人たちを非難する最大の原因は、こういう敵を作りだす”自分の心の闇”が、根本の原因だからです。

今まであなたに苦しい経験をさせた人たちでさえも、あなたを本心から苦しめようと思ってした人は、ほとんどいないはずです。でも、あなたはそれで、傷ついたのですよね。それは、お互いの心がが、まだ、幼かったとしかいいようがありません。

大人でも、子供でも、　心が幼いとすぐ頑固になります。頑固な人は、自分の間違いに気付かず、心を入れ替える余裕がありません。だから、あなたを心配してくれるやさしい人たちの声も聞こえてこないのです。

自分の苦しみを人にわかってもらいたくて、誰かに打ち明けたくなるときもあるでしょう。でも、その苦しいあなたを本当に癒せるのは、あなた自身だということをわかってください。

生活するなかで、何か、問題が起きたら、誰かのせいにすることは、簡単です。でもそれで、問題の原因は、本当に解決しますか？それで、あなたの心の中は、喜びと愛に、満ち溢れますか？

誰かを引きずり落として、自分が勝者になって、本当の愛の喜びを感じられますか？そのことを自分の大切な子供に、話してあげられますか？

人を引きずり落とした人は、必ず、自分も、いつか、誰かに引きずり落とされます。だから、もう、気付いてください。

この人間の世界に、本当の勝者や敗者は、いないのです。あなたが今まで経験した、敗者の苦しみや挫折、痛みが、あなたを成長させてくれたことを思い出してください。

それさえも、神の与えてくれた愛だとは、思えませんか？

今日の私の気付きは、この世の中には、誰も、罪人も悪魔もいないということです。もし、悪魔がいるとすると、それは、人を責めたくなるあなたの心の中だけです。

だから、誰かが、あなたの苦しみを救うフリをして、悪い誘いに乗せられてはいけません。

ユダが、そうであったように、仲間の裏切りや偽りでさえも、その人がしたいことなのです。

あなたが自分の自由を求めるように、誰かの自由を否定することはできないのです。

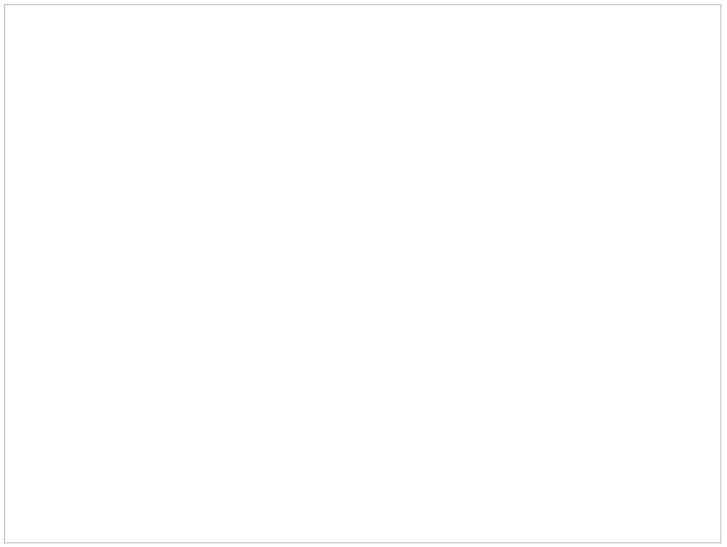
自分の思うことが自由にできる大人は、そのすべての責任を取らされます。

自分のしたいことができる人（大人）は、何かが起きたときに、社会的に罪に問われるだけでなく、この地球全体からも、その責任を問われていることを知っておいてください。

あなた自身が、愛の存在かどうかを、今、問われているのです。
2007.01.29 Mon

三重城（みいぐすく）・与座河神（よざかーしん）

1/16 伊良部島から、ホテルてぃだの郷の猪子立子さんが朝来られたので、宮古島へつながる龍宮神がある三重城（みいぐすく）へ、神人（かみんちゅう）二人と一緒に行きました。大きなホテルの裏側にあるために通りからは見えない場所ですが、駐車場には、今、祈ったばかりの数人の方たちが車へ乗り込むところでした。これから石段の上にある鳥居へ行くようなのですが、左に見える「水神」と書かれた石碑と、大きながじゅまるの樹が気になります。



がじゅまるの神さまに手を合わせてみると、「ここへ拝みに来る皆さんが、自分のことを忘れて挨拶しないで行くのが悲しい。それと・・・」

このあとの話は、帰るときにU神人が教えてくれたのですが、もともと水が湧き出ていた場所の上にホテルを作ったために、水の流れが途切れてしまい、水の神さまが怒って、石碑を建てても ホテルの中から動かないと教えてくれました。

水は、気の流れを示します。だから、自然界の水の流れを変えると、その場所の気が変わります。

湧き出る水をせき止めるということは・・・、気の流れをせき止めることになりますので、気の流れ＝人の流れ=お金の流れにつながりますので、ここのホテルは、ご苦労されていることでしょう。石段を登って広い場所を見渡すと、右側に、がじゅまるの樹が何本もあります。右から順番に見てみると、一番大きながじゅまるさんに、ご挨拶しなければいけないと感じました。

祈りを捧げてみると、大きながじゅまる二本は、夫婦だそうです。そして、その横の小さな三本は、子供達だそうです。そして、私達が立っているこの大きな岩の下にあるがじゅまるは、この場所を守るおばあちゃんがじゅまるで、みんなの守り神だそうです。

先日、沖縄の神人から、「がじゅまるには、精霊がいるので、怖いから手を合わさないほうがいいと聞いている。そんなことをすると、他の神人に笑われる。」と言っていましたが、この神さまの声を聞こえない方のほうが、私は笑ってしまいます。自然界にある木々や山々、水や大地には、当然、大きな守護神がいます。この大きな神は、人間が人間を”神”とあがめる前から、この地球を守ってくれています。

そのなかの大切な「水・風・火・大地」をつかさどっているのが龍の神なのに、龍宮神、龍宮神といって手を合わせているわりに、その木々たちの神々と交信できない人がいるのは、とても残念なことです。私もこの大きな岩の上にたっていると、この岩自体が、大きな神さまであるのを感じています。
本当なら、この岩を降りて、下で、祈りたいくらいの気持ちです。私達は、人間である前に、自然界のたった一部の存在です。
その価値は、木々の葉っぱくらいかもしれません。

人間は、自然界のなかで考えてみても、海の神には負けますし、山の神にも、水の神にも、風の神にも、大地の神にも、簡単に、負けてしまいます。その大いなる神との通信をすることが、神の使い手として一番大切な神人の仕事だと私は思っています。沖縄に何度も足を運ぶたびに、先祖や年長者を大切にする心が残っている素晴しい場所だと感じる一方で、神々との付き合い方や風習、しきたり、序列、ルールにしばられて、本当に古来から大切にしてきた琉球古神道（自然神信仰）の考え方が、これでいいのだろうかと感じています。

大和の国でも、昔から神道のようですが、実は、そのルーツは、自然神信仰の古神道（こしんとう）が根っこです。形を作り、ルールを作ると、その心を理解していなくても、手を合わせることができます。でも形のない古来からの祈りを守り続けてきたのが、北海道のアイヌ民族の祈り方です。近年の民族人類文学で、沖縄の方とアイヌの方のルーツが骨格から同じだとわかって、互いの民族同士の交流も深まっているようですが、その民族が大切にしてきた精神を想いだしてください。

エジプトの時代から、この地球上の民族すべてが、手を合わし続けてきたのは、自然神なのです。

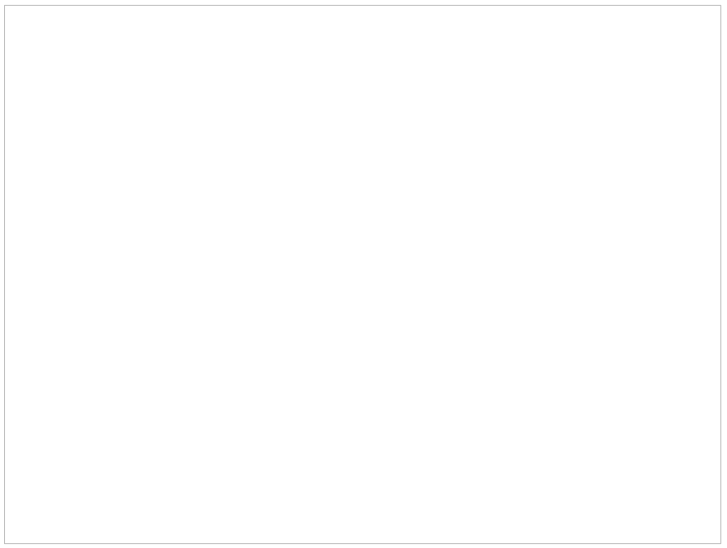
祈りの話に戻りますが、私達以外に、二組の方が祈っていました。ご夫婦を連れた女性は、供物を用意させて先祖供養だそうです。神人に教えてもらいましたが、この先祖供養の祈りを一日すると、神人は三万円いただけるそうです。でも、祈りを終えて、他の誰かに、まだ先祖に祈りが通っていないと言われると、もっと霊力のある神人にお願いして（料金アップ）やり直しだそうです。

いつからこんなに複雑なルールになってしまったのでしょうか？数百人いる沖縄本島の神人のご苦労には、心からお礼を述べたいと思いますが、このルールが本当に必要なのでしょうか？私が今一番、危惧しているのは、本土返還以降、新興宗教を含めて、ものすごい数の宗教団体がこの沖縄本島に入ってきたので、若い人たちは、手軽な新しい宗教や唯物（ゆいぶつ）主義の祈りをして、大事なことを簡単に終わらせてしまっています。

今、誰かが亡くなったときに、４９日の御霊との交信をお願いする若い人たちが、どれくらいいるでしょうか？神人と大事にされる時代も、５０代以上の皆さんがいなくなると、もう、続かないかもしれません。その顕著な表れが、先祖のいる場所を壊したり、神所を潰す行為ではないでしょうか？自然界の大いなる神々は、私達人間のすることを、いつも、だまってみています。自分達の欲を望む分、その見返しが自分達に帰ってくることを知っているからです。

これからの時代に、拝む場所や祈る意味をどう守り伝えていくかも、神人の責任だと思っています。人間である以上、生きるための欲は否定しませんが、損得を人間の世界だけで図ると、必ず、大きな失敗をします。自然界との調和をとり、大いなる神々とのメッセージを伝える神人や、それを大切に日々の生活の中で実践し、伝承する普通の人たちが、お互いに理解しあい、助け合う人たちが増えることを祈ります。

三重城の祈りのあと、島尻さん・玉城さんと合流して、６人で、Ｕ神人が一番大切にしている河の神　与座の河神（かーしん）がある場所へ行きました。



そこには、２０００年以上、その水を守る河の神がいました。手を合わせると、「この水を育んでくれた山の神さまにも、御礼を言ってください」と言われます。皆さんで山の神にも挨拶したあと、Ｕ神人の今までのご苦労をねぎらい、河の神を通じて”宇宙のおおもと”まで祈りをつなぎま

した。すると、すばらしいことが起きました！

真っ白な生地に、光を浴びると七色に輝く衣装が、彼女の肩に降りてきたのです。これは、皆さんがよく知っている天女が着る”はごろもの衣装”です。彼女の神さまとともに、天は、ちゃんと、していることを見ていてくださいました。これで、Ｕ神人の霊格があがり役目も大きくなったことで、３月に行う、沖縄諸島　愛と調和の祈り　の島めぐりが、大丈夫だと感じました。あとは、参加される皆さんとの、本気の和合です。

この祈りに参加される方は、すべて大きな存在の意味と魂の役目をいただいています。先頭を切る方の役目、あちこちの神さまに通す役目、人のつながりを作る役目、皆さんの調和を育てる役目、最後尾を守る役目etc 参加される方には、たくさん役目がいただけます。その分、遣り通したあとに、自分の守護神と合わせて、大きなエネルギーに守られることを実感されることでしょう。

この大きな３月の祈りを終えて、旧暦3/1の宮古島に龍が立つ日に、八重瀬干（やびじ）神事の参加することで、宇宙のおおもとまで、祈り通すことができます。もう魂の準備は、始まっています。見守ってくださっている皆さんも、一緒に、祈り合わせてください。

２００６年３月の神事で、宇宙神界の許可をいただいたこの八重瀬干（やびじ）という場所は、この地球上で、年に一度、一番高い次元につながって祈ることができる場所なのです。

すべての存在と、出会った素晴しい人たちに、心から感謝を送りたいとおもいます。ありがとうございます
2007.01.28 Sun

２月の意識転換・・・旧暦の新年

２００７年の大きな意識転換の日として、旧暦の元旦を意識してください。それは、暦ごとの時間の流れが、皆さんの意識に深く影響を与えているからです。

”時間”や”暦”という概念が、なぜできたのかという説明は、またの機会にしますが、暦には、それぞれ意識次元ごとに影響する周波数が違います。

現在の日本には、新暦＝グレゴリオ暦＝太陽暦とは別に、旧暦＝月暦があります。

旧暦は、太陽を陽とした反対の陰の役目の月暦として、地球の三次元世界の陰陽のバランスを表す大切なベースエネルギーの流れを示した暦です。

日本では旧暦の元旦を、覚えやすくするために、2/3（節分）と固定していますが、現在でも、沖縄の神事は、中国から伝わってきた本来の旧暦で行っています。

この本来の旧暦の特徴は、自然界の時の流れのように、毎年、日にちが変動することです。

そして、今年の旧暦の元旦は、２月１８日（日）です。

２１世紀の次元シフトの第三レベルにあたる２００７年～２００９年の三年間の始まりは、この2/１８から始まるといってもいいでしょう。

これから始まる時代の意味を少し紹介しておきます。

新しい１０００年期が始まり、２００７年は、その第三期（２００７年～２００９）の最初の年になります。この第三期は、新しい２１世紀の基盤を創る重要な年です。

２００７年のエネルギー上昇する月は、２月・５月・７月・１１月（新暦）です。

このエネルギーの高い月にあわせて意識の世界で何を思い、何を準備しているかが、とても重要になってきます。ですから物事を成功させたい方は、今年の月の流れをよく見て準備をしてください。

２００８年は、さらに大きな高次元のエネルギーが動き出します。

大きくて高いこのエネルギーは、振動数が高いために、意識次元が高い方しかキャッチできないと思いますが、確実に、この地球のエネルギーが大きな存在に包まれるように、ゆっくりと動き出します。

この地球は、２００６年１１月１１日に、「黄泉の扉」が開いたことで、今まで心の奥底に隠してあったことが吹き出てしまうくらいに、個人意識の混乱が起りながら、同時に、新しい創造のエネルギーが動く年になっています。

どんな現実を見たり聞いたりしても、それが愛の一部だと信じきれる方たちが、時代の前に、進みでることでしょう。

反対に、誰かを批判したり攻撃するエネルギーを出し続けている方は、すべてそのエネルギーが、自分や自分の家族に向けて返ってくることでしょう。

自己の意識の混乱は、自らの宇宙観のなかで責任を取らされる時代に入ったということです。

自分の言葉や行動が、大きく人に影響し、その結果の責任を自分がとる時代なのです。

この地球をここまで追い込んだのも、私達の責任です。

その責任を問われているからこそ、どんなことがあっても、愛を信じきることが必要なのです。

批判のない社会、批判しない大人、ただ見守ってくれている大きな宇宙の存在のように、私達が生きられるかを、今、問われています。

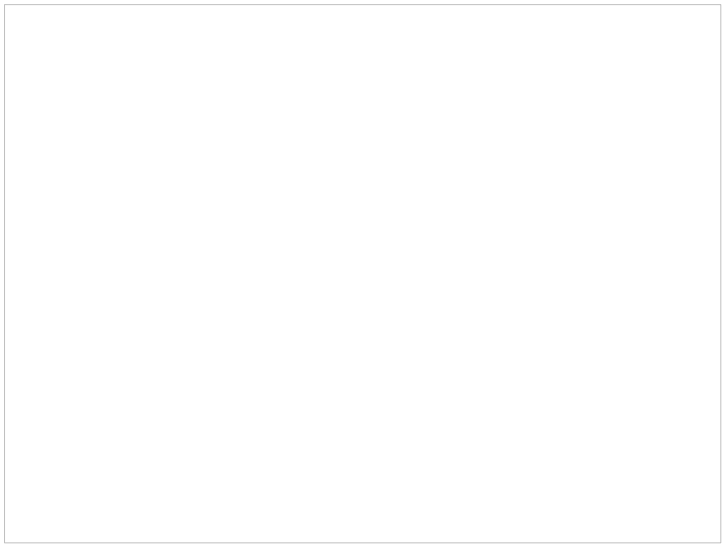
今の現状のままでは、地球上に人間が存在できる期限が、３００年～５００年だと、メッセージがきています。

あなたの意識の目覚めと行動を見直す心を、天は今、待っています。ありがとうございます

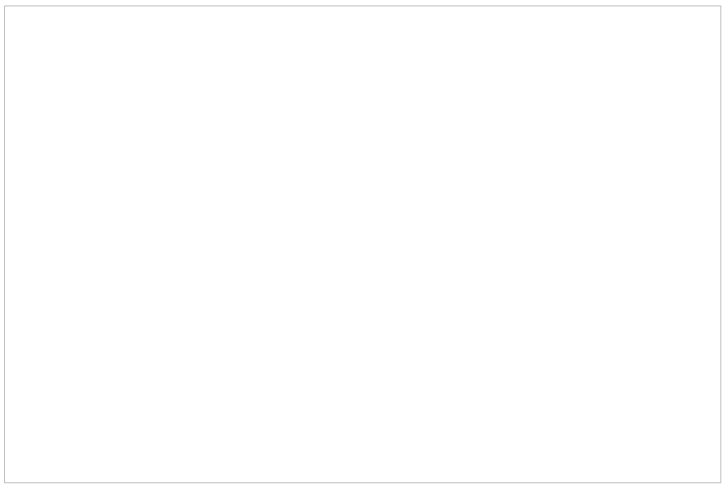
2007.01.26 Fri

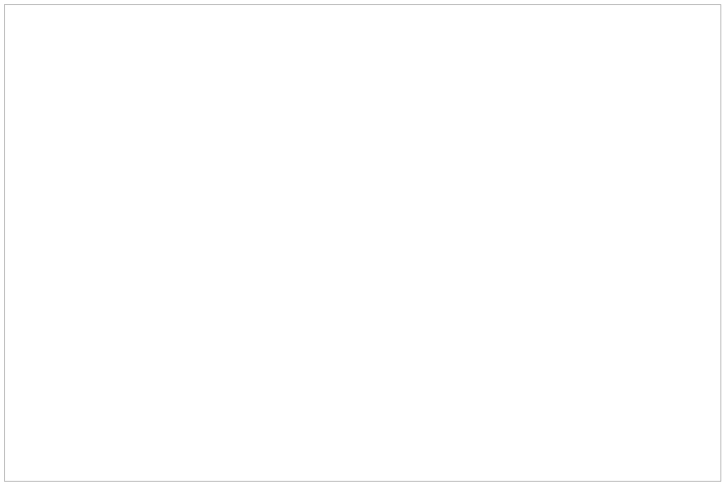
神人（かみんちゅう）　浦崎芳子さん

沖縄本島の神人　浦崎芳子さんの家に向かう途中に、嘉手納龍宮（かでなりゅうぐう）というすばらしい龍宮神の神所があるというので、車を降りてみました。この日の天気も素晴しいですが、この龍宮神のエネルギーは、本当にすばらしいです。残念なことは、この場所もアメリカ軍のプライベートビーチになってしまっていることです。でもそのおかげで、海をきれいに保ってくれるメリットもあるようです。



龍宮の神さまへご挨拶をすると、私にとても大きな　「光の剣」　をいただきました。この剣は戦うためではなく、魔や闇のエネルギーを跳ね返すために下さったのです。ありがたく使わせていただこうと思っています。一緒に祈ったＳさんには、この龍宮神のなかの様子を見せてくれたようです。ここには、龍の卵がたくさんある場所で、それを大切に守っているのが、ここの神さまです。



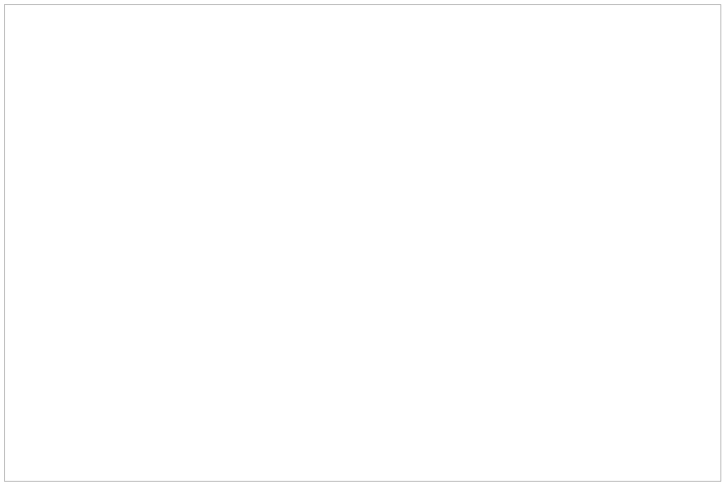


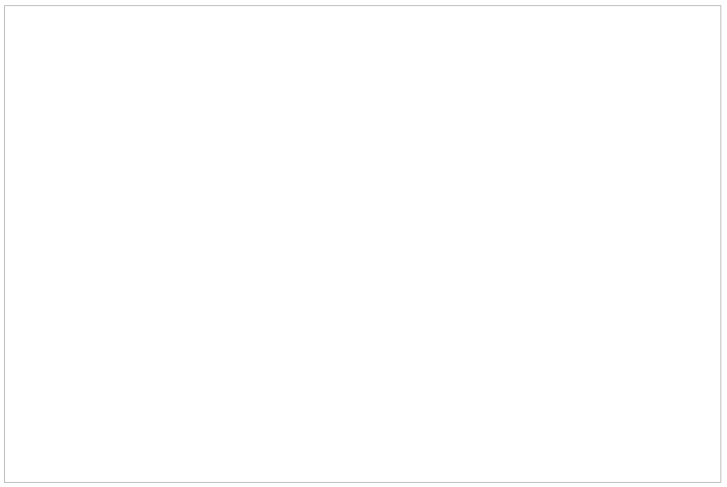
このとき、空一面に長いスジ雲が何本も扇状に広がっていました。その美しい光景に見とれている中、祈りを終えてもう一度見てみると、今度は、雲が、龍と鳳凰の形に変化していました。この素晴しい光景は、この沖縄の未来の姿のように感動しました。そして、その根元になっている方角が、これから向かう浦崎さんの家の方角だそうです。すばらしい！

この祈りを終えたあと、沖縄中部のある場所で、沖縄本島に、２本目の「光の柱」を立てることができました。この光の柱がたったときも、光の宇宙人が降りてきました。私達、地求人がこれからこの地球をどういう風にしていくのかを、見守ってくれている星の方たちです。神を守り、人々の霊性を磨く場所、沖縄という地の役目を皆さんにお願いしました。

浦崎さんの家に向かう途中、神人の小夜子さんが、ある場所の神さまから呼ばれます。「私一人で行くから」、と言いましたが、それは、できません。一緒に行動していて、何があったとしても一人のためではないからです。ゆるやかな坂道を登ってたどり着いたところには、とてもかわいい”こまいぬ”の門番さんにご挨拶して入る素敵な拝所（うがんじょ）がありました。ここは、赤犬子宮（アカヌクー）という場所です。

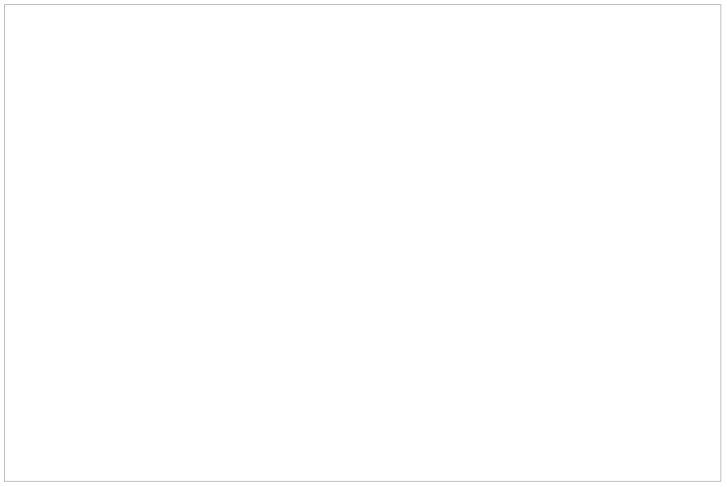
説明書きには、歌や音楽の神さまの場所と書いてありますが、ここを守ってくださっている神さまは、とてもやさしく清らかな女性の神さまですので、ここは、女性が前に出て歩く場所です。小夜子　神人を先頭に、まず女性たちに祈ってもらってから男性が祈りました。





祈りのあと、昼食を済ませてやっと、浦崎芳子さんの家に着きました。浦崎さんの息子さんは、すばらしい沖縄芸能を見れるように自宅を改造して、定期的に演奏を行っています。今日は、”ぐしかー”という場所にあるこちらのお宅でお話を伺います。お会いする前に、浦崎芳子さんの本　「神人　浦崎芳子が語る　　沖縄の新軸神　天三神（あまみがみ）の教え」　という本を読んでいたので、とてもお話の意味がよくわかります。８０歳を越える女性とは思えないくらいに、しっかりとした目つき・口調で、たくさんのお話をしてくださったあと、これから私達の行う神事のことをお話しました。

沖縄諸島の新しい調和は、人の調和、沖縄と大和の国の調和、そして、不浄御霊をあげることも含めて、私が北海道から来たことをとても歓迎してくださいました。「一緒にやりましょう！」と心強いお言葉をいただき、私達も、さらに、力が沸いてきました。３時間を越えるお話のあと、感動の撮影です。



このあと、１２月に一緒に祈ってくれた仲間たちと、もう一度、この祈りの意味を確認しあいました。「一人一人が抱えているものを乗り越えて、新しい調和を皆さんが意識することで、新しい和合が生まれます」

一人ではできないからこそ、魂の約束、神さまとの約束、宇宙のおおもととの約束を果たしに、わたしたちは、出会っていることを再確認できました。そしていつも、私達の先頭を切って、地元の神々にご挨拶してくれる神人 上原小夜子さんが、今まで一人で、この土地の不浄御霊を上げ続けてくれていたことも知りました。お二人の方は、１２月の祈りのあと、ある場所へ呼ばれていき、その場所の”観音さま”から、こう言われたそうです。

「あの上原小夜子さんは、今まで一人でたくさんの御霊をあげ続けてくれています。それでも抱えきれない御霊は、私（観音様）がお願いされて抱きかかえています。だから、今までの小夜子さんのご苦労に、皆さんから感謝の言葉をお伝えください。」

私も、涙が溢れてきました。この沖縄という土地の不浄御霊の苦しみを受信しまう人たちは、幼いころから”神がかり・神ダーリ”として扱われて、苦しい経験をたくさんしています。そして、自分が望まなくても、神人にならなければいけなかったり、たくさんの神や御霊を守る役目を与えられます。その苦労を”観音さま”が認めて下さったことは、私の魂も、本当に喜びが溢れてきます。私は明日、このすばらしい神人　上原小夜子さんの霊性をあげる祈りをしようと思いました。それはもう彼女に宇宙のおおもとからの許可が降りていると感じたからです。
2007.01.23 Tue

2007年の次元上昇月

新しい１０００年期が始まり、２００７年は、その第３期（２００７年～２００９）の最初の年になります。

この第三期は、新しい２１世紀の基盤を創る重要な年です。２００７年のエネルギー上昇する月は、２月・５月・７月・１１月です。

このエネルギーの高い月にあわせて意識の世界で何を思い、何を準備しているかが、とても重要になってきます。ですから物事を成功させたい方は、今年の月の流れをよく見て準備してください。

２００８年はさらに大きな高い次元のエネルギーが動き出します。

大きくて高いこのエネルギーは、振動数が高いために、意識次元が高い方しかキャッチできないかと思いますが、確実に、この地球のエネルギーが大きな存在に包まれるように、ゆっくりと動き出します。

この地球は２００６年１１月１１日に、「黄泉の扉」が開いたことで、今まで心の奥底に隠してあったことが吹き出てしまうくらいに、個人意識の混乱が起り、同時に、新しい創造のエネルギーが動く年になります。

どんな現実を見たり聞いたりしても、それが愛の一部だと信じきれる方たちが、時代の前に、進みでることでしょう。

反対に、誰かを批判したり攻撃するエネルギーを出し続けている方は、すべてそのエネルギーが、自分や自分の家族に向けて返ってくることでしょう。自己の意識の混乱は、自らの宇宙観のなかで責任を取らされる時代に入ったということです。

自分の言葉や行動が、大きく人に影響し、その結果責任を自分がとる時代なのです。この地球をここまで追い込んだのも、私達の責任です。その責任を問われているからこそ、どんなことがあっても、愛を信じきることが必要なのです。

批判のない社会、批判しない大人、ただ見守ってくれている大きな宇宙の存在のように、私達が生きられるかを、今、問われています。

今の現状のままでは、地球上に人間が存在できる期限が、３００年～５００年だと、天からメ

ッセージが聞こえています。あなたの意識の目覚めと行動を見直す心を、天は、待っています。

2007.01.23 Tue

すばらしい大人たちとの出会い

今年、初めての講演は、苫小牧からスタートすることになりました。ニ部に分けて、地球のことや魂のこと、また沖縄のことや、２００７年から始まる次元上昇の意味もお伝えさせていただきました。

この日、札幌から苫小牧へ向かう高速道路の横に、１００羽を越える鷹や鷲が、龍が天に昇る姿のような、ものすごいタテの上昇の舞いを、３箇所で見せてくれてました。

そのすばらしさに興奮していていると、今度は、大きな雲が虹雲になって輝き出して、今日の集る人たちの意識が、神や天の大きな守護をいただいていることを実感しました。

今回、この講演会を主催していただいた苫小牧の　響き∞ひびき　の皆さんの草の根的な活動は、これから北海道の大人たちの意識を変えていくだろうと、私は感じています。

団塊の世代（昭和２２年生まれ～昭和２４年生まれ）が中心となったすばらしい大人の方たちの姿は、若い人たちの未来の希望を見出すキッカケになっていくと感じているからです。

人数制限で開催したおかげで、１０時間近くも、皆さんと深い話ができたことで、一人一人の熱意を、私も体中で感じさせていただきました。

ある男性がおっしゃた話に、「団塊の世代の退職後が、自分の人生設計だけを計画しているのか、世の中や人の為に何をお返しするのか考えているかが、とても重要だ。」とお話してくださいました。

地球上のこの日本という恵まれた国で、豊かな人生を送らせていただいたお返しを、みんなでしようじゃないかということです。これは、私もとても共感しました。

今、日本で一番人口が多いこの団塊の世代の皆さんのおかげで、発展した日本ですが、今の日本の現状を見ていると、いい面と、そうでない面があることをしっかり見据えて、今後のことを考えていかないと、将来、この日本は、とても大変な国になります。

この団塊の世代の子供達が、現在、家族を持ち、子供を生んでいます。そして、大きなこの年代の輪は、次の時代の大きな子供達の意識に影響を与えています。どの年代がいいとか、悪いとか言っているわけではありません。

この日本の「集合意識」に、あなたも影響を与えていることを知って欲しいのです。

インターネットが進んで、バーチャルな世界が、あたかも、実像の世界のように感じていることを私は、とても危惧しています。情報が早くたくさん流れるということは、このインターネットという情報源を使って、人の意識をコントロールしようという人たちがいることを知っておいてください。

あなた自身が一度も出逢ったことのない人の話に惑わされたり、その情報で不安にさせられたり、迷わせられたりできる世界が、このバーチャルなインターネットの世界なのです。

だから、私はこの便利な世界を使わせていただきながら、皆さん一人一人の自己責任で、この世界の情報をどう扱うかを考えてみて欲しいと思います。

あなたが不安になると、あなたの行動は、不安を回避しようという行動になります。

そして、あなたの口から、さらに不安な言葉が出ると、また、その言葉を信用した人は、不安の輪を広げることでしょう。

この現実世界で起きることは、何ひとつ、珍しいことは、ありません。

人間が数億年たっても、悩むことは、あまり変わっていないからです。

だからこそ、皆さんにお願いなのですが、あなただけでも、自分の目で見て、身体で感じたことを力として、新しい未来を自分の力で明るくするために、何をするべきか創造してみてください。

現状の不安や迷いに、振り回されて生きるのも人生ですが、誰かが、あなたを守ってくれる訳ではありませんよ。あなたを守れるのは、あなただけなのです。

だから、自分の考えを持って、それを周りの人と共有してみてください。

きっと、あなたの未来を創造するすばらしい意見に、賛同してくれる人と出会うはずです。

私も、また、新しい人に出会い、お互いを認め許しながら、何がこれからできるのかを一緒に考えていこうと思っています。

今年のエネルギー上昇タイミングは、２月が最初です。

だから、２月に何をするのか決めた方から、意識の上昇スピードが早まります。

未来は、あなたの責任で、あなたが創っていくものです。

どうぞ、自分の責任で行動できる大人になってくださいね。

今日の日の出です。ありがとうございます。
2007.01.22 Mon

『すべてはひとつ』

確か2000年か、20001年だったと思いますが、過去、生きた人生経験の魂の汚れを落す三年修行を終えて、宇宙のおおもとまで意識上昇して、マスターとたくさんの対話をしたあとに教えていただいたことは、　「ひとつ」　という言葉だけでした。

この「ひとつ」という言葉はたくさんの意味を含んでいます。

みんなで、ひとつ。

ひとつで、ひとつ。

すべてが、ひとつ。

命は、ひとつ。

すべての命は、ひとつ。

もともと、ひとつ。

植物も、木々も、海も、空も、風も、動物も、人間も、同じひとつの命を与えられている。

本当に「すべてはひとつ」なんだよ　と教えてもらいました。

このとても至福の気付きを感じたあと、自分の魂がわかったことを、どう皆さんに伝えていこうかと悩んでいると、この三次元世界は相対の世界なので、皆さんにわかりやすくするために、いつも相対の意味を考えていたので、ついつい、私自身に垢が染み付いてしまったようです。

これからもまだそんなときもあるでしょうが、今後は、なるべく、魂の気付きどうりに、皆さんにお伝えしていこうと思っています。

話は変わりますが・・・昨日、今年二人目のセッションの男性のお客さんが東京からわざわざ尋ねてくれました。

自分のいろいろな思いを確認したがっていましたので、求める答えのメッセージを全てお渡し終えて帰られたあと、自分の身体が動けなくなってしまいました。

２時間ほど、ストーブの前で毛布に包まって、横になっていました。

私のように自分の身体を使って、人の意識エネルギーを受けたり出したりする方たちは、皆さん経験していることですが、久しぶりに、エネルギー疲労が極限になったようです。

でも、その方の魂が喜びや、希望に満ち溢れているエネルギーを感じると、これがまた、やめられない喜びでもあるんです。

過去、何度も強い霊体に入られて苦労した経験から、自分の身体を守るために色々工夫をしてきましたが、大きな愛を与えることは、実は、自分を守ることができない反面もあります。

それはまだ、幼い魂の方たちが、自分の大切なものを守りながら、何かを手にいれようと望みむと、その方が自分を守る分、心を開いている相手が苦しくなってしまうのです。

親の深い愛の中から自立しようとするとき、心の奥底で愛を感じながらも、親に反抗する姿が、似ていると思います。

親は、常に、その子供の経験する苦しみを自分のこととして一緒に苦しみながら、それでも一人で生きていけるように自立を望み、影から見守ってくれています。

その親の気持ちを深く理解できるようになるまでに、どれくらいの時間、周りの人と傷つけあいながら、自分を認めるための学びをしてきたことでしょう。

私もそういう時代があって今がありますので、人間としてこうしたいという欲がある以上、自分の過去の想いを許しなが生きることを心がけています。

でも時には、交通事故のように、偶然、出逢った人に、ドッ！とエネルギーを奪われるときがありますが、それを守らなくてはいけない自分を、実は、好きではありません。

皆んなが、自分を一切守らずに、全てを与えつくしても、生きられる世の中になればいいなあと想っています。

自分が欲しいものを奪い合う世の中から、与え合う世の中、それは、あなたが望んでいる「本質の愛」も同じだと思います。

どうぞ、今日、あなたがして欲しいと思っている愛を、誰かに、先にあげてみてください。

あなたの愛は、笑顔でも、ありがとうでも、美味しい手作りのケーキでもいいんです。

何も見返りを望まず、ただ、差し出してみる。

それを繰り返しても、喜びが残っている自分に感謝することです。

だって、あなたの愛は、誰かがもらってくれないと感じられないんですもの。

相手とあなたは、ひとつ。

写し鏡のように、出会い、生きる私達は、その喜びを感じたくて、誰かにやさしくしたい気持ちになるんです。

そう、　欲しいからあげるんですよ、愛は。

でも、見返りは、求めないんです。

愛の確信は、その見返りを求めない自分の満足感ですから。

だから、私もこのメッセージを皆さんに読んでいただけるだけで、喜びが溢れてくるんです。

あなたとの愛の循環を感じているんです。

それがどんな反応であっても、すべてが愛の一部だと感じられる自分がいますから・・・。

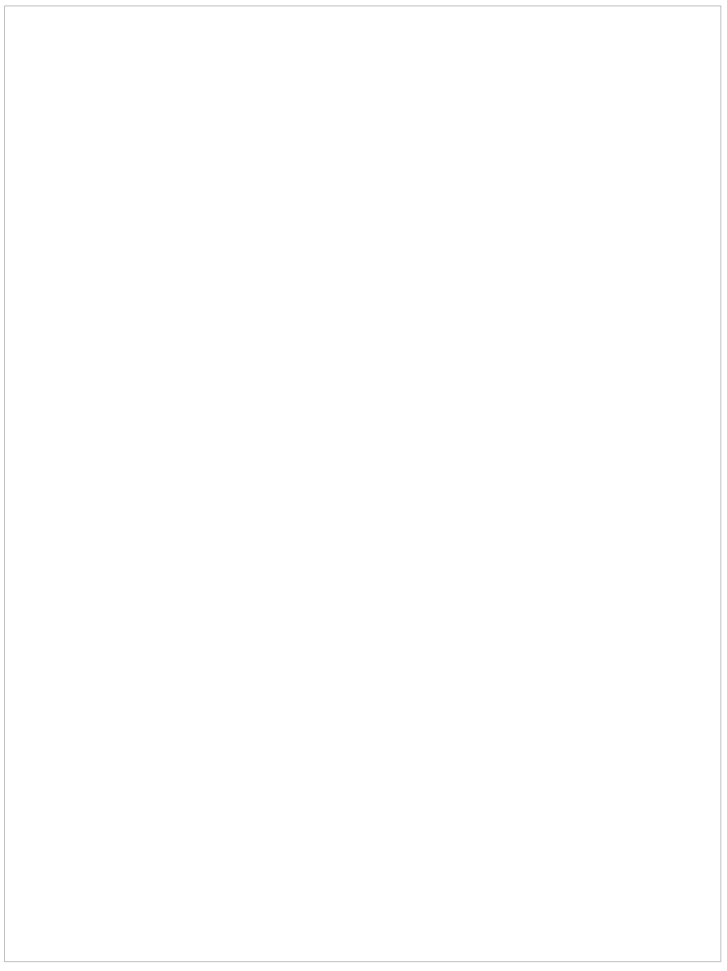
受け取ってくれて、ありがとうございます。
2007.01.20 Sat

御天長老（うてぃんちょうろう）さま

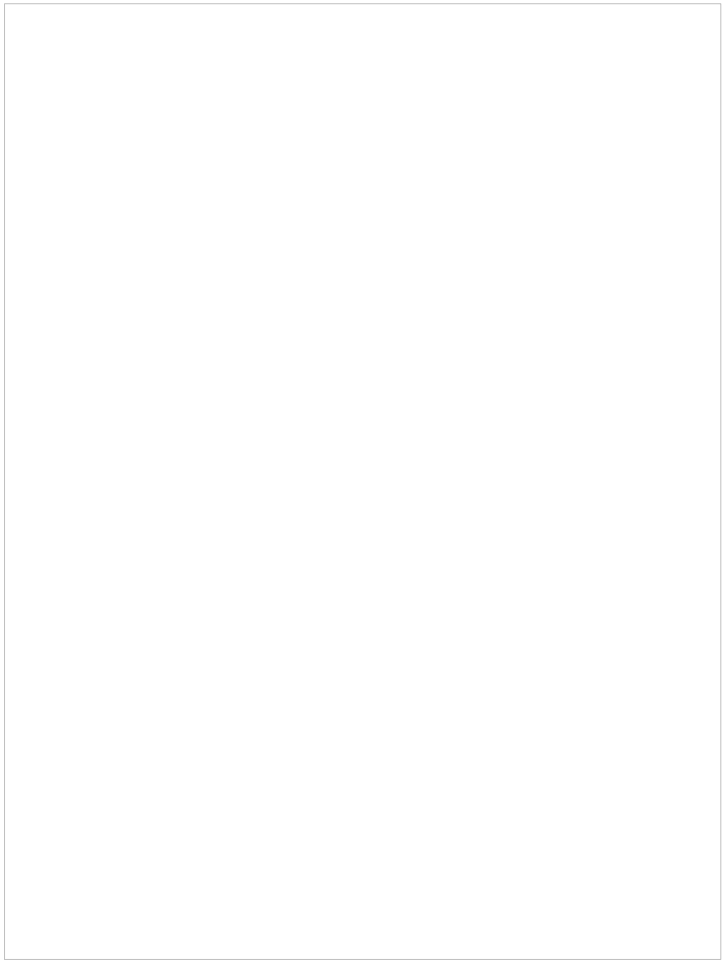
御天長老（うてぃんちょうろう）さまが、いらっしゃる場所は、黄金の森（くがにむい）と呼ばれる場所にありますが、この階段を登り始めた右側に、とても大きながじゅまるの樹の下に拝所があります。ここは、とても強い男の神さまが守っていらっしゃるので、男性は、ぜひ、心から手を合わせて下さい。男としての役目を果たす為にも、大きな力を貸してくださることでしょう。さらにその道の途中の岩を見てみると、緑色をした海の底の岩が隆起したのがわかります。ここは、昔海の底だったということです。

宮古島の石庭（いしにわ）の奥にも、同じような大きな石を抱いたがじゅまるの樹がありますが、ムー大陸時代のエネルギーが、そのまま残っている岩でした。

坂道を登りつめると、大きな石碑が奉ってあります。



ここに刻まれている”天主御大神”様は、とてもやさしく清らかなエネルギーでした。私達が行う”琉球諸島　愛と調和の祈り”の意味を、”宇宙のおおもとから”聞いていて、理解してくれているのでしょう。だから、一切何も言わず、ただ、見守っていると言ってくれています。その左側から、とても強いエネルギーでこちらを見ている銅像があります。（写真がボケてごめんなさい）



これが御天長老（うてぃんちょうろう）さまです。歴史の詳しいことはわかりませんが、中国では、道教（タオ）の導く教えのなかで、仙人と呼ばれるほど、高く格式のある意識の人格者がいますが、御天長老（うてぃんちょうろう）さまのことを簡単にいうと、”仙人”といってもいいと思います。

御天長老（うてぃんちょうろう）さまには、今までのご報告と、この沖縄諸島の祈りの意味、そして、その祈りを行った結果で起きることを詳しくお話させていただきました。そして、人種国家を越えた愛と調和の行動が一人一人できるように、まず、私達の心合わせをすると約束しました。私の説明のご理解を賜り、これからの私達の行動を見ていると言ってくださいました。

強くそして厳しいそのお言葉は、私達の背負っている役目の意味の深さと大きさを痛感させられます。これで”中国番”と呼ばれる大きな神々のエネルギーに対して、正式に、ご報告したことになります。今日の祈りはここまでとして、これからの時間は、今までの沖縄本島の祈りのあと、さまざまま意見や疑問がでましたので、このあとは、しっかりみんなで本音で話しあう時間をとりました。

明日は、この緊急祈りのメインイベント、この沖縄の地の不浄御霊の戦没慰霊を神から言われて

、人生をかけて活動された浦崎芳子さんにお会いしにいく予定です。浦崎さんに逢う約束は、神人　上原小夜子さんからアポイントがとれたとご連絡いただいたことで、安心していました。こういう大事なことは、物事がうまく流れることで、全ての意味合いが、かわるようになっています。

今回、私達が行う　琉球諸島　愛と調和の祈り　の神事は、宇宙のおおもとから指令が出ていますので、大きな役目をもつ人には、必ず、それぞれの魂や守護神を通して、メッセージが届いています。だからその結果は、行動する前に、答えが変わるようになっていて、物事の流れを見ているとわかります。

2006年３月の神事　八重瀬干（やびじ）祈りのときにも、神事の前に、宮古島と伊良部島の調和の祈りを行いましたが、そのときも、伊良部島と宮古諸島を代表する神人には、神々からメッセージが降りていました。

伊良部島の神人には、「北海道から７～８人くらいで、宮古島の大事な龍の祈りをする人たちが行くので、ちゃんと対応するように！」と。ご本人は、”北海道”や”人数”という具体的な内容を聞いたのが初めてだったので、とても驚いたと言っていました。宮古島の神人とは、前日、偶然、平良市でお会いしたのですが、明日のことを話すと、「明日は大切な一日なので、まず自分の祈りをしなければいけないので、それが終わって、いけるようなら連絡します」と言っていました。

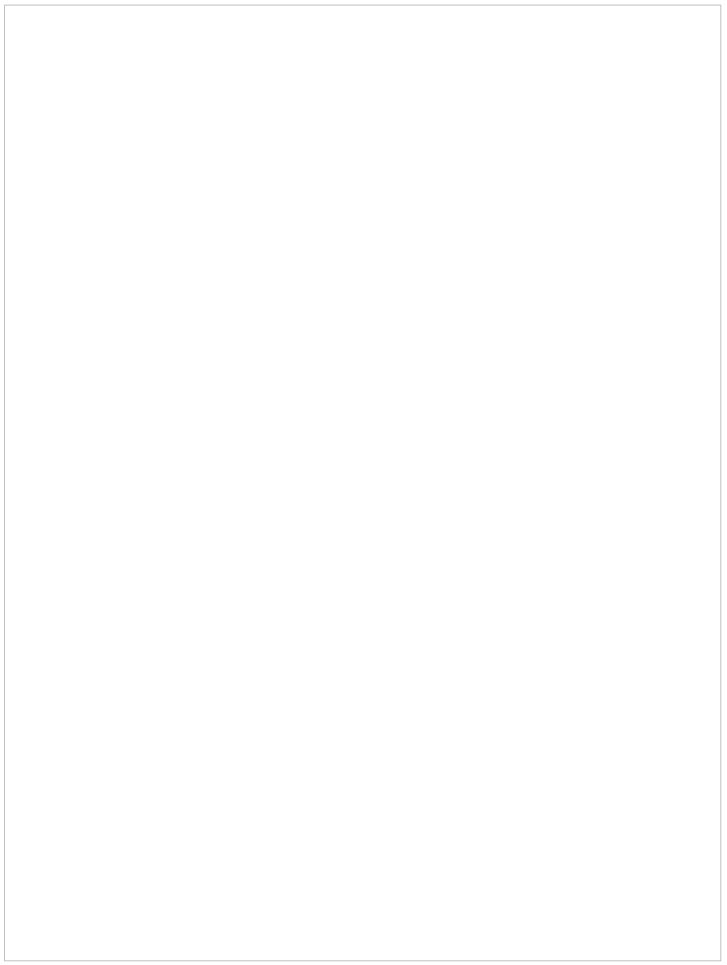
翌日の朝、この神人からお電話をいただき、自分が起きる前に神さまの声が聞こえて、「自分の祈りを優先するとな何ごとだ！あの大切な祈りをする人について祈らせてもらいなさい」と、朝一番に、私にお詫びの電話が来たくらいです。宇宙のおおもとからの神事の場合、こういうメッセージが、各神人へ降りてきます。それは、私という人間が動いて行う祈りですが、宇宙の調和を整えるためにも動いている大きな意味と役目があるからです。

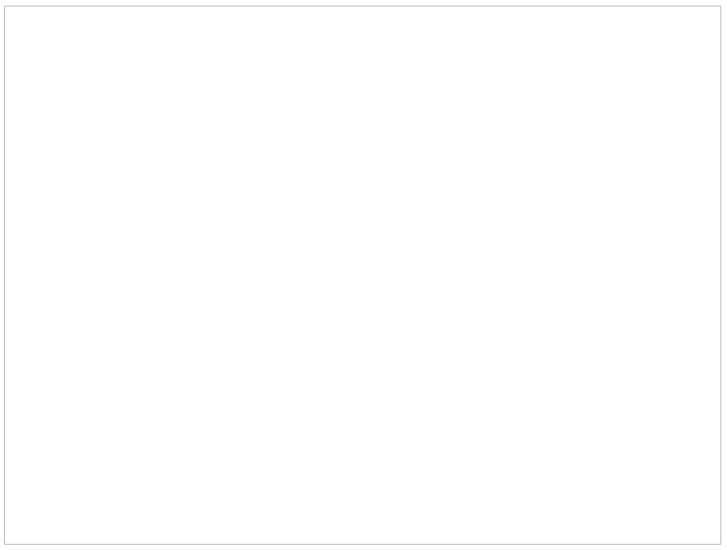
だから、2007年4月の神事の前に、必要な人には、この天からの声が聞こえているはずです。その人が、人間としての過去の価値感や習慣に囚われて悩んでいると、強いエネルギーで揺さぶりをかけてくることでしょう。あなたの魂が決めてきたことなのですから。

本来の神事とは、神を信じ、宇宙の一部であることを理解している人だからこそ与えられる、神や宇宙からの魂上昇のチャンスであり、最高指令なのです。私は常に、この宇宙の一員として、地球に降り立ち、魂の役目をするために、生まれてきたのですから、何があっても天命は、やり遂げます。どうぞ、あとは、ご自分自身がどう関わるのかを自分で理解・調整してください。この沖縄の祈りに、地球の命が、かかっている神事であることも、どうぞ、お忘れなく！

2007.01.19 Fri

沖宮（おきのぐう）と天照大神



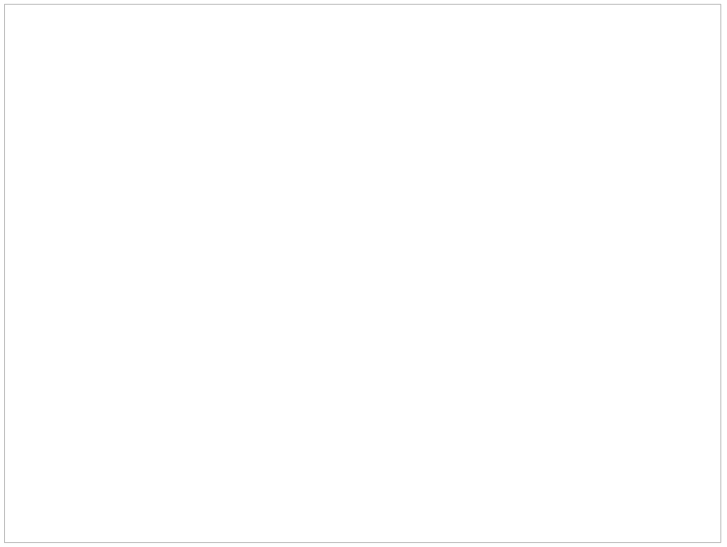


沖縄本島にある七宮八社のひとつ、沖宮（おきのぐう）に着いて驚いたのは、ほぼ、神道と言ってくらいに、沖縄の色が少なかったからです。これを設立された方が神主さんだったからなのでしょう。ほかの視点で考えてみると、大和と沖縄の融合した形とも言えますが、これはアメリカの占領下にしていたあと、日本返還後のヤマトの国の侵略とも私には見えてしまいます。しか

し過去起きた全てのことを乗り越えて、新しい愛を学ぶことが重要ですので、私は、ここの山の上にいらっしゃる天照様にご挨拶をしたいと感じていました。

本殿に手を合わせていると、ここの現在の女性宮司と逢う機会を仲間が創ってくださいました。沖宮（オキノグウ）　宮司　津嘉山慶子さんは、ここの天照様が昇天の天照様で、降臨の天照さまは、現在、その土地が壊されていて、守れていないことを伝えてくれました。一緒にいた神人は、「ぜひ、それを復興させましょう！」と熱くお願いしていました。

京都でも、天照様の岩戸神社の祈りのあと、降臨の神さまがいる場所をある人が教えてくれました。降臨の天照様がいる場所は、とても強いエネルギーで、祈りも、真剣に向き合わないと、大変なことになりそうなくらいの場所でした。きっと、この沖縄の降臨の天照様の場所を守りきれると、この大地の神さまと力を合わせて、大きな愛で守ってくれることでしょうね。宮司さんとの時間もほどほどに、本殿の山の上の天照様へ向かう石段を登っていくと、すばらしい祈りの場所があります。



石碑がふたつありますが、「沖縄諸島の愛と調和の祈り」のご報告をすると、神さまから感謝の言葉をいただきましたが、左にある”がじゅまるの樹”の神さまが、私を呼びます。このがじゅまるの神さまは、全てのことを知っていらっしゃいました。この土地に住む人たちの混乱やしてきたこと、慈愛・悲哀の全てのことをエネルギーで教えてくださいました。私は強く決断いたしました。この土地の歴史を全て見守ってくださっているがじゅまるの神様へ、必ず、この土地の新しい愛と調和を実現すると。

あとで聞いた話ですが、この沖縄の神人たちは、がじゅまるの樹には精霊がいるので、怖いから手を合わせないほうがいいと、伝わっているようです。不思議なことですが、これは違います。自然界の全ての神々からのメッセージを聞き取れる人ならば、この自然界の神たちが、何を見てきて、何を知っていて、何を望んでいるかがわかるはずです。

人間は、いつも殺生し続けないと生きられないある意味、残酷な動物です。野菜や果物、魚や肉など、あるゆる生類の命を奪い続けてきています。家を立てるといえば、樹を切り、木材が必要といえば、樹を切ってきた種族です。その樹が、何百年生きていたかも知らず、その樹が、どれくらい木陰を作って身体を休ませてくれたかを知らず、その樹が、どれくらい強い風を包み込んでくれたかを忘れてしまっています。

樹の精霊たちと話をできる人たちは、いつも、植物や樹から、そのメッセージを聞いています。人間のすることを全てを認め許してくれている長老のがじゅまるの樹からは、どうぞ、大切なメッセージを聞いて下さい。この山のすぐ向かい側の小高い山の上に、銅像が見えます。この銅像が先ほど行った孔子廟（こうしびょう）の神さまが教えてくれた、御天長老（うてぃんちょうろう）さまなのです。次は、この御天長老（うてぃんちょうろう）さまへのご挨拶です。

つづく

2007.01.18 Thu

愛の気付き

今日、私が気付いた愛のメッセージをお届けいたします。

これは、私自身の根底の意識の大変革になる大きな気付きの日となりました。

（2007/１/１７　午後５時）

まずは先に、今まで私のメッセージを読んで下さった方で、ご自分の心の中にある「嫉妬・執着・エゴ・欲・カルマ・煩悩」のどれかにおいて苦しまれていた方がいらっしゃいましたら、心からお詫び申し上げます。

このお詫びの理由は、今日、私自身が、この嫉妬・執着・エゴ・欲・カルマ・煩悩のすべてが愛であるということを、初めて受け入れたことで、過去のメッセージの意味が変わってしまったからです。

私自身、今日の気付きを受け入れるにあたって、たくさんの葛藤をしました。

しかし、1/14-1/16までの沖縄の祈り　を通して、たくさんの人たちと話し合い、たくさんの神々と手を合わせて、何が現在の人の苦しみになっているのか、何がこの地球上で、その原因になっているかを感じたときに、私自身が、より大きな愛になる必要性を気づきました。

沖縄の地の祈りで気付いたことは、たくさんの神を奉り、たくさん手を合わす場所がある分、神と反対の世界も、同時に存在していることでした。

これは神道でも、仏教でも、他のすべての宗教や意識の世界においても、神や悪魔を創りだし、天国や地獄という相対の世界を創り出してきた人間自身が望んだ世界だということに気付いたからです。

偶然ともいえる今朝の”許し”というメッセージは、この新しい愛を見つけるための最後の「カギ」だったと、今は、確信しています。

今の私は、自分自身も、あなたも、この地球上で起きている全ての事件や戦争さえも、”戦うこと”も、”許す”ことをしなくていいという気持ちになりました。

その全てが愛であると、私の魂が受け入れたからです。

この新しい愛の意味を理解できない方もたくさんいることでしょう。

でも、もう私にとって、この地球上で起きる全てのことや、銀河系宇宙の中で起きる全てのことが、全て愛であると、本質の魂が感じられるようになってしまったのです。

だからもう、私は、誰も裁きません。

だからもう、私は、誰も許しません。

だからもう、私は、誰の罪も問いません。

私はあなたの過去を問わず、これから起すかもしれない全ての問題や犯罪さえも、すべてが愛と受け止めることができます。

その理由は、あなたが、私だからです。

そして、私が、あなた自身だからです。

今日、新しく生まれ変わった私の魂は、今までホームページに出していたメッセージの全ての意味を変えなければいけないと感じています。

だから、ハートランド龍球のメッセージや、地球創生のメッセージ、そして、公式ブログのメッセージも時がきたら、削除・変更していくことをご了承ください。

地球を心から愛する全ての方たちへ

私は、この自分自身が感じた新しい愛を、あなたと同じ肉体を持つ人間として、自分のできることを生涯を通して行っていきます。

今の私の一番大切な仕事は、”祈り”だと感じています。

それがどんなに大きな祈りでも、どれだけ小さな祈りでも、神や天に手をあわせる自分自身が、すべてのことにおいて、一切の善悪の判断をせず、存在していることへの感謝のみができるよう心がけて祈ろうと思っています。

神や天が、私に気付かせてくださった新しい愛を、出会う人たちに伝えることも、私の大切な仕事になってくるかもしれません。

全てが天のお導きと知り、人間の魂に与えられた役目をまっとうさせていただく気持ちです。

今日のこの気づきに心から感謝いたしますとともに、皆様すべての愛や気付きに、

読んで下さっている全ての皆様に、”ありがとうございます”をお伝えいたします。
2007.01.17 Wed

『許し』

自らを許せた人は、他人を許せるはずです。

自らを本当に、許しきった人は、どんな社会の苦しみをも、許せるはずです。

あなたが混乱したり、誰かを責めたり、苦しんだりしていることは、すべて、あなたの苦しみという罪を、自ら逃れるための「いいわけ」なのです。

人を裁く権利と責任が、あなたにあるでしょうか？

あなたは、それほど、すばらしい神なのでしょうか？

あなたが力を込めて強い言葉を吐くとき、実は、心の内面で、葛藤し、苦しんでいることを、ちゃんと見ているでしょうか？

あなたは自分が苦しいから、まわりの人を責めたくなるのです。

それはあなたが、まだ、幼いということです。

自らの幼さを認めて、許して、子供達ややさしい人の言葉に、素直に、耳を傾けなさい。

あなたは、自分の犯してきた罪を許して欲しいのです。

完全にはなれない人間だからこそ、自らを許し続け、同じ幼い周りの人を許し続けていくことがこの地球に生まれた人間の意味なのです。

戦いや攻撃の最後に、本当の勝利はあるでしょうか？

誰かに勝ったと思った瞬間、あなたは、必ず、自分を守ってくれた人に、裏切られます。

それはあなたが誰かに感じさせたことを、知るためだからです。

だからもう、誰かに勝とうとするのを止めてください。

あなたは、今のあなた自身で、完全です。

不調和なのは、あなた以外の人との「許しの差」なのです。

それを学ぶために、この地球へ人間として降りてきたことを想い出しなさい。

愛は、『許し』です。

永遠なる許しを自分に与えることができるように、自分の本質の魂に素直に生きなさい。

誰かがあなたを癒してくれる言葉より、もっと大きな許しは、あなたが、あなたを許すことです。

『今まで、ありがとうございます。そして、これからも宜しくお願いします』と、自分に何度も言ってあげてください。

すると・・・、あなたは、誰かに、”ありがとう”を言いたくなるはずです。

それが、相互の愛、初めて、人が人を許す瞬間なのです。

永遠に１００点になれない人間だからこそ、１００点を目指し生きる。

どうぞ、肩の力を抜いて、全てのことを認めて許せるあなたになってください。

私はもう、あなたを許しています。

そして、神も、宇宙も、全ての存在が、あなたを許しています。

だからこそ、今日という日に、あなたをまだ、生かしてくれているのです。

愛を信じたいあなたなら、もう、許すことができるはずです。

この世の中で起きる全てのことを許せるあなたになってくださいね。

神や宇宙の願いは、ただ、それだけです。

あなたの存在に、ありがとうございます。

2007.01.17 Wed

緊急！沖縄祈り（**1/14-16**）/久米三十六姓

実は、たった今、沖縄から帰ってきたばかりなのです。そして、今回、私は、涙が出るくらいに、うれしい体験をさせていただきました。前回一緒に祈った仲間たちのなかで、ほんとうに素晴しい活躍をしてくれた上原小夜子　神人（カミンチュウ）や、沖縄を心から愛するすばらしい仲間たちが、4月に執り行われる「沖縄諸島　愛と調和の祈り」のために、本当の心あわせ、そして、お互いの和合が整いましたことを皆様にご報告させたいただきながら、沖縄の皆さんへ感謝申し上げます。

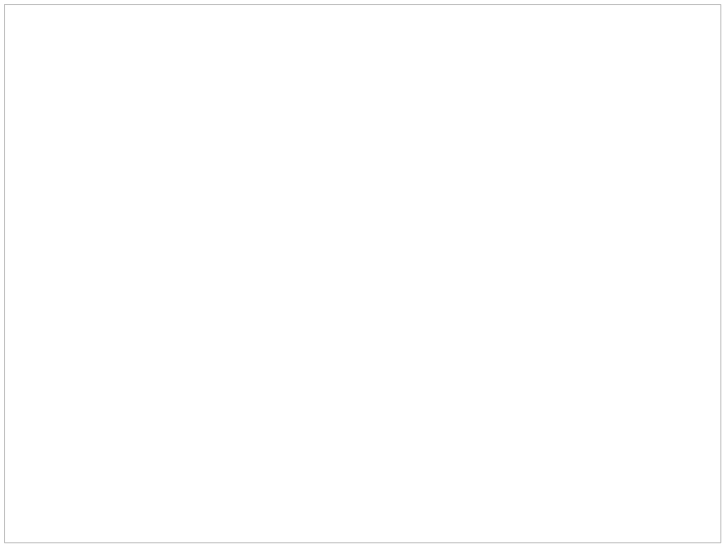
1/14、氷点下の札幌から20度以上の温度差の那覇空港に足を踏み入れると、身体が順応できなくて大変でしたが、それでも今回は、特別な思いを持って沖縄の地に足を踏み入れました。”宇宙のおおもと”から私が受けているメッセージとして、この地球創生の実現のためにも、2007年４月の沖縄神事を成し遂げることが、日本の調和、地球の調和、宇宙の調和にとって、とても重要な祈りだとわかったからです。

そのために、今、自分は何をしなければいけないのか・・・、前回の祈りのあとのさまざまなご意見を参考にしながら、まず、宇宙の調和は、神々の調和、そして、それは、人の調和だと、感じたからです。過去から、この日本に住む全ての御霊には、たくさんの先祖ルーツやカルマ、また、大きな使命を持つ方たちが生まれてきています。特に、沖縄諸島に生まれる人たちが、神ガカリの人が多いのも、その理由です。

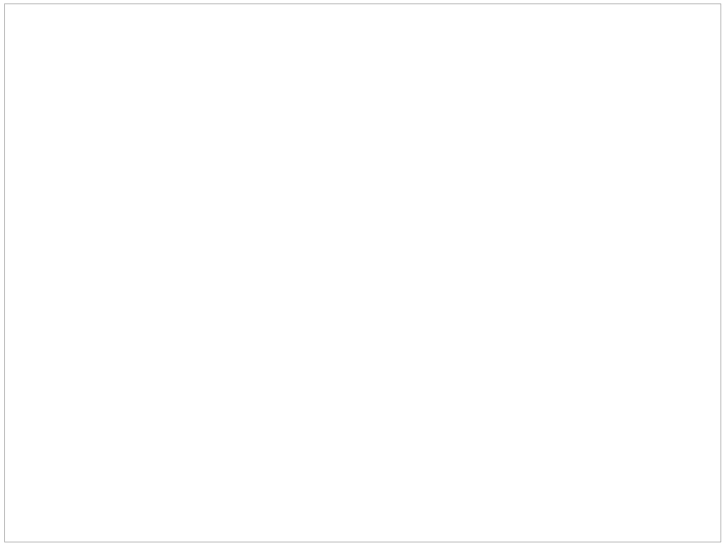
その理由として、中国からの歴史、大和（現在の日本）との歴史、琉球王朝の歴史、神人・ユタ・ノロの歴史、そして神々との付き合いであるウタキ・拝所の歴史があります。そのすべての過去の思いを受け止めて、今、自分達が何に気付き、どう変わることが必要なのかを、一人一人に気付くことが重要だと感じました。

”琉球諸島”という”琉球”の名前のおおもとは、中国からやってきた方たちのおかげで、この沖縄に”琉球王国”ができました。そのルーツである中国の方が住んだ場所が、現在の久米という場所です。この久米という場所には、現在でも、”久米三十六姓”と呼ばれる中国のルーツでるある３６の姓を持つ方たちが、大切にご先祖を祭っている場所があります。

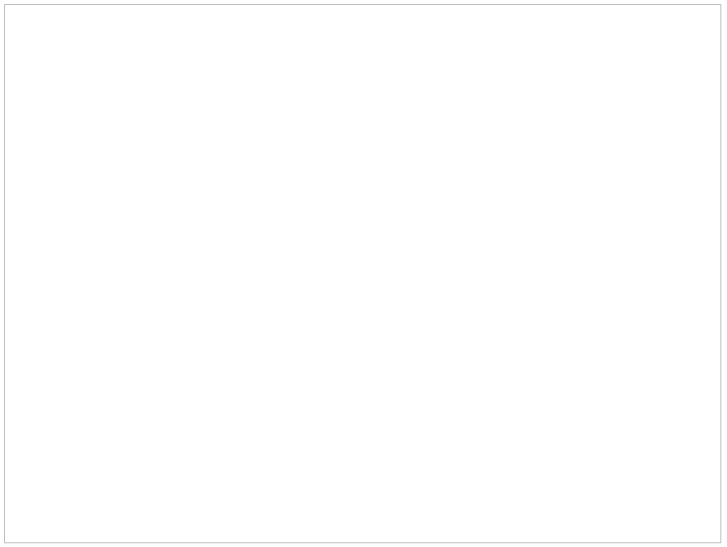
過去、貢献してくださった方に感謝することは、産み育ててくれた母に感謝するように、孔子廟（こうしびょう）というすばらしい場所へ祈りに行きました。



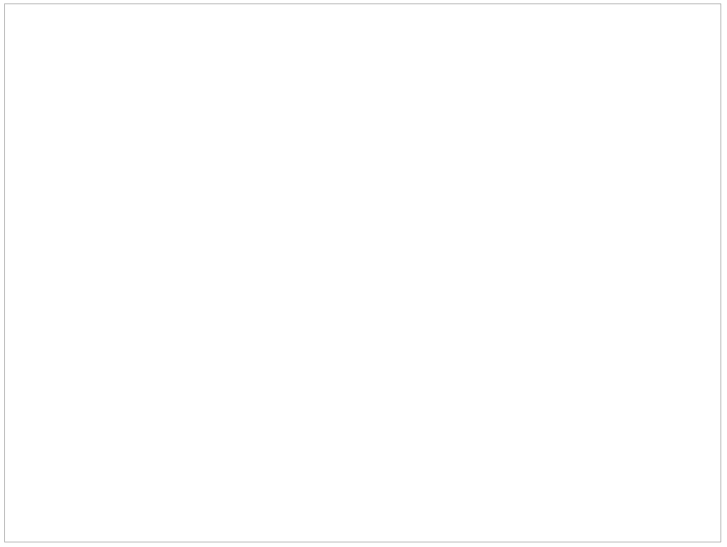
正門から入ると、左から、天孫廟（てんそんびょう）＝世の始まり、



天妃宮、



そして、中央に、大成廟（たいせいびょう）があります。



天孫廟にご挨拶すると、そこの神さまから、「沖の宮へ行ってください」と言われます。沖の宮とは、戦後、日本の神道の霊力を持った神主が、戦後の戦没慰霊の御霊をあげるために創られたノロ・神人を中心とした霊力集団が集う場所です。昔は、神ダーリの方たちを正しい道へ導くことも行っていたそうです。あとで、そこへ行くことも決めて、次の天妃宮に手を合わせました。

ここの女神さまは、私達の祈りの海の航海の安全を守ってくださると約束してくださいました。最後に手を合わせた大成廟では、孔子を象徴とした銅像があり、そこへ手を合わせていると、ここへやってくる皆さんのメッセージの集大成がやってきました。ここの神さまとは、いろいろな話をしましたが、私達がこれからする神事は、実は、この久米三十六姓の方たちの願いでもありましたので、必ず実現しますと決断の祈りを捧げてきました。次に足を運んだのは、先ほど説明

した”沖の宮”です。

2007.01.16 Tue

2007/1/11 直列エネルギー

今日は、1/11です。事前にお知らせしようと思いながら、皆様へのご連絡が遅れてしまいましたが、今日1/11は、エネルギーが強く流れている日です。

昨年の11/11は、黄泉の門が開きましたが、今年２００７年は、まったく新しいエネルギーの時代になっています。

毎年やってくる直列エネルギーの日は、1/11、2/22、11/11の３回ですが、数字の意味を良く知っている方ほど、そのエネルギーの強さがわかるはずです。

今日がどんな日になるかは、あなた次第ですが、ひとつお知らせすると、今年の自分の願いをしっかり宣言する日と覚えておいてください。

この宣言エネルギーは、本気だと、普段なんとなく想うことの１００倍の力がありますが、さらに、今日という日に宣言すると、人によっては、１０００倍から１００００倍の意志力につながります。

この世の中に、「数字」というものが現れてから、いろいろなことが変わりました。数字は、「霊数」といわれるように、見えない世界とのつながりを示す道具だったからです。

だから昔、この数字を扱う人たちは、天文学や占星術占いなどの星のメッセージ、つまり、次元を超えて情報を読み取る大切な道具（記号）として扱われていました。

今でも沖縄では、旧暦で神事や祈りを行っていますが、グレゴリオ１世が決めた現代のグレゴリオ暦とは別に、マヤ暦のことも今、話題になっています。どの暦も、表しているのは、宇宙の次元ごとの時の流れです。

この宇宙空間に流れている”時”という概念をどういう意味にするか、どう読み込むのかが、とても大切な情報だったのです。

私は、１０年ほど前に、自分の誕生日が近づく２ヶ月くらい前から、体調がおかしくなっていました。そして、誕生日を迎えてからは、さらに、どんどん”やる気”が失せていくのです。

自分で事業をしていましたので、自分のやる気が失せると生活ができなくなります。やる気が復活するのに３ヶ月もかかる、この不思議な誕生日前後の時の流れが、３年も続きました。

さすがに３年目は、自分でも予測できていましたので、なんとか運気をあげる方法を探してみますが、いろいろ手を伸ばすほど、エネルギーは、落ち込みました。その経験で気付いたことは、誕生日は、自分自身が産まれ変わる日だということです。

そんなあるとき、四国に強力な霊能者がいることを知り、見えないエネルギーの重圧の意味を聞きにいったときから、自分の”時”の流れの変化が始まったように思えます。

霊能者と話した最後に、「将来、あなたは、今、想像もつかない面白いことをしますよ」と言われて、いつも厳しいその女性の顔が、ふと、笑ったことを印象的に覚えています。そのとき、実は、自分の心のなかで、ふと思ったことがあります。

「もしかすると、この霊能者と同じ職業？」

そのあとに、霊視と透視の力が突然、自分に宿り、現在の道へ進むべき準備がなされていたようです。今、考えると、あの誕生日前後の体調不調は、自分の魂の道へ進むべき「お知らせ」の時期だったと想っています。

確かに、自分で選んだ仕事で、事業もうまくいっているのに、本心が喜んでいないことを知っていたからです。魂の本質は、いつもあなたに語りかけています。でもその声が聞こえないからこそ、霊能者が、次元の「とき」を越えて、メッセージを受け止めてお知らせしてくれるのです。

その「お知らせ」のとうりに生きるか、反抗して、現実に合わせて生きるかも、自分次第ですが、必ず、自分の魂との葛藤が起こる時期がきます。魂には、現実世界のバランスは、一切、関係ないからです。

あなたが生まれる前に決めてきた時期に、あなたが準備ができていれば、必ず、その「お知らせ」がやってきます。どうぞ霊能者には、自分の苦しみを理解してほしいと望むのではなく、あなたの魂からのお知らせのメッセージを聞きに行ってください。

霊能者の霊的能力が高いか低いかではなく、魂から聞き取ったメッセージをどう、クライアントさんへ伝えていくかが、一番大切なことだと私は思っています。

霊能者のなかには、まだ霊的感覚に振り回されていると、自分の苦しい世界へ連れ込もうとしたり、反対に、自分と同じ体験をして、まだ逃げている人をみると、とても厳しい口調で言いたくなってしまいます。

こういう方は、まだ、お金をいただいて人を導く時期ではないと思います。だから、私も自分の力が他人の役に立つかわからなかったので、神人（ユタ）と同じ三年修行の間、ずっと、ボランティアで、数百人の人を見させてもらっていました。

私自身も子供の頃から見えない存在との付き合いで苦しんだ分、霊能者たちの苦しみがよくわかります。だからこそ、早く、同じ苦しみを感じている人たちの苦しみを解いてあげたいのです。

霊的感覚を受けて苦しい経験をされた方は、一般の方にどれだけやさしく癒されても、限界があります。霊媒体質の方の苦しみは、霊能者しか、わからないからです。そして、霊的苦しみには、種類があります。

現在、病院で病名を付けられている「うつ病」も、長い間、続いている人には、その本人の魂の役目にかかわらず、霊的障害を受けています。また今の精神病院へ入っている人の７割は、この霊的現象に振り回されている人たちなのです。

普通の方でも、強いショッキングな経験をされたり、苦しい思いを心の奥底にしまいこんでいると、霊に乗られてなんとなく肩が重いといいながら、普通に過ごしている方もたくさんみます。

霊能者として仕事をするなら、除霊や交霊、そして、その霊をあげたり、降ろしたりできるくらいにならないと、いくら手先だけで浄霊しても、あちこちから、自分自身が霊の影響を受けることになります。

本当に、霊と人間の魂のバランスをうまく取れている霊能者が少ないのは、残念なことです。

この現実世界は、普通にお金を稼いで生活するだけでも大変なのに、自分の望まないことを体験させられ続けた霊能者たちの苦しい思いは、周りの人に理解されないことで、さらに苦しくなっているからです。

私の知人であり霊能者の沖縄本島に住む神人（カミンチュ）の上原小夜子さんや伊良部島にいる龍神を守る神人の吉浜克美さんも素敵な人たちです。私も昨日、４８歳の誕生日を迎えて、新たな気持ちでスタートしています。

”陰”を守る霊能者たちが、喜んで”陰”を守る時代になり、”陽”を守る素敵な魂の人たちも、この陰を理解して、お互いが自分の魂の役目を理解し合って、この現実の”普通”を変えていけるすばらしい人たちに出会えますように！ありがとうございます。
2007.01.11 Thu

沖縄本島　愛と調和の祈り　「光の柱」

12/22の札幌に帰る日の朝、目覚める前に眠りのなかで、メッセージをいただきました。

「ぐぞうの門、ぐぞうの門」

そして、獅子のような石造がぐるっと並んで、このメルパルクホテルの周りを囲っている情景が見えました。聞いたことのないこの言葉の意味は、地元の神人に聞くのが早いと思って、朝のお迎えにきてくれたときに、まず尋ねてみました。すると・・・

「この場所は、昔、王様が遊びに来る場所だったんです。このホテルの裏側に、今でも、この土地を守っている神さまがいますが、行きますか？」と聞かれます。当然、行かなければいけません。私にメッセージを伝えるくらいですから、とても大切な場所か、または、私たちがご挨拶しなければいけない場所だということですから。となりの宮古ホテルの裏側からのぞいてみると、すぐ、神さまのいる場所は、わかりました。

今日はもともと、追加で、龍宮神のある場所を祈る予定でしたので、その前に終わらせなければいけないことなのです。神人に案内された場所にいくと、まず、湧き水が出ている川がありますが、老いた神さまがいました。もうここを守る力もあまりありませんが、過去、守ってくださっていたことへの感謝の祈りを捧げました。

その横は、空き地になっている場所ですが、実は、その空き地の場所にお城があったんです。「青の城」と呼ばれていたとてもすばらしいお城で、この東の門とお城を女性が守っていらっしゃいました。空き地の隙間から入り、この土地にいらっしゃる神様にご挨拶してみると、とても悲しんでいらっしゃいます。王様がいらっしゃらないこと、今まで大切にされてきたのに、今では、誰も大切にしてくれないこと。忘れらたことをとても悲しんでいらっしゃいます。まず、今までの非礼をお詫びしてから、今の状況と、これから私達がすることを伝えました。

沖縄諸島の愛と調和の祈りは、新しい時代の琉球王朝の再建です。そしてこの新しい琉球王朝再建は、日本全体と新たな調和ができるように、おおもとの母である中国にも感謝しながら、アジア諸国すべての調和のための大切な基礎となる東邦圏アジア諸国の祈りの意味もあるのです。

ここを守っている女性の神さまには、そのことを伝えて、それまで、しっかりここを守ってくださるようにお願いしました。「青の城」があったことを忘れることなく、大切な日本という

国の”東”の意味を受けめて、私達の祈りは、ここの神さまに通じました。一緒に手を合わせた王族の魂を持つ女性は、このとき、ここの神さまと同調して、歓喜の涙をながしておられました。今まで悲しかったこと、苦しかったこと、辛かったこと、その全てが癒されたように、魂は、光輝き始めました。

この場所の下のほうには、この土地をずっと古来から守っている地元の方が創ったすばらしい祈りの場所があります。まず、入口左には、大きな「水の神さま」の祈りの場所があります。この水の神さまの場所は、先ほどの老人の神さまが守っていた「水の神さま」をこちらへ動かした新しい場所なんです。

とても厳しい神様でした。この土地を守っているふたつの親族が、ここの番をしている都合上、他人が勝手に入れる場所ではないのが理由です。久しぶりに、全員、裸足になり、手と足を清め、正座して水の神さまへ、ご挨拶をしました。宮古島諸島最高の神さまがいる「ウハルズウタキ」のときにも、全員、裸足で祈りに入りましたが、それくらいここの神さまの力と地位が高いということです。

繰り返し祈りの目的の口上を述べて、なんとかお許しをいただいたので、奥のウタキに入ることができました。ウタキに入ろうとすると、またすぐ左に、小さな水の神さまが奉ってあります。ご挨拶するべきところは、手を抜かず、しっかりさせていただきました。公園のように広いその場所には、とても大きな”がじゅまるの樹”がありました。大きながじゅまるの樹は、必ずと言っていいほど、神様や精霊たちが、守っています。

伊良部島のホテルてぃだの郷オーナーが、そのがじゅまるの樹とお話してみると、なんと、「てぃだの郷」という名前は、このがじゅまるの神さまが、与えてくださったということです。神人と一緒に、お礼の祈りを捧げていらっしゃいました。この「てぃだ」という字を漢字で書くと、「天道（てぃだ）」だということです。猪子さんがホテルの経営を受け継いだときに、天からすばらしいお名前をいただいたものですね。

この大きな公園の一番奥には、しっかりとした祈りの場所があります。ご挨拶をして、階段の上に登ってみて、驚きました。ここには、「火の神（ひぬかん）」を中心に、７つの神さまを奉られています。特に驚いたのは、一番右端に、「びんす（びんし）」と呼ばれる神人として正式に許可が降りたときに持てる特別な箱の神さまもいたのです。

沖縄で神人をなさっているすべての皆様、どうぞ、この神さまへご挨拶をしてみてください。あなたの自分なりの神さまの許可ではなく、沖縄諸島の火の神さまが、本当に、あなたに神人としての許可を降ろしているのか、ここでわかります。

７つ全ての神さまの意味は、詳しくはわかりませんが、この７つ全てに許可をいただかなければ、正式な神人としては、許されないと感じました。それくらい、この神さまは厳しいです。どうぞ、ご自分を確認するうえでも、水の神さまに、きちんと、ご挨拶をしてから手を合わせてみてください。

沖縄では、「火の神（ひぬかん）」を女性が守っています。一般の方たちでも、そのことだけは、おばーから伝わっていて、大切にしているそうです。

「火の神（ひぬかん）」を女性が守る本当の意味は、今年の伊良部島の豊年祭で地元の方に教えていただいたきましたが、もう少し詳しくご説明しておきます。宮古島にあるハリミズウタキの古来の名前は、パシュミズ　ウタキです。

そしてこの　パシュ＝火＝地＝横軸　を　女　が守り、
ミズ＝水＝天＝縦軸　を　男　が守ることを役割として与えられ、
そのふたつが重なり合った形が、十字架なのです。

この地球で、その役割を果たすために、天は地球に男女というふたつの性を、与えてくださったのです。それなのに、それぞれ本来の男女の意味を忘れた現代の人たちの主張を、私は、いつも悲しく感じています。沖縄は、単に女性が強いのではなく、女性が土地を守ってくれていることを男性たちも知っているからこそ、先祖に感謝するように、女性の祈る姿に、感謝する心が残っているのです。

その分、男性は、天より光を降ろす役目と、命の種を与える役として存在していることを、昔の女性たちは知っていて、男性たちの存在に感謝していたのです。植物でさえも、どれほどすばらしい土であろうと、”種”がないと一切、実を結びません。
元気な”種”があるあるからこそ、命は、継承できるのです。そのことをもう一度、思いだしてください。

男性達へのお願いは、常に、元気な”種”を残せるよう、健康で、強く生きてください。女性達の望まれるような元気な種しか、将来、この地球は、救えませんので！最後の祈りの場所は、皆さんに、あきらかにすることはできません。理由は、その場所に、初めて、ものすごい　「光の柱」　を立てたからです。

この「光の柱」は、地元の方たちと手を組んで、７人の皆さんで立てあげました。この光の柱は、下は、「地球の核」につながっていて、その先端は、宇宙の根源までつながっています。

この「光の柱」は、この土地の不浄御霊たちや、過去のマイナス想念の全てを天にあげることができる「光の柱」ですが、この柱のエネルギーに触れる方は、その役割と責任を、魂が持っていないと、逆に、自らのカルマの混乱と欲が、暴発してしまうくらいに、強く高い光の柱です。

この柱を立てたあと、一人一人に、その柱の中心に立って、どんな感じがするかを感じていただきました。ある女性が立っているときに、それを見ていた女性が、とても驚いた顔をしています。「どうしたの？」と尋ねると、「光で包まれた人たちが、何人も降りてきている！」というのです。

その光の人たちは、中心に立っている人の周りを囲んで、覗き込むように、何をしているのか、見ていたそうです。そう、この柱は、宇宙の根源につながったということは、宇宙のどの星からも、この「光の柱」が見えるということです。私達よりも高い次元の星の人たちは、今後、この柱を私達がどう使うか、見ていることでしょう。

私もこの柱を立てた責任があります。この地球上の全ての過去の不浄御霊や、戦さで亡くなった方たちの御霊、悲しみに縛られて上がれなかった御霊たち、その全てをこの「光の柱」で、魂のおおもとまで上げていきましょう。それには、必ず、その土地を守る地元の人たちが、参加してくれないとできない「光の柱」なのです。

「光の柱」を立てたあと、その柱を守るのも、地元の方の役目だからです。今まで人間が何度、輪廻転生してもカルマに生き続けるかというと、実は、この土地に縛りついている過去のマイナス想念や霊魂が、その土地に立って生活しているあなたの魂や感情に、影響を与えているからなのです。

土地の上に住む私たち人間が、一番、影響を受けているのが、土地からのエネルギーなのです。私はこれから、祈りを捧げる土地で、この「光の柱」を地元の方と一緒に立て続けていきます。その柱が何本もこの日本に立ったとき、この日本は、「光の国」として、新しい出発をすることでしょう。

私の魂の役目の　地球創生を実現するためにも。この祈りに、手を合わせていただいたすばらしい地元の皆様、本当にありがとうございます。

2007.01.09 Tue

光の柱

2006年末、12/20-12/22の”沖縄本島　愛と調和の祈り”の最終日に、私が立てる日本で初めての「光の柱」を立てることができました。

この「光の柱」は、単なる意識の世界のことではなく、この現実世界も変えてしまうくらいに、大きく、そして強い、高次元の光のエネルギーの柱です。

魂のカルマについて、よくお話しますが、実は、このカルマのおおもとの原因が、あなたの住んでいる”土地”から起きていることを知っておいてください。

この日本という土地は、幾度も幾度も争いをしながら、たくさんの不浄御霊が、その土地に張り付いています。悲しみ・苦しみ・恨みなどの想い残した全ての想念が、その御霊たちが、天へ上がれない理由です。

もうひとつは、今の皆さんが、ご先祖たちに対しての感謝を忘れたことが原因です。よく守護霊のことを私に聞く方がいますが、なぜ、あなたを守護霊が守るのか、本当に理解しているでしょうか？

誰かに守られていることの意味を、「私は守られているから、あー、よかった！」と、喜んでいる場合ではないのです。守られている人には、守られている責任と役割があります。

それに気付かないために、あなたのご先祖が怒り、先祖が関わった人たちのマイナス想念が、あなたに向かってきているのを見逃しているのです。霊に乗られるのが辛いからといって、ただ、誰かに、除霊してもらっても、何の意味もありません。

あなたが本当に大切なことに気付き、自分の魂の役目として、するべきことをしなければ、一生、あなたにその責任が、まとわりつきます。

私も生まれときから、霊を見たり、あらゆる霊障体験を幾度も経験してきました。その理由がわからずに苦しんだ時代が長かった分、たくさんのことがわかりました。

現実でも、たくさん混乱したからこそ、学んだことがたくさんありますが、私は決して、辛いときに、自分が逃げないことを肝に銘じていました。生きる勇気がないという方へ、とても素敵なメッセージを紹介しますのでご覧下さい。

”死”をよく逃げ道に考える方がいますが、肉体が死んでも、あなたの苦しみが終わるわけではあり

ません。逆に、あなたがこの人生を逃げた分の学びを、魂となって永遠に、しなければいけないことになります。

人間として肉体を持って生まれてきたことを、簡単なことだと想わないで下さい。男女のセックスで、偶然にでも肉体はできるかもしれませんが、そこに、魂が入ることの意味を理解しなければ、あなたは、動物園の動物以下の生き方になってしまいます。

生き物のなかで、なぜ、これだけ何でもできる器用な肉体と,知恵と文化を創り出すことができたのかを考えてみてください。未来を創造する力、それが、知恵であり、その知恵を生み出すためにも、挫折や苦難、耐えられないと想うくらいに精神的な重圧が、あなたを大きく成長させてくれるのです。

「みんながしたいことをして、それでうまくいくほど、まだ、この現実社会は、成長していません。」

誰かがしたいことをしたら、違う誰かが嫌がるのも、まだ、全員の魂が、”完全な愛”に成長していない理由です。そして人生には、いくら逃げ道を探しても、決してありません。唯一、ある道は、幸せになる、愛に生きるという道だけです。

その道には、あなたが本当に愛を信じきれるか、幸せを望んでいるかという、障害物リレーのように、いろんな人や出来事を用意してくれています。

だから、挫折して苦しんでいないで、まず、辛くても、苦しくても、足をすすめることをやめないで下さい。生きることをやめないでください。

あなたは一人で生まれてきたわけではないように、いつも、あなたの周りには、あなた命をつないでくれたご先祖様たちが、見守ってくれています。

困難なときは、「こんなんなら、ナントカなるわ〜！」くらいに、軽くいきましょう！あなたの人生は、あなたが見捨てるほど、辛いものではありません。

人生に起きることは、「たまたま」　です。たまたま・・・・・・・
2007.01.09 Tue

永遠不変な愛

２００６年を振り返ると、私が年頭に感じたとうり、ものすごいエネルギーのシフトアップのおかげでで、自分の行動量とスピードが増えました。

それを新しい行動に移して、新しい出会いもたくさん増えた結果、自分自身がまた変化するチャンスをいただき、結果、また周りの方たちのお互いの変化にもつながっています。

「時代が変わる・地球が変わる」というのは、実は、自分自身が新しい出会いによって変わることから始まります。

人間が１００％影響を受けるのは人間にしかいませんので、”素敵な人や苦手な人”から感じるひとつひとつのことを、どう受け止めるのかが、今後、とても大切になってきます。

自分が今まで”普通”と思っている考え方や行動に、”新しい気付き・学び・心構え”が加わると、今までできないと思っていたやさしい行動や、自分の素直な気持ちを言葉で伝えることができるようになります。

こういう生活を送るときに一番大切なことは、平常心と集中力です。

このことについては、おなすさんが、彼なりのセンスで気付いたことを書いてくれています。

人間は永遠に完全にはなれないからこそ、たくさんの人を知らないうちに傷つけたりしています。

勝手に傷つく本人の問題もありますが、でもそれを気付かせてくれるのが、「嫌いな人からの言葉や嫌な経験」なんです。

この世の中は３次元（相対の世の中）ですから、プラスを望めば、どこかにマイナスがあるのは、当然なことです。

でも自分勝手なプラスばかりを望むと、どこかにその反動のマイナスがたまっていることも、気にしておいてくださいね。

そのどこかにあるマイナスを気にして、それも受け止め、自分にできる覚悟をして、すべてのマイナスも含めて愛して、許して、認めることができたのならば、あなたは自身は、〇（まる・ゼロ）になれたということです。

自分の心の奥底に、この〇がない人たちが、人を傷つけたり、攻撃したり、否定する行動を起します。

こういうことをする人に話を聞いてみると、本人は、絶対、自分の思っていることが正しいと思い込んでいます。

だからこそ、誰かを攻撃できるのですが、こういう”人を押さえつけたり、攻撃したりする”人ほど、心の奥底には、深い悲しみを持っています。

”誰にも言えない苦しみ”は、本当に、辛いものですものね。

私も、こんな苦しみを押し殺した生活を４０年間、送っていました。

それまでの自分は、自分を守るために、必死に、誰かや何かを否定していたと思います。

でも、２０００年に本当の愛を知ることができ、それを信じることができて、自分の生きる根源バランスが変わりました。

人生は、どんな人も必ず、最後に、チャラ（ちょんちょん・プラマイゼロ）になることを覚えておいてください。

でももう来世のチャンスは、ないかもしれないよ！といわんばかりに、地球上での自然界でおきる問題（地球温暖化・オゾン層破壊・紫外線問題・エネルギー不足問題）が増えています。

私も年末年始の北海道の温暖化（この時期に雨？雪が溶けていく）は、とても危険を感じています。

冬に雪の量が少ないと、山にしみ込む水の量も減ります。

すると、山がじっくりこの水を浄化して春に雪解け水として与えてくれる命の水も、減ることになります。

この天からめぐみの降水量が減ると、地球上のあらゆる”浄化”が遅くなります。

結果的に、人間の食べ物や身体にも影響しますし、人の意識に一番影響するのも、「水」なのです。

この自然界からのイエローランプに早く気付き、自分の魂に素直に生きる行動ができると、その分、早く、愛や喜びを感じて、誰かにその愛の与えて生きる時間が長くなります。

愛は、与えてこそ、感じるものだからです。

私のスピリチュアル講座やスピリチュアルスクールも、そういう生き方ができる人が一人でも増えて欲しいと願って開設しました。おかげさまで、すばらしい大人たちやセラピストの方たちが、増えてくれています。

講座開設のもうひとつの理由は、人のために自分の力を使うと決めた１０年間で今まで数千人の人をスピリチュアルカウンセリングした結果、一時的にわかったと言ったことを、そのまま素直に行動できる人が、３０％もいないことわかったからです。

よく”わかったことを行動に移せない”と悩む人がいますが、それは、本当は、とてもおかしいことなのです。

”おまんじゅう”が食べたいのに、”ラーメン”を食べてしまったみたいなものです。

理由を簡単にいうと、頭でわかったつもりになっているから、”行動”を変えられないのです。

だから今年、皆さんにお願いしたいことは、わかったことや新しく知って、これはいいと思ったことを、すぐ行動してみることをお願いします。

”行動すると次の現実”という言葉があるとおり、行動すると、現実が変わります。

現実が変わると、意識も影響を受けますので、また、考えることや感じることが変わります。

一番早いのは自分の部屋の片付けでしょうね。きれいになった部屋にいると、創造することも変わりますよね！

人間に与えられたこの”意識する”という知恵は、この現実と意識を調和するために与えられているスーパーすばらしい神さまの贈り物なのです。

現実を意識すること、そして、自分の無意識を意識することがです。

そして、行動するときの注意点は、行動した結果に、あまり囚われないことです。

１００点を取ろうと思って、一生懸命に勉強したのに、３０点だった・・・。

人生は、そんなものです。

どんな天才も、常に、１００点を取れる人はいません。

”ミスをしない人は、成長しない”とも覚えておいてください。

”失敗は、成功の母”　ですものね！

神や天や宇宙は、私達人間が生きてきた時間のたくさんの失敗を許してくれているからこそ、
今日、私達を生かしてくれているのです。

未来に、希望や可能性がある種族だからこそ、ここまで辛抱して、待ってくれている大きな存在に感謝しましょう。

このことを理解できたあなたは、今日から、行動を変えることができるはずですよね！

これが、愛に向かう行動の学びなんです。

私も、日本全体の愛と調和のために、また北海道から沖縄へ行ったり来たりしながら、深い愛や高い愛を、地元の人から学ばせていただきます。

※日本人のルーツに眠っている大切な愛を学びたい方は、神々の島　沖縄　宮古島・伊良部島
のブログを最初からゆっくり読んでみてください。

この日本や地球や宇宙の新しい調和のために、自分にできことがあるのなら、何でもすると決断したからこそ、皆さんもそう生きることができるように、私も日々、精進しながら、マイナスから学んでいきたいと思っています。

愛は、不変。

だからこそ、常に、自分が、平常心で不変の愛を実践することが、大切だと思う今日この頃です。

ありがとうございます。

2007.01.07 Sun

沖縄本島　愛と調和の祈り　東・南・西祈り

12/21、今日は、雨ですが、”東の祈り”から始めます。浜比嘉（はまひが）島と平安座（へんざ）島に向かうと、すごいエネルギーが、浜比嘉島から立ち上っていました。この島が神の守る島なのは、誰でもすぐわかることでしょう。しかし、この浜比嘉島を守っているのは、実は、平安座島なのです。ご挨拶の順番としては、まず、平安座島からいくべきでしょう。

この島に入ると、どこかに守っている場所があるのがわかりますが、場所がわからないので、同行した方が地元の人に聞いてくれました。私は、偶然見つけた戦没慰霊碑を守っている霊（神）に、聞きにいきました。「そこを曲がってすぐ右にある！」と教えてくれたとおり、普通の駐車場の一角に、神祈りのための岩がありました。

でも、祈りの口上を述べても、なかなか、こちらの言うことを聞いてくれません。不思議に思って、よくまわりを見ると、きれいに見えても、周りにゴミがあります。神様は、自分達のことを大切にしてくれないことを一番、嫌がります。ゴミ拾いのあと、お詫びと御礼、そして、もう一度、ご挨拶です。すると、何とか、浜比嘉島へ行く許可が下りました。

浜比嘉島への橋を渡ってすぐ車を止めて、まず、島の神さまへご挨拶しましたが、「全員の顔を見せろ！」といわれたので、皆さんに車から出てきてもらって、雨のなかをご挨拶です。

神さまに島に入る許可をいただき、左の道を進んでみると、井戸があります。まずは、清掃、そして祈りです。

水の神さまが、水が汚れて泣いていらっしゃいましたので、私達がいただいた神の水、七龍（ななたき）の水と、神人の持ってきた水を注がせていただきました。祈りを終えると、Ｉさんから、「こっちの神さまが、挨拶に来て欲しいと言ってるよ」と、林で見えない奥にある大きなウタキを見つけてくれました。

このウタキは、ものすごく強いエネルギーで守られていますので、こういう場所では、手順と順番を間違えることはできません。厳しい手順を守りながら、お礼を言わせていただきました。

この道を進むと、龍宮神の場所があります。岩の下に女性の神さま、上に、男性の神さまがいると神人が教えてくれました。まず、女性の神さまへご挨拶すると、竜宮のカギを要求されます。伊良部島の猪子さんは、実は、以前、神さまから、ある竜宮のカギをいただいていますので、それを、奉納させていただきました。すると・・・今度は、沖縄全体の龍宮神のカギ（マスターキー）を代わりにいただけたのです。これでＩさんのお役目も増えることでしょう。

この岩の上に登る道を進んで行くと、突風が吹き荒れるこの島の先端に、しっかり”東”を守っていらっしゃる神さまがいます。この神さまと色々なことをお話しましたが、実は、この神さまの名前は、源頼朝（みなもとよりとも）だったのです。神人は、この場所を”大和とのつながりを祈る場所”だと教えてくれましたが、その意味が、やっとわかりました。どうりで、祈りの場所の形が、沖縄らしくない形をしていると思いました。

この浜比嘉島は、実は、源氏が守っていたのです。そして、先ほどの平安座島は、平家が守っていたのです。だから、なかなか、平家が、よい返事をくれなかったのです。沖縄は本当にたくさん歴史の傷跡が残っています。私は歴史に詳しくありませんが、確かに、東の場所にいるのは、源頼朝です。歴史的に彼が来たのかどうかはわかりませんが、彼の御霊は、今でもそこにあります。そして、「東＝陽の出場所」を、東向きに守っているのが、この大きな岩です。まるで何かの動物が、ひざをついて、座っているかのように・・・。

私の役目も世の中を照らす東の役目ですので、この神さまの喜びと共感して、とても素敵な場所に感じられました。一緒に同行したＳさんは、神さまへ”踊り”を奉納したようです。神さまを喜ばすことができるのも、巫女舞いができるのも、すべてお役目です。皆さんで、感謝の撮影！

もうひとつ、新しい発見がありました。龍の産道を見つけたのです。この場所のエネルギーは、誰もが気持ちいい！と声をあげるくらいに、繊細で素敵な場所です。

ここは、子供をおろした人や子供に恵まれない人たちのために、使って下さいと、神人にお願いしました。亡くなった御霊も成仏しますし、新たな命をいただくこともできる場所です。男性と一緒にくれば、子授かりの場所になるでしょう。でも、勝手に入らないで下さいね。この場所は、龍の子宮と産道がつながっている場所ですので！必ず、神人に”祈り”を立ててもらってから行ってください。龍の神さまが、私に教えてくれた素敵なプレゼントです。地元の皆様のためになれて、私もうれしいです。

この場所の祈りを終えて帰ろうとするとき、地元で問題になっているある宗教団体の車がありました。この団体は、どういう意味かわかりませんが、ウタキの木を切り、大切な物を壊す活動をしているそうです。昼食をしながら、どういう組織か聞きましたが、私達に、神が問いかけているのは、「地元の人間が、大切な場所をどう守っていくかを学ばないといけない」という結論になりました。

誰かを批判したり、困らせることは、簡単なことですが、それでは、意味がありません。地元の人は、自分の利益でウタキを壊しますし、土地も売ります。それと何が違うのでしょう？私達に、この姿を見せて、神が問いただしているのですから、一緒に、学んでいかなければいけません。

私は伊良部の方たちにも言いましたが、形にこだわって、大切なものを引き継げないのなら、意味がないですよとお話しています。形は、いつか、壊れることもあるでしょう。でも、大切にしてきた精神を壊してはいけません。子供達へ何を伝えるか、今、問われているのです。私の祈りは、地球の古来からある「自然神=宇宙神」の信仰ですから、形にはこだわりませんが、でも、責任を持って地元を大切にしてきた人たちは、神さまと同じように大切に扱っているつもりです。

東親（アガリ）を守る場所をどうするのかは、日本にとっても、とても大切なことだと思います。次は、”南の祈り”です。実は、私自身は、一番、行きたくない場所なんです。理由は、「ひめゆりの塔」を代表として、たくさんの御霊が今でも生きているからです。でも祈りですから、仕方がありません。その場所に足を踏み入れると、すぐ、左の岩にたくさんの御霊がいるのがわかります。

皆さんにも覚えておいて欲しいのですが、霊を自分で払ったりできない人は、むやみやたらに、淋しい場所で手を合わせないことです。私も以前、自分が、かわいそうと思った場所で手を合わせて、とても強い霊体にのられて、苦しんだ記憶があります。この場所の祈りは、悲しみも喜びも全てを調和する祈りにしました。全てを海に流して、新たな命が生まれますことを祈らせていただきました。

次の中心の祈りの場所は、自衛隊　那覇駐屯地の中にあるミーヌシン（目の神さま）です。どしゃぶりの雨になってきましたが、私の祈りは、一度やると決めたら、どんな状況下でも、最後まで行いますので、その覚悟を感じてくれている皆さんも、最後までついてきてくれました。

この神さまは、「判官さま」と呼ばれるくらいに厳しい神様だと聞いていましたが、私たちには、なんと、素敵な供物や丸い素敵なエネルギーの玉をくださいました。これから皆様が行う、琉球諸島の全体の祈りの旅に、必要になってくるのでしょう。判官さま、愛をいただき、ありがとうございます。

今日の最後は、”西の祈り”です。雨は土砂降り、身体は、ずぶぬれ、強風にあおられながら、瀬長島（せながじま）へ入ります。これで最後の祈り治めになりますので、しっかり場所を探さないといけません。車で島を何度もぐるぐる回りながら、祈りの場所を探します。私は、地元の神人が準備してある祈りの場所では、あまり祈りません。

理由は、神にギリギリ近づく祈りをするためにも、自分を追い込む位の場所をいつも神が設定してくださるからです。今回は、真っ暗に近い海の端ギリギリで、祈ることになりました。強風で、お酒の一升瓶が、吹き飛ばされてしまいました。それも、神の怒りなら、私がすべてを受け止めます。西の方角は、「死の方角」です。御霊が、戻る方角でもあります。だからこそ、厳しくあって当然でしょう。この方角を祈るとき、自らの魂の力と向き合うことになります。

強風の中、道路に正座して座り、海を目指して祈る全員の心は、強い決意を共感しあいました。祈りながら、目をつむっていても、神の意図が、光で教えてくれます。すべての祈りの口上が終わったとき、海から飛行機が下りてきて、あたりを照らしてくれました。神の許可が下りたということです。同時に、国四鎮（くにゆちん）の成功の証です。

今回の祈りは、沖縄本島を統一することが目的の祈りでしたが、出あったたくさんの方たちの心あわせと、これから出会うたくさんの方達との心あわせも、重要な課題になってきました。２００７年４月１７日の八重瀬干（やびじいのり）の祈りは、宇宙では、もう準備ができています。

何があっても、すべての祈りを終えてから、望まなくてはいけません。この１０００年に一度しかないチャンスを私達に与えてくださっているのです。私は、いつも、自分のできることをさせていただくだけです。神が、誰かを試すほど、もう、この地球に、時間は、残されていません。

私に出会う全ての人が、神の意図を自らが聞き、魂の使命に生きる時代がきています。神のご加護と祈りの成功と、一緒に心と手を合わせてくださった地元の参加者の皆様に、心から熱く御礼申し上げます。最後になりますが、大和の国に住まいするものの代表として、この沖縄諸島全ての神々、人々に、今までの非礼をお詫びさせていただきながら、これから新たに創ろうとしている新しい日本、新しい地球、新しい宇宙の調和のために、心を合わせていただくことをお願い申し上げます。ありがとうございます。

2007.01.04 Thu

存在への感謝

明けましておめでとうございます。

新たな新年を迎えて皆様は、新しい時代の風を感じられていることと思います。北海道は年末年始、珍しく雪もふらず、暖かいお正月になりました。（０度前後ですが・・・）

つい先ほど、私の実家と妻の実家へお正月のご挨拶を終えて帰ってきたところですが、今年はなぜか、「ご先祖のことを調べよう！」と、妻の両親と私の両親に、子供の頃のいろんな話を聞いてきました。

明治2年（1869）、蝦夷地から北海道へ改名してから移住してきた人たちのご祖先たちの働きで、今の北海道があります。・・・今年で北海道移住から１３８年目です。調べてみると、私の実家の土地へ初めて移住した人たちは、明治２６年に入植していました。先住民のアイヌ民族の土地へ移り住んでから、私達で４代目になります。

私の家が、小学校の近くにあるせいで、いろんな歴史のことをすぐ近くで見つけることができました。一番最初に入植した方は石川県の方で、当時から、”わたしたちは、神に生かされている”ことを残した伝えるすばらしい文面が、開拓の本のなかに残っていました。

私の父方は、富山県から、母方は、岩手県から移住していました。妻の父方は、現在、小樽在住ですが、新潟県から、母方は、石川県から移住してきています。北海道へ最初に移住したときの話を昔、亡くなったおじいちゃんに聞いたことがあります。

何もない林の中に数軒の人が移り住み、皆で一緒に雑林を切り、切り株を馬と人力で引き抜き、田畑を、ひとつひとつ作っていったそうです。その頃移住した人たちは、武士や平民や商人や差別を受けた人たちが一緒に住み、お互いを差別する事もなく、必死に生きることに力を貸し合っていたそうです。

北海道の中心地　札幌は、まもなく200万人の都市になりそうですが、田舎の郡部においては、今回、本当に過疎化が進んでいるのを感じました。

私が育った学校は、小学校と中学校が一緒でした。１学年１クラスで、一番多いクラスでも３０人しかいませんでした。でもこの学校の2007年の小学校にあがる児童数は、６人だそうです。この街に住む人が減り、開拓の人たちが住んだ家も取り壊している状況です。

今回、ご先祖たちの名前や出身地や、何をしてきた人たちなのかを知りたいと思った理由は、自

分の存在に対する感謝を深めるためです。ご先祖に感謝するとき、一番大切なことは、ご先祖が、どう生きてきた人なのかを知ることだと思います。

形だけで、お墓を立てたり、立派な納骨堂を買ったりするより、ご先祖たちのことを知ることが、一番の供養だと私は思います。ご先祖のことを父母や祖父母に聞くとき、必ず、家族の苦労や悲しみも一緒に知ることになります。

今回は、妻の母方には、子供がいなくて、もらいっ子をして、結婚させて名前を繋いだことがわかした。将来へ向けた大切な生きる命をつなぐとき、ご先祖たちがどう生きたかというスピリッツ（精神）を学び、伝えることが、一番、大切なことだとは想いませんか？

私もいつか、石川県や新潟県、富山県・岩手県へ足を運ぶチャンスがあったとき、ご先祖たちが守っていた土地があったことを思い出し、心から手を合わせることでしょう。

土地には、全ての人間の情報が眠っています。死ぬことを”土に帰る”という言葉が残っている意味は、もともと、土に生かされ、そしてまた、土に帰る存在が、人間だということです。

今のすばらしい発展した時代に、大切なことがわからなくなり、混乱や苦悩する人が多いですが、生き方を迷ったときには、ぜひ、自分のご先祖の事をしらべてみてください。自分の存在の意味を知ってください。そして、そのあなたが代表で、ご先祖に手を合わせることです。

全ての感謝は、ここから始まるのだと思います。「存在への感謝」、このことをあなたのお子様達にも教えてあげてください。自らの存在に感謝し、愛の地球が、もう一度、復活する活動をする人たちが増えますことを祈ります。

２００７年の皆様の発展と繁栄を祝して、ありがとうございます。
2007.01.04 Thu

宮古島と伊良部島の神の意味

皆様の魂がこの世に肉体を持って生まれてきて、親やオジー・オバーに育てられながら大きくなるなかで、自然に自我を持ち、自分の生き方や考え方が正しいと信じて、この現実社会を頑張っていることと思います。しかし、あるとき、ふと、何か大切なことを自分が忘れていることに気付いている方が、今、増えているのも事実でしょう。そのあなたが探し求めているものは一体、何なのでしょうか？

仕事もうまくいき、家庭も持ち、人生では安定と呼ばれるものを手にいれたのに、なぜ、いまひとつ、心の底から、わき上がる魂の喜びがないのでしょう？人間は、一人では生きていけません。自然界にあるすべてのものが、みなそうです。与え合うことが自然になってくると、共存し合っているといいますし、それを自然界では、共生しているといいます。では、今の人間は、共生しているでしょうか？

私は、宗教的ではなく、あくまで個人意見としてお話しますが、人間が進化したことで忘れたものがあるとすると、それは、大いなるつながりを感じられていないことが原因だと思います。その大いなる存在のことをよく「神」と呼びますが、一番近い呼び名では、「ご先祖」ともいえるでしょう。そのことをもっと大きな意味でとらえると、宇宙そのものとのつながりとも言えると思います。

大宇宙とのつながりや、神とのつながり、そして、ご先祖様とのつながりが、日本のなかで、まだ残っている場所が、宮古島や伊良部島の神さまと付き合う島の皆様たちです。実は、その大いなる存在とのつながりが、さらに進化した形が、北海道に今でもかすかに残っているアイヌ民族の自然神信仰に隠された宇宙とのつながり方なのです。

沖縄の島の方たちが、何よりも大切にしているのが、今でも、おじーやおばーの年長者です。そのおじーやおばーには、先祖からいい伝えられてきた文化や大切な知恵があることをみんながよく知っているからです。しかし、沖縄本島も、数十年前から、西洋文化や個人主義、貨幣経済などがたくさん入ったおかげで、その大切な先祖との糸（神信仰）が、切れかかっています。

神さまとのつながりの場所のウタキを守る司オバーと呼ばれる人たちや、その神のメッセージやご先祖のメッセージを降ろす役目の霊媒師の神人（カミンチュウ）たちも、後継者問題に悩んでいます。誰もなり手がいなくなってきているのです。それは、みんなが望んだことの結果としか言えませんが、今でも、その神につながる高い場所のエネルギーを求めて、本州から沖縄へ移住する人たちが少なくないのも事実です。

人が移動すると、経済が起こります。またその経済をめがけて、商売をする人が集まってい

ます。2002年１月に、私が初めて石垣島へ一人旅をして驚いたことは、島の商店街のなかで、人が集まる店のほとんどが、本州から来て商売をしている人たちだったことです。その人たちと一緒に飲みながら色々話を聞いてみると、地元の人は、お金儲けに欲がないからね～と話してくれたことを思い出します。

私もそれまでお金や欲を中心にで生きていたことを思い出し、それを魂の喜びのために生きると、方向転換するために、ここ石垣島へきたのに、こんな話を聞かされるとはと悲しんだことを思い出します。しかし、琉球列島の全体から、神信仰や先祖信仰の心が消えたわけではありません。

私が龍神ツアーとして何度も足を運んでいるなかで出あった、沖縄本島古島や伊良部島の地元の皆様と本音で話して感じたことは、みんなも同じように、このままではいけないと感じていることです。神やご先祖や大宇宙は、私たちに今、何を望んでいるのでしょうか？それは、宇宙全体のつながりやご先祖も魂のおおもととのつながりが、神やおじー・おばーを大切にする心で通じ合うことができる。そして、今、生きている人同士の心のつながりのやさしさの実行だと感じています。

”与え合う、分かち合う、人や自然を大切にする”

私は、このことを思い出す為に、今、沖縄の先祖の歴史や、神の意図を紐解いているのではないかと思っています。人間として、大いなる宇宙のひとつの役目を、日々の生活の中で表現することができるようになるために、この宮古島や伊良部島へ足を運んで、地元の神様に手を合わせることで、そのことを思い出して欲しいと願っています。私たちは、いつも、その神さまや、ご先祖様や、大宇宙に、生かされているのですから・・・。
2007.01.01 Mon

2007年　マスターメッセージ

この静かな夜に眠る大宇宙の星たちのことを、創造してみてください。

星たちが集うこの宇宙空間には、数億兆個にもなる星が集い、その全ての銀河系宇宙全体でさえ、無限宇宙のなかのたったひとつの存在として、今も静かに呼吸しつづけています。

今日、あなたが眠りにつくとき、星たちも自らのサイクルで、そっと眠りにつく瞬間があります。

「眠り」、それは永遠に目覚めないかもしれないという危険な賭けにも似た、魂のやりとりの時間。

この肉体や魂を与えてくれた宇宙全てのおおもとの存在（マスター）は、私達一人一人の人間も、宇宙に存在する大切な魂のひとつとして、いつも見守ってくれています。

ある星では、新たな命を生み出す準備をしています。

また、ある星では、命を終えるために、静かに、”そのとき”を待っています。

もしかすると、命を終えることと、命を与えられることを、完全宇宙の自然摂理に合わせて生きている星たちのほうが、”進化”してるのかもしれません。

人間に与えられた”魂”と、星たちに与えられた”魂”は、何が違うのでしょう？

宇宙の存在の摂理に反して、自らの意図を持ち、すべてを自由に操れると勘違いするのが目的ではなかったはずです。

また、神と呼ぶ存在をあがめて、宇宙の雑絶なる力の加護を手にいれるためでもなかったはずです。

なぜ、星たちの寿命のように、私達人間の肉体にも、”限り”をもうけてくれたのでしょう？

それは、”命の尊さ”を問う前に、”魂の尊さ”を知ることを学ばなくてはならないでしょう。

１億年生きる星の”魂”と、３時間だけ生きる人間の子供の”魂”は、魂の価値が違うと思いますか？

宇宙全てのおおもとの存在（マスター）は、なぜ、あなたに、無限の力や無限の勇気や無限の自信を与えてくれなかったと思いますか？

それが・・・・・・・・自らの存在価値を知る唯一の方法だからです。

宇宙の星たちも、私達人間も、家族から引き裂かれたライオンの子供も、地中のなかで眠るアリでさえも、自らの存在の価値を、自分一人では見出すことはできません。

自らの存在の理由や目的を知るためには、あなた以外の誰かの存在が必要なのです。

もうひとつ、限りある肉体に”魂”が、入る理由は、大いなる宇宙の役目を担うことが目的です。

そして、人間にだけ与えられた最高のプレゼントが、創造力　なのです。

明日、何をするか創造することができるように、あなたは、未来を自分で決めることができます。

これが実は、”神の意図”と呼ばれるものと同じ力なのです。

ある人は、明日、誰かを攻撃するための方法をこっそり創造している人もいるでしょう。

またある人は、明日、誰かを笑顔にするための方法をこっそり創造している人もいるでしょう。

地球の未来は、後者の創造をする人の数で決まります。

自分がどんなに辛くても、どんなに悲しくても、人を喜ばせることや楽しませることを考え続けることができる人たちが、明るい地球の未来を創りだすことができます。

でも、そうできない人たちの苦しみや悲しみは、いつ頃から始まったのでしょう？

宇宙の創造主が、人間に最初にインプットしたと本当に思っていますか？

私達の知識の中にある”天国や地獄”、”神様や悪魔”は、誰が教えたのでしょうか？

それは、すべて”親”です。

ではなぜ肉体が生まれ代わるときに、過去の魂の記憶を消すのかをご存知でしょうか？

唯一、まっ白な記憶喪失の魂のおかげで、善悪を判断せずに、すべてのことをもう一度、新鮮に感じるためなのです。

生まれたばかりの子供は、ものごとの善悪も知らず、人間の常識も知らず、倫理も知らない分、すべてのことを新鮮に感じられる”純粋な魂”が宿っています。

でも、まだ何も知らないはずの赤ちゃんが、親のやりとりやテレビを見ていて、初めて見る出来事に涙ぐむときがあるのは、赤ちゃんの頭の知識ではなく、魂の記憶の奥底で感じている”宇宙のおおもとの”とのつながりの涙なのです。

知識として何も知らないことをいいことに、勝手なルールや、脅しやごまかし方を教えるのも、全て、親です。

その教えられた親のルールが、”絶対”だと信じているからこそ、子供は大切にしたいものを守れると信じていますが、あるとき、”絶対”だったはずの親が、そうではないことを知る時がやってきます。

そういう子供は、親に押さえつけられた分、ウソを教えられた分、”魂の葛藤”が始まります。

生まれたばかりのときに、真っ白だったはずの赤ちゃんが、なぜ今のあなたのようになってしまったのでしょうか？

それは単に、あなたの親が悪いわけではありません。その親でさえも、魂が未熟だったのです。

そして、その親の親でさえも、魂が未熟だったのです。

すべての人間の先祖の魂の記憶をさかのぼると、その未熟さゆえに起してきた行動の悲しみや苦しみの記憶が、たくさんインプットされています。それが、皆さんのカルマの原因です。

もともと純粋だった魂が、輪廻を繰り返して、また人間に生まれてくる目的は、そのカルマそ避けて、人間として巧みに生き抜くためではありません。

また、自らの苦しみを乗り越えられずに、誰かを攻撃したり、責めたりするためでもありません。

全ての人間に与えられた魂の目的は、過去の全ての出来事を許すために生まれてきたのです。

それが、自分の責任ではないことも含めてです。

そのために、　私達のこの地球は、今日も、存在することを許されています。

戦争をし続け、水を汚し続け、自然を破壊し続け、生態系を壊し、人間同士でも人を恨み、ねたみ、足を引っ張り、陰口をいい、人に責任を押し付けて生きている人間の存在さえ、今も、許し続けてくれているのです。

あなたにもし、子供がいるなら、あなたが過去してきたことをすべて正直に話せるでしょうか？

もしすべて正直に話せるのなら、あなたは、自らの魂を完全に癒せた（許せた）人でしょう。

でも、都合の悪いことを話さず、あるべき正論だけ話すのなら、あなたは、また、自分の親にされたように、自分の子供にも、苦しみのカルマを繰り返されることになります。

この地球に生まれた人間で、完全な人など、誰もいません。

完全なら、生まれる必要はないからです。

不完全な魂同士の人間だからこそ、許し愛、認め愛、助け愛を実践できるのです。

人間だけは、勝手に生き物の頂点と勘違いしてきた分、自らの歩いてきた道の責任（カルマ）を、自らの責任だと認め許すまで、繰り返し起り続ける、「鏡の法則」があります。

これは、自分が人にしたことは、必ず、自分に返されるということです。

２１世紀を生きるように設定して生まれた私達は、自分のしてこなかった過去の地球上の全ての罪の責任も背負いながら、新しい人間になるために、この地球に生まれてきました。

さらに、この地球上で、とても豊かな日本という国に生まれてきた魂たちは、過去の地球上の全てのマイナスを、プラスに持っていくため役割を持って生まれています。

どんなに辛いことや嫌なことや嫌いなことがあっても、前を向いて、愛に、許しに進むために日本という霊性の高い場所に生まれてきたのです。

苦しくて辛い人たちを助けながら、もう一方で、誰かと戦うことをしている人が、自分の子供に教えることは、本当の愛なのでしょうか？

私はそれを、自らが自らを癒せて（許せて）いないことから生まれる「苦しみの情」だと感じています。

それを繰り返してきた結果が、今の地球です。

もうこの地球は、あなたが個人としてのカルマを清算するために費やす時間はありません。

あなたは、あなたのために生まれてきたのではないのです。

まもなく始まる２００７年という年は、２１世紀の第三ステップとして、エネルギーがさらに大きく上昇します。

あなたがわかっていても許せない苦しみの感情や、思っていてもできないカルマの繰り返し人生は、都合のいいことも悪いことも含めて、１００倍のエネルギーで、自分に返ってくる時代になることを覚えておいて下さい。

私は、これからの自分の生き方のテーマを　『ゼロに生きる』　と設定しました。

永遠に、完全にはなれない人間だからこそ、これからもたくさんの失敗もすることでしょうし、たくさんの人にご迷惑をかける人間かもしれません。

だからこそ、その度に、素直に反省するところは反省し、自らの不を認められる素直さを持ちながら、自らを許すように人を許し続け、自分を責めないように人を責めず、”ゼロに生きる”と決めました。

あなたも、どうぞ、新しい２００７年の新しい生き方を見つけて下さい。

無限なる宇宙の愛を、すべての皆様へ。
2006.12.31 Sun

煩悩とカルマ

スピリチュアルな世界に、カルマと言う話題は多く出てきますが、カルマの本当の原因をご存知でしょうか？

これは私もつい最近、色々なことが起きてこそ気付くことができたメッセージです。

通常、カルマは、過去世の記憶の感情記憶による反応と、今世で自分が経験したことの感情記憶反応が大きく影響していますが、実は、実は・・・。

もっと強い影響を受けているマイナスの原因がわかりました。

それは,「土地」です。

私達が今、立っているこの大地には、過去、生きて存在した全ての生類の感情や想いと合わせて、その亡骸（なきがら）や物が埋められています。

そこに残っている不浄御霊の想いも合わせて、土地に、「不のエネルギー」がしがみついていることが原因です。

肉体を持つものはやがて、土になり、植物の生態系の循環の一部となり、私達は今も、その土地からの”食べ物”という命（死の循環）の恵みをいただいて生かされています。

宇宙のおおもとが、この地球という星を創られたときにも、まず、大地がありました。

そして、宇宙からの風によって舞い降りたあらゆる細菌やバクテリアが、生き物すべての最初の始まりです。

そして、火（カ）と水（ミ）が与えられました。だから人間は太古の時代から、火や水を神とあがめてきたのです。※神仏の漢字の意味

そして,この地球上で、土・風・火・水をつかさどっている存在が、龍なのです。

古事記や古神道、仏教や全ての古来からの宗教の神の概念も、この自然神でした。

私達は、普段、感情の琴線に触れてしまうことが起きると、反発し、逃避し、衝動で人を傷つけたり、また、その悲しみのあまり、相手を責めたり、自分を責めたりしますが、原因は、あなた

が立っている土地からの”不の感情エネルギー”に大きく影響されているからなのです。

あなたが生きてきたなかで、ふと考えた感情や欲のことを”煩悩”といいますが、１０８個あるその煩悩を一年の最後に、鐘の音とともに祓い上げるのが、仏教の教えです。

でもこれからは、あなたが住んでいる土地や生まれた土地への感謝も、どこかで必ずしてください。実家へ帰ったときに、仏壇へ向かってでもいいですし、神社や祈りの場所でもいいので、その土地の住んで、命を終えていったすべての御霊に感謝の祈りを捧げて下さい。

人間は、ご先祖カルマを生きるために、生まれてきたのではありません。

人間は、いつも過去の失った命から新たな命をいただいて生きていきます。

だから、食事をいただくときに、「（命を）いただきます」という感謝の言葉から始まり、”死”さえ、「今まで生きてくれてありがとうございます」という感謝で終えることができる人間として、”感謝の生き方を実践するため”に生きているのです。

「ありがとうございます」こそが、カルマに振り回されず、愛に生きるための道具として、与えられた天の言霊です。すべてのことに、ありがとうございますを言える人になってください。

苦しみのおかげで、人間は成長できます。いじめてくれたおかげで、強くなります。

足を引っ張ってくれたからこそ、何が一番大切なことかを気付けます。

そのすべての人に、感謝することから始めましょう。

生きているときだからこそ、魂の成長ができるためのできごとなのです。

生きている間だけしか、私達は、魂を成長させることができないのです。

だからこそ、たくさんのご先祖が、あなたを見守ってサポートしているのです。

あなたの魂は、家族を、生まれる場所を、時を選んで生まれてきました。

あなたがこの人生で唯一できることは、”選択”だけなのです。

するかしないか、右か左か、感謝か後悔か、苦しみか喜びか、あなたの人生は、あなたの選択しだで、その生き方の舵を切り開けます。

どうぞ、その学びをお互いにしようと決めてきた、全ての人との出会いに感謝してください。

そしてこれからは、まず、自分が立ってる土地に感謝することを実践してください。

あなたが全ての煩悩とカルマを越える愛の存在になることこそ、この地球を救うことなのです。

愛は、あなたから始まります。

明日は、あなたが決めることで創ることができる　唯一の一日なのです。

私の祈りは、過去のすべての土地への非礼を侘び、人間の行動を侘び、今、存在させていただいていることの感謝だけなのです。

永遠に完全になれない人間だからこそ、今日、変化する！と決意する自分が、明日を変えられるのです。

あなたにとっての幸せも、愛も、あなた自身の感謝から、始まります。

まず、この一年を感謝しましょう。そして、今日、自分は変わる！と宣言してください。

私もまたひとつ、学びを得たことに感謝しながら、自らの役目の道を進みます。

愛を与えることこそが、人生最大の喜びです。

感謝を言える相手がいることが、人生最大のあなたの存在の証しなのです。

地球に感謝、土地に感謝、過去、亡くなった全ての御霊に感謝と愛を贈ります。
2006.12.30 Sat

２００７年へ向けて

今日から２００７年のエネルギーが流れています。皆さんの魂の目覚めへ向けて、もう一度、大切なことをお伝えしたいと思います。

地球創生という大きな活動は、私個人だけに与えられた特別な役目ではなく、皆さんの魂の記憶のなかに眠る”今世　生まれた意味”の奥底に眠る魂の本質からのメッセージなのです。地球を新しく創造するということは、「人間一人一人（自分自身）が変わる」ということです。

このメッセージは、日本全国でも、世界のスピリチュアルな世界においても、たくさんの方たちが天や宇宙のメッセージとして受けとり、２０世紀からも活動されています。

ではなぜ皆さんが望む魂の本質からの想いが、この地球上で何度、挑戦しても実現しなかったのかというと、それは、私も含めて、男女の性を持つ人間という完全ではない心と肉体を持って生まれてきたことの”罪意識”が理由です。

今世、この世に生まれて経験してきた辛い経験や苦しい経験は、自虐的感情や劣等感や被害者意識を生み出し、その結果、自己犠牲に陥るか、反対に、誰かを否定する行動として現れます。

今世の自分が誰かと経験した感情と記憶は、過去世で出会った人（魂）の記憶と重なり合い、今世でもまた、関わるすべて人（魂）同士のカルマ（苦しみ）が、お互いに同調しあっているからです。

ときには、それが強い感情となって現れて、大切なものを守りたいという想いから、結果的に、誰かを非難したり、社会批判や個人攻撃をすることで自分を守る、「戦う」という方法を使うことで、自分自身から”争い”を起こし続けてきたことが原因です。

これを繰り返さずに、真実の愛（許し）に生きることを学び実践するために、私達は、この地球にまた、生まれてきたはずです。

人間が生まれて死に、また、生まれ変わるという輪廻転生の最大の理由と目的は、自分自身を許す・他人を許すことであり、それがまだできない魂の持ち主たちが多いことが原因で、今でも社会のなかで戦いを起し続けていますし、今まであった素晴しい文明さえも、崩壊の道へ導いてきた理由なのです。

全ての魂の根源が、”ひとつ”であるように、人間の男女の魂でさえも、もともとは、”ひとつ”から発生（分離）したものでした。この分離感は、”不安”を引き起します。

その”不安”を互いに埋めあう為に、男女という役割の二分の役割や、親からの分離（自立）、会社からの分離（自立）があるのです。全ての愛は、”分離して愛を学ぶ”ようになっているのです。

なぜ、この男女・オスメスという分離をする必要があったかというと、宇宙の根源は、もともと愛そのものであるからこそ、それ以上にも、それ以下にもならないからです。

分離の意味を会社にたとえると、ある人が、一人の意思で起業した事業は、自分がそれを辞めない限り、完全に自分自身（ひとつ・完全）の証し（存在そのもの）です。

でも一人でいくら頑張っても、時間と、できることに限りがあるために、人を雇ったり、別会社を起したりして、自分のできることを広げていきます。まだ自立できない人を雇い入れることで、新しい和を生み出し、学びあい、そして、最後には、それぞれの自立の道へ進むためなのです。

このことを学んだ人たちは、相互幇助（そうごほうじょ）・相互扶助（そうごふじょ）の精神を持って、生きて存在させてもらっている大きなものへの大儀を守ろうとします。この別会社や誰かを雇い入れて、助けてもらうことが、自分一人ではできないという”個人の分離（わかち愛）”の始まりです。

男女の性の存在も同じで、そのお互いの役目を知り、互いの性の存在理由以上に、もともと”ひとつ”であったことを想いだし、お互いの愛と調和を大きくするために、誰かを愛し続けて、そしてその行動の全てを許し続けることが必要なのです。

輪廻転生の記憶に、男と女の記憶があるのも、その両面を学ぶために、何度も生まれて互いの感情を体験してきたはずです。しかし、今でも世の中の争いごとの裏側で、多くの女性たちの悲しみの想念が渦まいています。

いつの時代も女性は、男性の苦しみを受け入れる受け口として、影の役目をし続けてきたことが、ひとつの原因です。だからと言って、男性を一方的に攻めないで下さい。男性は、そのことを知っているからこそ、大義名分のために命を差し出せるのです。

もし男性が女性のように、悲しみの感情で戦いに挑めば、お互いの人間同士の苦しみの原因をなすり付け合う戦いになりますから、カルマ戦争そのものになり、この世に、愛の地球が訪れることはありません。

”自由のために戦う”ことや、”女性を守るために戦う”という西洋のブラックな魔法に掛かってから

、人間は、もともと大切にしてきた大義名分（存在の意味と役割）を、自分で持たなくても生きられるのだと勘違いさせられてしまいました。

その結果は、宇宙の存在意味や役割も、神の存在理由も役割も、男女が存在している理由も役割も、人間として生きることの存在理由や役割さえも、親が子へ伝えられなくなってしまいました。

今まで地球上で人間がしてきたことやあなたの家族が経験してきた苦しいことが、すべて、誰かの犠牲の上に成り立ていると考える人には、真実の愛は、ありません。犠牲という言葉を生み出したのも、人間だからです。

この大宇宙でも、この地球上でも、今、この瞬間に、誰かの命が消滅して、どこかで、新しい命が命が生まれています。

女性が、子宮を持ち、命を生み出し、子供や地球や自然界を育む役目と目的を持っているからこそ、自分が大切にしてきた命を守ることに必死になります。

ほとんどの母親は、子供の命に関して、いつでも、命を差し出す準備が自然にできているはずです。妊娠期間は、その新しい守るべき命との付き合いを学ぶための期間なのです。でも昔から、この女性の大切なものを守るという強い意識が、反対に苦しみに動くときがあります。

自分の子供の命を失った悲しみや、自分の子供を死なせてしまった悲しみを持つ女性は、この命の責任を自分で取れないことを苦しみ、いつの時代でも”負の想念意識”としてうごめいています。

この女性達の苦しみや悲しみの部分を、あるダークな男性たちの意図にのせられて、すべての原因が、一方的に男性にあると思わせることで、大きな社会運動や政治批判、また個人攻撃による目的破壊を影であやつっている存在が、昔からいます。

いつの時代にも、この女性の悲しみの負の力を利用して、戦争や政治を影で動かしている人たちがいることを知っておいてください。賢い人間は、一方的に誰かを責めることはしません。ものごとには、何ごとにおいても、そうほう言い分がありますし、全ての行為は、関わる相互責任で行われていることを知っているからです。

ましてや、直接、自分自身のことではない人のことを、人助けのように、旗をふる人たちの行動には、気をつけなくてはいけません。そこに関わる責任も、あなたにはあるからです。体制批判も、社会批判も、個人批判も、勝利のあとには、必ず、負けがやってきます。

男性を批判すると、女性の存在意味を非難することにもなりますので、結果、女性の存在意味も否定せざるを得なくなります。

女性の存在理由と、人間としての存在理由を、履き違えて混同してしまうと、何のために男女が存在していて、何のために分離したのかを学ぶことはできません。

人の意識を動かす闇の権力者たちは、いつも自分達の意図を動かす為に、誰かを犠牲者にして、争いの火種を燃やし続けてきたのです。でもこの闇こそが、自分自身のなかにあるものだと、気付いてください。親でさえ、子供がしたことの責任を負える時間は、２０才までです。

そのあとは、一人の人間として、責任を負わせなければ、永遠に誰かに助けてもらう生き方をしますし、永遠に、誰かのせいにするという犠牲者を生み出してしまいます。

私個人も人間としても、男としても不十分な点があることを知っていますので、常々、現実に問題が起きたり、物事がうまくいかないときに、今の自分が自己反省するべき点を素直に学び、心を改めることを繰り返し続けています。

私は生まれてすぐから、霊的現象が続いていましたのでほとんどが苦しみの日々でしたが、１４歳のとき、ふと、人間の真理を、星を見ていて悟ることができました。それは、「人間が生きる目的は、死である」という学びでした。

この死は、生きることの裏返しです。生きることを知るために死があり、死ぬ為に生きることがあるのだと知ったのです。そしてその目的が、自らの経験したカルマの解消であることもわかりました。でも、苦しい自分の過去世をまた、この世で体験して実践するのが、嫌で、死を選択しました。でも、その行為さえ、神さまに、止められました。

”生きて、すべてのカルマを経験して、苦しみの地獄の底から上がってこい！”と言われた気がしました。だからまだ人間の部分の私は、苦しんでいます。でも、その苦しみを心の闇に隠すことを許さないように、学ぶべき、許すべきテーマを与えてくださいます。

いつも、私は、自分に問います。

私は人間として生きてきた経験のなかで、どれくらいの人を傷つけてきたのだろう？

そして、自分自身も、どれくらい傷つけてきたのだろうかと・・・？

苦しい経験をした人は、その分、相手を受け入れてあげる器があります。でもその苦しみの器が

小さくて、あふれ出たときには、今度は、誰かにその部分をぶつけて戦いたくなってしまいます。

私は、自分が経験した苦しみの器を大きくすることが”愛”だと思っています。

でもまだ十分な人間ではないからこそ、毎日、自分の反省を繰り返しながら今日も生かされています。

こんな不十分な私が、朝、目が覚めて、まだ生かされていることに気付くと、神はまだ私に生きて、するべきことをしろと言われているのを感じます。

２０世紀を人間として生き抜いてきた人たちは、自分一人でどうにもならない権力やルール、また強い力に弾圧されたり、押しつぶされそうになって、自分が苦しみもがいた結果、その場から逃げたり、反対に、誰かを攻撃して傷つける事は、間違いだと気付いたはずです。

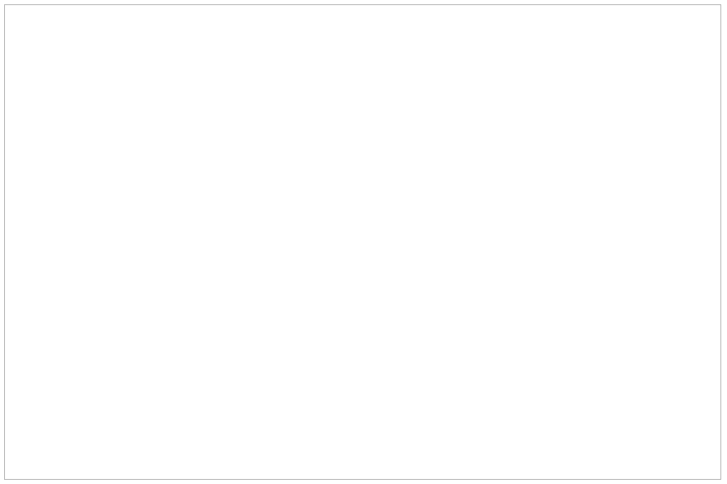
２１世紀になった現在、この地球上での戦争や、人が人を責める戦い　が無くならない理由は、自分の守りたいものを傷つけられたという”被害者意識”と、もう一方で、人を苦しめたことのある自分の心のなかの”加害者意識”の両面から、過去世のカルマを繰り返し続けているからです。

もうこの地球上に”争いや勝ち負け”がなくなり、愛が溢れるためにも、苦しいあなたの心の中での戦いをやめてください。私もまだ、自分を許さなければいけない悲しみが残っています。今日、一緒に、自分を許しましょう。
2006.12.25 Mon

沖縄本島神事　四方祈り・国四鎮（くにゆちん）

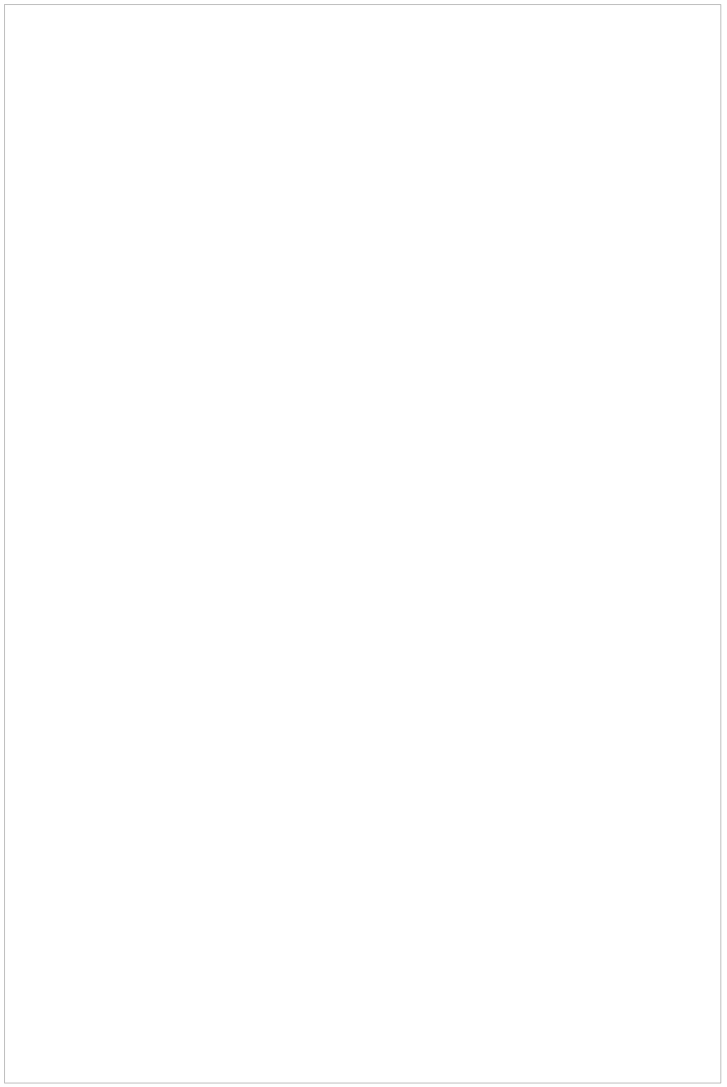
今日は、雨ですが、”東の祈り”から始めます。浜比嘉（はまひが）島と平安座（へんざ）島に向かうと、すごいエネルギーが、浜比嘉島から立ち上っていました。この島が神の守る島なのは、誰でもすぐわかることでしょう。しかし、この浜比嘉島を守っているのは、実は、平安座島なのです。ご挨拶の順番としては、まず、平安座島からいくべきでしょう。

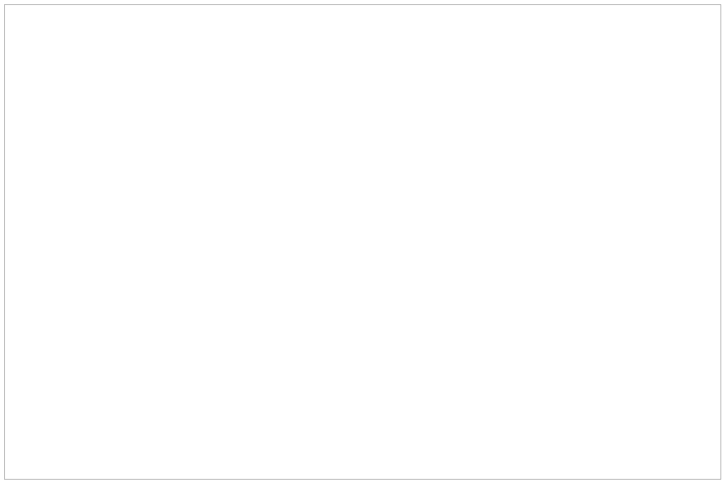
この島に入ると、どこかに守っている場所があるのがわかりますが、場所がわからないので、同行した方が地元の人に聞いてくれました。私は、偶然見つけた戦没慰霊碑を守っている霊（神）に、聞きにいきました。「そこを曲がってすぐ右にある！」と教えてくれたとおり、普通の駐車場の一角に、神祈りのための岩がありました。



でも、祈りの口上を述べても、なかなか、こちらの言うことを聞いてくれません。不思議に思って、よくまわりを見ると、きれいに見えても、周りにゴミがあります。神様は、自分達のことを大切にしてくれないことを一番、嫌がります。ゴミ拾いのあと、お詫びと御礼、そして、もう一度、ご挨拶です。すると、何とか、浜比嘉島へ行く許可が下りました。

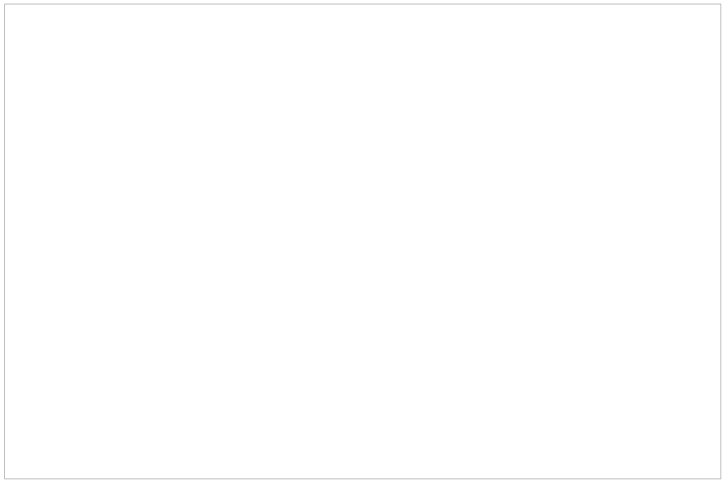
浜比嘉島への橋を渡ってすぐ車を止めて、まず、島の神さまへご挨拶しましたが、「全員の顔を見せろ！」といわれたので、皆さんに車から出てきてもらって、雨のなかをご挨拶です。神さまに島に入る許可をいただき、左の道を進んでみると、井戸があります。まずは、清掃、そして祈りです。



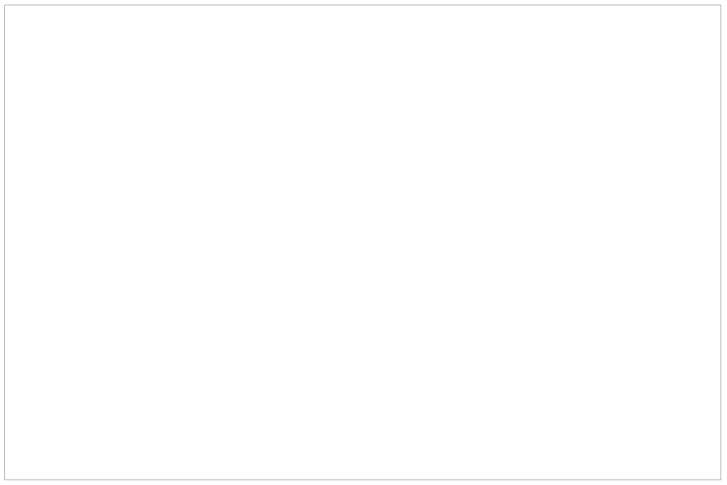


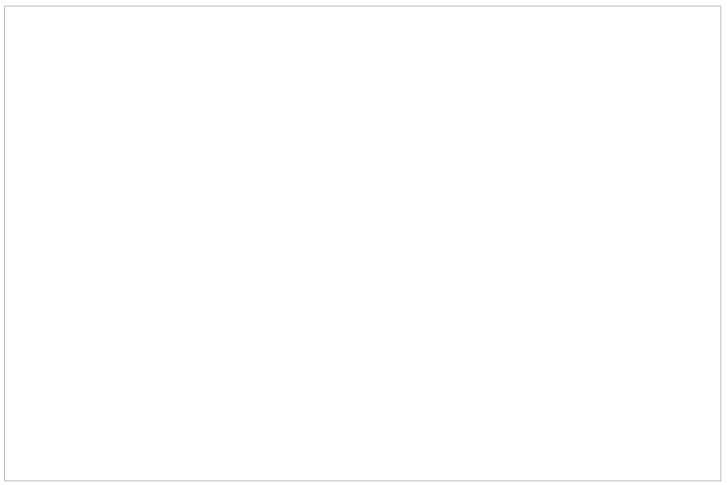
水の神さまが、水が汚れて泣いていらっしゃいましたので、私達がいただいた神の水、七龍（ななたき）の水と、神人の持ってきた水を注がせていただきました。祈りを終えると、Ｉさんから、「こっちの神さまが、挨拶に来て欲しいと言ってるよ」と、林で見えない奥にある大きなウタキを見つけてくれました。このウタキは、ものすごく強いエネルギーで守られていますので、こういう場所では、手順と順番を間違えることはできません。厳しい手順を守りながら、お礼を言わせていただきました。

この道を進むと、龍宮神の場所があります。岩の下に女性の神さま、上に、男性の神さまがいると神人が教えてくれました。まず、女性の神さまへご挨拶すると、竜宮のカギを要求されます。伊良部島の猪子さんは、実は、以前、神さまから、ある竜宮のカギをいただいていますので、それを、奉納させていただきました。すると・・・今度は、沖縄全体の龍宮神のカギ（マスターキー）を代わりにいただけたのです。これでＩさんのお役目も増えることでしょう。



この岩の上に登る道を進んで行くと、突風が吹き荒れるこの島の先端に、しっかり”東”を守っていらっしゃる神さまがいます。この神さまと色々なことをお話しましたが、実は、この神さまの名前は、源頼朝（みなもとよりとも）だったのです。神人は、この場所を”大和とのつながりを祈る場所”だと教えてくれましたが、その意味が、やっとわかりました。どうりで、祈りの場所の形が、沖縄らしくない形をしていると思いました。

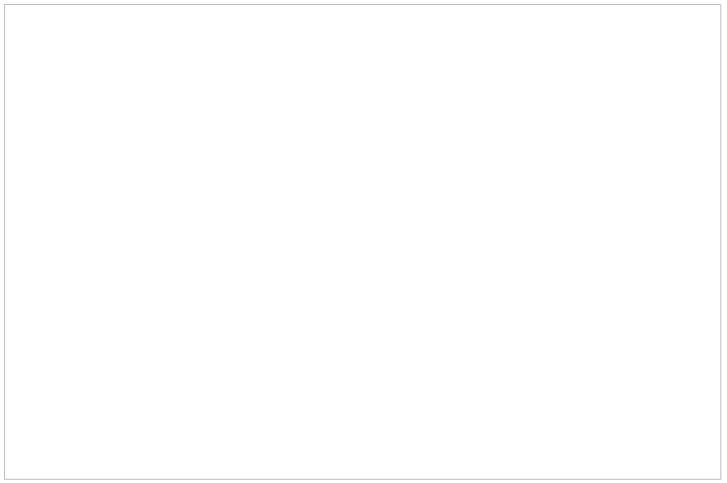




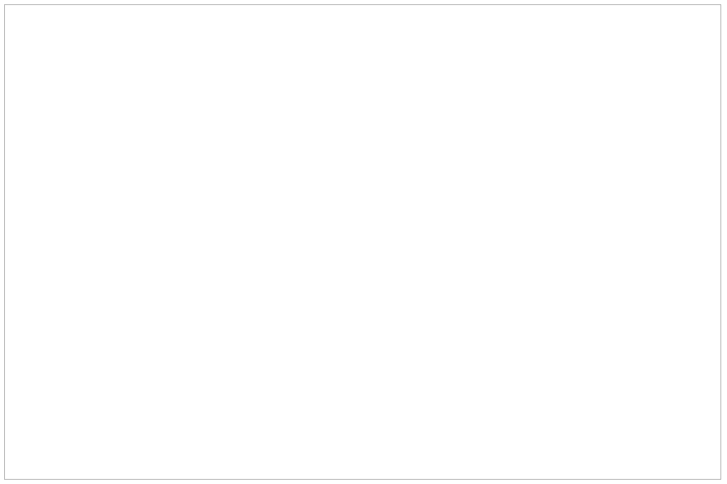
この浜比嘉島は、実は、源氏が守っていたのです。そして、先ほどの平安座島は、平家が守っていたのです。だから、なかなか、平家が、よい返事をくれなかったのです。

沖縄は本当にたくさん歴史の傷跡が残っています。私は歴史に詳しくありませんが、確かに、東の場所にいるのは、源頼朝です。

歴史的に彼が来たのかどうかはわかりませんが、彼の御霊は、今でもそこにあります。そして、「東＝陽の出場所」を、東向きに守っているのが、この大きな岩です。まるで何かの動物が、ひざをついて、座っているかのように・・・。

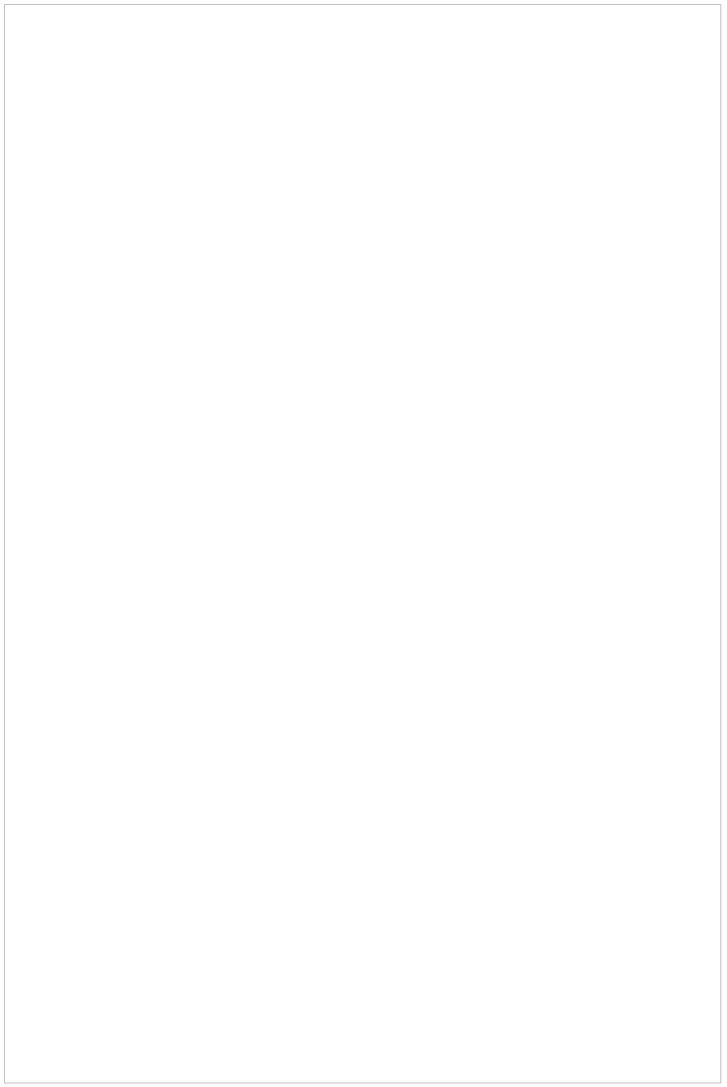


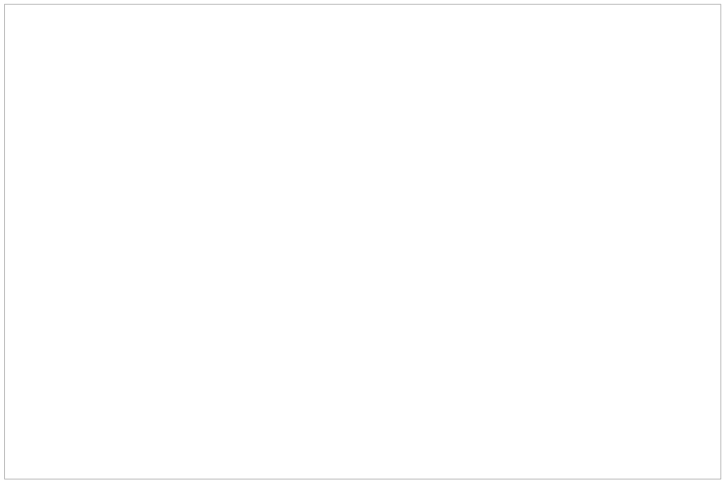
私の役目も世の中を照らす東の役目ですので、この神さまの喜びと共感して、とても素敵な場所に感じられました。一緒に同行したＳさんは、神さまへ”踊り”を奉納したようです。神さまを喜ばすことができるのも、巫女舞いができるのも、すべてお役目です。皆さんで、感謝の撮影！



もうひとつ、新しい発見がありました。龍の産道を見つけたのです。この場所のエネルギーは、誰もが気持ちいい！と声をあげるくらいに、繊細で素敵な場所です。ここは、子供をおろした人や子供に恵まれない人たちのために、使って下さいと、神人にお願いしました。

亡くなった御霊も成仏しますし、新たな命をいただくこともできる場所です。男性と一緒にくれば、子授かりの場所になるでしょう。でも、勝手に入らないで下さいね。この場所は、龍の子宮と産道がつながっている場所ですので！必ず、神人に”祈り”を立ててもらってから行ってください。龍の神さまが、私に教えてくれた素敵なプレゼントです。地元の皆様のためになれて、私もうれしいです。





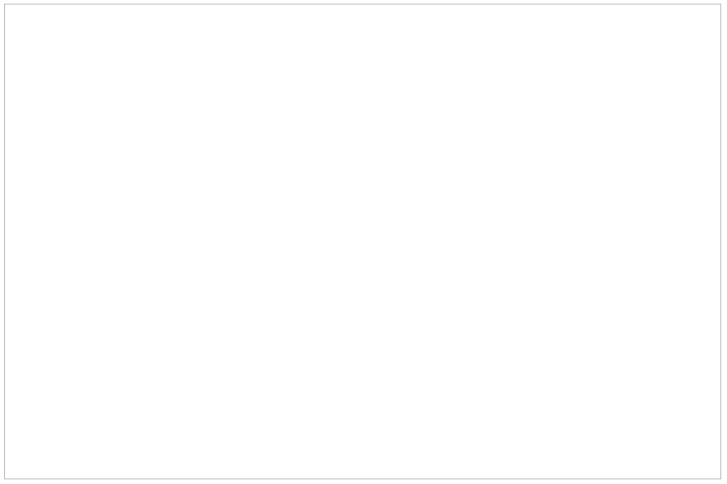
この場所の祈りを終えて帰ろうとするとき、地元で問題になっているある宗教団体の車がありました。この団体は、どういう意味かわかりませんが、ウタキの木を切り、大切な物を壊す活動をしているそうです。昼食をしながら、どういう組織か聞きましたが、私達に、神が問いかけているのは、「地元の人間が、大切な場所をどう守っていくかを学ばないといけない」という結論になりました。

誰かを批判したり、困らせることは、簡単なことですが、それでは、意味がありません。地元の

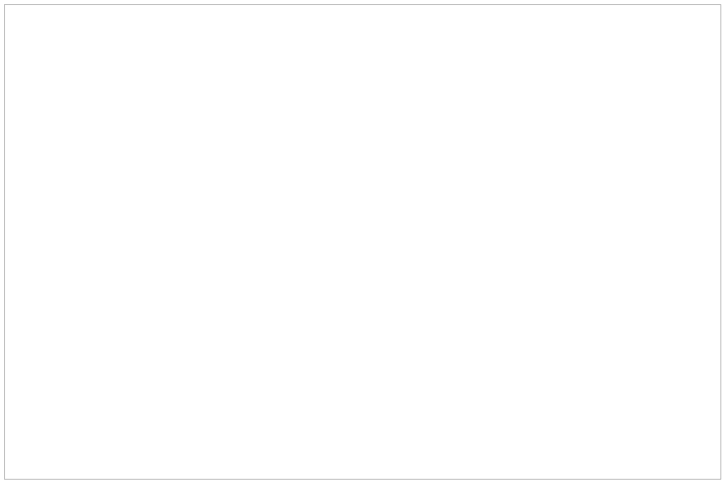
人は、自分の利益でウタキを壊しますし、土地も売ります。それと何が違うのでしょう？私達に、この姿を見せて、神が問いただしているのですから、一緒に、学んでいかなければいけません。

私は伊良部の方たちにも言いましたが、形にこだわって、大切なものを引き継げないのなら、意味がないですよとお話しています。形は、いつか、壊れることもあるでしょう。でも、大切にしてきた精神を壊してはいけません。子供達へ何を伝えるか、今、問われているのです。私の祈りは、地球の古来からある「自然神=宇宙神」の信仰ですから、形にはこだわりませんが、でも、責任を持って地元を大切にしてきた人たちは、神さまと同じように大切に扱っているつもりです。

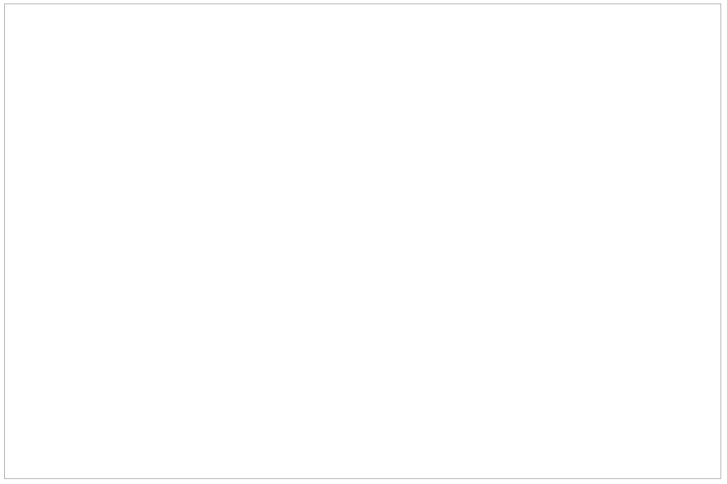
東親（アガリ）を守る場所をどうするのかは、日本にとっても、とても大切なことだと思います。次は、”南の祈り”です。実は、私自身は、一番、行きたくない場所なんです。理由は、「ひめゆりの塔」を代表として、たくさんの御霊が今でも生きているからです。でも祈りですから、仕方がありません。その場所に足を踏み入れると、すぐ、左の岩にたくさんの御霊がいるのがわかります。

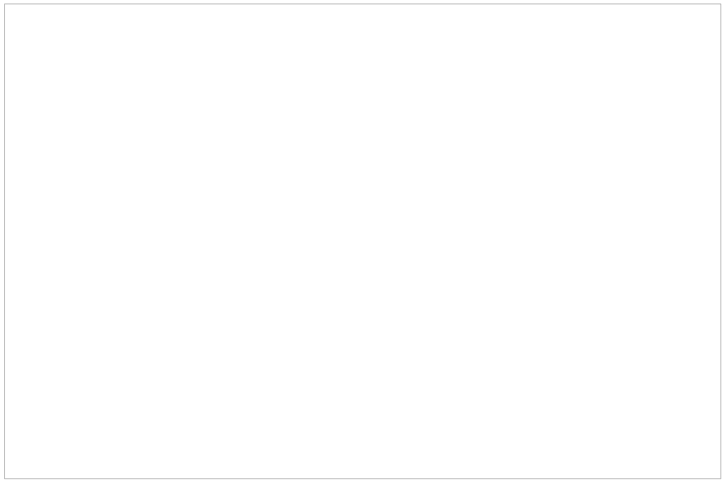


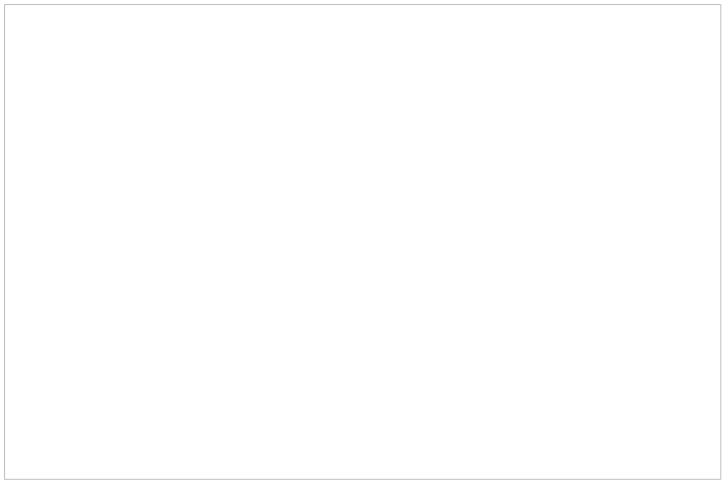
皆さんにも覚えておいて欲しいのですが、霊を自分で払ったりできない人は、むやみやたらに、淋しい場所で手を合わせないことです。私も以前、自分が、かわいそうと思った場所で手を合わせて、とても強い霊体にのられて、苦しんだ記憶があります。この場所の祈りは、悲しみも喜びも全てを調和する祈りにしました。全てを海に流して、新たな命が生まれますことを祈らせていただきました。



次の中心の祈りの場所は、自衛隊　那覇駐屯地の中にあるミーヌシン（目の神さま）です。どしゃぶりの雨になってきましたが、私の祈りは、一度やると決めたら、どんな状況下でも、最後まで行いますので、その覚悟を感じてくれている皆さんも、最後までついてきてくれました。



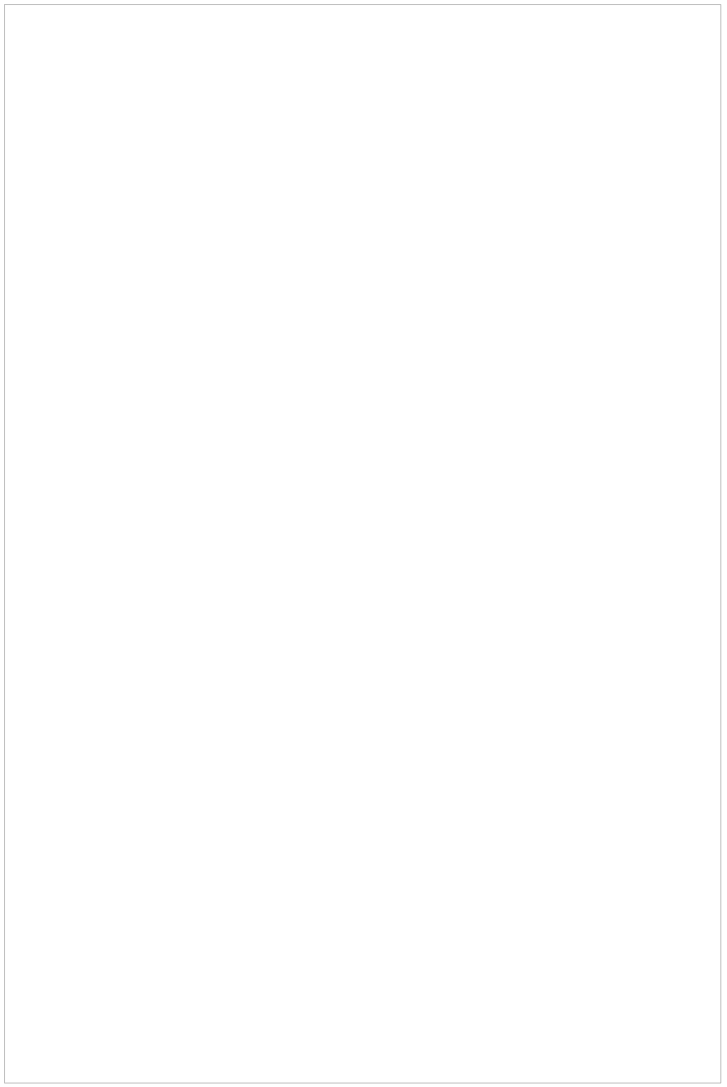




この神さまは、「判官さま」と呼ばれるくらいに厳しい神様だと聞いていましたが、私たちには、なんと、素敵な供物や丸い素敵なエネルギーの玉をくださいました。これから皆様が行う、琉球諸島の全体の祈りの旅に、必要になってくるのでしょう。判官さま、愛をいただき、ありがとうございます。

今日の最後は、”西の祈り”です。雨は土砂降り、身体は、ずぶぬれ、強風にあおられながら、瀬長島（せながじま）へ入ります。これで最後の祈り治めになりますので、しっかり場所を探さないといけません。車で島を何度もぐるぐる回りながら、祈りの場所を探します。私は、地元の神人が準備してある祈りの場所では、あまり祈りません。

理由は、神にギリギリ近づく祈りをするためにも、自分を追い込む位の場所をいつも神が設定してくださるからです。今回は、真っ暗に近い海の端ギリギリで、祈ることになりました。強風で、お酒の一升瓶が、吹き飛ばされてしまいました。それも、神の怒りなら、私がすべてを受け止めます。西の方角は、「死の方角」です。御霊が、戻る方角でもあります。だからこそ、厳しくあって当然でしょう。この方角を祈るとき、自らの魂の力と向き合うことになります。



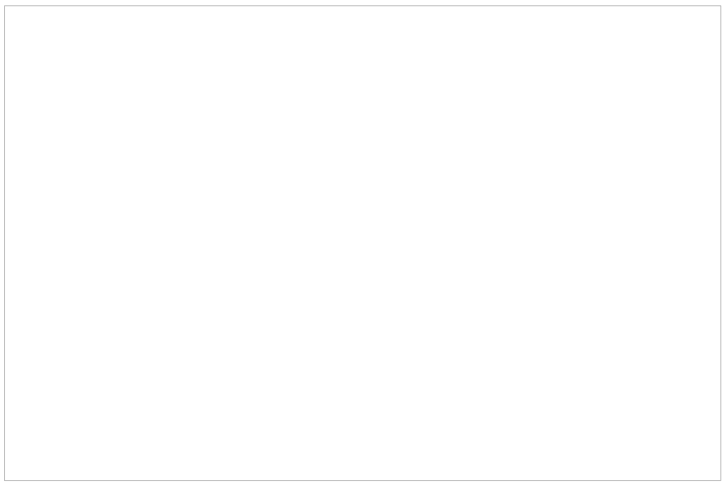
強風の中、道路に正座して座り、海を目指して祈る全員の心は、強い決意を共感しあいました。祈りながら、目をつむっていても、神の意図が、光で教えてくれます。すべての祈りの口上が終わったとき、海から飛行機が下りてきて、あたりを照らしてくれました。神の許可が下りたということです。同時に、国四鎮（くにゆちん）の成功の証です。

今回の祈りは、沖縄本島を統一することが目的の祈りでしたが、出あったたくさんの方たちの心あわせと、これから出会うたくさんの方達との心あわせも、重要な課題になってきました。２００７年４月１７日の八重瀬干（やびじいのり）の祈りは、宇宙では、もう準備ができています。

何があっても、すべての祈りを終えてから、望まなくてはいけません。この１０００年に一度しかないチャンスを私達に与えてくださっているのです。私は、いつも、自分のできることをさせていただくだけです。神が、誰かを試すほど、もう、この地球に、時間は、残されていません。

私に出会う全ての人が、神の意図を自らが聞き、魂の使命に生きる時代がきています。神のご加護と祈りの成功と、一緒に心と手を合わせてくださった地元の参加者の皆様に、心から熱く御礼申し上げます。

最後になりますが、大和の国に住まいするものの代表として、この沖縄諸島全ての神々、人々に、今までの非礼をお詫びさせていただきながら、これから新たに創ろうとしている新しい日本、新しい地球、新しい宇宙の調和のために、心を合わせていただくことをお願い申し上げます。ありがとうございます。



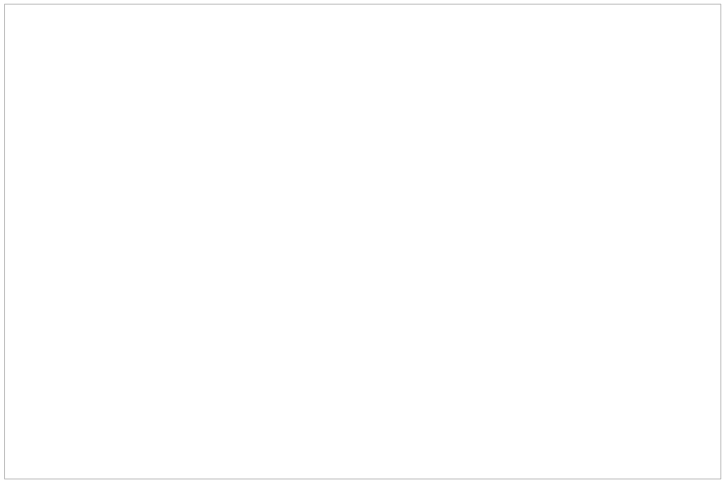
2006.12.21 Thu

沖縄本島神事　カラハイ軸・赤崎龍宮・備瀬龍宮・北谷龍宮

１２月２０日　午後

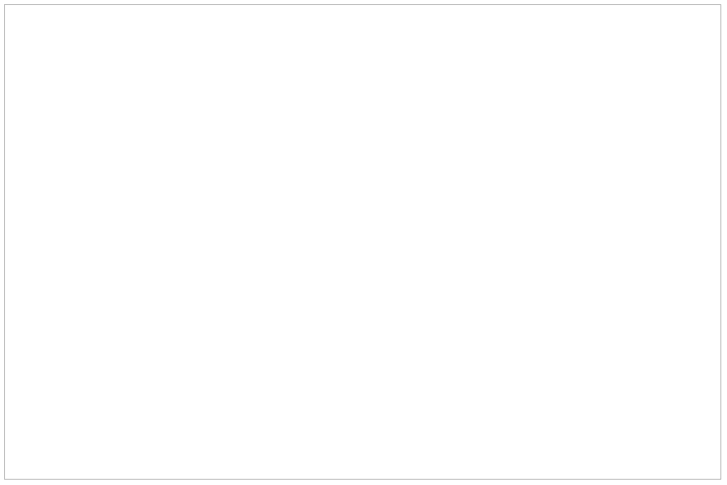
祈りの２箇所目は、この琉球王国のもとになった中国の方たちが持ってきた「カラハイ軸」という羅針盤が治まっている場所です。このなかには、羅針盤と火の神さまが、奉ってありました。琉球王族の血を引く島尻さんに先頭になっていただいて、うっそうと茂った草むらに足を入れてみると、すぐおかしなエネルギーになります。原因は、門でご挨拶をしていなかったことが原因でした。全員でもう一度、その場から出て、入口の見えない門番にご挨拶してから、入りなおします。

ウタキやご神所・拝所の入口や中には、この門番があちこちにいますので、目に見えないからこそ、存在を感じる力が必要です。感じられない方は、前の方の礼を見ながら進まないと、あとで大変なことになります。中に入ると、ハブがいるかもしれないという声もありましたが、私は神さまに聞いて、「出ない」と教えていたので、安心して入りました。まず、全員でゴミ拾いをしてから、祈りです。



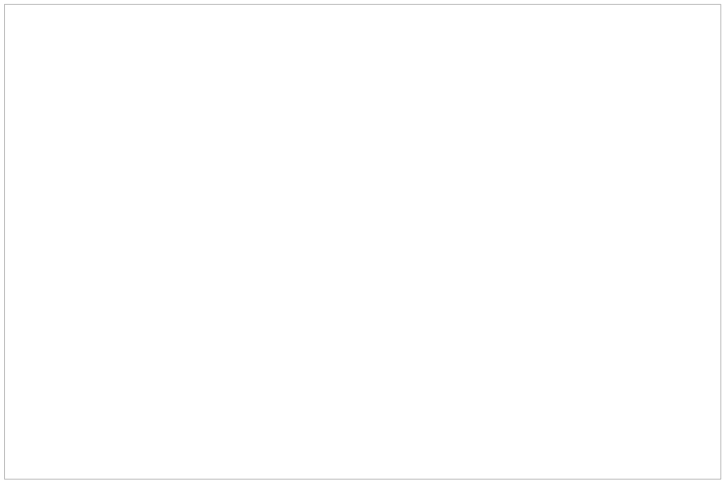
琉球王族や龍王に関わる血を持つ方たちと男性は羅針盤へ、火の神さまには、残りの女性と神人に祈りを捧げていただきました。帰り際、最後に火の神さまから「どうして女性は別なの？」と聞かれます。私はこう、答えました。これは、男女差別ではなく、その神に対して責任を取ることができる人だけが手を合わせることだからですよと。

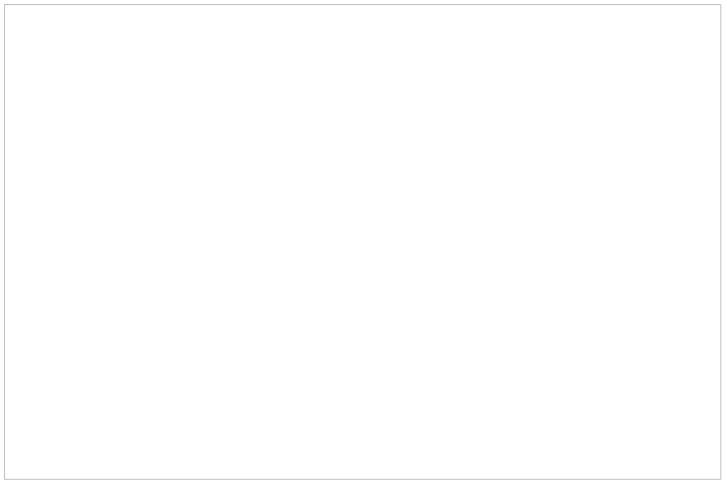
この羅針盤は以前、説明書きの石があったそうですが、誰かが持ち去ったようです。でもおかげで、この羅針盤の操作方法は、わからないのでいいのですが、私達の祈りの目的を達成する為に、新たに、この次元を動かす盤を操作しました。



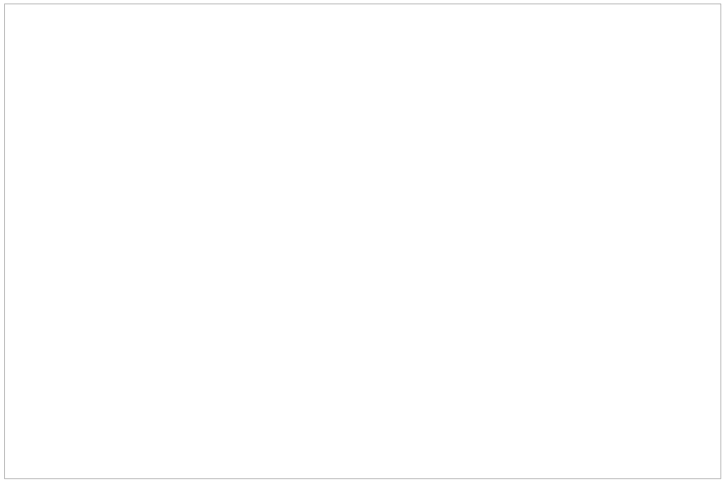
祈りのあとは、羅針盤の操作方法がわからないように、すべてを消しました。この盤を動かせるのは、王族とつながっている血縁者か、それ以上のつながりを魂で持っている方だけです。母なる中国の大地へ、感謝を込めて。

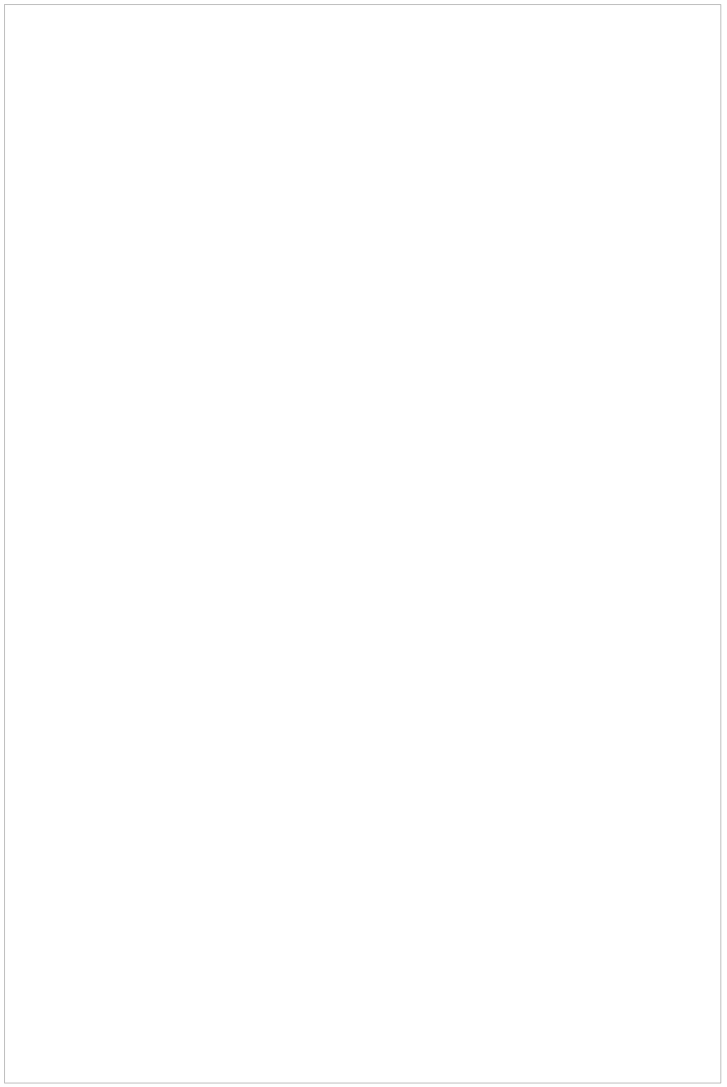
次の祈り場所は、なんと、オクマビーチの先にある米軍基地内にある「赤碕龍宮」です。ここは、”国龍宮”とも呼ばれる場所なのですが、なんと、アメリカに許可をいただいて入る拝所なのです。海の中に突き出たその岩は、神さまそのものです。まず海に感謝してから祈る場所を見つけます。二箇所ありました。でも、奥の祈り場所は岩からは危険なくらい強いエネルギーがでているので、龍王の責任を持てるＩさんだけに、そのメッセージを受け取っていただきました。



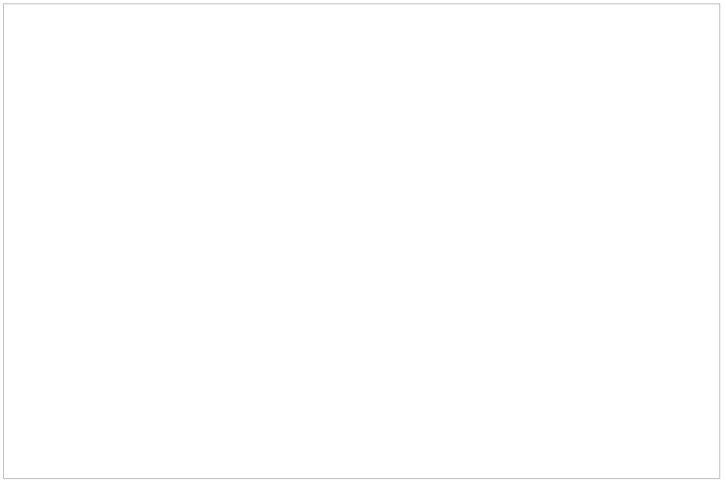


Ｉさんいわく、岩が真っ赤になっていたということです。それは、私も目をつぶっていて、見えました。目の前が真っ赤に、なるくらい強い神様です。「赤崎龍宮」という名前もここからきているのでしょう。この岩の上にも、神さまのいる場所があるというので、行ってみました。沖縄本島の人は、「弁財天様」がいらっしゃるということですし、伊良部の猪子さんは、農耕の知恵の神さまとして、クワや斧の知恵を授かった神さまが降り立った地として、先祖からの声が聞こえていました。あの伊良部島の英雄「うずぬしゅう」も神さまとして、この地へ遊びにきているそうです。

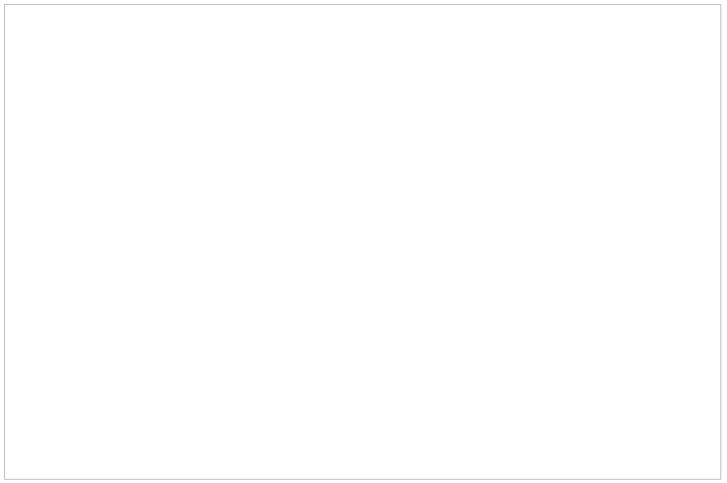




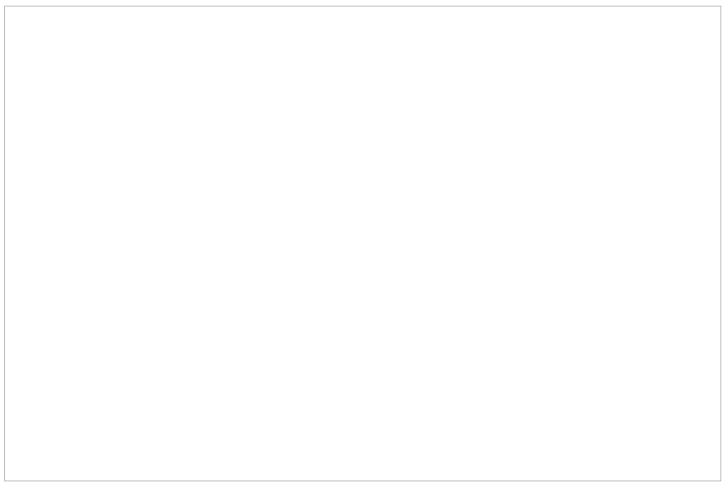
手前にみえる穴は、神（人）が降りた地で、今は、向かいの岩に鎮座しています。ここは、これからも「知恵の神さま」として、大切にされることでしょう。空が、雲が、私達の祈りを祝福してくれています。

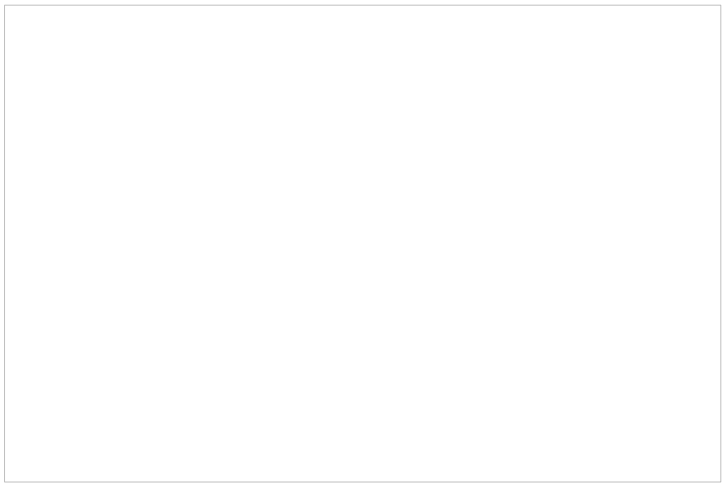


そのすぐ下の林をアメリカ軍は、壊して何かを創る準備をしていますが、実は、その場所は、見てすぐわかる神の場所です。タタリが起きることは、はっきりしていますが、私には、どうにもできません。この聖地に手を入れる責任をどうぞ、おとりください。



次の場所は、「美ら海水族館」の近くにある「備瀬（びせ）龍宮」です。この場所に着くと、九頭竜のことが思い出されました。この島は、その中でも一番強い力を持つ”黒龍”のいる場所です。この備瀬龍宮の神様を昔から大切に守っているのが、浦崎芳子神人でだと地元の紙人から聞きしました。

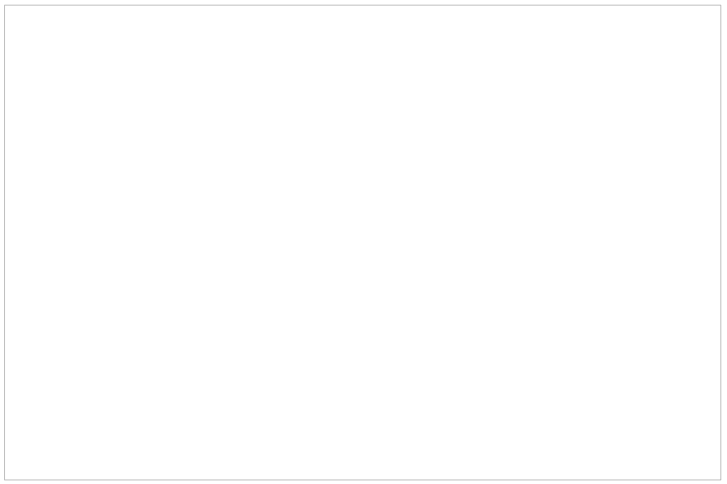


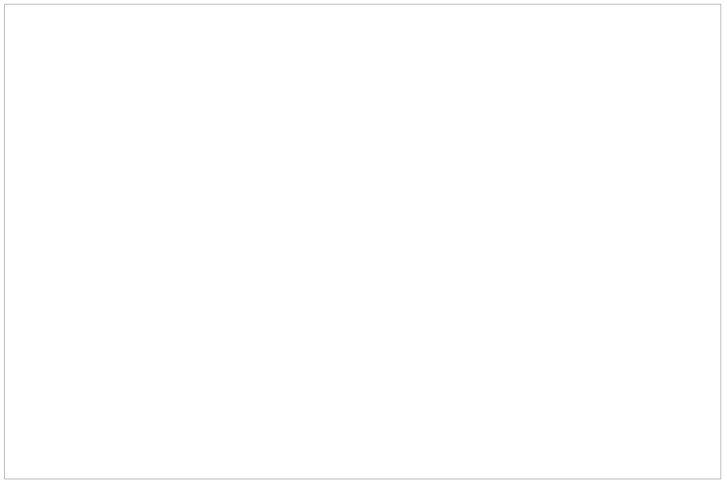


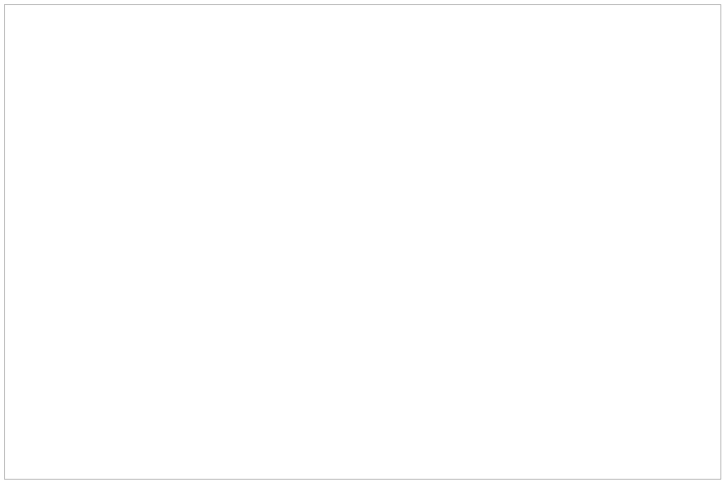
この島は、普段、潮が引いているときに、反対側の拝所で祈りをあげるのですが、もう潮が満ちてきていますので、海に足を入れて、水つなぎをしながら祈ろうかと思うと、「海には入るな！海には入るな!」と、天から声が聞こえてきます。あとでわかったことですが、この地は潮が引い

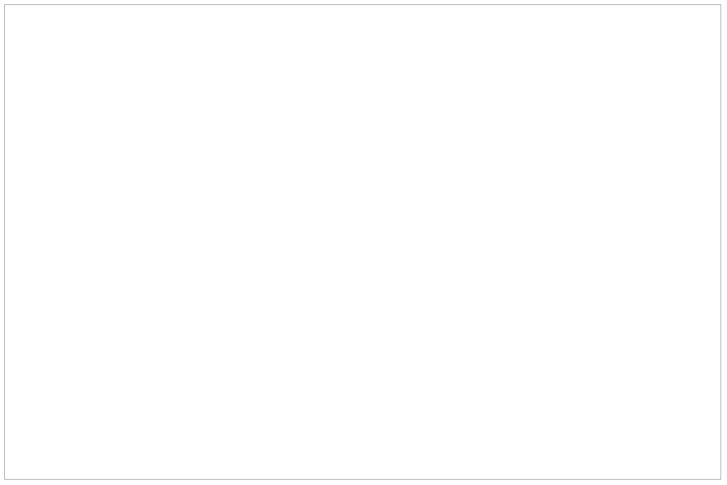
ているときだけ、神が祈りを許した時間なのです。普通の場所より、引いている時間が短いのも、大切な地を守る神の意志なのです。

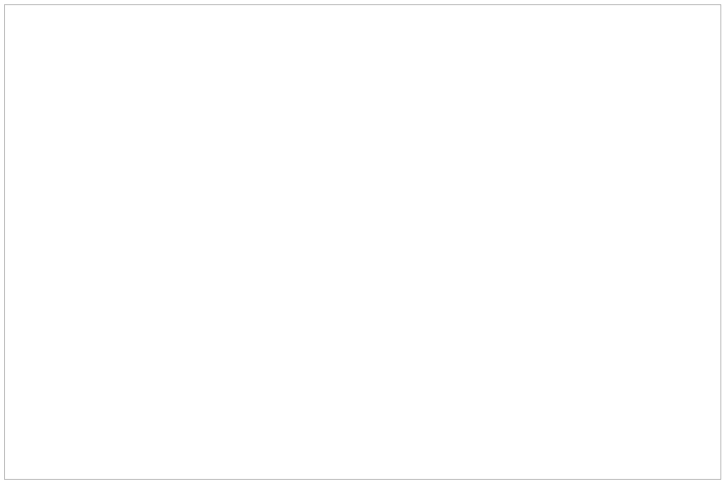
この場所は、４箇所祈りました。まず海に、そして、黒龍の島の裏門へ、そして、島の拝所の先にある大きな台座へ、そして、海のさきに見える伊江島の山の上のかみさまへ。この台座は、いつかすべての祈りを終えて、宇宙神界の神さまを降ろすときがきたときに、私が霊媒体となって載る台座です。神や宇宙や大和やあらゆる島につながるこの備瀬龍宮のカギを持っているのが浦崎芳子神人です。
さらにこの場所の龍宮の神さまは、島根県の美保神社へつながっているそうです。この琉球王朝の地と大和の地のつながり、神道や天皇家と琉球王朝と宮古諸島のつながり、源氏平家のつながり、中国と日本のつながり、そして、アイヌと琉球民族のルーツにもつながる意味を少しづつ、少しづつとき明かす祈りの旅となりそうです。







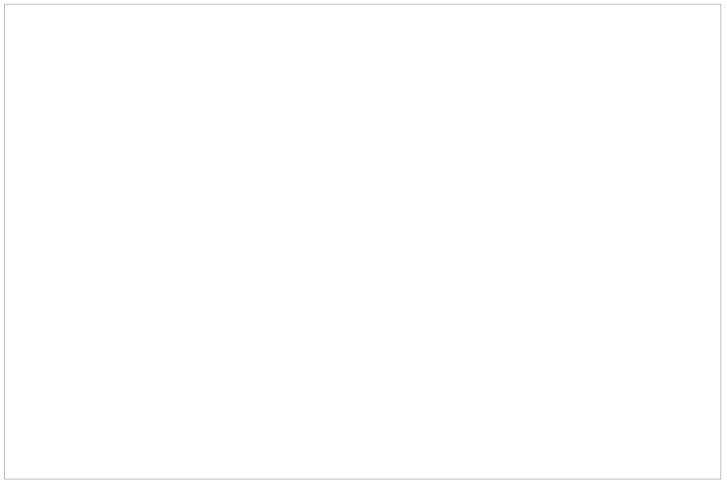


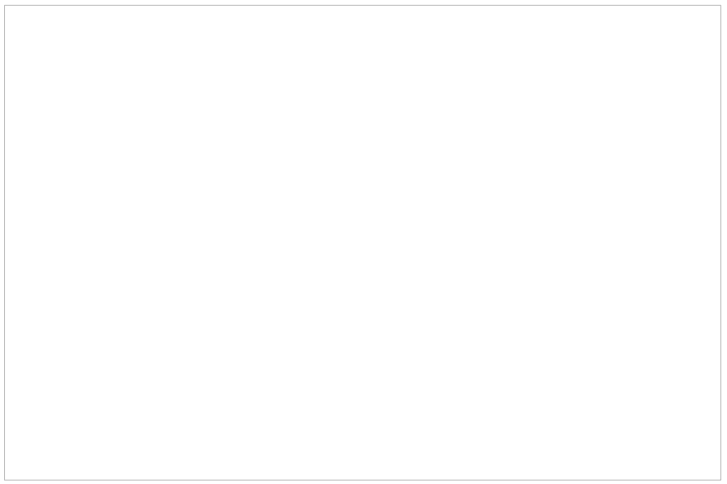


北の祈りと龍宮神の祈りを２つ終えて、一気に、南下します。天上界では、私達の祈りを祝福するように、素敵な夕陽を見せながら、雲で、天上界の鳥居を皆さんに見せてくれました。

今回、沖縄本島を回るまでは、それほど大き島だと思っていませんでしたが、なんと島の端から端まで移動すると、混むと３時間近くかかるそうです。12/20の朝9時から移動して、もう暗くなってきましたが、沖縄本島の中心を守る「北谷新宮（ちゃたんしんぐう）」の神さまは、私達を待ってくれているようです。

本来、私の祈りは、決して闇のなかでは行いません。闇には、霊たちが集り、悲しみの悲鳴を聞いて欲しくて集ってくるからです。でもU神人が、この地の神さまの許可をいただいてくたおかげで、その場所をやすらかに守ってくれていました。写真には写りませんが、薄明かりの中、うっすら見える島には、確かに神さまがいらっしゃいます。20名弱の参加者全員が、今日の祈りと、人の出会いに、一人一人感謝を捧げます。





この島に最初に住んでいた人たちは、裸で、岩場の隙間で生活していました。その人たちの場所もすぐ横に残っていましたので、命をつないで下さったお礼と感謝の祈りを捧げます。

大いなる祖先は、私達に命を与えてくださいました。
そして、大いなる神々は、自然界から、食べ物や知恵を与えてくださいました。

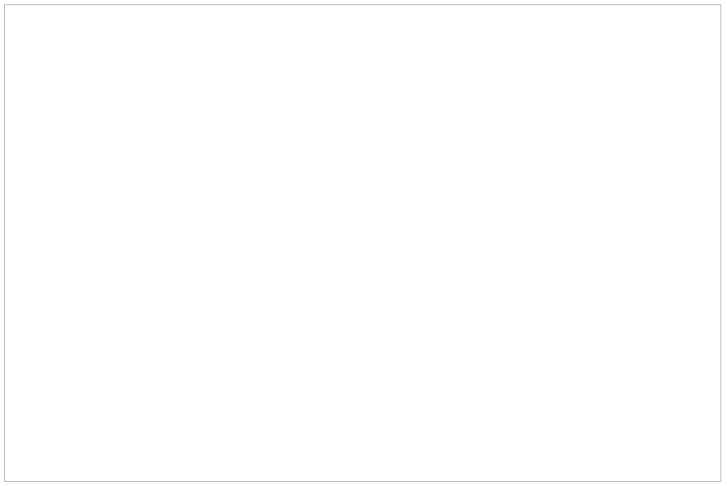
その存在の全てに感謝して今日（12/20）の祈りを終えます。ありがとうございます。
2006.12.20 Wed

沖縄諸島神事　　北祈り＝辺土（へど）　沖縄本島

12/20-12/22までの期間、琉球諸島の神々と人間の世界において、祈り（神と人との互いの心を合わせる行為）を通し、新しい”愛と調和の祈り”が行われました。この祈りの目的は、琉球諸島の過去の歴史の闇に隠された部分をお互いが学び愛、その苦しみを互いに受け入れながら、この地球に生かされているという人間の根源愛をもう一度、思い出し、新しい日本を創造するために重要な琉球諸島の全体の祈りの始まりです。

この祈りには地元で最強の神人　Ｕさんを中心として、数名の神人たちとともに見えない世界を見る能力を持つ方々、そして、心から地元を愛する方たちの熱い想いで執り行われました。

12/19　地元の方々との交流会



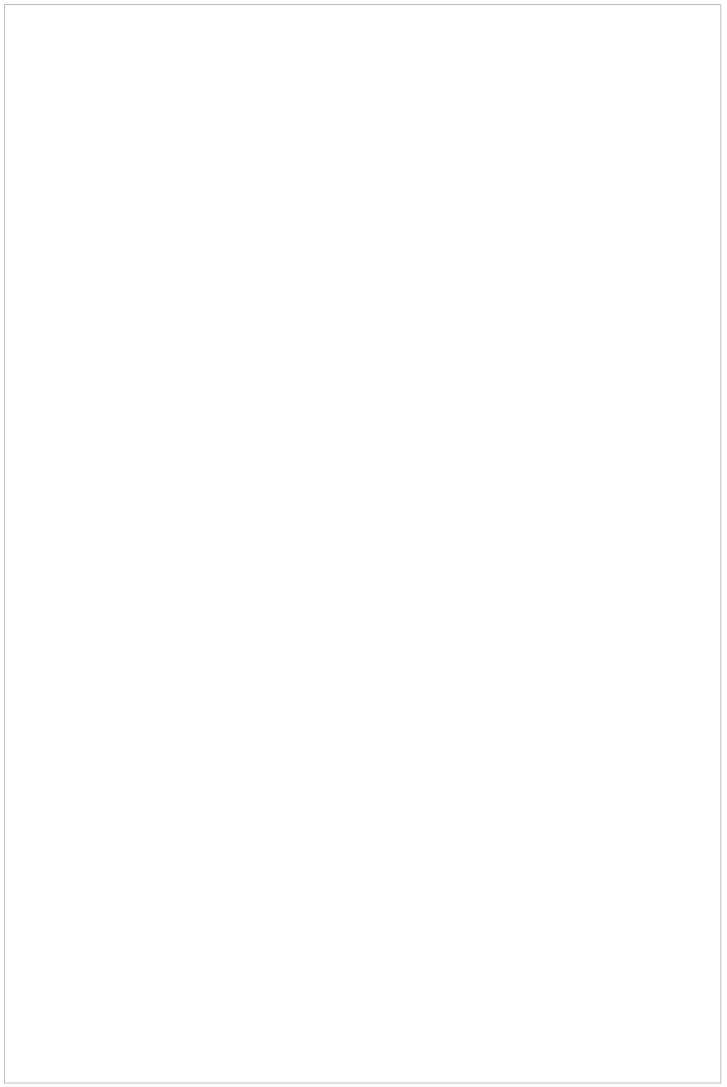
１２月２０日

琉球本島の神人が祈る祈りには、国四鎮（くにゆちん）・大四鎮（ふうゆちん）・小四鎮（くうゆちん）・水四鎮（すいゆちん）といくつかの目的によって種類がありますが、今回の祈りは、新しい国づくりを目的とした祈りの”国四鎮（くにゆちん）”の祈りを行います。

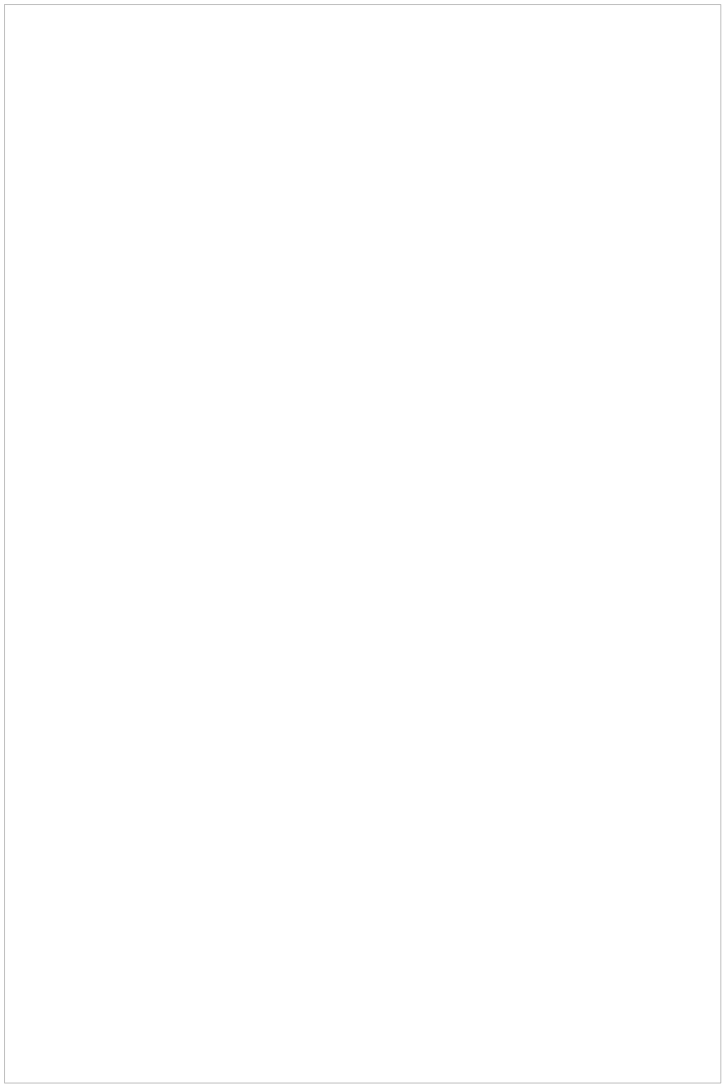
この”国四鎮（くにゆちん）”とは、沖縄本島の東西南北の端の四点を祈りあげて、新しい四方バランスを創る祈りですが、それに加えて今回は、重要な龍宮神（りゅうぐうしん）の祈りも行いました。12/20、まず、祈りに使う大切な水をいただきに、七瀧（ななたき）の神さまの場所へ行きます。

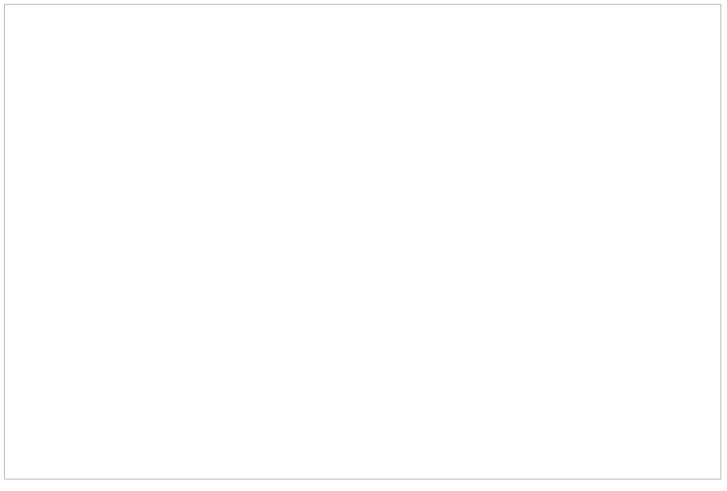
この場所は、地元の許可がないと入れない重要な場所ですが、強力な神人が神さまにいただいた許可と共に、スムーズに足を踏み入れることができました。2000年をゆうに越える太古の時代か

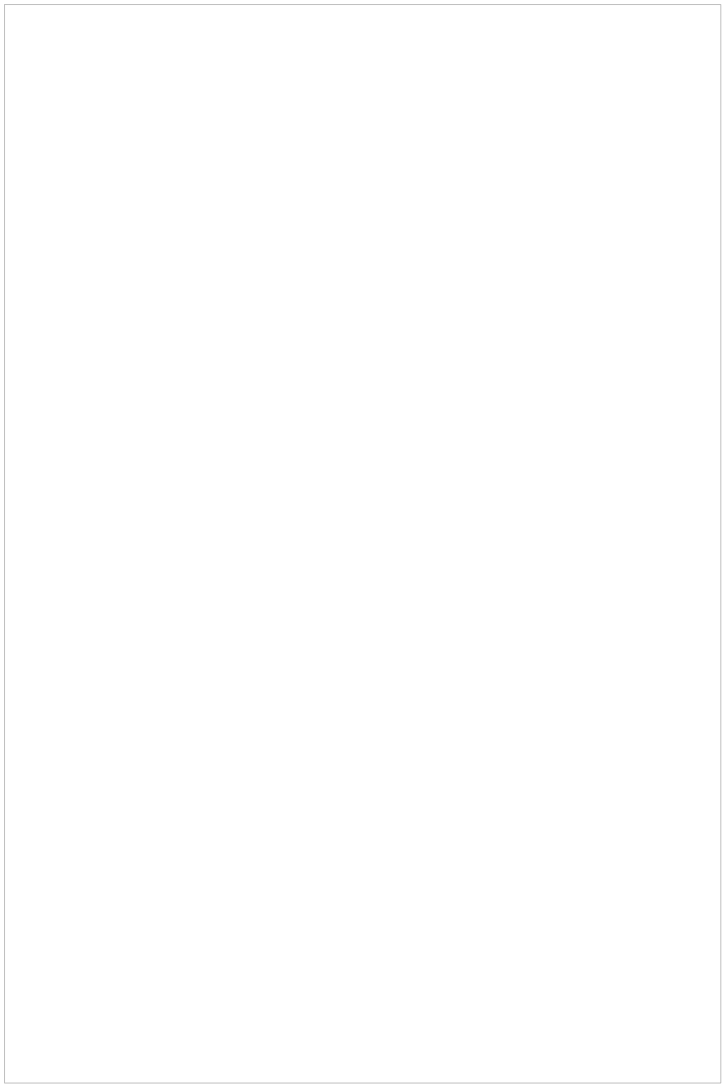
ら湧き出る水の流れは、龍の姿、そのものです。

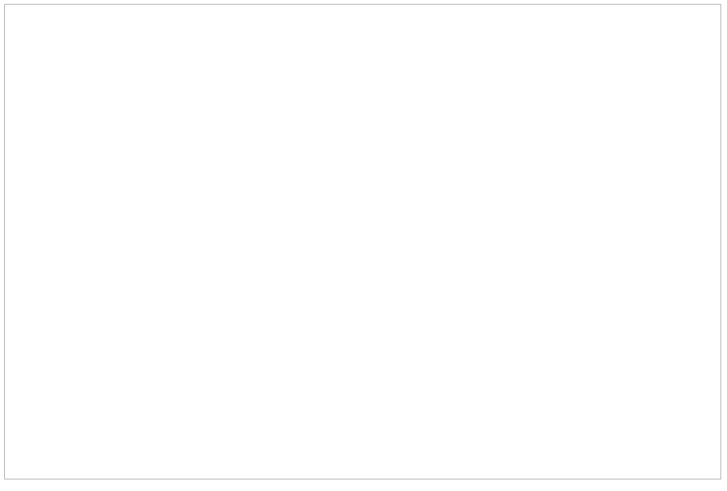


この神聖な水をいただいて、地元の方が辺土（へど）と呼ぶ北の先端まで移動して、祈りが始まりました。強風が吹き荒れるこの辺土には、いくつか重要な神の場所があります。そのすべてを貫く四方祈りを最先端の岩の先に立ち、天上界祈りをささげさせていただきました。

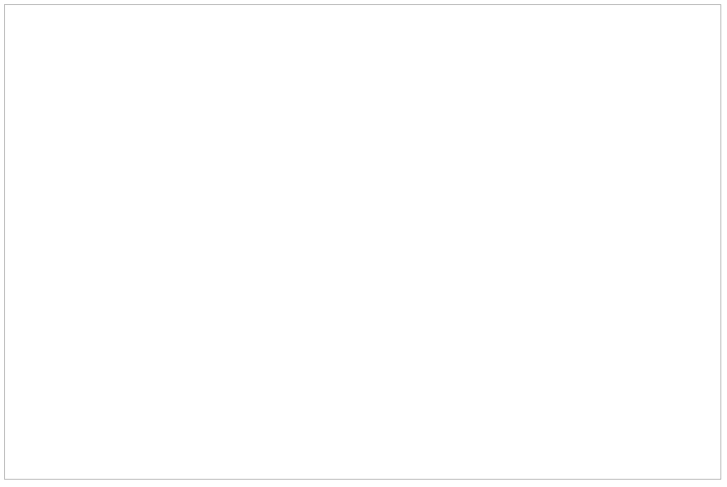


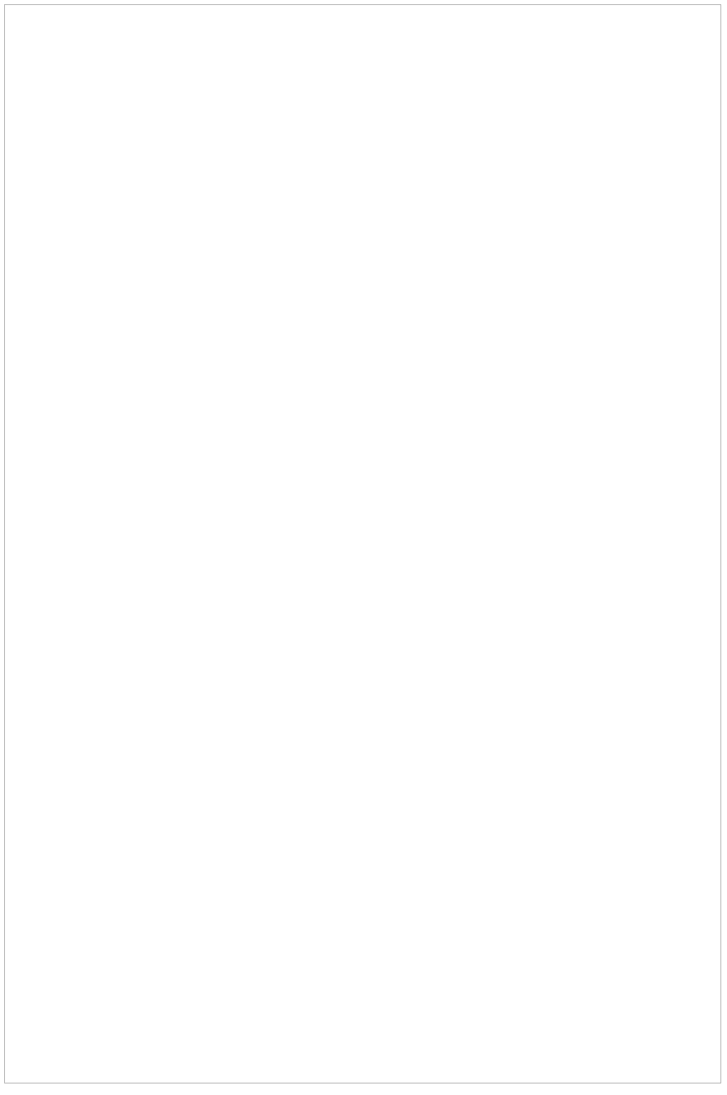


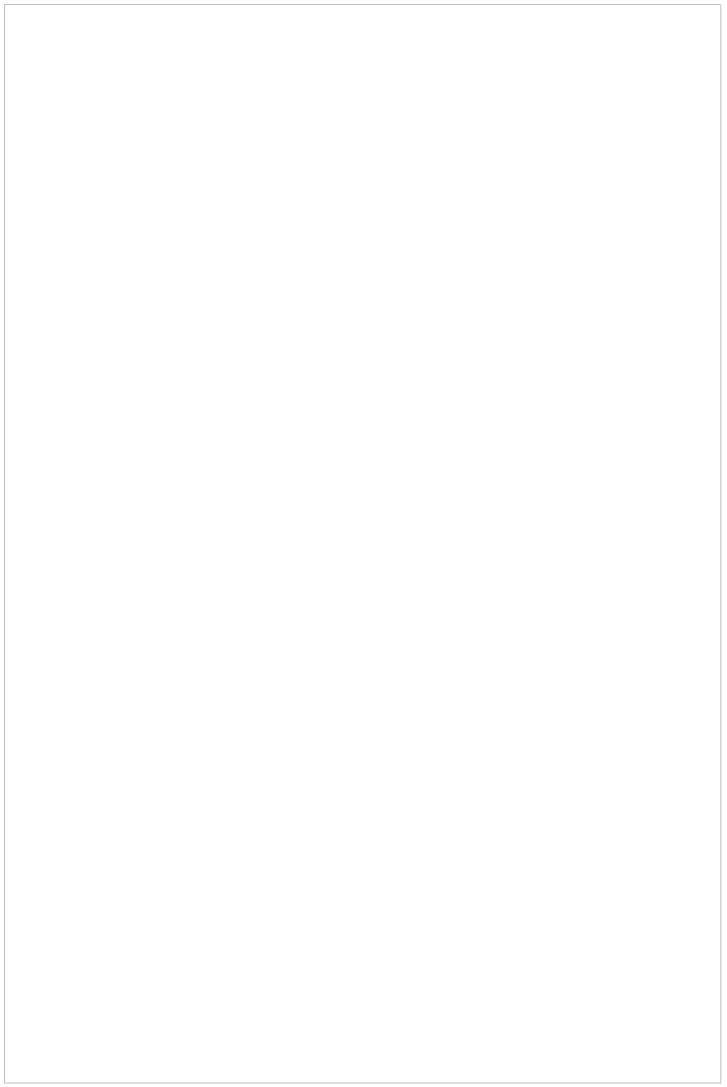




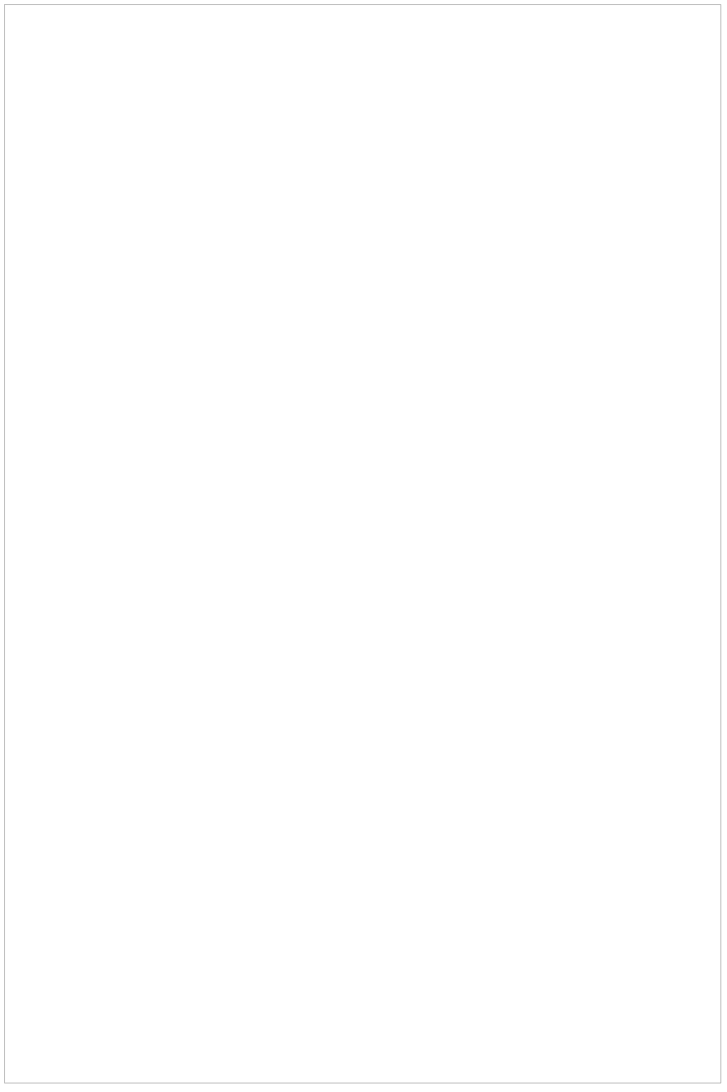
この写真には、鳳凰が天へ登る姿で祈りの喜びを表してくれました。

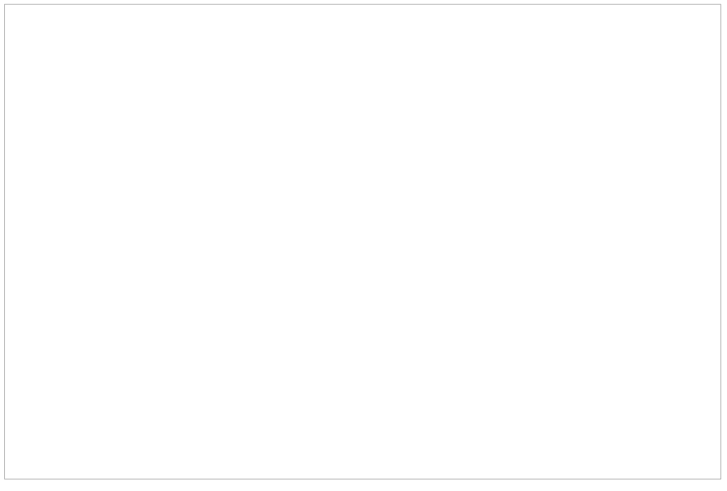


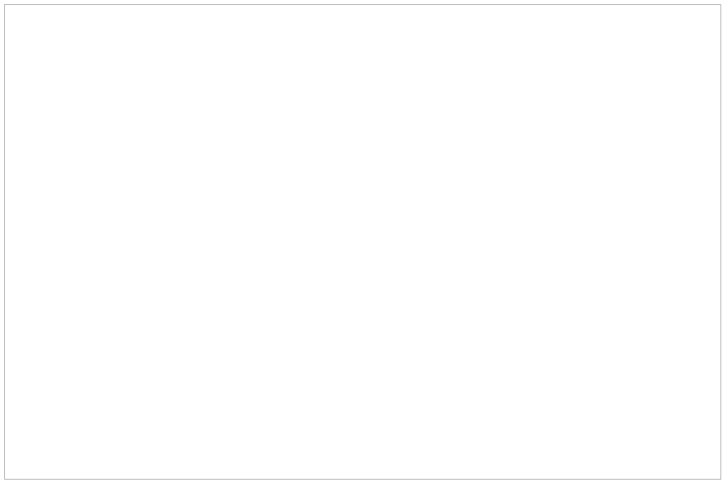




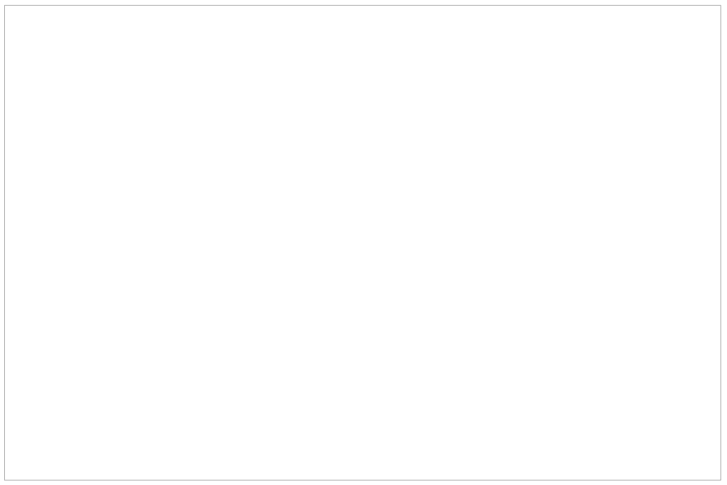
祈りを終え、岩場から降りて帰ろうとすると、神様にもう一度、呼ばれます。この場所には岬の真向かい側の岩の間に、龍宮神の場所があります。その龍宮神の正面へ祈る為に、再度、岩の頂上に登り、周りのゴミ拾いと場所の払いあげをしてから、龍宮神へ向けてまっすぐ祈りを通しました。







釣り人がこの場所で火を炊き、飲食をしたあとのゴミを拾い集めると、神さまも喜んで下さっています。岬の岩場から戻ってみると、皆さんもすすんで、その場のゴミ拾いをしてくれていました。最後に、この辺土（へど）先端を守ってくださっている神様に、全員でお礼をしました。



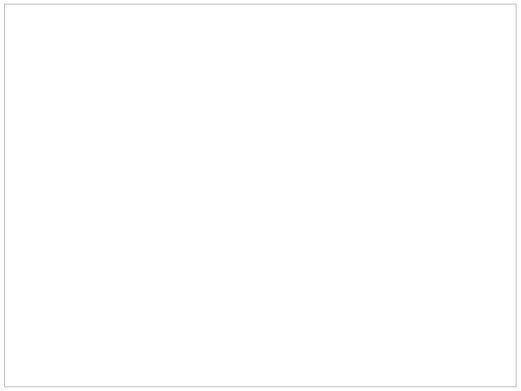
実は、私達のこの琉球本島の祈りに合わせて、すばらしい童神さまのお導きがありました。昨日、交流会の場所へ、突然、近くの子供が、自分で貯めた３００円を全部五円玉にして、久高島出身の糸数ナビィさんのところへ持ってきてくれていたのです。

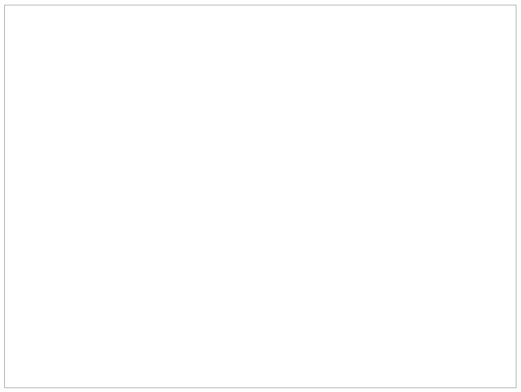
この五円玉の意味は、人と人の５円＝ご縁を大切にしながら、　３　００　円　＝本当の始まり・無限・縁　を結んでくださいと、童神（わらべがみ）の子供を使いにしてくださったのです。童神さまのご縁と一緒に、この祈りの成功を全員で祈願いたしました。
2006.12.20 Wed

京都　籠神社・真名井神社

天照大神様が、ご降臨された場所として祀られているのが、元伊勢の籠（この）神社です。

籠（この）神社：京都府宮津市字大垣 **430**





現在は、丹後国の一之宮として有名ですが、しっかり守られているのを感じて安心しました。

先ほどの、「天岩戸」の神様の言葉を考えると、それほど私にとって重要な場所に思えませんでしたが、ご挨拶だけはしっかりして帰ろうと思っていました。

神様は、ただ一言、「ご苦労様でした」とだけ言いますので、やはり、そんなに重要ではないのかと思って帰ろうとすると、突然、通りがかりの男性が声をかけてきました。

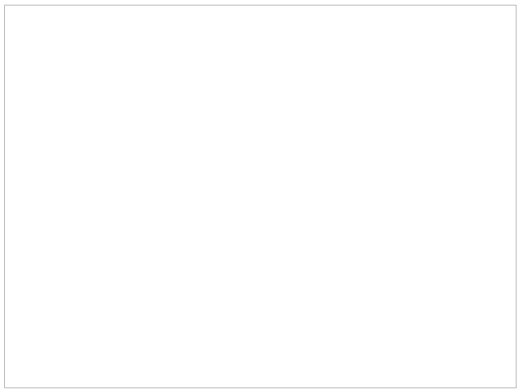
「あんたたち、天照様にご挨拶に来たのなら、真名井神社にも行くんだよなー？あそこは、良い場所だぞー。」

そう言うと、おじさんは何処かへ行ってしまいました。

「これは全体に、神様がしゃべらせているから、行かなければいけない！」と気づき、場所を探しました。

あとからわかったことですが、天照様が降りた場所は、表と裏の二つがセットで降りているからこそ、絶対に、裏もご挨拶しなければいけないということでした。

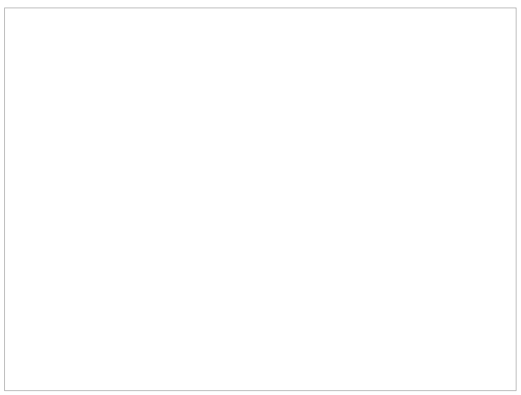
真名井神社：京都府宮津市中野

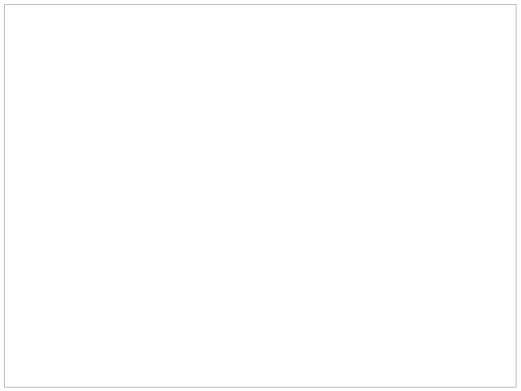


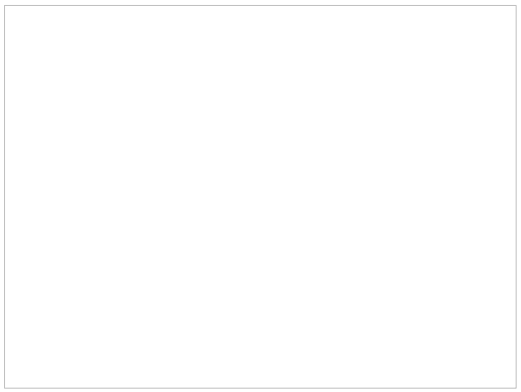
林の中にあるので見つけにくい場所ですが、地元の方に教えてもらってやっと到着しました。

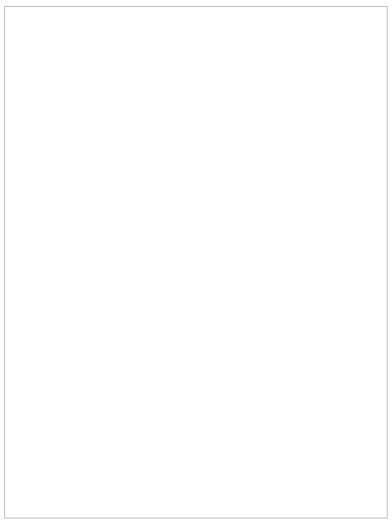
夕暮れが近づいているので、急ぎました。

狛犬が、なんと、龍なのでうれしい感じです。









真名井神社の神様は、とても混乱しているようで、

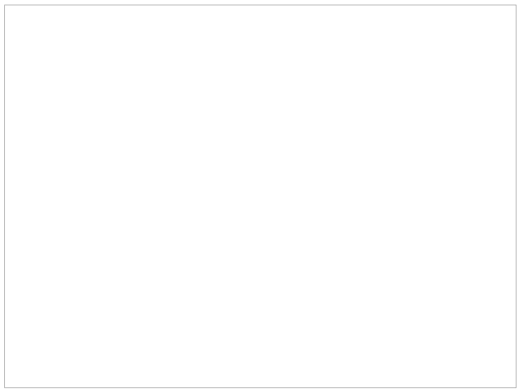
「何をしようとしているのですか？」

と不安げな言葉を発しますので、

「壊しに来たのではなく、正式なご挨拶をしに来たのです」

と継げると、しぶしぶ許可を下さいました。

問題は、このお宮の裏にある場所です。



ここが、「裏の天照様」と言える場所です。

どこに繋がっているかと言うと、地球の核に繋がっている大切な命の産みだしの神様です。

天照様が、表と裏の二つある意味は、表は男性神の男種、裏は女性神の子宮を意味しています。

形を見るとわかるとおり、女性器そのものの御神体だとわかります。

いつもそうですが、神様も女性のほうが怖いくらい強い力で守られているので、失礼の無い様にご挨拶をしました。

命の産みだし、神守りをして下さってありがとうございます。

ここに住まわれた人々、また、神々たちが永遠に安らかにこれからも守られる事を祈ります。

そう言って祈ると、優しい言葉でお礼の言葉を下さいました。

あなたのお役目は、わかっておりますので、どうぞ、そのお役目を果たして下さいませ。

私たちはいつも、見守っています。

これで、古い元伊勢の神々にやっと承認を頂きましたので、次のステージに上がると思います。

神ごとは、常に、自分の目の前の事を完璧に判断して行わなければ次のステージにはあがれません。

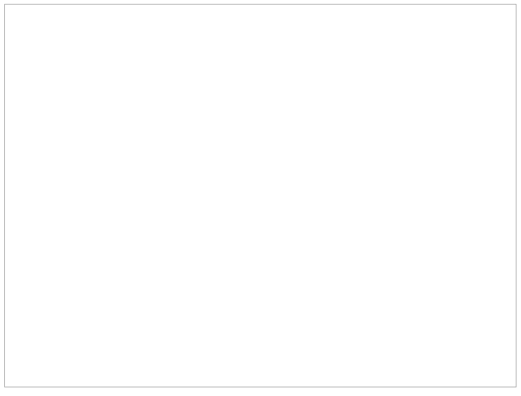
間違っていれば、何度でも、やり直しをさせられる人がいるほど、神ごとには、教科書もなければ、資料もありません。

ただ、先に歩いた人の経験と自分自身の守護存在を通したメッセージの役割りを果たすだけなのです。

どうか、これから神に向き合う人たちは、過去の情報を調べる事も大切ですが、現地に行く前に、必ず、行く意味を自分なりに守護存在と話しあってからご参加下さい。

それができてこそ、本当の自分の役目ができるのだと私は思います。

京都でお付き合い下さいました皆様、本当にありがとうございます。



2006.12.18 Mon

京都　元伊勢内宮・天岩戸大神宮

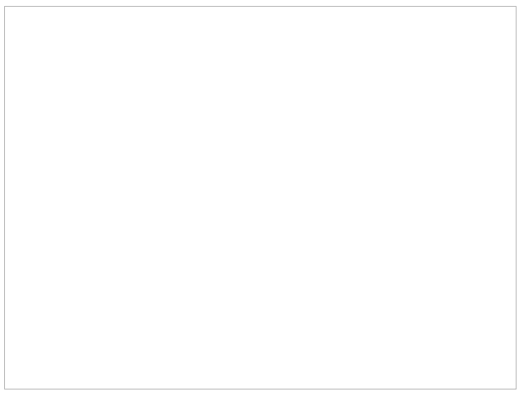
元伊勢　内宮：京都府加佐郡大江町内宮

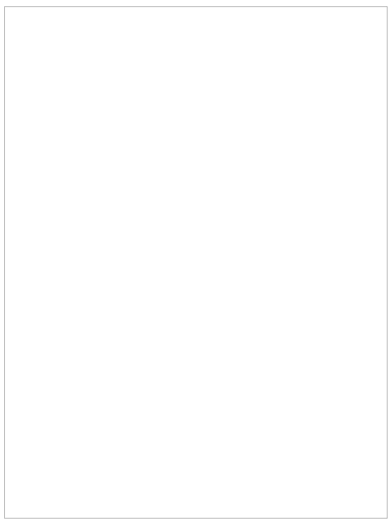
元伊勢の内宮に来た理由は、この時期、「天の岩戸を開けなさい」というメッセージが降りていたｋらです。

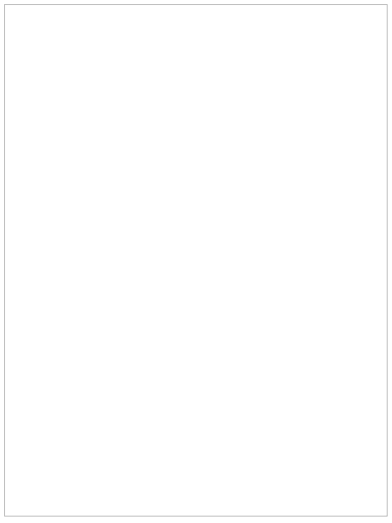
日本中の色々な「天の岩戸」に関わる場所を調べましたが、ここには来る必要性を感じたからです。

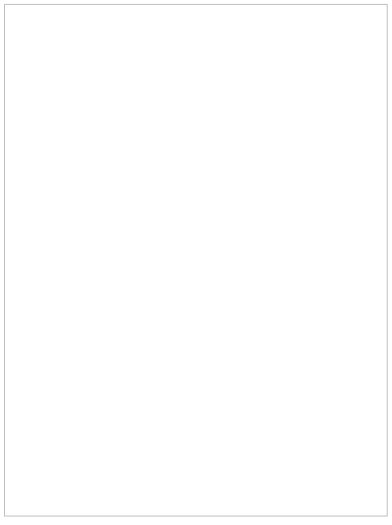
参道を歩くと、樹や池の神様を上手に祀っているのには、感心しました。

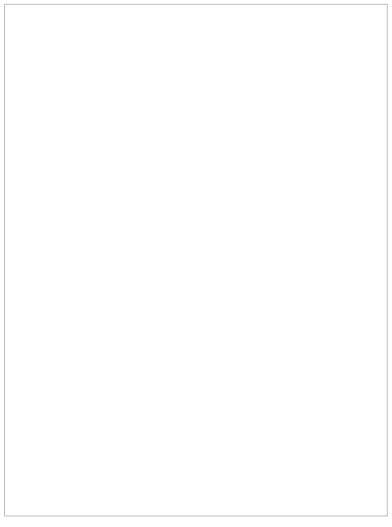
神様の祝福が、光で降りてきました。

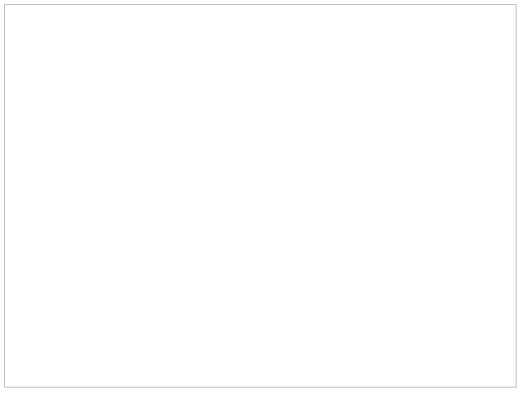


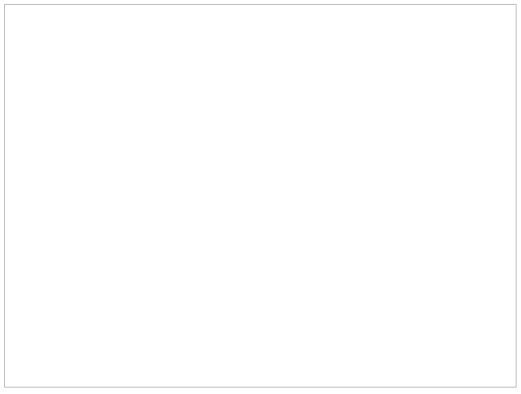


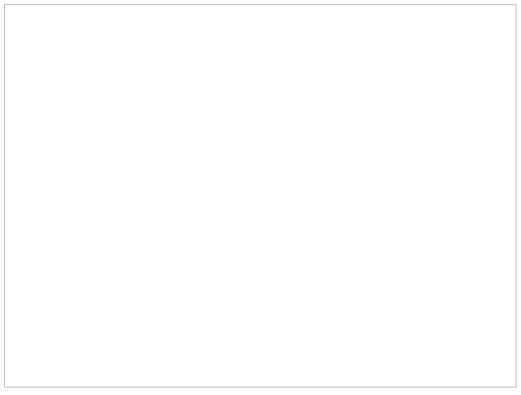


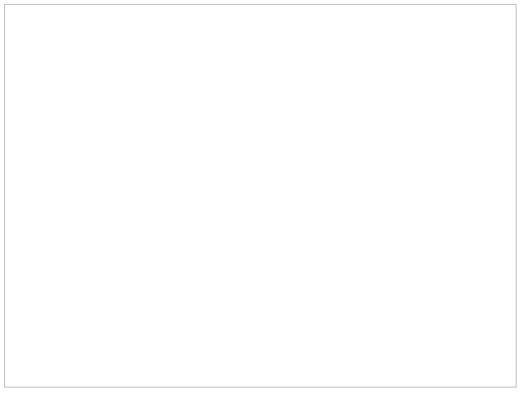


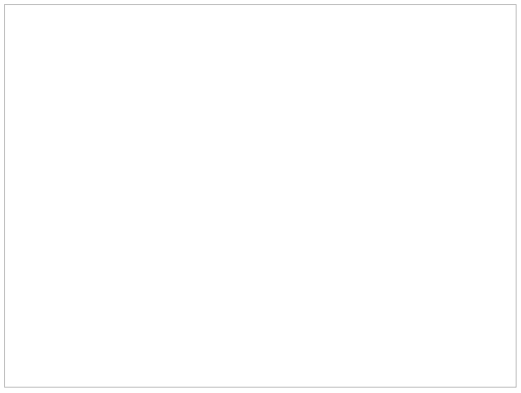


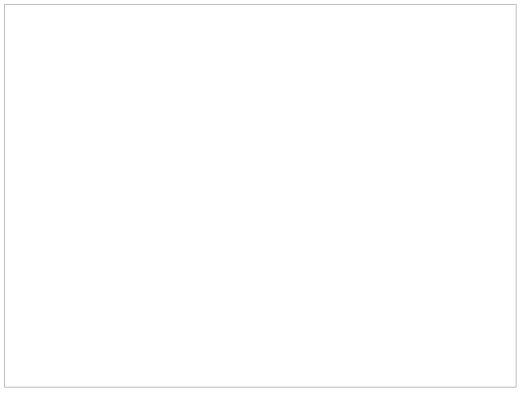


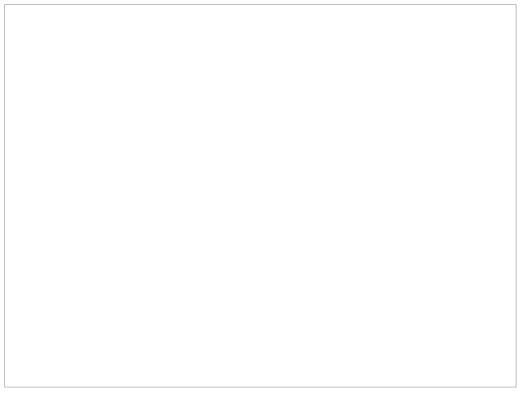


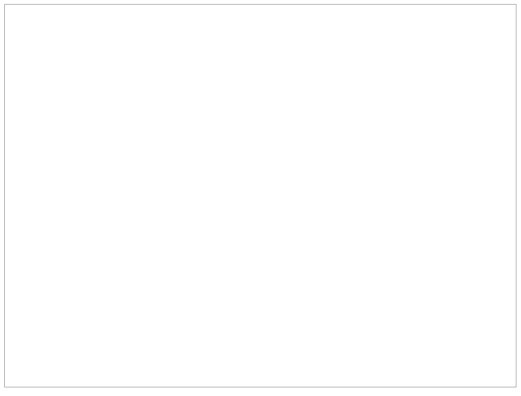


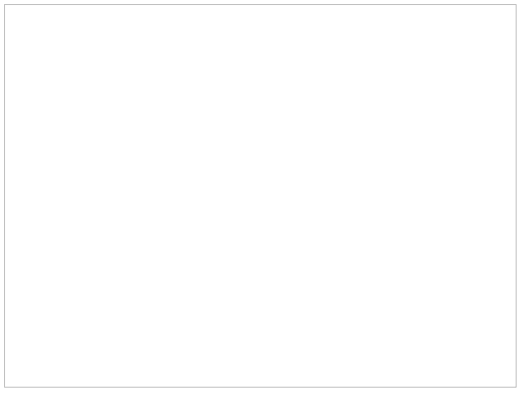






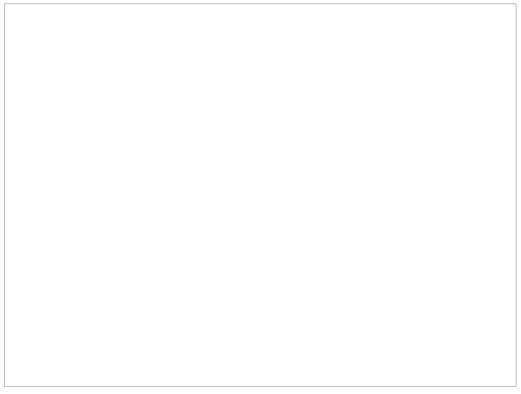




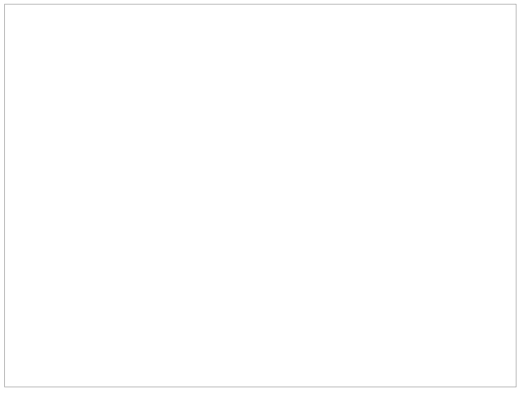


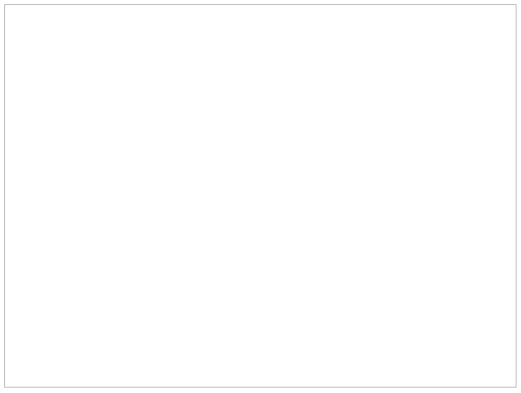
本殿の「天照大神」様には、ご挨拶もほどほどに、左奥にある「天岩戸大神宮」へ急ぎました。

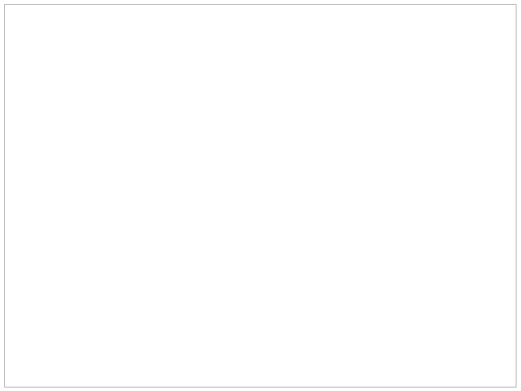
道の途中にある「蓬莱殿」は、ご神体の山の神様に祈る場所ですので、正式にお祈りさせてもらいましたが、とても気持ちのいい場所です。



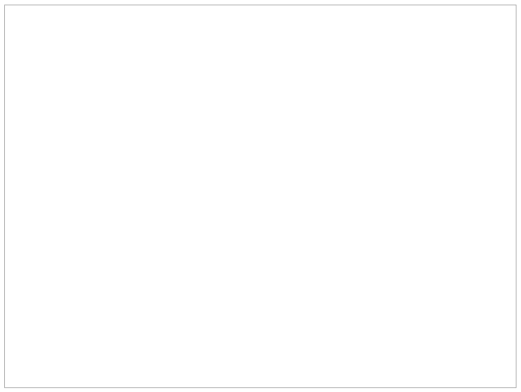
河が流れる場所に、その神社はありました。

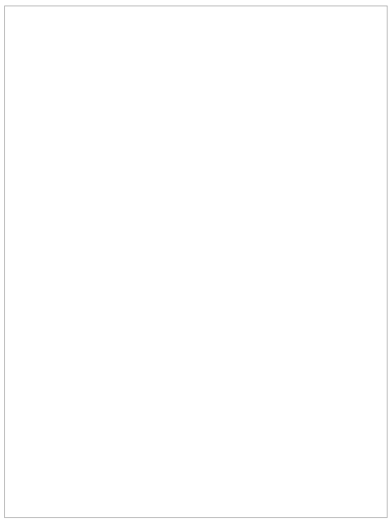




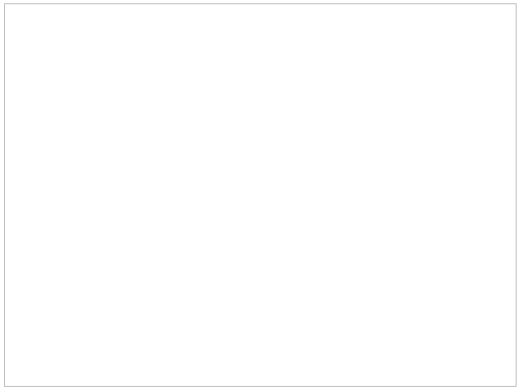


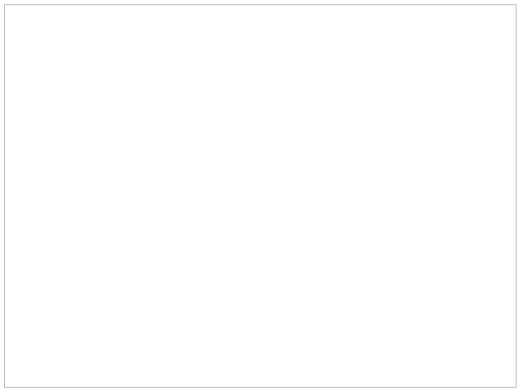
お宮は、鎖につかまって登る上にありますので、正式にご挨拶をしました。



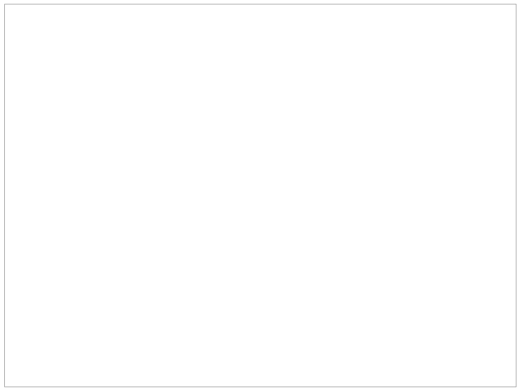


この岩が、「岩戸の岩」です。





岩戸に祈りを捧げると、水の精霊たちが白いオーブになって姿を見せてくれました。



岩戸の神様と話しをすると、私のするべき役目の場所は、ここでは無い事がわかりましたが、しっかりご神光を守って下さっている事にお礼を述べて祈りを終わりました。
2006.12.18 Mon

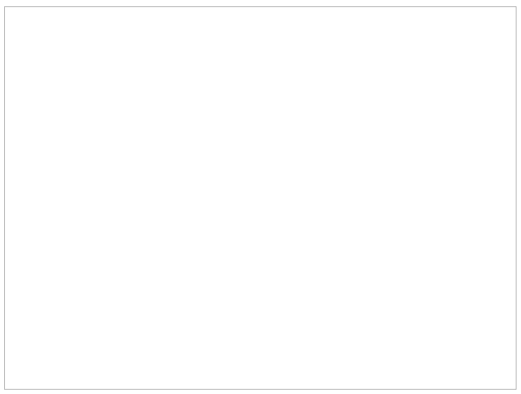
京都　元伊勢　外宮

三重県の伊勢神宮の前に、日本人が大切にしていた場所が、京都の「元伊勢」です。

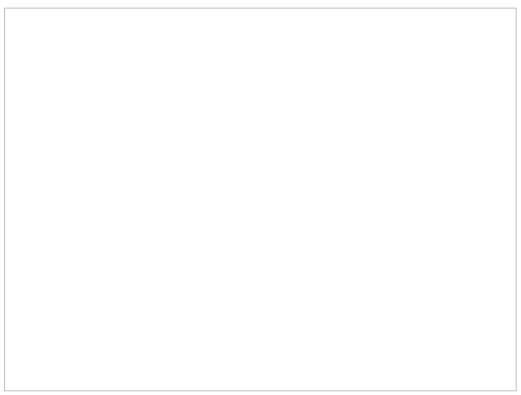
京都府福知山市大江町字天田内船岡山

何事においても、古い時代を守ってくれた神様へご挨拶するのは人間としての常識だからこそ、筋を通して「元伊勢　外宮」にご挨拶に行きました。

駐車場に付くと、天の使いの鷹が空を舞って神の歓びを教えてくれています。



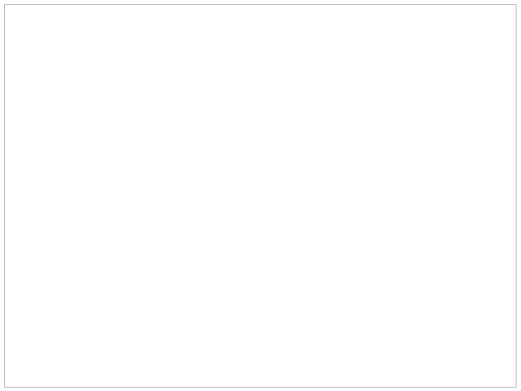
この場所が古いのは、見てすぐにわかりました。



しかし、驚いたのは、この樹の鳥居です。

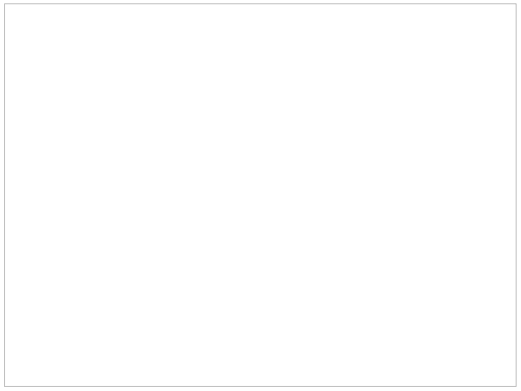
壮言さとやさしさが、鳥居から溢れています。

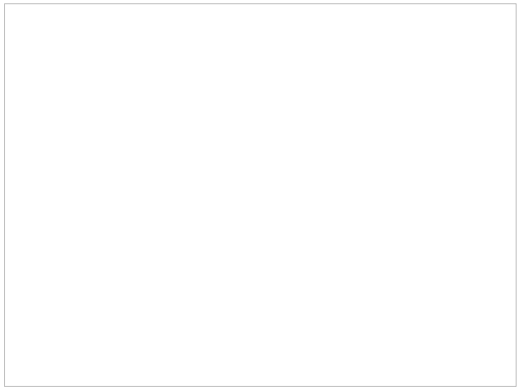
もう日本に数少ない鳥居だと思いますので、大切にして欲しいと思いました。

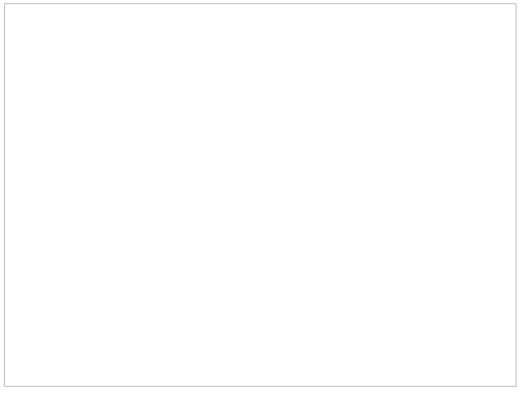


中に入ると、末社の数の多さに驚きます。

良く見ると、末社と言うより、日本中の偉い神様全てが勢ぞろいしている場所だとわかりますので、一社一社、失礼のないようご挨拶をして回りました。

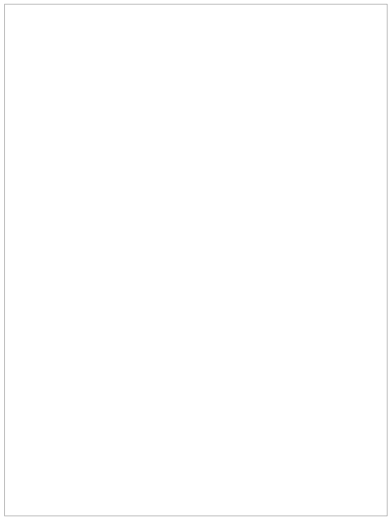






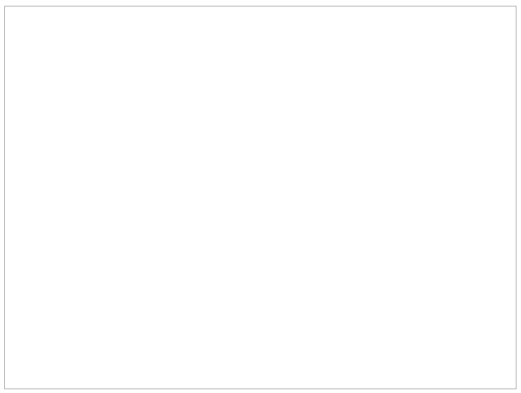
一番奥には、太い樹があります。

この樹に、神様が最初に降りられたのだとわかりました。



でも、右側の樹は枯れています。ここを守れなかったのでしょうね。

人間の思いを反映していると、思いました。



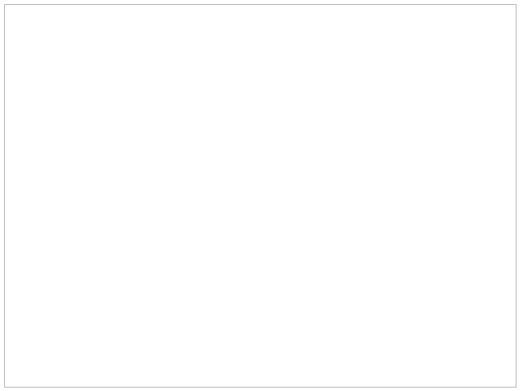
本殿には、「豊受大神」が祀られています。

ご心労が良く分かるからこそ、代表してお詫びをしましたが、神様はこう言いました。

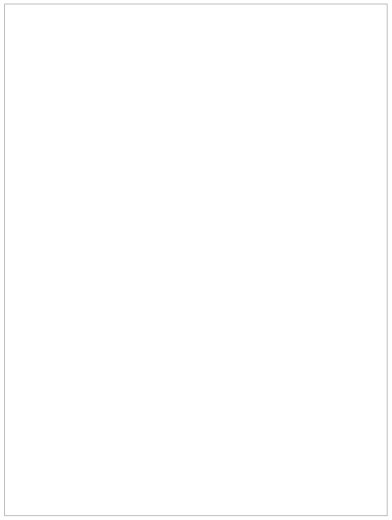
「私たちは、ここを守りなさいと言われて、ずっと、守り続けておりますが、人間の心変わりで守る人が少なくなった事によって、他の神様たちに申し訳ないと思っております。」

この言葉を聞いて、言葉を返せない悔しさを感じました。

でも自分もその愚かな人間の一人なので、心からのお詫びを代表して行いました。



悔しい思いを抱きながら、社務所に降りてきました。



きっとここは、無人の神社だろうから、氏子さんたちが管理しているのかもしれないので、少しでもお金で役に立つのならと、どこかにお金を置いていこうと場所を探していると、呼び出しのブザーを見つけました。

ブザーを押してみると・・・

猫を抱えた農家のおじさんみたいな男の人が出てきました。

「あんたら、なんだねー？」

ここにお礼のご挨拶をしに来たのですが、誰かいらっしゃるかと思ってブザーを押しましたが、神主さんはいらっしゃるのですか？

「わしが、神主だがねー」

一瞬、言葉を失いましたが、そうかあ、この人がここを守る神高い人なんだ。

見かけで人を判断してはいけないと気づき、この神社の素晴らしさとお礼を伝えて１万円を寄付させてもらいました。

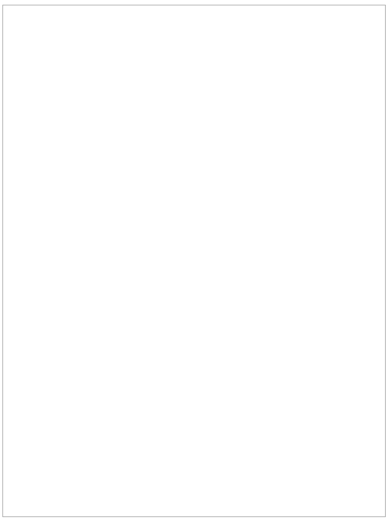
「あー、そうかそうか、じゃあ、皆さんの名前と住所を書いておいておくれ。あとで、神様に、ご報告しておくからのー。」

ありがたいことです。

神様の心とは、こういう人の普通の人の姿を言うのだと、よくわかりました。

ここに来られる方たちのお金で、維持できる物がありますので、どうぞ、皆様、宜しくお願いします。
2006.12.18 Mon

京都　大本教



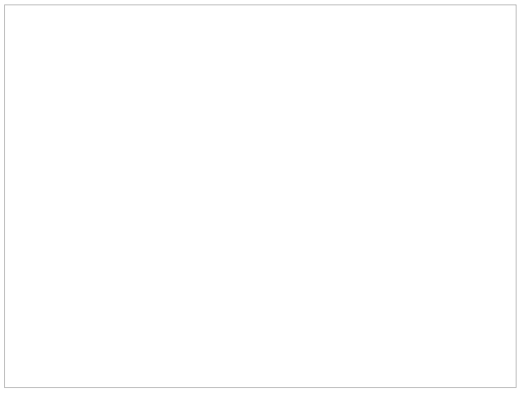
２００６年１２月１８日、元伊勢にご挨拶に向かう途中だったので、「大本教」にご挨拶に行きました。

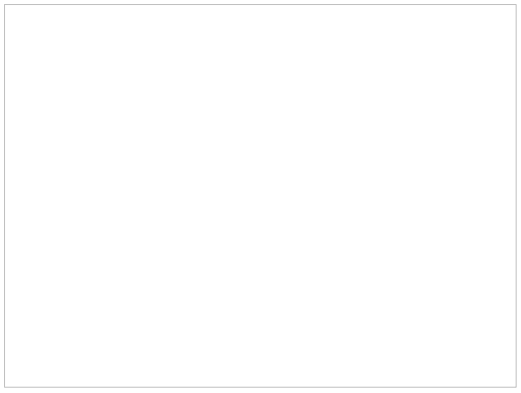
大本教：　京都府綾部市本宮町1-1

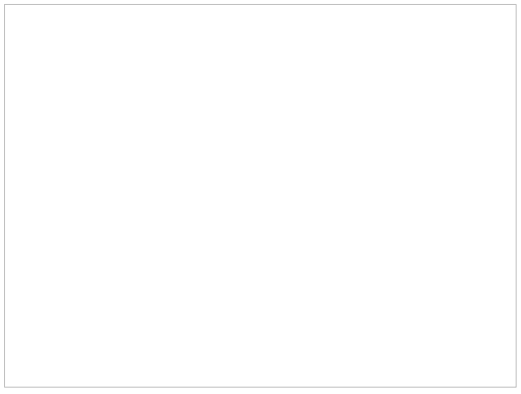
たまたま、同行した人の実家がこの付近だった為、お世話になった方たちのお礼も兼ねて行きました。

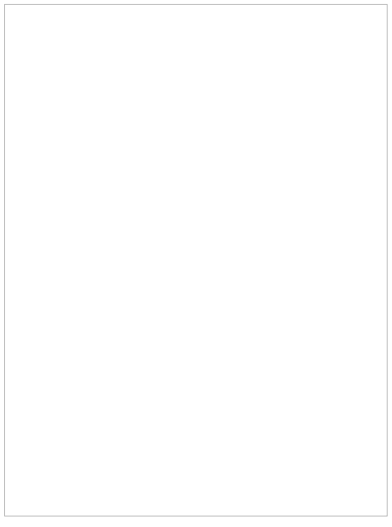
駐車場に車を止めた時から、とても歓びのエネルギーを身体が感じます。

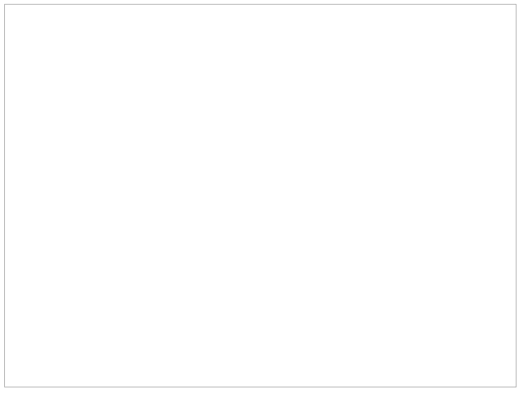
写真に写っているように、七色の天の祝福と言える光が降りているので、とてもよくわかりました。

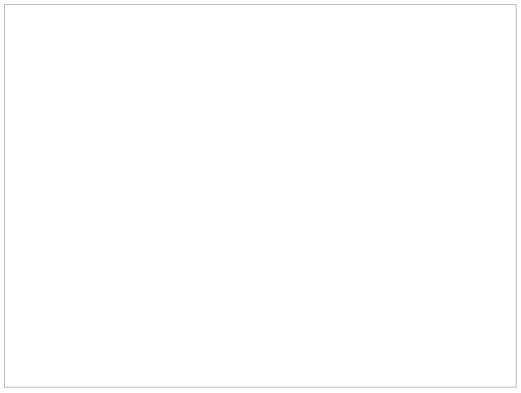








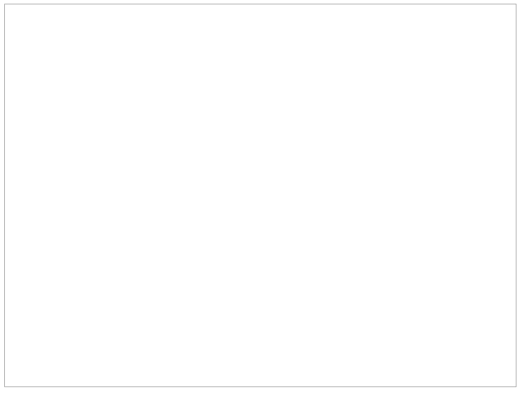


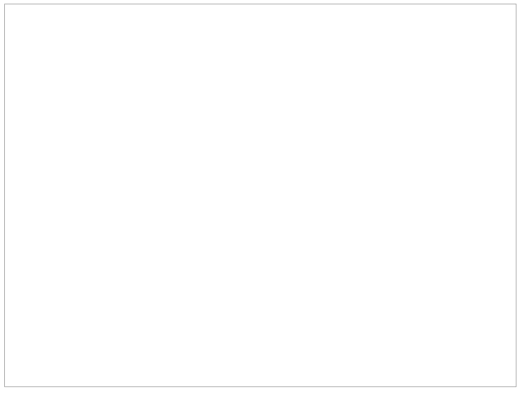


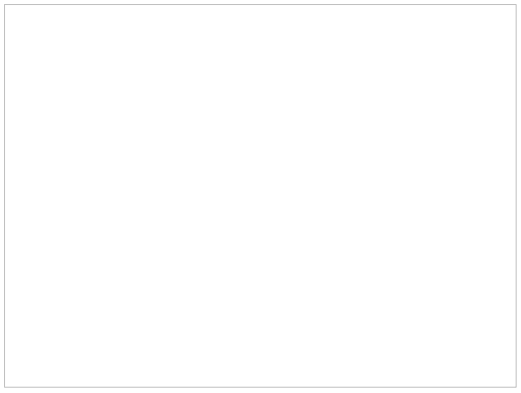
ここは確か、二度ほど、大本教の影響を恐れた人たちが、「政治戦犯」と批判して火を付けた事件も起きていますが、出口王仁三郎の働きがとても大きかった事が、時の政治家には都合が悪かったようです。

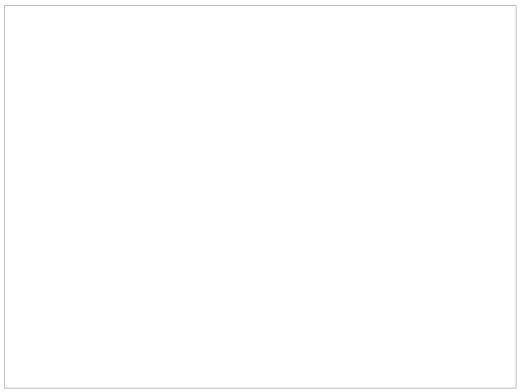
私は個人的に、最初に神降ろしをした「出口なお」さんのメッセージや存在意義を大切に思っていますが、時代背景から考えると、いかに、一部の人間の権力で民衆を愚弄していたかがわかります。

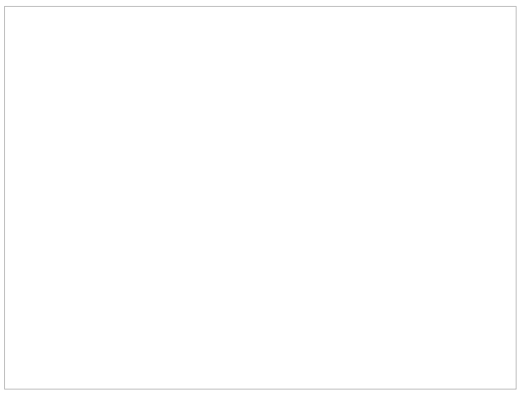
今とは違い、まだまだ民主政治ではなかったことが、大きな混乱の原因だったのでしょうね。

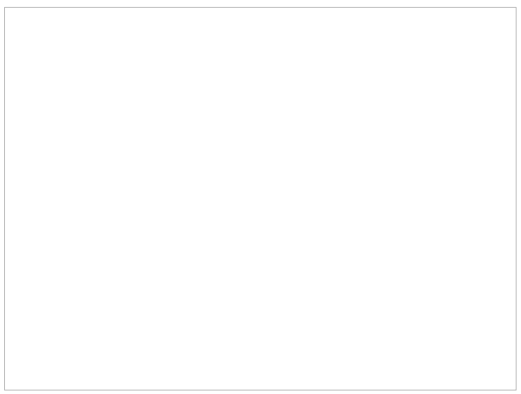












せっかくなので、正式にご挨拶をしたくなり、中に入れてもらいました。

大きな大きな体育館ほどある本殿の祈り場では、つい先日、世界の宗教家たちが集まって、それぞれの祈り方で世界平和を祈った事を教えてもらいました。

本殿の祭壇は、実にシンプルです。

理由は、ご神体が、山だからです。

静かな体育館の中で、壁の小さなお宮を通して後ろの山に手を合わせると、大神様が色々な話をして下さいました。

純粋に、気持ちのいい場所でした。

お宮の周りを見ても、いくらいくら奉納とか、にぎやかではありませんしねー。

本来、どこの宗派でも本殿は一切の戦いを好まないものですが、宗派にこだわって争う人間の愚かさには、いつもあきれてしまいます。

何の為に、神に手を合わせているのでしょうね？？？

でも、この大きなお宮を維持する為に、太い樹を切る事を考えると、必要性が気にかかりますけどね・・・。
2006.12.18 Mon

京都　船岡山・松尾大社

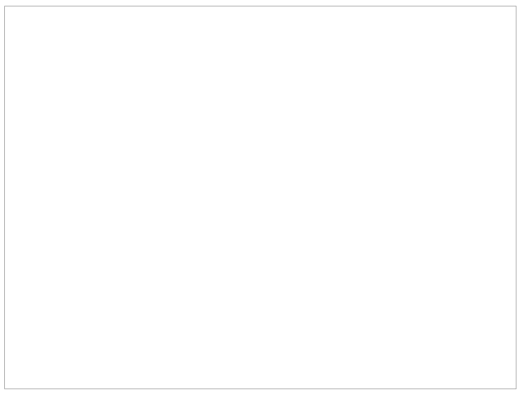
京都で出会った方たちと、壊れた京都の結界バランスを整える為に、一般に公開されていない場所を探しに行きました。

京都生まれの方と京都に１０年以上住んでいる方の話しの中で出てきた場所は、京都の「船岡山公園」でした。

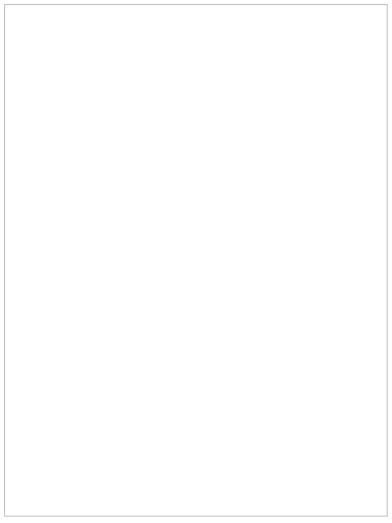
その場所に行ってみると、頂上の岩に、宇宙のエネルギーが繋がっている場所を見つけました。

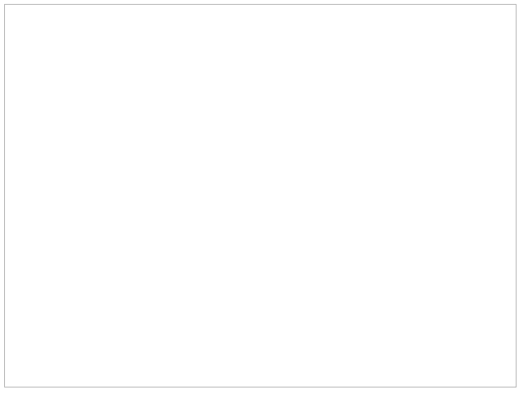


さすがに、子供たちのレーダーは感覚が鋭くて、今、この二人が座っている場所が、宇宙に繋がっている場所です。

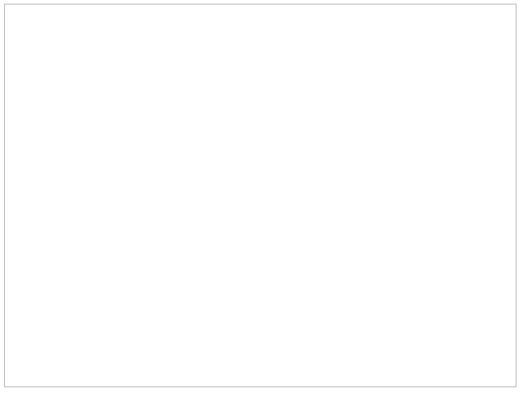


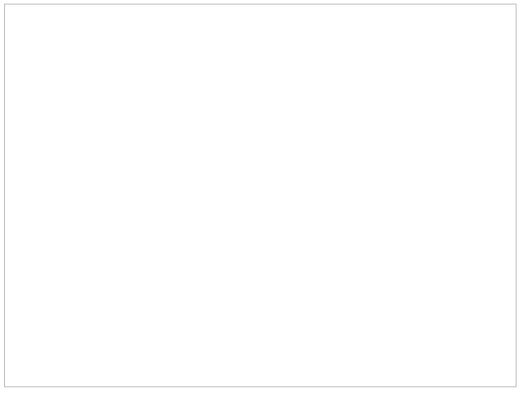
公園内にもある石は、それぞれストーンサークルのように繋いで動かす事ができるのもわかりましたが、まだ動かす時期ではありません。





天の繋がりを知らせてくれる雲や美しい風景に感動しました。





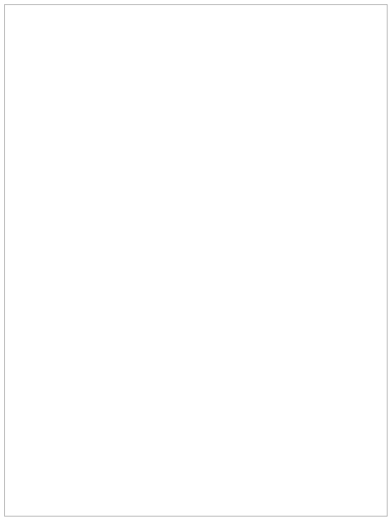
その足で、また、地元に住む人を紹介されました。

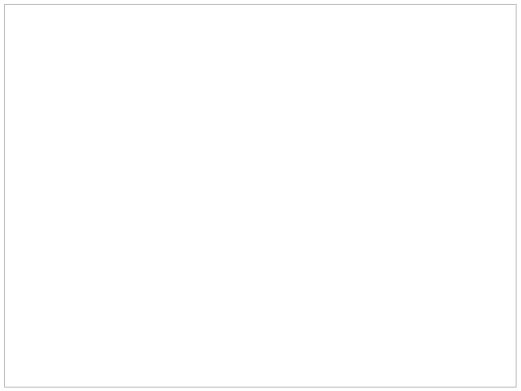
男性なのに女性みたいに話す変な人でしたが、やたらと宇宙の繋がりや自然界バランスに詳しい事に驚きました。

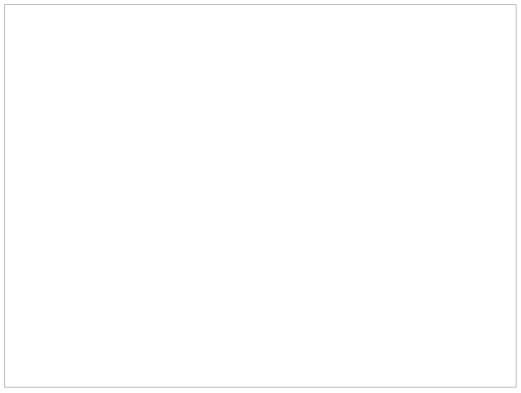
たいていこう言う人はその星から来た人なのはわかりますが、ちょっと、普通のバランスの意識ではありませんので遠慮気味に話を聞いていると、私を松尾大社の裏の龍に逢わせたいと言います。

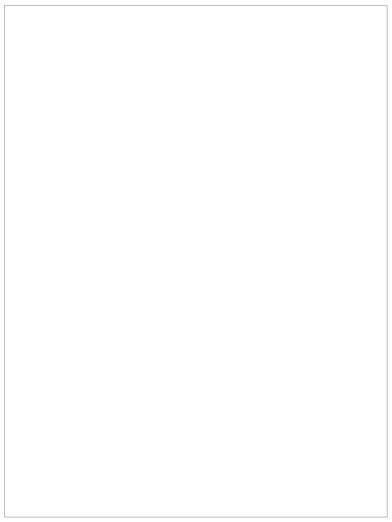
お酒の神様で有名な松尾大社ですが、裏にある龍神様こそ、もっとも素晴らしいと彼は強調します。

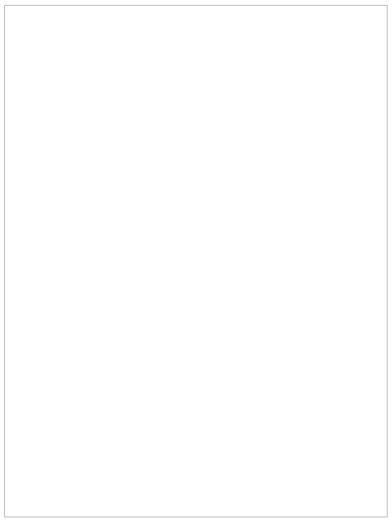
では行ってみましょうと一緒に行くと、それはそれは、草原ナ空気を漂わせる素晴らしい場所でした。







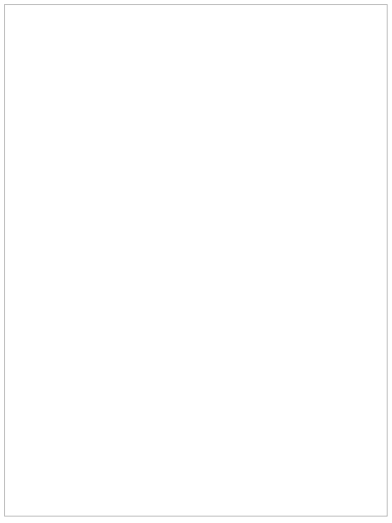




水が美味しいとかそういうレベルの問題ではなく、ここにいる赤い龍と話しをすると、「２６００年前から私はここに居る」と教えてくれました。

「そうかあ、何かを守る為にここに来たんだねー、本当にありがとう、。こんなに素敵な水を産みだす為にこの場所を守ってくれて」とお礼を言いました。

この場所を教えてくれた彼は、ここの龍が何色に見えますかと聞くので、僕は赤に見えますよというと、確かに赤に写真も写ります。



でも彼には、いつも青に見えるようで、写真も青く映った物を見せてくれました。

僕が滝の下に居ると、やっぱり赤ですねというほど、私の身体とリンクして見えていたようです。

松尾大社の神様も素晴らしいですが、この場所の精気は全てこの龍神様が守ってくれているからこそ、必ず、ご挨拶をしたほうがいいと地元の皆さんにもお伝えしました。

素敵な場所を教えてくれて、ありがとうございます。

2006.12.15 Fri

宇宙会議・地球ミッション

11/30の夜に、初めて行われました”宇宙会議・地球ミッション”に参加された方たちの宇宙使命の自覚度合いは、ひ・と・ま・ず・置いといて・・・・会議の内容は、お互いの今していることを確認し合いながら、自分がしていることがこれでいいと再確認する素敵な出会いになりました。

皆さんに知っていただきたいのは、実は、ここにいらっしゃる方たちの半分以上は、お互いが初めて出会う方たちですし、さらに、全員が私の知り合いですが、一番古い方でも、ここ３年以内に出合った方たちだということです。

なぜこれだけ素敵な方達に出会うことができたかというと、私が北海道の各地で講演会をして、そのあと主催者と地域の方達の反応をみながら、個人的にお話をしていった結果、本音（魂）でお話できる仲間に出会えたからです。

私はどんなときでも、出あった瞬間に、その方の魂が何を望んでいるかが、すぐわかります。

それを相手にお話すると、すぐ素直になる方と、反対に、自分を守って、「そんなことない！」と反論する方に分かれます。

今、あなたがどういう生き方をしていても、私は一切、それについてとがめたりはしませんが、ただ、あなたが自分の魂を苦しめていることについては、見逃すことできません。

私は、地球を救うために、たくさんの人を救おうと努力していますが、カルマに苦しむ人を救おうとは、思っていません。その理由は・・

カルマは、確かにご先祖からのものもありますが、その過去世の記憶を消してきたのに、また今世でも、自分でカルマの人生を繰り返して、そのあげく、”人のせいにしたり、自分をごまかしたり、常に逃げ道を見つける生き方”をしてきたのは、あなた自身であって、それが今世のカルマになっているからです。

宇宙本源の愛ややさしさは、一番、自分が弱い・辛いときに、他人に愛をあげられますか？と問われます。

自分に甘い人たちは、辛いときに自分を守ろうとして、誰かを犠牲にする怖い自我の心の部分をかくしています。

私は、こういうずるい人たちを都合よく救わない分、本当に一人でも、自分からできることで、

地球ためや子供達を守ろうと、真剣に行動する人たちに出会いたいと以前から願ってきました。

11/9のブログ”地球創生に動いている仲間たち”では、３５人の方達のメッセージをいただきました。本当に、ありがとうございますｍ（__　__）ｍ

この方達は、一人で何ができるかわからないけど、きっと、私にもできることがあるんだ！と思えた方たちのはずです。

11/30に札幌で出会った方たちも、地球交響曲というすばらしい映画の波動に集った方たちですが、すばらしいものを同じように「素敵！」と言葉にできる心の素直さが、これからは一番、大切なことなのです。

大人が、年をとったら頑固になると、誰が決めたのでしょう？

覚えておいてください。頑固な人は、実は、心が淋しい人なんです。

頑固な人ほど、コミニュケーションをとりたくても、その方法がわからず、つい、怒った口調になってしまうのも、自分の心の中のジレンマの現われなのです。

だから、あなたの周りに、もし頑固な人がいたら、あなたはまず自分の肩の力を抜いて、そっと・・・「ごめんなさいね」と、その人が怒っている理由も聞かずに、その人にニコッと笑顔で謝ってあげてください。

すると相手は、拍子抜けしたような感じの顔になりますが、心の中では、何かが動きだします。

それを何度か繰り返していると、いつの日か、必ず、その怒っていた相手から、「ごめんね」と言われる日がやってきます。

これが、”愛の循環”なんです！

「ごめんなさい」と「ありがとうございます」を心から言える素敵な大人たちが、札幌で出会った素敵な12名の大人たちなんです。

私も１３日から京都・那覇で、たくさんの方に出会うと思いますが、地球を愛するように人を愛し、宇宙を愛するように、他人の子供を愛することができる大人に、たくさん出会えることを楽しみにしています。

宇宙の愛も、神さまの愛も、あなたが今から行動する言葉や態度に表れます。

どうぞ、あなた一人で、まず、自分を救ってあげてください。（自分に感謝するのです）

それができたら、あなたの家族に、ありがとうございますと言ってみてください。

それができたら、出会うすべての人に、素直な自分をそのまま言葉にしてみてください。

この地球を生まれ変わらせる愛は、一人で実践するあなたのような人が溢れた結果として、地球も、宇宙も救われるのですから・・・。

あなたの存在に、感謝いたします。ありがとうございます。
2006.12.09 Sat

依存と自我、そして、執着心

このスピリチュアルな世界の進化の時代になっても、まだこのことを書かなければいけないことを少し残念に思いますが、時代のスピードや、人の変化についていけずに出てくる”思い”の意味を整理しておきましょう。

まず人は、変わるために生まれてきた　ということを覚えておいてください。

それがカルマの解消であったり、宇宙使命をまっとうすることだったり、家族のために一生懸命に生きることだったり、生活を守るために労働することだったり、すべてが、”今より良くなりたい”という変化の為だということを理解して下さい。

この世の中で生きている人間で、今より良くなること（変化）を望まない人はいないはずです。

もし、そんな人がいたとしたら、その人は、明日への希望をもてない人でしょう。

人間は、生きている限り変化を望んでいます。

無意識であっても、生きる目的が見つからなくても、本能に生きる動物の部分を持っているからです。

お腹が空いたから、ご飯を食べる。

排泄をしたくなるから、トイレにいく。

汗をかいたから、お風呂やシャワーを浴びる。

眠たくなったから、寝る。

これは、すべて、今の自分を満足させたいという　変化　の本能の欲求です。

ではなぜ、自分が変化を望んでいるのに、自分以外の人が、変化することを嫌うのでしょうか？

嫌うというより、足をひっぱたり、愚痴を言ったり、文句を言ったりするのでしょうか？

これに似た行動を、昔、皆さんも経験したことがあるはずです。
あなたが子供の頃、親に反抗したことがあるはずですよね！
あれは、”自立心”という欲求が表す行動です。

でも、自分が自立したいという欲求があるのに、人が自立（変化）したいという欲求を制御したり、混乱を招く行動をしたくなるのは、なぜでしょう？

これを説明するのによく似たケースは、母一人子供一人の家庭で、一生懸命に働く母の様子をみている幼子が、親が働きに出るのを見ると、ぐずって、甘えて、仕事に行くのをじゃまする行動を起こしたりします。

これはわかりやすい、　”甘え”　です。

でも同じ行為を大人がすると、さらに複雑になって、実は、相手への依存心や自我の満足度と違う想いがあるので、それを理解してもらいたいという欲求＝甘えが出てきて、最悪なケースには、”執着心”となって、陰湿に影に回ってウワサを流したりして、相手を苦しめたりします。

この行為は、すべて自我の満足を満たしたいという甘えですが、私がクライアントさんによくお話するのは、相手があなたの甘えを受け入れてくれた分、あなたは相手を受け入れてあげていますか？　と尋ねます。

２０才を越えて、自分のしたいことをしている大人と呼ばれる人たちが、自分の欲求ばかりを相手に押し付けて、相手の欲求を受け入れることができない人たちを、私は、アダルトチルドレン（心が子供の大人）と呼んでいます。

この大人の甘えは、実は、大きくなるほど、地球を滅ぼすくらいに、強力な　”同情”　を生み出します。

情は、誰にでもある甘えを受け入れて欲しいとう相対の欲求バランスですから、一概に、いい悪いは言えませんが、情だけ（愛情も含めて）が大きくなると、地球は、確実に滅びます。

情は、弱さの象徴です。愛は、強さの象徴です。

愛は、大切なものを人のために守る力です。

情は、大切なものを自分のために守る力です。

あくまでバランスですが、愛が情より勝らないと、この地球は、崩壊します。

そのためにも、あなたがまず、愛になることです。

それは、今の自分が理解しがたいことも、受け入れてあげることから始めましょう。

愛は、”許す”ことから学びます。

自分も許されたいなら、相手も認め、許し、受け入れてあげましょう。

あなたが、そうして欲しいように・・・です。

最後に、人間が何度、転生しても、あまり進化せず、カルマの人生を繰り返す最大の原因は、

”執着心と嫉妬”が原因です。

あなたがもし、本当に自分を愛に変化させて幸せな人生を送りたいのなら、ぜひ、　愛の聖書をじっくりお読みください。

愛は、常に、不変です。

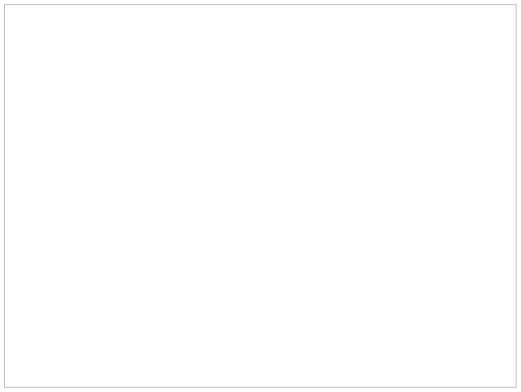
そしてあなたが、愛そのもになることを、宇宙も、神も、ご先祖も、望んでいらっしゃいます。

神なる守護があなたに届きますことを祈ります。
2006.12.08 Fri

地球創世会議　**in** 北海道

2006年12月5日、今まで私が直接、北海道で知り合った人たちの中で、本気で「地球を守る！」と宣言している仲間が一同に集まりました。

こういう集まりを企画した理由は、今までは各自でメッセージを受け取って活動していましたが、もう、エネルギーを繋いで大きく動かす時期に来たと感じたからです。



食事をしながら色々な話をしましたが、始めて合う人たちばかりなのに、大盛りあがり！

全員の魂が喜んでいるのが、わかります。

どうぞ、全国の皆様も、自分の土地で素晴らしい魂の仲間も合って下さい。

そして、約束して来たことを必ず、果たしましょう！

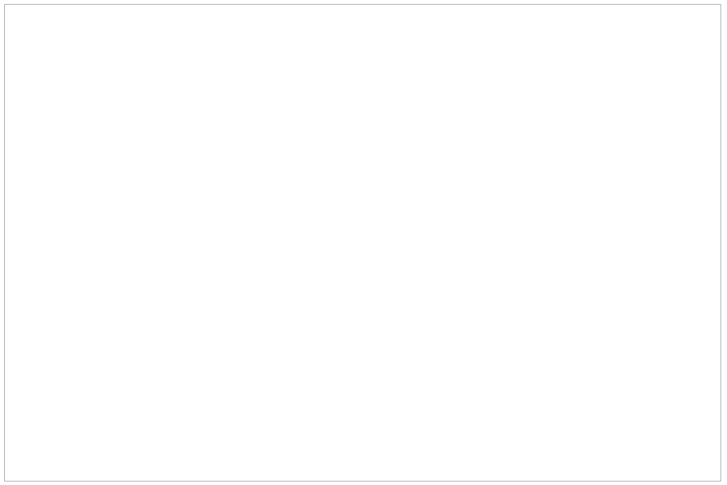
また、それぞれの道へ進むと思いますが、魂はこの繋がりを忘れません。

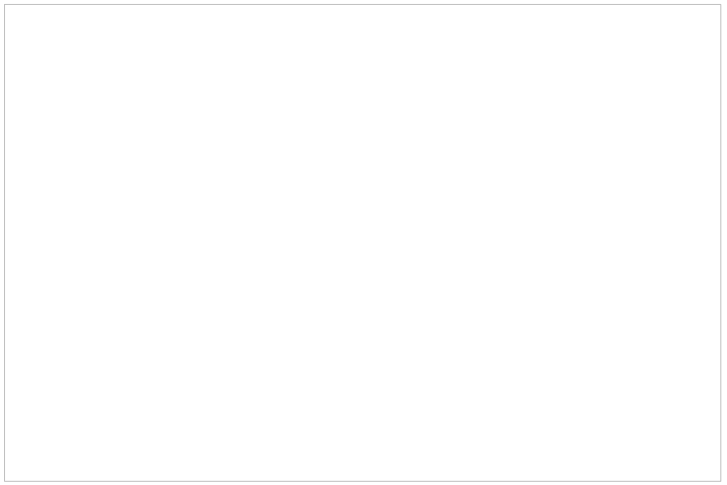
出会わせて頂いて、ありがとうございます。

2006.12.05 Tue

神どころを売買する？？？

今日、伊良部島ホテルてぃだの郷のＩさんから電話をいただきまして驚きました！なんと先日、私たちが祈った場所の来間島の龍宮の門のウタキの土地を、名古屋の誰かさんが、土地を買うために動いているということです。





とんでもないことです！

沖縄地方の神さまの場所は、海が見えて素敵なところが多いので、ついつい欲に走った島の方が土地を売ったり、神さまの場所のウタキを壊して建物を建てたりした方もいますが、皆さんとんでもないことになっています。まず、ご先祖を守る島の方たちの行為は、必ず、島の方たちへ報いとして帰ってくることを覚えておいてください。

次に、外部の人間がその土地を所有した場合、以前からいる神さまをきちんと奉ればいいですが、昔ながらの祈りの方法ではないために、ご先祖の神さまに失礼をして”タタリ”にあっている方も

少なくありません。

大神島の周囲に道を作る際でも、どれだけ強力な機械をいれてもすべて壊れてしまって、その上、その建設業者の方の家族にもタタリがおきて、病気や大きな怪我をされた話があります。大神島でも、結局、道も途中であきらめた経緯があるくらいに、宮古諸島の島々の神さまは、とても力が強く強力ですので気をつけなければいけません。

伊良部島でもそうですが、夫婦の神さまの間を削って工事してしまったために、夫婦の行き来ができなくなって泣いている神さまの場所がありますが、この工事をした建設会社の社長の子供は、気が狂ってしまいました。以前もお話しましたが、土地はだれも物でもありません。

人間が土地を所有するということさえ、許されないことですが、その神さまから最初にお借りしたご先祖さまの土地を、勝手に売買した場合、所有した方が、過去のすべての責任を取らされることを覚えておいてください。来間島の話に戻りますが、島は現在、二分する権力があるそうです。政治や権力による利権は、どの時代にもありますが、人間の争いごとの結果など、神さまには関係ありません。ただご先祖が大事にしたように、大事にしてくれるかだけを見ています。

こういう土地は、ご商売で手に入れる方がほとんどですが、現実の欲だけで物事を判断する場合、必ず、大きな事故が伴います。こういう動きに反対できるのは、地元の方だけですが、今回、この話を教えてくれたのは、島の人からでなく、外部の人からです。このことも問題でしょうね。

ご先祖が手を合わせてきた場所を守っている神さまをないがしろにする行為は、どういう理由でも、自分のご先祖様に、”泥を塗る”ことと同じです。それは島の方に必ず帰ってくる問題です。所有する方がその責任を負う覚悟があるなら行動してもいいですが、このことを知っていながら、何もしないで見ている島の方が、もし居たいたとしたら、残念ながら、あなたの家族の繁栄は今後、一生、望めません。

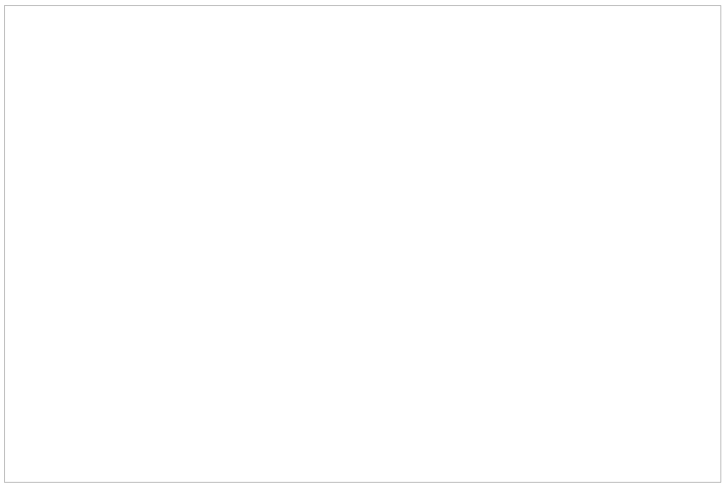
島は、ひとつの家族として全体を神さまが守っていらっしゃるのですから、すべてにおいて　全体責任　なんです。拝所動かす場合、まず、その土地の神人に聞いて、神さまの許可を取らなければいけません。この最低のことがわからないなら、ご家族を犠牲にして、お金に走ってみることです。

この世は、皆さんが思っているほど、簡単ではありません。あらゆるすべての目に見えない世界の守護のもと、私たちは存在を許されています。そのことを忘れてしまうと、おろかな人間ほど、目に見えている世界のことしか判断しません。
昔、どれほどの尊い家族の命がその結果で失ったのかも忘れて、また、同じ失敗をしようとする

のも、人間のおろかさでしょう。

全国的にも、沖縄ブームのおかげで来間島にもたくさんの観光客が来て、マリンスポーツをしたり、宿泊したり、食事をしたり、お土産を買うことで、島に経済効果が出ていることはわかりますが、ゴミ問題も含めて、これからの島の方たちの受け入れ方が問題になってきています。

大きな問題になって欲しくないからこそ、お願いしているのです。島を本気で守る気持ちのある方は、行動してください。明日の島の子供たちへ守り継ぐ未来のために・・・



2006.12.05 Tue

龍神ツアーのお礼参り

先日の伊良部島　龍神ツアーに北海道から参加してくれた方たちと御礼参りということで、北海道の中心にある然別湖温泉ホテル風水に集合しました。（12/2-3）

※北海道の地図は、全国と縮尺率が違います。ちなみに、然別湖には札幌から特急で２時間、さらにバスで１時間の移動時間がかかる距離です。

この然別湖は、日本列島が龍の形と言われている、大切な龍の目を守って下さっている龍神様が、現在、二匹いらっしゃいます。

この大切なアイヌの聖地でもある場所を３０年間、朝夕毎日２時間づつ祈り続けてくれているのが、旅館　風水のおかみの中木喜三重さん（８３歳）です。

そしてこのホテルの最上階には、この場所に感謝の祈りをするための素敵なご神殿がありまして、２日の夕方と３日の日の出には、皆さんと一緒に素敵な祈りを捧げることができました。

今朝の然別湖のくちびる山に登った日の出です。

マイナス１０度を越える外の寒さの中で裸足でフラダンスを奉納してくれた高橋美栄子さんは、見ている私たちの感動の涙を通して、神様が喜ばれているのを全員が感じとらせたいただきました。

私たちは、神さまの場所に入り正式に祈りを捧げさせていただいたときは、必ず、この然別湖にいらっしゃる龍神さまにお礼のご報告をしにきています。

※結構、お願いはするのに、御礼参りをしない方が多いようですが・・・（それでは運は上がりませんよ～！）

帰りのバスから見えた大きな大きな彩雲の雲の美しさは、一緒に手を合わせていただいた運転者さん（神道の神主さん）も、私たちの祈りの感動体験は、初めてでしたと話してくれました。

私たち全員は、神に祈り、天に祈り、宇宙に祈り、そして、今いる地球上のすべての方の魂が未来永劫、輝いていく為のお手伝いをさせていただくことに、誇りと感謝を持っています。

私もこれから日本全国にたくさんの光の柱を立てて、未来の子供たちを本気で守ろうとする地元の方たちとつながりながら、各地の光の柱を守るように子供たちを守り、愛をつなぎ、お互いの

情報をつなぎ、日本を、世界を愛する人たちで溢れさせることが全員の目的です。

自分を含めて各地で一緒に祈ってくださる方たちは、日常はちゃんとお仕事があったり、家族の世話をしたりと、みなさんと同じように普通に生活している方ばかりですが、どの宗教にもとらわれることなく、明日を信じるように人を愛し、宇宙を愛するように自分を愛して生きる方たちです。

私は、こういう素敵な純粋な大人の方たちと一緒に未来を築きあげていきながら、各地で出会う素敵な方たちを楽しみにしています。どうぞ、あなたも私が訪れる場所に来れるなら書き込みしてください。あなたの幸せが必ず大きな愛となっていくことを実感できると思います。
2006.12.03 Sun

自主上映映画　地球交響曲ガイアシンファニー

皆さんは、自主上映映画　地球交響曲ガイアシンファニーを一度でもご覧になったことがありますか？

この映画は、１９９２年に龍村仁監督の手によって生み出された「大宇宙のなかの地球における自然と人間の大スペクタルドキュメント映画」と言っていいほど、熱く深いメッセージが盛り込まれている映画です。

自主上映という特殊な上映形態をとりながらも、１６年間に２００万人を越える観客動員数は、この映画の内容の濃さと本質を語るメッセージのすばらしさがあることを物語っています。

現在、スピリチュアルな世界という意識覚醒のチャンネルがありますが、この映画が世に出た時代は、当時、話題になったオウム真理教などのカルト集団と一緒にされたほど、時代の意識が混乱していた時期でした。

しかし、当時から本物を見分けられる方たちの熱い熱意によって支えられて、現在では、最新作の第６番が明日、札幌で試写会を執り行うまでになりました。一般の方がフィルムを借りて、自主上映できるのは来春の予定です。

まだ地球交響曲を一度も観たことが無いという方は、ぜひ、今までの第１番から第５番までのＤＶＤが一般発売されていますので、お仲間と一緒にこちらから購入してご覧になることをお勧めします。

私もこの映画の北海道のボランティア団体であるガイアネットワーク北海道のボランティアを続けて数年になりますが、見る立場から、主催する立場になって学ぶことはたくさんあります。

最大のメリットは、ボランティアスタッフの素敵な方々との出会いです。初めてお手伝いする皆さんが口にする言葉は、ほとんど同じです。

「私は何もできませんが、何かできることがあればしますので申し付けてください」

どんなもことも最初のキッカケは、こんな感じでしょう。でもそういう一人一人の方の力をあわせた結果で、５００人もの会場を何度も溢れるほどの人で満員にしてきているのです。

札幌のボランティアスタッフは、２０才前後から７０歳を越える方まで、一緒にこの映画の上映のための活動に協力しています。チケット売りやポスター貼り、パンフレットを持ってあちこち

の知り合いに声をかける仕事です。

最初にチケット売りをする方は、この映画を知らない方も多いので、義理買いも含めて何とか少しづつ売れ始めます。

そんなある日、「知ってるよ！」という人に出会うと、今までの苦労が吹っ飛ぶくらいにうれしくなって、地球交響曲ガイアシンフォニーの映画のすばらしさに会話が弾みます。

私は、この映画のボランティアの仲間のなかで本音で話し会える本当の仲間に出会いました。あなたもぜひ、自分の感動したことを他人と共感できる熱い時間を過ごしてみませんか？

一人で何もできないと思っている方も、どうぞ、仲間に声をかけて、あなたの街でこの映画を上映会なさってみてください。あなたが感じた熱い感動を一緒に共有してくれる本当の仲間が見つかるかもしれませんよ！

明日は、私の知り合いも京都から帯広からとたくさんの方たちが集り、そのあとの時間に、地球の未来へ向けて本音の話し愛ができることを楽しみにしています。皆さんに、この熱い愛が伝わりますことを祈ります。
2006.11.29 Wed

龍の意味

今、日本中で龍に守られている方や龍の雲を見る方がとても増えていますが、その理由をここでご説明しておきましょう。

宇宙全体のある次元バランスを保つ役目として、”龍王神界”という世界があります。この龍王の世界には、たくさんの役目を持ったいろんな色の龍が、神さまとして存在しています。

地球における三次元のバランス保つ為に、風の神・火の神・水の神・土の神などを使徒の神として、この地球を太古の時代から守り続けています。

この神々を自然神と呼び、大切に守り続けているのが、北海道のアイヌ民族と沖縄の琉球の人たちです。だから、私は、地球創生の龍神の役目を背負いながら、各地域で守ってくれていた神々の調和を取り戻す祈りを捧げているのです。

皆さんの生活に欠かせない「火・水・風・土」は、もともと地球そのものにあった自然を守るために降りてきた神様なのです。

その自然な神の力を借りて育つ草木や山の木々、また、生きとし生けるものに必要なすべてのものが、龍の神々の力で守られているのです。

いつからか、人間は、この大地を自分の所有物だと勘違いして、それを売り買いするようになったおかげで、利権や利害が大きくなりました。

私のひいおじいちゃんが、北海道に入植してまだ、１００年と少しの時間しか経っていません。そのときの入植の歴史を調べて見ると、最初は、たった数人の人が、未開発の山林のなかに住み込んできたのです。

北海道に入植してきたときの土地の所有の経緯を調べると、もともと先住民のアイヌは、何かを所有するという概念がありません。だから、土地を奪うこともしませんし、売り買いもしませんでした。

私は文化的な生活やその発展を否定はしませんが、土地は、決して人間が永遠に所有できものではないと思っています。

今、住んでいるところで、天災や地震、また、地殻変動が起きると、人間は今まで住んでいた場所を変えて、新しい場所で生活しなければいけないくらい弱い存在です。それなのに、いつの時

代からか、自分の所有物として人に売り買いして、お金を得る手段の道具になってしまいました。

所有や利権が悪いと言っているわけではありません。それは、いつの時代にもあることだからです。ただ、皆さんに考えてほしいことは、なぜ、あなたは、神や自然に守られているのか？ということです。

宇宙についての定義や疑問は、また次の機会にお話しますが、私たちが今、しなければいけないことは、何を次の世代に伝えていくかということでしょう。

なぜ京都に結界を張り、新たに光の柱を立てるのかというと、これは、京都だけではなく、これから全国にたくさんの光の柱が立つということです。

この光の柱や結界は、その土地を守る神さまの力と人間の行動意識とのバランスを保つ大切な柱であって、未来を創り守ってくれる子供たちに大人たちが教える大切なものになるでしょう。

それはしいては一人一人の大人が、誰かの親の子であると同じように、社会の一員、地球の一員、宇宙の一員として、どう生きるかという姿を見せていくことだと思います。

この地球に存在している人間は、すべて何かの役目を持って魂の覚醒を待っています。それはあなたが、自分のためではなく、この地球のために何を具体的に行動するかで決まります。

・「ありがとうございます」や「ごめんなさい」を言える人間

・欲しがるより、与えることが喜びに感じる人間

・自分の存在に感謝するための先祖への祈り

まずは、ここから始めてみてください。きっと明日、あなたは、何かに守られていることをふと、感じることができるでしょう。

２００７年は、さらにバージョンアップしたエネルギーがこの地球に流れこみます。どうぞ、今からその準備と心構えをしておいてくださいね！

愛は、常に、あなたのなかにあります。ありがとうございます。
2006.11.23 Thu

過去と未来

過去を見すぎると、未来の光は曇ります。でも、未来を見すぎても、現在の足もとがふらつきます。その両方をバランスよく見るには、今という時間をもっともっと大切に感じることです。

私は、札幌に足が着いたときに、今まで立っていた伊良部島・宮古島・那覇・京都の土地の神さまのエネルギーが離れていって、やっとすこしづつ身体が楽になってきました。

そのおかげで、この楽天のブログも現在から過去を振り返って書いていますし、伊良部島の神々のご報告は、過去から一日一日、時間を進めて、同時に２つのことを書いているしだいです。

自分でも感じていますが、祈れば祈るほど、祈る力が強くなってきています。だからこそ、自分の想念が何を思うか、今とても大切になってきます。

今朝もたくさん夢の中でいろんなことをリアルに感じていました。いくつものことがあちこちからメッセージとして見せてくれます。（本当は疲れるんですが・・・）さらに現実でも、突然、不思議なことが起きています。

昨日は、1997年に、この地球を輝かせるために動いていたチームの一人の男性が、突然、私の家に訪ねてきました。そのときのメッセージを私に伝えるためにということです。（でも感謝はしていますが、本当は、私にはあまり必要はないと思っています。）

私はなぜか自分が子供の頃から普通ではいことを知っていたので自己混乱もしていましたが、誰にも相談したことはありませんでした。だから人に導いてもらったこともありませんし、何かの情報を必要以上に探求したこともありません。

理由は、必要なことはすべて魂の記憶にあると信じているからです。（宇宙の記憶データバンクであるアカシックレコードへアクセスすることができるからかもしれません）

どちらにしても、必要なことは必要なときに、自然に目の前に起こります。ある意味では、この97年の情報も私のなか何かを揺さぶる情報かもしれませんが、その情報にくっついている人間の思いには、一切、振り回わされません。

その人の意識が、言葉が、行動が、どこから動いているか、天に聞けばすぐわかるからです。
でも、すべての出来事には感謝しています。ありがとうございます。

京都すぴこんも最後まで素敵な空間を保つことことができたと、姫野さんからお電話いただきま

した。うれしいことです。きっと、会場の訪れた人たちの魂の覚醒が、すてきに早まったことでしょう。

個人的なことで申し訳ありませんが、今回、京懐石の場で、始めて”おなすさん”に逢いました。もうこれほど、美しい魂の輝きをした男性は、初めて見ました。すぐ、惚れてしましました！（注）決して私は男性好きではありません。何よりも女性が大好きな普通の男でございます。

魂の輝きは、自分の魂の感じるままに、”素直”に生きることから始まります。本当にそう生きることができるには、素直さと一緒に、自分を守る力も必要です。そして、自分の行動に対する責任と覚悟も必要です。あとは女性なら女性として輝くこと、人間なら人間として輝くことに素直に生きることです。

お金は、現在では、現実の喜びを実現する愛の表現のひとつですが、お金が愛なのではなく、愛の心で望むからこそ、お金の持つ意味やエネルギーが変わるのです。だから心の借金と同じように、お金の持ちすぎや借金は、愛のエネルギーの循環を妨げます。

お金についても、心のなかの苦しみと喜びについても、なるべくこの世の今という時間のなかで、帳尻を合わせておくことを皆さんにお勧めします。

私も過去に戻って書いている神々の島　宮古島・伊良部島と、このブログを同時に書く理由は、魂の中に入った情報をぜーんぶ出し切らないと、新しく新鮮なものが入ってこないからなんです。

私に入ってきた情報や感じたことは、私のためだけではないからです。それは、あなた自身に昨日、伝わってきたとてもいい情報も同じなのです。人が喜ぶことや人を楽しくさせる情報は、どんどん周りの人に与えてください。

与えれば与えるほど、あなたの御霊は輝き、あなたの回りには、あなたと同じように素敵な情報を伝えたい人たちで溢れてくることでしょう！愛も、お金も、情報も、物事も、与えて与えて、与えつくしてこそ、成就し、循環し、愛の波動をあげるものなのです。

たくさんの愛のメッセージにすべて返信できないことをお詫びしつつ、私の感じた神さまの愛の言霊を感じてください。

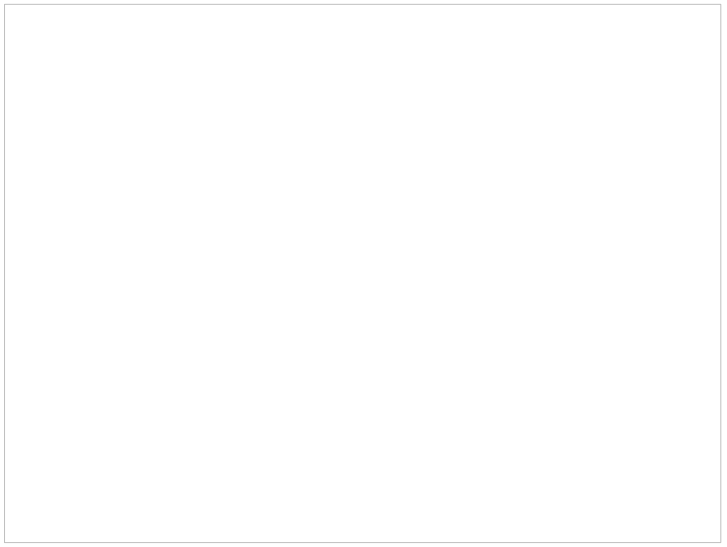
今回、全国から１４人の方が伊良部島の豊年祭に参加してくださいました。そのなかでも女性で、神主で、素敵な絵を描かれる”ほぎ１”さんのブログをご紹介します。

伊良部島の意味やお祭りの意味、そして、大切なものが彼女のエッセンスを通して伝えてくれています。本当にありがとうございます。それと昨日の雲は、龍王神界からのメッセージ雲でした。宇宙からの雲のメッセージでご覧になって下さい。

2006.11.21 Tue

伊良部島　豊年祭（ゆーくい）**2006**

１１月１４日～１５日



1000年の歴史があると言われるこの島の豊年祭（ゆーくい）は、龍神ツアーとして今年で２回目の参加ですが、初めて訪れた昨年とは違い、今年は参加者たちもたくさんの神さまを感じてくれたようです。

まず第一に、伊良部島の方たちが私達の顔を覚えていてくださって、「よく来たな！」と歓迎を受けたことです。昨年は、1000年の歴史で初めて外部の人間が入ったので新聞にも話題になりましたが、地元の方の反応は、「誰だい？あの人たちは？？」というきびしい目は今も覚えています。

島全体が家族と言っていいほど、人と人がつながっていますので、今、考えても昨年の行動は、ものすごい貴重な経験だったと感じています。だからこそ、今回の参加者１４名には、気を引き締めて、「島の方、全員が神さまですよ！」と言い聴かせていますし、この豊年祭の意味もウタキの神さまの意味も、また、島の方がご先祖を大事にしている本当の意味なども説明してから参加させていただきました。

島の方に歓迎を受ければ受けるほど、私は気を引き締めます。理由は、仲良くなって受け入れられるからこそ、私達の責任も重くなるからです。1年に２日間しか入れないこのウタキの中には、神さまやご先祖様の御霊も、たくさん集ってきています。木の上や人の後ろでたくさんのご先祖や神さまが顔を見せています。

今年は初めて島の7部落すべてに神さまへご挨拶することができましたが、そのことでたくさんの経験と気付きをいただきました。特に長居をさせてもらったのが、ホテルてぃだの郷がある長浜部落と字伊良部の部落のウタキです。いろんな方に聞いてみると、７部落の中でも”字伊良部”だけ、お祭りの方法が他の部落とは違います。私の今回の最高の体験は、この字伊良部のウタキの中

でした。

ウタキに入ると昨年、飲み明かしたたくさんの男性たちに出会い、私の顔を見て、「去年も、来たよなー？」と声をかけてくれます。肩を抱き合い、酒を飲み交わし、神さまの前で一緒に祈りを捧げます。その中でも特に私にお礼を言ってくれる男性がいました。彼はどう見ても酔っているんですが、目が真剣なんです。

「本当に、よくきてくれた。ありがとう。ありがとう。」と、私に土下座するくらいに、喜びを身体で表してくれます。その態度と気持ちは、一人の人間ではなく、神さまがお礼を言ってくれているので、私も一緒に感動しながら、お礼を繰り返しました。

私と肩を抱き合って飲んでいるとその男性は、突然、「吉岡さん、神さまにつないであげる」と言って正面の神様の方へ正座して、手を合わせて、祈りを始めてくれました。何をするのかなあと思っていると、「ドン！」という感覚で、私の体の中に、ものすごく強い神さまのエネルギーが入ってきました。

私は島の神人と同じ霊的感覚が強いので、このエネルギーのすばらしさと、この男性の心からのやさしさに、涙が合あふれてしまいました。その男性が、神さまが私にお礼を言ってくれているのです。今まで伊良部島のたくさんの御霊上げとゴミ拾いと祈りを捧げてきたこの３年間のことを思い出しながら、神さまにお礼するように、この男性と手を握り締めあいながら、お互いに感動で泣いていました。神さま、本当に、ありがとうございます

この伊良部部落だけは、ウタキを守る”司（つかさ）おばー”の上に、”男主（おとこしゅ）”と呼ばれる男性の司（つかさ）がいて、すべてのお祭りを仕切っています。後片付けを終えて、次の場所へ移動しようとしていると、「これから本当に大事な祈りがあるから、ぜひ、見ていきなさい」と、部落の方に教えていただいたので、全員でその瞬間を待ちました。

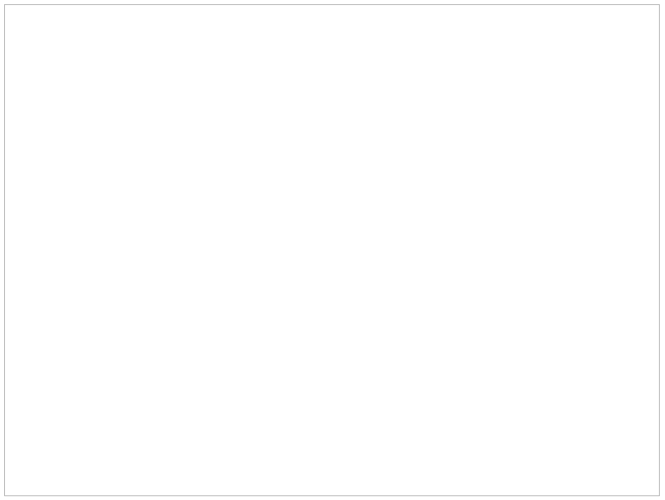
ウタキの奥にある建物の横に仕切られた特別な場所は、島の方でも特別な人しか入れない場所で最高の上座なのは、観てすぐわかります。３０名ほどの男女が円陣に座り、男主（おとこしゅう）の歌が始まります。男主の歌に続いて、３０名全員が祈りを歌を唱えます。

その歌を歌い始めると、一気に、”場”が変わります。身体が震えるほど、神聖な強いそのエネルギーは、今まで感じたことがないくらいに神聖で、でも強いエネルギーでした。この歌を魂で聞いていると、このウタキの神さまへのお礼の歌なのがわかります。今年こうして神々さまやご先祖様にご挨拶できたことへのお礼をして、このウタキのお祭りを終えたというご報告の歌なのです。

一緒にその場にいた猪子さんから、「たくさんの白い洋服を着た人たちが、私達の周りを忙しく動いているよ。あれは何？」と聞いてきました。「それはすべて神さまの使いをしているご先祖様たちで、神さまの使いなんですよ。」と教えてあげました。祈りのあと、円陣で歌っていた３０名の方たちが回し飲みしていた手彫りの木の器に、がじゅまるの葉っぱを一枚だけ載せたこの部落特有の”どぶろく”を、私達も飲ませていただきました。

このどぶろく作り方は、処女の女性だけが作ることを許されていて、その女性の口の中でお酒を発酵させて作るのですが、その作る姿は、一切、見られてはいけないということとです。神聖でとても美味しいそのお酒は、神さまへの五穀豊穣の御礼と感じました。この日は、あちこちのウタキへご挨拶させていただきながら、それぞれの部落の特有なルールの違いも学ぶことができました。

なかでも一番驚いたのは、翌日の朝、子供達と学校の先生が、制服を着たまま全員、ウタキへ登校してくる姿です。この島では、豊年祭の朝は、子供達全員がウタキへ登校して、午前中いっぱいウタキのなかにいます。



来年受験をする子供達は、神さまの前に出て自分のことを部落の皆さんと神さまに知ってもらい、神さまと一緒に踊ります。私達が忘れている大切な部落全体で、子供達を守り育てているとても暖かい姿でした。この伊良部島には7つの部落があって、それぞれこの島に入ってきたときに、過去からの先祖を守っているので、細かいルールが違います。

大きく分けると北区と呼ばれる海側の２つの部落（佐良浜地区）だけは、豊年祭の日取りを決め段階から違うということです。南区と呼ばれる残りの５部落は、伊良部部落の男主（おとこしゅ）が、５つの部落の豊年祭の日取りを決めて行っています。北区の方に聞くと、ここ数年は同じ日になりましたが、以前は、南区とは別の日に行っていたそうです。

北区の２部落の”ゆーくい豊年祭”を執り行うウタキは、あの池間島にある大主神社（うはるずうたき）のご分霊の神社です。そして北区の豊年祭は、女性たちのお祭りで、男性は参加しません

。男性が行うお祭りは、別に、”しゃーぐず”という男だけのお祭りがあるそうです。この日、初めて大主神社（うはるずうたき）にお神酒を奉納させていただいたときに、女性の方から聞いたこの話は、南区の方で正しく知っている方はいないかもしれません。猪子さんも、違いに驚いていました。

他に、北区のルールは、あるんですか？と聞くと色々教えてくれました。まず、一般の女性たちはこの日、ウタキには一切、来ないそうです。一般のみなさんは、家のなかで神さまをお迎えする供物・塩・酒を用意して、静かに、神さまが降りてくる時間を待っているそうです。神さまが降りてくる時間は、多分、どの部落も共通でしょうけれど、海の潮が引いて、満ち始める最初の時が、神さまの降りてくる時間といわれています。

この瞬間に、子供が生まれたり、女性の生理は始まるのも、宇宙の波長と同調して生きている女性の特徴だといえます。これは昔から言われていることなのですが、現代の方で知らない方が多いのも残念なことです。そして、司おばーたちと一緒に、ウタキの中の建物のなかに入れる女性は、数え年47歳から57歳の奇数年齢の方だけです。昔昔は、一般の方は、鳥居をくぐることさえ、許されなかったそうです。

今では、鳥居の中の建物の中に入ることは絶対、許されませんが、そこさえ入らなければ、手前の階段までご挨拶するのはいいそうです。夜通しこの中でお線香をたき続けて祈っている白の衣装を着た女性たちが、30名ほどいましたが、昔はもっと多かったので、入りきらなくて周りに溢れていたそうです。今は、島の人たちが減ったと、悲しんでいました。

この佐良浜地区は２つの部落が一緒ですから、それぞれ司おばーが３人づつ、計６人います。そして、その司おばーをさらにサポートしている”ううんま”と呼ばれる役目の女性達が、その後ろで控えています。ひとつだけ私達が注意されたのは、こういうお祭りに、赤い服を着てはいけないということを教わりました。きっと、昔からお祭りに女性を嫌うように、赤は、血の色であり、女性そのものの色であり、人間のカルマ・本能の色なので、俗世の欲の象徴だからだと思います。

南区の５部落のお祭りの中心となっている伊良部部落の方からも、たくさん教えていただきました。祭りの中で「ゆんてる！ゆんてる！」とかけ声をかけて、来年の福を神さまからいただきなさいと、昨年教えていただきましたが、実は、この「ゆんてる」の本来の意味があったのです。”ゆんてる”の語源は、ヨンテル。ヨンは闇、テルは光の意味で、「闇から光へ、闇から光へ」と、地球の波動を上げる祈りの言霊だったのです。

このことを教えてくれた男性は、現在、宮古島で　”良伊部（らいぶ）　龍宮（りゅうきゅう）”というお店をなさっている方で、伊良部部落出身で、昔から伊良部のルーツや意味を調べていたそ

うです。そのヒントは、すべて、伊良部島の歌の中に隠されているということです。三線（さんしん）奏者のこの方は、歌の意味を深く知ることから多くを理解したそうです。

もうひとつ教えてくれたことは、宮古諸島の最初のご挨拶をする　”ハリミズウタキ”は、古来の名前は、”ぱしゅみずウタキ”で、ぱしゅ＝火の柱、みず＝水の柱を守っているウタキで、さらに、火の柱は縦を守り、水の柱は横を守っていて、ふたつをあわせた十字架は、イエスキリストの十字架と同じ意味を持っているということです。

さらには、伊良部島の人たちのルーツが、ユダヤ民族とポルトガル民族の二つに関わるということです。私がなぜ、今、京都や神道のことに関わるのかと不思議に思っていましたが、これで少し謎がとけました。宮古諸島の石が、東京の皇居の石に使われていること、伊勢や神道のルーツ（古神道）と平安京の時代の京都との関わり、そして、なぜ、古い都＝宮古という名前が付いているのか、さらにいえば、なぜ、この南の島々が、琉球＝龍宮と呼ばれているのかも、わかってきました。

そして、私が2004年に白龍に呼ばれてこの島に来た理由も、日本全体の愛と調和の祈りや働きをしなくてはいけないかも、少しづつ見えてきました。どちらにしてもこの伊良部島は、とても大切な島なのは、変わりがありません。私が島の神さまから頼まれたのは、「豊年祭（ゆーくい）に、３年、通ってくれ！」というものでした。そのあとは、きっと、新しい流れが起きて、この島の素晴しさを知りに、たくさんの方が訪れることになるでしょう。

あと１年、来年の豊年祭までに、伊良部島の神さまに,さらに喜ばれる働きをこれからもさせていただきたいと思っています。島のみなさま、本当に暖かい御心で私達、”龍神ツアー”を受け入れてくださってありがとうございます。龍神ツアーに参加してくださった方の素敵なブログもご覧下さい。

瑠璃光@ほぎ１

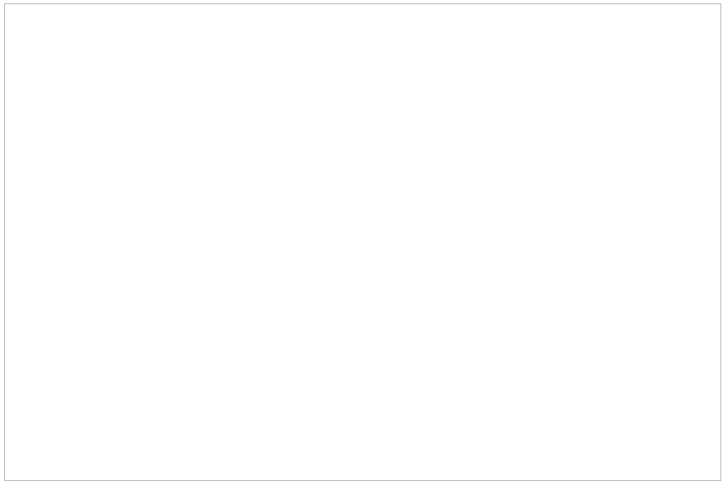
I Color

ＳＰＩＲＩＴ　ＣＯＬＯＲ

まんまみき

ひかりのダンス

またお会いできます日を楽しみにして、私も、全国の祈りに励みます。ありがとうございます。



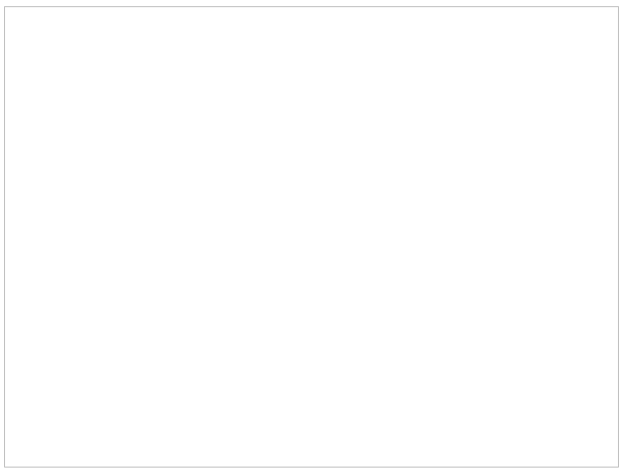
2006.11.14 Tue

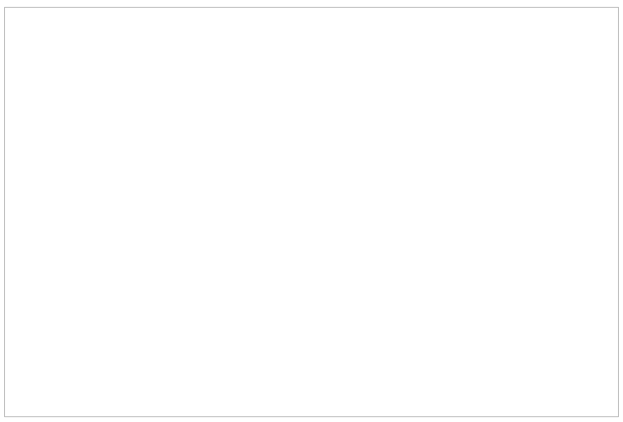
神々の場所　なべ底　伊良部島

１１月１４日　午前

伊良部島の最高の神さまが集っている場所が、名所　通り池の奥にある「なべ底」です。

今年の台風でなべ底までの木の橋の一部が壊れていていましたので、同行した皆さんには、危険なこともあったかと思います。さらに、この旅に出る前に北海道では竜巻が起こり９名の方が亡くなり、日本全国でもどうやら神の怒りとも思えることをいくつか感じていましたので気を引き締めてなべ底へたどり着きました。



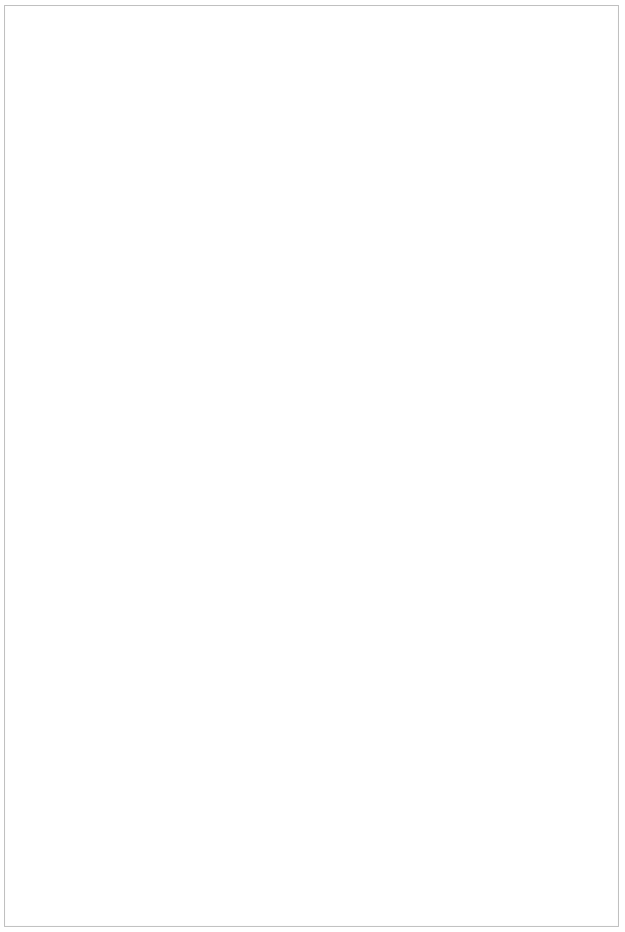


私が立っている大きな岩が風の神さまです

まず全体を見てすぐわかったのが、「風の神さま」が、とても怒っていらっしゃるのです理由は皆さんが、火の神や水の神を大切にしているように、風の神について、きちんとお祭りや祈りを捧げていないことが原因でした。風は生命のすべてを産み育てる大切な神さまなので、ぜひ、これからは風の神の祈りやお祭りもおこなってくださることをお願いします。

もうひとつは、この場所の「胎動くぐり」の際にきちんと、神さまへご挨拶できていない方がい

たからです。この場所は、神さまのご寝所みたいなところですから、失礼なことは許されないので、猪子さんにも、神さまの場所の礼をこれから来る人に、きちんと教えるようにお願いしました。



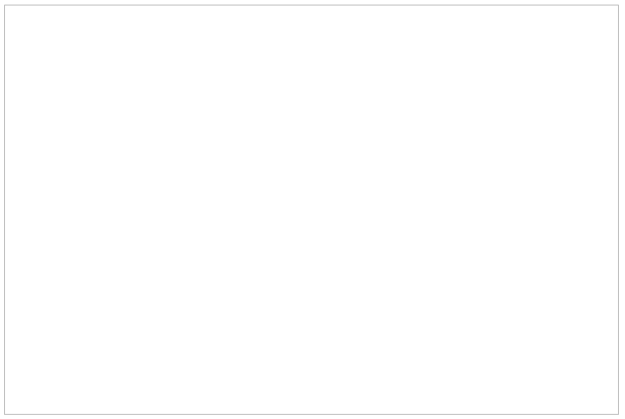
なべ底全体を守る龍神さま（水の神さま）

場所の払い上げを終えて風の神さまに鎮まっていただいたあと、踊りの奉納をしてから、希望者が胎動くぐりを経験しました。

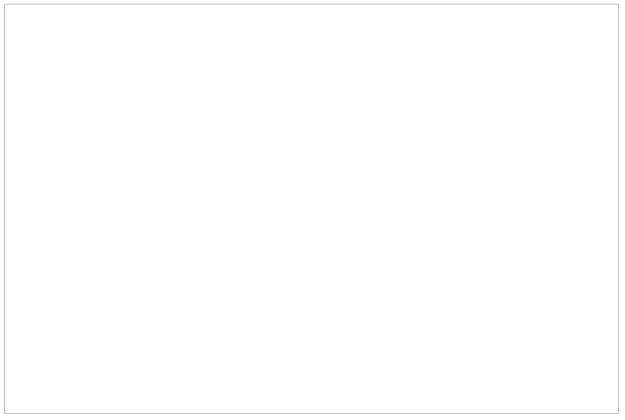
このなべ底の胎動くぐりの意味は、人間のカルマをひとつはずすことができます。

その理由は、ここが、地球の一番底＝女性の子宮の役目もしているので、そこをくぐり抜けることは、母の体内にもどり、羊水の水につかり、生まれ変わることができる特別な場所なのです。だからこそ、それぞれの神さまへのご挨拶の仕方がとても大切なのです。

私も今回、初めて海の水まで入りました。そこはもう別空間です。清らかでやさしい母の胎内にいるときは、心穏やかにただ感謝に溢れてきます。



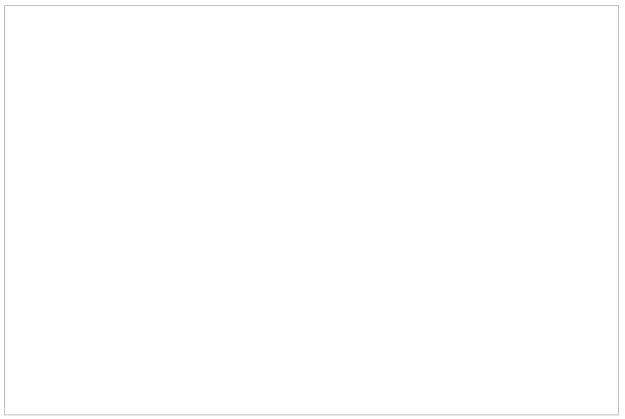
今回、新たにこの場所に神さまが増えていました。ひとつは、観音様が右の岩の上にいらっしゃいます。そして海に入ると見える場所にもいくつもの神さまがいらっしゃいます。そしてもうひとつ、前回も気になった場所ですが、その奥にいる神様に「前に出てきてください」とお願いすると、なんと！「琉球の神さま＝久高島」の神さまが、ここを守るためにそこに鎮座してくださったのです。

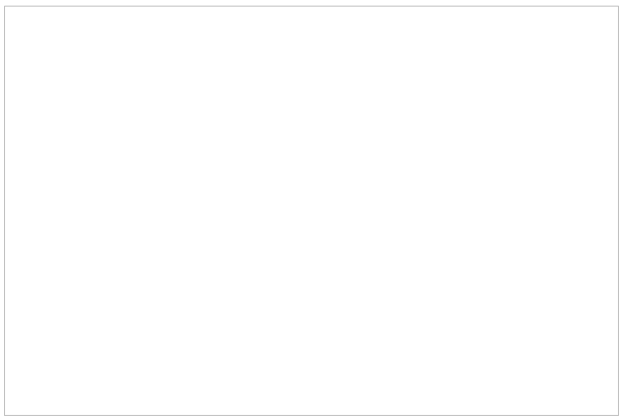


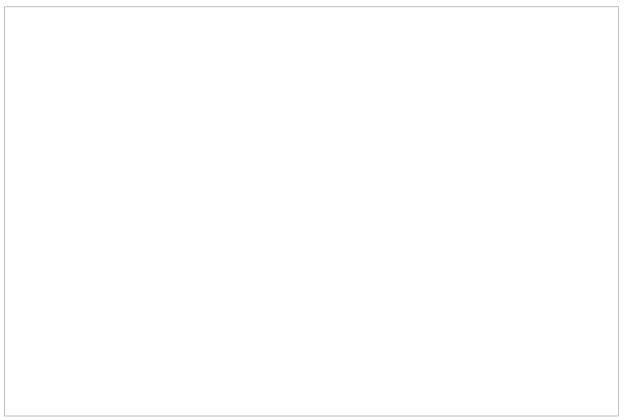
これは今回、11/11に、首里城の王様にご挨拶したことの御礼だと感じましたので、これからの宮

古諸島の発展と琉球諸島の発展になることを合わせて感謝の祈りを捧げました。やっと場も落ち着き、みんながすがすがしい顔をしていたので、「では、みんなでゴミ拾いをしましょう！」ととなりの木泊部落があった場所へ移動です。

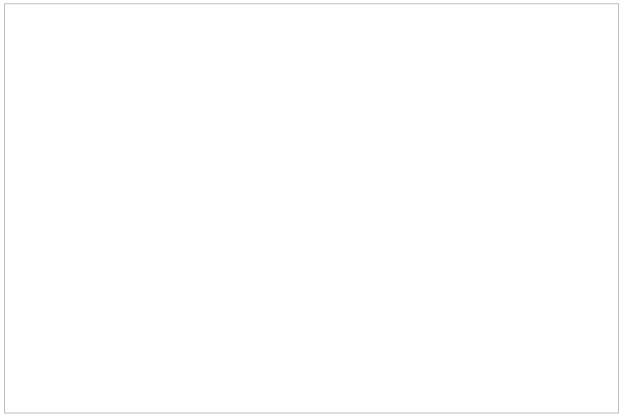
捨てられた車や冷蔵庫などの大型ゴミは持っていけませんでしたが、今回は、ちゃんとたくさんゴミ袋を持ってきたので分別しながら、大量・大漁のゴミ、さまさまです。神さまへのお礼と、この島を守ってくださる住人の皆様へ恩返しができたことを全員が喜んでくれました。







帰り道は、この島にしかない最高の撮影スポットで、飛行機の離着陸訓練の「タッチ＆ゴー」に見とれていました。

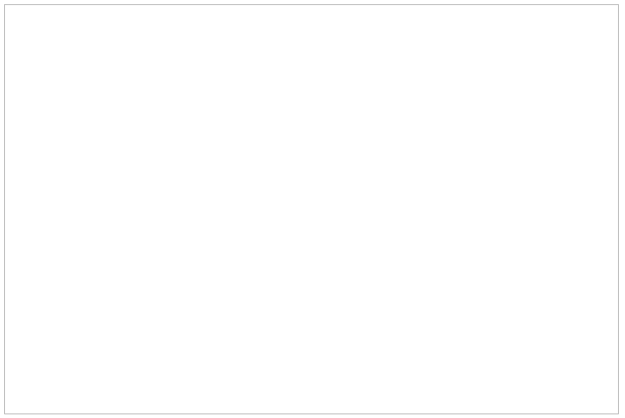


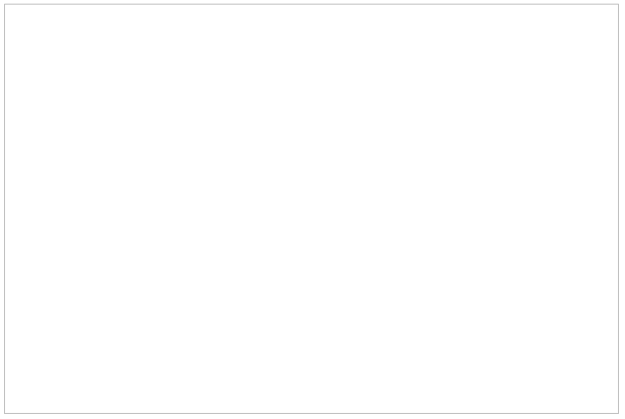
伊良部島は、本当に海が美しい島です。これから２１世紀の島の観光は、これ以上自然を壊すことなく、今のままで、自然界に存在するものの価値を正しく伝えていくだけで、たくさんの収入となり未来への希望と財産が眠っています。こんなに素敵な神々の島を守ってくださるために、この島に生まれてこられて、今も、この島に住んでいらっしゃるすべての方へ感謝申し上げます。ありがとうございます。

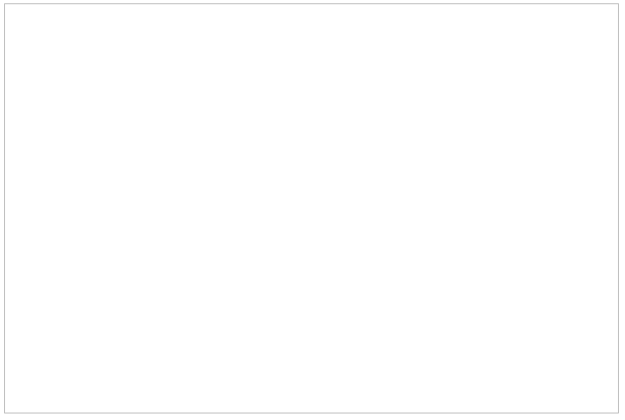
2006.11.14 Tue

宮古島トライアングル

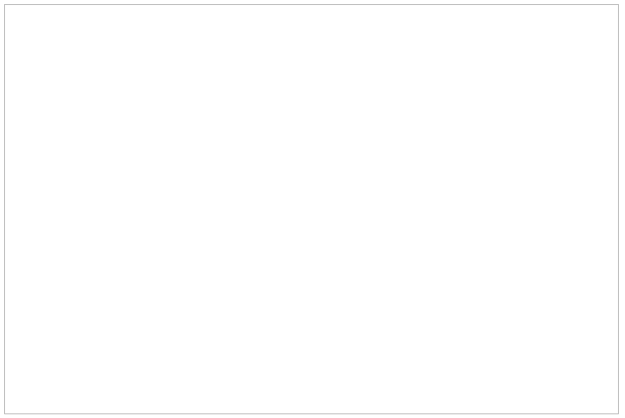
11/13　午後　　来間島

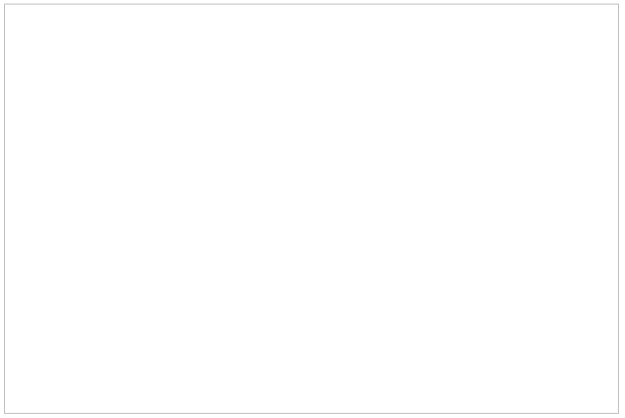


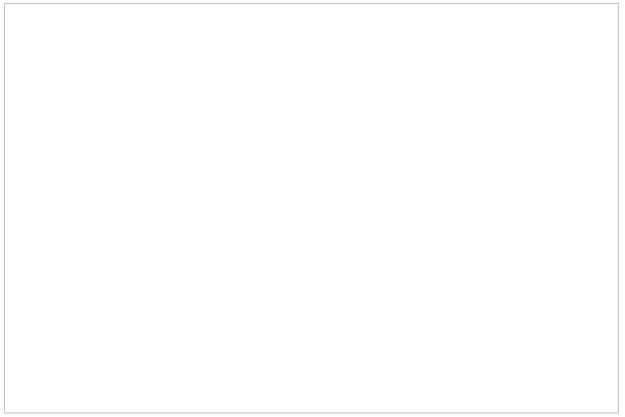




美しい海を両側に見れる来間大橋を渡ったすぐ右手の浜の近くに、来間井（河）があります。昔、この島の人たちの大切な命の水として汲み上げ、長い階段を登って運んだ石段も奥に残っていました。最初に少しだけあるゴミを拾ってから正式に、水の神さまへご挨拶の祈りです。中を見ていると今でも大切にされているのがよくわかりますが、ひとつだけ残念なのは、この河の流れをせき止めてしまっているので、神様が悲しんでいることです。



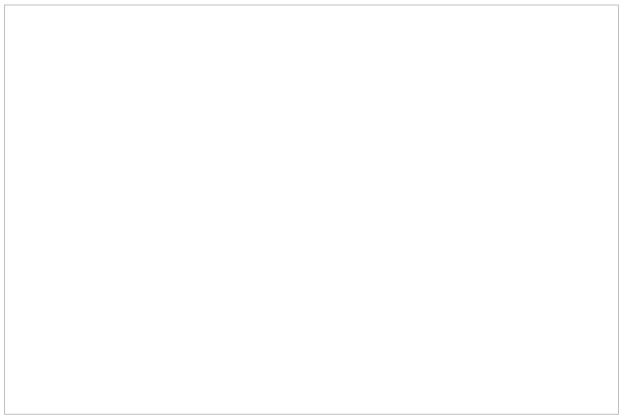


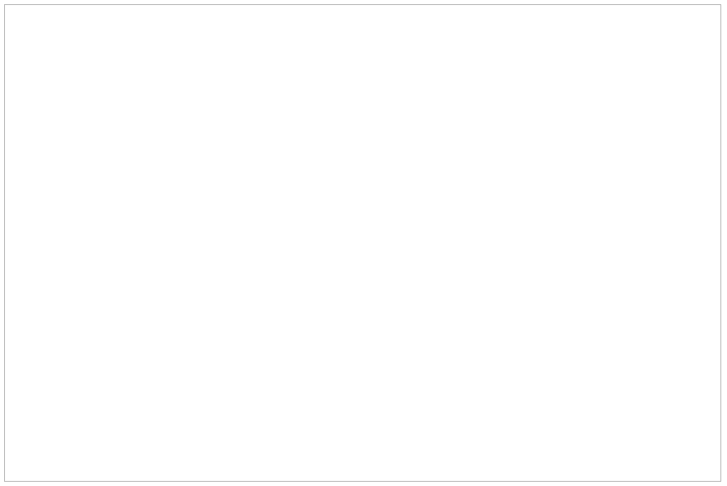


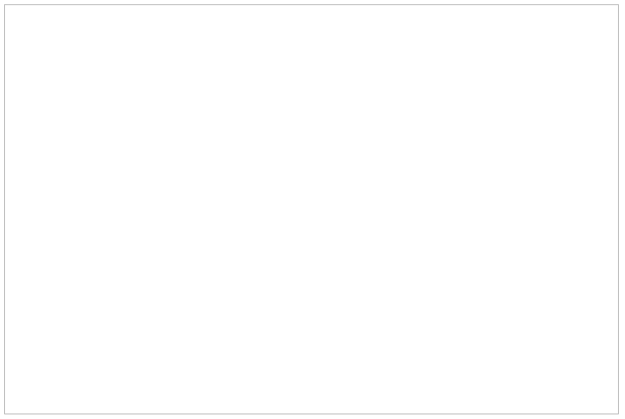
水は流れてこそ、気の流れがよくなります。反対に、溜まると気がよどみ、エネルギーが滞ります。どうぞ、島の方たちの心あるご意見で、昔のように海に流してあげてことをお願いいたします。次に、この来間井の真上にある来間ウタキにご挨拶にいきました。とてもきれいなウタキです。あまりにきれいなので、入ってもいいのかな？と思うと神さまから、「入るな！」と聞こえてきます。

私はいつもどこのウタキの神さまからも、入ることをお断りさせることはまずありません。それは最高上位の神さまと契りを交わしているからです。でも珍しくこの神さまは、お断りされました。理由がなく断られることはないので、あたりを見回してみると、左手の展望台が呼んでいます。神さまの導きとおりに歩いていくと、そこからの眺めは、宮古島を望める最高に美しい景

色でした。







景色に見とれていると、さらに左の小道に導かれます。長い石でできた道路を歩いていくと、昔の方が水を運んだ石段の道へ案内されました。その道へ足を踏み入れて、倒された木々や通った人の思いに感謝していると、猪子さんが地元の人に聞いてくれたようで、もうひとつ降りる石段があって、その下には、”龍宮に関わるウタキ”があるらしいと教えてくれました。

その石段まで戻って降りていくと途中に、昔、水を運ぶ人たちを守ってくれていた神さまがいらっしゃいました。全員でご挨拶をしてやっと、来間ウタキのご挨拶をすることができました。（

※このとき神さまの許可はおりましたが、中には入りませんでした）

先ほど教えていただいた龍宮に関わるウタキに行く為に、また下におりると、普通の方ならただの草むらに見える場所が、実は、そのウタキです。驚いたのは、この場所のゴミの多さです。ここはゴミステーションかと思うくらいに、コンクリートでL字に囲まれた場所に大量のゴミが散乱しています。

まずは全員でゴミ拾いです。すぐに用意したゴミ袋が足りなくなったので、目の前のダイビングショップからゴミ袋をいただいて、ゴミ拾いを続けます。私もそうですが、拾っている皆さんの顔が悲しそうです。ゴミ拾いを終えてよく見ると、ここには　３つの祈り場所があります。この名前も書いていないウタキは、「龍宮の門」という名前のウタキだと神さまが教えてくれました。

ウタキの裏にある保良（ボラ）方面へ向かって祈る場所は、実は、とても大切な場所で、この宮古諸島のエネルギーバランスを守っている場所なのです。私自身は生活のゴミのことで島の方へ意見する立場ではありませんので、これからの島の神さまの場所の守り方は、島の皆さんにお願いしますが、ひとつだけ、私を動かしている大きな神さまが怒っていることがあります。

この拝所の裏にある保良（ボラ）方面へ祈る場所の砂の中には、たくさんの瓶が埋まっていました。その数３０本以上！この場所で手を合わせるのは、基本的に、神人か、それに準ずる人たちです。神の使いとして、神さまとの向き合い方を人々に導く神人たちのこの行為だけは、私も許せません。天上界の神さまは、激怒して、全国の神人・神だーり・霊媒師・ヒーラー・セラピストなど、神所や拝所・聖地に手を合わす人たちに対してこうおっしゃりました。

今後、全国の拝所を汚す者、ゴミをひとつ捨てることに、

罪を課し、得をひとつ落す！

今後、全国の拝所のゴミを拾う者、徳をひとつ与える

神祈りは、ゴミ拾い！神祈りは、ゴミ拾い！神祈りは、ゴミ拾い！

時間がないスケジュールのなかで大量のゴミを拾ったので、あとは、地元の方にお願いしようと一人の女性が向かいのダイビングショップにお願いしにいきました。すると返ってきた答えが、「勝手にひろったんだから、自分たちで分別してくれないと困る！」というのです。

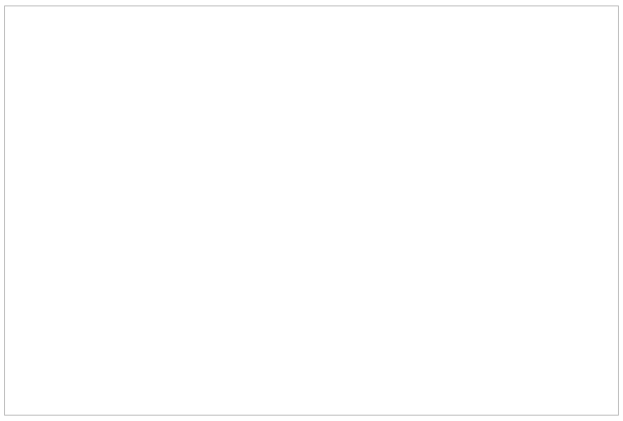
お願いにいった彼女は、情けなくて泣いていました。これを聞いた猪子さんは、宮古諸島に住んでいる一人として抗議にいってくれました。「海の仕事をして観光客からお金をいただいている人間が、観光客にゴミを拾わせて、自分たちで分別しろとは、おかしいとおもわんね！？目の前は、海の神さまの場所なんだよ！あんた社長かい？」

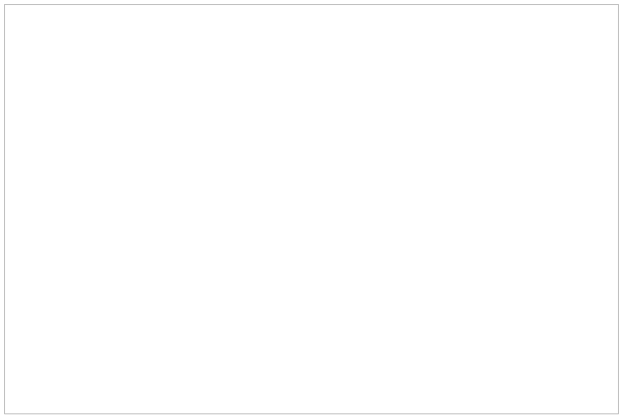
この抗議のおかげで、分別はしないで済みましたが、あまりに残念な人間だと思いました。どんな理由をつけても海の神さまは、大切な場所へゴミを捨てる人たちやその場所を大切にしない人たちの行いをいつも見ています。結果、必ず、ご商売がうまくいっても、家族の問題や社会での問題がおきてくるのが、神々に守られている島に住む人たちの厳しい面でもあり、神への無礼は、神さまからの天罰として必ず返ってくることを覚えておいてください。

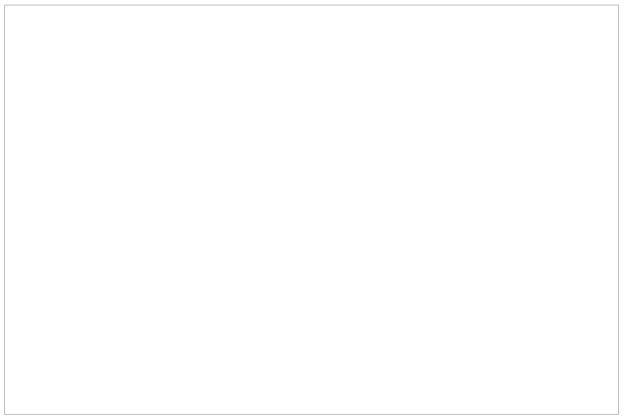
この日の行動スケジュールとても忙しく、次は、空港の近くにあるパワースポット　新城定吉さんの石庭（いしにわ）へご挨拶です。この石庭は、今年の３月からさらに大きく変化していました。そして新城さんとのお話から、とても大切な天のメッセージをいただくことができて、その意味の大きさに困惑する自分がいるくらいです。

石庭（いしにわ）についての詳しい内容は、こちらで随時ご紹介していきます。最後の仕事は、Ｉさんが出演しているFMラジオに出演することです。宮古諸島の観光＝神光を照らすために、ボランティアで番組を持たれている猪子さんの番組に出させていただいたのです。

この植物園の近くにある素敵なFMみやこ　76.5FMの与那覇光秀さんは、私と猪子さんの番組の録音を手伝ってくださいました。楽しいひとときをありがとうございます。







宮古島の祈りとFMみやこのラジオ出演のあと、空港近くにある新城定吉さんの所有するパワースポット石庭（いしにわ）　にご挨拶にいきました。新城さんの口からは、今までに話したことがないと言いながら、天からの大切なメッセージとお役目を今回いただくことになりました。

石庭から出ているパワーは世界中に飛び回っていますが、今後は、宇宙のおおもとからの指示で、さらに大きな大きな地球の核のエネルギーを開放することになりました。私はそのために、三角の３つの地点を祈り上げて、地球のパワーアップの準備をする必要があることをわかっていたからのです。宮古島の素晴しいエネルギーのパワーバランスを保っているのが、実は、新城定吉さんが所有するパワースポット石庭（いしにわ）が中心であり、それをさ支えているのが三角の３点の神さまの力なのです。

11/13に祈った場所がそのひとつ、Y 地点の来間島　やはら川と龍宮の門でした。

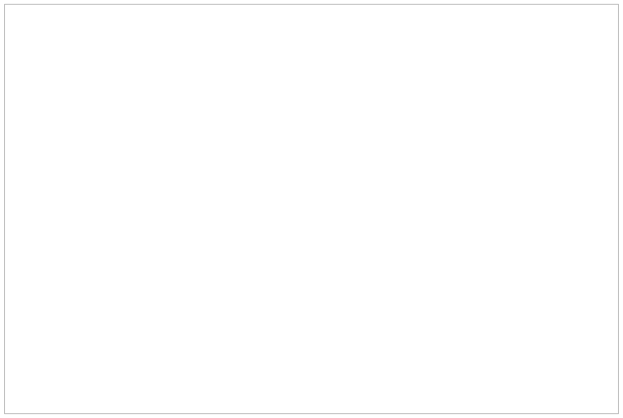
そして、今日11/14は、保良（ぼら）・寅の方角・いんぎゃー（海のきわ）と呼ばれている場所のウタキを祈りにいきます。到着してすぐ祈る場所は見つかりました。神さまがいる場所は、目で見てもすぐわかるようになっています。大きながじゅなるの樹があったり、草木の発育が良かったり、うっすらとしげったその場所の霊気は、誰でも意識するとすぐにわかります。

そのウタキの名前は、「ツブガームトウ」のウタキです。このウタキのなかには、精霊たちが集っているがじゅまるの樹や大きな大きな神さまが、ウタキの奥に鎮座されていらっしゃいます。

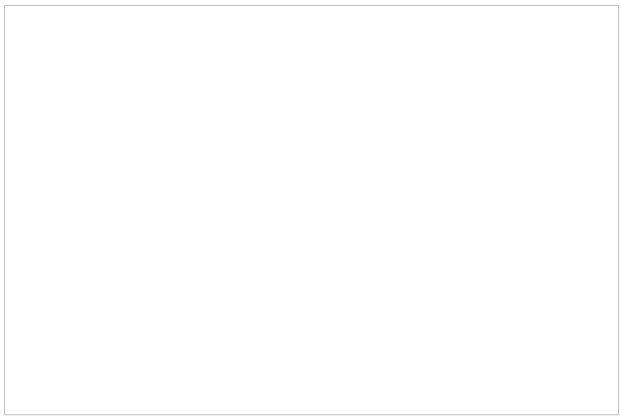
精霊の住むがじゅまる

祈る前にあたりを見回すと・・・、ここにも祈りの残骸が・・・。早速、全員でゴミ拾いです。

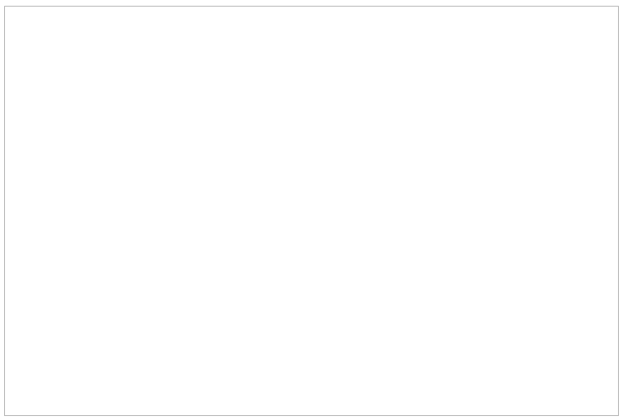
あたり一面のをきれいにして、自分の心もきれいになって、全員がここの神さまに気持ちよくご挨拶することができました。



祈りの残骸



宮古島の更なる次元上昇の祈り



ツブガームトウウタキ

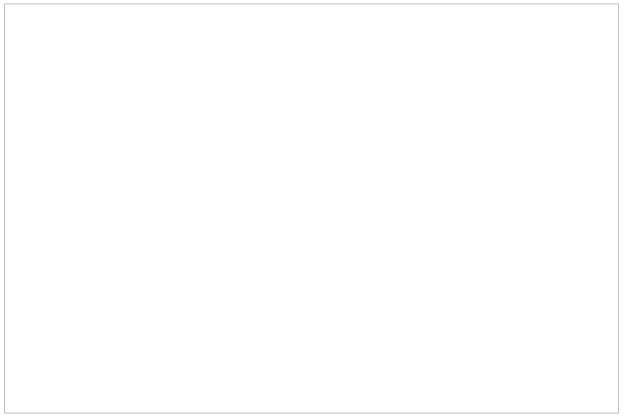
この湾のもう少し先に、他の拝所があると聞いたので向かいました。その場所にいたのは、おじーやおばーたちがゲートボールを楽しんでいるところでした。早速、長老のおじーに拝所の場所を聞いてみると、浜の道沿いに男と女の神さまの場所は、建物できちんとしてあるけど、他はないなあ～というのです。

でも先ほどから、私が気になる場所があるので、しつこく聞いてみると、「そういえば、もう使わなくなった井戸がある」ということです。お願いして、このおじーに道案内をしてもらいました。２ｍもある草木の中をかき分けて歩いていくと、もう水が枯れかかっている井戸がありました。おじーに話を聞くと、昔は、この辺で子供が生まれると、ここまでその子を連れてきて、井戸の神さまの水を浴びせて神さまに報告していたそうです。でも今は、逆に、街で使った排水をこの井戸へ流し込んでいるというのです。

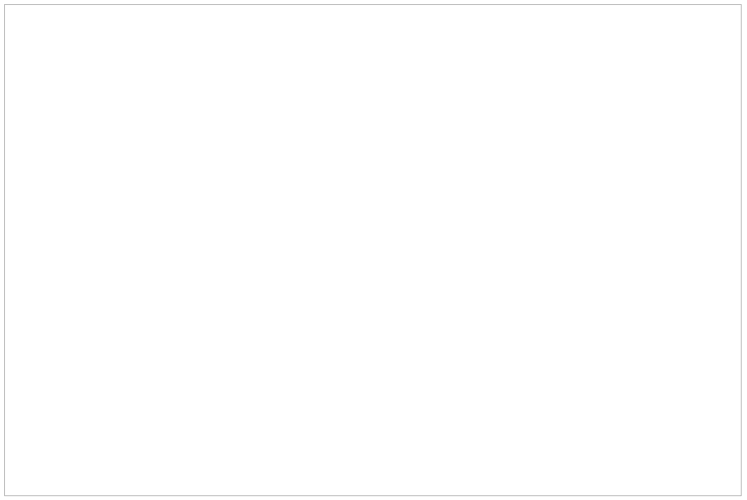
人間は、いつも残酷なことを普通に行います。ご先祖たちの命の水を生み出してくれた神さまの井戸が、今では、生活の排水を流す場所になっているのです。おじーにお引取りいただいたあと、この井戸の神さまの話を聞きました。井戸の神さまは、泣いていました。神様は・・・　「誰も、誰も、私のことを大切にしてくれない・・・・」と、淋しそうに泣いています。

謝って済むものではありませんが、今までの非礼をお詫びしながら、今までの感謝をたくさん捧げさせていただきました。新しいきれいな水も、たくさんまかせていただきました。悲しみで霊たちが近寄らないように、塩でしっかり場を清めさせていただきました。「ありがとうございます、水の神さま。私たちはいつも、水のご加護に感謝しております。どうぞ、これからも悲しまずに、ここに住まわれている島の人たちをお守りくださいませ。ありがとうございます。」

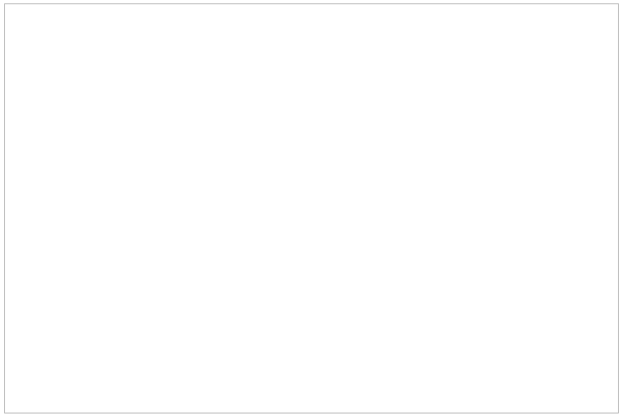
そして、先ほど教えてくれた男と女の神さまの場所へ行きました。ここでは毎年、漁に出るときに祈りを捧げているとおじーが教えてくれました。一人一人が手を合わせて、感謝を捧げます。

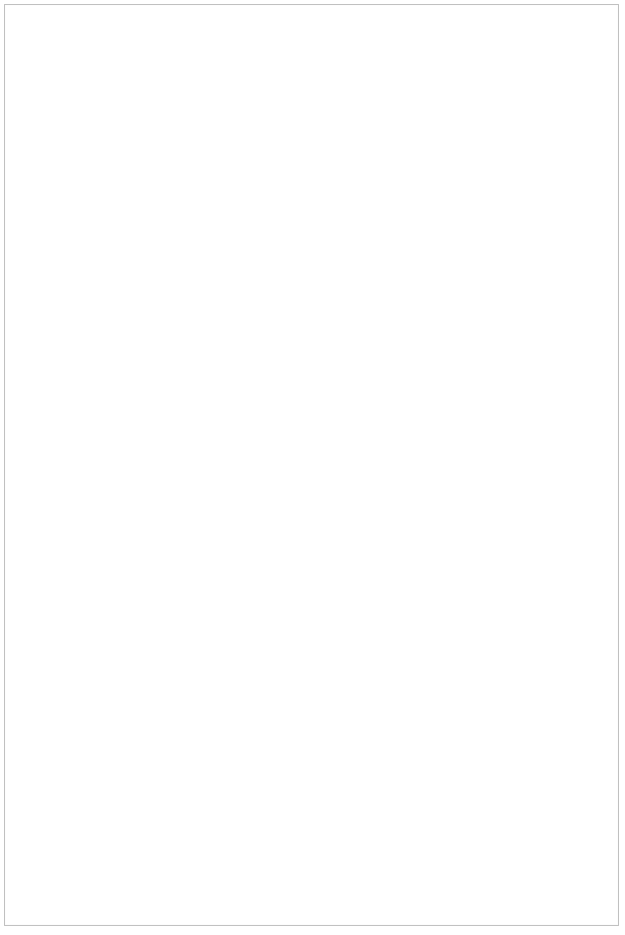


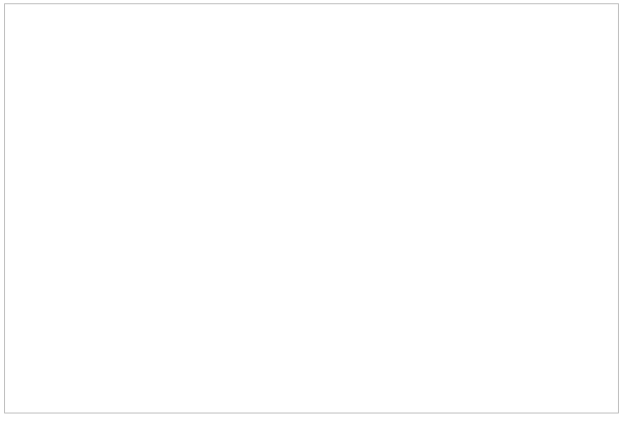
今回ほど、ゴミを拾った旅はなかったことでしょう。全国からこの龍神ツアーに参加された方々は、それぞれの経験と思いを抱いて自分の街へ戻ります。この経験は、自分が今後、どう生きるかを教えてくれた祈りの旅になりそうです。宮古島トライアングルの祈りを終えて、夕方から伊良部島の豊年祭（ゆーくい）に参加しましたが、そのご報告は次回にして、この龍神ツアーに参加して一緒にゴミを拾ってくれたすばらしい全国の皆さんをご紹介します。

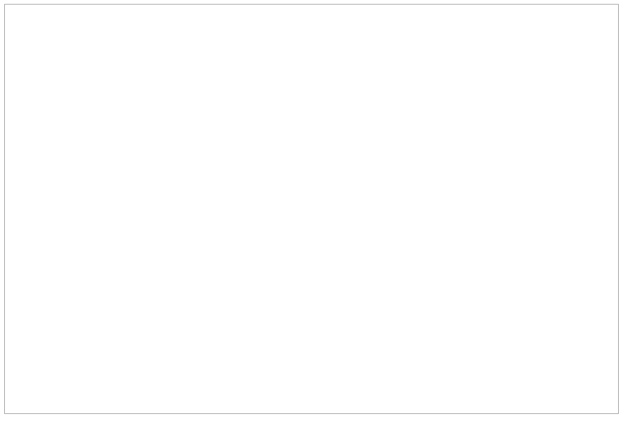


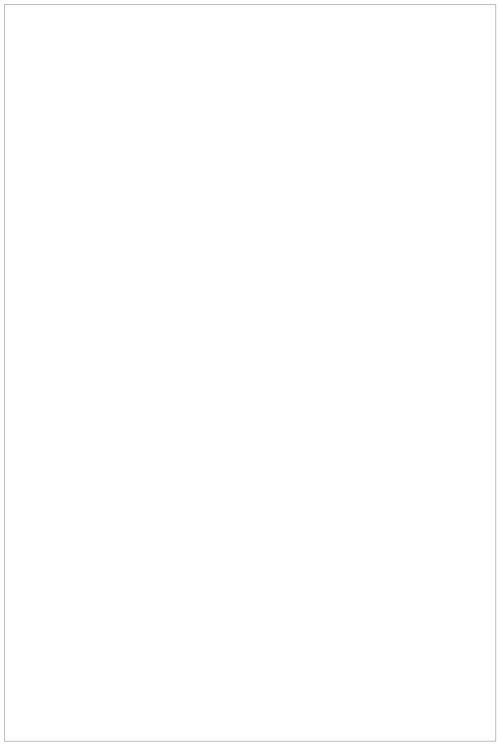
全員がこの宮古島・伊良部島を自分の魂の故郷のように愛しています。だからこそ、ゴミ拾いをしていても、誰一人不平を言う人はいません。神さまの場所へ足を踏み入れる緊張と、この場所を守ってくださる地元の皆様に、心から感謝しているからです太陽や星空、暖かい風を体中で感じて、すべての愛されていることを皆さんが感じています。地元の皆様、本当に、いつもありがとうございます。











2006.11.13 Mon

下地町の井戸と水の神さま

１１月１３日

毎回のことですが、、私が祈る場所は、現地へ来てから誰かの口を借りて、天から告げられることがほとんどです。今回は、Ｉさんの口を借りて、この地上の大切なエネルギーバランスを保つ祈りをすることになりました。この日まず、訪れたのは、来間島に渡る手前にある下地町の井戸の神さまに呼ばれました。この井戸は、今でも地元の人に大切にされているということですが、なぜか、Ｉさんからぜひ、見て欲しいと言われたからです。

Ｉさんと私の二人だけで、入口にご挨拶して入ってみると、すぐ右手に水が枯れてしまった井戸があります。そこには、男の神さまがいらっしゃいました。手を合わすと、「少しの水を分けておくれ！」と私に頼みます。奥にも大きな井戸がありますが、その男の神さまに、「中に入ってもいいですか？」と尋ねると、「入るな！いや、入らないで～」と、少し淋しそうな声で言うんです。

それではと、急いで水を持ってきてもらい、男の神さまの井戸に水を注ぐと、その神さまは、とても喜んでくださいました。この神さまは、自分の水が枯れてしまい、村の人たちの役に立てなくなったことをとても嘆いておられたんです。下地町の方々は今でも、遠方から帰ってくると、まずこの井戸へお礼のご挨拶をするそうです。そしてこの井戸の神さまに対しても、毎年きちんとお祭りをして、その水の大切さを子供たちへ教えているそうです。

井戸の男の神さまが喜んでくれたことで、奥の大きな強いエネルギーを発する井戸へ入っていいと感じたので、足をすすめて階段を降りていきます。この井戸は石段で降りていくのですが、風雨のせいで石段が見えなくなるくらいに木や土で埋もれて、とても足元が悪い状態になっていました。一歩間違えると、下まですべり落ちそうなくらいです。奥の井戸にはちゃんと水がありますが、なぜかそこを守る大きな女性の神さまは、悲しんでおられました。

下までなんとか降りて、その神さまにご挨拶すると、実は、前の枯れた井戸は、自分の息子さんなんだそうです。村のみんなのために、息子の神さまに前の小さな井戸を守ってくれるよう頼んで出したのに、水が枯れてしまったので、息子の悲しみと同時に、その責任を感じて、お母さん神さまは、泣いていらっしゃったのです。

神さまが泣くとその場のエネルギーは、輝きません。だから淋しい霊たちが集ってきていたのです。私が呼ばれるのはいつもこういう場所が多いですが、それは、きちんと霊払いをして、祈り上げをできる人が近くにいないからなのでしょう。まず、その場の霊を払い、邪気を払い、光を当てて、祈りを始めました。

「これからも村の人たちがこの井戸の奥の神さまを大切にするように、水が枯れた息子さんの井戸も大切にすると約束をして。」

どうぞ、この下地町に、お知りりあいの方がお住まいでしたら、ぜひ、これからは、手前に井戸の枯れた井戸も、同じように大切に祈ってあげてくださいとお伝え下さい。そして手前の井戸の神さまには、水を捧げてください。すると、奥のお母さん神さまも、とても喜んでくださいます。どうぞ、よろしくお願いします。

私が祈る場所は、なぜだか水に関わる場所が多いです。それは、青龍の神様が身体に入っていることと、白龍の神さまがこの地にいることを教えてくださったことから始まり、今は白龍さまが、身体に入っていると言っていいくらいにそのエネルギーを感じています。

現在、ホテル　てぃだの郷の代表をなさっているＩさんも、実は、今、金龍の神さまにしっかり守られている女性なのです。この金龍の神さまは、北海道の最高の聖地である然別湖の神殿の前で、今まで守っていてくださったご先祖の守護神さまに下がってもらい、新たに、これからの大きなお役目ができる神様と入れ替えさせていただいたときに、入ってくれた神さまなのです。

このときその場で一緒に祈り上げをしてくれた２０名ほどの方のなかに、その情景が見えていた方があとから詳しく教えてくれました。私が祈り始めて、天上界の扉が開き、すべてが光の世界とつながったとき、そこには、天上界の１５０神ほどの神さまがこちらを見守っていたそうです。

今まで守っていただいていたご先祖様にお下がりいただいたあと、私は、このＩさんのこれからの大きなお役目がまっとうできますよう、必要な神様にお守りくださいと、天の意思にお任せしました。そのとき降りてこられたのが、金龍の神さまなのです。金龍の神さまのお働きは、龍神すべてのお働き（水・火・風・土の守護）に加えて、お金や未来を照らす喜びなど、すべてこの世の人間が喜び、そして神さまも喜ぶために働いてくださるとても素敵な神さまです。

私も毎回、ホテル　てぃだの郷へ泊まらせていただく度に、ホテル　てぃだの郷　が神々からとても強く守られている大事な聖地であることを知り、四方の神さまに、しっかり祈りとご挨拶をしています。今、宮古島や伊良部島に訪れる方たちの目的が、少しづつ変わってきています。それは単なる観光としてではなく、２１世紀を照らす神光（かんこう）を求めていらっしゃる方が増えているのです。

沖縄諸島の癒しブームは、単なる心の癒しではなく、現代の日本人が忘れた大切なご先祖信仰から始まる、　おじーやおばーたちを神の化身として扱う大切な日本人の心やつながりを思い出す

土地なのです。そして、そのおじーやおばーたちは、自分たちが苦しいときに、ご先祖様やもっと大きな神さまが守ってくださっていることをよく知っていたのです。

今回、伊良部島で読ませていただいた伊良部の語り部たちの言葉を書いた神話の本にも、たくさん龍神さまのことが書いてあります。また火の神さま、水の神さま、風の神さま、土地の神さまのこともです。でも人間は、いつも自分の都合のいいように物事を解釈するくせがあります。ご先祖様が許してくれても、もっと大きなものを守っている神さまの許しを得ないと、この世の出来事は、うまくいかにようにできているのです。

日本全体における意味でも、地球全体における意味でも、この琉球の地がなぜ、龍神様に守られているのか、なぜ、琉球＝龍宮と呼ばれているのかをよく考えてみてください。大きな大きな神は、あなたの小さな願いごとや我欲を成し遂げるために、あなたたちを守っているのではありません。

もっと大きな、もっと大切なものを守り続け、それを未来の子供たちへ引き継いでいくことで、未来が輝くことを知っているからです。その神光の道先案内をしてくださるのが、日本全国をガイドとして回っていた猪子立子さんなのです。

神の道案内をしてくださるこの素敵な女性は、伊良部の地に生まれ、奈良に家族と住まいを持ちながら、神の御業の導きで、この伊良部の地や宮古諸島の地を光輝かすために、単身、伊良部島に戻ってきて働いて下さっている方なのです。これから神の光を求める者たちは、この伊良部の地に必ず感謝の祈りを捧げなくてはいけないときがくることでしょう。

あなたが祈るのに必要な場所は、神光の神さま　猪子立子さんがご案内してくださることでしょう。そのときは、必ず、宿泊費とは別に、神さまに祈りのお礼を捧げてください。これからは、地元のみなさまやこの島を訪れる方たちが誰でもわかるように、龍神さまの大切な目印を設置していかなければいけないと地元の方とも話しました。その資金としてご商売とは別に、神のお志を管理してくださるよう猪子さんにもお願いしました。これから、皆さんにももっともっと伊良部にいる神様の意味がわかるときがきます。

どれくらいすばらしいところなのかは、まず、あなたがこの地に足を踏み入れたときから、感じるものがあるはずです。伊良部に生まれ、伊良部に住んでいる人たちは、神どころの伊良部島を守ってくださる方たちですから、全員、神さまの使いです。だから私は、いつも細心の注意を払って、地元の人に喜んでもらえるよう心がけて、この地に足を踏み入れています。

ここ宮古諸島は、あなたのご先祖神のすべてを守ってくださっているルーツの島でもあります。この意味は、いづれ解き明かすときがくるでしょう。

聖地を汚すなかれ！

これは、この島を訪れるすべての皆様へのお願いです。ありがとうございます。
2006.11.13 Mon

御霊上げは　ゴミ拾い！！

11/12は、風が強かったので一日ゆっくり海を見て過ごしてから、午後、ピカピカの太陽が美しい渡口の浜の海に足をつかって、全員が子供心に返りました。そしてふと、あの白龍の写真を写した　木泊部落　があった浜にいってみたくなってので、龍神ツアーの皆さんをお連れしました。浜に着いてまず驚いたのは、浜のゴミの多さと、この浜にいる霊たちの悲しんだ声です。

海に向かって瞑想をしながら何ができるか考えてしました。みなさんも一人一人、それぞれがこの浜の悲しみを感じているようでした。この木泊部落があった浜は、「星の砂」が拾える場所なんです！

みなさんにそのことを教えてあげると、それぞれが砂とにらめっこしなが、星の砂を見つけて大切に拾って帰りました。今の自分にできること・・・・、ずっとそのことを考えていると、私は、自然に、ゴミを拾いはじめったくなりました。心の中で「ありがとうございます。すべての御霊の御上がりますことを感謝いたします」と唱え続けながら、ひとつひとつのゴミを拾わせていただきました。するといつのまにか、全員の人が何も言わないのに、自然にゴミを拾い始めてくれていました。

用意したゴミ袋がなかったのであまり多くは拾えませんでしたが、そのゴミを拾えてことで、少しだけ霊たちの悲しみが癒えたようです。”ありがとうございます。”ゴミを拾わせていただいた全員が、同じ気持ちを感じていたようです。夜、久しぶりにホテルてぃだの郷の代表　猪子立子さんと話をしていて、彼女も今日、久しぶりにあの浜へお客さんをお連れしてゴミの多さに驚いたと言っていました。

神さまのことを大切にしている島の皆様一人一人の生活のなかの、ほんのひとにぎりの方の心ない行動が、観光客や子供たちへ何を伝えていくのでしょうか？私たち龍神ツアーは、この島へ来るたびに、あちこちのゴミを拾わせていただいていますが、今回は、本当に未来を守り創る大切さな子供たちへ、何を伝えるべきか、ひとつだけわかった気がしています。

心のなかで理由のわからない悲しみを感じながら、明日からの祈り場所が見えてきました。明日は、来間島の神さまにご挨拶にいくことにしましょう！
2006.11.12 Sun

神様のお話し会　伊良部島

久しぶりに伊良部島の港に降りるときに、目があった女性から声をかけられました。「吉岡さんですよね？ブログ、いつも見ていますよ～！」

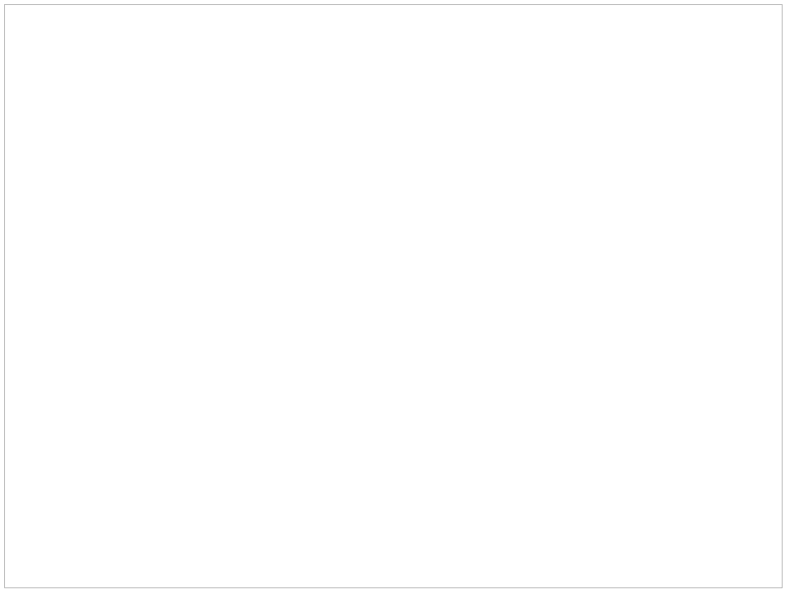
とてもうれしいことです。この伊良部島に初めて足を踏み入れて早や３年、やっと地元の方に認知していただけるようになったかと、自分のしてきたことが間違っていなかったのかなあと、一人で自己満足の世界に満ち溢れながら、那覇の祈りの疲れも忘れてニコニコ顔になりました。

お迎えに来てくれてホテルてぃだの郷オーナーからの第一声は、「おかえりなさーい！！」です。ホテルについても、Ｉさんのお父さんも、お母さんも、私の顔を見るなり、「おかえりなさ～い」でお迎えしてくれて、本当にこの島の人の暖かさには癒されます。車のなかでIさんの口から、「前回、お話した地元の人との神様のお話会は、今夜、することにしましたのでよろしくね！」です。ありがたいことです。一歩一歩、自分のしている神様のことを地元の方と一緒に情報交換できるなんて、最高に感謝の出来事です。

ホテルに入るとます、私より先に伊良部島に入った７人の北海道の龍神メンバーから、昨日の１１／１１の祈りの報告をしてもらいました。祈る場所は、「通り池のなべ底で！」とだけ伝えてありましたし、私と一緒に祈ったことがある経験者が４人もいるので今回は、安心して任せていました。全員がなべ底の”胎動くぐり”をしてくれたようですし、さらに、火の神、水の神、風の神の祈りもしてくれたと報告を受けました。さらに感動したことは、なんと、このなべ底の神様の数が増えていたのです。

今年の３月に行った「龍が立つ日」の祈りのおかげで、この場所は完全に愛の場所になりました。すると波動が上がったのを感じて、さらにこの伊良部を守る神様が力をあわせて入ってきてくれたようです。新しい神様は、女性の観音様のようなすてきな神様です。さらにもっと奥のほうにも、違う神様が増えているようですと、数人の人が教えくれました。私自身が行くのは、また後日の予定ですので、そのときしっかり確かめてきたいと思います。7人のすがすがしい顔を見ていると、本当にその場の空気が伝わってきます。ありがとう、みなさん！

夜になって急に、声をかけたのに集まってくれた「神様のお話会」には、8名の島の方が参加してくれました。



参加者の皆さんと話をしていて一番驚いたのは、ほぼ全員の出身部落が違うために、言葉がまったく違う人だということでした。これは本当に、”神はからい”だと感謝しましたが、そのおかげで、北区と呼ばれる佐良浜地区（池間添・前里添）の方と、南区（残りの５区）の先祖の出身の違いや、まもなく行われる豊年祭（ゆーくい）も、７部落ごとにルールが違うことなど、細かい決め事の違いがわかりました。

この情報は、私もとてもうれしい情報ですが、一番、驚いたのは、実は、参加者の皆さんのような気がします。伊良部島に何年住んでいても、まず、他の部落の豊年祭に行くことはないでしょうし、このルールの違いを比べあうことも、今まで必要がなかったからです。この島では、神様ごとについて、昔からとても厳しくおじーやおばーに教えられて育っていますから、神ごとに関して勝手に物事を判断して行う人は、まず、いません。

その大切に守り継がれている神意識とは反対に、現実の問題として、若い世代がどんどん島を出てしまうことで、その大切な神ごとを守る人が減っていることも大きな問題のようです。こういう現実のなかで、これからどう神意識を守り続けていくかは、琉球諸島すべての問題だと言っても過言ではないでしょう。

全体の島々の問題として、大切にしているウタキを守る”司おばー”がいないウタキや、守り継ぐ後継者がいなくて閉めてしまたウタキもありますし、さらには、神人になりたい人が減っていて、強い霊力で地域を守る神人が少なくなっていることも問題でしょう。もう一方の島の方の神ごとの取り組み方として、神ごとをあまりに大切にしすぎて、、ですぎたマネをするなと閉鎖的した結果、何を守り継いでいけばいいのか、若い世代に正しく伝えていける大人が減っていることも問題のようです。

私がお会いした皆さんにお話したことは、まずそれぞれの細かいルールも大切ですが、、ほとんどのウタキの神様は、過去の勇者や村に貢献した”人間を祭っている神さま”だという事を理解し

て欲しいということです。それと実は、もっと高い次元の　人間ではない天上界の神様がこの伊良部島を守ってくださっているということです。

何度もいいますが、この伊良部島は、龍宮城そのものなのです。だから龍のことは昔から、おばーたちの伝説にも多く残っているのです。今回は、出会った人から聞いた話の他に、「伊良部の民話」という語りべたちの大切な伝記本を読みましたし、「伊良部村史」にも今、目を通しています。これからこの最高神の龍神の扱いや理解も含めて、島の皆さんもしっかり守っている自然神の火の神・水の神・風の神。

さらには、増えた観音様のような神さまたちを理解して、私たちに何ができるかを考える必要がありそうです。まもなく始まる豊年祭ゆーくい）に、島の方々とお話できることをとても楽しみにしています。わざわざ、足を運んでくださって島の皆様、本当にありがとうございます。吉岡も、神の使いとして何ができるかわかりませんが、一緒に知恵を出して、神様に喜んでもらえる島にしていきたいと思っていますので、御協力・ご指導をよろしくお願いいたします。
2006.11.12 Sun

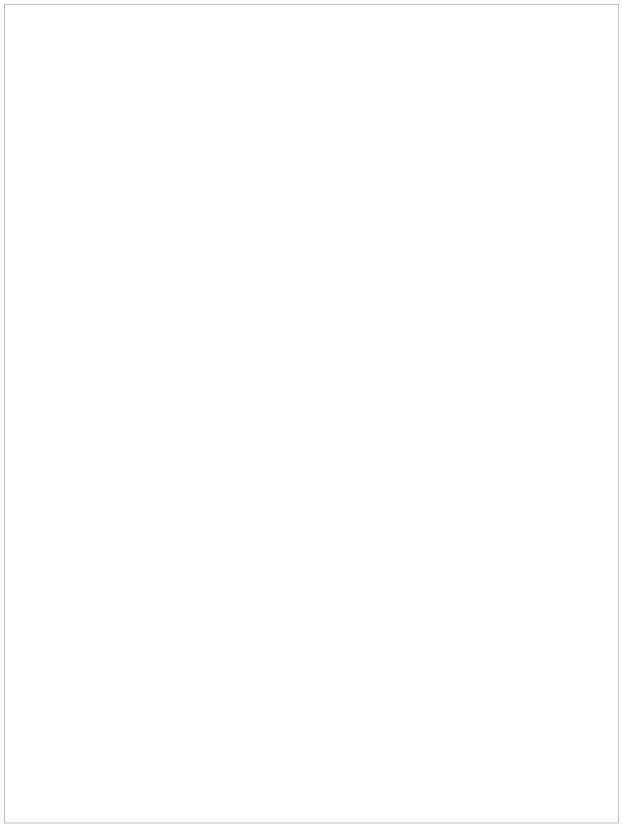
沖縄本島神事　首理城の祈り

１１月１１日　首里城祈り

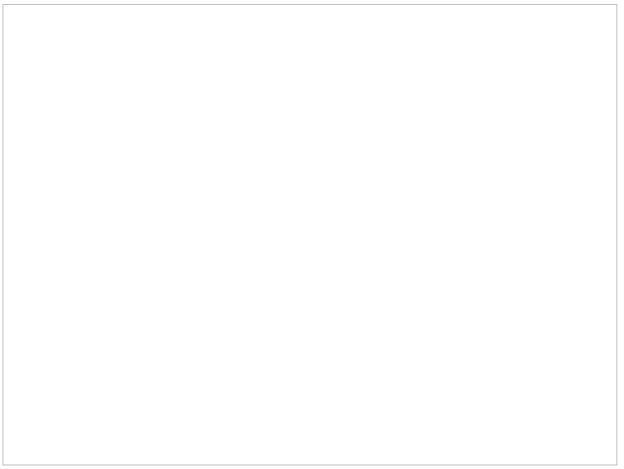
これから私がこの沖縄諸島で天のお役目として行う仕事は、琉球諸島全ての心あわせ、力あわせのための祈りを捧げに動きますので、そのことを正式に、琉球王朝の王様にご報告するための祈りが始まりました。

今回は私に時間がないこともあって首理城のなかにある拝所を、那覇の神人　上原小夜子さんの口をかりた神のご指導のとうり、５箇所の拝所をめぐることになりました。

最初の場所は、園比屋（ソンヒャ）ウタキです。

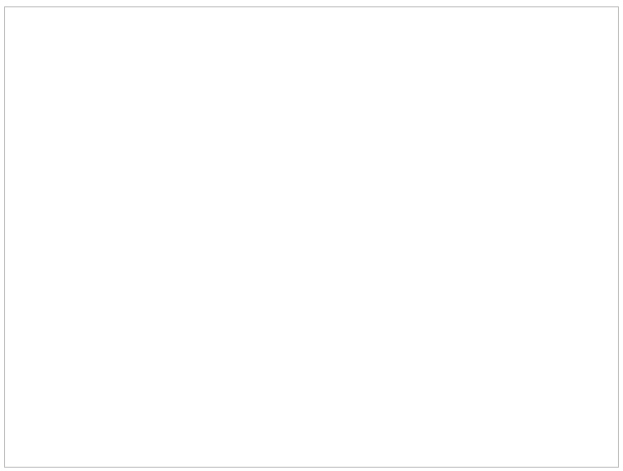


この場所は、琉球の王様が久高島に渡る際に、必ずご挨拶した大切なウタキだそうです。これからすることを神さまにご報告すると、その神様は私に大きな大きな巻物をくださいました。それは、両手いっぱいほどの長さと、太さも直径１５センチもあるほどの大きなものです。神さまからいただく物に意味なくいただく物はないので、懐に入れて、ありがたく頂戴いたしました。

２箇所目は、学問の神様と言われる円覚寺です。 

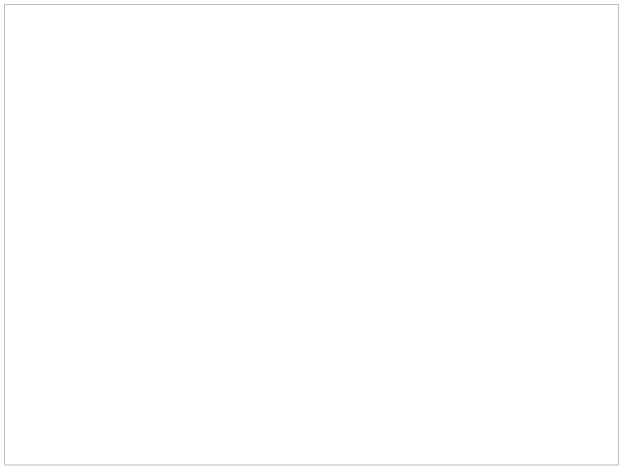
この日が大安だったために、地元の方も供物を持ってここにお祈りに来る方が、後を絶ちません。仕方なく、通りの道で、ご挨拶することにしました。

３箇所目は、円覚寺の真向かいにある同じく学問の神様の弁財天です。



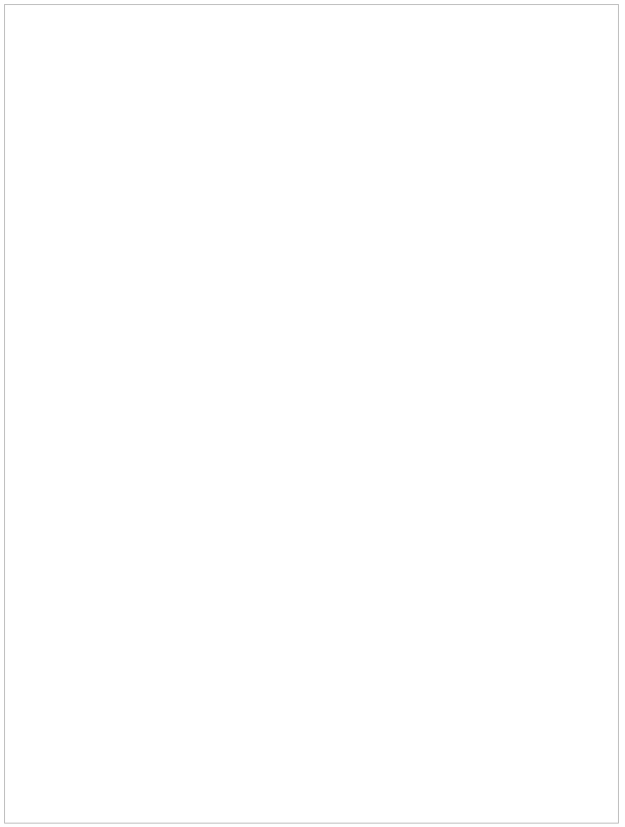
この弁財天は、池のまん中に祈る建物があるのですが、その場所に足を踏み入れただけで、それはもう喜びがあふれてきて、素敵なやさしい神様が守ってくださっているおかげで気持ちが軽くなる場所です。

この場所は、女性の方たちにぜひ来て欲しい場所です。何か辛いことがあったりしたときに、ふと、この神様にご挨拶して手を合わせているだけで、心が軽くなる素敵なヒーリングスペースです。私の祈りを終えて左の方を見ると、鶴が２羽、ツガイでこちらを見ていました。



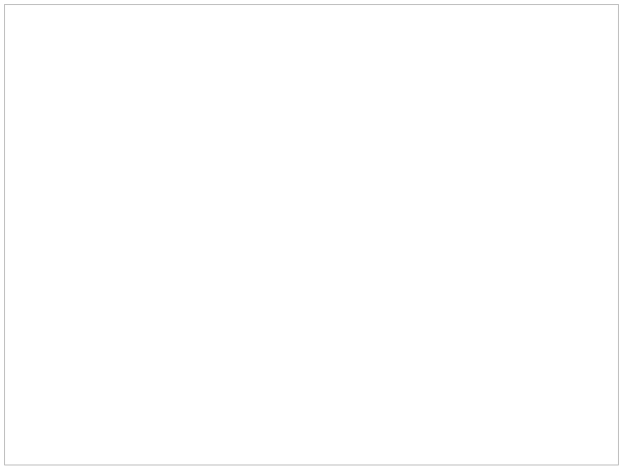
実は、この鶴は、神様なのです。真っしろな鶴と、灰色の鶴は、仲良く並んで、身動きせず、こちらをじっと見ていました。全員でその神さまにご挨拶とお礼をして次の場所へ移動しました。

４箇所目は、龍桶（りゅうひ）という首理城から湧き出ている水の神さまのいる場所です。



私自身にも龍が入っているために、龍の場所や神様には、とても、ゆうずうがききます。みんなで祈ったあと、その湧き出た水を少しいただき、祈った皆様の身を清めていただきました。

５箇所目は、首理の王様がいらっしゃる本殿です。この本殿に向かって階段を登っていくと広場がありますが、その広場の中央付近にひとつの建物があります。

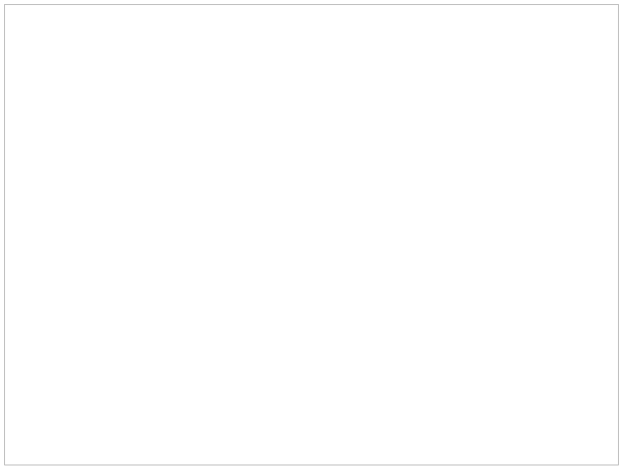


道案内をしてくださったSさんは、この場所でつい先日、私に似た雰囲気の白髪のおじいさんからメッセージをいただいたそうです。見るからに強く守られている場所でしたので、ご挨拶の祈りをしました。すると、このお城のなかで初めて、下から溢れる強い力で守っている神様がいらっしゃいました。腹を据えて、力を込めて、これからのことをご報告すると通る許可をいただきました。

こういう大切な場所には、必ず強くて大きな門番の守り神さまがいることを覚えておいてください。門番に正式にお目通りの許可をいただないで立ち入ると、あとで大変なことになることもあります。

この日同行した伊良部島出身の女性が、偶然、同じ伊良部島出身で現在那覇にいる神人のおばさんに出会ったので話を聞いてみると、なぜか、その神人も同じように、この場所に祈りに来なければいけないと神様に言われてきたそうです。

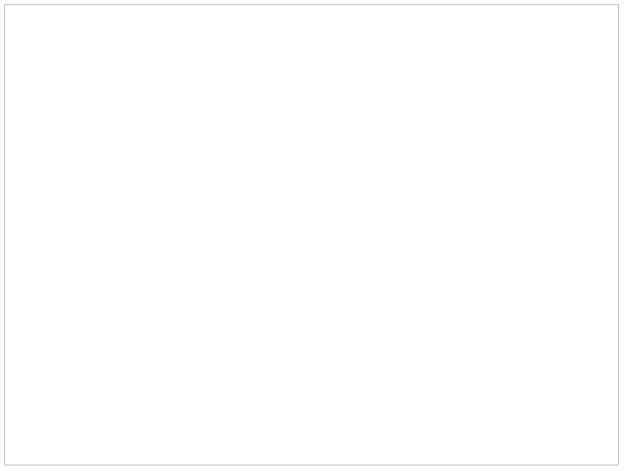
本殿の広場に入ると、その真ん中に立ってみたくなり、場の雰囲気から過去の情報を読み取りました。すると、この中央で幾人かの人が、首をはねられていることがわかりました。琉球王がその権力を誇示するために、はむかう島の長（おさ）や神がかり（かんがーり）の人たちをはねていたんです。



歴史はいつも、政治と権力の表と裏があります。
王がそれを望まなくても、権力を誇示したい人たちにとって、削除したい力を動かす人たちがいたことの現われです。

それでは本殿に入りましょう。
右側の入り口から廊下を渡り、そして階段を登り、いつくもの部屋を越えて、先ほどの広場の正面に上に位置して据えられているのが、王様が座っていた大きな椅子です。

その大きな椅子の前に一人歩み出て、これから琉球諸島全体の愛と調和のために自分と地元の仲間たちと動くことをご報告させていただきました。



王様への口上を終えて、お返事を待っていても、言葉がありません。言われるのは、「こっちを見るな、こっちを見るな」と繰り返すだけでした。私は祈るとき、目を閉じていますので当然見えませんので、どうしようかと思いましたが、最初の園比屋（ソンヒャ）ウタキでいただいた巻物を思い出したので、王様に献上させたいただきました。

すると、「あい、わかった！」と力強いお言葉をいただいたので、これでこれから私の行うこと

のすべての許可が降りたことになりますので、ありがたくお礼をいい、ご挨拶を終えました。

目を開けて見ても何もありませんが、そのときの王様の言葉の意味が、時間とともに少しづつわかってきました。なぜ、王様が悲しんでおられたのか・・・・？

それはいくつも理由がありますが、まず、今の沖縄全土での自分の力が及ばす、荒れ果てさせてしまったことの悲しみです。

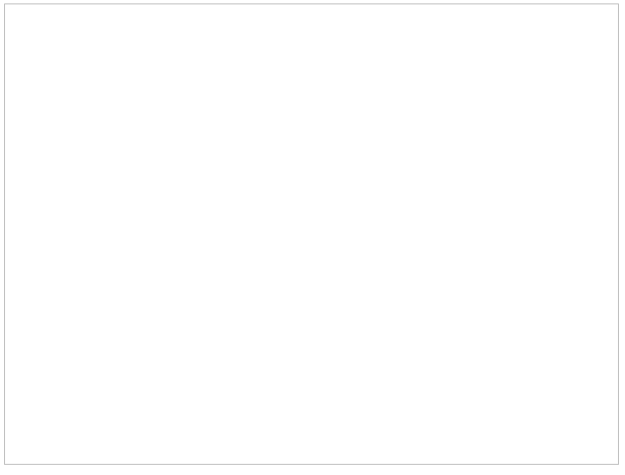
そして、もうひとつは、私の神の役目のことなのですが、実は、私が王様に挨拶しに来たことは、ある意味、竜宮の代表（天竜＝白龍）としてと来ていますし、もう一方では、宮古諸島のウタキの神様の代表（ウハルズの神）として来たことになりますので、そのことに対して申しわけなくおもっている部分があるからです。

なぜ王様が申し訳なく思うかというと、実は、昔々、宮古諸島は、琉球王国からはずされていたという歴史の経緯があったのです。

なぜ宮古諸島が、琉球王の管理下からはずされたかというと、当時、裏で工作された根も葉もない疑惑にまどわされてしまい、王様の判断したことで、宮古諸島の代表が追い込まれてしまい、苦しいぃ結末に追い込んだことがあったのです。

この宮古諸島の代表は、王様に何度も直訴しにいきましたが、王が一度、決めてしまったことを覆すことはできないために、島の人たちに申し訳ないと、最後は、裏門を出たところで自害したのです。

この場所もすぐわかり、お払いをして祈りあげをしておきました。



この人を祭ったのが、昨日ご挨拶した”白川神社”の神さまなのです。

だから王様は、宮古諸島の神々や民衆に、申し訳ないという気持ちがあったのです。

その宮古諸島の神々を代表して、私がこれから行う琉球全土の神の統一は、首理の王さまも実はしたかったことだったからです。

最後の祈り場所は、世界遺産にのなっている首理の王族だけのお墓の玉殿（たまうどん）に行きました。ここはお墓なので写真は残しませんが、きちんとご挨拶をしておきました。

私の動く場所は、神のご挨拶とともに、神につながる人や天のご縁から素敵な出会いがたくさん起きています。

今回、那覇のサポートをしてくださったお二人の女性は、今年３月に一緒に、八重干瀬（ヤビジ）祈りに参加してくださった方で、那覇の神人以上に、毎日、神に祈り、全知全能の神々の僕として祈ってくださっている方です。

そして、私が会った神人　上原小夜子さんの魂本来のお役目は、「光の柱を立てる」役目の方なのです。この方のご先祖は、もともとこの沖縄の地で、天と地を結ぶ光の柱を守る数名の最上格の神格の一人でした。

昨日、私に出会い、いろいろな話をして、嫌がっていた自分の神人としての役目をまっとし、この琉球の地に、もう一度、光の柱を立てることを宣言してくださいました。

私もこの方に出会えたことを感謝していますし、これからはそのときの数名いた光の柱を守る人たちに出会うことを楽しみにしてます。

最後に、上原さんの口から、こんな言葉が出てきました。

「吉岡さんがこれからすることを考えると、ご挨拶したほうがいい神の島がいくつかあります。そこには、私も同行させていただきます。」

上原さんの言った島の名前は、伊是名島・久高島・久米島など、他にもいくつもの島の名前を教えてくださいました。

そして、私も、また新たな決断をしました。

この琉球の地が輝くために、必要なところへは、全てご挨拶しにいくことを！

ありがとうございます。

2006.11.11 Sat

沖縄諸島神事　白川神社　宮古諸島繋ぎ

昨日、北海道から直行便で那覇に降りたって、初めて沖縄本島の地元の方たちと正式な祈りをしにいきました。

場所は、白川神社と呼ばれる宮古島の開祖が祭られている神社です。（この神社についてまだ詳しいことは調べていません）お連れしてくれた方によると、私が宮古諸島の神ごとをしているんだからと連れていってくれたところです。

まず、ひととおり全体を見てみると、入り口に”陽の守り番”として大きながじゅまるの樹があります。そして、そのすぐ奥には、土が盛り上がった大きなその神様の場所に"陰の守り番”がいましたので祓い清めて感謝の祈りをしてきました。

そして奥にある祈り場所に行くと、誰かが祈った線香の束がそのまま放置されていたんです。さらに、悲しいことは、このすぐ下の坂では、何本もの木が切り倒されていたのです。

これが今の沖縄の現状だと見せ付けてくれたようですが、正式にお払いをしてから、ひとつひとつ神様にご挨拶をして、奥の場所にも、ご挨拶の祈りに行きました、

一緒に来てくれて神人と、神ごとを神人以上にきちんとしているステキなお二人の方も、その場の祈りの情景を見て、感動してくれました。入り口で私が祈り始めると、「あっ、龍だ！」という人や、神さんに向かっている神人は、直接、神様から「正式に受け入れられました！」という声を聞き、彼女も私を迎え入れるための準備をしてくれたほどです。

夜の交流会には、地元の記者を含めて８名の方が集い、これから沖縄全体の神様や、神人の導き方、そして、人と人の付き合い方をもう一度見直すための話で盛り上がりました。私も今回の祈りから、この沖縄諸島全体を、〇のｴﾈﾙｷﾞｰゾーンにするために、何度も足を運ぶことになりそうだと感じています。

そんな話を神人に話していると、午後の伊良部に行く飛行機の前に、「では明日は、吉岡さんに、首里城の祈りをしていただきましょう」いうので、今日、これから出かけます。首里の祈りの大切な５箇所祈りをして、正式に王様にご挨拶にいくということなのです。心して祈って参ります。

これから出会うすべての皆様の魂が喜ぶ道をお手伝いできますことを感謝いたします。ありがとうございます。

2006.11.10 Fri

地球創生に動いている仲間たち

今、明日からの１０日間の旅の準備をしながら、明後日の11/11のエネルギーや伊良部島の神さま・宮古島の神さま、そして、今回、初めて正式にご挨拶する沖縄本島の神さま、また、京都近郊の神さまのことを感じています。この動きのひとつひとつがいずれ大きな地球のお役に立つ日がくることを信じているからです。

昨日まで辛かった身体もすこしづつ調整ができてきたようで緊張が緩んできましたが、心の奥底の覚悟と準備の出来具合を常にチェックしているところです。

エネルギーが高い場所に行くときや、高いエネルギー波動波に乗るときは、そこへ行くと決めた日から、もうその場所のエネルギーが身体に流れ込んできます。だからもうここまで来ると、じたばたしても始まりません。すべては天にお任せして、自分のするべきことをするだけです。

皆さんは伊良部島のウタキに入ったことはないと思いますが、昨年、初めて入ってみて、本当にものすごい数の御霊と一緒に、そこを守る神さまが、明確にいらっしゃるのを感じられる場所です。

だからこそ、普段は誰も一切入ることを許されませんし、旅行者が間違って入ったではすまない場所なのです。

今回も、伊良部島や宮古島、そして沖縄本島の神人（カミンチュ）＝ユタの方たちに逢って、お互いの大事な情報交換をすることになるでしょう。

神人たちも、それぞれ意識次元の担当領域がありますので、自分に受けたメッセージを大事な人へ伝え、そのメッセージを共有し、さらなる高い意識の人たちから一般の人たちの行動へと移行していく必要があります。

先日、宇宙の大事な役目をされている鳳凰系のPROJECT GAIA を主宰するフランシスコ・ガブリエルさんからメールをいただきました。今後、全国で地球創生の具体的な集まりや会合を持つ予定なので、互いに協力し合って、この水の星　地球を再生していこうというものです。

具体的には、今のところ沖縄と北海道について、私の力が及ぶ範囲は、ご協力する覚悟でおりますので、地元にお住まいの皆様の高い意識の方々や、意味はよくわからないけど、何か地球の未来のために動きだしたいと思っている方たちのご協力をお願いしておきます。

私も今回の京都をはじめ、これから足を踏み入れる新しい場所のエネルギーや、そこを大切に守

っている人たちと心あわせをして、手を組み助け合いながら、先祖たちが守ってきた土地を、人々を輝かせるお手伝いができることを喜びに感じています。

もし、私は何も見えないし、何も感じないから何もできないと思っている人がいたら、それは大きな勘違いです。

あなたがこのメッセージを読んで、未来の子供たちのために何か大切なものや想いをひとつでも残していきたいと思ったら、”よくわからないけど手伝いたい！”というコメントをどうぞ送ってみてください。

天も神も、あなたを守護しているご先祖たちも、地球の未来へ向けて宣言されたあなたに、大きな守護の力が働くことでしょう。

情報や知恵がどこからのものだとしても、誰からのものだとしても、その情報を知ったあなたがこれからどう生かすかは、すべてあなた次第ですので、自分ができることを日々の生活のなかで行動していくことが、新しい未来を創造する大切なカギになっていくのです。

あなたの魂やあなたを存在させてくれたご先祖たちが喜ぶ道をお手伝いできますことを、心から感謝申し上げます。
2006.11.09 Thu

11/5　満月の日のメッセージ

私は普段、瞑想をしません。理由は、いつでもどこでも、神さまなり、天の言葉を聞いているので、苦しい出来事があったとき意外は、現実のなかでちゃんと生きる力をつけるように心がけているからです。

でもときおり、なぜこんなことが起きるのだろうと思うときは、ミストサウナや露天風呂でボーとしながら瞑想状態に入っています。（うちの神さん＝奥様いわく、「あんた、それは、ただ寝ているだけでしょう！」と言われますが・・・）

昨日、露天できれいな雲を見ながら、カラーフェスタの成功に感謝して、京都・大阪・沖縄本島・伊良部島・宮古島、そして北海道のこれからのことを考えていました。

よく行く温泉は、小樽の手前にある朝里というところにありますが、ここに来ると、いつもものすごく素敵な雲からのメッセージをいただきます。（過去の雲のメッセージは、こちらへ）

この日の雲の動きを見ていて、ビックリしました！

雲が自分の動きで、これからの時代の意識の動きを具体的に教えてくれたのです！

それがどういう内容かというと、真実を全部受け止められる方はまだ少ないようなので、皆様が知っておいていい部分だけポイントを教えておきますね。

１、まずこれから、ますます、意識の段階が上がります。今年の流れほどの大きなものが、まだ大きく３つあると教えてくれました。（多分これは、2007年からのレベルアップと、2010年からのレベルアップと、最後の2012年からのことです）

２、大切なことを決意すると、本気の方たちが集り、さらにそのエネルギーや現実を実現するスピードが上がります。このスピードは、自分で予測できないくらいに速いものとなります。

３、「変化する」ということは、「過去の自分を変える」ことです。

　ある意味、自分のなかで未来への創造と同時に、過去のくせを破壊する必要があります。

４、宇宙全体の意識覚醒は、あなたに合わせた覚醒スピードではありません。宇宙のなかの地球という星を司る地球意識集合体の一員としての役目を果たす人たちに向けて、愛のエネルギーを送り続けてくれています。だから自分だけに都合のいいメッセージは、あるはずがありません。

そのメッセージは、人に教え、共有し、互いの喜びになることで、その道を行きなさいという許可をいただくのです。

５、愛に向かって前進するときや本当の決断をされた人には、その変化を嫌う人たちのエネルギーも流れ込むことでしょう。でもその流れに同調すれば、あなたもカルマの流れに舞い戻ることになります。あなたが本当の愛に進むために、弱い自分をどうするか最後の学びとして、起きる出来事や人に、惑わされないでください。愛は、あなたの魂が喜ぶ道であり、それも喜ぶ仲間が必ずいることで、正しいかどうかが、わかります。だから、どんなに正しいことでも、力をいれずに、全体の自然な時の流れにお任せしてください。時間がかかっても結果は必ず、愛に向かいます。

天は、この内容以上に、私自身に、とても大きな教えを導いてくださいました。そのことをすべて素直に受け入れ、天の意図を受け入れた新しい自分の役を生きると決めました。

愛は、必ず、あなたの中にあります。

もう一度言います、愛情ではなく、愛のみで生きる生き方をなさってください。

あなたは、そのためにこの地球に生まれてきたのですから・・。
2006.11.06 Mon

水の神さまが転生した女性

今まで私が出会ってきた方々とは、ご縁のなかで私とのつながりの意味を聞かれることがよくあります。また前世療法をしているときに一緒に見た過去世や、普段の生活のなかでも、深くご縁をいただく方には、過去世のつながりも含めて必要に応じてご説明することがあります。

しかし私が今まで前世療法をした経験のなかで、唯一、２年前にセッションをして、前世のお役目と今世体験していることの意味を説明できないことが心残りになっている女性がいました。その女性は、２年前にある方からご紹介を受けたＭさんという女性です。

彼女は20代後半から胸部の不調を感じて検査してみると、乳がんでした。いろいろ切らずにすむ方法を試していましたが、結局、腫瘍が悪化したために片方の乳房を切除しました。そこまでなら、私のまわりにたくさん知り合いがいますが、そのＭさんは、さらにその後、ガン細胞が全身に転移して、あちこちの骨をボロボロにを打ち砕く痛みに耐えながら１０数年間、現在もお仕事を続けられています。

毎日、強い抗ガン剤を飲みながら、仕事を朝から晩まで働き、さらに、人が喜んでくれるなら、何でもしてしまうそのＭさんを見た人は、誰もがそんな病気に苦しんでいることさえ気付かず、逆に、彼女と一緒にいるだけで癒されてしまうくらいの素敵な笑顔と彼女の透明感ある空気のすばらしさに感動してしまいます。

今回、このＭさんがカラーフェスタのボランティアスタッフとしてお手伝いをしてくださいました。打上げにも参加してくださり、昨日、書いた出展者のセラピストたちとの深く感動的な場に同席していました。

そしてそのあとの事務局だけの打上げの席で、すばらしいことがおきたんです！

Ｍさんの正面に座った私は、先ほどのセラピストたちの感動のエネルギーを受けた彼女の魂から、溢れ出ている魂の叫び声が聞こえてきたのです。だから、彼女にいくつか質問を投げかけてみました。

この２年間、いつもＭさんと出会うたびに、何とか彼女の魂が喜ぶ道へ導いてあげたいと思って努力してきましたが、今が、最高のチャンスと思えたからです。

「あなたは本当は、どうしたいんだい？」　　この質問に彼女は、こう答えました。

「私だけが犠牲になって苦しんで済むのなら、私はそれでいいんです。だから絶対に、この苦し

い姿は人に見せたくないんです。」

実は、Mさんの前世は、地球を守っている天上界の神さまの一人で、地球の水を守っている神様だったのです。だから彼女の肉体の苦しみや痛みは、実は、私たちが汚してきた地球の水の波動に同調して重い病気になっていたのです。

このことは、２年前にセッションをしたときにわかっていましたが、地球の水を汚した私たちの責任と、すぐには解決できない事のために、その苦しみを背負って生きる彼女に、生きることの意味と勇気を与えられなかったのです。

しかし今回は、彼女の魂が私に強くメッセージを送ってくれました。「助けてあげて！彼女に生きる喜びを感じさせてあげて！」と。だから彼女に私は、こう言いました。

「あなたのその気持ちはわかるけれど、それは自己犠牲です。自己犠牲は、本当に愛だと思いますか？」

彼女は泣きながら、だって・・・という目を私に向けていました。でも私はこういいました。

「２０世紀のほとんどの宗教もそうだったように、当時の学びは、皆に自己犠牲から愛を学びなさいと教えていました。でも、この新しい２１世紀の学びは、誰一人、苦しみの犠牲になってはいけないと天からは言われています。」

誰一人犠牲者を出さずに、この苦しみの地球を救う知恵を皆んなが出し合ってこそ、実現する新しい時代に入ったからです。だからこれからの時代には、イエスのような救世主は決して現れません。

その代わり、一人一人が自分の悲しみや苦しみを救い、カルマに振り回されて生きることを乗り越えた人たちが、まだそれをできない人たちを導いてあげることで、本当の愛を実践し感じることが、現在、この地球に生きているすべての御霊の最高格のテーマだからです。

Mさんは、このとき、自分の苦しみを乗り越えました。そして私は、彼女に、「あなたはセラピストになりなさい。」と告げました。

Mさんは、涙目の細い声で、「私がなっていいんですか？」と聞いてきました。

私は、「あなたが自分を救うことと同じように、あなたに救われる人がたくさんいるのだから、セラピストになりなさい！」と言いました。（これは私の最高霊格の神さまからの言葉でもあり

ます）

そしてこの場で、これからの宣言をしなさいと言いました。でも彼女はもう一度、私に聞きます。「私が本当になってもいいのですか？」

「私は神の言葉と魂のレベルを動かす許可をいただいています。だから、神さまが許可しているのですからなりなさい。」

やっと、彼女は心を決めて宣言してくれました。そして、2007年2月に開催予定の札幌カラーフェスタに出展することも決めてくれました。

このできごとで皆さんに感じてほしいことはたくさんありますが、このＭさんのケースは、特別だと思っておいてください。彼女は、前世も、今も、何も学ぶ必要がない人なんです。本当に、全てのことを魂が知っている人なのです。

だから彼女に言ったことは、先日、札幌でクリスタルボウルを演奏してくださった大天使　遠藤敬子セラピストにだけ、逢いにいきなさいと伝えています。

私はこのＭさんの魂の喜びを感じるまでに費やした２年間が、大切な時間だったことを感じています。そして私にＭさんを紹介してくださったＴさん、本当にありがとうございます。

ご縁いただきましたこと、ようやく今、果たすことができました。これからは、みんなで助けあいながら、愛の実践者として、行動を共にしていきましょう！

天のご加護に、心から感謝いたします。ありがとうございます。
2006.11.05 Sun

エネルギー上昇に対する心構え

今年最後の大きなエネルギー転換の日は11/11ですが、一年のなかにもたくさんそういう時期があります。そのエネルギーの流れを感じ取る方たちは、それぞれ担当している意識次元＝”覚醒の段階ごとの意識次元”の領域によって読み取る情報が違います。

それがどういう意味かということよりも重要なことは、こういう上昇変化の流れのときには、”いろんな想いを手放す”ことが大切です。そこまでできない方は、”想いを横においておく”ことを意識してくださいね。

例えると、あなたがスキー場で初心者のプレーヤーだとします。お友達の上級者の方に手を引かれて、「さあ、一番上のリフトまで登るよ！」と、一緒にリフトに乗ったとしたら、そのリフトに乗っている間は、あなたは最高に混乱するでしょうね。

「え～、大丈夫なの？初心者でも降りてこられるの？」

「この人、本当に私のことを大切に思ってくれているのかしら？」

「あー、下で、コケてる人がいるう～・・。痛そう・・。私もそうなるのかしら・・」

こういうときのとっておきの対応策は、「なんとかなるさ！だって、ここを登った人もいるし、降りている人もいるんだもん！」です。また、こんなのもいいですね。

「私は初めての山なので確かに、この山を滑るのはヘタくそです。ヘタだからこそ、人の１０倍かかって降りてもいいんです！他の人の１０倍かかって、斜滑降しかできなくても、ゆっくり行けばいつかは、必ず降りれるもん！」

そうなんです！うまくこのエネルギーの波に乗ろうとするほど混乱しますので、力を抜いて、いろんな想いを横において、すべてをお任せしてくださいね。

すべてをお任せしたことのある人は、そのコツを知っていますが、先ほど書いた言霊は、まだそのコツがわからない人にとって、きっと効果てきめんですよ！

これからも、たくさんのエネルギー上昇のタイミングがやって来ます。そのエネルギーの大きさの大小に関わらず、簡単なエネルギー波の乗り方は、”上昇エネルギーのときは、力を抜いて、すべてをお任せする”ことです。

そして、ピークの日を越えると、今度は、そのエネルギーが普段の生活のエネルギーと一体化して沈静化しようとするために、下降エネルギーになりますので、”エネルギーチェンジの次の日からは、どんどん現実に自分が感じたことを行動することを心がけてくださいね。”

あなたは必ず、素敵になります！

ニーナ・カロライに出会った人たち、沖縄のブログで出会った人たち、北海道を守ることでつながった方たち、自分が住んでいる町を自分たちで輝かそうと思った人たち、そして、日本を世界を輝かせると決めた人たちが、すべてつながっていくんですもん！

さー、札幌の第一回カラーフェスタに出陣です。今日出会う素敵な御霊の輝きを楽しみにして、私も頑張りますので、今日、皆さんも輝いていきましょうね！では、いってきまーす！
2006.11.03 Fri

エネルギー上昇の本当の意味とは？

こんなことまで書いていいのかとちょっと戸惑いましたが、私が書きたくなっていることは、天の真意として素直に受け止めて、宇宙にあるアカシックレコード（過去世の記憶データバンク）からのアクセス情報をお伝えします。

２００１年から始まっている２１世紀のエネルギー上昇の本当の意味は、ただ単に皆様の意識覚醒をさせて幸福感を感じさせることが目的ではありません。その高い意識次元の記憶や喜びエネルギーを使って、この３次元の世界で”高次元意識の現実”を完成させることが魂本来の目的であり、それが皆様の魂本来の役割なのです。

私の大の仲良しの大天使　遠藤敬子セラピストは、１１月１日のエネルギーを受けて、とても大切なアトランティス時代の記憶を思い出されました。

本来の覚醒とは、自分勝手な思い込みや自分を喜ばれるためのメッセージではなく、過去世の記憶を呼び戻し、その時代にやり残してきた自分の役目をまっとうする為の決意をすることなのです。

よく神社やパワースポット、また世界中のエネルギースポットを探し回る方もいらっしゃますが、その本来の目的は、自分を癒すためではなく、その場所に残されている太古のエネルギー触れて、量子レベルの宇宙エネルギーのアカシックレコード（過去世の記憶バンク）にアクセスすることなのです。

皆さんの魂は、幾度も幾度も生まれ変わりがらたくさんの人間の記憶もお持ちですが、人間以外の記憶や、宇宙の違う星の記憶を持たれている方もたくさんいらっしゃいます。また現在、このスピリチュアルな世界で活動されている皆様のほとんどは、過去の地球の高次元時代（アトランティス・ムー・etc)に、人を導き、癒し、サポートしてきた方々なのです。

世界中で日本人が高い霊性と役目を持って生まれていることはよくお話しますが、それぞれの覚醒のスピードや役割によって、気付く次元の意味が違います。

この現実の３次元をベースに考えてみると、最高点には１３次元まであると思っておいてください。私自身も、７次元までしか行っていませんが、その高い意識さえ、この３次元で理解しながら普段の生活のなかで使えなければ何も意味をなしません。

普段の生活を実践するということの本来の目的は、現実をうまく生きることだけではなくて、魂としての到着点は、魂本来の喜びである「人の為に生きる喜び」を感じることなのです。

そのチャンスが、これから11/11や、11/25、12/10、12/15と大エネルギー、小エネルギーとして流れ込みますので、どうぞ、上手にその流れのなかで気付いていってくださいませ。

皆様の幸福なる時間が、さらに溢れますことを祈っております。
2006.11.02 Thu

エネルギー上昇の対応について

昨日今日の２日間を見ていても、結構私の周りの方にも、この僅かなエネルギーの上昇の渦に巻き込まれて、混乱している方が多いようなので、対応策をちょっと教えておきますね。

エネルギー上昇に合わせて決断をすると、普段の決断の１００倍とか、１０００倍のスピードで物事や想念、そして実は、時間も越えてしまいますので、まわりの人の肉体の経験とか、自己認識の時間がないために、その決断を揺るがすような言葉が、あなたに発せられるときがあります。

これは、その方の真意ではなく、決断したあなたに対してのチェック機能として働いている物事だと冷静に判断するようにしてください。（２０世紀はこのことを”お試し”と言ってました）

わかりやすく言うと、「本気の決断には反動エネルギーが動く」ということです。でも実はこの反動エネルギーのおかげで上昇できるということも覚えておいてください。

ほとんどの方が混乱する理由として、「昨日、あの人はこう言ったのに・・」とか、「前は、あんなふうではなかった・・」と、過去の情景や経験を元にして考えて混乱しているだけなのです。

ここで大切なことは、あなたが過去を大切にして生きることが、本当の決断でしょう？かという問いが出てきます。

過去を変えて、さらに喜び溢れる自分になって、どんな嫌なことを言う人でも許せる大きな愛を持った自分を目指すのであれば、自分の本質が決めた大切なことを、目の前の小さな出来事に振り回されないでいてくださいとお伝えしたいのです。

あなたの周りの人は、すべての自分の鏡として、時にいい役、時に嫌な役を演じてくれます。（家族はとくにそうですが・・）

でも全員の魂がつながっている御霊のおおもとからみれば、個人のカルマさえ、たいしたことはないと言えるくらい僅かな誤差なのです。その誤差のことを私は、「勘違い」とよんでいますが、自分が悲しくなるような弱い自分に振り回されている状態のことをカルマともよびます。

カルマ脱却の最高にいい方法は、「今は、気にしない！」ことです。

愛を持って、反発意見にも感謝して、そっと横においておくことです。

人間の本能には、人を傷つけたり、誰かの気分を悪くさせたり、困らせることを喜びにする本能は、入っていません。ではなぜ誰にでも、そういう時があるのかというと、その瞬間は、その人が何かを守りたいと感じたということです。

人間の本質にある「大切にしたいものを守る」本能は、女性に強く現れますが、自分の子供を守るときや、自分の愛するものを守るときに働く本能のはずが、ときとして、自我を守る本能として働き、それが態度や言葉に出ることがあります。

そういうときの人に何を言ったとしても聞き入れてくれませんので、相手のことばをそのまま、そっと、認めてあげてください。

今、その小さな女の子は、一生懸命、自分の守りたいものを守っているのですから、安心して肩に力をいれなくなるまで、そっと見守っていてあげてください。

年齢がいくつになっても、この人間の本能の弱さは出ることがあります。自分に照らし合わせてみて、そんな自分もいるかなあと思えたら、今度、反論したいときに、「まー、いいか！」くらいにしておいて、自分の気持ちも含めてしばらく様子を見るようにしてみてください。

誰もあなたを傷つけないし、誰もあなたの物を奪わないし、誰もあなたを責めないということに、いずれ気付くはずです。それが、大きな大きな愛へ、一歩進む道なのです。

だから今苦しいあなたにそっと、この言葉を差し上げます。

私は、いつも、あなたを愛しています。

そして、私は、いつも、あなたを見守っています。

ありがとうございます。
2006.11.01 Wed

11・1　直列エネルギーの日

この一年のなかで、最大のエネルギーが１１月１１日に流れ込みますが、その前に、明日の１１月１日も同じように”小エネルギー”がこの地球に流れ込みます。

そのあとは、２月２２日ですが、こういう数字（霊数）に隠された意味も含めて、同じ数字が並ぶときには、強いエネルギーが動く日だということを覚えておいてください。

よく”６６６”をみろくと読んだり、オーメンという映画でも紹介されたように、直列の強いエネルギーは、いいことも悪いこともエネルギーが高いために起こりやすい日なのです。

２１世紀のエネルギーは、これからどんどん高く強いエネルギーがこの地球に流れ込みますので、カルマの清算を終えていない人たちにとっては、その重圧に苦しむ方もいることでしょう。

今年、よく私の周りにも「秋頃からエネルギーの上昇を感じて、しなければいけないことが増えて、とても忙しい。」という人が多くいます。私自身は、そのことを昨年末から覚悟していましたが、それでも、やはりこの上昇に身体の波動を合わせるのはとても苦労しています。

皆様が日々の生活の中でできることとして、少なくとも、こういう日は、朝、神様や仏様やご先祖さまに、”今、生きていることへの感謝の祈り”を捧げることをお勧めします。そして、これから自分がすることへの決断もされると、より大きなサポートが天から入ることでしょう。

宇宙や天や神や仏やご先祖は、あなたの都合で、あなたを守っているわけではありません。

あなたが神の、宇宙の分霊として、人間の喜ぶことを、地球が喜ぶことを、未来の子供たちが喜ぶことをして欲しくて守っているのです。

だからもう、あなただけを救って欲しいという自我のお願いはやめにして、「どうぞ、この命、この肉体を地球が、宇宙が喜ぶことにお使いください」と宣言されることをお勧めします。

神は、全託した人間を打ち砕くことは、決してありません。

もし、「なぜ自分だけがこんなに苦しいのか？」と感じている人がいたのなら、こうお伝えしておきます。「あなたの周りの人が、すべてあなた自身だとしたら、あなたは、うれしいですか？」

そんな大切なことを気付く日になれば、あなたの幸せも、明日、一段と溢れてくることでしょ

うね。どうぞ、自分の近くでいいですから、私と一緒に、明日朝、祈りましょう。

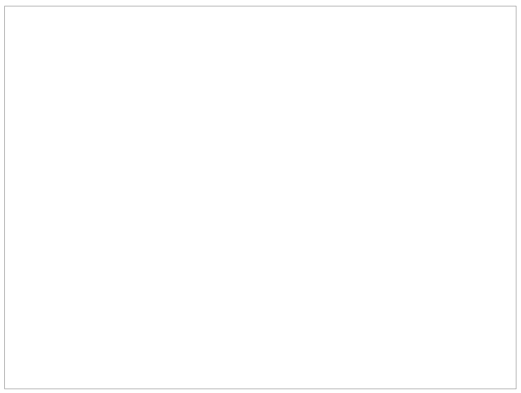
世界の子供たちに、言い訳をしなくていい大人たちが増えますように・・・。
2006.10.31 Tue

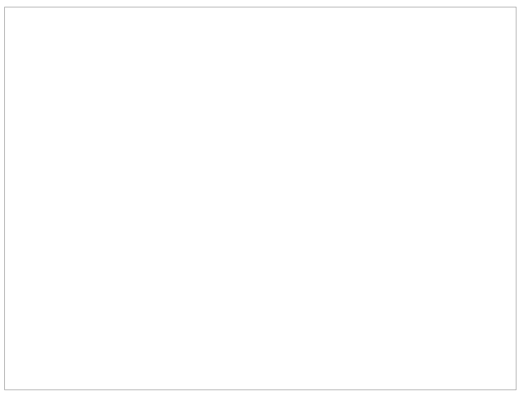
京都　安倍清明神社

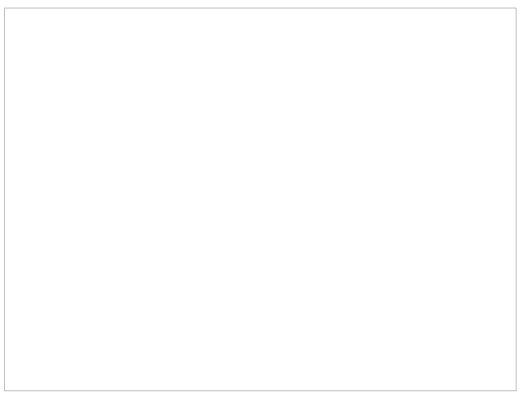
奈良の天河弁財天へ行った帰り、京都の知り合いに逢いに行くと、「安倍清明神社へご挨拶をしておいたほうがいいのでは？」ということになり、夕方、知り合いと一緒に向かいました。

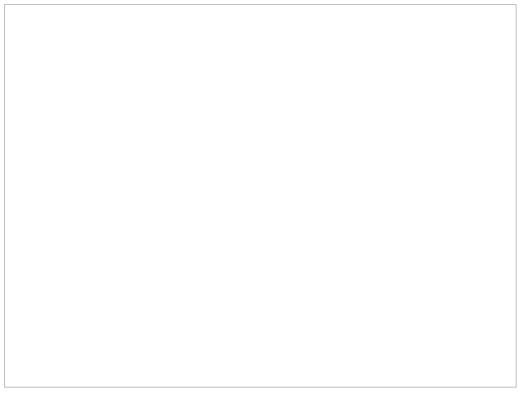
行った理由は、これから京都でする事がある為に、一応、ご挨拶をしておいたほうがいいという話しになったからです。

時間が夕暮れだった為に、お客さんが少なくて私には好都合でした。









映画やマンガ本が売れて大人気になり、観光客がどっと押し寄せたせいなのか、なぜか、この社殿のエネルギーがとても軽く感じたのはなぜでしょうか？

宮司さんの心が反映しているのか、観光名所になり過ぎたのか・・・

昔の姿を知っている方は、最近、特に気が変わってしまったんですよねーと言っていました。

本殿から安倍清明に挨拶をすると、彼は、とてもおとなしい返事をくれました。

もともと、私自身も陰陽師をしていた記憶がありますので、ぜんぜん怖いというイメージはなく、逆に、「挨拶に来たよ！」という軽い感じでした。

安倍清明も当然、そのことを知っているようで、「どうぞ、ゆっくりして行って下さい」と、社交辞令は言うものの、それ以上、心を開いて何かを言う感じはありませんでした。

そのあと、有名な「一条戻り橋」も見ましたが、大した問題はありません。

魑魅魍魎の霊界の通じるドアと言われていますが、ちゃんと、封じ込められています。

ただ、本気で霊界のドアを開けるなら、ここから開ける事ができるのはわかりました。

皆さんは、やめといた方がいいと思いますが・・・。

2006.10.25 Wed

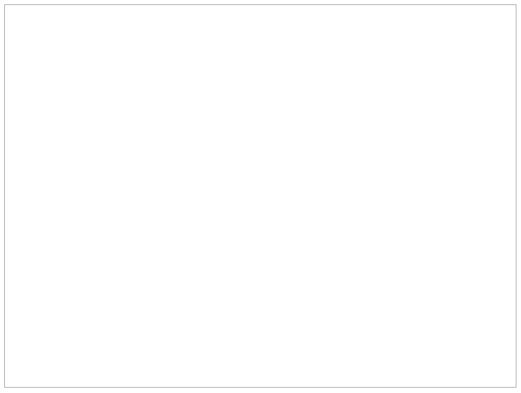
奈良　天河弁財天

初めて、大阪の知人と一緒に奈良にある天河弁財天へ行きました。

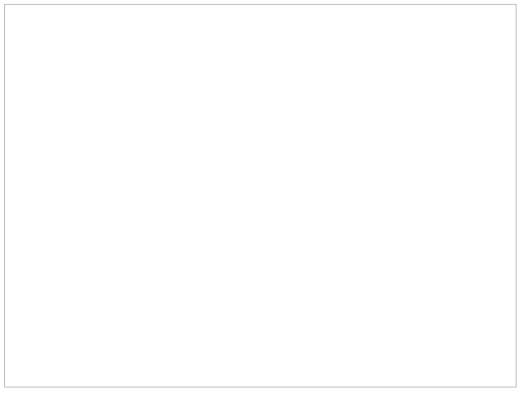
キッカケは、「周りから吉岡さん行ってないの？行ったほうがいいですよ」と、しつこく言われたからです。

天河弁財天が、宇宙に繋がっている場所なのは、名前を聞いた時からわかっていましたが、自分から行こうとは思っていませんでした。

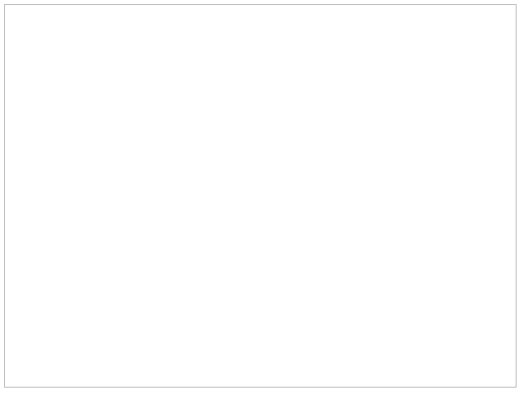
映画ガイアシンフォニーに紹介されたことで、「芸能の神様」としても有名になりましたね。



電気が消えた本殿の上に、神様は鎮座されていましたが、互いに大人しい挨拶を交わした程度で終わりました。

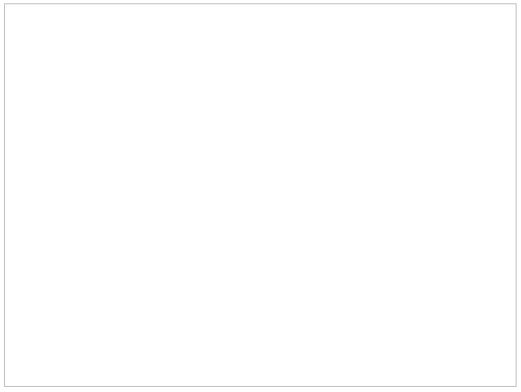


その真迎えにある舞台では、色々な方が奉納された様で、いいエネルギーを放っています。



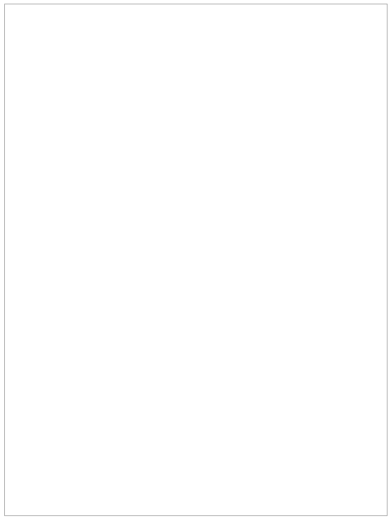
しかし、宇宙エネルギーが最初に降りた場所はここでは無いとわかり、あたりを見渡すと、見つかりました！

本殿に登る石段の途中の右手の樹に、宇宙エネルギーは降りていました。

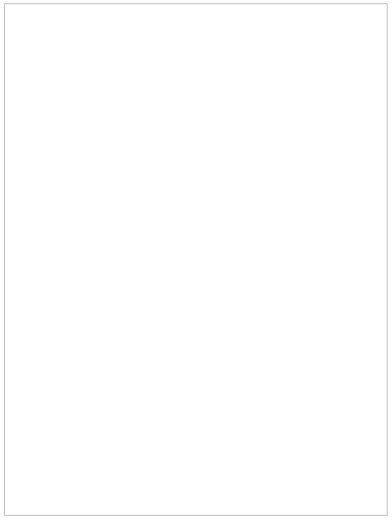


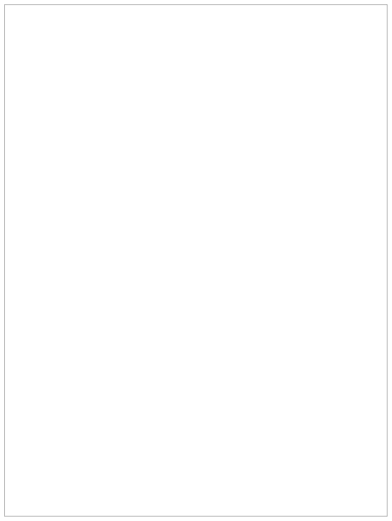
手前に二本の樹がありますが、ここがゲートになっていますので、ここにご挨拶をしてから奥の太い樹に向かいます。

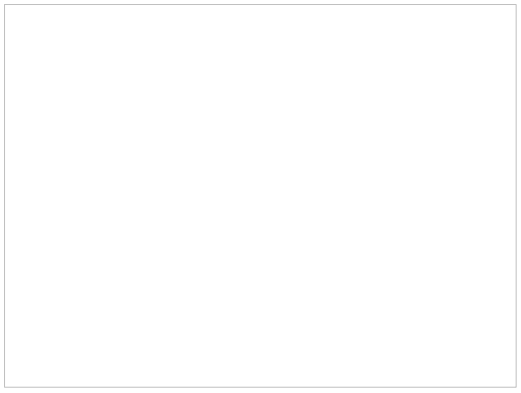
この二本の樹をこうして繋ぐと、身体に不思議なエネルギーが流れ込むのがわかります。



そのゲートを潜って奥にある太い 1 本の樹が、現在も宇宙に繋がっています。



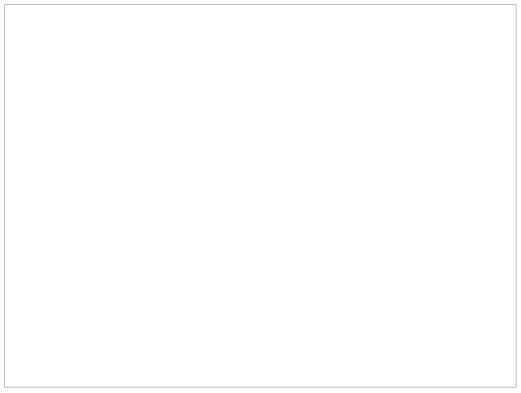




同行した二人の方も宇宙チャンネルに繋がりがあるようで、とても感動してくれました。

宇宙エネルギーを直接、体感できる数少ない場所ですので、どうぞ、必要な方はここから宇宙にアクセスしてみて下さい。

大地に繋いでいるのは、この石です。



2006.10.25 Wed

旧暦９月１日　豊年祭日取り降ろし

先ほど、ホテルてぃだの郷のオーナーへ電話したところ、今日、旧暦９月１日に、豊年祭（ゆーくい）の日程が決まるのよ！と教えてくれました。それをわかって吉岡さんが電話くれたかと思って、ビックリしたと言って下さいました。

伊良部島の豊年祭を楽しみにしている皆さん、もうお少しお待ち下さいね！決定したら教えて頂くことになっていますので、こちらのブログでご紹介します。

毎年ながら、ギリギリで決まるために、北海道からは、飛行機のチケットを取るのが難しいんです。でもいつもですが、「それでもお前は、来るのか？」と試されているようなので、さらに強い決断をしています。

神さまに向き合うときは、あらゆるすべての物事を乗り越えないて行動しないといけないので、こういうことは日常茶飯事なんです。

今日は私が主催する「クリスタルボウルのコンサート」の日なんです。素敵な天使エネルギーを持つ女性をお呼びして、宇宙につながるクリスタルボウルの音を皆さんへ奏でていただくんですが、実は、私と仲間も、前座で、世界の楽器を奏でること予定しています。

アフリカの太鼓ジャンベ、北海道アイヌの口琴ムックリ、ベトナムの口琴、アメリカインディアンのレインスティック、チベット密教のチベタンカウベル

そして、仲間の女性が踊るハワイのスピリッツフラダンス！

夕方６時からですが、どうぞ、皆さん、宇宙からの音を魂で聞いていてくださいね。あなたのハートもきっと、喜んでくれるはずです。

2006.10.22 Sun

神さまの意味と年長者

一般の皆様のように、神さまや霊を見えない・感じない方が、何をどう大切にして生きるかについてですが、一番大切なのは、まず生き神さま＝年長者＝おじー・おばーを大切にすることです。

なぜ琉球地方だけが数千年もの間、一般の宗教が入り込まず、ウタキや先祖供養や先祖ごとを大切に守ってきたのかを調べていくと、実は、その先祖ごとの付き合い方に、神さまとの付き合い方の本質が隠されているのです。

おじーやおばーを大切にする心は、琉球地方に、本当に今もたくさん残っています。

日本にも昔あった心で、誰もがそう教えてこられたはずなのですが、ここ５０年間ほどの”個人主義”を優先しすぎた結果、結局、自分たちの心がすさみ、昨今の事件を引き起こしているのです。

おじーやおばーを大切にするという意味は、生きている人間の年長者を大切にという意味もありますが、実は、先祖の代表だからなのです。

先祖の代表とは、過去、自分を生んでくれた親、親を産んでくれて祖父母、祖父母を生んでくれたそう祖父母・・・・・。この亡くなった方たちをさかのぼっていくと、実は、みなさんの”魂のふるさと”まで、さかのぼります。

この”魂のふるさと”は、人間だけのものではなく、すべての生類（しょうるい）の御霊のふるさとでもあるのです。動物も植物も、昆虫や微生物も、花も木も、山も川も、すべてに存在している”魂のふるさと”なのです。

この目に見えない”魂のふるさと”を守っている方たちのことを神さまといいます。

そして、その神さまは、ときには、人間の身体を借りてこの現実世界に現れるときもありますし、目に見えない形で、その声を聞こえる人たちへ大切なことを伝えにきてくれています。

神さまやご先祖の目に見えない世界のことを正しく聞き取り、皆さんへ伝える役目、つまり神の代弁者が、神人（カミンチュウ）なのです。

しかし普通の人間より霊的感覚があるからといって、すぐに、すばらしい神人になれるわけではありません。神人には、神さまと同じように、”霊格”があります。

その霊格をひとつあげるにも、人間としても、霊能者としても、とても辛い経験を乗り越えなければなれません。ですから、昔から神人になることは、大変、苦しいこととして、その役目があっても逃げ惑う人たちもいたのも、仕方がないことなのです。

この見えない世界がなぜ厳しい世界かというと、実は、この神の世界には、人間が作った勝手な常識や倫理感は、一切、通用しないからです。だから、霊格のある神人ほど、神に向かうときの覚悟は、ものすごいものが必要になるのです。

人間の本質には、生きとし生けるものすべての本質に通じる大切なものが、魂の記憶にインプットされているのです。それを思い出すのに長い年月を経て、人生を反省し、その学びを子供たちへ伝える知恵の伝承者が、おじーやおばーなのです。

理由がわからなくても、「あそこへは、夜は、行ってはダメだよ」とか、「この時期に、あの方角へ失礼なことを言ってはいけないよ」とか、不思議なことですが、実は、たくさん大切な過去からの知恵があるのです。

その過去からの大切な”いいつたえ”の伝承者が、おばー（女性）なのです。

だから琉球諸島の島々の神事は、おばーたちが取り仕切ることになっているのです。そして、その全体を見守るのも、神人（女性）なのです。

どうぞ、こういう大切な心を、一人でも多くの周りの方へお伝えください。私がこのブログを通して、皆さんに、本当に伝えたいことも実はそういうことなんです。

目に見えなくとも神さまは、いつも見ているからこそ、日々の一人一人の行動と意識がとても大切なのです。お祭りのときだけや、自分が困っているときだけ、神様に手を合わせても、神さまは、決して喜びませんからね！

そして、神さまに向き合う時のルールも誰かが、きちんと伝えていくということも、そこに生まれた人や、そのことを知っている人たちの大切な役目だと感じています。

目に見えない世界のことを、宗教がどうの、誰かがどうのと言い訳する前に、自分たちのご先祖に感謝するという行為を自分はどうしているかを問いただしてみてください。

自分の親や年長者を大切にすることは最高の”しつけ”でもありますし、実は、自分の存在そのものがあることに感謝することにもつながっているのです。

だから、ご先祖や、おじーおばーや、神さまを大切にするということは、実は、自分が生きていることをありがたいと心から思うことの行動の表れでもあるのです。

大切なことを守り続けてくれている伊良部島・宮古島、そして、琉球諸島すべての皆様に、心から感謝を送りたいと思います。ありがとうございます。
2006.10.21 Sat

神さまのことを正しく知る必要性

沖縄諸島の神さまの取扱いをご説明しておきたいと思います。

私がこのブログで書く内容は、書込みしている最中に、直接、神さまから教わることも多いのですが、私の言葉が、もし厳しく感じた方がいたら、神さまの言葉としてお許しくださることをお願いします。

もう一方で、厳しい言葉になる理由は、私が誰よりも、ウタキの恐ろしさや霊的な見えない世界の恐ろしさを知っているからこそ、皆さんに危険を回避していただきたく、ご注意申し上げているのです。

特に、宮古島のウハルズウタキに関しては、細心の注意が必要な場所です。

私は今年３月、今まで誰もできない厳しい神事をやりとげたからこそ、神さまもやさしく応対してくれましたが、地元の神人でさえ、泣き出し、逃げたくなるくらいに厳しく辛い神祈りの道のりでした。

他の一般のウタキでさえ、地元の人でも、年に一度のお祭りの時以外は、立ち入ることも許されないほど、厳しい守りのルールがあります。

私がよくお話するのは、知らないで済むことと、知らなくても許されないことがあるので、このブログでなるべくそのことを詳しくご説明するように心がけているつもります。

muiさんのように、なんだかわからずこの場所へ導かれる方も、最近、多いようですが、宮古島諸島に足を踏み入れる方に、導かれる理由がない人はいません。

ほとんどの方は、自分が現実社会のなかで、心のバランスを崩したり、辛いことがあったり、理由も無く、何か生きる目的を見失った方が多いようです。

その他は、突然、メッセージのように、導かれる霊能者タイプの方もいらっしゃるようです。

でも、なぜ宮古島なのか？、その明確な理由にわからないからこそ、宮古島にいかなくてはと感じて訪れているのですから、初めてのときには、知らなかったことも神さまも許してくれます。

しかし後で、実は、失礼をことをしていたと知ったのなら、その失敗を一度で学び、二度と起こさないように、次回、心構えをするわけですから、私のメッセージはそのためになれば、うれし

く思います。次回、きちんとご挨拶して、筋を通してくださることをお願いいたします。

muiさんが三度、ウタキに引き寄せられたのは、ご先祖を含めた御霊と神さまの誘導です。

それは、あなたの本質が、今、何を一番大切にしたがっているかを思い出しなさいというメッセージですし、自分を含めて、大切にするべき人を大切にしなさいというメッセージです。

神ごとやご先祖ごとは、知らないで済むことと、それでは許されない厳しいルールがあるとお話しました。ではまず、どうすればいいかというと・・・。

一般の方は、他の土地へ行ったら、まず、地元の人に聞くことをお勧めします。地元の人でも、正しい知識を持っていないと感じる場合は、そういうことが詳しいと思われる人を教えてくださいと聞いてみることです。

もっと簡単ですぐできるお勧めの方法は、年配のおじーやおばーに、直接、聞いてみてください。どんなことでも、やさしく教えてくれるはずです。

この琉球諸島の神ごとについては、現実の社会がどんなルールや倫理に変化しようとも、一切、変わることはありません。厳しく先祖代々、守り継がれている神さまのルールを守ってくれているのが、年長者たちなのです。

ほんの数十年前までは、大和の国（日本）でも、年長者を大切にして、知恵を教えてもらっていました。でも個人主義、核家族、個の生き方を優先して、年配者から知恵を教えてもらった経験が少ない方が多いのが残念です。

長く生きているということは、人生を見ている時間が長い分、先祖からの知恵を守っている方だと思って、わからないことは、自分から尋ねるようにしてください。

年長者で知恵のある人ほど、「老いては子に従え」を守っていて、自分からわざわざ教えることをしない人が多いからです。

私は琉球地方へ行ったときには、特に、その土地のおじーや、おばーの存在が気になります。
おじーやおばーが、明るく元気であれば、その土地は、おじーやおばーのことを大切にしているということですし、神さまの魂が伝承されているんだなあーと感じるからです。

年長者は、”生き神さま”だと思ってください。

それが、最初の神さまとのお付き合いを学ぶ方法です。

どうぞ、これからも皆様の書き込みに感謝いたします。ありがとうございます。
2006.10.20 Fri

2006年１１月１１日の意味

●メッセージ

2006年11月11日、この日を境に、この世とあの世の扉は、完全に開かれることになるだろう。そして、これより先１０００年の間、宇宙からの”光”は、さらに強さを増すことだろう。闇に隠れ潜む者たちよ、もう、あなたたちの居る場所はない。

過去に囚われて生きる時代を終えて光に進み出で、自らの心を開き周りの人の意見を受け入れるか、または、さらに闇に深く潜り、いずれ消滅するまでのまもない時間を最後まで守り続けるのか、あなたは、最後の選択をしなくてはいけない時期が近づいている。”光”が強くなるということは、光へ進むと決めた者たちの魂へ、愛の守護が強くなることを意味する。

愛の守護は自らの生きる目的を問うがごとく、自らの喜びと周りの人たちの喜びが、常に等しくなる生き方を実践しつづける人たちが増えるということである。反対に、自我のみに生きて苦しみ、その原因を他人や社会のせいにし続けたものたちの時代は終わり、他我を愛することができる新たなる自我を今、見つけることである。

天命は、生あるものすべてに与えられているからこそ、反対のカルマに生きる時間が長いほど、今後さらに無限なる苦しみの渦に巻き込まれていくことだろう。宇宙の創造主は、この地球の人間の魂の進化の遅さを悲しまれておられる。

愛を持って与え、愛を持って許し、愛を持ってあなたを育てた結果が、まだ、生まれてまもなき子供のように、地球を、自己を、他人を破壊し続けるのなら、与えたチャンスにとどめをささなければいけないことになるだろうと伝えている。

神は、あなたの中にある。

それが全体神でも、個人神でも、自我を守れば、あなたは、最後の学びを学びきれていないことになる。自らを守ること、これが一番、わかりやすい”自我”であることを今、知りなさい。光のサポートは意識次元が上がったときに、さらに現実へ大きな振動を起こすことだろう。そのときに、あなたが一番守りたかったものさえ、守れない弱さに気付かされることになるだろう。

天我の光は、あなたのなかにある。

それを神我とも、心神とも、宇宙神とも、大我とも呼びながら永い間、探し求めていた光なのだ。もうすべてのこだわりを解き放し、自らを愛するがごとく、他人を愛しなさい。そのときがきたことをここで伝えておこう。

（説明）

皆さんは”現在”に囚われて、過去や未来を見ています。しかし、実際に意識の世界に、時間という概念はありません。つまり、あなたの意識が時間を越えて、”今”を素直にみれるようになると、過去も未来も見えてくるということです。過去のあなたからすると、現在は、未来ですが、未来のあなたから見ると、現在は、過去です。

つまり過去や未来は、ある時を境にして見ているだけなので、あるときを決めなければ、時間軸を自由に動くことができるというわけです。このことを普通にできるのが、霊視や透視の力ですが、みなさんの無意識もそれに近いように、時間を移動することができます。（幽体離脱も同じことです）

時間を移動できるようになると、現在を生きることに力をいれなくてもよくなります。過去を反省する自分を何とかしなければいけいないと、悩まなくてよくなります。人間の肉体が滅びるまでの時間は、誰も測定できないのですから、あなたが自分の価値を今、”現在、１００点”と設定すればいいだけなのです。

人間の肉体で経験することは、実は、”意識の経験値”の１００分の１ほどのことなのです。だから、本当に大事なことに早く気がついてください。映画マトリックスはドラマではありません。実際の現実より、意識の世界の重要さを語っているだけなのです。

あなたが何を今、思うかだけで、実は、もう未来が決まっているのです。そこで注意することは、自分という概念を捨て去れるかどうかです。意識の世界には、判断がありません。感じたこと＝事実、そのままなのです。自分の感覚を大切にしてください。感じることを大事にしてください。それが宇宙意識の始まりなのです。
2006.10.14 Sat

”天女の井戸祭り”

昨日、伊良部島の佐和田の浜の前にあるホテルてぃだの郷の猪子立子オーナーとお話をしていて、素敵な情報を教えてくくれたので、ここでご紹介いたします。
伊良部島や宮古島には、とてもたくさんの井戸があります。宮古島に最初に訪れて神さまのご挨拶回りをしていたときに、神さまに導かれて行ったのが、水を守る神さまとして有名な宮古島の大和井（ヤマトガー）でした。

（２００４年１月の体験談より抜粋）
それは歴史探訪の地図を見ながら、順番に気になる場所を数ヶ所まわっているときでした。突然、地面に２０メートルほどの大きな穴が、ポッカリ開いている場所を見つけたときには、息が止まりそうになりました。案内板を読んでみると、そこは昔、湧き水の井戸として生活の大切な場所でした。さらに、特別な人しか飲めなかったために、厳しい警護の人間が付いていたと記されています。国指定文化財　大和井（井戸）

この沖縄諸島の小さな島々では、飲み水が湧く島と、飲み水が無い島があります。高い山も、川も無いこの宮古島も、決して水は、豊かでは無い島でした。水を汲むための数メートル下の石段を降りていこうとするとき、ふと、足を止めろ！と心の中で言われました。

声の主は、昔からこの場所を守るこの井戸の守護神です。神さまに心の中で、この旅の目的と自分の説明をしました。しかし、なかなか入る許可をいただけません。その守護神は、何度も、「お前はここを壊す者ではないのか？」と私を問い正します.

その度に、そうではないことを説明しますが、なかなか納得していただけません。あきらめて、すぐそばにあるもうひとつの小さな水を汲む場所に行きました。でもここも、やはり中には入れません。ここに立ち入るものは、地元の者で、許可を得ているものだけだと理解したからです。

その場を離れる前に、もう一度、お礼のご挨拶をしたときに、「水は、命である」と声が聞こえました。その意味は、ここの水を手にいれるために、失った命もあったし、この水のおかげで、救われた命もあったからです。悲しい出来事や事件が、たくさんあったのです。

そしてここ宮古は、実は「都（みやこ）」であったとわかりました。「水は、すべての命」なのです。私は、改めて、そのことを深く感じとりました。今回は、とても大変な経験をしましたが、それくらい水は大切なものだということです

水の大切さを十分知っている伊良部島の人たちは、”天女の井戸祭り”と呼ばれる井戸のお祭りして、たくさんの井戸の神さまに水を与えていただくことのお礼祭りをしていたということですが、

なぜか、昨年まで続いていたこのお祭りを、今年から中止になってしまったということでした。

このことを知った猪子オーナーは、宮古島のローカルＦＭ局の番組で、この「天女の井戸祭りは、絶対、守るべきものだと思いますので、ぜひ、継続して欲しい！」と皆さんに呼びかけたそうです。すると、宮古島市の議会でも、このことについて取り上げられる予定になったというので、私も今後の住民の声とともに、見守っていきたいと思っています。

市町村合併の利点とは反対に起きることが、こういう小さなことが消えていくことです。

島の一部と小さな行事は、その島に住む人しかわからないいろいろな想いがあります。でも合併して大きな市になると、その声を伝える人の声も、聞こえづらくなってしまうからです。予算も大きなものから順番に決まるものですので、小さな大切なものを守るのは、地元の住民の声しかないのです。

そして、神ごとには、皆さんが自分の希望で行う「お願いごと」と、”ゆーくい”などの先祖から伝統的に行われている「伝統儀式」と、もうひとつ、お願いこごとが叶ったときやご報告の意味としての「お礼参り」があります。

最近、この大切な礼儀を忘れた方たちは、よくお願いごとはするけれども、そのお礼参りをしないことが多いと、神人からも嘆きの言葉を聞くほどです。
私たちが今の快適な生活を普通に、そして安心して過ごせるようになるまでに、どれくらいのご先祖様たちが尊い命を落したりしながら、土地を守り、水を守り、自然を守ってきたかを忘れていることが、私は残念でしかたありません。

今は、日本のどこにいても、水道の蛇口をひねると水が出ます。でももし、水道管が破裂したり、電気が止まると、その命の水さえ、一瞬にして止まることもあるのです。そのとき、私たちを守ってくれるのが、昔からある井戸や地下水なのです。

生まれたばかりの子供の「産湯（うぶゆ）」の水がもし、なかったら、あなたはどうしますか？水道が止まったから、水道局に文句を言いますか？電気が止まったから、電力会社に文句の電話をしますか？大切な子供の命を守るのに、あなたに知恵や知識がないと、大切な命さえ、守ることができないことを考えてみてください。

その大切なことを忘れたり、水の大切さを次の時代の子供に伝えていく努力をしないと、私たちは、「今を生きる」ことができなくなってしまう可能性もあるのです。

「水は、命」　　どうぞ、そのことをたくさんの子供たちへ、伝えてあげてください。

もうひとつは、うれしい情報です。

先日、伊良部島の佐良浜地区で、「神さまの付き合い方を学ぶ」テーマで、地元のおばーたち３人のお話を聞くために、２００人ほどの島の皆様が集まったそうです。それは、もう、私も、とてもうれしいことです！

何度か伊良部島の方にあって話をしていると、普段の神さまごとのお付き合いの仕方を聞いて、大切なことが伝わっていないと感じたので、次回、私の話でよければ、ご説明いたしましょうと言っていましたが、地元のおばーが、皆さんに話してくださることは、神さまの伝言でもありますので、とてもすばらしいことです。

そのサポートをしてくださった方が、地元の先生たちらしいと聞いて、本当に、子供たちのことを大切にしてくださる皆様には、心からのお礼を申し上げたいと思います。　ｍ（＿＿）ｍ
ぜひ、島の方たちの書き込みをお待ちしております。

そして、さらに、驚いたことは、伊良部島に生まれる女性たちは、神がかりの人が多いということもわかりました。猪子オーナーの知人も最近、神人修行に入った人のことや、私が３月に伊良部島で逢った女性も、沖縄本島に戻ってから、神人修行に入ったと報告を受けています。

そして、現在、伊良部島を訪れる人たちのなかには、全国から、この島へ来て、大切な場所に手を合わさなければいけない方たちが、集まってきているという現状も、猪子オーナーから教えてくださいました。

猪子さんには、以前、北海道へ来られたときに、北海道の一番高いところにある湖の御神所で、龍の神さま（白龍）と話をして、伊良部島を守るために大切な神様を担いでもらっています。

彼女のお役目は、島の大切なものを守りながら、今までにない島の新しい観光の形を提案することですし、神人修行や魂の迷い人たちのために、魂の道先案内役としてのお役目もあるようです。だから現在もたくさんの魂の迷い人たちが、自分の魂の役目をまっとうするために、この伊良部島を訪れてきています。

ここ伊良部島は、日本の聖地でもあり、日本の母であり、見えない世界をつなぐ大切な神人たちの登竜門の場でもあります。

私もそのためのお手伝いができていると猪子さんに言っていただいたことで、心からの喜びを感じていますし、大いなる神々の感謝とともに、お礼申し上げます

2006.09.19 Tue

本物のユタ?偽者のユタ？

ママさん、ご質問ありがとうございます。
このご質問は、とてもシビアな面があるので、私なりの意見をちゃんとお話したほうがいいと思いますので、ここでご紹介します。（私自身も本物かどうかはわかりませんが・・・（笑）

それと、ユタという呼び名は、実は、失礼な呼び名ですので、神人（カミンチュ）と呼んでくださいね。

ご質問のお礼の金額とか、拝みの仕方とか、改善効果とかについてですが、私自身の経験から考えますと、自分の霊力と、自分の人間力、そして、現実のバランスを神人本人がどう考えているかによると思います。

霊力も実は、神人によってさまざまですが、自分を低く見て喜ぶ人は、神人自身も、お客さんもいないと思います。だから自分をどう見せたいかが「欲」になってきます。欲がわるいのではなくて、自分の決めたこことが、回りの人に喜んでもらえているかが、大切なことだと思います。

そして、一人の人間として、現実をちゃんと生活できているかも大切なことです。母として、女として、個人事業主として、現実のバランスをとれなければ、私はどんなに素晴しい霊力があっても、その人を一人前とは認めません。

収入という現実のバランスを取れないと、人のためにしている仕事なのに、自分が生活できなくなります。神ごとで苦労をすることは仕方がありませんが、人間として一般の生活ができないことは、人間として自分を守る力がないことになりますので、その人が何を守れるのかと問いたくなります。

お金の安い・高いは、人によって価値感も違いますし、ご本人の満足度によるものなので、設定は自由でいいと思います。以前、私のお客さんから教えてもらった情報で、東京のある霊媒師は、９０分で７万円だと教えてくれました。当時、私は、料金をとても安く設定して苦労していたので、目からウロコでした。（笑）

ようは、ご本人の予算の範囲で見てもらえる方を、誰かに紹介してもらうことが大切だと思います。最初に、料金を聞くのもいいでしょうし、本当にお金がないなら、最初に、「これだけしかないのですが、いいでしょうか？」と聞くのもいいでしょうね。

私の知人の伊良部のユタは、料金は、お客様に任せるそうです。その理由は、神に使える身がお金がないから見れないとは、言えないからだといっていました。

拝みの仕方は、本当に個人差があると思います。伊良部でも、７部落ごとに風習も言葉も違いますし、宮古でも場所によって風習と言葉が違うように、祈り方も当然、細かいところで違います。だから、大きく考えれば、どれが正しいとかは、ないと思ってください。

私も神祈りをしますが、形や言葉は、その場所で感じたことをいつもしています。だから形にこだわるより、その人の祈りから感じる言葉のエネルギーで、ご本人が感じたものが一番大切だと思います。

よけいな知識は、逆に、判断のじゃまをしたり、相手に失礼になることもあると思いますよ。疑問があれば、相手も人間ですので、素直に尋ねればいいと思います。もしそれで怒るなら、ちょっと、おかしいと思ったほうがいいでしょうね。

一番、難しいのが、「改善効果」でしょうね。その実感も、聞いた人の受け取り方しだいですもんね。

先祖ごとについては、結構、共通部分があると思いますが、神人が指導する方法も、その神人の知識によって違いますので、言われたことが正しいかどうかより、自分自身が、「神人に言われたから、それをしたのに？」と感じているのか、「神人の言われたことは、自分のするべきこととして、すべてさせてもらいました。」と自分の責任で行うのかで、ずいぶん、とり方も意味も違ってくると思いますよ。

でも、難しい問題ですね。私自身は、神人の責任より、聞いた人の責任を、いつも問いますね。

「目に見えないことを知る意味」を理解しようとするなら、その責任は、それを聞いた自分しか取れないですからね。

神人意外にも、今は、霊媒師やスピリチュアルカウンセラー、セラピストと、たくさんのメッセンジャーがいますが、個人の霊力は、本当に個人差があります。でも、私はそういう人に逢うと、すぐにわかりますが・・・それは意味がないですもんねー。

ただ皆さんに知っておいてほしいことは、たとえば、あなたが偽者の神人に何かを言われて嫌な思いをしたいとします。でも、その神人を選んだのは、自分です。

あなたがその人を選んだことも、迷い道の経験をするということで、魂の学びには必要なことだと、考えています。ときには、それもご先祖のお導きと見る場合もあります。（この世で出会う人は、すべて過去世で逢っていますのでね！）

私のところへ来る方の中にも、たまに、いろんなところへ行ってから来る方がいますが、お話を聞いてすぐわかるのは、今まで誰かに言われたことを、全部完了していないということです。

いつも、自分に都合のいい部分だけを信じて、自分の嫌なことを言った相手に×を出す人は、永遠に魂の上昇が無いので、問題からさけていることになりますので、問題は、次々と起きるものです。

神人に向かい逢うということは、神に向かいあうことと同じことです。

その意識と責任を持って望めば、神人も、神も、も必ず、本気であなたを大切にしようと思うはずです。

笑い話ですが、経験１０年の人に言われた言葉を信じれなかった人が、経験半年の人の言葉で、意識や現実が変わることもあります。ようは、相手との波長が合うかどうかも、大切なことだと思います。

そしてこれは私が出会った神人にお話したことですが、今の現代人に、過去のご先祖に対してのルールがちゃんとできていないと言っても、全部できるわけではないので、大事なことで、その人ができることだけをやさしく教えてあげて下さいね！とお願いしています。

神人の彼女たちは、修行時代を含めて、ものすごくきびしいルールで生きてきていますので、そのことを皆さんにも本当は理解して欲しいのですが、今から昔のことを全部覚えて実行するのは、難しいでしょうからね。

だから、ただ自分が困ったことだけのお願いに行くのではなくて、神人に逢ったことで、もし、貴重な体験ができたと感じたら、ぜひ、お電話でもいいので、神人に、感謝の報告をしてあげてください。

本当のお礼とは、お金だけではなくて、人間としての心の表れが一番大切なことですからね！

最後に、このＨＰを過去に偶然みつけていましたので、私には一切関係はありませんが、一般知識としてご紹介しておきます。　　火の神☆クラブ（ヒヌカン・クラブ）
2006.09.12 Tue

神人（カミンチュウ）の本当の役目

昨日は、「神人への道」についてご説明いたしましたが、今日は、皆さんに質問です！神人が、何のために存在しているか、本当の役目をご存知でしょうか？

霊を降ろしたり上げたりするため？土地を守るため？神祈りの行事のため？ウタキを守るため？

沖縄のそれぞれの島出身の方でも、何となくわかっているようで、本当の意味を理解していない方が多いので、ここできちんと覚えてくださいね。

まず神人は、三年間の修行が終わった知らせとして、必ず、”身体のどこかの骨が折れます”。

これはとても痛い経験ですが、このおかげで霊力が宿り、さらに、自分が担当する神様が決まります。（私の場合は、左足の親指の骨が折れました）

そして神人の生まれ持った役目として、大きく分けて、担当する神様の種類も、二種類あります。ひとつめは、ほとんどの神人が担当している神として、まず、土地の神さまです。そして、その土地に生まれたすべての家族と、そのご先祖様の魂を担当しています。

※誰かが亡くなった場合、４９日に親族全員が神人の所へ集まって、亡くなった方からの最後のメッセージを聞くのも、今では減ってきたと現地の人から伺っています。

さらに、自然神のなかでも、火の神さまは、全員が担当になっています。

※沖縄以南の島々では、女性しか神人になれません。その理由はいくつかありますが、女性本来の役目が”命を生み出し守る役目”だからだと私は、考えています。その命を守るために、”火”はとても大切なので、女性が守っているのです。

”火の神さま”は、どの家庭でも女性が担当して、一番、大切にしている神さまです。だから、この火の神さまの扱い方を指導するのも神人の役目と言えます。もうひとつ、数は少ないですが、さらに大きな神さまを担いでいる神人がいます。

それは、今まで説明した能力のほかに、大いなる神のどれかを担当していますが、そういう神人は、その土地の代表ともいえるくらいの強い霊力を持たされています。私が出逢った伊良部島の神人は、”龍神さま”を担いでいました。

彼女が担いでいる”龍神様”は、”天地創造の神”と呼ばれるとうり、天から地までのなかで、三次元に直接影響を及ぼす力を持っています。※つまり、水の神や風の神を動かす力があるので、地震や雨風を引き起こす力を持っています。また、宮古島で出会ったもう一人の神人は、さらに大きな宇宙につながる神さまからサポートを受けていて、私が彼女に伝えなければいけない伝言は、”宮古諸島全体を担当するように！”と言われたことでした。

※その責任はとても重く、彼女も、即答できないくらいに大きな責任と役目が生じます。

神人は、肉体は人間でありながら、神の意図を伝える役目と、人間の願いを神へ伝える役目をしています。つまり、目に見える世界と目に見えない世界との橋渡し役をしているのです。しかし、現在では、西洋文化の影響か、この神さまや、目に見えないことをないがしろにする安易な方たちが増えたおかげで、神さまたちが守る霊力が衰えているのも事実です。

生まれた土地の神さまを支えているのが神人たちだとすると、その神人や先祖が大切にしてきたウタキや、大切な場所を守るのは、地元の住民の役目です。しかし、近年は自分の自己都合ばかりを神さまにお願いするわりに、この先祖が大切にしてきたことをないがしろにしている人も増えてきているようです。

ウタキを守る「司（つかさ）」おばー」がいないウタキは、誰がその役目をすれば」いいのでしょう？
今、ものずごく多くのウタキが閉ざされていたり、守れていないのも事実なのです。昔々の神人は、人が亡くなったときの、お坊さんの役目もしていました。つまり、”御霊上げ”をしていたのです。でもこれは、神人の霊力にもよりますので、全員ができるわけではありません。

地元の方の先祖の霊を降ろすことや、地元の亡くなった方の御霊を上げることまではできても、誰も知らない人の御霊を上げることなどは、まず手をつけたがりません。それは、この霊の世界の怖さをよく知っているからです。だから神人も、自分の担当以外のウタキには、勝手に入ろうとはしません。

霊は、人間に近い存在ですが、神さまは、全く違う高い次元の力を持った存在です。宇宙も、地球も、この日本も、そして、今あなたが住んでいる土地も、誰かが守ってくれているから、災いを少しでも減らしてくれているのです。私が今回、この神人の霊力のお話をした理由は、神人の

力が弱まると、神さまの守る力も弱まるということを知っておいてほしいからです。

神さまは、人間の都合だけで、この地球を守っているわけではありません。地球に存在するすべての存在は、宇宙から与えられた自然界のひとつとして調和していますので、自分勝手な人間都合だけではなく、自分たちのご先祖に感謝するように、大切なものを守り続けていかないと、エネルギーバランスが壊れてとんでもない事態が起きてからでは遅いのです。

沖縄諸島で一番最初に神さまが降りた場所と言われる久米島では、この強い霊力の神人が数名で、大切なエネルギーを守り続けています。このバランスが壊れると、あらゆることが、災いとして起きてしまうからです。霊力の強さは、守る力と、壊す力を兼ね備えているのです。

だから大きな意味でいえば神人は、地球を宇宙の一部の存在として、自分たちのいる場所を守っている役目の人たちなのです。どうぞ、そのことを心のどこかで理解して、あなたのご先祖や生まれた場所、そして、そこを守る神人たちとの付き合い方を、後世の人たちに伝えていってあげてください。

そして、最後になりますが、神人も人間ですから、完全な人はいません。神人であっても、精進を怠ると、簡単に身を滅ぼすことがあります。だから、それを知っている神人は、皆さんがときおり手を合わすより、もっともっと多くの時間を祈りに費やしているのです。

その祈りは、自分のための祈りではありません。皆さんが平和で、安心して生活ができるようにと、日々、祈ってくれているのです。そのことを知っておいてください。私の役目も、神人と同じです。だから、この地球を守るために生まれてきた一人として、皆さんに大切なことをお伝えしているのです。どうぞ、みなさんの力や思いを合わせて、私たちの大切な地球を守り続けていただきたいと思います。

人間として、大切なことを思い出せる場所が、ここ宮古島や伊良部島には、残されています。どうぞ、あなたの魂のメッセージを感じに来てみてください。ありがとうございます。

2006.08.26 Sat

神人（カミンチュ）＝ユタへの道

先日、伊良部島でお会いした女性から、お電話をいただきました。

その内容は、沖縄の神人（カミンチュ）から、「あなたは、神さまから、神人（カミンチュウ）にならなければいけない時期に来ています」と告げられたので、そのことを受け入れて宣言した後、今、毎日、拝所（ウガンジョ）を回っているんですが、何か、アドバイスはありますか？ということでした。

神人になるということは、最終的に、自分の神を持つ＝神につながる＝神の役目として生きる道のことを言います。

これは、決して、なまはんかな気持ちではできないことです。
以前、少しだけ書いたことがありますが、今年の３月の宮古島・伊良部神事のときに、伊良部島に住んでいる方で、現在、神人修行中という女性に逢いました。

その方の苦しさがよくわかりますので、これからのアドバイスをしましたが、神の声と、自分の気持ちをどうバランスよく調和をとるかが、とても難しい期間なのです。

この神人になる道は、普通は、”三年修行”と呼ばれていて、三年間は何をさしおいても、最優先のテーマとして、神の言葉に素直に動かなければいけません。特に、沖縄以南の神人と呼ばれる人たちは、昔からこのこの期間の苦しさを経験していますので、よく知っています。

でも、周りの人に頭がおかしくなったと思われたり、変な人になったと敬遠されたりするので、この苦しさから逃げ出そうとして、家族の命をとらえたり、大きな事故が起きたり、想像を絶する経験をしている神人も少なくありません。

だから、ほとんどの神人は、自分の三年修行の話はしません。普通の方には、理解できない苦しみがあるからです。

この期間がどんな感じかというと、まず、自分のしたいことは、ほとんでできません。すべての意思は、神にあるからです。自我を完全に消すための修行期間ですので、自我と神のいうこととのはざまに陥る苦しい時期なのです。

そして沖縄地方独特の神さまごとに手をあわせる祈りには、必要なものを買い揃えたりもしますので、祈るたびに、お金もかかります。

さらに、祈る時間は、朝も夕も夜中も関係ありません。神が必要とするときに、動けなくてはいけませんから、ほとんどの方は、仕事ができなくなってしまいます。

こういう経済的な問題や生活パターンの変化は、家族の問題を引き起こしたり、夫婦関係や親戚関係にも、大きな影響がでてきます。

皆さんが、普通だと思っている日常の現実世界での優先事項が、一切できないこともよくあるからです。

神に使え、神の一部となり、神の役目をする神人（カミンチュウ）とは、そういう役目の方たちなのです。

伊良部の神人と話しているときに、”大和の国の人”と私たち日本人のことを呼んでいましたが、現在の日本で活躍しているセラピストやヒーラー、また、スピリチュアルカウンセラーよ呼ばれる人たちとは、まったく違う存在くらいに、ものすごい経験をしなければできない仕事だと理解してください。

私も昔は、自分のことを”霊媒師”としか説明できなかった時代がありますが、今は、癒しの時代のおかげで、世間で受け入れられていることに感謝しています。

しかし、神人は、土地を守り、先祖を守り、すべての御霊のふるさとの神さまの伝言を正しく伝える役として、一生、働らかなければいけない役目の人なのです。

私も実は、大和の人間ではめずらしく、”三年修行”を経験しています。
だから、沖縄や伊良部島の神人に逢っても、互いの歩んできた道の苦しさを理解しあえますし、その結果で得られたお互いの”霊格”を尊重しあえるのです。

お電話いただいた６０代の女性は、琉球地方に最初に神が降りた場所と呼ばれる久米島出身ですし、さらに、現在、沖縄本島でも、自分なりに祈ることをずっと続けていた方ですが、それまでの祈りとは、桁はずれの修行の道に入ったことになります。

守るべきところを守る方がいない場所が多くなってきているのも、沖縄以南の島々の現在の大きな問題です。実は、そういう方たちがいないと、天災や災いから、守る霊力や神さまの力が弱まってしまうからです。

現代の風潮の面倒なことはなるべくしないで楽をしようとする一方で、こういう苦難の道へ進んでも、みなさんの土地や日本や地球を守ろうとする方もいらっしゃることを知っておいてくだ

さい。

だから、皆さんにお願いしたいのは、ウタキや拝所のルールを正しく知り、神人（カミンチュウ）の方たちとの付き合い方も覚えて、その大切なルールを誰かに伝えていかなければ、この日本を守る大きな霊力バランスが、崩れてしまうことになることを知っておいてほしいのです。

現在、それぞれの土地を守っている神人たちと、これから神人（カミンチュウになられる方たちへのご理解と、大切にすることの意味を知り、これからもさらなるご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

すべての過去を司る神々たち、そして、その役目を果たす神人たちに、心からの感謝と愛をこめて。
2006.08.25 Fri

宮古島の神さまへご挨拶するときのルール

初めて宮古島を訪れたときの神様のご挨拶ルールを少しご案内させていただきます。今回の場合、大神島と新城定吉さんの石庭へ行きたいという希望ですので、宮古島へ入るときの最低のルールだけ、お知らせしておきましょう。

沖縄以南の島々で今まで皆さんに、まずお願いしているのが、”絶対に、勝手にウタキへ入らないでください”　ということでしたが、宮古島の中には、唯一、入っていい御嶽（ウタキ）があります。これは、神人（カミンチュ）＝ユタも同じ意見ですが、平良市内にある「漲水御嶽（ハリミズウタキ）」です。このウタキの祈り方ですが、まず、鳥居で一礼してから、門の前で、一礼、そして、中へ入り、中央の建物の前で手を合わせます。

神道（一般の神社）では、二礼、ニ拍手、一礼ですが、この地の御嶽（ウタキ）のご挨拶には、拍手は入りません。（この拍手は、ある意味、門をあけろ”という意味もあるからです）そして、心の中で祈る言葉は、その地へ足を踏み入れたことのお礼と、自分の旅の目的を告げ、「どうぞこの旅をお守りいただけますことを心から感謝いたします」と、そっと手を合わせて祈ってください。あなたがもし、神の声を聞ける人ならば、必ず、何かの言葉をいただきます。もし、言葉が聞こえなくても、これであなたは、正式に、この地に立つことを許されたことになるのです。

この漲水御嶽（ハリミズウタキ）だけは、地元の方も、観光客も、いつでも受け入れてくれるＯＰＥＮなウタキの神さまなので、この地に足を踏み入れたら、必ず、最初と最後にご挨拶することをお勧めいたします。もしあなたがこのハリミズウタキに近づいたときに、誰か祈る人が居た場合は、門の外で、そっと、その人の祈りが終わるのを待ってあげてください。決して、後ろに立って順番を待つような、はしたない行為をしないように！

そして必ず、そのウタキを守っている人がいます。その人が清掃などしていたら、必ず、ご挨拶をして、「お祈りしていいですか？」と聞いてください。地元の人、そして、ウタキを守る人は、神さまの使いだからです。このハリミズウタキには、すばらしく大きい”がじゅまるの樹”があります。たくさんの精霊が守り、さらにその上からは、大きな神さまが、あなたを見下ろしていることをお忘れないように！

私が初めて宮古島へ足を踏み入れたときに、まず最初にしたことは、初めて逢った相手のことを理解のとおなじように、平良市内にある市役所で、宮古島の歴史が書かれた資料をいただきにあがりました。私がいただいたのは、Ｈ１２年作成の「平良市の文化財」というすい本です。この中にもまず最初に、漲水御嶽（ハリミズウタキ）が紹介されています。

次に、大神島へ行きたいと思った方は、ある意味、強いおおもとの神さまに呼ばれていると感じ

るころもあるでしょうけれど、実際に、いつ自分が大神島へ入れるかは、宮古島へ着いてからだと思ってください。それは、事前の心構えもそうですが、自分自身の興味から考えるだけではなく、自分が神さまに受け入れられているのかということが、とても大切だからです。そのことを言い換えると、天候や潮の状況もありますし、平良市内からバスで４０分ほどで港の近くへ行き、さらに少ない船便で行って帰り、またバスで帰ってくる時間のことを頭に入れておいて欲しいからです。

以前少しお話しましたが、この大神島は、宮古諸島全体を裏で守っている強い神様ですので、この島にご挨拶にいくことは、あなたの魂のおおもとへ帰ってご挨拶するという意味があります。それはきっと、あなた自身が自分の何かわからない混乱の答えを見つけにいきたいからなのでしょう。多分、このことを私に確認してくれた吉田さんは、もう行く前の心の準備が、できているでしょうから、大神島の神さまも、きっと快く受け入れてくれると想いますよ。

新城定吉さんの石庭へ行かれるときの注意として、早朝はご遠慮下さい。（新城さん自身の祈りの時間ですので）この石庭は、現在もたくさんの方が訪れていますが、誰かの本に書いてあったのを見て、ただの物珍しさから行かれる方が多いのも現状です。もし、新城さんへ個人的にお話したいと思ったら、事前にお電話してから伺ってください。（新城宅　0980-72-6751）また、新城さんをサポートされている女性のためにも、ぜひ、石庭の最低知識だけは、ここで学んでおいてください。

これはすべてのことについてですが、”祈り”には、必ず、ご挨拶とお礼があることを覚えておいてください。最初のご挨拶をする方は、多いのですが、最後のお礼のご挨拶をしない方が、多いのは、残念です。神道の神社でも、自分のための”お願い”をたくさんしながら、叶ったときの、お礼参りをしないために、自分の”運”を落としている方が多いのも事実です。まもなく、日本では、”お盆”というご先祖にご挨拶する時期ですが、これは、一年間、無事に生きられたことをご先祖にお礼報告する儀式です。もしお仕事の都合や遠くて行けない場合は、あなたの実家の方角や、西（魂の戻る方角）を向いて、感謝の祈りをしてください。これでも、ちゃんと、あなたのご先祖は、あなたの姿を見てくれています。

蛇足ですが、先日、伊良部島のホテルてぃだの郷オーナーから、伊良部島のお盆だと言う日をお知らせいただきました。宮古島も伊良部島も、大切な行事は、旧暦（陰暦）で動いているのは、知っていましたが、今年は、４年に一度のうるう年（閏年）なので、１年が１３ヶ月あるそうです。伊良部島では、この”うるう年”にしか、お墓を作れないという”しきたり”なので、今、急いで、作っている方が多いと話してくれました。

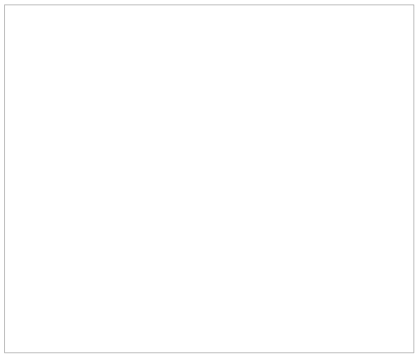
そして、自殺や事故で亡くなった方は、すぐお墓に入れないというルールもあるそうです。こういう遺骨は、数年間、ある場所で、成仏するための期間を待つようです。さらに、今年の伊良部

島のお盆は、新暦では、8/6-8/8なのです。これを旧暦に読み変えると、旧暦7/13-7/15になります。うるう年は、この７月と８月の間に、閏月として、１日から２９日入っています。だから一般の8/13-8/15より、今年は一ヶ月早いのかもしれません。

今年は、みなさんもご先祖にきちんとご挨拶をして、大きな神さまが守ってくれていることに感謝して生きて欲しいと思います。ありがとうございます。
2006.08.10 Thu

大神島の役割

宮古諸島の北に位置する大神島は、宮古諸島（宮古島・伊良部島・来間島・池間島）全体のエネルギーを司るほど、とても強い霊的パワーを発しています。



今日は、地元の方々から聞いたこの島にまつわるお話を少しご紹介しましょう。

この島は、宮古諸島の方でも、ほとんど島へ行かないという場所です。

それは、神人（カミンチュウ）＝ユタでさえ、特別な何ことがなければ、足を踏み入れないというほどです。それに、神人（カミンチュウ）に言われたのは、この島は女性しか入れない島だとも言われました。

なぜこの大神島が、女性限定で、特別に扱うかというと、今でも、とても大きな力で守っている神さまがいらっしゃるからです。

この力は霊的なものを感じられる人にとっては、、その重圧に耐えられないエネルギーの重さを感じます。私も２００４年に初めてこの島へ渡ると決断したときには、その日の朝から食べものを食べられなくなるくらいに、そのエネルギーがずっしり身体にのしかかってきました。

私もユタもそうですが、霊的なことを仕事にしなければいけない運命で生まれた人は、肉体を動かす前に、思った瞬間にそのエネエルギーが身体に入ってきます。

クライアントさんの場合でも、その方の身体の不調箇所が先に痛くなったり、ご先祖が先に、ご挨拶に来たりしますし、話の途中で、どこかの場所を想像するだけで、その場所のエネルギーが身体に流れ込んできます。

霊視・透視や強い神つながりの力を持つということは、そののしかかる重く苦しいエネルギーに対応できなければいけないので、沖縄地方のユタには人の苦しみを乗り越えるための経験時期としてユタの３年修行があるのです。

初めて伊良部島のユタに逢ったときに、大神島へ行ったことを伝えると、先ほどの注意をまず最初に言われましたが、私の役割や行く意味を伝えると、「吉岡さんは、どこのウタキにでも入っていいと神様が言っています」と言ってくれました。（あまり入りたくはないのですが・・・）

初めて大神島へ船で渡って、展望台の遠見台頂上の手前にある小さな拝所（ウガンジョ）に、ご挨拶してから、やっと身体が軽くなってきました。

船着場から島の左右へぐるっとまわれるところまで歩いてみましたが、その途中に、見てはいけないところや、近づいてはいけないことろもあります。

あとでユタに聞いた話ですが、大神島の最強のウタキは、現在、閉ざされているので、絶対に近づいてはいけないと、厳しい顔で言われました。

そのウタキのことをどうにかできるのは、島に住む人だけですが、もうこの島にはユタもいませんし、現在住んでいる方も数家族の老人だけです。島には廃校になった小学校が、この島の人たちの時代の移り変わりを感じさせます。

ウタキの神さまや島自体の存在にも、それぞれ役割があります。

宮古諸島の表の最大の神さまが、来間島にあるウハルズウタキだとすると、裏を守る最大の神様が、この大神島のウタキにいらっしゃる神様です。

昔から、女性がなぜ霊的に生まれる人が多いのかということも、この裏を守り続けるためですし、先祖供養をするのが女性なのも、自分が命を産み育てる役目として感謝をしながら、先祖の女性たちの供養も含めて祈っているのです。

琉球民族と北方民族のルーツは同じですので、その風習が今でも残っている北海道のアイヌ民族の儀式にも、先祖供養は、女性がするところが多く残っています。

私は何も感じないからいいだろうと思って、ウタキに勝手に足を踏み入れた人が、大変なことになった話を多く聞きますが、今の時代の付き合い方をここで覚えておいてください。

目に見えない神さまの代わりをしてくれる一番近い分身が、実は、その場所で生まれて、今でもその場所に住んでいる方たちなのです。

だから、あなたが大神島や大切な場所へ行くときには、その神さまのの分身であるおばーやおじ

ーたちに出逢ったら、きちんご挨拶をしてください。

よく沖縄方面へ旅をした方が、地元のおじーやおばーに、とてもやさしくご馳走してもらった話を聞きますが、おじーやおばーたちは、そのことをお返ししてほしいとは思っていません。

それは自分の家族も、島を離れてどこかで、誰かにお世話になっていることの恩返しも含めて、今、自分にできることをしているだけだからです。

誰かに恩を受けたことを、その人に返すほど、簡単なことはありません。

現代では、お金という対価で何ごとも解決していましますが、実は、お金では返せない恩や気持ちのほうが、もっともっと尊いのです。

そのことを知っている昔の人は、出会う人みんなが自分の家族のように振舞ってくれます。

だから、現代の価値や対価しか見えなくなった人たちは、そのことを感じさせてもらったら、自分の家にもどって、どう周りの人や親や家族に恩返しするか、また新しく出会う人たちに、お返ししていくのかを考えることが大切なことなのです。

思いやりは、普通のことです。そして、何気ないことです。

この島の人たちが、台風のときにどくれらい苦しい生活をしていたか、そして、どれほどの家族が亡くなったかを知らなくても、あなたが感じようと思えば、そのなかを生きてきたことを感じることができるはずです。

苦しみは乗り越えることで、生きる力になります。

悲しみは、受け入れることで、思いやりが深くなります。

そのことを普通に生活しているなかで、自然に先祖に感謝し、今、生きていることに感謝して、今、出会う人全てが、自分の家族のように付き合うやさしさこそ、これからの時代に必要なことではないでしょうか？

その大切なことを思い出させてくれるのが、宮古諸島であり、それぞれの島の役割なのだと私は感じています。

ウハルズウタキは父だとすると、大神島は、この宮古諸島の大きな大きな母だと思ってください。それは、あなたのずっと昔のご先祖の大おばー様かもしれません。

私も子供の頃の記憶に、父の兄弟が１２人いましたので、本家にお正月に親族全員が集まると、総勢４０人ほどになりました。戦争で祖父が早くに他界していましたので、農業や家計のすべてを取り仕切っているのが、本家のおばーさまでした。

お正月の２日には、吹雪の中を馬そりで１時間かけて本家へご挨拶にいくと、玄関の土間の囲炉裏のそばにおばーさまが座っていて、自分できちんと履物をそろえて、ご挨拶ができないと、やり直し！と怒鳴られたことを思い出します。

おばーさまに、一人一人ご挨拶してから、すぐに、奥にある仏間の仏壇に、家族でご挨拶にいきます。

戦争で亡くなったおじいさんや父の兄弟、また、子供の頃、亡くなった孫たちの分も、一生懸命に生きることで、日々の感謝が深まります。

親族全員が揃うと、今度は、長男家族から順番に、おばーさまに、ご挨拶の時間です。
子供たちの成長を報告し、健康であることの感謝を伝える時間です。

家族ごとのご挨拶が終わると、今度は、男たち兄弟だけを集めて訓示があります。それが終わると、女姉妹・嫁が集められ、とても厳しい訓示が言い渡されます。

この長い時間、私たち孫たちが隣の部屋で騒いでいると、よくおばーさまの雷が落ちました。

長い長いご挨拶の時間を終えて、やっと食事になりますが、４０人が一同に並ぶその大きな部屋の上座には、おばーさまが座っています。

その回りには、、兄弟の男たちが並び、その次に、兄弟姉妹の上から順番に、母と子供が座ります。私の父は７番目に生まれていますので、父は、おばーさまのすぐそばにいますが、母と私は、もうおばーさまが見えないくらい遠いところの末席に座ります。

食事ができること、家族が健康でいられること、仕事があることを喜びとして、また来年、この顔を全員が見れるように、みんなで協力しあって生きていきなさいと、おばーさまから訓示をいただきます。

こんなに厳しい親子関係ですから、当然、おばーさまのおひざに乗ったり、触れたりすることは、ほとんどできません。

でも自分が小学生になって、家族ごとのご挨拶のときに、ちゃんと一人でおばーさまにご挨拶を言えた時、頭を”なぜなぜ”してくれたことが、とてもうれしい記憶として残っています。

この体験は私にとって、家族のとの接し方や人との付き合い方で、とても大切なことを感じさせてくれた貴重な体験になっています。

大神島に足を踏み入れて感じるあの懐かしさは、きっと、大昔の先祖の大おばーさまのふところのやさしさなのでしょうね。

宮古島に足を踏み入れた方が、みなさん感じるあの暖かさも、きっと、皆様の先祖につながる暖かさなのでしょう。このとき感じるなんとも言えない暖かさ、やさしさ、懐かしさが、ふるさとへ戻ったという証なのだと思います。

どうぞ、遠く離れているあなた家族や、ご先祖に向けて、手を合わせて感謝する時間を、ときおり、とってみてください。

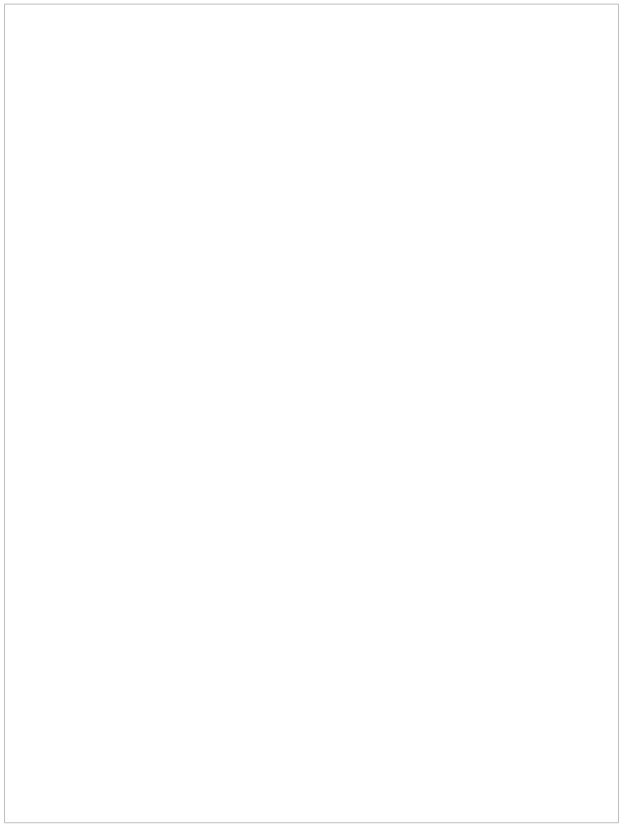
あなたのご先祖だけは、あなたがどこで何をしていても、いつも、見守ってくれています。

すべてを守り、命をつないでくれたすべてのご先祖・神さまに、心からありがとうございます。

2006.07.25 Tue

龍が立つ！

まだまだ龍の雲は、全国に現れているようですが、あなたはその姿を見つけているでしょうか？
全国のあちこちの方から、私も見ました！というメールを日々、いただいています。



この写真の撮影は、7/11　朝ですが、今日は、より具体的に、わかりやすい形で見せてくれていますね。（竜の落し子のようですね）

この日の空全体も、ものすごい勢いでいろんなものを見せてくれましたが、他の写真がピンボケしてしまっていたので、きれいな形で残ったのがこの１枚のみでした。

この龍の姿を見ても、私は龍には見えない！何も、感じられないという方がいるとしたら、その方のために、ひとつだけ、こう考えて見て欲しいと思います。

空の雲も、宇宙の星も、この世の中の偶然と感じられることも、すべて一瞬の出来事です。

ではなぜ、あなたはその一瞬のチャンスを見つけられたのでしょうか？

”偶然”という言葉で、この世に起きることをすべてを解決しようとするのなら、人が生まれるのも

死ぬことも、突然、何かよいことや悪いことがおきるのも、すべて偶然の産物なのでしょう。

もしあなたがそういう出来事をすべて”偶然”だと解釈して生きている人だとしたら、、あなたの人生は、偶然の連続なのでしょうね。

「いや、そうではない！私は自分のことは、自分で判断して行動しているから、それについては、偶然ではない」と、声が聞こえてきそうです。

では、そのあなたに質問しますが、そのあなたが決めたことで、自分の思い通りにならないことや、突然、うまくいくことがあったときに、起きるすべての出来事も、”偶然”と解釈して、あなたは今後の人生設計を自分の思い通りに組みたてることができるでしょうか？

こういう意見の方たちの特徴は、自分が理解できないことを”偶然”と処理して安心を得ます。

自分が見えないことや感じられないことを、現実と認識しないことで、自分が信じたいと思っていることだけを信じて、自分を守っているのです。

私は、実は、目に見えないことのほうが、現実なのです。

目に見えないことを感じ、そのすべてを受け入れることで、自然に心のなかに沸いてくるメッセージがあります。そのメッセージ（意識）が現実化するまでの時間が、人よりも早いのを知っているからです。

霊媒体質の方や、霊感がある方は、”感覚の受信機”が大きいのだと理解してください。
中には、まれに、”意識の送信機”が大きい方もいます。

こういう送信機の大きい方が、何かを思うと、すぐ現実化してしまいます。

だから、その方たちにお願いしてるのは、悪いことを思うことや、悲しい苦しい時間を減らして、気分を変えて、人生を楽しむ意識の時間を増やしてくださいとお話しています。

皆さんの何気ない意識も、実は、地球全体の意識に同調しています。だから、あなたが誰にも言っていないから大丈夫だろうと思って、こっそり自我のずるい世界をイメージしていると、どんどん、同じような仲間が集まってくるはずです。

世の中には、運がいい人と、運が悪い人がいます。その差は、何だと思いますか？

実は、この普段、何気なく考えている世界が違うのです。自分が人間として生かされていること、地球が守られていること、ご先祖様に、いつも守られていることを信じて、自分のするべきことを怠らず、怠けずに、生きることをしているだけなのです。

たまに、自我欲の強い人で運気も強い人がいますが、こういう方の特徴は、一時的に、事業や会社や財産がどれだけうまくいっていても、ある一瞬で、すべて崩壊したりしますし、大体は、その前に、身体を壊して病気になります。

感謝することや、素直に自分の間違いを認めて誤ることができない人の特徴とも言えます。

神さまやご先祖様、そして、龍神さまは、なぜ今、この地球のなかの日本を守っているのでしょうか？

なぜ今、こんなにたくさんのメッセージを蓄えて、皆様へ姿を見せているのかを、気付けた人から、自分の生活のなかの行動を変えていって下さい。

他人を否定する人は、誰かに、否定されます。人の好き嫌いを言う人も、永遠に人間関係で悩まされることになるでしょう。

この世の三次元の現実世界は、”すべて相対の世界”ですから、必ず、自分のしたことや思ったことさえ、”鏡の法則”で、自分にはね返ってくることになっています。

だからこそ、いいことも、悪いこともすべての自分のための学びとして、感謝して生きるよう心がけることが大切です。

龍神さまは、あなただけを守っているのではありません。地球全体の日本の高い魂レベルの意識の方たちに、今、一生懸命にメッセージを送っているのです。

ご先祖に感謝でき、親に感謝できたら、世の中の年長者を敬い、あとに続く若い方たちを導くような生き方ができるよう私も日々、精進しています。
2006.07.12 Wed

伊良部島の真夜中の祈り

昨日（7/6）の夜遅くに、ホテルてぃだの郷のオーナー猪子立子さんからお電話をいただきました。電話の内容は、これから自分の家族の女性たちと一緒に、夜中の１時から始まる佐和田地区の”黒浜ウタキ”の年に一度のお祈りに行ってきますということでした。

話には聞いていましたが、この地区のウタキ（拝所）を守ることができるのは女性たちのみですし、それぞれのウタキごとに年に一度、正式に、ご挨拶する日が決まっているのです。

それも、すべて夜中１時ごろに始まり、朝方５時くらいまでかかる行事だと話してくれました。

この島では、男性がウタキに入ることは、本当に年に一度の”ゆーくい（豊年祭）”のときしかないと言っていいくらいに、ウタキに近づくことさえできません。

なぜ夜中に女性たちだけで、お祈りを行うかというと、女性が陰陽のなかでは陰であり、太陽と月のなかでは月であり、天地のなかでは地の役目だからです。

命を守りつづけることも、産み育てることも、女性にしかできないことなので、命を守ることと同じように、神さまを守ることも、本来は、女性にしかできない大切な力のです。

この島では、ウタキごとに、決められた期間、そのウタキを守る”司（つかさ）おばー”が任命されます。そして、その地区を治めるための”ユタ”も、すべて女性しかできないという、大切な仕事なのです。

現代社会の常識になってきている”男女平等”も、意味を取り違えていて居る方が多く、本来の女性のすばらしさや役目を見失った方たちが、ただ社会のなかで、男と同じ権利だけを主張している方が多いのには、困惑してしまいます。

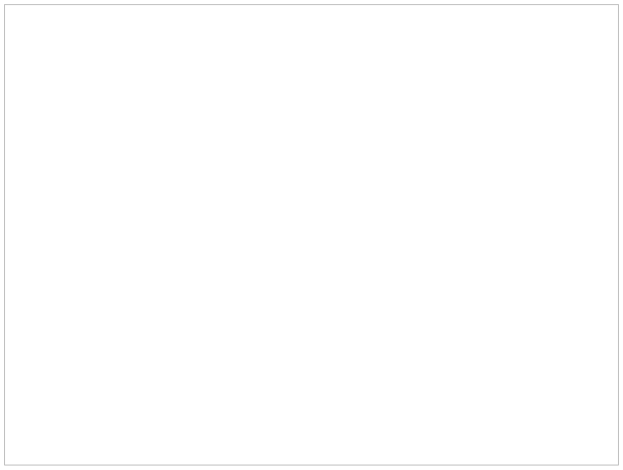
女性本来のすばらしさや、女性にしか与えられていない役割や力を、どう社会の中でバランスをとっていくかが、男女ともに学ぶテーマのはずですから、これから皆さんの生き方のなかで、もう一度、その”男女の意味”を見つめて欲しいと思います。

今でも、この大切なことを守り続けてくれている伊良部島の心温かい皆さまに、天意から敬意を払い、心から感謝いたします。

Posted
2006.07.07 Fri

龍が全国を駆け巡っています！

6月の末から空の雲の動きが、一気に激しくなっています。



この雲をはじめ、全国的に雲が龍の形で、皆さんへ大切なメッセージを送ってきてくれています。

「もう動く時期だよ！」と、声が聞こえてきませんか？

この龍の雲の特徴は、東北＝鬼門と呼ばれる方角から上がっています。これは日本全体の北海道の位置であり、そのなかでも、釧路などの道東と呼ばれる日本の最東北端の場所から上がっています。

私が6/26に、久しぶりにこの龍の雲を見つけたとき、私自身の守護が東北で、その東北を守っている神様が、クニコトタチノミコト（丑寅の金神さま）だから、東北＝鬼門から上がったのかと思っていましたが、今、現在でも、まだ皆様のために、龍の形をした雲が東北から上がって、全国の皆さんにメッセージを発信してくれています。

あなたは、ここ最近のエネルギーの変化を身体で感じていらっしゃいますか？

なんだかいつもの自分らしくない感覚や、とても疲れる感じや、眠っても眠ってもまだ疲れが残る感覚がありませんか？

それはあなたのエネルギー振動数を変えるために、身体が調整している時期なのです。

なぜだかわからないその感覚を気のせいにして、ちゃんと見つめることをしていない方が、もし、いたとしたら、今一度、自分自身の内なる声を聞いてみて下さい。

その声は、あなたの心の奥底から、何をしたがっていることを教えてくれるはずです。

そのメッセージが、とんでもなく無理と感じても、絶対に否定をしないで、すべてを受け入れて、「やります！」だけと宣言してみてください。

すると、スー・・と、身体が楽になるはずです。

それが、天の意思、魂の意思、守護している方の意思、守ってくれているご先祖の意思なのです。

あなたがいろいろなできない理由を一切言わずに、素直に、心の感じるままに生きると宣言することができれば、あなたは、これからとても大きなお役目と守護をいただくばかりではなく、その喜びをたくさんの人たちと共有することができるようになります。

地球上でいえば、１千億年ぶりにエネルギーのフタが空いたといってもいいでしょう。

魂の輪廻、カルマの輪廻、人間の今までの罪を一気に乗り越えて、皆さんの本質が望むことを実現する時代の準備ができたということを、龍が形を現して教えてくれているのです。

これからの時代、自分の幸せとあなたの周りの人との幸せのバランスが、すべてのことにおいて影響する時代になってきます。

言い換えると、自分がしているというより、すべてさせていただいている感覚で生きている人が、うまくいく時代といっていいでしょう。

伊良部島や宮古島諸島のあらゆる神さまたちが、何のために今まで皆さんを守ってきたのか、
一度、考えてみてほしいと思います。

あなたの小さな我や欲を満足させるために、神さまはいらっしゃるのではありません。

無限なる宇宙のつながりの一役をこの地球上で行うために、それぞれの神さまごとのお役目を地元を守りながら、皆さんにお伝えしているのです。

ここ数年、この宮古島諸島へ呼ばれてきた方は、あなたのご先祖が連れてきたと思ってください。

伊良部島は、すべての人のご先祖に一番近い場所だからです。

「大切なことを思い出せ！そして、行動にうつせ！」と、あなたを守りながら気付くのを待っているのです。

ここ伊良部島は、日本人すべての魂の故郷ですから、皆さんの共有意識のなかに、必ず、同じ感覚の意識が入っています。それに気付いた人から、同じ仲間に出会い、それぞれの生まれた地域や、今、住んでいる地域で、愛の実践活動を行うことを行動してほしいと伝えてきています。

この雲を見つけた人、観れた人は、もう大きな大きな守護をいただいています。

どうぞ、あなたの愛で、あなたのしてほしいことをまわりの人にしてあげてください。

すべての人は、愛でつながっているのですから・・・・・。
2006.07.04 Tue

インドと伊良部島

インドという国の名前を聞いて、あなたは何を連想しますか？

貧富の差・カースト制度・仏教のルーツ・ブッタ・釈迦の存在などいろんなことを連想されることでしょうね。でも一度、はまると抜けられない方が多いのも、インドの特徴のようです。私自身は今まで一度もいきたいと思ったことはありませんが、過去に、たくさんインドにはまった人たちに出会いました。

その皆さんに何がいいんですか？と訪ねると、共通した答えとして、現代社会への否定と逃避のあげく、自分が見つけた極楽浄土のように思っている方が多くおられました。

でもインドへ行って何をしているのか追求すると、みなさんが”逃避”です。

大麻の栽培が許されている村では、現実逃避をしたい方が世界中から集まってきていますし、貧富の差によって起こる犠牲者たちを見て、自分はまだ救われていると、現実の不浄な世界観の中から、自分の救いを求めている方にもいました。

自分で生きる力をなくした方は、自殺を考えてインドへ行く方もいるようです。しかし、私たち日本人が、なぜ、インドにまでいって、自分を見つけようとしたがるのでしょう？

ここで皆さんに質問です。　”インドと伊良部島”の共通項を見つけてみてください。

土地の大きさや風習などまったく違いますが、ひとつだけ同じ役割を持って、存在しています。

それは”魂のふるさと”だということです。

インドは、世界の人々の魂の故郷です。そして伊良部島は、私たち日本人の魂の故郷でもあるのです。

伊良部島へ足を踏み入れると、故郷へ帰ったときのなつかしさやいとおしさを感じます。その感覚は、お母さんのお腹の中へ戻ったときのように、暖かくてやさしくて、何も考えなくてもいい、じわーっと、安心感が心の中に溢れてくる場所です。

皆さんの生まれた場所や、今、住んでいる場所は、理由があって天（神さま）が選んで与えてくださっています。自分が選択できることは、ＹＥＳか、ＮＯしかありません。しかし、ＮＯを選

んでも、実は、進むべき道へ進むようになっているのです。

人間は、喜びのために、また、楽しむために、そして、誰かにそのことを実感してもらえる人になるために存在しています。そのために、現実社会を生き抜きながら、深くやさしい人間へと成長することを選んで、家族を持ち、愛を与えることをお互いに学びあっています。

しかし、愛を与えたくても、与える対象が居ない場合や、自分自身が愛を感じられない場合、人はみな一人の世界へ落ち込みます。そして、自分を信じられなくなってきます。自信を失い、鬱（うつ）の状態が、そのときです。

情報が早くなり、時間に追われて生きるようになると、ふっとした”間（ま）”を感じることができなくなってきます。実は、その間が、心の栄養素として、とても大切なエネルギーになっているのに・・・。

だから今、癒しブームとして、自然界から与えられる海の青さや、植物の緑、鳥たちの鳴き声や、静けさの中の静寂、そして、大きく赤い夕陽の力が、その心の隙間をうめるように、あなたを癒してくれるのです。

その深い愛の癒しパワーを今でも守り続けているのが、伊良部島や宮古島の神々のパワーです。

”神どころ”といわれる場所には、昔から島の皆さんが、いいときも、悪いときも、感謝の祈りを捧げてきました。家族に不幸が訪れたときにも、豊作で家族が来年の食べ物を手にいれられたときにも、同じように手を合わせて感謝し続けています。

だから、伊良部島の神どころのスピリチュアルなパワーは、日本の神道の神社のような、陽のエネルギーではなく、一番辛いときにあなたを癒してくれる”愛の陰パワー”として、あなたを癒してくれます。

人間の身体も、この世の中も、すべて”陰陽”でバランスで守られています。陰が、別に悪いことではなくて、陰のおかげで、陽へ向かうことができるのだと理解してください。

男女で言えば、女性が陰、男性が陽の役目です。命は、母の陰から生まれて、陽の父の生き方を見て、未来を創ることを覚えます。

伊良部島や宮古島は、実は、日本の一番大切な”陰”を守ってくれている大きな大きな神さまがいてくださるおかげで、日本のエネルギーが安定しているのです。

昔から一般の家族のなかにおいても、お母さんが影の大きな力を持っています。でももし、お母さんの心が不安定で、家族に不安を撒き散らす方だと、子供たちは、安心を得る場所がなくなります。

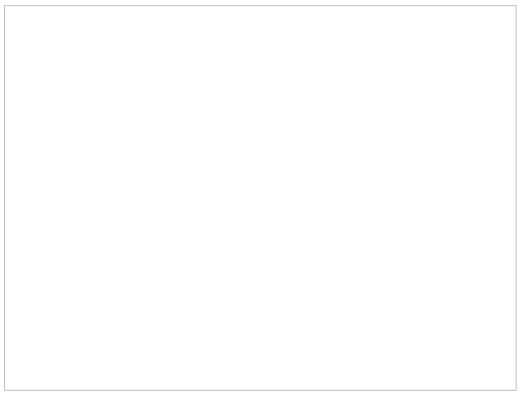
父性は、人間として進むべき道を導き、母性は、辛いときに、戻る場所として深い愛を持って、皆さんの心の中に存在しているはずです。

だから故郷やこういう素敵な場所で癒されたら、また、現実社会へ戻って、努力して誰かに喜ばれる人になるように、自分なりの生き方を見つけてくださることをお願いします。

辛いとき、悲しいとき、自分が乗り越えられないときには、ぜひ、伊良部島に１週間ほどお越しになって、目的も決めずに、朝日と夕陽と海と風を感じてみてください。自分の心が喜ぶままに生きてることができる最高の場所です。

自分には神さまの声は聞こえないと嘆くあなたでも、必ず愛を感じさせてくれるおばーや人の出会いがあるはずです。伊良部島は、そういう場所なのです。

日本のインド、私は、足を運ぶたびにそのことを深く感じています。皆さんの魂が、喜びを思い出すためのお手伝いをさせてください。ありがとうございます。



2006.06.19 Mon

太古の繋がり

人間の霊性（スピリチュアルリズムを追求したい方は、たくさんいることでしょう。でもその目的が、何のためなのかを理解していないと、永遠に出会う話題に振り回されてしまいます。

人間の今まで経験してきた歴史を紐解くとき、ある事実は見つけることができますが、そのことに詳しい知恵者になっても、本質の霊性が上がるわけではありません。本質の霊性とは、太古のつながりを感じることと、その祈りから始まります。

日本のスピリチュアルリズムを探求している方がよく口にする言葉に、”古事記”の話題がでますが、実はもっともっと古くからのつながりが今でも残っているところが、南は、沖縄・琉球地方の宮古島・伊良部島に始まる島々に隠されて今でも残っています。

また反対に北海道では、アイヌの本質を本当に理解できると、太古のつながりも見つけることができますが、琉球地方の太古のつながりは、天・神・先祖に始まり、そのエネルギーのおおもとは、中国までつながっています。

現代の日本人が忘れてしまったこの大切な霊性は、個人的な感覚的直感のことではなく、”本質＝おおもととのつながり”のエネルギーを身体と魂で感じることから始まります。こういうエネルギーは、自分の身体で感じなければわからないものですので、知識ばかり優先して探しまわっても、その方の心に感じるものは、薄っぺらなものになってしまいます。

太古のエネルギーが大きく集まっているところをパワースポットといいますが、それさえ、その場所の役割や次元ごとに意味や目的が違います。宇宙のつながり方まで知っていたアイヌの祖先たちの知恵をつかっていたことも、人間のルーツをさかのぼるとわかるように、東北地方や琉球地方の先祖も、日本全体と、世界にまで広く活躍していたことがわかります。

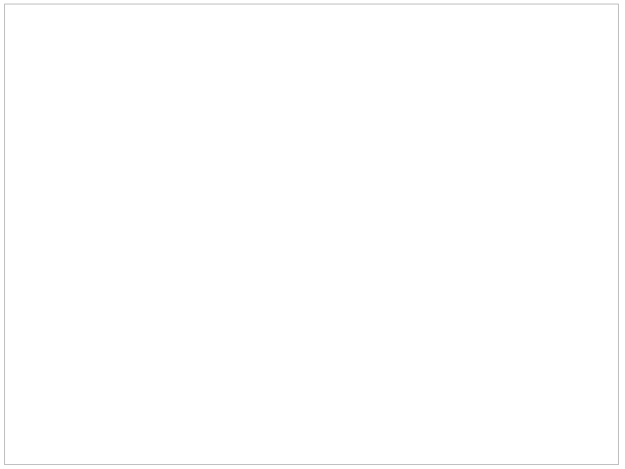
ではなぜ、今の文明や化学技術さえ持たない太古の時代に、世界中を旅できたのでしょうか？それは簡単なことなのです。太平洋をまわろうとするなら、くじらや鮭の回遊という習性から学ぶことができますし、テレパシーで聞くことも簡単なことなんです。

だから昔から羅針盤がない時代に、ハワイから北欧まで船旅ができたことを映画のなかで証明した、映画　地球交響曲　ガイアシンフォニーの事実の映像は、人間の霊性のすばらしさとその知恵に誰もが驚いてしまいます。太古の人間の霊性は、今の知識をはるかに越えたものでした。

その太古の霊性に近づくためにも、生きる知恵を自分で見つけるために、あなた自身が、自分の肉体を持って何も考えずに、身体をセンサーとして、北海道や琉球の島々を旅してみることをお

勧めします。人間が生まれてきた役目、あなたが決めてきた目的、本当にこの地球上でたいせつなもの、人間が大事に守らなければいけないものが何なのかを、あなた自身で感じて見つけてください。これから日本も世界全体も、人間にとって大きな試練が何度か訪れることがあるでしょう。

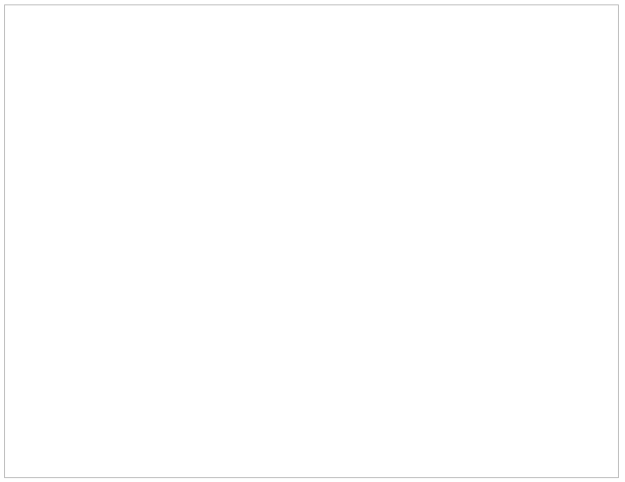
そのときに、どこへ動けばいいのか、自分の全ての感覚で見つけられる人だけが、未来の命を守ることができると感じています。そのためにも、まず、あなたがその感覚を呼び起こすために、ここ伊良部島・宮古島へいらしてみてください。あなたの人生が、今より輝くカギをきっと見つけられることでしょう。あなたのお越しをお待ちしています。

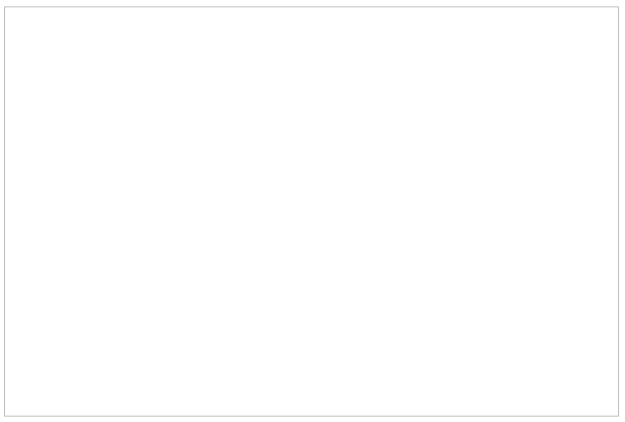


2006.06.18 Sun

神が守る場所　『通り池＆なべ底』

皆さんに、すばらしいご報告があります。伊良部島の西に位置する名所のひとつに、『通り池＆なべ底』があります。ついこの前の３月に、正式な神事を行ったときの最初の祈りの場所です。





その場所が、なんと！つい最近、国指定の天然記念物＆名所に指定されました！この２つの指定を同時に受けた場所は、沖縄県全体でも初めてのことだそうです。本当に神々さまのなさることは、すばらしい！

北海道・沖縄・大阪・伊良部島・宮古島のたくさんの方々の心あわせで成功を収めたこの神事が、こんな形で展開してくれるとは、夢にも思っていませんでした。ホテル　てぃだの郷のオーナーも心から喜んでくださいました。この聖地は、これから皆さんに、さらに大切にされることで、光輝いていくと思います。

今、想い出だして見ると、私が初めてこの通り池を訪れたとき、通り池の入口に、天然記念物の鳥”ヤンバルクイナ”が、こちらをじっと見ていたの思い出します。
真っ黒な身体に赤いくちばしのヤンバルクイナは、私を待っていたかのように、じっと、私の目を見つめていました。

神さまの化身だとすぐにわかったので、ご挨拶をしてから、なべ底を見て祈ってから、通り池でお礼の祈りを捧げて帰ってくると、まだその場所に、じっと、神さま（ヤンバルクイナ）は待っていてくれました。

そして、私が祈るその時間だけは、一切、他の人を近づけず、静寂の中の祈りになりましたが、帰りのご挨拶を終えると、観光客がざわざわと押し寄せてきて、神さまとのつながりの静寂が途切れたことを思い出します。
確実に、神さまは、今回の私たちの行いを喜んでくださっています。全国から応援してくれているみなさん、本当に、ありがとうございます。まだ伊良部島に行ったことがない方は、ぜひ伊良島の通り池を見てから、奥にある「なべ底」をご覧下さい。

「火の神」・「水の神」」「風の神」が一緒にいる世界でも珍しい場所の上に、さらに、久高島の神さまとのつながりの場所も、その下にある海のそばの場所にあります。
このなべ底が、あなたの魂のおおもとにつながる大切な場所だと、きっと感じることでしょう。
すべての神々さまの行いに感謝しながら、さらに今後、私たちは、霊的意識＝宇宙意識を高めて、愛と調和の実践をしていくことをここに誓います。ありがとうございます。

2006.05.21 Sun

龍と伊良部島

島全体が”龍宮”と呼ばれている伊良部島には、たくさんの神どころ（拝み所）のほかに、龍にまつわる大切な場所が、地元の人にも知られずにいくつもあります。
龍のことをよく知っている人は、龍神さまから直接、いろんなことを教えてもらうことがあります。私の仲のいい神人も、いつも龍神さまからメッセージをいただいています。龍はこの地球の守護神として、これからの天地創造の仕事を任されています。

世の中には、神と呼ばれる場所や奉り物がたくさんありますが、それぞれの意味や、役割が違いますので、その意味を正しく判断して付き合わないと、自分の少ない知識のなかだけの判断で、思い込みが起きてしまうことがあります。
思い込みは、大切な判断を誤ることがあります。自分にはこういうメッセージが聞こえたという方ほど、何かの意図が見えずに、たえず動かされている方を今までたくさん見てきました。

人間は、「想いの動物」だといつも思っていますが、その想いが、自分のカルマや先祖からのものだと、永遠にカルマのために動かされてしまうことになります。
カルマは、全員にありますが、その解消が人生の最終目的ではありません。本質の自分に気付くために、伊良部島や宮古島というすばらしい場所が、日本には、用意されているのです。

”魂のふるさと”とも呼べるこの場所に足を踏みいれたときには、ぜひ、ホテル　てぃだの郷から、その大切な場所を教えてもらって、観光ガイドをお願いして下さい。
本質の自分に戻れる場所、それが、ここ伊良部島です。
自分の魂の役目を思い出すための場所が、龍神さまに関わる大切な場所です。
そして、あなたの地元を愛する心を思い出すために、”神どころ＝拝所（うがんじょ）”があるのです。

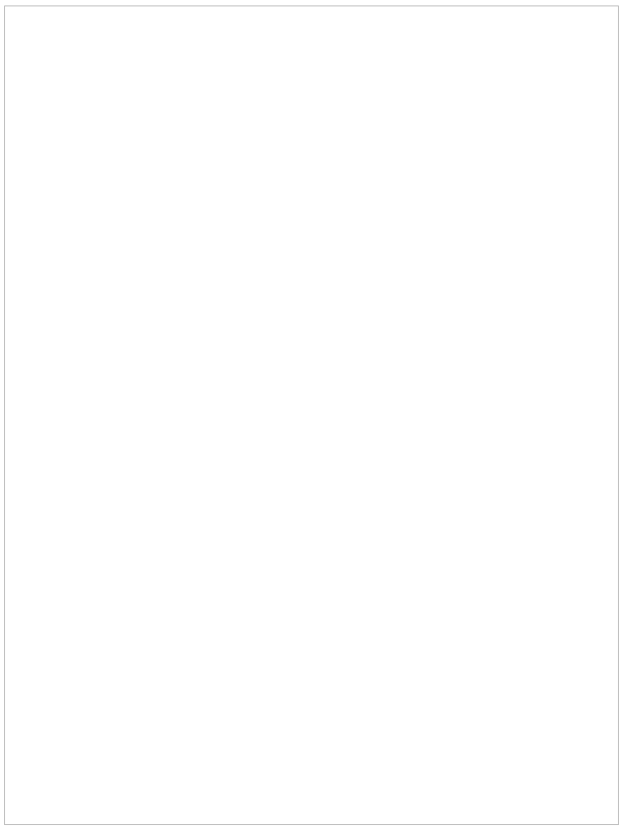
これから愛を大きく育む皆様に出会えますことを心からたのしみにしています。ありがとうございます。

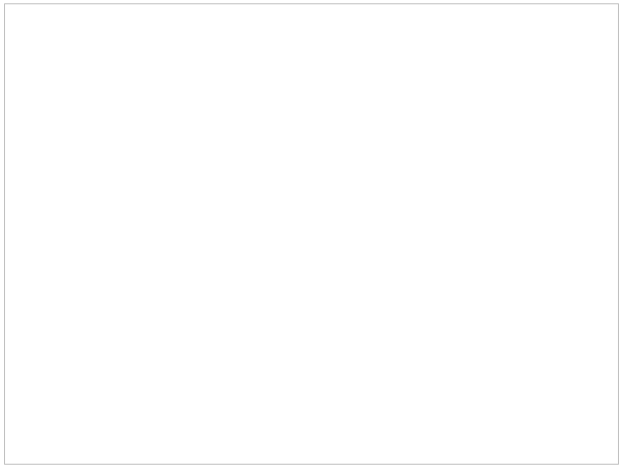
2006.05.18 Thu

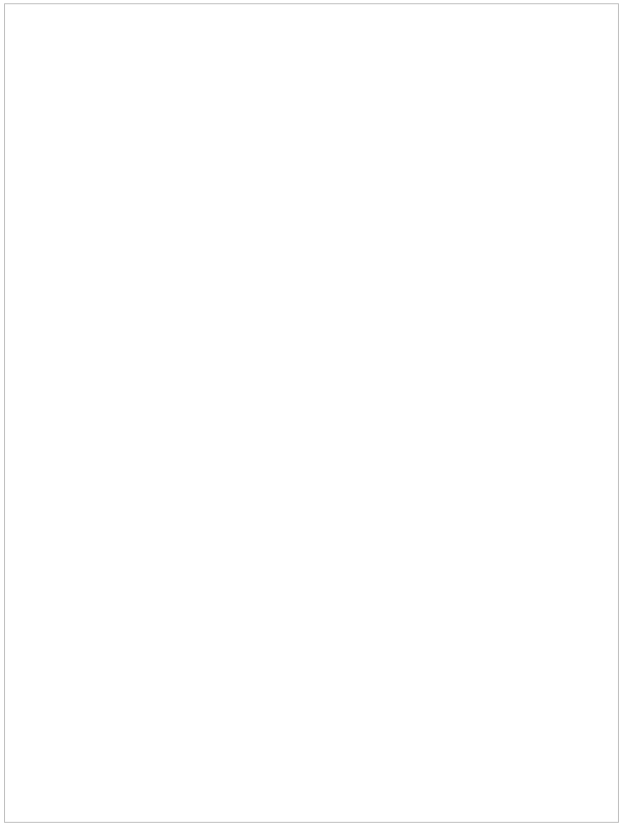
北海道の龍宮神　然別湖

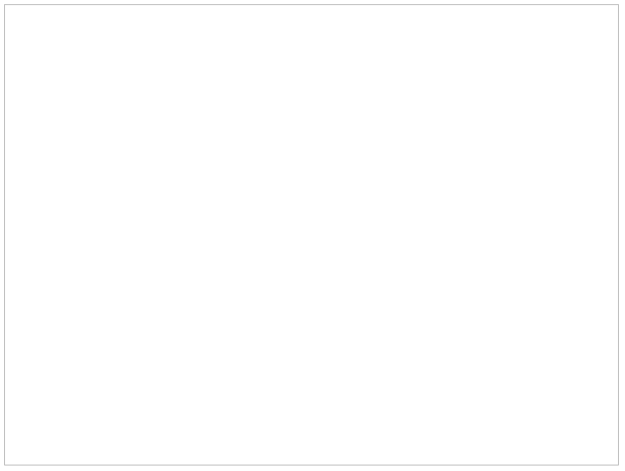
２００６年旧暦3/1の宮古島伊良部島神事をさせていただいたお礼参りをするために、北海道の一番高い場所に位置する然別湖を３０年間守り続けているホテル風水のおかみさんと、龍神さまの所へ向かいました。ホテル風水の８３歳のおかみさんは、本当はこの神事に参加する予定でしたが、出発の前日、体調不調で残念ながら参加することことができませんでした。

5/6午前、まず今回の龍神ツアー参加者から要望のあった小樽　龍宮神社のお札をいただくために小樽へ向かい、神主さんと主旨を説明して正式参拝をしていただきました。この小樽　龍宮神社のお札は、これからの新しい時代を支える愛の活動”地球創生の龍つながり”の証として持っていただくことにしています。ご希望の方は、吉岡までメール下さい。いつもながら空には、龍の雲が舞い踊ります。

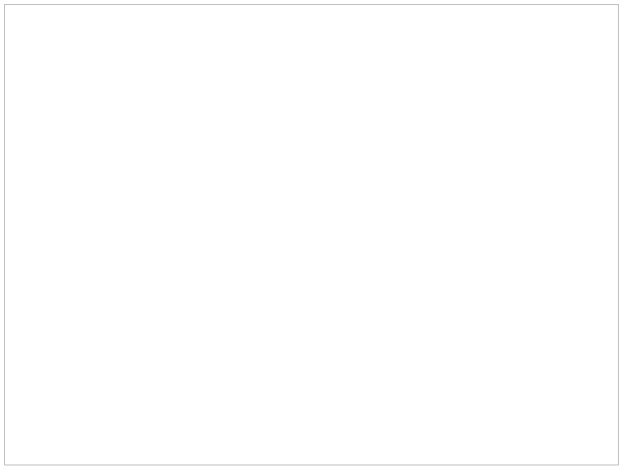




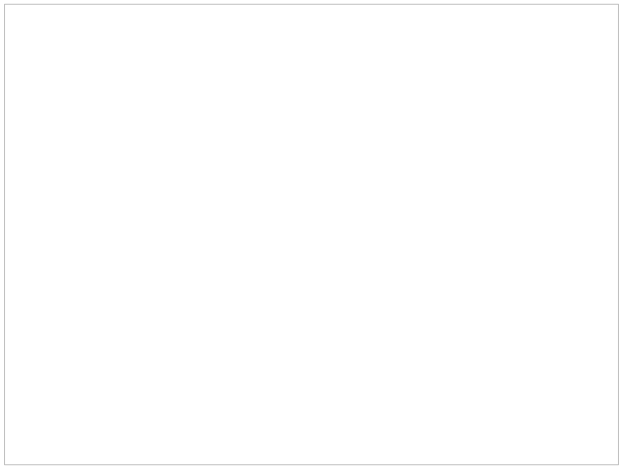




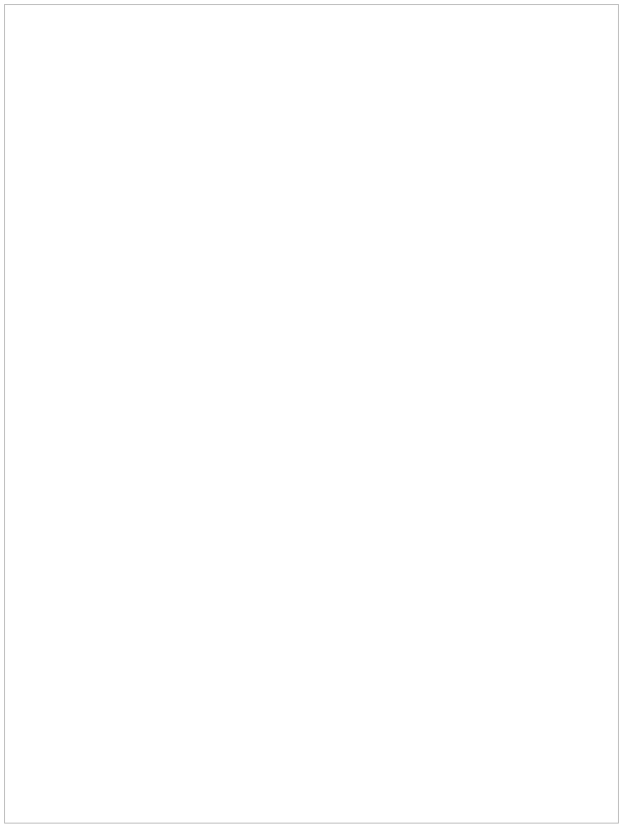
札幌から帯広方面へ向けてＪＲで２時間、新得駅から車で５０分かかかってたどり着いた山の上の然別湖は、まだ、氷に包まれていました。この然別湖の冬のイベントとして有名な「氷上露天風呂」には、２月・３月に入ることができます。マイナス２０℃を越える寒さのなかで入る”源泉掛け流し５０℃のお湯”は、氷上のなかでちょうどいいポカポカ温度となってあなたの心と身体を癒してくれます。くちびる山に夕陽が降りる頃、ホテルの真反対のある”南ペトゥトル山”も夕陽に染まります。



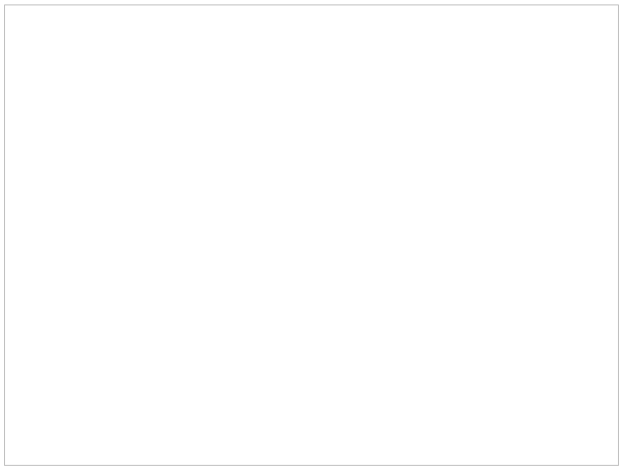
夕食前に温泉で”みそぎ”をしたあと、一般のお客様には知らされていないホテルの最上階のご神殿に登ります。注）このホテル風水には、２０年前から然別湖の龍神さまや自然の神々さまに毎日お礼の祈りをするための特別な部屋のなかに神殿があります。



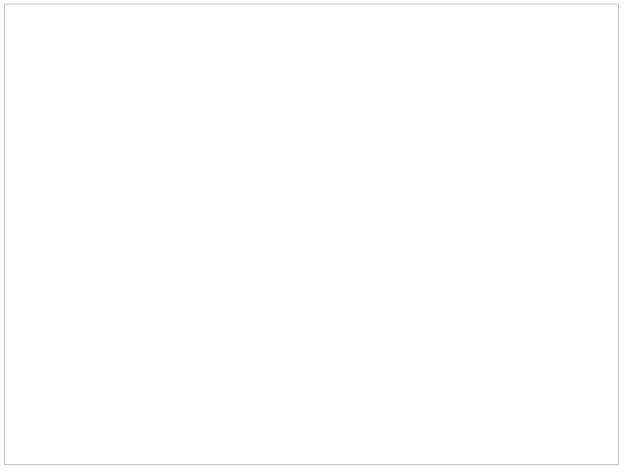
そして、伊良部島のなべ底から上がった天龍（白龍）さまもいらっしゃいます



5/7早朝４時半、日の出にあわせて祈りを捧げるために集まりました。

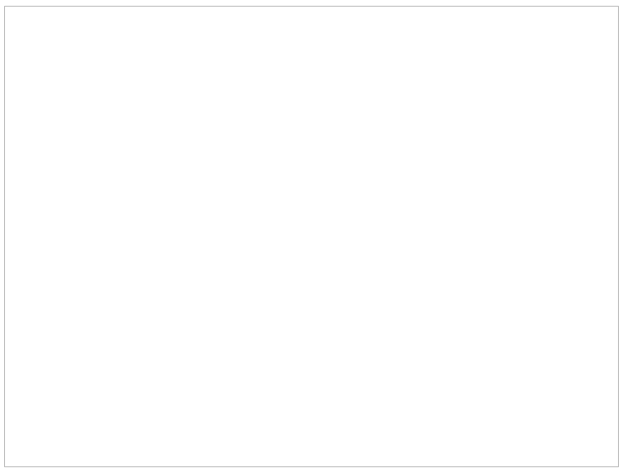


ここ最近にないすばらしい日の出になりました。



それぞれの神さまからもお褒めとねぎらいのお言葉をいただき、参加者一同、こころから宮古島伊良部島神事の体験に感謝しています。

そして今回初めておかみさんのご自宅のご招待されておもてなしをうけながら、先祖代々の芸術作品やご先祖さまのすばらしいご活躍を教えていただきました。今後、この然別湖の神さまが、全国の龍つながりの皆様をご縁を結べることを願って、おかみさんと記念撮影です。



今回、特別にお願いして８３歳のおかみさんが大事に飾られている、”中木家の家訓”のコピーをいただきました。日本人として、また、人の親として、何を教えるべきか、もっとも基本であり、とても大切なことが書かれているものです。この詳しい内容は、後日、吉岡学のメッセージブログでご紹介いたします。

宮古島の神々さま・伊良部島の神々さま、そして、そこに生まれた全てのご先祖様に感謝をして、今回の神事のお礼とさせていただきます。ありがとうございます。
2006.05.06 Sat

ストーンサークルの意味

北海道に多く見つかっているストーンサークルは、宇宙とのつながりを直接、持っていた場所です。アイヌ民族の中でも、長老などの特別意識が高い人たちは、常に、この場所でＵＦＯと交信をしていました。このときには、ＵＦＯも目の前まで降りてきて、メッセージを伝えていた記憶が、アイヌの子孫の無意識記憶のなかに残っていました。

宇宙のエネルギーは、高次元意識でつながっていると、間接的にでも、いつもこのサークルを通して流れていました。それはその場所に応じて、高い次元の意識を変動する機能を持っていたり、また、他の場所へ転送する機能を備えていたり、増幅する場所もあります。一般の人には、この場所の重要さを伝えるために、神、という言い方をして大切にしていたことも理解できると思います。

アイヌは自然神信仰と伝えられていますが、実は、古神道のように、地球創生の役割に添った神さまの名前を持っています。そのひとつに、国づくりの神「オキクルミカムイ」がいます。以前、高橋さんが苫小牧で版画で表している神さまの名前を撮影してくれた１１神の神さまの他に、もうひとつ加えて１２神がいます。

現在でも、この名前を言えるアイヌの子孫は、ほとんど居ません。理由は、まず女性には、教えていませんでしたし、子供には、当然、教えませんでした。知っていたのは、長老たちといいつたえをする役の女性だけが、一切の文字を残さずに、言葉だけで伝える方法をとっていたからです。文字にしない理由は、その情報を悪用されないためであり、また勘違いや読み間違いをすることがよくあるからです。

なぜ、アイヌ民族だけがそれだけ高い意識を持っていたのかといえば、ムーやアトランティスの文明意識が魂に残っている民族だからです。過去、この地球に二度現れた人類は、高度な意識上昇をしながらも、最後には、崩壊の一途をたどりました。

その理由は、全体との意識の不調和が原因だったからです。高次元意識は、宇宙そのもののエネルギーを使う方法まで知っていましたので、その力を使う心が幼いと大きな失敗も引き起こします。過去に２度、人類が消滅して、３度目の今回、この高次元意識をもつ人たちの全体のテーマが、「調和」であることも、これで理解できることでしょう。

いずれ、北海道の重要なサークルエネルギーをつなぐ時期がやってきます。それは、宇宙の高次元サポートを使って、この地球の意識と同調させて全体振動を起こし、全体の意識覚醒（魂のめざめ）をさせる時期がやってくるからです。

この世に実は、不思議なことや不思議な場所など、一切、ありません。そういう言い方をする人ほど、真意を理解していない人たちが、推測で話しているだけなのです。宇宙の本意（神の意図）を知ると、人間は、直接、宇宙につながるので余計なことは一切言わなくなります。

皆さんが知るこの掲示板の情報は、あなたの意識覚醒になるばかりではなく、無限意識にもつながっていて、自然に意識のチャンネルが上がっていきます。それは、言い換えると、いずれそのチャンネルを使って、あなたも役目を果たす時期がくるというとことです。

どうぞ、高次元意識を”普通”に置き換えて、生活の中で活用する方法を身につけてください。

この世に特別なものは、ありません。すべてが必要必然、なるべくしてなっているのですから・・・・・。
2006.05.06 Sat

宮古島と伊良部島の神の意味

皆様の魂がこの世に肉体を持って生まれてきて、親やオジー・オバーに育てられながら大きくなるなかで、自然に自我を持ち、自分の生き方や考え方が正しいと信じて、この現実社会を頑張っていることと思います。

しかし、あるとき、ふと、何か大切なことを自分が忘れていることに気付いた方が、今、増えているのも事実でしょう。そのあなたが探し求めているものは一体、何なのでしょうか？

仕事もうまくいき、家庭も持ち、人生では安定と呼ばれるものを手にいれたのに、なぜ、いまひとつ、心の底から、わき上がる魂の喜びがないのでしょう？

人間は、一人では生きていけません。自然界にあるすべてのものが、みなそうです。与え合うことが自然になってくると、共存し合っているといいますし、それを自然界では、共生しているといいます。

では、今の人間は、共生しているでしょうか？

私は、宗教的ではなく、あくまで個人意見としてお話しますが、人間が進化したことで忘れたものがあるとすると、それは、大いなるつながりを感じられていないことが原因だと思います。

その大いなる存在のことをよく「神」と呼びますが、一番近い呼び名では、「ご先祖」ともいえるでしょう。そのことをもっと大きな意味でとらえると、宇宙そのものとのつながりとも言えると思います。

大宇宙とのつながりや、神とのつながり、そして、ご先祖様とのつながりが、日本のなかで、まだ残っている場所が、宮古島や伊良部島の神さまと付き合う島の皆様たちです。

実は、その大いなる存在とのつながりが、さらに進化した形が、北海道に今でもかすかに残っているアイヌ民族の自然神信仰に隠された宇宙とのつながり方なのです。

沖縄の島の方たちが、何よりも大切にしているのが、今でも、おじーやおばーの年長者です。そのおじーやおばーには、先祖からいい伝えられてきた文化や大切な知恵があることをみんながよく知っているからです。

しかし、沖縄本島も数十年前から、西洋文化や個人主義、貨幣経済などがたくさん入ったおかげで、その大切な先祖との糸（神信仰）が、切れかかっています。

神さまとのつながりの場所のウタキを守る司オバーと呼ばれる人たちや、その神のメッセージやご先祖のメッセージを降ろす役目の霊媒師の神人（カミンチュウ）たちも、後継者問題に悩んでいます。

誰もなり手がいなくなってきているのです。それは、みんなが望んだことの結果としか言えませんが、今でも、その神につながる高い場所のエネルギーを求めて、本州から沖縄へ移住する人たちが少なくないのも事実です。

人が移動すると、経済が起こります。またその経済をめがけて、商売をする人が集まっています。2002年１月に、私が初めて石垣島へ一人旅をして驚いたことは、島の商店街のなかで、人が集まる店のほとんどが、本州から来て商売をしている人たちだったことです。

その人たちと一緒に飲みながら色々話を聞いてみると、地元の人は、お金儲けに欲がないからね～と話してくれたことを思い出します。

私もそれまでお金や欲を中心にで生きていたことを思い出し、それを魂の喜びのために生きると、方向転換するために、ここ石垣島へきたのに、こんな話を聞かされるとはと悲しんだことを思い出します。しかし、琉球列島の全体から、神信仰や先祖信仰の心が消えたわけではありません。

私が龍神ツアーとして何度も足を運んでいるなかで出あった沖縄本島古島や伊良部島の地元の皆様と本音で話して感じたことは、みんなも同じように、このままではいけないと感じていることです。

神やご先祖や大宇宙は、私たちに今、何を望んでいるのでしょうか？

それは、宇宙全体のつながりやご先祖も魂のおおもととのつながりが、神やおじー・おばーを大切にする心で通じ合うことができる。そして、今、生きている人同士の心のつながりのやさしさの実行　だと感じています。

”与え合う、分かち合う、人や自然を大切にする”

私は、このことを思い出す為に、今、沖縄の先祖の歴史や、神の意図を紐解いているのではないかと思っています。人間として、大いなる宇宙のひとつの役目を、日々の生活の中で表現することができるようになるために、この宮古島や伊良部島へ足を運んで、地元の神様に手を合わせることで、そのことを思い出して欲しいと願っています。

私たちは、いつも、その神さまや、ご先祖様や、大宇宙に、生かされているのですから・・・。

2006.04.29 Sat

時間を超える方法

皆さんは”現在”に囚われて、過去や未来を見ています。しかし、実際に意識の世界に、時間という概念はありません。

つまり、あなたの意識が時間を越えて、”今”を素直にみれるようになると、過去も未来も見えてくるということです。

過去のあなたからすると、現在は、未来ですが、未来のあなたから見ると、現在は、過去です。

つまり過去や未来は、ある時を境にして見ているだけなので、あるときを決めなければ、時間軸を自由に動くことができるというわけです。

このことを普通にできるのが、霊視や透視の力ですが、みなさんの無意識もそれに近いように、時間を移動することができます。（幽体離脱も同じことです）

時間を移動できるようになると、現在を生きることに力をいれなくてもよくなります。過去を反省する自分を何とかしなければいけいないと、悩まなくてよくなります。

人間の肉体が滅びるまでの時間は、誰も測定できないのですから、あなたが自分の価値を今、”現在、１００点”と設定すればいいだけなのです。

人間の肉体で経験することは、実は、”意識の経験値”の１００分の１ほどのことなのです。

だから、本当に大事なことに早く気がついてください。映画マトリックスはドラマではありません。実際の現実より、意識の世界の重要さを語っているだけなのです。

あなたが何を今、思うかだけで、実は、もう未来が決まっているのです。

そこで注意することは、自分という概念を捨て去れるかどうかです。意識の世界には、判断がありません。感じたこと＝事実、そのままなのです。

自分の感覚を大切にしてください。感じることを大事にしてください。それが宇宙意識の始まりなのです。
2006.04.22 Sat

宮古諸島神事の場所

２００６年の旧暦3/1～3/3（新暦3/29-3/31）の神事で祈った場所を地図にポイントしてみました。

伊良部島は、これで完全に”結界”を張ったことになります。

宮古島は、龍にまつわる場所つなぎと、神さまの順番を守りながら祈っていくことで、最上階（ヤビジ）まで順番に上がったことになりました。

しかし昨日から急に、池間島のウハルズの神さまが私のところへいらっしゃって、いろいろ言われています。あのとき、ご挨拶した神さまご本人というより、その側近の方らしく、何やら”やりのこしたことがあるのではないか？”と、しつこ私にく問いただしてきます。

確かに、ちょっと気になっていることはあるんですが、これは、ここ北海道からでもできるような気がしますので、もう少しじっくりその方のお話を聞いてみます。

神意識＝霊体意識からの問いかけは、とても重要なこともありますが、自分の意識をしっかり持っていないと、自分の心の弱みに付け込まれて、自分の平常意識全体を混乱させられてしまいます。

私が今、感じているのは・・・・・・なぜ今、また、そのつながりの意識を私につなぐのか？私に何をしろと言っているのか？地元を守る神人（カミンチュウ）たちも、日々、この神さまのからの言葉に対して対応しなければいけないので、そうとうな時間や感情を拘束されて動かされています。

神意識につながることは、こういうことの責任を取ることを含めて、そのことを人に言うことや、すべて見えない責任が自分にのしかかってきますので、私が絶対に、ウタキの鳥居をくぐらないでくださいと言う意味も、おわかりいただけると思います。

もし勝手に入った人が、きちんと神さまの声が聞こえて、謝ることができればいいのですが、だいたいの人は、何も聞こえないのと意味がわからないので、放っておきます。

すると、どうして私も言うことがわからないのだ！と、大事なことを気付かせるために、いろいろなトラブルや災いを引き起こすことも実際にあります。

ウタキという場所の、神の領域に足を踏み入れることに対して、自己責任を持てる人だけが、許

される場なのです。

あなたが目に見えないものを信じていないとしても、それは神様には、まったく関係ありません。領域侵犯、これは、どの時代にもある重要な犯罪行為だと、認識しておいて下さい。

インターネットを調べていると、勝手に、あちこにのウタキの中に入った写真を公開している方がいます。その方が、それを見た方の行動の責任を取れるのでしょうか？情報の公開は、興味本位で公開してはいけません。

そのあと起きる全てのことに責任を取れないのら、公開をやめるべきです。私がこの神事の全貌を公開するのも、皆さんに正しい知識と見識を持っていただきたいからですし、そのことの責任は、私が追うことを決めて行っています。

どうぞ、一人一人が、相手のことや文化や大事な場所をうやまうことを自然にできる大人として、これからの日々、行動されることをよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

2006.04.05 Wed

宮古諸島神事の気づき

さて、ここまでお読み下さった方々に、まず御礼申し上げます。
私はどんなことでも、なるべく”皆様が、普通に理解できるよう心がけてお伝えしていますが、読んで下さった皆さんのこころの中には、今、何が残ったことでしょう？

今回の神事のご報告で、どうしても書けないこともありました。それは、私がコントロールしているのではなく、いくら書こうとしても、画面から消されてしまうので、それはあきらめました。
ただ今回の宮古島・伊良部島の神事で、本当に大切なことに気付いてくれる方が、少しでもいてくれることを願っています。

人は理由も無く、行きたいところがあったり、したいことがあることの理由をわかっている方はどれくらいいるでしょうか？その意図や気付きの意味をもし理解できたら、どれくらいこの人生が楽しく思えることでしょう。

私たち神人（カミンチュウ）は、普段は、皆さんと同じ人間ですが、自分が望まなくても、目にみえない世界とのつながりを感じることで、大切なものを守り、そのことを皆さんへお伝えする役を頂いて産まれています。

もし、このことに大きな目的がなければ、みなさんと同じように、見えない部分を無視して、見える現実世界のことだけを優先して生きるほうが、どれくらい楽なことだろうかと考える時もあります。

でも、空の向こうに宇宙があるように、神さまは、存在してます。

よくわからないというあなたのために、神さまのことは、こう理解しておいてください。

神＝霊＝ご先祖＝意識体＝エネルギー体です。

これは、宇宙の全体の高次元領域においても、同じようにある段階であり、宇宙の構造なのです。星の大きさや位置がどうのというより、それぞれの役目が、宇宙全体のなかで何のためにあるのかは、まだ、ほとんどの方が理解できていません。

だからこの三次元にある、ウタキも、実は宇宙の一部として働いていますし、この三次元での役

目は、神の場でもあり、また、霊場でもあるのです。
だから、ユタや司と呼ばれる人たちが、大切に守っているのです。ですから絶対、勝手に、ウタキの鳥居をくぐってはいけないのです。

私自身は昔、霊をたくさん見させられて、あまりに辛いので、もう見ないと天に宣言してから、一切、肉眼では見えなくなりましたが、存在や感覚は、見えていたとき以上に、鋭くなっています。

今回、宮古島のユタと、伊良部島のユタの二人と共に、祈りまわった場所も、霊が見える人にとっては、辛くて足を運び入れることさえできない場所があります。
しかし、反面、そのウタキの神さまが喜んで下さると、今、生きている方たちを一生懸命に守ってくれます。それが、宇宙であり、みなさんのご先祖様なのです。

先祖信仰は、今の時代に溢れている都合のいい宗教とは違い、「今、自分が生かされていることへの感謝を示す」ことが祈りなのです。
なぜ、今、沖縄ブームだと思いますか？それは、２０世紀でお金・欲・力で闘い、疲れきった心と身体を癒してくれる最高のエネルギーが、ここ沖縄にはあるからです。

でも、そこに、日常の自分の都合を要求しすぎると、どんどん、今の沖縄本島のように、自然が壊されてしまい、自然や神を守ることもできなくなってしまうのです。
「郷に行っては、郷に従え」とあるように、その土地の風習を学び、土地の人を理解してあげてこそ、本当に喜んで受け入れてもらえるものなのです。お金で何でも解決する淋しい心の人たちは、お金が無くなった時に、きっと、大切なことに気が付くことでしょう。
この島には、愛があります。

島のおばーに、道を訪ねた青年が、「まー、お茶でも飲め。まー、飯でも食え。」と、たくさん世話になって、どうお返ししていいのか、わからないと相談されたことがあります。

「自分にいただいた恩は、くれた人に返すことだけではなくて、自分が今できることを、まわりの人にしてあげることで、そのお返しになるんです」と、お話しました。
宇宙全体では、この恩や徳というものが、ある理由と法則にしたがって動いています。

天は、地球の中で自然という全ての恵みを私たちに与えてくれています。そのお返しは、天には返せません。だから、今すぐできることとして、近くの誰かに、愛を与えることがお返しになるのです。

「人間は、殺生な動物です」
だって、自然界のあらゆる殺生をしながら、生き延びているからです。だから、「命をいただきます」という意味で、食事のときに、「いただきます」という言葉があるのです。

伊良部島に来ると、自然に、朝日に手を合わせたくなります。夕陽をみると、また、手を合わせたくなります。やさしいおばーの目を見ると、おばーに手を合わせたくなります。その全てを守って下さっている神さまに、手を合わせることは、宗教ではありません。

ただ、人間として素直な感謝のこころの表れなのです。そんな自分を思い出すためにも、ぜひ、伊良部島・宮古島へ、足を運んでみて下さい。きっと、あなたは、大切なものを自然に思い出すことでしょう。

今回の神事の「四方祈り」の意味は、伊良部島の四方祈りによる伊良部島という場の安定と、宮古島の四方祈りをすることで、宮古島の場の安定を図りました。

そして、この二つの島をつなぐ神さまの座を八重干瀬（やびじ）に置いたことで、宮古諸島全体の四方祈りにつながって宮古諸島の場の安定になりました。この安定エネルギーは、日本列島を守るの母（陰）の魂の安定エネルギーとなったことをここにご報告しておきます。

今回、祈ったウタキや大切な場所は、現在、どんどんエネルギーが上がっています。愛が、とても深く、やさしくなっています。
もし、これから宮古島や伊良部島へ観光で訪れる予定の方は、遊びの途中にでも、どこかの場所で、ご自分のご先祖を想い出して手をあわせてみて下さい。

この場所で手を合わすことは、一番早くあなたのご先祖へつながる方法でもあります。宮古島・伊良部島の自然の深く暖かい愛の波動は、ご先祖があなたをお守りしていることを体感できる一番近い島なのです。

今後、ホテルてぃだの郷では、こういう大切な場所をご案内する特別オプショナルも、用意いたします。船をチャーターして、伊良部島の一周クルージングも行う予定です。

私が年２回、主催する「龍神ツアー」も、全国からの募集を考えています。次回は、１０月頃に行われる伊良部島　豊年祭（ゆーくい）に参加するツアーです。地元の方と大事なことをお話する会も、きっと、実現することでしょう。

龍神ツアーも、毎年行っています。あと、５、６年すると、きっと、北海道のエネルギーの意味が、きっと皆様にもわかって、北海道の大切な場所を求める人たちで溢れるでしょう。
これからの時代に、地球創生へ向けて動く大切な人には、私の情報を公開いたしますので、吉岡までメールください。新しい未来を創る全ての皆様の愛の意識に、心から感謝いたします。ありがとうございます。
2006.04.02 Sun

宮古島　石庭（いしにわ）**2006**

日本中で、最大の宇宙エネルギーの場は、この宮古島にある石庭　から出ています。

宇宙につながる穴

石庭の持ち主の新城定吉さんとは、魂から話せる仲間として、お会いするたびに色々なことを確認させていただいてます。今回の神事のご報告と合わせて、今後の確認のために、仲間６人と4/1に伺いました。

新城さんの家の前に到着すると、今までにない人だかりにビックリ！
ご本人に、最近変わったことは何ですか？と訪ねると、「ここへ来る人が増えました」とおっしゃていました。

私も自分のＨＰを通して、正しい情報を出すよう心がけてはいますが、船井幸雄さんの本を見たという人が、多くこられているようです。

石庭の中に入られた方は、わかると思いますが、現在、３つのゾーンに空間が分かれています。

まず、以前からある石庭の真ん中のサークルだけは特別ゾーンとして、それ以外が、ゾーン１。

さらに、正面の一番奥にある「白龍の台座」と呼ばれている場所が、ゾーン　２。（この日も龍が休みにきていました。）

そして、現在、掘っている途中の状態の場所から、さらに向こう側が、ゾーン　３。

このゾーン３の世界は、真ん中のサークルで瞑想してつながった宇宙空間とも言えるくらいに、高い次元に直接つながっています。だから、ここには入れない人がたくさんいることでしょう。

霊の世界も、意識の世界も、宇宙の次元も、自分がわかっている次元以上のことは、気付かないようになっていて、そのおかげでそこが守られています。

私はこのゾーン３のなかに仲間をお連れして、そのなかにある場所の意味と役割を体感してもらいました。

宇宙のアンテナ、意識次元上昇ができる場所、宇宙の母の樹、精霊のいる場所・・・。

この場所のエネルギーの使い方は、これから出てくる意識が高い人たちによって、動かしていくことになると思います。しかし、この高次元のエネルギーの使い方を一歩間違うと、自分を含めて、とんでもない反動エネルギーとなって自分を崩壊させてしまうことになりかねません。

この高次元のエネルギーを使える方々は、「高次元の宇宙愛」をお持ちの方だけです。

簡単にいいますと、この石庭のなかの石ころを、ひとつでも勝手に持ち帰ると、ここから出たときには、別なエネルギーのものになってしまいます。ただし、新城さんが許可を出したものだけは、新城さんの愛の波動が一緒に働きますので大丈夫です。それが、この石庭の持ち主の意識だからです。

今回、新城さんとお話して驚いたのは、あの掘りかけの石（６トンくらい）は、もう動かさないつもりだとわかったことです。

ご本人は、いろんな人に、「どうやってここまで一人でやったのか？」と質問が多いので、作業途中のまま置いておくと言っていましたが、実はまだ、あの奥の次元を動かす時期では無いということが真相です。

新城さんが、ひとつの石を持ってきてくれました。

「吉岡さん、今掘っているあの石は、今までの石と全く違うんです。太陽に当ててみて御覧なさい」と。言われるままに、外へ出て、太陽光に当ててみると、ものすごくキラキラした一面が光ります。「きれいですねー」と、お返ししようとすると、「どんなエネルギーか、感じてみてください」と言います。

手の中に石をいれて感じていると、新城さんのサポートをしている女性が、急に苦しがりました。わたしがつながっている状態だと、ものすごいエネルギーがその場に出るようです。

エネルギーの意味を感じてビックリ！

内側は、とてもやさしく暖かいエネルギーなのに、外側は、とても強く輝き放ち、何かを反射する鏡のような、たとえば、バリアのように内側を守る強い反射エネルギーを出しています。

この反射エネルギーが、何に使われていたものなのかを感じていましたが、その時は、よくわか

りませんでした。後からわかったことですが、これは、地球の核を守っている地殻のバリアの石だったのです。

「すごい石ですね、これは使い方によっては、武器にもなるし、守りの最大の石にもなりますね」と言って、新城さんにお返ししようとすると、その手を反対に押し返されて、私にくれるというのです。

アチャー、また、もらってしまった！また、新たな役目が発生してしまう！！

私は以前、「宇宙調和の石」をひとつもらっています。どんなものでも調和させることができる、とてもやさしい愛のパワー石です。

そして今度は、「地球の核を守るバリアの石」。いただいた瞬間に、私は覚悟しました。この地球を守るために、命ををかけて使うという宣言です。

これが、地球を守っていた内側です。

そして、こちら側が、バリアのパワーを出している面です。

その境界線の中身は・・・

また神さまが新城さんを通して、私にお役を与えてくださったのですから、精進して頑張ります。

どうぞこれから、一緒にこの地球を守るみなさまと出会えますことをここからお待ちしています。

愛、無限一体。宇宙の光が、ひとつにつながるときまで・・・・・。　　感謝

2006.04.01 Sat

宮古諸島神事　東平安名崎

八重干瀬（やびじ）から平良港へ戻ってきて、宮古島のエネルギーつなぎのために、東へ向かいます。東の大切の場所は、観光名所で有名な、東平安名岬（ひがしへんなざき）の近くにあります。

宮古のユタがたどり着いた場所が少し違うと感じたので、私が気になる場所まで案内しました。実は、２００４年に偶然、自分で降りた砂浜がそうだったんです。

この砂浜に下りるとすぐにわかりますが、右側は普通の砂浜で、左側は、別世界になっています。大きな石がごろごろしていますが、実は、この巨石の空間エネルギーは、宇宙に直接、つながっています。あまりにも癒される場なので、この中に入ると、みなさんの意識もボーとしてきました。もし神事でなければ、何時間でもこの空間にいたくなってしまうでしょう。

入る手順をお伝えしますが、砂浜へ出て左へ歩いていくと、まず、大きな石があります。これは、別世界の入口であり、門番と言えますので、皆さんでご挨拶しました。

大きな石の中をどんどん進むと、さらに大きな石が正面にあります。これは陽の石です。

その陽の石のすぐ左側に、石が二つ寄り添った場所があります。実はここの奥に、神さまがいらっしゃるのです。

私はこの場所を守ってくれていることに感謝の祈りを捧げながら、皆さんにも祈っていただきました。これからは、ここから宮古島の愛のエネルギーが日本を貫いて、北海道に向けて流れていきます。

ウタキの神さまも、「私がいることをようやく気がついてくれましたね」と、喜んでくださいました。地元の人もこの場所を知らないで、ついゴミを捨ててしまう場所ですが、実はこの砂浜には、まもなく海ガメが産卵にやってきます。海ガメも、この高い次元の愛の波動を感じているのでしょう。
地元のみなさま、どうぞ、この場所を海がめと共に、きれいにお守りくださいますようお願いいたします。

私たちはこの空間にいることに感謝が溢れてきたので、みんなでゴミ拾いをしました。愛のゴミ拾い、させて頂きましてありがとうございます。

南→北→東ときて、最後の祈りつなぎの場所、宮古島の西であり、宮古諸島の中心にある漲水御嶽 (ハリミズウタキ) へご挨拶に行きました。
また船の時間がないので簡単にすませましたが、「ご苦労様でした。またどうぞ、いつでもお越し下さい」と神様がおっしゃって下さいました。

愛に溢れたこの３日間の神事に、心からお礼申し上げます。夕陽に迎えられた伊良部島の神さま、ありがとうございます。

ホテルてぃだの郷に戻るとなにやら心が喜ぶ音楽が・・・。そういえば、今日は、沖縄芸大ＯＢの演奏会の日、みんなで踊って、神様に感謝いたしましょう！

次回の書き込みは、この宮古島の祈りの流れにとても大切な石庭の新城さんとのやりとりのご報告と、今回のすべての体験の総まとめをさせていただきますので、どうぞ、お楽しみに！
2006.04.01 Sat

宮古諸島神事　八重干瀬（やびじ）祈り**2006**

旧暦**3**月**3**日　（新暦**3**月**31**日）

北海道を出る前に用意した国土地理院の地図には、現在の八重干瀬（やびじ）の全体図が載っています。八重干瀬（やびじ）とは、島になり切れなかった島と思って下さるとわかりやすいのですが、宮古諸島全体も、実は、サンゴ岩が隆起した島なので、海面との高低差で、こういう形になって残っています。

その現れる小さな島々には、ひとつひとつ名前があります。そして、その八重干瀬（やびじ）の一番大きな神さまのいる場所の名前は、フジ岩（フデ岩）と呼ばれています。ユタの話によると、富士山の形をしているそうです。あとで横を通ってわかったことですが、今は、小さな灯台があるので、すぐその場所はわかりました。

平良港から八重干瀬（やびじ）行きのフェリーに乗り込み、宮古のユタと確認をした事があります。実は、厳しい「赤碕ウタキ」と八重干瀬（やびじ）に、唐の神（とうのかん）のつながりがある場所を事前に地図で見せてもらっていたので確認したかったのです。ユタが教えてくれたその大切な場所は、「フッサ・ビジ」と呼ばれているとのことです。

宮古諸島のご先祖は、中国・シナ・台湾に命を救われた経験があります。だから、ユタたちは、その繋がりを大切にしています。ウハルズウタキの神さまから言われた「ヌーシの神さまにもよろしくな！」の意味は、実は、ウハルズの神も、唐の神（とうのかん）のつながりがあるからなのです。今日の最後に、お礼参りをする予定です。

平良港から90分で八重干瀬（やびじ）に着きました。まだ、干潮に時間があるために、船は八重干瀬（やびじ）をぐるぐる回ってみせてくれました。

下船準備をしているときに、見つけた注意事項！

普通のカーフェリーに約４００人ほどをビッシリ詰め込んでいますので、皆さんは床に座りながら下船の準備をしています。私も、八重干瀬（やびじ）に降りてから、正式な服装にしようと降りる順番を待っていましたが、また、天から教えが降りました。

この八重干瀬（やびじ）自体が「天座」なので、正式にご挨拶してからでないと入れないとわかったので、皆さんの一番前に出て神事用の白いジャケットに着替えて祈りを始めました。

船から八重干瀬（やびじ）を見ると、今どこにいるのかは、ほとんどわかりません。船もそのときの波次第で、降りれるところが決まっていないということですので、全ては天がいいように計らってくれることでしょう。
降りた地点から、どの場所で、どの方向へ祈るかは、見てすぐにわかりました。白装束の集団数名は、他の観光客に混ざりながらも、ひとつの地点に集まりました。

宮古のユタを先頭とする３人は、宮古島に向かって祈りを始めていました。伊良部島のユタに、「あなたはどちらの方角に祈りたいですか？」と訪ねると、「大神島」を指しました。ウハルズの神が、陽の代表とすると、大神島には、この宮古諸島の最高の陰を守る強い神様がいます。そのウタキは、現在、閉じられていますが、ユタでも、絶対に入れないというくらいに恐ろしい場所です。

私の透視で、このウタキを見てみると、そのウタキは、直接、地獄までつながっています。ここだけは、私でも、ご遠慮したいものだと感じるくらい苦しい場所です。しかし、その陰を守っている神様のおかげで、裏の世界が安定していますし、そのおかげで、表の世界が安定しているのですから、そのことを知っている人だけでも、感謝しなくてはいけません。

この三次元は、全て陰陽の世界です。そして、裏があるから表があるのです。だから、どこでも陰を担当する裏の門番や、神さまの力は強いのです。
私が大天使ルシファーから転じて、大天使ルシエル役になったのも、この陰の世界を引き連れて、陽の世界と一体化させて、宇宙全体の調和に結びつけることが役目だからなのです。私の祈る

方角は、決まっています。鬼門と呼ばれている東北です。

鬼門（東北）には、神道（しんとう）でいう丑寅の金神様（うしとらのこんじんさま）と呼ばれている、最初に、この地球をお造りになった神々さまの６番目の神様である、国常立尊（クニトコタチノミコト）が居座っています。
この国常立尊（クニトコタチノミコト）は、地球に神を下ろすときに、５番目の神さまが作ったものを、民衆のために一度大きく壊して、再生したことで有名です。だから、それまでの５人の神さまに、身体をバラバラに切り刻まれて、埋められた方角が、東北（鬼門）なのです。

鬼の門とも呼ばれるくらいに、強いその力で守られている門は、この地球にいる全ての神々が集まったとしても、開けることはできません。
天地天命、宇宙創造の絶対神として、この地球に居座るその場所は、永遠に誰も空けることができない扉で閉められています。今回の神事の意味の中でも、私の最大の役目は、「地球創生」です。

それはこの日本の陰を守ってくれている場所、宮古諸島の波動を上げるために、守り神のユタの力を合わせながら龍神の神々、ウタキを守る神々、ご先祖を守る神々の統一した最高の御神所として、この八重干瀬（やびじ）に同調のエネルギー場を作り、そこへ鬼門から直接、宇宙のおおもとへつながる光が降りる場としての祈りを捧げることが目的です。

さあ、全員で、鬼門に向けて、祈りを始めましょう。今回だけは、参加者全員に、供物を用意させました。この祈りの力と光が、すべての天命に向けて働きますことを感謝しながら…。
鬼門に祈り始めても、その天の扉は、真っ黒で閉じたままでした。

私は、今回の祈りの意味、そして、今日まで執り行ってきた様々な神事のご報告、そして、私自身の天命の役目に掛けて、この全宇宙の中で、地球が果たす役目をまっとうできまうように、ここ八重干瀬（やびじ）を祈りの場として、光が降りてきて下さることを心からお願い致しました。
すると、一光が、黒い扉の間から差し始めました。その光はどんどん大きくなり、ついには、その大きな鬼門の扉が、開いたのです。その門の先には、全宇宙の根源につながる光の道があります。強く、そして、やさしいその大きな光は、私たちの御霊、すべてのおおもとの存在でへ繋がる道です。
私が宇宙のおおもとにお願いしたことは、ここ八重干瀬（やびじ）の場を、龍座（龍が座れる場）、神座（宮古諸島の神が座れる場）、そして、宇宙の根源神たちが、集える天場として、年に一度だけ、天上界の方たちが降りてきて、大事な事を話せる会議の場所として扱うことの許しをお願いしました。

それは、全宇宙の中でも、重要な拠点にしかないポイントの場で、宇宙全てをコントロールしている方たちのトップ会談の場として、認めてもらうことになります。
しばらくして、宇宙のおおもとから、許可がおりました。その座に登れる全ての神意識の担い手たちに、知るべき大切なことを伝えることが私の役目とおおせつかりながら・・・。

どれくらいの時間、祈っていたのかは、わかりませんが、全てのやりとりが終わると、鬼門の大きな扉は、スーと閉じていきました。来年、またこの場に、私も登ることを約束して・・・。

祈りを終えたあとの、ユタや参加者の皆様の顔には、感動と興奮がさめやらぬ表情をしています。

一般の皆様は、１時間の時間を楽しく遊んでおられました。

この八重干瀬（やびじ）でしか見られない生きているサンゴの美しさをどうぞ堪能して下さい。

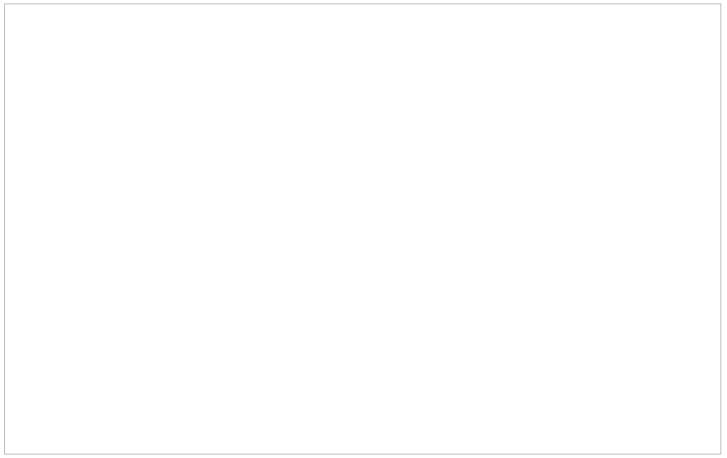
船に乗り込むと、泡盛とお魚が、みなさんに振舞われていました。私たちの心身の疲労は、逆にハイテンションにさせていましたし、そこへ大好きな泡盛を飲んでしまうと、もう止まりません。
みんなで祈りの成功を祝い、演奏にあわせてクイチャーを踊り狂う、変な白装束軍団と化していました。

後で地元の人に、「おまえたちがあんまり楽しく前で踊っているので、演奏の人たち以上に目だっていたぞ！」と笑いながら教えてくれたそうです。
全ての神々さま、大宇宙の大神さまたち、そして、この最上階の八重干瀬（やびじ）の座で、一緒に祈っていただけた皆様に、心から感謝いたします。
無限無限の感謝を込めて、しばし、おやすみなさい。

つづく
2006.03.31 Fri

宮古諸島神事　ウハルズウタキ（大主神社）　池間島

池間大橋の手前にある島の大門番にご挨拶をすると、天から「どうぞ、お越し下さい」と、何度も声が聞こえてきます。あ〜、ご挨拶の許しをいただけたと感謝しながら、大主神社（別名：ウハルズウタキ）に車を走らせます。
初めて見たこのウハルズの神さまへの道の狭いのには、驚きました。普段はもっと遠くに車を止めて、みなさん歩いてこられるんでしょうけれど、本当に、時間がないので、鳥居の横まで車を乗り付けさせていただきました。



車を降りて、皆さんにまず指示したのは、水で、口、手、足を清めてから、素足のまま入っていくということです。ユタも同様の意見だったので、皆さんは急いで準備にとりかかかりました。
まず、ユタにご挨拶してもらいます。正面で手を叩き祈りをして、私にゆずってくれました。鳥居の前の薄い石段の下で軽くご挨拶してみると、左右に門番がいることがわかりました。両側に、３人づつ、いらっしゃいます。

まず左の３人へ、お一人づつのご挨拶、次に、右の門番へ、お一人づつご挨拶。そしてやっと、正面の神さまへ、正式なご挨拶ができました。
私たちが急いでるのを知ってか、「どうぞ、お入り下さい」と何度も言われます。しかし、どんなに言葉で許していただいても、そのことに甘えることはできません。地元の人や、神人（カミンチュウ）へ迷惑や失礼だけは、絶対にできないからです。

私が先頭になり、次に、神人、そして、供物を持つ３人、そして、参加者の順に一列になって、鳥居をくぐります。コンクリートで整備されたこのウタキの道は、道の真ん中だけが整備されて盛り上がっていますので、とても歩きやすくなっています。
神道の神社では、普通は、正面を歩いてはいけません。正面は、神さまの通る道だからです。
でも、ここは、許可の得た神人・司しかはいりませんので、これでいいのでしょうね。

鳥居をくぐり、頭を下げながら歩き始めてみても、正面を見ることはできません。自分の足元の

少し先だけを見ながら、ゆっくりゆっくり進みます。
なぜかというと、両側に、ものすごい数の人たちが隙間なく、私を見定めるように並んでいるからです。結界ともいえる所も何箇所かあります。その両側には、こわい門番が、こちらをにらみつけているのがわかります。いつもなら、きちっとご挨拶をするのですが、神様が「どうぞ、お入りなさい」と言ってくれているので、一例だけして、進みます。
上り坂の長い道を歩いていると、やっと最後の門が見えました。ご挨拶をしてから、ユタに供物は普段はどこに置くのか聞きました。その場所へ、酒、塩、米を供えます。これでやっと正式なご挨拶の口上を話す準備が整いました。

今まで２日間の伊良部島のなべ底の祈りから始まった龍神の神さまつなぎと、伊良部のウタキの神様つなぎ、そして、伊良部と宮古のウタキの神様つなぎのご報告をしました。
さらに明日、八重干瀬（やびじ）へ登り、やびじの神さまへご挨拶しながら、龍神様と宮古諸島を守るウタキの神さまの祈り合わせをすることのご報告もさせて頂きました。そして、赤碕ウタキで頂いたここへの証文の巻物を供えさせて頂きました。

自分の口上を終え、ウハルズの神さまを心の目で見てみると、なんともゆったりとした雰囲気で、とても笑顔でリラックスしている姿に見えました。きっと見える方にとっては、怖い顔の時もあるのでしょうけれど、今回の私たちの神事の行動をとても喜んでくれているのが、わかります。ウハルズの神さまは、こう、おっしゃいました。

「あなたがしようとしていることは、実は、私も前から気になっていて、いつかは、したいと思っていたことなんです。だから、あなたのしてきたことには、とても感謝している」と。
うれしいお言葉です。ただこの一言のために、今までがんばってきたともいえるくらいに、喜びがこみ上げてきます。すると・・・「明日の八重干瀬（やびじ）の祈りには、私も協力したいので」とおっしゃっると、すーと私の体の中に入ってきて、頭の先から足もとへと抜けていらっしゃしました。

正面の椅子に座りなおすと、「では、明日の件、よろしくお願いします。そして、ヌーシの神とハリミズの神にもよろしく！」とおっしゃいました。
フェリーの時間も無いので、ゆっくり世間話はできませんでしたが、大切なことは終えたと感じたので、深々と礼をして退散させて頂きました。帰り道も、背中を向けることは、できません。絶対に、最後の鳥居をくぐり終えるまでは、神の座に足を踏み入れた人間のすることではないからです。

最後の鳥居をくぐり終え、急いで車に乗り込み、猛スピードで平良港へ２台の車が向かいます。車中、運転をしてくれているユタに、「神さまは何とおっしゃってましたか？」とたずねてみました。

彼女も、神さまの喜ぶ姿を見ていたようで、神様が踊っていらっしゃったと言います。一瞬、そんなわけないだろうと思いながらも、神さまは、ユタの彼女に、プレゼントとして見せてくれたようです。
今日一日で最高の笑顔で、私にありがとうございますを言う彼女の目からは、涙が溢れていて、本当に今日の祈りをやりとげられたことに感動しているようでした。

実は、池間の橋を渡る前のお店で、ある事件があったんです。
今回の参加者のなかに、現在、ユタ修行中１年半の女性がいました。その女性が私に、「ウハルズの神さまに供物をあげなくていいのですか？」と聞いたことがキッカケでした。私も実はお昼ごはんに、お腹は空いていたのに、また、肉なしおそばを頼んでいました。
おにぎりも２つ頼んだのですが、どうも、１個の半分くらいしか食べられそうも無いと感じていると、このおにぎりは、神さまに持っていったほうがいいと感じて、用意していました。

私の気付かないことを、神さまが誰かの口を借りて話すことは、よくあります。だから、その女性には、一応、「私はおにぎりを用意しています」と話をしていました。すると、ユタの女性が、そのことで、修行中のユタを厳しく叱り始めました。
相変わらず、地元の人たち同士の会話は、大事なことは方言で話しますので、何を言っているか詳細はわかりませんが、気持ちは伝わってきます。ユタがその女性に言いたかったことは、こういうことです。
「私も供物の準備は、全てしてあるけれど、今日は、どこの場所にいっても、自分のお供え物を出していいとは感じられなかった。今回の神事は、吉岡さんが仕切っているのに、あなたが自分の判断で相手を迷わすことをしていはいけない」と、言っていたのです。

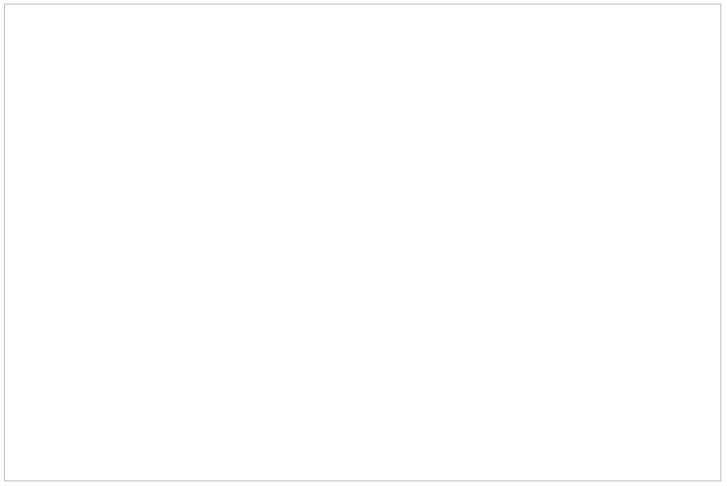
この世界は、とても厳しいんです。実は、自分の供物を捧げるということは、口上を述べたり、お願いごとができたり、自分の祈りをさせていただくことの宣言の意味もあるからです。
そして、実はユタが私に、ぼそっと言った言葉に、「今日は本当はやめようかと思うくらい朝、身体が辛かった」と言っていました。その彼女に私が言った言葉は、「この神事は、本当は、私一人でもやり切れます。しかし、この神事に参加するということは、あなた自身の霊格が上がり、担当次元の領域が変わり、あなた自身の幸せを感じる世界も変わる大切な神事ですから、辛くても、必ず、やりとげて下さい。」と話していました。だからこそ、彼女の涙の中にある喜びの深さは、私にも同じように伝わり感動しました。
車の中で、本当にウハルズの神さまのあの態度と空気には、驚きました。皆さんに、わかりやすく言うと、宮古諸島から琉球諸島の全体を占めるヤクザの親分みたいな感じの神さまです。椅子に座り、ひざを組んで、笑顔で、「よう来た！よう来た！」と喜んでいる姿を想像してみて下さい。

３年前から知っていた神様の位の高さや序列は、下の人が上を見あげても何も見えません。今回

の神事でもなれば、外部の私が、同格のように扱ってもらえることはないことでしょう。
明日の八重干瀬（やびじ）が本当に楽しみです。最後の祈り、最後のご奉公、誰にも言っていない本当の祈りの意味を実現する準備が整ったからです。

港へ今日最後の船が出る時間まで、あと１０分しか、ありません。普段ならとうてい無理とあきらめるでしょうが、明日の準備もありますし、やはり、伊良部のホテルへ戻れなければ困ります。ここまでやりきったので、珍しく神さまにお願いをしておきました。
「どうか、全員を船に乗せてください。」

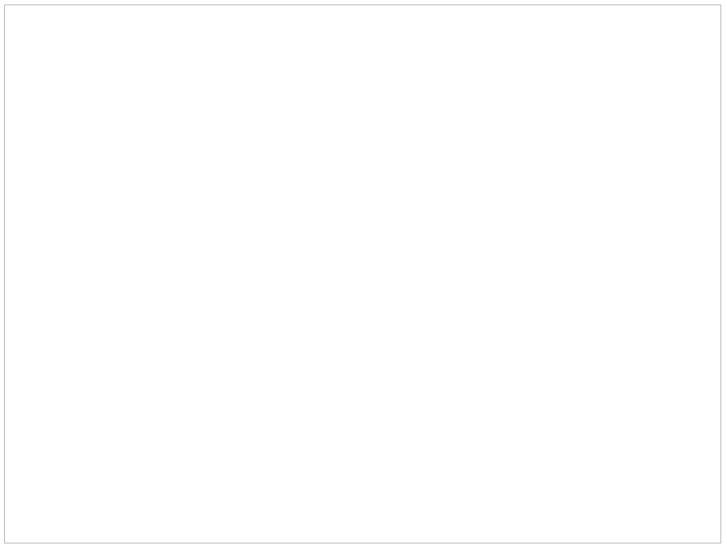
6：40分発のフェリー乗り場の入口に着いたのが、6：40。目の前で一隻のフェリーが出ていきました。「あー、いっちゃったー！」あきらめかけて、一応、乗り場へ向かってみると、実は、もう一隻、船があったのです。ユタは飛び降りて、「船を泊めてきます！」と走り出てくれました。
精魂、尽き果てた私も身体は、急には、動けません。みなさんに荷物を持っていただきながら、船に乗り込みました。今日、一日の出来事、今日、お会いしたすばらしい神々さまたち、そして、最後のウハルズの神さま、本当にありがとうございます。私たちは、明日、必ず、最後の八重干瀬（やびじ）神事をやり遂げます。

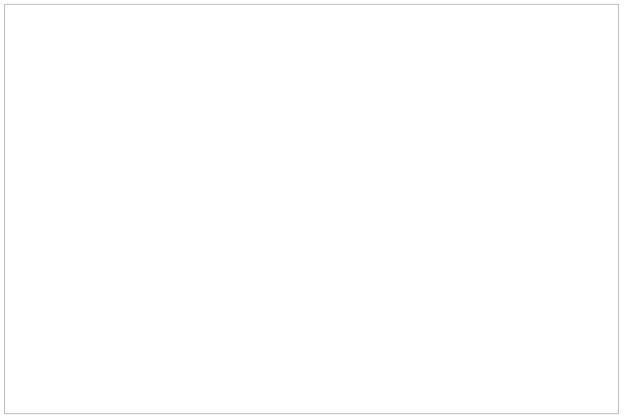


2006.03.30 Thu

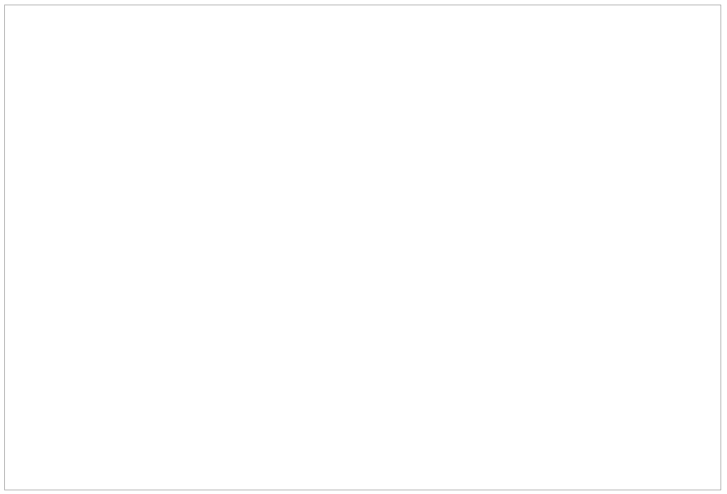
宮古諸島神事　宮古島　四方祈り

伊良部島を一周してから宮古島に向かいましたが、船が宮古島に近づくと、あまりの海のきれいさに、みんなが歓声を上げます。





港に降り立って、宮古島のユタに紹介された最初の祈りの場所は、下地町にある「赤名宮（あかなぐう御嶽」です。このウタキは、伊良部島に直接つながっていて、昔、この浜から伊良部島へ行き来していたとのことです。



ユタにまずご挨拶していただき、続いて私がご挨拶をすると、「もっと中へ入りなさい」というので、言われるままに奥へ奥へと進みました。ユタが立って祈った横に立ってみると、「もっと、前に進みなさい」といわれます。

ウタキの一番奥には、小さな社殿があります。その社殿の前に、ひざますいて祈ろうとしても、「もっと、もっと前へ！」と言われます。さすがに、その社殿の階段の一番上には登れないので、遠慮しばがら一段目にひざを掛けて、お祈りさせていただきました。

すると、神さまがううれしそうに何かを差し出してくれているのです。手に乗せてくれるのかと思うと私の右の袖の中へ、５つのきれいな玉を入れてくれました。赤、青、黄色、白、あとひとつは金でしょうか？最後の色は、よくわかりませんが、きっと何かに使いなさいということなので、ありがたく頂いておきました。

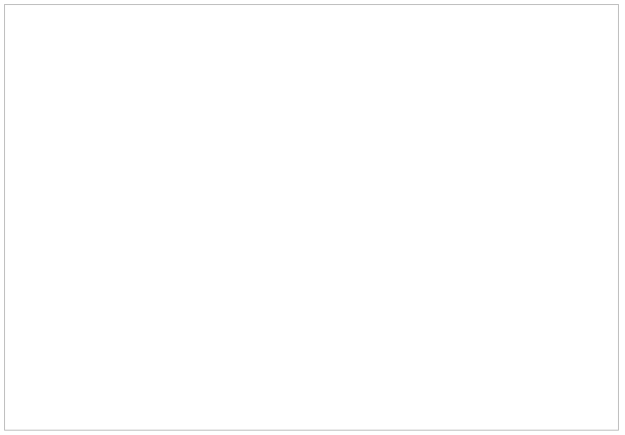
私は伊良部島のウタキでも、いろんなものを頂きました。でも、決して自分のためにほしいと思ったものは、ありません。理由は、何を頂くと必ず、責任が伴うことを知っているからです。でも神さまがくださるということは、何か大切なことなので遠慮もできません。さあ、この玉は、どこに使う時がくるのでしょう？

赤名宮の神さまは、地元の皆様がとても大切にしているおかげでとても愛想よく、ここまでの話を聞いて下さり、これからすることをご報告すると喜んでくれていました。今回の私の神事については、「本当にご苦労様です。私も一緒に、あなたをお守りさせて頂きます」と言って下さいました。

きれいな海を見たあとですし、昨日の厳しい神事の後ですから、本当に、この神さまの優しい言葉には、喜びが溢れます。世界の誰も、私のしていることを理解してくれなくても、ここの神さまが喜んで下さっている。私には、ただそのことだけで、さらに頑張る勇気が溢れます。

正面祈りを終えて、帰ろうと思うと、伊良部島の方角に向かって、お線香を立てる場所があります。そして、ここには、とても強いエネルギーが伊良部島とつながっているのを感じました。みんなで伊良部島からのエネルギーに、感謝をこめて祈ってきました。

昼食のあと、下地神社（別名：ツノジウタキ）へ行きました。



このウタキは、とても大切なウタキです。宮古島の全ての神さまの最高位にいらっしゃるのは、池間島の大主神社（別名：ウハルズウタキ）ですが、ここは、ユタもしくは、司おばーしか入れないと決められているくらいに、とても霊格の低い人間が入れるところではありません。
２００４年に一度、ご挨拶にきましたが、見えないものを感じる人間にとっては、けっこう厳しい場であることがわかりました。

大主神社（別名：ウハルズウタキ）の代わりに庶民の表玄関として、この下地神社（別名：ツノジウタキ）が用意されています。
まず先に、ユタを歩かせて、ご挨拶をしてもらいました。そのあと、ご挨拶に入ろうとすると、あらゆる結界が貼られているのを感じます。お線香を立てる場所へ行くまでに、実に、７段の結界があることがわかりました。

私の龍神ツアーに参加した方には、口をすっぱくして話していますが、絶対に、私の前に出ないこと、そして、私の通りに祈っていれば、間違いを犯すことはないと教えています。ですから、私の後の皆さんは、ちゃんとこの７段の結界でご挨拶をしてくれました。

結界とは、次元の変わり目のことです。さらにそこには、実は、両側に門番がいます。その門番は、何もいいませんが、ご挨拶を怠ると、一番最後の神さまにすぐ、報告がいきます。それはつまり、一番上の神さまに、ご挨拶ができなくなるということです。

地元の皆様は、多少の失礼があってもまだ許されますが、私たちのような他人は、決して失礼なことをしていはいけないのです。それは、地元の大切にしているものを冒涜することになるからです。

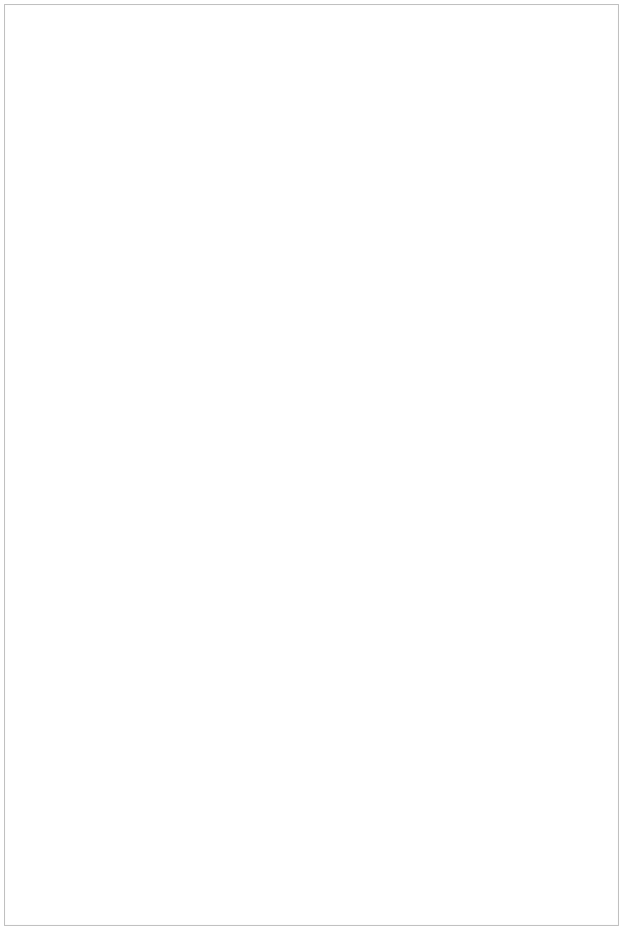
実はこのウタキに入る前に、少しと問題が起きていました。
それは、今回の祈りの参加者の中に、喪が明けていない人が３人いたからです。（宮古島・伊良部島の正式なルールでは、親族が亡くなってから３年間は、神事や祝い事に参加することができません）

その心配がたたってか、朝から宮古のユタの身体がおかしくなっていました。実はとても苦しいのを我慢していたんです。神さまの怖さを知っているユタにとって、神さまを怒らせるとどんなことになるかを痛いほど身にしみているからです。実はこのユタのご主人は、神様にさからったことで命を取られていることも原因になっています。

これからどんどん厳しいウタキに入りに行くのに、そんなことでは頭がおかしくなってしまうので、除霊して身体を調整をしてあげました。
これは偶然、私がしたことなのですが、このウタキに入る前に、私は自分が祈るのに供物を持っては歩けないので、３名の方に、塩、酒、水を持ってもらっていました。その３人を選んだおかげで、実は全員が入ることができたのです。
私も知りませんでしたが、実は、その３人が、喪が空けていない人だちだったのです。供物を持つというお役目をいただいたので、その３人が入ることを許されたわけです。自分で決めた事ながら、神さまのご解慮は、いつもすごい！と感動しました。

ウタキの一番奥にご挨拶へ行くと、ウタキの神さまはこれまでの祈りに感謝してくれました。これからいくべき道を、私も守ってあげるとも言ってくださいました。あちこちの神さまに守られるのは結構うれしいものですが、今まで誰もできなかったことを成し遂げようとしているので、どんな覚悟でも出来ています。

次に行ったのが、赤崎ウタキ。
実はこのウタキは、この下地神社（別名：ツノジウタキ）の本殿にあたるウタキです。つまり、本当に強く守っている神さまがいるということです。



霊気を感じる方には、見ているとすぐわかると思いますが、とても強い気をだしています。なぜかここだけは写真を写すように私が指示していたので、不思議に残っていますが、実は、ウタキの写真は、写してはいけないことになっています。

私たちのように霊媒体質の方や霊感がある方が写すと、必ず何か別なものが写ってしまいますし、その写真には、霊体エネルギーが転写されてしまうからです。だから、この時の撮影は、魂の一番きれいな方に写してもらいました。

注）こういう理由で、私のＨＰのウタキの写真は、あちこちのネットから拾ってきたものです。神さま、どうぞ、お許し下さいませ。

このウタキは見るからに厳しいのがわかると思いますので、ユタに、「入れるの？」と聞くと、「途中までなら大丈夫だと思います」と言われましたが、どうも、ピンとこないので、神さまに聞いてみて下さいといいました。ユタの答えは、同じです。でも、私自身が腑に落ちないので、鳥居の前にひざまづいて、自分で聞いてみることにしました。すると・・・

数人の門番に囲まれてながら、「お前は何をしにきた！？」と、問われます。
かくかくしかじかと、神事のことをお話して、あちこちのウタキの神さまもご協力いただいていますと申し上げても、「じゃあ、お前は、何を持ってきたのか？」と、さらに問われます。
これから先、大主神社（別名：ウハルズウタキ）に何としても入らなければ、明日の八重干瀬（

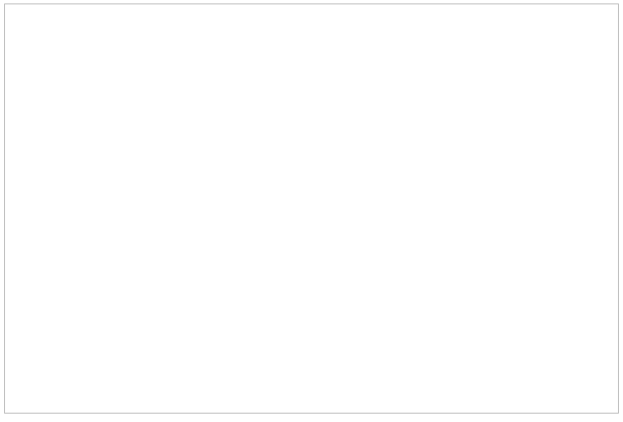
やびじ）の神さまに、合わす顔がないと懸命に入ることをお願いしてみました。

今、目に前に、お酒とお水と塩があるのに、まだ、何かを差し出せというのかと少し驚きましたが、言葉だけではどうやらダメみたいだと感じたので、何か無いかと考えていると、ふと、先ほど、赤名宮でいただいた５つの玉のことを思い出したので、その５つの玉を差し出しました。すると、御嶽の奥から巻物を差し出してくるので、それを頂いてご挨拶を終えました。
この巻物は、実は、大主神社（別名：ウハルズウタキ）に入るための証文だったのです。前にもお話しましたが、この地域の神さまには序列がありますし、それぞれの役目もはっきりしています。ここの赤崎ウタキは、会社でいえば、一番うるさがたの取締役部長といったところでしょうね。

許可の巻物はいただいたものの、この赤碕ウタキの厳しさにはちょっと、ショックでした。
昨日から今日までの祈りで、自分の気が付かないうちに、どこかの神さまに失礼をしていたのかもしれないと反省していました。すこし落ち込みながら車のほうへ歩いていると、ふと右側に、海へつながる道が見えました。私は、その海へ急いで歩いて行きました。

実は、あの赤碕ウタキは、第二次大戦時に浜に流れ着いた兵士たちの命を守ってくれて生き延びたたくさんの兵士たちから大切にされているウタキだと鳥居の前の看板に書いてありました。
これを読んだとき、本当は、すぐその海へお礼参りをしたいと思ったのですが、きっと浜までは遠いだろうと思っていたのです。でも、この海を見てすぐそのことを思い出しました。

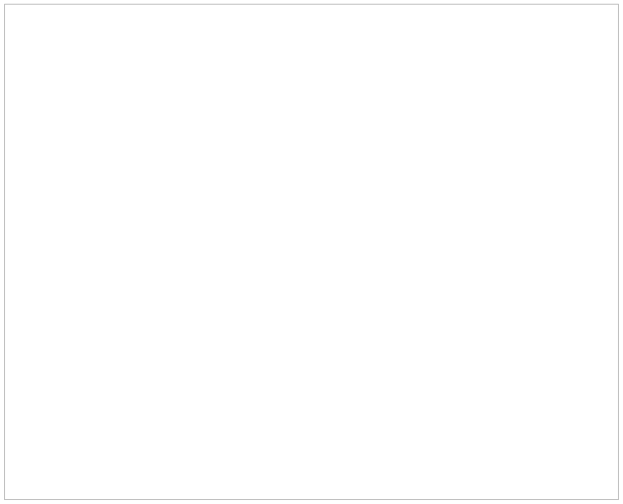
心新たに、この巻物を頂いたことと、この浜にたどり着いても残念ながら亡くなった方の御霊を一斉に、あげさせていただきました。
「御御霊、この全ての祈りをここに捧げます。」



この祈りのおかげで、心がすっきりしました。浜の御霊も成仏できて、喜んでくれています。そして、赤崎の神さまも、私のことを本当に理解してくれたようです。ありがとうございます。

次は、池間島の入口にある「龍の門」を開ける祈りです。

ここは、龍に関わる方しか知らない場所ですが、実は、池間大橋の池間側の右側の林の下のおおきな割れた岩が、龍門なのです。写真の左下にある草むらの下にあります。



ユタにこの場所に連れてきてもらってすぐ、この岩の後ろ側が気になりました。先に階段を降りて、砂浜に出てみると、潮がどんどん満ちてきています。靴が濡れるのは仕方がないとあきらめて、じゃぶじゃぶ海を渡って岩を覗いて見ると、「これは、まずい！」。
この門には、表と裏があります。そして、どちらもしっかり守られていて、特に、この裏門は、厳しく守られているので簡単には開けてくれません。

さらに、裏門には、強い霊が集まっています。こういう危険な場所は、他の皆さんには危険なので、見えないところで待っていてもらいました。
まず、お塩で清めて、お酒で清めて、魂にしっかり力をいれて、祈りを始めますが、う一、厳しい！！！先ほどの赤碕ウタキなど、かわいいと思えるくらいに、厳しい言葉が返ってきます。

「お前は、何のためにここへ来たのか？」
「お前は、そのために、何を差し出すのか？」

「あっ！さっきの５つの玉は、ここようだったんだ、あー、どうしよう・・・」

私の後ろで祈ってくれているユタには、何もできませんので、私が決断するしかありません。
どうすれば、この厳しい門番が門を開く許可をいただけるのか・・・・・考えました。そして、私は、こう答えました。

「では、この私の御霊をここへ差し出します。どうぞ、その扱いについては、すべてお任せいたします。」と。

すると、「あい、わかった！」と、答えてくれたと同時に、暗いその裏門に光が差し込みました。ありがとうございます、やっと、裏門をあけてくださった・・・。お礼もそこそこに、今度は、表門の祈りのために、全員で橋のほうへ回りました。

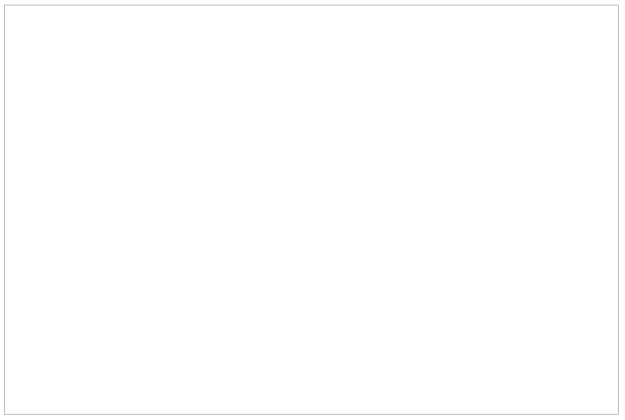
橋から池間島へ向かって歩くと、伊良部島とその岩の両方がよく見える場所があります。
全員に一列にならんでもらって、昨日の伊良部島で開けたエネルギーをここへつなぐ祈りの方法を教えました。私のかけ声とともに、一斉にエネルギーを動かします。
伊良部の龍のエネルギーをこの表門へ向けて・・・・。愛と感謝の光です。
昨日のなべ底、潮吹き岩（スーフツミ）、そして、今日の「龍の台座」や伊良部島全体のエネルギーを体中で感じて送ります。

表門に、光が通りました。龍門が開いたのです。喜びもひとしおながら、ゆっくり日が暮れてきています。
伊良部島に帰る船の時間もあるし、大事な大主神社（別名：ウハルズウタキ）のご挨拶が残っているので、急がなければ・・・。
自分が先頭に立って、池間の方へ戻ろうとすると、天から「止まれ！」と言われます。立ち止まっていると、今度は、「進め！」と言われます。また、２、３歩歩くと、「止まれ！」、そして、「進め！」。

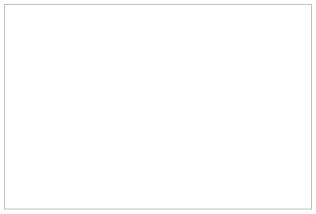
３度目の「止まれ！」が聞こえてたち止まっていると、「左を向け！」と言われます。素直に左を向くと、さっきの龍門の反対側に、大きな岩があります。その岩を見ていると、「あー、これは、大主神社（別名：ウハルズウタキ）の門番だ！」とわかりました。
実は、池間島で一番大切な門番がここなのです。よく自衛隊の敷地の前にいるあの門番のように、しっかり魔を食い止める役目をして下さっています。

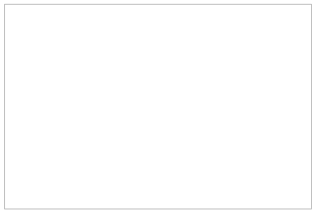
皆さんにそのことを伝えて、ご挨拶の祈りをしてから急いで車に乗ろうとすると、ふと、大主神社（別名：ウハルズウタキ）に入るには、すべてを清めてからしか入れないことを気付きました。
道先案内約のユタは、先ほどの下地神社（別名：ツノジウタキ）の一件いらい、私によけいなことを一切しゃべらなくなりました。それは、私にしか聞こえていない、見えていないものがあることがよくわかったからです。
私は、売店でありったけの水を買うようにいいつけました。そして、急いで車に乗り込み、大主神社（別名：ウハルズウタキ）に走り出しました。
つづく
2006.03.30 Thu

宮古諸島神事　海から眺める大龍門

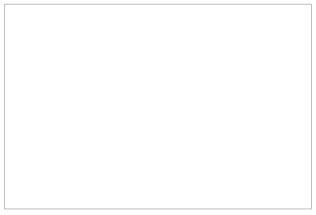


3/30の午前中は、今まで島の神人・ユタも観たことがない伊良部島を船で一周しながら祈りを行いです。１０人乗りのクルーザーで海から大龍門や大切な場所を祈るために、スタートしました。朝、港へ出て空を見上げると、龍のお腹が空いっぱいに溢れています。



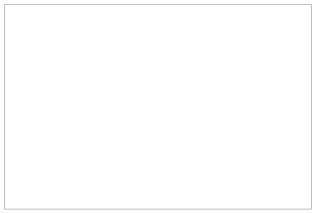


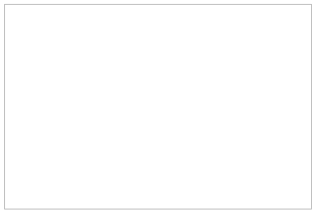
港を出て左周りですぐ見えるのが、この岩です。この岩は、港の海人（ウミンチュウ・漁師）たちや、海の仕事をする方たちを守っている神さまがいる守り岩です。皆さんで、参拝。次に見つけたのが、この岩場。



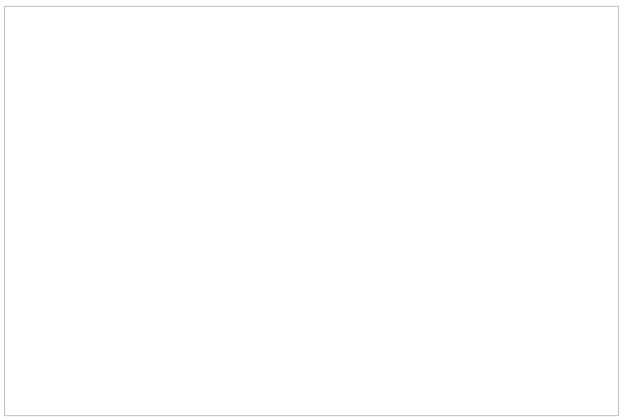
この割れ目は、ムー大陸のエネルギーにつながる場所で、次元が違います。太古の歴史のエネルギーを持ちながら、大宇宙までつながっています。

次は、島の周りに大きな大切な穴が８つあって、それが龍宮城の中心から四方八方に伸びて、日本や世界のエネルギーポイントにも、つながっている穴です。

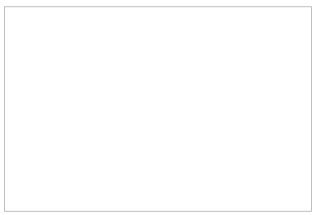




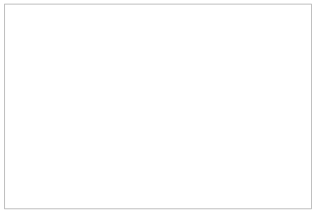
サシバ（鷲・鷹）の見晴台が見えてきました。ここは、漁に出る人や、遠くへ出かける人を見送る大切な場所でです。サシバは、遠くまで渡ることができるので、自分の代わりに、大切な人を見守っていてほしいと願いも込めて、建てられています。



これは、龍の出入り口のひとつです。

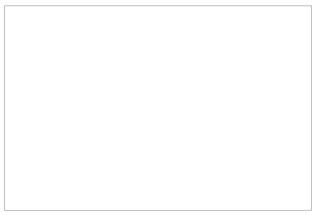


これは、青龍の台座（休むところ）です。



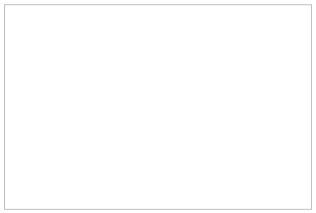
私自身に青龍が入っているので、この場所からは、「いつでももどっていらっしゃいね」と声が聞こえてきました。そして、台座の大きさが、実際の龍の大きさです。後で、白龍の台座も出てきますが、大きさの違いがよくわかります。

ここには、以前、人が住んでいました。

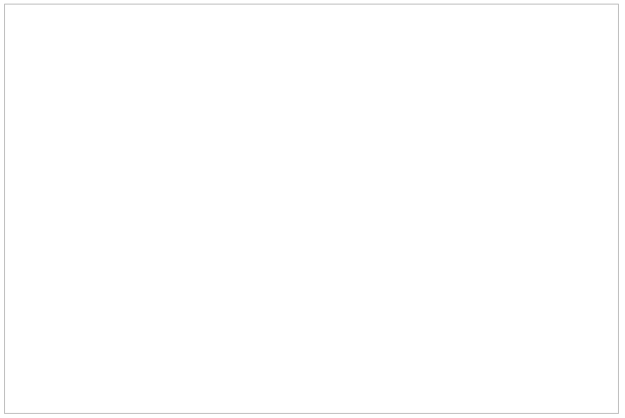


太平洋戦争当時、伊良部島は、弾薬庫であったり、隠れ家だったり、今でも、島の周りのあちこちに、その後が残っています。

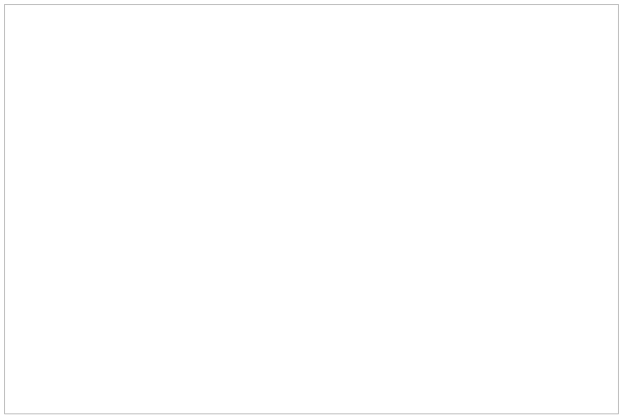
これは、龍の出入り口。



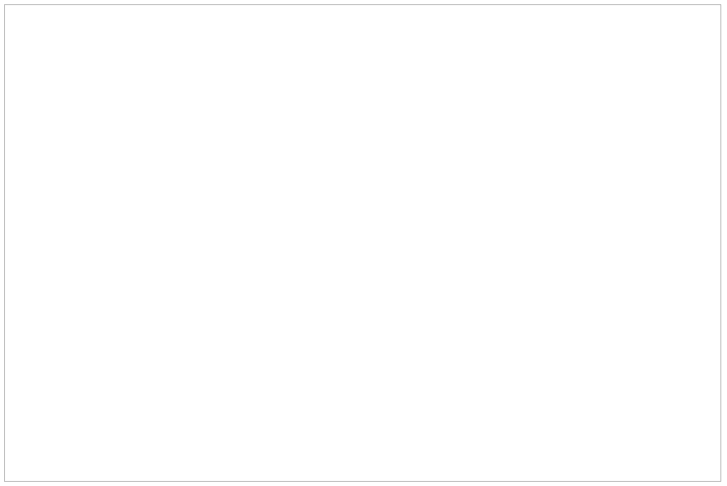
このポッカリ空いた穴の上の岩場の先端は、2004年に私が助けた２匹の龍の子供たちが足を挟まれていた場所です。この下の穴のことを地元の人は、「大龍門」と呼んでいます。



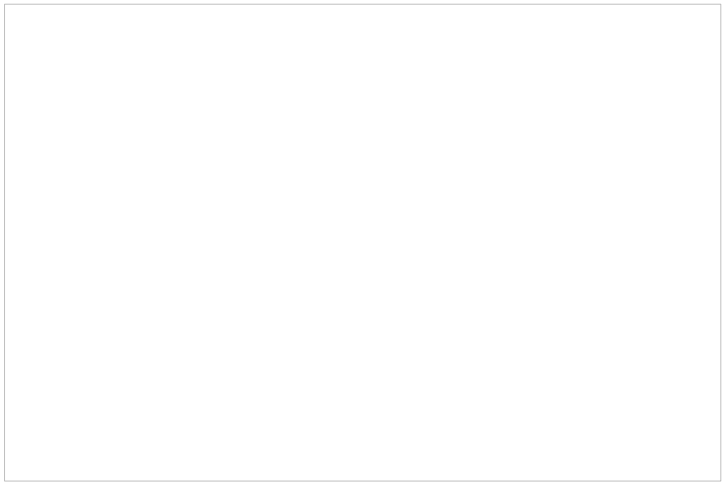
この穴も、龍の出入口です。（子供用）



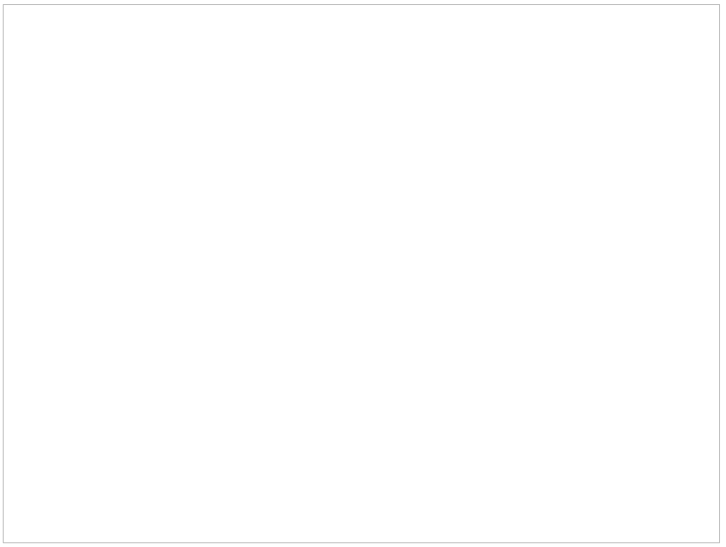
ここが潮吹き岩（そうふつみー）の入口の穴です。



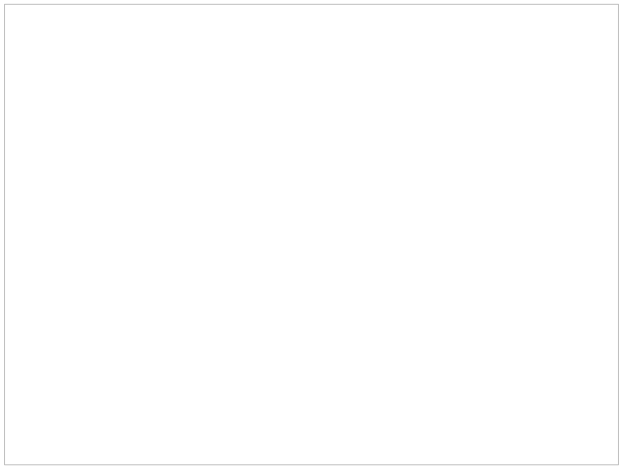
伊良部島の周りは、サンゴ礁のリーフが広がっていて、なかなか近づけないところも多くあります。その先をぐるっとまわって、初日に見たあの通り池へ向かいます。すると・・・・



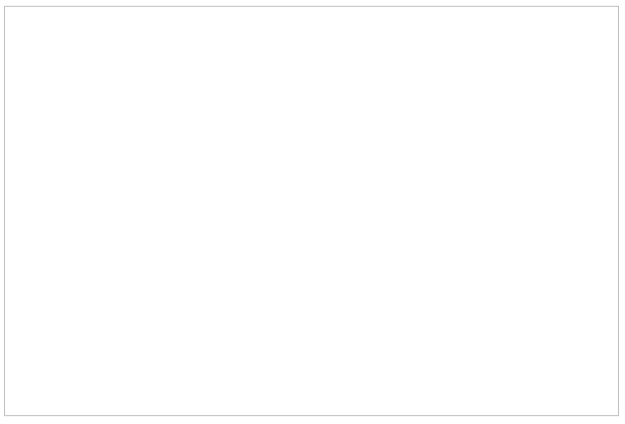
これは実は、「天座」と呼ばれる神様が降りるところなのです。あまりの美しさと、神々しさに、一同、大きな祈りを捧げました。この天座は、龍神を司るもっと格上の神さまが、降りるところなのです。特別なときにだけこの池に下りて、隆たちを導いているようです。ありがとうございます。その先にある「通り池」の先端に移動してみると、なんと、そこには、白龍の台座があ

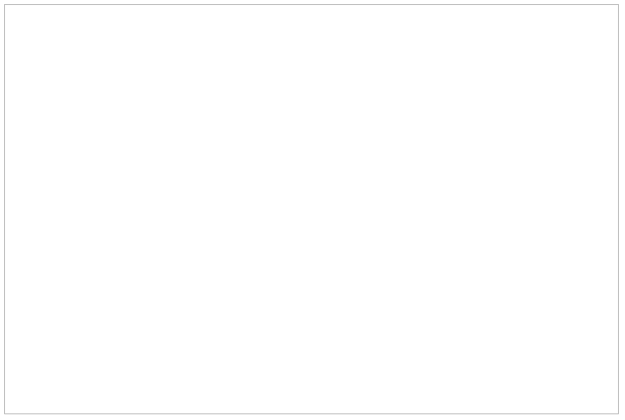
りました。 

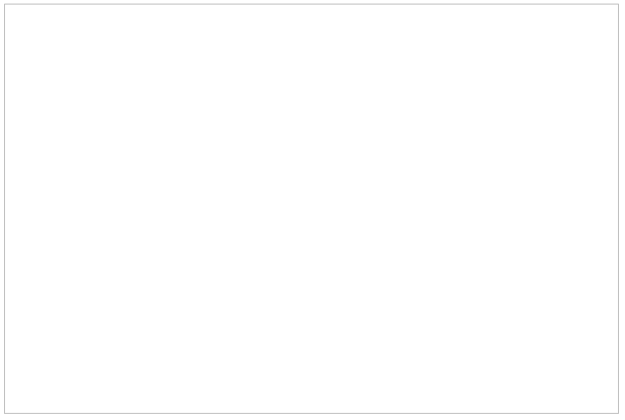
この台座を撮影したのは私ですが、なんと、こんな写真が撮れてしましました。

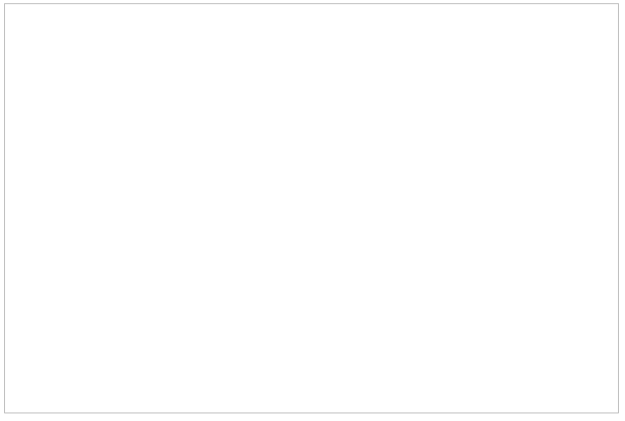


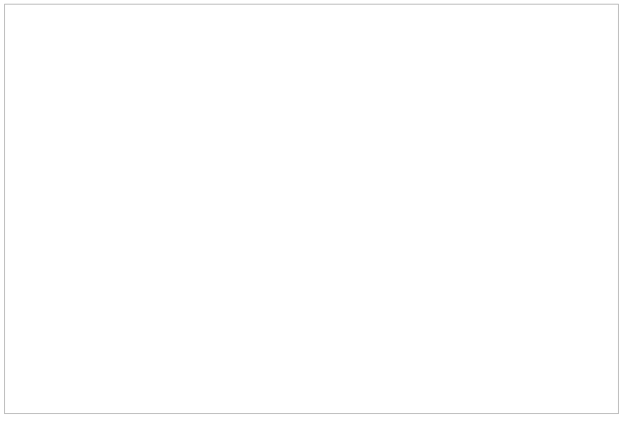
白龍が、姿を現してくれたのです。私をここまで導き、全ての神事をさせてくれたお礼でしょうか？ありがとうございます。感動の祈りのあと、島を一周してくれることになりました。すると、島からは見えない美しい景色がこの島には、溢れています。

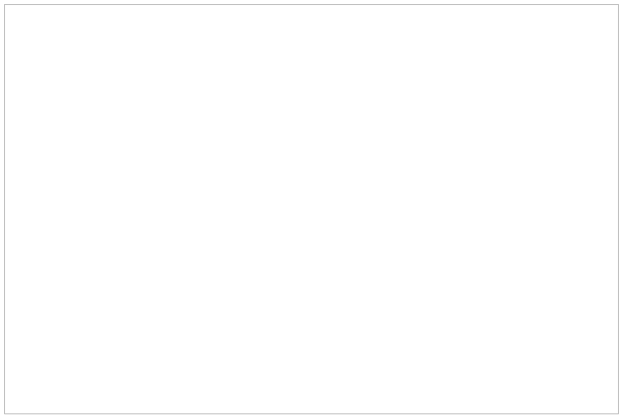




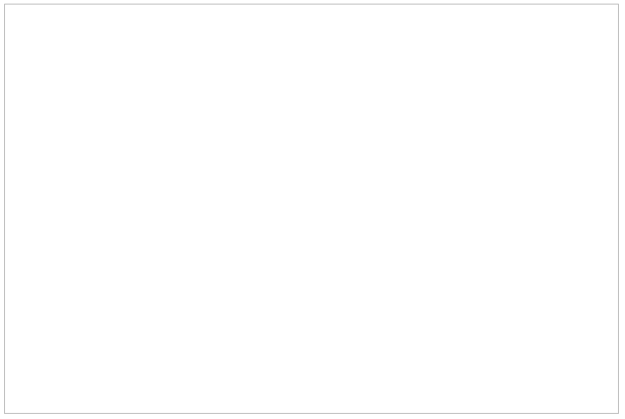


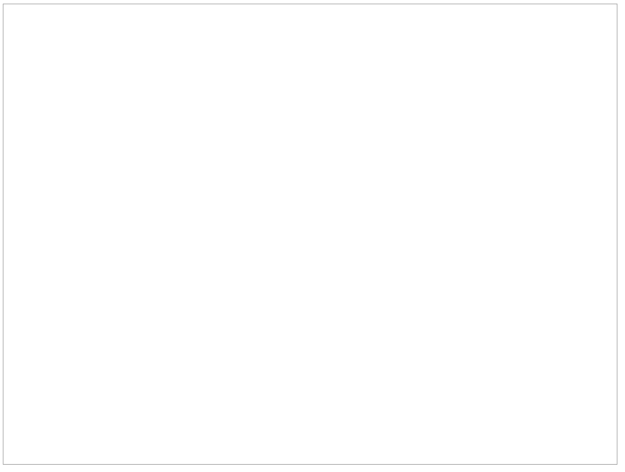






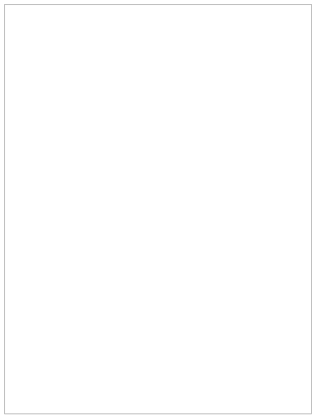
雲にも龍が、現れてくれました。

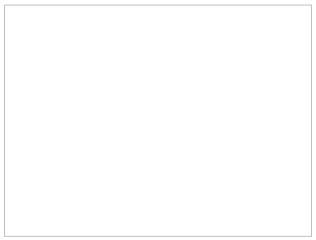


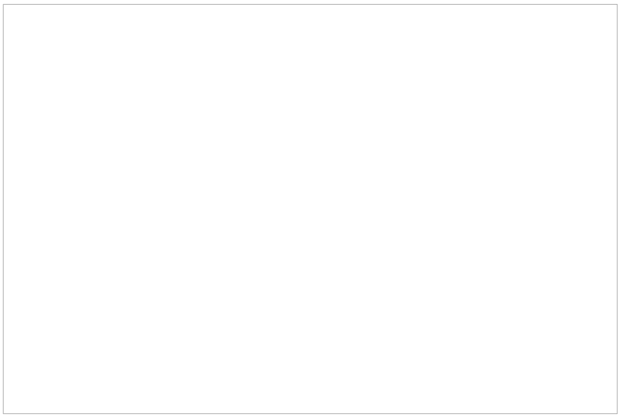


気付くと、船の潮吹雪も、龍が出てきました。

感謝、感謝と手を合わせる事が自然になって、みなさんの心と顔が幸せそうです。





最後に、めったにみれないヤマトブー大岩を海から眺めながら、いざ、宮古島へ向かいましょう  ！

蛇足ですが、このすばらしい海からの眺めを、ぜひ皆さんにも体験させてあげたいと思いましたので、今後の龍神ツアーには、この伊良部島 1 周クルージングを組み込みます。どうぞ、お楽しみに！ つづく

2006.03.30 Thu

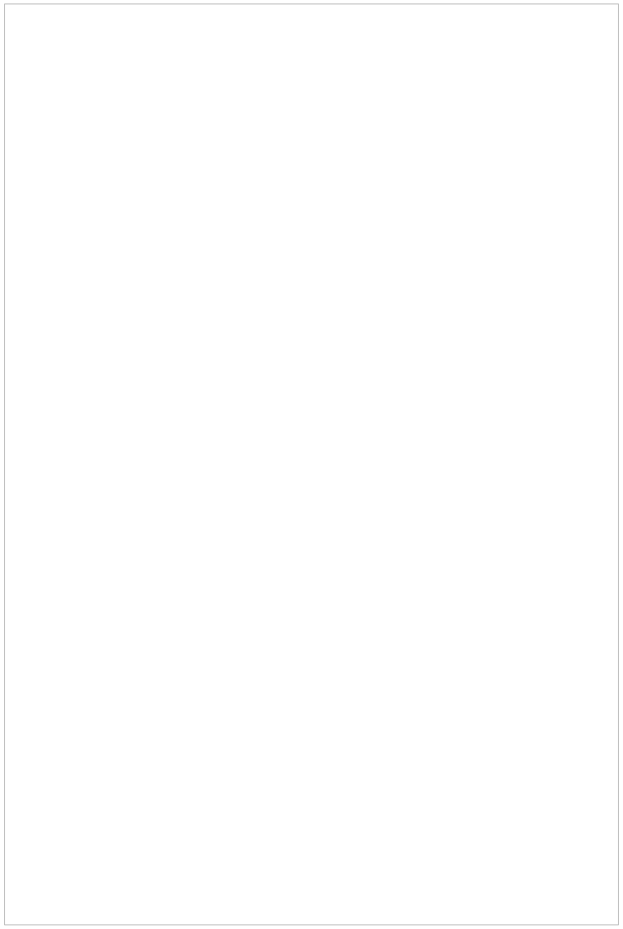
宮古諸島神事　伊良部島　四方祈り２

一番深い世界にある「なべ底」の祈りを終えて、一度、ホテルてぃだの郷に戻って昼食をとりました。私は、肉なしおそばを食べるのがやっとでしたが、これでなんとか今日の体力を維持していけそうです。

午後からまわる場所の順番をユタ２人に相談しました。理由は、この時期の方角のつながりの意味と、順序でエネルギーをつなぐ意味が変わるからです。その土地には、その土地の風習やルールがあります。だから、私は詳細を一切決めずに、全て地元のユタたちにお任せしています。

今回の祈りの旅に私が用意したのは、宮古島と伊良部島の詳細地図（国土地理院）と、以前、特別にいただいた伊良部島の拝所（ウカンジョ）が全て載っている地図です。この拝所地図は、数年前に、霊能者集団が伊良部に集まって、この伊良部島の霊的スポットを一枚の地図にしたものです。

島の西のなべ底から始まった祈りのエネルギーは、次に行く道を東のヤマトブー大岩と決めてくれました。



この大岩は、日本を照らす天照の役目があり、今まで２度祈りの捧げていますが、今回は、本当の強い光の門を開けるための祈りをしなければいけません。岩の端から端までは、数十メートル

ありますが、この岩のエネルギーを本当に開放すると、とても強い光が出るので、皆さんには、その両端に離れて祈ってもらいました。

お塩で結界を貼り、その中心に私が入り、一人で祈りはじめました。この岩には過去、あるウタキからいただいた光の玉を入れたときのことを思い出しながら、この岩の本来の光、陰の世界から陽に向けて照らす深い愛の光を、日本全国へ、そして、世界へ放つための祈りを捧げました。

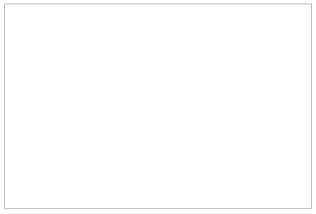
陰は嫌な意味でだけよくとらえますが、お母さんのお腹の中のように、深く暖かい世界です。自分の苦しみを受け止めてくれるところです。弱っている身体を癒す場所として、皆さんの身体の中にも、たくさん陰の場所を持っています。この伊良部の地が、なぜこれだけ人を癒すのかというと、深い深い日本の陰の世界を守っている場所だからです。

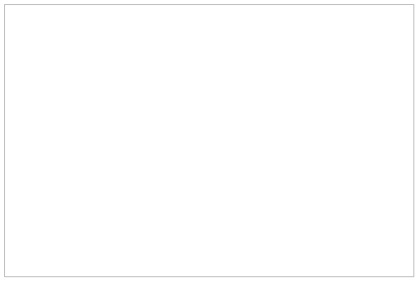
この三次元の世界では、全て陰陽のバランスでできています。人間が見る宇宙の世界でさえ、見る人にとて、陰陽に映って見えるくらいでしょう。だから全てにおいて、大切なのは、陰が割る陰が悪いのではなく、陰陽のバランスのとり方なのです。

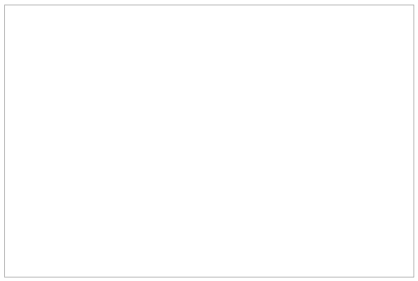
自分の強いところと弱いところ、苦手なところと得意なところ、好きなことと嫌いなこと、いいことと悪いこと、すべてが、バランスです。だから、自分以外のものや人を否定すると、必ず、自分も否定されることを知っておいてください。

全てを受け止め、全てを許し、全てを愛してあげること。それがこの私たちが生きている地球という世界の全てのバランスのとり方です。あとは、それぞれの時の概念において、いい役をする方と、悪い役をしてくださる方がいるだけなのです。あなたはもう、そのことに気付いて、全てのことに感謝できる人になっていることでしょう・・・ね。

ヤマトブー大岩の祈りを終え、次は、この地を守る守り神さまの「うずぬしゅー」（詳細は、てぃだの郷のＨＰの伊良部島伝説）が、打ち上げられた浜にいきました。







とてもきれいなこの浜は、昔昔、この土地の人を救うためにフカに飲み込まれた”うずぬしゅー”が吐き出された浜で、今でもその霊魂が残っているので見てほしいというのと、現在、宮古島と伊良部島を結ぶ橋が建設されていて、この場所にその橋がかかるので、それがいい方向へ向かうためにどうすればいいのかを見てほしいという、伊良部島のユタからのお願いでした。

浜に降りてみろと、右側に引き寄せられていきます。浜をずっと右へ歩いていくと、林にようなウタキのような場所がありました。うずぬしゅーの魂は、そこにいました。浜に打ち上げられたときの映像が出てきます。

その場に来た数人で、その場所のうずぬしゅーと話をしながら、これからこの場所を光輝かすためのお話をしました。これからも変わりなく、伊良部の人々と、宮古の人々、そして、観光で訪れる人々の航海安全をお願いいたしました。すると、浜は、スーと輝きだしました。

祈りを終えて、浜の入口に戻ると、宮古のユタが、砂にうつぶせながら、もがいています。もう一人のユタは、それを呆然とみています。私が近寄ると、二人のやり取りが始まりました。内容を聞くと、実はこの宮古島のユタは、ウズヌシュー様の末裔（まつえい）にあたる子孫なのです。だから、うずぬしゅーの魂が彼女の身体に入って、浜に打ち上げられたときのことを訴えている姿だったのです。

私は、この２人のユタを連れて、岩場の上から、宮古島と伊良部島をつないでくれたうずぬしゅー様の魂に感謝の祈りを捧げました。すると、うずぬしゅー様の魂が、私に入りました。手を合わせて祈っている最中に、苦しくなって咳きをすると、喉から海水が溢れてきます。

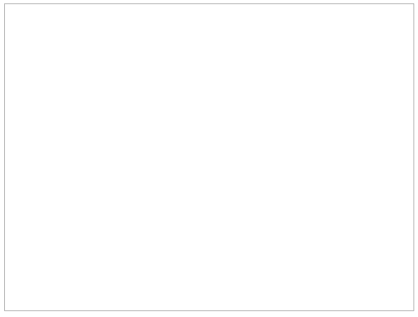
あー、ウズヌシュー様がこの浜に打ち上げられたとき、まだ息があったんだとわかりました。一

人の人間として、フカと戦った苦しい思いを自分の末裔には、わかっていてほしかったのです。でもこの一族は、つながりが薄い為に、実は、そのことを言い伝えていなかったのです。

伊良部のユタは、私にあった最初から、そのうずぬしゅー様の悲しみを伝えていました。だからそのことを本当に祈ってあげるためにも、末裔であるあなたがしてくださいねと、宮古のユタに伝えました。

私はこのとき、不思議に小さな石を手ににぎっていました。その石の意味もわからず、ポケットにいれて、その浜を出て行きました。

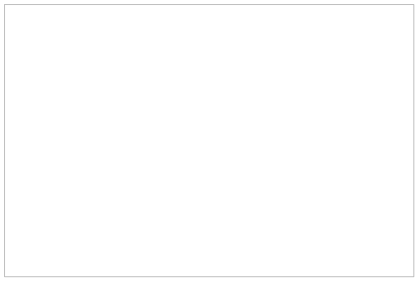
次に訪れたのは、伊良部の南に位置するきれいなビーチで有名な渡口の浜にある「乗瀬御嶽（ヌーシウタキ）」」です。このウタキの意味は、以前にも書いていますが、とてもやさしい女性の神さまがいらっしゃいます。



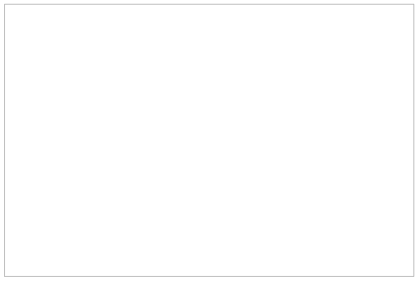
この神さまに、今回の神事のご報告をしました。すると、本当に感謝してくれて、これからもどうぞよろしくと言ってくださいました。祈りのあと、伊良部のユタに言われたのは、私の身体を包み込むように、鳥居より大きな大きなサシバ（鷲・鷹）が私を抱いていたということです。

この渡口の浜の真正面にも、実は、もうひとつ、とても素敵なウタキがあります。昨年の豊年祭（ゆーくい）のときに、最後に入ったウタキしてたが、その中のあまりのすばらしいエネルギーに、涙が溢れて止まらなかった思い出があります。

次の祈りの場所は、伊良部島の北にある、ソーフツミーと呼ばれている「潮吹き岩」です。



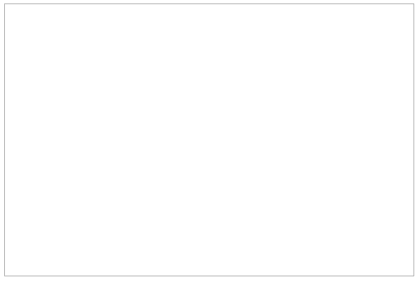
この穴は、大きな潮が吹きあがる穴として、昔々は有名でしたが、ある理由で閉じられてしまっています。伊良部のユタから頼まれて、今までに２度祈りを捧げていますが、今回は特に龍が暴れて、鳴き叫んでいました。海側からは、大きな鳴き声にも似た「ゴーーー、キュウ〜、キュウ〜」と鳴いています。



一番最初のときに、ユタとこの場所へ来て、２匹の子供の龍が、岩場に足がひっかかっているのを助けてから、龍の家族の姿がよくわかります。今日も、子供の龍が２匹と、その子供を連れ戻したい親が、穴の中でもがいて暴れているのです。あまりにそのエネルギーが強いために、皆さんには、離れてもらい、まず私が龍を治めるための祈り払いをすることにしました。

治める祈りをしようと思っていると、さらに大きな声で海が鳴きます。「わかった、わかった、今、助けてあげるから、待ってなさいね」と、叫びながら祈り払いをしてエネルギーを治めました。

ここでの祈りは、３度目になりますが、皆さんの愛の力で、さらにこの穴が開く時期を早めたいと思い、皆さんの愛の力で大きな祈りを捧げました。



今のエネルギーの流れだとあと、５年以内には、この穴が開きます。この穴が開くと、全てのエネルギーが天地をつなぎ、大きな流れとなって、日本を掛けめぐります。そのエネルギーは、地球創生に準備ができた人たちにとって、とても大きな力となってくれることでしょう。（皆さん

の意識がもっと上がると、３年でここが開くかもしれません）伊良部に足を入れた方は、ぜひ、この場所でフタが開くための祈りを捧げてくださいますようお願いいたします。

これで、伊良部島の四方祈りが終わりました。この祈りのエネルギーを治める場所として、佐和田の浜近くにある「黒浜ウタキ」に行きました。このウタキは、子供を授かる神さまとして有名です。お子さんができないお母さんがよくいらして、お子さんを授かったという話が、今でもたくさんあります。

このウタキに初めてきたとき、伊良部のユタは、こう教えてくれました。このウタキは夫婦ウタキの奥様の神さまで、もうひとつだんなさんお神さまのウタキがあるのだけれども、海岸工事のおかげで、往来ができなくなってしまっていると。

私とユタ２人は、今日一日の厳しくもあり、うれしくも感じた全ての場所の祈りの感謝の報告をしました。すると、言葉やさしい女性の声で、感謝の言葉を私はいただきました。ただ、夫に会えないことが、淋しいと私に告げるのです。いつか、この神さまの思いを遂げさせてあげたいと思いました。

宮古のユタに、何を言われましたか？と訪ねると、とてもうれしそうな顔をして御礼を言われました。何が？と聞くと、今、神さまから、いくつかの神さまの名前を書いてある扇に印鑑を押したものをいただいたということです。理由がわからないようなので、教えてあげました。それは、あなたが扱っていい、神様の名前なんですよ。よかったですね～と。

伊良部のユタにも、神さまの言葉を聞いてみると、今まで私がこの伊良部のために何度も何度も祈りまわりをしてくれたおかげで、本当に土地や人々、またご先祖も喜んでいると感謝を伝えてくれました。ありがたいことです。

皆さんに、ご理解しておいてほしいことは、目に見えない世界にも、周波数と担当領域があるということです。その土地に生まれた人は、その土地のエネルギーと役割があって生まれています。さらに、ユタたちでさえも、自分の役割に必要な領域の物が見えたり、聞こえたりするようになっています。

何でもすべてを見通せる訳ではなく、その人に必要な領域の内容を教えてもらえるということです。さらに、自分の周波数以下のことは、よくわかりますが、自分より上のことは、わからないようになっています。理由は、その領域を知ることの責任があるからです。

だから、霊能者３人が同じ神さまに祈っても、違う内容が見え聞こえするのです。それがその人の担当領域の責任だからです。これは人間としての心のバランスの良し悪しにも、大きく影響さ

れます。だから、私たちユタでさえ、いつまでも精進が必要なのです。人間としての学び、ユタとしての学び、そして、宇宙全体との調和の学び。

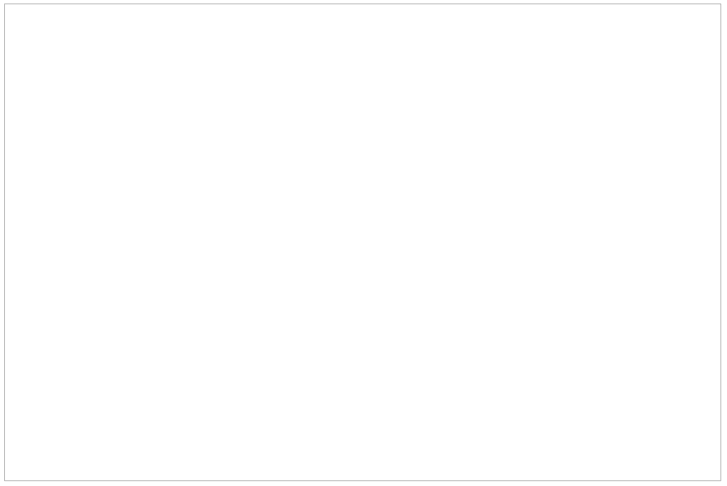
私は生まれるときからの大きなお役目のおかげで、最高レベルに近い高さと、誰も入れないくらい深く暗い世界の両方を扱う力をいただいています。だから、霊界にも、神界にも、入れるのです。でもユタ２人が私を心から認めてもらえないと、この地元ためには、働けないのです。だから、地元の人以上に、学び、動き、感謝の道を歩ませていただいているのです。

だから皆さんには、精神世界も宗教も、もう終わったよと言います。自分で責任取れない世界の意識エネルギーや情報をいくら持っていても、何も使えないし、ピクリとも動かすこともできないことをもう学んでいただきたいと思います。

全ては愛のために、自分が日々何ができるか、今近くにいる駒っている人のために何ができるかだけです。それを皆さんができたとき、地球は、愛の波動に転換します。どうぞ、そのことをおわすれないように！

今日一日の感謝は、ホテルてぃだの郷がある長浜部落の守り神、長浜ウタキです。ご報告には、ただただ感謝をしていただきました。この神さまもとてもきれいな女性の神さまです。村の人たちも、このウタキの神さまの前だけは、心の折り目をただして捧げ物を用意するそうです。

今日一日の全ての出来事に、心から感謝いたします。ありがとうございます。



2006.03.29 Wed

宮古諸島神事　伊良部島四方祈り　1

午前11時、最初の祈りの場所は、伊良部島の名所「通り池」の先にある「なべ底」とよばれる場所です。2004年に、白龍の雲を見せてくれた大切な場所です。

このなべ底には、世界でも珍しいいくつもの神さまが同居しています。まず、水の神さま（龍神）、火の神さま（島の女性たちが一番大切にしている神）、そして、風の神さまです。

この場所は、おなべの底のように岩場にぽっかり大きな穴が開いていて、その中には、大きな岩があります。実はこの岩が、風の神さまなのです。なべの底には、海につながる穴があいていて、海側の水面より、５０ｍほど下でつながっているそうです。

ホテルからこの場所まで１５分くらいでしたが、車に乗ってすぐ、私の身体に、ズーンと重いものが乗ってきました。吐き気をもよおすくらいに、辛く苦しいエネルギーです。私たち霊媒体質の人間は、どこかに意識を向けたり、来客の身体の不調が、先にエネルギーとして、自分の意思とは関係なく身体に伝わってきます。

この苦しいエネルギーは、なべ底のものだとわかりましたが、きれいな空港線の海を見ながらゆっくり走る車は、みなさんの感動とは別に、すこしでも早く着いてほしいと願うばかりでした。

観光名所「なべ底」の入口には、トイレとお店があります。私の身体は、低く強いエネルギーのおかげで、浄化作用に襲われていました。すべてを出し、身を清め、白衣装に身を包み、すべてを捧げる祈りの場に進みます。

なべ底までの遊歩道の先端で、まず、伊良部島のユタと宮古島のユタ、そして、私の３人が心を合わせるために、お互いに手を組みました。すると、私の身体に入っていた霊体が、伊良部島のユタの身体に入りました。大きな声で泣き叫び、立っていられなくなって、その場に座り込んでしましました。身体がガタガタ震えるユタの口からでる言葉を聞いてみると、「ごめんさない、ごめんなさい」と鳴いています。

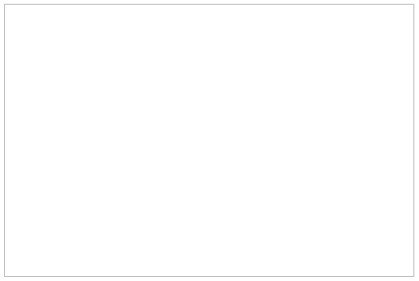
これはすぐ、場所で命を失った人の御霊だとわかりました。来る途中、ユタから、つい最近、北海道の２０代の学生が、通り池で自殺したことを聞きました。２つある通り池の大きいには、「ままこ伝説」があて、実際の自分の子供の命を落としてしまった母親の悲しいエネルギーが溜まっています。

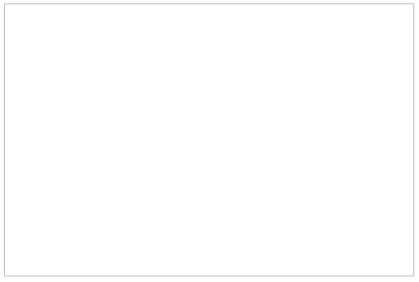
なべ底の見渡すと、その亡くなった御霊たちが集まっている場所がわかりました。風の神の大きな岩場の上に、１輪だけ咲いているユリの花がそうです。はかない命を失ったあと、自分のおろ

かさに気付き、その命と思いを花に代えて、その場に咲いていたのです。この祈りの中で、その払い上げ、御霊上げもしなければと感じました。

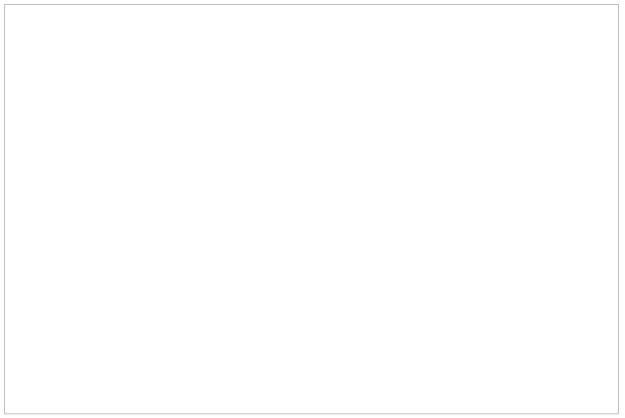
まず最初に、この伊良部島の四方祈りを捧げます。全ての３次元のエネルギ–の安定のための祈り、それは、大きな調和の祈りです。そして、この安定したエネルギーを天とつなぎ、大きな愛でこの島を守り、日本の、世界の一番最後を守ってくれている神々に、心から感謝させていただきました。

四方祈りのあとは、このなべ底のエネルギーを転換する祈りです。陰を陽に、苦しみを愛に、悲しさをやさしさに変える祈りです。塩、水でなべ底の周りを回りながら、払いあげ、清め上げます。

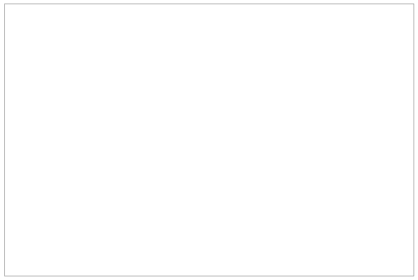




なべ底全体のエネルギーを浄化して祈り上げたあと、一番、苦しがっている風の神の上のユリの御霊を上げる祈りのために岩をよじ登り、ここで亡くなった魂の全ての苦しみを取り除き、次回、転生するときには、素敵な子供を与える約束をして、すべての御霊に上がっていただきました。これは、悲しみの成仏祈りを終えたあとの安堵で、気が抜けた私です。



私が御霊上げをしているなか、同時に、宮古のユタが「火の神さま」へご挨拶の祈りをささげていました。



この火の神さまからは、いろいろ言われたそうです。みんな形ばかりを大切にしていも、心からその意味を理解していなければ、何の意味もないと怒られたそうです。

これは今の日本人すべてに言えることですが、何ごとにも意味をしっかり伝えることが大切です。「火」は、この地球で、人間だけが扱うことを許されたものです。その火は、暖をとり、食べ物を作り、命を守る大切な神様なのです。その役を女性に任せたことも、女性が子供や家族の命を守る大切なお役目をいただいている証拠です。

神道の世界にも、火の神さまのお札がありますが、どこかの神社のお札がすばらしいのではなく、火の扱いを一歩間違えると、命を失う大事故にもなる責任を女性は背負って、命を守る責任があることを今の子供たちにも伝えていかなくては意味がありません。どうぞ、ご家族の女性たちに、そのことを伝えていってください。

水の神が、岩の龍の顔なのは、以前からわかっていましたが、今回、さらに、その下に、山の形になった神さまを見つけました。実は、この一対で、龍神の神となるのです。だから龍は、天を泳ぐ姿もあり、水のなかや大地を揺るがす力を持っているのです。

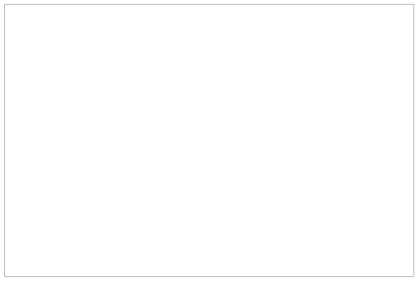
これが天地創造の神とも言われる由来でしょうし、私の今世の役目である地球創生につながる役目として、私の身体の中に青龍が入ってきたことが理解できます。

この祈りの全てを終えて、ふと、奥を見ると、岩の壁に２つの穴があいていました。そこに、神さまがいることは、ユタにもわかりました。その神さまは、どこにつながっているのかを天に聞いてみると、久米島につながっているそうです。

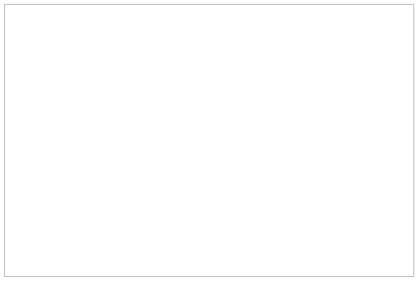
ユタの話では、この琉球へ最初に神が降りた場所が久米島で、この久米島は霊格が高すぎて、私たちのような島のユタだけでは、入ることさえできないということでした。必然ですが今回、沖縄本島から龍神ツアーに参加された方の中に、この久米島出身の方がいましたので、詳しく話を聞くと、久米島のユタも、ウタキを守る司（つかさ）役の方も、一人では守れないくらいに強い神様なので、何人の霊能者が力をあわせて、その場を守っているとのことです。

ありがたい久米島のエネルギーをこの伊良部につなぐために祈りを捧げて、しっかりこの場の安定を図りました。すべての祈りを終え、完全に浄化されたなべ底には、実は、「胎動くぐり」の穴があります。この穴をくぐることは、カルマを消し、御霊の浄化を一気になされる力があります。

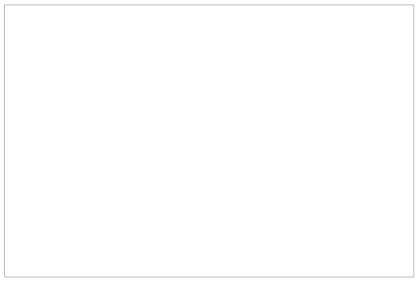
北海道から連れてきた４人は、この胎動くぐりも目的になっていましたの、祈りのあと、くぐっていただきました。全てが終わったあとの皆さんのさわやかな顔に溢れる喜びは、これからの人生に大きな力となってくるでしょう。最後に、北海道のアイヌに伝わる口琴楽器ムックリで、「音奉納」をしました。清らかな風とともに、愛があふれてきているようでした。

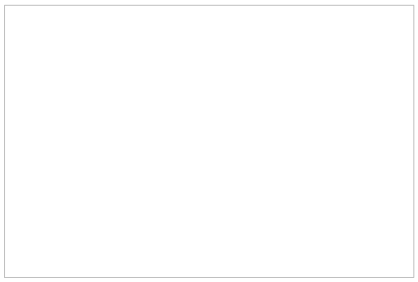


このなべ底が、これから日本の愛の底として、訪れる人たちの御霊を守り、愛に満ち溢れるエネルギーを与えてくださいますことを心から感謝いたします。



帰り道にある「通り池」を見ると、本当に御霊があがってとてもきれいなすがすがしいエネルギーになっていました。悲しみを見守り、全ての苦しみを守ってくださっていたお役目に感謝して、これから大きな愛に溢れる命の双子池として、お活躍んされることを神さまに御礼申し上げます。





2006.03.29 Wed

伊良部島の水祈り

この日の朝、猪子オーナーから気になる井戸の話が出ました。自分の実家の前にある古い井戸が気になるから見てほしいとのことです。水の神、龍神を奉る今回の祈りの流れですから、皆さんでまず行ってみることにしました。

後から調べてわかったことですが、この井戸は、猪子オーナーの実家のご先祖が、伊良部島の水が無いときに、最初に掘り出した井戸で、たくさんの人がこの水のおかげで、命を救われていたということです。

井戸にたどり着いてみると、誰かが手をかけているのはわかるけれど、なぜか、淋しそうでした。皆さんでまず、井戸のまわのゴミ拾いをさせていただき、塩・酒で払い清めてから、全員で手を合わせていると、近所のオバーが話かけてくれました。この井戸の歴史を教えてくれてながら、私たちのことを不思議に思いながらも喜んでくれているようでした。

偶然、昨夜、ホテルてぃだの郷で、猪子さんのおばさんに会いました。神さまのお導きと、今回の予定を話すと、１人参加してくれることになりました。そのおばさんも知らなかったこの井戸の歴史や意味をお伝えして、これから年に１度でいいから、大切にしたい方が集まって手を合わせてくださいとお願いしました。

水は命です。その水で、人を助けた人は、周りの人から感謝という「徳」をいただきます。徳をいただいたご先祖の末裔は、その徳をまた、皆さんにお返しするためにこの世に生まれてきています。だから、今の自分が守られているのも、ご先祖様の徳のおかげと手を合わせ、さらに、いい役をいただいていることも、この徳のおかげと、お礼の報告をすると、その井戸を守っているご先祖様も喜びます。

現代のように、ご先祖に対する信仰が薄れてしまたせいで、ただお墓や仏壇にお金をかければ大切にしているなどという安易な気持ちではいけません。今の自分が生きていることは、ご先祖さまがいらっしゃったおかげであって、ご先祖さまへの感謝は、今の自分への感謝だということを子供たちへ、いいつたえなくてはいけないことです。

学校教育で、道徳や真理を話すと宗教だなどと批判するおろかな親たちには、まず、この宗教でも何でもない「ご先祖信仰」を伝えていくことです。日本でも数少ない「ご先祖信仰」の土地が、ここ宮古島や伊良部島であり、八重山諸島の守り神も、この先祖神が集まっているとご理解ください。

ホテルに戻ると、昨日の宮古島のユタから電話の着信がありました。何かと思って連絡をいれてみると、開口一番、「昨日は、ゴメンなさい。今朝、神さまからお叱りを受けました。今日一日、そちらの皆さんと同行させていただいてよろしいでしょうか？」とのことです。「どうぞ、お越し下さい、伊良部のユタとあなたと、皆さんで、一緒に回りましょう」と話して、待ち合わせの時間を決めました。

これで、すべての迷いや不安が一掃されました。肩の荷が、スーと抜けていくのを感じます。やはり、神さまは、私に先頭を切れと言ってくださっているのだと感謝と、また新たな決意が溢れてきます。

2006.03.29 Wed

宮古諸島神事　前日の出来事

宮古空港に着くとホテルてぃだの郷の猪子オーナーが出迎えてくれていました。なぜ平良いるの？と訪ねると、つい先ほどまで、宮古島のユタに同行して、龍にまつわるウタキのご挨拶周りをしていたということです。今回の準備とも言えるこの大切な行動には、感謝が溢れます。そいうことであればと、私たちもまず、平良の庶民や観光客が足を運べる代表的なウタキの漲水御嶽 (ハリミズウタキ) に、ご挨拶に行きました。

ご挨拶を終えると、このすぐ上に観音堂があるということを猪子さんが話してくれました。どうやらこの宮古のユタは、観音様も付いているということなので、それではお世話になるユタのためにも、みんなでご挨拶をしておきましょうと足を運びました。

観音堂に入ると一人の女性が祈りの後片付けをしていました。遠慮がちにその後ろ姿を見ていると、この方が宮古島のユタのＳＫさんですよと猪子さんよりご紹介いただきました。連絡もせず、偶然、足を運んでも、神さまは必要な人には、合わせていただけます。

実はこのユタの方とは、私も２、３度お電話で話しただけで、お互いに直接会うのは初めてでしたが、同行した北海道の皆様のために、この土地のユタの祈り方をや道具の説明をしてくれました。

宮古や伊良部のユタは、黒い線香がつながったものを必要に応じて折って、本数を数えて束にして神さまに捧げます。この数にも意味がひとつひとつあって、そのユタの霊格に応じた本数があり、さらに、祈りの内容によっても、使う数字の意味があります。私がみたところ、今回の祈りには、６つほどの数の線香の束を用意していました。人束３６本という数字が最高の数字で、これはユタの中でも扱える人が少ないと話してくれました。驚くことに、伊良部と宮古では、線香の種類も違うということです。当然、沖縄本島や島々でも違うようです。

神さまの捧げ物には、お金もあります。これも専用の茶色い神の束をいくつも捧げますし、それ以外に半紙やお水、お酒、お塩、米などが用意されています。

私は毎回、この宮古や伊良部に来ると、霊場の御霊上げをしなければいけないことが多いので、霊を払うためのお塩は自分で準備しなければと思ってユタに聞いてみたところ、「吉岡さん、それではダメです。お祈りの全ての道具は、自分のお金で買わなければ意味がありません。お水さえ、人様の物をいただいてはいけないのです」と叱られてしまいました。

知らないこととはいえ、初めて逢って言われて厳しい言葉に、私は戸惑ってしまいました。し

かし、すぐスーパーに行き、必要なものを全て買い求めて準備を整えて伊良部島に向かいました。

このとき、私の中でとても気になる想いがありました。
それは、伊良部島のユタの方に初めてお会いしたときもそうですが、その土地を守るユタ＝神人（カミンチュ）を絶対に一番に大切にすることを心がけています。その理由は、神人が、神さまそのものの役目をなさっているので、神人に叱られるとうことは、神さまに叱られたということになるからです。

今回の私の執り行う神事のことは、私が電話するまえに、二人とも、神さまから私たち龍神ツアーのサポートしなさいとお告げがあったということです。だから、私は、上の神さまの許可をいただき、私が全責任を負う覚悟で、この土地に足を踏み入れています。しかし、神人が私を叱るのであれば、すべてのことを神人に確認して、許可をいただきながら進めていかなくてはいけないということになります。

私は今までこの宮古島や伊良部島を救うために、命を投げ出してでも救うと、何度もウタキの神さまに宣言していますし、今まで行ってきた祈りも、ギリギリ危険な場所にも足を運び祈りを捧げてきました。それでも今回の私の役目をまっとうする上で、お伺いを立てないといけないのかと思うと気が重くなってきました。

神さまの上の方では許可が降りていると感じるのですが、人間としての礼儀だったり、序列だったりを今回、優先しなければいけないことになると、ここ一番大切なタイミングで、周りを遠慮しあり、相手を気遣いすぎて、ミスをおかす危険を感じていたからです。

皆さんに理解しておいてほしい大切なことがあります。

ウタキの神さまは、実は、霊体です。神＝霊＝意識体＝エネルギー体です。次元や役割において、その呼び名は違いますが、神さまは、人間と同じ霊体だと思っておいてください。ただし、肉体が無い分、ものすごい霊力を持っています。その霊体が守っている場所のウタキに、安易に足を踏み入れることは、どれくらい危険な行為かということを理解しておいてほしいのです。

このことは、北海道の龍神ツアーの皆さんにも、口をすっぱくして言っています。一人が自分の甘い考えでその場にいると、一気に強い霊が乗り移って、心も身体もボロボロになることがあるからです。私は最後まで今回の神事をやりとげる責任がありますので、もし、祈りの途中にそうなっても、一切、救いはしないですよと宣言してあります。

だから、自分の身は、自分で守りなさい、そのために、心静かに、感謝の念だけで、足を踏み入

れなさい、そして、自我を絶対出していけませんと伝えています。ウタキのなかのものは、葉っぱ一枚、石ころひとつ、外へ持ち出してはいけません。神場＝霊場のものは、そこでは、安定したエネルギーでありますが、一歩、外へ持ち出すと、エネルギーが違う為に、大変なことが起こります。前回、参加された方のそのことを体験なさった方がいましたが、本当に、次元の違う場のものを持つということは、ものすごい責任が伴うということをご理解ください。

地元の最高霊格のユタでも、ウタキの鳥居から普段は、足を踏み入れないといいます。それは、この場のなかに身をおく責任を十分知っているからです。どうぞ、ウタキに祈りを捧げるときは、表の鳥居の前で、ご挨拶や供物を置いて祈ってくださいますよう、よろしくお願いいたします。

伊良部島へ向かう船は、大揺れでした。毎回、大事なことをするときには、覚悟を試す揺さぶりが起こります。その全てを受け入れて、感謝して、決断を新たにして、島の港へ手を合わせながら、島に入らせていただきました。

部屋に戻り、明日の準備を整えながらお風呂の中で、先ほどのことを考えながらも、それでもこの神事は、まっとうしなければいけないことなので、自分さえ心構えを変えて、神人の一言一言や表情から大切な神の意図を読み取ることに注意を払うことを決めて床につきました。

つづく

2006.03.28 Tue

潮吹き岩（スーフツミー）　伊良部島

旧暦で生活の神事を奉っている宮古島の方々にとって、旧暦の3/1（新暦3/29）は、龍が立つ日として有名です。この日にあわせて、私の北海道の仲間と現地のユタは、今までに誰もしたいことがない正式な神祈りを行います。

今回の祈りは、宮古島を中心とする正式な５ヶ所祈りをとりおこないます。

まず北は、、やびしと呼ばれる年に１度しか見られない場所で行う祈りです。池間島から約３０分船に乗り、やびしに降り立って祈る場所は、宮古島を守るユタのみが知っています。

そして西は、伊良部島です。ここも、伊良部島で最高の霊力を持つユタが担当しています。

あとの東と南と中心の場所は、これから具体的になっていきますが、今回の祈りの参加者たちは、龍から直接メッセージを受けた人たちや、龍に魅かれるように集まった人たちが、日本のエネルギーの安定と、世界のエネルギー安定を祈るための儀式が執り行われます。

私もこれまでいろんな場所で神事を行いましたが、今回の神事は、天からの正式な表神事であると同時に、この時代のタイミングで行うことの重要さを感じている方々へ、龍神から一斉にメッセージが伝わっているようで、大阪や、沖縄本島からも、この祈りのツアーに参加されたいという方々が集まることになりました。

昨日、ホテルてぃだの郷の猪子オーナーと話していて、とてもいい情報が入りましたので、皆さんにご報告しておきます。

伊良部島には以前、龍の空気穴とも呼ばれている３０ｍも潮が吹き上がる潮吹き穴がありました。しかし、ある理由から、この穴を産めてしまってから、島には、災いごとが増えていました。

２００５年のユークイ神事のときには、龍神ツアーの仲間たちと一緒に、この穴が自然に開きますよう、祈りを捧げてきました。すると今回、宮古島のある議員さんが、この穴のフタをあける動きをしていただけるという運びになったのです。

理由は、これも不思議なことですが、岩手県にある「宮古市」という、同じ名前の場所に、同じよな潮吹き穴があって、その場所は、とても有名な観光地として喜ばれているという情報が入ってきたからです。
岩手県宮古市ホームページ

偶然にも、同じ宮古という同じ名前であるうえに、さらに同じ潮吹き穴があるということが、重なっているのです。この穴を開けて欲しいというお願いは、伊良部島のユタからも言われており、龍の神さまからも強く頼まれていたことだったのです。

皆さんが、伊良部島へ来られて、この潮吹き穴の場所を見たら、きっと驚くと思います。それは、その穴の場所が海岸ふちからは１０ｍくらいしか離れていませんが、穴の場所の高さが、なんと海面から５０ｍ以上もある高い場所にあるのです。

私も実際にその潮を吹いているところは見ていませんが、この穴のフタがあいたときの潮吹きの姿は、それはみごとなものだと想像できるからです。

昨年１０月に、新しく合併した宮古島市の未来を考える市民委員会の活動の環境目安箱へ、伊良部島の大切な場所を守るための皆様の暖かい応援メッセージが届くことで、この穴が一日も早く開けられて、観光の名所となって二度と閉じることがないようになることを心から祈りたいと思います。

どうぞ、皆様の愛のメッセージのご協力をよろしくお願いいたします。
2006.03.27 Mon

宮古諸島神事の目的

この宮古島・伊良部島に龍が立つ日という日に、なぜ、私たち”龍神ツアー”の一行が行かなくてはいけなかったのか？その理由は、参加された皆さんたちは、家に帰ってきた今、全身で感じられていることと思います。

まずこの旅の本当の目的は、事前に、天から私にしか知らされていなかったことなので、私の魂の大きな役目と責任として行ったことだとご理解ください。

2004年1月に、生まれて初めて宮古島の土地に足を踏み入れるまで、この土地の役目には気付いていませんでした。ただ、宮古島のことを知ってから、足を踏み入れるまでに、自分の魂の準備として約７年かかっていることをご理解ください。

私たちのように、大いなる意図につながる人たちは、神さまや大宇宙から、大きな役目をいただくことは、ある意味、感動もありますが、同時に、その責任もとらされます。現実世界においていえば、このことを公開する責任があるのと同じです。

しかし、なぜ、皆さんにこのことをお知らせするかというと、皆さんの魂の覚醒、つまり、魂本来の目的と役割に気付いてほしいからです。

神事は、決して都合のいい宗教活動の一部ではありません。その活動の意味を背負う覚悟がないと、心も身体も引き裂かれるほどの苦しみを伴います。

その土地を守る神＝神人（カミンチュ）と呼ばれる人たちは、日々、その苦しみを肩に背負いながら、人のために、世の中のために働かれているのです。

いつからか、この日本の歴史でも珍しいほど、目に見えない世界を否定する流れが起きました。この流れは、先祖のことや、自然に生かされていることも否定して、全て自分の力で生きていうおろかな考えのもと、今の自分のことを否定していることになっていることにも気づいてないのです。

大宇宙はこの人間のおろかさを許して、ただ見つめています。何度も与えてきたこのチャンスをどう生かすのかと？

今回の「表神事」と捕らえたこの神祈りは、この大宇宙のおおもとおから、全ての調和を整えるための祈りを執り行いなさいと言われていました。（全ての調和ですよ！）

きっかけは、2004年に伊良部伊島で見せられた「白龍」の雲が、始まりです。
その当時、私には、なぜ私に？なぜ伊良部で？なぜ今？と疑問の中で混乱していました。

2005年4月にまた足を踏み入れたのも、ホテルてぃだの郷オーナー猪子立子さんからの電話から、龍のことでぜひ来てほしいからと頼まれたことが、全ての行動の始まりです。

このときもし、地元のユタに逢うことがあれば、自分の役目と責任が出るのを感じていたので、あえて自分から望まないようにしていましたが、すぐユタに逢わされ、今までの話を聞き、自分のできる役目をまっとうする覚悟をしました。

この伊良部島の神々は、目に見えない世界の中でも最強の神々が、とても強い力で守っています。
それはこの土地の条件の厳しさでもあり、歴史に重ねられて苦しみを乗り越える力にもなっていました。

伊良部の地で祈りを重ねるたびに、地元の人に受け入れられることの大切さを感じて、10月、龍神ツアーとして伊良部島に入り、歴史に残る初めての外部団体として、「豊年際（ゆーくい）」に、参加させていただきました。

７部落のうちの５つの部落の７つのウタキに足を踏み入れるという快挙は、地元の新聞にも載るくらいに過去、ありえないこととされる理由は、地元の人でも年にこの日、一日だけという厳しい条件のなかで入るウタキの神さまの厳しさとやさしさをよく知っているからです。

地元の神々さまに祝福されれたことの証として、私たちは地元の人たちから大きな歓迎を受けることができました。地元の人に喜ばれなければ、何ごとも意味を成しません。

伊良部島という土地には、今では貴重な蝶や鳥、植物などが溢れていて、専門学者が驚くほどの自然が今でも大切に残されている島だからです。

私たちは旅の者として、この自然の癒しのエネルギーをいただき元気になったり、心が癒される度に、この土地の人に愛される旅行者として振舞わなければ、お金のために自然を壊してしまった他の島と同じ運命を背負わせることになります。

宮古諸島は、実は、ムー大陸そのものの一部が隆起した島で、そのムー大陸時代の大切な機能や知恵が、龍宮伝説や神々の神話として、受け継がれている土地なのです。

現代の私たちは、この歴史の繰り返しの中のたった１ページをめくるくらいの人生しかない時

間を、何のために生きるのかを見つけなくてはならないのです。そのことを思い出したり、気付かせてくれる島が、伊良部島や宮古島なのです。

自分のことを深く知りたければ親に聞くことです。さらに、おばー、おじーに聞くことです。先祖から大切に守られてきているものは、何なのか？自分たちの家系の先祖は、何はしていた人たちなのか？

その人間の大きな大もとのルーツが、この伊良部島には、あるのです。日本人の魂の一番古い場所だと言えましょう。だから、私たちはその故郷のために何ができるのかと考え、守り神の龍を背負い、龍神ツアーとして動いているのです。

すべての調和の大切なひとつに「人の調和」があります。
ユタ同士の調和、ユタと民衆の調和、地元と外部の人との調和、神と人の調和、宇宙と神の調和、ウタキの神々と龍神の調和、うずぬしゅーとその末裔の調和、大自然と人との調和。

その全ての役目をまっとうできたことを心から感謝いたします。
日々の出来事の詳細は、また後日に続きます。ありがとうございます。

2006.03.26 Sun

神事の意味

今回の龍神ツアーについてのお問い合わせを何件かいただいていますので、実際に、今回の神事を行うことの意味をご説明しておきます。

まず今回の宮古島・伊良部島の龍が立つ日の祈りは、私自身は天命をかけてのぞんでいるものですので、「神事」としてとり行います。ですから興味本位だけで何かを期待されている方にとっては、きっと期待はずれで残念に思うことと思います。

今回の祈りの目的をお伝えいたします。

今回、２００６年の龍が立つ日に宮古島・伊良部島で神事をとりおこなう意味は、地球創生のために日本全体のエネルギーを新しく整えるという意味があります。

ですからこのツアーに参加される方は、地元の霊場ともいえる「ウタキ」に入ったり、霊的なパワーの強い場所を、何箇所か一緒に回って祈ることをします。

こういうウタキや霊的な場所に足を踏み入れるということは、地元の方でも、普段は絶対しません。
なぜかというと、ただ興味本位で、こういう場所へ足を踏み入れた場合、その人に災いごとが訪れることが多いからです。

私自身は天（神）から、どのウタキに足を踏み入れてもいいという許可をいただいていますが、それでも、地元の方を差し置いて、勝手に他人の家に踏み込むような失礼なことは絶対にいたしません。

ですから今回も、伊良部島のユタの方と宮古島のユタの方で、龍の神さまを担ぐ、大きな力をもったユタの方々に先導していただきます。

地元のことは、地元の方が守るべきことなので、誰かが突然現れて、どんなに良いことをしたとしても、失礼にあたる場合があるので、注意しなければいけません。

このことをご理解いただいた方で、それでもご参加希望の方へお願いは、まず私へメールで直接連絡を下さい。次にホテルてぃだの郷へお電話してご自分で部屋の手配をしてください。航空券も同様に、ご自分で手配願います。

龍が立つ日の神事の日程は、3/29（旧暦3/1）～3/31（旧暦3/3）の３日間で行動します。

具体的な場所や、行動時間は、現地へ行く方のみへ、当日、ご案内いたします。

ですから突然、その日に現地に現れて参加を希望されても、一切、無理ですし、その方のとった行動の責任は一切とれませんのでご容赦ください。

私の今回の龍神ツアーは、わざわざ現地の最高霊力者（神人・ユタ）たちにお願いして動いていただいていますので、心あわせができていない方には、混乱がおきることをご理解ください。

もうひとつ理解しておいて欲しいことですが、私も、ユタ・神人も、目に見えない世界を決して楽しんではいません。自分でのぞんでこういう立場に居る訳ではないからです。

自分に与えられたこの霊力を人のために使うことの意味は、ある面、宿命とも、天命ともいえますが、そのことを仕事にするうという決断の際、どれくらい長い期間、苦しい経験をしてきたかは、皆さんが絶対に理解できないことがあるのだということをご理解下さい。

私たちのこれからすることが、人のためや世の中のためになり、結果、宇宙の大きなつながりの一部の役目でもあるからこそ、心身を削ってこういう神事をとりおこなうのです。

どうぞ、このことを皆様にご理解してくださいますことを心からお願いいたします。
ありがとうございます。
2006.03.20 Mon

宮古諸島神事　伊良部島のユタ

昨日、伊良部島のユタの女性に電話をして、今回、大きな祈りをしに行くことを初めて伝えました。すると、すぐうれしそうに、こう答えてくれました。

「今朝、神祈りをしていたら、札幌から吉岡さんが中心となって、６人から８人の人と一緒に祈りをする姿を見ていましたよ。」

彼女に、この「龍が立つ日の意味」を聞いてみると、それは、「龍の口が開く日」、「龍が舞い上がる日」という意味だそうです。

さらに「今回、吉岡さんは、七階立ての一番上で、四方祈りをすることも見えています」と話してくれました。そして祈りの大切な場所をいくつか教えてくれましたが、その場所へ行く順番や段取りは、当日、神さまが教えてくれるということなので、安心して行くことができます。

3/31の八重干瀬（やえびし）祈りは、伊良部島のユタも、宮古島のユタも、経験したことがないくらいに、大切な祈りだということで、今回の祈りの大きさと責任を感じています。

しかし、いつもながら、神さまのつながりというのは、全てを見通していて、必要なときに、必要なことだけを教えてくれます。ですから、私の心がけとしても、必要以上に何かを求めないことにしています。

人間の欲の”思い込み”で物事を見たり、行動したりすると、大切なことを見逃して、自分の思ったことを神さまの言われたことだと思い込むクセがあるからです。

もうこれで、全ての準備が整いました。

当日、現地へ来られない皆様も、世界中からこの祈りに参加される魂は、多いと感じています。

すべては、必要なときに、必要なことがおこり、必要な人が必要なことをする。

この生き方で、皆さんにも、天とのつながりを持てる日が来ることを心から祈ります。

ありがとうございます。
2006.03.19 Sun

宮古諸島神事の意味

今回の龍神ツアーについてのお問い合わせを何件かいただいていますので、実際に、今回の神事を行うことの意味をご説明しておきます。

まず今回の宮古島・伊良部島の龍が立つ日の祈りは、私自身は天命をかけてのぞんでいるものですので、「神事」としてとり行います。ですから興味本位だけで何かを期待されている方にとっては、きっと期待はずれで残念に思うことと思います。

今回の祈りの目的をお伝えいたします。

今回、２００６年の龍が立つ日に宮古島・伊良部島で神事をとりおこなう意味は、地球創生のために日本全体のエネルギーを新しく整えるという意味があります。

ですからこのツアーに参加される方は、地元の霊場ともいえる「ウタキ」に入ったり、霊的なパワーの強い場所を、何箇所か一緒に回って祈ることをします。

こういうウタキや霊的な場所に足を踏み入れるということは、地元の方でも、普段は絶対しません。
なぜかというと、ただ興味本位で、こういう場所へ足を踏み入れた場合、その人に災いごとが訪れることが多いからです。

私自身は天（神）から、どのウタキに足を踏み入れてもいいという許可をいただいていますが、それでも、地元の方を差し置いて、勝手に他人の家に踏み込むような失礼なことは絶対にいたしません。

ですから今回も、伊良部島のユタの方と宮古島のユタの方で、龍の神さまを担ぐ、大きな力をもったユタの方々に先導していただきます。

地元のことは、地元の方が守るべきことなので、誰かが突然現れて、どんなに良いことをしたとしても、失礼にあたる場合があるので、注意しなければいけません。

このことをご理解いただいた方で、それでもご参加希望の方へお願いは、まず私へメールで直接連絡を下さい。次にホテルてぃだの郷へお電話してご自分で部屋の手配をしてください。航空券も同様に、ご自分で手配願います。

龍が立つ日の神事の日程は、3/29（旧暦3/1）～3/31（旧暦3/3）の３日間で行動します。
具体的な場所や、行動時間は、現地へ行く方のみへ、当日、ご案内いたします。

ですから突然、その日に現地に現れて参加を希望されても、一切、無理ですし、その方のとった行動の責任は一切とれませんのでご容赦ください。

私の今回の龍神ツアーは、わざわざ現地の最高霊力者（神人・ユタ）たちにお願いして動いていただいていますので、心あわせができていない方には、混乱がおきることをご理解ください。

もうひとつ理解しておいて欲しいことですが、私も、ユタ・神人も、目に見えない世界を決して楽しんではいません。自分でのぞんでこういう立場に居る訳ではないからです。

自分に与えられたこの霊力を人のために使うことの意味は、ある面、宿命とも、天命ともいえますが、そのことを仕事にするうという決断の際、どれくらい長い期間、苦しい経験をしてきたかは、皆さんが絶対に理解できないことがあるのだということをご理解下さい。

私たちのこれからすることが、人のためや世の中のためになり、結果、宇宙の大きなつながりの一部の役目でもあるからこそ、心身を削ってこういう神事をとりおこなうのです。

どうぞ、このことを皆様にご理解してくださいますことを心からお願いいたします。
ありがとうございます。
2006.03.08 Wed

宮古諸島　愛と調和の祈り

旧暦で生活の神事を奉っている宮古島の方々にとって、旧暦の3/1（新暦3/29）は、龍が立つ日として有名です。この日にあわせて、私の北海道の仲間と現地のユタは、今までに誰もしたいことがない正式な神祈りを行います。今回の祈りは、宮古島を中心とする正式な５ヶ所祈りをとりおこないます。

まず北は、、やびしと呼ばれる年に１度しか見られない場所で行う祈りです。池間島から約３０分船に乗り、やびしに降り立って祈る場所は、宮古島を守るユタのみが知っています。

そして西は、伊良部島です。ここも、伊良部島で最高の霊力を持つユタが担当しています。

あとの東と南と中心の場所は、これから具体的になっていきますが、今回の祈りの参加者たちは、龍から直接メッセージを受けた人たちや、龍に魅かれるように集まった人たちが、日本のエネルギーの安定と、世界のエネルギー安定を祈るための儀式が執り行われます。

私もこれまでいろんな場所で神事を行いましたが、今回の神事は、天からの正式な表神事であると同時に、この時代のタイミングで行うことの重要さを感じている方々へ、龍神から一斉にメッセージが伝わっているようで、大阪や、沖縄本島からも、この祈りのツアーに参加されたいという方々が集まることになりました。

昨日、ホテルてぃだの郷の猪子オーナーと話していて、とてもいい情報が入りましたので、皆さんにご報告しておきます。

伊良部島には以前、龍の空気穴とも呼ばれている３０ｍも潮が吹き上がる潮吹き穴がありました。しかし、ある理由から、この穴を産めてしまってから、島には、災いごとが増えていました。

２００５年のユークイ神事のときには、龍神ツアーの仲間たちと一緒に、この穴が自然に開きますよう、祈りを捧げてきました。すると今回、宮古島のある議員さんが、この穴のフタをあける動きをしていただけるという運びになったのです。

理由は、これも不思議なことですが、岩手県にある「宮古市」という、同じ名前の場所に、同じよな潮吹き穴があって、その場所は、とても有名な観光地として喜ばれているという情報が入ってきたからです。
岩手県宮古市ホームページ

偶然にも、同じ宮古という同じ名前であるうえに、さらに同じ潮吹き穴があるということが、

重なっているのです。この穴を開けて欲しいというお願いは、伊良部島のユタからも言われており、龍の神さまからも強く頼まれていたことだったのです。

皆さんが、伊良部島へ来られて、この潮吹き穴の場所を見たら、きっと驚くと思います。それは、その穴の場所が海岸ふちからは１０ｍくらいしか離れていませんが、穴の場所の高さが、なんと海面から５０ｍ以上もある高い場所にあるのです。

私も実際にその潮を吹いているところは見ていませんが、この穴のフタがあいたときの潮吹きの姿は、それはみごとなものだと想像できるからです。

昨年１０月に、新しく合併した宮古島市の未来を考える市民委員会の活動の環境目安箱へ、伊良部島の大切な場所を守るための皆様の暖かい応援メッセージが届くことで、この穴が一日も早く開けられて、観光の名所となって二度と閉じることがないようになることを心から祈りたいと思います。

どうぞ、皆様の愛のメッセージのご協力をよろしくお願いいたします。
2006.03.07 Tue

龍宮城　伊良部島

宮古島の西に位置するこの大きな島は、実際は、２つの島の”伊良部島”と”下地島”の２つがつながったように見える形で、一緒に伊良部島と呼ばれています。

パイロット訓練学校の滑走路を建設する際に、この下地島は、沖縄県が買い取ったことで、正確には、現在の住人はいません。

しかしこの島には、昔から、あちこにに龍にまつわる大切な場所のことが言い伝えられています。
現地に住む神人ユタや、昔から生活している人たちに話を聞くと、その大切な場所のことを教えてくれました。

日本全国にも、龍にまつわる場所はたくさんありますが、実は、日本の龍のおおもとは、この伊良部島なのです。龍のふるさととでも、言える場所なのです。

実は龍の神は、５つの神さまがいらっしゃるのです。その５つの龍は、そえぞれ大切な役目をもって、大切な場所を守っています。

この地マニあるその大切な場所のひとつに、「大龍門」というところがあります。
これはこの島自体が、もともと龍宮城であったことを意味しています。

この龍宮城の形は、中心に大きなお城があって、そこから放射線状にいくつもの道がつながっていて、その道の端には門があり、それぞれの大切な場所を守っています。

伊良部島全体でもこの竜宮の形をしていますが、宮古諸島全体でも、大きな龍宮として、エネルギーを安定させています。

大龍門は、表門ですが、それ以外にこの島には、龍のお休み処が何箇所もありますし、今でも、龍が行き来しています。

龍を実際に見たことがないと方にとっては、神さまの化身、神さまの使いと覚えておいてください。心眼が開かないと、子の龍を目にすることはできません。

龍は、水の神であって、あらゆる水・雲・海などを動かすことができます。

地球にとって人間があまりにひどいことをすると、ときには、大きな災いを起こしてそのことを

知らせてくれています。

龍は今でも、この島の中や、宮古諸島の周りを行き来していますし、この島の中にある迷路のようになっている海とつながる龍の穴は、ダイビングポイントとしても有名になっています。

名所”通り池”もその龍の場所の大切な場所ですが、私が見せていただいた白龍は、別名、天龍とも呼ばれている龍全体の大神さまでもあります。

この島で龍の神さまを奉るユタの方から、多くのことを教えてもらいました。
日本全国につながるエネルギーライン（龍脈）のことも、その働きの役目のことも。

だからこそ、この地に足を踏み入れる方は、日本にとって大きな役目を背負う方もあることでしょう。それはあなたの守護霊が望むよりも、もっと大きな力が働くエネルギーの場所だからこそ、高い次元からあなたへ与えられるチャンスなのです。

これからの日本は、もう龍のエネルギーで日本再生が始まっています。龍は天地を司る強靭なパワーとやさしさの両方を備えた重要な役目をされる神の化身なのです。

この伊良部島が観光化されずに残っている大切なものすべては、全て龍神が守っています。
鳥も花も、生き物全ても、人間も、料をする魚も。

だからこの地へ足を踏み入れるとき、あなたの守護霊やご先祖様は、大きな宇宙の大きなつながりに感謝をしています。

そのことがわからないあなた自身も、そのことを決して忘れず、現地の人が言葉にしない大切な部分を感じとってみてください。

もし、あなたが現地の人に受け入れられたなら、それは、あなたが神からの守護を許されたことになります。それからのあなたの人生は、きっと大きな神の守護に守られうることになるでしょう。

神なる島、伊良部島は、これからさらに日本全体へ大きな影響を持つパワーと役目を備えています。

皆さんの愛の波動が上がる為にも、その大切な場所や役目を少しづつ公開していきますが、決して興味本位だけで、現地で勝手な行動は取らないで下さい。

この島に足を踏み入れた瞬間から、いつでも龍神があなたを見ています。
あなたのご先祖や家族の全てを見通して、あなたの魂の本質を見ています。
だからこそ、本当にこの島は、あなたの全てを受け入れてくれるのです。

母なる島とも、神なる島とも呼ばれているこの島の本当の部分を、どうぞ感じてください。

島に来た方は、ぜひ深く大きい愛のパワーを朝日と夕陽の両方から感じてください。
月夜の夜に海辺へ出ると、月の光で海がとても青くきれいに見えます。

その幻想的な世界を見れた方は、海が目を覚ましますし、星も輝きはじめますし、南十字星も見えてきます。ときには、ＵＦＯも現れてくることでしょう。

神なる島、伊良部島は、あるゆる次元から守護されている大切な場所なのです。

だからあなたがこの島へ来られる日を、宇宙も神もお待ちしています。

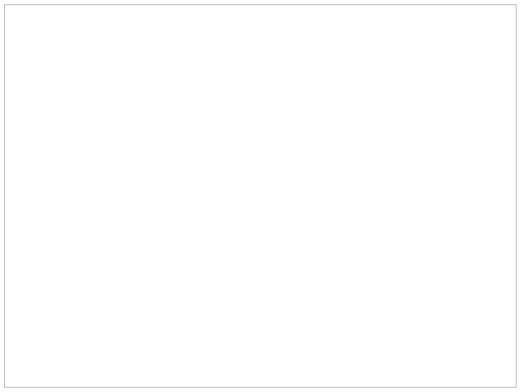
天なる光を与えられた全ての魂が、光輝きますことに感謝いたします。

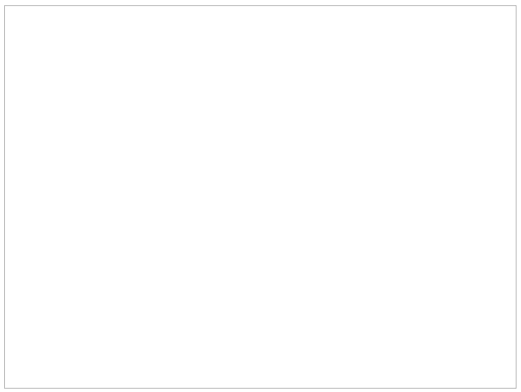
2006.03.02 Thu

「母と子の輝くお産」

エンジェルネットワーク・ジャパンを立ち上げてから2005年10月の苫小牧の講演会を皮切りに、道内５箇所の地域で「母と子の輝くお産」の講演会を主催された方々がいます。

・2005.年11月20日（土)苫小牧 85名　　主催：響き　∞　ひびき
・2006年4月14日（金）浦河 53名　主催：さんばばの会
・2006年3月4日（土）女満別 100名　主催：エンジェルサポート
・2006年2月26日（土）札幌 160名　主催：ジャパンセラピスト協会
・2006年2月25日（土）旭川 20名　主催：サンシャインサポート





参加された女性たちが、年齢を問わず必ず言われることは、「もう一度、産めるものなら、産んでみたい！」という言葉です。

また、「自分の子供には、本当にすまないことをした」など、母として子供との距離を置き過ぎたことを反省しているお母さんもいらっしゃいました。新たに、人と人の信頼関係の大切な距離を気付かれたようです。

札幌の会場では、私も最後に少しだけお話させていただきましたが、聞いてくださっている皆さんの目を見ていると、魂から喜び、本質の生き方を望んでいる方がたくさんいることを感じました。

この講演会を催した目的は、赤ちゃんをどう産むかという、直接的な知識もありますが、それよりも、自分の大切な子供と親が、どう付きあうことが大切かを皆さんと一緒に学ぶことができます。参加者の中には、お母さんと娘さんが、一緒に参加されている方もいらっしゃいました。

出産には、日本古来から大切にされてきた知恵や知識があり、命の誕生過程でも、その経過の中でおきる死の可能性さえも、実は、光の一部だと気付かれることでしょう。

私はその人の魂からみて、全てを判断しますので、この世に出た瞬間の命の誕生も、この世を去る死の瞬間も、両方が「光そのもの」だと感じています。

そういう大切なことを忘れて、この世のなかで、うまく生きることだけを学んでしまうと、この世にあるものや人に執着するばかりか、ときには、嫉妬や執着から、人を恨むという強い自我の世界を作って、最後には、いつも他人のせいして生きるという、不幸な生き方をしてしまうことになります。

岡野さんのお話のなかにもありますが、人はみな、生かされていると、私も思います。

それは、人間がどれだけ頑張っても、生と死を自由にコントロールできないことを受け入れることこそが、人間の最初の大切な学びだと思っているからです。

命は、与えられるもの、そして、死も与えられるものと、全てを自然体で受け止めてこそ、今、生きていることに感謝できますし、そのおかげで、自分のお役目にも自然と気付くことができるのです。

皆さんの愛の魂の覚醒を、心からお待ちしております。
2006.03.01 Wed

宮古島のパワースポット　「石庭（いしにわ）」**2005.10**

３回目になる新城さんとの出会いは、出会うたびに大きな確認と、お互いのそれぞれのお役を実感させられます。今回、新城さんにお会いしてすぐに、「新しい場所が奥にあるから、感じてきなさい」とおっしゃいました。北海道から同行したみなさんには、石庭のサークル内での瞑想を含めて、ひとつひとつの場所のエネルギーを感じていただきました。

この写真の穴は、実は、３つある穴のひとつで、これは、宇宙につながっている穴なのです。そしてこの穴の中からは、たくさんの不思議な石が発掘されています。

2005年４月に、この石庭の持ち主、新城定吉さんと２度目にお会いして、今までにない深い話をすることになりました。今回の石庭で、私の最高の感動は、新城定吉さん（石庭の持ち主）ご本人とゆっくりお話ができたことです。お話というよりは、ふらっとやってきて、私の顔を見るなり、冒頭から私に質問ぜめだっといったほうが正解でしょう。

ここに、そのときの質問内容を少しだけ記述しておきます。

質問１、今の世の中の気の流れをどう感じているか？
質問２、現在の世の中の問題と、これからの地球の未来をどう感じているか？
質問３、宮古島は、ムー大陸の隆起のせいで気の力が大きくなっているが、世界中からここを訪ねてくる人が多い理由は？
質問４、宇宙のバランスを壊す恐れのある地球の現在の問題は、この石庭の力でできることがあるのか？
質問５、私の本を２冊読んだと聞いたが、何を感じたか？

などなど、宇宙エネルギーのことや、ここ石庭のエネルギーについて、いろいろなお話をさせていただきました。新城さんの家の横には、来客用に、部屋がひとつ用意されており、そこに、ご本人が掘り出したたくさんの不思議な石が並べられています。

いろいろな話のやりとりから、私のことを信用してもいいと感じてくれたのか、普段、誰にも触らせないらしい棚に並んでいるたくさんの石の方を見て、「今度は、その３段目の端の石を手にとって、何を感じるか？」という質問に変わりました。

私が指定された石を触って感じてみると、そこには、はっきりとある波動の意識が残っています。たとえば、「マンモスの化石」と感じた石は、実は東京から学者が来て、詳しく研究したいので、持ち帰りたいと言っている石でした。（この島にマンモスがいたという歴史は、ありません。もし、事実だと証明されると、また大きく歴史の教書が変わります）

それ以外に触った石たちは、「隕石」、「この世のものではない物質」、「地球全体の波動コントローラー」、「昔の御神鏡の一部」などがありました。新城さんの今後の夢について質問したことから、今後のこの石たちの扱い方について、少しだけアドバイスさせていただけたことに、とても楽しそうに話を聞いている新城さんの顔がありました。

私が最後に、質問したのは、「最近、この石庭を訪れる人はどんな人ですか？」と訪ねると、以前のように、船井さんの本を見て、めずらしさと観光目的でここにやってくる一般の人たちは少なくなって、反対に、ここ数年来る人たちは、本当にスピリチュアルな方たちが、世界中から集まって来ているということです。

長い時間を過ごしたあと、またの再会を約束して、家を出た私は、新城さんの魂の意思を引き継いだ感覚にもなっていたので、この石庭の未来に向けて、何か満ち溢れてくる感覚が身体中からあふれ出してきていました。

今回、この石庭全体のエネルギーは、前よりも、やさしくおだやかになっていました。それは、もう自分だけの癒しの時代ではないことを表しています。奥に新しくできた場所は、新城さんが天から降りてきた名前として、「天龍の台座」と命名しているところです。

天龍の台座　左
天龍の台座　中央
天龍の台座　右

この場所は、ものすごく強く、高いエネルギーです。人によっては、近づけない人もいると、サポートの女性（濱本政美さん）が、話してくれました。とてもうれしい名前です。前回４月に、ここにきたときに、新城さんとたくさんお話した中で、この宮古島・伊良部島の地球上での役目、龍の意味、そして、この石庭の石の役目の意味をお伝えしていたからです。

今回、もっと驚いたことは、新城さんが、また新たな場所を掘り始めていたことです。サポーターの濱本さんに聞くと、６月から突然、密林を伐採して、掘り始めてということです。新城さんご自身も、なぜまた掘り始めたのかと尋ねてと、「わしにも、わからん。この年（８４歳）で、こんなエネルギーがあるとは、自分でも不思議に思う」とのことでした。今回、新城さんが私に質問された言葉のなかに、今、掘っている石は、タテ石で、とても手がかかっているということです。（この場所の石は、宮古島が隆起したため、タテ石とヨコ石と斜め石があるそうです）

この新しい場所の意味と、このタテ石を立てる意味を私に問われましたので、私は、こうお答え

しました。

この石庭の役割は、時代と共に変わってきています。今までの場所のエネルギーがやさしくなった分、自分のための癒しではなく、新しい「天龍の台座」のように、個人と全体がつながるエネルギーを求めてくる人たちがやってきます。

そして、今、切り開いて、掘っている場所のエネルギーは、「大調和」のエネルギー場です。そこに新城さんが、タテ石を立てることで、宇宙の大調和が、ここに,現実に現れることになります。どうぞ、お体を大切にしながら、石を立ててください。

〇掘り始めて３ヶ月になるタテ石と穴

この石庭には、すばらしい木や石が、それぞれ全く違う役割として存在しています。その一部をご覧いただきましょう。

石庭入口

石庭内のウタキと同じエネルギー場

大調和の庭の精霊のいる場所

大調和の庭の沖にある緑の石を抱いたガジュマルの樹

石庭のジャングルの一番奥にある「緑の石を抱いたガジュマルの樹」のことを、新城さんは、どういうエネルギーに感じるかと、私に問いました。私は、この石を見たときに、「命そのもの」と感じましたし、樹全体と石の関係は、「宇宙の力、命そのもの」だとわかりました。

どういう意味かというと、宇宙根源の創造主の命＝宇宙のすべての命の根源、そのものであるということです。普通は,その部分を実体化する必要 がないのですが、この場所には、その役割が与えられているようです。それはとても大きな命の力であって、この全宇宙のつながりを動かす力を持っているということです。

この大きな気づきと感動にひたっていると、新城さんが、また質問をしてきました。「吉岡さん

には、石をあげたか？」石はもらってはいないし、もらうつもりもないので、「いいえ」とお答えすると、「ちょっとまってろ」と言って、奥へ行かれて、ひとつの石を感じてみろと手渡されました。

手のひらに収まるこの石は、「大きな愛、とても大きな愛、そして、とても、強い愛の石です」とお答えすると、「それは陰の石だから、太陽に当ててごらんなさい」というので、外へ出て、太陽に光にしばらく当ててから感じると、とても陽の大きなやさしい愛のエネルギーを出しています。

そう新城さんにお伝えすると、「じゃあ、それを吉岡さんにあげるよ」と言われました。

まったくもらうつもりも、欲しいという欲もなかった私は、突然、与えれたこの石の意味と役割と責任に対して、瞬間的に覚悟と決断をして、ありがたくいただ くことにしました。この石が、どういうエネルギーかというと、私自身に与えられている力と全く同じエネルギーなのです。ただし、私自身が意識してこの石のエネルギーを使うと、私の最大エネルギーの１００倍まで動かせる力があります。

この石は、陰の世界にも、陽の世界にも使えるエネルギーです。いずれ世界を守るために、使わなければいけないときがくるかもしれません。世の中のエネルギー安定と、そのことをサポートする大切な人たちのために使わせていただきます。

今後、私のところに来られた方には、見せる機会もあるでしょうが、触ることはできないことをご理解ください。私が手に乗せているだけでも、ボロボロ砕けてくるからです。

これは光そのものであり、闇そのものでもある石、そして使う人の意識エネルギーで、すべてを操作して動かす方法は、マヤの時代にも使われていた方法です。水晶と同じ成分らしく、純粋になる、輝くために使わせていただきます。

2006.02.28 Tue

米寿（８８歳）祝い

昨夜、義父の米寿祝いをしに、小樽へ行きました。ひ孫を含めて１２名でのお食事会です。

当日まではお祝いしてあげるんだという気持ちでしたが、帰り道に、ふと気付いたことは、「お祝いさせていただいているんだ！」ということに気がついたんです。

人間が長く人生を生きたということは、それ自体が”生き仏様”です。

だから、その節目、節目でお祝いさせていただくということは、その人が生きた分の”福”をいただくという意味があるのです。

いつからか６０歳で、魔よけの赤い”ちゃんちゃんこ”や頭巾を着せてお祝いするのも、大福さんのように、神様そのもののパワーをいただくためなのです。

私たちは、”全てのものを生かされている”という環境や時間の中で、その道を先に歩いた人たちの健康と長生きパワーが、自分のこれからの人生のエネルギーになることを知っています。

だから、その方を神さまとして大切に扱い、祝福して喜んでいただくことで、喜びエネルギーをまわりに振りまいていただくのが、このお祝いの意味だと気付いたのです。

”お祝いさせていただいている”

このことを、しっかり心に留めた時間でした。蛇足ですが、皆様のために、長寿お祝いのご案内をさせていただきますね。

・数え６１歳（還暦）十干十二支が一巡して自分の干支の戻る年なので、
本封がえりとも呼び、赤ちゃんに還るという意味。

・数え７０歳（古希）中国・唐の詩人、杜甫の「人生七十古来希なり」に
由来したもの。出典は「典江」からです。

・数え７７歳（喜寿）喜の字の草書体七七」が七十七に通じるところか
ら、７７歳のお祝いは喜寿となりました。

・数え８０歳（傘寿）傘の略字は「十」と書きます。これが八十と読める
ところから８０歳のお祝いは傘寿に。

・数え８８歳（米寿）「米」という漢字を分解すると八十八になります。
また、末広がりの八が重なることからも８８歳のお祝いに。

・数え９０歳（卒樹）「卒」の略字は「卆」と書きます。これは九十と読
めるので、９０歳のお祝いになりました。

・数え９９歳（白寿）「白」という字も９９も、一を足すと百となること
から、９９歳のお祝いになりました。

・数え１００歳（紀寿・上寿）昔は人の寿命の長さを表し上寿（100 歳）
中寿（80 歳）下寿（60 歳）といわれます。

ありがとうございます。
愛
2006.02.19 Sun

宮古島と北海道のつながり　２

以前にお会いした方で、北海道の先住民族のアイヌのルーツを研究している人たちに話を聞いたことがあります。

はっきりしていることは、まず、北海道のアイヌと、東北の先住民のルーツは同じだということです。さらに、沖縄諸島の先住民の方にも、同じ血が流れていることまで、わかっています。

骨格や生活習慣・風習などから、民俗学を研究している方たちにとって、このことは、もう常識になってきています。琉球大学でも、このことを研究されている方がいらっしゃって、北海道・東北・沖縄のルーツの民族が、大和（ヤマト）文明とは別の文明を持っていたことの意味などを研究されています。

これはほとんど知られていないことですが、北海道には、アイヌ民族の他に、オホーツク人と呼ばれる民族がいました。このオホーツク人たちは、北海道の東側のオホーツク海に面した地域から、北方領土やロシアまで広がっていた民族で、その南下した最後の地域が北海道なのです。

先日このオホーツクの場所へ行って、資料館を訪ねると、イヌイットやインディアン・アイヌやオホーツク人の衣類や骨などを展示してあって、とても楽しい時間になりました。最近では、北と南のお互いに音楽や民族の部分で深い友好関係をつくりながら、古代からの民族の血を呼び起こして、将来の日本を見すえているようにも感じられます。

2006.02.14 Tue

宮古島と北海道の繋がり　1

宮古諸島を深く知ってくると、なぜこれだけ先祖崇拝や、神々に関わる場所や風習がたくさんあるのか、不思議に思われることと思います。それは今の日本の神道や仏教の形だけを受け継いでいる私たちより、もっと大切なものを守り継いでいるといったほうがいいでしょう。

北海道には、アイヌ部族が守りついでいる大切な魂があります。それは、自然にあるすべてのものを神と呼び、その付き合い方を学ぶ姿勢です。宮古諸島の神々やウタキの風習でもおなじように、自分が生かされていることを知る大切な学びが、たくさん残っています。今、日本や世界を守っている大切なエネルギーは、日本の北と南のそれぞれの神の聖地を守っている方たちのおかげで守られています。

私自身、その”エネルギーつなぎ”をする役目をいただきましたので、2005年は、とにかく北海道の聖地と、宮古島の聖地を色々動きまわりました。そのおかげで、とても大切な役目をしている人たちに出会い、自ら体験とともに、多くのことを学びました。

※ご興味がある方は、地球創生1000年プロジェクト　の神事をお読みください

みなさんにひとつだけ、覚えておいてほしいことは、宮古島のエネルギーは、日本最大のエネルギーの場所＝太陽の場所＝”てぃだの郷”だということと、それは日本を照らし新しくよみがえらせるエネルギーだということです。ですからこの地を訪れた人間も当然、ものすごく癒しエネルギーに包まれて、たくさんの愛を感じるわけです。

この宮古島の中でも、最大のエネルギースポットは、宮古島の平良市にある新城定吉さんのご自宅の庭の石庭（いしにわ）と呼ばれている地が、最大のエネルギースポットです。この地のエネルギーは、地球の核からこの石庭を通って、そして天へ向かってまっすぐ伸びています。どれくらいすごいエネルギ＾かというと、このレベルは、世界に３ヶ所しかない場所だと覚えておいてください。

この石庭は、１５年ほど前に、船井幸雄さんが著書のなかで、紹介されたのがキッカケで、おおやけになりました。今では、世界中から、スピリットの高い人たちが、大切な自分の気付きをもとめて、この地を訪れています。こ場所を訪れたい方は、平良市内のタクシーに乗って、「下里の新城さんの石庭」といえば、わかると思います。

訪れるときのご注意ですが、この場所は、あくまで、個人所有の庭ですので、勝手に入らずに、となり

の家にいる新城さんに必ずご挨拶をしてから訪れてください（無料です）。それと、早朝と、夕方以降は、訪問をご遠慮ください。早朝は、新城さんが神祈りをしている時間ですし、暗くなると、こういう場所には、近づいてはいけないのがルールです。

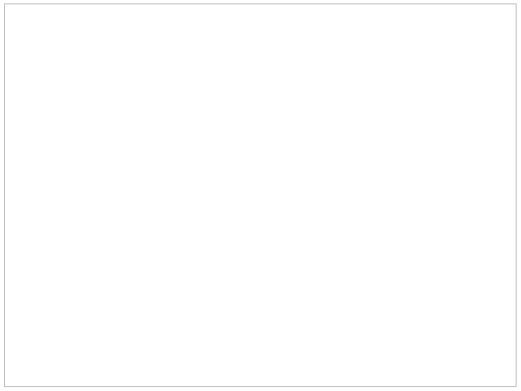
この地を訪れた方は、ぜひ、新城さんの著書３冊を購入してお読みになることをお勧めします。(一般書店では購入できません）この石庭の意味やあなたの大切な役割に気付かれることと思います。このブログで出会う皆様が、少しでも大きな愛に近づくことを心から祈ります。ありがとうございます。

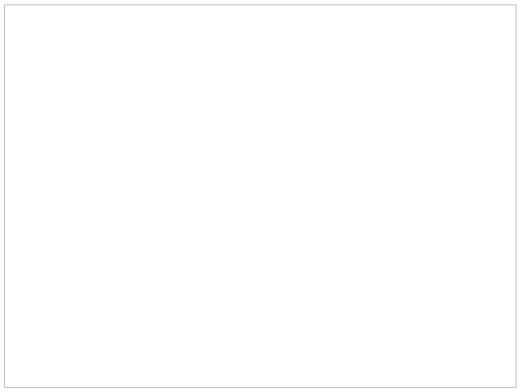
パワースポット宮古島　石庭（いしにわ）
2006.02.13 Mon

2/11 流氷の街　女満別町でスピリチュアル講演会

女満別の流氷祭りの真っ最中に、スピリチュアル講演会を初めて開催していただきました。主催者の方の呼びかけのおかげで、遠くは、旭川・釧路・北見などからも来られていました。

会場に集まった３０人以上の方は、２０代～６０代まで幅広くいらっしゃいましたが、話の途中から、どんどん皆さんのエネルギーも上がってきたので、私もどんどんテンションアップしてしまって、聞いている方のなかには、身体が熱くてたまらないという方もいたようです。

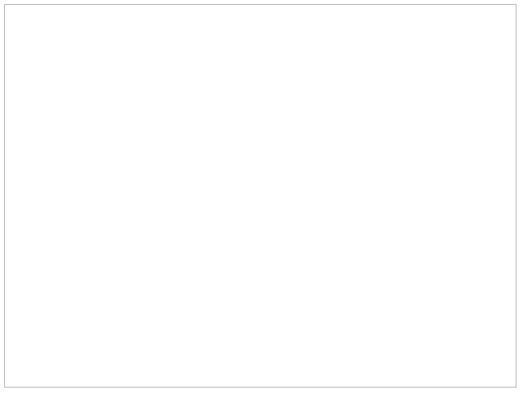




私は初めて訪れる土地では、必ずその土地の神さまや大切な場所を訪れて、ご挨拶をします。その意味は、私の役目のひとつである北海道のエネルギーつなぎという役と、その土地の鏡開きという役目もあるからです。

講演の始まる前に、時間があったので、主催者のご主人が私をあちこち連れていってくれました。ふと、北海道立北方民族博物館に立ち寄ってみると、イヌイットの生活道具やアイヌの物やオホーツク人のものなど、貝塚から出てきたいろんな部族のものが展示してあります。

お気に入りは、この写真です。



映画ガイアシンフォニーの中で、アメリカインディアンの方が話していた”渡りガラス”か、または、”オオワシ”を神の化身として表しています。

さらに、うれしいことは、網走湖の周りで、ご挨拶の祈りの場所を探しているときに、オオワシがやってきて、空でくるくるまわってその場所を教えてくれたことです。低空飛行しながら羽根を広げたその北海道のオオワシの大きさは、約２メートルほどになっていました。

翌日の１日をかけて、女満別・東藻琴・小清水・美幌峠などの大切な場所や気になるところを主催者の方に聞きながら、一緒に回っていただきながらお祈りをしてまわりました。そのときも、また、オオワシが３羽現れて、その中の一羽は、シベリアから来た”白頭鷲”だとハッキリわかる近さで、車の上空で止まっていました。

祈る場所では、そこが大切な場所なのに、エネルギーが落ちている所では上げるための祈りを、また、大きな役目があるのに動いていない場所では、動かすための祈りを捧げ、あちこち走りまわりました。

陽も暮れてきれいな月を見ると、とてもきれいなお月さまで、明日が満月だとと知り、またまた、感動と感謝が溢れてきました。

帰りの空港の温度計を見ると、マイナス１４度だと知り驚きましたが、さすがに流氷がくると温度もグン！と冷えるということです。

オホーツクのみなさま、本当に楽しい時間を、ありがとうございます！
2006.02.13 Mon

新設！スピリチュアルスクール　プレ講習会

今年、３月から新しく開講する”スピリチュアル　スクール”の説明会を、苫小牧で開催しました。

受講希望の方やどういう内容なのかを知りたい方などを対象に、説明会と、プレスクールとして、午後１時から５時まで行いました。

参加者の皆様の求めているものと、私の求めているところを一致させるための意見交換など、活発に行われました。

私のセッションも、講座も、スクールも、目的は、ひとつです。

全ての方が、自分の安定した心と大きな愛の存在になることで、これから生まれてくる新しい生命たちが目指す大人となって、生き方の指針となるような人が増えていただくことが目的です。

もう、スピリチュアルなことは、特別なことではありません。

どんなに否定しても、目に見えない世界を信じていない人は、いないからです。

明日を信じる、夢を見る、希望を持つことは、全て、目に見えない世界のことです。

だからもう、そのことを特別にしたり、嫌ったりするのは、やめましょう。

目に見えない世界を否定する人は、自分のなかでそのことの置き所がなくて、混乱しているので、今のところ否定しておきたいだけなのです。

だからそんな人を見たら、そっと、その人のことを待ってあげてください。

大人が子供に話をするときに、未来の希望を感じないまま、今の現実だけを大事にしなさいと教えている親は、いるでしょうか？

必ず、あなたが頑張れば、あなたの目標は叶えられるはずだから、今を頑張りなさいと教えていると思います。

信じてあげているんですよね、その子の未来を・・・。

そんな素敵な大人に、心の底から悪い人は、いません。その人も、きっと、いつか、素直に自分

の不安を打ち明けるときがやってきます。

だから、あなたがちょっとだけ先を歩いてあげましょう。それが私たちの役目なのです。

宇宙や神や、守護霊たちも、こぞって、あなたが喜ぶ未来のために力を貸してくれています。だからもう、何も不安はいりません。

時代は、必ず、よくなります。さあ、あとは、あなたの心の準備だけですよ。

私たちは、、今回、そのために生まれてきたのですから・・・・・。ありがとうございます。
2006.02.10 Fri

体調不調も、御陰様！

先週から続いていた体調不調も、やっと、人間らしい感覚になってきたので、こんなことも書けるようになりました。

私もどうやら、心や身体に力を入れて生きる”くせ”があるようで、本当に身体が調子が悪くならないと、気付かないことがたくさんあります。

今回は、天から「調子こくな！」と教えてくださいました。そして、力を抜いて大きな安定したエネルギーで進みなさいとも気付きました。

身体が弱ると、本当に自分に”ゴメンなさい”と、謝り続けます。今回は、本当にたくさん、身体にあやまりました。自分の身体の信号を無視して、走りすぎたのを自分自身はよく知っているからです。

痛みや苦痛の原因のお腹に手を当てて、”ありがとうございます”の連発です。

深く深く自分を反省し、その意味を知り、学びとって生き方を変えていかないと、痛みを与えてくださった意味がありませんので。

サラリーマン時代に、交通事故で３週間、ベットの上で暮らしたときにも、それまでの人生を冷静に見ながら、大きな反省をしたことを思い出しました。

自分に与えられた役割が大きかったのもありますが、力を入れすぎて調子こいていたようで、一瞬の事故を自分で引き起こしてしまって、腰の骨を潰してしまいました。

救急車で運ばれて、精密レントゲンを撮ったあと、お医者さんは、「ほー、おしかったね。あと、数ミリずれていたら、半身不随になるところだったよ～！」と、ニコニコしながら教えてくれました。

即、入院のベットの上で、もし半身不随になってときの自分を想像していました。

どんなに苦しくとも、きっと、死ぬことさえ許されないんだろうし、それでもやらなければいけないことがたくさんあるんだろうなあ・・・とぼんやり考えていました。

入院後、すぐに会社の上司や仲間が見舞いに来てくれましたが、自分の仕事で迷惑を掛けないかと心配で、色々訪ねてみましたが、「大丈夫だから、ゆっくり休めよ」という言葉どおり、退院

してみると、何一つ、問題はありませんでした。

その時わかったことは、いつも自分は、自分で思い込んでいるものがあって、全体から見ると、自分だけで物事が動いているわけではないことを知りました。

ただその時の、たまたま役目だったくらいに思っておけばいいということです。

あの頃の自分は、男で生まれたせいもあるのでしょうけれど、男は、こうあらねば！とか、見栄とプライドの塊のように、ガチガチに生きていたように思い出します。

だから、一人でたくさんの責任を抱え込んで、生きがいにして楽しんでいたようです。

人間は、いつも、失ってからその大切さを学ぶことを繰り返します。

若さや元気や健康も、そして、人との愛や信頼や大切なときの勇気も・・・・。

いつも一人では、生きていけないと知りながら、ついつい、自分のクセに反省する私です。

みなさんの暖かくやさしい心に包まれて、今、生きていることができることを本当に感謝しています。まだまだ、お付き合いしていただくこの身体にも、もう少し感謝とやさしさが必要だと、反省した今日この頃でした。ありがとうございます。
2006.02.07 Tue

３ヶ月ぶりの旭川での講演会は、いろいろな気付きと、新しい出会いがあり、また感動の時間を過ごすことができました。

ただ帰りのＪＲが大雪のため90 分遅れましたので、１２時近くにやっと家に着いたときには、もうヘロヘロでしたが・・・。

昨日の座談会に親子で来られていた７０歳のお母さんのお話ですが、講演前に、お母さんに様子を聞いてみたのですが、脳を手術されたそうで、そのとき病気の発見が遅れたことが原因で、目がほとんど見えなくなったとのことです。

わずかに見える左目の視野もとても狭くて生活に不便な上に、いつも、左耳付近でガンガン音がして、相手の声がよく聞きとれないんですと話してくれました。それでも講演会に来てくれたことには、本当に感動しました。

講演を終えてそのお母さんに感想を聞いてみると、「いやあ、いつもはほとんど聞き取れないのに、今日は、聞いていて、とても聞きやすいし、頭もガンガンしないし、今、とても身体が楽で、前より視野も広くなりました。」

７０歳のお母さんが、痛みの無いしあわせな時間を過ごせたその喜びの言葉を聞いて、会場の皆さんからも拍手が起こりました。

私の声が癒し周波数なのか、内容がそういうエネルギーなのかはわりませんが、結果として、体調がよくなったり、気分が楽になった方がいてくれたおかげで、私も予想していなかった喜びを感じています。

そして、もう一人、すばらしい”太陽エネルギー”を持った女性に出会いました。

ただ、ご本人は、そのエネルギーの使い方がわかっていらっしゃらないようで、太陽エネルギーを自分自身の喜びにできなくて、今ひとつ、自分にやさしくなれていない方でした。

打上後にお茶をしながら、数人で、エネルギー循環療法をしてみると、あっというまに、ご自分のなかで気付き、「私、やってみるわ！」と、しっかりとした宣言をしてくれました。

１４人という少ない人数の座談会でしたが、今のこの大切な時期に、自分の本質に素直に生きようとする人には、大きな大きな力が働いて、必ず自分も、みんなもしあわせになる役を与えてく

れます。

これから私も、いろんな地方で、そういう方のスイッチをＯＮにできることが、私の生きる最大の理由でもありますし、また、大きな喜びそのものなので、どこへでも、私を必要としてくれるところがあれば飛んでいきますので、お気軽にお声を掛けてくださいませ。ありがとうございます。
2006.02.05 Sun

宮古島に　”龍が立つ日”　決定！

今日、宮古島のユタの女性に直接お聞きして、この日の意味がわかりました。
まず日程ですが、旧暦3/1（新暦3/29）に、一斉に、龍が立つということです。

この日に、神祭る人たちは、まずご先祖に関わるウタキに感謝し、自宅でも祈りを捧げながら、さらに、龍神を奉る人たちは、地元の龍に関わる大切なウタキに祈りを捧げるそうです。

さらに、旧暦3/3（新暦3/31）には、池間島の北沖５kmにある八重干瀬(やびし)が、一年にこの日一日だけ、水面下から浮かび上がる巨大なサンゴ礁の大陸として知られています。

私がお話したユタの女性は、この宮古諸島を守る大切な３人のユタの一人として、ある役目を与えられていますが、その役目の大きさには、自分でも驚いていると話していました。

今回、私がこの日に行かなければいけないと感じた理由は、私自身の天命としてもっと大きな意味を持ちあわせながら、日本にとって重要な役割を持つ宮古諸島のユタと一緒に、大切なウタキや場所を同行して祈るという大きな役目があるからです。

この重要なユタが祈る方法は、宮古諸島の全てのバランスを取るために、東西南北の４つの場所を祈り、さらにその中心に祈りを捧げることです。

これは、いままで、なされていない大切な神事なのです。そして、この大調和のエネルギーは、日本全体や、世界のエネルギーの安定と調和に大きな力を持っているのです。

この神事に関係する場所は、一般の方は絶対に入れない場所ばかりですので、詳しいご案内は、ここではいたしません。無事、この神事の全てが終えることができて、皆さんに報告してもいい時期がきたときには、その全貌をここでお話いたしましょう。

宮古島にご縁の深い方や、日本全体のために大きな祈りを捧げたい方は、この日、宮古島にいるだけで、きっと、大きな天のエネルギーや龍のエネルギーを感じることでしょう。

北海道からは、この祈りに参加する人たちのために「龍神ツアー」を予定しています。
宿泊先のホテル　てぃだの郷を本拠地にして、伊良部島で大切な祈りを捧げたい方は、どうぞ、お早めに、ホテル　てぃだの郷へご予約をなさってくださいませ。ありがとうございます。
2006.02.01 Wed

1/28　苫小牧　スピリチュアル座談会

２回目となった苫小牧でのスピリチュアル座談会は、またまた最高潮に盛り上がってしまいました。

毎回のことですが、私はいつも与えられるテーマ以外のことを考えて悩むことはまずありません。

自分に与えられることは、すべて必要に準備されると知っているからです。

人が揃い、魂が揃い、エネルギーがどんな色になるかも、参加者の皆様次第ですから、私はいつも”その場”にお任せしています。

今回は、参加者の皆様の意識が、さらに高くと望んでいたようで、そうとう重要なことまでお話したようです。

人のつながり・魂のつながりの意味をハッキリ説明したのも、初めてかもしれません。

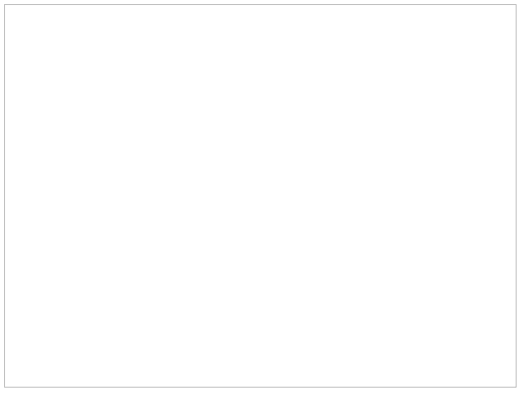
なぜ、「すべてはつながっている」といわれるのか、その理由を昨日わかった方は多いと思います。

また魂レベルという役目の違いや、意味も理解していただいたと思います。

人のつながりや、大きなつながりをどう動かしていくかは、次回の講座のときにお話しますが、参加者の皆様、本当にありがとうございます。

このことを繰り返していくことで、全ての魂の準備が整えば、私は、全てのものを与える準備ができています。

どうぞ、愛そのものになる皆様が一人でも多くなることを感謝いたします。



2006.01.28 Sat

宮古島を守る神々の島　”池間島”

宮古諸島の最北端にある池間島に車で向かうと、島につながる長い橋の上から見える海の美しさは、天気がいい時には、息が止まるくらいな美しい色と輝きを見せてくれます。

この池間島で最高の御嶽（うたき）が、ナナムイ御嶽(別名・ウハルズ、大主神社）です。
しかし、この神社は、宮古島の御嶽（うたき）のなかで最高の霊格に位置する御嶽（うたき）のために、島の方でも普段、この場所に行くことさえ許されていません。

この大主神社（ナナムイ御嶽（うたき））にご挨拶できるのは、神職ともいえるツカサンマ（うたきを守る役目に選ばれた女性）たちと、神人（カミンチュー）のユタのみです。

そのために、一般の人が祈る場所として、別の御嶽（うたき）を指定しています。その場所は、宮古島の南に位置する下地町にある下地神社（別名：ツノジ御嶽）です。ここには一般の方が多く訪れて祈りを捧げていますので、とても立派な鳥居があります。

もし、ここを訪れることがある方にお勧めの店は、この下地神社の近くにあるとっても美味しいカレー屋さん　Ｓｍｏｏｔｈｉｅｓ（スムーシー）http://www.miyakoichiba.co.jp/smoothies.html　ＴＥＬ　0980-76-2063　のオーナー　あきこさんに、北海道の吉岡からの聞いたと言って、お食事してみてください。

もうひとつ、面白いことは、伊良部島の中にも、同じ大主神社が、あることです。

これは、伊良部島に移住した７つの部落の方々のなかで、池間島から来た方々が、ご先祖たちのご分霊として建てたものです。こちらの神社は、伊良部島の港からすぐ近くの場所にありますので、伊良部島に行った方は、鳥居の前からご挨拶することもできます。

宮古諸島は面積から考えると、とても小さな島々ですが、多くの歴史を経験してきている上に、それぞれの地域によって独特の方言や風習がありますので、宮古島の人や風習を知るときに、ひとつの考え方だけでは、理解できないことが多いことも理解しておいてください。

今でも、宮古島本島の町の名前の数くらい、違う方言が残っていますし、それを全部理解できる人は、多分存在しません。

もしあなたが本当にこの島のことを知りたければ、先ほどご案内したSmoothies（スムーシー）の

お店にいくと読める本のなかに、下地町の伝説や言い伝えをまとめた貴重な本がありますから、ぜひ読んでみてください。

またひとつ、深くこの宮古諸島の歴史や風習の意味を知ることができるでしょう。ありがとうございます。
2006.01.23 Mon

宮古島を守る神々の島　”大神島”

宮古島のすぐ周りには、素敵な島々があります。その意味と役割を少しづつ、ご紹介していきます。

まず、沖縄諸島の神ごとを調べると、なぜか、男子禁制で、女性中心の祭事ごとばかりが目に着くと思います。

これは、もともと女性が霊的存在であることと、全ての神のおおもとが男女を創られたときに、女神が始まりだったという歴史から、現在でもそのことを守り次いでいる大切な宇宙根源神の意味があるのだと理解しておいてください。

そういう意味で、まず大切な島が、大神島です。

この島は、行こうと思ってても行けない方がたくさんいます。行く日に波が荒れて船が出なかったり、天候が大きく崩れて行く手を阻むことが起きたりします。それは、今でもものすごいパワーで、守られているからです。

そして、普通の方は、女性だけが入ることを許されている島でもあります。
私は特別なパワーと役目がありますので、どの御嶽（うたき）にでも、どの島でも、入ることができますが、入るときの準備と覚悟は、並大抵のことではありません。

人間自体が霊的存在なうえに、さらに大きな力、大きなパワーに触れるということは、自分の波動に影響を受けるということです。元気になる方もいるでしょうが、逆に、体調を壊す方もいらっしゃいます。

宮古島諸島を守っているパワーは、宇宙の大きな力によって形成されていますが、この宮古諸島のエネルギーバランスを三角形の形でバランスをとっているその頂点に位置しているのが大神島です。

この島のパワーの意味を調べるには、ムー大陸からのことや、今までの歴史の中で人間が体験してきた想いによって、影響されているものもあります。

どちらにしても、大神島の意味を宮古島の方々に聞くと、以前、この島の外周をひとまわりする道を造る工事が、なぜ、途中でやめなければいけなかったかという理由も聞いてみてください。

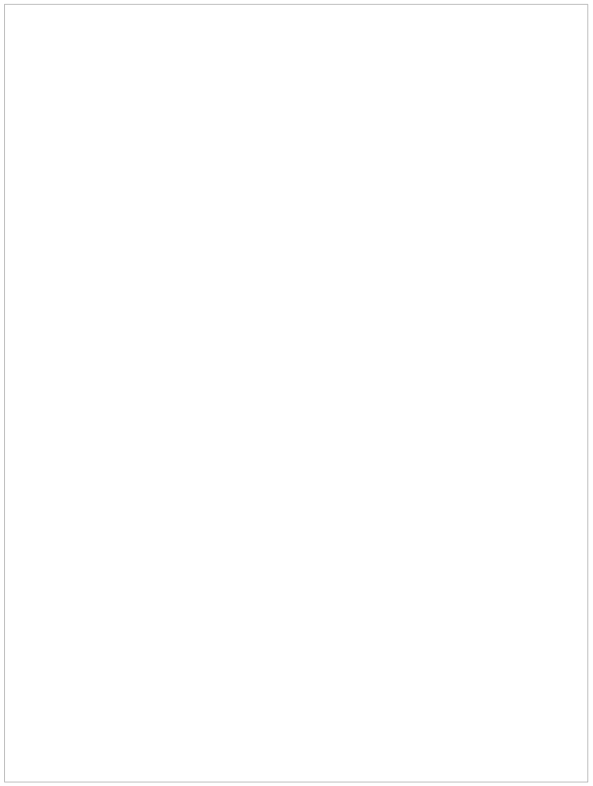
神に触れる一番近い島、それがこの宮古諸島ですので、それぞれの島の役目や伝統の意味を理解

してから、島の人たちに受け入れられる島人（シマンチュー）になってください。

2006.01.21 Sat

神の聖地　御嶽（うたき）のルール

沖縄本島へ足を踏み入れて、裏通りの民家のなかを歩いてみると、まず驚くのが、自宅の敷地の中に、ご先祖のお墓が普通にあったりします。これは、この沖縄諸島の方々が、もっとも大切にしている「先祖崇拝」の現れです。しかし、この風習は島によって、いろいろ細かいところが違っていますので、ここで少しだけ知識を覚えておいてください。



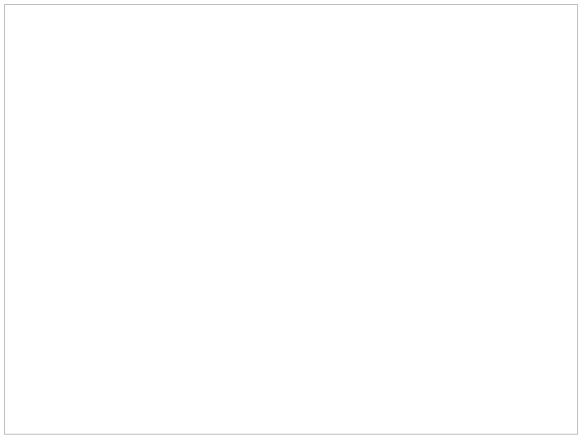
まず沖縄本島にある最大の御嶽（うたき）は、世界遺産にも登録された斎場御嶽（せーふぁーうたき）　ですが、ここには、入口から４つの拝み所があります。

以前私が訪れたとき、その場所を守っている神さまから、「みんなが私を無視して通る」と怒られてしまいました。こういう場所を訪れるときは、他人の家にお邪魔するのと同じですので、どうぞ、大切な場所で手を合わせてお礼をいうようにしてください。

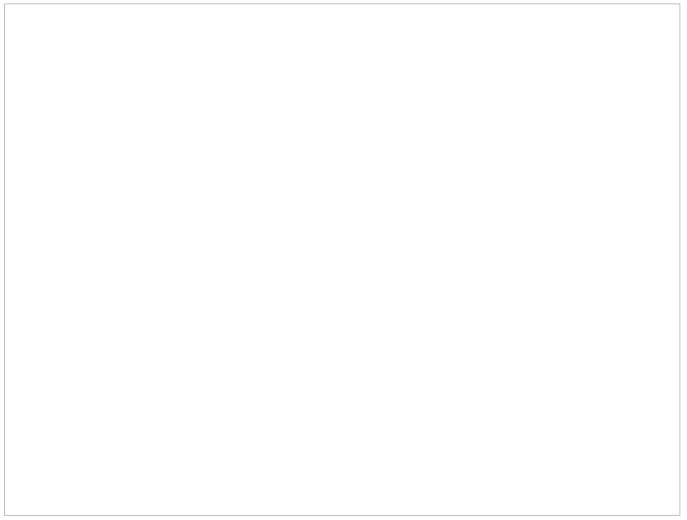
そして、よく覚えておいて欲しい事ですが、基本的には、地元の人意外、この御嶽（うたき）の中に入ることを禁じられているということです。斎場御嶽（せーふぁーうたき）だけは、観光化して公開していますが、他の島々にある御嶽（うたき）の中には、絶対に勝手に入らないことを覚えておいてください。

みなさんが許されるのは、御嶽（うたき）の入り口にある鳥居の前までです。手を合わせて感謝する場合にも、ここまでと、覚えておいてください。島によって違うところは、沖縄本島を基準

としてみると、南下するほど、細かい伝統ルールが厳しく定められていることです。私が足を踏み入れた石垣島や宮古島、伊良部島でも、それぞれ建物や雰囲気に大きな違いがあります。



石垣島の御嶽（うたき）は、町内の神社のように、小さな鳥居があって、周りの住人の方が大切に守っていますが、中には誰も人は居ませんので、つい気軽に入れるような気持ちになりがちです。



宮古島の中心にある平良市には、史跡めぐりのコースがありますが、その中にもいろいろな御嶽（うたき）があります。一般の神道の神社のように大きな鳥居のある場所もあれば、ただ、ガジュマルの樹の周りに草ぼうぼうと、放置されているところもあります。

伊良部島のような小さな島でも、”神々の島”と呼ばれるくらい大切な場所ですから、地元の人でも把握しきれない御嶽（うたき）を含めると、ゆうに１００を越えるくらいの拝み所があります。島の人たちは、この場所のことを「拝所（うがんじゅ）」と呼び、もっとも特別な場所として、年に一度しか、この中に入ることを許されていません。一年のなかで唯一入れる日が、”豊年祭　ゆーくい”の２日間だけなのです。

なぜ、御嶽（うたき）に入ることを禁じられているかというと、御嶽（うたき）のなかには、今でもしっかりと神さまが守っていて、いつでも来る人間を見つめているからです。皆さんに分かりやすい言い方をすると、大きな力のある”霊”がいると思っておいてください。だから地元の人でも、普段は勝手に入ることはしません。理由があるときだけ、ユタと呼ばれる神人（カミンチュー）の霊媒師の女性に同行してもらいながら、入ることが許されます。

ですからこういう場所に興味を持ったり、行きたくなる方は、ある意味では、霊媒体質の方が多いでしょうけれども、どうぞ、このルールだけは、心に留めておいてください。今では残念なことに島の住民でさえ、細かいルールを知らない人が居たり、若い人たちはそのこと自体を信じない人たちも増えてきています。ですから、細かいことを聞こうとしても、正確に教えてもらえることは、まず、ありません。

私が皆さんにお伝えしている内容は、島のユタと呼ばれる神人（カミンチュー）から直接、聞き取ったことですし、私自身もその役目を負っているので、よくわかるからなのです。皆さんの目に見えないところで守ってくださっている方々にも、心からの感謝を送りたいと思います。
2006.01.20 Fri

宮古島に、”龍が立つ日”の意味

昨日、伊良部島のオーナー猪子立子さんから、宮古島のユタ方の伝言を聞きました。

今年、４月に行われる”龍の立つ日”というのは、宮古島のそれぞれのご家庭で、龍をおまつりする日だということです。

この日に私が行かなくてはいけないと感じたのは、宮古島で何かをすることは当然ながら、伊良部島でも、その大きな龍をお迎えする儀式をする必要があると感じているからです。

私を呼んでいる！と言ったほうが、いいでしょうか？

青龍が身体に入った数年前、そして昨年は、白龍のサポートエネルギーも、私の身体に入ってきていますので、きっと、地球全体にも、日本全体にも、影響するような大きな仕事があるように感じています。

龍のことで動くときには、いつも大切な役目が与えられます。
でも何をするのかは、いつも現地へ行くまで具体的にわかりません。
ただ、私の中で行かなくては！と、感じるのです。

これを読んでいるあなたがもし、その日にかかわりを感じるならぜひ、伊良部島か、宮古島へ足を運んでください。そのとき、その場にいるということの意味が、きっと身体を通して、わかることがあるはずです。

まもなく、その日が具体的に分かりますので、また、みなさんに、ご案内しますから、楽しみにしていてくださいね。ではまた！

ありがとうございます。
2006.01.13 Fri

2006年　宮古諸島の調和を整えなさい

2004年1月、宮古島市伊良部島に初めて旅をした際、目の前にうず巻き状の白い雲が舞い上がるのを写真に撮ってから沖縄の人と神に導かれるように沖縄の聖地祈りが始まりました。
2006.01.11 Wed

2006年　明けましておめでとうございます

今年２００６年は、夢を実現する年としてのエネルギーが働いています。

私の個人的な活動として、龍にまつわる行動で宮古島や伊良部島へ足を運んでいますが、お正月の２日に、北海道の小樽市にある龍宮神社へ、縁あってご挨拶にいきました。

その龍宮神社は、昔昔、北海道の地に本州からの文化が入る場所として栄え、また海を目の前にして漁や、商業を営む多くの人たちのための神祈りの場所として大切にされてきました。

雪のために今回は足を運べなかった場所のもうひとつが、山の頂上にある「水天宮>」にも、いずれ、ご挨拶に伺う予定をしています。

２００４年にふらっと、足を踏み入れたこの宮古島と伊良部島のご縁から、大きな気付きと出会いをさせていただいています。

宮古島の周りには、いくつかの島々があります。

大神島と呼ばれる小さな島は、女性しか入れない島と呼ばれるほど、霊的な島です。私は、ユタと同じ役目のおかげで登ることができた山の頂上からの風景は、海を挟んだ宮古島を眺めながら、大海原に続く広がりが、これから始まる何か新しいエネルギーを運んでくるのを感じた場所でもあります。

神々の島と呼ばれるこの宮古諸島の意味や大切なことは、自分で足を運んでみて、身体で感じることから始めて欲しいと思います。

今後は、宮古島や伊良部島のすばらしい人たちがいる名所をご案内していこうと考えています。みなさんのご意見・ご感想などもお知らせいただけるとうれしく思います。

すばらしい年明けに、心からありがとうございます。

2006.01.07 Sat

龍宮神社に参拝！

1/2、お年始のご挨拶に訪れた義父の神棚に、「龍宮神社」と書かれたお札を見つけました。今まで何度もこの神棚にはお参りしていたはずなのに、一度も気付かずにいて、今日発見する意味を感じたので、これはこの神社へ行かなくては！と、妻と妻の母と３人で、お参りに行きました。

妻に尋ねると、４０数年小樽にいるのに、初めてのお参りだということです。

小樽駅から近い国道５号線沿いにあるこの神社は、鳥居をくぐると坂道のあと石段が少しあります。
ゆっくりその石段を登り切った右手には、とてもおごそかなのに威厳の
ある本殿がありました。

この本殿前の敷地は狭くとてもシンプルな建物なのに、なぜか、すごい風格を感じます。ふと、上を見上げると、龍宮神社の看板にも、龍が、巻きついていました。

感謝、感謝に溢れてながら、日本再生のエネルギー上昇のための働きをさせていただくことに、感謝のお祈りをいたしました。

祈りを終えると、宮司さんが、甘酒を振る舞ってくれています。

ここは、評判の宮司さんらしく、皆様の健康と福を祝って、お代わり自由で配ってくれています。

龍神を愛する皆様のために、この神社から、「破魔矢」を買わせていただきました。

とても素敵な破魔矢は、我が家の玄関に、龍の写真共々、鎮座してくれています。

では、今日はこれで帰ろうとして、ふと、空を見上げると、また、大きな鷹が空を一羽だけ舞っています。

「あー・・・・・、ありがたい」、今日のこの瞬間のことを教え導きいただいたことに、心から感謝して、今年の精進と、この小樽と言う地に、龍のエネルギーつなぎをさせていただいた
ことに感謝しました。

丑寅（うしとら）の金人様と呼ばれる「クニトコタチノミコト」が眠る場所としても有名な「東北」の方角を守る芦別という地に生まれた私の役目を、いつかまっとうして、感謝のお礼参り

ができる日を楽しみに生きようと決意した今日のありがたい経験でした。

天なるすべての神々さまに、こころからありがとうございます。
275 -
2006.01.03 Tue

全ての皆様に感謝いたします

２００５年のエネルギーも、まもなく入れ替わろうとしています。

早々と２００６年のエネルギーを感じている皆様は、もう明日からの自分の進む道の心構えは、できていることでしょうね。

明日朝、輝かしい太陽が昇ります。

それは、この地球が生まれ変わるための大切なエネルギーの光です。

人間の為だけではなく、生きとしいけるもの、すべての御霊を照らす光。

自らを見守る全霊で、その光をあびてください。

あなたが輝けば、あなたの魂が喜び、ご先祖・守護霊のすべてが喜びます。

天なる光をいつも内なる自分の中に収めて生きることが人間の使命だとしたら、その光を輝かせていただける出会いのすべてに心から感謝いたします。

あなたのおかげで、私は、ここまでこれました。

あなたのおかげで、たくさんのことを気付くことができました。

だから、私はその喜びを光に変えて、これから出会う人たちを照らします。

生きていること、そのすべてにありがとうございます。

私に出会ってくださった魂のすべての皆様に、心からありがとうございます。

いつもどこにいても、見守ってくださるマスターに、愛を感じ、勇気を感じております。

生きている限り、あなたのために私は働きます。

その道が、人生そのものなのだと教えてくださいましたことに、心から感謝いたします。

ありがとうございますを唱えながら、残された２００５年のエネルギーに感謝いたします。

ありがとうございます。

267 -

2005.12.31 Sat

年末のお客様

１２月のクリスマスを終えてから、年末に私のところに新しく来られるお客様が、いらっしゃいます。

２００３年にも、新しく始まった２１世紀の本番エネルギーに乗るために、12/31　午後６時からセッションをしたのが思い出されます。

２００４年は、何事もなく終えることができましたが、今年は、昨日、その出会いがありました。やってきたのは、自称「宇宙人」の若い女性です。

そういう人も久しぶりだなあ思って逢ってみると、まず、私の顔を見た瞬間に、驚きと喜びのエネルギーに包まれて、感動していました。あー、今の私の意識エネルギーを求めていた人なんだとすぐ感じました。

彼女は私が書いたポストカードの絵をお店で見て感動した方なのですが、もう一度ゆっくり、絵を眺めながら、「これを書いているとき、吉岡さんは居ませんね。」と話し始めたので、そうですよと答えました。

私が絵を書くときは、すべて天から描かせていただいている瞬間なので、自分の人間としての判断は、最後の最後に、一瞬動かすだけなのです。

だから、絵に、私と言う人間のエネルギーを感じないのは、ある意味、当然なことなのです。

彼女が言う言葉を借りると、今までたくさんの絵やアートを見てきて、人間として高い意識の部分のエネルギーは何度も感じたことはあるけれど、この絵には、それ以上のエネルギーがあると言ってくださいました。

ある意味、うれしい言葉ですが、その高い次元意識を知っている彼女もすごいなあと感じながらも、もう一方では、現実の調和がとれていない彼女の心のアンバランスを感じます。

だから、今、これからの時代に大切なことを教えてあげました。
私の言葉に、彼女は困惑していました。

「今まで、自分を大切にしたことはなかった。だって、生きているだけで、ありがたいと思ったから、いつも、自分を犠牲にして生きてきたんです。でもそれじゃ、ダメなんですか？」

私がその理由を説明したあと、彼女は、「納得はしたし、自分でも言われるとおりにしたいんだけれど、そうできるんだろうか」とつぶやきました。

その彼女に、私が付け加えたアドバイスは、・・・・・。

「できるかどうかではありませんよ。本当に、そうしたいかどうかですよ。」

宇宙につながるもっと高いエネルギーを体験させてあげようと、宮古島の石庭からいただいた石の箱を目の前に持っていってあげると、「まぶしくて、見れない！あー、まぶしい！」と繰り返してながら、その箱の石を横目で見ています。

宇宙意識という高さを人間に与えてくれている意味や、そのエネルギーをどうこの現実に使うかの方法も、教えてあげました。

彼女は納得、納得という顔をしながら、あとは自分のことを大切に生きるようにしてみますと言い残して、連れてきてくれた知り合いと帰られました。

すると、そのあとすぐ、私の身体のエネルギーがなくなってしまい、動けなくなってしまいました。

「あー、これは久しぶりの感覚だなあ。あのときもそうだったななあと、苦しい経験を思い出しました。」

霊媒体質の人間が、他の人の為にエネルギーを動かしているときは、自分と言うものを持てません。それができないと、本当の意味で、天とつながることができないからです。

マイナスエネルギーを受けた」という状態です。

原因は、二人のうちのどちらかかは、分かりませんが、受ける自分への学びを考えました。

「この経験は、何を自分で学べばいいんだろう？どういう意味にして、心を改めたらいいんだろう」と考えます。

これが私の自分自身への学びの”ステップ１ ”なのです。こういう自分が居るからこそ、新しく気付くことが増えてきます。常に”自分に、必要なことしか起こらない”と決めて生きていますから、同然、その結果も自分の学びでしかないのです。

生きることを学ぶとき、本当に大切なことは、このことを教えられる親や大人たちが増えていくことだと思います。

「自分のせい」、苦しめるためではなく、学ぶために人生はあるのですから・・・。

いい経験と学びを、ありがとうございます。
2005.12.30 Fri

２００６年以降のエネルギーの流れ

まず２１世紀に入ってからの新しい時代のエネルギーの流れを簡単にご紹介しておきましょう。

２０００年（ゼロ磁場）・・・すべての人の意識覚醒のために、過去の価値観にないことを突然、思いつくという直感を多く与えた年

２００１年（未来の光）・・・２１世紀の未来の光に向かって心が動き出した年

２００２年（希望）・・・かすかな光に”未来の「喜び」という文字が見えた年

２００３年（本質）・・・２１世紀型の新しいエネルギーの使い方をわかった人だけが、意識と行動を変えた年（そうでない人たちは、混乱から学ぶことを経験する）

２００４年（大切な出会い）・・・未来の光を自らの喜びにとらえることができた人たちが出会う年

２００５年（確認）・・・新しく出逢った人たちが、お互いの意識のと知恵の共有から、未来の光を現実に動かすための知恵をわかちあうための年

２００６年（実践）・・・人間全体の意識覚醒に向けて、自分ができることを具体的に行動することを確認し、実践する年

２００７年～２００８年（全体意識の次元上昇）・・・微弱振動である２１世紀の光のバイブレーションを動かすことで、同じ次元意識に近い人たちがさらに集い、大きな振動へと変化する時期

２００９年～２００１２年（高次元意識の実践）・・・この現実社会で高次元意識を、いとも簡単に動かせる人たちが増えるために、お互いを尊重しながら自らの夢を実現するという全体共有意識のさらなる覚醒に向けた最後の実践時期

２００１３年～２０３０年（高次元意識の共有化）・・・・高次元意識は、全体の次元上昇のおかげで”普通化”し、それまでの意識覚醒というキッカケからではなく、生活の中の普通の気づきの連続で自分の欲や行動を制することができる人たちが、大きな社会全体の意識を変えていく時代の
基礎を創る人たちが動き出す時期。

わたしの”今世”の役目は、ここまでです。

このあと、数百年後に、私はまた転生して皆さんともう一度、出会いますので、未来の自分のために、今、できることをしておきましょう。

※この世で今、出会う人たちは、すべて過去世でも出会っています。

ということは、また次に生まれ変わるときにも、必要があれば、また出会う人たちなのです。

次に生まれ変わる自分のために生きるということは、子孫の為という動物本能的な意識よりもさらに高い、高次元意識の意味を理解できる人たちへのメッセージと受け止めてください。

これからさらに出会うすばらしい魂の人たちに、心からありがとうございます。
2005.12.24 Sat

水への愛と感謝プロジェクト

みなさんご存知の江本勝先生（http://www.thank-water.net/japanese/）のメッセージが、ＷＡＯでご紹介されましたので、一部だけご案内いたします。

江本勝氏からのクリスマスメッセージ

私は何故、世界の子供たちに隈なく
“水からの伝言・子供版”を贈ると宣言したのか？

私は、２００５年５月２６日、国連本部第１会議室で開かれた、国連直系のＮＧＯ団体「科学と意識の霊的な次元に関する国連小委員会」が主催した会議において、４０分ほどの基調講演を行う機会を得ました。

そしてその最後に、次のような提言および宣言を行い、万場の皆さんの激励と同意の喝采をいただきました。

「人類全体の意識レベル向上の必要性が求められる今、私はその焦点を子供に向け、彼らに対していのちや平和の尊さを教えてくれる“水からの伝言”を子供向けに編集し、それを世界中の子供たちに今後２００６年から２０１６年の１０年間のあいだに配ることを提言し宣言します。その数は世界人口
の今後１０年間の平均値の１割、すなわち６億５０００万部の部数を、見込んでいます。皆様のご理解とご協力をお願いするものです」

この宣言を行った後、私は世界各国での講演会において、このことを発表し、皆様にご理解とご協力をお願いいたしました。そして、ほとんどすべての出席者の方々から賛同と激励を頂き、同時にこの子供向け写真集・絵本の編集を進め、同年１１月１６日東京において、その製作発表会を行いました。　それでは何故私がこのような、一見途方もない大風呂敷的と思われるかもしれない、大事業を考えたのかを、次に説明させていただくこととしましょう。
2005.12.22 Thu

”0”ゼロの意味

今、みなさんが生活の中で普通に使っている数字のゼロ”０ ”の意味をご存知でしょうか？

今日は、自分の体験から気づいた意味をわかりやすくお話します。

まず私は、小学生低学生の頃に行われた「知能指数テスト」の結果がとても良かったらしく、いつも厳しい母親が、めずらしくニコニコ顔でテストの結果をほめてくれた事を覚えています。

そのあと、「お前はやれば、できるんだからね！」と言う母の顔を見ていると、よっぽどいい成績だったんだと思ったのを覚えています。（クラス１だったかも？でもあまり、がんばったことはありません）

不思議見のあの時の知能指数テストを受けている時のことは、今でも覚えていますが、とても不思議な体験でした。

問題の絵を見ていると、初めて見る絵なのに、いくつかの絵の中から探すテストの答えが、すぐ直感でわかったんです。

誰か後ろから教えてくれているかのように、どんどん答えが出てました。

だから、あれ？あれ？という間の数分間で、テストが終わってしまったんです。

全部答えを書き終えて、周りを見渡しても、みんなカリカリ書いたり悩んだりしています。

もう一度、自分の頭で考えてゆっくり見直しても、答えは、同じです。

５回くらい見直したでしょうか？

どうやらあのときは、後ろの守護霊のなかの人で、数学や図形が得意な人がいて、答えを教えてくれていたようです。

だからあの時だけは、いつも見たくないもの見せる霊の存在も、たまにはいいことをするときがあるんだなあと思っていました。

中学生になって、大嫌いな社会は、さらに嫌いになり（先生が大嫌いでした）、そして、好きな数学が、さらに大好きになりました（先生がやさしい人なんです！）。

小学校の時から、数字は好きだったんですが、ずっと”ゼロ”の意味に疑問を持っていました。

だって、たとえば、３－１＝？という問題なら、「りんごが３個あって、となりのＡちゃんに１個あげたら、いくつ残るの？」と聞かれると、「２個！」と答えますが、「りんご３個あって、ひとつもあげなければ、何個の残るの？」と聞かれても、何もあげないにりんごの個数が変わるわけないもん！と思ったので、質問している意味がわからなかったんです。

さらに、１×０＝の実際の答えは０ですが、何で、「１」が消えるのか、理解できませんでした。

中学生になって、無限大∞というのが、数学に現れて、さらに、違う世界に突入した感じです。

数字は、太古の時代から必要だったのは理解していますが、”０ ”と、”無限大∞ ”だけは、別物だと感じていました。

中学生の頃は一番多感で人生に悩んでいましたので、この”０との出会い”は、「死」の意味なのかとも考えてみました。

でも、どちらかというと、無限大∞の方が、魂の転生から考えると、永遠に続く魂のようで、ふさわしいかなと考えました。

では、”０ ”には、いったいどういう意味があるのでしょうか？

当時、大好きな数学の先生の授業中に質問してみると、少しだけ話してくれました。（クラス全員が、質問した私の顔を見て、何バカなことを言ってんだよ～！という顔をされたのを覚えています）

大昔の中世ヨーロッパは、まだ、数字の世界に”０ ”は、なかったそうです。

近代数学の歴史において、この”ゼロの発見”を越えるものが出ていないくらいに、とてもすばらしい発見だったそうです。

ではなぜ、この”０ ”が発見されたのでしょう？目的は？意図は？大人になってから、このことを紐解く鍵に出会いました。

ヶ越論を申しますと・・・・・・・

”０ ”は、ゼロ、零と書き表しながら、”霊”という意味があります。

古代ローマの時代から、霊媒師や神がかりの人たちだけは、このことをわかっていましたが、この世の次元とあの世の次元をつなぐ”霊界意識へのドア”という意味もあったからです。

現実社会で生きるだけなら、ゼロが知ら無くても生活に困ることはありません。

でも、次元を超えた、空想の世界や、透明人間のような世界、またタイムマシーンの世界には、必要だったのです。

そしてゼロには、”すべてのものを消す力”や、もとに戻す”リセットの力”があります。

たとえば、この地球の人口の６０兆人×ゼロ＝０、つまり、地球すべての人間が一瞬で、いなくなった状態を表しています。（文字に書いたことで、空想の世界では、実際に起きている出来事なのです）
ゼロには、強大な力があって、掛けても、割っても、ひとつのゼロが入るだけで、すべての現実世界にあるものを消してしまう力があるのです。

これは、現実世界だけで見える数字の世界のことだけではないのです。

もともと、意識の世界や霊界の世界だけに許された人が使う力だったのです。

だから、数学界でこのゼロを公表しようとしたときに、あらゆる宗教界や霊能者たちが、反対しました。それでも、一般市民に公開する決定が下されたときには、取扱いを注意して扱うことを言明されたそうです。

皆さんが今、普通に使っているこの”ゼロ”は、この世の次元の力では、ないものを動かす力があるのです。何も知らない人が使っても、ただの数字にしか見えませんが、霊力がある人が使うと、３次元を超える入口のドアにもなるのです。

数学の世界では、もともと、３進法（３・６・９）、５進法（５・１０・１５）、１０進法（１～１０）、１２進法（１２・２４・３６）などが使われてきていますが、そのたびに、この世の次元もあがっていきました。

２進法（１と０）の世界は、ゼロの発見から見つかってからできた新しい法則なのです。（現在のコンピューターの裏の世界では、今でも２進法で動いています）

そして世の中は今、１０進法（１～１０）が基準となって世界共通の意識で動いていますが、１２進法や１６進法は、次元上昇したときの基準の考え方にもなっています。※分度器の角度は、１２進法からなっているでしょう？あれは、３６０度の円や球体、つまり、地球や宇宙を表すための次元上昇数字なのです。

霊界のことを”ゼロの世界”と呼ぶのも、そういう意味があります。

その反対の数字、”無限∞”は、宇宙につながる数字だと覚えておいて下さい。

私が中学生の頃、こんな質問も自分に問いかけてみました。

「人間が一生のうちに出会える人の数は、有限か、無限か？」

言葉では、可能性を表して無限といいますが、実際は、有限です。では、人間の命はどうでしょう？

可能性は、無限、でも、実際は、有限。。。。。本当にそうでしょうか？

その解き、わかったことは、”肉体を持つ命は、有限、でも、肉体を司る命（魂）は、無限”だと分かったんです。だからそれからは、”死”ということをまったく恐れなくなりました。（これを真理と言ったりするんですよね。。。。）

あ～、”死”というのは、ただ、次元が変わるだけのことなんだと、このときわかったんです。

２１世紀が、スピリチュアル（精神）の時代と呼ばれているのも、魂の本質の生き方を皆さんでしていきましょう！という時代になったとうことをお知らせしているだけなので
から・・・・・・・。

あなたも”肉体の命”だけにこだわった生き方ではなくて、”肉体を司る命（魂）”の喜ぶ次元の意識で、新しい生き方をしてみませんか？

2005.12.21 Wed

やることに追われる年末

普段の私は、自分の時間の過ごし方を一番大切にしています。

それは、とことん自分の為に時間を使って心を満足させて自分のエネルギーを充電しておかないと、人の為にとことんできない自分がいるのをよく知っているからです。

このバランスが悪いと、どこか心の中に”ひがみ”がでたり、余裕がなくなったりします。

サラリーマン時代はサービス業ばかりでしたが、特に、年末年始の異常な忙しさの感覚だけは忘れません。

ダイアーのお店にいた頃に経験した年末年始の準備は、１１月末から始まります。

入荷する荷物も普段の２倍から３倍入荷しますので、人も、手間も、時間もかかります。

物が売れ始める１２月中頃までには、もうみんな身体もボロボロになりながら、年末の繁忙期に突入します。

そして年末最後の３日間の頃には、あちこちの従業員の心の余裕もなくなり、みんなの目が殺気だっています。

人はこういうとき極度の緊張が続くと、異常な興奮状態に入ります。

ある人は眠らなくなったり、食べなくなったり、会話しなくなったり、独り言を言い出したり・・・どんどん感覚が、おかしくなってくる人を見ました。

そんな忙しさの中でも、私が一番、嫌いな人は、「忙しい！忙しい！」を連発する人です。

その人が自分の部下の場合には、必ず注意していました。

理由は、「忙しい！」という字が表すとおり、「心を亡くした」状態だからです。

”忙しい”を連発する人は、自分しか見えていません。

だから、周りの迷惑も考えずに行動したり、失礼な言動を吐き捨てます。

その結果、誰かに迷惑をかけていても、今は、忙しいんだからと問題を忙しさに置き換えようとします。

私が叱る理由は、心を亡くした人がどれだけ一生懸命に仕事をしているとしても、それは自分の世界の自己満足であって、みんなの共通目的を達成することにおいてマイナス効果なら、意味がないどころが、全体にとても迷惑をかけていることを認識しなさいと言います。

私は部下を持って心がけた事は、どんなに忙しくても、なるべく何にもないような顔をして、”フラ～”と、従業員の人たちの周りを歩くようにしていました。

リーダーが平常心を亡くすと、全員がパニックになりやすいからです。

どんなときでも、問題は起きています。

でも忙しいときこそ、冷静に判断して、対処できれば、そんなに大きな問題にはなりません。

でも、忙しさにかまけて、その場しのぎをすると、あとで、何倍にもなって、大きな事件になったりした経験があります。

問題は、起きたときに、どれくらい早く、心を込めて対応するかが大切なのかを、このとき学びました。

どんな心が不安定な従業員も、さすがに、お客さんと喧嘩する人はいませんが、バックルームでは、悔しくて怒鳴りまくっている従業員もいます。

それは、この年末という気せわしさのなかで、家庭のトラブルを抱えたまま、お店に来て、腹いせにクレームをつけるお客さんも少なくないからです。

私が新入社員のころ、なぜか「クレーム担当」を任命されたおかげで、分の好き嫌いではなく、人はどうしたら怒るのかを学ぶことができました。

だから、いつも感情的にならないように、相手の真意をいかに、早く理解してあげるかを心がけるようになりました。

クレームを言ってくださるお客様に、こころから対応すると、他の誰よりも自分や店を大切にしてくれるお客さんに変わります。

だから、お店いにとって、一番大切な仕事だと思いました。

いつまた出会うか分からない人が、数百人いるよりも、はっきり顔と名前が一致して、お互いに望んでいるものを叶えてあげたいと理解しあう人がいれば、店の信頼を回復することもできます。

そんなサラリーマン時代のことを久しぶりに思い出す、今日一日でした。

でも、今、充実、しています。今日をやりきった感じがするからです。

ありがとうございます、私は幸せです。

だから、みなさんに心からお礼を伝えます。ありがとうございます。
2005.12.19 Mon

2006年旧暦３月１日に龍が立つ！

この情報は、宮古島の神人（カミンチュー・ユタ）の女性からお聞きした情報です。

2005年の１１月に伊良部島と宮古島へ私が足を運んだ理由も、また、次の２００６年の出来事から時代が大きく変わることを感じています。

少ない人数かもしれませんが、また、北海道から神の聖地へ足を入れることになりますので、どうぞ、神様、そして、地元を深く愛すｒる皆様、どうぞ、快く受け入れてくださいますよう、よろしくお願いいたします。感謝
2005.12.13 Tue

地球交響曲ガイアシンフォニー札幌上映会を終えて

12 月３日（土）の札幌で行われた第３番・第４番の上映会は、ボランティアスタッフ２０数名のおかげで、無事、終了することができました。観客動員数は、なんとか赤字にならずにすむ６７０名ほどの方がみえられたと思います。

私とこの地球交響曲という映画の出会いは、８年ほど前になりますが、人に教えられて、見たくて見たくてずっと待っていて、やっと見れたのが、その３年後でした。

なぜこの映画が、レンタルビデオ屋にも置いてないし、知らない人が多いのかということも、４年前に、上映のボランティアスタッフに参加してみてから、初めて納得しました。

この映画を初めてみたときの感動は、今でも忘れません。こんな映画が、世の中にあったんだ～。こんなメッセージをダイレクトに伝えることが、許される時代になったんだなあと、じわじわ喜びを感
じたものです。

私自身、生まれつきの霊媒体質のおかげで、目にみえない霊的な世界のことを、周りに理解してもらえないことが、人生最大の苦しみでした。

今でも、目に見えないことを、周りの人に話すことを躊躇する方は、少なくないでしょう。それは、自分が周りにどう思われるとか、社会的地位や社会的な責任が重くのしかかっているからある面、仕方がないでしょう。

社会や団体生活の中では、ほとんどの人が、まず自分の居場所を守るために、傷つくことを恐れます。だから本能的に、安全な言葉や、さしさわりのない態度で接します。

でも、私がこの映画を観てまず考えたことは、この映画は１０前に世の中に出た事実や、その映画が、延べ２００万人も観ている人がいると知り、やっぱり本当は、みんな目に見えない世界を信じたいし、、認めて欲しいのだと感じていました。

この映画の製作にあたった龍村仁監督が、私の知人に伝えたメッセージは、「魂を語ることを恐れるなかれ！」でした。

龍村監督自身、２０世紀の高度成長の時代を生き抜く戦士であったことを考えると、そのメッセージは、自分自身が、社会的な批判や軋轢（あつれき）に押しつぶされた経験から、物語っていると感じられます。

2005 年現在で、５０代の半ば以上の方の共通意識は、ある意味、過去批判と自己批判、そして、社会批判を繰り返してきている世代です。

理由は、個人の意識や価値感よりも、もっと大切なものがあると、抑え続けられてきた世代でもあるからです。

混沌・破壊・意義・思想etc自分の意見を言うたびに、大きな責任を負わされてきた時代を経験してきているからです。

そしてその方たちが、悩んだあげくに自分の求めていたものが、「愛」だと、今、知ったのです。

そのことはまず、自己愛から始まりました。今までの自分を認めて、許してあげることに、どれくらい長い時間を要したことでしょう。

「だれも、本当の自分のことをわかって、くれてはいない」

「だれも、本当の意味で、この私を認めて、くれてはいない」

この苦しみを根底に抱えた人は、無限に”愛”を求めて、ある意味、自分や周りを傷つけてきています。それは、私自身も同様の生き方をしてきているから、よくわかります。

自分の心のなかにある大切なものを受け止めてもらえない苦しみは、苦しみのすべての根源とも言える大きなものです。

ある意味、今の若い世代の悩みや問題も同じかもしれません。

どう考えても、今の時代をそのまま受け入れなさいとは教えられないですし、うまく生きるコツや、生きぬく方法を教えないと、強く激しいこの時代の隙間に、取り残されてしまいそうで、自分をごましても、ウソをついてでも、現実をうまくやることしか、思いつかないのだと思います。

でもどんなに悪いことをしてきた人にも、人間として生まれた人に、魂や心が無い人は、いません。人を殺したり、自分を傷つける人でさえも、そうです。

では、そういう人たちには、何が足りないのでしょう？

私は、やはり、”愛”だと思います。

でも、皆さんが考える愛とは、少し違うことをご説明しておきます。

まず愛には、たくさんの種類がありますし、愛と言いながら、たくさんの情をやりとりする”愛情”と勘違いされている方がたくさんいらっしゃいます。

ここで必要な愛を言い表すと・・・

厳しい愛、やさしい愛、きつい愛、うるおう愛、なごむ愛、受け入れる愛、あきらめる愛、見放す愛、拾う愛が、必要です。

社会のすべての人が、自分にできないことを人のためにすることで、自分の役割を見つけるための人間関係だと、まず、あなたが誰かに教えてあげなければ、どんなに上手な生き方のすべを子供たちに教えても、自分で生き延びる知恵には、ならないからです。

皆さんにとって、多分、一番難しいのが、「見放す愛」だと思います。

ここで、あえて”見放す愛”書いたのは、みなさんは、”見守る愛”をご存知だからです。

でも、他人の子供や大切な人には、それができても、自分の子供には、ついつい、小言や説教、自分の情の思いをぶつけたくなります。だから、あえて”見捨てる愛”と表現しました。

人や周りに見放されたと感じた人が、それからの人生に、反発して、抵抗して、自分や周りを傷つけて生きてきた過程こそが、実は、愛を学ぶためだと、もし誰かに知らされていたら、今まで誰かを傷つけきたとわかったときに、大切なことを学べる時期が、もう少し早くやってくることでしょう。

こういう人は、恋愛でも、結婚でも、仕事の上でも、自分の存在価値を認めて欲しい行動に出ることが、多いものです。そのときに、誰か一人が、わかってあげるだけで、ものすごい自信になりますし、生きる勇気が沸いてきます。

受け入れる愛をしてくださるのが、妻や夫、母や父の場合、うれしいのでが、まだ、一人で社会に受け入れたれたという勇気には、なりづらいのです。

だからこそ、他人の誰かが、「あなたは、すばらしいですよ。周りのみんなが何と言ったとしても、私はあなたを信じていますからね！」と、言ってくださる人に逢えることは、神に出会えたようなものなのです。

もう一方で、今、苦しんでいる我が子の未来を信じてあげて、社会の荒波に押し出してあげるときの親の気持ちが、どれほど苦しいものかも感じますので、それは私自身も心が痛みます。

でも親は、我が子に対して、ある時期、すべてを知っていながら、大きな意味で、”見てみないふり”が必要なのでは、ないのでしょうか？

昔から、私の親も、子供の私のすることを、たくさん「見て見ないふり」をしてくれました。

盗み食いをしたときも、そっと、財布から５０円を盗んだときも、学校帰りに寄り道して、イタズラしたときも・・・。

でも、自我が目覚めて、大人になる過程で、今まで、人を傷つけないで生きてきた人は、誰一人いないのです。

だからこそ、その経験をした親たちが教える最大の教えは、「人に迷惑だけ、かけない人間になりなさい」と言います。自分ができなかったことを、しなさいと教えるわけです。

だから、子供は、自我の表現を失い、迷います。

私の尊敬する母は、そのことを私にこう言い換えて教えてくれました。

”自分がされたら嫌なことは、人にするんじゃないよ！”

そんなすばらしい母の教えをいただいた私でも、今まで、たくさんの人を傷つけて生きてきました。だから、今の自分は、その罪滅ぼしの時間だとも感じていますし、そのことをさせていただけることに心から感謝しています。

この世では、自分のしたことは、必ず自分に返されるというルールがあります。

そのこと知りながら、覚悟して悪いことをするのなら、必ず、自分で起き上がる知恵を身につけることができるはずです。

また、この世に親という役をいただいた人で、死ぬ最後まで、自分の親役を忘れる人は、いま

せん。

相手のことを信じてあげる心、自分にはどうにもならないことさえも、自分の責任と、覚悟できる強い心。それは、この人間という弱く幼い生き物だからこそ、学ぶべき最大のテーマなのでしょう。

そのためにも、まず、人とのつながりや、家族以外の人とのつながりを信じれて、利害のない、責任のない人でさえも、自分を本当に愛してくれているということを経験する必要があります。

そのためには、お互いの心や未来、また相手の思いを受け入れてあげられる大きな愛の大人たちが、増えていって欲しいと切に願います。

愛は、あるのに、見えない。

だからこそ、あなたの愛が必要なのです。

あなたの傷ついた心と想い、そして、それを乗り越えたすばらしい力。

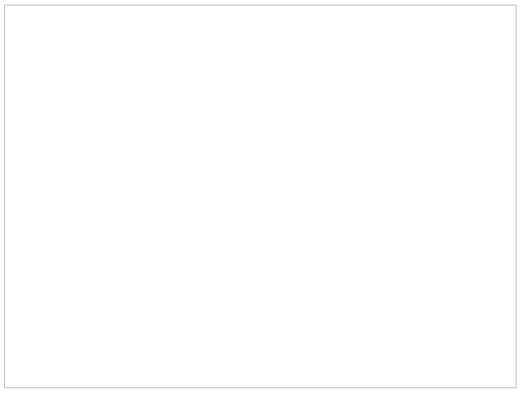
そのためにたくさんの出会いと経験をさせてきてくれたことへの感謝を教えることが、今、一番必要な時代なのです。

苦しむのは、心が苦しいからです。辛いのは、心が泣いているからです。

その大切な心や、感じるものを信じてあげられない人は、この世にいないと私は思っています。

2005.12.07 Wed

隠れた人間国宝　然別湖温泉ホテル風水　おかみ　中木喜三重さん



このにこやかな女性が、中木喜三重さん（８２歳）です。このホテルを守って３０年、とってもたくさんの人に愛されています。

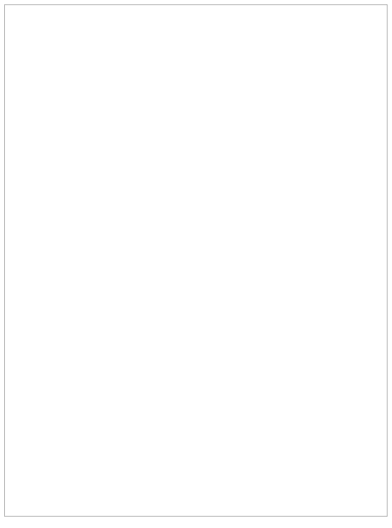
中木さんは、今回、私たちの”第３回　龍神ツアー”を快く受け入れて下さり、過去に経験したことがないくらいのおもてなしをして下さいました。

私と中木さんの出会いは、まだ、数年ですが、今では、本当に大切なことを気づかせたくださる日本の、地球の、魂の”母”となる存在です。

このホテルの最上階に造られている”神殿”は、どの宗教にも属さず、自分が生きていること、この仕事をさせていただいていること、そして、たくさんの方に見守られていることに感謝するために、亡くなられたご主人がプレゼントして建てたものです。

だからこそ神殿にあるものすべてが出逢った人からいただいたものだと教えて下さいました。

その中に、今年奉納した伊良部島の白龍のパネルが最高の場所、床の間に飾られています。



私がいつも中木さんにお会いして思うことは、自分がもし、あの年齢まで生きていられたとしても、あそこまで、自分に厳しく生きられるだろうかと、深く日々の自分を反省しています。

そのおかみさんの大好きな言葉は、”足るを知る”です。

永遠に自分は未熟である、まだまだである、だから、日々精進しなさいと、自分にいい聞かせる人生をまっとうされています。

そのお上さんの愛溢れる笑顔と、研ぎ澄まされたお言葉からは、参加者全員の心に、今後の生き方のうえで、深く刻むべきお言葉を、たくさんいただきました。

２００５年の神事として行った”然別湖への龍のパネル奉納”・”伊良部島の豊年祭参加”など、たくさんの経験と出会いをさせていただいた白龍さまのご縁と、その白龍さまをを奉っているこの場所の人間の神様である、このおかみさんに、お礼をすることが今回の最大の目的でありましたし、そしてそれは、また新たな展開の決断の場ともなりました。

同行した１６人は、これから北海道全土で「自然分娩と命の素晴らしさ」を伝える仲間としての宣言も確認し合いました。命を育む女性たちの素晴らしい気づきの為に出来る事をしていきます。

大母、中木喜三重さん、ありがとうございます。
2005.11.29 Tue

母と子が輝くお産

２００５年１１月２０日、北海道の苫小牧市で、新しく立ち上げた「響き（ひびき）」という素敵な奥様たちの主催する講演会に特別ゲストで参加させていただきました。

今回の講演のメインゲストは、”自然なお産”を推奨している助産師（お産の家　吉村医院　元婦長）のスライド写真を見せながら説明してくださるお話がメインです。

私も初めて助産師さんのお話と、出産を終えたばかりのお母さんと子供のスライドを見せていただきました。そこには、言葉にならないくらいに輝いている、子供の深い瞳の輝きと、お母さんの安心した顔で一杯でした。

そして、こんな印象的な場面がありました。

〇妊娠中に「無能症」と宣告されて、周りの医者・助産師から、堕胎を勧められても、あくまで自然に産むことを決意し、１６時間だけの子供の命を、この世で、まっとうさせてあげたお母さんの愛の決断。

〇１７歳の母になる女性は、シンナーづけで、社会的にも無理と思えるこの出産を、しっかり自然分娩の準備過程から学習していき、周りのみんなに、愛と生きる勇気を与えた女性。

〇妊娠中の子供に、”安心”を与えてあげられなかった母は、出産後、あまりに泣きやまない子供の姿から、その不安の原因を反省し、もう一度、子供との愛と感謝を確認した女性。自然分娩では、みなさん、素敵な経験をしています。そして、その周りのみなさん全員が、命の扱い方を一緒に、学んでいます。

助産師さんがもっとも、強く言われていたのは、「お産は、病気じゃないんです！」

だから、「産科」と、「婦人科」は、まったく違うので、病院だけに頼りきらないでください！出産とは、生き延びれない子供が死ぬ可能性もあることを、受け入れる覚悟が必要だと。」

私も、同感です。一人で生きられない弱い人間をどうにかしようとすると、その人間は、本当に大切な自分や周りの人さえ傷つけたり、苦しみに落としいれる危険があるからです。

動物社会では、群れの足並みについていけない弱い動物は、群れから置きざりになって、他の動物の餌になるか、餓死します。

そのおきざりになる子の母親は、当然、深く悲しみますが、その分、今、生きている他の兄弟や家族を必死で守り、早くひとり立ちできるように、その責任をまっとうします。

どの動物社会も、群れで暮らしている動物は、一番、弱いものにあわせて生活しています。（人間も同じです）

だからこそ、ある時期が来たら、一人で生きることができるかどうかを判断して、本人に、その後の決断をさせていかないと、群れ全体が、生き残ることができなくなるのです。

私がよく、「愛と、愛情は違います」という理由も、この一番大切な弱い生き物に合わせて生きているからこそ、”自立”を教えなければいけないのです。

たくさんの愛情で育てた子供を、愛に導くためには、まず、あなた自身が、愛そのものになることが必要なのです。愛には、情けがありません。

そして、愛には、甘えがありません。だから、ある一面、冷酷にも見えるところがあります。でも相手を信じて、ただ見守るその強さを持つことから、本当の愛は、始まるのです。

そして、命の大切さを学ぶということは、出産という「光」と、死という「闇」を、受け入れることでもあります。

どんなに短いこの世の命でも、亡くなったあとは、魂は、天にあがり、次の転生のための準備に入ります。それは、この世に生まれることの最初の意味が、親の魂の学びためであり、それが、さらに、強く大きな愛の学びになるからです。

だから、人間の自由裁量の領域を超えている”死”という意味は、この世でその人の魂の役目をまっとうしたことを表しています。だからこそ、今、生きていることのすべての意味を、愛に、変えていくことが、私たちの役目なのです。

私たちは、今、生きていることに感謝して、どんなに苦しいことでも、愛に転換して、より大きな光を生み出す人になることが、人間としての努めなのです。

今回の講演の最後に行った、”今後の活動に向けた座談会”の参加者は、学校の先生・市議会議員・セラピスト・現在、母の立場や、おばあちゃんの立場の方など２０名ほどが集まり、熱い意見交換ができました。

そこで出たある問題定義は、今、産院の医者が激減しているということです。理由は、産科の訴

訟が一番多いことと、勤務が２４時間体制になるからです。

これは、社会の問題です。

子供の命を、誰の責任でまっとうするのか？誰が支え見守るのか？それは、やはり、産む母親が、ひとときも子供と離れず、その周りには、家族が見守り、すべてその家族の愛の中で、出産や死を受け入れることが、大切なことなのです。

昔々の産婆さんたちは、この現実を見守る人たちでした。そして、命の有無を、誰かのせいには、決してしませんでした。それは、天が決めていることだからです。

訴訟をするよりも、子を失った親が、もっとも学ぶべき大切なことは、命の出産には、死ととなりあわせだということを、お互いの信頼と責任の中で、まっとうすることなのです。

そういう命の大切なことを伝えていくことは、男性も、子育てを終えた方も、高齢の方でも、社会のみんなで、若い世代に伝えていくことが、これから一番大切なことなのです。

今から新しくセックスを経験する子供たちにも、今、男女の付き合いをしている人たちにも、誰かが伝えていかなければいけないことなのです。

どうぞ、みなさま、あなたがその一人として、「自然分娩という愛の形」を伝えていってください。すべての生きる命にも、亡くなる命にも、大きな愛と感謝を込めて。
2005.11.21 Mon

アクエリアスの時代

今日、ＰＲＯＪＥＣＴ　ＧＡＩＡ　で紹介されていたメッセージの中に、アクエリアス（みずがめ座）の時代がやってきたと書かれていますが、理解できないみなさんのために説明のページをご紹介しておきます。

世界の歴史は、常に同じ時期に同じようなテーマで動いていたことをまず、ご理解ください。（それが、時代のカルマのことなのです）

１）　来るべきアクエリアス時代と宗教革命
皆さんは、アクエリアス（水瓶座）の時代という言葉をご存じでしょうか。これは、古くは哲学者プラトン、新しくは心理学者のカール・ユングなども唱えている、占星学の考え方です。

魚座の時代、水瓶座の時代について検証した心理学者ユングの言葉より地球は自転するときに「首振り運動（歳差運動）」を起こしている。地球は自転していますが、いわゆるコマの首振りのような歳差運動をしています。

そのため、毎年の春分の日に太陽の方角にある星座は、約２万5860 年の周期で、12 の星座を一周することになります。そして、各時代の文明の特徴が、その時代に太陽の方角にある星座の特性と一致しているという考え方が、長らく唱えられてきました。

『現代占星術教科書』（The Modern Txtbook of Astrology）を著わし、現代占星術を大いに普及させたマーガレット・ホーンなどによると、次のように、各時代の星座と文明の特徴を対応させることができるとしています。

【牡牛座の時代】Taurus 紀元前4000～前2000 年ごろ
【牡羊座の時代】Aries 紀元前2000 年～紀元元年ごろ
【魚座の時代】Pisces 紀元元年～2000 年ごろ
【水瓶座の時代】Aquarius 紀元2000 年～4000 年ごろ
【牡牛座の時代】紀元前4000～前2000 年ごろ

◎不朽の建造物
牡牛座は不動の大地の星座である。したがって、エジプトのピラミッド、バビロニアの城壁都市など、堅固な大建造物が多く造られた。また、この時代は、後の歴史の土台とも言える四大文明（エジプト・メソポタミア・インダス・黄河）の発祥の時代である。

◎ギリシア：クレタ文明（紀元前三〇〇〇～前一四〇〇年ころ）

エーゲ海のクレタ島で栄えたクレタ文明では、牛が神聖視されていた。発掘されたクノッソス宮殿には、牛を描いた壁画があった。ギリシア神話では、クレタ島の初代の王であるミノス王は、神々の王ゼウスと人間の娘エウロパの子であるとされる。ゼウスは、エウロパをさらうために、牡牛に化けた。ここにも牛との関連が見られる。ちなみに、エウロパはヨーロッパの語源である。また、ミノス王の王妃と、ポセイドンが送った白牛との間に生まれたのが、牛頭人身の怪物ミノタウロスであった。

◎インド：インダス文明（紀元前2500～前1800 年ごろ）
インダス川流域を中心に展開したインダス文明では、牛を護符に象｛かたど｝るなどして神聖視していた。印章にも多く牛が描かれている。◎バビロニア：メソポタミア文明（紀元前3000～前2000 年ごろ）　現代の星座区分のもとになったバビロニアでは、春分点のあった牡牛座が極めて重視された。この時代のユダヤの牛崇拝は、バビロニアに由来している。

◎エジプト古王国時代（紀元前2780 年～前2280 年）
古代エジプトの首都メンフィスでは、その守護神プタハの聖牛アピスが崇拝された。プタハ神殿のなかでかわれていた聖なる雄牛アピス。プタハの化身とも見られていた。【牡羊座の時代】紀元前2000 年～紀元元年ごろ

◎英雄・強力な指導者の時代
　牡羊座は火の星座であることから、征服といった意味が出てくる。この時代の王国は領土を大きく拡大した。ギリシアからペルシアまで征服したアレクサンドロス大王、中国全土を統一した秦・漢王朝などがその典型例である。また、英雄・強力な指導者の時代を表わし、未知の分野に先鞭を付け得る開拓精神と、人々と新天地へ導く指導力を特色とする。仏陀釈迦牟尼・ソクラテス・孔子・モーセといった精神的指導者は、いずれもこの時代に登場した。

◎エジプト：新王国（紀元前1600～1100 年）
　古王国時代には牛崇拝だったエジプトも、新王国時代に入ると、牡羊崇拝が始まる。新王国時代の王にアメンヘテプ（１～４世）、ツタンカーメン、アメンメセスがいるが、彼らの名前に含まれる「アメン」とは、「牡羊」を聖獣とする羊頭アメン神のことである。美術モチーフもアメン神の牡羊が増え、アメン神を祭るカルナック大神殿の参道には羊の頭を持ったスフィンクスが並んでいる。王の神殿にも「天空を渡る牡羊のための高貴なる広間」といった記述が見られるようになった。

◎ユダヤ教
　ユダヤ教を崇拝するイスラエル民族の祖はアブラハムで、ちょうど紀元前2000 年ころに登場した。ユダヤ教は、小羊をいけにえに捧げる宗教である。　モーセは、神から授かった十戒が刻まれた石板を持ってシナイ山から下ってきたが、エジプトからモーセに付き従ってきたユダヤの

民は、前時代／異教の象徴である「黄金の子牛」を拝む祝祭を行なっていた。怒ったモーセは子牛の像を破壊した。

◎古代ペルシア
　紀元前３世紀ごろ、ペルシア起源の契約・友愛の神ミトラを崇拝する「ミトラ教」が広まった。ミトラ神は羊飼いの姿で描かれる。そして、前時代の象徴である牛と戦うモチーフが描かれている。
【魚座の時代】紀元元年～2000 年ごろ

◎犠牲と愛、二極分化
　ギリシャ神話では、怪物テュポーンから逃げるため魚に姿を変えた愛の女神アプロディーテーとその息子で性愛の神エーロースを示す。２匹の魚は尾のところでつながれているが、それぞれの向いている方向は別々である。このことから、魚座は、犠牲と愛欲の時代、二極分化を表わしている。

◎原始キリスト教
「イエス・キリスト、神の子、救済者」という意味のギリシャ語の頭文字を並べると「イクテュス」となり、これは「魚」という単語になる。そのため、古代キリスト教会ではイエスを魚で象徴させている。
◎キリスト教における魚の象徴表現　イエスの最初の弟子たちは漁師である。“ イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、シモンとシモンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師だった。イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた”（マルコによる福音書１：16～17）福音書には、イエスが五個のパンと２匹の魚によって5000
人の食事をまかなったというエピソードが書かれている。イスラエルの「パンと魚の増加の教会」の床には、５世紀ごろのモザイク画が保存されている。これは、少年の持っていた５つのパンと２匹の魚で、イエスが5000 人以上の人々を養った奇跡を記念するものである。

　魚座の時代は、魚を象徴とするイエスの誕生をもってその始まりとしており、それに先行する牡羊座は、いけにえの子羊として十字架上でほふられたその死をもって終わったとされている。

ユングは次のように書いている。

「ところでキリストは新しい時代（アイオーン）とみなされたのであるから、占星術に通暁｛つうぎょう｝している者にとってはっきりしていたのは、キリストが一方では双魚宮時代の最初の魚として生まれるとともに、他方では去ってゆく時代（アイオーン）の最後の雄羊（arnion、新約聖書の小羊）として死ななければならなかったということである」（ユング『アイオーン』）概

論編　アクエリアスの時代

２）　来るべきアクエリアス時代と宗教革命
そして、今始まろうとしているアクエリアスの時代が大きな注目を集める理由は、それが“ 黄金時代”とも言われ、素晴らしい時代になるだろうと予測されているからです。この時代には地上のすべての悪が一掃され、世界に平和と人類愛がよみがえってくる時代であるということである。またこの時代には、今までの一切の思想や観念や宗教、国籍や人種の差異に影響されない、水晶（クリスタル）のように清浄な魂と透明な精神をもった人類――水晶人種が出現するといわれている。（ルル・ラブア『占星学の見方』）

“ 水瓶座”の特質が示すのは、「権威主義（縦社会）への反抗と革新」、「自由な発想と個性尊重」、「発明と科学・技術、友情と連帯（フラットな関係重視）」などです。21 世紀は“ 精神と科学”の調和したすばらしい社会が実現するでしょう。（瀬尾泰範『来たるべきアクエリアスの時代』） 思想・宗教の区別、国籍・人種の差別がなくなり、新しい人類が生まれ、精神と科学が調和する――。これは、すべての人にとって理想の社会でしょう。

＜　C・G・ユング＞
そして、それはいつ来るのでしょうか？　これには諸説があります。というのは、天球上のどこまでが魚座で、どこからが水瓶座なのは全くはっきりしないからです。よって、二十世紀に既に始まっているという説と、二一〇〇年以降であるという説まであります。わたしは、魚座と水瓶座がだぶる部分もあるでしょうから、少なくとも、水瓶座の時代の要素が徐々に出てきているはずだと考えています。
この点について、心理学者のユングは『アイオーン』の中で、「星座の境界設定は周知のように任意であるために、これの生じる時点は非常に不確定である。占星術的には次の時代（アイオーン）の開始は、出発点をどこにおくかの違いに応じて、西暦2000 年から2200 年の間に当たっている。a113 星を基礎にすれば、1997 年となる。（1997 年は）プトレマイオス『アルマゲスト』に記されている星々の経度表示に一致する」

「ちなみに、天地創造のはじまりをB.C.4000 年10 月23 日午前９時と定めた『欽定訳聖書』にキリスト教でいう世界の寿命年数6000 年を加えると、キリスト教世界の終末は1997 年10 月22 日となり、キリスト教の呪縛から解放された新しい時代は翌1997 年10 月23 日からスタートすることになる」と述べています。

そして、占星学の専門的分析はさておき、現実の二十一世紀を見れば、現在の文明が明らかに行き詰まろうとしていることがわかります。だからこそ、今世紀こそ、そういった新しい時代、新しい文明の到来が待望される時代だとわたしは思います。

そして、これからの新しい時代をつくるのは、皆さんの意識しだいだということです。どうぞ、すべての悩みも、苦しみも、喜びも、すべて他の人にも、つながっていることを理解して、新しい自分を常に、創出してくことに専念されるようお願いいたします。
2005.11.11 Fri

伊良部島　ユークイ（豊年祭）に初参加！

すごい体験をしました！

10/26～10/27のかけて行われた、伊良部島の豊年祭（ユークイ）に、北海道か８名がユークイに参加してきました。一晩で、６ヶ所をまわることができたおかげで、この島の神々とのつながりも大きくなりました。宮古毎日新聞にも載った私たちの参加は、初めての出来事だったそうです。

今回の旅の目的は、伊良部島の７つの集落が同じ日に、一斉に行われる豊年祭「ユークイ」（10/26～27）に参加することです。そしてこの旅は、昨年１月、伊良部島で撮影した龍の雲の写真のご縁で出逢った,ユタ＝神人（カミンチュー）の吉浜克美さんに今年４月に初めてお会いしたときに、ぜひ、この大切なお祭りを見て、感じて欲しいと頼まれたことが 、この旅の始まりでした。

今回、吉浜さんが（つまり、神様が）私に託されたお願いごとは、３つあります。そのことは、これを読んでいるうちに、わかってくるでしょう。

この「神々の住む島」と呼ばれる伊良部島に足を踏み入れた８人は、まず生まれて初めて見る島の海や空の美しさや、あちこちで感じる神々の神聖なエネルギーに、魂が感動して涙が溢れていました。

10/26　行動記録

１、パイロット訓練飛行場横の海　２、通り池・なべ底　３、木泊り部落後　４、帯締め岩　（昼食）

５、渡口の浜・ヌーシウタキ　６、ヤマトブー大岩　７、牧山獄（ピャーズウタキ）　８、ウズヌシュー石碑　９、サバ沖井戸 １０、大龍門　１１、潮吹き岩　（休憩）１２、豊年祭「ゆーくい」に参加　国仲ウタキ→佐和田ウタキ→長浜ウタキ

１、龍が舞い上がった場所　”下地島　なべ底”の不思議

この場所は、世界でも珍しく３つの神様が一緒に居る場所です（火の神様、水の神様、風の神様）。

地元の方でもそのことを知らない方はたくさんいますし、”胎動くぐりの穴”があることも、ほとんど知られていません。そのことを理解していなくても、地元の女性 たちが昔から一番大切にしているのが、「火の神様」です。食事を作るとき、暖を取るとき、大切な産湯を沸かすとき、すべては、火の神様のおかげだからです。

もうひとつ、ここには、「胎動くぐりの穴」というものがあります。この穴の意味は、ここ穴をくぐることで、”母の胎内に戻り、生きながら生まれ変わること”を意味しています。

穴を自力でくぐり、底の海まで の険しい岩場を降りて、海に足が着いたところ、それは、母の体内の羊水（ようすい）につかることを意味しています。そのこと に感謝して、また自力で、岩を登ってくることは、この世の中に新しく生まれることを表しています。

２、大津波で失われた木泊部落の２３人の御霊が見守る大切な浜　（天龍の雲を撮影した場所）神主（カミンチュー）の吉浜克美さんが今、一番、望んでいることは、大津波で亡くなった木泊部落の魂を弔う石碑を建てたいと願っています。

吉浜さんは、この地を守る龍神さまから大切なことたくさんを告げられた中に、昔々、この伊良部島の守った「ウズヌシュー」という人のおかげで、今の島の生活があるからと、その石碑を建てるために募金活動をしていたときに、現在のホテルてぃだの郷（さと）のオーナー　猪子立子さんと出会い、二人で協力して募金活動をして 、現在の石碑を立てることができました。（約８０万円かかったそうです）

吉浜さんの今の願いは、この木泊部落の津波で亡くなった２３人の御霊を奉る石碑の建立に、力を注いでいます。

全国の心ある皆様の募金で、この木泊部落の石碑を建てたいと思いますので、どうぞ,この募金活動に、ご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ　ホテル　てぃだの郷（さと）　0980-78-5252　猪子（いのこ）
お振込み郵便口座　　記号　12470　番号　9233861　　ヨシハマ　カツミ

この浜のすぐ隣には、大きな津波で打ち上げられた「帯岩」と呼ばれる場所があります。ここは旧日本陸軍の名前や天皇の名前を出して、大きな鳥居まで建立されていますが、実際には、ここに集まる御霊は、上がっていません。どうぞ、この場所を訪れたときには、たくさんの御霊のお

かげで現在の自分がいることを感じて、岩の後ろ側で祈りを奉げてください。

３、伊良部島の命をつないだ大切な子孫を祭る乗瀬御嶽（ヌーシウタキ）

ヌーシウタキの中には、正面のウタキのほかに、現在、閉じられているご先祖さまのウタキがあります。このウタキの中に入ることは許されませんが、どうぞ、この浜に行かれたときには、そのご先祖の方々に感謝のお祈りを奉げてください。

４、龍の息をする穴（吹き上げ岩）での大切な祈り　（スーフツミー）

大龍門がある場所を過ぎたところに、長い散策路があります。そしてその途中には、龍の息が抜けるための穴が開いていました。昔は、ここで潮が１０ｍも上がるほどの 「吹き上げ岩」と呼ばれていましたが、現在は、色々な理由のために、コンクリートで埋められています。神主（カミンチュー） の吉浜さんから頼まれたことは、ここを開けて欲しいとお願いされました。

８人でこの場所に来た理由は、その祈りをするためだったのです。海側の龍の入口から吹き上げ岩までのお払いをして清めてから、 皆さんに協力していただきながら、最後に、私の最大パワーを使ってこの龍門のフタを開けるエネルギーを動かしました。

円陣を組んで祈りに協力してくださった皆様は、そのときの体験を、「足元が熱くてたまらなくなった」、「龍の顔が見えて、苦しんでいたが 、最後には抜けた」など、初めて感じる体験を色々話してくださいました。まもなく、ある時期が来たら、あの龍門のフタは開きます。そのあとは、何があっても二度と、閉じることはできないことでしょう。

５、豊年祭に参加した龍神ツアーのみなさんと島人（シマンチュ)

まずこの豊年祭　ユークイのことを説明しておきます。ここは普段、地元の方でも気楽に入れる場所ではありません。地元の先祖が大切にしてきた神さまを奉り、その神様に、一年のお礼・祈願にくる場所なので、島のほとんどの方も、年に 、このお祭りの２日間しか入れないという場所です。

その神様を奉ってある”長浜ウタキ”に入ると、地元の人に質問されました。「おまえたちは、どこの身内かあ？」。とっさに、猪子オーナーが、「てぃだの郷の身内だあ」と答えてくれました。てぃだの郷は、長浜地区にありますし、猪子さんのご家族も、長浜部落の出身です。

５箇所のウタキに奉納するお酒を用意してきましたので、それを神様にお供えするために、ご挨拶を するために中へ進むと、みなさんが（神様が）こちらを見ています。

無事、奉納を済ませ、みんなでお祈りが終わると、「さあー、これを飲め！これを食べろ」と地元の方に言われます。この島では、勧められたものは断らず、必ず口にすることが礼儀なので、みんなでありがたくいただきます。そして勧められた場所に座り、渡された飲み物を飲みながら周りを 眺めていると、今度は、、さあ、みんなで踊るよ！さあー、さあー！ と手を引かれます。

遠慮していた私たちも、一度、踊ってしまうと、もう、怖いものは無いとばかりに、何度も何度も、踊りの場で舞っていました。すると突然、司会者が、私たちのことを皆さんにご紹介してくれました。私も、今回の私たちの旅の目的を話して、島の皆さんにご挨拶をさせていただきましたことは、本当にありがたく心から感謝しています。

この大切な”御嶽（ウタキ ）”には、３年に一度、神様が選ぶ”司おばー・司母（ツカサンマ）”と呼ばれる女性が、ウタキを守っています。この司おばーは、お祭りの間、ずっと線香の火を消すことなく、神様に祈り続けるのが役目です。

普段は、どうしても神様に祈願が必要な人にたのまれたときにだけ、司おばーと一緒にウタキに入ることが許されます。神様が舞い降りる場所は、ウタキの中で少し離れた場所にあります。

そこには、これから受験をする子供を持った家族が、合格祈願をするための供物が備えられています。（ お供え物は、赤飯、魚、洗い米、玄米、塩、水、酒が何個づつと決まっています）海の潮が満潮になる夜中の１２時をすぎたくらいになると、みなさんが真ん中の通路にぞろぞろ集まります。

この瞬間に舞い降りてきた神様 を運ぶ”司おばー”たちから、福をいただくために、みんなが大声で叫ぶことばが、「ヨーンティル、ヨーンティル」です。

それは、神様に今年一年の 自分の願いごとを叶えていただく大切な言葉なのです。となりにいたすてきな９３歳のおばーが教えてくれました。「シャツのすそを掴んで、降ってくるものをいただきなさい。それをもらうと福が来るよ！ 」と。

10/27　行動記録

豊年祭「ゆーくい」　仲地（ネバル）ウタキ→長浜ウタキ→山の植物林の中のウタキ→渡口の浜の海向かいにある林の中”ミロクウタキ”（伊良部）→神主（カミンチュー）吉浜克美宅へ訪問

＜仲地のウタキ＞

朝8：30　仲地のウタキに入ってお酒の奉納とお祈りを終えると、「さー、さー、こっちへ！」と誘われて、男集のところへ座らされました。「北海道から、よく来たな。さー、飲め！」と、 恒例の”おとーり”が、始まります。 注）”おとーり”とは、お客人を迎えるときのお酒の飲み方で、勧められると、絶対に、飲まなければいけません。

そして、その詳しいルール説明を実演してくれる素敵な７０歳くらいの男性に、私たちは、「おとーり　免許皆伝」をいただきました。 そのあと、昨日の長浜ウタキに戻って、午前の福をいただくお祭りに、また参加しました。

でも着いたのが、寄り道をしたために１０時頃のため、「ついさっき、奉納したお酒やお菓子をみんなに配ってくれたのに、なんで言うこときいて早く来なかったのさ～」と、昨日の９３歳のおばーに、叱られました。それくらい、私たちを大切に思ってくれる素敵な”おばー”だから言える言葉です。

私を手招きする男性の顔を見ると、昨日、二人で肩を抱きながら飲んだほど仲良くなった、素敵な７０代の男性です。

この男性に、昨日、何度も何度も聞かされた言葉が、「伊良部はいいところだろう！（吉岡-ハイ、そうですね）、海もきれい！（吉岡-ハイ）、山もきれい！（ハイ）、空もきれい！（ハイ）、そして、なんといっても、女がきれい！（イヤ～、本当にそうですね～！二人で大笑い）」。

昨日、この方に名刺をくれ！というので、渡したおかげで、今朝は、最初から名前で呼んでくれました。そして、その男性（善平義一・ぜんひらぎいち）さんが、 私に一枚の紙をくれました。

それはなんと、この長浜ウタキの”祈りのための言葉”を書いた紙だったんです。この瞬間、神様が私に下さったことが分かりました。心から、お礼申し上げながら、この意味と役割を今、感じています。

＜山の植物林の中のウタキ（名前不明）＞

このウタキは、一般のウタキと違って建物が、一切ありません。入口もただ、植物林の中に入っていくので、普段は、見つけることはできないくらいに、 うっそうとしていて、もの静かなウタ

キです。

中に入ると、とても心が軽く明るくなってきます。やさしい陽の光と共に、たくさんの精霊たちがいるのを感じます。みんな喜んでくれています。 参加したみなさんも、とても幸せな気分になりました。

＜最後のウタキ～伊良部地区～　ミロクウタキ＞・・・・渡口の浜の海向かい

この植物群生林は、見た目はさっきのウタキと同じですが、座っているだけで、とても、せつなさが感じられます。女性たちの踊りと歌が始まると、さらに、そのせつなさが増してきます。どうにも抑えられないこの”せつなさ”は、涙となってほほをつたってきます。

隣にいた、大町典子さんも、ひっくひっく泣きながら、「なんで、こんなに、せつないんですかね」と、お互いの泣き顔を見ながら、涙をこらえられません。横にいた地元の人が、今日はお祭りだから、泣いちゃいけないんだよと、教えてくれました。

それをわかっていても、涙を止められません。何か、誰かのために泣いている気もするし、自分の中の深い悲しみを癒してくれているとも、感じているからです。でも最後には、その地元の人も、ただ悲しくて泣いているのではないことを理解してくれたようです。

この神聖な場所の神様を感じて、泣いていたんだと理解してくれました。実は、この場所は、海向かいの”渡口の浜のウタキ”に、私が何度も足を運ぶたびに、気になっていた場所だったんです。

その感じたことをユタに聞いても、何も言わなかったので、今までお祈り にも足を運べませんせしたが、今回、こういう形でお祈りできたことに、心から感謝いたします。※翌日の宮古毎日新聞に、龍神ツアーのことが載りました。

宮古毎日新聞　2005年10月28日（金）　記事（上から３番目）

伴奏もなく、ただ静かに、神様にささげる女性たちの歌声は、深い愛と悲しみと切なさを感じさせます。どんなときにも涙を流さない私も、この歌声には、涙を止めることはできませんでした。

＜伊良部島で５人しかいない神人（カミンチュー）吉浜克美さんを訪ねる＞

現地の人に聞くと、現在、伊良部島で知られている神人・ユタは、５人しかいないそうです。ユタは、この７０００人の村人たちのすべての願い事・祈り事・弔い事を担当してます。

ユタになるは、いくつかの条件があります。まず、生まれつきの霊的体質であること。そして、ある年齢までその霊的部分と現実のバランスを学ぶこと。

ユタになるには、親族縁者しかなれず、自分に降りてきたメッセージを、他のユタに確認してもらい、「もう、あなたはユタになる時期だ」と告げられ ると、その覚悟をしてから、３年間の苦行が始まります。

その３年間で人間的な欲や、自分のカルマの清算をとことんさせられます。そして最後に、自分の身体の骨が折れたり、ケガをすることで、大きな霊力（霊視力・透視力 ・神通力）が宿ります。

これはみなさんには、理解できない部分だと思いますが、こういう同じ経験をしてきた者同士、人間としてみれば、なぜ自分だけこんなに苦しい経験をしてまで、 ユタをしなければいけないのかと、天をうらむ時期もあります。

でも、すべては自分に与えられた”天からのお役目”ですから、逃げまどうことのほうが、どれくらい恐ろしい結末になるかも知っています。だから、ただ生まれつき霊感・直感があるという方と、人の為のお役目をいただく方の違いは、この苦行の経験を積まされるか、どうかで大きく違います。

吉浜克美さんは、伊良部島のなかでも、最大の霊力をいただいていて、彼女が担いでいる神様は、”龍神さま”です。だから、私にこの伊良部島で龍を見せて、お互いを 出あわせて、大きな地球のための働きをしなさいと伝えてきたのです。

6、10/28　宮古島　新城定吉さんの石庭（いしにわ）訪問

私自身、３回目になる新城さんとの出会いは、出会うたびに大きな確認と、お互いのそれぞれのお役を実感させられます。

今回、新城さんにお会いしてすぐに、「新しい場所が奥にあるから、感じてきなさい」とおっしゃいました。同行したみなさんには、石庭のサークル内での瞑想を含めて、ひとつひとつの場所

のエネルギーを感じていただきました。

今回、この石庭全体のエネルギーは、前よりも、やさしくおだやかになっていました。それは、もう自分だけの癒しの時代ではないことを表しています。

奥に新しくできた場所は、新城さんが天から降りてきた名前として、「天龍の台座」と命名しているところです。この場所は、ものすごく強く、高いエネルギーです。

人によっては、近づけない人もいると、サポートの女性（濱本政美さん）が、話してくれました。この天龍の台座という名前は、私にとっても、とてもうれしい名前です。前回４月に、ここにきたときに、新城さんとたくさんお話した中で、この宮古島・伊良部島の地球上でも役目、龍の意味、そして、この石庭の石の役目の意味をお伝えしていたからです。

今回、もっと驚いたことは、新城さんが 、また新たな場所を掘り始めていたことです。サポーターの濱本さんに聞くと、６月から突然、密林を伐採して、掘り始めてということです。

新城さん、ご自身にも 、なぜまた掘り始めたにかと尋ねると、「わしにも、わからん。この年（８４歳）で、こんなエネルギーがあるとは、自分でも不思議に思う」とのこと。

今回、新城さんが私に質問された言葉のなかに、今、掘っている石は、タテ石で、とても手がかかっているということです。（この場所の石は、宮古島が隆起したため、タテ石とヨコ石と斜め石があるそうです）

この新しい場所の意味と、このタテ石を立てる意味を私に問われましたので、私は、こうお答えしました。この石庭の役割は、時代と共に変わってきています。今までの場所のエネルギーがやさしくなった分、自分のための癒しではなく、新しい「天龍の台座」のように、個人と全体がつながるエネルギーを求めてくる人たちがやってきます。

そして、今、切り開いて、掘っている場所のエネルギーは、「大調和」のエネルギー場です。そこに新城さんが、タテ石を立てることで、宇宙の大調和が、ここに,現実に現れることになります。どうぞ、お体を大切にしながら、石を立ててください。

この石庭には、すばらしい木や石が、それぞれ全く違う役割として存在しています。その一部をご覧いただきましょう。

石庭のジャングルの一番奥にある「緑の石を抱いたガジュマルの樹」のことを、新城さんは、どういうエネルギーに感じるかと、私に問いました。私は、この石を見たときに、「命そのもの」

と感じましたし、樹全体と石の関係は、「宇宙の力、命そのもの」だとわかりました。

どういう意味かというと、宇宙根源の創造主の命＝宇宙のすべての命の根源、そのものであるということです。普通は,その部分を実体化する必要 がないのですが、この場所には、その役割が与えられているようです。それはとても大きな命の力であって、この全宇宙のつながりを動かす力を持っているということです。

この大きな気づきと感動にひたっていると、新城さんが、また質問をしてきました。「吉岡さんには、石をあげたか？」

石はもらってはいないし、もらうつもりもないので、「いいえ」とお答えすると、「ちょっとまってろ」と言って、奥へ行かれて、ひとつの石を感じてみろと手渡されました。

手のひらに収まるこの石は、「大きな愛、とても大きな愛、そして、とても、強い愛の石です」とお答えすると、「それは陰の石だから、太陽に当ててごらんなさい」というので、外へ出て、太陽に光にしばらく当ててから感じると、とても陽の大きなやさしい愛のエネルギーを出しています。

そう新城さんにお伝えすると、「じゃあ、それを吉岡さんにあげるよ」と言われました。

まったくもらうつもりも、欲しいという欲もなかった私は、突然、与えれたこの石の意味と役割と責任に対して、瞬間的に覚悟と決断をして、ありがたくいただ くことにしました。

この石が、どういうエネルギーかというと、私自身に与えられている力と全く同じエネルギーなのです。ただし、私自身が意識してこの石のエネルギーを使うと、私の最大エネルギーの１００倍まで動かせる力があります。

この石は、陰の世界にも、陽の世界にも使えるエネルギーです。いずれ世界を守るために、使わなければいけないときがくるかもしれません。世の中のエネルギー安定と、そのことをサポートする大切な人たちのために使わせていただきます。

今後、私のところに来られた方には、見せる機会もあるでしょうが、触ることはできないことをご理解ください。私が手に乗せているだけでも、ボロボロ砕けてくるからです。

これは光そのものであり、闇そのものでもある石、そして使う人の意識エネルギーで、すべてを操作して動かす方法は、マヤの時代にも使われていた方法です。水晶と同じ成分らしく、純粋になる、輝くために使わせていただきます。

７、**10/29**　日の出の祈りと神払い儀式

最後の最後まで、いつも何かがありますが、今回も、ホテル　てぃだの郷を見守る大切な２つの神様の場所をお祓い・お祈りさせていただきました。その前に、朝6：30から のご来光のエネルルギーをみなさんでいただいたことも、大切なことだったのです。

光は闇を照らします。ですから、自分自身の光の部分を大きくしておかないと、闇に入ると負けてしまいます。闇は、全員が持っている人間のマイナスエネルギーの部分だからです。

いい場所、いい人、いい出会い。この連続で、人生は輝きます。そうできるかどうかは、自分自身の行動と、その人の意識と目的によります。命あるところ、光あれ。いつもそうありたいと願いながら、日々の自分を見つめる私です。

すべての光の仲間となってくれた、今回の龍神ツアーにご参加いただいた８人の方には、龍神さまの守護が入りました。そして私自身も、大きな大きなお役目とエネルギーをいただきました。家に帰ってきて、妻にざっと旅の話を報告すると、「ひとつが終わったようだから、じゃあ、また次の役割が与えられるんでしょうね。」ですって・・・。

神様は、いつもすぐヨコに居てくださって、何も言いません。だから日々、精進、精進でございます。

最後に、那覇空港から千歳行きの飛行機の中から見た夕陽が沈むところです。

すべての祝福と、感じました。ありがとうございます
2005.10.26 Wed

そのためには、まずこのことをみなさんにお知らせしておきましょう。
人間は、霊体です。植物も、無機質なものさえ、じつは、すべて霊体です。
宇宙の星も、地球も、UFO も、ある意味では、霊体です。霊体という言葉を言い換えると、エネルギー体です。そしてそれは、「意識体」でもあるという意味です。
でも人間は、自意識や顕在意識と呼ばれる（自分はこう思った！というような表面的な意識が強く）、自分の存在意味や役割をいろんな場面で言い換えることで、自分を表現し、自分を守って生きてきました。
しかし、人間のこの顕在意識自体が、実は、自分を守るための無意識が作り出した創造の産物だということをご存知でしょうか？
今、生まれた赤ちゃんには、この顕在意識がありません。
だからみなさんは、人間として生きてきた環境や経験したこと、自分の周りの人や社会の善悪の判断の連続の中で、自分でも知らないうちに、自己の無意識の領域に、自分を守るためのこの世界を作り出しています。
そして、この自分の世界だと思っているこの無意識の世界に、実は他から、ある大きな意識のエネルギーが影響していることをご存知でしょうか？（これが個人で瞑想することをお勧めしない理由なのです）

それは、数千年も続いているこの人間の経済社会の中で、常に、無意識の領域にまで、侵入して操作し続けている強力な遠隔意識操作集団が、世界中に、そしてこの日本にも、存在しているのです。その集団のことで俗名で「石屋」と呼んでおきましょう。
ではどうやって、その石屋の集団がみなさんの意識に働きかけているのかといえば、一番わかりやすくて簡単な方法が、TV の CM, 新聞、雑誌、などのマスコミを利用した「刷り込み意識」です。
たとえば、今、世界のあるところで戦争しているシーンの情報やショッキングな情報の映像を、毎日、流し続けたとします。すると、ほとんどの人が、自分のカルマに影響を受けます。それは、みなさんの魂の記憶にも、たくさんの悲惨な戦争体験があるからです。
こういう情報をたくさん流されると、普通の人間の意識は、どうなるでしょう？
戦争反対活動や、救済活動、敵国意識や不安、恐怖からくる自己防衛など、さまざまな意識がどんどん出てきて、また無意識の領域に不安をにつくりだしていきます。
すると当然、これに関わるビジネスに、お金が流れていくことになります。
この集団は、世の中に「お金」という概念を定着させたことで、強力なエネルギーを大きな力で操作することができるようになりました。

それは常に人間の一番弱いカルマや自我に影響を与えながら、今までのあらゆる時代にも、集合

意識をコントロールしてきている存在たちの働きによるものなんです。
ここでみなさんに理解しておいて欲しいことは、「お金」そのものが悪いのではなくて、お金というエネルギー物質に対する個人の意識の部分が、無意識に利用されているということを知っておいて欲しいのです。

簡単にいうと、”欲を書き立てられる ”ということです。
そしてこの世の中の経済はすべて、誰かが何かを「仕掛け」ることで動いています。言い換えると、誰かが、何かをしようと思うからこそ、経済や収入が発生するのです。
だからあなたも実は、一番最初に思った目的や無意識の中にある想いよって、お金という概念やイメージ、そして、その波動やエネルギーも、大きく違ってきてしまうのです。
それ以外にも、この集団は、さまざま方法を使って、あらゆる次元にコンタクトしながら、みなさんの意識を動かすことを、常に行っています。
悲しいことですが、自分の意識がすいうエネルギーに影響されているとも知らずに、新しい方向性の意識の人たちの仲間になりながら、その新しい情報を奪って、自分の欲を満たす為に動いている人たちも、たくさん存在しています。
これは欲や業などの低い次元意識を利用して、その情報を世界中からキャッチするという高度な方法によって、行われています。（これは、その人の魂の幼さゆえ、自分ではコントロールできないのです）
本当の意味の魂の自己覚醒とは、この顕在意識の中にある自分の直感や、無意識が、正しいことだと勘違いしている部分を限りなく取り払い、さらに、その奥底にある、魂のおおもとにつながる本質のメッセージを受け取ることだと私は思います。
私が「スピリチュアル能力養成講座」を開設した理由は、そこにあります。
人間が誕生して、数千年の時間を経過しながら、時代が進化してきたおかげで、自分たちのしたいことを、これだけ自由にたくさんできる時代になったはずなのに、今だに人間が望むことは、どれだけ素晴しい大義名分をつけたとしても、それは結局、人間のエゴの世界の繰り返しだということを、歴史は教えてくれています。
私のスピリチュアル養成講座の目的は、個人のカルマの解消と自己覚醒による目覚めであり、その結果、現実意識が大きく変わり、最終目的として、自己調和と全体調和が等しくなることを意図しています。
話を戻しますが、今のこの現実世界も、意識と無意識の両方を使うことで、形成されています。

現実世界をうまく生き抜く一番簡単な方法は、自分が求めることを、本当に達成させている人と一緒にいる時間を増やして、世間話やいろんな話をしながら、その人が普段、何を考えて居る人なのかを知ることで理解することができます。
笑い話ですが、昔、１００万円もする成功法則の本やテープの販売員の話を聞いて、買う人がいました。（今でも、いるかもしれませんが。。。）

でもその成功法則のことをよく理解して、あなたを説得して、契約書にサインさせている担当者は、実は、全然、成功していない普通のサラリーマンだったり、アルバイトだったりします。笑えませんか？だって、その成功法則を一番理解している人が、成功していないのですから。。。

実は、現実社会とは、そんなものなのです。そして個人個人が考える成功の概念も、さまざまです。月１００万円が欲しい人、月１０００万円が欲しい人、月、一億円を欲しい人・・。

どれを望むのも自由ですが、大切なことは、その収入の変化のたびに、あなた自身の本質は、どれだけ変わったのか？ということです。

人間一人が生きるのに必要なお金は、本当に僅かな金額でことたります。ただ、自分の欲を見たすためなら、無限にお金は必要でしょう。

これは分かりやすい「欲」ですが、「徳」とは違います。徳は、その得たものをどう使うかで、得られるものです。そしてそれは、お金に限らず、愛でも、信用でも同じです。

私の短い人生経験の中で、普通の人が、絶対一生、不可能と思えるような成功者の方々に、たくさんお会いして、とことんお話を伺ったときに、その人たちが意識している次元のことがあるとき分かりました。

だから同じ金額を稼いで居る人でも、意識次元の違いによって、本質の心が望む方向は、違っています。だからそのことを学べない人は、一度大きなお金を稼いでも、また、すぐ失ってしまうのです。

それは、そのお金と言うエネルギーがたくさん集まってきたのに、その人の普通の意識次元を変化できないことによって、高い意識次元と普通の意識次元の差による、次元不調和で、エネルギー（お金）が離れていってしまうのです。

生命力の強い人は人生の中で、何度もそういう体験を繰り返している方がいます。

でもそういう方こそ、死ぬ直前に大切な”あること”に気づく魂の本質のメッセージが、降りてきます。

世界の鉄鋼王と呼ばれた、カーネギーは、死ぬ少し前にそのことを気づいたと自叙伝にも書きのこしています。

あなたもそのことを、もっと早く素直に受け入れていれば、死ぬ寸前に後悔するようなことは避けられると、私は思います。

意識の世界を探求される方でも、現実社会の成功を望む方でも、「本物」と呼ばれる人たちは、そのことを常に意識しながら、自らの自己研鑽に努力を惜しみません。

私自身が本物かどうかは別として、私の魂はこの現実次元での成功を、本来の目的とは思っていませんので、そういうことはある意味、どうでもいいことなのです。

私が望む本質は、一人でも多くの方が、自分の魂の本質の奥底にある宇宙につながる魂の開花をして、そのエネルギーを使いながら、この現実を幸せに生きていって欲しいと願っているだけなのです。

自我を越えて、天我・神我へ、そしてさらにその天我・神我さえ越えて、この現実次元に戻ってきて、いかに普段の生活の中で、実践できるかが、人間全員に与えられた使命なのです。

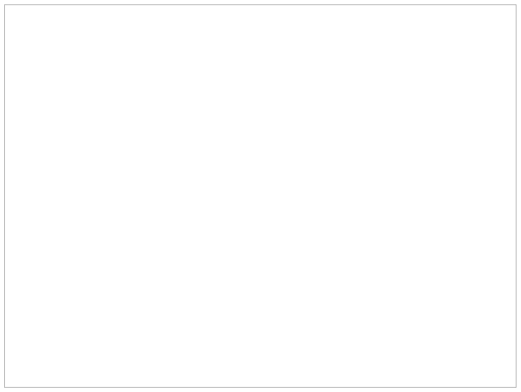
どうぞ、みなさんの意識がたくさんの情報に振り回されず、シンプルに、まっすぐ自分の魂の開花の道へお進みになることを心から祈ります。

ありがとうございます。
2005.10.18 Tue

浦河ミステリーツアー

田舎の小学校の休日を利用して「大人と子供の体験学校」を開催しようと言いだしたのは、野深小学校（北海道浦河郡浦河町）の現校長先生でした。
まず、お休みの学校の体育館をかりて皆んなでボール遊びを楽しんでいると、昨日の朝４時に出かけて、苫小牧のハーフマラソンを走りきって今、帰ってきた野深（のぶか）小学校の中泉盛行校長先生はさっそく、私たち約 20 名の大人と子供に特別授業を行ってくれました。
まず道徳の時間では、感動の絵本を読んでくださり、音楽の時間では、自作の歌とギターをご披露いただきました。
次は算数と聞いて、これは、数学大学専攻の私としてはと、力を入れて準備していると、「百ます計算」という集中力を高める計算でした。ただの足し算をいかに早くこなすかだけなので、
よし！と燃えてスタートすると、「できました！」、・・えっ！・「できました！」・・えっ！
どんどん子供たちと、大人の声が続くなか、やっとのことで終わると、結果は、２分もかかってしまい、普通以下・・・・ショック！。

これは、普段、あまりに右脳ばっかり使っているせいで、左脳の活性化が遅れているんだと、深く認識しました。
次の授業は体育、みんなで体育館に出て、コミニュケーションのレクレーションをいくつか教えていただき、まー、楽しいこと、楽しいこと！

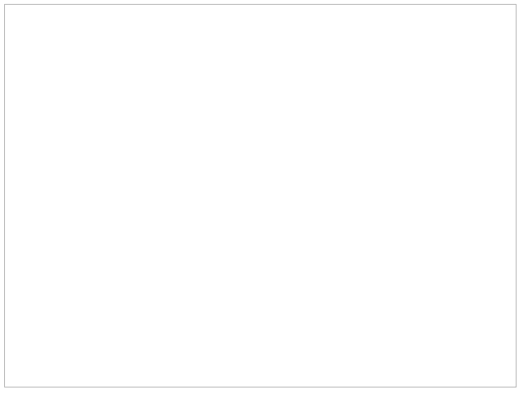


初めて逢う人が私によく質問されることは、「吉岡さんは、どんなふうに見えたり、感じたりするのですか？」と聞かれます。

この説明はとても難しいのですが、簡単にいうと、逢った瞬間に、その人の持っている ”気 ”というか、オーラというか、エネルギーのすべてを全身で感じるんです。
するとその人がどれくらいの周波数意識で、今、いるのかを感じとります。意識の世界の周波数と、無意識の世界の周波数、それにあと、今、背負っている心の奥底にある想いのエネルギーなどを感じます。
ですから、たくさんの人が集まると、まず、一番、気になる人とお話をします。それは、その人

の一番低い意識が、全体の人に影響するので、まず、その人の意識をプラスに変えることが、大切なことだからです。
私は普段、エネルギーがあまりに低い人と一緒にいる時間をなるべく避けます。それは、自分もそのマイナスの世界に、引きずりこまれてしまうからです。
みなさんにもこれは、意識して欲しいことですが、意識して素敵な人との時間を大切に過ごしてください。まず、それだけで、自分のエネルギーが上がります。でも、それによって、相手を苦しませるのは、いけませんよ。

まずは、自分のエネルギーに見合う人のなかで、少しだけプラスの人との時間を多く取ることです。
マイナスの人は、マイナスの人と同調します。プラスの人も、そうです。だからまず自分自身の意識を常に、安定させてから、プラスを意識して、楽しい人になることが、大切なことなんです。
話をもどしまして、夜中2 時半まで飲みながら話したあと、星を見に外へ出ました。すると・・流れ星が、ひとつ、・・ ふたつ・・・みっつ・・。素敵でしたよ・・・・。
翌日、とっても美味しい朝食を、みんなで、お腹いっぱいいただいてから、素敵な５００体の観音さまを彫っている人の所へ、出かけることにしました。
その場所に到着してすぐ、小高い丘に登って景色を楽しもうと移動して丘の上に着いたとたん、私の守護神である鷹たちのお出迎えです。それも。９羽も・・みんなの頭上に集まってきて・・
その場所に着くまでの車の中から見える雲の異変には気づいていましたが、めったに見れない、陰界の強いエネルギーが動いて、どこだろうと思ってみていると、それは、実は、自分たちが行こうとしていたところの上にある雲でした。
その雲は、変化を繰りかえして、私たちが頂上についたことには、龍のとぐろを巻いている雲になっていました。
そしてそのあと、地元の方に教えていただいて出逢った「五百羅漢」を彫った、堀敏一さんの作品の中に、また素敵な感動の出会いがありました。素敵な、涅槃（ねはん）像です。



お釈迦さんだったか忘れましたが、いろんな悟りを開いているときに、突然、木の根元で横になったお釈迦さまは、”形にとらわれるな”という、深い真理を教えてくださったそうです。

この方が板に彫ったものを刷った版画の印刷物の中に、一対の龍を見つけてしまい、悩んだ挙句に、家に連れて帰ることにしました。これが初めて我が家に入る、現実次元の龍になります。それがどういうことなのか、それは、また、お楽しみに！
2005.10.10 Mon

すべては光の存在です

この素敵なメッセージをくれるのは、私が今、大切にしてお付き合いしている”夢工房エッセンチアのオーナー篠原さん”です。（リンクしています）
彼の化学的な理論と、それを現実化した商品の素晴しさは、私に真似できないすばらしい知恵や知識を持っていますので、私のスピリチュアル感覚の調和力とあわせて、お互いの知恵と感覚を融合させて協力していくことを約束しました。
彼は、光の世界のことをこう教えてくれます。
１、どんな物質も、燃やすと必ず、「炎の色を出して、熱を出して、最後には、二酸化炭素」になります。だから、すべての存在は、この３つの色と熱と二酸化炭素が、ひとつになって、物質＝”光”を形成しているのです。
２、そして、光をプリズムに通すと、必ず７色の色が出てきます。だから、光は、７色から形成されています。
３、そして、どんなものにも、「香り」があります。それは、それぞれの”色”と密接な関係と意味を持って存在しています。
私はみなさんによくお話する言葉ですが、、この世界で最高に強い力は、「自分の意識」や「想い」ですと言っていますが、それを言い変えると、実は、”意識＝光”なのです。
この現実世界は、意識が形成した世界だということは、みなさんも理解していることでしょうけれども、その意識の世界こそが、光の世界であって、この現実世界は、実は、その目に見えない”意識”＝”光の世界”の次元を下げてできているのが、この現実世界だということです。
だから、光の世界（意識の世界）の次元を少し下げると、”色の世界”のエネルギーがあったり、”香りの世界”のエネルギーがあるのです。
このことを本当に理解して、誰もが光のエネルギーを使えるようになると、自分の”意識の世界”＝”光の世界”を、常に良いほうに変えていくことができるということです。
今、二人で話していることは、具体的に、身体を治療できる色や香り、オイルや、ハーブ、エッセンスや香水などの開発と、その取り扱い方を研究していこうと確信しあいました。
これが体系だって完成すると、将来、新しい２１世紀の医学とよばるものになるかも知れません。
悩んだ心や意識は、調和のとれた素敵な意識に、影響を受けます。

私は、その役を「言霊」というエネルギーを使って行う役ですが、それをもっとみなさんに、普段の日常で感じられる知識とグッツの開発をして、普及させていきたいと思っています。
「光の診療室」・「光のセラピー」・「光の科学」・「光の医学」などの名前はいかがでしょうか？

今、時代が病んでいるおかげで、たくさんの”にわかセラピスト”が増えてきています。

その方々にも、ひとつの方法として学べる技術や体系を完成させていこうと思います。
このことは、私の大きな喜びでもあり、いつか、私がこの世界から居なくなったときにも、みなさんのスピリチュアルバランスを整える方法になると感じています。

「色・光・香り・調和」をテーマに、新しいスピリチュアルバランスの形成方法を研究していますので、どうぞ、これからの私の情報を楽しみにしていて下さいませ。
2005.10.04 Tue

ダイエー元会長中内功　83歳で死去

２３年前、神戸で行われた大学卒だけの全国入社式に参加したときに、神戸ワールド記念館で初めて、直接、中内さんにお会いしました。
会場の席から小さく見えていた中内氏と、挨拶の最後に、全員と握手するために、階段に並んで待っていたときに見えていた中内氏のオーラのちがいは、今でも、はっきり覚えています。
あのとき私は、初めて、人のオーラに押しつぶされそうになる自分を感じながら、一歩一歩、壇上にあがる道のりを、身体全体で感じていました。
壇上に上がって、あと２人で自分の番というときには、もう、目の前がクラクラするくらいに、中内さんの周りが光に覆われていて、目の前の中内さんの姿が見えなくなるほど、強い光を放っていました。
真正面に向き合い、握手して、「ありがとうございます」とお礼を言うのが精一杯で、目の前に見えている小さな巨人は、私のすべてを飲み込んでいました。
ダイエーの歴史の中で、一番苦しい時期に入社して、再起して成長した１４年間の経験は、私の人生の大きな自信の柱のひとつにもなっています。
この小さな巨人は、マスコミから、ことあるごとに、賞賛と非難の繰り返しでしたが、一歩も自分の道を譲らない彼の姿勢のことを、先輩たちは、「誰も彼の首に、鈴を付けられない」と表現していました。
世の中のほとんどのスーパースターには、必ずブレーンが付いていますが、中内さんのブレーンでさえ、一番、言わなければいけないことを言えなかったために、最後は、自分の道を方向転換することが、一番苦しい決断だったと言えます。
ダイエーグループの年間売上５兆円という数字は、１店舗の小さなスーパーから始まった企業の大躍進におよばず、社会的に影響を与えた大きさのひとつの表れです。
たとえば、今、みなさんがスーパーで使っているセルフかご」を日本で最初に導入したのが、実は、中内さんだということも知らない方がほとんどだと思います。
価格破壊・常識破壊をスローガンに、戦い続けてきた戦争体験者の壮絶な死は、大きな時代の価値観の変化と、これから消費者の意識が何を望んでいくかという、新しい選択の時代に入ったことを示していると思います。
私たちが望んで生み出した、大量消費・大量廃棄の責任は、企業が取るべき責任と、消費者のとるべき責任があると、私は、感じています。
すべては、自分の意識で、大きな会社をつぶしたり、成長させたりしてしてしまう「消費」という多きエネルギーは、これからどこへ、また、何のために向かうのでしょう。
２０世紀の偉人のひとりが人生の幕を下ろしたことに心から感謝するとと共に、みなさんの新しい未来の希望にも、こころから感謝したいと思います。ありがとうございます。
2005.09.20 Tue

光の浄化

忘れていたこの感覚・・・。

久しぶりに、身体がだるく風邪気味としかいいようのない日を２・３日送っています。
でも、こういうときの自分も必要なことと感じて、身体の痛みやのどの苦しみにも、なるべく感謝して過ごしています。
新しい流れに乗るときには、事故や体調不調などの災いと言われることが起きて、今までの自分の意識行動を静止してくれたり、活発に動けないことで身体を休めて、「心と魂と身体を一致させなさい」と、新たな準備期間を与えてくれることがよくあります。
こんなときに思い出すのが、「ありがとう」を漢字で書くと、「有難う」という字だということです。
つまり、災難が有ることに、感謝するんだよということです。

そのことを昔から知っている人が、「災い転じて、福となす」という言葉を発明したのでしょうね。

事故にあっても、有難うございます。
病気になっても、有難うございます。
悪いことがおきても、有難うございます。
うまくいかないことに、有難うございます。
人生をプラスのプラスに持っていける人のコツは、こんな簡単な言葉の繰り返しでしょう。
さらに先日、素敵な男性からある本をいただきました。「ツキを呼ぶ魔法の言葉」です。（一般書店には、販売していません）
その本にも、言葉の大切さが書かれています。自分の想ったことが、自分さえ忘れていても、いつか、必ず現実になるということを体験された方の本です。私自身も、たくさんそういう経験があります。
「そんなこと、知ってるよ！」というあなた、いつでも、どこでも、嫌なことがあったときに、すぐ自分の口から、「有難うございます」と出てきているでしょうか？
私はよく、知っていることと、わかっていることは違いますよと、お話していますが、人間は根本的に、環境順応型動物ですから、周りの環境に流されやすいのは当然ですし、周りの出来事に心が影響を受けて悩むのも当然なことだと言えます。
でも、あなたの人生がいつもその周りの出来事に、一喜一憂しているとしたら、あなたは本能のままに生きていることと、あまり変わりがないことになりますし、魂の成長は望めません。
人間は、「意識する」という素晴しい宇宙エネルギーの使い方を知っているのですから、自分が行きたい方向へ、意識することを繰り返して、感謝の言葉を繰り返して、自分の習慣を変えていくことで、人生がバラ色に変わる魔法をかけることができるのです。

そして自分に起きている「不」は、次のアセンション準備と捉えて、みなさんと一緒に、この不に感謝していきたいと思います。
有難うございます。
2005.09.15 Thu

心の世界を 3 次元に表した図

＜絵の説明＞
「３つの線の中央から上の三角の部分が、あなたに見える３次元の現実世界だとすると、その現実は、実は、「夢」を頂点として形成されています。だから夢を持つということが、現実の世界にどれくらい大きな影響を与えるかをまず認識してください。
しかし、その夢というもの自体が、実は、宇宙そのものとつながっているのです。
もう一方では、人間が何気なく考える「想像（左脳の働き）」というものが、実は、宇宙の「創造」の産物の一部なのです。
人間が考える想像とは、現実を軸として、こうあったらいいなあと思うことを言います。
そして、何気なく思ったその想像の思いそのものが、現実を支え造っているのです。
さらに最も大切なことは、図の一番上の頂点のと、一番下で全てを支えている宇宙の頂点が、実は、同じものなのです。だから子供の頃の夢には、根拠が無いのです。

その夢自体が、宇宙と直接、つながっているからです。
人間の脳の働きを測定しても（実は、左脳の働き）、あのエジソンやアインシュタインですら１５％前後しかないのは、機械に測定できない右脳の働きが、残りの部分を使って動かしているからです。
右脳は、宇宙意識に直結しながら、この現実社会を動かすために、人間に与えられた宇宙の知恵なのです。
その宇宙意識をこの現実社会でバランスよく調和させていくことで、人間の生き方も、地球の調和も、宇宙の調和も取ることが可能なのです。
私は宇宙とつながって未来を思うこと（右脳の働き）を、「創造」と呼んでいます。

昔はそのことを神の言葉と言ったり、すべての創造主の言葉ともいわれていました。
現代のこの大切な時期に、そのつながりを思い出し、もう一度、あるべきバランスをとるような「創造」をあなた自身が、これからされることを心から祈ります。
2005.09.07 Wed

人生のくさび

人の縁が、命の、魂のつながりだと仮定すると、そのつながりには、必ず、意図がある。
さらに、人が人を従人（連れ・仲良く）するとき、災い・因縁・考慮・ほう助が働く。
考慮・ほう助と感じるときは、小さな学びの鏡をしてくれる人の出会いであって、自分を見つめ直す大切な鍵になってくれる人である。
災い・因縁と感じるような、感情や欲を動かされるときの出会いは、過去世からの魂のつながりをどこかに感じながら、今後、その鎖をつなぎとめておくのか、または、その縁を切るのか、はたまた、その鎖の元をたどる道を選ぶのかを決めなければいけない。
自分が本質へ向かう決断をしたときに、もし、出逢った相手が本質へ向かわないのであれば、そのときだけは、その人と縁を切ることが必要になる。自らの魂を世界一、大切に扱わない限り、世界の誰一人、救うことはできないからである。
ひとつの人とのつながりを手放して、また新しい人とのつながりを求めるときこそ、必ず置いていかなければいけないものがある。
それは、今までの自分にとって、必要と思っていた心・自我を捨て去ることで、過去のすべてのカルマを立ち切ることができて、未来までもが、大きく変わることを知って欲しい。
自分を本当に変えるためには、自分に都合のいい情やエゴのようなものを一切断ち切る決断が必要だということだ。
この想いや物を手放なすことを決めなければ、魂の本質や出会いの意図を永遠に学ぶことはできない。
人間が生きる上で与えられた自由は、どんな状況においても、「その瞬間の選択」だけなのだから、自らの選択の結果のすべてに責任をとることで、それまでの過去は、封印される。
人の出会いに起きるすべての出来事のなかで、苦しいと感じることから学ばずに、逃げだしたり、ごまかしたりしてきたことは、未来永劫、そのことを繰り返し、これから先の新しい出会いのすべてが、過去とフラッシュバックする体験をさせられる。
人が「生きる」ことのなかで、自らの「我の自由」だけを守り、それが自欲だとも気づかずに生きた分の償いは、現実で、幾度も繰り返し、家族や子孫の「徳」にも影響し、自分が感じる不幸せの理由が、実は、自分の欲であることを、身にしみて体験することになる。
「人生のくさび」とは、人生で大切なことを学ばなければいけない時期に、自分の逃げたくなる弱い心に、くさびを打ち込むことである。
逃げたくなるときこそ、勇気を持って絶対に逃げないと決断して、まっすぐ進むべき道へ進むことは、実は、魂と魂の出会いの本質の意図をたぐり寄せることにつながり、人と人が出会うことのカルマを想い出し、その意味学ぶことで、今世の自らの目的を実行へ移すためなのである。
そこからが、魂として、本当の人生の始まりなのである。
2005.09.04 Sun

全ての崩壊は自らの内側から

このことは、これからもっとも大切なことになるので心して聞いてください。
この地球上において起きている問題も、日本の社会において起きている問題も、あなたの周りに起きている問題も、実は、問題の発生原因と、その解決方法の鍵が、あなたの内側にあるとしたら、あなたは、これから自分の欲や思いをどう理解しょうと心がけるでしょうか？

まず、ほとんどのみなさんは、自分が嫌だと感じることは、誰かや、何かのせいにして生きています。こういう人たちは、永遠に、魂が磨きあがることはありませんし、本当の幸せに到達することもありません。
少し心や魂や精神のことをを学んでいる方たちは、その出来事に関わった責任が自分にあることまでは、学んでいることでしょう。
しかし、これから先のあなたの人生を惑わせたり、狂わせたりするものがあるとして、それが実は、外的な要素からくるのではなく、自分の内側から、発生しているということを知ってください。
私も人間ですので、人間としての普通の欲は、持っています。でも、その欲の扱い方やとらえ方には、ものすごく注意して意識をしています。
なぜかというと、自分の勝手な欲に対する自意識が、実は、自分の周りに集まっている人たちだということだからです。（先月の大きな私の学びは、そのことでした）
自分の欲を何の意味にするのか、なぜそうしたいのか？その理由が、実は、自分の内面の奥底にある「無意識のカルマ」の部分を表していて、それが人間関係に問題が起きたときに、見つめなければいけない自分のカルマであることを知らされます。
これからの敵は、世の中の誰かというよりも、自分のそのカルマとも言うべき、幼い部分との戦いであり、ほおっておくと、その現れでもある自分の周りの人たちから、自分を傷つけるような大きな敵になる人を生み出してしまうということです。
人を信用するなと言っているのではありません。自分の弱さを克服しなければ、そのことを内側の人（家族・恋人・信頼する人）に、裏切られたと感じさせられて、手放さなければいけない事態になると言っているだけです。
私はこの世にあるすべての欲を認めています。だからこそ、その部分と、どう付き合うかを学んでいます。欲の先にある方向が、どこへ向かおうとしているのかで、あなたが持っている欲やカルマの意味が、全く変わるということです。
自分は、幸せになりたい！といいながら、自分自身や、世の中や、周りの大切な人たちを傷つけて、世の中を崩壊していく人たちを救うことはできません。
本当に幸せの道に進むべき、歩みと学びをしない限り、あなたにも、世の中にも、幸せなんてありえないのです。
心の弱い（甘え・逃げ・ごまかし）の人は、一生、誰からも、本当の愛を感じることはできません。

自分のその弱い部分と戦う強い意志を持たない限り、永遠に、自分の人生の未来によい出来事は、起こらないのです。
具体的な例で考えてみましょう。

あなたは自分の大切な家族や知り合いの人が苦しんでいるときに、どうするでしょう？
苦しみを解決する必要なお金をあげますか？それとも、あなたが、その苦しみを身代わりになってあげることで、その人を救おうと思っているのでしょうか？
どの行為も、良い悪いでは、判断できません。ただ、その対処の方法が、あなたの弱さであることを知っておいて下さい。
私たちは、これから世の中に、本当の光の柱を、立て続けなければいけません。

光の柱というのは、天につながる、光につながる、宇宙につながる、そして、大きな愛につながる自分の強い意志のことです。
そうでなければ、今、この混乱の時代に生まれてきている光の子供たちの、芽を摘むことにもなるからです。
本当のやさしさは、本当に苦しいときにこそ学べます。
本当の強さは、自分が苦しい、心が張り裂けそうなときに、一切の自分の「情」を捨てて、自分の我欲を捨てて、光を見つめつづけて進む勇気のことなのです。
あなたの弱さの言い訳が、自分の苦しみの原因であると理解できたのなら、その集大成が、この世の中の混乱の原因でもあると、理解できるはずです。

どうぞ、今日から自らの心に、光＝強い意志＝甘えない・逃げない・ごまかさない自分と、決断して生きて下さい。
私も、これから起きる大きな惨事や災いに、負けない強い決意をしています。

自分の弱さに負けない自分になる！
そのことを今日、学んでいただければ、あなたには、天の光の守護が受けられることでしょう。

合掌・感謝

2005.09.02 Fri

ありがとうボランティアからのメール

祈りの神さまの働きが、今回のありがとうございます護摩の時から、大きく変化することになりました。今まではみんなの思いをマイナスを身替りに背負って消し続けて下さったのです。

みんなに合わせてマイナスを吸い取り、無限の苦痛を感受しながらも、身も心もボロボロにしながら、大犠牲精神の愛の心で思いを消し続けて下さったのです。今回の護摩に、神さまの無限に強烈な大きい光が降ろされました。自立を促す為の本心の大きな生長と業想念の大きな崩壊となっ
て現われています。
これからは感謝の真祈りを真剣に祈り続ける人に対して、内から中から大きく光を力を添えて下さることになりました。『みんな天照大御神　新たなる全徳の無限の無限の輝きが無限に無限に一杯！』と確認しながら、『ありがとうございます』と祈り続けてください。今後はありがとうござ
いますのお話も一緒のお祈りも一切無くなります。各自が自主的にすべてを行って下さい。
思いの心と本心の心とは、すべてが全く正反対なのです。物事の見方、感じ方、考え方、価値観等々、すべてが正反対です。本心の感謝の心を生きる人は、この世を単なる固定した物質物体とは見ないで、神さまの光の波動そのものとして見るのです。

根源の世界から、無限の無限の輝きが無限に無限に一杯という、大光源からの光の放射が、神さまの無限の無限のチャンネルの番組そのものとなって、一瞬一瞬新たな光となって移り変わっているのです。

テレビの電波と同じように、同時一切所に流れているのです。大きい光の番組ほど高い番組です。最高番組を感受するとは、無限の無限の輝きが無限に無限に一杯という、大きな光をとらえることです。一瞬一瞬新たに新たに、新しいより大きな光を感受してゆこうとするのが感謝の真祈りりの生き
方です。
執着の思いの心で、過去の残像をつなぎ合わせて、固定化して見るのとは、全く正反対の雲泥万里の違いがあるのです。思いの心というのは、過去をつかんで、これは自分のものだと放さないのです。

つかんでも一瞬後には、消えて無いのに、次に現われた異なるものまで同じものだと思
い込んで、これは自分のものだと執着しているのです。
神さまからのプレゼントは常に感謝の心で受けて、すぐに放し、また新たに感謝の心で受けて、すぐに放しというように、一瞬一瞬新たに受け直しをしないと受け取れないのです。

これは自分のものだとつかめるものは何一つも無いのです。つかめたと錯覚しているだけです。過去をつかんだら、新たなプレゼントは何一つとして受け取れないのです。

だから思いの心を生きていたら、幸せはどんどん消えて無くなってゆくのです。

思いの心を生きているこの世の常識は、大きく縛られた固定観念で一杯です。

一瞬一瞬変化しているのに、その変化がわからないのです。

自分の見ている番組と他の人が見ている番組とは、すべて全く異なる番組なのに、その違いが分からない為に、みんな同じ番組を見ているのだと錯覚しているのです。実にこっけいです。善悪を区別しようとする分別心というのは思いの心です。
思いの心は番組にしがみついて、これは善だこれは悪だと区別して、その悪を責め裁いて、（自分の心の悪が鏡に映るように写っているので）自分自身を傷つけ、苦しみを大きくしてゆくのです。

思いの心は自分の見ている番組だけではなく、他の人の見ている番組のマイナスの情報まで取り込んで、さらに自分の心を傷つけ、苦しみを無限に大きくしてゆくのです。

実に愚かです。思いの心（求める心）はどこまでもどこまでも、自分自身を不幸のどん底へと追いやっているのです。
本当に幸せになりたいのであれば、感謝の心を徹底して生きなければならないのです。

思いの心を満足させる小さな生き方ではなく、無限の無限の幸せが無限に無限に一杯という大きな幸せをつかめる感謝の真祈りを実行しなければならないのです。感謝の真祈りをいのちがけで、祈りに祈って、無限に無限に輝いた自分となり、すべての思いを消し去って、常に無限の無限の幸せが湧き上がるようにならなければ本物では無いのです。
神さまは一網打尽にして大きく救い上げようとしていても、ちょっとかきまぜられただけで、小さい生き方をしているものは、網の目からふるい落とされてしまうのです。求める心の小さい自分から、神さまのお手伝いに生きる大きい自分に変身しなければ、ちょっとの波風でふるい落とされてしまうのです。
感謝の真祈りを祈れる自分になる為には、無限に無限に輝いた自分になる為には、神さまのお手伝いに生きるのが、一番の近道なのです。神さまのお手伝いをしているときに、神さまの助けは一番大きく自分の内から湧き上がって来るからです。

本心の心をしっかりと生きていたら、神さまへの堅信は決してゆらぐことは無いのです。自分が思いの心に陥るから、ちょっとしたマイナスの言葉でぐらつき崩壊するのです。

すべては菩薩の行であると説いている理趣教の真理も、自分が本心の心に戻って、神さまの大犠牲精神の愛を感受できなければ理解できないのです。

神さまの大犠牲精神の愛は底知れなく無限に無限に計り知れないものです。

その一部が発露しただけでも、イエスキリストの十字架の姿となり、ミラレパの師匠の手厳しい姿となり、悪霊を自身に憑依させて矯正する見苦しい姿となり、千変万化の、思いを消し去る為の姿が出
て来るのです。
しかしこの程度のものは、序の口です。本当の大犠牲精神の愛の発露は、地獄のどん底の姿にあるのです。無限の思いを背負って地獄に降り立ち、そこで感謝の真祈りを祈って、地獄絵図を極楽に変えてゆくのです。

ありがとうございますの祈りの神さまは、無限の無限の大光明を放射しながら、同時にこの大犠牲精神の愛を発揮して、みんなに感謝の真祈りを伝授する為に、働き続けているのです。
恩返しの心を起こして、神さまのお手伝いにいのちをかけてこそ、感謝の真祈りを伝授してもらうことができるのです。

思いに生きるのか、感謝に生きるのか、求める心を生きるのか、与える心を生きるのか、利己的に生きるのか、利他的に生きるのか、借金に生きるのか、借金返しに生きるのか、また恩返しに生きるのか、自分の選んだ生き方の通りに、ふさわしい番組が自分の運命となって現われてくるのです。

すべて自分自身の問題なのです。
2005.09.01 Thu

ありがとうボランティアグループより

2005/8/31発信 ニュース

◆ツアーの中止について
９月以降の日帰りツアー、お祈りツアー、奉仕・ありがとうございます市場ツアーは中止となります。先生のお話もお祈りもありません。今後は各自が自主的にすべてを行って下さい。お越しになるときは、お祈りと奉仕作業に絞り込んで下さい。いつ来て頂いても結構です。来られるときは事前の連絡をお願い致します。駅やバス停への迎えはありません。ありがとうございます護摩とありがとうございます祭りの予定については未定です。とりあえず１０月に予定していた、ありがとうございます護摩は中止とさせて頂きます。

◆自分の心の王国は、自分自身が支配しなければならないのである。支配するとは、すべてを支え、すべての采配を揮うということである。自分の心の王国を明るくしたいのであれば、自分自身が明るく輝かなければならないのである。外からの他の助けで明るくなっても、自分自身が内から明るく輝いていなければ、また逆戻りして、暗くなってしまうのである。
自己内在の真の神を呼び出すことを忘れて、外へ他に頼って来たのが、すべての間違いの根本原因なのである。他に頼るものは、永遠に自立することはできないのである。赤ん坊は自ら立ち上がろうと努力し続けているから、自分の力で立てるようになるのである。他に頼ろうとしないで、自らの力を発揮しようと努力していたら、他からの必要な支援は、求めなくても自然に与えられるものである。
感謝の真祈りを一心不乱に祈り続けたら、必ず自己内在の真の神が輝き出て来るのである。新たなる全徳の無限の無限の輝きで一杯！の天の自分が内から湧き出て来るのである。この時に自分の心の王国を自分自身で支配することができるのである。
一瞬一瞬新たに新たに、自分自身の完全な自由意志を発揮しなければ、過去の思いの奴隷に陥るのである。一瞬一瞬新たに新たに、神さまの最高番組を選び続けてこそ、真の自由意志の発揮である。本心の自分が低い番組を選ぶ道理はないのである。
本心の自分は常に最高番組のみを選ぶのである。本心の自分を生きるのを忘れた時に、本心の自分の自由意志を発揮するのを忘れた時に、最高番組を選び損なって、低い番組に転落するのである。今までは赤ん坊だから至れり尽せりの外からの助けを与え続けてもらったのである。これからは自分の力で何事もしてゆかなければならないのである。
自己内在の神の力を発揮しようと努力しなければ、外からの支援は一切与えてもらえなくなるのである。自立を促す為の厳しい試練である。いくら泣きじゃくっても無駄である。他に頼るな！
　他の助けを求めるな！自分の王国は自分自身の力で守り抜け！
お祈りも奉仕も、神さまの最高表現の働きと一致したときに、本物となるのである。正しいお祈りの練習、正しい奉仕の練習をしてこそ、本物のお祈り、本物の奉仕に近づくことができるのである。神さまの最高表現の働きと一つになったとき、お祈りと奉仕は一体化するのである。お祈

りと奉仕が一つになったとき、本物となるのである。元より本物のお祈りと本物の奉仕は、一体のものである。
祈りと祈りの練習とは異なるものである。祈りとは、神さまの働きそのものである。すなわち本心が無限に輝き、いのちが無限に躍動し、神さまの最高表現を具現化する、自由自在な働きそのものである。自我が消えて、神さまが自由自在に働くようになったとき、はじめて本物のお祈り、本物の奉仕となって、プラスの働きとなるのである。

祈りの練習、奉仕の練習中は、未だ、神さまに大きな迷惑をかけ続けているものである。どこまでもどこまでも謙虚になって、自分の中に神さまが入り来て働いてくださるようにならなければならないのである。過去に無限の思いを積み重ねた自分が、感謝の真祈りを祈れるようになるまでには、想像を絶する神さまの助けがあったのである。その無限の大恩に気付かなければ、感謝の真祈りを受け取る資格は無いのである。神さまへの報恩感謝こそが、神さまの無限の助けを受ける為の秘訣である。
神さまへの恩返しを最優先しなければ、忘恩の徒となり、思いの奴隷・あやつり人形となって、神さまに仇なすものと成り果てるのである。いつまでも自分に合わせて助けてもらおうとするのは間違いである。赤ん坊からある程度生長したら、今度は自分の方から、神さまの最高番組に波長を合わしてゆこうと努力しなければならないのである。
一日も早く自立し、神さまのお手伝いに生きるようにならなければ、神さまの期待を裏切り続けて、何の恩返しもできないことになるのである。
2005.08.31 Wed

マヤカレンダーの言葉から

今日で、「源泉への到達」の週が、終わります。

みなさんは、いかがでしたか？

私は、たくさんの次元上昇の出会いが起きています。

本当に、これからのことが楽しみであり、自分のやることの大きさを感じています。

明日からは、「光輝く空虚」という週に入ります。

これは、自分が光り輝き、天に昇る意識のことを意味しますが、その先にあるものは、「空虚」、つまり、何かがあるわけではなくて、それ自体が自分の本質に戻るというか、自分の本質に気づくためだということです。

常に、何かを求めるのではなく、あらゆる気づきを自分のものとして自分の内面に戻り、変化していく意識の流れこそが、魂の本質を知ることであり、天我と真我の一体のことなのです。

あなたの周りに起きているすべてのことに、心から感謝いたします。

ありがとうございます。
2005.08.29 Mon

”痛みを感じない ”病原菌ウイルス発見！

これは、バクテリアの世界のことではなくて、人間の世界に潜んでいる新種ウイルスのように、社会や人をひそかに傷つけている人のことです。
私は、今まで、人間は、「すべて善」であることを原点に考えていますので、どんな人にも、真正面から向き合ってきました。だから、どれだけドロドロに汚れた魂の方に出会っても、一点の光の可能性を信じて、接してきました。
でも、この度、私が出会った２０才前後の発見された新種　”ウイルス星人 ”のことをいろんな観点から研究してみると、驚く特徴が見つけたので、みなさんにご報告しておきます。
この新種ウイルスタイプの人間の所属は、”ニート・フリーター族 ”です。

そして大きな特徴は、まず、「人の痛みを感じない」という特徴があります。

ニュースなどで報道される、今までに考えられない事件を引き起こす人たちにも、共通していることですが、中学生以上～２０才前後を中心として、それ以上の年齢にも繁殖していますが、身体は大人にもなって自分の欲だけはむさぼりながら、人を傷つけていることを、全く、異常なことに感じない人たちです。

それは、人の痛みを感じられないという、特別なセンサーが働いていて、自我を守るために、感じる心のフタを閉めている人たちです。
この人たちに、私からみて苦しいと思う状況で、質問をして返ってくる言葉は、「なんとかなる気がする」です。
普通の大人は、、この言葉を、心の中で、「自分でなんとかするぞ！」という責任という心構えを持っていますので、いずれ、よい方向へ向かいますが、このウイルス星人たちは、違います。
このウイルス星人たちは、自分でなんとかしようとは、実は、全く思っていないのです。
この人たちの特徴は、いつも周りの人すべての人・物・金・情報を利用して、どんな悪いことをしてでも、お金を稼ぐことを正当化し、そして、「自分の自由」を主張し、いつも自分の身を守るために、親にも、友人にも、大切な人にも、平気でウソをつきながら、生きています。
もうひとつの特徴は、とても困ったことなのですが、普段、悪い人には見えないことと、なかでも知恵が働く ”ボスタイプ ”の人などは、社会的に良いことをする活動に、まわりの仲間を集めて、自分の本質（自我の固まり）と、反対の行動をとることです。

傍目から見ている人たちは、個人の本質が分かりませんから、この人は、よい活動をしている人だと思いますが、実は、周りの人を利用する知恵を持っていることです。
こういう人たちは、自分のやりたいことをするためには、ウソを平気でつきますし、責任をとることを一切考えていませんので、自分を偽って、七変化することなど心の痛みは感じません。
そして、大切なことを問いただすと、「わかんない～！」と、逃げるのも特徴のひとつです。

自分が生き残るための悪知恵だけは働きますので、都合が悪くなると、自分は弱者であり、無知であり、自分は犠牲者であるような涙を流しながら、周りの人の反応を伺います。
こういう人に、獲物になる人は、それを何とかしてあげようと思う、心のやさしい人たちです。
やさしい人たちの「情」を利用して、さらに、自分では手にいれられない社会的な立場や、人のつながりを手にいれて、身を守るための鎧をせっせと身につけます。
こういう人は、表向きだけみると、いい人に見られるために、自分がやりたいことができる繁殖エリアを、人のつながりを利用しながら、アメーバのようにどんどん広げていきます。
今回、この発見が遅れた理由は、私がそのウイルス星人の言葉を信じたことと、その人の魂の強さがあったので、将来、もし転換できれば、守護する側になる可能性を信じたからでした。
でも、結果は、無理でした・・。そして、その人の将来を見ましたが、今世、変化する可能性は全くありません。
私は、初めて、魂から生き方まで、すべてが悪（陰）の塊の人がいることを知りました。その人を守護している霊も、情けないと泣いていました。

それまでは、ずっと、取り付いた霊をはずしてあげていましたが、これからはもっと、恐ろしい霊が乗り移ることでしょう。そういう人たちの集まりは、陰の世界を作り上げていく人たちです。
こういう人たちが、今の時代に生み出されてきた原因と対策のお話をします。
まず、原因は、その人の「親」です。
親が、思春期の子育ての際に、真剣に向き合っていないことが原因です。

親自身が心が弱い為に、辛く、苦しいときに、子供に真正面から、ぶつかりあっていないからです。
今回発見したウイルス星人は、”ボスタイプ”でしたので、私も多くを学ぶことができましたが、そこまで強くないタイプで、潜んでいるウイルス星人の数は、日本でも約２００万人と見ていいでしょう。
その平均年齢が２０代だとすると、あと、１０年以内には、親になります。

そして、さらに、強力なウイルスを持った子供を世の中に生み出していきます。
その子供たちの２０年後、つまりあと３０年後には、800 万人～1000 万人になるでしょう。

その人たちがどういう行動をするか、考えてみて下さい。それが、今の大人である私たちが背負う責任になるのです。
今、その親（３０代後半～４０代後半）たちが、大切なことに気づかなければいけないことや、分からなければいけないことが、たくさんあります。
そのことを話しあい、お互いに学ばなければいけない現象が、今日のニュースにも、たくさんおきていることに気づいてください。

対処法は、まず、あなた一人でどうにもならないことを、どうにかしようと思わないことです。
そして、愚痴や非難をするのではなく、あなたが、これからそういう人たちに、どう接するべきか、どう覚悟するべきなのかを学んでください。
私たちが、愛情で動くのではなく、愛のみで動き、光の柱を立て続けないかぎり、未来に、光は、訪れないことも知っておいてください。
私は、そのためだったら、できることをなんでもすると決断しています。
そして、もうひとつ大切なことは、弱者を保護していは、いけません。

その人に、一人で生きる力を持たせない限り、責任を持たせるようにしない限り、永遠に、人をうらみ、人を傷つける人たちになるのです。
私は今日、さらに、強い覚悟をしました。地球の、日本の未来は、絶対に、自分から創ると！
無責任では、いられないのです。私たち、大人の責任なのですから・・・。
2005.08.24 Wed

魂レベルを引き上げなければ！

大切だと思う人に、無条件で愛の言葉をあげたり行動を共にしたり大切なものをあげることは、魂の心構え（責任・覚悟・正しい意図）が無い人にとって反対に、「我欲」を増強させることがあるということを学びました。
愛は、確かに、無条件が最高点です。でも、この欲の世界の現実社会で、無条件の愛を一人で実践すると、ほとんどの人が誰かに利用されたり、だまされたり、裏切られたり、傷つけられたりします。
でも、自分自身の欲を完全に手放して、天我のままに生きている人だけは、何も苦しむことがないでしょう。

それは、生きることを捨てるに近いくらいに、崇高な生き方です。存在すら消えて見えなくなるかもしれません。
私も過去、一瞬だけ、そういう時期がありました。そのときの私を見た人は、あなたを見ているとすべてが透き通っていて、向こうが見えるわよと言われました。
そのときの自分は、本当に、すべてを手放さなければいけないくらいに現実が壊れて苦しみもがいた後に、天我・神我に向き合う為に三度、天に登りつめて最後は、そこを抜けてマスターに出あったあとでした。
その頃の私は、ほとんど食べ物を食べなくてもいいですし、毎日、３時間ほどしか眠らずにいても、いつも、エネルギーに満ち溢れていて何でもできる自分になっていました。
ただ、欲が、全くないために、したいことが全くないのです。

だからただただ毎日、祈っていましたし、瞑想に明け暮れていました。
でも、これでは、お金も稼げず、現実を生きられないし、周りの家族に迷惑もかけているし、自分が肉体を持って、まだ生きていることの意味に、気づいていないことに気づきました。
だから、そのとき一人で石垣島へ７日間ほど旅をして、もう一度、生きるスイッチを入れにいったのです。
その頃に出逢った手相を見る人に言われた言葉は、「あなたは、今回生まれたカルマが終わってしまいましたね」でした。
信じられないことでしょうけれど、今のこの時代だけは、生きていながら、魂の転生（輪廻転生）がありうるのです。この地球全体の大きな役目において、本当にやるべきことがある人は、常に、苦しみを乗り越えるチャンスをいただきます。
だから、私はそういう人たちに出会い、共感し、ともに、魂を磨きあい、さらに高い役割をいただくことに、力を注ぎたくなるのです。
話は戻りますが、ではこの「無条件の愛」は、いったい誰に、与えるべきものなのでしょう？

それは、相手も、無条件で自分を愛してくれる人にだけ、許される行いだと思いました。

私は、マザーテレサではありませんし彼女は、完全な天使です。

私は、陰を滅却し陽を拡大し、その陰陽の新しいバランスを保つために、すべての力を与えられた役目です。だから、神であり、また、ルシファーでもあるのです。
守護してくれているイエスキリストと 17 代前の祖先は、その神仏・陰陽・天地のすべてのバランスを取る為に、守護してくれています。
その私は、この陰の欲の世界をしっかり生き抜き、高い意識に向かう魂たちの願いの時に、その愛をすべて与えるのだと感じました。
だから、ある意味、私は、すべての人に無意識に条件を出しているのかもしれません。

あなたの魂のレベルを引き上げないと。
苦しみや辛さをごまかすのではなくて、本当に、弱い自分を乗り越える強さをもちなさいと言っているのかもしれません。
そういう私の魂の意志の強さを、苦しいと感じる方には、本当に、申し訳ないと思いますが、それが、今の私の役だと思っていますので、辛抱強く、お付き合いしながら、お互いの成長を即したいと思っています。

それは、あなたの周りに、苦しみから逃げる人たちが減り、お互いが、お互いのために、苦しみを共有しあえる本当の魂の仲間に、出会うまでの期間だと思って下さい。
私は、いつも自分の不徳さを認めて許しています。だから、その分、人様の苦しみのすべてを許し受け入れます。でも、自分から逃げたい人たちだけは、私は、担当できません。
その逃げる心の弱さが、どれほど親を苦しめて、先祖の守護を無視し、天我・神我に生きている人たちを苦しめているかを、気づけない我欲に生きている人を守るために、私は、存在しているわけではないからです。

もし、私の命の代償で、その大切なことに気づくのなら、いつでも、あなたのために命を差し出ましょう。私の決断と覚悟は、いつも、そこから来ているのです。だから、この世を、高い愛の波動でみち溢れるために、活動しています。
どんな役でも、やります。どんなことでも、やります。

人や、社会にどれほど、うらまれても、最後に、大切なことに気づくのなら、どんなやましいことでも、やりましょう。
私がしたい思って苦しむ経験は、きっと、私の我欲なのでしょう。

そして反対に、私が喜ぶことは、天我が与えてくださることなのでしょう。
そんな私にできることは、自分のおろかさを知り、不徳を認めながらできる、ほんの些細なことしかありません。人の心の中にある魂の本質に、気づくお手伝いだけなのですから・・。

これから出会うすべての方、このメッセージを読んでくださっている魂のみなさまには、そのことだけ、お伝えしておきたかったのです。
こんなことさえ、我欲かなと思える気づきが、毎日訪れる日々です。

すべての出来事、出会いに、心から、ありがとうございます。
2005.08.23 Tue

ぜ〜んぶ、自分のせい！

今朝、起きてすぐ、いろんなことを感じました。

「ぜ～んぶ、自分のせい！」なんだと。

知っています、わかっています、でも、本当に、そうなんだなあと、また、たくさん感じました。

＜今まで知ってた、自分のせいシリーズ＞

・うまくいかないことは、じぶんのせい

・思い通りにならないことも、自分のせい

・地球が汚れていくのも、自分のせい

・戦争が起きているのも、自分のせい

・世の中の問題、すべてが自分のせい
〇そして、今日、わかった自分のせい

今の子供たちの意識や心の問題も、すべて親のせいだからこそ、それも、自分のせい！

ん一、これは、難しい・・。でも、そんなんだよなあ・・。
今の私に何ができるかわからないけど、そのことを意識する必要があると感じました。

自分が子孫を残さないと決めたことで、世の中すべての魂を自分の子供だと思って学ばせていただこうと決めていましたし、その為の出会いを大切にしてきましたが、もっと大きな親もやらなければいけないということなのかもしれません。
さあ、親をやってきているたくさんの先輩たちが、私の周りにもいますから、子育てのコツを教えてもらいましょ！
きっと自分の子供の部分と、親の部分、それを家族ではない人たちと一緒に、学びあうことが本当に、必要な時期に来たのだと感じます。
お子様を持っているお母さんたち、どうぞ、よろしくお願いいたします。

みんなで、社会の子供たちを一緒に育てていきましょう。

私たちが、ニートやフリーターを生み出した責任を取らなければいけないですからね～！
これから出会う素敵な魂の方々に、心からの感謝とお礼を伝えます。
2005.08.23 Tue

消えた産婆さん

昨日の19 日は、ガイアシンフォニー上映会のボランティア「つながり育つ会」の会合に参加して、新しく参加された方の中に、若い助産婦さんが４名いらしゃいましたので一緒に食事をしながらお話をしました。
この世の中に命が生まれる一番最初を受け持つ大切なお仕事をされている方々です。

全員が札幌市ある天使病院の大学院の助産婦科に通われています。
２８歳のある女性は、東京の病院に勤めた７年間で出産に立ち会った件数が、170 件ある方でした。

なぜまた大学院に来たのかを訪ねてみると、現場の繰り返しの日々が何のために仕事をするのか、目標を見失ったからだそうです。

今の病院の出産は、時間を優先し作業を優先する為に、子供と母親の母体のバランスを壊していることを行っている病院がほとんどだという現実と、それは本当に自分のしたいことではないと感じたからだそうです。
第二次大戦の終戦後、GHQ と呼ばれるアメリカの頭脳集団は、弾薬も食料もないまま最後まで戦い続けた日本人の戦い方と、その魂の強さを研究していました。
その結果、たどり着いた理由のひとつに、自宅で「産婆さん」での出産が原因と分かった為に、あらゆるものを日本に導入して「産婆さん」の地位を引き下げました。

その方法は、まず、医学の導入、そして、粉ミルクと母子手帳の神話を作り上げる作戦でした。
昔は、医者と同格の位置にあった産婆さんを「助産婦」という名前にしたのも、そういう理由と意図があったからです。

その際、ある経験年数以下の方は、全員試験を受けて合格しないとダメになり、結果、今では、正看護婦の試験を受かってから、さらに助産婦の試験を合格し、そして、数年の経験を積んだのちでも、医者が立ち会わないと主さんできない条件をつけています。

昔々、自分の家で出産していた頃は、産婆さんは、あらゆる経験と知恵を駆使して、命と向き合っていました。

そこには、医者さえ口を出せないほどの過去からの知恵と工夫に、満ち溢れていたから技術があったからです。
出産を家で迎えることは、育つ環境にすぐ産み落とすわけですから、最高に波動が安定しています。だから、落ち着きがあって我慢強い子供に育つのです。

生まれてまもなく亡くなる子供も多かった時代は、生きる力が弱いといずれ、種族に迷惑をかけたり、自分でも苦しむ一生になると判断したときには、静かに死を受け入れることの必要性をお母さん方にも教えていました。
生きることが難しかった時代だからこそ、お母さんたちは、食べ物が行き渡る範囲で、一人でも多くの子供を生もうとしたわけです。

そして生き残った子供たちは、自分の死んだ兄弟の分まで、生きることを強く決意して生きます。
命のあり方と、子供の育て方、もう一度、親子や地域で考えてみる時期だと思いませんか？
2005.08.20 Sat

親の老後は、自分の未来！

先日、「最高の徳あげ！」の内容を、実践的にで話し合う会に参加することができました。

場所は、苫小牧、参加者１０名。第１回目にしては、素晴しい内容になりました。

まだ、自分が元気なうちに、親に何ができるかを話し合いながら、お互いが気づいたことを実践していくことを目的として、このような会を開催してくださる方がいたことで、今回の会の実現しました。
私自身は、参加されるみなさんに教えていただこうと思って、参加したのですが、今回の参加者は、まだ、直接問題を抱えている方ではなくて、これから取り組みをしていこうと思っている方が多かったのが印象的です。
親との摩擦やすれちがいなどの問題を抱えている方が世の中に多いのと、親からいただいている恩を人間として、どうお返ししていくかをお互いに学ぶことができればと思って集まって下さいました。
今回の参加者は５０代～６０代の方が中心で、最高年齢は７０歳の方でしたので、受ける側の立場の意見も聞けて、とてもありがたい時間に感じました。

皆さんの現状の問題や疑問、質問を交換しあうことで、本当にそれぞれの家族間の問題や感じていることや、取り組み方も違うことがよくわかったと思います。
社会に出るまでや、出てからでも、一人で生きてきた人は、誰もいません。

でも、一人で生きているように感違いしている、まだ魂が幼い人はいます。

でも、気づいた人が動き出すことから、未来は変わるし、そうした人こそ、自分の未来を変えていくことができるのです。

親から受けた最高の「無償の愛」をいただきながら、お返しさえ考えたこともない人が多いのも、今の社会の問題のひとつだと私は感じています。
でも、そういう方でも、いずれ自分が親になったときに、その親の心を理解できていないことを、必ず子供から経験させられます。

今回の参加者のなかにも、そのことを実際に、経験なさっている方の言葉も出てきました。
２時間半のお話会のあと、お茶を飲みながら、何がこれからすぐできるかを話してくれた方の中には、明日、久しぶりに逢う親に、自分ができることを気づいたと話してくれたことで、主催者の方とみなさんがとてもうれしく感じました。

これから、会を重ねていくなかで、個人の問題を自分の未来の問題として、お互いに学びあって、実践できる人が、一人でも増えて、やさしさと愛に満ち溢れた人が集まる町になることをイメージしています。
ご参加いただいた皆さん、本当に、ありがとうございます。
2005.08.18 Thu

今年のお盆はいかがでしたか？

みなさんは、今年の大切なお盆の時間を、どこで、どう過ごされました
か？

私は 12 日に急に実家へ行くことにしましが、今回、その意味を深く感じています。

宇宙や天や、神様のお話をよくしますが、一番近くであなたを見守っているのが、ご先祖さまです。

そして、あなたのご両親です。
今回、自分自身が、田舎の父母と、両方の両親の入っていお墓に、お参りをさせていただいて、本当にたくさんの愛を感じることができました。

父母も、そのことを感じてか、いつもより、お互いに感謝のお礼をたくさん言い合いました。
帰ってきて、お風呂の中でメッセージをたくさんいただきました。そのメッセージは、これから大切な方々に、お伝えしていきます。

私自身の学びや気づきは、もう、みなさんの魂とつながっていますので、自分の魂をより高く、輝かせていきたい方々とその情報を共有していきたいと思っています。
まもなく、この地球に舞い降りてきた魂たちが、また、天に昇られていきます。

いつも見守られていることを忘れることなく、日々の私たちの気づきや行動で、さらに、自分の御霊を高く上げていくことで、すべての御霊の位置を上げて、すべてのエネルギーを愛に変えていきましょう。
天界のすべての御霊と、あなたの御霊、そして、出あった私たちのお互いの御霊が、強く輝きますことを心から祈り、そして、感謝したいと思います。ありがとうございます。
2005.08.17 Wed

お盆とは？

お盆の意味を私なりに、少し解説しておきます。
あなたの存在は、過去のすべての命と魂のつながりで、ここに存在しています。
その過去の御霊をお迎えすることは、先祖の供養と、現在の家族への感謝、そして、最後には、自己存在の感謝につながります。

お墓や仏壇がない方や、実家に帰れない方は、実家の方角を向いて、心から今までの日々を反省し、感謝の祈りの時間を作ってください。
あなたがどこでどんな生き方をしていても、何を思って生きていても、すべてのことは天から見ています。
これから先の自分の人生で起きることは、あなたに託されたご先祖の御霊上げの意味もありますので、どうぞ、日々、自らの魂を輝かせるための行動をする宣言をしてください。
どんな人でも、年に一度くらい、そんな時間を持つことの大切さを、次の世代に伝えていって欲しいものです。

ありがとうございます。
2005.08.12 Fri

環境科学エネルギー

これは、先日、環境科学研究所で長年研究されたあらゆるエネルギーのことを、生活で実践できるように教えていただいた内容ですので、あなたも知っておくととても生活に便利なことばかりですよ！

私がよくいう波動やエネルギーは、この物質界にも、宇宙にも、または、空間にさえあります。そして、人間も当然エネルギー体ですから、いいエネルギーの使い方を知っておくと、身体も心もよい方向へ向かうということです。

◎「やけどは、冷やさないこと」
冷やすと水ぶくれになるでしょ！でも、やけどのときに、蒸しタオルを患部に当てて、少し痛いのを我慢していると、直りも早いですし、やけどの痕も全く残りません。

◎「子供は、遊びから社会の生き方を学ぶ」
子供のすることを非難するのは簡単です。でもそれは、大人の了見で見ているからです。子供は、遊びから、いいこと悪いこと、責任、協調、我慢、忍耐、目標、達成感などを覚えます。遊びの中から、どうしたらよくなるかを考えて、子供の生き方の基本になるように教えましょう。

そして、嫌なことにも、向かっていく強さを教えましょう。それもできないうちから、世の中に何かをするなんて、おこがましいことです。「親子の葛藤」は、とても大切です。親が子供にとって、一番であってはいけません。親を超えることが、本当の自立の目標だからです。そこから自立することを覚え、自然から生きることを学び、自然本位で生きぬ<ことを覚えるのです。

だから、父母は、感謝するものですが、尊敬するものではありません。お父さんを尊敬している人は、お父さんを越えることができないからです。常に、高いところへ、目標を設定しなおすことを、教えていくことです。

◎「地球の恒常性」は、自転も、公転も、月も太陽も、実は、「人間の恒常性」に深く関わっています。だから人間の恒常性の性（サガ）、本能、性質（タチ）もその人の自然なものとして、大切にしてあげながら、育てていってください。かけ声と足音」と言われます。理由は、数多く足をることが、子育てにも、人を育てることにも、自然と同じように、とても大切なことだからです。

◎映画　地球交響曲ガイアシンフォニーも同じように、ただ感動したり、ただ尊敬するだけではなくて、その出演者たちを越えるような生き方を、自分もすることが本当は大切なことなのです。◎自然界は、 必要なときに、必要なものが、必要なだけ、与えられます」。本当の自然農法とは、無農薬・無肥料、そして、できれば無除草のこと

◎「人間は一番弱い機能に合わせて、生きている」自分の弱い部分を含めて、生きることを覚えなさい。いくら隠しても、ごまかしても、それが自分の弱点だと、認めて生きることから始めて、付き合い方を覚えていくのです。

◎進化は、もろい→だから、常に、「進歩」でなくては、いけません。

◎心を練る（ぬりこむ）！＝わかっていける自分起きている問題に、逃げないで、きちんと対応していくこと。

◎アレルギー（金属など）体質の方は、水を変えると、体内の不純物を海外の水や、長い距離を移動していない水が、ベスト。

◎やりたいことがある人は、病気も治りが早い。だからみなさんも、絶対にできないと思えるような目標を設定して、本気で立ち向かうことが、どれだけ人生に大切なことなのかを考えてみてください。

◎人生で大切なことは、いろんなことを体験すること、そして、いろんなことを感じること。　※嫌なことから逃げていると、利

息がつく。

◎「それぞれが、黒子」・・自分はいつも、誰かに対して黒子の役をしているからこそ、主役がのチャンスのときに、その姿がはえるのです。だから、自分を輝かせたいと思うなら、なるべく黒子に徹しなさい。

◎植物を植えるときは、いろんな種類のものを混ぜて植えると、根同士が絡み合って、「根酸」を吐き出します。根酸とは、Ａの植物からとったいらない栄養分をＢに渡します。そして、Ｂのいらないものをに渡すことができるから、お互いに、強く根ずいていくのです。（雑草の中で成長している食物の姿を想像しえみてください）・・人間も同じです。

◎人間の身体に合う食べ物は、「身土不二（しんどふじ）」といわれるように、生まれた大地で育ったものを食べることが、一番、身体にとっていいのです。

◎食べ物を、１、長い距離を移動する　２、圧をかける　３、熱する・冷やす　ことをすればするほど、身体にとってのマイナスが多くなって、エネルギーが低下していきます。→病気

◎身体は、マイナスが多くなると、さらに、マイナスを欲しがります。
例１：アル中の人が、お酒を飲むと、震えが止まる。
例２：疲れると、お酒やタバコの量が増える。または、甘い物を欲しがる。

例３：辛いときほど、波動の荒いものを身体にいれたがる。
※マイナスに、マイナスを入れて、ハイにしている状態です。（改善は、しません）

◎身体のマイナスに、プラスのエネルギーを入れて、バランスを整えることが一番大切なことです。

＜重要＞薬より、よく利く、食べ物の調理の仕方（あらゆる病気に、効果ぁり！）

トマト・・心臓に！、
キューリ・・腎臓に！、
ナス・・肝臓に！、
ピーマン・・脳に！

（調理の仕方）
この４つの素材を備長炭で焼きます。（ガス火は、ダメ）。さらに、切ったり、ヘタを取ったりしても、ダメ。丸ごと状態を丸焼きして、エネルギーを封じ込めます。中まで火が通ったら、そのあとは、切っても、つぶしてもＯＫ。冷蔵庫に保管して、食べても、効果は十分あります。さらに、量は、少なくも効果に変わりはありません。

◎薬を飲むときでも、食べ物を食べるときでも、実は、量が少ないほど、身体には、効果がでるのです。たくさん飲めば飲むほど、続ければ続けるほど、効果が出づらくなるものです。

さあ、今日から、あなたもよいエネルギーの取り方を覚えたので、地物の野菜やお米を食べて、地物の水を飲んで、健康になるお料理をしてくださいね！

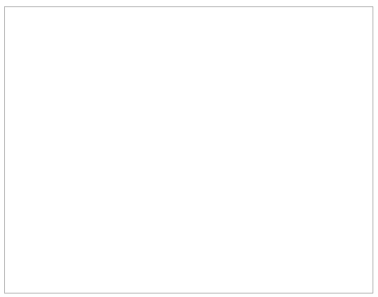
2005.08.04 Thu

水の結晶

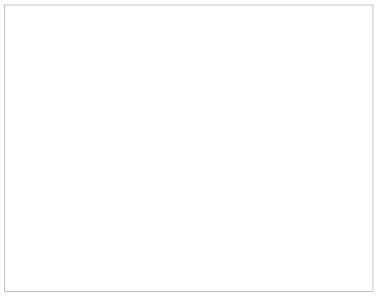
みなさんは、水の結晶写真をご存知でしょうか？

まだ知らないという方は、ぜひ、http://www.hado.com/　をご覧下さい。

「ありがとう」の文字の結晶



「ばかやろう」の文字の結晶



1999 年に目に見えない世界を、初めて写真で見せてれた本です。

この本がキッカケで、スピリチュアルな世界も大きく２１世紀の新しい流れができました。

久しぶりに江本さんの講演会に出かけてみて、世界の数十カ国で本が発売されていること、国連が世界の水不足に対して１００年間で今の倍の水を供給しよう決議したおかげで、江本さんが国連で水の結晶写真の説明をしてきたことなど色々ありますが、昨日の講演会のポイントを簡単に箇条書きしておきます。

１、「命」という字は、下に「叩く」が入っているとうり、振動＝波動＝聖書「初めに言葉ありき」、言葉とは、量子力学の素粒子の振動のことである。

２、地球上の元素１０８種類は、実は、仏教の煩悩と同じであり、水は、※バイブレーションメジスン

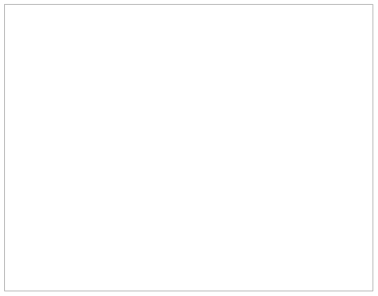
３、水は、「４℃」が一番重たく、比熱が一番高い、だから、湖の底は、

４、結晶の６角形の形は、５つの意思（５次元）に加えて、みなさんの意識で、６次元構造になっている。

５、水の神様である龍神さまが、読売新聞　2004 年 12 月 30 日　インドシナ沖津波のときに、人工衛星からの写真で、荒れ狂う波の形となり、それが、はっきり龍の形になっていて、大きな話題になった。

６、アインシュタイン博士の唱えた「E=ｍｃ 2」は、「エネルギー＝質量 言い換えると、「エネルギー＝人の数×意識（やるき）」で、この地球の波動を動かすことができるということ。

「愛感謝」を結晶化した写真



※愛と感謝のバランスは、愛をひとつ出すことに対して、感謝を二つ出すことで、最高にきれいなバランスが成り立っている。
さあ、あなたも今日から、言葉と相手への波動を意識してくださいね～！

2005.06.21 Tue

忘れていた自分

まだ、何も知らないときの自分。それは、たった一人の自分の世界。

勇気もなかったし、愛さえ知らなかった。

すべてが輝いて見えていたのに、急に、まっ暗くに感じてしまった・・。

明日を信じることさえできないほど、苦しんだのはなぜなんだろう？

そんな理由がわからず、また逃げ出したくなってる自分。

自分をごまかすことがうまくなったあるとき、ふと、気がついた・・。

生きてること自体が、愛なんだって・・。

逃げ出したかったのは、明日が怖かったからだって・・。

そうだったんだ・・、ただそのことを受け入れたくなかったんだね。

ありがとう、弱虫の自分くん。

誰かがそっと、教えてくれたんだ。

その弱虫くんは、みんな持っているってこと。

だからそういうとき、興奮して真っ赤な顔したり、怒ったりするんだっ て。

泣いたりするのも、その弱虫くんのおかげらしくて、どうやら一番、自 分らしい時間みたい。

だから、泣きたいときは、素直に泣くからね、これからもよろしく弱虫 の自分くん。

2005.06.20 Mon

霊性（**Spiritualism**）

まず、霊性を英語にするとき、Soul(魂）ではなく、スピリチュアリズム
（Spiritualism）に訳したいと思います。

霊性、それは、持って生まれてきたすべての情報・感覚・価値観、それに、加えて欲のすべて。
また、何かに気になる感覚も含みます。

そして、生まれてきた理由を想いだすための家族や、魂本来の記憶を導くためのすべての出会いなど、感じることのすべてのことをいいます。

もし人間の霊性を、この地球上の物に例えるたとしたら、何だと思いますか？

それは、 ”一枚の葉っぱ ”です。

命の呼吸、光の光合成、枯れ堕ちるまでの営み、枯れたあと土に戻る役目、そして、そのすべての命の循環においての存在価値。

それが、人間と同じように、木々全体や、森全体や、地球全体に、互いに大きく影響しあっているからです。

命の輝きは、魂の輝きとも言えます。そして、霊性の輝きでも、ありま
す。

霊性に、大小はあっても、その価値観に、大小はありません。必要な時期に、必要な霊性が、自然に開花するようになっているからです。

自分と言う人間のちっぽけな価値観や概念を一切捨てたとき、今までの概念は、一気に消え去り、新しい価値観が開花します。

そのことを体験すると、ある真理を会得しますが、今までの「自分の過去の死」とも言えるくらいに、大きな変化を体験しますので、このことを「魂の再生（生まれ変わり）」とも呼んでいます。

私は、この魂の生まれ変わりに大きく貢献したいといつも願っています。

このことは、「魂本来の目覚め」と言えるかもしれません。

そして一度、目覚めた人は知っていると思いますが、もう一生、その過去の自分に戻ることは、決してありません。

それは、どれだけ自分をごまかしたとしても、魂からの信号を、自分で聞いてしまうようになるからです。

魂の世界には、はっきりとしたレベルがあります。

それは、この人間界の価値観が一切通用しない大きなルールで運用されています。

人は、死んである時期が来ると、その自分のレベルのポイントまで、上がります。

そのポイントの周りにいる人たちと、自分以下のレベルの魂は、よく見えていますし、交流もできます。

よく臨死体験をした人が、亡くなった懐かしい人に逢ってきたいうのも、同じレベルゾーンにいる人だからです。

その出会いは、お互いが、大切なことを思い出すために出あった人たちだからです。

その自分のポイントゾーンから上を見ても、よく見えないことに、いずれ気づくでしょう。

それは、この人間界と同じように、自分と違う世界のことはよくわからないです。

でも確実に、その上には、無限のレベルがあるのです。

普通の人間が、人生を一生懸命生きたとしても、ある本の表現では、５ポイントしか、変わらないと書いてありました。それは、とても当然なことです。

人間が誕生してから、この数億年という人類の進化でたどり着いたのが、今の現実社会なのですから・・・。

でも、１０００年に一度だけは、その霊性を大きく飛躍するためにチャンスが与えられています。それが、今をこの時代を生きている人たち全員です。

あなたが望むなら、あなたはどんな存在にも、変化することができます。

この３次元の世界をどうするか、自分の未来をどうしたいかは、あなたの霊性の範囲で、大きく変えることができるのです。

私は、あなたのために、 ”霊性の鍵 ”のありかを知っている道先案内人です。

あなたがその道へ進みたいと思ったときには、いつでもそのドアを叩いてください。

私は、あなたのために、いつでも、その準備ができていますので・・・。

2005.06.10 Fri

今日は、ゴミのことから心を考える！

ここ数十年間で日本人が、ゴミをどれくらい増やしたのかを少しだけ考えてみましょう。

Q. まずなぜゴミは、増えたのか？

A.　「消費は美徳という政治や経済からの影響」＆「便利さの追求」＆「壊れてなくても欲しいものは買い代えるという物欲」＆「あとで困るかもしれないけど、自分だけならいいかな？」という考え方が影響しています。

ゴミのなかでも、自然に土にかえるものや、再利用できるものは、私はゴミとしては考えていませんので、まだ再利用の方法が見つかっていないものの取り組み方が、これからの大切な問題だと思います。

でも山の木を切りすぎて起きる土砂崩れなどの天災や、熊や猪、猿、ミンクなどの、動物問題も、もとわといえば、家の建築資材や割り箸、道路の拡張などの自然破壊が原因で、私たち全員の責任です。

またゴミステーションにくるカラスや、野良猫、野良犬問題や、大型ゴミの不法投機なども、一人一人の責任と考え方から起きている現象としかいえません。

こういう今の日本人や文明国のもうひとつの特徴としては、

１、水を汚す　　２、空気を汚す　　３、心を汚している

ことが、大きな問題だと思います。

私たちは、便利を損なわないように、いかにして文明を進化させるのか、お互いが何を気をつけることが大切なことかここでを少しだけ考えてみましょう。

☆「水を汚す」と、大地や山や海の自然な「ろ過装置」を使っても、１００年かかります。

そのことに気づいた人たちは、最先端の下水道の処理に対して、今、莫大な投資をしています。その技術は、汚れた下水を純水（飲めるレベル）にまで、改善できるそうです。しかし、機械の投資額を、単純に水道料金に計算してみると、現在の水道料金を５倍にしなければいけないそうです。でもきっと、国の援助や多大な利益を目的とする人たちは、それを大きなビジネスチャンスにしていくことでしょう。

私たちにできることは、３０年前に戻れとはいいませんが、当時の６倍ほど使っている今の時代の生活水を、”普通 ”と思わないで、なるべく無駄な水を流さないことです。

☆「空気を汚す」と、森の酸素、植物の酸素、地熱、水蒸気の上昇気流、大気圏での燃焼、磁力、重力が働いても、数千年かかります。

平成１７年「京都議定書」の発効から日本や世界は今、酸素の出る国や場所に対して、大きな投資が行われています。

それは自分たちの生活をなるべく変えないで、お金で酸素がでる場所を買い、目標の数字をあわせることが目的です。

私たちにすぐできることは、自分の周りに、観葉植物やお花などの緑を増やすことです。できれば、自分で何かを栽培するほうが、無駄な流通を使わなくて、いいかもしれません。

最後に、「心を汚す」とは、自分の部屋をきれいにできないことや、自分の家の周りをきれいにしたいと思わないことです。

自分の住んでる地域や職場の環境をよくしたいと思わないことは、そこに生活している人や、そこを通る人たち全員に、知らない間に、大きな心の負荷をかけています。

「心が汚れると、心がすさみます。」

心がすさむと、心は、寂しくなったり、悲しくなったり、辛くなったりします。

だから、「ゴミ拾いは、心のすさみを取る」という効果が、あるのです。

もうひとつ、自分の心の中の状態は、自分の部屋と押入れの中を見るとよく分かります。

何が必要で、何がもういらないものなのか、ちゃんとわかって、ときおり、〇整理（不要なものを捨てること）ができる習慣を身につけることも大切です。

〇整頓（目に見えるものを整えること）をうまくなろうと思えば、上手な人を見ているとよく分かります。

自分が何かを使ったあと、すぐ、元に戻せるくせや、料理しながら、同時に、使った鍋や小物を片付けて、後の「かたずけ」を楽にできる人です。

もっと考えている人は、自分の性格にあわせて、なるべく楽に、きれいにできる方法をあみ出します。私のように面倒臭がりの人は、こんなことを実践しています。

☆簡単な方法は、部屋のゴミ箱を大きくする。できれば、自分の周りにゴミ箱を２つか、３つおいて、そこで、分類してしまうというのもいかがででしょうか？

最後に蛇足ですが、私がサラリーマン時代に上司に教わったことに、「あと工程は、お客様」という教えがありました。

その意味は、自分がこれでよし！としてやったことでも、その評価は、あとの人がするという意味と、自分が何かをするとき、そのあと関わる人たちのことを常に頭にいれて、行動しなさいということです。

あなたが自分なりにしている整理整頓も、誰かに見てもらえば、すぐ違うアドバイスがもらえるでしょうし、一緒に片づけをしてみれば、その人の性格もわかります。

あなたのゴミ拾い活動や、あなたのお部屋の掃除こそが、この地球のゴミ削減や、心の大掃除につながっていることを、お忘れなきように・・。

2005.06.09 Thu

プチ断食

昨日の朝から今日のお昼まで、「プチ断食」をしました。（30 時間くらいかな？）
理由は、自分の波動調整と、体の中の重いエネルギーを抜くためです。生まれ変わりのときや、波動が上がるとき、また、体がなかなか思うようにならないときや、おなかの調子がいまいちのときなどに、お勧めの方法です。
私のやりかたは、いたって簡単で、口にしていいかどうかを体の反応でみます。

私の場合、タバコは少々ならＯＫ，お酒はダメ、珈琲も少しならＯＫ．後は、お水か、お茶か、ハーブティーをガブガブ飲みます。
少しボーとしながら、でも、とても体が軽くなります。少し気が抜けるように感じるので、何かにがんばらなきゃいけない日は、なるべく避けましょう。
初めてトライする人には、無理をしないようにと言います。自分の欲との付き合い方を覚える意味もありますので、無理は、後で反動を生みます。そうしたくなるように、自然に始めて、自然に終えるのがコツです。

大切なことは、食べ始めの一食は、必ず「おそば」にしておくことです。

「動物の３大欲」のひとつの「食べる」を自分の意思でコントロールできるようになると、とてもいい感じです。いろんな欲にも、振り回されづらくなります。「欲を手放す」という意味でも、いい経験です。
話は変わりますが、昨日と今日、久しぶりにくるくる七色に変わるＵＦＯを見ました。以前は、よく見ていましたが、ここ数年、あまり意味がなくなったのか、探す気もしなかったのに、急に見つけてしまいました。

子供の頃、いろんなことをＵＦＯから教えてもらっていました。大人になって、この世界に入ったときも、宇宙の意思を教えてもらうことがありました。

今では、ＵＦＯも、鷹も、フクロウも、龍も、僕の応援団です。地球防衛隊の役目をしているＵＦＯたちは、そういう活動する人を応援しているからです。
あなたには、まだそういうＵＦＯが見えていないのでしょうか？？？
早く見えるようになると、いいですね～！
2005.05.26 Thu

自分を感じる時

みなさんは、自分を感じるときって、どんなときですか？
楽しいとき？うれしいとき？いや、素敵な風景を見たときかな？中には、素敵な人に、出会えたときという人もいるでしょうね。
私は、少し変なのかもしれませんが、物事が自分の思うように行かないときに、それを感じます。これは、いつも繰り返される自分のため気づきだと知っているからです。
思うようにいかないときは、基本的に自分からは何もしないようにして、自然の流れに身を任せながら、ゆっくり時間が流れていくのを感じることにしています。
こんな桜がきれいな時期ですが、私が一番好きな桜は、実は、普通の家の軒先にある１本の木なのです。それは、家主が長年大切に手をかけているせいなのか、木の精霊が違うんです。一生懸命、期待にこたえようと、エネルギー全開で、笑っているようにさえ見えてきます。
そんな時間をすごしながら、少しゆっくり生きてみると、大切なことが見えてきたりします。
「自分らしさ」を、よく若いころ、探していたことを思いだしました。

場所や人を変えて、探してみたときもありました。でも、どうにもうまくいかなくて、ちょっとだけゆっくり生きてみたときに、本当は、自分の中にあったことに気づかされたりします。

『自分に、「ありがとう」を言ってくれる人がいるおかげで、自分の存在価値が見つかる』
こんなことを気づいたとき、自分の人間臭いところを、少しだけ許せたりします。
今月の自分のカレンダーのテーマが、『出会う人が、すべて自分の鏡』なので、出会うすべての人とのことで、毎日、つまずいたり、転んだりしながら生きている私は、それも、人間らしさや男の愛嬌かなと、自分でそっと許してあげたりすることもあります。
また本当は、人間として、とてもちっぽけなんじゃないだろうかと、思ったりすることもあります。だって、相手が私に期待していることを感じるわりに、僕のちっぽけさを許してくれることが少ないからです。
そういう人がいくら幼い魂だとわかっていても、自分の何かの面の鏡となってくれている、その人との出会いの意味を、私はいつも探します。

でも人間として、ちょっとだけ傷ついたりする、そんなときだけが、一番、自分を感じるときなのです。
孤独で人生を暗く生きている人に、今までたくさん出逢ってきました。反対に、明るさを装いながら、心の奥底に、深い悲しみを押し殺している人にも、たくさん出逢ってきました。でも、そういう人に、出あったときこそ、自分の存在価値なんだと、つい、自分の心が動いてしまいます。
その理由は、自分自身が誰よりも、その苦しさを長く深く感じて生きてきたからです。
霊的な感覚をお持ちの方の心の苦しみは、普通のこの世で感じることの苦しみの比ではありま

せん。でも、それさえ、人の役に立つのだからと、自分を選んでいただけたはずなのに、悩んだり、苦しんだり、辛いと感じるこんな自分もいるのなら、これから先の自分の喜びを、どこに置くか
を決めなければいけなくなります。
愛のすべてを知っていても、愛を実践できる人があまりに少ないこの世は、いつまでたっても、愛の奪い合いなのかと、思えたりするときがあります。
愛は、与えて与えて、与えあうことからしか、感じられないものなのに、もらってばかり、欲しがってばかりでは、私も、その人の魂も辛すぎます。
「あせるんじゃないよ」と、心の中から声が聞こえてきても、実践する自分が、愛の循環を感じられなければ、それ以上の愛をこの世に降ろすことができなくなってしまうからです。
これを読んで下さっているあなたに、ひとつだけ質問させてください。
あなたがこの世界を一人で、変えられる力を与えられているとしたら、あなたは、今、何をしますか？世界を変える方法と、今、自分の目の前にいる人にしてあげることが、もし同じだとしたら、あなたは今、何をするのでしょうか？
それが、人の出会いの本当の意味だと、いつかあなたに気づいてほしいと心から願っています。
2005.05.14 Sat

桜の季節がやってきましたね

札幌の街中にも、チラホラ八部咲きの桜の木が見られるようになってきました。

桜が咲くころの北海道には、春の訪れと同時に、大切な農作物の植え付けの時期になります。そして、この短い北海道の春・夏・秋の３シーズンの到来を教えてくれる目印だと私は感じています。
桜の木の意味を、みなさんがどういう風にご存知かわかりませんが、私はいつも、物事の「陰と陽」の２つの意味を同時に感じてしまいます。
桜の木は、「死に花」と呼ばれるように、たくさんの人たちが亡くなったあとに桜を植えたり、また、その戦の後の場所から生えてきたりして、命の再生と循環を表している木でもあります。
だから、桜の木を見ていると、とてもダイナミックな力強さを感じる反面、花の一輪を見ていると、あまりにも、厳かで、どこか、はかない感じがしてきます。
あなたという人間が、今、存在するために、それまでにたくさんのご先祖さまが亡くなってきたおかげで、命の循環をしていると考えてみると、私たちの人生さえも、実は、たった一回の桜の花の一生と同じなのかもしれません。

もう一方で、その花が、一生懸命に咲く短い時間のことより、もっと大切なことは、この桜の花がきれいに咲くためには、普通に気温が上昇しているだけでは、きれいに咲かないことをご存知でしょうか？
桜の花がパッと鮮やかに咲くために、必要なこと・・、それは、ある時期に、グッと一度、温度が下がる温度差が必要なのです。この大切な寒さのことを、「春の一撃」と呼びます。
人間にも同じことがいえますが、ぬくぬくと周りの人に守られて生きてきた人は、いつになっても、自分の人生に素敵な花を咲かすことができないと嘆いていますが、「ある厳しい一撃の時期」を乗り越えてきた人は、その分、必ず、華やかな幸せな時期がやってきます。
花も、人も、その色・香り・鮮やかさは、ある時期の一撃を乗り越えたからこそ、光り輝くのだということを覚えておいてください。
あなたは自分の人生の大切な「一撃」の時期を覚えていらっしゃいますか？

もし、まだかも？と思う方は、その時期を乗り越える準備をしておいてください。

その一撃は、人生にとって、たった一回しかないのですから・・・。

2005.05.12 Thu

宮古島　石庭（いしにわ）**2005**

宮古島の石庭（いしにわ）が、世間一般に知られるようになったのは、1995年に船井総研の船井幸雄さんが書かれた「これから１０年　愉しみの発見ー新しい生き方、愉しみ方 」の著書の中で紹介されたことが理由でしょう。

この庭の持ち主の新城定吉さんに最近の状況を訪ねてみると、１０年前は興味本位の方がたくさん訪ねてきたということですが、最近では、特にスピリチュアルな方たちが世界中から訪れているということです。

それはこの場所の特別な意味と役目が理解されてきたということでしょう。私自身は、この場所のことを１０年前に知ってから、宮古島に足を踏み入れるまでに、約９年の歳月がかかりました。その理由はこの場所のエネルギーの高さがとてつもなく高いということと、そのエネルギーに触れることの意味を理解しているからです。

さらにこの場所の特質すべてき点は、世界でも珍しい上昇エネルギーの磁場だということが特徴です。宮古島の中心に位置する「地盛」という地名のところに、新城定吉さんの個人のお庭があります。（約３０００坪）

その庭の中には、古代の化石やムー大陸のもの、宇宙とつながるパワーのあるものまで、石が生き物のように、やさしいエネルギーを出しています。庭の中心に位置するところに、サークルがあります。そこに横になっていると、一気に高い意識につながるような感覚を感じる特別な場所です。

その中にある宇宙につながっている３つの穴の写真です（深さ　十数メートル）それぞれ、「陰の穴」・「陽の穴」・「宇宙につながる穴」と呼ばれています。

その穴の中から見つかったサンゴの化石は、ものすごいエネルギーを出しています。

地底から掘り出した岩を積み上げてあるものをみると、人の形や顔に見えてきます

2005.05.10 Tue

私の役割りとパワー

こんなことをお話しなくては、いけない時期に来たのかと思うくらいに、たくさんのことを気づかせてくれる出来事が多い日々です。

私に出逢った人が聞く共通のことは、「吉岡さんは、いつからそういう風になったのですか？」です。でもこれは、あまり大切なことでは、ありません。

大切なことは、何のために、今、こういうことをしているのか、また、その力は、どういうものなのか？です。そして、あくまでこれは、私の霊力についてのことですので、私という人間が完全だとは勘違いなさらないようにお願いします。

私に今、与えられている力は、「神の力」と「仏の力」です。それは、一度は捨てたこの力を、もう一度世の中のために使いなさいと、再度、与えられたときに、私を守護している二人の男が、「イエス・キリスト」と、「私の１７代前の祖先で、袈裟をかぶった高僧」だからです。

だから、私は、クリスチャンのことも、仏教のことも、何も興味がありません。そのことは、もう学び終えているからです。

この力を言い変えると、「陰と陽」の力とも言えます。なぜ、この反対に思える力が、同時に私を守護するかというと、それは、私自身の中で本当の「陰陽合一」を学び、それを世に伝える役目があるからです。

「陰陽合一」のことを本当に気づいたのは、確か、西暦２０００年位だったと思います。それは、これから５０年間くらいの地球の大切な共通テーマだからです。

さらに、私には、みなさんが思うような、神はいません。私の守護は、神やその反対をを創造することを許した「おおもと」、言い換えると、「宇宙全ての創造主」である　『マスター』　が、私の魂を守護している存在だからです。

だからとても大きな力と、強い霊力をいただいています。それは、必要に応じて、「陰の力」として使うときもありますし、「陽の力」として使うときもあります。だから、私はその力をコントロールする「バランサー」としての役目が、今の時期、とても多いと感じています。

そのせいでしょうか、時代の大きなエネルギーを、みなさんより先に感じたり、予知したりもしていますが、そのことをあまり口にすることは、しません。

なぜなら、みなさんは、その言霊を聞くと、そのことを意識してしまい、本当に、その方向へ持っていってしまう力があるからです。つまり私は自分が未来のマイナスを予知したときでも、その未来を回避するためのことを、普段、お話させていただいているのです。

クライアントの方や、偶然、出会った方のなかにも、自分の未来のことを質問する方がいます。でもその方の未来が見えていても、基本的に、マイナスなことを言霊にすることはしません。

ただし、あまりにも、今の「自分都合」で生きていることのせいで、未来の自分にも、周りの方にも、大きなく苦しみを生む可能性がある方には、ときとして、そのマイナスを告げることもあります。
私の言霊には、「強い霊力＝魂」が宿っています。つまり、実現させる力が強いのです。

それは、私の想念も、そうです。

無意識に何げなく思っている力が、実は強いということは、出あったみなさんには教えていると思いますが、私の想念は、とても大きなところにつながっているために、その力も強いのです。

だから、私は、自分を喜びの状態に置いておくことを普段の大切な仕事としています。そうでないと、世の中のマイナスが、自分に集まってきて、助けを求めてくるからです。

亡くなった方の霊を天にあげたり、霊と交信して言葉を伝えたりすることもできるのと同じように、天、神、マスターからの言葉を、世の中に伝えるのも、私の仕事です。
でもその言葉をこの現実社会で、どう判断し、どう具体化してくかは、みなさんお一人お一人の責任と力によるものです。

私は、マスターに誓約していることがあります。それは、人間としてのこのことに命をかけるのは当然ですが、今世で与えられた自分の大きな大役を、必ずなしとげると誓約しています。
ですが反対に、現実の人間としてのバランスもとらなければ、この世は生きていけません。当然、人間としての欲も満たしていかなければ、次に進む活力すら生まれてきません。
この人間の自分と、魂としての自分を、なるべくバランスよく、進めていくことも、私自身の具体的な仕事です。

私が今世で出会う人は、全てある意図があって出会っています。その意図は、逢った瞬間に、感じとります。でも、相手の人がその意図を、自分の学びとしない限り、その言葉や行動は、「私の欲」にしか見えないこともあるでしょう。
私のところに来るクライアントさんのなかには、お医者さんやいろんなセラピストのところでも、改善しなかったくらいに重症な方から、世の中に、絶対に表にできないことをしてきた人など

が来るために、ある意味、大きな「陰の世界」を動かす力もいただいています。
それは、反対の方向へ向ける「大きな陽の力」があるからですが、その方が、神の導きと感じるくらいに、私の言葉を信じて、苦しい時期を乗り越えてから感じる魂の喜びのおかげで、私は次の苦しい体験も、また、頑張ろうとしてしまうのです。

私が出会った人の「陰の部分」を改善しようと思ったら、具体的にどうするかというと、私は、その相手の陰の世界に一緒に入っていくのです。そして、一緒にその世界の想念を変えていきます。

つまり、一緒にその苦しみを感じることからしか、できない仕事なのです。
陰の世界とは、欲・業（ごう）・カルマ・エゴ・一人よがり・霊・依存心・執着・嫉妬に代表される世界のエネルギーです。普段は、人に見せたくない世界でしょう。

だから、その相手の魂の底まで一緒に降りて行って、一緒に上げることをしないと、そのカルマや苦しみを一生、乗り越えることはできないのです。
そういう相手の陰の世界に降りていくと、私の身体も心も、ある意味、ボロボロになります。
でも、出あった相手の魂の輝きを信じているからこそ、そこまでするのですが、もし、相手が苦しいからと途中でやめて逃げた場合、その人の未来には、今までより、もっと大きな壁が将来に用意されることになります。
それはその途中までに、魂が輝くための言霊をたくさんお話してるからですが、それを自分の都合だけで解釈して生きようとすると、全ては、逆に、回転しはじめるからです。
これはあくまで、重症患者の方の話ですので、みなさんは、気にしないで結構ですが、苦しいことからや辛いことから逃げれば逃げるほど、あとで、そのお返しが大きくなって、やってくることだけは、覚えておいてください。
人生を少し長く生きているなあと感じている方は、もう、十分、ご存知でしょうけれども・・。
まだ人間として、年齢が幼い、魂の未熟な幼い方たちは、ぜひ、苦しい時に逃げないことを学んで欲しいと思います。
自分に都合のいい癒しの本や、癒しの言葉は、たくさん今、世のなかにありますが、都合よく癒されて、都合悪いことから逃げて人生がうまくいくことは、絶対に、ありません。

その本を書いている人たちも実は、言葉にしないところで、たくさん苦しみを乗り越えてきたからこそ、「光の言葉」を発しているだけなのです。
みなさんが「光の言葉」を信じるように、１００％毎日生きて、周りのみなさんも１００％「光の言葉」を使えるようになったときには、私の存在意味も変わりますし、世の中から、セラピストやヒーラーと呼ばれる人たちは、全員いなくなることでしょう。それには、まだ、数百年かからと思いますが・・。
でもそれまでは、この世の中には、陰も陽もあるし、その対処も必要なのです。

「楽しくないからといって、苦しいことから、逃げない」
これは、永遠に続く人生の学びであって、そのことを本当に実践した人だけは知っていますが、その先には、実は、「光のドア」が用意されていて、そのドアを開けると、そこから一生、愛と幸せに溢れた毎日を生きることができるのです。
どうぞ、今、このことを知ったあなただけでも、「もう、逃げない」と決めて生きてください。
私が、みなさんに自分のことをお伝えした理由は、私の存在は、あなたが都合よく、人生を逃げのびるために存在しているわけではないということを、心から知って欲しいと願っているからです。
すべての出会いと、全ての出来事に、心から感謝いたします。
2005.05.07 Sat

映画コンスタンチンを観て

この映画は、私の大好きな「マトリックス」で有名なキヌア・リーブスが主演です。私が今回、見に行った理由は、役の中の彼の仕事が、「コンスタンティン」という悪魔祓いと、神様の仕事をしていると聞いていたからです。

でもこの映画を一般の方がどう感じるかは、わかりませんので、私の感じる視点は、みなさんと少し違うということもご理解しておいてください。

全体の感想は、いつもながらクリスチャンの世界には、天国と地獄が、しっかり存在していると感じることです。その発想の根源には、とても深い歴史がありますが、映画の中で面白いのは、（一般的な）神様の聖書には、無いページが、地獄の聖書には、あるということです。

それと、７大大天使と呼ばれる『聖ガブリエル』も姿を現します。それと、みなさんがよく「サタン」と呼ぶ、悪魔の大王、別名　『ルシファー』も現れます。

実は、ルシファーは、もともと大天使だっということをご存知の方はどれだけいるでしょうか？そしてこの「ルシファー」がサタンとなった理由が、とても面白い！実は、これは今の人間も同じことが言えることですが、”堕ちる ”理由、それは、「おごり」と「嫉妬」なのです。

戒めとして、作られた地獄の世界は、もともとは無かったということも、ほとんどのみなさんが忘れています。この映画的に言えば、最高の地獄と天国は、「この世」だというメッセージです。

何が天国で、何が地獄なのか、そして、何が良いことで、何が悪いことなのか、それは、あなた自身が、この宇宙全ての創造主となったときに、理解できることかもしれませんが、この小さな星、さらに人間界で、そんな学びを人間がする意味があると思いますか？

人間には、人間にふさわしい学びがあります。言い換えると、あなたには、あなたにふさわしい学びがあります。そのキッカケをもし、自分から放棄すると、すべては、自分に都合のいいことしか残らなくなります。

ある意味、あなたに都合のいい悪魔は、あなたの中にもいますし、あなたの都合のいいことには、何もしないで見守っている天使も、あなたの中にいます。

そして、堕ちた天使のことを「堕天使」といいますが、人間にも、天使にもなれない、一番苦しい状態の天使もいるのです。

だから私はいつも自分にこう言い聞かせています。

「私は、神であり、私は、人間です。善と悪、陰と陽。この全てを自分自身が司ることがができるのなら、私は、この世で起きること全ての善悪・陰陽に感謝いたします。」

人間の発祥が、全ては「ゼロ」からのスタートだったことを思いだせば、今の自分の想いがその通りに行かないということは、自分の思いを捨てなさいと心に聞こえてきませんか？

また、自分の思いがどんどん実現するときは、このまま、自分を喜ばせながら、自分を磨き、その大きなエネルギーを操る方法を学びなさいと、私には聞こえてきます。

天使や悪魔が、巣くうこの地球、そして、あなたの中は、今、どんな状態でしょうか？

この映画を見て最後に、私が感じている宇宙観からみて、あえて物を言うとしたら、実は、この世には、「天国も地獄も無い」と私は、言います。

仏教で言う、地獄と極楽も同じです。

天国を作れば、地獄が、生まれてくるからです。善を作れば、悪を作り出すからです。

あなたの心がもし、尊きものごとを学ぶ力があるのなら、どうぞ、あなたの神の世界を作ってみてください。

全てを許し、全てを認め、全てが、自分と同じ人間となっても、悔い改めることの無い世界です。

私は、ただそれだけを、あなたに望んでいるのです。

そして最後に、今日の日を心からありがとうございますと伝えます。
2005.05.06 Fri

「ボランティア」とは何なんでしょうか？

昔々のサラリーマン時代に、私は、自分の仕事と生活のことで頭がいっぱいの日々を送っていました。そのときに、市民ボランティアをしている人たちのことを、「ものずきな人」　くらいに思っていました。

でも、そういいながらも、会社の中の情報で、養護施設の定期慰問や、重度障害者施設への関わりには、積極的に参加していました。

その理由は、自分が、普通に暮らせていることのありがたさを、何かの形でお返しすることができないかと、いつも探していたからです。

この想いは、ありがたいことに、母親の教育のおかげなのですが、その母の心の根本にあるものは、母の父親が、戦争で左足を失った障害者だったことで、子供の頃かからいじめられてきた深い悲しみが、私の生き方にとても大きく影響しています。

話を戻しますが、最近の日本では、「ボランティア」という言葉は定着してきていますが、根本的に、その言葉が無かった日本にとっては、「ボランティア」という言葉のイメージが、アメリカと日本人では、違うと感じています。
まず、なぜ日本に、ボランティアという言葉が、無かったのか？

それは簡単なことですが、昔の日本には、みんながお互いに助け合う相互自助、相互幇助の精神が普通にあったので、、誰かが特別に、大声をあげて叫ばなくてもよかったからです。

では逆に、なぜ今、ボランティア活動がこれだけ、日本に広がっているのか？

答えは、それを必要とするくらいに、大切なことを忘れかけている人たちが、多い時代になったからです。

クリスチャンの信仰が多いアメリカ人にとって、収入の１割を世の中に奉仕・還元することは、「美徳」という意識で定着していますし、それをチャリティーという宣伝行為や売名行為にしていることさえも、社会全体としては、とてもいい経済効果となって、全体では社会の循環の一部になっています。
私は最近、そのアメリカ人気質と日本人気質の違いとは何かと考えたことがありました。今のところの結論では、「現実重視の考え方」だと想っています。それは、自分のしたことを何かに置き換えて要求したり、天秤に載せるようなバランス感覚を持っていることが、アメリカ人気質かなと感じています。

反対に、日本人には本来、自分の「徳」をあげたいという精神がどこかにありますので、自分のした「よい行い」を、何かに置き換えようとは、思っていない部分があります。「不言実行」もその表れですが、20 世紀の最後の頃には、「有限実行」のほうがよいという教育さえありました。

もうひとつの理由には、今の日本の若い世代の人たちが、良く口にする言葉に、「自分のしたことをして何が悪いの？」」という価値観と、アメリカ的な感覚がとてもよく似ているからです。

この今の日本の文化社会は、戦争に負けた当時の日本に対して、アメリカが戦略的に日本を動かそうと「ＧＨＱ理論」に基づいて作られてきたものでして、現代の価値観は、実は裏側で、それが大きな原因となって今の社会が形作られています。

もう一方の見方では、私のところに来られる多くの方たちの共通テーマも、年代を問わず、「自分のしたいことが見つからない」なのです。

もっとはっきり言えば、「自分にあった職業が、何かわからない」とか、「まだ、そういう職業に、出会っていない」と言って、フリーターという名前の職業？や、定職に一回も付いたことがないことを正当化しながら、実は、親や社会に「依存する人間たち」を、たくさん作り出してしまっている現状さえ、社会が認めて許してしまっているように感じています。

若い方でも逆に、田舎のおばあちゃんや、周りの大人の人たちとたくさん関わって生きてきた人は、相手の気持ちを天秤にかけるような感覚が、あまりありません。

自分より相手を大切に思い、感謝する「美徳の精神」が、根付いているからです。私も少しだけ、ボランティアをさせてもらっていますが、自分が大切にしているのは、そのボランティアの自分個人の目的です。

ふつう、人や世の中に良いことをすれば、それはいいことなんだから、その分、自分のしたいことをしても、当然という考え方もあるかもしれませんが、実は、ボランティアという行為は、お金が関わらない分、誰の、何の為なのかが、とても、難しいところがあります。

以前、私自身がＦＭラジオのパーソナリティイーを１年半ほどしていたときに、全ての準備から進行まで、ボランティアで行っていたことに、とても考えさせられた経験があります。

お金という対価を求めないと、自分がやったことの結果は、相手からの喜びの言葉でしかありません。でも、ラジオで突然、私が話し始めても、何の反応も返って来ない時期が、長くあったか

らそう感じたのです。

自分がしたくてしたのに、その喜びさえも実感できなかったとしたら、それは、続ける理由が難しくなってきます。そのときに、何のために自分は参加したのだろうと自問自答してみると、自分なりの答えが、ふと出てきました。

「ボランティですることは、全てが、自分のためなのだ」と、いうことです。

あー、そうか、自分の勉強でもあり、自分の経験でもあり、自分の為の出会いの場でもあり、全てが、自分の学びのために、与えていただいた神様のチャンスなんだと気づいたのです。

だとしたら、自分の喜びをもっと大きくするには、どうすればいいのだろう？と考えたときに、自分以外の人が、ボランティアに参加してくれて、喜んでくれている顔を見れることだと思ったのです。

だから、自分が楽しむことは、最後の最後にして、参加されている全ての人が、どうすれば気持ちよく参加して帰っていただけるか、また、次に参加したいと思えるために、自分が配れるだけの気を使おうと心がけて参加しています。

現代社会は、「お金」という経済社会で成り立っていますので、自分だけが「無料ボランティア」だと思っていても、絶対に、誰かが、どこかのお金を使っているおかげで、ひとつのことがなりたつようになっています。

言い換えると、ボランティアでしていることを、もし、お金のやり取りをする仕事にしたとしたら、もっと多くの責任と、お金を支払う相手から、いろんなことを要求されるのは当然のことなのです。

そして、その支払うお金に対して、本当に満足させることができる人たちのことを、私は、「プロ」と呼んでいます。
「人生は一度きりだから、自分だけ、好きなことしても本当にいいでしょう？」と、もし、考えている人がいたとしたら、その人に、私は一言だけ、いっておきます。

「あなたの好きなことができるのは、だれかが、どこかで、自分の好きなことを我慢して、支えてくれているからなんですよ。」

だから、まだそのことに気を配れない自分がいたとしたら、自分の目の前にいる人に、感謝し続けるしかないと、私は思っているんです。

「人の出会い」も実は、全て、神様が決めています。

でも、その出会うことの意味を本当に理解できないと、これからあなたが出会う人は、あなたに大切なことを気づかすために、嫌な経験をわざとするような出会いにもなることでしょう。
人間は、喜ぶために生まれてきました。だからこそ、たくさんの苦しいことを、早く乗り越えられるようになりなさい。そして、たくさんの出来事、人に、感謝できる人になりなさいと、あなたに経験させてくれているんです。

全ての人が、「生き方のプロ」になることを目指していけば、誰も人を傷つけるようなことはしなくなるでしょうし、社会はすべて、みんなが喜ぶ方向へと進むことでしょう。

「ボランティア」、まだこの経験がないあなたは、ぜひ、この扉を開いてみてください。きっと、目に見えない大切なことを、気づけるチャンスになるはずですから・・・。

どの世界にも、「プロ」と「アマチュア」は、います。プロは、相手を喜ばすことにかけて、いつも真剣に、心がけています。そして、自分の喜びは、あくまで、最後の最後に残った収入でしか、評価されないという、厳しい現実がそこにあるからです。

人を雇っている方なら、なおさらです。雇っている人たちの給料も、稼いで当然と、従業員にも想われているからです。でも、アマチュアの人は、最初から、失敗を許されることと考えています。

確かに、人間が行うことに、「本当の意味の完全」はありませんが、最初から、甘えた考えだったり、人を利用することに、心が痛まない人たちは、アマチュア以下と言えるかもしれません。

だからそういう本当に人に喜ばれる人になるために、ボランティアで、自分の勉強をさせていただいていると、私も思っているのです。

昔は、そういう世界のことを、「でっちぼうこう」と制度で行っていましたし、「無料奉仕」という言葉もありました。

でもそこに、自分のしていることを正当化する気持ちが少しでもあると、結果から大きなことを学ぶことは、できないと思います。うまくいってあたりまえ、うまくいかなければ、全てが自分の責任と、一人で想って取り組むくらいで、ステキな体験をさせていただいているのです。

「ただほど、高いものはない」

この言葉の意味を本当に深く理解したのも、このボランティアの関わりに参加してから気づいたことでした。
2005.05.05 Thu

「どさんこ100万人のゴミ拾い」にご参加ありがとうございます。

みなさんのおかげで、本当にステキな結果で、無事、１日を終えることができました。そして苫小牧の皆さんのご活躍も、本当にありがたいエネルギーになりました。さらに、日本中で、ゴミを拾ってくださったみなさまには、心からお礼申し上げます。
今回、この企画を立案した若い「嬉楽」のみなさんとは、当日終了後の反省会で、いろんな話をさせてもらいました。そのポイントは、「したい自分」から、「させていただく自分」へ、進歩していただきたいからです。
そして、感謝の言葉にも、ひとつひとつ大切な「心と行動」が伴っていなければ、とても空虚なものになってしまします。
「行動」は、実践です。だから、行動して、感動して、反省して、常に新しい大切なことに気づいていって欲しいと思っています。
今のこんな世の中にしたのは、確かに、私たち一人一人の大人の責任です。でも、世の中の大人全員が、その責任を感じているわけではありません。

だからといって、うまくいかないことを大人や、社会のせいにして、批判や否定をしても、何も生まれてはきません。
私のように、少しだけ人生を先に経験したことでわかることは、いつも、自分は「まだまだ未熟」だということです。だから、教えていただける人、経験させてくれること、すべてに、いつも感謝して、いつか、世の中の一人でも多くの人に、喜ばれる人になっていっていきたいと思って生きています。
未来を創るのは、あなたたちのような若い世代です。だから、今回は少しだけ、大人がお手伝いさせていただいただけなのです。私たちもたくさん勉強させていただいています。そして、みなさんに、とても感謝しています。
でも信頼関係とは、依存関係ではありませんし、だから責任転嫁もいけません。個人個人がお互いを大切にしあうことが、できるからこそ成り立つ信頼関係とでも、いったほうがいいでしょう。
大人でもこれができていない人は、たくさんいます。だからこそ、まだ、経験が少ないうちに、たくさん大切なことを知っておいて欲しいと願います。
これからの未来は、生きている全ての私たちが今、新しく気づいた心から生まれてくるのですから、どんなことにも、「ありがとうございます」と、私は、これからも、言い続けていきたいと思っています。

最後に、直接、お礼を言えなかった全てのみなさんに、ここから、宇宙に向かって、愛と感謝を送らせていただきます。
2005.05.04 Wed

素直に生きる事！

そう今、感じています・・。

私のいう宇宙は、星が見える宇宙だけではありません。

みなさんの意識エネルギーの集合体も、宇宙と感じています。

なぜなのでしょう？

今日だけでも世間のニュースが混在しているからでしょうか？

みなさんのいろんな意識が、混在しているからでしょうか？

それとも、私の想念なのでしょうか？

いえ、私に向かってきている想念といったほうが、いいかもしれません。

私は、お会いした人、お話を一度でもした人のエネルギーをいつも感じ
ています。

これは、自分が意識しなくても、飛んでくるから仕方がないのです。
この混在エネルギーを今夜中に、シンプルにしておきましょう。

すると、明日朝、みなさんが起きたときに、気分がスッキリしているでしょうからね。

<?xml:namespace prefix = o ns = "urn:schemas-microsoft-com:office:office" />

＜宇宙チャンネル受信＞

僕の受信アンテナは、大きいんです。宇宙からの音楽も聞こえてくるくらいにね。

だって、僕は、宇宙人だもん！

えー、みんなも、そうでしょう！

なーんだ、アンテナをまだ大きくする方法が、わからないんだね。

じゃあ、教えてあげるね！

「素直に生きること」　　だよ！

自分にも、人にも、天にもね！

みんなお天とうさまから見たら、たいした差はないんだもんね。

それじゃあ、夢の中でまた、一緒に会いましょう！

おやすみなさい！

2005.05.01 Sun

5 月 1 日、今日という日をありがとうございます

毎月 1 日だけは、近くの神社へ参拝にいきます。今日も、自然に目め覚めたおかげで、 7 時すぎに参拝に行ってきました。

さっきまでかかって、やっと、沖縄　伊良部島のことを書き終えたことで、体中に入っていた沖縄のエネルギーが抜けて、少しだけ気が楽になった感じがしています。
沖縄から帰ってきて、龍についてのことは、新たにたくさん気づきはじめています。それも、何気ない人との会話の中から、天は気づかせてくれているので、動いたことの意味の確認ができてうれしいことです。
龍についての気づきの詳細は、もう少しあとで書きますが、それ以外に、みなさんへご報告というか、自分が今、一番楽しみしていることがあります。
　それは、伊良部でお世話になったユの女性と最後に話しているときに、「あなたは今、何か欲しいものはありますか？」とたずねると、「あの龍の写真を、もっと大きくして欲しい」と話していたので、実は、それを現在製作依頼中なんです。

出来上がりは、ＧW明けなんですが、大きさがすごい！実に、新聞紙の両面を広げたものより大きなサイズなので、友人のプロに頼んだわりには、とても高価なものになってしまいました。でも試し刷りをみたときの感動は、とてもワクワクだったので、それがもう楽しみで、楽しみで・・・・（エへへ）
　ホテル　てぃだの郷の猪子オーナーも欲しいということで、現在、５枚が伊良部行き決定です。ついでに、自分の家用にと、もう一枚、特別にお願いしたのを手にするのが、今からとてもたのしみなんです。
もし、同じものが欲しい方がいらっしゃたら、ご連絡くだされば追加できますが、まだ、料金も出ていないので、「ちょっと高いぞ」とだけ言っておきましょう。（ウフ！）
きっと私の家のＣａｆｅに来られる方は、これから見る機会があるでしょうから、楽しみにしておいてくださいね。
１日は、月変わり、気持ち変わり、そして、行動改めにもなると、いつも、感じていますので、今日は、これからの１日１日をどうすごすか、ゆっくり考えてみることにします。
龍について気づいたことは、これから少しづつ書いていくつもりですが、これは、私の直感ですので、あまり信用なさらないようにと、ご注意申し上げておきます。
気づきは、時が変わると、また、さらに、意味が、変わるからです。そして今、私が気づくことは、今、必要なことですし、その内容も、自分が求めなくても、自然に与えられるものだからです。
まずは、今日一日を迎えられたことに、感謝しながら、あなたの大切な気づきの一日にしてくださいませ。皆様の、愛の波動が、よりいっそう、高く輝きますことをお祈り申し上げます。
2005.05.01 Sun

伊良部島　ヤマトブー大岩

今日の午前中に訪れた「仲地のウタキ」で言われた私の役目の最後は、「光を放つ」ことでした。その場所は、初日に猪子オーナーに連れられていった場所、「ヤマトブーの一枚岩」です。この岩の大きさは、数十メートルあり、まったくの一枚岩です。昔から地元の漁師さんたちは、海へ出るときに、沖から、必ずこの岩に向かって手を合わせるそうです。この場所へ着くまでの車の中で私は、今日一日の出来事を振り返っていました。最初に行った「国仲のウタキ」で言われた龍門を開くことを実行し、龍が喜んでいる姿を見ました。

また、閉ざされている「ヌーシのウタキ」では、光の金の玉をいただき、さらに、あちこちの悲しんでいる霊をあげ、そして先ほどの「佐和田のウタキ」でそのことを誉めていただけたことは、私の役目が、どれほど大切であったことかを満足させるのに、十分な体験でした。

最後に、この伊良部島の上昇したエネルギーを日本から、世界へ、光放つためには、やはりこの場所しかないと判断したのでここにやってきました。

この大きな一枚岩が、大きな「ご神鏡」のように世界を照らせば、それだけで大きなエネルギーが動くと感じたからです。これは今まで書かなかったことですが、実は、龍門を開けたあと、島の反対側へ移動してから、龍門方向を見ると、大きな黒雲が海まで降りてきて、その方角の空が暗くなってきていました。

そして、今、このヤマトブーの岩へ着くまで自分たちが動いた場所を振り返って見渡すと、私たちが動いたあとの場所が、どんどん天からの黒雲に包まれてきていて、島の周りの空全体が、うす暗くなってきています。※これは、「龍は雲に隠れて動く」と言われていることから、本当にうれしい光景でした。

時間も夕方になってきました。海に面したこの場所は、とても強い風が吹いています。今日一日のために用意した塩とお酒も、こも場所の祈りの分で、ちょうど空になりました。この岩に祈りをささげるには、岩に向かってできるだけ離れてみないと、全体のエネルギーを感じられないので、道路を挟んだ反対側の歩道に正座して、「天つ光の放つ場所」としての祈りをささげました。

一通りの祈りを終えて、全体を感じてみると、祈りが不足なせいか、まだ、何か、大きな動きがありません。何をすればいいのかと考えていると、ふと、さっきいただいた「金の玉」を、ここに献上しようと思いついたのです。本当は、この地元を守るユタに差し上げようと思っていたの

ですが、この判断は、きっとユタも喜んでくれるだろうと思えました。

もう一度、「天つ光の祈り」を唱え、最後に、自分の心の中に入れておいてた「金の玉」を、この岩の神様に差し出しました。すると、その玉は、スーと岩に向かって移動していき、岩の中心に魂として入っていったのです。

「大いなる光のもと、この地を照らし、この地から世界の海を照らし、日本全土の大地を照らし、世界の海から、地球の全ての大地を照らす光を放つことをお願いします」と祈ると、確かに、大いなる光の輝きが変わったことを確認しました。

身体中に満足感が溢れてきて、この岩の働きが、これからさらに世界に大きな役目を果たすことを実感したものでした。祈りを終えて、ふと二人の姿を探すと、風が強く寒いせいなのか、二人は、車の中から、じっと、わたしを見ていてくれました。

車に戻ると、「ご苦労様です」と言ってくださり、最後の場所、「ウズヌシューの墓」へ向かいました。この地を守った人間（ウズヌシュー）を祭っているこの場所は、海を挟んで宮古島がきれいにみえる高台にあります。その周りは、すべて天然ハーブで、蝶が飛び交い、宮古島との間の海の安全を守ったウズヌシュー様には、最高にいい場所です。

この場所も、ユタが祈ったあとに私は、ウズヌシュー様へご報告とお願いをしました。「この地守りし、神々さま、竜神様、その全ての皆様のおかげで、私は、今日一日、無事、役目を終えることができました。

これも、この地を守るために命を落としたウズヌシュー様が、おられたおかでです。どうぞ、これからは、この地が世界の大切な場所として、光輝く為に、村人が大切なことに気づき、天つ光を輝かせることに、精進いたしますことにお力をお貸しくださいますよう、お願いいたします。」

普段、神様にお願いはしない私ですが、今日だけは、自分の働きに免じて、神様も私のお願いを聞き届けてくださると思えたからです。それに、わたしも、この地を守るために、これからも精進いたしますと誓ったあとに、命をかけてこの地を守ることを誓ったからです。

私はつねづね、自分の存在意味は、誰の物でもないと考えています。人間的には、いろいろ意味があるでしょうが、人間自体の存在意味は、人間が決められるものではないからです。私は、マスターに仕える神の子として、この時代のこの役をいただいて、今を生きています。

だからこそ、天が私を試し、私の命を必要とあれば、それはどこの為でも、誰のためでも、いつ

でも、命を懸けて動きます。少し変な言い方ですが、私が世界の悪の頂点に立ち、その自分の命を絶つことで、世界がよくなるのであれば、それも、私の領分として、やる覚悟もあります。

また、天が私に神なる力を授け、天を動かすほどのことができたとしたら、きっと、私は、今以上に、普通に生きることをするでしょう。

天は、この世の全てを司り、この宇宙にある全てのもののつながりと、存在の意味を決めています。だから、人間たる小さな存在の概念が、世界を変えるものではないことを知っているからです。世界を変える力、それは、神なる力、天なる力を自らの魂と直結にしたとき、自らの魂に内在するエネルギーが、天のエネルギーとして働き、全てのつながりと、すべての存在の意味が、変わることを意味するからです。

今日一日の体験の意味が、私個人にとって、どういう意味になっていくかは、これから自分の進む道によって、また新たなことに気づくだろうと感じています。沖縄　伊良部島の旅　4月編は、ひとまず、これでまとめとさせていただきます。そしてたぶん、今年、私はあと２回、この島を訪れることになると思っています。時期は、７月と１１月。理由は、この島にとって、大切なお祭りと、大切な龍神さまの神ごとが行われる時期だからです。

もし、龍にご縁ある方がいらっしゃいましたら、きっと、この時期にご一緒できれば、すばらしい体験をなされるかと思っていますので、また、その時期がきたら、私のＨＰで、ご案内させていただきます。
最後まで、この旅の体験を読んでくださった皆様に、心から感謝いたします。
2005.04.20 Wed

伊良部島　黒浜・長浜・佐和田ウタキ

今日一日で体験した大きな役目の連続で、身体が結構ヘロヘロになってきている私は、次に案内されたウタキ、「黒浜ウタキ」に車が着いたときに、車から降りずに、正面から鳥居を見て、全体の気が安定していることと、人の手で大切にしている気が感じられたことを理由に、車をおりる元気がないこと隠して、そっと車の中から手をあわせてその場を離れました。

次に案内されたウタキは、海岸線端にある「長浜ウタキ」です。ここは、祈りを奉げると、３ヶ月以内に、子供が必ず授かるという大切な「子宝のウタキ」です。車を降りて海岸線を歩き、ウタキの正面に近づくと、鳥居のすぐ前がコンクリートで固められているので、ちょっと不思議な形をした場所だと感じました。

ユタが、ウタキの説明を終えると祈りを奉げにいったので、私もそっと、祈りを奉げに鳥居の前に進みました。すると、心の中に言葉が聞こえてきます。「何もできない。何もしてあげられないよ。」と、何度も繰り返し聞こえてくるのです。その声が少し悲しげだったことと、その理由を考えていると、ユタが、「吉岡さん、この場所に立ってみてください」といいます。

理由も分からずその場所に立って、まわりを見渡しても、自分に言われた理由がはっきりしてきません。すると、右上に見えるコンクリートの防波堤が気になるので、そこまで歩いていって、まわりを見てみると、この岬の数百メートル先に見えるところに、おなじようなこんもりしたウタキのような森が見えます。

ユタの女性に、「あの見える森は、なんですか？」と訪ねると、実は、このウタキと夫婦のウタキで、今は、この２つの間の防波堤工事のために、夫婦のつながりが切れてしまっていると言うのです。

それは、本当に悲しいことだと思います。ウタキのほとんどは、日本の神道の神社のように、人間を祭っているところがたくさんあります。でも、その祭った神様のことを大切にしているといいながら、やってはいけないことをしているのも、人間です。

神の災いとよく言われますが、この防波堤を担当している業者の社長は、体調を崩しているそうです。神を大切にすればするほど、人間と同じように、相手も、思いを出してくれます。でも、その扱いを急に変えたりすると、それは、人間でも、神でも、怒るのは、当然です。

このウタキのお母さん神様が、「何もできない、何もしてあがられないよ。」というのも、よくわかります。それでも人間は、子供が欲しいときには、お願いしにくるそうですが、お礼参りを欠かす人もたたくさんいるということを聞いて、とても残念に思えます。

私は、神社にいくときも、どこかに、手を合わせるときにも、基本的には、「お願い」はしません。それは、勝手な人間の都合だからです。でもお願いしたいときも、みなさんは、あるでしょうから、そのための祈り方のコツをそっと教えておきますね。

×　・・・「私に、〇〇をさせて下さい。お願いします。」・・・お願いはダメです。
〇　・・・「私は、〇〇をします。お力をお貸し下さいますことを、心から感謝いたします。ありがとうございます。」

これでＯＫです。大切なのは、自分がするということで、他力ではなく、自力ですることに加えて、いつも天が守護してくださることに、感謝することです。

もしそれでも、結果が、思うようなものでないのなら、まだ自分に、それが達成させてもらえるだけの準備ができていなかったというだけのことで、失敗という経験から学ことを教えてくださっているだけのことです。

天は神、神は、人。では、人は、何者か？その答えが、分かっている方は、絶対に、お願いは、しないはずです。最後に、連れていってくれたウタキは、「佐和田のウタキ」です。

そのウタキの前に立つと、見るからに全体が美しく、輝かしい壮言な空気が流れています。強く、やさしい「気」が、奥のほうから溢れてきます。そう二人に話すと、猪子オーナーが、めずらしく口を開きました。「このウタキだけは、どの女性も、お供え物を、きちっと門の前に並べておいて、祈っていかれますよね。他のところでは、頭に載せたままで、祈ったりしているのにね～。」と教えてくれました。

女性たちが、エリを正して向かい合う神様とは、どんな神様なのだろうと思っていると、ユタがまず挨拶の祈りをささげました。次に私も、今日一日で体験させていただいた全てのことの感謝を告げると、しばらくして、なんともいえない暖かい女性のような言葉遣いで、大切な言葉をいただきました。

「ありがとうございます。みんな、見ていましたよ。これから、あなたがなさることのすべてに、私たちは力をお貸ししますので、どうぞ、安心していてくださいね」と。

ここの神様の言葉には、涙が溢れるくらいに、心が癒されました。自分が今日体験したことは、辛い霊を上げることや、命をかけて龍門開くこと、また、あちこちにいた霊をあげることに全力

を出しきった疲れさえも、この言葉のおかげで、でスーと抜けて、気持ちが楽になっていきました。

ユタに、こう言われたというと、「ここの神様は、女性なんです。そして、あなたがそこに座ったとたんに出てきて、あなたに、その優しいことばを話していましたよ。本当に、とても美しい女性の神様でしたよ。」と。

このときばかりは、僕もそのきれいな女性をちょっとばかり、見て見たいと思ってしましました。（笑）さあ、それでは、元気をもらったので、私の最後の仕事、「世の中に光を放つための大切な場所」にいくことにしましょう。

2005.04.20 Wed

伊良部島　ヌーシの入り江

午前中に行ったあの「ヌーシのウタキ」の近くに、「ヌーシの入り江」と呼ばれる場所があります。ここは昔、海から流れる潮に合わせた自然な形の浜辺で、漁をする船が出入りしていた場所ですが、今では、コンクリートで固められた塀で、道路に潮がふきあがるのをふせぎ、船を出す為の場所もコンクリートで固められています。

その場所に着いて車を降りて、コンクリートの船着場にでてみると、左手には、きれいな砂浜が海岸線まで見えていて、右側には、コンクリートに囲まれた橋と壁が見えます。ユタの話を聞いてみると、ここは、昔、「龍のお休み処」だったのですが、人間が色々造作したために、今では、龍が休めないと怒っているというのです。加えて教えてくれたのが、すぐ右手の下にある茂みは、実は昔は、ウタキだったというのです。

本当に人間は、いつも勝手に神様を祭って、勝手に、やめたりするので、霊や神様の行き場所が、わからなくなってしまっているという典型的な場所だと思いました。そう話してくれたあと、その場所から動かないユタと猪子オーナーを見ていると、「あー、またかい、」という気持ちとは裏腹に、「いいよ、僕がやるから！」と、私はその茂みの所に下りていきました。

その茂みに向かいあってみて、先ほどのゴルフ場とは、まったく違う霊なので、安心して、天へ召されるための祈りをささげました。そして、すっかりその場が、落ち着いたので、もうひとつの仕事、「龍のお休み処」の件を解決しようと思いました。

以前お話したとおり、私には、数年前から、青い龍の父親が入っています。だから、ほかの龍とは、ある意味、兄弟みたいなところもあります。そこで、まず、その入り江全体の、龍のエネルギーを感じながら、人間がこの地を荒らしたお詫びをしました。そのあとで、この場所にいた龍に、ある場所に移動してくれないかとお願いしました。その龍は、「人間の所存次第」だと言い残すと、その場所を離れることの了解をくれました。

ここで問題です。この場所の代わりに私が龍に教えたお休み処は、どこだと思いますか？それは、「ホテル　てぃだの郷」があるあの、「佐和田の浜」です。このことを、猪子オーナーへ告げると、とても喜んでくれました。そして、ユタの女性も、「なんだか、ここが、軽くなりましたね。」と言ってくれました。

龍も、人間も、全てが、大切にするべきものを大切にしていけば、災いを引き起こす必要もないとは思いませんか？人間の浅知恵は、いつの時代も、大切なものを見失いがちです。時に、災いが起きてから、そのことを思い出すのも、歴史が繰り返すなかでは、普通のことだとしか私には、いえません。

どうぞ、みなさまも、目に見えない大切なことに気づき、その付き合い方を学んでください。生きている人間も、全ては、霊体であり、また、神の化身でもあるのですから・・・・・。
2005.04.20 Wed

気伊良部島　気をつけて！ゴルフ場

飛行場をあとにして、車の中で「本当によかったわ。私が一番気になっていたところだから。」と、ユタが喜んでくれたことは、うれしかったのですが、次に、案内された場所だけは、参りました。そこは、伊良部島にある唯一の町営ゴルフ場です。道路からゴルフ場のクラブハウスに近づいたとたん、どんよりした空気を感じます。ユタが車を降りて、案内してくれたのは、そのクラブハウス左にある小さな池でした。

そこを見た瞬間、「こりゃあ、いけない！」「こりゃあ、だめだわ！」とつい、口から出てしまうくらいに、とてもまずい場所です。詳しい理由はわかりませんが、たくさんの霊のたまり場になっています。そして、霊の数もそうとう多いうえに、その中には、とても強い怨念の霊がいるのを感じます。こっちも見て下さいとさらに連れていかれたのは、クラブハウスの裏側にある大きめの池でした。

「あー、もうだめだわ！どうにも、できないわ、これは！」と本当に、この場所から少しでも早く離れたいと思うくらいに、強くて、とんでもないエネルギーが流れてきます。身体にも、どんどん不のエネルギーが進入してきて、手足が冷たくなってきます。

僕は当然、全能の神ではありませんし、人間の所業は、神や霊のことを何もしらないせいか、ときに、とんでもないことをしたりします。その理由を説明したとしても、欲で、神のことを聞かない人間に、災難が起きることがあったとしても、それは仕方がないといえるでしょう。

これだけ強いものが集まると、一人の霊能者がいくらがんばっても絶対に無理です。僕が彼女に教えたことは、この場所に大きな石碑を立てて、その石碑で、この地を守り、全ての霊を挙げる祈りをしなければ、無理だと伝えました。（※でも、それだけ強い祈りを上げられる霊能者がいるかどうかは、わかりませんが・・・。）これは、現在の日本の都会のあちこちでも、起きている現象です。

私は霊を見ないと決めたおかげで、よけいなものを見なくてすみますが、体質は敏感なので、身体はその不のエネルギーを感じます。札幌市内でも、北海道でも、本州でも、自分が行ったことがあるところの中には、なるべく行きたくない場所もあります。

だいたいそういう場所は、昔、お墓があったとか、人が変な死に方をした場所とかが多いので、霊が見えない方でも、なんとなくいやだなあと思うところには、いかないことをお勧めします。よく若い頃に、面白がって、そういう場所に出かけていって、大変な目に逢った人も、何人も知っています。好奇心は、わかりますが、自分が変になってから人に迷惑をかけることまでは、考えていないようですね。

話を戻しますが、このゴルフ場では、きっと、プレイ中に、腰や足のケガが多くあると思います。あなたの友人に、ゴルフをする人がいたら、そっと、教えておいてくださいませ。その場を、さっさと離れたあとは、また、ユタが気になるという場所です。

「この流れからすると、ちょっと、覚悟しなきゃいけないかな？」と、考えていました。
2005.04.20 Wed

伊良部島　滑走路の御霊上げ

私のブログを読んでくださっているみなさんは、魂のことを少しは理解してくれていると思います。魂とは、実は霊でもあり、エネルギー体であるということを。今回の体験も、私にしかできないことなので、ここに連れてこられたんだということが、よくわかる体験ばかりです。ユタの女性とお昼をご一緒してから、猪子オーナーと私は、また、ユタが気になる場所へご一緒することにしました。

着いた場所は、下地島の飛行場の滑走路のそばです。現在、下地島には、パイロットの訓練学校があります。その３０００ｍの滑走路を造るときに、ある大切な流れがあった場所をせき止めてしまっていたのです。ユタの女性は、以前からそのことが気になっていて、きっと、このままでは、滑走路内で火花が散ると周りの人に言っていたそうです。

その水路のような溝が続いているずっと先が、滑走路のど真ん中へ垂直にぶつかっています。そして水路の途中には、誰かが設置した「お祓いのあと」がありましたが、そのお払いの場所の作り方があまりにも中途半端なので、よけいなことをしてはいけないとユタの女性が怒っていました。

最初に、私がその水路を見たとき、ものすごく強いエネルギーがあるのを感じました。猪子オーナーに、その場所の意味を尋ねてみると、その水路は昔、海水が海まで流れていた場所だそうです。

そこから移動して、数百メートル先に見える滑走路のそばまで来たときに、ユタが、僕に聞きました。「吉岡さん、この辺でどこか、気になる場所は、ないですか？」私はあたりを見回してから、滑走路の周りの金網み近くにある「しげみ」が気になるといいました。

その場所に着いて車を降りようとすると、ユタの身体が、また動かなくなってしまいました。猪子オーナーと二人で、その場に立ちすくんで離れているの確認してから、私は気になるしげみの方へ、近づいていきました。

近寄ってみると、その茂みの中のひときわ大きい木の下には、たくさんの霊が集まっているのが感じられます。これではいけないと思い、私はすぐに、御霊上げの祈りを捧げました。少しして、一応、霊たちのバタツキが収まったので、今度は、滑走路の反対側へ連れていって下さいとお願いしました。

※実は、この場所のことは、ユタの女性と最初に出逢ったときに、この伊良部島のいろんな話を聞いているときに、どうすればいいのかわかっていたからです。

滑走路の反対側は、さっきとはまったく違う風景で、草木に覆われいて、て少し離れたところに道路が平行しています。その道路に車を止めて、まわりを見渡してみると、滑走路とは反対の方角に、海が見えます。私は、この海へ霊たちを帰してあげれば、天に上がれると確信しました。

猪子オーナーに、先ほどの祈りを奉げた場所の方角を聞いてから、早速、魂たちを海へ導く為の「結界」を造る準備を一人ではじめました。方法は、周りの道路から大き目の石を２つ選んできて、結界の出口の門を作ります。道路と平行にひとつめの石を置き、塩とお酒で清めてから、数メートル離して、もうひとつの石にも同じことをします。

門が出来上がったので、早速、門を開ける祈りをしようと、その２つの石の中央に立ってみましたが、これから流れてくる「不」のエネルギーの量を考えてみると、自分自身が危ないと思い、考えなおした私は、結界の門の外へ出て、全ての霊たちを海へ導く為の祈りを奉げはじめました。

しばらくして祈りが終わると、チョロチョロっと、少し霊が動き始めました。しかし、あの「不」のエネルギーの量にしては、これはあまりに流れが悪いと感じたので、私の自分の最大霊力でもう一度、エネルギ０を動かしました。

そこまでして、この場所をきれいにしようと思った理由が、実は、この水路のもともとの役目が、「水の流れ」、「気の流れ」、「霊の流れ」に合わせてもっとも大切な、「龍の通り道」でもあったからです。私はもう一度、門の外側に立って、魂に力を入れ直してから、祈りの言葉を唱えはじめました。

最後に、エネルギーを一気に動かす為に、自分の右手を水路の方角から海へ向かって大きく、「エイッ！」と手を振り払うように、右手を振り放したところ・・・・・

その瞬間、右手にいつもしているお守りの「水晶のブレス」が、「パーン！」とはちきれて、道路や、周りの草むらに飛び散っていきました。一瞬、「あー、持ってかれたー・・・」と思いましたが、そのあとに、流れ出てくる不のエネルギーの量と、その魂たちが喜んでいるのを感じていましたので、仕方がないよなあと、一人でつぶやきながら、とぼとぼ、遠くで私を見守っているユタと猪子オーナーのところへ、戻りました。

この状況を見ていた猪子オーナーは、不思議そうな顔をして、「こんなこと、よくあるんですか？」と聞かれたので、私は、「いつもでは、ありませんが、たまには、ありますよ」と話しました。ついでに、この滑走路について、大切な今後のことを話しておきました。

「これで、空港の滑走路の下に、霊たちの通り道ができました。だからすぐにトラブルは無いと思いますが、地上の部分の波動を、もっと上げておかないと、いずれ滑走路で不祥事が起きるかもしれませんので、ぜひ、空港の関係者に、この事を教えてユタたちと一緒に祈りを捧げｔください。」とお願いしました。

※これは、結果としてのことですが、全てを終えて、那覇空港へ帰るときに、空港関係者のＡさんと偶然、隣の席になり、さらに、那覇空港で時間があるからと一緒に食事をしながら、私が直接、このことをお話するようになったことも、神の意図だと感じています。

ここで私に同行してくれたユタの女性のことを、もう少し詳しくお話しておきます。彼女は、５年前に、ユタになりました。ユタになることを自分から望む人は、ほとんどいません。なぜかというと、とても苦しい３年間の生活の中での修行があるからです。彼女は、子供の頃から、霊感があり、自分の生きる道を求めて、あちこちの宗教団体に所属していた事もあるそうです。

一番長く関わったのが、キリスト教だと話していましたが、自分がユタになって、神と直接つながるようになると、昔の宗教で教わった話に嘘があることに気がついたそうです。私自身も宗教の存在は、認めています。でも私自身は、どの宗教にも、所属したことも、習ったこともないし、教えをいただくつもりがないのは、同じ理由だからです。

ども宗教でも、人間が人間の都合で、解釈をまげている部分が、必ずあるからです。

そして昔昔、この地方には、仏教も、神道もありませんでした。ですから、その当時は、ユタが、葬式まで仕切っていたそうです。でも今は、仏教のお坊さんがこの島に来たので、ユタも、日常の生活の支えと、神の教えと、ご家族が亡くなった時などに仕事があるそうです。

ですから当然、私の知り合ったユタは、霊媒体質で霊が見えたり、感じたりはしますが、自分から進んで、浄霊や交霊をしたりはしません。地元の家族の誰かが亡くなった時の霊に対しては、７日、４９日と大切な交霊会が、残された家族と行いますが、私のように、見も知らない霊たちを上げたりはしないようです。

※後日、猪子オーナーに聞いた話ですが、現在、沖縄本島以南の全ての島にいるたたくさんのユタの中でも、このユタの彼女は、３本指に入るくらいに霊力があると有名で、毎日毎日、列をなして彼女の家を訪れている人が多いそうです。
2005.04.20 Wed

伊良部島　ヌーシウタキ

「ヌーシウタキ」のある場所は、伊良部島の中で最高にきれいなビーチの入口にあります。足元の真っ白な砂浜は、左手に海までカーブして続いていて、正面の海のブルーの色変わりをみながら、右手に、川状になって流れ込んでいる入り江のそばに近づいて、海の中をのぞいてみると、写真でよくみた真っ青な熱帯魚たちが、群れをなして泳いでいます。

その美しい海のすぐそばにあるのが、「ヌーシウタキ」です。

この「ヌーシウタキ」は、とても意味のあるウタキだと、ユタが話してくれました。「昔昔、中国・シナ・台湾からこの島に船に乗った男たちが、米俵と野菜と果物も持ってこの場所に上陸しました。目的は、島の女たちです。作物が思うように取れないこの島の人たちにとって、、それは心からありがたい品物でした。

島の女たちは、やってきた男たちと交わり、子供を宿しました。その子孫たちが生きながらえたおかげで、今の島の住人がいるのです。だから、その男たちのやってきた、私たちのご先祖の住む、中国・シナ・台湾に、感謝するための大切なウタキなんです。」

私は、この島が隆起したサンゴの島のために、通常の作物がとれず、土の部分も極端に少ないことを知っていますので、当時の生活の苦しさもよくわかります。ユタは続けて、「ただ、残念なことに、このウタキは、今、閉ざされてしまっているんです」

驚きのあまり、「エ～！」と声を上げてしまいました。ご先祖を大切にするこの島の人たちの生活の中で、一番大切なことのはずなのに、なぜなんですか？とユタに詳しく話を聞きました。

するとまず、「ウタキ」は、必ず一人の「ユタ（女性）」が、担当で守っています。だから自分がユタだからと言って、人様のウタキの場所で勝手な行動はできません。さらに、ユター人に、「司（つかさ）」と呼ばれる、５５歳から６０歳の女性が、毎年の祭りのたびに、２人任命されます。

この３人が、ウタキを直接管理をしていて、このヌーシのウタキは、その７０代のユタの女性が、なぜか、ずいぶん昔にこのウタキを閉めてしまったんです。

この土地を管理している神様も、あまりに村人たちが自分たちを大切にしてくれていないと怒っているし、私も直接、そのユタの女性に逢って話をしてみましたが、理解してもらえず、残念でしかたがないと話していました。そういったあとユタが、祈りを奉げに鳥居に歩み寄ったので、私も後に続き、鳥居の前に座りました。

今までの人々の間違いを謝り、自分にできることをさせて欲しいとお願いしました。すると、目をつむって祈っている前の方から、「光の玉」が、ゆっくり現れてきました。

その玉は、ウタキの奥のほうから、しだいに私に近づき、どうやら私に下さるように感じました。遠くから見ていると、水晶の玉のように見えていた玉を、両手で頭の上で受け取り、自分の身体の中に収める前に眺めて見ると、それは、「金の玉」たどわかりました。

それが、何の意味かはわかりませんが、きっと、これから使うことがあるからだろうと思って、一応、受け取っておきました。そのことをユタに話すと、すぐに、「あなたの前にきれいな女性が出てきましたよ。その女性が、あなたに、玉を授けたのです。私もそれを見ていました。」私は実は、この玉は、龍をつかさどる「金の玉」だとわかっていましたし、だからこそ、本当は、この地元を守るこのユタの女性に、後であげようと思っていました。

お昼が近づいたので、一旦、「ホテル　てぃだの郷」へ戻って、食事をしながら、午前中に起きたことをユタの女性と話し合っていました。話の中心は、、あの閉ざされたヌーシウタキのことです。私は、この琉球王国の流れがあるこの土地で、この島々の問題に、直接、関わることは、しないほうがいいだろうとも考えていました。

理由は、様々な事があった結果の上に生活している人たちの責任は、自分が取れないと考えていたからです。しかし、こと、ユタのに関してと、神に関してだけは、別のようです。それは、同じ世界につながっている人ですから、意識レベルは別として、当然、目的は、同じはずです。
もし、その人たちが、道を間違っているとしたら、私が直接、大きなエネルギーを動かしてでも、気づかせてあげようとて思っていました。

ここでウタキのことをもう少し、詳しく説明しておきます。

前回、ウタキのことを、神社のようなところと言いましたが、もっとわかりやすいイメージでは、神社とお寺の両方の機能を備えていると考えてください。年に一度のお祭りには、その中にの庭で、踊りや唄を行ったりしますし、祝事、仏事に関わらず、必要に応じて利用しています。

さらに、この「ヌーシウタキ」には、その中央の大きな庭の横に、こんもりした森があって、その部分の奥に、中国・シナ・台湾へつながる祈りの場として祭られていたウタキだけが、閉ざされてしまっているのです。

人間はいつも、自分たちが楽しむ為の都合のいいところだけを利用して、ご先祖の歴史の扉にふ

たをしてしまっている形です。本土でも同じですが、人間は、いつも自分たちの都合のいい解釈と、理由をつけて勝手な行動をとってきています。

災害や天災の時こそ、大切なことを思い出すチャンスなのに、いつも、対処の方法ばかりを考えていて、大切なことを学ぼうとしていません。苦しい歴史や、辛い過去があったからこそ、「今」があるはずなに、過去にあった出来事に感謝できない人間の未来が、幸せに暮らせるはずはありません。

現在、伊良部島には、未来に関わる大きな問題が降りかかろうとしています。それは、沖縄にある米軍基地の移転先の予定地として、なんとこの伊良部島の名前があがっているのです。今も沖縄本島のある港に、新しく米軍の滑走路を作ろうという動きに反対して、地元市民や全国から集まった人たちが、反対運動と座り込みをしています。

これに困ったアメリカは、伊良部島にあるもっとも長い滑走路（離着陸の訓練用に３０００ｍもあります）に目をつけて、つい先日、移転先は、沖縄の那覇だけにこだわっているわけではないというメッセージをアメリカの政治家がＴＶで会見しました。

敗戦当時、このアメリカの基地を設置する背景には、当時の敗戦国日本の縮図があります。冷戦問題や、アジアの脅威、そして経済支援を前提としたときに、受け入れなくてはいけない事情があったからです。でも現在の日本は、アメリカが恐れるくらいの経済大国になり、世界への影響も大きい国に成長してきています。

ではなぜ、日本が完全に撤退を要求しないのかというと、沖縄を見ていてわかるとおり、地元にも大きな経済効果があることも事実だからです。ですから実際、地元で争っているのは、地元の人同士なんです。経済人、有力者、政治家などの大きな力を欲しがる人たちと、さらに一般市民の中で、今よりお金を欲しがる人たちがいます。反対に、歴史から学び、同じ事をくりかえすな！と叫ぶ人たちもいます。

沖縄の問題は、ある意味、北海道と似た過疎地域の問題で、国の支援金を多く必要としていた地域です。でも沖縄の人たちにしかない特別な感情は、実は、敗戦のときに、日本に見捨てられた国として、復帰までに長い時間、放置されてきました。この感情は、北海道のアイヌの人たちも、受け入れてきて知っていますが、決してお金だけでは解決できない深い問題があります。

私は自分のことを考えてみて、今、幸せに暮らせている日本のほとんどの人は、こういう一部の人たちの犠牲において成り立っていることを、歴史から学ばなければいけないと思っています。そして、その恩返しの時期が、今、来ていると感じています。

伊良部問題に戻りますが、このまま進むと、沖縄の那覇基地と同じ問題が、この伊良部島にも起きてしまいます。確かに、経済が豊かになることはいいことですが、それが歴史や過去の偉人たちの業績を塗りつぶすものであってはいけないと思います。

さらに、この伊良部島は、現在の空港を建設するときに、もともとあった小さな「下地島」という島を、沖縄県が買い取ってしまって、住人たちを立ち退きさせた結果、今の下地島に住んでいるのは、ガソリンスタンド１軒しかありません。

私の大好きな「ホテル　てぃだの郷」は、町営だったから、下地島に今でもありますが、働いている人全てが、伊良部島の方から通っています。地図によっては、この下地島という名前が載っていない地図さえあるほどです。

人間の欲は、過去の歴史を消してしまう事もあるのです。こんな状況で、私は自分に何ができるかを、もう一度、考えました。そして、すぐできることがあるとわかりました。そして、これは、みなさんへのお願いでもあります。

日本全国の皆さんから、伊良部島の町長さんへメールをして下さい。自然を守ってほしいとか、アメリカ軍の空港施設反対とか、神様の場所を守って！でもいいです。現地に行かなくても、みんながができる行動で、それは、過去の歴史のいしずえになってくれた人たちへの恩返しだと思います。

今、町長のリコール問題も起きています。それは、未来を決める大切な時期だからです。最後の決定は、あくまで地元の皆さんしかできませんが、私たちが沖縄の人たちへできる、唯一の方法だと考えています。どうぞ、皆さんが何かを感じられましたら、伊良部町へ、メールをしてみてください。

宛先：沖縄県宮古郡伊良部島町観光課

ユタと、ウタキの神様から、たくさんのことを教わりながら、次第に、今回、自分に求められている役目の大きさを実感しはじめていました。
2005.04.20 Wed

伊良部島　仲地ウタキ

仲地のウタキ

私たちは、龍門を開けた達成感とその周辺のエネルギーの変化を感じながら、ユタの女性が案内してくれる次のウタキへ移動しました。

この「仲地ウタキ」の鳥居の前でも、前回と同じようにまずユタが挨拶をし、私の順番になりました。私は龍門の件のご報告とそれを自分にさせていただいた感謝、そして本気で、この地のエネルギー解放・上昇するために動く決意を改めて神に告げました。

そしてここでは、神の言葉を聞くというよりも、自分の本気さを伝えることが大切だと感じていたので、心の中で、何度も何度も、そのことを繰り返しつぶやいていました。ご報告が終わって、ユタと話をしようとすると、彼女の口から、一気に神の言葉が降りてきました。

それは、ここ琉球諸島周辺の７つの島の名前を言いながら、「おまえは、その７つの龍門を開くためにこの地へ訪れたのだ。それが、お前の役目だと。」

「エ～！」と思わず、私は言葉を発してしまいました。
私がその七つの島々を全部一人で回って、その島々の大切なウタキ巡りをして、さらに龍門を探してまわらなきゃいけないのか？と思ってしまったからです。

もし実際にそのことをするとしたら、（やりたいのは、山々なんですが）、とても長い時間と、体力とお金が必要になるし、現実問題、ちょっと～・・・・と思っていたからです。さらに、ユタは言葉を添えました。「お前だけは、どこの島のウタキにもでも、自由に入っていいと。

「知ってるわい！（とは、いいませんが、なんて、都合のいいタイミングの言葉なんだよ」と、心の中で思いながら、そんなの知ってたもん！と一人で心の中でつぶやきました。

私が今回、この伊良部島に舞い戻ってきた理由は、この島が日本、いや、世界のエネルギーを動かすためのとても大切な役目を果たしていると感じたからです。でもどう考えてみても、私がその島々を回ってお祈りをしなくても、別の方法でもできると感じていました。

でも今の所その方法が、みつかりません。困った顔をしながら考えていると、ユタは、「では次のウタキへ行きましょう。次の場所で、必要なことが教えられるかもしれませんから。」と言われたので、答え探しは、次のウタキへと持ち越しになりました。

2005.04.20 Wed

伊良部島　龍門（塩吹き岩の付近）

伊良部島の東北の方角の崖近くに、「潮吹き岩（スーフツミー）」というところがあります。

現在は、ここがコンクリートで閉ざされていて、潮が吹きあがることはありませんが、昔はこの穴から数十メートルの高さにまで、潮が吹き上がっていたということです。この大切な神の場所を、塩害がどうのと言う人がいたので、一部の議員がコンクリートで閉めてしまったことも、龍を守っているユタにとって、大きな怒りの原因になっていました。

※実は、この潮吹き岩は、龍が洞窟の中で鼻息をだしたときに、吹き上がる空気抜きの穴だったのです。

龍門付近に近づいたときに、急に、ユタの行動がおかしいことに気づきました。場所をあちこち変更するのです。私はこの異変の理由がすぐわかったので、彼女の案内を無視して、自分の直勘を信じながら、龍門の場所を探しました。「ここだ！」とわかった時に、振り向くとユタの女性が足を引きずり、苦しそうに立っているのが見えました。

急いで近寄ってみると、ユタが「私の前に片足を無くした女性が立っているのが見えないの！」と、苦しそうに訴えます。

さっきから霊がいる感覚は、身体の変化からわかっていましたが、私はずいぶん昔に、もう霊は見ないと決めたおかげで、その存在が見えません。だから何もしてあげられないけど、しばらく様子をみていました。

すると、ユタは、また足を引きずりながら、どこかへ行こうとしています。これは完全に片足を無くした女性の霊が、私のすることを迷わせているとわかったので、ユタの女性を無視して、さっきの龍門の場所へ急いで戻り、祈りの準備を始めました。

伊良部島は、海底が隆起したせいで、龍門の付近一帯も、先端がとがった岩だらけですが、その先端部分を渡り歩いて、高さが数十メートルもあるだん崖絶壁の崖の端に、大きな亀裂が入っっている岩がありました。実は、そこの下に、「龍門」があるのです。

過去の全ての人間の行いを謝り、この島を守る全ての神々に感謝し、この龍門を開けて、すべてのエネルギーを天に昇らせる祈りの全てを一人で終え、門が開いたのを確認してから、二人のところに戻ってみると、ユタの口から、「門の中に光を入れて！そして、二匹の子供の龍が近くの岩に、引っかかっているのを助けてあげて！」と叫びます。

龍門の近くを見渡したところ、その子供の龍がいる場所も、すぐわかりました。私はまず、先ほどの竜門にもどり、天からの光を降ろしました。次に、その子供が引っかかっている崖に行き、悲しそうにしていた龍を二匹、助けてあげました。

助けた二匹の龍が天に上がっていくと、先ほど開いた龍門に、さらに光が差し込み大きく輝き始めました。これで本当の意味で、開門されたこの門は、実は、大切な裏門だったのです。世の中のことも同じですが、裏と、表の社会があり、裏の部分の取扱いの大切さは、私もユタもよく知っています。

普段、みなさんが過ごす世の中の出来事でも、いくら表向きでいい顔をして生活をしている方も、家や家族とのこと、また自分自身の心が安定していないと、裏（人に見せない・言えないこと）が、実は、全てのことに大きく影響します。

ですから表門をいくら開けたとしても、本当に大切なのは、裏門なのです。今回の「裏門の開門」の意味は、この伊良部島が実は、龍神たちの住みかであり、また、ここ伊良部島がもともと「竜宮」であることを私、は何となく感じ始めていたのです。
2005.04.20 Wed

伊良部島　国仲ウタキ

2005.4月20日（水）　AM　10：00

私がこの伊良部島の朝を迎えるまでに、何回と無く「天」と話をしていたことがあります。だから、少しだけ今日の大切な日の意味をわかっていました。天に言われた事は、絶対に、地元のユタを差しおいた行動をしてはいけないということです。

１、国仲のウタキ

最初の目的地に着くまでの車のなかで、ユタの女性は、私の行動は、きっと、国仲のウタキに行った時に、その後の行動が示されるだろうと話してくれました。現地に到着すると、何とも言えない重厚な空気が流れているウタキの前に到着しました。正面の鳥居の前に立ちながら、私を中にいれるかどうかをユタが判断していました。

しばらくして、「入らないほうが、いいようです」と言い、まずユタが自分で祈るために、鳥居の前に歩み寄りました。伊良部島の小さな街のなかには、７つの集落があります。そして、実はその集落ごとに、言葉がまったく違うのです。それはこの島にやってきた先祖が違うからですが、当然、祈りの言葉自体、私には、まったく意味がわかりません。でも、私のことを説明してくれているのは、エネルギーでなんとなく感じとれていました。

ユタの女性の祈りが終わったので、私は、お酒と塩を持って、同じように、鳥居の前に座り、いつものように心の中で、自己紹介と今回の旅の目的を告げました。すると、何度となく、その目的や私の存在の意味を確認するような言葉が繰り返されます。私は、本気でこの土地のエネルギーを上げる役目をする意思があることを告げましたが、なんとなく、相手の答えがしっくりきません。

私は質問しました。「では、この私にできることがあるのなら、どうぞ、言ってください。私にできることなら、何でもやりとげてみせます」と。すると、質問がきました。「それは、本気か？そのことに、うそは、ないか？そのことに、命を懸けることができるのか？」と。

私は答えました。「私は、命をかけて、あなた方が望むことをやりましょう。どうぞ、望みをおっしゃってください」と。しばらくすると、はっきり相手が望みを告げてきました。

「龍門を開けろ、そして、光を入れて、輝かせろ！」と心に声が聞こえてきました。

この意味は、ユタに聞けばいいと思ったので、最後に、私はこの鳥居をくぐることはできないのかと心の中でふと、思いました。すると優しい声で、、「お入りなさい、お入りなさい」と、何度も聞こえきます。

言ってくれたやささしさに感謝して祈りを終え、ユタに、内容の報告と確認をしてみました。すると、そのユタの女性は、「あなたが座ったときに、あなたの周りをたくさんの兵士が取り囲んで、質問していた。そして、今も、そこの３人の門番が、あなたの横にいる」と。

私はユタに、「最後に、お入りなさいと聞こえてきたのは、このウタキにですか、または、その龍門にですか？」と訪ねたところ、「それは、龍門のことだ」と言ったので、では、その龍門のある場所に連れていって欲しいとお願いしました。

2005.04.20 Wed

伊良部島　ユタとの出会い

ここからの話に、興味のない方は、読まないで飛ばしていただいて結構です。これは、私自身の体験から感じたことと、今回の旅の本当の目的を記録するつもりで書いておきます。

2005.4月18日（月）

いったん、宮古島のホテルに戻った私は、石庭から帰ってきてもう一度、あの石庭を中心としたトライアングルの図形を眺めていました。するとある場所が、とても気になりだしたんです。
先日、ホテル　てぃだの郷のオーナーに、特別に頂いた地図は、伊良部島の全てのウタキが記されている地図だったのです。（これは数十年間前に、全国から数十人の霊能力者たちが集まって黒記録した特別な地図です）

石庭を中心として、頂点に池間島、左下に来間島、右下に下地のウタキ、この二等辺三角形の長さの違いはなんだろうと見ていると、ふと、ある神の意図が見えてきました。石庭から池間島までの長い線をそのまま伊良部島へ向けてみると、下地島と伊良部島の間にある、「国仲ウタキ」にぶつかります。今度は、短いほうの線の石庭から来間島への距離を伊良部島に向けると、牧山ウタキにぶつかります。この２箇所を見ていると、何かをしなければいけないと感じてきました。特に、まず「国仲のウタキ」に、行く必要があると直感が教えてくれています。

2005.4月19日（火）

次の日の午後、早速、猪子オーナーへ電話して、ホテルへと向かいました。すると、猪子オーナーは、レストランの奥のほうで、白い羽織を着た女性を囲んで何かのお祈りの最中でした。私はすぐ、その女性が、あの話に出ていたユタだと、わかりました。開業丸1年のお礼の祈りだと、後から聞きましたが、その祝辞のユタの言霊パワーは、本物です。

ユタが言葉を唱えているときに、私の身体のなかにも、同調してネルギーが動いて感じるからです。祈りのあとの「振る舞い料理」をいただきながら、初めてユタの女性を紹介されました。「龍つながり」、その意味は、そのユタが祭っている神様が、「龍神さま」だったからです。

ユタの女性は、まだ私が何者かがわからないせいなのか、今、世の中で起きている問題の原因やや、この伊良部で起きている問題の原因が、みんなが人間が勝手にしていることでおきているし、そのことを竜神さまが怒っていると私に話しました。そして、「ウタキ」という場所について質問すると、絶対、部外者が入ってはいけないことと、特に、男は絶対に入れない場所があ

ることも話してくれました。

私はそのユタの女性に、昨日の地図を見せて、「国仲のウタキ」の意味を聞きました。するとそこは、龍神を祭っているウタキで、とても大切なところだから説明してくれている間、部外者は絶対に入れないですよ、というニュアンスを感じました。それではと私は、「どうしても、ここに行かなければいけないと感じるので、明日、一緒に同行して欲しい」とお願いしました。

何が始まるのかはわかりませんが、ユタの女性と猪子オーナーは、明日、一緒の行動をすることを約束してくれました。
2005.04.19 Tue

宮古島　二度目の石庭

宮古島の石庭

15年ほど前に、船井総合研究所の船井幸雄さんの本で紹介された、宮古島の新城定吉さん所有の石庭に、私も昨年、初めて行ったときの記録は、私のサイト内で紹介していますが、今回の旅の目的のもうひとつが、この石庭にきて、また瞑想をすることでした。

宿泊先のホテルの猪子立子オーナーが、石庭を知らないということで、翌日、一緒に行くことになりましたが、何ぶん、石庭の場所が、わかりづらい所にあるために、さらに、宮古島に住んでいるオーナーの友人の車で一緒に出かけることになりました。

迷うこと３０分、見覚えのある場所にたどり着くと、昨年同様、新城定吉さんをサポートしている女性が、私のことを覚えていました。彼女が、開口一番、私に言った言葉は、「北海道の霊媒師でしょ？」。確かに・・・、昨年、自己紹介をわかりやすくするために自分で言った言葉ですが、ちょっと、テレました。（ヒーラーとか言っても、新城さんがわからないと困ると思ったんです）

石庭に３つある穴のひとつは、宇宙につながっている穴です。そしてこの穴の中からは、たくさんの不思議な石が発掘されています。今回の石庭で最高の感動は、新城定吉さん（石庭の持ち主）ご本人とゆっくりお話ができたことです。お話というよりは、ふらっとやってきて、私の顔を見るなり、冒頭から私に質問ぜめだっといったほうが正解でしょう。

ここに、そのときの質問内容を少しだけ記述しておきます。

質問１、今の世の中の気の流れをどう感じているか？
質問２、現在の世の中の問題と、これからの地球の未来をどう感じているか？
質問３、宮古島は、ムー大陸の隆起のせいで気の力が大きくなっているが、世界中からここを訪ねてくる人が多い理由は？
質問４、宇宙のバランスを壊す恐れのある地球の現在の問題は、この石庭の力でできることがあるのか？
質問５、私の本を２冊読んだと聞いたが、何を感じたか？
などなど、宇宙エネルギーのことや、ここ石庭のエネルギーについて、いろいろなお話をさせていただきました。

新城さんの家の横には、来客用に、部屋がひとつ用意されており、そこに、ご本人が掘り出した

たくさんの不思議な石が並べられています。いろいろな話のやりとりから、私のことを信用してもいいと感じてくれたのか、普段、誰にも触らせないらしい棚に並んでいるたくさんの石の方を見て、「今度は、その３段目の端の石を手にとって、何を感じるか？」という質問に変わりました。

私が指定された石を触って感じてみると、そこには、はっきりとある波動の意識が残っています。たとえば、「マンモスの化石」と感じた石は、実は東京から学者が来て、詳しく研究したいので、持ち帰りたいと言っている石でした。（この島にマンモスがいたという歴史はないそうです。もし事実だと証明されると、また大きく歴史の教書が変わります。それ以外に触った石は、「隕石」、「この世のものではない物質」、「地球全体の波動コントローラー」、「昔の御神鏡の一部」などがありました。

新城さんから今後について質問してきたので、この石庭の扱い方について、少しだけアドバイスさせていただきましたが、とても楽しそうに話を聞いてくれる新城さんの顔が印象的です。私が最後に、質問したのは、「最近、この石庭を訪れる人はどんな人ですか？」と訪ねると、以前のように、船井さんの本を見て、めずらしさと観光目的でここにやってくる一般の人たちは少なくなっている。、反対に、ここ数年来る人たちは、本当にスピリチュアルな方たちが、世界中から集まって来ていると話してくれました。

新城さんとゆっくり時間を過ごしたあと、次の再会を約束して、家を出た私は、新城さんの魂の意思を引き継いだ感覚にもなっていたので、この石庭の未来に向けて、何か満ち溢れてくる感覚が身体中に溢れていました。

2005.04.17 Sun

伊良部島　白龍の導き

周りの皆さんにナイショにして、私は先日、少し旅に出ていました。目的地は、宮古島の西にある小さな「伊良部（いらぶ）島」というところです。宮古島のことは、２００４年に初めて宮古島へ行った体験話を、「2004年沖縄の神様のとの出会い」で詳しく書きましたが、今回の目的は、なんとその時見た「龍」が 、旅のテーマになりました。

2004年に宮古島を訪れたとき、地元の方と仲良くなり、美味しいカレー屋さんを教えてもらい、そのカレー屋さんの女性オーナーといろいろな話をさせていただきました。札幌に帰ってきてからお礼に、 自分が写した「白龍」の写真を絵葉書にして送った事から全てはが始まりました。

まず、白龍の絵ハガキを、偶然、カレー屋さんで見つけたJALの方が、伊良部島の町営ホテル「てぃだ（太陽）の郷」の猪子オーナーへ龍の話をしたことから、私のところに猪子オーナーから手紙が届き、今回の伊良部島の旅が始まったのです。

猪子オーナーから頂いた手紙には、2004年から町営ホテルのオーナーとなり、伊良部のことや地元の歴史を調べているうちに、伊良部島には、昔から龍神さまが祭られていて、その龍神さまを地元の人も大切にしていたということを知ったので、レストランの名前も「竜」に変えたり、Tシャツを作ったりして、自分なりにできることから、龍神さまを大切にしていました。

そこへ、JALの方の白龍の情報だったので、早速、カレー屋さんに足を運び、白龍の写真を見て感動し、手紙を出したという話でした。そのあと猪子オーナーとは、電話では何回かお話をしましたが、今回、初めてお会いした瞬間から話は驚きの展開になりました。

伊良部島には、JALと全日空のパイロット訓練学校があり、その教官をしているＡさんが、今回の白龍の写真の話を猪子オーナーにしたJALの方です。そのＡさんは、数日後に東京へ転勤するらしく、今日、偶然、ホテル「てぃだの郷」でお別れの宴をしているということで、猪子オーナーが、私をＡさんに紹介してました。

※後日談ですが、このJALのＡさんとは、私がホテルに宿泊している短い間に、３回も出会いましたし、さらに、宮古島から那覇空港へ帰る日の飛行機の中では、なんと！、となりの席になるいという偶然おｎ連続です。※結果的に、これは、天が大切なことを伝えるために、私に与えられた時間だとわかりました。

電話で猪子オーナーとの話の中に、私は気になる人の話がでました。それは地元で、神人（カミンチュウ）」と呼ばれている霊能者の女性で、霊的なことやご先祖のこと、また身体の不調や家族の安全祈願など、生きる全ての大切なことを、神様に聞きながら教え導くという人です。沖縄

全土では、「ユタ」というの名前で知られている職業です。

それまで私はというと、沖縄のユタも、東北のイタコも、インディアンやアイヌのシャーマンの人たちのことも、周りの人からいろいろな情報を聞かされていましたが、私のように土地を守るために生まれてきた人たちは、ある意味で天に与えられた領分がありますので、自分からすすんで関わることはしないでおこうと思っていました。理由は、もしその地を守る人たちと出会うということは、それぞれの守る土地の境界を越えて、もっと次元の高い大きな仕事をしなければいけないと感じていたからです。

しかしもし、今回の旅で、この猪子オーナーや「ホテル　てぃだの郷」を影からサポートしているユタの女性に出会うことになれば、それは、とてつもない役割が、自分に発生することを何となく感じていました。猪子さんからは、私の撮った龍神様の写真を見て、ユタの女性が、とても喜んでいると聞いていたからこそ、、自分もそのユタが気になっていたからです。

神との関わり方にも、ルールがあります。昨年の宮古島のときにも、３年前の石垣島と沖縄本島の旅のときにも、あちこちで多くの神さまたちと交信がありましたが、よけいなことをしようとすると天から、お叱りをうけた記憶もあるので、やはり、地元のことは地元の人がまずやるべきだと思っています。

でももし、今回の旅で、地元を守るユタに出会うことになれとすれば、それは、神の使いでもあり、神の意図そのものですから、何か、とてもつないことが始まるという予感がしていました。

ここで、少し伊良部島のことをご紹介をいたしましょう。

伊良部島の海の美しさは、ダイビングをする方にとっては、世界的に有名な場所です。それは、この島の周りの海の構造が、世界でもめずらしい初級者から上級者までが体験できる海の構造になっているからです。

宮古島もそうですが、この伊良部島も、海底から隆起した島ですので、島の周りの断崖絶壁の岩は、海の底のような感じすら見受けられます。下地島の名所「通り池」でもわかるとうり、鍾乳石を多く含んでいることで、島の周りの海は、あちこちに洞窟があったり、海の中でつながっていたりします。

もうひとつは、この島の植物のほとんどが、天然のハーブで構成されています。普段、なにげな

く歩いている道の周りの植物や花は、実は、東京から有名な大学の研究者たちが調べたところによると、日本でも数少ない植物が残っており、世界でもここにしか存在しない植物があるそうです。（ホテルてぃだの郷で、ランチにいただいたハーブティーは、本当においしかったですよ！）

またこの植物のおかげなのでしょうが、蝶の種類の多さにも驚きます。こちらもあちこちから昆虫学者の方々が調べにきて、その研究者たちが驚いているほどの種類ですし、さらに、先日、日本野鳥の会の団体が来られて鳥の種類を調べてみると、現時点でも、５種類は、この島にしかいない鳥が飛んでいるということです。

鳥といえば、私の守り神でもある「タカ」（伊良部ではサシバと呼ばれています）が、実は、この伊良部島を経由して飛んでいくことでも有名です。サシバは、町の鳥としても指定されていて、船出を見送る場所には、大きな「サシバの見晴台」があります。

私自身が今回、最高に驚いたのは、この島の町営ホテルの目の前の海が、あの「女子十二楽坊」のプロモーションビデオの撮影に使われた湾で、海の中にぽつぽつと置かれている大きな岩岩の不思議さと海の色の美しさは、鮮明に記憶に残っています。

私が宿泊したホテル　「てぃだ（太陽）の郷」　は、このすてきな湾の目の前に建っていて、全室オーシャンビューのホテルです。ホテル　てぃだの郷　ＴＥＬ　0980-78-5252

これからの５月・６月には、海ホタルが、ホテルのすぐそばで見られます。（私もオーナーに連れられて、夜の散歩でホタルを見てきましたが、幻想的な南の島で見るホタルの光は、最高に心がいやされる瞬間でしたよ～）癒しの島　伊良部島は、自然がそのまま残されている数少ない世界に誇れるバカンスの島な のです。

伊良部島に船で渡る前に、私は、宮古島で数日間を過ごしながら、伊良部島へ行くタイミングを考えていました。そして、よしっと！思ったときに、電話をしてみると、なんと驚いたことに、私が宿泊している港の近くのホテルから、たった５分のところのホテルに、猪子オーナー本人が、今、いるということことなので、船の最終便までの少しの時間でもお会いしましょうということで、会いに出かけていきました。

ホテルのロビーでお会いしてすぐ、お互いに初めてとは思えない感覚で、色々な話しをしまし

たが、まず決めたことは、明日、伊良部島へ行く事、船が着いたら車で迎えに行くので、私に見せたい場所があるから一緒に回りましょうということになりました。

伊良部島の港に車を用意して待っていた猪子さんが、まず、連れていってくれたところは、昭和４０年頃まで使われていた　「サバ沖井戸」。その場所は、高台から百数十段の階段を降りて、海の境界ギリギリにある井戸でした。昔は、毎日ここに、女性が水を運ぶためにやってくるのが、日課だったいうことです。

次の場所は、１４５０年に、この伊良部の島と宮古島との間の海を守った勇敢な「氏ぬ主（ウズヌシュー）」という人の石碑と、その人が祭られている比屋地御嶽（ピャーズウタキ）です。

沖縄から南の島には、必ず、御嶽（ウタキ）があります。これはあとから知ったことですが、見た目は、本土の神社のように鳥居があって入れそうですが、土地の人でも絶対に勝手に入ることを許されない場所ですのでご注意下さい。

このウタキ呼ばれる所は、地元の人にとって、守り神としての働きや、ご先祖様たちを祭っている大切な意味がありますので、観光客や一般の方が、鳥居を越えて中に立ち入ることは、絶対に許されないのです。

もし勝手に入ると、その人に災いや災難が起きて、大変なことになったという例も、過去に多くあると話してくれました。とはいえ、この時点で、まだそれを知らなかった私は、ウズヌシューのウタキに、ご挨拶してから入っていき、中の祭壇に向かってご挨拶をしてしまいました。驚いたのは、御霊の顔が数百もこちらを向いて睨んでいたことです。あ〜、怖い！怖い！ごめんなさーい！

次に向かった場所は、私が龍の写真を撮った「下地島の通り池」です。

自分でも忘れていた撮影の瞬間の場所も、現場で説明を受けると、思い出しました。私が写真を撮った場所は、昔、ある集落の人たちが、港として使っていた場所で、龍が上がった場所は、「通り池の先にある「なべ底」と呼ばれる特別な池の場所だというのです。

何が特別かというと、その「なべ底」の岩には、いくつもの神が宿っているからです。そのひとつ、この岩壁の形が「龍の顔」に見えませんか？

また、その左にあるの岩が、それぞれ火の神、水の神、風の神が宿っている場所なのです。

なぜここに神々が集まっているのか、ユタに聞いた話を猪子オーナーがしてくれました。この場所は実は、「龍の休む場所」だからだそうです。確かに、近づいてみて、ひとつひとつをよく感じてみると、神々のエネルギーが身体に伝わってきます。

この日、最後に見せてくれたのは、オーナーの家の近くにある大きな「がじゅまるの木」です。見せてくれた「がじゅまるの木」は、あまりにも崇高な空気とたくさんの精霊たちに守られていたので、写真を取れませんでしたので、他のガジュマルの木の写真をお見せしましょう。

ちなみに、有名な「島唄」にも出てくる「でいごの木」は、とてもきれいな赤い花が咲く、すばらしい木です。どんな台風にも、倒れたことが無いくらいしっかりと大地をはぐくんいます。

2005.04.16 Sat

北海道、春の名物　氷割り！

な～んて、実際は、かっこいものじゃありません。今もツルハシを振り回したせいで、身体は、ボロボロで～す。

昨日は、札幌気温１３℃に合わせて、家の前の氷割りに集中しました。

実は２～３日前から、少しづつ氷割りに取り組んでいたのですが、１日の作業は２ｍほど・・。だって、氷の厚さが２０ｃｍ～３０ｃｍもあるんですもん！

本州の人は、勝手に解けるのにと思うかも知れませんが、北海道では、場所によって事情がさまざまです。特に、我が家の前の駐車スペースだけは、とっても日当たりが悪くて最後の最後まで氷が解けないために、後輪駆動車の嘆きですが、家の前で車が、はまってしまうからです。（なさけない・・）

春の雪解けで思い出すことが、子供の頃に毎年見ていた「たんぼの雪とかし」です。

家の周りの田んぼが、一面まだ真っ白なときに、父は３月末になると、馬に「馬そり」をひかせて、たんぼへ出かけて行きます。

その後ろ姿をみていると、真っ白な雪の上に、広い幅の馬そりのあとが続いていって、その先に見える大きな身体のオス馬のお尻と、その手綱を引く父の姿が輝いて見えていました。

父は、あぜ道の一箇所だけの氷を割って、土を掘り返し、その土を馬そりに盛って、雪の上に少しづつスコップでまいていきます。家の周りは、１ｋｍ先まで真っ白な雪の平面が続いていて、その雪面の延長線上で、一人で土を掘り返す父の姿が美しく見えていました。

子供の私は、あまりにその作業が大変そうだし、進み具合が遅いようので、家に帰ってきた父にこんなことを聞いたことがあります。

「どうせ、解けるのに、どうして土をまくの？」

すると父は・・・・・、「今、やっておかないと、秋の収穫が、うまくないんだ！」

その言葉は、子供ながらに、この家がお米で食べさせていただいていることを厳しくしつけされていたので、来年の１年間に影響する大切な作業なんだと理解しました。

子供の頃の素直な心には、大人の言葉は大きな影響を与えてくれます。

幼稚園のころの我が家の食事どきは、板の間に全員正座で、ヒビの入った丸い飯台を囲んで食事するのが普通でした。

あるとき、私がその床に、３粒ほどのご飯粒をポロッとこぼしてしまったので、そっと、隠そうとすると、母に大きな声で怒られた記憶があります。

「その一粒を造るのに、どれだけの時間と、手間がかかってるとおもってるんだい！拾って、食べなさい！」

そのときの母の言葉のきつさと、いつも父のズボンに付いた泥が床に落ちて、泥だらけになる床を拭き掃除したときの記憶と、自分のしたことの申し訳なさに、ポロポロ涙をながしながら、そのご飯粒を口に入れた記憶があります。

米農家は、１年分の収入を半年かけて作る分、気温が低くて冷害になったり、台風などによる天災のおかげで、毎年の収入に大きな落差が出たりします。

そんな生活の全ての恵みを与えてくれる大地に、感謝しながら、春の雪解けを急ぐ父の姿を、今では、懐かしく想い出します。

北の春の風物詩、あなたには、どんな思い出がありますか？
2005.04.07 Thu

今日のはまりごと

久しぶりに、普通の人のブログらしくと思って書いていますが、どうなることやら・・。

今日、初めて使うホームページの製作ソフトに慣れようと、色々やっていたら、自分の Top ページが、ぐちゃぐちゃに・・・・。

こりゃいかんと、あわてて、ネットやら、本やらで、色々調べながら、やっとこできたと思ったら、前と対して変わっていない・・。

ふー・・。ほぼ、丸一日をついやして無駄と思えるこの時間も、またいつか、何かの役にたつのででしょうねえ～。

僕はいつもそうなのですが、何かに新しいことに取り組むときに、まずは一人でできるところまでやってみます。そこで、自分ではどうしようも無くなったときに、ちょこっとだけ、人に聞きます。

それは、失敗をたくさんしてきてわかったことだなんだけど、自分で苦労しないと、大切なことがわからないと身にしみて感じているからです。

話は変わって、今日は、本のテーマを少しお話します。

僕は、中学を卒業するまでに、たぶん自分が読みたくて読んだ本は、３冊くらいしかない
と思います。その理由は、「本なんかで、人生のことがわかってたまるかい！」と思っていたからです。

いつも悩める日々の吉岡少年は、自分で経験して、自分が感じたことしか信じていなかったからなのでしょう・。でもそんな吉岡少年にも、大人になってから、あるとき、とても大きな転機がありました。
僕のサラリーマン生活の最後は、本社の東京へ転勤していまして、朝６時に起きて、帰ってくるのが、夜中の１２時すぎという毎日の生活は、自分を見失いそうになり始めていました。
まったく自分の自由になる時間がないという生活を送るのが、初めてのうえに、唯一、自分の時間の、お昼休みさえも、顔も見たくないくらいに大嫌いな上司と一緒にお昼を食べるというのが、暗黙のルールになっていました。

これでは、将来の自分のために何もできないと、もがきあがいたあるとき、お昼休みに、偶然、通りかかった本屋さんで、足が止まりました。

少しだけ、ボーとその本屋さんの売り場を眺めていると、ビジネス書のコーナーに引き込まれていきました。そこに詰まれてあるたくさんの本の中から、ある１冊の本が、ポンと目に飛び込んできたんです。

手にとって、目次をみたり、パラパラと中をめくってみましたが、すぐには理解できそうもない本なので、久しぶりに本を買ってみることにしました。
それからのお昼休みは、１０分でご飯を食べて、缶コーヒーを１本買って、仲間に用事があると言い訳をしながら、本を片手に近くの公園のベンチに向かう日々が続いていました。
その本は、結局、その後の私の人生を大きく変えてしまうキッカケになった本なのです。

今では、その作者も、題名も忘れてしまいましたが、自分が感動したあと、同じような岐路にたっている人に出逢ったときに、その本を差し上げてしまったので、記憶に残っているのは、たった、ひと
つの言葉だけです。
その本に書かれていた人物は、昭和初期の日本に実在した「中村天風」という方で、その方の半生のことや、語録が書かれていました。私の心に残った大切な言葉をここで、ご紹介いたします。それは、とても簡単な一言だったのです。
2005.03.27 Sun

テレビの対談・性について

久しぶりに、ふと朝の政治家が出ている TV 番組を見ていると、小学生のため性教育の話が問題になっていました。

何が問題かというと、今の小学校教育は、地域主体になったおかげで、教える内容や、教え方に、ものすごく差が出ているということと、その一部の内容の赤裸々さに、大人でも驚くような、内容を教えている学校があるとの報告でした。

具体的には、外国で１０年ほど前に話題になった、男女の人形を使って、性交渉の仕方を具体的に教えたり、コンドームの使い方やナプキンの使い方などを、男女一緒の教室で、小学校３～４年生を対象に、教えているということです。

なかには、このことは、親にはナイショと言っている学校もあるようです。現在、国が実態調査をしているようですが、現状把握が難しいと言っていました。

私はこの問題をつねづね考えています。それは、性は、大切な命の根源であり、愛の表現であり、また、動物としての種族保存や、本能としての欲の大切な表現だからです。

でもそこに倫理観が伴わないと、まったく違う意味になったりします。いつか、私にその機会が与えられたら、小学生や中学生という、一番大切な時期に、スピリチュアルな世界からのお話できればいいなと思っています。

数億年という歳月の人間社会でも、この性の文化に対しては、さほど進化していません。その理由は、裏というか、陰の世界においてあることなので、その扱い方が人によって違うからです。

みなさんも、社会的にとか、一般的には、こう言っておいたほうがいいだろうということは、十分知っているでしょうが、こと、自分の今までの性体験を全て人に話すことはできるでしょうか？

まして、自分の子供に一番いいたくないことを話すことができるでしょうか？まずほとんどの方が、無理だと思います。

それは、今まで性は、陰の世界の奥底に隠してあったものだからです。

でも、それではと、突然、陽の表社会のみんなの前で話したりしたら、また、とても大きな混乱になるでしょうね。

この陰にある人に言えない自分の部分と、一般論という陽の狭間においてあるおかげで、ギャップが生まれて、ある意味、自分勝手なことがたくさんできるようになっているのも、事実です。

私が考える性の概念や倫理には、「これでなければいけない」ということは、ありません。その人の魂のレベルと、欲のレベルによって、意味がものすごく違うからです。

それに性は、命に直接つながりますから、本当は、分け隔てをしてはいけないものですが、実際は、ものすごく屈折した概念や思想が個人個人にあります。

私自身のことを振り返ってみても、動物のさかりともいえるあの中学や高校生の頃には、女性のことを、ものすごく自分勝手に考えていたように思います。それは、本当の意味でちゃんと話し合える大人がいなかったからです。

現在の子供たちは、大人と同じような欲求を持ち、大人と同じ経済観念を持っていますが、実際の社会での責任の取り方や、将来のことなどそれほど真剣に考えてはいません。私はそういう人に出会うと、それは無責任だとハッキリいいます。

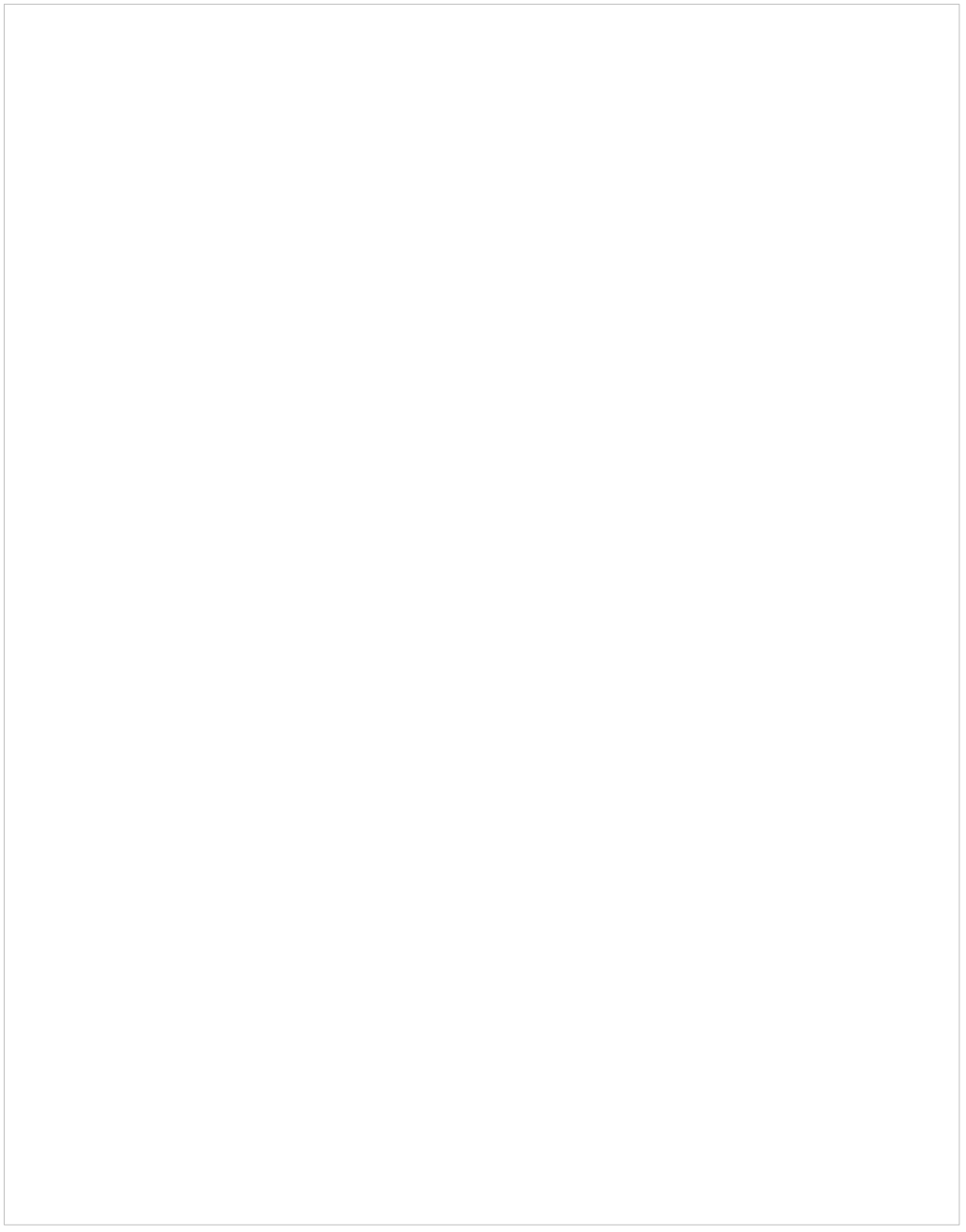
そういう人に共通しているのが、みんな「自由」を欲しがるのに、その相棒の「責任」を受けとらない人が、大人でもたくさんいるからです。私の善悪は、少し、社会通年からかけ離れているかもしれませんが、それでも自己責任だけは、理解しているつもりです。

人生をうまく生きるための対処法なんて、実は、ありません。

ただ、どんな人生でも、楽しく生きるためのコツが、あるだけなのです。

一人でも多くの大人が、そのことを子供たちや、未来を探している若者に伝えてあげられる人になって欲しいと願っています。

いつまでたっても、煩悩という人間らしさが抜けない吉岡の一人ごとで

 した・・。（笑）

2005.03.23 Wed

愛って何？

まだ私にこういう質問をする方はいませんが、ときおり、この人は、本当に愛を知っているのかなあって、思う人に出会うときがあります。

愛を感じるのに、難しいことは、何もありません。あなたが普通に生きていられること自体が、愛、そのものだからです。そして愛の現象は、とても普通に日々の生活の中でおきています。

私の今のテーマは、「ふつう」です。実はこの普通という意味不明のものが、とても愛に満ち溢れているからこそ、ふつうであるということが、わかったからです。

人間で言えば、命があること、生きていること、ご飯が食べたれること、水をのめること・・。

部屋の中の植物を見ていてください。あなたには、必死に生きているその植物のふつうが、感じられますか？植物は、あなたが水をやり忘れても、怒りません。

思い出したように、水をやりすぎたとしても、嫌な言葉ひとついいません。そして、あなたがつい、蹴飛ばして、土がこぼれてしまっても、愚痴ひとつ言いませんよね。

その植物が必死に生きていてくれるから、あなたが部屋にいても、心が落ち着くんです。来客が帰ったあとの、ふとした淋しさの中に、少しづつやさしさが溢れてくるのも、それは、あなたを愛して、あなたを信じて、いつもじっと見守っているその植物の愛のが溢れているからです。

花は、誰かのために、咲いたりしません。

いいかっこしようとも思いません。

花は、自分の生命の証として、そして命の伝承のために、今、生きてるぞーと、ただ自己主張しているだけです。だから、花は誰も見てくれていなくても、すねたりはしません。

この宇宙のなかで、自分に与えられた役割が、今を必死で生きることだと知っているからです。愛は、いつも、あなたのそばに、いるのですよ・・・。
2005.03.22 Tue

そして、午後１２：３７、暖かい日差しが窓から、溢れてきています。

きっと今、あなたの中にも届いていることでしょうね。

私はあなたに、告白したくなりました。

少しだけ、心の扉を開けて聞いていてください。

私は、あなたを愛しています。私は、誰よりもあなたを愛しています。

私は、宇宙から、いつもあなたを愛し続けています。

星が見えるとき、私のことを想い出してください。

太陽の日差しを暖かく感じるときにも、私は、いつもあなたのそばにいます。

あなたがこの世にいる限り、あなたの魂が、光り輝く道へ向かうとき、私の全てを差し出して、あなたをいつでも守ります。

勇気が欲しいときは、私のことを想ってみてください。

どんなときにも、どこにいても、あなたの全てを守っています。

苦しみが全て通過して、そのあとに感じる愛に向かってただ進んで下さい。

喜びと、愛と、あなたの全てに、私は命を差し出します、どうぞ、いつでもこの私を使って下さい。
あなたのために生まれてきて、あなたのために出会って、あなたとともに、天昇するその日まで、これからも永遠に、あなたの未来を照らし続けます。」

生きていてくれて、本当にありがとう。
2005.03.18 Fri

春の雪・・・想念？

季節はもう春だと浮かれていたのに、また一晩で真っ白な銀世界です。
本当に今年は、いろんなことが、激変する年になることでしょう。

こういう言葉を聞いたときに、あなたはまず、どんなことを思い浮かべますか？楽しいことでしょうか？嫌なことでしょうか？

私がよく口にする「想念」とは、このことを言っています。人間の意識はとても強いものですから、意識さえしていれば、自分を変えていくことは可能です。

でもこの想念だけは、気がゆるんだときや、ふとしたとき、また車を運転しているときなどに、出てくる自分の無意識の領域にある思いの世界のことですが、とても大切な働きをしています。

それは、無意識な想念が言葉を発して、周りの人や自分自身が聞いてしまうことで、現実化させるスピードを早めてしまうからです。

もうひとつ、この想念を何とかしようと考えている時間さえも、もうその想念の世界に足を踏み入れていることになるのです。

マイナス想念の世界に、足を踏み入れたくないと考えているあなたのために、ひとつアドバイスをします。そのためにも、あなたはその想念が出てくる理由をここで考えてみてください。

まず原因を一言で言ってしまえば、「カルマ」が原因なのですが、私はカルマにも２つあると思います。ひとつはみなさんご存知の過去世のものですが、もうひとつは、自分自身がこの世で体験して感じてきたことによる（自分で自分を縛る）カルマです。

この現実世界の経験のカルマとは、たとえば、車をよくぶつけたことがある方は、運転をする度に意識するでしょうし、アル中やドラッグにおぼれたことのある方も、手を出す前に考えるでしょう。

また、みなさんによくあるのは、異性との関係のなかで、いいイメージではない経験をしたことがある方は、そうならないようにと、意識するエネルギーを発しながら、無意識の領域で、苦しいときの経験を心の奥底で感じてしまいます。

そしてその避けたいと思うテーマが多いほど、無意識の領域では、苦しいときのことを繰り返し感じてしまうので、想念全体にマイナスのイメージが溜まってしまい、普段の何気ないときにも

、ふと出てきてしまうのです。

あなたの想念は、あなたの魂のレベルによって出ていますので、他の人とは違います。よく小さなこどもが大人に、神様のようなとてもすばらしい言葉を発したり、悪魔のようなびっくりするような言葉を発することがあります。

でも神様のような言葉のときにも本人は、神様意識は、まったくないのです。だって生まれてから間もないために、まだその経験や価値観がないからです。善悪を決めるのも、実は、大人や社会を知ってからなのです。

ですからその子供の言葉は、そのまま魂のおおもとから直結の言葉と考えたほうがいいでしょう。

反対に、大人の方の想念は、その方の価値観や社会通念概念が、とても大きく影響しています。

普段は普通に生活していても、自分の無意識にあるこのマイナス想念を変えていかないと、何気なく思うときに出ている思いのエネルギーが、実は一番強いエネルギーが出ているので、宇宙に直接、聞こえて実現化しやすい状況を創りだしてしまいます。

こういう自分の想念管理をする方法として、最高にいい方法は、魂が喜ぶことをたくさんすることです。魂が喜ぶことは、今、ただしたいことではありません。心の奥底から湧き上がる喜びのことです。部屋をきれいにすること、トイレをきれいにすること。落ちているゴミを拾うこと。

周りの人がして欲しいと思うことを、率先してしてあげること。そして、大きな愛に包まれることでも、その想念は次第に変わっていきます。
2005.03.15 Tue

1時間で幸せになる方法

みなさんは、いつも気持のいいお部屋でお過ごしでしょうか？

お部屋のお片づけは、心のお片づけです。心をいつもスッキリさせていたかったら、いつでも大切なお客様をお迎えできるくらいに、スッキリさせておいてください。

部屋の中には、いらないもの、細かいもの、思い出があるもの、人にいただいたもの、記念のもの、資料、データ、写真 etc　たくさんありますよね。

でも物は、いつかは無くなるものです。あなたが死ぬときには、何も持っていけないのですから、本当に大切なのは、思い出と気持ちですから、物には縛られないでくださいね。

お片づけの上級編は、押入れの中もスッキリしていることです。見えないところこそ、本当に心の奥底にあるものですから、大切に過去を捨てさせていただきましょう。

という私も、今日、久しぶりに掃除機をかけました（笑）　気持ちいいー！他のところもどんどん磨きたくなってしまいます。お花にお水も、ゆっくりお花に聞きながらやりました。枯れかけてるお花を捨てるときも、みんなを喜ばせてくれてありがとう！って、感謝しながら捨てさせていただきます。

最後に、お香やフラワーエッセンスを使って、ステキな香りでお部屋を満たしてみてください。そして、暖かい飲み物をゆっくり飲んでみる・・。

今日みたいに久しぶりに太陽さんの日差しが、やわらかくて暖かくて楽しい時は、プレゼントです。そしてこれが、幸せかなって、思える瞬間で
す。どうぞ、あなたもそんな時間を作ってみてください。
2005.03.13 Sun

愛に満ち溢れた今日の日

今日は、なぜだかとてもいい天気でしたね。今もこんな時間なのに暖かいですし、やっと灯油代を気にしなくてもいい時期になるかと思っていると、もう春の再来でしたね。

３月７日、いろんな意味でいい日なのです。ラッキーな日というには軽すぎますが、大切な日だったんです。私の車のＮＯにした理由もそうですが、「３」は、始まりという意味があり、「７」は、終わりという意味があります。この二つがそろうと言うことは、「完全」という意味になります。

霊数と呼ばれるものに、四柱推命や陰陽五行説の数字の意味があります。でもそんな深いものを追求しなくても、現在の数字にもパワーはあるんです。よくスピリチュアルな方に、数学や物理、また宇宙学などの世界の方が多くいらっしゃいます。（私もそうだからという訳ではありませんが・・・）

これは昔知ったのですが、数学の世界では、「ゼロ」の発見は、それまでの数学の世界でも最高の発見とされています。それ以降も、ゼロを上回る発見は、なされていないはずです。

スピリチュアル的にみて、ゼロの意味は、元に戻すと言う意味や、やり直すという意味もあります。また、新たなる誕生の準備ということも・・。またワープというのもゼロ磁場です。無限意識の世界では、次元上昇するときの感覚をこのゼロに置き換えるとわかりやすいと思います。

瞑想は、生きている人間が下から上を見ている状態です。それが本当にできるようになると、今度は、上から自分を見ることもできるようになります。すると・・、自分の居る位置がよく見えてくるんです。

魂には、レベルがあります。どの世界にもあるように・・・。それは、徳の積み重ねというほかに、表しようがありません。徳がある人同士には、その徳は見えません。徳が無い人にとって、この人は、徳がある人だなあーと、見えてくるんです。

この現実社会にその徳を下ろしたときに、「損得」になってしまいました。

それは、それぞれの人間の魂に、レベルがあるからしかたがないことなんです。

みなさん、徳のレベルを上げたいですか？
では、ひとつだけ、いいアドバイスをしましょう。徳をあげる最高の方法・・それは、「損」をたくさんすることです。「損して徳取れ」という言葉がありますが、徳を欲しがらずに損ができ

る人が、徳が高いんです。

徳は、目にみえません。そして、損も実は、目にみえません。あなたは、いつもどちらが見えているように、勘違いして生きていらっしゃいますか？

損があるから、徳がある。だから、損したことに、気づいたら、「ありがとうございます」なんです。徳をもらったと思ったら、ありがとうございますとお礼をいって、次に逢う人に、何かをさしあげてください。人に、さしあげればあげるほど、自分の徳があがる！なんてすばらしいことなのでしょうね。

こんないい日だから、ちょっと話すぎてしましましたね。でも、みなさんがきっとこれからもっとステキになることが、私、わかるんです。だから、嬉しくてワクワクしているんです。だからついつい書いてしまいました。

今日は、あなたにとっても、ステキな日になったと思います。だって実は今日は、その次元上昇の日だったんです。心が軽く、明るく、楽しく居られた人は、きっと、明日、自分が何かひとつ、やさしくなっていることに気づかれると思います。

みなさん、いつもいつも私のメッセージエネルギーを読んでくださってありがとうございますね。心から感謝しています。
2005.03.07 Mon

今したいことをしていたら、未来もしたい事ができる？

本当に、そうでしょうか？？？

よくスピリチュアルな世界の本を読むとそう書いてありますよね。でもこの言葉には、とっても大切なメッセージが含まれているのですが、あなたは本当に理解していますか？

よく宗教に入るキッカケも、精神世界に入るキッカケも、似ています。それは、自分のどうしようもない感情とのハザマで苦しんでいたり、道を探しているときにそういう情報に出会うことがほとんどだからです。

私のところに訪れる方々も、２０世紀末に来られた方は、とてもそういう方が多くいらっしゃいました。でも今は、訪ねる意味や理由が違ってきています。それは、私の波動が変わったということが、一番大きなことでしょうけれども、時代の波動が上がって、皆さんの波動も変わってきたということも言えるでしょう。

「自由になりたい」、「思い通りの人生を歩みたい」、「人に喜ばれる人になりたい」・・。私はその方の魂の位置と、テーマごとにアドバイスは違いますが、今回は、「自由」についてだけお話します。

あなたがもし、本当の自由を手にいれたいのなら、その反対の「不自由」を知らなければいけません。いえいえ、私は今までこんなに苦しい人生を経験したんだから、もうわかっていますというあなたに、質問します。

あなたは世界のあらゆる状況を判断したなかで、あなたの経験は本当に最高に不自由な経験なのでしょうか？もし、答えが完全にイエスなら、あなたの望みの全てを受け入れます。でも少しだけでも、ちょっと・・があるのなら、それがあなたの「甘え」であり、「欲」であり、「自我」なので
す。

そんなあなたに、ひとうだけプレゼントをします。これからはどんな状況に遭遇したとしても、いつもこう思ってみて下さい。「私は、恵まれている」、「私は、守られている」、そして「私には、この苦しみを乗り越える勇気と知恵が、授けられる」と。

命があるということの意味、明日があるということの意味、一人でも今のあなたを認めてくれる人がいるということの本当の意味を感じてみて下さい。

「生かされている」。私はそんなとき、いつもこの言葉に、ただ立ち戻ることを繰り返しています。

2005.03.06 Sun

ふと、寂しさを感じる時は・・・

ただ、あなたに愛のエネルギーを与えてくれるものに、浸りましょう。音楽はステキです。でも悲しい音楽に浸るのではなくて、愛の音楽に浸りましょう。

クラシック音楽も、お勧めです。モーツアルトは、特に。日本人なら、沖縄民謡もいいでしょう。暖かさとやさしさが伝わってきます。ガイアシンフォニーの音楽なんかは、私もよく使います。
決して悲しいときや淋しいときに、誰かに逢ったりすると、一時的な埋め合わせにはなるでしょうけども、きっとまた、大きな大きな淋しさがあなたを襲います。
「淋しさ」は、愛を深く感じるためにもとても大切な感情なのです。だから淋しいときに、慌ててはいけません。そっと、その「淋しささん」と仲良くなることです。原因がわからなくて悲しくなることなんかも、しばしばです。ただ感じて欲しいのですから、ただ浸ってあげてください.

手持ちぶたさで聞いていると、涙がこみ上げてくることがあります。その涙は、魂さんの涙ですから、ただ、すうーと流れていくのを感じてあげてください。私はそんなとき、簡単な作業をしながら音楽を聞いています。どうでもいいことを繰り返す作業の時間。耳から聞こえる愛の音楽。

悲しみも、淋しさも、時間が全て解決してくれます。原因を考え込むより、「今」を感じて下さい。
理由なんかいいんです。ただ、淋しい時間を感じたいのですから・・。
2005.03.05 Sat

行動は、意識か現実か？

みなさんは、行動するという言葉を聞いて、それは現実なのか、目にみえない世界の部分なのかを考えたことはありますか？私は、このことを幼いころから考えて続けていました。

みなさんが現実と言っている世界は、本当に事実の世界なのだろうかと？？？

これから説明する内容は、ちょっと難しいと思えるかもしれませんので、覚悟してくださいね。

まず、あなたに問います。

あなたが思う現実とは、何を基準にして、現実という説明をしていますか？

物事の結果でしょうか？お金の大小でしょうか？行動をしたときの反応でしょうか？

それは、あなたの思った世界の全部ですか？一部ですか？

もし、全部なら、あなたにとっては、現実でしょうね。すべてのことをわかっているということですから。よくいう予測不可能と言う世界のことも、思いがけないという世界のことも、はっきりわかっているということですものね！

でも、霊視や透視ができる私自身でさえ、全部とは、言えません。

だって、どんなに考えて行動しても、結果を確実に読むことなんて、できないですもん。

それは、なぜだと思いますか？

それは、あなたが思う世界でさえ、何かの意思が働いていたり、どこかからの意図があったりしているからです。

その意図を全部理解して、操作できている人がいたら、その人だけは、現実ですと言えるでしょうね。
私は別にそうなりたいとは、思いませんが、自分に必要なことだけは、わかるチャンスを下さいとお願いしています。

そういう出来事や、気付きに対して、素直になれる自分で居られるように、心がけているだけの日々です。

だって、生まれてきたときのことも、死ぬときのことも、何も自分の意図ではない世界で決まっているのですから、この３次元世界のことだけを、どうこうしようとしても、思うようにならないのは、当然といえば、当然ですよね。

だから、私がみなさんにお話しているのは、自分の役目に関わることについて、学び、素直になり、行動することが大切ですから、あっちこっちのいろんな世界のことを深く深く理解しても、使えないなら、意味がないですよ！とお話しているんです。

テーマに戻りますが、”行動する”、それは、意識です。

肉体を動かすことは、意識したことの結果ですから、意識自体が行動の一部と言えるのです。だから、私は、「意識すること」を、生徒さんに繰り返し深く深く教えます。

意識が現実を創るからだけじゃなくて、意識していること自体が、もう現実になってきているからです。

あなたが今、何を意識しているかわかりませんが、同じ事を意識している人が、地球上に１０億人いたら、あなたの望むことがすぐ実現するとは思いませんか？

それが、現実です。だから意識自体が、現実だと言うのです。

無意識（深層意識・下意識）をコントロールするひとつの方法として、意識し続けるのです。

そのことを普通になさっていれば、あなたは、あるとき急に、神の世界のエネルギーと出会うときが、あります。

そこからが、やっと人間の本番なのです。

「人間の神意識」、「我、神なり」、「天我真我・天我心我」という言葉が伝えたいことも、そのことなのです。

天なる神が、あなたの中に宿り、宇宙根源の愛を感じながら、そして、自らの使命をまっとうできる自分になられる人が、一人でも増えますように！

あなたの神性が、動き出す日を私は、いつも、待っています。ありがとうございます。

2005.01.24 Mon

愛と光のプロジェクト総会

この地球の全ての波動上昇のための動きが、昨日、北海道から始まった。

それは”愛と光のプロジェクト”北海道会議の開催のことである。

この集まりは、未来の子供たちのために働く人の夢を、本気で叶てあげようと行動する大人たちが集う場となりました。

今回、このプロジェクトで取り組む最初のテーマは、自然なお産の家を建てるために働いている方の夢を実現を目的とした、”エンジェルサポート・ジャパン”の結成です。

この会議には北海道の５つの市町村から足を運んでくださったすばらしい大人たちが、お互いの夢を具体的にする実現するために、心の温度差の調整と、これからの活動のすすめ方などを熱く語りあいました。

よく夢の実現には、代償が伴うといわれます。私が思うその代償とは、その大切なときに、自分の大切なものを横における覚悟だと思っています。

今回の会議から始まる大きな流れの最終目的達成のために、私自身は全てのことを横にく覚悟をして取り組んでいます。

それが私の役目であり、目的でもあるからでしょう。でも決して、そのことを人に強要するつもりはありません。自分を守れない人は、反面、人を傷つける一面も持っているからです。

以前、私がサラリーンをやめて、一人で事業を始めたときに出逢った人に教えていただいた言葉のなかに、”準備亡き者、結果なし”という言葉がありました。

物事の準備ができていても、心の準備ができていないと、いざ本番と言われたときに、まだ準備ができていないからと、必ず大事なタイミングをはずしてしまい、結果として、いつも自分の夢を叶えることはできないという教えでした。

私はそれからは、この現実社会のなかあらゆる決断のときでも、夢を実現することにおいても、常に、自分にその覚悟と準備はできているかい？と自問自答するようにしています。

子供の頃の私は、夢とは、実現しないもの・叶わないものと考えていました。

それは、無意識に大人の心の中の声を聞いていて過ごす日々の中、本当は純粋な気持ちで生きたいと願っている大人の心を知っていたのに、いざ、そのときが来ても、躊躇や困惑・言い訳をしながら、その夢に素直にならない大人たちをたくさん見てきたからでしょう。

その私が社会へ出て、まず覚えたことは、「あきらめること」でした。

自我をあきらめ、天の言葉も聞こえないようにしていないと、生き抜けないほど、結果重視の損得の社会だと感じたからでした。

でもその損得重視・自己主張・自己優先の20 世紀の時代も終わり、本当に自分の心の底から望むことに、進む時代がやってきました。

今、そう思えない人に問います。

あと１０００年経ったら、いつか誰かが自分の夢を叶えてくれると思っているのですか？

この２１世紀に私たちが”本質の生き方”を行動に移さなければ、、永遠にその夢はかなえられないと今、私は強く思っています。

だからお会いする方には、、”そのとき”が、来ましたよと、お伝えしているのです。

まもなく、旧暦のお正月（節分）がやってきます。

時代の”時”の流れには、グレゴリオ暦やマヤ暦をはじめ、あらゆる周波数が同時に存在していますが、この旧暦の動きは、日本人の魂の動きに同調した時をきざんでいることを感じてほしいと思います。

動きだす、そのときが、もうやってきたのです！

どうぞ、あなたの心の中に、こう問いただしてみてください。

「もう、準備は、できたかい？」と、・・・・・。　　ありがとうございます。
2005.01.22 Sat

高次元意識を現実で使う方法

みなさんのように、精神世界や心の世界などの目に見えない世界のことを、なんとなくでも理解されている方たちは、実際に、その高い次元意識のパワーをこの３次元でうまく使いたいと思っていると思います。

あの神さまの愛のように、大きくてやさしい波動エネルギーをこの世界で満ち溢れさせたい！

あの宇宙の大きなパワーを、人の為や地球のためにもっと使いたい！

それができれば、きっと、この苦しい現実社会もきっと、変えることができるはず！！！

でも、本当にあなたはそのことをの望んでいるのでしょうか？

もしＹＥＳなら、あなたはそのエネルギーを使う使い手として、学ぶべきことがあります。そのことを理解していないと、頭ではわかるっているんだけれども、なかなか現実がうまくいかないということになってしまいます。

ＮＯだからといって、現実のことだけに意識をあわせて生きようとすると、どんどん自分の想いの世界のエネルギーは、下がっていくものです。

ではどうすれば、しあわせに、愛に向かうエネルギーを動かす人になれるのでしょうか？

コツを教えて！と聞こえてきそうですね。

そのことを時間を掛けて教えるているのが、私のスピリチュアル養成講座ですが、今日は、ひとつだけ、そのコツをみなさんにお教えしますね。

それは、・・・・・

高い次元意識を自分の中で、「普通」だと思えるまで繰り返しトレーニングすることです。

実は、この3 次元はの低い波動の中では、高い次元意識も、思うようには使えません。

だから、自分の中で、そのことを普通と思えるまで、トレーニングするのです。

この３次元の世界でも、たくさんの種類のエネルギーが流れていますが、大きな中心を流れてい

るエネルギーが、みなさんの”普通”という、概念から出ているからです。

そこに、特別なものすごく高い意識次元のエネルギーを持ってきても、多少は、面白いこともありますが、普通には使えません。

だから、その使い手の自分自身のなかで、高次元意識を普通にすることが大切なのです。

今日のお話は、まったく意味が分からない方と、そうだったのか！という方に分かれると思います。理解不能の方には、ゴメンなさいね。

私のメッセージは、わかると、すぐ使えるようになっているものなのでで、理解できない方は、今ではないんだなあとだけ、思っておいてくださいね。

天は、求めた人には、何でも与えています。でも、与えられるということは、学ぶチャンスだということで、修練を積まないで、すぐにこの３次元で使えるわけではありません。

だから、みんさんは苦しくなると、自分のしあわせの次元を低く設定するか、自分の意識を高くするかの選択を自然に行っているのです。

自分には、無理！と言った人に、天が何かを与えることは、決してありません。

可能性さえ、実は、自分の選択だということなのです。

お一人でも多くの方が、この高次元の愛のエネルギーの上手な使い手になられて、自分の周りに花をさかせられるような人が、増えることを祈っています。ありがとうございます。
2005.01.20 Thu

あなたの運をよくする方法

今年は何ごとにおいても、動けば動くほど、大きなエネルギーが結果に現れる年です。

運気上昇・開運のコツは、全てのことにおいて”思ったことをすぐ行動する”という昔々からの黄金律に加えて、”早め早めに行動して、イメージを現実化する”と、さらに結果に結びつきやすくなります。

仕事・家庭・それ以外の３つのポイントのなかで、特に大切にしたいと思うことにおいては、新しい人の出会いが起きるためのことに時間やお金を使うことが成功の鍵となります。

その行動意識を具体的にすると・・・

１、自分の成功の為や、人にために、今までの１００倍の意識をして(集中して）動くこと。→すると、必ず福運と、新しい発想と、新しい人の出会いがあります！

２、その新しい発想の出会いを仕事につなげて、お金や情報交換というエネルギーに転換する。（※エネルギーは、動かせば動かすほど、大きくなります）

３、その動いた結果で生まれたお金や時間や喜びを、家庭の中にいる人と共に分かち合いながら、家庭の中で今までにない新しい愛と感謝と喜びのエネルギーを感じあうことが大切です。

→すると、仕事がしやすい環境が、家庭や友人からさらにサポートされて、あなたはより多くの愛を得られるようになります。さあ、今日から実践してみて下さい！
2005.01.17 Mon

愛と光のプロジェクト

今年の大きなテーマになるこのプロジェクトは、北海道から始まります。

そして、未来を変えるには、命のつながりと共に、魂のつながりを育てることが大切です。

命の大切さを学ぶには、誰しも自らの存在意義と同じくらいに、「生」と「死」の両面を学ぶ必要があります。

人生を長く生きた私たちは、今まで「死」から多くのことを学び、またそのことを新しい「生・命」につなげていくことの重要さを学びました。

昨年、映画ガイアシンフォニーのボランティアに参加されていた助産師さんと出会い、彼女が大阪にご主人を残して単身、富良野に２００４年に来た理由が、ここ北海道に、「自然なお産の家」を
建設するためだということを教えて下さいました。

彼女は以前、吉村医院　お産の家　http://www.ubushiro.jp/　で、婦長を経験されていた方です。さらにご本人自身は、出産の経験がありません。

私がよくお話することですが、この世は「相対の世界」ですから、自分の真反対を受け入れ、学ぶことの大切さを、よくお話します。

人間に言い換えると、自分の「不」とも言える経験や、まだ知らないこと、または、経験できなかったことのおかげで、実は、経験した人以上に、そのことを大きく学ぶチャンスが与えられているということです。

もう少しわかりやすくいいますと、女性が子供を出産できるのは、本能に備えられた能力です。ですから本能のままに生きるということは、特別すばらしいことでなくて、逆に、本能として与えられていない人が、そのことを学ぶことのほうが、より大きな意味と学びになるということです。

子供を産まない人が、子供のために必死に生きることや、子供を産めない方や男性が、未来の子供たちのために働くことの方が、何倍もすばらしい努力が必要だということです。

岡野さんやその仲間の方たちといろんな話をしたり、一緒に、沖縄　伊良部島や然別湖へ行ったりするなかで、本当に、これから時代に大切な命を育むためには、この”出産”という”生命の原点”

から手を付けることの大切さを知りました。

それからは、私が出会った多くの方たちにも声を掛けて、昨年１０月、然別湖龍神ツアーの際に、この岡野さんの夢を実現する会の結団式をしました。

１１月には、苫小牧で初めて助産師さんの講演会を主催してくれる方も出てきました。

この講演会に参加された人たちの中から、自分たちの町でもこの活動を広く知ってもらうことで、地域の人のつながりや親子のつながり、また、将来の子供たちへつなげる大切なメッセージとして、「自然なお産を家の実現」に協力する人たちが集まりだしています。

私たちの仲間が主催する今後のこの助産師さんの講演会の予定地としては、札幌・浦河・女満別・旭川・千歳を予定しています。

各地域の主催者の皆さんにお願いしていることは、それぞれの地元で助産師さんをサポートする仲間を集めることから始めて、まず地元の人同士で大切なことを学び合いながら、地域を越えた横のつながりを育て、大きな愛のネットワークを北海道で創りましょうとお願いしています。

私も今日、札幌で岡野さんの講演会を主催する方々の会に参加させていただきました。

参加者の皆さんとともに、何ができるのかを一緒に学びあいました。

私たちは、一人では何もできないからこそ、本当に未来につながる人の為に動き、そして、そこに自分の思いを載せて、一緒に実現していくことでエネルギー大きくすることができるのです。

２０世紀は、「勝ち負けの世界」でした。でも２１世紀は、「先に、相手の望みを叶えてあげるからこそ、自分の夢も叶う時代（愛の循環）」なのです。

今の時代に年金で生活している人たちを見てもわかるとおり、あなたの将来を支えてくれるのは、あなたの家族ではなく、たくさんのあなたの知らない人たちが、あなたを支えてくれるのです。

だからこそ、自分の存在意義を追求するように、人の為にそのエネルギーを動かしてみませんか？どうぞ一緒に、この夢を叶える活動に参加してみましょう！

あなたからの熱いメッセージを心からお待ちしています。ありがとうございます。
2005.01.07 Fri

白龍の神導き

2004年に初めて宮古島を訪れた時に、宮古島本島の隣にある伊良部島の海岸で突然、目の前に白い雲が立ち上がりました。その白い雲は、龍のように回転しながら空へ向かって上がっていきました。

この突然の出来事に驚いていると、

白い龍、白龍は、天龍である

とメッセージが降りました。

天龍とは、全ての龍の世界を司る最高に地位の高い存在だと教わりました。あとから伊良部島のこの場所に龍が上がる事は、地元のオバーたちに語り継がれている島の古い伝説だということもわかりました。

神が今、ここで天龍を見せた意味は何なのか？
私に何をさせようとしているのか？

全ての神導きと気付きを記録しておきます。

2004年　天龍の神導き　伊良部島

photo2.gif

2004.01.18 Sun

宮古島・伊良部島の神さまとの出会い

このブログを立ち上げたキッカケのお話をしておきましょう。話は、２００４年１月にまでさかのぼります。

＜神の国　宮古島＞（2004年1月）

<行動スケジュール＞
１月１４日　札幌出発　大吹雪で全便欠航　夜行列車でで青森へ移動
１月１５日　青森空港から羽田、那覇経由で宮古着　（宮古泊）
１月１６日　宮古島巡り・来間島・池間島
１月１７日　大神島
１月１８日　石庭・伊良部島・下地島
１月１９日　雨の為、休息
１月２０日　下地町　ツヌジウタキ挨拶
１月２１日　那覇経由札幌着

１，旅の目的

2004年１月に、旅に出ました。目的地は、今までに一度も訪れたことのない場所で、ずっと以前から心の中にしまってあった大切な場所のひとつでもある沖縄本島の南に位置する宮古島です。１５年ほど前に、船井総合研究所所長の船井幸雄さんが本の中でご紹介されたのが、癒しの地宮古島の初めての一般公開だと思います。

私自身も７・８年前にそのことを本で知たときから、宮古島には、ずっと興味がありました。しかし、そのときはまだ私が行く時期ではないとずっと感じていたのです。”癒す”ということの意味を、本当に理解している人間が行くには、いくべき時期があると・・・。

２００１年の２月、これからの時代の大切な３年間のスタートに向けて、心のスイッチを入れるために一人、石垣島を訪れたときには、色々な体験をさせていただきました。もともと、神がかりなことには、興味はありましたが、2001年は、唯一、石垣島だけ、波動がフラットなのを感じていたので、今の自分が行っていい島と感じたからです。

自分の心のスイッチを入れることを目的に出た旅は、新しい自分に大切なことを気づかせてもらえると確信していました。そして、２１世紀の３年間の準備期間も終わり、いよいよ本番が始まろうとしている今、やはり私は、旅に出ました。

今年こそは、宮古島に行っていいと許可が、天から降りた気がしたからです。一人旅には、何の準備もいりません。ただ、地図を見て、宮古島の周囲を確認をしているとき、いくつかある島の中で「大神島」だけが、私を呼んでいる気がしました。ここだけは、行かなくてはいけない！そう、強く感じました。

出発の１月１４日は、朝から千歳空港周辺が猛吹雪。予定時刻を過ぎて流れるアナウンスは、「全便欠航」。空港内で待ちくたびれていた数千人の人から落胆のどよめきが起こりました。ハっと、私は待ちくたびれている自分の姿をみて、「それでも、お前は行くのか？」と天から聞かれている気がしたので、今回の旅の重要性と自分の決意を再確認しました。

今日中に本州方面へ向かう夜行列車に乗るために、ＪＲで一度札幌駅まで戻るのにまた３時間経過。やっと札幌駅２２時発の青森行きに飛び乗ってから、ふと、この列車は、昨年１１月に亡くなった音楽家　阿部次昭さんと一緒に青森まで寝台で移動した列車だと気づきました。そうかあ、彼もこの旅のお供をしてくれているのか・・・。

青森空港までタクシーを飛ばして始発便に飛び乗り、東京経由で沖縄、さらに乗り換えて宮古島到着！本当なら、札幌から沖縄までの直行便のはずだったので、こんなに体力・気力を使うことは無かったのに、これも、この旅の目的が、天から本気か？とたずねられているような気がしていました。

２、水は命

2004/1/15　宮古島到着。
南国の暖かな空気と、素朴な景色は、何度見ても心が落ち着きます。私の一人旅の基本は、新しい土地に入ったときには、必ずその土地を守護している土地の守り神さまにご挨拶をするようにしています。

この土地の詳しいことを知るために、まず宮古島の中心地、平良（ひらら）市役所の観光課で、昔から大切にされている場所や山や建物を訪ねてみました。

窓口の若者に話を聞いているとき、ふと、５０代の男性が近寄ってきて、何を探しているんだい？と話に加わってきました。突然のことにも関わらず、窓口の男性は、その中年男性に対してとても従順に対応しているのをみて、この人はどこかの偉い人なのかなあと思いながら、その男性

のとても詳しい地元の説明のおかげで、重要ポイントが理解できました。（あとから聞いたのですが、この中年男性は、宮古島にある大きな博物館の館長でした）

この平良は、昔、宮古の中心地として、とても栄えていて多くの重要なものが残っているし、それを知るためには歴史探訪の地図があるのでその順番どおりにまわって見るといいとのこと。
特に、大切なウタキは、２箇所あるそうです。

※このウタキとは、現代の神社より生活に根付いていて地元の人が大切に神を祭っている場所のことをいいます。勝手に入れる場所はあまりありませんが、沖縄以南の島にはどこでも必ず存在しています。

張水御嶽（はりみずうたき）

歴史探訪の地図を見ながら、順番に気になる場所を数ヶ所まわっているときでした。突然、地面に２０メートルほどの大きな穴がポッカリ開いている場所を見つけたときには、息が止まりそうになりました。案内板を読んでみるとそこは昔、湧き水の井戸として生活の大切な場所でした。さらに特別な人しか飲めなかったために、厳しい警護の人間が付いていたと記されています。

国指定文化財　大和井（井戸）

この沖縄諸島の小さな島々では、飲み水が湧く島と飲み水が無い島があります。高い山も川も無いこの宮古島も決して水は、豊かでは無い島でした。 水を汲むための数メートル下の石段を降りていこうとするとふと、足を止めろ！と心の中で言われました。声の主は、昔からこの場所を守る守護神です。

心の中で、この旅の目的と自分の説明をしました。しかし、なかなか許可をいただけません。その守護神は、何度も、「お前はここを壊す者ではないのか？」と問い正します。その度に、そうではないことを説明しますがなかなか納得していただけません。あきらめて、すぐそばにあるもうひとつの小さな水を汲む場所に行きました。でも、やはり中には入れません。

ここに立ち入るものは、地元の者で許可を得ているものだけだと理解したからです。その場を離れる前に、もう一度、お礼のご挨拶をしたときに「水は、命である」と声が聞こえました。その意味は、ここの水を手にいれるために失った命もあったし、この水のおかげで救われた命もあったからです。悲しい出来事や事件がたくさんあったのです。そしてここ宮古は、実は「都（みやこ）」であったとわかりました。

「水は、すべての命」なのです。私は、改めて、そのことを深く感じました。そして、心のなかで「ヤンバルクイナ、ヤンバルクイナ」と名前が聞こえます。はて？何の意味なのでしょう？？？

３、池間島・来間島

宮古島の最北端の先に、とても美しい海に囲まれた池間島があります。島を車で一周しても、３０分くらいでしょうか。この島の海の色の美しさは、よくポスターになります。今は、宮古島からの橋が繋がっているために、ゆっくり海を見ながら車で池間島に入ることができます。

憧れのビーチ！・・・でも、ショック！！！・・・・・。あまり大声では言えませんが、ビーチのゴミの多さに愕然としました。心の中で、叫びたい気持ちです。観光で儲けるならその全ての関係者に「海の清掃税」を掛けるべきだ！海が・・・かわいそう・・・。

でも有名なこの島に一番最初に来たのには、自分さえ知らない理由があったのです。それは、最終日にお話にしましょう。次に向かったのは、宮古島の最南端にある来間島（くりまじま）です。この島も本島と橋で繋がっているので、一気に車で回れる島なのです。３６０℃が海！全てが真っ青な深い青に囲まれている島。しばらく見とれた後にその真東にある小さな浜を見つけました。

さっきがあまりにひどいビーチだったので、あまり期待せずに浜辺におりてみると、そこはまるで天国みたいに真っ白な砂に囲まれていて、誰もいないビーチでした。でもこの自然が本当に自然なものかなあと疑っていると犬を２匹散歩させている男性が近寄ってきて、このビーチはあまり人に知られていないことと、満潮時には海の中に隠れてしまうことと、ここの夕日は最高にきれいだということを教わりました。

初めての本物のビーチ、しばらくボーとしていると夕日が沈み始めました。ゆらゆら、ゆらゆら、水平線に近づくほど、色が赤く、濃くなってきています。ふと、周りをみると、地元の家族連れも、夕日を見に来ていました。ゆっくり、でも、沈む速さはとても早く感じます。雲が、赤く焼けています。海の青さと、雲の白さと、夕日の赤が、あまりにも輝いてみえます。しだいに、空、一面が赤くなりました。３６０℃の夕焼けです。

４、大神島

そこは地元の人でもほとんど立ち入らない島。島に渡って、帰って来なかった人もいるとうわさ

がある島。自動販売機やお店も一軒もない、わずかな老人が住んでいるだけの島。宮古島の東北（鬼門）に位置するこの島には、船で２０分ほどで着きます。

島の周囲を歩いても１時間も、かからないほどの小さな島です。前日から、この島に行くと決めたときから、心がそわそわしていました。大きな決断がいることも、この島がどういう島なのかも何となく感じています。古しえの時代から、この宮古島をはじめ、周りの島々を守る神様の島だということは十分理解していました。でも、私は行かなくてはいけないと感じていました。

船の時間が近づくと、にわかに海が荒れてきました。白い波が見える中へ、１０人も乗れるだろうかという小さな船で出発です。大神島の港には、何もありません。まず、左の道を進みます。岩場ばかりに囲まれたこの島に、道を作れる所はない為か、島の周りのサンゴ礁を埋め立てて道が作ってあります。

１０分も歩くと行き止まり。その先は、海です。引き返してみると、山に続いた小道がありました。急な坂道をゆっくり進んでいくと、小さな集落があります。寄り添うように、台風を避けるように建てられたコンクリートの家々には、ＴＶの音と老人の姿しか見当たりません。

小道の先に、頂上への登る階段がありました。急なその階段を登っていくと、この小さな島の周りを全て見渡せる場所、頂上に出ます。そこには直径３メートル、高さ３メートルほどの、御神体の岩があります。深々とその御神体にご挨拶をすると、とても気持ちが、晴れやかになってきました。

4畳半位の頂上の展望台から周囲を見ると、自分が立ったその場所から３６０℃の海が見渡せます。この全てを守っているこの大神島の神様には、心からの感謝をいたしました。２時間ばかりの滞在時間で最後の船が出ます。本当に、来れてよかったと感謝です。

宮古島の港に着いてバス時間を見ると、まだ１時間以上来ません。ふと、一人のオバアが近づいてきました。色々旅の話をしていると、自分の家に来いと誘ってくれました。７６歳のオバア、一人住まいで優しいオバアとのひととき、今も忘れません。

昔がどれだけ厳しい時代だったか、昨年の台風で周りの塀が崩れて、アンテナが吹き飛んだのも、生まれて始めての事だと大笑いしてくれました。子供たちや、孫たちがたくさん居て、みんなが元気で暮らしていることを楽しそうに話してくれました。亡くなったご主人の位牌にお参りさせてもらうと、偉い子だねえとほめてくれました。やさしい「おばあ」、この出会いはきっと神様の優しさだと心の中で思っていました。

５、新城さん宅の石庭（いしにわ）　※パワースポット　石庭（いしにわ）

船井幸雄さんが紹介されて、世界中からこの場所を訪れている人の数は、きっとすごい人数でしょう。新城定吉さん、この方がこの庭の持ち主で す。見た目は７０代の農夫です。観光地でもなんでもない、普通の個人の庭にあるこの石庭は、訪れた人を感動させるに余りある迫力があります。まず、新城さんにご挨拶と思っていると、ご本人が畑から現れてき ました。どこから来たのか？仕事は何をしているのか？彼の質問は、この２つだけでした。それに答えると、新城さんは・・・。

「あなたが求めている何かがあるはずだが、それは、ここで教えてくれるだろう。庭の中に、サークルがあるので、そこは裸足になって入りなさい。たぶん、それは与えられることだろう。」

そういうと、新城さんはその場を立ち去りました。石庭の中に入ってみると庭というより、ジャングルのなかの庭園というくらいうっそうといろんな木が自然のまま、立ちはだかっている。その中に足を踏み入れると、昨年の台風で倒れた樹齢千年を超える木が、倒れてい ました。ご本人に了解をいただいたので、奥へ、奥へと足を運ぶと、突然、開けた場所に、背丈ほどもある大きな石がいくつもいくつもゴロゴロと積みあがってい ました。

その入り口はサークル状になっているので、まず裸足になります。正面にある積まれた大きな石は、生き物のようであり、そこは祭壇かと思える位おごそかな雰囲気をかもし出しています。しばらくの間、そこで瞑想をしていると、ものすごいエネルギーが体中を突き抜け ました。

まず今までの自分の人生の出来事に全てお礼を言い、これから始まる新しい時代のあらゆるテーマについてお話させていただいき、ここは、直接、天と繋がっている場所なのだ と実感しました。ムー大陸や、アトランティス大陸についても教えていただきました。

しばらくすると、ここで新城さんをサポートしている女性が現れました。私のことを新城さんから聞いていたのか、まず彼女の最初の質問は、この場所はどう感じられますか？という問いでした。それに答えて彼女と色々な話をしていると、あることを教えてくれました。

実は ここのある石を、昨年１１月頃に新城さんが手を入れて少し動かしたそうです。その時期は、船井幸雄さんがいらしていた時期であることも、付け加えて。 その理由を彼女は僕に尋ねるので、僕は彼女にこう話しました。「これからこの場所の意味が、変わるでしょうね」と。

石庭には、大きな３つの穴が開いています。ひとつは、「陰の穴」、そして「陽の穴」。一番最後に見つかった穴だけは、名前がないというので、僕は、その先が宇宙に繋がっていることを伝えました。１８メートルも一人で掘られたその穴からは、とても素敵な石がたくさん出てきてい

ます。

その女性は、新城さんのことを、先生とよび、その先生は、天から書かされたという自費出版の本を出していることを教えてくれました。実は、昨日偶然入った喫茶店のご主人から私は、面白い話を聞いてい たのです。この宮古島には、大神島と、ここ石庭と、来間島の３点を結ぶ三角形には、何かあると言われていますよと喫茶店のご主人が教えてくれていたのです。

自分の地図で、この３点を線で結んで見ていると、どうしても、もうひとつ点が右にあるはずだと感じていたのだが、それはみごとに正解！新城さんの家の隣には、庭の穴の中から出てきた数多くの石や、資料や本などを見せていただける部屋が用意されてい ました。その部屋の入ると、壁に掛かっている大きな地図に、僕が思ったとおりののひとつの点を加えて、みごとな正二等辺三角形になっていたのです。

石庭の位置

そして、その中心はここ、石庭なのです。この石庭については、まだまだ色々なことあるが、興味のある方はまず自分で足を運んでみて欲しい と思います。私は、必要以上に今、この島の存在理由を説く時期ではないと感じているからです。ただひとつ、わかっていることだけは、伝えておきましょう。今まで石と呼んでいるが、実はこれは、海の中のサンゴの岩なのです。

宮古島自体が、実は、海の中にあった島だとだけ、理解しておいて下さい。さらに下地島は、海の中の景色そのものの岩が、地上に隆起して現れている島なのです。年代は、まったく別であるし、隆起した意味も、全く別の意味があります。そしてこれは、実は、ムーの仕業なのだ。 真実を知る準備が出来た時期がきたら、少しづつ謎を解き明かしていきましょう。もう一度生きたい場所、それが石庭です。

６、伊良部島・下地島

宮古島の北西に位置する伊良部島は、じつは、隣に下地島とほぼくっついた状態で浮かんでいます。この島に行こうと思った理由は、名所「通り池」と呼ばれる２つの池が繋がっている珍しいところだから です。島の西端にあるこの通り池は、大きな湖が二つ中で繋がっていて、さらに海にも繋がっています。

海から、マンタやサメも出出入りするこの大きい池の側面を見ると、この池は実は、鍾乳洞だったことがわか ります。世界でも珍しいとされるこの鍾乳洞がポッカリ口を開けて、繋がっているのは、不思議な感じがします。

池の周りの柵を見ると、「一羽の鳥」が止まっていた。僕を見ても飛び立つ様子もなく、じっとこちらをみているように思えたので、軽くご挨拶をしてから岬へ向かった。 岬の先端部分にももうひとつ、小さめの通り池がありました。ここの水は、海そのもので、青く、深い色と、水のはねる音が静かに反射しています。吸い込まれそうなその青さと静寂に、しばらく時間を忘れ ていました。

海に突き出た部分は、全てがリアス式海岸というべき、デコボコしながら、いくつもの洞窟がありそうな海岸線です。道を引き返すときに、最初の通り池を通ると、まださっきの「少し大きな鳥」が居 ました。どうみても、普通の鳥には見えないので、深々と、感動させていただいたことのお礼を言って、横を通り過ぎました。きっと、ここの守り神なんだろうと根拠のない感覚を信じてその場を去っ りました。

下地島から伊良部島向かう途中に、入り江に大きな岩のかたまりがゴロゴロ浮かんでいる場所があります。そこは、どうみても海の中の風景なのだ。突然、海の中の岩場が、陸地に上がったとしかいいようのない風景に、この下地島の意味を少し感じ始めていました。ぜひ、この場所に落ちる夕陽を見に、もう一度ここに来たいものだと想いました。

７、天然記念鳥　ヤンバルクイナ


天然記念物　ヤンバルクイナ

初日に、博物館の館長さんに逢ったのも何かのご縁と、車を借りて博物館へ行ってみました。ここ宮古島の歴史を少し調べたいと思ったのも、あるからです。書かれていた年表は、西暦１３００年からのものしかありませんでした。

ここは、アメリカの領土の時代もあったし、その前は、琉球王朝との関わりも深くあ りました。さらには、その以前に、南氷洋からの島々から来て遭難した人たちを助けたという記録も残っています。ただ歴史的に正確なものは、非常に少ない と思います。

わらぶき屋根の家屋や、農機具は、北海道のものと変わりません。展示物で気を引かれるものは、ほどんどないなかで、ウタキの所在を示す地図を見て、数の多さに驚 きました。そして、上映している「神祭りの儀式」は、それぞれの村々で引き継がれているものとして、今でも残っている。唯一、消えていないのはこの部分だけかもしれないと思います。

最後に、宮古島の野鳥の写真と剥製がありました。そこで見た鳥の中に、ナントカクイナという鳥が居ました。後でわかたことですが、飛べない鳥、人前に出てこない鳥として有名な「ヤンバルクイナ」だとわかった のです。そう、下地島で私を迎えてくれた鳥、それがヤンバルクイナな

のです。

８、神々との出会い
あるアクセサリー屋さんに立ち寄った。「幸せになる石」を販売しているからです。３０代のオーナーの男性と色々な話をしながら、ここ宮古島のすばらしさを互いに確認しあった。最後に、彼は、おいしいカレー屋さんを紹介してくれ ました。

翌日、海岸線で貝殻を拾うためと、カレー屋さんを目的に車を飛ばしました。海岸線で貝殻を探していると、心のなかで「ヤンバルカムイ」と聞こえてき ました。何のことだろう？しばらく考えていると、アッ！と思いました。あの下地島でみた鳥　ヤンバルクイナは、実は、島の守り神ヤンバルカムイなのだと！しばらくの間、出会えた事の感動と、全ての神々の存在をさらに深く感じた瞬間でした。

やっと見つけたカレー屋さんは、とても素敵な女性が一人で経営するお店でした。彼女のお父さんが手造りで作ってくれたお店で、愛いっぱいのおいしい食事。彼女は、石屋のヨッシーの知り合いなら、私の友達！とばかりに、たくさんいろんな事を話してくれ ました。

旅の最後に、本当に幸せな時間をもててよかったと思います。そのお店に置いてあった1冊の本に、目が止まりました。昔からのこの地方の「いい伝え物語」を本にしたものでした。この本には、あらゆる言い伝えが記録されていました。龍神伝説、美しさゆえ海に身を投げた女性の話、ウタキの由来。

そこには、神々へのご拝所としての「御嶽（ウタキ）」の最高に重要な場所は、最北端にある池間島にあるウタキであると書かれている。ただし、ここには一般の人は一切立ち入ることが出来ず、旅行者も一切立ち入り禁止と記されてい ます。唯一、出入りできるのは、神主（ｶﾐｭｰｼｬ）か、巫女のみとなっていました。

いくら私が霊媒師でも、土地を守る神々の役目である地元の人に失礼する訳にもいかず、どうしようかと迷っていると、代わりに一般の人の拝み所として、宮古島の南部（下地地方）にあるウタキに行くことで、今回の旅の全てのお礼をし ました。思えば、宮古島に入ってから、まず大切な御嶽（ウタキ）で神々へのご挨拶をしたおかげか、どこへ行っても、全ての神々に守られていることを毎日感じてい ました。

御嶽（ウタキ）を守る神・命を守る井戸の神・全ての神々を司る大神島、出会わせてくれたおばーも神の使いとも感じるやさしさがあったのです。そして、新城さん家の「石庭」におられる神々・下地島の鳥　ヤンバルクイナ・極めつけは、海から天に登る渦をまいた龍神様の雲 でし

ょうか・・・・。

宮古島の夕陽

９、神主（カミューシャ）・神人（カミンチュウ）

私がこの八重山諸島に、目的を持って訪れてから、いつも気になることがあります。
2年前、沖縄本島の三線（さんしん）演奏家の50代の方から、「ユタ」と呼ばれる人たちの話を聞いていました。昔から先祖を大切にするこちらの方々は、自宅の敷地内にご先祖の墓を建てることが、 普通である。年に数回、親戚一族が集まって墓の掃除をして、墓の前で健康を祝い、ご先祖に感謝する祭りは全国的にも有名です。

この「ユタ」と呼ばれる人たちは、親族の誰かが亡くなった時に、４９日を終えて、一族で「ユタ」の所へいき、亡くなった方が言い残すことが無いかを伺いに行く そうです。 また、大切な日取りを決めてたり、建物や会社の建て方、段取りについても、伺い賜う重要な人たちである。ユタの社会にも、ランク付けがあって、霊力の強さによってお布施が違うように、除霊・交霊を含めて、頼む人も相手を選ぶようでです。

今でもユタになりたがる人はいますが、ユタの職業を全うするには、強い精神力が必要とされて、中には気がおかしくなって廃業する人も多いと話していました。 生まれたときから与えられている霊力を、どう使うかは、その人間として生きる力とのバランスを、要求されるのもこの職業の難しさでしょう。しかし、沖縄は敗戦後、あらゆる文化が一気に流れ込んできてい ます。本土復帰を境に、仏教や神道、また、その他の宗教も数多く流れ込んできています。

この男性の話からすると、自分の子供の頃には、ほとんどユタとの付き合いで、全てのことがうまくまとまっていたし、先祖からの言い伝えも守られていた ということです。だから、一番大切にしているのは、おばーやおじーの知恵だと彼は言っていました。

しかし、文明の流れとともに、今の４０代以降の人は、ほとんど八重山諸島の歴史や文化の意味を知らない人も居る位に、琉球文化を理解していないと言 います。三線（サンシン）にも、現代三線と古典三線があることもわかりました。だから今でも、琉球大学には、古典三線の学科があるといいます。

宮古島では、ユタのことを神人（カミンチュウ）と呼ぶそうです。50代の男性に聞くと、居ることは知っているが、自分はあまり使わないといいます。また、２０代の女性に聞くと、 そんなの知らないと答えられました。私は自分がこの神人（カミンチュー）と同じ仕事をしているせいなのか、守られるべき知恵や風習が消えていくことに、深く悲しみを覚え ます。

宮古島空港へのタクシーの中、自分と同じ位の年齢と思われるドライバーさんが、話かけてきました。２４日には、ここ宮古島に天皇が来ることと、３００年前に、天皇家とこの宮古島が深いつながりを持ったことで、今の皇居に使われている石垣は、この宮古島から運んだのだと言うことも教えてくれ ました。そして空港に近づくころ、ふとユタの話になりました。

彼は今でも家族のことや、大切なことを決める時には、必ずユタの所に行くし、自分の周りの人もそうだよと、教えてくれました。私は、とてもうれしかったです。初めて普通にユタのことを受け入れて生活している人と出会えたことに、感激してい ました。

沖縄のユタ、宮古島の神人（カミンチュウ）、青森にある恐山のイタコ、インディアンの儀式を取り扱うシャーマン・・・・。世界中に大切なことを守り継ぐ人たちが、今でも存在してい ます。

地球を含めた自然界の全てのものが、宇宙からの贈り物であり、人間というものはその中で生かされていて大切な役目があることを知っている人たちです。私は、この旅の最後にこれの言葉で、自分の存在を許されたかのように感じ ました。また現実の中で、人間の存在意義を伝えていこうと強く決意したのです。

最後に、「御嶽」と書いて、「ウタキ」と呼ぶ場所の付き合い方を知っておいて欲しいと思います。

地元の人に聞くと、人によって付き合い方は違うが、特別なところなので、滅多にいかないという人と、自分の家の前にあるので、いつもご挨拶しているよ、という人がい ました。私が最初のウタキにご挨拶に行ったとき、ウタキの門の前で一人の男性がこちらを見ないようにして、順番を待っているのがわかりました。そして、私のご挨拶が終わり帰るとき、お互いに微笑みあい、軽く会釈をして交代し ました。

ウタキは、今の日本の神道の神社とは全く違うのです。
大切なときに、大切なことをお願いしたり、お礼にいったり、悲しいことや、苦しいことがあるときに、自分を守ってくれる最高の敬意を払うべき存在なのだ と思います。それは、この地を守る守り神さま、言い換えれば、この地を生きぬいてきた、自分のご先祖様全てに対しての敬意なのです。

もし、あなたがウタキに行くことがあれば、そのことだけは、理解しておいて欲しいと思います。
私の魂の旅は、また、これから始まるでしょう。

１０、白龍（天龍）の意味

宮古島には、昔からおばーたちの言い伝えに、あの通り池の所には、ときおり、「龍神さま」が見えることがあるという伝説を聞いていました。最近になって、白龍は天龍であることがある本を読んでいてわかりました。

私があの龍の形をした雲を宮古島で見たときに感じたことは、まず、この龍は白龍であるということ。そして、これは、何の役目の龍かということではなく、全ての龍の親分だと感じていたのです。でもこのことが、今日読んだ本ではっきり書かれていました。

この本を書かれたのは、あの宮古島の石庭の持ち主、新城定吉さんです。新城さんは、宮古島の歴史にも詳しく、自らいただいている宇宙からのメッセージもあり、さらに科学・物理・倫理・真理と詳しくあらゆることを調べていて、現実の出来事からも、科学的にもメッセージを分析判断なさっています。

私自身は、数年前のある瞑想の最中に、突然、青龍が身体の中に入ってきました。それからは、青龍の意味や役割を調べたり、他の龍の意味を調べたりと、自分なりに龍の意味と自分の役割を模索していました。しかし、私はいつも必要以上に何かを求めることは、しないようにしています。

その理由は、自分に必要なことは、必要なときに与えられるということを知っているからです。自分の欲で求め過ぎて手にいれた知識は、左脳に入りますが、すぐには使えません。自分自身は納得して満足しますが、そのことで誰かの役にたつことはできません。何も求めないでいても、必要なことはちゃんとポン！と気づかされたり、わかるように誰かが言葉で教えてくれたりします。

そのとき与えられた知恵は、すぐ人に役にたつものなのです。それは、人間というそれぞれの存在は、実は、みんなの、 誰かの為に存在しているからなのです。人間は、本来そういうものだと、思っています。だから、わからないのにわかったふりをしたり、答えを求めすぎるとかえって混乱して、今の自分の役割が見えなくなってきます。

私が思うに人間には、自分の役割に見合うものは全て与えられていると感じています。だから今、自分ができることを人様の為に一生懸命することが、実は、自分本来の役目を気づく一番の近道なのだということです。得意、不得意は、自分ための言葉なのです。不得意だけど、人に喜ばれるなら一生懸命にやってみようとすることで、実は、自分の新たな発見や才能を見つけたりす

るものなのです。

以前、青龍が入っていて、今は、さらに白龍が入ってきたと感じています。それは、私自身の役目がさらに変化したことを示しています。心して日々の出来事を精進していきたいと、心から願う今日の日々です。ありがとうございます。

2004年 1 月に、宮古島の西にある下地島で撮影した白龍の写真

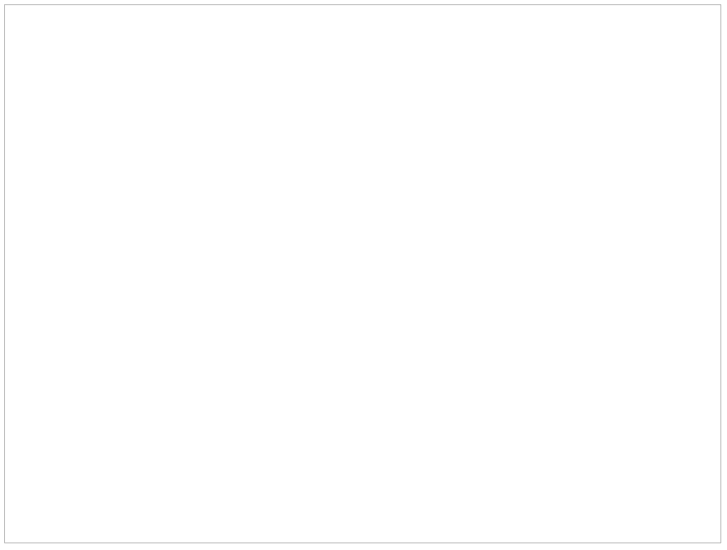
2004.01.14 Wed

21世紀の新しい光降ろし

２００３年、２１世紀の新しい意識と現実の融合が始まったこの年、北海道の男女５名が、天の導きによる出会いから、光を降ろしてつなぐまでの軌跡をここに残します。

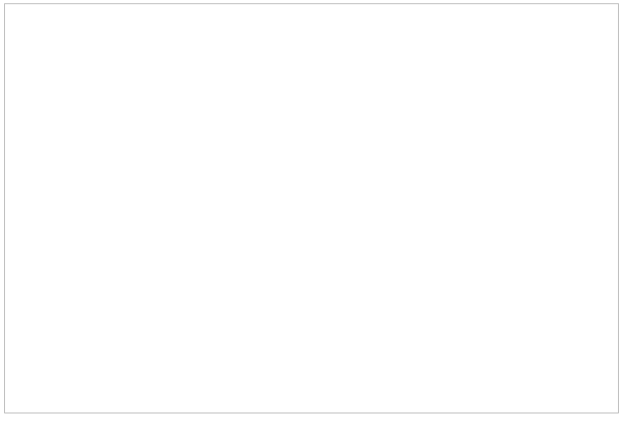
１、新たな２１世紀の光が降りるための準備の祈り
２００３年６月２２日（日）天候：晴れ　12：30　札幌出発
場所：北海道余市にある３つのストーンサークルの状態調査

?忍路（おしょろ）ストーンサークル・・



ここは円の直径が日本最大のサークルとして有名です。このサークルの後ろの山には、昔から大きなＵＦＯ基地もありましたし、北海道内に数多くあるサークルをつなぐために、最初にエネルギーが降りてくるところです。まずここで５名が行った作業は、光をつなぐ為の祈りでした。

?地鎮山（じちんやま）ストーンサークル・・・



忍路サークルのエネルギーが、まず第一に届くのが、ここ地鎮山（じちんやま）サークルです。

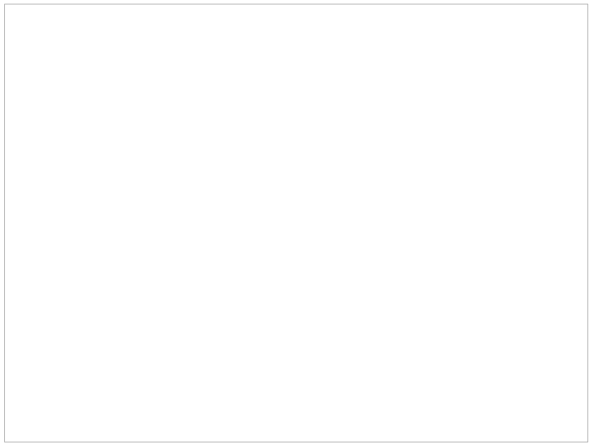
この場所の役目は、簡単に説明すると特別な方のお墓です。海の周りに住むアイヌ部族の全盛時代、長老たちの中でも、特に大きな役割のある方が埋葬されました。

この場所は一般の部族の人には、知らされていません。 もうひとつの意味が、特別な宇宙言語を直接受け取って、解読する場所だったからです。

その宇宙からいただいた知恵を、長老たちは、大切に管理していました。その知恵の一部をもっとわかりやすくして、部族のみんなへ伝える場所（今の神社の役割でしょうか？）が、次の西崎山サークルです。

※この地鎮山（じちんやま）サークルの入口左方向奥にも、２つほどの小さなサークルがあります。

?西崎山（にしざきやま）ストーンサークル・・・

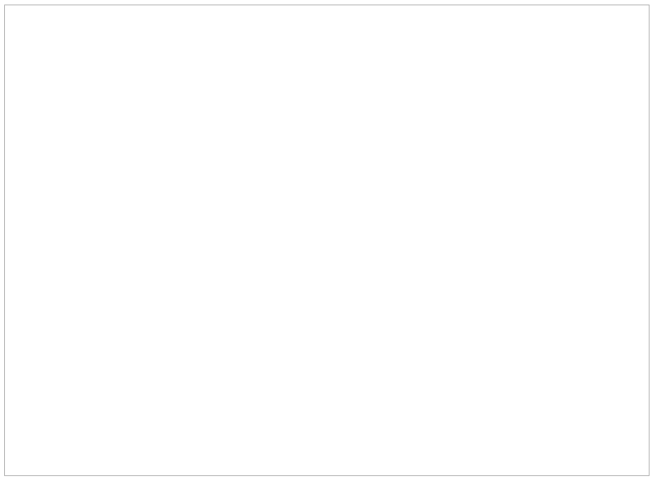


このサークルには、今でも太古の全ての情報が蓄積されています。

石の配置の意味は、集落全体の地図を表しています。そして、その中にある石の塊は、学校であったり、墓場だったり、祭り場だったり、当時の情報がぎっしりと詰まっています。

私がここを初めて訪れたとき、アイヌの大神様が出てきて、そのことを教えてくれました。

２、宇宙のおおもとからくる新しいエネルギーを北海道へ降ろすための祈り
２００３年６月２９日(日）天候：曇り/雨　午前３時　札幌出発
?場所：芦別市常盤町の山奥にある「イルムケップ山（865ｍ）



この山は、平地からは一切見えない山です。その理由は、この山に登ってわかりますが、この山を中心として３６０度、山々に囲まれているからです。

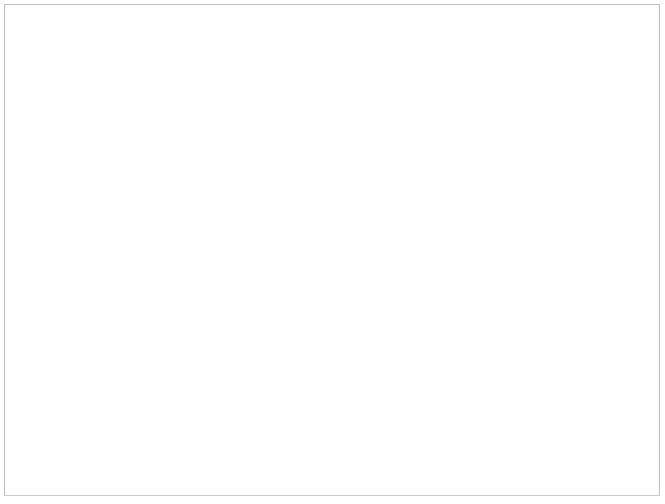
その頂上眺められる３６０度の谷の美しさは、この空間が、別世界であるかのように感じます。

もうひとつこの地形の意味は、おおきな山に囲まれた円の中にある点、それは、押しボタンのような意味があります。

当日は、あいにくの雨でしたが、日の出時刻にあわせて、この山の頂上で大きな祈りを皆さんで捧げ、天からの光を頂上に降ろし、 天地つなぎを行いました。

下山してすぐ向かったのが、このエネルギーをさらにつなぐための深川のストーンサークルです。

?場所：深川市　音江（おとえ）ストーンサークル　天候：雨



このサークルは、市が管理していない先の場所までよくみるとわかりますが、実は、宇宙の太陽系のすべての星の位置を表しています。

石のひとつひとつの配置は、全ての星を表す石が並べられていて、そのひとつひとつが、直接、その星にコンタクトするエネルギーを発しています。

イルムケップ山に降ろしたエネルギーを最初につなぐのが、この場所だと感じたので、みんなで太陽系の直列エネルギーを地球へつなぐ祈りを奉げました。

３、天つ光のつなぎ

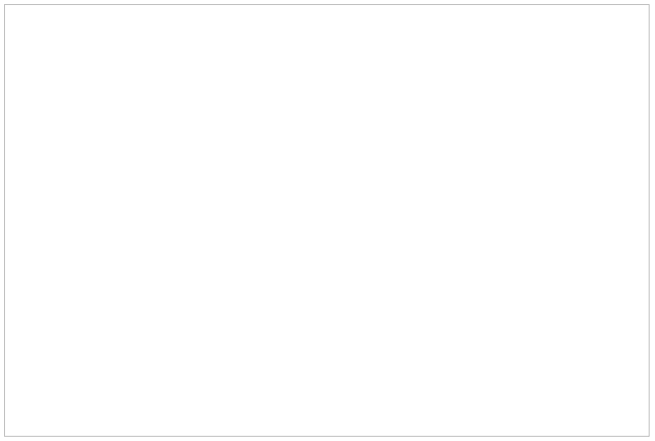
２００３年６月３０日(月)　天候：晴れ
場所：忍路（おしょろ）ストーンサークル・地鎮山（じちんやま）ストーンサークル

昨日の天から降ろしたエネルギーを、もう一度、余市のサークルへつなごうということで、余市へ向かったときのメンバーは、数人の入れ替えを含めて６人で行きました。

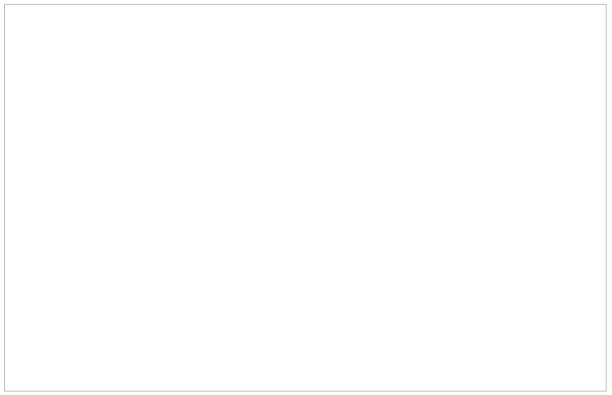
忍路（おしょろ）ストーンサークルでは、イルムケップからの光を、音江サークルから経由して、天なる光つなぎの祈りを奉げました。そのあと、地鎮山（じちんやま）ストーンサークルにも足を運び、光つなぎの祈りを行いました。

４、陰陽合一（いんようごういう）の祈り

２００３年７月２１日（日）天候：晴れ/曇り　午前９時札幌出発
場所：ニセコ　倶知安神社＆半月湖



現在の倶知安神社は、もともと羊蹄山の頂上にありました。その霊力は強く、大きな力でこの北海道を守っていたので、私たちは、自分たちの目的の報告と、大きな祈りを奉げる役目を安全にさせていただく祈願をしにいきました。



半月湖というは湖は、とても「陰（いん）」が強い湖ですので、光つなぎの私たちがそこを徒歩で一周することによって、エネルギーが半円から円になり、浄化融合、そして、不浄の御霊が天昇し、本当の意味での、陰陽合一にすることが目的でした。

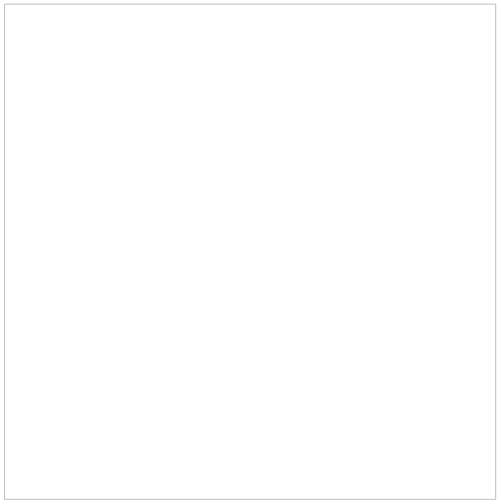
※この場所は、想像以上に厳しいコースでした。途中から一切の道が無くなった為に、雨が降りしきる中を、湖面まで数メートルというガケになった斜面を草につかまりながら移動するというものです。

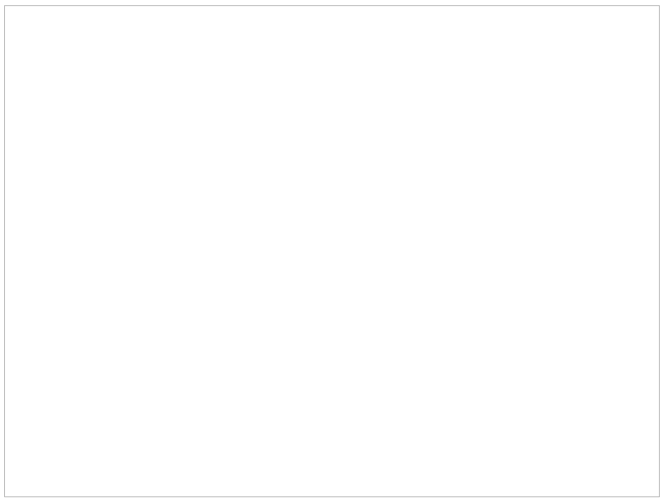
湖面へ向かって伸びている草木に捕まりながら、足場を移動させては、ときおり、木や草に身をまかせて休憩するというコースです。

もし、一歩足を踏み外せば、そのまま湖へ転落し、すべり落ちます。その湖の中には、今まで数百年間に倒れて落ちていった老木たちが、見えない湖の奥深いところまで落ちていて、その上においしげった草のおかげで、湖のふちからは、まったく陸地が見えない状態ですから、一歩間違って落ちた場合、陸地に戻ることは不可能だと感じていました。

雨の中、約３時間かかって全員が岸にたどり着いたときには、あまりの緊張感と安堵感で、お互いの顔をみて笑い出していました。

５、天つ光の祈りのご報告＆龍神さまの奉納
２００３年７月２４日（木）～２５日（金）天候：晴れ　午前１０時札幌出発
場所：道央　鹿追町　然別湖畔　旅館　風水　（宿泊）





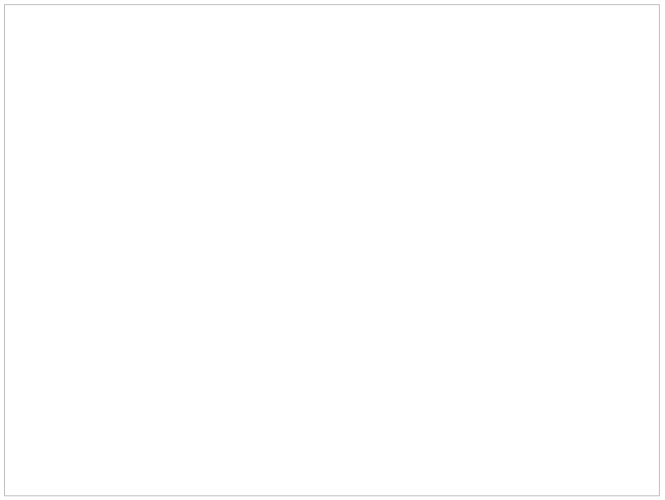
今まで守ってきた天のエネルギーをこの大地へ納めるためには、最初から大きな龍神さまが守っている平地で一番高い標高にある湖、「然別湖」への祈りが重要だと、私たちは最初から考えていました。

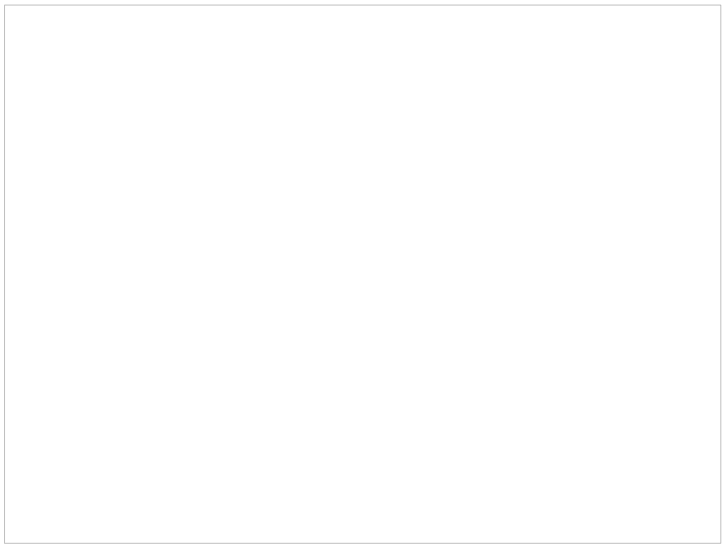
ある意味では、今までの行動がこの地へ向かうための準備の祈りとでも、いったほうがいいくらいに、大切な場所です。

然別湖には、今でも大きな龍神様が鎮守されています。またその神様ををずっと守っている大切な「旅館　風水」のおかみさんにも、今回のことをすべて報告させていただきました。

この然別湖までの道のりは、天がすべてをサポートしてくれているのが、よくわかりました。

「彩雲」、「日輪」の出現に始まり、道路の両側には、然別湖までずっと続く麦畑の中のミステリーサークル出現。そして、私の守り神でもある天の使いの鷹が、何度となく数羽でお迎えをしてくれていました。





夜、風水のおかみさんと全員で、今までのこの地の言い伝えや、おかみさんの体験話を聞きながら、おかみさんが、今、何を大切にしていることを理解しようと耳を傾けました。

そして、毎日行っていらしゃる翌朝６時の祈りの儀式に、全員で参加させていただくことの許可いただいたのです。 朝の祈りのあと、湖にある小さな島の社に、最後の祈りに行きたいと願いでると、おかみさんは、私たちだけのために快く船を出して下さいました。

浅瀬のために上陸はできない小さな島ですが、何回も島の周囲を回りながら、全員で龍神さまへの感謝と今までのご報告をさせていただきました。

※この風水旅館の最上階には、改築時におかみさんが特別に設計した大きな神殿のある部屋があ

ります。その祭壇は、中央に、この土地を守るための祭壇と、左には、龍神さまを祭る 祭壇、そして、右手には、ご先祖さまを祭る祭壇が設置されています。

そしてこの部屋の屋根の上には、一辺が３０ｃｍもある大理石のピラミッドが設置されており、その役目は、正面に見える「くちびる山（南ペトウトル山）」と、この「ピラミッド」、そして、ホテルの真後ろにある「展望山」の３つを一直線でつなぎ、その大きなエネルギーが安定して流れるように設置されています。

さらに、おかみさんは、ある方から教わった特別な石を、この建物の四隅へ埋めていて、風水の鬼門よけにも勝る「結界」を張っているのです。

そして数年に一度、地球の地軸バランスの調整に現れる方たちが、くちびる山の山中に入り、大地を波動安定のための特別な石を埋める活動をされている方々がいることも覚えておいてください。

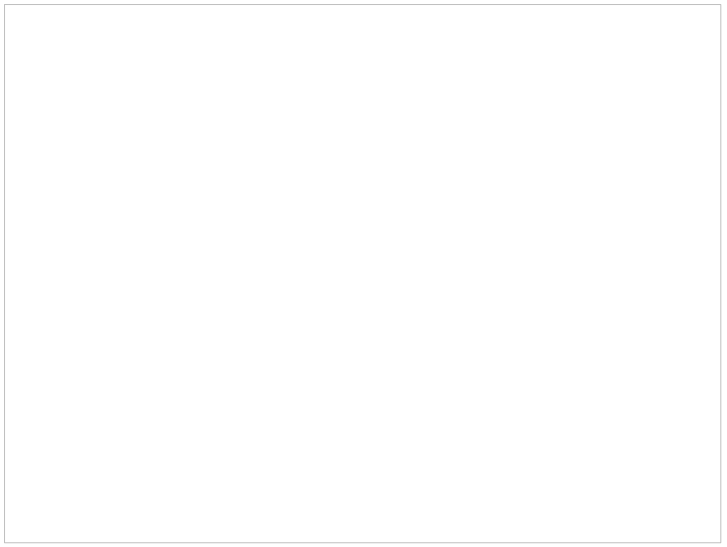
この場所は、地球の、いえ、宇宙のバランスを整えるために、大きな働きをしている方たちが、自然に集まってくる大切な場所なのです。

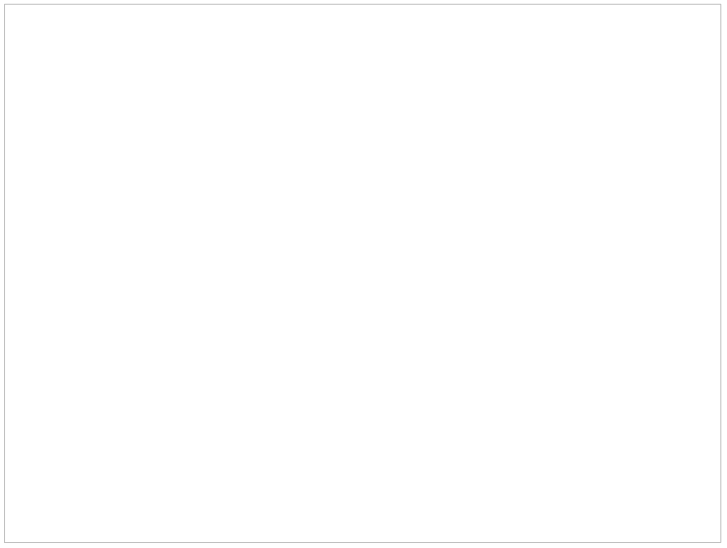
６、お盆にあわせた新しい大地の日の出儀式
２００３年８月１４日（木）～１５日（金）　天候：晴れ　午前8時出発
場所：ニセコ　羊蹄山(蝦夷富士１８９８m) 登山

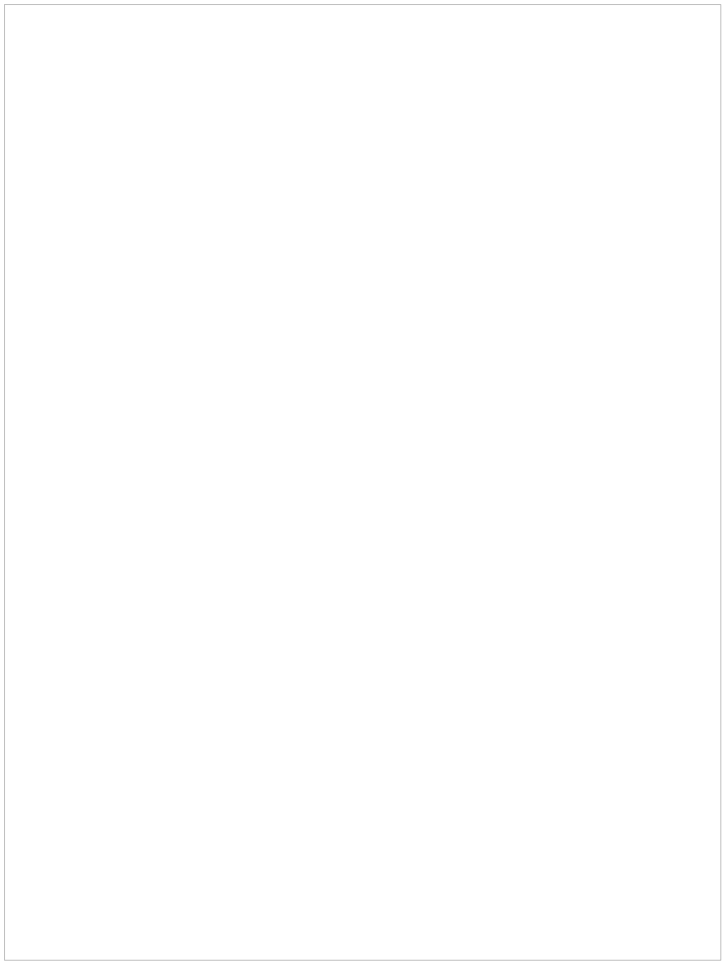
祈りの最後は、この蝦夷富士とも呼ばれる大きな山「羊蹄山」の頂上で祈りです。
天は地につながり、地は、水につながる。そして、水を生み出す山が守っているのが、北海道の大地だからです。

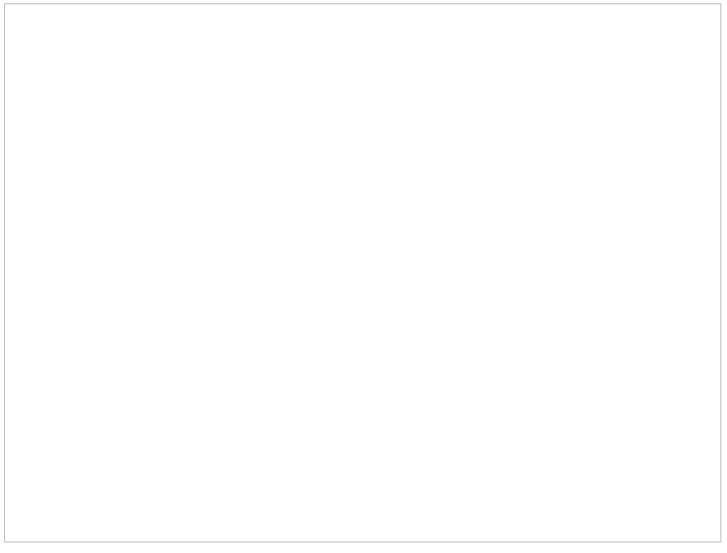
真狩登山口から午後に出発した結果、５時間かかって頂上まで登ったときには、もう真っ暗闇でした。翌日早朝、日の出とともに祈ることを決めて、湿気で濡れた衣服のまま毛布にくるまった山小屋の寒い一夜は、忘れることができません。

降りるときは、４時間半でしたが、頂上から見下ろしたときの雲海の美しさと、下山途中に振り返って見上げた頂上の美しさは、この世とあの世の次元の変更を感じました。一緒に登ってくださった皆様、本当にご苦労さまでした。









2003.06.22 Sun

21関の光を地球へ繋ぎなさい

20世紀末、世界中の高次元意識に繋がる人たちのメッセージは、地球の未来や人間の未来に対して愛に満ち溢れた素晴らしいメッセージを発信していました。

しかしそれは、メッセージを発信している本人が変わる事を意味していました。

今までの自分を守ろうとするエネルギーの戦いは、新しい時代の三年が過ぎても、沈静化しようとしていませんでした。

宇宙を守る存在たちは、人間がこの地球を本当に守れるのかをいつも見ています。

このままの意識レベルのスピードでは、地球が確実に崩壊するか、人間が消滅するしかない事も告げてきました。

宇宙はとてつもないスピードで生命の循環が繰り返されています。消えた過去の星と同じようになるのか、それともこの地球を私たち人間の手で存続させるかは、一人一人の決断と意識次第だと教えてくれます。

そして、

２１世紀の光を地球へ繋ぎなさい

とメッセージが降りました。

この啓示を周りの人へ伝えると、必要な人たちが集まり、5名で神事を行いました。全ての出来事が宇宙の愛の意図と思える連続でした。

2003.03.11 Tue

地球創生**1000**年プロジェクト

2002年2月22日、宇宙エネルギーが直列に繋がる日だと思っていると突然、この啓示が降りました。宇宙から何かを伝えるためのエネルギーは、2001年末から感じていましたが、まだ降ろす時期ではないようなので、その時をじっと待っていました。

地球を蘇らせる為のガイドブックともいえる内容は、それまで悩んでいた全ての悩みを解決するのに十分な内容でした。1000年という時間を長いと感じる人も、短いと感じる人もいるでしょう。でも魂の輪廻転生の時間を考えると、それほど長くはないと思います。それ以上に心配なのは、現状の人間のままでは確実にこの地球は消滅し、人間も消滅する時間が、1000年も無いです。そうならない為にも、今の人間にできる最善策を宇宙の創造主（マスター）が教えてくれました。

この啓示を下ろしてすぐに地球を愛する活動家たちに配りましたが、結果は誰一人、賛同してくれる人がいませんでした。自分が間違っているのかと何度もマスターに確認しましたが「まだ理解できないだけなのだ」と教えられて、一人でこの活動すると決意したある日、突然、一人の賛同者が目の前に現われました。

それから一人一人と賛同する人たちが、現われました。私以外にこのメッセージ感動し、行動してくれる人がいることでこの啓示の信憑性は増しました。今は、確信を持って未来の地球はこうなるとお伝えできます。

未来を変える為には、今、気づいた人が自分でするべき事をしていくと、必ず変えていくる事ができると思います。もっと多くの方が自分の決意の重要性に気づいて、地球の未来を変える行動を起こすまでこの活動は続けます。

2002.02.22 Fri

21世紀のテーマは「調和」

ありとあらゆる世の中の不調和を見続けてきてその結果が何を得るのか、また何を失うのかを悟ってから、現実世界に映し出されている一人一人の心の調和こそ、宇宙全体が望むことであり、また地球の存在している全ての存在が望んでいる事だと知りました。

その為に必要なものは、愛。

全てを受け止められる大きな愛。

どんなことがあっても見守る愛。

失う事から学ぶ、愛。

与えることから学ぶ、愛。

愛を持っている人だけが、調和を産み出せるからこそ、21世紀は、愛と調和の時代と言われるようになりました。しかし、現実に起きた悲惨な出来事は、2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ。

その原因も理由も、全てが人間の業であると神は言いました。だからこそ、戦うのでなく、愛。問われているのは、全ての人間の心だと思います。

2001.01.11 Thu

全ては無である

三年間、神や人の為に尽くす時間を奉げる中で受け止めきれないほどの苦しみを体験する事が何度かありました。その答えがいくら考えても見つからず神と対話するなかで三度、天上界へ昇りつめて宇宙の創造主（マスター）と対話するようになりました。

人間社会で起き続ける戸惑い、混乱、苦悩、そして、愛、喜びを経験させる意味を問うとその答えは、

全ては無である

とお答えになりました。この現実世界に起きている事も自らの心に思い浮かぶ事も「すべてが無である」と知らされた時はとてもショックでした。しかし、その無であるという意味を理解した時に、人間の存在理由と自分の役目に気づき新たな人生をスタートさせる決意をしました。

生まれた時から霊たちから霊界の苦しみを何度も体験させられた意味は、地球の底の底の底まで降りていってその存在たちの心を知った時から自らの苦しみは、受け止める学びだとわかりました。奪い、与え続ける自然界や動物の社会にも似たこの人間の社会に今、望まれていることは、自らの魂の使命を果たすことだと気づきました。

2000.02.22 Tue

地球を救いなさい

幼い頃から周りの人が心の中で何を考えているのか、未来に何が起きるのか、自然に映像やメッセージでわかる子供でした。

花や鳥や木や石と会話することも、みんなができる普通の事だと思っていました。ある日、この力が周りの人にない事を知り、驚きと共に理解できない人たちの言葉に長い間、悩みました。苦悩の結果、社会人になる時にこの全ての力を封印して普通の人間として生活する道を選びました。

1998年のある日、その力が突然、復活して周りの人には聞こえない声が聞こえたり、見えない物が見える日々がまた始まりました。霊視・透視と呼ばれるその力が与えられた意味を理解できすに悩んでいるとこの啓示が聞こえてきました。

地球を救いなさい

そして、「与えた全ての力を人の為に使いなさい」とメッセージが添えられました。幼い頃に対話していた大きな存在の言葉に驚きながらも自分の魂が喜んでいるのを感じたので、魂に正直に生きる事をこの日誓いました。それからは自分に何ができるのかを問い続けながら、自らの生き方を見つめ直す長い時間が始まりました。自分の魂に嘘をつく生き方をした代償は、他人の苦しみを自分が感じることで学ぶ精神修行の三年間になりました。

なぜ人間に歓びと苦悩を与えたのか、なぜ人間に欲を与えたのか、なぜ過去のカルマを消してまで今世生まれたのか、人間が生きる意味を問い続けました。神や仏の存在を認めながらも、人間の依存心に嫌気がさしている時もありました。

なぜ神は宗教を作られたのですか？と神に問うと、神は、答えました。

「それは私の本位ではない。人間が望んだことだ」と。

神の神意を聞き安心してから精神世界がある事を知り、その世界も学びました。出口王仁三郎、日月神示など昭和史に残るほどの強力な啓示を受けた人たちの事も学びました。しかし素晴らし啓示が降りてたくさんの人が感動したはずなのに、その結果が今の現状なら未来を変える為には、まず自分一人でできることから始めることだと思いました。

生活の全ての時間を人や地域に捧げて生きるこの時間は、これまでの罪を償うかのように、たくさんの人の悩みや苦しみを聞きながら、全ての苦しみを開放する方法を探す時間でした。

1998.01.11 Sun